



# 訪日旅行データ ハンドブック

編著・発行 日本政府観光局 (JNTO)

# 2023年



# 訪日旅行データ ハンドブック

編著・発行 日本政府観光局 (JNTO)

# 2023年

# 目次

構成	総合編	韓国	中国	台湾	香港	タイ	シンガポール	マレーシア	インドネシア	フィリピン	ベトナム
<b>総合編</b>											
(1) 市場別訪日外国人数 (2019年)	1~2										
(2) 人口 (2020年)	3~8										
(3) 将来推計人口 (2030年、2050年、2100年)	9~15										
(4) 年間の有給休暇付与日数	16										
(5) 1人当たりの名目GDP (2012年、2017年、2022年)	17~19										
(6) 国際旅行収入 (2019年)	20~22										
(7) 国際旅行支出 (2019年)	23~24										
(8) 外国人訪問者数 (2019年)	25~27										
(9) 外国旅行者数 (2019年)	28~29										
<b>市場編</b>											
<b>第1章 概要</b>											
(1) 民族別構成		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(2) 宗教別構成		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(3) 使用言語		1	1	1~2	1~2	1	1	1	1	1	1
(4) 面積		1	1	2	2	1	1	1	1	1	1
(5) 人口 (2000年、2005年、2010年、2015年、2020年)		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
(7) 都市別人口		4	4~6	4		4~5		4	4	4	4
(8) 祝日 (2023年~2024年)		5	7	4	4	5	4	4~5	5	5	4
(9) 学校の長期休暇		5	7	5	5	6	4	5~6	6	6	5
(10) 企業の休暇・就労制度		6	8	5	5	6	5	6	6	6	6
(11) 徴兵制度		6	8	5	5	7	5	7	7	6	6
(12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体		7	9~10	6	6	7~8	5~6	7~8	7	7	6~7
<b>第2章 経済指標</b>											
(1) 1人当たりの名目GDP (2013年~2022年)		8	11	7	7	9	7	9	8	8	8
(2) 実質経済成長率 (2013年~2022年)		9	12	8	8	10	8	10	9	9	9
(3) 国際旅行収入と国際旅行支出 (2013年~2022年)		9	12	8	8	10	8	10	9	9	9
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)		10	13	9	9	11	9	11	10	10	10
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)		11	14	10	10	12	10	12	11	11	11
(6) 高額純資産保有者数 (2013年~2022年)		12	15	11	11	13	11	13	12	12	12
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年~2022年)		12	15	11	11	13	11	13	12	12	12
<b>第3章 外国旅行の動向</b>											
(1) 外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年~2022年)		13	16	12	12	14	12	14	13	13	13
(2) 世界各国・地域への訪問者数の推移 (2017年~2021年)		13~15	16~18	12~13	12~13	14~15	12~13	14~15	13~14	13~14	13~14
(3) アジア各国・地域への訪問者数の推移 (2013年~2022年)		16	19	14	14	16	14	16	15	15	15
<b>第4章 訪日旅行の動向</b>											
(1) 訪日客の推移 (2013年~2022年)		17	20	15	15	17	15	17	16	16	16
(2) 訪日客の目的別シェアの推移 (2013年~2022年)		17	20	15	15	17	15	17	16	16	16
(3) 訪日客の性・年齢別構成 (2013年~2022年)		18	21	16	16	18	16	18	17	17	17
(4) 月別訪日客の推移 (2018年~2022年)		19	22	17	17	19	17	19	18	18	18
(5) 訪日客の平均滞在日数の推移 (2013年~2022年)		19	22	17	17	19	17	19	18	18	18
(6) 訪日客の訪日回数 (2011年~2019年)		20	23	18	18	20	18	20	19	19	19
(7) 訪日客の滞在期間 (2011年~2019年)		20	23	18	18	20	18	20	19	19	19
(8) 訪日客の旅行形態 (2011年~2019年)		21	24	19	19	21	19	21	20	20	20
(9) 訪日客の予約方法 (2015年~2019年)		21	24	19	19	21	19	21	20	20	20
(10) 訪日客の同行者 (2011年~2019年)		22	25	20	20	22	20	22	21	21	21
(11) 訪日客の訪日旅行に関する期待内容 (2015年~2019年)		23~24	26~27	21~22	21~22	23~24	21~22	23~24	22~23	22~23	22~23
(12) 訪日客が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年~2019年)		25	28	23	23	25	23	25	24	24	24
(13) 訪日客が訪日旅行中に役立った旅行情報 (2018年~2019年)		26	29	24	24	26	24	26	25	25	25
(14) 訪日客の世帯収入 (2018年~2019年)		27	30	25	25	27	25	27	26	26	26
(15) 訪日客の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2011年~2019年)		27	30	25	25	27	25	27	26	26	26
(16) 属性別訪日客の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2019年)		28	31	26	26	28	26	28	27	27	27
(17) 項目別訪日客の購入者単価 (2019年)		29	32	27	27	29	27	29	28	28	28
(18) 訪日客の買い物場所 (2015年~2019年)		30	33	28	28	30	28	30	29	29	29
(19) 訪日客が消費税免税手続きをした品目 (2018年~2019年)		31	34	29	29	31	29	31	30	30	30
(20) 訪日客が利用した決済方法 (2018年~2019年)		32	35	30	30	32	30	32	31	31	31
(21) 訪日客の都道府県別訪問地 (2011年~2019年)		33	36	31	31	33	31	33	32	32	32
(22) 訪日客の都道府県別宿泊地 (2017年~2022年)		34~35	37~38	32~33	32~33	34~35	32~33	34~35	33~34	33~34	33~34
(23) 訪日客の地方別延べ宿泊者数 (2013年~2022年)		36	39	34	34	36	34	36	35	35	35
(24) 訪日客が利用した宿泊施設 (2011年~2019年)		37	40	35	35	37	35	37	36	36	36
(25) 訪日客の訪日旅行の満足度 (2011年~2019年)		38	41	36	36	38	36	38	37	37	37
(26) 訪日客の日本再訪意向 (2011年~2019年)		38	41	36	36	38	36	38	37	37	37

注：「日本」の第1章と第2章では日本単独の情報を、第3章では出国日本人の情報を、第4章では訪日外国人全体の情報を中心に、それぞれ掲載しています。



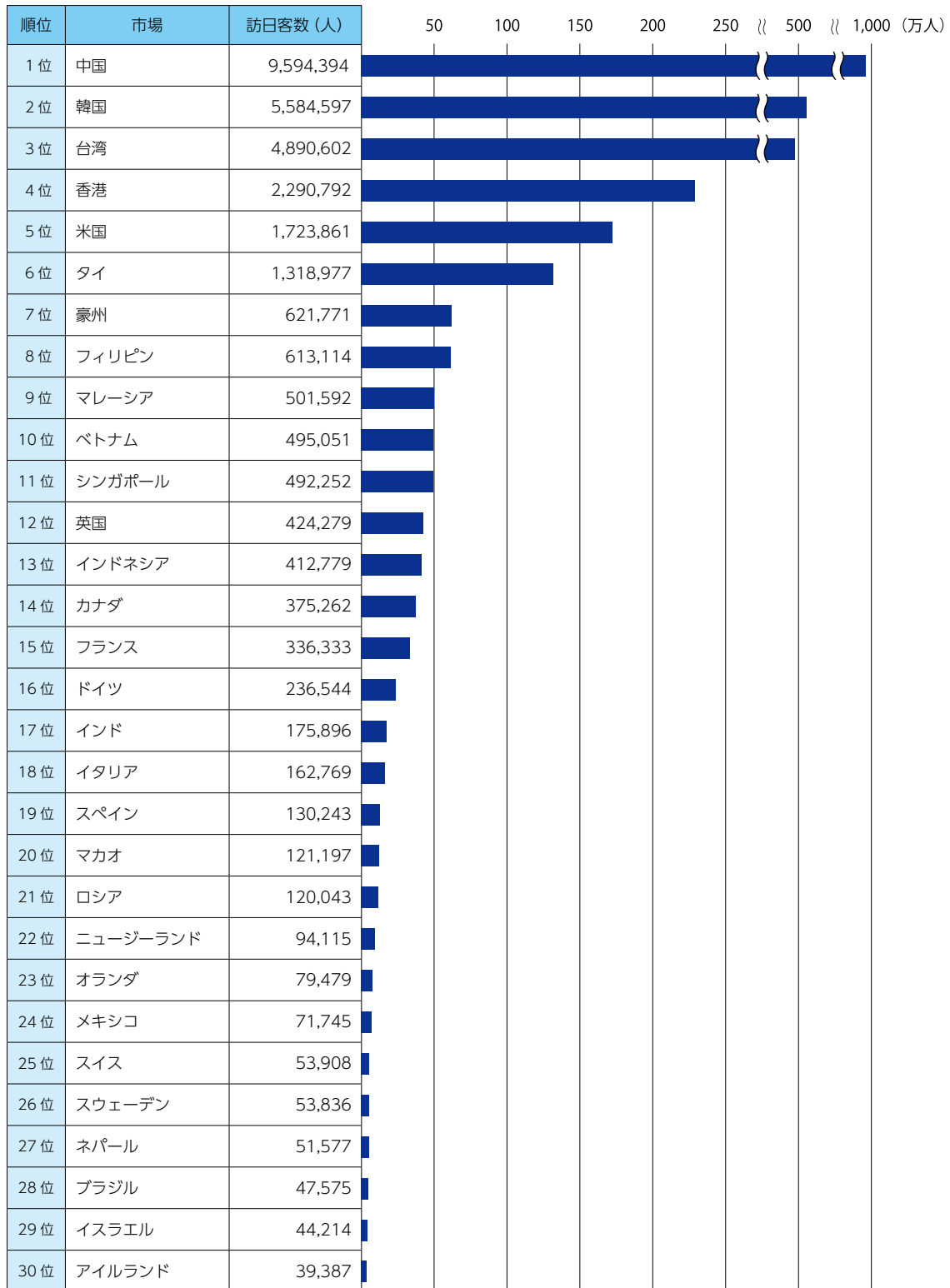
# 目次

構成	アラブ 首長国連邦	バーレーン	オマーン	カタール	クウェート	日本
<b>総合編</b>						
(1) 市場別訪日外国人数 (2019年)						
(2) 人口 (2020年)						
(3) 将来推計人口 (2030年、2050年、2100年)						
(4) 年間の有給休暇付与日数						
(5) 1人当たりの名目GDP (2012年、2017年、2022年)						
(6) 国際旅行収入 (2019年)						
(7) 国際旅行支出 (2019年)						
(8) 外国人訪問者数 (2019年)						
(9) 外国旅行者数 (2019年)						
<b>市場編</b>						
<b>第1章 概要</b>						
(1) 民族別構成	1	1	1	1	1	1
(2) 宗教別構成	1	1	1	1	1	1
(3) 使用言語	1	1	1	1	1	1
(4) 面積	1	1	1	1	1	1
(5) 人口 (2000年、2005年、2010年、2015年、2020年)	2	2	2	2	2	2
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)	3	3	3	3	3	3
(7) 都市別人口	4		4	4		4
(8) 祝日 (2023年～2024年)	4	4	4	4	4	
(9) 学校の長期休暇	5	4	4	4	4	
(10) 企業の休暇・就労制度	5	4	5	5	4	
(11) 徴兵制度	5	5	5	5	5	
(12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体	6	5	5	5	5	
<b>第2章 経済指標</b>						
(1) 1人当たりの名目GDP (2013年～2022年)	7	6	6	6	6	5
(2) 実質経済成長率 (2013年～2022年)	8	7	7	7	7	6
(3) 国際旅行収入と国際旅行支出 (2013年～2022年)	8	7	7	7	7	6
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)	9	8	8	8	8	7
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)	10	9	9	9	9	8
(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)	11	10		10	10	9
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)	11	10		10	10	9
<b>第3章 外国旅行の動向</b>						
(1) 外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年～2022年)	12	11	10	11	11	10
(2) 世界各国・地域への訪問者数の推移 (2017年～2021年)	12～13	11～12	10～11	11～12	11～12	10～13
(3) アジア各国・地域への訪問者数の推移 (2013年～2022年)	14	13	12	13	13	14
<b>第4章 訪日旅行の動向</b>						
(1) 訪日客の推移 (2013年～2022年)	15	14	13	14	14	15
(2) 訪日客の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)	15	14	13	14	14	15
(3) 訪日客の性・年齢別構成 (2013年～2022年)	16	15	14	15	15	16
(4) 月別訪日客の推移 (2018年～2022年)	17	16	15	16	16	17
(5) 訪日客の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)	17	16	15	16	16	17
(6) 訪日客の訪日回数 (2011年～2019年)						18
(7) 訪日客の滞在期間 (2011年～2019年)						18
(8) 訪日客の旅行形態 (2011年～2019年)						19
(9) 訪日客の予約方法 (2015年～2019年)						19
(10) 訪日客の同行者 (2011年～2019年)						20
(11) 訪日客の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)						21～22
(12) 訪日客が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)						23
(13) 訪日客が訪日旅行中に役立った旅行情報 (2018年～2019年)						24
(14) 訪日客の世帯収入 (2018年～2019年)						25
(15) 訪日客の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2011年～2019年)						25
(16) 属性別訪日客の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2019年)						26
(17) 項目別訪日客の購入者単価 (2019年)						27
(18) 訪日客の買い物場所 (2015年～2019年)						28
(19) 訪日客が消費税免税手続きをした品目 (2018年～2019年)						29
(20) 訪日客が利用した決済方法 (2018年～2019年)						30
(21) 訪日客の都道府県別訪問地 (2011年～2019年)						31
(22) 訪日客の都道府県別宿泊地 (2017年～2022年)						32～33
(23) 訪日客の地方別延べ宿泊者数 (2013年～2022年)						34
(24) 訪日客が利用した宿泊施設 (2011年～2019年)						35
(25) 訪日客の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)						36
(26) 訪日客の日本再訪意向 (2011年～2019年)						36



## (1) 市場別訪日外国人数（2019年）

[次ページへ](#)



順位	市場	訪日客数(人)	50	100	150	200	250	500	1,000 (万人)
31位	ベルギー	39,245							
32位	ポーランド	38,534							
33位	デンマーク	32,893							
34位	ポルトガル	32,349							
35位	モンゴル	31,513							
36位	ミャンマー	30,977							
37位	フィンランド	29,437							
38位	カンボジア	28,492							
39位	スリランカ	28,380							
40位	オーストリア	27,530							
41位	ノルウェー	24,838							
42位	アルゼンチン	23,805							
43位	トルコ	22,724							
44位	南アフリカ共和国	19,543							
45位	パキスタン	17,208							
46位	バングラデシュ	15,174							
47位	ルーマニア	14,837							
48位	チェコ	14,356							
49位	チリ	13,370							
50位	ハンガリー	12,696							
51位	コロンビア	11,745							
52位	サウジアラビア	11,152							
53位	ウクライナ	10,176							
54位	ギリシャ	9,494							
55位	アラブ首長国連邦	8,891							
56位	エジプト	6,345							
57位	ブルガリア	6,324							
58位	ラオス	6,154							
59位	ペルー	6,022							
60位	スロバキア	5,836							
61位	カザフスタン	5,431							
62位	リトアニア	5,260							
63位	イラン	5,252							
64位	ウズベキスタン	5,243							

注1：本表には、年間で5千人を超えた国・地域を掲載した。

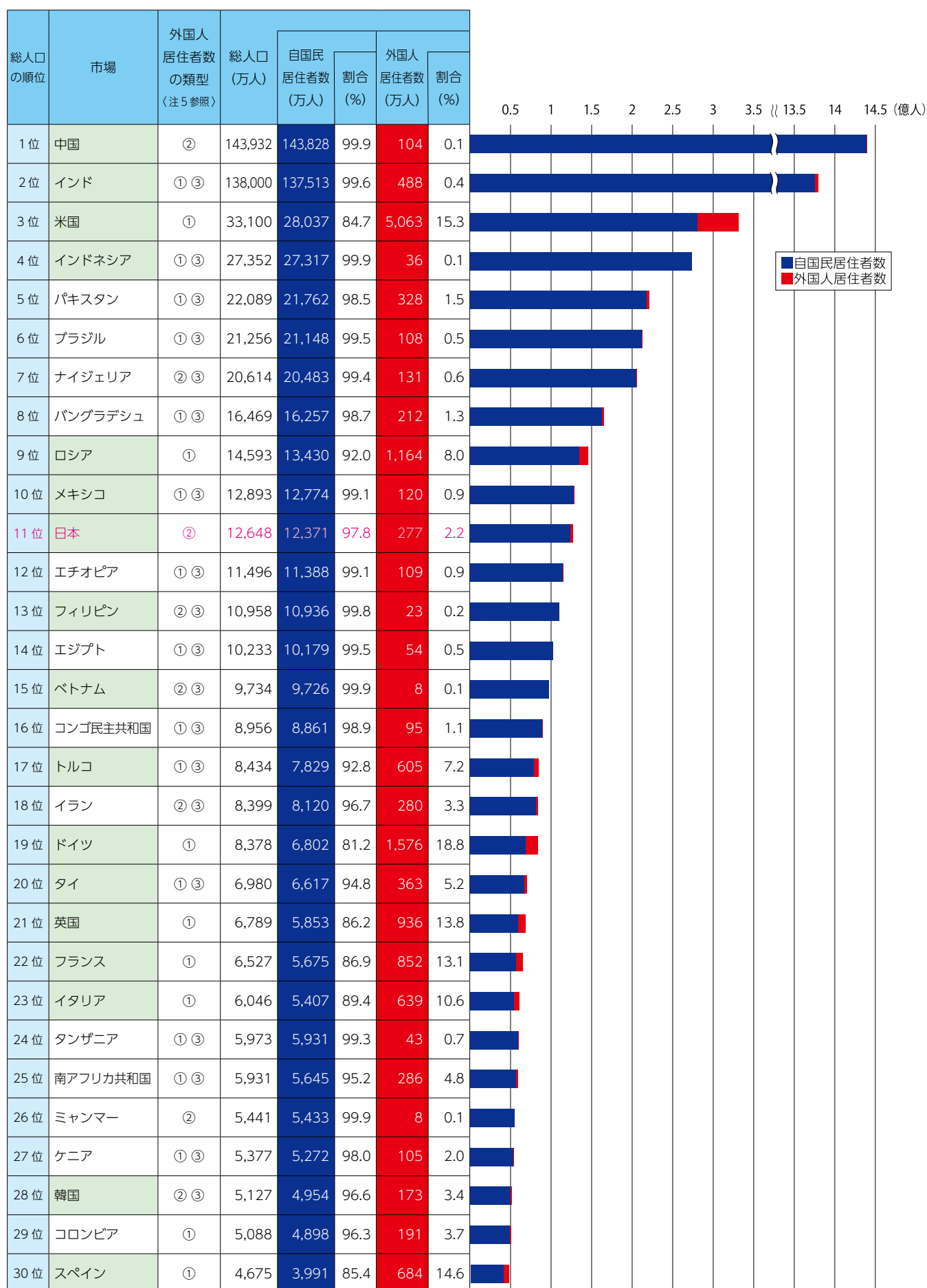
注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで訪日外国人数が激減した。

ここでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2019年の訪日外国人数を掲載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 人口 (2020年)

次ページへ ▶







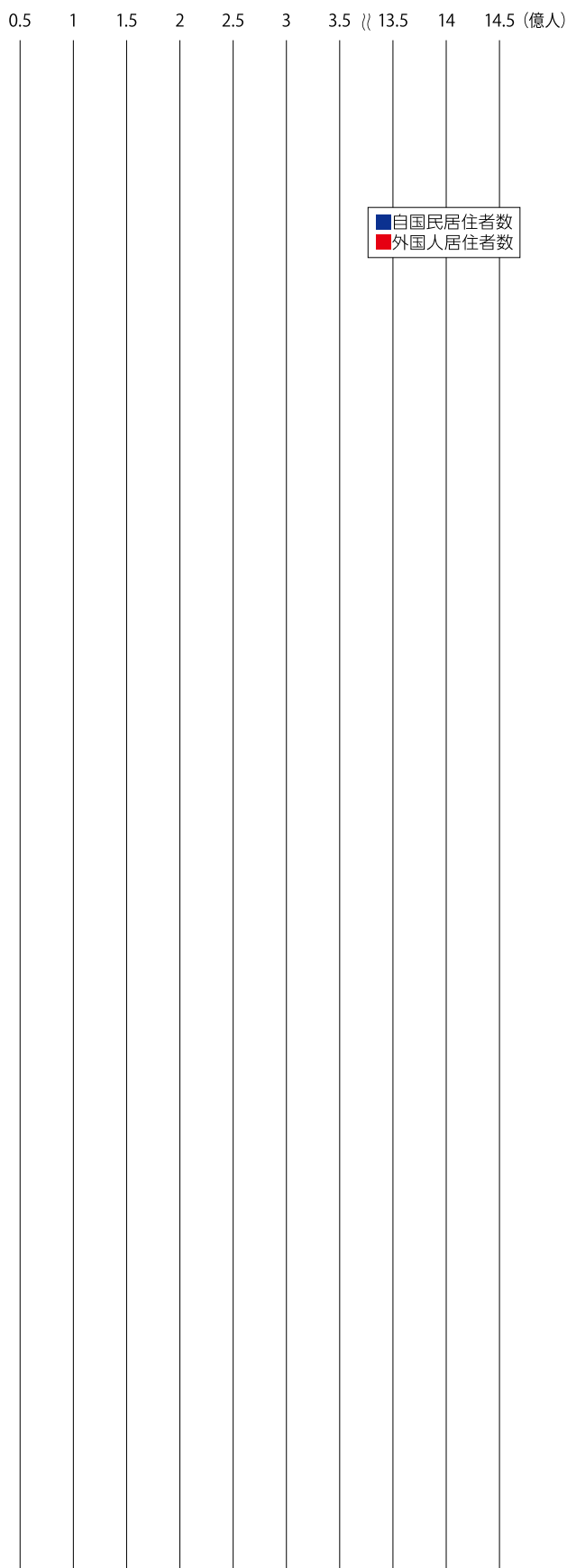
▷ 前ページから

次ページへ ▷

総人口の順位	市場	外国人居住者数の類型 (注5参照)	総人口 (万人)	自国民		外国人		0.5	1	1.5	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90
				居住者数 (万人)	割合 (%)	居住者数 (万人)	割合 (%)																																																																																															
61位	ルーマニア	①	1,924	1,853	96.3	71	3.7																																																																																															
62位	マラウイ	①③	1,913	1,894	99.0	19	1.0																																																																																															
63位	チリ	①	1,912	1,747	91.4	165	8.6																																																																																															
64位	カザフスタン	①③	1,878	1,504	80.1	373	19.9																																																																																															
65位	ザンビア	①③	1,838	1,820	99.0	19	1.0																																																																																															
66位	グアテマラ	①③	1,792	1,783	99.5	8	0.5																																																																																															
67位	エクアドル	①③	1,764	1,686	95.6	78	4.4																																																																																															
68位	シリア	②③	1,750	1,663	95.0	87	5.0																																																																																															
69位	オランダ	①	1,713	1,478	86.2	236	13.8																																																																																															
70位	セネガル	①③	1,674	1,647	98.4	27	1.6																																																																																															
71位	カンボジア	①③	1,672	1,664	99.5	8	0.5																																																																																															
72位	チャド	①③	1,643	1,588	96.7	55	3.3																																																																																															
73位	ソマリア	③④	1,589	1,583	99.6	6	0.4																																																																																															
74位	ジンバブエ	①③	1,486	1,445	97.2	42	2.8																																																																																															
75位	ギニア	①②③	1,313	1,301	99.1	12	0.9																																																																																															
76位	ルワンダ	①③	1,295	1,244	96.0	51	4.0																																																																																															
77位	ベナン	①②③	1,212	1,173	96.7	39	3.3																																																																																															
78位	ブルンジ	①③	1,189	1,155	97.1	34	2.9																																																																																															
79位	チュニジア	②③	1,182	1,176	99.5	6	0.5																																																																																															
80位	ボリビア	①③	1,167	1,151	98.6	16	1.4																																																																																															
81位	ベルギー	①	1,159	958	82.7	201	17.3																																																																																															
82位	ハイチ	①③	1,140	1,138	99.8	2	0.2																																																																																															
83位	キューバ	①	1,133	1,132	100.0	0	0.0																																																																																															
84位	南スーダン	①③	1,119	1,031	92.1	88	7.9																																																																																															
85位	ドミニカ共和国	①③	1,085	1,024	94.4	60	5.6																																																																																															
86位	チェコ	②	1,071	1,017	94.9	54	5.1																																																																																															
87位	ギリシャ	①	1,042	908	87.1	134	12.9																																																																																															
88位	ヨルダン	②③	1,020	675	66.1	346	33.9																																																																																															
89位	ポルトガル	①	1,020	919	90.2	100	9.8																																																																																															
90位	アゼルバイジャン	①③	1,014	989	97.5	25	2.5																																																																																															

■自国民居住者数  
■外国人居住者数

総人口の順位	市場	外国人居住者数の種類 (注5参照)	総人口 (万人)	自国民		外国人	
				居住者数 (万人)	割合 (%)	居住者数 (万人)	割合 (%)
91位	スウェーデン	①	1,010	810	80.2	200	19.8
92位	ホンジュラス	①③	990	987	99.6	4	0.4
93位	アラブ首長国連邦	②③	989	117	11.9	872	88.1
94位	ハンガリー	①	966	908	93.9	58	6.1
95位	タジキスタン	①③	954	926	97.1	28	2.9
96位	ベラルーシ	①	945	838	88.7	107	11.3
97位	オーストリア	①	901	727	80.7	174	19.3
98位	パプアニューギニア	②③	895	892	99.7	3	0.3
99位	セルビア	①	874	791	90.6	82	9.4
100位	イスラエル	①③	866	670	77.4	195	22.6
101位	スイス	①	865	616	71.2	249	28.8
102位	トーゴ	②③	828	800	96.6	28	3.4
103位	シエラレオネ	①③	798	792	99.3	5	0.7
104位	香港	①③	750	453	60.5	296	39.5
105位	ラオス	②③	728	723	99.3	5	0.7
106位	パラグアイ	①③	713	696	97.6	17	2.4
107位	ブルガリア	①	695	676	97.3	18	2.7
108位	リビア	②③	687	604	88.0	83	12.0
109位	レバノン	①③	683	511	74.9	171	25.1
110位	ニカラグア	①③	662	658	99.4	4	0.6
111位	キルギス	①③	652	633	96.9	20	3.1
112位	エルサルバドル	①③	649	644	99.3	4	0.7
113位	トルクメニスタン	①③	603	584	96.8	19	3.2
114位	シンガポール	①	585	333	56.9	252	43.1
115位	デンマーク	①	579	507	87.6	72	12.4
116位	フィンランド	①	554	515	93.0	39	7.0
117位	コンゴ共和国	①③	552	513	93.0	39	7.0
118位	スロバキア	①	546	526	96.4	20	3.6
119位	ノルウェー	①	542	457	84.3	85	15.7
120位	オマーン	②③	511	273	53.5	237	46.5



▷ 前ページから

次ページへ ▷

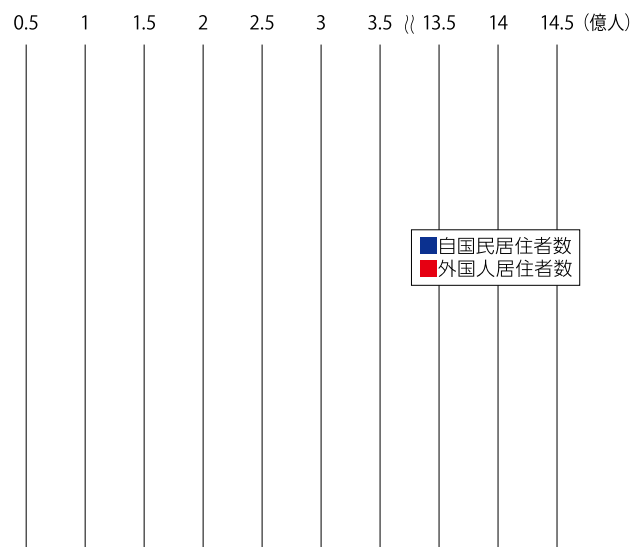
総人口の順位	市場	外国人居住者数の類型 (注5参照)	総人口 (万人)	自国民		外国人	
				居住者数 (万人)	割合 (%)	居住者数 (万人)	割合 (%)
121位	パレスチナ	①	510	483	94.7	27	5.3
122位	コスタリカ	① ③	509	457	89.8	52	10.2
123位	リベリア	① ③	506	497	98.3	9	1.7
124位	アイルランド	①	494	407	82.4	87	17.6
125位	中央アフリカ共和国	② ③	483	474	98.2	9	1.8
126位	ニュージーランド	①	482	344	71.3	138	28.7
127位	モーリタニア	② ③	465	447	96.1	18	3.9
128位	パナマ	① ③	431	400	92.7	31	7.3
129位	クウェート	② ③	427	116	27.2	311	72.8
130位	クロアチア	①	411	358	87.1	53	12.9
131位	モルドバ	①	403	393	97.4	10	2.6
132位	ジョージア	① ③	399	391	98.0	8	2.0
133位	エリトリア	③ ④	355	353	99.6	1	0.4
134位	ウルグアイ	① ③	347	337	96.9	11	3.1
135位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	③ ④	328	324	98.9	4	1.1
136位	モンゴル	② ③	328	326	99.3	2	0.7
137位	アルメニア	① ③	296	277	93.6	19	6.4
138位	ジャマイカ	① ③	296	294	99.2	2	0.8
139位	カタール	②	288	65	22.7	223	77.3
140位	アルバニア	①	288	283	98.3	5	1.7
141位	プエルトリコ	①	286	261	91.4	25	8.6
142位	リトアニア	①	272	258	94.7	15	5.3
143位	ナミビア	① ③	254	243	95.7	11	4.3
144位	ガンビア	① ③	242	220	91.1	22	8.9
145位	ボツワナ	① ③	235	224	95.3	11	4.7
146位	ガボン	② ③	223	181	81.3	42	18.7
147位	レソト	② ③	214	213	99.4	1	0.6
148位	北マケドニア	①	208	195	93.7	13	6.3
149位	スロベニア	①	208	180	86.6	28	13.4
150位	ギニアビサウ	① ③	197	195	99.1	2	0.9

0.5 1 1.5 2 2.5 3 3.5 4 4.5 5 5.5 6 6.5 7 7.5 8 8.5 9 9.5 10 10.5 11 11.5 12 12.5 13 13.5 14 14.5 (億人)

■自国民居住者数  
■外国人居住者数

▶ 前ページから

総人口の順位	市場	外国人居住者数の類型 (注5参照)	総人口 (万人)	自国民		外国人	
				居住者数 (万人)	割合 (%)	居住者数 (万人)	割合 (%)
151位	ラトビア	①	189	165	87.3	24	12.7
152位	バーレーン	②③	170	77	45.0	94	55.0
153位	赤道ギニア	②	140	117	83.6	23	16.4
154位	トリニダード・トバゴ	①③	140	132	94.4	8	5.6
155位	エストニア	①	133	113	85.0	20	15.0
156位	東ティモール	①③	132	131	99.4	1	0.6
157位	モーリシャス	②	127	124	97.7	3	2.3
158位	キプロス	①	121	102	84.2	19	15.8
159位	エスワティニ	①③	116	113	97.2	3	2.8



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：上記表には、総人口が100万人以上の市場を掲載した。

注3：国際連合は、「台湾の総人口に、外国人居住者や中国・香港・マカオ出身居住者が含まれているか否か」を公開していないため、その詳細は不明である。

注4：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

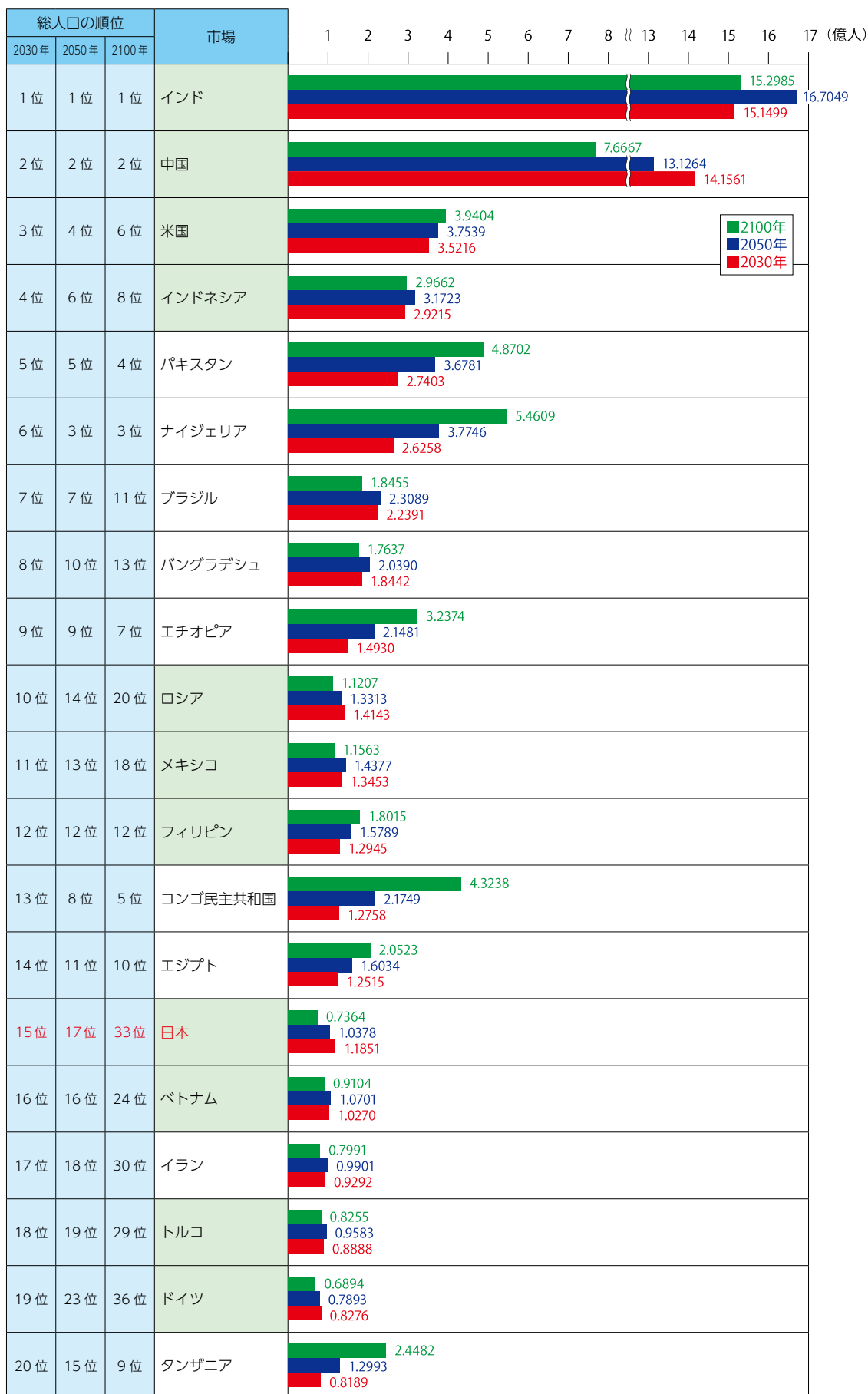
注5：注4の①～④に関して、各市場で外国人居住者としてみなされる範疇は、上記表の「外国人居住者数の類型」に記載したとおりである。

注6：上記表の「市場」欄の薄緑色網掛け箇所は、「訪日旅行促進のための重点市場」および「日本」を指している。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (3) 将来推計人口（2030年、2050年、2100年）

次ページへ ▶



総人口の順位			市場	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 (億人)																	
2030年	2050年	2100年		2100年	2050年	2030年															
21位	29位	52位	タイ	0.4457	0.6788	0.7206															
22位	28位	35位	英国	0.7049	0.7168	0.6918															
23位	31位	43位	フランス	0.6085	0.6583	0.6554															
24位	26位	31位	南アフリカ共和国	0.7456	0.7353	0.6466															
25位	21位	19位	ケニア	1.1253	0.8521	0.6310															
26位	20位	17位	ウガンダ	1.3213	0.8762	0.5838															
27位	37位	59位	イタリア	0.3687	0.5225	0.5754															
28位	22位	15位	スーダン	1.4200	0.8449	0.5700															
29位	34位	46位	ミャンマー	0.5242	0.5993	0.5699															
30位	35位	51位	コロンビア	0.4584	0.5699	0.5413															
31位	24位	21位	イラク	1.1150	0.7452	0.5280															
32位	46位	69位	韓国	0.2410	0.4577	0.5129															
33位	25位	22位	アフガニスタン	1.1085	0.7408	0.5033															
34位	33位	37位	アルジェリア	0.6779	0.6000	0.4979															
35位	39位	49位	アルゼンチン	0.4756	0.5162	0.4768															
36位	49位	66位	スペイン	0.3088	0.4422	0.4708															
37位	27位	16位	アンゴラ	1.3290	0.7233	0.4491															
38位	45位	45位	カナダ	0.5390	0.4589	0.4101															
39位	32位	23位	モザンビーク	1.0620	0.6304	0.4092															
40位	43位	48位	サウジアラビア	0.5047	0.4837	0.4046															

▶ 前ページから

次ページへ ▶

総人口の順位			市場	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 (億人)																	
2030年	2050年	2100年		2100年	2050年	2030年															
41位	48位	53位	モロッコ	0.4393	0.4504	0.4023															
42位	36位	32位	イエメン	0.7418	0.5530	0.3992															
43位	38位	34位	ガーナ	0.7283	0.5223	0.3878															
44位	60位	71位	ポーランド	0.2308	0.3493	0.3870															
45位	47位	47位	ウズベキスタン	0.5079	0.4559	0.3831															
46位	61位	74位	ウクライナ	0.2043	0.3287	0.3830															
47位	50位	55位	ペルー	0.4210	0.4202	0.3670															
48位	51位	56位	マレーシア	0.3947	0.4103	0.3669															
49位	40位	28位	マダガスカル	0.8332	0.5159	0.3560															
50位	30位	14位	ニジェール	1.6701	0.6704	0.3522															
51位	41位	25位	コートジボワール	0.8937	0.5136	0.3421															
52位	42位	26位	カメルーン	0.8709	0.5128	0.3405															
53位	55位	65位	ネパール	0.3377	0.3740	0.3313															
54位	59位	61位	ベネズエラ	0.3535	0.3594	0.3203															
55位	53位	54位	シリア	0.4347	0.3831	0.2982															
56位	44位	27位	マリ	0.8708	0.4744	0.2871															
57位	63位	58位	豪州	0.3809	0.3219	0.2820															
58位	52位	42位	ブルキナファソ	0.6154	0.4054	0.2752															
59位	65位	73位	北朝鮮	0.2047	0.2581	0.2657															
60位	56位	44位	マラウイ	0.5852	0.3716	0.2494															



総人口の順位			市場	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 (億人)																	
2030年	2050年	2100年		2100年	2050年	2030年															
61位	54位	40位	ザンビア	0.6360	0.3746	0.2468															
62位	72位	88位	台湾	0.1524	0.2245	0.2403															
63位	58位	39位	チャド	0.6515	0.3645	0.2246															
64位	57位	38位	ソマリア	0.6634	0.3646	0.2232															
65位	74位	90位	スリランカ	0.1469	0.2181	0.2219															
66位	66位	63位	カザフスタン	0.3409	0.2561	0.2113															
67位	62位	41位	セネガル	0.6205	0.3256	0.2113															
68位	68位	68位	グアテマラ	0.2617	0.2460	0.2000															
69位	75位	84位	チリ	0.1680	0.2068	0.1993															
70位	73位	72位	エクアドル	0.2145	0.2227	0.1949															
71位	64位	60位	ジンバブエ	0.3563	0.2644	0.1918															
72位	79位	95位	ルーマニア	0.1311	0.1746	0.1902															
73位	76位	76位	カンボジア	0.1912	0.2026	0.1808															
74位	77位	85位	オランダ	0.1658	0.1790	0.1794															
75位	70位	62位	ギニア	0.3418	0.2371	0.1662															
76位	67位	50位	ベナン	0.4662	0.2526	0.1639															
77位	71位	64位	ルワンダ	0.3381	0.2303	0.1638															
78位	69位	57位	ブルンジ	0.3939	0.2421	0.1580															
79位	80位	77位	ボリビア	0.1886	0.1661	0.1363															
80位	86位	92位	チュニジア	0.1353	0.1432	0.1310															

▶ 前ページから

次ページへ ▶

総人口の順位			市場	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 (億人)																	
2030年	2050年	2100年																			
81位	83位	86位	ハイチ	0.1611	0.1509	0.1270															
82位	78位	70位	南スーダン	0.2372	0.1746	0.1257															
83位	89位	98位	ドミニカ共和国	0.1191	0.1318	0.1198															
84位	84位	81位	ヨルダン	0.1763	0.1501	0.1193															
85位	91位	99位	ベルギー	0.1152	0.1209	0.1187															
86位	87位	89位	ホンジュラス	0.1517	0.1426	0.1172															
87位	85位	79位	パプア ニューギニア	0.1855	0.1491	0.1162															
88位	82位	75位	タジキスタン	0.2040	0.1520	0.1142															
89位	98位	116位	キューバ	0.0648	0.1003	0.1102															
90位	92位	94位	スウェーデン	0.1319	0.1190	0.1101															
91位	95位	108位	アゼルバイジャン	0.0827	0.1087	0.1071															
92位	81位	67位	トーゴ	0.2698	0.1548	0.1056															
93位	96位	100位	チェコ	0.1117	0.1058	0.1052															
94位	90位	80位	イスラエル	0.1841	0.1299	0.1013															
95位	88位	83位	シエラレオネ	0.1697	0.1360	0.1011															
96位	102位	114位	ポルトガル	0.0689	0.0926	0.1006															
97位	103位	118位	ギリシャ	0.0638	0.0914	0.1006															
98位	94位	91位	アラブ首長国連邦	0.1409	0.1145	0.1000															
99位	109位	113位	ハンガリー	0.0693	0.0882	0.0964															
100位	112位	117位	ベラルーシ	0.0647	0.0841	0.0921															

総人口の順位			市場	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 (億人)																	
2030年	2050年	2100年		2100年	2050年	2030年															
101位	100位	101位	スイス	0.1044	0.0975	0.0914															
102位	105位	109位	オーストリア	0.0795	0.0892	0.0905															
103位	99位	102位	ラオス	0.0969	0.0978	0.0832															
104位	104位	103位	ニカラグア	0.0914	0.0909	0.0769															
105位	114位	128位	香港	0.0485	0.0698	0.0749															
106位	101位	97位	キルギス	0.1198	0.0943	0.0744															
107位	110位	105位	パラグアイ	0.0861	0.0859	0.0743															
108位	111位	107位	リビア	0.0847	0.0854	0.0739															
109位	97位	82位	コンゴ共和国	0.1718	0.1038	0.0711															
110位	93位	78位	中央アフリカ共和国	0.1879	0.1153	0.0710															
111位	113位	104位	トルクメニスタン	0.0881	0.0826	0.0703															
112位	122位	137位	セルビア	0.0327	0.0578	0.0683															
113位	115位	133位	エルサルバドル	0.0428	0.0664	0.0655															
114位	127位	139位	ブルガリア	0.0294	0.0519	0.0629															
115位	107位	93位	リベリア	0.1323	0.0889	0.0628															
116位	108位	96位	パレスチナ	0.1281	0.0886	0.0626															
117位	118位	122位	シンガポール	0.0545	0.0634	0.0625															
118位	116位	112位	デンマーク	0.0709	0.0645	0.0610															
119位	106位	87位	モーリタニア	0.1545	0.0891	0.0583															
120位	117位	111位	ノルウェー	0.0722	0.0637	0.0575															

▶ 前ページから

総人口の順位			市場	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 (億人)																	
2030年	2050年	2100年																			
121位	126位	125位	フィンランド	0.0502 0.0546 0.0557																	
122位	128位	136位	スロバキア	0.0385 0.0519 0.0556																	
123位	121位	120位	ニュージーランド	0.0607 0.0595 0.0550																	
124位	125位	131位	コスタリカ	0.0453 0.0570 0.0543																	
125位	124位	121位	アイルランド	0.0572 0.0572 0.0527																	
126位	119位	110位	オマーン	0.0784 0.0633 0.0509																	
127位	123位	119位	パナマ	0.0621 0.0574 0.0486																	
129位	129位	127位	クウェート	0.0490 0.0516 0.0456																	
130位	120位	106位	エリトリア	0.0858 0.0596 0.0428																	
132位	132位	124位	モンゴル	0.0526 0.0452 0.0374																	
135位	131位	115位	ガンビア	0.0667 0.0467 0.0326																	
140位	133位	126位	ナミビア	0.0502 0.0378 0.0291																	
141位	138位	132位	カタール	0.0438 0.0336 0.0286																	
144位	134位	123位	ガボン	0.0527 0.0376 0.0277																	
154位	152位	144位	バーレーン	0.0205 0.0181 0.0157																	

注1：上記表は、2030年の「将来推計人口」を基準に並び替えられている。

注2：「将来推計人口」には、自国民居住者数のみならず、外国人居住者数も含まれている。

注3：上記の3か年（2030年、2050年、2100年）のうち、1か年でも「将来推計人口」が500万人以上を占める市場があれば、上記表に掲載している。言い換えると、上記の3か年（2030年、2050年、2100年）の全年で「将来推計人口」が500万人に満たない市場は、上記表に掲載していない。例えば、2030年の128位以下には、上記の3か年（2030年、2050年、2100年）の全年で「将来推計人口」が500万人に満たない市場があるため、該当市場の順位は掲載していない。

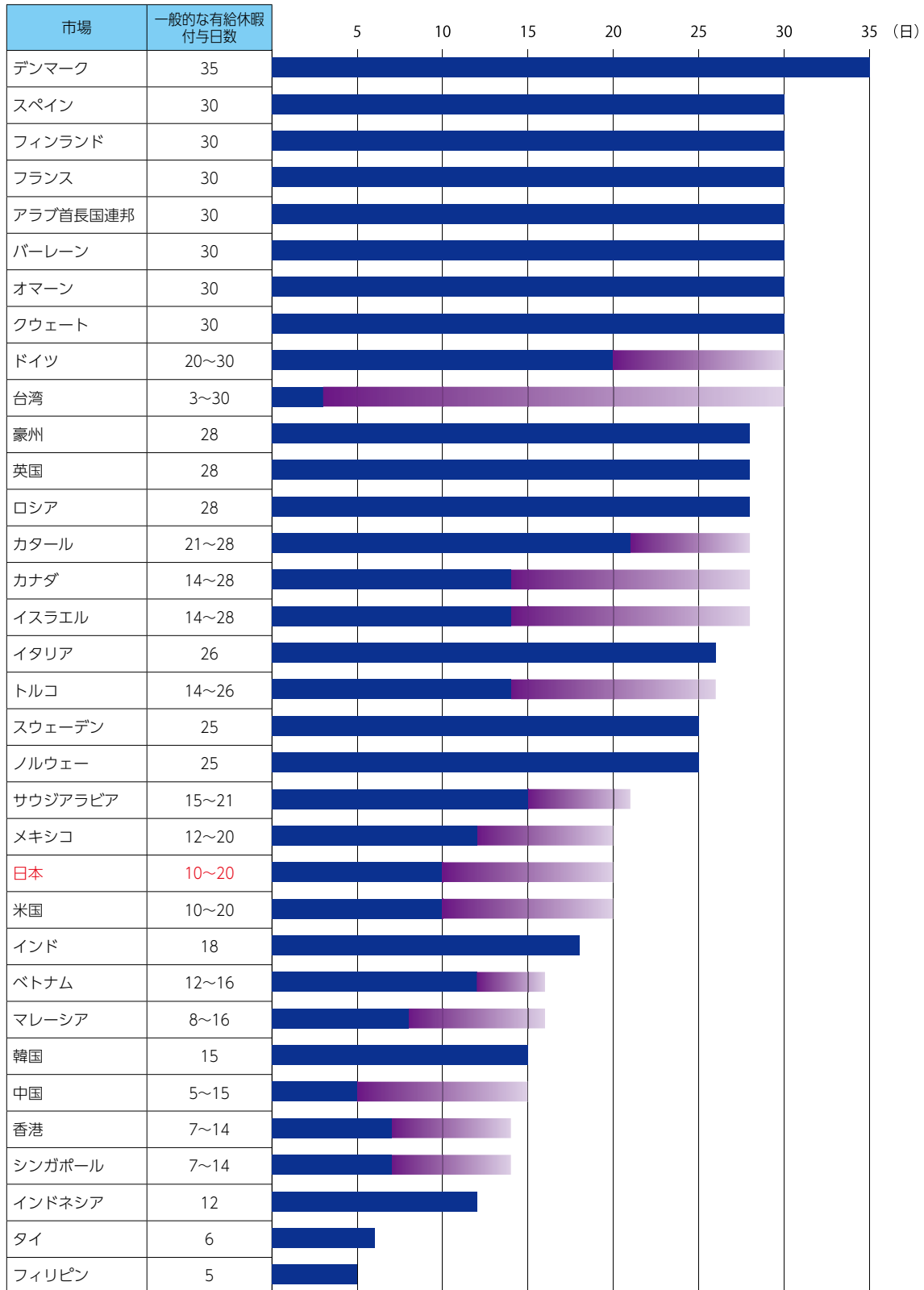
注4：カタールとバーレーンは、上記の3か年（2030年、2050年、2100年）とも、「将来推計人口」が500万人に満たない市場であるが、訪日旅行誘致活動の重点市場（中東地域）の一角に位置付けられているため、注3の例外として敢えて掲載した。

注5：本書の「市場編」で掲載している「訪日旅行誘致活動の重点市場」と「日本」を瞬時に識別できるように、上記表の当該「市場」欄を薄緑色で配色した。

注6：「将来推計人口」は、出生率、死亡率、国際移住の観点から、出典元によって、将来的に予測される複数の増減のシナリオが描かれており、各々のシナリオに沿った推計値が算出されている。本書では、マスコミや政府機関などで最も多く引用される推計値（すなわち、前述した複数の増減のシナリオの中央値を用いて算出された推計値）を掲載した。

出典：2022年7月の国連経済社会局人口部の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

#### (4) 年間の有給休暇付与日数

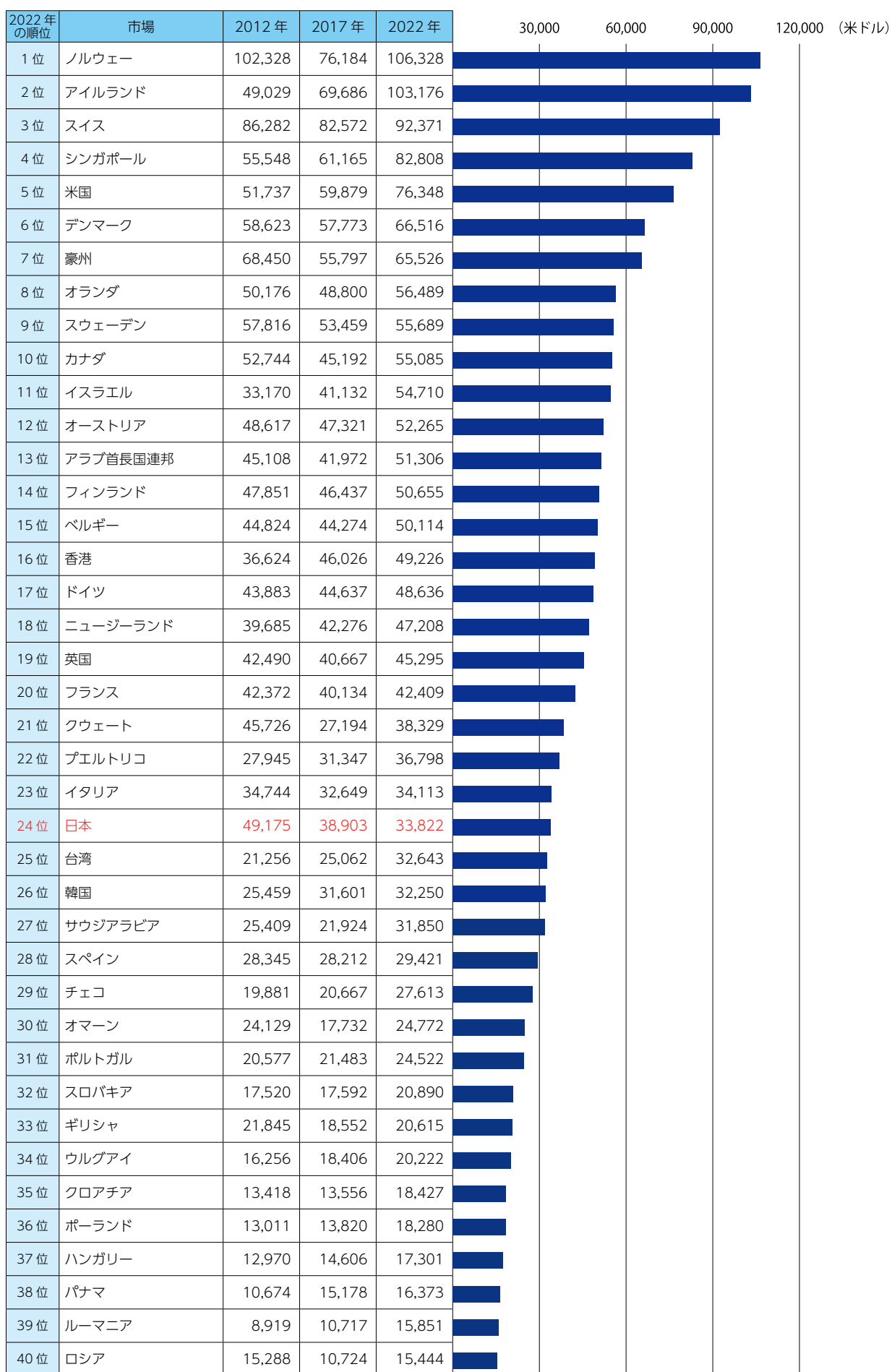


注1：職場、勤続年数、週間労働日数、重労働の度合いなどによって、年間の有給休暇付与日数が異なる場合がある。

注2：前年に消化しなかった有給休暇日数の繰り越し分は含まれていない。

出典：各国政府、各国労働基準法、国際労働機関 (ILO)、欧州委員会 (EC)、日本国厚生労働省、日本貿易振興機構 (JETRO) などの資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (5) 1人当たりの名目GDP（2012年、2017年、2022年）

[次ページへ](#)

2022年 の順位	市場	2012年	2017年	2022年	30,000	60,000	90,000	120,000 (米ドル)
41位	チリ	15,316	15,004	15,095				
42位	アルゼンチン	13,890	14,618	13,655				
43位	ブルガリア	7,454	8,414	13,109				
44位	コスタリカ	10,107	12,185	13,077				
45位	中国	6,283	8,760	12,814				
46位	トルクメニスタン	9,465	8,121	12,500				
47位	マレーシア	10,815	9,969	12,364				
48位	カザフスタン	12,300	9,187	11,440				
49位	メキシコ	10,271	9,343	10,868				
50位	トルコ	11,638	10,629	10,618				
51位	ドミニカ共和国	6,275	7,875	10,581				
52位	セルビア	6,013	6,293	10,361				
53位	ブラジル	12,425	9,978	8,995				
54位	ベラルーシ	6,948	5,779	7,860				
55位	タイ	5,863	6,596	7,651				
56位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	4,773	5,230	7,338				
57位	ペルー	6,408	6,777	7,094				
58位	アゼルバイジャン	7,546	4,218	6,826				
59位	南アフリカ共和国	8,207	6,678	6,694				
60位	ジョージア	4,410	4,359	6,671				
61位	コロンビア	8,237	6,577	6,664				
62位	リビア	14,728	10,414	6,502				
63位	エクアドル	5,665	6,217	6,462				
64位	イラク	6,693	5,179	6,400				
65位	モルドバ	3,031	3,423	5,671				
66位	パラグアイ	5,153	5,608	5,539				
67位	コンボ	3,397	3,991	5,290				
68位	グアテマラ	3,268	4,233	5,005				
69位	エルサルバドル	3,471	3,986	4,988				
70位	モンゴル	4,281	3,613	4,863				
71位	インドネシア	3,745	3,885	4,798				
72位	ヨルダン	3,916	4,258	4,741				
73位	エジプト	3,569	2,593	4,563				
74位	ウクライナ	3,874	2,656	4,349				
75位	アルジェリア	5,576	4,015	4,315				
76位	イラン	5,548	6,005	4,110				
77位	ベトナム	2,198	2,958	4,087				
78位	チュニジア	4,346	3,657	3,842				
79位	モロッコ	3,225	3,401	3,765				
80位	フィリピン	2,721	3,153	3,623				

▷ 前ページから

2022年 の順位	市場	2012年	2017年	2022年	30,000	60,000	90,000	120,000 (米ドル)
81位	ボリビア	2,636	3,389	3,614				
82位	パレスチナ自治区	2,889	3,407	3,502				
83位	パプアニューギニア	2,866	2,755	3,477				
84位	ベネズエラ	12,688	3,807	3,459				
85位	アンゴラ	5,084	4,039	3,400				
86位	スリランカ	3,446	4,401	3,362				
87位	ホンジュラス	2,144	2,452	3,062				
88位	バングラデシュ	1,058	1,840	2,731				
89位	コンゴ共和国	4,607	2,551	2,547				
90位	コートジボワール	1,685	2,099	2,468				
91位	ニカラグア	1,728	2,148	2,387				
92位	モーリタニア	1,946	1,759	2,381				
93位	インド	1,434	1,958	2,379				
94位	ウズベキスタン	2,285	1,933	2,280				
95位	ケニア	1,396	1,807	2,278				
96位	ガーナ	2,198	2,087	2,270				
97位	ナイジェリア	2,756	1,969	2,202				
98位	ジンバブエ	1,310	1,481	2,088				
99位	ラオス	1,566	2,437	2,047				
	レバノン	7,949	7,776					

注1：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

注2：1人当たりの名目GDPが2,000米ドル以上の国・地域のみを抜粋した。

注3：人口300万人以上の国・地域のみを抜粋した。

注4：レバノンは2022年の数値が不明である。

注5：2022年の数値のみを上記のグラフに掲載した。

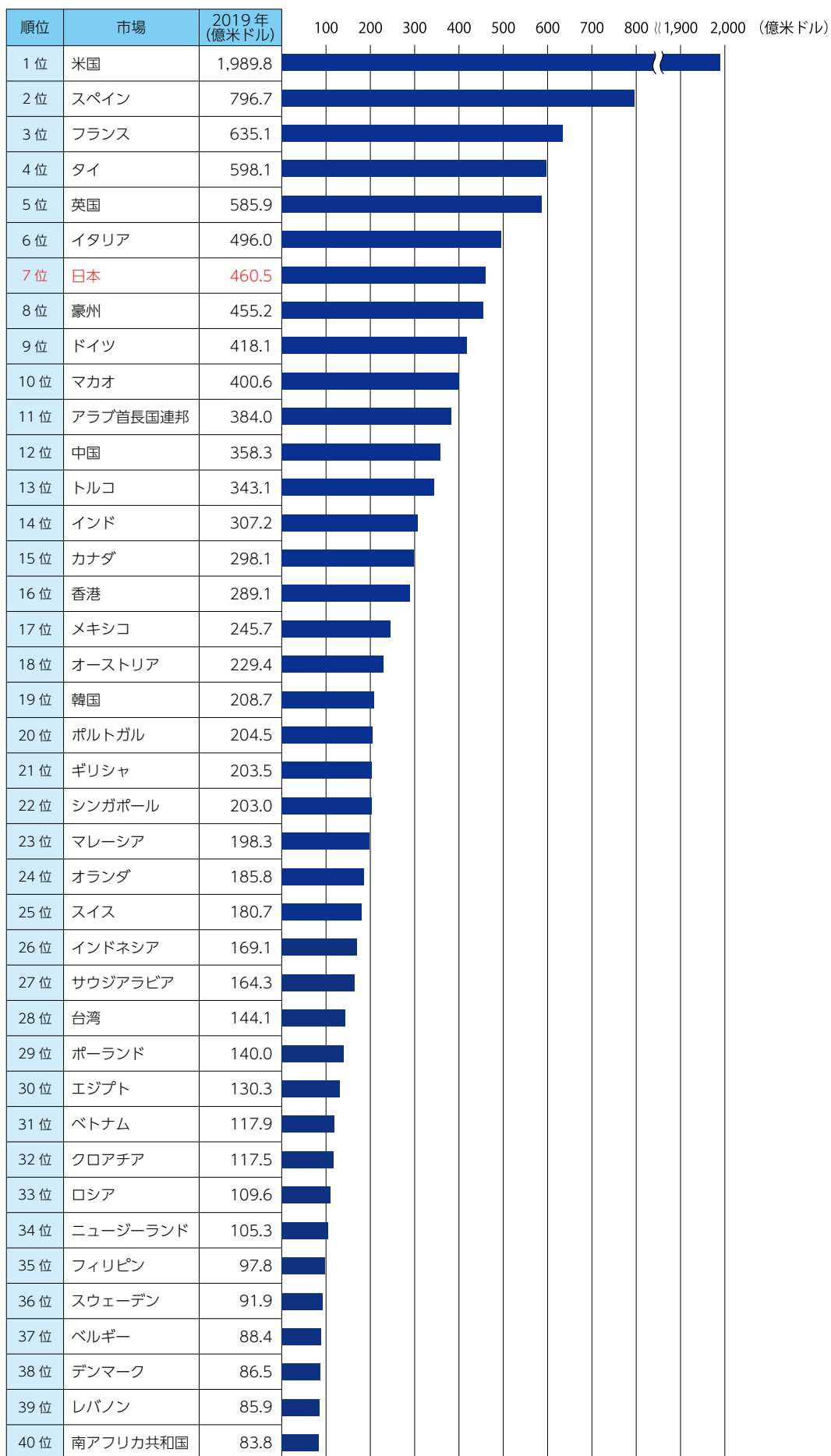
注6：上記の1人当たりの名目GDPの単位は米ドルである。為替レートの変動の影響を受けていることに留意する必要がある。

出典：国際通貨基金（IMF）



## (6) 国際旅行収入 (2019年)

[次ページへ](#)



▶ 前ページから

次ページへ ▶

順位	市場	2019年 (億米ドル)	100	200	300	400	500	600	700	800	1,900	2,000	(億米ドル)
41位	モロッコ	81.9											
42位	イスラエル	76.2											
43位	ドミニカ共和国	74.7											
44位	ハンガリー	73.1											
45位	チェコ	73.0											
46位	アイルランド	64.8											
47位	ブラジル	60.0											
48位	ノルウェー	58.9											
49位	ヨルダン	57.9											
50位	コロンビア	56.8											
51位	カタール	54.4											
52位	ルクセンブルク	53.4											
53位	アルゼンチン	52.4											
54位	カンボジア	47.7											
55位	パナマ	45.2											
56位	ブルガリア	42.9											
57位	バハマ	41.3											
58位	コスタリカ	39.9											
59位	ペルー	37.4											
60位	フィンランド	37.3											
61位	バーレーン	36.8											
62位	プエルトリコ	36.1											
63位	スリランカ	36.1											
64位	ジャマイカ	36.0											
65位	イラク	35.9											
66位	ルーマニア	35.8											
67位	ジョージア	32.7											
68位	キプロス	32.6											
69位	スロバキア	32.0											
70位	スロベニア	31.8											
71位	モルディブ	31.6											
72位	アイスランド	27.0											
73位	タンザニア	26.1											
74位	キューバ	26.0											
75位	ミャンマー	24.8											
76位	カザフスタン	24.6											
77位	アルバニア	23.3											
78位	チリ	23.0											
79位	エクアドル	22.8											
80位	ウルグアイ	22.5											

順位	市場	2019年 (億米ドル)	100	200	300	400	500	600	700	800	1,900	2,000	(億米ドル)
81位	チュニジア	21.2											
82位	アルバ	21.0											
83位	マルタ	19.0											
84位	アンドラ	19.0											
85位	オマーン	18.1											
86位	アゼルバイジャン	17.9											
87位	モーリシャス	17.8											
88位	エストニア	17.4											
89位	ウクライナ	16.2											
90位	セルビア	16.1											
91位	アルメニア	15.3											
92位	ウズベキスタン	15.1											
93位	リトアニア	14.9											
94位	ナイジェリア	14.5											
95位	ガーナ	14.3											
96位	ウガンダ	13.9											
97位	エルサルバドル	13.1											
98位	バルバドス	12.5											
99位	モンテネグロ	12.3											
100位	グアテマラ	12.2											
101位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	11.8											
102位	米領バージン諸島	10.3											
103位	ラトビア	10.2											
104位	ケニア	10.1											
105位	セントルシア	10.0											

注1：上の数値は、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで国際旅行需要が激減した。

ここでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2019年の国際旅行収入を掲載した。

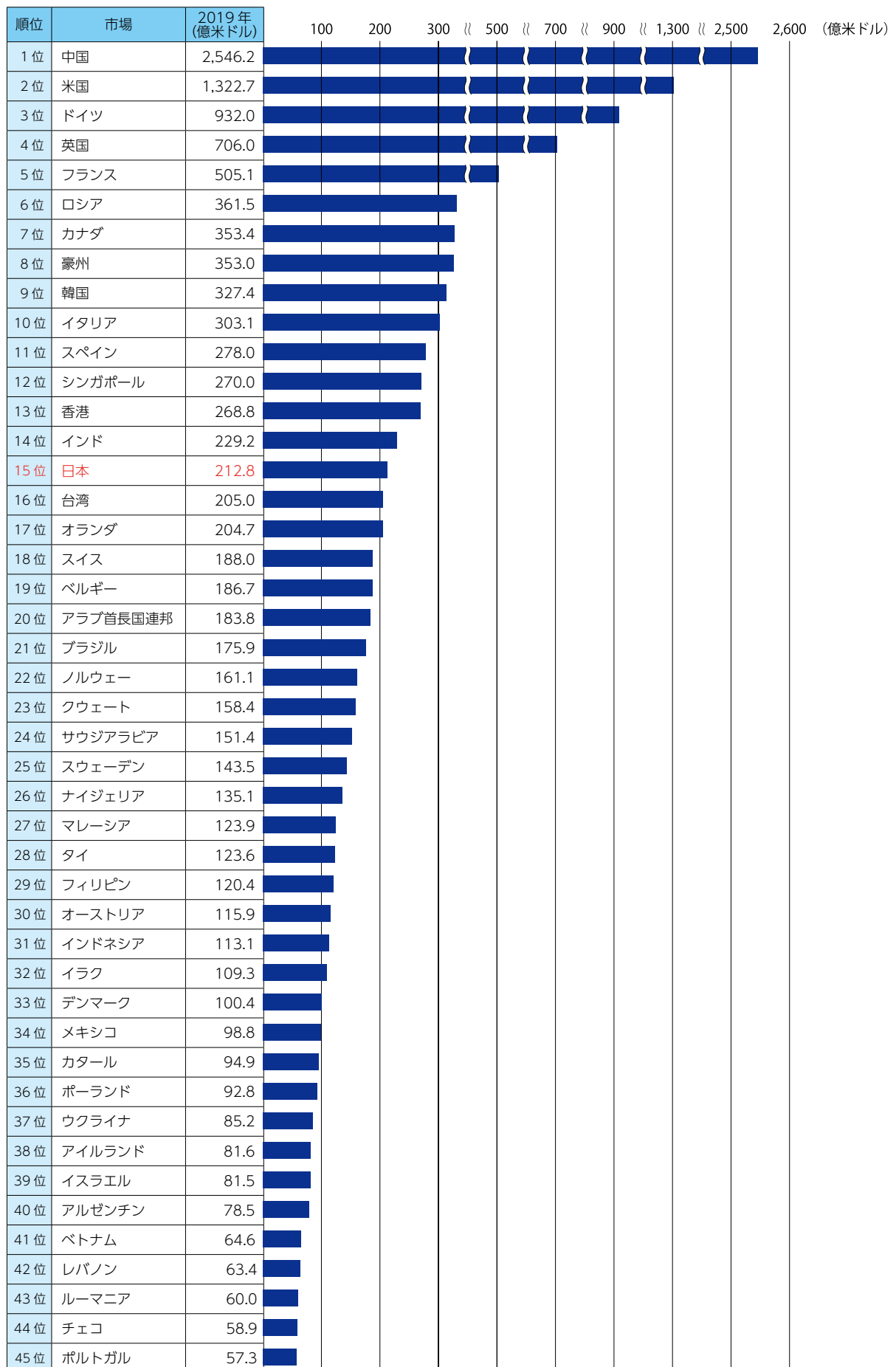
注3：国際旅行収入が10億米ドル以上を記録した市場のみを掲載した。

注4：アラブ首長国連邦、ベトナム、米領バージン諸島の国際旅行収入には、国際旅客運賃が含まれている。

それ以外の市場の国際旅行収入には、国際旅客運賃が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）の数値に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 国際旅行支出 (2019年)

[次ページへ](#)

順位	市場	2019年 (億米ドル)	100	200	300	500	700	900	1,300	2,500	2,600	(億米ドル)
46位	フィンランド	56.8										
47位	コロンビア	49.4										
48位	ニュージーランド	42.9										
49位	トルコ	41.1										
50位	ルクセンブルク	36.3										
51位	エジプト	35.2										
52位	南アフリカ共和国	31.4										
53位	ギリシャ	30.7										
54位	リビア	28.2										
55位	ペルー	27.7										
56位	ハンガリー	27.4										
57位	カザフスタン	27.4										
58位	オマーン	26.4										
59位	スロバキア	25.9										
60位	チリ	24.6										
61位	ウズベキスタン	23.1										
62位	モロッコ	21.8										
63位	マカオ	19.2										
64位	ブルガリア	18.3										
65位	セルビア	18.1										
66位	アルバニア	17.7										
67位	クロアチア	17.6										
68位	バーレーン	17.2										
69位	アゼルバイジャン	17.0										
70位	スロベニア	16.8										
71位	パキスタン	16.5										
72位	スリランカ	16.4										
73位	キプロス	16.4										
74位	エストニア	15.5										
75位	アイスランド	15.1										
76位	アルメニア	14.9										
77位	ヨルダン	14.6										
78位	パレスチナ自治区	14.4										
79位	パナマ	14.2										
80位	リトアニア	13.9										
81位	エクアドル	12.2										
82位	ウルグアイ	12.1										
83位	ベラルーシ	11.2										
84位	コスタリカ	10.4										
85位	ラオス	10.1										

注1：上の数値は、2022年12月時点および2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

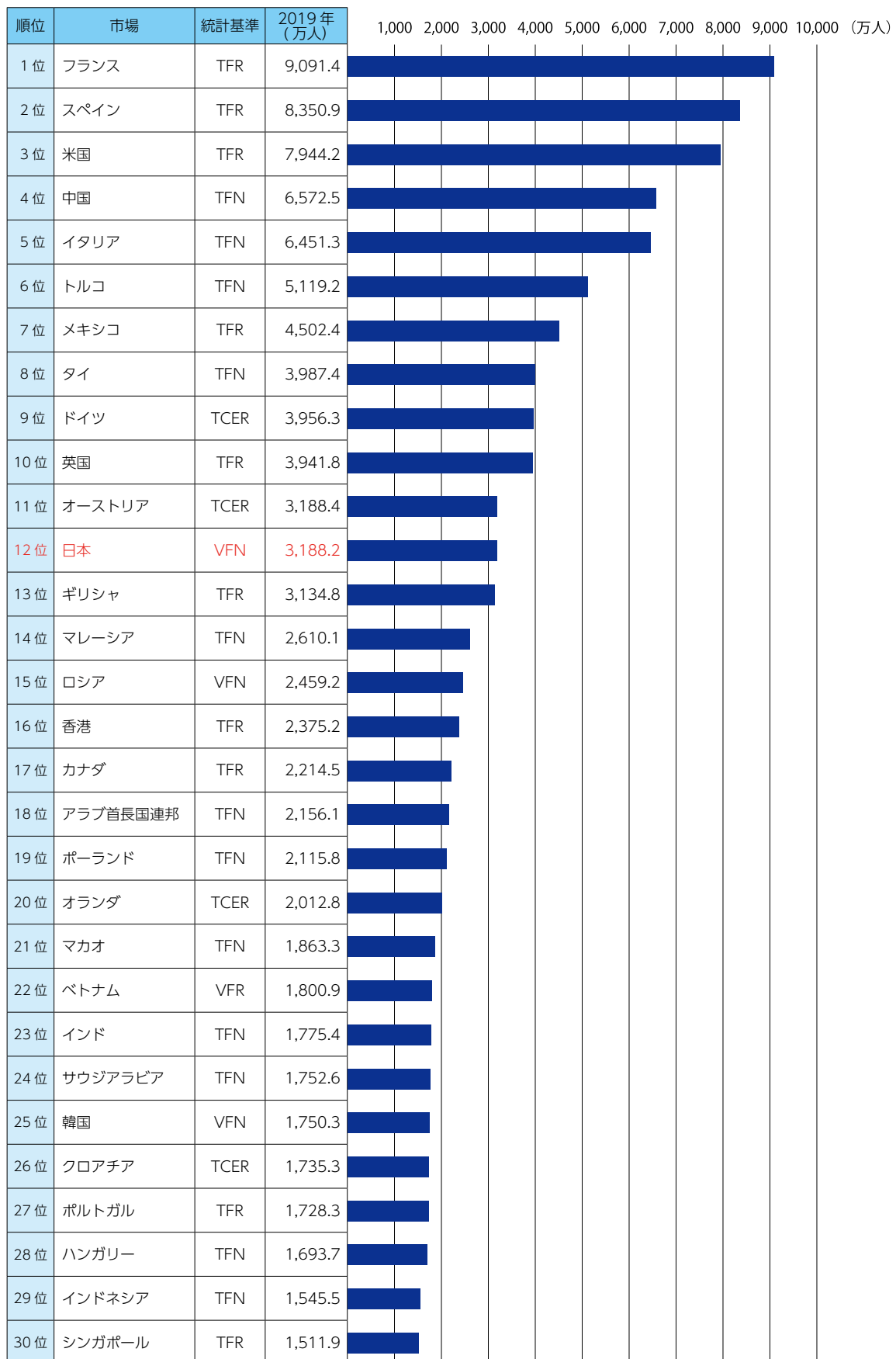
注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで国際旅行需要が激減した。ここでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2019年の国際旅行支出を掲載した。

注3：国際旅行収入が10億米ドル以上を記録した市場のみを掲載した。

注4：アラブ首長国連邦とベトナムの国際旅行支出には、国際旅客運賃が含まれている。それ以外の市場の国際旅行支出には、国際旅客運賃が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）の数値に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 外国人訪問者数 (2019年)

[次ページへ](#)

順位	市場	統計基準	2019年 (万人)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	(万人)
31位	デンマーク	TCER	1,476.1											
32位	ウクライナ	TFR	1,343.8											
33位	モロッコ	TFN	1,293.2											
34位	エジプト	TFN	1,287.6											
35位	台湾	VFR	1,186.4											
36位	スイス	TCER	1,181.8											
37位	アイルランド	TFR	1,095.1											
38位	チェコ	TCEN	1,089.1											
39位	南アフリカ共和国	TFR	1,022.9											
40位	豪州	VFR	946.6											
41位	チュニジア	TFN	942.9											
42位	ベルギー	TCER	934.3											
43位	イラン	VFN	910.7											
44位	カザフスタン	VFR	851.5											
45位	フィリピン	TFR	826.1											
46位	ブルガリア	TFR	777.5											
47位	スウェーデン	TCER	740.7											
48位	アルゼンチン	TFR	739.9											
49位	ウズベキスタン	VFR	674.9											
50位	カンボジア	TFR	661.1											
51位	ドミニカ共和国	TFR	644.6											
52位	ブラジル	TFR	635.3											
53位	アルバニア	TFN	612.8											
54位	ノルウェー	TCER	587.9											
55位	ジョージア	TFR	508.0											
56位	スロベニア	TCEN	470.2											
57位	イスラエル	TFR	455.2											
58位	チリ	TFN	451.8											
59位	ヨルダン	TFN	448.8											
60位	ラオス	TFN	438.4											

▶ 前ページから

順位	市場	統計基準	2019年 (万人)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	6,000	7,000	8,000	9,000	10,000	(万人)
61位	ペルー	TFR	437.2											
62位	ミャンマー	TFN	436.4											
63位	キューバ	TFR	426.3											
64位	コロンビア	TFR	416.9											
65位	キプロス	TFR	397.7											
66位	バーレーン	TCER	384.9											
67位	ニュージーランド	TFR	370.2											
68位	フィンランド	TCER	329.0											
69位	ウルグアイ	VFN	322.1											
70位	プエルトリコ	TFR	318.0											
71位	コスタリカ	TFN	313.9											
72位	アンドラ	TFR	309.0											

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）  
 F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）  
 R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：上の数値は、2022年12月時点、2023年1月時点、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで国際旅行需要が激減した。ここでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2019年の外国人訪問者数を掲載した。

注3：本表には、2019年の外国人訪問者数が300万人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注4：一部の国・地域（パキスタン、トルクメニスタン、コンゴ民主共和国、セネガルなど）は、2019年の外国人訪問者数が不明であるため、本表には掲載されていない。

注5：国・地域によっては、今後、2019年の外国人訪問者数を随時改訂することもあり得る。その場合、順位も随時変わり得る。

注6：日本とは異なる算出基準に基づいて、外国人訪問者数を集計している国・地域があるため、比較する際は注意を要する。

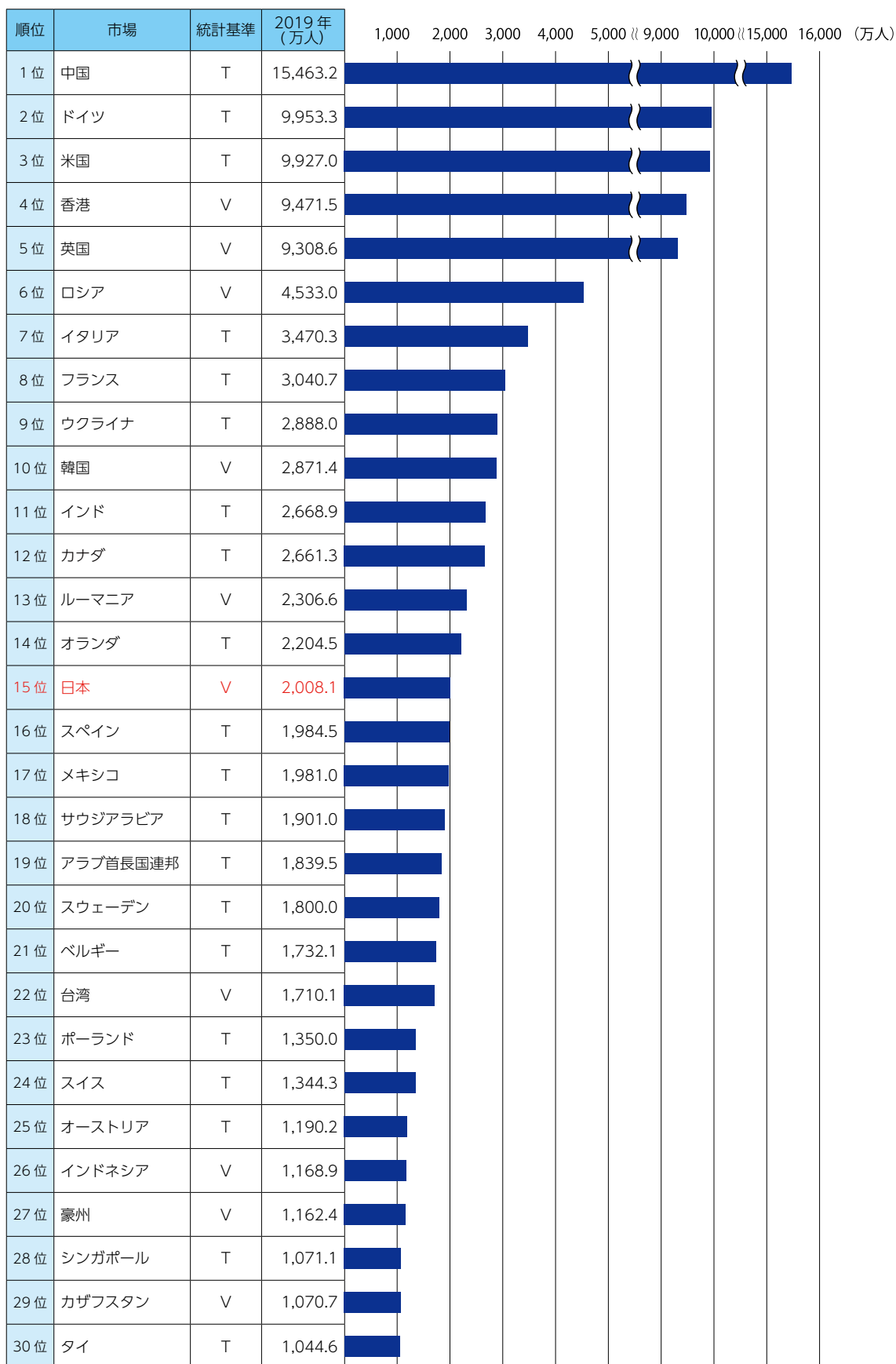
注7：国・地域によっては、異なる算出基準に基づいて、「数値が異なる複数の外国人訪問者数」を集計しているところがある。該当する複数の外国人訪問者数については、算出基準に「 $T > V$ 、 $F > CE > HS$ 、 $N > R$ 」という優先順位を付けた上で、本表に掲載する外国人訪問者数を一つだけ選別した。但し、算出基準の内訳（ $T \cdot V$ 、 $F \cdot CE \cdot HS$ 、 $N \cdot R$ ）が部分的に把握できなかった外国人訪問者数については、本表から排除し、算出基準の内訳（ $T \cdot V$ 、 $F \cdot CE \cdot HS$ 、 $N \cdot R$ ）が全て把握できる外国人訪問者数を本表に掲載した。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局の数値に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(9) 外国旅行者数 (2019年)

[次ページへ](#)



▶ 前ページから

順位	市場	統計基準	2019年 (万人)	1,000	2,000	3,000	4,000	5,000	9,000	10,000	15,000	16,000 (万人)
31位	トルコ	T	965.1									
32位	フィンランド	T	941.0									
33位	ハンガリー	T	937.3									
34位	アイルランド	V	935.0									
35位	イスラエル	T	917.9									
36位	アルゼンチン	T	911.4									
37位	デンマーク	T	908.8									
38位	ノルウェー	T	889.0									
39位	ウズベキスタン	V	843.7									
40位	ギリシャ	T	784.8									
41位	チェコ	T	734.6									
42位	ブルガリア	T	700.7									
43位	アルバニア	V	592.2									
44位	アルジェリア	T	573.2									
45位	キルギス	V	531.4									
46位	スロバキア	V	521.4									
47位	アゼルバイジャン	T	457.9									
48位	コロンビア	T	447.9									
49位	オマーン	T	422.4									
50位	ジョージア	T	378.0									
51位	チリ	T	334.6									
52位	ペルー	T	327.5									
53位	ジンバブエ	T	327.5									
54位	ニュージーランド	T	322.5									
55位	スロベニア	T	317.0									
56位	ポルトガル	T	310.0									

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

注1：上の数値は、2023年1月時点の暫定値を引用したものである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで国際旅行需要が激減した。

ここでは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない2019年の外国旅行者数を掲載した。

注3：本表には、2019年の外国旅行者数が300万人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注4：一部の国・地域（モンゴル、フィリピン、ベトナム、ミャンマー、マレーシア、ネパール、パキスタン、トルクメニスタン、イラン、カタール、クウェート、エジプト、エチオピア、ケニア、タンザニア、南アフリカ共和国、ナイジェリア、セネガル、セルビア、ベネズエラ、ブラジルなど）は、2019年の外国旅行者数が不明であるため、本表には掲載されていない。

注5：国・地域によっては、今後、2019年の外国旅行者数を随時改訂することもあり得る。その場合、順位も随時変わり得る。

注6：日本とは異なる算出基準に基づいて、外国旅行者数を集計している国・地域があるため、比較する際は注意を要する。

注7：国・地域によっては、異なる算出基準に基づいて、「数値が異なる複数の外国旅行者数」を集計しているところがある。該当する複数の外国旅行者数については、算出基準に「T>V」という優先順位を付けた上で、本表に掲載する外国旅行者数を一つだけ選別した。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局の数値に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# 韓国

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

韓国人

出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (2) 宗教別構成

2015年の全人口（4,905万2,389人）に占める宗教人口（2,155万3,674人）の割合は43.9%。仏教（762万人）、プロテスタント（968万人）、カトリック（389万人）、その他（37万人）社会・文化面で儒教の影響を色濃く受けている。

出典：韓国統計庁

### (3) 使用言語

韓国語が公用語（国語基本法で、韓国語を国語と規定している。）

注：韓国と北朝鮮とは、言語政策の違いなどにより、単語、表記の一部に違いが生じている。

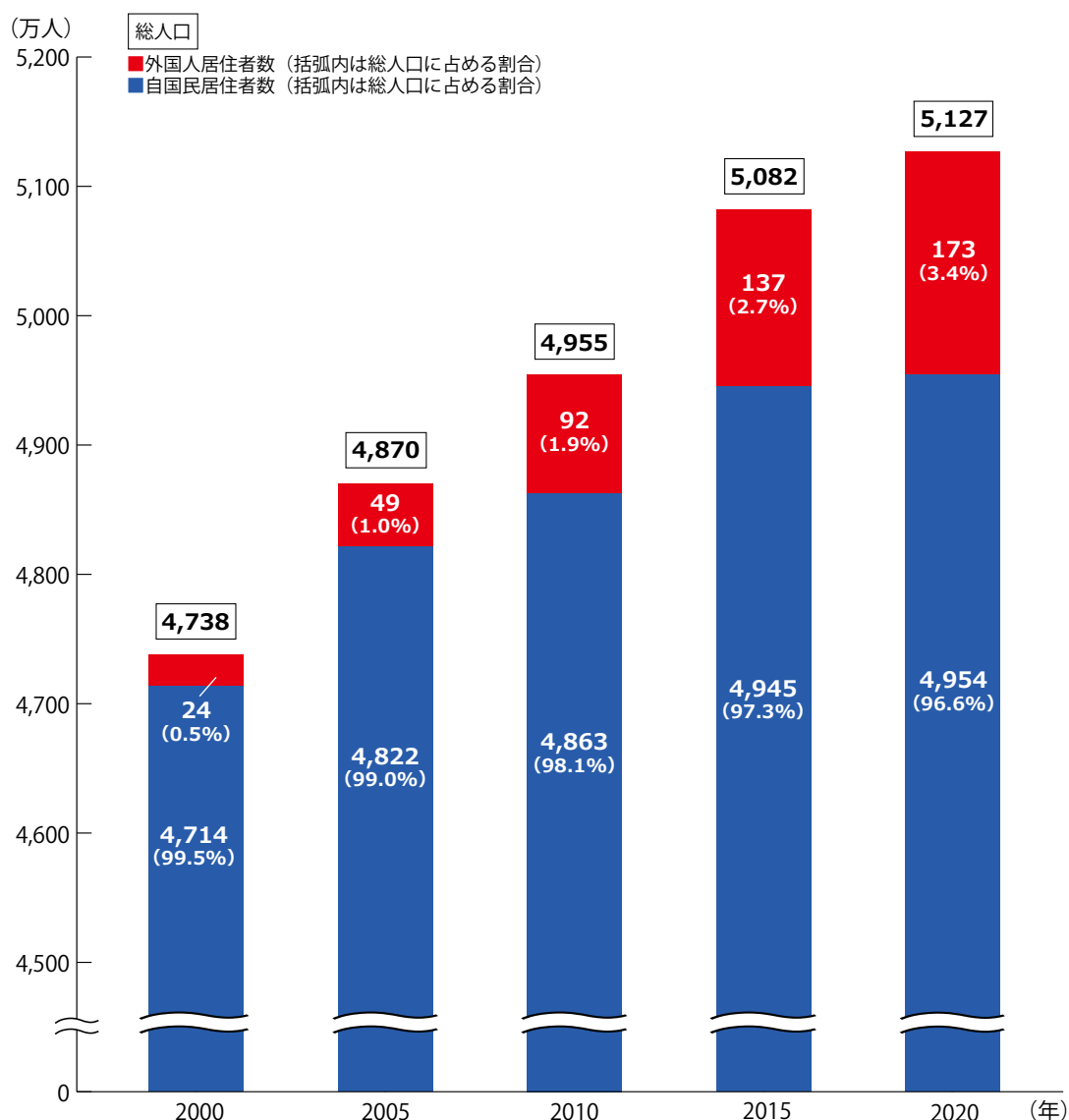
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (4) 面積

10万413km<sup>2</sup>（朝鮮半島全体の45%強、日本の27%弱、北海道本島の1.3倍弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

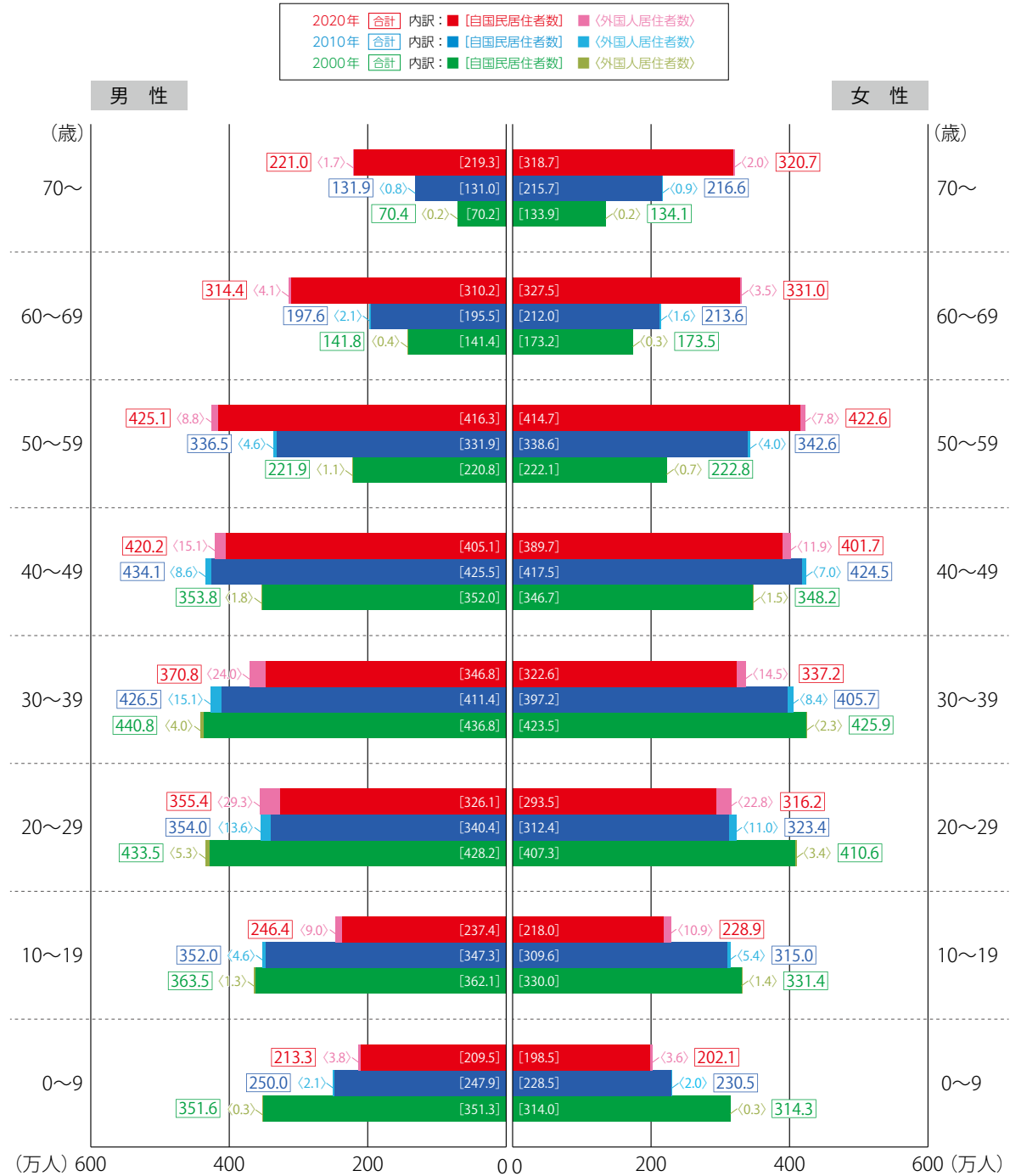
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：韓国の外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

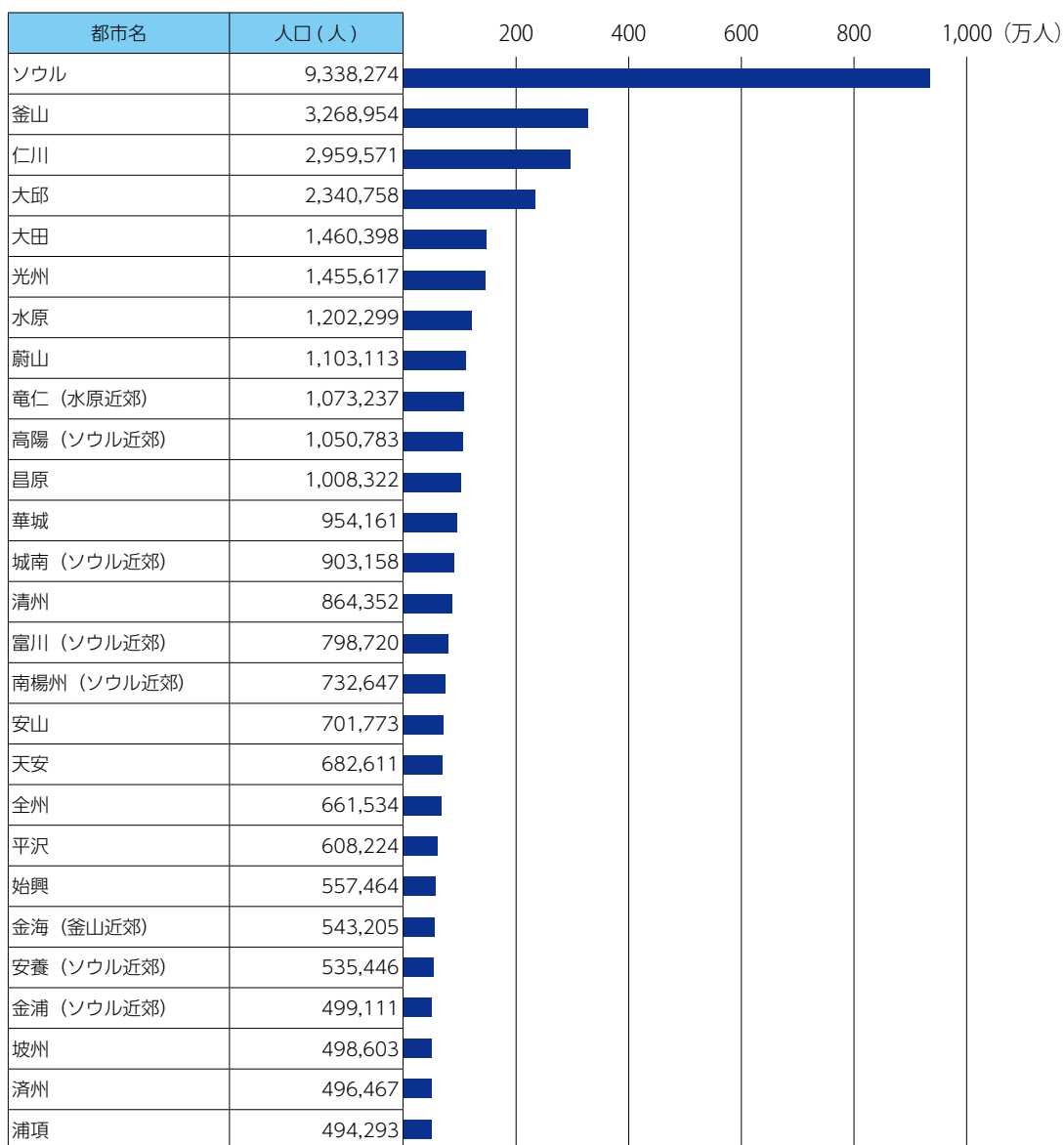
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成



## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2023年4月に更新された2023年7月1日時点の推計人口である。

注2：外国人居住者が上の数値に含まれている。

出典：韓国統計庁

(8) 祝日 (2023年~2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)	
※旧正月	1月21日 (土) ~ 1月24日 (火)	2月9日 (金) ~ 2月12日 (月)	旧暦の1月1日 前後各1日を合わせて3連休 2023年1月24日は振替休日 2024年2月12日は振替休日
三一節 (独立運動記念日)	3月1日 (水)	3月1日 (金)	
※地方選挙		4月10日 (水)	
こどもの日	5月5日 (金)	5月5日 (日) ~ 5月6日 (月)	2024年5月6日は振替休日
※釈迦誕生日	5月27日 (土)	5月15日 (水)	旧暦の4月8日 2023年5月29日は振替休日
顕忠日 (戦没者追悼日)	6月6日 (火)	6月6日 (木)	
光復節 (独立記念日)	8月15日 (火)	8月15日 (木)	
※秋夕	9月28日 (木) ~ 9月30日 (土)	9月16日 (月) ~ 9月18日 (水)	旧暦の8月15日 前後各1日を合わせて3連休
開天節 (建国記念日)	10月3日 (火)	10月3日 (木)	
ハングルの日	10月9日 (月)	10月9日 (水)	
聖誕節 (クリスマス)	12月25日 (月)	12月25日 (水)	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：従業員が5人以上の事業所では、光復節、開天節、ハングルの日に対して、振替休日適用されている。

注3：旧正月・秋夕の連休が日曜日と重なる場合、およびこどもの日と国慶日 (三一節、光復節、開天節、ハングルの日) が土曜日・日曜日と重なる場合、振替休日適用される。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

出典：韓国観光公社等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	休暇名
初等学校	6歳~12歳 (6年間)	冬期休暇	12月下旬~2月下旬の間	2012年3月以降、学校の週5日授業 (週休二日制) が実施されている。 初等学校・中学校・高等学校の場合、年間の授業日数を190日確保することを前提に、学校長が学校運営委員会の審議を通じて、学校の休暇を決めている。
		夏期休暇	7月中旬~8月下旬の間	
中学校	12歳~15歳 (3年間)	冬期休暇	12月下旬~1月下旬の間	
		春期休暇	2月中旬~2月末の間	
		夏期休暇	7月中旬~8月下旬の間	
高等学校	15歳~18歳 (3年間)	冬期休暇	12月下旬~1月下旬の間	
		春期休暇	2月中旬~2月末の間	
		夏期休暇	7月中旬~8月下旬の間	
大学	18歳~22歳 (4年間)	冬期休暇	12月中旬~2月下旬の間	
		春期休暇	なし	
		夏期休暇	6月中旬~8月下旬の間	

学校年度	3月~翌年2月
義務教育	初等学校 (6年間) + 中学校 (3年間) = 9年間

出典：韓国の「初・中・高教育法」施行令による各校の学校教育計画書に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日	大統領令 28394号, 2017. 1	一般的に土曜日も休日である。 女性を休日に働かせる場合には当該女性の同意が必要。(70条)
有給休暇日数	年間最低 15 日以上	労働基準法 第60条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年間の所定労働時間の8割以上の出勤率のある労働者が対象。勤続2年ごとに1日追加(最大25日間)。</li> <li>・有給休暇の法規定を違反すれば2年以下の懲役または1,000万ウォン以下の罰金の罰則あり。</li> <li>・夏期に有給休暇を取得する人が多い。</li> <li>・未使用の残余有給休暇は賃金として保証する必要がある。</li> </ul>
定年退職	60歳以上	雇用における年齢差別禁止及び高齢者雇用促進に関する法律 第19条	企業は定年退職の年齢を60歳以上に定めなければならないと同法に規定されている。

出典：韓国労働基準法、韓国大統領令

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	18か月～36か月 配属先によって徴兵期間に差がある。 (陸軍：18か月、海軍：20か月、専門研究要員：36か月、空軍：21か月、社会服務要員：21か月など)
入隊対象性別	男性のみ召集
入隊対象年齢	20歳～28歳 除隊から8年間の予備役がある。毎年1回1日～4日の訓練に参加し、普段は拘束されない。その後、40歳まで民防衛隊に編入され、4年目まで年間4時間、5年目以降は年間1時間の訓練に参加する。

出典：韓国兵務庁



## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ネイバー (NAVER)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	61.9
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	52.2
ネイバー ブログ (NAVER Blog)	ブログ	旅行情報発信、 ユーザー同士の意見交換	40.9
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	28.3
ダウム (Daum)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	22.2
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	15.5
カカオトーク (KakaoTalk)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	14.7
マイリアルトリップ (my real trip)	ウェブサイト	旅行情報発信、旅行予約	7.7
旧ツイッター (Twitter) (現エックス:X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	6.2
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	5.9
トリプル	アプリ	旅行情報検索、旅行予約	4.5
ネイルドン	ウェブサイト	訪日旅行情報発信 (ネイバー 日本旅行同好会が発信)	4.5
ネイト (Nate)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	3.0
朝鮮日報 (THE CHOSUNILBO)	ウェブサイト	ニュース発信	2.9
中央日報 (JoongAng Ilbo)	ウェブサイト	ニュース発信	2.3
毎日経済 (Maeil Business Newspaper)	ウェブサイト	ニュース発信	2.0

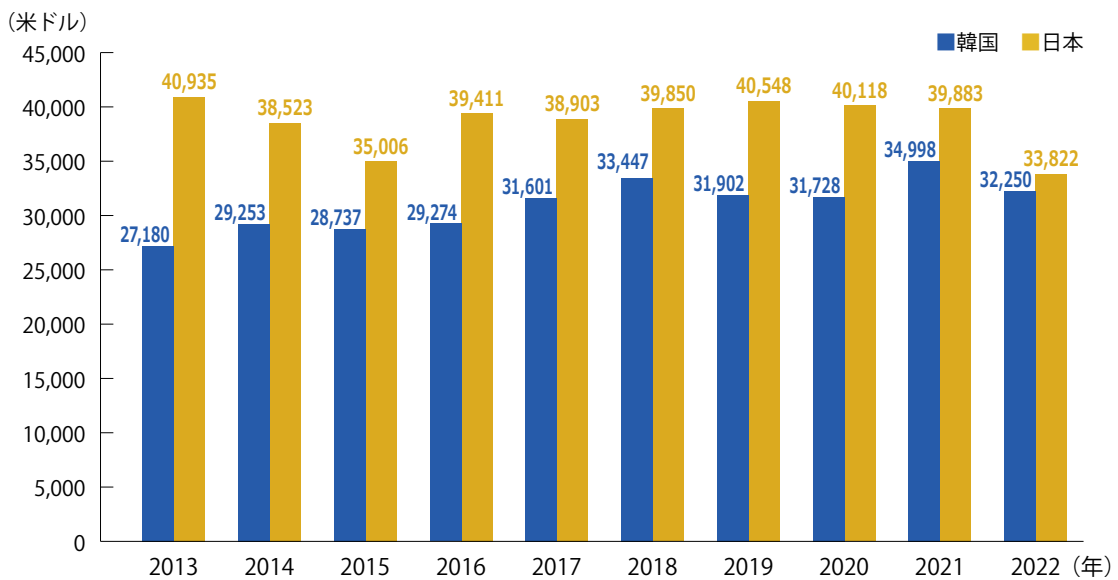
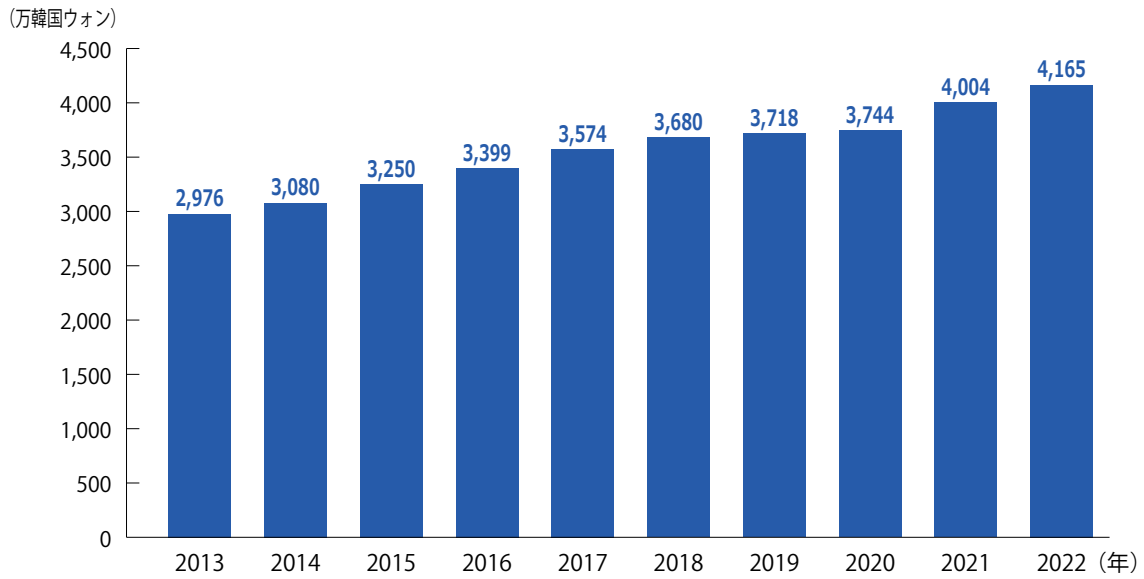
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

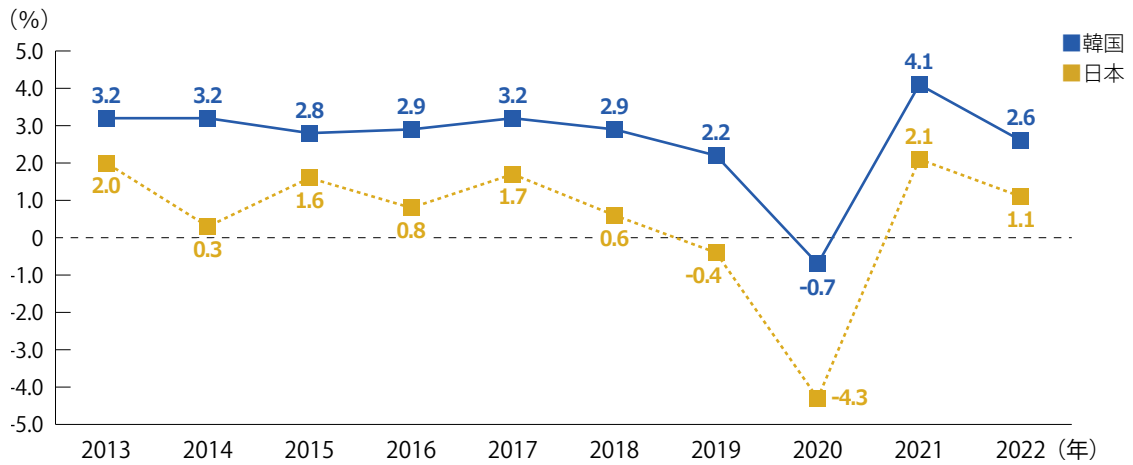
出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



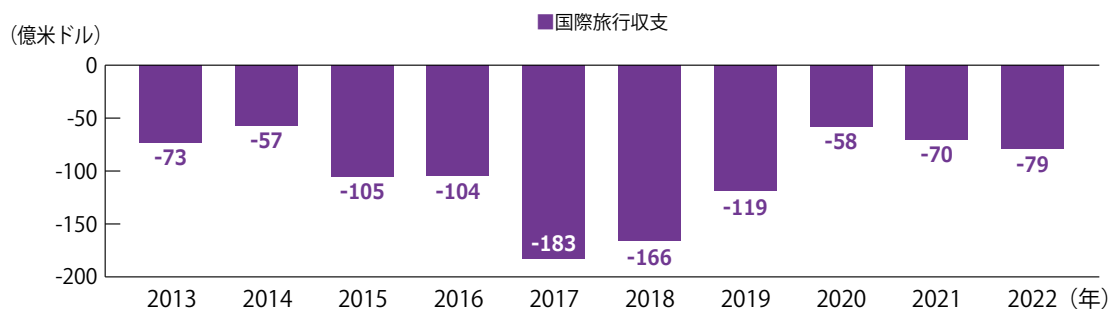
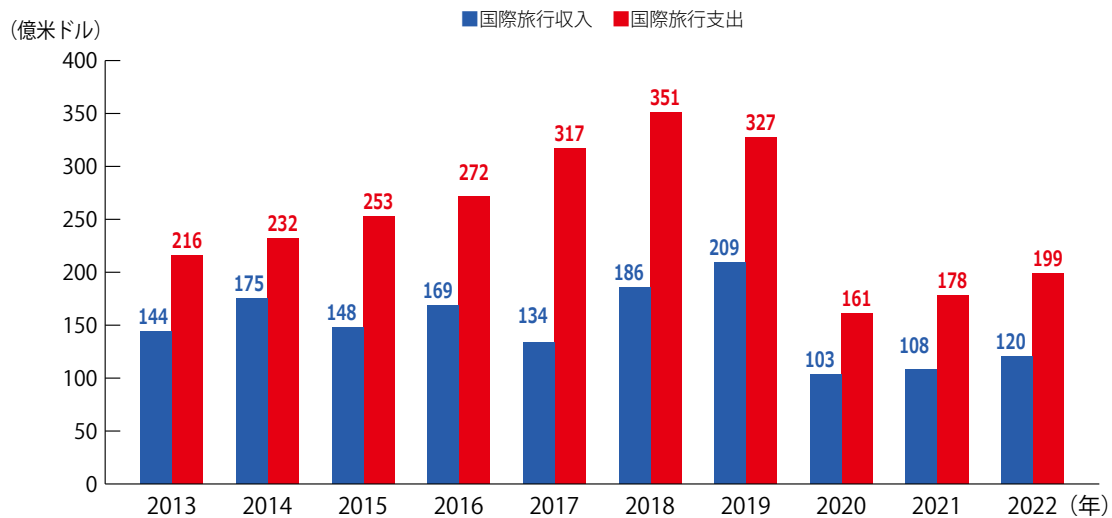
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



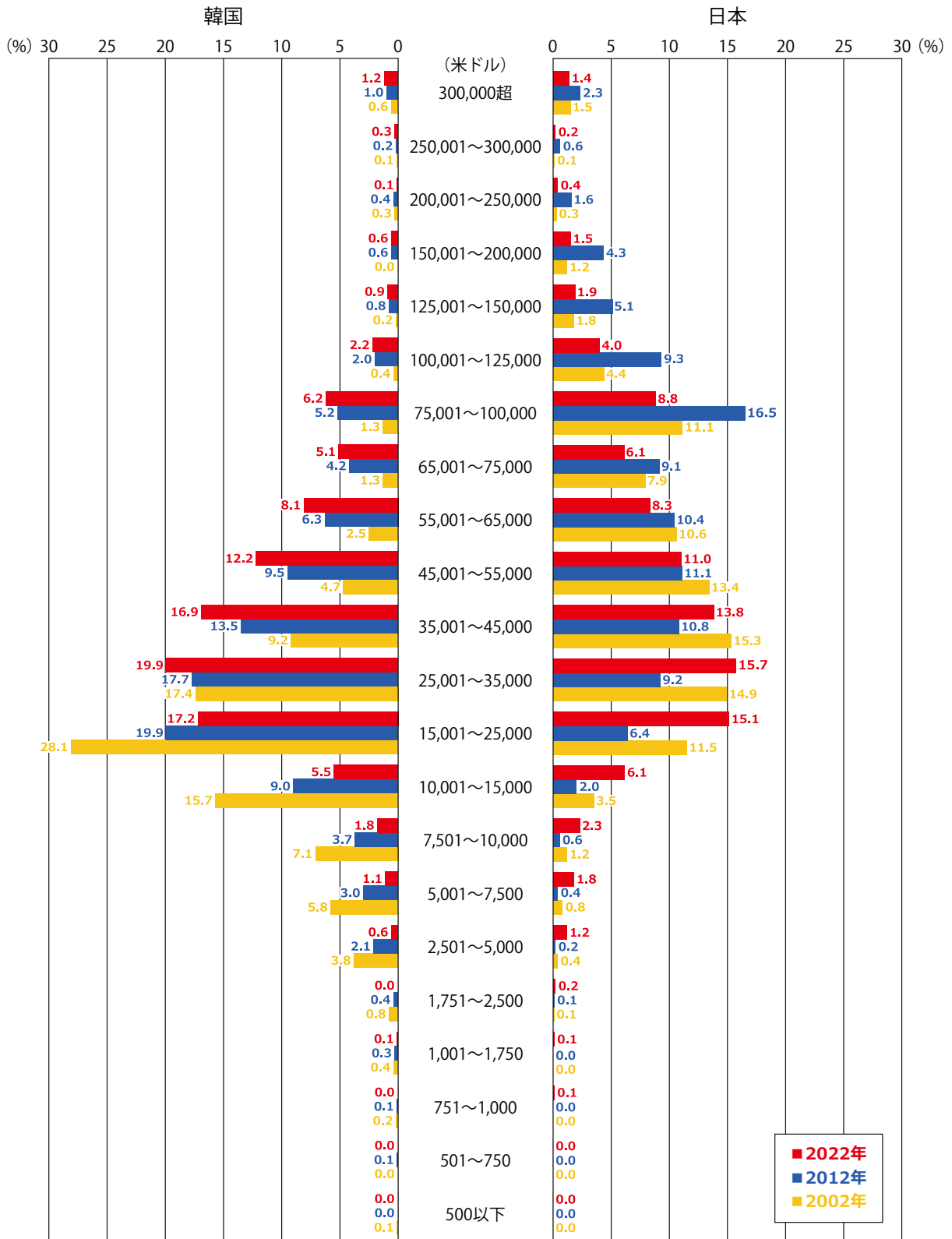
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



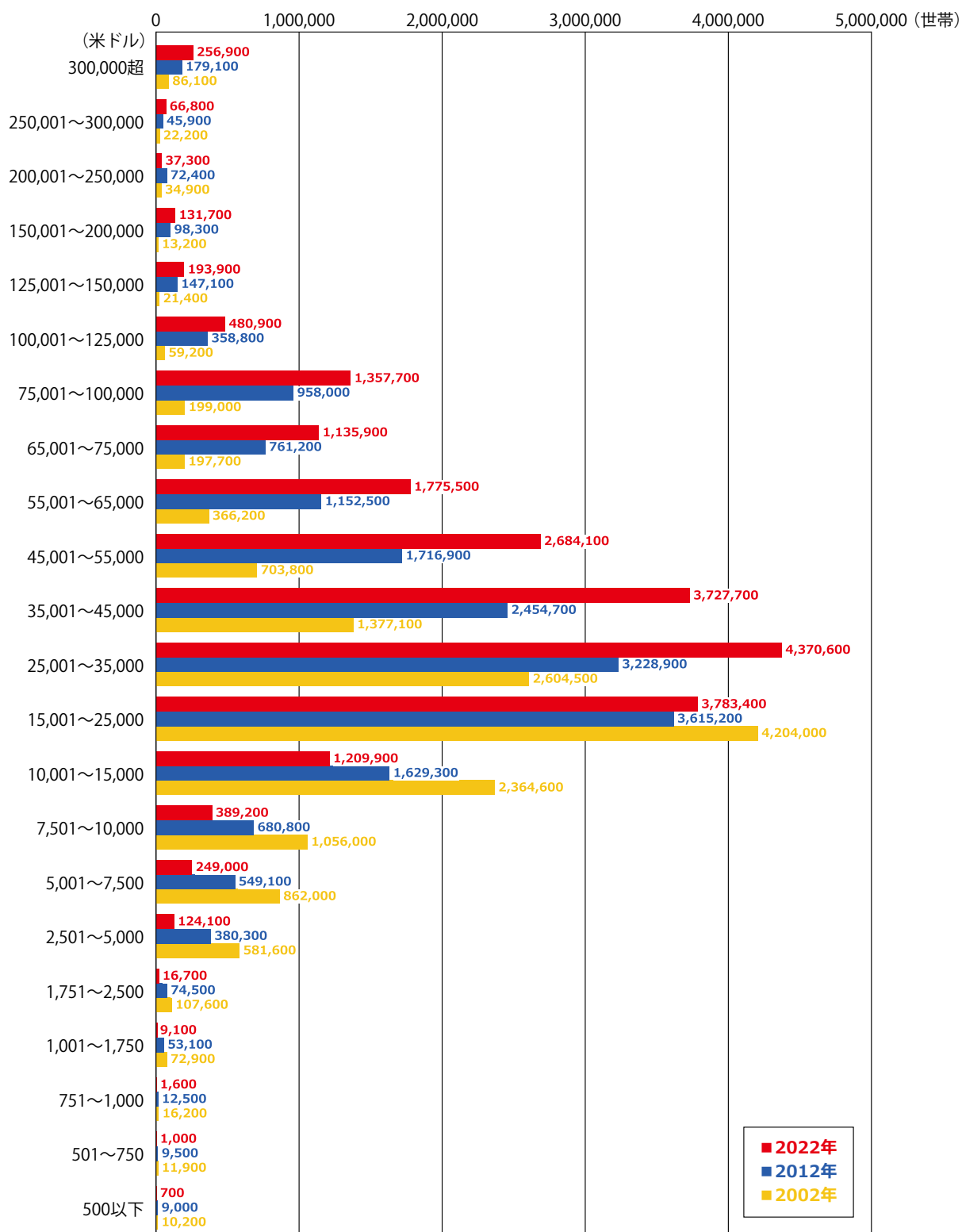
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



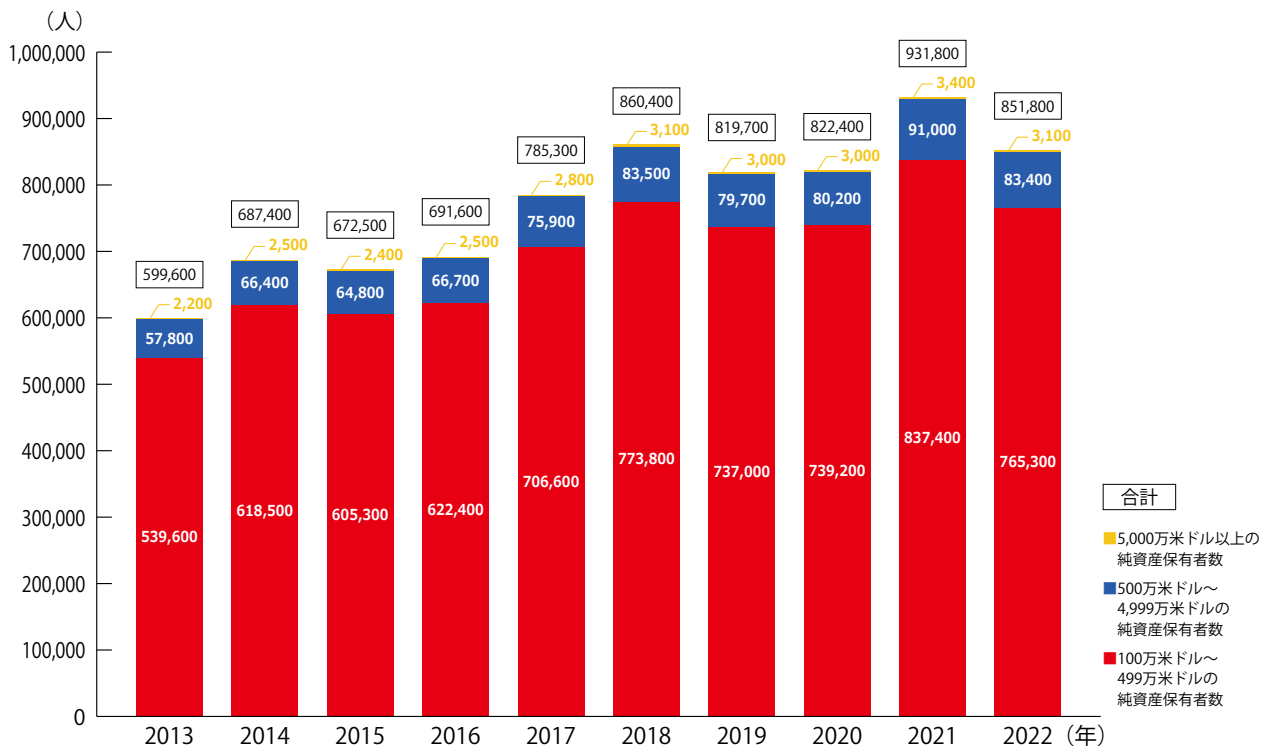
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



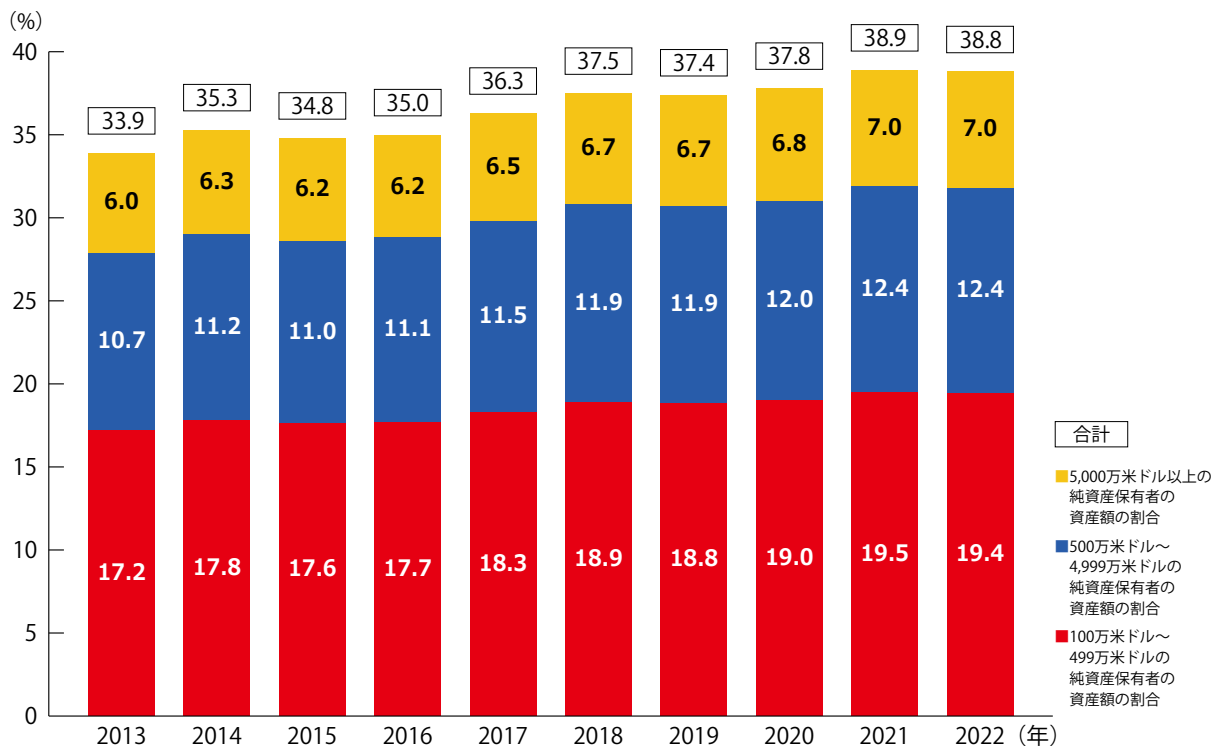
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

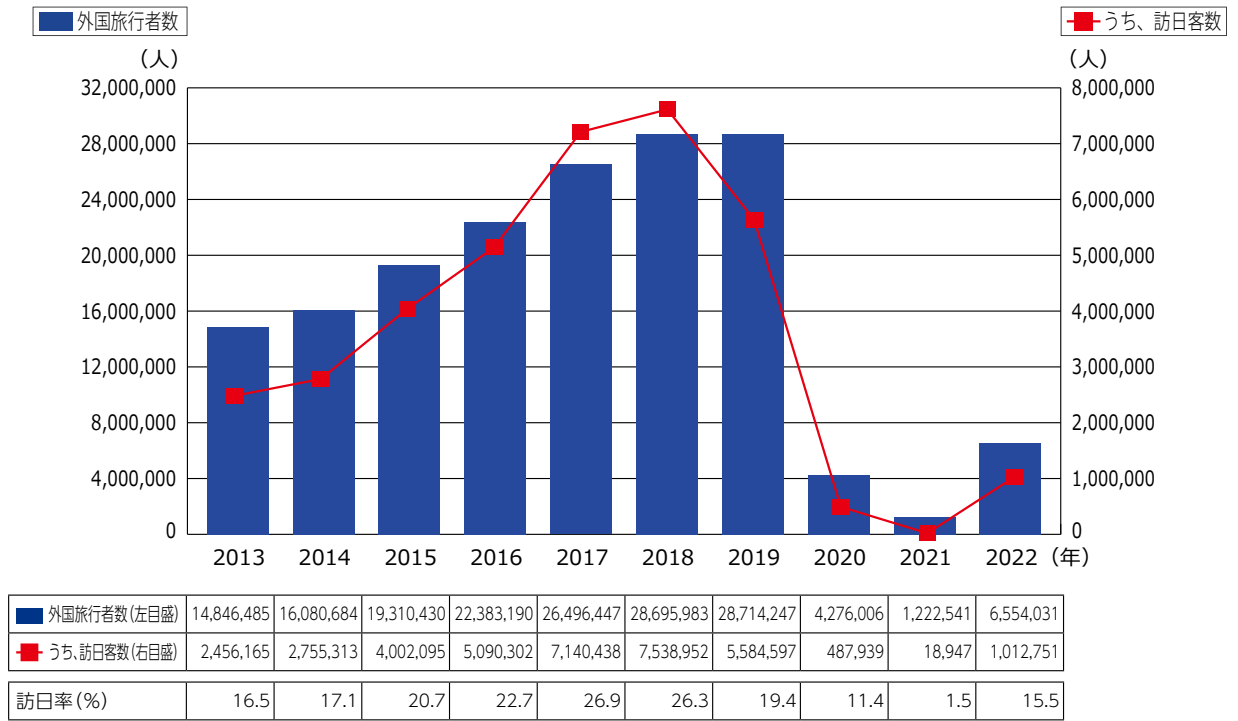
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) 韓国人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年～2022年)



注：韓国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。また、航空機・船舶の乗務員が含まれている。  
 出典：韓国文化観光研究院、日本政府観光局 (JNTO)

(2) 世界各国・地域への韓国人訪問者数の推移 (2017年～2021年)

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	日本	VFN	7,140,438	7,538,952	5,584,597	487,939	18,947	7,538,952
2位	中国	VFN	3,854,869	4,191,790	4,346,567			4,346,567
3位	ベトナム	VFR	2,415,245	3,485,406	4,290,802	840,041	32,450	4,290,802
4位	米国	TFR	2,334,839	2,210,597	2,298,279	439,286	202,711	2,334,839
5位	フィリピン	TFR	1,607,821	1,624,251	1,989,322	338,877	6,456	1,989,322
6位	タイ	TFN	1,709,265	1,796,401	1,890,973	260,228	12,077	1,890,973
7位	台湾	VFR	1,054,708	1,019,441	1,242,598	178,911	3,300	1,242,598
8位	香港	TFR	1,160,738	1,116,088	780,141	23,900	596	1,160,738
9位	グアム	TFR	685,228	747,032	753,889	124,188	8,003	753,889
10位	マレーシア	TFN	484,528	616,783	673,065	119,750	3,028	673,065
11位	シンガポール	VFR	631,363	629,454	645,848	89,522	7,126	645,848
12位	スペイン	TFR	446,069	486,867	630,797	121,931	37,692	630,797
13位	マカオ	THSR	501,167	481,414	552,973	46,026	1,024	552,973
14位	ロシア	VFN	253,764	360,618	431,082	34,451		431,082
15位	クロアチア	TCER	448,636	408,110	403,613	23,396	5,817	448,636
16位	インドネシア	VFN	423,191	358,885	388,316	75,562	9,497	423,191
17位	チェコ	TCEN	415,555	415,166	387,563	42,414	8,060	415,555
18位	ドイツ	TCER	367,632	357,980	340,702	59,258	28,150	367,632
19位	スイス	TCER	366,811	359,095	335,656	34,887	6,970	366,811
20位	オーストリア	TCER	309,199	319,932	324,596	36,646	4,980	324,596
21位	英国	VFR	352,012	305,014	301,130		5,604	352,012
22位	蒙州	VFR	302,230	288,113	280,497	53,523	2,069	302,230
23位	カンボジア	TFR	345,081	301,770	254,874	55,935	6,074	345,081
24位	カナダ	TFR	293,862	245,757	253,639	32,102	15,358	293,862
25位	北マリアナ諸島(サイパン)	VFN	334,741	240,577	249,211	52,732	6,783	334,741
26位	トルコ	TFN	120,234	159,023	212,280	36,590	15,193	212,280
27位	ポルトガル	TCER	148,400	170,854	206,178	45,012	7,028	206,178
28位	ラオス	VFN	170,571	174,405	203,191	40,207		203,191

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ハンガリー	TCEN	152,815	176,364	175,342	30,321	29,770	176,364
30位	アラブ首長国連邦	VFN	166,777	157,494	167,111	39,287		167,111
31位	インド	VFN	142,383	150,536	149,445	32,302	13,330	150,536
32位	スロベニア	TCEN	153,645	145,746	139,429	10,525	2,052	153,645
33位	メキシコ	TFN	106,718	122,307	120,424	35,513	31,311	122,307
34位	ミャンマー	TFN	65,829	72,852	111,794	19,363	1,080	111,794
35位	モンゴル	TFN	74,921	84,184	101,279	5,060	2,312	101,279
36位	ニュージーランド	VFR	91,168	87,853	88,481	26,326	476	91,168
37位	ポーランド	TCER	34,590	44,007	70,514	46,968	12,507	70,514
38位	イスラエル	TFR	39,664	45,085	60,408	17,069	844	60,408
39位	オランダ	THSR	57,000	52,000	58,000	11,000	12,000	58,000
40位	ノルウェー	TCER	100,291	58,862	57,320	1,777	339	100,291
41位	イタリア	TFN	66,377	50,352	46,647	9,526	13,270	66,377
42位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	52,056	45,388	41,317	1,541	155	52,056
43位	モロッコ	TFN	40,883	36,989	40,723	7,765	1,555	40,883
44位	カザフスタン	VFR	30,582	35,136	40,180	5,707	3,744	40,180
45位	ブラジル	TFR	42,997	33,845	39,321	11,520	2,614	42,997
46位	モルディブ	TFN	34,808	34,400	37,073		6,849	37,073
47位	ウズベキスタン	VFR	31,059	27,269	35,524	6,693	5,752	35,524
48位	アルゼンチン	TFR	35,014	35,622	33,798	11,470	517	35,622
49位	デンマーク	TCER	18,186	18,376	32,641	2,161	1,463	32,641
50位	エジプト	VFN	15,598	20,488	31,946	13,358		31,946
51位	ネパール	TFN	34,301	37,142	29,680	6,944	1,263	37,142
52位	ペルー	TFR	29,323	32,133	29,652	8,990	549	32,133
53位	フィンランド	TCER	28,038	32,803	28,044	4,789	2,082	32,803
54位	スウェーデン	TCER	27,371	23,997	26,861	2,101	3,177	27,371
55位	クウェート	VFN	19,307	29,286	24,005	3,845	1,706	29,286
56位	ベルギー	TCER	30,890	28,886	22,196	4,378	1,760	30,890
57位	ヨルダン	TFN	13,999	14,985	20,322	6,825	1,031	20,322
58位	チリ	TFN	20,410	22,994	19,975	6,150	301	22,994
59位	南アフリカ共和国	TFR	22,173	21,868	19,947	4,222	1,363	22,173
60位	ジンバブエ	VFR	20,074	33,759	18,196	2,736	83	33,759
61位	キューバ	VFR	14,128	14,663	16,823	4,585	147	16,823
62位	ジョージア	VFR	6,257	13,278	16,642	1		16,642
63位	アイスランド	TFN	11,190	17,022	16,350	4,588	1,349	17,022
64位	キルギス	VFR	13,760	14,389	16,034	2,058	2,482	16,034
65位	ブルネイ	TFN	8,705	9,125	15,767	1,939	34	15,767
66位	ボリビア	TFN	14,500	15,921	15,043	6,385	467	15,921
67位	エストニア	TCER	16,275	14,997	13,549	314	371	16,275
68位	スロバキア	TCEN	19,086	15,701	13,421	2,085	1,572	19,086
69位	スリランカ	TFR	15,963	15,748	12,195	2,499	389	15,963
70位	パラオ	TFN	11,895	14,347	11,884	2,702		14,347
71位	ルーマニア	VFR	15,156	13,790	11,862	1,890	2,032	15,156
72位	サウジアラビア	TFN	16,702	13,620	11,822	3,607	2,590	16,702
73位	ブルガリア	VFR	14,161	13,865	11,593	1,543	1,675	14,161
74位	リトアニア	TCER	8,046	9,220	11,153	214	130	11,153
75位	アゼルバイジャン	VFR	4,642	7,848	9,412	681	413	9,412
76位	グアテマラ	VFR	8,887	9,352	9,176	1,999	3,031	9,352
77位	アルメニア	TFR	2,554	6,947	8,970	650	195	8,970
78位	ウクライナ	TFR	7,078	7,880	8,448	1,740	1,921	8,448
79位	ラトビア	TCER	7,056	6,953	8,341	377	579	8,341
80位	コロンビア	TFR	8,236	8,004	8,150	2,000	1,618	8,236
81位	モーリシャス	TFR	6,858	7,204	7,072	776	136	7,204
82位	フィジー	TFR	8,871	8,176	6,806	548	51	8,871
83位	エクアドル	VFN	5,606	5,367	5,400	1,176	959	5,606
84位	タンザニア	VFR	7,640	8,083	5,111	2,091	1,011	8,083
85位	アルバニア	VFN	9,649	7,886	5,029	159		9,649
86位	ボツワナ	TFR	5,772	4,940		1,098		5,772
87位	コスタリカ	TFN	5,191	4,879	4,933	1,506	858	5,191
88位	パナマ	VFR	5,825	6,180	4,740	1,074	1,673	6,180
89位	ナイジェリア	VFN	4,744	4,641	4,563	1,987	2,030	4,744
90位	セルビア	TCEN	7,520	5,114	4,317	579	784	7,520
91位	パラグアイ	TFN	4,468	3,639	3,814	1,016	280	4,468
92位	イラン	VFN	17,224	7,912	3,776	394	337	17,224
93位	レバノン	TFN	2,988	3,013	3,688	795	1,132	3,688
94位	モンテネグロ	TCEN	5,844	5,016	3,338	199	296	5,844
95位	エチオピア	TFR	3,780	3,255	3,107	1,472	1,052	3,780
	北マケドニア	TCEN	4,415	3,245	2,376	189	96	4,415



▷ [前ページから](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
	サンマリノ	VFN	6,332	3,176	1,879	185		6,332
	ブータン	TFN	6,048	998	1,408	142		6,048

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

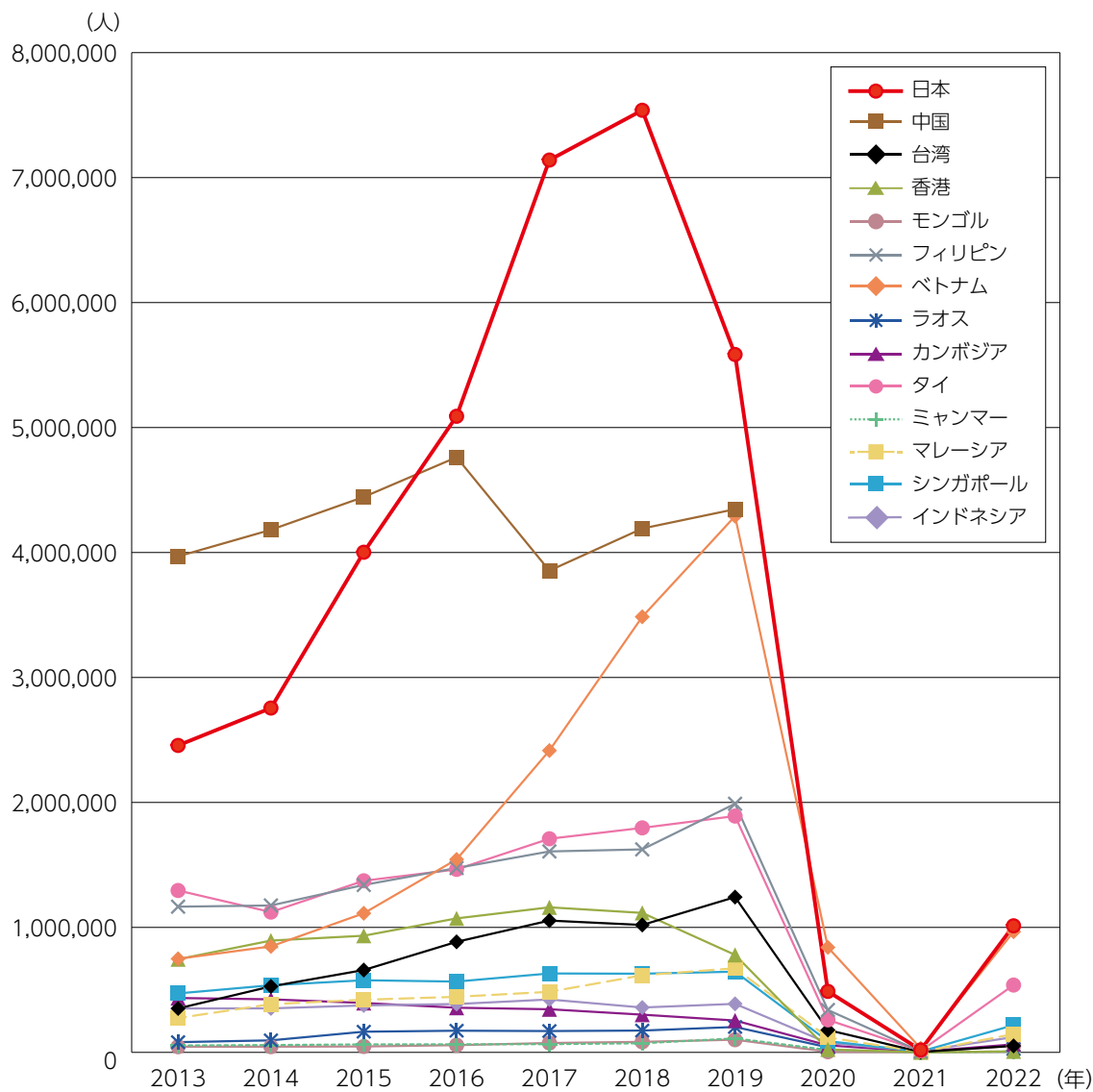
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域への韓国人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
日本	VFN	2,456,165	2,755,313	4,002,095	5,090,302	7,140,438	7,538,952	5,584,597	487,939	18,947	1,012,751
中国	VFN	3,968,998	4,181,700	4,444,389	4,762,163	3,854,869	4,191,790	4,346,567			
ベトナム	VFR	748,727	847,958	1,112,978	1,543,883	2,415,245	3,485,406	4,290,802	840,041	32,450	965,366
フィリピン	TFR	1,165,789	1,175,472	1,339,678	1,475,081	1,607,821	1,624,251	1,989,322	338,877	6,456	
タイ	TFN	1,295,342	1,122,566	1,373,045	1,464,200	1,709,265	1,796,401	1,890,973	260,228	12,077	538,766
台湾	VFR	351,301	527,684	658,757	884,397	1,054,708	1,019,441	1,242,598	178,911	3,300	51,748
香港	TFR	745,367	894,532	933,447	1,072,029	1,160,738	1,116,088	780,141	23,900	596	8,045
マレーシア	TFN	274,622	385,769	421,161	444,439	484,528	616,783	673,065	119,750	3,028	146,384
シンガポール	VFR	471,768	536,975	577,082	566,509	631,363	629,454	645,848	89,522	7,126	217,529
インドネシア	VFN	351,154	352,004	375,586	386,789	423,191	358,885	388,316	75,562	9,497	122,221
カンボジア	TFR	435,009	424,424	395,259	357,194	345,081	301,770	254,874	55,935	6,074	64,040
ラオス	VFN	81,799	96,085	165,328	173,260	170,571	174,405	203,191	40,207		26,008
ミャンマー	TFN	54,934	58,472	63,715	64,397	65,829	72,852	111,794	19,363	1,080	6,854
モンゴル	TFN	45,178	45,476	47,213	57,587	74,921	84,184	101,279	5,060	2,312	53,382

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

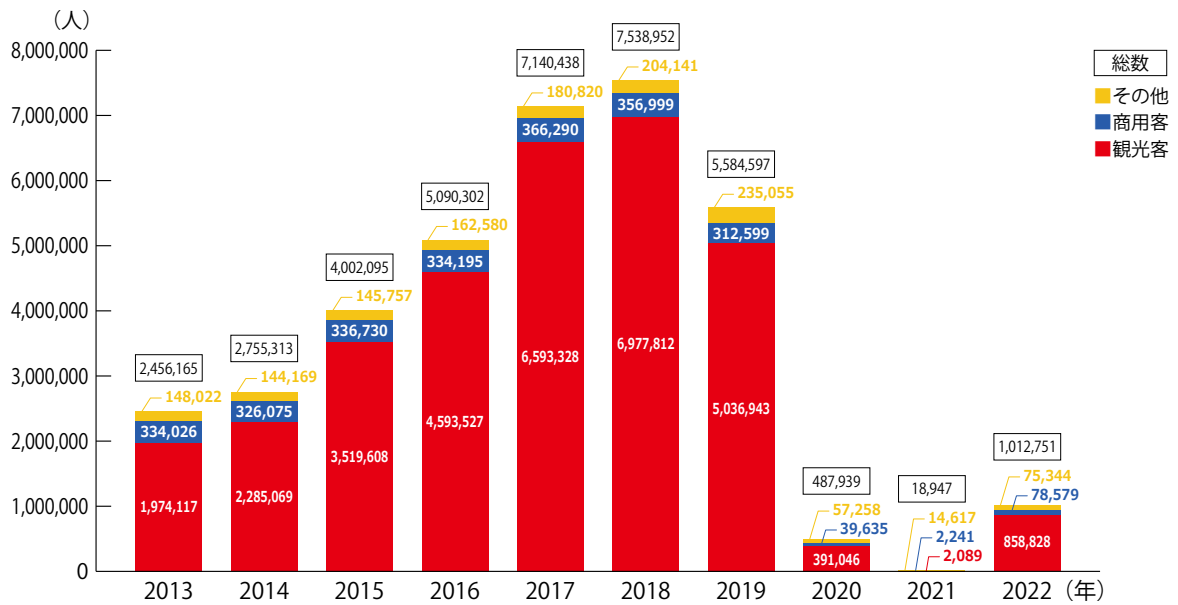
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

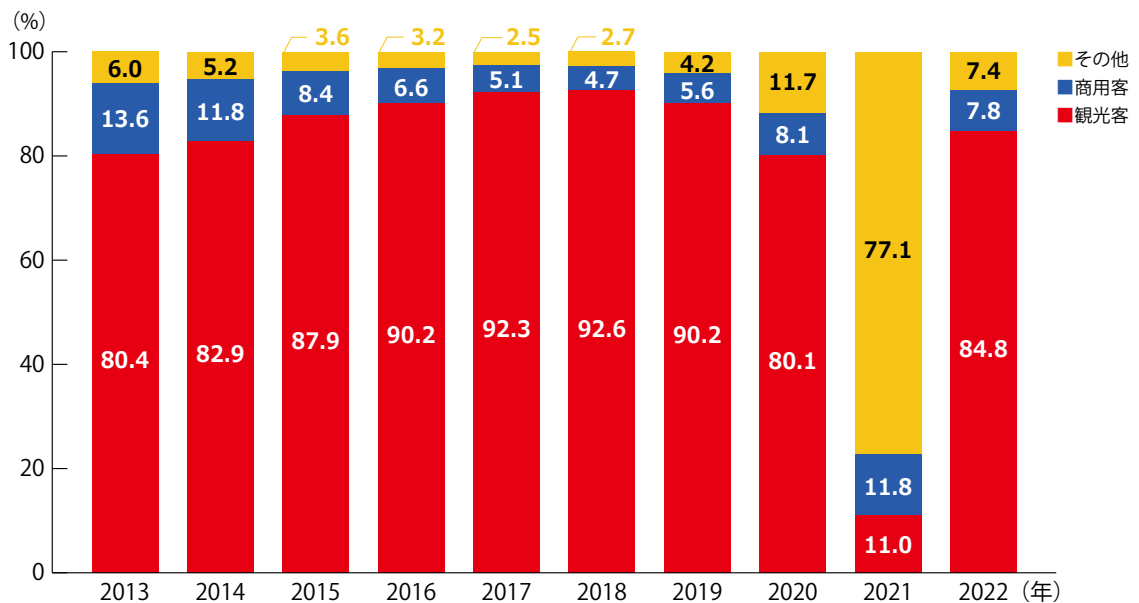
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日韓国人の推移 (2013年～2022年)



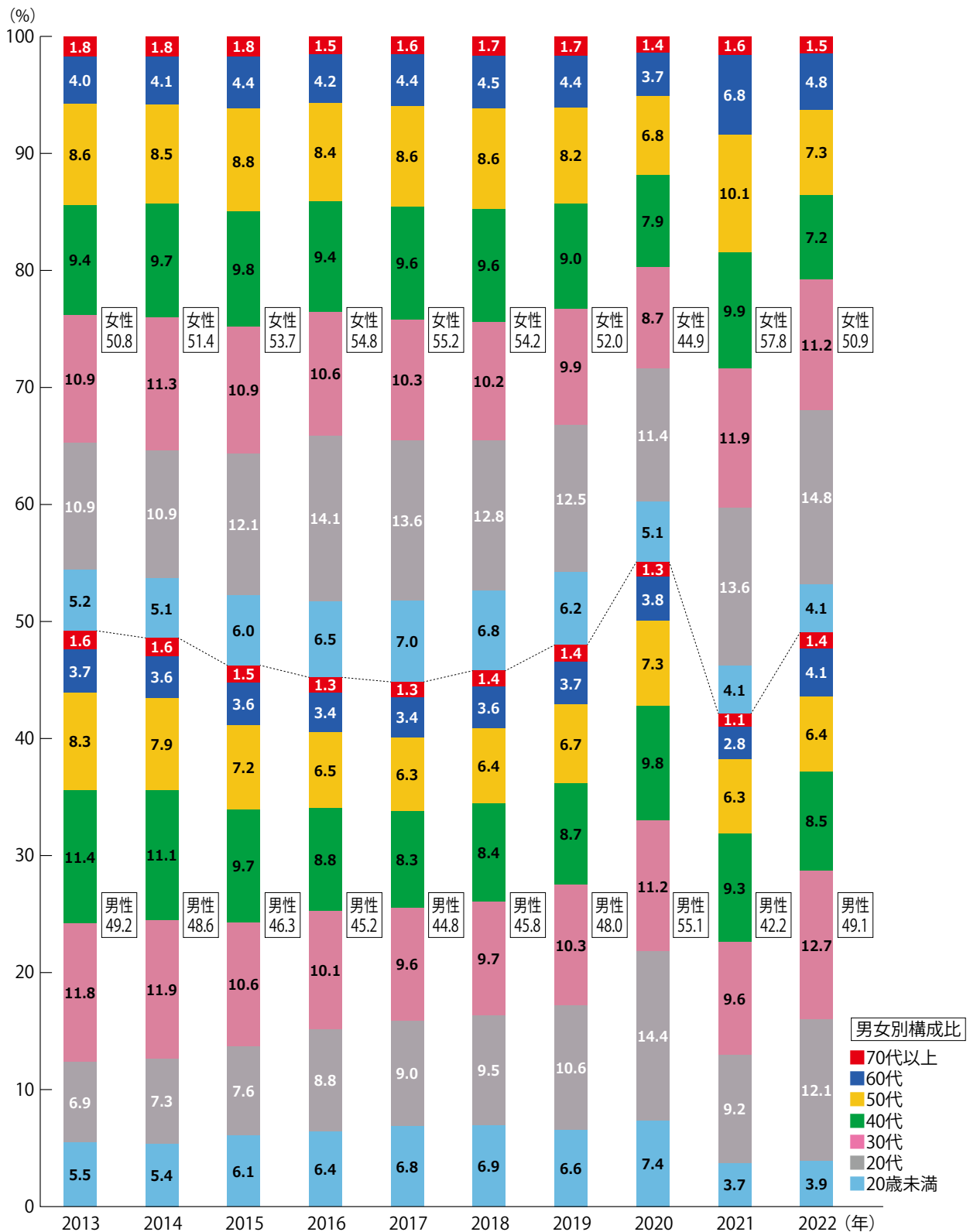
出典：日本政府観光局 (JNTO)

(2) 訪日韓国人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

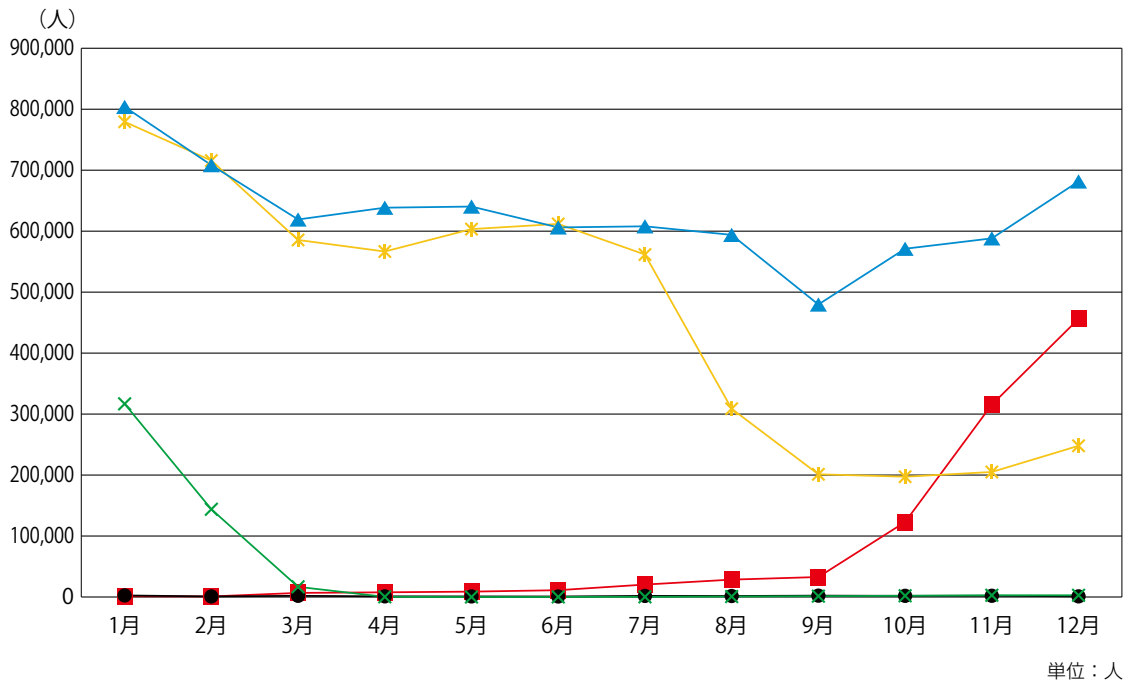
### (3) 訪日韓国人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

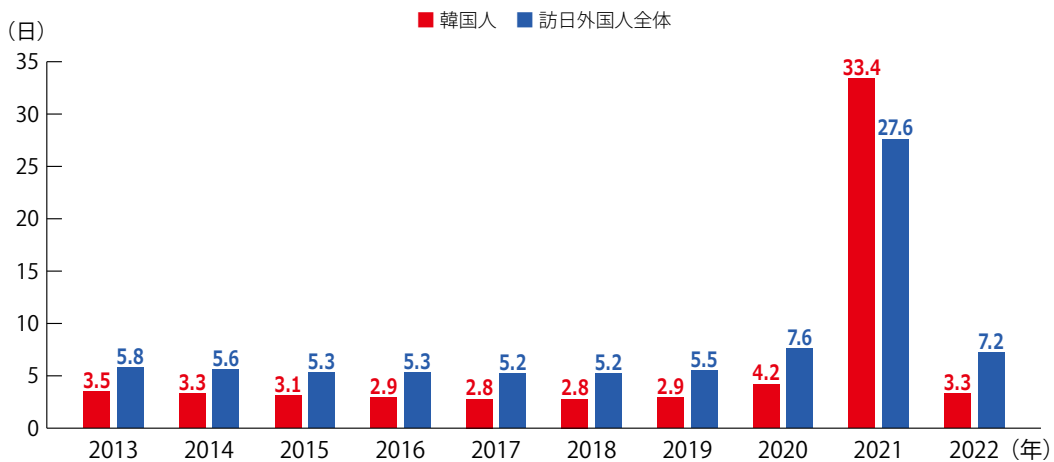
(4) 月別訪日韓国人の推移 (2018年~2022年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	1,264	913	6,694	7,699	8,805	11,168	20,384	28,515	32,764	122,959	315,421	456,165
● 2021年	2,535	910	1,956	1,076	950	835	1,808	1,647	2,224	1,921	2,021	1,064
✕ 2020年	316,812	143,896	16,669	299	18	122	294	749	1,426	2,021	2,825	2,808
✱ 2019年	779,383	715,804	585,586	566,624	603,394	611,867	561,675	308,730	201,252	197,281	205,042	247,959
▲ 2018年	803,816	708,318	619,196	638,523	640,355	606,162	607,953	593,941	479,733	571,176	588,213	681,566

出典：日本政府観光局 (JNTO)

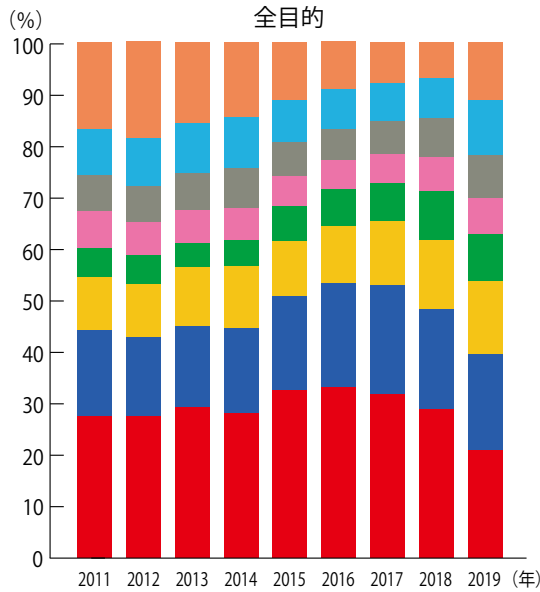
(5) 訪日韓国人の平均滞在日数の推移 (2013年~2022年)



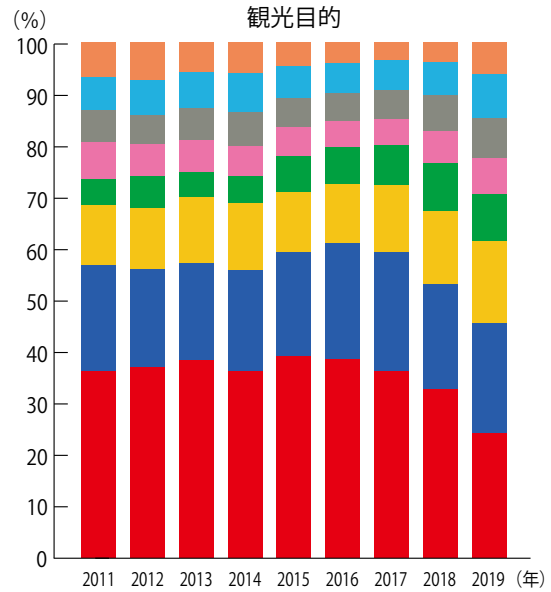
注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (6) 訪日韓国人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	17.0	18.7	15.8	14.7	11.2	9.3	8.1	7.0	11.2
10~19回目	8.8	9.4	9.7	9.9	8.2	7.6	7.2	7.7	10.8
6~9回目	7.0	7.0	7.1	7.6	6.5	6.2	6.4	7.7	8.3
5回目	7.3	6.4	6.5	6.2	5.9	5.5	5.7	6.5	7.0
4回目	5.5	5.7	4.6	5.1	6.7	7.2	7.4	9.6	9.0
3回目	10.3	10.1	11.5	12.0	10.8	11.0	12.4	13.4	14.3
2回目	16.7	15.3	15.6	16.4	18.1	20.3	21.0	19.3	18.6
1回目	27.4	27.5	29.2	28.1	32.5	33.0	31.8	28.8	20.8

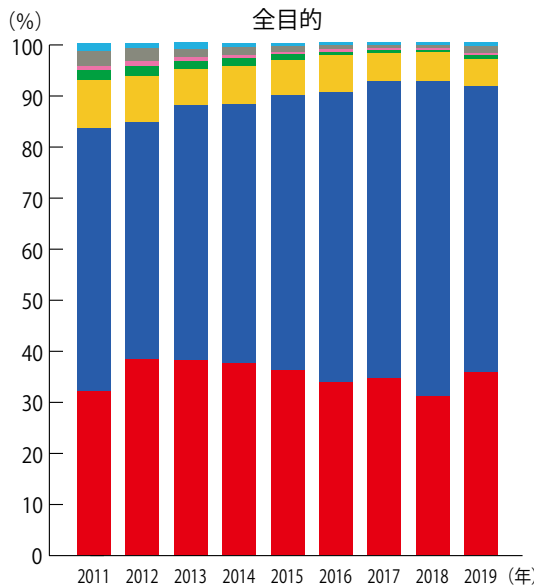


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	6.7	7.4	5.8	6.0	4.8	4.0	3.6	3.8	6.1
10~19回目	6.4	6.6	7.1	7.6	6.2	5.8	5.7	6.3	8.6
6~9回目	6.2	5.8	6.1	6.5	5.6	5.5	5.7	7.1	7.8
5回目	7.2	6.1	6.2	5.8	5.7	5.0	5.1	6.1	7.0
4回目	5.1	6.1	4.8	5.4	6.9	7.2	7.6	9.4	9.0
3回目	11.6	12.0	12.8	12.9	11.6	11.4	13.1	14.1	15.8
2回目	20.5	18.9	18.9	19.7	20.2	22.5	23.1	20.4	21.5
1回目	36.2	37.0	38.3	36.1	39.1	38.5	36.1	32.7	24.1

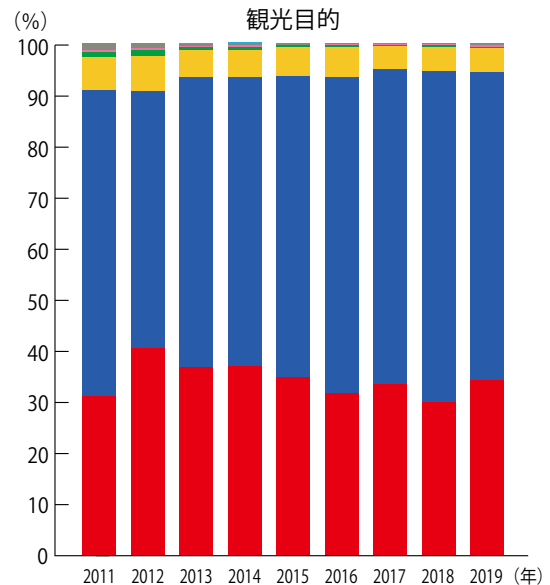
注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日韓国人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上1年未満	1.6	1.0	1.2	0.8	0.7	0.5	0.5	0.5	0.8
28~90日間	2.8	2.6	1.7	1.5	1.1	0.9	0.7	0.7	1.3
21~27日間	0.8	0.9	0.7	0.7	0.5	0.4	0.3	0.2	0.4
14~20日間	2.0	2.1	1.6	1.6	1.0	0.7	0.7	0.5	0.7
7~13日間	9.3	8.8	7.0	7.3	6.9	7.2	5.3	5.6	5.4
4~6日間	51.5	46.4	49.8	50.6	53.7	56.7	58.1	61.7	55.8
3日間以内	31.9	38.2	38.1	37.5	36.1	33.7	34.5	30.9	35.7

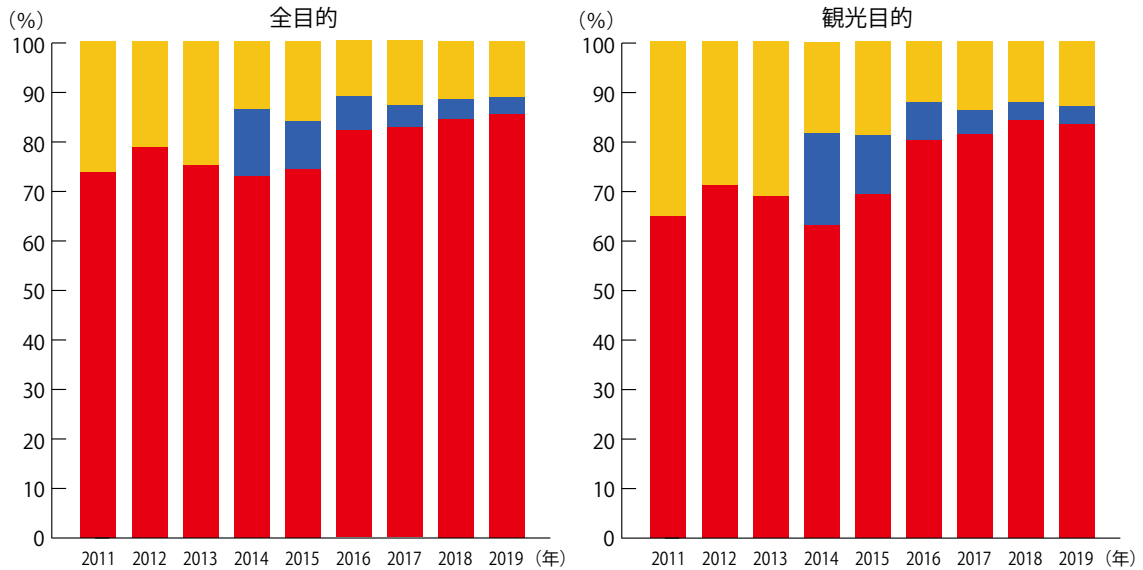


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上1年未満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28~90日間	1.4	0.8	0.4	0.5	0.3	0.2	0.2	0.3	0.5
21~27日間	0.2	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2
14~20日間	1.1	1.2	0.6	0.7	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
7~13日間	6.4	6.7	5.2	5.2	5.7	6.0	4.3	4.8	4.7
4~6日間	59.8	50.3	56.8	56.6	58.6	61.6	61.7	64.6	60.2
3日間以内	31.0	40.4	36.6	36.8	34.8	31.7	33.3	29.9	34.1

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日韓国人の旅行形態 (2011年~2019年)

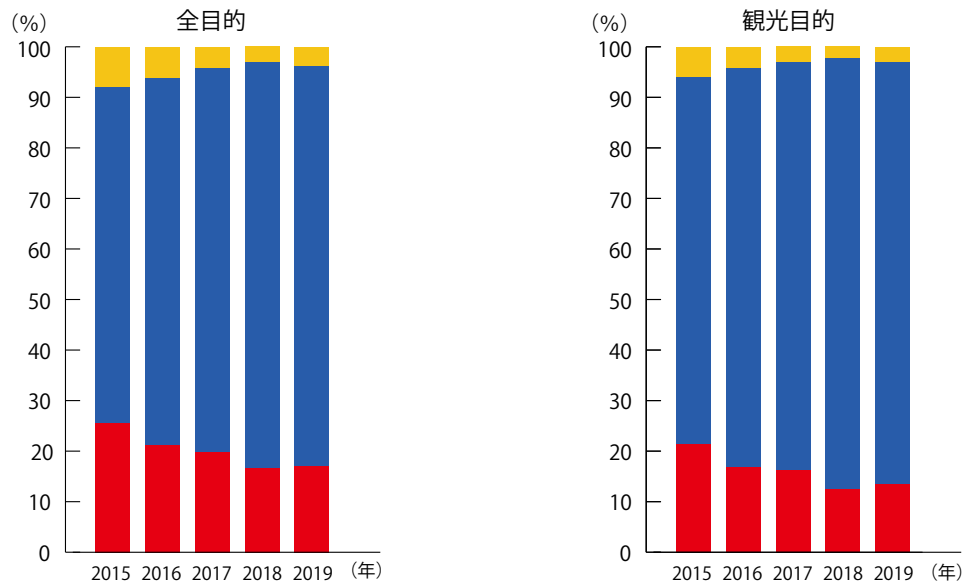


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	26.4	21.4	24.9	13.8	16.1	11.2	13.0	11.7	11.3
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	13.4	9.7	6.9	4.5	3.9	3.4
■ 個別手配	73.6	78.6	75.1	72.8	74.2	82.0	82.6	84.4	85.3

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	35.2	29.0	31.2	18.3	18.8	12.2	14.0	12.3	13.0
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	18.7	11.8	7.8	4.7	3.6	3.6
■ 個別手配	64.8	71.0	68.8	62.9	69.3	80.0	81.3	84.1	83.4

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日韓国人の予約方法 (2015年~2019年)

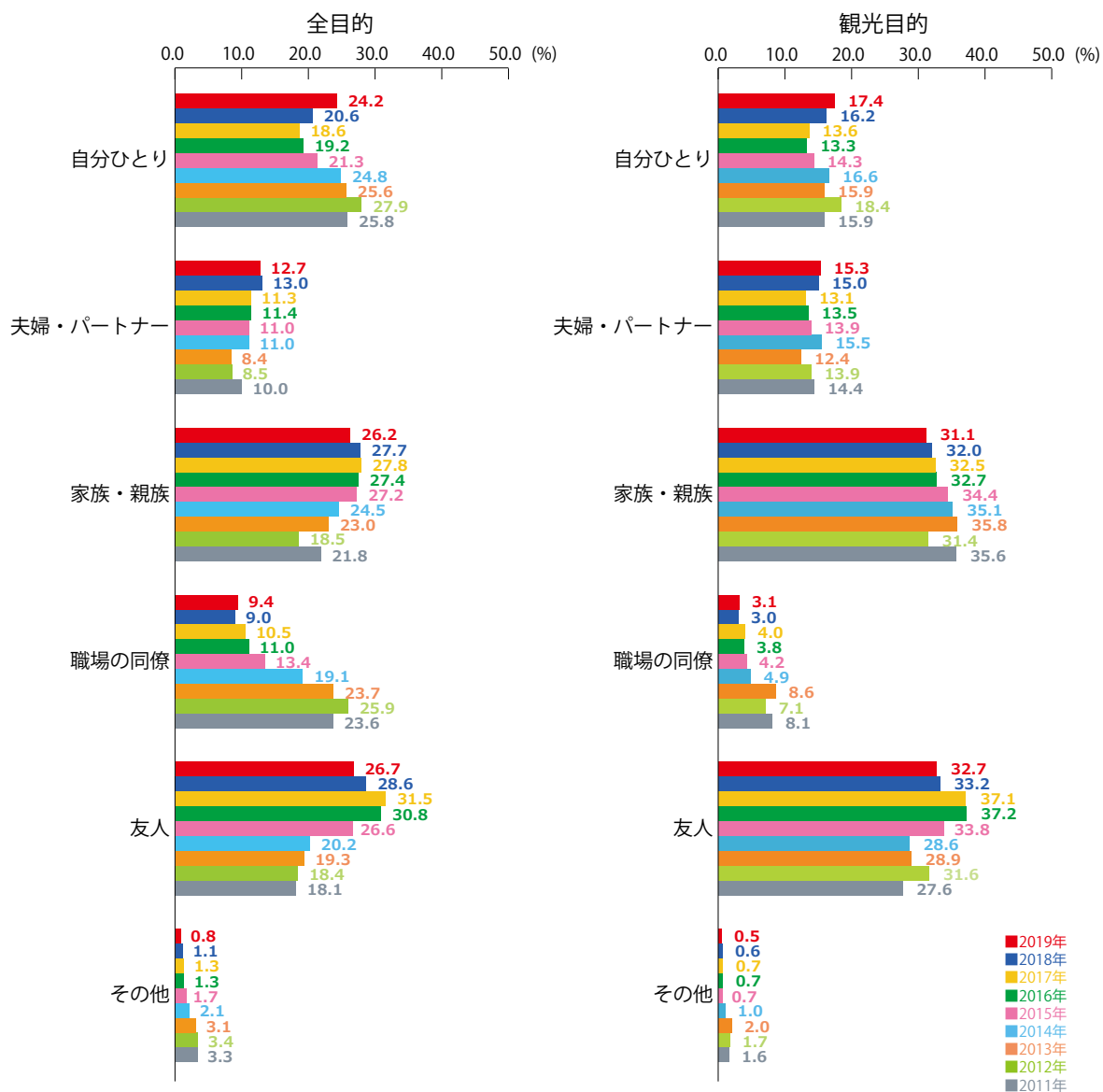


	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	8.0	6.0	4.1	3.0	3.7
■ ウェブサイトから申し込んだ	66.4	72.8	76.0	80.4	79.2
■ 店頭で申し込んだ	25.7	21.2	19.9	16.7	17.1

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	5.8	4.2	3.0	2.2	3.0
■ ウェブサイトから申し込んだ	72.8	78.8	80.8	85.4	83.5
■ 店頭で申し込んだ	21.4	17.0	16.3	12.5	13.5

注1：2014年以前の数値は存在しない。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日韓国人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(11) 訪日韓国人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

[次ページへ](#)

全目的 ■ 2019年 ■ 2018年 ■ 2017年 ■ 2016年 ■ 2015年 単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	68.4 72.7 70.9 69.8 65.2	97.6 98.4 97.8 97.5 96.1	48.6 49.1 51.4 51.0 46.9
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	27.2 29.1 26.7 26.7 24.3	59.8 61.6 60.2 61.5 60.1	23.9 23.4 25.9 27.8 25.6
旅館に宿泊	7.7 10.6 9.1 9.6 10.7	14.4 17.2 17.0 19.2 21.7	19.5 23.5 20.6 21.7 22.6
温泉入浴	24.2 27.2 25.6 26.8 30.2	31.4 32.4 30.3 32.7 35.0	53.1 58.3 51.2 51.0 52.1
自然・景勝地観光	29.5 32.1 34.4 32.8 27.7	51.8 52.6 55.9 54.6 49.4	25.5 23.5 32.0 32.6 28.0
繁華街の街歩き	30.5 32.0 31.2 30.1 25.3	70.0 71.1 70.1 68.5 61.3	15.3 15.0 25.2 23.7 19.9
ショッピング	39.4 47.9 49.4 47.5 43.1	77.1 83.5 85.3 81.9 78.1	29.8 33.4 40.5 41.5 38.0
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	8.6 12.6 7.0 6.2 5.5	14.5 19.9 12.7 12.5 11.7	7.9 7.6 11.1 9.5 9.3
テーマパーク	12.7 14.1 18.5 15.6 11.7	14.1 16.1 21.8 19.2 15.3	17.0 19.2 27.2 23.9 20.5
スキー・スノーボード	0.6 0.5 0.4 0.5 0.9	0.2 0.4 0.3 0.4 0.6	4.6 4.6 7.0 7.7 8.3
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.9 1.0 2.2 2.2 1.9	2.0 1.4 2.3 2.3 2.0	3.8 2.3 7.3 7.9 7.8
舞台・音楽鑑賞	3.3 2.5 2.1 2.0 2.5	3.6 2.2 2.5 2.7 3.2	5.7 5.0 9.4 10.1 10.2
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	0.7 0.4 0.7 0.7 1.4	0.4 0.3 0.4 0.6 1.1	5.0 4.3 6.3 6.8 8.0
自然体験ツアー・農漁村体験	1.6 1.3 1.3 1.4 1.6	1.8 1.7 1.6 1.7 1.8	5.0 4.3 6.5 7.0 7.6
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	3.7 3.8 3.4 2.7 2.5	4.7 3.9 3.7 2.9 2.5	8.3 8.4 17.3 16.1 14.1
映画・アニメ縁の地を訪問	2.7 3.0 3.2 3.4 3.2	2.5 2.4 3.0 3.3 3.4	8.5 8.2 10.3 10.6 10.1
日本の歴史・伝統文化体験	5.5 6.7 6.2 6.4 7.2	8.9 10.2 9.8 9.9 11.8	10.3 11.2 15.7 16.2 18.0
日本の日常生活体験	7.3 8.8 6.1 6.8 6.3	13.0 16.2 12.3 13.1 10.8	12.7 13.4 15.7 15.1 14.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	5.9 6.8 5.7 6.6 6.3	8.7 8.9 9.9 11.1 9.7	10.3 11.4 12.1 12.7 12.4
治療・健診	0.2 0.3 0.3 0.3 0.3	0.4 0.5 0.3 0.4 0.5	0.1 0.2 2.0 2.6 2.5
上記には当てはまるものがない	10.6 7.5 6.3 5.6 6.4	0.2 0.2 0.2 0.3 0.6	2.3 1.6 1.7 1.8 1.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	73.7 76.0 73.6 72.2 68.2	97.5 98.3 98.0 97.7 96.5	50.7 50.8 52.0 51.7 47.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	27.8 29.7 27.0 26.7 23.9	57.5 60.1 59.1 60.5 58.1	24.5 23.5 26.7 27.8 25.3
旅館に宿泊	8.6 11.4 9.8 10.5 11.8	16.4 18.6 18.1 21.0 24.0	19.9 23.5 20.7 21.6 23.2
温泉入浴	27.4 29.5 27.5 28.9 33.2	35.3 34.9 32.5 35.1 39.0	54.3 59.3 51.8 51.6 52.9
自然・景勝地観光	34.3 35.8 38.2 36.9 32.1	60.3 58.3 61.8 60.8 57.0	26.0 23.0 32.8 33.7 29.3
繁華街の街歩き	34.0 34.4 34.3 32.9 28.4	76.2 76.3 75.1 74.3 67.9	15.8 15.2 26.8 25.1 21.6
ショッピング	43.5 51.3 53.4 51.6 48.0	81.3 86.6 89.0 86.2 83.5	31.4 34.4 42.1 44.2 40.6
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	9.8 13.9 7.5 6.9 5.9	16.4 21.4 13.6 13.9 12.6	7.8 7.7 11.0 9.6 9.1
テーマパーク	14.8 15.5 20.8 17.9 13.6	16.6 18.2 24.4 22.1 17.9	18.8 19.6 28.9 25.7 21.9
スキー・スノーボード	0.5 0.4 0.4 0.5 0.7	0.2 0.5 0.4 0.4 0.6	4.5 4.5 7.0 7.8 7.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.0 1.0 2.2 2.0 1.8	1.9 1.5 2.2 2.2 1.8	3.5 2.3 7.0 7.4 7.5
舞台・音楽鑑賞	2.6 3.7 2.0 1.9 2.4	2.9 1.9 2.4 2.7 3.1	5.2 4.7 9.4 10.1 10.2
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	0.3 0.4 0.6 0.6 1.0	0.2 0.2 0.3 0.5 0.7	4.6 4.1 6.1 6.5 7.4
自然体験ツアー・農漁村体験	1.8 1.3 1.3 1.4 1.5	2.0 1.7 1.5 1.8 1.7	5.3 4.3 6.6 7.1 7.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	4.0 3.7 3.5 2.8 2.4	4.8 4.0 3.9 3.1 2.4	9.1 8.6 17.9 16.8 14.7
映画・アニメ縁の地を訪問	2.8 3.3 3.4 3.6 3.4	2.5 2.7 3.1 3.4 3.6	8.9 8.4 10.6 11.1 10.3
日本の歴史・伝統文化体験	5.8 6.9 6.4 6.7 7.3	9.5 11.3 10.3 10.5 12.8	9.7 11.1 13.8 16.1 17.7
日本の日常生活体験	7.3 8.5 6.0 6.4 5.9	11.2 13.3 11.6 11.8 10.0	13.6 14.1 16.1 15.2 15.0
日本のポップカルチャーを楽しむ	6.1 6.9 5.9 7.1 6.4	8.8 9.4 10.4 11.8 10.2	10.1 11.8 12.2 12.9 12.6
治療・健診	0.2 0.2 0.1 0.3 0.1	0.1 0.2 0.1 0.2 0.2	0.1 0.1 2.1 2.5 2.4
上記には当てはまるものがない	5.2 3.2 2.6 2.0 2.3	0.0 0.1 0.1 0.1 0.1	1.4 1.3 1.1 1.1 1.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(12) 韓国人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年~2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	2.1 3.1 3.0 3.6 4.1	2.1 3.3 3.1 3.9 4.4
旅行会社ホームページ	6.9 8.8 9.6 10.1 13.3	8.2 10.0 10.5 11.2 15.5
宿泊施設ホームページ	6.6 8.2 8.9 9.1 8.7	7.4 9.0 9.8 10.1 9.7
航空会社ホームページ	4.1 4.3 4.4 4.3 4.4	4.4 4.8 4.8 4.8 4.9
地方観光協会ホームページ	0.8 0.9 0.8 0.9 1.1	0.8 1.0 0.8 0.9 1.1
宿泊予約サイト	10.4 12.3 11.7 11.2 9.3	11.7 13.4 12.7 12.7 10.6
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	5.0 5.7 4.9 4.3 3.8	5.7 6.0 5.0 4.6 4.1
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	30.9 36.1 30.3 22.8 14.4	34.9 39.8 32.7 25.3 16.5
個人のブログ	43.7 54.5 55.5 54.2 48.9	50.6 60.0 60.8 61.4 57.0
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	9.9 7.0 4.4 2.3 1.4	11.2 7.6 4.8 2.4 1.4
その他インターネット	16.3 12.5 15.3 19.0 18.4	16.5 12.6 15.8 19.5 19.4
日本政府観光局の案内所	1.2 1.3 2.2 2.5 3.3	1.2 1.4 2.3 2.7 3.7
旅行会社パンフレット	2.1 2.8 3.8 4.5 5.9	2.4 2.8 4.2 5.1 7.0
旅行ガイドブック	7.8 13.5 15.6 19.1 20.5	9.0 15.2 17.3 22.0 24.4
自国の親族・知人	10.7 11.8 12.1 11.6 10.0	11.0 11.6 12.5 11.9 10.3
日本在住の親族・知人	8.8 6.5 7.1 7.4 8.1	4.7 4.3 4.9 5.0 5.1
旅行の展示会や見本市	0.4 0.4 0.4 0.4 0.5	0.1 0.2 0.3 0.3 0.3
テレビ番組	1.7 3.5 3.2 2.4 2.0	1.8 3.9 3.2 2.3 2.0
新聞	0.2 0.3 0.2 0.3 0.5	0.1 0.4 0.2 0.3 0.5
旅行専門誌	0.7 1.7 2.4 2.5 2.4	0.8 1.7 2.6 2.7 2.6
その他雑誌	0.3 0.4 0.4 0.5 0.5	0.3 0.3 0.5 0.5 0.5
その他	0.7 0.7 2.0 2.1 2.5	0.3 0.5 1.4 1.3 1.4
特になし	17.8 11.4 11.9 12.1 13.8	13.3 7.0 8.4 7.6 8.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) 韓国人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	24.0 27.8	25.4 29.7
交通手段	35.3 37.3	36.2 39.3
飲食店	29.0 29.8	30.0 31.3
観光施設	20.3 21.3	22.3 23.2
イベント	1.9 1.6	1.5 1.4
土産物	5.1 7.5	5.9 8.0
買物場所	12.3 15.7	13.2 16.7
無料Wi-Fi	13.8 15.2	15.0 15.5
祈祷室	0.0 0.0	0.0 0.1
ATM	1.8 1.4	1.4 1.2
宅配便	0.4 0.5	0.2 0.3
日本文化体験プログラム	2.1 2.9	2.1 2.9
自然体験ツアー・農山漁村体験	0.4 1.1	0.5 1.2
通訳案内士・観光ガイド	4.5 5.3	5.2 5.6
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	1.0 2.2	1.0 2.5
クレジットカード利用可能店舗	2.3 2.8	2.3 2.9
その他	1.8 2.1	2.1 2.5
特になし	28.7 22.4	25.8 19.5

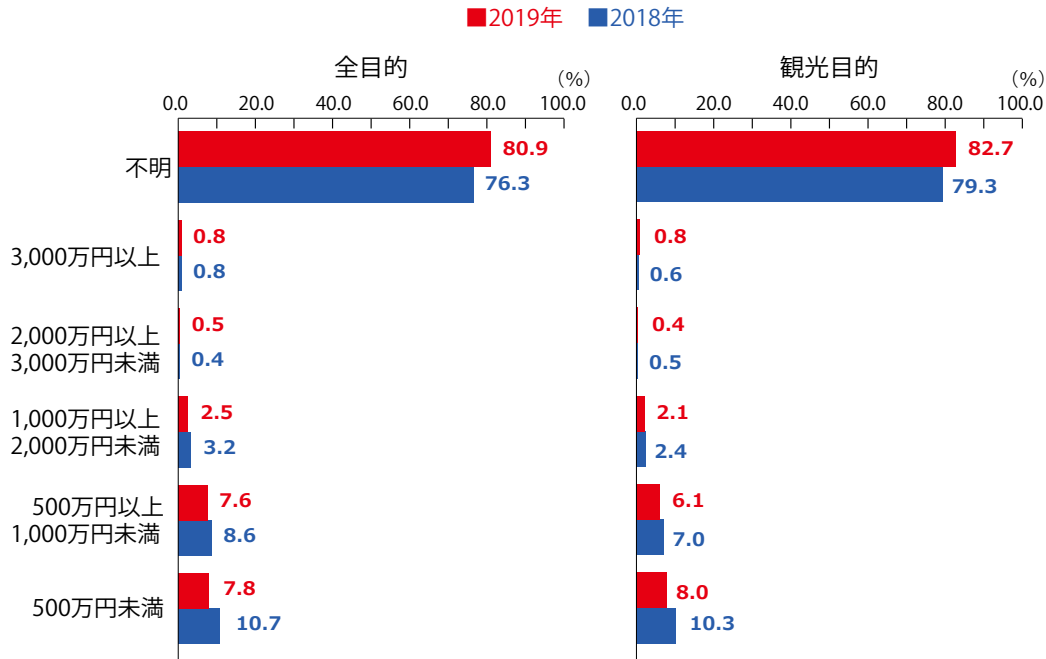
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

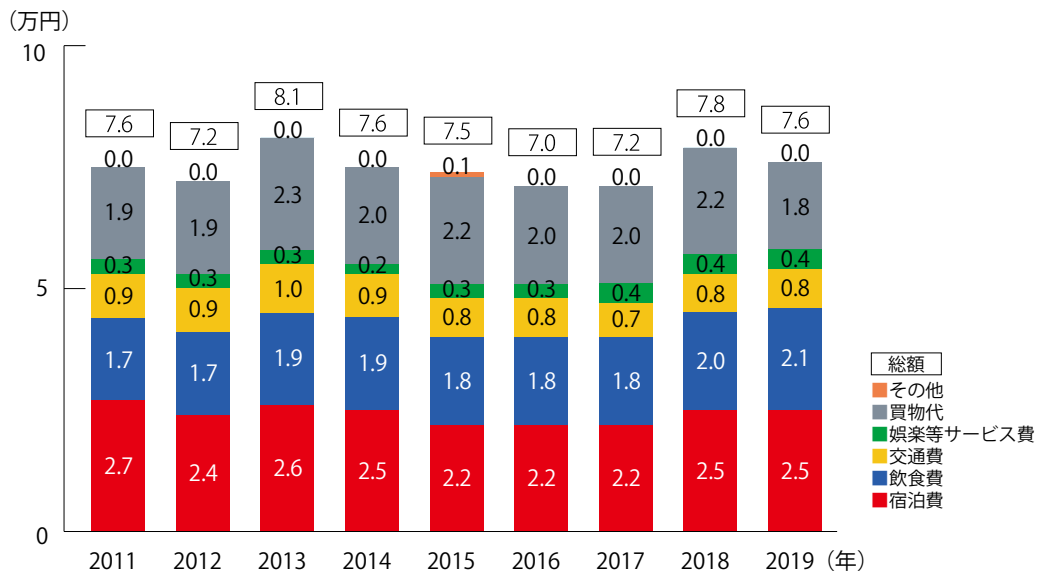
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日韓国人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日韓国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日韓国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	3,618	76,138	2,674	68,610	
滞在日数	3日間以内	1,447	52,649	1,051	51,949
	4～6日間	1,824	72,714	1,462	72,229
	7～13日間	215	116,087	131	112,345
	14～20日間	37	186,068	13	238,584
	21～27日間	16	221,356	4	215,382
	28～90日間	50	217,745	13	197,082
	91日間以上1年未満	29	734,388	0	-
性・年代	男性	2,190	77,815	1,490	71,238
	15～19歳	65	83,441	51	58,912
	20～29歳	698	75,927	574	65,474
	30～39歳	563	74,236	357	73,315
	40～49歳	439	75,521	239	71,273
	50～59歳	238	85,249	132	78,930
	60～69歳	130	88,584	96	92,991
	70歳以上	57	99,666	41	103,129
	女性	1,428	73,725	1,184	65,412
	15～19歳	37	127,525	24	70,502
	20～29歳	543	78,102	463	63,586
	30～39歳	354	58,299	296	58,820
	40～49歳	232	68,724	191	66,488
	50～59歳	158	80,886	131	81,069
60～69歳	81	76,484	58	73,315	
70歳以上	23	92,399	21	72,402	
日本への 来訪回数	1回目	638	67,821	558	63,281
	2回目	591	70,498	514	68,755
	3回目	486	72,653	405	65,464
	4回目	327	80,329	249	68,634
	5回目	293	91,611	221	71,206
	6～9回目	339	74,238	235	64,477
	10～19回目	447	80,418	279	74,657
	20回目以上	497	89,572	213	90,955

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日韓国人の購入者単価 (2019年)

調査項目		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	373	81,202	327	79,652
	個人旅行向けパッケージ商品	150	59,928	116	58,070
	往復航空(船舶)運賃	3,095	26,973	2,231	23,652
日本滞在中の支出	宿泊料金	2,780	28,247	2,122	22,497
	飲食費	3,210	20,547	2,401	17,419
	交通費	2,974	8,154	2,200	6,708
	航空(日本国内移動のみ)	33	18,174	22	16,080
	Japan Rail Pass	176	7,458	158	7,150
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	2,056	5,635	1,458	4,441
	バス	1,090	2,732	837	2,495
	タクシー	740	4,610	482	3,145
	レンタカー	321	12,072	284	9,951
	船舶(日本国内移動のみ)	62	2,225	51	2,488
	その他交通費	64	6,541	55	5,017
	娯楽等サービス費	1,214	8,958	1,021	7,706
	現地ツアー・観光ガイド	162	8,565	150	7,741
	ゴルフ場	27	14,346	15	8,438
	テーマパーク	364	9,480	332	9,631
	舞台・音楽鑑賞	55	17,727	31	18,271
	スポーツ観戦	11	7,957	7	7,427
	美術館・博物館・動物園・水族館	355	2,161	306	2,087
	スキー場リフト	6	2,943	4	3,424
	温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション	252	2,663	203	1,838
	マッサージ・医療費	33	22,696	22	6,848
	展示会・コンベンション参加費	15	6,462	11	3,062
	レンタル料(レンタカーを除く)	21	2,741	18	2,370
	その他娯楽等サービス費	189	10,896	151	7,901
	買物代	3,406	18,842	2,564	18,267
	菓子類	2,696	5,495	2,092	5,320
	酒類	849	4,781	681	4,165
	生鮮農産物	92	6,022	61	4,044
	その他食料品・飲料・たばこ	1,333	4,283	1,032	3,644
	化粧品・香水	809	7,004	700	6,737
	医薬品	1,215	6,089	1,010	5,637
	健康グッズ・トイレタリー	296	11,116	252	9,732
	衣類	715	12,538	593	11,322
	靴・かばん・革製品	303	12,963	250	10,986
	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	89	22,690	63	19,049
	時計・フィルムカメラ	32	11,434	25	11,051
	宝石・貴金属	22	7,510	14	4,013
	民芸品・伝統工芸品	141	4,405	124	4,337
	本・雑誌・ガイドブックなど	112	4,219	81	2,993
	音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	67	10,182	52	9,860
その他買物代	261	8,352	205	7,992	
その他	12	22,487	6	7,586	

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

## (18) 訪日韓国人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	30.2 32.5 33.2 36.2 38.3	32.6 34.2 35.8 39.7 42.3
家電量販店	6.8 6.6 6.4 7.4 8.8	6.6 6.4 6.1 7.3 8.7
ファッション専門店	10.7 10.8 9.2 9.7 11.0	11.8 11.4 10.1 10.7 12.7
100円ショップ	10.9 14.2 15.0 17.1 16.8	10.9 14.7 15.9 18.9 19.0
高速道路のSA・道の駅	1.8 2.1 2.3 2.6 3.2	1.9 2.2 2.4 2.7 3.4
観光地の土産店	15.6 17.4 17.9 18.1 18.4	18.5 19.6 20.3 20.7 22.3
宿泊施設	6.9 6.9 10.1 13.7 13.7	7.6 7.5 10.9 14.9 16.3
スーパーマーケット	26.6 27.8 30.4 33.7 37.5	25.6 28.2 31.8 35.4 41.5
コンビニエンスストア	69.7 71.0 63.7 61.9 55.0	72.8 74.1 68.3 66.9 60.9
ドラッグストア	42.7 46.4 50.1 44.5 35.6	46.5 50.1 54.4 49.7 41.3
ディスカウントストア	27.6 25.1 24.6 23.4 18.2	31.2 27.3 26.9 26.1 20.7
アウトレットモール	6.4 6.9 10.2 11.6 13.6	6.8 7.2 10.4 12.2 15.0
都心の複合商業施設	23.5 26.6 17.0 19.2 20.6	26.0 29.0 18.9 21.3 23.9
その他ショッピングセンター	10.0 10.4 8.7 11.0 10.4	10.8 11.0 9.3 11.8 11.6
鉄道駅構内の店舗	3.1 3.4 3.4 4.6 5.0	3.3 3.4 3.7 5.0 5.7
空港の免税店	58.5 62.9 64.7 62.5 59.3	58.0 62.9 65.2 63.1 58.8
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.3 0.3	0.3 0.4
その他	3.8 4.2 4.6 5.9 4.6	4.2 4.6 5.2 6.6 5.4
買い物はしなかった	2.9 1.9 2.2 2.4 2.8	1.7 1.0 1.0 0.9 0.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

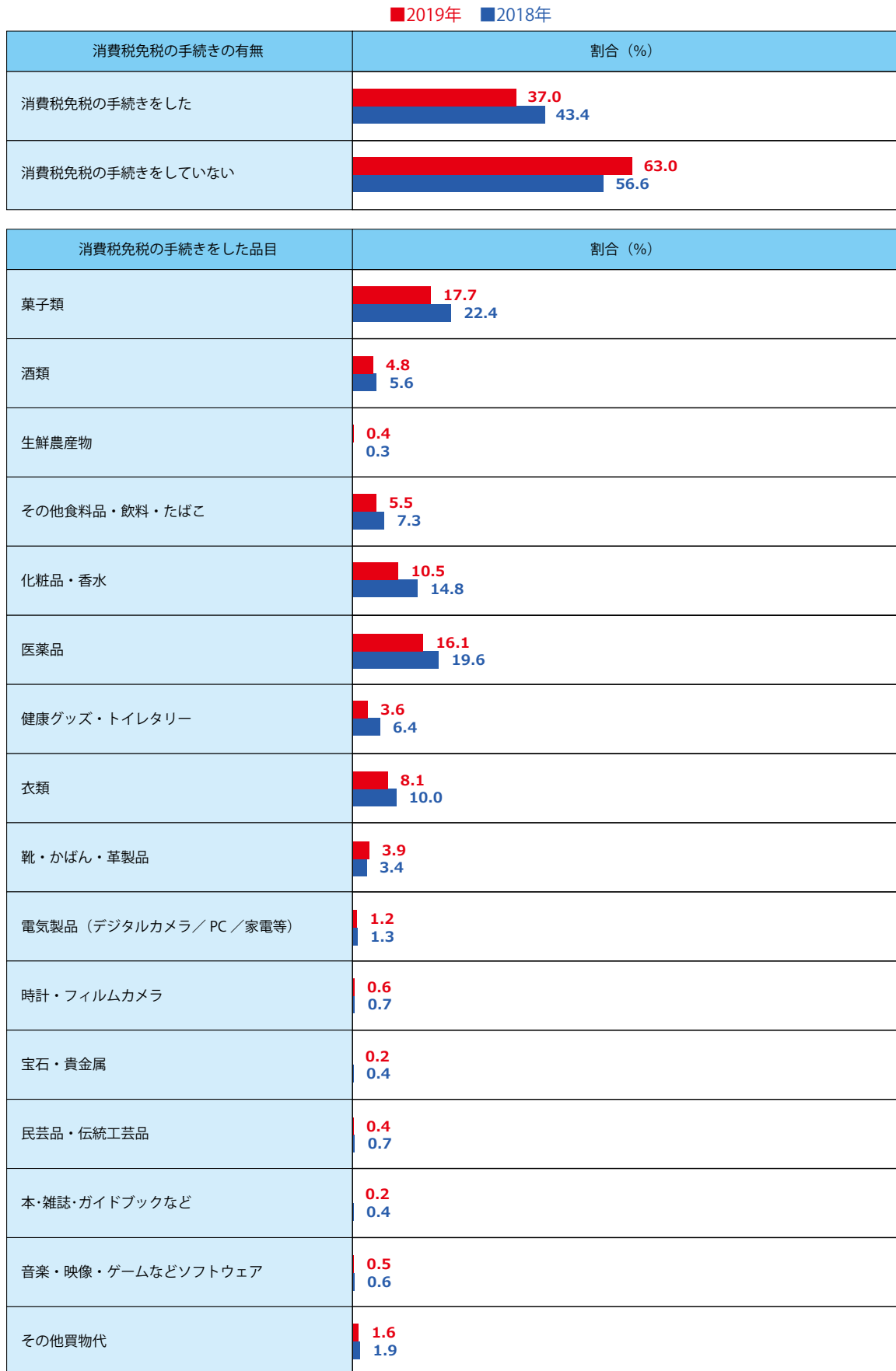
注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (19) 訪日韓国人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）



注1：「消費税免税の手續きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日韓国人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：％

	全目的	観光目的
現金	96.9 97.8	98.0 98.7
クレジットカード	48.5 45.8	46.2 43.6
交通系ICカード（Suica等）	8.2 7.2	5.8 5.4
その他ICカード（Edy等）	0.1 0.1	0.1 0.1
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	0.8 0.8	0.7 0.8
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.2 0.1	0.1 0.1
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.3 0.3	0.4 0.3
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.3 0.1	0.1 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(21) 訪日韓国人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
大阪府	1位	20.7	21.0	22.7	25.7	27.0	31.0	33.8	31.7	28.8	
福岡県	2位	23.1	22.5	26.7	24.8	25.3	26.7	23.5	25.2	23.6	
東京都	3位	33.8	35.8	30.5	28.9	28.0	23.0	21.4	19.7	21.4	
千葉県	4位	3.7	4.8	4.3	4.6	17.5	14.3	14.0	14.8	16.5	
京都府	5位	8.9	9.3	9.8	12.3	13.5	16.5	17.1	15.9	13.9	
北海道	6位	6.5	6.0	6.6	5.3	5.9	5.8	6.8	8.4	9.9	
大分県	7位	9.7	10.8	12.8	12.5	12.1	11.2	10.6	10.3	8.4	
沖縄県	8位	1.3	1.6	2.9	4.7	6.7	8.5	9.5	8.3	7.8	
兵庫県	9位	5.9	6.0	5.7	6.7	6.4	5.5	5.5	5.5	4.8	
愛知県	10位	4.3	4.4	4.4	3.8	3.9	3.0	2.8	2.6	3.2	
奈良県	11位	3.3	3.3	3.1	4.5	3.2	3.3	3.5	3.8	3.0	
神奈川県	12位	5.8	7.6	6.8	6.1	4.2	3.1	2.7	2.7	2.8	
長崎県	13位	3.2	3.4	3.7	2.9	6.5	5.1	4.0	3.0	2.8	
熊本県	14位	6.6	8.2	9.2	7.0	5.5	2.9	2.5	2.1	2.2	
佐賀県	15位	0.8	1.1	0.8	0.6	1.1	1.3	0.9	2.3	2.0	
山口県	16位	0.4	0.8	0.4	0.4	2.6	2.8	2.4	2.1	1.6	
鹿児島県	17位	0.9	0.4	0.5	0.3	0.9	0.8	0.7	1.3	1.3	
静岡県	18位	1.4	1.7	1.0	1.5	1.6	1.1	0.8	0.9	1.0	
広島県	19位	0.7	1.1	1.4	1.0	1.0	0.7	0.6	0.6	0.9	
埼玉県	20位	1.8	2.2	1.4	1.3	1.0	0.6	0.5	0.5	0.8	
香川県	21位	0.4	0.0	0.0	0.6	0.5	0.5	0.3	0.5	0.7	
岐阜県	22位	0.3	0.5	0.4	0.7	0.7	0.5	0.5	0.6	0.7	
宮崎県	23位	0.6	0.4	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.8	0.6	
鳥取県	24位	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.7	0.6	
富山県	25位	0.1	0.2	0.2	0.2	0.4	0.3	0.3	0.5	0.6	
岡山県	26位	0.4	0.1	0.3	0.5	0.2	0.3	0.2	0.6	0.5	
茨城県	27位	1.2	0.9	0.8	0.9	0.4	0.2	0.3	0.3	0.5	
長野県	28位	1.0	1.1	0.9	0.5	0.7	0.4	0.3	0.5	0.4	
三重県	29位	0.6	0.4	0.5	0.6	0.3	0.3	0.2	0.2	0.4	
宮城県	30位	0.5	0.7	0.4	0.6	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	
島根県	31位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.4	0.3	
栃木県	32位	0.8	1.1	0.9	0.4	0.5	0.3	0.3	0.3	0.3	
石川県	33位	0.1	0.1	0.3	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	
山梨県	34位	1.1	1.0	1.0	0.6	0.6	0.4	0.2	0.3	0.3	
青森県	35位	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.2	
滋賀県	36位	0.2	0.3	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	
群馬県	37位	1.0	0.7	0.4	0.5	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	
和歌山県	38位	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	
新潟県	39位	0.5	0.2	0.3	0.2	0.4	0.3	0.3	0.1	0.1	
山形県	40位	0.1	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
愛媛県	41位	0.2	0.1	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.1	
福島県	42位	0.4	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
福井県	43位	0.4	0.1	0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	
秋田県	44位	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	
徳島県	45位	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	
高知県	46位	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	
岩手県	47位	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日韓国人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数〔人泊（構成比：％）〕		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	1,584,100 (14.4%)	1,678,220 (14.0%)	1,718,800 (17.7%)
大阪府	2位	2,310,900 (21.0%)	2,543,520 (21.3%)	1,751,190 (18.0%)
福岡県	3位	1,498,030 (13.6%)	1,564,650 (13.1%)	1,332,410 (13.7%)
北海道	4位	1,332,410 (12.1%)	1,374,200 (11.5%)	1,111,980 (11.4%)
京都府	5位	268,040 ( 2.4%)	286,400 ( 2.4%)	347,870 ( 3.6%)
大分県	6位	648,850 ( 5.9%)	651,370 ( 5.4%)	410,760 ( 4.2%)
千葉県	7位	186,280 ( 1.7%)	178,270 ( 1.5%)	192,670 ( 2.0%)
神奈川県	8位	137,360 ( 1.2%)	153,240 ( 1.3%)	136,750 ( 1.4%)
愛知県	9位	140,660 ( 1.3%)	169,800 ( 1.4%)	170,980 ( 1.8%)
沖縄県	10位	1,150,550 (10.4%)	1,230,010 (10.3%)	950,110 ( 9.8%)
熊本県	11位	221,930 ( 2.0%)	330,120 ( 2.8%)	249,360 ( 2.6%)
兵庫県	12位	172,650 ( 1.6%)	151,250 ( 1.3%)	112,400 ( 1.2%)
長崎県	13位	208,540 ( 1.9%)	218,710 ( 1.8%)	159,040 ( 1.6%)
静岡県	14位	63,170 ( 0.6%)	72,150 ( 0.6%)	67,090 ( 0.7%)
滋賀県	15位	51,760 ( 0.5%)	48,390 ( 0.4%)	27,430 ( 0.3%)
岐阜県	16位	45,760 ( 0.4%)	48,940 ( 0.4%)	35,730 ( 0.4%)
香川県	17位	53,370 ( 0.5%)	70,800 ( 0.6%)	57,890 ( 0.6%)
埼玉県	18位	15,320 ( 0.1%)	23,660 ( 0.2%)	22,710 ( 0.2%)
長野県	19位	43,490 ( 0.4%)	54,070 ( 0.5%)	33,570 ( 0.3%)
広島県	20位	40,460 ( 0.4%)	45,310 ( 0.4%)	36,750 ( 0.4%)
佐賀県	21位	199,470 ( 1.8%)	200,270 ( 1.7%)	129,030 ( 1.3%)
鹿児島県	22位	80,360 ( 0.7%)	173,050 ( 1.4%)	140,720 ( 1.4%)
栃木県	23位	15,390 ( 0.1%)	20,450 ( 0.2%)	14,120 ( 0.1%)
三重県	24位	39,870 ( 0.4%)	30,150 ( 0.3%)	24,920 ( 0.3%)
新潟県	25位	18,500 ( 0.2%)	20,820 ( 0.2%)	20,220 ( 0.2%)
茨城県	26位	13,120 ( 0.1%)	13,500 ( 0.1%)	10,890 ( 0.1%)
山梨県	27位	24,200 ( 0.2%)	31,210 ( 0.3%)	23,590 ( 0.2%)
宮崎県	28位	93,650 ( 0.8%)	135,910 ( 1.1%)	108,250 ( 1.1%)
宮城県	29位	12,250 ( 0.1%)	12,320 ( 0.1%)	13,920 ( 0.1%)
岡山県	30位	38,600 ( 0.4%)	52,210 ( 0.4%)	35,880 ( 0.4%)
山口県	31位	45,840 ( 0.4%)	47,660 ( 0.4%)	28,750 ( 0.3%)
和歌山県	32位	29,380 ( 0.3%)	36,780 ( 0.3%)	21,060 ( 0.2%)
富山県	33位	34,140 ( 0.3%)	29,880 ( 0.2%)	20,460 ( 0.2%)
石川県	34位	27,200 ( 0.2%)	30,170 ( 0.3%)	19,730 ( 0.2%)
群馬県	35位	11,380 ( 0.1%)	13,760 ( 0.1%)	10,690 ( 0.1%)
奈良県	36位	13,490 ( 0.1%)	19,110 ( 0.2%)	11,610 ( 0.1%)
愛媛県	37位	16,600 ( 0.2%)	42,470 ( 0.4%)	34,780 ( 0.4%)
山形県	38位	10,720 ( 0.1%)	9,530 ( 0.1%)	8,930 ( 0.1%)
福島県	39位	5,180 ( 0.0%)	5,120 ( 0.0%)	3,680 ( 0.0%)
岩手県	40位	8,290 ( 0.1%)	12,760 ( 0.1%)	11,910 ( 0.1%)
青森県	41位	30,510 ( 0.3%)	37,960 ( 0.3%)	27,930 ( 0.3%)
秋田県	42位	12,150 ( 0.1%)	9,570 ( 0.1%)	7,290 ( 0.1%)
鳥取県	43位	49,580 ( 0.4%)	51,460 ( 0.4%)	38,820 ( 0.4%)
徳島県	44位	3,520 ( 0.0%)	3,620 ( 0.0%)	3,860 ( 0.0%)
高知県	45位	5,950 ( 0.1%)	8,180 ( 0.1%)	4,520 ( 0.0%)
福井県	46位	2,650 ( 0.0%)	3,360 ( 0.0%)	3,220 ( 0.0%)
島根県	47位	4,280 ( 0.0%)	10,330 ( 0.1%)	11,150 ( 0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

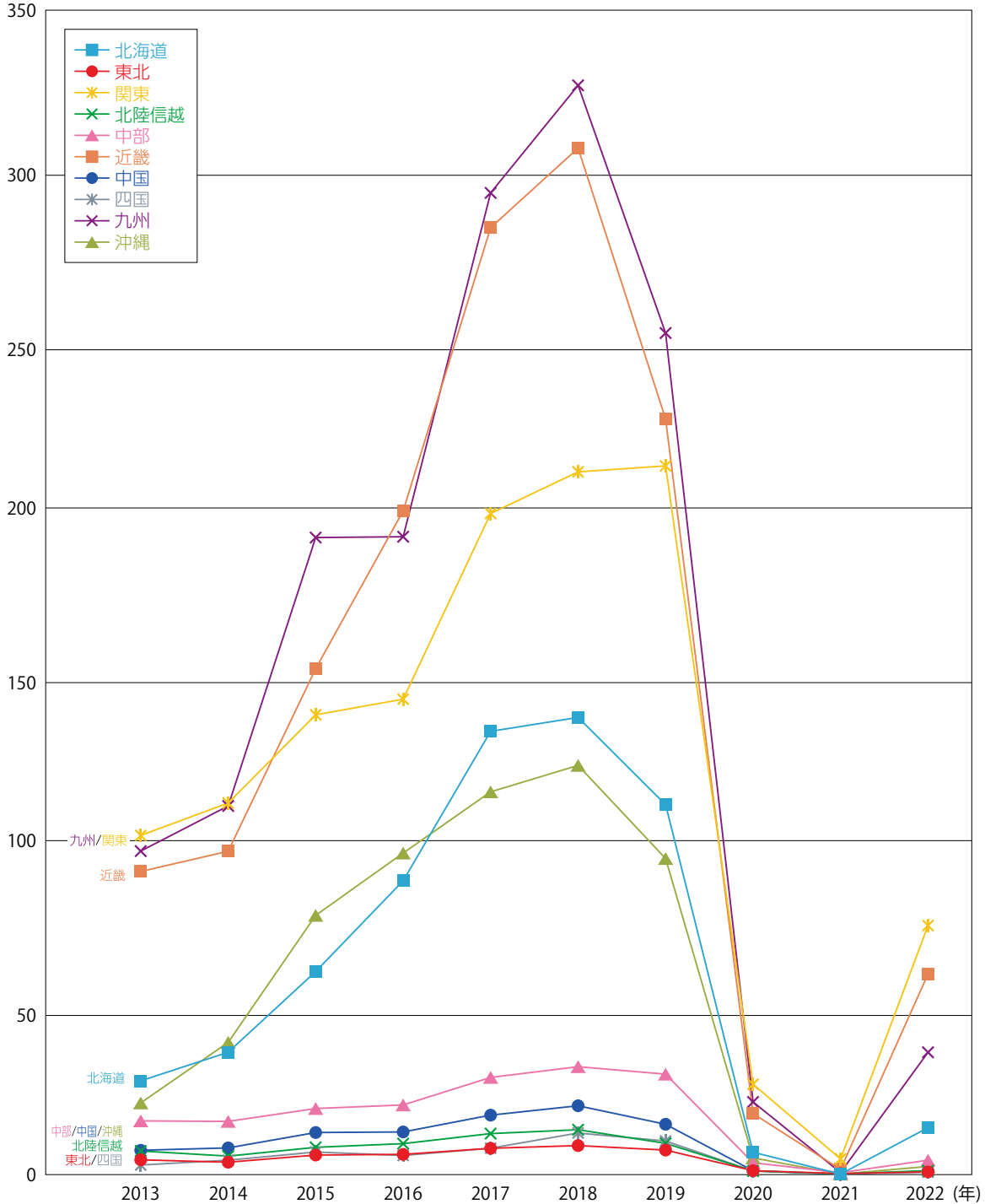
▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	212,430 (24.4%)	28,280 (32.9%)	658,600 (33.5%)
大阪府	2位	129,200 (14.8%)	10,420 (12.1%)	458,620 (23.3%)
福岡県	3位	134,110 (15.4%)	3,250 (3.8%)	256,890 (13.1%)
北海道	4位	67,290 (7.7%)	1,470 (1.7%)	141,110 (7.2%)
京都府	5位	38,070 (4.4%)	2,290 (2.7%)	117,020 (6.0%)
大分県	6位	28,810 (3.3%)	890 (1.0%)	64,170 (3.3%)
千葉県	7位	25,680 (2.9%)	10,520 (12.2%)	37,330 (1.9%)
神奈川県	8位	19,610 (2.2%)	3,890 (4.5%)	36,210 (1.8%)
愛知県	9位	20,850 (2.4%)	3,150 (3.7%)	26,790 (1.4%)
沖縄県	10位	50,200 (5.8%)	1,730 (2.0%)	24,470 (1.2%)
熊本県	11位	10,940 (1.3%)	390 (0.5%)	23,100 (1.2%)
兵庫県	12位	10,380 (1.2%)	1,920 (2.2%)	17,460 (0.9%)
長崎県	13位	9,100 (1.0%)	890 (1.0%)	11,530 (0.6%)
静岡県	14位	7,570 (0.9%)	1,500 (1.7%)	6,660 (0.3%)
滋賀県	15位	3,370 (0.4%)	840 (1.0%)	5,800 (0.3%)
岐阜県	16位	2,770 (0.3%)	450 (0.5%)	5,790 (0.3%)
香川県	17位	4,090 (0.5%)	310 (0.4%)	4,870 (0.2%)
埼玉県	18位	3,790 (0.4%)	970 (1.1%)	4,780 (0.2%)
長野県	19位	3,720 (0.4%)	720 (0.8%)	4,720 (0.2%)
広島県	20位	4,510 (0.5%)	760 (0.9%)	4,630 (0.2%)
佐賀県	21位	6,650 (0.8%)	170 (0.2%)	4,530 (0.2%)
鹿児島県	22位	10,810 (1.2%)	340 (0.4%)	4,430 (0.2%)
栃木県	23位	1,500 (0.2%)	1,070 (1.2%)	3,950 (0.2%)
三重県	24位	3,810 (0.4%)	630 (0.7%)	3,770 (0.2%)
新潟県	25位	4,220 (0.5%)	680 (0.8%)	3,700 (0.2%)
茨城県	26位	3,190 (0.4%)	1,340 (1.6%)	3,090 (0.2%)
山梨県	27位	4,030 (0.5%)	210 (0.2%)	3,060 (0.2%)
宮崎県	28位	17,920 (2.1%)	310 (0.4%)	3,000 (0.2%)
宮城県	29位	2,380 (0.3%)	800 (0.9%)	2,790 (0.1%)
岡山県	30位	3,390 (0.4%)	400 (0.5%)	2,520 (0.1%)
山口県	31位	2,670 (0.3%)	230 (0.3%)	2,490 (0.1%)
和歌山県	32位	1,360 (0.2%)	80 (0.1%)	2,420 (0.1%)
富山県	33位	1,020 (0.1%)	520 (0.6%)	1,850 (0.1%)
石川県	34位	2,130 (0.2%)	150 (0.2%)	1,760 (0.1%)
群馬県	35位	1,450 (0.2%)	890 (1.0%)	1,670 (0.1%)
奈良県	36位	1,100 (0.1%)	160 (0.2%)	1,620 (0.1%)
愛媛県	37位	4,110 (0.5%)	490 (0.6%)	1,530 (0.1%)
山形県	38位	1,340 (0.2%)	370 (0.4%)	1,480 (0.1%)
福島県	39位	1,610 (0.2%)	470 (0.5%)	1,110 (0.1%)
岩手県	40位	1,660 (0.2%)	1,030 (1.2%)	1,030 (0.1%)
青森県	41位	3,460 (0.4%)	320 (0.4%)	950 (0.0%)
秋田県	42位	1,440 (0.2%)	100 (0.1%)	840 (0.0%)
鳥取県	43位	590 (0.1%)	50 (0.1%)	740 (0.0%)
徳島県	44位	900 (0.1%)	110 (0.1%)	500 (0.0%)
高知県	45位	1,740 (0.2%)	220 (0.3%)	330 (0.0%)
福井県	46位	700 (0.1%)	140 (0.2%)	300 (0.0%)
島根県	47位	410 (0.0%)	160 (0.2%)	200 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (23) 訪日韓国人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	281,900	367,850	610,340	883,240	1,332,410	1,374,200	1,111,980	67,290	1,470	141,110
東北	44,440	37,260	58,800	60,890	79,090	87,270	73,660	11,890	3,090	8,210
関東	1,019,500	1,116,950	1,382,090	1,429,110	1,987,140	2,112,310	2,130,220	271,670	47,170	748,700
北陸信越	71,030	55,620	82,060	93,100	123,330	134,930	93,980	11,090	2,080	12,020
中部	161,510	159,960	198,700	209,410	292,120	324,410	301,940	35,700	5,860	43,300
近畿	911,110	971,960	1,520,650	1,994,930	2,846,220	3,085,450	2,271,560	183,470	15,700	602,940
中国	73,140	80,320	126,530	128,270	178,760	206,970	151,340	11,560	1,600	10,570
四国	28,840	43,380	67,910	57,520	79,440	125,080	101,050	10,840	1,130	7,220
九州	972,430	1,108,130	1,914,890	1,917,300	2,950,820	3,274,080	2,529,570	218,340	6,250	367,670
沖縄	215,550	397,530	779,250	966,440	1,150,550	1,230,010	950,110	50,200	1,730	24,470

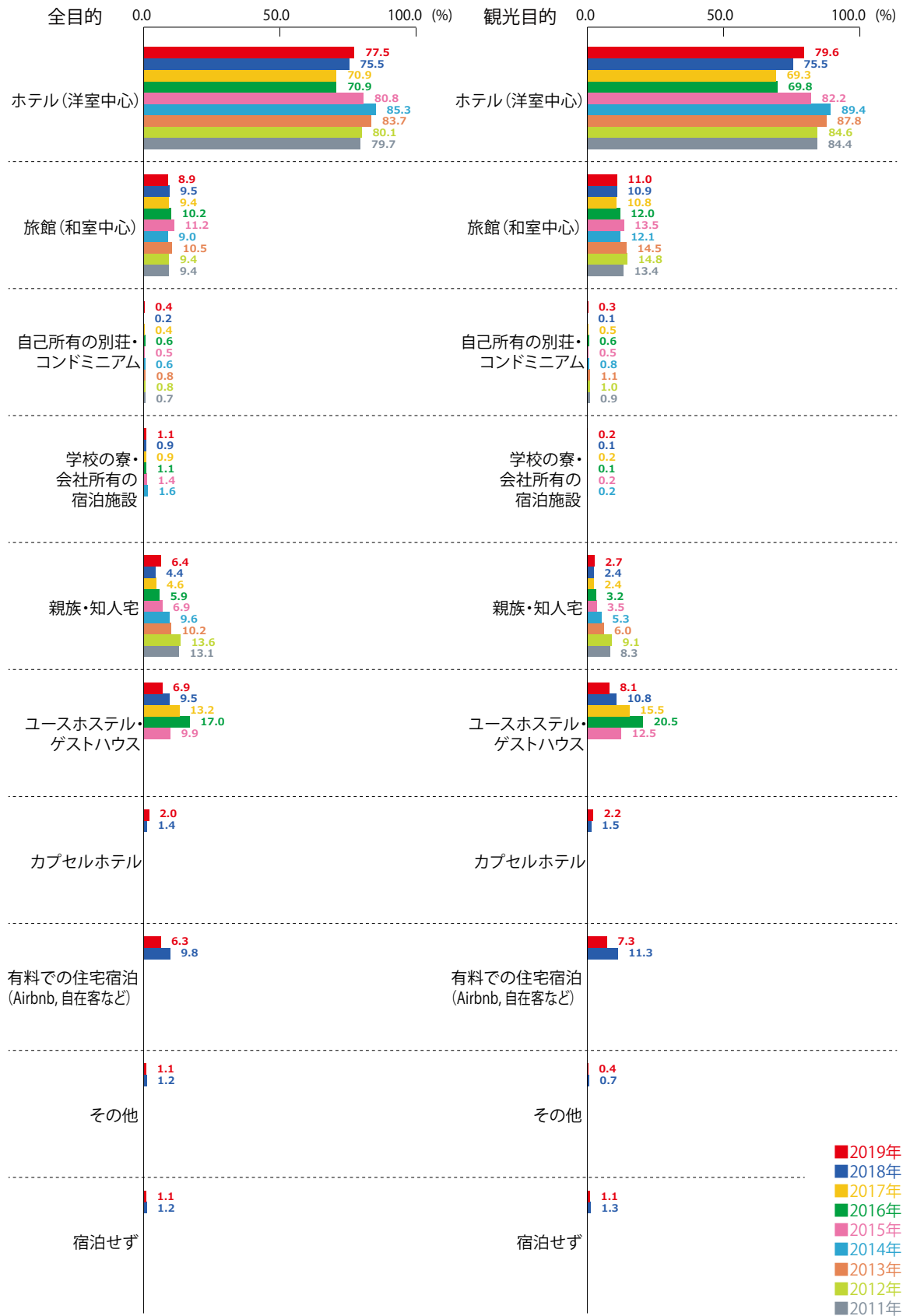
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

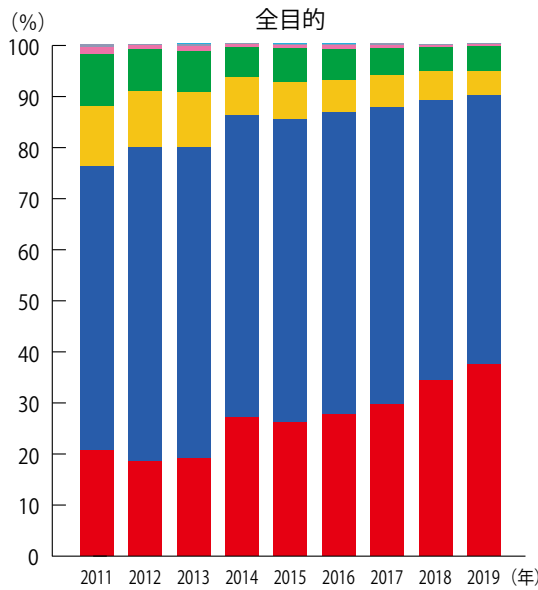
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日韓国人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）

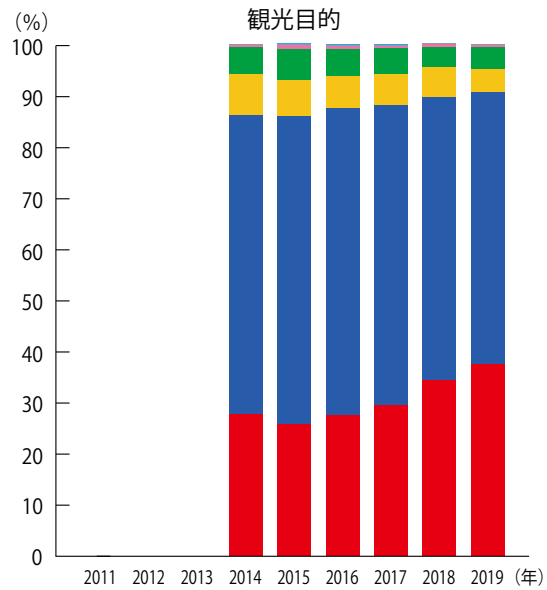


注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) 韓国人の訪日旅行の満足度（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
■ 不満	0.5	0.2	0.4	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2	0.3
■ やや不満	1.4	0.7	0.9	0.5	0.6	0.7	0.5	0.4	0.4
■ 普通	10.0	8.3	8.2	5.8	6.7	6.0	5.4	4.7	4.9
■ やや満足	11.9	10.8	10.6	7.6	7.2	6.3	6.2	5.7	4.7
■ 満足	55.3	61.3	60.7	58.8	59.1	59.0	58.0	54.6	52.4
■ 大変満足	20.7	18.5	19.1	27.1	26.1	27.6	29.6	34.3	37.4



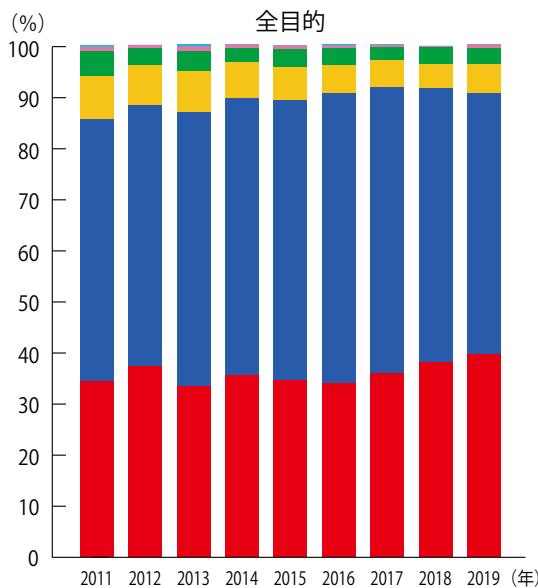
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	-	-	-	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
■ 不満	-	-	-	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3
■ やや不満	-	-	-	0.5	0.7	0.6	0.4	0.4	0.4
■ 普通	-	-	-	5.1	6.0	5.3	5.0	4.0	4.3
■ やや満足	-	-	-	8.0	7.2	6.2	6.1	5.9	4.3
■ 満足	-	-	-	58.4	60.1	60.0	58.7	55.2	53.1
■ 大変満足	-	-	-	27.7	25.7	27.4	29.3	34.3	37.5

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

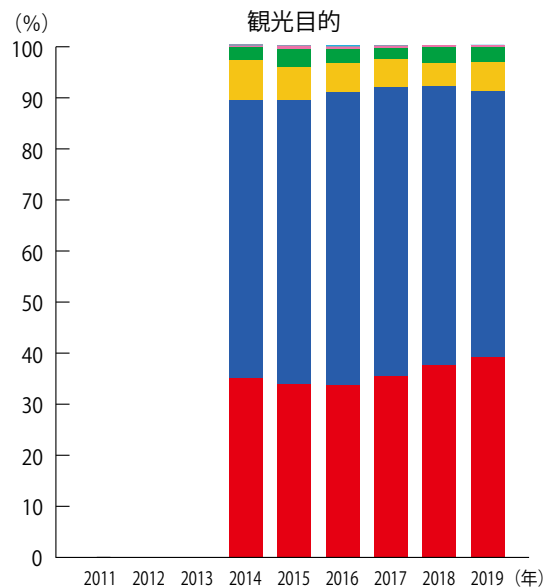
注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日韓国人の日本再訪意向（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	0.2	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0
■ 来たくない	0.2	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2
■ あまり来たくない	0.7	0.5	0.7	0.4	0.4	0.4	0.3	0.2	0.4
■ 何ともいえない	4.9	3.4	3.9	2.8	3.7	3.3	2.6	3.2	3.2
■ やや来たい	8.4	7.9	8.1	7.0	6.3	5.4	5.3	4.8	5.6
■ 来たい	51.1	50.8	53.4	54.2	54.7	56.7	55.7	53.5	51.1
■ 必ず来たい	34.3	37.3	33.4	35.4	34.5	33.9	35.9	38.0	39.5



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	-	-	-	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0
■ 来たくない	-	-	-	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1
■ あまり来たくない	-	-	-	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.4
■ 何ともいえない	-	-	-	2.6	3.5	2.9	2.3	3.2	2.9
■ やや来たい	-	-	-	7.7	6.5	5.5	5.3	4.5	5.6
■ 来たい	-	-	-	54.3	55.5	57.3	56.5	54.4	52.0
■ 必ず来たい	-	-	-	34.9	33.7	33.5	35.3	37.5	39.0

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成





## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

漢族が総人口の91.11%

少数民族は、チワン族 (1.39%)、ウイグル族 (0.83%)、回族 (0.81%)、ミャオ族 (0.78%)、満州族 (0.74%)、イ族 (0.70%)、トゥチャ族 (0.68%)、チベット族 (0.50%)、モンゴル族 (0.45%)、プイ族 (0.25%) など

出典：中国国家統計局 (2020年11月1日0時時点の全国人口調査結果)

### (2) 宗教別構成

仏教、道教、イスラム教、キリスト教など

出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (3) 使用言語

中国語 (「簡体字」で記す「普通話」が共通語となっている。)

= 参考 =

#### 【普通話】

中国語 (中国では「中文」とも呼称) には、北京語 (北方語)、上海語 (呉語)、江西語 (贛語)、湖南語 (湘語)、福建語 (閩語)、客家語、広東語 (粵語) の七大方言が存在する。発音、声調 (アクセント)、単語、文法が各々異なり、互いに聞き取りが困難であるため、北京語を基準とする共通語 (「普通話」と呼称) が公用語となっている。(参考：台湾や香港では「普通話」とは呼ばず、「国語」と呼ぶ。)

#### 【簡体字】

正式な字体として「簡体字」が採用されている。

(参考：「簡体字」はマレーシア、シンガポールの中華系住民の間でも使用されている。一方、台湾、香港、マカオでは、「簡体字」ではなく「繁体字」が使用されている。)

#### 【漢語】

中国の56民族のうち、多数を占める漢族の言語を「漢語」と称する。「漢語」は、広義には「中国語」、狭義には「普通話」を指す。漢族の「漢語」以外に、中国では少数民族の言語として、「ウイグル語」、「チベット語」、「モンゴル語」、「チワン語」などがある。

#### 【注】

中国大陸からの旅行者を想定した場合、ウェブサイト、印刷物、標識・案内板などは「簡体字」で表記する必要がある。

中国大陸と、台湾、香港、マカオで使用される中国語 (書き言葉) とでは単語が異なることがあるため、中国語話者に翻訳を頼む際は、中国大陸出身者を起用することが望ましい。

通訳、中国語による音声案内などは、中国大陸の「普通話」と台湾の「国語」とでは発音や単語がやや異なるため、中国大陸出身者を起用することが望ましい。

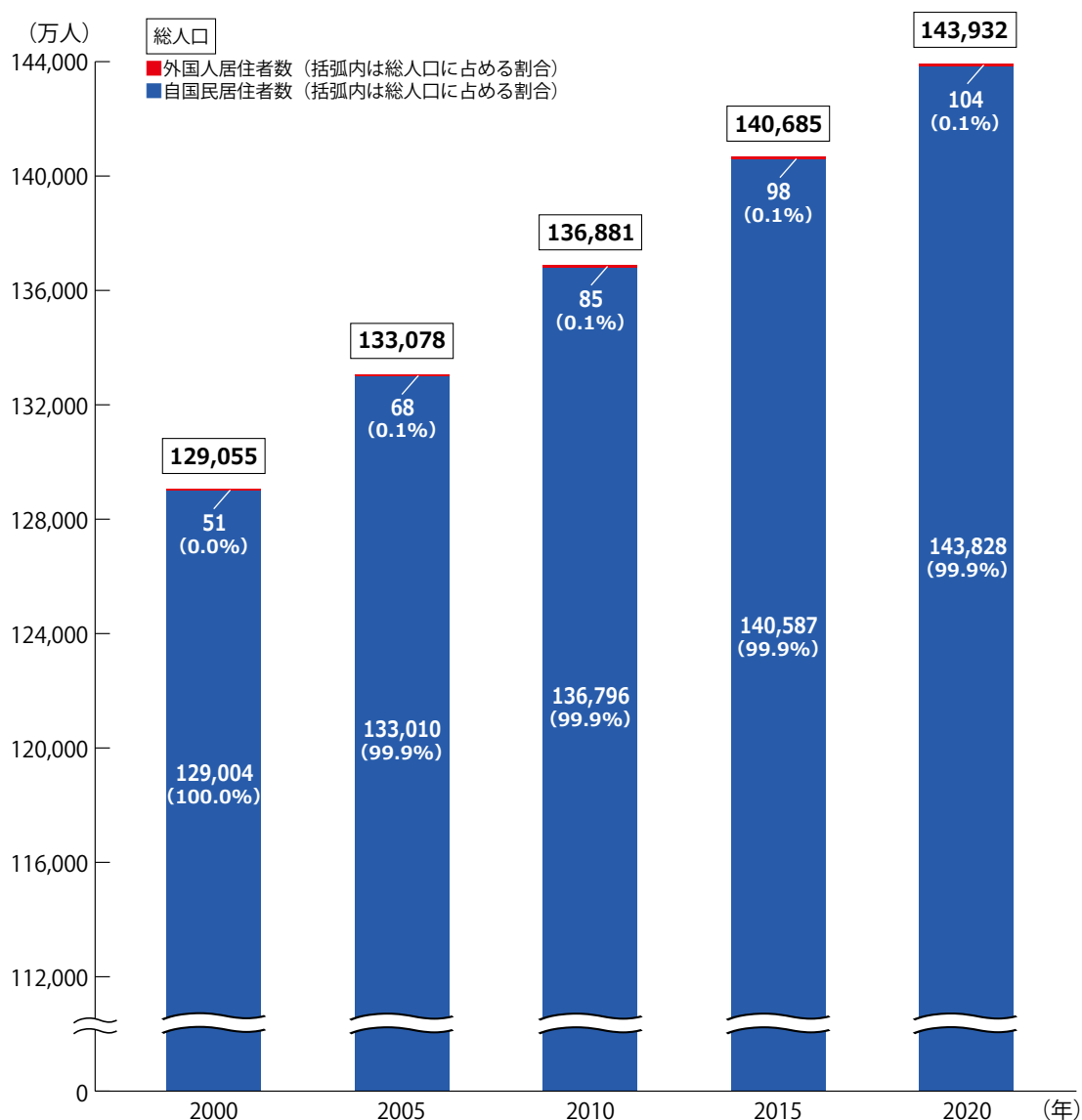
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (4) 面積

960万km<sup>2</sup> (日本の25.4倍弱)

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

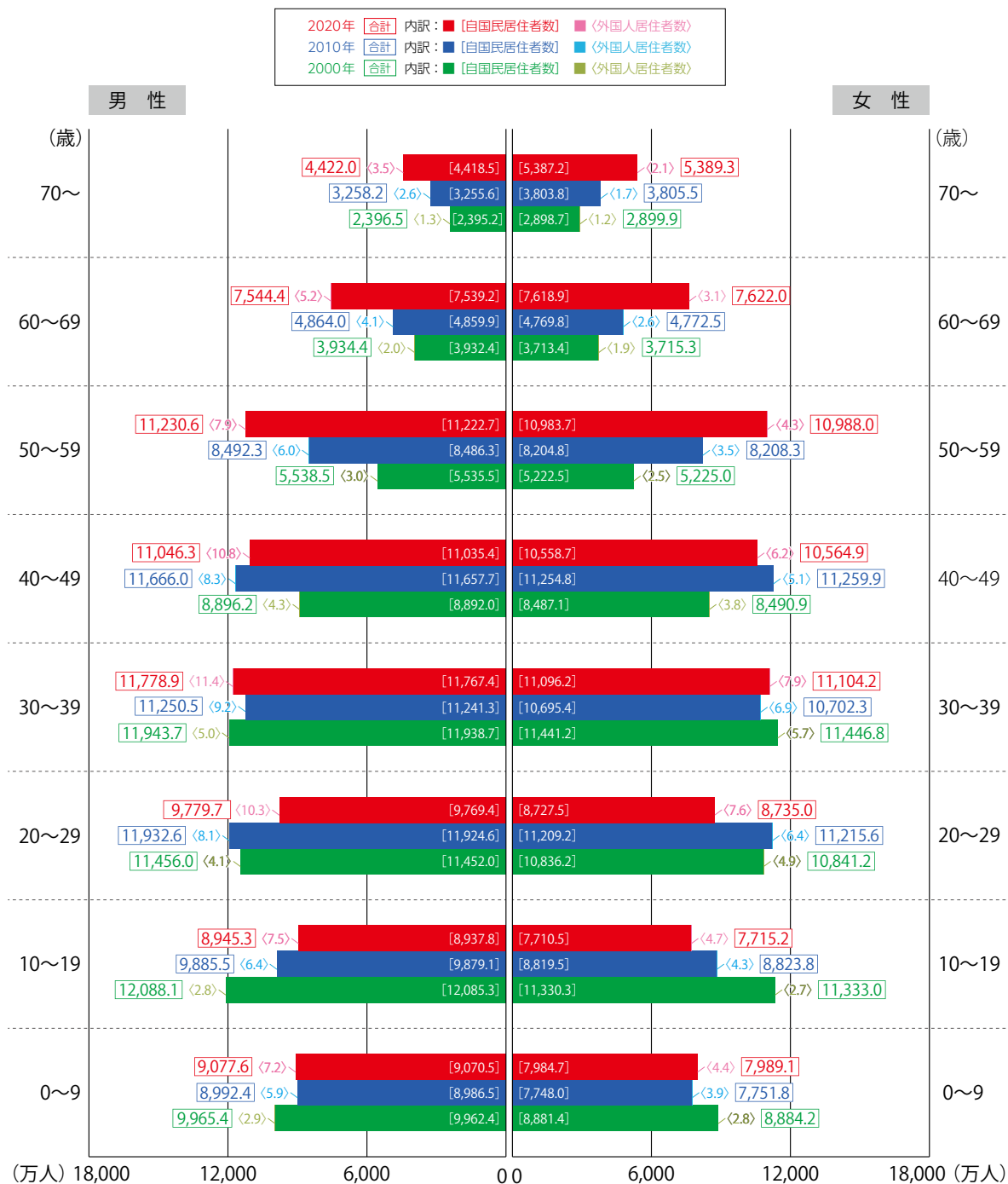
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含まれていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：中国の外国人居住者は、注2の②に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

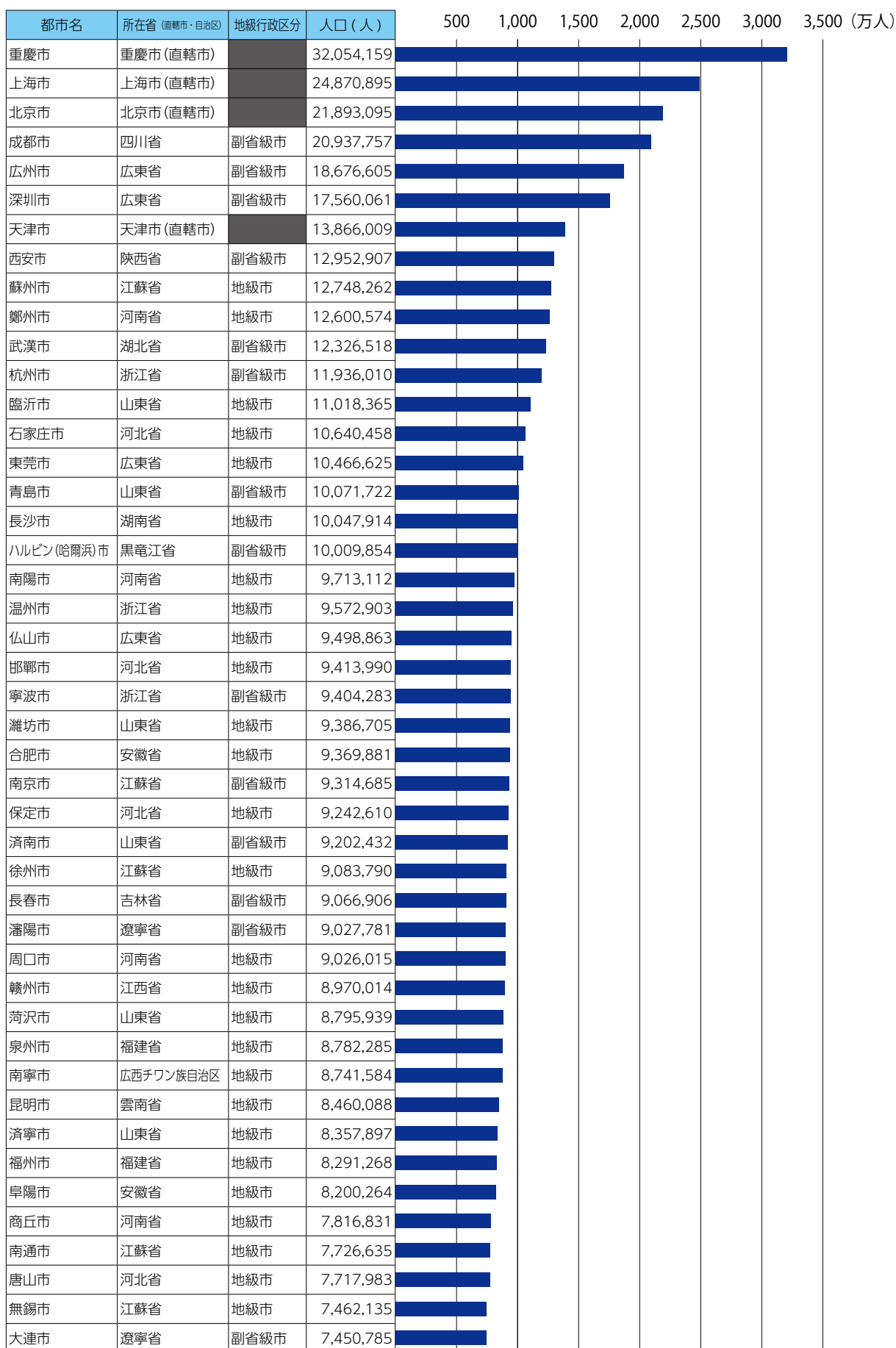
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口

次ページへ ▶



[▶ 前ページから](#)
[次ページへ ▶](#)

都市名	所在省 (直轄市・自治区)	地級行政区分	人口 (人)	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500 (万人)
滄州市	河北省	地級市	7,300,783							
邢台市	河北省	地級市	7,111,106							
煙台市	山東省	地級市	7,102,116							
洛陽市	河南省	地級市	7,056,699							
金華市	浙江省	地級市	7,050,683							
駐馬店市	河南省	地級市	7,008,427							
湛江市	広東省	地級市	6,981,236							
畢節市	貴州省	地級市	6,899,636							
塩城市	江蘇省	地級市	6,709,629							
衡陽市	湖南省	地級市	6,645,243							
台州市	浙江省	地級市	6,622,888							
遵義市	貴州省	地級市	6,606,675							
邵陽市	湖南省	地級市	6,563,520							
上饒市	江西省	地級市	6,491,088							
南昌市	江西省	地級市	6,255,007							
新郷市	河南省	地級市	6,251,929							
信陽市	河南省	地級市	6,234,401							
茂名市	広東省	地級市	6,174,050							
惠州市	広東省	地級市	6,042,852							
貴陽市	貴州省	地級市	5,987,018							
聊城市	山東省	地級市	5,952,128							
黃岡市	湖北省	地級市	5,882,719							
玉林市	広西チワン族自治区	地級市	5,796,766							
曲靖市	雲南省	地級市	5,765,775							
徳州市	山東省	地級市	5,611,194							
南充市	四川省	地級市	5,607,565							
揭陽市	広東省	地級市	5,577,814							
スフトウ (汕頭) 市	広東省	地級市	5,502,031							
安陽市	河南省	地級市	5,477,614							
泰安市	山東省	地級市	5,472,217							
廊坊市	河北省	地級市	5,464,087							
嘉興市	浙江省	地級市	5,400,868							
達州市	四川省	地級市	5,385,422							
宿州市	安徽省	地級市	5,324,476							
太原市	山西省	地級市	5,304,061							
永州市	湖南省	地級市	5,289,824							
常德市	湖南省	地級市	5,279,102							
常州市	江蘇省	地級市	5,278,121							
紹興市	浙江省	地級市	5,270,977							
襄陽市	湖北省	地級市	5,260,951							
荊州市	湖北省	地級市	5,231,180							
アモイ (廈門) 市	福建省	副省級市	5,163,970							
昭通市	雲南省	地級市	5,092,611							
漳州市	福建省	地級市	5,054,328							
岳陽市	湖南省	地級市	5,051,922							

都市名	所在省 (直轄市・自治区)	地級行政区分	人口 (人)	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500 (万人)
宜春市	江西省	地級市	5,007,702							
亳州市	安徽省	地級市	4,996,844							
平頂山市	河南省	地級市	4,987,137							
宿遷市	江蘇省	地級市	4,986,192							
桂林市	広西チワン族自治区	地級市	4,931,137							
綿陽市	四川省	地級市	4,868,243							
涼山イ族自治州	四川省	自治州	4,858,359							
開封市	河南省	地級市	4,824,016							
江門市	広東省	地級市	4,798,090							
運城市	山西省	地級市	4,774,508							
淄博市	山東省	地級市	4,704,138							
渭南市	陝西省	地級市	4,688,744							
郴州市	湖南省	地級市	4,667,134							
九江市	江西省	地級市	4,600,276							
連雲港市	江蘇省	地級市	4,599,360							
宜賓市	四川省	地級市	4,588,804							
懷化市	湖南省	地級市	4,587,594							
揚州市	江蘇省	地級市	4,559,797							
淮安市	江蘇省	地級市	4,556,230							
泰州市	江蘇省	地級市	4,512,762							
カシュガル地区	新疆ウイグル自治区	地区	4,496,377							
紅河ハニ族イ族自治州	雲南省	自治州	4,478,422							
吉安市	江西省	地級市	4,469,176							
中山市	広東省	地級市	4,418,060							
六安市	安徽省	地級市	4,393,699							
許昌市	河南省	地級市	4,379,998							
蘭州市	甘粛省	地級市	4,359,446							
貴港市	広西チワン族自治区	地級市	4,316,262							
孝感市	湖北省	地級市	4,270,371							
瀘州市	四川省	地級市	4,254,149							
衡水市	河北省	地級市	4,212,933							
安慶市	安徽省	地級市	4,165,284							
柳州市	広西チワン族自治区	地級市	4,157,934							
張家口市	河北省	地級市	4,118,908							
肇慶市	広東省	地級市	4,113,594							
チチハル(齊齊哈爾)市	黒竜江省	地級市	4,067,489							
ウルムチ市	新疆ウイグル自治区	地級市	4,054,369							
赤峰市	内モンゴル自治区	地級市	4,035,967							
宜昌市	湖北省	地級市	4,017,607							

注1：上記表では、「省級行政区（＝省・自治区・直轄市・特別行政区）」（但し、ここでは香港、マカオの各特別行政区を除く）のうちの直轄市（北京、天津、上海、重慶）、および省・自治区の下の行政区に当たる「地級行政区（＝副省級市、地級市、地区、自治州、盟）」などを並べて、それらの都市の常住人口を比較している。

注2：上記の都市領域には郊外・農村部が含まれている。従って、上記の人口も郊外・農村部の居住者が含まれている。

注3：中国大陸に居住する香港人、マカオ人、台湾人、外国人は上の数値に含まれていない。

出典：中国国家统计局（2020年11月1日0時時点の全国人口調査結果）

## (8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元旦 (正月)	2022年 12月31日 (土) ~ 2023年 1月2日 (月)	2023年 12月30日 (土) ~ 2024年 1月1日 (月)	
※春節 (旧正月)	1月21日 (土) ~ 1月27日 (金)	2月9日 (金) ~ 2月15日 (木)	旧暦の1月1日 旧暦の大晦日から公休日と合わせて 7日間 2023年1月28日、1月29日は 振替出勤日
※清明節 (先祖の墓参りの日)	4月5日 (水)	4月5日 (金) ~ 4月7日 (日)	旧暦の春分から15日目の日
労働節 (メーデー)	4月29日 (土) ~ 5月3日 (水)	5月1日 (水) ~ 5月5日 (日)	2023年4月23日、5月6日は 振替出勤日
※端午節	6月22日 (木) ~ 6月24日 (土)	6月8日 (土) ~ 6月10日 (月)	旧暦の5月5日 2023年6月25日は振替出勤日
※中秋節	9月29日 (金)	9月15日 (日) ~ 9月17日 (火)	旧暦の8月15日 2023年は国慶節に続いた連休になる。
国慶節 (建国記念日)	9月30日 (土) ~ 10月6日 (金)	9月29日 (日) ~ 10月5日 (土)	公休日と合わせて7日間 2023年は中秋節に続いた連休になる。 2023年10月7日、10月8日は 振替出勤日

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点の想定を記載した。2023年12月頃に国務院から正式に発表される。

出典：中国政府等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
小学校	6歳～12歳 (6年間)	冬期休暇	1月中旬～2月中旬の約30日間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約50日間
初級中学	12歳～15歳 (3年間)	冬期休暇	1月中旬～2月中旬の約25日間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約50日間
高級中学	15歳～18歳 (3年間)	冬期休暇	1月中旬～2月中旬の約30日間
		夏期休暇	7月中旬～8月下旬の約45日間
大学	18歳～22歳 (4年間)	冬期休暇	1月中旬～2月中旬の約30日間
		夏期休暇	7月上旬～9月上旬の約60日間

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	小学校 (6年間) + 初級中学 (3年間) = 9年間

注1：冬期休暇は、春節 (旧正月) の日付に合わせて毎年変動する。

注2：地域や大学により、期間や日程が異なる。上記は2023年の成都の事例である。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	法定休日は11日	・全国法定休暇規則 ・労働法 第44条	法定休日に出勤する場合、企業は賃金の300%を支払わなければならない。
有給休暇日数	5日（累計勤務年数が1年以上10年未満の被雇用者） 10日（累計勤務年数が10年以上20年未満の被雇用者） 15日（累計勤務年数が20年以上の被雇用者）	・労働法 第45条 ・従業員有給年次休暇条例	出産休暇、育児休暇、疾病休暇などは、有給休暇とは別に規定されている。
定年退職	男性：60歳 女性の管理者（幹部）：55歳 女性の一般従業員（工人）：50歳	・労働契約法 第44条 ・労働契約法実施条例 第21条 ・国家规定に違反して企業従業員を早期に定年退職させることを抑制・是正する問題に関する通知 第1条	・一般企業は「幹部」と「工人」の区別を自社裁量で決定できる。但し、社内規定で明記する必要あり。 ・「第14次5カ年規画（2021～2025年）および2035年までの長期目標綱要」では、法定退職年齢を段階的に引き上げることが明記されている。

出典：中華人民共和国政府、日本国厚生労働省、日本貿易振興機構（JETRO）、独立行政法人労働政策研究・研修機構

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	中国では、志願制と選抜徴兵制が併用されている。 平時である現時点においては、新兵枠が志願兵で満たされているため、実際に徴兵されることはまれであるが、志願兵だけで不足する場合には徴兵されることになる。 中国の武装兵力には、人民解放軍（現役部隊および予備役部隊）や民兵などがある。 予備役の対象者は、専門技術を持つ人材や退役軍人などが中心となる。普段は企業などで仕事をしながら、必要に応じて政治教育や軍事訓練などに参加し、有事には召集される。 民兵の対象者は、普段は個々の仕事や学業に従事しているが、有事には戦時後方支援の任務を担う。 なお、大学や専門学校では、徴兵とは別に、短期的な軍事訓練が行われている。
兵役期間	2年間（徴兵対象者）
入隊対象性別	男女とも召集
入隊対象年齢	18歳～24歳 2022年から、大学院卒業生および在校生の募集年齢を26歳に緩和

出典：中華人民共和国兵役法、中華人民共和国国防法



## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

次ページへ ▶

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
シートリップ (携程: Ctrip)	ウェブサイト、 アプリ	旅行予約、旅行情報発信	42.0
ティックトック (抖音: TikTok)	SNS	動画を掲載、 閲覧者が意見を記載	26.4
ウィーチャット (微信: WeChat)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	25.0
ウェイボー (微博: Weibo)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	24.7
RED (レッド) (小红书: Xiaohongshu)	アプリ	インターネット通販、 口コミ情報発信	22.6
チューナー (去哪儿旅行: Qunar)	ウェブサイト、 アプリ	旅行予約、旅行情報発信	22.3
フリギー (飞猪: Fliggy)	ウェブサイト、 アプリ	旅行予約、旅行情報発信	20.0
バイドゥ (百度: Baidu)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	19.6
トンチェン (同程: ly.com)	ウェブサイト、 アプリ	旅行予約、旅行情報発信	19.2
ダージョンディエンピン (大众点评: Dianping)	ウェブサイト、 アプリ	生活情報発信、飲食店・ 旅行予約	18.7
テンセント (腾讯网: Tencent)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	17.4
ビリビリ (哔哩哔哩: Bilibili)	ウェブサイト、 アプリ	動画発信	17.2
チーフー (知乎: Zhihu)	ウェブサイト、 アプリ	Q&Aサイト	16.9
マーフォンウォー (马蜂窝: mafengwo)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	16.6
シンラン (新浪: sina.com.cn)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	15.6
トゥニウ (途牛: Tuniu)	ウェブサイト、 アプリ	旅行予約、旅行情報発信	13.4
シンランブログ (新浪博客: Sina Blog)	ウェブサイト	ブログ発信	11.1
クアイショウ (快手: Kuaishou)	SNS	動画を掲載、 閲覧者が意見を記載	10.9
チオンヨウ (穷游: Qyer.com)	ウェブサイト、 アプリ	旅行予約、旅行情報発信	10.5
ヨウク (优酷: Youku)	ウェブサイト、 アプリ	テレビ番組、映画配信	10.3
アイチーイー (爱奇艺: iQIYI)	ウェブサイト、 アプリ	テレビ番組、映画配信	10.1

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
今日頭条 (今日头条: Toutiao.com)	ウェブサイト、 アプリ	ニュース発信	8.6
ドウバン (豆瓣: Douban)	ウェブサイト、 アプリ	書評・映画レビュー・ コミュニティサイト	8.2
環球時報 (环球网: huanqiu.com)	ウェブサイト	ニュース発信	7.9
ネットイース (网易: NetEase)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	6.4
ソウフ (搜狐网: Sohu.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	6.0
鳳凰網 (凤凰网: Ifeng.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	5.1
澎湃新聞 (澎湃新闻: The Paper)	ウェブサイト、 アプリ	ニュース発信	4.3

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

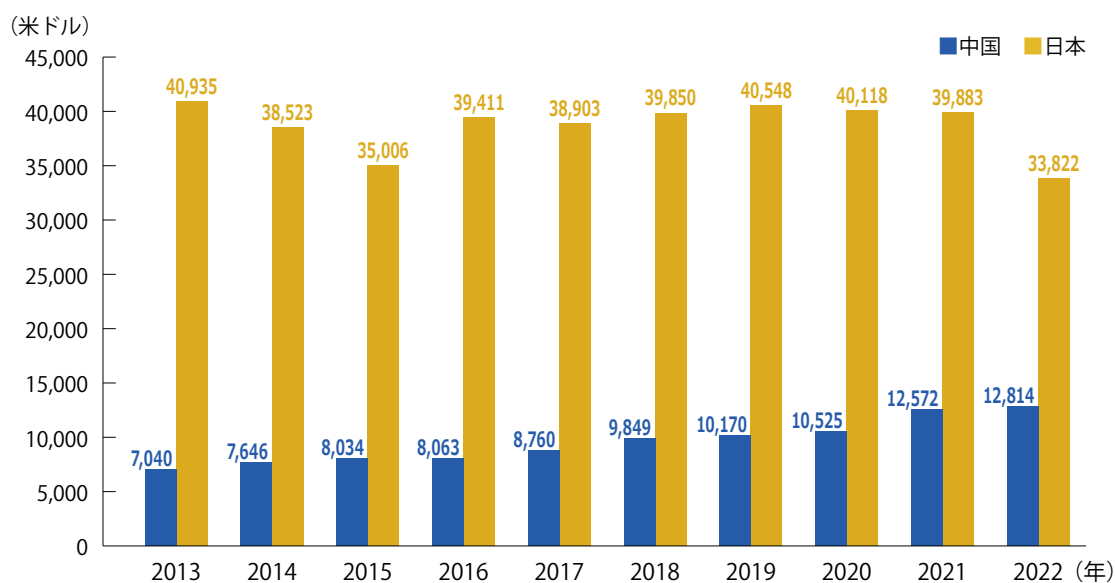
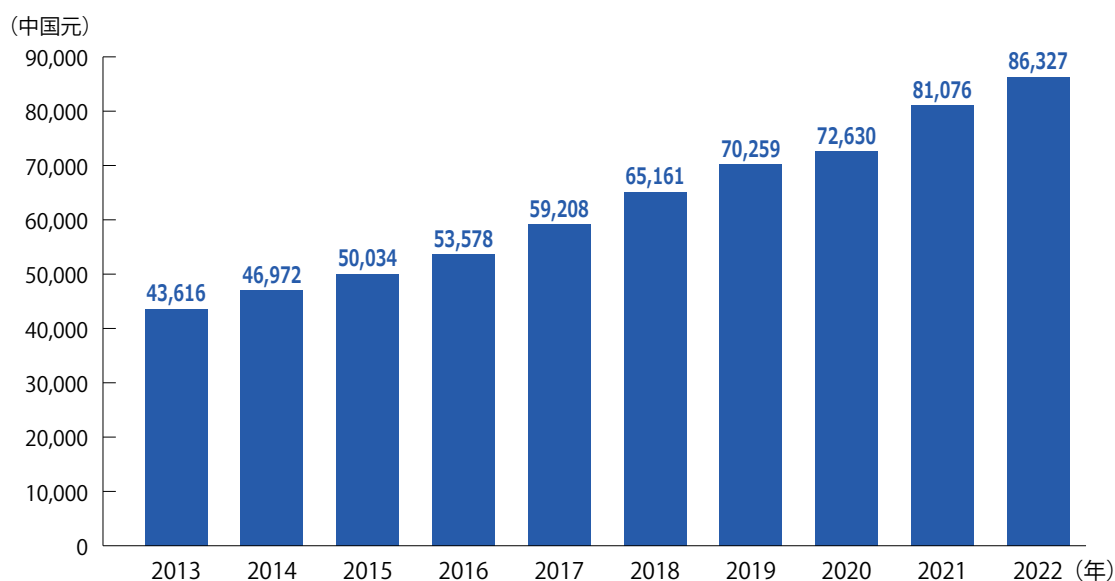
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

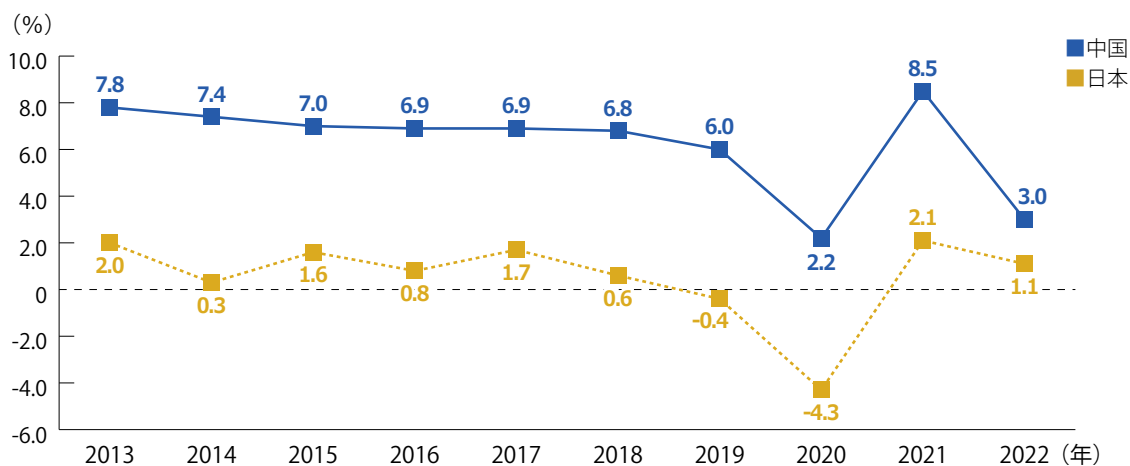
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

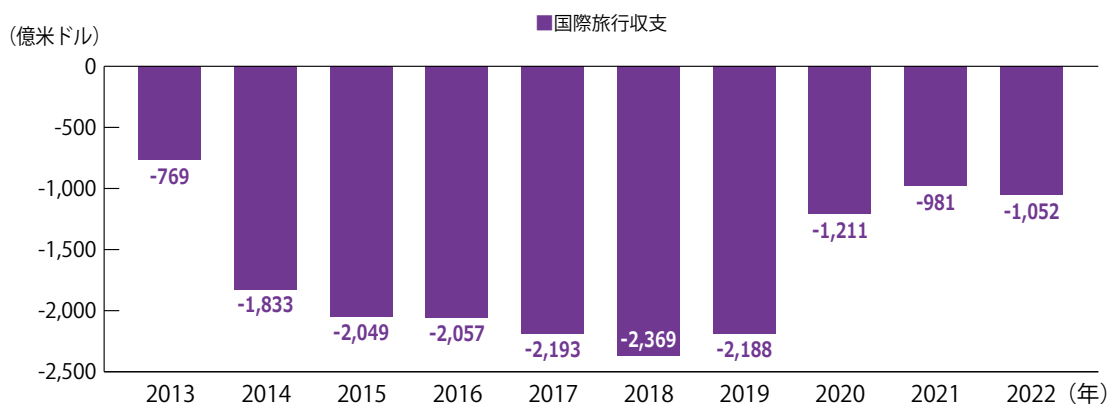
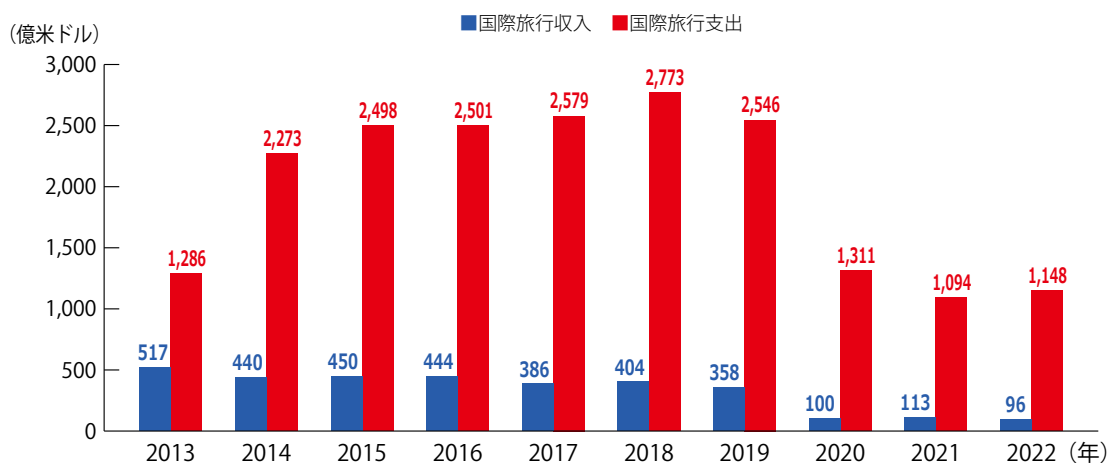
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



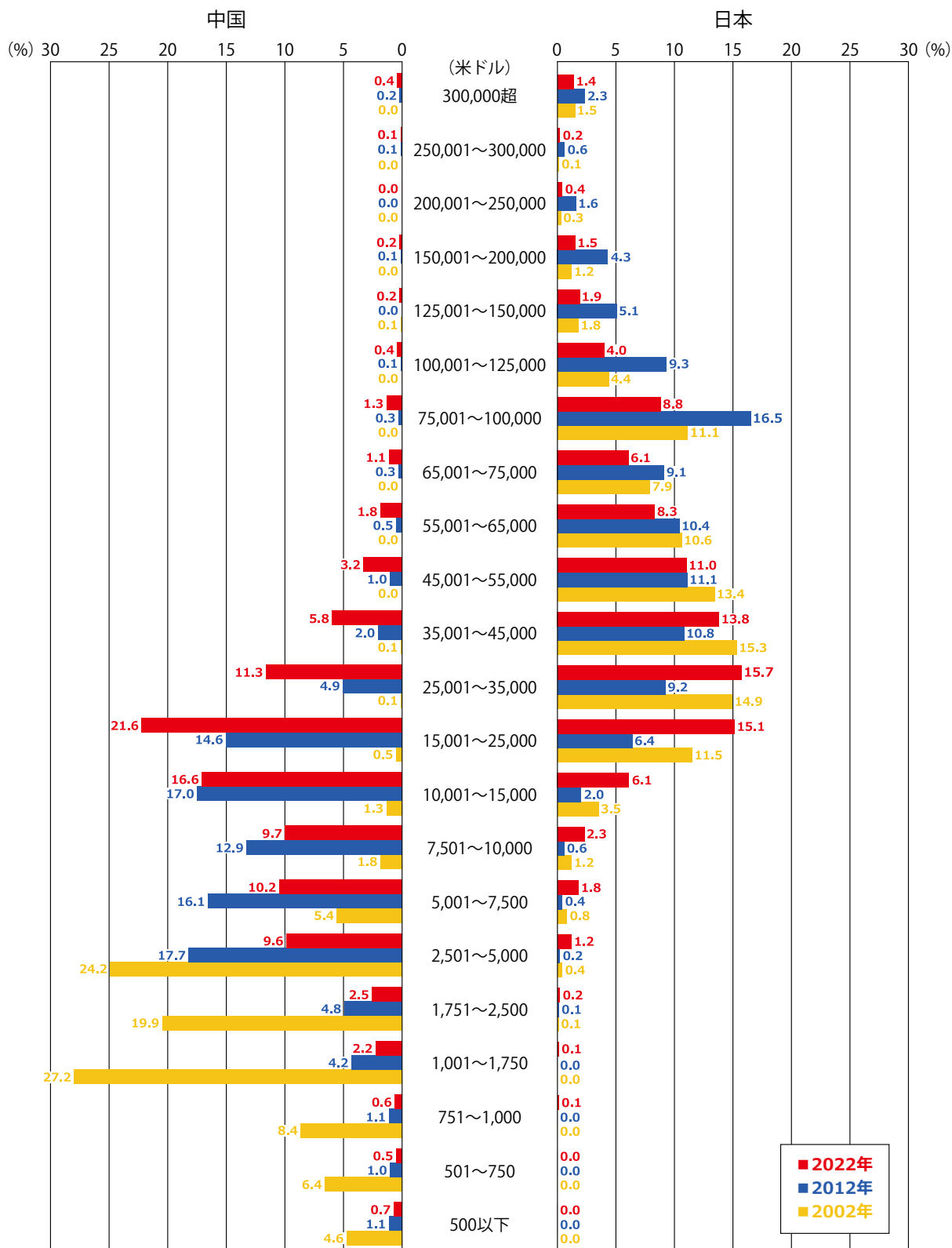
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



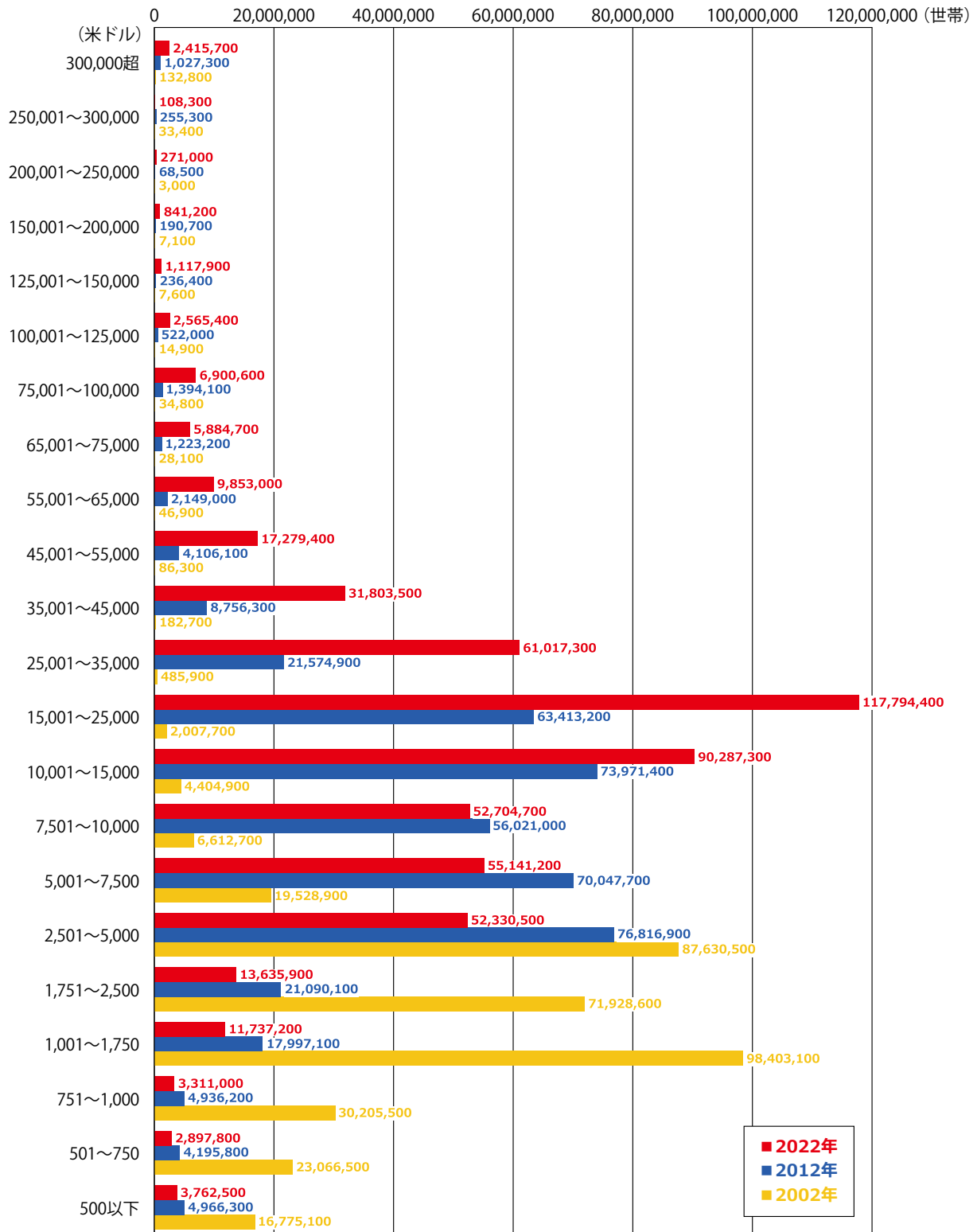
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



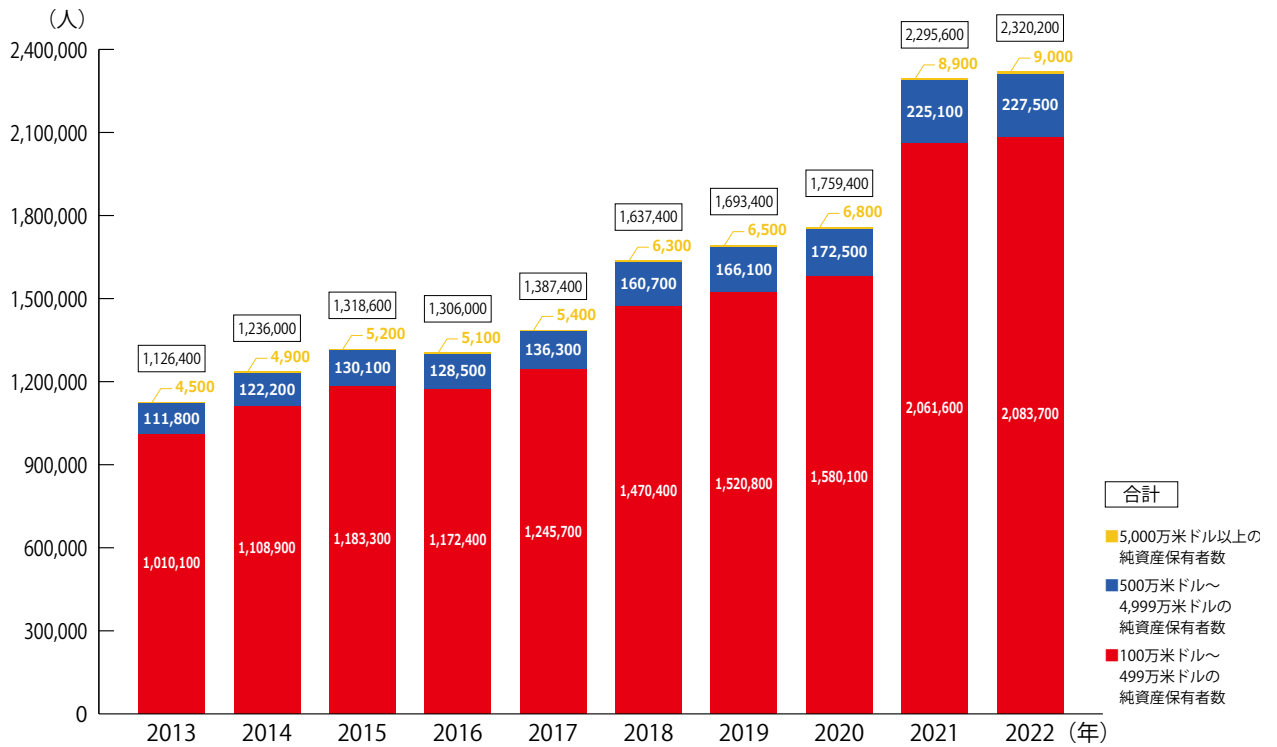
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



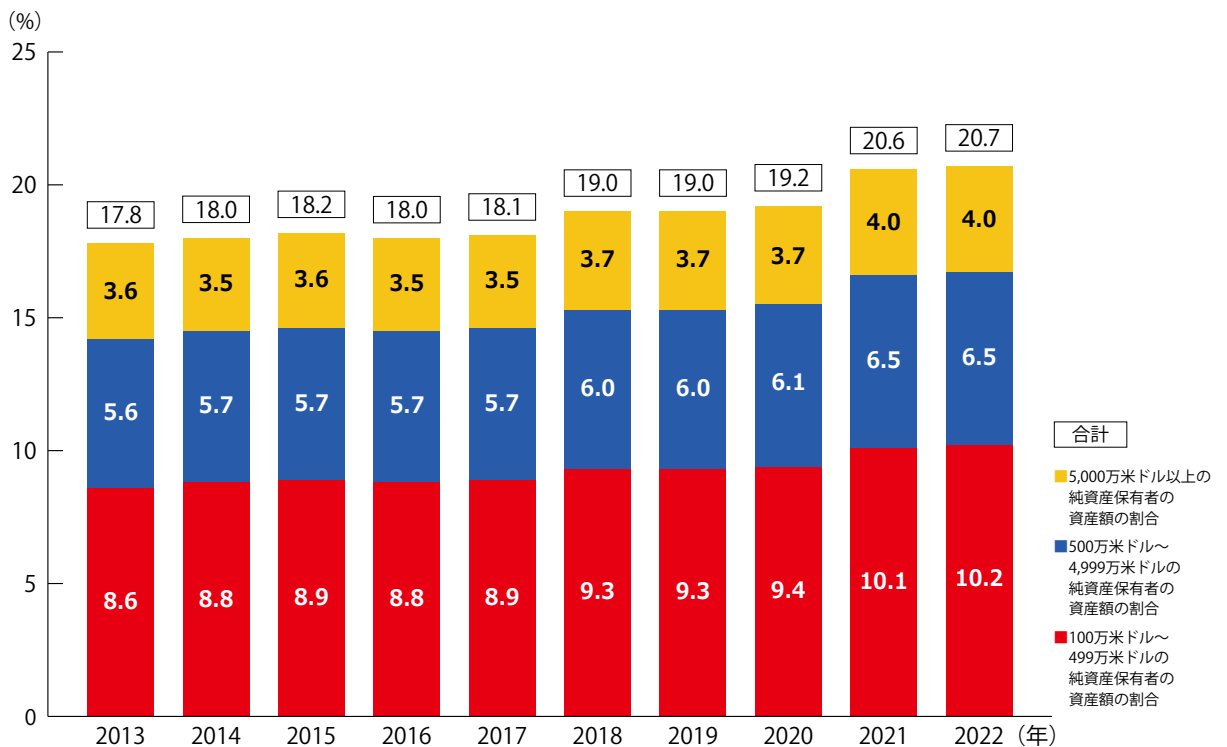
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

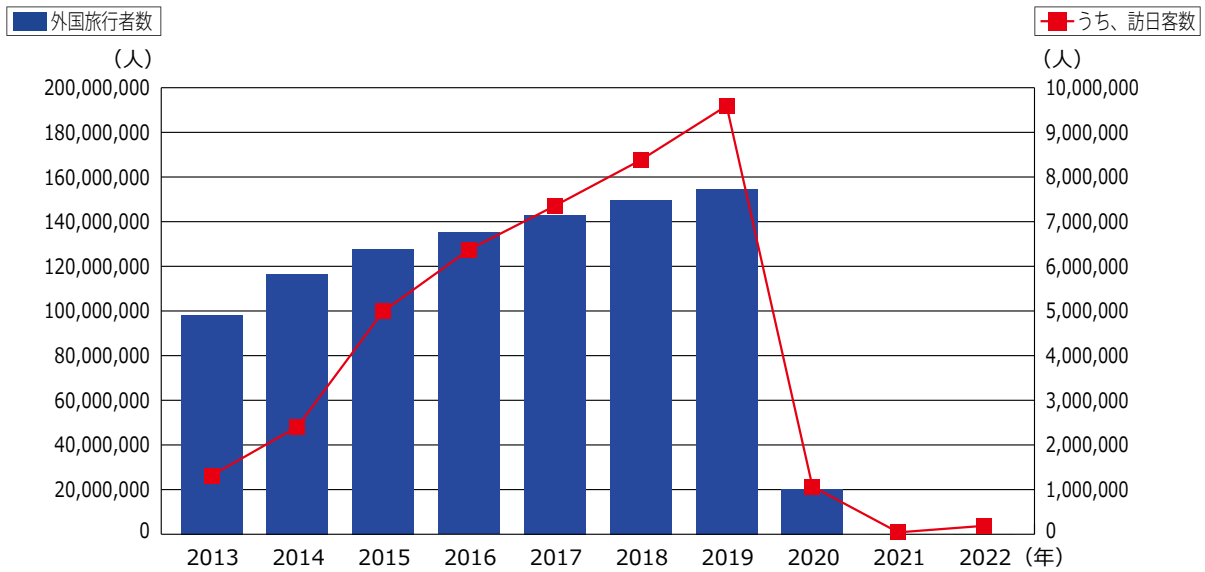
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) 中国人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国人旅行者数(左目盛)	98,185,200	116,593,200	127,860,000	135,130,000	143,035,000	149,720,000	154,632,000	20,334,000		
うち、訪日客数(右目盛)	1,314,437	2,409,158	4,993,689	6,373,564	7,355,818	8,380,034	9,594,394	1,069,256	42,239	189,125
訪日率(%)	1.3	2.1	3.9	4.7	5.1	5.6	6.2	5.3		

注：中国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。また、香港、マカオ行きが含まれている。更に、航空機の乗務員が含まれている。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、中国国家统计局、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域への中国人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	香港	TFR	18,526,210	19,901,957	16,226,642	884,985	64,641	19,901,957
2位	タイ	TFN	9,806,260	10,534,340	10,997,338	1,249,910	13,043	10,997,338
3位	マカオ	THSR	8,636,783	9,642,616	9,823,975	2,759,847	5,379,685	9,823,975
4位	日本	VFN	7,355,818	8,380,034	9,594,394	1,069,256	42,239	9,594,394
5位	韓国	VFN	4,169,353	4,789,512	6,023,021	686,430	170,215	6,023,021
6位	ベトナム	VFR	4,008,253	4,966,468	5,806,425	959,238	57,731	5,806,425
7位	シンガポール	VFR	3,228,134	3,417,604	3,627,120	357,292	88,252	3,627,120
8位	米国	TFR	3,173,915	2,991,813	2,829,970	378,080	191,776	3,173,915
9位	マレーシア	TFN	2,281,666	2,944,133	3,114,257	405,149	7,701	3,114,257
10位	台湾	VFR	2,732,549	2,695,615	2,714,065	111,050	13,267	2,732,549
11位	カンボジア	TFR	1,210,782	2,024,443	2,361,849	329,673	45,775	2,361,849
12位	インドネシア	VFN	2,093,171	2,139,161	2,072,079	239,768	54,713	2,139,161
13位	フランス	TCER	1,879,832	1,939,851	1,916,969	336,882	173,878	1,939,851
14位	ロシア	VFN	1,478,212	1,690,186	1,882,820	81,924		1,882,820
15位	フィリピン	TFR	968,447	1,257,962	1,743,309	170,432	9,674	1,743,309
16位	ドイツ	TCER	1,555,661	1,591,555	1,553,297	157,827	54,887	1,591,555
17位	ミャンマー	TFN	996,916	963,190	1,463,054	230,375	14,024	1,463,054
18位	蒙州	VFR	1,356,890	1,432,192	1,438,666	207,696	6,531	1,438,666
19位	アラブ首長国連邦	VFN	798,929	879,172	1,039,873	182,601		1,039,873
20位	オーストリア	TCER	899,636	972,998	1,033,502	71,675	8,340	1,033,502
21位	ラオス	VFN	639,185	805,833	1,022,727	138,457		1,022,727
22位	スイス	THSR	974,756	1,026,160	1,008,800	75,200	12,476	1,026,160
23位	英国	VFR	819,424	859,602	883,073		15,087	883,073
24位	カナダ	TFR	695,136	737,379	708,431	94,317	39,916	737,379
25位	スペイン	TFR	514,777	646,368	700,748	134,612	29,131	700,748
26位	チェコ	TCEN	489,845	617,935	609,727	38,855	7,109	617,935
27位	ギリシャ	TCER	319,268	434,925	440,576	30,374	14,251	440,576
28位	トルコ	TFN	243,272	391,431	418,624	39,024	33,355	418,624



▶ 前ページから

◀ 次ページへ

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	イタリア	TFN	315,855	320,620	413,022	45,327	15,142	413,022
30位	ニュージーランド	VFR	417,872	448,189	407,141	58,508	1,644	448,189
31位	ポルトガル	TCER	277,628	324,902	385,995	56,811	17,436	385,995
32位	インド	VFN	247,235	281,768	339,442	39,586	3,502	339,442
33位	オランダ	THSR	312,000	285,000	308,000	45,000	24,000	312,000
34位	モルディブ	TFN	306,530	283,116	284,029	34,245	2,238	306,530
35位	ハンガリー	TCEN	227,225	261,298	279,124	21,317	10,229	279,124
36位	クロアチア	TCER	159,301	233,630	279,118	9,280	10,326	279,118
37位	ノルウェー	TCER	375,738	252,660	259,202	13,881	2,514	375,738
38位	フィンランド	TCER	209,568	202,697	234,383	42,772	5,835	234,383
39位	エジプト	VFN	287,260	234,747	214,202	44,173		287,260
40位	スウェーデン	TCER	183,203	172,989	201,402	14,319	6,766	201,402
41位	ベルギー	TCER	165,425	193,143	194,583	19,370	9,553	194,583
42位	デンマーク	TCER	103,728	109,392	185,730	23,612	9,059	185,730
43位	北マリアナ諸島 (サイパン)	VFN	233,986	215,892	185,524	18,550	12	233,986
44位	ネパール	TFN	104,664	153,602	169,543	19,257	6,198	169,543
45位	モンゴル	TFN	142,481	163,979	168,298	13,513	5,763	168,298
46位	スリランカ	TFR	268,952	265,965	167,863	26,147	2,417	268,952
47位	メキシコ	TFN	141,692	167,663	167,145	30,607	28,427	167,663
48位	ナイジェリア	VFN	152,279	151,616	151,832	25,865	26,713	152,279
49位	イスラエル	TFR	113,154	104,455	142,754	11,357	1,658	142,754
50位	モロッコ	TFN	107,434	132,081	141,050	20,529	4,762	141,050
51位	ポーランド	TCER	130,293	136,067	137,143	12,416	9,690	137,143
52位	サウジアラビア	TFN	61,315	62,834	135,835	16,184	13,183	135,835
53位	オマーン	VFN	20,930	45,956	109,520	32,406	7,965	109,520
54位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	31,780	58,235	103,000	4,910	1,946	103,000
55位	アイスランド	TFN	86,003	89,495	99,253	16,473	6,088	99,253
56位	スロベニア	TCEN	69,549	87,171	98,958	6,162	5,341	98,958
57位	南アフリカ共和国	TFR	97,069	96,915	93,171	12,592	6,577	97,069
58位	ケニア	VFR		81,709	84,208	16,329	31,610	84,208
59位	カザフスタン	VFR	94,817	51,418	77,621	14,551	11,118	94,817
60位	アルゼンチン	TFR	59,894	71,959	76,452	16,138	663	76,452
61位	モンテネグロ	TCEN	23,495	42,715	74,833	3,060	2,081	74,833
62位	ブルネイ	TFN	52,391	63,694	69,056	9,897	317	69,056
63位	ブラジル	TFR	61,250	56,333	68,578	6,297	2,360	68,578
64位	カタール	VFN	45,627	62,988	62,786	6,674	1,583	62,988
65位	スロバキア	TCEN	61,346	66,961	57,936	4,094	1,041	66,961
66位	ウズベキスタン	VFR	15,087	32,444	54,293	7,192	3,614	54,293
67位	イラン	VFN	74,663	54,789	48,597	5,279	2,340	74,663
68位	ジョージア	VFR	18,179	31,855	48,071	4,363	3,468	48,071
69位	フィジー	TFR	48,796	49,271	47,027	9,319	2,178	49,271
70位	ルーマニア	VFR	35,929	41,625	46,601	8,824	8,020	46,601
71位	キューバ	VFR	43,322	49,944	44,873	6,432	799	49,944
72位	モーリシャス	TFR	72,951	65,736	42,740	5,189	499	72,951
73位	ウクライナ	TFR	29,561	41,061	42,482	7,549	8,800	42,482
74位	エチオピア	TFR	45,308	50,626	41,837	13,324	16,569	50,626
75位	ペルー	TFR	31,408	37,740	41,067	5,748	2,231	41,067
76位	アルジェリア	VFN	39,929	47,142	39,437	4,993	5,192	47,142
77位	チリ	TFN	30,774	34,583	36,170	5,798	925	36,170
78位	コートジボワール	VFR			35,814	11,559	9,962	35,814
79位	ブルガリア	VFR	28,654	31,310	34,705	3,399	3,037	34,705
80位	ザンビア	TFR	26,562	27,796	34,400	7,870	6,918	34,400
81位	タンザニア	VFR	28,938	32,773	33,541	7,989	9,351	33,541
82位	キルギス	VFR	34,519	30,749	33,348	3,638	5,332	34,519
83位	クウェート	VFN	32,624	35,231	33,272	3,446	3,337	35,231
84位	パラオ	TFN	57,866	41,317	30,147	3,301		57,866
85位	チュニジア	TFN	17,520	26,726	28,969	4,312	886	28,969
86位	ルクセンブルク	TCER	33,709	31,750	28,697	7,940	19,261	33,709
87位	エストニア	TCER	19,698	20,381	26,506	1,557	756	26,506
88位	アゼルバイジャン	VFR	10,258	15,719	25,524	1,532	1,777	25,524
89位	ベネズエラ	TFN	25,477					25,477
90位	エクアドル	VFN	30,147	26,113	25,421	4,892	5,658	30,147
91位	アルバニア	VFN	10,584	17,525	22,231	977	1,529	22,231
92位	パナマ	VFR	16,275	26,735	21,936	2,880	3,968	26,735
93位	ヨルダン	TFN	23,599	18,871	21,865	4,017	1,676	23,599
94位	リトアニア	TCER	15,996	19,297	21,135	1,145	775	21,135
95位	ラトビア	TCER	22,774	22,738	20,233	1,992	1,308	22,774
96位	ナミビア	TFN	14,584	14,596	18,411	1,492	1,364	18,411

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
97位	コロンビア	TFR	14,493	15,664	18,078	2,610	3,468	18,078
98位	アンゴラ	TFR	27,609	20,418	17,193	1,634	4,362	27,609
99位	コスタリカ	TFN	13,612	15,249	16,847	2,637	1,767	16,847
100位	ウガンダ	TFR	16,842			3,824	3,977	16,842
101位	アルメニア	TFR	5,747	9,189	15,550	840	717	15,550
102位	ポリビア	TFN	15,590	16,654	15,438	2,860	2,322	16,654
103位	パプアニューギニア	VFR	12,373	12,732	14,755	2,309	1,452	14,755
104位	北マケドニア	TCEN	9,435	13,724	13,635	482	567	13,724
105位	グアム	TFR	21,954	16,339	11,629	2,051	173	21,954
106位	サンマリノ	VFN	13,068	13,322	11,571	1,022		13,322
107位	キプロス	TCER	8,351	9,460	11,521	2,232	1,150	11,521
108位	レバノン	TFN	7,730	9,467	10,823	1,781	1,848	10,823
109位	ベナン	TFR	10,320	10,233	10,494	11,256		11,256
110位	タジキスタン	VFR	6,212	8,059	9,579	1,034	1,546	9,579
111位	マダガスカル	TFN	3,083	6,285	9,085	2,514	134	9,085
112位	ルワンダ	VFN	5,806	8,283	9,013	2,552	3,397	9,013
113位	レソト	VFR	7,830	6,099	7,971		2,571	7,971
114位	トーゴ	THSR	5,159	6,490	7,913	846		7,913
115位	ブータン	TFN	6,421	6,878	7,564	726		7,564
116位	東ティモール	TFR	7,519	6,673	7,455	1,834	406	7,519
117位	バングラデシュ	TFN	6,839	6,363	7,004			7,004
118位	コンゴ共和国	VFR	6,518	6,517				6,518
119位	セーシェル	TFR	12,006	9,050	5,973	1,373	132	12,006
120位	ドミニカ共和国	TFR	2,782	3,859	5,631	953	715	5,631
121位	スリナム	TFR	5,511					5,511
122位	ベラルーシ	TFN	3,151	3,277	5,121	189		5,121
123位	モナコ	THSN	4,227	3,670	5,044	597	305	5,044
124位	マリ	TFN	3,907	4,671	4,947	469	3,317	4,947
125位	バヌアツ	TFR	3,612	4,007	4,671	680		4,671
126位	プエルトリコ	THSR	1,471	2,094	4,631	3,703		4,631
127位	グアテマラ	VFR	3,293	3,552	4,469	737	862	4,469
128位	エルサルバドル	TFN	3,429	3,314	4,311	516	889	4,311
129位	ブルキナファソ	THSR	1,844	2,765	3,670	155	400	3,670
130位	ジャマイカ	TFR	3,892	3,431	3,663	290	592	3,892
131位	パハマ	TFR	2,927	3,497	3,642	344	90	3,642
132位	サモア	VFR	2,660	2,903	3,551	749	430	3,551
133位	ボツワナ	TFR	3,070	3,465		624		3,465
134位	仏領ポリネシア(タヒチ)	TFR	5,430	5,055	3,345	638	18	5,430
	中央アフリカ共和国	TFN	3,015	3,543	1,212			3,543

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

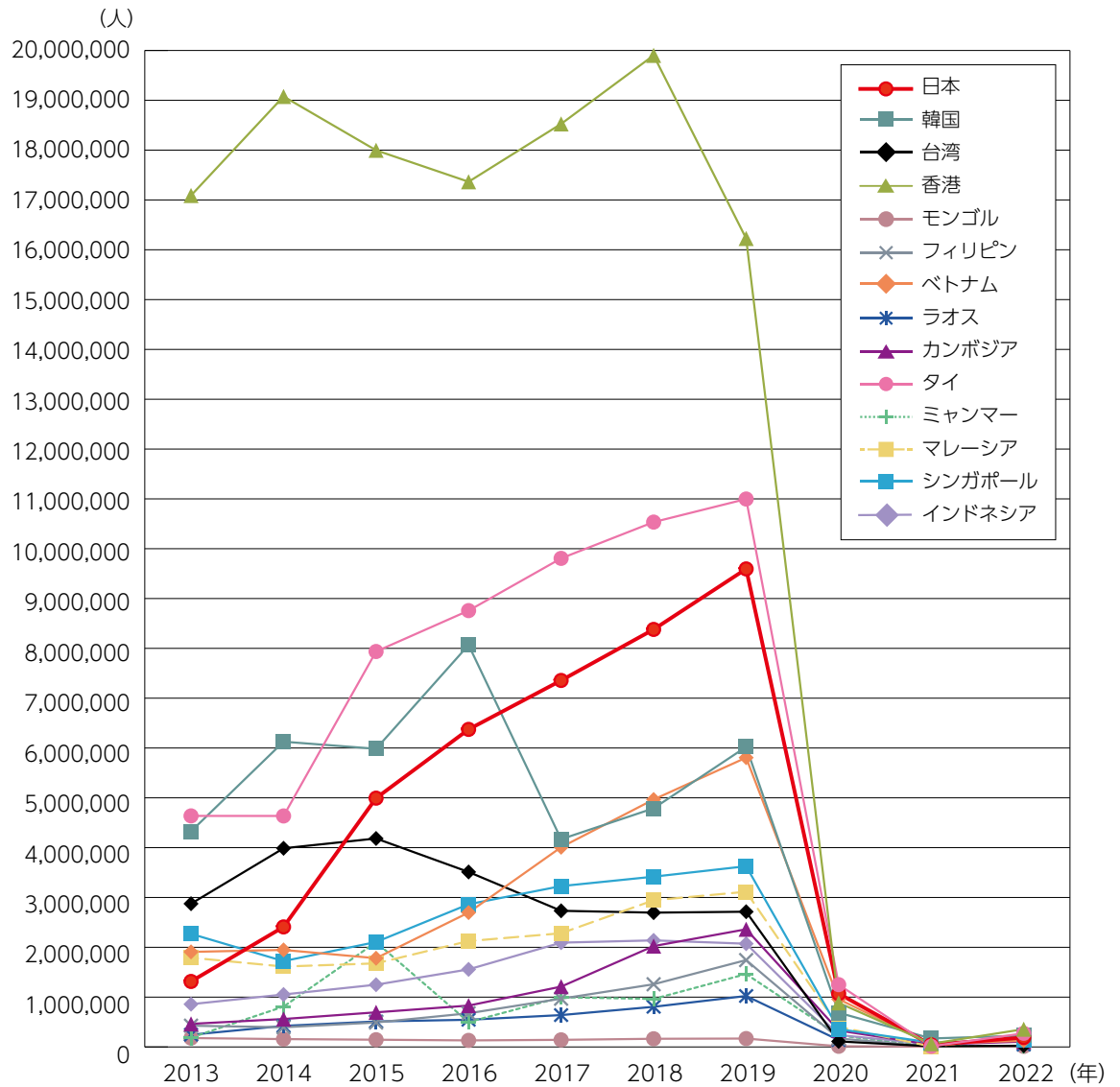
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域への中国人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
香港	TFR	17,089,509	19,077,014	17,996,827	17,364,946	18,526,210	19,901,957	16,226,642	884,985	64,641	356,466
タイ	TFN	4,637,335	4,636,298	7,936,795	8,757,646	9,806,260	10,534,340	10,997,338	1,249,910	13,043	273,567
日本	VFN	1,314,437	2,409,158	4,993,689	6,373,564	7,355,818	8,380,034	9,594,394	1,069,256	42,239	189,125
韓国	VFN	4,326,869	6,126,865	5,984,170	8,067,722	4,169,353	4,789,512	6,023,021	686,430	170,215	227,358
ベトナム	VFR	1,907,794	1,947,236	1,780,918	2,696,848	4,008,253	4,966,468	5,806,425	959,238	57,731	124,896
シンガポール	VFR	2,269,870	1,722,380	2,106,164	2,863,634	3,228,134	3,417,604	3,627,120	357,292	88,252	130,868
マレーシア	TFN	1,791,423	1,613,355	1,677,163	2,124,942	2,281,666	2,944,133	3,114,257	405,149	7,701	212,603
台湾	VFR	2,874,702	3,987,152	4,184,102	3,511,734	2,732,549	2,695,615	2,714,065	111,050	13,267	24,378
カンボジア	TFR	463,123	560,335	694,712	830,003	1,210,782	2,024,443	2,361,849	329,673	45,775	106,875
インドネシア	VFN	858,140	1,052,705	1,249,091	1,556,771	2,093,171	2,139,161	2,072,079	239,768	54,713	169,378
フィリピン	TFR	426,352	394,951	490,841	675,663	968,447	1,257,962	1,743,309	170,432	9,674	
ミャンマー	TFN	187,770	809,399	2,102,677	498,656	996,916	963,190	1,463,054	230,375	14,024	22,798
ラオス	VFN	245,033	422,440	511,436	545,493	639,185	805,833	1,022,727	138,457		45,249
モンゴル	TFN	178,326	157,561	145,029	131,312	142,481	163,979	168,298	13,513	5,763	11,186

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

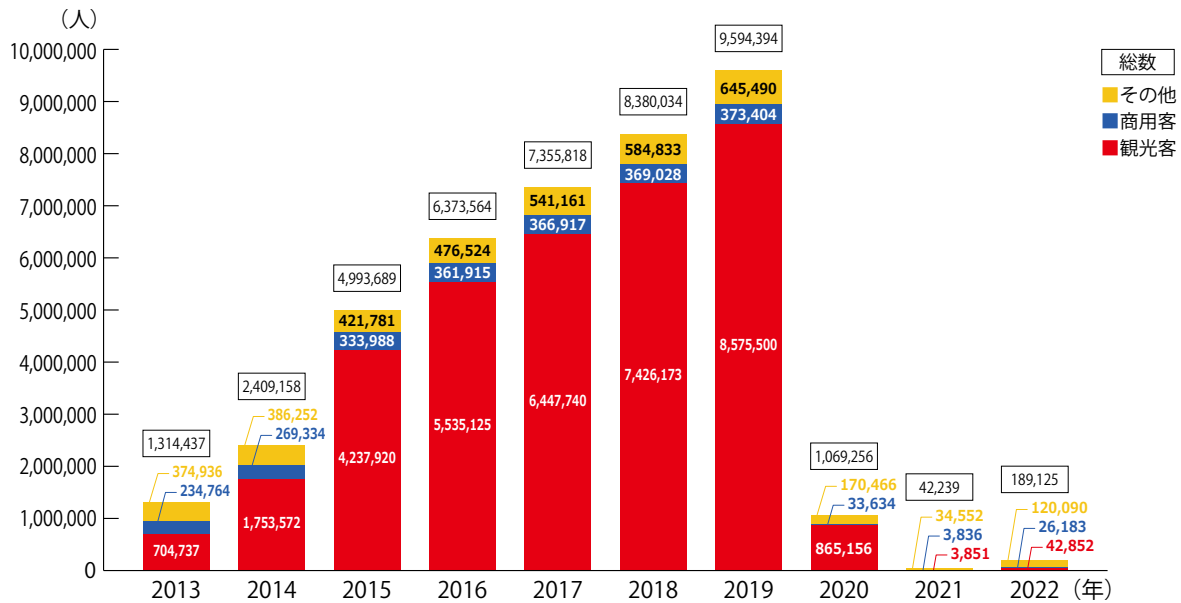
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

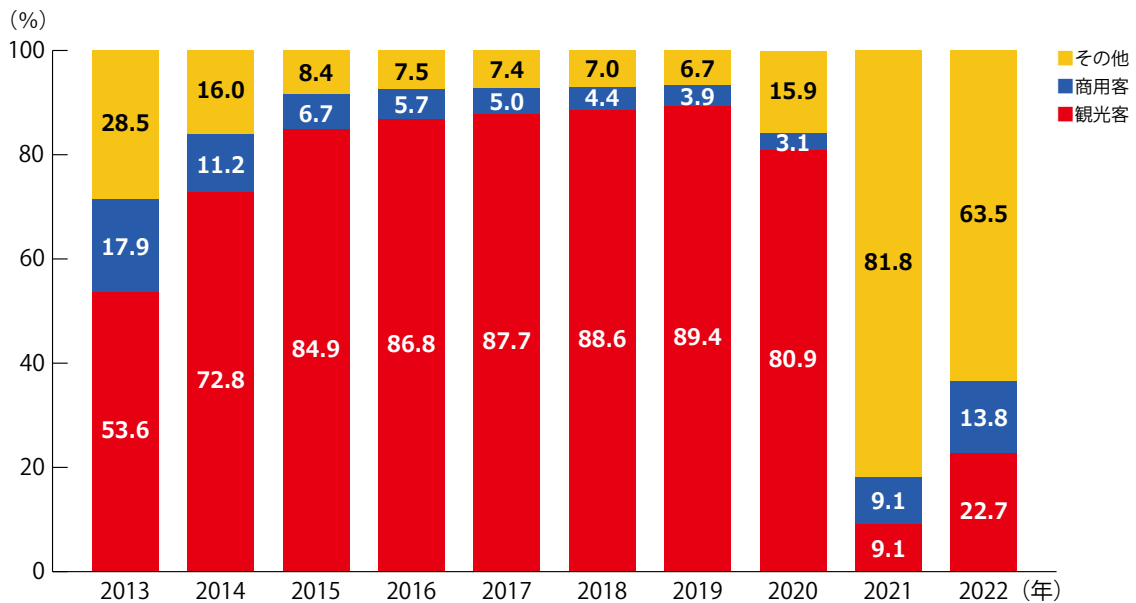
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日中国人の推移（2013年～2022年）



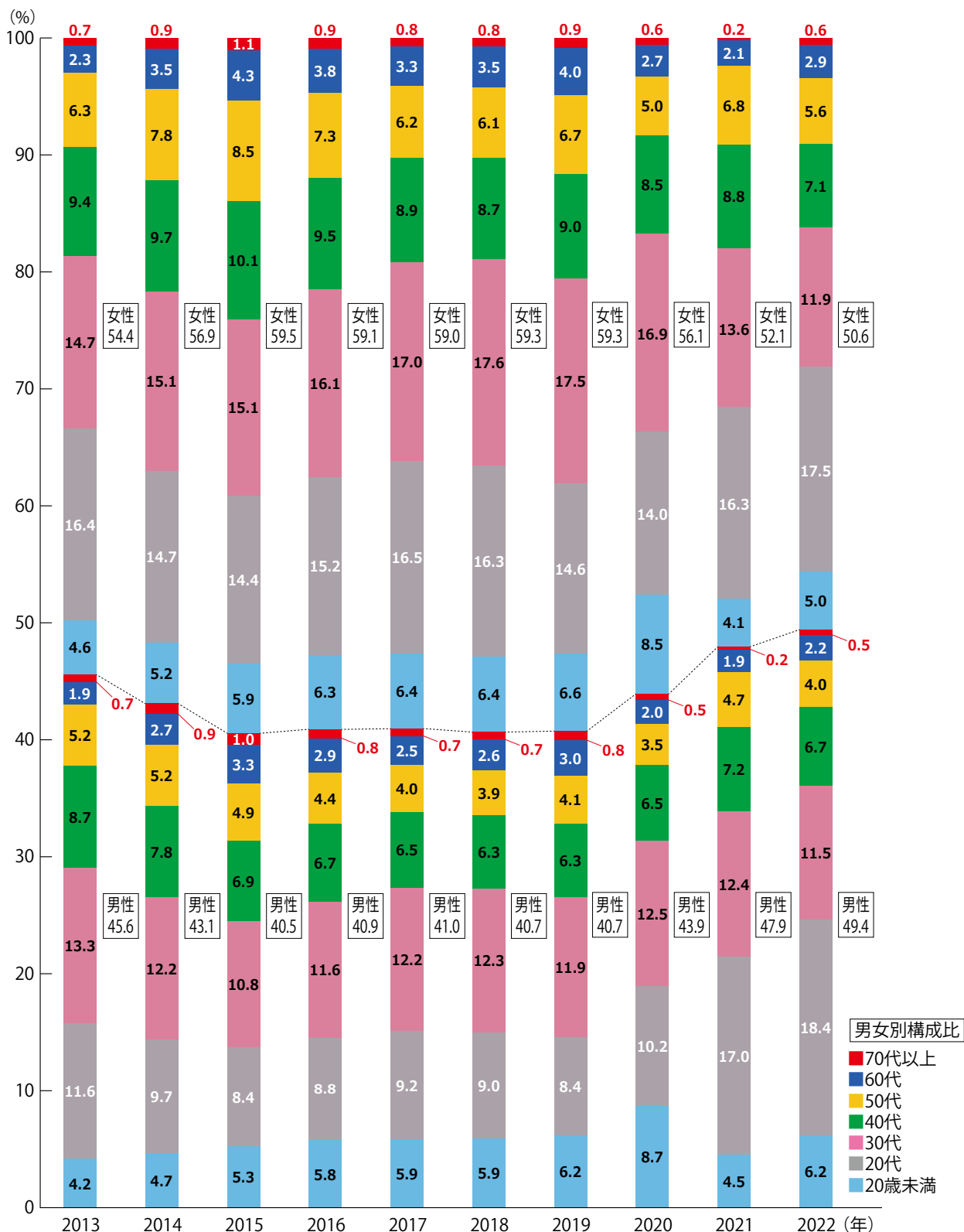
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日中国人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日中国人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)

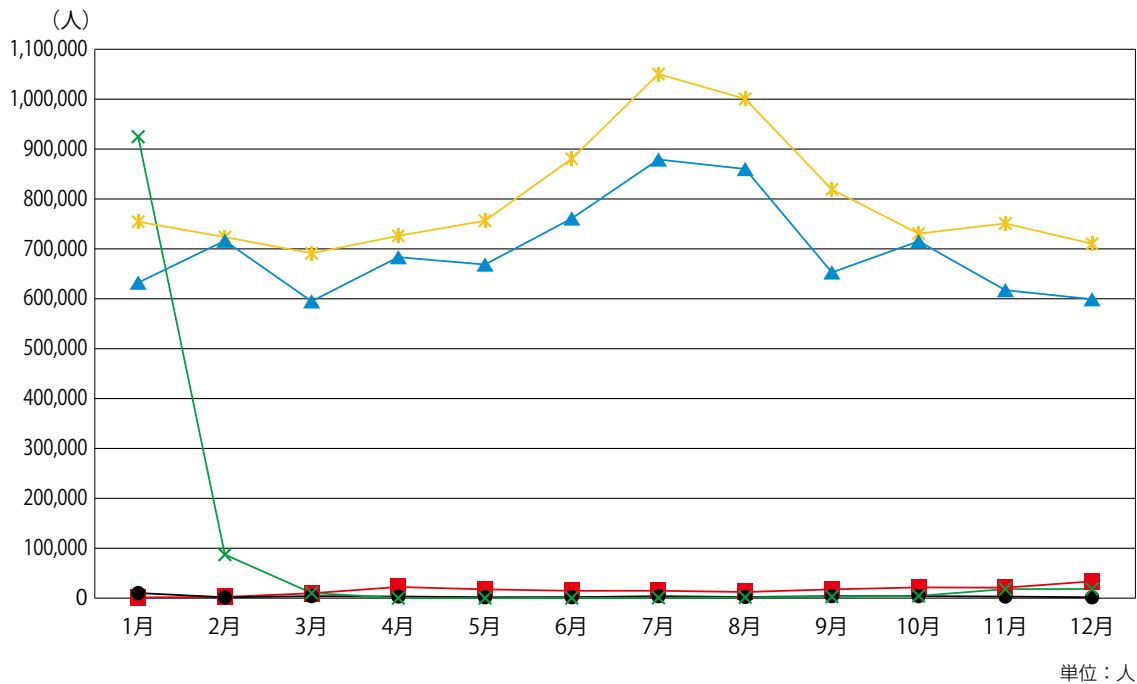


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省



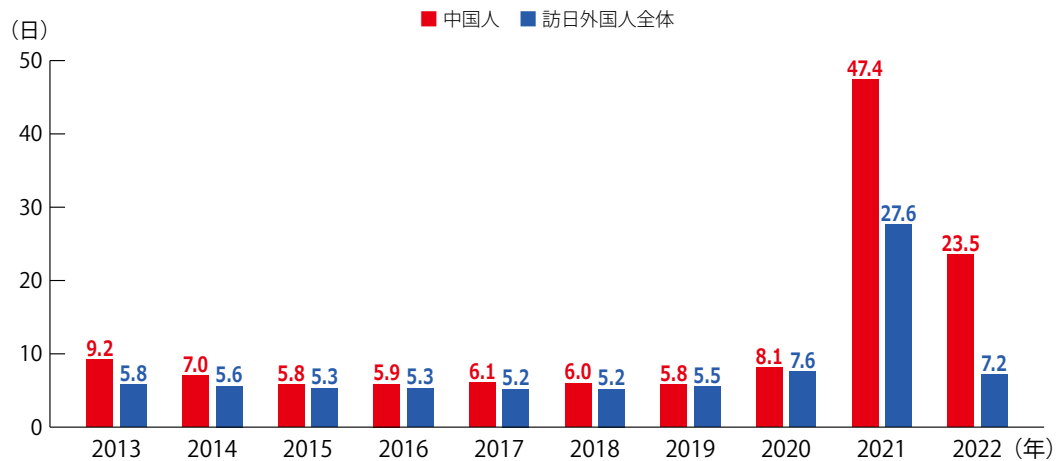
#### (4) 月別訪日中国人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	1,490	2,359	9,799	22,371	17,643	14,657	14,803	12,332	17,590	21,498	21,016	33,567
● 2021年	10,225	1,747	3,951	3,271	1,823	1,973	3,931	2,396	3,960	4,009	3,189	1,764
✕ 2020年	924,790	87,220	10,365	163	25	334	785	1,606	2,954	4,502	18,147	18,365
✳ 2019年	754,421	723,617	691,279	726,132	756,365	880,651	1,050,420	1,000,639	819,054	730,631	750,951	710,234
▲ 2018年	632,304	716,333	594,920	683,377	668,600	760,949	879,097	860,121	652,740	715,255	617,252	599,086

出典：日本政府観光局（JNTO）

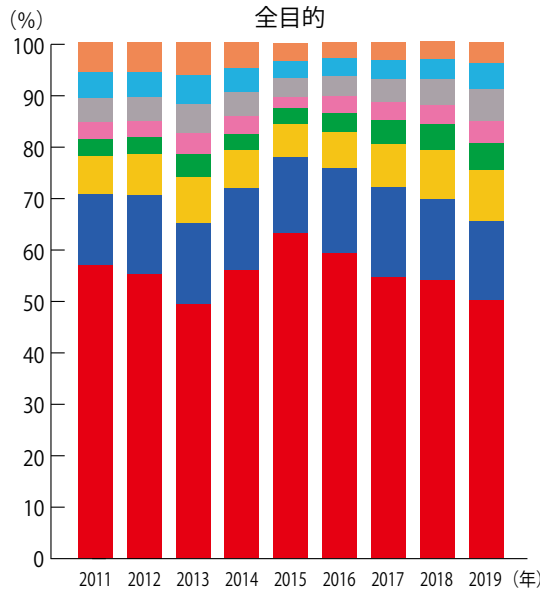
#### (5) 訪日中国人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



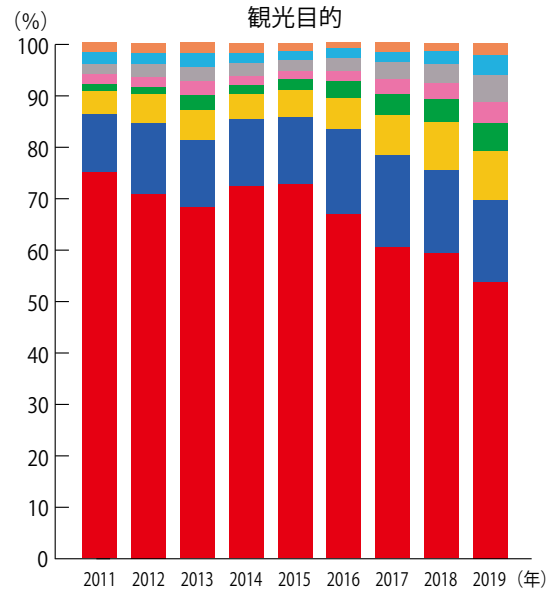
注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(6) 訪日中国人の訪日回数 (2011年~2019年)



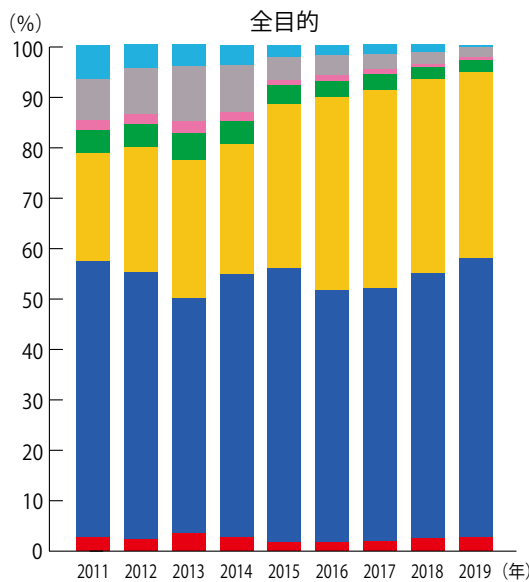
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	5.8	5.7	6.3	5.0	3.5	3.2	3.5	3.3	4.1
10~19回目	5.0	5.0	5.7	4.6	3.3	3.3	3.6	3.9	5.1
6~9回目	4.7	4.6	5.6	4.8	3.6	4.0	4.6	5.0	6.2
5回目	3.3	3.1	4.1	3.4	2.3	3.2	3.3	3.8	4.2
4回目	3.2	3.3	4.4	3.0	3.0	3.8	4.8	5.1	5.4
3回目	7.5	8.0	8.9	7.5	6.5	6.9	8.2	9.4	9.7
2回目	13.7	15.2	15.9	15.9	14.7	16.6	17.6	15.7	15.4
1回目	56.8	55.1	49.1	55.8	63.0	59.0	54.4	53.9	50.0



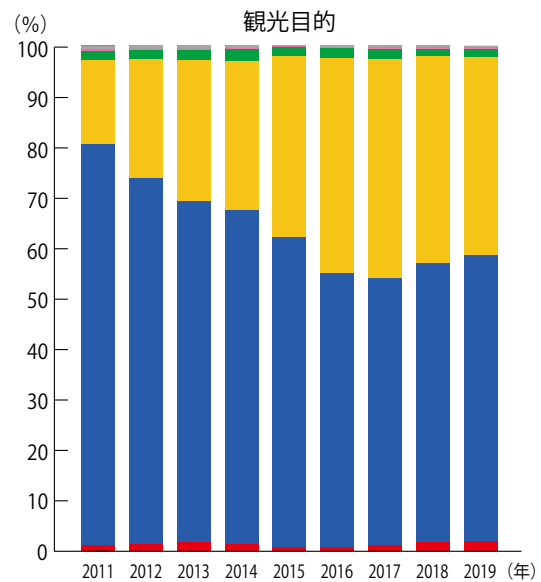
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	1.9	1.9	2.0	1.9	1.6	1.2	1.9	1.5	2.5
10~19回目	2.2	2.2	2.7	2.1	1.8	1.8	2.0	2.6	3.8
6~9回目	2.1	2.5	2.9	2.4	2.0	2.6	3.2	3.7	5.3
5回目	1.9	1.9	2.6	1.7	1.5	1.9	2.9	3.1	4.0
4回目	1.4	1.5	2.9	1.9	2.3	3.2	4.1	4.5	5.5
3回目	4.4	5.5	5.8	4.7	5.2	6.2	7.7	9.2	9.4
2回目	11.3	13.8	13.1	13.1	13.0	16.4	18.0	16.2	15.9
1回目	74.8	70.6	68.0	72.1	72.5	66.7	60.2	59.1	53.6

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日中国人の滞在期間 (2011年~2019年)



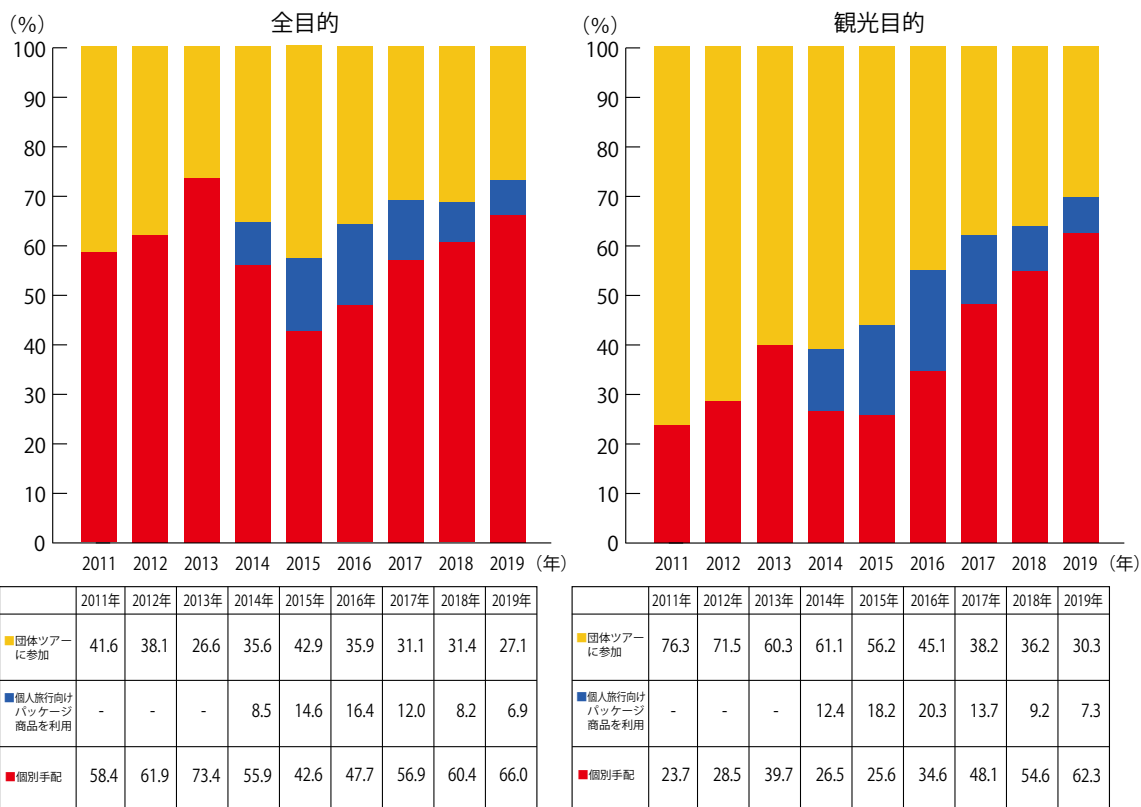
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	6.7	4.6	4.4	4.0	2.4	2.0	1.8	1.6	0.5
28~90日間	8.1	9.2	10.7	9.3	4.5	3.9	3.1	2.4	1.8
21~27日間	2.1	2.0	2.4	1.7	1.1	1.2	0.9	0.6	0.7
14~20日間	4.5	4.6	5.4	4.5	3.7	3.2	3.2	2.2	2.3
7~13日間	21.4	24.6	27.3	25.9	32.4	38.2	39.2	38.4	36.9
4~6日間	54.5	52.8	46.4	51.9	54.2	49.9	50.1	52.5	55.1
3日間以内	2.7	2.3	3.5	2.7	1.7	1.6	1.8	2.4	2.7



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
28~90日間	0.6	0.8	0.8	0.4	0.2	0.4	0.4	0.4	0.3
21~27日間	0.5	0.3	0.1	0.3	0.2	0.0	0.3	0.3	0.4
14~20日間	1.6	1.6	2.1	2.4	1.8	2.1	2.1	1.5	1.6
7~13日間	16.6	23.6	27.8	29.4	35.7	42.4	43.2	41.0	39.2
4~6日間	79.4	72.5	67.5	66.2	61.5	54.4	53.0	55.2	56.6
3日間以内	1.1	1.2	1.7	1.2	0.6	0.6	1.0	1.6	1.8

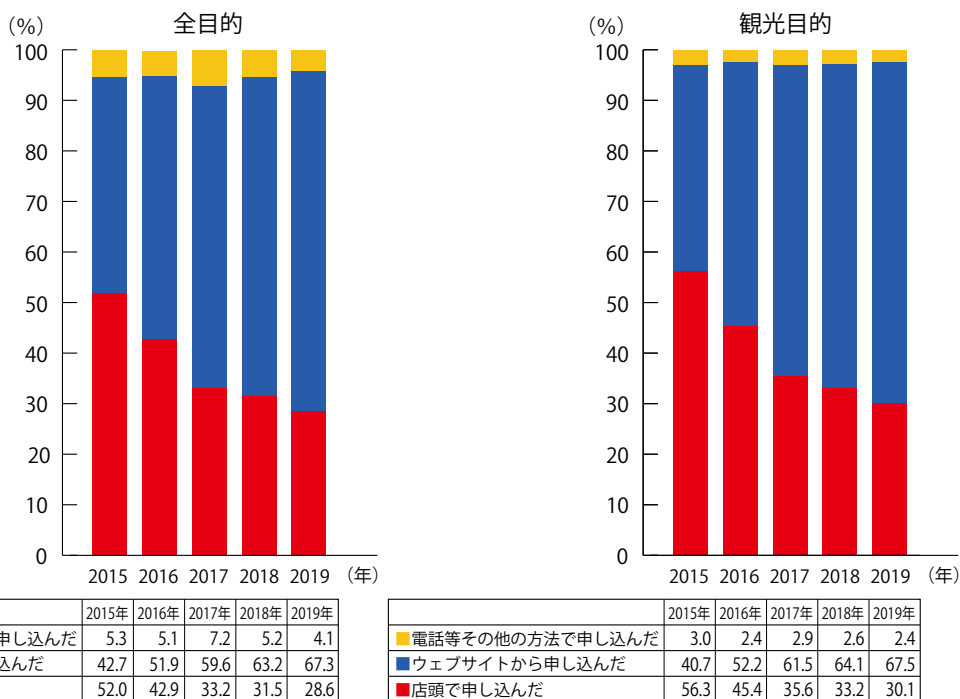
注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (8) 訪日中国人の旅行形態（2011年～2019年）



注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

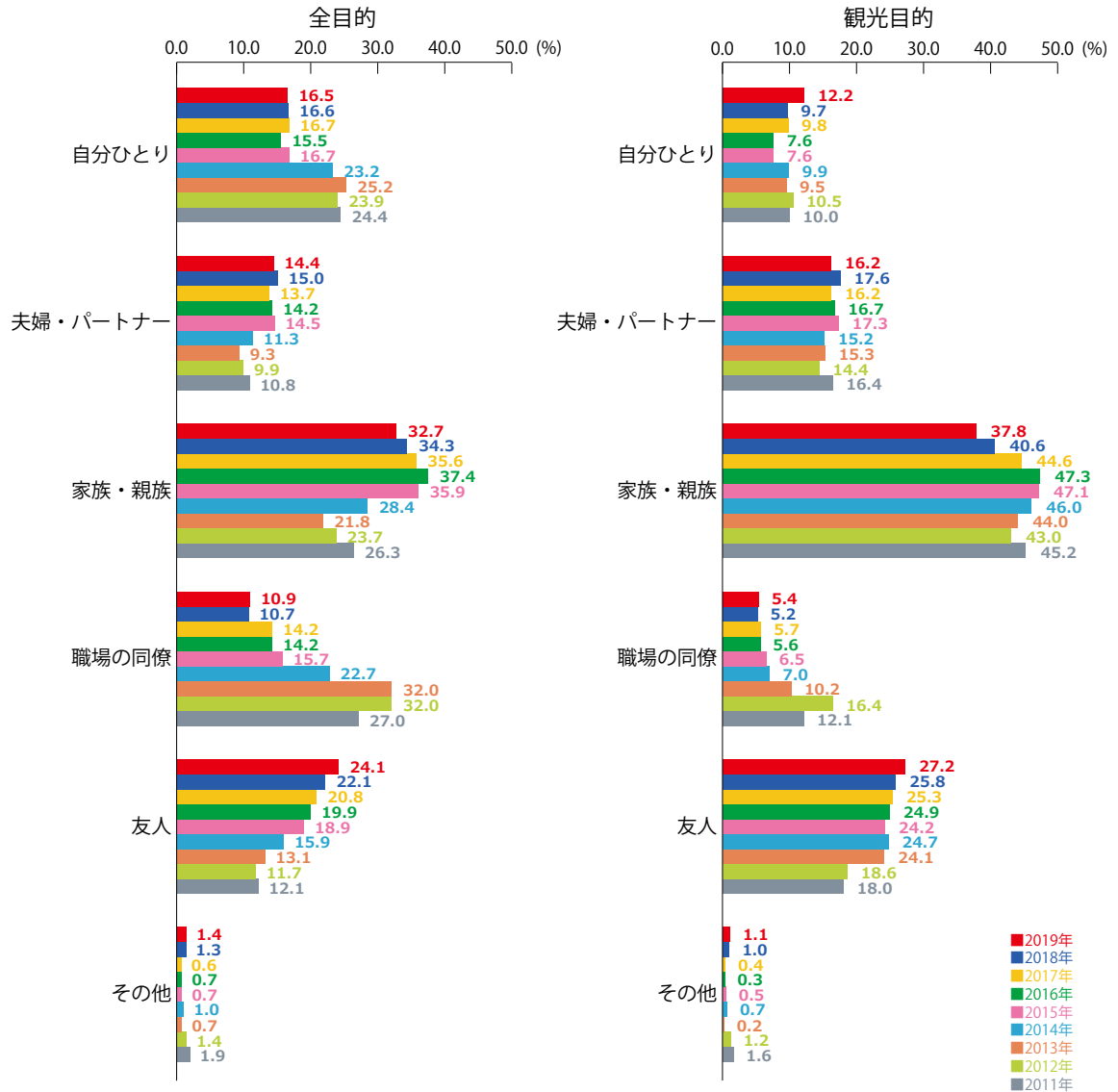
### (9) 訪日中国人の予約方法（2015年～2019年）



注1：2014年以前の数値は存在しない。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(10) 訪日中国人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日中国人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	63.5 59.2 58.9 63.7 63.9	95.0 93.4 93.5 93.9 94.9	49.2 47.5 45.4 49.9 55.8
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	16.2 15.4 13.2 12.7 13.3	29.4 29.3 31.9 30.5 32.8	15.8 13.8 13.7 12.2 15.0
旅館に宿泊	24.7 24.7 21.8 25.9 22.7	38.4 38.1 38.2 45.3 44.7	24.6 24.0 23.8 27.0 26.5
温泉入浴	29.7 32.0 29.8 36.1 33.7	37.6 41.9 43.4 48.4 52.0	49.1 45.2 36.7 39.3 43.0
自然・景勝地観光	52.2 51.2 49.4 52.3 47.9	72.1 73.7 72.5 73.6 71.2	44.6 42.4 44.2 46.8 46.1
繁華街の街歩き	48.9 45.8 44.3 42.5 43.9	80.9 80.2 80.6 77.4 79.2	28.1 27.9 28.8 28.4 32.3
ショッピング	61.2 60.6 58.1 59.3 63.5	91.8 92.0 91.3 89.2 92.7	46.8 46.1 42.6 46.0 55.6
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	17.7 15.7 9.4 10.1 9.4	24.7 23.8 15.3 13.9 15.6	16.9 14.7 12.7 12.9 15.9
テーマパーク	23.3 18.0 16.2 16.8 16.4	26.8 22.2 22.5 22.7 23.7	22.8 21.0 20.8 19.9 22.5
スキー・スノーボード	4.2 4.6 4.6 4.2 3.5	2.3 2.9 2.6 2.5 2.3	21.0 18.0 16.0 17.2 18.4
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.8 1.2 0.7 0.6 1.1	0.6 0.7 0.9 0.6 0.7	1.3 1.7 3.9 2.9 3.6
舞台・音楽鑑賞	2.7 2.8 3.3 3.6 3.2	2.4 2.2 3.0 2.6 2.5	8.1 6.4 8.5 9.1 9.2
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	1.0 1.3 0.8 1.2 1.2	0.5 0.3 0.6 0.6 0.7	4.4 4.5 5.1 5.5 4.8
自然体験ツアー・農漁村体験	3.0 3.6 4.3 4.0 3.6	3.1 3.6 4.7 4.3 3.3	12.4 14.3 15.2 13.5 13.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	11.1 11.2 9.8 9.6 8.1	9.9 9.6 10.0 9.2 8.1	23.0 25.5 27.8 30.6 32.0
映画・アニメ縁の地を訪問	5.0 5.1 5.4 4.3	4.3 4.0 5.1 4.4 4.2	13.9 12.8 9.4 10.0 9.9
日本の歴史・伝統文化体験	19.4 16.4 13.4 11.2 11.6	25.6 20.0 18.9 17.2 15.9	23.9 22.2 23.1 20.8 22.7
日本の日常生活体験	10.8 10.6 10.7 10.7 11.4	12.7 13.2 14.5 13.1 13.3	17.6 18.4 17.0 17.5 19.3
日本のポップカルチャーを楽しむ	9.5 7.8 7.5 8.9 7.3	11.2 9.1 10.3 9.8 9.0	13.8 12.6 12.0 12.9 12.0
治療・健診	1.1 1.6 1.2 1.3 1.3	1.0 0.7 0.9 1.2 1.3	4.3 3.9 4.3 4.1 4.7
上記には当てはまるものがない	6.9 5.7 7.8 7.6 6.8	0.3 0.5 0.7 0.9 0.7	0.9 1.1 3.1 4.0 3.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	66.0 61.5 61.6 66.3 65.8	94.7 93.7 94.0 94.5 95.6	49.9 47.9 47.1 50.5 55.5
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	16.3 15.6 13.7 13.4 13.0	28.4 29.2 33.4 29.6 32.4	15.6 13.9 13.9 12.4 14.1
旅館に宿泊	27.1 26.9 25.7 30.8 27.4	41.5 42.1 44.7 53.4 53.9	25.9 25.4 26.1 30.7 28.4
温泉入浴	31.5 34.9 33.2 40.4 41.1	40.4 46.2 49.8 55.4 61.4	49.8 46.6 37.7 39.9 43.2
自然・景勝地観光	57.0 55.3 55.7 58.6 54.5	78.0 80.3 81.2 82.2 82.1	45.0 42.4 43.5 48.2 46.7
繁華街の街歩き	52.4 49.0 46.1 45.4	84.5 84.4 80.5 83.4	28.9 31.5 30.4 31.3
ショッピング	64.4 63.7 62.9 63.6 66.6	92.7 93.3 93.4 90.7 94.5	48.5 48.3 45.7 49.2 56.3
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	19.1 17.4 10.4 11.8 10.3	26.4 26.1 17.1 15.5 16.9	17.4 15.5 13.5 14.1 16.3
テーマパーク	26.3 20.1 19.4 20.1 19.7	30.2 24.8 26.8 26.6 26.8	24.7 22.5 23.1 21.9 24.5
スキー・スノーボード	4.2 5.1 5.1 4.7 4.1	2.5 3.3 3.0 3.1 2.6	22.3 19.2 17.5 18.3 20.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.7 1.3 0.7 0.6 1.0	0.6 0.9 0.3 0.6	1.2 1.8 4.3 3.0 3.4
舞台・音楽鑑賞	2.5 3.0 3.5 3.7 3.3	2.1 2.2 3.3 2.7 2.5	8.2 6.5 9.2 10.0 9.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	0.7 1.3 0.9 1.0 1.2	0.4 0.2 0.5 0.4 0.4	4.0 4.5 5.4 5.6 4.6
自然体験ツアー・農漁村体験	2.9 3.7 3.9 4.1 4.0	3.4 3.9 5.5 4.4 3.5	12.2 14.2 15.4 13.8 13.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	11.5 11.8 10.8 10.3 8.9	10.1 10.2 10.5 9.5 8.4	23.8 27.0 29.5 32.0 33.1
映画・アニメ縁の地を訪問	5.0 8.5 5.5 6.0 4.8	4.1 4.3 5.5 4.7 4.5	14.8 13.8 10.4 11.2 10.6
日本の歴史・伝統文化体験	20.8 18.2 14.9 11.8 11.2	27.8 22.5 20.9 17.9 16.7	24.2 22.8 23.9 20.6 22.2
日本の日常生活体験	10.4 10.2 10.4 8.7 9.0	11.8 12.7 13.2 10.0 10.6	18.2 19.1 17.7 16.2 17.2
日本のポップカルチャーを楽しむ	9.9 8.5 8.3 10.0 8.0	11.7 10.1 11.4 10.8 10.0	14.4 13.4 13.3 13.9 12.8
治療・健診	0.8 1.3 1.1 1.1 0.9	0.6 0.5 0.6 0.5 0.5	4.0 3.7 4.6 3.9 4.7
上記には当てはまるものがない	3.1 2.4 2.9 3.1 2.8	0.1 0.2 0.2 0.5 0.0	0.7 0.9 1.3 1.9 1.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) 中国人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	7.0 7.5 10.3 14.1 14.0	7.2 8.4 11.8 16.1 15.6
旅行会社ホームページ	18.0 15.9 20.8 19.7 19.9	19.9 17.9 24.7 24.1 25.2
宿泊施設ホームページ	7.0 8.6 9.7 9.3 10.5	7.2 9.1 10.7 10.4 11.1
航空会社ホームページ	6.1 7.9 8.4 9.2 7.9	6.4 8.3 9.5 9.3 8.1
地方観光協会ホームページ	3.7 4.7 4.0 4.5 4.7	3.6 4.7 4.4 4.8 5.2
宿泊予約サイト	8.4 11.6 11.0 10.1 10.7	9.1 12.8 12.4 11.2 11.1
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	13.0 13.8 10.9 10.3 6.8	14.0 15.8 13.0 12.2 8.1
SNS（Facebook/Twitter/微信等）	28.4 25.9 24.4 20.2 16.8	30.5 28.4 28.1 23.1 19.4
個人のブログ	10.4 12.9 14.7 17.4 13.8	11.5 14.2 17.4 20.5 16.6
動画サイト（YouTube/土豆網等）	5.8 5.4 5.5 3.8 4.2	6.2 5.7 6.0 4.1 4.3
その他インターネット	6.8 5.2 5.8 5.9 4.9	7.3 5.3 6.5 6.6 5.3
日本政府観光局の案内所	1.2 1.1 2.1 2.4 2.8	1.3 1.3 2.4 2.8 3.2
旅行会社パンフレット	9.0 9.0 11.7 13.7 15.3	9.8 10.1 13.8 16.4 19.8
旅行ガイドブック	10.0 12.3 13.9 16.6 17.7	10.7 14.0 16.0 18.7 21.8
自国の親族・知人	20.6 19.5 17.5 19.1 19.8	22.6 21.6 19.9 22.4 24.0
日本在住の親族・知人	10.3 11.8 13.6 13.6 14.3	7.9 9.2 10.1 8.9 8.9
旅行の展示会や見本市	0.5 1.0 0.5 0.5 0.6	0.4 0.9 0.5 0.5 0.6
テレビ番組	6.1 7.5 8.7 7.7 8.0	6.3 8.2 9.7 8.4 8.9
新聞	0.7 2.1 3.0 2.6 3.1	0.8 2.2 3.5 2.8 3.6
旅行専門誌	5.7 5.2 11.1 10.3 11.2	6.0 8.3 13.4 12.1 13.6
その他雑誌	0.5 0.7 1.4 0.8 1.0	0.5 0.7 1.5 0.8 1.1
その他	2.6 3.0 3.9 4.8 5.1	0.7 0.9 2.1 2.5 2.7
特になし	17.4 15.8 15.1 16.0 15.1	16.3 13.4 10.3 12.3 11.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) 中国人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	35.9 34.3	37.7 35.7
交通手段	54.0 51.7	55.2 52.4
飲食店	41.6 34.0	43.0 36.0
観光施設	34.2 31.1	36.3 34.2
イベント	7.0 7.4	7.4 7.8
土産物	14.8 13.1	15.3 14.3
買物場所	34.4 34.8	36.2 36.7
無料W i - F i	16.5 19.5	16.5 19.7
祈祷室	0.3 0.2	0.2 0.2
A T M	7.7 10.1	7.7 9.6
宅配便	1.4 2.2	1.2 1.9
日本文化体験プログラム	7.3 9.3	7.5 10.0
自然体験ツアー・農山漁村体験	2.3 4.1	2.4 4.6
通訳案内士・観光ガイド	5.4 7.3	6.0 8.3
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	4.8 5.0	5.2 5.7
クレジットカード利用可能店舗	8.9 9.5	8.8 9.7
その他	0.6 0.5	0.6 0.4
特になし	14.8 12.8	13.3 10.8

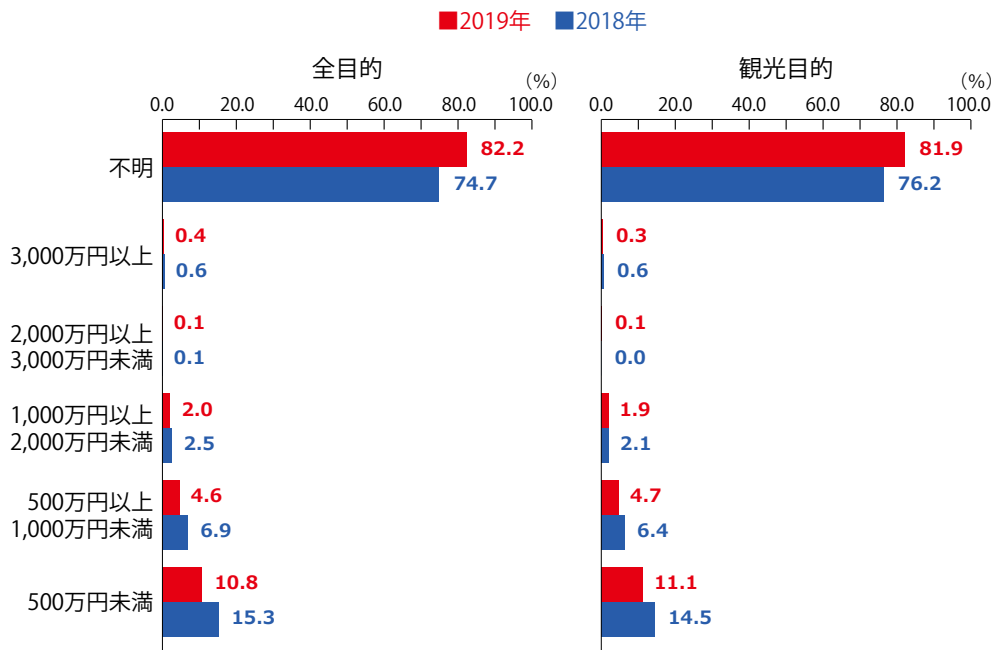
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

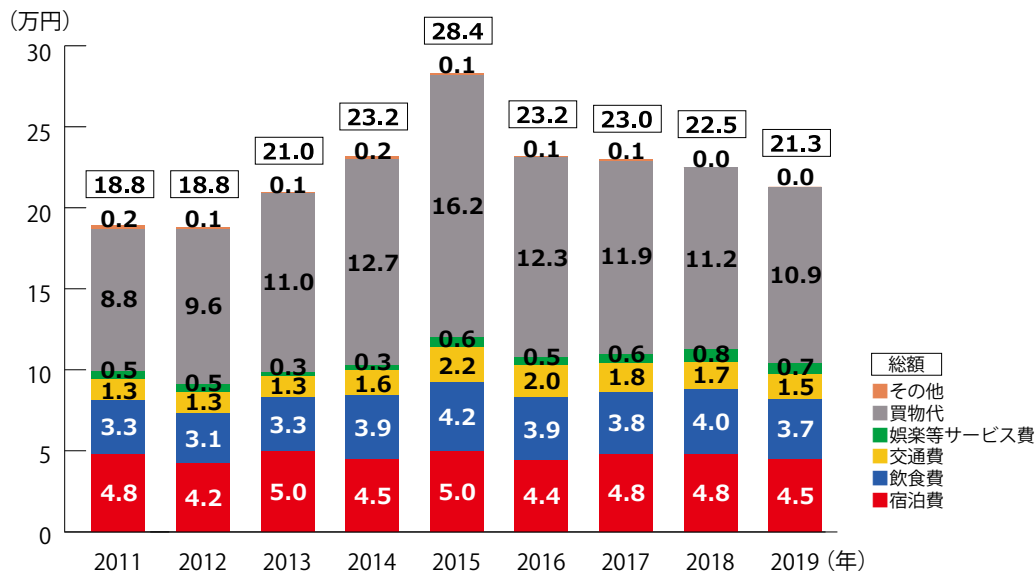
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日中国人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日中国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (16) 属性別訪日中国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	4,510	212,810	3,726	211,589	
滞在日数	3日間以内	129	134,561	68	156,357
	4～6日間	2,466	197,953	2,106	198,271
	7～13日間	1,643	224,824	1,451	226,075
	14～20日間	119	268,972	70	319,908
	21～27日間	34	287,056	16	399,509
	28～90日間	93	312,997	15	295,656
	91日間以上1年未満	26	643,146	0	-
性・年代	男性	1,868	205,423	1,426	200,136
	15～19歳	75	205,263	62	181,439
	20～29歳	487	208,443	408	197,044
	30～39歳	809	202,457	596	201,343
	40～49歳	296	211,596	208	210,180
	50～59歳	130	221,925	96	219,566
	60～69歳	61	162,567	47	169,268
	70歳以上	10	109,003	9	101,727
	女性	2,642	217,779	2,300	218,420
	15～19歳	92	197,991	77	203,764
	20～29歳	892	219,066	772	215,006
	30～39歳	1,003	219,602	889	222,077
	40～49歳	417	223,884	371	228,822
	50～59歳	177	206,473	145	205,041
60～69歳	54	183,710	43	187,317	
70歳以上	7	139,129	3	140,569	
日本への 来訪回数	1回目	2,117	197,677	1,875	196,025
	2回目	705	219,551	605	217,409
	3回目	448	231,846	363	224,703
	4回目	258	218,749	220	215,311
	5回目	209	241,227	164	254,180
	6～9回目	314	236,200	225	241,487
	10～19回目	261	219,008	171	246,142
	20回目以上	198	247,363	103	266,978

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較するには注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日中国人の購入者単価（2019年）

調査項目		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	1,172	118,712	1,094	116,392
	個人旅行向けパッケージ商品	313	136,604	274	128,872
	往復航空（船舶）運賃	3,025	58,967	2,358	55,041
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	2,799	52,849	2,298	49,539
	飲食費	3,846	32,275	3,211	30,062
	交通費	3,324	15,108	2,722	14,399
	航空（日本国内移動のみ）	123	17,655	100	16,854
	Japan Rail Pass	244	13,982	232	13,875
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	2,801	10,409	2,285	9,612
	バス	707	2,944	630	2,769
	タクシー	757	9,160	594	8,158
	レンタカー	192	31,871	169	32,590
	船舶（日本国内移動のみ）	98	5,462	92	5,666
	その他交通費	56	18,055	50	18,727
	娯楽等サービス費	1,709	13,617	1,542	11,249
	現地ツアー・観光ガイド	180	16,583	161	13,991
	ゴルフ場	9	46,307	5	59,982
	テーマパーク	717	11,259	682	11,306
	舞台・音楽鑑賞	58	23,661	43	23,378
	スポーツ観戦	8	4,685	5	4,811
	美術館・博物館・動植物園・水族館	866	3,270	783	3,176
	スキー場リフト	55	28,329	52	29,373
	温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション	143	11,891	115	10,821
	マッサージ・医療費	15	54,837	9	22,336
	展示会・コンベンション参加費	21	9,666	17	10,921
	レンタル料（レンタカーを除く）	17	15,351	16	16,165
	その他娯楽等サービス費	51	59,132	37	7,677
	買物代	4,471	109,414	3,708	111,250
	菓子類	3,346	9,639	2,812	9,354
	酒類	597	11,777	483	10,524
	生鮮農産物	223	5,381	203	4,523
	その他食料品・飲料・たばこ	1,647	10,440	1,385	9,635
	化粧品・香水	3,611	52,142	3,046	51,630
	医薬品	2,244	21,760	1,939	21,767
	健康グッズ・トイレタリー	977	20,203	884	20,155
	衣類	1,674	28,512	1,494	27,983
靴・かばん・革製品	1,102	49,810	975	49,240	
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	634	33,110	565	30,425	
時計・フィルムカメラ	281	73,076	231	76,870	
宝石・貴金属	82	95,328	74	90,895	
民芸品・伝統工芸品	353	9,243	311	9,033	
本・雑誌・ガイドブックなど	183	5,749	136	5,668	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	152	14,432	126	14,359	
その他買物代	227	21,214	191	20,610	
その他	9	11,982	7	7,627	

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (18) 訪日中国人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	73.8 76.8 72.6 72.4 74.3	76.7 80.3 77.1 76.1 77.7
家電量販店	33.1 38.3 38.3 42.2 49.8	34.4 40.8 40.5 44.9 53.2
ファッション専門店	21.0 20.6 19.0 21.0 25.8	21.7 21.7 20.7 22.5 29.2
100円ショップ	8.3 9.4 9.5 11.0 14.7	7.3 8.1 7.8 8.4 11.4
高速道路のSA・道の駅	6.6 7.5 6.9 7.6 8.0	7.4 8.8 8.1 9.3 9.7
観光地の土産店	25.9 25.4 20.4 22.4 23.6	28.7 28.9 23.0 25.4 27.2
宿泊施設	6.9 6.8 12.4 14.0 13.9	7.5 7.7 13.5 15.9 15.6
スーパーマーケット	47.5 53.5 55.6 57.6 59.1	47.0 53.6 55.7 57.2 58.0
コンビニエンスストア	82.1 78.6 74.1 67.7 63.4	83.6 80.9 76.8 70.0 66.0
ドラッグストア	88.7 86.8 86.2 87.5 83.9	90.7 89.4 91.7 91.0 87.7
ディスカウントストア	8.9 9.7 7.6 7.2 11.1	9.3 10.6 7.6 6.6 11.4
アウトレットモール	17.2 19.5 23.6 26.2 27.6	18.9 22.0 27.0 29.8 32.7
都心の複合商業施設	27.4 23.7 22.1 22.7 17.6	29.4 25.3 24.2 25.4 19.1
その他ショッピングセンター	15.5 12.1 11.2 11.6 13.4	16.3 12.8 11.0 11.0 12.1
鉄道駅構内の店舗	9.1 7.7 7.9 7.0 8.2	9.6 8.0 8.3 7.6 8.2
空港の免税店	79.7 77.8 80.0 79.0 79.8	80.4 78.5 81.1 79.8 81.2
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.3 0.3	0.3 0.3
その他	1.5 1.4 1.3 1.1 1.1	1.5 1.4 1.4 1.0 1.2
買い物はしなかった	0.3 0.4 0.2 0.4 0.2	0.2 0.2 0.0 0.1 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日中国人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	81.0 71.1
消費税免税の手続きをしていない	19.0 28.9

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	26.5 22.0
酒類	4.1 4.3
生鮮農産物	0.6 0.7
その他食料品・飲料・たばこ	10.3 9.7
化粧品・香水	66.7 57.2
医薬品	36.6 32.8
健康グッズ・トイレタリー	15.5 14.5
衣類	26.0 20.5
靴・かばん・革製品	18.5 15.8
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	11.0 12.1
時計・フィルムカメラ	4.9 4.7
宝石・貴金属	1.5 1.1
民芸品・伝統工芸品	1.4 1.2
本・雑誌・ガイドブックなど	0.6 0.4
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	1.4 1.3
その他買物代	1.1 1.2

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日中国人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	95.1 94.0	95.8 94.9
クレジットカード	61.2 66.5	62.4 69.2
交通系ICカード（Suica等）	21.5 15.5	21.6 15.5
その他ICカード（Edy等）	0.3 0.4	0.3 0.4
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	27.7 35.3	28.5 36.1
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	73.2 52.3	76.5 56.2
仮想通貨（BitCoin等）	0.1 0.1	0.1 0.1
割引クーポン	4.4 3.0	4.8 3.3
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.1 0.2	0.0 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(21) 訪日中国人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
大阪府	1位	48.3	42.9	40.0	41.8	54.4	58.5	54.7	54.3	58.8
東京都	2位	60.3	59.3	59.5	67.4	69.1	59.3	57.3	55.6	51.7
京都府	3位	24.5	23.1	25.8	29.2	35.4	40.6	35.0	37.8	42.0
千葉県	4位	14.6	15.1	14.5	20.0	54.4	42.5	37.8	35.8	31.7
奈良県	5位	2.2	2.9	5.1	4.6	7.5	10.9	13.3	18.1	25.3
愛知県	6位	22.4	21.1	16.0	21.1	21.0	19.5	18.5	16.0	17.3
静岡県	7位	6.0	6.0	4.0	9.6	11.1	11.9	10.9	10.7	10.7
山梨県	8位	12.8	14.4	12.8	12.2	15.4	13.5	11.7	7.9	10.1
神奈川県	9位	20.1	19.4	19.2	21.4	19.6	15.5	11.8	9.4	8.9
北海道	10位	6.2	9.2	7.0	7.9	8.0	7.3	6.9	6.7	6.8
兵庫県	11位	6.6	6.2	6.9	5.0	5.2	5.4	3.9	5.1	5.9
沖縄県	12位	1.1	4.1	2.3	3.7	5.3	6.4	6.7	4.6	3.6
福岡県	13位	5.1	4.5	3.5	3.6	4.0	3.9	3.6	3.5	3.4
岐阜県	14位	1.2	1.2	1.2	1.3	1.2	1.6	1.5	1.7	1.8
大分県	15位	1.4	0.4	0.5	0.7	1.3	1.0	1.4	1.0	1.1
長野県	16位	0.9	1.2	1.4	2.1	1.3	1.3	1.1	1.1	1.0
熊本県	17位	1.6	0.7	1.0	1.0	1.2	0.7	1.0	1.0	1.0
茨城県	18位	1.2	1.1	1.7	1.5	1.2	0.8	0.6	1.0	0.9
三重県	19位	1.1	1.1	1.1	0.7	0.5	0.9	0.6	0.5	0.8
香川県	20位	0.3	0.2	0.2	0.5	0.6	0.8	1.2	0.8	0.8
和歌山県	21位	1.1	0.8	1.1	0.9	0.9	1.1	0.8	0.8	0.8
埼玉県	22位	2.0	2.1	2.9	2.4	1.7	1.2	1.1	0.7	0.7
石川県	23位	0.3	0.4	0.4	0.4	0.6	0.9	0.8	1.0	0.6
佐賀県	24位	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3	0.4	0.4	0.6	0.6
滋賀県	25位	0.3	0.6	1.1	0.6	0.5	0.5	0.4	0.4	0.6
広島県	26位	1.3	1.8	1.5	1.7	1.1	1.0	0.9	0.6	0.5
岡山県	27位	0.4	0.5	0.3	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4	0.4
長崎県	28位	0.6	0.7	0.6	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6	0.4
鹿児島県	29位	0.6	0.2	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.4	0.4
栃木県	30位	1.2	1.1	1.7	1.7	0.9	0.6	0.8	0.5	0.4
富山県	31位	0.6	0.2	0.4	0.3	0.4	0.4	0.3	0.3	0.4
宮城県	32位	0.6	0.9	1.0	0.9	0.9	0.7	0.7	0.5	0.3
群馬県	33位	0.6	0.9	0.6	0.7	0.4	0.4	0.2	0.3	0.3
新潟県	34位	0.4	0.6	0.5	0.5	1.0	0.8	0.6	0.4	0.3
青森県	35位	0.1	0.2	0.3	0.1	0.2	0.2	0.3	0.4	0.3
愛媛県	36位	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2
鳥取県	37位	0.1	0.2	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.1
山口県	38位	0.2	0.2	0.4	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1
福島県	39位	0.1	0.5	0.7	0.5	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1
宮崎県	40位	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1
岩手県	41位	0.1	0.3	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
秋田県	42位	0.1	0.5	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	0.1
山形県	43位	0.1	0.1	0.3	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1
徳島県	44位	0.2	0.2	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1
福井県	45位	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
島根県	46位	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1
高知県	47位	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日中国人の都道府県別宿泊地 (2017年~2022年)

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	4,278,850 (24.3%)	5,500,800 (24.8%)	7,042,040 (23.6%)
大阪府	2位	2,836,430 (16.1%)	4,129,490 (18.6%)	6,193,830 (20.8%)
千葉県	3位	1,279,430 (7.3%)	1,526,000 (6.9%)	1,889,020 (6.3%)
京都府	4位	1,050,220 (6.0%)	1,288,700 (5.8%)	2,453,690 (8.2%)
北海道	5位	1,735,410 (9.9%)	1,873,590 (8.5%)	2,164,320 (7.3%)
神奈川県	6位	645,320 (3.7%)	748,860 (3.4%)	917,910 (3.1%)
福岡県	7位	328,510 (1.9%)	378,960 (1.7%)	556,490 (1.9%)
愛知県	8位	1,102,230 (6.3%)	1,329,880 (6.0%)	1,795,800 (6.0%)
沖縄県	9位	883,500 (5.0%)	992,170 (4.5%)	1,147,310 (3.8%)
静岡県	10位	857,690 (4.9%)	1,014,230 (4.6%)	1,491,470 (5.0%)
兵庫県	11位	238,580 (1.4%)	316,600 (1.4%)	431,290 (1.4%)
長野県	12位	108,930 (0.6%)	153,750 (0.7%)	216,650 (0.7%)
新潟県	13位	36,480 (0.2%)	63,210 (0.3%)	79,030 (0.3%)
山梨県	14位	557,890 (3.2%)	674,680 (3.0%)	772,940 (2.6%)
宮城県	15位	43,650 (0.2%)	52,170 (0.2%)	64,530 (0.2%)
埼玉県	16位	40,780 (0.2%)	47,500 (0.2%)	56,280 (0.2%)
広島県	17位	72,550 (0.4%)	85,140 (0.4%)	91,490 (0.3%)
石川県	18位	68,640 (0.4%)	86,600 (0.4%)	109,130 (0.4%)
滋賀県	19位	79,920 (0.5%)	98,620 (0.4%)	112,680 (0.4%)
長崎県	20位	62,870 (0.4%)	69,840 (0.3%)	87,970 (0.3%)
岡山県	21位	57,310 (0.3%)	60,600 (0.3%)	75,630 (0.3%)
三重県	22位	125,480 (0.7%)	110,570 (0.5%)	154,490 (0.5%)
山形県	23位	9,810 (0.1%)	14,240 (0.1%)	19,380 (0.1%)
熊本県	24位	86,710 (0.5%)	110,020 (0.5%)	133,170 (0.4%)
栃木県	25位	28,080 (0.2%)	33,900 (0.2%)	42,800 (0.1%)
群馬県	26位	24,590 (0.1%)	32,370 (0.1%)	36,950 (0.1%)
青森県	27位	64,430 (0.4%)	72,210 (0.3%)	64,710 (0.2%)
茨城県	28位	50,600 (0.3%)	60,320 (0.3%)	52,870 (0.2%)
岐阜県	29位	162,340 (0.9%)	404,930 (1.8%)	526,700 (1.8%)
大分県	30位	79,140 (0.4%)	97,840 (0.4%)	99,790 (0.3%)
和歌山県	31位	97,460 (0.6%)	113,540 (0.5%)	138,460 (0.5%)
福島県	32位	12,920 (0.1%)	17,710 (0.1%)	22,170 (0.1%)
奈良県	33位	138,160 (0.8%)	189,620 (0.9%)	237,070 (0.8%)
岩手県	34位	20,930 (0.1%)	29,590 (0.1%)	60,510 (0.2%)
富山県	35位	23,110 (0.1%)	31,130 (0.1%)	34,970 (0.1%)
鹿児島県	36位	86,820 (0.5%)	89,120 (0.4%)	112,920 (0.4%)
香川県	37位	66,120 (0.4%)	81,770 (0.4%)	141,380 (0.5%)
佐賀県	38位	55,660 (0.3%)	63,490 (0.3%)	77,510 (0.3%)
秋田県	39位	8,440 (0.0%)	11,800 (0.1%)	13,700 (0.0%)
宮崎県	40位	12,810 (0.1%)	14,350 (0.1%)	17,620 (0.1%)
愛媛県	41位	24,010 (0.1%)	31,520 (0.1%)	29,540 (0.1%)
山口県	42位	10,830 (0.1%)	10,280 (0.0%)	12,700 (0.0%)
徳島県	43位	9,770 (0.1%)	11,950 (0.1%)	14,260 (0.0%)
福井県	44位	8,110 (0.0%)	10,360 (0.0%)	14,740 (0.0%)
鳥取県	45位	10,990 (0.1%)	13,760 (0.1%)	18,400 (0.1%)
高知県	46位	7,470 (0.0%)	9,700 (0.0%)	13,500 (0.0%)
島根県	47位	5,600 (0.0%)	8,340 (0.0%)	8,410 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年~2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比:%)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	977,820 (23.5%)	116,900 (35.7%)	454,710 (45.9%)
大阪府	2位	790,120 (19.0%)	25,550 (7.8%)	139,260 (14.0%)
千葉県	3位	234,360 (5.6%)	75,250 (23.0%)	70,720 (7.1%)
京都府	4位	328,210 (7.9%)	9,960 (3.0%)	67,360 (6.8%)
北海道	5位	576,780 (13.8%)	5,680 (1.7%)	47,450 (4.8%)
神奈川県	6位	108,500 (2.6%)	7,470 (2.3%)	29,730 (3.0%)
福岡県	7位	86,690 (2.1%)	5,550 (1.7%)	26,930 (2.7%)
愛知県	8位	219,930 (5.3%)	9,170 (2.8%)	25,670 (2.6%)
沖縄県	9位	161,420 (3.9%)	6,180 (1.9%)	11,810 (1.2%)
静岡県	10位	117,870 (2.8%)	6,260 (1.9%)	11,180 (1.1%)
兵庫県	11位	53,820 (1.3%)	4,240 (1.3%)	8,770 (0.9%)
長野県	12位	50,310 (1.2%)	2,900 (0.9%)	7,480 (0.8%)
新潟県	13位	23,630 (0.6%)	2,000 (0.6%)	6,260 (0.6%)
山梨県	14位	82,550 (2.0%)	1,140 (0.3%)	5,050 (0.5%)
宮城県	15位	14,350 (0.3%)	4,510 (1.4%)	5,020 (0.5%)
埼玉県	16位	6,760 (0.2%)	2,370 (0.7%)	4,990 (0.5%)
広島県	17位	14,370 (0.3%)	2,360 (0.7%)	4,670 (0.5%)
石川県	18位	24,980 (0.6%)	1,090 (0.3%)	4,540 (0.5%)
滋賀県	19位	11,490 (0.3%)	2,960 (0.9%)	3,770 (0.4%)
長崎県	20位	10,770 (0.3%)	1,200 (0.4%)	3,760 (0.4%)
岡山県	21位	8,910 (0.2%)	2,840 (0.9%)	3,500 (0.4%)
三重県	22位	15,940 (0.4%)	2,590 (0.8%)	3,170 (0.3%)
山形県	23位	7,110 (0.2%)	2,070 (0.6%)	3,120 (0.3%)
熊本県	24位	19,730 (0.5%)	1,100 (0.3%)	3,100 (0.3%)
栃木県	25位	7,440 (0.2%)	2,910 (0.9%)	3,080 (0.3%)
群馬県	26位	9,810 (0.2%)	2,610 (0.8%)	3,030 (0.3%)
青森県	27位	14,490 (0.3%)	950 (0.3%)	2,580 (0.3%)
茨城県	28位	6,500 (0.2%)	1,340 (0.4%)	2,460 (0.2%)
岐阜県	29位	47,420 (1.1%)	2,200 (0.7%)	2,450 (0.2%)
大分県	30位	13,040 (0.3%)	1,170 (0.4%)	2,430 (0.2%)
和歌山県	31位	11,770 (0.3%)	500 (0.2%)	2,230 (0.2%)
福島県	32位	4,010 (0.1%)	1,480 (0.5%)	2,200 (0.2%)
奈良県	33位	21,090 (0.5%)	780 (0.2%)	2,110 (0.2%)
岩手県	34位	12,550 (0.3%)	1,160 (0.4%)	2,080 (0.2%)
富山県	35位	5,000 (0.1%)	1,020 (0.3%)	2,080 (0.2%)
鹿児島県	36位	18,030 (0.4%)	910 (0.3%)	1,850 (0.2%)
香川県	37位	12,440 (0.3%)	990 (0.3%)	1,770 (0.2%)
佐賀県	38位	10,790 (0.3%)	220 (0.1%)	1,390 (0.1%)
秋田県	39位	1,970 (0.0%)	490 (0.1%)	1,270 (0.1%)
宮崎県	40位	3,130 (0.1%)	300 (0.1%)	1,250 (0.1%)
愛媛県	41位	4,390 (0.1%)	2,990 (0.9%)	1,210 (0.1%)
山口県	42位	2,200 (0.1%)	1,910 (0.6%)	1,130 (0.1%)
徳島県	43位	1,940 (0.0%)	350 (0.1%)	890 (0.1%)
福井県	44位	2,750 (0.1%)	560 (0.2%)	620 (0.1%)
鳥取県	45位	5,440 (0.1%)	310 (0.1%)	570 (0.1%)
高知県	46位	1,620 (0.0%)	190 (0.1%)	560 (0.1%)
島根県	47位	1,240 (0.0%)	990 (0.3%)	480 (0.0%)

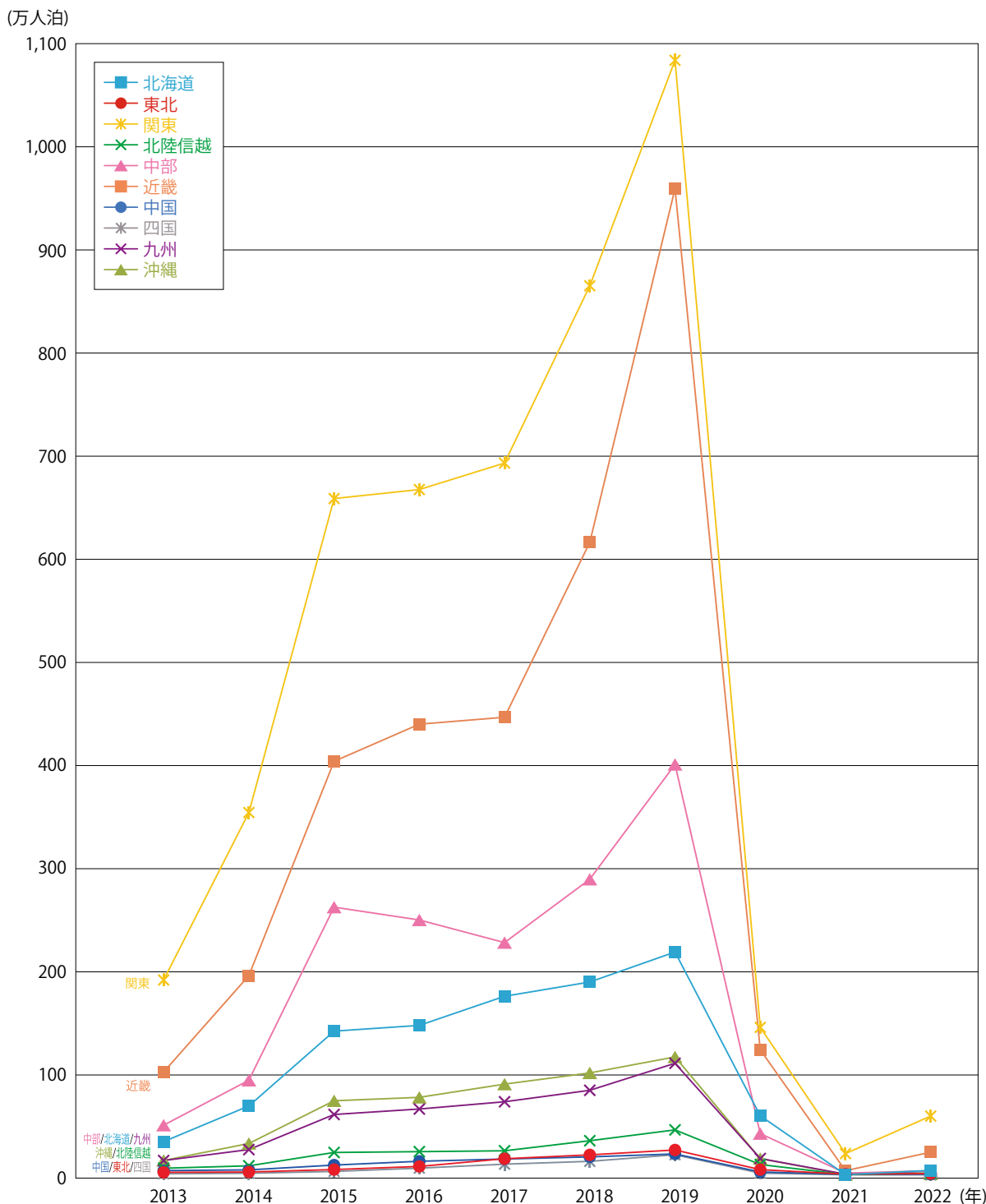
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年～2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

(23) 訪日中国人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



単位：人泊

北海道	325,810	671,850	1,397,420	1,453,140	1,735,410	1,873,590	2,164,320	576,780	5,680	47,450
東北	28,380	31,420	55,220	85,400	160,170	197,710	245,000	54,480	10,650	16,270
関東	1,893,360	3,516,730	6,561,320	6,648,630	6,905,550	8,624,440	10,810,800	1,433,740	209,990	573,760
北陸信越	67,920	91,370	220,870	228,820	237,160	334,700	439,780	103,930	7,000	20,370
中部	485,220	921,180	2,599,410	2,475,260	2,255,850	2,869,960	3,983,200	403,910	20,770	43,080
近畿	1,001,070	1,935,720	4,013,540	4,373,670	4,440,760	6,136,570	9,567,030	1,216,500	44,010	223,500
中国	45,130	52,010	98,570	135,590	157,280	178,110	206,630	32,160	8,410	10,360
四国	14,170	19,270	37,110	68,810	107,370	134,930	198,680	20,390	4,520	4,420
九州	142,670	248,920	589,090	642,280	712,530	823,620	1,085,460	162,170	10,450	40,710
沖縄	143,410	307,790	722,190	755,360	883,500	992,170	1,147,310	161,420	6,180	11,810

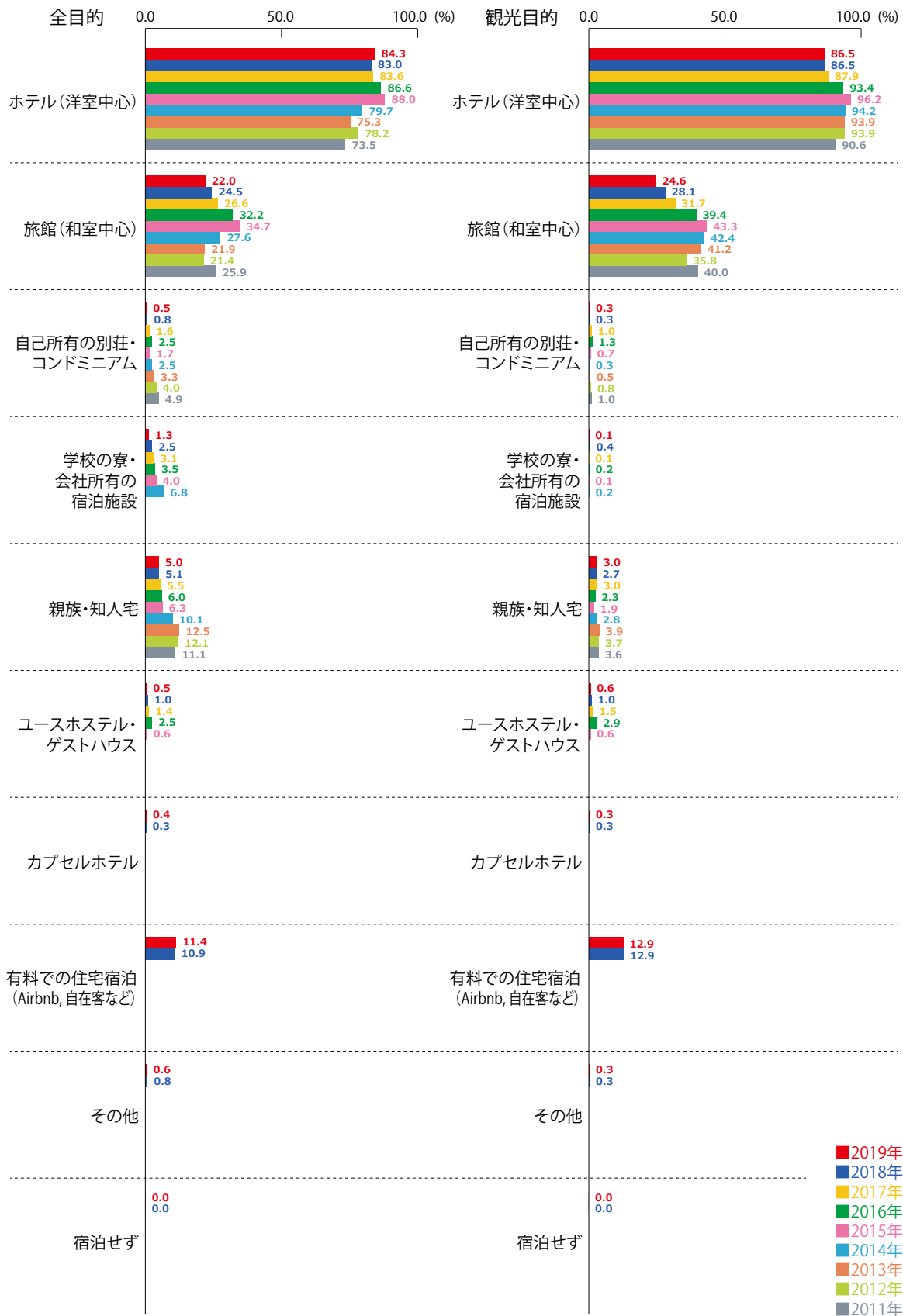
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

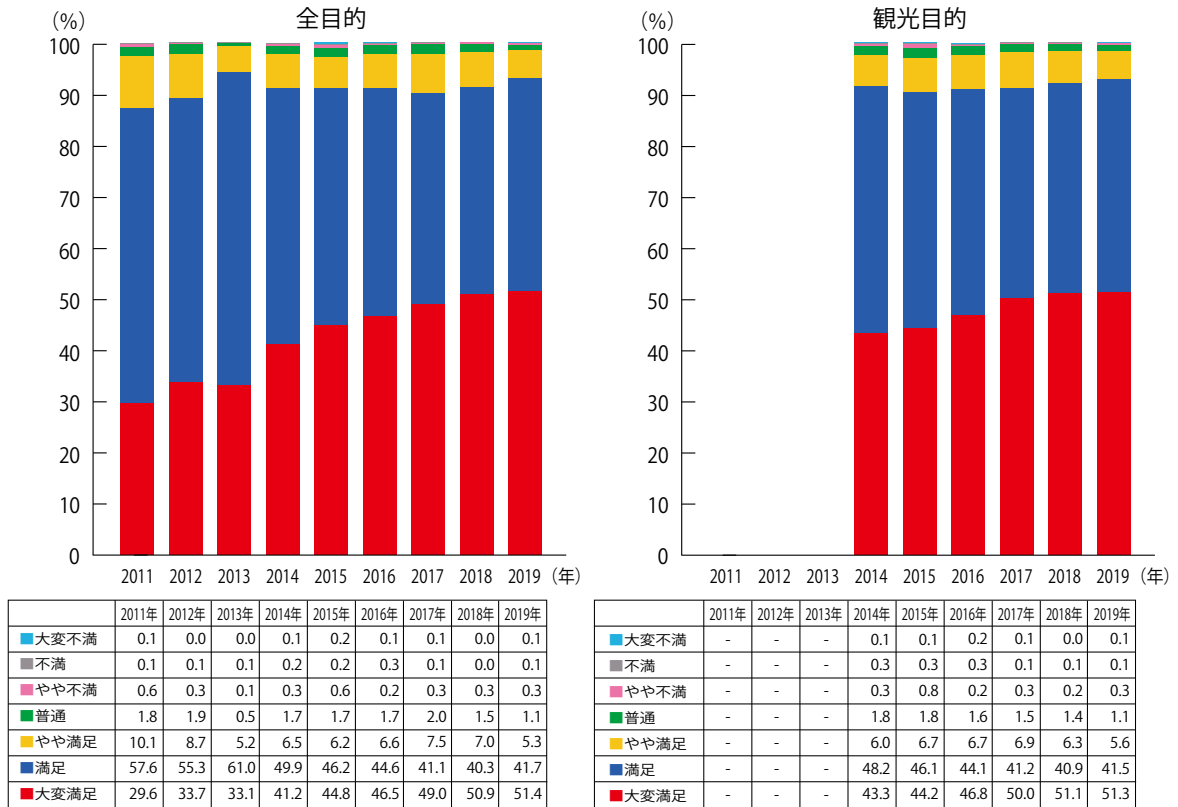
(24) 訪日中国人が利用した宿泊施設 (2011年~2019年)



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(25) 中国人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

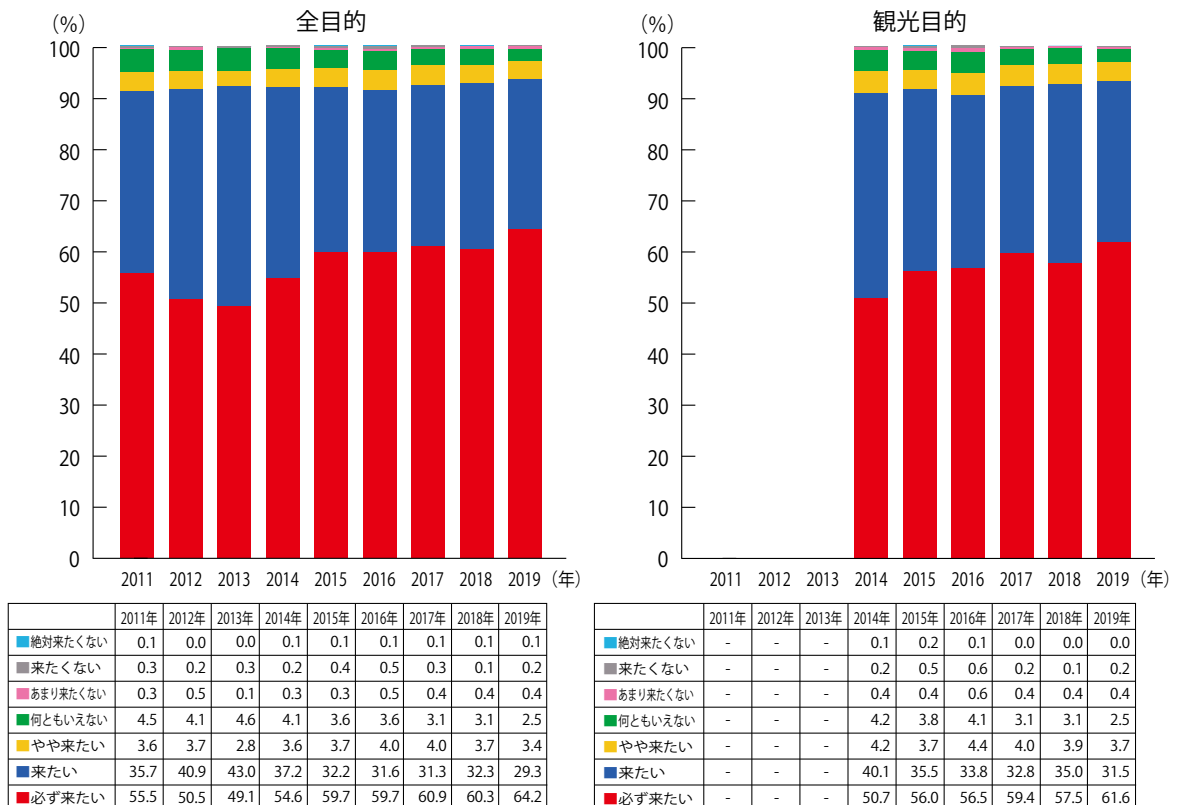


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日中国人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

漢人（閩南系、客家、外省人）（97.49%）、原住民（2.51%）

出典：台湾内政部戸政司（2023年4月末）

### (2) 宗教別構成

仏教、道教、キリスト教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

中国語（「繁体字」で記す「国語」が事実上の公用語となっている。）

= 参考 =

#### 【国語】

中国語（台湾では「中文」とも呼称）には、北京語（北方語）、上海語（呉語）、江西語（贛語）、湖南語（湘語）、福建語（閩語）、客家語、広東語（粵語）の七大方言が存在する。発音、声調（アクセント）、単語、文法が各々異なり、互いに聞き取りが困難である。

台湾ではこのうち、北京語を基準とする共通語（「国語」と呼称）が公用語となっている。（参考：中国大陸では一般的に「国語」とは呼ばず、「普通話」と呼ぶ。）

#### 【繁体字】

正式な字体として「繁体字」が採用されている。（参考：「繁体字」は香港、マカオでも使用されている。一方、中国大陸と、マレーシア、シンガポールの中華系住民の間では、「繁体字」ではなく「簡体字」が使用されている。）

#### 【台湾語、客家語】

日常生活では、特に台湾南部や年配者との間で「台湾語」（福建語の南方方言）も話されている。また、苗栗・新竹・中壢といった客家（漢族の一支流）が多く住む地域では、「客家語」も話されている。「台湾語」や「客家語」のテレビ局も存在している。

#### 【原住民の言語】

台湾の各原住民の一部年配者の間では、原住民の言語が話されることがある。台湾では原住民の言語の保全・発展を目指して、2017年6月に「原住民族語言發展法」が公布された。これにより、各原住民の言語は国家言語と定められた。各原住民の言語（ローマ字表記）による公文書の作成や、言語継承者の育成などの取り組みが始まっている。

各原住民の言語によるテレビ局も存在している。

#### 【注】

台湾からの旅行者を想定した場合、ウェブサイト、印刷物、標識・案内板などは「繁体字」で表記する必要がある。

台湾と、中国大陸、香港、マカオで使用される中国語（書き言葉）とでは単語が異なることがあるため、中国語話者に翻訳を頼む際は、台湾出身者を起用することが望ましい。

通訳、中国語による音声案内などは、台湾の「国語」と中国大陸の「普通話」とでは発音や単語がやや異なるため、台湾出身者を起用することが望ましい。

台湾では、中国大陸の簡体字版の印刷物は手に取ってもらえない。印刷物を配布する際は、繁体字版を配布することが望まれる。

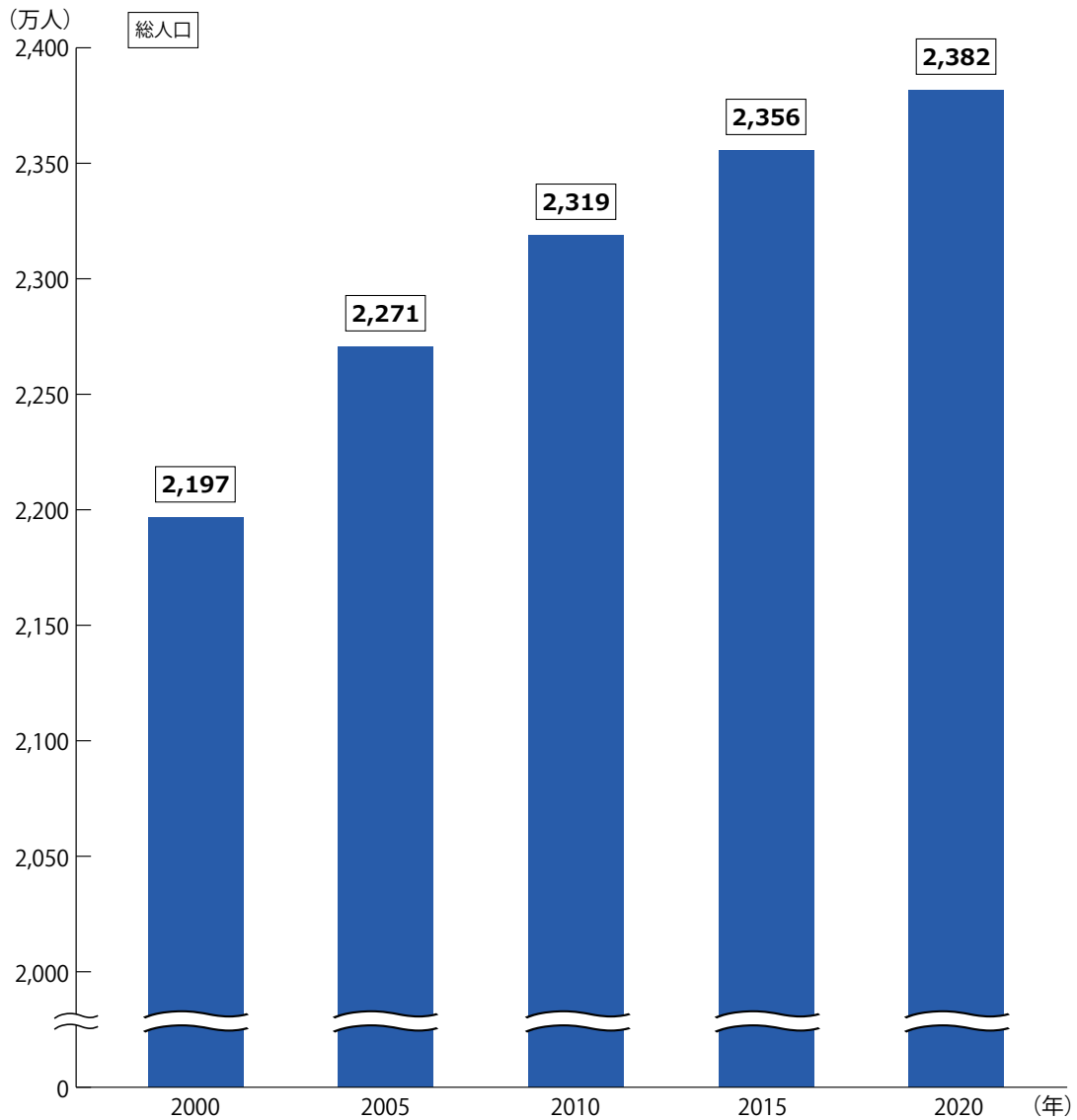
出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (4) 面積

3万6,014km<sup>2</sup>（九州本島の98%弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

#### (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）

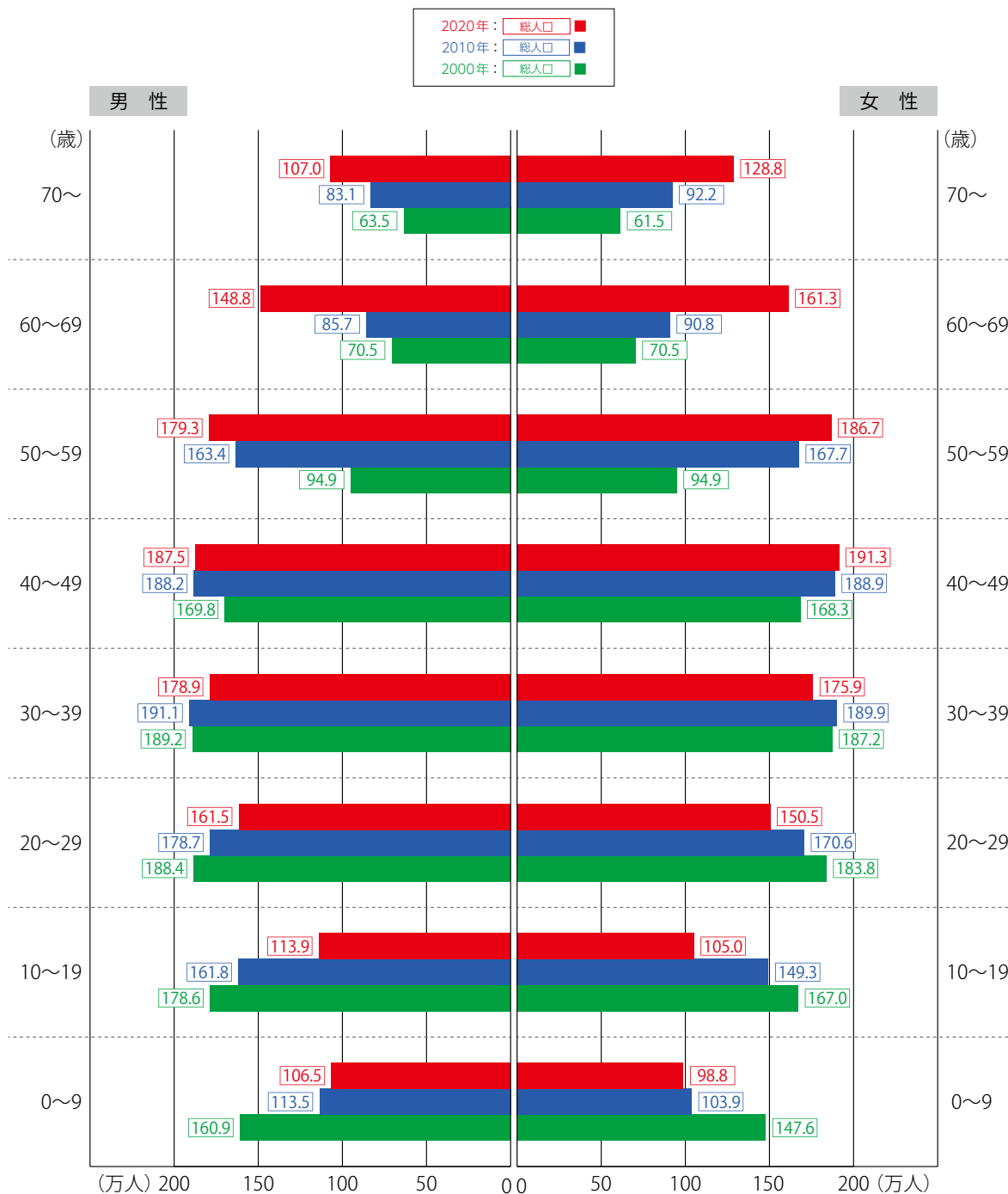


注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：国際連合は、「台湾の総人口に、外国人居住者や中国・香港・マカオ出身居住者が含まれているか否か」を公開していないため、その詳細は不明である。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



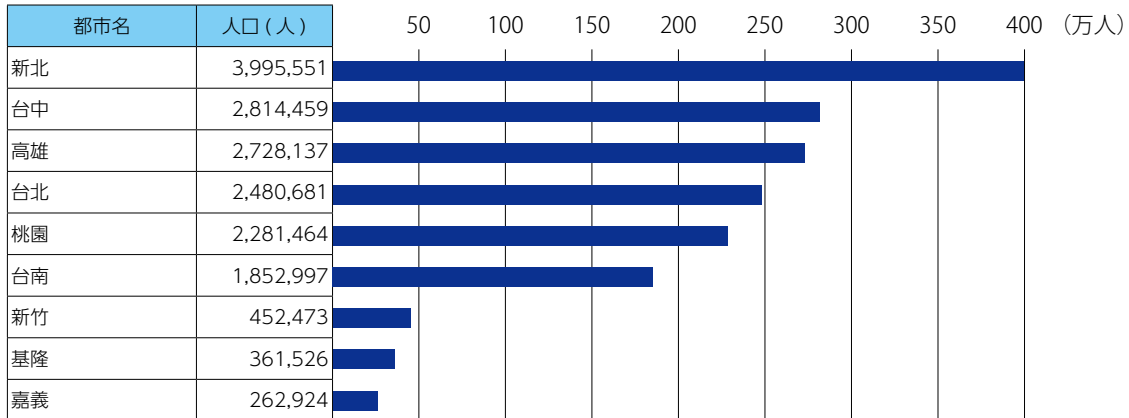
注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：国際連合は、「台湾の総人口に、外国人居住者や中国・香港・マカオ出身居住者が含まれているか否か」を公開していないため、その詳細は不明である。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

台湾

## (7) 都市別人口



注：中国人居住者、香港人居住者、マカオ人居住者、外国人居住者が上の数値に含まれている。  
出典：台湾内政部戸政司（2022年末）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	2023年1月2日は振替休日
※春節（旧正月）	1月20日（金）～ 1月29日（日）	2月8日（木）～ 2月14日（水）	旧暦の12月29日～1月3日 振替休日、土日を含めて2023年は10連休、 2024年は7連休 2023年1月20日と1月27日は振替休日 2023年1月7日と2月4日は振替出勤日 2024年2月13日と14日は振替休日 2024年2月17日は振替出勤日
和平記念日	2月28日（火）	2月28日（水）	2023年は2月27日を合わせて4連休 2023年2月18日は振替出勤日
児童節（こどもの日）	4月4日（火）	4月4日（木）	2024年4月5日は振替休日
清明節 （先祖の墓参りの日）	4月5日（水）	4月4日（木）	2023年は4月3日を合わせて5連休 2023年3月25日は振替出勤日 2024年は土日を含めて4連休
労働節（メーデー）	5月1日（月）	5月1日（水）	公的機関や学校を除く。
※端午節	6月22日（木）	6月10日（月）	旧暦の5月5日 2023年は6月23日を合わせて4連休 2023年6月17日は振替出勤日 2024年は土日を含めて3連休
※中秋節	9月29日（金）	9月17日（火）	旧暦の8月15日
国慶日（建国記念日）	10月10日（火）	10月10日（木）	双十節とも呼ばれている。 2023年は10月9日を合わせて4連休 2023年9月23日は振替出勤日

注：※印の祝日は年によって変動する。

出典：台湾行政院人事行政総処「行政機関辦公日曆」に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
国民小学	6歳～12歳 (6年間)	春節休暇	1月または2月の旧正月を含む約21日間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約60日間
国民中学	12歳～15歳 (3年間)	春節休暇	1月または2月の旧正月を含む約21日間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約60日間
高級中等学校	15歳～18歳 (3年間)	春節休暇	1月または2月の旧正月を含む約21日間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約60日間
大学	18歳～22歳 (4年間)	春節休暇	1月中旬～2月中旬の約30日間
		夏期休暇	6月下旬～9月上旬の約80日間

学校年度	8月～翌年7月
義務教育	国民小学（6年間） + 国民中学（3年間） = 9年間

出典：台湾教育部の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>週休二日制のみ規定されている（労働基準法第36条）。</li> <li>一般的に土曜日、日曜日が休日である。</li> </ul>
有給休暇日数	3日（勤続6か月以上1年未満の被雇用者） 7日（勤続1年以上2年未満の被雇用者） 10日（勤続2年以上3年未満の被雇用者） 14日（勤続3年以上5年未満の被雇用者） 15日（勤続5年以上10年未満の被雇用者） 以降勤続1年ごとに1日ずつ加算、最高30日	労働基準法第38条	傷害・病気休暇、慶弔休暇とは区別されている。
定年退職	65歳	労働基準法第54条	

出典：台湾労働部

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	2018年に徴兵制から志願制・徴兵制の併用へ移行が完了し、2023年8月時点も志願制と徴兵制の併用となっている。 但し、18歳から36歳までの男子に対して、4か月間の軍事訓練を義務付けている。2024年1月以降、この軍事訓練の期間が4か月間から1年間に延長されることになっている。
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国防衛省、台湾国防部

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	54.0
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	45.9
バックパッカーズ (背包客棧: Backpackers)	インターネット掲示板	旅行情報発信・検索	38.2
ピークーバン旅遊 (痞客邦旅遊: pixnet)	ウェブサイト	旅行情報発信	31.7
ライン (LINE)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	26.1
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	25.4
ピーピーティー (PPT)	インターネット掲示板	情報発信	23.6
ヤフー (Yahoo.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	22.2
モバイルゼロイチ (Mobile 01)	ウェブサイト	生活情報発信	19.3
トリップアドバイザー (Tripadvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	15.3
イーティートゥデイ (ETtoday / ETtoday Travel)	ウェブサイト	ニュース・生活情報発信	15.0
ディーカード (Dcard)	SNS	大学生向けの情報発信、友達 作りを目的としたマッチング 機能	13.4
聯合新聞網 (udn.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	12.3
スカイスキナー (Skyscanner Taiwan)	ウェブサイト	旅行予約	9.5
旧ツイッター (Twitter) (現エックス: X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	7.3
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	6.3

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

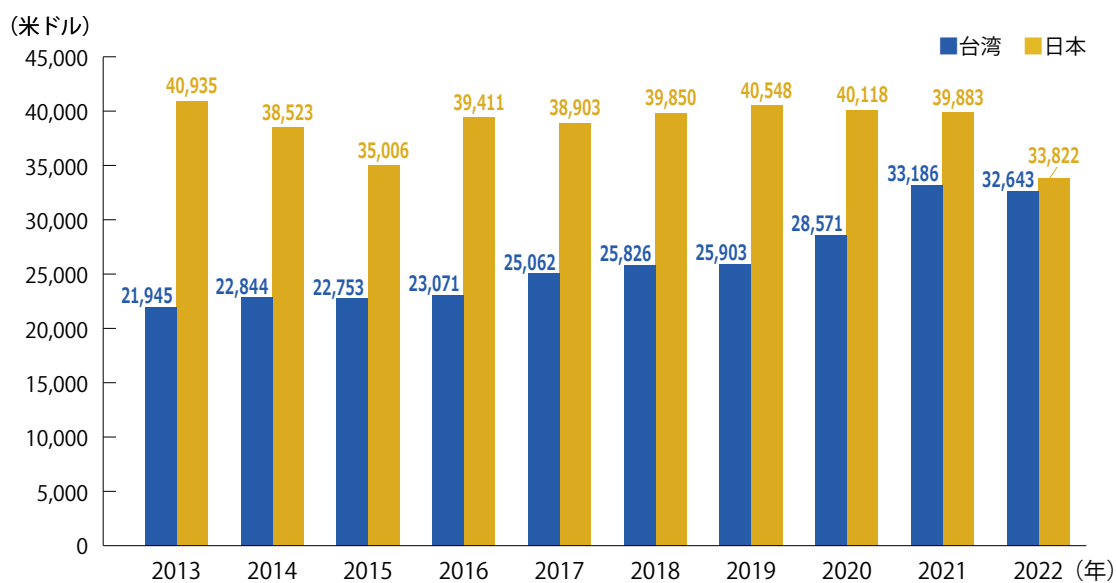
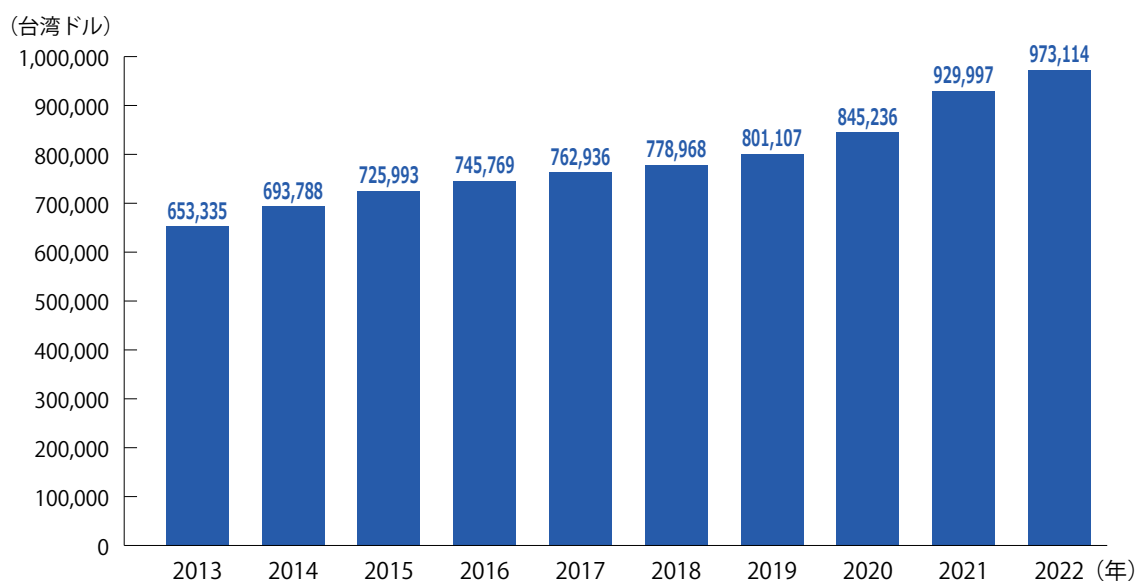
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

## (1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)

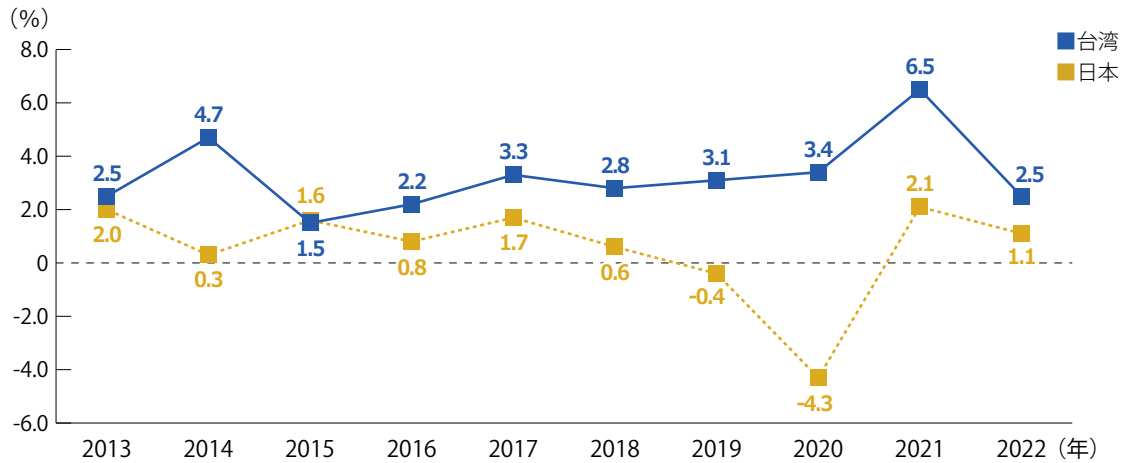


注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金 (IMF)

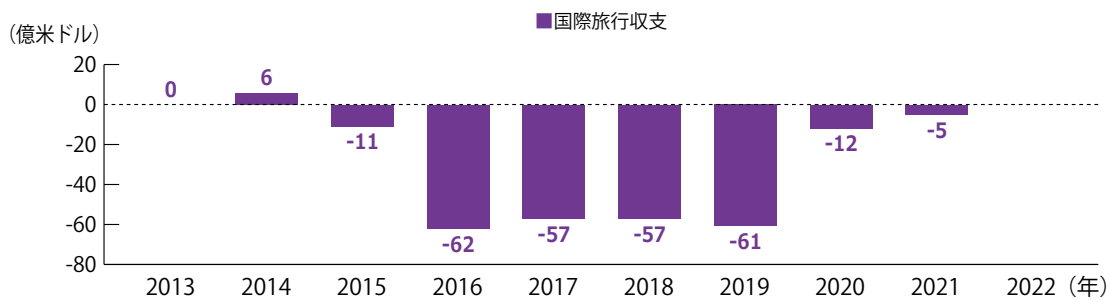
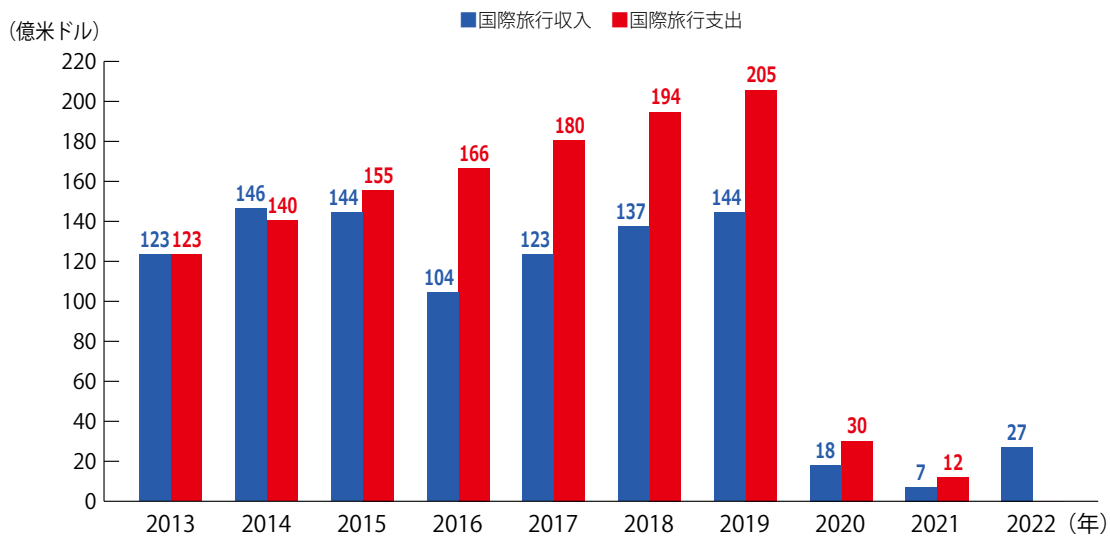


## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）

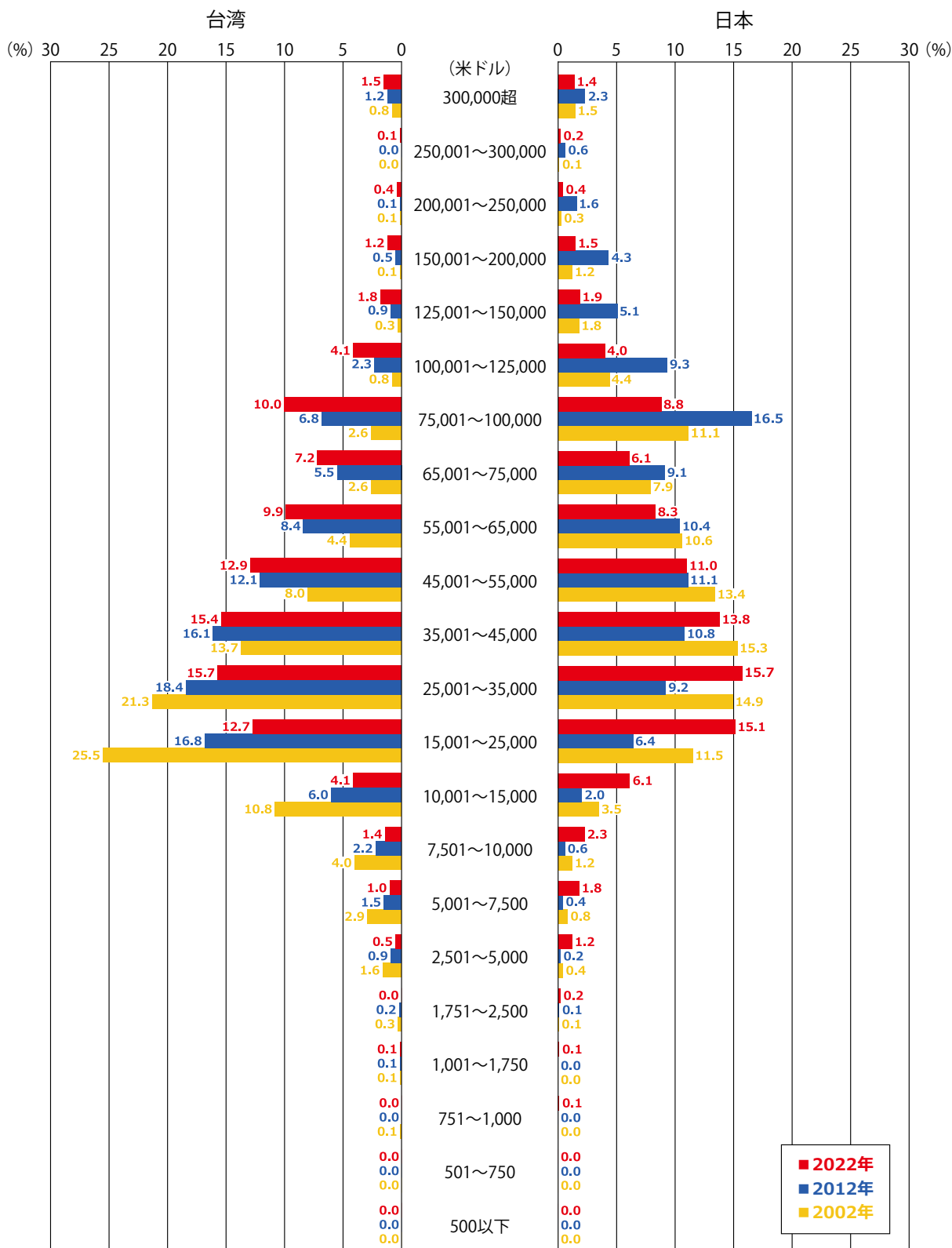


注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

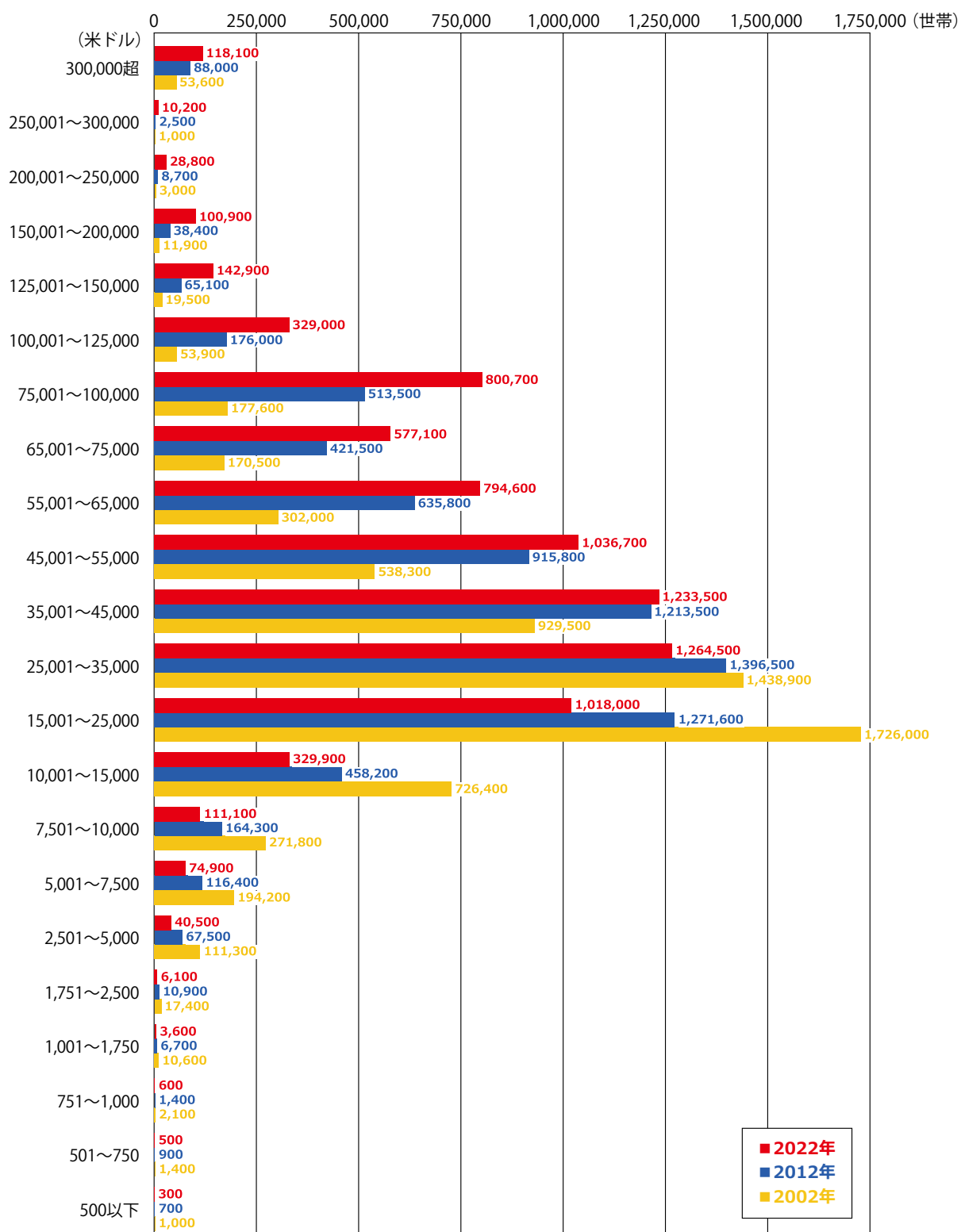
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

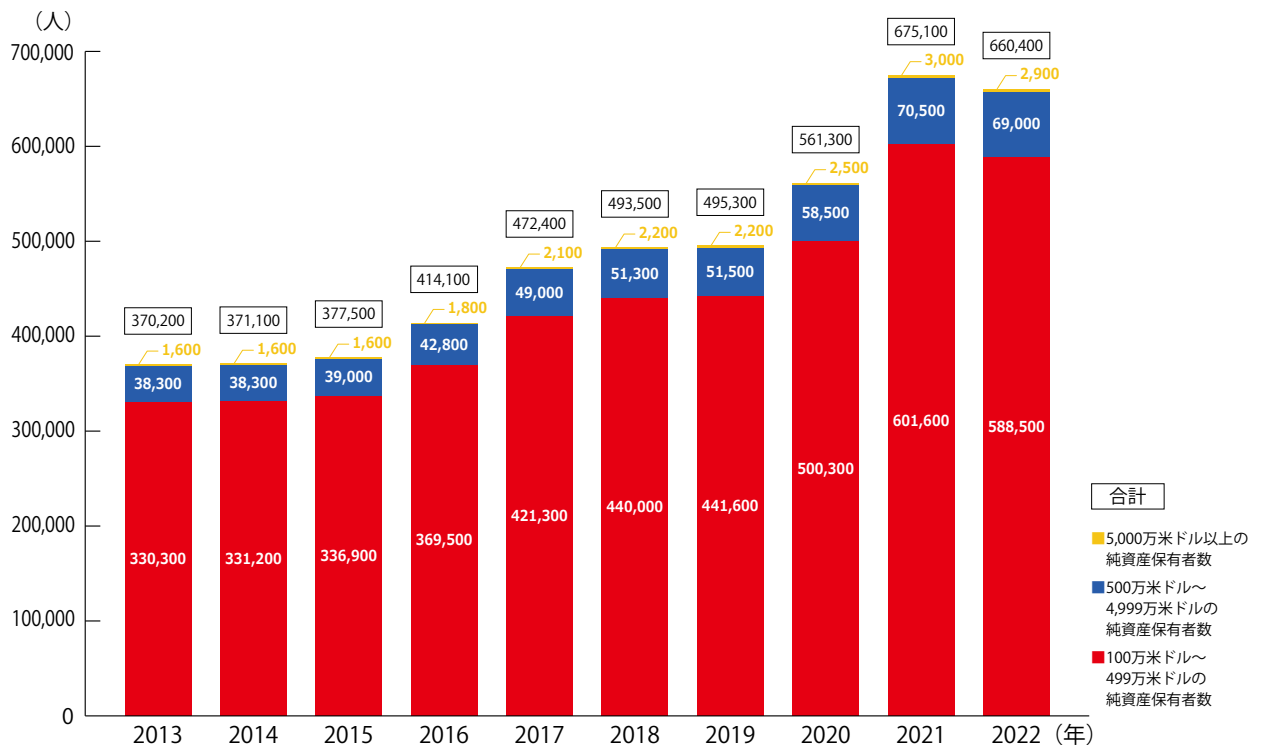
台湾

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



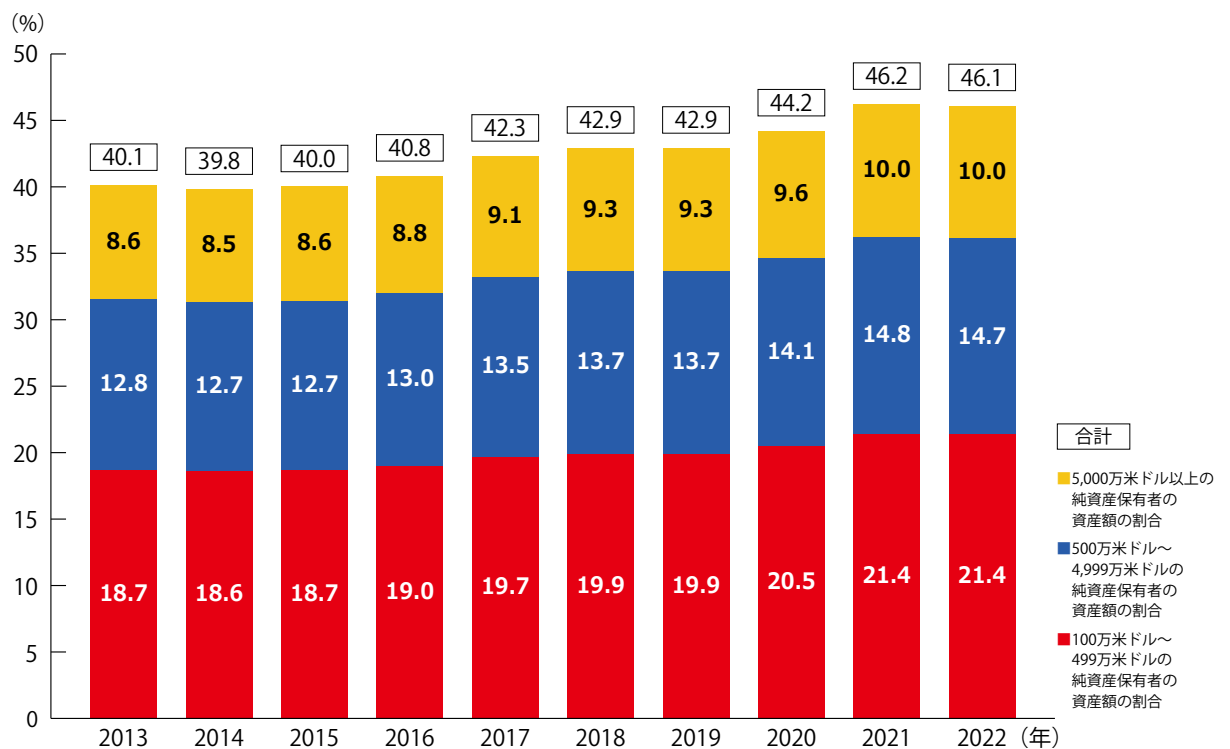
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

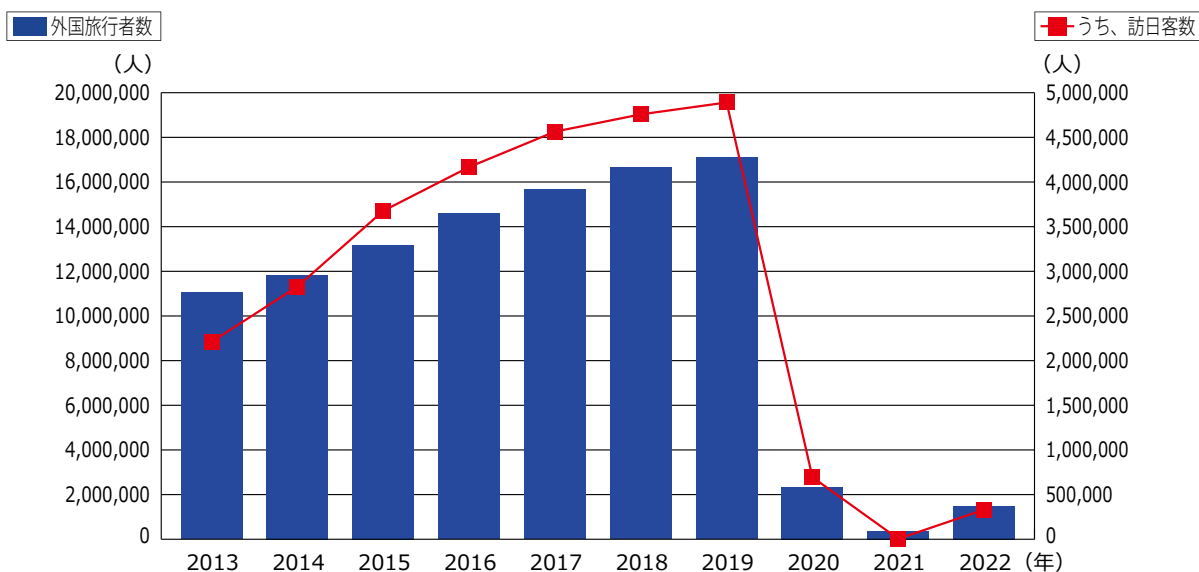
(7) 居住者全体の資産額に占める高純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) 台湾人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国人旅行者数(左目盛)	11,052,908	11,844,635	13,182,976	14,588,923	15,654,579	16,644,684	17,101,335	2,335,564	359,977	1,482,821
うち、訪日客数(右目盛)	2,210,821	2,829,821	3,677,075	4,167,512	4,564,053	4,757,258	4,890,602	694,476	5,016	331,097
訪日率(%)	20.0	23.9	27.9	28.6	29.2	28.6	28.6	29.7	1.4	22.3

注：台湾人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。

出典：台湾交通部観光署、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域への台湾人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の最大値
						2020年	2021年	
1位	中国	VFN	5,871,268	6,136,081	6,134,236			6,136,081
2位	日本	VFN	4,564,053	4,757,258	4,890,602	694,476	5,016	4,890,602
3位	韓国	VFN	925,616	1,115,333	1,260,493	166,716	4,130	1,260,493
4位	ベトナム	VFR	616,232	714,112	926,744	196,705	11,054	926,744
5位	タイ	TFN	573,077	687,584	790,039	119,408	1,675	790,039
6位	香港	TFR	856,788	806,523	597,115	30,469	2,442	856,788
7位	米国	TFR	474,699	478,001	499,520	91,007	50,470	499,520
8位	マカオ	THSR	493,409	473,343	455,195	45,760	35,784	493,409
9位	シンガポール	VFR	395,551	422,938	425,629	61,887	3,407	425,629
10位	マレーシア	TFN	332,927	383,922	382,916	60,090	563	383,922
11位	フィリピン	TFR	236,777	242,411	327,273	48,644	1,619	327,273
12位	ドイツ	TCER	236,931	222,965	240,692	28,348	6,304	240,692
13位	インドネシア	VFN	264,278	208,317	207,490	35,680	1,398	264,278
14位	蒙州	VFR	179,920	202,793	194,628	35,945	482	202,793
15位	チェコ	TCEN	164,249	181,967	191,336	25,981	1,697	191,336
16位	オーストリア	TCER	157,317	186,024	186,525	22,432	1,253	186,525
17位	スイス	THSR	141,959	148,465	171,509	9,393	1,415	171,509
18位	カンボジア	TFR	121,023	134,637	138,402	22,939	3,845	138,402
19位	英国	VFR	119,395	141,846	126,987		1,580	141,846
20位	カナダ	TFR	114,800	129,178	124,528	18,654	3,952	129,178
21位	トルコ	TFN	60,651	97,942	107,218	13,091	2,283	107,218
22位	スペイン	TFR	75,382	73,037	101,262	20,395	2,106	101,262
23位	オランダ	THSR	75,000	77,000	85,000	13,000	8,000	85,000
24位	ポルトガル	TCER			56,381	9,808	832	56,381
25位	ニュージーランド	VFR	35,712	44,659	53,453	13,260	242	53,453
26位	インド	VFN	47,043	49,457	48,195	8,969	891	49,457
27位	ミャンマー	TFN	36,499	35,685	39,374	7,306	186	39,374
28位	アラブ首長国連邦	VFN	31,311	34,265	33,049	7,135		34,265

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	グアム	TFR	32,505	27,882	28,226	4,601	2,267	32,505
30位	ノルウェー	TCER		30,542	26,962			30,542
31位	ベルギー	TCER	22,974	20,900	25,627	3,331	512	25,627
32位	アイスランド	TFN	21,465	28,473	24,932	4,135	573	28,473
33位	エジプト	VFN	14,952	18,866	19,777	5,681		19,777
34位	フィンランド	TCER	18,681	18,033	18,084	5,851	447	18,681
35位	イスラエル	TFR	9,648	12,522	15,953	3,434	155	15,953
36位	パラオ	TFN	9,834	11,386	15,478	2,563		15,478
37位	モルディブ	TFN	10,326	12,439	14,972	2,628	186	14,972
38位	ネパール	TFN	8,689	11,092	12,816			12,816
39位	ロシア	VFN	12,789	12,553				12,789
40位	ポーランド	TCER	6,751	9,611	11,725	1,404	756	11,725
41位	メキシコ	TFN	10,835	11,437	11,071	2,474	2,557	11,437
42位	モロッコ	TFN	4,307	7,503	9,627	1,940	28	9,627
43位	イタリア	TFN	19,448	11,950	8,732	3,129	4,050	19,448
44位	ペルー	TFR	7,100	8,385	8,477	1,830	143	8,477
45位	スリランカ	TFR	7,636	8,187	7,127	1,985	42	8,187
46位	ラオス	VFN	4,329	4,823	6,956	1,709		6,956
47位	南アフリカ共和国	TFR	6,161	5,556	6,924	1,210	760	6,924
48位	モンゴル	TFN	4,452	5,233	5,930	95	30	5,930
49位	ヨルダン	TFN	3,498	3,809	5,629	1,381	142	5,629
50位	ルーマニア	VFR	4,395	5,789	5,592	437	363	5,789
51位	ブルネイ	TFN	1,734	1,869	5,455	1,432	3	5,455
52位	ブルガリア	VFR	3,763	5,092	5,036	379	275	5,092
53位	ブラジル	TFR	5,135	6,096	4,721	1,067	121	6,096
54位	ラトビア	TCER	3,735	2,894	4,673	319	38	4,673
55位	チリ	TFN	1,753	4,092	4,440	886	31	4,440
56位	ナイジェリア	VFN	4,744	4,360	4,281	1,582	1,632	4,744
57位	レソト	VFR	3,720	1,142	3,856		2,524	3,856

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

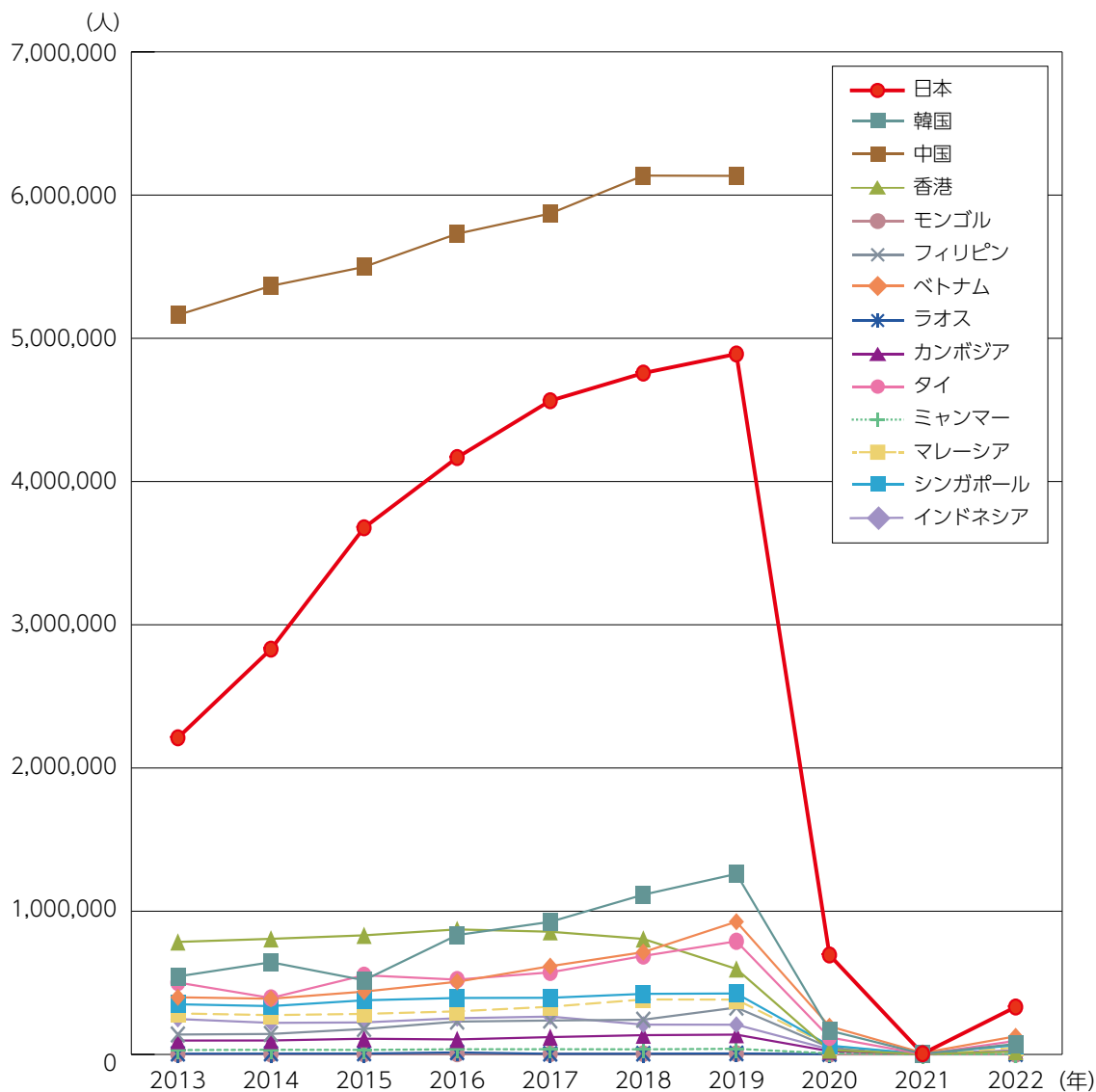
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域への台湾人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	5,162,509	5,365,900	5,498,600	5,729,955	5,871,268	6,136,081	6,134,236			
日本	VFN	2,210,821	2,829,821	3,677,075	4,167,512	4,564,053	4,757,258	4,890,602	694,476	5,016	331,097
韓国	VFN	544,662	643,683	518,190	833,465	925,616	1,115,333	1,260,493	166,716	4,130	72,925
ベトナム	VFR	398,990	388,998	438,704	507,301	616,232	714,112	926,744	196,705	11,054	126,211
タイ	TFN	502,176	394,149	552,699	522,273	573,077	687,584	790,039	119,408	1,675	94,834
香港	TFR	785,678	807,168	831,644	872,999	856,788	806,523	597,115	30,469	2,442	20,133
シンガポール	VFR	350,308	337,431	378,026	394,215	395,551	422,938	425,629	61,887	3,407	65,053
マレーシア	TFN	286,266	274,665	283,224	300,861	332,927	383,922	382,916	60,090	563	48,132
フィリピン	TFR	139,099	142,973	177,670	229,303	236,777	242,411	327,273	48,644	1,619	
インドネシア	VFN	247,146	220,328	223,478	252,849	264,278	208,317	207,490	35,680	1,398	25,750
カンボジア	TFR	96,992	97,528	109,727	104,765	121,023	134,637	138,402	22,939	3,845	26,672
ミャンマー	TFN	30,699	32,664	31,735	36,118	36,499	35,685	39,374	7,306	186	3,427
ラオス	VFN	4,771	5,478	6,131	14,005	4,329	4,823	6,956	1,709		1,514
モンゴル	TFN	2,005	2,404	2,810	3,732	4,452	5,233	5,930	95	30	317

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

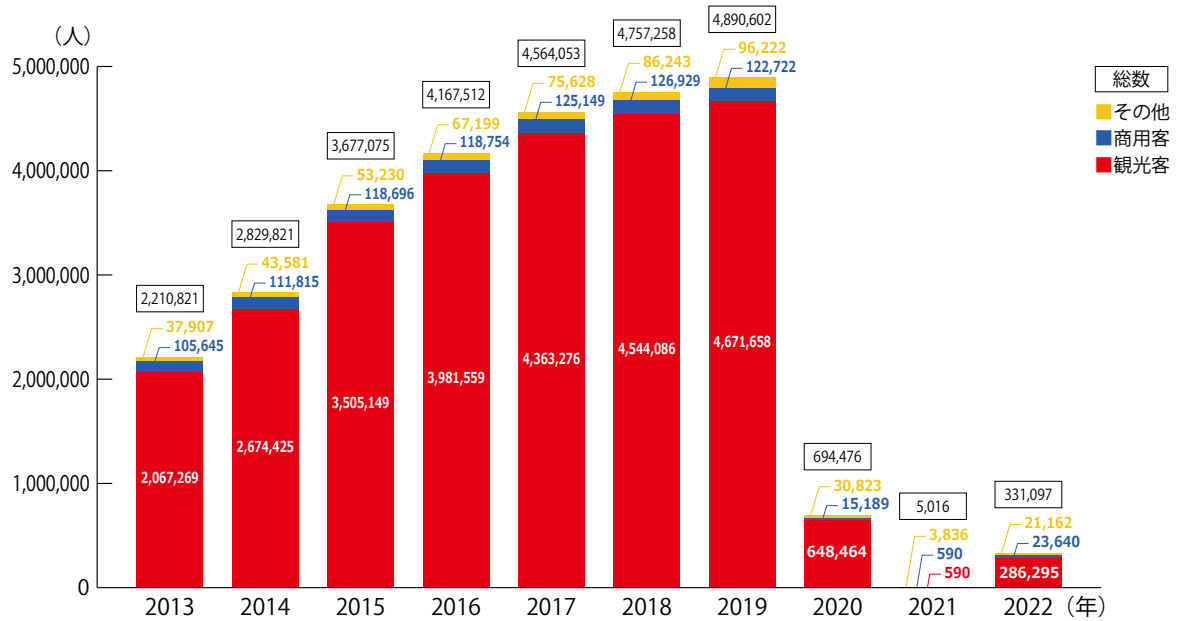
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

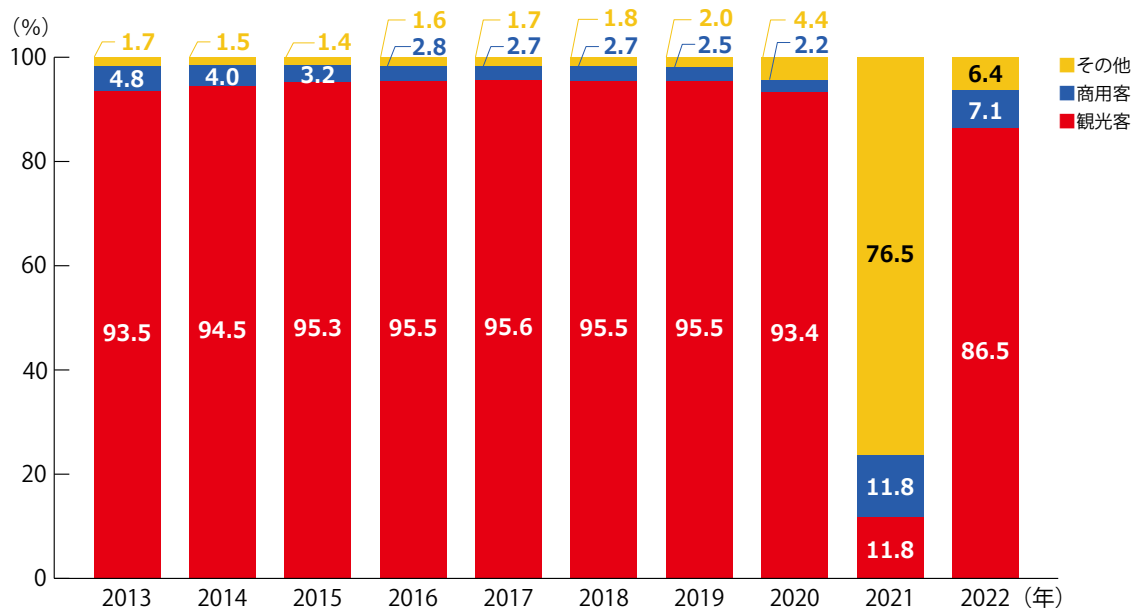
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日台湾人の推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

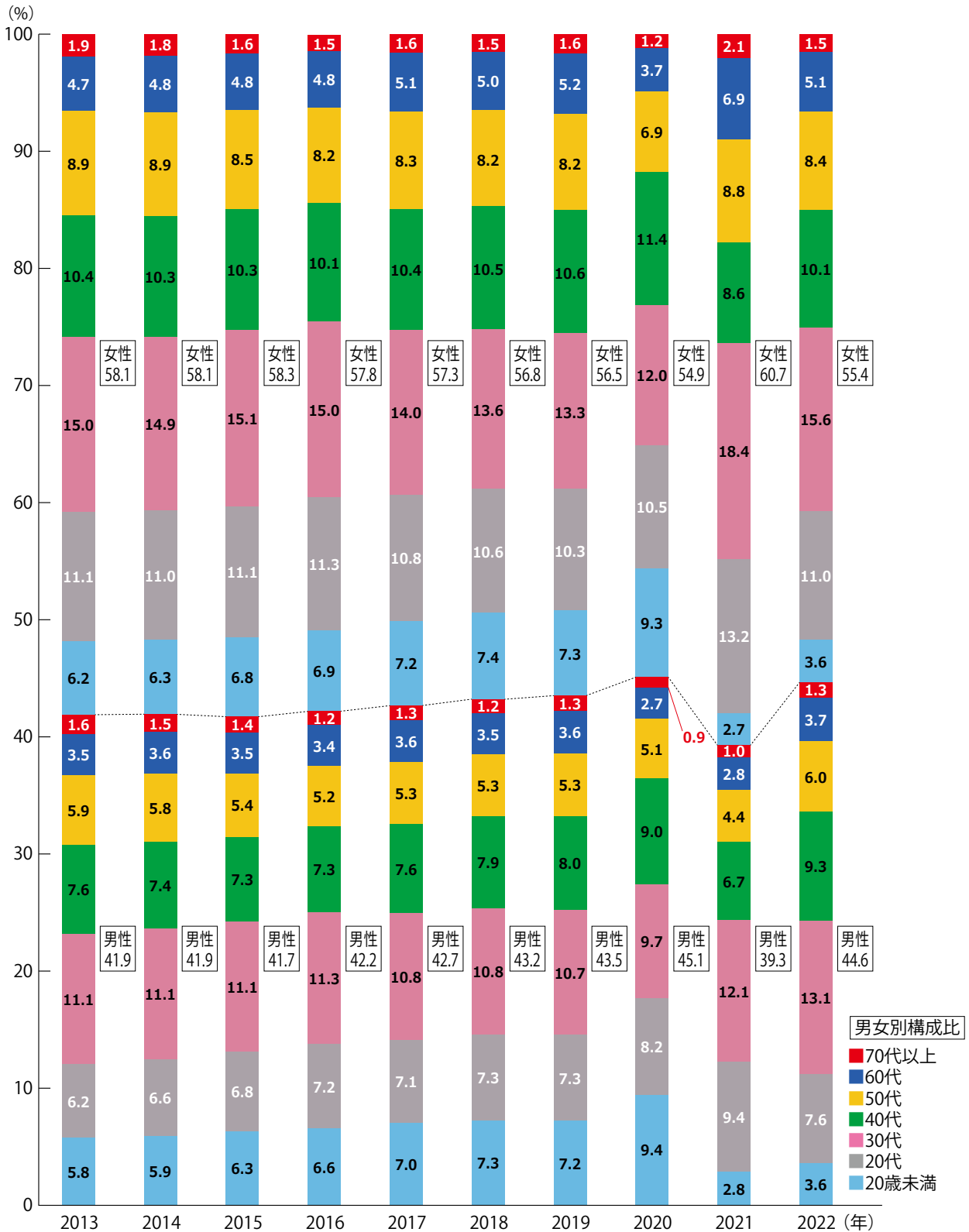
(2) 訪日台湾人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)



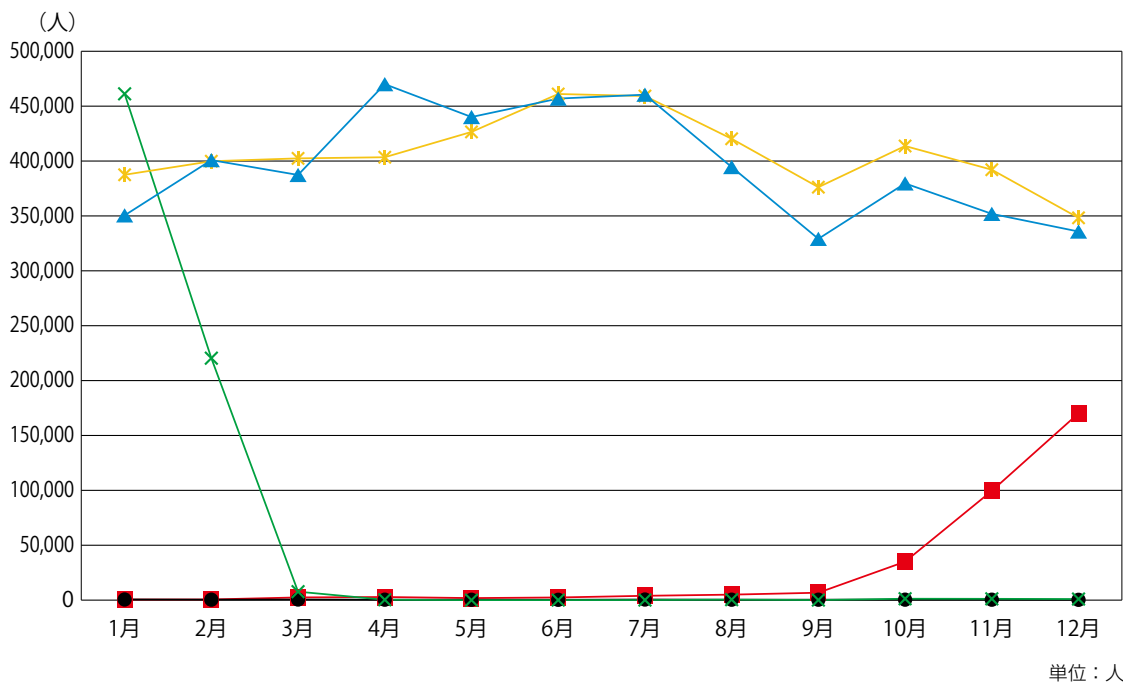
### (3) 訪日台湾人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

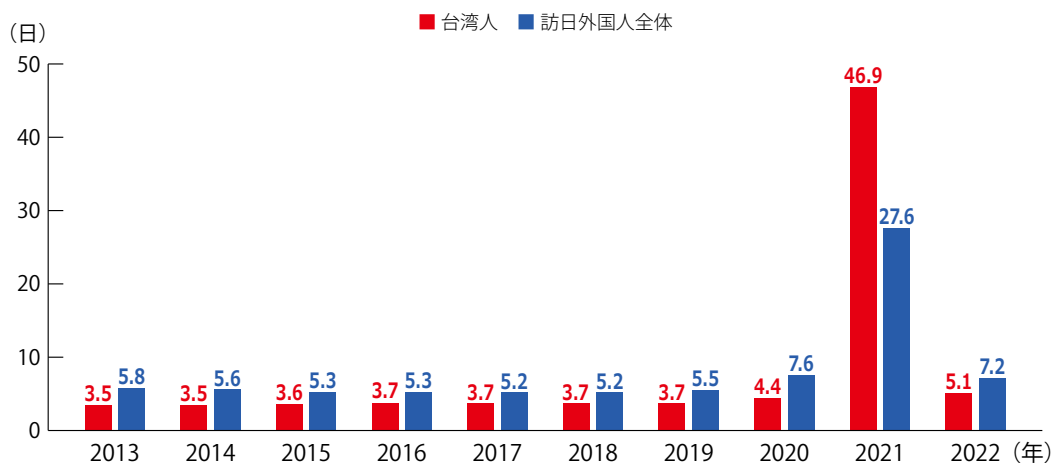
(4) 月別訪日台湾人の推移 (2018年～2022年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	492	601	2,461	2,838	1,861	2,416	3,945	5,007	6,756	35,028	99,533	170,159
● 2021年	592	423	552	405	327	300	549	387	390	425	390	276
× 2020年	461,239	220,420	7,700	337	8	45	102	448	767	1,258	1,177	975
✳ 2019年	387,498	399,829	402,433	403,467	426,537	461,085	459,216	420,279	376,186	413,701	392,102	348,269
▲ 2018年	350,522	400,858	387,338	470,042	440,109	456,895	460,473	394,551	329,142	379,633	351,905	335,790

出典：日本政府観光局 (JNTO)

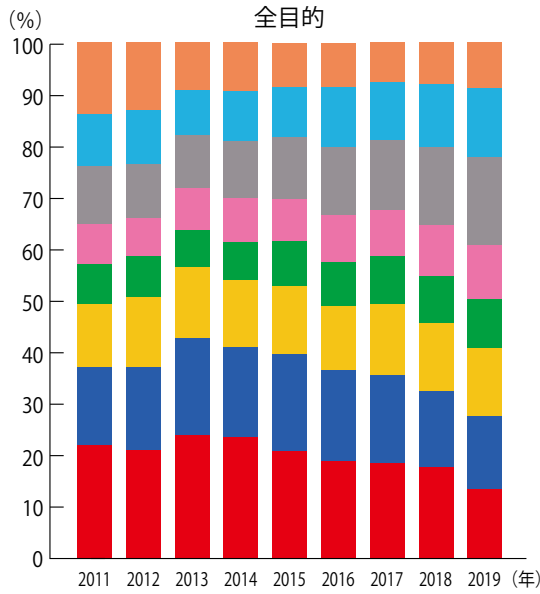
(5) 訪日台湾人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



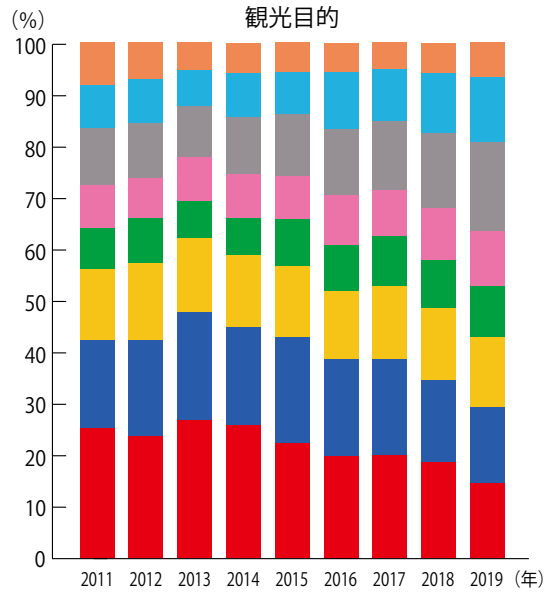
注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (6) 訪日台湾人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	14.1	13.2	9.4	9.5	8.6	8.6	7.8	8.0	8.9
10～19回目	10.1	10.4	8.7	9.6	9.7	11.6	11.2	12.4	13.3
6～9回目	11.2	10.5	10.2	11.2	11.9	13.2	13.5	15.2	17.2
5回目	7.8	7.5	8.3	8.5	8.1	9.1	9.0	9.7	10.4
4回目	7.6	7.8	7.2	7.4	8.9	8.5	9.4	9.3	9.6
3回目	12.4	13.6	13.6	13.0	13.0	12.6	13.6	13.0	13.2
2回目	15.0	16.1	19.0	17.5	18.9	17.5	17.2	14.8	14.2
1回目	21.9	20.9	23.7	23.3	20.7	18.8	18.3	17.6	13.2

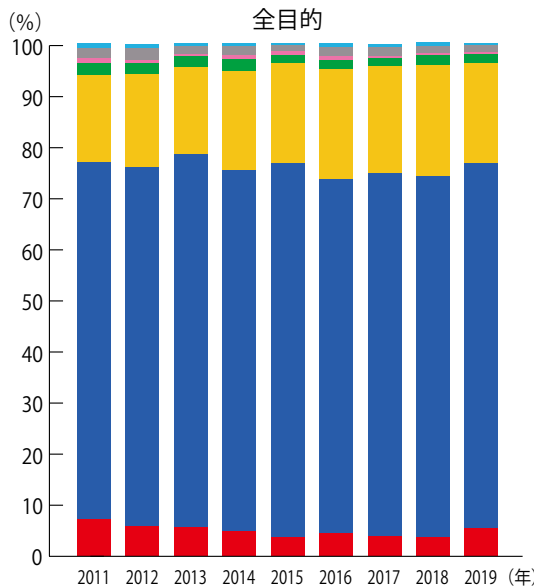


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	8.2	7.1	5.4	5.9	5.7	5.7	5.2	5.9	6.9
10～19回目	8.5	8.6	6.9	8.6	8.2	11.0	10.0	11.5	12.5
6～9回目	10.9	10.6	10.0	10.9	12.1	12.9	13.5	14.7	17.4
5回目	8.5	7.8	8.5	8.5	8.3	9.6	8.9	9.9	10.5
4回目	7.9	8.6	7.1	7.3	9.1	9.0	9.7	9.5	10.0
3回目	13.7	15.1	14.3	13.8	13.8	13.1	14.1	13.9	13.5
2回目	17.1	18.6	21.1	19.2	20.6	18.8	18.7	16.0	14.9
1回目	25.2	23.6	26.7	25.7	22.2	19.8	19.9	18.5	14.4

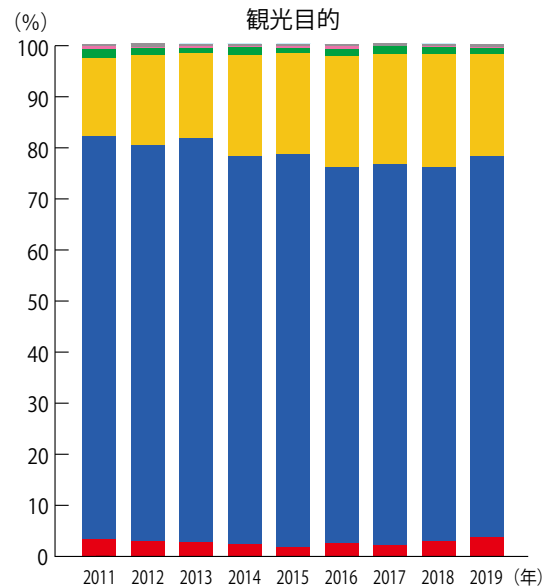
注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日台湾人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	1.0	0.9	0.5	0.5	0.4	0.8	0.6	0.6	0.4
28～90日間	1.9	2.4	1.5	1.8	1.3	1.6	1.8	1.5	1.2
21～27日間	1.0	0.5	0.5	0.7	0.6	0.9	0.3	0.4	0.5
14～20日間	2.4	2.1	2.1	2.3	1.6	1.7	1.7	1.8	1.7
7～13日間	16.9	18.1	17.0	19.5	19.5	21.4	20.9	21.8	19.6
4～6日間	69.8	70.3	72.9	70.5	73.0	69.2	70.7	70.4	71.3
3日間以内	7.1	5.7	5.5	4.7	3.7	4.4	3.9	3.7	5.3

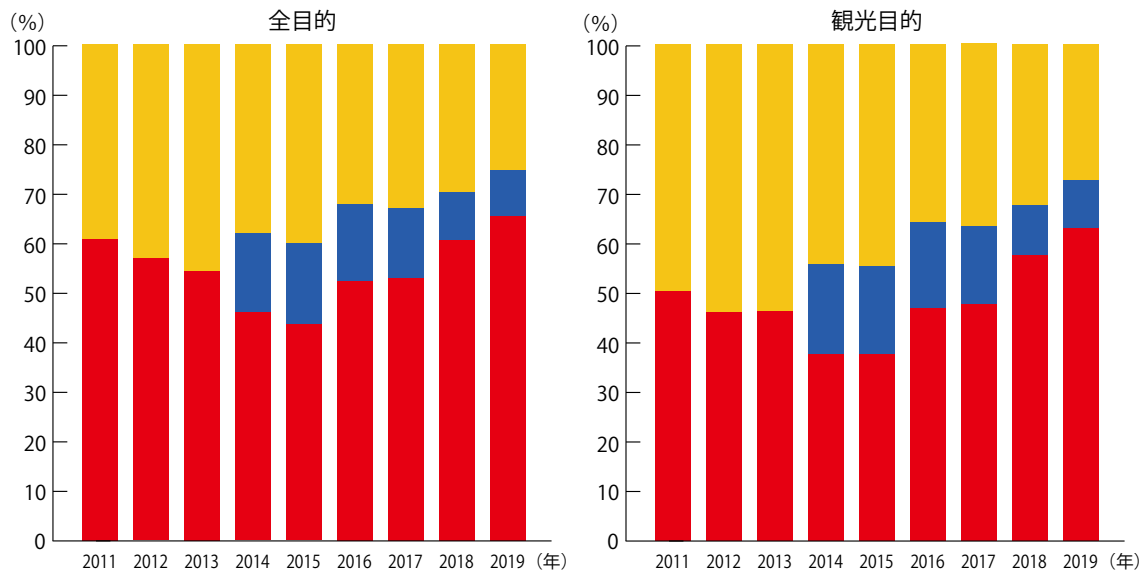


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
28～90日間	0.5	0.6	0.5	0.5	0.5	0.4	0.6	0.5	0.4
21～27日間	0.4	0.3	0.3	0.1	0.3	0.5	0.1	0.2	0.3
14～20日間	1.7	1.4	1.1	1.7	1.1	1.5	1.4	1.4	1.2
7～13日間	15.4	17.4	16.5	19.6	19.7	21.6	21.6	22.0	19.8
4～6日間	78.6	77.5	79.0	75.8	76.7	73.4	74.3	73.1	74.5
3日間以内	3.3	2.8	2.6	2.3	1.7	2.5	2.1	2.8	3.6

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日台湾人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	39.3	43.2	45.7	38.0	40.0	32.2	33.0	29.9	25.4
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	16.1	16.5	15.5	14.2	9.6	9.3
■ 個別手配	60.7	56.8	54.3	45.9	43.5	52.3	52.8	60.5	65.3

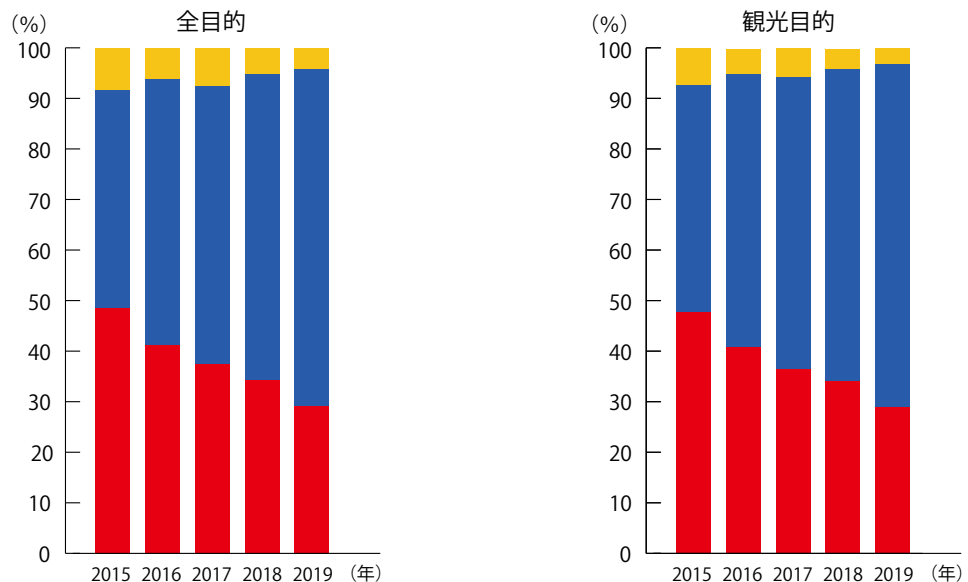
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	49.7	54.0	53.8	44.4	44.7	36.0	36.8	32.5	27.5
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	18.0	17.8	17.2	15.6	10.0	9.6
■ 個別手配	50.3	46.0	46.2	37.6	37.5	46.8	47.7	57.5	62.9

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日台湾人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	8.3	6.3	7.6	5.1	4.1
■ ウェブサイトから申し込んだ	43.1	52.5	55.1	60.6	66.7
■ 店頭で申し込んだ	48.6	41.3	37.4	34.3	29.2

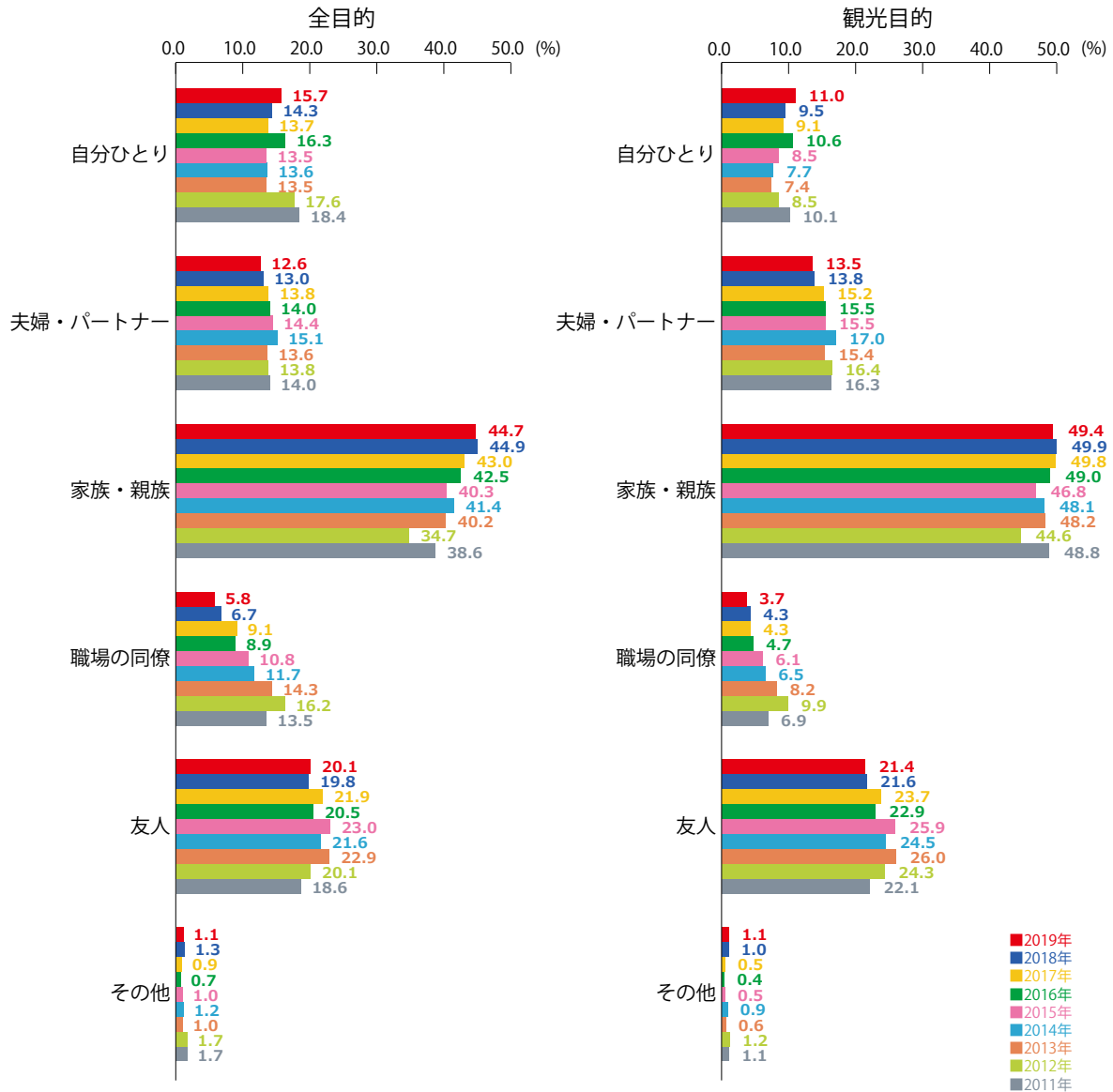
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	7.3	5.0	5.7	3.9	3.3
■ ウェブサイトから申し込んだ	44.9	54.1	57.9	61.9	67.8
■ 店頭で申し込んだ	47.8	40.8	36.4	34.1	29.0

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日台湾人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日台湾人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	59.5 63.2 64.0 69.7 68.3	96.7 94.9 93.0 95.4 94.8	57.1 56.9 52.3 58.3 58.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	16.8 18.6 14.8 16.5 15.4	31.2 35.8 32.5 31.3 30.9	18.1 17.3 16.0 17.9 17.8
旅館に宿泊	19.5 21.6 24.0 28.6 25.5	31.6 37.4 38.5 43.3 44.0	26.6 24.6 28.4 31.2 29.3
温泉入浴	25.7 27.0 26.1 30.5 29.4	34.4 36.9 34.7 37.9 39.2	49.8 47.7 33.5 39.1 40.8
自然・景勝地観光	48.6 51.5 50.9 55.6 50.6	75.2 77.5 72.1 74.7 72.8	50.1 48.2 43.8 48.8 46.4
繁華街の街歩き	41.4 43.4 44.2 45.4 44.8	80.0 80.3 76.9 75.9 74.8	31.0 29.1 31.6 32.1 32.9
ショッピング	49.6 56.0 57.7 59.5 63.0	88.7 88.7 88.6 88.6 90.4	47.6 46.9 44.4 45.7 51.4
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	19.5 21.3 9.6 13.0 10.7	32.4 34.2 15.6 19.2 18.3	15.0 12.5 13.9 17.6 16.5
テーマパーク	16.7 18.4 17.8 19.8 22.6	20.6 22.0 21.8 23.4 28.1	23.3 23.0 23.3 24.2 28.9
スキー・スノーボード	4.7 5.4 5.7 6.0 5.2	2.9 4.1 3.9 3.5 3.5	21.9 22.8 21.0 22.8 23.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.4 2.3 2.4 2.2 2.3	1.7 1.8 2.3 1.5 2.1	2.1 2.6 7.3 7.5 7.3
舞台・音楽鑑賞	2.0 3.3 3.8 4.0 2.9	2.1 2.5 3.2 4.1 3.7	5.5 5.2 8.6 10.5 10.5
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.0 2.3 2.1 2.9 2.5	1.7 0.9 1.7 1.5 1.6	7.0 6.2 8.4 10.0 9.9
自然体験ツアー・農漁村体験	6.3 6.3 8.5 8.8 6.0	7.6 6.7 9.4 9.1 7.9	16.3 15.3 16.7 18.4 16.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	15.5 16.6 14.5 16.5 12.2	17.2 17.6 15.2 16.2 14.2	30.9 29.4 31.7 36.1 34.5
映画・アニメ縁の地を訪問	2.6 4.2 3.1 4.7 3.8	2.3 3.6 3.3 4.1 4.0	6.2 6.7 8.9 10.6 9.7
日本の歴史・伝統文化体験	16.2 18.4 13.8 17.4 14.2	23.9 24.3 23.0 25.7 22.3	23.2 23.4 23.1 26.5 24.9
日本の日常生活体験	13.8 16.6 13.8 17.8 15.0	20.2 22.1 20.3 23.6 21.3	24.7 26.6 20.9 24.7 22.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	8.7 9.7 9.0 11.9 9.7	13.1 12.9 14.2 15.9 15.0	14.7 14.2 13.7 16.0 15.1
治療・健診	0.8 0.7 0.8 1.2 1.1	0.7 0.3 0.7 1.0 1.1	0.6 0.8 3.9 4.7 4.2
上記には当てはまるものがない	6.9 4.8 6.1 4.8 5.2	0.2 0.2 0.8 0.5 0.4	0.9 0.7 2.7 1.8 1.7

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

台湾

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	61.4 63.9 66.3 71.8 69.0	96.7 94.9 93.4 95.6 95.2	57.8 57.0 52.4 58.5 58.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	17.3 18.1 14.5 16.9 14.8	31.2 34.7 30.9 30.3 29.5	17.7 16.6 15.6 18.0 17.5
旅館に宿泊	21.2 21.6 28.1 31.4 27.5	33.9 38.8 40.9 47.0 47.4	26.9 24.8 28.1 33.3 30.4
温泉入浴	27.6 27.9 28.1 33.4 31.7	36.9 38.3 37.8 41.3 42.6	50.5 48.8 34.5 40.5 41.3
自然・景勝地観光	51.7 53.5 55.4 60.4 54.8	79.2 81.2 79.3 80.8 78.8	50.6 48.0 44.4 49.9 47.6
繁華街の街歩き	43.4 44.9 48.0 49.0 47.6	82.0 82.6 80.3 78.4 78.2	32.2 29.3 33.1 33.6 33.9
ショッピング	51.4 57.4 60.9 61.9 64.6	89.8 89.9 90.4 89.6 91.4	49.1 47.9 45.6 46.4 51.3
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	20.6 22.1 10.6 13.9 11.7	34.2 36.0 16.8 20.5 19.5	15.2 12.5 14.4 18.1 17.5
テーマパーク	17.8 19.6 20.1 22.4 25.5	22.2 23.2 24.6 26.3 31.4	23.9 22.9 24.5 25.4 30.5
スキー・スノーボード	4.6 5.5 6.1 6.6 5.5	3.0 4.3 4.2 3.7 3.8	22.5 23.5 21.9 23.9 24.7
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.5 2.1 2.2 2.3 2.4	1.7 1.7 2.2 1.4 1.9	1.8 2.5 7.6 7.9 7.3
舞台・音楽鑑賞	1.7 3.2 2.4 4.2 3.0	1.8 2.5 3.3 4.5 3.8	5.2 5.2 8.8 11.2 10.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.1 1.9 1.9 2.7 2.5	1.6 0.6 1.3 1.3 1.3	6.4 5.6 8.4 10.4 10.0
自然体験ツアー・農漁村体験	6.7 5.7 9.4 9.5 6.4	8.1 6.6 10.4 9.9 8.4	16.5 14.4 17.6 19.2 17.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	16.1 16.6 14.4 18.0 13.1	17.6 17.7 16.0 17.0 15.3	31.7 29.8 32.7 37.0 35.8
映画・アニメ縁の地を訪問	2.6 3.8 3.2 5.0 3.9	2.1 3.2 3.3 4.2 4.1	6.3 6.5 9.4 10.9 10.1
日本の歴史・伝統文化体験	17.0 18.9 14.4 18.0 14.5	24.8 25.2 24.6 26.8 23.4	23.6 23.0 23.6 26.9 25.0
日本の日常生活体験	13.5 15.9 12.6 17.2 15.1	19.5 21.1 19.2 22.5 21.3	25.1 26.5 19.8 24.4 23.1
日本のポップカルチャーを楽しむ	8.9 9.4 9.2 12.6 10.2	13.2 12.5 14.9 16.6 15.8	15.4 13.8 14.0 16.7 15.7
治療・健診	0.3 0.6 0.7 1.0 1.0	0.1 0.2 0.4 0.6 0.8	0.4 0.7 4.2 4.7 4.5
上記には当てはまるものがない	4.1 2.9 2.3 1.7 2.7	0.1 0.0 0.2 0.2 0.0	0.7 0.7 1.6 0.7 0.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(12) 台湾人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	16.1, 18.8, 23.8, 30.7, 27.9	17.2, 19.8, 25.9, 33.0, 30.0
旅行会社ホームページ	18.5, 19.7, 23.1, 23.8, 25.9	19.7, 21.5, 25.6, 25.9, 28.5
宿泊施設ホームページ	11.0, 13.5, 15.6, 18.1, 16.9	11.6, 14.4, 16.9, 18.8, 17.9
航空会社ホームページ	8.7, 11.1, 12.6, 14.4, 12.4	9.0, 11.0, 13.3, 15.1, 12.8
地方観光協会ホームページ	9.5, 11.4, 8.9, 10.8, 10.4	9.8, 11.7, 9.6, 12.0, 11.0
宿泊予約サイト	9.6, 10.6, 13.7, 14.8, 11.3	10.2, 10.8, 14.7, 15.4, 11.4
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	10.3, 10.8, 10.5, 10.8, 8.8	10.8, 10.8, 11.8, 11.7, 9.5
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	20.7, 16.1, 17.7, 11.0, 10.2	21.9, 16.6, 19.2, 12.0, 10.3
個人のブログ	34.0, 37.4, 36.8, 38.0, 37.7	35.9, 39.5, 40.2, 41.9, 40.8
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	14.1, 9.8, 5.1, 9.3, 3.7	14.8, 10.2, 5.3, 10.0, 4.0
その他インターネット	8.2, 5.2, 4.3, 3.3, 3.1	8.4, 5.4, 4.4, 3.0, 3.0
日本政府観光局の案内所	3.1, 3.4, 5.3, 8.3, 7.5	3.4, 3.6, 5.9, 8.9, 8.1
旅行会社パンフレット	10.2, 8.5, 13.0, 15.0, 18.5	10.8, 9.3, 14.5, 16.9, 20.7
旅行ガイドブック	12.2, 11.4, 9.2, 10.5, 11.8	13.1, 11.9, 9.9, 11.5, 13.0
自国の親族・知人	18.5, 15.8, 14.4, 15.9, 15.1	19.6, 16.8, 15.2, 16.9, 16.0
日本在住の親族・知人	9.1, 8.3, 8.8, 10.2, 10.7	6.9, 6.3, 6.4, 7.5, 8.1
旅行の展示会や見本市	2.0, 2.2, 3.0, 2.8, 2.8	1.8, 2.0, 3.0, 2.7, 2.9
テレビ番組	14.2, 14.3, 17.2, 17.0, 17.0	14.8, 15.0, 18.2, 17.8, 18.2
新聞	2.5, 2.2, 4.6, 3.0, 3.4	2.7, 2.3, 5.3, 3.4, 3.3
旅行専門誌	13.0, 13.5, 18.7, 21.2, 20.7	14.0, 14.5, 20.2, 23.1, 22.3
その他雑誌	0.5, 0.6, 1.7, 1.2, 1.4	0.5, 0.6, 1.9, 1.3, 1.5
その他	1.8, 1.7, 2.9, 3.7, 3.5	0.7, 0.7, 1.5, 1.5, 2.5
特になし	7.8, 10.3, 9.4, 8.9, 9.1	6.4, 8.7, 6.4, 6.6, 6.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



### (13) 台湾人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	43.4 40.7	45.6 42.4
交通手段	60.2 57.7	61.1 58.0
飲食店	36.3 30.2	37.3 30.2
観光施設	41.2 43.6	43.5 45.6
イベント	10.4 9.4	10.5 9.4
土産物	25.2 22.1	25.9 23.0
買物場所	25.5 23.9	26.9 25.0
無料Wi-Fi	21.2 26.1	20.8 25.8
祈祷室	0.1 0.2	0.1 0.2
ATM	2.7 4.5	2.5 3.6
宅配便	2.2 2.8	2.1 2.6
日本文化体験プログラム	8.7 8.5	8.5 8.3
自然体験ツアー・農山漁村体験	4.6 6.4	4.8 6.3
通訳案内士・観光ガイド	5.6 7.0	5.8 7.4
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	3.4 4.2	3.7 4.2
クレジットカード利用可能店舗	6.7 8.3	6.9 8.0
その他	0.7 0.1	0.8 0.1
特になし	11.0 10.2	10.2 9.6

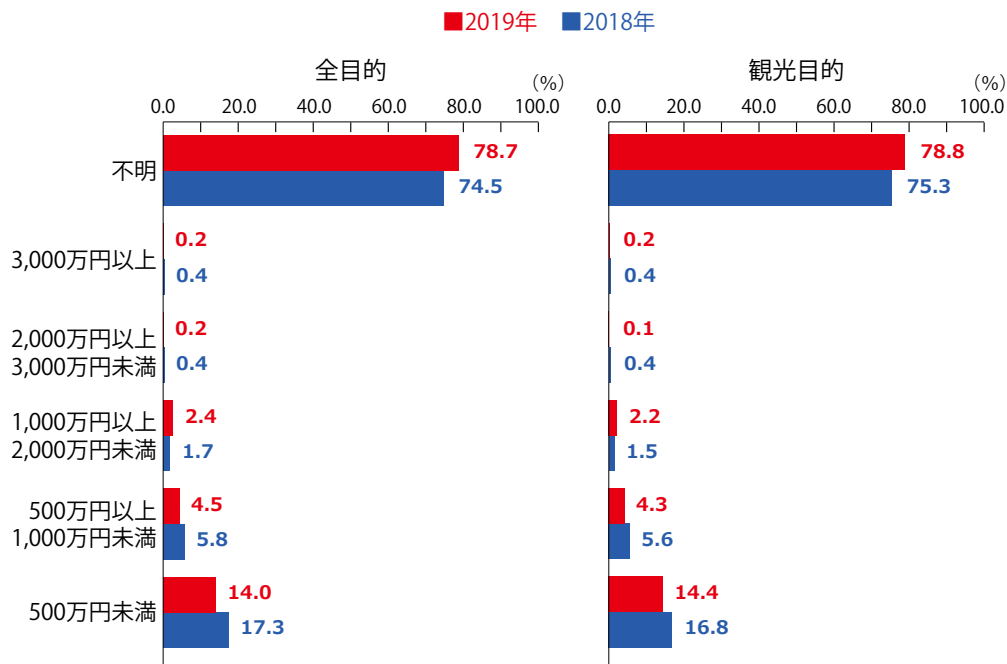
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

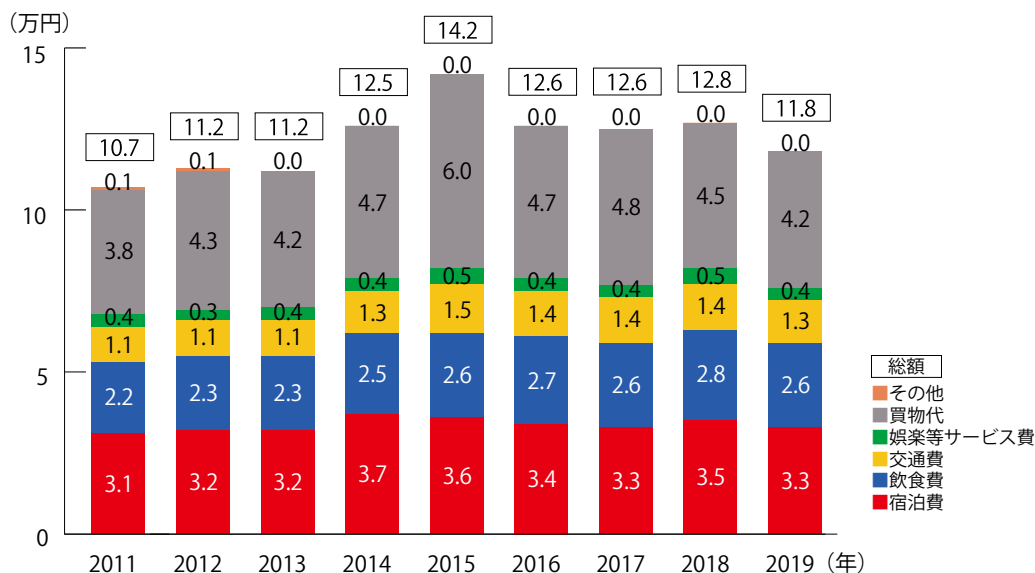
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日台湾人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日台湾人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

台湾

(16) 属性別訪日台湾人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	2,832	118,288	2,497	114,008	
滞在日数	3日間以内	149	66,954	86	70,819
	4～6日間	2,017	108,295	1,866	105,461
	7～13日間	554	133,731	494	133,182
	14～20日間	54	222,081	32	274,273
	21～27日間	15	199,299	8	275,101
	28～90日間	33	253,219	9	270,552
	91日間以上1年未満	10	912,584	2	1,186,306
性・年代	男性	1,229	116,823	1,039	111,579
	15～19歳	29	100,454	25	91,309
	20～29歳	307	122,079	269	104,998
	30～39歳	387	109,847	327	110,843
	40～49歳	276	117,323	224	115,023
	50～59歳	148	119,236	125	120,667
	60～69歳	61	134,993	51	126,678
	70歳以上	21	124,063	18	119,739
	女性	1,603	119,436	1,458	115,804
	15～19歳	30	89,696	29	90,174
	20～29歳	388	124,107	348	109,485
	30～39歳	505	111,862	473	111,021
	40～49歳	381	121,311	347	121,974
	50～59歳	205	130,615	181	129,635
60～69歳	78	127,458	66	137,027	
70歳以上	16	109,263	14	123,010	
日本への 来訪回数	1回目	353	100,568	339	101,239
	2回目	382	120,095	351	108,377
	3回目	358	107,278	323	106,389
	4回目	275	111,784	255	111,226
	5回目	295	117,572	262	112,438
	6～9回目	504	121,706	452	121,746
	10～19回目	399	122,182	329	119,865
	20回目以上	266	153,459	186	143,974

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日台湾人の購入者単価 (2019年)

調査項目		全目的			観光目的		
		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	805	118,535		770	119,497	
	個人旅行向けパッケージ商品	251	78,725		226	75,251	
	往復航空(船舶)運賃	1,776	40,955		1,501	37,972	
日本滞在中の支出	宿泊料金	1,713	34,579		1,497	32,084	
	飲食費	2,288	22,060		2,005	20,691	
	交通費	2,019	12,195		1,749	11,748	
	航空(日本国内移動のみ)	27	15,380		24	13,267	
	Japan Rail Pass	321	11,397		309	11,238	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	1,486	7,700		1,248	7,069	
	バス	430	3,118		375	2,614	
	タクシー	270	5,675		217	4,901	
	レンタカー	422	13,607		409	13,329	
	船舶(日本国内移動のみ)	54	2,279		52	2,269	
	その他交通費	56	5,017		53	4,743	
	娯楽等サービス費	1,063	7,392		978	6,496	
	現地ツアー・観光ガイド	122	8,101		113	8,435	
	ゴルフ場	3	23,869		2	30,817	
	テーマパーク	323	7,832		307	7,824	
	舞台・音楽鑑賞	27	13,210		17	11,514	
	スポーツ観戦	24	5,107		16	5,143	
	美術館・博物館・動植物園・水族館	608	2,579		566	2,535	
	スキー場リフト	44	17,350		40	16,736	
	温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション	74	3,687		66	3,540	
	マッサージ・医療費	5	3,192		3	1,890	
	展示会・コンベンション参加費	11	3,819		9	4,134	
	レンタル料(レンタカーを除く)	17	4,655		16	4,630	
	その他娯楽等サービス費	51	20,984		45	5,452	
	買物代	2,796	41,961		2,473	39,430	
	菓子類	2,185	8,470		1,964	8,241	
	酒類	516	5,538		463	5,361	
	生鮮農産物	391	3,286		361	3,124	
	その他食料品・飲料・たばこ	1,206	6,533		1,085	6,247	
	化粧品・香水	1,058	16,576		974	12,835	
	医薬品	1,571	12,890		1,427	12,667	
	健康グッズ・トイレタリー	796	10,640		744	10,563	
	衣類	1,061	13,352		973	12,400	
靴・かばん・革製品	567	16,159		526	15,801		
電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	350	14,915		311	14,024		
時計・フィルムカメラ	33	77,151		32	15,053		
宝石・貴金属	8	24,947		8	24,947		
民芸品・伝統工芸品	185	6,260		173	5,734		
本・雑誌・ガイドブックなど	113	6,228		95	6,049		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	80	13,270		68	13,384		
その他買物代	131	20,488		114	13,931		
その他	5	15,227		5	15,227		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

## (18) 訪日台湾人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	57.9 60.3 58.4 60.0 63.1	59.6 61.9 60.5 62.7 65.6
家電量販店	26.9 29.9 30.9 32.4 35.7	27.1 30.8 31.9 33.0 35.7
ファッション専門店	15.5 14.4 15.1 16.0 20.4	15.8 14.7 15.8 17.1 21.7
100円ショップ	18.1 16.0 17.9 18.2 16.3	18.1 16.1 18.2 18.5 16.6
高速道路のSA・道の駅	7.0 7.6 6.7 7.4 8.2	7.4 8.1 7.0 7.7 8.5
観光地の土産店	36.7 33.5 30.3 32.6 34.8	39.3 36.2 33.0 35.5 37.7
宿泊施設	8.7 8.7 17.7 17.3 19.9	9.2 9.2 18.7 18.1 20.7
スーパーマーケット	66.9 66.8 67.7 65.6 63.7	68.1 67.9 69.0 67.1 65.3
コンビニエンスストア	83.3 79.5 76.7 72.4 73.7	84.2 80.5 78.4 74.1 74.3
ドラッグストア	86.7 84.9 87.2 86.8 86.0	88.6 87.1 89.8 89.5 88.4
ディスカウントストア	11.5 11.3 13.7 15.5 16.3	12.3 12.1 14.5 16.5 17.5
アウトレットモール	18.0 17.6 18.2 18.2 20.4	19.5 19.0 19.3 19.3 21.6
都心の複合商業施設	18.2 15.9 13.7 13.1 11.3	18.9 16.5 14.5 14.2 12.2
その他ショッピングセンター	15.2 12.1 16.9 14.0 14.0	15.4 12.4 17.1 13.8 14.6
鉄道駅構内の店舗	12.0 10.5 11.6 13.6 12.5	12.2 10.6 12.0 14.3 13.0
空港の免税店	64.0 61.2 68.7 68.8 72.1	63.3 60.5 69.0 69.0 72.8
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.9 1.0	0.9 1.1
その他	1.8 2.0 1.1 1.4 1.8	1.7 2.0 1.1 1.3 1.7
買い物はしなかった	0.4 0.4 0.4 0.3 0.3	0.2 0.3 0.3 0.1 0.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日台湾人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	77.2 75.3
消費税免税の手続きをしていない	22.8 24.7

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	29.3 27.9
酒類	5.5 5.9
生鮮農産物	1.4 1.6
その他食料品・飲料・たばこ	10.6 11.3
化粧品・香水	29.0 30.7
医薬品	45.5 42.2
健康グッズ・トイレタリー	21.0 22.1
衣類	25.6 25.6
靴・かばん・革製品	15.4 14.1
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	10.8 13.7
時計・フィルムカメラ	0.8 1.6
宝石・貴金属	0.2 0.2
民芸品・伝統工芸品	1.5 2.0
本・雑誌・ガイドブックなど	0.5 0.4
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	1.0 0.8
その他買物代	1.8 1.4

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日台湾人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：％

	全目的	観光目的
現金	98.3 98.4	98.6 98.6
クレジットカード	64.5 58.2	65.4 58.9
交通系ICカード（Suica等）	19.2 15.0	17.8 14.1
その他ICカード（Edy等）	0.3 0.4	0.2 0.3
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	1.8 1.5	1.7 1.4
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.6 0.5	0.6 0.4
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	1.8 1.4	1.8 1.4
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.0 0.2	0.0 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日台湾人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	39.4	42.0	37.4	38.9	36.4	34.1	32.6	31.5	29.3
千葉県	2位	8.7	10.9	13.9	13.7	31.5	30.4	29.8	28.6	26.3
大阪府	3位	24.0	20.8	24.0	24.0	28.7	30.1	30.7	25.7	26.1
京都府	4位	13.8	12.9	18.7	18.2	17.0	19.5	19.0	18.1	18.4
沖縄県	5位	4.3	4.3	5.6	8.0	9.5	9.8	10.9	14.9	15.6
北海道	6位	14.2	13.5	11.4	11.3	13.2	12.0	11.0	10.8	10.6
奈良県	7位	2.5	3.1	5.6	5.8	5.3	7.3	6.8	8.4	8.8
福岡県	8位	6.2	7.7	9.2	7.6	7.2	7.2	7.3	7.9	7.8
兵庫県	9位	7.2	6.3	8.4	7.9	8.3	8.0	7.6	7.9	7.5
愛知県	10位	6.7	7.4	7.0	6.1	6.3	5.7	6.6	6.0	7.1
長野県	11位	3.7	6.2	6.0	4.8	6.7	5.9	6.2	6.2	6.2
岐阜県	12位	3.1	4.1	4.9	3.1	4.2	4.3	4.1	4.5	5.1
神奈川県	13位	8.6	11.0	9.3	8.6	7.1	5.8	5.6	5.2	4.6
大分県	14位	1.9	3.4	4.6	3.9	3.7	2.8	3.3	4.2	4.3
山梨県	15位	3.3	4.8	4.6	3.5	3.2	2.8	3.5	3.4	4.3
石川県	16位	1.7	3.0	3.5	2.0	3.8	4.1	3.7	3.7	4.1
熊本県	17位	2.8	4.1	6.4	5.2	4.5	2.6	3.8	3.9	3.9
富山県	18位	3.4	3.5	3.4	3.5	4.3	3.2	3.5	3.4	3.8
宮城県	19位	0.8	1.3	1.1	1.2	0.9	1.8	1.8	2.1	3.2
長崎県	20位	2.5	4.2	4.7	3.8	2.4	2.3	2.1	2.2	2.1
青森県	21位	0.5	0.7	0.7	0.9	0.9	1.3	1.4	1.3	2.1
岡山県	22位	0.7	0.8	0.8	1.0	1.2	1.4	0.9	2.0	2.0
静岡県	23位	1.4	3.1	1.7	2.2	3.5	2.3	2.7	2.2	1.9
岩手県	24位	0.5	0.5	0.7	0.6	0.4	0.8	0.7	1.1	1.8
栃木県	25位	1.6	1.5	1.4	2.0	1.2	1.9	1.6	1.7	1.7
香川県	26位	0.6	0.4	0.6	0.9	0.9	1.1	1.0	1.3	1.6
滋賀県	27位	1.1	0.8	0.7	1.2	1.4	1.3	1.8	1.5	1.5
佐賀県	28位	0.3	0.6	0.9	0.8	0.5	1.1	0.9	1.1	1.4
山形県	29位	0.4	0.3	0.4	0.5	0.6	0.8	0.8	0.9	1.2
秋田県	30位	0.5	0.6	0.5	0.6	0.5	0.8	0.9	0.8	1.1
広島県	31位	1.0	1.2	0.9	1.1	1.6	2.0	1.3	1.4	1.1
埼玉県	32位	1.5	1.7	1.0	1.3	0.7	1.5	1.1	1.1	1.1
鹿児島県	33位	0.5	0.7	0.8	0.6	1.2	1.1	1.1	1.3	1.1
三重県	34位	0.4	0.6	0.7	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.9
宮崎県	35位	0.2	0.3	0.2	0.3	0.8	0.6	0.6	1.0	0.9
新潟県	36位	0.4	0.6	0.4	0.8	0.7	0.6	1.2	0.7	0.8
茨城県	37位	0.5	0.3	0.5	0.9	0.3	0.5	0.5	0.6	0.8
和歌山県	38位	1.1	1.0	1.3	1.3	0.8	0.7	1.3	1.2	0.8
愛媛県	39位	0.2	0.5	0.3	0.7	0.6	0.6	1.1	0.8	0.7
群馬県	40位	0.5	1.2	0.8	0.9	0.7	1.2	0.7	0.9	0.6
山口県	41位	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.6	0.4	0.7	0.6
福島県	42位	0.3	0.5	0.2	0.1	0.3	0.4	0.6	0.6	0.6
徳島県	43位	0.1	0.3	0.3	0.4	0.3	0.1	0.4	0.4	0.5
鳥取県	44位	0.3	0.4	0.3	0.3	0.4	0.9	0.4	0.3	0.4
島根県	45位	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.6	0.1	0.2	0.4
福井県	46位	0.3	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.3
高知県	47位	0.1	0.2	0.2	0.3	0.2	0.3	0.2	0.4	0.2

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(22) 訪日台湾人の都道府県別宿泊地 (2017年~2022年)

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数 [人泊 (構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	1,918,600 (16.8%)	1,977,690 (16.3%)	2,140,710 (15.9%)
大阪府	2位	1,532,870 (13.5%)	1,365,230 (11.3%)	1,516,130 (11.3%)
京都府	3位	647,950 ( 5.7%)	575,980 ( 4.8%)	839,070 ( 6.2%)
北海道	4位	1,470,740 (12.9%)	1,502,750 (12.4%)	1,410,420 (10.5%)
福岡県	5位	455,300 ( 4.0%)	455,340 ( 3.8%)	679,190 ( 5.0%)
沖縄県	6位	973,140 ( 8.5%)	1,384,410 (11.4%)	1,789,360 (13.3%)
千葉県	7位	543,250 ( 4.8%)	563,640 ( 4.7%)	575,140 ( 4.3%)
神奈川県	8位	164,880 ( 1.4%)	198,260 ( 1.6%)	174,160 ( 1.3%)
愛知県	9位	280,030 ( 2.5%)	262,210 ( 2.2%)	371,610 ( 2.8%)
山梨県	10位	165,120 ( 1.4%)	237,940 ( 2.0%)	236,300 ( 1.8%)
熊本県	11位	214,920 ( 1.9%)	219,020 ( 1.8%)	210,230 ( 1.6%)
長野県	12位	299,590 ( 2.6%)	379,360 ( 3.1%)	338,740 ( 2.5%)
兵庫県	13位	299,360 ( 2.6%)	294,980 ( 2.4%)	276,680 ( 2.1%)
静岡県	14位	128,390 ( 1.1%)	114,630 ( 0.9%)	99,590 ( 0.7%)
群馬県	15位	130,610 ( 1.1%)	126,610 ( 1.0%)	114,780 ( 0.9%)
宮城県	16位	91,690 ( 0.8%)	152,730 ( 1.3%)	236,450 ( 1.8%)
石川県	17位	183,050 ( 1.6%)	212,110 ( 1.8%)	214,150 ( 1.6%)
大分県	18位	118,180 ( 1.0%)	129,720 ( 1.1%)	145,230 ( 1.1%)
新潟県	19位	70,930 ( 0.6%)	79,350 ( 0.7%)	90,360 ( 0.7%)
岐阜県	20位	171,120 ( 1.5%)	175,030 ( 1.4%)	177,230 ( 1.3%)
茨城県	21位	19,460 ( 0.2%)	30,000 ( 0.2%)	34,070 ( 0.3%)
長崎県	22位	111,230 ( 1.0%)	92,540 ( 0.8%)	92,490 ( 0.7%)
滋賀県	23位	121,290 ( 1.1%)	126,030 ( 1.0%)	127,760 ( 0.9%)
青森県	24位	80,920 ( 0.7%)	95,820 ( 0.8%)	122,500 ( 0.9%)
栃木県	25位	40,370 ( 0.4%)	46,810 ( 0.4%)	49,530 ( 0.4%)
三重県	26位	44,860 ( 0.4%)	39,480 ( 0.3%)	40,050 ( 0.3%)
広島県	27位	73,630 ( 0.6%)	81,720 ( 0.7%)	81,760 ( 0.6%)
岩手県	28位	108,300 ( 1.0%)	147,860 ( 1.2%)	180,820 ( 1.3%)
岡山県	29位	130,230 ( 1.1%)	154,580 ( 1.3%)	135,720 ( 1.0%)
香川県	30位	108,660 ( 1.0%)	112,870 ( 0.9%)	161,870 ( 1.2%)
山形県	31位	45,100 ( 0.4%)	58,010 ( 0.5%)	90,270 ( 0.7%)
福島県	32位	28,350 ( 0.2%)	41,930 ( 0.3%)	58,260 ( 0.4%)
愛媛県	33位	51,930 ( 0.5%)	58,610 ( 0.5%)	59,620 ( 0.4%)
和歌山県	34位	67,480 ( 0.6%)	66,200 ( 0.5%)	40,970 ( 0.3%)
鹿児島県	35位	125,480 ( 1.1%)	131,960 ( 1.1%)	129,060 ( 1.0%)
富山県	36位	86,640 ( 0.8%)	90,680 ( 0.7%)	99,010 ( 0.7%)
佐賀県	37位	70,700 ( 0.6%)	81,140 ( 0.7%)	74,500 ( 0.6%)
埼玉県	38位	11,930 ( 0.1%)	13,130 ( 0.1%)	12,580 ( 0.1%)
奈良県	39位	21,110 ( 0.2%)	18,780 ( 0.2%)	18,030 ( 0.1%)
宮崎県	40位	56,190 ( 0.5%)	66,480 ( 0.5%)	61,420 ( 0.5%)
秋田県	41位	42,380 ( 0.4%)	49,960 ( 0.4%)	52,460 ( 0.4%)
山口県	42位	13,100 ( 0.1%)	11,930 ( 0.1%)	17,110 ( 0.1%)
徳島県	43位	9,930 ( 0.1%)	12,230 ( 0.1%)	16,490 ( 0.1%)
福井県	44位	18,110 ( 0.2%)	18,660 ( 0.2%)	19,360 ( 0.1%)
高知県	45位	17,690 ( 0.2%)	18,030 ( 0.1%)	24,580 ( 0.2%)
鳥取県	46位	16,190 ( 0.1%)	18,750 ( 0.2%)	19,490 ( 0.1%)
島根県	47位	9,310 ( 0.1%)	12,640 ( 0.1%)	15,640 ( 0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年~2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

## 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比:%)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	331,710 (15.1%)	12,360 (38.2%)	344,240 (38.1%)
大阪府	2位	213,630 (9.8%)	2,280 (7.1%)	121,360 (13.4%)
京都市	3位	156,350 (7.1%)	1,560 (4.8%)	103,270 (11.4%)
北海道	4位	287,890 (13.1%)	810 (2.5%)	86,610 (9.6%)
福岡県	5位	96,950 (4.4%)	610 (1.9%)	32,740 (3.6%)
沖縄県	6位	253,670 (11.6%)	330 (1.0%)	30,780 (3.4%)
千葉県	7位	84,470 (3.9%)	3,740 (11.6%)	22,060 (2.4%)
神奈川県	8位	24,290 (1.1%)	1,350 (4.2%)	18,940 (2.1%)
愛知県	9位	83,570 (3.8%)	550 (1.7%)	13,650 (1.5%)
山梨県	10位	25,370 (1.2%)	140 (0.4%)	12,890 (1.4%)
熊本県	11位	24,130 (1.1%)	130 (0.4%)	10,330 (1.1%)
長野県	12位	74,740 (3.4%)	370 (1.1%)	10,180 (1.1%)
兵庫県	13位	30,920 (1.4%)	300 (0.9%)	9,720 (1.1%)
静岡県	14位	13,840 (0.6%)	480 (1.5%)	7,110 (0.8%)
群馬県	15位	18,120 (0.8%)	190 (0.6%)	5,190 (0.6%)
宮城県	16位	50,880 (2.3%)	1,640 (5.1%)	5,170 (0.6%)
石川県	17位	41,000 (1.9%)	90 (0.3%)	5,040 (0.6%)
大分県	18位	22,450 (1.0%)	50 (0.2%)	5,040 (0.6%)
新潟県	19位	38,240 (1.7%)	240 (0.7%)	4,460 (0.5%)
岐阜県	20位	42,630 (1.9%)	150 (0.5%)	4,250 (0.5%)
茨城県	21位	2,090 (0.1%)	520 (1.6%)	4,150 (0.5%)
長崎県	22位	13,840 (0.6%)	200 (0.6%)	4,050 (0.4%)
滋賀県	23位	15,080 (0.7%)	220 (0.7%)	3,850 (0.4%)
青森県	24位	21,250 (1.0%)	220 (0.7%)	3,650 (0.4%)
栃木県	25位	7,010 (0.3%)	200 (0.6%)	3,410 (0.4%)
三重県	26位	7,970 (0.4%)	100 (0.3%)	3,230 (0.4%)
広島県	27位	11,100 (0.5%)	290 (0.9%)	2,750 (0.3%)
岩手県	28位	35,270 (1.6%)	210 (0.6%)	2,700 (0.3%)
岡山県	29位	18,260 (0.8%)	130 (0.4%)	2,360 (0.3%)
香川県	30位	17,920 (0.8%)	100 (0.3%)	2,350 (0.3%)
山形県	31位	28,180 (1.3%)	310 (1.0%)	2,140 (0.2%)
福島県	32位	14,080 (0.6%)	370 (1.1%)	2,100 (0.2%)
愛媛県	33位	8,310 (0.4%)	970 (3.0%)	1,940 (0.2%)
和歌山県	34位	4,460 (0.2%)	20 (0.1%)	1,810 (0.2%)
鹿児島県	35位	14,730 (0.7%)	130 (0.4%)	1,510 (0.2%)
富山県	36位	11,410 (0.5%)	100 (0.3%)	1,460 (0.2%)
佐賀県	37位	10,110 (0.5%)	30 (0.1%)	1,340 (0.1%)
埼玉県	38位	1,470 (0.1%)	230 (0.7%)	1,260 (0.1%)
奈良県	39位	3,390 (0.2%)	40 (0.1%)	970 (0.1%)
宮崎県	40位	6,160 (0.3%)	80 (0.2%)	880 (0.1%)
秋田県	41位	6,560 (0.3%)	100 (0.3%)	770 (0.1%)
山口県	42位	2,380 (0.1%)	80 (0.2%)	680 (0.1%)
徳島県	43位	2,050 (0.1%)	60 (0.2%)	640 (0.1%)
福井県	44位	4,330 (0.2%)	110 (0.3%)	440 (0.0%)
高知県	45位	3,550 (0.2%)	20 (0.1%)	410 (0.0%)
鳥取県	46位	3,310 (0.2%)	50 (0.2%)	400 (0.0%)
島根県	47位	1,820 (0.1%)	60 (0.2%)	400 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

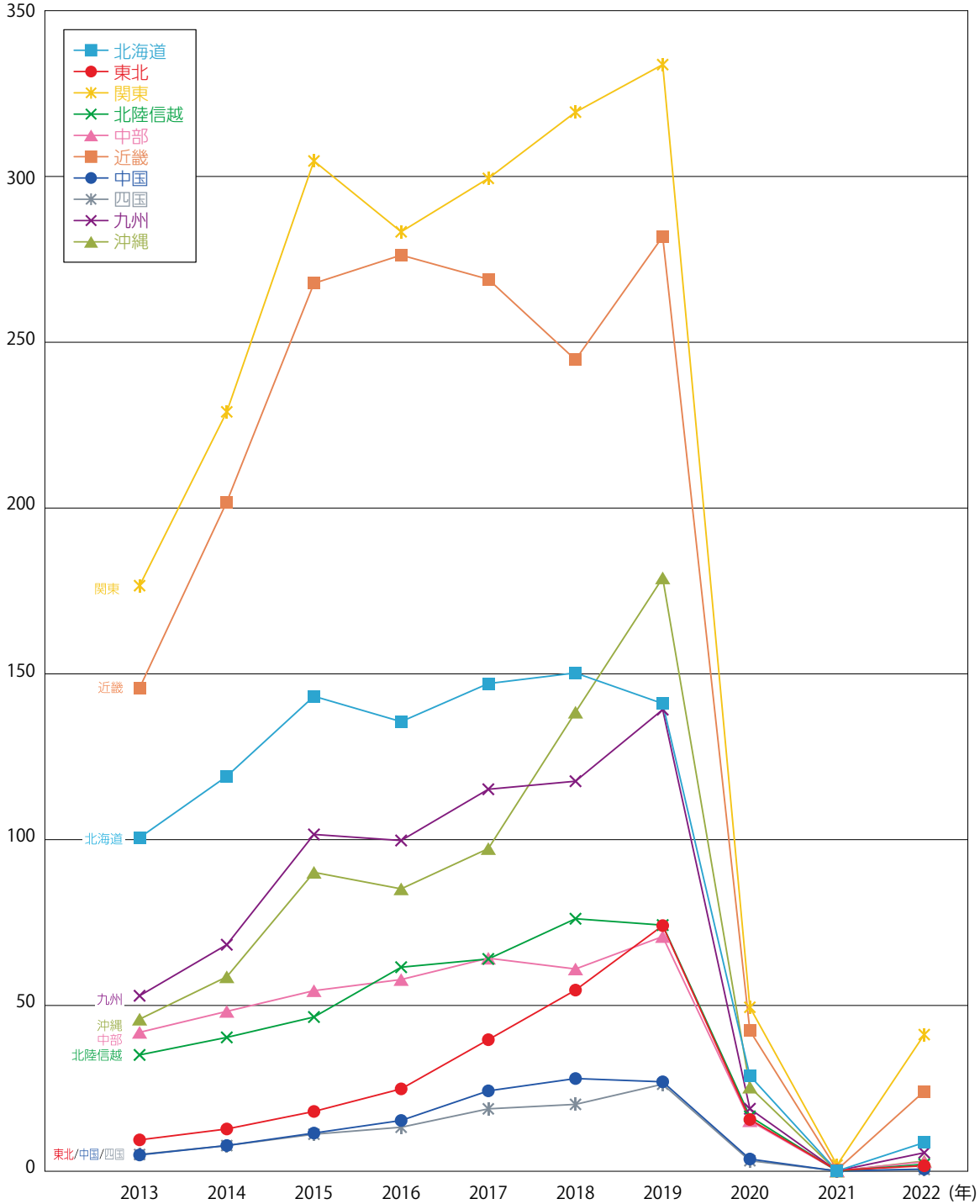
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (23) 訪日台湾人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	1,005,980	1,191,010	1,432,450	1,355,880	1,470,740	1,502,750	1,410,420	287,890	810	86,610
東北	94,620	127,490	180,350	248,410	396,740	546,310	740,770	156,220	2,850	16,530
関東	1,765,990	2,290,160	3,046,690	2,833,080	2,994,210	3,194,080	3,337,260	494,520	18,730	412,140
北陸信越	350,810	403,670	465,110	615,330	640,210	761,500	742,260	165,390	800	21,140
中部	418,940	482,110	544,560	578,150	642,500	610,010	707,830	152,350	1,390	28,690
近畿	1,457,650	2,018,310	2,677,700	2,762,800	2,690,060	2,447,200	2,818,630	423,810	4,410	240,990
中国	49,200	77,530	115,130	153,150	242,470	279,620	269,720	36,870	610	6,590
四国	50,540	77,430	111,710	132,740	188,210	201,740	262,550	31,830	1,160	5,340
九州	529,220	683,190	1,015,750	997,450	1,152,010	1,176,200	1,392,120	188,370	1,240	55,890
沖縄	458,620	586,420	901,500	851,640	973,140	1,384,410	1,789,360	253,670	330	30,780

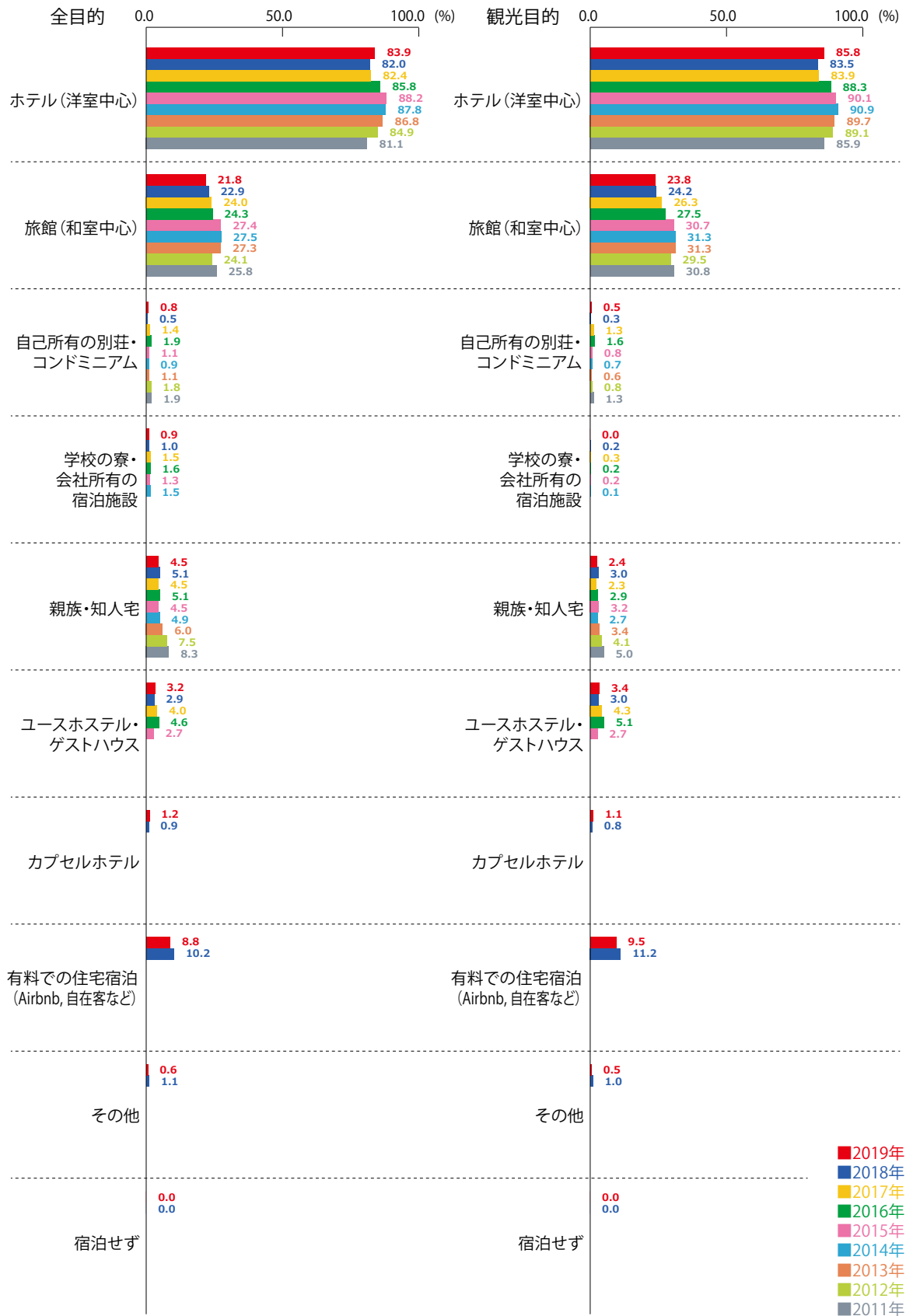
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

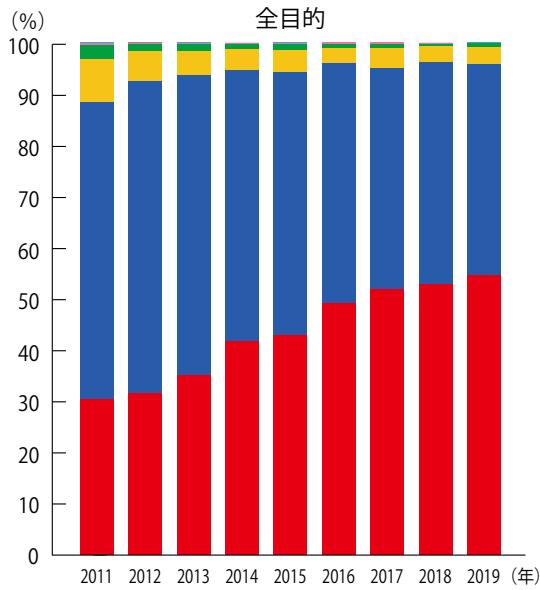
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日台湾人が利用した宿泊施設 (2011年～2019年)

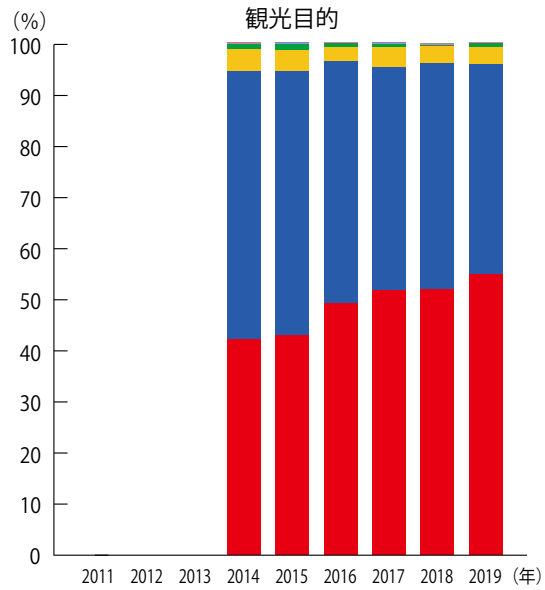


注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) 台湾人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
■ 不満	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
■ やや不満	0.3	0.3	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.1
■ 普通	2.8	1.3	1.3	0.9	1.2	0.8	0.8	0.4	0.7
■ やや満足	8.4	5.8	4.7	4.2	4.2	2.9	3.9	3.1	3.3
■ 満足	58.0	61.0	58.6	52.8	51.4	46.9	43.1	43.3	41.2
■ 大変満足	30.3	31.5	35.0	41.7	42.8	49.1	51.9	52.8	54.6



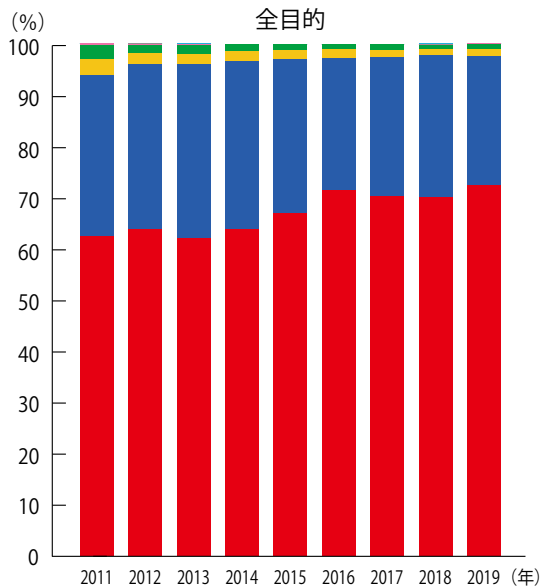
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	-	-	-	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0
■ 不満	-	-	-	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2	0.0
■ やや不満	-	-	-	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
■ 普通	-	-	-	1.0	1.1	0.7	0.6	0.3	0.7
■ やや満足	-	-	-	4.4	4.1	2.8	3.9	3.2	3.3
■ 満足	-	-	-	52.2	51.5	47.1	43.5	44.1	41.2
■ 大変満足	-	-	-	42.1	42.9	49.2	51.7	51.9	54.7

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

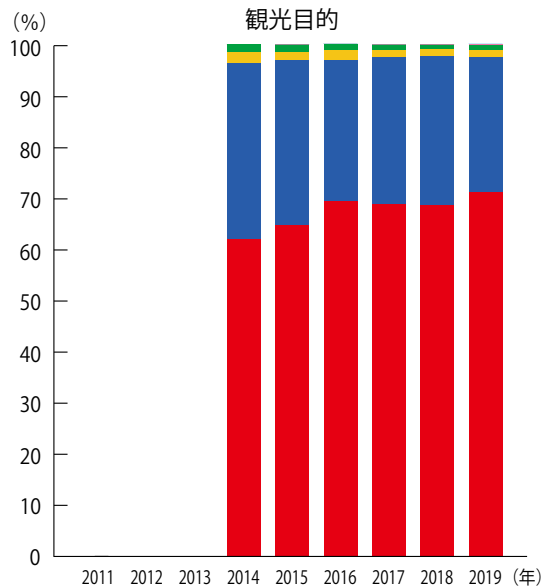
注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日台湾人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
■ 来たくない	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
■ あまり来たくない	0.2	0.1	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1
■ 何ともいえない	2.7	1.7	1.7	1.3	1.2	0.9	1.0	0.9	1.0
■ やや来たい	3.3	2.1	2.1	2.0	1.6	1.9	1.5	1.2	1.4
■ 来たい	31.5	32.2	33.8	32.8	30.1	25.7	27.1	27.6	25.1
■ 必ず来たい	62.3	63.8	62.1	63.8	66.9	71.4	70.2	70.1	72.4



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	-	-	-	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
■ 来たくない	-	-	-	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
■ あまり来たくない	-	-	-	0.0	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
■ 何ともいえない	-	-	-	1.4	1.4	1.1	1.0	0.9	1.1
■ やや来たい	-	-	-	2.1	1.6	2.0	1.4	1.3	1.4
■ 来たい	-	-	-	34.5	32.1	27.5	28.6	29.1	26.3
■ 必ず来たい	-	-	-	61.8	64.6	69.3	68.7	68.5	71.0

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

自国籍：中国系（92.3%）

外国籍：フィリピン人（2.5%）、インドネシア人（2.2%）

出典：総務省統計局「世界の統計2022」

### (2) 宗教別構成

仏教、道教、プロテスタント、カトリック、イスラム教、ヒンドゥー教、シーク教、ユダヤ教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

中国語（広東語、および北京語を基準とする中国大陸の共通語「普通話」）と英語が公用語

= 参考 =

#### 【言語別人口の割合】

広東語（88.9%）、英語（4.3%）、広東語以外の中国語（3.1%）

#### 【国語】

中国語（香港では「中文」とも呼称）には、北京語（北方語）、上海語（呉語）、江西語（贛語）、湖南語（湘語）、福建語（閩語）、客家語、広東語（粵語）の七大方言が存在する。発音、声調（アクセント）、単語、文法が各々異なり、互いに聞き取りが困難である。

香港やマカオではこのうち、広東語が日常的に使われている。

広東語は、話し言葉（会話する際の言い回し）と書き言葉（文章で書く際の言い回し / 香港では「国語」と呼称）が異なる言葉である。

香港の「国語」（書き言葉＝文章）は、中国大陸の「普通話」や台湾の「国語」とほぼ同一であるため、文章を見るだけであれば、中国大陸や台湾でも意味が通じる。しかし、個々の漢字の音は、中国語の方言ごとに異なり、「普通話」と広東語でも異なることから、書き言葉（文章）を読み上げる場合、広東語圏では広東語式の発音となる。

#### 【繁体字】

正式な字体として「繁体字」が採用されている。（参考：「繁体字」は台湾、マカオでも使用されている。一方、中国大陸と、マレーシア、シンガポールの中華系住民の間では、「繁体字」ではなく「簡体字」が使用されている。）

#### 【注】

香港からの旅行者を想定した場合、ウェブサイト、印刷物、標識・案内板などは「繁体字」で表記する必要がある。

香港の「国語」と、中国大陸の「普通話」、台湾の「国語」は、それぞれ単語が異なることがある。香港人が繁体字で書かれた台湾の「国語」を見ると、意味は通じるものの、日常香港で使用しない単語が混ざっていることもあるため、香港からの旅行者を特に想定して、中国語話者に翻訳を頼む際は、台湾出身者を起用しても問題はないが、香港出身者を起用することがより望ましい。

香港からの旅行者を想定して、会話・音声に伴うもの（通訳、ビデオ、音声案内など）に対応する際は、広東語を使用することが望まれる。

香港では中国大陸の「普通話」や英語も公用語になっているものの、中国大陸の簡体字版および英語版の印刷物はあまり手に取ってもらえない。印刷物を配布する際は、繁体字版を配布することが望まれる。

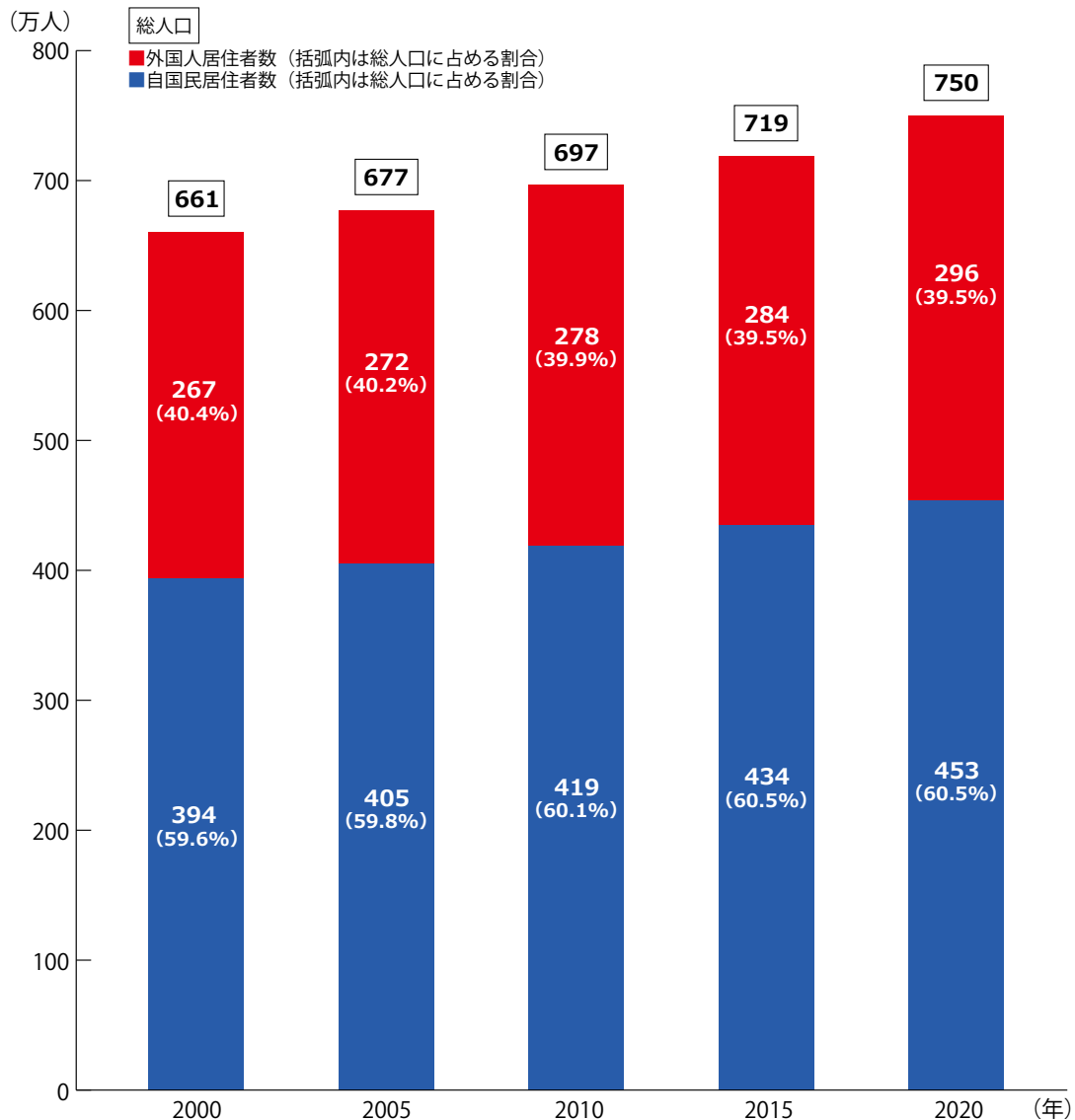
出典：日本政府観光局（JNTO）、総務省統計局「世界の統計2023」

#### (4) 面積

1,114km<sup>2</sup>（東京23区の1.8倍弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

#### (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

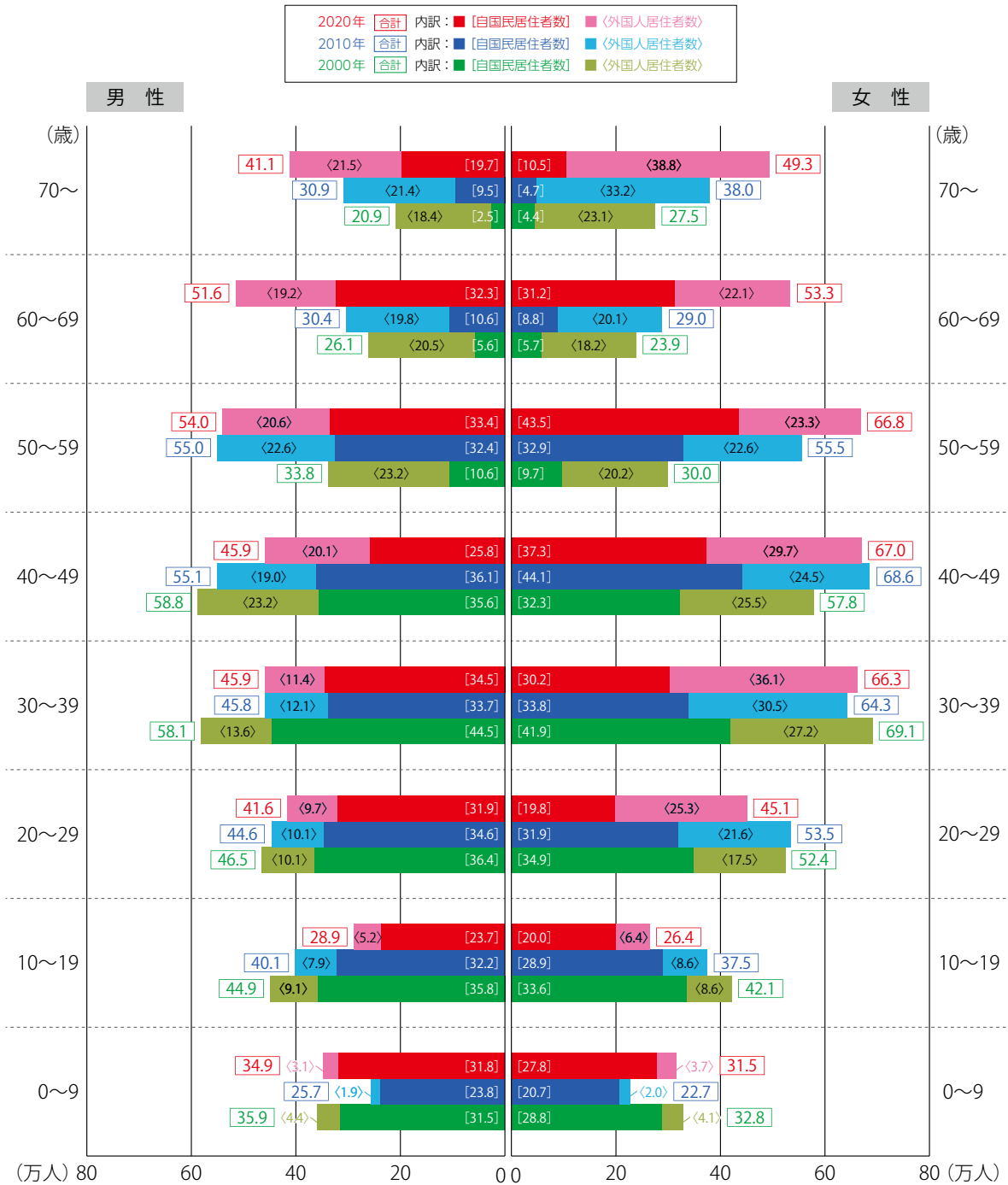
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：香港の外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成



## (7) 都市別人口

該当なし

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月2日（月）	1月1日（月）	2023年は日曜日と重なるため、翌月曜日が祝祭日となる。
※農曆新年（旧正月）	1月23日（月）～ 1月25日（水）	2月10日（土）～ 2月13日（火）	旧暦の1月1日～1月3日 2023年の旧暦1月1日は日曜日と重なるため、1月25日（旧暦1月4日）が祝祭日となる。 2024年の旧暦1月2日は日曜日と重なるため、2月13日（旧暦1月4日）が祝祭日となる。
※清明節 （先祖の墓参りの日）	4月5日（水）	4月4日（木）	
※◆キリスト受難節 （グッド・フライデー）	4月7日（金）	3月29日（金）	
※◆キリスト受難節翌日	4月8日（土）	3月30日（土）	
※◆復活節月曜日 （イースター・マンデー）	4月10日（月）	4月1日（月）	
労働節（メーデー）	5月1日（月）	5月1日（水）	
※仏誕節（釈迦誕生日）	5月26日（金）	5月15日（水）	旧暦の4月8日
※端午節 香港特別行政区成立記念日	7月1日（土）	7月1日（月）	旧暦の5月5日
※中秋節翌日	9月30日（土）	9月18日（水）	旧暦の8月15日の翌日
国慶日（建国記念日）	10月2日（月）	10月1日（火）	2023年は日曜日と重なるため、翌月曜日が祝祭日となる。
※重陽節 聖誕節（クリスマス）	10月23日（月） 12月25日（月）	10月11日（金） 12月25日（水）	旧暦の9月9日
※◆聖誕節後の最初の平日 （ボクシング・デー）	12月26日（火）	12月26日（木）	2024年から法定休日（労工假）となる。

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：祝日が日曜日の場合は、翌月曜日が祝日となる。

注3：祝日が重なった場合は、後の祝日が翌日となる。

注4：◆印の祝日は、雇用条例に基づく法定休日（労工假）に含まれていないため、企業や機関によっては祝日とならないが、改正条例により、2024年以降順次、法定休日となる。

出典：香港政府「公衆假期」に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
小学校	6歳～12歳 (6年間)	旧正月休暇	1月または2月の旧正月を含む約12日～13日間
		復活節（イースター）休暇	3月または4月の復活祭を含む約10日～11日間
		夏期休暇	7月中旬～8月末の約1か月半
		クリスマスおよび正月休暇	12月22日頃～1月1日の約12日～13日間
中学校	12歳～18歳 (6年間)	旧正月休暇	1月または2月の旧正月を含む約12日～13日間
		復活節（イースター）休暇	3月または4月の復活祭を含む約10日～11日間
		夏期休暇	7月中旬～8月末の約1か月半
		クリスマスおよび正月休暇	12月22日頃～1月1日の約12日～13日間
大学(注参照)	18歳～22歳 (4年間)	第1学期休暇	12月中下旬～1月上旬の約20日間
		旧正月休暇	1月または2月の旧正月を含む約7日間
		第2学期休暇	5月～6月の約1か月
		夏学期休暇	8月の約2週間～4週間
学校年度	9月～翌年8月		
義務教育	小学校(6年間) + 中学校(6年間) = 12年間		

注1：学期の期間は大学によって若干異なる。

注2：大学の夏学期は希望者のみが参加する。夏学期に参加しない場合、第2学期休暇から第1学期が始まるまでは休暇になる。

出典：香港政府教育局と大学の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし	雇用条例 第4章	・7日ごとに少なくとも1日の休息日を設けることのみ規定されている。 ・一般的に週休2日制を導入し、土曜日、日曜日を休日とする企業・団体が多い。
有給休暇日数	7日（勤続1年以上3年未満の被雇用者） 以降勤続1年ごとに1日ずつ加算 14日（勤続9年以上の被雇用者）	雇用条例 第4章	・有給休暇とは別に、傷病休暇を設けている企業が多い。 ・有給休暇とは別に、14週の産前産後休暇を設けることが規定されている。（雇用条例第6章） ・有給休暇とは別に、5日間の育児休暇を設けることが規定されている。（雇用条例第7章）
定年退職	規定なし		香港政府が支給する年金制度はない。2000年から導入された強制積立年金（MPF）制度に基づき、雇用者および被雇用者は、毎月給料の5%を民間保険会社に積立て、被雇用者は積立金を65歳から引き出すことが可能となる。

出典：香港政府、日本貿易振興機構（JETRO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	防衛は香港特別行政区の管轄外であり、香港の防衛は中国人民解放軍が行い、軍隊は中央政府から派遣される（基本法第14条）。従って、香港の住民は、香港特別行政区政府や中央政府によって徴兵されることはない。
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	51.2
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	46.5
ゴー・ジャパン (Go!Japan)	ウェブサイト・SNS	訪日旅行情報発信	29.9
ユー・マガジン (U magazine)	ウェブサイト・SNS	旅行・飲食・生活情報発信	29.2
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	28.9
ライクジャパン (Like Japan)	ウェブサイト・SNS	訪日旅行情報発信	23.8
ゴー・トリップ (Gotrip)	ウェブサイト・SNS	旅行情報発信	17.0
香港討論区 (Discuss)	ウェブサイト・SNS・ インターネット掲示板	情報・ニュース発信	15.0
ウィークエンド・ウィークリー (Weekend Weekly)	ウェブサイト・SNS	旅行・飲食・生活情報発信	11.9
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	10.5
ミーティング (MeetHK)	ウェブサイト	旅行予約、 旅行関連割引情報発信	9.1
旧ツイッター (Twitter) (現エックス:X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	8.4
ミーウィー (MeWe)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	7.2
ベビー・キングダム (Baby Kingdom)	ウェブサイト・SNS	育児関連情報発信	5.8

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

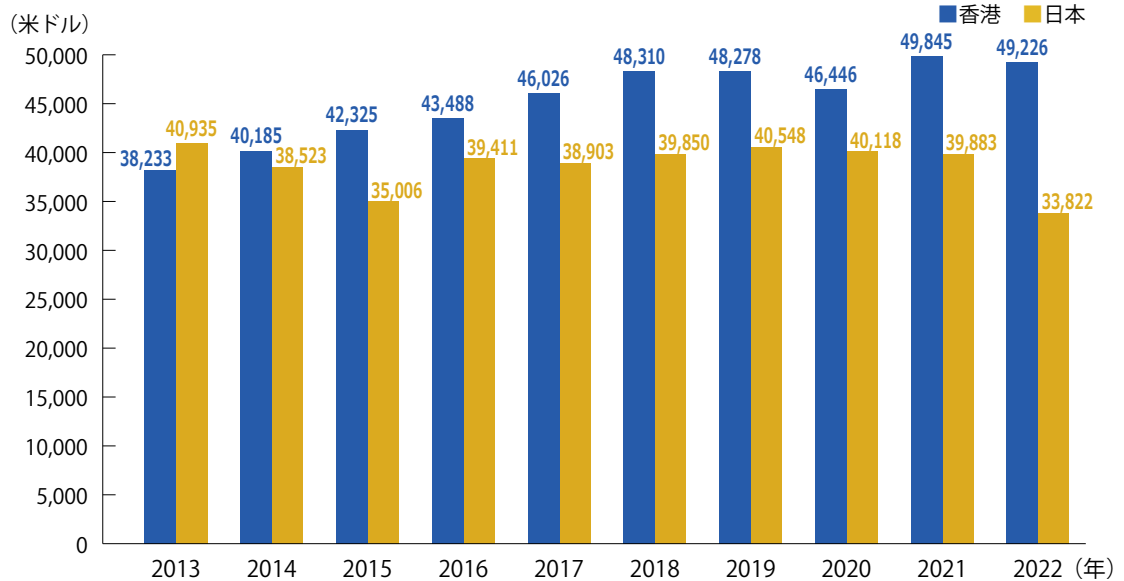
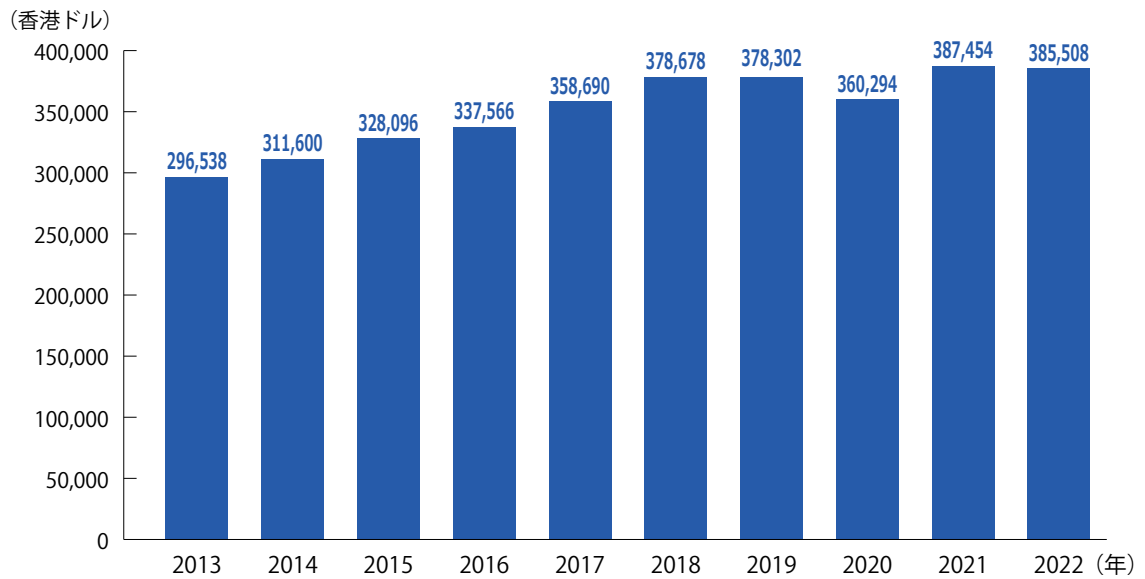
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

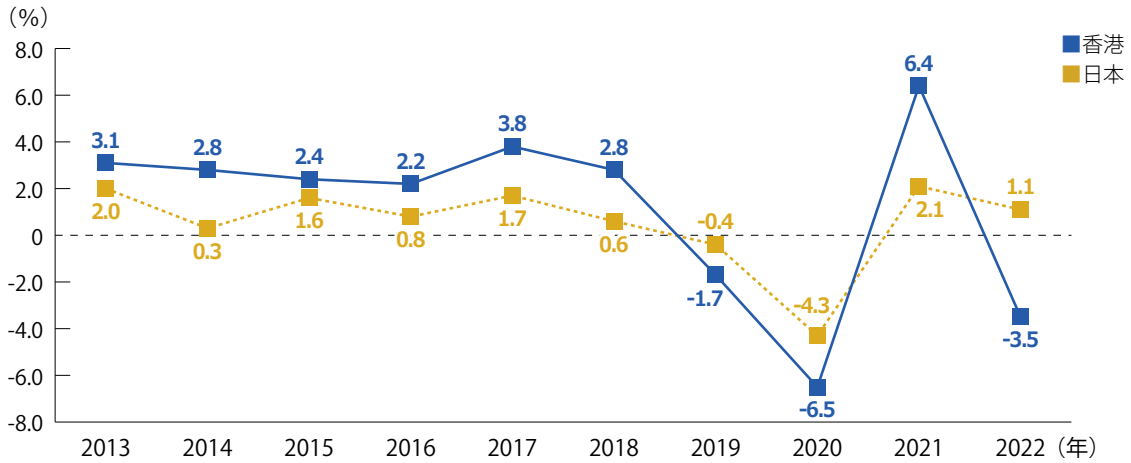
第2章 経済指標

(1) 1人当たりの名目GDP (2013年～2022年)



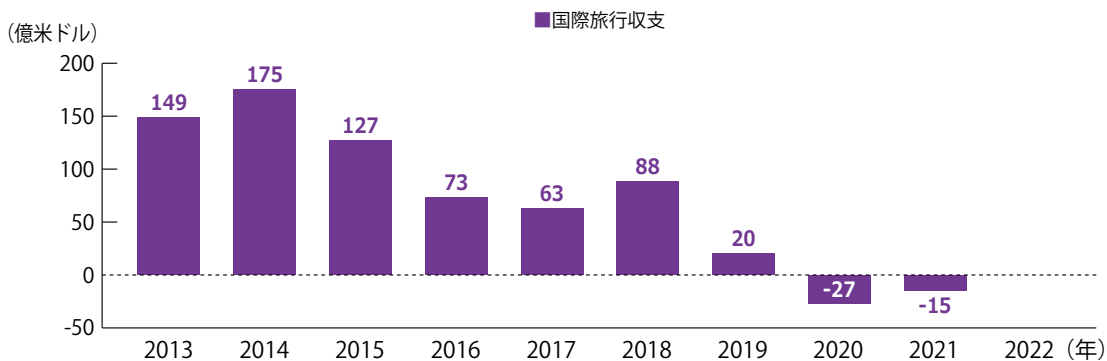
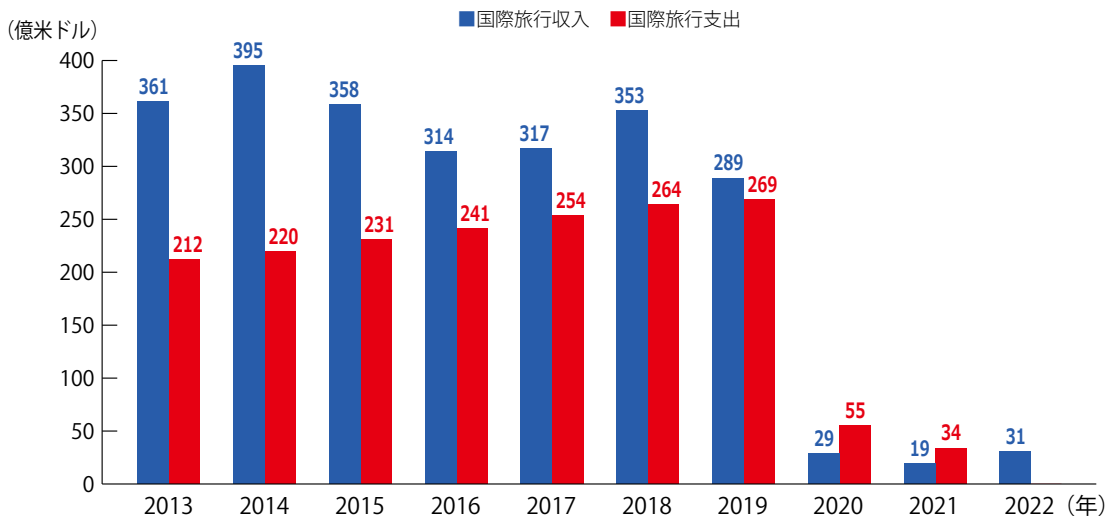
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



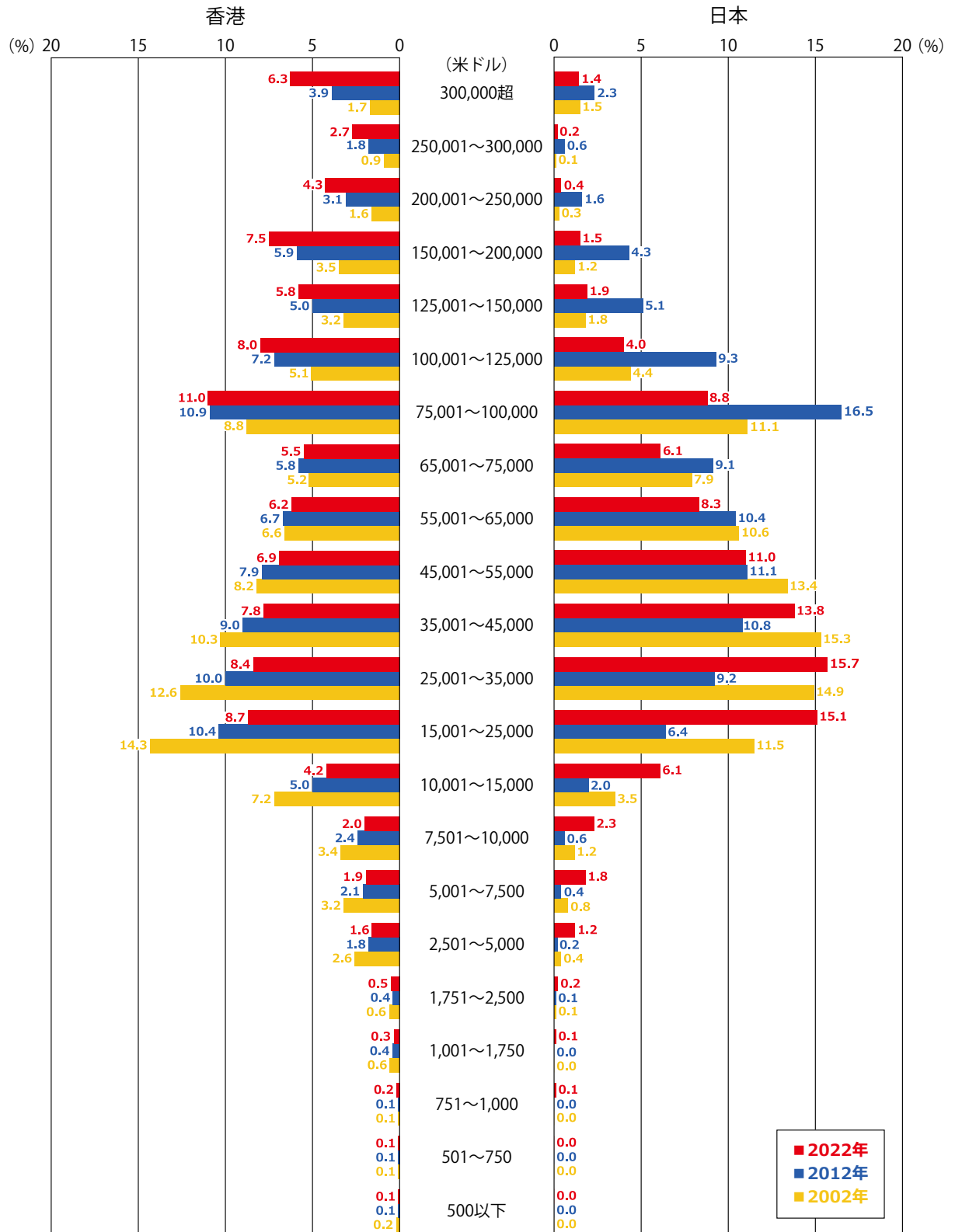
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

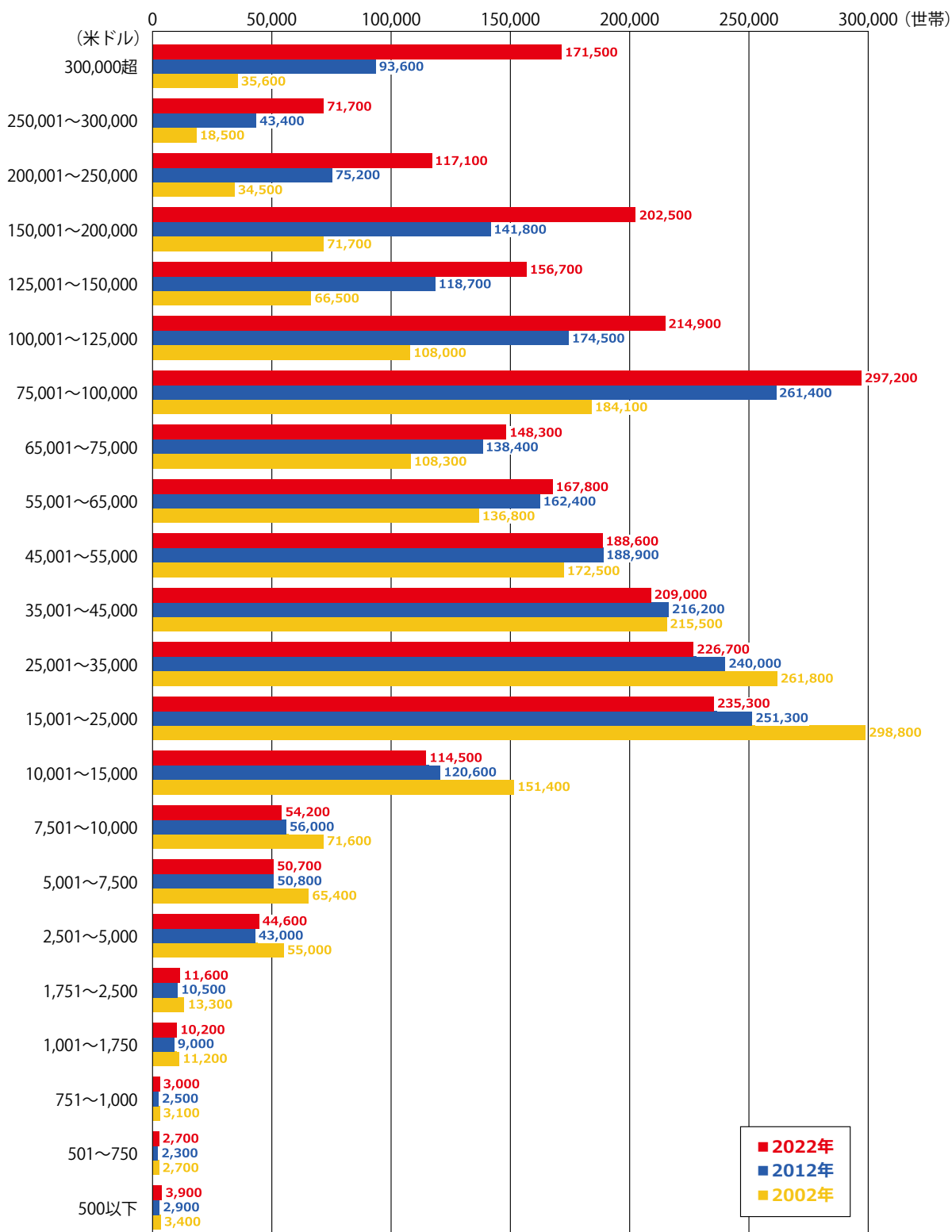
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

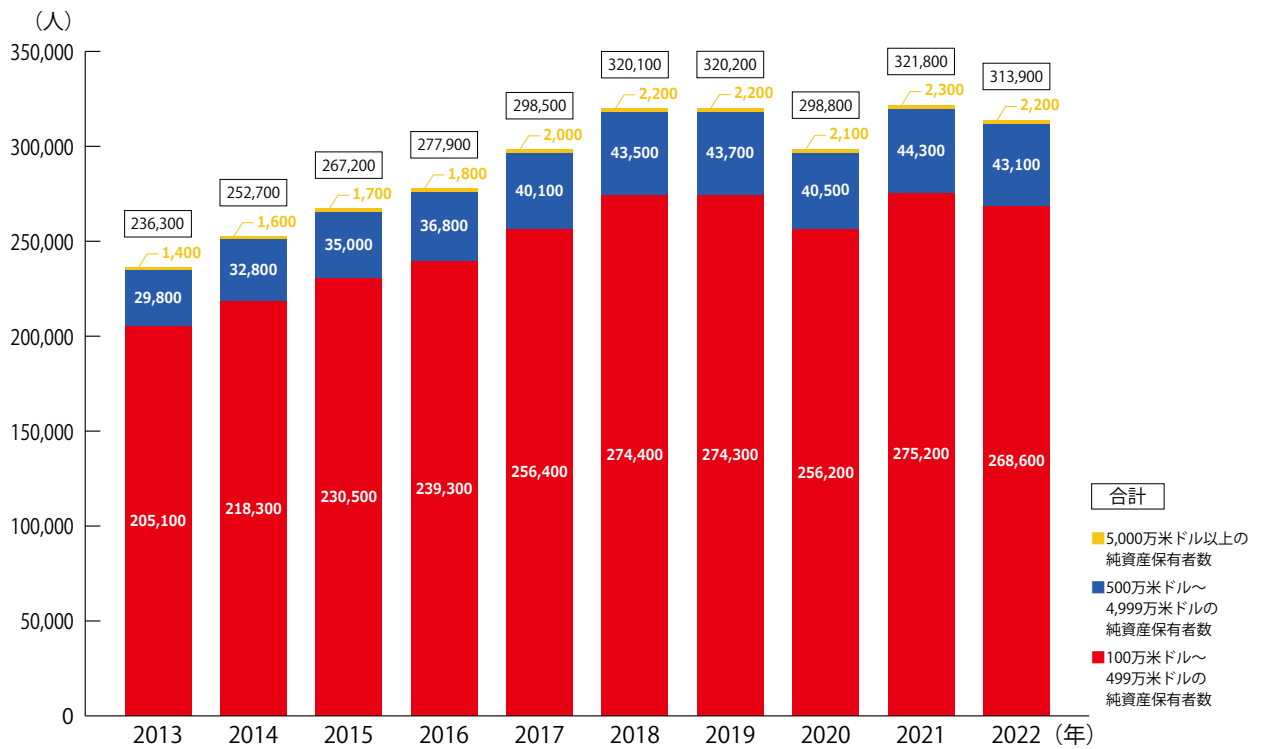
香港

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



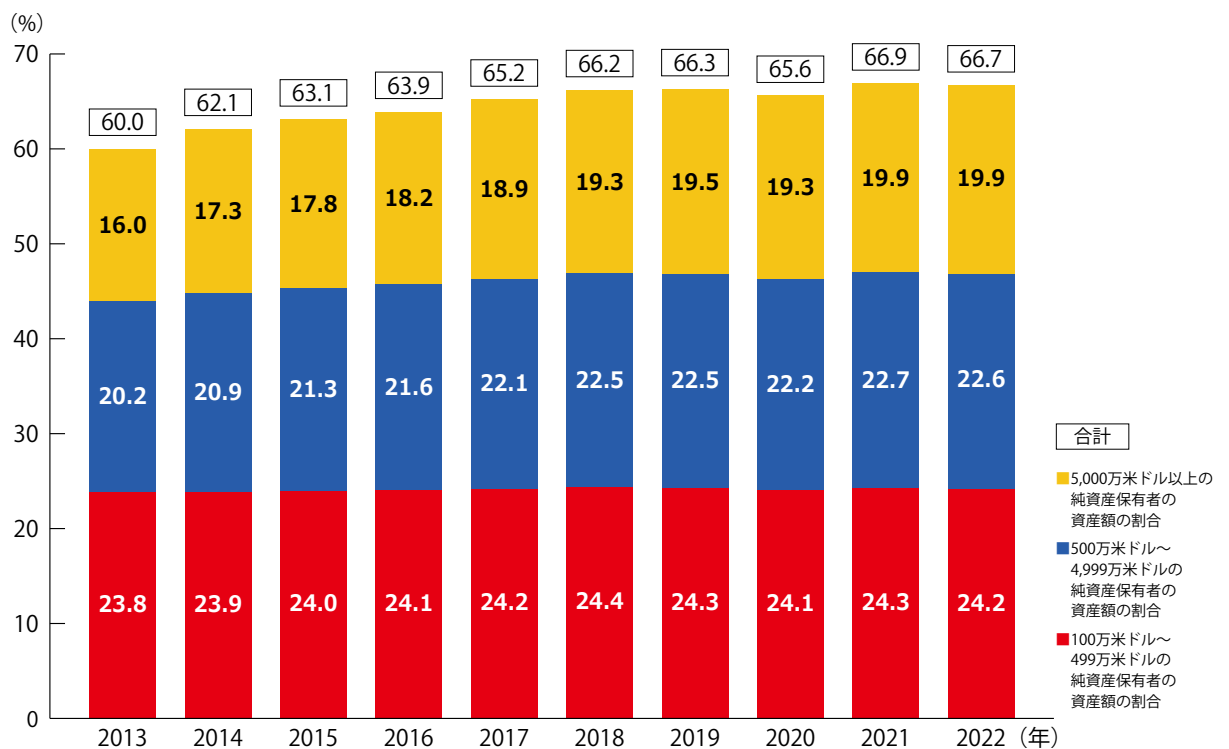
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
 出典：ユーロモニターインターナショナル

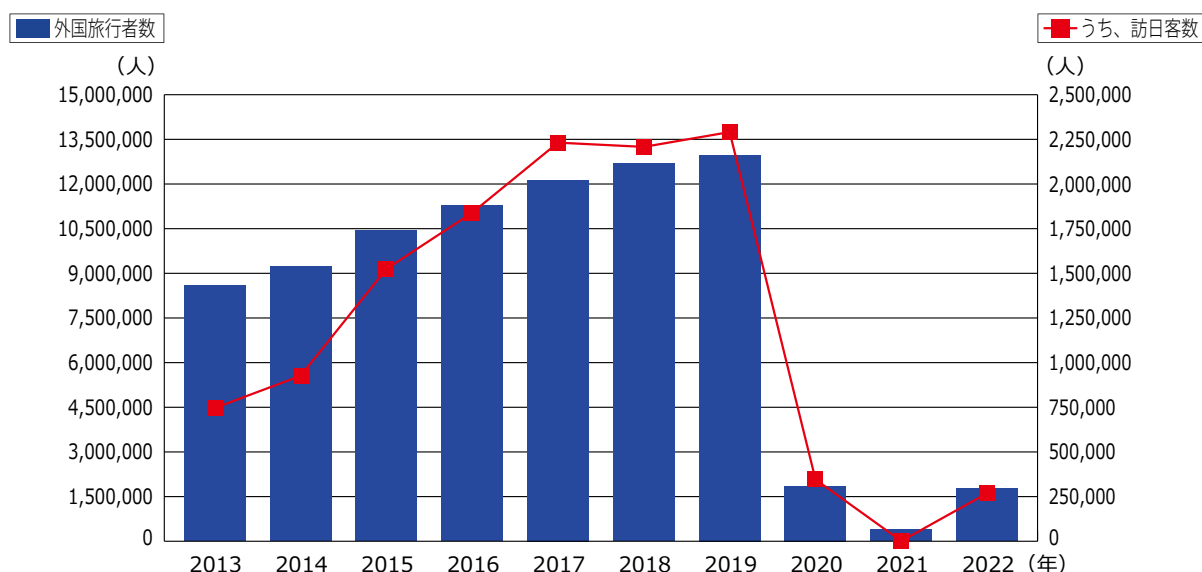
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
 出典：ユーロモニターインターナショナル



(1) 香港人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年～2022年)



外国人旅行者数(左目盛)	8,596,408	9,222,535	10,442,907	11,285,453	12,127,560	12,681,474	12,968,194	1,861,318	390,139	1,764,537
うち、訪日客数(右目盛)	745,881	925,975	1,524,292	1,839,193	2,231,568	2,207,804	2,290,792	346,020	1,252	269,285
訪日率(%)	8.7	10.0	14.6	16.3	18.4	17.4	17.7	18.6	0.3	15.3

注：総合編(9)で掲載した香港人の「外国旅行者数(出境者数)」(2019年)は、国際的に比較する際によく用いられ、かつ入手が可能な数値である「日帰りを含む旅行者数(V)」を掲載したが、この数値には、陸路による中国本土への「日帰りを含む旅行者数(V)」が含まれており、しかもそれが圧倒的多数を占めている。第3章(1)では、香港人の中国本土以外の外国旅行需要(出境旅行需要)により一層焦点を当てるため、陸路による中国本土行きが含まれる「日帰りを含む旅行者数(V)」ではなく、敢えて「空路のみの出境者数(中国本土や諸外国・地域への空路による日帰りを含む出境者数)」を掲載した。

出典：香港旅遊發展局(HKTB)、日本政府観光局(JNTO)

(2) 世界各国・地域への香港人訪問者数の推移 (2017年～2021年)

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	中国	VFN	79,795,890	79,368,424	80,500,736			80,500,736
2位	日本	VFN	2,231,568	2,207,804	2,290,792	346,020	1,252	2,290,792
3位	マカオ	THSR	1,609,126	1,492,038	1,601,607	275,449	237,640	1,609,126
4位	台湾	VFR	1,540,765	1,506,536	1,598,223	162,318	9,594	1,598,223
5位	タイ	TFN	821,064	1,015,599	1,045,361	124,233	1,657	1,045,361
6位	韓国	VFN	658,031	683,818	694,934	88,878	1,258	694,934
7位	シンガポール	VFR	465,781	473,124	488,542	58,976	5,432	488,542
8位	英国	VFR	400,217	402,722	408,963		12,122	408,963
9位	豪州	VFR	281,180	308,637	315,142	60,927	3,098	315,142
10位	カナダ	TFR	160,222	154,298	170,418	31,075	14,843	170,418
11位	米国	TFR	147,168	151,740	155,243	22,631	9,814	155,243
12位	スイス	THSR	91,060	94,974	117,040	11,853	3,023	117,040
13位	フィリピン	TFR	111,135	117,992	91,653	12,444	354	117,992
14位	ニュージーランド	VFR	54,688	58,763	53,720	13,125	817	58,763
15位	ベトナム	VFR	47,721	62,208	51,618			62,208
16位	インドネシア	VFN	98,272	91,182	50,324	2,625	2,432	98,272
17位	アラブ首長国連邦	VFN	32,381	38,004	40,705	8,321		40,705
18位	フィンランド	TCER	31,478	34,377	38,212	12,181	3,757	38,212
19位	ミャンマー	TFN	392	7,183	32,005	4,393	42	32,005
20位	トルコ	TFN	6,726	18,452	29,663	4,053	1,040	29,663
21位	ロシア	VFN	18,175	23,926	23,057	1,211		23,926
22位	イタリア	TFN	24,332	9,368	22,467	2,462	2,763	24,332
23位	ジンバブエ	VFR	14,407	19,428	21,958	3,634	9,020	21,958

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
24位	アイスランド	TFN	9,901	15,545	14,830	3,319	501	15,545
25位	ベルギー	TCER	7,162	15,785	13,843	1,355	598	15,785
26位	ポーランド	TCER	11,626	10,167	13,386	663	311	13,386
27位	イスラエル	TFR	9,085	9,461	12,783	1,243	31	12,783
28位	ポルトガル	TCER			12,754	2,585	1,067	12,754
29位	カザフスタン	VFR	5,737	7,002	7,427	783	77	7,427
30位	ルーマニア	VFR	4,578	4,970	5,367	398	131	5,367
31位	グアム	TFR	14,745	6,593	5,122	491	29	14,745
32位	ヨルダン	TFN	3,024	3,600	5,060	511	72	5,060
33位	メキシコ	TFN	3,671	4,377	4,326	830	484	4,377
34位	モンゴル	TFN	2,808	3,121	4,311	147	8	4,311
35位	ブラジル	TFR	3,245	4,170	4,250	957	75	4,250
36位	ペルー	TFR	3,024	4,191	4,101	975	45	4,191
	北マリアナ諸島(サイパン)	VFN	5,499	2,838	2,963	253	7	5,499
	カンボジア	TFR	13,461	12,221	2,191	273	3	13,461
	ラトビア	TCER	2,358	3,085	1,538	271	25	3,085
	モロッコ	TFN	4,201	3,454	1,482	3	1	4,201

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

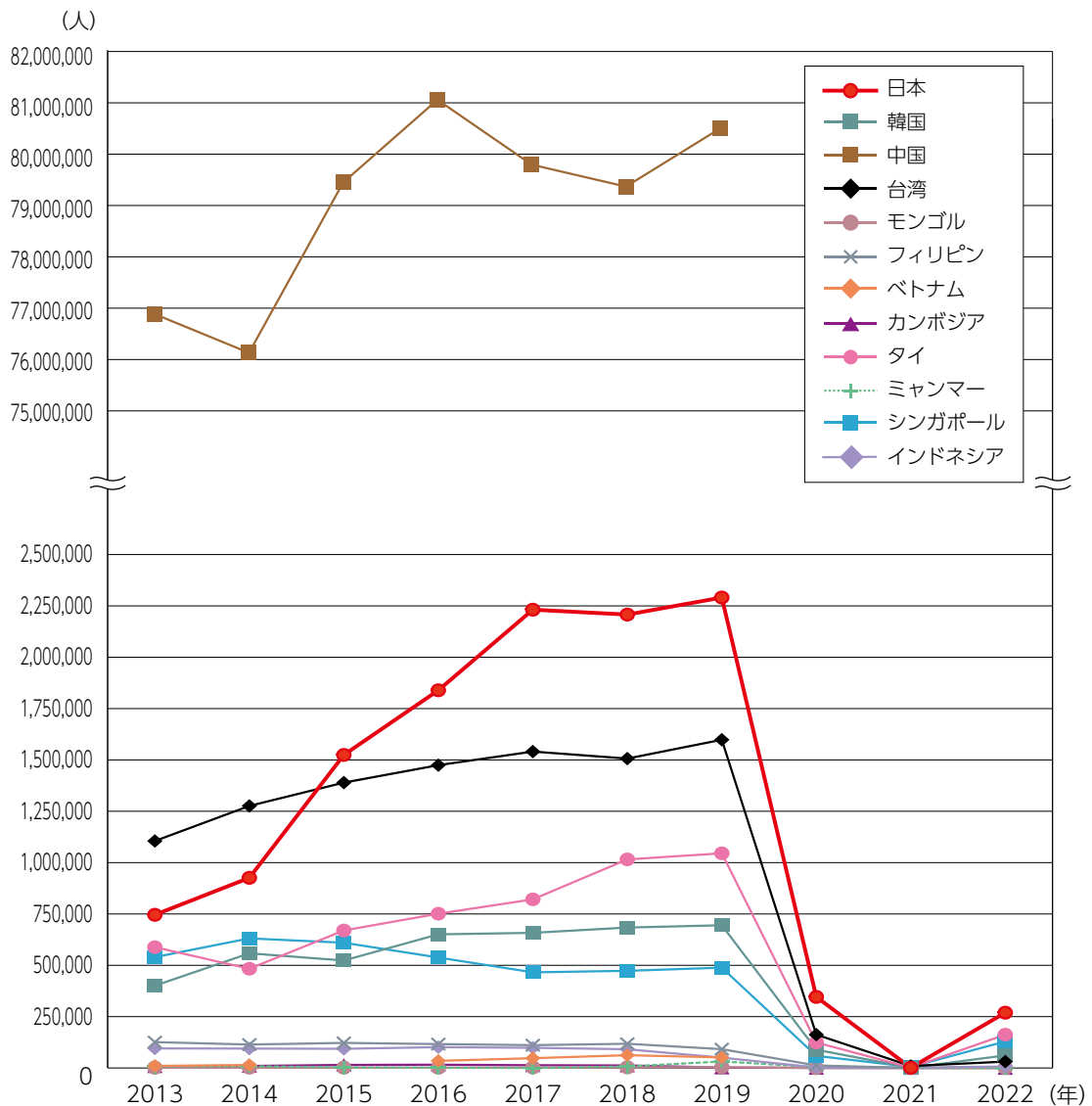
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域への香港人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

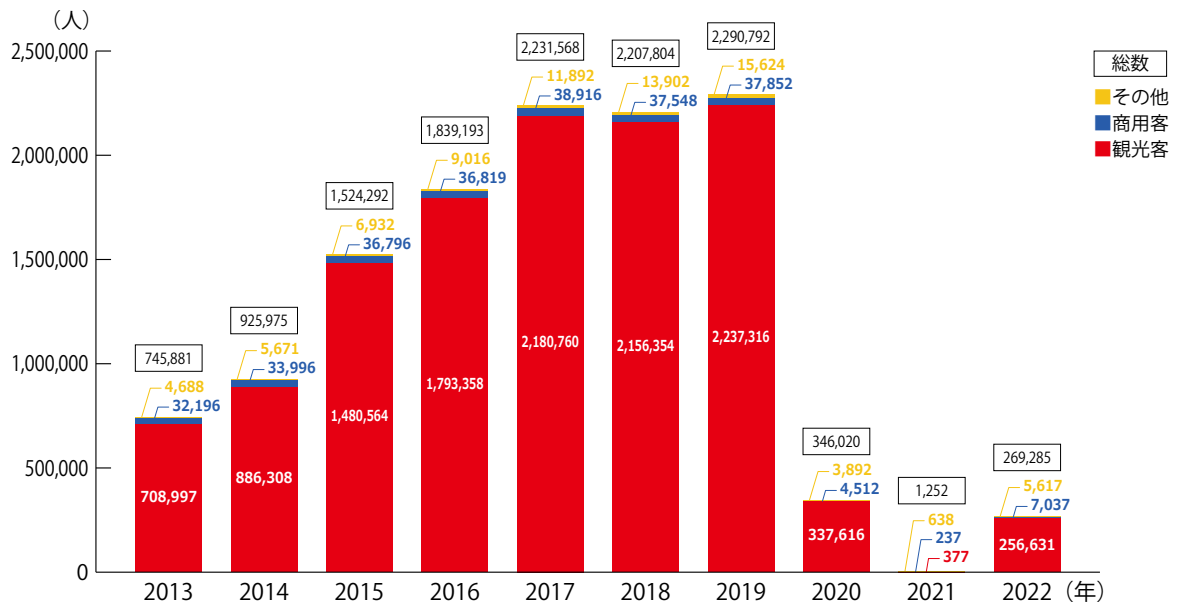
↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	76,884,622	76,131,700	79,448,100	81,059,391	79,795,890	79,368,424	80,500,736			
日本	VFN	745,881	925,975	1,524,292	1,839,193	2,231,568	2,207,804	2,290,792	346,020	1,252	269,285
台湾	VFR	1,105,223	1,276,039	1,389,529	1,474,521	1,540,765	1,506,536	1,598,223	162,318	9,594	31,009
タイ	TFN	588,335	483,131	669,617	751,264	821,064	1,015,599	1,045,361	124,233	1,657	162,240
韓国	VFN	400,435	558,377	523,427	650,676	658,031	683,818	694,934	88,878	1,258	61,195
シンガポール	VFR	539,810	631,029	609,888	537,969	465,781	473,124	488,542	58,976	5,432	129,046
フィリピン	TFR	126,008	114,100	122,180	116,328	111,135	117,992	91,653	12,444	354	
ベトナム	VFR	10,232	14,601		34,613	47,721	62,208	51,618			
インドネシア	VFN	95,258	94,560	93,529	101,369	98,272	91,182	50,324	2,625	2,432	7,086
ミャンマー	TFN	7,874	8,522	2,913	1,260	392	7,183	32,005	4,393	42	347
モンゴル	TFN	1,729	1,927	1,848	1,583	2,808	3,121	4,311	147	8	244
カンボジア	TFR	8,576	9,847	14,787	15,980	13,461	12,221	2,191	273	3	31
ラオス	VFN										
マレーシア	TFN										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

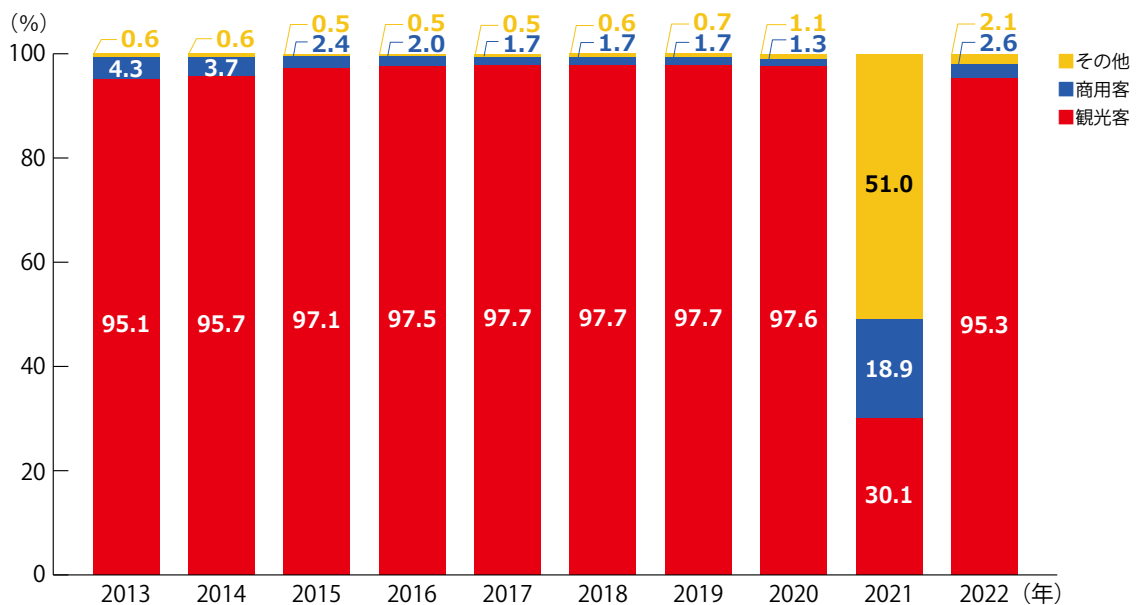
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日香港人の推移 (2013年～2022年)



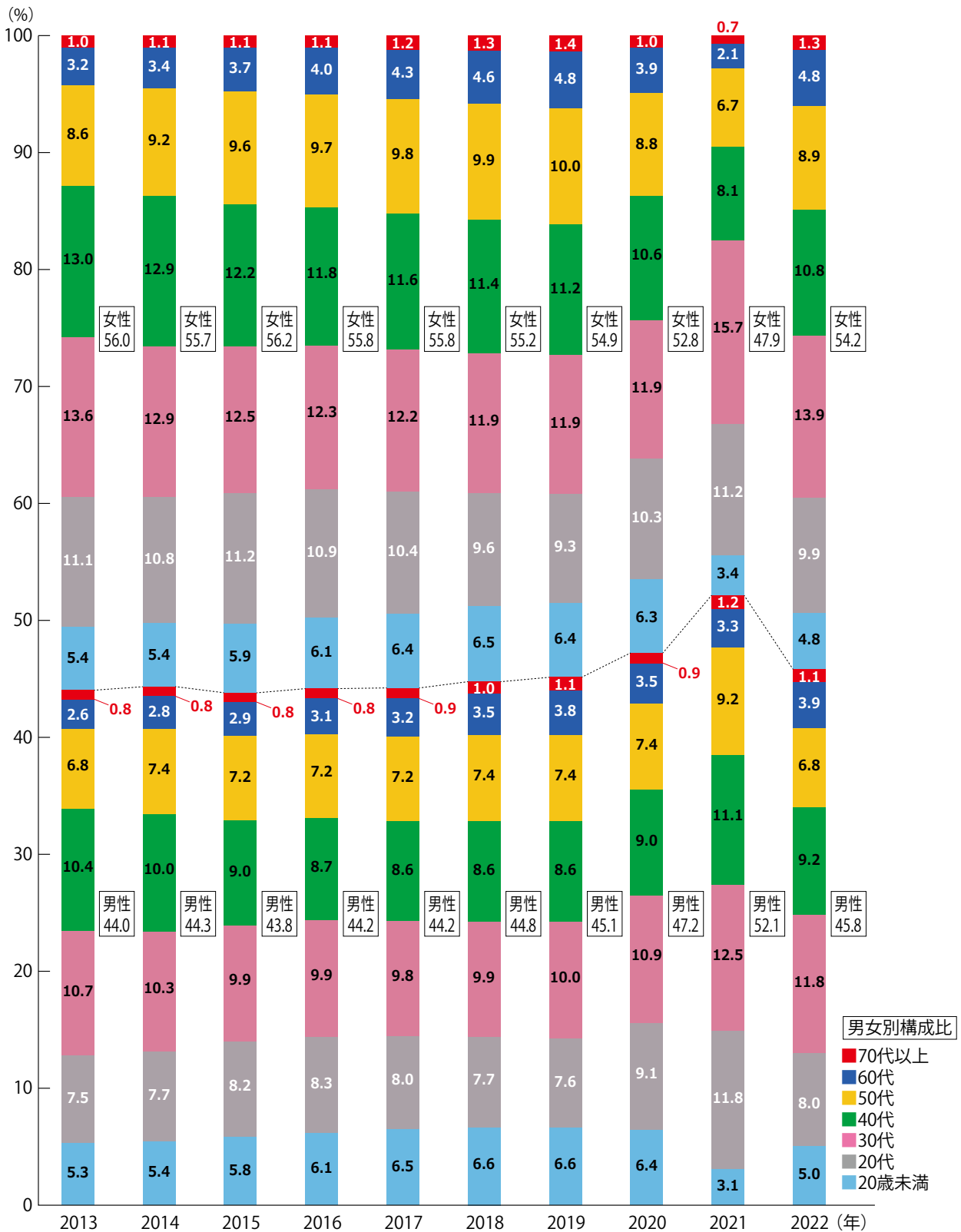
出典：日本政府観光局 (JNTO)

(2) 訪日香港人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



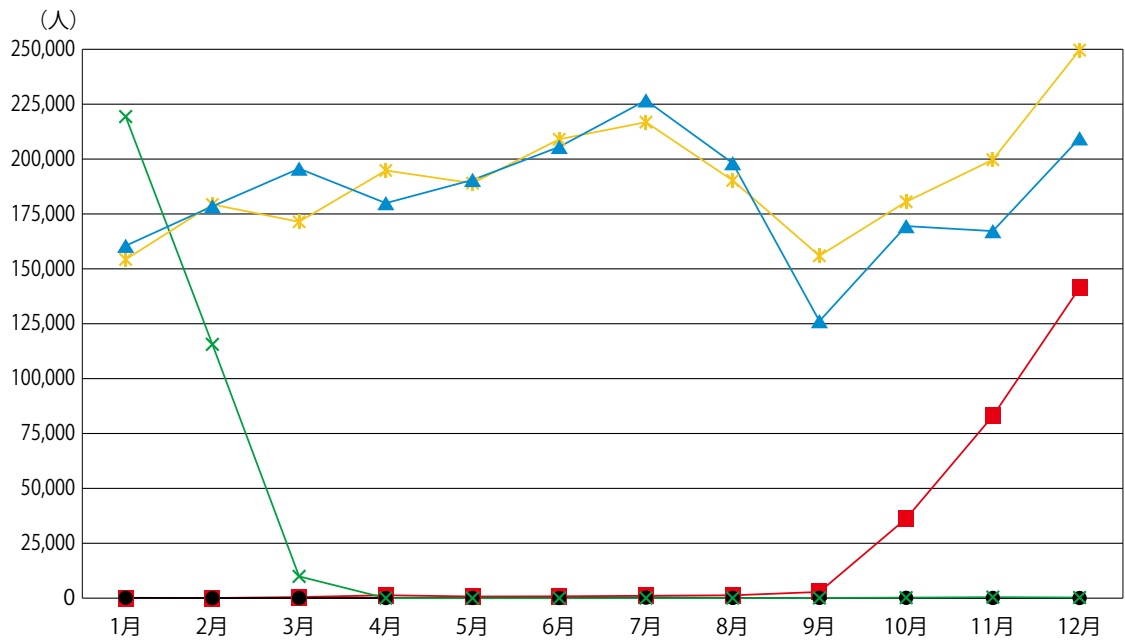
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (3) 訪日香港人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。  
 出典：日本国法務省

(4) 月別訪日香港人の推移 (2018年～2022年)

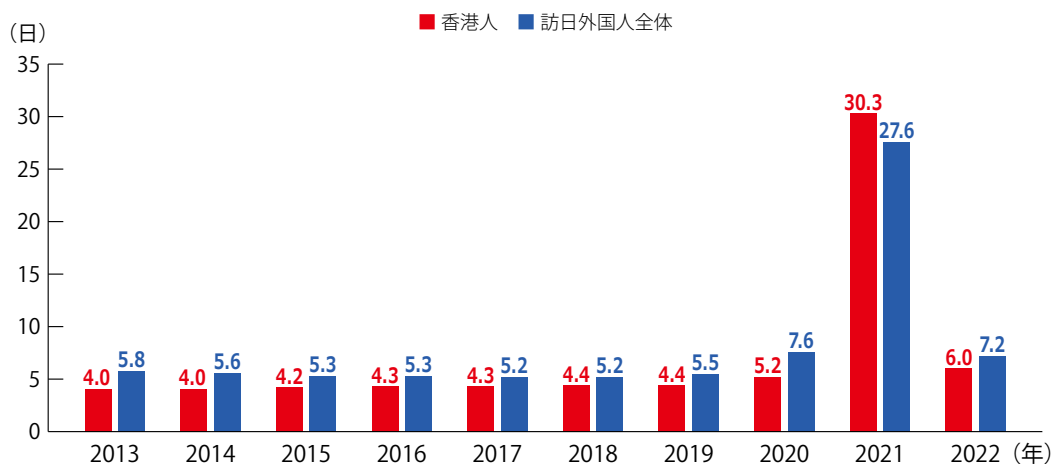


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	71	70	488	1,320	744	833	1,091	1,299	2,824	36,242	82,989	141,314
● 2021年	161	39	58	59	65	53	253	123	120	144	104	73
× 2020年	219,358	115,613	9,917	14	1	7	19	41	89	221	453	287
* 2019年	154,292	179,324	171,430	194,806	189,007	209,030	216,810	190,260	155,927	180,562	199,702	249,642
▲ 2018年	160,520	178,482	195,651	179,930	190,505	205,549	226,755	198,127	126,174	169,473	167,184	209,454

出典：日本政府観光局 (JNTO)

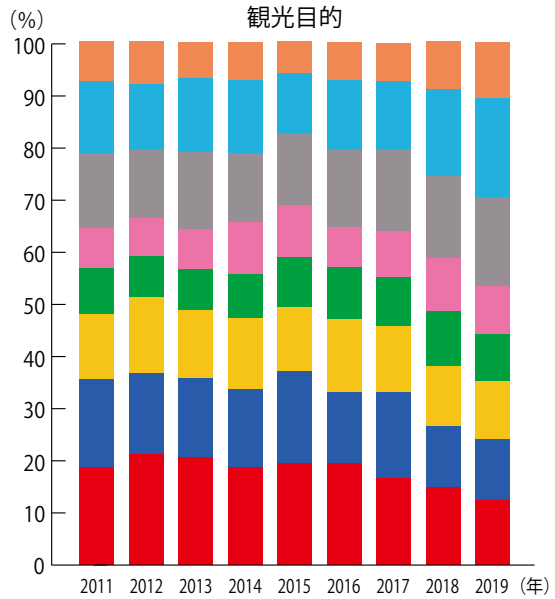
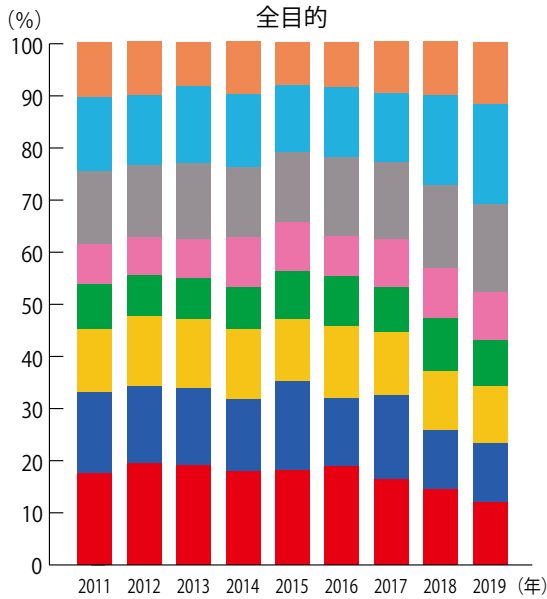
(5) 訪日香港人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (6) 訪日香港人の訪日回数 (2011年～2019年)



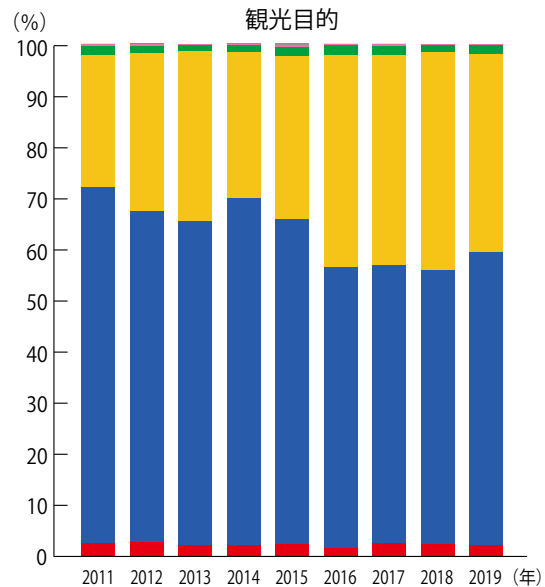
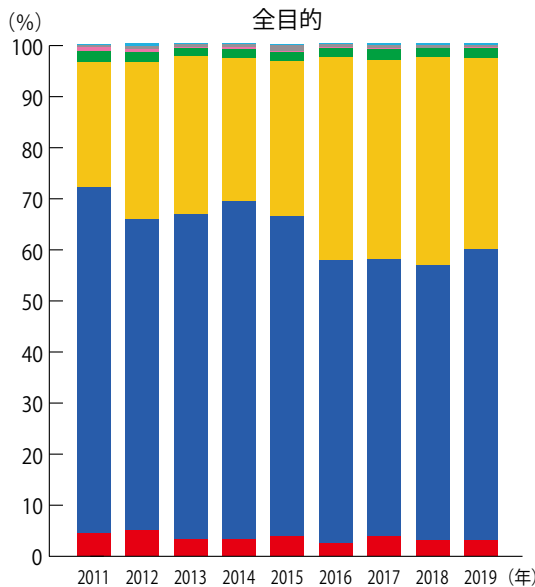
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	10.6	10.4	8.4	10.1	8.3	8.6	9.8	10.3	12.0
10～19回目	14.1	13.4	14.7	14.0	12.8	13.5	13.3	17.3	19.1
6～9回目	14.0	13.6	14.5	13.5	13.4	15.1	14.8	15.8	16.9
5回目	7.6	7.4	7.6	9.4	9.4	7.6	9.0	9.6	9.1
4回目	8.7	7.8	7.7	8.1	9.1	9.7	8.8	10.1	8.8
3回目	12.1	13.4	13.3	13.3	12.0	13.6	11.9	11.3	11.0
2回目	15.4	14.7	14.7	13.9	16.9	13.0	16.0	11.3	11.2
1回目	17.5	19.4	19.0	17.8	18.1	18.9	16.4	14.4	11.9

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	7.7	8.1	6.9	7.3	6.2	7.3	7.4	9.0	10.8
10～19回目	13.7	12.6	14.1	13.8	11.5	13.4	12.9	16.8	18.9
6～9回目	14.3	13.2	14.9	13.3	13.7	14.8	15.7	15.7	17.1
5回目	7.6	7.1	7.6	10.0	10.0	7.7	8.8	10.0	9.1
4回目	8.8	8.0	7.8	8.4	9.4	9.8	9.3	10.6	9.0
3回目	12.6	14.5	13.0	13.6	12.2	14.1	12.8	11.5	11.1
2回目	16.8	15.4	15.1	14.9	17.6	13.4	16.3	11.5	11.7
1回目	18.6	21.2	20.6	18.6	19.5	19.5	16.6	14.9	12.3

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日香港人の滞在期間 (2011年～2019年)



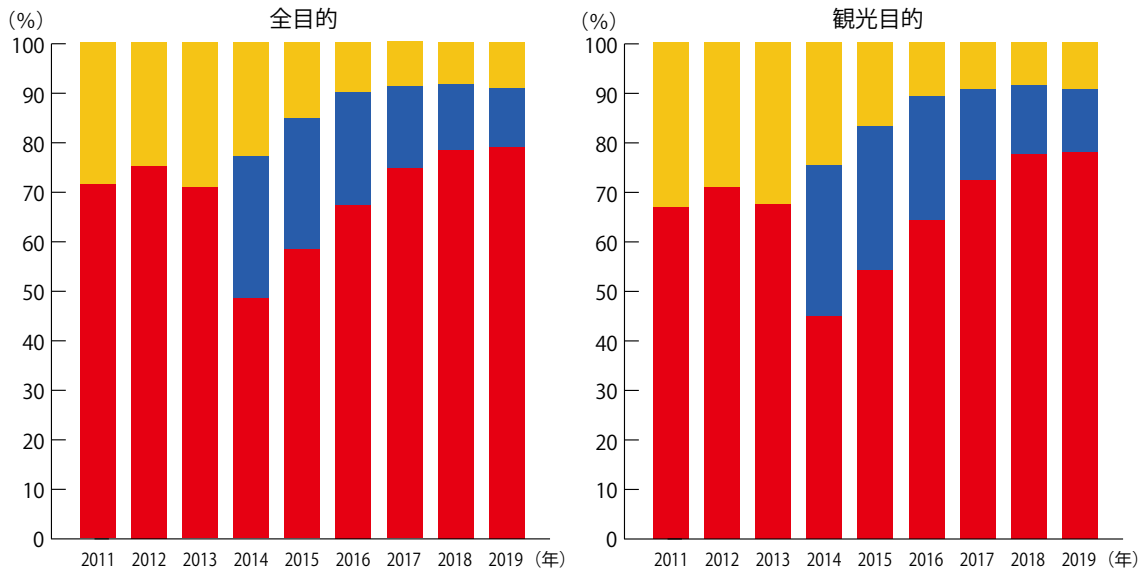
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.2	0.4	0.2	0.1	0.2	0.2	0.3	0.3	0.2
28～90日間	0.5	0.7	0.6	0.7	1.1	0.4	0.7	0.5	0.5
21～27日間	0.6	0.6	0.2	0.4	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3
14～20日間	2.1	1.9	1.4	1.6	1.8	1.8	2.0	1.7	1.8
7～13日間	24.6	30.6	31.0	28.0	30.3	39.6	38.9	40.7	37.4
4～6日間	67.5	60.8	63.3	66.0	62.3	55.2	54.1	53.7	56.8
3日間以内	4.4	5.0	3.3	3.2	3.9	2.5	3.8	3.0	3.0

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.0	0.1	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28～90日間	0.1	0.1	0.0	0.2	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1
21～27日間	0.3	0.4	0.1	0.1	0.2	0.2	0.3	0.1	0.2
14～20日間	1.9	1.3	1.3	1.5	1.9	1.9	1.7	1.5	1.6
7～13日間	25.7	30.9	33.1	28.4	31.7	41.4	41.2	42.5	38.7
4～6日間	69.5	64.6	63.4	67.8	63.6	55.0	54.2	53.6	57.2
3日間以内	2.5	2.7	2.0	2.1	2.2	1.4	2.5	2.2	2.1

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日香港人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	28.7	25.0	29.3	23.0	15.4	10.2	8.9	8.5	9.3
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	28.7	26.4	22.7	16.7	13.3	11.8
■ 個別手配	71.3	75.0	70.7	48.3	58.2	67.1	74.5	78.2	78.9

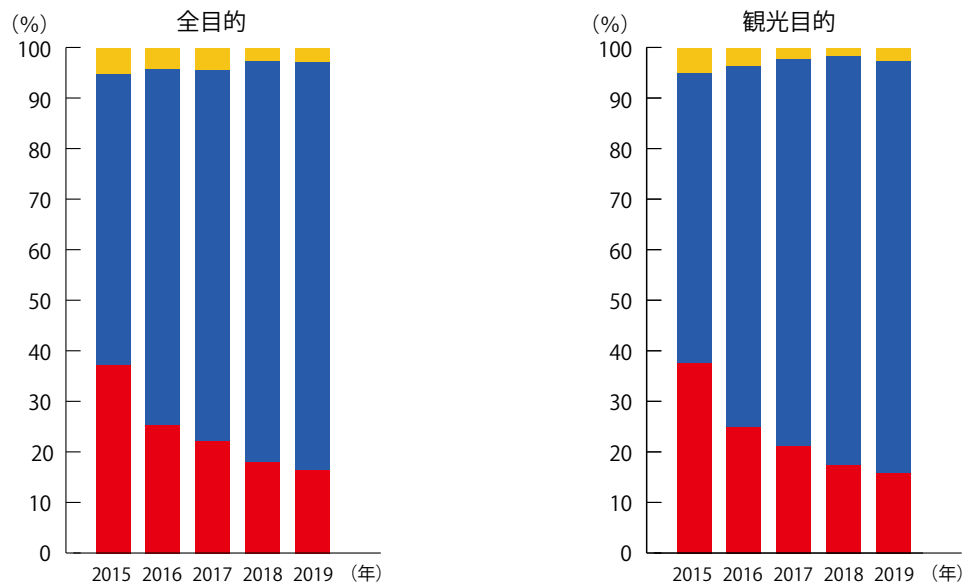
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	33.3	29.2	32.6	24.7	17.0	10.9	9.4	8.6	9.5
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	30.3	28.9	25.0	18.3	13.9	12.6
■ 個別手配	66.7	70.8	67.4	44.9	54.1	64.1	72.3	77.4	77.9

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日香港人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	5.3	4.2	4.4	2.7	2.8
■ ウェブサイトから申し込んだ	57.4	70.3	73.4	79.2	80.6
■ 店頭で申し込んだ	37.3	25.5	22.2	18.1	16.5

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	4.9	3.5	2.2	1.7	2.5
■ ウェブサイトから申し込んだ	57.5	71.3	76.5	80.8	81.5
■ 店頭で申し込んだ	37.6	25.1	21.3	17.5	16.0

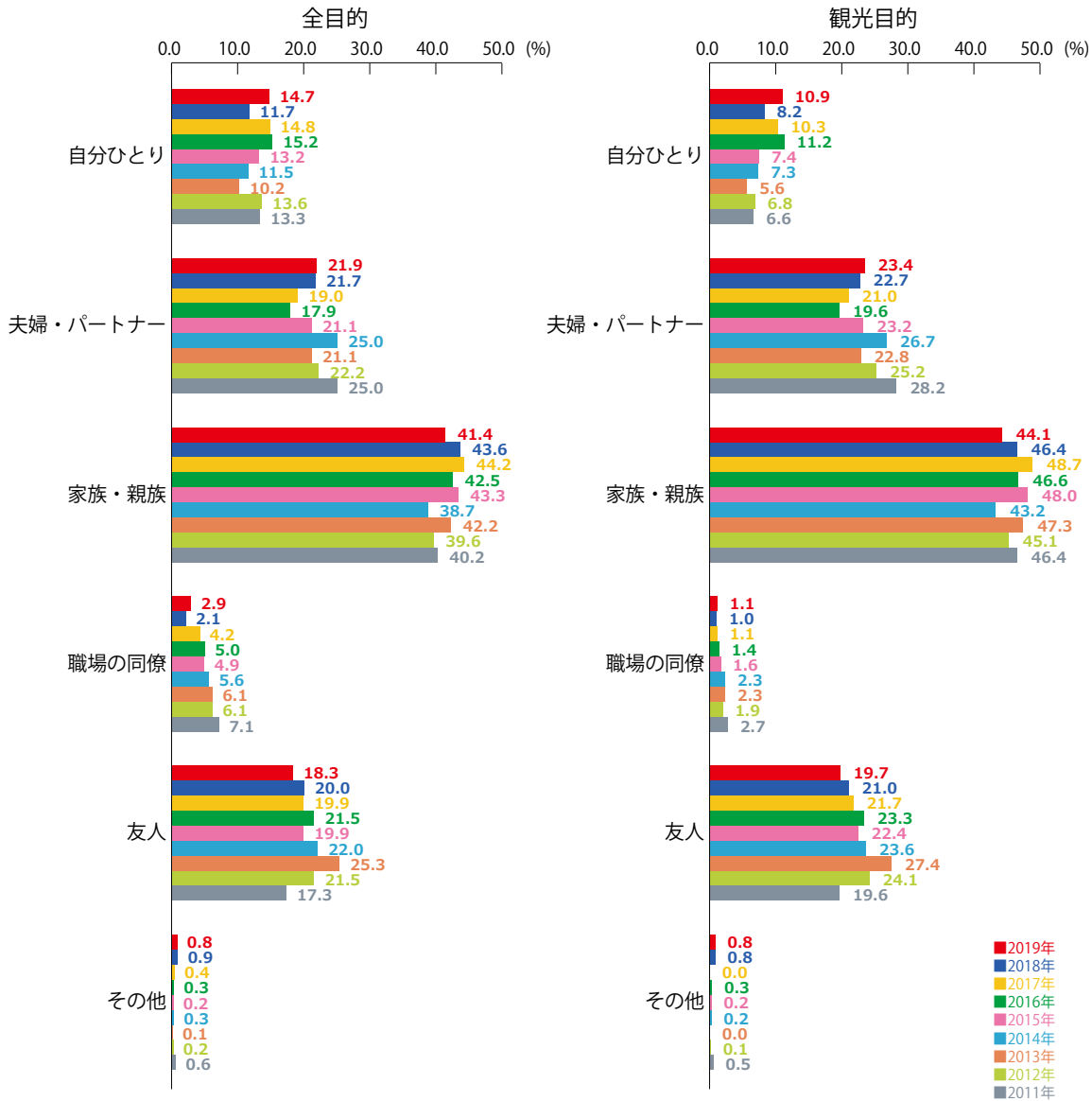
注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(10) 訪日香港人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日香港人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	69.7 72.5 72.4 79.4 77.7	97.5 96.2 95.9 97.7 96.8	65.3 67.1 61.4 67.3 69.6
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	17.3 15.5 16.8 19.8 13.8	30.8 31.3 33.3 31.4 29.5	14.7 15.2 18.2 20.5 16.9
旅館に宿泊	18.6 19.6 20.3 29.2 24.1	30.0 32.3 34.0 40.5 38.2	25.9 25.4 31.2 32.8 29.5
温泉入浴	31.0 33.2 30.6 31.6 30.4	38.0 36.1 35.0 36.2 34.3	52.7 49.9 45.3 44.4 44.9
自然・景勝地観光	50.2 51.8 48.1 53.2 49.2	71.9 73.4 65.3 70.0 68.6	48.8 46.8 43.3 48.5 43.4
繁華街の街歩き	42.8 42.0 43.2 49.5 44.3	76.8 73.9 75.0 75.1 73.6	26.8 30.1 31.5 32.8 31.8
ショッピング	57.6 61.0 61.4 67.8 68.4	89.2 89.5 88.5 90.3 91.7	51.5 54.0 48.0 52.0 59.1
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	19.7 16.9 13.2 14.0 11.4	29.6 27.5 20.4 20.8 18.3	13.3 13.1 17.7 20.5 16.0
テーマパーク	13.6 16.3 14.2 16.8 20.1	15.5 21.2 19.0 19.3 26.5	22.1 20.0 23.5 21.5 25.3
スキー・スノーボード	4.4 4.1 5.4 3.9 4.2	3.1 3.0 3.9 2.5 3.3	20.9 17.4 24.5 23.3 24.2
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.9 2.2 2.0 0.7 1.2	1.2 2.0 1.9 0.7 1.1	1.3 2.1 9.9 7.9 6.0
舞台・音楽鑑賞	2.6 2.9 4.0 2.4 2.4	2.4 2.8 4.2 2.0 2.7	4.5 4.8 11.3 11.3 8.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	1.9 1.5 1.5 0.8 1.4	1.4 1.1 1.0 0.6 0.7	5.3 5.3 8.5 8.3 7.7
自然体験ツアー・農漁村体験	6.2 5.9 6.4 6.3 6.1	6.6 6.5 10.0 6.9 7.6	14.8 14.6 19.5 20.4 16.7
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	15.2 11.4 12.8 12.8 13.5	15.6 12.5 14.1 11.4 14.3	30.5 26.8 36.0 36.0 34.2
映画・アニメ縁の地を訪問	3.0 3.4 3.5 3.4 3.7	2.8 3.6 4.4 4.1 2.9	6.4 4.4 10.8 8.0 9.0
日本の歴史・伝統文化体験	13.6 11.3 13.8 12.2 10.6	19.4 18.0 23.7 18.9 17.4	18.5 16.4 24.3 21.6 19.6
日本の日常生活体験	10.1 8.9 12.7 13.5 13.1	14.8 12.5 20.4 18.0 18.2	18.2 14.9 21.7 21.9 21.4
日本のポップカルチャーを楽しむ	8.5 8.2 17.9 10.7 10.7	11.6 12.6 17.1 15.5 15.5	12.7 11.7 17.0 15.1 16.9
治療・健診	0.3 0.9 0.6 0.1 1.3	0.2 0.9 0.7 0.7 0.9	0.6 0.6 5.9 4.4 4.1
上記には当てはまるものがない	6.1 3.3 5.6 3.8 4.0	0.3 0.2 0.0 0.0 0.4	0.5 0.7 2.5 1.2 1.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	71.0 73.4 80.7 78.5	97.8 96.1 95.8 97.6 97.0	65.8 67.2 61.1 67.1 69.2
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	17.3 18.2 19.9 13.3	30.7 31.3 34.2 31.0 28.4	14.7 15.0 19.9 20.4 15.9
旅館に宿泊	19.5 20.4 22.7 31.4 26.3	31.2 33.1 37.9 43.3 40.9	27.0 25.9 33.5 34.2 30.6
温泉入浴	32.6 31.3 33.4 34.7 33.2	40.2 37.0 38.3 39.4 37.5	53.6 50.0 47.6 45.6 45.8
自然・景勝地観光	53.0 53.9 51.6 58.2 52.0	75.7 76.2 75.4 69.7 75.9 73.0	50.0 47.4 43.0 50.0 44.0
繁華街の街歩き	44.7 43.3 46.7 52.6 46.4	78.7 75.4 76.2 77.7 76.1	28.0 30.9 32.8 34.4 33.2
ショッピング	59.1 62.2 63.6 70.5 70.6	90.0 90.0 89.9 91.5 93.2	52.4 55.6 50.3 53.9 59.5
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	20.6 17.5 14.2 14.8 12.1	31.1 28.3 21.8 22.6 20.0	13.1 13.2 17.7 21.1 16.6
テーマパーク	14.4 17.2 15.5 18.6 22.4	16.6 22.4 20.9 21.1 30.0	22.5 20.6 24.2 22.8 27.4
スキー・スノーボード	4.6 4.1 5.7 4.3 4.5	3.3 3.0 4.2 2.6 3.6	21.5 17.8 25.5 23.5 25.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.1 2.1 2.2 0.7 1.3	1.3 2.0 2.0 0.6 1.2	1.2 2.2 10.5 8.5 6.0
舞台・音楽鑑賞	2.3 2.4 4.1 2.1 2.3	2.1 2.4 4.1 1.8 2.8	4.2 4.5 11.8 11.5 8.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	1.8 1.4 1.6 0.9 1.5	1.3 1.0 1.1 0.7 0.8	4.7 5.5 8.9 8.6 7.5
自然体験ツアー・農漁村体験	6.4 6.1 7.0 6.9 6.8	6.8 6.7 11.0 7.5 8.6	14.8 14.8 20.1 20.6 16.6
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	16.2 11.6 14.2 14.0 14.8	16.5 12.8 15.6 12.4 15.9	31.1 27.2 37.4 36.8 35.2
映画・アニメ縁の地を訪問	3.1 3.2 3.5 3.6 4.0	2.9 3.5 4.2 3.9 2.9	6.6 4.2 11.1 8.9 9.3
日本の歴史・伝統文化体験	13.9 11.2 15.1 13.3 11.3	19.6 17.9 24.7 20.3 18.1	18.4 15.8 23.0 21.0 19.2
日本の日常生活体験	9.9 8.5 13.3 14.3 13.2	14.5 12.1 20.3 18.3 18.3	18.2 14.6 22.5 22.3 21.6
日本のポップカルチャーを楽しむ	8.8 7.8 12.6 11.1 11.5	12.0 12.4 17.5 16.2 16.6	13.1 11.7 17.8 15.7 17.6
治療・健診	0.3 0.9 0.5 0.2 1.3	0.2 0.9 0.8 0.8 0.8	0.5 0.7 3.4 4.4 4.3
上記には当てはまるものがない	4.1 2.1 3.5 2.4 2.3	0.1 0.0 0.4 0.0 0.0	0.4 0.6 2.4 0.9 1.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(12) 香港人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	20.3 25.4 31.2 36.0 36.8	21.1 26.2 34.0 38.6 40.0
旅行会社ホームページ	16.2 18.2 20.3 20.5 21.3	16.8 18.9 22.1 20.8 22.8
宿泊施設ホームページ	14.7 18.2 19.8 22.3 20.7	15.1 18.9 20.2 22.5 21.4
航空会社ホームページ	11.5 14.3 16.4 18.2 14.7	11.7 14.5 17.6 17.9 14.4
地方観光協会ホームページ	13.2 14.1 12.3 14.0 12.8	13.8 14.7 13.4 15.1 14.4
宿泊予約サイト	12.4 15.1 18.4 17.1 15.2	12.5 15.9 19.3 17.3 15.5
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	15.1 16.5 13.9 14.1 13.1	15.4 17.4 14.6 15.2 14.3
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	23.8 21.8 22.8 14.8 10.8	24.5 22.0 23.9 15.9 11.6
個人のブログ	27.7 30.0 33.2 33.7 30.0	29.4 31.0 35.9 37.2 33.2
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	17.8 12.5 10.8 7.2 4.8	18.8 12.9 12.0 7.9 5.4
その他インターネット	6.5 5.0 5.6 4.3 3.2	6.5 4.9 5.4 4.3 3.2
日本政府観光局の案内所	3.6 4.4 6.7 6.9 7.2	3.7 4.5 7.3 7.3 7.9
旅行会社パンフレット	5.6 5.7 9.0 8.3 11.9	5.9 6.1 10.1 9.1 13.3
旅行ガイドブック	10.1 12.6 12.2 11.0 13.6	10.7 13.1 12.3 11.5 14.9
自国の親族・知人	14.4 13.3 15.0 13.7 11.5	14.9 13.4 15.5 15.0 11.6
日本在住の親族・知人	6.4 5.7 7.3 8.6 7.5	5.1 4.6 5.0 7.6 5.9
旅行の展示会や見本市	0.9 1.2 1.2 0.5 1.5	0.7 1.2 1.1 0.5 1.5
テレビ番組	14.9 14.9 16.9 12.1 14.1	15.8 15.3 18.3 12.3 15.5
新聞	2.0 3.5 5.5 3.6 3.9	2.2 3.7 5.4 4.0 4.1
旅行専門誌	18.3 22.5 27.0 24.8 31.9	19.6 23.6 29.6 27.4 34.8
その他雑誌	0.3 1.0 2.6 1.3 1.4	0.4 0.8 2.9 1.5 1.5
その他	1.2 1.2 1.8 3.7 3.8	0.4 0.6 1.1 2.5 3.1
特になし	9.6 7.1 5.4 7.5 7.6	8.8 5.9 2.6 5.5 5.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) 香港人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	39.1 36.8	40.5 37.7
交通手段	57.6 55.9	59.0 57.0
飲食店	40.6 38.8	41.2 39.9
観光施設	43.5 41.1	45.5 42.6
イベント	7.2 7.3	7.2 7.3
土産物	14.9 16.3	15.5 16.8
買物場所	22.4 23.7	23.2 24.2
無料Wi-Fi	21.8 29.4	21.9 29.5
祈祷室	0.1 0.1	0.1 0.2
ATM	4.8 7.0	4.4 6.6
宅配便	1.1 2.2	1.2 2.2
日本文化体験プログラム	4.4 3.5	4.4 3.3
自然体験ツアー・農山漁村体験	4.4 4.4	4.7 4.5
通訳案内士・観光ガイド	2.7 2.9	2.8 2.9
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	3.0 4.0	3.1 4.2
クレジットカード利用可能店舗	4.3 5.2	4.0 5.1
その他	0.4 0.2	0.4 0.2
特になし	12.0 9.4	11.5 8.7

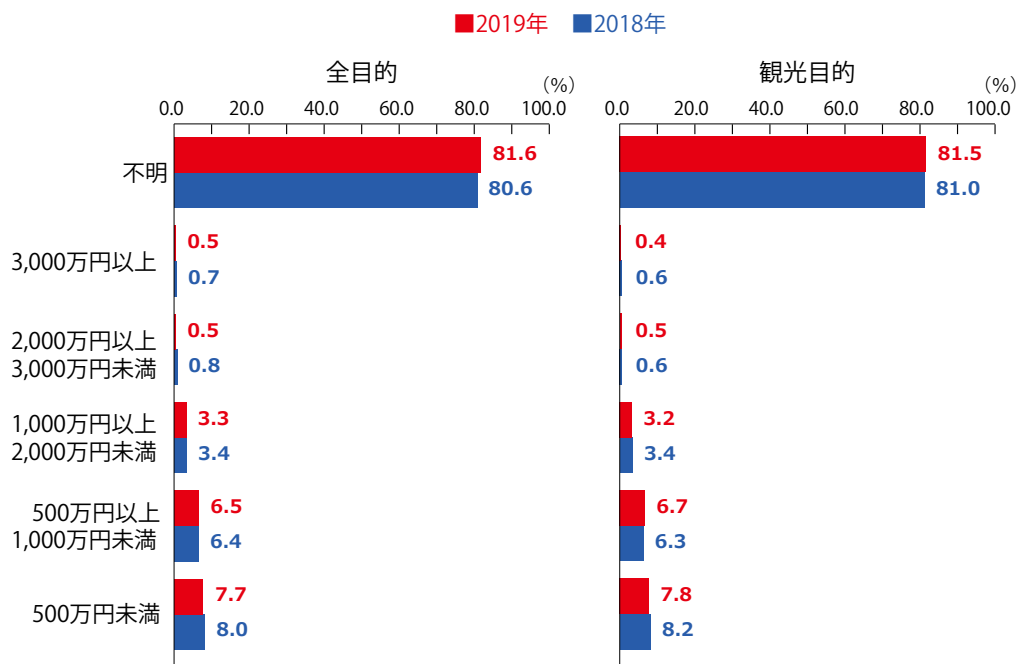
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

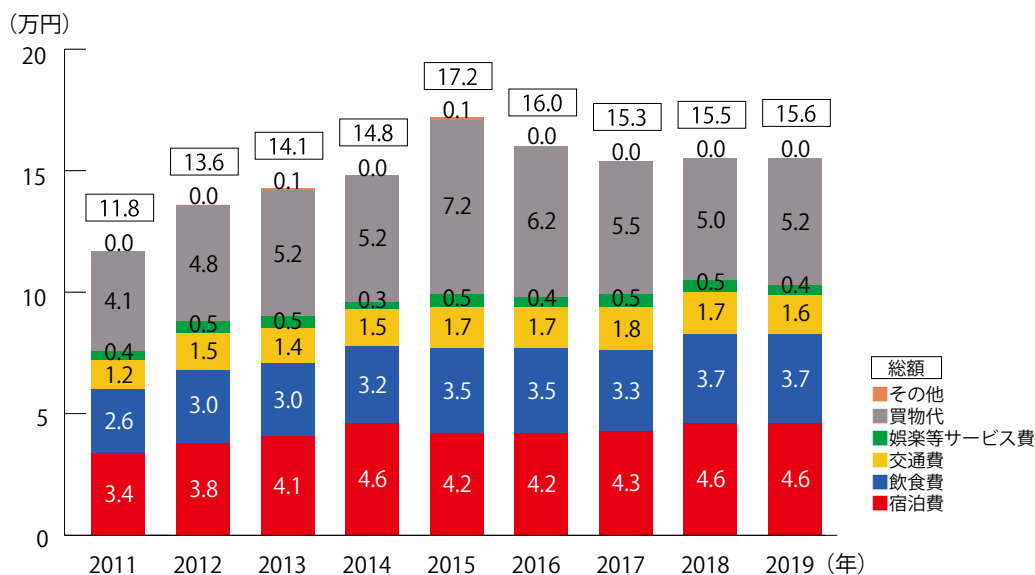
(14) 訪日香港人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(15) 訪日香港人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日香港人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		2,914	155,951	2,671	153,928
滞在日数	3日間以内	91	70,625	57	70,559
	4～6日間	1,659	136,354	1,529	135,650
	7～13日間	1,084	180,132	1,031	179,034
	14～20日間	52	257,373	45	264,414
	21～27日間	8	200,541	6	248,362
	28～90日間	15	353,176	3	484,660
	91日間以上1年未満	5	1,122,771	0	-
性・年代	男性	1,358	155,660	1,212	152,830
	15～19歳	48	117,056	46	119,829
	20～29歳	331	147,482	301	143,321
	30～39歳	387	157,118	333	157,967
	40～49歳	314	166,426	278	159,350
	50～59歳	188	156,074	168	154,978
	60～69歳	82	163,893	78	159,754
	70歳以上	8	154,654	8	154,654
	女性	1,556	156,205	1,459	154,840
	15～19歳	39	112,857	37	105,882
	20～29歳	369	144,056	341	139,630
	30～39歳	441	153,922	414	155,985
	40～49歳	366	163,066	347	159,888
	50～59歳	262	173,386	244	172,166
60～69歳	69	160,793	66	164,704	
70歳以上	10	130,238	10	130,238	
日本への 来訪回数	1回目	343	136,193	324	136,333
	2回目	317	140,558	303	140,898
	3回目	323	136,476	299	135,477
	4回目	252	139,085	236	141,976
	5回目	264	178,098	243	166,210
	6～9回目	502	144,146	465	141,728
	10～19回目	561	175,964	509	173,121
	20回目以上	352	188,267	292	192,378

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日香港人の購入者単価 (2019年)

調査項目		全目的			観光目的		
		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	283	137,745		266	134,035	
	個人旅行向けパッケージ商品	333	111,807		327	112,859	
	往復航空(船舶)運賃	2,298	49,928		2,078	48,598	
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	2,310	47,987		2,129	46,739	
	飲食費	2,736	32,796		2,512	32,331	
	交通費	2,587	15,065		2,373	15,056	
	航空(日本国内移動のみ)	30	19,612		27	20,273	
	Japan Rail Pass	294	12,652		291	12,613	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	1,843	8,530		1,657	8,186	
	バス	518	2,979		495	2,980	
	タクシー	451	6,081		379	5,841	
	レンタカー	624	22,790		614	22,632	
	船舶(日本国内移動のみ)	74	2,724		73	2,745	
	その他交通費	71	6,920		66	7,092	
	娯楽等サービス費	1,267	8,413		1,216	7,803	
	現地ツアー・観光ガイド	143	11,711		139	11,280	
	ゴルフ場	2	3,348		2	3,348	
	テーマパーク	347	8,478		336	8,558	
	舞台・音楽鑑賞	33	16,221		27	15,896	
	スポーツ観戦	24	27,728		19	11,852	
	美術館・博物館・動植物園・水族館	716	2,918		697	2,883	
	スキー場リフト	44	20,368		42	20,776	
	温泉・湯浴施設・エステ・リラクゼーション	164	4,983		160	5,000	
	マッサージ・医療費	12	8,296		11	6,567	
	展示会・コンベンション参加費	23	3,273		18	2,912	
	レンタル料(レンタカーを除く)	4	16,013		4	16,013	
	その他娯楽等サービス費	63	10,826		59	7,600	
	買物代	2,869	52,883		2,638	51,272	
	菓子類	2,006	8,813		1,874	8,731	
	酒類	472	8,891		439	8,548	
	生鮮農産物	617	4,484		597	4,331	
	その他食料品・飲料・たばこ	1,186	7,640		1,123	7,616	
	化粧品・香水	1,333	17,332		1,252	16,913	
	医薬品	1,225	9,831		1,173	9,826	
	健康グッズ・トイレタリー	635	10,794		603	10,445	
	衣類	1,486	21,911		1,404	20,190	
	靴・かばん・革製品	914	26,293		872	23,369	
	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	142	17,541		133	17,080	
	時計・フィルムカメラ	56	129,224		50	115,536	
宝石・貴金属	21	35,811		20	33,596		
民芸品・伝統工芸品	202	8,483		191	8,178		
本・雑誌・ガイドブックなど	168	4,975		153	4,335		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	106	12,888		99	12,652		
その他買物代	156	19,339		144	17,278		
その他	3	70,166		3	70,166		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年の情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成



## (18) 訪日香港人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買い物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	66.8 71.4 72.2 71.8 78.3	68.3 72.6 74.0 74.5 80.5
家電量販店	14.9 16.4 19.4 18.3 25.3	15.0 16.4 20.3 19.0 25.9
ファッション専門店	26.1 26.9 27.3 31.5 37.6	26.6 27.4 27.7 33.3 39.8
100円ショップ	24.9 26.8 26.0 21.6 24.4	25.6 27.3 27.2 22.7 26.0
高速道路のSA・道の駅	8.0 7.3 8.8 7.7 9.8	8.4 7.7 9.7 8.4 10.4
観光地の土産店	33.6 33.4 32.3 31.2 37.1	35.4 35.1 34.9 33.8 40.4
宿泊施設	7.6 8.0 15.7 16.1 19.5	8.0 8.4 16.6 17.2 19.9
スーパーマーケット	63.8 66.4 69.0 67.7 67.1	65.1 67.3 70.4 69.1 68.0
コンビニエンスストア	78.7 76.6 72.4 68.6 69.1	79.5 77.5 72.5 69.4 69.8
ドラッグストア	75.0 74.0 75.4 73.0 70.3	76.7 75.2 77.8 75.7 72.3
ディスカウントストア	11.8 11.5 14.6 14.6 16.2	11.9 11.8 15.4 15.3 17.7
アウトレットモール	19.4 20.4 25.7 26.3 29.7	20.6 21.2 27.8 28.4 32.8
都心の複合商業施設	16.8 16.4 10.3 8.8 8.5	17.5 17.0 11.0 9.3 8.9
その他ショッピングセンター	16.9 15.9 21.8 20.1 17.6	16.9 16.2 22.6 20.8 19.0
鉄道駅構内の店舗	14.2 12.9 15.5 13.6 18.9	14.6 13.3 15.7 14.6 19.9
空港の免税店	58.0 55.9 57.0 61.0 60.0	57.9 55.9 57.0 61.5 59.7
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.7 0.5	0.7 0.5
その他	2.3 1.9 2.5 2.0 1.9	2.2 1.8 2.5 2.2 2.0
買い物はしなかった	0.5 0.5 0.4 0.3 0.4	0.3 0.3 0.1 0.1 0.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日香港人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	70.7 65.2
消費税免税の手続きをしていない	29.3 34.8

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	22.3 19.1
酒類	5.0 4.4
生鮮農産物	2.1 2.6
その他食料品・飲料・たばこ	8.2 9.1
化粧品・香水	33.7 32.1
医薬品	28.6 27.9
健康グッズ・トイレタリー	14.4 12.1
衣類	34.2 32.7
靴・かばん・革製品	22.7 20.9
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	3.4 3.7
時計・フィルムカメラ	1.5 1.5
宝石・貴金属	0.4 0.5
民芸品・伝統工芸品	1.3 1.6
本・雑誌・ガイドブックなど	0.6 1.0
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	1.1 1.3
その他買物代	2.2 1.7

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日香港人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	98.1 97.8	98.5 98.2
クレジットカード	57.8 56.2	57.3 55.7
交通系ICカード（Suica等）	19.1 15.7	18.5 15.3
その他ICカード（Edy等）	0.4 0.5	0.3 0.5
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	3.4 4.3	3.3 4.3
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	3.3 1.9	3.1 1.8
仮想通貨（BitCoin等）	0.1 0.0	0.1 0.0
割引クーポン	1.4 1.0	1.5 1.0
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.0 0.0	0.0 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(21) 訪日香港人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
東京都	1位	43.7	52.2	40.9	38.9	30.4	33.7	32.7	32.8	32.3	
大阪府	2位	25.8	19.5	23.5	28.7	35.3	34.1	33.2	32.5	31.4	
千葉県	3位	5.8	8.5	6.3	5.8	24.3	26.9	27.3	28.8	28.4	
京都府	4位	7.4	10.7	13.7	18.3	18.3	20.5	17.7	19.2	19.1	
福岡県	5位	6.9	4.2	9.4	6.0	8.8	9.5	9.6	10.7	11.4	
沖縄県	6位	13.9	10.5	12.4	11.6	14.8	12.1	12.9	8.5	8.5	
北海道	7位	11.5	13.6	11.5	13.2	9.9	10.1	9.3	8.5	8.1	
愛知県	8位	3.6	3.6	6.9	7.4	6.7	8.6	7.1	7.5	8.1	
奈良県	9位	1.9	2.3	3.4	4.7	4.8	6.4	5.0	8.5	7.8	
兵庫県	10位	4.8	3.5	5.1	7.6	7.9	7.4	5.7	6.8	6.4	
大分県	11位	3.9	1.5	5.3	3.5	4.4	3.6	5.3	5.3	6.0	
熊本県	12位	3.3	2.0	5.4	3.8	4.7	2.2	4.9	4.8	5.3	
岐阜県	13位	1.7	1.6	3.2	2.7	3.9	4.2	2.8	4.1	4.5	
神奈川県	14位	4.5	8.3	6.7	6.1	4.8	4.3	4.7	4.4	4.0	
鹿児島県	15位	2.3	1.3	1.7	0.8	1.8	2.1	3.4	3.8	4.0	
長野県	16位	2.5	4.4	4.2	3.3	2.2	2.7	2.5	3.1	3.4	
山梨県	17位	3.3	5.5	4.8	2.7	2.4	1.4	2.9	3.2	3.4	
石川県	18位	1.2	1.3	2.0	1.9	2.3	2.3	2.3	2.2	3.0	
和歌山県	19位	2.7	2.3	4.6	3.5	2.5	2.8	3.0	2.5	2.3	
長崎県	20位	2.3	1.6	3.1	2.0	2.2	1.8	2.2	2.2	2.3	
宮崎県	21位	1.2	0.6	0.7	0.4	0.5	1.1	1.1	2.0	2.1	
静岡県	22位	0.7	2.1	0.8	2.9	2.3	2.6	1.5	1.8	2.1	
香川県	23位	0.1	0.1	0.5	0.5	1.0	0.3	1.3	1.6	2.0	
富山県	24位	1.5	1.8	2.4	1.7	2.1	1.9	1.8	1.4	2.0	
岡山県	25位	0.1	0.3	0.2	1.1	0.7	1.9	1.6	1.8	2.0	
佐賀県	26位	0.7	0.3	0.6	0.2	1.3	2.0	1.5	1.6	1.7	
鳥取県	27位	0.0	0.1	0.0	0.5	0.4	0.5	0.9	1.1	1.6	
広島県	28位	0.7	0.2	0.6	0.4	0.7	2.2	2.7	1.7	1.5	
滋賀県	29位	0.6	0.3	0.3	0.8	0.5	0.4	0.5	0.9	1.1	
三重県	30位	0.3	0.3	0.7	0.5	0.6	1.3	1.0	1.3	1.0	
栃木県	31位	0.8	1.0	0.6	0.4	0.4	0.5	1.5	1.0	1.0	
徳島県	32位	0.1	0.2	0.6	0.4	0.9	0.1	0.9	0.9	1.0	
青森県	33位	0.4	0.5	0.3	0.5	0.3	0.4	0.7	0.5	0.9	
埼玉県	34位	0.9	0.7	0.7	0.8	0.4	1.0	0.4	0.6	0.9	
愛媛県	35位	0.1	0.2	0.3	0.2	0.6	0.2	0.6	0.9	0.8	
宮城県	36位	0.3	0.8	0.5	0.3	0.2	0.3	0.5	0.4	0.8	
福井県	37位	0.0	0.4	0.4	0.3	0.2	0.7	0.6	0.3	0.7	
山口県	38位	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.7	0.5	0.6	0.7	
茨城県	39位	0.1	0.1	0.0	0.1	0.1	0.3	0.1	0.4	0.6	
群馬県	40位	0.5	0.5	1.0	0.3	0.2	0.9	0.5	0.6	0.6	
新潟県	41位	0.3	0.7	0.5	0.3	0.3	0.1	0.1	0.6	0.6	
山形県	42位	0.0	0.2	0.2	0.3	0.0	0.0	0.3	0.3	0.5	
岩手県	43位	0.1	0.3	0.0	0.2	0.0	0.2	0.1	0.3	0.5	
鳥根県	44位	0.0	0.1	0.0	0.2	0.2	0.1	0.4	0.4	0.5	
高知県	45位	0.0	0.1	0.2	0.3	0.4	0.1	0.3	0.7	0.5	
秋田県	46位	0.3	0.0	0.1	0.5	0.1	0.5	0.3	0.2	0.4	
福島県	47位	0.2	0.1	0.1	0.3	0.4	0.3	0.1	0.2	0.2	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日香港人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数〔人泊（構成比：％）〕		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	1,182,340 (18.9%)	1,202,310 (19.3%)	1,309,900 (18.8%)
大阪府	2位	1,223,930 (19.6%)	1,085,220 (17.5%)	1,230,630 (17.6%)
北海道	3位	808,230 (12.9%)	755,230 (12.2%)	734,710 (10.5%)
京都府	4位	227,490 (3.6%)	201,060 (3.2%)	307,930 (4.4%)
福岡県	5位	321,110 (5.1%)	343,250 (5.5%)	459,590 (6.6%)
沖縄県	6位	492,370 (7.9%)	493,470 (7.9%)	606,540 (8.7%)
長野県	7位	106,050 (1.7%)	98,900 (1.6%)	115,150 (1.6%)
山梨県	8位	75,470 (1.2%)	100,160 (1.6%)	116,270 (1.7%)
神奈川県	9位	77,330 (1.2%)	79,560 (1.3%)	77,860 (1.1%)
千葉県	10位	130,220 (2.1%)	146,720 (2.4%)	141,960 (2.0%)
兵庫県	11位	124,630 (2.0%)	103,380 (1.7%)	103,830 (1.5%)
愛知県	12位	179,140 (2.9%)	171,610 (2.8%)	209,870 (3.0%)
和歌山県	13位	100,680 (1.6%)	78,020 (1.3%)	78,310 (1.1%)
熊本県	14位	86,230 (1.4%)	121,710 (2.0%)	100,370 (1.4%)
大分県	15位	81,260 (1.3%)	103,140 (1.7%)	99,890 (1.4%)
新潟県	16位	18,260 (0.3%)	31,510 (0.5%)	47,080 (0.7%)
岐阜県	17位	113,300 (1.8%)	110,160 (1.8%)	91,310 (1.3%)
静岡県	18位	32,270 (0.5%)	32,550 (0.5%)	46,250 (0.7%)
石川県	19位	71,850 (1.1%)	88,490 (1.4%)	87,390 (1.3%)
滋賀県	20位	40,630 (0.6%)	42,060 (0.7%)	44,620 (0.6%)
群馬県	21位	25,390 (0.4%)	26,830 (0.4%)	25,560 (0.4%)
宮城県	22位	9,660 (0.2%)	15,400 (0.2%)	24,240 (0.3%)
青森県	23位	16,670 (0.3%)	24,110 (0.4%)	34,600 (0.5%)
香川県	24位	56,550 (0.9%)	62,180 (1.0%)	80,270 (1.1%)
栃木県	25位	15,510 (0.2%)	15,530 (0.2%)	17,390 (0.2%)
岩手県	26位	13,400 (0.2%)	15,440 (0.2%)	21,210 (0.3%)
長崎県	27位	33,070 (0.5%)	35,380 (0.6%)	61,240 (0.9%)
埼玉県	28位	3,520 (0.1%)	4,650 (0.1%)	6,450 (0.1%)
鹿児島県	29位	192,660 (3.1%)	206,490 (3.3%)	225,310 (3.2%)
山形県	30位	7,720 (0.1%)	9,820 (0.2%)	15,800 (0.2%)
佐賀県	31位	13,410 (0.2%)	13,780 (0.2%)	23,830 (0.3%)
富山県	32位	34,280 (0.5%)	33,440 (0.5%)	32,760 (0.5%)
徳島県	33位	26,890 (0.4%)	30,570 (0.5%)	35,070 (0.5%)
広島県	34位	50,780 (0.8%)	48,880 (0.8%)	46,200 (0.7%)
岡山県	35位	59,960 (1.0%)	56,940 (0.9%)	62,850 (0.9%)
三重県	36位	25,800 (0.4%)	27,260 (0.4%)	27,170 (0.4%)
愛媛県	37位	26,680 (0.4%)	27,300 (0.4%)	29,210 (0.4%)
鳥取県	38位	27,530 (0.4%)	37,670 (0.6%)	48,050 (0.7%)
奈良県	39位	12,190 (0.2%)	11,410 (0.2%)	15,270 (0.2%)
宮崎県	40位	61,230 (1.0%)	64,410 (1.0%)	65,920 (0.9%)
秋田県	41位	6,820 (0.1%)	6,920 (0.1%)	8,210 (0.1%)
福島県	42位	1,480 (0.0%)	3,430 (0.1%)	6,920 (0.1%)
茨城県	43位	7,590 (0.1%)	7,000 (0.1%)	9,030 (0.1%)
福井県	44位	10,280 (0.2%)	13,090 (0.2%)	15,800 (0.2%)
高知県	45位	14,950 (0.2%)	16,050 (0.3%)	18,860 (0.3%)
山口県	46位	3,280 (0.1%)	3,520 (0.1%)	5,070 (0.1%)
島根県	47位	8,470 (0.1%)	8,020 (0.1%)	10,620 (0.2%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

香港

▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	224,850 (18.9%)	8,940 (39.0%)	296,620 (33.7%)
大阪府	2位	161,850 (13.6%)	2,560 (11.2%)	160,200 (18.2%)
北海道	3位	163,760 (13.8%)	2,400 (10.5%)	90,620 (10.3%)
京都府	4位	51,860 (4.4%)	700 (3.1%)	79,600 (9.1%)
福岡県	5位	66,870 (5.6%)	170 (0.7%)	33,680 (3.8%)
沖縄県	6位	94,690 (8.0%)	280 (1.2%)	32,030 (3.6%)
長野県	7位	36,110 (3.0%)	180 (0.8%)	19,550 (2.2%)
山梨県	8位	17,450 (1.5%)	50 (0.2%)	17,720 (2.0%)
神奈川県	9位	14,390 (1.2%)	550 (2.4%)	15,770 (1.8%)
千葉県	10位	25,790 (2.2%)	2,440 (10.7%)	11,190 (1.3%)
兵庫県	11位	11,940 (1.0%)	90 (0.4%)	10,850 (1.2%)
愛知県	12位	41,760 (3.5%)	270 (1.2%)	10,730 (1.2%)
和歌山県	13位	8,860 (0.7%)	30 (0.1%)	8,730 (1.0%)
熊本県	14位	17,430 (1.5%)	70 (0.3%)	7,220 (0.8%)
大分県	15位	15,730 (1.3%)	70 (0.3%)	7,120 (0.8%)
新潟県	16位	31,080 (2.6%)	40 (0.2%)	6,640 (0.8%)
岐阜県	17位	16,100 (1.4%)	20 (0.1%)	6,460 (0.7%)
静岡県	18位	7,610 (0.6%)	200 (0.9%)	6,030 (0.7%)
石川県	19位	13,110 (1.1%)	40 (0.2%)	5,920 (0.7%)
滋賀県	20位	8,210 (0.7%)	310 (1.4%)	5,520 (0.6%)
群馬県	21位	6,590 (0.6%)	600 (2.6%)	4,520 (0.5%)
宮城県	22位	6,770 (0.6%)	880 (3.8%)	3,640 (0.4%)
青森県	23位	5,870 (0.5%)	60 (0.3%)	3,370 (0.4%)
香川県	24位	13,300 (1.1%)	40 (0.2%)	2,850 (0.3%)
栃木県	25位	2,100 (0.2%)	90 (0.4%)	2,620 (0.3%)
岩手県	26位	6,220 (0.5%)	30 (0.1%)	2,580 (0.3%)
長崎県	27位	8,220 (0.7%)	490 (2.1%)	2,540 (0.3%)
埼玉県	28位	770 (0.1%)	20 (0.1%)	2,370 (0.3%)
鹿児島県	29位	37,440 (3.1%)	240 (1.0%)	2,340 (0.3%)
山形県	30位	8,570 (0.7%)	60 (0.3%)	2,150 (0.2%)
佐賀県	31位	3,530 (0.3%)	10 (0.0%)	1,950 (0.2%)
富山県	32位	2,210 (0.2%)	20 (0.1%)	1,820 (0.2%)
徳島県	33位	6,370 (0.5%)	130 (0.6%)	1,750 (0.2%)
広島県	34位	7,050 (0.6%)	50 (0.2%)	1,660 (0.2%)
岡山県	35位	7,910 (0.7%)	40 (0.2%)	1,640 (0.2%)
三重県	36位	3,410 (0.3%)	20 (0.1%)	1,440 (0.2%)
愛媛県	37位	3,940 (0.3%)	40 (0.2%)	1,250 (0.1%)
鳥取県	38位	6,270 (0.5%)	0 (0.0%)	1,030 (0.1%)
奈良県	39位	2,340 (0.2%)	30 (0.1%)	1,020 (0.1%)
宮崎県	40位	10,470 (0.9%)	50 (0.2%)	910 (0.1%)
秋田県	41位	1,620 (0.1%)	20 (0.1%)	850 (0.1%)
福島県	42位	2,240 (0.2%)	460 (2.0%)	640 (0.1%)
茨城県	43位	390 (0.0%)	120 (0.5%)	640 (0.1%)
福井県	44位	1,880 (0.2%)	10 (0.0%)	590 (0.1%)
高知県	45位	2,420 (0.2%)	0 (0.0%)	510 (0.1%)
山口県	46位	810 (0.1%)	10 (0.0%)	400 (0.0%)
島根県	47位	1,100 (0.1%)	20 (0.1%)	220 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

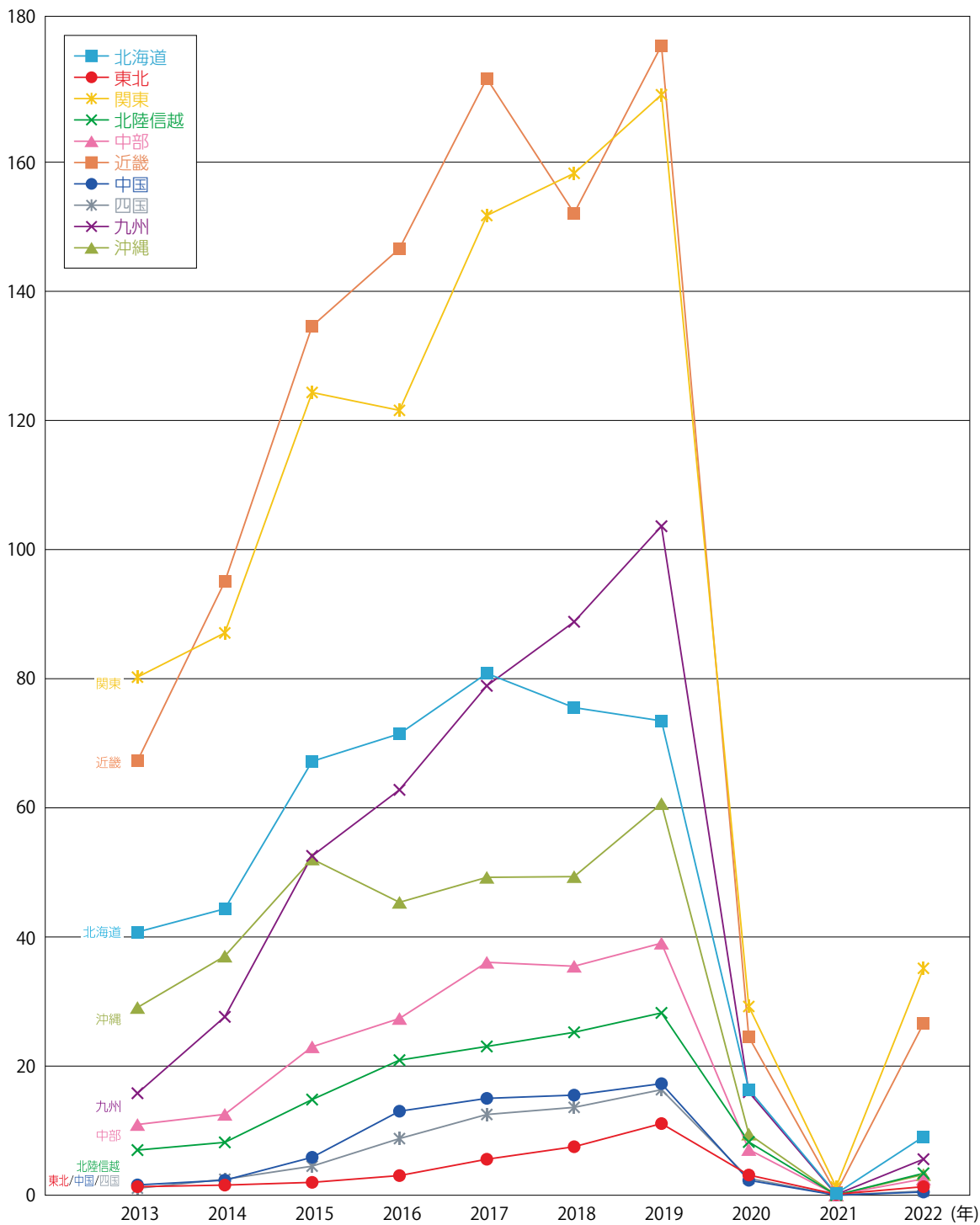
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (23) 訪日香港人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	407,650	443,600	672,010	714,690	808,230	755,230	734,710	163,760	2,400	90,620
東北	13,210	15,690	19,930	30,420	55,750	75,110	110,980	31,290	1,510	13,230
関東	802,450	870,950	1,243,340	1,215,620	1,517,380	1,582,770	1,704,400	292,340	12,810	351,440
北陸信越	69,910	81,870	148,170	209,200	230,430	252,340	282,390	82,510	270	33,930
中部	109,530	125,290	229,900	273,760	360,790	354,670	390,400	70,760	510	25,260
近畿	672,770	950,310	1,346,110	1,466,180	1,729,540	1,521,150	1,780,590	245,070	3,710	265,920
中国	15,990	23,270	58,740	130,130	150,020	155,040	172,800	23,150	130	4,940
四国	10,780	24,680	45,010	87,740	125,060	136,090	163,420	26,030	200	6,360
九州	157,950	276,330	525,500	627,870	788,970	888,170	1,036,150	159,670	1,090	55,760
沖縄	290,750	370,330	520,730	453,650	492,370	493,470	606,540	94,690	280	32,030

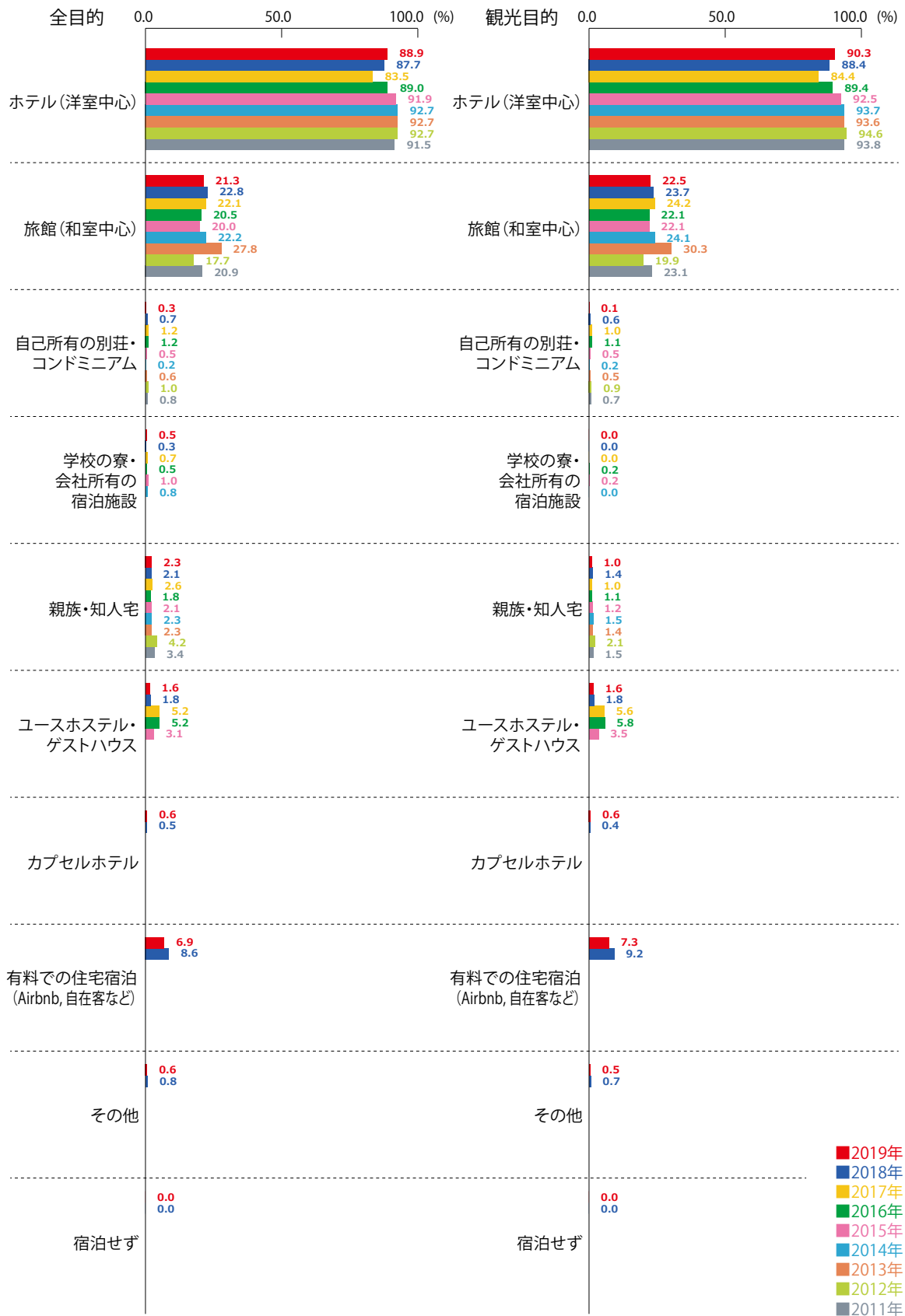
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

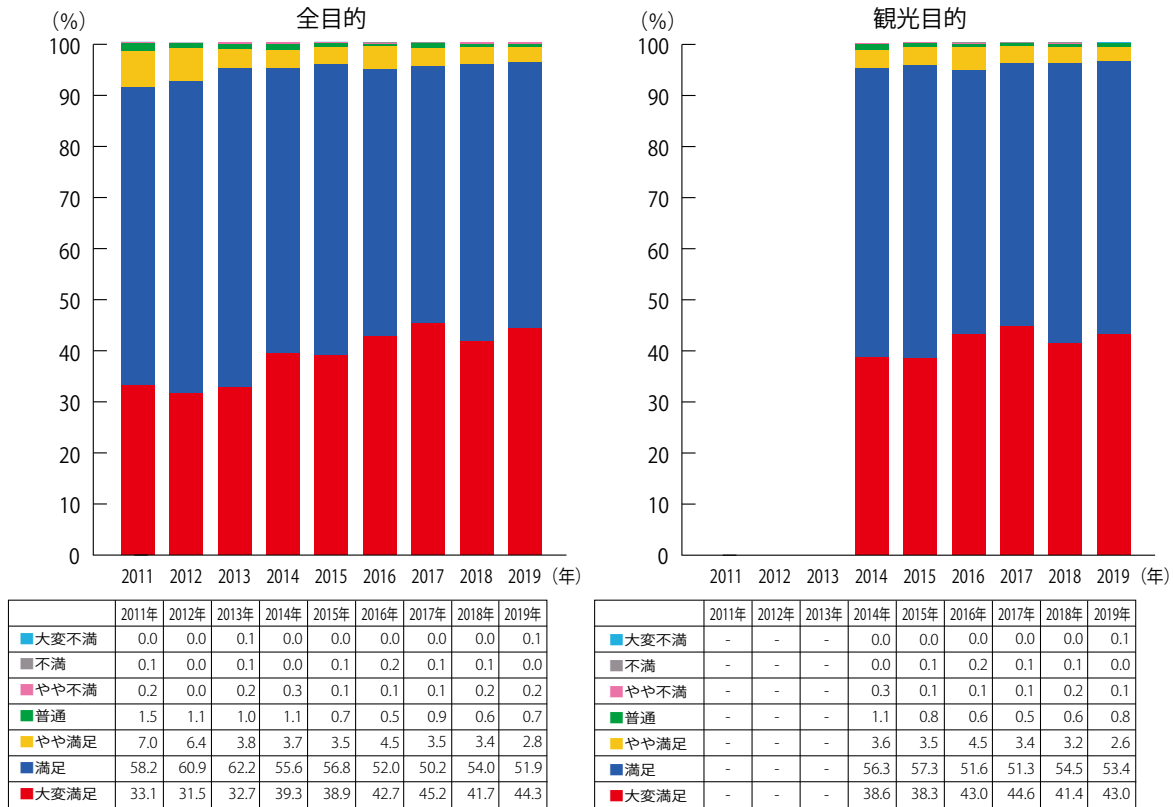
(24) 訪日香港人が利用した宿泊施設 (2011年～2019年)



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (25) 香港人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

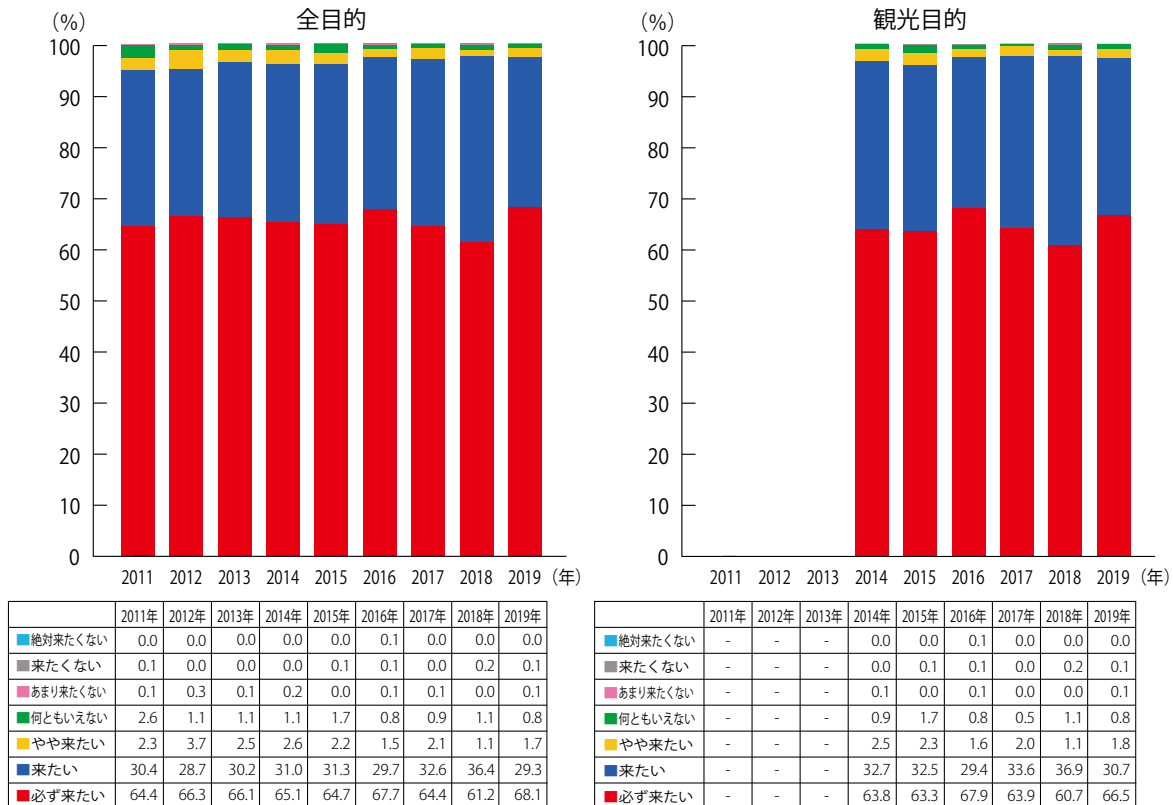


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日香港人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# タイ

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

大多数がタイ族  
その他、華人、マレー族など  
出典：日本国外務省

### (2) 宗教別構成

仏教（94%）、イスラム教（5%）  
出典：日本国外務省

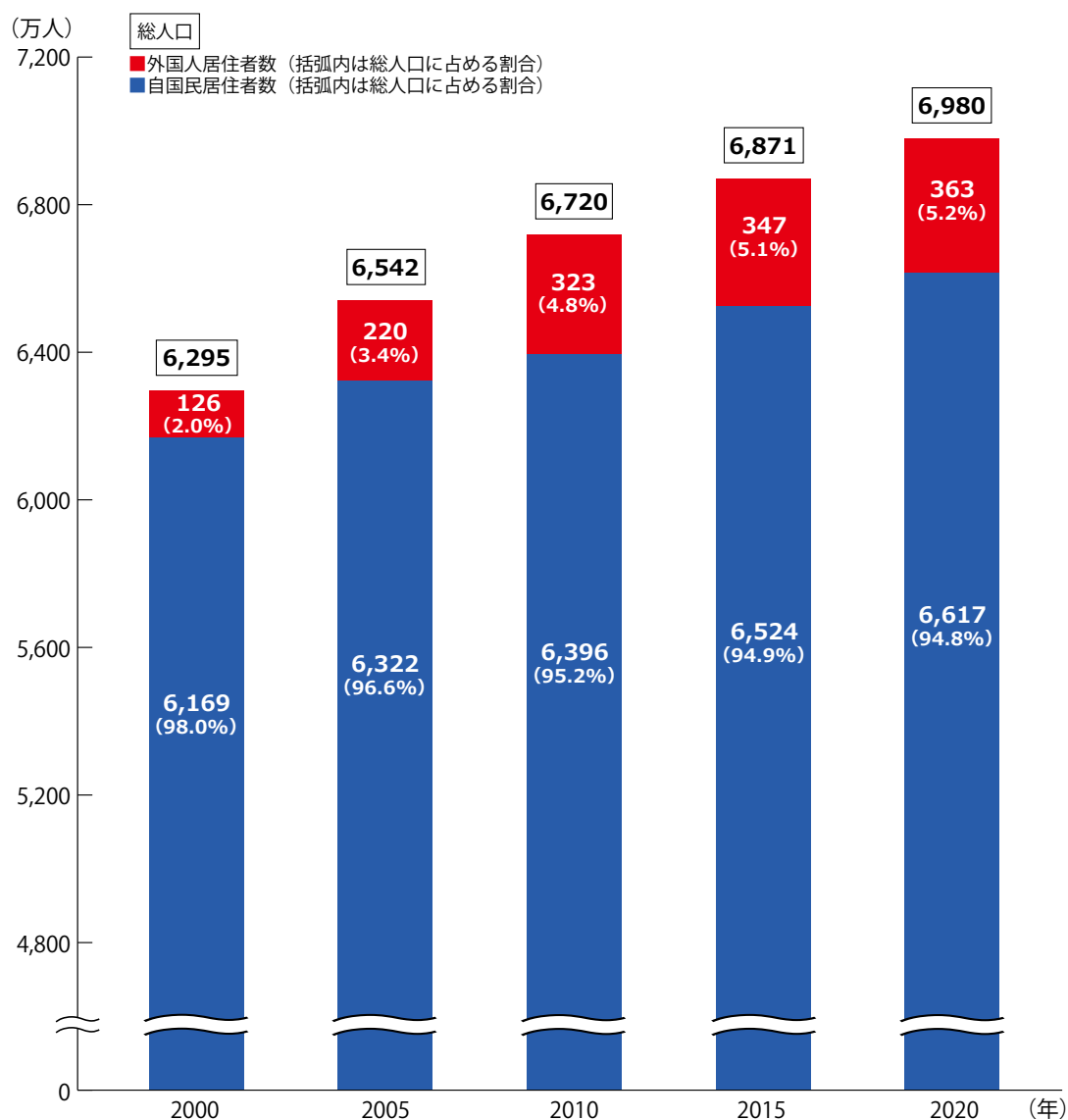
### (3) 使用言語

タイ語が公用語  
少数民族の間では、独自の言語も話されている。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

51万3,140km<sup>2</sup>（日本の1.4倍弱）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、滞在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

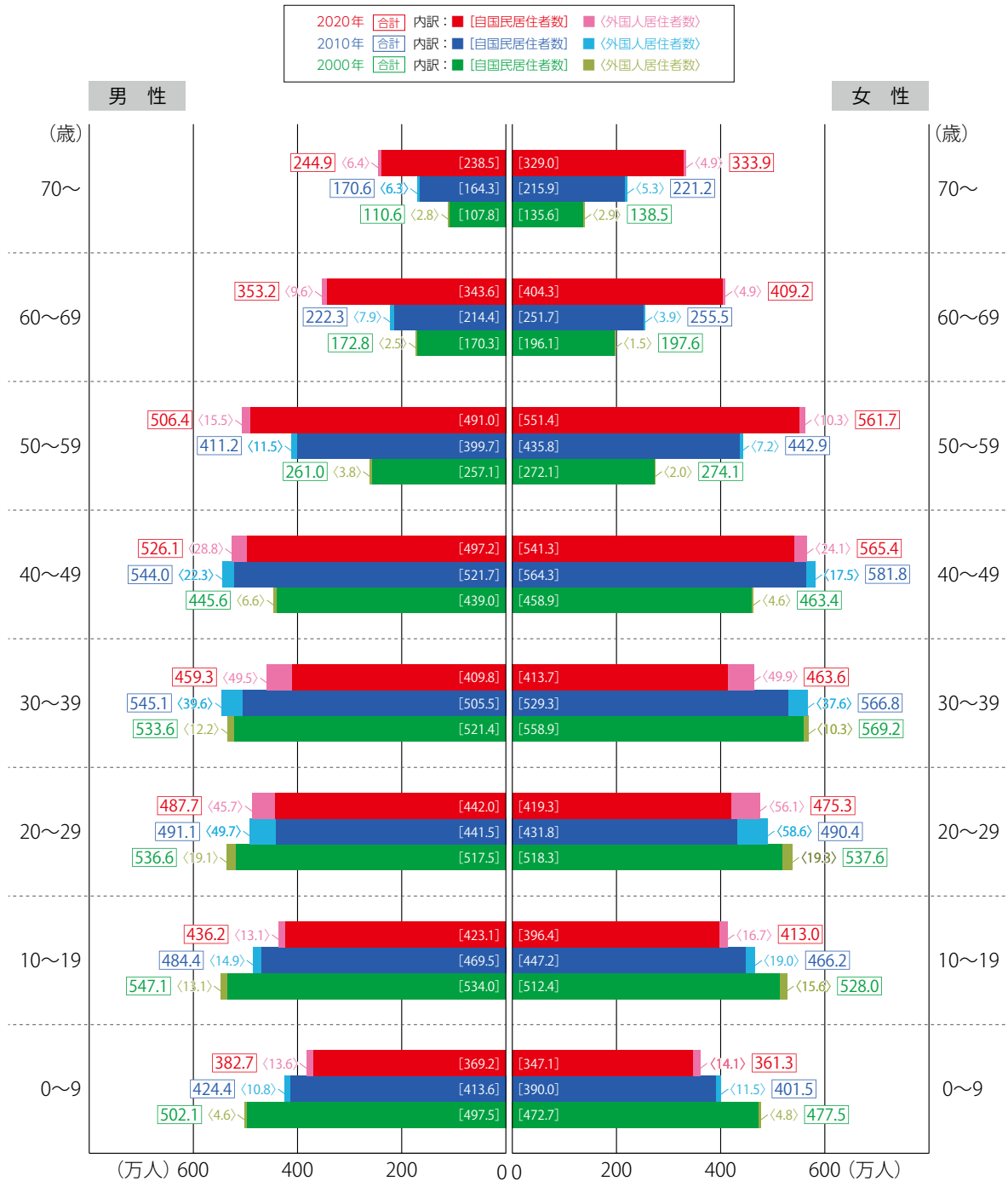
③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：タイの外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

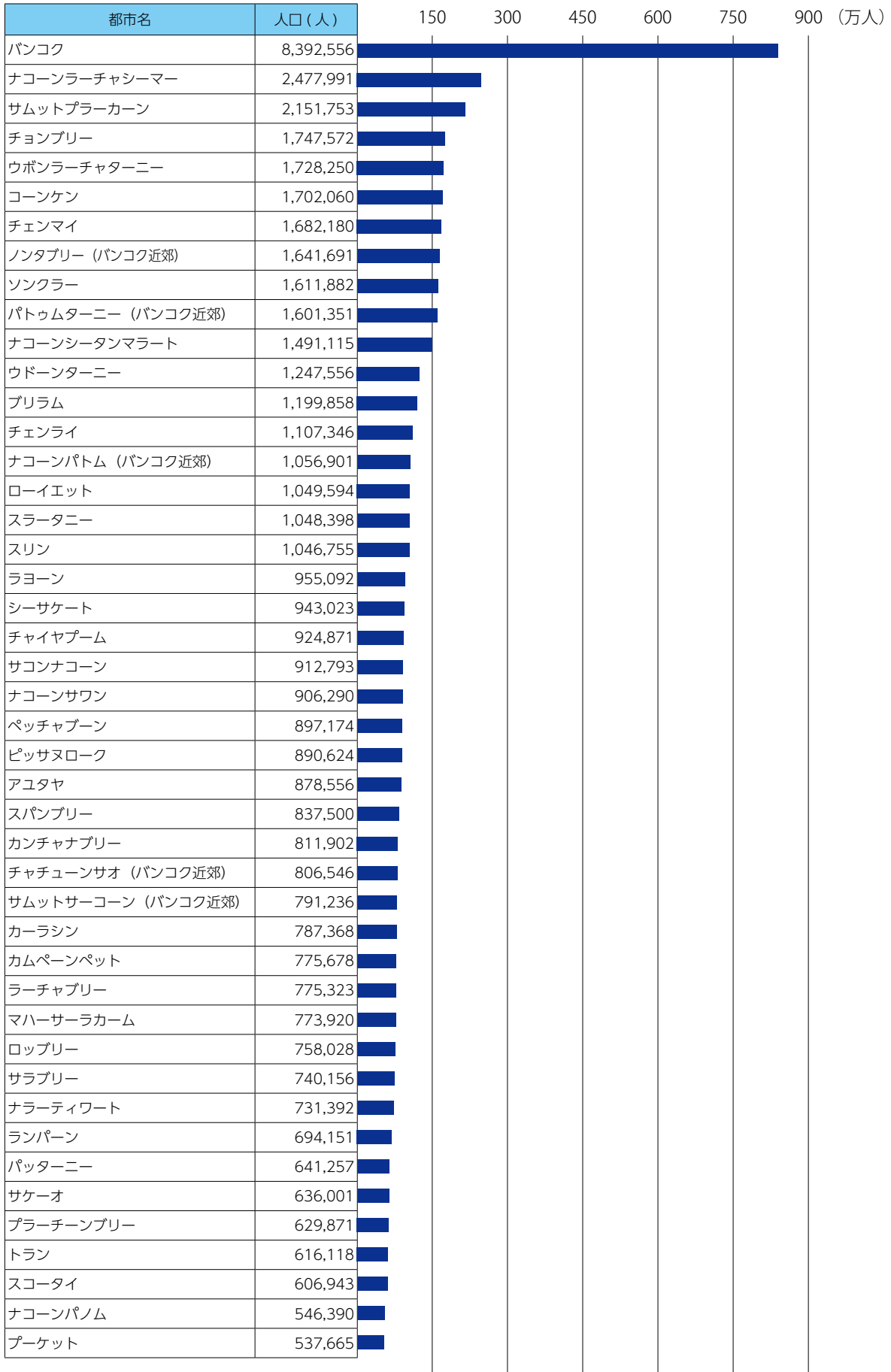
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口

[次ページへ](#) ▶



▷ [前ページから](#)

都市名	人口(人)	150	300	450	600	750	900 (万人)
チャンタプリー	533,618						
ルーイ	532,540						
ターク	510,769						
ピット	504,204						
パットルン	490,745						

注1：上の数値は、2021年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	2023年1月2日は振替休日
※マカブーチャ（万仏祭）	3月6日（月）	2月24日（土）	2024年2月26日は振替休日
チャックリー朝記念日	4月6日（木）	4月6日（土）	2024年4月8日は振替休日
ソングラーン （水かけ祭り・タイ旧正月）	4月13日（木）～ 4月15日（土）	4月13日（土）～ 4月16日（火）	2023年4月17日は振替休日
レイバーデー （労働者の日）	5月1日（月）	5月1日（水）	一般企業のみ休み
戴冠記念日	5月4日（木）	5月4日（土）	2024年5月6日は振替休日
※農耕祭	5月17日（水）	5月13日（月）	官公庁のみ休み 2024年は未定。 日程は例年9月～12月に王室庁から発表される。
※ヴィサカブーチャ （仏誕節）	6月3日（土）	5月22日（水）	2023年6月5日は振替休日
スティダール王妃誕生日	6月3日（土）	6月3日（月）	
ワチラロンコーン国王 誕生日	7月28日（金）	7月28日（日）	2024年7月29日は振替休日
※アサラハブーチャ （三宝節）	8月1日（火）	7月20日（土）	2024年7月22日は振替休日
※カオパンサー（入安居）	8月2日（水）	7月21日（日）	
シリキット王太后誕生日 （母の日）	8月12日（土）	8月12日（月）	2023年8月14日は振替休日
プミポン大王命日	10月13日（金）	10月13日（日）	2024年10月14日は振替休日
チュラロンコーン大王 記念日	10月23日（月）	10月23日（水）	
プミポン大王誕生日 （父の日）	12月5日（火）	12月5日（木）	
憲法記念日	12月10日（日）	12月10日（火）	2023年12月11日は振替休日
大晦日	12月31日（日）	12月31日（火）	2024年1月2日は振替休日

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の※印の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：タイ国政府観光庁等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	夏季休暇	4月上旬～5月中旬
		中期休暇	10月上旬～10月末
前期中等学校	12歳～15歳 (3年間)	夏季休暇	4月上旬～5月中旬
		中期休暇	10月上旬～10月末
後期中等学校	15歳～18歳 (3年間)	夏季休暇	4月上旬～5月中旬
		中期休暇	10月上旬～10月末
大学	18歳～22歳 (4年間)	夏季休暇	4月上旬～6月中旬
		中期休暇	11月上旬～11月末
学校年度	5月16日～翌年5月15日		
義務教育	初等学校 (6年間) + 前期中等学校 (3年間) = 9年間		

注：学校によって日程が異なる。上記の「学校の長期休暇」は、新型コロナウイルス感染症の大流行以前の正常時の事例である。

出典：タイ文部科学省

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 曜日の規定はなく、週休日については雇用主が作成する就業規則で規定される（労働者保護法）。</li> <li>・ 一般的には土曜日、日曜日が休日である。</li> </ul>
有給休暇日数	6日（1年以上勤務の被雇用者） 1年未満の被雇用者に対しては、付与は不要	労働者保護法 第30条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 労働者は疾病休暇を年30日取得する権利がある（有給）。</li> <li>・ 労働者は、年3日以上、「用事休暇（Business Leave）」を取得する権利がある（有給）。</li> <li>・ 労働者は、医師が必要と認める期間の「不妊手術休暇」を取得する権利がある（有給）。</li> <li>・ 労働者は、兵役に関する法令に基づく検査や訓練がある時、「兵役休暇」を取得する権利がある（年60日は有給）。</li> <li>・ 労働者は、労働省令に従い、「研修休暇」を取得する権利がある（原則無給であるが、18歳未満の労働者は一部有給）。</li> <li>・ 労働者は、1回の出産につき98日間の「出産休暇」を取得する権利がある（うち45日は有給）。</li> <li>・ その他、労働組合の委員を務める労働者は、一定の組合活動のために、有給での休暇を取得することが認められている。</li> <li>・ 「自己啓発休暇」、「慶弔休暇」などを独自に定める企業もある。</li> </ul>
定年退職	使用者と労働者の間で定年に関する合意がない場合、もしくは、使用者が労働者の定年について定めていない場合、年齢が60歳を超える労働者は、使用者に対して、退職希望日の30日前に通知することにより、いつでも退職することができる。この場合、使用者は、普通解雇と同様、法定の解雇補償金を支払う必要がある。	労働者保護法 第118/1条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「何歳を定年とすべきか」という点についての法令上の定めはなく、一般的に就業規則により定められている。</li> <li>・ 年金支給開始年齢の55歳や、公務員と同様の60歳としている場合が多い。</li> </ul>

出典：日本国厚生労働省、日本貿易振興機構（JETRO）、国際労働機関（ILO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制と志願制を併用している。 年度ごとの兵役募集定員のうち、志願兵では足りない分の人員をくじ引きで選出する。
兵役期間	2年間（大卒者は1年短縮されて兵役期間が1年間、自ら志願した場合は1年半短縮されて兵役期間が半年となる。）
入隊対象性別	男性のみ召集
入隊対象年齢	21歳～30歳（基本的には21歳の男性がくじ引きの対象となるが、学業等の事情により、くじ引きに参加する時期を遅らせることができる。）

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

次ページへ ▶

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	70.4
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	61.7
パンティップ (Pantip)	インターネット掲示板	情報発信	44.0
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	28.9
クロクルアンジャパン (Krobkrueng Japan)	ウェブサイト、SNS	ブロガー・ユーチューバーに よる訪日旅行情報発信	25.6
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	24.6
チルパイナイ (Chill Pai Nai)	ウェブサイト	旅行情報発信、オンライン旅行会社 (OTA) の予約サイトに誘導	24.0
ジャティオパイナイ (Ja Tiew Painai)	ブロガー	旅行情報発信	23.2
ライン (LINE)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	22.7
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	20.9
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	19.7
ウォンナイ (Wongnai)	ウェブサイト	飲食情報発信	18.5
サヌーク (Sanook)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	17.4
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	16.7
トゥルーアイディー (True ID)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、音声・ 動画なども配信	14.1
エムタイ (Mthai)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	13.5
アイロームアローン (I Roam Alone)	SNS	ブロガー・ユーチューバーに よる旅行情報発信	13.4



▶ [前ページから](#)

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
MGRオンライン(トラベル) (MGR Online (travel))	ウェブサイト	情報・ニュース発信	<b>12.7</b>
タイラット (Thairath.co.th)	ウェブサイト	ニュース発信	<b>12.5</b>
バンコクビズニュース (Bangkok Biz News)	ウェブサイト	ニュース発信	<b>8.8</b>

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

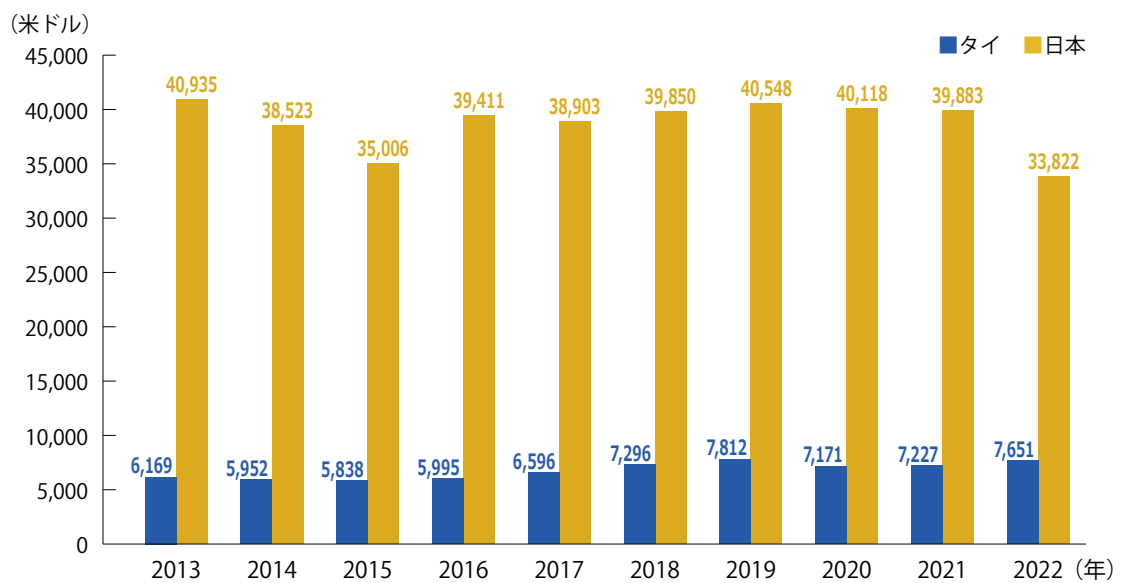
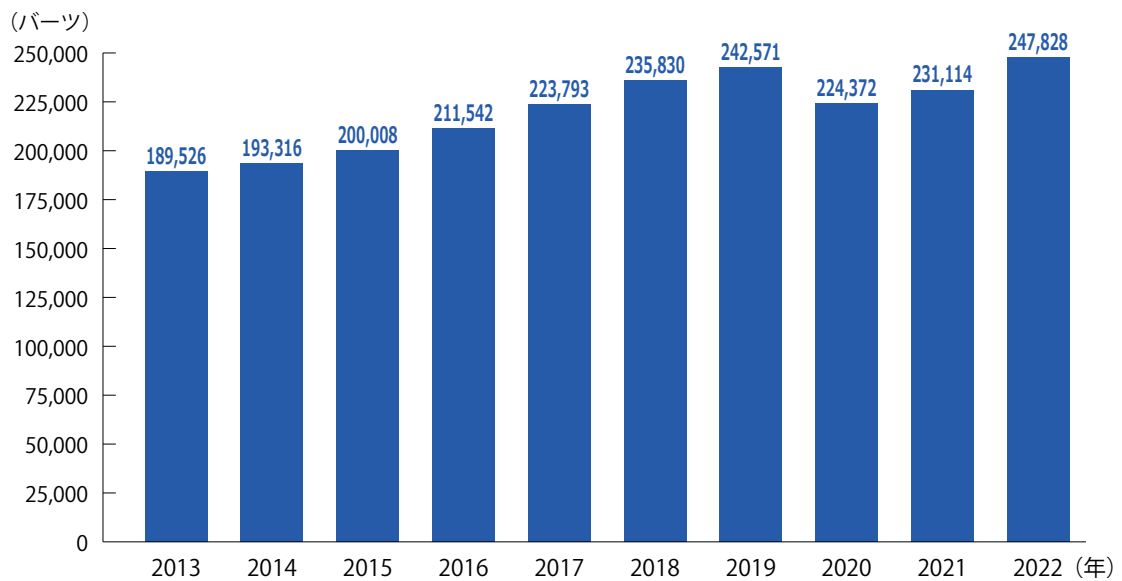
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

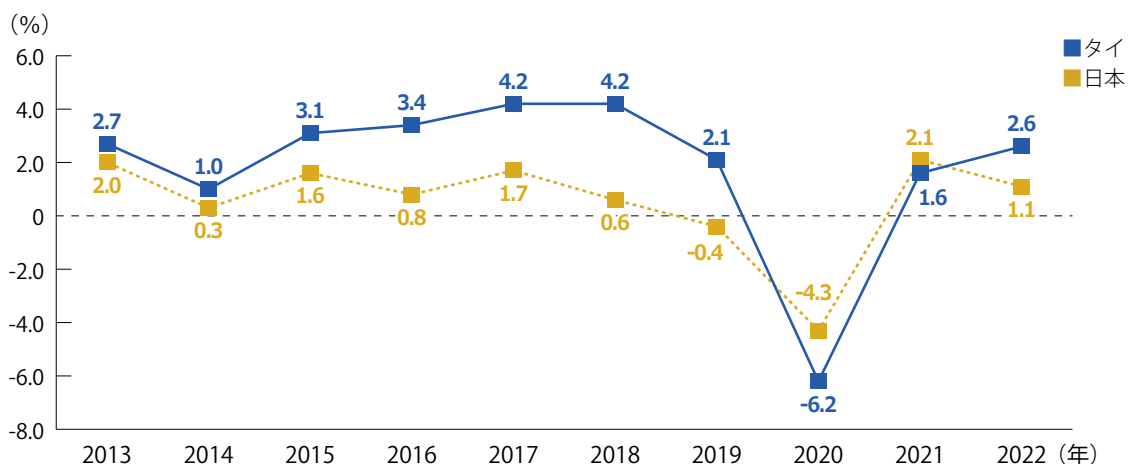
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金（IMF）

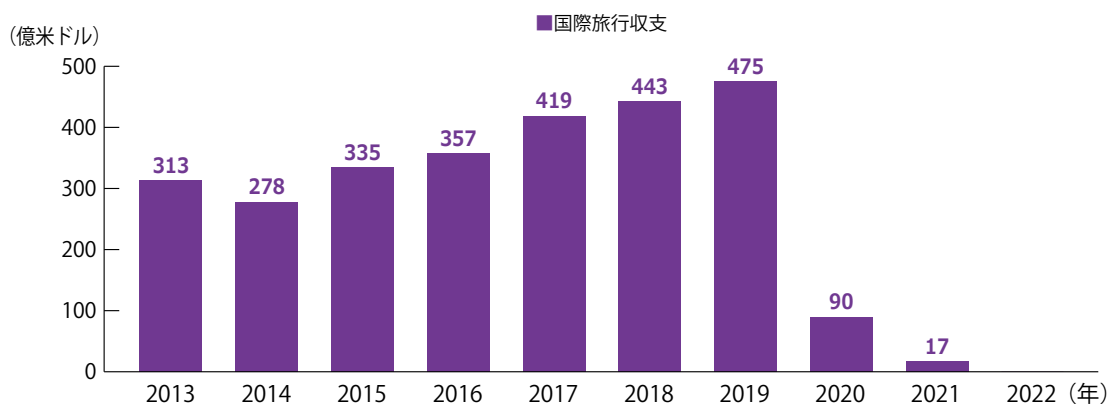
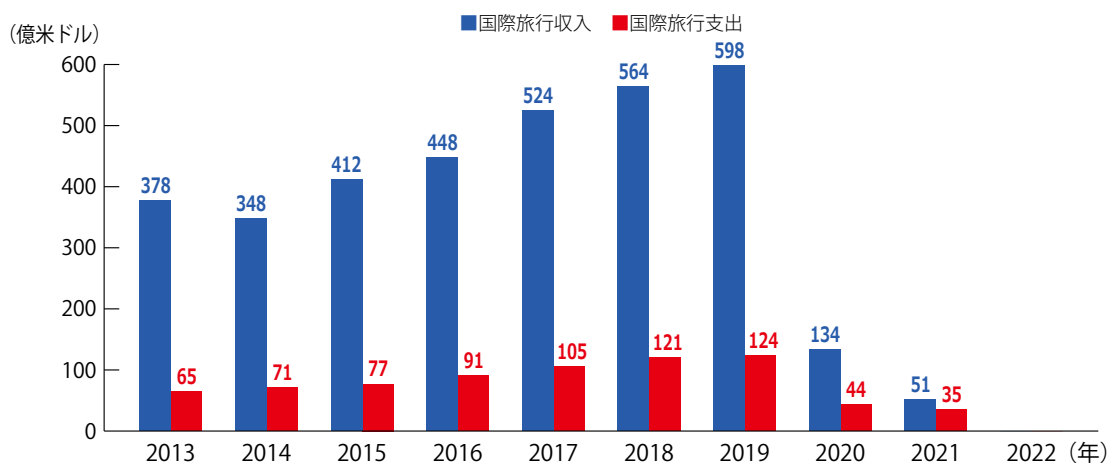
## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）

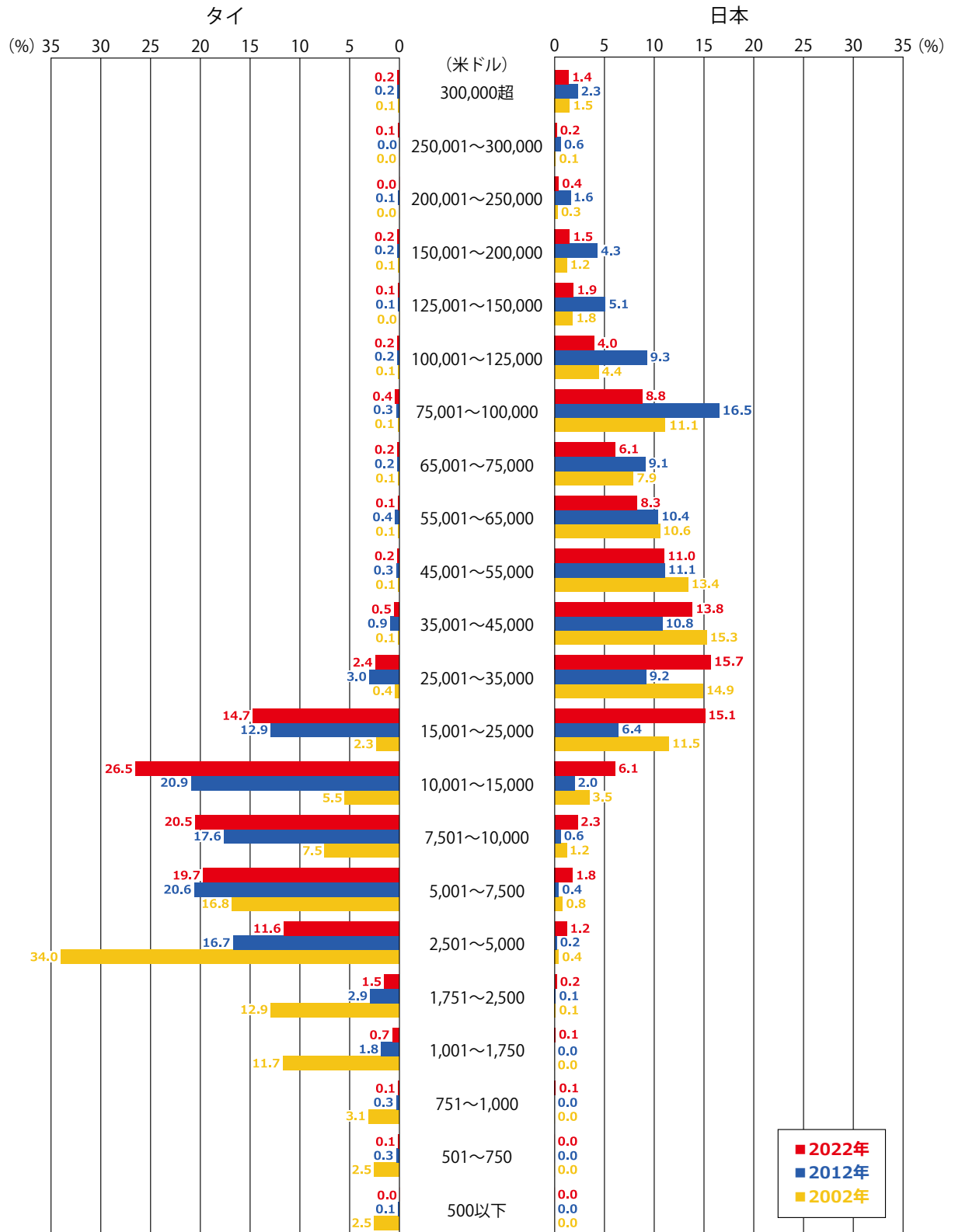


注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

注2：2022年の国際旅行収入と国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収入は算出できない。

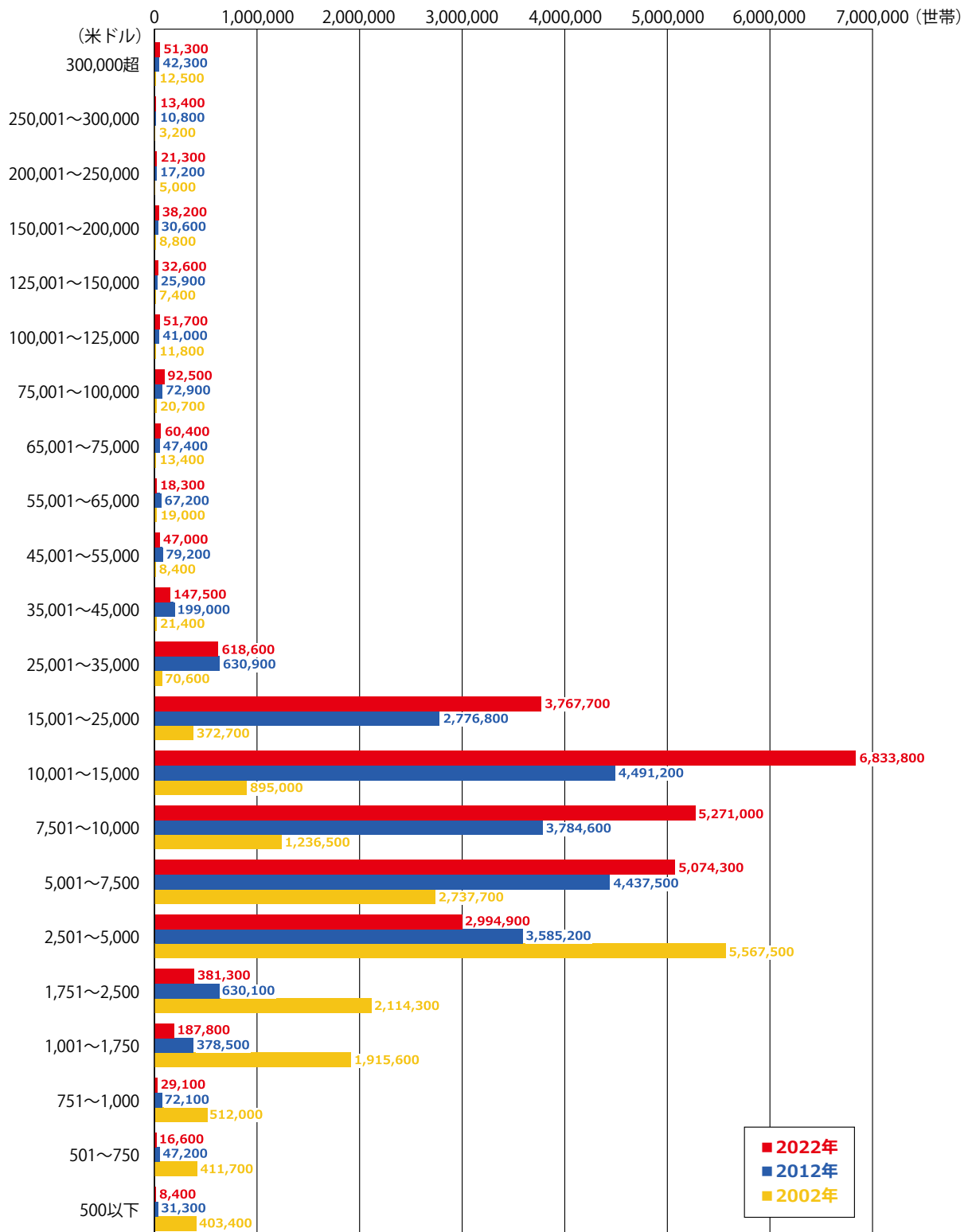
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



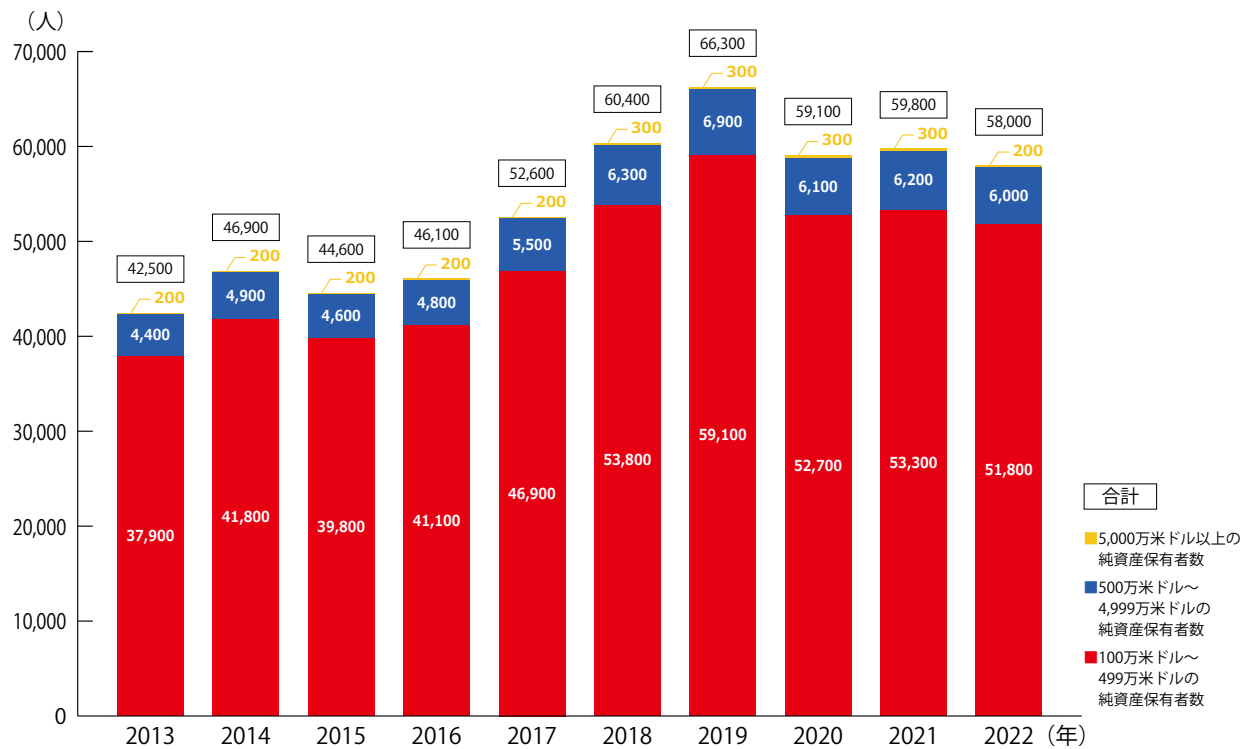
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



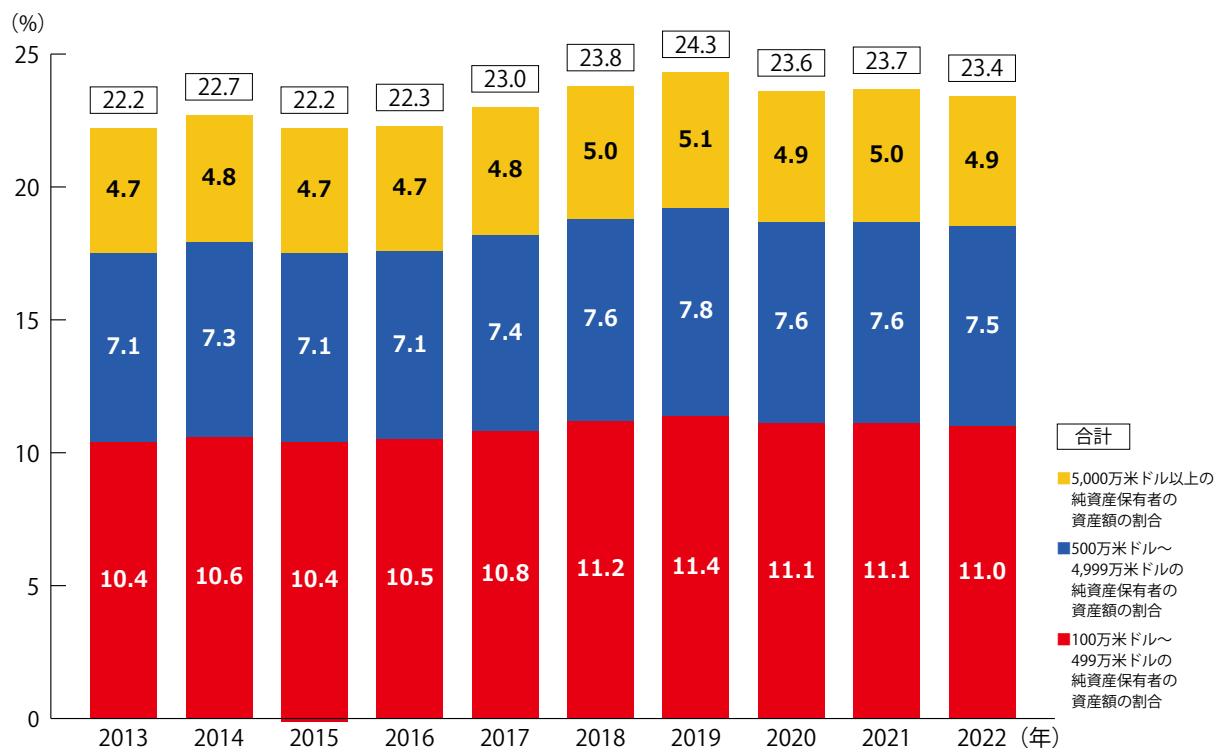
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

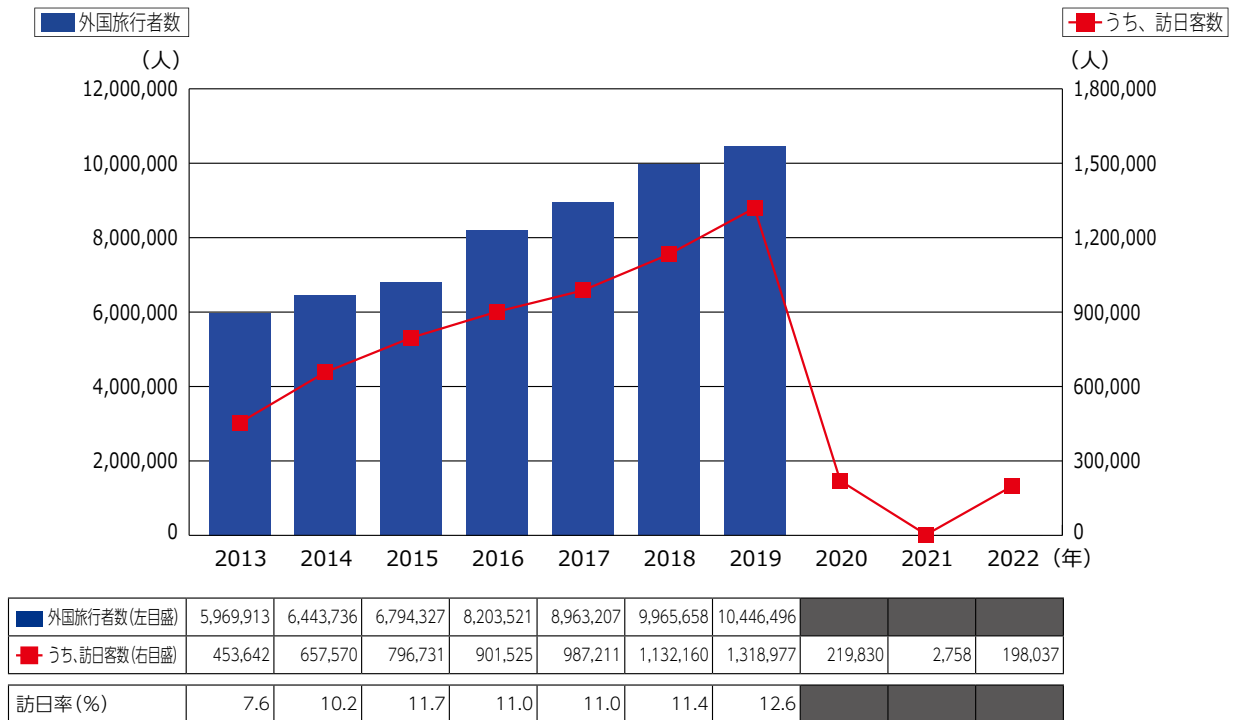
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) タイ人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：タイ人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：タイ観光スポーツ省、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのタイ人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	ラオス	VFN	1,797,803	1,929,934	2,160,300	350,098		2,160,300
2位	ミャンマー	TFN	1,524,516	1,719,350	1,924,581	457,149	106,938	1,924,581
3位	マレーシア	TFN	1,836,522	1,914,692	1,884,306	394,413	59,607	1,914,692
4位	日本	VFN	987,211	1,132,160	1,318,977	219,830	2,758	1,318,977
5位	中国	VFN	775,747	832,605	870,526			870,526
6位	韓国	VFN	498,511	558,912	571,610	76,568	8,319	571,610
7位	シンガポール	VFR	531,335	545,650	528,547	63,622	4,379	545,650
8位	ベトナム	VFR	301,587	349,310	509,802	127,769	3,019	509,802
9位	カンボジア	TFR	394,934	382,317	466,493	210,876	81,844	466,493
10位	台湾	VFR	292,534	320,008	413,926	63,553	7,570	413,926
11位	香港	TFR	430,356	449,559	352,853	18,265	196	449,559
12位	英国	VFR	153,461	188,978	184,416		5,181	188,978
13位	インド	VFN	140,087	166,293	169,956	52,626	4,668	169,956
14位	スイス	THSR	143,449	156,319	147,256	13,883	10,685	156,319
15位	インドネシア	VFN	138,235	124,153	136,699	21,303	3,992	138,235
16位	米国	TFR	102,509	106,878	111,067	13,907	23,877	111,067
17位	豪州	VFR	97,860	99,356	102,696	15,103	1,387	102,696
18位	マカオ	THSR	69,533	66,637	67,148	5,208	673	69,533
19位	トルコ	TFN	30,342	53,688	61,596	8,125	6,624	61,596
20位	フィリピン	TFR	48,727	59,793	61,292	9,788	1,464	61,292
21位	ロシア	VFN	44,518	53,915	60,970	9,643		60,970
22位	ネパール	TFN	39,154	53,250	41,653	20,778	576	53,250
23位	アラブ首長国連邦	VFN	35,303	34,383	40,640	11,598		40,640
24位	デンマーク	TCER			34,702	16,116	6,007	34,702
25位	サウジアラビア	TFN	29,620	29,040	33,660	967	675	33,660
26位	モルディブ	TFN	26,037	32,436	29,211	3,468	839	32,436
27位	ノルウェー	TCER		22,612	29,189			29,189
28位	ベルギー	TCER	20,548	25,478	28,499	3,394	1,385	28,499

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ニュージーランド	VFR	27,616	31,447	28,378	3,691	270	31,447
30位	フィンランド	TCER	17,403	19,210	20,943	6,191	4,665	20,943
31位	カナダ	TFR	17,120	18,577	20,652	2,037	2,224	20,652
32位	ポルトガル	TCER			15,683	2,503	2,078	15,683
33位	クウェート	VFN	13,771	15,389	14,012	3,273	2,934	15,389
34位	エジプト	VFN	10,218	16,449	13,105	3,515		16,449
35位	ジョージア	VFR	1,788	3,194	12,320	3,372	570	12,320
36位	ポーランド	TCER	5,457	7,487	10,994	1,593	2,755	10,994
37位	スリランカ	TFR	10,828	9,178	9,861	1,880	247	10,828
38位	イタリア	TFN	29,406	7,999	9,571	5,060	15,640	29,406
39位	南アフリカ共和国	TFR	6,878	7,811	7,980	1,380	1,176	7,980
40位	ヨルダン	TFN	5,092	5,866	5,883	1,382	221	5,883
41位	ブルネイ	TFN	6,302	5,828	5,730	1,040	43	6,302
42位	モロッコ	TFN	3,687	4,125	4,155	519	375	4,155
43位	ブータン	TFN	4,047	3,886	4,086	275		4,086
44位	ブラジル	TFR	3,186	4,146	4,025	760	207	4,146
45位	イスラエル	TFR	2,804	3,378	3,927	839	416	3,927
46位	ルーマニア	VFR	2,735	3,267	3,666	404	746	3,666
47位	メキシコ	TFN	3,353	3,639	3,514	958	1,728	3,639
48位	ナイジェリア	VFN	3,609	3,505	3,425	985	1,016	3,609
49位	プエルトリコ	THSR	158	339	3,302	5,929		5,929
50位	スロバキア	TCEN	4,473	3,512	3,179	409	200	4,473
	イラン	VFN	8,502	3,672	2,890	144	243	8,502

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

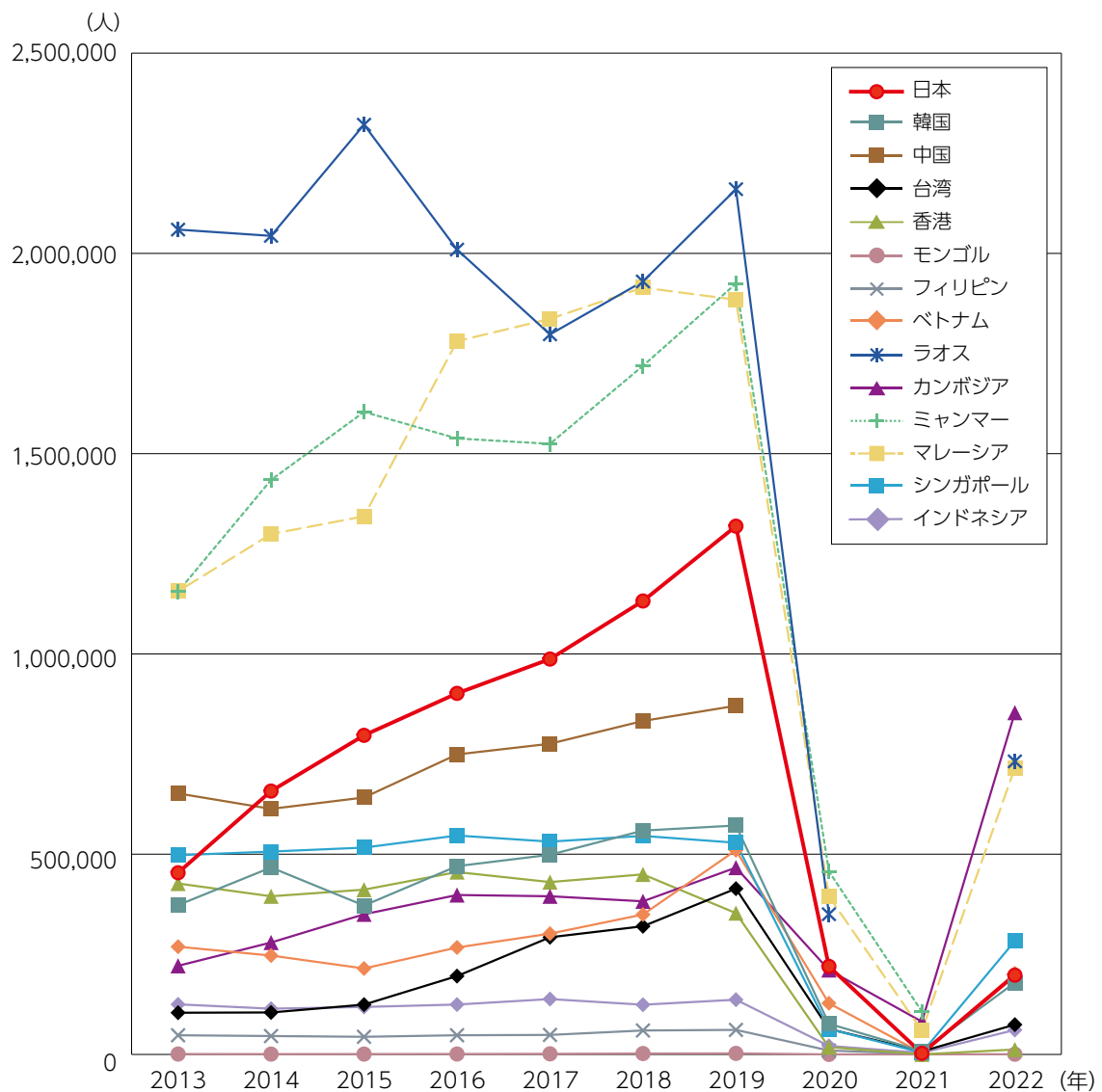
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



### (3) アジア各国・地域へのタイ人訪問者数の推移（2013年～2022年）



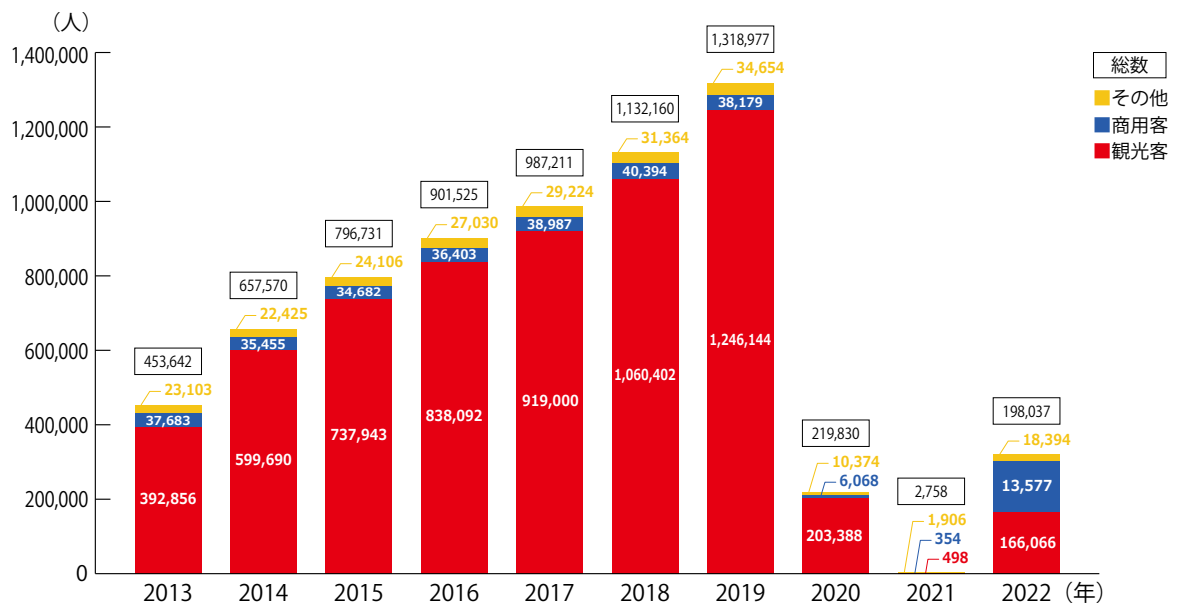
単位：人  
↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
ラオス	VFN	2,059,434	2,043,761	2,321,352	2,009,605	1,797,803	1,929,934	2,160,300	350,098		731,754
ミャンマー	TFN	1,155,454	1,434,416	1,604,212	1,537,957	1,524,516	1,719,350	1,924,581	457,149	106,938	
マレーシア	TFN	1,156,452	1,299,298	1,343,569	1,780,800	1,836,522	1,914,692	1,884,306	394,413	59,607	715,528
日本	VFN	453,642	657,570	796,731	901,525	987,211	1,132,160	1,318,977	219,830	2,758	198,037
中国	VFN	651,654	613,100	641,483	749,020	775,747	832,605	870,526			
韓国	VFN	372,878	466,783	371,769	470,107	498,511	558,912	571,610	76,568	8,319	179,259
シンガポール	VFR	497,409	506,509	516,409	546,554	531,335	545,650	528,547	63,622	4,379	283,431
ベトナム	VFR	268,968	246,874	214,645	266,984	301,587	349,310	509,802	127,769	3,019	202,246
カンボジア	TFR	221,259	279,457	349,908	398,081	394,934	382,317	466,493	210,876	81,844	853,376
台湾	VFR	104,138	104,812	124,409	195,640	292,534	320,008	413,926	63,553	7,570	74,434
香港	TFR	426,797	394,884	411,416	455,390	430,356	449,559	352,853	18,265	196	12,368
インドネシア	VFN	125,059	114,272	118,579	124,569	138,235	124,153	136,699	21,303	3,992	61,128
フィリピン	TFR	47,874	45,943	44,038	47,913	48,727	59,793	61,292	9,788	1,464	
モンゴル	TFN	1,019	869	962	1,100	1,492	2,259	2,631	127	93	618

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

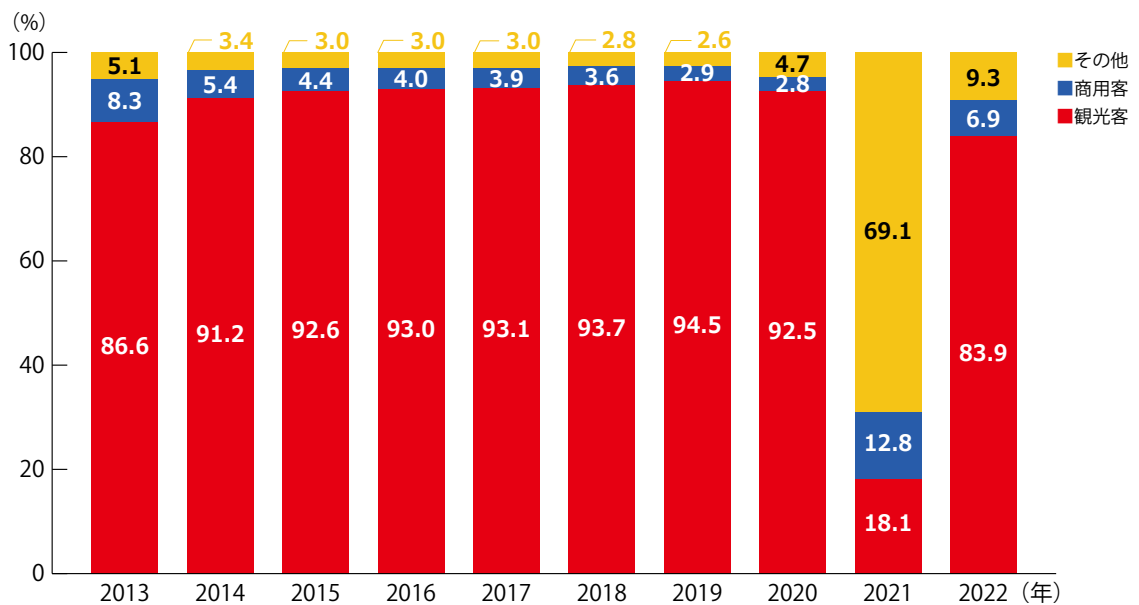
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日タイ人の推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

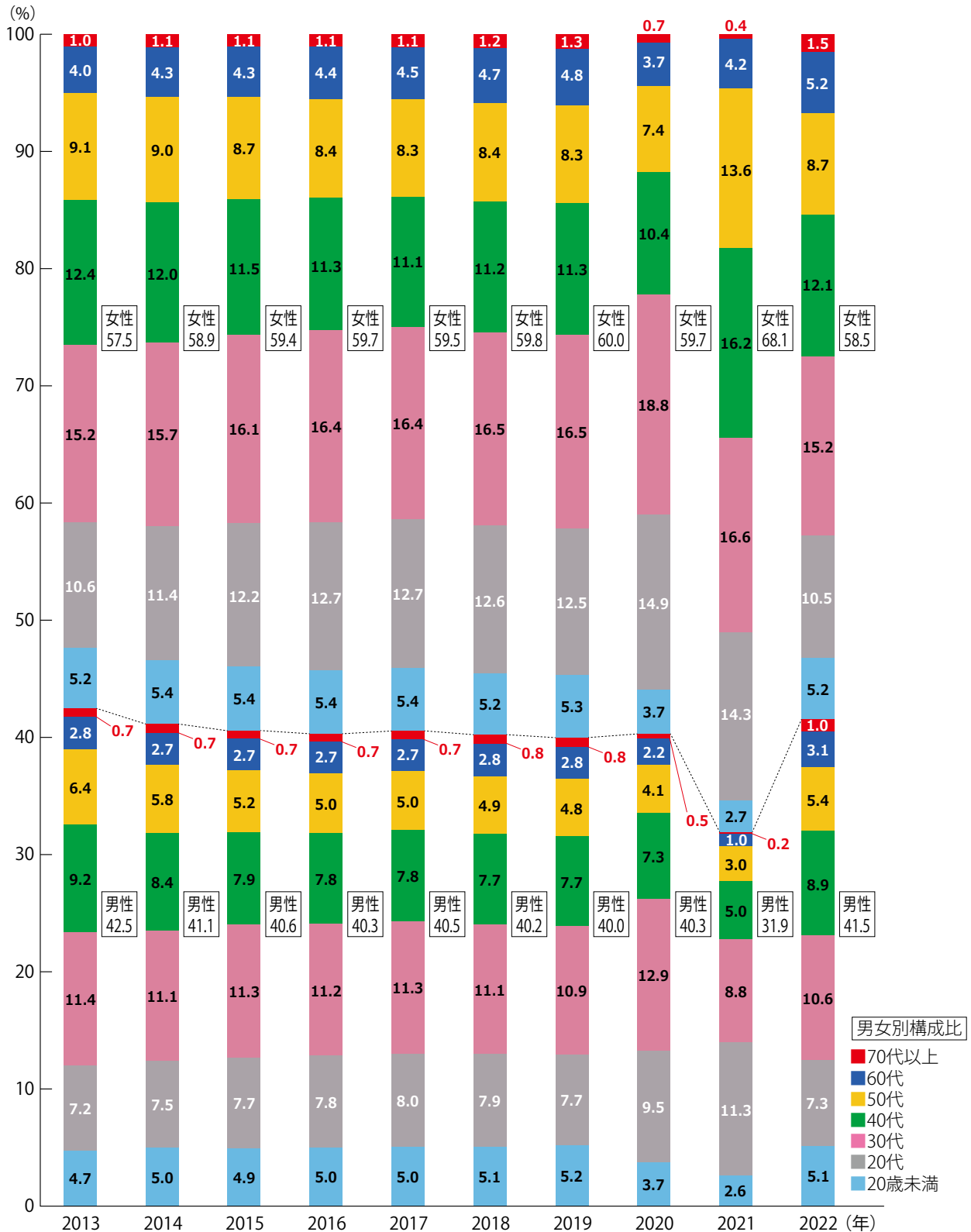
(2) 訪日タイ人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

タイ

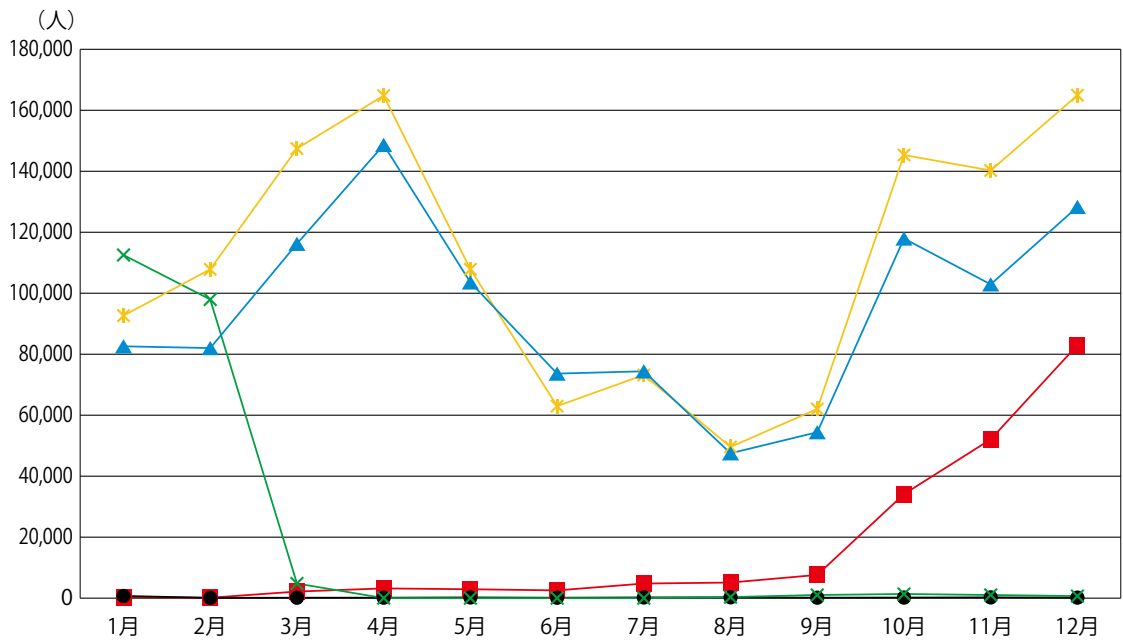
### (3) 訪日タイ人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日タイ人の推移 (2018年～2022年)

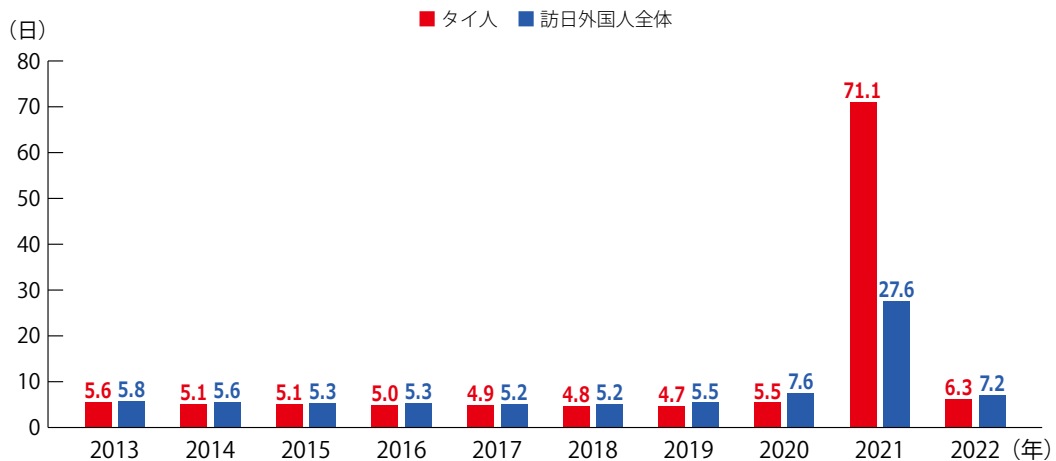


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2021年	356	137	2,165	3,193	2,922	2,544	4,794	5,115	7,622	34,115	52,077	82,997
● 2020年	719	92	145	154	235	139	233	272	153	195	248	173
× 2019年	112,534	97,957	4,805	25	9	12	17	350	1,038	1,365	1,035	683
* 2018年	92,649	107,845	147,443	164,817	107,857	62,984	73,202	49,589	62,057	145,333	140,265	164,936
▲ 2017年	82,592	82,017	116,213	148,647	103,554	73,642	74,402	47,507	54,422	117,949	102,911	128,304

出典：日本政府観光局 (JNTO)

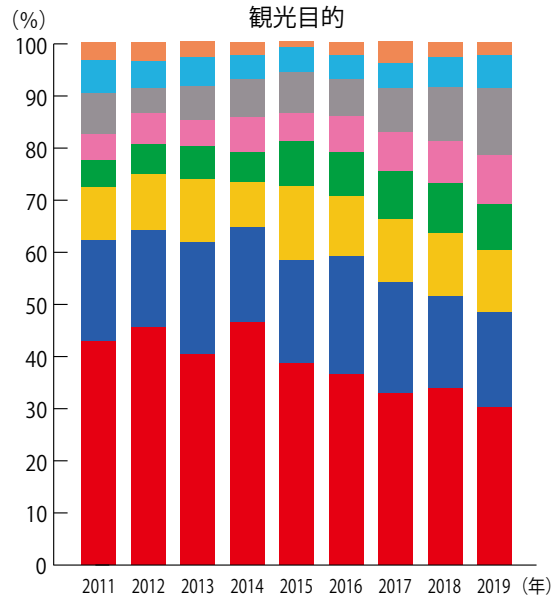
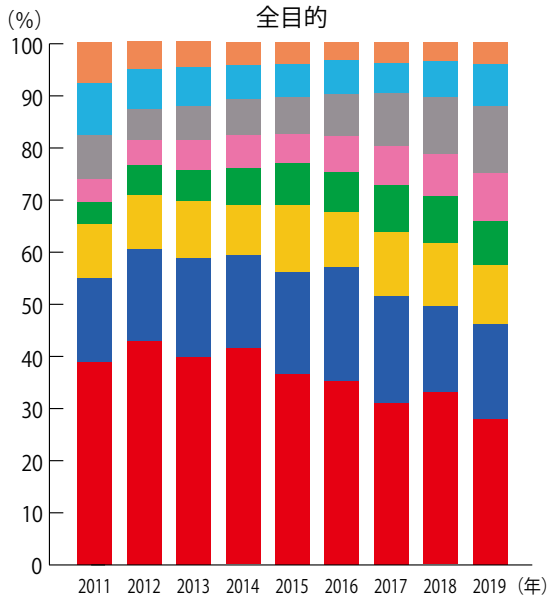
(5) 訪日タイ人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (6) 訪日タイ人の訪日回数 (2011年～2019年)



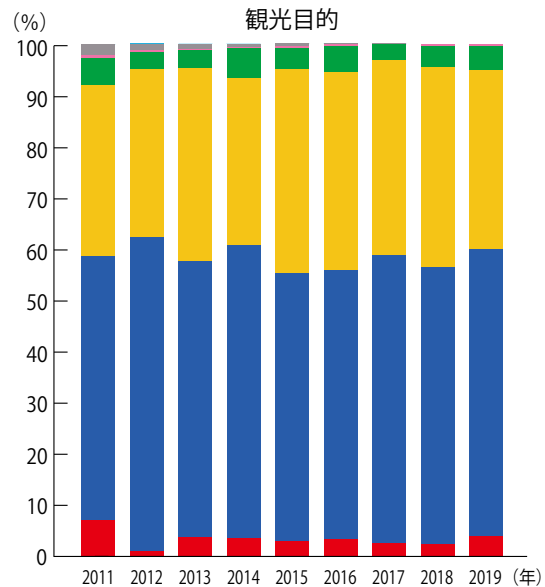
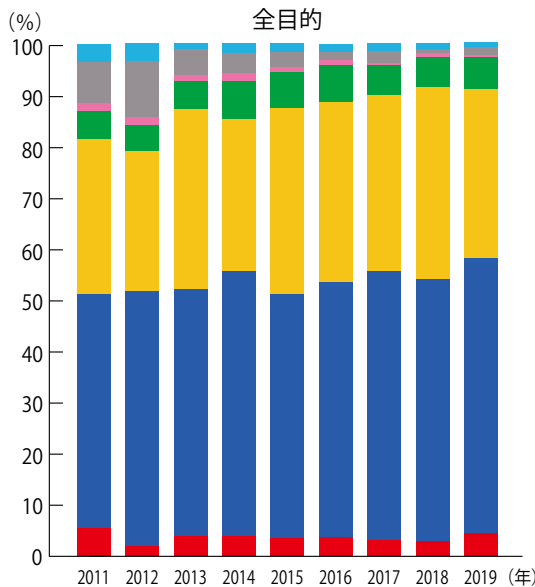
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	7.8	5.4	4.8	4.4	4.3	3.4	4.1	3.7	4.2
10~19回目	10.1	7.6	7.5	6.4	6.4	6.6	5.8	7.0	8.1
6~9回目	8.3	5.9	6.5	7.0	7.1	7.9	10.1	10.8	12.7
5回目	4.4	4.8	5.8	6.4	5.4	7.0	7.5	8.0	9.1
4回目	4.4	5.7	5.9	7.1	8.1	7.7	9.0	9.1	8.6
3回目	10.2	10.4	11.0	9.4	12.8	10.4	12.2	11.9	11.3
2回目	16.1	17.5	18.8	17.9	19.5	21.8	20.4	16.6	18.1
1回目	38.7	42.8	39.7	41.3	36.4	35.1	30.9	32.9	27.8

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	3.4	3.8	3.0	2.5	1.1	2.5	4.3	2.9	2.4
10~19回目	6.3	5.0	5.5	4.6	4.8	4.7	4.6	5.8	6.4
6~9回目	8.0	4.9	6.6	7.4	7.9	7.1	8.4	10.4	12.7
5回目	5.0	5.8	4.9	6.6	5.4	6.8	7.6	7.9	9.5
4回目	5.2	5.8	6.3	5.7	8.5	8.4	9.1	9.6	8.8
3回目	10.0	10.7	12.0	8.6	14.2	11.5	12.0	12.1	11.9
2回目	19.3	18.5	21.6	18.2	19.6	22.6	21.2	17.6	18.1
1回目	42.8	45.5	40.2	46.4	38.6	36.4	32.9	33.7	30.1

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日タイ人の滞在期間 (2011年～2019年)



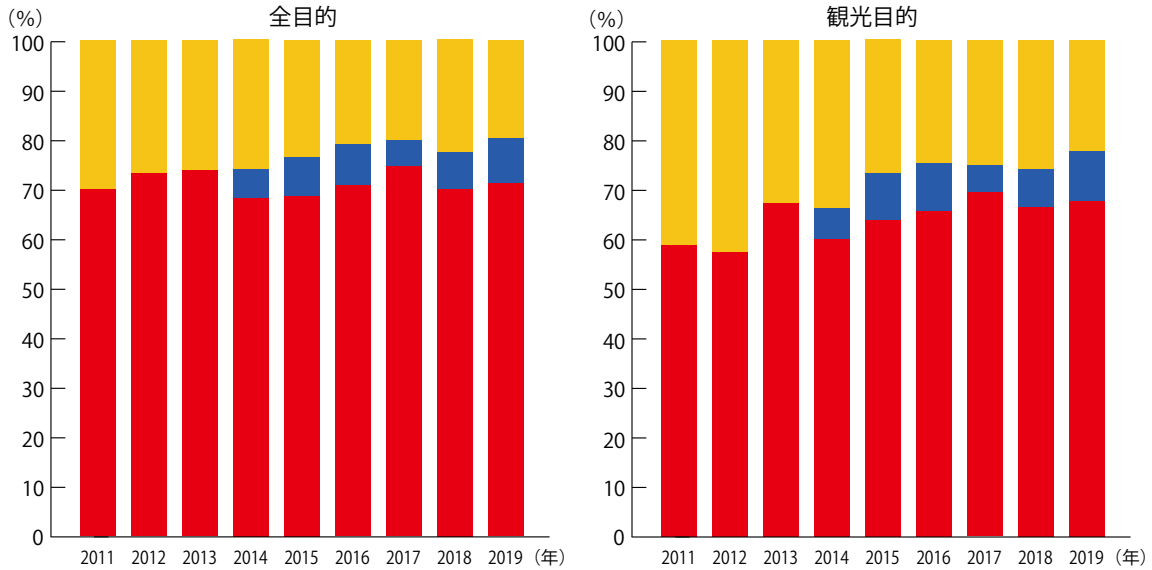
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	3.6	3.4	1.0	2.0	1.6	1.4	1.6	1.2	1.0
28~90日間	7.9	11.1	5.2	3.9	3.1	1.6	2.3	0.8	1.4
21~27日間	1.5	1.6	1.2	1.5	0.8	1.0	0.4	0.6	0.4
14~20日間	5.6	5.1	5.4	7.4	7.0	7.3	5.8	6.0	6.3
7~13日間	30.2	27.2	35.1	29.8	36.5	35.0	34.5	37.5	33.0
4~6日間	45.7	49.8	48.3	51.7	47.6	49.9	52.4	51.0	53.7
3日間以内	5.4	1.9	3.8	3.8	3.4	3.6	3.1	2.9	4.4

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
28~90日間	2.2	1.2	1.1	0.7	0.6	0.2	0.2	0.1	0.1
21~27日間	0.5	0.3	0.1	0.1	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2
14~20日間	5.3	3.4	3.5	5.8	4.1	5.2	3.2	4.2	4.8
7~13日間	33.3	32.7	37.8	32.8	39.9	38.6	37.9	39.1	34.8
4~6日間	51.7	61.4	53.8	57.1	52.3	52.6	56.4	54.1	56.2
3日間以内	6.9	0.9	3.7	3.5	2.9	3.2	2.4	2.2	3.8

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日タイ人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	30.1	26.9	26.3	26.0	23.6	21.0	20.1	22.7	19.8
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.8	7.8	8.3	5.4	7.4	9.1
■ 個別手配	69.9	73.1	73.7	68.2	68.5	70.7	74.5	70.0	71.1

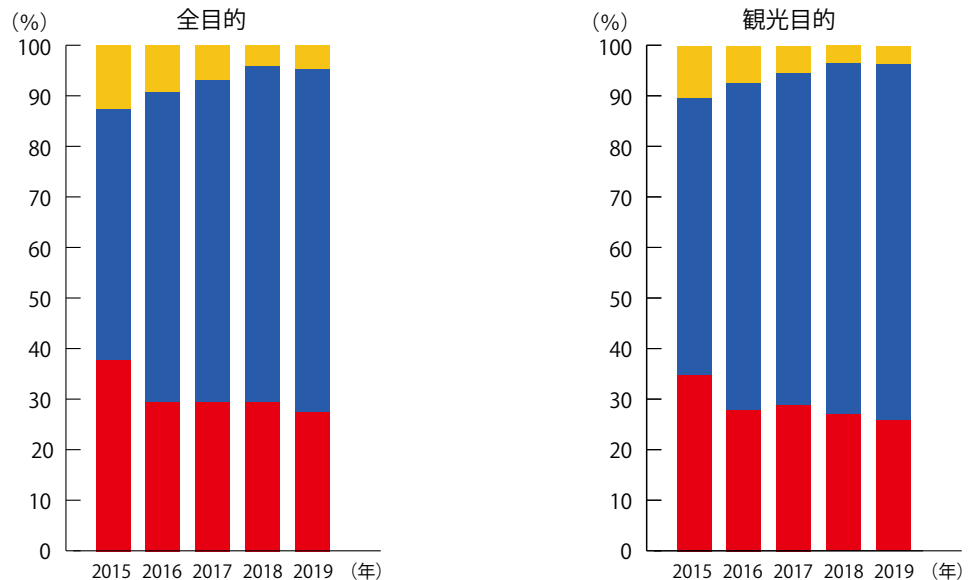
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	41.3	42.7	32.9	33.8	26.9	24.8	25.2	26.1	22.4
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	6.2	9.5	9.6	5.5	7.6	10.1
■ 個別手配	58.7	57.3	67.1	60.0	63.7	65.6	69.3	66.3	67.5

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日タイ人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	12.5	9.1	6.8	4.0	4.6
■ ウェブサイトから申し込んだ	49.6	61.4	63.7	66.5	67.9
■ 店頭で申し込んだ	37.9	29.5	29.5	29.5	27.5

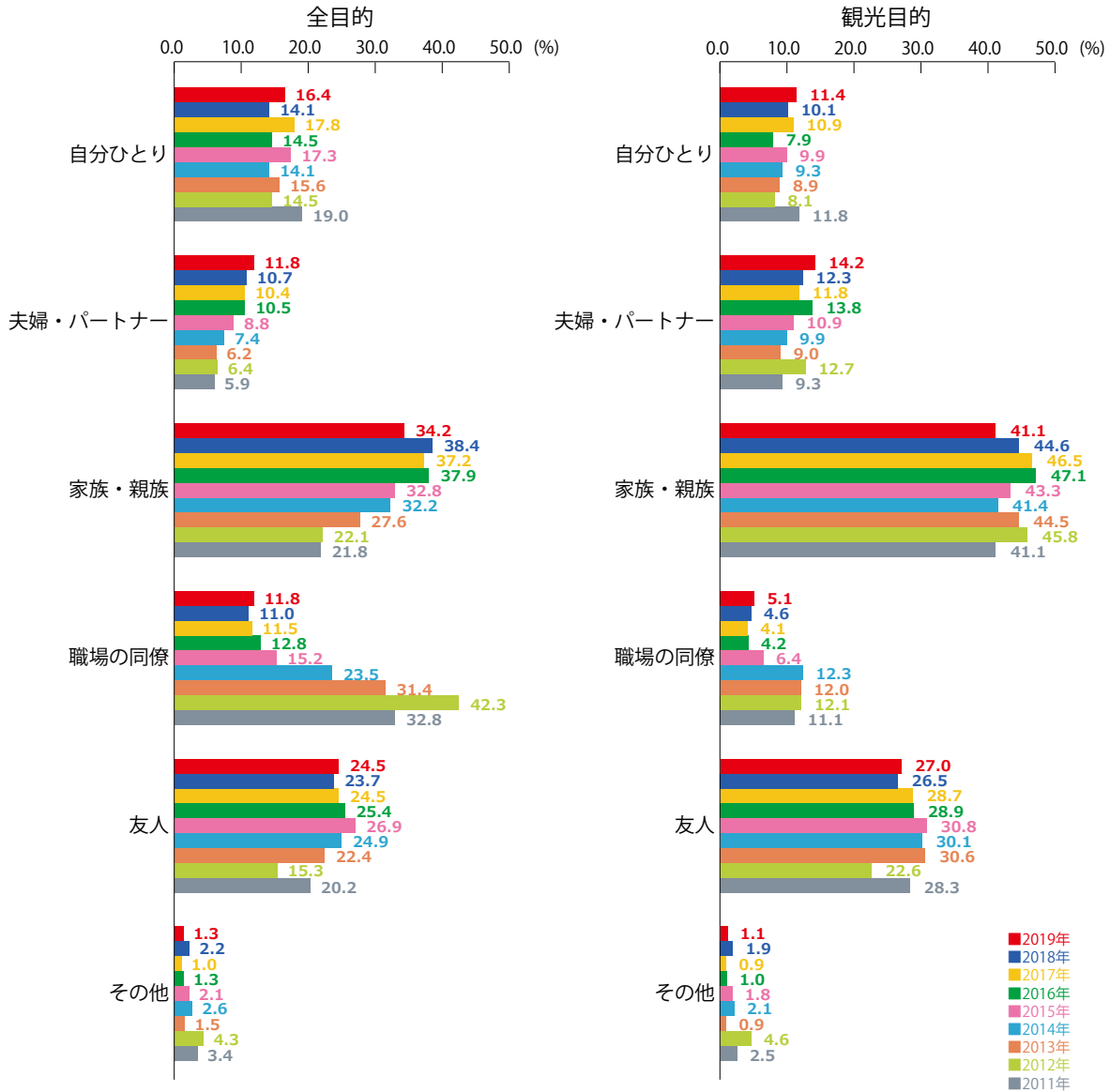
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	10.4	7.4	5.5	3.4	3.7
■ ウェブサイトから申し込んだ	54.7	64.6	65.5	69.5	70.4
■ 店頭で申し込んだ	34.9	28.0	29.0	27.1	25.9

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日タイ人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日タイ人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的 ■ 2019年 ■ 2018年 ■ 2017年 ■ 2016年 ■ 2015年 単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	79.5 83.7 81.9 85.8 79.7	98.5 97.4 98.4 97.5 95.1	71.2 67.1 73.6 74.3 71.4
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	21.7 20.2 21.0 20.4 18.2	33.0 29.5 33.5 30.6 32.4	15.2 11.9 24.3 21.8 21.2
旅館に宿泊	16.3 17.7 18.6 18.0 21.5	18.8 18.7 25.5 21.4 27.2	29.0 28.6 30.5 29.7 27.3
温泉入浴	25.7 28.4 29.7 31.0 33.9	27.4 31.5 35.8 36.0 38.6	42.3 38.8 40.4 42.2 39.8
自然・景勝地観光	52.2 54.9 54.4 57.2 53.5	65.1 65.2 70.8 72.5 66.5	49.6 46.5 50.2 55.9 49.1
繁華街の街歩き	44.1 48.2 49.3 50.1 48.7	62.7 63.5 72.5 70.1 66.3	29.0 25.4 42.2 43.0 42.7
ショッピング	69.4 73.8 68.3 69.0 67.1	86.6 87.8 89.4 85.4 86.4	59.8 55.0 63.6 62.1 61.4
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	19.9 23.8 20.9 23.8 19.7	27.5 28.7 26.3 29.8 28.3	14.7 13.9 26.2 27.3 24.0
テーマパーク	20.4 21.8 19.6 19.7 20.5	21.4 24.4 23.1 21.9 27.0	26.8 26.5 29.8 27.9 28.8
スキー・スノーボード	11.0 10.3 8.6 7.6 11.0	9.1 8.1 8.8 4.6 9.0	24.9 22.0 24.4 22.8 22.9
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.5 2.7 2.4 2.3 3.5	1.4 1.6 2.0 2.7 4.2	1.1 1.3 10.7 9.4 9.2
舞台・音楽鑑賞	4.0 4.3 5.6 4.5 7.1	4.8 3.9 5.7 4.9 9.5	6.9 3.3 14.2 13.8 13.3
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	3.6 2.9 3.7 3.2 4.6	2.4 1.6 2.8 2.8 4.9	6.8 5.1 12.9 12.0 11.7
自然体験ツアー・農漁村体験	14.8 18.1 10.7 9.2 11.9	18.3 17.5 12.9 12.8 14.2	22.4 19.1 21.5 18.6 18.6
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	18.5 18.9 21.1 17.7 19.4	22.2 19.5 24.3 17.6 21.6	29.1 27.7 24.0 32.2 28.5
映画・アニメ縁の地を訪問	5.8 5.2 8.1 4.5 6.6	4.6 4.8 8.8 4.4 8.3	7.9 4.1 17.9 11.4 13.8
日本の歴史・伝統文化体験	19.0 25.4 21.1 18.6 24.5	24.1 31.8 29.9 27.8 33.5	22.1 18.0 29.8 24.7 28.4
日本の日常生活体験	19.3 20.8 17.7 19.6 20.8	22.8 21.6 25.6 23.8 30.3	20.7 18.6 24.3 24.7 26.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	11.0 14.7 14.3 12.7 13.2	14.9 15.2 19.5 16.8 19.3	10.1 8.7 17.9 15.3 14.6
治療・健診	1.0 1.8 2.6 2.1 4.1	1.8 3.2 2.7 2.5 5.2	0.6 0.6 6.7 6.4 6.2
上記には当てはまるものがない	2.4 3.2 4.0 2.8 3.8	0.0 0.1 0.1 0.1 0.0	0.3 1.1 0.5 0.8 1.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

タイ



観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	81.5 85.0 82.6 86.8 81.2	99.0 97.4 98.0 97.8 94.5	72.9 68.6 72.9 74.5 73.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	20.5 20.2 19.7 20.6 16.7	28.3 29.2 30.9 30.1 29.8	14.3 11.8 23.8 21.6 22.2
旅館に宿泊	18.0 19.4 20.2 21.5 24.8	21.3 21.1 27.2 24.6 30.6	31.3 31.4 32.5 31.9 33.4
温泉入浴	27.5 30.6 31.8 35.7 36.2	30.7 33.8 38.8 41.0 42.4	43.5 41.5 43.0 44.2 42.5
自然・景勝地観光	53.7 59.2 56.5 62.5 58.8	67.4 69.6 76.3 73.7 72.0	52.8 47.7 51.8 58.2 52.1
繁華街の街歩き	46.4 53.3 50.4 51.9 54.0	63.6 67.2 76.8 72.8 70.9	30.2 28.0 42.6 42.4 47.2
ショッピング	71.8 77.8 69.7 69.5 70.9	87.8 89.6 91.1 86.7 89.4	62.1 57.4 63.6 60.7 63.0
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	21.0 26.3 21.5 24.9 21.4	30.1 30.9 27.5 30.0 32.1	14.2 13.8 27.5 28.2 26.5
テーマパーク	23.8 24.4 22.3 22.3 23.9	25.7 27.4 28.4 24.0 30.7	28.5 27.8 31.0 28.9 32.9
スキー・スノーボード	11.2 12.0 9.6 7.5 11.9	10.7 9.8 10.0 4.4 8.8	24.8 23.1 25.3 23.9 22.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.8 3.0 2.1 2.4 3.7	1.3 1.8 2.3 2.5 4.7	1.0 1.2 11.1 10.1 10.0
舞台・音楽鑑賞	4.9 4.5 5.9 5.3 7.5	5.2 4.4 5.6 4.5 10.7	6.9 3.2 14.5 15.4 13.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.3 2.8 3.5 3.6 4.8	2.0 1.6 2.5 2.4 5.2	5.1 4.2 13.1 12.8 13.0
自然体験ツアー・農漁村体験	13.8 19.9 10.9 9.5 12.9	17.9 19.0 13.9 14.0 15.7	22.0 20.2 22.5 20.5 20.9
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	18.9 20.6 21.7 19.2 22.5	23.7 20.2 27.8 20.0 24.9	30.7 29.0 36.4 34.0 31.0
映画・アニメ縁の地を訪問	6.2 5.5 7.2 5.1 7.3	4.7 5.2 9.2 5.2 8.6	9.3 4.2 18.6 12.3 15.9
日本の歴史・伝統文化体験	19.3 26.6 21.7 20.4 25.1	24.4 33.4 32.0 29.2 37.1	20.6 18.1 29.5 26.6 31.0
日本の日常生活体験	20.7 17.7 15.9 18.4 21.3	22.8 20.2 24.7 21.6 31.7	21.1 18.5 22.5 24.6 27.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	10.5 15.9 14.2 13.1 14.1	14.3 15.8 19.9 17.5 21.8	10.2 8.7 17.2 15.7 15.0
治療・健診	0.7 1.9 2.7 2.0 4.4	1.6 3.4 2.4 1.9 5.0	0.6 0.5 8.1 6.7 6.2
上記には当てはまるものがない	1.3 1.7 2.5 1.4 2.7	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 1.0 0.1 0.6 0.5

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(12) タイ人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	19.6 23.7 24.3 29.2 28.5	20.3 25.2 26.1 33.1 32.2
旅行会社ホームページ	17.4 20.0 18.7 20.8 21.8	19.6 21.7 21.4 23.3 25.3
宿泊施設ホームページ	12.4 14.7 14.1 15.9 15.1	13.3 16.2 14.9 18.1 16.8
航空会社ホームページ	11.2 11.9 10.7 10.5 10.1	10.9 12.7 10.7 12.0 11.6
地方観光協会ホームページ	4.8 7.0 3.1 4.8 5.8	5.7 7.7 2.9 4.9 7.2
宿泊予約サイト	14.9 15.7 16.5 15.1 18.7	15.8 16.2 19.0 16.9 21.2
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	18.9 20.7 14.3 16.2 18.7	19.9 22.9 15.3 18.3 21.4
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	24.5 18.2 13.5 11.0 8.4	25.9 19.8 14.7 12.0 8.3
個人のブログ	18.2 19.1 17.2 18.8 13.8	21.4 21.2 17.5 22.1 16.1
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	21.3 15.7 10.1 12.7 9.3	23.0 17.2 9.9 13.2 9.1
その他インターネット	6.9 7.6 10.1 9.4 11.3	7.6 7.7 9.2 7.4 11.3
日本政府観光局の案内所	5.7 11.9 9.3 10.8 12.6	6.2 13.2 9.7 11.4 12.9
旅行会社パンフレット	12.1 10.7 11.2 13.2 15.5	13.5 12.0 13.9 15.1 16.5
旅行ガイドブック	9.1 13.0 14.2 19.0 20.1	9.8 14.1 16.6 21.2 22.5
自国の親族・知人	19.9 16.3 23.0 23.3 21.0	18.4 16.4 21.8 23.5 21.0
日本在住の親族・知人	12.7 13.6 18.6 16.7 18.8	8.6 9.5 12.9 11.5 12.7
旅行の展示会や見本市	3.6 4.4 6.8 4.6 3.4	3.8 5.3 7.0 4.6 4.3
テレビ番組	7.9 8.8 15.5 17.9 12.1	7.1 9.1 16.1 18.9 11.8
新聞	0.6 1.4 2.7 1.8 1.7	0.7 1.7 2.7 2.2 1.4
旅行専門誌	8.3 9.9 16.6 17.3 14.0	8.1 10.4 18.6 19.5 15.7
その他雑誌	0.7 1.1 1.9 2.3 1.8	0.6 1.3 1.6 3.0 1.4
その他	0.7 0.6 2.6 2.5 3.4	0.2 0.3 2.1 1.7 3.2
特になし	7.1 6.5 6.6 4.6 7.9	4.9 4.9 4.4 3.0 4.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

タイ

### (13) タイ人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	36.7 35.5	41.1 37.4
交通手段	60.9 54.9	63.1 57.2
飲食店	44.6 38.0	45.8 41.9
観光施設	48.1 47.3	50.7 50.2
イベント	14.6 12.5	14.7 13.2
土産物	19.5 19.8	18.9 20.6
買物場所	35.3 31.4	36.1 34.7
無料Wi-Fi	40.7 37.6	40.6 38.1
祈祷室	0.5 0.2	0.6 0.1
ATM	6.7 6.7	7.4 5.7
宅配便	1.4 2.0	1.4 1.8
日本文化体験プログラム	9.1 8.8	9.5 8.9
自然体験ツアー・農山漁村体験	9.4 8.0	9.3 8.6
通訳案内士・観光ガイド	5.8 6.6	6.2 7.2
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	2.8 3.7	3.2 4.1
クレジットカード利用可能店舗	7.3 8.1	7.9 8.8
その他	0.3 0.2	0.2 0.3
特になし	6.7 9.9	5.2 8.7

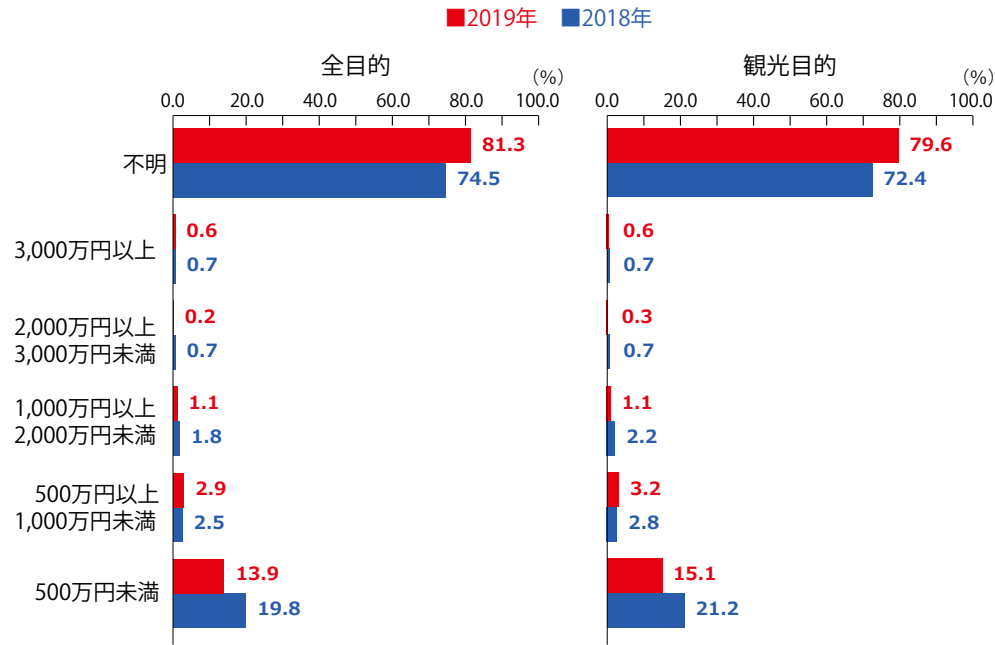
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

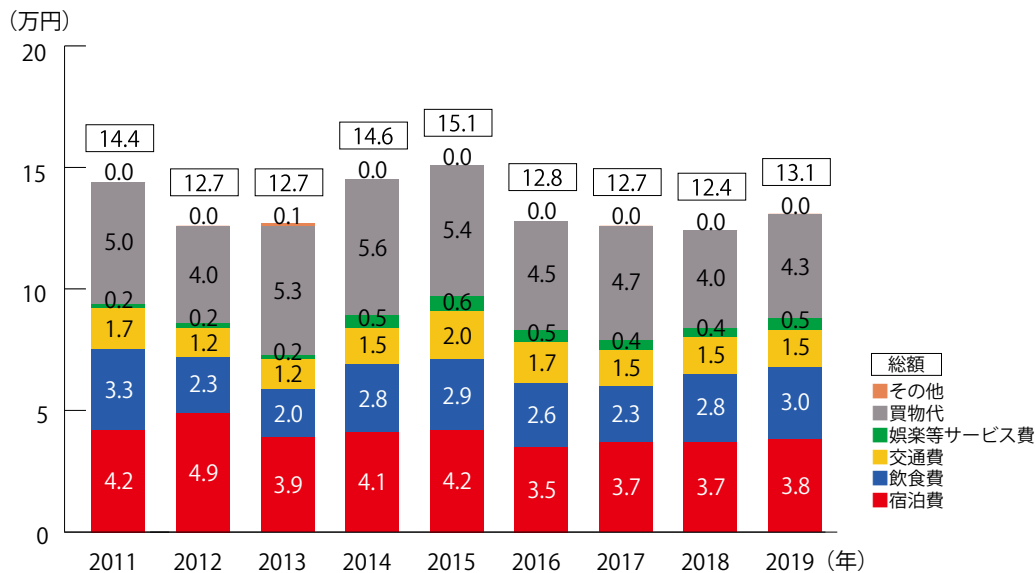
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日タイ人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日タイ人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

タイ

(16) 属性別訪日タイ人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	1,423	131,457	1,067	124,129	
滞在日数	3日間以内	72	59,371	50	57,871
	4～6日間	751	112,312	594	110,700
	7～13日間	452	144,929	361	147,201
	14～20日間	98	140,274	57	151,621
	21～27日間	7	295,975	2	447,173
	28～90日間	23	211,712	3	205,843
	91日間以上1年未満	20	834,813	0	-
性・年代	男性	574	131,887	405	121,914
	15～19歳	28	108,853	25	105,388
	20～29歳	129	141,460	95	108,256
	30～39歳	205	131,042	138	129,543
	40～49歳	129	129,140	82	123,731
	50～59歳	64	129,477	50	124,912
	60～69歳	16	144,647	14	144,764
	70歳以上	3	102,522	1	141,600
	女性	849	131,171	662	125,482
	15～19歳	21	122,325	18	110,120
	20～29歳	238	131,813	190	124,248
	30～39歳	317	137,812	242	125,225
	40～49歳	186	117,494	144	122,390
	50～59歳	66	135,396	50	137,852
60～69歳	17	162,106	15	164,695	
70歳以上	4	97,748	3	95,824	
日本への 来訪回数	1回目	383	117,547	309	110,278
	2回目	239	131,204	180	128,573
	3回目	169	121,954	133	123,276
	4回目	132	108,436	103	106,314
	5回目	129	137,303	102	127,884
	6～9回目	188	151,000	138	139,159
	10～19回目	120	165,901	74	161,948
	20回目以上	63	158,808	28	137,844

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日タイ人の購入者単価 (2019年)

調査項目		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	262	114,079	229	111,378
	個人旅行向けパッケージ商品	128	100,107	110	101,192
	往復航空(船舶)運賃	1,033	67,046	728	64,522
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	953	45,492	732	41,390
	飲食費	1,137	31,065	851	26,773
	交通費	1,056	16,484	791	16,157
	航空(日本国内移動のみ)	51	25,085	38	25,232
	Japan Rail Pass	138	19,415	123	19,537
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	782	8,638	574	7,674
	バス	304	4,810	216	4,011
	タクシー	245	6,730	180	6,978
	レンタカー	149	24,992	134	22,611
	船舶(日本国内移動のみ)	5	6,743	3	7,668
	その他交通費	24	5,350	21	5,720
	娯楽等サービス費	547	9,629	455	8,017
	現地ツアー・観光ガイド	54	8,154	46	5,653
	ゴルフ場	3	4,160	3	4,160
	テーマパーク	215	10,005	190	9,443
	舞台・音楽鑑賞	13	11,528	10	8,826
	スポーツ観戦	6	24,607	2	3,079
	美術館・博物館・動物園・水族館	277	3,138	235	3,086
	スキー場リフト	27	7,260	26	7,408
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	60	5,595	47	3,921
	マッサージ・医療費	10	3,018	7	3,089
	展示会・コンベンション参加費	12	15,148	6	13,378
	レンタル料(レンタカーを除く)	10	8,260	9	8,195
	その他娯楽等サービス費	24	27,809	18	6,705
	買物代	1,388	43,437	1,041	40,439
	菓子類	1,097	11,795	832	11,788
	酒類	238	6,848	159	6,375
	生鮮農産物	129	7,255	91	4,105
	その他食料品・飲料・たばこ	472	11,217	355	10,463
	化粧品・香水	611	21,449	478	19,251
	医薬品	160	9,572	122	9,784
	健康グッズ・トイレタリー	109	11,902	77	10,510
	衣類	562	15,481	443	13,819
靴・かばん・革製品	492	17,899	386	17,213	
電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	61	23,190	36	16,052	
時計・フィルムカメラ	55	33,880	40	17,479	
宝石・貴金属	17	5,308	17	5,308	
民芸品・伝統工芸品	45	7,362	36	7,211	
本・雑誌・ガイドブックなど	37	9,315	21	11,238	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	25	16,145	19	15,031	
その他買物代	78	15,450	57	12,420	
その他	8	69,858	5	19,011	

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

## (18) 訪日タイ人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買い物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	16.4 67.1 70.1 66.9 73.0	70.1 72.9 69.6 76.7 78.0
家電量販店	9.1 10.1 11.3 12.8 16.0	9.0 10.1 11.3 14.6 18.1
ファッション専門店	17.6 19.6 18.0 16.4 18.1	19.0 20.7 20.3 18.4 20.7
100円ショップ	31.7 32.2 36.0 35.8 37.6	32.3 32.9 35.0 36.4 39.3
高速道路のSA・道の駅	3.5 4.0 4.2 4.2 3.7	3.9 4.7 2.9 4.8 4.1
観光地の土産店	33.8 36.3 31.3 32.1 28.6	37.2 39.7 34.4 35.8 31.1
宿泊施設	6.4 6.2 7.1 10.7 9.3	7.2 6.8 7.8 12.1 10.5
スーパーマーケット	55.4 56.6 56.6 51.7 48.3	56.3 56.8 54.8 51.9 47.2
コンビニエンスストア	65.3 60.6 53.9 54.6 45.9	66.6 60.4 54.1 54.5 48.5
ドラッグストア	41.6 41.2 48.3 45.2 44.1	43.5 42.5 52.5 48.5 47.9
ディスカウントストア	21.8 17.7 20.9 19.9 18.6	22.3 18.5 21.3 20.1 19.9
アウトレットモール	19.4 18.0 24.0 22.2 26.0	22.0 20.2 28.0 25.0 30.0
都心の複合商業施設	20.0 19.2 18.0 22.5 18.6	23.0 20.0 20.1 23.6 21.3
その他ショッピングセンター	11.5 12.3 13.5 13.8 10.6	11.9 12.1 13.1 12.7 11.3
鉄道駅構内の店舗	13.8 13.2 14.2 17.2 14.4	14.6 13.5 13.6 17.1 16.4
空港の免税店	56.8 56.1 56.3 56.3 54.9	57.5 57.0 59.7 56.0 60.2
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.8 1.3	0.9 1.4
その他	2.7 2.9 2.4 1.8 1.7	2.5 3.2 2.0 1.9 1.7
買い物はしなかった	0.8 0.6 0.9 0.5 0.6	0.5 0.4 0.4 0.4 0.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日タイ人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	47.2 42.6
消費税免税の手続きをしていない	52.8 57.4

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	22.2 20.0
酒類	2.8 1.7
生鮮農産物	0.9 0.6
その他食料品・飲料・たばこ	5.1 4.4
化粧品・香水	20.8 18.9
医薬品	4.1 3.8
健康グッズ・トイレタリー	2.0 2.0
衣類	16.7 14.1
靴・かばん・革製品	18.1 17.5
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	1.9 1.9
時計・フィルムカメラ	1.7 4.5
宝石・貴金属	0.1 0.2
民芸品・伝統工芸品	0.7 0.8
本・雑誌・ガイドブックなど	0.4 0.3
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.7 0.5
その他買物代	1.4 2.0

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (20) 訪日タイ人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	97.5 97.7	97.8 97.9
クレジットカード	55.6 53.6	58.8 56.3
交通系ICカード（Suica等）	12.1 8.8	11.9 8.3
その他ICカード（Edy等）	0.6 0.3	0.7 0.4
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	4.1 2.5	4.4 2.6
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.4 0.1	0.4 0.1
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	1.0 0.9	1.2 0.8
その他	0.0 0.0	0.1 0.0
お金は全く使わなかった	0.3 0.4	0.2 0.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日タイ人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
東京都	1位	60.3	55.6	56.3	55.6	57.9	54.3	55.8	52.1	49.0	
千葉県	2位	7.0	13.0	10.7	12.9	51.7	48.4	50.4	48.7	46.0	
大阪府	3位	22.6	24.2	28.8	22.7	26.0	30.0	30.2	28.7	28.4	
京都府	4位	13.3	13.5	18.2	14.5	16.1	16.3	16.9	16.7	16.6	
北海道	5位	3.8	3.6	13.3	12.7	12.9	13.5	12.0	14.2	13.7	
山梨県	6位	7.4	16.4	15.4	10.7	12.0	9.0	11.5	13.0	10.6	
愛知県	7位	10.4	10.7	6.5	10.8	7.9	7.4	8.0	7.7	9.4	
兵庫県	8位	2.5	4.6	5.6	4.0	5.8	8.2	6.3	6.1	5.9	
神奈川県	9位	10.0	16.5	11.1	11.7	9.8	9.8	8.4	6.6	5.8	
奈良県	10位	3.4	4.8	6.2	4.9	3.8	5.3	4.0	5.4	5.7	
岐阜県	11位	4.5	4.6	3.9	2.9	3.1	4.2	4.6	4.4	5.0	
福岡県	12位	7.4	5.9	4.3	5.5	7.9	8.2	6.2	3.8	4.8	
長野県	13位	4.1	1.2	1.8	2.0	3.9	2.9	3.7	3.0	4.1	
静岡県	14位	7.3	3.7	2.6	7.0	6.0	5.5	4.6	2.8	3.6	
栃木県	15位	2.4	5.2	6.4	4.4	6.1	6.7	4.4	3.4	3.4	
埼玉県	16位	4.4	4.2	1.9	2.1	3.2	2.0	1.4	2.0	1.9	
茨城県	17位	3.5	3.3	2.0	1.6	1.8	2.8	1.5	1.9	1.8	
沖縄県	18位	0.1	0.1	0.1	0.0	0.0	0.4	1.5	2.7	1.8	
大分県	19位	1.0	1.8	2.5	2.7	3.5	2.6	1.8	1.6	1.6	
石川県	20位	0.0	0.8	0.7	0.6	0.7	1.1	0.7	1.3	1.4	
熊本県	21位	0.9	2.2	1.2	1.8	2.6	1.9	1.3	1.0	1.2	
新潟県	22位	0.6	0.2	0.7	0.5	0.7	0.4	1.6	0.7	1.1	
広島県	23位	1.7	1.7	2.4	1.6	1.6	2.1	1.5	1.5	1.1	
宮城県	24位	1.2	2.2	1.5	1.4	1.2	1.1	0.5	1.1	1.1	
和歌山県	25位	0.0	1.1	1.1	1.3	0.7	0.7	0.9	1.3	1.1	
三重県	26位	0.4	1.8	1.2	1.0	0.5	0.6	0.7	1.1	1.0	
福島県	27位	1.7	1.1	0.3	0.9	0.4	0.4	0.8	0.5	0.9	
群馬県	28位	1.6	0.3	0.7	0.3	0.4	1.6	1.5	0.7	0.9	
青森県	29位	0.2	0.3	0.5	0.3	0.2	0.4	0.6	0.6	0.7	
長崎県	30位	0.3	2.1	1.1	2.0	1.4	2.8	1.5	0.8	0.6	
富山県	31位	0.5	0.7	0.7	2.0	1.0	1.3	1.6	0.5	0.6	
佐賀県	32位	0.0	0.1	0.0	0.6	1.5	1.4	0.7	0.3	0.5	
山形県	33位	0.4	0.3	0.4	0.6	0.1	0.1	0.2	0.1	0.4	
岡山県	34位	0.4	1.0	1.0	1.4	0.6	0.4	0.9	0.7	0.4	
滋賀県	35位	0.5	0.4	0.7	0.3	0.7	1.0	0.4	0.7	0.4	
秋田県	36位	0.4	0.1	0.1	0.0	0.3	0.1	0.3	0.3	0.4	
山口県	37位	0.6	0.1	0.0	0.2	0.6	0.6	0.1	0.1	0.3	
香川県	38位	0.5	0.2	0.2	0.3	0.3	0.6	0.2	0.1	0.2	
徳島県	39位	0.1	0.8	0.7	0.1	0.4	0.0	0.3	0.1	0.2	
福井県	40位	0.1	0.7	0.3	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	
鹿児島県	41位	0.2	0.1	0.4	0.5	0.4	0.5	0.0	0.3	0.1	
岩手県	42位	0.0	0.5	0.0	0.1	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	
愛媛県	43位	0.0	0.0	0.3	0.1	0.2	0.1	0.2	0.1	0.1	
宮崎県	44位	0.1	0.3	0.2	0.2	0.2	0.4	0.0	0.3	0.1	
鳥取県	45位	0.0	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1	0.1	0.3	0.1	
高知県	46位	0.0	0.0	0.1	0.1	0.5	0.1	0.1	0.1	0.1	
島根県	47位	0.0	0.1	0.0	0.0	0.3	0.4	0.0	0.0	0.0	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日タイ人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊（構成比：％）】		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	685,030 (26.3%)	741,050 (25.0%)	892,440 (24.8%)
大阪府	2位	393,540 (15.1%)	421,030 (14.2%)	530,250 (14.7%)
北海道	3位	401,160 (15.4%)	473,260 (15.9%)	552,770 (15.3%)
千葉県	4位	232,570 (8.9%)	277,780 (9.4%)	316,220 (8.8%)
山梨県	5位	153,910 (5.9%)	153,040 (5.2%)	152,690 (4.2%)
福岡県	6位	60,330 (2.3%)	61,750 (2.1%)	90,030 (2.5%)
愛知県	7位	105,560 (4.1%)	140,030 (4.7%)	193,250 (5.4%)
京都府	8位	69,170 (2.7%)	65,700 (2.2%)	119,460 (3.3%)
神奈川県	9位	65,220 (2.5%)	73,710 (2.5%)	95,050 (2.6%)
長野県	10位	48,390 (1.9%)	55,870 (1.9%)	79,450 (2.2%)
大分県	11位	20,010 (0.8%)	20,210 (0.7%)	21,950 (0.6%)
岐阜県	12位	51,480 (2.0%)	68,350 (2.3%)	74,570 (2.1%)
静岡県	13位	30,370 (1.2%)	40,900 (1.4%)	55,500 (1.5%)
宮城県	14位	14,270 (0.5%)	23,320 (0.8%)	38,900 (1.1%)
熊本県	15位	11,340 (0.4%)	13,360 (0.5%)	14,920 (0.4%)
福島県	16位	9,740 (0.4%)	18,190 (0.6%)	25,420 (0.7%)
新潟県	17位	6,550 (0.3%)	8,680 (0.3%)	13,070 (0.4%)
兵庫県	18位	32,870 (1.3%)	32,510 (1.1%)	29,950 (0.8%)
栃木県	19位	15,940 (0.6%)	18,160 (0.6%)	20,090 (0.6%)
群馬県	20位	16,430 (0.6%)	18,630 (0.6%)	19,440 (0.5%)
石川県	21位	16,390 (0.6%)	27,180 (0.9%)	24,520 (0.7%)
長崎県	22位	10,160 (0.4%)	9,320 (0.3%)	13,390 (0.4%)
青森県	23位	7,510 (0.3%)	8,980 (0.3%)	13,320 (0.4%)
三重県	24位	13,530 (0.5%)	30,360 (1.0%)	26,800 (0.7%)
広島県	25位	13,620 (0.5%)	15,720 (0.5%)	17,610 (0.5%)
滋賀県	26位	10,460 (0.4%)	9,510 (0.3%)	11,460 (0.3%)
茨城県	27位	5,290 (0.2%)	11,730 (0.4%)	10,760 (0.3%)
埼玉県	28位	6,580 (0.3%)	8,280 (0.3%)	9,960 (0.3%)
山形県	29位	3,420 (0.1%)	6,340 (0.2%)	11,630 (0.3%)
岩手県	30位	5,500 (0.2%)	6,840 (0.2%)	8,740 (0.2%)
和歌山県	31位	12,240 (0.5%)	9,970 (0.3%)	8,230 (0.2%)
佐賀県	32位	5,520 (0.2%)	3,750 (0.1%)	10,290 (0.3%)
富山県	33位	9,220 (0.4%)	10,440 (0.4%)	10,020 (0.3%)
岡山県	34位	5,540 (0.2%)	5,170 (0.2%)	5,370 (0.1%)
沖縄県	35位	31,900 (1.2%)	54,820 (1.8%)	54,550 (1.5%)
秋田県	36位	4,040 (0.2%)	3,830 (0.1%)	6,530 (0.2%)
鹿児島県	37位	4,970 (0.2%)	4,050 (0.1%)	5,290 (0.1%)
宮崎県	38位	1,530 (0.1%)	1,350 (0.0%)	2,850 (0.1%)
香川県	39位	1,210 (0.0%)	1,990 (0.1%)	2,910 (0.1%)
山口県	40位	4,700 (0.2%)	2,200 (0.1%)	1,900 (0.1%)
奈良県	41位	2,120 (0.1%)	2,780 (0.1%)	3,660 (0.1%)
鳥取県	42位	1,750 (0.1%)	2,710 (0.1%)	2,390 (0.1%)
愛媛県	43位	1,000 (0.0%)	1,240 (0.0%)	1,310 (0.0%)
徳島県	44位	650 (0.0%)	820 (0.0%)	810 (0.0%)
高知県	45位	460 (0.0%)	740 (0.0%)	800 (0.0%)
福井県	46位	1,230 (0.0%)	2,450 (0.1%)	2,720 (0.1%)
島根県	47位	550 (0.0%)	720 (0.0%)	490 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

タイ

▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	147,480 (20.3%)	19,070 (41.5%)	240,610 (38.3%)
大阪府	2位	88,380 (12.2%)	3,610 (7.9%)	76,070 (12.1%)
北海道	3位	174,020 (24.0%)	690 (1.5%)	46,530 (7.4%)
千葉県	4位	59,050 (8.1%)	6,380 (13.9%)	39,210 (6.2%)
山梨県	5位	26,660 (3.7%)	160 (0.3%)	31,480 (5.0%)
福岡県	6位	15,660 (2.2%)	1,220 (2.7%)	27,490 (4.4%)
愛知県	7位	41,130 (5.7%)	2,550 (5.5%)	27,290 (4.3%)
京都府	8位	18,870 (2.6%)	1,150 (2.5%)	24,670 (3.9%)
神奈川県	9位	15,640 (2.2%)	1,430 (3.1%)	17,260 (2.8%)
長野県	10位	13,380 (1.8%)	1,220 (2.7%)	13,430 (2.1%)
大分県	11位	2,830 (0.4%)	90 (0.2%)	8,980 (1.4%)
岐阜県	12位	26,590 (3.7%)	530 (1.2%)	7,860 (1.3%)
静岡県	13位	8,060 (1.1%)	830 (1.8%)	7,020 (1.1%)
宮城県	14位	12,060 (1.7%)	850 (1.8%)	6,210 (1.0%)
熊本県	15位	2,320 (0.3%)	80 (0.2%)	5,540 (0.9%)
福島県	16位	8,930 (1.2%)	320 (0.7%)	4,870 (0.8%)
新潟県	17位	4,870 (0.7%)	190 (0.4%)	3,770 (0.6%)
兵庫県	18位	3,300 (0.5%)	300 (0.7%)	3,580 (0.6%)
栃木県	19位	3,200 (0.4%)	1,050 (2.3%)	3,540 (0.6%)
群馬県	20位	5,390 (0.7%)	270 (0.6%)	3,290 (0.5%)
石川県	21位	8,410 (1.2%)	190 (0.4%)	2,530 (0.4%)
長崎県	22位	1,080 (0.1%)	40 (0.1%)	2,480 (0.4%)
青森県	23位	2,400 (0.3%)	90 (0.2%)	2,110 (0.3%)
三重県	24位	1,490 (0.2%)	330 (0.7%)	2,050 (0.3%)
広島県	25位	3,750 (0.5%)	370 (0.8%)	1,850 (0.3%)
滋賀県	26位	1,320 (0.2%)	100 (0.2%)	1,770 (0.3%)
茨城県	27位	2,150 (0.3%)	570 (1.2%)	1,690 (0.3%)
埼玉県	28位	1,670 (0.2%)	230 (0.5%)	1,650 (0.3%)
山形県	29位	5,600 (0.8%)	160 (0.3%)	1,530 (0.2%)
岩手県	30位	3,840 (0.5%)	160 (0.3%)	1,520 (0.2%)
和歌山県	31位	960 (0.1%)	110 (0.2%)	1,490 (0.2%)
佐賀県	32位	410 (0.1%)	40 (0.1%)	1,090 (0.2%)
富山県	33位	2,190 (0.3%)	80 (0.2%)	1,030 (0.2%)
岡山県	34位	620 (0.1%)	60 (0.1%)	840 (0.1%)
沖縄県	35位	7,560 (1.0%)	590 (1.3%)	760 (0.1%)
秋田県	36位	1,240 (0.2%)	80 (0.2%)	710 (0.1%)
鹿児島県	37位	540 (0.1%)	90 (0.2%)	620 (0.1%)
宮崎県	38位	370 (0.1%)	80 (0.2%)	530 (0.1%)
香川県	39位	160 (0.0%)	190 (0.4%)	470 (0.1%)
山口県	40位	380 (0.1%)	80 (0.2%)	430 (0.1%)
奈良県	41位	480 (0.1%)	70 (0.2%)	360 (0.1%)
鳥取県	42位	530 (0.1%)	90 (0.2%)	320 (0.1%)
愛媛県	43位	220 (0.0%)	20 (0.0%)	300 (0.0%)
徳島県	44位	130 (0.0%)	20 (0.0%)	270 (0.0%)
高知県	45位	50 (0.0%)	20 (0.0%)	240 (0.0%)
福井県	46位	280 (0.0%)	50 (0.1%)	140 (0.0%)
島根県	47位	120 (0.0%)	40 (0.1%)	130 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

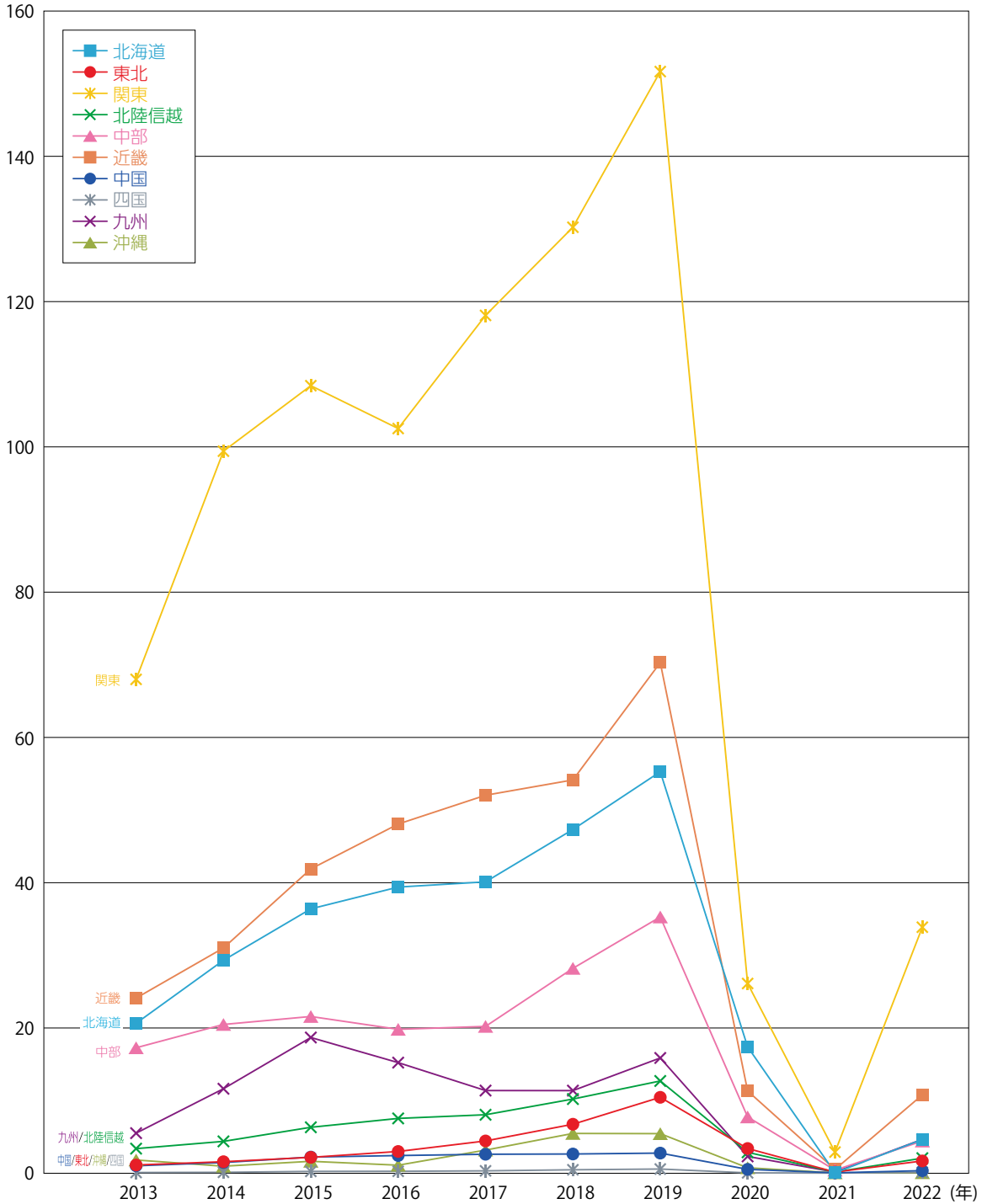
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (23) 訪日タイ人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	206,460	293,210	363,990	393,980	401,160	473,260	552,770	174,020	690	46,530
東北	11,390	15,910	21,920	30,000	44,480	67,480	104,550	34,080	1,670	16,950
関東	679,940	994,080	1,084,220	1,025,270	1,180,980	1,302,370	1,516,660	261,240	29,160	338,740
北陸信越	33,920	43,900	63,300	75,510	80,560	102,170	127,060	28,840	1,690	20,770
中部	172,760	204,850	215,830	198,160	202,180	282,090	352,840	77,550	4,300	44,350
近畿	241,140	310,130	418,980	480,740	520,390	541,490	703,020	113,300	5,340	107,940
中国	10,290	14,780	22,280	24,380	26,160	26,520	27,760	5,390	630	3,580
四国	1,030	1,310	2,560	2,710	3,330	4,790	5,830	560	250	1,280
九州	55,220	116,350	186,890	152,320	113,860	113,780	158,720	23,200	1,640	46,720
沖縄	18,270	9,710	16,460	11,100	31,900	54,820	54,550	7,560	590	760

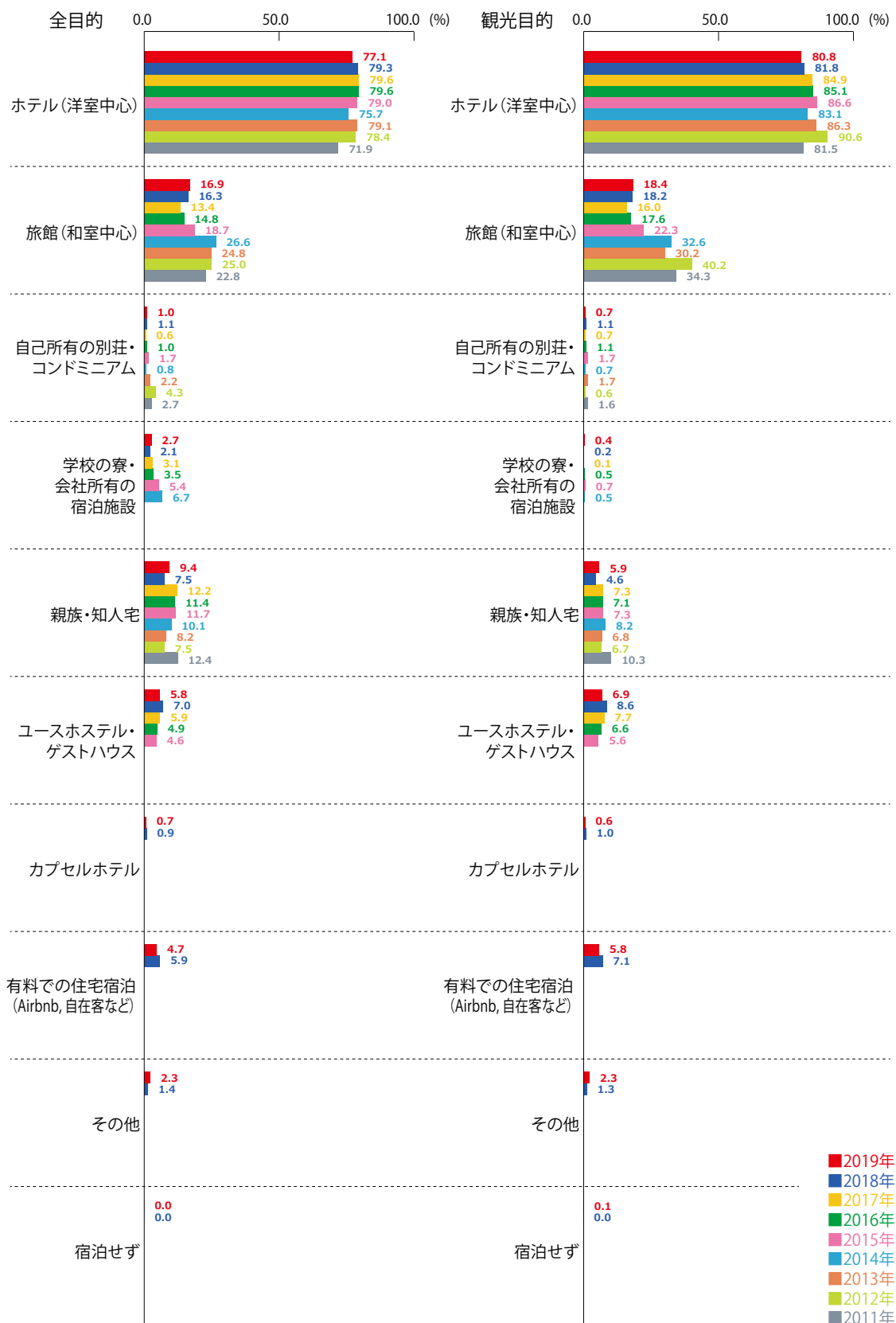
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

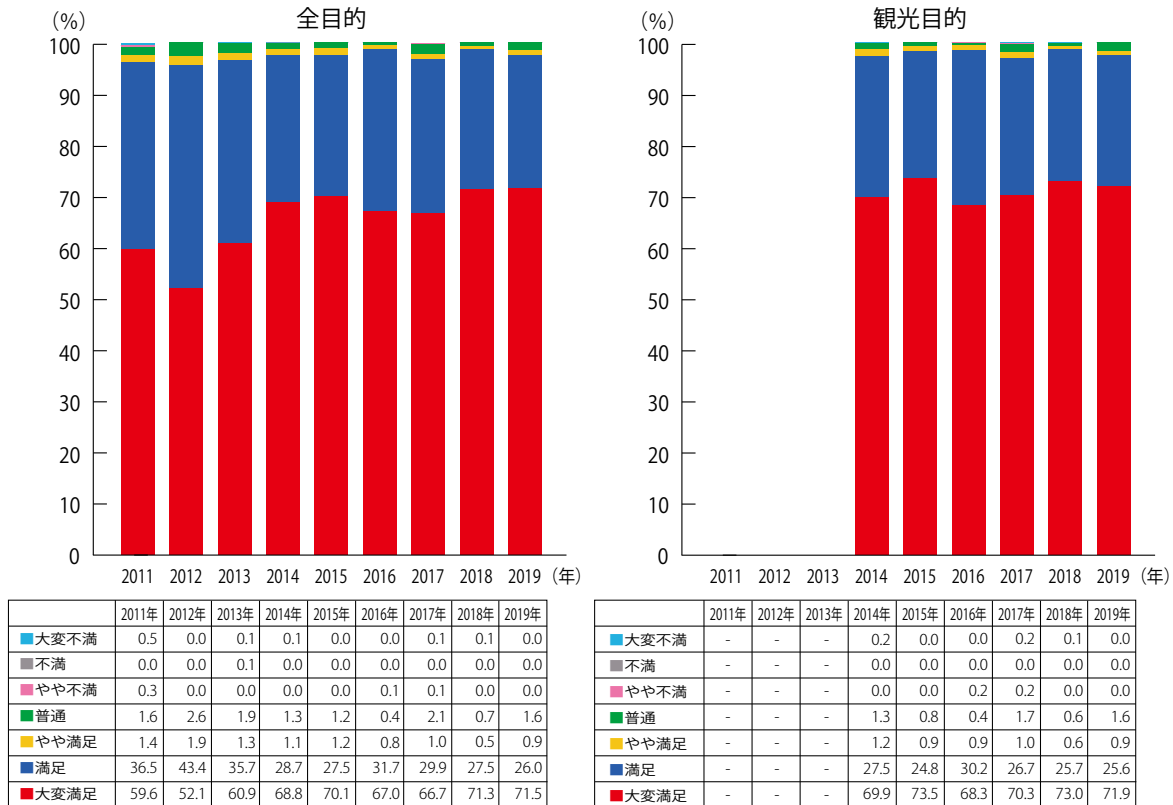
(24) 訪日タイ人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

タイ

## (25) タイ人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

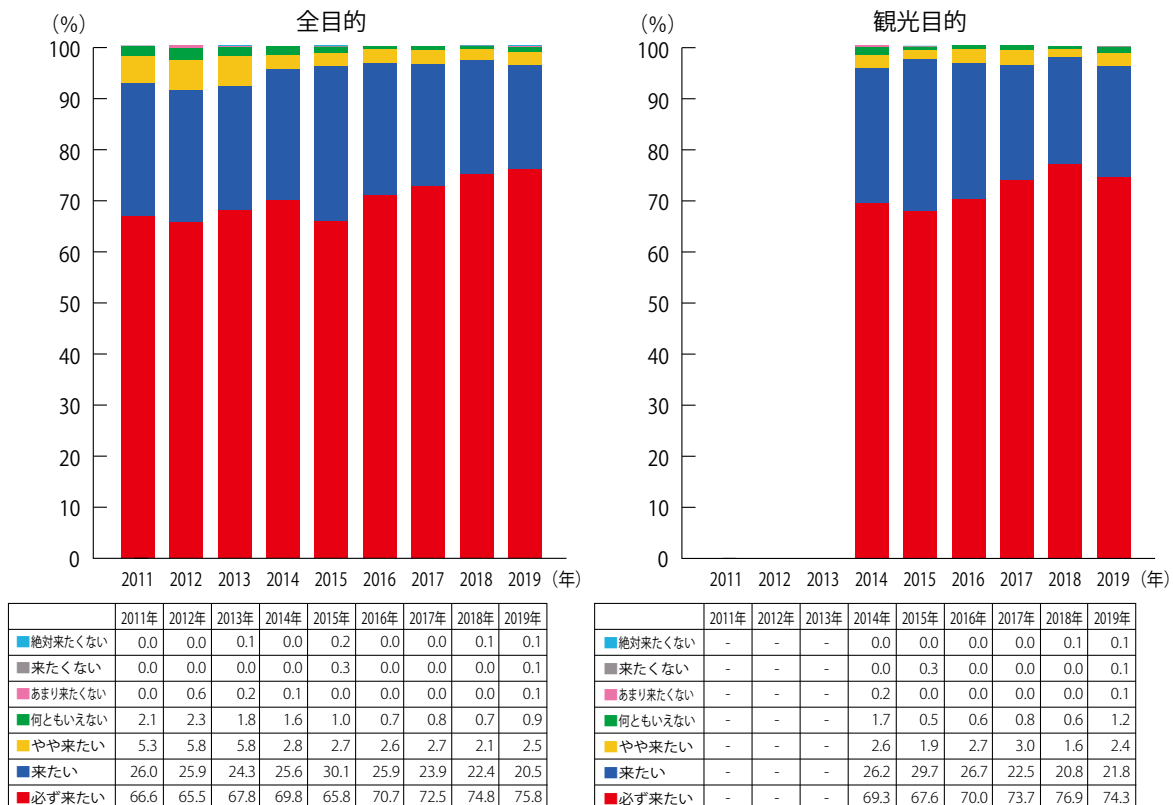


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日タイ人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# シンガポール

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

中華系（74.3%）、マレー系（13.5%）、インド系（9.0%）など

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

### (2) 宗教別構成

仏教、イスラム教、キリスト教、道教、ヒンドゥー教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

マレー語が国語であるが、英語と中国語（北京語を基準とする標準中国語）の話者が多い。

標準中国語は「華語」と呼ばれている。

公用語は、英語（国民全体）、中国語（中華系住民が使用）、マレー語（マレー系住民が使用）、

タミル語（インド系住民が使用）の4言語

注：シンガポールで各民族が互いに意思疎通を図る際、英語が使われる。シンガポールで印刷物を配布する場合、英語版が望ましい。

出典：日本政府観光局（JNTO）

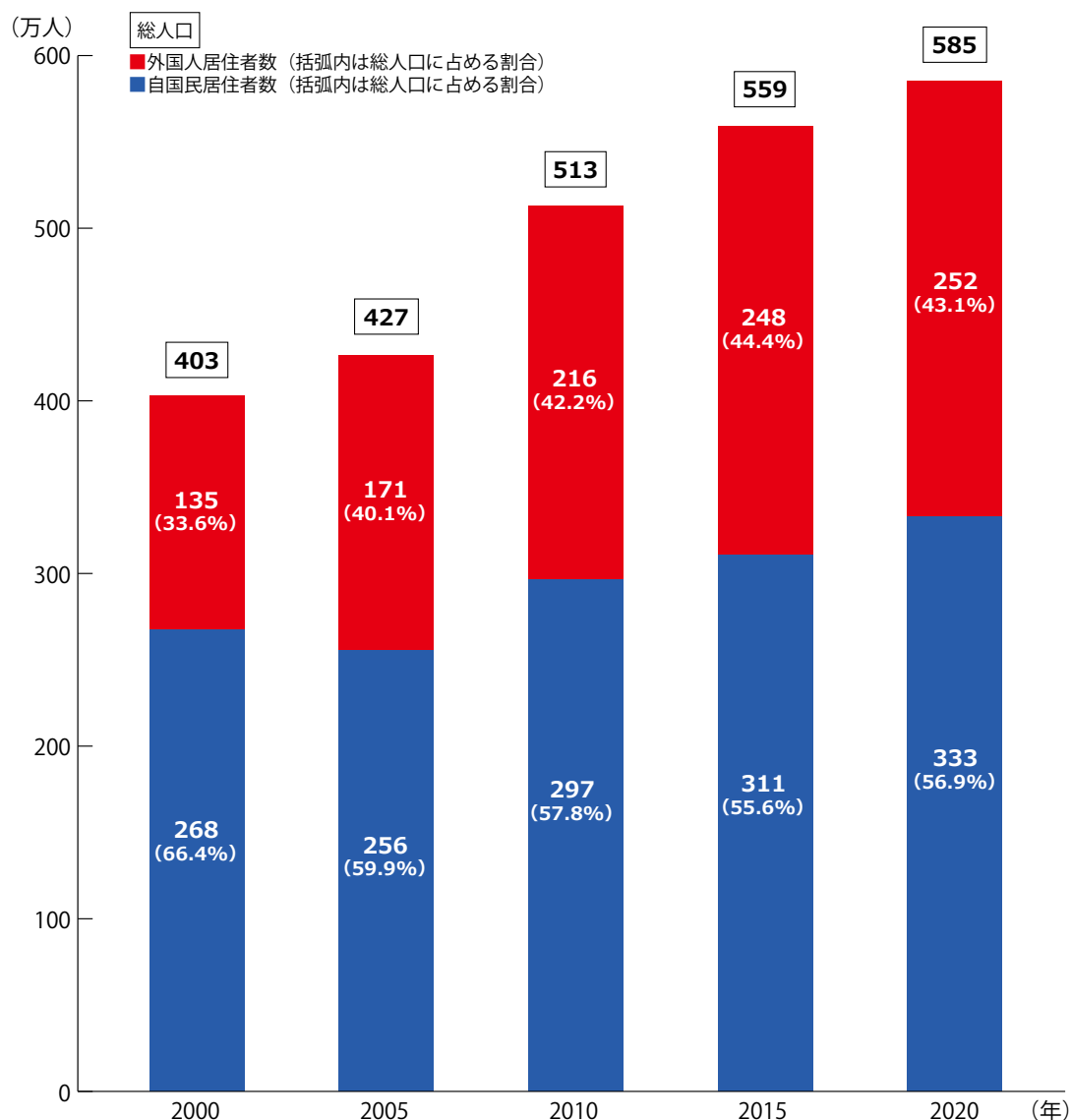
### (4) 面積

729km<sup>2</sup>（東京23区の1.2倍弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」



## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

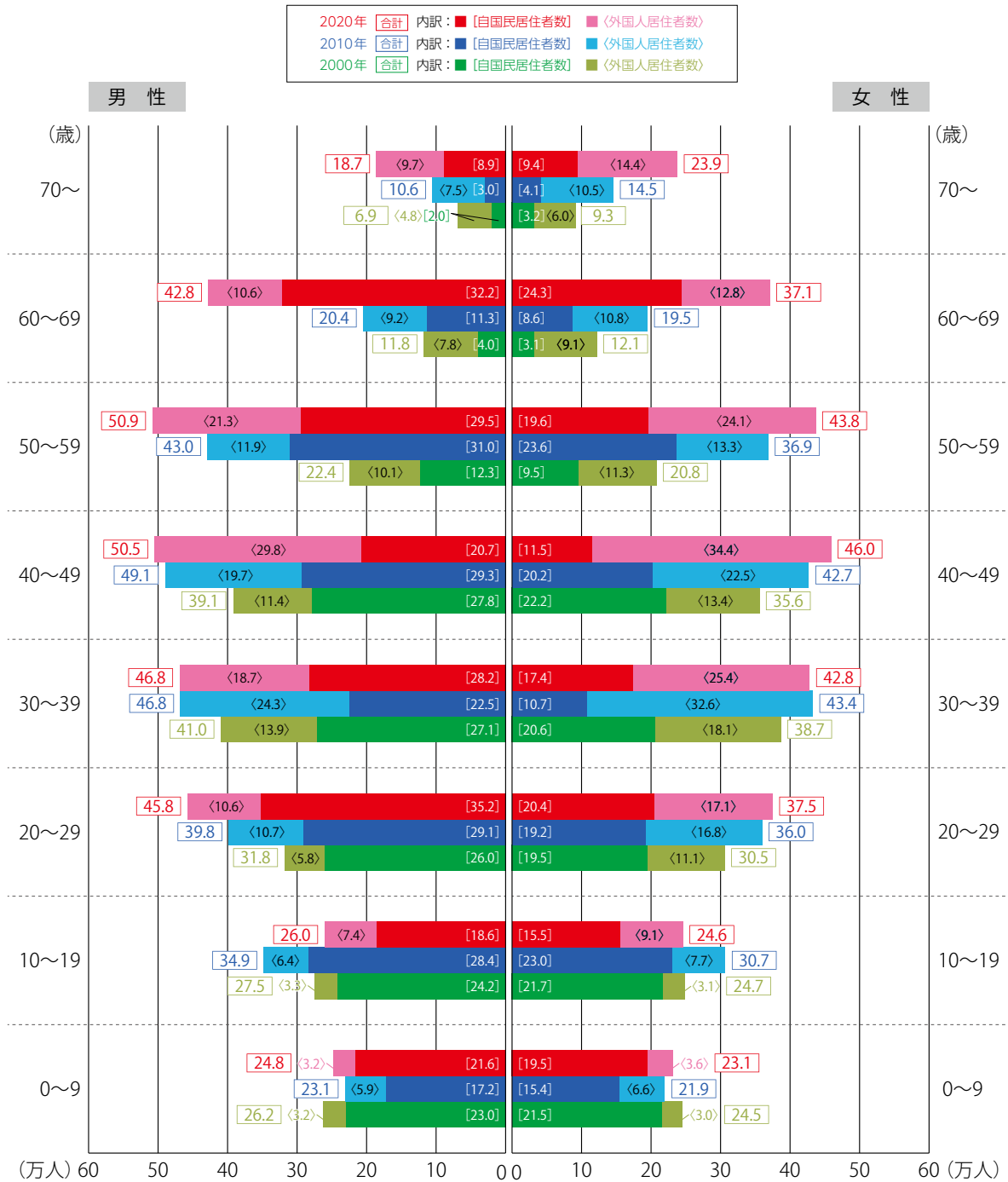
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：シンガポールの外国人居住者は、注2の①に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(7) 都市別人口

該当なし

シンガポール

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	2023年1月2日は振替休日
※旧正月	1月22日（日）～ 1月23日（月）	2月10日（土）～ 2月11日（日）	2023年1月24日は振替休日 2024年2月12日は振替休日
※グッドフライデー （聖金曜日）	4月7日（金）	3月29日（金）	
※ハリラヤ・プアサ （断食明け祭日）	4月22日（土）	4月10日（水）	
メーデー（勤労感謝の日）	5月1日（月）	5月1日（水）	
※ウェサック・デー （仏誕節）	6月2日（金）	5月22日（水）	
※ハリラヤ・ハジ （メッカ巡礼祭）	6月29日（木）	6月17日（月）	
独立記念日	8月9日（水）	8月9日（金）	
※ディーパバリ （ヒンドゥー教光の祭典）	11月12日（日）	10月31日（木）	2023年11月13日は振替休日
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）	

注：※印の祝日は年によって変動する。

出典：シンガポール労働省の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校 (Primary)	6歳～12歳 (6年間)	1学期後の休暇	3月上旬～3月中旬の約10日間	
		2学期後の休暇	5月下旬～6月下旬の約30日間	
		3学期後の休暇	9月上旬～9月中旬の約10日間	
		4学期後の休暇	11月中旬～1月初旬の約45日間	
中等学校 (Secondary)	12歳～16歳 (4年間)	1学期後の休暇	3月上旬～3月中旬の約10日間	
		2学期後の休暇	5月下旬～6月下旬の約30日間	
		3学期後の休暇	9月上旬～9月中旬の約10日間	
		4学期後の休暇	11月中旬～1月初旬の約45日間	
ジュニアカレッジ	中等学校卒業後、 進路により、 ・16歳～18歳 (2年間) ・16歳～19歳 (3年間)	1学期後の休暇	3月上旬～3月中旬の約10日間	
		2学期後の休暇	5月下旬～6月下旬の約30日間	
		3学期後の休暇	9月上旬～9月中旬の約10日間	
		4学期後の休暇	11月中旬～1月初旬の約45日間	最終学年は、A-Level 試験（主に大学進学 のための試験）が終了し 次第、休暇が始まる。
ポリテクニク (Polytechnic)	中等学校卒業後、 進路により、 ・17歳～20歳 (3年間) ・18歳～20歳 (2年間)	1学期後の休暇	6月中旬～6月下旬の約2週間	学校により異なる。
		2学期後の休暇	9月上旬～10月中旬の約6週間	
		3学期後の休暇	12月中旬～1月初旬の約3週間	
		4学期後の休暇	3月上旬～4月中旬の約6週間	
技術教育学院 (Institute of Technical Education)	中等学校卒業後、 進路により、 ・17歳～20歳 (3年間) ・18歳～20歳 (2年間)	-	3月下旬～4月上旬の約2週間	コースにより異なる。
		-	6月中旬～7月中旬の約4週間	
		-	9月中旬～10月上旬の約2週間	
		-	12月中旬～1月上旬の約4週間	
大学	進路により、 18歳～ 学士は3～5年間	1学期後の休暇	12月上旬～1月上旬の約1か月	学校により異なる。
		2学期後の休暇	5月～8月の約3か月	

学校年度	1月～12月
義務教育	初等学校（6年間）

出典：シンガポール教育省等の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日または 事業主が定めた日	雇用法 第36条1項	一般的に土曜日、日曜日が休日である。
有給休暇日数	勤続3か月以上～12か月： 最大7日 勤続1年以上： 勤続1年ごとに1日増加 (最大14日)	雇用法 第88条A	出産休暇、育児休暇、病気休暇は、有給休暇とは 区別されている。
定年退職	63歳	退職及び再雇用法 第4条	・法定定年年齢は、2030年までに65歳に引き上 げられる予定。 ・退職再雇用法により、健康面等に問題がなけれ ば、68歳まで再雇用契約を結ぶことができる。 2030年までに70歳に引き上げられる予定。

出典：シンガポール政府

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	2年間（訓練）、それ以降は予備兵として登録され、毎年1回最大40日間召集される。
入隊対象性別	男性のみ召集
入隊対象年齢	18歳～21歳（学業等の事情により延期が可能。例えば大学進学のための延期などは基本的 に認められていないが、高校の留年による延期は可能） 士官は50歳、それ以外の人は40歳まで予備兵として登録される。

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

次ページへ ▶

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	41.4
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	30.0
各国政府観光局 (NTO)	ウェブサイト、SNS	旅行情報発信	24.6
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	21.6
チャンネル・ニュース・アジア (Channel NewsAsia)	ウェブサイト	ニュース発信	18.7
シーエヌイー・ライフスタイル (CNA Lifestyle)	ウェブサイト	生活・飲食・旅行情報発信	18.5
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	14.9
ザ・ストレーツ・タイムズ (The Straits Times)	ウェブサイト、SNS	ニュース発信	14.5
ウェブ・イン・トラベル (Web in Travel)	ウェブサイト	旅行業界情報発信	12.9
ザ・スマート・ローカル (The Smart Local)	ウェブサイト、SNS	旅行・生活情報発信	12.8
トラベル・ウィークリー・アジア (Travel Weekly Asia)	ウェブサイト	旅行業界情報発信	12.6

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
Netflix (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメなどを配信	12.2
ザ・トラベル・インターン (The Travel Intern)	ウェブサイト、SNS	旅行情報発信	11.8
トゥデイ (TODAY)	ウェブサイト、SNS	ニュース発信	9.4
テレグラム (Telegram)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・動画などの交換	8.3
ビジネスタイムズ (The Business Times)	ウェブサイト	経済・ビジネスニュース発信	7.4
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、閲覧者が意見を記載	7.0
ザ・ニュー・ペーパー (The New Paper)	ウェブサイト	ニュース発信	7.0
アワー・エス・ジー (Our SG)	ウェブサイト	生活情報発信	5.5
リエン・ホー・ザオ・バオ (聯合早報：Lian He Zao Bao)	ウェブサイト、SNS	ニュース発信	5.3
ウィーチャット (微信：WeChat)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・動画などの交換	3.2

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

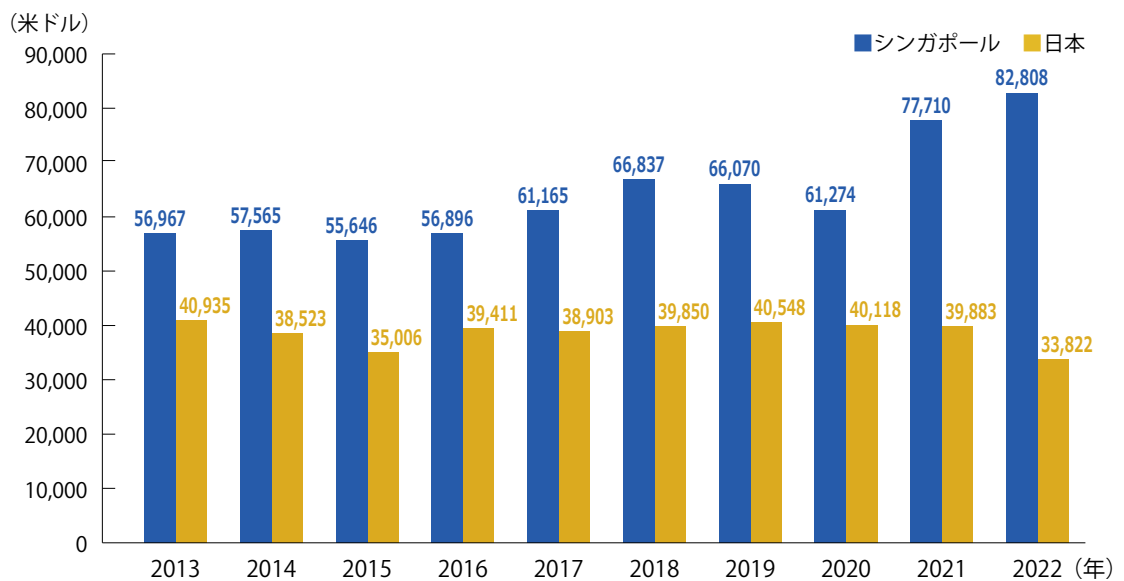
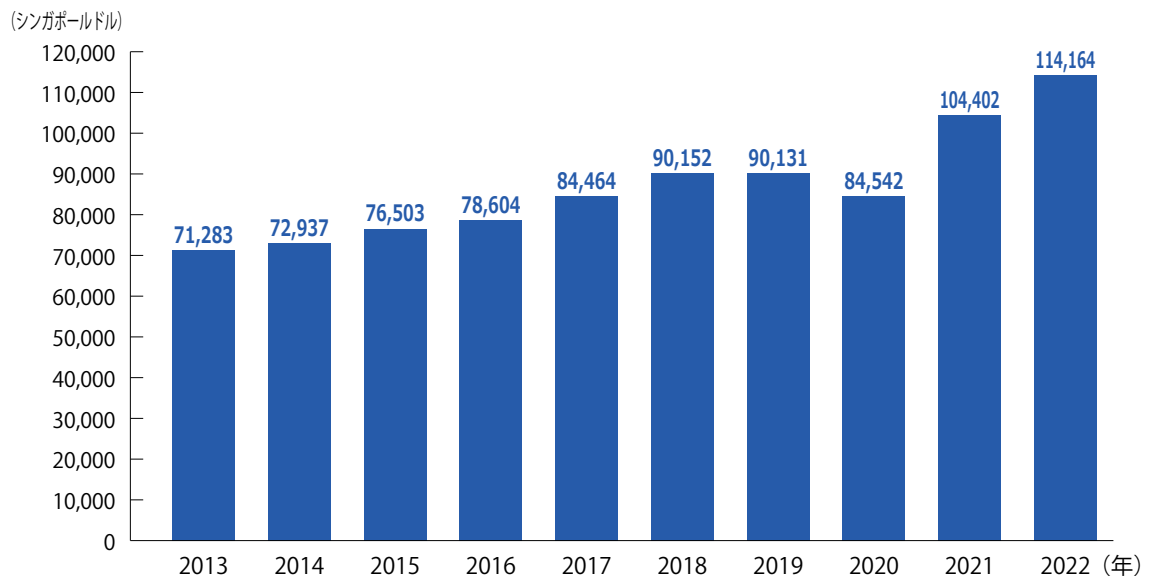
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

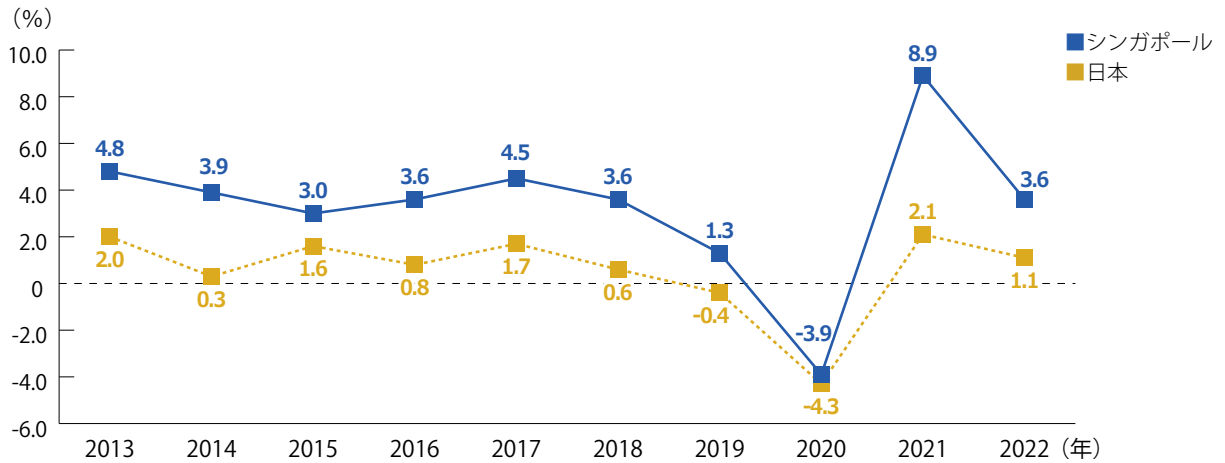
## 第2章 経済指標

## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



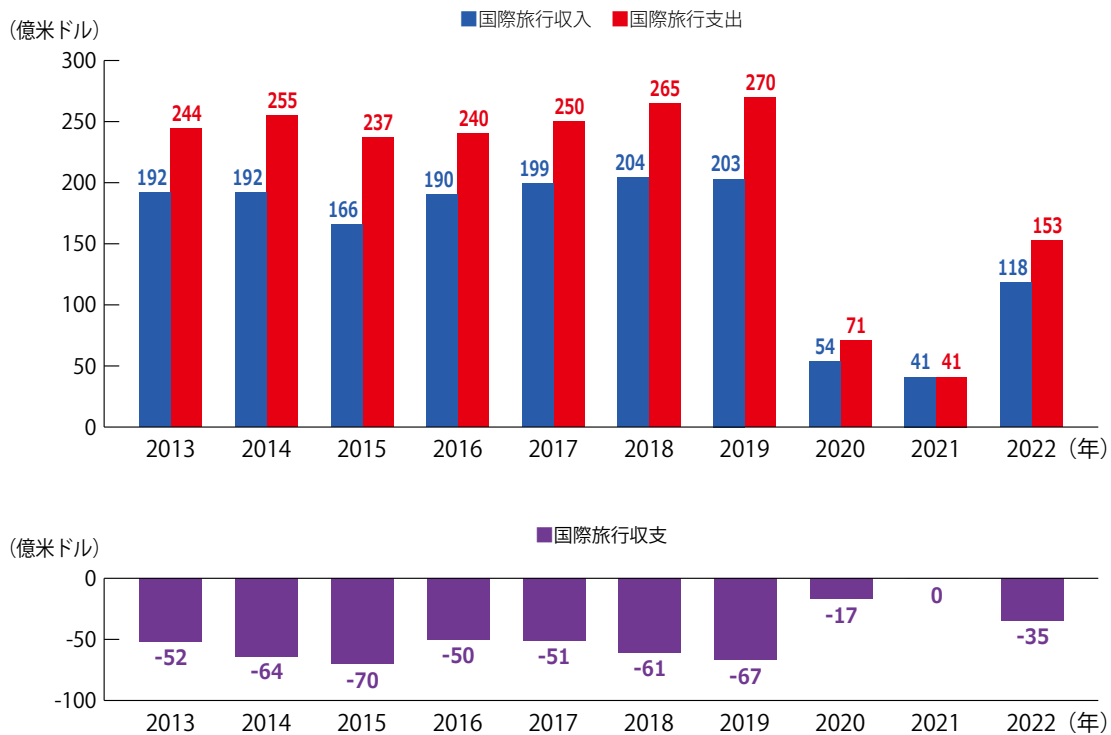
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



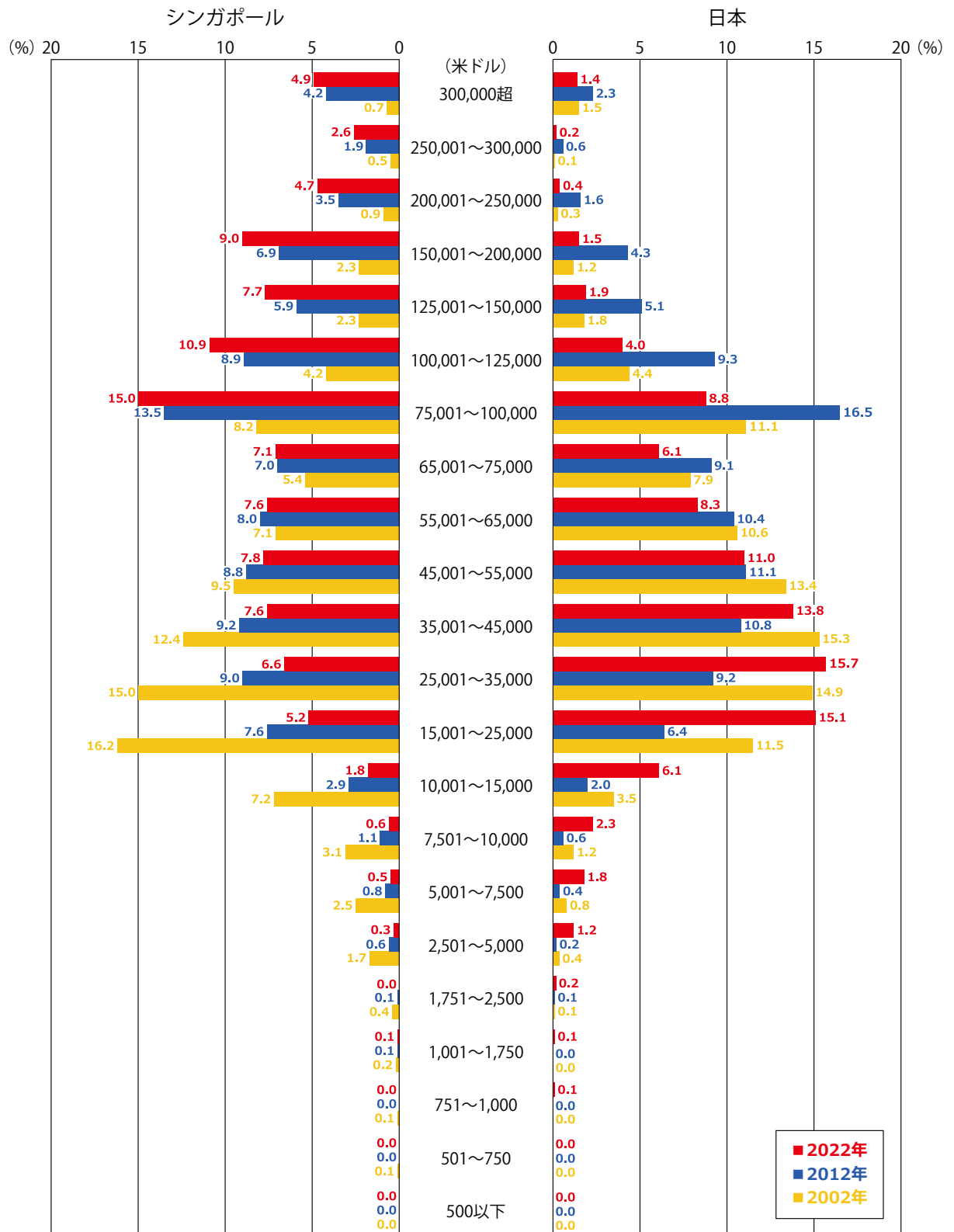
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)

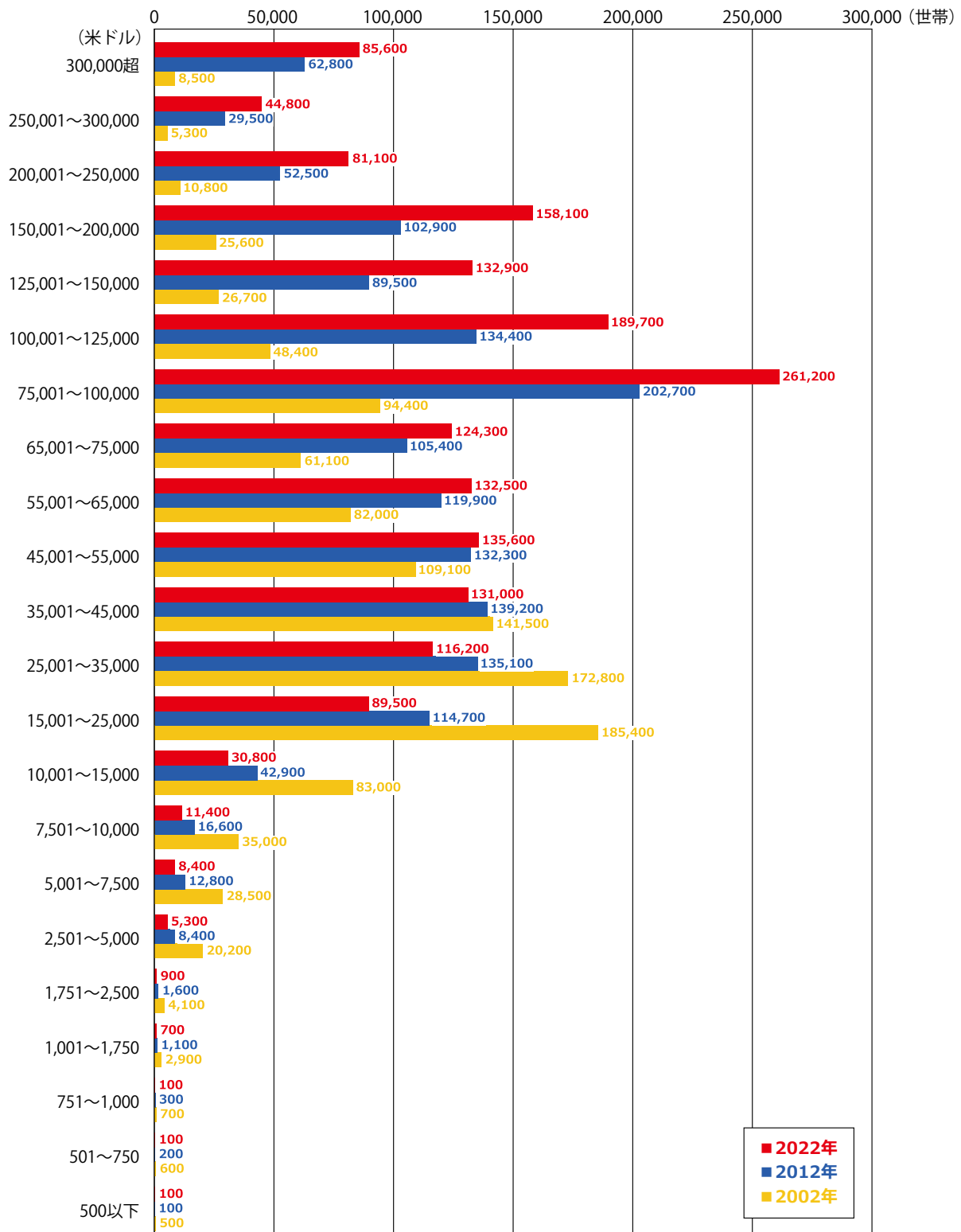


出典：ユーロモニターインターナショナル

シンガポール

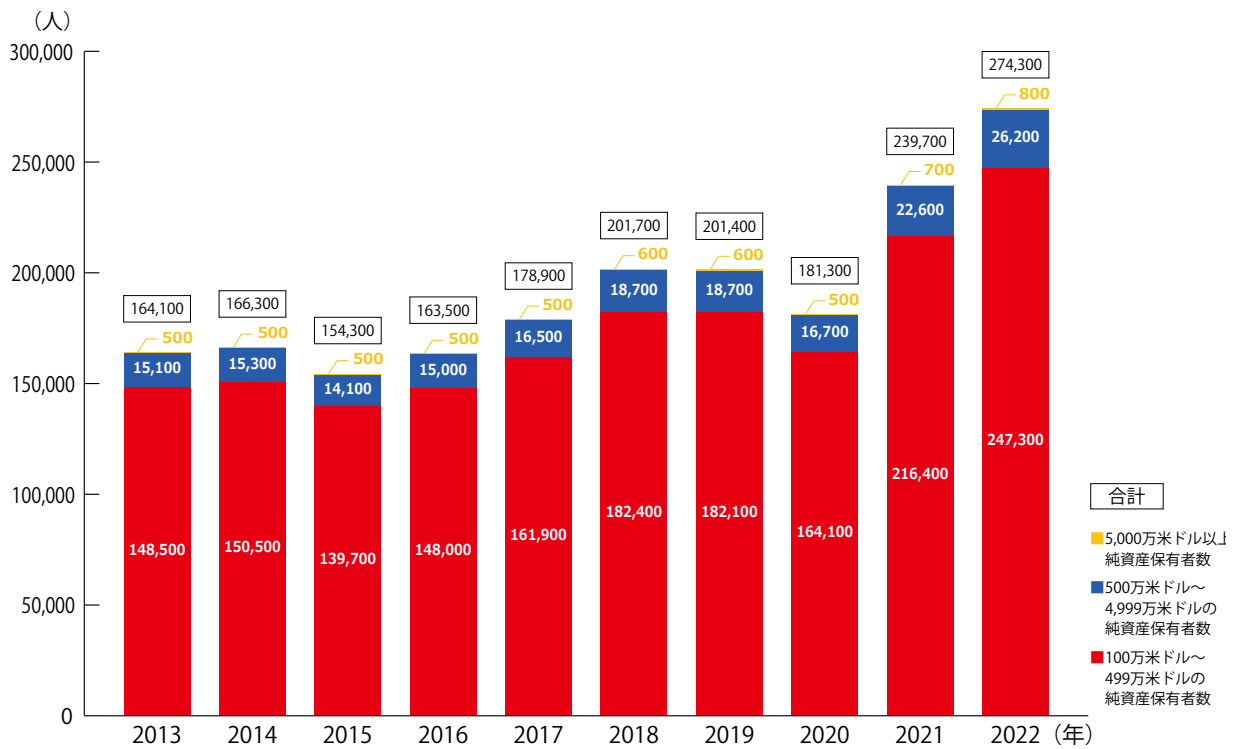


(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



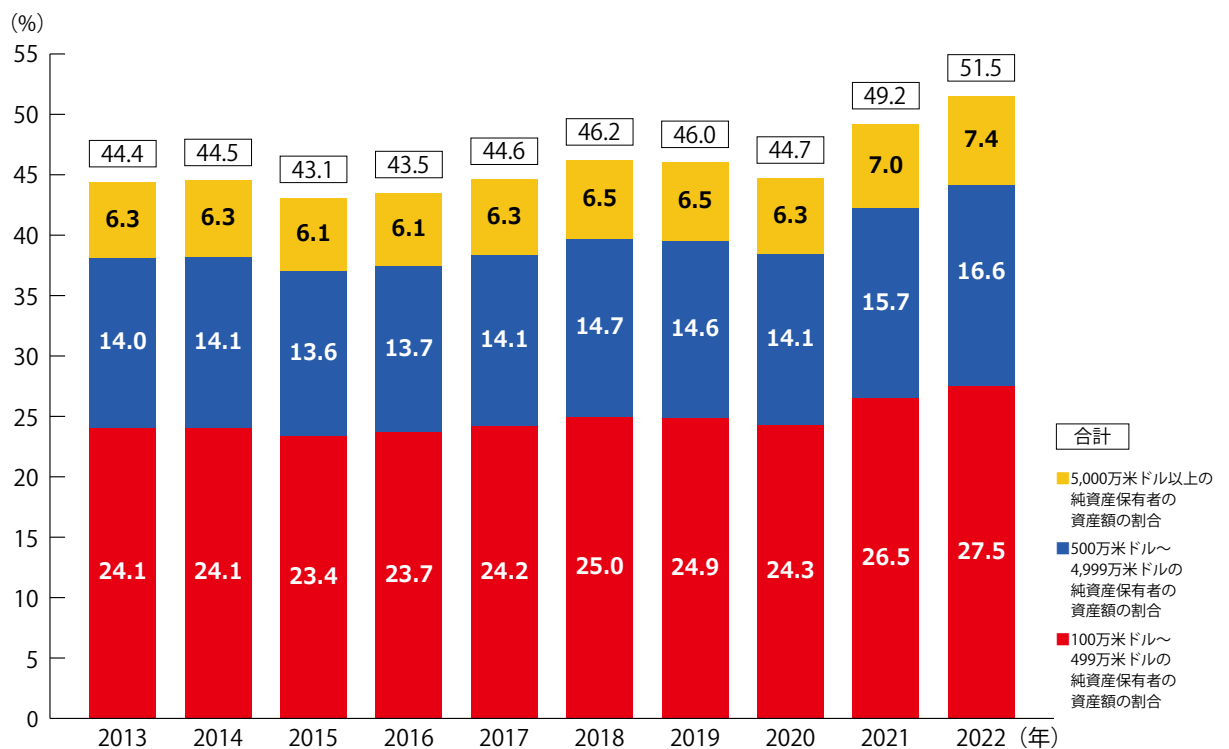
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

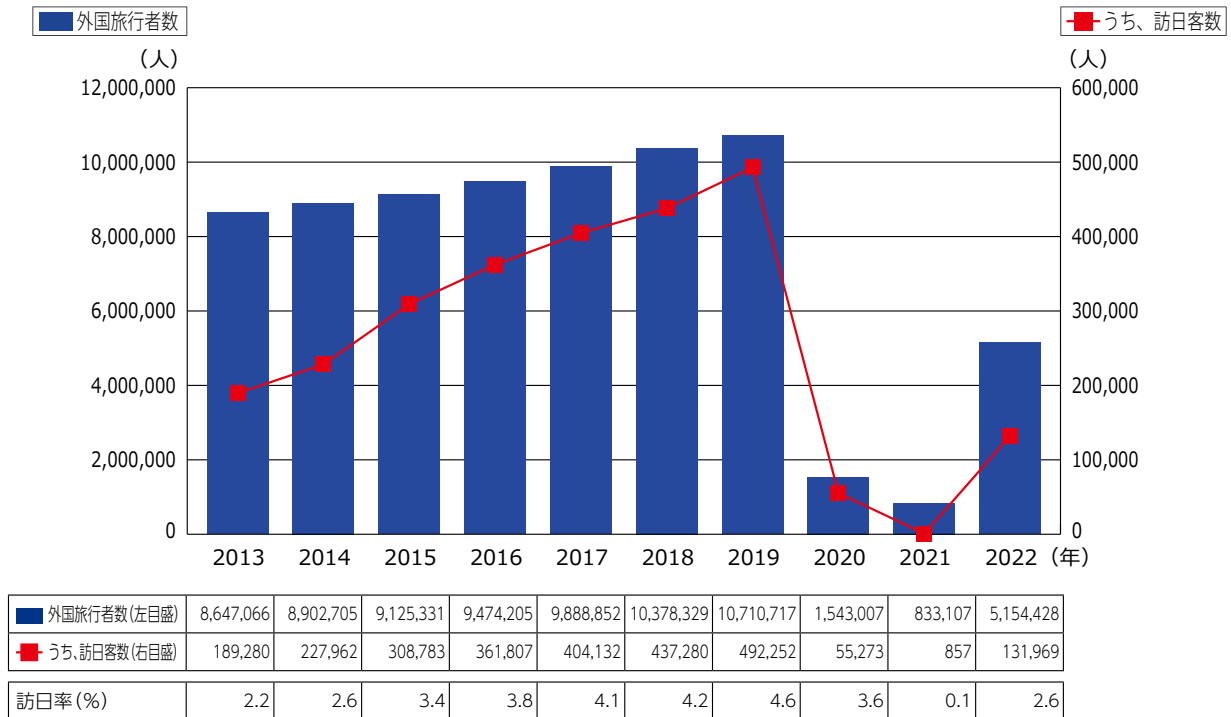
(7) 居住者全体の資産額に占める高純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) シンガポール人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：シンガポール人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。また、陸路でのマレーシア行きが含まれていない。  
 出典：シンガポール統計局、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのシンガポール人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	マレーシア	TFN	12,441,713	10,615,986	10,163,882	1,545,255	16,308	12,441,713
2位	インドネシア	VFN	1,554,119	1,768,744	1,934,445	280,492	18,704	1,934,445
3位	タイ	TFN	1,032,647	1,066,219	1,059,484	126,879	5,931	1,066,219
4位	中国	VFN	940,223	978,028	1,008,545			1,008,545
5位	日本	VFN	404,132	437,280	492,252	55,273	857	492,252
6位	豪州	VFR	432,970	447,790	478,506	58,313	15,820	478,506
7位	台湾	VFR	425,577	427,222	460,635	49,946	2,417	460,635
8位	香港	TFR	490,036	481,413	325,341	14,199	697	490,036
9位	ベトナム	VFR	277,658	286,246	308,969	52,089	758	308,969
10位	韓国	VFN	216,170	231,897	246,142	18,009	7,525	246,142
11位	英国	VFR	297,986	259,412	233,285		35,009	297,986
12位	インド	VFN	175,852	183,581	190,089	33,747	13,407	190,089
13位	米国	TFR	148,107	166,348	185,894	25,599	22,124	185,894
14位	フィリピン	TFR	168,637	171,796	158,595	19,998	653	171,796
15位	カンボジア	TFR	81,063	86,251	88,564	10,731	960	88,564
16位	スイス	THSR	70,412	78,255	83,070	12,901	17,191	83,070
17位	マカオ	THSR	79,247	71,215	66,497	4,877	995	79,247
18位	ニュージーランド	VFR	58,544	61,464	64,574	9,353	1,249	64,574
19位	ミャンマー	TFN	61,859	58,657	57,890	8,762	217	61,859
20位	アラブ首長国連邦	VFN	42,759	43,479	46,092	8,735		46,092
21位	カナダ	TFR	35,797	36,340	40,633	3,407	5,739	40,633
22位	トルコ	TFN	17,325	27,966	34,474	4,909	2,944	34,474
23位	フィンランド	TCER	32,571	33,934	30,457	8,365	2,121	33,934
24位	サウジアラビア	TFN	26,113	23,797	27,058	3,961	2,014	27,058
25位	イタリア	TFN	19,483	44,269	22,297	4,265	8,162	44,269
26位	ノルウェー	TCER		19,852	21,218			21,218
27位	ポルトガル	TCER			18,608	2,843	1,961	18,608
28位	イスラエル	TFR	12,781	14,036	15,926	938	439	15,926

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	モルディブ	TFN	14,502	13,877	14,990	2,117	1,117	14,990
30位	ブルネイ	TFN	14,919	14,091	14,789	2,226	430	14,919
31位	スリランカ	TFR	19,457	19,861	13,871	2,545	557	19,861
32位	ラオス	VFN	6,829	7,692	11,730	2,006		11,730
33位	ベルギー	TCER	9,246	10,428	11,501	1,759	1,540	11,501
34位	アイスランド	TFN	8,001	10,572	10,638	1,073	294	10,638
35位	南アフリカ共和国	TFR	10,964	9,093	10,052	1,353	222	10,964
36位	ネパール	TFN	6,688	9,179	8,028			9,179
37位	ポーランド	TCER	5,403	6,985	7,958	594	493	7,958
38位	ロシア	VFN	7,580					7,580
39位	エジプト	VFN	3,753	5,219	7,161	1,206		7,161
40位	ナイジェリア	VFN	7,276	7,183	7,110	1,256	1,298	7,276
41位	ヨルダン	TFN	5,874	6,089	6,611	629	116	6,611
42位	ジンバブエ	VFR	7,385	6,296	6,272	343	22	7,385
43位	モロッコ	TFN	3,690	4,989	5,399	797	229	5,399
44位	メキシコ	TFN	4,016	4,377	4,942	1,112	1,221	4,942
45位	ブータン	TFN	4,129	3,886	4,744	256		4,744
46位	ブラジル	TFR	4,721	6,485	4,264	567	161	6,485
47位	モンゴル	TFN	2,485	2,649	3,010	65	29	3,010
	アルゼンチン	TFR	2,149	3,121	2,901	651	31	3,121
	モーリシャス	TFR	3,230	2,809	2,794	258	99	3,230

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

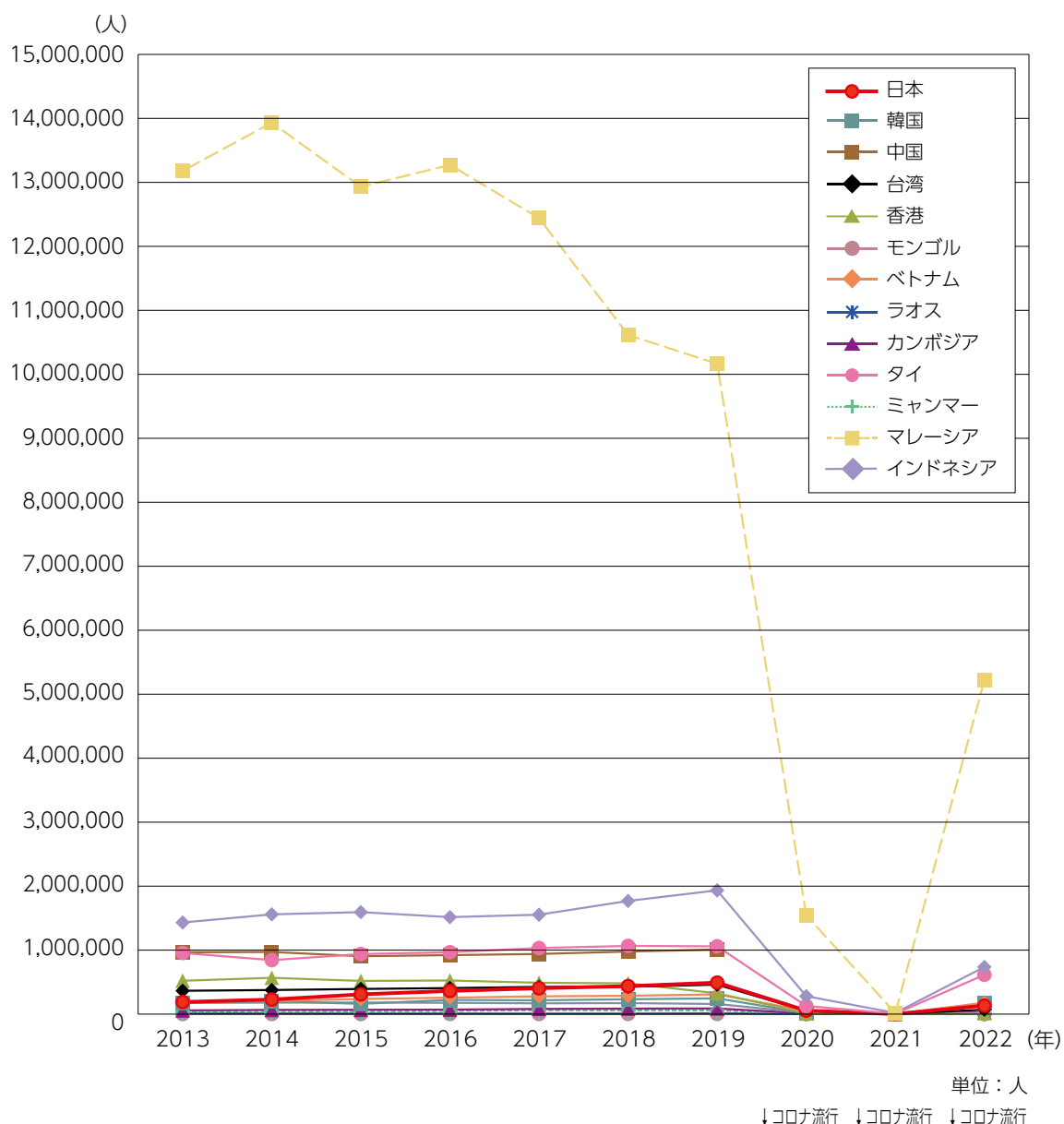
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのシンガポール人訪問者数の推移（2013年～2022年）



訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
マレーシア	TFN	13,178,774	13,932,967	12,930,754	13,272,961	12,441,713	10,615,986	10,163,882	1,545,255	16,308	5,222,991
インドネシア	VFN	1,432,060	1,559,044	1,594,102	1,515,699	1,554,119	1,768,744	1,934,445	280,492	18,704	736,797
タイ	TFN	955,468	844,133	938,385	967,550	1,032,647	1,066,219	1,059,484	126,879	5,931	614,627
中国	VFN	966,605	971,400	905,269	921,887	940,223	978,028	1,008,545			
日本	VFN	189,280	227,962	308,783	361,807	404,132	437,280	492,252	55,273	857	131,969
台湾	VFR	364,733	376,235	393,037	407,267	425,577	427,222	460,635	49,946	2,417	69,507
香港	TFR	521,620	567,325	518,897	525,576	490,036	481,413	325,341	14,199	697	15,030
ベトナム	VFR	195,760	202,436	236,547	257,041	277,658	286,246	308,969	52,089	758	178,861
韓国	VFN	174,567	201,105	160,153	221,548	216,170	231,897	246,142	18,009	7,525	165,272
フィリピン	TFR	175,034	179,099	181,176	176,057	168,637	171,796	158,595	19,998	653	
カンボジア	TFR	57,808	65,855	67,669	70,556	81,063	86,251	88,564	10,731	960	27,750
ミャンマー	TFN	39,140	47,692	45,125	50,198	61,859	58,657	57,890	8,762	217	3,292
ラオス	VFN	9,685	9,621	8,258	8,512	6,829	7,692	11,730	2,006		5,012
モンゴル	TFN	1,772	1,593	1,755	2,064	2,485	2,649	3,010	65	29	753

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

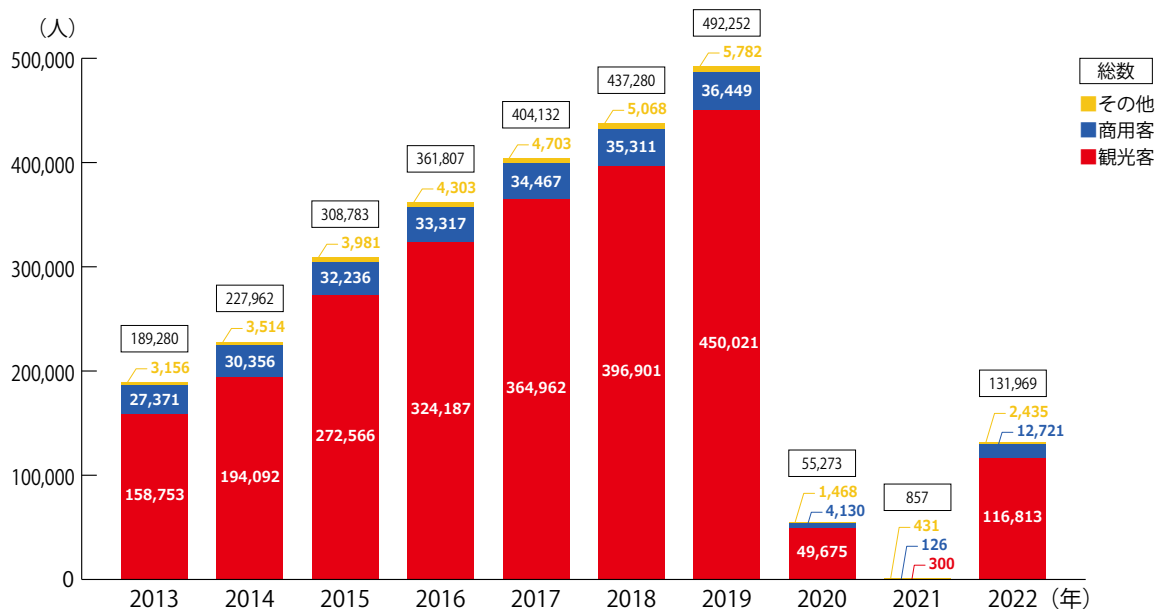
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

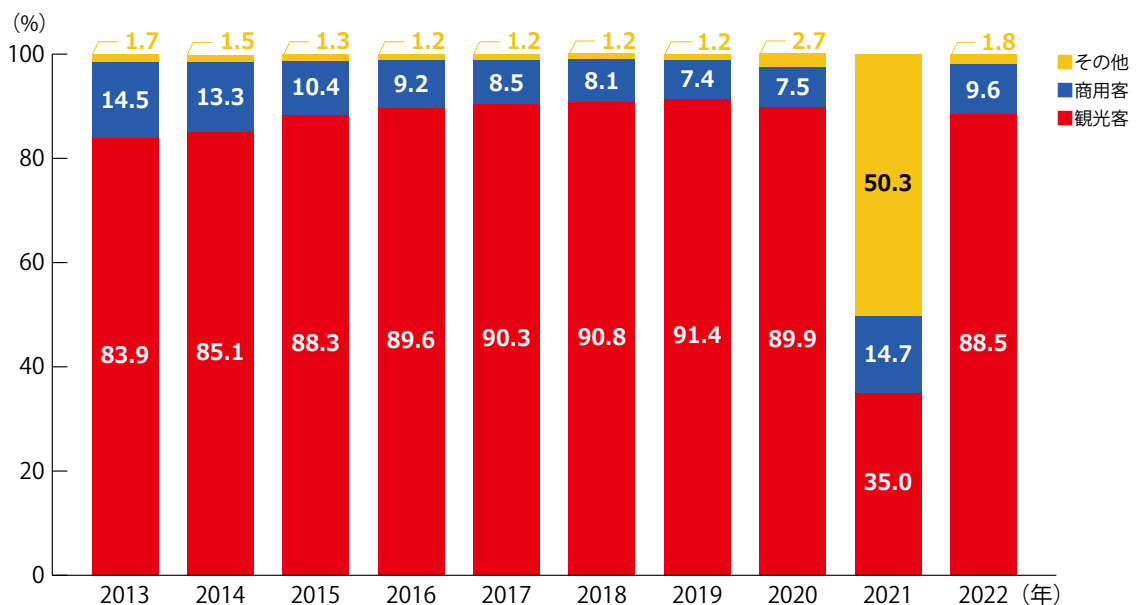
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日シンガポール人の推移（2013年～2022年）



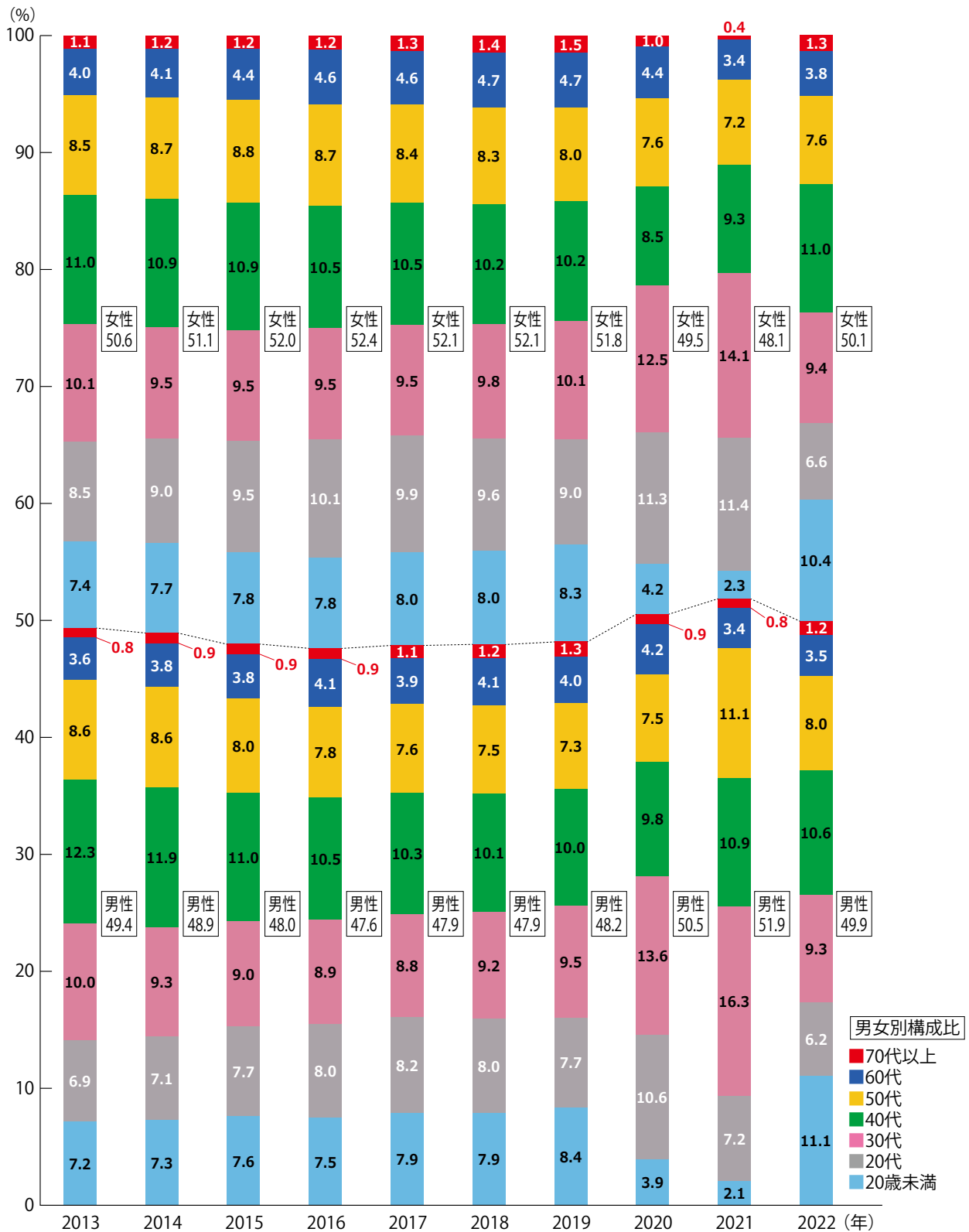
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 訪日シンガポール人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

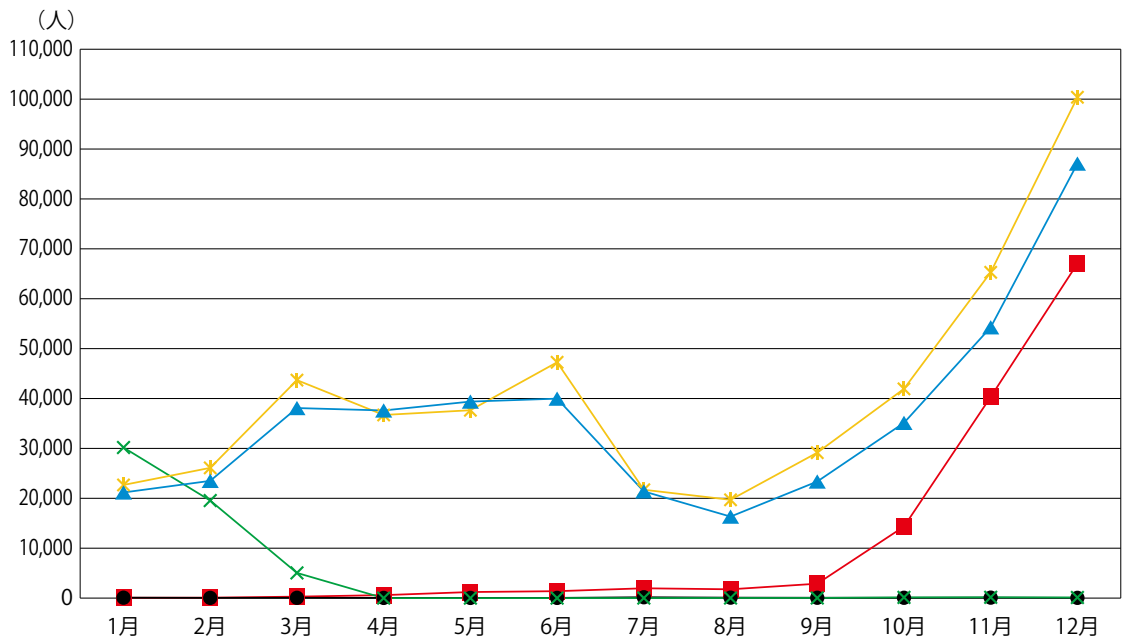
### (3) 訪日シンガポール人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日シンガポール人の推移（2018年～2022年）

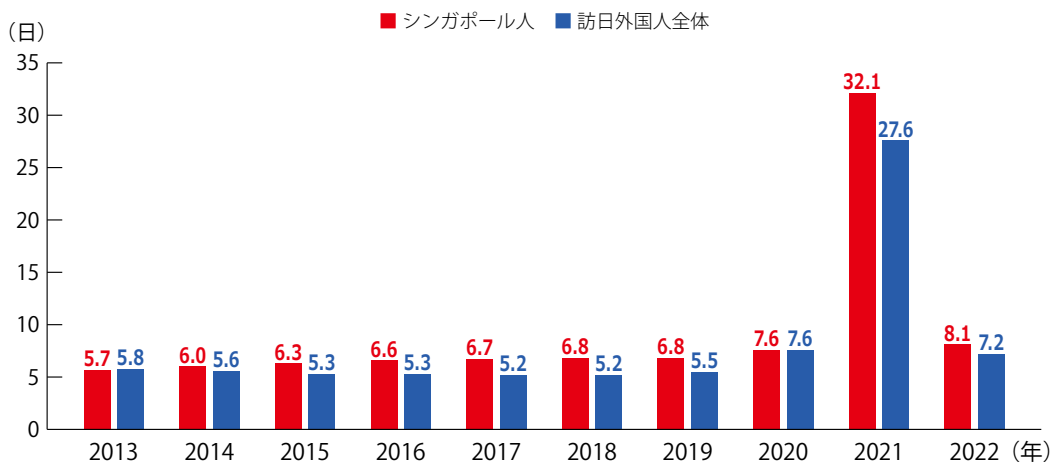


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	72	86	294	597	1,215	1,388	1,967	1,763	2,887	14,336	40,321	67,043
● 2021年	85	48	61	40	37	40	172	92	70	66	95	51
× 2020年	30,180	19,551	5,050	1	0	5	13	21	30	140	161	121
* 2019年	22,676	26,102	43,687	36,704	37,650	47,264	21,716	19,698	29,147	41,937	65,295	100,376
▲ 2018年	21,169	23,496	38,089	37,605	39,385	39,975	21,383	16,332	23,366	35,123	54,274	87,083

出典：日本政府観光局（JNTO）

(5) 訪日シンガポール人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）

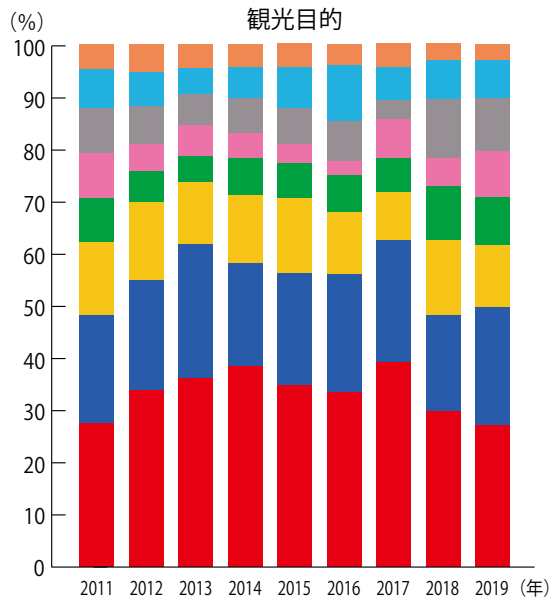
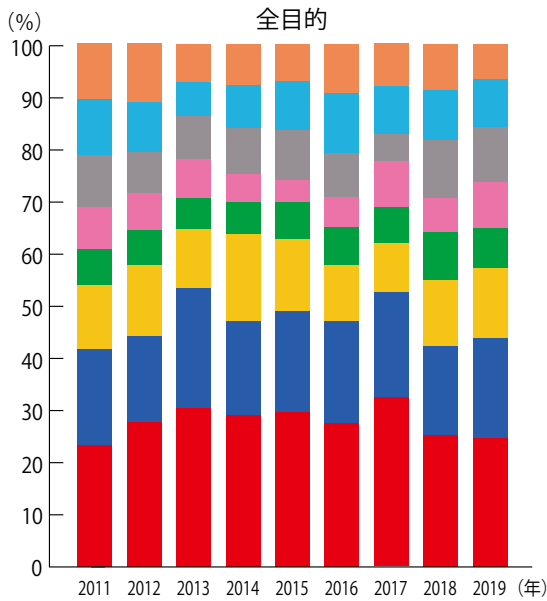


注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



## (6) 訪日シンガポール人の訪日回数 (2011年～2019年)



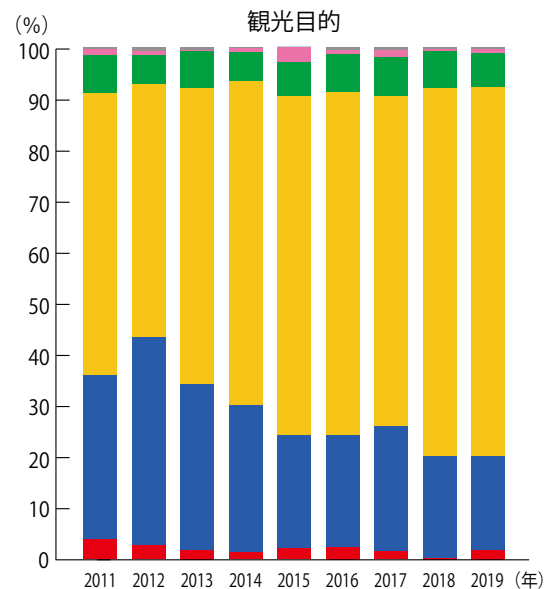
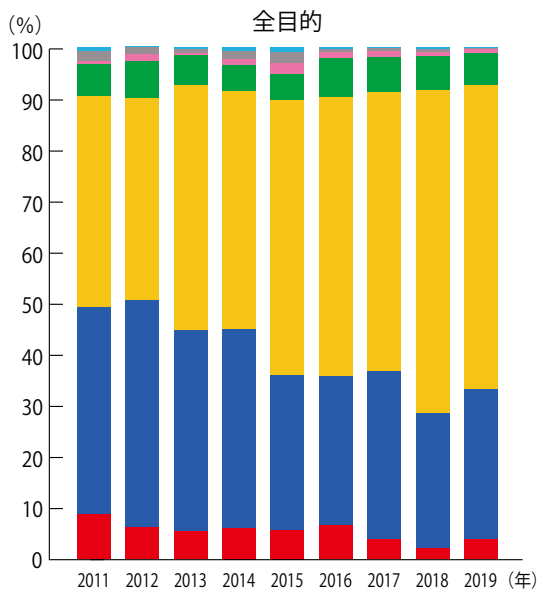
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	10.8	11.2	7.2	8.0	7.2	9.3	8.2	8.9	6.7
10~19回目	10.7	9.7	6.6	8.1	9.3	11.4	9.3	9.5	9.2
6~9回目	10.0	7.9	8.3	8.8	9.5	8.6	5.0	11.1	10.4
5回目	8.0	6.9	7.3	5.4	4.4	5.7	8.8	6.5	8.8
4回目	7.0	6.8	6.1	6.1	7.0	7.3	7.0	9.2	7.8
3回目	12.1	13.5	11.3	16.7	13.8	10.7	9.3	12.7	13.3
2回目	18.3	16.5	22.8	18.0	19.2	19.4	20.2	16.9	19.2
1回目	23.3	27.6	30.3	28.9	29.6	27.5	32.3	25.2	24.5

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	4.7	5.5	4.5	4.5	4.5	4.0	4.5	3.1	3.1
10~19回目	7.6	6.4	5.0	5.9	7.9	10.7	6.3	7.6	7.3
6~9回目	8.5	7.3	5.9	6.7	6.8	7.6	3.7	11.3	10.1
5回目	8.5	5.2	6.0	4.9	3.8	2.7	7.4	5.3	8.8
4回目	8.6	6.0	4.9	6.9	6.6	7.1	6.6	10.4	9.2
3回目	13.9	14.8	12.0	13.0	14.3	12.0	9.2	14.4	12.0
2回目	20.7	21.1	25.5	19.7	21.5	22.4	23.2	18.3	22.4
1回目	27.4	33.7	36.1	38.4	34.7	33.4	39.2	29.7	27.1

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日シンガポール人の滞在期間 (2011年～2019年)



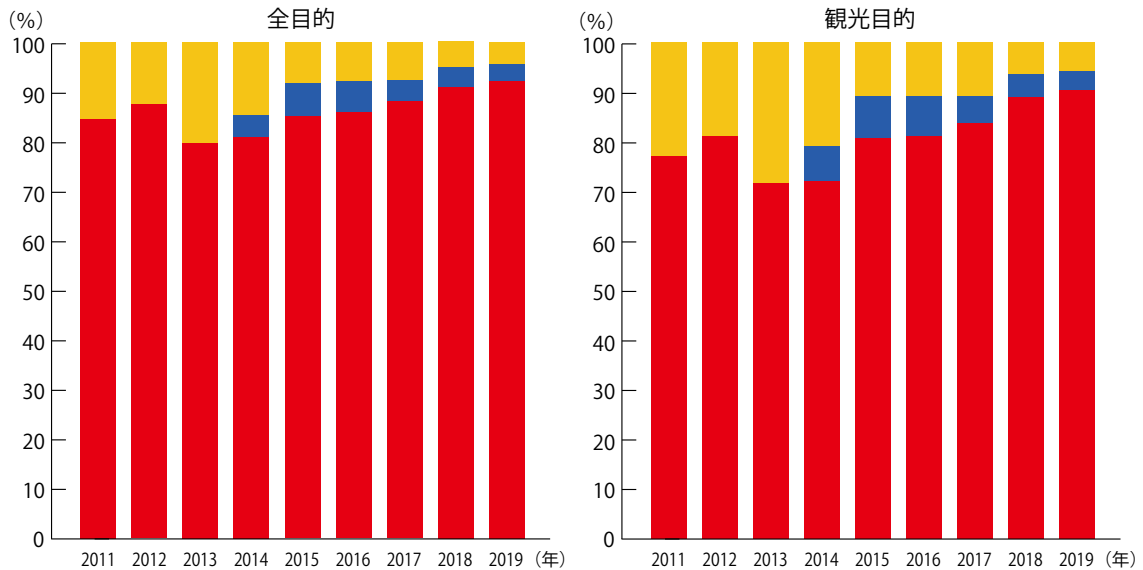
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	0.7	0.2	0.4	0.9	0.9	0.4	0.2	0.4	0.1
28~90日間	2.0	1.2	0.8	1.6	2.2	0.7	0.6	0.7	0.3
21~27日間	0.5	1.5	0.4	1.0	2.1	1.0	1.2	0.8	0.8
14~20日間	6.3	7.2	5.8	5.1	5.1	7.6	6.9	6.5	6.1
7~13日間	41.1	39.4	47.9	46.5	53.8	54.6	54.4	63.0	59.4
4~6日間	40.6	44.4	39.3	38.8	30.1	29.2	32.8	26.5	29.3
3日間以内	8.7	6.2	5.4	6.1	5.7	6.5	3.9	2.1	3.9

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
28~90日間	0.5	0.7	0.6	0.2	0.0	0.6	0.5	0.5	0.3
21~27日間	1.0	0.8	0.3	0.8	3.1	0.8	1.3	0.2	0.9
14~20日間	7.4	5.7	7.1	5.6	6.5	7.4	7.7	7.4	6.5
7~13日間	55.2	49.3	57.8	63.2	66.2	67.1	64.3	71.7	72.1
4~6日間	32.0	40.7	32.4	28.9	22.2	21.7	24.6	20.0	18.3
3日間以内	3.9	2.7	1.8	1.3	2.1	2.4	1.5	0.2	1.8

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日シンガポール人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	15.5	12.6	20.4	14.7	8.2	7.8	7.5	5.2	4.5
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	4.5	6.8	6.4	4.4	3.9	3.3
■ 個別手配	84.5	87.4	79.6	80.8	85.0	85.8	88.0	91.0	92.2

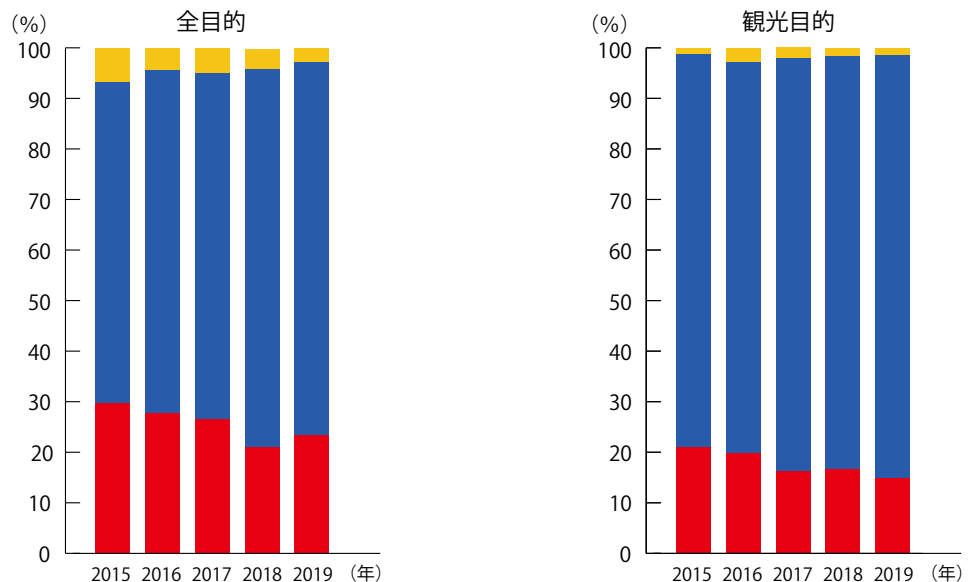
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	23.0	18.9	28.4	21.0	11.0	10.8	10.8	6.4	6.0
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	7.0	8.3	8.1	5.4	4.5	3.8
■ 個別手配	77.0	81.1	71.6	72.0	80.7	81.0	83.8	89.0	90.3

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日シンガポール人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	6.6	4.4	4.9	4.1	2.8
■ ウェブサイトから申し込んだ	63.6	67.9	68.6	74.7	73.7
■ 店頭で申し込んだ	29.8	27.7	26.6	21.1	23.5

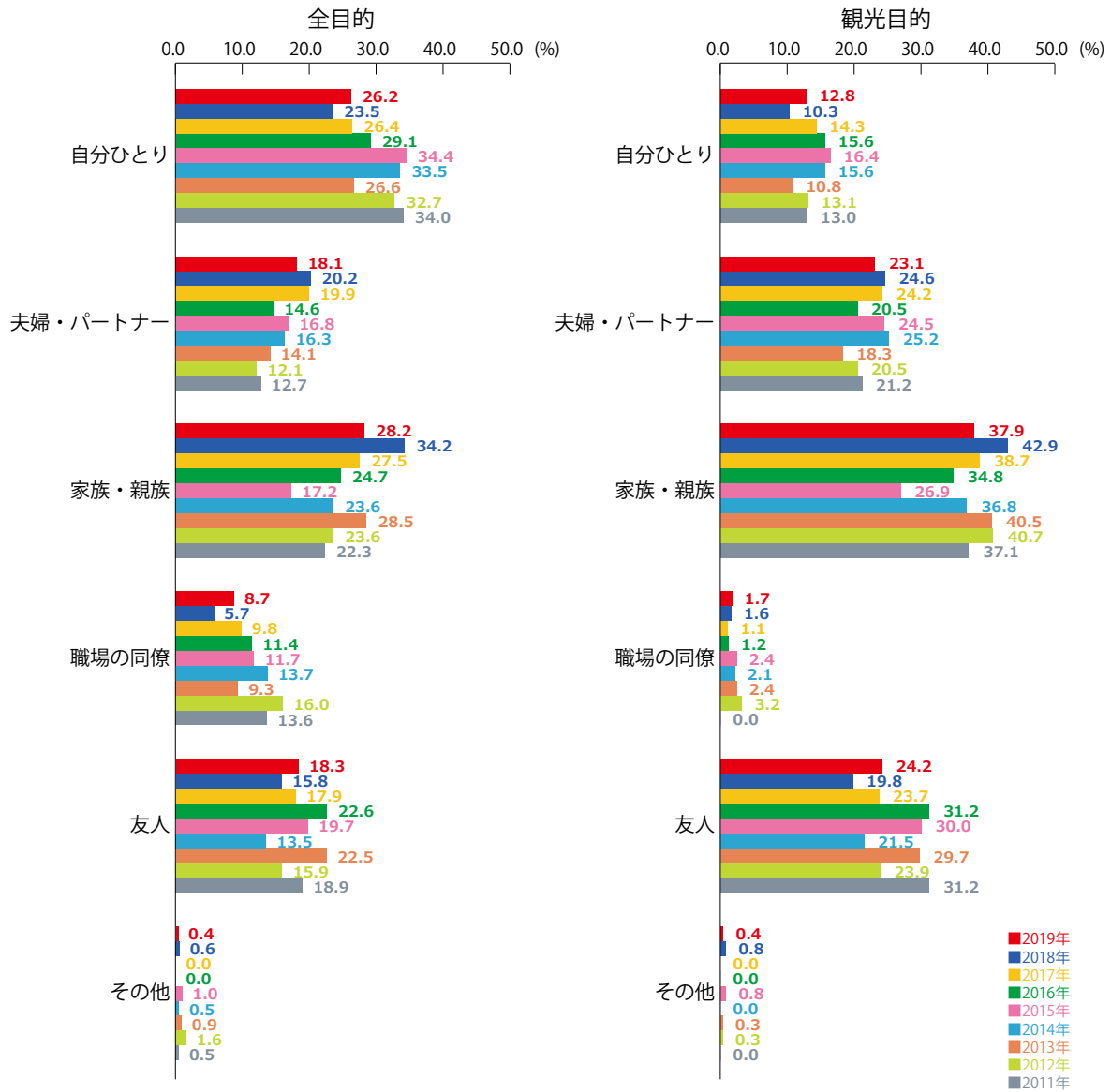
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	1.2	2.8	2.0	1.5	1.5
■ ウェブサイトから申し込んだ	77.7	77.3	81.8	81.8	83.6
■ 店頭で申し込んだ	21.1	19.9	16.3	16.7	15.0

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日シンガポール人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (11) 訪日シンガポール人の訪日旅行に関する期待内容（2015年～2019年）

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	76.6 77.0 66.1 76.1 76.0	97.2 97.1 88.4 98.2 97.2	58.4 70.8 55.0 63.1 64.5
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	37.2 25.5 21.4 24.9 23.3	50.9 43.8 54.6 41.3 41.8	18.9 21.2 18.9 23.9 22.8
旅館に宿泊	24.6 21.9 14.8 17.7 25.7	28.6 27.1 8.1 28.3 30.0	24.3 42.4 29.1 33.2 34.2
温泉入浴	24.5 25.6 23.0 27.3 35.3	25.8 30.2 26.3 28.1 28.7	51.9 50.4 37.9 44.6 42.0
自然・景勝地観光	54.4 52.9 43.2 49.8 47.3	67.2 67.2 59.1 58.5 57.6	49.9 50.4 41.1 44.0 47.4
繁華街の街歩き	51.1 51.0 35.6 42.4 41.6	73.4 79.2 74.2 68.7 77.1	34.1 34.9 26.1 28.0 26.5
ショッピング	58.0 61.3 42.9 48.3 55.0	81.1 84.0 52.2 76.5 82.7	47.7 47.8 36.2 38.6 44.6
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	27.7 24.1 11.5 13.6 13.9	35.6 34.5 20.1 25.5 17.6	13.3 16.1 20.7 15.0 14.2
テーマパーク	14.6 26.8 15.2 14.3 24.1	15.3 27.8 21.9 19.4 23.2	17.5 27.6 24.2 20.7 20.3
スキー・スノーボード	6.2 4.2 3.2 6.5 4.0	3.8 2.2 1.9 4.1 1.8	29.5 27.7 20.2 20.6 18.3
その他スポーツ (ゴルフ等)	3.6 2.3 1.2 3.0 1.4	2.4 2.2 1.3 1.4 0.6	2.4 2.7 5.8 7.8 5.0
舞台・音楽鑑賞	1.6 3.0 4.0 3.5 5.3	2.7 2.0 4.6 4.0 4.3	15.1 6.5 12.2 12.7 11.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.6 2.3 1.9 1.3 2.6	4.9 3.0 1.2 1.3 2.1	7.5 6.6 6.9 10.6 12.6
自然体験ツアー・農漁村体験	9.2 13.7 5.2 6.7 8.9	9.2 16.3 7.3 8.8 9.4	26.2 26.0 17.2 22.1 17.3
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	14.1 22.8 14.4 17.7 19.9	15.2 21.0 20.4 21.5 15.7	38.1 39.2 32.5 37.7 33.8
映画・アニメ縁の地を訪問	3.1 7.5 1.9 3.9 5.5	2.9 8.7 4.2 2.2 5.7	5.8 6.0 10.2 12.1 9.6
日本の歴史・伝統文化体験	31.6 26.2 20.3 15.6 22.3	37.1 38.1 34.0 24.7 26.4	23.1 27.8 25.5 28.6 26.1
日本の日常生活体験	13.7 21.9 18.0 15.6 18.1	18.8 33.1 30.3 26.0 25.4	15.8 24.7 22.2 25.4 23.2
日本のポップカルチャーを楽しむ	6.0 11.2 8.5 8.4 12.6	9.3 16.0 15.8 11.9 15.7	6.4 10.8 10.8 12.8 12.1
治療・健診	0.5 1.2 0.0 1.5 0.2	0.6 1.0 2.1 0.3 0.4	1.8 1.1 3.8 3.8 1.2
上記には当てはまるものがない	7.7 3.1 5.9 5.9 7.0	0.0 0.0 0.0 1.1 1.8	0.7 0.5 4.1 4.9 2.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	79.7 77.1 80.1 82.5	96.7 97.2 98.2 99.1 98.8	57.4 72.1 56.1 63.0 71.4
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	38.5 23.8 23.7 22.9 24.7	49.5 40.9 55.2 37.8 36.4	15.8 21.0 17.6 22.3 23.4
旅館に宿泊	32.9 24.9 16.5 22.3 29.6	38.3 30.1 22.8 37.0 38.3	24.9 46.6 31.4 38.1 44.4
温泉入浴	28.0 29.0 30.0 32.4 40.7	30.5 34.1 37.7 35.5 39.9	56.7 54.7 42.1 45.4 46.3
自然・景勝地観光	64.4 60.3 54.2 62.3 61.6	79.9 75.9 72.7 73.1 76.9	49.3 52.2 46.3 44.1 54.4
繁華街の街歩き	57.7 60.0 42.7 50.3 48.6	79.2 84.9 81.3 78.0 81.8	39.9 37.7 28.2 30.6 30.9
ショッピング	66.4 66.1 50.4 54.7 65.4	84.3 88.7 88.5 82.0 91.3	51.2 50.4 37.2 39.5 50.7
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	34.5 28.4 13.8 16.0 19.8	44.5 40.7 23.5 32.2 25.2	15.8 16.3 22.9 15.3 16.0
テーマパーク	18.3 30.2 19.5 18.8 31.0	19.8 32.7 28.0 26.2 31.6	18.0 30.4 26.9 21.0 22.7
スキー・スノーボード	6.9 3.7 5.9 5.9 3.6	4.0 1.9 2.5 4.6 2.6	34.2 21.7 22.0 22.3 20.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.9 2.6 1.4 1.4 0.9	1.5 2.5 0.9 4.5 0.5	3.3 2.4 7.0 7.6 6.0
舞台・音楽鑑賞	1.6 3.4 3.9 3.0 5.8	2.9 2.2 4.5 4.2 5.1	18.2 6.1 13.3 14.0 14.3
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.5 1.7 2.3 0.5 2.8	4.2 3.0 1.1 1.6 2.1	6.6 5.2 8.3 13.3 16.7
自然体験ツアー・農漁村体験	9.5 15.6 7.1 9.5	9.9 17.9 8.7 12.2 11.3	30.1 26.8 16.9 24.1 18.3
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	19.1 26.9 17.2 22.2 24.2	20.3 24.3 23.7 26.1 20.7	42.9 42.4 35.0 45.6 39.1
映画・アニメ縁の地を訪問	3.4 9.2 3.3 4.3 4.9	3.7 10.3 4.9 2.9 6.7	7.0 5.4 9.2 14.9 11.3
日本の歴史・伝統文化体験	38.7 27.8 23.1 18.5 23.2	44.2 41.7 38.3 30.0 31.0	21.3 28.1 25.6 28.9 25.6
日本の日常生活体験	14.7 23.8 20.1 16.7 21.0	18.8 35.6 31.6 28.2 27.4	13.7 25.4 22.2 25.3 23.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	7.1 13.1 10.9 11.3 18.0	9.1 18.0 18.5 15.7 21.5	6.6 11.4 12.1 15.5 16.6
治療・健診	0.4 1.1 0.0 0.5 0.3	0.9 0.5 1.7 0.4 0.3	1.0 1.2 3.6 3.0 1.6
上記には当てはまるものがない	1.6 1.1 1.7 0.5 2.1	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.9 0.3 2.3 0.7 0.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) シンガポール人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	13.3 18.2 21.1 26.0 23.9	15.6 21.5 21.4 33.7 32.8
旅行会社ホームページ	8.4 9.3 14.0 13.6 12.7	8.9 10.3 18.5 16.6 17.6
宿泊施設ホームページ	16.5 23.2 21.6 20.7 24.5	16.9 24.4 25.6 25.1 25.4
航空会社ホームページ	11.6 9.5 9.5 14.5 16.5	12.2 10.1 10.7 17.3 18.8
地方観光協会ホームページ	7.6 8.2 5.3 10.2 6.6	9.0 10.1 7.1 13.0 7.9
宿泊予約サイト	9.1 8.6 10.1 11.8 11.2	7.5 9.6 10.9 15.0 9.4
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	36.4 36.1 28.7 23.2 23.0	41.2 41.3 33.0 28.8 29.6
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	20.0 16.1 17.0 8.5 8.8	21.9 17.5 20.3 8.6 10.5
個人のブログ	17.1 28.9 21.7 21.1 17.8	19.5 33.8 26.1 26.8 24.4
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	19.7 18.3 15.8 9.4 5.7	22.4 20.6 18.6 11.8 7.2
その他インターネット	8.0 11.2 8.1 10.3 8.0	6.8 12.7 9.8 8.2 9.3
日本政府観光局の案内所	2.3 1.9 2.6 4.4 5.9	3.3 2.2 1.9 6.4 7.6
旅行会社パンフレット	3.9 4.9 9.2 10.8 12.3	5.5 5.9 9.5 14.3 17.8
旅行ガイドブック	8.1 11.1 16.1 13.9 21.8	10.9 12.9 17.4 17.0 25.6
自国の親族・知人	16.3 22.2 19.7 16.8 16.7	17.8 24.2 23.6 17.9 16.9
日本在住の親族・知人	10.9 10.0 18.6 13.9 16.8	9.1 8.1 12.6 8.4 14.2
旅行の展示会や見本市	0.3 0.8 1.1 2.3 1.9	0.4 1.1 3.2 3.3 1.8
テレビ番組	7.0 7.6 9.2 7.7 8.9	8.5 7.7 10.5 7.0 8.8
新聞	0.7 1.2 3.5 1.1 4.9	0.1 1.5 3.7 0.7 4.1
旅行専門誌	4.6 6.0 10.5 8.8 10.2	5.2 6.7 11.1 9.5 13.3
その他雑誌	0.0 0.0 0.5 0.2 1.3	0.0 0.0 0.6 0.3 0.5
その他	3.5 2.8 5.1 5.7 6.0	0.8 1.7 5.4 3.0 2.9
特になし	8.3 8.7 8.4 7.2 13.1	3.1 2.8 2.3 2.2 7.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていいため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) シンガポール人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	29.9 31.5	30.7 33.3
交通手段	58.9 49.6	61.2 53.1
飲食店	32.2 31.1	29.8 32.3
観光施設	32.6 31.8	32.8 37.1
イベント	17.4 6.3	22.3 6.4
土産物	9.1 14.1	8.0 13.9
買物場所	21.1 25.7	23.1 28.6
無料Wi-Fi	34.1 40.7	34.2 42.2
祈祷室	0.6 2.0	0.7 2.5
ATM	6.0 5.2	5.9 5.3
宅配便	2.6 1.5	2.7 1.4
日本文化体験プログラム	17.2 3.2	22.0 3.2
自然体験ツアー・農山漁村体験	5.4 6.9	6.9 7.7
通訳案内士・観光ガイド	3.5 3.0	3.6 3.6
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	2.8 4.8	3.7 5.4
クレジットカード利用可能店舗	4.8 5.0	5.5 5.1
その他	2.0 0.5	1.4 0.6
特になし	6.5 7.7	6.7 5.1

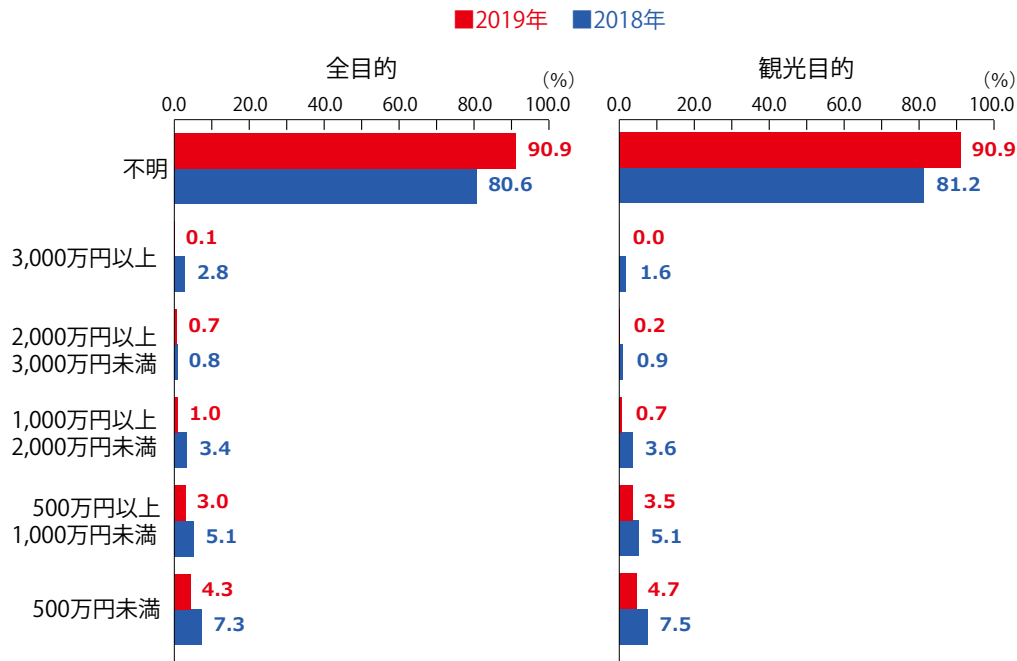
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

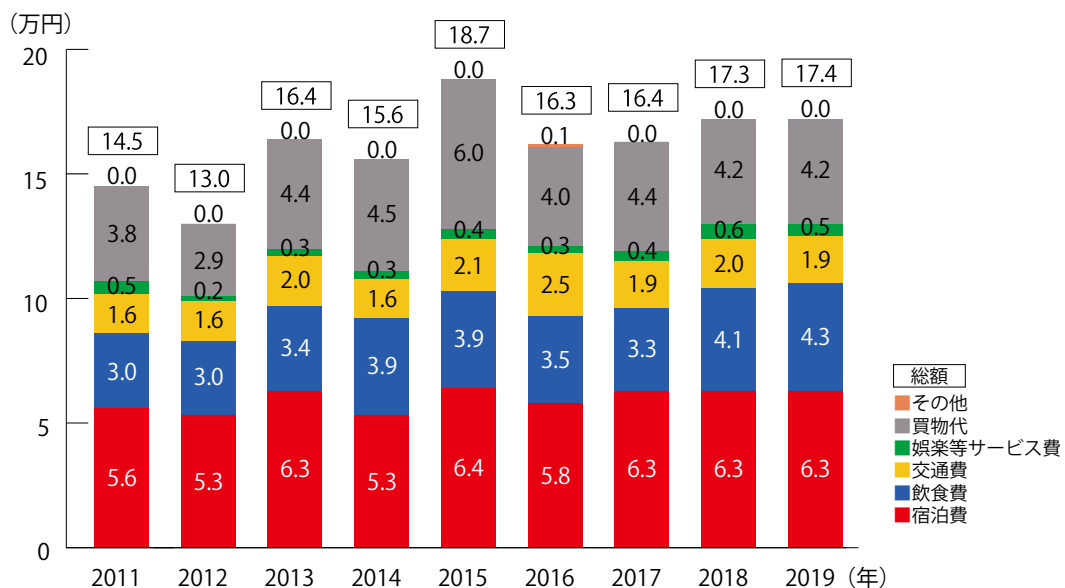
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日シンガポール人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日シンガポール人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

シンガポール



## (16) 属性別訪日シンガポール人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	689	173,669	501	189,839	
滞在日数	3日間以内	26	77,144	8	51,654
	4～6日間	213	115,515	110	122,386
	7～13日間	392	195,564	339	197,277
	14～20日間	44	264,346	36	298,398
	21～27日間	8	356,813	6	432,251
	28～90日間	5	298,493	2	295,682
	91日間以上1年未満	1	664,500	0	-
性・年代	男性	376	166,973	244	187,261
	15～19歳	5	162,375	4	161,669
	20～29歳	75	166,643	64	163,353
	30～39歳	128	160,281	84	177,776
	40～49歳	86	144,567	36	175,915
	50～59歳	58	202,326	37	233,140
	60～69歳	20	212,484	16	251,249
	70歳以上	4	186,088	3	201,459
	女性	313	181,893	257	192,512
	15～19歳	8	166,568	8	166,568
	20～29歳	85	149,102	71	161,799
	30～39歳	79	182,898	60	189,996
	40～49歳	77	206,576	60	209,042
	50～59歳	52	196,781	47	211,905
60～69歳	10	238,326	10	238,326	
70歳以上	2	129,357	1	220,000	
日本への 来訪回数	1回目	151	181,684	120	199,286
	2回目	120	156,976	98	166,390
	3回目	96	166,929	70	166,001
	4回目	64	177,789	55	182,729
	5回目	58	187,127	42	197,601
	6～9回目	79	171,340	58	198,717
	10～19回目	74	189,047	44	231,318
	20回目以上	47	165,392	14	241,725

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日シンガポール人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的		観光目的	
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	40 221,091	37 225,578	
	個人旅行向けパッケージ商品	22 171,413	18 172,062	
	往復航空（船舶）運賃	627 81,204	446 67,912	
日本滞在中の支出	宿泊料金	602 65,716	441 66,910	
	飲食費	626 42,259	463 44,782	
	交通費	606 19,395	444 21,382	
	航空（日本国内移動のみ）	25 26,201	21 24,964	
	Japan Rail Pass	110 24,228	97 25,288	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	419 10,828	300 11,385	
	バス	149 3,408	122 3,531	
	タクシー	146 8,151	82 7,060	
	レンタカー	106 23,962	99 21,083	
	船舶（日本国内移動のみ）	11 3,417	10 3,472	
	その他交通費	4 10,274	4 10,274	
	娯楽等サービス費	250 12,616	229 12,306	
	現地ツアー・観光ガイド	29 10,384	26 10,071	
	ゴルフ場	0 -	0 -	
	テーマパーク	74 11,371	73 11,359	
	舞台・音楽鑑賞	3 5,714	2 6,983	
	スポーツ観戦	5 97,494	3 155,847	
	美術館・博物館・動物園・水族館	149 3,415	137 3,443	
	スキー場リフト	10 14,158	10 14,158	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	35 2,873	33 2,867	
	マッサージ・医療費	4 3,041	4 3,041	
	展示会・コンベンション参加費	8 5,313	7 6,244	
	レンタル料（レンタカーを除く）	3 5,812	3 5,812	
	その他娯楽等サービス費	10 7,166	6 5,262	
	買物代	664 44,048	486 49,341	
	菓子類	487 10,696	365 10,898	
	酒類	102 8,040	77 7,958	
	生鮮農産物	59 8,898	51 10,040	
	その他食料品・飲料・たばこ	242 10,194	172 10,615	
	化粧品・香水	207 21,251	169 17,943	
	医薬品	89 16,121	74 17,530	
	健康グッズ・トイレタリー	87 11,951	76 12,782	
	衣類	260 23,336	217 24,188	
靴・かばん・革製品	147 32,746	131 33,799		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	23 31,172	17 21,531		
時計・フィルムカメラ	17 14,840	15 13,507		
宝石・貴金属	11 14,318	11 14,318		
民芸品・伝統工芸品	49 9,370	42 9,653		
本・雑誌・ガイドブックなど	22 5,302	18 5,144		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	15 18,165	8 12,171		
その他買物代	35 15,035	24 15,037		
その他	15 5,980	11 5,702		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日シンガポール人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	64.1 70.3 69.9 66.0 67.9	71.3 76.0 77.9 77.4 81.8
家電量販店	12.5 14.0 15.8 17.4 17.9	14.1 15.5 17.9 20.3 18.3
ファッション専門店	24.2 24.5 23.3 22.3 22.5	27.7 27.6 28.6 27.1 29.3
100円ショップ	23.5 25.1 21.2 27.2 27.9	26.4 28.6 26.6 33.2 34.6
高速道路のSA・道の駅	2.9 4.4 3.6 4.5 3.1	3.2 5.4 4.6 6.2 4.0
観光地の土産店	32.9 35.4 27.0 29.7 34.0	39.9 40.6 28.7 38.9 40.3
宿泊施設	3.4 3.4 5.1 7.4 8.1	3.2 4.0 6.4 10.0 10.7
スーパーマーケット	54.4 57.3 54.4 59.6 61.5	60.8 60.7 57.8 68.5 70.8
コンビニエンスストア	70.0 67.8 57.4 61.1 56.5	75.7 72.2 62.0 68.5 66.1
ドラッグストア	44.3 42.3 37.4 38.2 33.3	50.6 48.5 43.3 47.0 38.3
ディスカウントストア	13.4 14.7 10.2 10.4 12.1	15.6 16.6 12.7 12.8 16.2
アウトレットモール	17.3 19.0 24.3 19.5 19.8	21.2 22.6 27.1 24.5 28.7
都心の複合商業施設	8.6 7.9 6.4 7.0 9.4	10.3 8.6 8.2 9.0 11.4
その他ショッピングセンター	12.2 10.3 14.5 16.6 16.1	13.9 11.6 18.2 20.5 20.8
鉄道駅構内の店舗	9.0 9.1 10.9 14.9 13.2	10.7 10.2 13.1 17.5 17.0
空港の免税店	58.8 61.2 63.2 61.7 67.2	59.5 62.7 64.8 63.3 65.3
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.4 0.2	0.6 0.2
その他	2.9 3.0 1.8 2.4 2.8	3.0 3.5 1.3 3.3 2.6
買い物はしなかった	3.4 1.7 2.9 5.4 3.5	1.4 0.7 1.7 0.9 1.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日シンガポール人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	45.6 46.2
消費税免税の手続きをしていない	54.4 53.8

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	20.3 15.4
酒類	2.5 2.3
生鮮農産物	1.2 0.8
その他食料品・飲料・たばこ	5.3 5.6
化粧品・香水	13.8 16.5
医薬品	5.2 4.9
健康グッズ・トイレタリー	5.0 5.4
衣類	16.7 18.7
靴・かばん・革製品	14.6 15.2
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	0.6 2.5
時計・フィルムカメラ	1.2 2.0
宝石・貴金属	1.2 1.1
民芸品・伝統工芸品	2.3 0.5
本・雑誌・ガイドブックなど	0.5 0.4
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.4 1.0
その他買物代	0.4 2.5

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日シンガポール人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	94.7 96.9	97.5 98.9
クレジットカード	65.0 59.0	62.4 55.4
交通系ICカード（Suica等）	13.9 11.8	14.1 11.4
その他ICカード（Edy等）	0.0 0.2	0.0 0.2
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	2.3 1.5	2.7 1.8
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.5 0.3	0.6 0.4
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.2 0.6	0.3 0.7
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.2 0.0	0.2 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日シンガポール人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	59.2	66.7	67.1	65.1	75.7	70.5	68.2	65.6	61.3
千葉県	2位	14.0	13.9	14.4	11.4	51.0	47.6	48.5	41.4	37.7
大阪府	3位	11.7	16.6	18.1	24.8	29.8	26.3	30.9	36.0	33.1
京都府	4位	8.4	11.2	16.1	21.4	17.7	18.6	23.3	27.0	22.8
北海道	5位	8.4	15.2	18.0	9.9	10.9	8.1	9.2	11.1	11.1
奈良県	6位	0.3	2.6	2.3	3.7	2.3	4.4	3.6	7.0	7.9
神奈川県	7位	11.5	15.1	13.0	17.5	10.6	9.6	11.8	8.4	6.6
兵庫県	8位	2.4	3.3	2.2	4.6	4.2	5.3	4.7	5.3	6.0
福岡県	9位	10.1	2.6	4.1	4.7	7.2	7.3	5.4	4.1	5.2
愛知県	10位	2.6	3.9	5.3	5.3	5.4	7.7	4.5	7.4	5.2
沖縄県	11位	1.3	1.3	0.5	0.9	1.4	0.4	3.7	2.9	4.3
山梨県	12位	3.3	6.4	12.1	8.4	4.1	4.6	5.5	6.0	4.2
長野県	13位	2.3	3.5	4.8	2.4	1.6	4.2	2.6	4.1	3.0
広島県	14位	1.1	2.4	1.2	4.0	2.3	3.6	2.0	3.0	2.9
静岡県	15位	1.7	1.9	2.1	4.3	3.4	3.1	4.0	2.3	2.8
岐阜県	16位	1.0	3.0	2.3	3.9	2.7	5.0	2.4	4.4	2.7
栃木県	17位	2.0	1.4	3.6	1.7	1.0	2.3	0.9	1.4	2.4
大分県	18位	3.9	1.0	2.1	4.2	3.0	1.7	2.1	2.3	1.8
熊本県	19位	6.9	0.6	2.1	3.8	2.6	0.7	3.1	2.0	1.8
石川県	20位	0.0	0.8	2.2	1.4	2.4	2.7	1.2	1.8	1.4
新潟県	21位	2.3	0.5	0.4	1.2	0.0	2.0	1.0	0.5	1.1
長崎県	22位	5.9	0.4	2.7	3.3	1.6	1.0	1.4	1.3	1.1
鹿児島県	23位	1.4	0.1	1.6	2.2	1.0	1.1	1.5	1.1	1.0
群馬県	24位	1.1	0.3	1.2	0.4	0.7	0.6	0.6	0.9	1.0
富山県	25位	0.0	1.2	0.9	0.9	0.7	2.1	0.4	1.9	0.8
青森県	26位	0.0	0.0	0.1	0.4	0.7	1.3	0.0	1.0	0.7
宮城県	27位	0.0	0.3	0.5	0.2	1.0	1.9	0.0	1.2	0.7
香川県	28位	0.0	0.2	0.6	0.0	0.2	0.3	0.4	0.1	0.7
茨城県	29位	0.6	1.7	1.1	0.9	0.6	2.7	0.2	1.0	0.7
岡山県	30位	0.6	0.7	0.6	0.5	0.7	0.2	0.4	0.9	0.7
和歌山県	31位	0.7	1.1	0.7	0.9	1.3	0.9	1.4	1.3	0.7
山形県	32位	0.0	0.0	0.2	0.4	0.0	1.6	0.2	0.4	0.6
宮崎県	33位	0.7	0.0	0.6	0.7	0.0	0.4	0.6	0.7	0.5
愛媛県	34位	0.6	0.1	0.2	0.1	0.5	0.3	0.0	0.4	0.4
岩手県	35位	0.0	0.2	0.1	0.0	0.3	0.3	0.0	0.3	0.4
埼玉県	36位	1.4	1.8	0.3	1.6	1.5	1.2	1.3	1.1	0.4
滋賀県	37位	0.6	0.0	0.2	0.5	0.3	0.6	0.2	0.8	0.4
佐賀県	38位	0.0	0.0	0.1	0.0	0.2	1.9	0.0	0.5	0.3
徳島県	39位	0.0	0.2	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	0.1	0.2
鳥取県	40位	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.4	0.0	0.4	0.2
秋田県	41位	0.0	0.2	0.1	0.3	0.5	1.3	0.0	0.4	0.2
高知県	42位	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.4	0.6	0.2	0.2
福島県	43位	0.6	1.3	0.0	0.4	0.4	0.5	0.0	0.4	0.2
三重県	44位	0.0	0.3	0.2	0.8	0.5	1.7	0.4	0.2	0.1
福井県	45位	0.0	0.2	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
島根県	46位	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0
山口県	47位	0.3	0.4	0.5	0.1	0.0	0.5	0.2	0.3	0.0

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日シンガポール人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊（構成比：％）】		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	595,020 (35.0%)	700,980 (35.8%)	891,620 (36.3%)
大阪府	2位	217,930 (12.8%)	271,130 (13.8%)	339,360 (13.8%)
北海道	3位	349,380 (20.5%)	334,530 (17.1%)	364,760 (14.9%)
京都府	4位	88,770 ( 5.2%)	102,820 ( 5.2%)	180,740 ( 7.4%)
千葉県	5位	78,780 ( 4.6%)	76,360 ( 3.9%)	105,310 ( 4.3%)
神奈川県	6位	41,030 ( 2.4%)	44,770 ( 2.3%)	53,440 ( 2.2%)
長野県	7位	28,190 ( 1.7%)	36,550 ( 1.9%)	41,060 ( 1.7%)
愛知県	8位	26,610 ( 1.6%)	31,820 ( 1.6%)	40,960 ( 1.7%)
福岡県	9位	32,210 ( 1.9%)	34,340 ( 1.8%)	48,500 ( 2.0%)
山梨県	10位	26,630 ( 1.6%)	31,740 ( 1.6%)	32,390 ( 1.3%)
石川県	11位	15,730 ( 0.9%)	23,100 ( 1.2%)	22,030 ( 0.9%)
岐阜県	12位	22,350 ( 1.3%)	24,670 ( 1.3%)	23,420 ( 1.0%)
静岡県	13位	8,730 ( 0.5%)	10,690 ( 0.5%)	13,120 ( 0.5%)
兵庫県	14位	13,910 ( 0.8%)	15,780 ( 0.8%)	18,440 ( 0.8%)
熊本県	15位	13,680 ( 0.8%)	15,220 ( 0.8%)	14,710 ( 0.6%)
新潟県	16位	5,990 ( 0.4%)	8,050 ( 0.4%)	14,520 ( 0.6%)
広島県	17位	15,860 ( 0.9%)	26,320 ( 1.3%)	25,100 ( 1.0%)
和歌山県	18位	7,970 ( 0.5%)	6,010 ( 0.3%)	6,440 ( 0.3%)
大分県	19位	10,040 ( 0.6%)	12,750 ( 0.7%)	11,390 ( 0.5%)
宮城県	20位	2,890 ( 0.2%)	4,690 ( 0.2%)	7,260 ( 0.3%)
沖縄県	21位	30,170 ( 1.8%)	60,700 ( 3.1%)	94,950 ( 3.9%)
群馬県	22位	4,530 ( 0.3%)	5,610 ( 0.3%)	5,530 ( 0.2%)
青森県	23位	2,670 ( 0.2%)	5,080 ( 0.3%)	7,910 ( 0.3%)
鹿児島県	24位	8,360 ( 0.5%)	8,780 ( 0.4%)	10,090 ( 0.4%)
滋賀県	25位	5,910 ( 0.3%)	5,810 ( 0.3%)	5,370 ( 0.2%)
岩手県	26位	1,780 ( 0.1%)	2,950 ( 0.2%)	3,480 ( 0.1%)
岡山県	27位	3,420 ( 0.2%)	4,570 ( 0.2%)	5,580 ( 0.2%)
長崎県	28位	7,540 ( 0.4%)	8,420 ( 0.4%)	8,360 ( 0.3%)
栃木県	29位	4,210 ( 0.2%)	5,230 ( 0.3%)	5,510 ( 0.2%)
愛媛県	30位	1,780 ( 0.1%)	2,480 ( 0.1%)	2,550 ( 0.1%)
香川県	31位	1,640 ( 0.1%)	2,470 ( 0.1%)	3,870 ( 0.2%)
三重県	32位	3,280 ( 0.2%)	3,680 ( 0.2%)	3,960 ( 0.2%)
山形県	33位	1,770 ( 0.1%)	3,320 ( 0.2%)	4,460 ( 0.2%)
富山県	34位	5,400 ( 0.3%)	6,330 ( 0.3%)	6,860 ( 0.3%)
高知県	35位	830 ( 0.0%)	880 ( 0.0%)	2,390 ( 0.1%)
福島県	36位	740 ( 0.0%)	1,170 ( 0.1%)	2,100 ( 0.1%)
奈良県	37位	2,570 ( 0.2%)	3,900 ( 0.2%)	4,380 ( 0.2%)
茨城県	38位	2,290 ( 0.1%)	1,770 ( 0.1%)	1,860 ( 0.1%)
宮崎県	39位	2,880 ( 0.2%)	2,900 ( 0.1%)	4,270 ( 0.2%)
山口県	40位	620 ( 0.0%)	1,010 ( 0.1%)	1,300 ( 0.1%)
埼玉県	41位	1,400 ( 0.1%)	2,270 ( 0.1%)	2,320 ( 0.1%)
徳島県	42位	1,240 ( 0.1%)	1,630 ( 0.1%)	1,970 ( 0.1%)
秋田県	43位	1,190 ( 0.1%)	2,190 ( 0.1%)	2,630 ( 0.1%)
福井県	44位	1,030 ( 0.1%)	1,140 ( 0.1%)	1,280 ( 0.1%)
佐賀県	45位	1,620 ( 0.1%)	1,720 ( 0.1%)	2,910 ( 0.1%)
鳥取県	46位	780 ( 0.0%)	1,690 ( 0.1%)	3,160 ( 0.1%)
島根県	47位	390 ( 0.0%)	680 ( 0.0%)	950 ( 0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	121,280 (35.4%)	11,740 (45.8%)	333,410 (44.2%)
大阪府	2位	39,240 (11.5%)	1,740 (6.8%)	99,670 (13.2%)
北海道	3位	51,900 (15.2%)	340 (1.3%)	86,110 (11.4%)
京都府	4位	24,600 (7.2%)	830 (3.2%)	71,570 (9.5%)
千葉県	5位	14,080 (4.1%)	5,120 (20.0%)	36,540 (4.8%)
神奈川県	6位	6,640 (1.9%)	590 (2.3%)	14,160 (1.9%)
長野県	7位	8,630 (2.5%)	140 (0.5%)	14,160 (1.9%)
愛知県	8位	6,690 (2.0%)	440 (1.7%)	11,560 (1.5%)
福岡県	9位	7,340 (2.1%)	300 (1.2%)	9,960 (1.3%)
山梨県	10位	3,470 (1.0%)	50 (0.2%)	8,000 (1.1%)
石川県	11位	3,470 (1.0%)	200 (0.8%)	7,700 (1.0%)
岐阜県	12位	3,860 (1.1%)	40 (0.2%)	6,760 (0.9%)
静岡県	13位	1,520 (0.4%)	710 (2.8%)	5,010 (0.7%)
兵庫県	14位	2,250 (0.7%)	230 (0.9%)	4,400 (0.6%)
熊本県	15位	2,160 (0.6%)	50 (0.2%)	3,900 (0.5%)
新潟県	16位	4,160 (1.2%)	50 (0.2%)	3,410 (0.5%)
広島県	17位	4,370 (1.3%)	970 (3.8%)	3,360 (0.4%)
和歌山県	18位	650 (0.2%)	20 (0.1%)	2,850 (0.4%)
大分県	19位	1,490 (0.4%)	40 (0.2%)	2,470 (0.3%)
宮城県	20位	1,360 (0.4%)	280 (1.1%)	2,280 (0.3%)
沖縄県	21位	18,480 (5.4%)	380 (1.5%)	1,970 (0.3%)
群馬県	22位	1,000 (0.3%)	20 (0.1%)	1,910 (0.3%)
青森県	23位	1,200 (0.4%)	40 (0.2%)	1,740 (0.2%)
鹿児島県	24位	1,250 (0.4%)	40 (0.2%)	1,740 (0.2%)
滋賀県	25位	750 (0.2%)	40 (0.2%)	1,600 (0.2%)
岩手県	26位	1,080 (0.3%)	40 (0.2%)	1,490 (0.2%)
岡山県	27位	680 (0.2%)	170 (0.7%)	1,430 (0.2%)
長崎県	28位	930 (0.3%)	40 (0.2%)	1,330 (0.2%)
栃木県	29位	520 (0.2%)	40 (0.2%)	1,240 (0.2%)
愛媛県	30位	320 (0.1%)	30 (0.1%)	1,220 (0.2%)
香川県	31位	370 (0.1%)	10 (0.0%)	1,160 (0.2%)
三重県	32位	600 (0.2%)	30 (0.1%)	1,120 (0.1%)
山形県	33位	1,170 (0.3%)	50 (0.2%)	1,100 (0.1%)
富山県	34位	500 (0.1%)	90 (0.4%)	1,010 (0.1%)
高知県	35位	150 (0.0%)	140 (0.5%)	910 (0.1%)
福島県	36位	680 (0.2%)	40 (0.2%)	770 (0.1%)
奈良県	37位	650 (0.2%)	30 (0.1%)	690 (0.1%)
茨城県	38位	120 (0.0%)	20 (0.1%)	520 (0.1%)
宮崎県	39位	500 (0.1%)	10 (0.0%)	520 (0.1%)
山口県	40位	270 (0.1%)	170 (0.7%)	500 (0.1%)
埼玉県	41位	340 (0.1%)	40 (0.2%)	480 (0.1%)
徳島県	42位	200 (0.1%)	10 (0.0%)	470 (0.1%)
秋田県	43位	460 (0.1%)	40 (0.2%)	440 (0.1%)
福井県	44位	180 (0.1%)	20 (0.1%)	330 (0.0%)
佐賀県	45位	310 (0.1%)	120 (0.5%)	260 (0.0%)
鳥取県	46位	350 (0.1%)	10 (0.0%)	240 (0.0%)
島根県	47位	160 (0.0%)	80 (0.3%)	110 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

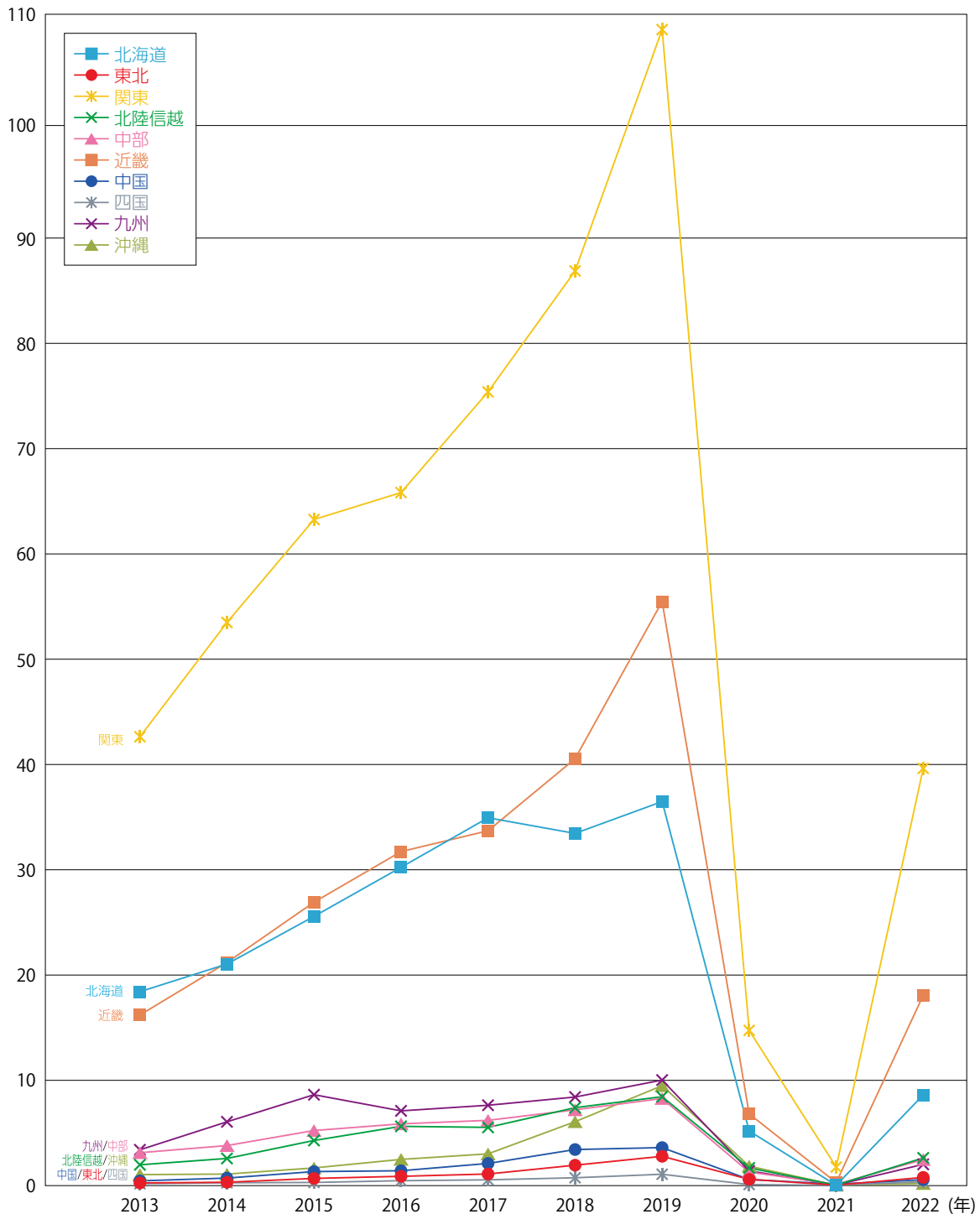
注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (23) 訪日シンガポール人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	184,180	210,450	255,710	302,310	349,380	334,530	364,760	51,900	340	86,110
東北	2,520	3,190	6,840	8,820	11,030	19,390	27,840	5,940	480	7,810
関東	426,350	534,870	632,660	658,280	753,890	868,740	1,097,980	147,430	17,630	396,260
北陸信越	19,770	25,780	42,860	56,290	55,310	74,030	84,470	16,770	480	26,290
中部	31,260	38,030	52,320	58,660	62,010	72,000	82,750	12,840	1,240	24,770
近畿	162,070	211,890	269,210	317,250	337,050	405,450	554,720	68,140	2,900	180,780
中国	4,500	7,150	13,330	14,110	21,060	34,270	36,100	5,830	1,390	5,640
四国	1,850	2,700	2,990	4,670	5,490	7,460	10,790	1,040	190	3,750
九州	33,990	60,590	86,340	71,010	76,330	84,130	100,230	13,990	610	20,180
沖縄	10,450	10,960	16,790	24,900	30,170	60,700	94,950	18,480	380	1,970

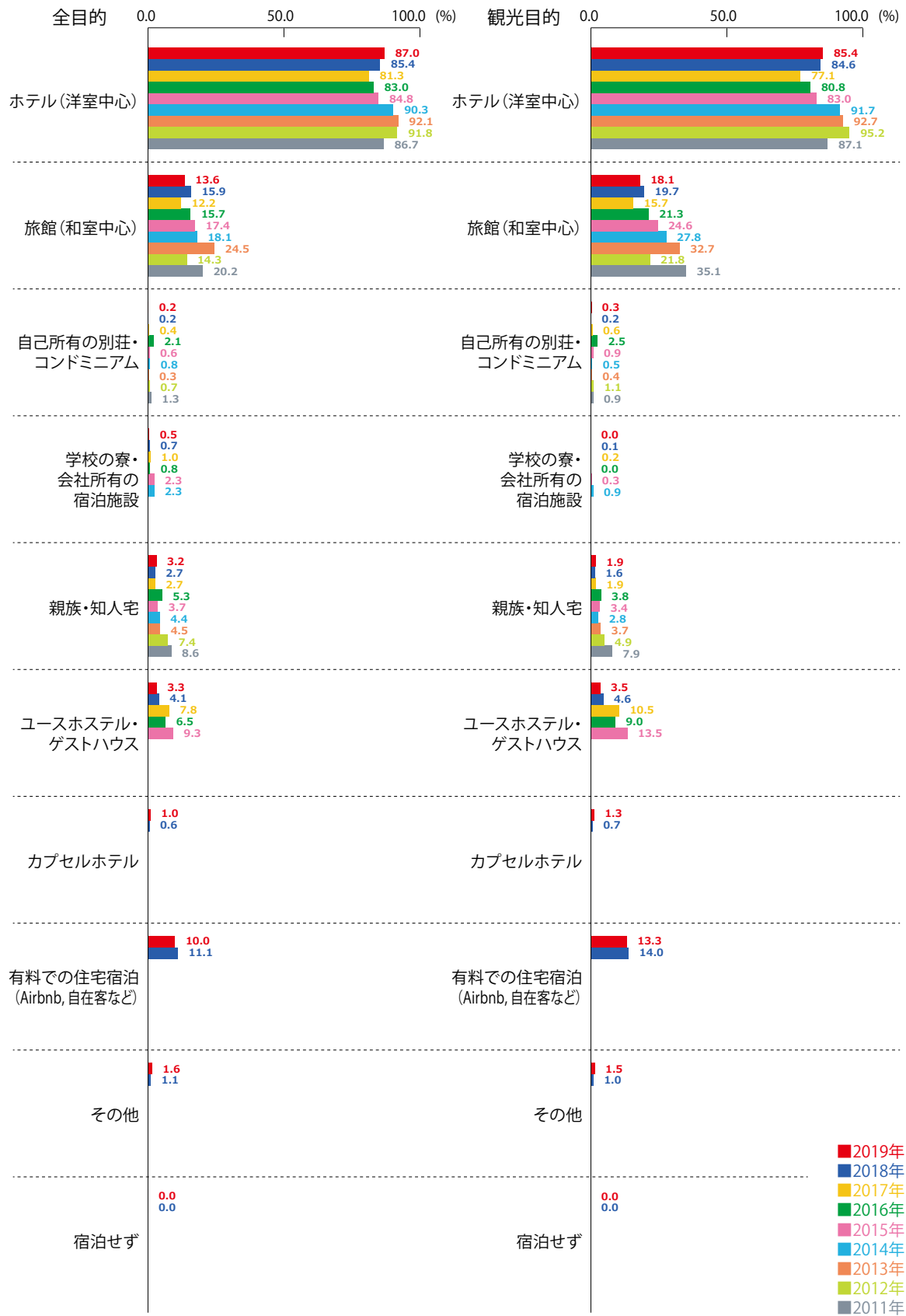
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

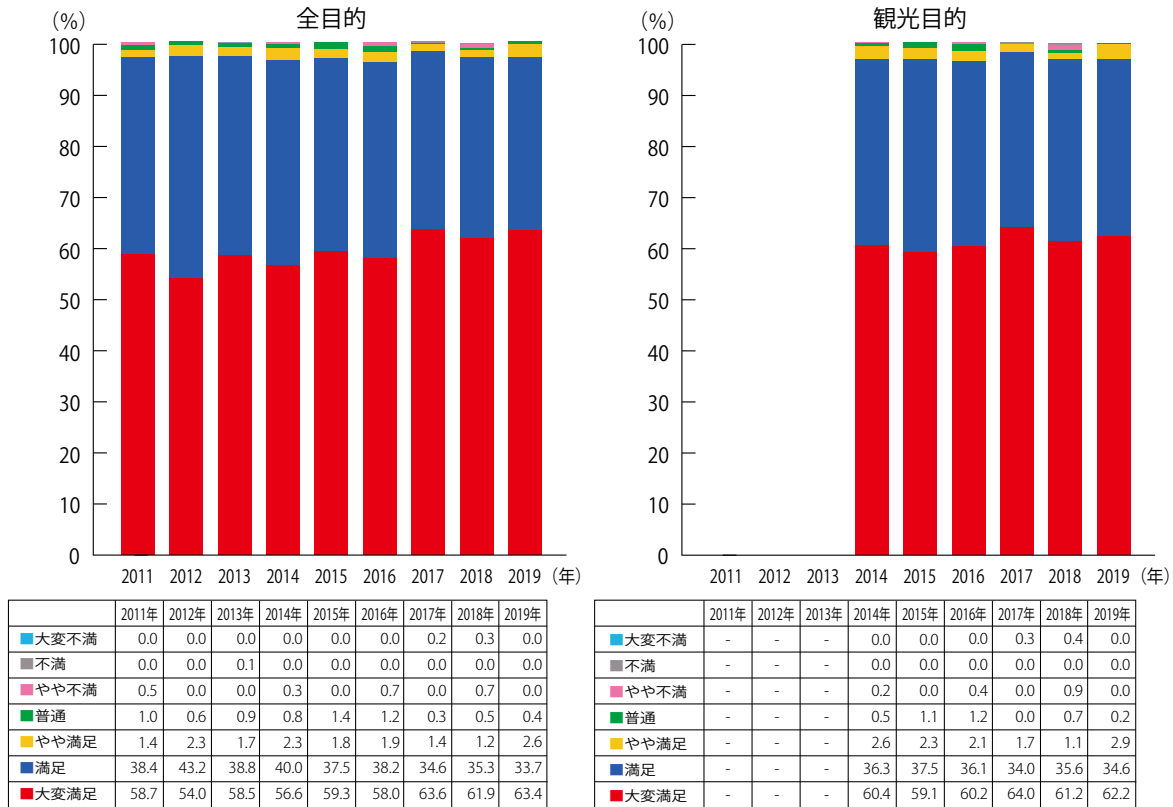
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日シンガポール人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) シンガポール人の訪日旅行の満足度（2011年～2019年）

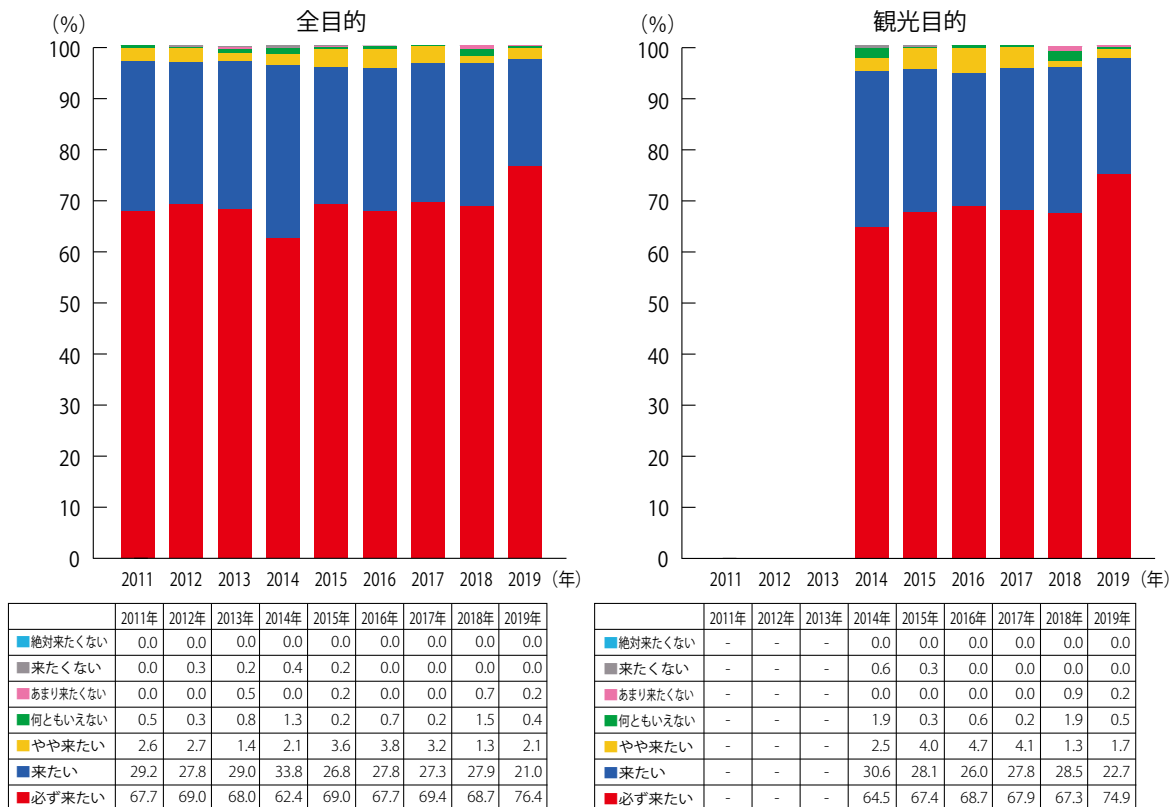


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日シンガポール人の日本再訪意向（2011年～2019年）



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# マレーシア

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

マレー系 (61.8%)、中華系 (22.6%)、インド系 (6.7%) など  
マレー系の中には、東マレーシア (サバ州、サラワク州) の先住民も含まれている。  
出典：総務省統計局「世界の統計 2023」

### (2) 宗教別構成

イスラム教 (連邦の宗教) (64%)、仏教 (19%)、キリスト教 (9%)、ヒンドゥー教 (6%)、儒教・  
道教 (1%) など  
出典：日本国外務省

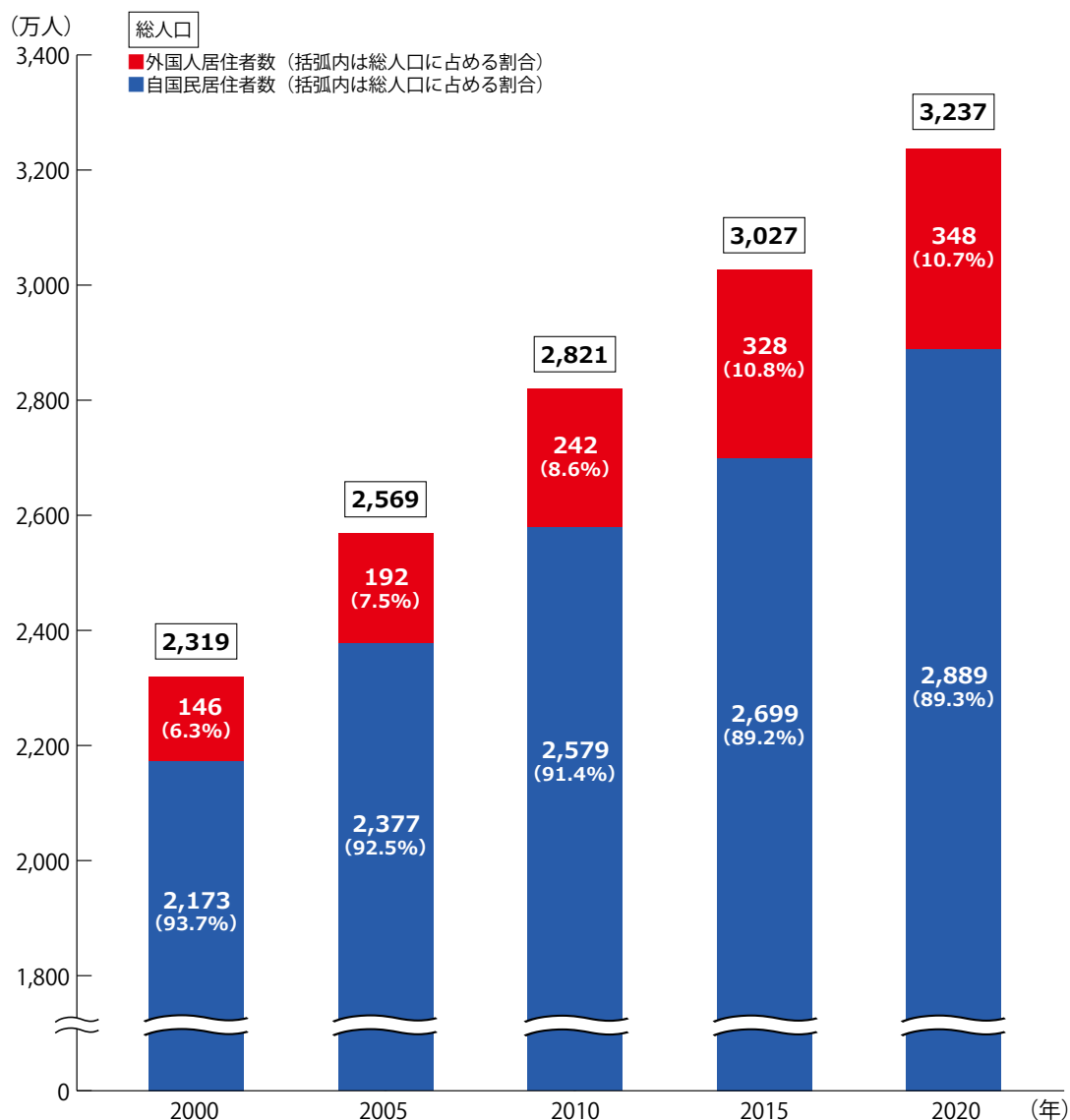
### (3) 使用言語

マレーシア語 (マレー語) が公用語  
(マレーシア憲法第 152 条で、マレーシア語を国語と規定している。)  
英語も広く通用し、異なる民族間では英語が使用されることが多い。  
中華系住民 (「華人」と呼称) の多くは中国語も話す。家庭では主に中国語の方言 (福建語、客家語、  
広東語等) が使われている。一方、華人の子女が多く通う中華系の学校では、北京語を基準とする標  
準中国語 (「華語」と呼称) での教育が行われている。  
インド系住民の多くはタミル語を母語とする。  
東マレーシア (サバ州、サラワク州) の先住民の間では、独自の言語も話されている。  
注：マレーシアで各民族が互いに意思疎通を図る際、英語が最もよく通じる。マレーシアで印刷物を配布する場合、英語版で事が足りる。  
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (4) 面積

33万 621km<sup>2</sup> (日本の87%強)  
出典：総務省統計局「世界の統計 2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

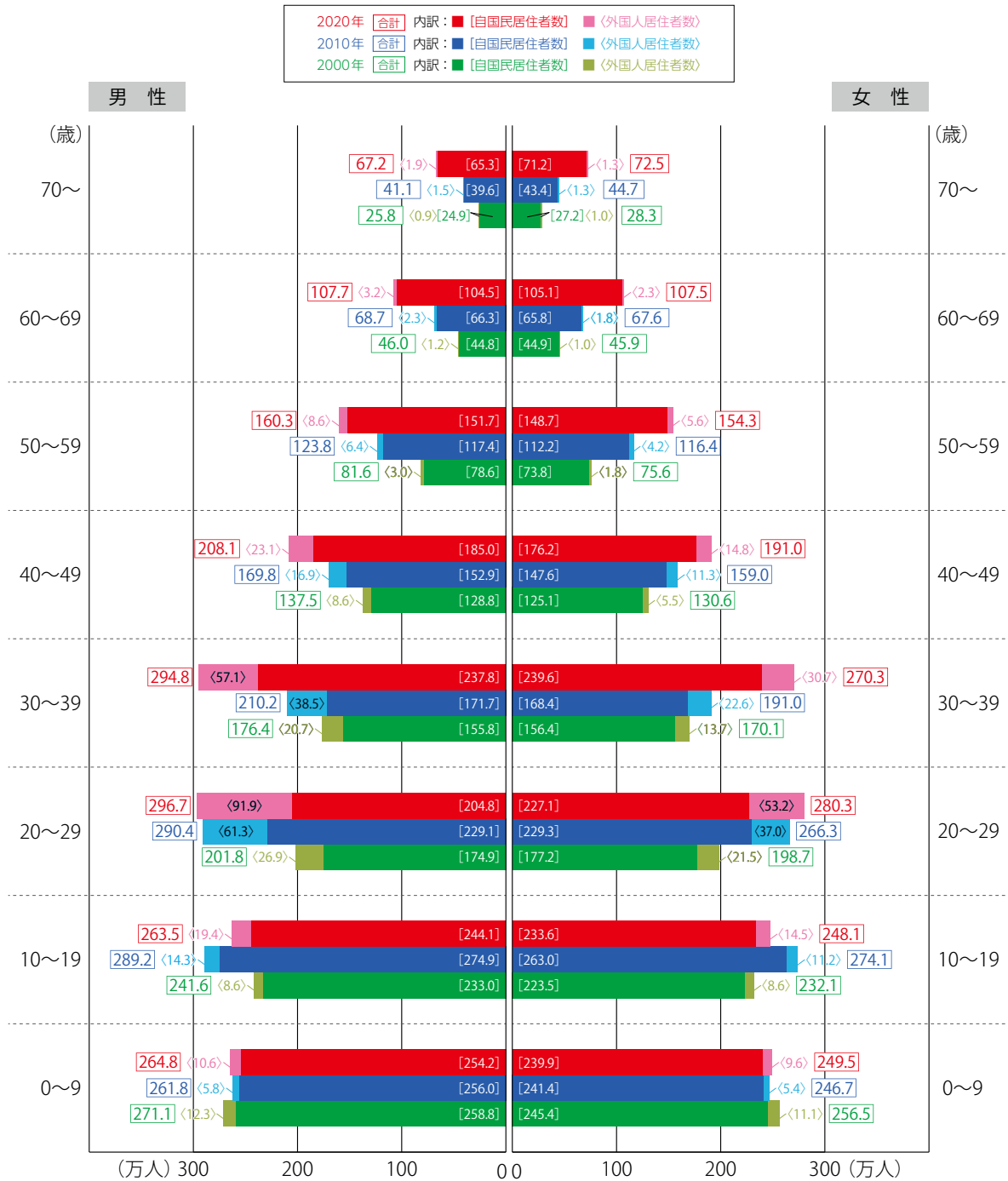
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、滞在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：マレーシアの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口

都市名	人口(人)	50	100	150	200 (万人)
クアラルンプール	1,853,918				
ジョホールバル	526,493				
イポー	493,128				
クアンタン	424,425				
コタバル	417,169				
セレンバン	393,510				
クラン	301,013				
コタキナバル	257,029				
クアラトレンガヌ	251,007				
タイピン	246,797				
ジョージタウン (ペナン島)	228,250				
スバンジャヤ (クアラルンプール近郊)	214,754				
サンダカン	205,711				
スンガイプタニ	204,347				

注：上の数値は、2020年の推計値である。  
出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

[次ページへ](#) ▶

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	2023年1月2日は振替休日 ジョホール、ケダ、クランタン、ペルリス、 トレンガヌの各州を除く。
※旧正月	1月22日（日）～ 1月23日（月）	2月10日（土）～ 2月11日（日）	2023年1月24日、2024年2月12日は、 振替休日。ただしジョホール、ケダ、クラン タン、ペルリス、トレンガヌの各州を除 く。
連邦区祭日	2月1日（水）	2月1日（木）	クアラルンプール、ラブアン、プトラジャ ヤの各州に該当
※タイプーサム （ヒンドゥー教祭日）	2月5日（日）	1月25日（木）	クアラルンプール、プトラジャヤ、ジョ ホール、ヌグリ・スンビラン、ペラ、ペナン、 スランゴルの各州に該当 2023年2月6日は振替休日
※みいつの夜 （コーランの啓示の日）	4月8日（土）	3月28日（木）	クアラルンプール、ラブアン、プトラジャ ヤ、クランタン、パハン、ペラ、ペルリス、 ペナン、スランゴル、トレンガヌの各州に 該当
※ハリラヤ・プアサ （断食明け祭日）	4月22日（土）～ 4月23日（日）	4月10日（水）～ 4月11日（木）	2023年4月24日は振替休日
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）	
※ウェサック・デー （仏誕節）	5月4日（木）	5月22日（水）	
国王（アゴン）誕生日	6月5日（月）	6月3日（月）	
※ハリラヤ・ハジ （メッカ巡礼祭）	6月29日（木）	6月17日（月）	
※イスラム暦新年	7月19日（水）	7月7日（日）	2024年7月8日は振替休日 但し、ケダ、クランタン、ペルリス、トレ ンガヌの各州を除く。
独立記念日	8月31日（木）	8月31日（土）	
マレーシア・デー	9月16日（土）	9月16日（月）	
※ムハンマド生誕祭	9月28日（木）	9月16日（月）	

▶ [前ページから](#)

祝日	2023年	2024年	備考
※ディーパバリ (ヒンドゥー教光の祭典)	11月12日(日)	10月31日(木)	サラワク州を除く。 2023年11月13日は振替休日
クリスマス	12月25日(月)	12月25日(水)	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：上記以外に、州あるいは宗教ごとの祝日がある。

注3：2024年のタイプーサム、みいつの夜、ハリラヤ・プアサ、ディーパバリの日付については、政府の発表により、今後変動する可能性がある。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点の想定を記載した。

出典：マレーシア首相府等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

[次ページへ](#) ▶

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
国民学校	6歳～12歳 (6年間)	1学期中間休暇	4月21日～4月29日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			4月22日～4月30日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		1学期末休暇	5月26日～6月3日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			5月27日～6月4日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		2学期休暇	8月25日～9月2日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			8月26日～9月3日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		3学期休暇	12月15日～1月1日の18日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			12月16日～1月1日の17日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		学年末休暇	2月9日～3月9日の30日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			2月10日～3月10日の30日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
前期中等学校	12歳～15歳 (3年間)	1学期中間休暇	4月21日～4月29日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			4月22日～4月30日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		1学期末休暇	5月26日～6月3日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			5月27日～6月4日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		2学期休暇	8月25日～9月2日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			8月26日～9月3日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		3学期休暇	12月15日～1月1日の18日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			12月16日～1月1日の17日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		学年末休暇	2月9日～3月9日の30日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			2月10日～3月10日の30日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外



主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
後期中等学校	15歳～19歳 (4年間)	1学期中間休暇	4月21日～4月29日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			4月22日～4月30日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		1学期末休暇	5月26日～6月3日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			5月27日～6月4日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		2学期休暇	8月25日～9月2日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			8月26日～9月3日の9日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		3学期休暇	12月15日～1月1日の18日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			12月16日～1月1日の17日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
		学年末休暇	2月9日～3月9日の30日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州
			2月10日～3月10日の30日間	ケダ、ジョホール、ケランタン、 トレンガヌ州以外
大学	19歳～22歳 (3年間)	1学期中間休暇	12月5日～12月11日の1週間	
		1学期末休暇	2月20日～3月12日の3週間	
		2学期中間休暇	4月24日～4月30日の1週間	
		学年末休暇	7月17日～9月17日の9週間	

学校年度	マレーシアの公立学校：2023年3月～2024年2月 インターナショナルスクール：9月～翌年8月
義務教育	国民学校（6年間）

注1：上記は2023年の日程である。

注2：新型コロナウイルス感染症の大流行により、2021年から学校の長期休暇が例年とは異なり、変則的に設定されている。

マレーシア政府は2025年までに、元の時期に戻すと発表している（2023年8月時点）。

注3：大学の休暇は、2021年のマラヤ大学の事例である。大学は基本的には3学期制で、学期ごとに、3～4週間程度のセメスターブレイクという休暇期間がある。

出典：マレーシア教育省の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		・毎週1回、事業主が決定した日を休日とする。休日は毎週同じ曜日である必要はない（1955年雇用法）。 ・一般的に土曜日、日曜日が休日である。
有給休暇日数	8日（勤続2年未満の被雇用者） 12日（勤続2年以上5年未満の被雇用者） 16日（勤続5年以上の被雇用者）	1955年 雇用法 第60条	病気休暇、出産休暇については有給休暇とは区別されている。
定年退職	60歳	2012年 最小退職年齢法	

出典：日本国厚生労働省、マレーシア政府、国際労働機関（ILO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

[次ページへ](#) ▶

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	59.5
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	50.9
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	43.4
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	31.9
各国政府観光局 (NTO)	ウェブサイト	旅行情報発信	25.8
トラベル360 (Travel 360)	ウェブサイト	旅行情報発信	18.7
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	18.2
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	12.6
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメな どを配信	11.9
ハブ・ハラル・ウィル・トラベル (Have Halal Will Travel)	ウェブサイト	旅行・飲食情報発信	8.9
ピンタレスト (Pinterest)	SNS	画像を掲載	8.9
テレグラム (Telegram)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	7.7
トリップ・ジラ (TripZilla)	ウェブサイト	旅行情報発信	7.3
オッパシェアリング (Oppa Sharing)	ウェブサイト	旅行情報発信	6.8
シン Chew (Sin Chew：星洲日報)	ウェブサイト	ニュース発信	5.9
ロウヤット (Lowyat)	インターネット掲示板	情報発信	5.7
ケーエル・ナウ (KL NOW 就在吉隆坡)	ウェブサイト	生活情報発信	5.3
スター (Star)	ウェブサイト	ニュース発信	5.1
チャリ (Cari)	インターネット掲示板	情報発信	5.0
グッディ 25 (Goody25)	オンラインマガジン	生活情報発信	4.9

▶ 前ページから

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
オー・メディア (Oh!Media)	ウェブサイト	ニュース発信	4.5
ウィーチャット (微信: WeChat)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	4.5
他の新聞社	ウェブサイト	ニュース発信	4.0
チャイナプレス (China Press: 中国報)	ウェブサイト	ニュース発信	3.9
モアティファイ (Moretify)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	2.9
ハイブ (Hype)	ウェブサイト	娯楽・生活情報発信	2.8

注1: 本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

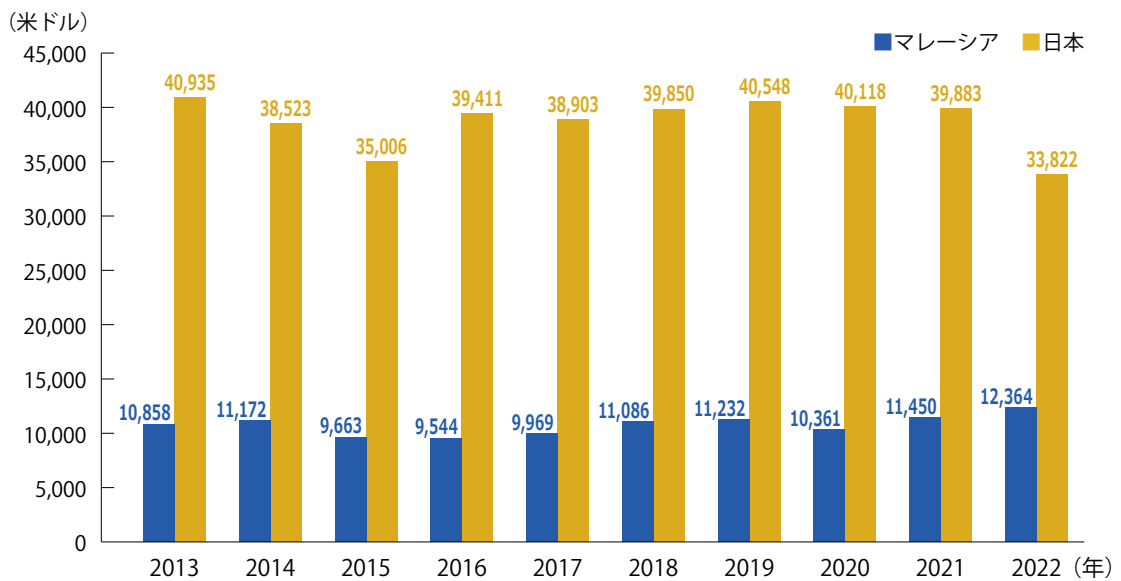
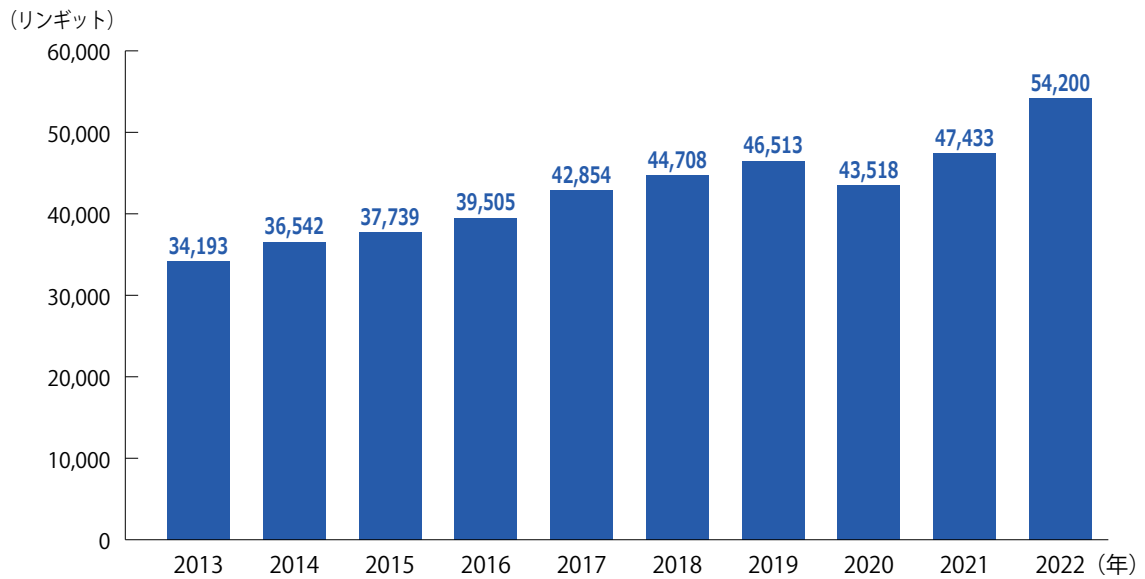
注2: 上の数値は複数回答の結果である。

注3: 上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典: 日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

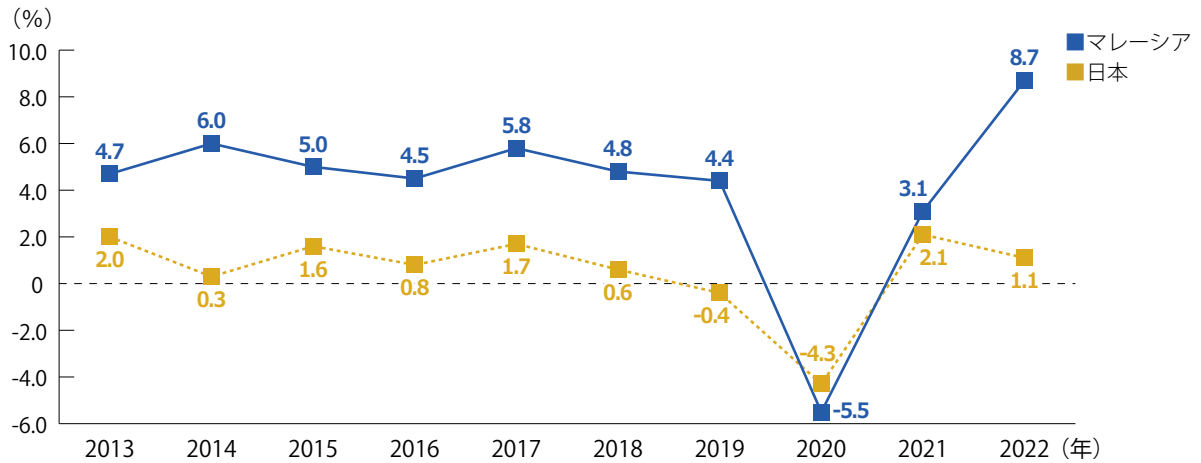
第2章 経済指標

(1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



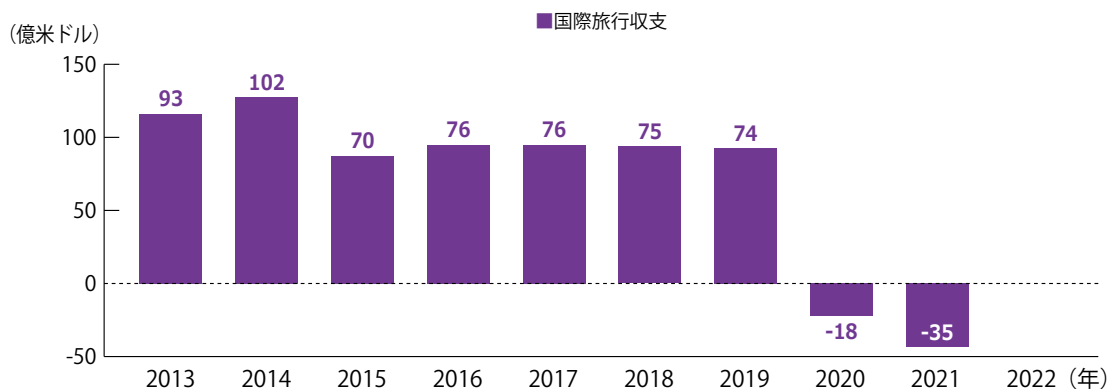
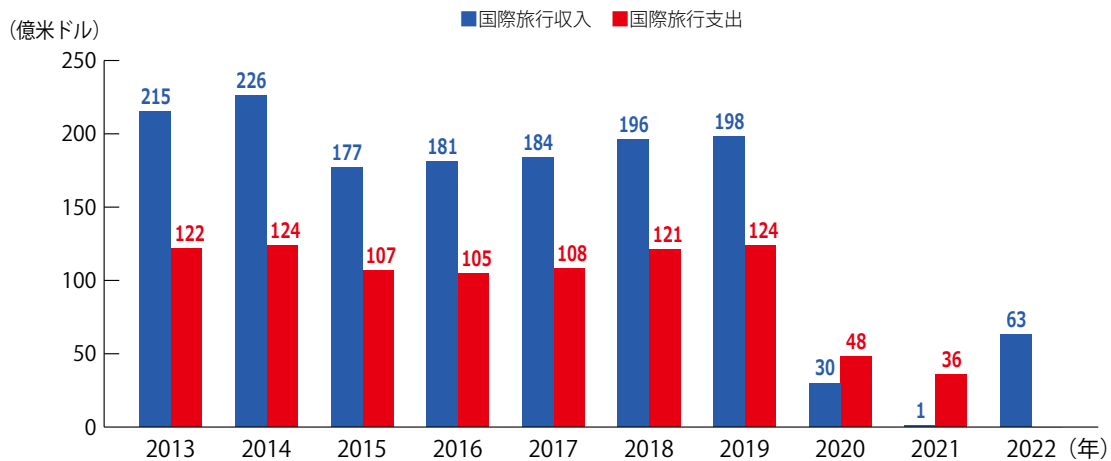
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



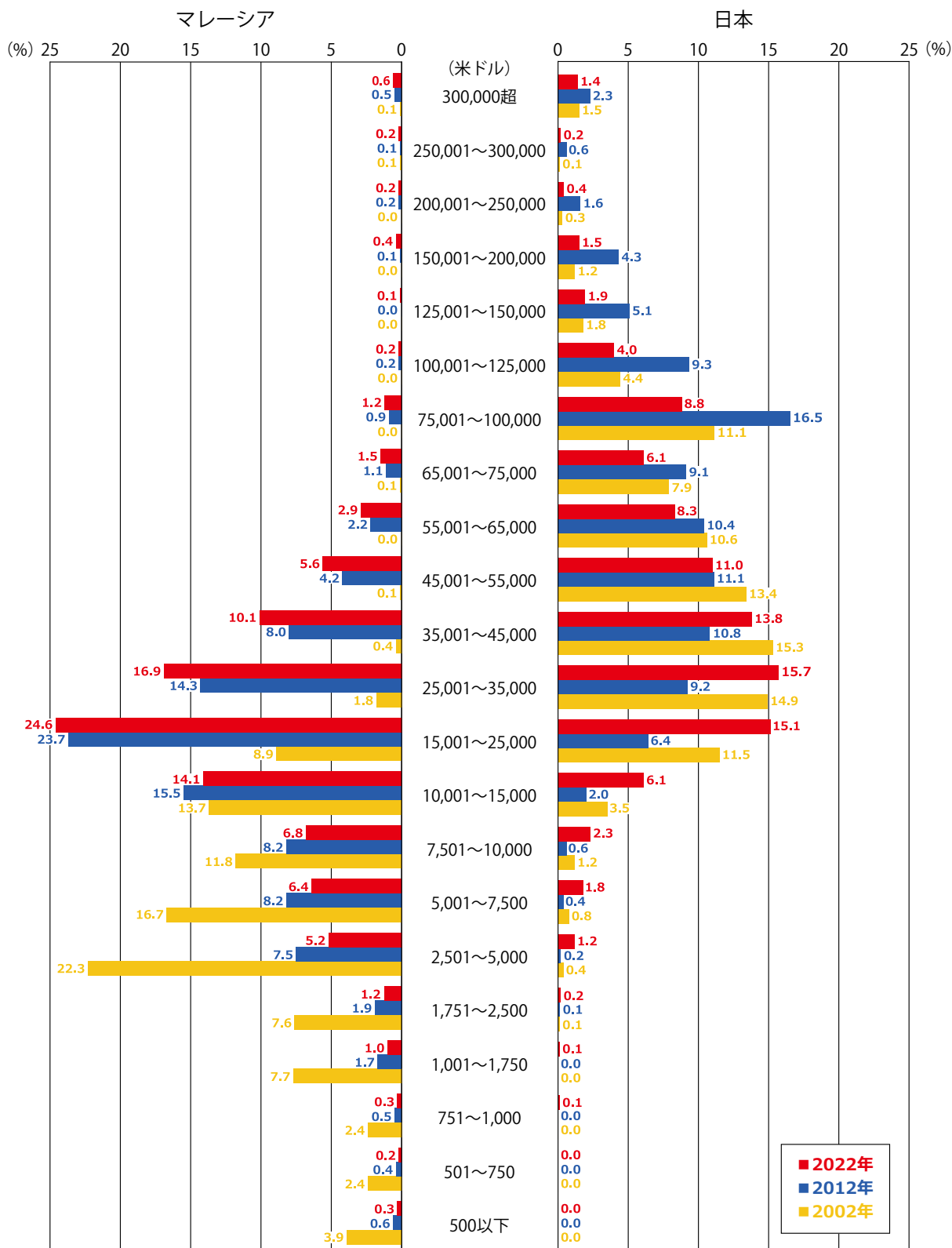
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



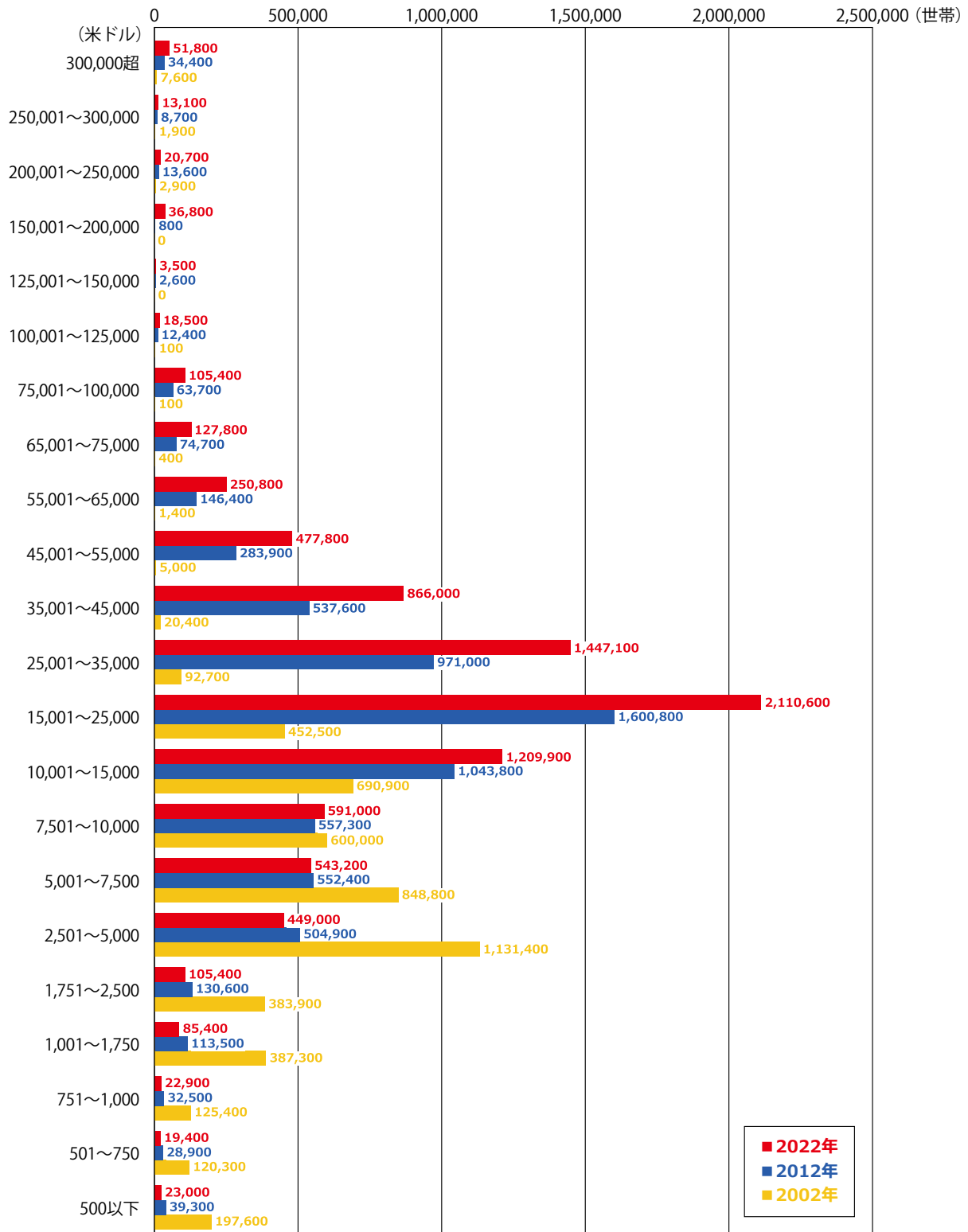
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



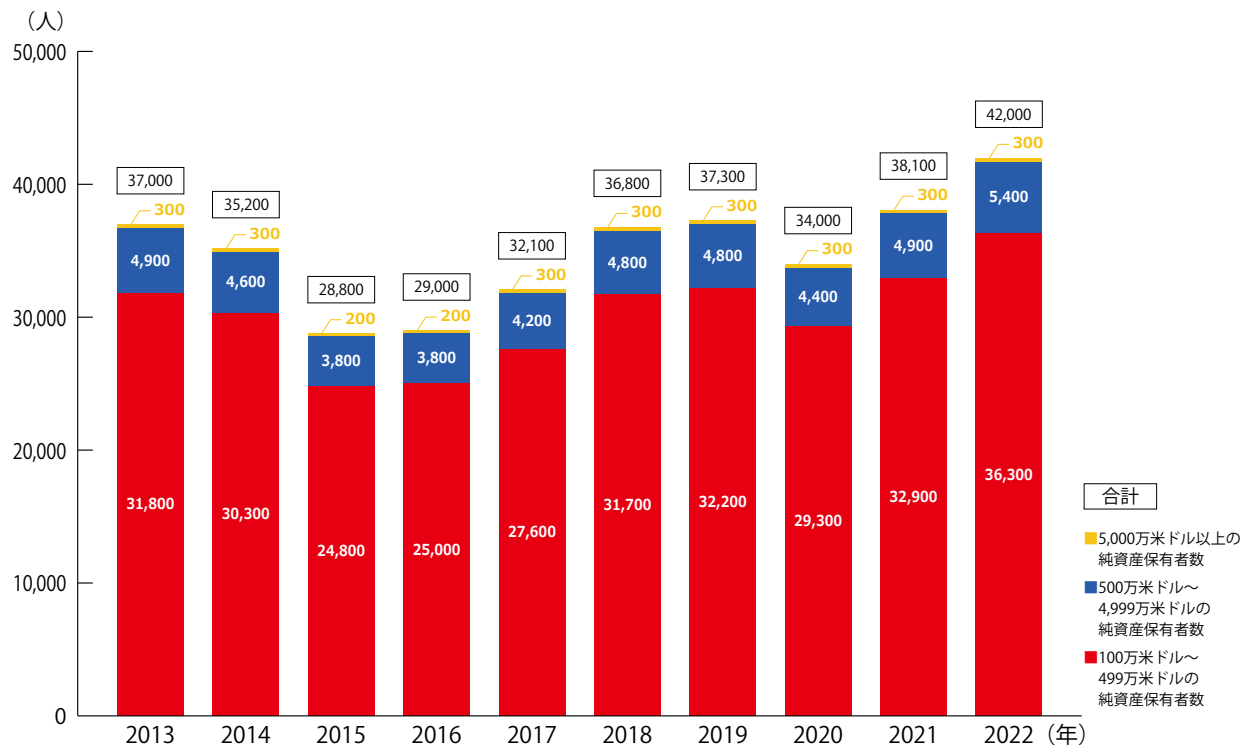
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



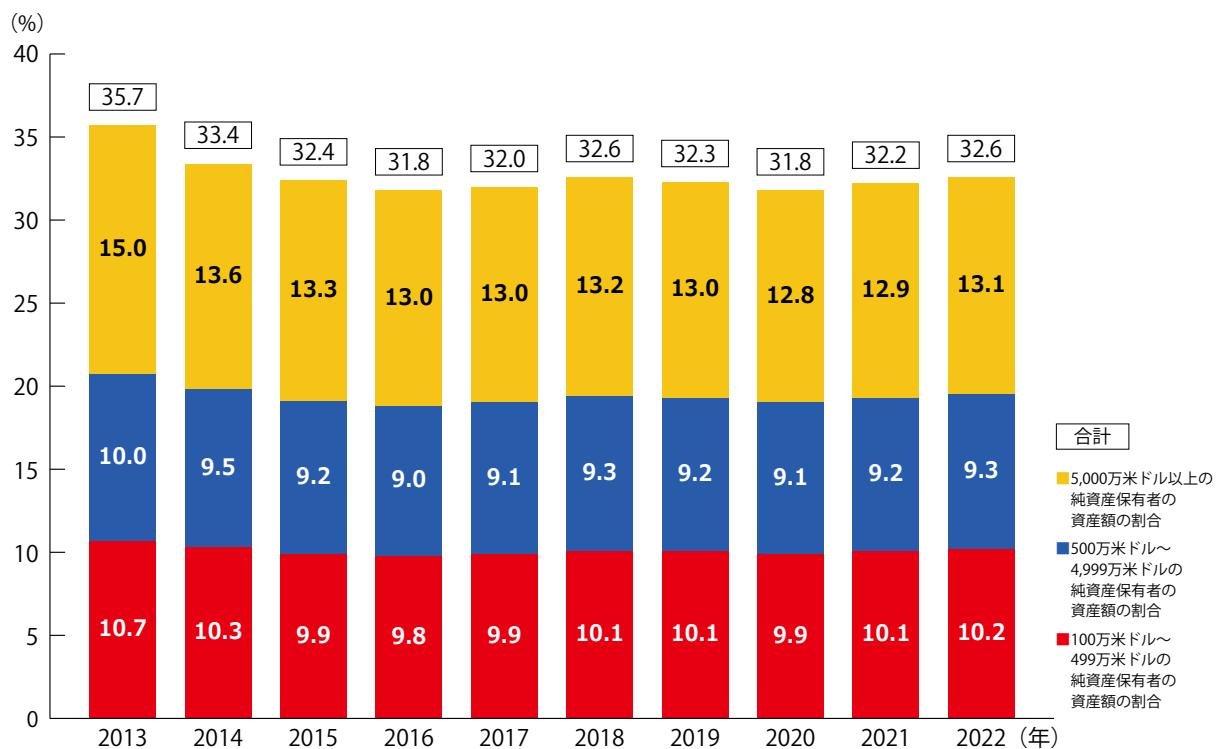
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高純資産保有者数 (2013年~2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

(7) 居住者全体の資産額に占める高純資産保有者の資産額の割合 (2013年~2022年)



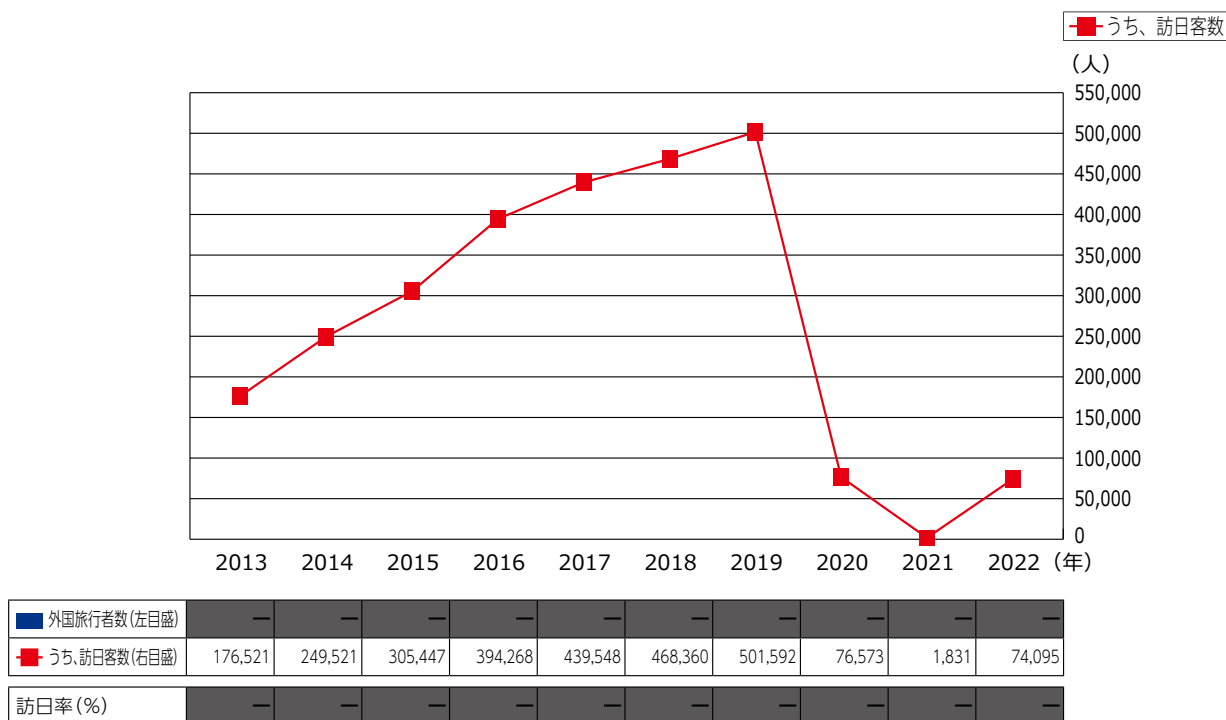
注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

マレーシア



### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) マレーシア人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：マレーシア人の外国旅行者数は公表されていない。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのマレーシア人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	タイ	TFN	3,494,488	4,032,139	4,265,574	619,451	5,511	4,265,574
2位	インドネシア	VFN	2,121,888	2,503,344	2,980,753	980,118	480,723	2,980,753
3位	中国	VFN	1,232,499	1,290,744	1,383,502			1,383,502
4位	シンガポール	VFR	1,168,384	1,254,022	1,220,730	153,650	24,217	1,254,022
5位	ベトナム	VFR	480,456	540,119	606,206	117,054	1,239	606,206
6位	台湾	VFR	528,019	526,129	537,692	72,705	6,205	537,692
7位	日本	VFN	439,548	468,360	501,592	76,573	1,831	501,592
8位	サウジアラビア	TFN	342,971	320,109	411,971	80,514	19,654	411,971
9位	韓国	VFN	307,641	382,929	408,590	48,550	4,488	408,590
10位	豪州	VFR	396,770	401,041	384,927	44,803	2,342	401,041
11位	インド	VFN	322,126	319,172	334,579	69,897	6,628	334,579
12位	香港	TFR	391,246	391,708	275,939	13,638	315	391,708
13位	英国	VFR	219,428	238,980	209,550		14,301	238,980
14位	カンボジア	TFR	179,316	201,116	203,008	25,734	2,989	203,008
15位	フィリピン	TFR	143,566	145,246	139,882	23,359	1,620	145,246
16位	トルコ	TFN	60,859	95,384	113,910	17,887	9,612	113,910
17位	マカオ	THSR	111,643	110,901	107,026	8,285	2,683	111,643
18位	米国	TFR	81,353	87,881	86,914	12,687	10,259	87,881
19位	ブルネイ	TFN	60,030	59,981	82,876	16,869	428	82,876
20位	アラブ首長国連邦	VFN	71,782	67,035	75,324	16,755		75,324
21位	スイス	THSR	39,495	44,682	49,895	6,072	3,540	49,895
22位	ミャンマー	TFN	47,010	47,632	44,203	8,497	981	47,632
23位	ニュージーランド	VFR	53,840	56,430	41,779	5,491	298	56,430
24位	エジプト	VFN	28,702	32,302	33,694	12,214		33,694
25位	ラオス	VFN	19,114	26,002	28,321	5,795		28,321
26位	モルディブ	TFN	19,092	22,202	21,605	2,946	703	22,202
27位	ネパール	TFN	18,284	22,770	21,329	3,460	331	22,770
28位	イタリア	TFN	39,714	30,255	20,095	4,213	2,282	39,714
29位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	14,215	18,779	18,970	869	346	18,970

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
30位	ポルトガル	TCER			18,183	2,933	1,220	18,183
31位	スリランカ	TFR	26,414	22,808	16,861	3,494	323	26,414
32位	ヨルダン	TFN	15,387	17,113	16,351	2,705	717	17,113
33位	フィンランド	TCER	11,948	14,476	15,016	4,662	2,096	15,016
34位	イスラエル	TFR	10,342	13,736	14,692	1,456	23	14,692
35位	ノルウェー	TCER		11,972	13,315			13,315
36位	ナイジェリア	VFN	11,474	11,393	11,329	2,964	3,058	11,474
37位	ベルギー	TCER	10,275	10,629	11,172	1,466	411	11,172
38位	カナダ	TFR	13,155	11,158	10,976	867	885	13,155
39位	モロッコ	TFN	5,557	9,717	10,441	1,948	695	10,441
40位	南アフリカ共和国	TFR	9,282	7,460	9,295	1,398	541	9,295
41位	ロシア	VFN	9,077					9,077
42位	パプアニューギニア	VFR	4,822	5,776	6,878	1,806	1,032	6,878
43位	カザフスタン	VFR	5,245	7,571	6,835	755	474	7,571
44位	ブルガリア	VFR	7,586	6,930	6,816	686	282	7,586
45位	ジンバブエ	VFR	4,991	5,030	6,469	354	43	6,469
46位	ポーランド	TCER	3,755	4,240	6,399	865	302	6,399
47位	アルバニア	VFN	6,507	8,428	6,368	536	396	8,428
48位	メキシコ	TFN	4,186	4,998	5,905	1,688	1,764	5,905
49位	クウェート	VFN	5,342	5,515	5,112	1,178	567	5,515
50位	ルーマニア	VFR	4,228	4,799	4,894	1,491	596	4,894
51位	ウズベキスタン	VFR	2,936	2,768	4,388	679	361	4,388
52位	イラン	VFN	7,304	4,938	3,832	249	147	7,304
53位	レバノン	TFN	3,301	3,096	3,538	2,184	1,665	3,538
54位	ブラジル	TFR	3,442	4,818	3,301	682	211	4,818
55位	アルゼンチン	TFR	2,733	3,233	3,133	767	20	3,233
	ブータン	TFN	2,956	3,140	2,761	245		3,140
	モーリシャス	TFR	4,352	2,264	2,045	287	104	4,352

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

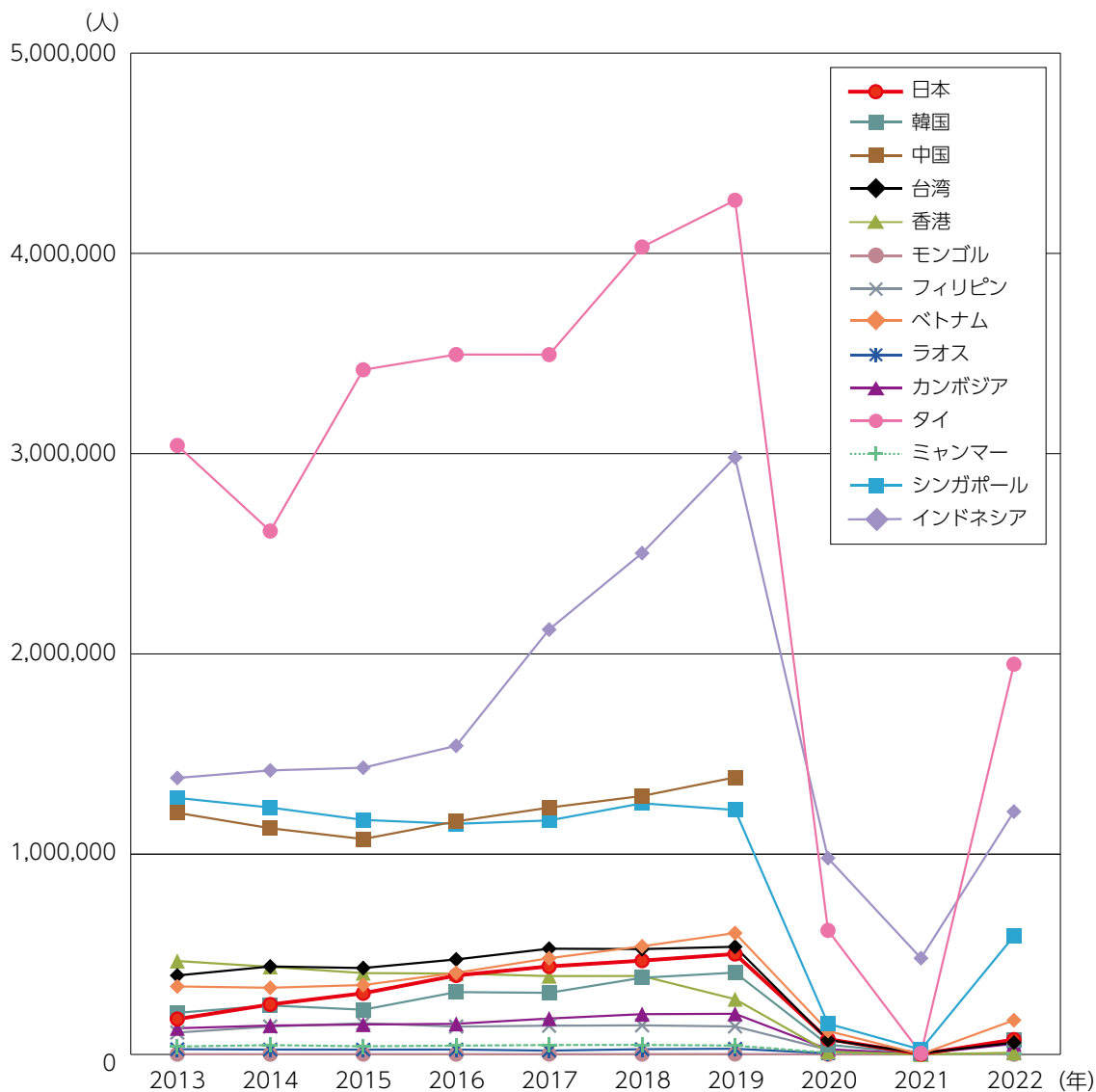
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのマレーシア人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	3,041,097	2,613,418	3,418,855	3,494,890	3,494,488	4,032,139	4,265,574	619,451	5,511	1,948,549
インドネシア	VFN	1,380,686	1,418,256	1,431,728	1,541,197	2,121,888	2,503,344	2,980,753	980,118	480,723	1,212,574
中国	VFN	1,206,535	1,129,600	1,075,451	1,163,869	1,232,499	1,290,744	1,383,502			
シンガポール	VFR	1,280,942	1,233,035	1,171,077	1,151,585	1,168,384	1,254,022	1,220,730	153,650	24,217	590,958
ベトナム	VFR	339,510	332,994	346,584	407,574	480,456	540,119	606,206	117,054	1,239	170,870
台湾	VFR	394,326	439,240	431,481	474,420	528,019	526,129	537,692	72,705	6,205	59,035
日本	VFN	176,521	249,521	305,447	394,268	439,548	468,360	501,592	76,573	1,831	74,095
韓国	VFN	207,727	244,520	223,350	311,254	307,641	382,929	408,590	48,550	4,488	70,449
香港	TFR	466,578	437,346	406,249	403,942	391,246	391,708	275,939	13,638	315	8,590
カンボジア	TFR	130,704	144,437	149,389	152,843	179,316	201,116	203,008	25,734	2,989	53,123
フィリピン	TFR	109,437	139,245	155,814	139,133	143,566	145,246	139,882	23,359	1,620	
ミャンマー	TFN	39,758	46,534	40,852	43,931	47,010	47,632	44,203	8,497	981	3,892
ラオス	VFN	26,035	24,312	24,095	24,391	19,114	26,002	28,321	5,795		6,382
モンゴル	TFN	1,296	1,249	1,506	1,372	1,672	1,731	2,062	53	71	1,034

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

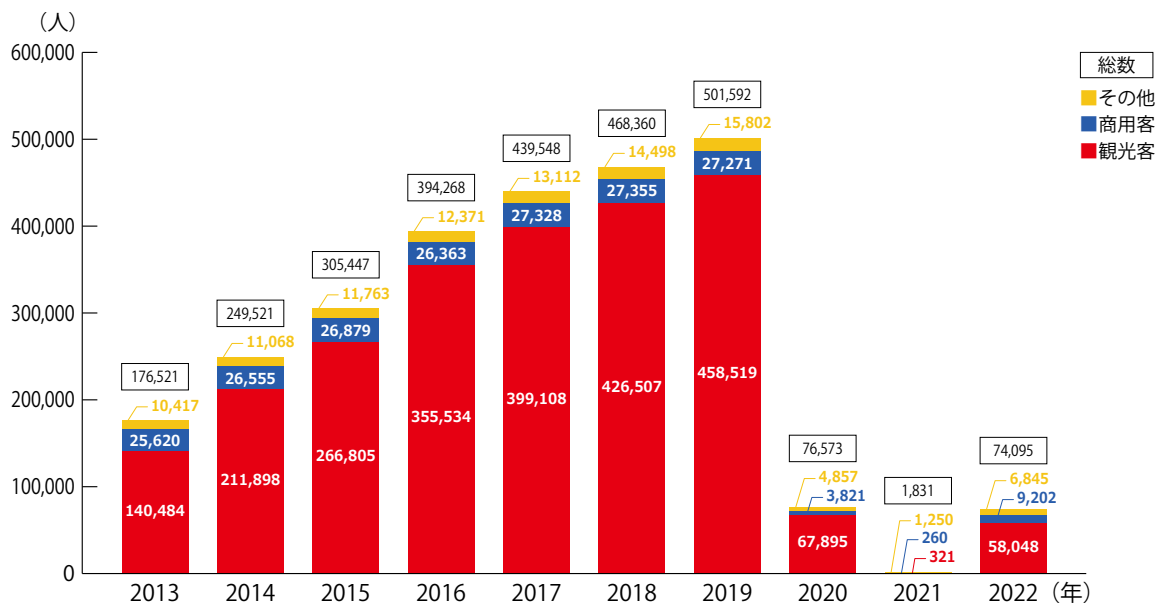
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なるため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

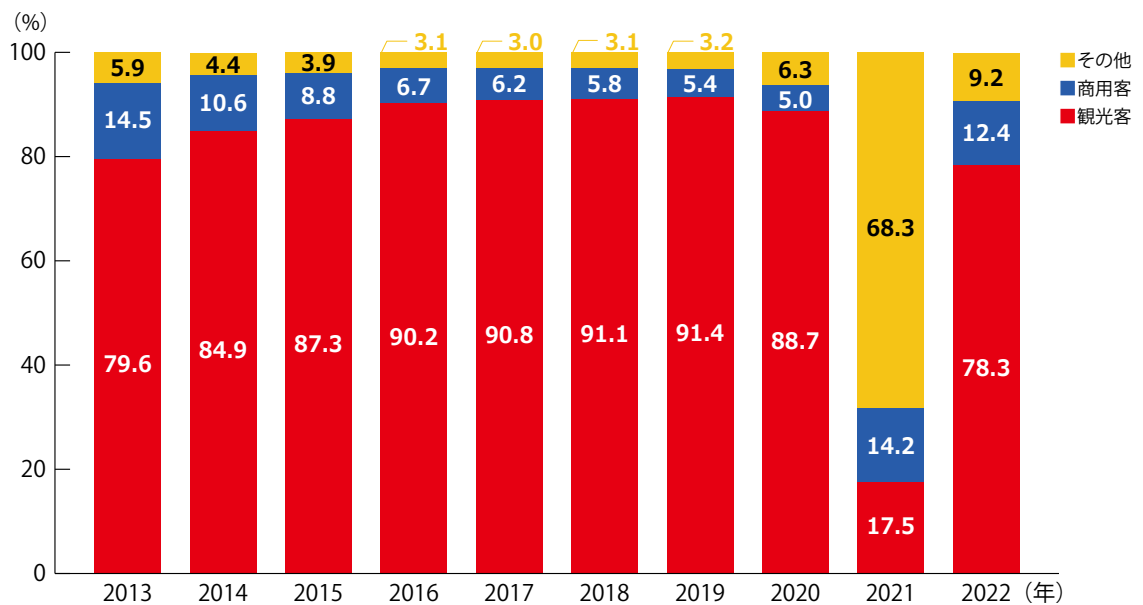
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日マレーシア人の推移 (2013年～2022年)



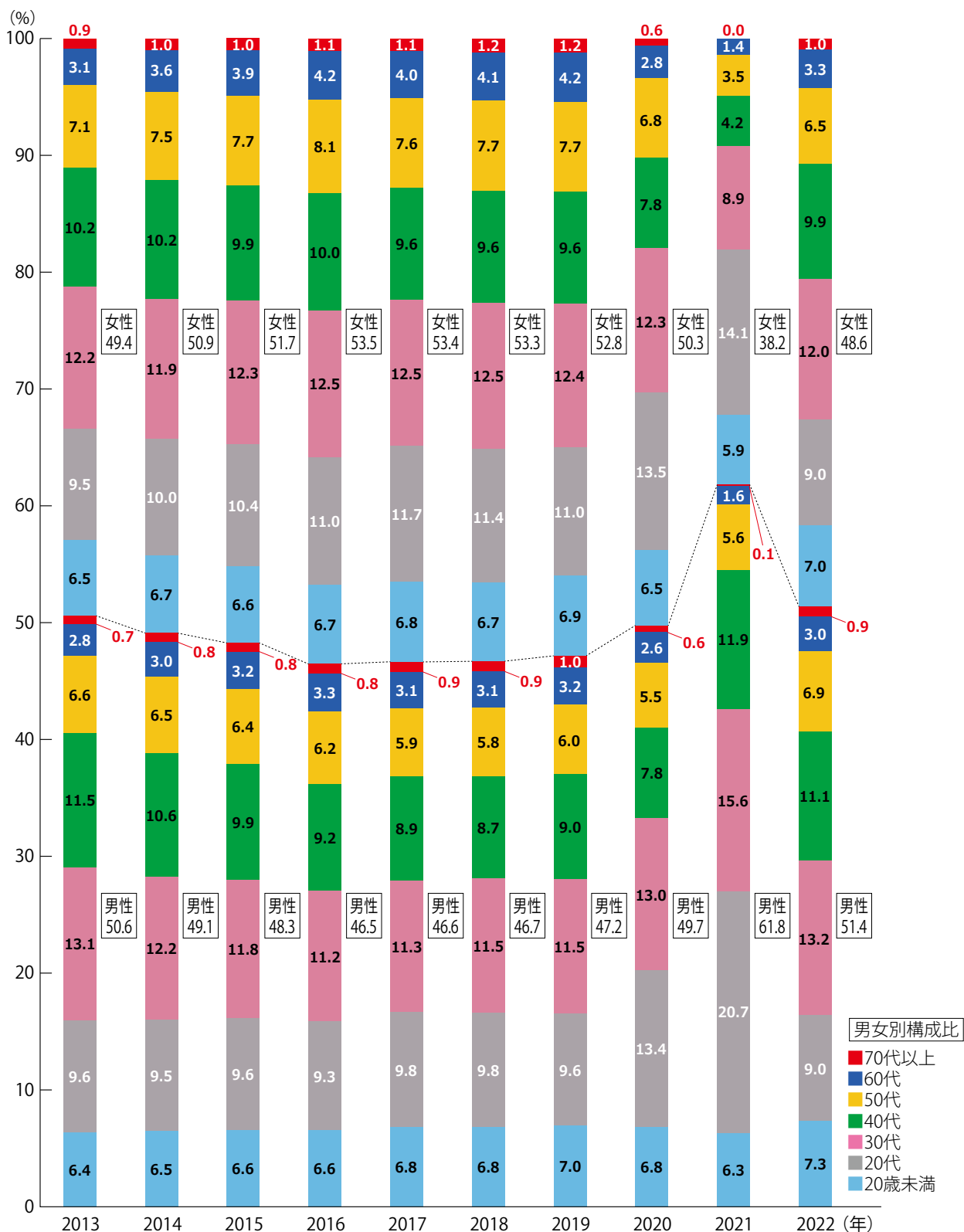
出典：日本政府観光局 (JNTO)

(2) 訪日マレーシア人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

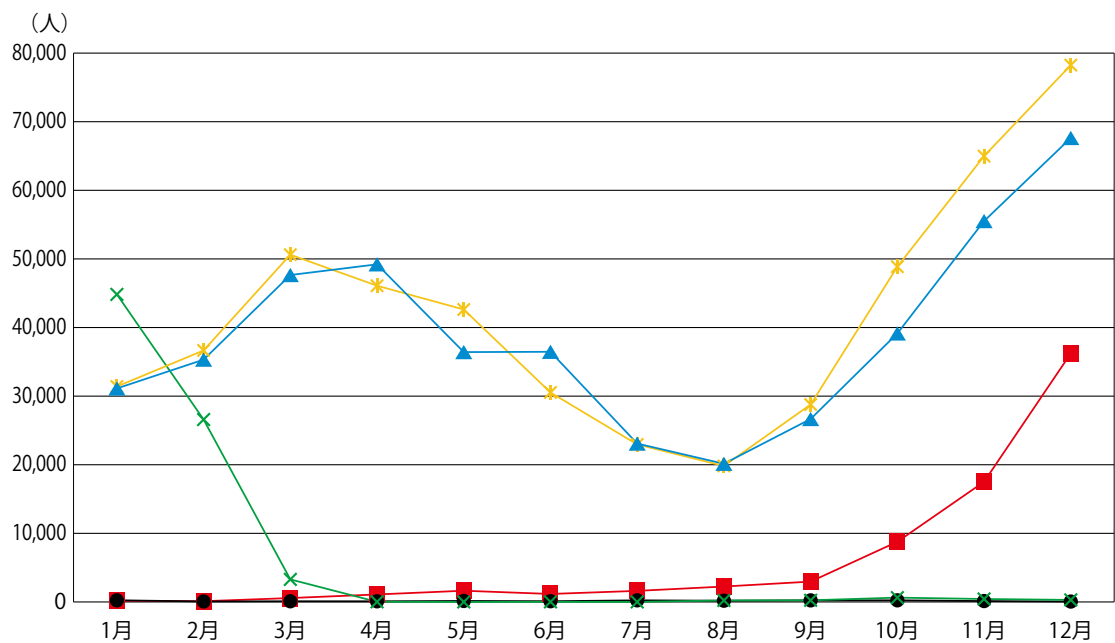
### (3) 訪日マレーシア人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日マレーシア人の推移（2018年～2022年）

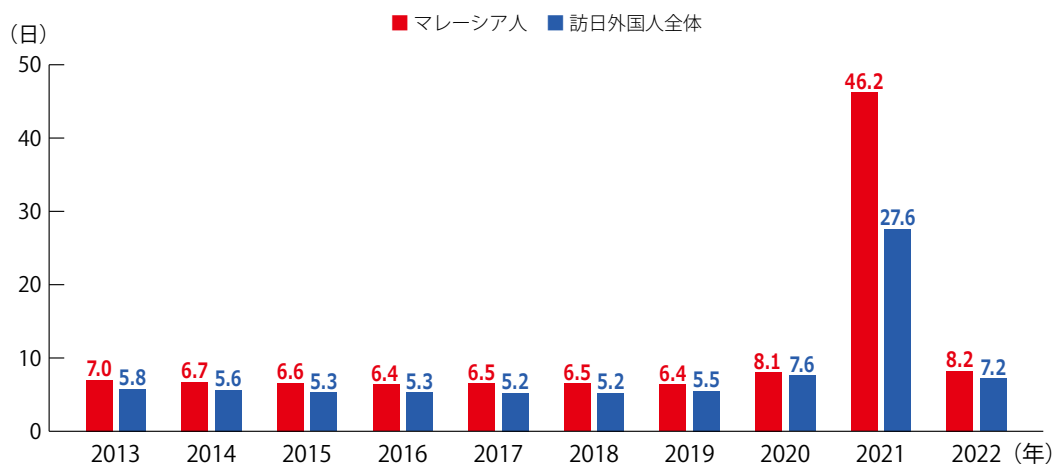


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	171	109	569	1,094	1,636	1,165	1,616	2,248	2,967	8,773	17,519	36,228
● 2021年	242	72	99	95	146	106	233	182	231	237	130	58
✕ 2020年	44,829	26,589	3,287	20	4	13	6	223	242	630	430	300
✳ 2019年	31,399	36,660	50,615	46,092	42,629	30,534	22,957	19,827	28,778	48,864	64,987	78,250
▲ 2018年	31,112	35,319	47,652	49,212	36,420	36,462	23,088	20,143	26,667	39,139	55,519	67,627

出典：日本政府観光局（JNTO）

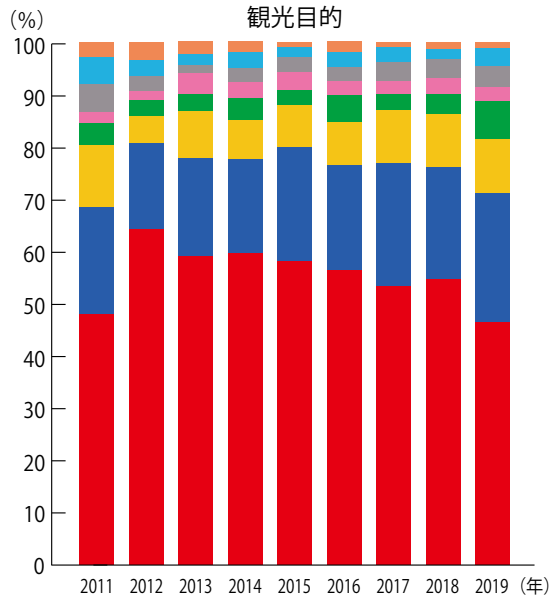
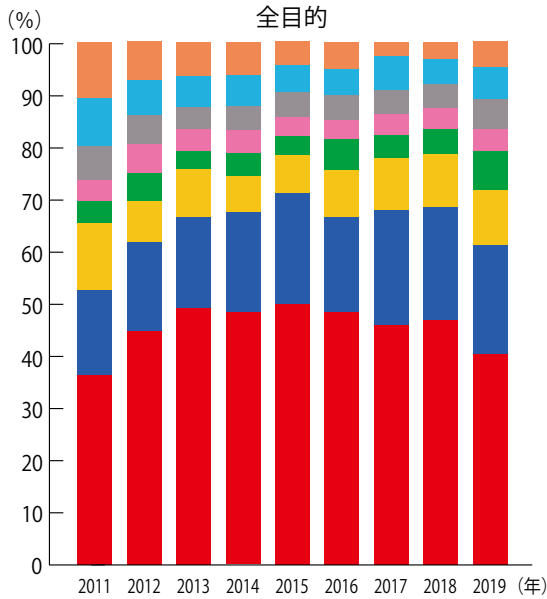
(5) 訪日マレーシア人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (6) 訪日マレーシア人の訪日回数 (2011年～2019年)



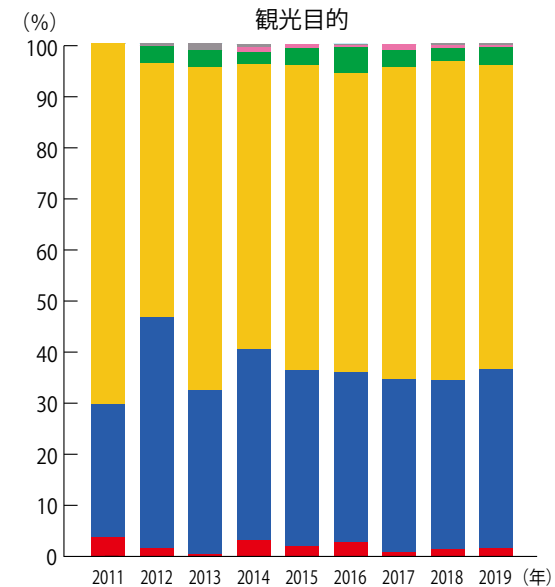
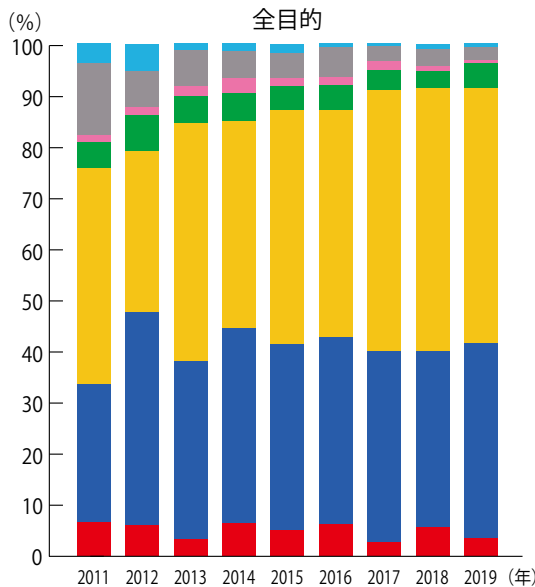
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	10.7	7.5	6.5	6.4	4.5	5.3	2.8	3.2	4.8
10~19回目	9.2	6.7	6.0	5.8	5.3	5.0	6.4	4.8	6.2
6~9回目	6.5	5.4	4.3	4.7	4.8	4.7	4.7	4.6	5.8
5回目	4.1	5.7	4.1	4.3	3.5	3.7	3.9	4.1	4.1
4回目	4.1	5.2	3.5	4.4	3.6	5.9	4.4	4.6	7.5
3回目	12.9	8.0	9.1	6.9	7.4	9.1	10.1	10.3	10.6
2回目	16.1	16.9	17.5	19.2	21.1	18.0	21.9	21.5	20.8
1回目	36.3	44.7	49.0	48.2	49.9	48.3	45.8	46.8	40.2

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	3.0	3.5	2.3	2.0	1.0	2.1	0.9	1.3	1.2
10~19回目	5.0	3.0	2.2	3.2	1.9	2.8	2.8	2.0	3.3
6~9回目	5.5	3.0	1.4	2.6	3.0	2.8	3.7	3.6	4.1
5回目	2.0	1.6	4.2	3.0	3.3	2.6	2.5	3.0	2.6
4回目	4.3	3.1	3.1	4.2	2.8	5.1	3.1	4.0	7.2
3回目	11.8	5.3	9.1	7.6	8.2	8.3	10.2	10.0	10.5
2回目	20.5	16.3	18.7	17.9	21.8	20.1	23.4	21.5	24.5
1回目	47.9	64.2	59.0	59.6	58.0	56.3	53.3	54.6	46.5

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日マレーシア人の滞在期間 (2011年～2019年)



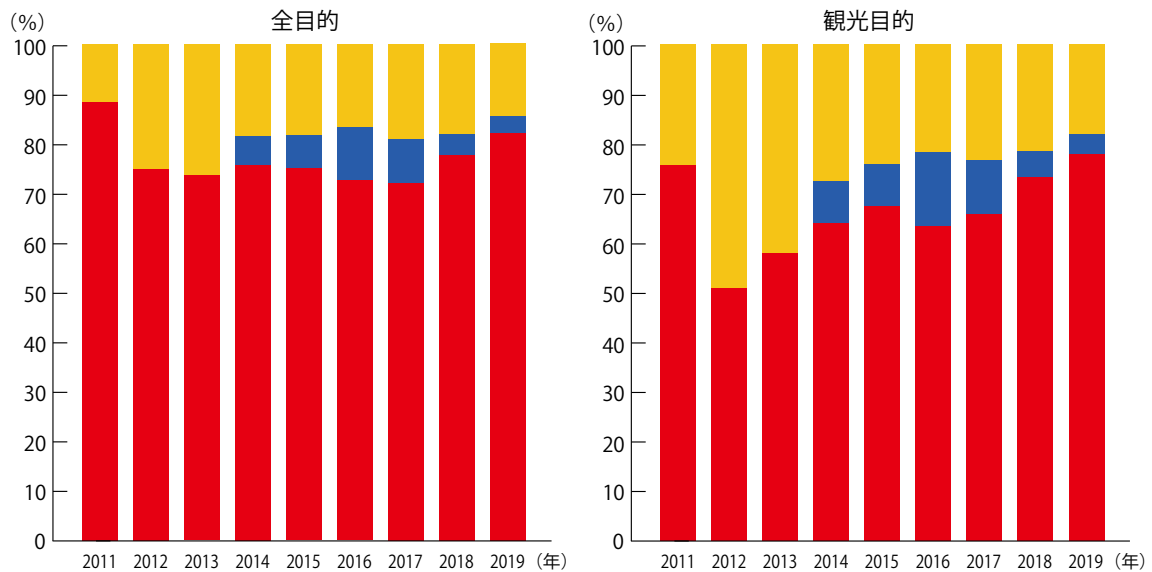
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上1年未満	3.9	5.4	1.3	1.5	1.8	0.7	0.6	0.9	0.8
28~90日間	14.2	7.1	7.2	5.4	4.8	6.0	2.8	3.4	2.6
21~27日間	1.2	1.4	1.8	2.9	1.6	1.5	1.8	0.9	0.5
14~20日間	5.2	7.2	5.3	5.5	4.7	4.8	4.0	3.5	4.9
7~13日間	42.1	31.3	46.6	40.3	45.7	44.3	50.8	51.2	49.8
4~6日間	27.0	41.6	34.6	38.2	36.4	36.7	37.4	34.5	38.0
3日間以内	6.5	6.0	3.3	6.3	4.9	6.1	2.6	5.5	3.5

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上1年未満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
28~90日間	0.0	0.5	1.4	0.7	0.1	0.3	0.0	0.4	0.4
21~27日間	0.0	0.0	0.0	0.8	0.6	0.4	1.2	0.4	0.4
14~20日間	0.0	3.4	3.2	2.4	3.4	5.0	3.2	2.6	3.5
7~13日間	70.5	49.6	63.2	55.6	59.5	58.4	60.9	62.3	59.4
4~6日間	25.8	45.1	32.0	37.4	34.4	33.2	33.9	33.1	34.9
3日間以内	3.7	1.5	0.3	3.0	1.9	2.7	0.7	1.2	1.5

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日マレーシア人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	11.7	25.2	26.5	18.5	18.3	16.7	19.2	18.1	14.6
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.8	6.8	10.8	8.8	4.2	3.5
■ 個別手配	88.3	74.8	73.5	75.7	74.9	72.5	72.0	77.7	82.0

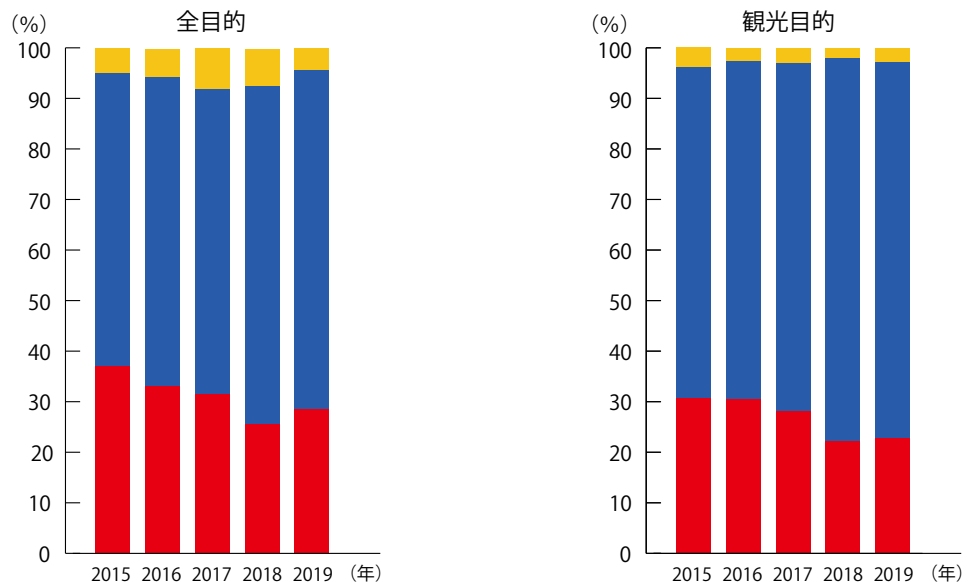
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	24.4	49.1	42.1	27.7	24.2	21.8	23.5	21.7	18.1
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	8.3	8.5	14.9	10.7	5.1	4.0
■ 個別手配	75.6	50.9	57.9	64.0	67.3	63.3	65.8	73.2	77.9

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日マレーシア人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	4.9	5.6	8.2	7.4	4.4
■ ウェブサイトから申し込んだ	58.1	61.1	60.2	66.8	67.2
■ 店頭で申し込んだ	37.0	33.2	31.6	25.7	28.5

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	3.8	2.5	2.9	2.0	2.8
■ ウェブサイトから申し込んだ	65.6	67.0	69.0	75.8	74.3
■ 店頭で申し込んだ	30.7	30.5	28.1	22.2	22.9

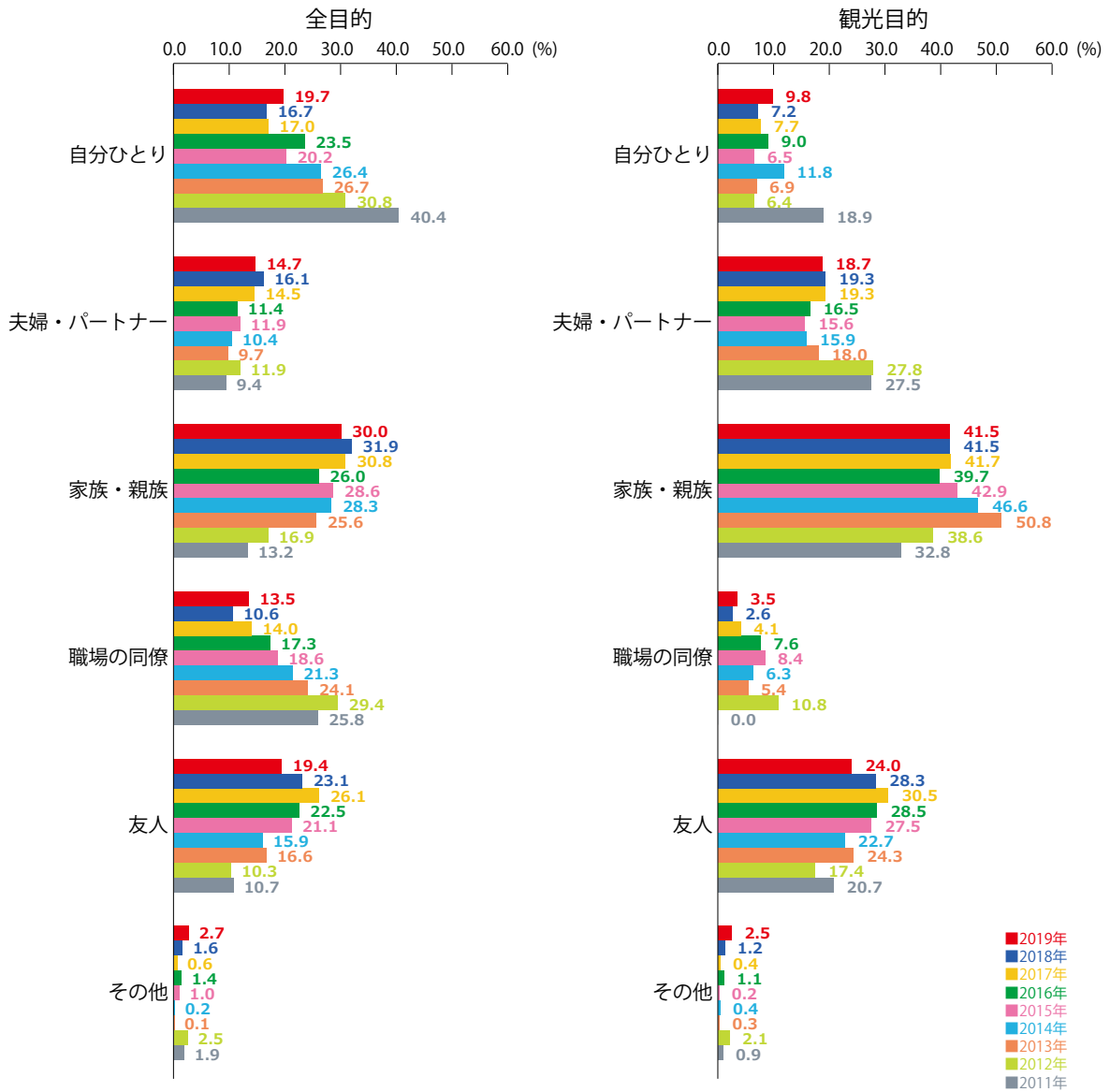
注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(10) 訪日マレーシア人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日マレーシア人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	69.0 67.6 72.3 74.8 73.7	94.6 90.6 96.6 96.5 96.3	62.2 68.6 64.3 75.7 73.4
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	16.5 15.7 19.4 16.7 12.7	29.7 27.8 32.1 31.3 28.8	16.2 22.5 18.0 18.5 17.6
旅館に宿泊	18.8 20.1 21.7 28.0 21.5	21.5 26.4 31.8 34.2 29.0	28.3 31.0 30.4 34.4 32.4
温泉入浴	24.7 24.3 19.6 21.4 20.2	27.0 25.0 24.7 26.3 24.2	42.0 46.3 35.9 33.5 36.6
自然・景勝地観光	51.6 53.4 55.7 50.9 49.9	70.7 68.6 70.9 68.5 66.0	48.8 54.6 55.4 56.5 57.6
繁華街の街歩き	42.7 44.2 47.3 46.6 44.4	71.5 67.5 78.4 74.4 71.9	29.6 33.9 38.0 43.9 48.5
ショッピング	58.3 53.9 59.3 58.0 57.4	84.7 79.4 88.5 85.5 85.5	49.8 51.4 50.7 60.6 61.2
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	20.4 21.1 16.6 14.2 14.1	29.2 30.3 26.9 20.7 23.1	14.9 19.6 20.2 21.6 22.4
テーマパーク	26.3 20.1 21.3 19.6 17.4	26.7 23.7 27.9 23.6 24.6	33.9 26.3 29.9 26.7 29.9
スキー・スノーボード	10.0 8.2 7.2 5.9 5.7	5.3 6.2 4.6 5.3 3.2	32.3 21.8 23.5 20.8 19.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.2 1.2 1.4 2.6 0.7	1.1 0.5 2.1 2.7 0.6	1.6 1.1 7.9 6.7 7.0
舞台・音楽鑑賞	3.4 3.0 4.5 4.7 5.1	5.0 1.9 5.0 5.5 4.6	8.0 7.8 16.2 15.4 17.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.7 1.6 2.2 2.8 2.0	2.2 0.6 1.7 2.0 1.5	6.6 4.0 10.4 11.5 9.8
自然体験ツアー・農漁村体験	9.7 8.8 8.3 8.3 5.7	9.8 9.7 9.2 9.3 6.9	20.4 19.0 21.4 19.2 21.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	21.0 22.2 23.2 18.7 16.7	21.0 21.8 25.6 21.0 21.3	33.0 38.1 42.5 34.7 36.5
映画・アニメ縁の地を訪問	4.6 5.4 5.4 5.2 3.7	4.0 4.5 4.9 5.4 4.5	8.9 7.9 13.4 11.9 10.1
日本の歴史・伝統文化体験	29.6 27.8 22.2 18.9 20.4	39.2 33.1 37.8 29.3 33.8	26.6 24.0 28.3 27.9 38.1
日本の日常生活体験	20.4 19.4 17.5 17.4 17.3	24.9 25.7 29.9 29.4 28.5	18.7 19.2 25.7 26.1 28.2
日本のポップカルチャーを楽しむ	7.4 9.8 8.8 8.7 4.7	10.0 8.9 13.2 15.0 10.4	9.3 8.2 13.2 14.8 12.1
治療・健診	0.7 0.8 1.3 0.8 0.8	0.5 0.6 1.4 2.0 1.2	0.2 0.5 6.0 5.3 3.4
上記には当てはまるものがない	8.9 6.4 10.3 10.4 10.6	0.6 0.1 0.4 0.3 1.0	0.8 0.6 1.5 2.5 1.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	74.7 68.4 79.6 90.7 75.6	94.2 88.8 96.4 96.6 98.0	64.4 70.6 64.8 77.7 75.4
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	17.1 18.0 22.0 17.0 12.2	29.7 30.2 34.2 29.9 30.0	16.0 26.1 13.5 17.9 20.2
旅館に宿泊	21.7 23.0 26.9 32.7 27.9	26.6 30.6 38.2 41.1 38.9	30.8 35.2 34.0 37.9 37.6
温泉入浴	29.9 27.8 25.1 28.0 25.9	33.6 30.3 31.4 33.5 33.0	49.0 53.1 38.2 35.1 41.5
自然・景勝地観光	60.8 60.7 62.1 65.6 60.9	78.8 77.2 82.5 80.9 78.2	48.4 56.4 54.4 63.1 63.5
繁華街の街歩き	48.4 48.5 56.9 57.2 50.4	74.6 70.5 84.2 82.5 80.5	31.6 36.2 41.1 48.5 52.3
ショッピング	64.1 57.3 65.3 68.5 61.6	86.4 81.0 90.5 91.1 88.8	52.9 51.2 52.0 61.3 62.0
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	24.8 23.0 17.4 19.5 14.8	34.7 33.3 29.5 28.1 24.8	14.0 21.4 19.8 24.9 20.6
テーマパーク	31.6 23.7 27.9 28.8 21.7	32.5 27.2 34.7 32.6 31.3	34.3 25.9 32.0 32.3 32.1
スキー・スノーボード	11.4 9.3 9.3 7.3 5.7	6.2 7.3 2.4 6.4 3.4	35.5 22.9 25.3 26.1 22.2
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.2 1.5 1.7 3.5 0.8	1.1 0.5 2.4 3.7 0.5	1.1 0.5 8.8 8.6 7.8
舞台・音楽鑑賞	2.5 3.6 5.5 5.7 5.3	5.3 2.0 5.9 5.8 4.8	7.8 7.7 18.5 16.4 16.8
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.1 1.7 1.5 3.1 1.6	2.0 0.3 2.0 2.7 0.8	6.8 3.9 12.4 14.3 10.4
自然体験ツアー・農漁村体験	11.0 8.9 10.4 11.8 5.5	11.9 11.0 9.5 12.0 7.0	19.0 19.7 23.2 21.9 19.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	25.2 25.5 31.2 23.9 20.9	26.0 23.7 31.4 26.5 26.0	34.6 42.3 45.3 41.1 41.9
映画・アニメ縁の地を訪問	5.1 6.2 7.0 6.0 4.3	4.5 5.2 6.2 5.9 4.4	8.7 6.7 14.7 15.8 10.9
日本の歴史・伝統文化体験	32.3 30.7 26.6 25.5 22.1	41.8 34.9 42.5 34.9 36.9	23.7 21.6 27.6 31.2 40.1
日本の日常生活体験	21.1 21.1 19.2 18.9 16.7	25.3 26.3 31.1 30.3 28.2	17.6 17.0 25.0 28.5 28.6
日本のポップカルチャーを楽しむ	7.4 12.0 9.9 9.9 4.1	10.5 10.3 14.8 16.6 11.3	10.1 9.2 15.3 17.1 12.8
治療・健診	0.5 0.8 1.7 0.9 0.3	0.1 0.5 1.5 1.9 0.6	0.2 0.7 7.0 7.3 2.8
上記には当てはまるものがない	1.1 0.2 2.2 2.2 5.9	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.1 0.2 0.1 0.6 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(12) マレーシア人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	13.3 15.0 20.9 20.1 21.0	17.3 17.3 24.5 27.0 25.4
旅行会社ホームページ	13.8 19.9 17.9 16.2 14.2	16.6 23.8 21.2 21.5 18.4
宿泊施設ホームページ	19.4 18.2 24.1 21.5 16.6	20.8 20.5 26.9 28.1 19.4
航空会社ホームページ	12.6 13.2 16.5 14.3 11.9	12.0 14.4 18.1 17.9 11.2
地方観光協会ホームページ	4.6 7.8 7.3 7.8 6.6	5.6 9.0 10.4 11.6 9.3
宿泊予約サイト	8.4 7.8 11.2 6.8 6.0	9.8 8.9 13.5 9.1 10.0
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	22.2 18.7 19.2 15.2 12.0	25.7 20.3 22.4 16.7 15.1
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	24.7 17.6 12.7 8.7 8.3	28.4 19.6 13.3 10.9 9.1
個人のブログ	22.7 20.7 27.8 19.8 20.9	25.3 24.7 33.6 27.5 26.5
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	23.6 15.9 9.6 5.7 4.7	28.0 17.5 12.2 6.9 4.6
その他インターネット	14.4 8.9 8.0 7.2 8.8	14.4 8.6 6.9 8.3 9.1
日本政府観光局の案内所	2.8 3.0 4.8 5.2 3.9	3.2 3.7 5.7 7.1 5.2
旅行会社パンフレット	8.3 11.1 11.7 9.0 10.2	10.1 13.1 14.1 11.5 15.0
旅行ガイドブック	10.5 11.0 14.3 11.7 14.4	12.5 11.8 16.7 15.0 16.4
自国の親族・知人	23.2 19.2 20.9 17.4 21.8	24.8 20.5 21.7 21.2 20.4
日本在住の親族・知人	13.3 12.9 15.8 19.0 22.0	10.7 7.1 11.8 11.8 12.0
旅行の展示会や見本市	4.1 1.6 2.5 2.6 1.7	4.9 1.4 2.5 3.5 2.4
テレビ番組	5.6 6.0 9.2 8.6 8.2	6.4 7.1 10.1 10.1 9.7
新聞	0.5 1.4 1.5 1.3 3.8	0.6 1.7 2.0 2.1 4.8
旅行専門誌	6.4 9.6 12.2 12.6 10.4	7.8 12.5 14.6 17.6 12.5
その他雑誌	0.3 0.7 1.4 1.2 1.1	0.4 1.0 1.6 1.8 1.2
その他	1.2 0.8 2.4 4.9 4.6	0.7 0.2 2.1 1.7 1.6
特になし	11.8 13.1 12.9 17.2 13.5	8.2 8.8 7.6 10.7 9.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) マレーシア人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	36.0 28.9	40.1 32.3
交通手段	57.0 47.9	61.0 50.5
飲食店	40.2 28.1	44.3 30.5
観光施設	35.4 38.1	42.9 45.4
イベント	6.1 3.5	7.2 3.4
土産物	17.5 15.6	19.5 16.1
買物場所	27.3 22.5	30.2 24.6
無料Wi-Fi	38.7 41.0	36.8 39.6
祈祷室	11.0 9.7	9.4 9.4
ATM	4.5 5.9	4.7 4.9
宅配便	0.9 1.6	0.5 1.3
日本文化体験プログラム	5.7 4.6	6.3 4.6
自然体験ツアー・農山漁村体験	5.3 5.7	5.5 6.3
通訳案内士・観光ガイド	5.3 4.5	5.4 5.4
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	4.0 8.2	4.7 9.7
クレジットカード利用可能店舗	5.8 5.3	5.7 5.0
その他	1.5 0.7	1.6 0.7
特になし	10.9 14.5	7.7 11.8

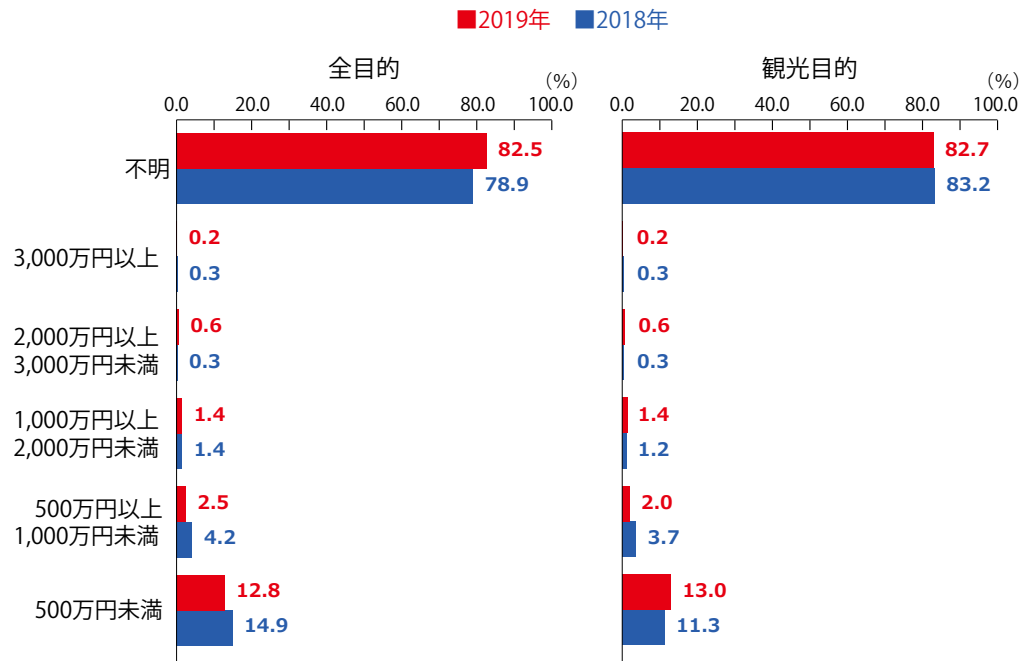
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

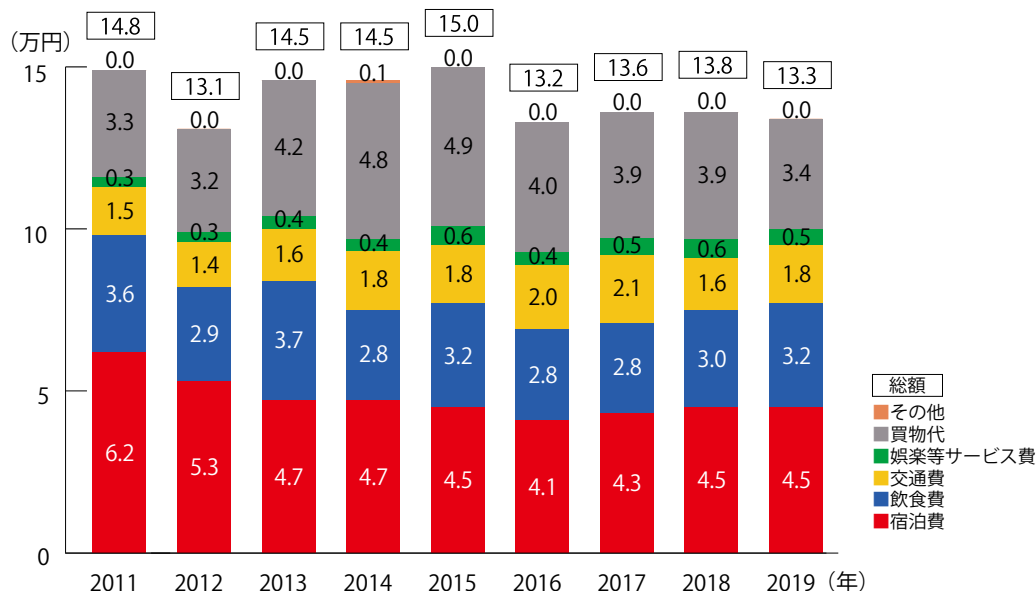
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日マレーシア人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日マレーシア人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往復した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日マレーシア人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	1,515	133,259	998	132,715	
滞在日数	3日間以内	58	62,591	18	42,049
	4～6日間	581	110,607	352	116,857
	7～13日間	740	138,528	584	139,097
	14～20日間	73	166,713	35	204,846
	21～27日間	7	136,356	4	218,896
	28～90日間	43	283,122	5	211,462
	91日間以上1年未満	13	506,116	0	-
性・年代	男性	767	132,289	418	134,293
	15～19歳	14	93,044	13	92,404
	20～29歳	204	123,242	136	122,498
	30～39歳	287	147,411	147	141,556
	40～49歳	158	123,486	61	140,063
	50～59歳	75	127,605	36	148,368
	60～69歳	26	129,108	22	138,141
	70歳以上	3	172,568	3	172,568
	女性	748	134,203	580	131,629
	15～19歳	20	103,014	17	106,826
	20～29歳	227	128,780	182	119,403
	30～39歳	255	138,486	199	136,804
	40～49歳	141	134,564	104	131,339
	50～59歳	73	149,904	50	167,899
60～69歳	30	120,816	27	123,376	
70歳以上	2	91,754	1	188,908	
日本への 来訪回数	1回目	610	121,530	467	123,720
	2回目	312	128,869	240	135,758
	3回目	161	132,508	106	133,392
	4回目	111	158,363	70	158,592
	5回目	64	159,091	27	159,221
	6～9回目	86	134,229	43	120,658
	10～19回目	95	163,922	34	163,534
	20回目以上	76	150,474	11	155,754

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日マレーシア人の購入者単価 (2019年)

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	217	164,263	182	166,124	
	個人旅行向けパッケージ商品	51	128,937	40	126,345	
	往復航空(船舶)運賃	1,247	64,529	776	56,453	
日本滞在中の支出	宿泊料金	1,166	48,408	772	43,072	
	飲食費	1,328	30,087	877	27,661	
	交通費	1,255	17,325	818	16,999	
	航空(日本国内移動のみ)	30	16,263	17	15,894	
	Japan Rail Pass	174	21,386	157	20,375	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	1,041	10,074	674	9,917	
	バス	440	4,608	268	3,317	
	タクシー	264	7,985	144	5,942	
	レンタカー	93	24,320	81	21,769	
	船舶(日本国内移動のみ)	3	666	3	666	
	その他交通費	23	22,968	14	13,981	
	娯楽等サービス費	602	10,530	497	9,995	
	現地ツアー・観光ガイド	71	9,745	62	9,263	
	ゴルフ場	3	10,996	1	6,151	
	テーマパーク	271	10,081	239	10,061	
	舞台・音楽鑑賞	16	9,966	11	7,452	
	スポーツ観戦	12	32,704	5	34,251	
	美術館・博物館・動物園・水族館	268	4,654	226	4,182	
	スキー場リフト	37	10,436	30	10,358	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	63	2,656	52	2,705	
	マッサージ・医療費	11	10,427	6	4,287	
	展示会・コンベンション参加費	8	2,470	6	2,614	
	レンタル料(レンタカーを除く)	22	7,164	19	7,818	
	その他娯楽等サービス費	15	10,786	12	12,632	
	買物代	1,463	34,627	976	34,902	
	菓子類	828	9,205	563	8,374	
	酒類	155	8,137	109	6,148	
	生鮮農産物	72	6,080	53	3,311	
	その他食料品・飲料・たばこ	644	9,756	412	9,354	
	化粧品・香水	406	14,041	326	14,132	
	医薬品	217	9,123	178	9,898	
	健康グッズ・トイレタリー	141	9,337	115	9,502	
	衣類	580	15,562	424	14,362	
靴・かばん・革製品	400	17,692	305	17,116		
電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	67	27,411	42	20,697		
時計・フィルムカメラ	118	24,533	76	23,748		
宝石・貴金属	15	15,989	13	18,476		
民芸品・伝統工芸品	130	7,925	102	6,615		
本・雑誌・ガイドブックなど	60	4,234	41	3,487		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	22	17,262	17	13,783		
その他買物代	133	19,099	80	18,123		
その他	3	38,550	2	32,319		

注1: 購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2: 新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典: 観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成



## (18) 訪日マレーシア人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買い物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	51.6 56.3 55.6 52.7 61.5	58.3 61.4 60.1 61.0 71.9
家電量販店	13.4 14.7 16.3 13.3 17.2	14.0 14.2 14.7 12.6 16.2
ファッション専門店	19.8 18.9 21.7 22.0 24.8	23.1 23.2 24.1 24.0 29.3
100円ショップ	25.0 23.1 28.1 28.5 26.6	27.1 25.3 26.5 30.5 26.8
高速道路のSA・道の駅	3.2 2.6 4.3 3.5 2.7	4.0 3.2 4.9 2.9 4.2
観光地の土産店	37.5 37.4 42.7 35.1 42.8	45.4 41.5 47.0 42.9 51.1
宿泊施設	3.5 3.8 6.9 5.2 9.1	4.7 4.7 7.5 6.5 12.0
スーパーマーケット	50.8 51.7 51.8 46.7 52.5	52.2 53.8 50.5 48.5 54.7
コンビニエンスストア	72.4 63.7 66.4 57.4 58.5	74.8 68.0 64.8 62.1 61.4
ドラッグストア	42.9 39.7 41.9 31.6 26.6	50.6 50.0 48.3 38.6 32.9
ディスカウントストア	16.6 11.5 11.2 9.8 11.8	18.4 13.5 12.3 10.7 14.6
アウトレットモール	20.4 19.5 27.7 24.3 28.9	23.9 23.9 30.2 30.0 35.7
都心の複合商業施設	12.4 13.2 9.1 8.7 8.9	14.2 14.0 9.1 10.7 10.6
その他ショッピングセンター	14.3 12.1 17.9 16.6 17.3	16.2 13.7 19.7 16.1 18.6
鉄道駅構内の店舗	8.6 8.2 10.5 10.5 12.3	11.4 9.3 11.4 13.4 14.8
空港の免税店	52.5 53.3 56.8 53.8 57.9	51.9 52.3 54.2 54.5 59.6
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.5 0.7	0.6 0.9
その他	4.5 4.0 2.8 2.0 2.2	4.3 3.3 3.3 1.4 2.5
買い物はしなかった	2.2 1.6 1.3 3.0 2.0	1.0 0.8 1.2 1.0 0.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日マレーシア人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	44.8 48.0
消費税免税の手続きをしていない	55.2 52.0

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	14.8 17.6
酒類	2.5 2.7
生鮮農産物	0.5 0.5
その他食料品・飲料・たばこ	5.5 7.7
化粧品・香水	14.8 18.3
医薬品	7.7 10.7
健康グッズ・トイレタリー	5.2 6.0
衣類	18.3 17.0
靴・かばん・革製品	14.5 14.6
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	2.5 1.6
時計・フィルムカメラ	4.5 6.1
宝石・貴金属	0.7 0.5
民芸品・伝統工芸品	1.0 1.0
本・雑誌・ガイドブックなど	0.3 0.4
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.3 0.6
その他買物代	2.1 2.2

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日マレーシア人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：％

	全目的	観光目的
現金	98.5 98.6	99.2 99.2
クレジットカード	53.3 52.3	54.9 51.6
交通系ICカード（Suica等）	16.6 10.0	18.4 10.6
その他ICカード（Edy等）	0.2 0.0	0.1 0.0
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	2.8 1.5	2.7 1.7
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.4 0.0	0.3 0.0
仮想通貨（BitCoin等）	0.1 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.9 0.4	1.0 0.5
その他	0.1 0.1	0.0 0.1
お金は全く使わなかった	0.1 0.3	0.0 0.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(21) 訪日マレーシア人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
東京都	1位	49.2	54.5	58.4	55.7	51.5	43.0	39.9	44.1	48.6	
大阪府	2位	22.5	23.8	27.2	39.4	57.4	46.9	48.9	48.1	39.8	
千葉県	3位	14.7	16.9	23.2	17.1	58.0	52.5	44.2	39.5	34.7	
京都府	4位	12.1	13.5	19.2	28.1	34.0	28.3	32.3	33.2	27.9	
北海道	5位	2.8	11.9	16.1	9.5	7.1	14.9	24.9	21.1	15.0	
奈良県	6位	1.8	1.4	2.3	3.7	5.3	4.4	8.8	11.9	11.8	
山梨県	7位	4.6	7.8	11.6	5.6	5.4	4.0	6.2	8.5	9.5	
福岡県	8位	5.7	3.9	4.5	2.0	1.4	1.6	0.7	0.7	8.3	
兵庫県	9位	5.2	3.1	3.3	7.4	11.4	6.2	7.4	8.8	8.1	
神奈川県	10位	11.7	11.2	11.3	11.9	7.9	6.1	5.3	7.6	6.7	
愛知県	11位	10.0	4.8	6.9	12.5	6.7	3.8	3.7	3.4	3.5	
岐阜県	12位	1.2	1.4	1.5	4.4	3.3	3.7	2.8	2.3	3.4	
静岡県	13位	7.7	4.4	4.4	7.5	6.3	5.2	3.9	3.7	3.2	
長野県	14位	2.3	1.3	0.3	1.6	3.2	2.1	2.8	1.0	2.5	
熊本県	15位	1.2	0.4	1.4	0.5	0.2	0.3	0.5	0.1	2.3	
広島県	16位	2.3	2.5	1.9	2.3	1.2	2.2	1.8	1.4	2.1	
石川県	17位	0.6	0.3	0.4	2.0	2.2	1.2	2.2	1.6	1.8	
大分県	18位	0.4	0.5	1.7	0.8	0.3	0.5	0.2	0.2	1.7	
埼玉県	19位	2.9	0.7	3.4	1.4	0.9	1.7	1.3	1.1	1.6	
新潟県	20位	1.2	0.2	1.0	1.0	1.2	1.1	0.8	0.5	1.6	
栃木県	21位	3.1	3.1	2.7	2.9	1.1	2.1	1.5	2.0	1.6	
滋賀県	22位	0.4	0.7	0.3	1.0	1.4	1.7	0.6	1.5	1.5	
茨城県	23位	1.6	2.2	1.3	2.2	1.3	0.8	1.0	0.8	1.2	
富山県	24位	0.6	0.5	0.6	1.7	1.6	0.9	0.6	1.1	1.2	
群馬県	25位	0.6	0.8	0.9	1.0	0.9	0.5	0.3	0.9	0.9	
長崎県	26位	0.2	1.6	0.8	0.6	0.2	0.2	0.0	0.2	0.8	
岡山県	27位	2.2	0.7	1.0	0.4	0.6	1.0	1.3	0.5	0.7	
宮崎県	28位	1.1	0.0	0.5	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.6	
三重県	29位	2.5	1.1	0.6	1.2	1.4	0.3	0.4	0.6	0.5	
和歌山県	30位	0.8	1.1	1.0	0.5	0.7	0.6	0.6	0.6	0.5	
香川県	31位	0.2	0.2	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	0.1	0.5	
愛媛県	32位	0.0	0.6	0.0	0.5	0.1	0.4	0.3	0.1	0.5	
鳥取県	33位	0.2	1.2	0.3	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1	0.5	
鹿児島県	34位	0.6	0.0	0.5	0.1	0.3	0.0	0.1	0.1	0.4	
青森県	35位	0.0	0.5	0.8	0.3	0.1	0.3	0.2	0.2	0.3	
高知県	36位	0.0	0.2	0.4	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.2	
宮城県	37位	1.2	0.8	1.2	0.5	0.4	0.8	0.9	0.8	0.2	
山形県	38位	0.4	0.4	0.4	0.0	0.0	0.1	0.0	0.5	0.2	
佐賀県	39位	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.2	
秋田県	40位	1.1	0.0	0.5	0.0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2	
徳島県	41位	0.2	0.2	0.0	0.4	0.2	0.2	0.0	0.2	0.2	
福井県	42位	1.0	0.2	0.0	0.1	0.1	0.0	0.3	0.5	0.2	
福島県	43位	1.0	0.7	0.8	0.3	0.2	0.3	0.4	0.6	0.1	
島根県	44位	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	
山口県	45位	2.8	0.5	0.1	0.4	0.5	0.0	0.0	0.3	0.1	
沖縄県	46位	1.2	0.9	0.4	0.3	0.2	0.4	0.4	0.0	0.1	
岩手県	47位	0.0	0.6	1.0	0.2	0.2	0.3	0.1	0.0	0.1	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日マレーシア人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	235,080 (24.2%)	291,450 (26.8%)	379,870 (27.9%)
北海道	2位	269,020 (27.7%)	259,680 (23.9%)	242,490 (17.8%)
大阪府	3位	147,590 (15.2%)	161,800 (14.9%)	217,410 (16.0%)
京都府	4位	53,920 (5.5%)	52,520 (4.8%)	93,320 (6.9%)
千葉県	5位	50,440 (5.2%)	57,710 (5.3%)	79,770 (5.9%)
神奈川県	6位	19,910 (2.0%)	24,410 (2.2%)	26,970 (2.0%)
山梨県	7位	27,440 (2.8%)	39,620 (3.6%)	38,230 (2.8%)
静岡県	8位	16,090 (1.7%)	14,890 (1.4%)	19,960 (1.5%)
岐阜県	9位	20,590 (2.1%)	24,260 (2.2%)	25,780 (1.9%)
愛知県	10位	21,110 (2.2%)	24,500 (2.3%)	27,560 (2.0%)
福岡県	11位	9,310 (1.0%)	12,770 (1.2%)	43,980 (3.2%)
宮城県	12位	1,300 (0.1%)	1,780 (0.2%)	3,750 (0.3%)
長野県	13位	13,030 (1.3%)	18,410 (1.7%)	18,440 (1.4%)
兵庫県	14位	11,710 (1.2%)	11,410 (1.0%)	11,450 (0.8%)
新潟県	15位	2,380 (0.2%)	2,850 (0.3%)	4,100 (0.3%)
石川県	16位	10,070 (1.0%)	16,710 (1.5%)	15,450 (1.1%)
大分県	17位	3,380 (0.3%)	4,450 (0.4%)	9,220 (0.7%)
広島県	18位	4,250 (0.4%)	5,970 (0.5%)	8,680 (0.6%)
栃木県	19位	2,220 (0.2%)	4,190 (0.4%)	3,560 (0.3%)
沖縄県	20位	12,540 (1.3%)	12,120 (1.1%)	20,060 (1.5%)
滋賀県	21位	5,730 (0.6%)	4,260 (0.4%)	3,620 (0.3%)
群馬県	22位	1,880 (0.2%)	2,010 (0.2%)	2,990 (0.2%)
熊本県	23位	2,970 (0.3%)	4,820 (0.4%)	14,280 (1.0%)
長崎県	24位	2,070 (0.2%)	1,780 (0.2%)	6,680 (0.5%)
山形県	25位	680 (0.1%)	1,490 (0.1%)	2,190 (0.2%)
青森県	26位	730 (0.1%)	2,130 (0.2%)	3,100 (0.2%)
福島県	27位	360 (0.0%)	760 (0.1%)	1,380 (0.1%)
茨城県	28位	1,720 (0.2%)	2,310 (0.2%)	1,250 (0.1%)
岡山県	29位	4,240 (0.4%)	2,510 (0.2%)	2,520 (0.2%)
富山県	30位	3,670 (0.4%)	3,550 (0.3%)	3,500 (0.3%)
埼玉県	31位	1,790 (0.2%)	2,270 (0.2%)	2,870 (0.2%)
岩手県	32位	580 (0.1%)	1,020 (0.1%)	1,280 (0.1%)
三重県	33位	4,490 (0.5%)	4,720 (0.4%)	7,360 (0.5%)
山口県	34位	490 (0.1%)	490 (0.0%)	460 (0.0%)
鹿児島県	35位	1,550 (0.2%)	2,730 (0.3%)	4,650 (0.3%)
秋田県	36位	410 (0.0%)	550 (0.1%)	730 (0.1%)
香川県	37位	590 (0.1%)	710 (0.1%)	850 (0.1%)
和歌山県	38位	2,150 (0.2%)	1,880 (0.2%)	1,890 (0.1%)
高知県	39位	80 (0.0%)	140 (0.0%)	450 (0.0%)
福井県	40位	450 (0.0%)	780 (0.1%)	730 (0.1%)
佐賀県	41位	580 (0.1%)	510 (0.0%)	1,500 (0.1%)
鳥取県	42位	660 (0.1%)	880 (0.1%)	1,000 (0.1%)
島根県	43位	160 (0.0%)	210 (0.0%)	260 (0.0%)
愛媛県	44位	660 (0.1%)	1,050 (0.1%)	1,690 (0.1%)
奈良県	45位	1,490 (0.2%)	1,930 (0.2%)	2,260 (0.2%)
徳島県	46位	410 (0.0%)	550 (0.1%)	480 (0.0%)
宮崎県	47位	420 (0.0%)	720 (0.1%)	2,200 (0.2%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数 [人泊 (構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	63,320 (27.4%)	7,640 (38.8%)	90,730 (35.5%)
北海道	2位	47,310 (20.5%)	240 (1.2%)	45,840 (17.9%)
大阪府	3位	32,190 (13.9%)	1,200 (6.1%)	45,530 (17.8%)
京都府	4位	13,310 (5.8%)	470 (2.4%)	17,370 (6.8%)
千葉県	5位	15,220 (6.6%)	5,910 (30.0%)	12,070 (4.7%)
神奈川県	6位	3,990 (1.7%)	700 (3.6%)	6,240 (2.4%)
山梨県	7位	4,740 (2.1%)	40 (0.2%)	3,700 (1.4%)
静岡県	8位	2,070 (0.9%)	220 (1.1%)	3,440 (1.3%)
岐阜県	9位	4,400 (1.9%)	220 (1.1%)	2,800 (1.1%)
愛知県	10位	6,020 (2.6%)	320 (1.6%)	2,780 (1.1%)
福岡県	11位	6,980 (3.0%)	210 (1.1%)	2,690 (1.1%)
宮城県	12位	1,700 (0.7%)	70 (0.4%)	2,130 (0.8%)
長野県	13位	3,740 (1.6%)	140 (0.7%)	2,110 (0.8%)
兵庫県	14位	2,140 (0.9%)	70 (0.4%)	2,090 (0.8%)
新潟県	15位	1,030 (0.4%)	180 (0.9%)	1,830 (0.7%)
石川県	16位	3,380 (1.5%)	50 (0.3%)	1,820 (0.7%)
大分県	17位	1,190 (0.5%)	30 (0.2%)	1,240 (0.5%)
広島県	18位	1,080 (0.5%)	80 (0.4%)	810 (0.3%)
栃木県	19位	760 (0.3%)	70 (0.4%)	800 (0.3%)
沖縄県	20位	5,050 (2.2%)	90 (0.5%)	770 (0.3%)
滋賀県	21位	760 (0.3%)	80 (0.4%)	680 (0.3%)
群馬県	22位	530 (0.2%)	60 (0.3%)	610 (0.2%)
熊本県	23位	1,980 (0.9%)	300 (1.5%)	610 (0.2%)
長崎県	24位	1,060 (0.5%)	70 (0.4%)	600 (0.2%)
山形県	25位	1,140 (0.5%)	40 (0.2%)	550 (0.2%)
青森県	26位	650 (0.3%)	380 (1.9%)	490 (0.2%)
福島県	27位	400 (0.2%)	40 (0.2%)	490 (0.2%)
茨城県	28位	120 (0.1%)	10 (0.1%)	430 (0.2%)
岡山県	29位	370 (0.2%)	40 (0.2%)	410 (0.2%)
富山県	30位	460 (0.2%)	40 (0.2%)	400 (0.2%)
埼玉県	31位	260 (0.1%)	60 (0.3%)	380 (0.1%)
岩手県	32位	280 (0.1%)	90 (0.5%)	360 (0.1%)
三重県	33位	440 (0.2%)	180 (0.9%)	300 (0.1%)
山口県	34位	100 (0.0%)	20 (0.1%)	290 (0.1%)
鹿児島県	35位	940 (0.4%)	10 (0.1%)	280 (0.1%)
秋田県	36位	250 (0.1%)	10 (0.1%)	270 (0.1%)
香川県	37位	50 (0.0%)	10 (0.1%)	230 (0.1%)
和歌山県	38位	210 (0.1%)	50 (0.3%)	220 (0.1%)
高知県	39位	40 (0.0%)	0 (0.0%)	200 (0.1%)
福井県	40位	90 (0.0%)	20 (0.1%)	190 (0.1%)
佐賀県	41位	160 (0.1%)	10 (0.1%)	190 (0.1%)
鳥取県	42位	120 (0.1%)	0 (0.0%)	150 (0.1%)
島根県	43位	110 (0.0%)	30 (0.2%)	150 (0.1%)
愛媛県	44位	210 (0.1%)	90 (0.5%)	140 (0.1%)
奈良県	45位	330 (0.1%)	20 (0.1%)	130 (0.1%)
徳島県	46位	80 (0.0%)	20 (0.1%)	60 (0.0%)
宮崎県	47位	250 (0.1%)	20 (0.1%)	60 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

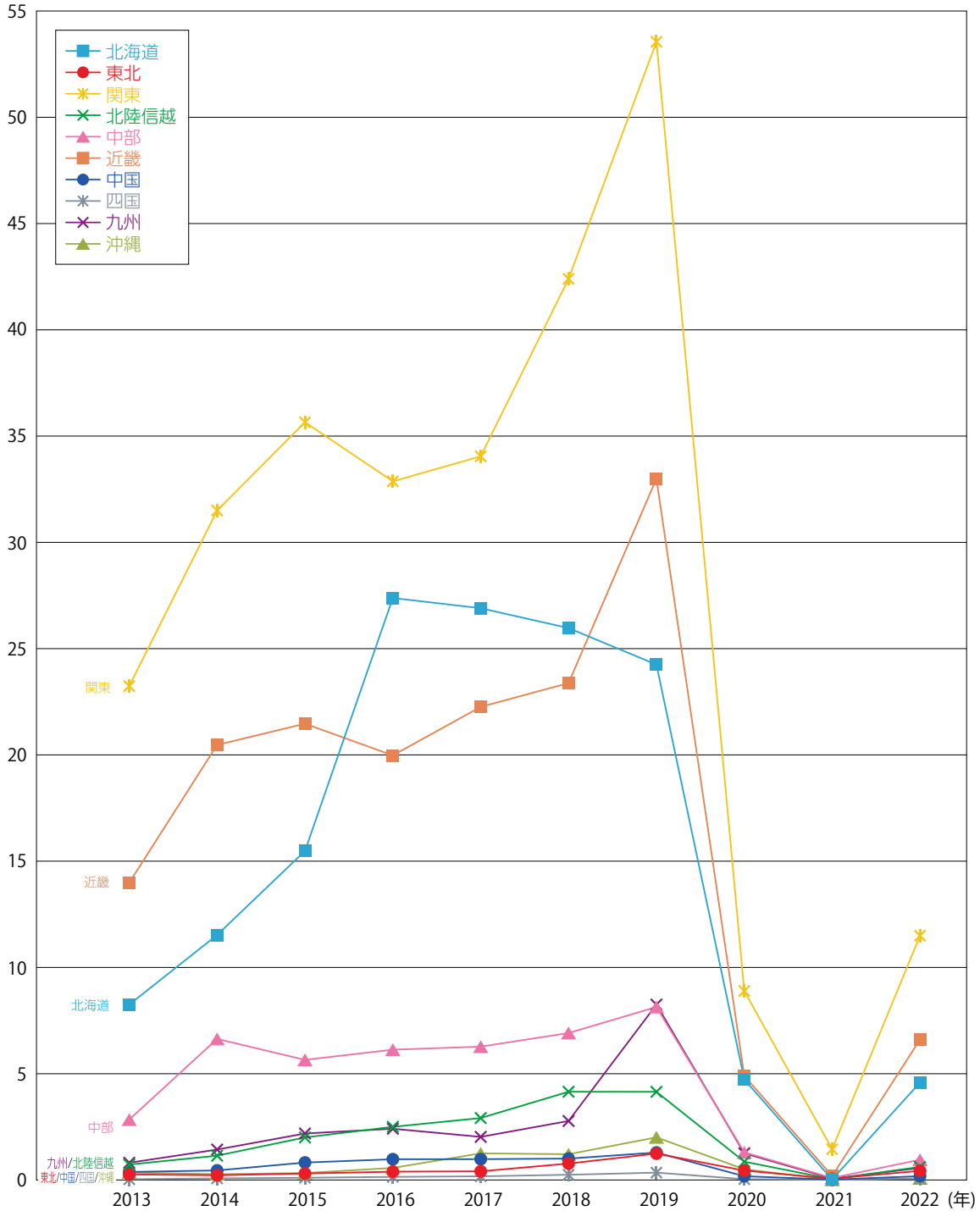
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (23) 訪日マレーシア人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	82,520	115,280	154,810	273,830	269,020	259,680	242,490	47,310	240	45,840
東北	2,620	2,220	3,050	3,910	4,070	7,740	12,430	4,430	640	4,300
関東	232,400	314,980	356,510	328,710	340,480	423,980	535,520	88,940	14,490	114,940
北陸信越	7,260	11,440	20,020	25,000	29,150	41,520	41,480	8,620	410	6,160
中部	28,420	66,370	56,520	61,310	62,730	69,150	81,390	13,010	950	9,520
近畿	139,880	204,700	214,680	199,770	222,590	233,800	329,950	48,950	1,900	66,020
中国	3,780	4,490	8,210	9,760	9,800	10,060	12,920	1,780	180	1,810
四国	350	740	1,050	1,470	1,740	2,460	3,470	380	120	620
九州	8,110	14,320	21,870	24,110	20,280	27,760	82,520	12,570	650	5,660
沖縄	3,530	2,710	3,280	5,670	12,540	12,120	20,060	5,050	90	770

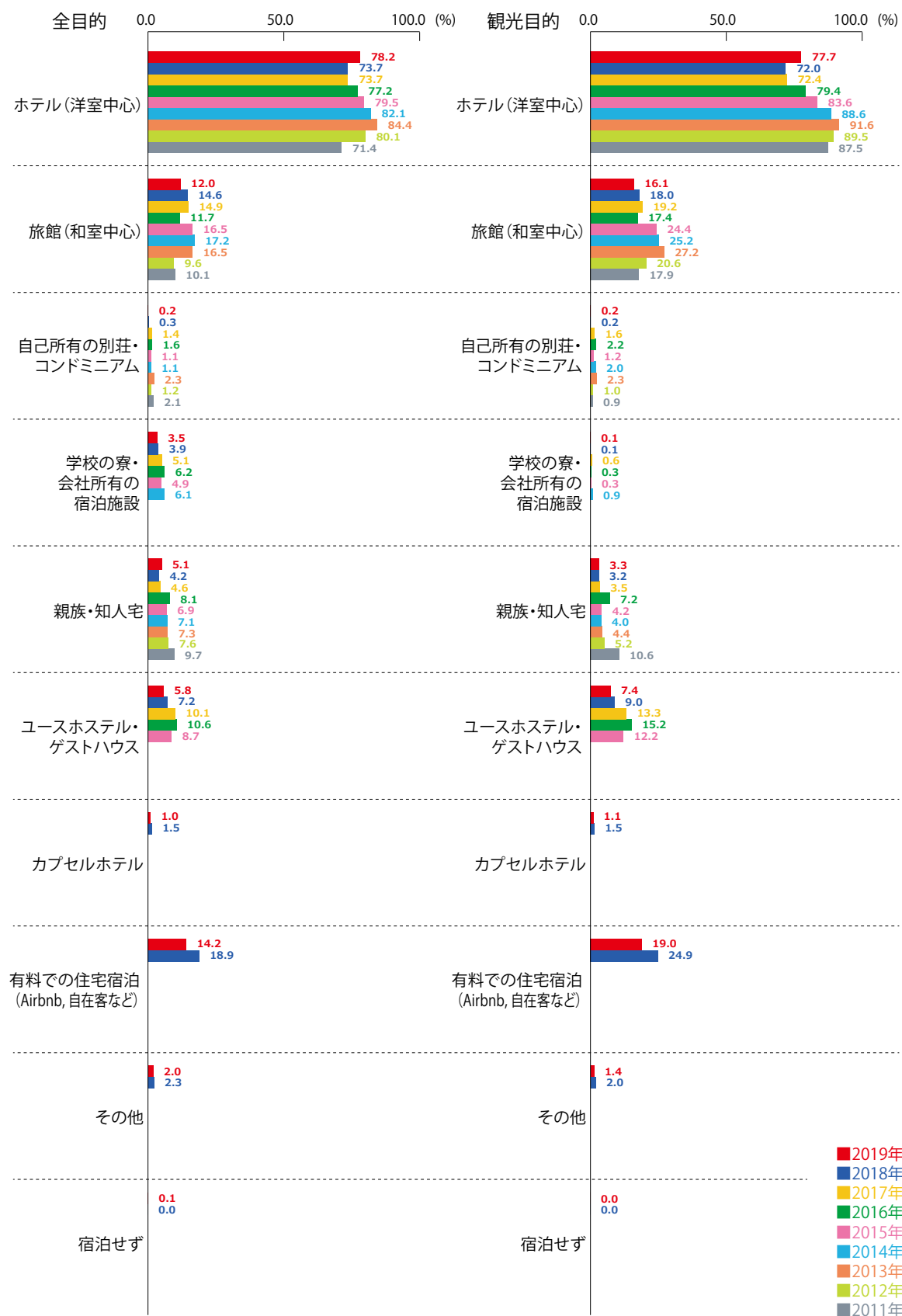
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

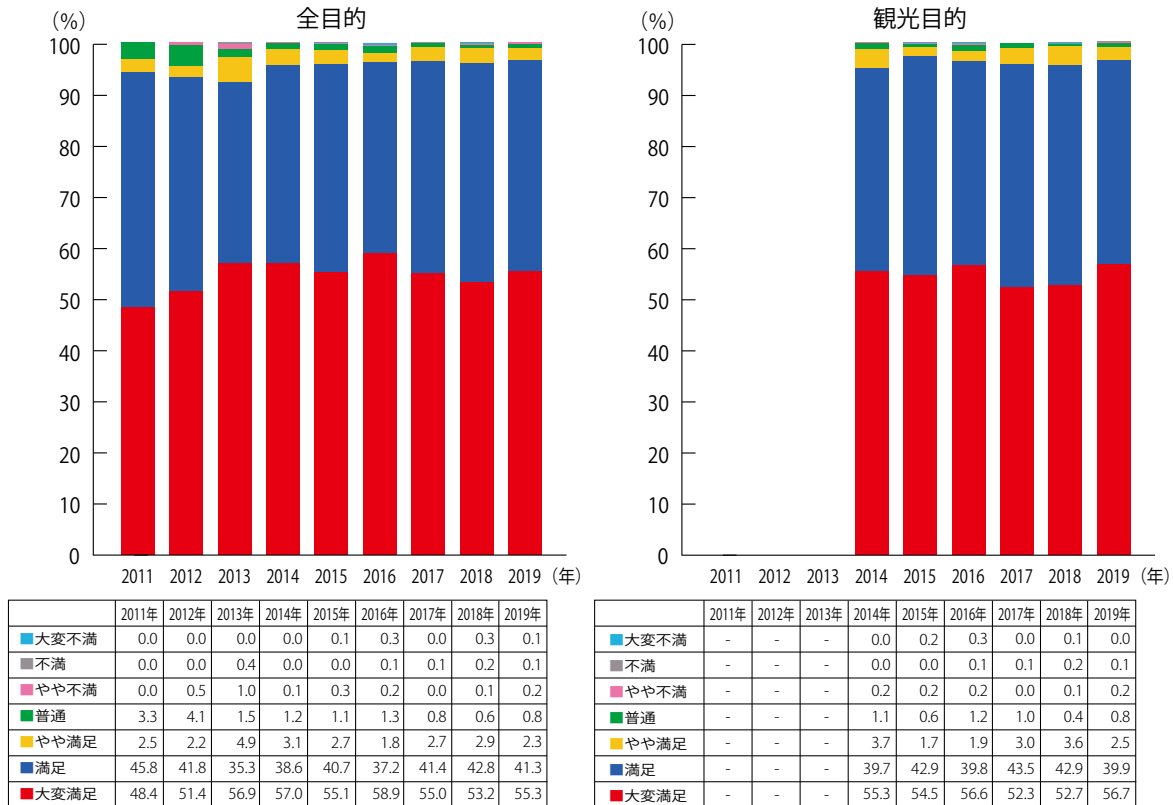
(24) 訪日マレーシア人が利用した宿泊施設 (2011年~2019年)



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (25) マレーシア人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

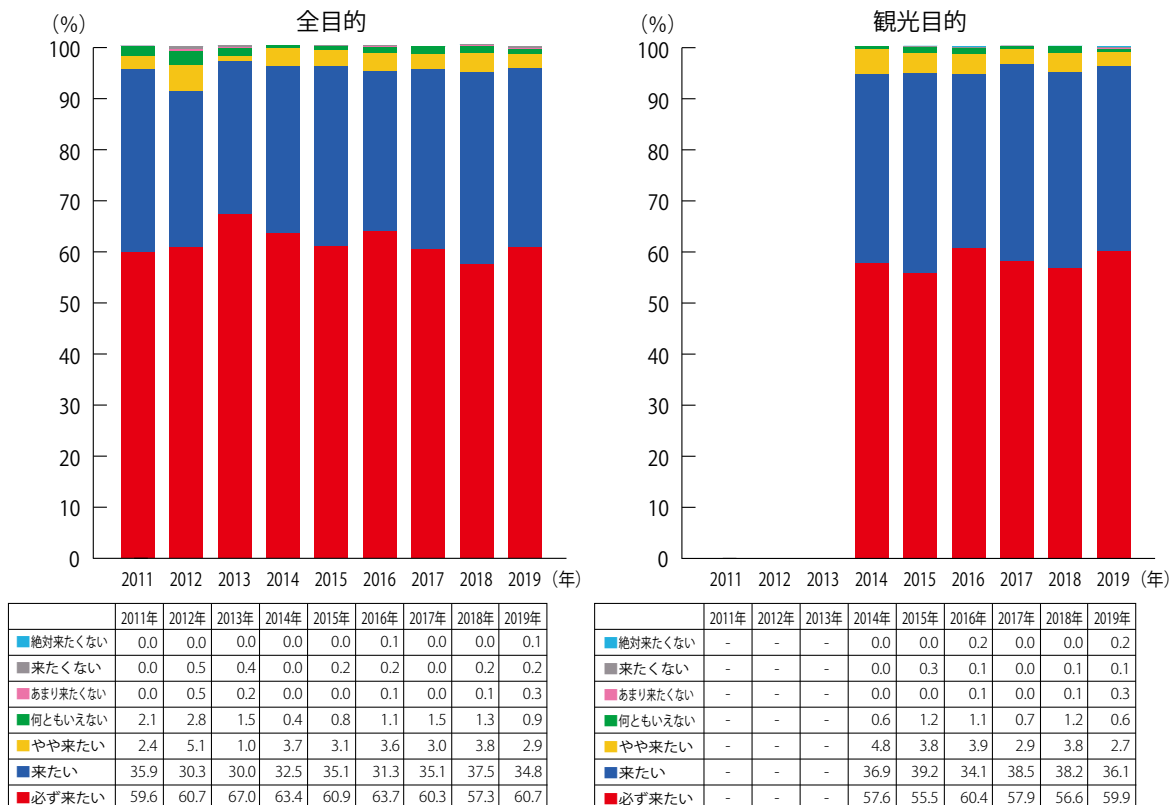


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日マレーシア人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# インドネシア

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

ジャワ人 (40.2%)、スンダ人 (15.5%)、バンジャール人 (4.0%)、マドゥラ人 (3.0%) など  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

### (2) 宗教別構成

イスラム教 (86.69%)、キリスト教 (10.72%) (プロテスタント 7.60%、カトリック 3.12%)、  
ヒンドゥー教 (1.74%)、仏教 (0.77%)、儒教 (0.03%)、その他 (0.04%)  
出典：インドネシア宗教省統計 (2019年)

### (3) 使用言語

インドネシア語が国語・公用語  
インドネシア全土には700以上の言語がある。(数は諸説あり)  
インドネシア語が全土でほぼ通用する。

#### 【言語別人口の割合】

ジャワ語 (31.9%)、インドネシア語 (20.0%)、スンダ語 (15.2%)

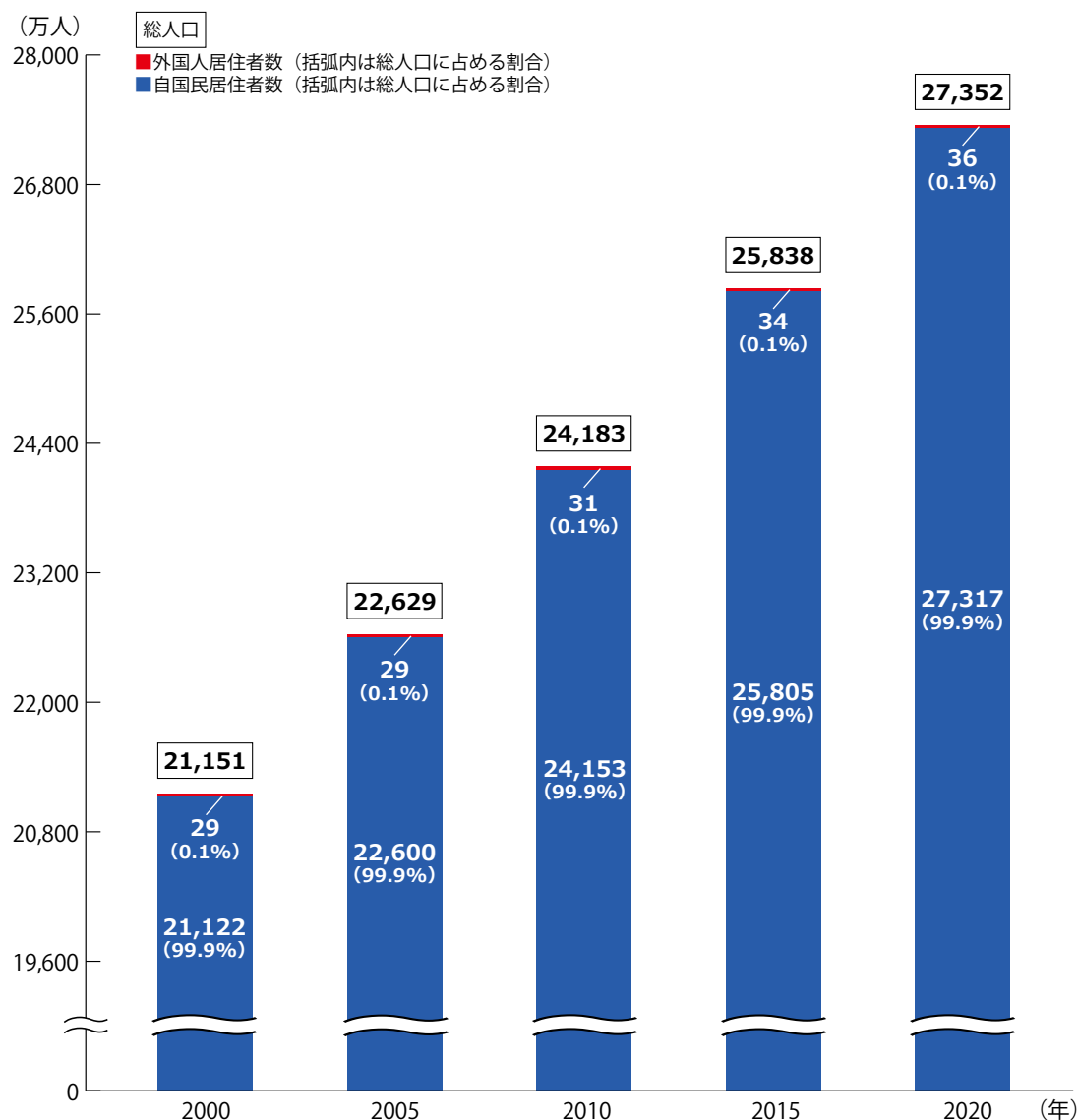
#### 【地方の有力言語】

ジャワ語、スンダ語、マドゥラ語、ミナンカバウ語、ムシ語、マナド (ミナハサ) 語、ブギス語、  
バンジャール語、アチェ語、バリ語、ベタウイ語など  
出典：日本政府観光局 (JNTO)、総務省統計局「世界の統計2023」

### (4) 面積

191万931km<sup>2</sup> (日本の5.1倍弱)  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

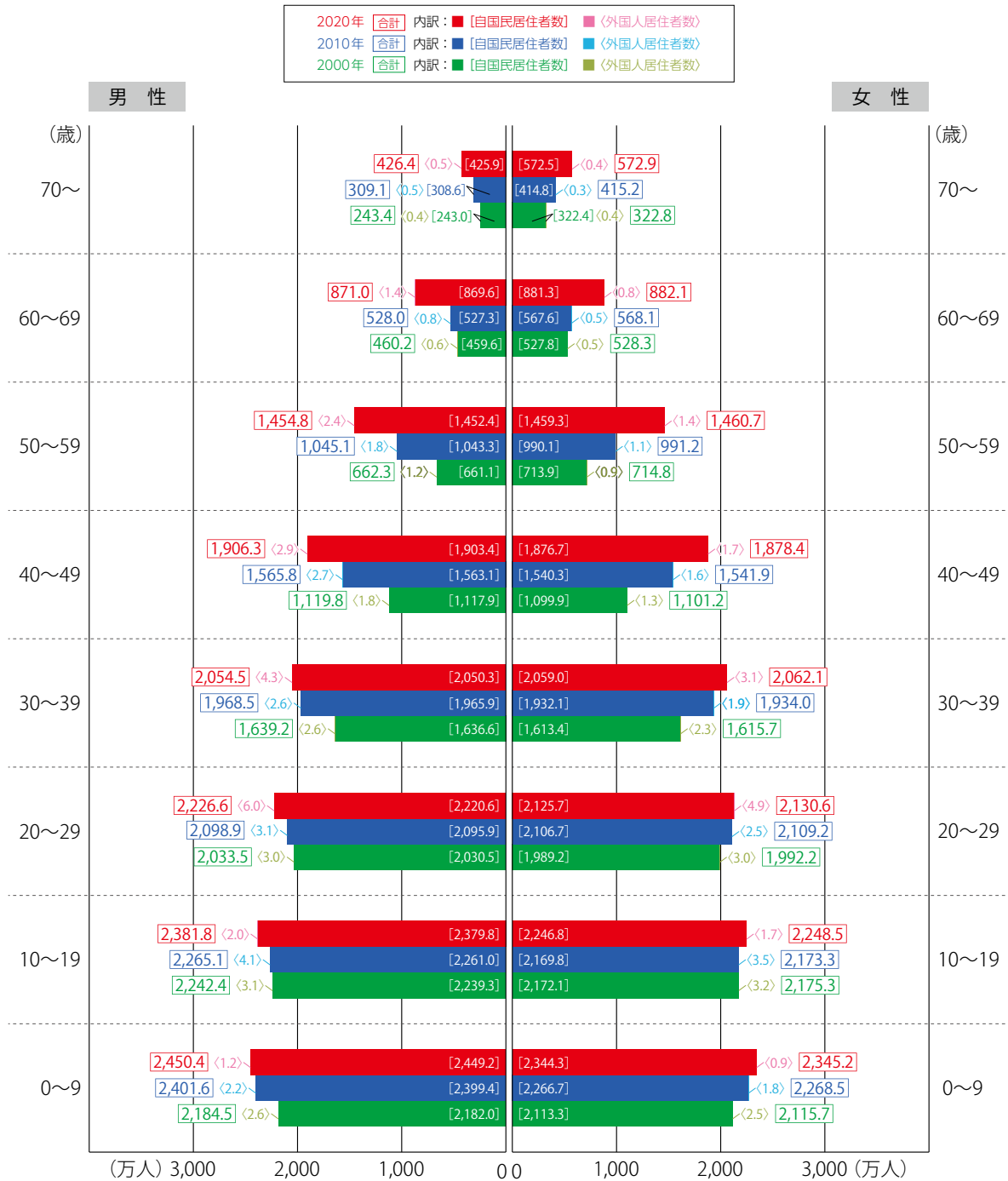
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：インドネシアの外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

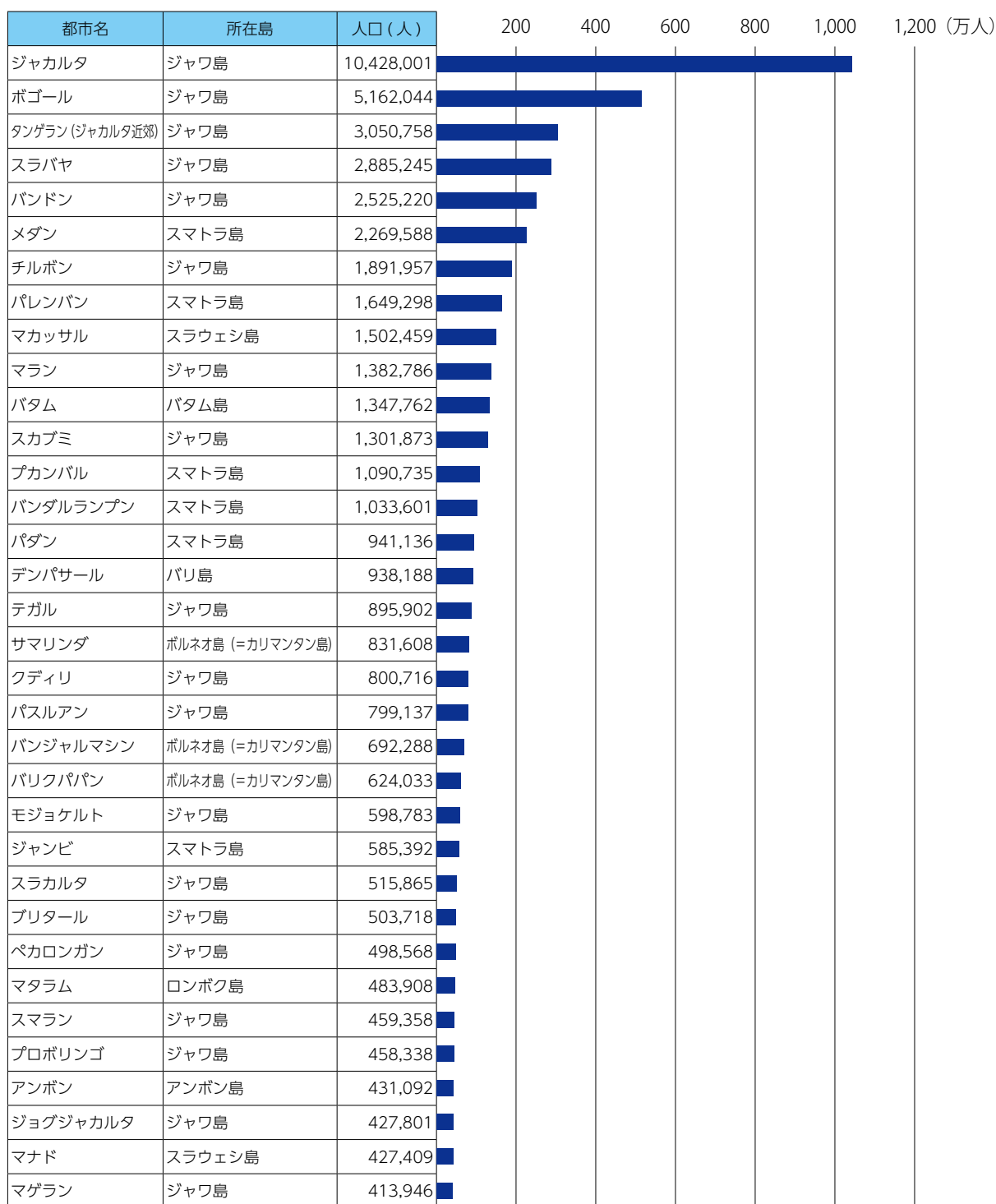
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2018年の推計値である。  
出典：国際連合（2020年）

## (8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)
※イムレック (旧正月)	1月22日 (日)	2月10日 (土)
※ムハマッド昇天祭	2月18日 (土)	2月8日 (木)
※ニューピ (サカ暦新年)	3月22日 (水)	3月11日 (月)
※キリスト受難日 (グッド・フライデー)	4月7日 (金)	3月29日 (金)
※イドゥル・フィトリ (断食明け大祭)	4月22日 (土) ~ 4月23日 (日)	4月10日 (水) ~ 4月11日 (木)
メーデー	5月1日 (月)	5月1日 (水)
※ワイサク (仏教大祭)	5月6日 (土)	5月23日 (木)
※キリスト昇天祭	5月18日 (木)	5月9日 (木)
パンチャシラの日 (インドネシア建国5原則の日)	6月1日 (木)	6月1日 (土)
※イドゥル・アドハ (メッカ巡礼最終日)	6月29日 (木)	6月17日 (月)
※イスラム暦新年	7月19日 (水)	7月7日 (日)
インドネシア共和国独立記念日	8月17日 (木)	8月17日 (土)
※ムハンマド生誕祭	9月27日 (水)	9月15日 (日)
クリスマス	12月25日 (月)	12月25日 (水)
政令指定休日	1月23日 (日) 3月23日 (木) 4月21日 (金) 4月24日 (月) ~ 4月26日 (水) 6月2日 (金) 12月26日 (火)	4月8日 (月) ~ 4月9日 (火) 4月12日 (金) 12月24日 (火)

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：インドネシアには振替休日の制度がない。

注3：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：インドネシア政府政令等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
小学校	7歳～13歳 (6年間)	年末年始休暇	12月下旬～1月上旬 の約2週間	公立学校では2023年12月16日～ 2024年1月1日
		※ラマダン休暇	ラマダン（断食月） の時期に1週間程度	2024年3月11日～3月13日
		※レバラン休暇 (断食明け休暇)	イドゥル・フィトリ の時期に1週間～ 2週間程度	2024年4月4日～4月16日（想定）
		年度替わり休暇	6月中旬～7月上旬の 約2週間	公立学校では2024年6月22日～ 7月6日
中学校	13歳～16歳 (3年間)	年末年始休暇	12月下旬～1月上旬 の約2週間	公立学校では2023年12月16日～ 2024年1月1日
		※ラマダン休暇	ラマダン（断食月） の時期に1週間程度	2024年3月11日～3月13日
		※レバラン休暇 (断食明け休暇)	イドゥル・フィトリ の時期に1週間～ 2週間程度	2024年4月4日～4月16日（想定）
		年度替わり休暇	6月中旬～7月上旬の 約2週間	公立学校では2024年6月22日～ 7月6日
高校	16歳～19歳 (3年間)	年末年始休暇	12月下旬～1月上旬 の約2週間	公立学校では2023年12月16日～ 2024年1月1日
		※ラマダン休暇	ラマダン（断食月） の時期に1週間程度	2024年3月11日～3月13日
		※レバラン休暇 (断食明け休暇)	イドゥル・フィトリ の時期に1週間～ 2週間程度	2024年4月4日～4月16日（想定）
		年度替わり休暇	6月中旬～7月上旬の 約2週間	公立学校では2024年6月22日～ 7月6日
総合大学	19歳～23歳 (4年間)	年末年始休暇	12月下旬～2月上旬 の約1か月	国立大学では2023年12月23日～ 2024年2月4日
		※ラマダン休暇	ラマダン（断食月） の時期に1週間程度	2024年3月11日～3月13日
		※レバラン休暇 (断食明け休暇)	イドゥル・フィトリ の時期に1週間～ 2週間程度	2024年4月10日～4月11日
		年度替わり休暇	6月中旬～8月下旬の 約2か月	2024年の日程は、2023年8月末時点で 未定 2023年の場合、国立大学の休暇期間は、 6月17日～8月27日

学校年度	7月～翌年6月
義務教育	小学校（6年間）＋中学校（3年間）＝9年間

注：※印の休暇は年によって変動する。

出典：インドネシア現地の諸情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		・法定労働時間のみ定められている（労働法第77条）。 ・一般的に土曜日、日曜日が休日である。
有給休暇日数	12日（勤続1年以上 の被雇用者）	労働法 第79条	慶弔休暇、病気休暇、宗教上の義務に基づく休暇等とは区 別されている。
定年退職	59歳	労働法	・労働法第154条で、労働協約や就業規則に明記された定 年退職年齢が解雇理由として認められるとされている。 ・労働法第167条で、年金受給を理由とする解雇が認めら れている。 ・左記は公的年金制度における年金支給開始年齢。3年に1 回、1歳ずつ引き上げられており、将来的には65歳まで 引き上げられる予定。

出典：日本国厚生労働省、国際労働機関（ILO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	77.9
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	64.2
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	43.1
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	26.6
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	24.8
デスティナシアン (Destinasian.co.id)	ウェブサイト	旅行情報発信	24.7
コンパス (Kompas)	ウェブサイト	ニュース発信	19.5
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	18.9
デティック (Detik)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	16.8
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	15.6
リプタン6 (リプタンシックス) (Liputan6)	ウェブサイト	ニュース発信	13.2
トゥリブンニュース (Tribun News)	ウェブサイト	ニュース発信	10.7
オッケーション (Okezone)	ウェブサイト	ニュース発信	10.4
ライン (LINE)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	9.0

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

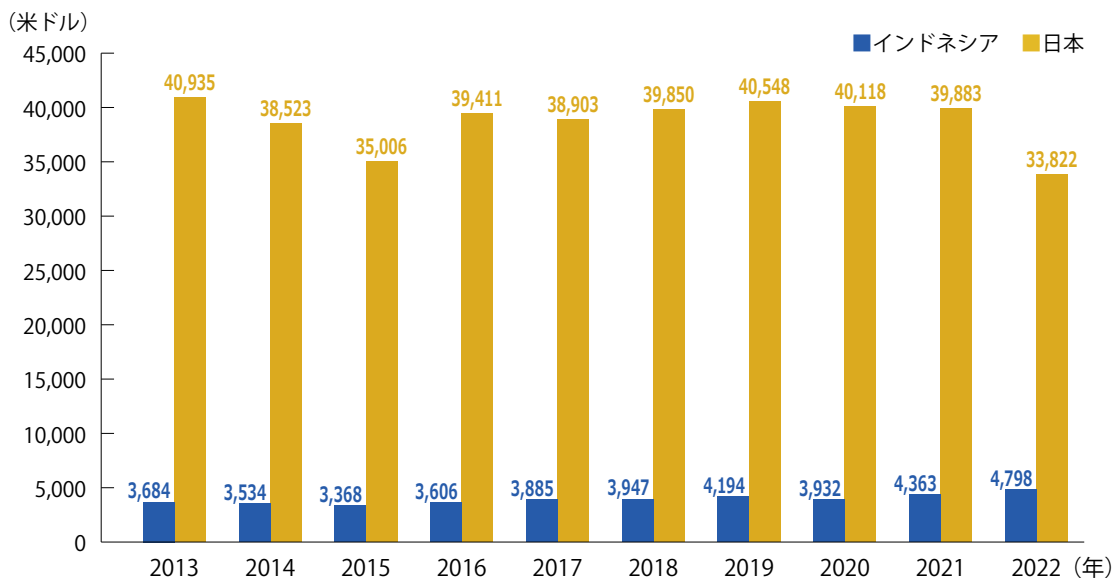
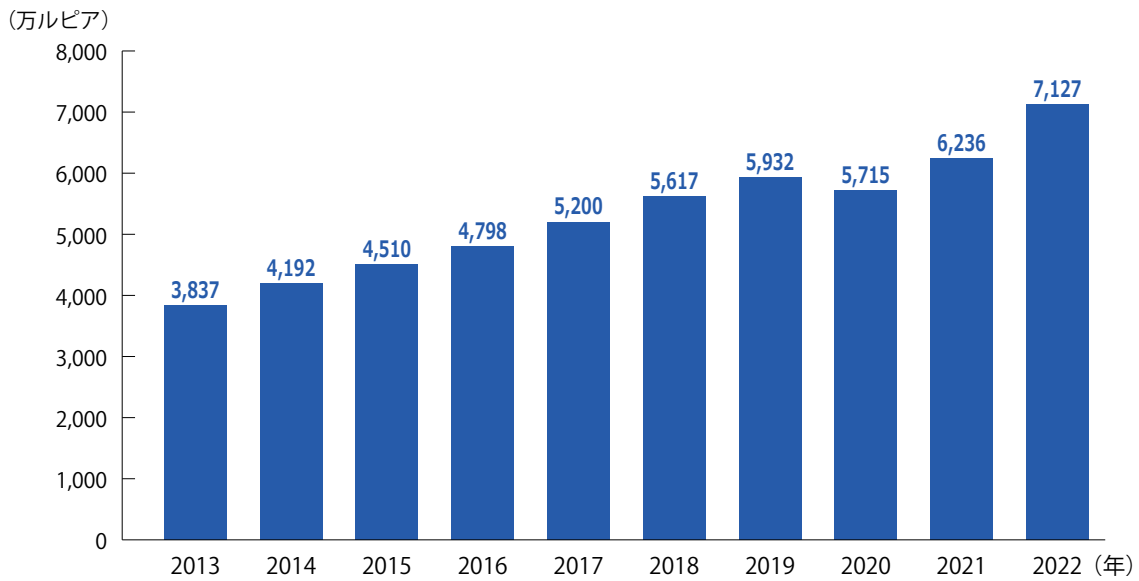
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

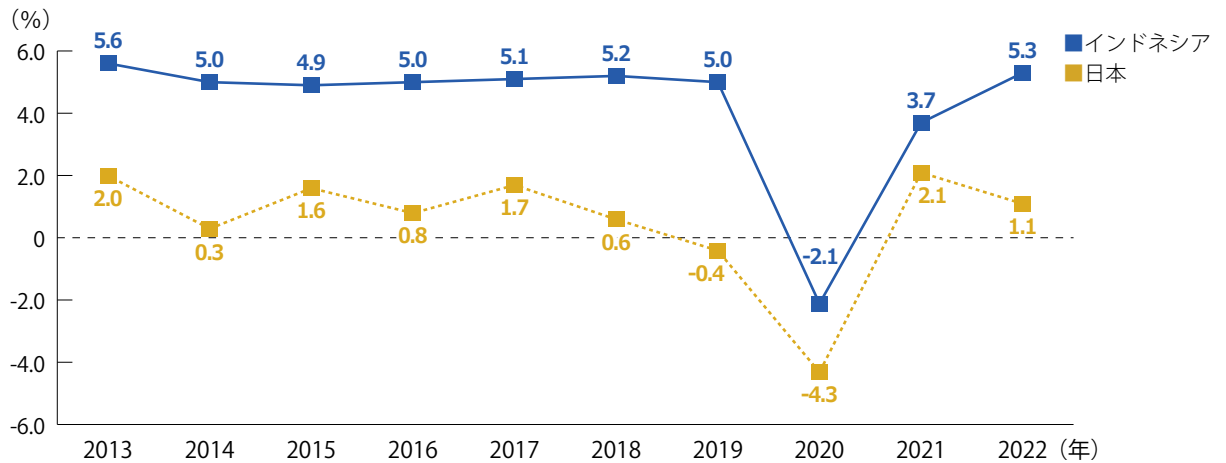


(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

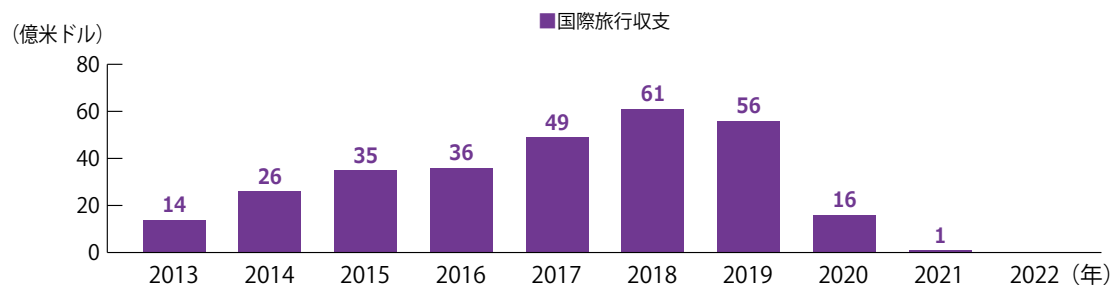
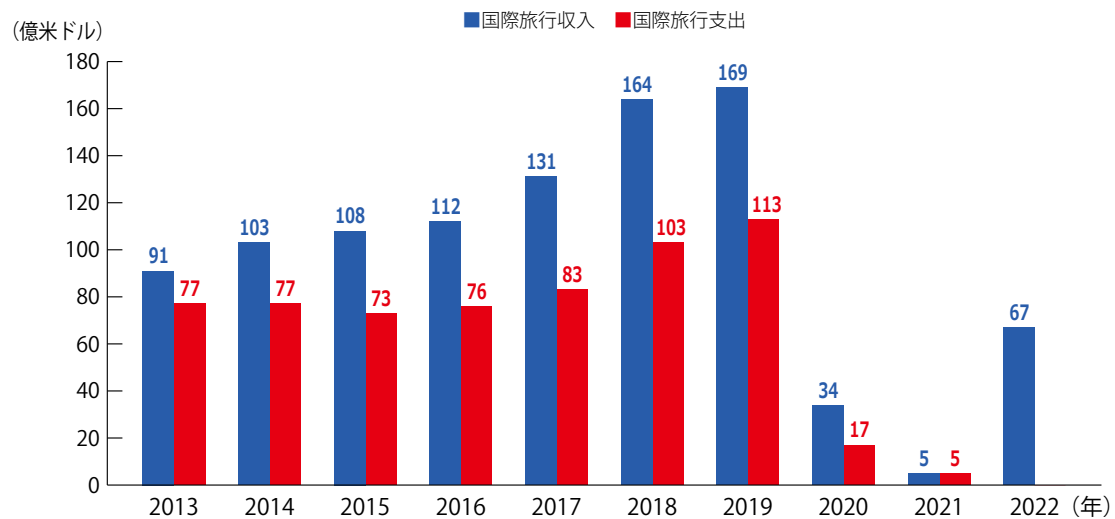
## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）

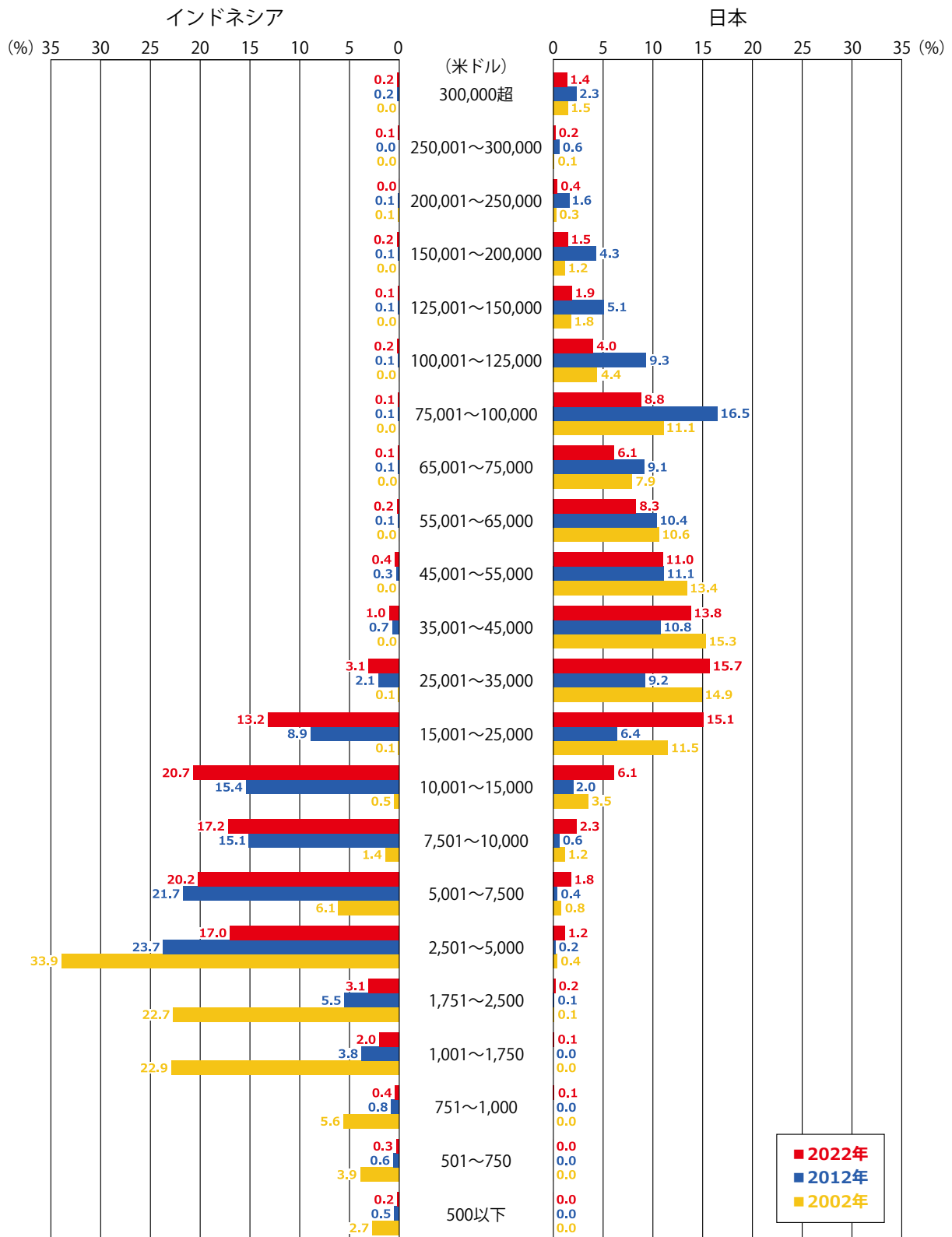


注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。

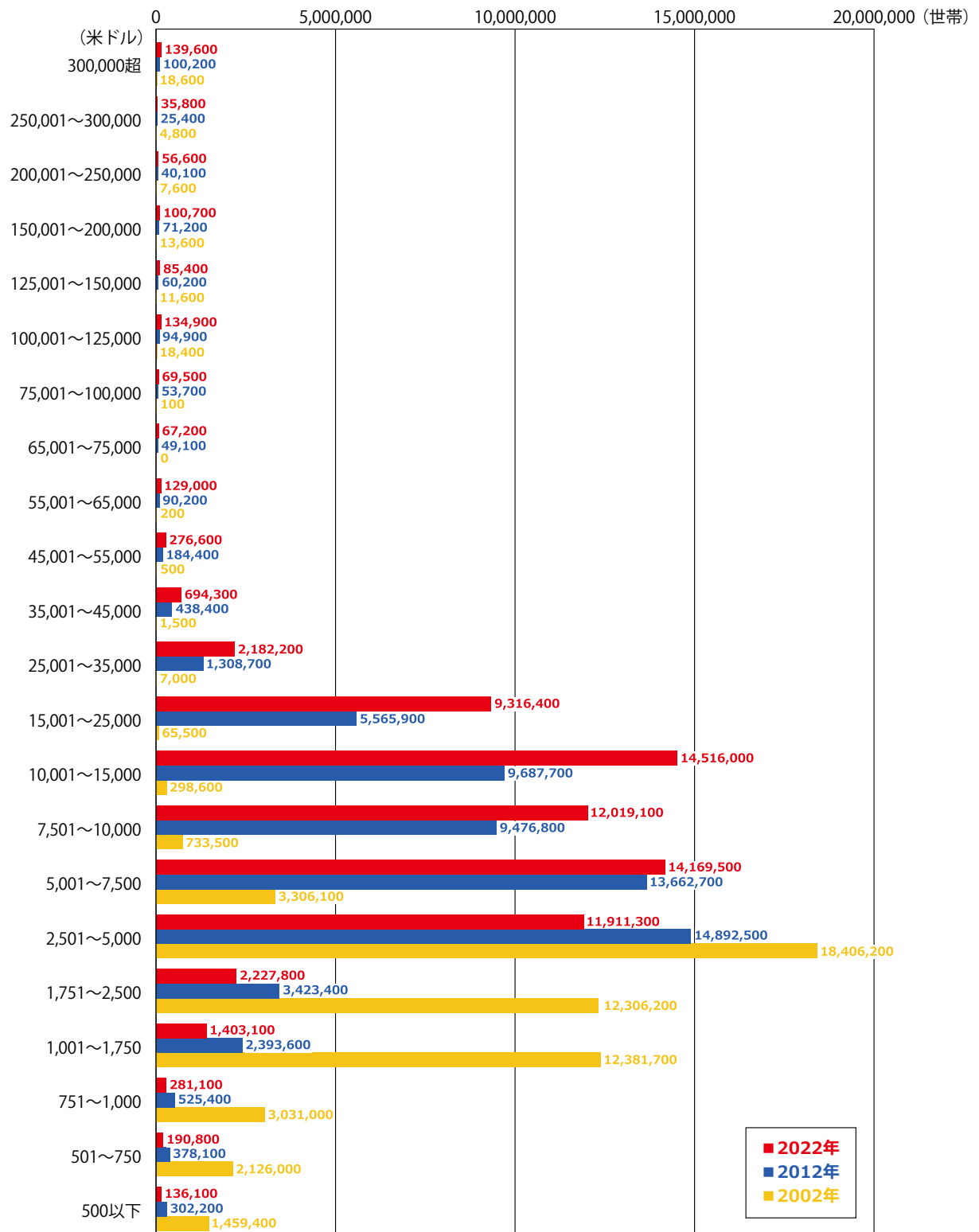
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



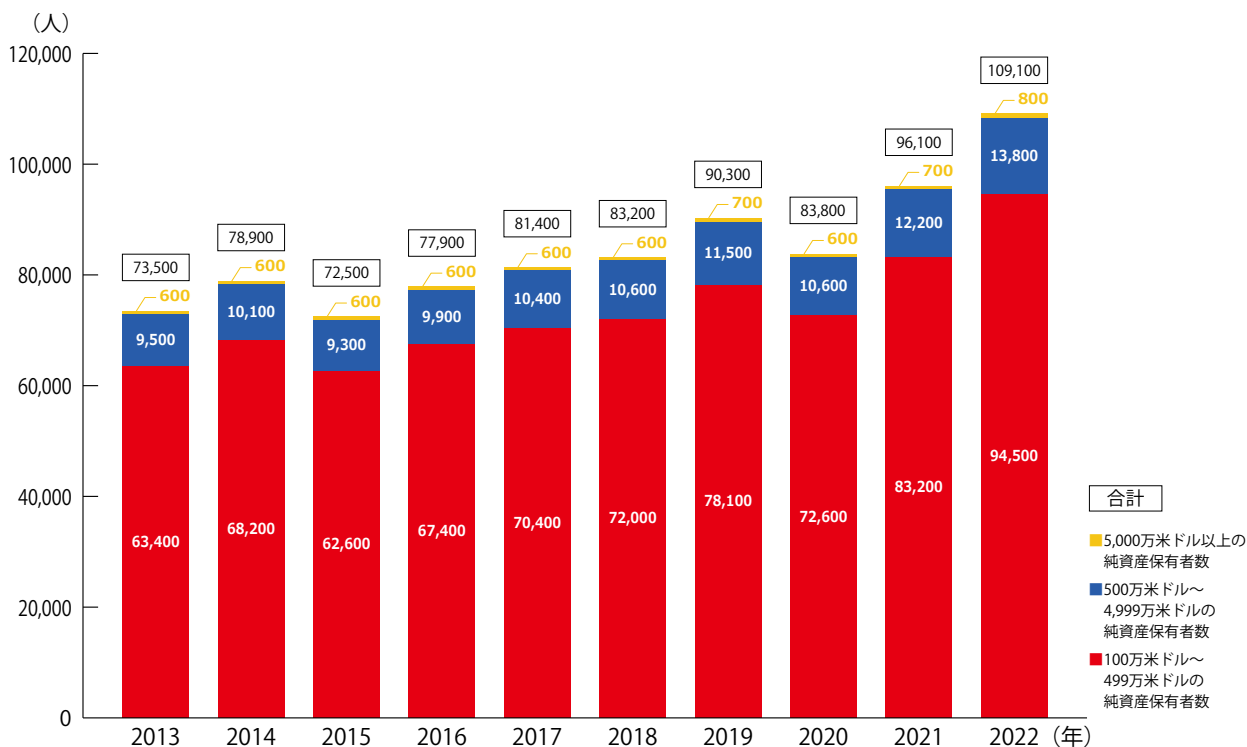
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

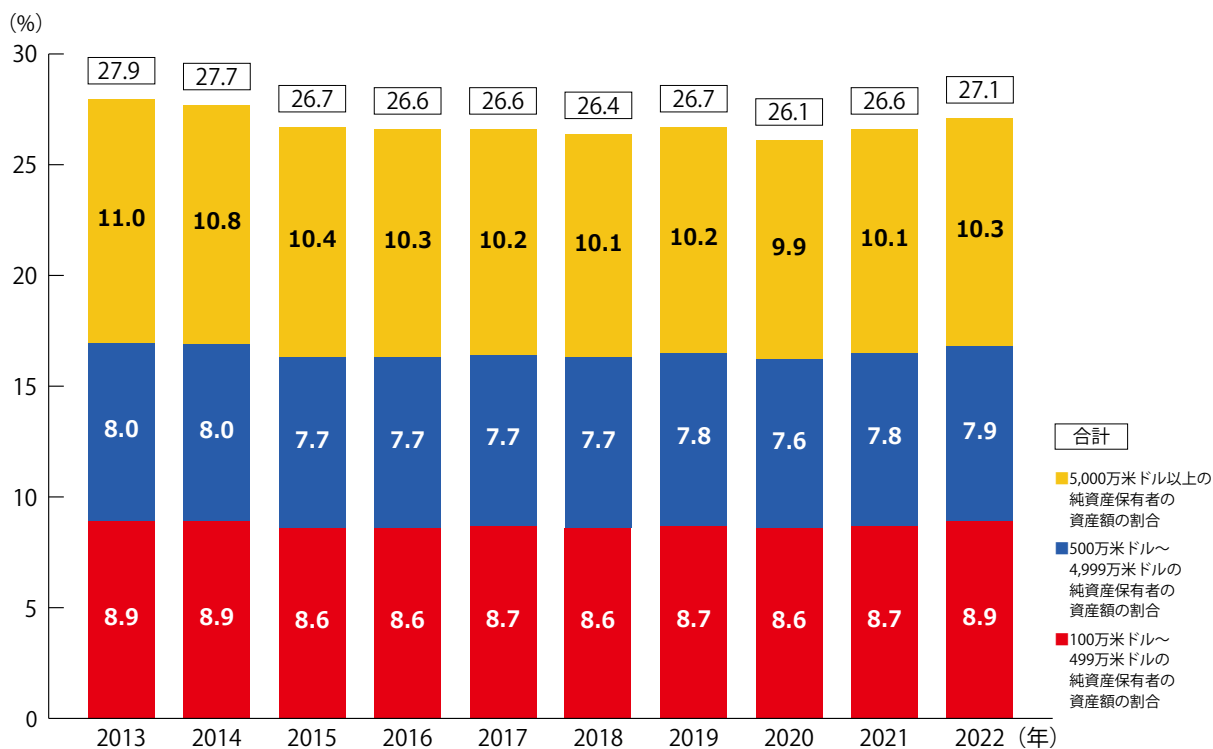
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

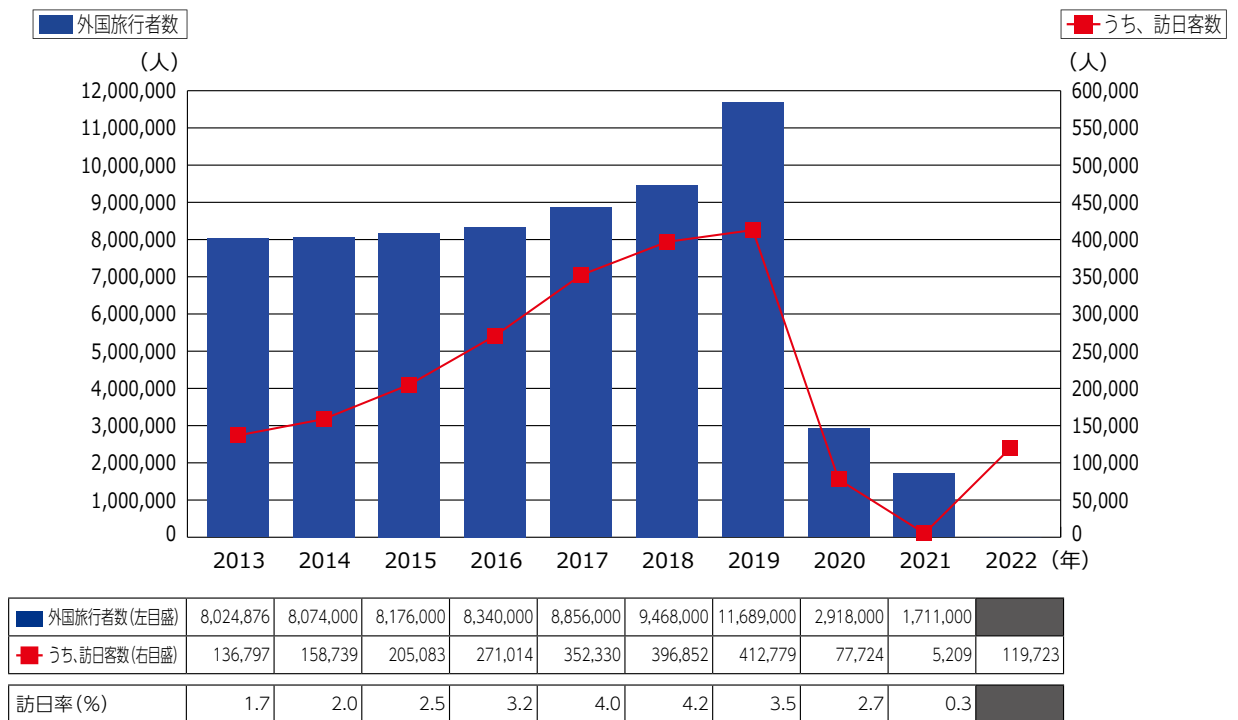


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) インドネシア人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：インドネシア人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのインドネシア人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	マレーシア	TFN	2,796,570	3,277,689	3,623,277	711,723	11,025	3,623,277
2位	シンガポール	VFR	2,954,400	3,021,455	3,110,626	457,696	33,457	3,110,626
3位	サウジアラビア	TFN	1,427,056	1,375,004	1,428,935	293,291	11,467	1,428,935
4位	中国	VFN	680,841	708,517	724,784			724,784
5位	タイ	TFN	576,110	643,418	710,494	99,033	2,577	710,494
6位	日本	VFN	352,330	396,852	412,779	77,724	5,209	412,779
7位	香港	TFR	385,495	342,760	285,060	19,069	1,236	385,495
8位	韓国	VFN	230,837	249,067	278,575	66,762	46,563	278,575
9位	台湾	VFR	189,631	210,985	229,960	55,717	13,819	229,960
10位	蒙州	VFR	192,780	208,727	221,729	34,349	2,815	221,729
11位	トルコ	TFN	80,265	117,046	123,423	39,537	46,549	123,423
12位	米国	TFR	106,579	109,143	117,236	15,913	32,901	117,236
13位	ベトナム	VFR	81,065	87,941	106,688	21,669	580	106,688
14位	アラブ首長国連邦	VFN	58,853	62,816	84,561	45,909		84,561
15位	フィリピン	TFR	62,923	76,652	70,819	13,734	1,888	76,652
16位	カンボジア	TFR	49,878	55,753	66,804	14,564	8,410	66,804
17位	オランダ	THSR	58,000	51,000	60,000	13,000	11,000	60,000
18位	スイス	THSR	52,240	53,896	56,357	7,831	6,386	56,357
19位	英国	VFR	56,703	41,650	53,824		4,193	56,703
20位	マカオ	THSR	76,941	60,596	53,362	3,755	2,429	76,941
21位	インド	VFN	43,973	46,867	50,177	11,795	2,105	50,177
22位	エジプト	VFN	39,831	46,485	43,652	15,659		46,485
23位	イスラエル	TFR	36,235	35,292	38,728	12,192	49	38,728
24位	ブルネイ	TFN	22,420	27,462	33,626	6,262	135	33,626
25位	ニュージーランド	VFR	23,872	26,070	27,697	4,268	261	27,697
26位	カナダ	TFR	26,032	25,706	27,483	2,078	1,651	27,483
27位	イタリア	TFN	36,371	23,975	25,804	5,655	11,141	36,371
28位	オマーン	VFN	17,178	19,225	21,142	4,027	2,904	21,142

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ロシア	VFN	10,151	13,356	19,327	1,673		19,327
30位	ヨルダン	TFN	20,397	18,707	19,071	6,763	3,735	20,397
31位	キューバ	VFR	24,239	37,834	18,092	473	139	37,834
32位	ミャンマー	TFN	11,517	12,898	15,558	3,653	486	15,558
33位	ノルウェー	TCER		11,377	13,811			13,811
34位	フィンランド	TCER	7,931	9,116	12,700	3,012	1,831	12,700
35位	ベルギー	TCER	12,310	10,245	11,781	1,651	982	12,310
36位	ポルトガル	TCER			10,890	1,777	1,428	10,890
37位	クウェート	VFN	9,308	9,886	10,119	2,149	1,517	10,119
38位	東ティモール	TFR	18,538	15,523	9,183	1,802	383	18,538
39位	モロッコ	TFN	6,553	7,427	8,561	1,544	1,360	8,561
40位	ルーマニア	VFR	4,063	4,897	6,898	1,029	2,142	6,898
41位	ブルガリア	VFR	4,210	5,356	6,860	767	2,201	6,860
42位	ナイジェリア	VFN	6,498	6,402	6,328	1,285	1,326	6,498
43位	ポーランド	TCER	4,356	4,094	5,545	983	565	5,545
44位	レバノン	TFN	5,567	6,208	5,181	1,839	2,620	6,208
45位	ラオス	VFN	3,241	3,487	5,161	1,213		5,161
46位	スリランカ	TFR	25,806	5,365	4,919	1,114	1,856	25,806
47位	モルディブ	TFN	5,375	5,885	4,646	857	953	5,885
48位	ネパール	TFN	4,207					4,207
49位	ペルー	TFR	2,422	2,994	4,168	519	70	4,168
50位	ブラジル	TFR	1,568	2,026	3,934	619	357	3,934
51位	メキシコ	TFN	3,801	3,908	3,764	1,127	1,739	3,908
52位	南アフリカ共和国	TFR	3,005	4,067	3,604	566	387	4,067
53位	パプアニューギニア	VFR	2,453	3,358	3,477	877	1,028	3,477
54位	イラン	VFN	6,132	4,134	3,238	228	171	6,132
	カザフスタン	VFR	723	723	1,179	1,292	3,212	3,212

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

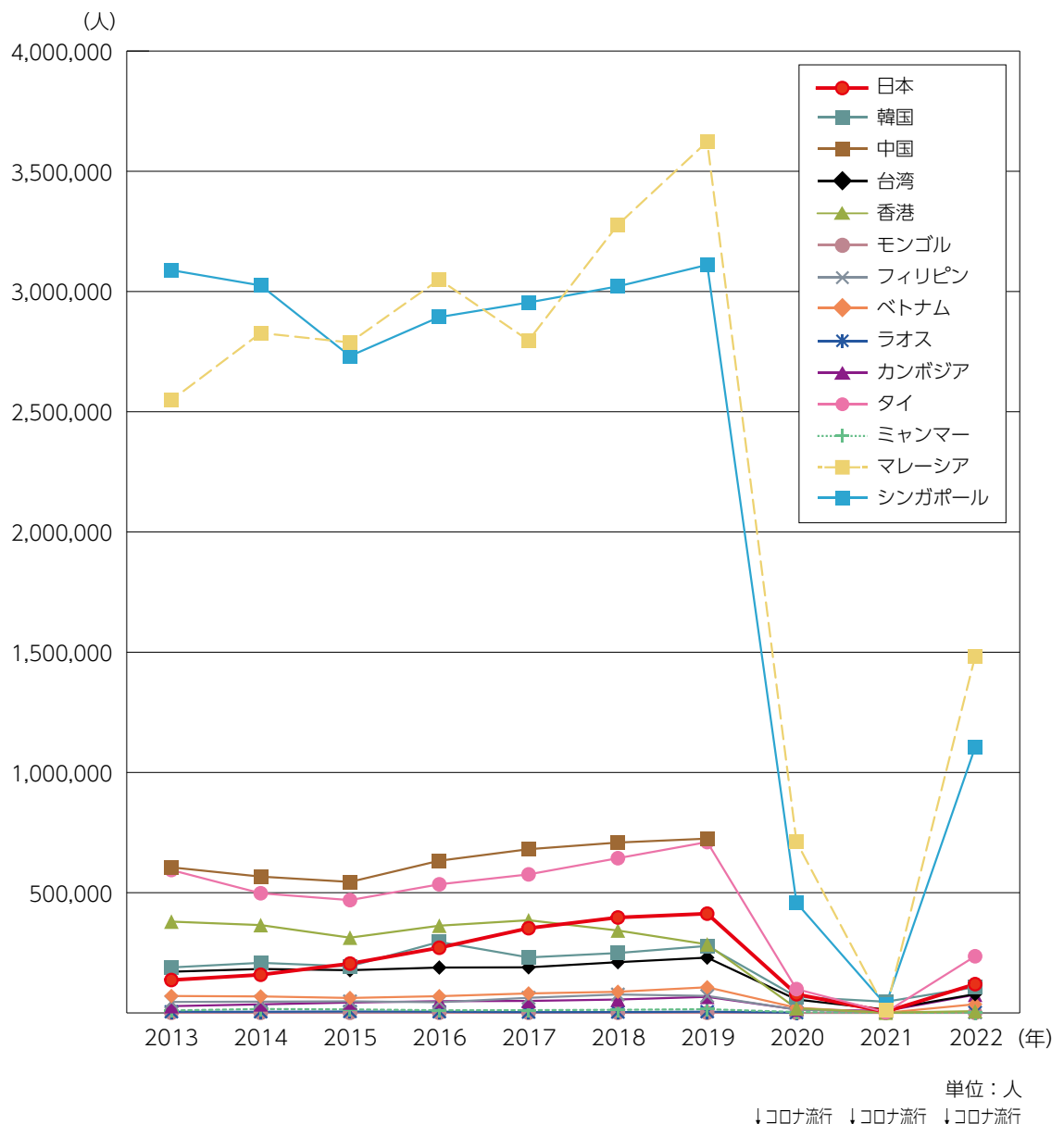
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのインドネシア人訪問者数の推移 (2013年～2022年)



訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
マレーシア	TFN	2,548,021	2,827,533	2,788,033	3,049,964	2,796,570	3,277,689	3,623,277	711,723	11,025	1,481,739
シンガポール	VFR	3,088,859	3,025,178	2,731,690	2,893,627	2,954,400	3,021,455	3,110,626	457,696	33,457	1,104,168
中国	VFN	605,321	566,900	544,762	632,913	680,841	708,517	724,784			
タイ	TFN	594,251	497,592	469,125	534,797	576,110	643,418	710,494	99,033	2,577	235,632
日本	VFN	136,797	158,739	205,083	271,014	352,330	396,852	412,779	77,724	5,209	119,723
香港	TFR	379,744	365,237	312,962	362,735	385,495	342,760	285,060	19,069	1,236	7,258
韓国	VFN	189,189	208,329	193,590	295,461	230,837	249,067	278,575	66,762	46,563	106,750
台湾	VFR	171,299	182,704	177,743	188,720	189,631	210,985	229,960	55,717	13,819	78,162
ベトナム	VFR	70,390	68,628	62,240	69,653	81,065	87,941	106,688	21,669	580	36,084
フィリピン	TFR	45,582	46,757	48,178	44,348	62,923	76,652	70,819	13,734	1,888	
カンボジア	TFR	28,199	35,655	43,147	48,771	49,878	55,753	66,804	14,564	8,410	75,653
ミャンマー	TFN	10,274	16,345	14,683	11,022	11,517	12,898	15,558	3,653	486	1,642
ラオス	VFN	4,888	4,812	6,019	5,010	3,241	3,487	5,161	1,213		2,134
モンゴル	TFN	404	376	399	526	466	627	553	25	13	173

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

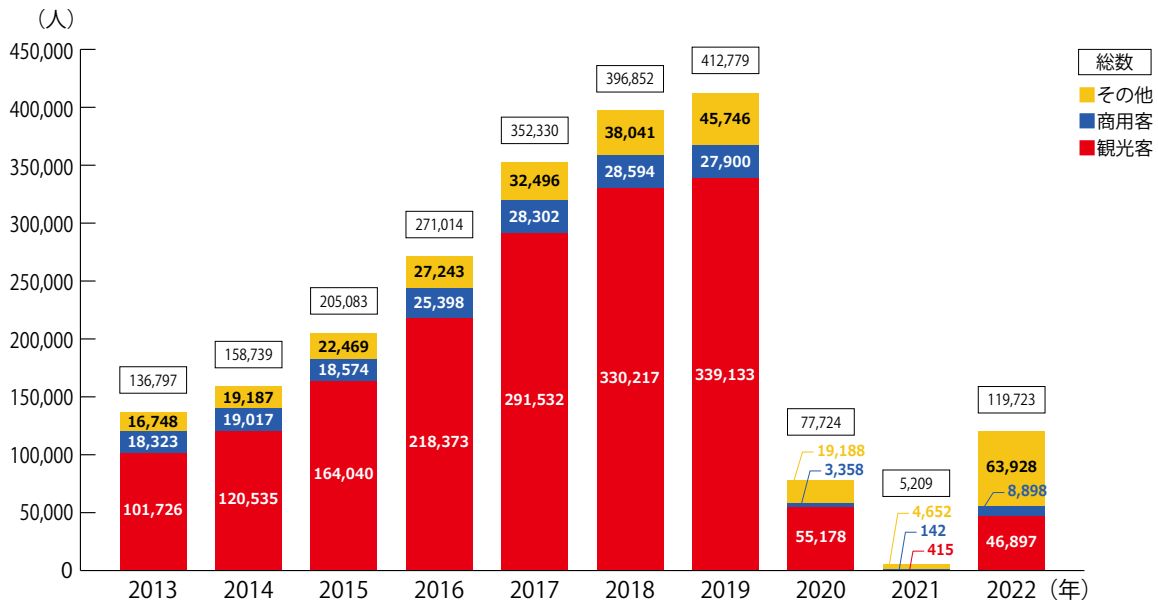
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局



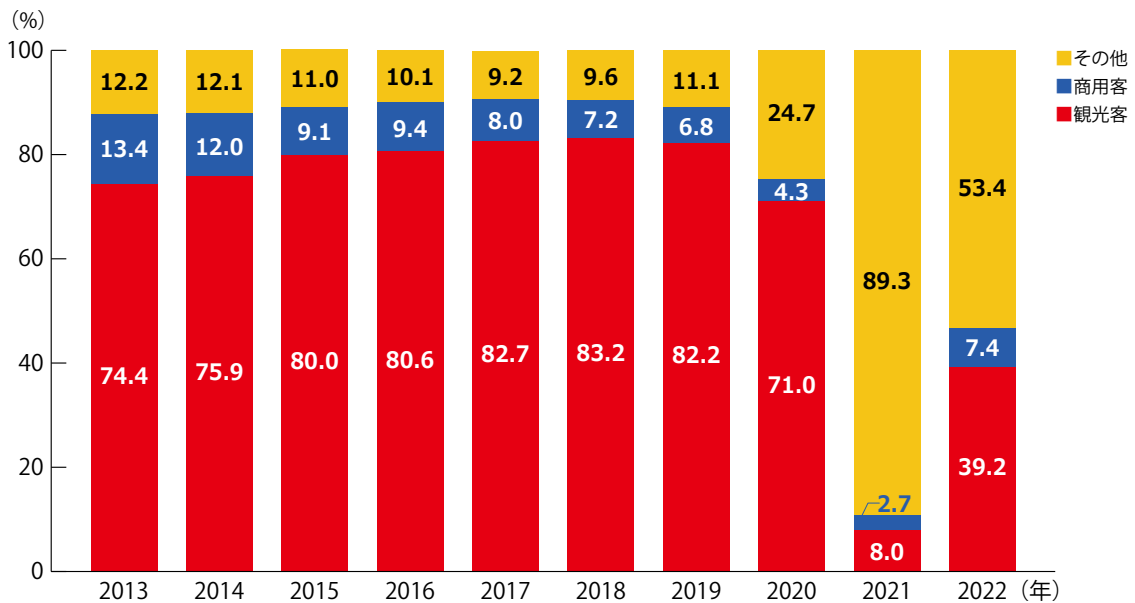
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日インドネシア人の推移（2013年～2022年）



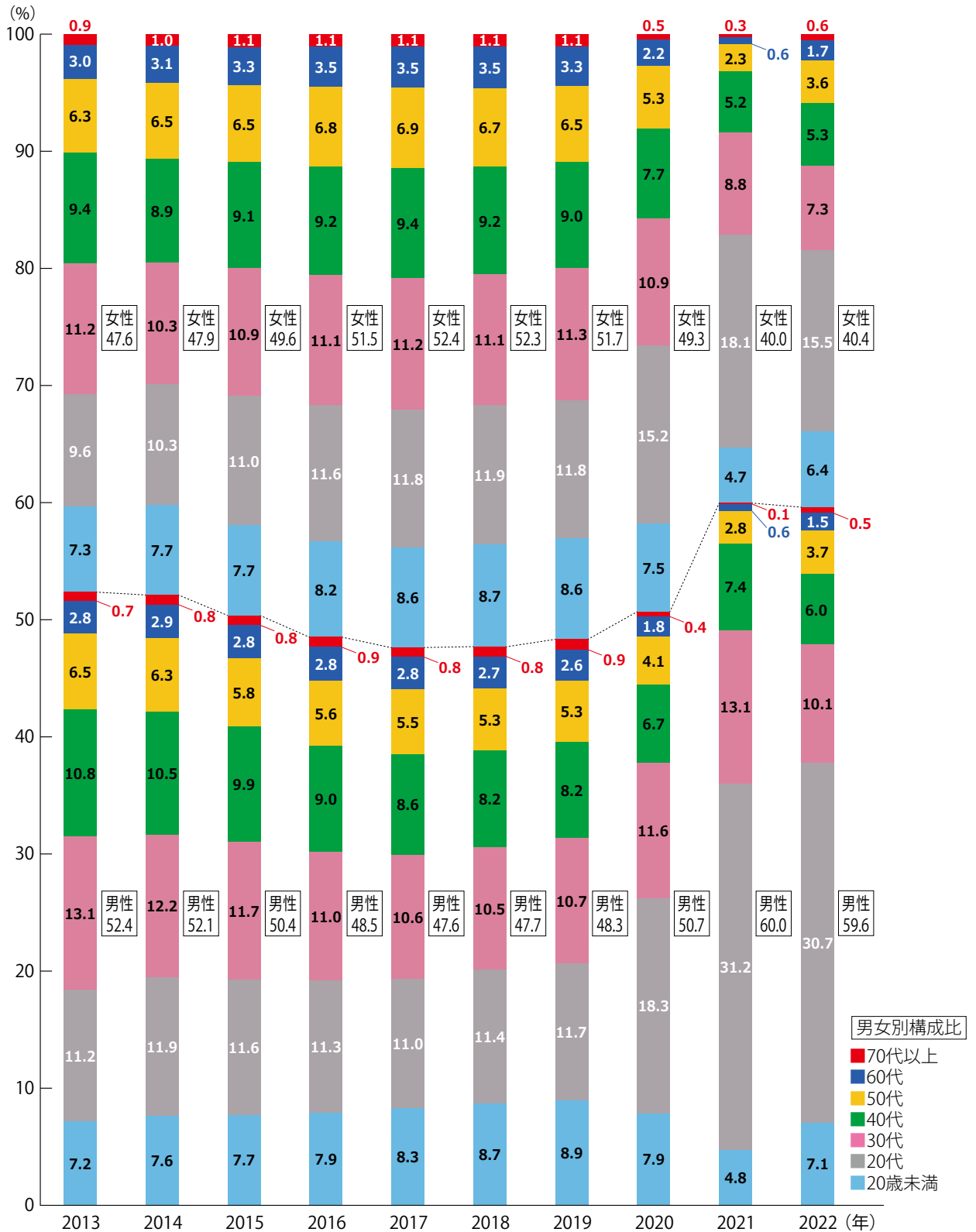
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日インドネシア人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

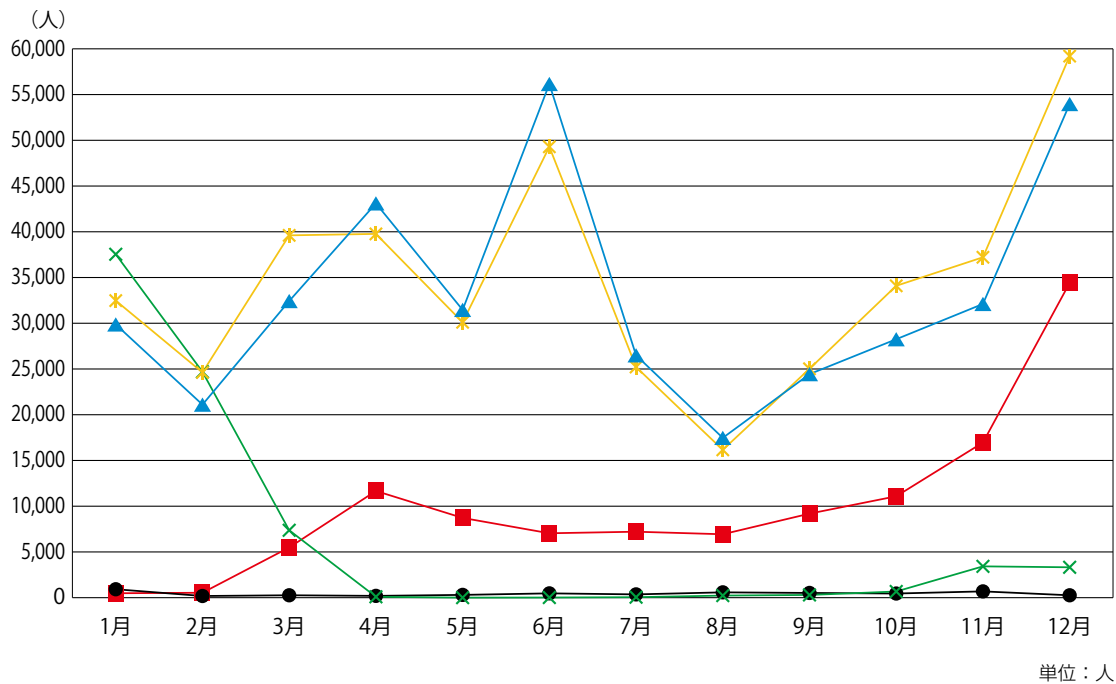
(3) 訪日インドネシア人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

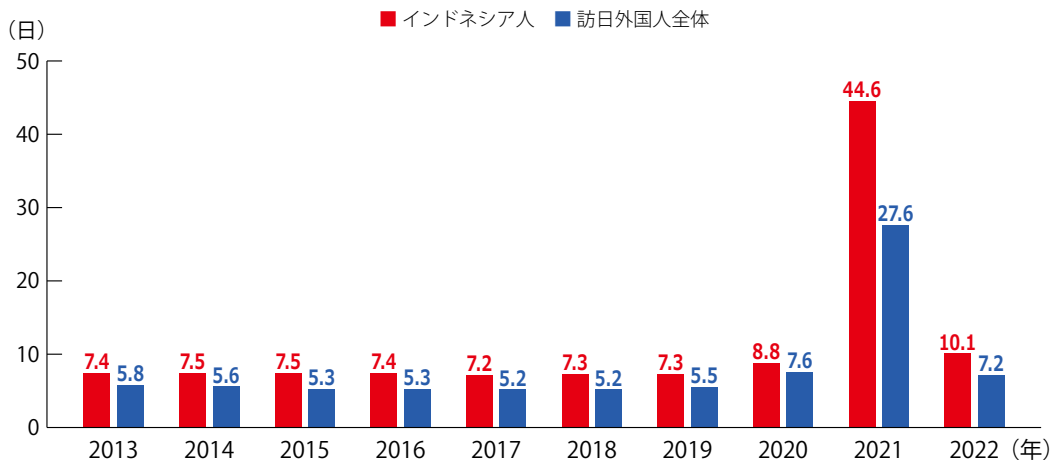
#### (4) 月別訪日インドネシア人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	484	539	5,486	11,666	8,720	7,041	7,212	6,933	9,186	11,085	16,960	34,411
● 2021年	922	184	263	198	305	472	360	583	518	454	688	262
× 2020年	37,540	24,691	7,370	96	5	18	54	230	299	675	3,424	3,322
* 2019年	32,477	24,622	39,609	39,768	30,107	49,290	25,215	16,160	25,021	34,094	37,213	59,203
▲ 2018年	29,870	21,103	32,428	43,103	31,460	56,157	26,495	17,470	24,437	28,253	32,110	53,966

出典：日本政府観光局（JNTO）

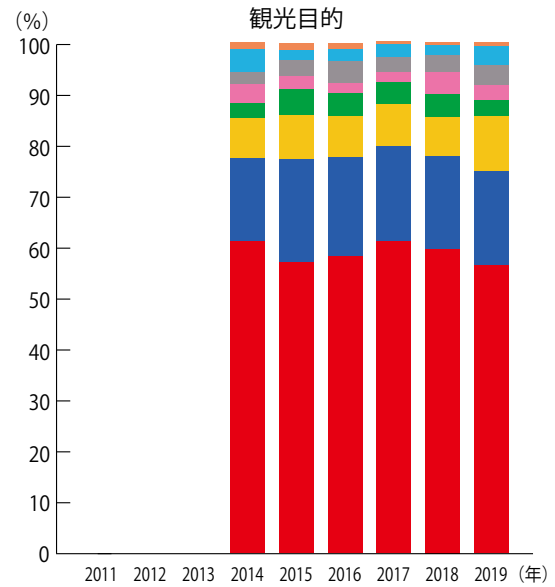
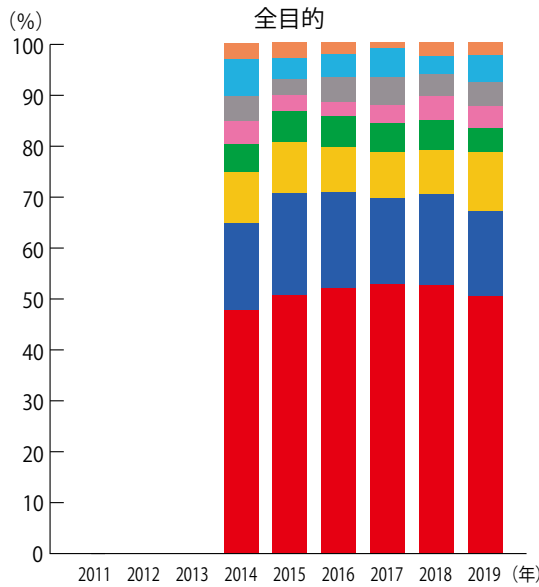
#### (5) 訪日インドネシア人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(6) 訪日インドネシア人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	3.2	3.1	2.3	1.2	2.7	2.6
10～19回目	-	-	-	7.2	4.1	4.7	5.6	3.5	5.3
6～9回目	-	-	-	4.9	3.1	4.9	5.4	4.3	4.7
5回目	-	-	-	4.6	3.2	2.6	3.6	4.8	4.2
4回目	-	-	-	5.5	6.0	6.1	5.7	5.7	4.7
3回目	-	-	-	10.0	10.1	8.7	9.0	8.6	11.7
2回目	-	-	-	16.9	19.9	19.0	16.8	18.0	16.7
1回目	-	-	-	47.6	50.5	51.8	52.7	52.4	50.2

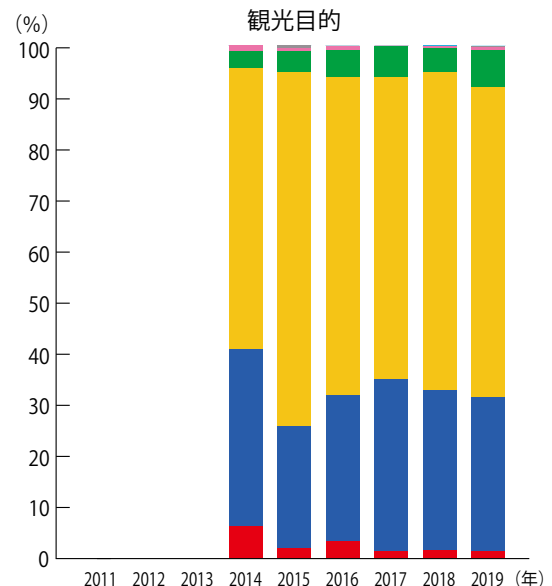
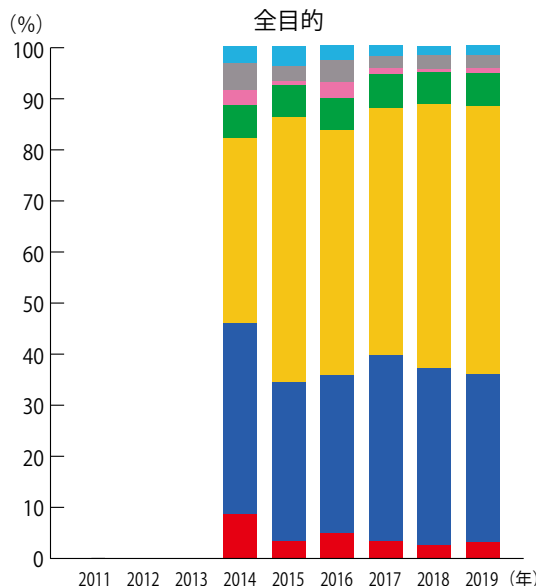
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	1.2	1.4	1.3	0.4	0.7	0.7
10～19回目	-	-	-	4.6	2.0	2.4	2.7	1.8	3.7
6～9回目	-	-	-	2.3	3.1	4.2	3.0	3.4	4.1
5回目	-	-	-	3.7	2.6	1.9	1.8	4.4	2.8
4回目	-	-	-	2.9	5.0	4.7	4.3	4.4	3.2
3回目	-	-	-	8.0	8.6	7.9	8.2	7.6	10.7
2回目	-	-	-	16.2	20.3	19.5	18.7	18.2	18.6
1回目	-	-	-	61.1	56.9	58.1	61.1	59.6	56.3

注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日インドネシア人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上1年未満	-	-	-	3.3	4.0	3.0	2.2	1.9	1.8
28～90日間	-	-	-	5.2	3.0	4.4	2.4	2.7	2.6
21～27日間	-	-	-	3.0	0.7	3.0	1.0	0.5	0.9
14～20日間	-	-	-	6.4	6.3	6.4	6.8	6.4	6.5
7～13日間	-	-	-	36.2	51.7	47.7	48.1	51.4	52.2
4～6日間	-	-	-	37.3	31.1	30.9	36.4	34.6	33.0
3日間以内	-	-	-	8.5	3.2	4.8	3.2	2.5	3.0

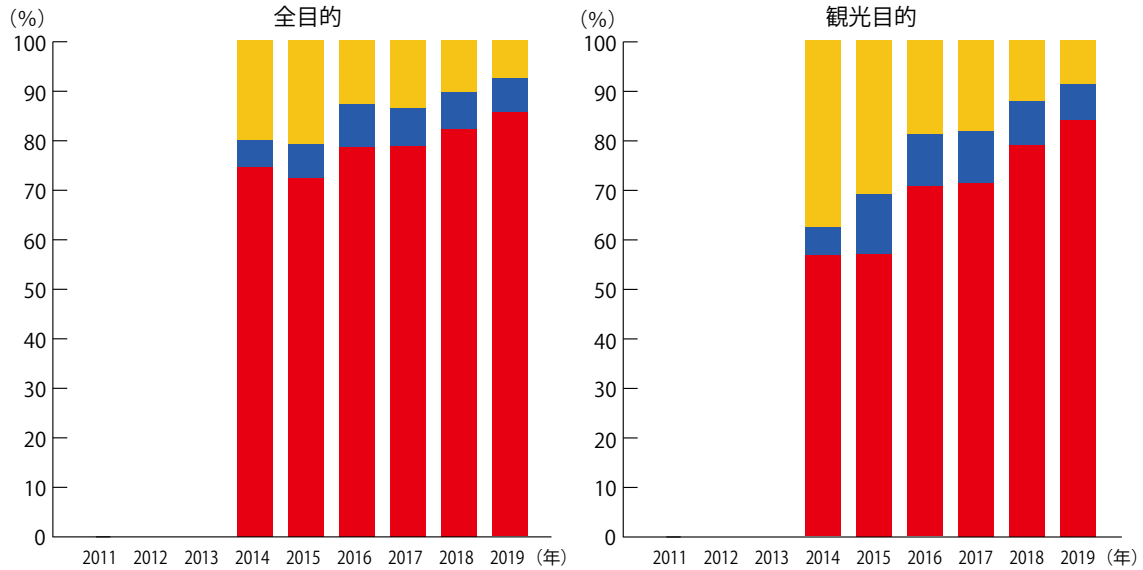
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上1年未満	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0
28～90日間	-	-	-	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.3
21～27日間	-	-	-	1.1	0.6	0.9	0.0	0.3	0.5
14～20日間	-	-	-	3.3	4.1	5.2	6.0	4.7	7.2
7～13日間	-	-	-	55.0	69.1	62.1	59.1	62.1	60.7
4～6日間	-	-	-	34.6	23.9	28.5	33.6	31.4	30.1
3日間以内	-	-	-	6.1	1.9	3.3	1.3	1.4	1.2

注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日インドネシア人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	-	-	-	20.2	21.0	12.9	13.8	10.5	7.6
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.4	6.8	8.5	7.6	7.5	7.0
■ 個別手配	-	-	-	74.4	72.2	78.5	78.6	82.0	85.4

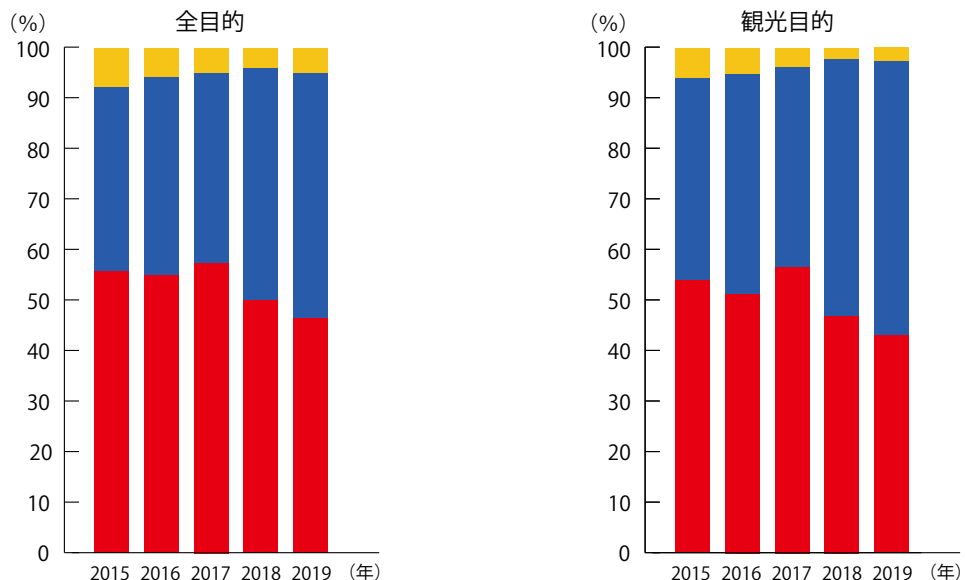
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	-	-	-	37.6	31.2	18.8	18.5	12.3	9.0
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.8	11.9	10.6	10.3	8.7	7.1
■ 個別手配	-	-	-	56.6	56.9	70.5	71.2	78.9	83.9

注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日インドネシア人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	7.9	5.9	5.1	4.1	5.1
■ ウェブサイトから申し込んだ	36.4	39.2	37.5	45.9	48.5
■ 店頭で申し込んだ	55.7	54.9	57.4	50.0	46.4

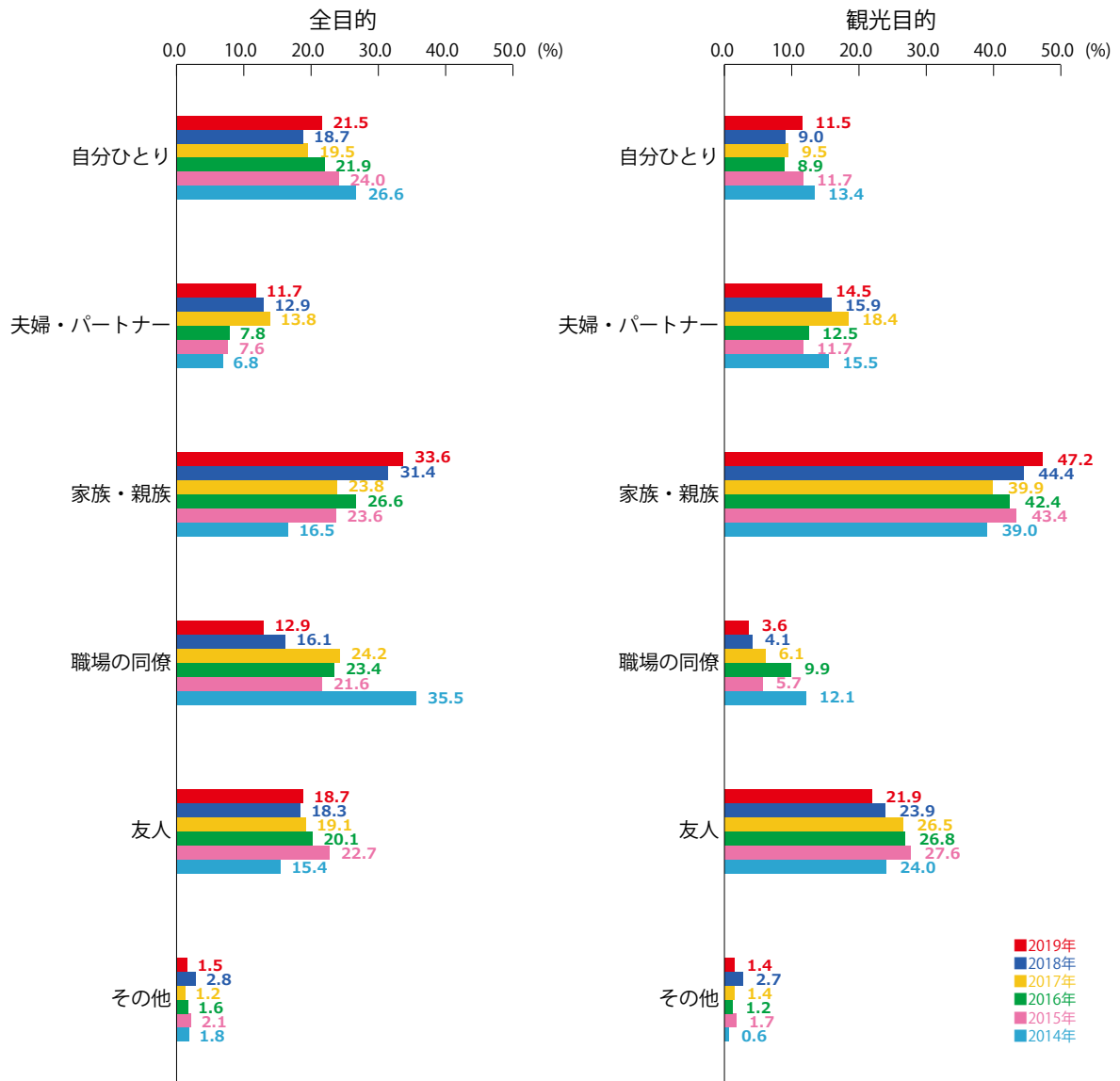
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	6.1	5.3	3.7	2.3	2.7
■ ウェブサイトから申し込んだ	40.0	43.4	39.6	50.7	54.3
■ 店頭で申し込んだ	53.9	51.3	56.6	46.9	43.1

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日インドネシア人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2014年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

# (11) 訪日インドネシア人の訪日旅行に関する期待内容（2015年～2019年）

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	73.3 71.2 68.1 65.2 72.4	96.0 96.3 98.3 94.9 97.1	54.7 56.3 58.7 52.0 70.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	12.6 14.0 9.2 8.0 11.5	25.7 24.7 23.4 19.0 23.8	11.6 12.7 8.8 7.3 11.0
旅館に宿泊	15.4 19.0 15.2 8.1 21.0	17.4 23.6 23.8 26.4 31.8	28.7 30.7 25.3 24.0 29.5
温泉入浴	16.0 14.4 10.8 16.7 19.0	16.2 17.1 18.4 20.3 29.5	32.3 32.0 25.6 24.2 28.2
自然・景勝地観光	51.2 46.4 47.1 45.3 46.6	70.0 65.1 68.9 64.5 65.2	52.5 45.2 43.8 49.1 49.6
繁華街の街歩き	48.9 43.2 44.0 44.5 37.5	82.7 79.2 82.2 77.5 69.8	33.0 25.3 32.4 30.9 35.8
ショッピング	58.3 52.4 48.0 51.8 51.6	86.4 88.0 84.9 81.7 78.4	42.9 38.0 40.4 40.7 50.2
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	26.0 19.6 18.3 18.5 17.7	37.2 34.4 31.8 32.2 28.2	17.9 16.0 23.0 19.2 20.1
テーマパーク	27.0 25.4 22.5 22.3 20.9	33.7 35.8 33.4 28.1 26.4	33.0 26.3 21.6 22.9 24.8
スキー・スノーボード	8.3 8.0 8.1 7.4 7.2	3.5 4.6 5.9 6.6 4.4	29.6 24.0 22.6 20.1 22.2
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.2 1.4 1.7 4.0 3.6	0.4 1.2 1.4 1.7 2.3	1.3 1.8 6.3 7.4 7.3
舞台・音楽鑑賞	6.0 4.8 6.1 6.8 6.3	6.5 2.0 6.1 6.5 5.4	10.4 8.2 15.0 16.9 13.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.2 2.5 2.5 2.5 3.5	1.4 1.7 1.8 1.4 1.3	6.6 6.6 8.7 9.3 8.4
自然体験ツアー・農漁村体験	12.8 11.7 10.8 14.2 14.4	15.1 14.2 13.9 19.3 13.8	23.0 22.8 21.4 20.3 18.0
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	22.3 21.6 21.6 21.9 17.9	26.9 22.9 28.0 27.4 18.1	45.7 44.7 36.0 33.0 30.4
映画・アニメ縁の地を訪問	2.7 3.9 2.4 6.0 7.9	4.0 3.7 3.8 3.8 5.6	5.6 7.8 8.7 10.7 12.5
日本の歴史・伝統文化体験	30.6 31.7 26.1 22.6 24.8	47.1 44.5 46.7 33.7 36.9	29.8 32.8 32.0 25.2 35.9
日本の日常生活体験	21.6 22.2 17.4 19.3 16.0	39.8 39.2 44.1 35.0 33.1	25.1 25.1 27.0 25.5 22.0
日本のポップカルチャーを楽しむ	9.8 7.4 7.2 9.2 9.0	20.6 17.4 22.2 16.7 17.9	12.7 10.2 12.2 14.7 12.4
治療・健診	1.6 1.5 1.2 1.3 1.5	0.6 0.6 2.4 2.1 1.4	1.1 1.8 2.8 4.5 4.1
上記には当てはまるものがない	2.7 2.4 3.3 4.9 6.1	0.1 0.0 0.3 0.0 0.3	0.4 0.4 1.1 1.6 0.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	76.9 75.0 70.1 64.8 72.4	96.3 96.9 97.8 95.3 98.9	58.5 59.5 58.0 47.3 70.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	13.8 15.9 10.3 10.9 12.8	25.6 25.6 23.4 21.4 29.6	11.9 13.4 10.3 10.4 12.7
旅館に宿泊	19.5 22.1 18.7 22.5 25.9	21.9 26.2 28.5 33.4 42.5	33.2 35.8 26.6 26.7 33.0
温泉入浴	16.8 15.9 11.3 20.5 24.7	18.1 17.8 19.0 25.7 38.0	35.1 35.2 28.1 26.6 32.9
自然・景勝地観光	60.8 55.7 51.5 54.6 53.9	77.9 71.6 77.7 77.0 80.5	53.7 44.3 43.2 48.5 51.3
繁華街の街歩き	57.4 50.1 50.3 50.4 43.5	87.6 81.5 84.8 83.9 81.9	38.0 28.2 32.5 31.5 37.5
ショッピング	63.5 60.0 55.1 59.0 56.6	88.6 92.4 90.5 84.3 85.9	46.7 40.1 41.1 38.4 53.9
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	30.2 23.5 21.4 21.0 19.4	42.7 37.7 34.2 37.5 35.1	18.0 13.3 24.7 20.8 20.2
テーマパーク	34.8 31.6 29.0 31.2 27.0	42.9 43.5 42.8 38.1 40.1	37.5 29.0 24.8 27.8 29.2
スキー・スノーボード	10.5 8.7 10.4 8.7 8.4	4.7 6.1 8.0 8.8 3.8	32.5 27.0 22.1 24.1 25.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.4 0.6 0.7 3.8 4.3	0.2 0.8 1.2 1.3 1.8	0.8 1.8 5.5 10.6 8.3
舞台・音楽鑑賞	7.4 5.2 5.0 8.1 6.0	7.7 2.3 5.8 7.2 6.4	12.5 8.8 14.1 21.6 15.5
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.2 2.2 2.2 3.4 4.5	1.1 1.2 1.2 1.7 1.0	5.4 5.5 10.0 14.1 12.0
自然体験ツアー・農漁村体験	16.1 13.4 11.2 16.3 13.7	18.4 16.8 16.6 23.5 12.4	25.5 23.1 20.5 22.1 18.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	26.4 24.4 23.3 26.0 18.1	31.9 26.5 35.6 34.2 20.7	49.4 44.1 37.1 37.3 35.5
映画・アニメ縁の地を訪問	2.8 4.4 2.4 5.5 9.7	4.3 4.5 3.4 4.8 6.6	5.6 7.7 10.2 13.8 14.8
日本の歴史・伝統文化体験	35.8 35.3 25.9 27.1 28.1	50.6 47.0 47.8 40.0 43.5	29.1 31.5 30.5 25.2 37.9
日本の日常生活体験	22.9 22.0 17.6 20.8 17.0	37.7 36.9 43.9 34.5 37.1	23.6 23.8 28.3 27.3 25.1
日本のポップカルチャーを楽しむ	12.2 7.9 7.5 10.8 12.2	23.1 18.2 23.8 16.8 27.3	13.7 9.2 12.3 18.4 17.0
治療・健診	2.0 1.0 0.9 0.6 1.6	0.6 0.2 2.2 1.6 1.4	0.9 1.3 3.8 6.8 3.9
上記には当てはまるものがない	0.4 0.7 1.9 2.2 2.4	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.2 0.0 0.3 0.9 0.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (12) インドネシア人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	20.6 19.6 22.8 17.2	25.7 23.2 27.4 19.8
旅行会社ホームページ	17.2 18.7 18.8 20.0	20.4 21.4 21.6 27.8 29.2
宿泊施設ホームページ	15.3 15.7 16.4 13.7 12.8	16.4 17.1 19.3 14.8 13.2
航空会社ホームページ	12.7 10.7 14.2 9.6 6.4	12.5 11.9 17.4 12.1 10.1
地方観光協会ホームページ	5.1 4.4 5.8 4.7 4.8	5.9 4.4 6.0 5.9 7.1
宿泊予約サイト	10.6 7.3 7.9 4.9 3.8	11.3 7.3 9.1 5.9 4.8
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	31.1 27.3 26.9 21.1 15.0	34.7 29.4 32.4 25.0 17.3
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	23.3 24.2 9.4 6.3	26.1 27.3 17.1 6.6
個人のブログ	24.3 18.8 20.5 17.9 13.4	27.3 23.5 25.5 23.5 18.9
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	30.5 24.1 15.4 13.0 9.3	37.8 28.2 17.9 13.5 9.4
その他インターネット	4.9 6.4 7.7 7.6 10.5	6.1 6.1 3.1 10.4 8.0
日本政府観光局の案内所	4.6 2.7 4.9 3.7	6.3 3.6 3.1 6.1 5.2
旅行会社パンフレット	7.9 7.9 6.8 8.1 8.2	10.6 9.8 7.4 9.9 10.5
旅行ガイドブック	14.1 14.9 17.7 18.1 17.1	15.2 17.5 15.0 19.1 25.3
自国の親族・知人	27.4 28.7 25.9 26.0 23.7	30.0 30.7 29.8 28.2 26.4
日本在住の親族・知人	23.1 22.9 27.5 24.5 26.4	19.8 17.1 23.7 20.2 20.6
旅行の展示会や見本市	3.4 3.5 4.8 3.0 1.9	4.4 3.5 5.7 4.0 2.2
テレビ番組	7.6 9.1 11.1 11.4 10.5	8.6 8.3 12.5 12.7 11.3
新聞	1.2 0.9 2.4 3.5 3.3	1.6 0.7 2.2 3.0 2.3
旅行専門誌	4.7 4.3 9.4 9.0 7.2	3.8 6.1 11.1 11.6 10.5
その他雑誌	0.6 0.8 0.7 2.7 1.0	0.5 0.7 1.0 4.7 1.4
その他	2.1 0.4 5.3 5.0 8.1	0.2 0.0 1.9 2.0 1.6
特になし	8.4 5.1 6.4 5.2 9.4	5.5 1.9 1.2 2.3 8.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) インドネシア人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	32.1 29.8	34.2 34.2
交通手段	60.2 57.5	62.0 64.7
飲食店	37.8 38.5	38.3 40.2
観光施設	33.9 36.6	39.0 41.7
イベント	6.7 8.3	6.2 9.5
土産物	14.8 17.1	15.3 17.8
買物場所	29.0 28.7	30.1 34.0
無料Wi-Fi	40.1 42.8	39.6 41.6
祈祷室	10.6 11.3	11.5 9.4
ATM	11.2 10.7	12.6 10.2
宅配便	1.7 1.3	1.8 1.3
日本文化体験プログラム	8.3 5.0	9.5 4.2
自然体験ツアー・農山漁村体験	9.0 6.9	10.3 7.7
通訳案内士・観光ガイド	5.3 4.9	6.2 5.6
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	5.8 4.7	7.7 5.2
クレジットカード利用可能店舗	6.3 5.1	7.4 5.1
その他	0.6 0.6	0.8 0.3
特になし	9.4 4.0	6.7 1.8

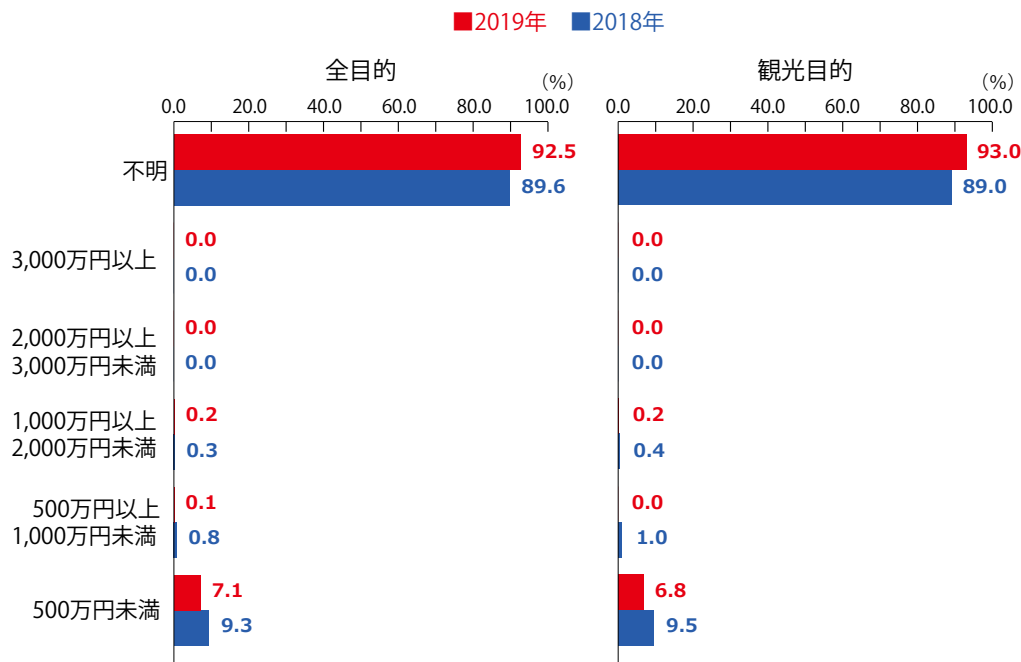
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

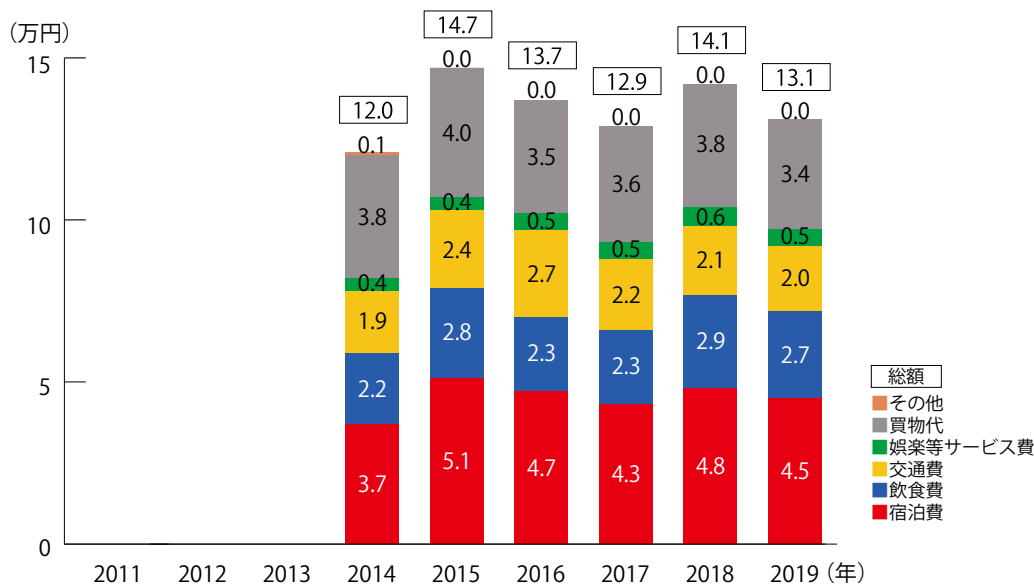
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日インドネシア人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日インドネシア人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：2013年以前の数値は存在しない。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注3：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注4：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注5：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (16) 属性別訪日インドネシア人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		984	131,087	612	138,888
滞在日数	3日間以内	30	47,295	7	50,840
	4～6日間	327	108,380	193	114,238
	7～13日間	497	135,129	360	144,605
	14～20日間	68	149,554	47	178,400
	21～27日間	9	187,618	3	339,962
	28～90日間	28	164,445	2	479,484
	91日間以上1年未満	25	428,882	0	-
性・年代	男性	505	136,226	274	143,104
	15～19歳	20	115,321	10	87,511
	20～29歳	139	149,960	91	133,219
	30～39歳	188	127,550	93	144,336
	40～49歳	112	144,636	56	169,348
	50～59歳	39	118,579	20	130,125
	60～69歳	7	112,639	4	162,381
	70歳以上	0	-	0	-
	女性	479	125,758	338	135,419
	15～19歳	27	132,572	17	139,647
	20～29歳	178	122,979	130	128,049
	30～39歳	142	124,616	102	135,299
	40～49歳	68	119,130	51	129,037
	50～59歳	50	146,197	29	172,502
60～69歳	13	117,825	9	147,219	
70歳以上	1	22,000	0	-	
日本への 来訪回数	1回目	495	125,730	344	130,201
	2回目	162	135,414	110	140,743
	3回目	114	123,106	65	130,453
	4回目	44	125,540	20	167,709
	5回目	44	144,980	19	138,676
	6～9回目	49	149,756	28	191,272
	10～19回目	50	149,595	22	168,694
	20回目以上	26	158,887	4	327,903

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日インドネシア人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	83	172,760	59	186,574	
	個人旅行向けパッケージ商品	69	152,059	44	152,845	
	往復航空（船舶）運賃	832	65,025	509	57,256	
日本滞在中の支出	宿泊料金	735	50,298	492	46,068	
	飲食費	856	26,334	550	24,877	
	交通費	815	19,753	528	21,408	
	航空（日本国内移動のみ）	27	16,679	17	15,340	
	Japan Rail Pass	216	26,206	193	26,412	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	689	10,107	441	9,792	
	バス	233	4,012	142	3,599	
	タクシー	207	6,747	118	5,564	
	レンタカー	16	28,464	12	25,961	
	船舶（日本国内移動のみ）	6	8,243	3	1,560	
	その他交通費	2	26,617	2	26,617	
	娯楽等サービス費	394	9,159	317	9,074	
	現地ツアー・観光ガイド	29	11,055	23	9,580	
	ゴルフ場	0	-	0	-	
	テーマパーク	223	9,906	199	9,885	
	舞台・音楽鑑賞	9	5,129	5	5,315	
	スポーツ観戦	3	2,470	1	978	
	美術館・博物館・動物園・水族館	188	2,821	147	2,689	
	スキー場リフト	13	6,396	11	6,153	
	温泉・湯治施設・エステ・リラクゼーション	25	2,565	17	3,087	
	マッサージ・医療費	5	23,181	3	11,922	
	展示会・コンベンション参加費	4	6,627	1	3,120	
	レンタル料（レンタカーを除く）	6	14,725	4	18,100	
	その他娯楽等サービス費	9	12,038	8	3,128	
	買物代	959	35,290	603	38,513	
	菓子類	629	8,222	395	8,125	
	酒類	70	7,385	46	7,143	
	生鮮農産物	37	4,668	24	4,748	
	その他食料品・飲料・たばこ	383	9,410	237	9,068	
	化粧品・香水	280	11,168	202	10,963	
	医薬品	91	9,252	65	10,050	
	健康グッズ・トイレタリー	51	9,649	34	10,109	
	衣類	474	14,031	316	14,676	
靴・かばん・革製品	361	17,827	265	19,087		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	59	54,991	37	53,823		
時計・フィルムカメラ	62	25,498	39	30,764		
宝石・貴金属	5	30,951	3	50,315		
民芸品・伝統工芸品	99	6,798	60	7,101		
本・雑誌・ガイドブックなど	36	4,635	19	5,146		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	18	7,144	14	7,542		
その他買物代	68	12,423	48	12,585		
その他	12	5,128	6	4,458		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日インドネシア人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	59.0 63.0 65.9 62.8 65.1	65.3 67.2 73.0 71.0 74.9
家電量販店	14.4 13.0 18.5 18.1 16.5	13.8 13.1 18.4 15.2 15.1
ファッション専門店	25.6 26.3 20.4 21.8 21.0	29.7 29.7 26.6 27.9 28.5
100円ショップ	32.9 35.4 36.6 35.4 29.6	33.8 34.8 35.4 33.8 26.0
高速道路のSA・道の駅	2.2 2.2 2.4 2.9 2.1	3.0 3.0 2.6 2.0 2.6
観光地の土産店	41.5 40.0 43.0 47.7 43.8	49.8 46.2 51.5 51.4 50.9
宿泊施設	2.3 2.4 4.4 5.9 6.7	2.7 2.8 5.3 7.2 7.1
スーパーマーケット	47.4 51.0 50.0 47.1 49.3	50.2 51.8 48.4 46.8 51.3
コンビニエンスストア	65.7 60.4 51.5 43.2 40.8	68.0 59.3 55.6 46.8 39.4
ドラッグストア	33.3 31.7 21.0 17.9 16.5	39.7 35.4 23.8 19.9 17.7
ディスカウントストア	19.4 16.8 10.7 11.6 10.4	23.0 18.2 12.3 13.0 10.5
アウトレットモール	16.8 17.3 18.2 17.5 17.1	21.1 21.4 23.0 25.2 24.4
都心の複合商業施設	9.9 10.2 6.1 6.7 7.3	10.8 9.7 8.9 6.7 7.7
その他ショッピングセンター	15.9 16.1 16.4 15.7 19.8	16.5 16.7 16.5 18.0 21.3
鉄道駅構内の店舗	9.7 9.7 10.6 11.6 13.4	12.2 10.6 12.3 13.0 12.4
空港の免税店	52.2 48.5 44.7 43.6 46.2	53.7 51.2 46.5 48.2 49.6
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.4 1.0	0.5 1.1
その他	3.4 3.2 2.6 2.1 2.7	3.1 4.1 1.6 2.7 2.7
買い物はしなかった	2.2 0.9 1.2 1.8 2.1	0.8 0.3 0.4 0.6 0.7

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていらないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日インドネシア人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	37.0 41.8
消費税免税の手続きをしていない	63.0 58.2

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	12.8 11.5
酒類	1.1 1.5
生鮮農産物	0.5 0.3
その他食料品・飲料・たばこ	4.0 4.9
化粧品・香水	9.3 8.5
医薬品	2.7 1.3
健康グッズ・トイレタリー	1.5 1.6
衣類	15.8 19.6
靴・かばん・革製品	14.7 20.0
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	3.3 2.3
時計・フィルムカメラ	1.8 3.9
宝石・貴金属	0.3 0.5
民芸品・伝統工芸品	1.7 1.5
本・雑誌・ガイドブックなど	0.3 0.7
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.5 0.5
その他買物代	1.5 1.3

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日インドネシア人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	98.5 97.9	99.3 98.6
クレジットカード	45.8 45.8	53.4 50.4
交通系ICカード（Suica等）	16.8 12.4	17.3 13.6
その他ICカード（Edy等）	0.2 0.0	0.3 0.1
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	7.5 4.1	8.8 4.8
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.0 0.2	0.1 0.3
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.1	0.1 0.1
割引クーポン	0.1 0.3	0.1 0.2
その他	0.1 0.0	0.1 0.0
お金は全く使わなかった	0.4 0.4	0.1 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (21) 訪日インドネシア人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)					
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	63.9	77.5	77.4	80.8	84.4	81.3
大阪府	2位	33.2	44.0	47.5	44.6	47.1	45.1
千葉県	3位	18.6	61.1	47.6	46.3	46.4	42.2
京都府	4位	21.5	30.2	30.6	34.3	32.4	33.5
神奈川県	5位	12.2	8.7	10.3	10.7	9.0	9.2
山梨県	6位	6.7	11.4	8.1	8.7	11.1	9.0
静岡県	7位	9.6	11.0	8.4	7.0	6.5	6.9
愛知県	8位	9.1	6.9	4.2	5.1	5.0	6.8
岐阜県	9位	3.2	3.8	3.2	3.9	5.2	5.8
奈良県	10位	3.3	3.3	3.2	3.1	2.3	4.7
兵庫県	11位	9.4	5.0	6.8	5.3	4.4	4.6
石川県	12位	1.3	2.7	1.6	2.7	2.7	4.1
北海道	13位	3.7	5.6	4.4	3.3	4.0	3.9
長野県	14位	3.8	4.2	4.0	2.1	3.7	3.5
広島県	15位	2.6	4.1	3.2	2.9	2.7	2.3
富山県	16位	2.5	2.0	1.8	2.3	2.1	2.2
福岡県	17位	3.2	3.3	3.1	1.0	1.5	2.2
栃木県	18位	2.4	2.8	1.8	2.8	2.2	1.7
埼玉県	19位	3.1	3.7	2.6	1.7	1.8	1.6
茨城県	20位	2.2	3.4	2.2	1.8	1.9	1.6
三重県	21位	0.7	0.4	0.8	0.2	0.1	1.1
新潟県	22位	1.0	1.1	2.2	2.4	1.0	1.0
滋賀県	23位	0.7	0.5	0.3	0.6	0.6	0.8
和歌山県	24位	0.3	0.7	0.5	0.0	0.3	0.8
宮城県	25位	0.8	2.7	0.9	0.8	0.9	0.7
愛媛県	26位	0.8	0.3	0.6	0.5	0.4	0.6
青森県	27位	0.3	0.0	0.1	0.2	0.2	0.4
熊本県	28位	0.7	0.8	0.0	0.0	0.3	0.4
岡山県	29位	1.1	0.7	0.7	1.0	0.7	0.4
香川県	30位	0.1	0.3	0.4	0.0	0.1	0.3
福井県	31位	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1	0.3
群馬県	32位	1.5	0.7	0.4	0.9	0.3	0.3
福島県	33位	0.8	0.5	0.0	0.0	0.4	0.3
高知県	34位	0.8	0.4	0.5	0.0	0.2	0.2
山形県	35位	0.3	0.1	0.0	0.2	0.4	0.2
大分県	36位	0.2	0.4	0.3	0.9	0.5	0.2
秋田県	37位	1.0	0.2	0.0	0.4	0.2	0.1
山口県	38位	0.2	0.3	0.0	0.2	0.0	0.1
鳥取県	39位	0.5	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1
長崎県	40位	0.6	1.1	0.0	0.4	0.2	0.1
鹿児島県	41位	0.2	0.5	1.4	0.5	0.2	0.1
徳島県	42位	0.2	0.2	0.0	0.1	0.3	0.1
岩手県	43位	0.2	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1
佐賀県	44位	0.3	0.2	0.0	0.0	0.0	0.1
沖縄県	45位	0.1	0.4	1.1	0.0	0.3	0.1
島根県	46位	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.1
宮崎県	47位	0.2	0.1	0.0	0.9	0.2	0.1

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日インドネシア人の都道府県別宿泊地 (2017年~2022年)

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	388,340 (38.8%)	481,200 (40.7%)	587,220 (42.8%)
大阪府	2位	191,280 (19.1%)	217,980 (18.4%)	254,460 (18.6%)
北海道	3位	84,330 (8.4%)	103,600 (8.8%)	104,620 (7.6%)
京都府	4位	56,100 (5.6%)	53,500 (4.5%)	81,710 (6.0%)
千葉県	5位	47,100 (4.7%)	63,100 (5.3%)	61,330 (4.5%)
愛知県	6位	26,450 (2.6%)	28,890 (2.4%)	40,930 (3.0%)
福岡県	7位	8,240 (0.8%)	8,550 (0.7%)	12,420 (0.9%)
長野県	8位	26,910 (2.7%)	32,300 (2.7%)	27,450 (2.0%)
静岡県	9位	12,340 (1.2%)	13,490 (1.1%)	14,680 (1.1%)
山梨県	10位	40,680 (4.1%)	45,810 (3.9%)	41,240 (3.0%)
神奈川県	11位	28,090 (2.8%)	33,240 (2.8%)	35,100 (2.6%)
岐阜県	12位	17,460 (1.7%)	18,780 (1.6%)	19,030 (1.4%)
茨城県	13位	1,100 (0.1%)	1,630 (0.1%)	2,300 (0.2%)
石川県	14位	14,550 (1.5%)	20,420 (1.7%)	17,800 (1.3%)
新潟県	15位	1,950 (0.2%)	2,050 (0.2%)	3,600 (0.3%)
三重県	16位	2,130 (0.2%)	1,790 (0.2%)	2,010 (0.1%)
宮城県	17位	1,470 (0.1%)	2,920 (0.2%)	3,660 (0.3%)
広島県	18位	5,870 (0.6%)	5,650 (0.5%)	6,260 (0.5%)
兵庫県	19位	8,740 (0.9%)	8,030 (0.7%)	6,350 (0.5%)
熊本県	20位	2,770 (0.3%)	2,130 (0.2%)	2,320 (0.2%)
岡山県	21位	1,420 (0.1%)	1,490 (0.1%)	2,020 (0.1%)
栃木県	22位	2,770 (0.3%)	5,950 (0.5%)	4,550 (0.3%)
福島県	23位	450 (0.0%)	1,260 (0.1%)	990 (0.1%)
富山県	24位	8,130 (0.8%)	7,920 (0.7%)	8,900 (0.6%)
滋賀県	25位	3,480 (0.3%)	1,980 (0.2%)	2,150 (0.2%)
山形県	26位	310 (0.0%)	550 (0.0%)	700 (0.1%)
沖縄県	27位	3,240 (0.3%)	2,210 (0.2%)	4,450 (0.3%)
山口県	28位	180 (0.0%)	620 (0.1%)	1,020 (0.1%)
愛媛県	29位	490 (0.0%)	420 (0.0%)	490 (0.0%)
大分県	30位	2,250 (0.2%)	3,200 (0.3%)	2,490 (0.2%)
岩手県	31位	650 (0.1%)	1,040 (0.1%)	680 (0.0%)
群馬県	32位	2,590 (0.3%)	1,630 (0.1%)	1,910 (0.1%)
長崎県	33位	2,130 (0.2%)	2,350 (0.2%)	2,860 (0.2%)
埼玉県	34位	1,030 (0.1%)	1,330 (0.1%)	1,680 (0.1%)
島根県	35位	110 (0.0%)	30 (0.0%)	430 (0.0%)
香川県	36位	300 (0.0%)	410 (0.0%)	600 (0.0%)
青森県	37位	540 (0.1%)	770 (0.1%)	1,440 (0.1%)
和歌山県	38位	1,100 (0.1%)	850 (0.1%)	1,470 (0.1%)
鹿児島県	39位	700 (0.1%)	900 (0.1%)	960 (0.1%)
徳島県	40位	320 (0.0%)	380 (0.0%)	420 (0.0%)
宮崎県	41位	370 (0.0%)	400 (0.0%)	690 (0.1%)
高知県	42位	320 (0.0%)	120 (0.0%)	280 (0.0%)
福井県	43位	150 (0.0%)	250 (0.0%)	190 (0.0%)
奈良県	44位	1,170 (0.1%)	940 (0.1%)	1,140 (0.1%)
佐賀県	45位	480 (0.0%)	230 (0.0%)	3,220 (0.2%)
秋田県	46位	450 (0.0%)	1,000 (0.1%)	770 (0.1%)
鳥取県	47位	160 (0.0%)	390 (0.0%)	300 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年~2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	121,450 (38.1%)	24,720 (26.3%)	139,750 (49.2%)
大阪府	2位	54,020 (16.9%)	16,640 (17.7%)	38,790 (13.6%)
北海道	3位	32,380 (10.2%)	520 (0.6%)	16,190 (5.7%)
京都府	4位	14,650 (4.6%)	820 (0.9%)	16,110 (5.7%)
千葉県	5位	21,100 (6.6%)	16,590 (17.6%)	14,530 (5.1%)
愛知県	6位	8,930 (2.8%)	17,810 (18.9%)	11,950 (4.2%)
福岡県	7位	4,430 (1.4%)	1,600 (1.7%)	6,130 (2.2%)
長野県	8位	4,070 (1.3%)	280 (0.3%)	4,500 (1.6%)
静岡県	9位	4,230 (1.3%)	1,860 (2.0%)	4,490 (1.6%)
山梨県	10位	6,820 (2.1%)	70 (0.1%)	4,290 (1.5%)
神奈川県	11位	12,240 (3.8%)	1,670 (1.8%)	3,630 (1.3%)
岐阜県	12位	5,760 (1.8%)	210 (0.2%)	2,060 (0.7%)
茨城県	13位	1,760 (0.6%)	110 (0.1%)	1,900 (0.7%)
石川県	14位	5,280 (1.7%)	210 (0.2%)	1,780 (0.6%)
新潟県	15位	1,060 (0.3%)	180 (0.2%)	1,550 (0.5%)
三重県	16位	580 (0.2%)	740 (0.8%)	1,540 (0.5%)
宮城県	17位	3,110 (1.0%)	1,020 (1.1%)	1,430 (0.5%)
広島県	18位	1,330 (0.4%)	250 (0.3%)	1,370 (0.5%)
兵庫県	19位	1,510 (0.5%)	1,440 (1.5%)	1,160 (0.4%)
熊本県	20位	1,070 (0.3%)	970 (1.0%)	950 (0.3%)
岡山県	21位	610 (0.2%)	290 (0.3%)	880 (0.3%)
栃木県	22位	690 (0.2%)	800 (0.8%)	790 (0.3%)
福島県	23位	440 (0.1%)	290 (0.3%)	650 (0.2%)
富山県	24位	1,500 (0.5%)	150 (0.2%)	580 (0.2%)
滋賀県	25位	720 (0.2%)	490 (0.5%)	570 (0.2%)
山形県	26位	320 (0.1%)	90 (0.1%)	560 (0.2%)
沖縄県	27位	550 (0.2%)	150 (0.2%)	550 (0.2%)
山口県	28位	200 (0.1%)	690 (0.7%)	540 (0.2%)
愛媛県	29位	740 (0.2%)	190 (0.2%)	540 (0.2%)
大分県	30位	580 (0.2%)	590 (0.6%)	540 (0.2%)
岩手県	31位	210 (0.1%)	50 (0.1%)	460 (0.2%)
群馬県	32位	1,820 (0.6%)	80 (0.1%)	430 (0.2%)
長崎県	33位	860 (0.3%)	150 (0.2%)	390 (0.1%)
埼玉県	34位	340 (0.1%)	120 (0.1%)	380 (0.1%)
島根県	35位	310 (0.1%)	1,040 (1.1%)	280 (0.1%)
香川県	36位	450 (0.1%)	190 (0.2%)	270 (0.1%)
青森県	37位	620 (0.2%)	210 (0.2%)	260 (0.1%)
和歌山県	38位	90 (0.0%)	40 (0.0%)	240 (0.1%)
鹿児島県	39位	180 (0.1%)	40 (0.0%)	240 (0.1%)
徳島県	40位	60 (0.0%)	250 (0.3%)	190 (0.1%)
宮崎県	41位	210 (0.1%)	60 (0.1%)	190 (0.1%)
高知県	42位	630 (0.2%)	170 (0.2%)	180 (0.1%)
福井県	43位	60 (0.0%)	90 (0.1%)	120 (0.0%)
奈良県	44位	340 (0.1%)	30 (0.0%)	120 (0.0%)
佐賀県	45位	230 (0.1%)	130 (0.1%)	110 (0.0%)
秋田県	46位	140 (0.0%)	70 (0.1%)	50 (0.0%)
鳥取県	47位	160 (0.1%)	50 (0.1%)	50 (0.0%)

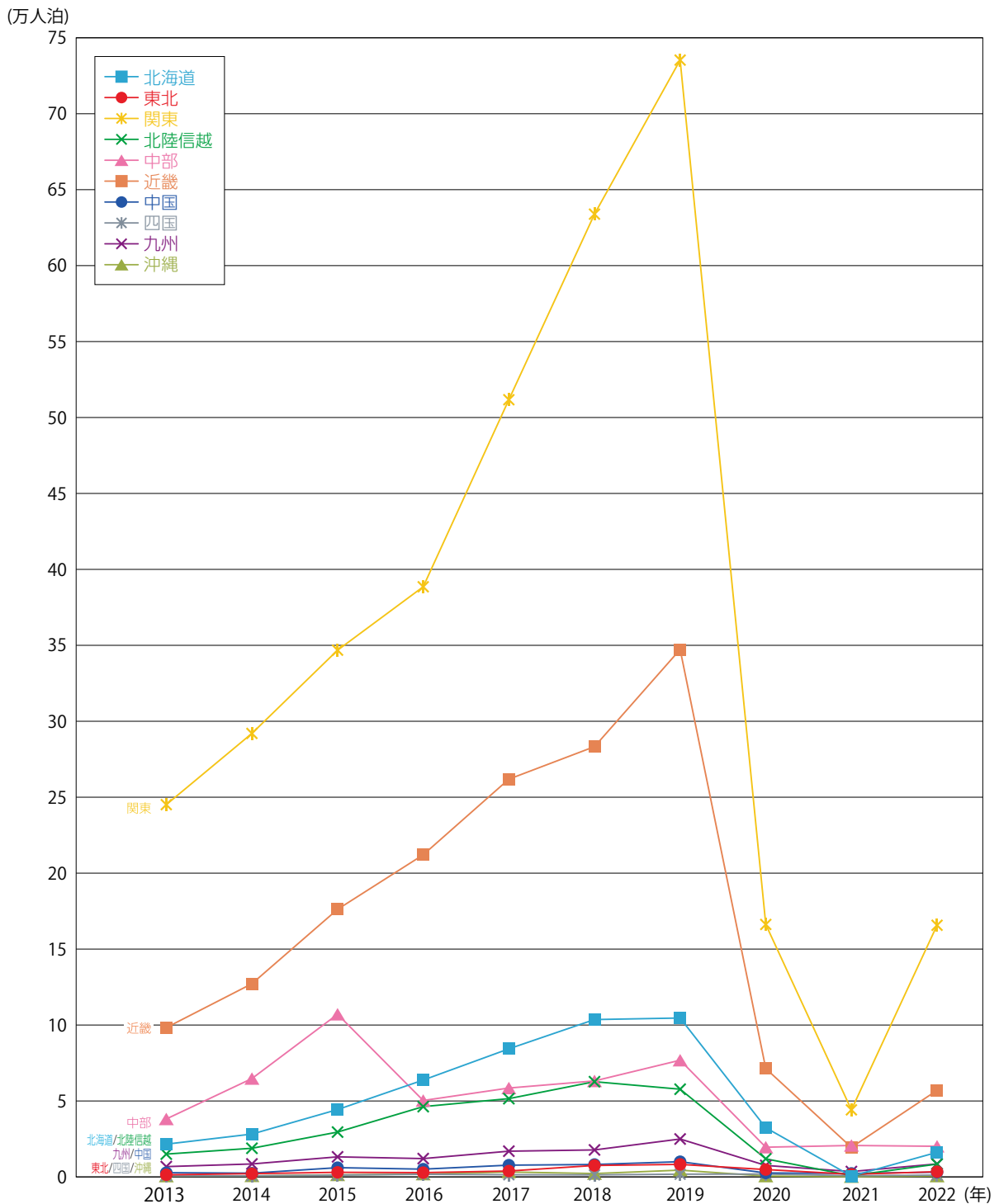
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(23) 訪日インドネシア人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



単位：人泊

北海道	21,570	28,210	44,340	63,770	84,330	103,600	104,620	32,380	520	16,190
東北	1,390	2,160	3,020	2,830	3,880	7,540	8,250	4,840	1,730	3,430
関東	245,110	292,000	346,800	388,550	511,700	633,890	735,320	166,220	44,160	165,690
北陸信越	15,030	18,860	29,520	46,280	51,540	62,690	57,750	11,910	820	8,420
中部	38,140	64,760	107,090	50,310	58,520	63,200	76,840	19,560	20,700	20,160
近畿	98,300	127,200	176,180	212,080	261,880	283,290	347,280	71,340	19,450	56,990
中国	2,770	2,470	6,090	5,100	7,740	8,170	10,020	2,600	2,320	3,110
四国	710	700	1,180	1,720	1,430	1,340	1,790	1,890	790	1,190
九州	6,780	8,530	13,210	12,060	16,940	17,770	24,960	7,550	3,530	8,560
沖縄	550	690	1,340	1,870	3,240	2,210	4,450	550	150	550

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日インドネシア人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

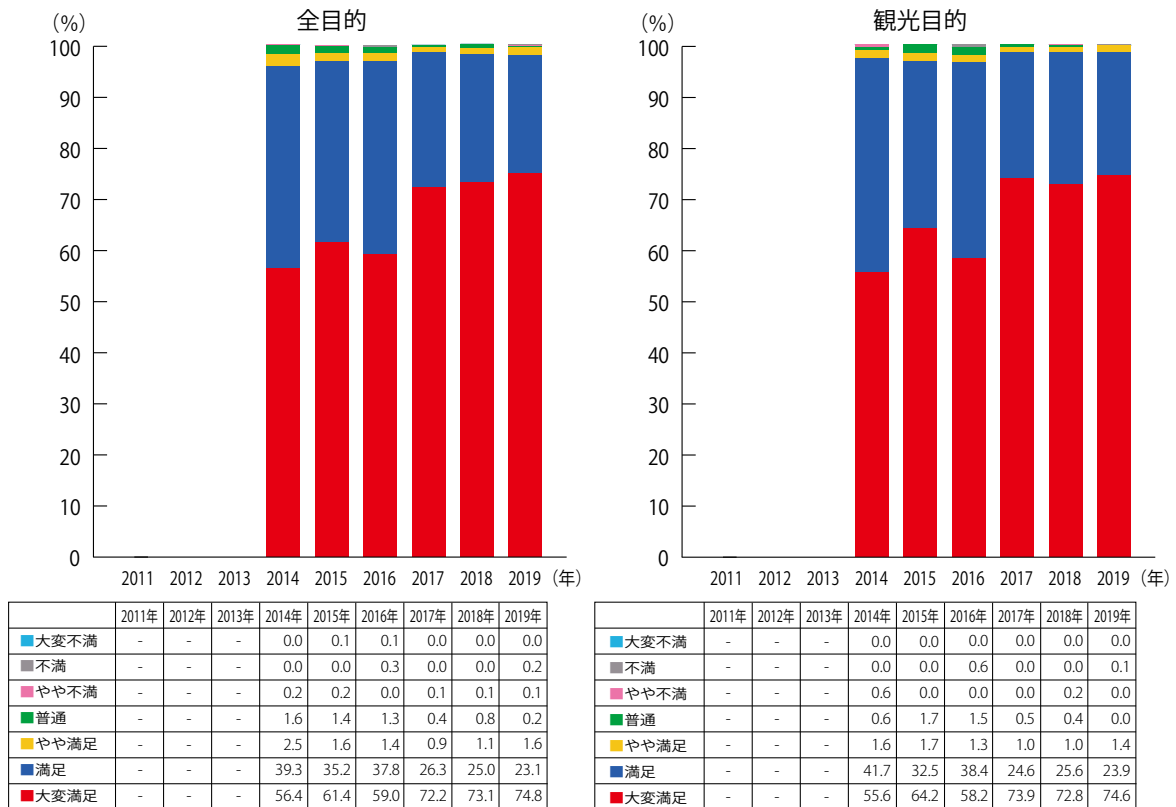
注4：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2014年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注5：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) インドネシア人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

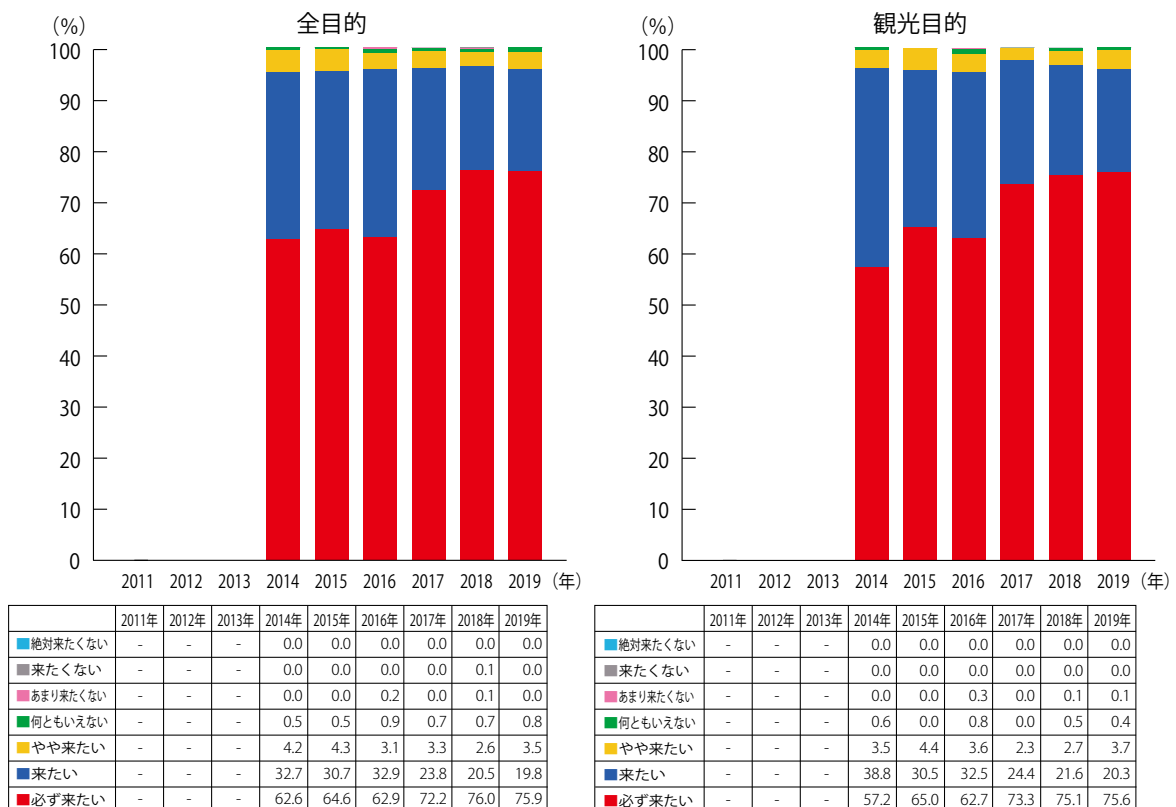


注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日インドネシア人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# フィリピン

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

マレー系が主体  
その他、中華系、スペイン系、少数民族  
出典：日本国外務省

### (2) 宗教別構成

ASEAN唯一のキリスト教国  
国民の83%がカトリック、その他のキリスト教が10%  
イスラム教は5%（ミンダナオ島ではイスラム教徒が人口の2割以上）  
出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

フィリピン語（タガログ語）が国語（フィリピン憲法で、フィリピン語を国語と規定している。）  
フィリピン語（タガログ語）と英語が公用語（フィリピン憲法で、フィリピン語と英語を公用語と規定している。）  
フィリピン全土には180以上の言語がある。

#### 【言語別人口の割合】

フィリピン語（タガログ語）（35.1%）、セブアノ語（13.8%）、ビサヤ語（8.7%）、イロカノ語（8.7%）、ヒリガイノン語（イロンゴ語）（7.0%）、ビコール語（ビコラノ語）（4.6%）、ワライ語（2.7%）、パンパンガ語（カパンパンガン語）（2.7%）など。

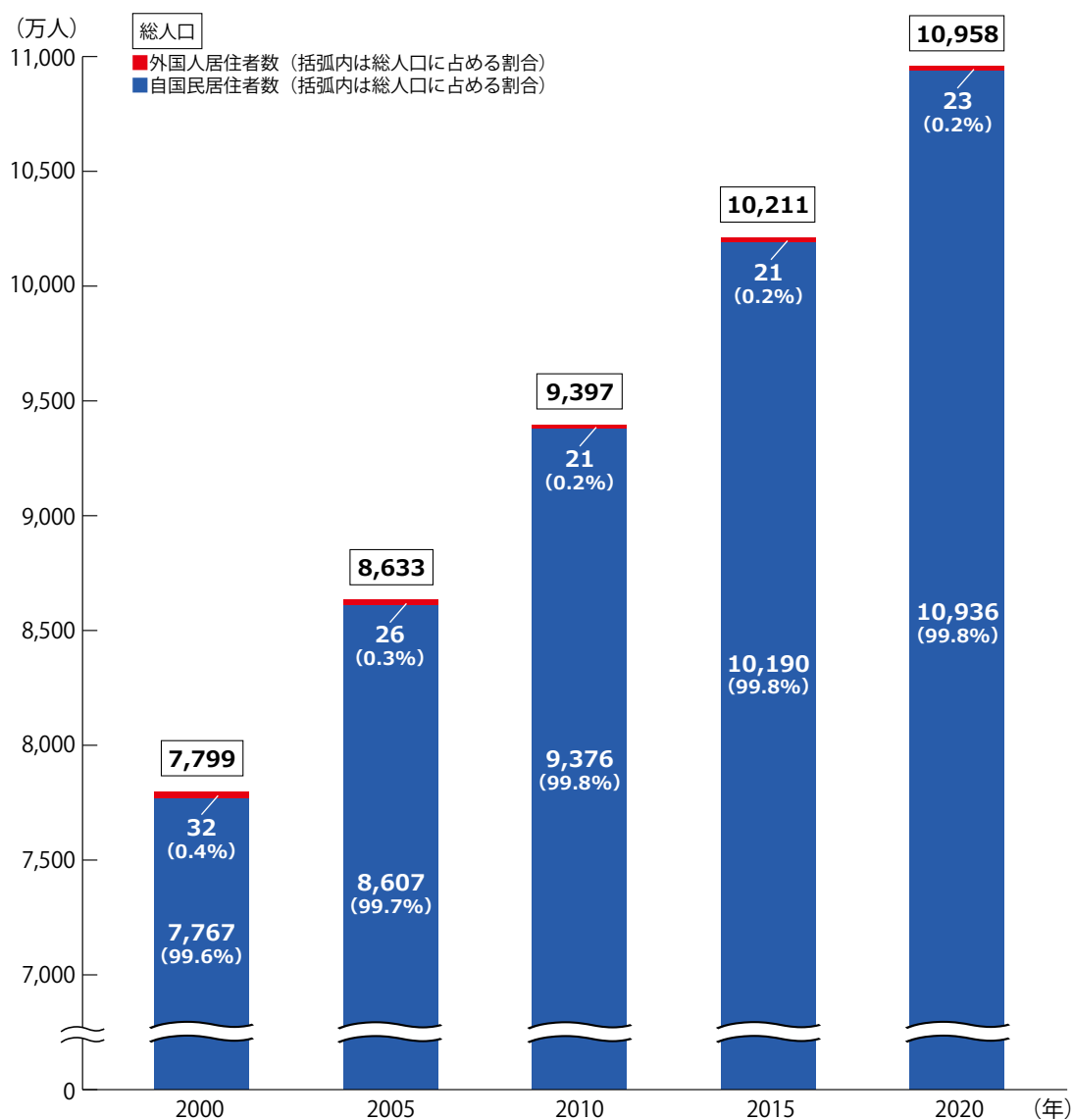
#### 【注】

フィリピンの大半の学校では、国語（フィリピン語）と歴史以外の授業が英語で行われている。大半の国民は英語を理解するため、フィリピンで印刷物を配布する場合、英語版で事が足りる。  
出典：日本政府観光局（JNTO）、総務省統計局「世界の統計2017」

### (4) 面積

30万km<sup>2</sup>（日本の79%強）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

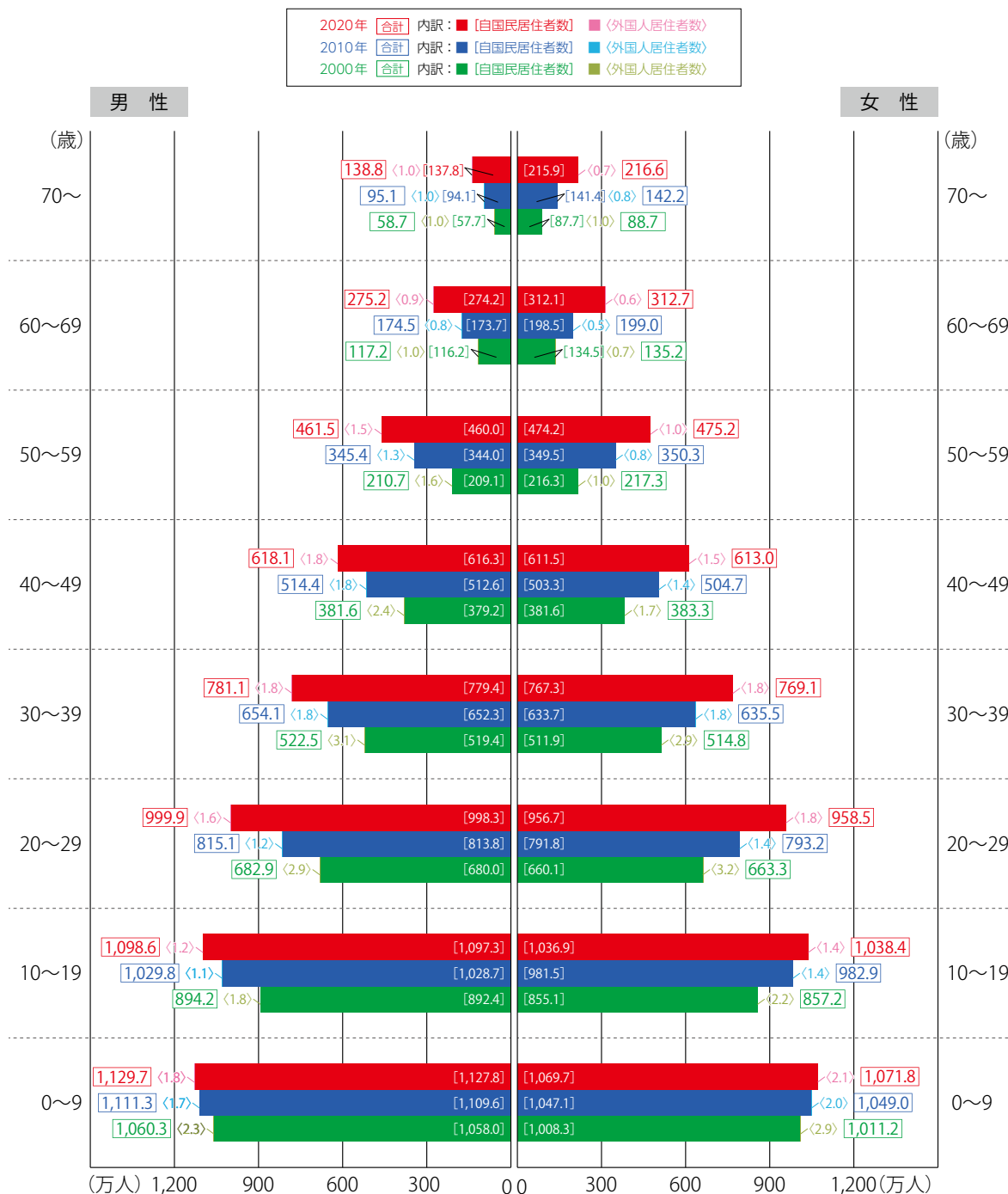
- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：フィリピンの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2020年に実施された国勢調査の結果である。  
出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)	
※◆中国旧正月	1月22日 (日)	2月10日 (土)	
◆エドサ革命記念日	2月25日 (土)	2月25日 (日)	
※ 聖木曜日	4月6日 (木)	3月28日 (木)	
※ 聖金曜日	4月7日 (金)	3月29日 (金)	
※ 聖土曜日	4月8日 (土)	3月30日 (土)	
勇者の日	4月9日 (日)	4月9日 (火)	
※◆イドゥル・フィトリ (イスラム断食明け祭)	4月22日 (土)	4月10日 (水)	2024年の日付は、2023年8月上旬時点での想定で記載。 日付は、NCMF (イスラム教徒フィリピン国民委員会) が大統領府に実際の日付を通知し、宣言がなされて初めて確認される。
メーデー	5月1日 (月)	5月1日 (水)	
独立記念日	6月12日 (月)	6月12日 (水)	
※◆イドゥル・アドハ (イスラム犠牲祭)	6月28日 (水)	6月16日 (日)	2024年の日付は、2023年8月上旬時点での想定で記載。 日付は、NCMF (イスラム教徒フィリピン国民委員会) が大統領府に実際の日付を通知し、宣言がなされて初めて確認される。
◆ニノイ・アキノ記念日	8月21日 (月)	8月21日 (水)	
※ 英雄の日	8月28日 (月)	8月26日 (月)	8月第4月曜日
◆万聖節	11月1日 (水)	11月1日 (金)	
◆死者の日	11月2日 (木)	11月2日 (土)	
ボニファンシオ生誕記念日	11月30日 (木)	11月30日 (土)	
◆聖母マリアの日	12月8日 (金)	12月8日 (日)	
◆特別休日 (クリスマスイブ)	12月24日 (日)	12月24日 (火)	
クリスマス	12月25日 (月)	12月25日 (水)	
リサール記念日	12月30日 (土)	12月30日 (月)	
◆大晦日	12月31日 (日)	12月31日 (火)	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：◆印の祝日は特別祝日である。(毎年、フィリピン政府により設定される。)

注3：2024年のイドゥル・フィトリ、イドゥル・アドハの日付については、政府の発表により、今後変動する可能性がある。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

注5：上記以外に、大統領令により祝日が追加または変更される可能性がある。

出典：フィリピン大統領府官報等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	10月第4週からの約1週間
		クリスマス休暇	12月第3週からの約2～3週間
		2学期中間休暇	3月下旬～4月下旬の聖週間中の約1週間
前期中等学校	12歳～16歳 (4年間)	夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	10月第4週からの約1週間
		クリスマス休暇	12月第3週からの約2～3週間
		2学期中間休暇	3月下旬～4月下旬の聖週間中の約1週間
後期中等学校	16歳～18歳 (2年間)	夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	10月第4週からの約1週間
		クリスマス休暇	12月第3週からの約2～3週間
		2学期中間休暇	3月下旬～4月下旬の聖週間中の約1週間
大学	18歳～22歳 (4年間)	夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	10月第4週からの約1週間
		クリスマス休暇	12月第3週からの約2～3週間
		2学期中間休暇	3月下旬～4月下旬の聖週間中の約1週間
学校年度	8月下旬～翌年6月		
義務教育	幼稚園(初等学校入学前の1年間) + 初等学校(6年間) + 前期中等学校(4年間) + 後期中等学校(2年間) = 13年間		

注1：学校や地域により期間や日程が異なる。

出典：フィリピン教育省の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		・労働時間のみ規定されている（労働法）。 ・一般的に土曜日、日曜日が休日である。
有給休暇日数	5日（勤続1年以上の被雇用者）	労働法	出産休暇、母親休暇、父親休暇、女性特別休暇、女性及び子供に対する暴力の被害者のための休暇などは、有給休暇とは区別されている。
定年退職	60歳（任意定年退職年齢） 65歳（強制定年退職年齢）	労働法	定年退職年齢は労働協約により、別に定めることもできる。

出典：日本国厚生労働省、日本貿易振興機構（JETRO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。（志願制を実施）
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	72.1
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	66.4
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	47.4
トリップアドバイザー (Tripadvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	44.4
トラベライフ (Travelife)	ウェブサイト	ニュース発信	29.2
トラベルナウ (Travel Now)	ウェブサイト	ニュース発信	27.8
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	23.7
ピンタレスト (Pinterest)	SNS	画像を掲載	22.0
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	20.8
エービーエス・シービーエヌ・ニュース (ABS-CBN.news)	ウェブサイト	ニュース発信	15.0
ウェン・イン・マニラ (When in Manila)	ウェブサイト	生活情報発信	14.6
スポット・ドット・ピーエイチ (spot.ph)	ウェブサイト	ニュース発信	14.0
フィリピン・スター・オンライン (Philippine Star Online)	ウェブサイト	ニュース発信	12.0
インクワイアラー・ドット・ネット (Inquirer.net)	ウェブサイト	ニュース発信	11.7
ラップラー (Rappler)	ウェブサイト	ニュース発信	11.4
マニラ・プレティン・オンライン (Manila Bulletin Online)	ウェブサイト	ニュース発信	11.3
マニラタイムズ (Manila Times)	ウェブサイト	ニュース発信	9.4

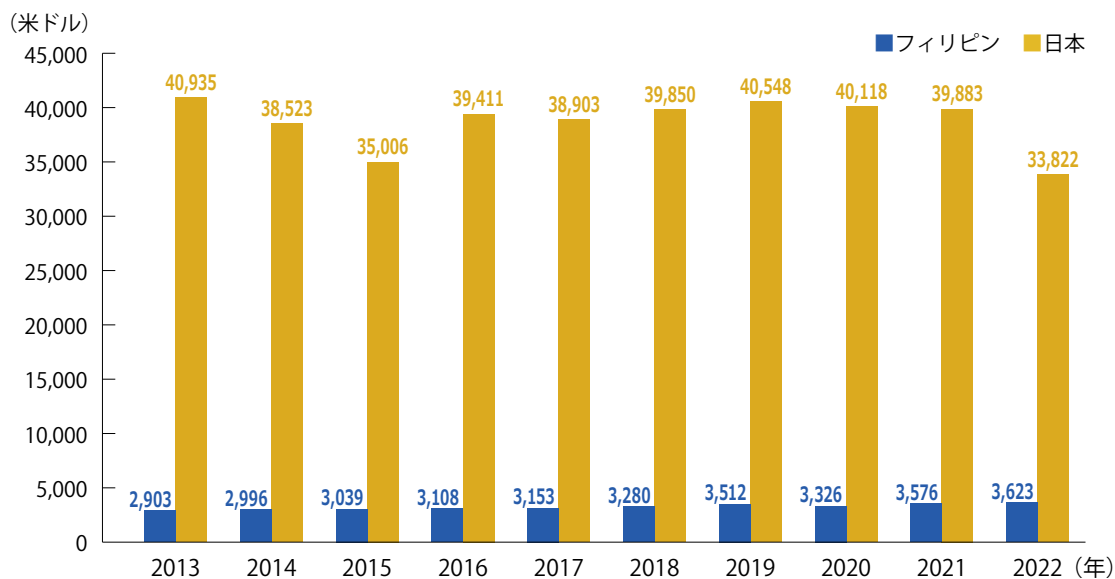
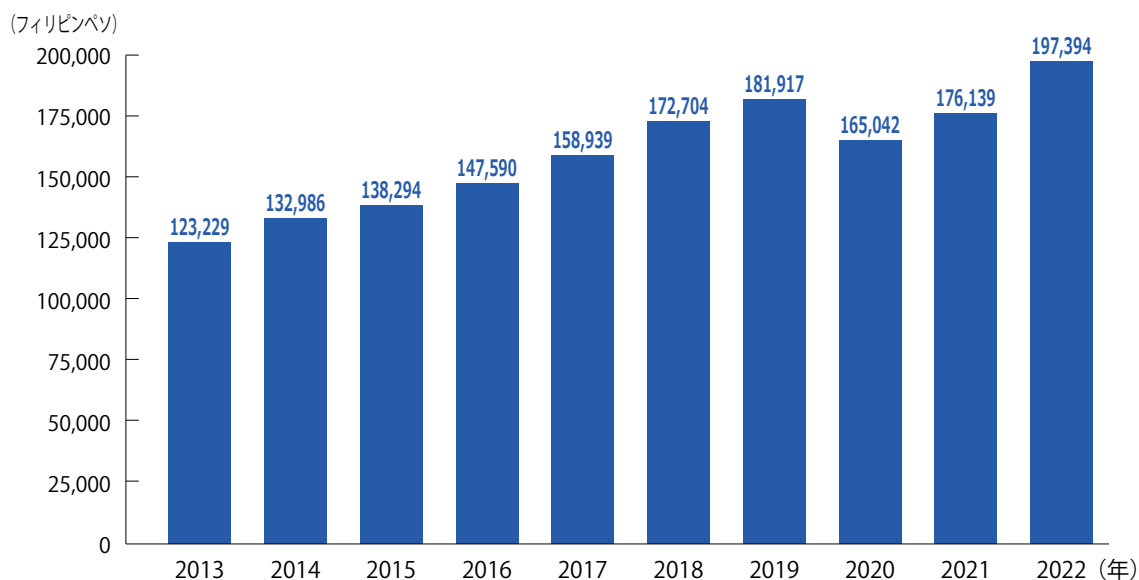
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

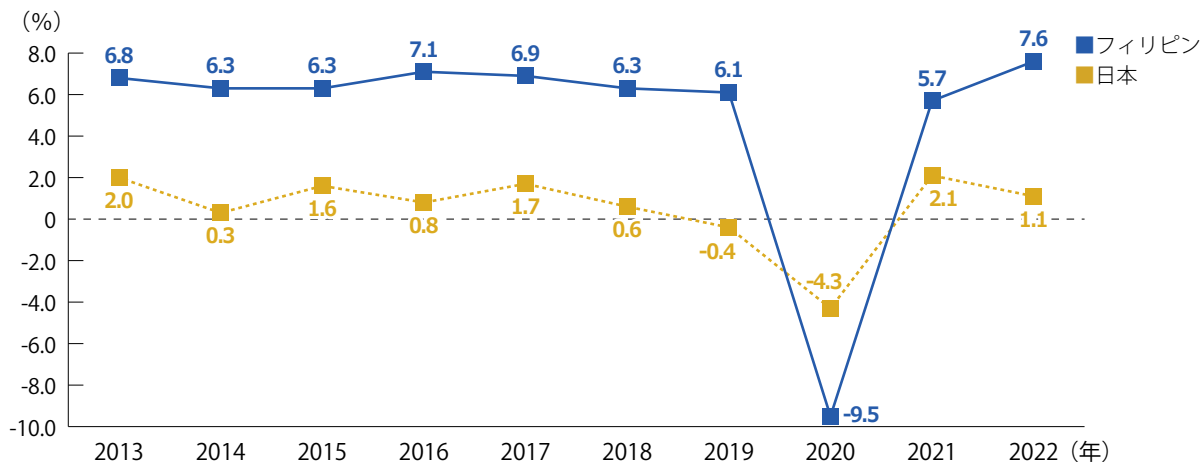
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

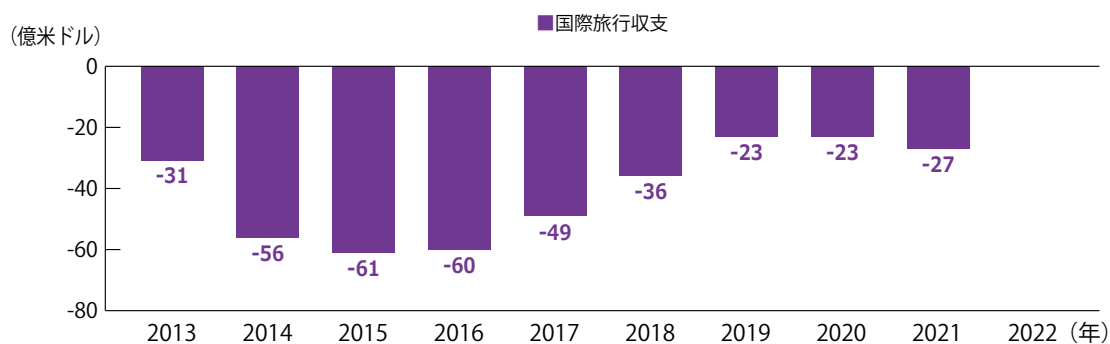
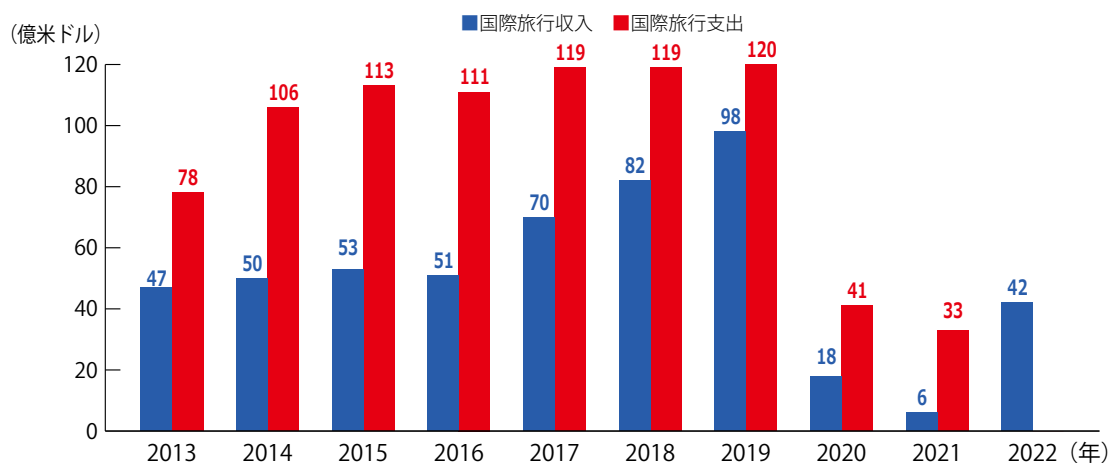
出典：国際通貨基金 (IMF)

(2) 実質経済成長率 (2013年～2022年)



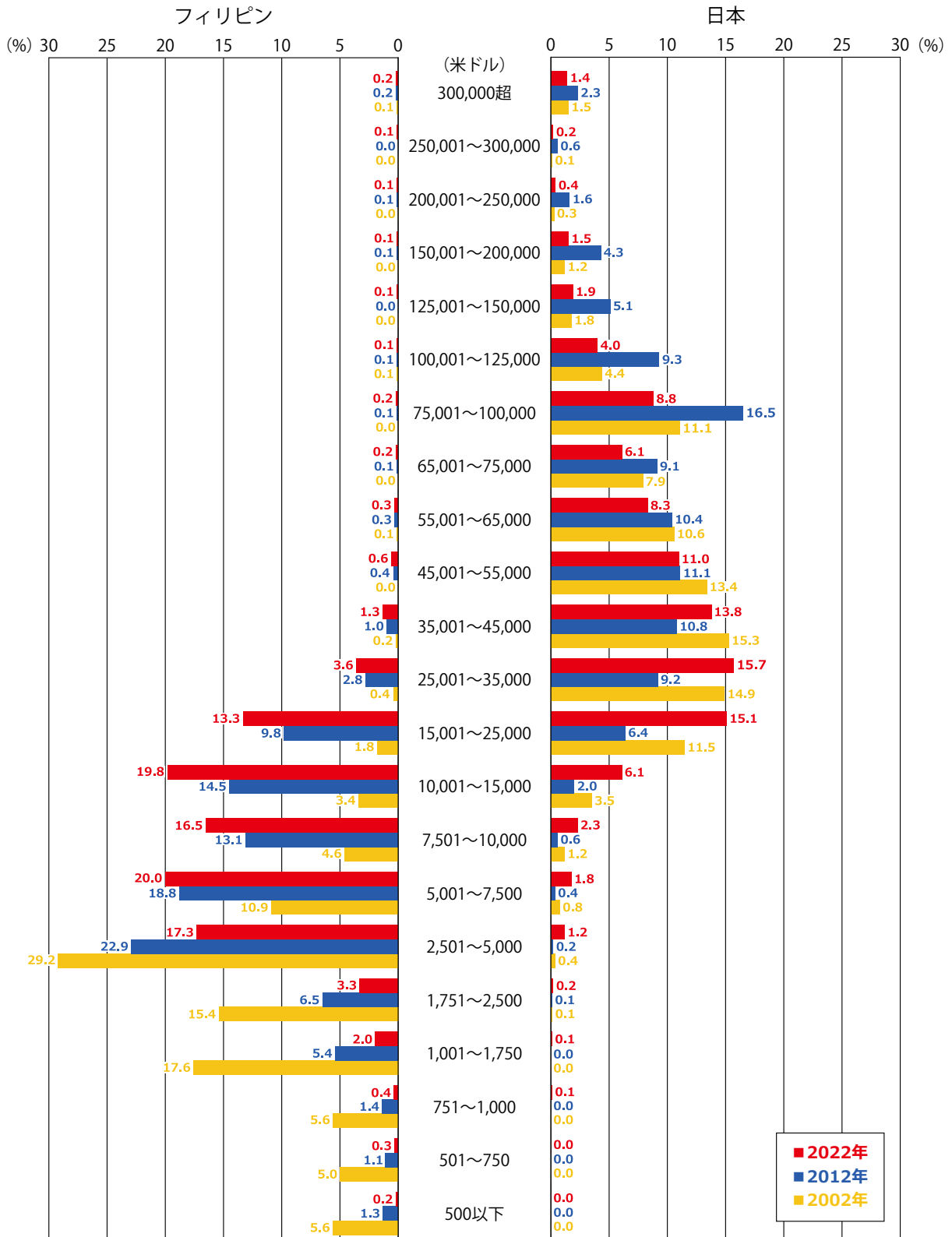
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出 (2013年～2022年)



注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関 (UNWTO) に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成

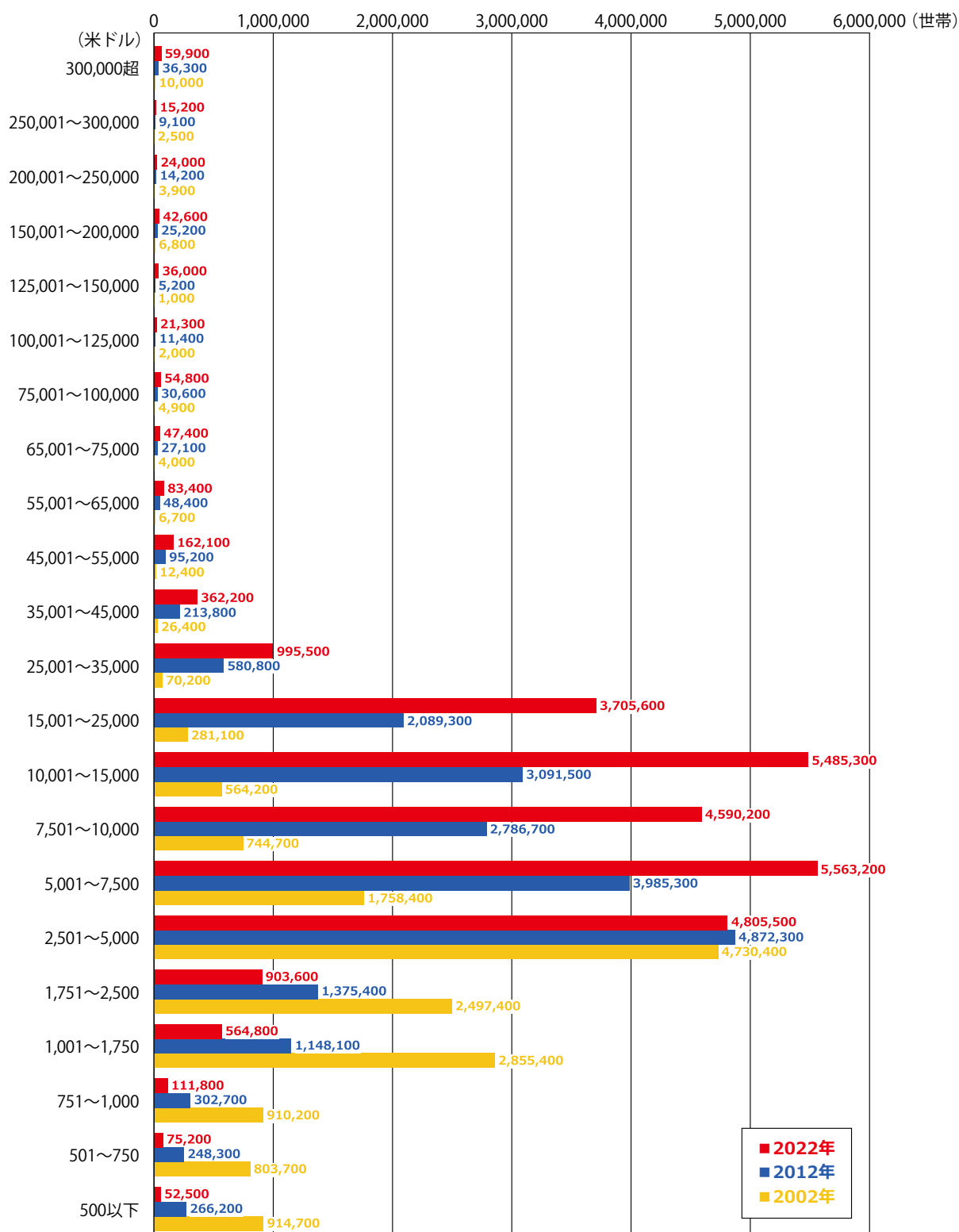
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル



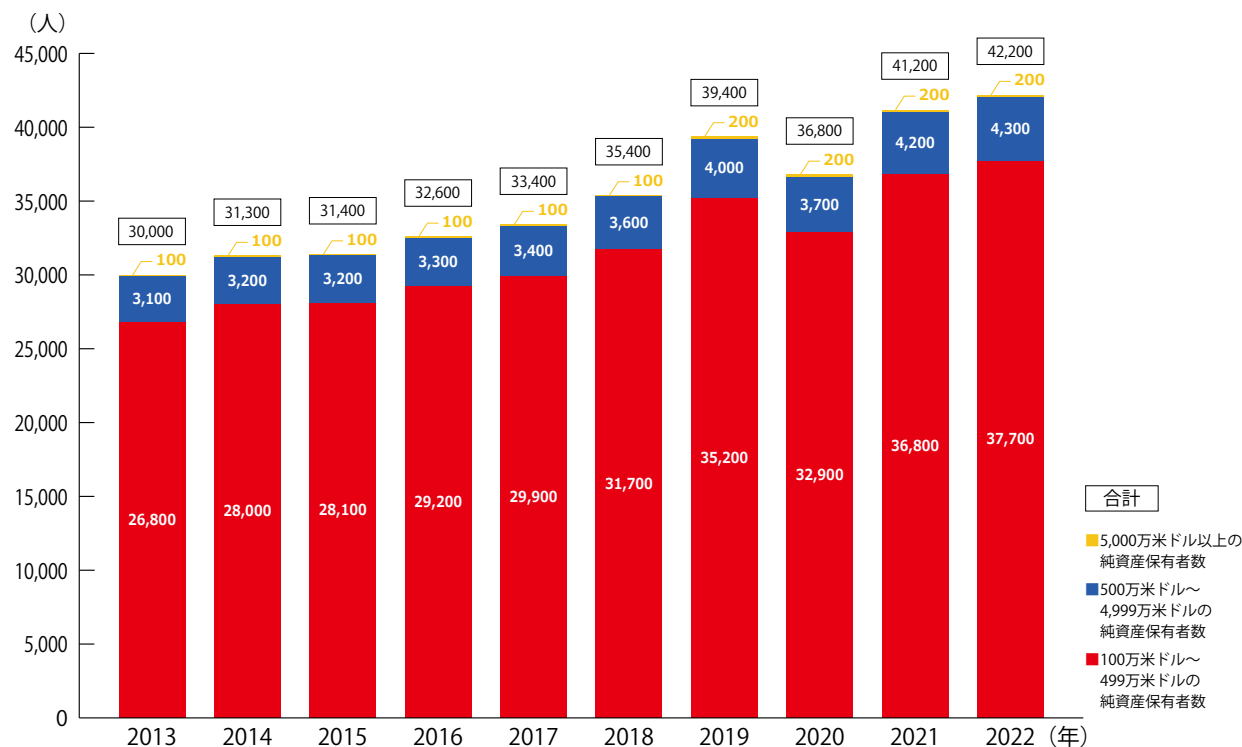
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

フィリピン

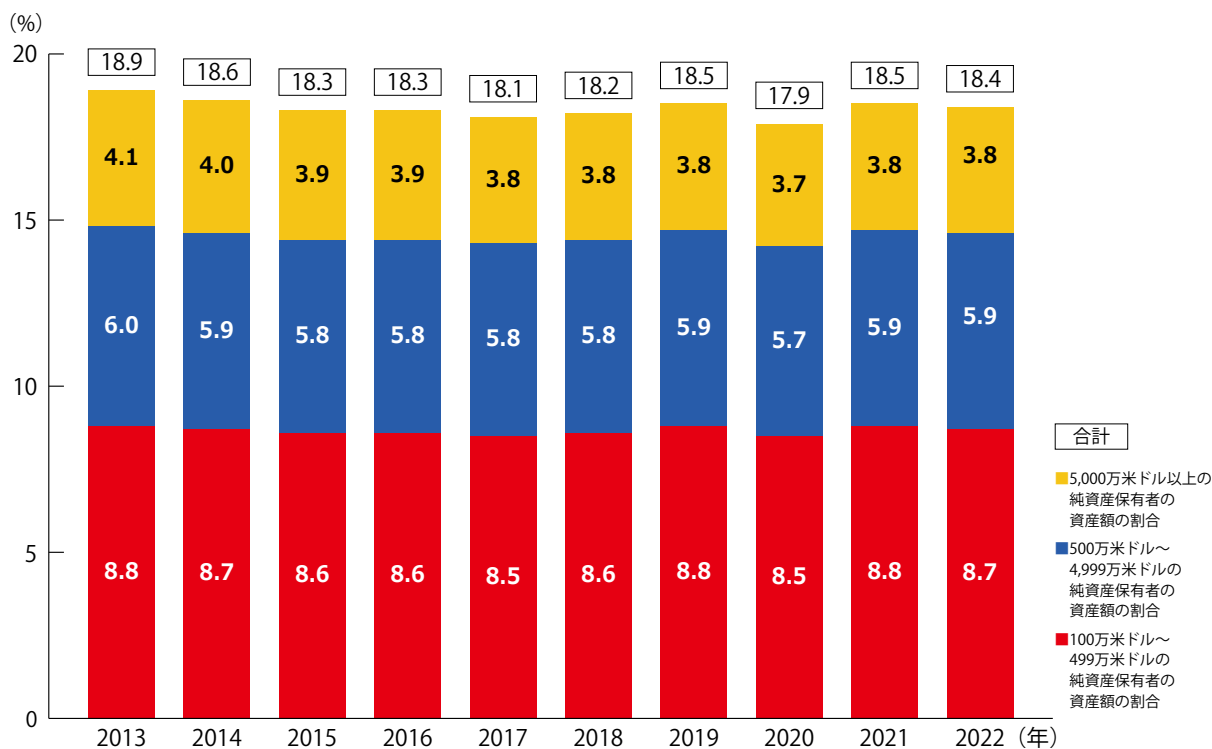
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

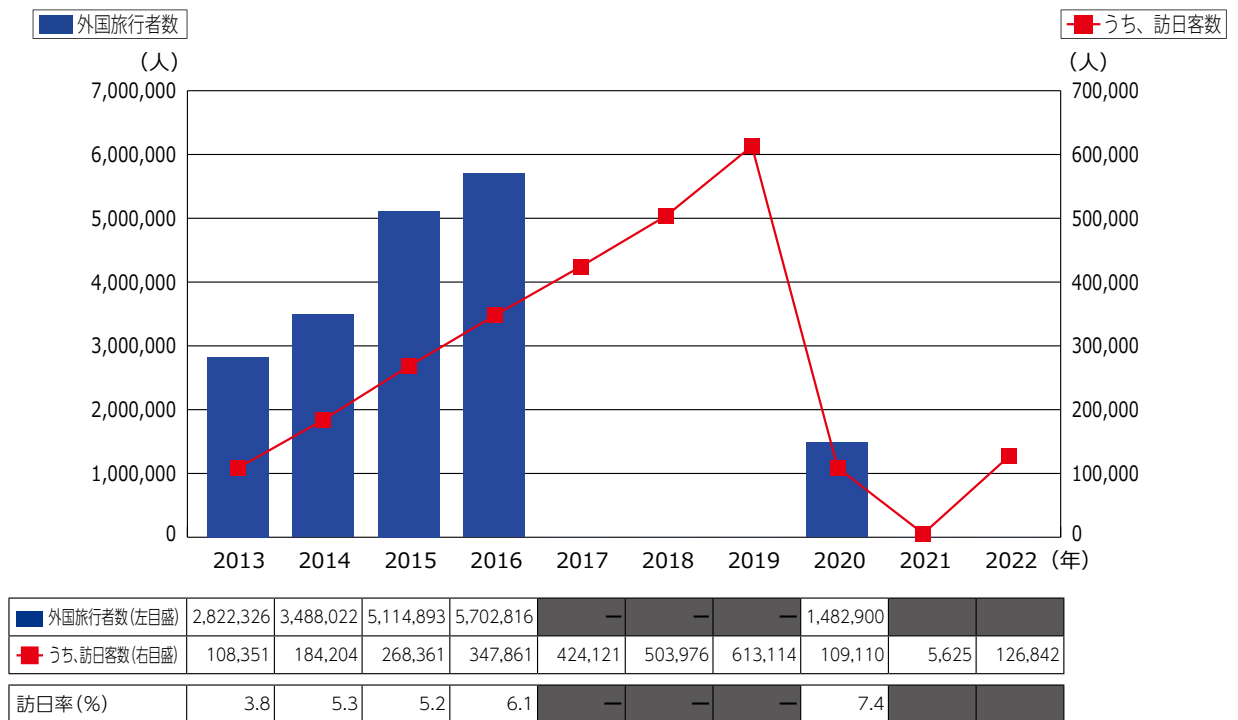


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) フィリピン人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注1：上記の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 注2：上記の外国旅行者数には、フィリピン在住の外国人が含まれていない。  
 出典：フィリピン統計機構、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのフィリピン人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	単位：人					過去5年間の最大値
			2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
1位	中国	VFN	1,160,875	1,202,966	1,177,668	↓コロナ流行	↓コロナ流行	1,202,966
2位	シンガポール	VFR	736,500	778,141	829,325	97,881	11,494	829,325
3位	香港	TFR	759,852	764,536	729,981	47,873	4,036	764,536
4位	日本	VFN	424,121	503,976	613,114	109,110	5,625	613,114
5位	台湾	VFR	290,784	419,105	509,519	77,065	9,183	509,519
6位	タイ	TFN	381,252	432,053	506,430	71,796	4,078	506,430
7位	韓国	VFN	448,702	460,168	503,867	115,696	116,233	503,867
8位	マレーシア	TFN	370,559	396,062	421,908	66,051	2,317	421,908
9位	アラブ首長国連邦	VFN	395,577	391,602	394,191	108,790	—	395,577
10位	米国	TFR	309,311	310,054	332,022	45,812	61,041	332,022
11位	インドネシア	VFN	308,977	217,874	260,980	50,413	9,375	308,977
12位	クウェート	VFN	232,147	203,566	246,959	50,060	56,612	246,959
13位	ベトナム	VFR	133,543	151,641	179,190	37,437	1,340	179,190
14位	豪州	VFR	126,750	143,740	158,548	26,546	4,454	158,548
15位	カンボジア	TFR	98,499	92,451	105,017	14,760	1,462	105,017
16位	トルコ	TFN	46,006	80,904	103,881	39,945	44,433	103,881
17位	カナダ	TFR	73,538	80,689	95,351	17,117	16,010	95,351
18位	スペイン	TFR	54,398	86,267	88,991	31,622	52,964	88,991
19位	サウジアラビア	TFN	82,718	59,171	71,195	10,689	18,097	82,718
20位	マカオ	THSR	50,675	52,876	65,806	19,910	27,693	65,806
21位	オマーン	VFN	80,240	53,962	61,522	14,060	4,564	80,240
22位	インド	VFN	53,963	53,473	56,393	16,052	6,927	56,393
23位	エジプト	VFN	39,089	47,974	55,713	27,141	—	55,713
24位	英国	VFR	57,767	49,516	49,608	—	4,198	57,767
25位	キューバ	VFR	47,886	73,874	44,326	7,018	4,181	73,874

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
26位	イスラエル	TFR	22,172	28,623	32,855	5,939	1,691	32,855
27位	レバノン	TFN	31,778	32,321	31,265	5,401	9,271	32,321
28位	ニュージーランド	VFR	23,936	28,822	27,505	5,398	1,264	28,822
29位	ジョージア	VFR	19,100	21,673	24,749	6,667	13,597	24,749
30位	ブルネイ	TFN	23,157	22,319	24,584	4,562	118	24,584
31位	グアム	TFR	19,132	19,923	20,879	3,414	2,980	20,879
32位	アルメニア	TFR	22,007	20,363	20,262	5,440	4,452	22,007
33位	スイス	THSR	16,293	16,975	19,838	2,806	2,334	19,838
34位	エクアドル	VFN	19,077	15,500	19,524	3,929	174	19,524
35位	メキシコ	TFN	16,242	17,603	19,261	7,343	12,069	19,261
36位	パプアニューギニア	VFR	12,569	13,943	19,075	5,518	3,061	19,075
37位	ルーマニア	VFR	16,801	17,310	17,831	11,788	14,657	17,831
38位	モロッコ	TFN	15,228	14,629	17,634	4,762	5,988	17,634
39位	ミャンマー	TFN	18,143	16,748	17,398	3,311	233	18,143
40位	ラオス	VFN	10,168	10,826	17,187	3,667		17,187
41位	イタリア	TFN	23,773	18,162	16,837	10,898	20,919	23,773
42位	ポルトガル	TCER			15,832	3,287	4,440	15,832
43位	スリランカ	TFR	16,845	19,303	14,590	4,249	529	19,303
44位	ロシア	VFN	10,124	10,128	13,534	1,830		13,534
45位	ブルガリア	VFR	11,682	13,816	13,464	6,293	7,328	13,816
46位	ヨルダン	TFN	10,534	10,798	12,511	2,864	2,719	12,511
47位	モルディブ	TFN	10,532	11,035	8,461	1,756	5,474	11,035
48位	ベルギー	TCER	6,294	6,755	8,200	2,619	4,092	8,200
49位	南アフリカ共和国	TFR	7,204	7,610	7,802	1,901	3,047	7,802
50位	ナイジェリア	VFN	7,607	7,515	7,443	1,496	1,543	7,607
51位	フィンランド	TCER	5,236	5,212	7,412	2,159	3,609	7,412
52位	パナマ	VFR	2,906	6,905	7,172	4,948	9,656	9,656
53位	ブラジル	TFR	6,265	5,627	6,718	1,822	906	6,718
54位	ペルー	TFR	3,515	3,405	4,642	873	205	4,642
55位	アゼルバイジャン	VFR	2,570	3,693	4,605	687	1,323	4,605
56位	タンザニア	VFR	2,893	2,256	4,265	1,622	1,824	4,265
57位	ネパール	TFN	4,235					4,235
58位	アンゴラ	TFR	4,599	3,095	4,096	825	1,326	4,599
59位	トーゴ	THSR		290	4,050	117		4,050
60位	コロンビア	TFR	3,686	3,604	3,730	1,006	2,727	3,730
61位	イラン	VFN	6,446	3,840	3,479	273	270	6,446
62位	ポーランド	TCER	2,696	3,890	3,322	1,018	3,527	3,890
63位	バーレーン	VFR		7,287	3,312		1,220	7,287
64位	モーリシャス	TFR	2,742	2,872	3,299	1,158	933	3,299
65位	ウクライナ	TFR	1,899	2,816	3,063	1,316	1,493	3,063
	アルゼンチン	TFR	3,090	2,828	2,974	1,232	185	3,090
	東ティモール	TFR	3,184	3,320	2,173	552	59	3,320

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

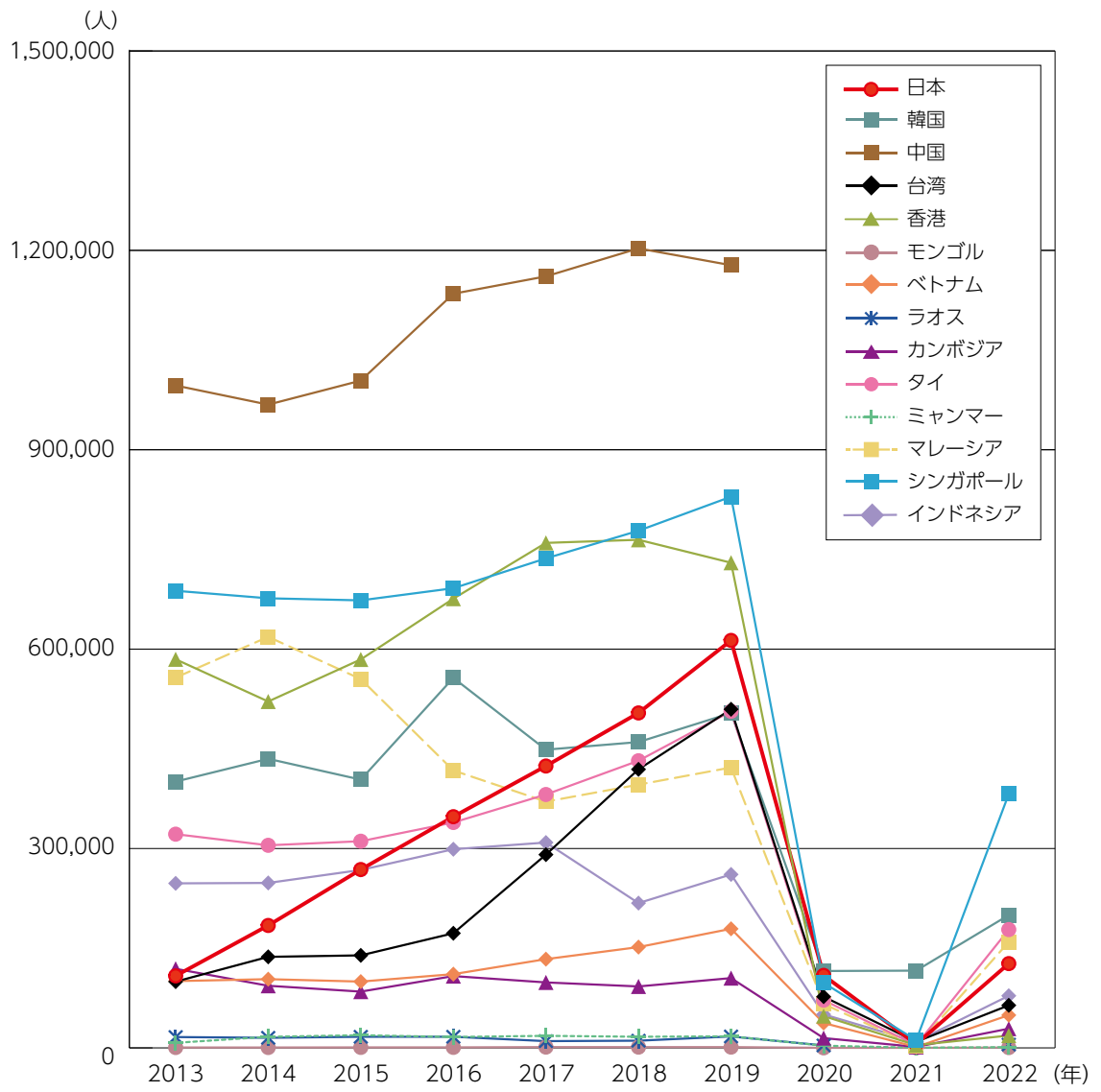
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入りにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのフィリピン人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	996,672	967,900	1,004,008	1,134,739	1,160,875	1,202,966	1,177,668			
シンガポール	VFR	687,794	676,481	673,374	691,640	736,500	778,141	829,325	97,881	11,494	381,988
香港	TFR	584,727	521,192	584,481	675,914	759,852	764,536	729,981	47,873	4,036	18,562
日本	VFN	108,351	184,204	268,361	347,861	424,121	503,976	613,114	109,110	5,625	126,842
台湾	VFR	99,698	136,978	139,217	172,475	290,784	419,105	509,519	77,065	9,183	64,038
タイ	TFN	321,571	304,813	310,968	339,150	381,252	432,053	506,430	71,796	4,078	178,021
韓国	VFN	400,686	434,951	403,622	556,745	448,702	460,168	503,867	115,696	116,233	199,845
マレーシア	TFN	557,147	618,538	554,917	417,446	370,559	396,062	421,908	66,051	2,317	159,442
インドネシア	VFN	247,573	248,182	267,700	298,910	308,977	217,874	260,980	50,413	9,375	78,436
ベトナム	VFR	100,501	103,403	99,757	110,967	133,543	151,641	179,190	37,437	1,340	49,266
カンボジア	TFR	118,999	93,475	84,677	108,032	98,499	92,451	105,017	14,760	1,462	28,929
ミャンマー	TFN	7,578	16,709	19,075	16,421	18,143	16,748	17,398	3,311	233	1,145
ラオス	VFN	16,318	15,179	16,709	16,750	10,168	10,826	17,187	3,667		4,986
モンゴル	TFN	611	608	767	795	1,219	1,169	1,204	79	54	468

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

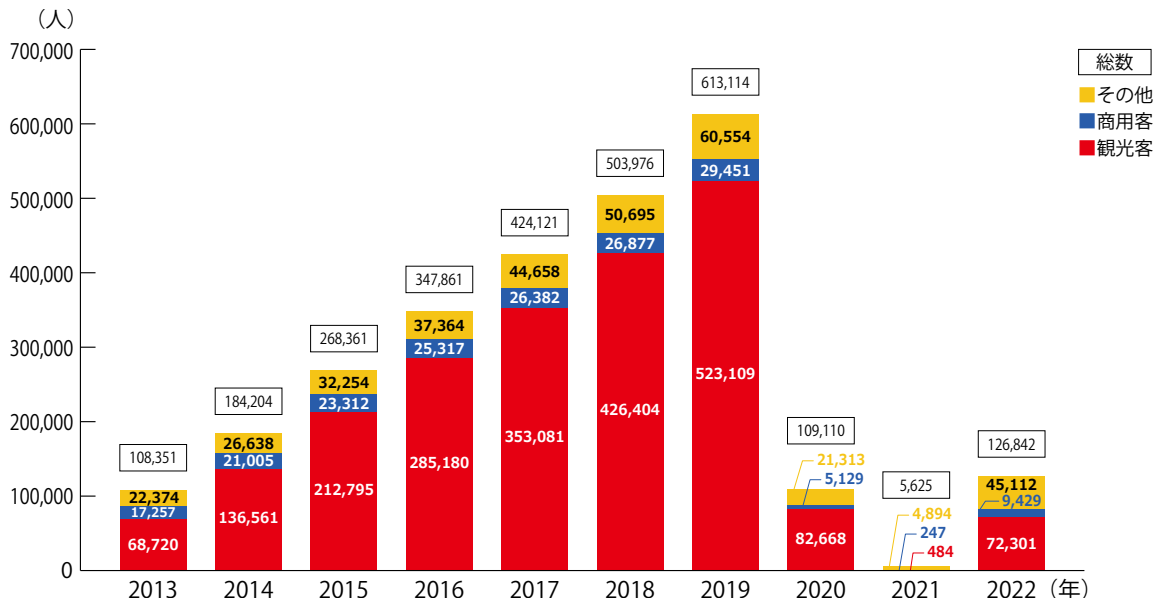
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

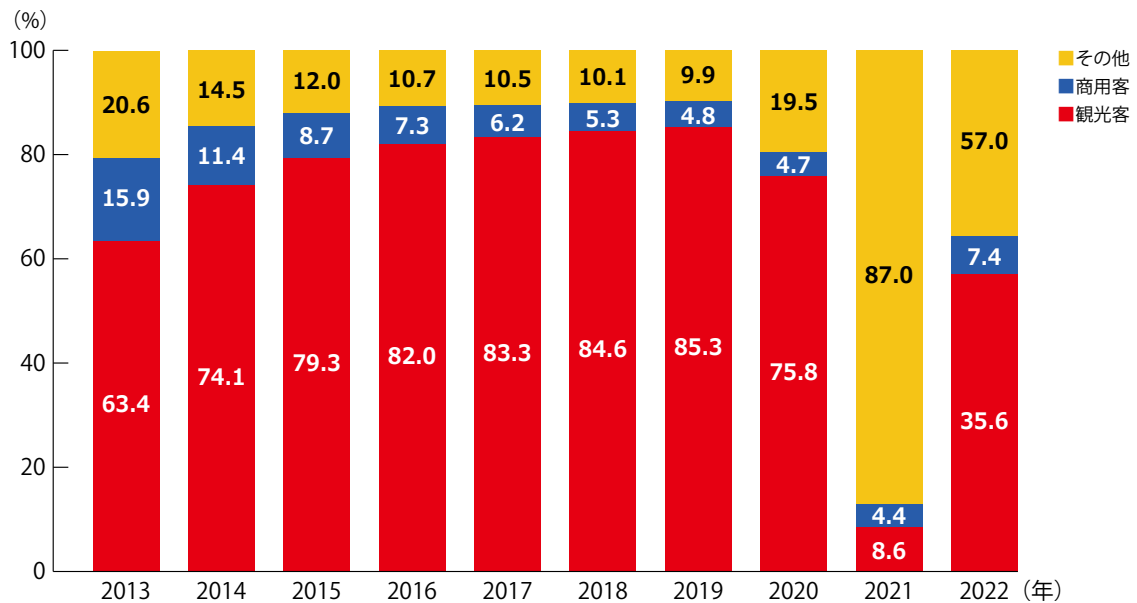
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日フィリピン人の推移（2013年～2022年）



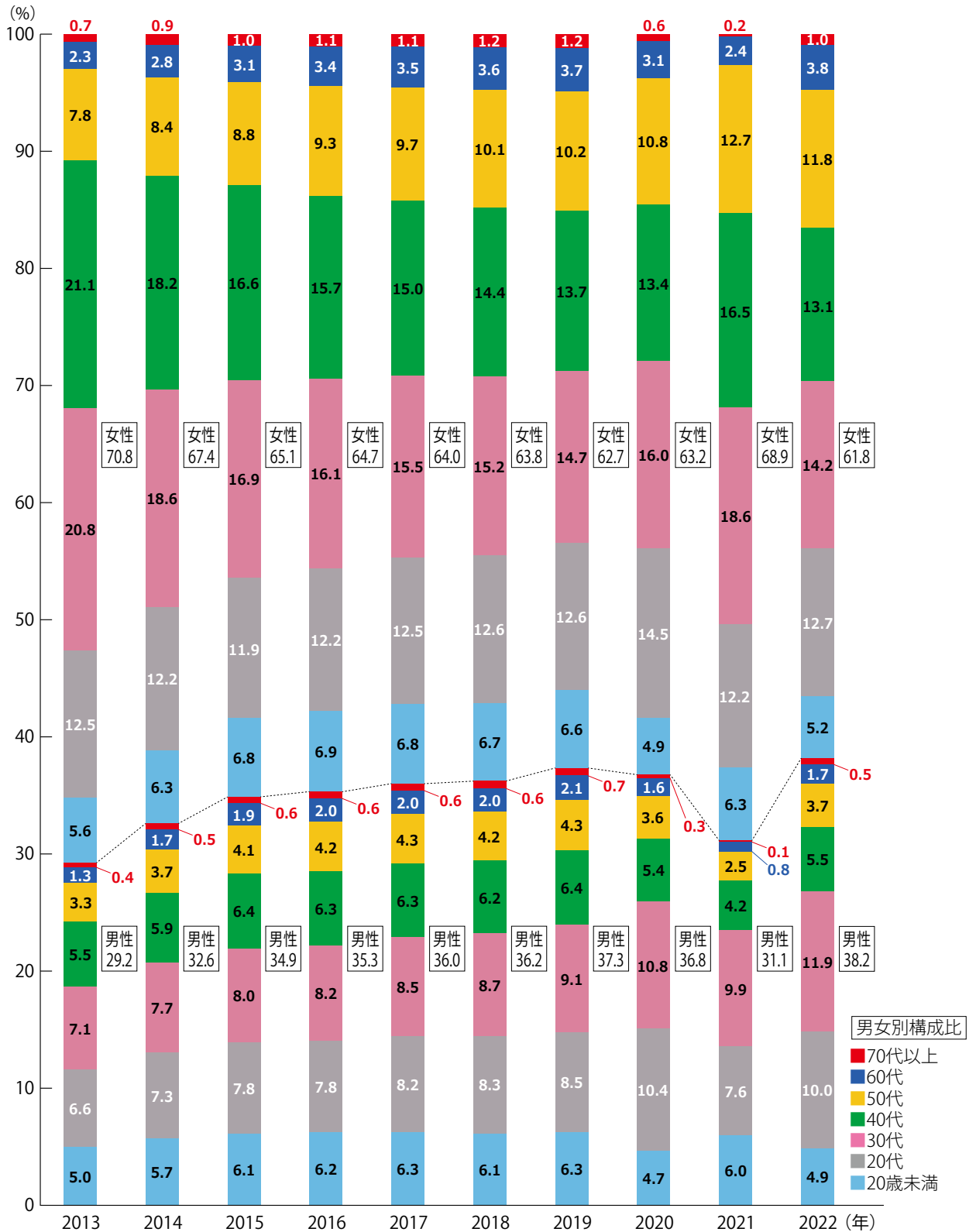
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日フィリピン人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日フィリピン人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)

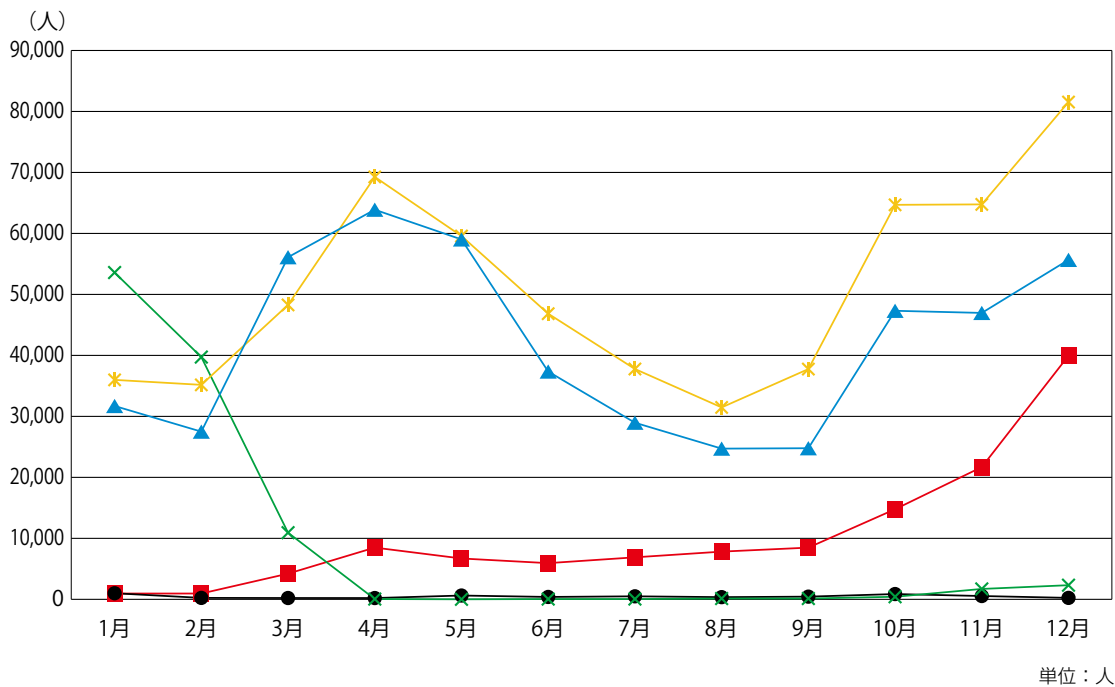


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

フィリピン

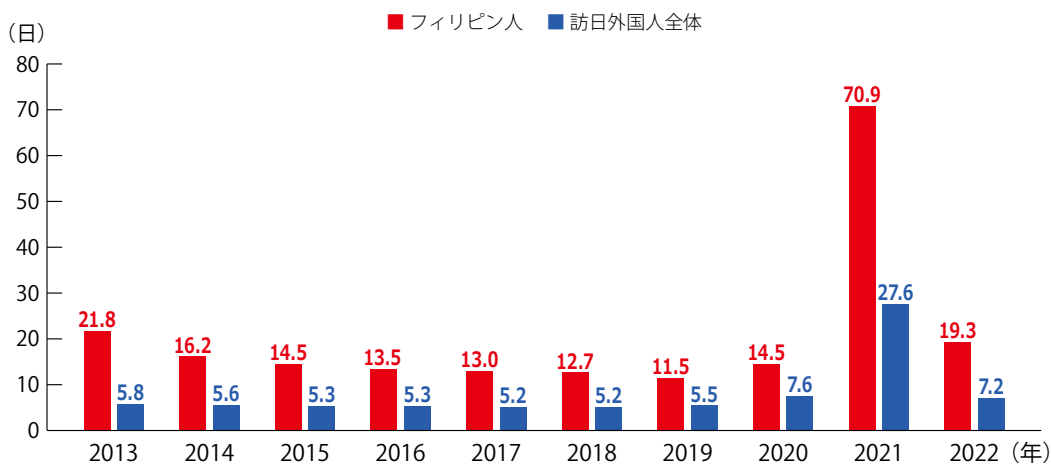
#### (4) 月別訪日フィリピン人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	952	952	4,211	8,485	6,699	5,935	6,888	7,824	8,479	14,775	21,689	39,953
● 2021年	998	236	218	212	624	392	495	360	441	867	544	238
× 2020年	53,588	39,728	10,930	47	6	48	51	132	134	423	1,704	2,319
* 2019年	35,987	35,170	48,277	69,266	59,578	46,842	37,771	31,470	37,758	64,690	64,763	81,542
▲ 2018年	31,706	27,499	56,103	63,893	59,016	37,354	28,965	24,714	24,779	47,316	46,965	55,666

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日フィリピン人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



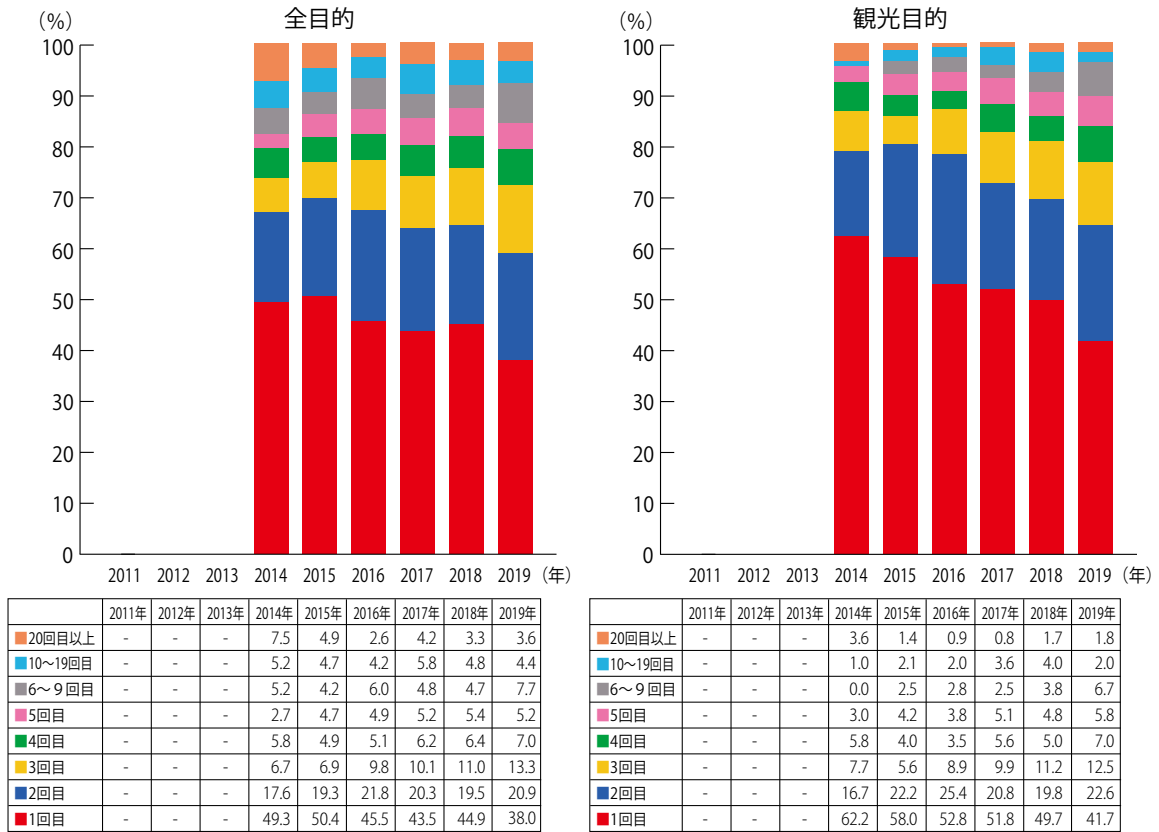
注1：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

注2：フィリピンからの観光以外の目的客は、日本での滞在期間が長い傾向にある。その影響を受けて、訪日フィリピン人の平均滞在日数は多く表れている。フィリピンからの観光客に焦点を当てて、その滞在期間を把握する場合は、第4章(7)を参照すると良い。

出典：日本政府観光局（JNTO）



(6) 訪日フィリピン人の訪日回数 (2011年~2019年)

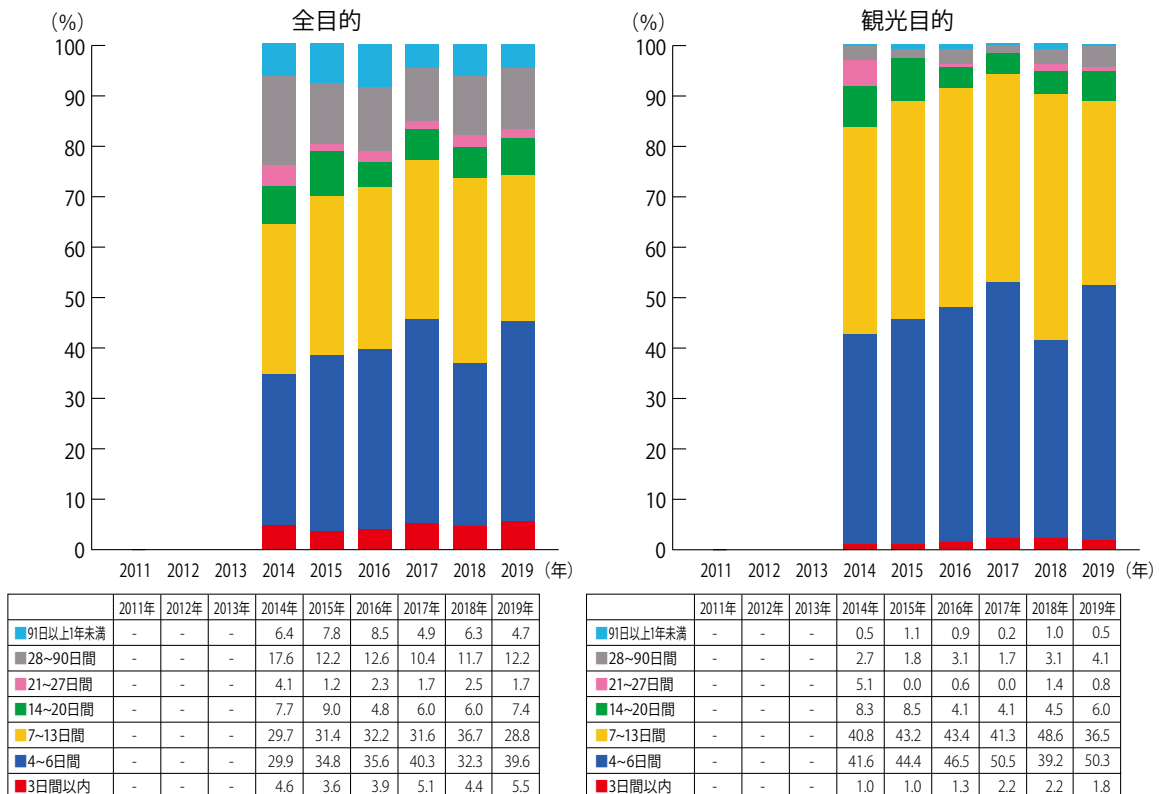


注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日フィリピン人の滞在期間 (2011年~2019年)

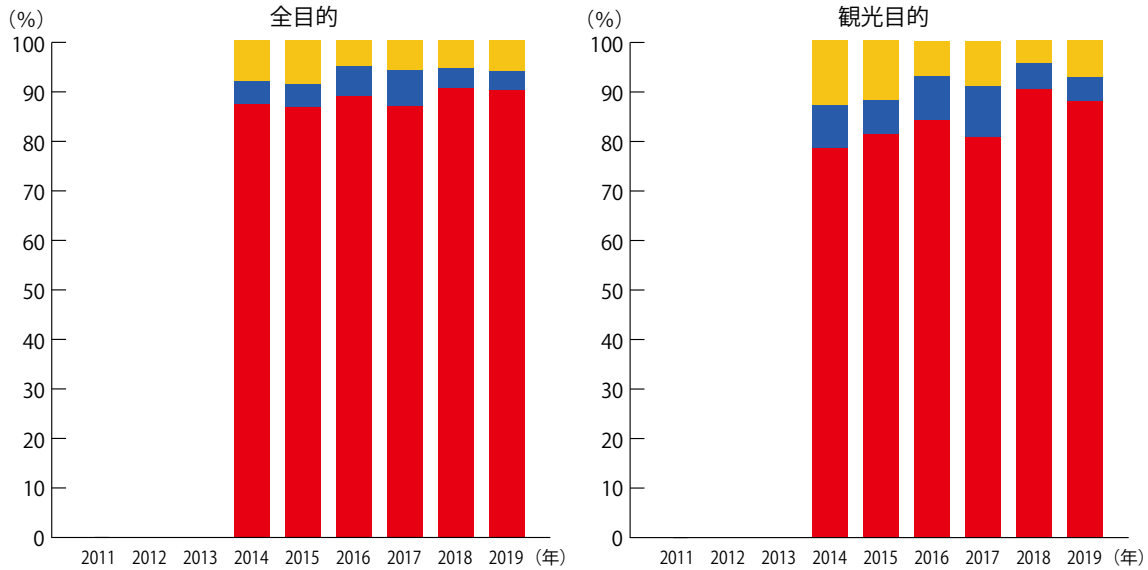


注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日フィリピン人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	-	-	-	8.2	8.9	5.2	6.1	5.6	6.1
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	4.6	4.5	6.0	7.1	4.1	3.9
■ 個別手配	-	-	-	87.2	86.6	88.8	86.8	90.3	90.0

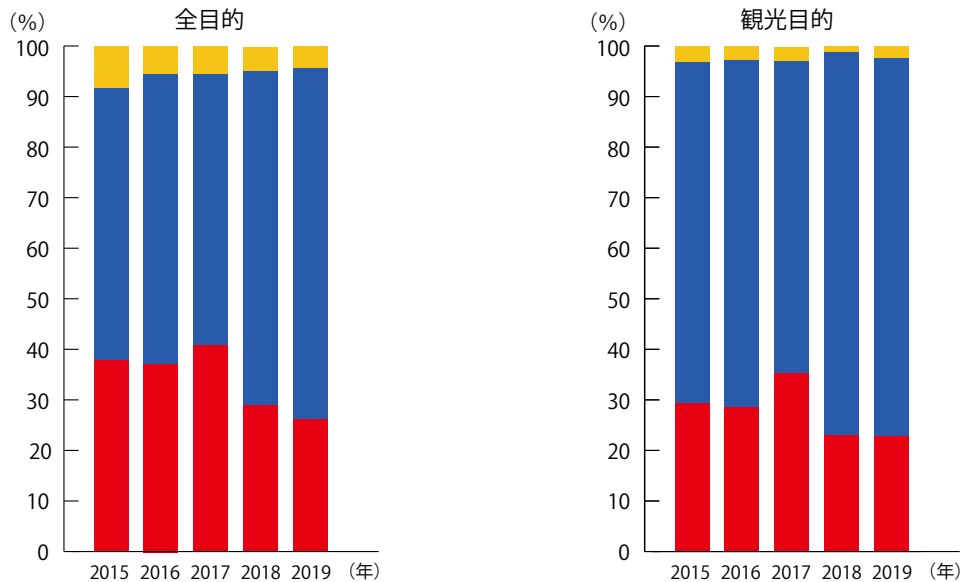
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	-	-	-	13.1	12.0	7.2	9.1	4.5	7.4
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	8.7	6.8	8.9	10.2	5.4	5.0
■ 個別手配	-	-	-	78.2	81.2	83.9	80.6	90.1	87.7

注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日フィリピン人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	8.2	5.6	5.5	4.8	4.2
■ ウェブサイトから申し込んだ	53.9	57.2	53.7	66.1	69.6
■ 店頭で申し込んだ	37.9	37.2	40.8	29.0	26.2

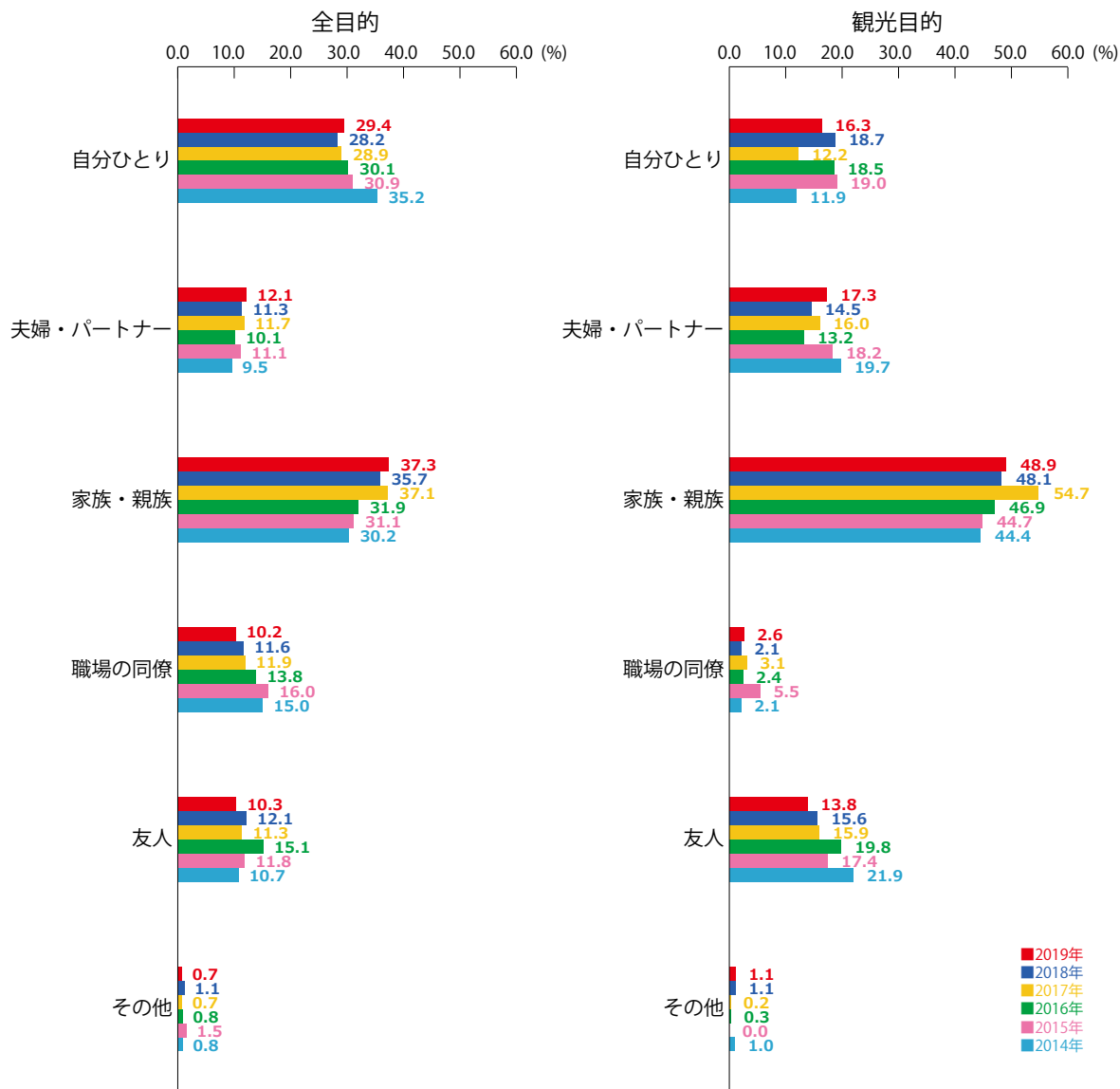
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	3.2	2.7	2.9	1.1	2.3
■ ウェブサイトから申し込んだ	67.5	68.7	61.6	75.9	74.8
■ 店頭で申し込んだ	29.4	28.6	35.4	23.0	22.9

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日フィリピン人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2014年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日フィリピン人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	85.1 82.1 80.2 79.3 78.5	98.6 98.7 98.1 98.7 96.4	74.0 70.2 71.4 70.2 68.0
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	24.6 19.4 21.4 20.6 20.6	37.0 36.7 40.7 41.7 44.0	20.8 14.8 20.6 25.8 20.9
旅館に宿泊	12.5 11.9 11.0 9.9 12.1	8.9 14.9 11.7 11.5 17.5	32.9 23.0 21.5 23.2 23.2
温泉入浴	17.9 17.0 13.7 14.6 13.7	16.3 15.2 16.9 15.0 18.6	45.1 37.3 28.2 32.8 30.8
自然・景勝地観光	47.2 48.3 42.6 46.3 42.0	58.5 64.1 58.4 59.9 66.8	47.9 47.4 44.4 44.7 44.6
繁華街の街歩き	58.9 48.8 43.7 45.7 41.9	77.3 75.4 73.5 76.0 78.0	35.1 33.2 35.1 37.1 36.2
ショッピング	66.2 56.3 54.9 55.9 54.1	83.4 81.3 83.7 84.6 87.5	55.7 50.8 49.2 51.0 50.1
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	20.5 22.3 14.6 19.4 14.2	26.2 31.5 26.1 25.8 24.7	22.6 22.4 22.3 25.5 21.4
テーマパーク	44.3 31.8 29.5 26.8 26.4	49.1 39.2 38.2 37.5 41.6	40.6 33.3 37.8 32.7 30.7
スキー・スノーボード	9.9 7.8 5.3 6.6 5.3	3.5 4.0 3.3 3.2 4.2	27.4 24.6 18.3 24.1 22.9
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.3 1.5 3.0 2.0 2.5	0.6 0.9 2.0 2.6 2.2	1.1 2.8 8.6 11.2 9.3
舞台・音楽鑑賞	6.7 4.7 4.4 6.0 5.1	2.5 4.3 3.4 5.1 5.4	9.9 10.9 16.0 18.0 20.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	4.0 3.5 2.8 2.6 2.7	1.7 2.1 0.2 1.8 1.3	10.0 9.7 13.1 13.6 14.4
自然体験ツアー・農漁村体験	8.8 11.9 7.2 9.9 8.0	7.6 12.9 7.2 8.9 10.0	21.0 21.8 20.2 25.0 19.2
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	21.5 23.3 21.9 14.8 16.0	21.4 23.2 25.3 19.9 17.6	45.7 38.0 38.0 32.4 33.5
映画・アニメ縁の地を訪問	6.9 6.4 4.7 6.6 5.0	5.3 5.7 6.0 5.9 6.5	14.3 13.1 12.5 14.9 14.2
日本の歴史・伝統文化体験	27.3 29.5 19.5 21.1 23.8	33.6 38.9 33.4 34.7 39.4	26.5 32.1 27.2 32.7 31.7
日本の日常生活体験	29.8 27.2 20.8 20.9 22.3	36.5 39.1 37.1 40.3 41.6	23.2 24.7 26.3 26.8 24.1
日本のポップカルチャーを楽しむ	11.7 11.0 6.7 7.9 7.9	14.0 14.7 20.4 20.5 17.9	8.6 13.9 12.7 13.7 15.6
治療・健診	1.2 1.0 1.2 2.0 1.5	1.2 1.8 1.6 3.1 1.8	0.9 1.5 5.0 5.4 5.7
上記には当てはまるものがない	4.0 3.4 5.7 3.5 6.8	0.2 0.1 0.7 0.4 0.9	0.2 1.0 1.7 1.3 0.5

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

フィリピン

▶ 前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	89.1 86.7 87.5 85.9 83.5	98.6 99.4 99.6 99.3 99.3	76.8 73.8 77.0 75.3 72.8
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	22.6 19.0 22.0 19.3 23.8	32.2 32.3 32.4 33.8 44.5	21.5 15.5 22.6 26.3 25.1
旅館に宿泊	15.1 15.2 13.9 12.5 14.7	9.9 18.9 11.0 12.3 21.2	38.3 25.7 28.3 28.9 27.4
温泉入浴	17.4 18.4 13.0 15.8 13.8	13.8 13.0 12.2 15.8 16.9	47.9 41.4 31.1 34.8 33.4
自然・景勝地観光	53.0 54.8 45.5 51.8 49.4 58.5	62.0 68.4 80.4 66.3 71.0 73.8	49.7 49.6 51.3 51.0 49.0
繁華街の街歩き	69.1 56.8 56.3 58.3 50.0	83.0 81.2 80.4 85.2 84.1	39.3 37.4 45.3 45.8 43.2
ショッピング	74.3 64.7 66.8 66.3 61.1	87.5 85.3 89.8 91.3 92.4	61.5 53.3 58.6 59.6 56.3
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	25.5 26.7 19.1 26.6 16.5	31.7 35.1 29.5 35.3 27.4	25.9 23.9 26.8 28.4 26.0
テーマパーク	56.3 40.1 41.7 37.7 32.2	61.0 46.7 51.5 49.4 49.4	45.4 38.1 46.8 38.7 36.0
スキー・スノーボード	12.3 8.9 6.1 6.2 4.1	3.8 4.7 3.3 4.3 3.8	32.1 28.6 20.2 27.5 24.6
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.5 1.3 1.3 2.2 2.0	0.4 0.4 2.0 2.6 1.0	0.9 3.1 8.9 13.2 10.6
舞台・音楽鑑賞	8.9 4.5 6.4 7.3 5.6	3.4 3.5 3.2 6.5 4.8	11.3 11.4 20.1 20.6 24.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	3.9 3.2 3.8 2.8 2.5	0.5 1.6 0.5 2.0 1.1	8.0 7.6 15.0 15.7 15.6
自然体験ツアー・農漁村体験	10.6 14.3 9.2 12.9 8.2	8.9 14.6 10.3 11.7 10.8	22.6 24.7 24.8 25.2 21.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	24.0 27.1 29.9 16.3 16.4	24.0 25.4 33.4 19.5 15.8	52.3 40.2 46.8 35.1 38.6
映画・アニメ縁の地を訪問	8.9 7.4 6.2 8.7 5.6	6.0 5.5 7.2 6.8 7.8	17.8 13.9 16.1 14.9 17.1
日本の歴史・伝統文化体験	32.7 35.9 24.5 26.4 27.5	39.3 42.7 37.7 41.2 41.7	28.9 33.4 35.9 33.2 37.5
日本の日常生活体験	32.2 26.5 23.3 21.8 21.9	37.4 35.6 32.8 38.1 38.5	26.0 23.2 39.1 28.2 27.2
日本のポップカルチャーを楽しむ	13.7 13.1 8.6 9.5 10.4	15.3 15.2 20.1 20.8 16.7	9.0 14.8 13.1 16.2 19.9
治療・健診	1.2 0.6 1.1 1.7 1.4	0.8 0.9 0.5 2.2 1.0	0.5 0.7 5.3 5.5 7.0
上記には当てはまるものがない	0.5 1.0 3.1 0.9 4.6	0.0 0.0 0.0 0.0 0.3	0.0 0.7 0.4 0.4 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

フィリピン

## (12) フィリピン人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	8.6 11.6 9.7 13.0 12.6	9.0 13.3 14.0 19.1 16.8
旅行会社ホームページ	13.5 14.0 14.2 17.1 19.1	13.4 18.2 20.9 21.8 21.8
宿泊施設ホームページ	16.8 18.1 13.6 13.4 14.0	21.9 26.3 19.4 17.8 20.4
航空会社ホームページ	10.7 13.3 13.3 10.7 8.7	13.8 16.9 16.9 14.0 12.7
地方観光協会ホームページ	1.8 3.6 3.8 4.3 2.4	2.3 4.5 5.2 7.1 3.8
宿泊予約サイト	8.7 6.4 4.5 6.7 4.8	8.9 9.3 5.9 11.2 5.9
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	20.6 20.7 19.9 23.8 15.5	23.2 26.5 28.0 33.2 22.1
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	20.2 13.4 12.2 12.0	38.7 24.9 17.5 12.8 14.6
個人のブログ	21.3 18.2 18.1 17.8 15.5	27.8 25.5 29.7 26.0 22.5
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	26.0 18.1 12.5 12.6 6.7	31.4 23.7 17.9 14.7 7.2
その他インターネット	5.5 4.8 6.8 8.5 8.8	6.4 5.7 9.4 9.9 10.5
日本政府観光局の案内所	0.5 2.3 2.6 3.1 3.1	0.5 3.3 4.0 4.9 3.4
旅行会社パンフレット	6.4 5.4 5.7 8.6 5.8	8.8 6.5 9.3 10.8 7.3
旅行ガイドブック	10.3 14.4 17.5 17.8 16.7	13.8 19.7 13.5 23.0 22.5
自国の親族・知人	30.0 24.4 22.8 26.5 23.0	37.9 28.0 27.5 32.8 26.7
日本在住の親族・知人	32.4 32.9 38.0 42.2 39.3	21.5 21.9 26.9 31.9 27.3
旅行の展示会や見本市	1.1 0.7 0.9 1.8 2.4	1.2 0.8 1.6 1.9 3.8
テレビ番組	7.6 5.7 8.6 10.6 8.6	8.7 7.4 11.8 11.0 10.2
新聞	0.9 1.1 2.3 2.1 1.8	1.2 1.2 1.6 2.0 1.7
旅行専門誌	3.5 3.8 7.6 10.5 7.5	3.5 4.4 11.5 12.2 10.0
その他雑誌	0.4 0.4 1.3 0.3 0.9	0.2 0.4 1.6 0.0 1.4
その他	0.9 2.2 4.2 2.6 7.5	0.0 0.8 3.4 0.9 5.5
特になし	7.4 6.4 9.8 8.1 5.8	3.2 3.8 3.5 3.8 2.7

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) フィリピン人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	31.0 29.6	35.3 36.6
交通手段	62.7 53.7	72.0 63.6
飲食店	42.6 38.1	47.4 41.5
観光施設	35.3 31.0	41.5 38.2
イベント	4.9 5.3	4.4 4.3
土産物	15.2 14.8	17.4 15.4
買物場所	35.7 25.1	45.4 29.0
無料W i - F i	54.1 51.6	60.8 56.6
祈祷室	0.7 0.7	0.6 0.9
A T M	13.6 7.2	18.3 8.4
宅配便	2.2 1.3	3.1 0.7
日本文化体験プログラム	5.2 6.1	6.1 6.9
自然体験ツアー・農山漁村体験	6.5 5.7	8.2 6.4
通訳案内士・観光ガイド	5.9 7.8	7.2 11.6
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	5.6 2.9	7.5 4.3
クレジットカード利用可能店舗	15.0 7.6	21.1 9.8
その他	2.5 0.5	3.5 0.5
特になし	10.0 11.4	4.9 5.9

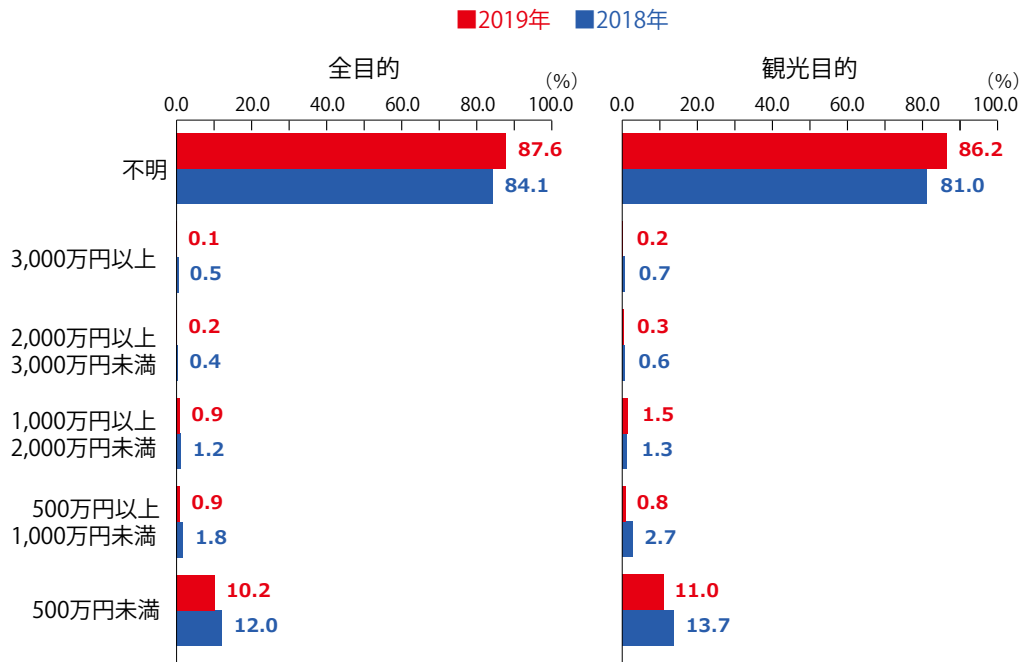
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

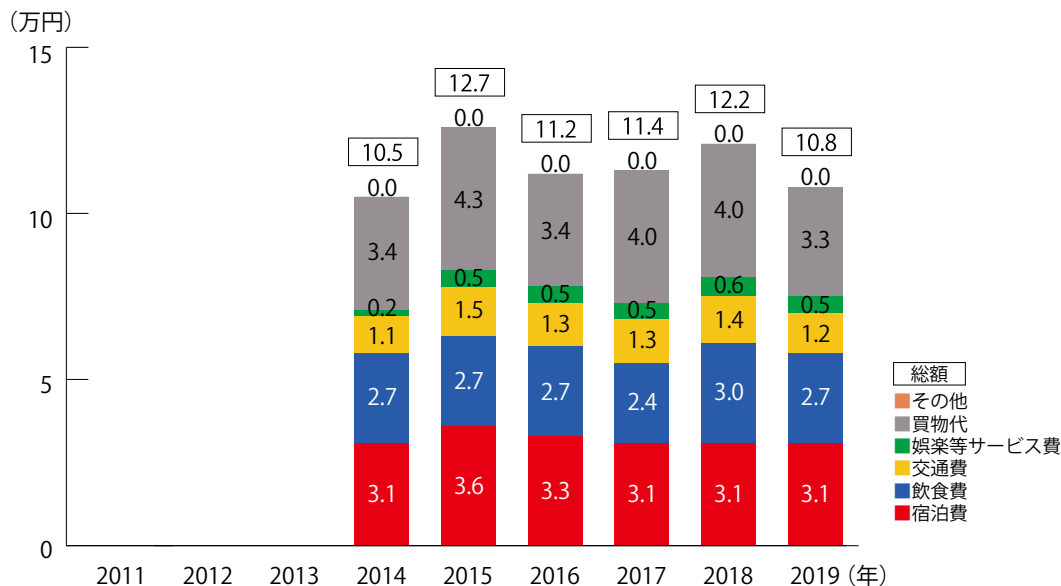
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日フィリピン人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日フィリピン人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：2013年以前の数値は存在しない。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注3：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注4：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注5：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (16) 属性別訪日フィリピン人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的			
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)		
全体		1,107	107,915	632	118,012		
滞在日数	3日間以内	73	31,612	13	41,234		
	4～6日間	412	98,071	310	101,642		
	7～13日間	305	131,735	230	136,530		
	14～20日間	82	117,596	40	151,459		
	21～27日間	22	105,794	6	129,283		
	28～90日間	148	78,782	29	108,068		
	91日間以上1年未満	65	195,637	4	352,861		
性・年代	男性	481	112,080	248	120,518		
		15～19歳	20	91,659	11	99,637	
		20～29歳	125	112,235	70	113,235	
		30～39歳	148	115,659	74	114,021	
		40～49歳	106	103,290	51	116,252	
		50～59歳	62	115,416	30	164,536	
		60～69歳	18	152,045	10	134,801	
		70歳以上	2	125,769	2	125,769	
		女性	626	104,848	384	116,465	
			15～19歳	19	98,021	11	128,194
			20～29歳	198	92,140	115	103,764
			30～39歳	172	106,600	113	111,639
			40～49歳	131	121,534	87	127,515
			50～59歳	80	99,763	44	124,846
		60～69歳	23	122,822	12	160,649	
		70歳以上	3	77,572	2	92,012	
日本への 来訪回数	1回目	419	95,012	267	104,044		
	2回目	223	114,011	137	123,405		
	3回目	148	115,543	80	129,449		
	4回目	77	99,870	43	100,473		
	5回目	57	105,649	37	130,693		
	6～9回目	83	128,634	42	151,786		
	10～19回目	53	163,856	14	181,230		
	20回目以上	47	87,928	12	125,657		

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日フィリピン人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	72	148,455	53	152,697	
	個人旅行向けパッケージ商品	41	133,563	30	131,428	
	往復航空（船舶）運賃	994	53,612	549	44,107	
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	660	42,234	482	38,294	
	飲食費	920	28,523	586	24,705	
	交通費	818	13,472	549	13,650	
	航空（日本国内移動のみ）	15	15,947	11	13,428	
	Japan Rail Pass	74	24,782	66	25,043	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	693	8,722	473	8,261	
	バス	284	4,192	192	4,213	
	タクシー	214	5,016	156	4,604	
	レンタカー	18	17,152	17	17,516	
	船舶（日本国内移動のみ）	4	4,167	1	5,331	
	その他交通費	8	40,742	3	11,111	
	娯楽等サービス費	475	9,678	387	9,895	
	現地ツアー・観光ガイド	68	13,201	61	13,123	
	ゴルフ場	2	4,835	1	1,000	
	テーマパーク	280	9,382	233	9,514	
	舞台・音楽鑑賞	9	11,531	8	12,874	
	スポーツ観戦	4	4,978	3	4,201	
	美術館・博物館・動物園・水族館	195	3,056	162	2,938	
	スキー場リフト	15	8,847	12	9,882	
	温泉・湯治施設・エステ・リラクゼーション	36	4,681	23	3,924	
	マッサージ・医療費	6	2,068	5	2,151	
	展示会・コンベンション参加費	3	6,453	2	9,916	
	レンタル料（レンタカーを除く）	9	3,728	8	4,072	
	その他娯楽等サービス費	12	5,547	10	3,345	
	買物代	1,043	34,857	618	35,444	
	菓子類	707	7,275	420	7,177	
	酒類	101	5,971	62	5,778	
	生鮮農産物	43	7,767	24	5,776	
	その他食料品・飲料・たばこ	429	8,420	252	8,416	
	化粧品・香水	286	11,056	191	10,670	
	医薬品	57	6,791	34	6,799	
	健康グッズ・トイレタリー	68	8,053	43	7,400	
	衣類	475	13,818	290	13,979	
靴・かばん・革製品	372	21,910	238	24,394		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	58	39,855	36	30,319		
時計・フィルムカメラ	77	26,112	46	22,540		
宝石・貴金属	24	20,270	18	20,648		
民芸品・伝統工芸品	55	5,334	39	4,163		
本・雑誌・ガイドブックなど	27	3,888	17	3,917		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	27	14,196	15	15,530		
その他買物代	70	16,470	53	7,075		
その他	9	5,840	5	5,652		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(18) 訪日フィリピン人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	53.9 56.1 61.7 61.3 65.1	58.0 60.2 67.4 71.6 75.2
家電量販店	11.4 13.3 18.0 17.5 17.2	13.0 15.0 22.2 22.1 18.9
ファッション専門店	25.6 24.1 24.3 26.4 29.1	29.1 29.6 30.4 33.7 37.3
100円ショップ	29.3 33.2 29.8 33.0 33.5	27.8 31.8 25.4 30.4 28.4
高速道路のSA・道の駅	0.8 1.5 2.0 2.8 3.2	1.2 1.7 2.5 3.1 3.9
観光地の土産店	29.7 30.5 34.7 35.5 35.6	37.3 38.0 48.5 46.4 47.4
宿泊施設	2.7 1.5 3.1 3.6 6.1	3.3 1.6 4.2 4.4 8.3
スーパーマーケット	50.1 53.6 55.0 53.2 58.0	50.3 53.8 51.6 52.9 58.0
コンビニエンスストア	72.2 71.1 61.2 61.7 61.9	76.7 74.3 66.0 65.5 65.5
ドラッグストア	25.6 25.8 21.8 23.1 19.8	26.6 27.6 21.1 24.4 18.6
ディスカウントストア	32.0 25.5 20.4 19.0 14.8	35.9 30.0 23.4 22.0 17.1
アウトレットモール	20.0 17.3 24.1 24.1 22.8	24.7 21.0 27.6 30.1 25.8
都心の複合商業施設	12.4 10.3 8.3 10.1 8.0	13.7 11.9 10.8 12.8 11.1
その他ショッピングセンター	15.9 13.6 15.5 18.3 16.1	15.5 15.0 17.5 22.8 16.7
鉄道駅構内の店舗	6.8 7.5 10.7 12.1 12.0	9.2 9.0 15.5 16.4 14.3
空港の免税店	39.4 41.3 45.3 41.1 42.5	45.3 47.2 50.9 49.7 48.7
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.3 0.5	0.4 0.4
その他	4.2 3.5 2.0 2.0 3.0	5.6 3.8 2.4 2.7 2.6
買い物はしなかった	2.3 2.1 2.2 2.9 2.7	0.9 0.8 0.8 0.4 0.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日フィリピン人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	43.1 37.6
消費税免税の手続きをしていない	56.9 62.4

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	14.3 10.9
酒類	1.1 1.0
生鮮農産物	0.2 0.0
その他食料品・飲料・たばこ	4.6 5.7
化粧品・香水	9.6 10.7
医薬品	0.7 0.5
健康グッズ・トイレットリー	1.7 1.5
衣類	19.8 18.3
靴・かばん・革製品	17.0 18.8
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	3.0 3.1
時計・フィルムカメラ	4.2 4.1
宝石・貴金属	1.1 1.0
民芸品・伝統工芸品	0.7 1.0
本・雑誌・ガイドブックなど	0.4 0.0
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	1.0 0.7
その他買物代	1.1 1.5

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日フィリピン人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	96.8 97.3	98.4 98.1
クレジットカード	45.0 43.0	56.9 52.3
交通系ICカード（Suica等）	11.5 9.3	12.9 10.7
その他ICカード（Edy等）	0.0 0.0	0.0 0.0
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	2.7 1.2	3.0 1.4
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.1 0.2	0.1 0.3
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.1	0.1 0.1
割引クーポン	0.2 0.4	0.3 0.7
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	1.4 1.0	0.4 0.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日フィリピン人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率 (%)					
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	56.6	60.8	57.5	55.5	58.1	51.2
千葉県	2位	17.9	53.8	51.4	47.2	52.4	45.5
大阪府	3位	29.4	37.3	36.9	37.2	33.5	37.6
京都府	4位	19.8	17.3	19.1	18.7	19.2	20.9
愛知県	5位	7.2	11.3	9.7	9.3	9.6	9.1
神奈川県	6位	17.4	13.2	9.7	8.0	10.5	9.1
奈良県	7位	3.5	5.4	6.8	6.0	7.5	8.1
福岡県	8位	4.2	4.7	4.5	6.1	5.3	6.2
兵庫県	9位	6.0	6.2	4.6	6.5	5.2	5.7
山梨県	10位	5.8	5.8	3.8	6.3	5.2	4.3
静岡県	11位	8.6	6.2	7.0	5.3	4.3	4.1
北海道	12位	0.8	1.9	1.4	1.5	2.0	3.6
埼玉県	13位	3.4	2.8	2.9	2.4	2.7	2.5
岐阜県	14位	2.4	1.6	1.5	1.0	1.1	2.2
広島県	15位	1.9	2.0	1.8	2.6	2.2	2.1
長野県	16位	0.9	2.1	2.1	2.1	1.5	1.9
栃木県	17位	1.6	0.7	1.1	1.1	1.8	1.6
茨城県	18位	1.5	1.8	1.7	2.0	2.1	1.5
群馬県	19位	1.7	1.6	1.8	0.9	2.2	1.1
長崎県	20位	0.8	0.8	1.7	1.1	0.6	1.0
三重県	21位	0.6	1.6	1.3	1.3	1.1	1.0
新潟県	22位	0.4	0.9	0.6	0.9	1.0	0.9
福島県	23位	0.4	1.1	1.0	0.7	0.6	0.7
石川県	24位	0.6	0.4	0.3	0.1	0.4	0.7
大分県	25位	0.2	0.2	0.3	0.9	0.4	0.6
岡山県	26位	0.6	0.5	0.3	0.8	0.9	0.5
福井県	27位	1.3	0.3	0.1	0.1	0.6	0.5
山形県	28位	0.0	0.2	0.3	0.3	0.2	0.5
和歌山県	29位	0.0	0.6	0.7	0.3	0.5	0.5
熊本県	30位	0.4	0.4	0.2	0.4	0.3	0.4
山口県	31位	2.0	0.5	0.2	0.4	0.5	0.4
滋賀県	32位	1.5	0.7	0.1	0.2	0.8	0.4
沖縄県	33位	0.4	0.1	0.1	0.3	0.2	0.4
愛媛県	34位	0.8	0.2	0.4	0.8	0.3	0.4
富山県	35位	0.2	0.4	0.2	0.2	0.5	0.3
高知県	36位	0.4	0.3	0.2	0.2	0.1	0.3
宮城県	37位	0.4	0.2	0.5	0.6	0.4	0.2
鹿児島県	38位	0.0	0.7	0.2	0.0	0.3	0.2
青森県	39位	0.4	0.4	0.0	0.0	0.3	0.2
鳥取県	40位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
徳島県	41位	0.3	0.2	0.0	0.4	0.3	0.2
岩手県	42位	0.5	0.0	0.3	0.0	0.3	0.1
島根県	43位	0.4	0.0	0.3	0.4	0.3	0.1
秋田県	44位	0.0	0.3	0.1	0.0	0.1	0.1
香川県	45位	1.1	0.1	0.0	0.7	0.2	0.1
佐賀県	46位	0.3	0.3	0.2	0.6	0.3	0.0
宮崎県	47位	0.8	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日フィリピン人の都道府県別宿泊地 (2017年～2022年)

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数 [人泊 (構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	285,160 (39.1%)	335,610 (40.2%)	455,300 (39.0%)
大阪府	2位	191,960 (26.3%)	208,310 (25.0%)	296,080 (25.4%)
千葉県	3位	49,610 (6.8%)	60,220 (7.2%)	77,870 (6.7%)
愛知県	4位	25,400 (3.5%)	25,740 (3.1%)	44,080 (3.8%)
福岡県	5位	15,670 (2.1%)	19,720 (2.4%)	39,760 (3.4%)
神奈川県	6位	22,770 (3.1%)	26,540 (3.2%)	26,500 (2.3%)
京都府	7位	22,520 (3.1%)	20,690 (2.5%)	44,370 (3.8%)
北海道	8位	44,310 (6.1%)	51,850 (6.2%)	90,770 (7.8%)
静岡県	9位	4,090 (0.6%)	4,820 (0.6%)	5,580 (0.5%)
大分県	10位	3,920 (0.5%)	2,920 (0.3%)	3,700 (0.3%)
愛媛県	11位	1,170 (0.2%)	1,000 (0.1%)	720 (0.1%)
三重県	12位	1,100 (0.2%)	2,960 (0.4%)	3,220 (0.3%)
兵庫県	13位	8,490 (1.2%)	10,570 (1.3%)	6,820 (0.6%)
岡山県	14位	1,660 (0.2%)	1,560 (0.2%)	1,620 (0.1%)
熊本県	15位	2,030 (0.3%)	3,330 (0.4%)	3,400 (0.3%)
和歌山県	16位	780 (0.1%)	740 (0.1%)	570 (0.0%)
広島県	17位	6,050 (0.8%)	5,840 (0.7%)	5,890 (0.5%)
長野県	18位	4,900 (0.7%)	7,160 (0.9%)	6,010 (0.5%)
茨城県	19位	610 (0.1%)	1,170 (0.1%)	1,830 (0.2%)
山梨県	20位	4,980 (0.7%)	4,590 (0.5%)	4,440 (0.4%)
長崎県	21位	5,130 (0.7%)	5,730 (0.7%)	6,890 (0.6%)
埼玉県	22位	1,480 (0.2%)	1,390 (0.2%)	2,000 (0.2%)
岐阜県	23位	1,960 (0.3%)	2,910 (0.3%)	3,220 (0.3%)
沖縄県	24位	2,630 (0.4%)	4,310 (0.5%)	6,090 (0.5%)
石川県	25位	1,740 (0.2%)	1,950 (0.2%)	2,410 (0.2%)
佐賀県	26位	440 (0.1%)	390 (0.0%)	1,030 (0.1%)
栃木県	27位	2,130 (0.3%)	4,670 (0.6%)	3,820 (0.3%)
新潟県	28位	1,470 (0.2%)	1,500 (0.2%)	1,640 (0.1%)
山口県	29位	1,850 (0.3%)	2,160 (0.3%)	910 (0.1%)
群馬県	30位	1,300 (0.2%)	930 (0.1%)	1,560 (0.1%)
福井県	31位	230 (0.0%)	220 (0.0%)	470 (0.0%)
鹿児島県	32位	740 (0.1%)	940 (0.1%)	970 (0.1%)
宮城県	33位	1,160 (0.2%)	1,050 (0.1%)	3,040 (0.3%)
山形県	34位	340 (0.0%)	320 (0.0%)	590 (0.1%)
青森県	35位	910 (0.1%)	760 (0.1%)	1,170 (0.1%)
滋賀県	36位	2,170 (0.3%)	1,020 (0.1%)	830 (0.1%)
福島県	37位	460 (0.1%)	840 (0.1%)	1,340 (0.1%)
島根県	38位	160 (0.0%)	110 (0.0%)	470 (0.0%)
岩手県	39位	580 (0.1%)	1,420 (0.2%)	870 (0.1%)
香川県	40位	380 (0.1%)	1,610 (0.2%)	1,230 (0.1%)
高知県	41位	120 (0.0%)	180 (0.0%)	170 (0.0%)
奈良県	42位	450 (0.1%)	600 (0.1%)	1,200 (0.1%)
富山県	43位	3,350 (0.5%)	2,870 (0.3%)	4,040 (0.3%)
鳥取県	44位	200 (0.0%)	350 (0.0%)	330 (0.0%)
秋田県	45位	560 (0.1%)	610 (0.1%)	1,000 (0.1%)
宮崎県	46位	120 (0.0%)	190 (0.0%)	430 (0.0%)
徳島県	47位	210 (0.0%)	310 (0.0%)	120 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年～2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊(構成比:%)】		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	78,690 (23.1%)	19,350 (8.9%)	108,820 (33.4%)
大阪府	2位	75,050 (22.1%)	23,580 (10.8%)	47,860 (14.7%)
千葉県	3位	52,210 (15.3%)	58,790 (26.9%)	47,360 (14.6%)
愛知県	4位	19,170 (5.6%)	11,510 (5.3%)	27,740 (8.5%)
福岡県	5位	15,170 (4.5%)	37,180 (17.0%)	16,820 (5.2%)
神奈川県	6位	18,720 (5.5%)	16,140 (7.4%)	15,020 (4.6%)
京都市	7位	9,200 (2.7%)	1,170 (0.5%)	10,370 (3.2%)
北海道	8位	21,570 (6.3%)	820 (0.4%)	10,010 (3.1%)
静岡県	9位	2,350 (0.7%)	9,160 (4.2%)	4,710 (1.4%)
大分県	10位	6,990 (2.1%)	4,310 (2.0%)	4,390 (1.3%)
愛媛県	11位	1,920 (0.6%)	1,850 (0.8%)	3,370 (1.0%)
三重県	12位	3,330 (1.0%)	3,980 (1.8%)	3,160 (1.0%)
兵庫県	13位	4,690 (1.4%)	12,190 (5.6%)	2,470 (0.8%)
岡山県	14位	750 (0.2%)	1,080 (0.5%)	2,380 (0.7%)
熊本県	15位	1,740 (0.5%)	2,240 (1.0%)	2,350 (0.7%)
和歌山県	16位	140 (0.0%)	150 (0.1%)	1,810 (0.6%)
広島県	17位	1,490 (0.4%)	2,380 (1.1%)	1,710 (0.5%)
長野県	18位	2,510 (0.7%)	380 (0.2%)	1,620 (0.5%)
茨城県	19位	500 (0.1%)	1,060 (0.5%)	1,390 (0.4%)
山梨県	20位	620 (0.2%)	100 (0.0%)	1,090 (0.3%)
長崎県	21位	3,380 (1.0%)	370 (0.2%)	870 (0.3%)
埼玉県	22位	700 (0.2%)	530 (0.2%)	850 (0.3%)
岐阜県	23位	1,860 (0.5%)	450 (0.2%)	830 (0.3%)
沖縄県	24位	1,130 (0.3%)	780 (0.4%)	770 (0.2%)
石川県	25位	1,160 (0.3%)	200 (0.1%)	640 (0.2%)
佐賀県	26位	350 (0.1%)	840 (0.4%)	640 (0.2%)
栃木県	27位	950 (0.3%)	650 (0.3%)	550 (0.2%)
新潟県	28位	1,180 (0.3%)	270 (0.1%)	530 (0.2%)
山口県	29位	1,480 (0.4%)	730 (0.3%)	490 (0.2%)
群馬県	30位	1,160 (0.3%)	560 (0.3%)	480 (0.1%)
福井県	31位	250 (0.1%)	120 (0.1%)	460 (0.1%)
鹿児島県	32位	640 (0.2%)	210 (0.1%)	450 (0.1%)
宮城県	33位	440 (0.1%)	280 (0.1%)	440 (0.1%)
山形県	34位	220 (0.1%)	620 (0.3%)	410 (0.1%)
青森県	35位	520 (0.2%)	950 (0.4%)	360 (0.1%)
滋賀県	36位	290 (0.1%)	110 (0.1%)	320 (0.1%)
福島県	37位	830 (0.2%)	780 (0.4%)	280 (0.1%)
島根県	38位	100 (0.0%)	290 (0.1%)	280 (0.1%)
岩手県	39位	250 (0.1%)	420 (0.2%)	270 (0.1%)
香川県	40位	3,160 (0.9%)	890 (0.4%)	220 (0.1%)
高知県	41位	50 (0.0%)	50 (0.0%)	190 (0.1%)
奈良県	42位	240 (0.1%)	80 (0.0%)	160 (0.0%)
富山県	43位	2,390 (0.7%)	110 (0.1%)	130 (0.0%)
鳥取県	44位	270 (0.1%)	240 (0.1%)	120 (0.0%)
秋田県	45位	170 (0.0%)	230 (0.1%)	100 (0.0%)
宮崎県	46位	100 (0.0%)	280 (0.1%)	80 (0.0%)
徳島県	47位	130 (0.0%)	30 (0.0%)	60 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

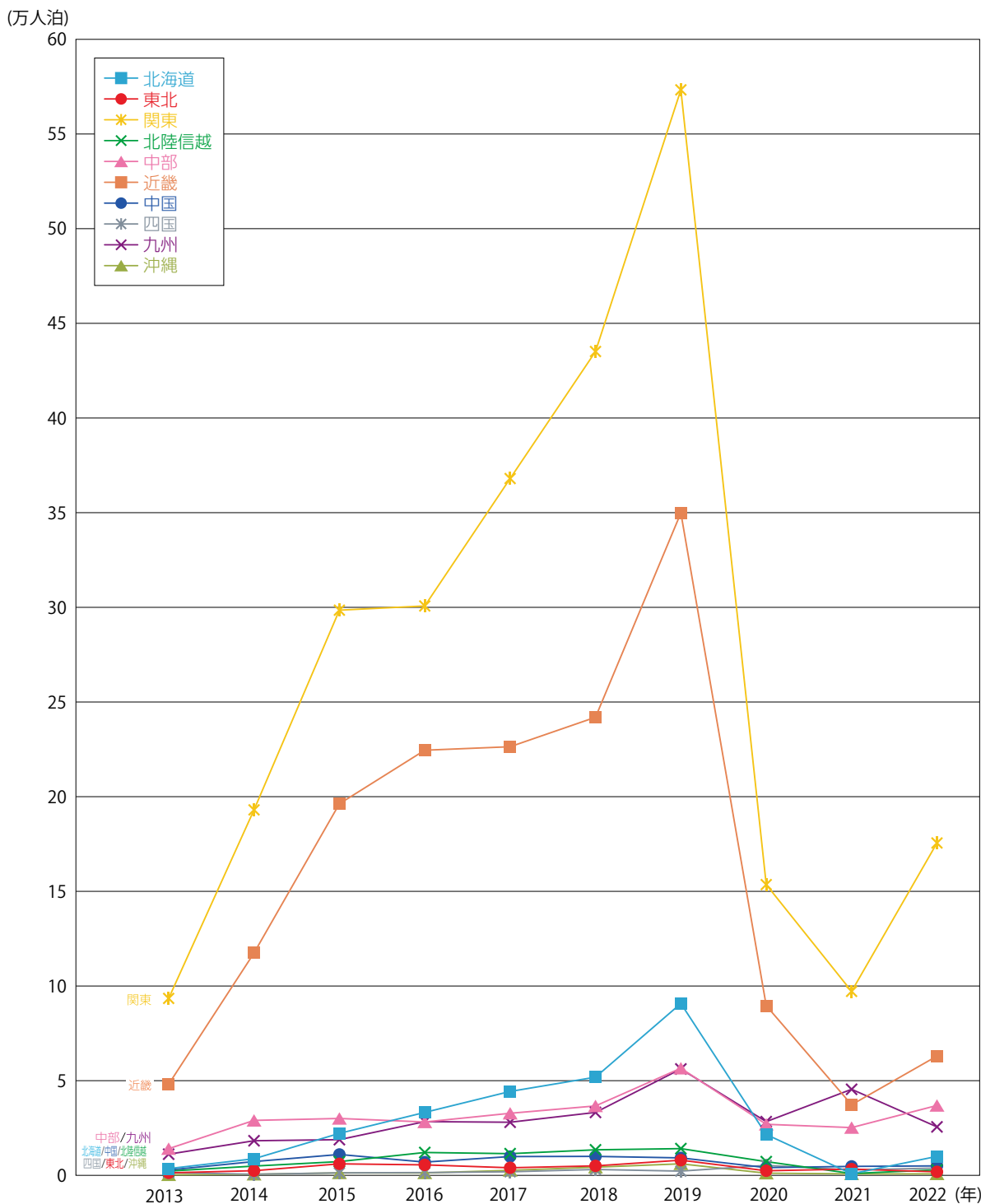
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年～2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成



(23) 訪日フィリピン人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



北海道	3,550	8,760	22,170	33,240	44,310	51,850	90,770	21,570	820	10,010
東北	1,330	2,450	6,070	5,530	4,000	5,000	8,010	2,430	3,290	1,860
関東	93,450	193,030	298,500	300,730	368,030	435,120	573,320	153,560	97,170	175,540
北陸信越	2,240	4,890	7,260	12,070	11,450	13,480	14,110	7,240	970	2,920
中部	14,080	29,020	30,040	28,190	32,780	36,660	56,570	26,960	25,220	36,900
近畿	48,130	117,440	196,240	224,530	226,380	241,940	349,860	89,610	37,270	62,990
中国	2,800	7,280	11,030	7,000	9,920	10,010	9,220	4,080	4,720	4,990
四国	1,430	570	1,310	1,470	1,880	3,100	2,230	5,270	2,830	3,840
九州	11,170	18,270	18,850	28,370	28,050	33,230	56,180	28,360	45,440	25,600
沖縄	290	570	1,280	1,280	2,630	4,310	6,090	1,130	780	770

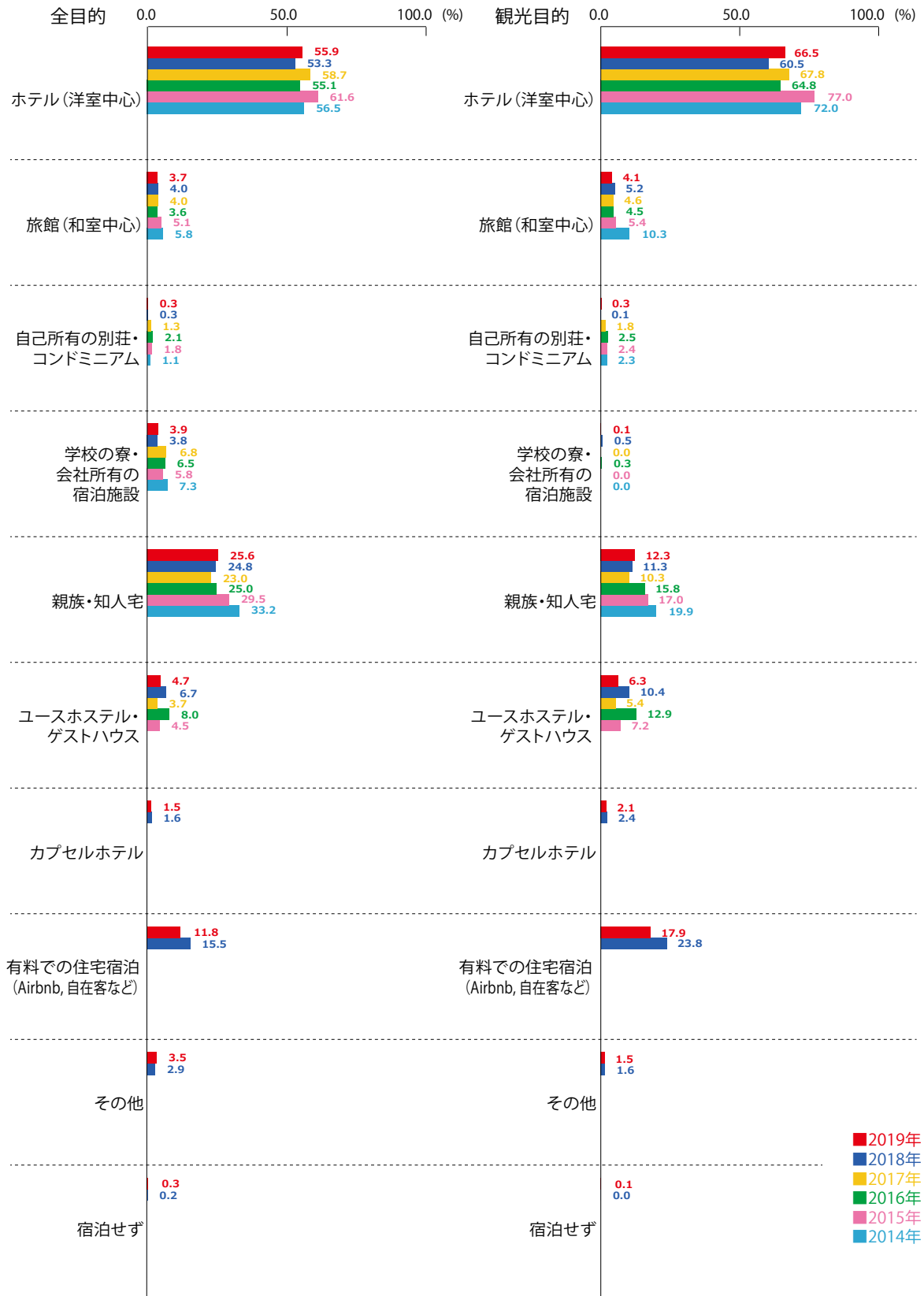
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

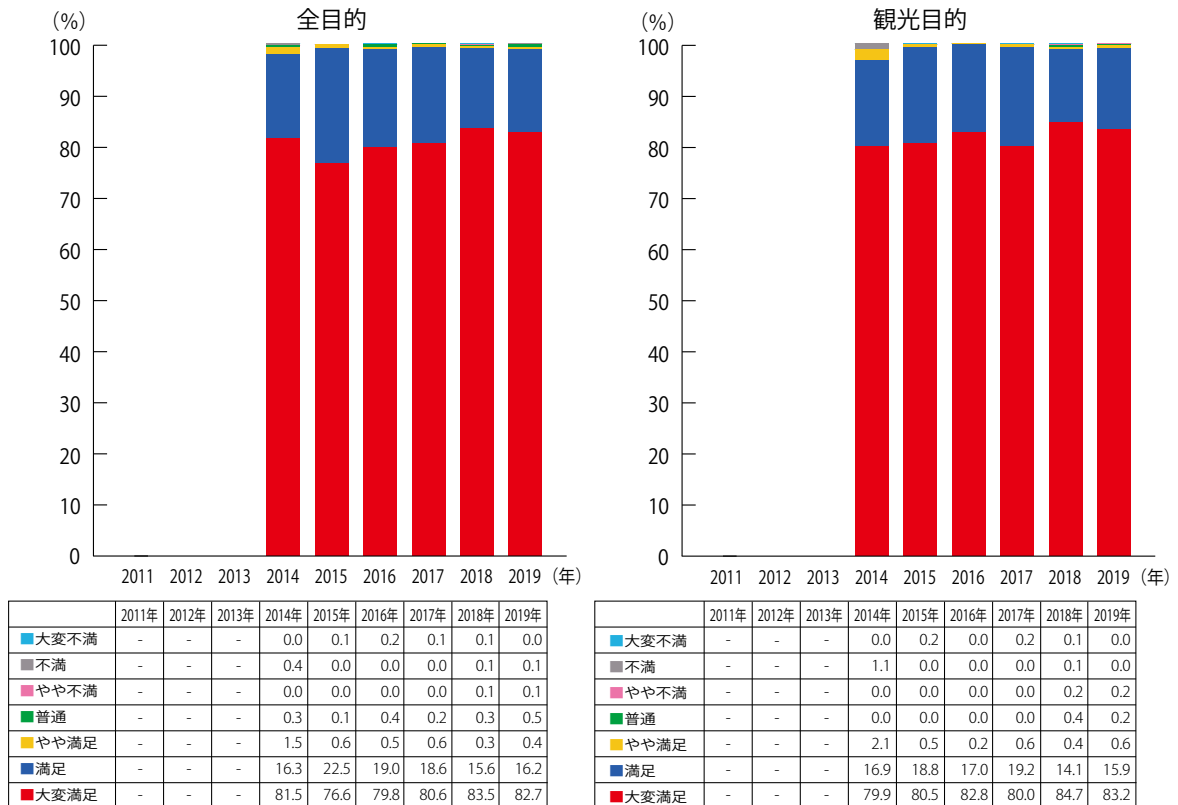
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日フィリピン人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2013年以前の数値は存在しない。  
 注3：2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注4：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2014年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注5：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) フィリピン人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

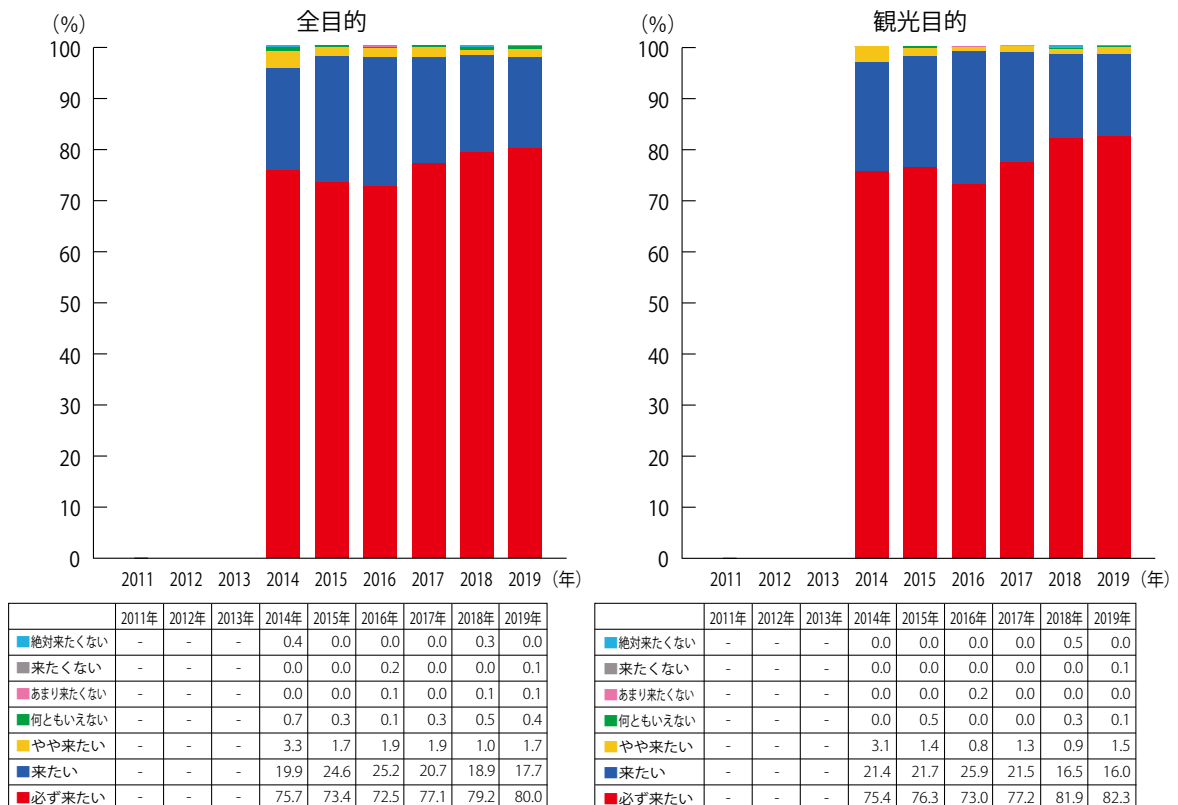


注1: 2013年以前の数値は存在しない。

注2: 新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典: 観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日フィリピン人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1: 2013年以前の数値は存在しない。

注2: 新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典: 観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# ベトナム

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

キン族が総人口の85.7%

少数民族は、タイ族（1.9%）、ターイ族（1.8%）、ムオン族（1.5%）、クメール族（1.5%）、モン族（1.2%）、ヌン族（1.1%）、ホア族（1.0%）など

出典：総務省統計局「世界の統計2017」

### (2) 宗教別構成

仏教、カトリック、カオダイ教など

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

ベトナム語が公用語

少数民族の間では、独自の言語も話されている。

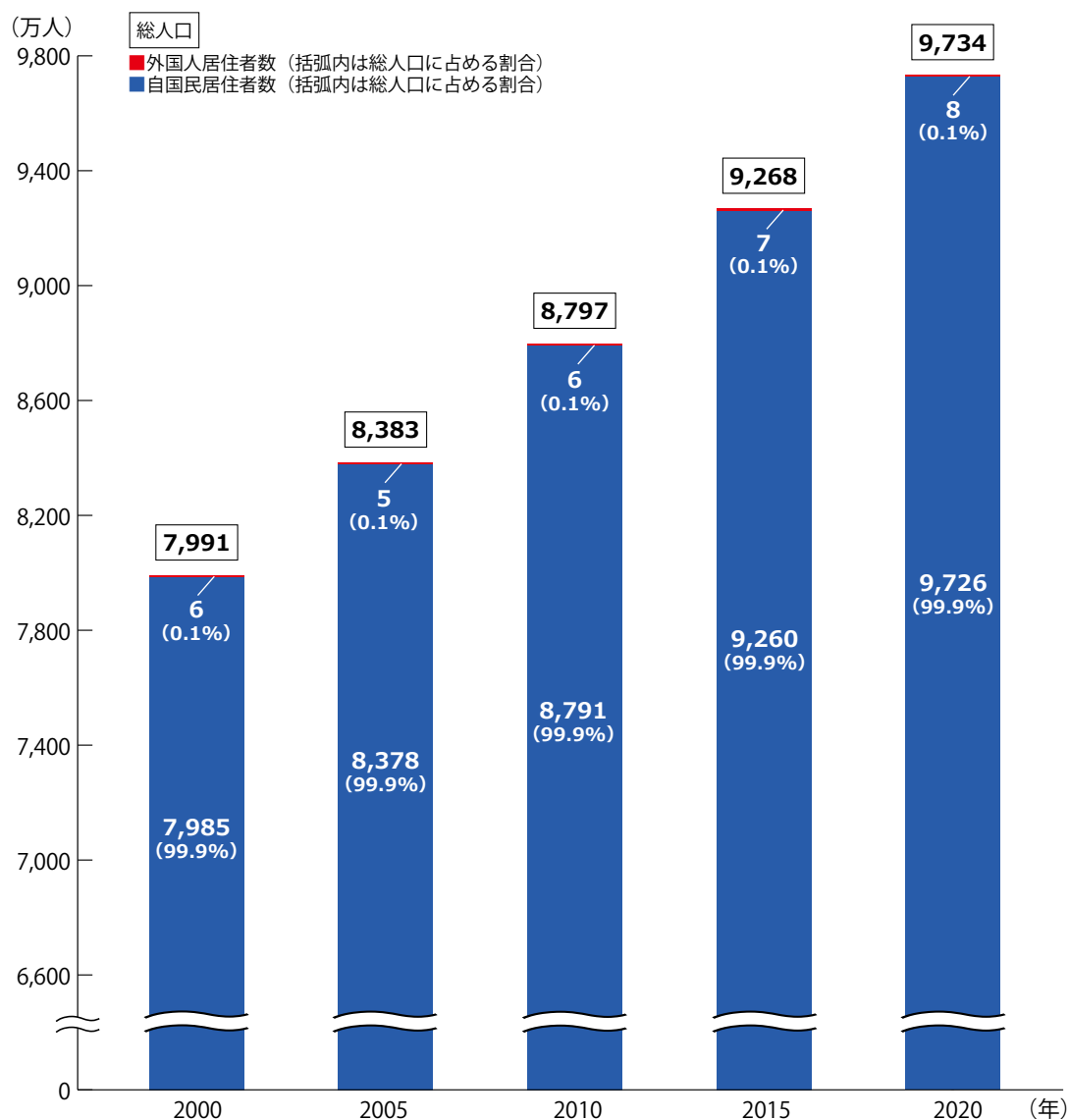
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

33万1,340km<sup>2</sup>（日本の88%弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

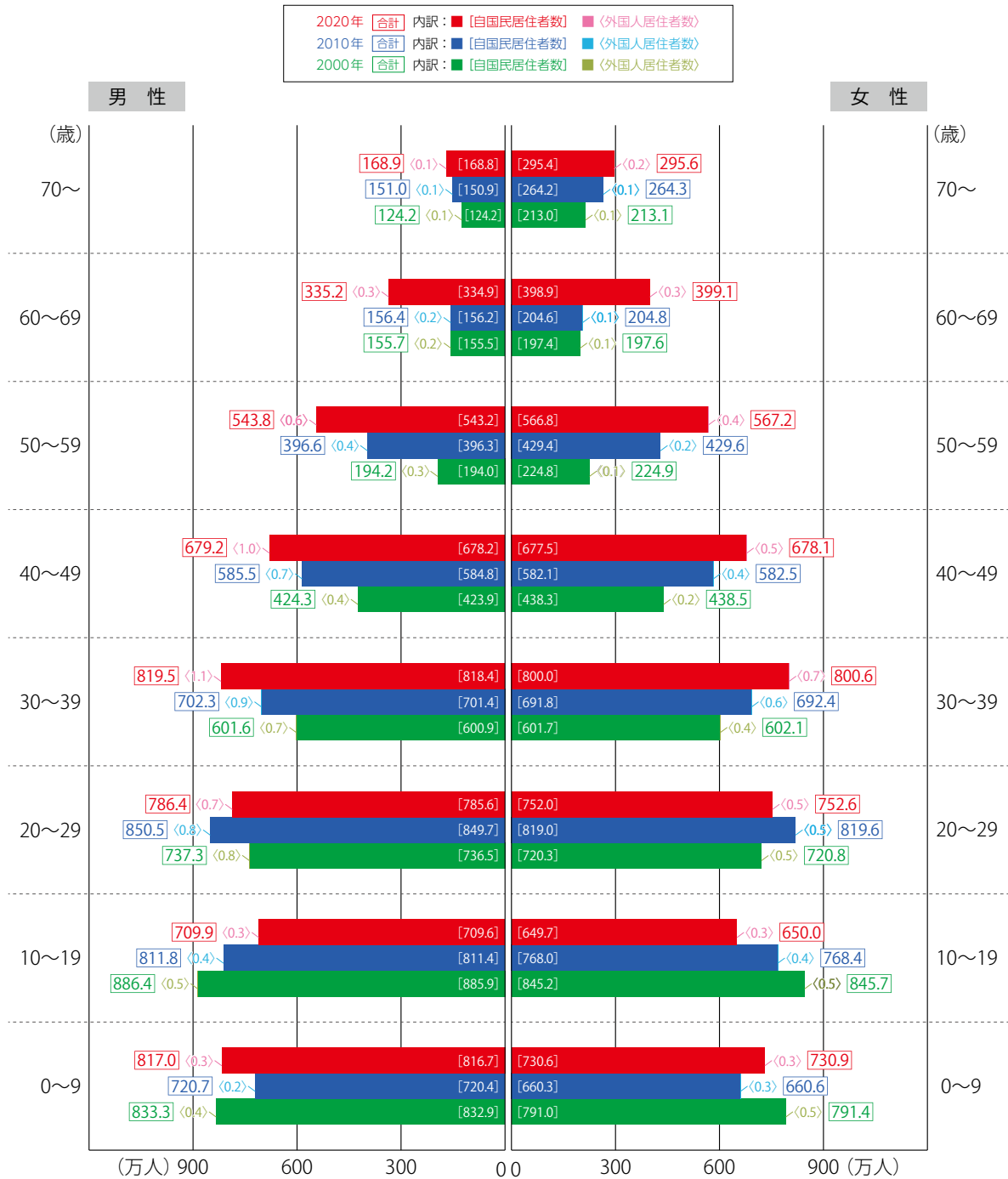
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：ベトナムの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口

都市名	人口(人)	150	300	450	600	750 (万人)
ホーチミン	7,302,800	[Bar chart showing population of Ho Chi Minh City]				
ハノイ	4,138,500	[Bar chart showing population of Hanoi]				
ビンズオン (トゥーザウモットを含む、ホーチミン近郊)	2,327,400	[Bar chart showing population of Binh Duong]				
ドンナイ (ビエンホアを含む、ホーチミン近郊)	1,470,300	[Bar chart showing population of Dong Nai]				
ダナン	1,067,100	[Bar chart showing population of Da Nang]				
タインホア	1,029,900	[Bar chart showing population of Thanh Hoa]				
ハイフォン	951,800	[Bar chart showing population of Hai Phong]				
クアンニン (ハロンを含む)	916,600	[Bar chart showing population of Quang Ninh]				
カントー	882,900	[Bar chart showing population of Can Tho]				
パリア・ブンタウ	711,900	[Bar chart showing population of Phia Buntau]				
アンザン (ロンスエンを含む)	644,800	[Bar chart showing population of An Giang]				
ビンディン (クイニョンを含む)	619,600	[Bar chart showing population of Binh Dinh]				
ハイズオン	618,100	[Bar chart showing population of Hoi An]				
フエ	612,800	[Bar chart showing population of Hue]				
パクニン (ハノイ近郊)	554,600	[Bar chart showing population of Phu Ninh]				
ゲアン (ヴィンを含む)	531,700	[Bar chart showing population of Quang Binh]				
カインホア (ニャチャンを含む)	531,200	[Bar chart showing population of Khanh Hoa]				
タイグエン	525,600	[Bar chart showing population of Thanh Hoa]				
ラムドン (ダラットを含む)	523,600	[Bar chart showing population of Lam Dong]				
キエンザン (ラックザーを含む)	522,700	[Bar chart showing population of Kien Giang]				

注1：上の数値は、2022年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：ベトナム統計総局

## (8) 祝日 (2023年~2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)	2023年1月2日は振替休日
※旧正月 (テト) 休暇	1月20日 (金) ~ 1月26日 (木)	2月8日 (木) ~ 2月15日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律では5日間と定められており、旧暦1月1日の1日前、もしくは2日前から開始となる。</li> <li>・例年年末ごろ、政府が休日を設定する。</li> <li>・土日を含む場合、前後の平日が振替休日として充てられることが多い。</li> <li>・2023年の旧暦1月1日は、1月22日 (日)</li> <li>・2023年1月25日 (水) と26日 (木) は振替休日</li> <li>・2024年の旧暦1月1日は、2月10日 (土)</li> <li>・2024年2月14日 (水) と15日 (木) は振替休日</li> </ul>
※フン王記念日	4月29日 (土)	4月18日 (木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旧暦の3月10日</li> <li>・2023年5月2日 (火) は振替休日</li> </ul>
南部解放記念日	4月30日 (日)	4月30日 (火)	2023年5月3日 (水) は振替休日
メーデー	5月1日 (月)	5月1日 (水)	
建国記念日	9月1日 (金) ~ 9月4日 (月)	9月1日 (日) ~ 9月3日 (火)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法律では2日間と定められており、9月2日の前日か翌日と合わせて2日間となる予定。</li> <li>・2023年9月4日 (月) は振替休日</li> </ul>

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：ベトナム労働法等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校	6歳～11歳 (5年間)	旧正月(テト)休暇	1月～2月中旬の 旧正月期間を含む 約5日～9日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって異なる。</li> <li>法令により、テト休暇は5日間と定められている。</li> <li>スケジュールは毎年政府から発表される。テト期間中の土日と合わせて、休暇期間が長くなることもある。(最大9日間)</li> </ul>
		夏期休暇	5月末～8月末の 約3か月間	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立学校の場合、始業は9月5日、終業は最長で5月31日。(教育訓練省の夏期休暇の規定は、国立学校に限り適用される。)</li> <li>私立学校の場合、基本的に始業は8月上旬、終業は最長で5月31日。</li> </ul>
下級中等学校	11歳～15歳 (4年間)	旧正月(テト)休暇	1月～2月中旬の 旧正月期間を含む 約5日～9日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって異なる。</li> <li>法令により、テト休暇は5日間と定められている。</li> <li>スケジュールは毎年政府から発表される。テト期間中の土日と合わせて、休暇期間が長くなることもある。(最大9日間)</li> </ul>
		夏期休暇	5月末～8月末の 約3か月間	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立学校の場合、始業は9月5日、終業は最長で5月31日。(教育訓練省の夏期休暇の規定は、国立学校に限り適用される。)</li> <li>私立学校の場合、基本的に始業は8月上旬、終業は最長で5月31日。</li> </ul>
上級中等学校	15歳～18歳 (3年間)	旧正月(テト)休暇	1月～2月中旬の 旧正月期間を含む 約5日～9日間	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって異なる。</li> <li>法令により、テト休暇は5日間と定められている。</li> <li>スケジュールは毎年政府から発表される。テト期間中の土日と合わせて、休暇期間が長くなることもある。(最大9日間)</li> </ul>
		夏期休暇	5月末～8月末の 約3か月間	<ul style="list-style-type: none"> <li>国立学校の場合、始業は9月5日、終業は最長で5月31日。(教育訓練省の夏期休暇の規定は、国立学校に限り適用される。)</li> <li>私立学校の場合、基本的に始業は8月上旬、終業は最長で5月31日。</li> </ul>
大学	18歳～22歳 (4年間)	旧正月(テト)休暇	1月～2月中旬の 旧正月期間を含む 約2週間～4週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって異なる。</li> <li>法令により、テト休暇は5日間と定められている。</li> </ul>
		夏期休暇	7月上旬～8月末の 約1か月～2か月間	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校によって異なる。</li> <li>教育訓練省による規定がない。</li> </ul>

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	初等学校 (5年間) + 下級中等学校 (4年間) = 9年間

出典：ベトナム現地の諸情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成



## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日又は事業主が定めた所定の曜日	労働法第111条	一般的に土曜日、または土曜日午後も休日である。
有給休暇日数	12日（通常の労働条件下で働く労働者） 14日（重労働、有害又は危険な職種で働く労働者等） 16日（きわめて重労働、有害又は危険な職種で働く労働者等）  上記は雇用期間12か月以上の労働者の場合である。 勤続年数が5年経過するごとに、有給休暇日数が1日ずつ増加する。	労働法第113～第114条	出産休暇、私用休暇などは、有給休暇とは区別されている。
定年退職	男性60歳3か月、女性55歳4か月	労働法第169条	・2021年から、男性62歳、女性60歳まで段階的に引き上げられる予定である。 ・2022年の定年退職：男性60歳6か月、女性55歳8か月。

出典：日本国厚生労働省

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	陸軍、海軍、空軍、防空軍とも2年間
入隊対象性別	男性のみ召集 女性は、18歳以上であれば、原則として自ら志望し、かつ軍側にも需要があれば、参加が可能となる。
入隊対象年齢	18歳～27歳 (18歳から25歳のベトナム人男子が兵役義務の対象となる。但し、短期大学、大学などに進学した場合、学期中は義務が免除され、兵役義務の年齢が27歳まで引き上げられる。)

出典：ベトナム兵役法、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

[次ページへ](#) ▶

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	66.8
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、閲覧者が意見を記載	65.7
VNエクスプレス (VN Express)	ウェブサイト	ニュース発信	31.0
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	29.2
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、閲覧者が意見を記載	26.4
ザロ (Zalo)	SNS	メッセージ交換	24.7
ベトナムネット (VietNamNet)	ウェブサイト	ニュース発信	23.8
トゥオイ・チャー (Tuoi Tre)	ウェブサイト	ニュース発信	20.9

## ▶ 前ページから

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ケン14 (Kenh 14)	ウェブサイト	芸能・生活情報発信	20.4
フオット (phuot.vn)	ウェブサイト	道中の写真や旅行で得た情報の共有、各グループの旅スケジュールの掲載、旅仲間募集 (フォーラムサイトとして運営)	19.4
タイン・ニエン (Thanh Nien)	ウェブサイト	ニュース発信	18.3
ジングニュース (Zing News)	ウェブサイト	ニュース発信	17.9
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメなどを配信	16.9
ザン・チー (Dan Tri)	ウェブサイト	ニュース発信	16.5

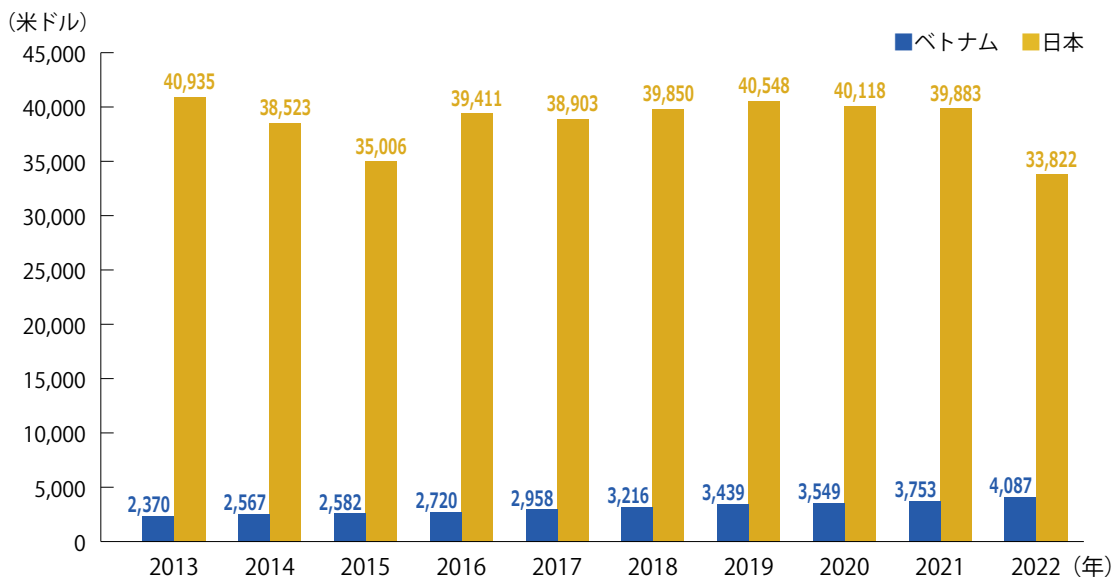
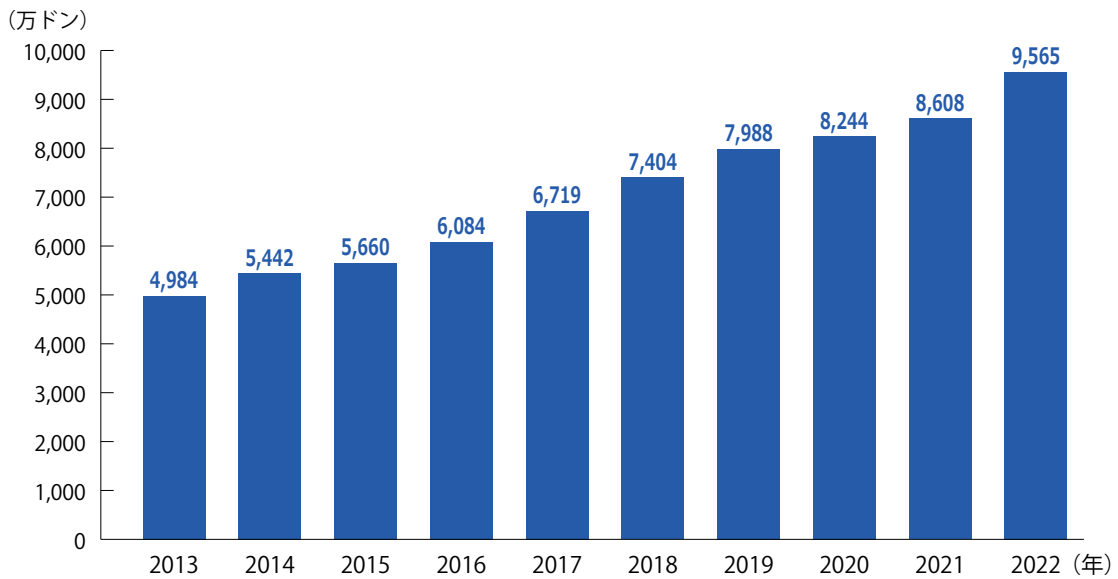
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

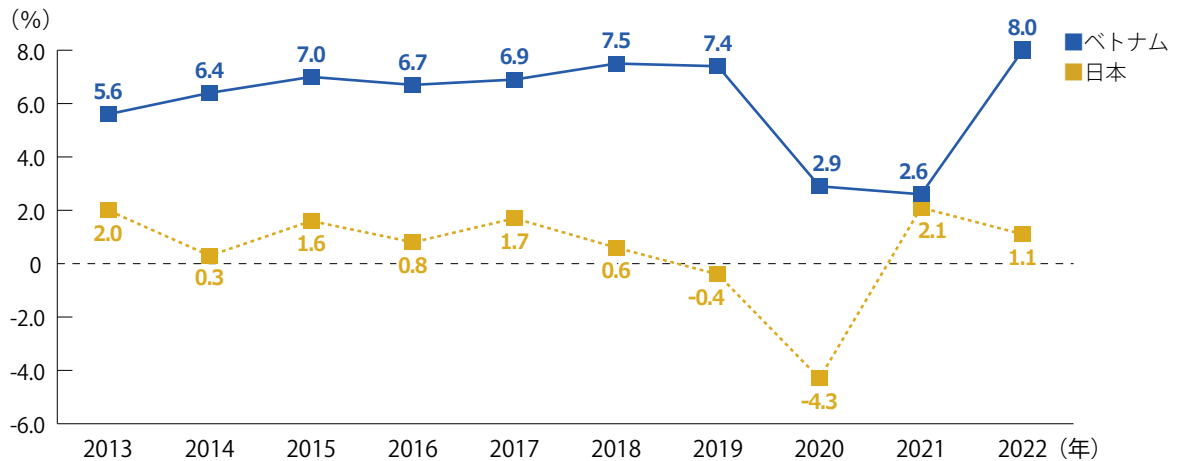
出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



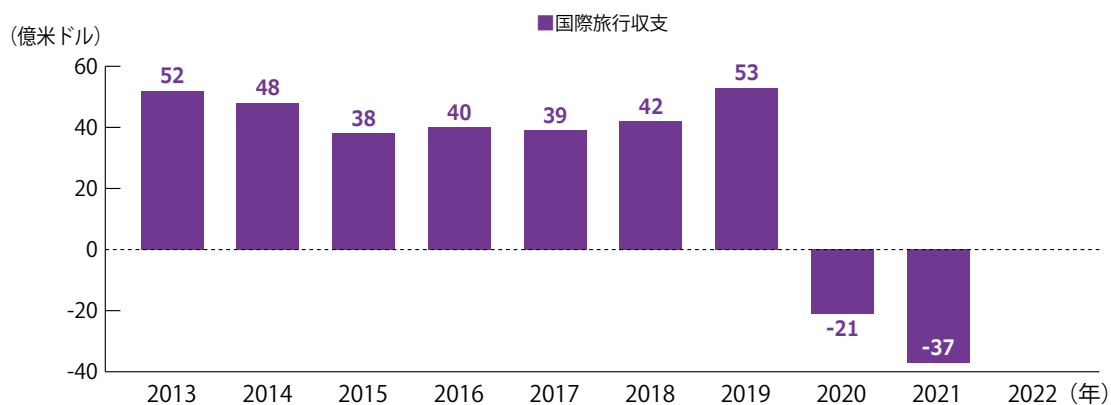
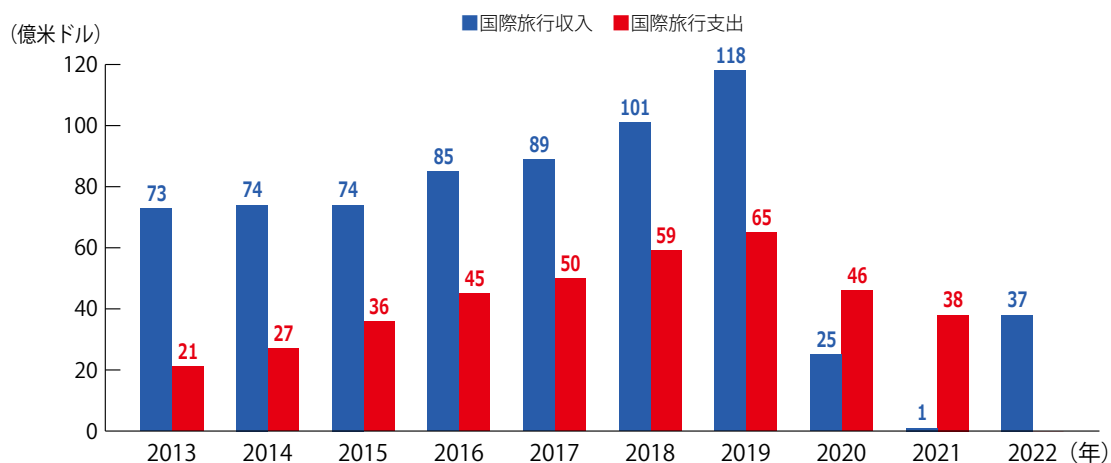
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



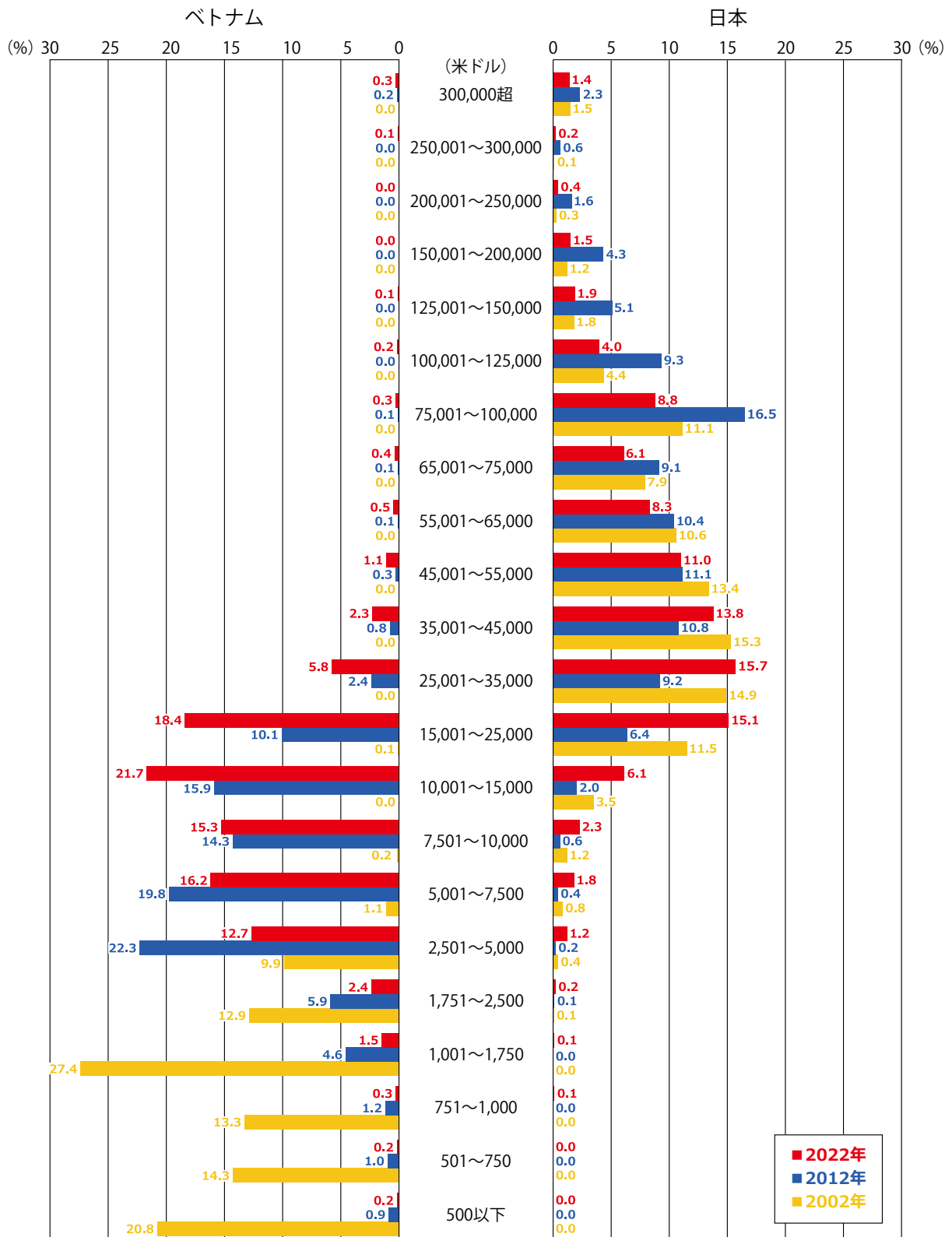
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



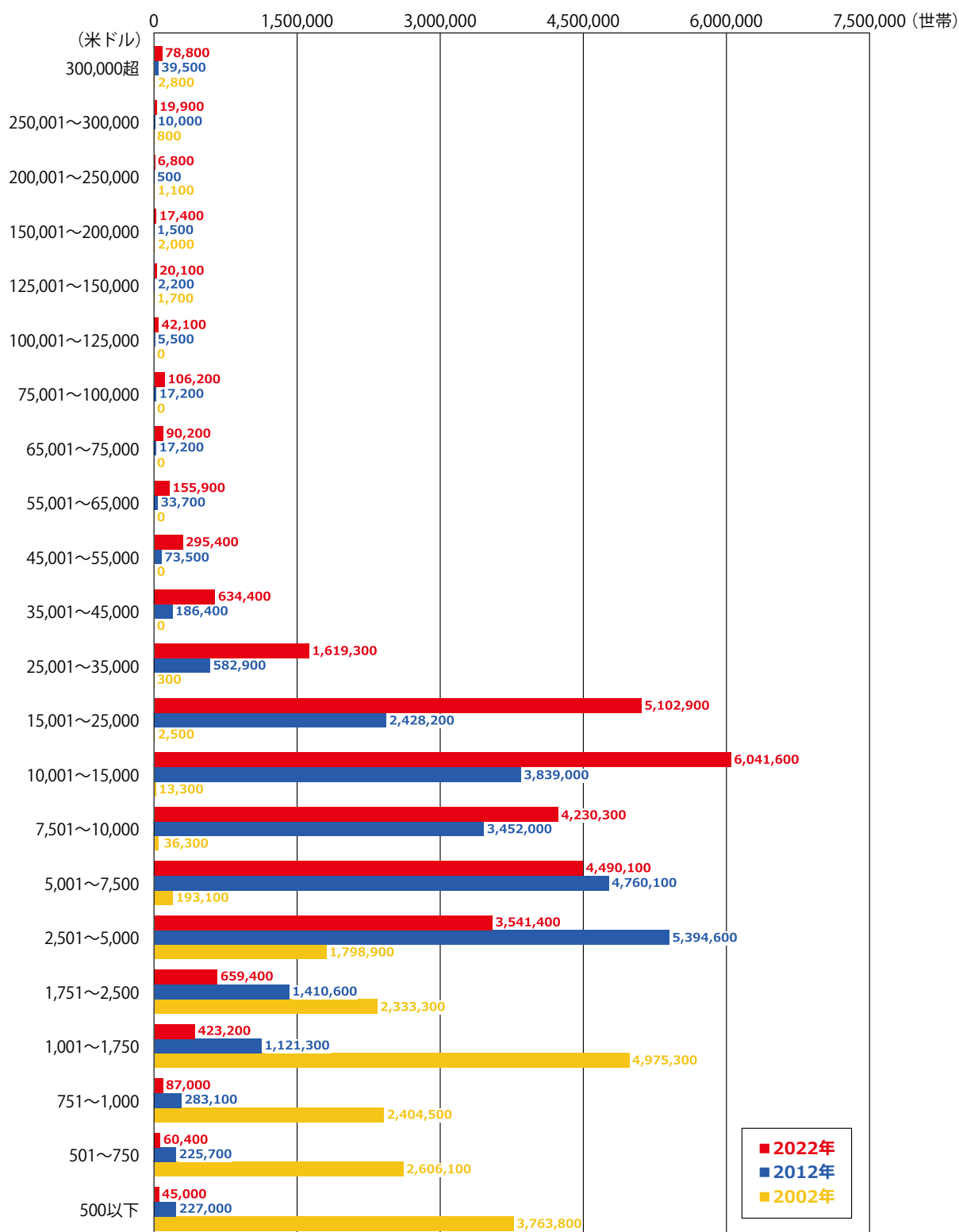
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
注3：国際旅行収入、国際旅行支出とも、国際旅客運賃が含まれている。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



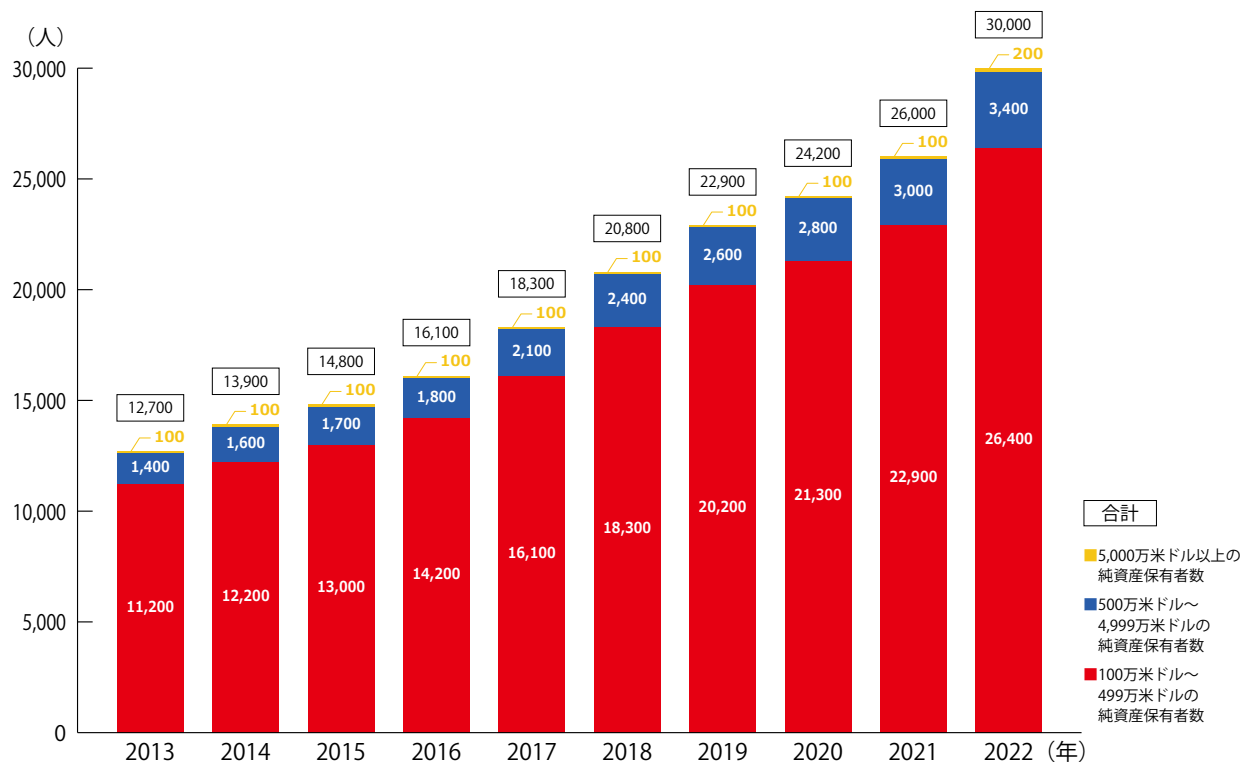
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

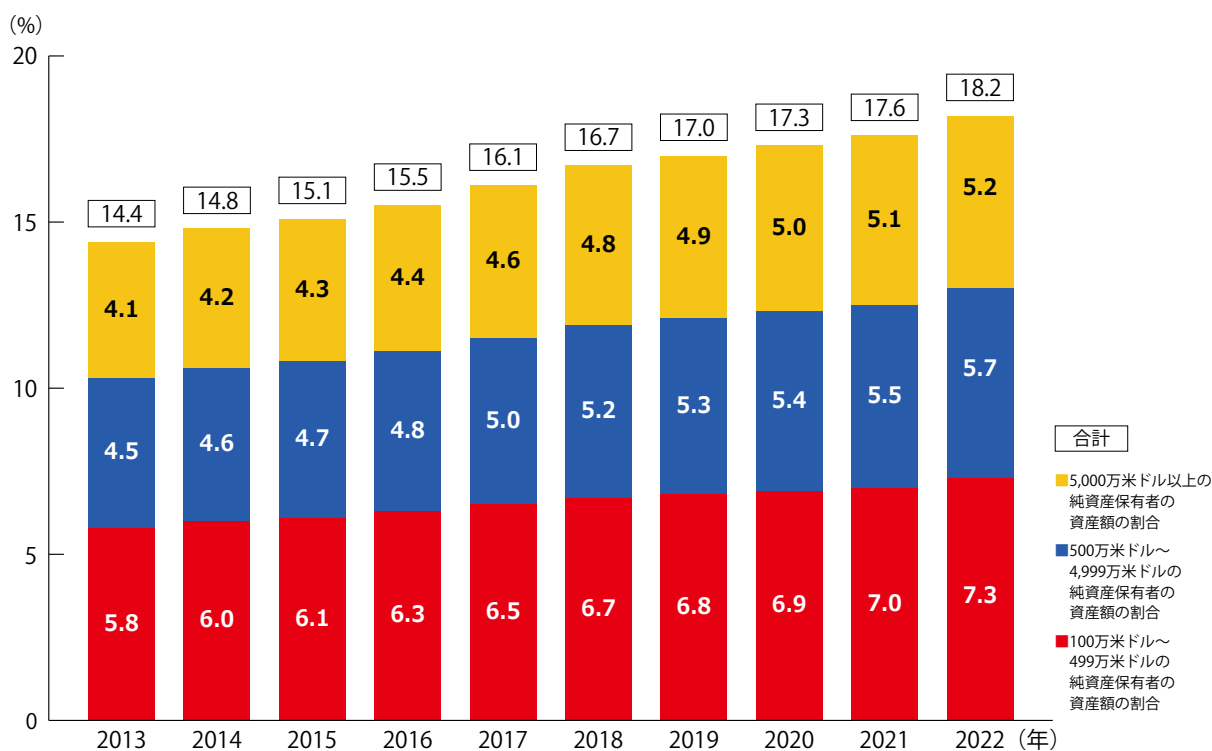
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

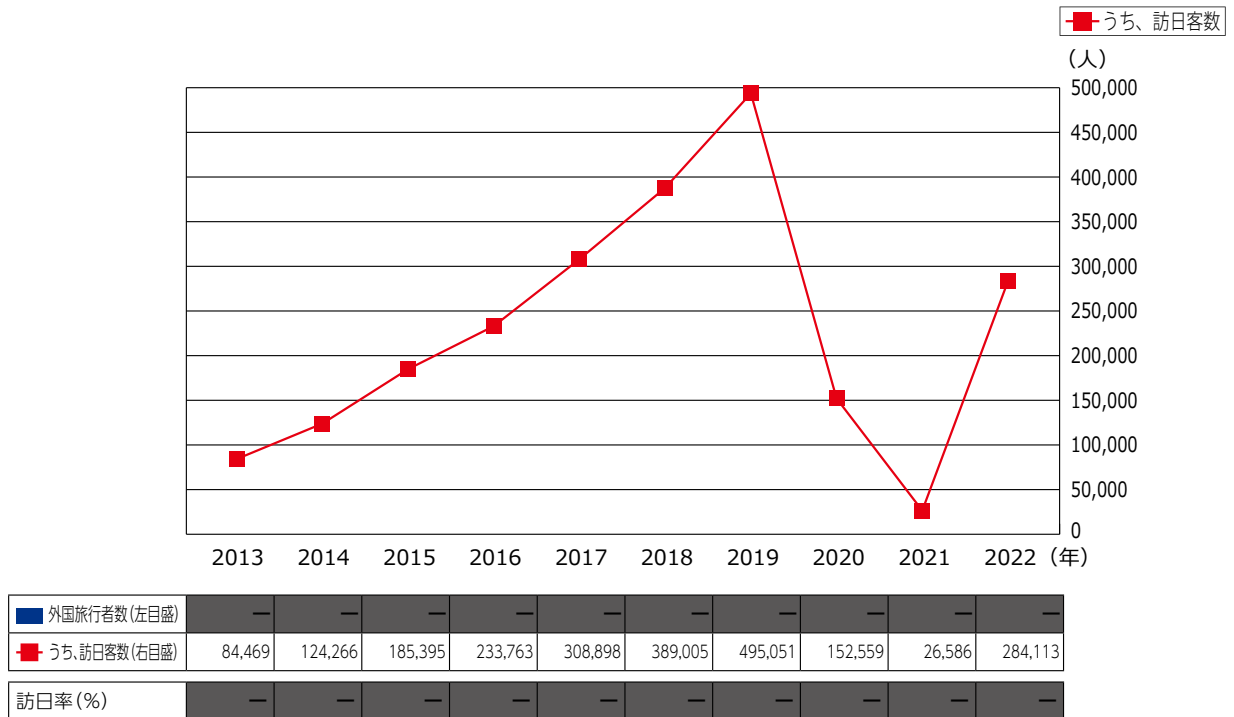


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) ベトナム人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：ベトナム人の外国旅行者数は公表されていない。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのベトナム人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	中国	VFN	6,544,198	7,587,932	7,948,664			7,948,664
2位	タイ	TFN	935,179	1,027,260	1,048,181	132,514	1,794	1,048,181
3位	ラオス	VFN	891,643	867,585	924,875	186,174		924,875
4位	カンボジア	TFR	835,355	800,128	908,803	182,199	22,120	908,803
5位	シンガポール	VFR	531,359	591,614	591,946	74,424	3,444	591,946
6位	韓国	VFN	324,740	457,818	553,731	81,939	22,946	553,731
7位	日本	VFN	308,898	389,005	495,051	152,559	26,586	495,051
8位	台湾	VFR	383,329	490,774	405,396	110,882	24,935	490,774
9位	マレーシア	TFN	248,927	375,578	400,346	64,184	583	400,346
10位	米国	TFR	119,660	122,512	132,796	21,222	13,186	132,796
11位	豪州	VFR	93,830	110,800	123,471	28,468	1,290	123,471
12位	インドネシア	VFN	77,466	75,816	96,024	19,608	2,008	96,024
13位	フィリピン	TFR	39,951	52,334	66,698	11,406	1,785	66,698
14位	ロシア	VFN	42,689	53,753	58,590	9,743		58,590
15位	ミャンマー	TFN	58,919	53,329	52,567	9,825	182	58,919
16位	香港	TFR	53,298	53,866	41,793	1,050	28	53,866
17位	カナダ	TFR	27,019	32,824	41,502	5,972	3,632	41,502
18位	アラブ首長国連邦	VFN	37,259	41,120	40,158	10,520		41,120
19位	インド	VFN	23,771	31,427	33,636	8,828	1,104	33,636
20位	トルコ	TFN	4,754	9,534	12,911	1,699	1,745	12,911
21位	ニュージーランド	VFR	7,792	9,541	9,006	2,097	77	9,541
22位	ルーマニア	VFR	2,802	4,766	7,250	2,604	2,290	7,250
23位	イタリア	TFN	1,295	6,332	7,207	1,382	925	7,207
24位	ネパール	TFN	7,131					7,131
25位	ベルギー	TCER	6,065	5,591	6,572	515	347	6,572
26位	マカオ	VFN	6,889	6,852	6,257	494	4	6,889
27位	モルディブ	TFN	4,820	5,550	6,191	1,264	230	6,191
28位	ブルネイ	TFN	3,380	4,048	5,544	1,462	13	5,544



↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	メキシコ	TFN	3,719	4,609	4,972	1,428	3,415	4,972
30位	ポルトガル	TCER			4,967	879	1,104	4,967
31位	イスラエル	TFR	3,062	4,691	4,621	600	353	4,691
32位	ポーランド	TCER	2,916	2,827	3,953	1,181	1,143	3,953
33位	ウクライナ	TFR	4,084	3,458	3,639	1,183	390	4,084
34位	フィンランド	TCER	1,927	2,025	3,239	356	652	3,239
35位	南アフリカ共和国	TFR	2,904	3,427	3,208	502	90	3,427
36位	ブルガリア	VFR	2,371	3,401	3,150	683	1,157	3,401
37位	キューバ	VFR	2,486	3,350	3,054	384	395	3,350
38位	スロバキア	TCEN	742	1,286	3,023	921	479	3,023
	アンゴラ	TFR	3,492	2,582	2,810	158	310	3,492
	スリランカ	TFR	2,551	3,189	2,643	709	8	3,189
	クウェート	VFN	968	4,108	2,376	421	65	4,108
	エジプト	VFN	1,882	3,024	1,460	648		3,024

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

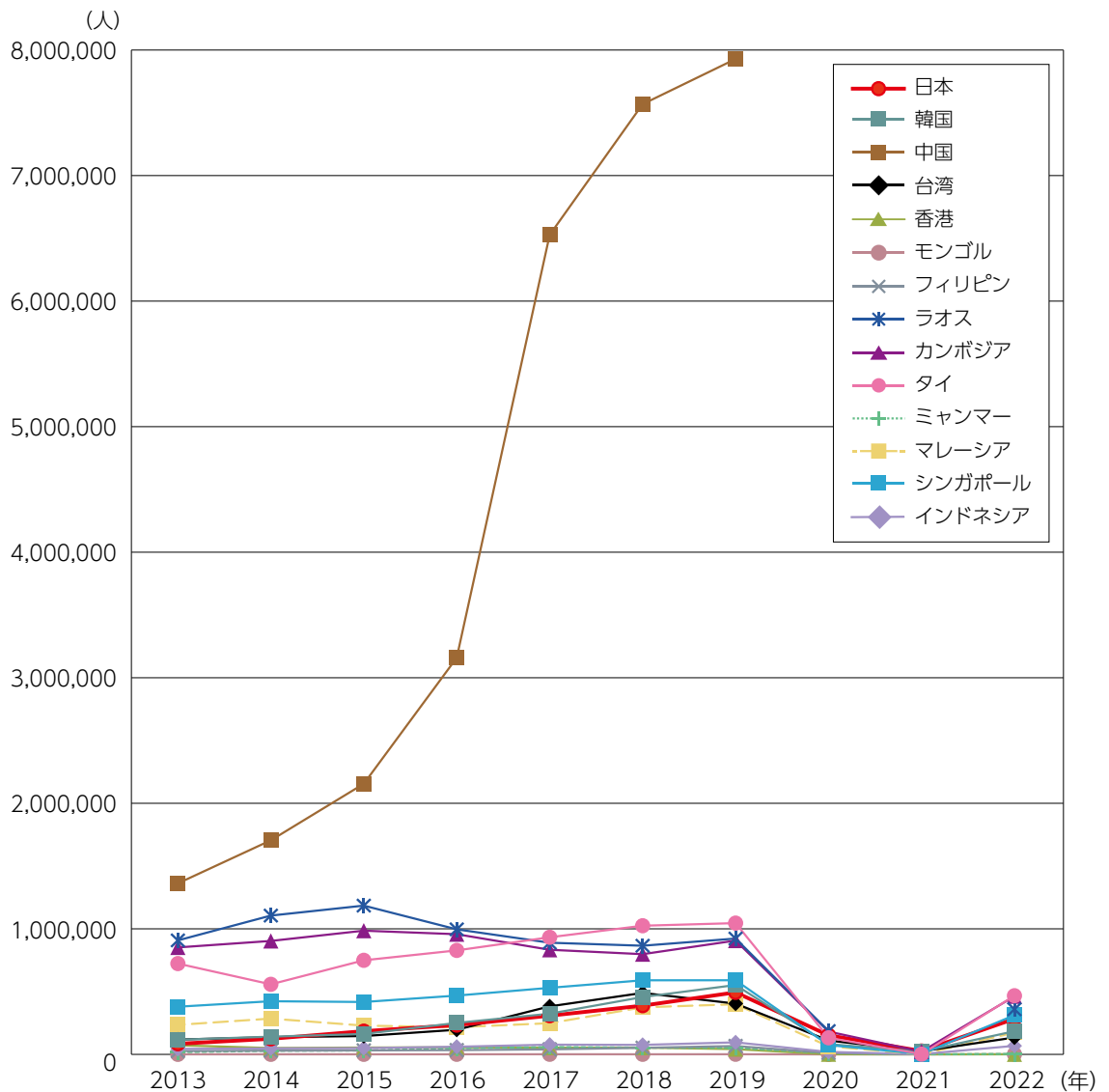
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのベトナム人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	1,365,402	1,709,437	2,160,756	3,167,273	6,544,198	7,587,932	7,948,664			
タイ	TFN	725,057	559,415	751,162	830,220	935,179	1,027,260	1,048,181	132,514	1,794	468,393
ラオス	VFN	910,164	1,108,332	1,187,954	998,400	891,643	867,585	924,875	186,174		360,045
カンボジア	TFR	854,104	905,801	987,792	959,663	835,355	800,128	908,803	182,199	22,120	463,995
シンガポール	VFR	380,495	424,408	418,266	469,409	531,359	591,614	591,946	74,424	3,444	312,714
韓国	VFN	117,070	141,504	162,765	251,402	324,740	457,818	553,731	81,939	22,946	185,061
日本	VFN	84,469	124,266	185,395	233,763	308,898	389,005	495,051	152,559	26,586	284,113
台湾	VFR	118,467	137,177	146,380	196,636	383,329	490,774	405,396	110,882	24,935	134,818
マレーシア	TFN	235,700	285,716	229,626	216,877	248,927	375,578	400,346	64,184	583	173,763
インドネシア	VFN	43,249	48,018	49,845	60,986	77,466	75,816	96,024	19,608	2,008	68,067
フィリピン	TFR	26,599	29,800	31,579	33,895	39,951	52,334	66,698	11,406	1,785	
ミャンマー	TFN	17,453	28,495	31,150	48,869	58,919	53,329	52,567	9,825	182	3,669
香港	TFR	72,736	50,545	54,668	56,521	53,298	53,866	41,793	1,050	28	448
モンゴル	TFN	310	441	484	768	947	704	1,061	65	14	1,309

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

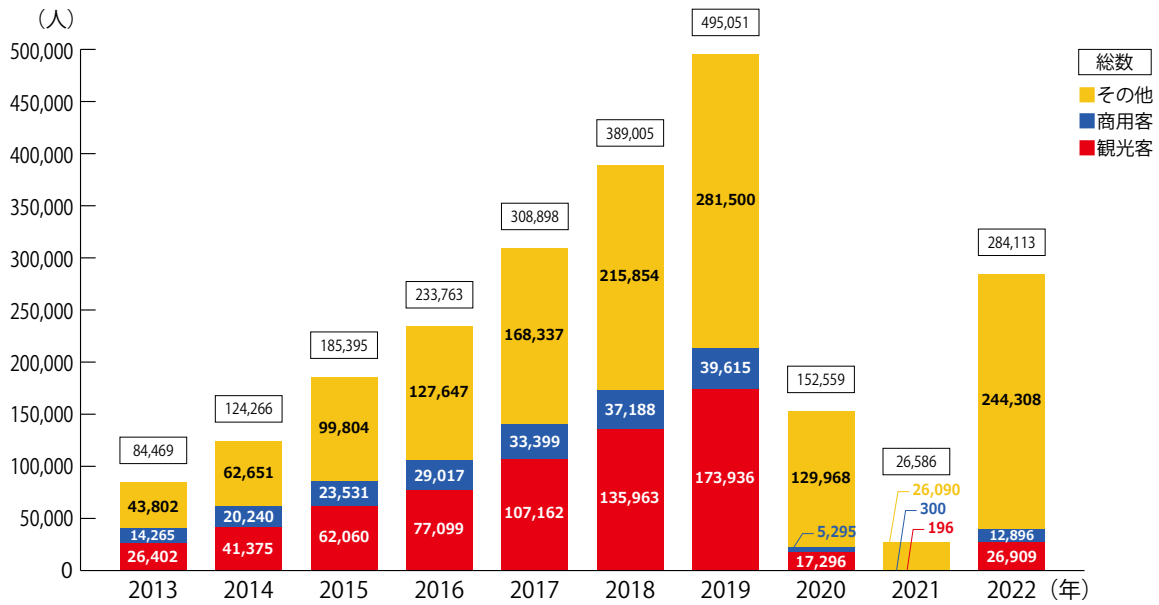
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

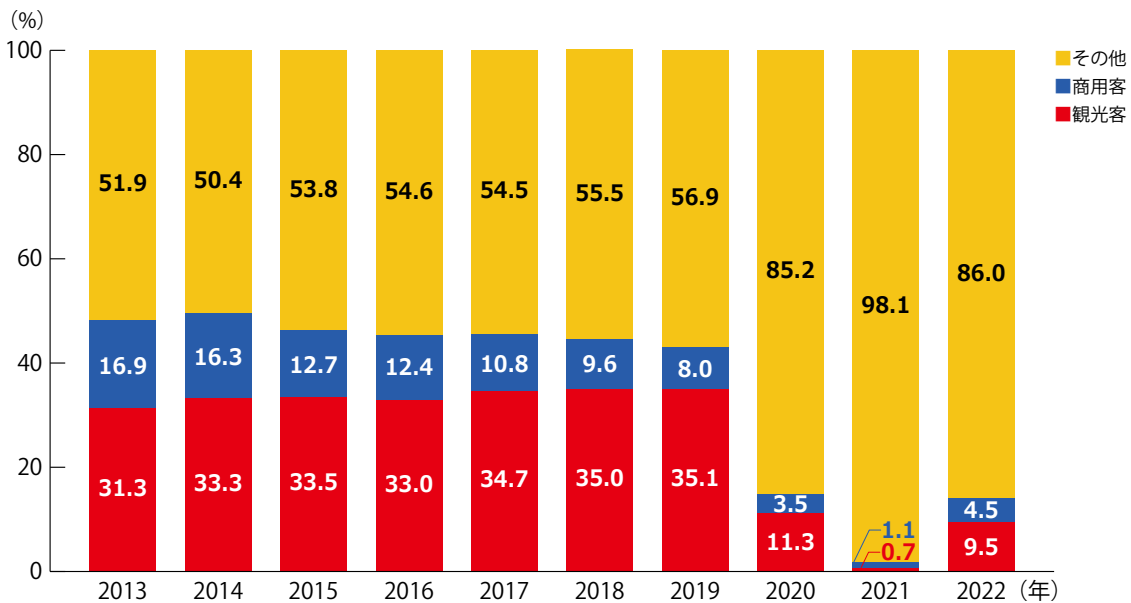
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日ベトナム人の推移（2013年～2022年）



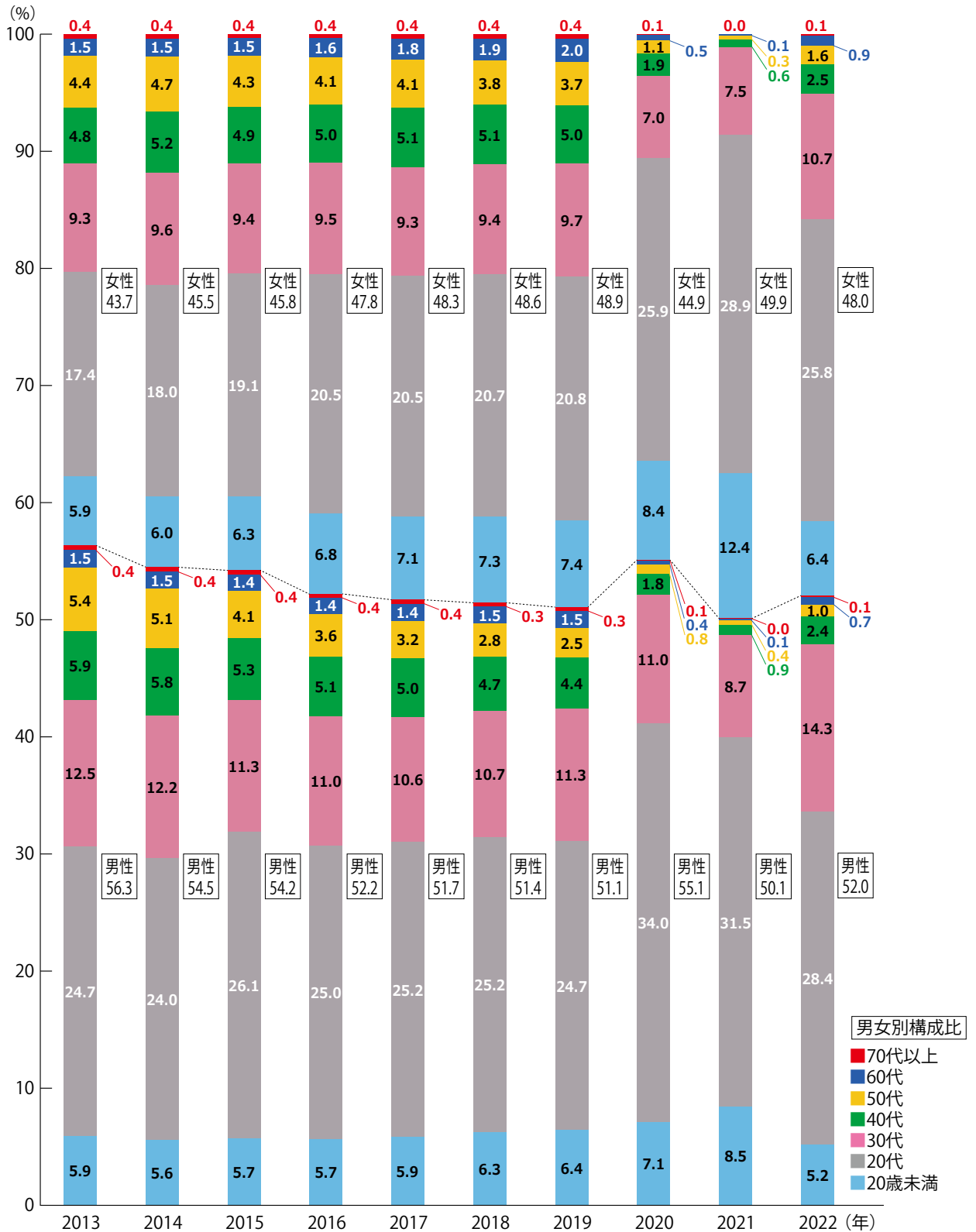
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日ベトナム人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日ベトナム人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)

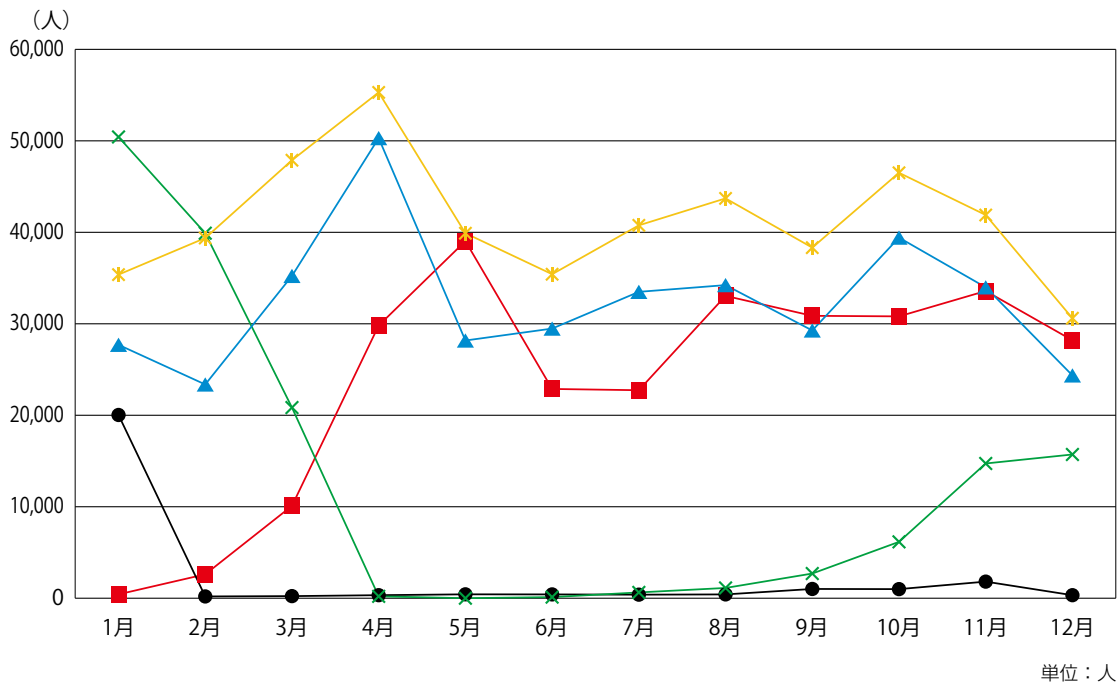


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

ベトナム

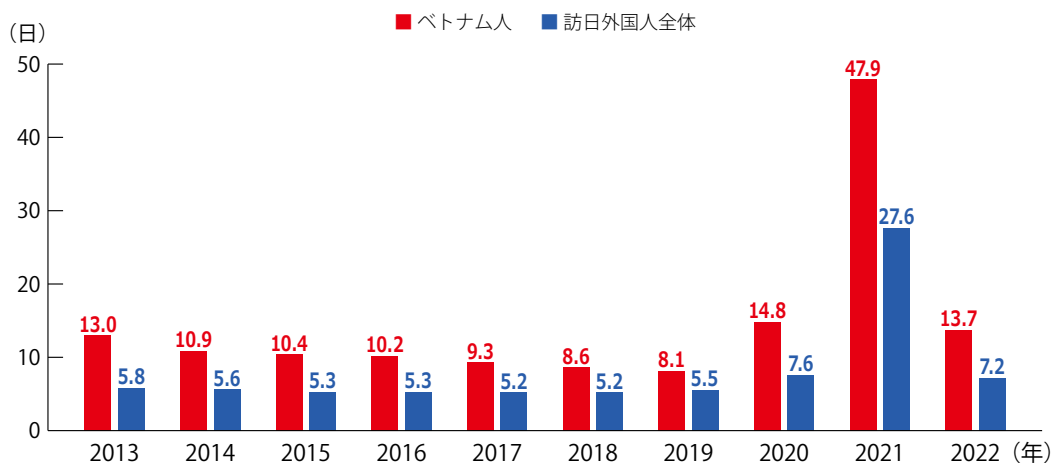
#### (4) 月別訪日ベトナム人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	424	2,613	10,096	29,810	39,040	22,877	22,738	33,052	30,871	30,811	33,584	28,197
● 2021年	20,032	194	230	332	425	416	389	416	1,012	995	1,814	331
✕ 2020年	50,424	39,905	20,842	206	2	122	633	1,122	2,698	6,162	14,730	15,713
✱ 2019年	35,375	39,377	47,881	55,295	39,900	35,419	40,762	43,709	38,325	46,510	41,892	30,606
▲ 2018年	27,703	23,366	35,235	50,299	28,172	29,476	33,492	34,229	29,270	39,421	33,986	24,356

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日ベトナム人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）

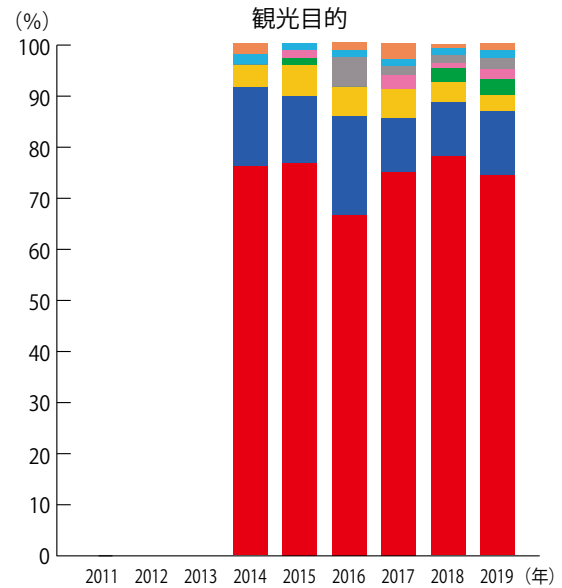
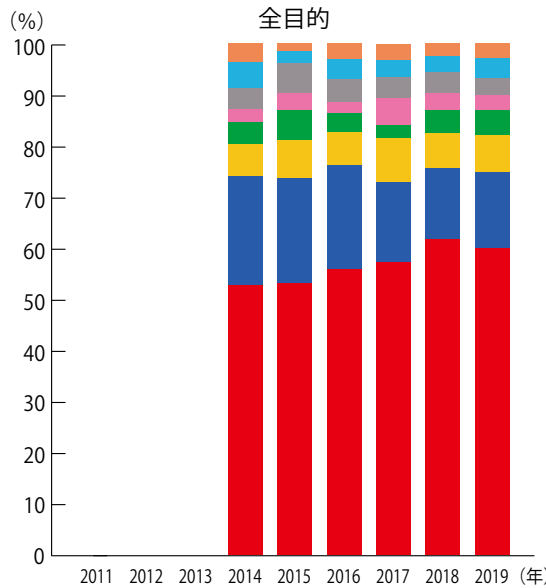


注1：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

注2：ベトナムからの観光以外の目的客は、日本での滞在期間が長い傾向にある。その影響を受けて、訪日ベトナム人の平均滞在日数は多く表れている。ベトナムからの観光客に焦点を当てて、その滞在期間を把握する場合は、第4章(7)を参照すると良い。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(6) 訪日ベトナム人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	3.7	1.6	3.2	3.1	2.7	3.0
10~19回目	-	-	-	5.0	2.3	3.9	3.4	3.1	3.9
6~9回目	-	-	-	4.1	5.9	4.4	4.2	4.1	3.3
5回目	-	-	-	2.7	3.4	2.2	5.1	3.3	3.0
4回目	-	-	-	4.2	5.7	3.6	2.6	4.4	4.9
3回目	-	-	-	6.2	7.4	6.6	8.5	7.0	7.1
2回目	-	-	-	21.4	20.7	20.3	15.7	13.8	14.9
1回目	-	-	-	52.7	53.0	55.8	57.2	61.7	59.9

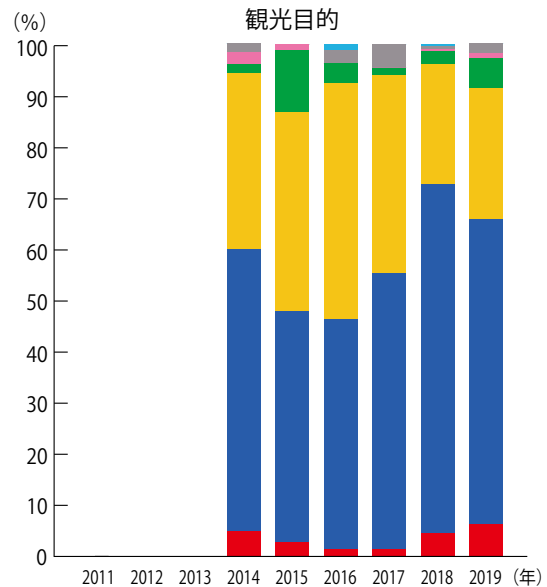
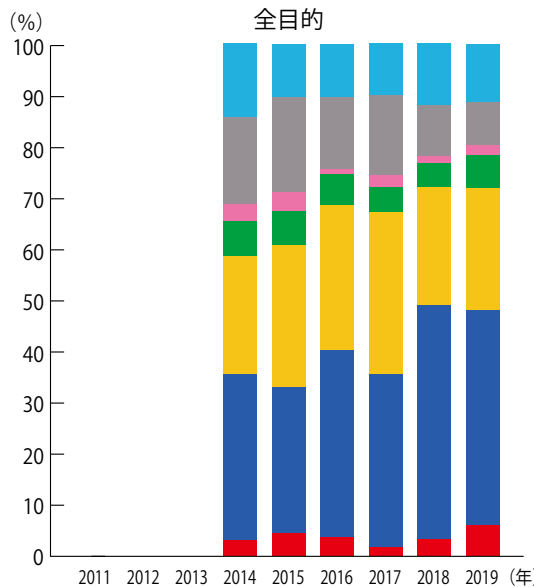
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	2.1	0.0	1.6	3.1	0.9	1.5
10~19回目	-	-	-	2.1	1.4	1.2	1.5	1.4	1.6
6~9回目	-	-	-	0.0	0.0	5.8	1.6	1.5	2.1
5回目	-	-	-	0.0	1.4	0.0	2.8	1.0	1.9
4回目	-	-	-	0.0	1.4	0.0	0.0	2.6	3.2
3回目	-	-	-	4.4	6.0	5.8	5.7	3.9	3.0
2回目	-	-	-	15.5	13.1	19.2	10.5	10.7	12.6
1回目	-	-	-	75.9	76.6	66.5	74.8	77.9	74.2

注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日ベトナム人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上1年未満	-	-	-	14.4	10.5	10.5	10.2	12.0	11.5
28~90日間	-	-	-	17.1	18.4	14.0	15.6	10.1	8.3
21~27日間	-	-	-	3.3	3.9	1.0	2.3	1.3	2.0
14~20日間	-	-	-	6.7	6.5	6.0	4.9	4.8	6.3
7~13日間	-	-	-	23.2	27.8	28.3	31.7	23.0	24.0
4~6日間	-	-	-	32.3	28.5	36.6	33.7	45.6	41.9
3日間以内	-	-	-	3.1	4.4	3.6	1.7	3.3	6.0

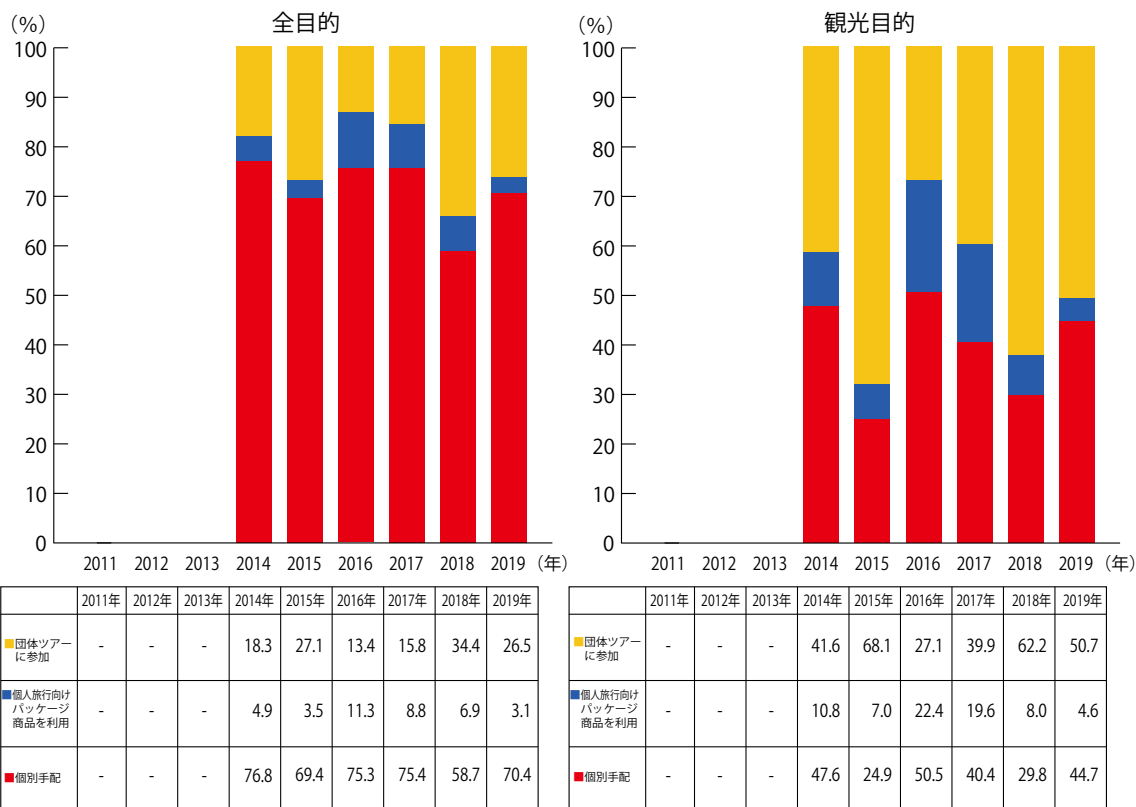
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上1年未満	-	-	-	0.0	0.0	1.3	0.0	0.5	0.0
28~90日間	-	-	-	1.7	0.0	2.5	4.6	0.6	1.8
21~27日間	-	-	-	2.4	1.2	0.0	0.0	0.3	1.1
14~20日間	-	-	-	1.7	12.1	4.0	1.5	2.5	5.7
7~13日間	-	-	-	34.5	38.8	45.9	38.6	23.6	25.7
4~6日間	-	-	-	55.1	45.1	45.1	53.9	68.2	59.5
3日間以内	-	-	-	4.7	2.7	1.2	1.3	4.3	6.2

注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日ベトナム人の旅行形態 (2011年～2019年)

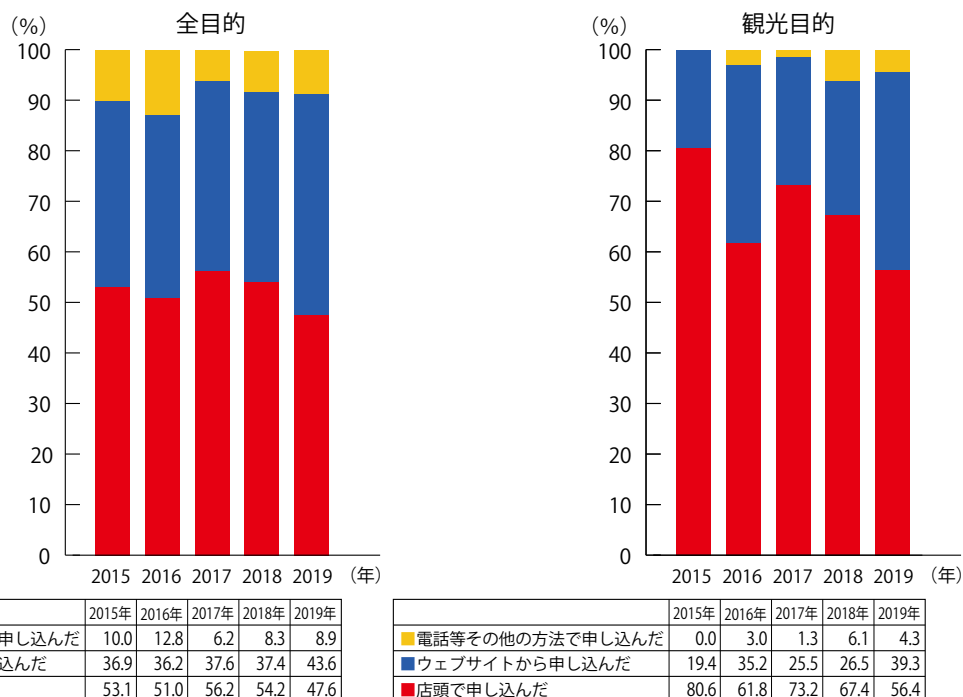


注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日ベトナム人の予約方法 (2015年～2019年)

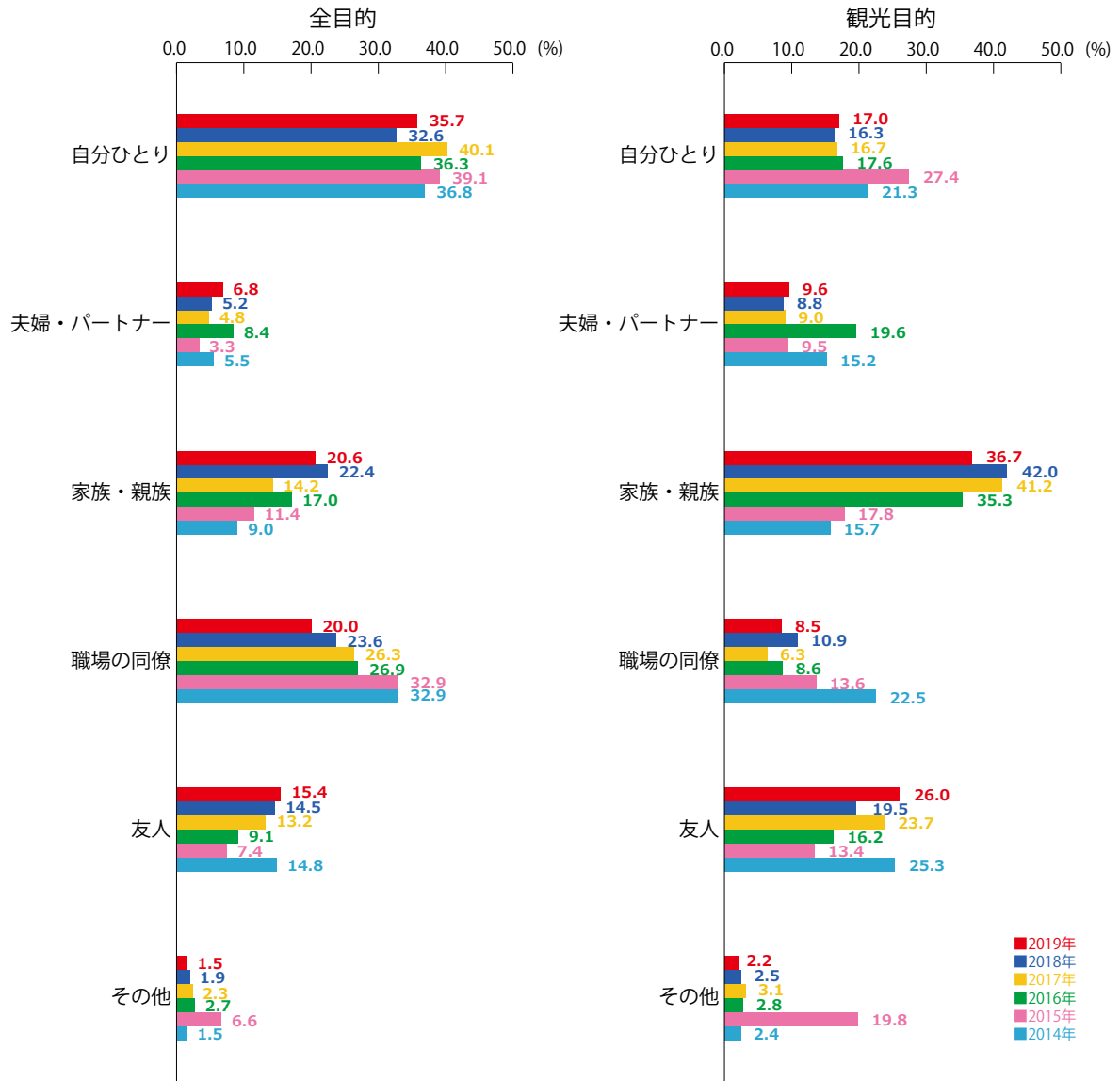


注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日ベトナム人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2014年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(11) 訪日ベトナム人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	79.3 76.4 68.3 73.8 71.5	97.3 98.1 93.9 96.1 89.7	57.1 48.1 63.7 64.6 59.2
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	21.2 27.1 17.6 21.6 28.3	34.8 45.4 43.1 41.7 47.3	23.1 15.8 20.7 26.8 31.5
旅館に宿泊	20.3 16.0 7.8 17.4 18.8	23.5 22.4 18.3 32.1 31.9	20.6 20.5 14.9 20.5 19.5
温泉入浴	17.2 23.6 15.6 22.0 31.1	20.0 30.4 25.8 33.3 31.2	33.7 35.4 33.4 35.4 47.1
自然・景勝地観光	42.9 48.5 36.3 35.7 54.8	53.4 64.4 53.4 51.3 70.3	50.7 47.6 40.9 32.6 52.1
繁華街の街歩き	47.0 42.9 27.3 34.8 31.9	66.7 66.3 27.3 64.8 61.4	31.5 21.7 24.8 28.3 35.1
ショッピング	60.4 59.1 43.8 48.7 61.0	82.8 85.1 79.1 81.6 83.9	51.2 44.6 40.1 46.2 53.2
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	21.8 15.2 9.5 12.6 13.5	28.9 21.1 27.2 19.5 18.1	14.5 13.0 17.5 18.5 19.7
テーマパーク	18.3 10.2 6.2 7.5 10.4	21.7 16.4 11.5 14.2 16.2	18.8 12.0 12.2 22.6 22.2
スキー・スノーボード	4.3 5.8 5.0 0.9 6.8	2.6 3.8 4.0 1.7 0.7	14.2 18.3 17.4 25.1 22.7
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.7 1.7 2.6 1.6 2.1	0.7 0.9 1.3 3.0 2.1	1.2 1.3 6.8 7.3 7.5
舞台・音楽鑑賞	2.2 2.6 2.3 2.7 6.6	2.8 1.9 4.4 4.1 3.6	5.3 6.3 13.9 12.5 13.2
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.4 2.6 2.6 1.5 3.9	1.8 2.9 1.8 2.4 2.2	5.2 6.1 12.1 10.5 8.9
自然体験ツアー・農漁村体験	5.7 9.9 6.9 7.9 8.5	7.1 10.3 7.6 11.9 4.1	16.3 16.5 24.6 23.2 18.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	16.3 15.6 13.4 15.3 13.2	15.9 15.1 18.0 19.3 14.9	39.7 37.7 28.0 32.8 32.1
映画・アニメ縁の地を訪問	4.6 3.7 3.5 4.3 3.2	5.4 4.3 5.5 4.4 4.0	13.6 7.4 9.9 12.4 11.1
日本の歴史・伝統文化体験	24.9 24.8 22.2 22.3 30.2	32.1 34.3 32.3 32.2 33.4	28.3 26.8 33.7 26.8 37.2
日本の日常生活体験	18.8 17.6 22.7 20.2 24.2	25.4 35.5 39.1 38.1 38.4	17.7 17.9 25.8 28.4 27.9
日本のポップカルチャーを楽しむ	5.8 8.9 13.2 11.1 5.5	8.9 9.8 22.0 18.3 13.3	13.0 9.7 12.1 22.1 15.4
治療・健診	1.5 1.6 1.2 3.7 1.4	2.1 2.7 2.2 5.6 4.4	2.5 3.3 17.0 6.2 4.6
上記には当てはまるものがない	5.2 3.8 11.3 13.3 1.2	0.4 0.1 2.3 0.0 0.7	2.2 3.1 4.5 7.2 2.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

ベトナム

▶ 前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	82.5 78.8 68.7 72.9 65.3	97.3 98.4 98.1 96.4 81.5	61.3 42.7 56.5 68.0 53.0
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	21.6 24.4 18.8 12.5 40.2	30.4 42.0 43.0 34.4 50.7	32.1 14.5 20.0 22.8 35.4
旅館に宿泊	36.5 21.6 9.9 21.4 34.4	44.8 32.3 23.9 39.8 45.3	26.2 25.5 14.3 27.1 26.7
温泉入浴	25.7 29.9 25.5 25.2 59.5	28.5 39.0 39.8 46.0 68.3	32.1 32.8 31.7 35.7 64.8
自然・景勝地観光	47.5 61.1 44.7 33.8 84.2	60.1 79.9 74.0 71.7 95.9	53.4 49.7 37.3 34.1 64.3
繁華街の街歩き	59.5 52.6 26.6 25.7 39.9	79.5 74.7 67.8 63.6 59.8	37.8 23.8 20.0 26.0 42.5
ショッピング	72.2 65.7 46.4 43.0 74.4	92.2 89.8 78.8 82.1 91.4	58.0 45.8 34.7 45.7 66.7
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	29.9 18.9 9.6 16.9 20.5	41.2 23.0 23.9 26.8 26.7 19.7	13.1 13.3 13.3 21.6 17.2
テーマパーク	26.9 10.3 9.1 4.8 21.9	31.0 16.8 17.5 12.5 27.3	27.4 11.9 10.6 18.7 19.6
スキー・スノーボード	5.1 6.0 6.8 0.0 5.1	2.6 3.3 5.2 0.0 0.0	14.0 17.2 21.3 26.7 21.6
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.6 1.4 0.0 0.0 0.0	0.3 0.3 0.0 1.7 0.0	0.6 0.8 7.7 8.1 3.4
舞台・音楽鑑賞	3.5 3.1 1.6 2.0 5.1	5.1 2.6 6.8 5.2 1.6	5.4 5.3 14.1 12.2 11.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	3.0 2.2 1.9 0.0 0.0	1.0 0.8 0.0 1.9 1.6	2.9 3.5 10.6 7.9 7.3
自然体験ツアー・農漁村体験	9.3 12.5 7.7 13.1 9.3	11.6 14.5 10.5 15.3 5.8	18.4 18.9 21.2 28.3 22.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	22.8 19.7 28.1 13.1 18.6	19.4 16.9 29.5 22.3 19.9	49.7 43.5 36.0 32.7 41.2
映画・アニメ縁の地を訪問	6.3 4.6 3.5 1.9 2.0	6.1 5.1 5.1 5.8 1.9	23.0 8.4 7.5 7.9 6.5
日本の歴史・伝統文化体験	40.5 31.0 27.3 21.3 46.9	49.5 43.7 41.2 35.2 53.5	32.4 25.2 36.5 22.1 57.7
日本の日常生活体験	19.9 23.1 14.7 16.4 33.8	20.9 32.2 32.1 28.2 52.1	17.8 18.6 19.6 19.7 24.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	8.8 10.7 18.5 11.6 4.1	10.0 10.7 30.5 22.0 16.3	12.6 10.4 12.4 14.9 13.6
治療・健診	1.9 1.1 1.9 2.5	1.2 0.5 1.9 3.6 2.9	2.7 2.4 5.0 6.7 8.0
上記には当てはまるものがない	1.8 1.4 10.9 13.6 0.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.8 2.9 7.5 7.2 2.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) ベトナム人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	8.5 8.4 8.7 11.5 10.8	11.5 10.9 8.8 13.8 14.0
旅行会社ホームページ	22.9 20.9 16.0 13.8 16.2	42.3 34.3 35.7 30.4 24.2
宿泊施設ホームページ	7.2 3.5 4.8 4.7	13.7 6.0 8.7 4.2 6.3
航空会社ホームページ	6.6 6.3 4.1 3.3 4.5	6.5 7.0 3.6 2.4 5.1
地方観光協会ホームページ	2.3 1.8 1.2 1.9 4.2	2.9 1.8 1.9 0.0 3.3
宿泊予約サイト	4.6 6.7 2.3 5.1 4.3	6.8 8.0 5.3 1.8 5.4
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	8.5 14.3 8.5 9.6 5.6	12.7 15.9 15.8 7.9 5.8
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	29.5 26.1 16.0 21.1 15.3	39.1 28.3 20.0 6.6 5.8
個人のブログ	7.5 4.7 6.3 6.1 6.6	11.4 7.1 10.9 4.8 8.9
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	11.5 12.0 10.6 7.8 8.2	15.0 14.9 10.6 3.7 6.9
その他インターネット	2.2 4.4 9.4 8.0 15.3	2.2 3.9 5.4 6.0 14.7
日本政府観光局の案内所	1.2 1.3 0.7 4.6 2.2	1.4 1.4 0.4 6.1 1.6
旅行会社パンフレット	12.4 7.0 4.0 5.4 6.2	24.9 11.2 12.3 10.0 18.2
旅行ガイドブック	17.1 13.1 9.4 5.0 11.3	30.5 19.3 17.7 3.6 19.5
自国の親族・知人	20.4 27.8 16.9 22.1 22.6	17.3 26.7 16.0 19.6 23.7
日本在住の親族・知人	25.8 30.3 30.2 37.9 33.7	15.5 18.4 18.9 28.8 13.0
旅行の展示会や見本市	2.9 2.3 1.7 4.0 1.2	2.0 3.8 0.0 0.0 4.2
テレビ番組	6.8 7.2 8.7 3.9	14.8 8.6 9.1 6.1 7.7
新聞	2.8 4.2 3.7 6.6 3.2	3.3 5.3 7.2 4.2 1.9
旅行専門誌	3.2 5.6 6.6 9.6 5.3	5.0 7.5 8.9 12.9 8.6
その他雑誌	0.4 0.9 0.5 1.4 1.2	0.5 1.6 1.7 1.9 2.5
その他	3.7 2.4 4.5 13.0 8.9	0.8 0.9 1.6 4.3 5.4
特になし	11.7 9.8 13.6 13.4 20.5	4.3 4.7 11.1 12.1 31.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) ベトナム人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	20.1 21.3	28.9 25.8
交通手段	55.2 49.6	55.5 46.3
飲食店	39.1 38.9	45.5 37.5
観光施設	25.3 18.9	38.3 22.8
イベント	2.9 6.2	1.3 2.7
土産物	12.5 15.8	15.4 21.6
買物場所	31.9 32.0	41.3 40.1
無料W i - F i	30.9 30.9	32.1 28.2
祈祷室	0.3 1.0	0.2 1.6
A T M	8.3 11.5	4.8 4.9
宅配便	4.5 6.5	1.7 1.4
日本文化体験プログラム	11.7 8.8	9.3 11.3
自然体験ツアー・農山漁村体験	5.9 6.7	7.8 11.9
通訳案内士・観光ガイド	7.6 9.8	13.2 16.4
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	2.4 1.7	3.1 2.0
クレジットカード利用可能店舗	8.6 9.1	8.9 9.3
その他	0.4 1.0	0.4 0.6
特になし	16.6 17.1	16.2 16.4

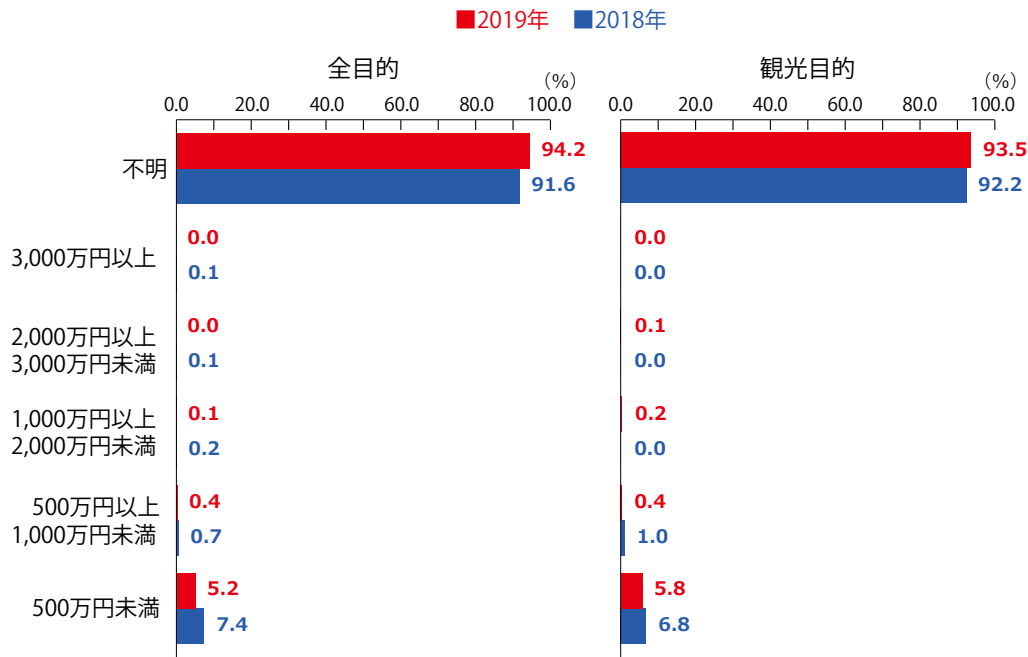
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

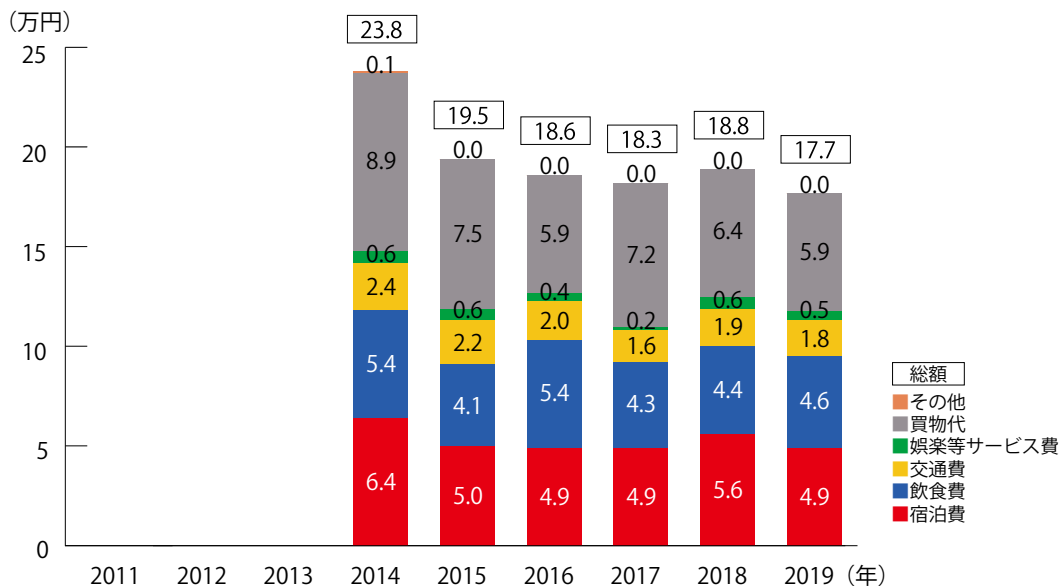
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日ベトナム人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日ベトナム人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：2013年以前の数値は存在しない。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注3：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注4：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注5：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (16) 属性別訪日ベトナム人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		1,493	177,066	624	144,967
滞在日数	3日間以内	90	94,868	35	109,441
	4～6日間	622	128,926	384	132,432
	7～13日間	335	145,175	152	164,441
	14～20日間	92	172,135	34	228,408
	21～27日間	28	133,318	7	128,579
	28～90日間	130	166,261	12	151,992
	91日間以上1年未満	196	480,985	0	-
性・年代	男性	779	186,000	254	149,441
	15～19歳	29	217,182	17	152,102
	20～29歳	266	223,066	72	127,787
	30～39歳	294	163,362	92	152,100
	40～49歳	136	166,191	47	165,103
	50～59歳	29	160,750	14	175,904
	60～69歳	22	140,675	12	172,538
	70歳以上	3	249,949	0	-
	女性	714	167,443	370	141,839
	15～19歳	31	172,422	20	99,082
	20～29歳	271	204,841	118	143,245
	30～39歳	227	153,318	126	149,459
	40～49歳	96	139,523	57	137,159
	50～59歳	61	126,372	37	155,390
60～69歳	23	91,019	11	94,887	
70歳以上	5	91,058	1	123,705	
日本への 来訪回数	1回目	877	171,013	462	139,948
	2回目	220	189,646	77	152,075
	3回目	115	189,310	20	156,859
	4回目	76	172,362	18	185,860
	5回目	49	191,419	13	108,287
	6～9回目	51	183,163	13	163,480
	10～19回目	57	195,516	11	226,938
	20回目以上	48	169,598	10	157,363

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較するには注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日ベトナム人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	377	159,570		318	159,737
	個人旅行向けパッケージ商品	57	152,050		36	178,913
	往復航空（船舶）運賃	1,059	71,065		270	56,730
日本滞在中の支出	宿泊料金	746	76,480		234	40,201
	飲食費	980	55,042		307	29,302
	交通費	910	20,392		274	18,087
	航空（日本国内移動のみ）	22	25,115		5	24,266
	Japan Rail Pass	99	28,415		69	27,551
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	750	15,092		223	9,618
	バス	289	5,166		90	3,554
	タクシー	209	6,805		67	5,605
	レンタカー	5	75,501		0	-
	船舶（日本国内移動のみ）	2	573		2	573
	その他交通費	10	10,363		0	-
	娯楽等サービス費	310	18,187		142	6,892
	現地ツアー・観光ガイド	23	11,168		11	15,683
	ゴルフ場	3	10,533		0	-
	テーマパーク	90	7,237		48	7,396
	舞台・音楽鑑賞	4	9,460		0	-
	スポーツ観戦	1	235		1	235
	美術館・博物館・動物園・水族館	173	3,946		79	3,689
	スキー場リフト	12	9,681		5	7,088
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	43	4,147		19	3,880
	マッサージ・医療費	16	159,557		4	4,225
	展示会・コンベンション参加費	4	2,895		3	2,698
	レンタル料（レンタカーを除く）	1	7,609		1	7,609
	その他娯楽等サービス費	20	79,760		6	4,081
	買物代	1,432	61,007		610	52,803
	菓子類	1,099	10,823		479	10,252
	酒類	211	10,757		95	6,107
	生鮮農産物	164	29,720		68	9,439
	その他食料品・飲料・たばこ	430	18,633		184	9,716
	化粧品・香水	616	23,344		296	18,719
	医薬品	383	17,375		169	14,610
	健康グッズ・トイレタリー	268	17,201		134	14,816
	衣類	693	18,831		290	15,740
	靴・かばん・革製品	301	26,299		136	29,518
	電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	143	46,311		64	49,485
	時計・フィルムカメラ	119	27,573		44	22,316
宝石・貴金属	17	22,586		7	8,266	
民芸品・伝統工芸品	68	9,941		42	9,991	
本・雑誌・ガイドブックなど	48	11,647		21	12,593	
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	15	13,346		7	9,790	
その他買物代	69	13,768		41	11,002	
その他	7	7,250		3	9,842	

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(18) 訪日ベトナム人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	47.4 52.5 52.9 50.9 59.6	52.8 59.1 60.6 60.4 73.0
家電量販店	16.6 20.7 28.3 30.5 31.2	20.7 23.0 40.3 35.5 25.6
ファッション専門店	23.7 25.2 26.5 22.3 27.3	28.3 29.6 38.9 18.0 28.5
100円ショップ	29.8 26.0 31.1 33.7 43.9	22.0 16.0 22.4 26.4 32.5
高速道路のSA・道の駅	3.5 5.0 4.9 3.8 5.7	6.4 6.5 7.7 4.2 7.5
観光地の土産店	21.2 21.9 16.3 20.9 36.4	34.1 32.3 25.9 29.1 52.7
宿泊施設	1.7 2.7 5.2 3.3 5.4	3.3 3.7 12.1 3.9 6.0
スーパーマーケット	55.7 58.6 50.8 54.3 60.5	54.0 53.7 42.7 51.6 46.4
コンビニエンスストア	55.4 56.5 41.7 46.9 44.5	53.8 56.7 31.3 41.7 39.5
ドラッグストア	39.4 32.4 33.6 31.8 34.9	44.0 31.2 37.8 29.6 43.0
ディスカウントストア	13.7 8.7 7.3 7.1 11.4	14.6 7.2 8.5 7.6 12.6
アウトレットモール	10.0 8.4 9.0 12.1 14.7	16.9 12.4 14.5 15.7 23.0
都心の複合商業施設	25.9 23.9 13.5 18.2 14.6	31.7 29.9 16.3 18.2 19.9
その他ショッピングセンター	15.2 12.8 18.4 24.2 19.7	17.9 14.4 22.7 22.5 24.6
鉄道駅構内の店舗	10.0 9.8 12.0 12.5 10.4	13.9 4.4 14.6 11.8 8.6
空港の免税店	41.2 38.1 40.4 39.0 40.6	47.3 40.2 46.9 36.7 41.9
クルーズ寄港港湾内の店舗	2.6 2.3	3.5 2.9
その他	3.0 1.6 2.7 0.9 1.0	2.4 0.9 4.6 0.0 0.0
買い物はしなかった	1.5 1.4 5.2 1.9 1.8	1.1 1.3 2.8 1.6 1.7

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (19) 訪日ベトナム人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	41.6 49.8
消費税免税の手続きをしていない	58.4 50.2

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	17.6 26.1
酒類	3.3 6.6
生鮮農産物	1.2 1.7
その他食料品・飲料・たばこ	3.2 5.3
化粧品・香水	17.3 23.6
医薬品	9.5 10.7
健康グッズ・トイレタリー	5.4 9.6
衣類	19.1 21.2
靴・かばん・革製品	7.8 7.2
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	4.6 8.5
時計・フィルムカメラ	4.0 4.7
宝石・貴金属	0.5 0.3
民芸品・伝統工芸品	1.1 0.9
本・雑誌・ガイドブックなど	0.4 0.4
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.2 0.4
その他買物代	1.2 1.6

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日ベトナム人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	97.7 97.1	97.4 97.5
クレジットカード	38.7 35.0	45.4 40.5
交通系ICカード（Suica等）	9.7 8.1	4.6 2.4
その他ICカード（Edy等）	0.5 0.1	0.2 0.3
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	1.2 0.6	0.5 0.4
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.0 0.2	0.0 0.5
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.6	0.0 0.7
割引クーポン	0.3 0.5	0.3 0.2
その他	0.0 0.2	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.6 0.4	1.1 0.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日ベトナム人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)					
		2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	57.8	64.9	61.4	65.2	64.3	62.8
千葉県	2位	14.6	55.9	52.8	51.7	46.8	49.1
大阪府	3位	30.1	42.2	38.7	37.8	40.4	43.7
京都府	4位	21.6	29.8	24.7	21.9	24.2	27.7
愛知県	5位	9.3	20.4	21.7	18.0	22.3	17.5
山梨県	6位	3.5	13.6	7.1	8.5	17.5	9.3
神奈川県	7位	15.5	23.1	12.7	14.6	10.7	9.2
兵庫県	8位	4.3	18.6	9.2	5.8	7.3	9.2
奈良県	9位	4.6	2.9	3.1	1.7	3.1	7.0
静岡県	10位	4.2	8.9	8.5	10.0	6.1	6.6
福岡県	11位	4.7	5.2	7.2	7.1	5.6	5.4
埼玉県	12位	4.5	4.9	1.8	3.0	3.2	3.7
岐阜県	13位	3.5	2.6	5.1	0.4	1.7	2.7
茨城県	14位	1.7	3.3	3.8	0.9	1.3	2.2
広島県	15位	2.6	2.2	2.6	1.3	2.3	1.9
岡山県	16位	1.8	0.4	0.4	0.8	1.0	1.5
長野県	17位	1.5	1.5	1.3	2.3	2.8	1.3
北海道	18位	1.9	0.0	0.9	1.3	2.7	1.2
栃木県	19位	2.2	3.5	1.7	3.1	1.9	1.2
熊本県	20位	1.2	1.3	1.1	0.4	0.6	1.0
三重県	21位	0.3	0.4	2.3	1.1	1.0	0.8
新潟県	22位	1.4	0.4	1.3	1.4	0.1	0.7
宮城県	23位	2.0	1.0	0.0	1.8	0.3	0.6
福島県	24位	1.2	0.0	2.1	0.0	0.4	0.5
群馬県	25位	0.9	0.4	1.8	1.4	1.1	0.5
滋賀県	26位	2.0	2.2	1.3	0.8	1.3	0.5
和歌山県	27位	0.5	0.9	0.0	0.5	0.6	0.5
鳥取県	28位	0.0	0.9	0.0	0.0	0.4	0.5
長崎県	29位	1.0	0.9	0.4	1.3	0.9	0.4
佐賀県	30位	0.3	0.0	0.4	0.0	0.2	0.4
石川県	31位	0.5	0.4	1.2	1.1	1.3	0.3
富山県	32位	1.2	0.4	1.4	1.1	0.8	0.3
福井県	33位	0.9	0.0	0.0	0.5	0.0	0.3
大分県	34位	1.1	0.8	1.7	0.0	0.7	0.3
鹿児島県	35位	1.0	0.5	0.9	0.0	0.1	0.2
青森県	36位	0.5	0.4	0.0	0.0	0.2	0.1
島根県	37位	0.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.1
秋田県	38位	0.5	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1
香川県	39位	0.3	0.0	0.0	0.8	0.6	0.1
宮崎県	40位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.1
山口県	41位	0.0	0.4	0.9	0.5	0.8	0.1
岩手県	42位	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	0.1
愛媛県	43位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
高知県	44位	0.0	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0
山形県	45位	0.0	0.0	0.8	0.9	0.2	0.0
徳島県	46位	0.5	0.5	0.0	0.0	0.1	0.0
沖縄県	47位	0.8	0.0	0.0	0.4	0.1	0.0

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日ベトナム人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	135,110 (29.7%)	155,330 (27.5%)	195,910 (25.5%)
大阪府	2位	75,630 (16.6%)	98,650 (17.5%)	154,090 (20.0%)
千葉県	3位	32,390 (7.1%)	59,020 (10.5%)	72,990 (9.5%)
愛知県	4位	51,820 (11.4%)	51,360 (9.1%)	79,500 (10.3%)
静岡県	5位	14,950 (3.3%)	13,490 (2.4%)	27,340 (3.6%)
京都府	6位	8,870 (1.9%)	10,070 (1.8%)	24,010 (3.1%)
福岡県	7位	7,630 (1.7%)	7,420 (1.3%)	11,470 (1.5%)
神奈川県	8位	27,040 (5.9%)	17,640 (3.1%)	20,390 (2.7%)
北海道	9位	9,870 (2.2%)	10,940 (1.9%)	13,060 (1.7%)
山梨県	10位	41,560 (9.1%)	69,500 (12.3%)	72,830 (9.5%)
兵庫県	11位	4,310 (0.9%)	5,140 (0.9%)	9,020 (1.2%)
長野県	12位	3,390 (0.7%)	4,180 (0.7%)	3,920 (0.5%)
岡山県	13位	1,770 (0.4%)	1,540 (0.3%)	1,910 (0.2%)
広島県	14位	2,370 (0.5%)	3,560 (0.6%)	4,120 (0.5%)
長崎県	15位	1,050 (0.2%)	1,320 (0.2%)	1,650 (0.2%)
宮城県	16位	1,360 (0.3%)	1,190 (0.2%)	2,420 (0.3%)
石川県	17位	1,940 (0.4%)	1,770 (0.3%)	3,480 (0.5%)
新潟県	18位	990 (0.2%)	1,060 (0.2%)	2,510 (0.3%)
熊本県	19位	840 (0.2%)	1,090 (0.2%)	2,670 (0.3%)
茨城県	20位	1,980 (0.4%)	4,470 (0.8%)	7,920 (1.0%)
埼玉県	21位	1,810 (0.4%)	2,530 (0.4%)	4,740 (0.6%)
岐阜県	22位	3,140 (0.7%)	3,520 (0.6%)	4,290 (0.6%)
島根県	23位	190 (0.0%)	340 (0.1%)	480 (0.1%)
滋賀県	24位	2,140 (0.5%)	1,130 (0.2%)	3,520 (0.5%)
福島県	25位	3,500 (0.8%)	10,990 (1.9%)	13,420 (1.7%)
富山県	26位	990 (0.2%)	1,770 (0.3%)	4,370 (0.6%)
三重県	27位	4,060 (0.9%)	3,270 (0.6%)	4,610 (0.6%)
岩手県	28位	1,000 (0.2%)	1,400 (0.2%)	1,330 (0.2%)
栃木県	29位	2,640 (0.6%)	3,620 (0.6%)	3,890 (0.5%)
山口県	30位	440 (0.1%)	1,120 (0.2%)	1,170 (0.2%)
群馬県	31位	740 (0.2%)	750 (0.1%)	1,390 (0.2%)
大分県	32位	2,050 (0.5%)	3,100 (0.5%)	2,490 (0.3%)
山形県	33位	400 (0.1%)	470 (0.1%)	1,100 (0.1%)
青森県	34位	170 (0.0%)	370 (0.1%)	520 (0.1%)
鹿児島県	35位	770 (0.2%)	890 (0.2%)	1,190 (0.2%)
香川県	36位	360 (0.1%)	850 (0.2%)	1,120 (0.1%)
福井県	37位	180 (0.0%)	630 (0.1%)	1,050 (0.1%)
宮崎県	38位	480 (0.1%)	280 (0.0%)	390 (0.1%)
沖縄県	39位	970 (0.2%)	2,330 (0.4%)	2,320 (0.3%)
和歌山県	40位	540 (0.1%)	1,230 (0.2%)	930 (0.1%)
愛媛県	41位	1,200 (0.3%)	1,140 (0.2%)	540 (0.1%)
佐賀県	42位	530 (0.1%)	430 (0.1%)	570 (0.1%)
高知県	43位	130 (0.0%)	170 (0.0%)	280 (0.0%)
鳥取県	44位	540 (0.1%)	460 (0.1%)	530 (0.1%)
徳島県	45位	160 (0.0%)	400 (0.1%)	430 (0.1%)
奈良県	46位	1,030 (0.2%)	1,460 (0.3%)	1,050 (0.1%)
秋田県	47位	240 (0.1%)	1,100 (0.2%)	340 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数〔人泊(構成比:%)〕		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	58,960 (22.8%)	38,260 (17.4%)	85,880 (30.1%)
大阪府	2位	56,680 (21.9%)	35,270 (16.0%)	47,860 (16.8%)
千葉県	3位	38,060 (14.7%)	37,700 (17.2%)	35,720 (12.5%)
愛知県	4位	13,950 (5.4%)	10,030 (4.6%)	23,430 (8.2%)
静岡県	5位	4,970 (1.9%)	5,070 (2.3%)	9,080 (3.2%)
京都市	6位	4,210 (1.6%)	5,690 (2.6%)	8,840 (3.1%)
福岡県	7位	4,740 (1.8%)	6,580 (3.0%)	8,690 (3.0%)
神奈川県	8位	6,420 (2.5%)	8,380 (3.8%)	6,570 (2.3%)
北海道	9位	3,780 (1.5%)	2,210 (1.0%)	4,950 (1.7%)
山梨県	10位	5,380 (2.1%)	330 (0.2%)	4,220 (1.5%)
兵庫県	11位	4,340 (1.7%)	4,220 (1.9%)	3,780 (1.3%)
長野県	12位	3,680 (1.4%)	4,050 (1.8%)	3,460 (1.2%)
岡山県	13位	2,780 (1.1%)	4,920 (2.2%)	3,090 (1.1%)
広島県	14位	2,270 (0.9%)	3,630 (1.7%)	2,900 (1.0%)
長崎県	15位	1,210 (0.5%)	3,840 (1.7%)	2,470 (0.9%)
宮城県	16位	2,210 (0.9%)	3,450 (1.6%)	2,410 (0.8%)
石川県	17位	2,510 (1.0%)	970 (0.4%)	2,240 (0.8%)
新潟県	18位	1,620 (0.6%)	1,500 (0.7%)	1,870 (0.7%)
熊本県	19位	2,580 (1.0%)	3,330 (1.5%)	1,790 (0.6%)
茨城県	20位	2,800 (1.1%)	1,270 (0.6%)	1,770 (0.6%)
埼玉県	21位	2,000 (0.8%)	1,870 (0.9%)	1,760 (0.6%)
岐阜県	22位	1,570 (0.6%)	3,050 (1.4%)	1,760 (0.6%)
島根県	23位	2,640 (1.0%)	4,640 (2.1%)	1,760 (0.6%)
滋賀県	24位	1,090 (0.4%)	630 (0.3%)	1,740 (0.6%)
福島県	25位	2,540 (1.0%)	3,570 (1.6%)	1,640 (0.6%)
富山県	26位	2,020 (0.8%)	1,560 (0.7%)	1,580 (0.6%)
三重県	27位	2,580 (1.0%)	1,730 (0.8%)	1,390 (0.5%)
岩手県	28位	1,440 (0.6%)	2,550 (1.2%)	1,240 (0.4%)
栃木県	29位	2,590 (1.0%)	2,830 (1.3%)	1,190 (0.4%)
山口県	30位	1,950 (0.8%)	1,600 (0.7%)	1,190 (0.4%)
群馬県	31位	1,680 (0.7%)	1,920 (0.9%)	1,080 (0.4%)
大分県	32位	460 (0.2%)	1,310 (0.6%)	1,040 (0.4%)
山形県	33位	710 (0.3%)	730 (0.3%)	1,010 (0.4%)
青森県	34位	960 (0.4%)	670 (0.3%)	880 (0.3%)
鹿児島県	35位	1,530 (0.6%)	1,360 (0.6%)	760 (0.3%)
香川県	36位	2,260 (0.9%)	2,200 (1.0%)	680 (0.2%)
福井県	37位	1,170 (0.5%)	1,500 (0.7%)	640 (0.2%)
宮崎県	38位	380 (0.1%)	610 (0.3%)	560 (0.2%)
沖縄県	39位	550 (0.2%)	320 (0.1%)	530 (0.2%)
和歌山県	40位	140 (0.1%)	740 (0.3%)	500 (0.2%)
愛媛県	41位	1,570 (0.6%)	1,060 (0.5%)	460 (0.2%)
佐賀県	42位	190 (0.1%)	710 (0.3%)	400 (0.1%)
高知県	43位	540 (0.2%)	370 (0.2%)	240 (0.1%)
鳥取県	44位	2,090 (0.8%)	590 (0.3%)	220 (0.1%)
徳島県	45位	160 (0.1%)	630 (0.3%)	170 (0.1%)
奈良県	46位	150 (0.1%)	40 (0.0%)	140 (0.0%)
秋田県	47位	140 (0.1%)	280 (0.1%)	80 (0.0%)

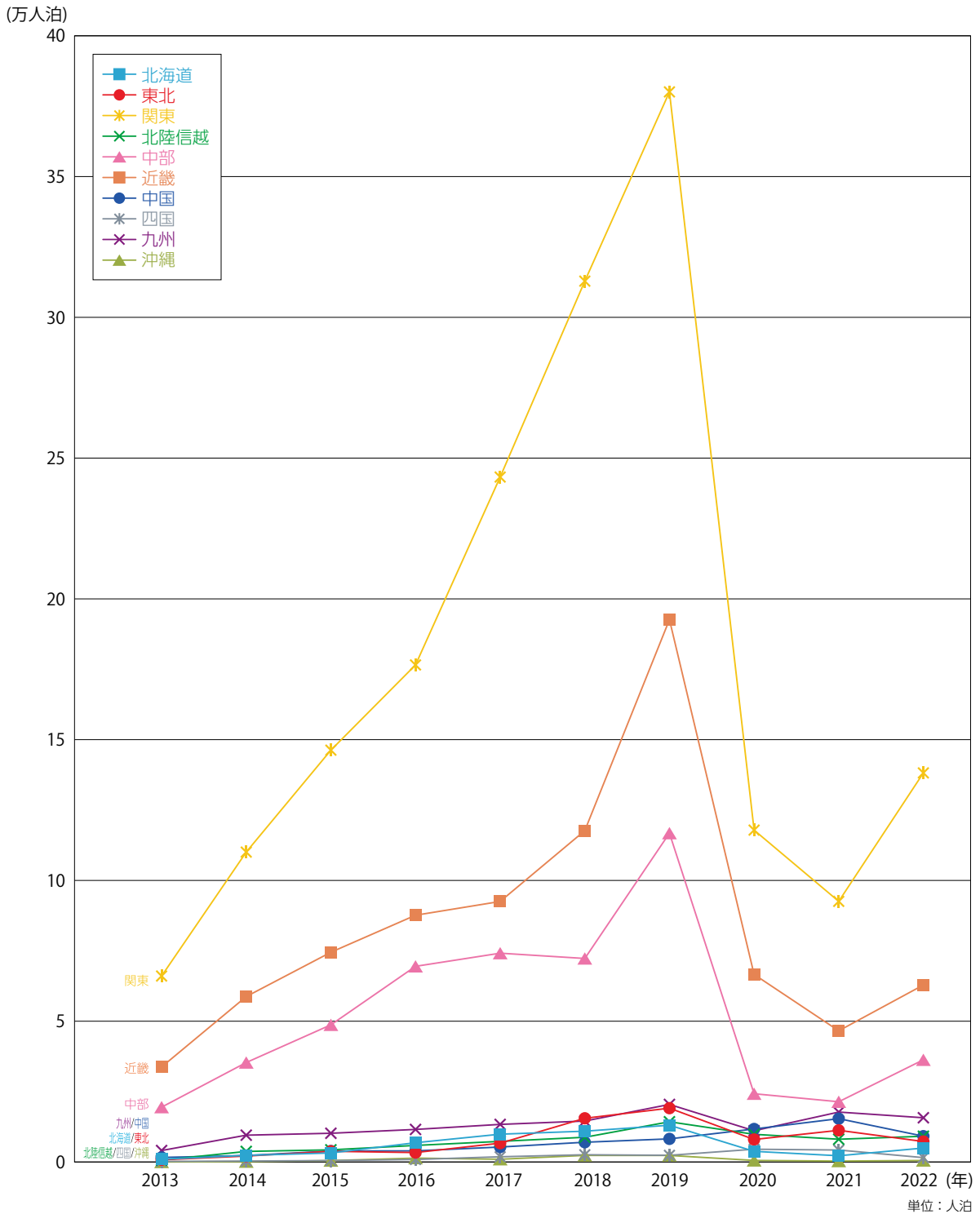
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(23) 訪日ベトナム人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



北海道	990	2,340	3,200	6,840	9,870	10,940	13,060	3,780	2,210	4,950
東北	780	2,100	3,790	3,350	6,680	15,520	19,120	7,990	11,250	7,270
関東	66,050	110,070	146,270	176,540	243,280	312,860	380,070	117,880	92,570	138,190
北陸信越	650	3,750	4,310	5,880	7,320	8,780	14,280	9,830	8,080	9,140
中部	19,470	35,320	48,710	69,490	74,160	72,280	116,790	24,240	21,390	36,290
近畿	33,750	58,750	74,490	87,640	92,530	117,690	192,630	66,610	46,590	62,860
中国	1,610	2,290	3,890	3,950	5,310	7,010	8,210	11,720	15,390	9,170
四国	210	330	500	890	1,850	2,570	2,370	4,530	4,250	1,550
九州	4,070	9,520	10,200	11,560	13,350	14,540	20,440	11,090	17,730	15,710
沖縄	40	110	500	1,370	970	2,330	2,320	550	320	530

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日ベトナム人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2013年以前の数値は存在しない。

注3：2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

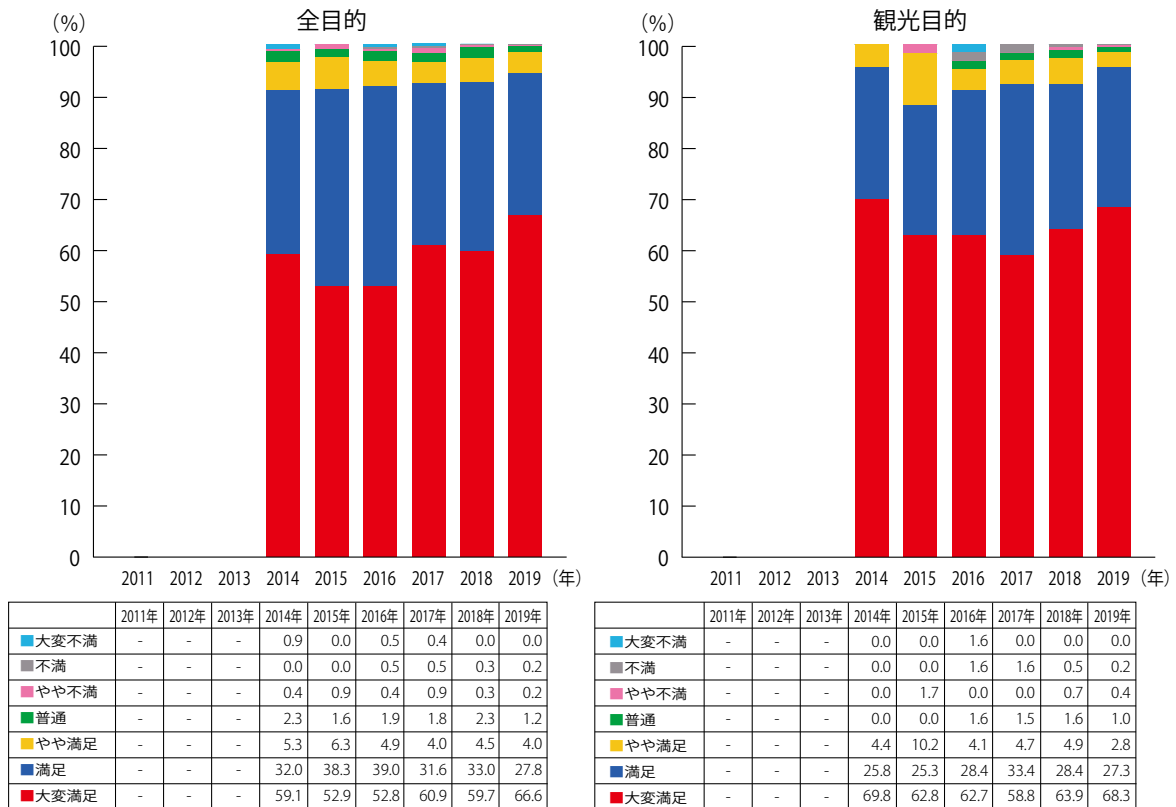
注4：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2014年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注5：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) ベトナム人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

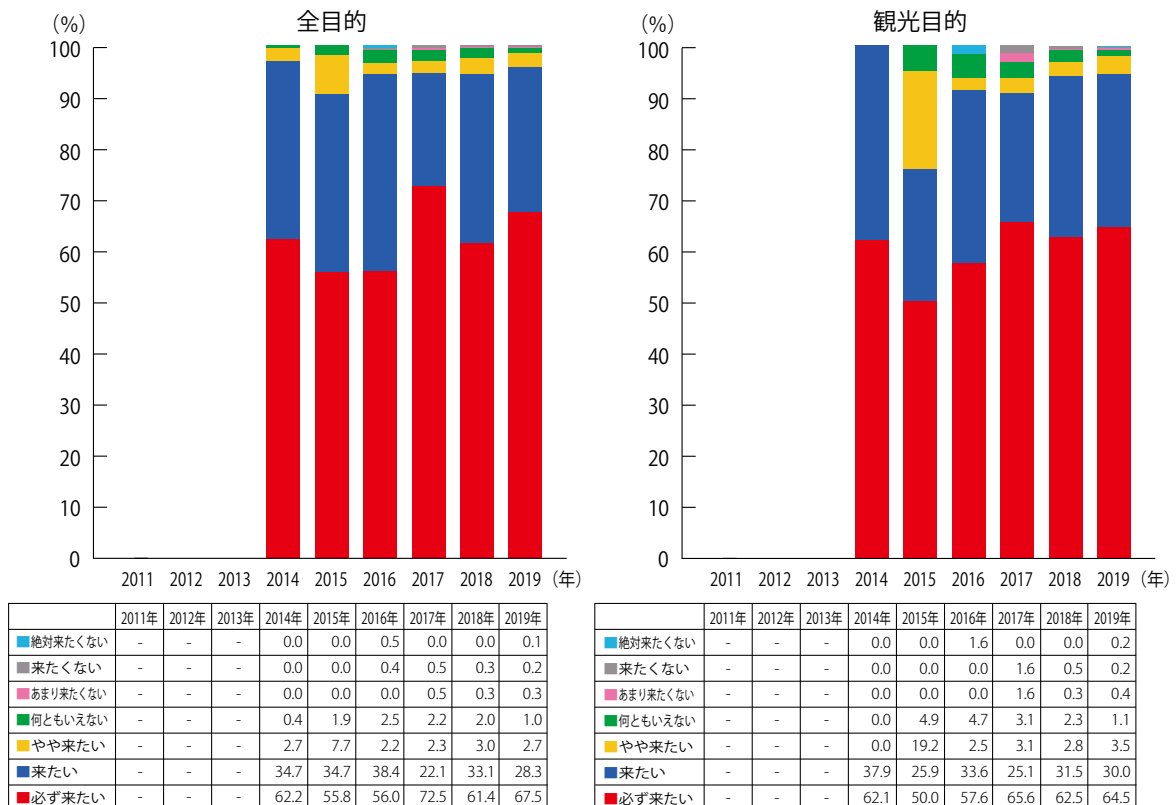


注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日ベトナム人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2014年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成





## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

インド・アーリヤ族、ドラビダ族、モンゴロイド族など

出典：日本国外務省

### (2) 宗教別構成

ヒンドゥー教 (79.8%)、イスラム教 (14.2%)、キリスト教 (2.3%)、シーク教 (1.7%)、仏教 (0.7%)、ジャイナ教 (0.4%) など

出典：2011年インド国勢調査

### (3) 使用言語

ヒンディー語が連邦公用語

英語は事実上の連邦準公用語

憲法ではヒンディー語を含む22の言語を公認しているが、これ以外にも言語が存在する。

(憲法で公認する言語を追加することが検討されている。)

各州・各連邦直轄領ごとに、州・連邦直轄領の公用語が定められている。

(全ての州・連邦直轄領で、英語が公用語となっている。また、多くの州・連邦直轄領で、現地語も公用語となっている。)

#### 【言語別人口の割合】

ヒンディー語 (41.0%)、ベンガル語 (8.1%)、テルグ語 (7.2%)、マラーティー語 (7.0%)、タミル語 (5.9%)、ウルドゥー語 (5.0%) など。

デリーはヒンディー語圏、ムンバイはマラーティー語圏、コルカタはベンガル語圏、チェンナイはタミル語圏、ベンガルールはカンナダ語圏に属する。

注：インドでは英語を理解しない人もいるが、大学では英語で講義が行われており、特に高学歴の人には通じやすい。日本を含む外国を旅行できる層は、現時点で富裕層と比較的裕福な中間所得層に限られる。これらの層は基本的に高等教育を受けていることから、英語が通じやすい。

従って、インドで印刷物を配布する場合、英語版で事が足りる。

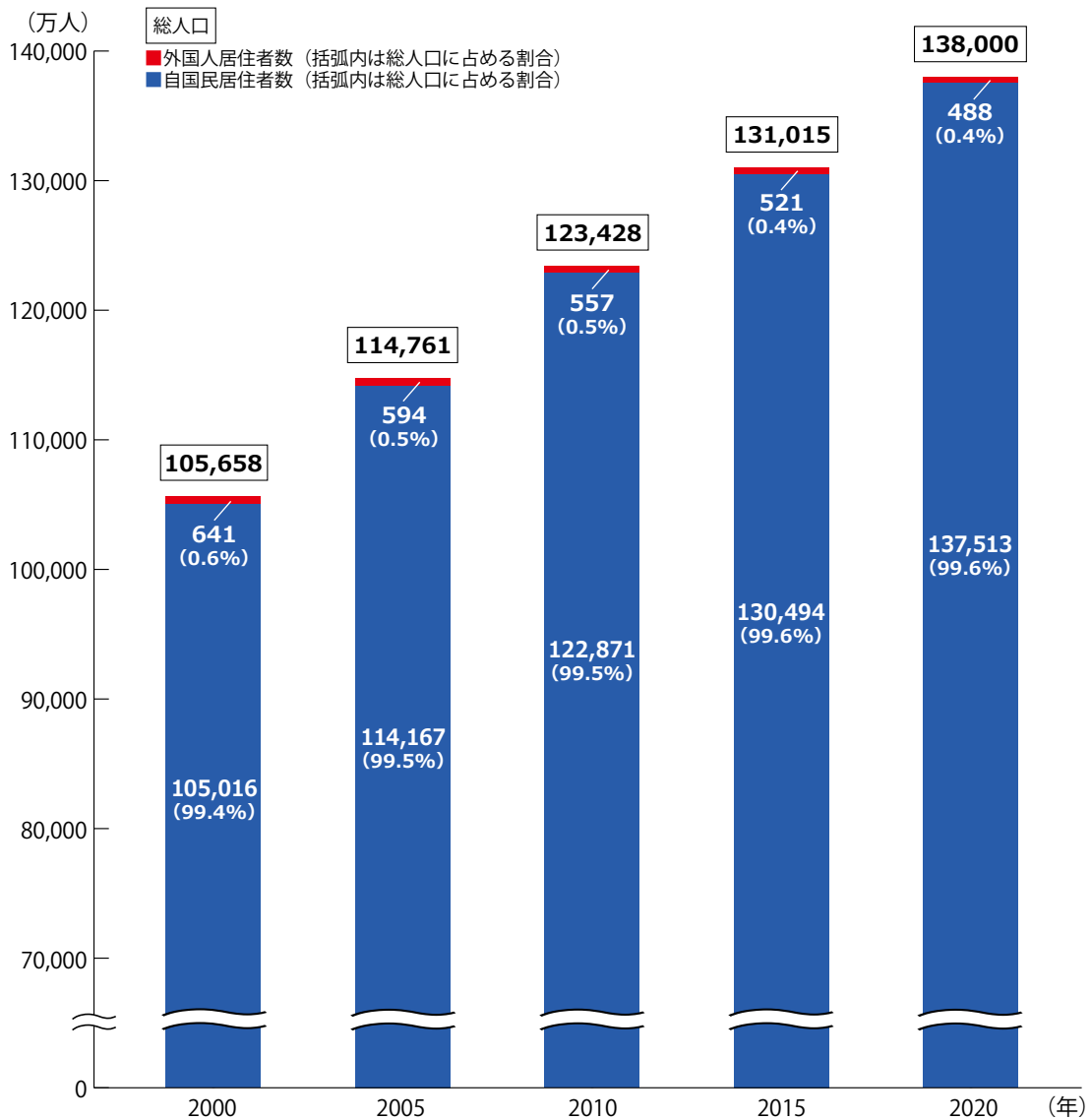
出典：日本政府観光局 (JNTO)、総務省統計局「世界の統計2017」

### (4) 面積

328万7,263km<sup>2</sup> (日本の8.7倍弱)

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

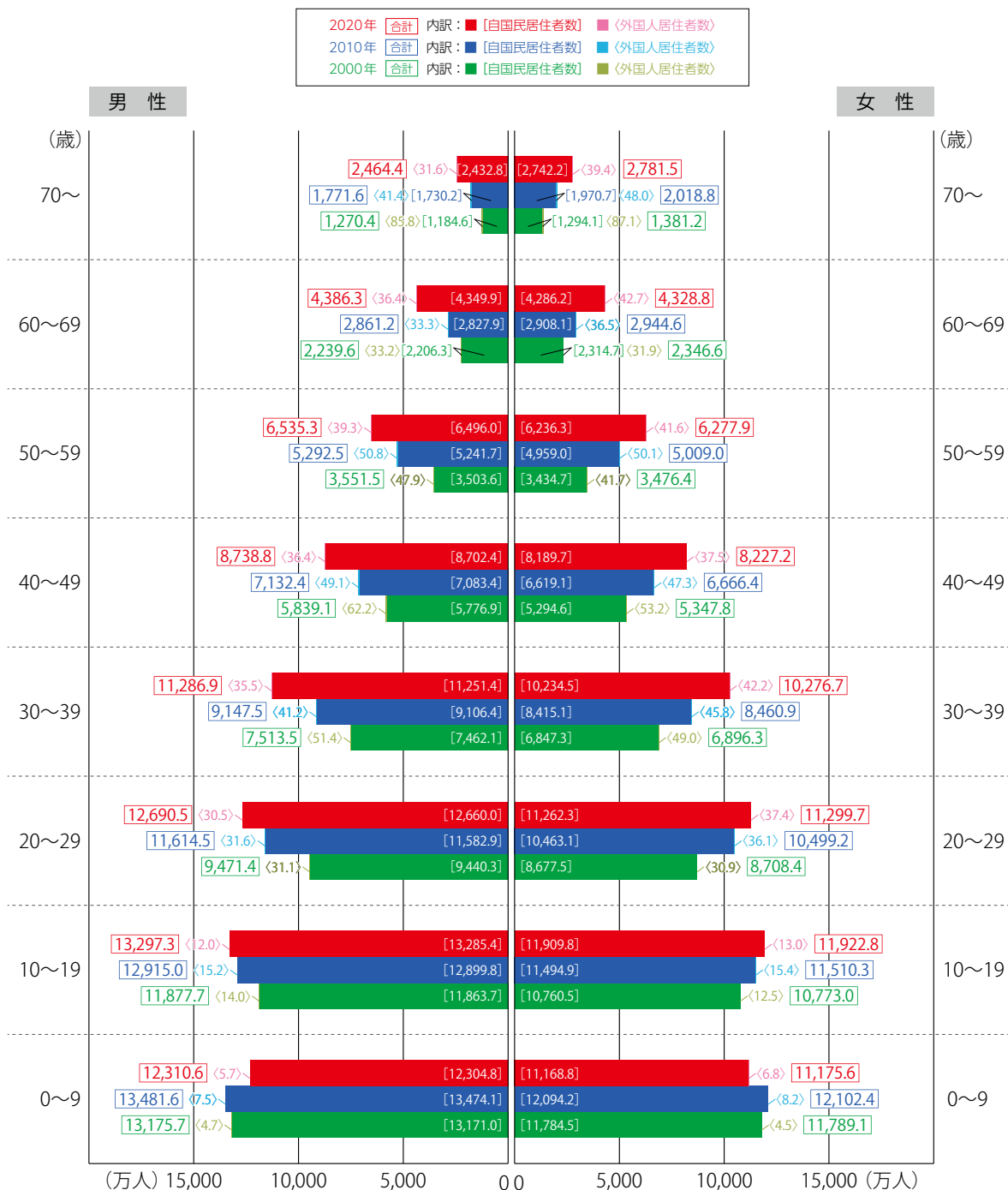
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：インドの外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

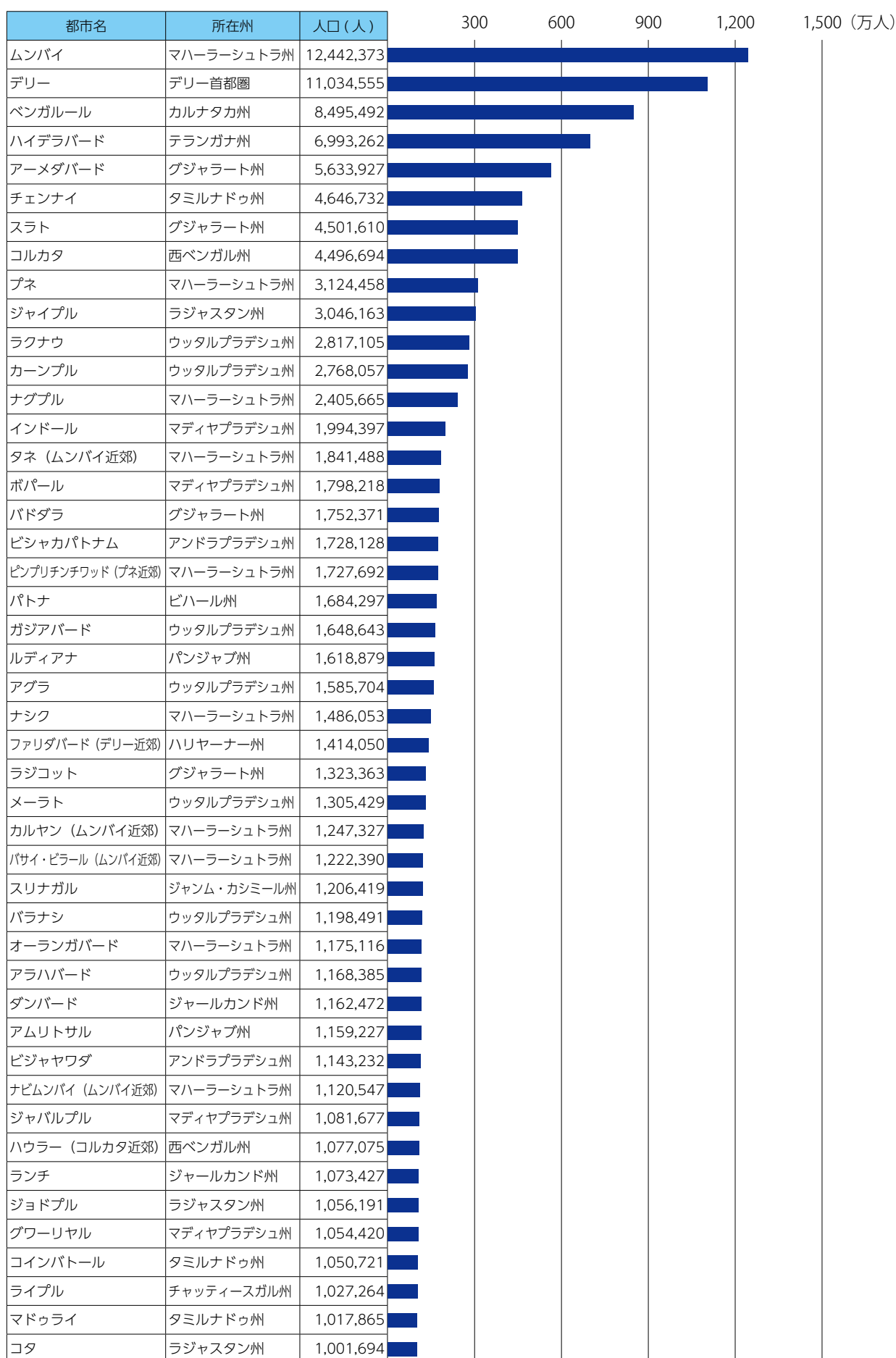
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2011年に実施された国勢調査の結果である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
共和国記念日	1月26日（木）	1月26日（金）	
※ホーリー祭（水掛け祭り）	3月8日（水）	3月25日（月）	ヒンドゥー暦チャイトラ月の初日
※ラム・ナバミ （ヒンドゥー教ラーマ神 誕生祭）	3月30日（木）	4月17日（水）	ヒンドゥー暦3月または4月の新月から 9日目
※ジャйна教マハピラ 誕生日	4月4日（火）	3月8日（金）	
※聖金曜日	4月7日（金）	3月29日（金）	
アンベードカル誕生日	4月14日（金）	4月14日（日）	2024年のアンベードカル誕生日につ いては、2023年7月下旬時点で公式に発表 されていない。
※イドゥル・フィットリ （イスラム教断食明け祭）	4月22日（土）	4月11日（木）	
※ブッダ・プルニマ （釈迦誕生日）	5月5日（金）	5月23日（木）	
※イドゥル・アドハ （イスラム教犠牲祭）	6月29日（木）	6月17日（月）	
※ムハラム （イスラム教新年）	7月29日（土）	7月17日（水）	
独立記念日	8月15日（火）	8月15日（木）	
※ジャンマシュタミー （クリシュナ神誕生日）	9月7日（木）	9月7日（土）	
※イスラム教モハメッド 誕生日	9月28日（木）	9月16日（月）	
マハトマ・ガンジー誕生日	10月2日（月）	10月2日（水）	
※ヒンドゥー教ダシェラ祭	10月24日（火）	10月12日（土）	
※ディワリ （ヒンドゥー教新年祭）	11月12日（日）	11月1日（金）	
※シーク教ナナック誕生日	11月27日（月）	11月15日（金）	
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：インドの祝日は、州や地域、宗教によって細分化されているため、インド政府が定めた休日（Gazetted Holiday）を記載した。

注3：2024年のアンベードカル誕生日は、2023年7月下旬時点で公式に発表されていないため、想定で記載した。

出典：インド政府の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

[次ページへ](#)

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校	6歳～11歳 (5年間)	夏季休暇	4月上旬～6月1日 の48日間前後	インド南部・西部が対象
			5月中旬～6月30日 の46日間前後	インド北部・東部が対象
		※ダシェラ祭休暇 (断食明け休暇)	9月～10月の4日間	ヒンドゥー歴に基づくため、 年により該当月が異なる。
		※新年祭（ディワリ）休暇	10月～11月の 3日間	ヒンドゥー歴に基づくため、 年により該当月が異なる。
		冬期休暇	12月25日～1月5日 の12日間前後	
上級初等学校	11歳～14歳 (3年間)	初等教育と同様	初等教育と同様	初等教育と同様
中等学校	14歳～16歳 (2年間)	初等教育と同様	初等教育と同様	初等教育と同様
上級中等学校	16歳～18歳 (2年間)	初等教育と同様	初等教育と同様	初等教育と同様
大学	18歳～21歳 (3年間)	初等教育と同様	初等教育と同様	初等教育と同様

学校年度	4月～翌年3月
義務教育	初等学校（5年間） + 上級初等学校（3年間） = 8年間

注1：※印の休暇は年によって変動する。

注2：期間や期日は州によって異なる。

出典：インド現地の諸情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>週6日を超えて労働者を働かせてはならない。（2020年労働安全衛生法）</li> <li>通常は日曜が休日である。土曜を休日とするかどうかは企業側の判断による。</li> </ul>
有給休暇日数	10人以上の労働者（Worker）が従事する事業所で、前年に180日以上労働に従事した労働者は、原則的に、前年の労働日20日につき1日の有給休暇が付与される。	2020年労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> <li>病気休暇12日間。</li> <li>臨時休暇は規定で定められていない。</li> </ul>
定年退職	規定なし		就業規則の中で定年退職年齢が定められるのが一般的であるが、従業員積立基金（Employee's Pension Scheme）の受給年齢である58歳を定年年齢とするのが一般的。

出典：日本国厚生労働省、日本貿易振興機構（JETRO）「インド新労働法制の概要」、独立行政法人労働政策研究・研修機構

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。（志願制を実施）
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

[次ページへ](#) ▶

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
グーグル (Google.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	50.7
ユーチューブ (YouTube/旅行系)	動画共有サービス	動画を発信	48.9
オンライン旅行会社 例：メイクマイトリップ (MakeMyTrip)、ヤトラ (Yatra.com)、イーズマイトリップ (EaseMyTrip) など	ウェブサイト	旅行予約	42.4
旅行メディア 例：コンデナスト・トラベラー (CondéNast Traveller)、トラベル・アンド・レジャー・インディア (Travel & Leisure India)、トリポト (Tripoto) など	ウェブサイト	旅行情報の発信	38.9
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	34.8
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	33.3
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	28.3
ユーチューブ (YouTube/旅行系以外)	動画共有サービス	動画を発信	27.5

▶ 前ページから

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
WhatsApp (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	24.5
タイムズオブインディア (Times of India)	ウェブサイト	ニュース発信	19.8
アマゾンプライム (Amazon Prime)	動画配信サービス	映画・テレビ番組などを配信	19.2
主要3紙以外の全国版新聞 例：エコノミックタイムズ (Economic Times) など	ウェブサイト	ニュース発信	18.7
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	18.2
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	17.5
ディズニープラスホットスター (Disney+ Hotstar)	動画配信サービス	映画・テレビ番組などを配信	16.2
ニュースアプリ 例：ディリーハント (Daily hunt)、 インショート (Inshorts) など	アプリ	情報・ニュース発信	14.3
テレグラム (Telegram)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	14.0
地元紙サイト	ウェブサイト	ニュース発信	13.5
ヤフー (Yahoo.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	13.5
ピンタレスト (Pinterest)	SNS	画像を掲載	13.1
ヒンドゥスタンタイムズ (Hindustan Times)	ウェブサイト	ニュース発信	12.7
リンクトイン (LinkedIn)	SNS	ビジネス目的での自己・組織 紹介、閲覧者が質問を記載	12.6
ヒンドゥー (The Hindu)	ウェブサイト	ニュース発信	12.5
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	10.3
レディフ・ドットコム (rediff.com)	ウェブサイト	情報・ニュース発信	7.5
アマゾンプライム、ディズニープラス ホットスター以外の動画サイト 例：ジーファイブ、ビュー (ZEE5, Viu) など	動画配信サービス	映画・テレビ番組などを配信	5.8

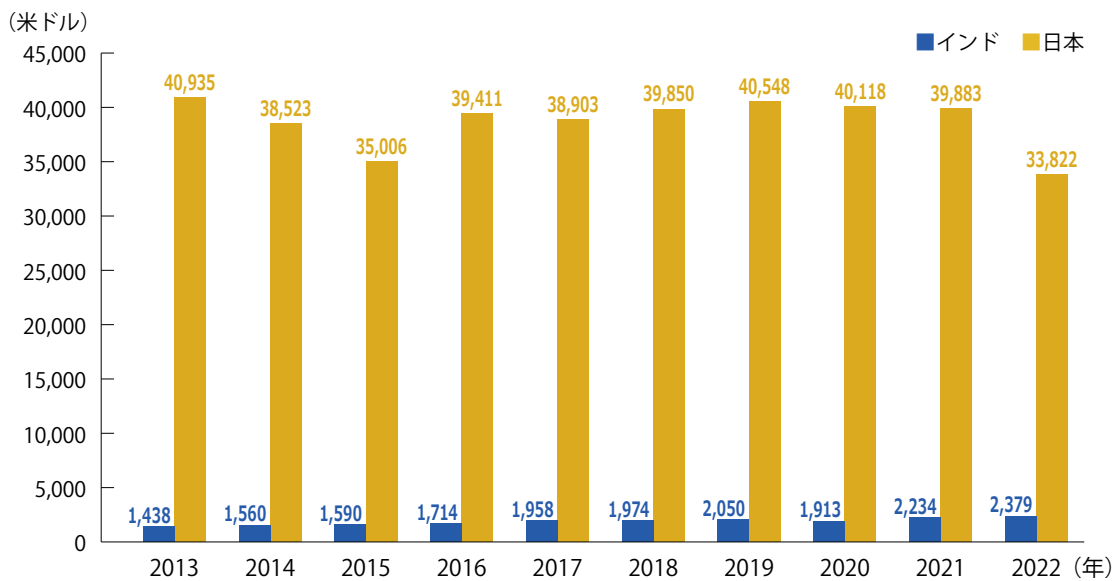
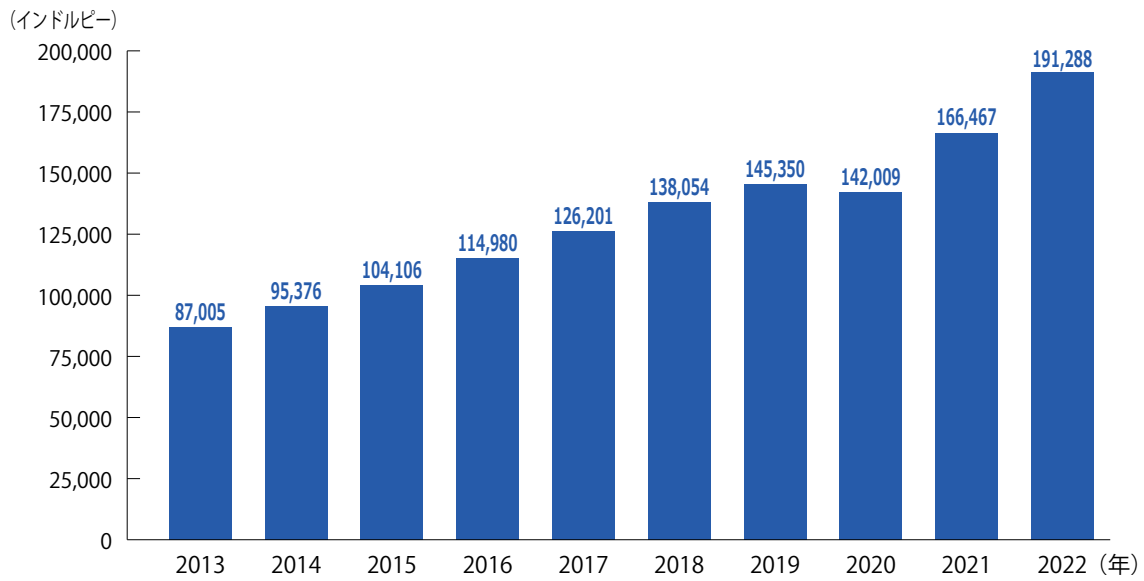
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

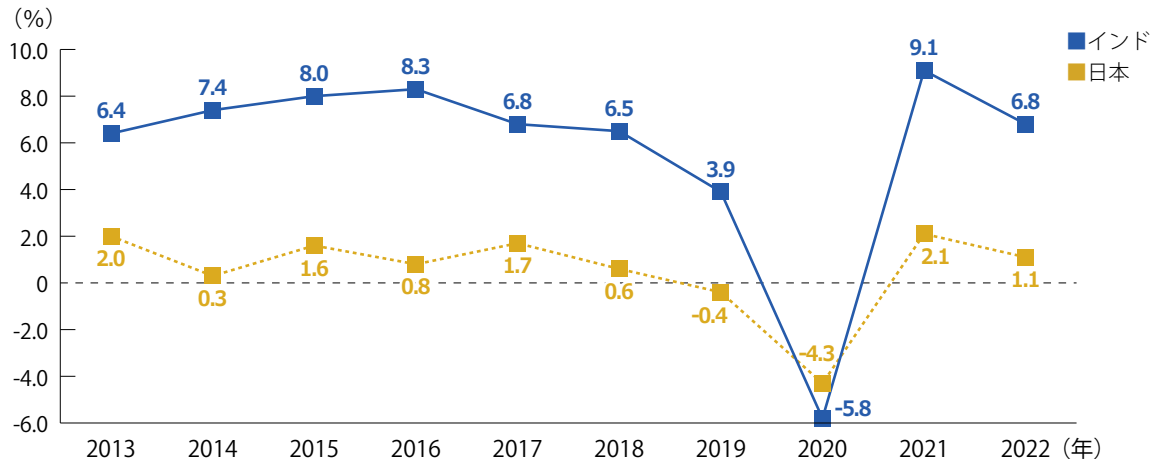
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

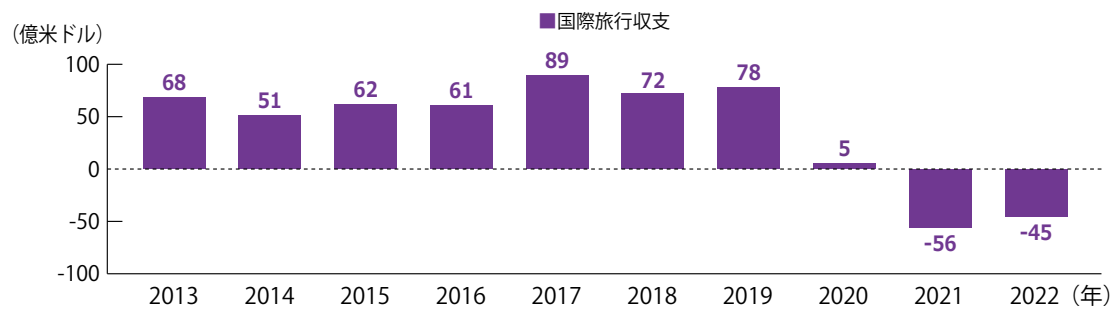
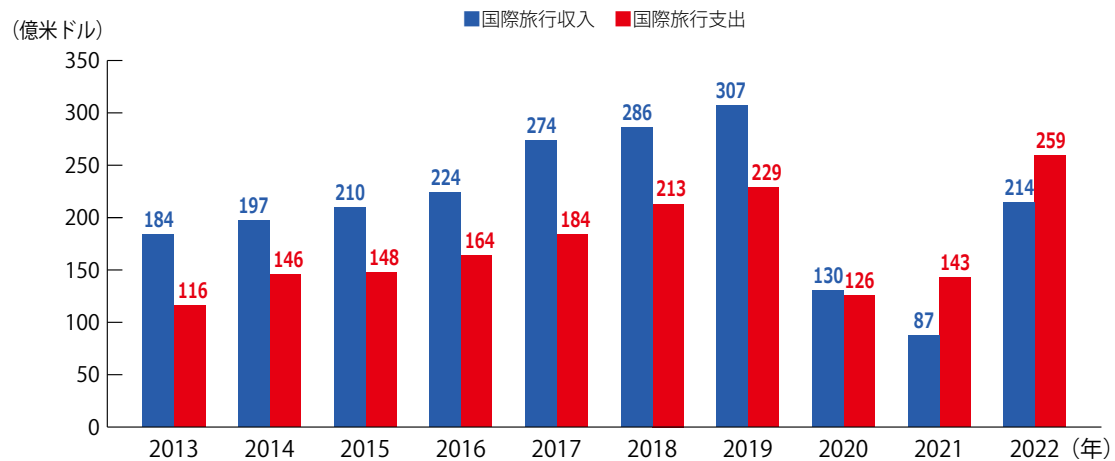


(2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



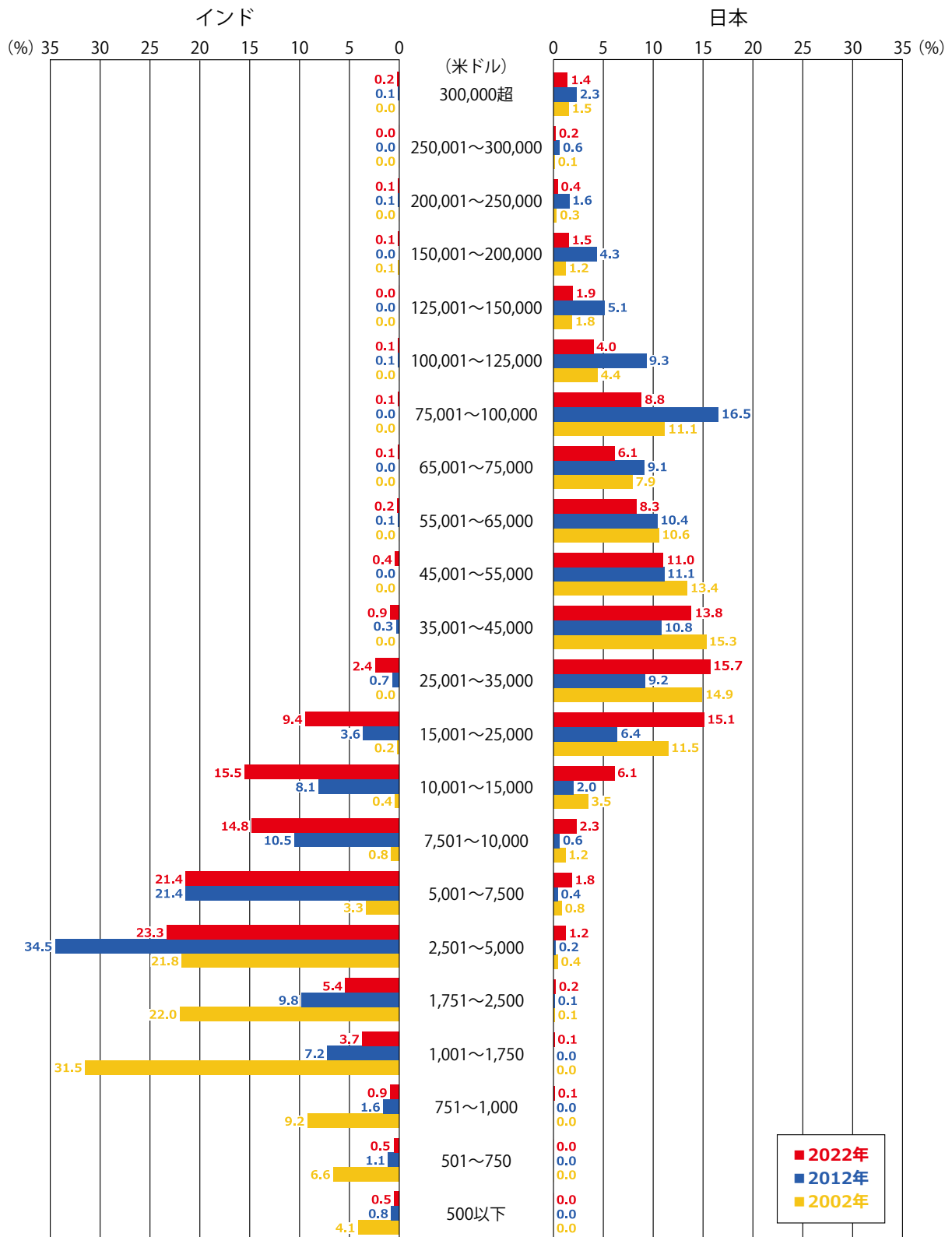
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



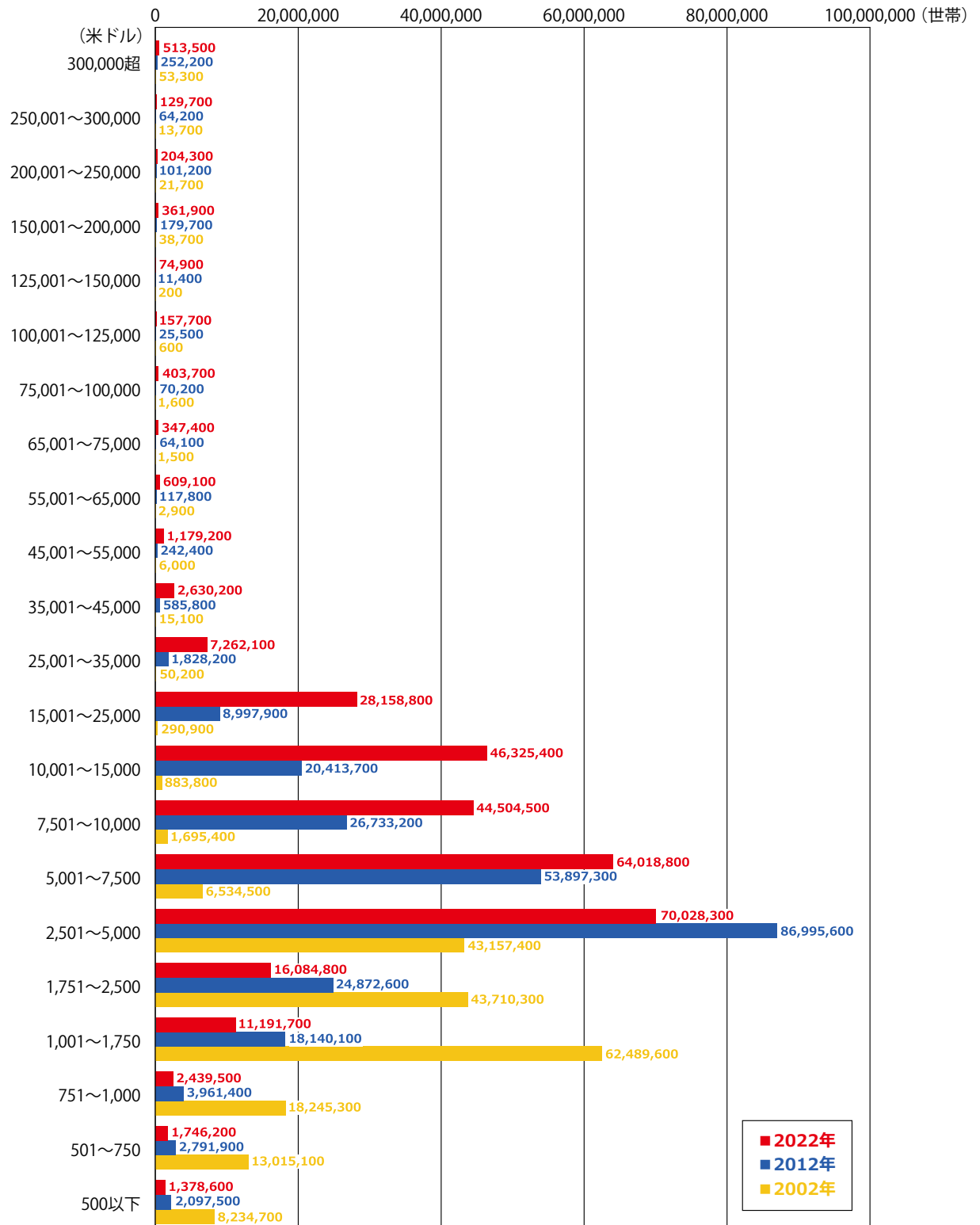
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

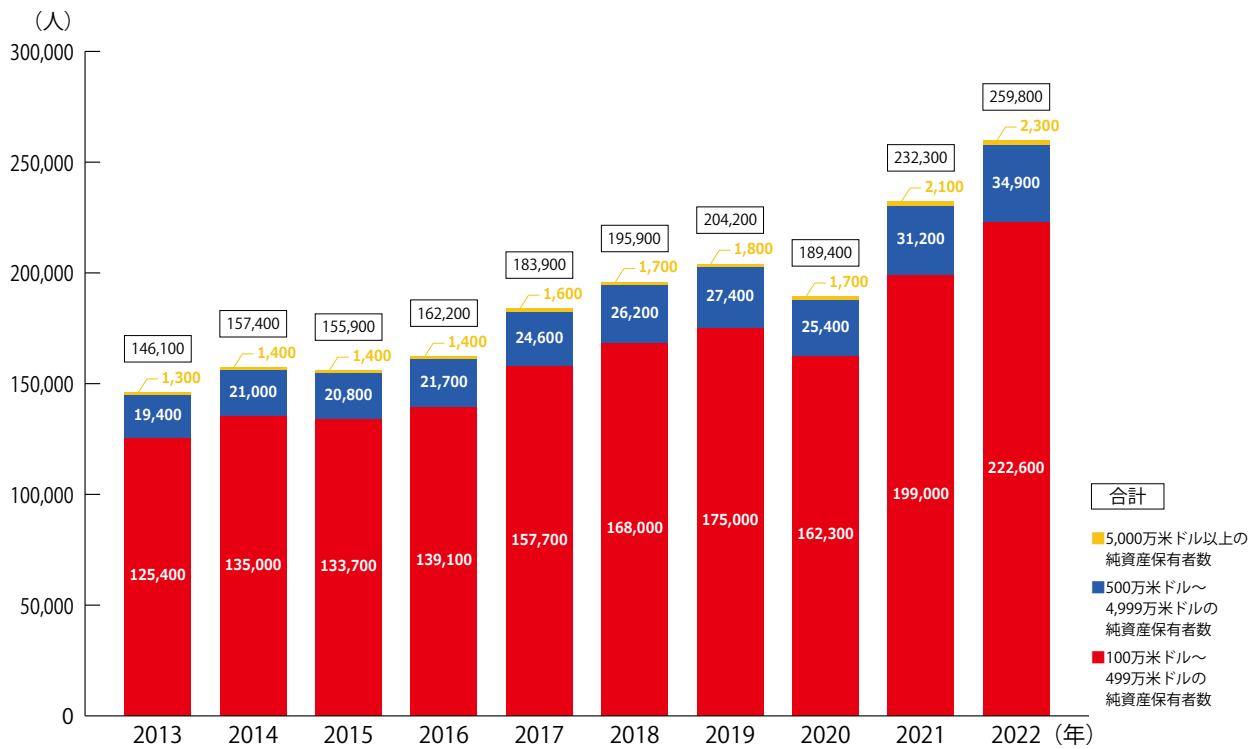
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

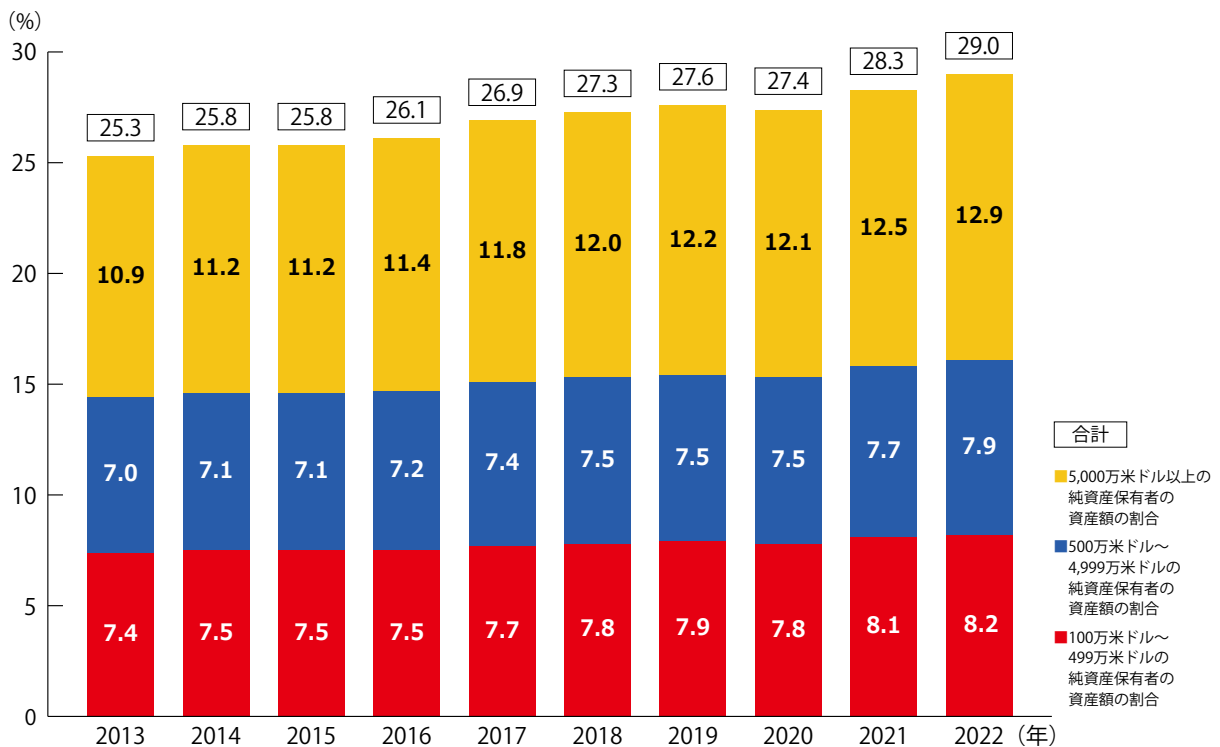
インド

## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

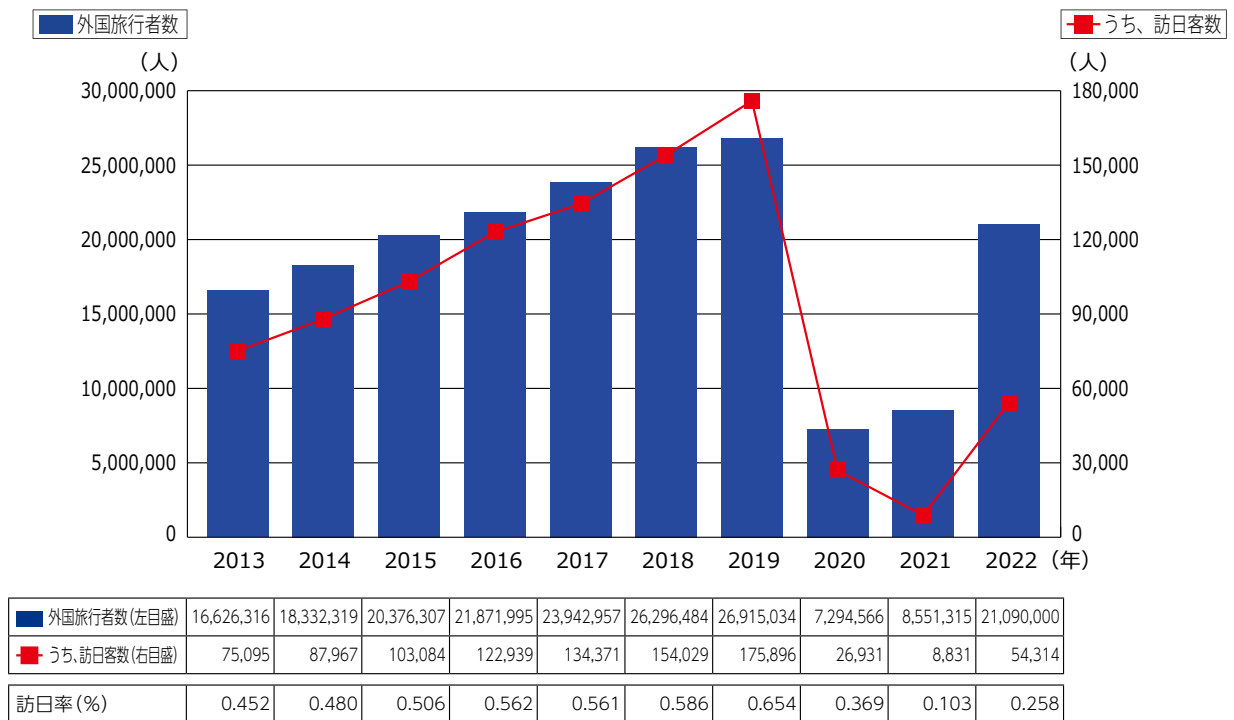
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) インド人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：本書では、統計の算出基準に関して、「日帰りを含む旅行者数 (V)」よりも「宿泊を伴った旅行者数 (T)」を優先して掲載することにしており、総合編(9)で掲載したインド人外国旅行者数(2019年)はその原則に従っているが、インド人外国旅行者数の経年変化を見ることを目的としている第3章(1)では、「宿泊を伴った旅行者数 (T)」を掲載すると一部の年の数値が存在しないため、全年分を把握できる「日帰りを含む旅行者数 (V)」を掲載することとした。

出典：インド観光省、日本政府観光局 (JNTO)

(2) 世界各国・地域へのインド人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の 最大値
						2020年	2021年	
1位	アラブ首長国連邦	VFN	2,616,597	2,893,917	2,974,058	1,275,364		2,974,058
2位	タイ	TFN	1,415,197	1,595,754	1,996,842	261,778	6,544	1,996,842
3位	サウジアラビア	TFN	1,581,233	1,440,170	1,571,070	338,965	316,488	1,581,233
4位	米国	TFR	1,285,466	1,378,035	1,473,517	335,990	433,305	1,473,517
5位	シンガポール	VFR	1,272,077	1,442,277	1,417,993	175,522	54,380	1,442,277
6位	クウェート	VFN	1,222,829	1,332,454	1,315,109	318,356	290,185	1,332,454
7位	中国	VFN	818,954	708,517	869,570			869,570
8位	マレーシア	TFN	552,739	600,311	735,309	155,883	3,916	735,309
9位	英国	VFR	696,263	679,585	692,083		58,053	696,263
10位	インドネシア	VFN	536,902	595,636	657,300	111,724	6,670	657,300
11位	豪州	VFR	302,570	357,747	399,305	83,971	12,960	399,305
12位	カタール	VFN	333,708	400,661	385,148	92,197	165,648	400,661
13位	スイス	THSR	326,454	359,721	355,992	18,745	27,043	359,721
14位	スリランカ	TFR	384,628	424,887	355,002	89,357	56,268	424,887
15位	カナダ	TFR	250,633	287,416	335,207	63,416	87,171	335,207
16位	ドイツ	TCER	268,693	289,734	307,077	55,831	42,545	307,077
17位	バングラデシュ	TFN	188,814	213,947	270,024	83,139	10,408	270,024
18位	ネパール	TFN	160,268	200,438	254,150	40,336	64,672	254,150
19位	香港	TFR	278,144	275,582	231,670	17,248	2,349	278,144
20位	ブータン	TFN			230,381	22,298		230,381
21位	トルコ	TFN	79,332	142,488	213,046	40,375	51,149	213,046
22位	スペイン	TFR	139,804	222,560	212,236	16,866	27,413	222,560
23位	オランダ	THSR	162,000	175,000	185,000	27,000	21,000	185,000
24位	イタリア	TFN	215,093	160,302	176,304	26,614	19,404	215,093
25位	日本	VFN	134,371	154,029	175,896	26,931	8,831	175,896

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
26位	ベトナム	VFR			168,998			168,998
27位	モルディブ	TFN	83,019	90,474	166,029	62,931	291,787	291,787
28位	韓国	VFN	123,416	119,791	143,367	33,830	31,338	143,367
29位	フィリピン	TFR	107,278	121,124	134,963	29,014	7,202	134,963
30位	エジプト	VFN	103,012	126,697	128,515	29,196		128,515
31位	ケニア	VFR		125,032	122,649	29,746	42,159	125,032
32位	スウェーデン	TCER	109,023	110,265	117,631	55,059	31,202	117,631
33位	ミャンマー	TFN	86,907	102,702	117,317	24,831	1,454	117,317
34位	チェコ	TCEN	85,656	96,128	98,012	9,948	10,756	98,012
35位	南アフリカ共和国	TFR	97,921	93,428	95,621	18,892	17,662	97,921
36位	ロシア	VFN	70,551	85,709	90,872	10,491		90,872
37位	ナイジェリア	VFN	90,600	90,732	90,809	19,358	19,773	90,809
38位	マカオ	THSR	126,108	116,623	89,994	3,743	1,179	126,108
39位	メキシコ	TFN	64,921	81,530	83,665	19,645	80,913	83,665
40位	デンマーク	TCER			76,288	12,572	18,560	76,288
41位	モーリシャス	TFR	86,294	85,765	75,673	12,781	2,845	86,294
42位	カンボジア	TFR	59,571	65,882	75,286	12,919	846	75,286
43位	イラン	VFN	74,515	67,518	74,050	6,240	1,727	74,515
44位	ポルトガル	TCER			73,123	15,600	15,742	73,123
45位	ニュージーランド	VFR	61,440	67,953	66,775	18,179	1,622	67,953
46位	イスラエル	TFR	58,222	70,517	65,097	7,956	3,643	70,517
47位	アゼルバイジャン	VFR	14,173	39,013	65,058	12,769	5,695	65,058
48位	ノルウェー	TCER		48,575	58,567			58,567
49位	ハンガリー	TCEN	41,593	52,018	57,096	5,614	5,655	57,096
50位	ベルギー	TCER	47,074	58,005	55,346	6,281	5,938	58,005
51位	ジョージア	VFR	42,605	50,910	54,606	8,364	24,992	54,606
52位	フィンランド	TCER	29,152	33,449	41,039	9,462	4,868	41,039
53位	台湾	VFR	34,962	38,385	40,353	6,606	1,930	40,353
54位	ヨルダン	TFN	32,121	43,292	40,177	7,429	11,436	43,292
55位	アルメニア	TFR	11,589	31,213	38,735	3,089	17,901	38,735
56位	タンザニア	VFR	39,128	48,127	36,161	12,393	28,606	48,127
57位	ウガンダ	TFR	35,681			10,223	12,644	35,681
58位	ウクライナ	TFR	23,173	36,419	34,534	14,056	39,710	39,710
59位	カザフスタン	VFR	21,890	32,591	32,418	6,911	8,538	32,591
60位	ザンビア	TFR	22,337	25,505	30,789	10,963	14,949	30,789
61位	ウズベキスタン	VFR	15,122	21,029	27,898	4,710	10,655	27,898
62位	ポーランド	TCER	25,700	24,932	27,540	5,100	4,461	27,540
63位	エチオピア	TFR	30,920	25,066	26,171	8,973	13,410	30,920
64位	ルーマニア	VFR	19,365	21,046	24,550	10,075	11,340	24,550
65位	バーレーン	VFR		46,423	22,161		13,289	46,423
66位	キューバ	VFR	26,421	35,199	21,758	1,881	1,289	35,199
67位	レバノン	TFN	18,331	20,242	20,135	3,911	4,781	20,242
68位	キルギス	VFR	19,527	25,947	20,066	2,424	15,913	25,947
69位	アイスランド	TFN	10,944	19,583	19,853	2,189	2,325	19,853
70位	トーゴ	THSR	8,534	11,787	18,728	25,968		25,968
71位	ブラジル	TFR	16,916	16,719	16,958	2,953	1,172	16,958
72位	モロッコ	TFN	14,198	14,770	16,527	3,831	2,857	16,527
73位	ルワンダ	VFN	13,547	13,987	14,690	3,704	4,285	14,690
74位	セーシェル	TFR	13,518	13,901	14,338	2,898	431	14,338
75位	ブルガリア	VFR	12,580	15,515	13,466	5,299	5,279	15,515
76位	オマーン	VFR		12,219	13,217	3,274	2,456	13,217
77位	スロバキア	TCEN	8,587	12,051	12,100	2,003	1,822	12,100
78位	ジンバブエ	VFR	6,960	12,465	11,076	2,417	2,518	12,465
79位	アルゼンチン	TFR	7,944	9,352	9,782	1,664	248	9,782
80位	エクアドル	VFN	13,501	12,438	9,736	520	516	13,501
81位	ペルー	TFR	7,201	8,742	9,505	1,558	551	9,505
82位	セルビア	TCEN		7,683	9,497	2,069	24,520	24,520
83位	コスタリカ	TFN	7,415	8,236	9,398	2,146	2,925	9,398
84位	ブルネイ	TFN	8,691	8,635	8,925	1,750	119	8,925
85位	シリア	VFN	1,732	4,583	8,691	2,673	1,453	8,691
86位	ラトビア	TCER	5,476	8,827	8,508	3,758	1,257	8,827
87位	ラオス	VFN	4,343	4,864	8,152	1,740		8,152
88位	コロンビア	TFR	6,534	7,453	8,019	1,908	2,670	8,019
89位	アンゴラ	TFR	5,906	5,374	7,719	2,501	2,904	7,719
90位	パナマ	VFR	4,107	7,563	7,592	3,231	7,166	7,592
91位	エスワティニ	VFR	7,580	6,070	6,364	2,022	1,753	7,580
92位	パプアニューギニア	VFR	3,184	3,743	6,345	1,847	996	6,345
93位	フィジー	TFR	5,183	5,901	6,231	1,185	150	6,231

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
94位	チリ	TFN	4,468	4,577	5,563	1,050	196	5,563
95位	レソト	VFR	4,745	3,614	4,950		2,425	4,950
96位	ボツワナ	TFR	3,979	4,903		965		4,903
97位	ベナン	TFR	2,633	4,603	4,836	4,975		4,975
98位	トリニダード・トバゴ	TFN	3,592	3,525	3,715	640	527	3,715
99位	シエラレオネ	TFR	1,895	1,110	3,646	969	2,014	3,646
100位	マダガスカル	TFN	1,571	2,997	3,450	1,984	80	3,450
101位	タジキスタン	VFR	1,366	1,038	3,118	1,766	2,164	3,118
	アルバニア	VFN	1,508	1,852	2,189	470	15,332	15,332

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

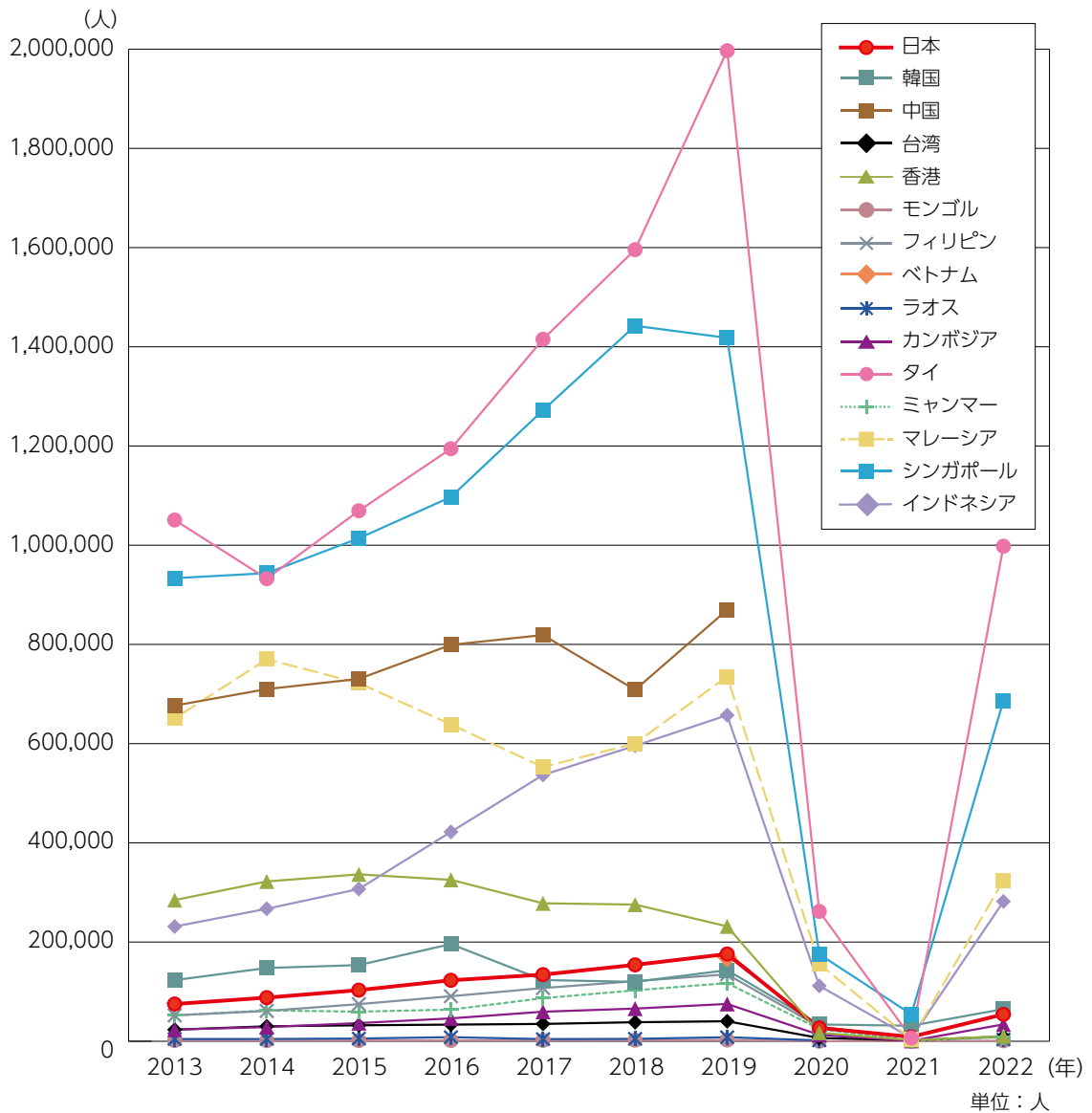
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのインド人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

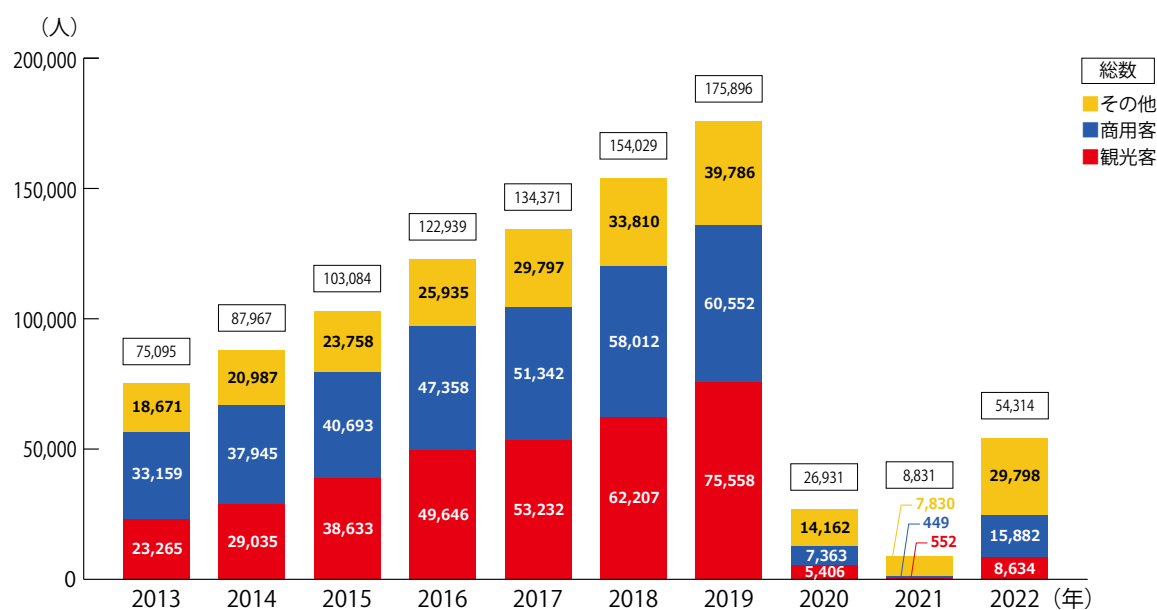
訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	1,050,889	932,603	1,069,422	1,194,508	1,415,197	1,595,754	1,996,842	261,778	6,544	997,913
シンガポール	VFR	933,553	943,636	1,013,986	1,097,190	1,272,077	1,442,277	1,417,993	175,522	54,380	686,469
中国	VFN	676,682	709,900	730,490	799,134	818,954	708,517	869,570			
マレーシア	TFN	650,989	770,108	722,141	638,578	552,739	600,311	735,309	155,883	3,916	324,548
インドネシア	VFN	231,266	267,082	306,960	422,045	536,902	595,636	657,300	111,724	6,670	281,814
香港	TFR	284,607	322,185	336,501	325,406	278,144	275,582	231,670	17,248	2,349	10,151
日本	VFN	75,095	87,967	103,084	122,939	134,371	154,029	175,896	26,931	8,831	54,314
ベトナム	VFR							168,998			
韓国	VFN	123,235	147,736	153,602	195,911	123,416	119,791	143,367	33,830	31,338	64,829
フィリピン	TFR	52,206	61,152	74,824	90,816	107,278	121,124	134,963	29,014	7,202	
ミャンマー	TFN	52,284	62,117	59,692	63,864	86,907	102,702	117,317	24,831	1,454	8,069
カンボジア	TFR	23,610	28,529	36,671	46,131	59,571	65,882	75,286	12,919	846	34,016
台湾	VFR	23,318	30,168	32,198	33,550	34,962	38,385	40,353	6,606	1,930	9,390
ラオス	VFN	4,551	4,547	5,492	8,249	4,343	4,864	8,152	1,740		3,568
モンゴル	TFN	1,519	1,307	1,478	1,713	1,874	2,298	2,478	184	194	1,041

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局



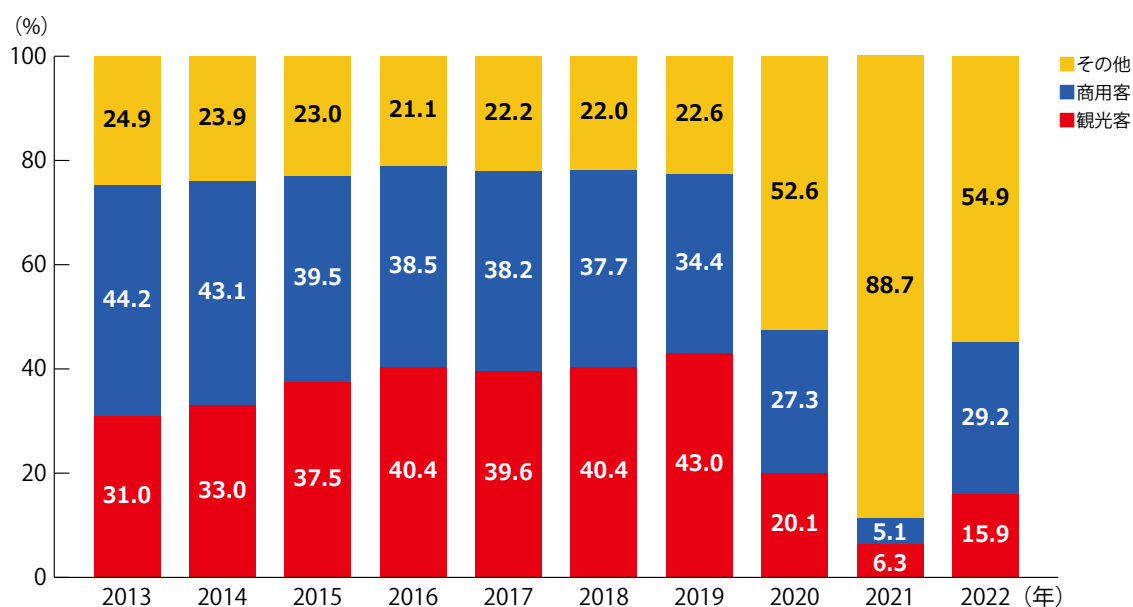
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日インド人の推移（2013年～2022年）



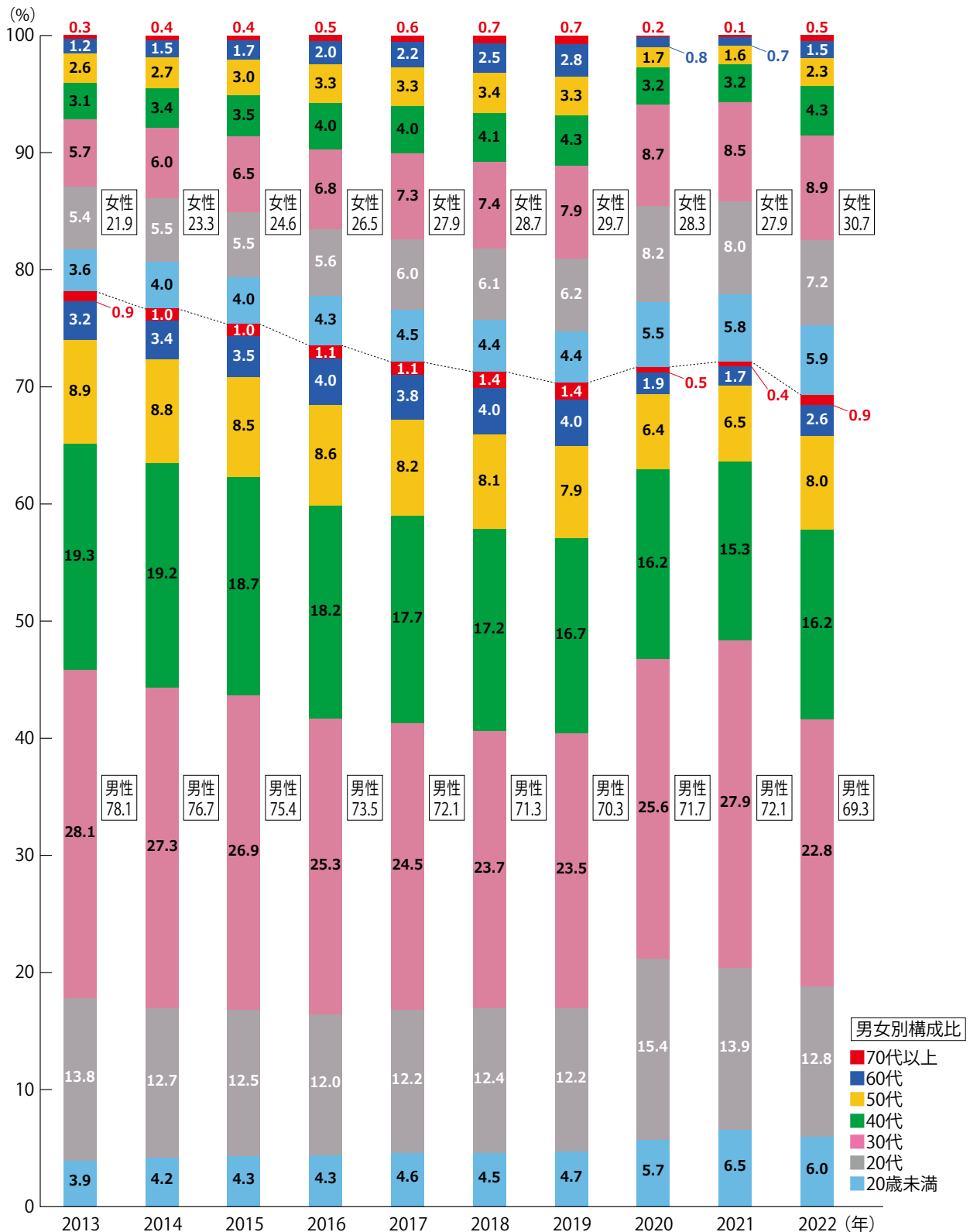
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 訪日インド人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

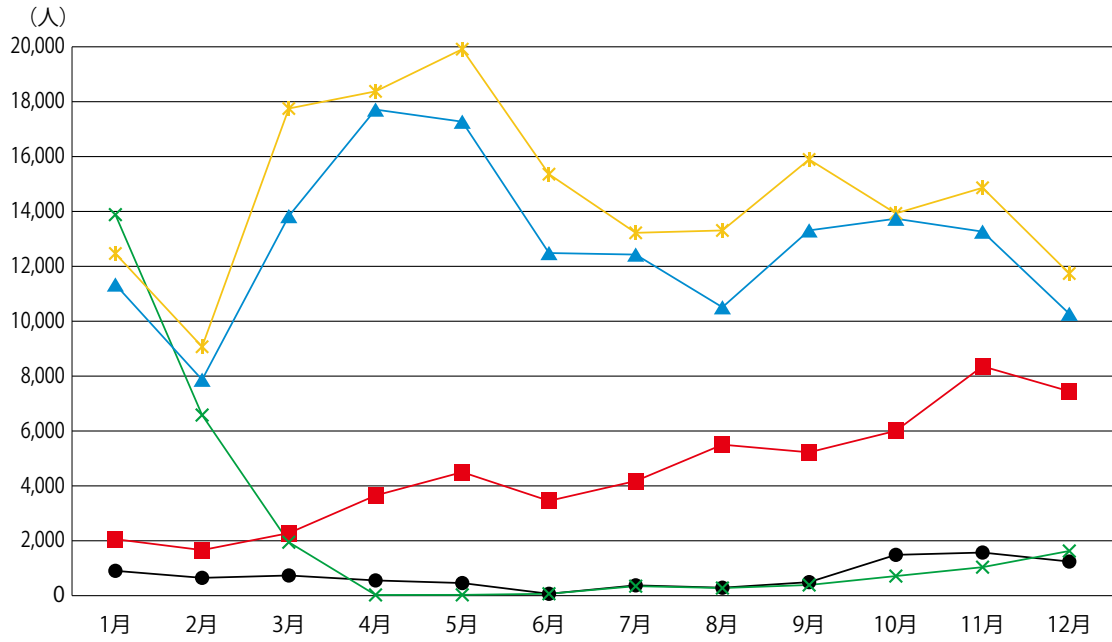
### (3) 訪日インド人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日インド人の推移 (2018年～2022年)

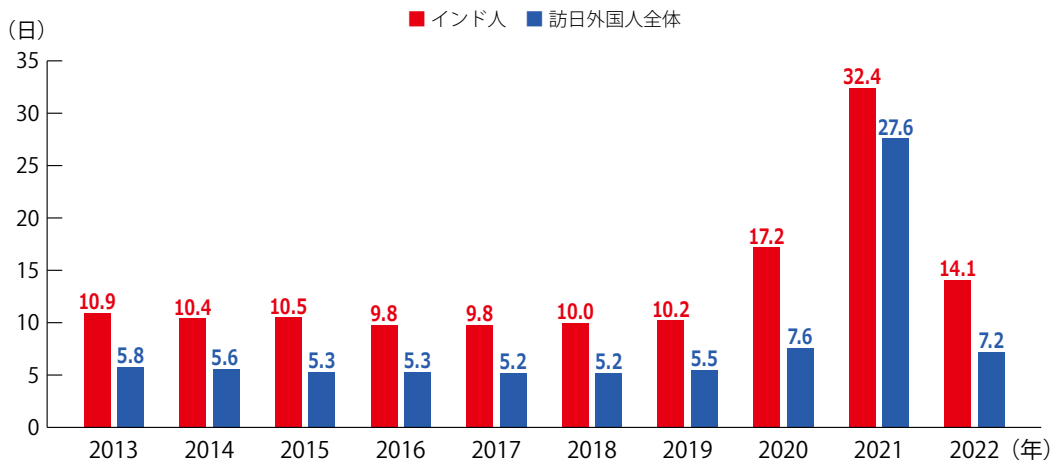


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	2,058	1,660	2,279	3,649	4,501	3,454	4,178	5,502	5,223	6,006	8,357	7,447
● 2021年	905	649	735	555	459	68	376	290	493	1,487	1,571	1,243
✕ 2020年	13,884	6,582	1,948	26	29	69	346	278	389	714	1,038	1,628
✱ 2019年	12,468	9,071	17,752	18,376	19,914	15,359	13,222	13,308	15,895	13,929	14,863	11,739
▲ 2018年	11,338	7,869	13,832	17,713	17,271	12,485	12,429	10,509	13,310	13,736	13,265	10,272

出典：日本政府観光局 (JNTO)

(5) 訪日インド人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)

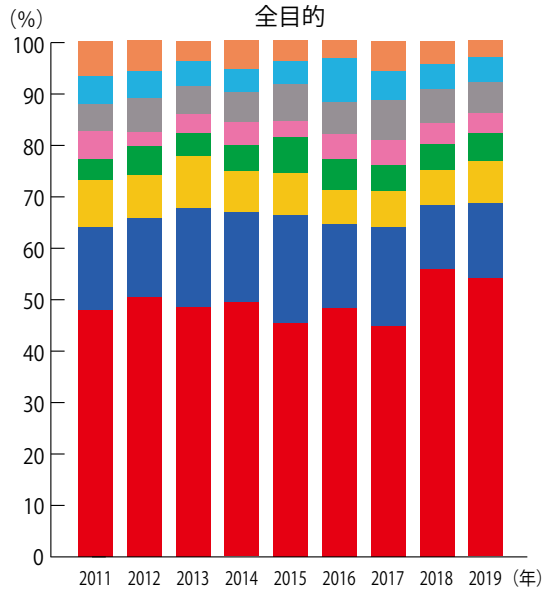


注1：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

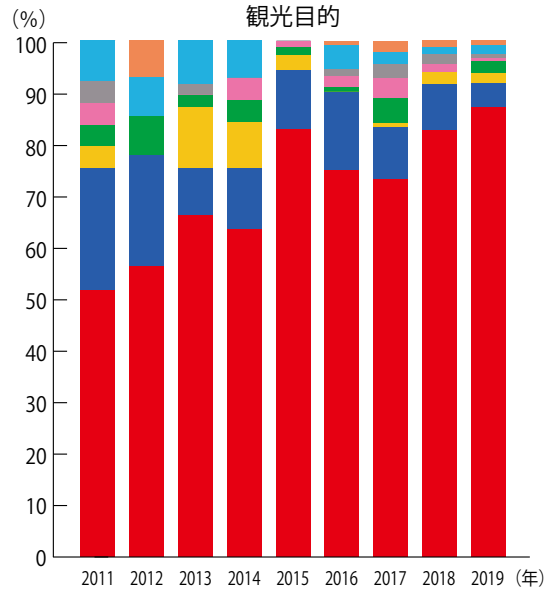
注2：インドからの観光以外の目的客は、日本での滞在期間が長い傾向にある。その影響を受けて、訪日インド人の平均滞在日数は多く表れている。インドからの観光客に焦点を当てて、その滞在期間を把握する場合は、第4章(7)を参照すると良い。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (6) 訪日インド人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	6.8	5.9	3.8	5.6	3.9	3.3	5.8	4.6	3.4
10～19回目	5.5	5.2	4.8	4.5	4.6	8.7	5.6	4.9	4.7
6～9回目	5.1	6.7	5.6	5.8	7.1	6.1	7.8	6.5	6.2
5回目	5.4	2.7	3.7	4.5	3.2	4.8	4.8	4.0	3.7
4回目	4.2	5.6	4.4	5.1	6.9	6.1	5.1	5.2	5.5
3回目	9.1	8.4	10.1	7.8	8.1	6.7	6.9	6.8	8.1
2回目	16.0	15.2	19.1	17.6	21.0	16.1	19.2	12.3	14.6
1回目	47.8	50.3	48.4	49.2	45.2	48.2	44.7	55.7	53.9

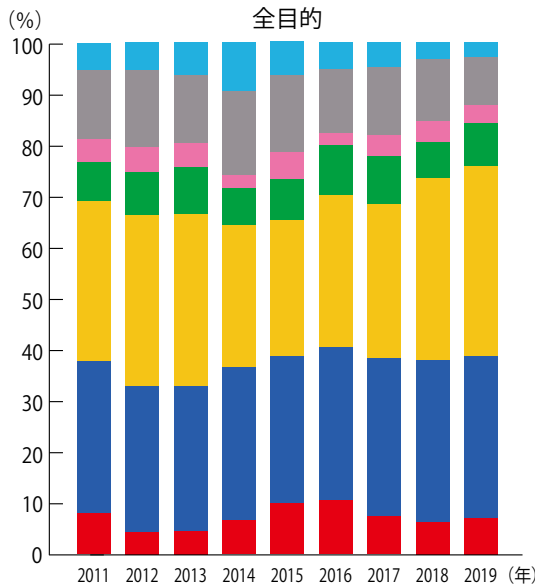


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	0.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.9	2.2	1.2	0.9
10～19回目	8.0	7.6	8.4	7.2	0.0	4.6	2.2	1.4	1.9
6～9回目	4.2	0.0	2.1	0.0	0.0	1.3	2.7	1.9	0.8
5回目	4.2	0.0	0.0	4.3	1.3	2.2	3.9	1.6	0.4
4回目	4.2	7.6	2.4	4.3	1.5	0.9	4.8	0.0	2.3
3回目	4.2	0.0	11.9	8.9	3.0	0.0	0.9	2.4	2.1
2回目	23.7	21.4	9.0	11.8	11.3	15.1	10.0	8.8	4.6
1回目	51.6	56.4	66.2	63.5	82.9	75.0	73.2	82.7	87.1

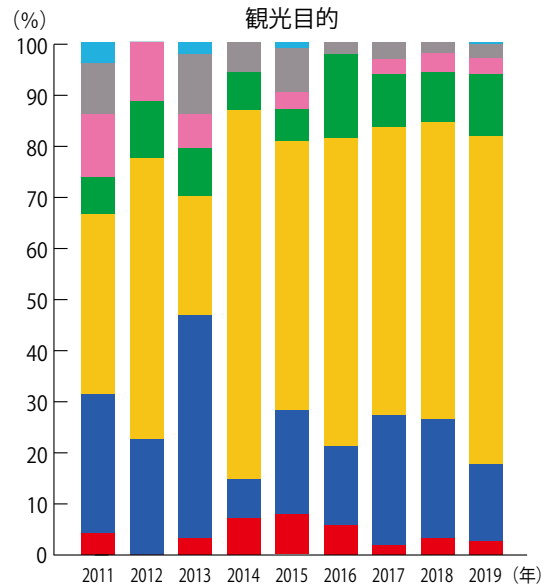
注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日インド人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	5.4	5.6	6.5	9.5	6.5	5.3	5.0	3.3	2.8
28～90日間	13.5	15.0	13.3	16.4	15.1	12.4	13.1	12.2	9.4
21～27日間	4.4	5.0	4.6	2.5	5.3	2.3	4.2	4.0	3.5
14～20日間	7.7	8.4	9.1	7.2	8.0	9.9	9.3	7.0	8.4
7～13日間	31.2	33.2	33.7	27.9	26.4	29.6	30.0	35.6	37.1
4～6日間	29.7	28.5	28.3	29.9	28.9	30.0	31.0	31.6	31.6
3日間以内	8.0	4.4	4.5	6.6	9.9	10.5	7.4	6.3	7.1

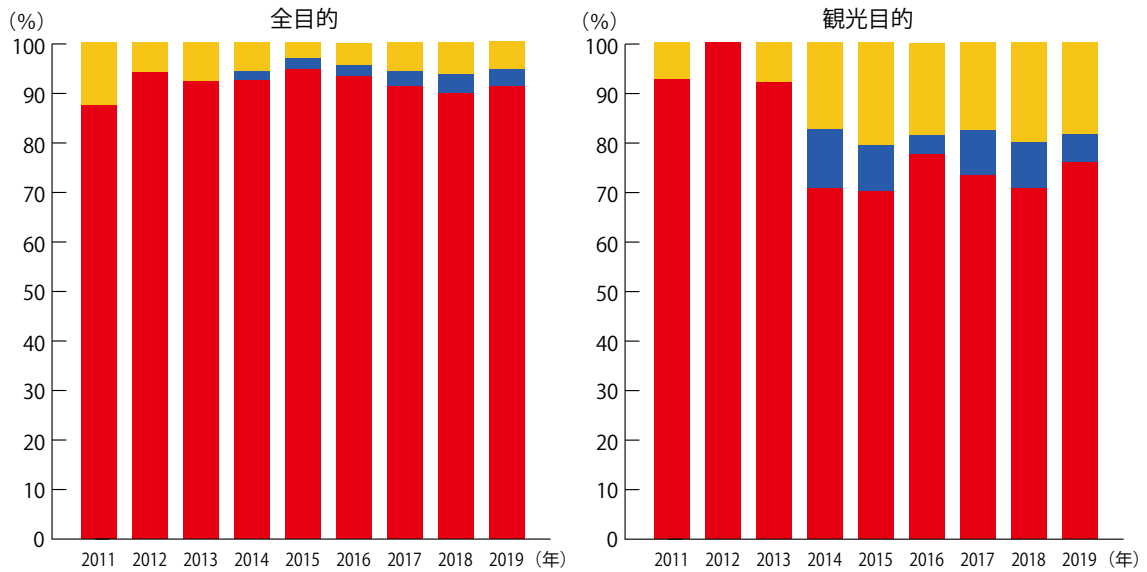


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	4.0	0.0	2.5	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.4
28～90日間	10.1	0.0	11.6	5.8	8.5	2.3	3.3	2.2	2.8
21～27日間	12.2	11.6	6.7	0.0	3.4	0.0	2.9	3.6	3.0
14～20日間	7.2	11.2	9.3	7.5	6.2	16.3	10.3	9.7	12.2
7～13日間	35.3	54.8	23.4	72.0	52.4	60.3	56.4	58.1	64.1
4～6日間	27.0	22.5	43.4	7.5	20.5	15.4	25.3	23.2	14.9
3日間以内	4.2	0.0	3.2	7.2	7.8	5.7	1.8	3.2	2.6

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日インド人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	12.7	6.0	7.8	5.8	3.3	4.6	5.9	6.5	5.5
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	1.9	2.1	2.2	2.9	3.8	3.4
■ 個別手配	87.3	94.0	92.2	92.3	94.6	93.1	91.2	89.7	91.2

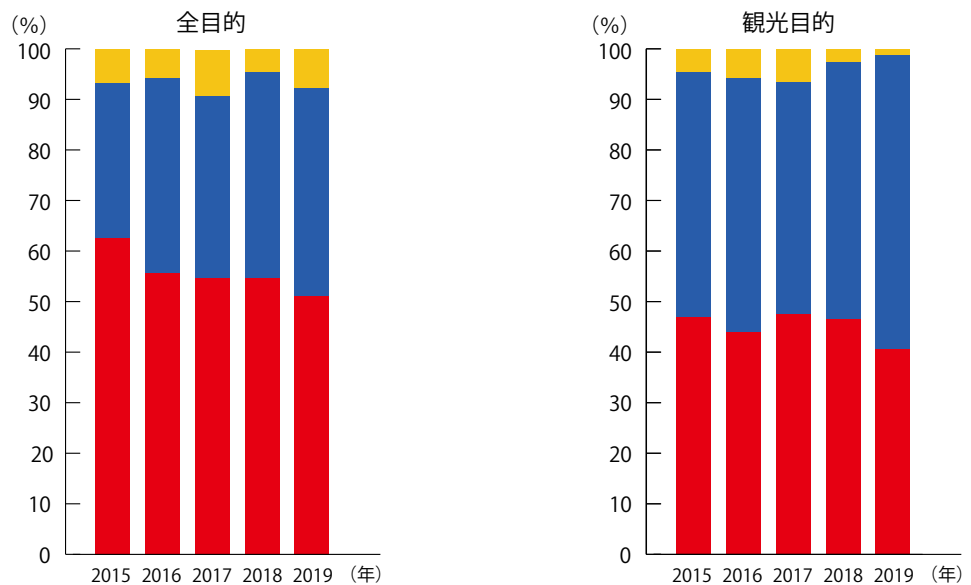
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	7.4	0.0	8.0	17.6	20.8	18.7	17.8	20.1	18.6
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	11.7	9.2	3.7	8.9	9.2	5.5
■ 個別手配	92.6	100.0	92.0	70.7	70.0	77.5	73.3	70.7	75.9

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日インド人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	6.8	5.6	9.2	4.5	7.8
■ ウェブサイトから申し込んだ	30.5	38.7	36.0	40.8	41.0
■ 店頭で申し込んだ	62.7	55.7	54.7	54.7	51.2

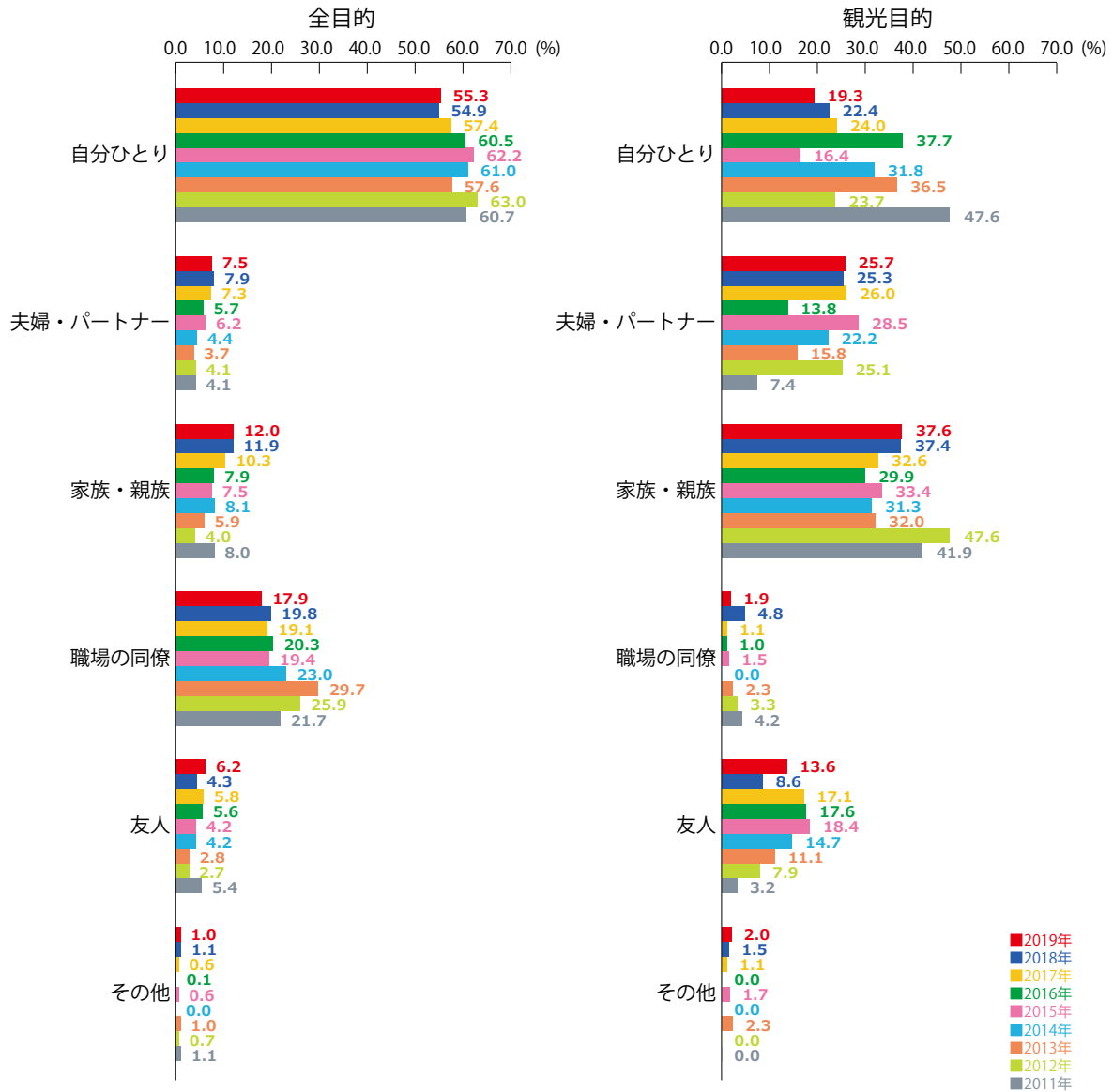
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	4.6	5.7	6.5	2.5	1.1
■ ウェブサイトから申し込んだ	48.4	50.2	46.0	50.9	58.3
■ 店頭で申し込んだ	47.0	44.1	47.5	46.6	40.6

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日インド人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日インド人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	54.6 49.2 52.7 14.3 60.2	77.2 80.4 82.5 79.7 78.7	42.4 42.5 52.8 57.7 56.1
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	23.4 26.1 22.1 18.4 15.6	40.2 40.8 42.4 37.3 38.6	20.6 19.1 25.4 18.8 20.4
旅館に宿泊	11.4 13.5 7.6 7.9 9.0	10.6 12.7 11.8 13.1 15.1	26.6 23.0 18.6 18.5 22.7
温泉入浴	16.8 14.3 11.1 8.5 9.5	12.5 12.5 11.2 11.0 9.4	37.4 31.0 29.2 22.1 29.2
自然・景勝地観光	36.4 37.9 35.7 29.7 30.1	45.2 48.0 47.2 42.1 40.3	49.9 46.8 47.1 46.5 53.8
繁華街の街歩き	34.8 34.0 28.1 27.6 29.1	56.2 52.9 59.2 58.3 62.9	25.1 20.7 28.1 32.4 37.3
ショッピング	39.5 46.3 40.6 40.6 37.5	67.1 69.3 74.0 70.8 73.3	39.7 38.7 43.2 43.9 50.2
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	20.5 21.0 9.9 10.2 10.6	27.7 28.2 21.5 18.3 18.8	21.8 21.1 21.7 19.8 21.8
テーマパーク	14.2 11.7 8.7 9.1 8.3	14.0 14.8 13.4 14.8 13.1	26.9 25.2 21.6 21.9 22.6
スキー・スノーボード	3.5 4.2 3.3 2.4 3.1	1.1 2.1 2.4 2.5 2.3	14.5 13.3 17.0 13.6 15.6
その他スポーツ (ゴルフ等)	3.5 1.9 1.9 1.0 2.1	2.0 1.4 1.1 1.4 1.7	1.9 3.2 9.0 7.1 9.0
舞台・音楽鑑賞	3.0 4.9 1.7 1.3 2.7	2.7 4.5 0.8 3.4 3.0	8.5 9.3 13.1 12.0 16.0
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.0 5.4 1.0 2.4 2.1	2.2 3.2 0.6 2.2 1.1	12.6 9.8 13.2 10.1 14.3
自然体験ツアー・農漁村体験	10.0 12.8 6.0 6.1 6.9	8.7 12.1 8.4 7.2 5.7	27.0 30.1 20.8 18.7 23.2
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	15.7 14.6 11.9 7.8 7.1	12.5 12.3 11.8 12.7 11.5	32.0 24.2 23.4 27.1 27.1
映画・アニメ縁の地を訪問	5.5 5.2 2.1 2.3 1.7	4.6 3.9 2.8 1.9 1.8	9.3 7.0 10.1 9.6 10.5
日本の歴史・伝統文化体験	25.7 26.5 16.9 17.7 18.3	34.2 31.4 29.8 26.9 29.0	36.2 36.7 35.2 34.2 39.3
日本の日常生活体験	20.6 21.6 13.0 12.6 17.2	31.7 31.6 27.8 29.2 32.5	24.8 23.5 23.9 22.7 28.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	7.0 4.7 3.2 3.6 2.8	8.6 7.2 7.6 8.3 7.9	10.3 7.6 9.6 10.6 10.0
治療・健診	0.2 0.7 0.9 1.3 1.6	1.2 1.0 0.7 1.1 2.0	1.0 1.3 3.3 3.0 4.4
上記には当てはまるものがない	16.8 12.3 21.6 19.4 24.9	3.1 1.6 2.4 2.0 3.1	1.5 1.3 1.5 3.1 5.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

イン

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	67.8 66.9 60.4 55.9 60.8	79.9 77.8 88.3 82.5 78.0	51.3 45.8 57.5 70.6 61.5
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	29.2 32.5 25.6 17.2 23.0	35.6 42.2 47.0 36.4 33.3	28.7 14.8 26.3 21.4 27.9
旅館に宿泊	30.7 19.1 13.4 14.5 18.6	25.2 18.6 20.5 22.4 24.1	40.1 30.2 19.7 34.3 27.9
温泉入浴	26.6 22.2 18.7 17.0 15.4	22.2 18.7 18.0 18.7 9.4	46.0 39.9 34.8 38.1 37.5
自然・景勝地観光	70.2 65.5 52.8 51.4 50.2	82.5 78.1 72.9 73.4 61.3	49.1 53.2 50.9 63.6 67.3
繁華街の街歩き	61.8 55.1 40.8 43.2 56.5	80.5 68.8 71.6 74.9 81.1	28.1 18.4 30.5 50.1 47.1
ショッピング	57.4 55.9 53.0 47.1 63.7	83.7 71.9 85.8 79.3 81.7	40.3 38.5 44.3 51.2 62.5
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	45.0 43.2 24.0 23.2 25.4	56.8 48.8 40.4 35.5 32.5	29.2 23.2 23.5 31.2 36.5
テーマパーク	24.8 17.1 15.0 16.8 16.2	23.4 23.7 25.2 21.2 28.5	36.8 23.0 19.0 29.6 36.6
スキー・スノーボード	4.5 4.4 7.8 5.6 0.0	1.2 3.4 4.3 2.7 0.0	17.2 11.1 10.4 21.4 12.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	6.9 2.6 0.0 2.8 0.0	6.4 2.1 0.0 4.4 0.0	2.2 2.1 5.0 13.8 12.5
舞台・音楽鑑賞	6.7 10.4 5.6 4.3 0.0	5.0 9.1 1.5 10.1 2.9	15.9 9.8 13.8 28.3 25.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.7 7.2 1.2 5.7 2.9	1.1 4.4 1.5 4.1 0.0	12.6 11.9 13.6 22.1 16.3
自然体験ツアー・農漁村体験	23.7 17.1 8.4 15.1 11.0	17.5 20.5 14.9 14.6 17.1	34.4 34.1 20.9 31.7 31.7
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	31.9 22.7 28.0 12.5 9.6	28.2 21.5 31.7 24.6 13.0	43.3 38.8 26.9 43.2 48.0
映画・アニメ縁の地を訪問	14.2 7.5 3.6 3.9 6.7	9.5 8.5 6.3 4.8 5.0	10.4 7.2 6.5 23.9 26.0
日本の歴史・伝統文化体験	51.5 32.3 34.9 33.0	61.3 51.8 51.7 50.6 43.0	32.0 32.7 37.3 38.7 44.2
日本の日常生活体験	31.4 30.6 15.6 17.8 8.6	39.0 37.2 30.3 33.7 33.3	32.3 23.7 28.0 36.7 32.6
日本のポップカルチャーを楽しむ	18.2 8.8 5.5 3.9 2.3	15.5 12.4 12.2 11.9 10.2	12.6 7.1 6.4 17.4 15.4
治療・健診	0.5 0.0 0.0 1.2 0.0	0.9 1.1 0.0 0.0 0.0	0.4 0.6 4.7 3.4 9.6
上記には当てはまるものがない	1.6 2.1 6.4 4.3 5.2	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	1.7 0.6 1.6 1.5 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていいため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(12) インド人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	11.0 11.8 11.3 13.8 10.7	19.7 14.9 14.7 21.9 23.0
旅行会社ホームページ	10.8 9.5 9.9 7.0 8.7	19.6 13.0 19.1 13.3 24.8
宿泊施設ホームページ	13.9 12.7 14.2 10.7 9.6	17.4 14.9 29.6 17.7 17.0
航空会社ホームページ	12.8 8.7 9.9 8.2 8.7	15.2 6.6 13.7 13.0 10.3
地方観光協会ホームページ	3.2 4.7 4.2 4.8 3.2	4.6 9.1 6.3 7.7 5.4
宿泊予約サイト	7.6 4.4 5.5 4.0 5.1	10.7 8.1 6.1 8.3 8.7
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	20.0 15.5 10.9 8.8 10.0	34.7 26.2 16.6 17.8 21.5
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	10.3 5.6 3.9 3.6 2.6	7.5 9.5 2.6 4.8 5.8
個人のブログ	9.0 9.1 6.8 5.0 5.2	17.5 15.2 7.4 6.2 26.2
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	13.6 11.7 4.6 2.7 2.1	19.2 15.8 4.9 6.5 2.7
その他インターネット	7.3 12.5 9.8 11.9 12.2	5.2 12.9 14.8 8.0 2.9
日本政府観光局の案内所	0.6 1.0 1.3 3.0 1.7	1.1 1.0 3.0 2.1 0.0
旅行会社パンフレット	5.1 4.5 3.5 3.4 3.5	19.8 9.8 6.6 7.7 8.5
旅行ガイドブック	7.5 8.2 7.7 8.3 7.6	14.4 10.6 11.9 22.8 17.0
自国の親族・知人	21.7 15.8 14.1 17.2 20.0	29.4 18.2 21.3 17.6 23.3
日本在住の親族・知人	27.4 26.9 29.3 28.5 33.5	23.1 20.3 16.6 33.2 32.7
旅行の展示会や見本市	0.4 1.3 1.2 1.5 0.9	0.5 1.2 0.9 2.1 0.0
テレビ番組	2.3 2.5 3.9 3.1 2.0	2.2 3.8 8.3 8.8 6.5
新聞	1.3 1.1 1.9 1.9 1.7	0.4 2.9 2.8 2.1 0.0
旅行専門誌	3.2 3.3 4.7 3.6 3.2	9.2 5.6 6.8 7.6 2.9
その他雑誌	0.2 0.4 0.2 0.4 0.4	0.5 0.0 1.5 0.0 0.0
その他	5.3 4.2 12.0 15.7 11.2	2.2 1.2 1.3 4.1 4.6
特になし	16.4 16.6 16.6 15.5 17.7	3.0 7.2 5.2 5.1 2.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) インド人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	31.5 27.6	36.7 27.0
交通手段	66.2 53.0	62.9 58.9
飲食店	38.8 29.8	37.6 34.1
観光施設	27.6 27.2	47.5 45.9
イベント	2.5 3.7	2.5 2.7
土産物	9.9 11.6	17.1 10.2
買物場所	21.6 17.9	24.5 13.7
無料Wi-Fi	51.4 46.3	61.3 47.6
祈祷室	0.5 1.0	0.5 0.5
ATM	16.6 15.4	14.3 14.2
宅配便	2.8 2.1	4.9 0.5
日本文化体験プログラム	5.3 6.9	12.9 9.4
自然体験ツアー・農山漁村体験	4.3 5.9	6.8 5.9
通訳案内士・観光ガイド	6.4 5.9	19.3 10.4
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	2.7 3.5	5.8 8.3
クレジットカード利用可能店舗	11.2 8.6	10.6 8.9
その他	1.6 0.2	1.7 0.0
特になし	8.4 12.4	7.5 7.2

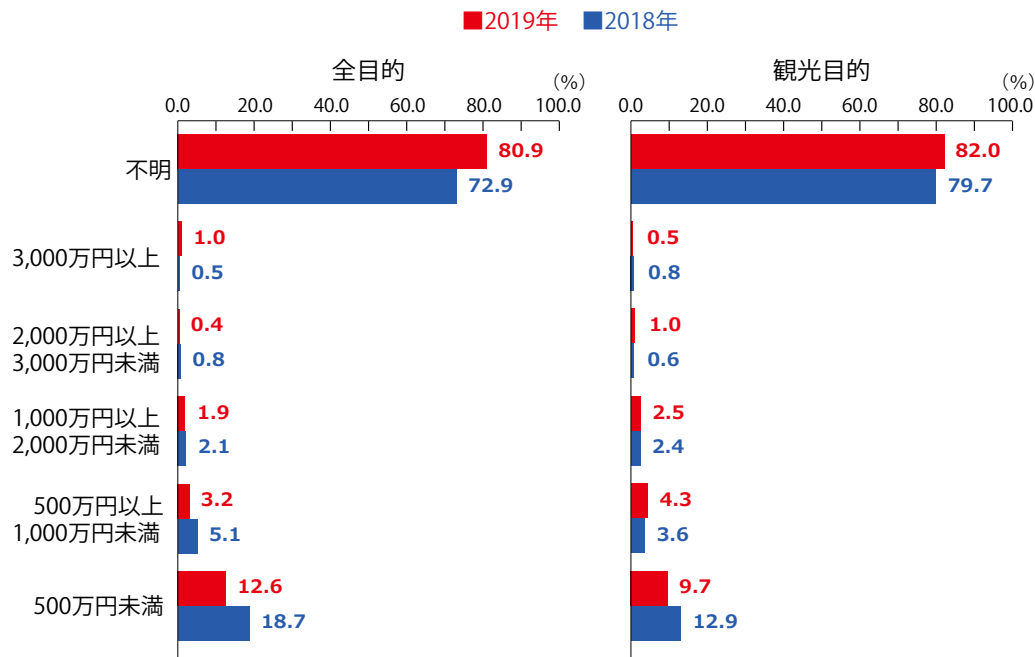
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

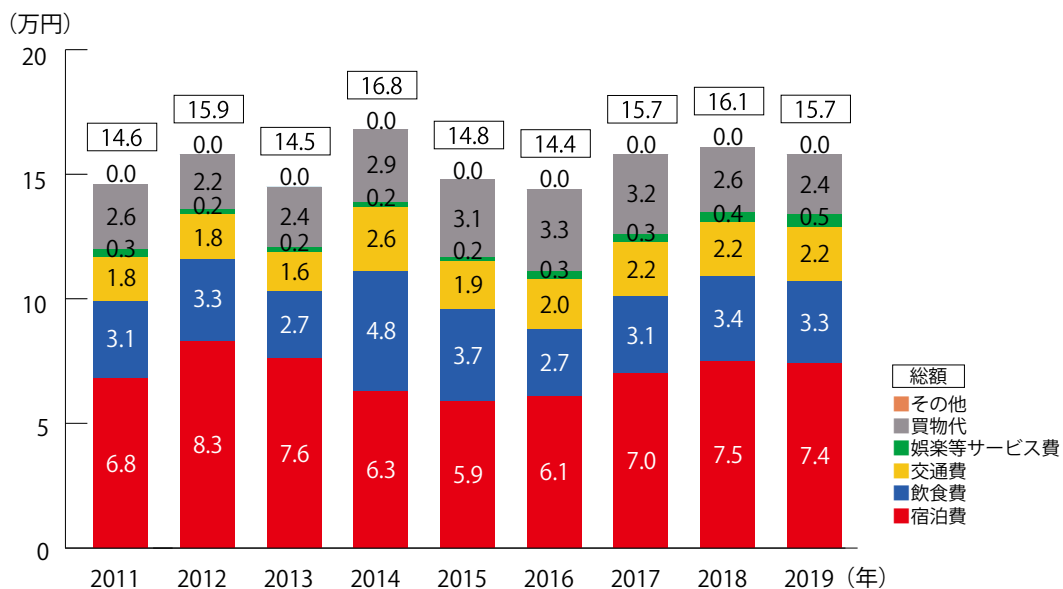
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日インド人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日インド人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日インド人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	1,131	157,244	230	178,254	
滞在日数	3日間以内	83	55,551	6	63,478
	4～6日間	359	101,351	36	126,553
	7～13日間	413	154,488	146	184,940
	14～20日間	96	212,513	27	213,550
	21～27日間	40	204,967	7	216,728
	28～90日間	107	276,852	7	129,277
	91日間以上1年未満	33	448,714	1	827,264
性・年代	男性	934	157,887	154	173,470
	15～19歳	11	217,211	4	94,961
	20～29歳	189	171,756	31	119,580
	30～39歳	352	162,194	40	180,358
	40～49歳	210	149,541	35	186,696
	50～59歳	109	148,012	19	222,640
	60～69歳	51	124,663	20	169,784
	70歳以上	12	139,819	5	216,007
	女性	197	154,251	76	187,801
	15～19歳	7	80,470	5	93,627
	20～29歳	73	184,968	24	215,471
	30～39歳	60	148,824	23	195,175
	40～49歳	32	142,895	14	197,935
	50～59歳	15	92,754	4	73,476
60～69歳	9	153,258	6	178,748	
70歳以上	1	81,302	0	-	
日本への 来訪回数	1回目	597	153,749	199	175,651
	2回目	165	163,212	11	216,217
	3回目	93	140,384	5	247,332
	4回目	64	202,073	5	172,086
	5回目	43	170,190	1	119,820
	6～9回目	73	151,749	2	168,201
	10～19回目	55	149,980	5	157,830
	20回目以上	41	159,887	2	167,261

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往復した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日インド人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	58	241,198	41	278,099	
	個人旅行向けパッケージ商品	37	198,256	13	275,552	
	往復航空（船舶）運賃	1,036	100,143	176	84,359	
日本滞在中の支出	宿泊料金	859	89,539	156	74,681	
	飲食費	974	35,092	185	31,933	
	交通費	955	22,834	182	30,487	
	航空（日本国内移動のみ）	21	28,805	4	26,794	
	Japan Rail Pass	113	29,441	73	32,413	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	802	13,221	151	11,157	
	バス	324	5,640	64	3,838	
	タクシー	392	10,743	75	7,871	
	レンタカー	19	51,964	9	59,733	
	船舶（日本国内移動のみ）	4	2,696	2	3,003	
	その他交通費	1	100,000	0	-	
	娯楽等サービス費	326	13,755	126	11,163	
	現地ツアー・観光ガイド	42	10,451	19	11,070	
	ゴルフ場	1	15,000	0	-	
	テーマパーク	109	9,188	53	10,847	
	舞台・音楽鑑賞	7	12,662	2	3,556	
	スポーツ観戦	8	72,732	2	78,710	
	美術館・博物館・動物園・水族館	205	4,148	82	3,992	
	スキー場リフト	7	10,851	2	15,330	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	21	3,610	13	1,945	
	マッサージ・医療費	8	7,771	3	4,430	
	展示会・コンベンション参加費	14	88,115	2	4,004	
	レンタル料（レンタカーを除く）	4	9,048	0	-	
	その他娯楽等サービス費	13	6,676	3	10,897	
	買物代	1,000	27,132	211	34,276	
	菓子類	614	6,877	130	6,101	
	酒類	236	8,445	53	9,389	
	生鮮農産物	36	11,390	9	12,411	
	その他食料品・飲料・たばこ	296	10,547	65	10,039	
	化粧品・香水	157	10,481	49	8,460	
	医薬品	19	4,053	6	4,070	
	健康グッズ・トイレットリー	20	8,958	6	6,786	
	衣類	343	14,274	107	15,858	
靴・かばん・革製品	185	16,111	66	19,771		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	107	33,275	20	18,535		
時計・フィルムカメラ	50	24,179	12	58,216		
宝石・貴金属	16	8,833	5	14,429		
民芸品・伝統工芸品	103	7,632	33	6,774		
本・雑誌・ガイドブックなど	28	6,202	7	4,756		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	15	22,848	2	9,151		
その他買物代	112	11,227	16	24,026		
その他	3	4,000	1	4,000		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日インド人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	41.5 42.5 44.0 40.1 41.3	50.0 52.5 53.7 50.3 55.1
家電量販店	16.6 20.1 23.1 19.9 23.1	9.1 20.4 20.7 17.6 14.0
ファッション専門店	12.7 11.0 12.1 9.5 9.1	16.7 11.3 18.0 12.7 17.6
100円ショップ	28.4 36.0 36.0 32.2 34.2	28.2 40.0 34.9 15.5 39.0
高速道路のSA・道の駅	0.2 1.2 0.7 1.1 0.8	0.0 2.9 0.0 0.0 0.0
観光地の土産店	24.9 23.6 23.1 18.9 19.6	48.9 40.4 39.5 34.6 36.6
宿泊施設	1.5 0.7 3.9 4.0 2.3	1.6 1.7 7.6 4.0 1.6
スーパーマーケット	45.5 45.2 52.1 47.3 41.9	48.5 53.1 58.9 56.0 45.3
コンビニエンスストア	43.7 43.2 48.5 41.5 33.0	48.2 47.4 52.5 35.0 28.3
ドラッグストア	8.6 4.7 8.5 7.2 5.6	8.8 7.4 12.8 5.7 9.3
ディスカウントストア	8.6 8.2 9.9 7.7 5.5	9.5 11.4 9.1 11.5 7.8
アウトレットモール	8.7 8.2 13.0 13.3 13.9	13.1 8.8 13.6 17.0 24.0
都心の複合商業施設	6.7 10.8 6.2 5.2 6.1	9.6 12.7 12.1 5.8 6.1
その他ショッピングセンター	9.2 8.9 13.6 11.4 12.9	10.0 14.6 20.3 11.2 17.6
鉄道駅構内の店舗	5.4 8.0 10.4 7.6 5.9	6.8 3.7 13.8 8.5 9.2
空港の免税店	40.8 39.5 44.4 39.6 35.6	42.7 39.2 43.8 42.8 37.6
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.1 0.4	0.7 0.0
その他	1.7 1.8 1.2 2.0 1.0	0.0 2.3 3.0 3.5 0.0
買い物はしなかった	10.0 8.2 7.4 7.5 11.6	5.8 6.3 1.1 3.9 4.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日インド人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	2019年 19.9 2018年 22.3
消費税免税の手続きをしていない	2019年 80.1 2018年 77.7

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	2019年 5.1 2018年 4.3
酒類	2019年 2.7 2018年 3.5
生鮮農産物	2019年 0.0 2018年 0.1
その他食料品・飲料・たばこ	2019年 1.1 2018年 1.0
化粧品・香水	2019年 2.9 2018年 1.6
医薬品	2019年 0.1 2018年 0.1
健康グッズ・トイレタリー	2019年 0.1 2018年 0.1
衣類	2019年 8.9 2018年 8.7
靴・かばん・革製品	2019年 5.6 2018年 3.4
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	2019年 4.0 2018年 5.1
時計・フィルムカメラ	2019年 1.1 2018年 2.5
宝石・貴金属	2019年 0.1 2018年 0.1
民芸品・伝統工芸品	2019年 0.9 2018年 0.6
本・雑誌・ガイドブックなど	2019年 0.1 2018年 0.1
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	2019年 0.4 2018年 0.9
その他買物代	2019年 1.5 2018年 1.5

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日インド人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：％

	全目的	観光目的
現金	86.2 91.3	94.6 92.8
クレジットカード	58.4 55.2	51.7 52.7
交通系ICカード（Suica等）	13.0 8.8	8.9 6.4
その他ICカード（Edy等）	0.8 1.2	1.0 0.0
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	3.8 5.8	6.9 4.4
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.1 0.3	0.0 0.0
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.0 0.0	0.0 0.0
その他	0.5 0.3	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	2.8 1.2	2.3 1.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (21) 訪日インド人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
千葉県	1位	12.6	9.5	7.8	11.8	85.3	85.0	85.4	84.4	75.7	
東京都	2位	60.1	63.0	65.0	58.4	60.8	59.4	60.3	65.5	73.1	
大阪府	3位	15.1	12.1	11.8	19.9	24.2	25.0	27.3	25.1	23.2	
神奈川県	4位	20.3	23.4	19.3	22.9	17.2	16.2	20.3	17.4	19.2	
京都府	5位	9.8	9.1	9.4	17.1	10.5	14.1	13.8	16.0	17.1	
兵庫県	6位	5.5	4.2	5.4	8.0	5.5	5.2	4.8	3.5	6.2	
広島県	7位	2.2	3.5	4.5	6.2	3.8	5.5	3.9	4.4	6.1	
山梨県	8位	2.2	2.7	3.6	3.8	3.1	1.4	3.3	5.4	5.7	
静岡県	9位	5.0	6.9	3.7	7.0	7.6	7.2	7.7	5.7	4.5	
奈良県	10位	1.0	2.0	2.3	3.9	1.8	2.1	1.8	3.8	4.0	
愛知県	11位	4.8	7.4	7.3	6.3	4.2	7.1	6.3	5.0	3.0	
北海道	12位	1.3	0.7	0.8	1.2	0.4	0.9	1.5	1.1	2.7	
茨城県	13位	3.9	3.5	3.0	2.4	1.2	2.5	2.1	3.1	2.6	
栃木県	14位	2.6	3.3	4.6	4.4	4.6	4.6	3.0	4.8	2.5	
埼玉県	15位	3.7	2.4	2.9	3.7	2.3	2.7	2.4	1.5	1.8	
愛媛県	16位	0.0	0.4	0.3	0.3	0.0	0.1	0.2	0.0	1.3	
群馬県	17位	0.7	1.8	0.7	0.6	0.3	1.3	1.0	1.3	1.1	
滋賀県	18位	1.9	1.5	0.6	1.8	0.4	0.7	0.1	1.1	1.1	
三重県	19位	0.2	0.3	0.0	1.2	0.4	0.9	0.1	0.6	0.8	
香川県	20位	0.6	0.0	0.7	0.7	0.1	1.0	0.5	0.3	0.8	
新潟県	21位	0.4	1.2	0.9	0.2	0.1	0.8	0.3	0.0	0.7	
福岡県	22位	3.0	2.9	2.1	1.4	1.5	0.9	0.9	1.3	0.6	
沖縄県	23位	1.3	0.2	0.4	0.0	0.3	1.0	0.6	0.6	0.6	
和歌山県	24位	0.5	0.7	0.9	0.7	0.2	0.6	0.6	0.9	0.6	
長野県	25位	0.7	1.4	1.9	0.2	1.0	0.7	1.1	1.0	0.5	
岐阜県	26位	1.0	0.7	0.6	0.2	0.6	0.6	0.3	0.3	0.5	
福島県	27位	0.5	0.4	0.3	0.9	0.0	1.1	0.6	0.1	0.5	
岡山県	28位	0.0	0.8	0.3	0.6	1.2	0.7	0.5	0.5	0.4	
宮城県	29位	0.8	0.2	0.7	0.0	0.6	0.5	0.8	1.0	0.4	
岩手県	30位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	
長崎県	31位	0.2	0.2	0.7	0.6	0.3	0.1	0.0	0.2	0.3	
島根県	32位	0.5	0.0	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2	0.6	0.2	
福井県	33位	0.0	0.2	0.2	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.2	
石川県	34位	0.7	0.6	0.6	0.0	0.4	0.4	0.5	0.9	0.2	
徳島県	35位	0.3	0.3	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	
秋田県	36位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.3	0.1	
熊本県	37位	0.0	0.5	0.0	0.0	0.3	0.2	0.3	0.5	0.1	
青森県	38位	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.1	0.3	0.3	0.0	
山形県	39位	0.0	0.8	0.3	0.2	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	
富山県	40位	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.7	1.1	0.6	0.0	
鳥取県	41位	0.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0	
山口県	42位	0.4	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
高知県	43位	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.4	0.0	
佐賀県	44位	0.3	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
大分県	45位	0.0	0.6	0.1	0.7	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	
宮崎県	46位	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.3	1.2	0.0	
鹿児島県	47位	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	0.0	0.3	0.2	0.0	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日インド人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	150,230 (39.9%)	191,450 (40.4%)	264,790 (43.7%)
神奈川県	2位	51,390 (13.6%)	48,510 (10.2%)	64,100 (10.6%)
千葉県	3位	16,120 (4.3%)	25,280 (5.3%)	28,020 (4.6%)
大阪府	4位	39,220 (10.4%)	59,800 (12.6%)	73,180 (12.1%)
京都府	5位	28,720 (7.6%)	31,750 (6.7%)	50,320 (8.3%)
愛知県	6位	13,100 (3.5%)	13,800 (2.9%)	18,570 (3.1%)
茨城県	7位	1,620 (0.4%)	2,240 (0.5%)	3,120 (0.5%)
静岡県	8位	11,780 (3.1%)	15,390 (3.2%)	13,910 (2.3%)
福岡県	9位	4,070 (1.1%)	4,550 (1.0%)	7,030 (1.2%)
北海道	10位	7,560 (2.0%)	7,220 (1.5%)	8,140 (1.3%)
兵庫県	11位	5,700 (1.5%)	8,190 (1.7%)	7,600 (1.3%)
宮城県	12位	1,010 (0.3%)	1,160 (0.2%)	1,800 (0.3%)
栃木県	13位	4,380 (1.2%)	6,610 (1.4%)	4,610 (0.8%)
広島県	14位	10,680 (2.8%)	11,670 (2.5%)	11,570 (1.9%)
愛媛県	15位	640 (0.2%)	650 (0.1%)	580 (0.1%)
福島県	16位	210 (0.1%)	1,140 (0.2%)	1,570 (0.3%)
埼玉県	17位	3,130 (0.8%)	4,450 (0.9%)	4,360 (0.7%)
香川県	18位	600 (0.2%)	1,380 (0.3%)	1,530 (0.3%)
熊本県	19位	2,560 (0.7%)	1,600 (0.3%)	3,180 (0.5%)
新潟県	20位	1,210 (0.3%)	1,240 (0.3%)	1,830 (0.3%)
大分県	21位	660 (0.2%)	1,310 (0.3%)	1,230 (0.2%)
長野県	22位	2,550 (0.7%)	2,990 (0.6%)	3,000 (0.5%)
滋賀県	23位	2,370 (0.6%)	3,460 (0.7%)	2,980 (0.5%)
石川県	24位	1,560 (0.4%)	2,730 (0.6%)	2,340 (0.4%)
山梨県	25位	1,930 (0.5%)	3,420 (0.7%)	3,260 (0.5%)
高知県	26位	30 (0.0%)	90 (0.0%)	80 (0.0%)
長崎県	27位	1,760 (0.5%)	1,460 (0.3%)	3,300 (0.5%)
沖縄県	28位	1,540 (0.4%)	2,480 (0.5%)	3,940 (0.6%)
三重県	29位	1,550 (0.4%)	1,180 (0.2%)	1,460 (0.2%)
富山県	30位	1,360 (0.4%)	1,890 (0.4%)	1,940 (0.3%)
青森県	31位	450 (0.1%)	650 (0.1%)	1,130 (0.2%)
山形県	32位	200 (0.1%)	740 (0.2%)	370 (0.1%)
岐阜県	33位	1,670 (0.4%)	1,600 (0.3%)	2,120 (0.3%)
岩手県	34位	210 (0.1%)	520 (0.1%)	350 (0.1%)
岡山県	35位	690 (0.2%)	4,340 (0.9%)	3,020 (0.5%)
山口県	36位	420 (0.1%)	230 (0.0%)	380 (0.1%)
島根県	37位	360 (0.1%)	1,700 (0.4%)	1,360 (0.2%)
群馬県	38位	730 (0.2%)	980 (0.2%)	970 (0.2%)
奈良県	39位	720 (0.2%)	950 (0.2%)	870 (0.1%)
和歌山県	40位	620 (0.2%)	660 (0.1%)	380 (0.1%)
福井県	41位	380 (0.1%)	310 (0.1%)	680 (0.1%)
宮崎県	42位	170 (0.0%)	350 (0.1%)	200 (0.0%)
佐賀県	43位	180 (0.0%)	240 (0.1%)	230 (0.0%)
鹿児島県	44位	460 (0.1%)	730 (0.2%)	380 (0.1%)
秋田県	45位	110 (0.0%)	170 (0.0%)	130 (0.0%)
徳島県	46位	100 (0.0%)	160 (0.0%)	280 (0.0%)
鳥取県	47位	150 (0.0%)	520 (0.1%)	270 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数 [人泊 (構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	33,520 (34.9%)	14,370 (24.0%)	73,350 (49.6%)
神奈川県	2位	11,570 (12.1%)	3,850 (6.4%)	14,210 (9.6%)
千葉県	3位	14,760 (15.4%)	22,220 (37.1%)	12,360 (8.4%)
大阪府	4位	7,990 (8.3%)	6,830 (11.4%)	11,130 (7.5%)
京都府	5位	3,070 (3.2%)	570 (1.0%)	8,480 (5.7%)
愛知県	6位	2,740 (2.9%)	950 (1.6%)	4,510 (3.0%)
茨城県	7位	2,080 (2.2%)	190 (0.3%)	3,510 (2.4%)
静岡県	8位	1,740 (1.8%)	820 (1.4%)	2,780 (1.9%)
福岡県	9位	1,100 (1.1%)	780 (1.3%)	1,650 (1.1%)
北海道	10位	2,620 (2.7%)	460 (0.8%)	1,560 (1.1%)
兵庫県	11位	2,150 (2.2%)	3,210 (5.4%)	1,400 (0.9%)
宮城県	12位	340 (0.4%)	230 (0.4%)	1,190 (0.8%)
栃木県	13位	1,060 (1.1%)	220 (0.4%)	1,180 (0.8%)
広島県	14位	1,340 (1.4%)	180 (0.3%)	1,050 (0.7%)
愛媛県	15位	630 (0.7%)	1,760 (2.9%)	980 (0.7%)
福島県	16位	290 (0.3%)	240 (0.4%)	870 (0.6%)
埼玉県	17位	580 (0.6%)	140 (0.2%)	770 (0.5%)
香川県	18位	50 (0.1%)	340 (0.6%)	550 (0.4%)
熊本県	19位	370 (0.4%)	340 (0.6%)	490 (0.3%)
新潟県	20位	360 (0.4%)	30 (0.1%)	420 (0.3%)
大分県	21位	1,010 (1.1%)	450 (0.8%)	420 (0.3%)
長野県	22位	440 (0.5%)	150 (0.3%)	410 (0.3%)
滋賀県	23位	960 (1.0%)	20 (0.0%)	410 (0.3%)
石川県	24位	460 (0.5%)	30 (0.1%)	350 (0.2%)
山梨県	25位	280 (0.3%)	90 (0.2%)	340 (0.2%)
高知県	26位	40 (0.0%)	20 (0.0%)	300 (0.2%)
長崎県	27位	250 (0.3%)	80 (0.1%)	280 (0.2%)
沖縄県	28位	1,090 (1.1%)	170 (0.3%)	280 (0.2%)
三重県	29位	810 (0.8%)	70 (0.1%)	270 (0.2%)
富山県	30位	170 (0.2%)	70 (0.1%)	250 (0.2%)
青森県	31位	210 (0.2%)	240 (0.4%)	220 (0.1%)
山形県	32位	90 (0.1%)	70 (0.1%)	210 (0.1%)
岐阜県	33位	220 (0.2%)	50 (0.1%)	210 (0.1%)
岩手県	34位	50 (0.1%)	60 (0.1%)	190 (0.1%)
岡山県	35位	240 (0.3%)	90 (0.2%)	180 (0.1%)
山口県	36位	190 (0.2%)	170 (0.3%)	170 (0.1%)
島根県	37位	90 (0.1%)	40 (0.1%)	160 (0.1%)
群馬県	38位	210 (0.2%)	30 (0.1%)	140 (0.1%)
奈良県	39位	170 (0.2%)	10 (0.0%)	140 (0.1%)
和歌山県	40位	110 (0.1%)	40 (0.1%)	100 (0.1%)
福井県	41位	40 (0.0%)	30 (0.1%)	90 (0.1%)
宮崎県	42位	40 (0.0%)	20 (0.0%)	90 (0.1%)
佐賀県	43位	160 (0.2%)	10 (0.0%)	70 (0.0%)
鹿児島県	44位	120 (0.1%)	50 (0.1%)	70 (0.0%)
秋田県	45位	40 (0.0%)	20 (0.0%)	40 (0.0%)
徳島県	46位	40 (0.0%)	60 (0.1%)	40 (0.0%)
鳥取県	47位	80 (0.1%)	20 (0.0%)	30 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

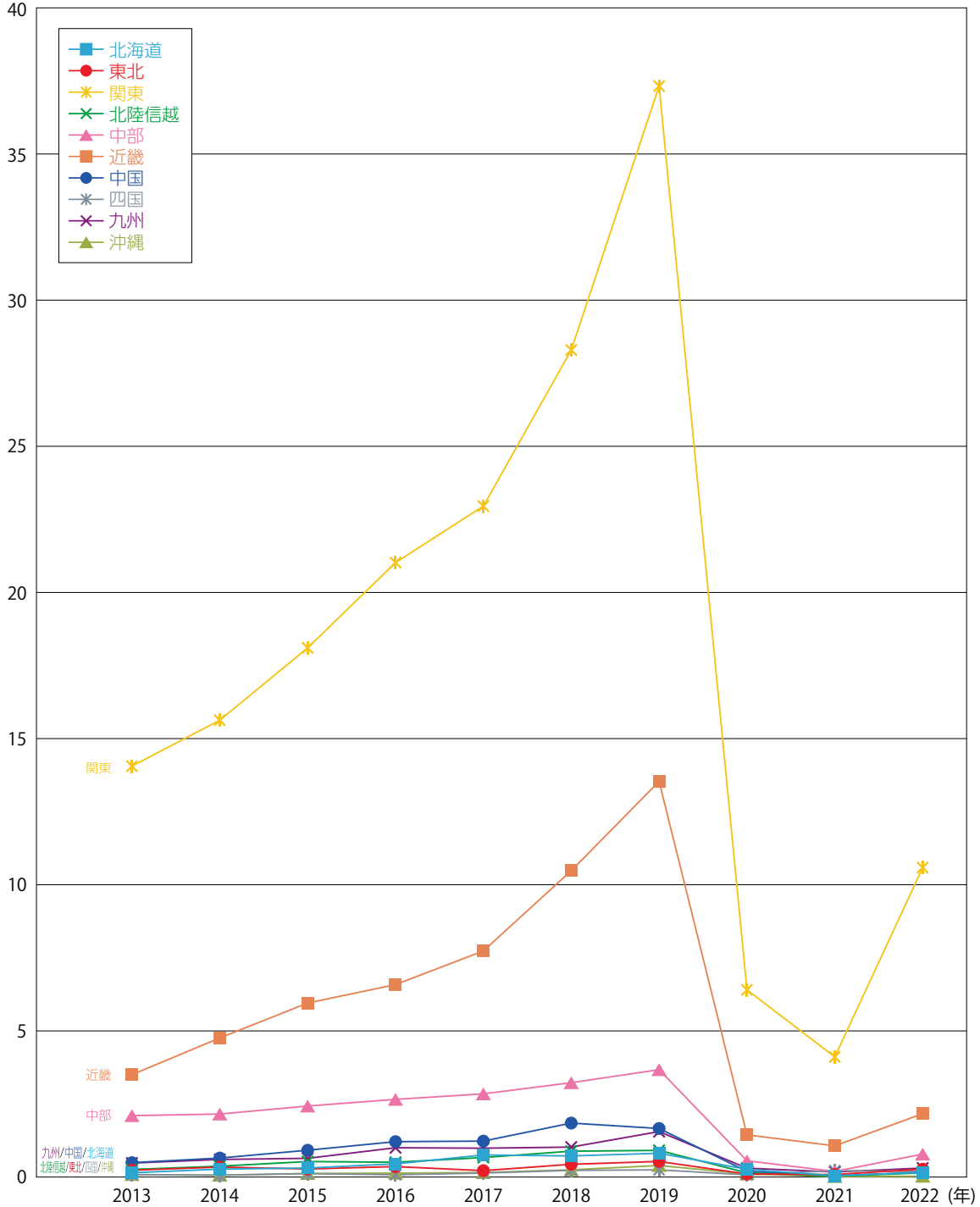
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (23) 訪日インド人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	1,470	2,710	3,090	4,510	7,560	7,220	8,140	2,620	460	1,560
東北	2,340	3,410	2,760	3,580	2,190	4,370	5,340	1,030	860	2,710
関東	140,580	156,290	181,030	210,210	229,520	282,940	373,230	64,060	41,100	105,870
北陸信越	2,590	3,720	5,310	5,060	6,680	8,850	9,120	1,440	280	1,420
中部	21,010	21,560	24,290	26,580	28,470	32,280	36,740	5,560	1,910	7,860
近畿	35,030	47,590	59,530	65,840	77,350	104,810	135,340	14,440	10,680	21,670
中国	4,920	6,500	9,180	12,110	12,300	18,460	16,610	1,940	510	1,600
四国	820	620	1,170	760	1,370	2,280	2,460	750	2,190	1,880
九州	4,790	6,010	6,410	10,020	9,870	10,250	15,550	3,040	1,730	3,080
沖縄	840	650	1,220	1,330	1,540	2,480	3,940	1,090	170	280

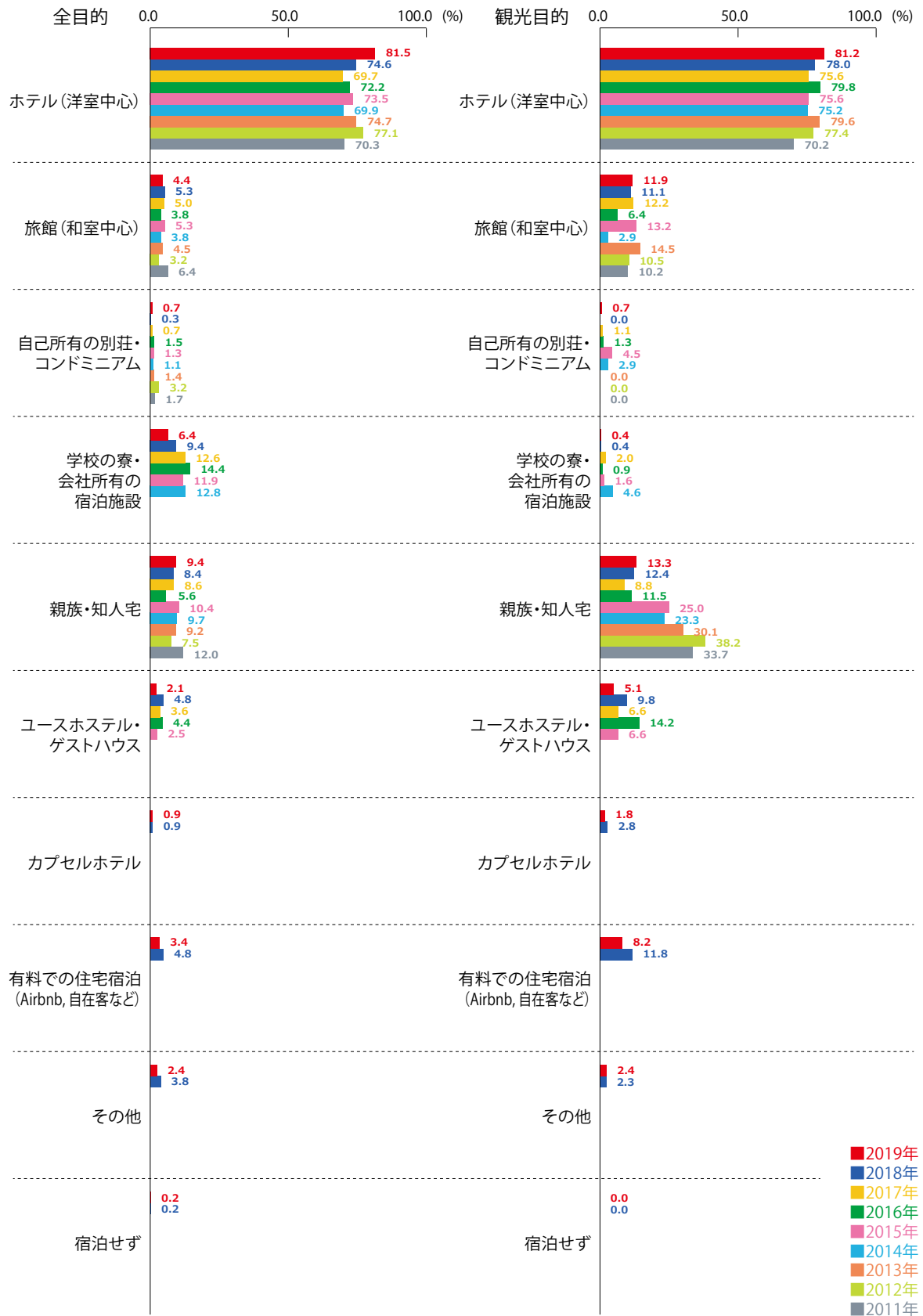
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

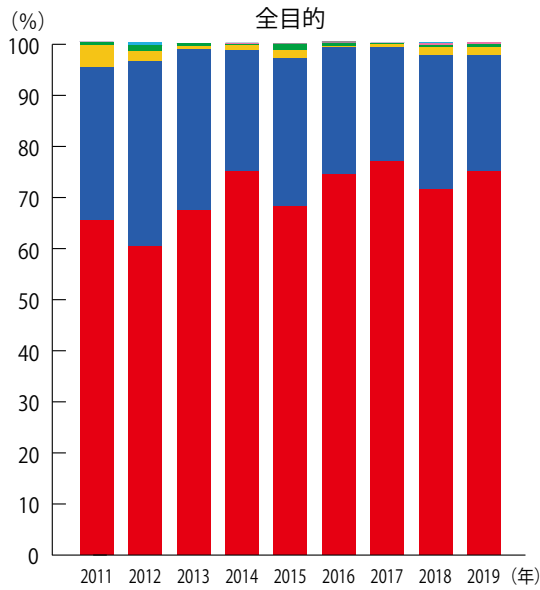
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日インド人が利用した宿泊施設 (2011年~2019年)

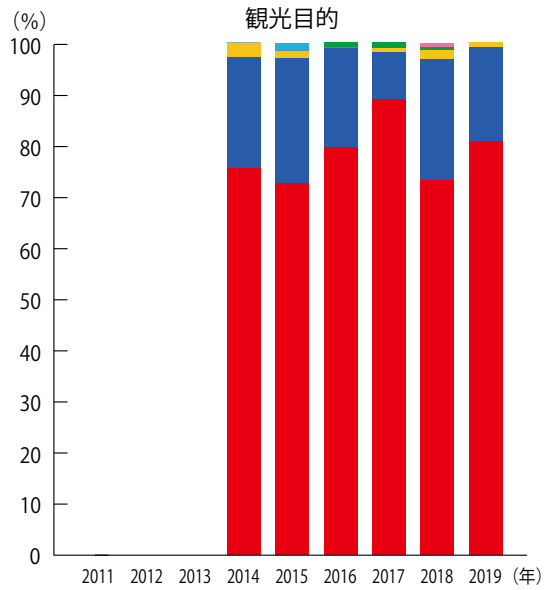


注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) インド人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	0.0	0.5	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.0
■ 不満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.1	0.1
■ やや不満	0.0	0.0	0.0	0.3	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2
■ 普通	0.7	1.2	0.5	0.2	1.1	0.6	0.3	0.4	0.7
■ やや満足	4.3	2.0	0.7	0.9	1.6	0.3	0.5	1.6	1.4
■ 満足	29.7	36.0	31.3	23.7	28.8	24.7	22.2	26.1	22.8
■ 大変満足	65.4	60.3	67.3	74.8	68.1	74.3	76.9	71.4	74.8



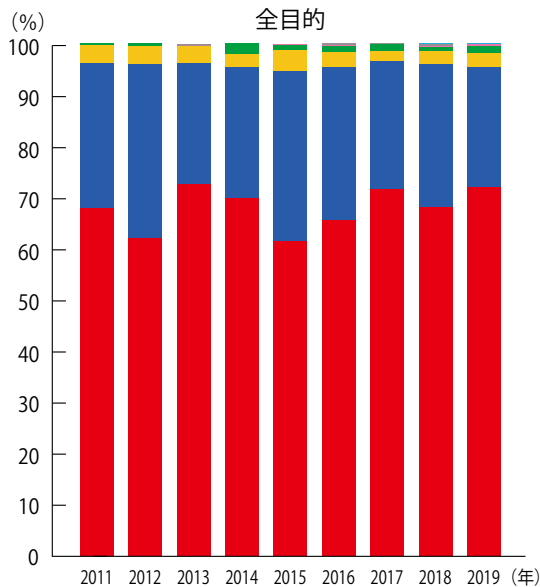
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	-	-	-	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
■ 不満	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
■ やや不満	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0
■ 普通	-	-	-	0.0	0.0	1.0	1.1	0.5	0.0
■ やや満足	-	-	-	2.9	1.5	0.0	0.8	1.9	0.9
■ 満足	-	-	-	21.7	24.4	19.5	9.2	23.6	18.4
■ 大変満足	-	-	-	75.4	72.5	79.5	88.9	73.1	80.7

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

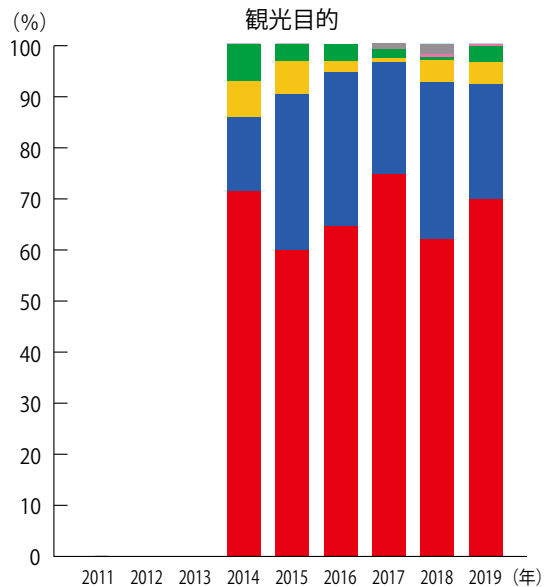
注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日インド人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	0.0	0.0	0.1	0.0	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
■ 来たくない	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.3	0.2	0.5
■ あまり来たくない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.2	0.0	0.2	0.3
■ 何ともいえない	0.3	0.5	0.1	2.0	0.9	1.2	1.2	0.6	1.5
■ やや来たい	3.5	3.7	3.2	2.6	4.2	2.9	2.1	2.6	2.6
■ 来たい	28.4	33.8	23.8	25.6	33.2	29.9	24.9	27.9	23.6
■ 必ず来たい	67.8	62.1	72.5	69.8	61.4	65.5	71.6	68.1	71.9



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
■ 来たくない	-	-	-	0.0	0.0	0.0	1.1	2.1	0.0
■ あまり来たくない	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.5
■ 何ともいえない	-	-	-	7.2	3.4	3.3	1.8	0.5	3.1
■ やや来たい	-	-	-	7.2	6.5	2.2	0.8	4.3	4.3
■ 来たい	-	-	-	14.5	30.4	30.0	21.9	30.7	22.4
■ 必ず来たい	-	-	-	71.1	59.7	64.4	74.5	61.8	69.7

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

アングロサクソン系などの欧州系が中心  
その他、中東系、アジア系、先住民（アボリジニー）など  
出典：日本政府観光局（JNTO）、日本国外務省

### (2) 宗教別構成

キリスト教（43.9%）、イスラム教（3.2%）、ヒンドゥー教（2.7%）、仏教（2.4%）、シーク教（0.8%）、ユダヤ教（0.4%）、その他（0.5%）、無宗教（38.9%）  
出典：2021年豪州国勢調査

### (3) 使用言語

英語（連邦レベルでは、公用語が法律で定められていないが、英語が共通の言語となっている。）  
先住民（アボリジニー）の一部の人々の間では、英語に加えて、地域によって言語が異なるオーストラリア・アボリジニー諸語も話されている。

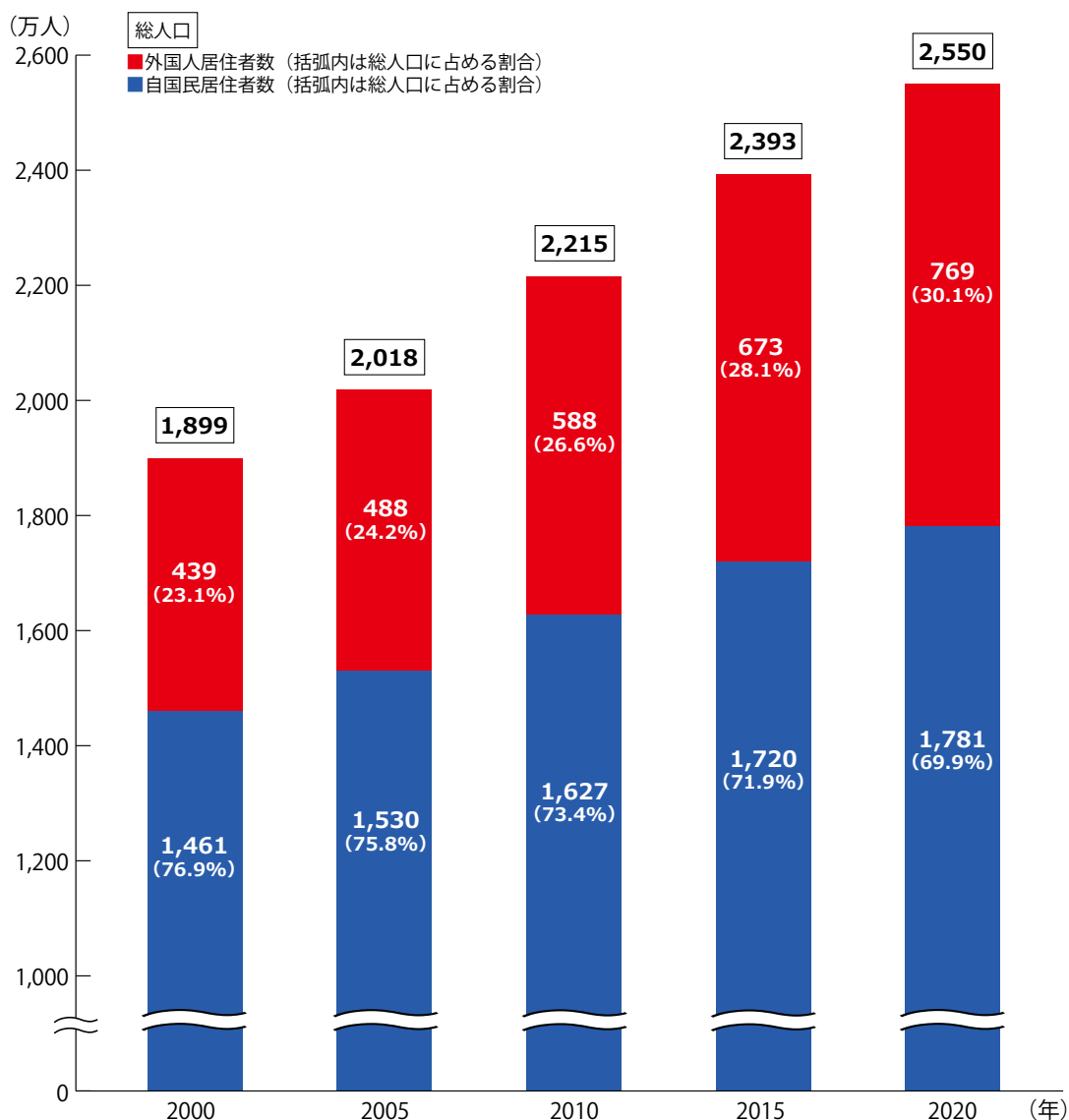
#### 【言語別人口の割合】

英語（72.7%）、中国語（4.0%）、アラビア語（1.4%）、ベトナム語（1.2%）、イタリア語（1.2%）、ギリシャ語（1.0%）、ヒンディー語（0.7%）、スペイン語（0.6%）など。  
出典：日本政府観光局（JNTO）、総務省統計局「世界の統計2023」

### (4) 面積

769万2,024km<sup>2</sup>（日本の20.4倍弱、米国の78%強）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

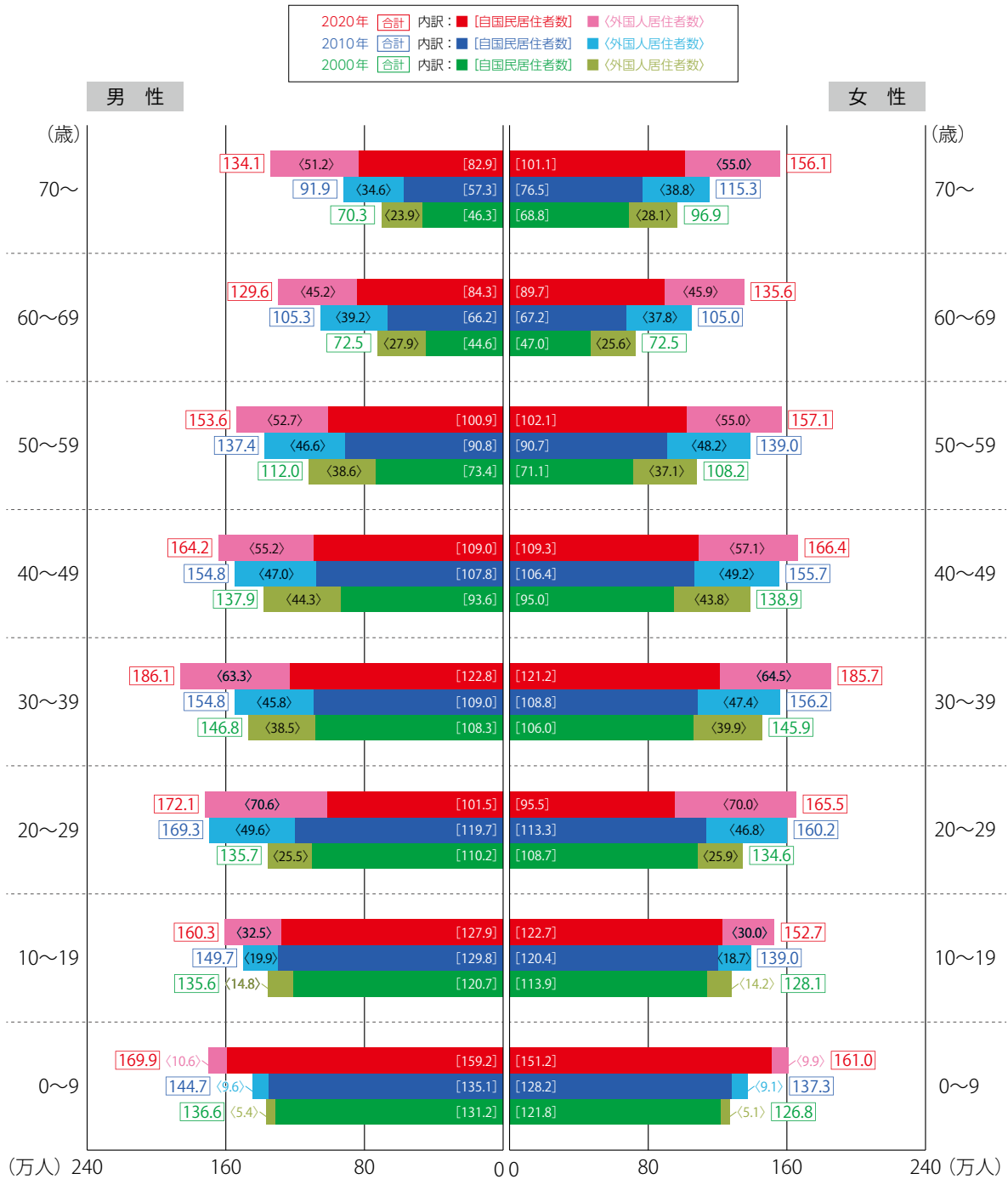
④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：豪州の外国人居住者は、注2の①に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

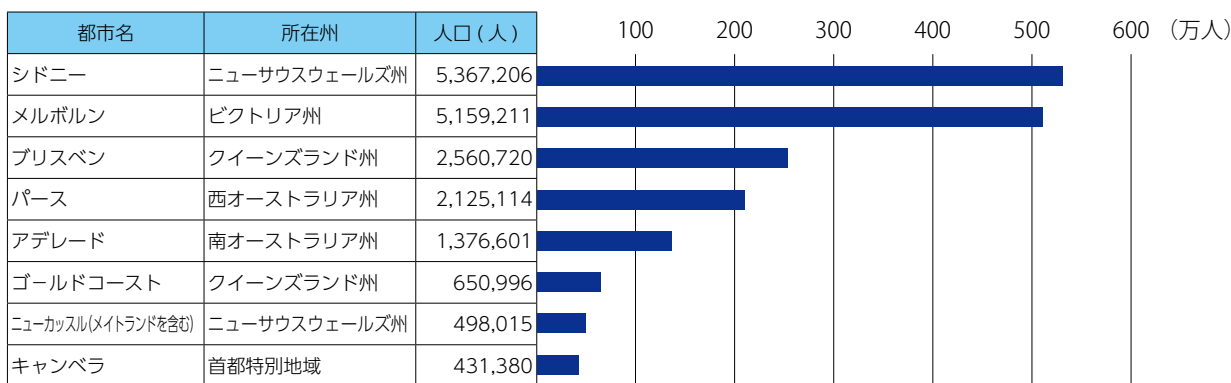


(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2020年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

[次ページへ](#) ▶

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	2023年1月2日は振替休日
オーストラリア・デー （建国記念日）	1月26日（木）	1月26日（金）	
※レイバー・デー（労働者の日）	3月6日（月）	3月4日（月）	西オーストラリア州
※キャンベラ・デー （キャンベラの日）	3月13日（月）	3月11日（月）	オーストラリア首都特別地域
※アデレード・カップ・デー （アデレード杯（競馬）の日）	3月13日（月）	3月11日（月）	南オーストラリア州
※エイト・アワーズ・デー （8時間労働記念日）	3月13日（月）	3月11日（月）	タスマニア州
※レイバー・デー（労働者の日）	3月13日（月）	3月11日（月）	ビクトリア州
※グッド・フライデー （復活祭聖金曜日）	4月7日（金）	3月29日（金）	
※イースター・サタデー （復活祭前の土曜日）	4月8日（土）	3月30日（土）	タスマニア州を除く。
※イースター・サンデー （復活祭）	4月9日（日）	3月31日（日）	タスマニア州を除く。
※イースター・マンデー （復活祭月曜日）	4月10日（月）	4月1日（月）	
※イースター・チューズデー （復活祭火曜日）	4月11日（火）	4月2日（火）	タスマニア州
アンザック・デー	4月25日（火）	4月25日（木）	
※メイ・デー	5月1日（月）	5月6日（月）	北部準州
※レイバー・デー（労働者の日）	5月1日（月）	5月6日（月）	クイーンズランド州
※リコンシリエーション・デー （調和の日）	5月29日（月）	5月27日（月）	オーストラリア首都特別地域
※西オーストラリア州の日	6月5日（月）	6月3日（月）	西オーストラリア州
※キングズ・バースデー （国王誕生日） ※クイーンズ・バースデー （女王誕生日）	6月12日（月）	6月10日（月）	北部準州とオーストラリア首都特別地域以外の全ての州は、2023年からKing's Birthdayという名称になっている。 北部準州は、2023年からJune public holiday (King's Birthday) という名称になっている。 オーストラリア首都特別地域は、2023年からSovereign's Birthday という名称になっている。
※ピクニック・デー	8月7日（月）	8月5日（月）	北部準州
※キングズ・バースデー （国王誕生日）	9月25日（月）	9月23日（月）	西オーストラリア州（州内の一部の地域では日付が異なる。）

[▶ 前ページから](#)

祝日	2023年	2024年	備考
※レイバー・デー（労働者の日）	10月2日（月）	10月7日（月）	オーストラリア首都特別地域、ニューサウスウェールズ州、南オーストラリア州
※メルボルン・カップ・デー（メルボルン杯（競馬）の日）	11月7日（火）	11月5日（火）	ビクトリア州
クリスマス・イブ	12月24日（日）	12月24日（火）	クイーンズランド州では、午後6時から午前0時までが休日となる。 また、北部準州と南オーストラリア州では、午後7時から午前0時までが休日となる。
クリスマス・デー	12月25日（月）	12月25日（水）	
ボクシング・デー	12月26日（火）	12月26日（木）	
プロクラメーション・デー（領土宣言記念日）	12月26日（火）	12月26日（木）	南オーストラリア州
大晦日	12月31日（日）	12月31日（火）	北部準州、南オーストラリア州 午後7時から午前0時までが休日となる。

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：全国共通の祝日は、元日、オーストラリア・デー、グッド・フライデー、イースター・マンデー、アンザック・デー、クリスマス・デー、ボクシング・デーである。

注3：上記の祝日以外にも、州内の一部地域のみ適用される祝日がある。

出典：オーストラリア政府観光局等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

[▶ 次ページへ](#)

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月下旬の約4日間 (秋期休暇に含まれる。)
		秋期休暇	4月上旬からの約17日間 (北部準州の都市部のみ10日間)
		冬期休暇	6月下旬～7月中下旬の約16日間 (北部準州の都市部のみ24日間)
		春期休暇	9月中下旬～10月中旬の約16日間
		夏期休暇	12月中下旬～1月下旬（または2月上旬）の 37日～48日間
中等学校（前期）	12歳～16歳 (4年間)	復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月下旬の約4日間 (秋期休暇に含まれる。)
		秋期休暇	4月上旬からの約17日間 (北部準州の都市部のみ10日間)
		冬期休暇	6月下旬～7月中下旬の約16日間 (北部準州の都市部のみ24日間)
		春期休暇	9月中下旬～10月中旬の約16日間
		夏期休暇	12月中下旬～1月下旬（または2月上旬）の 39日～48日間
中等学校（後期）	16歳～18歳 (2年間)	復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月下旬の約4日間 (秋期休暇に含まれる。)
		秋期休暇	4月上旬からの約17日間 (北部準州の都市部のみ10日間)
		冬期休暇	6月下旬～7月中下旬の約16日間 (北部準州の都市部のみ24日間)
		春期休暇	9月中下旬～10月中旬の約16日間
		夏期休暇	12月中下旬～1月下旬（または2月上旬）の 39日～48日間 (タスマニア州のみ、11月上旬から試験が始まる。)

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
大学	18歳～21歳 (3～4年間)	復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月下旬の約4日間 (秋期休暇に含まれない。)
		秋期休暇	4月中旬からの約10日間
		冬期休暇	6月中旬～7月下旬の約35日間
		春期休暇	9月下旬からの約10日間
		夏期休暇	11月中旬～2月下旬の約100日間 大学によっては、夏期休暇の間に、ごく限られた数のコースを夏学期として開講しているところもある。これらのコースは通常、4週間から8週間にわたって行われる。通常の学生は夏学期を利用しない。非常に特殊なコースや課外授業にのみ、夏学期が利用される。

学校年度	1月～12月
義務教育	初等学校（6年間） + 中等学校（前期）（4年間） = 10年間

注1：州によって期間が異なる。私立学校は独自の休暇期間を定めている場合がある。

注2：大学ごとに休暇期間が異なっているため、豪州の名門8大学（グループ・オブ・エイト）の例を参考に記載した。

出典：豪州政府の「School term dates」に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし 但し、南オーストラリア州では日曜日および祝日を休日とする。	南オーストラリア州：休暇法 (Holidays Act 1910)	一般的に土曜日、日曜日が休日である。
有給休暇日数	毎年4週間 (フルタイムおよびパートタイム勤務の雇用者)	フェアワーク法 (Fair Work Act 2009)	<ul style="list-style-type: none"> <li>雇用主は全国雇用基準 (National Employment Standards : NES) を遵守し、有給休暇等を被雇用者に与える必要がある。</li> <li>未消化の有給休暇は累積や現金化が可能のため、雇用主が有給休暇を奨励し、有給休暇の取得率は高い。</li> <li>病気、介護、忌引、出産・育児休暇は、有給休暇とは区別されている。</li> <li>交代制勤務の被雇用者の有給休暇日数は、産業によって異なる。</li> </ul>
定年退職	なし	年齢差別禁止法	

出典：豪州政府、日本貿易振興機構（JETRO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、オーストラリア国立戦争記念館、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行情報発信、旅行予約	33.2
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	23.6
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	21.9
ロンリープラネット (Lonely Planet)	ウェブサイト	旅行情報発信	21.8
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	15.2
トラベル・ウィークリー (Travel Weekly)	ウェブサイト	旅行業界ニュース発信	11.1
ナインエンターテインメント トラベラー (Nine Entertainment - Traveller)	ウェブサイト	旅行情報発信	10.0
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	9.3
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	9.2
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	8.6
ナインドッドコムエーユー (Nine.com.au)	ウェブサイト	ニュース発信	8.3
ニュースコープ・ニュースドットコムエーユー (News Corp - News.com.au)	ウェブサイト	ニュース発信	7.8
ナインエンターテインメント ザ・シドニーモーニングヘラルド (Nine Entertainment - The Sydney Morning Herald)	ウェブサイト	ニュース発信	7.3
ヤフー！セブン (Yahoo!7)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	6.3
ナインエンターテインメント - ジェイ・エイジ (Nine Entertainment - The Age)	ウェブサイト	ニュース発信	5.7
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	4.9
アーバンリスト (Urban:List)	ウェブサイト	生活・飲食・旅行情報発信	4.3
タイムアウト (Time Out)	ウェブサイト	生活・旅行・文化情報発信	4.2
ペDESTリアン (Pedestrian)	ウェブサイト	ニュース・旅行・生活・ 娯楽情報発信	3.4
コンクリートプレイグラウンド (CONCRETE PLAYGROUND.)	ウェブサイト	生活・旅行・文化情報発信	3.0
ジャンキー・エイウォール (Junkee - AWOL)	ウェブサイト	旅行情報発信	2.2

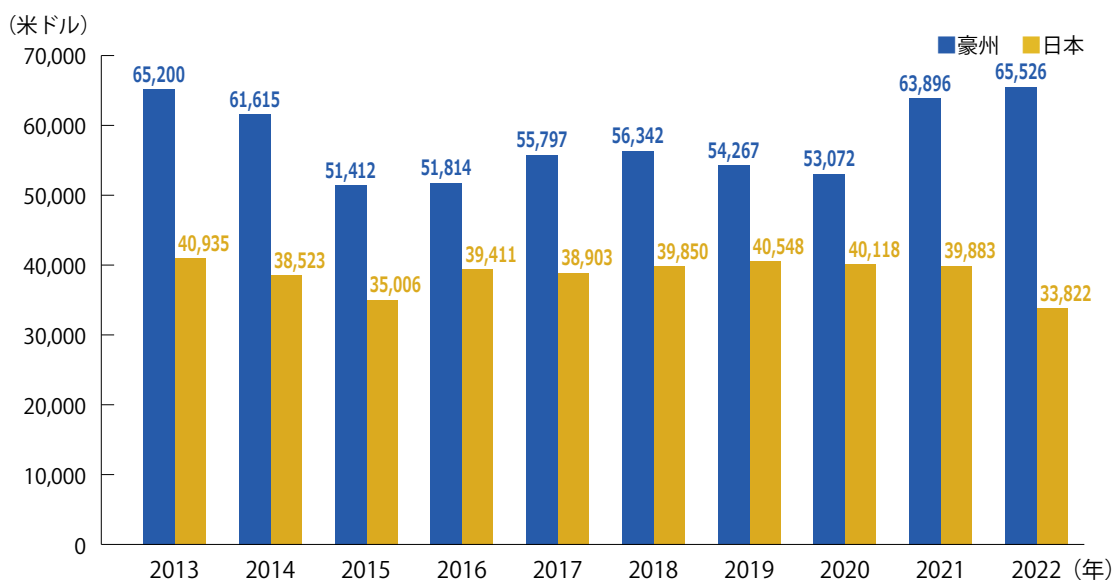
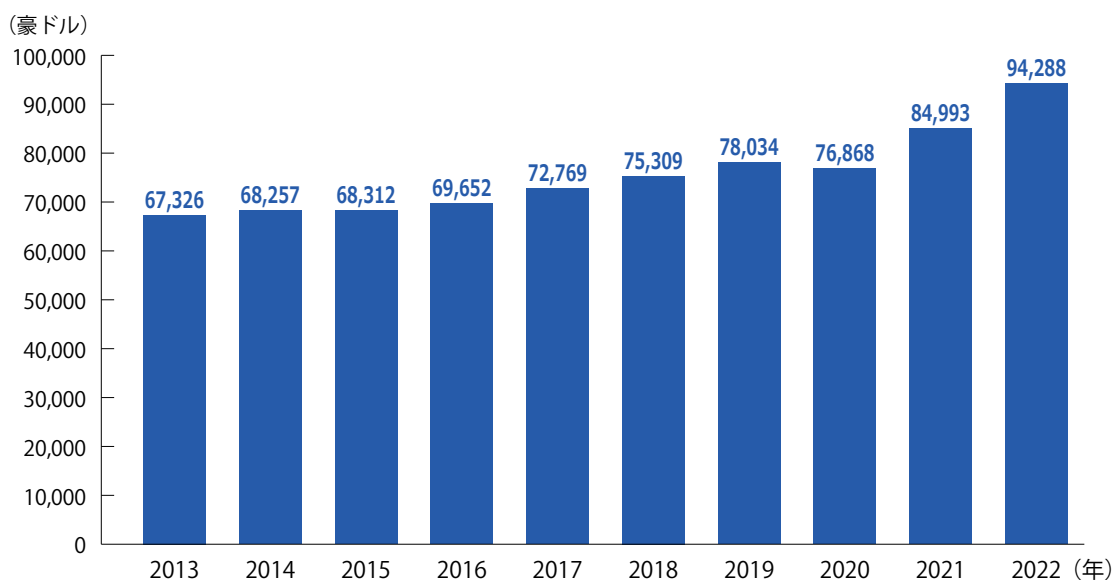
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

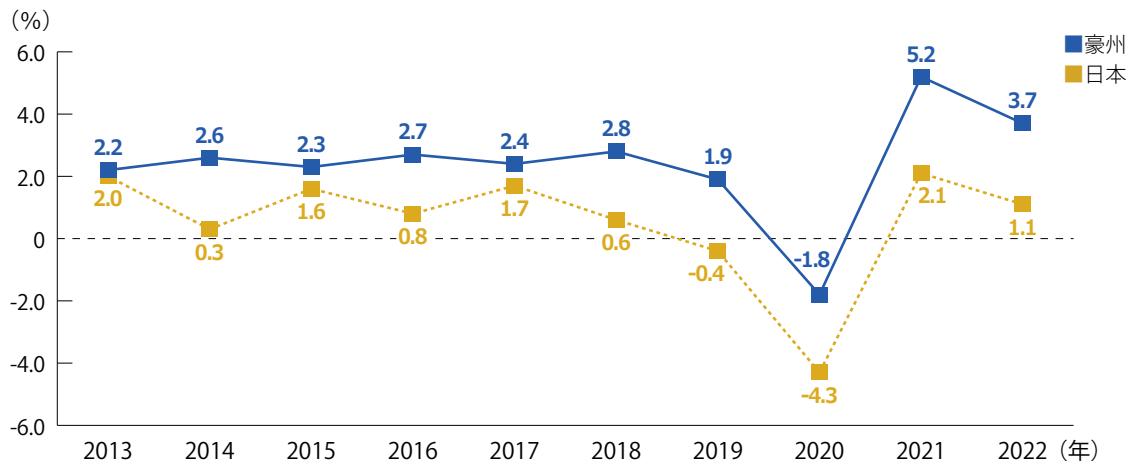
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

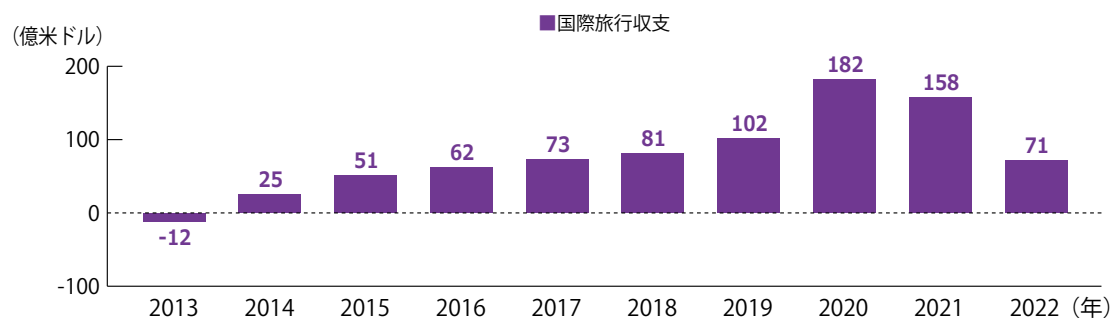
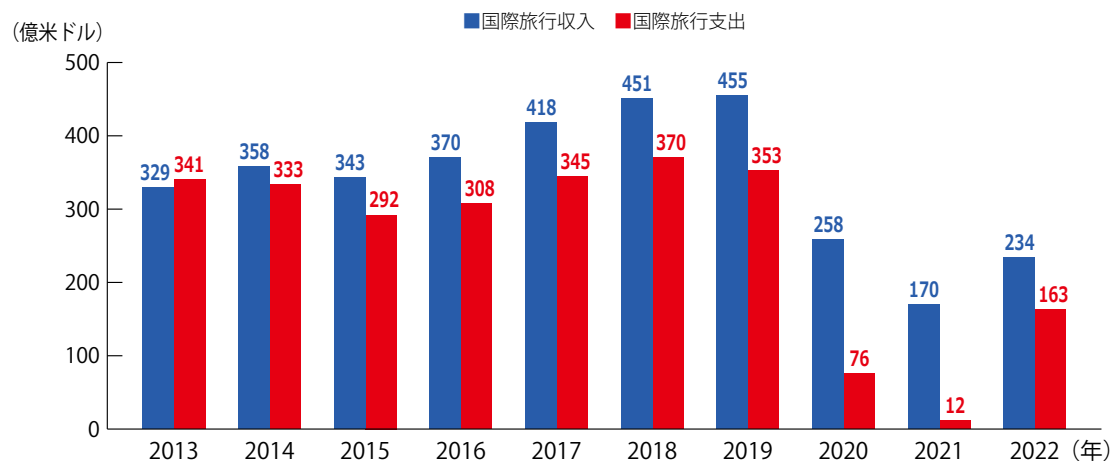
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



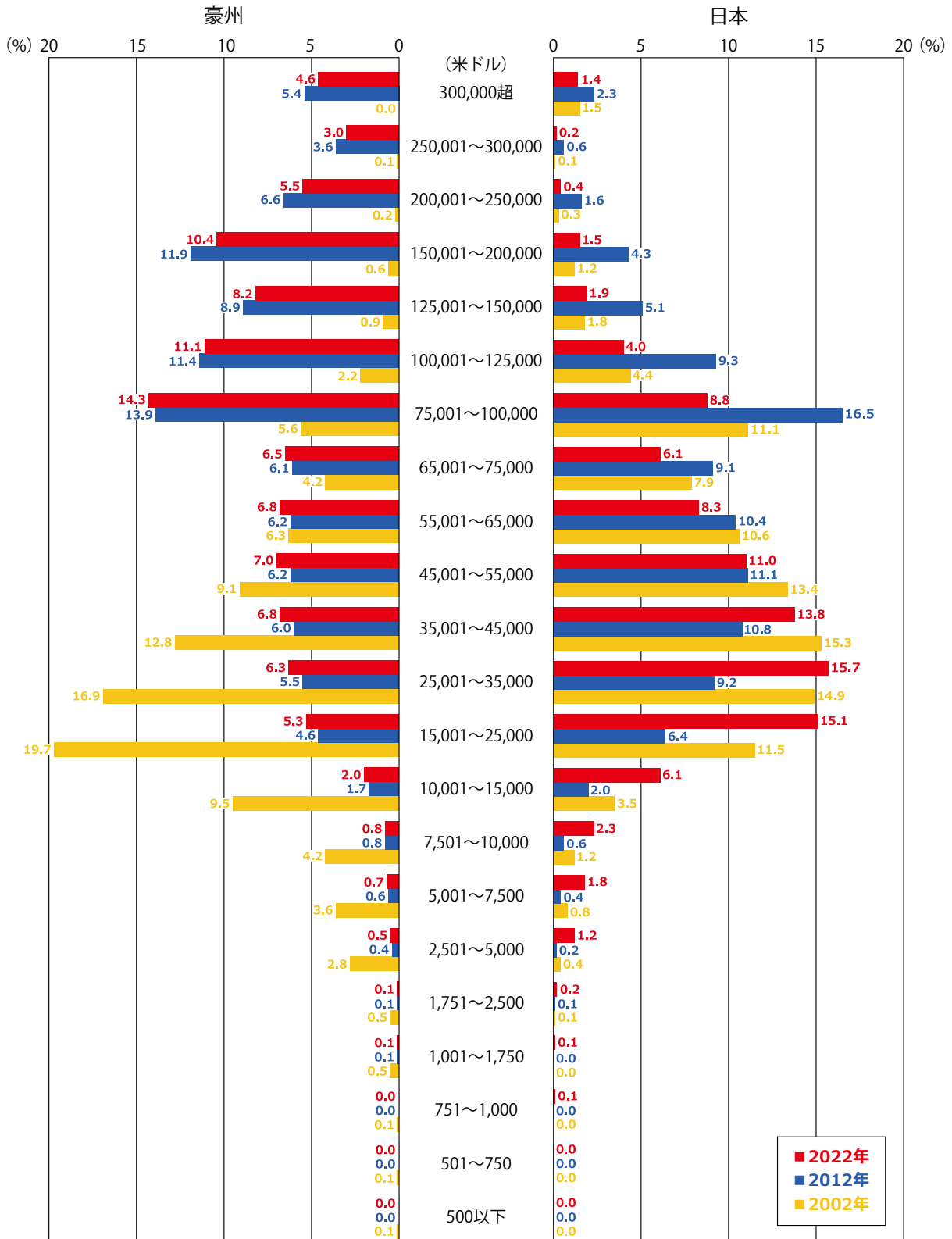
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

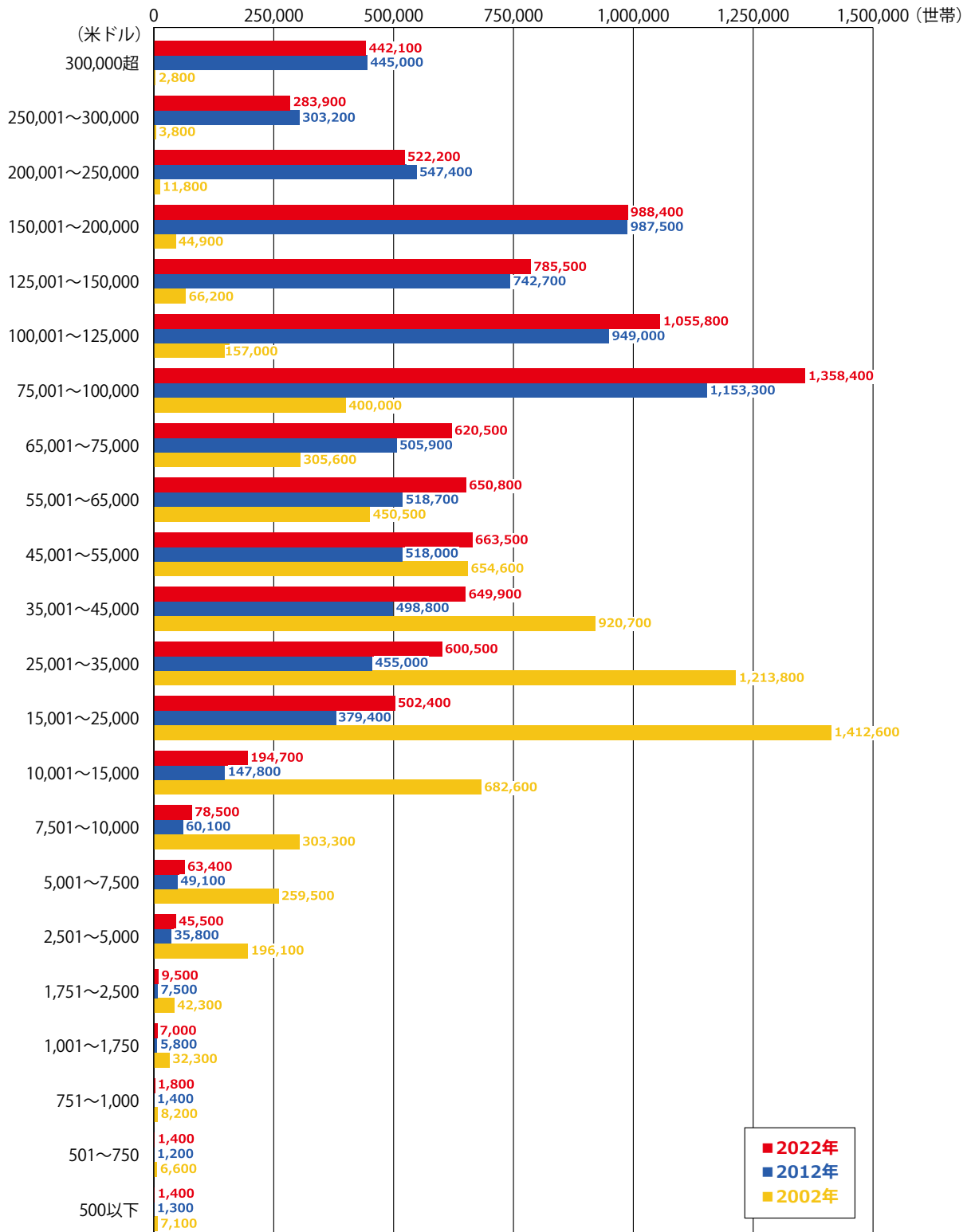
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

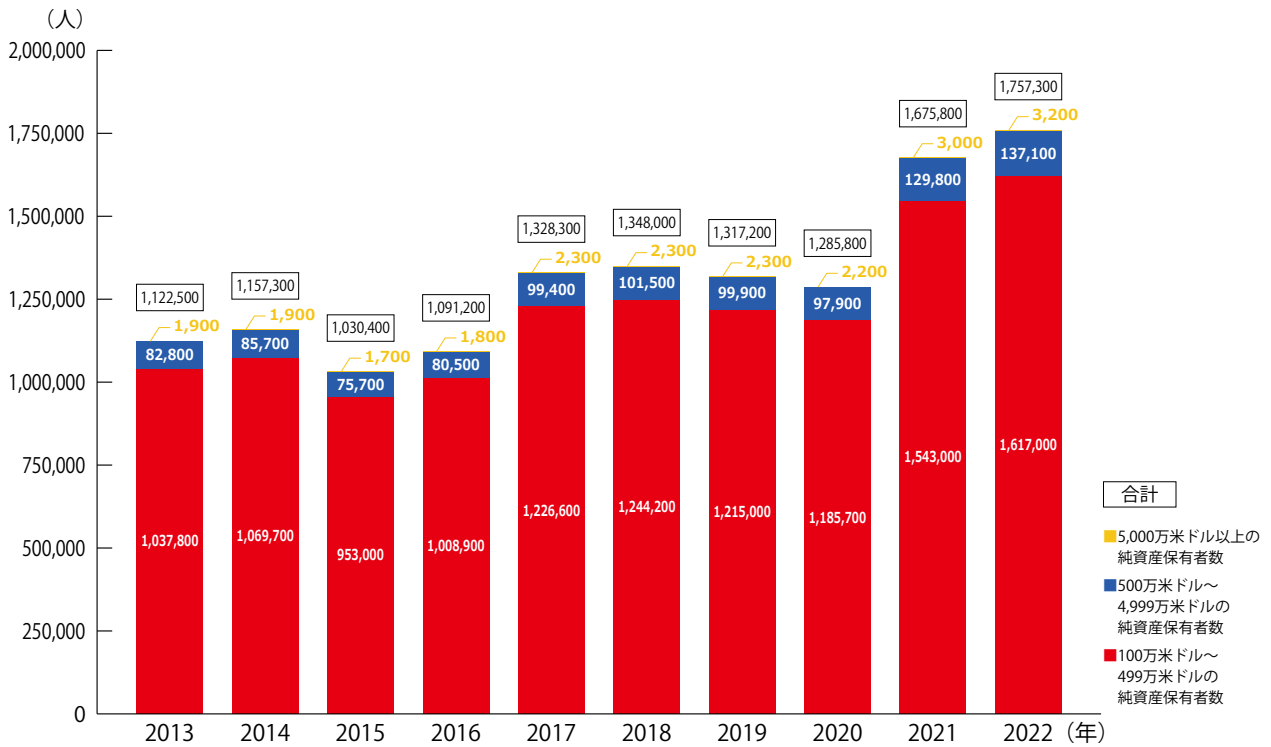


## (5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



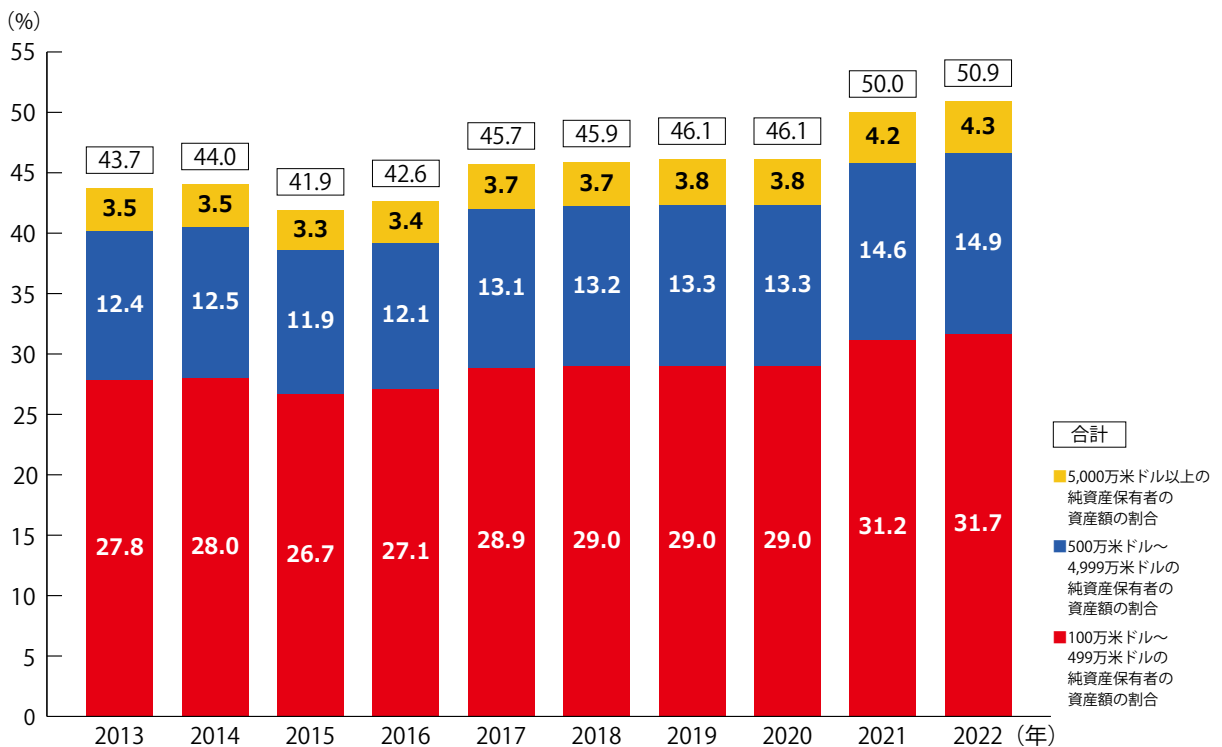
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

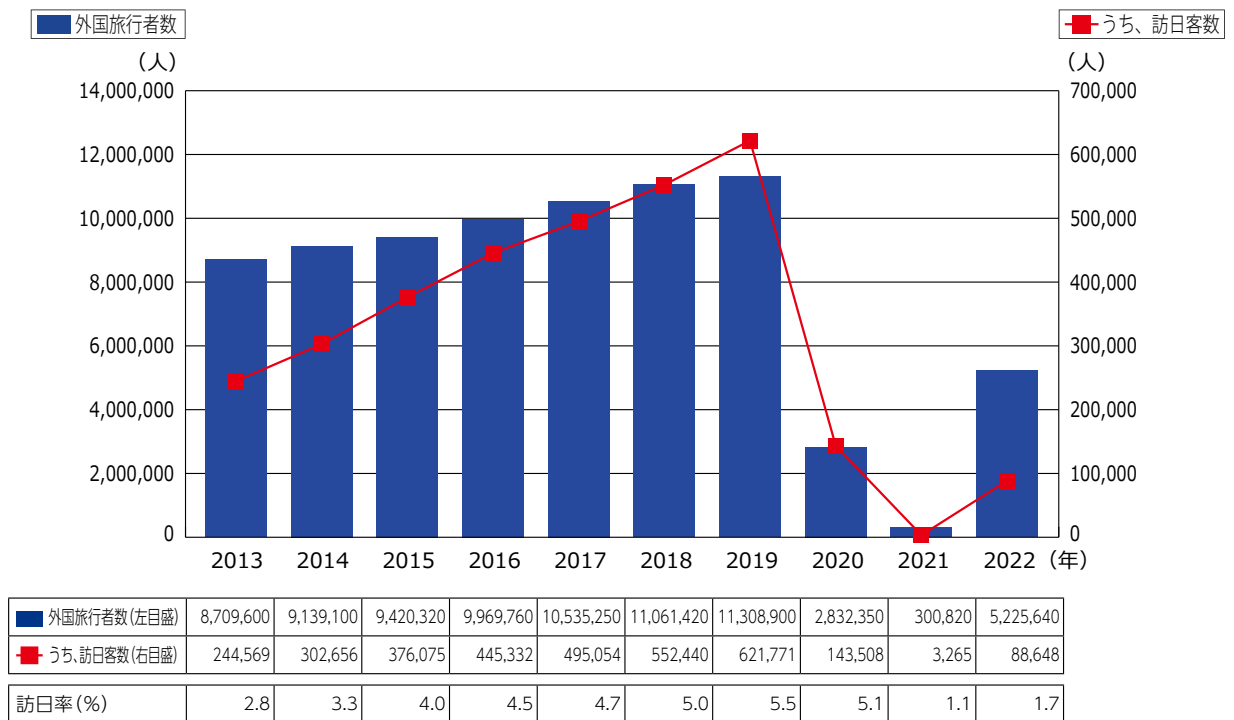
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

## 第3章 外国旅行の動向

## (1) 豪州人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：総合編(9)で掲載した豪州人の「外国旅行者数」(2019年)は、国際的に比較する際によく用いられ、かつ入手が可能な数値である「日帰りを含む旅行者数(V)」を掲載したが、豪州人外国旅行者数の経年変化を見ることを目的としている第3章(1)では、「日帰りを含む旅行者数(V)」よりも早く最新の数値が得られる「1年未満の外国旅行をした後に帰国した該当者数」を掲載することとした。

出典：豪州統計局、日本政府観光局(JNTO)

## (2) 世界各国・地域への豪州人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の 最大値
						2020年	2021年	
1位	ニュージーランド	VFR	1,472,160	1,494,541	1,537,988	359,781	160,248	1,537,988
2位	インドネシア	VFN	1,256,927	1,301,478	1,386,803	256,291	3,196	1,386,803
3位	米国	TFR	1,323,703	1,362,431	1,319,238	208,707	52,439	1,362,431
4位	シンガポール	VFR	1,082,001	1,107,224	1,143,336	206,239	10,052	1,143,336
5位	英国	VFR	1,119,753	1,039,029	1,063,404		23,816	1,119,753
6位	イタリア	TFN	778,170	784,455	816,467	103,317	12,190	816,467
7位	タイ	TFN	817,218	801,014	767,291	123,598	9,577	817,218
8位	中国	VFN	733,663	751,865	734,511			751,865
9位	日本	VFN	495,054	552,440	621,771	143,508	3,265	621,771
10位	フランス	TCER	435,636	472,690	434,884	55,561	41,775	472,690
11位	スペイン	TCER	403,312	388,856	409,148	36,112	33,540	409,148
12位	ベトナム	VFR	370,438	386,934	383,511	92,769	1,045	386,934
13位	香港	TFR	432,339	442,838	370,654	31,091	556	442,838
14位	マレーシア	TFN	351,232	351,500	368,271	72,680	1,321	368,271
15位	インド	VFN	324,243	346,486	367,241	86,758	33,864	367,241
16位	フィジー	TFR	365,689	365,660	367,020	58,062	18,569	367,020
17位	カナダ	TFR	357,942	348,984	351,433	48,518	9,616	357,942
18位	ドイツ	TCER	330,494	344,903	348,131	47,248	17,738	348,131
19位	ギリシャ	TFR	324,127	322,497	338,562	28,595	8,932	338,562
20位	アラブ首長国連邦	VFN	345,260	318,042	310,114	66,011		345,260
21位	フィリピン	TFR	259,433	279,828	286,170	55,330	2,184	286,170
22位	デンマーク	TCER	54,692	69,276	229,972	47,716	11,066	229,972
23位	クロアチア	TCER	186,323	217,341	217,190	8,075	14,118	217,341
24位	スイス	TCER	180,088	189,826	189,645	26,444	6,327	189,826
25位	オランダ	THSR	178,000	167,000	177,000	24,000	11,000	178,000

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
26位	韓国	VFN	150,408	153,133	173,218	23,172	3,503	173,218
27位	ポルトガル	TCER	124,707	145,890	155,474	12,670	11,755	155,474
28位	オーストリア	TCER	152,373	149,802	151,157	25,301	5,022	152,373
29位	ハンガリー	TFN	113,813	118,167	127,214	25,261	32,412	127,214
30位	カンボジア	TFR	143,852	127,430	123,253	23,687	1,276	143,852
31位	台湾	VFR	90,892	102,541	111,788	18,906	568	111,788
32位	南アフリカ共和国	TFR	116,257	115,846	111,439	20,720	4,059	116,257
33位	トルコ	TFN	70,718	90,252	110,555	15,078	15,009	110,555
34位	パプアニューギニア	VFR	101,011	105,264	103,440	14,871	4,272	105,264
35位	スリランカ	TFR	81,281	110,928	92,674	20,283	4,421	110,928
36位	チェコ	TCEN	87,663	85,792	80,337	9,015	3,463	87,663
37位	メキシコ	TFN	84,225	81,557	78,680	20,187	13,994	84,225
38位	レバノン	TFN	78,664	84,218	75,589	8,265	10,575	84,218
39位	ノルウェー	TCER	71,362	68,897	68,857	10,886	1,734	71,362
40位	アイスランド	TCEN	65,921	73,597	66,894	12,215	2,937	73,597
41位	パヌアツ	TFR	57,387	60,616	63,122	11,248		63,122
42位	ベルギー	TCER	51,751	57,527	57,756	7,173	2,762	57,756
43位	アルゼンチン	TFR	50,897	50,336	57,714	20,939	419	57,714
44位	ブラジル	TFR	33,862	42,235	56,158	17,932	1,650	56,158
45位	ロシア	VFN	46,884	65,935	56,030	2,363		65,935
46位	カタール	VFN	42,765	49,513	55,047	8,801	2,327	55,047
47位	サウジアラビア	TFN	20,516	18,637	54,098	4,176	3,862	54,098
48位	スロベニア	TCEN	42,824	49,978	53,741	4,043	2,340	53,741
49位	チリ	TFN	51,978	52,653	51,640	13,750	146	52,653
50位	イスラエル	TFR	39,922	43,050	48,750	6,332	1,616	48,750
51位	エジプト	VFN	30,052	40,109	47,739	9,644		47,739
52位	スウェーデン	TCER	43,591	45,443	44,771	6,907	3,381	45,443
53位	フィンランド	TCER	37,903	43,608	43,658	8,966	2,094	43,658
54位	ペルー	TFR	41,810	39,565	41,347	6,383	572	41,810
55位	サモア	VFR	33,523	36,653	40,170	5,616	136	40,170
56位	モルディブ	TFN	27,360	37,254	39,928	7,220	4,077	39,928
57位	マカオ	THSR	42,962	43,489	38,997	4,253	1,157	43,489
58位	ネパール	TFN	33,371	38,408	38,972	6,793	2,477	38,972
59位	モロッコ	TFN	33,595	37,813	37,625	4,733	1,146	37,813
60位	ポーランド	TCER	35,241	35,667	33,468	4,421	2,627	35,667
61位	クック諸島	TFR	25,912	27,193	28,982	4,377	99	28,982
62位	ケニア	VFR		27,656	27,867	4,949	3,376	27,867
63位	ジンバブエ	VFR	27,000	31,196	27,007	3,457	1,988	31,196
64位	ニューカレドニア	TFR	23,705	23,025	25,878	4,171	673	25,878
65位	ミャンマー	TFN	32,628	27,962	25,867	5,952	195	32,628
66位	ラオス	VFN	20,886	19,607	24,750	7,269		24,750
67位	ヨルダン	TFN	16,184	19,936	24,392	4,170	1,773	24,392
68位	オマーン	VFN	20,196	21,267	24,375	4,079	1,259	24,375
69位	ルーマニア	VFR	19,441	20,844	21,869	2,124	1,825	21,869
70位	アルバニア	VFN	15,513	19,065	19,452	896	1,716	19,452
71位	モーリシャス	TFR	21,271	20,949	18,997	3,073	321	21,271
72位	ブルガリア	VFR	15,117	16,970	18,229	2,763	1,650	18,229
73位	タンザニア	VFR	15,411	16,071	18,198	4,267	1,825	18,198
74位	ボツワナ	TFR	16,203	17,599		1,289		17,599
75位	キューバ	VFR	24,062	21,141	17,391	3,083	93	24,062
76位	コロンビア	TFR	16,106	16,641	16,393	3,348	1,895	16,641
77位	セルビア	TCEN	13,559	14,799	14,351	1,630	3,035	14,799
78位	トンガ	TFR	13,056	11,839	12,727	1,707	33	13,056
79位	ソロモン諸島	TFR	10,161	10,206	11,011	1,814	337	11,011
80位	エクアドル	VFN	11,312	11,537	11,006	1,999	427	11,537
81位	コスタリカ	TFN	12,320	11,159	10,885	2,886	2,429	12,320
82位	ザンビア	TFR	8,547	11,059	10,614	1,644		11,059
83位	東ティモール	TFR	12,198	11,509	10,562	2,575	1,588	12,198
84位	スロバキア	TCEN	8,676	9,319	10,517	1,321	552	10,517
85位	ブルネイ	TFN	8,600	9,702	10,188	2,597	57	10,188
86位	クウェート	VFN	11,099	10,629	10,119	2,337	1,047	11,099
87位	モンテネグロ	TCEN	7,483	8,916	10,020	458	1,563	10,020
88位	エストニア	TCER	7,431	7,821	9,973	916	520	9,973
89位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	8,632	9,236	9,855	468	628	9,855
90位	北マケドニア	TCEN	8,228	9,701	9,511	346	396	9,701
91位	ボリビア	TFN	10,331	10,324	8,834	1,689	115	10,331
92位	ジョージア	VFR	3,984	6,035	8,808	771	967	8,808
93位	イラン	VFN	10,218	8,169	8,449	841	405	10,218

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
94位	仏領ポリネシア (タヒチ)	TFR	10,015	9,335	8,204	1,230	94	10,015
95位	ラトビア	TCER	7,421	8,084	7,721	1,126	594	8,084
96位	グアテマラ	VFR	9,177	8,233	7,544	2,160	400	9,177
97位	ウクライナ	TFR	5,743	7,365	7,533	1,909	1,849	7,533
98位	キプロス	TCER	6,459	6,552	7,444	753	2,282	7,444
99位	エチオピア	TFR	8,353	7,402	7,073	1,647	942	8,353
100位	モンゴル	TFN	7,287	7,495	7,014	383	132	7,495
101位	リトアニア	TCER	4,492	5,799	6,542	580	598	6,542
102位	ウルグアイ	VFN	5,939	6,037	5,996			6,037
103位	カザフスタン	VFR	4,225	5,060	5,902	741	464	5,902
104位	アルメニア	TFR	2,956	4,263	5,717	262	357	5,717
105位	ウガンダ	TFR	5,059			857	319	5,059
106位	パナマ	VFR	4,514	4,879	4,963	1,091	878	4,963
107位	ナイジェリア	VFN	4,659	4,672	4,681	365	376	4,681
108位	ウズベキスタン	VFR	2	2,410	4,588	319	386	4,588
109位	シリア	VFN	2,825	4,048	4,288	468	641	4,288
110位	モナコ	THSN	5,310	4,718	4,241	546	471	5,310
111位	アゼルバイジャン	VFR	2,458	3,255	4,064	361	222	4,064
112位	トーゴ	THSR	546	496	3,998	243		3,998
113位	バハマ	TFR	4,541	4,209	3,962	797	741	4,541
114位	ルワンダ	VFN	4,303	3,985	3,739	754	200	4,303
115位	グアム	TFR	2,255	2,643	3,679	776	394	3,679
116位	ルクセンブルク	TCER	3,402	3,184	3,290	759	2,291	3,402
117位	キルギス	VFR	2,361	2,671	3,265	260	385	3,265
118位	ブータン	TFN	2,249	2,739	3,153	289		3,153
	ニカラグア	TFN	6,545	3,102	2,896	767	323	6,545
	エスワティニ	VFR	3,329	3,043	2,501	412	62	3,329
	シエラレオネ	TFR	3,438	1,896	2,244	660	1,553	3,438
	バングラデシュ	TFN	1,405	1,608	1,603	3,907	3,833	3,907

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

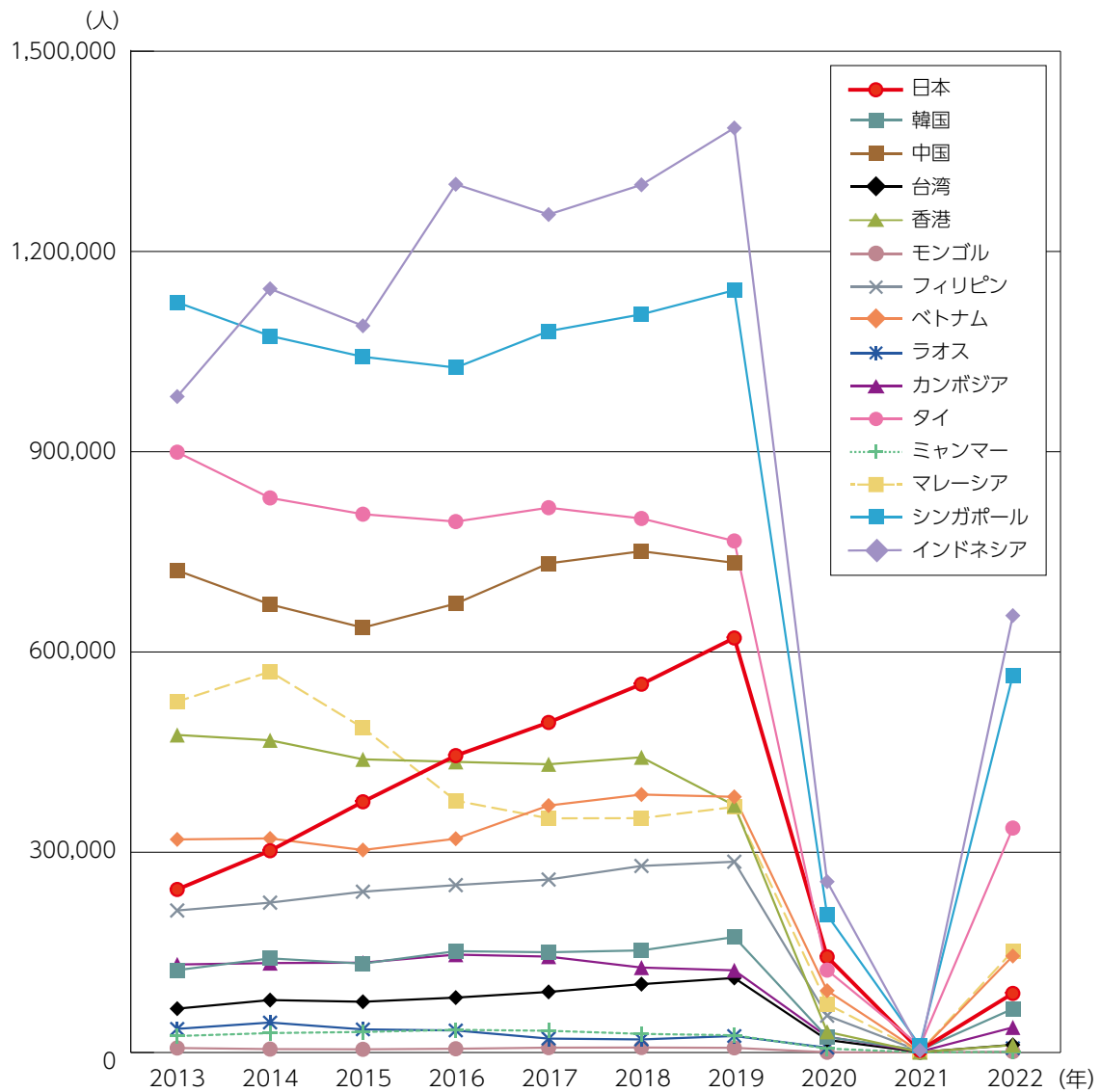
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域への豪州人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
インドネシア	VFN	983,911	1,145,576	1,090,025	1,302,292	1,256,927	1,301,478	1,386,803	256,291	3,196	655,370
シンガポール	VFR	1,125,179	1,074,878	1,043,568	1,027,313	1,082,001	1,107,224	1,143,336	206,239	10,052	565,684
タイ	TFN	900,460	831,854	807,450	796,370	817,218	801,014	767,291	123,598	9,577	336,688
中国	VFN	723,088	672,100	637,300	673,248	733,663	751,865	734,511			
日本	VFN	244,569	302,656	376,075	445,332	495,054	552,440	621,771	143,508	3,265	88,648
ベトナム	VFR	319,636	321,089	303,721	320,678	370,438	386,934	383,511	92,769	1,045	144,736
香港	TFR	476,324	468,333	439,769	435,990	432,339	442,838	370,654	31,091	556	11,123
マレーシア	TFN	526,342	571,328	486,948	377,727	351,232	351,500	368,271	72,680	1,321	152,265
フィリピン	TFR	213,023	224,784	241,187	251,098	259,433	279,828	286,170	55,330	2,184	
韓国	VFN	123,560	141,208	133,266	151,979	150,408	153,133	173,218	23,172	3,503	65,502
カンボジア	TFR	132,028	134,167	134,748	146,806	143,852	127,430	123,253	23,687	1,276	37,673
台湾	VFR	65,777	78,674	76,122	82,361	90,892	102,541	111,788	18,906	568	11,509
ミャンマー	TFN	24,718	29,175	30,820	34,010	32,628	27,962	25,867	5,952	195	1,078
ラオス	VFN	35,450	44,964	34,665	33,077	20,886	19,607	24,750	7,269		6,501
モンゴル	TFN	6,765	5,118	4,804	5,631	7,287	7,495	7,014	383	132	1,340

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

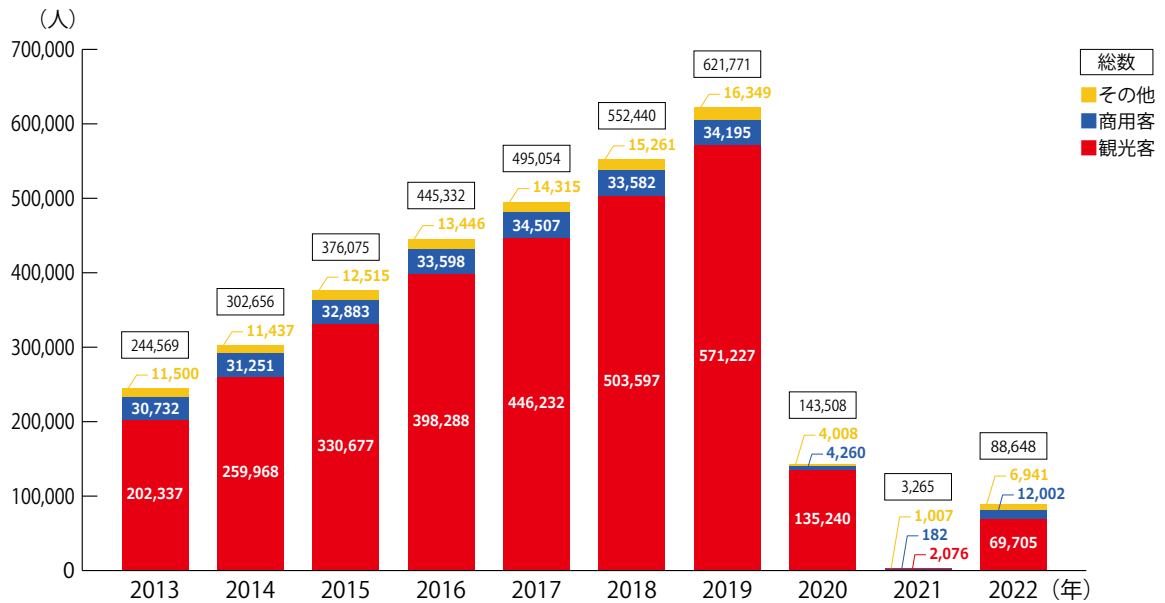
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

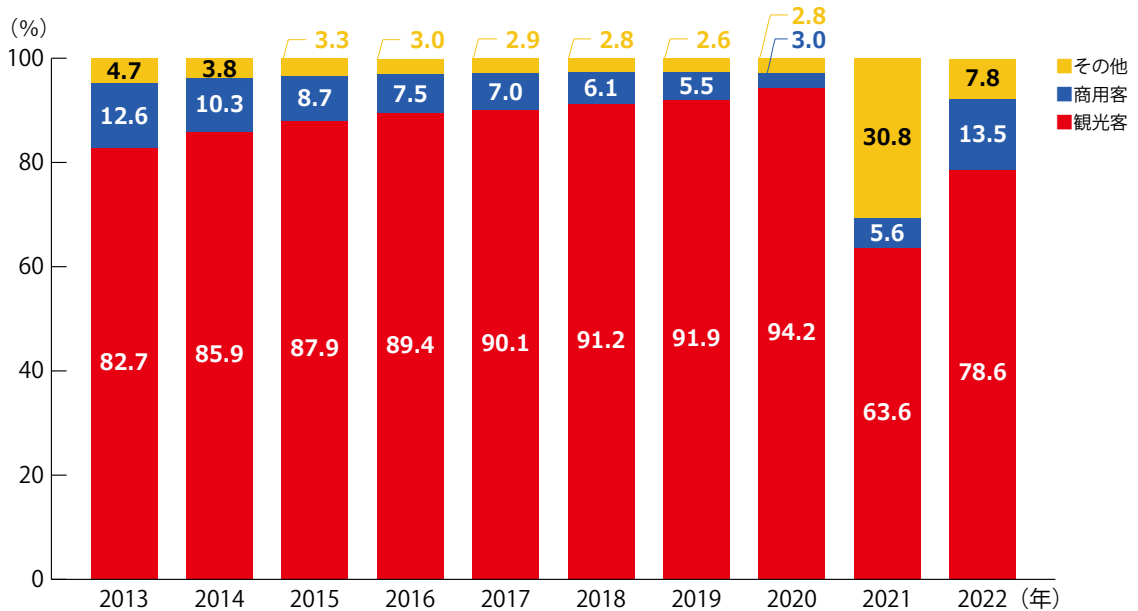
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日豪州人の推移（2013年～2022年）



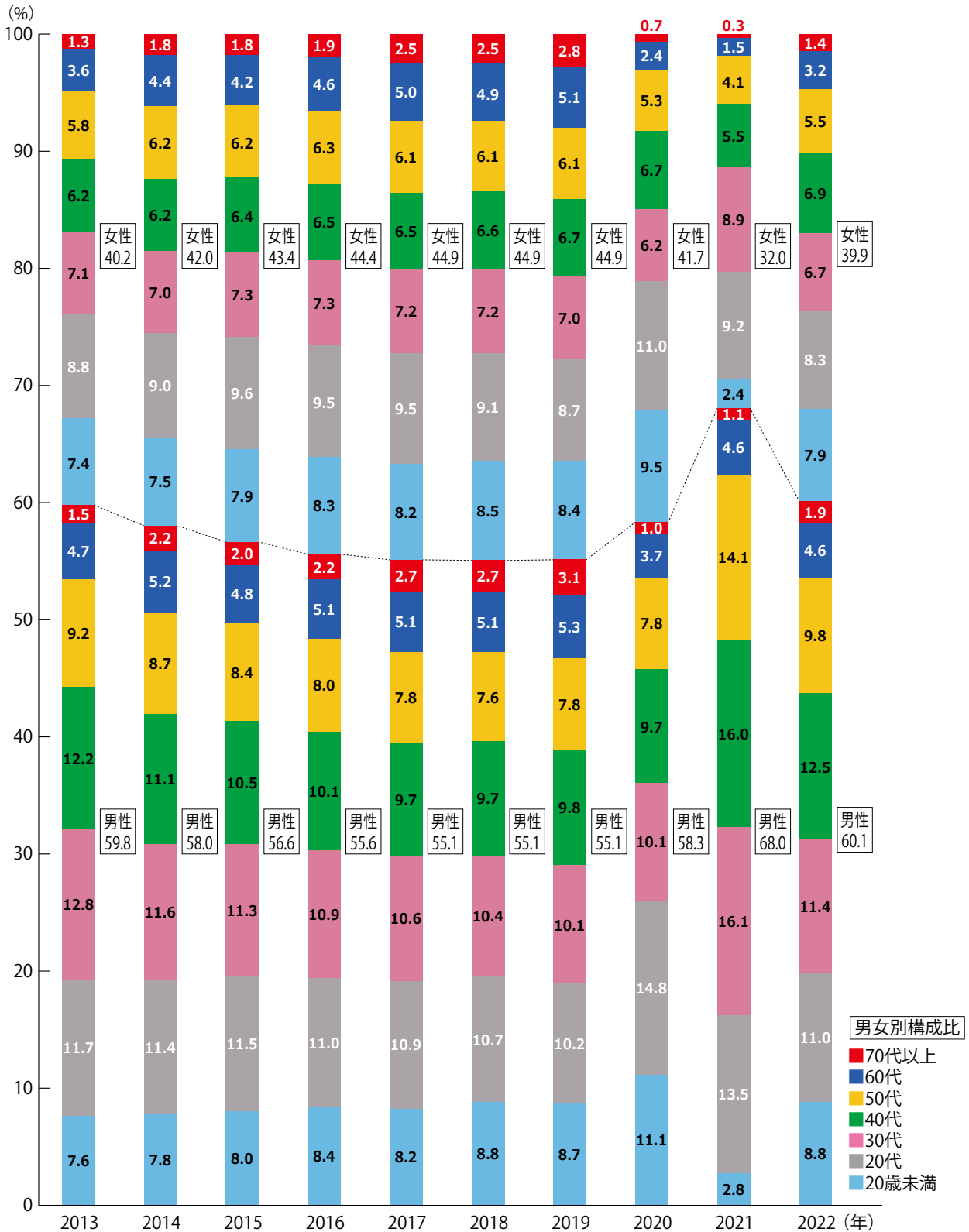
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 訪日豪州人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

### (3) 訪日豪州人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)

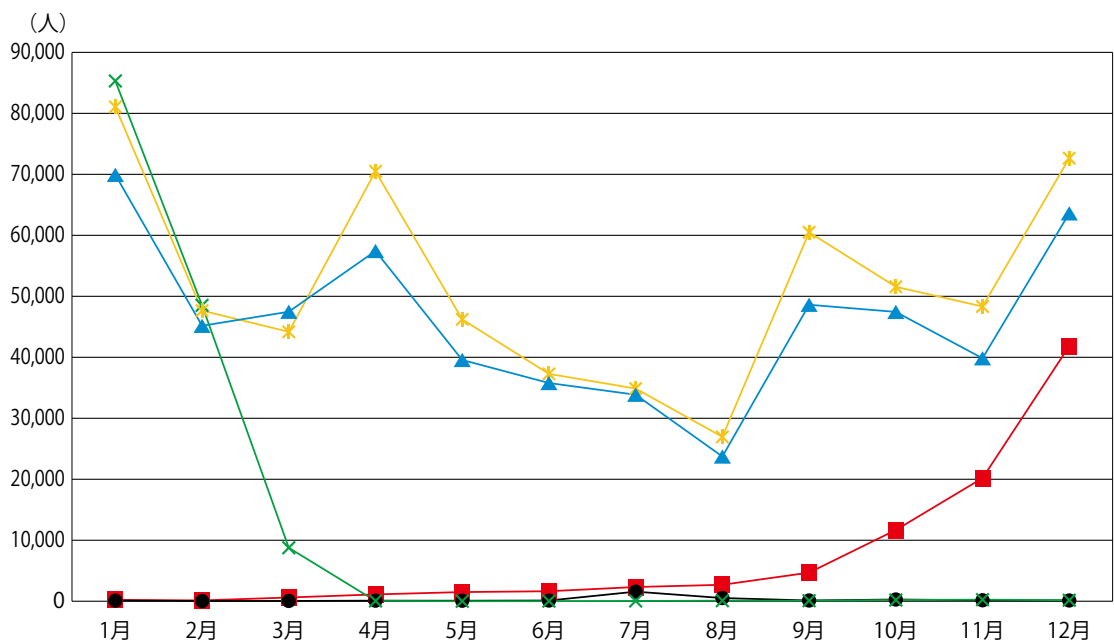


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省



## (4) 月別訪日豪州人の推移 (2018年～2022年)

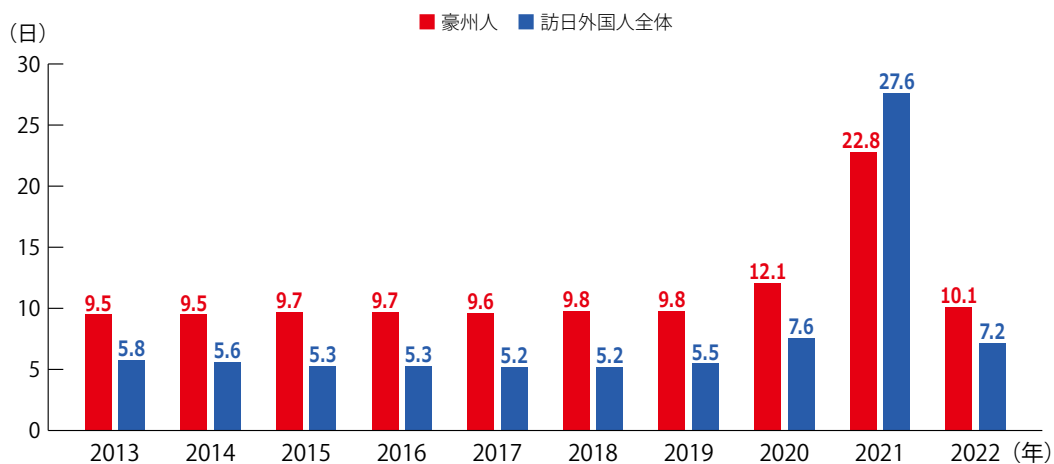


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	220	134	612	1,119	1,503	1,639	2,330	2,697	4,689	11,677	20,193	41,835
● 2021年	106	33	47	95	85	116	1,570	524	121	284	160	124
✕ 2020年	85,314	48,522	8,767	50	2	11	45	90	88	200	255	164
✱ 2019年	81,063	47,658	44,175	70,504	46,223	37,283	34,873	26,951	60,498	51,563	48,327	72,653
▲ 2018年	69,924	45,166	47,472	57,432	39,563	35,782	33,863	23,729	48,617	47,444	39,840	63,608

出典：日本政府観光局 (JNTO)

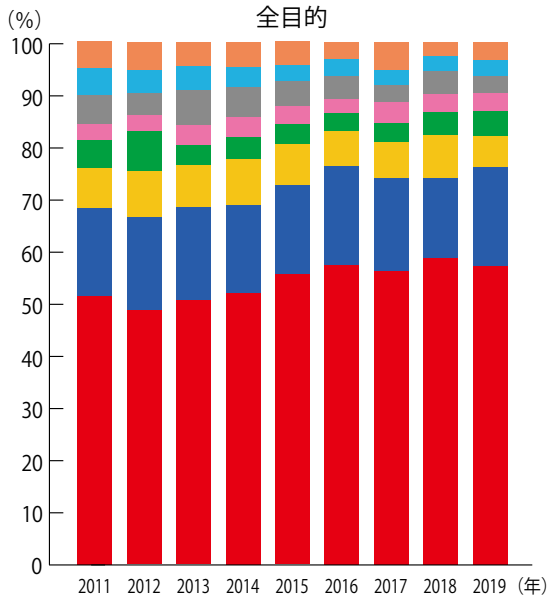
## (5) 訪日豪州人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



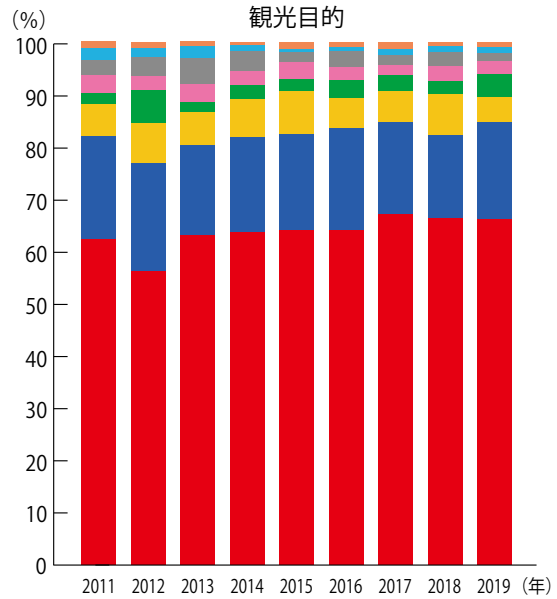
注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (6) 訪日豪州人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	5.0	5.3	4.7	4.7	4.7	3.4	5.4	2.7	3.4
10~19回目	5.2	4.4	4.6	3.9	2.9	3.2	2.8	2.7	3.1
6~9回目	5.5	4.4	6.6	5.6	4.8	4.4	3.3	4.4	3.2
5回目	3.1	3.1	3.9	4.0	3.4	2.7	3.9	3.6	3.6
4回目	5.3	7.5	3.9	4.1	3.8	3.5	3.7	4.3	4.6
3回目	7.8	8.9	7.9	8.8	8.0	6.7	6.9	8.3	6.1
2回目	16.7	17.8	17.9	16.8	17.0	18.8	17.8	15.2	18.8
1回目	51.4	48.6	50.5	52.0	55.5	57.3	56.1	58.7	57.1

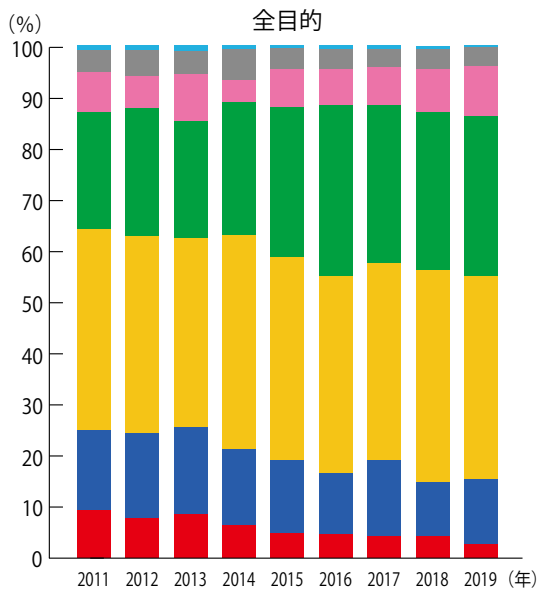


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	1.2	1.1	1.0	0.7	1.2	0.9	1.3	0.7	1.0
10~19回目	2.4	1.7	2.2	1.0	0.7	0.7	1.1	1.2	1.1
6~9回目	2.9	3.7	5.0	3.9	2.0	3.2	2.1	2.6	1.6
5回目	3.4	2.7	3.4	2.7	3.1	2.5	1.9	2.9	2.5
4回目	2.1	6.2	1.9	2.6	2.3	3.3	3.0	2.5	4.3
3回目	6.1	7.7	6.4	7.4	8.2	5.8	5.9	7.9	4.9
2回目	19.7	20.7	17.1	18.1	18.4	19.5	17.7	15.7	18.4
1回目	62.3	56.1	63.1	63.6	64.0	64.0	67.0	66.4	66.2

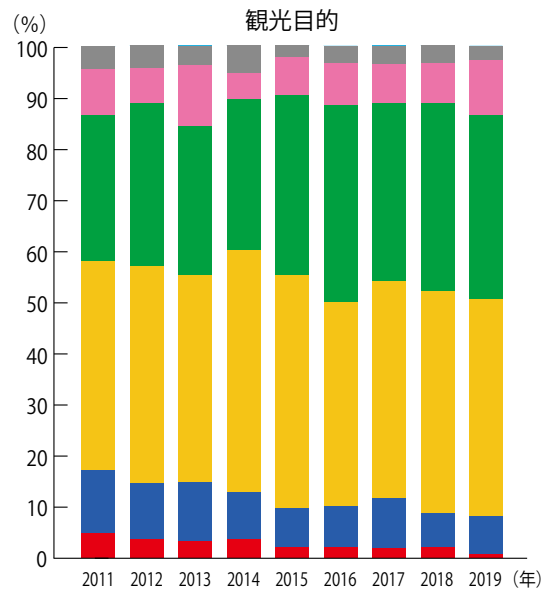
注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日豪州人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上1年未満	0.9	0.9	1.2	0.9	0.5	0.7	0.9	0.6	0.3
28~90日間	4.4	5.2	4.4	6.1	4.0	3.8	3.4	4.0	3.7
21~27日間	7.7	6.1	9.1	4.3	7.6	7.2	7.4	8.4	9.7
14~20日間	22.8	25.0	22.8	25.8	29.2	33.3	30.9	30.8	31.4
7~13日間	39.4	38.6	37.1	41.9	39.7	38.4	38.5	41.4	39.6
4~6日間	15.5	16.5	16.9	14.8	14.2	12.1	14.8	10.5	12.7
3日以内	9.3	7.7	8.5	6.3	4.8	4.5	4.2	4.2	2.6

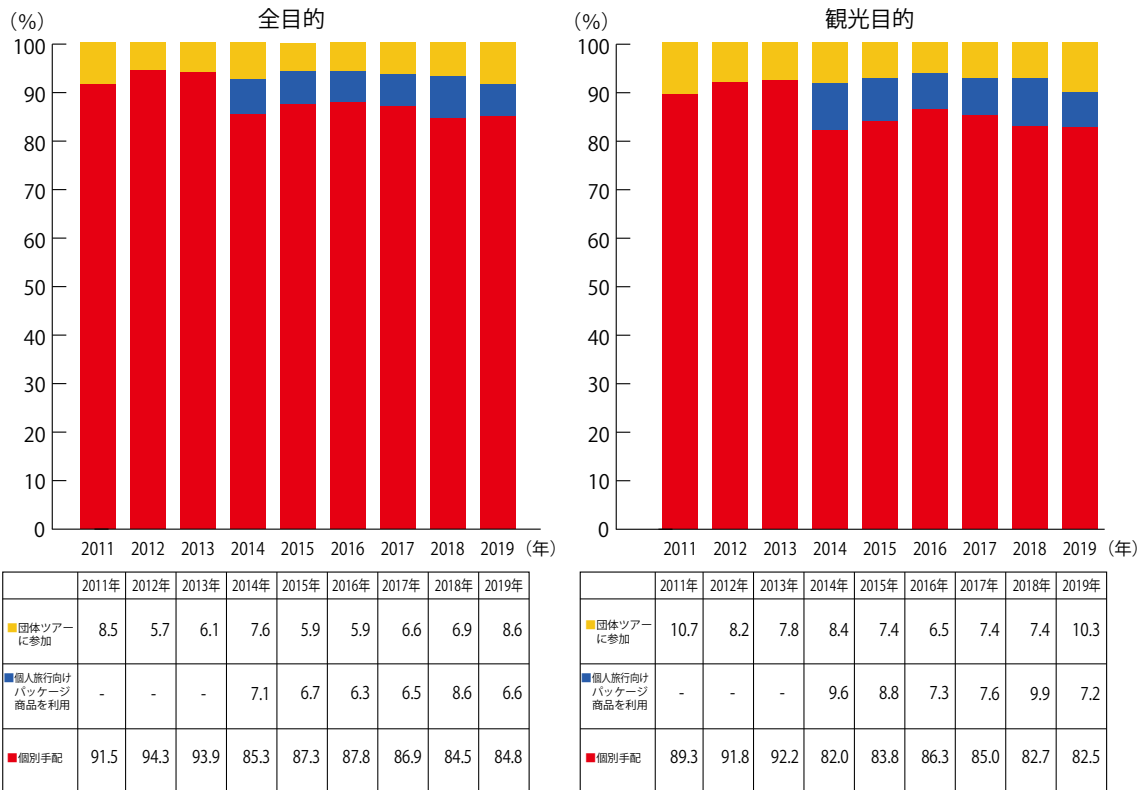


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上1年未満	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0
28~90日間	4.6	4.4	3.6	5.4	2.2	3.5	3.4	3.4	2.9
21~27日間	8.8	6.8	12.1	5.0	7.5	8.1	7.6	7.9	10.8
14~20日間	28.6	31.9	29.0	29.6	35.1	38.6	34.9	36.6	35.8
7~13日間	40.8	42.3	40.4	47.2	45.5	39.7	42.4	43.5	42.4
4~6日間	12.3	11.0	11.5	9.2	7.6	8.0	9.6	6.5	7.5
3日以内	4.8	3.6	3.3	3.6	2.1	2.1	1.9	2.1	0.6

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日豪州人の旅行形態 (2011年～2019年)

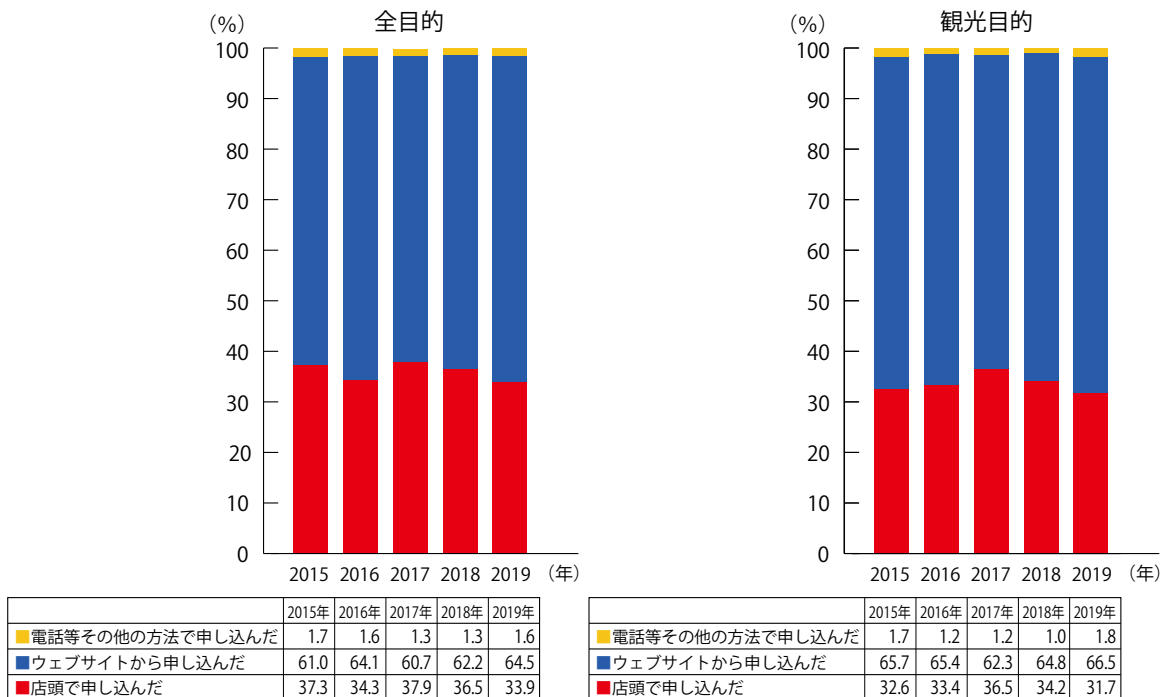


注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日豪州人の予約方法 (2015年～2019年)

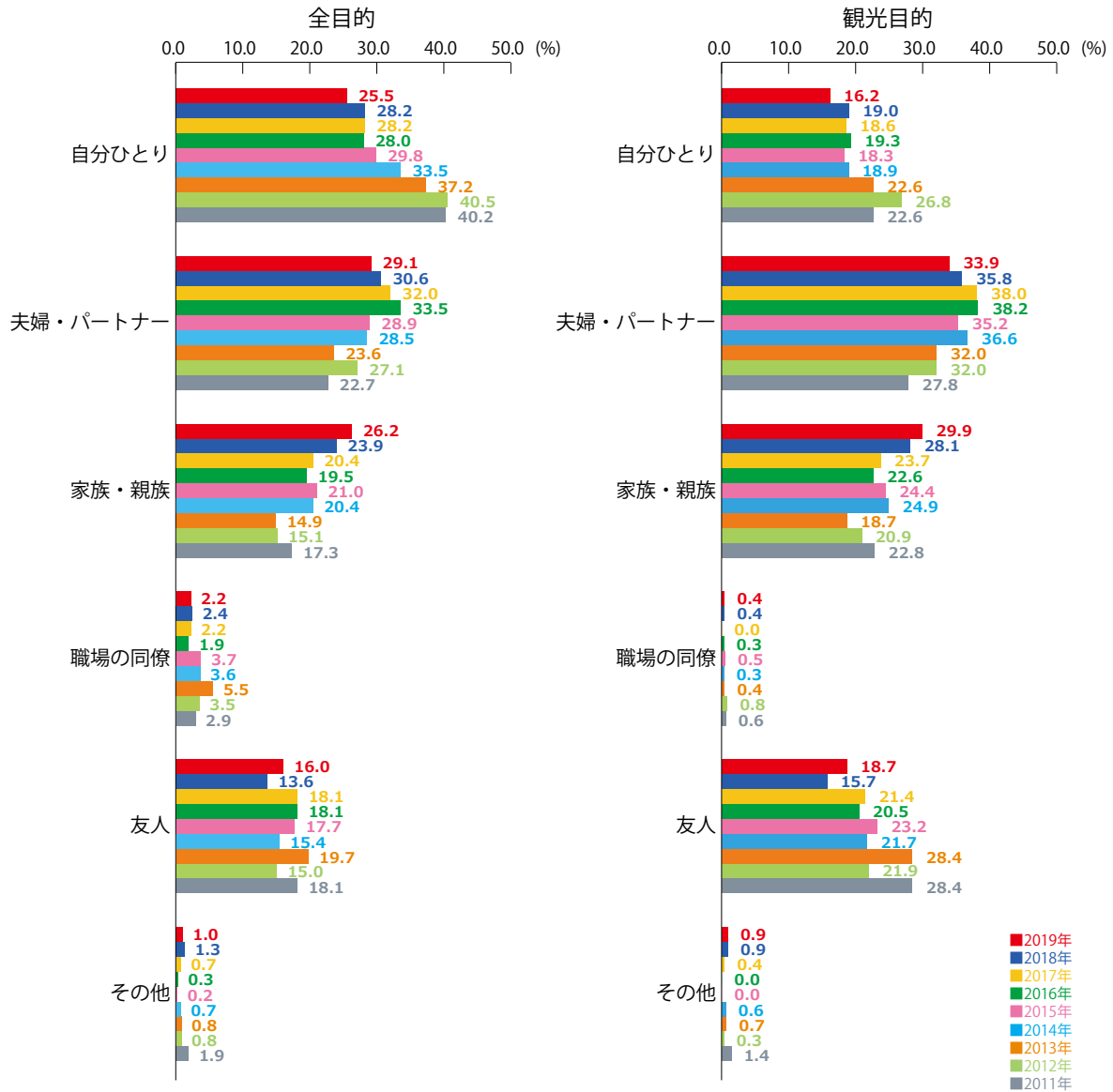


注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日豪州人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (11) 訪日豪州人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	84.1 85.4 80.4 85.9 81.2	98.3 99.2 99.4 99.0 99.3	72.8 76.4 69.3 68.5 68.2
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	52.4 47.6 49.1 47.0 44.0	65.9 65.0 77.2 70.6 66.1	41.0 45.2 42.8 41.4 37.5
旅館に宿泊	30.9 28.3 22.9 28.5 28.1	31.1 30.9 30.2 34.1 32.1	40.2 40.7 36.8 38.1 35.5
温泉入浴	35.5 36.7 29.1 32.8 30.7	38.6 38.4 32.0 38.4 37.5	57.7 53.0 44.6 42.6 46.2
自然・景勝地観光	63.2 60.1 56.9 58.7 54.0	70.9 71.5 76.8 75.5 70.9	56.3 55.6 52.8 51.9 54.3
繁華街の街歩き	55.2 52.4 48.3 44.8	75.8 72.0 79.5 76.8 75.0	31.6 29.5 36.6 36.6 38.2
ショッピング	57.2 54.4 50.6 50.9 49.9	73.2 72.4 76.3 74.2 75.6	40.6 40.0 41.9 41.2 45.2
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	47.8 44.5 36.2 29.6 27.2	59.0 55.0 46.5 43.0 40.0	36.3 37.6 36.9 29.9 29.0
テーマパーク	23.8 24.7 19.4 23.1 17.2	25.7 27.0 27.5 30.1 23.2	24.7 24.5 10.9 23.0 19.4
スキー・スノーボード	19.3 20.5 19.3 24.2 19.5	16.9 18.4 19.1 21.1 19.4	37.6 40.1 35.0 37.7 34.4
その他スポーツ (ゴルフ等)	4.0 3.9 4.5 2.5 3.8	3.9 3.4 4.0 2.7 3.4	4.8 5.4 10.9 9.3 10.3
舞台・音楽鑑賞	9.5 8.8 8.8 10.0 7.6	10.2 8.2 11.3 10.3 9.2	18.3 17.8 24.5 22.7 21.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	14.7 10.4 11.3 10.3 10.3	13.0 7.1 8.2 8.4 8.5	26.0 24.2 26.8 25.9 17.8
自然体験ツアー・農漁村体験	13.7 15.2 12.2 10.4 8.3	14.9 16.2 12.9 13.4 9.0	30.1 27.8 25.1 21.1 19.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	28.0 29.5 23.9 20.7 17.9	26.9 27.9 26.9 23.2 18.3	48.5 43.0 40.6 44.4 39.7
映画・アニメ縁の地を訪問	10.5 9.7 7.1 6.8 5.0	10.6 10.1 9.3 8.3 5.9	13.6 13.1 16.5 13.2 10.4
日本の歴史・伝統文化体験	50.9 54.9 48.6 43.5 36.5	58.9 64.3 61.3 59.5 53.1	44.9 51.5 45.5 43.9 41.7
日本の日常生活体験	36.9 39.1 34.1 30.5 31.0	42.2 47.1 51.3 49.1 46.1	39.0 40.3 37.9 34.6 32.5
日本のポップカルチャーを楽しむ	22.0 20.9 19.1 17.1 14.6	26.2 27.0 31.8 29.2 24.6	18.8 19.1 20.8 19.0 17.8
治療・健診	0.8 1.4 0.6 1.7 0.2	2.1 1.9 2.0 3.2 1.5	0.4 1.3 3.7 4.7 2.7
上記には当てはまるものがない	4.7 4.3 4.8 2.7 5.4	0.1 0.0 0.0 0.4 0.0	0.8 0.3 0.5 0.7 1.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	87.1 88.4 80.7 86.5 83.4	99.3 99.2 99.3 99.5 99.3	74.1 75.8 67.2 67.9 68.8
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	52.5 49.8 49.8 47.9 44.9	64.4 63.5 72.9 71.8 65.6	40.1 44.4 41.8 41.4 37.8
旅館に宿泊	34.2 31.5 25.5 31.1 32.6	33.9 34.2 32.5 38.1 37.5	41.0 42.5 37.8 40.1 38.5
温泉入浴	37.9 38.7 30.1 36.9 36.2	41.8 39.9 32.9 42.8 42.4	60.3 53.8 44.9 45.9 50.0
自然・景勝地観光	68.6 66.2 62.6 64.4 61.4	77.1 76.5 82.8 83.3 79.6	57.8 55.2 54.3 53.1 58.4
繁華街の街歩き	60.0 57.7 51.4 53.0 51.1	80.0 75.8 82.6 81.7 79.8	32.8 29.8 39.0 38.5 41.6
ショッピング	60.9 57.6 54.4 54.7 56.6	76.8 74.1 80.1 78.0 81.4	41.5 39.9 43.0 43.3 49.6
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	51.9 48.4 35.6 33.3 32.2	64.0 58.4 50.9 48.4 46.4	36.9 38.0 35.7 31.8 33.1
テーマパーク	26.6 26.9 26.0 26.0 20.3	29.1 29.0 29.4 33.6 26.3	26.9 24.3 22.4 23.4 21.8
スキー・スノーボード	20.6 22.6 20.6 26.8 22.7	18.9 19.8 21.1 23.9 23.0	36.0 41.0 35.6 39.5 36.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	3.0 4.4 3.7 2.0 3.5	2.7 3.4 3.2 2.3 2.8	3.7 5.0 11.9 9.9 10.4
舞台・音楽鑑賞	10.1 8.9 9.2 10.9 8.0	10.8 8.1 10.2 11.7 10.6	19.0 17.5 14.5 22.8 23.4
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	12.1 11.4 11.4 11.6 10.7	9.8 7.2 8.5 9.4 9.1	25.4 24.1 29.1 27.2 20.5
自然体験ツアー・農漁村体験	14.2 16.3 12.7 11.2 8.5	15.3 17.0 13.0 14.4 10.2	29.1 28.3 28.5 21.6 20.0
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	32.4 32.1 25.5 22.4 20.2	31.1 29.4 28.5 25.6 21.1	52.4 44.4 41.2 46.1 42.0
映画・アニメ縁の地を訪問	11.7 10.6 7.3 7.4 5.9	11.7 10.9 10.1 9.3 6.7	15.2 14.1 18.2 14.3 12.9
日本の歴史・伝統文化体験	54.7 59.3 47.2 48.3 41.1	62.4 69.3 67.1 65.5 58.7	43.5 53.4 48.1 45.3 43.4
日本の日常生活体験	37.4 38.8 34.1 30.8 33.3	42.0 46.7 43.0 50.2 49.0	38.6 40.0 37.5 35.1 34.4
日本のポップカルチャーを楽しむ	22.9 22.7 19.5 19.2 17.1	27.8 29.0 32.8 33.5 28.6	19.4 20.5 21.2 19.8 19.4
治療・健診	0.7 1.1 0.2 1.6 0.0	2.0 1.5 1.3 3.0 1.5	0.1 1.4 3.3 4.8 3.3
上記には当てはまるものがない	1.9 1.2 3.4 1.5 2.0	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.5 0.4 0.4 0.0 0.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) 豪州人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	15.6 15.7 17.0 13.8 17.5	17.9 17.9 20.0 15.0 19.4
旅行会社ホームページ	16.0 15.2 15.3 18.0 17.1	16.6 17.4 16.6 19.8 19.8
宿泊施設ホームページ	28.4 30.6 29.9 27.3 27.7	29.2 33.6 31.4 28.2 32.1
航空会社ホームページ	17.9 18.3 16.1 14.2 14.7	18.4 19.1 17.4 15.4 17.0
地方観光協会ホームページ	11.0 9.3 7.5 10.8 7.7	12.3 9.8 8.1 11.6 8.4
宿泊予約サイト	9.4 10.8 11.8 10.2 9.1	10.1 11.6 12.2 11.7 10.6
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	39.1 41.9 38.4 41.6 33.2	41.8 45.1 42.6 46.0 37.7
SNS（Facebook/Twitter/微信等）	16.0 15.4 12.0 12.7 9.9	17.5 16.7 12.1 14.2 11.2
個人のブログ	17.4 18.5 20.8 20.3 20.0	19.9 20.3 22.6 23.1 22.8
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	27.9 25.0 16.5 15.3 9.3	31.8 28.3 19.0 17.1 11.4
その他インターネット	16.4 13.4 10.7 10.4 10.8	16.7 12.7 10.9 10.8 11.0
日本政府観光局の案内所	1.7 0.8 1.6 3.6 4.3	1.6 2.0 1.9 4.1 4.4
旅行会社パンフレット	8.5 10.2 10.8 12.6 11.8	9.9 11.9 12.7 14.6 14.1
旅行ガイドブック	17.7 17.9 19.6 23.2 23.2	19.9 19.4 22.8 24.8 26.1
自国の親族・知人	35.7 32.1 36.6 40.9 31.3	38.6 33.5 39.3 45.6 34.9
日本在住の親族・知人	18.3 22.1 27.5 27.9 25.6	13.3 15.6 21.3 22.5 21.6
旅行の展示会や見本市	0.7 0.8 0.8 1.2 0.9	0.6 0.8 0.8 0.8 1.2
テレビ番組	4.9 6.5 9.4 7.6 6.7	5.2 7.3 10.1 8.0 7.2
新聞	1.1 2.1 1.3 3.6 3.0	1.3 2.5 2.1 3.9 3.7
旅行専門誌	6.1 5.0 10.7 10.0 7.5	7.2 5.8 11.4 11.0 8.2
その他雑誌	0.3 0.4 0.7 0.7 0.0	0.3 0.3 0.9 0.6 0.0
その他	0.6 1.2 4.4 3.3 5.4	0.4 1.1 5.0 2.3 4.3
特になし	5.1 4.1 5.4 5.1 7.1	2.5 2.6 3.3 3.5 2.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) 豪州人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	35.4 35.8	38.3 38.5
交通手段	63.6 55.3	68.2 57.7
飲食店	32.3 32.7	34.8 33.1
観光施設	38.0 35.6	43.3 38.4
イベント	8.1 6.3	7.6 6.1
土産物	9.9 8.4	11.2 8.3
買物場所	18.0 16.1	19.8 16.3
無料Wi-Fi	58.6 61.5	60.8 62.9
祈祷室	0.3 0.2	0.2 0.3
ATM	26.0 27.5	28.4 29.4
宅配便	3.7 5.6	3.5 6.2
日本文化体験プログラム	9.1 9.1	10.1 9.9
自然体験ツアー・農山漁村体験	7.6 8.2	7.5 8.9
通訳案内士・観光ガイド	9.2 9.1	10.9 10.0
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	5.6 9.2	6.2 11.1
クレジットカード利用可能店舗	10.9 10.5	11.5 11.9
その他	6.6 0.8	4.9 0.5
特になし	4.7 5.8	2.4 4.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

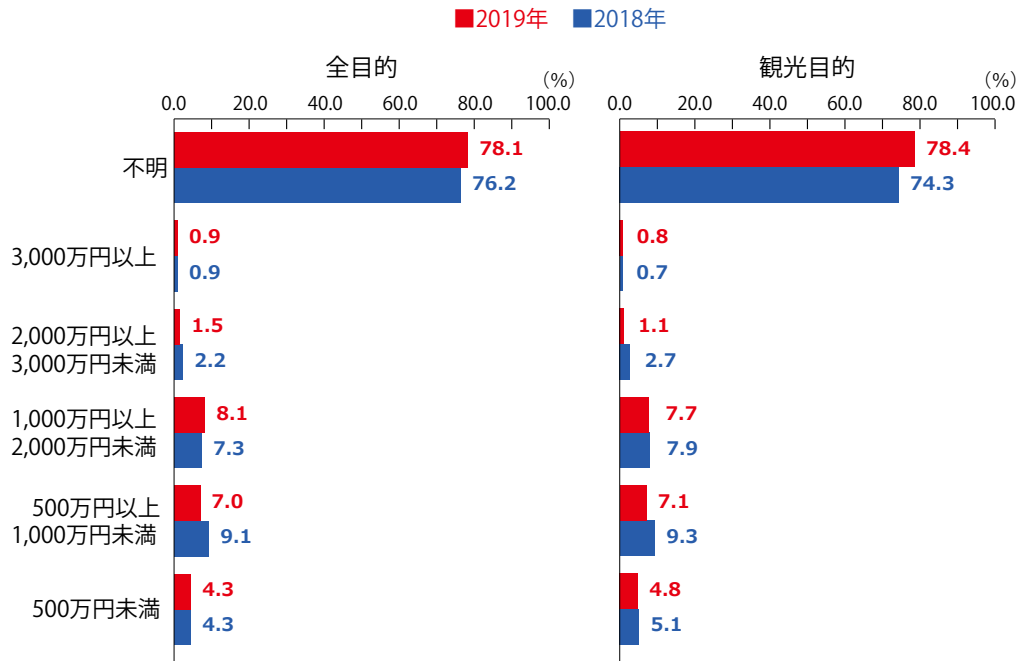
注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (14) 訪日豪州人の世帯収入（2018年～2019年）

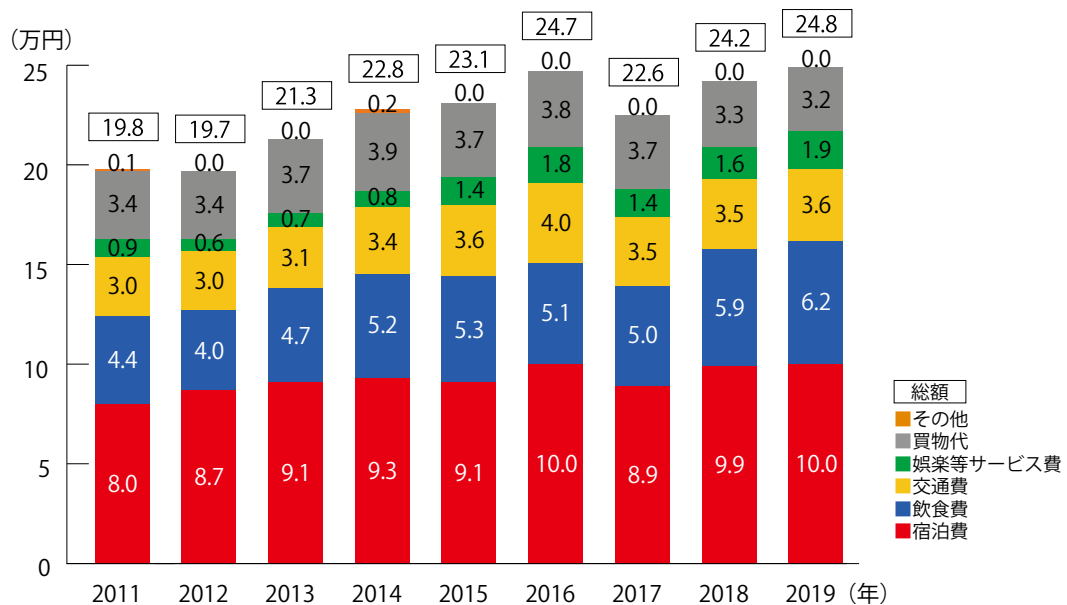


注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日豪州人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日豪州人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	1,104	247,868	833	260,342	
滞在日数	3日間以内	32	76,756	6	113,449
	4～6日間	147	137,077	67	119,704
	7～13日間	436	216,410	353	218,002
	14～20日間	344	289,362	298	293,763
	21～27日間	101	359,220	86	362,228
	28～90日間	41	398,481	23	476,005
	91日間以上1年未満	3	831,907	0	-
性・年代	男性	651	251,728	460	264,273
	15～19歳	24	214,343	20	216,456
	20～29歳	181	253,911	157	256,397
	30～39歳	151	245,319	96	272,115
	40～49歳	102	217,717	54	234,150
	50～59歳	89	265,267	53	279,756
	60～69歳	70	297,415	51	297,639
	70歳以上	34	272,342	29	287,871
	女性	453	242,377	373	255,586
	15～19歳	24	240,551	16	225,570
	20～29歳	153	243,463	134	251,010
	30～39歳	78	222,197	68	220,020
	40～49歳	71	208,370	60	212,786
	50～59歳	60	222,540	41	270,450
60～69歳	46	293,966	36	338,790	
70歳以上	21	386,199	18	418,233	
日本への 来訪回数	1回目	624	261,809	549	264,474
	2回目	206	239,959	153	247,317
	3回目	68	237,510	41	241,777
	4回目	51	274,498	36	303,460
	5回目	40	211,853	21	247,302
	6～9回目	37	217,538	14	243,156
	10～19回目	37	179,070	10	244,756
	20回目以上	41	169,707	9	209,176

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往復した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日豪州人の購入者単価 (2019年)

調査項目	全目的		観光目的	
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	96 451,249	87 454,339	
	個人旅行向けパッケージ商品	74 381,040	63 367,330	
	往復航空(船舶)運賃	934 99,909	683 95,412	
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	912 95,454	695 97,106	
	飲食費	1,038 52,856	790 53,379	
	交通費	981 31,153	739 32,916	
	航空(日本国内移動のみ)	49 23,947	40 23,581	
	Japan Rail Pass	390 37,080	349 36,863	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	792 12,457	597 12,204	
	バス	287 3,585	225 3,669	
	タクシー	333 8,159	232 6,344	
	レンタカー	32 26,049	24 29,905	
	船舶(日本国内移動のみ)	11 5,173	5 1,459	
	その他交通費	8 12,621	7 13,546	
	娯楽等サービス費	756 21,469	634 20,605	
	現地ツアー・観光ガイド	72 30,325	66 32,196	
	ゴルフ場	4 6,245	3 3,711	
	テーマパーク	255 11,965	230 11,783	
	舞台・音楽鑑賞	36 15,084	28 16,919	
	スポーツ観戦	73 33,113	39 14,916	
	美術館・博物館・動植物園・水族館	443 5,103	379 5,241	
	スキー場リフト	128 26,549	119 25,972	
	温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション	85 3,266	63 3,435	
	マッサージ・医療費	21 9,400	19 10,178	
	展示会・コンベンション参加費	8 14,170	7 15,556	
	レンタル料(レンタカーを除く)	35 18,795	31 20,294	
	その他娯楽等サービス費	29 19,086	23 22,880	
	買物代	1,029 34,001	796 33,780	
	菓子類	459 6,647	376 6,600	
	酒類	391 14,813	297 10,830	
	生鮮農産物	44 10,634	36 6,105	
	その他食料品・飲料・たばこ	426 11,109	324 11,630	
	化粧品・香水	119 12,738	100 13,390	
	医薬品	53 8,535	47 8,270	
	健康グッズ・トイレタリー	36 10,031	28 10,789	
	衣類	460 16,770	379 16,830	
靴・かばん・革製品	196 13,101	163 14,185		
電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	66 21,035	48 20,192		
時計・フィルムカメラ	28 19,230	20 14,582		
宝石・貴金属	45 18,572	40 19,327		
民芸品・伝統工芸品	242 10,321	205 10,481		
本・雑誌・ガイドブックなど	77 4,822	51 4,411		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	31 24,633	25 22,326		
その他買物代	139 11,982	109 12,383		
その他	0 -	0 -		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

## (18) 訪日豪州人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買い物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	54.9 56.4 58.7 59.4 60.0	57.9 62.1 64.2 63.6 65.3
家電量販店	16.5 17.0 19.6 18.0 20.3	17.8 18.8 22.0 20.1 20.7
ファッション専門店	23.1 23.6 26.1 24.4 23.6	27.1 25.9 30.4 26.7 27.5
100円ショップ	23.5 22.3 21.1 25.2 20.7	23.1 23.3 21.1 26.4 21.8
高速道路のSA・道の駅	2.5 2.2 3.6 3.3 3.1	3.1 2.4 3.2 3.8 3.9
観光地の土産店	46.4 42.6 39.2 43.7 39.5	51.7 49.2 45.8 50.0 46.1
宿泊施設	5.7 5.3 11.5 13.8 13.5	6.5 6.1 13.7 15.7 15.3
スーパーマーケット	50.2 49.0 49.0 51.0 49.5	53.2 51.6 51.2 52.8 53.8
コンビニエンスストア	71.0 66.9 69.3 70.3 63.1	75.2 71.0 72.1 74.1 66.4
ドラッグストア	25.0 24.6 23.4 25.0 21.9	27.1 27.0 25.4 27.5 23.3
ディスカウントストア	14.2 12.4 13.6 12.1 10.6	16.5 13.1 14.6 14.0 12.3
アウトレットモール	12.8 11.2 13.8 12.1 14.3	12.5 12.1 14.0 12.8 15.3
都心の複合商業施設	9.0 8.3 7.6 8.2 5.6	9.1 9.1 7.3 8.5 5.8
その他ショッピングセンター	10.6 10.1 13.8 9.6 11.3	11.3 10.5 15.2 10.3 12.1
鉄道駅構内の店舗	11.5 12.2 14.6 18.2 17.3	13.1 13.7 16.9 18.8 19.9
空港の免税店	30.9 28.7 32.1 32.3 35.0	30.9 30.0 33.2 34.8 38.1
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.6 1.0	0.6 1.2
その他	8.0 7.3 4.0 4.5 5.5	6.6 6.8 4.8 4.7 5.4
買い物はしなかった	6.7 7.6 6.5 7.0 7.3	5.0 4.1 3.7 3.3 4.5

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日豪州人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	2019年 22.3 2018年 22.0
消費税免税の手続きをしていない	2019年 77.7 2018年 78.0

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	2019年 3.2 2018年 1.5
酒類	2019年 2.5 2018年 2.4
生鮮農産物	2019年 0.0 2018年 0.1
その他食料品・飲料・たばこ	2019年 0.7 2018年 0.6
化粧品・香水	2019年 2.4 2018年 3.3
医薬品	2019年 0.4 2018年 0.5
健康グッズ・トイレタリー	2019年 0.5 2018年 0.5
衣類	2019年 10.5 2018年 11.7
靴・かばん・革製品	2019年 4.9 2018年 4.7
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	2019年 1.9 2018年 2.0
時計・フィルムカメラ	2019年 0.9 2018年 1.7
宝石・貴金属	2019年 1.6 2018年 1.2
民芸品・伝統工芸品	2019年 2.8 2018年 2.5
本・雑誌・ガイドブックなど	2019年 0.3 2018年 0.4
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	2019年 0.6 2018年 0.4
その他買物代	2019年 1.6 2018年 1.7

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日豪州人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：％

	全目的	観光目的
現金	95.5 94.4	97.7 97.6
クレジットカード	67.7 69.5	67.6 69.4
交通系ICカード（Suica等）	20.5 15.6	20.2 15.2
その他ICカード（Edy等）	0.1 0.3	0.1 0.2
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	8.0 5.1	8.2 5.8
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.8 0.3	0.5 0.3
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.1	0.0 0.1
割引クーポン	0.1 0.2	0.2 0.2
その他	0.1 0.4	0.1 0.5
お金は全く使わなかった	0.2 0.2	0.3 0.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日豪州人の都道府県別訪問地 (2011年～2019年)

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率 (%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	64.7	68.9	72.9	72.5	81.2	84.2	85.9	85.7	86.0
千葉県	2位	14.7	12.4	9.2	14.2	82.8	77.4	68.2	67.7	64.1
大阪府	3位	23.0	23.1	23.9	32.9	40.2	44.0	43.0	43.9	45.0
京都府	4位	31.4	31.5	34.1	40.3	42.9	47.2	42.8	44.4	43.4
広島県	5位	13.9	10.4	14.8	15.4	16.0	18.4	17.4	17.8	17.0
長野県	6位	3.8	11.8	12.8	12.7	15.5	17.1	15.8	14.0	14.5
神奈川県	7位	11.6	10.6	9.2	10.2	9.2	9.2	13.5	12.6	13.5
北海道	8位	3.9	13.1	13.3	10.5	9.9	11.4	8.8	7.6	8.9
奈良県	9位	4.3	3.8	4.3	4.1	3.3	6.1	4.0	6.8	8.2
山梨県	10位	5.2	5.1	3.7	3.8	4.4	3.5	5.7	5.9	6.8
岐阜県	11位	5.9	6.6	7.1	5.5	6.4	7.2	6.1	5.3	6.1
石川県	12位	2.7	2.3	3.6	2.4	4.3	4.8	4.2	5.6	5.3
愛知県	13位	8.1	5.3	6.7	5.2	3.8	2.9	6.2	5.4	4.6
静岡県	14位	3.3	1.4	1.8	3.9	3.4	5.6	2.8	3.5	4.3
兵庫県	15位	4.6	3.2	4.0	4.8	4.1	4.7	4.8	5.3	3.9
新潟県	16位	1.5	2.0	0.9	0.9	2.5	1.4	2.3	1.8	2.5
和歌山県	17位	1.5	2.7	1.9	1.9	3.1	4.0	2.4	2.9	2.3
栃木県	18位	5.2	3.0	2.4	3.0	1.7	2.8	3.0	1.9	2.0
福岡県	19位	2.9	4.7	3.7	3.0	1.6	2.3	2.6	2.2	2.0
岡山県	20位	1.6	0.9	1.9	1.9	1.1	1.2	0.5	1.1	1.9
長崎県	21位	2.3	1.3	1.8	3.2	1.4	1.3	1.9	0.9	1.8
香川県	22位	0.6	0.6	0.5	1.2	1.4	1.2	1.8	1.7	1.5
沖縄県	23位	0.4	1.2	2.0	1.3	1.5	0.9	1.6	1.9	1.4
宮城県	24位	2.6	1.4	1.7	0.8	0.8	0.7	0.7	1.4	1.3
大分県	25位	1.3	0.9	0.9	0.9	0.4	0.1	0.6	0.6	1.3
群馬県	26位	1.0	0.6	0.5	1.2	0.6	0.2	0.7	0.8	1.2
福島県	27位	0.7	0.3	1.4	0.1	1.2	0.4	0.3	0.6	1.1
青森県	28位	0.0	1.6	0.8	1.5	1.8	1.1	0.4	1.0	1.0
埼玉県	29位	1.8	1.2	0.4	1.3	1.4	0.5	1.0	1.1	0.9
富山県	30位	0.8	1.0	0.4	1.2	1.0	1.2	0.3	1.0	0.8
鹿児島県	31位	2.2	0.9	0.5	0.7	0.7	0.7	0.5	1.6	0.8
秋田県	32位	0.2	0.3	0.6	0.4	0.9	0.3	0.1	0.6	0.6
山形県	33位	0.0	0.2	0.5	0.0	0.3	0.1	0.5	0.5	0.6
熊本県	34位	1.0	1.0	1.5	1.2	0.4	0.2	0.4	0.4	0.6
岩手県	35位	0.4	0.6	0.4	0.1	0.6	0.1	0.2	0.4	0.6
愛媛県	36位	0.3	0.3	0.3	1.2	0.5	0.5	0.0	0.8	0.5
三重県	37位	0.5	0.6	0.7	0.4	0.6	0.7	0.4	0.8	0.4
徳島県	38位	0.4	0.1	0.1	0.1	0.4	0.1	0.0	0.5	0.4
鳥取県	39位	0.2	0.3	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.3	0.4
高知県	40位	0.4	0.0	0.2	0.0	0.6	0.1	0.4	0.5	0.3
滋賀県	41位	0.7	0.6	0.3	0.9	0.1	0.1	0.5	0.7	0.3
茨城県	42位	1.4	1.4	0.9	1.2	0.5	0.9	0.9	0.7	0.3
島根県	43位	0.6	0.5	0.3	0.4	0.0	0.3	0.3	0.3	0.2
山口県	44位	0.4	0.0	0.0	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	0.2
宮崎県	45位	0.7	0.2	0.3	0.2	0.3	0.6	0.4	0.1	0.1
佐賀県	46位	0.0	0.3	0.3	1.6	0.0	0.0	0.1	0.1	0.1
福井県	47位	0.0	0.1	0.3	0.0	0.1	0.2	0.4	0.2	0.1

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日豪州人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	701,700 (38.8%)	851,430 (40.0%)	1,226,310 (40.0%)
京都府	2位	242,090 (13.4%)	272,950 (12.8%)	451,240 (14.7%)
大阪府	3位	180,940 (10.0%)	236,340 (11.1%)	348,360 (11.4%)
北海道	4位	147,930 ( 8.2%)	141,750 ( 6.7%)	230,850 ( 7.5%)
神奈川県	5位	47,680 ( 2.6%)	54,000 ( 2.5%)	78,950 ( 2.6%)
千葉県	6位	100,300 ( 5.5%)	115,990 ( 5.4%)	148,500 ( 4.8%)
長野県	7位	77,780 ( 4.3%)	93,870 ( 4.4%)	106,850 ( 3.5%)
広島県	8位	74,250 ( 4.1%)	74,160 ( 3.5%)	89,950 ( 2.9%)
福岡県	9位	12,680 ( 0.7%)	15,830 ( 0.7%)	27,400 ( 0.9%)
静岡県	10位	7,700 ( 0.4%)	9,070 ( 0.4%)	15,000 ( 0.5%)
石川県	11位	22,670 ( 1.3%)	32,070 ( 1.5%)	38,260 ( 1.2%)
愛知県	12位	22,080 ( 1.2%)	22,350 ( 1.0%)	28,580 ( 0.9%)
沖縄県	13位	13,730 ( 0.8%)	16,740 ( 0.8%)	21,530 ( 0.7%)
山梨県	14位	18,290 ( 1.0%)	23,160 ( 1.1%)	24,310 ( 0.8%)
兵庫県	15位	15,210 ( 0.8%)	14,500 ( 0.7%)	22,470 ( 0.7%)
岐阜県	16位	30,960 ( 1.7%)	35,870 ( 1.7%)	29,910 ( 1.0%)
新潟県	17位	9,880 ( 0.5%)	13,840 ( 0.6%)	30,070 ( 1.0%)
宮城県	18位	3,780 ( 0.2%)	5,050 ( 0.2%)	7,640 ( 0.2%)
大分県	19位	2,880 ( 0.2%)	4,090 ( 0.2%)	15,210 ( 0.5%)
岡山県	20位	5,840 ( 0.3%)	7,440 ( 0.3%)	10,260 ( 0.3%)
埼玉県	21位	2,430 ( 0.1%)	2,020 ( 0.1%)	2,250 ( 0.1%)
青森県	22位	2,800 ( 0.2%)	4,600 ( 0.2%)	8,420 ( 0.3%)
熊本県	23位	4,440 ( 0.2%)	5,130 ( 0.2%)	7,060 ( 0.2%)
茨城県	24位	1,710 ( 0.1%)	1,800 ( 0.1%)	2,020 ( 0.1%)
長崎県	25位	5,100 ( 0.3%)	5,880 ( 0.3%)	8,350 ( 0.3%)
栃木県	26位	4,160 ( 0.2%)	4,920 ( 0.2%)	6,570 ( 0.2%)
群馬県	27位	2,940 ( 0.2%)	3,410 ( 0.2%)	3,460 ( 0.1%)
香川県	28位	2,990 ( 0.2%)	5,730 ( 0.3%)	10,540 ( 0.3%)
鹿児島県	29位	4,460 ( 0.2%)	4,610 ( 0.2%)	5,280 ( 0.2%)
岩手県	30位	3,790 ( 0.2%)	4,980 ( 0.2%)	8,030 ( 0.3%)
奈良県	31位	4,450 ( 0.2%)	6,840 ( 0.3%)	8,050 ( 0.3%)
愛媛県	32位	2,430 ( 0.1%)	2,550 ( 0.1%)	2,940 ( 0.1%)
富山県	33位	1,590 ( 0.1%)	1,820 ( 0.1%)	2,460 ( 0.1%)
滋賀県	34位	5,050 ( 0.3%)	3,830 ( 0.2%)	3,230 ( 0.1%)
山形県	35位	2,050 ( 0.1%)	3,490 ( 0.2%)	3,080 ( 0.1%)
三重県	36位	1,690 ( 0.1%)	2,250 ( 0.1%)	2,780 ( 0.1%)
福島県	37位	3,120 ( 0.2%)	6,700 ( 0.3%)	7,210 ( 0.2%)
秋田県	38位	1,660 ( 0.1%)	1,990 ( 0.1%)	3,250 ( 0.1%)
徳島県	39位	1,830 ( 0.1%)	1,850 ( 0.1%)	2,440 ( 0.1%)
和歌山県	40位	6,770 ( 0.4%)	8,420 ( 0.4%)	9,140 ( 0.3%)
鳥取県	41位	570 ( 0.0%)	780 ( 0.0%)	1,110 ( 0.0%)
高知県	42位	900 ( 0.0%)	1,240 ( 0.1%)	1,270 ( 0.0%)
佐賀県	43位	820 ( 0.0%)	1,280 ( 0.1%)	840 ( 0.0%)
島根県	44位	780 ( 0.0%)	1,220 ( 0.1%)	1,490 ( 0.0%)
宮崎県	45位	680 ( 0.0%)	960 ( 0.0%)	1,710 ( 0.1%)
山口県	46位	640 ( 0.0%)	680 ( 0.0%)	800 ( 0.0%)
福井県	47位	420 ( 0.0%)	610 ( 0.0%)	540 ( 0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	270,020 (36.4%)	47,310 (78.1%)	187,520 (49.7%)
京都府	2位	81,420 (11.0%)	530 (0.9%)	41,660 (11.0%)
大阪府	3位	63,180 (8.5%)	870 (1.4%)	39,230 (10.4%)
北海道	4位	116,160 (15.7%)	1,130 (1.9%)	24,130 (6.4%)
神奈川県	5位	9,970 (1.3%)	1,200 (2.0%)	14,490 (3.8%)
千葉県	6位	35,170 (4.7%)	3,550 (5.9%)	12,790 (3.4%)
長野県	7位	70,640 (9.5%)	350 (0.6%)	5,600 (1.5%)
広島県	8位	12,340 (1.7%)	160 (0.3%)	5,140 (1.4%)
福岡県	9位	3,980 (0.5%)	120 (0.2%)	4,810 (1.3%)
静岡県	10位	1,120 (0.2%)	890 (1.5%)	4,640 (1.2%)
石川県	11位	6,480 (0.9%)	30 (0.0%)	4,220 (1.1%)
愛知県	12位	5,460 (0.7%)	280 (0.5%)	4,070 (1.1%)
沖縄県	13位	4,110 (0.6%)	220 (0.4%)	3,100 (0.8%)
山梨県	14位	3,990 (0.5%)	20 (0.0%)	2,900 (0.8%)
兵庫県	15位	3,320 (0.4%)	590 (1.0%)	2,690 (0.7%)
岐阜県	16位	3,940 (0.5%)	20 (0.0%)	2,550 (0.7%)
新潟県	17位	19,730 (2.7%)	90 (0.1%)	1,860 (0.5%)
宮城県	18位	1,700 (0.2%)	220 (0.4%)	1,400 (0.4%)
大分県	19位	750 (0.1%)	640 (1.1%)	1,200 (0.3%)
岡山県	20位	1,500 (0.2%)	40 (0.1%)	1,140 (0.3%)
埼玉県	21位	270 (0.0%)	370 (0.6%)	970 (0.3%)
青森県	22位	3,120 (0.4%)	170 (0.3%)	880 (0.2%)
熊本県	23位	930 (0.1%)	40 (0.1%)	830 (0.2%)
茨城県	24位	330 (0.0%)	40 (0.1%)	750 (0.2%)
長崎県	25位	740 (0.1%)	60 (0.1%)	740 (0.2%)
栃木県	26位	690 (0.1%)	160 (0.3%)	650 (0.2%)
群馬県	27位	930 (0.1%)	50 (0.1%)	640 (0.2%)
香川県	28位	1,100 (0.1%)	40 (0.1%)	640 (0.2%)
鹿児島県	29位	960 (0.1%)	120 (0.2%)	620 (0.2%)
岩手県	30位	7,650 (1.0%)	30 (0.0%)	600 (0.2%)
奈良県	31位	910 (0.1%)	20 (0.0%)	550 (0.1%)
愛媛県	32位	370 (0.0%)	20 (0.0%)	540 (0.1%)
富山県	33位	320 (0.0%)	50 (0.1%)	530 (0.1%)
滋賀県	34位	460 (0.1%)	30 (0.0%)	460 (0.1%)
山形県	35位	2,260 (0.3%)	80 (0.1%)	450 (0.1%)
三重県	36位	160 (0.0%)	10 (0.0%)	390 (0.1%)
福島県	37位	2,780 (0.4%)	520 (0.9%)	330 (0.1%)
秋田県	38位	680 (0.1%)	90 (0.1%)	290 (0.1%)
徳島県	39位	310 (0.0%)	20 (0.0%)	290 (0.1%)
和歌山県	40位	640 (0.1%)	30 (0.0%)	270 (0.1%)
鳥取県	41位	210 (0.0%)	20 (0.0%)	190 (0.1%)
高知県	42位	180 (0.0%)	40 (0.1%)	180 (0.0%)
佐賀県	43位	60 (0.0%)	0 (0.0%)	150 (0.0%)
島根県	44位	150 (0.0%)	20 (0.0%)	120 (0.0%)
宮崎県	45位	180 (0.0%)	60 (0.1%)	120 (0.0%)
山口県	46位	130 (0.0%)	130 (0.2%)	90 (0.0%)
福井県	47位	70 (0.0%)	90 (0.1%)	80 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

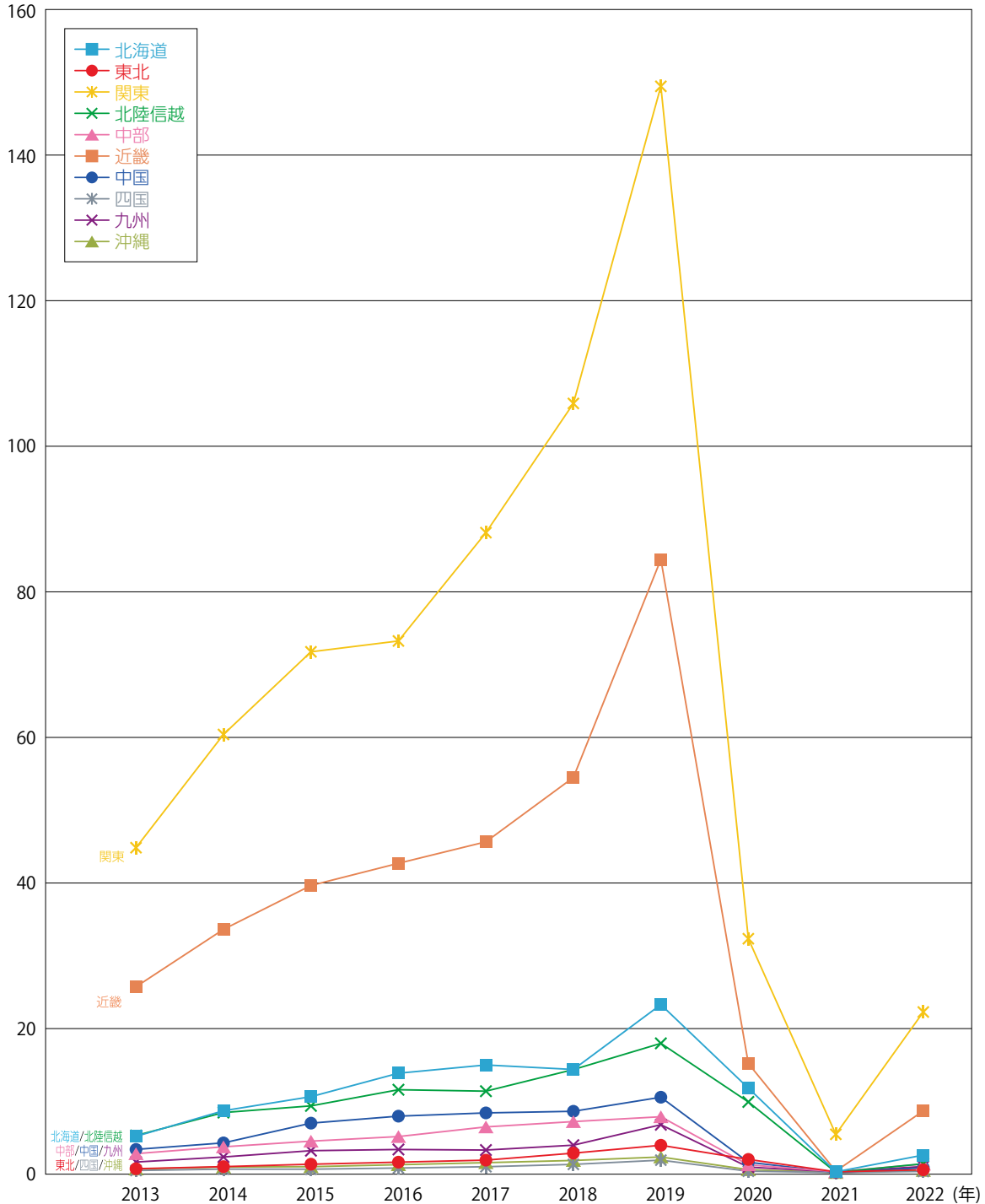
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (23) 訪日豪州人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	49,850	85,080	104,360	136,610	147,930	141,750	230,850	116,160	1,130	24,130
東北	5,400	8,270	11,600	14,410	17,200	26,800	37,620	18,190	1,120	3,950
関東	446,430	601,960	715,520	730,420	879,210	1,056,730	1,492,380	321,370	52,700	220,710
北陸信越	51,010	82,550	91,730	113,930	111,930	141,610	177,640	97,170	510	12,210
中部	26,120	35,480	43,270	49,590	62,850	70,150	76,820	10,750	1,290	11,740
近畿	255,380	334,200	394,500	424,980	454,510	542,870	842,490	149,930	2,080	84,860
中国	31,930	40,880	68,010	77,620	82,080	84,290	103,620	14,330	370	6,680
四国	2,970	4,840	4,740	6,360	8,150	11,380	17,180	1,960	1,120	1,660
九州	14,590	21,530	30,180	31,820	31,060	37,770	65,840	7,610	1,050	8,470
沖縄	5,010	7,730	8,190	10,920	13,730	16,740	21,530	4,110	220	3,100

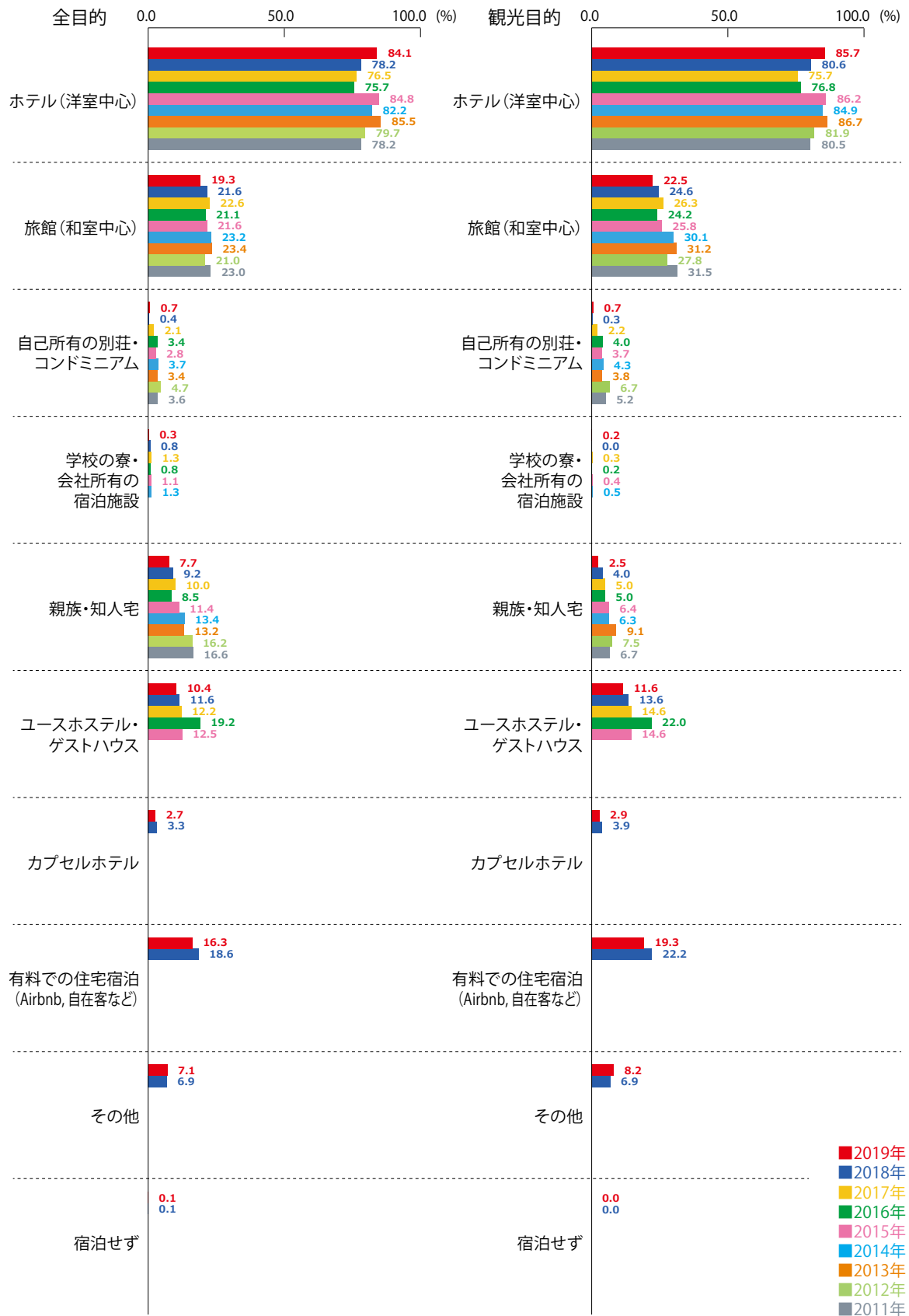
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日豪州人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

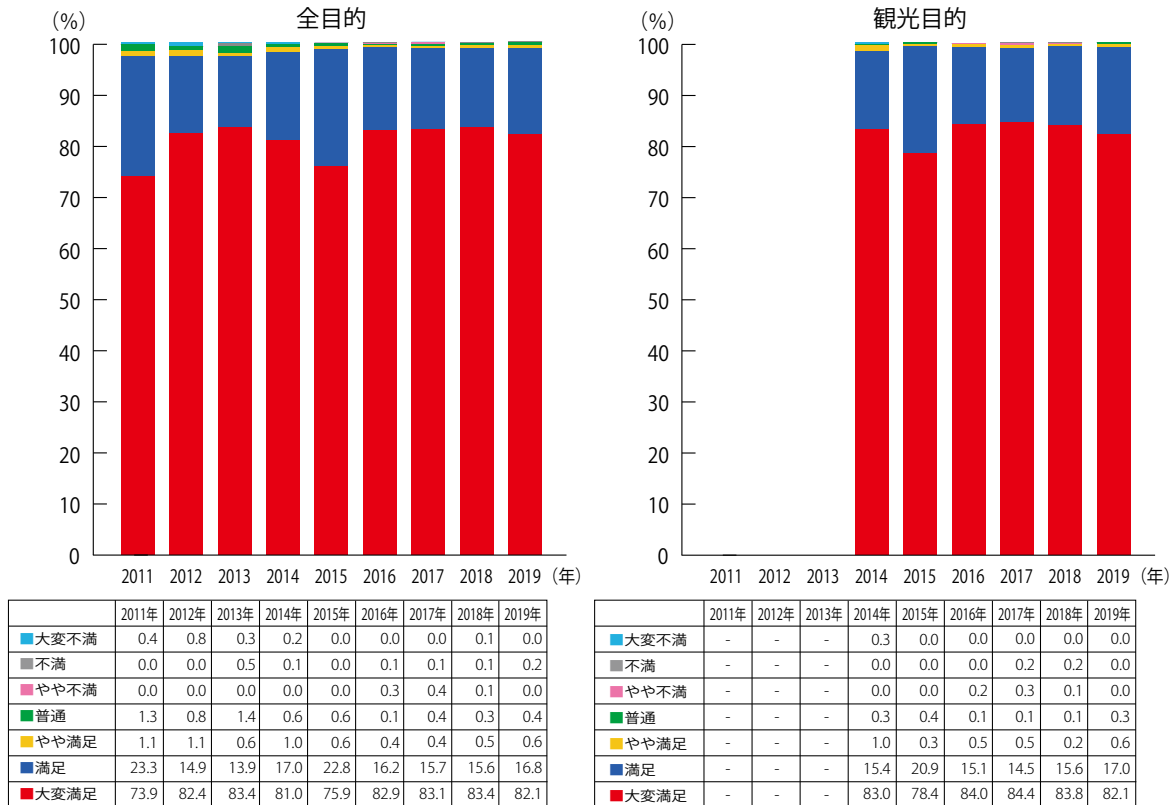
注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) 豪州人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

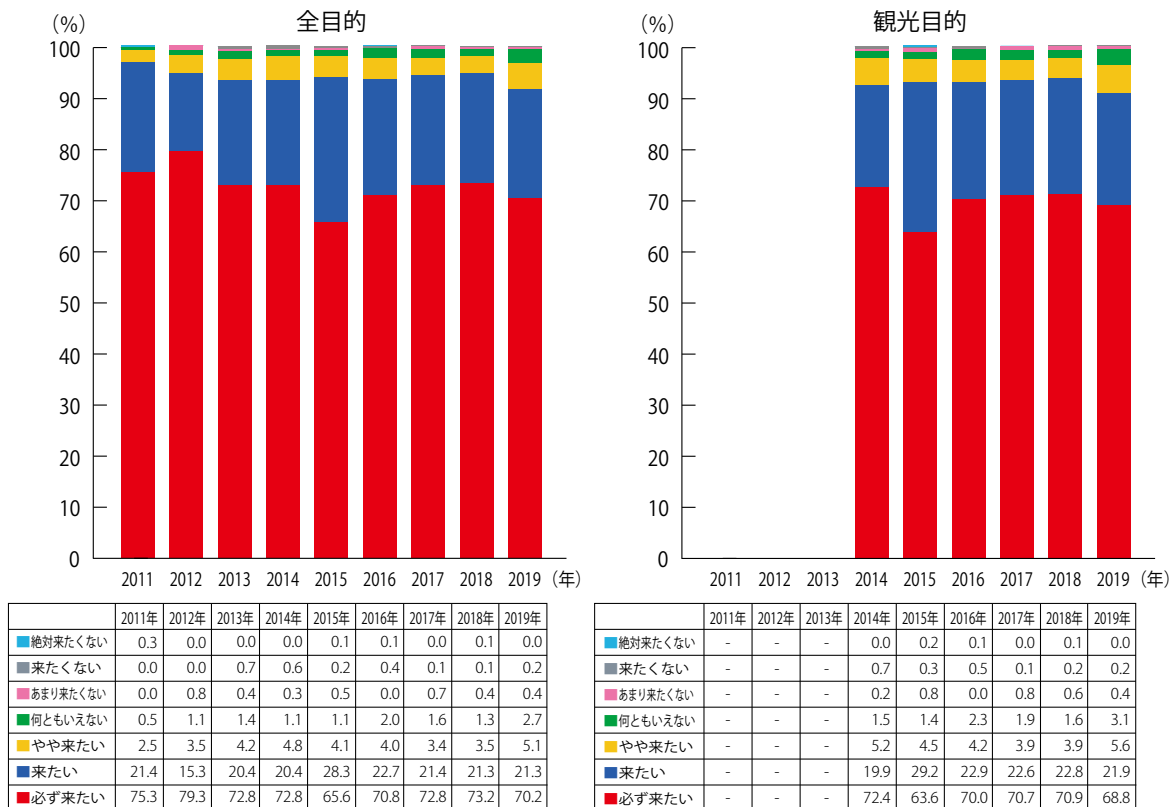


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日豪州人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

白人 (61.6%)、黒人・アフリカ系 (12.4%)、二人種以上の混血 (10.2%)、アジア系 (6.0%)、アメリカ先住民 (1.1%)、オセアニア系 (0.2%) など

出典：2020年米国情勢調査

### (2) 宗教別構成

主にキリスト教

憲法で信教の自由が保障されている。

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

英語 (連邦レベルでは、公用語が法律で定められていないが、英語が共通の言語となっている。) 州レベルでは、以下のとおり州の公用語が定められている。

- ・英語：31州で公用語として規定
- ・アメリカ先住民諸語：アラスカ州で20言語、サウスダコタ州で1言語を公用語として規定
- ・ハワイ語：話者数は少ないが、ハワイ州で公用語として規定

#### 【言語別人口の割合】

英語 (82.1%)、スペイン語 (10.7%)、中国語 (0.8%)、フランス語 (0.6%)、ドイツ語 (0.5%)、タガログ語 (0.5%)、ベトナム語 (0.4%)、イタリア語 (0.4%) など。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、総務省統計局「世界の統計2017」

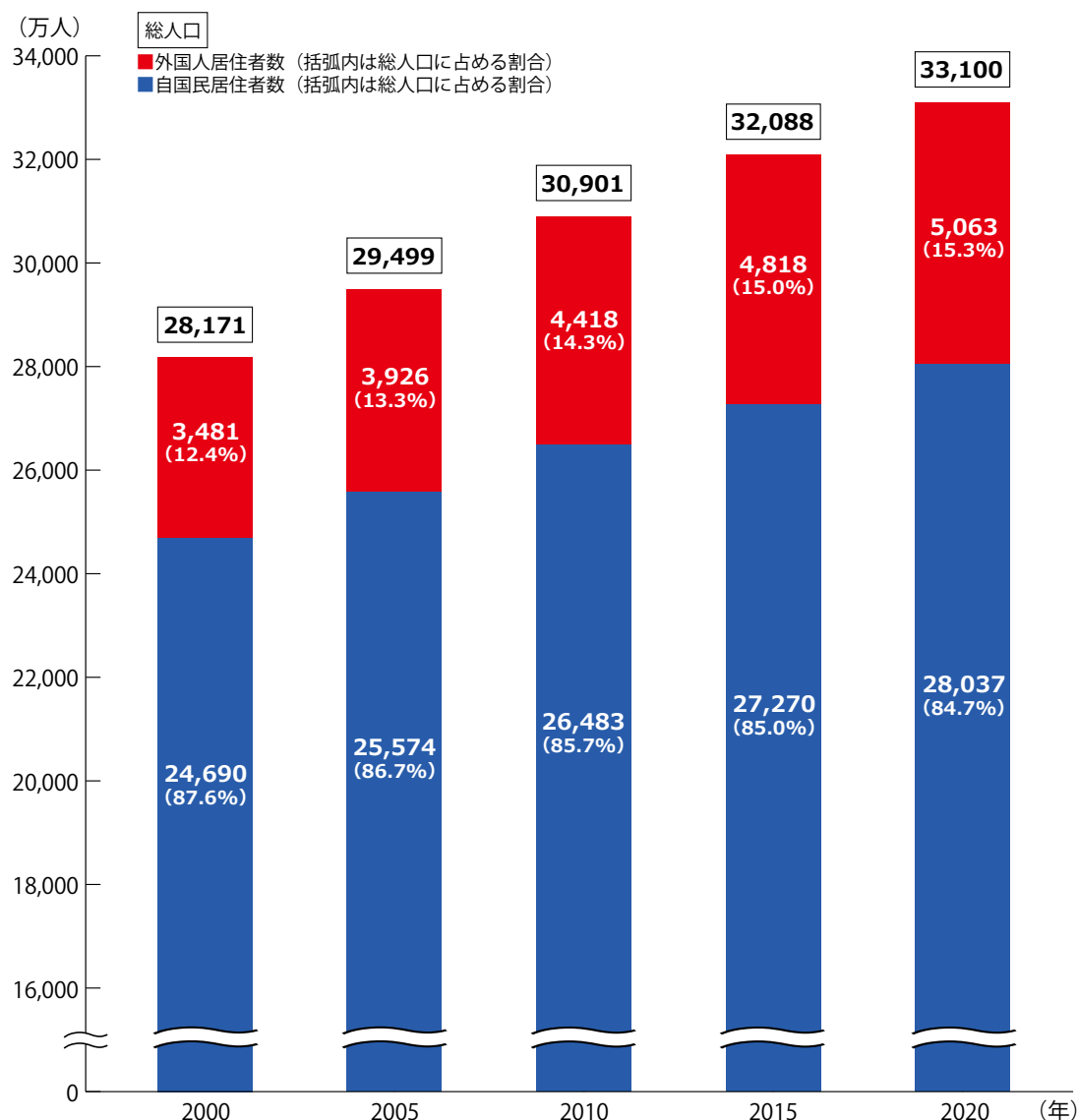
### (4) 面積

983万3,517km<sup>2</sup> (日本の26倍強)

注：米国土の湖水・河川の面積 (五大湖等) が含まれている。

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

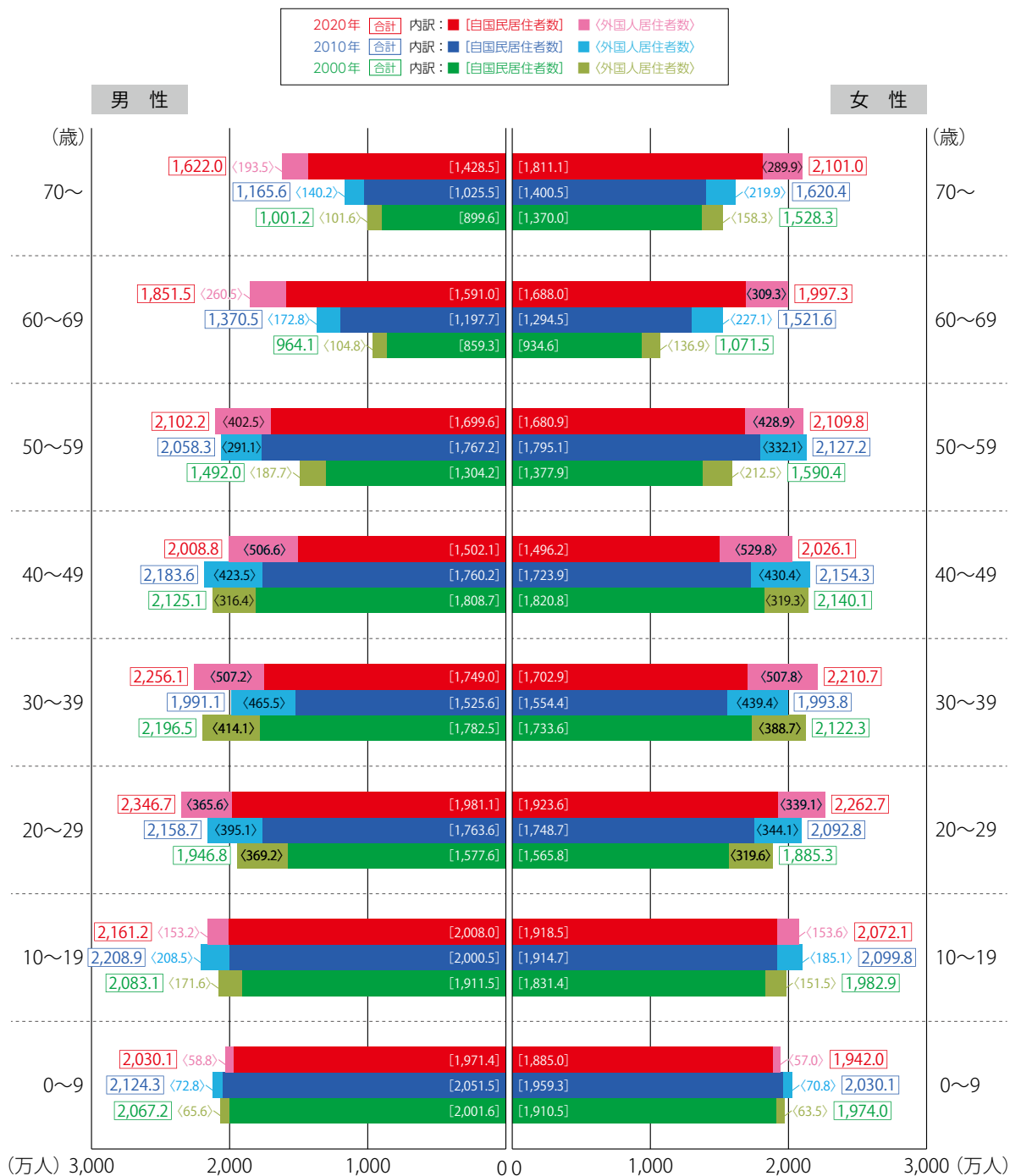
④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：米国の外国人居住者は、注2の①に該当する。

注4：米国の外国人居住者の中には、米国の海外領土のうちの4地域（北マリアナ諸島、グアム、プエルトリコ、米領バージン諸島）から米国本国に来て居住している人も含まれている。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

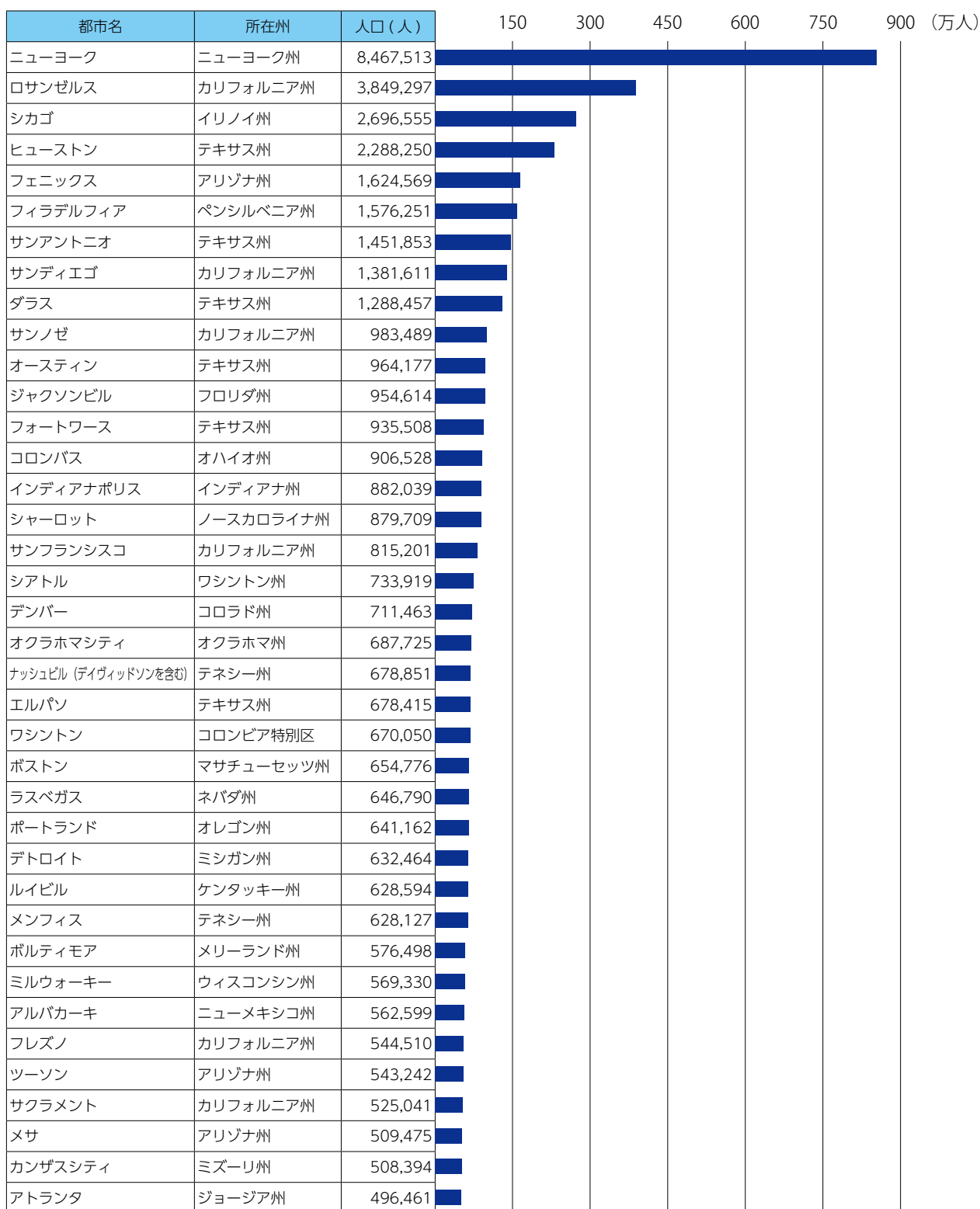
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成



## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2021年の推計値である。

出典：国際連合（2021年）



## (8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日(日)	1月1日(月)	2023年1月2日は振替休日
※キング牧師誕生日	1月16日(月)	1月15日(月)	1月第3月曜日
※大統領の日 (ワシントン誕生日)	2月20日(月)	2月19日(月)	2月第3月曜日
※メモリアル・デー (戦没将兵追悼記念日)	5月29日(月)	5月27日(月)	5月最終月曜日
※ジュンティーンズ独立記念日	6月19日(月)	6月19日(水)	2021年より休日となった
独立記念日	7月4日(火)	7月4日(木)	
※レイバー・デー (勤労感謝の日)	9月4日(月)	9月2日(月)	9月第1月曜日
※コロンブス・デー (大陸発見記念日)	10月9日(月)	10月14日(月)	10月第2月曜日
ベテランズ・デー (退役軍人の日)	11月11日(土)	11月11日(月)	2023年11月10日は振替休日
※サンクスギビング・デー (感謝祭)	11月23日(木)	11月28日(木)	11月第4木曜日
クリスマス・デー	12月25日(月)	12月25日(水)	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：上記以外にも、州ごとに定める祝日がある。

出典：米国人事管理局、米国中央銀行の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
小学校	6歳～12歳 (6年間)	冬期休暇	2月の大統領の日を含む約10日間	州・市などにより異なる。
		春期休暇	3月または4月の復活祭を含む約1週間	
		夏期休暇	6月～8月の間の約70日間	州・市などにより異なる。
		年末年始休暇	クリスマス～新年の約10日間	
下級 ハイスクール	12歳～15歳 (3年間)	冬期休暇	2月の大統領の日を含む約10日間	州・市などにより異なる。
		春期休暇	3月または4月の復活祭を含む約1週間	
		夏期休暇	6月～8月の間の約70日間	州・市などにより異なる。
		年末年始休暇	クリスマス～新年の約10日間	
上級 ハイスクール	15歳～18歳 (3年間)	冬期休暇	2月の大統領の日を含む約10日間	州・市などにより異なる。
		春期休暇	3月または4月の復活祭を含む約1週間	
		夏期休暇	6月～8月の間の約70日間	州・市などにより異なる。
		年末年始休暇	クリスマス～新年の約10日間	
総合大学	18歳～22歳 (4年間)	冬期休暇	12月～1月の間の約2～3週間	
		夏期休暇	6月～8月の間の約10～12週間	
学校年度	9月～翌年8月			
義務教育	小学校(6年間) + 下級ハイスクール(3年間) + 上級ハイスクール(最初の1年間) = 10年間			

注1：期間や期日は州や市によって異なる。

注2：義務教育の期間は、最も一般的なものを記載している。

出典：米国大使館広報・文化交流部 アメリカンセンター Japanの資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		一般的に土曜日、日曜日が休日である。
有給休暇日数	規定なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>有給休暇の法的な付与義務はないが、一般的には企業が福利厚生の一部として、有給休暇を設定している。(但し、イリノイ州では、2024年から年最大5日の有給休暇法が施行され、実質的な有給休暇付与の義務化となる。)</li> <li>民間企業における有給休暇の平均付与日数は、勤続1年以上で10日間、5年以上で15日間、10年以上で17日間、20年以上で20日間。</li> </ul>
定年退職	なし	1967年雇用における年齢差別禁止法 (Age Discrimination Act of 1967)	職業により例外あり (航空管制官：56歳など)。

出典：米国政府、日本国厚生労働省「2019年海外情勢報告 米国」

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施) 但し、18歳～25歳の男性(一部対象外あり)は、連邦選抜徴兵制度(Selective Service System)に登録する義務があり、有事の際には徴兵される可能性がある。有事に徴兵制が復活した場合には、くじ引きが実施され、誰が徴兵されるかが決まる。くじ引きは年齢ごとに実施され、抽選の年に20歳の誕生日を迎えた男性が、最初に入隊命令を受ける。必要に応じて、21歳、22歳、23歳、24歳、25歳、19歳、18.5歳の順番で徴兵される。その場合の徴兵期間は2年間。
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず(連邦選抜徴兵制度への登録義務は男性のみ)
入隊対象年齢	該当せず(連邦選抜徴兵制度への登録義務は18歳～25歳)

出典：日本国外務省、米国選抜徴兵局、米国中央情報局(CIA)

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	31.9
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	30.6
トラベルアンドレジャー (Travel + Leisure)	ウェブサイト	旅行ニュース発信	28.7
ナショナルジオグラフィック (National Geographic)	ウェブサイト	地理学・科学・歴史・ 自然に関する情報発信	22.8
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	22.6
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメな どを配信	18.8
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	18.2
エクスペディア (Expedia)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	17.6
フォーダーズ (Fodor's)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	14.8
コンデナスト・トラベラー (Conde Nast Traveller)	ウェブサイト	旅行ニュース発信	14.3
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	14.0
日本政府観光局 (JNTO)	ウェブサイト (米国 向け)	旅行情報発信	13.2
CNNトラベル (CNN travel)	ウェブサイト	旅行情報・旅行ニュース発信	12.6
ロンリープラネット (Lonely Planet)	ウェブサイト	旅行情報発信	12.1
USAトゥデイ トラベル (USA Today (travel))	ウェブサイト	旅行ニュース発信	11.8
ヤフー (Yahoo)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	11.1
ピンタレスト (Pinterest)	SNS	画像を掲載	8.1
ビクター (Viator)	ウェブサイト	旅行予約	5.9
アソシエイテッドプレス トラベル (Associated Press (travel))	ウェブサイト	旅行ニュース発信	5.2

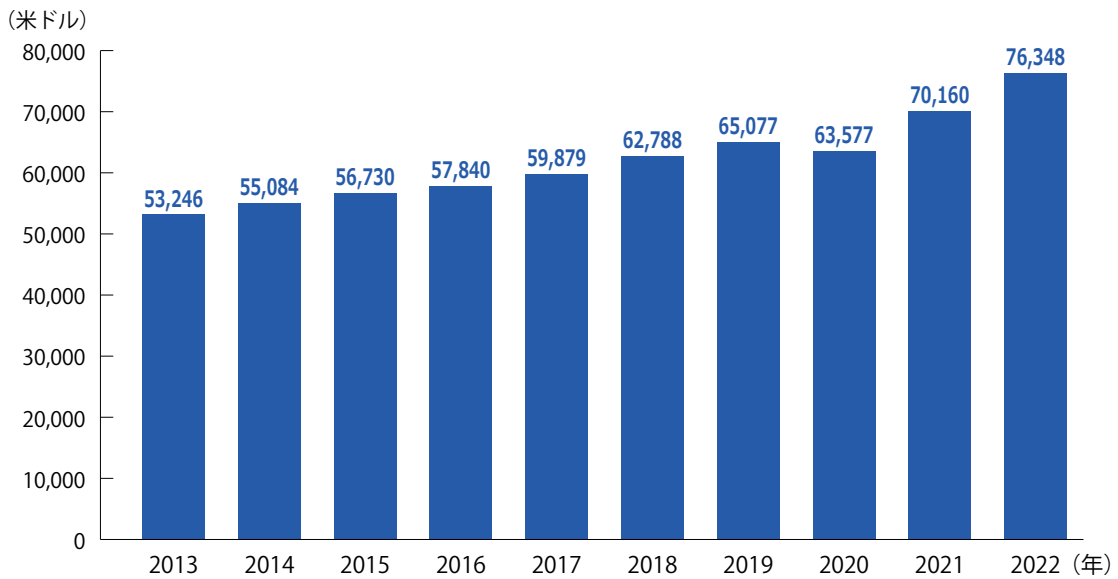
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

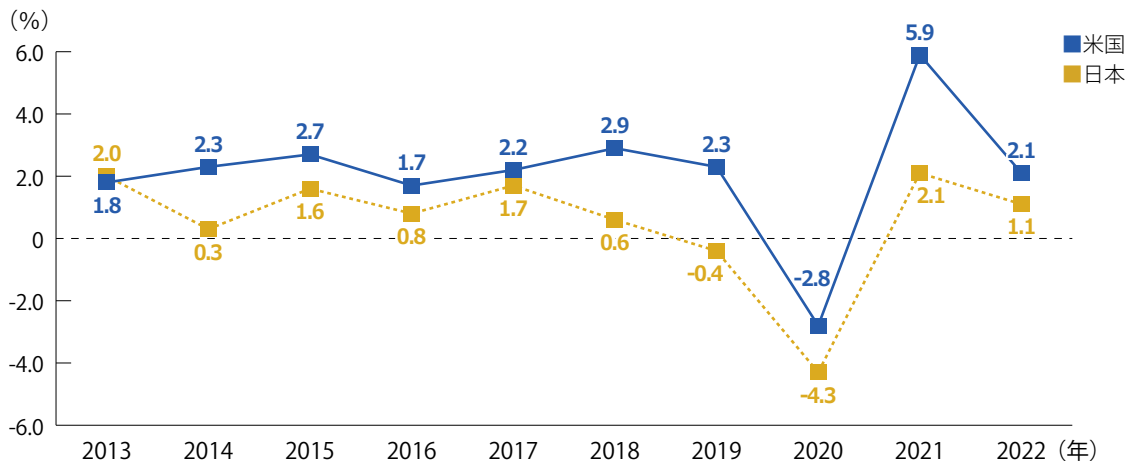
出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



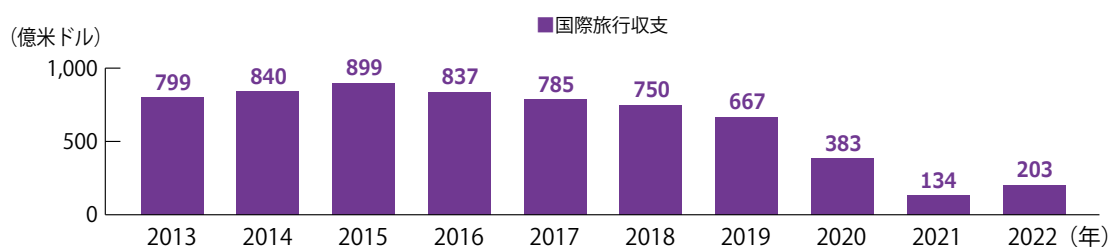
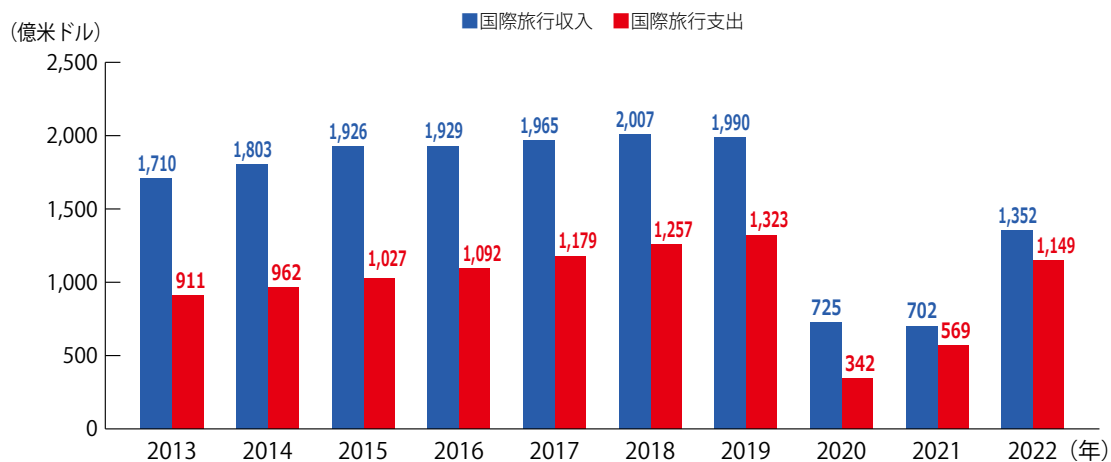
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(2) 実質経済成長率 (2013年～2022年)



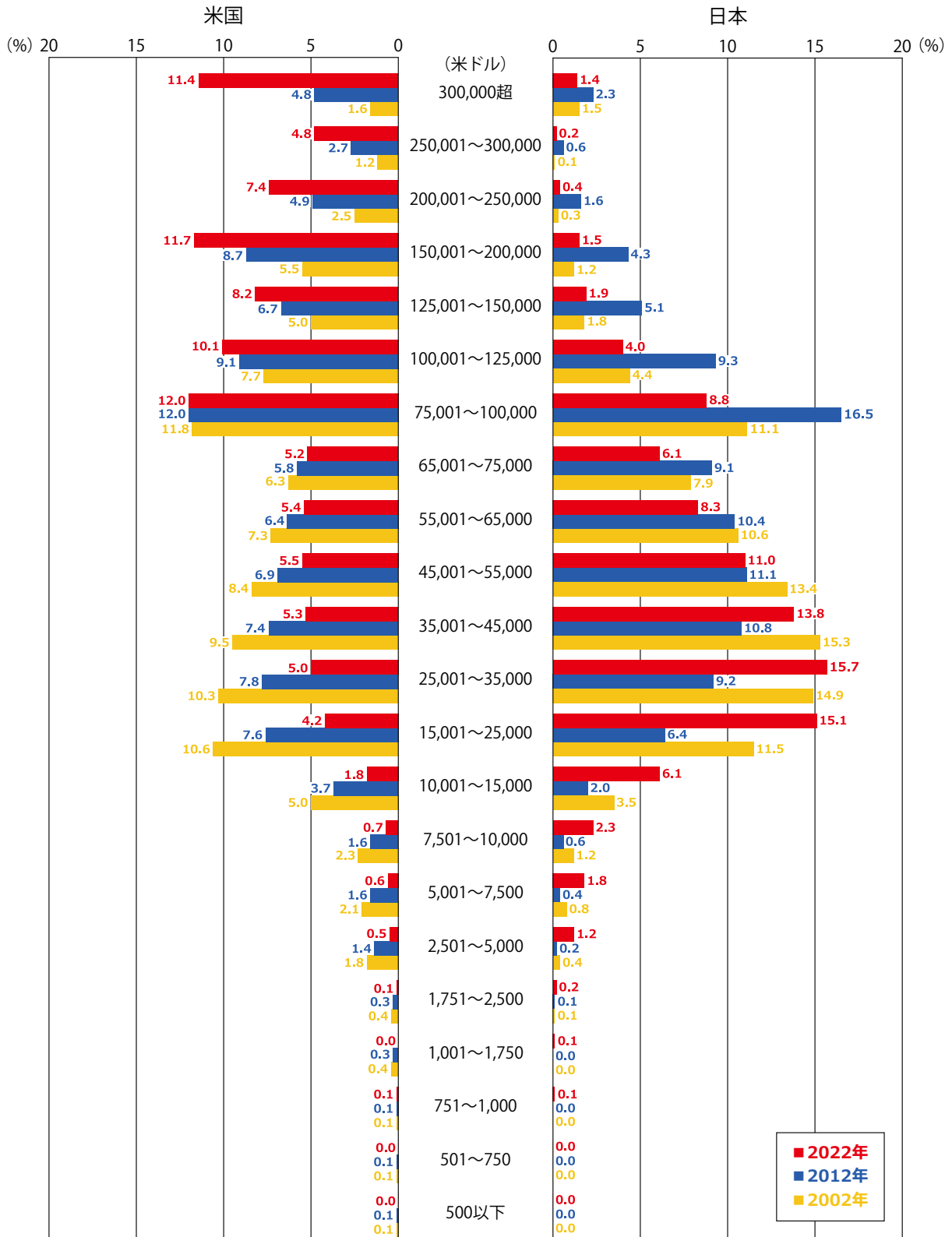
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



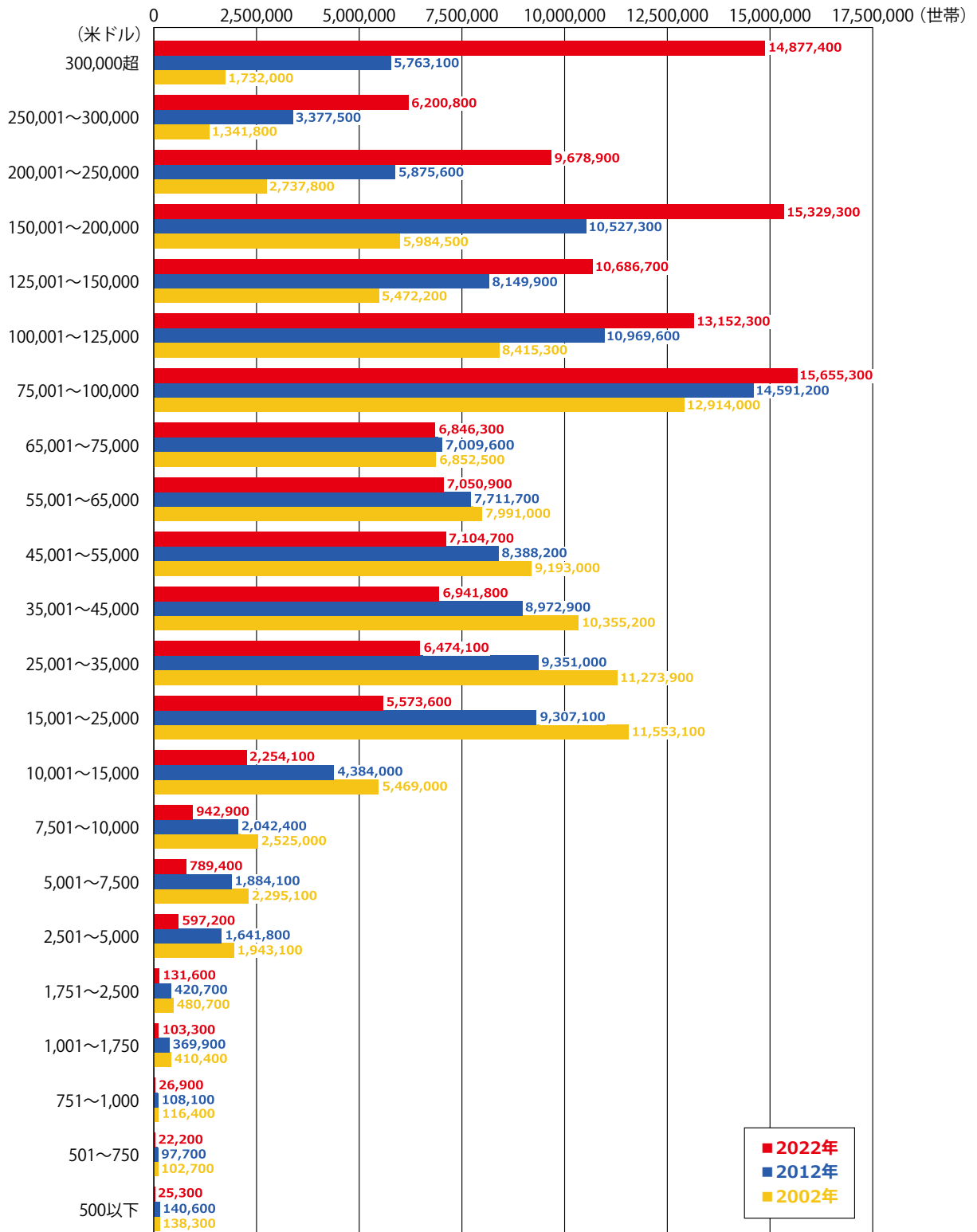
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

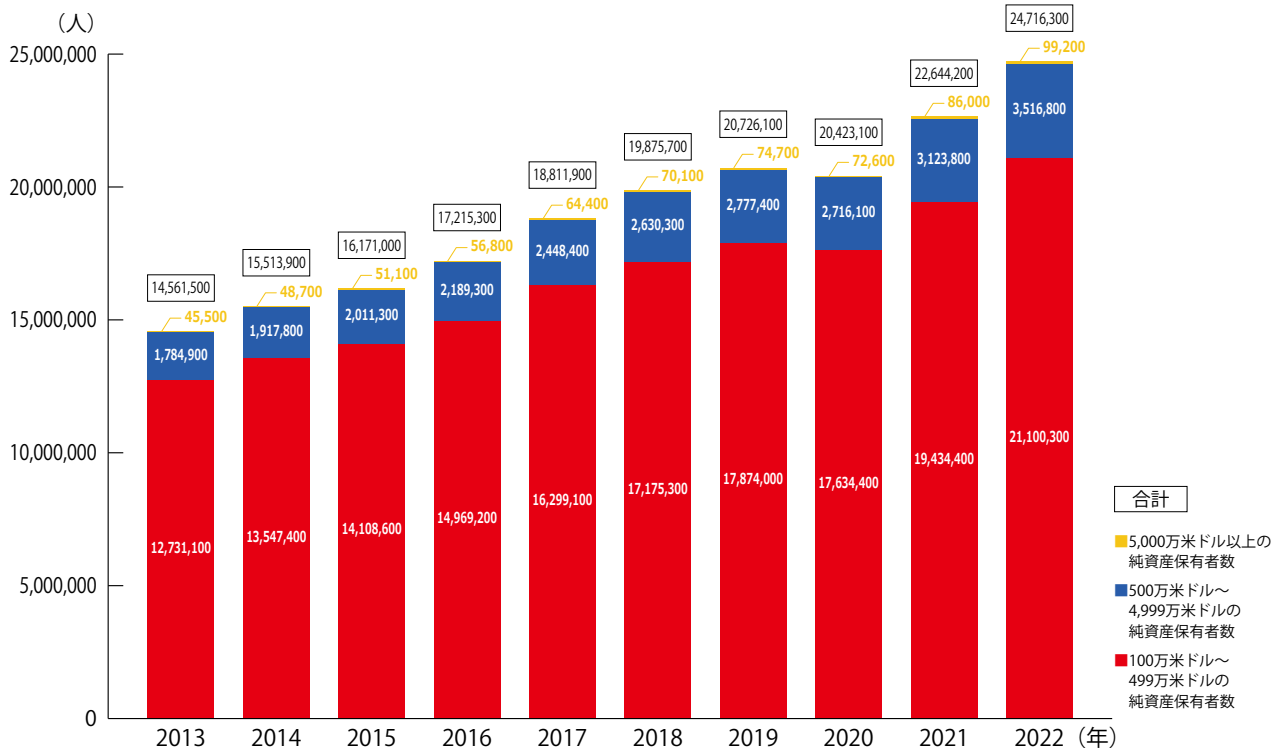
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル



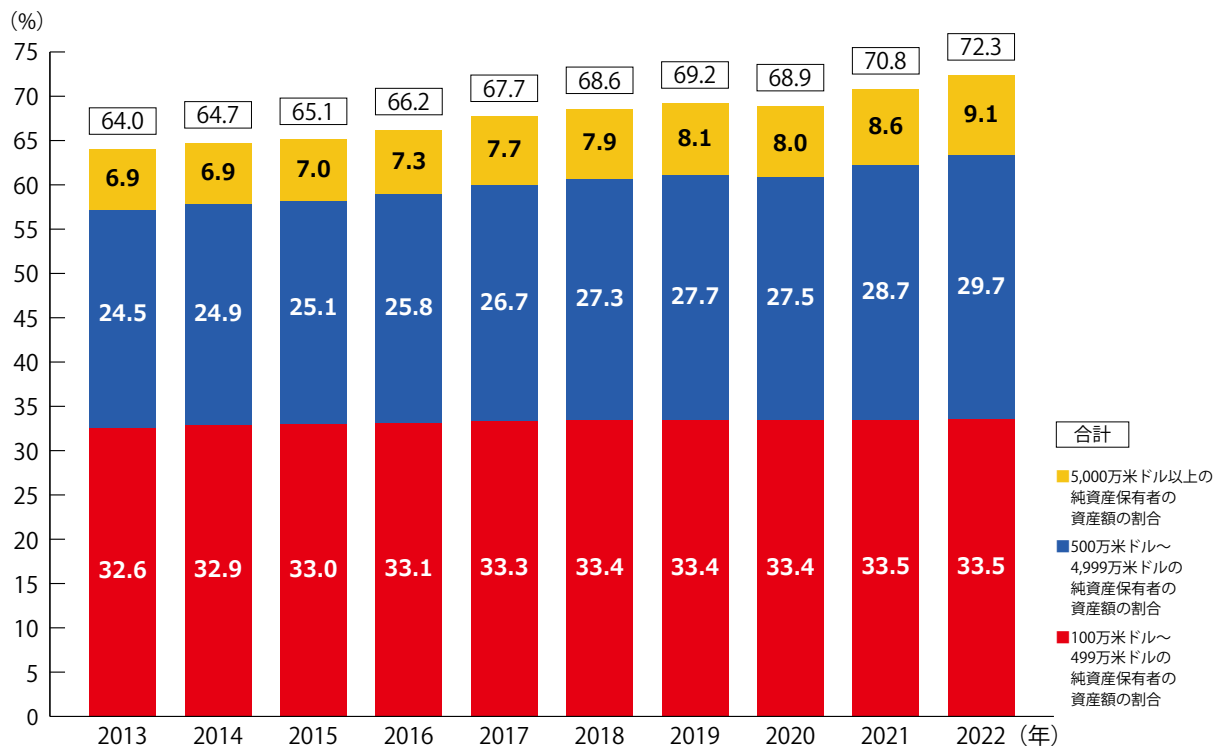
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



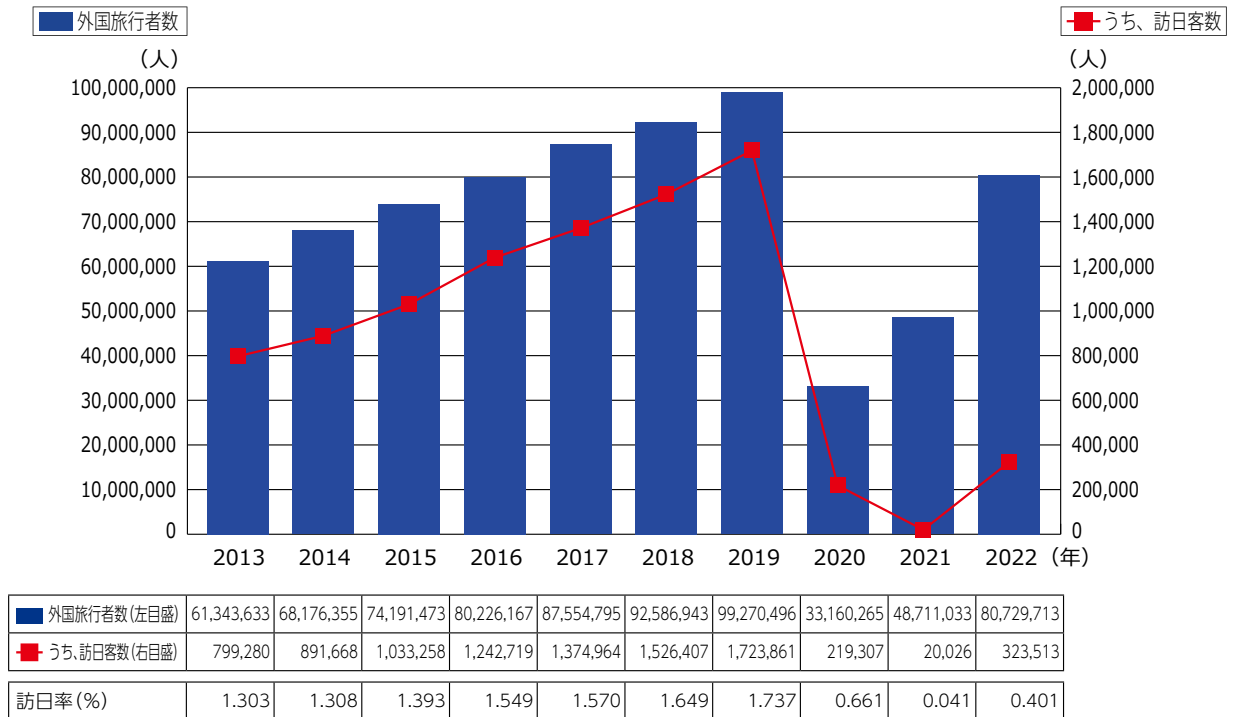
注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル



第3章 外国旅行の動向

(1) 米国人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：米国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
出典：米国商務省国際貿易局、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域への米国人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の 最大値
						2020年	2021年	
1位	メキシコ	TFN	30,826,053	33,254,129	36,679,206	21,557,757	28,200,360	36,679,206
2位	カナダ	TFR	14,241,683	14,440,353	15,004,542	1,928,789	2,093,413	15,004,542
3位	英国	VFR	4,630,945	4,571,476	4,498,754		663,467	4,630,945
4位	フランス	TCER	3,717,812	4,302,950	4,478,129	771,977	1,292,841	4,478,129
5位	イタリア	TFN	3,361,169	3,693,998	3,946,029	525,678	706,191	3,946,029
6位	スペイン	TFR	2,637,484	2,959,487	3,324,870	405,810	797,844	3,324,870
7位	ドイツ	TCER	2,808,344	2,969,190	3,057,411	594,071	701,120	3,057,411
8位	プエルトリコ	TFR	3,048,400	2,667,400	2,838,000	2,372,700	2,696,100	3,048,400
9位	中国	VFN	2,309,282	2,483,554	2,406,657			2,483,554
10位	ドミニカ共和国	TFR	2,146,448	2,334,987	2,186,722	709,772	2,070,980	2,334,987
11位	ジャマイカ	TFR	1,509,963	1,628,402	1,838,904	637,505	1,278,679	1,838,904
12位	日本	VFN	1,374,964	1,526,407	1,723,861	219,307	20,026	1,723,861
13位	アイルランド	TFR	1,511,000	1,739,000	1,673,000			1,739,000
14位	オランダ	THSR	1,406,000	1,469,000	1,553,000	264,000	240,000	1,553,000
15位	インド	VFN	1,376,919	1,456,678	1,512,032	394,092	429,860	1,512,032
16位	パハマ	TFR	1,146,727	1,304,668	1,473,954	355,623	834,313	1,473,954
17位	コスタリカ	TFN	1,199,241	1,265,067	1,334,777	434,775	868,986	1,334,777
18位	スイス	TCER	1,009,002	1,117,516	1,219,342	167,084	278,863	1,219,342
19位	ポルトガル	TCER	794,768	986,521	1,207,961	133,988	347,777	1,207,961
20位	ギリシャ	TFR	864,921	1,097,445	1,178,989	106,574	396,040	1,178,989
21位	タイ	TFN	1,056,423	1,122,088	1,165,950	211,075	37,880	1,165,950
22位	フィリピン	TFR	957,813	1,034,471	1,064,440	211,816	39,326	1,064,440
23位	デンマーク	TCER	746,358	780,069	1,062,727	254,906	462,981	1,062,727
24位	韓国	VFN	868,881	967,992	1,044,038	220,417	204,025	1,044,038
25位	イスラエル	TFR	778,762	898,087	969,405	200,458	149,068	969,405
26位	サウジアラビア	TFN	442,376	824,768	893,981	121,347	61,084	893,981
27位	オーストリア	TCER	746,337	809,175	858,134	113,620	132,088	858,134
28位	アルバ	TFR	695,718	742,016	838,288	295,307	677,367	838,288

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	豪州	VFR	780,570	789,380	817,981	188,691	16,738	817,981
30位	アラブ首長国連邦	VFN	772,368	778,845	788,909	217,500		788,909
31位	ハンガリー	TFN	682,441	722,706	761,467	208,941	224,235	761,467
32位	香港	TFR	870,279	931,936	761,025	48,419	1,330	931,936
33位	ベトナム	VFR	614,117	687,226	746,171	174,080	3,880	746,171
34位	シンガポール	VFR	565,430	643,268	729,409	123,182	10,957	729,409
35位	コロンビア	TFR	529,013	647,784	705,359	230,331	517,239	705,359
36位	ペルー	TFR	598,685	641,280	656,991	127,555	177,000	656,991
37位	クロアチア	TCER	451,947	558,751	626,035	51,767	263,690	626,035
38位	台湾	VFR	561,365	580,072	605,054	82,872	11,981	605,054
39位	エルサルバドル	TFN	477,257	540,174	600,254	239,448	734,639	734,639
40位	ブラジル	TFR	475,232	538,532	590,520	172,105	132,182	590,520
41位	チェコ	TCEN	540,572	554,394	584,627	54,158	89,629	584,627
42位	スウェーデン	TCER	398,311	433,044	528,225	175,272	266,951	528,225
43位	ノルウェー	TCER	424,035	457,655	525,287	105,262	112,028	525,287
44位	トルコ	TFN	310,542	417,755	518,166	148,387	352,781	518,166
45位	キューバ	VFR	618,346	638,365	498,538	58,147	7,039	638,365
46位	アルゼンチン	TFR	391,487	419,845	466,002	161,977	42,369	466,002
47位	アイスランド	TFN	576,403	694,814	464,059	52,589	226,645	694,814
48位	グアテマラ	VFR	386,834	439,044	458,477	119,246	233,442	458,477
49位	インドネシア	VFN	344,766	387,856	457,832	91,782	21,962	457,832
50位	ベルギー	TCER	367,593	426,336	451,537	67,412	72,690	451,537
51位	ケイマン諸島	TFR	340,955	385,319	418,612	99,114	9,528	418,612
52位	エクアドル	VFN	244,600	351,704	403,364	140,484	269,673	403,364
53位	タークス・カイコス諸島	TFR	342,320	363,472	397,547	138,354		397,547
54位	ポーランド	TCER	311,328	341,006	373,871	68,629	117,659	373,871
55位	南アフリカ共和国	TFR	370,747	376,892	373,694	71,959	82,020	376,892
56位	ニュージーランド	VFR	330,128	352,074	367,958	124,818	5,153	367,958
57位	エジプト	VFN	226,429	287,796	349,596	118,079		349,596
58位	モロッコ	TFN	254,531	304,960	346,702	54,103	66,991	346,702
59位	パナマ	VFR	276,937	307,925	330,219	89,915	149,752	330,219
60位	ベリーズ	TFN	276,566	320,221	326,288	91,195	182,753	326,288
61位	ホンジュラス	TFN	357,698	410,591	305,299	89,829	273,080	410,591
62位	ロシア	VFN	282,188	326,127	289,951	16,801		326,127
63位	米領バージン諸島	THSN	526,153	140,028	275,609	183,797	396,814	526,153
64位	マレーシア	TFN	198,203	253,384	269,928	48,810	2,030	269,928
65位	カンボジア	TFR	256,544	250,813	248,863	55,973	6,535	256,544
66位	ケニア	VFR		225,157	245,437	65,377	136,981	245,437
67位	チリ	TFN	211,718	222,355	224,741	62,045	17,612	224,741
68位	ハイチ	TFR	373,879	349,990	224,299	169,527	130,087	373,879
69位	ルーマニア	VFR	201,156	198,648	214,338	29,315	72,886	214,338
70位	バミューダ	TFR	198,259	214,499	202,460	28,183	57,770	214,499
71位	レバノン	TFN	171,110	190,464	192,671	38,104	109,325	192,671
72位	セントルシア	TFR	168,223	175,073	191,719	67,967	152,248	191,719
73位	ウクライナ	TFR	153,778	184,018	187,653	42,749	102,854	187,653
74位	ナイジェリア	VFN	191,841	179,521	179,880	35,910	34,827	191,841
75位	トリニダード・トバゴ	TFN	169,690	164,861	178,026	43,950	22,328	178,026
76位	バルバドス	TFR	189,022	204,805	168,699	52,488	42,422	204,805
77位	セントマーティン	TFN	208,348	67,534	165,742	54,515	160,408	208,348
78位	ニカラグア	TFN	277,388	160,855	162,412	48,697	70,326	277,388
79位	スロベニア	TCEN	116,263	138,488	148,739	14,327	38,861	148,739
80位	フィンランド	TCER	125,726	139,138	142,512	41,203	43,112	142,512
81位	ヨルダン	TFN	102,191	120,384	139,978	26,534	45,277	139,978
82位	エチオピア	TFR	150,654	147,600	132,884	29,121	48,981	150,654
83位	クウェート	VFN	125,744	130,254	128,949	38,474	42,662	130,254
84位	カタール	VFN	101,144	104,299	127,271	28,122	16,203	127,271
85位	アンティグア・バーブーダ	TFR	96,347	104,103	123,557	60,389	102,495	123,557
86位	アルバニア	VFN	97,786	116,978	119,179	24,570	95,377	119,179
87位	ブルガリア	VFR	90,963	101,220	109,283	27,183	54,524	109,283
88位	タンザニア	VFR	82,238	94,876	101,556	31,211	48,656	101,556
89位	ガイアナ	TFR	82,616	89,456	99,131	36,194	101,538	101,538
90位	フィジー	TFR	81,198	86,075	96,968	17,198	4,233	96,968
91位	グアム	TFR	77,077	103,158	95,223	34,650	50,254	103,158
92位	ネパール	TFN	79,146	91,785	93,218	17,767	22,854	93,218
93位	仏領ポリネシア(タヒチ)	TFR	68,210	75,693	88,782	32,285	40,955	88,782
94位	マカオ	THSR	71,200	77,917	79,021	7,171	1,883	79,021
95位	キュラソー	TFR	61,147	73,259	74,049	22,646	39,096	74,049
96位	ジンバブエ	VFR	101,206	95,025	73,987	12,183	18,756	101,206

前ページから

次ページへ

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
97位	セントクリストファー・ネイビス	TFR	69,130	77,432	73,355	19,054	14,926	77,432
98位	オマーン	VFN	68,198	61,568	69,900	14,855	7,179	69,900
99位	スリランカ	TFR	57,479	75,308	68,832	16,842	6,124	75,308
100位	モザンビーク	VFR	34,718	65,826	68,555	37,506	18,340	68,555
101位	ミャンマー	TFN	73,085	65,057	66,757	15,030	614	73,085
102位	アンギラ	TFR	43,327	30,634	63,236	17,615	23,297	63,236
103位	アルメニア	TFR	95,356	90,661	63,175	6,039	31,657	95,356
104位	グレナダ	TFN	54,839	61,423	62,232	17,171	20,754	62,232
105位	ウルグアイ	VFN	57,502	62,175	62,024			62,175
106位	ウガンダ	TFR	61,775			7,100	7,571	61,775
107位	ラオス	VFN	38,765	49,178	61,184	18,111		61,184
108位	スロバキア	TCEN	46,728	53,162	57,839	8,975	11,371	57,839
109位	ボツワナ	TFR	46,407	57,375		4,872		57,375
110位	モルディブ	TFN	39,180	42,901	54,474	19,759	55,760	55,760
111位	リトアニア	TCER	43,524	48,566	54,068	11,746	20,883	54,068
112位	ボリビア	TFN	59,812	58,841	52,764	14,176	23,993	59,812
113位	マルタ	TFR	35,758	47,170	50,525	8,612	13,321	50,525
114位	エストニア	TCER	38,381	46,455	50,307	5,852	11,952	50,307
115位	ジョージア	VFR	33,569	41,863	46,558	7,384	19,470	46,558
116位	ラトビア	TCER	44,760	49,290	43,292	8,582	12,104	49,290
117位	ルワンダ	VFN	33,230	38,294	40,167	10,015	11,318	40,167
118位	セルビア	TCEN	34,169	39,020	40,091	9,732	19,886	40,091
119位	ザンビア	TFR	39,121	41,390	39,930	6,109	12,256	41,390
120位	バーレーン	VFR		33,535	39,165		10,526	39,165
121位	トーゴ	THSR	25,776	26,532	38,708	15,449		38,708
122位	モンテネグロ	TCEN	23,842	29,536	35,757	3,755	20,057	35,757
123位	モナコ	THSN	26,779	30,911	34,632	2,826	9,633	34,632
124位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	25,926	28,187	33,762	4,505	14,007	33,762
125位	カザフスタン	VFR	29,632	31,371	32,780	6,121	6,953	32,780
126位	ルクセンブルク	TCER	31,103	29,258	29,967	9,066	20,441	31,103
127位	セントピセント・グレナディーン諸島	TFR	23,551	26,351	28,660	9,484	10,909	28,660
128位	セネガル	THSN	27,702					27,702
129位	チュニジア	TFN	18,659	23,165	25,889	5,508	10,656	25,889
130位	ナミビア	TFN	31,144	28,030	25,836	4,219	4,642	31,144
131位	北マリアナ諸島(サイパン)	VFN	25,601	24,130	23,752	5,977	5,439	25,601
132位	キプロス	TCER	18,577	21,116	23,330	5,484	13,310	23,330
133位	ベネズエラ	TFN	19,051					19,051
134位	モンゴル	TFN	16,667	17,838	18,838	1,147	1,570	18,838
135位	アゼルバイジャン	VFR	15,110	17,507	18,759	2,603	4,400	18,759
136位	シリア	VFN	9,994	15,120	18,590	3,152	15,444	18,590
137位	北マケドニア	TCEN	15,163	17,916	18,285	3,550	10,243	18,285
138位	パラグアイ	TFN	15,424	15,694	17,766	3,403	4,612	17,766
139位	ウズベキスタン	VFR	1,324	11,133	17,106	1,797	5,423	17,106
140位	キルギス	VFR	13,941	16,034	16,998	2,724	6,860	16,998
141位	エスワティニ	VFR	18,595	16,243	15,048	2,788	1,702	18,595
142位	サモア	VFR	10,884	13,872	13,351	1,400	103	13,872
143位	ドミニカ国	TFR	16,700	10,505	12,511	4,425	5,153	16,700
144位	シエラレオネ	TFR	9,456	11,254	11,793	4,106	9,813	11,793
145位	ブータン	TFN	9,220	10,561	11,707	1,086	1	11,707
146位	セーシェル	TFR	9,349	9,810	10,870	2,675	5,551	10,870
147位	モーリシャス	TFR	9,655	10,525	10,407	2,651	1,328	10,525
148位	トンガ	TFR	8,323	7,410	10,329	1,275	15	10,329
149位	ニジェール	TFN	8,401	8,029	9,821	4,367		9,821
150位	モルドバ	TCEN	10,121	9,637	9,808	1,078	4,938	10,121
151位	パプアニューギニア	VFR	8,447	9,428	9,738	1,884	1,324	9,738
152位	レソト	VFR	8,589	8,732	9,239		1,642	9,239
153位	マルティニーク	TFR	22,042	17,563	9,113	1,831	1,393	22,042
154位	カーボベルデ	THSR	5,958	6,886	8,662	2,033	4,498	8,662
155位	クック諸島	TFR	8,372	7,963	8,476	1,733	16	8,476
156位	マダガスカル	TFN	2,621	6,383	7,909	3,678	145	7,909
157位	パラオ	TFN	7,546	7,960	7,817	1,793		7,960
158位	バングラデシュ	TFN	5,596	7,171	7,225	19,973	43,290	43,290
159位	スリナム	TFR	6,827					6,827
160位	アンゴラ	TFR	7,648	6,808	6,659	2,193	1,629	7,648
161位	マリ	TFN	4,393	6,744	6,518	1,340	6,302	6,744
162位	サンマリノ	VFN	8,470	6,821	6,438	121	1,830	8,470
163位	アルジェリア	VFN	5,128	8,662	6,382	1,617	1,052	8,662
164位	ガンビア	TFN	4,257	5,129	6,284	3,028	8,930	8,930

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
165位	ブルキナファソ	THSR	5,331	4,091	5,534	1,776	1,632	5,534
166位	タジキスタン	VFR	2,947	3,418	5,463	1,100	3,243	5,463
167位	リヒテンシュタイン	TCER	4,113	4,132	5,191	554	1,309	5,191
168位	ブルネイ	TFN	4,194	4,137	4,375	851	110	4,375
169位	米領サモア	TFN	4,736	4,345				4,736
170位	ベナン	TFR	4,325	4,529	4,120	3,932		4,529
	イラン	VFN	3,728	2,596	2,195	285	287	3,728

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

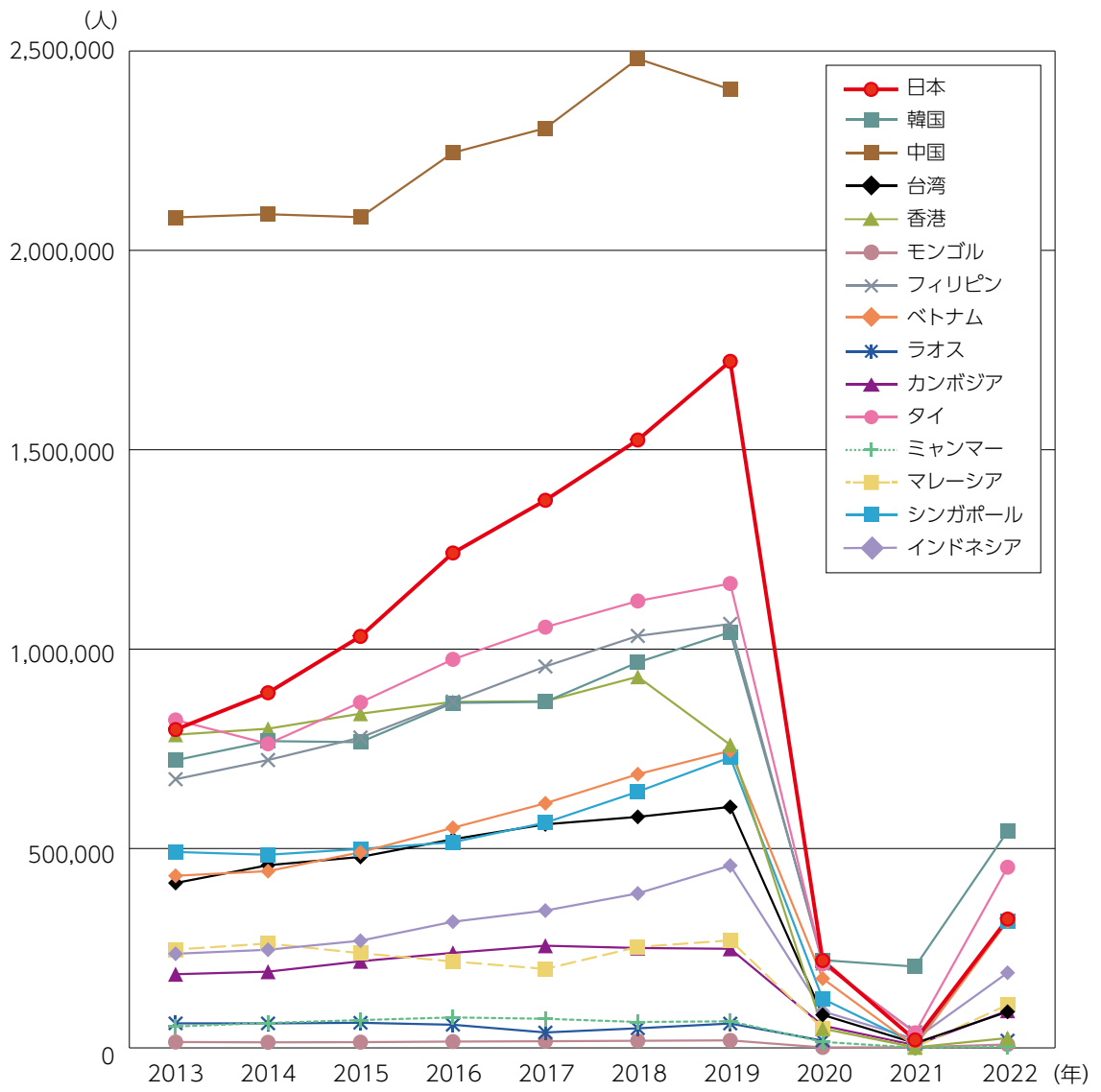
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域への米国人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	2,085,253	2,093,200	2,085,800	2,247,752	2,309,282	2,483,554	2,406,657			
日本	VFN	799,280	891,668	1,033,258	1,242,719	1,374,964	1,526,407	1,723,861	219,307	20,026	323,513
タイ	TFN	823,486	763,520	867,505	975,643	1,056,423	1,122,088	1,165,950	211,075	37,880	453,678
フィリピン	TFR	674,564	722,750	779,217	869,463	957,813	1,034,471	1,064,440	211,816	39,326	
韓国	VFN	722,315	770,305	767,613	866,186	868,881	967,992	1,044,038	220,417	204,025	543,648
香港	TFR	786,359	801,434	839,159	868,968	870,279	931,936	761,025	48,419	1,330	24,686
ベトナム	VFR	432,228	443,776	491,249	552,644	614,117	687,226	746,171	174,080	3,880	318,171
シンガポール	VFR	491,946	484,912	499,509	516,450	565,430	643,268	729,409	123,182	10,957	318,450
台湾	VFR	414,060	458,691	479,452	523,888	561,365	580,072	605,054	82,872	11,981	90,614
インドネシア	VFN	236,375	246,397	269,062	316,782	344,766	387,856	457,832	91,782	21,962	188,764
マレーシア	TFN	246,936	262,106	237,768	217,075	198,203	253,384	269,928	48,810	2,030	108,141
カンボジア	TFR	184,964	191,366	217,510	238,658	256,544	250,813	248,863	55,973	6,535	93,386
ミャンマー	TFN	53,653	62,631	69,815	76,488	73,085	65,057	66,757	15,030	614	3,052
ラオス	VFN	61,608	61,460	63,058	58,094	38,765	49,178	61,184	18,111		18,447
モンゴル	TFN	14,701	13,987	14,420	15,859	16,667	17,838	18,838	1,147	1,570	8,562

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

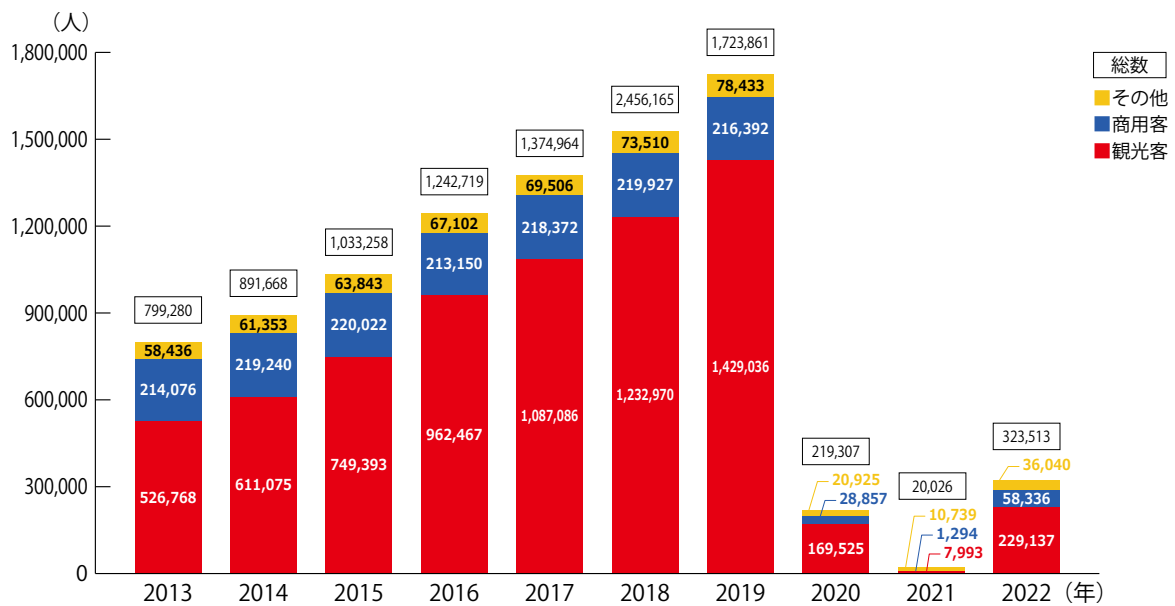
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局



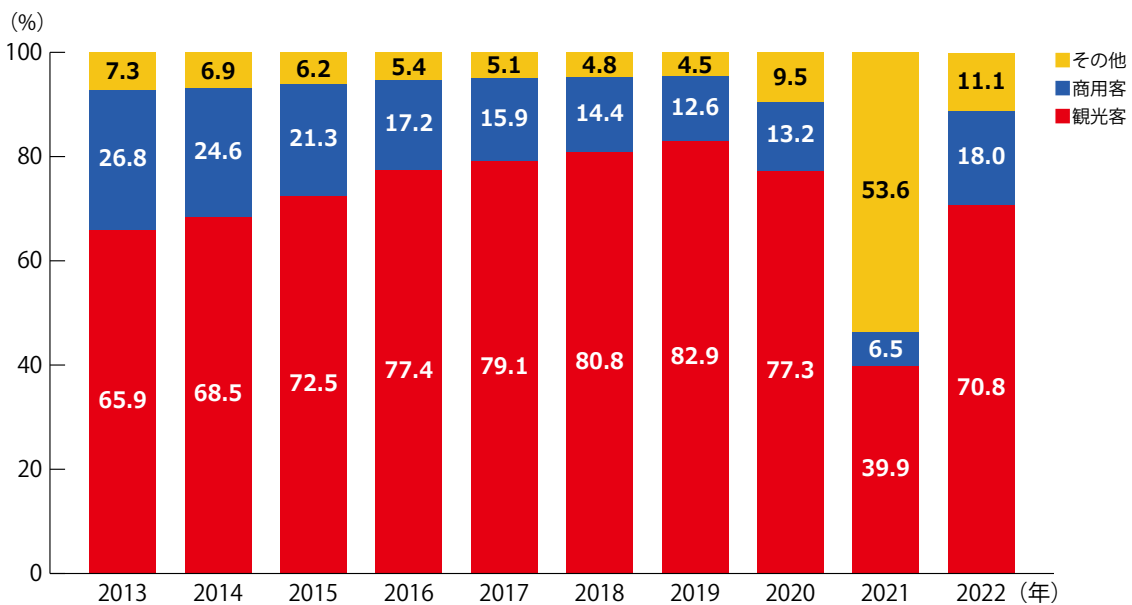
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日米国人の推移（2013年～2022年）



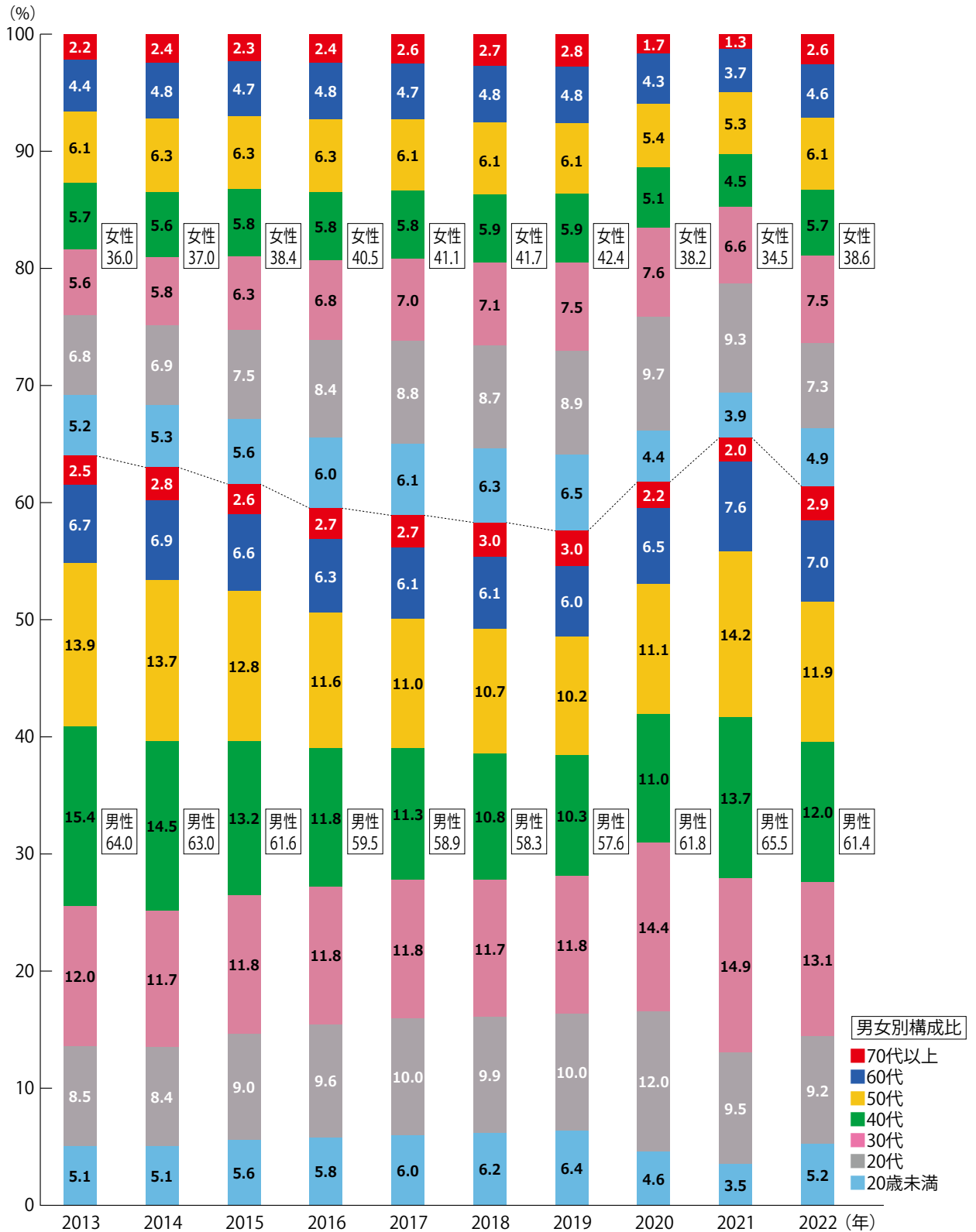
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日米国人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日米国人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)

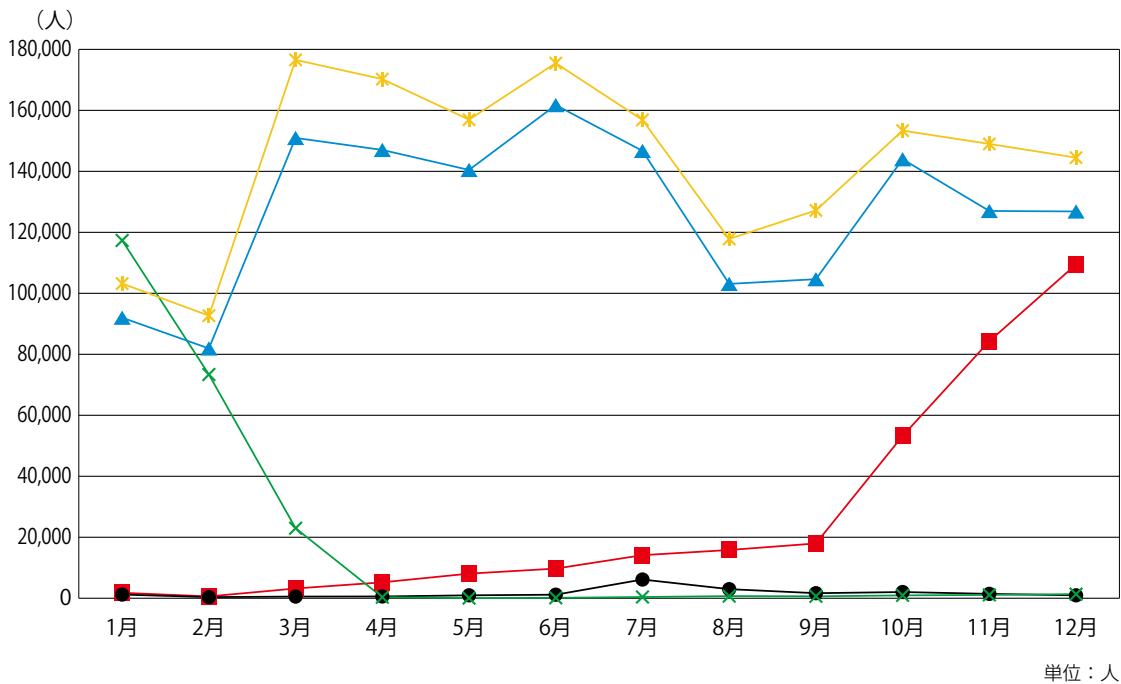


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在外外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省



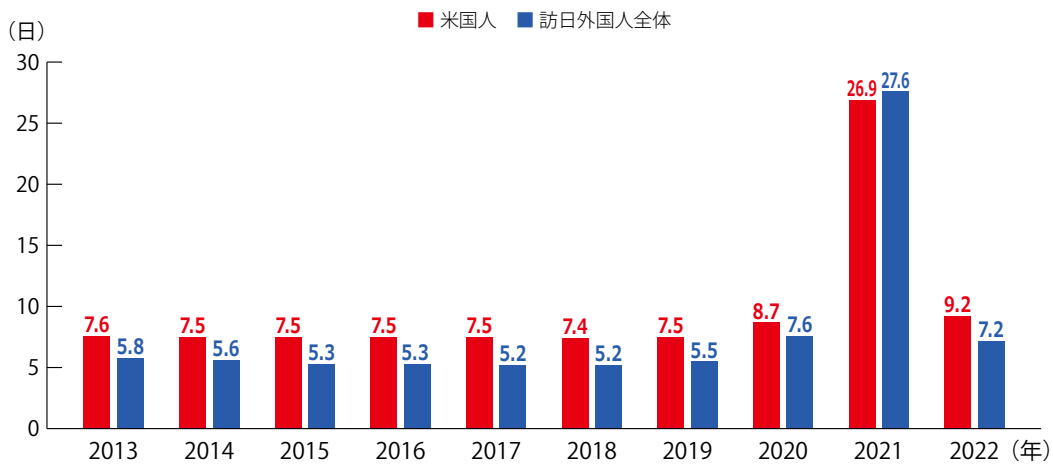
#### (4) 月別訪日米国人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	1,785	595	3,199	5,214	8,066	9,724	14,127	15,823	17,965	53,242	84,289	109,484
● 2021年	1,206	367	550	583	958	1,162	6,139	2,981	1,657	2,035	1,432	956
× 2020年	117,343	73,373	22,964	340	47	136	403	698	632	932	1,091	1,348
✱ 2019年	103,191	92,669	176,564	170,247	156,962	175,491	156,865	117,828	127,190	153,363	148,993	144,498
▲ 2018年	92,014	81,924	150,964	147,028	140,463	161,736	146,716	103,092	104,637	143,977	127,006	126,850

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日米国人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）

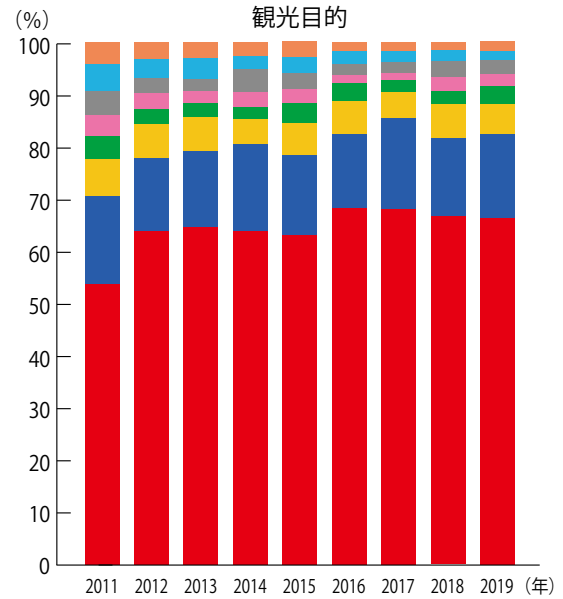
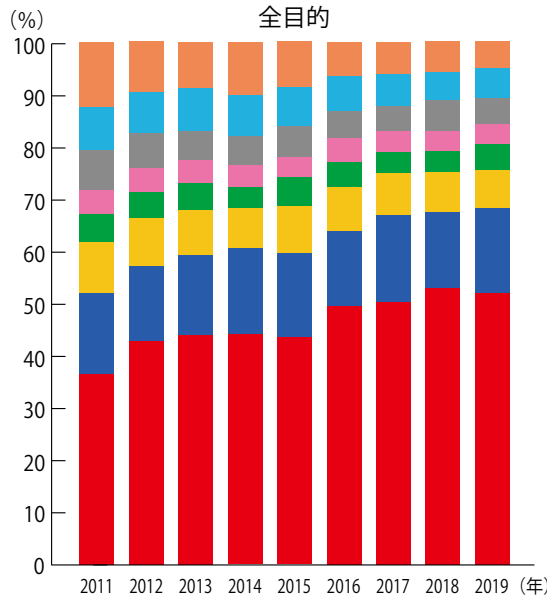


注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



(6) 訪日米国人の訪日回数 (2011年～2019年)

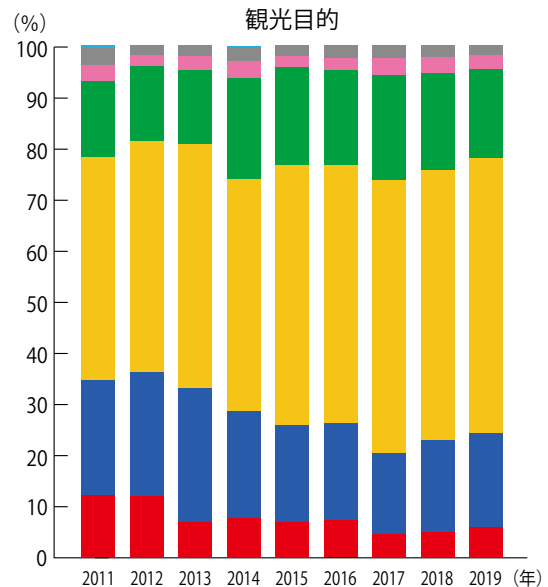
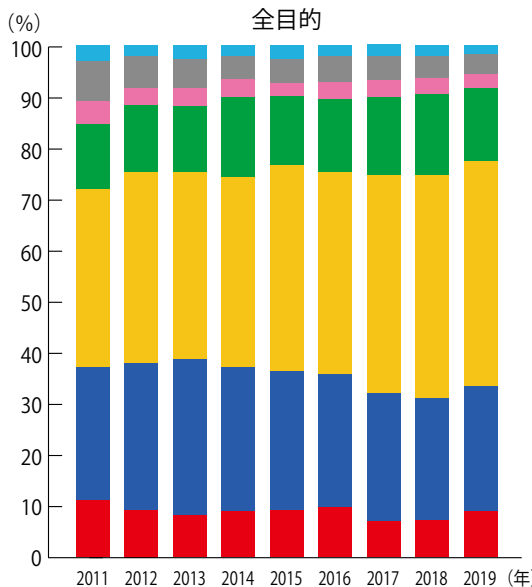


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	12.3	9.6	8.8	10.2	8.9	6.5	6.3	6.0	5.2
10~19回目	8.4	7.9	8.1	7.7	7.3	6.8	6.0	5.2	5.6
6~9回目	7.5	6.6	5.7	5.5	6.0	5.2	4.8	6.0	5.1
5回目	4.7	4.7	4.3	4.4	3.8	4.5	4.0	3.8	3.8
4回目	5.4	5.0	5.2	3.9	5.5	4.9	4.1	4.0	4.9
3回目	9.8	9.2	8.6	7.7	9.1	8.3	8.0	7.7	7.4
2回目	15.4	14.3	15.3	16.5	16.1	14.3	16.6	14.5	16.2
1回目	36.4	42.7	43.9	44.0	43.4	49.5	50.2	52.9	51.9

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	4.3	3.1	3.1	2.8	3.1	1.7	1.7	1.6	1.8
10~19回目	5.1	3.8	3.9	2.4	3.1	2.5	2.1	2.1	1.9
6~9回目	4.6	2.7	2.4	4.4	3.1	2.0	2.2	3.0	2.5
5回目	4.1	3.2	2.3	2.9	2.7	1.7	1.3	2.7	2.4
4回目	4.3	2.8	2.6	2.4	3.7	3.3	2.3	2.5	3.4
3回目	7.2	6.5	6.4	4.6	6.1	6.3	5.0	6.4	5.8
2回目	16.7	14.0	14.7	16.7	15.3	14.2	17.3	15.1	15.9
1回目	53.7	63.8	64.5	63.8	63.1	68.2	68.1	66.6	66.4

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日米国人の滞在期間 (2011年～2019年)



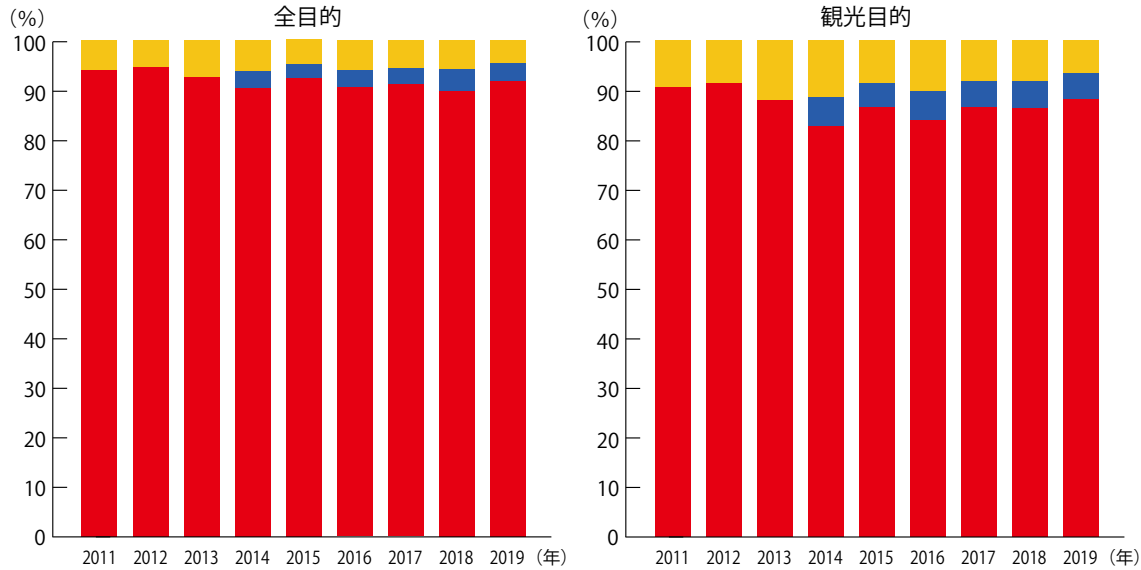
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	3.0	2.3	2.8	2.1	2.9	2.2	2.3	2.2	1.7
28~90日間	7.9	6.1	5.5	4.6	4.5	5.0	4.6	4.3	3.9
21~27日間	4.4	3.3	3.7	3.4	2.7	3.3	3.5	3.2	2.8
14~20日間	12.8	13.2	12.9	15.8	13.3	14.4	15.1	15.7	14.2
7~13日間	34.8	37.2	36.4	37.0	40.2	39.4	42.6	43.5	43.9
4~6日間	26.0	28.7	30.5	28.2	27.3	26.0	25.0	23.9	24.5
3日間以内	11.0	9.2	8.2	8.9	9.1	9.7	7.0	7.2	8.9

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	0.5	0.0	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1	0.1	0.1
28~90日間	3.3	1.9	1.9	2.6	2.1	2.6	2.4	2.2	1.8
21~27日間	3.2	2.2	2.9	3.5	2.1	2.4	3.4	3.0	2.7
14~20日間	14.8	14.6	14.3	19.6	19.1	18.4	20.4	19.1	17.5
7~13日間	43.6	45.1	47.7	45.4	50.7	50.5	53.3	52.6	53.6
4~6日間	22.4	24.3	26.2	20.9	19.1	18.8	16.0	18.1	18.5
3日間以内	12.1	11.9	6.8	7.6	6.8	7.3	4.4	4.8	5.8

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

米  
国

## (8) 訪日米国人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	6.1	5.4	7.4	6.4	5.0	6.0	5.6	6.0	4.6
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	3.3	2.8	3.6	3.4	4.3	3.6
■ 個別手配	93.9	94.6	92.6	90.3	92.3	90.4	91.0	89.7	91.8

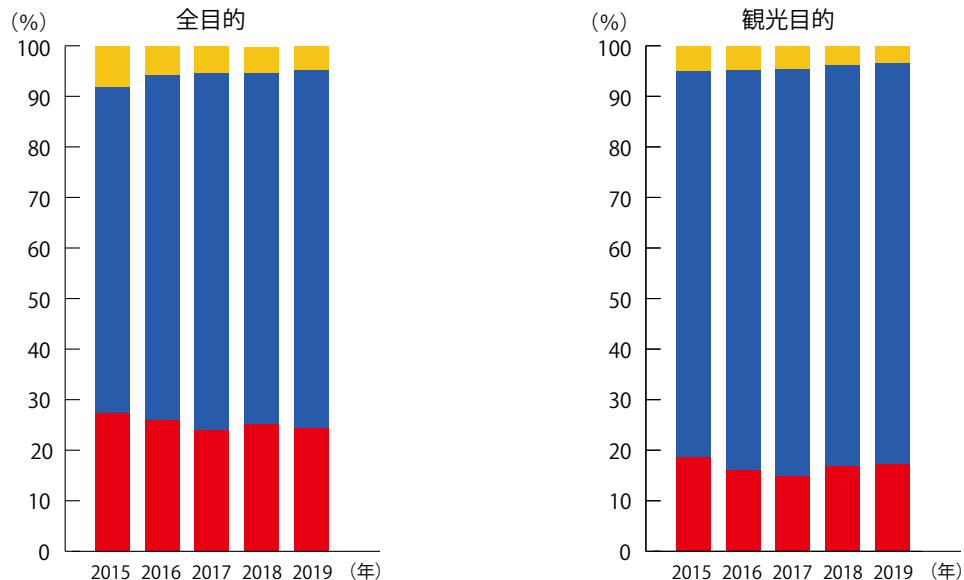
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	9.4	8.6	12.0	11.5	8.7	10.3	8.2	8.4	6.8
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.8	4.7	5.8	5.2	5.3	5.1
■ 個別手配	90.6	91.4	88.0	82.7	86.6	83.9	86.6	86.3	88.1

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日米国人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	8.1	5.7	5.3	5.1	4.7
■ ウェブサイトから申し込んだ	64.6	68.2	70.7	69.6	70.9
■ 店頭で申し込んだ	27.3	26.1	24.0	25.2	24.4

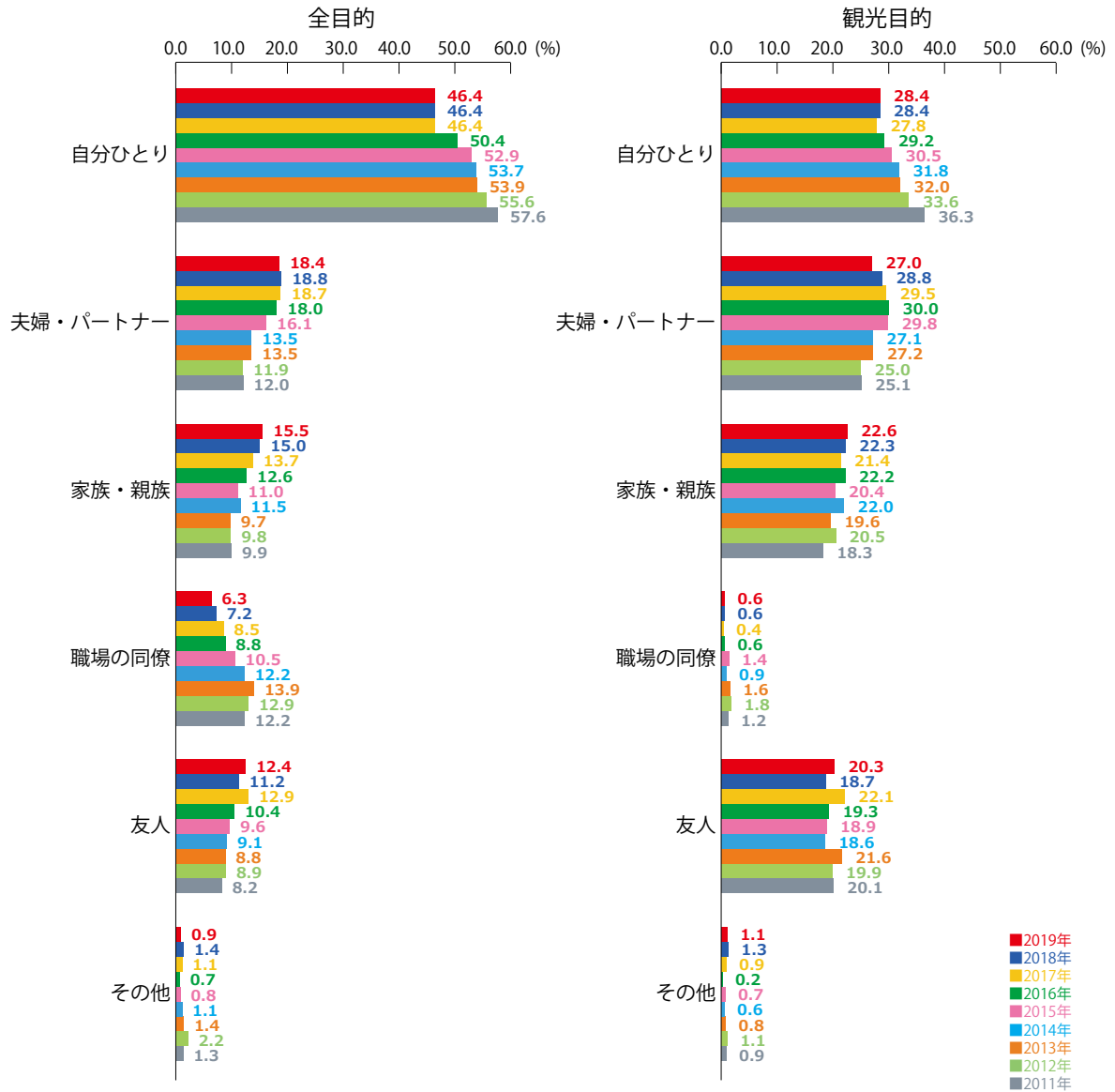
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	4.9	4.7	4.4	3.7	3.3
■ ウェブサイトから申し込んだ	76.5	79.1	80.7	79.4	79.3
■ 店頭で申し込んだ	18.6	16.2	14.9	16.9	17.4

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日米国人の同行者 (2011年~2019年)



注1：上の数値は2011年~2017年が複数回答、2018年~2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年~2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日米国人の訪日旅行に関する期待内容（2015年～2019年）

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	82.7 82.3 77.9 78.2 76.5	97.7 98.0 98.3 97.9	74.8 72.0 72.9 70.8 70.6
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	44.2 45.8 39.8 39.1 37.2	63.6 64.6 65.6 64.4 62.1	41.6 40.3 40.9 38.6 36.9
旅館に宿泊	19.0 20.2 17.9 17.8 18.2	18.5 21.9 22.6 21.5 21.9	37.2 36.3 33.9 30.9 30.8
温泉入浴	24.7 24.1 20.1 19.5 19.6	21.1 22.1 21.8 19.9 19.7	48.6 47.2 40.4 37.5 38.3
自然・景勝地観光	51.2 50.5 46.0 44.5 41.0	60.4 62.2 60.2 55.4 54.6	59.2 54.7 53.6 50.8 49.5
繁華街の街歩き	47.4 45.5 37.7 38.9 35.3	68.8 68.6 70.2 68.0 65.3	33.2 28.4 35.8 37.3 34.9
ショッピング	45.5 44.6 39.2 39.7 37.7	65.3 65.0 66.2 63.8 64.9	38.2 36.7 39.1 38.2 38.5
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	37.8 35.8 26.3 26.4 22.5	44.9 45.0 37.6 34.9 31.4	38.2 38.0 37.3 35.4 33.4
テーマパーク	12.6 11.6 9.1 9.4 8.5	12.9 12.7 11.7 11.7 10.3	18.8 15.9 18.8 18.1 17.3
スキー・スノーボード	5.0 4.8 3.6 3.7 4.1	3.1 2.6 2.5 2.2 2.6	15.4 14.6 17.0 14.9 14.1
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.5 3.0 2.0 2.7 3.4	2.1 2.3 2.2 1.8 3.0	4.2 4.1 10.2 11.3 10.3
舞台・音楽鑑賞	7.9 9.8 9.5 9.0 10.0	7.5 9.1 9.4 8.3 8.9	19.9 21.1 27.1 26.4 25.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	9.4 8.6 5.7 6.9 6.6	6.8 5.6 4.9 4.5 4.9	19.9 19.0 21.9 22.2 21.1
自然体験ツアー・農漁村体験	12.6 13.7 9.2 10.3 8.0	12.7 13.1 10.8 9.7 8.9	32.7 29.5 24.5 23.9 22.0
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	21.2 17.7 18.5 12.9 11.9	19.2 15.5 10.8 13.2 12.2	40.3 39.0 41.7 36.0 33.1
映画・アニメ縁の地を訪問	9.8 9.3 6.2 7.2 5.5	10.2 9.5 7.9 8.0 6.4	12.8 12.0 14.0 13.6 12.8
日本の歴史・伝統文化体験	47.2 48.3 39.7 36.8 36.6	54.8 57.9 52.7 48.5 49.0	53.0 53.9 49.8 44.5 45.2
日本の日常生活体験	38.1 38.3 32.1 30.1 28.7	47.4 50.0 50.1 44.8 43.4	40.4 40.3 37.6 33.5 33.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	18.8 17.0 16.3 15.9 13.1	22.7 22.2 27.3 24.5 20.3	20.1 20.1 21.5 19.9 19.4
治療・健診	0.9 0.9 0.5 0.8 1.1	1.1 1.3 1.7 1.9 2.1	0.8 0.7 3.5 3.2 3.9
上記には当てはまるものがない	7.3 6.5 10.9 11.7 12.0	0.5 0.5 0.6 0.8	0.7 0.7 1.7 3.0 2.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	88.4 86.9 84.6 85.9 83.4	98.1 98.2 98.6 97.7 99.3	76.6 73.5 73.5 72.3 67.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	47.9 47.5 43.6 44.9 41.8	63.0 63.7 63.8 67.5 62.9	41.7 39.5 40.0 41.1 35.9
旅館に宿泊	26.3 28.2 26.1 26.3 28.7	24.5 29.3 31.8 30.7 31.8	43.6 42.6 41.8 39.3 36.1
温泉入浴	31.9 29.9 28.6 28.8 28.0	27.9 27.5 30.9 28.9 29.6	54.1 52.5 48.0 45.1 43.3
自然・景勝地観光	65.7 63.3 60.9 62.5 58.8	76.0 77.4 78.6 76.8 75.4	60.7 57.1 56.0 56.4 54.0
繁華街の街歩き	59.2 55.4 49.8 51.3 47.7	79.7 77.9 80.4 81.6 79.4	36.0 31.2 38.2 43.4 39.4
ショッピング	55.3 53.8 49.8 50.3 50.7	73.5 73.8 77.1 75.7 78.9	40.6 38.4 42.1 41.9 43.8
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	49.4 46.3 38.2 39.0 32.3	57.5 57.8 52.2 50.7 46.2	40.8 41.8 41.5 41.2 38.9
テーマパーク	17.1 14.5 11.4 13.5 11.0	17.5 15.5 14.7 15.9 14.0	21.5 17.5 22.0 21.1 20.3
スキー・スノーボード	5.8 5.3 4.7 5.3 4.9	4.0 3.0 4.1 3.6 3.7	16.5 16.1 20.0 17.9 16.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.9 2.5 1.7 2.9 3.1	1.8 2.0 1.9 1.7 1.9	4.2 3.5 10.7 12.7 9.4
舞台・音楽鑑賞	9.7 11.5 11.7 14.2 12.8	8.9 11.5 11.4 11.6 11.7	23.8 23.7 32.5 33.1 31.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	10.3 9.8 7.3 9.9 7.4	7.2 6.5 5.9 5.5 5.4	19.5 19.0 26.2 26.6 24.4
自然体験ツアー・農漁村体験	15.2 16.9 12.1 15.1 11.3	15.7 16.8 14.5 14.0 13.2	35.1 31.6 27.0 26.9 26.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	27.4 21.2 12.1 18.0 17.2	24.2 18.9 14.5 16.9 15.9	44.0 43.8 48.5 40.5 39.4
映画・アニメ縁の地を訪問	13.5 11.8 9.4 11.5 7.6	14.5 13.0 12.0 12.1 9.4	16.2 14.5 19.3 17.9 15.7
日本の歴史・伝統文化体験	58.9 59.9 52.7 51.5 52.1	66.6 72.3 68.7 65.4 65.7	53.8 54.8 53.3 48.4 49.0
日本の日常生活体験	43.3 45.1 1.4 39.6 37.6 37.4	51.4 57.5 57.0 52.1 52.5	42.1 42.4 42.4 37.3 38.4
日本のポップカルチャーを楽しむ	24.2 22.6 23.0 23.9 19.1	28.9 30.0 36.4 35.9 28.9	23.1 23.3 26.8 25.6 23.5
治療・健診	0.5 0.9 0.5 0.5 0.9	0.7 0.8 1.2 0.9 1.2	0.8 0.5 4.6 3.9 3.8
上記には当てはまるものがない	1.7 1.4 3.1 2.2 4.0	0.1 0.0 0.0 0.1 0.0	0.5 0.5 0.5 1.1 0.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) 米国人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	7.7 7.7 9.1 9.7 9.1	9.8 10.2 13.8 14.9 13.8
旅行会社ホームページ	8.4 7.6 9.9 9.7 9.8	10.5 9.9 13.7 12.5 12.8
宿泊施設ホームページ	16.1 16.3 20.0 18.0 16.5	18.1 18.7 23.1 23.3 22.7
航空会社ホームページ	13.1 15.7 15.4 16.2 13.7	12.5 15.3 17.0 19.1 17.7
地方観光協会ホームページ	5.5 5.9 6.6 6.1 5.0	6.7 8.2 8.3 9.0 7.5
宿泊予約サイト	7.5 7.2 8.9 6.9 6.7	8.9 8.2 10.6 10.3 9.6
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	27.9 31.0 26.5 24.7 21.9	36.1 41.1 37.9 36.9 33.7
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	13.9 11.4 9.7 7.9 6.6	17.6 14.9 12.0 9.2 9.1
個人のブログ	18.7 18.9 20.1 15.9 13.1	25.1 27.7 30.2 24.1 21.5
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	27.7 21.5 14.6 10.3 6.9	37.1 29.8 21.2 15.9 10.2
その他インターネット	10.1 9.2 10.7 11.1 11.1	9.6 10.1 13.8 12.9 12.2
日本政府観光局の案内所	0.8 1.5 1.4 2.0 1.6	1.3 2.0 2.3 2.8 3.4
旅行会社パンフレット	2.3 2.9 4.0 4.1 4.1	2.9 4.3 6.0 6.6 6.3
旅行ガイドブック	13.0 13.0 13.8 16.2 16.4	17.5 17.9 23.8 26.9 26.3
自国の親族・知人	27.5 26.4 28.2 25.6 22.9	31.9 32.0 35.2 32.2 29.2
日本在住の親族・知人	28.9 33.6 36.3 34.6 36.2	23.2 27.1 29.9 29.3 29.2
旅行の展示会や見本市	0.4 0.7 0.5 0.7 0.6	0.4 0.5 0.7 0.6 0.6
テレビ番組	4.5 4.6 6.4 5.7 4.7	5.7 6.2 10.3 8.7 7.2
新聞	0.7 1.1 1.9 1.5 1.4	0.7 1.2 3.0 1.5 2.2
旅行専門誌	4.2 4.3 6.3 7.1 6.3	5.2 5.5 9.7 10.4 10.1
その他雑誌	0.4 0.5 0.5 0.7 0.7	0.5 0.6 1.0 1.0 0.8
その他	2.4 2.4 5.4 6.7 6.2	0.5 0.9 3.5 4.4 4.3
特になし	11.4 11.2 13.4 14.8 14.4	5.0 4.0 4.3 4.2 6.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) 米国人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	26.8 27.7	31.4 31.5
交通手段	59.1 49.1	65.2 55.8
飲食店	41.3 36.1	42.9 37.5
観光施設	22.0 22.1	28.0 29.4
イベント	6.8 5.7	6.8 5.8
土産物	11.5 10.9	12.7 13.3
買物場所	18.4 16.8	22.2 19.9
無料W i - F i	50.8 50.2	54.7 55.4
祈祷室	0.4 0.5	0.3 0.5
A T M	26.9 25.4	30.9 28.4
宅配便	2.5 2.5	2.8 3.5
日本文化体験プログラム	8.6 8.8	9.3 10.5
自然体験ツアー・農山漁村体験	6.5 7.0	7.3 7.9
通訳案内士・観光ガイド	8.0 9.0	9.9 11.8
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	5.1 5.2	7.7 7.5
クレジットカード利用可能店舗	17.6 15.9	19.9 16.8
その他	2.9 0.6	2.8 0.4
特になし	8.3 11.4	4.6 5.4

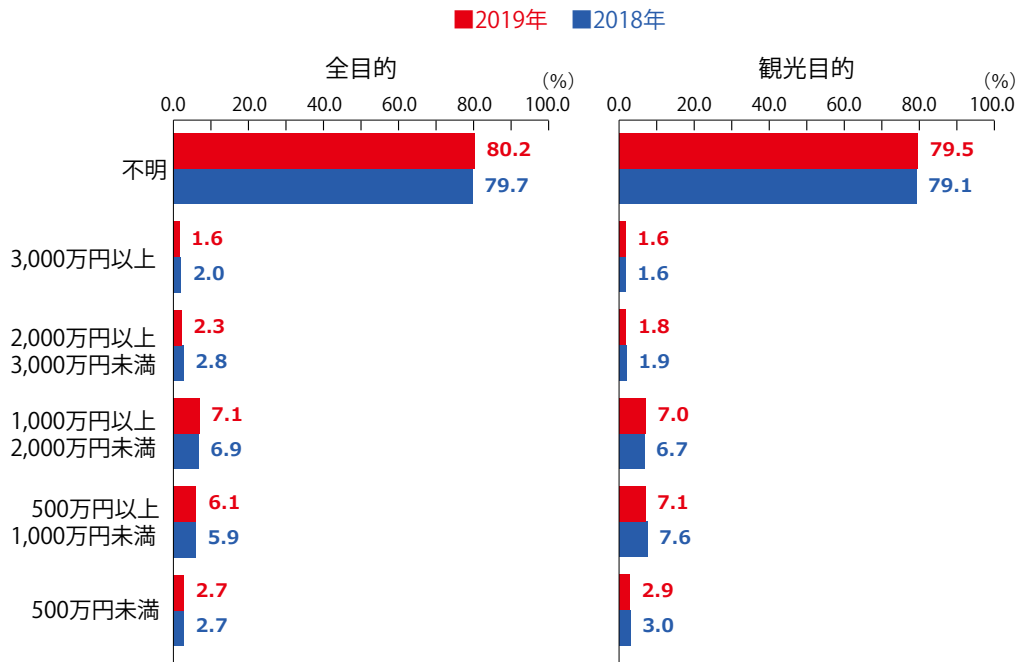
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

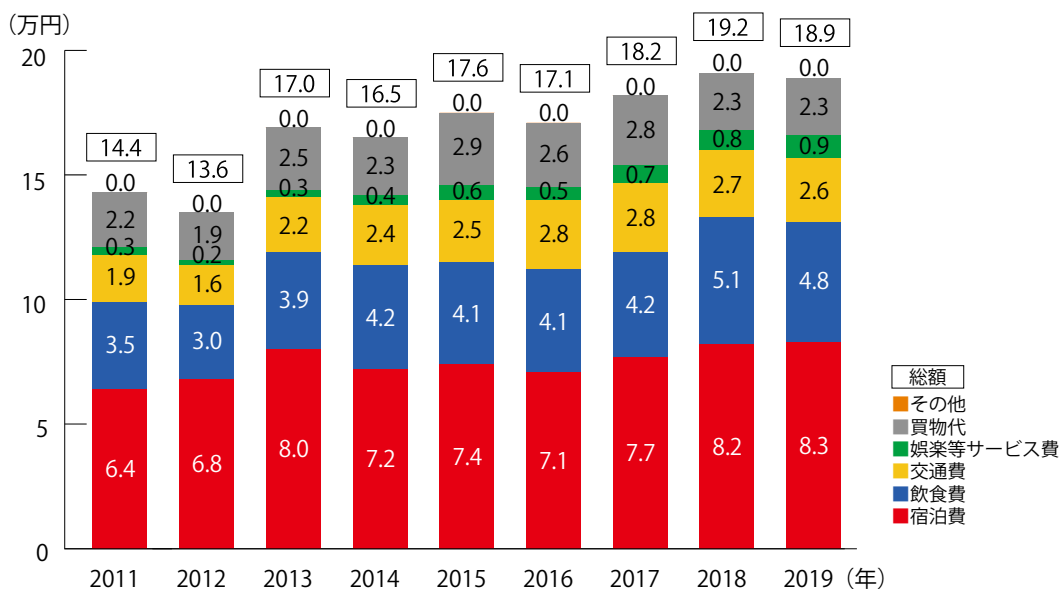
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日米国人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日米国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (16) 属性別訪日米国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		5,471	189,411	2,819	203,003
滞在日数	3日間以内	501	54,442	175	67,214
	4～6日間	1,351	123,833	531	117,272
	7～13日間	2,363	193,629	1,494	206,585
	14～20日間	771	255,606	486	278,212
	21～27日間	155	300,202	77	348,196
	28～90日間	227	355,259	54	423,963
	91日間以上1年未満	103	596,991	2	1,167,671
性・年代	男性	3,657	188,499	1,728	204,290
	15～19歳	78	202,679	44	214,011
	20～29歳	976	190,866	624	187,002
	30～39歳	975	186,818	516	207,165
	40～49歳	740	184,831	221	217,224
	50～59歳	543	185,627	163	211,248
	60～69歳	271	181,682	105	211,306
	70歳以上	74	247,582	55	284,290
	女性	1,814	191,237	1,091	200,960
	15～19歳	79	164,756	43	148,097
	20～29歳	589	178,756	370	163,662
	30～39歳	413	186,321	254	200,243
	40～49歳	261	172,030	127	198,935
	50～59歳	241	208,687	141	235,189
60～69歳	160	229,012	100	259,651	
70歳以上	71	283,515	56	313,731	
日本への 来訪回数	1回目	2,801	199,293	1,849	204,328
	2回目	887	189,764	451	212,927
	3回目	412	179,385	167	186,040
	4回目	268	169,471	98	192,806
	5回目	207	173,880	69	204,955
	6～9回目	284	186,832	71	222,718
	10～19回目	312	159,379	59	176,158
	20回目以上	300	168,697	55	138,225

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較するには注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日米国人の購入者単価 (2019年)

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	253	427,462	196	432,418	
	個人旅行向けパッケージ商品	194	323,439	142	337,990	
	往復航空 (船舶) 運賃	5,024	158,269	2,481	118,755	
日本滞在中の支出	宿泊料金	4,351	92,760	2,380	85,536	
	飲食費	5,072	46,346	2,663	46,537	
	交通費	4,826	25,940	2,569	27,266	
	航空 (日本国内移動のみ)	229	25,020	88	21,352	
	Japan Rail Pass	1,038	34,812	831	34,991	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	3,769	12,917	2,097	12,148	
	バス	1,267	4,320	712	3,809	
	タクシー	1,805	11,762	828	8,717	
	レンタカー	129	50,950	72	43,640	
	船舶 (日本国内移動のみ)	36	5,732	20	7,015	
	その他交通費	39	15,212	20	11,823	
	娯楽等サービス費	2,644	15,585	1,818	13,514	
	現地ツアー・観光ガイド	296	27,713	242	29,174	
	ゴルフ場	17	30,771	7	11,571	
	テーマパーク	498	11,212	367	11,437	
	舞台・音楽鑑賞	132	11,405	97	9,841	
	スポーツ観戦	162	22,992	90	12,212	
	美術館・博物館・動物園・水族館	1,792	4,724	1,259	4,735	
	スキー場リフト	126	28,869	94	30,237	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	323	4,933	228	4,989	
	マッサージ・医療費	102	12,938	64	7,120	
	展示会・コンベンション参加費	47	14,257	32	4,574	
	レンタル料 (レンタカーを除く)	39	16,856	28	15,548	
	その他娯楽等サービス費	163	36,524	84	7,961	
	買物代	4,797	26,371	2,615	27,199	
	菓子類	2,254	6,518	1,288	6,540	
	酒類	1,449	9,726	820	9,131	
	生鮮農産物	221	8,177	111	7,452	
	その他食料品・飲料・たばこ	1,846	10,045	1,017	8,769	
	化粧品・香水	396	11,845	243	11,422	
	医薬品	166	6,052	101	6,741	
	健康グッズ・トイレタリー	212	6,944	118	5,854	
	衣類	1,679	16,255	1,056	16,260	
靴・かばん・革製品	483	15,286	307	14,987		
電気製品 (デジタルカメラ/PC/家電等)	167	20,887	101	19,219		
時計・フィルムカメラ	65	30,785	41	26,067		
宝石・貴金属	181	14,499	103	13,109		
民芸品・伝統工芸品	1,067	10,931	650	10,106		
本・雑誌・ガイドブックなど	446	6,311	259	5,691		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	181	13,611	125	12,925		
その他買物代	647	14,946	376	13,370		
その他	31	13,543	20	17,735		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(18) 訪日米国人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	42.2 45.6 45.3 46.1 45.7	51.3 53.9 55.8 58.0 57.4
家電量販店	11.4 11.1 12.8 13.2 12.0	14.2 14.0 16.0 16.4 16.1
ファッション専門店	14.4 16.1 15.5 13.2 13.7	19.7 20.2 20.4 17.9 19.4
100円ショップ	20.1 21.1 22.6 22.1 21.4	22.5 22.7 23.5 23.9 23.0
高速道路のSA・道の駅	2.6 2.9 3.7 3.1 3.4	3.3 3.3 4.1 4.0 3.8
観光地の土産店	41.2 39.9 42.3 39.7 39.2	53.9 51.5 56.9 54.5 54.9
宿泊施設	3.7 3.1 5.0 6.6 5.5	3.4 3.4 6.2 9.7 7.8
スーパーマーケット	36.6 38.8 41.3 39.6 36.8	42.5 44.4 46.6 46.4 43.0
コンビニエンスストア	62.8 59.2 59.4 55.5 47.1	73.4 67.9 70.3 67.1 60.9
ドラッグストア	19.5 19.3 22.5 21.4 18.7	25.1 22.7 29.3 28.9 26.1
ディスカウントストア	10.5 9.8 9.4 8.2 7.2	14.0 11.7 11.3 10.8 8.2
アウトレットモール	10.0 9.6 12.6 10.9 10.3	12.2 11.1 13.8 11.3 11.3
都心の複合商業施設	9.6 9.5 8.8 9.1 8.5	12.1 10.2 11.4 11.2 12.4
その他ショッピングセンター	10.5 9.6 11.5 11.0 10.5	11.8 11.1 13.6 14.2 12.6
鉄道駅構内の店舗	12.5 13.1 18.5 17.3 16.4	16.7 16.7 24.3 23.8 23.5
空港の免税店	34.5 30.6 33.0 31.4 28.8	36.3 30.9 35.4 33.5 31.5
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.6 0.7	0.8 0.7
その他	6.2 6.3 5.1 5.4 5.1	6.3 6.6 6.3 5.7 5.2
買い物はしなかった	9.2 10.0 10.8 11.6 13.3	3.5 4.2 4.0 3.2 5.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日米国人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合（％）
消費税免税の手続きをした	2019年 15.1 2018年 16.8
消費税免税の手続きをしていない	2019年 84.9 2018年 83.2

消費税免税の手続きをした品目	割合（％）
菓子類	2019年 2.8 2018年 3.8
酒類	2019年 1.4 2018年 2.5
生鮮農産物	2019年 0.1 2018年 0.1
その他食料品・飲料・たばこ	2019年 1.0 2018年 1.3
化粧品・香水	2019年 1.2 2018年 1.7
医薬品	2019年 0.4 2018年 0.2
健康グッズ・トイレタリー	2019年 0.4 2018年 0.3
衣類	2019年 6.4 2018年 7.1
靴・かばん・革製品	2019年 2.6 2018年 2.3
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	2019年 0.6 2018年 0.8
時計・フィルムカメラ	2019年 0.4 2018年 0.3
宝石・貴金属	2019年 0.5 2018年 0.8
民芸品・伝統工芸品	2019年 2.4 2018年 2.3
本・雑誌・ガイドブックなど	2019年 0.4 2018年 0.3
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	2019年 0.5 2018年 0.5
その他買物代	2019年 1.3 2018年 1.6

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日米国人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	88.9 90.4	95.7 96.1
クレジットカード	74.1 72.7	75.9 70.9
交通系ICカード（Suica等）	17.6 14.8	19.9 17.4
その他ICカード（Edy等）	0.3 0.3	0.2 0.3
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	4.3 3.5	4.1 3.7
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.3 0.1	0.3 0.2
仮想通貨（BitCoin等）	0.1 0.0	0.1 0.0
割引クーポン	0.4 0.2	0.4 0.2
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.7 0.5	0.2 0.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(21) 訪日米国人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率 (%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
東京都	1位	59.2	61.4	63.9	68.1	67.8	69.8	76.6	78.0	78.2	
千葉県	2位	9.7	11.9	8.2	11.0	85.3	82.6	70.9	64.3	63.1	
京都府	3位	19.8	18.9	22.7	26.4	24.8	27.3	31.4	29.9	30.4	
大阪府	4位	15.6	13.1	15.0	17.5	23.0	25.7	26.1	27.2	28.3	
神奈川県	5位	16.1	18.7	18.5	18.2	16.0	16.5	17.2	16.3	17.0	
広島県	6位	6.4	5.6	5.6	7.3	6.7	7.7	8.0	8.0	7.3	
奈良県	7位	4.1	3.0	3.7	4.4	3.8	3.5	4.9	5.4	5.7	
北海道	8位	2.4	2.6	2.0	2.7	4.2	4.3	4.6	4.0	4.7	
愛知県	9位	5.1	6.7	6.4	6.9	6.5	6.5	5.9	5.5	4.6	
兵庫県	10位	5.3	4.2	4.3	4.2	4.5	3.7	4.3	4.5	4.6	
沖縄県	11位	5.7	4.7	6.1	4.1	4.1	4.9	4.1	3.8	3.9	
山梨県	12位	3.1	3.1	3.2	2.6	2.5	2.1	3.3	3.5	3.1	
静岡県	13位	3.0	2.3	2.7	5.4	3.6	3.7	3.4	2.5	3.1	
福岡県	14位	3.4	2.6	3.1	2.3	4.6	3.6	3.9	3.4	3.0	
長野県	15位	2.2	2.3	2.0	2.2	2.9	2.7	3.3	2.5	2.5	
石川県	16位	1.6	0.9	1.3	2.4	2.2	2.6	3.2	2.4	2.2	
岐阜県	17位	2.2	1.8	1.9	2.6	2.2	2.5	2.9	2.2	1.9	
栃木県	18位	2.5	2.7	3.2	3.2	3.2	1.3	1.9	2.0	1.5	
長崎県	19位	2.2	1.7	1.8	2.1	1.9	2.2	2.0	1.7	1.5	
青森県	20位	1.6	1.6	0.7	1.2	1.6	1.1	1.8	1.2	1.4	
和歌山県	21位	1.1	0.9	1.0	1.5	1.3	1.1	1.4	1.3	1.3	
埼玉県	22位	1.6	1.7	2.0	2.2	1.6	1.1	1.2	1.1	1.1	
宮城県	23位	2.0	1.8	1.3	1.7	1.2	1.2	1.0	1.0	1.1	
山口県	24位	1.6	0.8	0.8	0.6	1.1	0.7	0.6	1.2	0.9	
群馬県	25位	0.9	0.8	1.0	1.2	0.7	0.7	0.4	0.8	0.8	
岡山県	26位	0.9	0.7	1.0	0.9	1.0	0.7	0.6	0.7	0.7	
香川県	27位	0.5	0.3	0.8	0.8	0.7	0.8	0.7	0.8	0.7	
鹿児島県	28位	0.6	0.6	0.6	0.7	0.4	0.7	0.5	0.8	0.7	
滋賀県	29位	0.9	0.6	0.8	0.5	0.5	0.5	0.9	0.7	0.7	
新潟県	30位	1.0	0.9	1.0	1.1	0.7	0.8	0.7	0.7	0.7	
茨城県	31位	1.6	1.7	1.0	1.6	0.9	1.1	0.9	0.7	0.6	
熊本県	32位	0.9	0.9	0.7	0.5	0.7	0.5	0.5	0.6	0.5	
三重県	33位	1.0	0.8	0.8	0.4	0.5	0.5	0.9	0.6	0.5	
鳥取県	34位	0.2	0.1	0.1	0.4	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	
愛媛県	35位	0.5	0.4	0.5	0.6	0.4	0.5	0.5	0.4	0.4	
高知県	36位	0.2	0.0	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4	
大分県	37位	0.8	0.5	0.4	0.5	0.7	0.4	0.6	0.7	0.4	
福島県	38位	0.7	0.4	0.6	1.1	0.5	0.2	0.2	0.7	0.4	
徳島県	39位	0.2	0.2	0.1	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	
山形県	40位	0.2	0.5	0.2	0.3	0.4	0.3	0.5	0.3	0.3	
秋田県	41位	0.2	0.3	0.4	0.4	0.6	0.2	0.3	0.2	0.3	
富山県	42位	0.3	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	
福井県	43位	0.3	0.2	0.2	0.3	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	
宮崎県	44位	0.3	0.3	0.2	0.2	0.3	0.3	0.3	0.2	0.2	
佐賀県	45位	0.4	0.2	0.1	0.3	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2	
島根県	46位	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1	0.2	
岩手県	47位	0.9	0.4	0.4	0.5	0.3	0.3	0.1	0.3	0.1	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日米国人の都道府県別宿泊地 (2017年~2022年)

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	2,196,620 (45.9%)	2,593,250 (46.5%)	3,433,850 (47.2%)
沖縄県	2位	183,660 (3.8%)	220,110 (3.9%)	277,240 (3.8%)
京都府	3位	520,380 (10.9%)	610,600 (10.9%)	981,670 (13.5%)
神奈川県	4位	300,690 (6.3%)	356,090 (6.4%)	441,380 (6.1%)
大阪府	5位	312,550 (6.5%)	403,330 (7.2%)	572,500 (7.9%)
千葉県	6位	296,740 (6.2%)	337,910 (6.1%)	346,740 (4.8%)
北海道	7位	152,210 (3.2%)	163,710 (2.9%)	209,930 (2.9%)
長崎県	8位	36,810 (0.8%)	39,330 (0.7%)	34,320 (0.5%)
福岡県	9位	71,380 (1.5%)	63,180 (1.1%)	78,270 (1.1%)
広島県	10位	100,150 (2.1%)	118,400 (2.1%)	135,430 (1.9%)
愛知県	11位	92,310 (1.9%)	84,960 (1.5%)	96,590 (1.3%)
石川県	12位	51,870 (1.1%)	62,600 (1.1%)	68,240 (0.9%)
静岡県	13位	40,400 (0.8%)	43,280 (0.8%)	57,590 (0.8%)
兵庫県	14位	38,200 (0.8%)	43,720 (0.8%)	55,680 (0.8%)
山口県	15位	5,570 (0.1%)	5,320 (0.1%)	16,010 (0.2%)
宮城県	16位	18,940 (0.4%)	21,020 (0.4%)	27,260 (0.4%)
長野県	17位	33,630 (0.7%)	40,210 (0.7%)	37,960 (0.5%)
栃木県	18位	23,450 (0.5%)	28,770 (0.5%)	26,950 (0.4%)
熊本県	19位	16,140 (0.3%)	15,120 (0.3%)	18,580 (0.3%)
茨城県	20位	15,420 (0.3%)	11,670 (0.2%)	14,010 (0.2%)
山梨県	21位	33,730 (0.7%)	40,590 (0.7%)	43,970 (0.6%)
岐阜県	22位	35,020 (0.7%)	35,320 (0.6%)	39,550 (0.5%)
埼玉県	23位	12,550 (0.3%)	14,500 (0.3%)	15,660 (0.2%)
青森県	24位	19,510 (0.4%)	21,250 (0.4%)	22,500 (0.3%)
新潟県	25位	10,190 (0.2%)	12,710 (0.2%)	18,600 (0.3%)
群馬県	26位	11,880 (0.2%)	11,300 (0.2%)	11,460 (0.2%)
岡山県	27位	12,600 (0.3%)	14,260 (0.3%)	16,240 (0.2%)
大分県	28位	8,180 (0.2%)	10,920 (0.2%)	11,930 (0.2%)
鹿児島県	29位	10,880 (0.2%)	12,900 (0.2%)	16,210 (0.2%)
滋賀県	30位	15,560 (0.3%)	21,250 (0.4%)	17,140 (0.2%)
三重県	31位	8,440 (0.2%)	14,140 (0.3%)	12,250 (0.2%)
宮崎県	32位	3,340 (0.1%)	4,510 (0.1%)	5,350 (0.1%)
福島県	33位	9,320 (0.2%)	6,210 (0.1%)	8,180 (0.1%)
香川県	34位	10,450 (0.2%)	15,770 (0.3%)	21,680 (0.3%)
奈良県	35位	13,120 (0.3%)	17,140 (0.3%)	19,880 (0.3%)
岩手県	36位	5,740 (0.1%)	5,920 (0.1%)	6,960 (0.1%)
愛媛県	37位	7,120 (0.1%)	8,010 (0.1%)	7,700 (0.1%)
和歌山県	38位	12,990 (0.3%)	10,640 (0.2%)	10,580 (0.1%)
富山県	39位	5,380 (0.1%)	5,890 (0.1%)	7,280 (0.1%)
徳島県	40位	4,940 (0.1%)	5,320 (0.1%)	5,040 (0.1%)
山形県	41位	5,380 (0.1%)	4,670 (0.1%)	6,030 (0.1%)
鳥取県	42位	2,680 (0.1%)	3,340 (0.1%)	4,090 (0.1%)
佐賀県	43位	3,190 (0.1%)	2,980 (0.1%)	3,060 (0.0%)
島根県	44位	3,020 (0.1%)	3,730 (0.1%)	3,940 (0.1%)
秋田県	45位	4,710 (0.1%)	5,330 (0.1%)	6,740 (0.1%)
高知県	46位	2,500 (0.1%)	2,510 (0.0%)	2,670 (0.0%)
福井県	47位	2,590 (0.1%)	2,680 (0.0%)	3,580 (0.0%)

注1: 延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2: 宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3: 新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典: 観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年~2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	472,850 (35.8%)	247,110 (35.0%)	903,810 (45.3%)
沖縄県	2位	185,550 (14.0%)	136,980 (19.4%)	252,490 (12.7%)
京都府	3位	92,070 (7.0%)	15,700 (2.2%)	170,850 (8.6%)
神奈川県	4位	107,940 (8.2%)	68,320 (9.7%)	126,750 (6.4%)
大阪府	5位	95,610 (7.2%)	37,610 (5.3%)	124,530 (6.2%)
千葉県	6位	117,190 (8.9%)	93,150 (13.2%)	120,940 (6.1%)
北海道	7位	72,260 (5.5%)	5,710 (0.8%)	43,080 (2.2%)
長崎県	8位	18,860 (1.4%)	22,890 (3.2%)	29,880 (1.5%)
福岡県	9位	14,670 (1.1%)	7,310 (1.0%)	26,770 (1.3%)
広島県	10位	15,800 (1.2%)	10,510 (1.5%)	26,220 (1.3%)
愛知県	11位	14,210 (1.1%)	4,810 (0.7%)	19,730 (1.0%)
石川県	12位	5,410 (0.4%)	850 (0.1%)	13,170 (0.7%)
静岡県	13位	8,110 (0.6%)	5,590 (0.8%)	12,280 (0.6%)
兵庫県	14位	6,850 (0.5%)	2,390 (0.3%)	11,230 (0.6%)
山口県	15位	3,920 (0.3%)	5,270 (0.7%)	9,950 (0.5%)
宮城県	16位	7,250 (0.5%)	5,850 (0.8%)	8,540 (0.4%)
長野県	17位	12,750 (1.0%)	1,560 (0.2%)	7,350 (0.4%)
栃木県	18位	4,220 (0.3%)	1,280 (0.2%)	6,720 (0.3%)
熊本県	19位	5,830 (0.4%)	910 (0.1%)	5,720 (0.3%)
茨城県	20位	2,370 (0.2%)	1,110 (0.2%)	5,640 (0.3%)
山梨県	21位	4,230 (0.3%)	1,490 (0.2%)	5,450 (0.3%)
岐阜県	22位	3,450 (0.3%)	1,270 (0.2%)	5,310 (0.3%)
埼玉県	23位	2,190 (0.2%)	5,030 (0.7%)	5,250 (0.3%)
青森県	24位	6,370 (0.5%)	4,710 (0.7%)	5,150 (0.3%)
新潟県	25位	3,900 (0.3%)	3,740 (0.5%)	4,690 (0.2%)
群馬県	26位	4,540 (0.3%)	670 (0.1%)	3,530 (0.2%)
岡山県	27位	3,030 (0.2%)	1,250 (0.2%)	3,260 (0.2%)
大分県	28位	2,070 (0.2%)	830 (0.1%)	3,050 (0.2%)
鹿児島県	29位	3,430 (0.3%)	1,040 (0.1%)	2,920 (0.1%)
滋賀県	30位	2,600 (0.2%)	720 (0.1%)	2,770 (0.1%)
三重県	31位	1,280 (0.1%)	400 (0.1%)	2,340 (0.1%)
宮崎県	32位	2,000 (0.2%)	1,420 (0.2%)	2,290 (0.1%)
福島県	33位	2,420 (0.2%)	1,220 (0.2%)	2,230 (0.1%)
香川県	34位	2,310 (0.2%)	250 (0.0%)	2,200 (0.1%)
奈良県	35位	1,960 (0.1%)	490 (0.1%)	2,160 (0.1%)
岩手県	36位	2,320 (0.2%)	2,290 (0.3%)	2,130 (0.1%)
愛媛県	37位	1,100 (0.1%)	550 (0.1%)	2,080 (0.1%)
和歌山県	38位	1,180 (0.1%)	600 (0.1%)	1,610 (0.1%)
富山県	39位	1,130 (0.1%)	180 (0.0%)	1,590 (0.1%)
徳島県	40位	650 (0.0%)	380 (0.1%)	1,350 (0.1%)
山形県	41位	1,560 (0.1%)	650 (0.1%)	1,300 (0.1%)
鳥取県	42位	780 (0.1%)	300 (0.0%)	1,220 (0.1%)
佐賀県	43位	720 (0.1%)	470 (0.1%)	1,000 (0.1%)
島根県	44位	460 (0.0%)	270 (0.0%)	970 (0.0%)
秋田県	45位	1,240 (0.1%)	540 (0.1%)	960 (0.0%)
高知県	46位	370 (0.0%)	180 (0.0%)	940 (0.0%)
福井県	47位	820 (0.1%)	170 (0.0%)	540 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

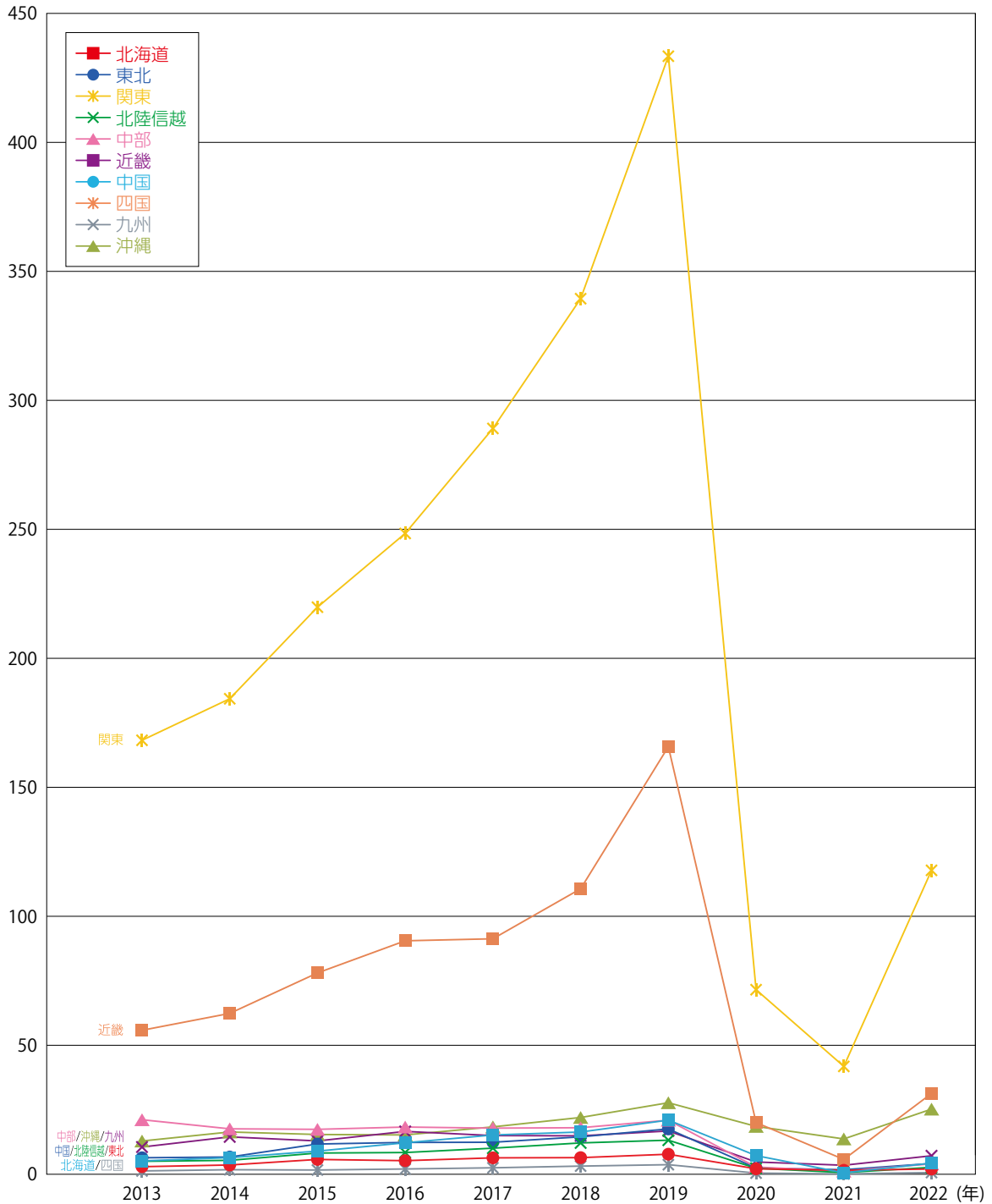
注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(23) 訪日米国人の地方別延べ宿泊者数 (2013年～2022年)

(万人泊)



単位：人泊

北海道	51,770	64,430	89,660	121,990	152,210	163,710	209,930	72,260	5,710	43,080
東北	29,310	35,900	57,430	52,670	63,600	64,400	77,660	21,170	15,260	20,310
関東	1,682,280	1,843,260	2,198,210	2,484,130	2,891,080	3,394,080	4,334,010	715,520	418,150	1,178,080
北陸信越	50,150	53,930	82,230	84,230	101,070	121,420	132,080	23,180	6,330	26,800
中部	211,380	176,110	174,110	183,050	178,760	180,380	209,570	27,890	12,240	40,200
近畿	558,150	623,550	780,360	904,970	912,790	1,106,680	1,657,440	200,270	57,520	313,150
中国	63,920	66,830	117,150	123,380	124,010	145,050	175,710	23,980	17,590	41,620
四国	12,850	17,590	16,440	20,440	25,020	31,610	37,100	4,450	1,360	6,570
九州	105,550	144,910	129,160	166,040	149,930	148,950	167,720	47,580	34,870	71,640
沖縄	128,850	163,870	154,130	152,430	183,660	220,110	277,240	185,550	136,980	252,490

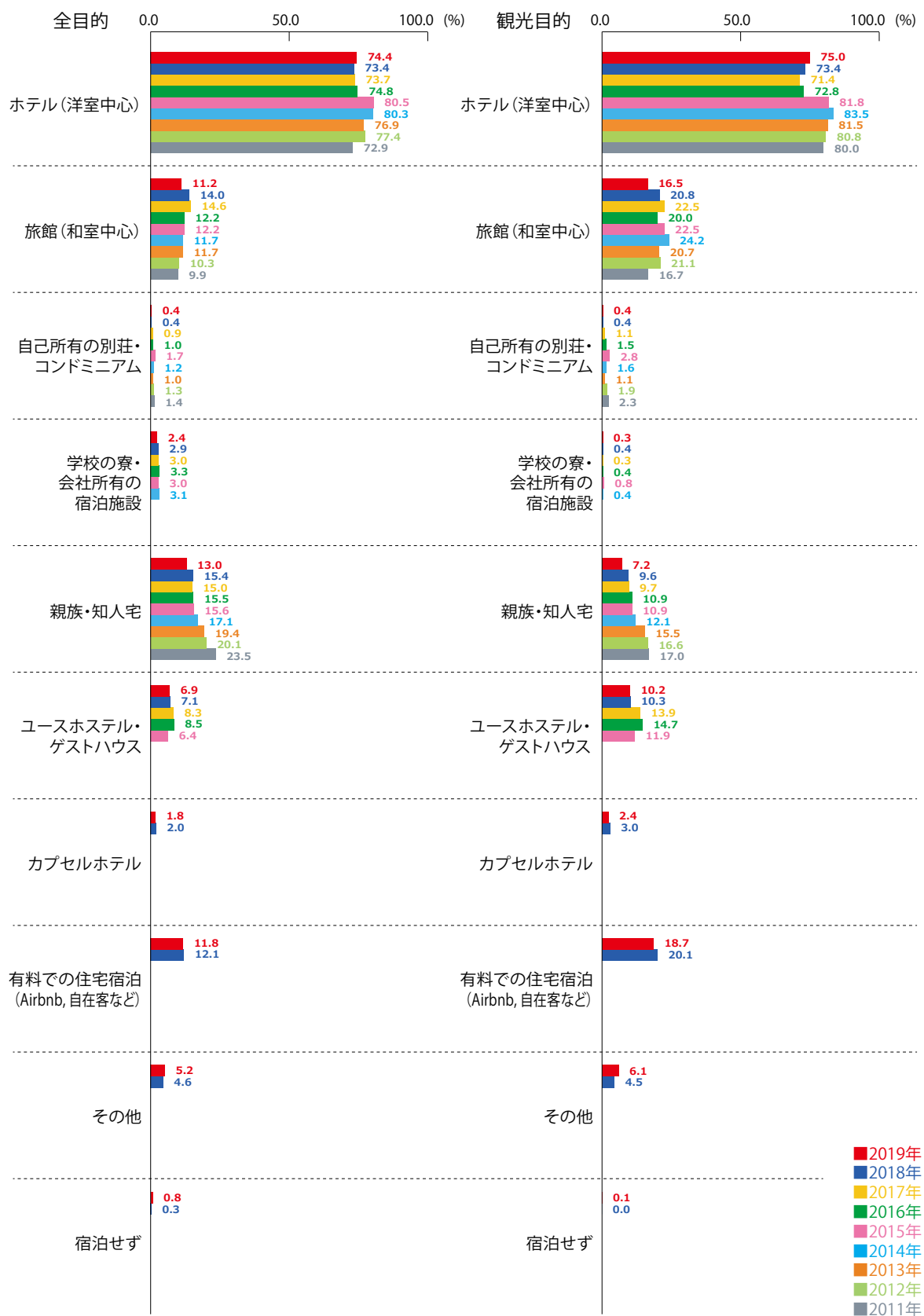
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日米国人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

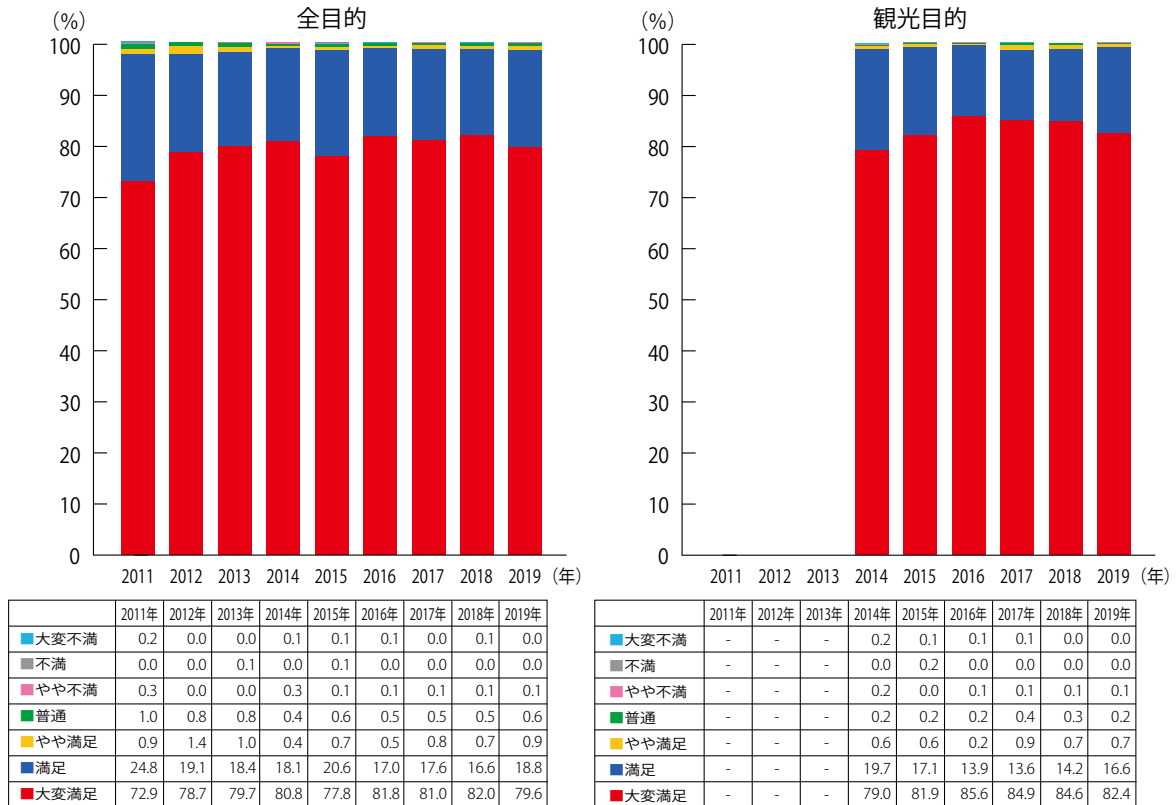
注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) 米国人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

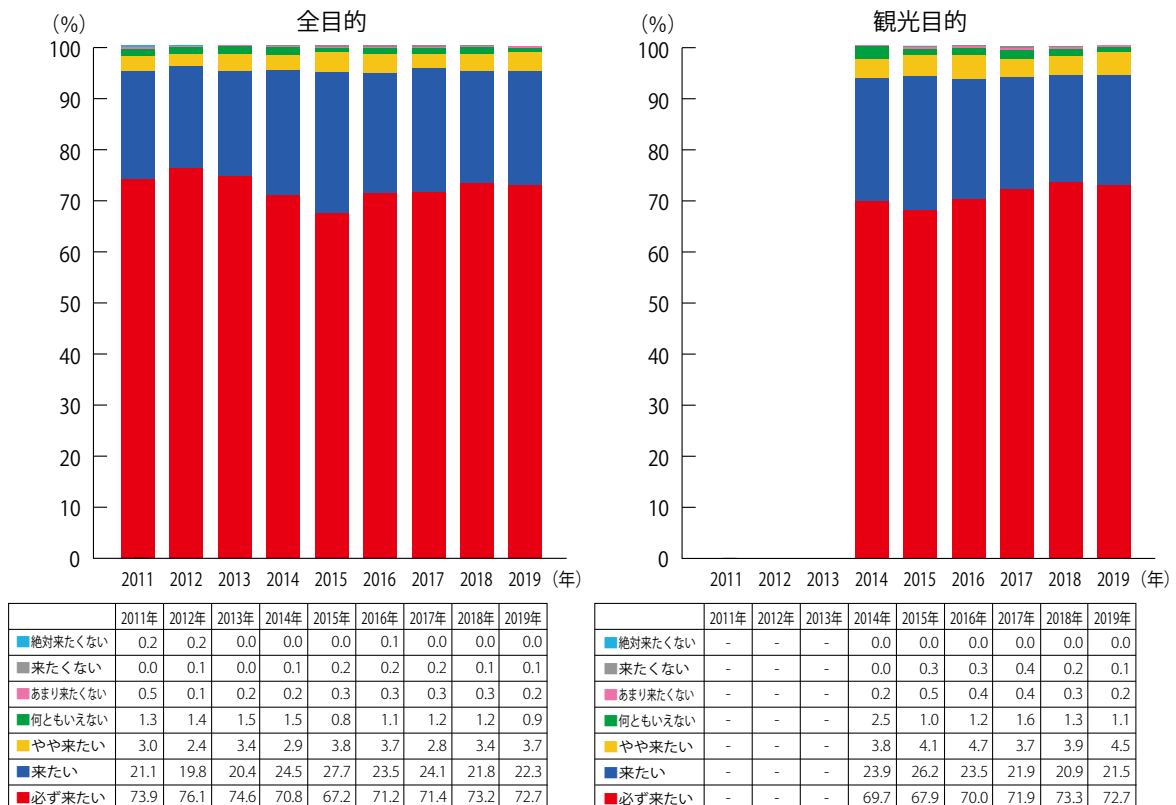


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日米国人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# カナダ

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

英国系 (32.5%)、カナダ系 (32.3%)、アジア系 (17.7%)、フランス系 (13.6%) など。  
この他、先住民も居住している。

出典：総務省統計局「世界の統計 2023」

### (2) 宗教別構成

国民全体の53.3%がキリスト教徒（国民全体の29.9%がローマ・カトリック）、34.6%が無宗教

出典：2021年カナダ統計局

### (3) 使用言語

英語とフランス語がカナダの公用語

州・準州レベルでは、以下のとおり州・準州の公用語が定められている。

- ・英語：ケベック州以外の全ての州・準州
- ・フランス語：ケベック州、ニューブランズウィック州、ユーコン準州、ノースウエスト準州、ヌナブト準州
- ・アメリカ先住民諸語：ノースウエスト準州（該当9言語）、ヌナブト準州（該当2言語）

#### 【言語別人口の割合】

英語 (74.5%)、フランス語 (23.4%)、中国語 (3.7%)、セム語 (1.8%)、パンジャブ語 (1.6%)、スペイン語 (1.6%)、タガログ語 (1.5%)、アラビア語 (1.5%)、イタリア語 (0.9%) など。

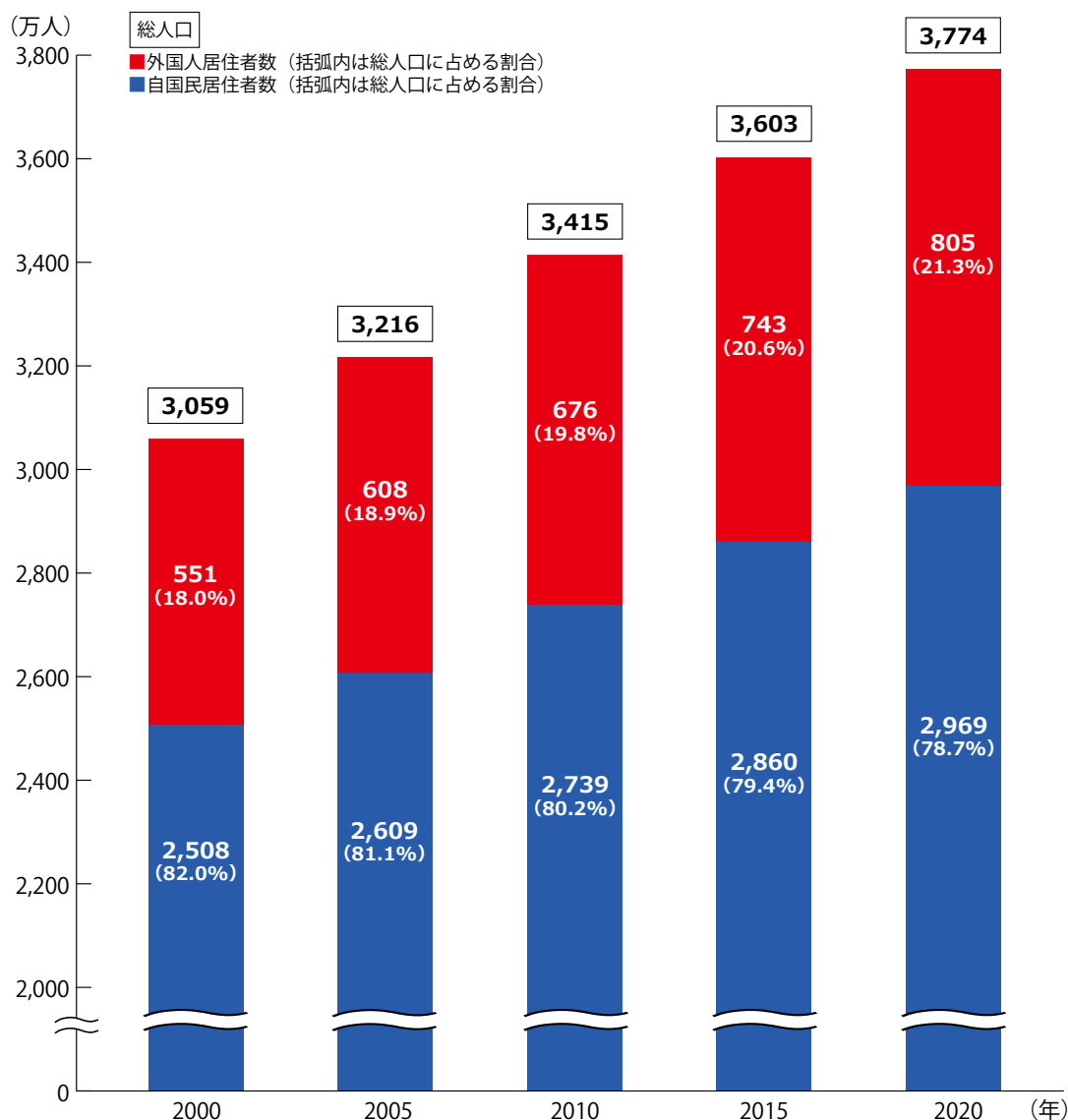
出典：日本政府観光局 (JNTO)、総務省統計局「世界の統計 2023」

### (4) 面積

998万4,670km<sup>2</sup>（日本の26.4倍強）

出典：総務省統計局「世界の統計 2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

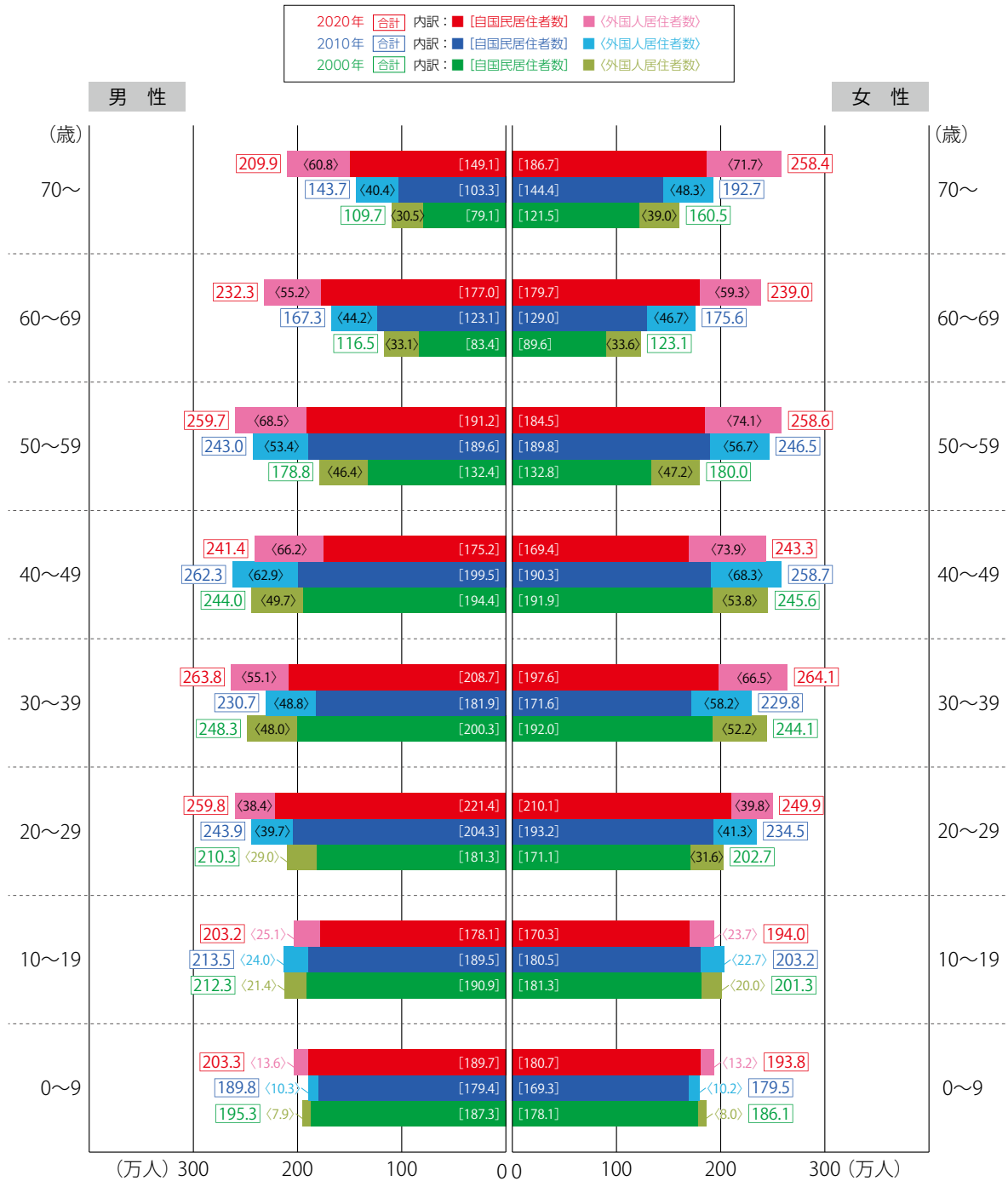
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範囲は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者には含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：カナダの外国人居住者は、注2の①に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口

都市名	所在州	人口(人)	100	200	300	400	500	600	700 (万人)
トロント	オンタリオ州	6,572,524							
モントリオール	ケベック州	4,342,213							
バンクーバー	ブリティッシュコロンビア州	2,773,148							
カルガリー	アルバータ州	1,559,284							
エドモントン	アルバータ州	1,480,754							
オタワ / ガティノー	オンタリオ州 / ケベック州	1,476,756							
ウィニペグ	マニトバ州	852,778							
ケベックシティ	ケベック州	836,837							
ハミルトン	オンタリオ州	812,528							
キッチナー / ケンブリッジ / ウォータールー	オンタリオ州	600,304							
ロンドン	オンタリオ州	556,397							
ハリファックス	ノバスコシア州	460,274							
セントキャサリンズ / ナイアガラフォールズ	オンタリオ州	439,777							
オシャワ	オンタリオ州	434,736							
ビクトリア	ブリティッシュコロンビア州	415,573							

注1：上の数値は、2021年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	2023年1月2日は振替休日
※グッドフライデー （聖金曜日）	4月7日（金）	3月29日（金）	
※イースター・マンデー （復活祭月曜日）	4月10日（月）	4月1日（月）	
※ビクトリア・デー （ビクトリア女王誕生日）	5月22日（月）	5月20日（月）	5月25日の直前の月曜日
聖ヨハネの日 （ケベックの日）	6月24日（土）	6月24日（月）	ケベック州 2023年6月26日は振替休日
カナダ・デー（建国記念日）	7月1日（土）	7月1日（月）	2023年7月3日は振替休日
※シビック・ホリデー （市民の日）	8月7日（月）	8月5日（月）	8月第1月曜日 ケベック州、ニューファンドランド・ラブラドール州の一部、ユーコン準州を除く。
※レイバー・デー （労働者の日）	9月4日（月）	9月2日（月）	9月第1月曜日
トゥルース・アンド・リコン シリエーション・デー （真実と調和の日）	9月30日（土）	9月30日（月）	2021年より休日となった。 2023年10月2日は振替休日
※感謝祭	10月9日（月）	10月14日（月）	10月第2月曜日
戦没者追悼日	11月11日（土）	11月11日（月）	2023年11月13日は振替休日
クリスマス・デー	12月25日（月）	12月25日（水）	
ボクシング・デー	12月26日（火）	12月26日（木）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：上記以外にも、州ごとに定める祝日がある。

出典：カナダ政府、およびブリティッシュコロンビア州政府の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～14歳 (8年間)	マーチブレイク (春期休暇)	3月中旬～3月下旬の約1週間～2週間
		夏期休暇	6月末～9月上旬の約2か月半
		クリスマス休暇	クリスマス前後からの約2週間
セカンダリースクール	14歳～18歳 (4年間)	マーチブレイク (春期休暇)	3月中旬～3月下旬の約1週間～2週間
		夏期休暇	6月末～9月上旬の約2か月半
		クリスマス休暇	クリスマス前後からの約2週間
大学	18歳～22歳 (4年間)	リーディングウィーク	10月中旬と2月中旬の約1週間ずつ
		夏期休暇	4月末～9月上旬の約4か月半
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約3週間

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	初等学校 (8年間) + セカンダリースクール (4年間) = 12年間

注：学校や州によって、学期制（2学期制、3学期制）、休暇の期間や日程が異なる。上記はオンタリオ州の事例である。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>労働時間のみ、州ごとに規定されている。</li> <li>一般的に土曜日、日曜日が休日である。</li> </ul>
有給休暇日数	連邦法（カナダ労働法）の対象者： 2週間（勤続期間1年以上） 3週間（勤続期間5年以上） 4週間（勤続期間10年以上）  州法の対象者：有給休暇取得可能日数は州により異なる	カナダ労働法 (Canada Labour Code)  州法	<ul style="list-style-type: none"> <li>連邦法（カナダ労働法）が適用されるのは、運輸業、銀行、郵便、鉄道など、州をまたがる業務に従事する労働者である。</li> <li>それ以外の労働者には各州の法律が適用されるが、概ね連邦法適用者と同程度の休暇水準である。</li> <li>出産休暇、育児休暇、傷病休暇等は、有給休暇とは区別されている。</li> </ul>
定年退職	なし	カナダ人権法 (Canadian Human Rights Act)	

出典：カナダ政府、日本国厚生労働省「2015年海外情勢報告 カナダ」

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。（志願制を実施）
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）



## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	41.2
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	37.5
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	23.7
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	21.2
Netflix	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	13.0
ピンタレスト (Pinterest)	SNS	画像を掲載	11.2
旧ツイッター (Twitter) (現エックス: X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	10.2
ヤフー・カナダ (Yahoo! Canada)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	9.9
カナディアン・トラベラー (Canadian Traveller.net)	ウェブサイト	旅行情報発信	8.9
レッド・フラッグ・ディールズ (Red Flag Deals)	ウェブサイト	商品情報発信	7.4
カヌー (Canoe)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、 情報検索	4.2

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

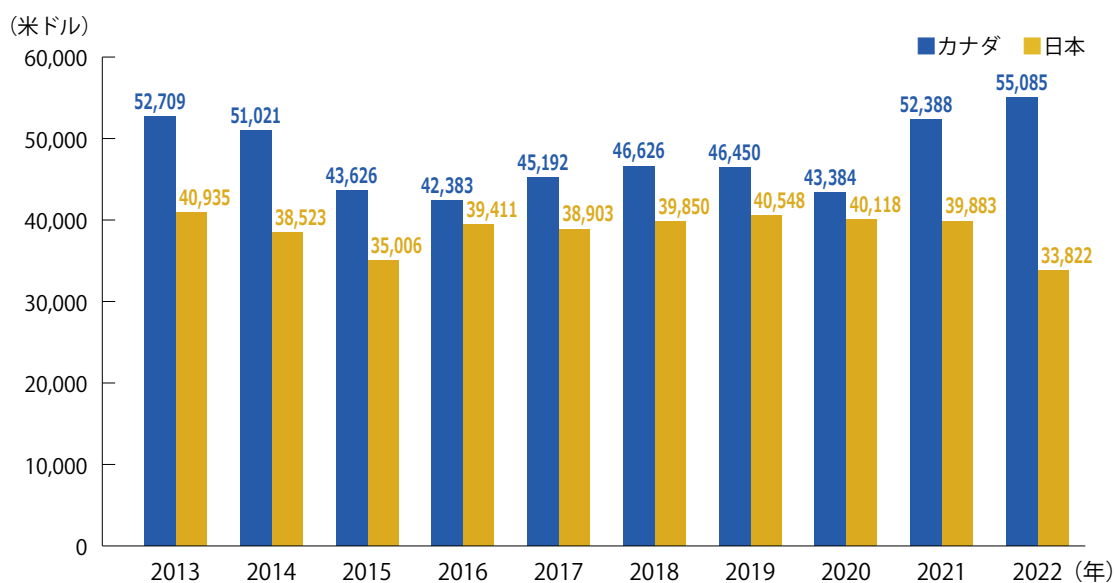
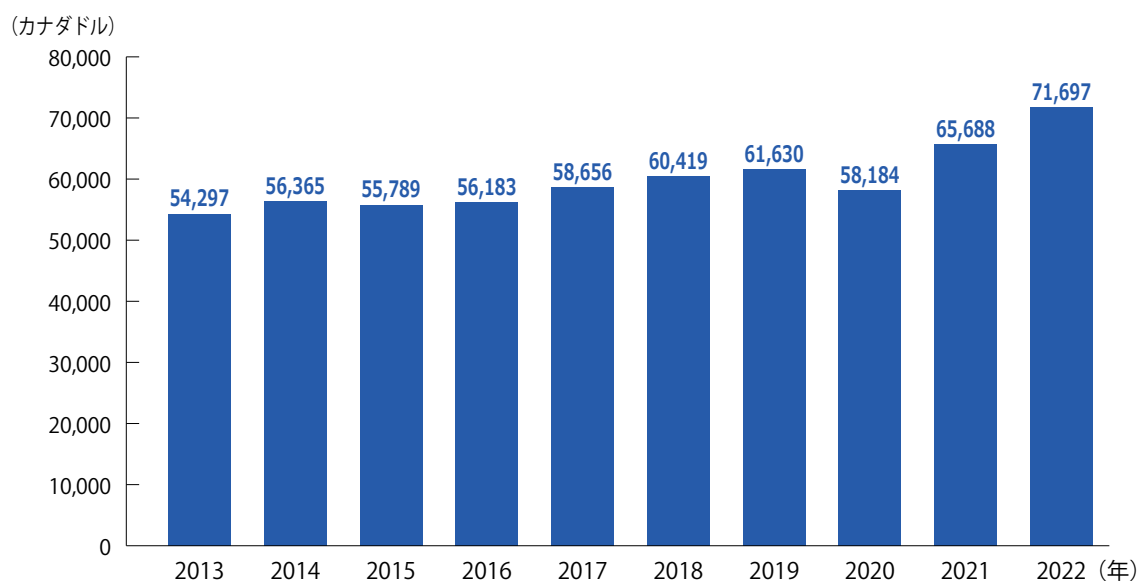
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

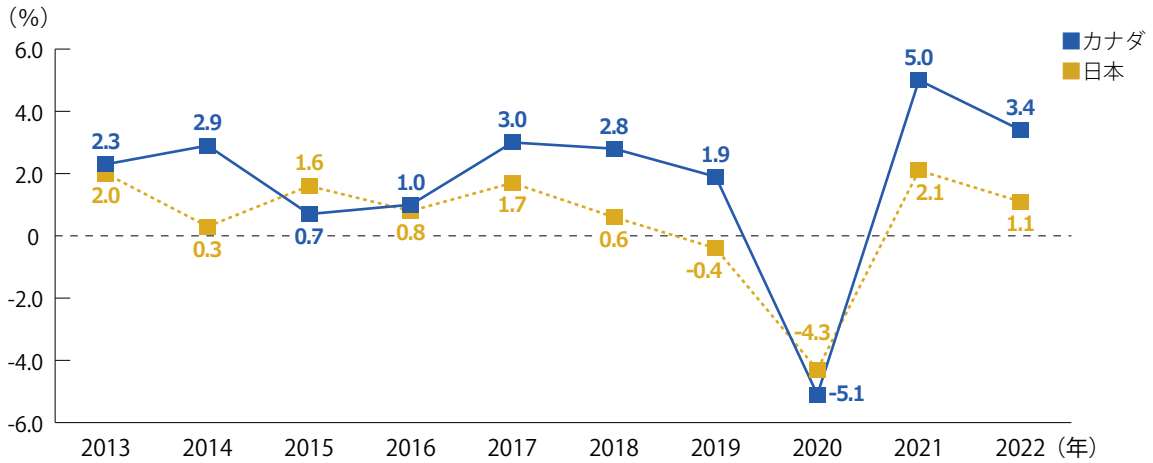
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

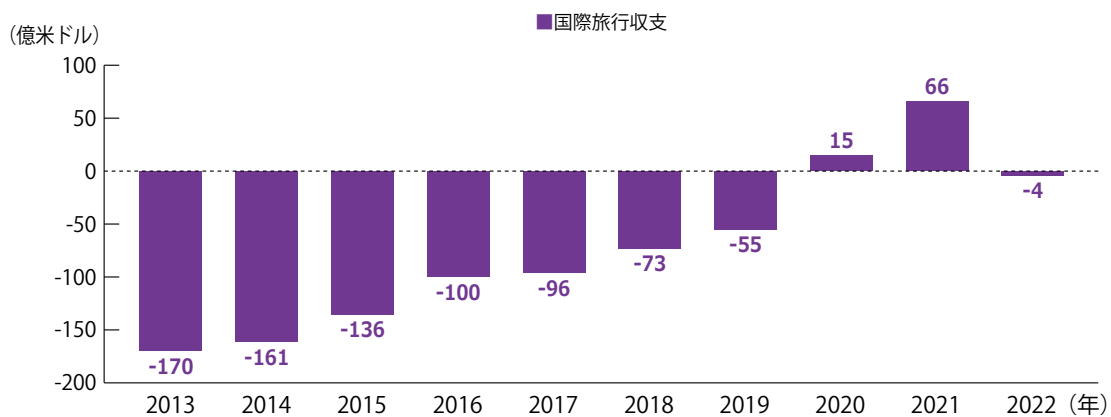
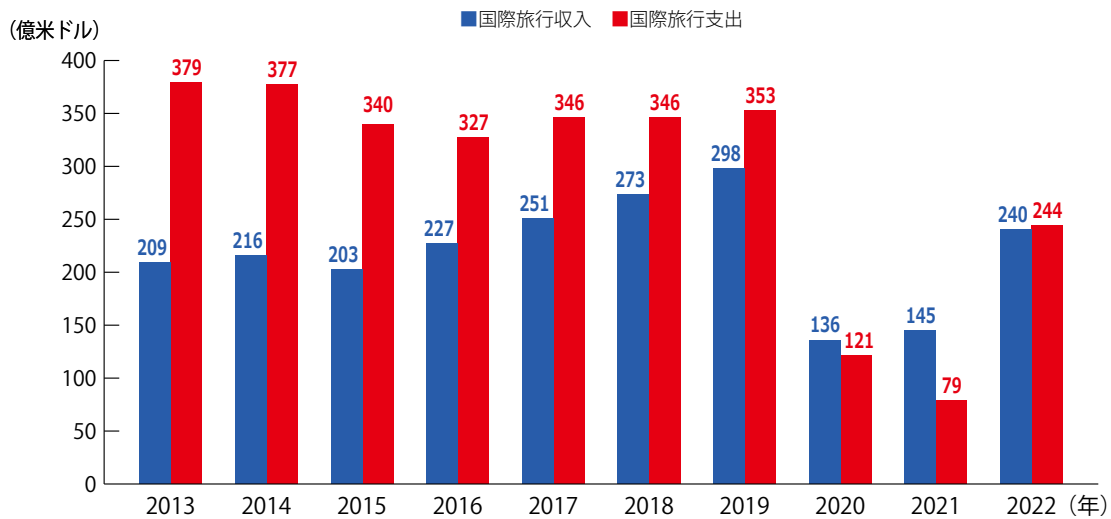
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



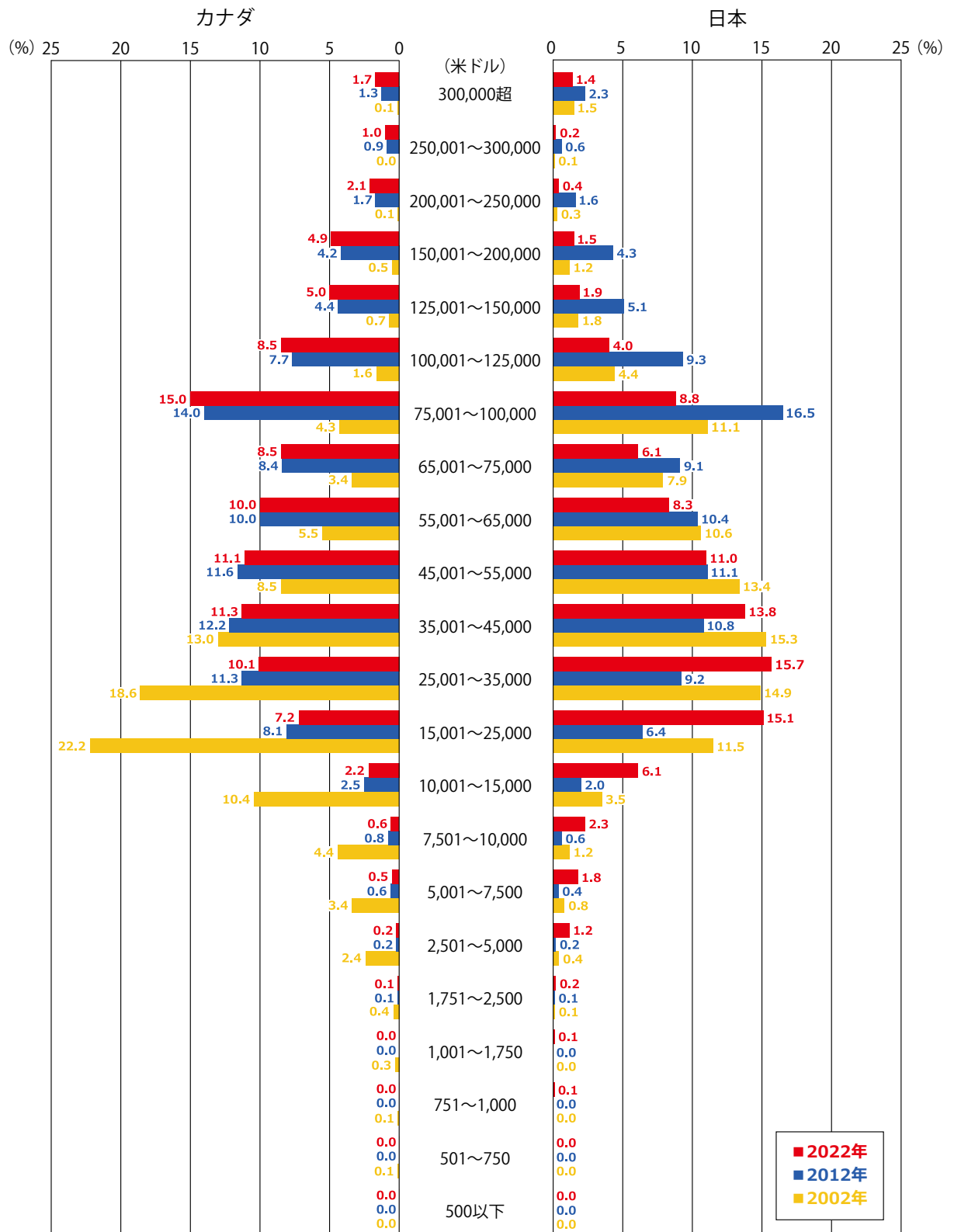
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

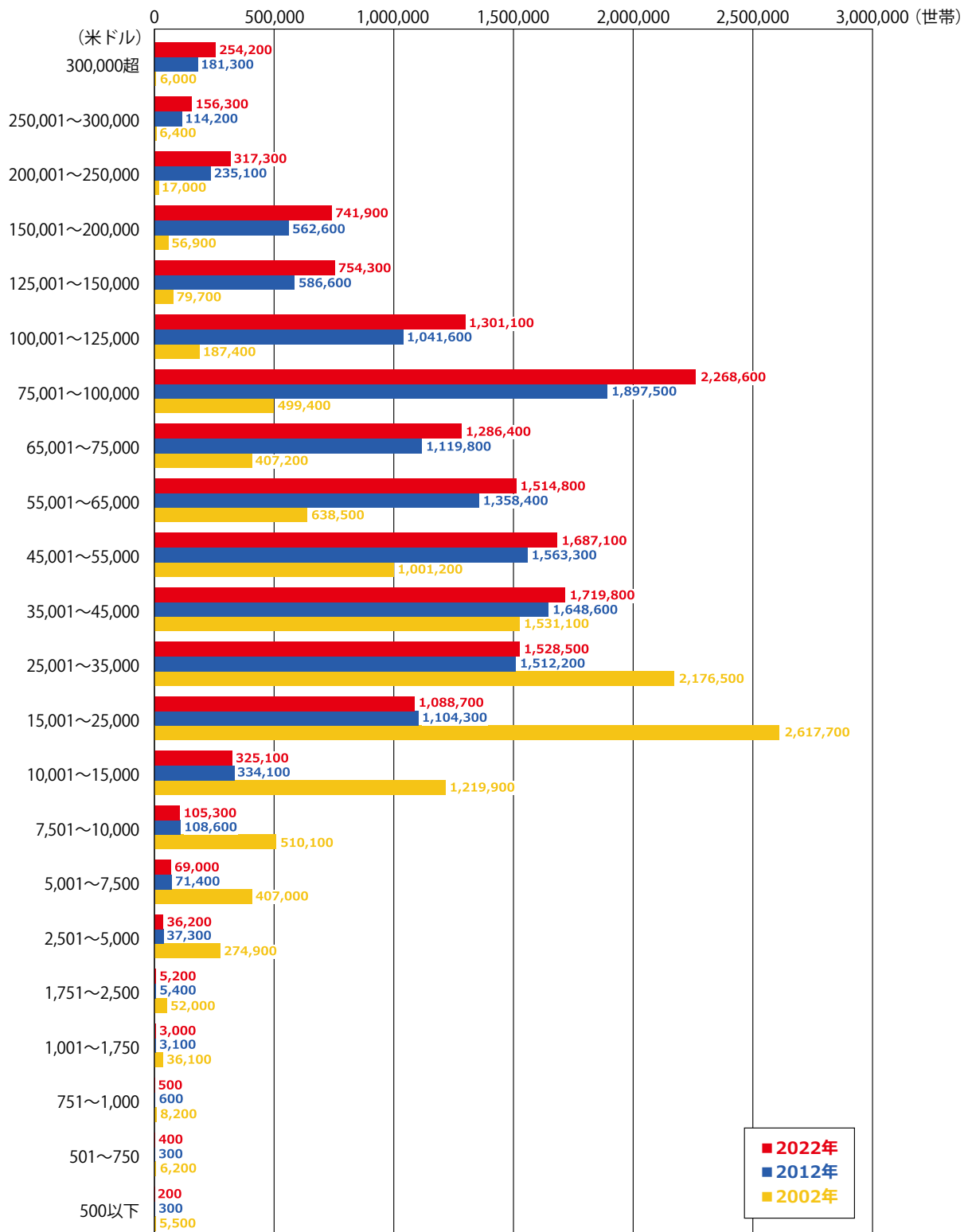
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

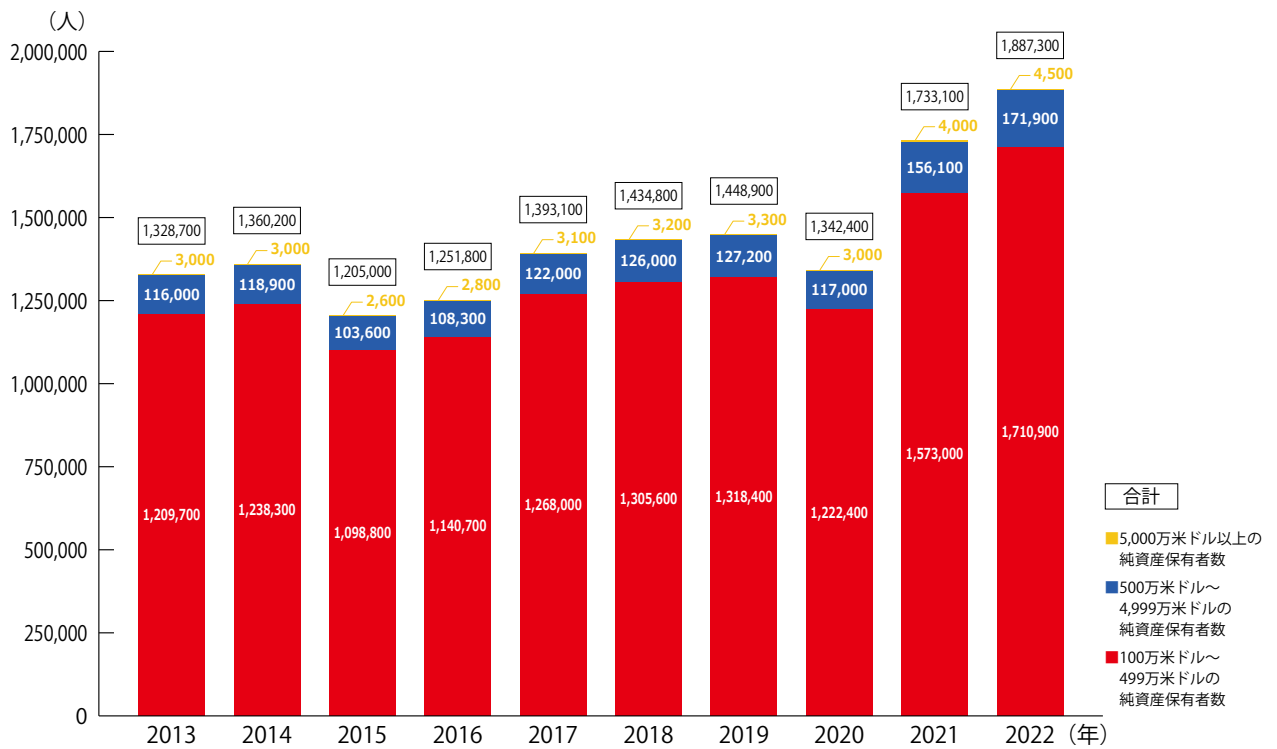
カナダ

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



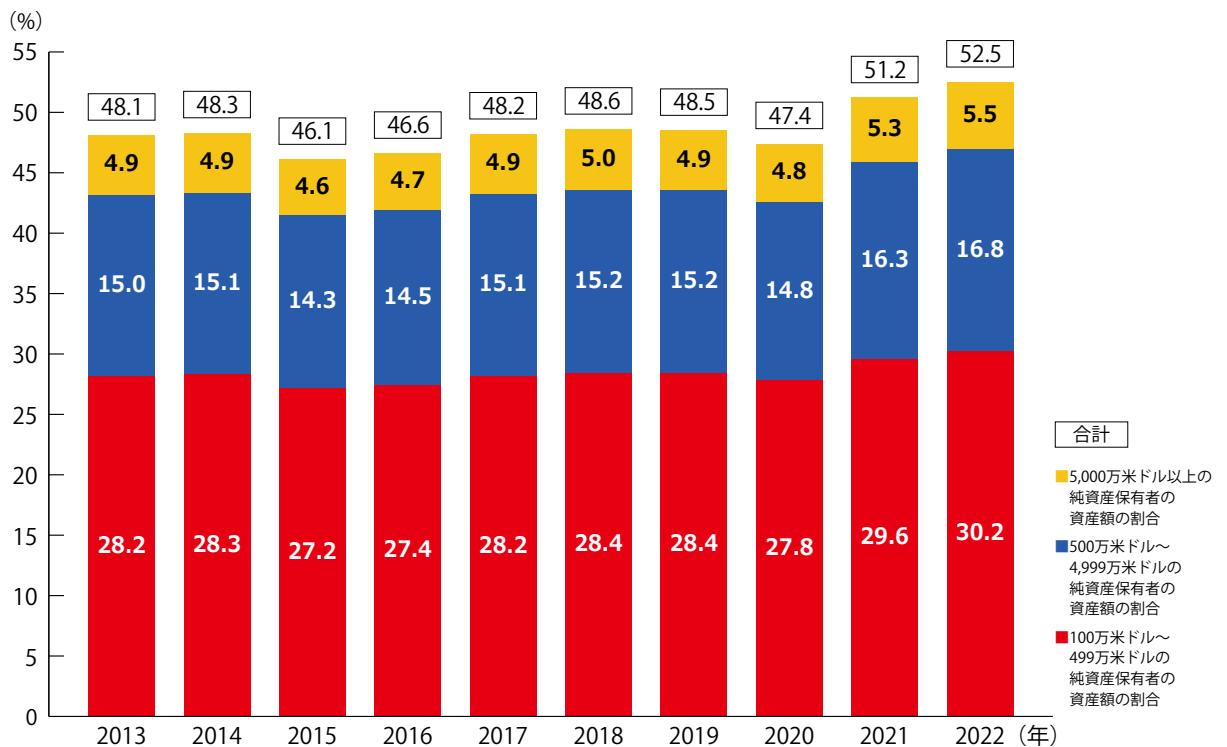
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

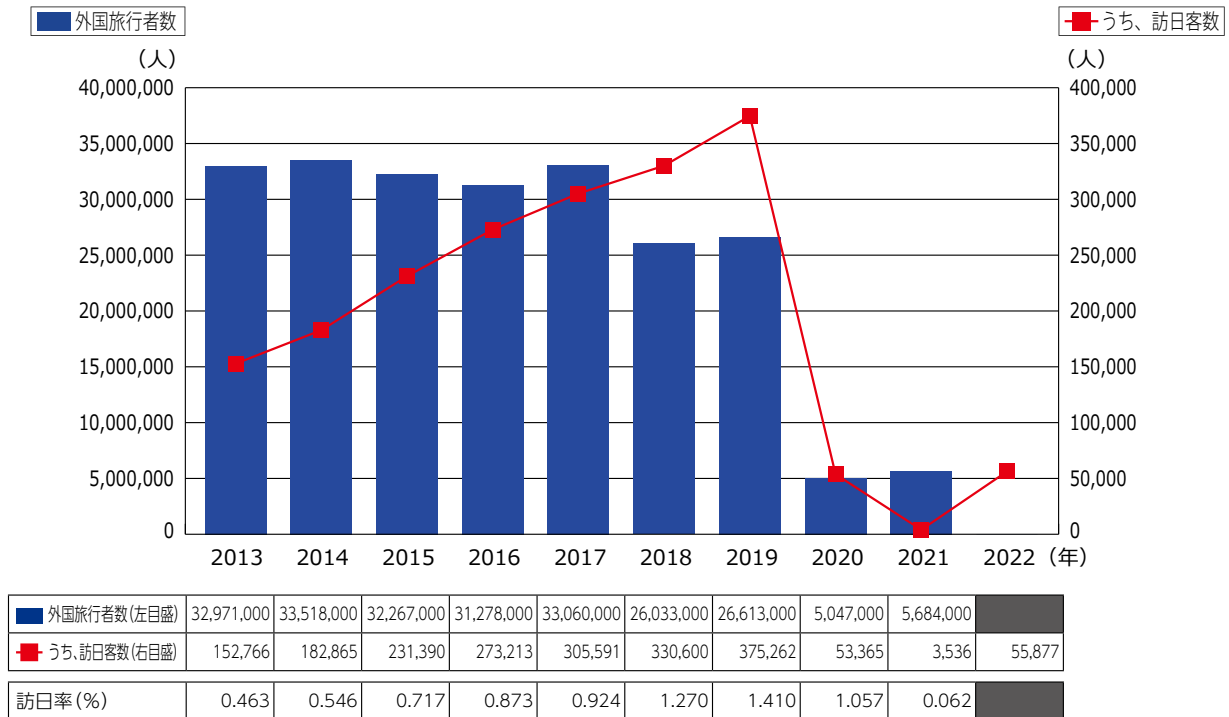
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) カナダ人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：カナダ人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのカナダ人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の最大値
						2020年	2021年	
1位	米国	TFR	20,493,214	21,475,152	20,723,322	4,808,888	2,529,022	21,475,152
2位	メキシコ	TFN	1,985,084	2,155,383	2,309,528	975,697	503,589	2,309,528
3位	キューバ	VFR	1,133,824	1,109,630	1,120,077	413,409	68,944	1,133,824
4位	イタリア	TFN	882,633	997,570	1,044,251	100,765	85,133	1,044,251
5位	ドミニカ共和国	TFR	837,104	904,460	891,976	357,952	162,700	904,460
6位	英国	VFR	910,653	852,244	874,061		128,185	910,653
7位	中国	VFN	805,026	849,941	776,328			849,941
8位	フランス	TCER	461,207	518,528	532,579	90,718	125,034	532,579
9位	スペイン	TFR	488,217	445,824	450,663	115,130	139,449	488,217
10位	ジャマイカ	TFR	405,174	399,969	395,561	132,014	67,184	405,174
11位	ポルトガル	TCER	289,725	350,962	385,340	57,302	51,237	385,340
12位	日本	VFN	305,591	330,600	375,262	53,365	3,536	375,262
13位	インド	VFN	335,439	351,040	351,859	122,868	80,437	351,859
14位	ドイツ	TCER	303,146	312,895	321,097	61,366	58,526	321,097
15位	ギリシャ	TFR	197,957	345,839	320,995	32,817	56,757	345,839
16位	タイ	TFN	258,494	276,067	273,214	58,223	6,440	276,067
17位	フィリピン	TFR	200,640	226,446	238,850	55,273	6,781	238,850
18位	コスタリカ	TFN	201,921	217,006	234,621	115,632	53,185	234,621
19位	アイルランド	TFR	204,000	224,000	229,000			229,000
20位	香港	TFR	257,136	260,508	211,850	16,695	836	260,508
21位	アラブ首長国連邦	VFN	210,897	197,828	208,668	68,753		210,897
22位	韓国	VFN	176,256	194,259	205,408	34,734	29,795	205,408
23位	豪州	VFR	167,580	182,097	189,613	52,302	3,278	189,613
24位	クロアチア	TCER	136,519	172,712	187,145	6,395	21,387	187,145
25位	オランダ	THSR	179,000	172,000	177,000	24,000	27,000	179,000
26位	ベトナム	VFR	138,242	149,535	159,121	42,200	603	159,121
27位	デンマーク	TCER	102,928	112,959	156,355	9,341	8,632	156,355
28位	スイス	TCER	123,622	135,605	142,552	23,500	23,133	142,552

カナダ

前ページから

次ページへ

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	シンガポール	VFR	105,214	129,516	138,563	26,927	1,688	138,563
30位	台湾	VFR	117,687	128,456	136,651	18,857	1,178	136,651
31位	バハマ	TFR	111,981	126,379	134,574	44,333	11,508	134,574
32位	オーストリア	TCER	110,945	120,396	134,394	17,751	13,989	134,394
33位	モロッコ	TFN	111,394	130,579	131,497	21,305	19,485	131,497
34位	トルコ	TFN	77,978	103,783	128,894	34,163	70,910	128,894
35位	レバノン	TFN	107,713	114,137	113,063	22,664	52,587	114,137
36位	サウジアラビア	TFN	43,558	69,753	108,716	16,215	13,195	108,716
37位	インドネシア	VFN	96,139	97,908	103,616	23,200	1,242	103,616
38位	イスラエル	TFR	80,532	91,878	95,826	15,646	10,023	95,826
39位	チェコ	TCEN	94,304	96,673	95,611	10,617	9,783	96,673
40位	ペルー	TFR	77,563	86,634	94,475	19,383	7,872	94,475
41位	エジプト	VFN	71,746	85,370	92,741	29,485		92,741
42位	マレーシア	TFN	67,056	84,705	87,568	16,631	471	87,568
43位	ブラジル	TFR	48,951	71,160	77,043	26,950	8,077	77,043
44位	コロンビア	TFR	54,922	63,502	73,515	28,790	23,024	73,515
45位	ニュージーランド	VFR	67,280	71,261	73,037	30,791	1,030	73,037
46位	アイスランド	TFN	103,026	99,715	69,947	7,082	7,291	103,026
47位	アルゼンチン	TFR	53,396	60,492	67,235	31,054	3,111	67,235
48位	南アフリカ共和国	TFR	67,156	67,779	66,577	17,545	7,494	67,779
49位	ルーマニア	VFR	58,844	61,770	66,162	8,463	19,121	66,162
50位	ベルギー	TCER	61,766	68,529	66,115	9,105	10,591	68,529
51位	バルバドス	TFR	85,207	86,622	61,861	31,225	10,381	86,622
52位	ナイジェリア	VFN	60,843	60,130	60,226	21,425	22,110	60,843
53位	カンボジア	TFR	69,077	61,551	60,189	15,580	768	69,077
54位	ロシア	VFN	50,898	58,493	54,574	3,014		58,493
55位	アルバ	TFR	47,166	50,888	52,215	19,632	12,879	52,215
56位	トリニダード・トバゴ	TFN	52,355	47,066	49,492	14,535	4,224	52,355
57位	ハンガリー	TCEN	42,205	51,283	49,382	3,226	4,627	51,283
58位	スリランカ	TFR	46,896	52,681	48,729	12,436	5,079	52,681
59位	クウェート	VFN	46,363	46,204	45,472	11,279	8,155	46,363
60位	タークス・カイコス諸島	TFR	36,266	37,708	45,125	16,926		45,125
61位	チリ	TFN	39,639	42,881	43,329	13,109	1,863	43,329
62位	パナマ	VFR	40,855	44,676	43,140	15,929	11,798	44,676
63位	ケニア	VFR		41,859	41,039	11,895	13,373	41,859
64位	セントルシア	TFR	42,578	40,213	40,872	15,272	4,978	42,578
65位	ウクライナ	TFR	30,775	37,879	40,128	7,912	14,093	40,128
66位	エクアドル	VFN	28,342	34,333	38,196	13,523	9,461	38,196
67位	アンティグア・バーブーダ	TFR	22,932	38,087	37,225	15,723	4,055	38,087
68位	ポーランド	TCER	34,636	43,294	36,699	5,134	6,541	43,294
69位	ベリーズ	TFN	26,084	35,190	35,527	14,500	5,161	35,527
70位	スロベニア	TCEN	24,921	29,775	35,055	2,082	3,279	35,055
71位	グアテマラ	VFR	34,254	36,023	33,927	11,418	6,867	36,023
72位	ホンジュラス	TFN	23,137	10,523	32,972	15,035	4,626	32,972
73位	オマーン	VFN	31,293	28,982	32,378	6,863	3,148	32,378
74位	ヨルダン	TFN	25,718	29,722	31,875	6,179	10,314	31,875
75位	ノルウェー	TCER	26,574	26,326	31,827	3,818	1,842	31,827
76位	カタール	VFN	31,670	27,402	31,239	7,941	5,098	31,670
77位	スウェーデン	TCER	30,420	32,145	31,067	4,635	5,433	32,145
78位	ケイマン諸島	TFR	24,757	26,603	30,128	11,356	1,802	30,128
79位	エルサルバドル	TFN	30,436	29,470	28,633	10,915	13,950	30,436
80位	バミューダ	TFR	27,416	27,637	27,748	4,936	3,514	27,748
81位	セントマーティン	TFN	39,043	9,162	27,736	9,364	8,656	39,043
82位	マカオ	THSR	28,277	27,536	27,196	3,688	1,092	28,277
83位	マルティニーク	TFR	9,643	13,634	26,204	5,506	1,587	26,204
84位	ニカラグア	TFN	68,208	33,911	24,294	11,612	5,711	68,208
85位	ラトビア	TCER	25,125	26,850	22,653	12,177	5,961	26,850
86位	ブルガリア	VFR	19,113	20,889	22,436	2,945	5,660	22,436
87位	ガイアナ	TFR	24,071	23,977	22,423	6,230	9,441	24,071
88位	キュラソー	TFR	19,134	21,173	22,100	10,291	3,578	22,100
89位	タンザニア	VFR	18,453	21,854	22,073	6,858	6,052	22,073
90位	アルバニア	VFN	17,411	21,237	21,547	3,259	12,633	21,547
91位	チュニジア	TFN	12,253	17,067	21,277	5,273	8,149	21,277
92位	ハイチ	TFR	38,259	37,331	20,923	9,557	5,589	38,259
93位	エチオピア	TFR	23,325	21,214	20,278	6,148	7,253	23,325
94位	フィンランド	TCER	18,580	17,870	19,324	3,226	3,444	19,324
95位	プエルトリコ	THSR	20,264	12,941	17,538	14,913		20,264
96位	ネパール	TFN	15,105	17,277	17,102	3,102	2,438	17,277



↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
97位	ジンバブエ	VFR	10,613	14,006	16,176	2,989	1,140	16,176
98位	グレナダ	TFN	11,362	13,784	14,539	4,059	2,256	14,539
99位	フィジー	TFR	12,421	13,220	13,269	2,896	358	13,269
100位	バーレーン	VFR		11,307	13,153		2,712	13,153
101位	ウガンダ	TFR	13,109			2,012	1,449	13,109
102位	ラオス	VFN	13,467	10,759	12,873	4,635		13,467
103位	スロバキア	TCEN	10,562	10,050	12,306	1,344	1,555	12,306
104位	モルディブ	TFN	8,994	9,540	11,473	3,872	6,943	11,473
105位	ミャンマー	TFN	14,068	11,065	11,060	2,735	77	14,068
106位	ボリビア	TFN	11,631	11,840	10,955	2,639	2,285	11,840
107位	セントビンセント・グレナディーン諸島	TFR	8,698	9,822	10,488	3,803	2,053	10,488
108位	セルビア	TCEN	9,357	9,854	10,400	1,802	3,927	10,400
109位	モンテネグロ	TCEN	7,158	8,632	10,038	755	3,765	10,038
110位	ボツワナ	TFR	8,261	10,029		1,264		10,029
111位	ルワンダ	VFN	7,044	8,631	9,622	2,729	2,692	9,622
112位	ナミビア	TFN	8,432	8,232	8,853	1,335	903	8,853
113位	カザフスタン	VFR	6,865	6,821	8,167	1,173	1,150	8,167
114位	モーリシャス	TFR	6,908	7,747	8,011	1,804	993	8,011
115位	仏領ポリネシア(タヒチ)	TFR	6,372	7,846	7,958	2,019	1,287	7,958
116位	ウルグアイ	VFN	7,524	7,865	7,937			7,937
117位	ジョージア	VFR	4,483	6,448	7,870	963	2,404	7,870
118位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	6,346	6,799	7,681	408	1,489	7,681
119位	セネガル	THSN	7,619					7,619
120位	カメルーン	THSN	8,795	10,222	7,574	1,542		10,222
121位	エストニア	TCER	5,518	7,649	7,385	1,017	1,004	7,649
122位	アルメニア	TFR	3,897	6,468	7,314	2,367	1,951	7,314
123位	ニジェール	TFN	6,025	5,758	7,044	3,132		7,044
124位	リトアニア	TCER	4,598	6,211	6,905	909	1,001	6,905
125位	ザンビア	TFR	5,311	6,911	6,786	1,406	1,244	6,911
126位	セントクリストファー・ネイビス	TFR	6,956	7,464	6,497	2,604	927	7,464
127位	シリア	VFN	3,955	5,357	6,377	1,162	4,538	6,377
128位	トーゴ	THSR	2,783	3,486	6,338	506		6,338
129位	ベナン	TFR	4,810	5,490	5,014	5,338		5,490
130位	キプロス	TCER	4,967	4,901	4,936	1,006	2,312	4,967
131位	アルジェリア	VFN	4,414	6,173	4,690	812	367	6,173
132位	アゼルバイジャン	VFR	3,165	4,101	4,639	624	822	4,639
133位	モナコ	THSN	4,514	4,256	4,423	583	1,287	4,514
134位	ルクセンブルク	TCER	4,952	4,328	4,223	1,333	3,009	4,952
135位	アンギラ	TFR	2,819	2,047	4,113	1,562	936	4,113
136位	北マケドニア	TCEN	3,031	4,100	4,110	333	734	4,110
137位	エスワティニ	VFR	4,412	4,055	3,815	988	215	4,412
138位	ウズベキスタン	VFR		1,751	3,767	425	1,220	3,767
139位	キルギス	VFR	2,920	3,098	3,629	482	973	3,629
140位	モンゴル	TFN	3,430	3,578	3,594	169	123	3,594
141位	ベネズエラ	TFN	3,360					3,360
142位	ブルキナファソ	THSR	1,976	1,969	3,045	833	671	3,045
	クック諸島	TFR	3,130	3,446	2,735	1,243	4	3,446
	イラン	VFN	3,452	2,115	2,016	281	153	3,452
	米領バーミンガム諸島	THSN	4,430	1,450	1,933	936	484	4,430
	バングラデシュ	TFN	1,196	1,402	1,535	5,507	8,780	8,780

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

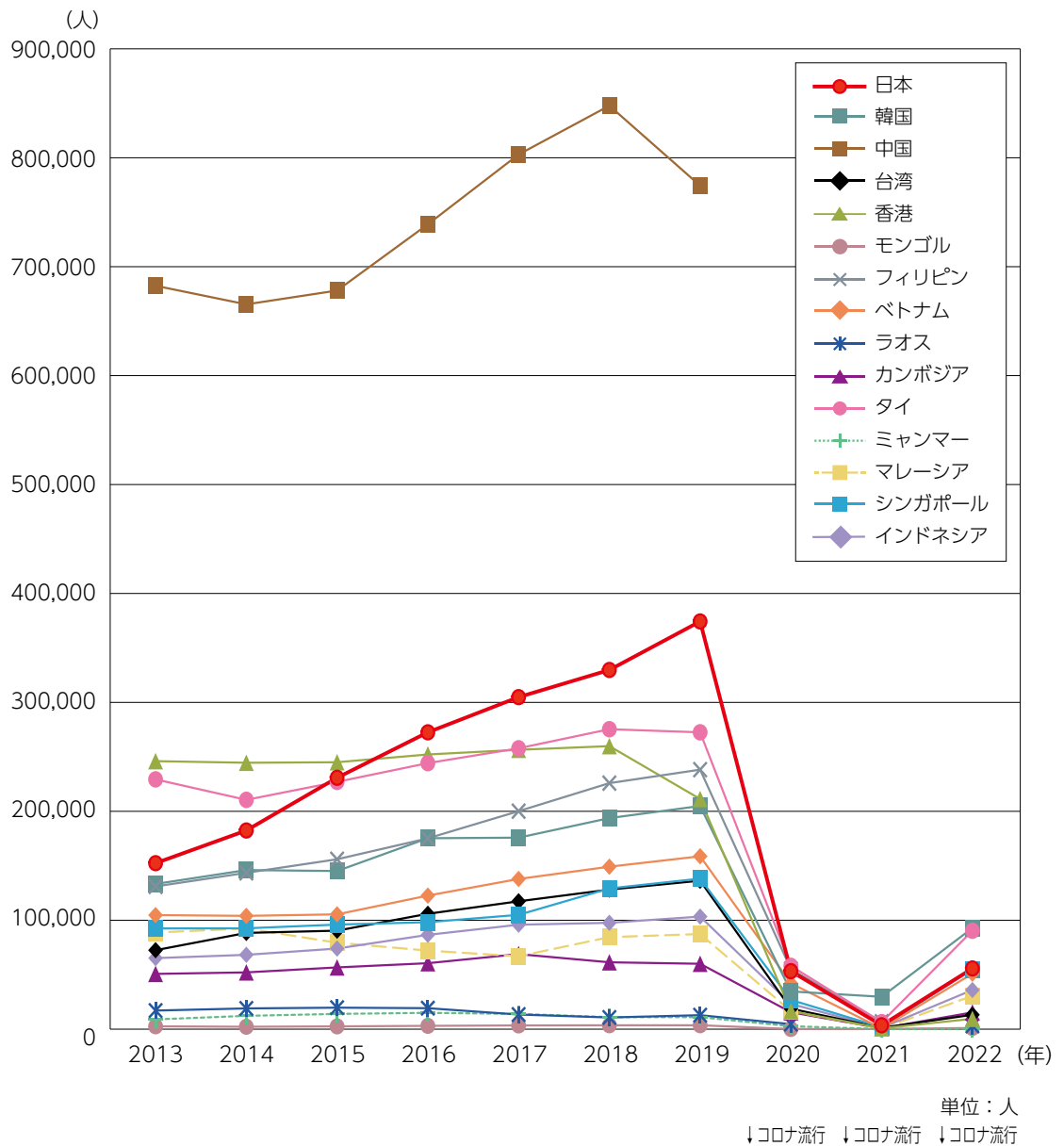
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのカナダ人訪問者数の推移（2013年～2022年）

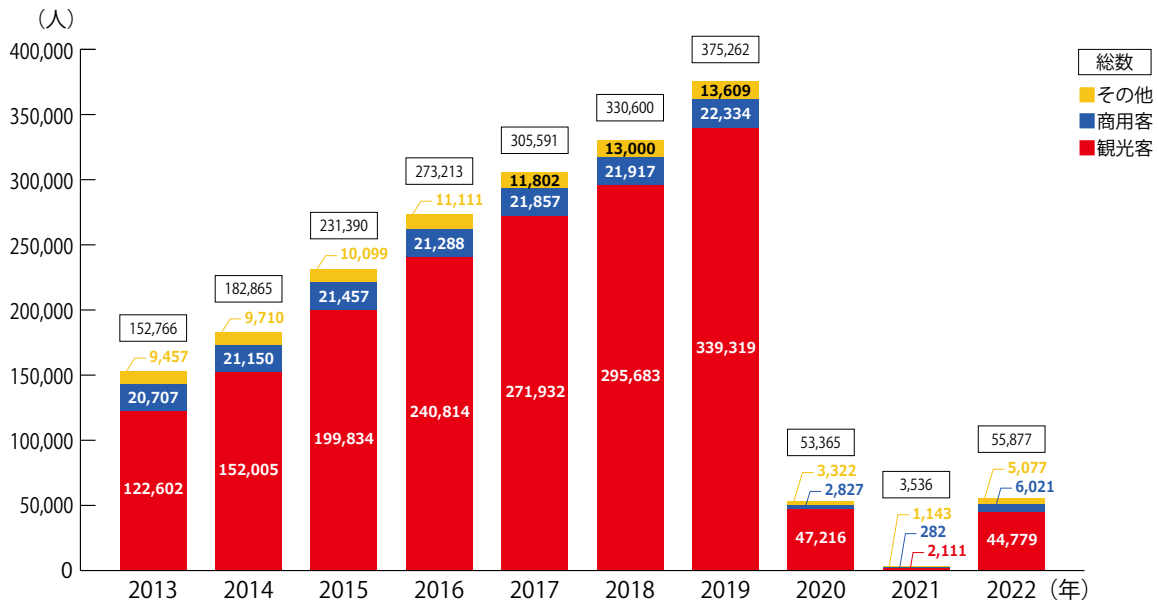


訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	684,216	667,100	679,800	740,788	805,026	849,941	776,328			
日本	VFN	152,766	182,865	231,390	273,213	305,591	330,600	375,262	53,365	3,536	55,877
タイ	TFN	229,897	211,059	227,601	244,869	258,494	276,067	273,214	58,223	6,440	90,608
フィリピン	TFR	131,381	143,899	156,363	175,631	200,640	226,446	238,850	55,273	6,781	
香港	TFR	246,679	245,205	245,676	252,837	257,136	260,508	211,850	16,695	836	9,522
韓国	VFN	133,640	146,429	145,547	175,745	176,256	194,259	205,408	34,734	29,795	93,064
ベトナム	VFR	104,973	104,291	105,670	122,929	138,242	149,535	159,121	42,200	603	51,069
シンガポール	VFR	92,685	92,827	96,247	98,474	105,214	129,516	138,563	26,927	1,688	55,024
台湾	VFR	72,693	88,601	90,666	106,197	117,687	128,456	136,651	18,857	1,178	13,244
インドネシア	VFN	65,385	68,432	74,212	86,807	96,139	97,908	103,616	23,200	1,242	36,042
マレーシア	TFN	88,904	92,761	79,557	72,337	67,056	84,705	87,568	16,631	471	30,656
カンボジア	TFR	50,867	52,264	56,834	60,715	69,077	61,551	60,189	15,580	768	15,420
ラオス	VFN	17,132	19,096	19,785	19,315	13,467	10,759	12,873	4,635		2,974
ミャンマー	TFN	8,975	12,268	14,051	15,024	14,068	11,065	11,060	2,735	77	437
モンゴル	TFN	2,603	2,219	2,566	3,052	3,430	3,578	3,594	169	123	1,103

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

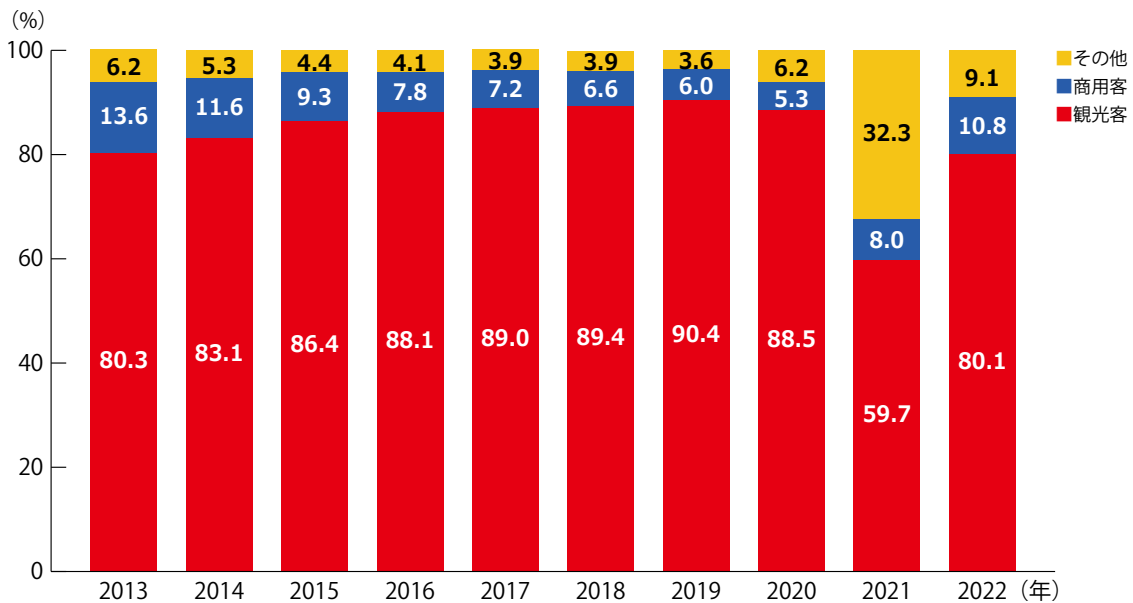
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日カナダ人の推移（2013年～2022年）



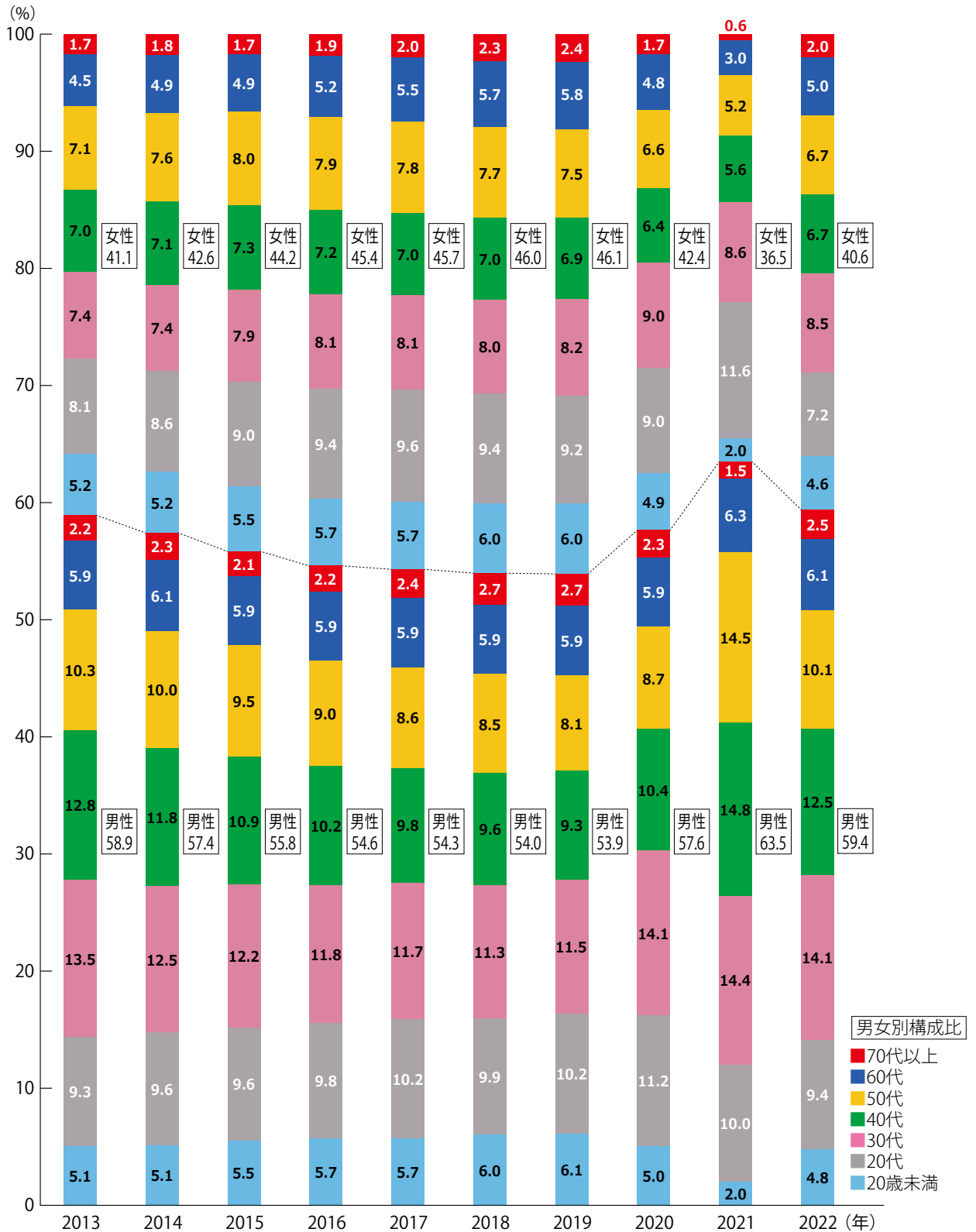
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日カナダ人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

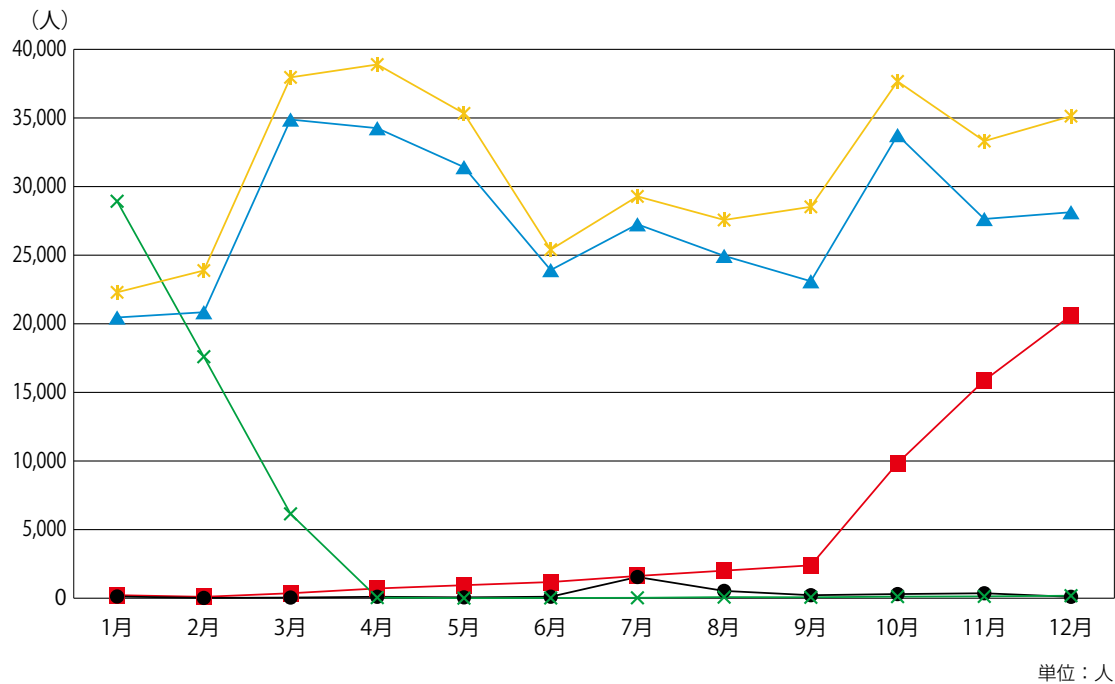
(3) 訪日カナダ人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

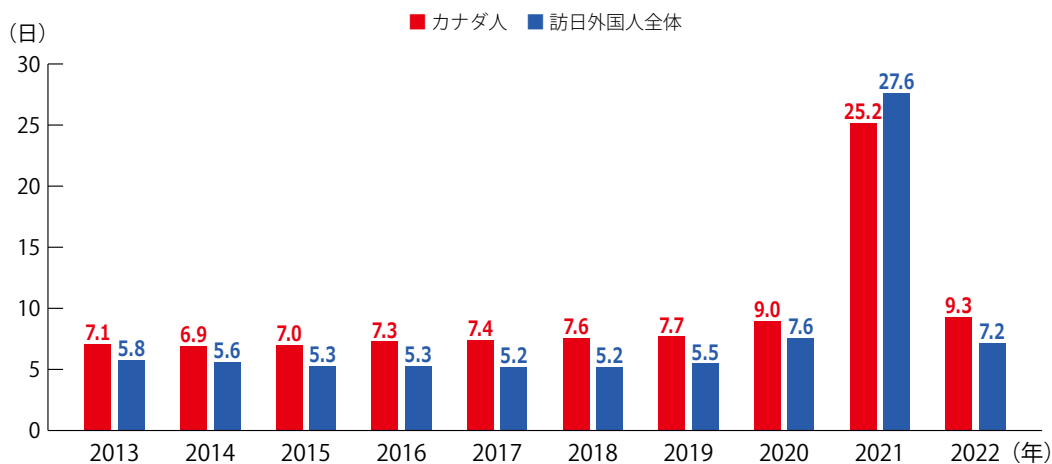
#### (4) 月別訪日カナダ人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	223	101	362	711	949	1,179	1,622	2,009	2,396	9,847	15,868	20,610
● 2021年	125	22	48	105	63	110	1,545	533	220	302	361	102
✕ 2020年	28,931	17,601	6,149	47	5	17	30	81	69	118	134	183
✱ 2019年	22,293	23,883	37,959	38,897	35,335	25,402	29,285	27,568	28,525	37,667	33,316	35,132
▲ 2018年	20,459	20,843	34,886	34,255	31,417	23,914	27,252	24,951	23,100	33,753	27,638	28,132

出典：日本政府観光局（JNTO）

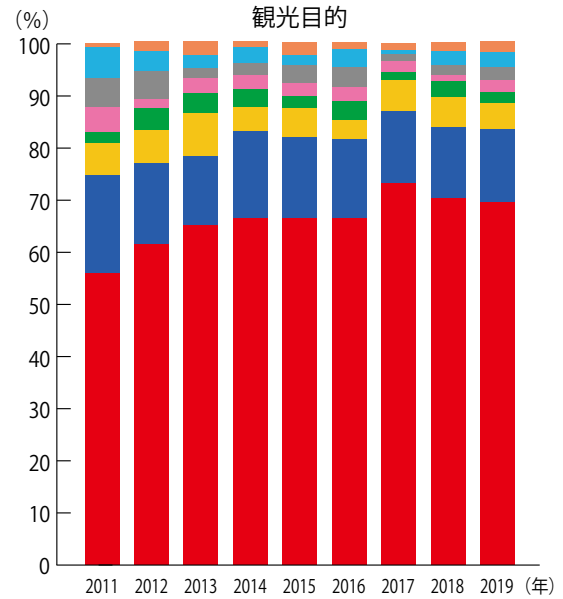
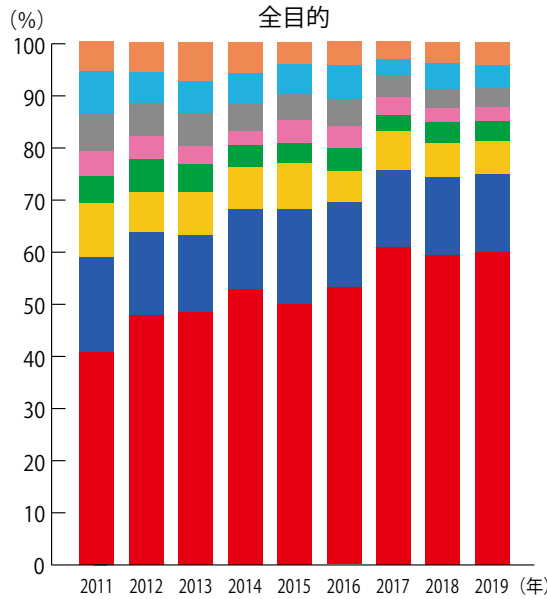
#### (5) 訪日カナダ人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(6) 訪日カナダ人の訪日回数 (2011年～2019年)



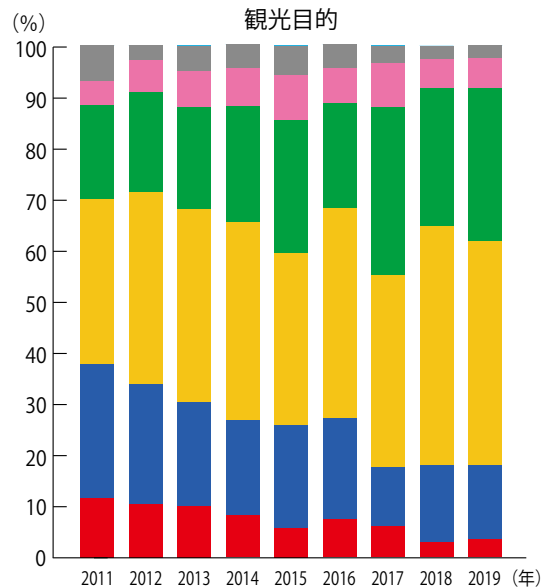
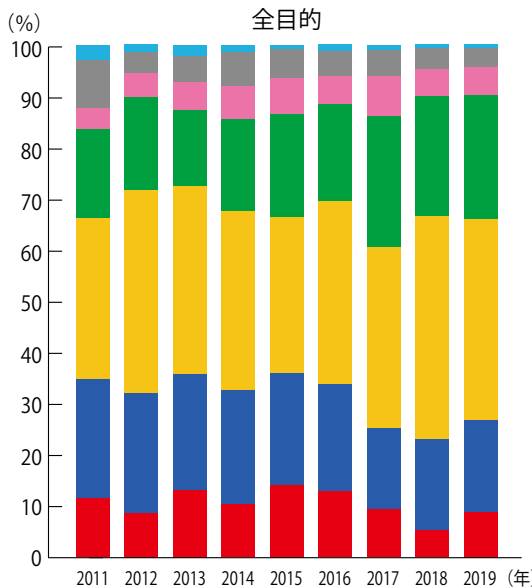
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	5.6	5.8	7.6	6.0	4.4	4.6	3.3	4.1	4.4
10～19回目	8.2	5.9	6.0	5.9	5.6	6.5	3.0	5.0	4.4
6～9回目	7.1	6.3	6.4	5.2	5.1	5.2	4.2	3.6	3.7
5回目	4.9	4.4	3.5	2.6	4.3	4.1	3.6	2.7	2.7
4回目	5.1	6.4	5.2	4.2	3.9	4.4	3.0	4.0	3.7
3回目	10.3	7.7	8.3	8.2	8.7	5.9	7.5	6.6	6.4
2回目	18.1	15.8	14.7	15.2	18.2	16.4	14.6	14.8	14.8
1回目	40.7	47.7	48.3	52.7	49.8	53.0	60.8	59.2	59.8

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	0.8	1.9	2.7	1.0	2.4	1.3	1.4	1.8	2.0
10～19回目	5.9	3.8	2.3	3.2	1.9	3.4	0.7	2.7	3.0
6～9回目	5.7	5.4	2.1	2.4	3.6	4.0	1.4	1.9	2.5
5回目	4.6	1.7	2.7	2.5	2.3	2.5	2.2	1.1	2.2
4回目	2.2	4.2	4.0	3.5	2.4	3.7	1.4	3.0	2.2
3回目	6.2	6.4	8.1	4.7	5.5	3.7	5.9	5.9	5.0
2回目	18.6	15.4	13.2	16.5	15.4	15.0	13.7	13.5	13.8
1回目	55.8	61.3	65.0	66.3	66.4	66.3	73.1	70.1	69.4

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日カナダ人の滞在期間 (2011年～2019年)



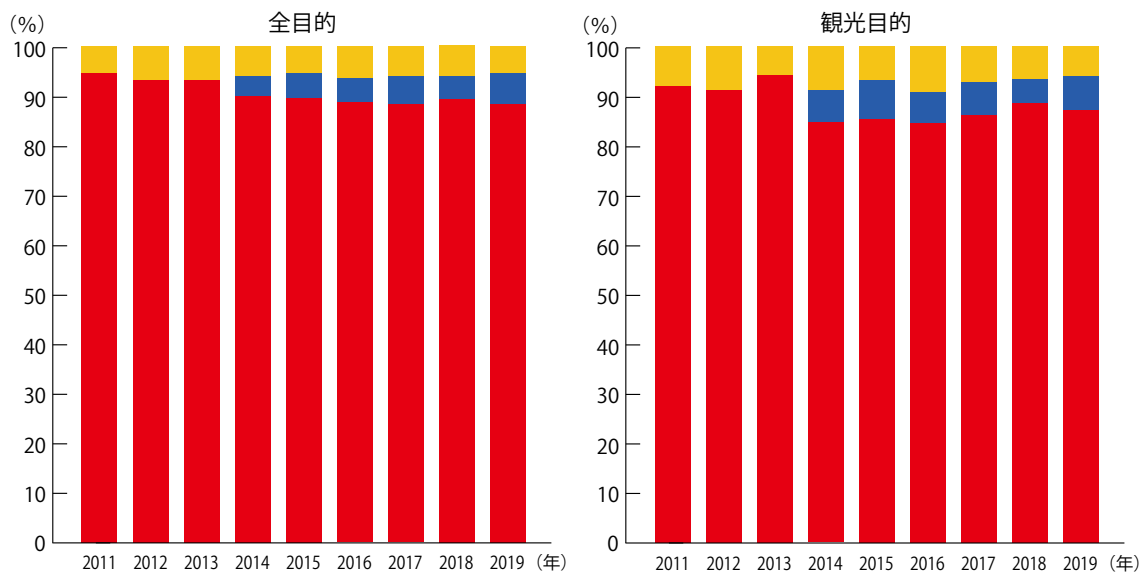
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	3.1	1.6	2.2	1.4	0.9	1.2	0.9	0.7	0.6
28～90日間	9.3	4.1	5.1	6.7	5.5	5.0	5.2	4.2	3.9
21～27日間	4.2	4.8	5.3	6.4	7.0	5.5	7.8	5.3	5.4
14～20日間	17.4	18.0	15.0	17.9	20.3	19.0	25.5	23.3	24.1
7～13日間	31.3	39.7	36.7	34.9	30.5	35.6	35.3	43.6	39.4
4～6日間	23.4	23.4	22.6	22.4	21.7	21.0	16.0	17.8	17.9
3日間以内	11.4	8.6	13.1	10.3	14.1	12.8	9.3	5.2	8.8

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	0.0	0.0	0.3	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0	0.0
28～90日間	7.1	3.0	4.7	4.6	5.7	4.6	3.4	2.7	2.5
21～27日間	4.7	6.3	7.0	7.4	8.6	6.7	8.5	5.6	5.9
14～20日間	18.3	19.4	20.1	22.8	26.1	20.5	32.8	26.9	29.9
7～13日間	32.3	37.6	37.7	38.5	33.5	41.2	37.4	46.7	43.7
4～6日間	26.0	23.3	20.2	18.6	20.1	19.7	11.7	15.1	14.5
3日間以内	11.6	10.4	10.0	8.2	5.7	7.4	6.0	2.9	3.5

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日カナダ人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	5.5	6.8	6.8	6.1	5.6	6.5	6.1	6.2	5.5
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	3.9	4.9	4.9	5.7	4.6	6.1
■ 個別手配	94.5	93.2	93.2	89.9	89.5	88.6	88.2	89.3	88.3

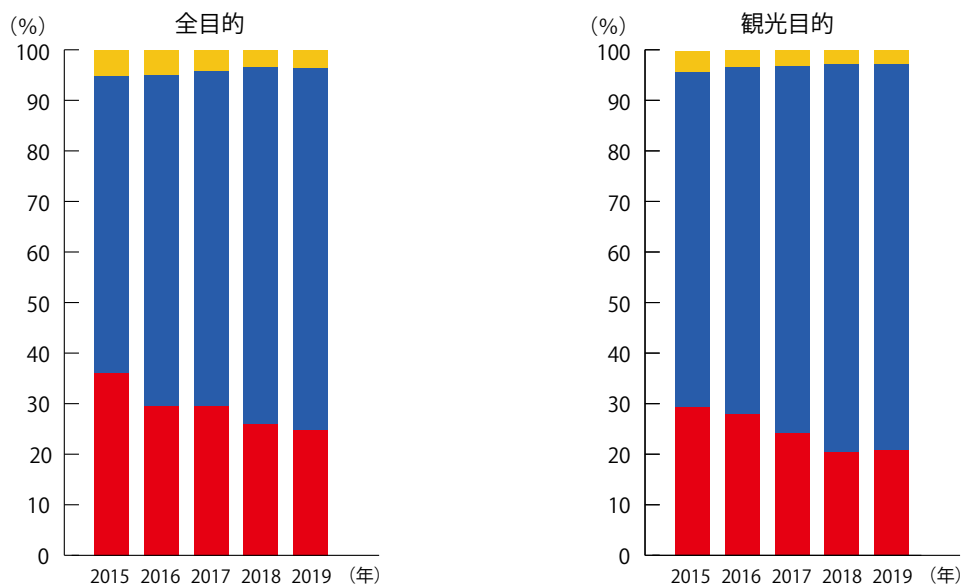
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	8.0	8.8	5.8	8.8	7.0	9.4	7.1	6.6	6.1
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	6.6	7.7	6.1	6.6	4.8	6.7
■ 個別手配	92.0	91.2	94.2	84.6	85.3	84.5	86.2	88.6	87.1

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日カナダ人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	5.1	4.9	4.1	3.4	3.4
■ ウェブサイトから申し込んだ	58.8	65.6	66.3	70.5	71.7
■ 店頭で申し込んだ	36.1	29.5	29.6	26.1	24.8

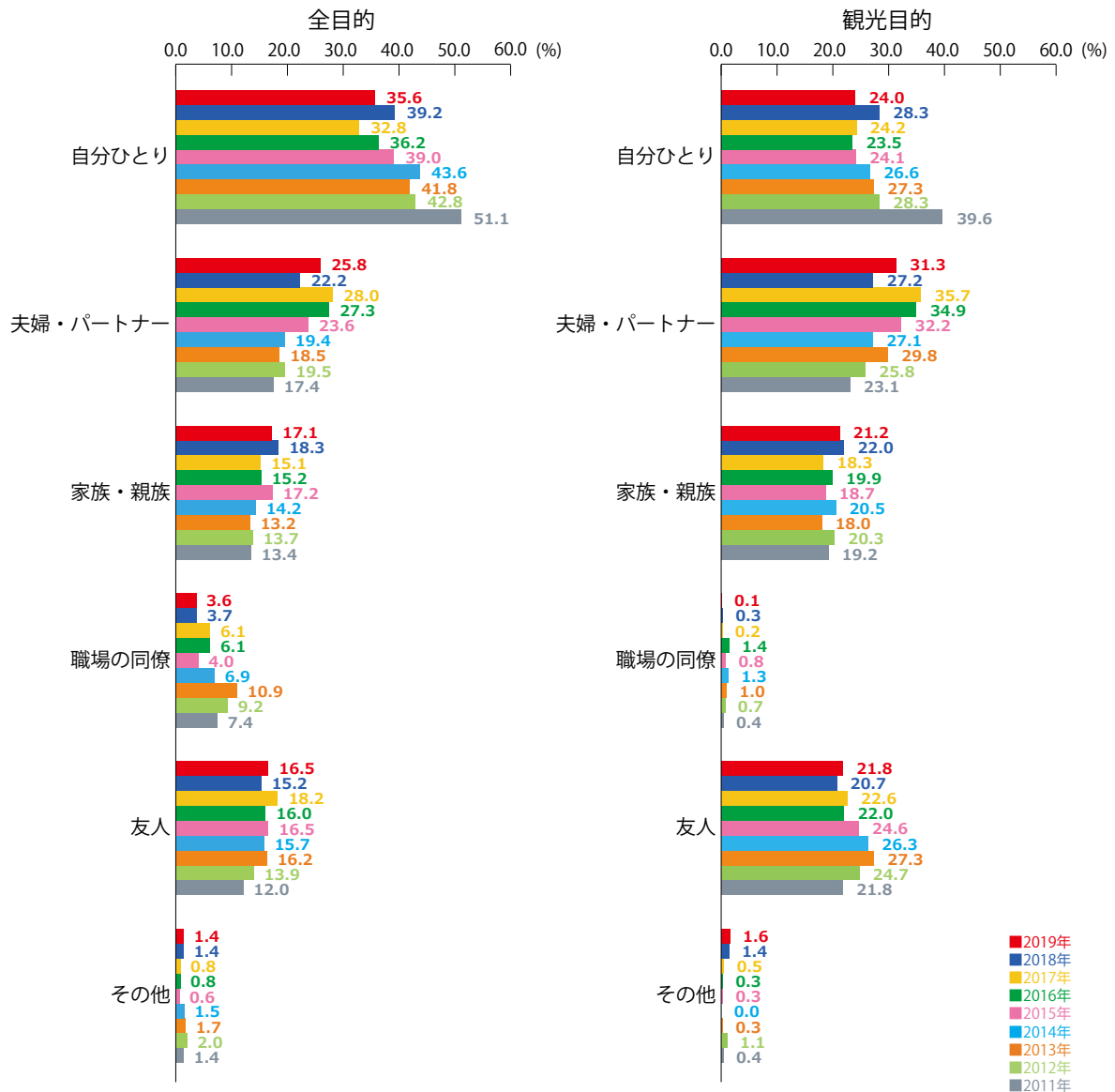
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	4.3	3.2	3.0	2.7	2.8
■ ウェブサイトから申し込んだ	66.2	68.8	72.6	76.9	76.4
■ 店頭で申し込んだ	29.4	27.9	24.3	20.4	20.8

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日カナダ人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(11) 訪日カナダ人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	87.4 87.3 80.7 75.7 78.2	97.6 98.5 96.3 97.1 97.5	73.1 73.9 73.5 69.1 73.0
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	48.1 47.4 45.0 37.8 41.3	60.5 60.8 64.6 64.3 64.3	42.0 40.3 47.2 40.7 40.3
旅館に宿泊	28.2 29.9 22.7 26.2 22.0	27.9 27.3 27.1 33.6 29.8	41.2 40.1 36.2 39.6 34.9
温泉入浴	35.0 33.7 32.1 25.4 27.5	34.2 29.7 33.5 29.7 28.7	52.4 52.8 49.2 49.2 45.1
自然・景勝地観光	60.4 57.4 51.4 47.7 51.0	67.3 67.1 64.6 63.6 66.5	61.1 55.0 53.7 52.5 54.7
繁華街の街歩き	53.0 54.5 45.7 40.4 42.1	67.8 73.0 73.0 76.5 72.6	34.7 31.8 39.8 36.6 39.8
ショッピング	51.7 54.2 45.4 42.8 42.4	67.7 72.0 73.0 74.3 70.2	38.2 38.6 44.6 43.7 45.0
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	41.5 41.0 39.3 24.6 23.3	48.3 49.9 41.2 38.4 36.5	36.1 33.7 36.1 36.2 29.8
テーマパーク	17.2 14.4 10.9 9.4 10.5	17.2 14.5 14.4 14.1 16.2	15.4 16.4 20.6 18.6 17.3
スキー・スノーボード	3.3 5.8 5.1 4.2 3.5	2.5 4.5 5.1 3.2 3.3	16.9 16.1 19.6 17.8 17.4
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.4 2.9 3.3 2.7 3.6	2.5 3.2 3.1 2.9 2.6	4.7 6.0 10.3 11.3 11.2
舞台・音楽鑑賞	7.1 7.9 8.2 6.9 9.9	7.1 7.2 8.2 8.1 10.7	18.2 21.1 29.2 26.3 29.3
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	11.1 9.7 7.2 11.0 8.7	9.0 6.7 4.7 7.9 5.1	21.1 20.0 24.0 27.4 25.0
自然体験ツアー・農漁村体験	16.5 14.5 12.3 12.8 10.7	15.9 14.6 13.4 13.0 11.6	29.9 32.2 27.7 25.1 22.7
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	24.7 18.0 20.1 13.0 14.5	21.7 14.6 18.8 13.7 13.3	38.8 40.7 45.1 39.8 37.6
映画・アニメ縁の地を訪問	9.5 11.3 9.2 6.4 6.8	11.3 10.8 10.4 8.1 8.7	11.8 11.5 15.1 14.9 14.1
日本の歴史・伝統文化体験	49.2 52.2 44.2 41.3 38.8	55.2 60.5 60.1 54.2 51.6	48.9 50.3 50.2 47.1 45.7
日本の日常生活体験	42.0 43.0 34.4 32.3 32.5	48.5 51.5 47.5 54.2 46.3	40.1 41.6 40.3 37.1 37.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	21.3 18.6 15.9 17.8 17.0	24.7 23.2 24.8 28.8 22.8	19.4 20.2 22.6 20.5 19.3
治療・健診	0.5 1.3 0.4 0.7 1.6	0.8 1.6 0.4 1.8 1.7	0.0 0.6 3.0 3.6 4.5
上記には当てはまるものがない	6.3 4.2 9.9 10.0 9.7	1.1 0.3 1.6 0.8 0.6	1.2 0.1 2.0 2.0 2.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

▶ 前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	92.5 91.0 83.5 82.7 82.7	98.9 98.8 98.3 99.4 98.9	74.9 76.5 73.5 70.2 69.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	52.5 48.3 47.7 41.6 45.4	63.4 60.1 67.0 63.5 66.7	42.5 40.3 50.7 39.2 42.6
旅館に宿泊	34.0 34.6 31.1 27.6 29.8	32.9 31.6 34.0 40.0 38.9	45.2 42.6 40.9 42.1 44.1
温泉入浴	40.5 38.6 36.2 30.6 34.8	39.6 33.1 37.9 35.9 35.1	57.2 55.3 54.8 55.0 50.1
自然・景勝地観光	69.8 65.5 61.1 57.4 63.6	77.5 76.0 75.5 73.0 82.5	63.1 53.9 56.7 52.3 56.8
繁華街の街歩き	60.2 61.3 53.7 50.7 51.2	75.3 78.3 80.3 84.7 81.2	37.7 32.5 45.4 38.5 43.0
ショッピング	57.2 60.4 51.5 54.3 52.2	73.5 77.4 78.6 82.7 78.5	39.2 40.1 47.9 46.8 46.4
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	50.3 48.6 47.3 29.5 33.9	58.8 58.8 51.2 47.4 51.9	38.4 33.2 40.0 39.8 34.0
テーマパーク	18.5 16.5 14.1 11.8 14.2	17.7 16.9 16.3 15.1 21.2	16.6 16.5 23.1 22.7 20.8
スキー・スノーボード	3.9 5.8 5.1 3.8 7.2	2.8 4.7 5.6 3.2 4.5	16.6 18.5 19.9 19.8 20.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.4 3.1 2.4 2.1 4.0	1.5 3.4 2.7 2.2 1.8	4.3 5.5 10.0 12.0 13.5
舞台・音楽鑑賞	8.7 7.9 9.4 8.1 14.5	8.8 7.2 10.4 9.7 12.8	21.3 22.9 31.1 29.6 35.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	11.3 10.8 8.3 12.3 12.4	8.1 7.3 5.6 8.1 7.1	22.1 21.5 25.4 29.3 28.1
自然体験ツアー・農漁村体験	20.7 15.5 13.9 13.3 13.4	19.8 15.4 14.8 15.2 13.9	34.2 31.7 27.9 26.0 27.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	30.1 19.3 25.0 15.2 20.9	26.9 16.2 24.1 15.6 18.0	45.5 45.0 50.7 45.4 47.0
映画・アニメ縁の地を訪問	10.7 14.5 13.9 11.0 8.7 9.0	13.1 13.4 13.7 9.8 11.2	13.0 13.5 17.8 19.6 16.0
日本の歴史・伝統文化体験	56.8 58.5 50.8 47.6 49.3	63.7 66.1 70.0 61.5 66.4	49.5 49.2 52.4 46.2 48.6
日本の日常生活体験	44.7 44.3 38.9 37.7 38.2	51.9 52.9 51.0 56.4 52.4	43.4 41.4 40.6 38.5 40.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	26.0 22.5 19.6 22.6 22.9	30.5 27.0 29.3 32.7 30.3	21.0 22.9 26.1 24.3 25.1
治療・健診	0.2 1.2 0.3 0.5 1.7	0.3 1.0 0.5 0.9 0.9	0.0 0.8 3.3 3.7 5.7
上記には当てはまるものがない	1.3 1.0 1.0 6.0 3.7 4.2	0.0 0.0 0.3 0.0 0.0	0.7 0.2 1.6 1.3 2.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) カナダ人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	11.4 13.0 11.3 15.8 14.7	15.0 15.8 12.2 19.6 21.2
旅行会社ホームページ	9.1 9.7 11.0 10.0 12.9	8.7 11.4 12.7 12.9 16.7
宿泊施設ホームページ	17.9 21.0 18.4 23.8 18.7	20.3 21.9 22.1 29.2 22.5
航空会社ホームページ	12.7 11.6 11.3 10.9 14.6	14.3 10.7 12.7 13.5 16.1
地方観光協会ホームページ	8.3 8.3 8.0 7.8 8.7	10.2 9.3 10.1 9.8 13.9
宿泊予約サイト	9.5 11.0 8.4 7.8 11.2	11.5 13.1 9.8 9.2 15.9
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	34.2 38.3 32.4 27.5 26.3	42.8 42.7 39.9 34.7 40.8
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	15.1 12.9 11.2 7.4 6.2	19.1 14.6 11.7 8.5 7.9
個人のブログ	21.1 18.4 24.9 19.6 19.1	27.3 23.3 32.7 26.1 26.6
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	34.3 26.2 19.3 12.1 10.2	38.7 33.3 25.0 17.0 11.2
その他インターネット	18.0 11.3 16.4 11.7 13.1	18.6 11.1 17.8 13.7 12.7
日本政府観光局の案内所	2.4 2.1 2.3 4.1 3.1	2.8 2.7 2.7 4.3 5.4
旅行会社パンフレット	2.9 4.8 6.3 6.4 7.7	4.0 5.9 7.8 8.0 12.1
旅行ガイドブック	14.8 17.2 17.8 23.7 20.1	19.2 21.2 23.8 30.6 27.1
自国の親族・知人	27.8 27.1 30.6 30.2 28.4	30.9 31.4 35.9 35.8 33.8
日本在住の親族・知人	21.4 23.7 29.4 32.5 34.1	16.9 16.9 23.6 25.8 29.3
旅行の展示会や見本市	0.5 0.6 1.5 1.4 0.1	0.4 0.4 1.7 1.3 0.0
テレビ番組	4.8 3.8 8.3 5.8 5.3	6.2 5.2 11.4 7.2 5.8
新聞	1.3 0.5 3.0 2.8 0.5	1.5 0.2 3.3 2.7 0.6
旅行専門誌	5.7 3.9 8.0 7.6 7.3	7.2 4.4 9.3 9.6 10.8
その他雑誌	0.7 0.5 0.8 0.6 1.1	0.9 0.5 0.9 0.3 1.2
その他	1.6 2.7 4.7 6.6 3.9	1.0 1.0 3.8 4.6 3.2
特になし	6.9 6.5 7.9 10.1 10.4	3.0 4.7 2.3 4.9 4.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) カナダ人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	35.7 31.3	39.1 34.8
交通手段	60.8 53.5	64.5 58.5
飲食店	38.4 36.5	42.9 39.0
観光施設	31.8 27.2	39.6 32.3
イベント	9.8 7.9	11.0 9.0
土産物	9.0 9.2	11.4 9.4
買物場所	18.9 16.0	21.9 19.0
無料W i - F i	53.2 52.9	56.8 54.8
祈祷室	0.1 0.2	0.2 0.2
A T M	24.1 22.5	26.5 24.2
宅配便	4.2 3.7	5.4 3.7
日本文化体験プログラム	7.8 8.8	9.3 9.1
自然体験ツアー・農山漁村体験	8.3 6.2	11.1 6.2
通訳案内士・観光ガイド	7.1 8.2	9.0 9.4
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	6.1 5.3	8.2 6.9
クレジットカード利用可能店舗	13.7 13.5	15.6 14.0
その他	4.6 1.3	4.3 1.8
特になし	7.8 7.8	4.1 5.5

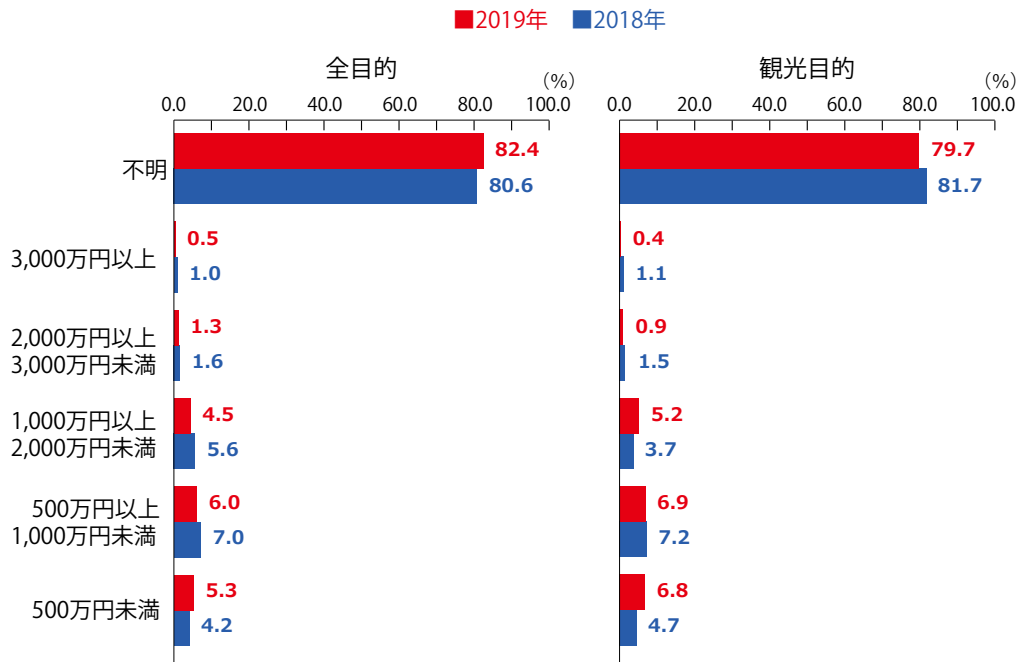
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

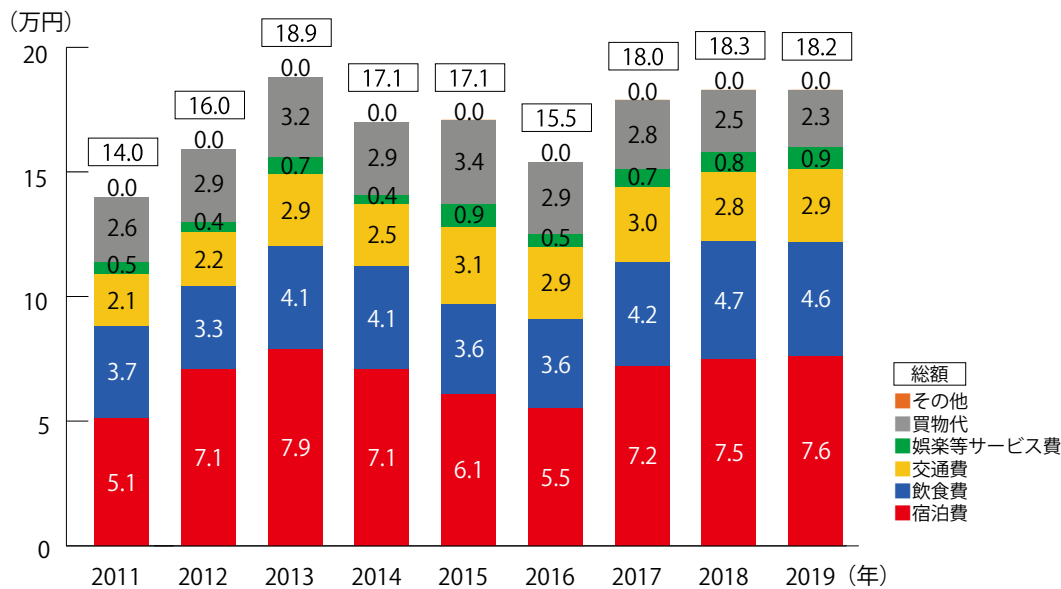
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日カナダ人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日カナダ人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (16) 属性別訪日カナダ人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		941	181,795	614	187,036
滞在日数	3日間以内	88	35,329	22	45,858
	4～6日間	173	105,099	93	94,991
	7～13日間	362	174,694	265	170,338
	14～20日間	224	230,306	182	238,147
	21～27日間	50	299,661	36	279,664
	28～90日間	38	374,295	16	382,713
	91日間以上1年未満	6	786,962	0	-
性・年代	男性	611	184,261	361	193,699
	15～19歳	17	155,899	12	169,449
	20～29歳	178	184,922	142	174,364
	30～39歳	147	173,096	90	200,006
	40～49歳	108	169,953	40	167,275
	50～59歳	84	217,774	37	219,541
	60～69歳	57	210,962	29	278,303
	70歳以上	20	143,129	11	199,275
	女性	330	177,337	253	177,606
	15～19歳	15	194,083	8	142,327
	20～29歳	98	147,865	83	138,129
	30～39歳	77	190,790	56	204,587
	40～49歳	38	204,994	25	207,487
	50～59歳	58	183,172	46	191,374
60～69歳	36	187,343	27	207,257	
70歳以上	8	171,121	8	171,121	
日本への 来訪回数	1回目	557	183,458	424	180,677
	2回目	137	186,813	84	210,740
	3回目	61	143,937	31	178,303
	4回目	36	261,939	14	143,682
	5回目	27	168,995	14	233,895
	6～9回目	36	191,245	15	263,819
	10～19回目	44	185,811	20	214,847
	20回目以上	43	126,095	12	126,523

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較するには注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日カナダ人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	52	310,074	37	323,644	
	個人旅行向けパッケージ商品	59	303,362	41	323,604	
	往復航空（船舶）運賃	830	118,569	536	107,603	
日本滞在中の支出	宿泊料金	758	81,143	518	75,334	
	飲食費	877	42,751	585	41,937	
	交通費	839	27,801	573	28,305	
	航空（日本国内移動のみ）	43	27,325	25	24,740	
	Japan Rail Pass	252	36,224	215	35,600	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	684	12,466	470	12,128	
	バス	243	3,832	171	3,678	
	タクシー	274	8,029	177	5,437	
	レンタカー	31	33,997	19	26,723	
	船舶（日本国内移動のみ）	8	2,769	7	2,424	
	その他交通費	5	3,766	3	3,447	
	娯楽等サービス費	520	13,546	418	11,674	
	現地ツアー・観光ガイド	51	14,127	45	14,859	
	ゴルフ場	2	2,718	2	2,718	
	テーマパーク	103	8,545	75	9,093	
	舞台・音楽鑑賞	21	7,329	17	7,834	
	スポーツ観戦	37	39,841	23	23,249	
	美術館・博物館・動物園・水族館	367	4,684	305	4,713	
	スキー場リフト	23	22,555	19	19,809	
	温泉・湯治施設・エステ・リラクゼーション	82	2,760	62	2,683	
	マッサージ・医療費	17	11,287	10	11,574	
	展示会・コンベンション参加費	5	11,230	2	8,185	
	レンタル料（レンタカーを除く）	7	22,185	5	31,155	
	その他娯楽等サービス費	32	27,359	25	23,728	
	買物代	855	25,214	585	26,024	
	菓子類	422	5,441	299	5,454	
	酒類	285	9,444	196	7,562	
	生鮮農産物	61	5,156	40	4,469	
	その他食料品・飲料・たばこ	330	8,571	220	8,330	
	化粧品・香水	101	8,558	77	8,729	
	医薬品	44	3,904	35	4,445	
	健康グッズ・トイレタリー	48	3,603	26	3,318	
	衣類	373	14,056	277	14,349	
	靴・かばん・革製品	119	14,784	94	15,566	
	電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	46	15,211	36	13,061	
	時計・フィルムカメラ	12	10,833	10	12,270	
宝石・貴金属	33	7,920	26	7,798		
民芸品・伝統工芸品	195	8,900	148	8,685		
本・雑誌・ガイドブックなど	74	7,035	54	5,477		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	29	11,487	22	9,878		
その他買物代	131	11,215	92	12,032		
その他	6	6,650	4	6,105		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていらないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日カナダ人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	52.7 53.6 51.1 51.5 54.7	59.0 58.3 58.5 60.2 65.1
家電量販店	16.4 15.4 17.9 15.9 20.1	17.9 17.9 20.7 19.7 23.1
ファッション専門店	22.2 22.4 22.2 22.2 20.5	25.9 26.0 27.4 27.7 26.4
100円ショップ	26.6 25.1 26.7 22.3 23.6	28.8 28.1 27.3 26.6 26.4
高速道路のSA・道の駅	2.6 2.4 3.4 2.6 4.9	3.2 2.5 4.1 2.8 4.9
観光地の土産店	41.7 44.4 44.1 38.9 40.4	49.9 52.2 52.1 46.3 50.6
宿泊施設	4.8 3.2 8.7 8.2 8.0	4.4 3.3 10.4 9.3 10.6
スーパーマーケット	44.0 43.4 45.9 45.8 42.8	48.6 45.0 51.4 51.9 47.5
コンビニエンスストア	68.4 63.6 65.4 56.2 54.6	75.1 70.1 71.2 65.1 64.8
ドラッグストア	27.8 26.9 26.9 26.5 26.3	31.1 30.9 31.3 32.3 30.6
ディスカウントストア	13.4 8.6 9.5 7.1 8.9	16.8 9.7 10.1 8.0 11.0
アウトレットモール	9.6 9.0 11.7 11.5 11.7	12.0 10.4 13.4 14.4 13.0
都心の複合商業施設	12.0 13.8 11.3 11.5 11.2	13.6 15.7 13.9 14.6 14.1
その他ショッピングセンター	12.3 9.3 13.3 10.1 10.7	13.5 10.1 14.1 11.0 11.2
鉄道駅構内の店舗	12.1 12.4 16.9 15.5 17.1	13.0 14.4 18.3 20.2 23.1
空港の免税店	37.2 37.7 40.4 38.0 35.7	39.0 37.2 43.0 43.7 39.6
クルーズ寄港港湾内の店舗	1.1 1.2	1.6 1.7
その他	8.0 5.8 4.9 5.7 3.4	6.9 6.2 5.3 4.3 4.5
買い物はしなかった	7.5 5.5 8.9 10.1 11.4	3.4 3.2 5.3 3.4 5.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (19) 訪日カナダ人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合（％）
消費税免税の手続きをした	20.7 20.9
消費税免税の手続きをしていない	79.3 79.1

消費税免税の手続きをした品目	割合（％）
菓子類	2.9 4.0
酒類	1.9 2.9
生鮮農産物	0.1 0.0
その他食料品・飲料・たばこ	0.6 0.7
化粧品・香水	3.5 3.0
医薬品	1.0 1.0
健康グッズ・トイレタリー	0.4 0.8
衣類	11.3 10.6
靴・かばん・革製品	4.8 3.2
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	1.4 1.4
時計・フィルムカメラ	0.9 0.3
宝石・貴金属	0.7 1.3
民芸品・伝統工芸品	2.6 3.1
本・雑誌・ガイドブックなど	0.4 0.2
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.8 0.6
その他買物代	1.9 2.5

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日カナダ人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	92.5 95.0	96.8 97.3
クレジットカード	71.7 67.5	72.5 67.9
交通系ICカード（Suica等）	19.6 17.3	21.6 19.3
その他ICカード（Edy等）	0.1 0.1	0.1 0.0
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	2.0 2.4	1.8 2.8
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.8 0.3	0.9 0.5
仮想通貨（BitCoin等）	0.1 0.1	0.1 0.1
割引クーポン	0.3 0.2	0.5 0.1
その他	0.1 0.1	0.1 0.1
お金は全く使わなかった	1.2 0.2	0.2 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日カナダ人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)									
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
東京都	1位	65.9	71.3	74.3	78.0	77.9	80.9	81.1	84.0	88.8	
千葉県	2位	10.8	12.2	16.3	14.5	70.7	67.5	62.6	57.4	58.6	
大阪府	3位	20.4	16.0	20.4	21.3	26.9	33.6	33.9	38.2	41.6	
京都府	4位	27.6	27.2	28.6	28.5	31.6	33.1	36.6	38.5	40.8	
神奈川県	5位	12.7	13.5	13.0	18.0	12.9	14.0	14.0	16.7	14.8	
広島県	6位	9.3	9.2	11.9	10.2	11.5	10.3	12.2	11.6	12.4	
奈良県	7位	5.4	3.5	5.1	6.4	5.8	6.2	7.7	7.9	9.1	
兵庫県	8位	4.7	4.8	3.1	5.3	6.5	6.3	7.9	6.9	8.8	
長野県	9位	2.8	4.9	4.0	3.5	5.4	3.7	7.6	4.8	5.6	
静岡県	10位	2.5	6.1	2.8	6.7	4.8	4.2	4.2	3.9	5.3	
山梨県	11位	4.8	5.8	5.4	4.0	4.3	4.4	5.6	6.1	5.0	
愛知県	12位	6.3	6.7	5.4	6.3	4.4	5.1	7.1	7.4	4.5	
北海道	13位	5.3	4.3	4.2	6.1	5.5	4.2	4.5	4.4	4.0	
石川県	14位	1.6	2.1	3.3	1.5	3.7	4.1	4.4	2.9	4.0	
岐阜県	15位	3.5	2.3	3.9	3.9	4.2	4.0	4.7	4.5	3.6	
福岡県	16位	5.0	3.6	4.8	2.2	5.4	3.5	1.9	2.3	3.2	
和歌山県	17位	2.7	2.4	1.7	2.9	2.9	3.7	4.8	2.0	2.4	
栃木県	18位	2.6	2.1	2.6	3.9	3.4	1.9	1.5	2.2	2.1	
鹿児島県	19位	2.2	2.1	1.5	1.4	1.4	1.4	1.3	1.6	1.6	
沖縄県	20位	4.1	2.7	2.3	1.6	2.2	3.0	2.9	1.7	1.6	
香川県	21位	0.9	0.6	1.0	1.3	1.1	1.3	1.4	0.9	1.4	
長崎県	22位	0.9	1.7	1.1	1.4	2.1	1.6	1.3	1.2	1.4	
大分県	23位	1.3	0.9	0.7	1.1	1.1	1.3	0.7	0.7	1.4	
埼玉県	24位	2.7	1.8	1.8	1.9	1.3	1.8	0.9	1.7	1.2	
岡山県	25位	1.0	0.6	1.6	1.6	1.4	1.7	1.8	0.7	1.1	
青森県	26位	0.5	0.9	0.6	0.8	1.2	0.3	0.8	0.7	1.1	
秋田県	27位	0.2	0.5	0.4	0.7	0.2	0.0	0.2	0.3	0.8	
三重県	28位	2.1	1.0	1.5	0.8	0.3	1.3	1.1	1.1	0.8	
鳥取県	29位	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.0	0.2	0.4	0.8	
新潟県	30位	1.7	1.5	1.2	0.9	0.6	0.4	0.6	0.8	0.7	
愛媛県	31位	0.7	0.4	1.3	0.9	0.6	0.3	0.8	0.3	0.7	
徳島県	32位	0.9	0.1	0.0	0.6	0.2	0.4	0.3	0.4	0.7	
山形県	33位	0.5	0.7	0.7	0.4	0.2	0.0	1.0	0.8	0.7	
宮城県	34位	2.9	2.4	0.8	1.4	1.2	0.5	2.3	1.6	0.6	
熊本県	35位	1.2	1.9	1.0	1.1	1.2	0.3	0.5	0.4	0.6	
滋賀県	36位	0.4	0.1	0.2	0.4	0.2	0.9	0.3	0.6	0.5	
群馬県	37位	0.9	0.8	1.2	0.8	0.9	1.2	0.8	1.1	0.5	
岩手県	38位	0.7	0.3	0.4	0.6	0.0	0.2	0.1	0.3	0.4	
福井県	39位	0.2	0.5	0.2	0.3	0.5	0.6	0.2	0.4	0.4	
茨城県	40位	1.4	1.7	1.1	1.0	1.6	1.6	1.4	1.3	0.4	
高知県	41位	0.9	0.5	0.2	0.6	0.0	0.3	0.9	0.6	0.3	
福島県	42位	0.2	0.7	0.7	1.0	0.2	0.3	0.5	0.3	0.3	
富山県	43位	0.5	0.1	0.0	1.0	0.3	0.2	0.7	0.6	0.2	
宮崎県	44位	0.2	0.8	0.4	0.3	0.2	0.3	0.6	0.2	0.2	
山口県	45位	0.7	0.3	0.3	0.2	1.2	0.6	0.6	0.2	0.2	
佐賀県	46位	0.0	0.0	0.0	0.1	0.5	0.4	0.8	0.1	0.1	
島根県	47位	0.2	0.2	0.5	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.0	

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日カナダ人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比:%)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	295,510 (43.4%)	352,090 (44.5%)	504,910 (44.5%)
京都府	2位	73,270 (10.8%)	86,720 (11.0%)	172,180 (15.2%)
大阪府	3位	76,330 (11.2%)	92,870 (11.7%)	122,300 (10.8%)
千葉県	4位	26,310 (3.9%)	37,700 (4.8%)	46,270 (4.1%)
神奈川県	5位	34,590 (5.1%)	42,780 (5.4%)	51,960 (4.6%)
沖縄県	6位	15,000 (2.2%)	16,010 (2.0%)	23,650 (2.1%)
北海道	7位	24,320 (3.6%)	23,780 (3.0%)	30,890 (2.7%)
福岡県	8位	11,510 (1.7%)	12,350 (1.6%)	17,580 (1.5%)
愛知県	9位	17,900 (2.6%)	12,790 (1.6%)	17,000 (1.5%)
兵庫県	10位	7,830 (1.2%)	8,140 (1.0%)	10,770 (0.9%)
石川県	11位	7,570 (1.1%)	9,680 (1.2%)	11,590 (1.0%)
広島県	12位	15,760 (2.3%)	16,690 (2.1%)	20,820 (1.8%)
静岡県	13位	5,240 (0.8%)	5,280 (0.7%)	7,780 (0.7%)
長野県	14位	8,050 (1.2%)	7,290 (0.9%)	9,370 (0.8%)
山梨県	15位	6,520 (1.0%)	7,480 (0.9%)	8,060 (0.7%)
栃木県	16位	2,940 (0.4%)	3,230 (0.4%)	3,830 (0.3%)
岐阜県	17位	7,690 (1.1%)	7,500 (0.9%)	8,030 (0.7%)
岡山県	18位	2,740 (0.4%)	3,170 (0.4%)	4,140 (0.4%)
鹿児島県	19位	3,270 (0.5%)	4,170 (0.5%)	4,890 (0.4%)
熊本県	20位	2,860 (0.4%)	3,200 (0.4%)	4,380 (0.4%)
宮城県	21位	4,150 (0.6%)	2,420 (0.3%)	5,310 (0.5%)
奈良県	22位	2,180 (0.3%)	3,040 (0.4%)	4,140 (0.4%)
香川県	23位	1,350 (0.2%)	2,090 (0.3%)	3,910 (0.3%)
三重県	24位	1,090 (0.2%)	1,260 (0.2%)	1,990 (0.2%)
茨城県	25位	900 (0.1%)	680 (0.1%)	1,210 (0.1%)
大分県	26位	2,280 (0.3%)	2,500 (0.3%)	4,180 (0.4%)
新潟県	27位	1,310 (0.2%)	2,050 (0.3%)	2,190 (0.2%)
埼玉県	28位	1,970 (0.3%)	1,540 (0.2%)	2,980 (0.3%)
和歌山県	29位	3,410 (0.5%)	3,780 (0.5%)	3,580 (0.3%)
愛媛県	30位	960 (0.1%)	1,260 (0.2%)	1,500 (0.1%)
長崎県	31位	3,240 (0.5%)	2,720 (0.3%)	3,660 (0.3%)
青森県	32位	960 (0.1%)	1,160 (0.1%)	2,070 (0.2%)
群馬県	33位	1,550 (0.2%)	1,800 (0.2%)	2,000 (0.2%)
山形県	34位	530 (0.1%)	670 (0.1%)	980 (0.1%)
滋賀県	35位	2,550 (0.4%)	3,170 (0.4%)	2,810 (0.2%)
福島県	36位	400 (0.1%)	610 (0.1%)	670 (0.1%)
徳島県	37位	1,020 (0.1%)	960 (0.1%)	980 (0.1%)
富山県	38位	570 (0.1%)	800 (0.1%)	1,220 (0.1%)
岩手県	39位	1,130 (0.2%)	1,090 (0.1%)	1,290 (0.1%)
秋田県	40位	750 (0.1%)	690 (0.1%)	1,070 (0.1%)
宮崎県	41位	610 (0.1%)	660 (0.1%)	1,110 (0.1%)
山口県	42位	420 (0.1%)	360 (0.0%)	1,070 (0.1%)
島根県	43位	440 (0.1%)	440 (0.1%)	460 (0.0%)
佐賀県	44位	490 (0.1%)	430 (0.1%)	630 (0.1%)
鳥取県	45位	600 (0.1%)	880 (0.1%)	1,460 (0.1%)
高知県	46位	380 (0.1%)	480 (0.1%)	590 (0.1%)
福井県	47位	300 (0.0%)	360 (0.0%)	800 (0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊(構成比:%)】		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	70,370 (42.5%)	29,630 (56.4%)	97,510 (51.7%)
京都府	2位	17,610 (10.6%)	490 (0.9%)	22,220 (11.8%)
大阪府	3位	13,860 (8.4%)	850 (1.6%)	17,070 (9.0%)
千葉県	4位	14,700 (8.9%)	9,700 (18.4%)	14,480 (7.7%)
神奈川県	5位	8,760 (5.3%)	800 (1.5%)	5,200 (2.8%)
沖縄県	6位	6,290 (3.8%)	160 (0.3%)	4,270 (2.3%)
北海道	7位	8,800 (5.3%)	1,020 (1.9%)	4,090 (2.2%)
福岡県	8位	2,570 (1.6%)	660 (1.3%)	3,520 (1.9%)
愛知県	9位	3,260 (2.0%)	850 (1.6%)	2,190 (1.2%)
兵庫県	10位	1,230 (0.7%)	50 (0.1%)	1,800 (1.0%)
石川県	11位	1,550 (0.9%)	20 (0.0%)	1,570 (0.8%)
広島県	12位	1,910 (1.2%)	170 (0.3%)	1,560 (0.8%)
静岡県	13位	630 (0.4%)	1,660 (3.2%)	1,230 (0.7%)
長野県	14位	2,230 (1.3%)	40 (0.1%)	1,150 (0.6%)
山梨県	15位	1,150 (0.7%)	150 (0.3%)	1,020 (0.5%)
栃木県	16位	340 (0.2%)	40 (0.1%)	860 (0.5%)
岐阜県	17位	620 (0.4%)	1,750 (3.3%)	850 (0.5%)
岡山県	18位	580 (0.4%)	220 (0.4%)	730 (0.4%)
鹿児島県	19位	660 (0.4%)	50 (0.1%)	600 (0.3%)
熊本県	20位	650 (0.4%)	20 (0.0%)	520 (0.3%)
宮城県	21位	470 (0.3%)	240 (0.5%)	420 (0.2%)
奈良県	22位	420 (0.3%)	40 (0.1%)	420 (0.2%)
香川県	23位	240 (0.1%)	50 (0.1%)	390 (0.2%)
三重県	24位	210 (0.1%)	420 (0.8%)	380 (0.2%)
茨城県	25位	170 (0.1%)	30 (0.1%)	330 (0.2%)
大分県	26位	470 (0.3%)	30 (0.1%)	330 (0.2%)
新潟県	27位	760 (0.5%)	1,800 (3.4%)	310 (0.2%)
埼玉県	28位	330 (0.2%)	250 (0.5%)	300 (0.2%)
和歌山県	29位	490 (0.3%)	20 (0.0%)	290 (0.2%)
愛媛県	30位	130 (0.1%)	90 (0.2%)	290 (0.2%)
長崎県	31位	400 (0.2%)	220 (0.4%)	280 (0.1%)
青森県	32位	420 (0.3%)	80 (0.2%)	250 (0.1%)
群馬県	33位	500 (0.3%)	20 (0.0%)	250 (0.1%)
山形県	34位	210 (0.1%)	40 (0.1%)	230 (0.1%)
滋賀県	35位	270 (0.2%)	20 (0.0%)	230 (0.1%)
福島県	36位	120 (0.1%)	170 (0.3%)	220 (0.1%)
徳島県	37位	110 (0.1%)	20 (0.0%)	190 (0.1%)
富山県	38位	220 (0.1%)	20 (0.0%)	170 (0.1%)
岩手県	39位	580 (0.4%)	580 (1.1%)	150 (0.1%)
秋田県	40位	210 (0.1%)	10 (0.0%)	140 (0.1%)
宮崎県	41位	180 (0.1%)	50 (0.1%)	130 (0.1%)
山口県	42位	270 (0.2%)	0 (0.0%)	100 (0.1%)
島根県	43位	50 (0.0%)	10 (0.0%)	90 (0.0%)
佐賀県	44位	70 (0.0%)	10 (0.0%)	90 (0.0%)
鳥取県	45位	220 (0.1%)	10 (0.0%)	60 (0.0%)
高知県	46位	80 (0.0%)	10 (0.0%)	60 (0.0%)
福井県	47位	120 (0.1%)	10 (0.0%)	50 (0.0%)

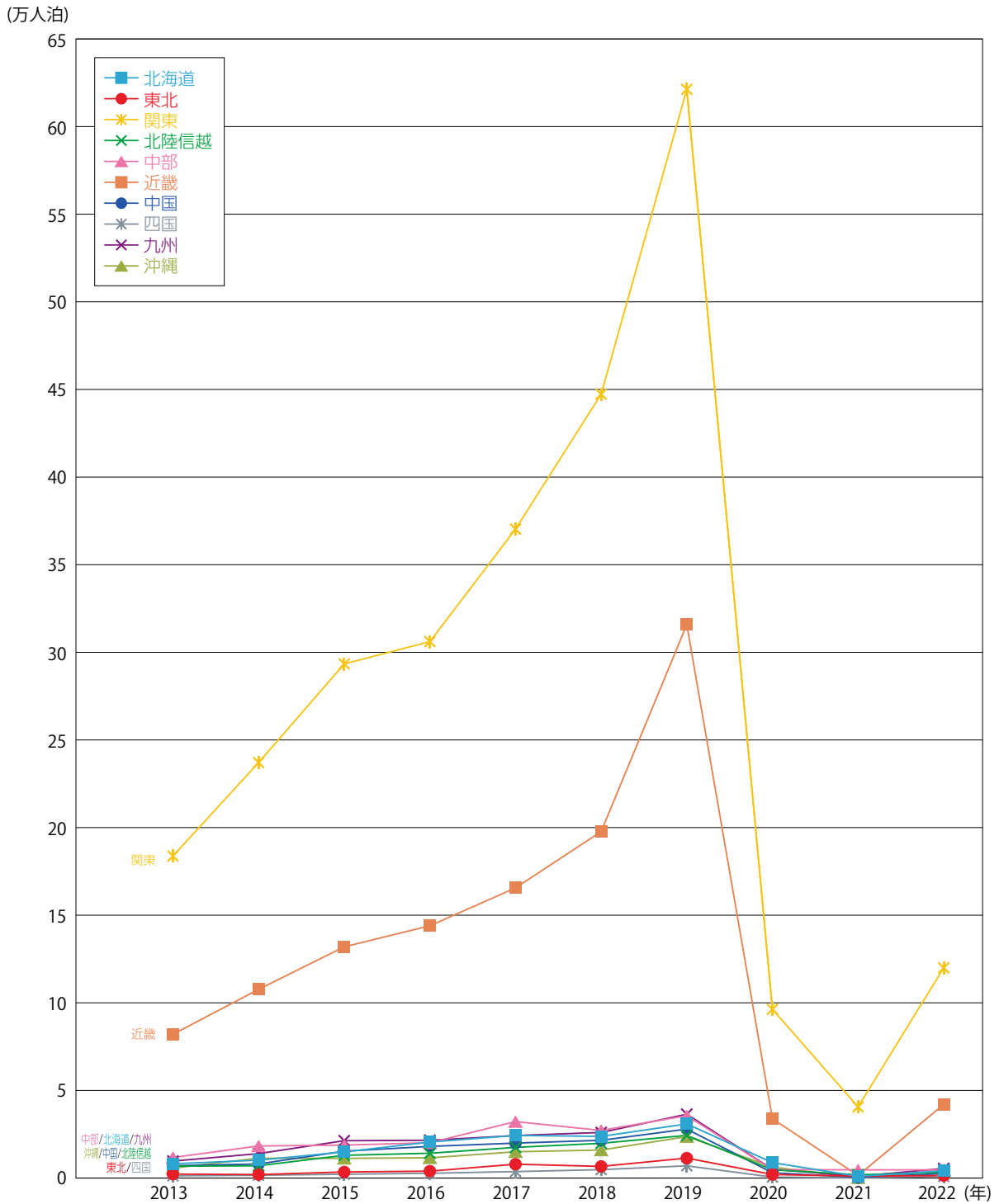
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(23) 訪日カナダ人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



単位：人泊

北海道	8,150	10,190	14,930	20,550	24,320	23,780	30,890	8,800	1,020	4,090
東北	2,260	2,000	3,470	3,940	7,920	6,640	11,400	2,010	1,130	1,410
関東	183,750	237,070	293,370	306,100	370,290	447,290	621,220	96,320	40,610	119,960
北陸信越	6,780	7,020	12,980	14,180	17,500	19,830	24,360	4,760	1,880	3,210
中部	11,750	18,310	18,820	20,150	32,220	27,190	35,600	4,840	4,690	4,700
近畿	82,050	107,670	131,950	143,950	165,560	197,710	315,790	33,870	1,470	42,020
中国	7,040	8,040	15,340	18,070	19,950	21,540	27,950	3,030	410	2,550
四国	1,280	1,610	2,180	2,730	3,700	4,790	6,980	550	170	940
九州	9,680	13,950	21,320	21,560	24,260	26,020	36,440	5,010	1,030	5,480
沖縄	5,700	11,340	11,250	11,550	15,000	16,010	23,650	6,290	160	4,270

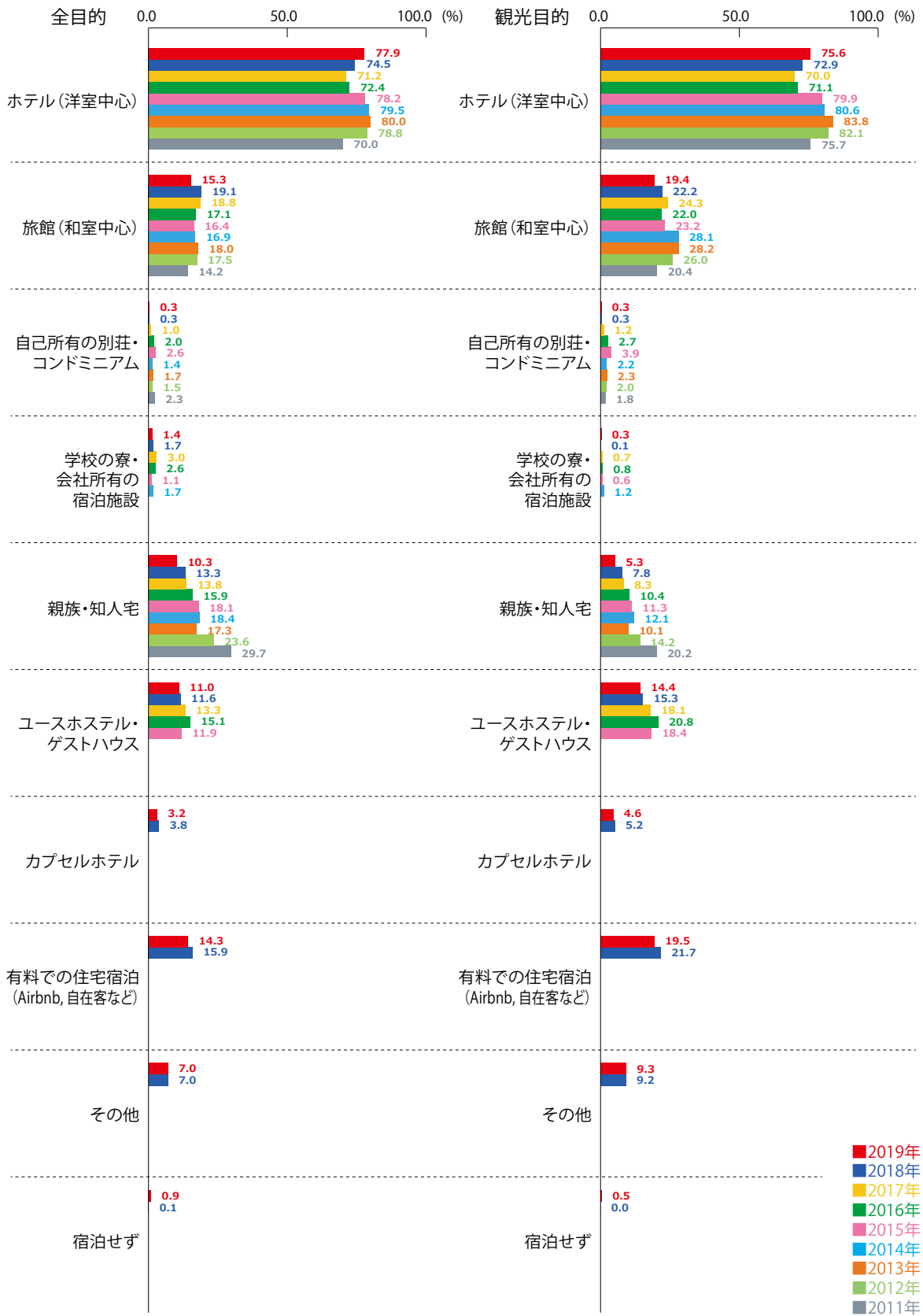
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日カナダ人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

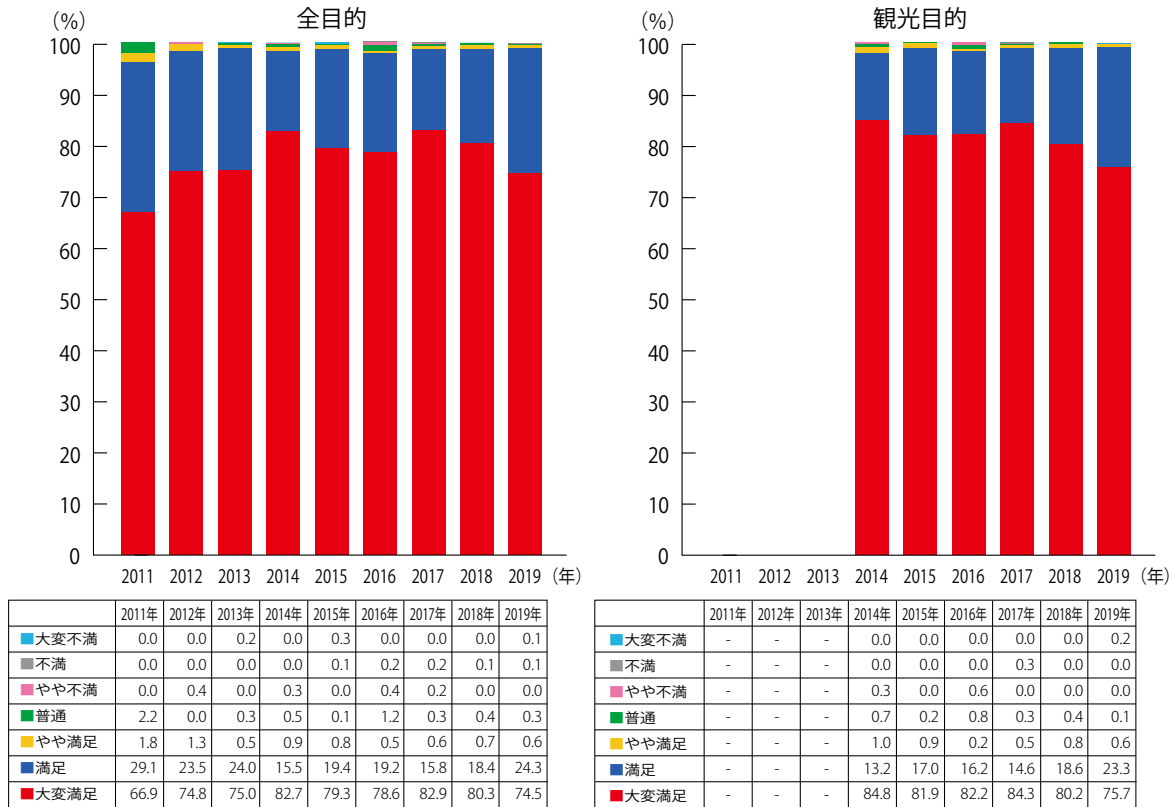
注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) カナダ人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

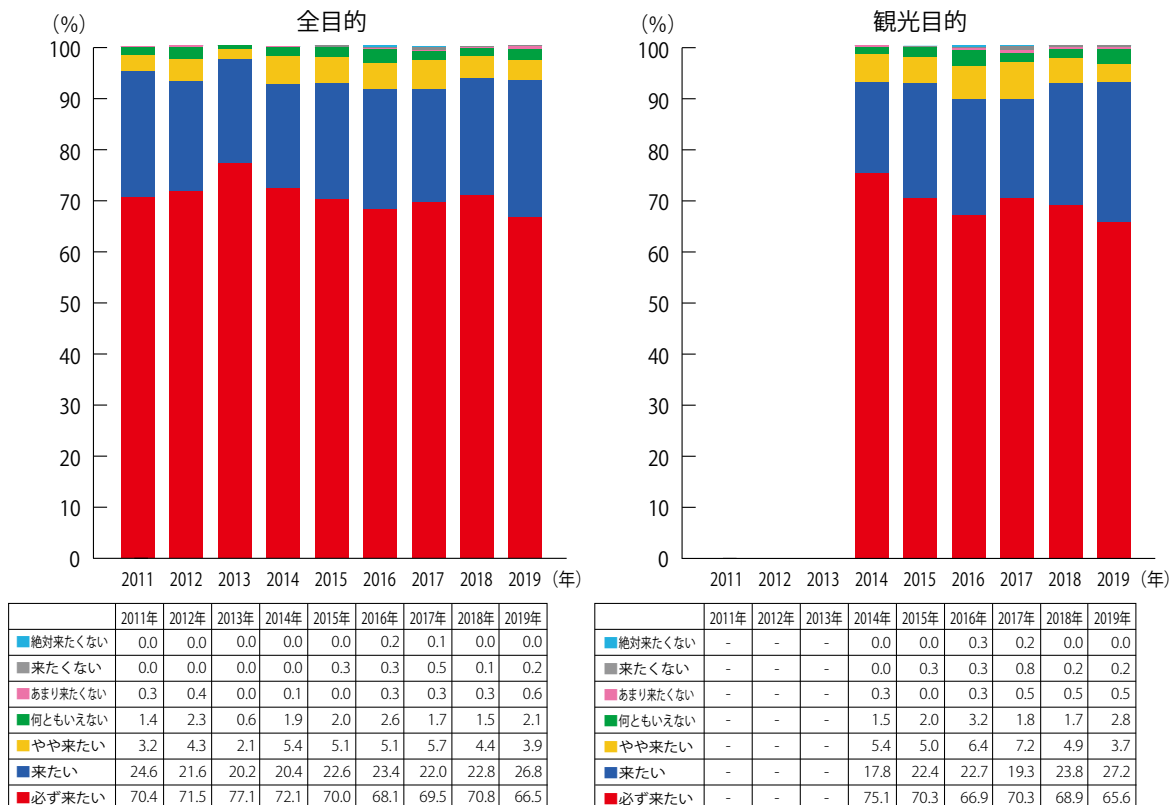


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日カナダ人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成





## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

メステイソ（欧州系と先住民との混血）が62%、先住民（インディオ）が28%、その他（主に欧州系）が10%

出典：米国中央情報局（CIA）

### (2) 宗教別構成

2020年の全人口（1億2,601万4,024人）に占める5歳以上の宗教別構成は以下のとおり。

- ・カトリック（9,022万4,559人）： 71.6%
- ・カトリック以外（1,611万8,762人）： 12.8%
- ・無宗教（915万6,555人）： 7.3%

出典：メキシコ国家統計地理情報局

### (3) 使用言語

スペイン語（法律で公用語が定められていないが、スペイン語が共通の言語となっている。）  
先住民（インディオ）の間では、各地の言語（ナワトル語、ユカテコ語、ツェルタル語、ツォツィル語、ミシュテカ語、サポテク語など）も話されている。

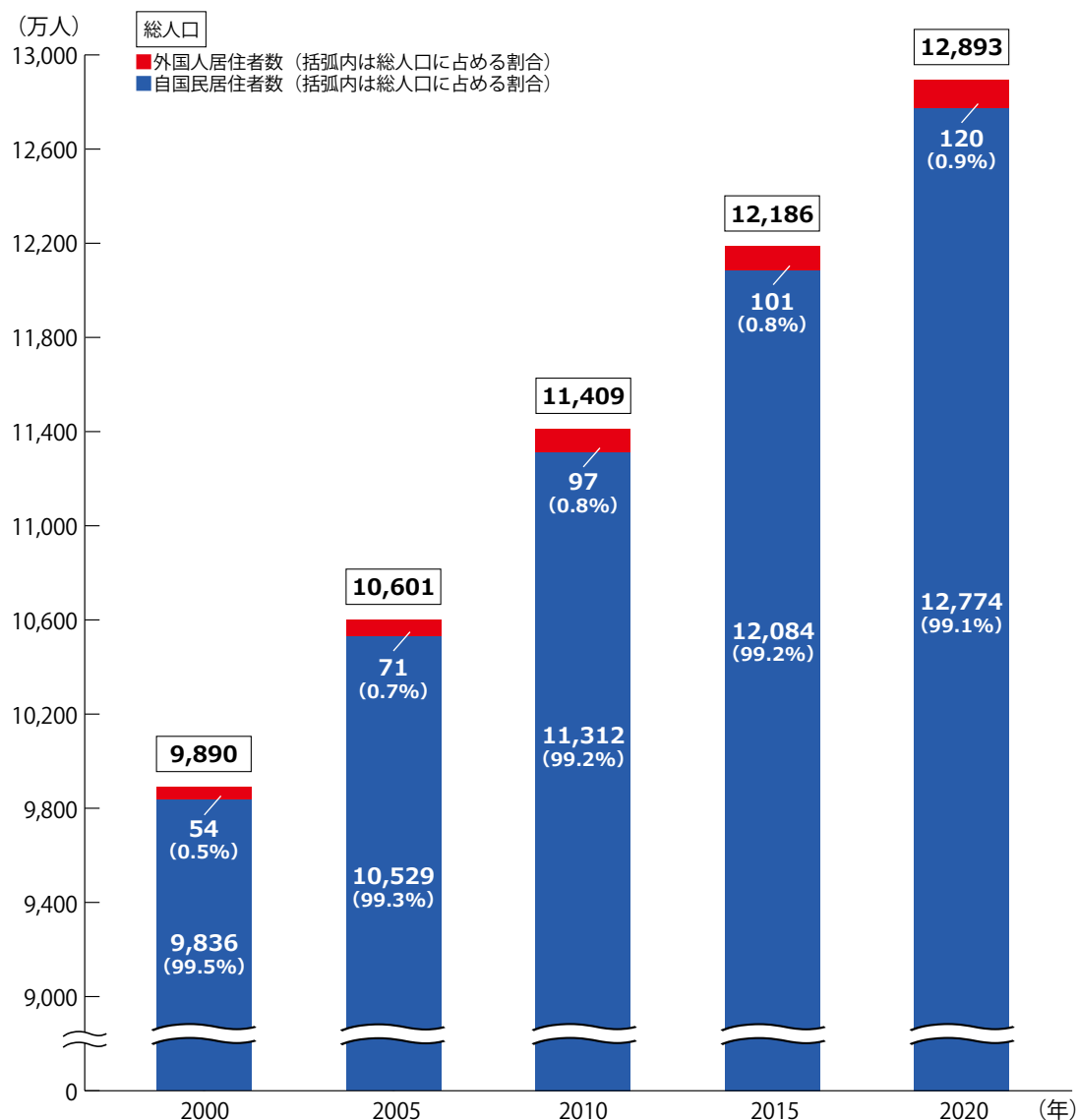
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

196万4,375km<sup>2</sup>（日本の5.2倍弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

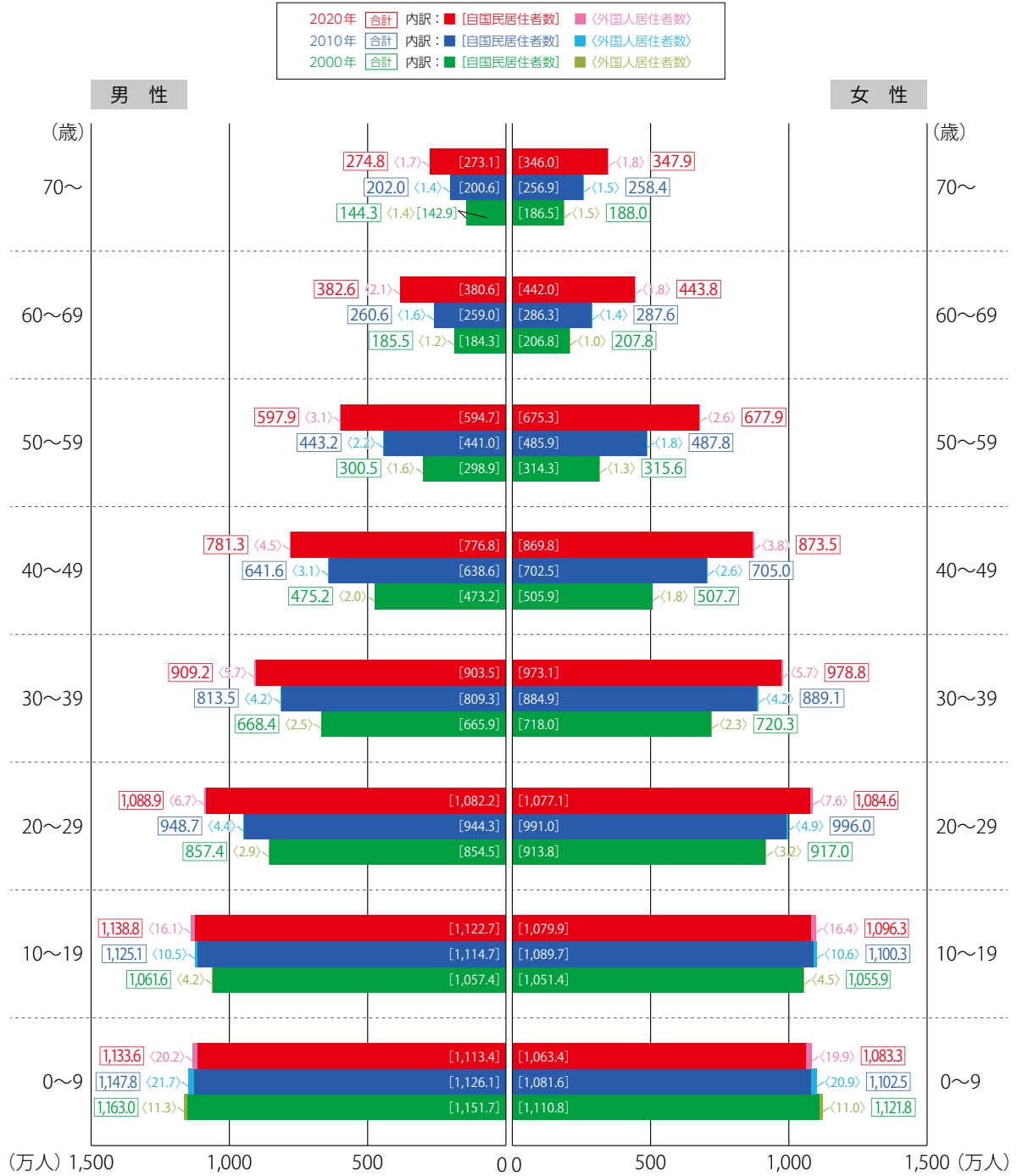
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：メキシコの外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

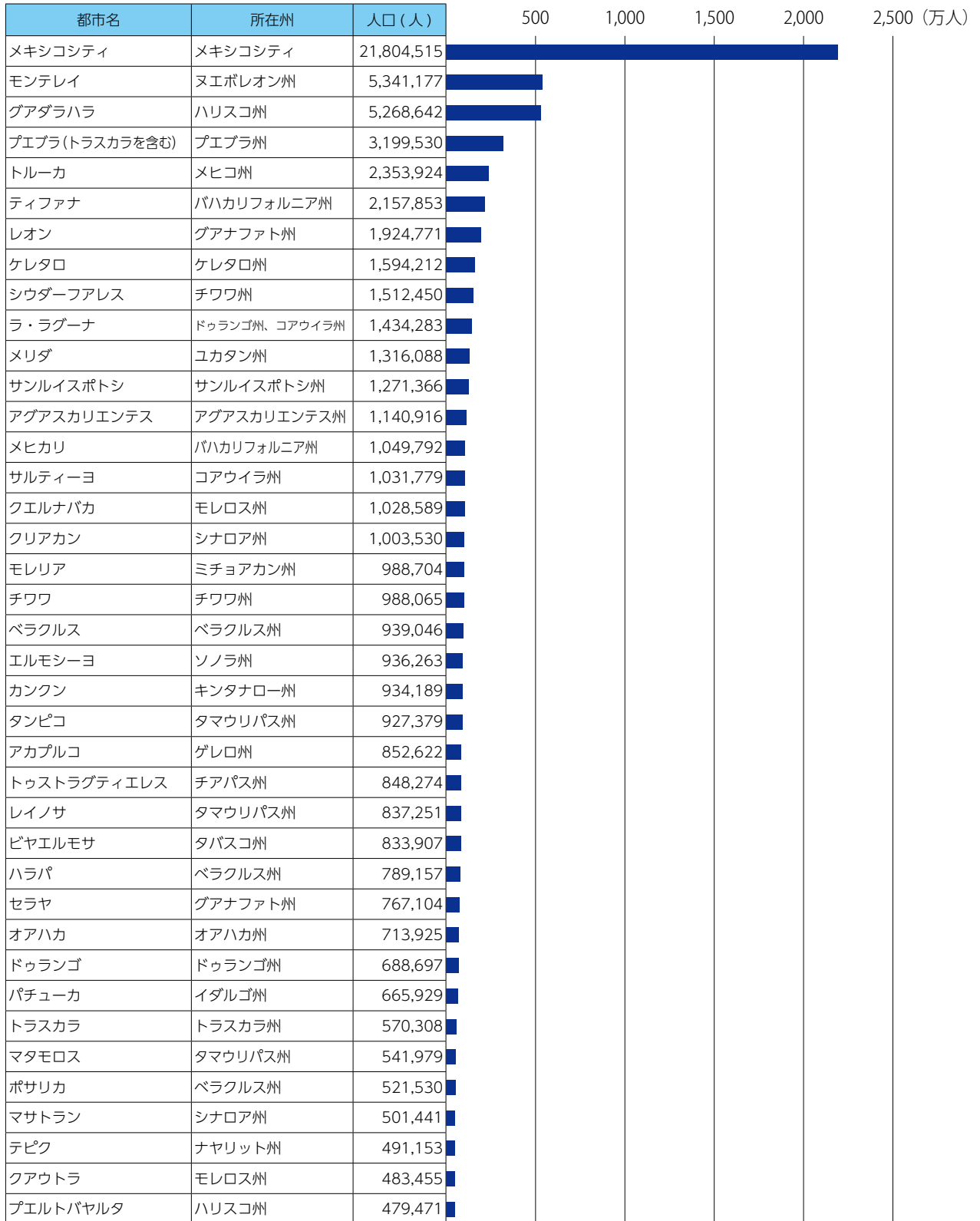
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2021年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)	
※ 憲法記念日	2月6日 (月)	2月5日 (月)	2月第1月曜日
※ ベニート・フアレス生誕日	3月20日 (月)	3月18日 (月)	3月第3月曜日
※◆ホーリー・サースデー (聖木曜日)	4月6日 (木)	3月28日 (木)	
※◆グッド・フライデー (聖金曜日)	4月7日 (金)	3月29日 (金)	
メーデー	5月1日 (月)	5月1日 (水)	
◆シンコ・デ・マヨ (プエブラ戦勝記念日)	5月5日 (金)	5月5日 (日)	
独立記念日	9月16日 (土)	9月16日 (月)	
◆死者の日	11月2日 (木)	11月2日 (土)	
※ メキシコ革命記念日	11月20日 (月)	11月18日 (月)	11月第3月曜日
◆グアルダルーペの日	12月12日 (火)	12月12日 (木)	
クリスマス	12月25日 (月)	12月25日 (水)	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：◆印の祝日は、法定休日ではない慣習上の休日である。

注3：上記以外にも、地域や団体により慣例上の休日がある。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：メキシコ政府等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	冬期休暇	12月中旬～1月上旬の3週間程度
		春期休暇	3月か4月のイースター期間を含む2週間
		夏期休暇	7月下旬～8月下旬の1か月程度
普通中等学校	12歳～15歳 (3年間)	冬期休暇	12月中旬～1月上旬の3週間程度
		春期休暇	3月か4月のイースター期間を含む2週間
		夏期休暇	7月下旬～8月下旬の1か月程度
普通上級中等学校	15歳～18歳 (3年間)	冬期休暇	12月中旬～1月上旬の3週間程度
		春期休暇	3月か4月のイースター期間を含む2週間
		夏期休暇	7月中旬～8月上旬の1か月程度
総合大学	18歳～22歳 (4年間)	冬期休暇	12月中旬～1月上旬の3週間程度
		春期休暇	3月か4月のイースター期間を含む1週間
		夏期休暇	6月上旬～8月上旬の2か月程度
学校年度	8月～翌年7月		
義務教育	幼稚園 (3年間) + 初等学校 (6年間) + 普通中等学校 (3年間) + 普通上級中等学校 (3年間) = 15年間		

注1：義務教育の休暇日程は、毎年7月にメキシコ教育庁によって定められる。

注2：休暇時期と休暇期間は毎年異なる。

出典：メキシコ公教育省、メキシコ国立自治大学

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日、祝日	連邦労働法 第69～75条	週休1日 (日曜日) の企業が多い。
有給休暇日数	勤続1年以上2年未満：12日 勤続2年以降：勤続1年ごとに 2日追加 (最大20日) 勤続6年以降：勤続5年ごとに 2日追加	連邦労働法 第76～81条	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記は5日間勤務の労働者の場合の休暇日数。</li> <li>季節労働者やパートタイム労働者の場合は、労働日数に比例した休暇日数となる。</li> <li>出産・育児休暇と有給休暇とは区別されている。</li> <li>有給休暇の買い上げは禁止されている。</li> <li>有給休暇の取得に際し、Prima Vacacionalと呼ばれる手当を支給する。</li> </ul>
定年退職	なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>法律上の定年はない。</li> <li>退職年金の受給資格が60歳または65歳である (社会保障公社への登録時期により異なる) ため、現在では一般的に定年は65歳とされている。</li> </ul>

出典：メキシコ政府、日本貿易振興機構 (JETRO)

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	法律で徴兵制が定められている。毎年、抽選により、18歳の男性から3割程度が召集されている。
兵役期間	1年間
入隊対象性別	男性のみ召集
入隊対象年齢	18歳～19歳（40歳までは予備兵として登録され、徴兵される可能性がある。）

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	65.2
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	53.8
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	41.7
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	29.8
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	27.5
ミビアへ・ポル・エルムンド (Mi viaje por el mundo)	ウェブサイト	旅行情報発信、旅行予約	16.5
トラベルアンドレジャー・メキシコ (Travel + Leisure México)	ウェブサイト	旅行情報発信	16.0
ムンド・インテルナシオナル (Mundo Internacional)	ウェブサイト	ニュース・旅行・ 飲食情報発信	14.7
アラン・ポル・エルムンド (Alan x el mundo)	ウェブサイト	旅行情報発信（ブログ）	14.6
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージング アプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	12.7
エル・ユニベルサル (El Universal)	ウェブサイト	ニュース発信	12.4
ワールドトラベルフィート (World Travel Feet)	ウェブサイト	旅行情報発信（ブログ）	11.2
トラベシアス (Travesias)	ウェブサイト	旅行情報発信	9.4
エクセルスィオール・ボンボヤヘ (Excelsior (Bon Voyage))	ウェブサイト	旅行情報発信	6.9
グラマー (GLAMOUR)	ウェブサイト	女性向けファッション情報を 発信	6.8
レフォルマ (Reforma)	ウェブサイト	ニュース発信	6.0
パシヨ・トゥリスティコ (Pasillo Turistico)	ウェブサイト	旅行ニュース発信	5.2
ラグジュアリー・トラベルマガジン (Luxury Travel Magazine)	ウェブサイト	旅行情報発信	4.7
コンデナスト・デ・メヒコ (CONDÉ NAST DE MÉXICO)	ウェブサイト	旅行情報発信	3.9
アベセタ・トゥリスティコ (ABZ Turistico)	ウェブサイト	旅行ニュース発信	1.3

注1：本調査は、当該市場の1,100人の調査対象者から聞き出した結果である。

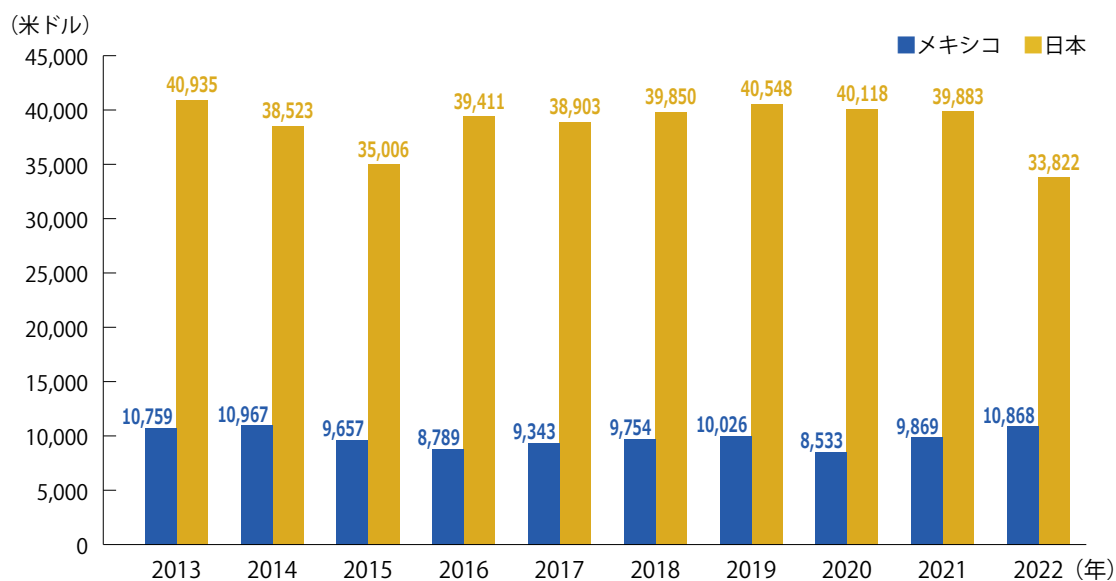
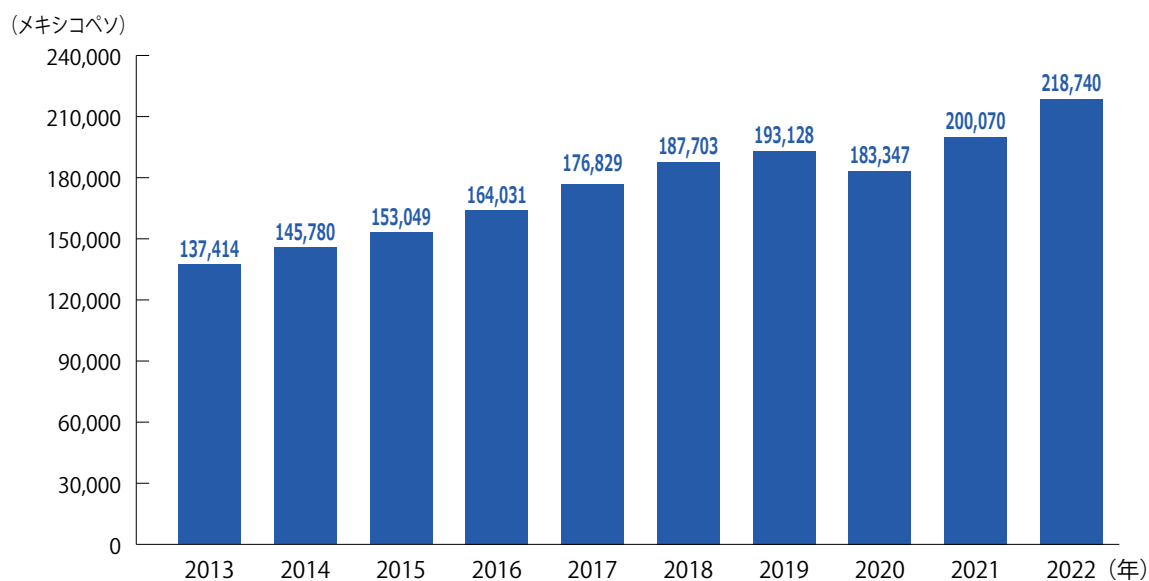
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

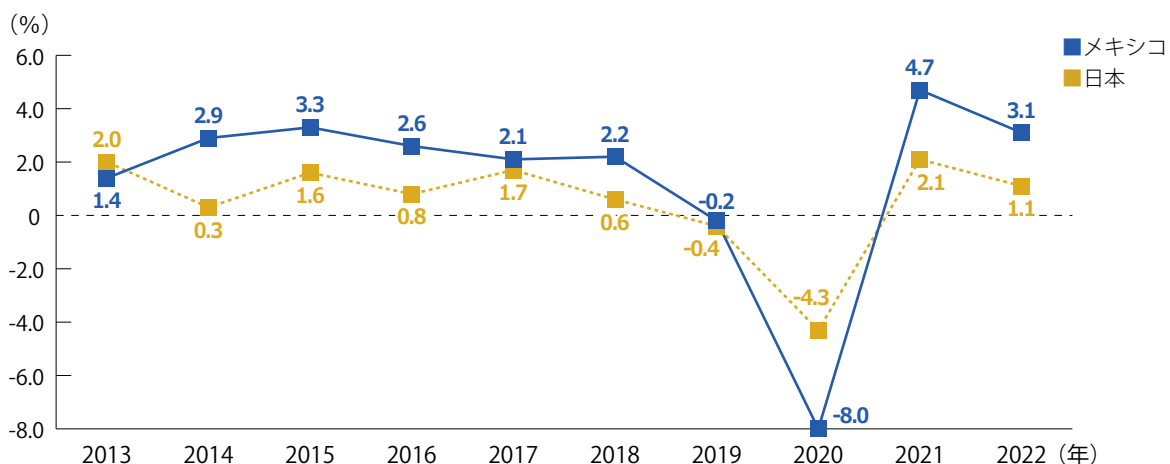
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

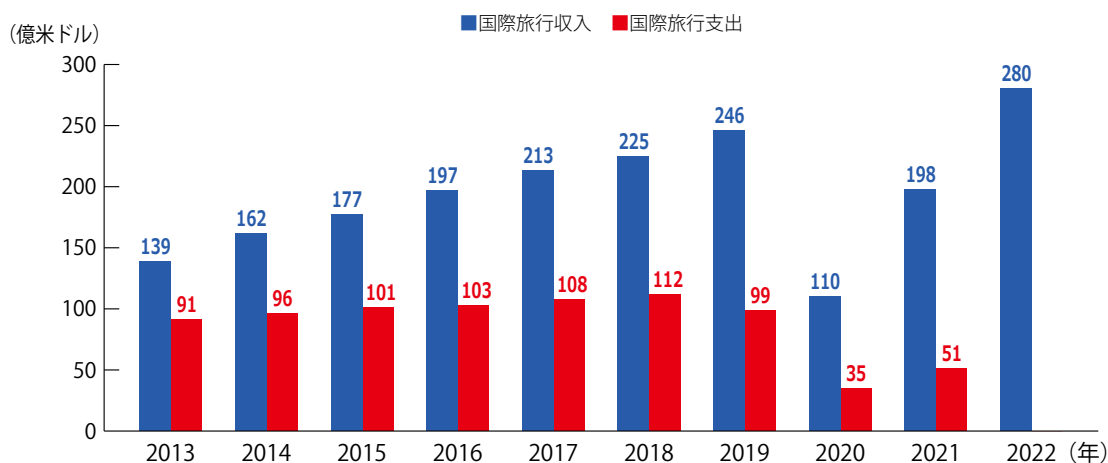
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

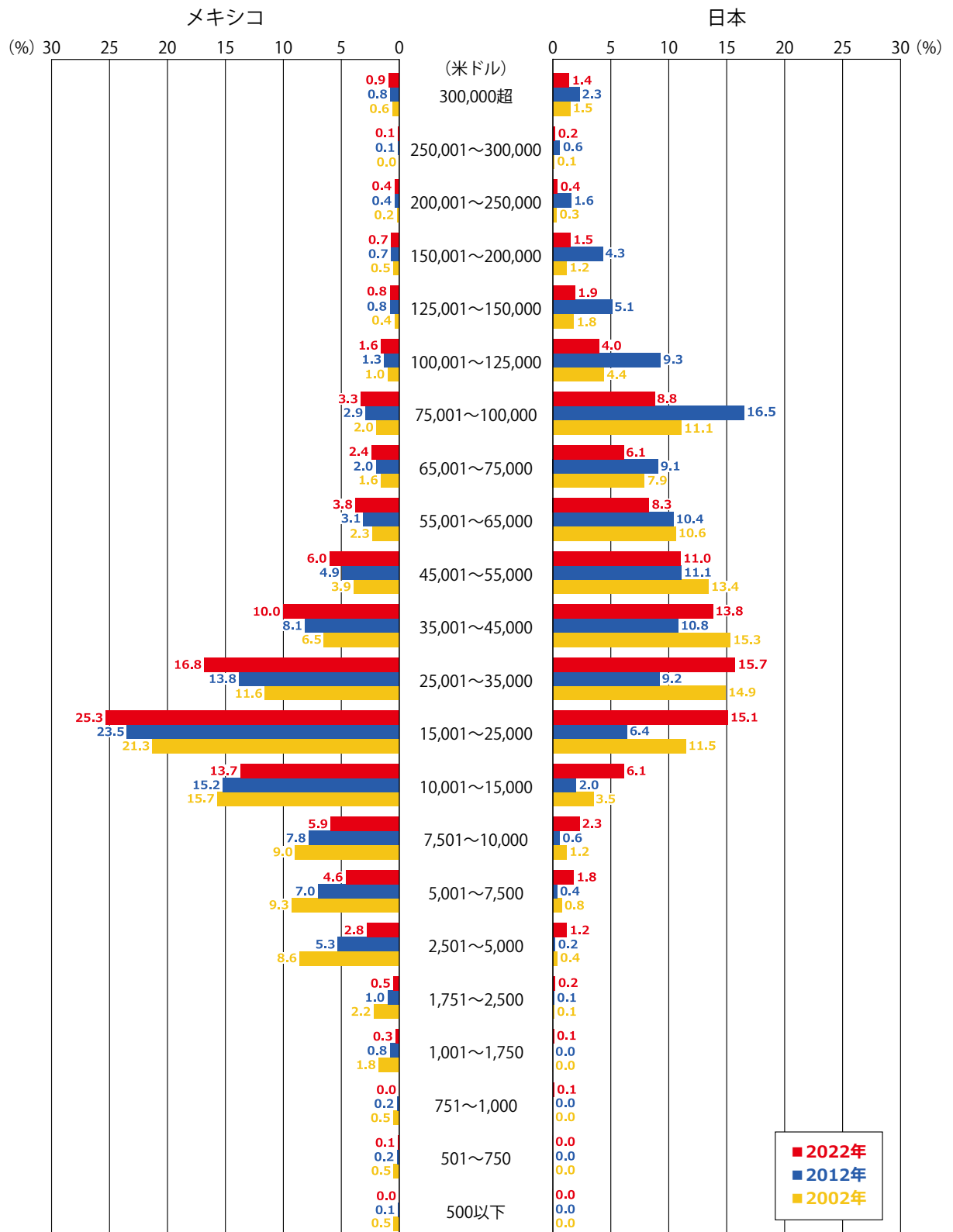
## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収入は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

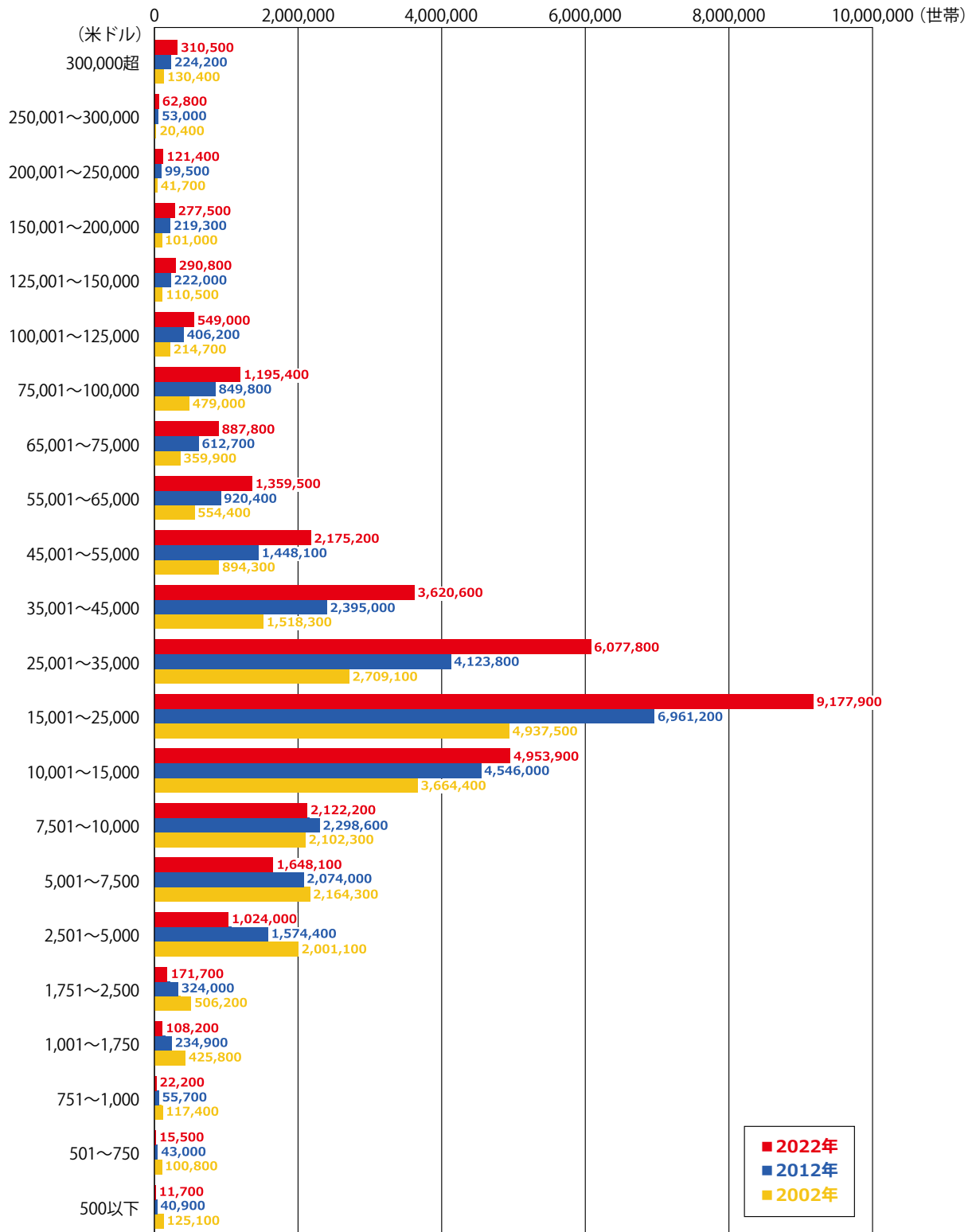


(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



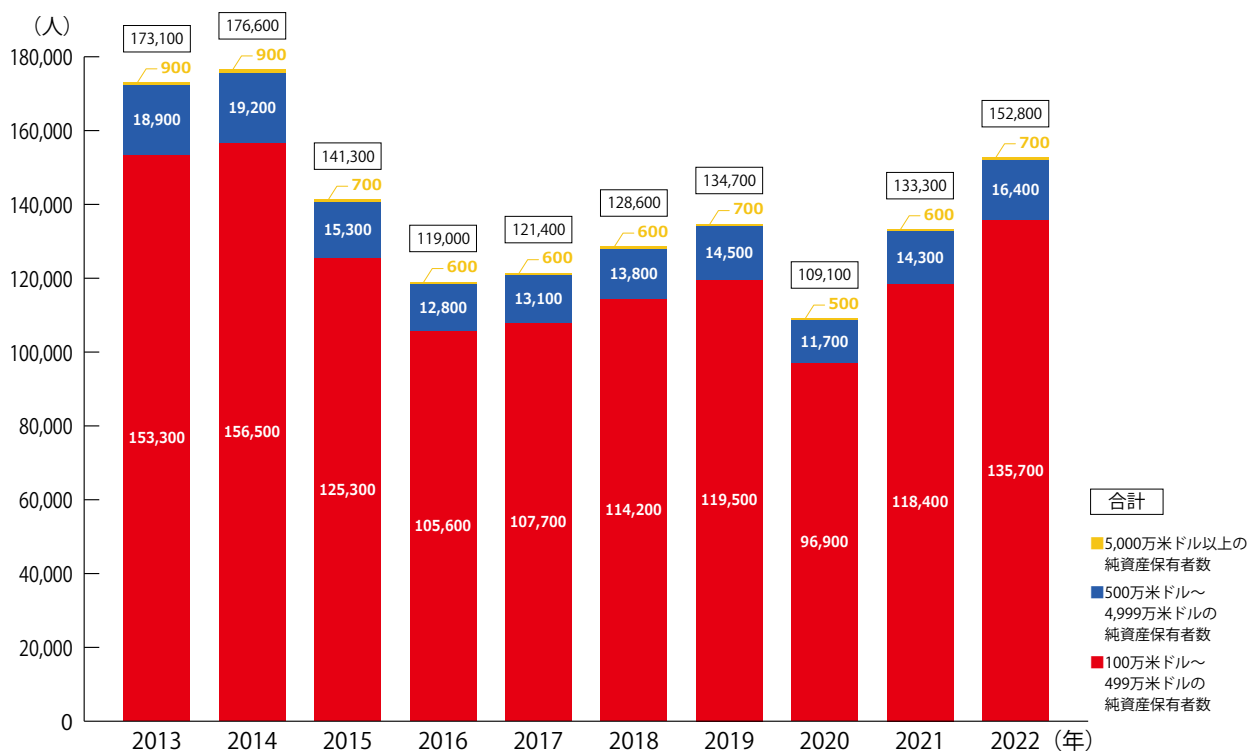
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

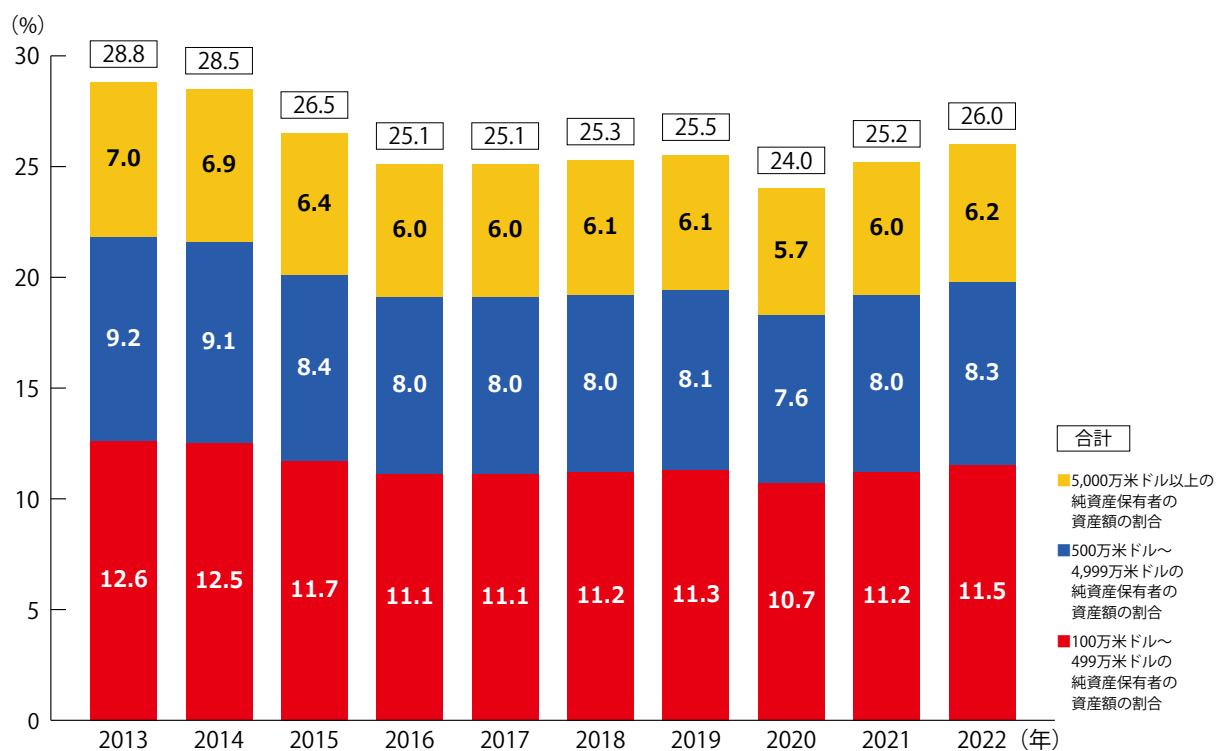
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

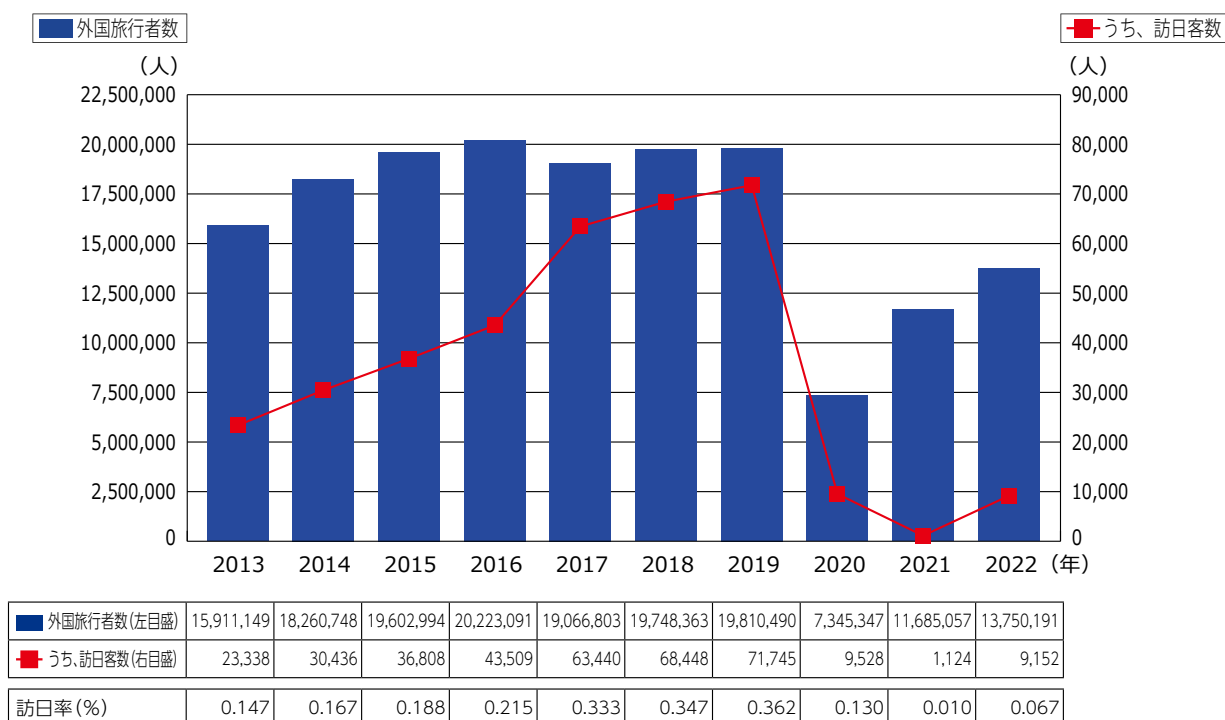


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) メキシコ人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：メキシコ人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：メキシコ銀行、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのメキシコ人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	米国	TFR	17,788,008	18,387,405	18,324,927	6,808,656	10,396,724	18,387,405
2位	フランス	TFR	546,764	688,050				688,050
3位	スペイン	TFR	450,822	497,738	597,777	129,785	249,732	597,777
4位	カナダ	TFR	385,626	404,402	487,213	96,606	86,474	487,213
5位	コロンビア	TFR	171,841	182,014	198,455	52,038	81,225	198,455
6位	キューバ	VFR	141,540	171,945	166,995	27,886	2,924	171,945
7位	英国	VFR	195,514	163,880	166,198		9,031	195,514
8位	イタリア	TFN	139,378	122,321	155,327	15,989	24,305	155,327
9位	ペルー	TFR	93,763	103,620	128,829	22,592	24,290	128,829
10位	グアテマラ	VFR	101,826	104,300	110,153	25,131	24,580	110,153
11位	アルゼンチン	TFR	93,313	92,535	103,314	22,310	7,036	103,314
12位	コスタリカ	TFN	106,783	98,918	97,173	20,603	36,621	106,783
13位	中国	VFN	82,134	92,546	94,312			94,312
14位	ブラジル	TFR	81,778	79,891	82,921	18,068	12,731	82,921
15位	日本	VFN	63,440	68,448	71,745	9,528	1,124	71,745
16位	パナマ	VFR	64,436	64,435	63,951	12,521	22,248	64,436
17位	トルコ	TFN	18,408	35,632	63,512	12,751	34,608	63,512
18位	エルサルバドル	TFN	40,848	37,100	52,186	10,954	18,648	52,186
19位	イスラエル	TFR	28,369	36,624	50,160	6,375	2,398	50,160
20位	チリ	TFN	48,051	50,170	49,989	8,996	3,081	50,170
21位	ドミニカ共和国	TFR	33,710	40,445	49,450	13,686	31,907	49,450
22位	ポルトガル	TCER			47,926	7,170	12,871	47,926
23位	ベルギー	TCER	40,684	42,111	47,088	6,354	6,439	47,088
24位	チェコ	TCEN	42,499	44,003	45,186	5,523	5,534	45,186
25位	スイス	THSR	27,277	31,094	33,817	6,371	8,937	33,817
26位	エクアドル	VFN	27,541	30,422	32,770	10,050	13,221	32,770
27位	韓国	VFN	20,071	25,192	30,481	5,726	3,472	30,481
28位	アラブ首長国連邦	VFN	17,908	24,383	30,375	10,524		30,375

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ロシア	VFN	26,020	62,527	26,148	1,026		62,527
30位	香港	TFR	27,006	28,763	25,089	2,240	61	28,763
31位	モロッコ	TFN	17,870	20,126	23,847	4,036	2,312	23,847
32位	インド	VFN	18,114	19,909	20,766	4,580	859	20,766
33位	エジプト	VFN	9,588	13,281	20,202	4,108		20,202
34位	ウルグアイ	VFN	16,465	15,959	17,314			17,314
35位	ホンジュラス	TFN	27,780	18,111	16,657	4,503	8,844	27,780
36位	ナイジェリア	VFN	15,531	15,683	15,688	1,476	1,523	15,688
37位	インドネシア	VFN	11,497	12,418	13,663	2,375	135	13,663
38位	ボリビア	TFN	13,965	13,938	13,541	2,873	3,188	13,965
39位	豪州	VFR	11,280	11,880	13,280	3,034	135	13,280
40位	ヨルダン	TFN	4,938	7,164	11,884	1,824	1,155	11,884
41位	プエルトリコ	THSR	11,957	6,706	10,663	6,581		11,957
42位	カンボジア	TFR	9,631	8,705	10,502	1,564	72	10,502
43位	ニカラグア	TFN	18,804	10,515	10,104	2,703	2,919	18,804
44位	ベネズエラ	TFN	9,036					9,036
45位	マレーシア	TFN	6,344	8,924	8,949	1,288	38	8,949
46位	ポーランド	TCER	8,135	8,702	8,633	1,310	2,025	8,702
47位	ルーマニア	VFR	7,036	7,756	8,340	1,375	2,394	8,340
48位	ノルウェー	TCER	6,375	7,053	8,316	1,696	1,240	8,316
49位	ベリーズ	TFN	9,060	6,808	7,449	1,496	1,650	9,060
50位	マカオ	VFN	5,928	6,596	6,731	548		6,731
51位	パラグアイ	TFN	4,466	4,799	5,842	1,061	779	5,842
52位	バハマ	TFR	5,827	5,547	5,713	1,388	3,655	5,827
53位	レバノン	TFN	3,262	4,032	5,308	646	1,037	5,308
54位	ニュージーランド	VFR	4,784	5,017	5,296	1,449	74	5,296
55位	南アフリカ共和国	TFR	4,625	4,917	5,286	951	1,368	5,286
56位	フィリピン	TFR	5,744	4,248	5,154	983	243	5,744
57位	フィンランド	TCER	4,524	4,510	4,871	1,250	1,185	4,871
58位	ブルガリア	VFR	4,006	4,925	4,589	742	1,142	4,925
59位	スロバキア	TCEN	5,737	6,848	4,199	602	379	6,848
60位	ジャマイカ	TFR	3,845	3,866	4,160	1,103	1,664	4,160
61位	台湾	VFR	4,347	4,334	4,033	600	181	4,347
	サウジアラビア	TFN	36,340	2,114	2,839	903	1,067	36,340

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

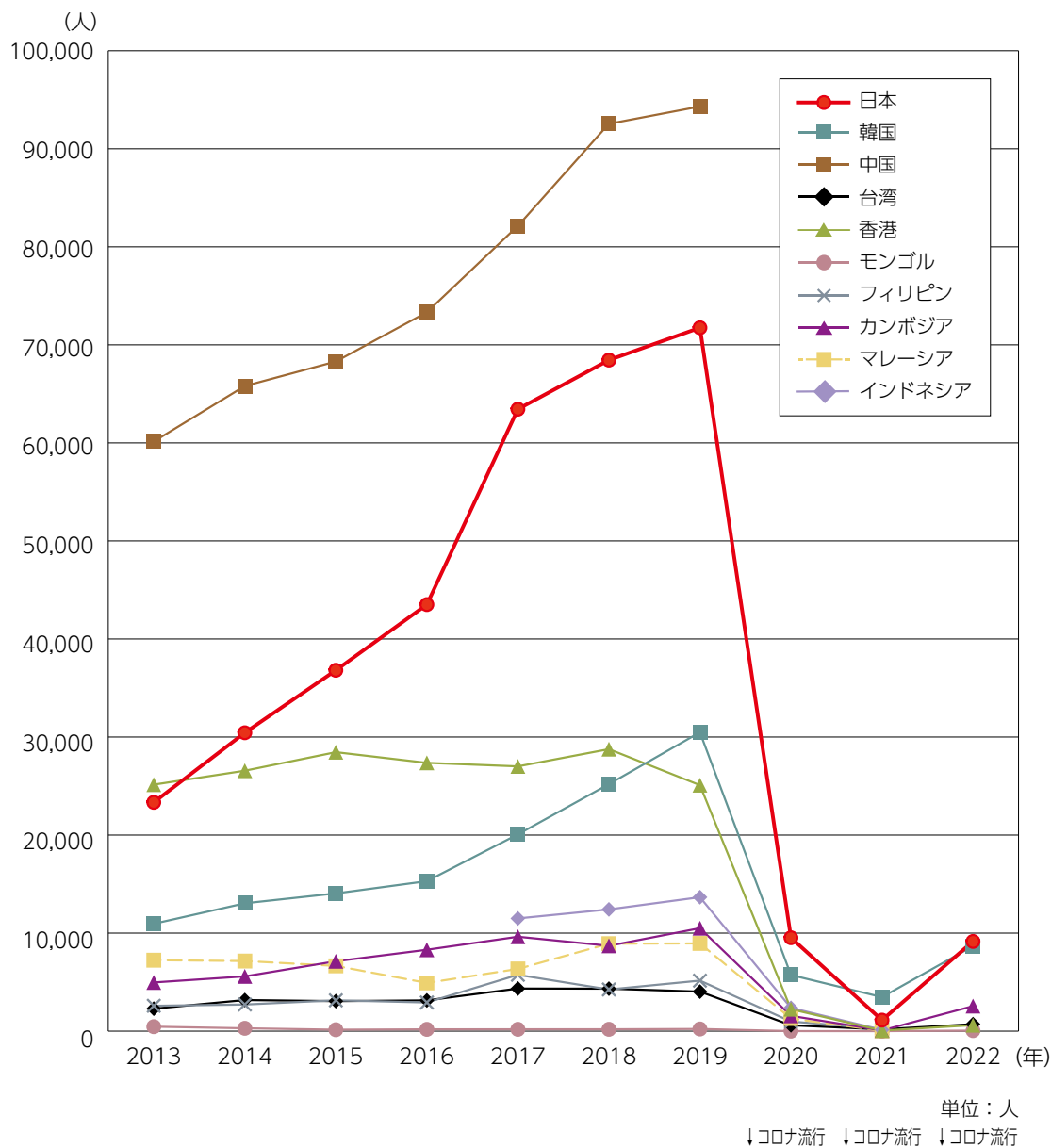
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選択し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのメキシコ人訪問者数の推移（2013年～2022年）



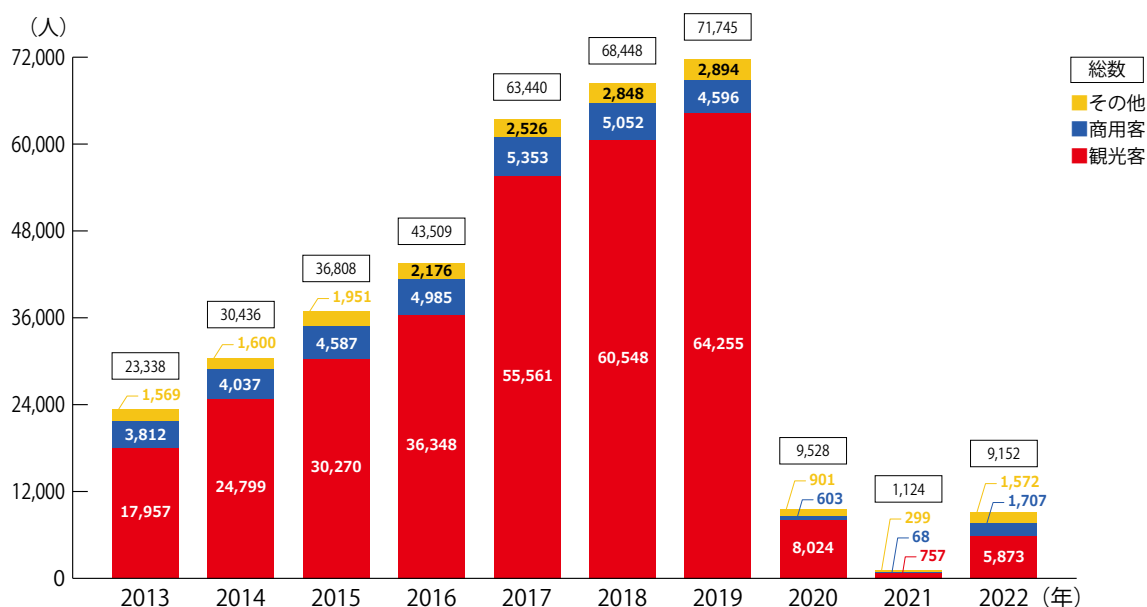
訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	60,144	65,800	68,300	73,326	82,134	92,546	94,312			
日本	VFN	23,338	30,436	36,808	43,509	63,440	68,448	71,745	9,528	1,124	9,152
韓国	VFN	10,953	13,042	14,049	15,299	20,071	25,192	30,481	5,726	3,472	8,676
香港	TFR	25,143	26,563	28,454	27,367	27,006	28,763	25,089	2,240	61	609
インドネシア	VFN					11,497	12,418	13,663	2,375	135	
カンボジア	TFR	4,966	5,587	7,128	8,301	9,631	8,705	10,502	1,564	72	2,557
マレーシア	TFN	7,238	7,151	6,659	4,917	6,344	8,924	8,949	1,288	38	
フィリピン	TFR	2,586	2,716	3,145	2,924	5,744	4,248	5,154	983	243	
台湾	VFR	2,295	3,172	3,063	3,138	4,347	4,334	4,033	600	181	713
モンゴル	TFN	456	292	148	185	189	191	222	4	1	56
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
タイ	TFN										
ミャンマー	TFN										
シンガポール	VFR										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

メキシコ

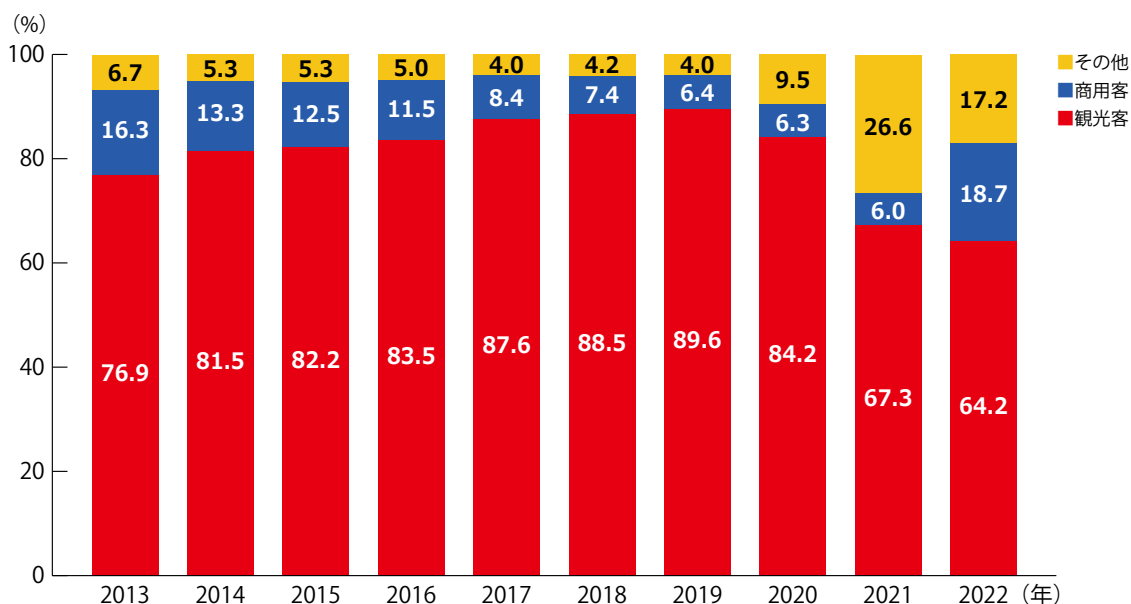
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日メキシコ人の推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (2) 訪日メキシコ人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (3) 訪日メキシコ人の性・年齢別構成（2013年～2022年）

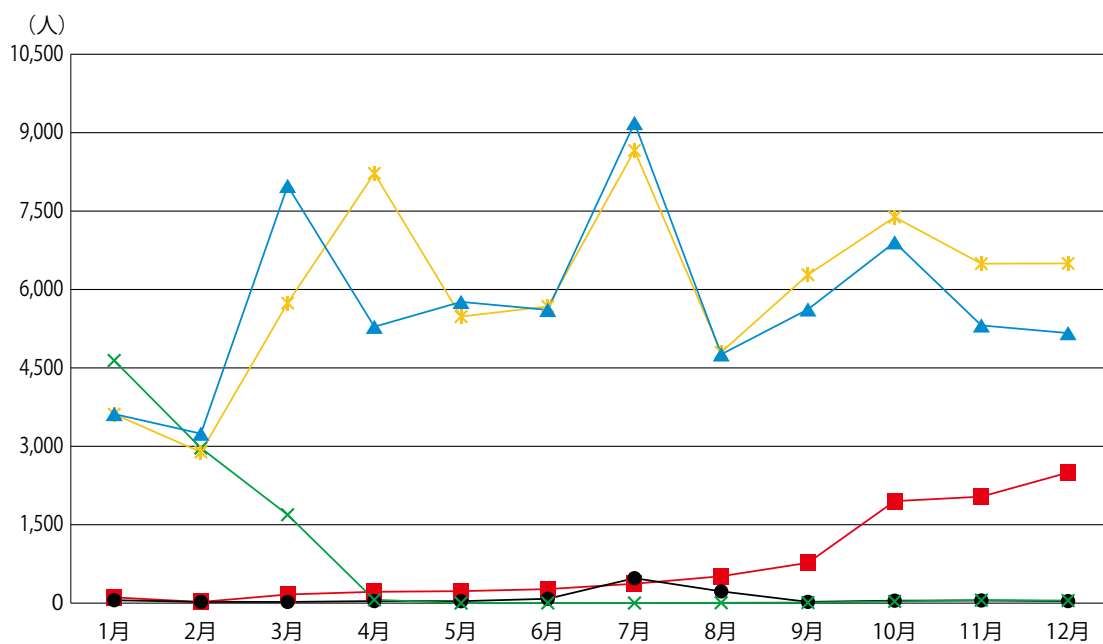


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省



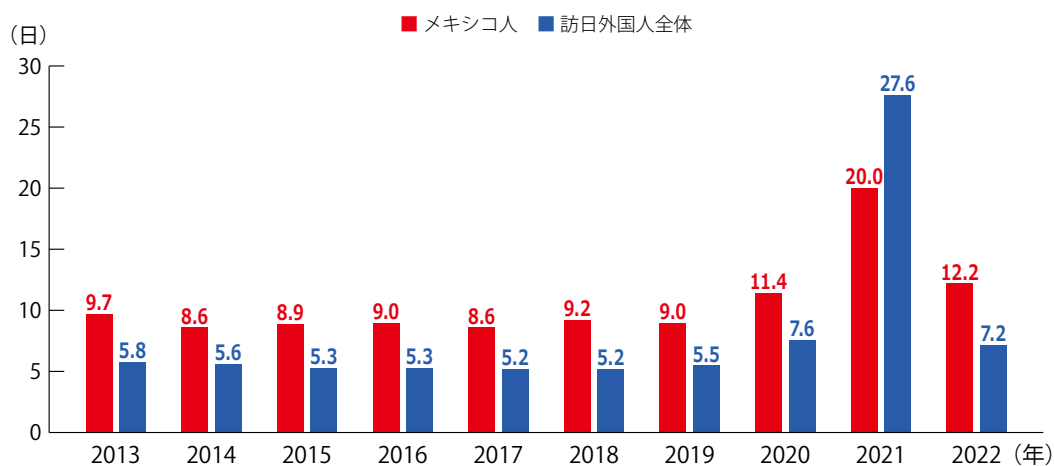
## (4) 月別訪日メキシコ人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	110	22	165	217	229	268	371	514	771	1,951	2,037	2,497
● 2021年	56	23	23	39	37	83	477	225	24	47	51	39
× 2020年	4,641	2,968	1,691	64	1	3	2	7	11	34	57	49
✱ 2019年	3,615	2,889	5,740	8,222	5,482	5,676	8,661	4,800	6,282	7,385	6,494	6,499
▲ 2018年	3,618	3,242	7,982	5,287	5,763	5,610	9,186	4,759	5,619	6,903	5,313	5,166

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (5) 訪日メキシコ人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# 英国

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

アングロサクソン系のイングランド人、ケルト系のスコットランド人・ウェールズ人・アイルランド人が多い。

この他、欧州系、中東系、アフリカ系、アジア系などの移民やその子孫など。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (2) 宗教別構成

英国国教会など

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

英語が英国全土の共通語

なお、英国を構成する各地域（各カントリー）の言語は以下のとおり。

- ・イングランド：英語が共通語
- ・ウェールズ：英語が共通語で、ウェールズ語も一部で話されている。
- ・スコットランド：英語が共通語で、スコットランド語（スコットランド低地語）とスコットランド・ゲール語も一部で話されている。
- ・北アイルランド：英語が共通語で、アイルランド語とアルスター・スコットランド語も一部で話されている。

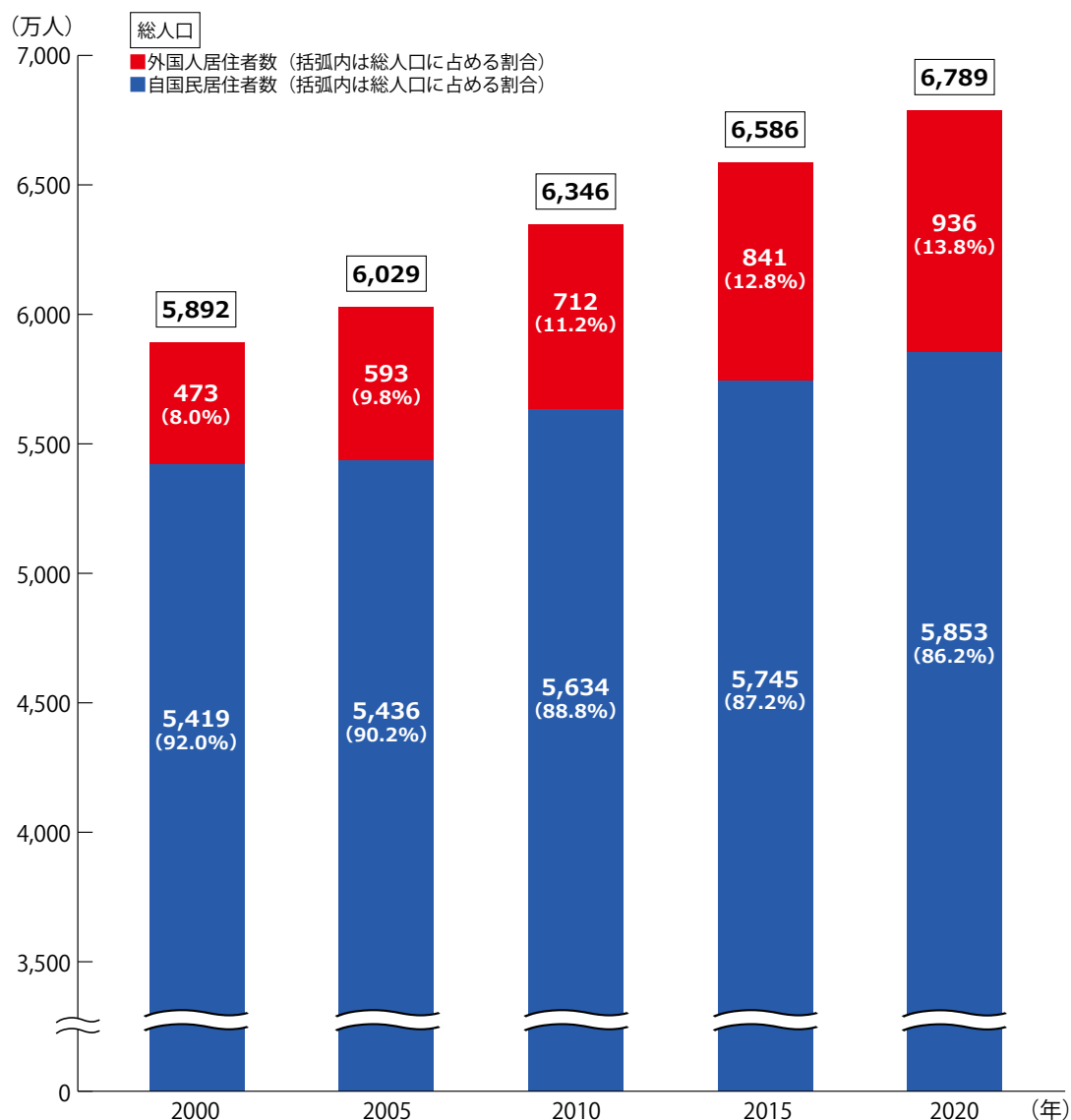
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (4) 面積

24万4,376km<sup>2</sup>（日本の65%弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

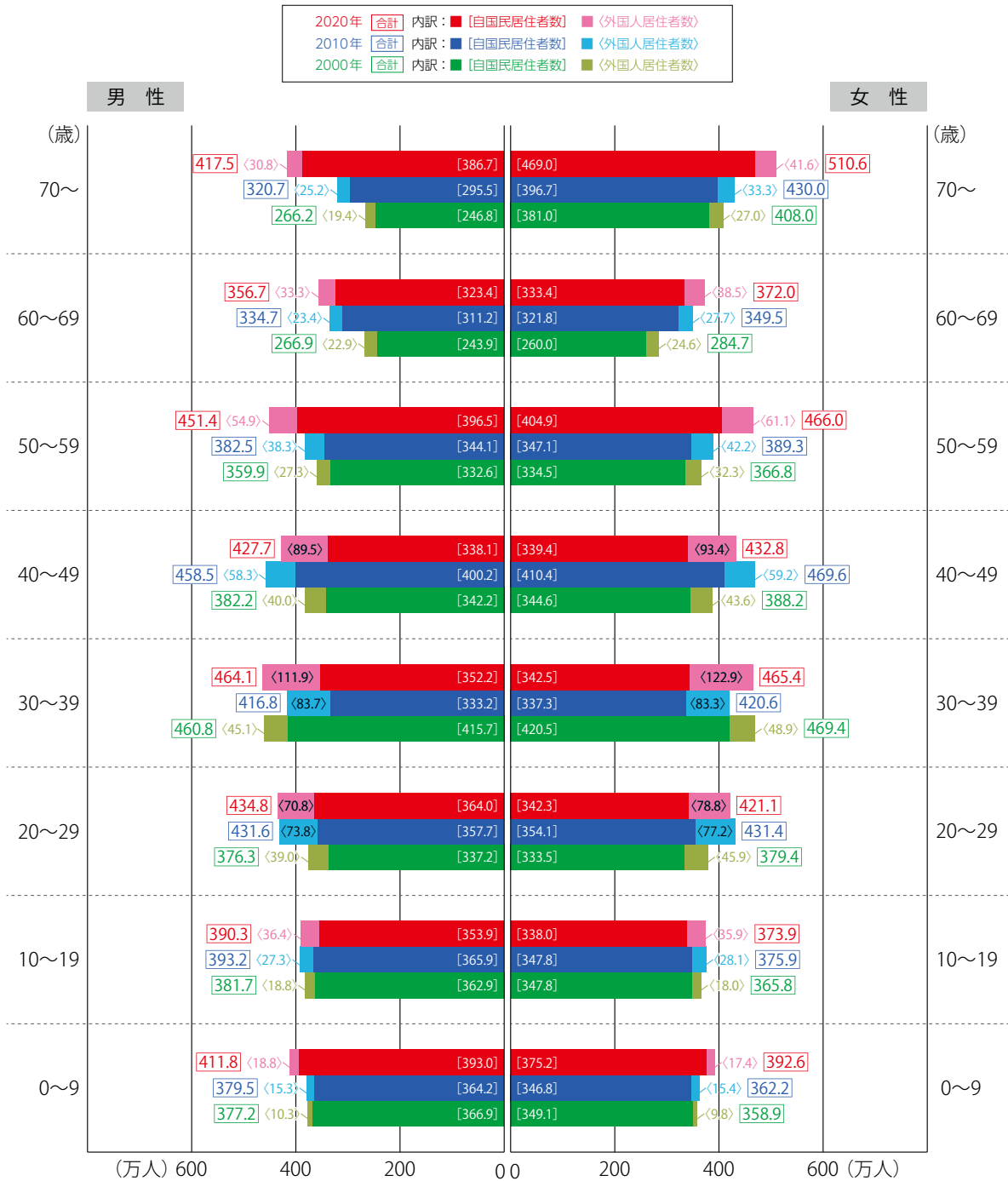
- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者を含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：英国の外国人居住者は、注2の①に該当する。

注4：英国の外国人居住者の中には、英国の海外領土のうちの11地域（バミューダ、ケイマン諸島、タークス・カイコス諸島、英領バージン諸島、アンギラ、モントセラト、フォークランド諸島、セントヘレナ、ジブラルタル、マン島、チャンネル諸島）から英国本国に来て居住している人も含まれている。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口

都市名	地域 (カントリー)	人口 (人)	150	300	450	600	750	900 (万人)	
ロンドン	イングランド	8,135,667	[Bar extending beyond 900,000]						
グラスゴー	スコットランド	1,209,143	[Bar between 150,000 and 300,000]						
バーミンガム	イングランド	1,085,810	[Bar between 150,000 and 300,000]						
リバプール	イングランド	552,267	[Bar between 150,000 and 300,000]						
ブリストル	イングランド	535,907	[Bar between 150,000 and 300,000]						
シェフィールド	イングランド	518,090	[Bar between 150,000 and 300,000]						
マンチェスター	イングランド	510,746	[Bar between 150,000 and 300,000]						
エディンバラ	スコットランド	482,005	[Bar between 150,000 and 300,000]						
リーズ	イングランド	474,632	[Bar between 150,000 and 300,000]						
レスター	イングランド	443,760	[Bar between 150,000 and 300,000]						
ブラッドフォード	イングランド	349,561	[Bar between 150,000 and 300,000]						
カーディフ	ウェールズ	335,145	[Bar between 150,000 and 300,000]						
コベントリー	イングランド	325,949	[Bar between 150,000 and 300,000]						

注：上の数値は、2011年に実施された国勢調査の結果である。  
出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
ニュー・イヤーズ・デー (元日)	1月1日 (日)	1月1日 (月)	2023年1月2日は振替休日
スコットランド・バンク・ホリデー (1月2日新年休暇)	1月2日 (月)	1月2日 (火)	スコットランドのみ 2023年1月3日は振替休日
セント・パトリックス・デー (聖パトリックの日)	3月17日 (金)	3月17日 (日)	北アイルランドのみ 2024年3月18日は振替休日
※グッド・フライデー (聖金曜日)	4月7日 (金)	3月29日 (金)	
※イースター・マンデー (復活祭月曜日)	4月10日 (月)	4月1日 (月)	イングランド、ウェールズ、北アイルランドのみ
※アーリー・メイ・バンク・ホリデー (5月初旬のバンク・ホリデー)	5月1日 (月)	5月6日 (月)	5月第1月曜日
※スプリング・バンク・ホリデー (春のバンク・ホリデー)	5月29日 (月)	5月27日 (月)	基本的には5月最終月曜日
オレンジ・メンズ・デー (ポイン川の戦い記念日)	7月12日 (水)	7月12日 (金)	北アイルランドのみ
※サマー・バンク・ホリデー (夏のバンク・ホリデー)	8月2日 (月)	8月5日 (月)	スコットランドのみ 8月第1月曜日
※サマー・バンク・ホリデー (夏のバンク・ホリデー)	8月28日 (月)	8月26日 (月)	イングランド、ウェールズ、北アイルランドのみ 8月最終月曜日
セント・アンドリュース・デー (聖アンドリュースの日)	11月30日 (木)	11月30日 (土)	スコットランドのみ 2024年12月2日は振替休日
クリスマス・デー	12月25日 (月)	12月25日 (水)	
ボクシング・デー	12月26日 (火)	12月26日 (木)	

注：※印の祝祭日は年によって変動する。  
出典：英国政府の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校	5歳～11歳 (6年間)	February half term	2月中旬からの1週間	2023年～2024年の 政府推奨の休暇時期
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬から復活祭を含む 約2週間	
		Summer break (May half term)	5月下旬から6月上旬の 1週間	
		夏期休暇	7月中旬から9月上旬の 約1.5か月間	
		Autumn break (October half term)	10月下旬からの1週間	
		クリスマス休暇	クリスマス前後の約2週間	
中等学校	11歳～16歳 (5年間)	February half term	2月中旬からの1週間	2023年～2024年の 政府推奨の休暇時期
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬から復活祭を含む 約2週間	
		Summer break (May half term)	5月下旬から6月上旬の 1週間	
		夏期休暇	7月中旬から9月上旬の 約1.5か月間	
		Autumn break (October half term)	10月下旬からの1週間	
		クリスマス休暇	クリスマス前後の約2週間	
シックスフォーム	16歳～18歳 (2年間)	February half term	2月中旬からの1週間	英国にあるシックス フォーム1校の事例 より作成
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬から復活祭を含む 約2週間	
		Summer break (May half term)	5月下旬から6月上旬の 1週間	
		夏期休暇	7月中旬から9月上旬の 約1.5か月間	
		Autumn break (October half term)	10月下旬からの1週間	
		クリスマス休暇	クリスマス前後の約2週間	
大学	18歳～21歳 (3年間)	復活祭（イースター）休暇	3月下旬から復活祭を含む 約3週間	英国にある大学2校 の事例より作成
		夏期休暇	6月から9月の 約3～4か月間	
		クリスマス休暇	クリスマス前後の約3週間	
学校年度	9月～翌年8月			
義務教育	初等学校（6年間） + 中等学校（5年間） = 11年間			

注1：上記はイングランドの事例である。

注2：地域や学校によって、休暇の日程や期間が異なる。特にシックスフォームと大学については、英国政府が推奨休暇時期を定めていないため、休暇期間が大きく異なる可能性がある。

出典：英国政府等の情報に基づき、日本政府観光局(JNTO)が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		・労働時間の制限のみ規定がある。 ・土曜日、日曜日の休みが一般的である。
有給休暇日数	週の就労日×5.6日分の 年次有給休暇 (週5日勤務の被雇用者： 28日)	1998年労働時間規則 (Working Time Regulation 1998)	・パートタイム従業員にも左記の計算式が適用 される(週3日勤務：3日×5.6=16.8日な ど)。 ・病欠、出産休暇、育児休暇と有給休暇は区別 されている。 ・最大で年28日間まで
定年退職	なし	2010年平等法 (Equality Act 2010)	・2010年4月に定年退職の年齢が廃止された。 ・職種により例外あり(消防、建設業など)。

出典：英国政府、日本国厚生労働省「2019年海外情勢報告 英国」

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、英国議会、米国中央情報局 (CIA)

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

[次ページへ](#)

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	40.9
BBC	ウェブサイト	英国公営のテレビ局の ニュースチャンネル	25.6
ロンリープラネット (Lonely Planet)	ウェブサイト	旅行情報発信	20.3
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	18.7
ナショナルジオグラフィック (National Geographic)	ウェブサイト	地理学・科学・歴史・自然・ 旅行に関する情報発信	15.7
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	13.0
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	11.3
ガーディアン (The Guardian)	ウェブサイト	ニュース発信	8.8
メール (Mail Online)	ウェブサイト	ニュース発信	8.5
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	8.0
コンデナスト・トラベラー (Conde Nast Traveller)	ウェブサイト	旅行情報発信	7.4
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	7.2
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	6.0

▷ [前ページから](#)

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
インディペンデント (Independent)	ウェブサイト	ニュース発信	5.2
テレグラフ (Telegraph Online)	ウェブサイト	ニュース発信	5.0
カルチャートリップ (Culture Trip)	ウェブサイト	旅行情報発信、旅行予約	4.4
ワンダーラスト (Wanderlust)	ウェブサイト	旅行情報発信	4.4
ザ・サン (The Sun)	ウェブサイト	ニュース発信	4.0
ヤフー (Yahoo Answers)	ウェブサイト	情報・ニュース発信、情報検索、 閲覧者の質問に対する回答を記載	3.0
スーツケース (Suitcase)	ウェブサイト	旅行情報発信	1.8

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

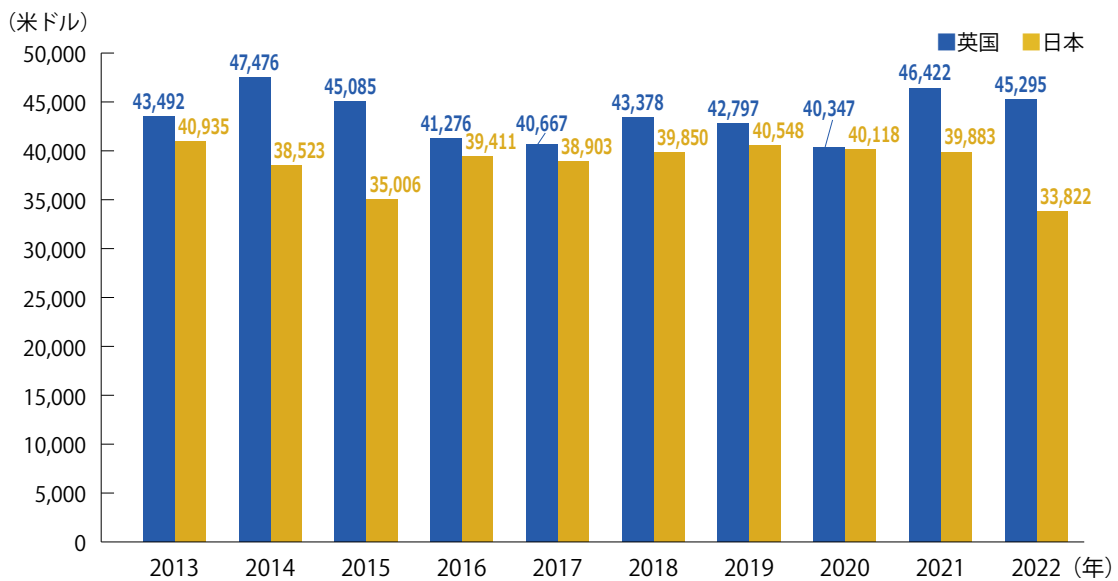
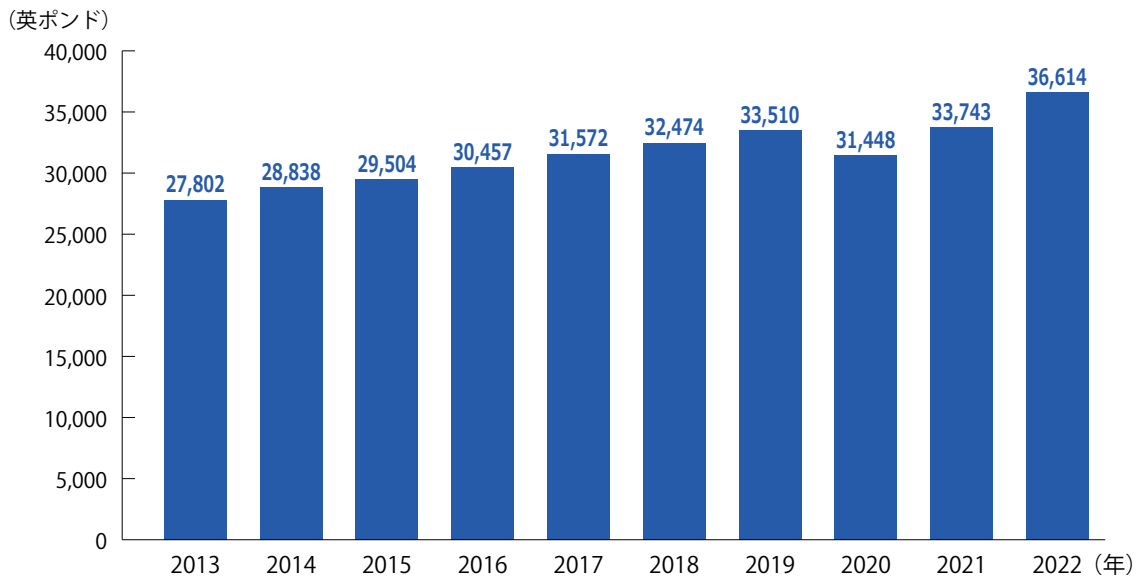
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

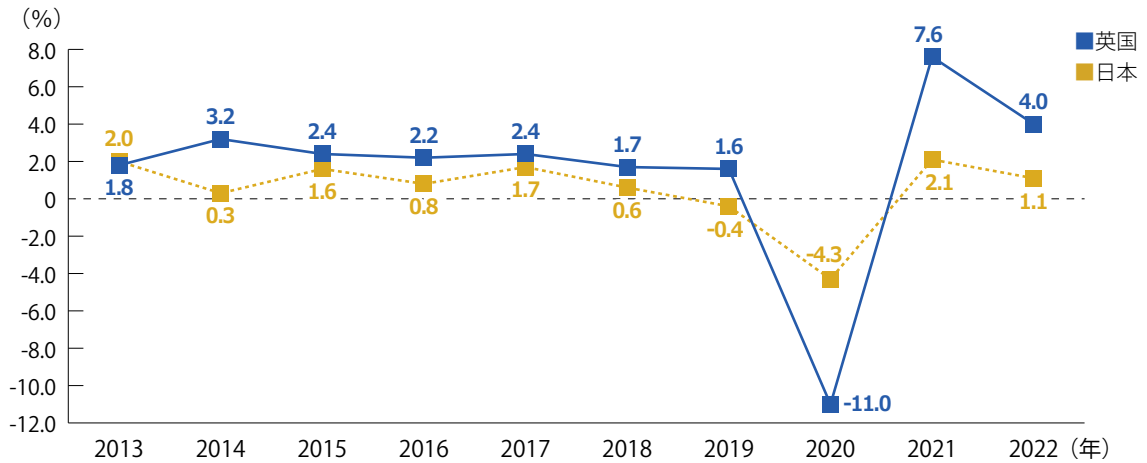


(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



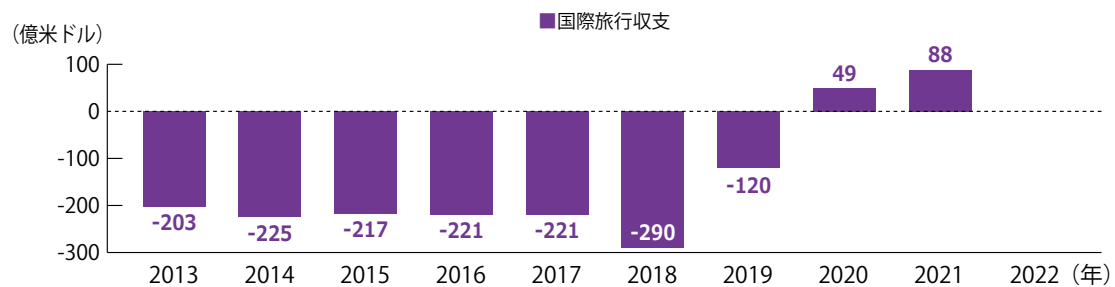
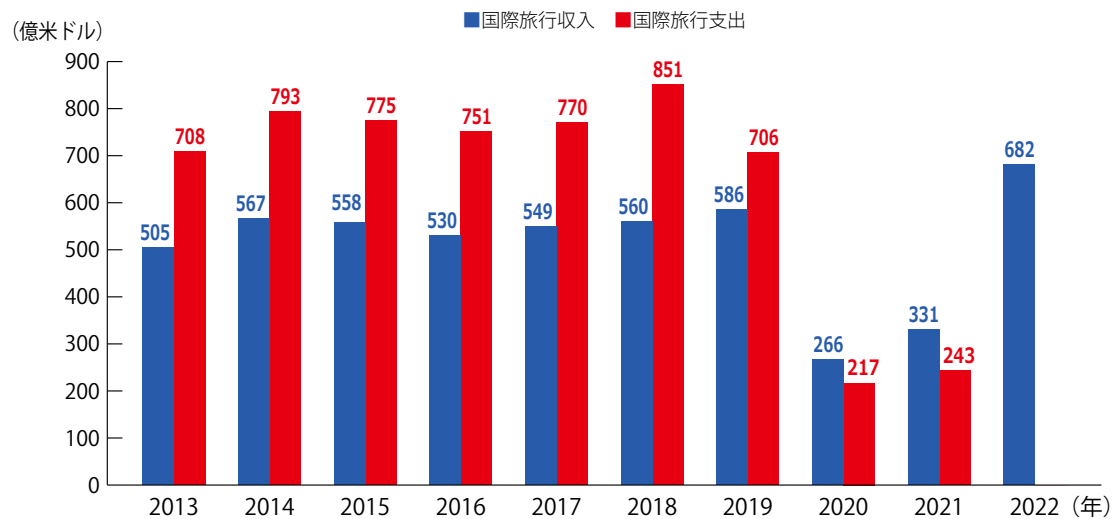
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(2) 実質経済成長率 (2013年～2022年)



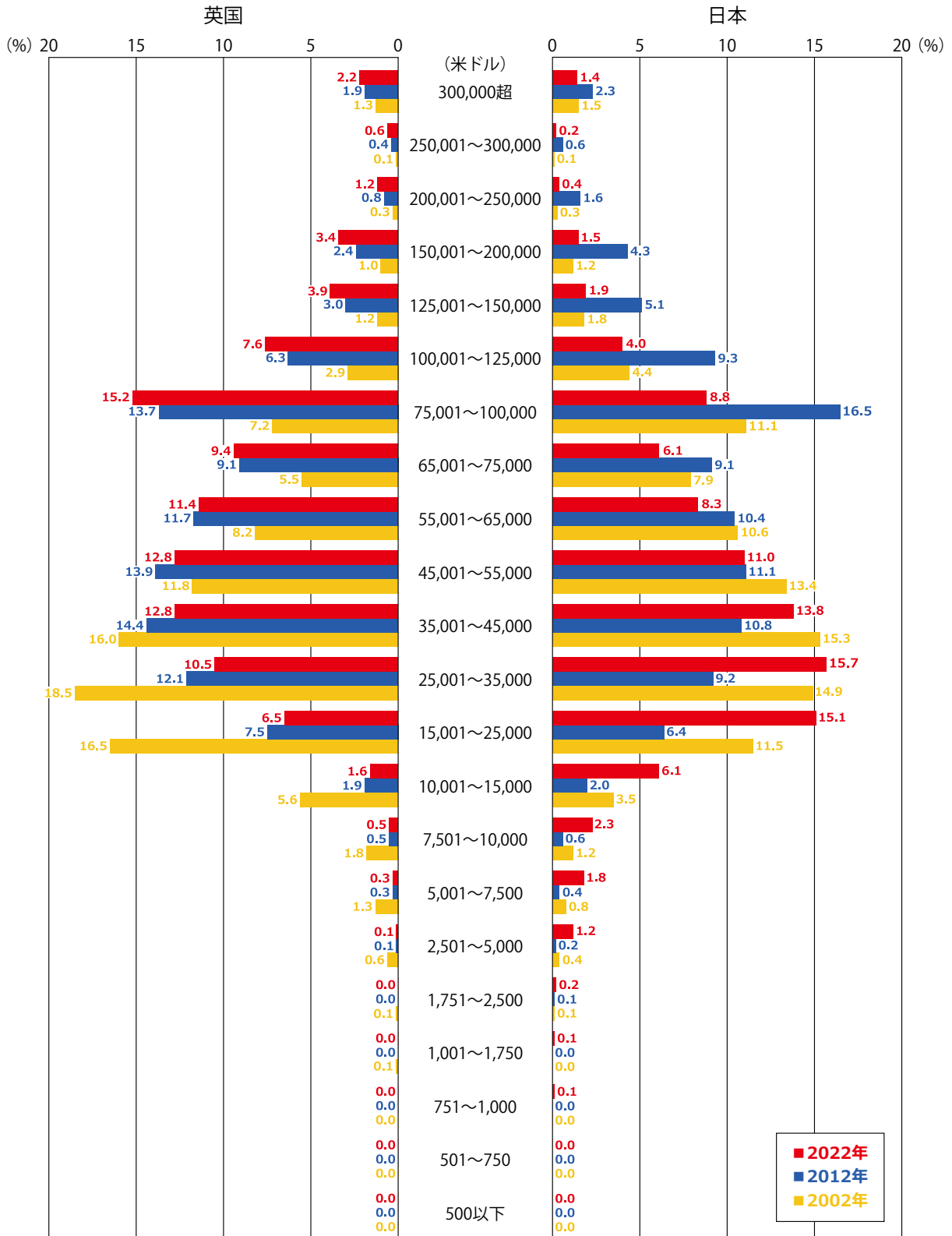
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出 (2013年～2022年)



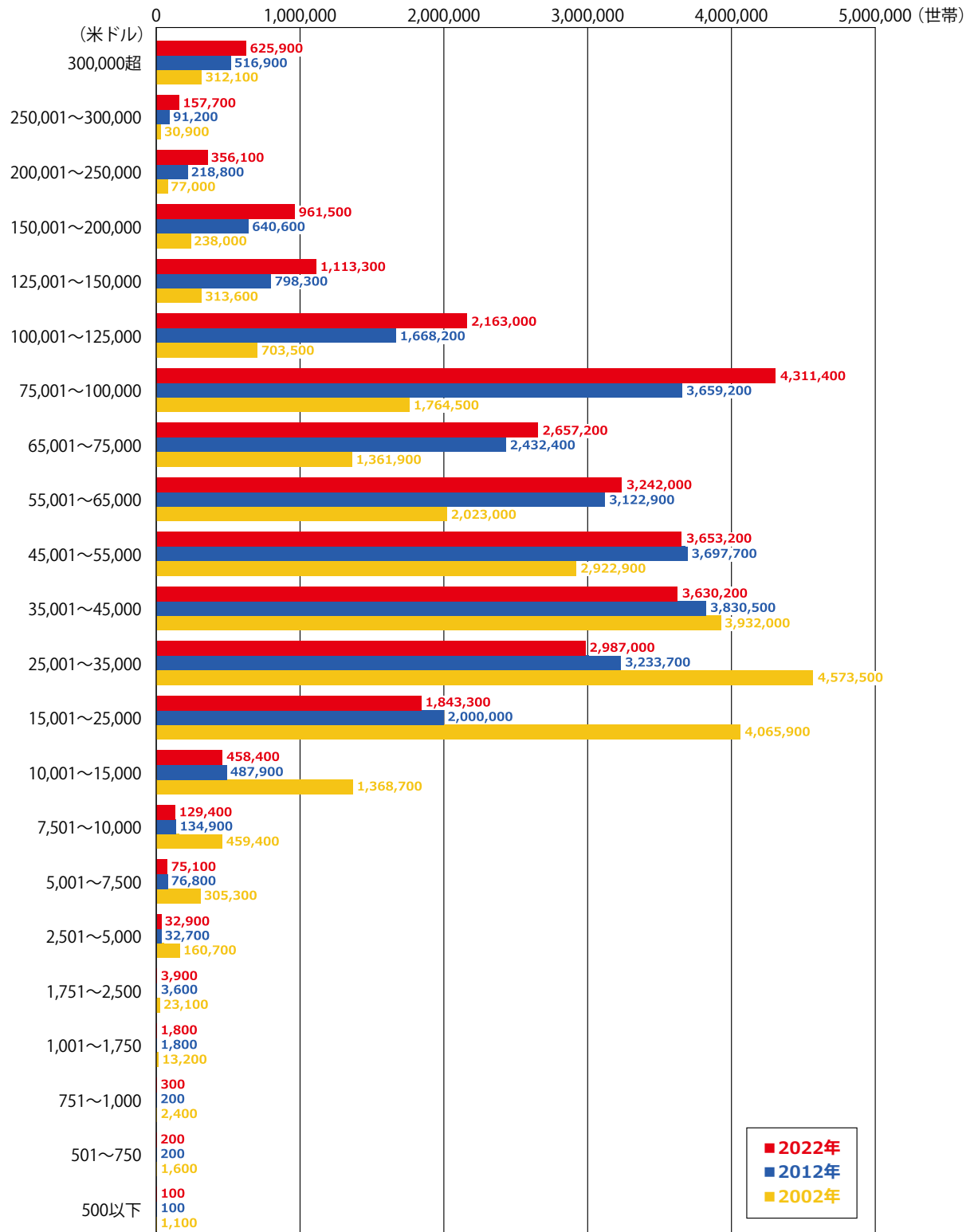
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関 (UNWTO) に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



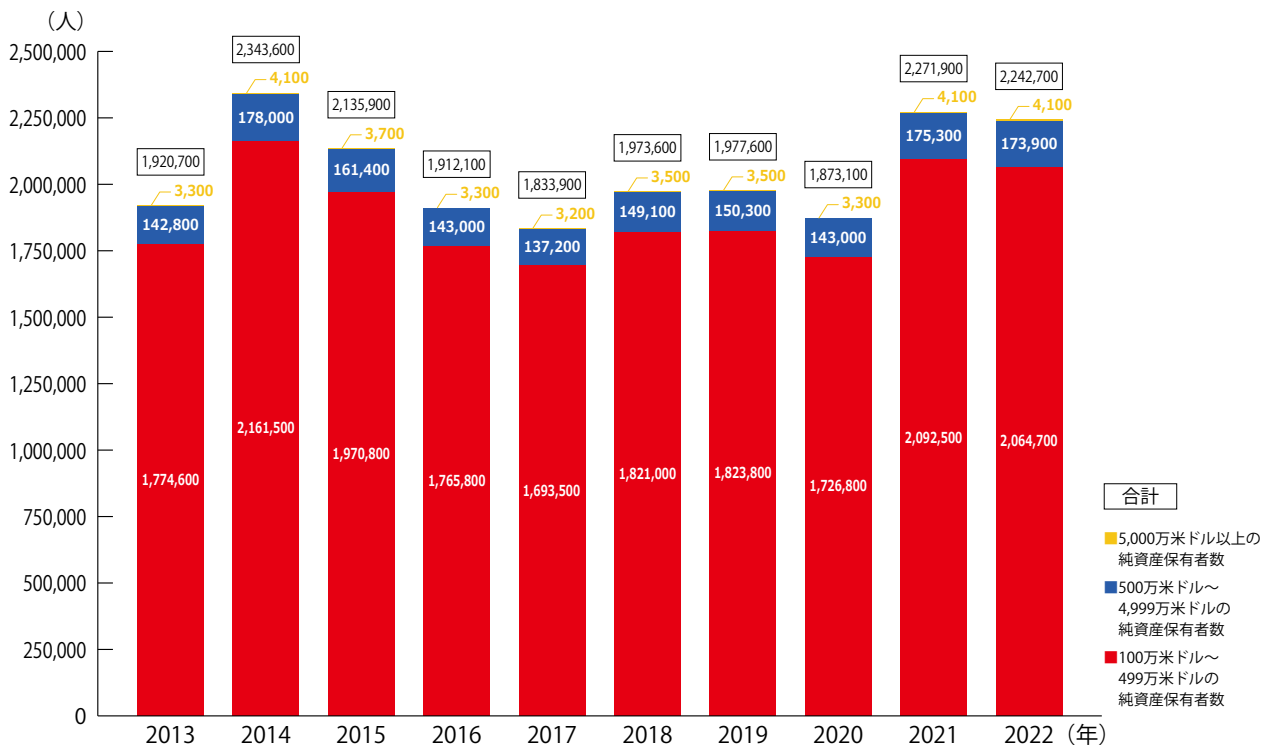
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



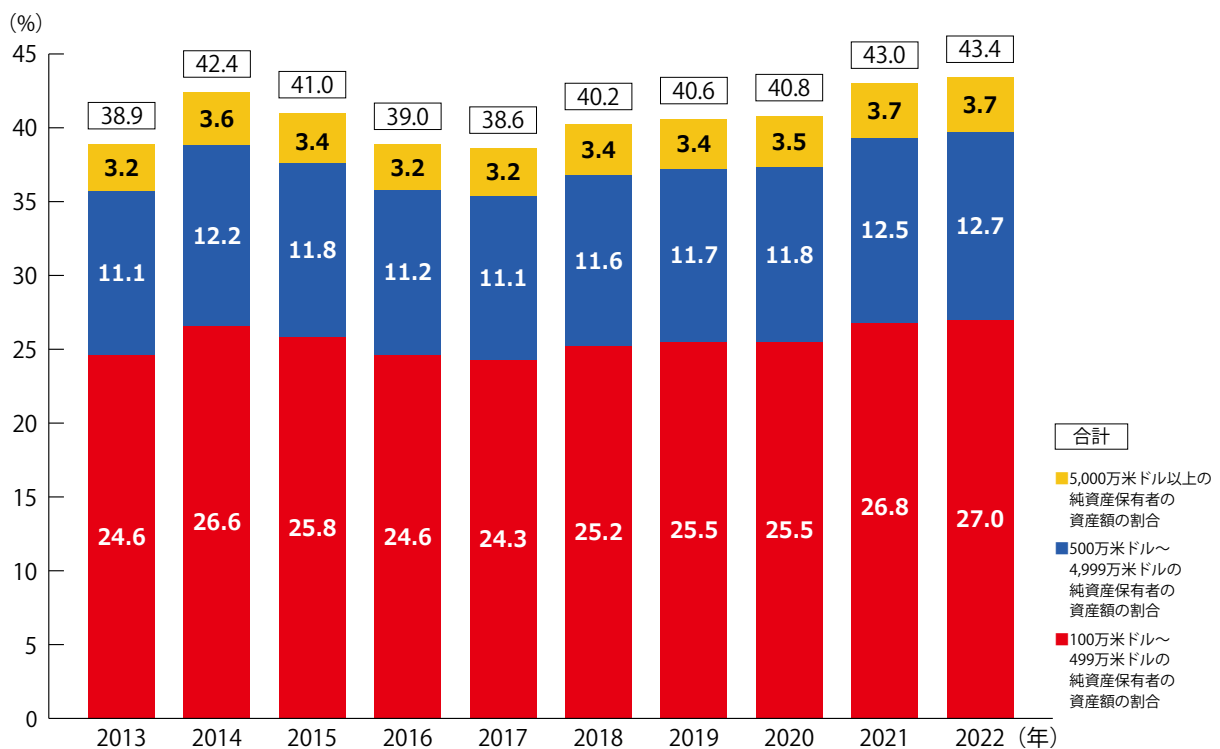
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

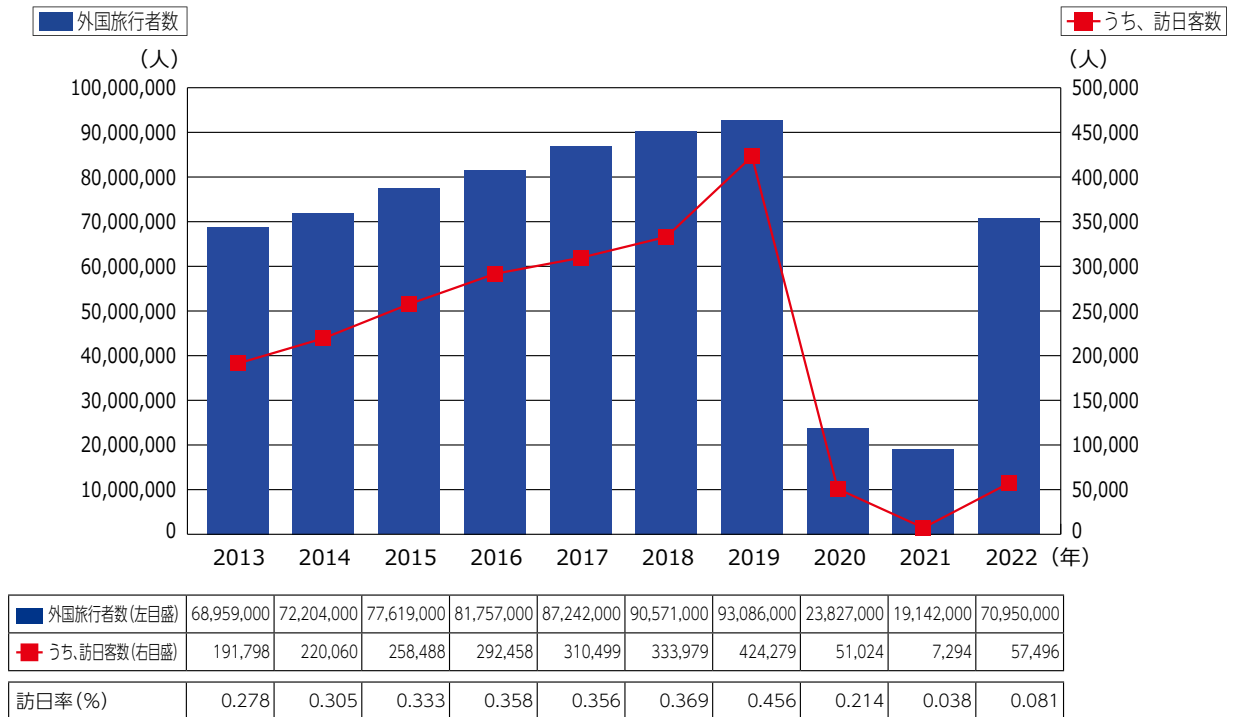
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) 英国人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注1：英国人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。  
 注2：英国国家統計局は2019年に、英国人の外国旅行者数の算出方法を変更した。2009年以降の英国人の外国旅行者数が全て変更されたため、上記の数値もこれを反映させている。  
 出典：英国国家統計局、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域への英国人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	スペイン	TFR	18,806,776	18,523,957	18,012,484	3,150,204	4,302,634	18,806,776
2位	フランス	TCER	7,067,197	7,391,769	6,812,787	1,756,653	1,508,749	7,391,769
3位	イタリア	TFN	4,931,968	5,658,509	6,006,435	1,756,074	908,615	6,006,435
4位	米国	TFR	4,482,707	4,659,178	4,779,997	730,032	460,749	4,779,997
5位	アイルランド	TFR	4,760,000	4,797,000	4,764,000			4,797,000
6位	ギリシャ	TFR	3,002,042	2,942,763	3,499,325	1,068,581	1,591,191	3,499,325
7位	ドイツ	TCER	2,600,965	2,679,009	2,552,384	648,477	359,364	2,679,009
8位	トルコ	TFN	1,604,234	2,220,291	2,504,339	820,509	386,959	2,504,339
9位	オランダ	THSR	2,107,000	2,080,000	2,263,000	571,000	194,000	2,263,000
10位	ポルトガル	TCER	2,177,090	2,127,389	2,220,240	491,881	719,842	2,220,240
11位	アラブ首長国連邦	VFN	1,512,974	1,422,042	1,424,997	435,818		1,512,974
12位	インド	VFN	986,296	1,029,757	1,000,292	291,874	164,143	1,029,757
13位	タイ	TFN	994,755	986,666	992,574	221,392	38,663	994,755
14位	オーストリア	TCER	941,512	995,677	966,102	304,198	86,392	995,677
15位	デンマーク	TCER	936,964	942,006	943,841	385,178	320,462	943,841
16位	キプロス	TCER	823,643	907,591	919,877	191,661	308,499	919,877
17位	ベルギー	TCER	892,631	977,338	903,789	165,894	83,510	977,338
18位	ハンガリー	TFN	676,061	788,988	895,660	263,085	178,502	895,660
19位	カナダ	TFR	818,111	791,550	862,629	95,936	111,620	862,629
20位	クロアチア	TCER	750,675	821,114	859,189	118,514	221,471	859,189
21位	スイス	TCER	807,905	783,882	778,754	223,591	140,445	807,905
22位	豪州	VFR	730,530	732,976	715,829	200,791	21,888	732,976
23位	マルタ	TFR	560,893	640,570	649,623	135,944	214,267	649,623
24位	中国	VFN	590,714	607,846	612,213			612,213
25位	シンガポール	VFR	519,039	589,009	607,821	133,367	8,552	607,821
26位	ポーランド	TCER	534,695	555,098	604,950	185,700	132,913	604,950

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
27位	メキシコ	TFN	563,099	590,945	581,245	103,889	125,380	590,945
28位	モロッコ	TFN	486,262	510,516	551,499	113,258	56,435	551,499
29位	ブルガリア	VFR	352,054	424,384	508,342	131,268	76,124	508,342
30位	チェコ	TCEN	470,106	494,939	495,728	125,565	56,368	495,728
31位	エジプト	VFN	319,388	435,772	455,614	114,651		455,614
32位	南アフリカ共和国	TFR	447,901	430,708	436,559	132,384	45,777	447,901
33位	スウェーデン	TCER	427,294	402,999	436,469	134,044	125,310	436,469
34位	日本	VFN	310,499	333,979	424,279	51,024	7,294	424,279
35位	香港	TFR	443,456	452,436	402,090	32,334	638	452,436
36位	インドネシア	VFN	378,131	392,112	397,624	69,997	5,177	397,624
37位	ノルウェー	TCER	415,617	352,000	357,076	105,794	74,341	415,617
38位	サウジアラビア	TFN	229,672	265,128	355,266	78,655	54,125	355,266
39位	マレーシア	TFN	358,818	361,335	346,485	63,868	2,676	361,335
40位	ベトナム	VFR	283,537	298,114	315,084	82,375	1,792	315,084
41位	アイスランド	TFN	322,543	297,963	261,805	101,954	54,317	322,543
42位	ルーマニア	VFR	212,504	215,925	243,991	67,257	82,672	243,991
43位	イスラエル	TFR	198,503	218,012	235,359	44,087	32,417	235,359
44位	ニュージーランド	VFR	249,264	237,166	231,712	94,255	6,034	249,264
45位	ジャマイカ	TFR	217,647	215,584	225,037	55,595	74,290	225,037
46位	フィンランド	TCER	229,083	229,992	220,272	52,416	88,554	229,992
47位	フィリピン	TFR	182,708	201,044	209,206	39,980	4,348	209,206
48位	チュニジア	TFN	27,956	123,585	204,147	11,617	7,939	204,147
49位	スリランカ	TFR	201,879	254,176	198,776	55,455	16,646	254,176
50位	カーボベルデ	THSR	168,896	174,078	196,557	40,265	11,126	196,557
51位	ケニア	VFR		184,002	181,484	49,828	53,264	184,002
52位	ロシア	VFN	178,496	197,472	176,750	16,615		197,472
53位	バルバドス	TFR	218,745	220,454	171,269	78,934	61,670	220,454
54位	ブラジル	TFR	185,858	154,586	163,425	48,595	9,809	185,858
55位	カンボジア	TFR	171,162	162,395	163,177	44,784	1,220	171,162
56位	スロベニア	TCEN	149,863	163,996	159,767	20,189	21,048	163,996
57位	ドミニカ共和国	TFR	176,529	186,411	157,485	30,073	17,816	186,411
58位	オマーン	VFN	170,366	151,257	157,351	37,739	13,955	170,366
59位	ナイジェリア	VFN	156,536	156,894	157,123	16,543	17,072	157,123
60位	韓国	VFN	126,024	130,977	143,676	20,419	8,974	143,676
61位	モーリシャス	TFR	149,807	151,913	141,520	22,687	34,194	151,913
62位	カタール	VFN	120,495	106,873	133,418	35,077	19,000	133,418
63位	アルバニア	VFN	127,333	126,296	133,175	53,402	89,624	133,175
64位	ウクライナ	TFR	78,603	115,889	129,190	34,456	54,151	129,190
65位	モルディブ	TFN	103,975	114,598	126,183	52,712	62,750	126,183
66位	キューバ	VFR	205,562	189,963	123,745	21,091	3,417	205,562
67位	アルゼンチン	TFR	92,608	102,117	115,301	42,176	6,815	115,301
68位	ラトビア	TCER	95,357	108,271	107,950	25,377	23,016	108,271
69位	スロバキア	TCEN	79,797	83,734	88,997	19,471	7,899	88,997
70位	リトアニア	TCER	66,365	77,420	83,154	21,439	29,076	83,154
71位	モンテネグロ	TCEN	42,360	62,460	80,876	7,748	13,954	80,876
72位	セントルシア	TFR	72,580	76,142	80,260	27,778	32,640	80,260
73位	モザンビーク	VFR	31,728	60,156	79,437	39,882	24,186	79,437
74位	コスタリカ	TFN	76,173	74,338	78,562	24,623	18,048	78,562
75位	タンザニア	VFR	60,491	77,199	77,082	27,667	18,338	77,199
76位	台湾	VFR	64,858	71,030	76,904	11,879	2,964	76,904
77位	アンティグア・バーブーダ	TFR	70,701	70,607	76,840	31,845	48,328	76,840
78位	レバノン	TFN	68,360	75,309	74,177	16,979	28,362	75,309
79位	クウェート	VFN	78,843	74,074	72,859	15,972	7,725	78,843
80位	ペルー	TFR	69,506	74,124	71,322	11,682	2,782	74,124
81位	バーレーン	VFR		74,399	70,990		11,259	74,399
82位	エストニア	TCER	58,402	62,296	70,290	15,603	17,687	70,290
83位	ルクセンブルク	TCER	68,191	65,537	66,380	31,602	41,033	68,191
84位	ネパール	TFN	54,564	63,086	61,144	11,762	8,680	63,086
85位	チリ	TFN	54,716	57,988	59,311	17,170	1,694	59,311
86位	コロンビア	TFR	48,942	51,540	53,425	13,164	8,808	53,425
87位	ジンバブエ	VFR	73,552	72,029	46,740	11,955	25,044	73,552
88位	ヨルダン	TFN	30,547	37,378	44,319	9,672	12,508	44,319
89位	ガンビア	TFN	37,250	52,103	43,839	13,554	13,068	52,103
90位	エチオピア	TFR	50,394	42,725	43,295	10,539	9,379	50,394
91位	モナコ	THSN	38,722	36,299	42,581	9,847	11,049	42,581
92位	ジョージア	VFR	22,392	29,406	37,478	5,625	7,936	37,478
93位	パハマ	TFR	33,567	36,232	37,339	9,076	6,254	37,339
94位	アゼルバイジャン	VFR	31,666	29,399	36,850	7,051	9,412	36,850

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
95位	ミャンマー	TFN	47,717	36,609	33,857	9,317	300	47,717
96位	ウガンダ	TFR	33,564			5,481	3,982	33,564
97位	セルビア	TCEN	31,658	32,802	32,767	7,877	10,620	32,802
98位	トリニダード・トバゴ	TFN	31,845	31,721	32,084	8,949	2,487	32,084
99位	ラオス	VFN	27,723	26,801	31,976	11,589		31,976
100位	ボツワナ	TFR	26,508	30,893		3,173		30,893
101位	セーシェル	TFR	21,991	26,761	29,971	7,337	3,252	29,971
102位	エクアドル	VFN	25,623	28,235	28,502	6,740	3,312	28,502
103位	ナミビア	TFN	33,450	30,520	27,351	5,156	3,172	33,450
104位	ザンビア	TFR	43,487	34,789	27,019	8,502	7,226	43,487
105位	カザフスタン	VFR	21,341	21,482	23,155	4,012	6,208	23,155
106位	グレナダ	TFN	22,501	22,753	22,520	6,846	6,094	22,753
107位	マカオ	THSR	26,229	25,864	22,277	2,156	720	26,229
108位	バミューダ	TFR	22,997	20,955	21,641	5,955	7,274	22,997
109位	ボリビア	TFN	18,709	19,241	17,572	2,863	662	19,241
110位	フィジー	TFR	16,925	16,297	16,856	3,487	188	16,925
111位	ルワンダ	VFN	16,016	15,655	16,107	4,400	2,352	16,107
112位	パナマ	VFR	16,041	17,496	16,100	5,039	3,900	17,496
113位	ウズベキスタン	VFR	3,014	7,994	15,962	1,396	3,996	15,962
114位	カメルーン	THSN	29,152	26,138	15,375	2,304		29,152
115位	ベリーズ	TFN	13,444	15,002	15,356	3,648	2,248	15,356
116位	ウルグアイ	VFN	13,728	14,601	15,112			15,112
117位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	12,715	14,202	15,088	1,714	4,531	15,088
118位	ケイマン諸島	TFR	14,017	13,754	14,583	3,735	1,903	14,583
119位	ブルネイ	TFN	12,092	11,966	14,198	3,407	604	14,198
120位	セントビンセント・グレナディーン諸島	TFR	12,067	12,959	13,348	5,618	5,376	13,348
121位	サンマリノ	VFN	14,107	11,649	13,210	6,654	7,593	14,107
122位	アルメニア	TFR	7,114	10,873	12,515	1,224	3,736	12,515
123位	北マケドニア	TCEN	11,396	13,269	12,215	1,874	3,980	13,269
124位	セネガル	THSN	11,989					11,989
125位	エスワティニ	VFR	16,069	13,885	11,285	2,772	1,473	16,069
126位	アルバ	TFR	19,201	10,546	10,882	1,886	1,908	19,201
127位	アルジェリア	VFN	9,556	9,969	9,114	2,059	816	9,969
128位	シエラレオネ	TFR	2,154	2,101	8,921	2,924	3,881	8,921
129位	ガイアナ	TFR	6,935	7,630	8,453	2,401	3,068	8,453
130位	アンゴラ	TFR	10,966	7,744	8,404	2,523	2,029	10,966
131位	キルギス	VFR	6,362	7,357	8,038	1,046	1,861	8,038
132位	トーゴ	THSR	5,079	5,787	7,628	2,907		7,628
133位	プエルトリコ	THSR	5,236	3,222	6,730	5,931		6,730
134位	ニカラグア	TFN	17,389	8,455	6,182	2,536	1,608	17,389
135位	イラン	VFN	18,034	9,585	6,153	462	369	18,034
136位	パプアニューギニア	VFR	4,238	4,386	6,069	1,099	471	6,069
137位	モンゴル	TFN	5,996	5,905	5,931	302	182	5,996
138位	レソト	VFR	5,554	4,880	5,724		704	5,724
139位	マダガスカル	TFN	2,700	3,561	5,212	3,864	54	5,212
140位	ドミニカ国	TFR	4,825	3,713	5,155	1,488	1,142	5,155
141位	モルドバ	TCEN	4,554	4,255	4,927	733	2,370	4,927
142位	仏領ポリネシア (タヒチ)	TFR	3,768	4,382	4,424	1,117	516	4,424
143位	ブータン	TFN	3,246	3,585	4,241	485		4,241
144位	シリア	VFN	2,366	3,757	4,163	883	2,725	4,163
145位	アンギラ	TFR	3,303	2,775	4,077	988	999	4,077
146位	ホンジュラス	TFN	3,969	2,974	3,770	943	783	3,969
147位	リヒテンシュタイン	TCER	3,122	3,387	3,554	925	519	3,554
148位	ベネズエラ	TFN	3,525					3,525
149位	コンゴ共和国	VFR	2,434	3,186				3,186
150位	キュラソー	TFR	2,707	2,826	3,007	1,150	1,882	3,007
	バングラデシュ	TFN	3,432	3,676	2,405	32,505	32,452	32,505

統計の算出基準：V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数)  
 F (国境到着者数)、CE (登録観光宿泊施設到着者数)、HS (ホテル到着者数)  
 R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

- 注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。
- 注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。
- 注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。  
 但し、各国・地域で統計の算出基準が異なるため、順位は参考程度に過ぎない。
- 注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

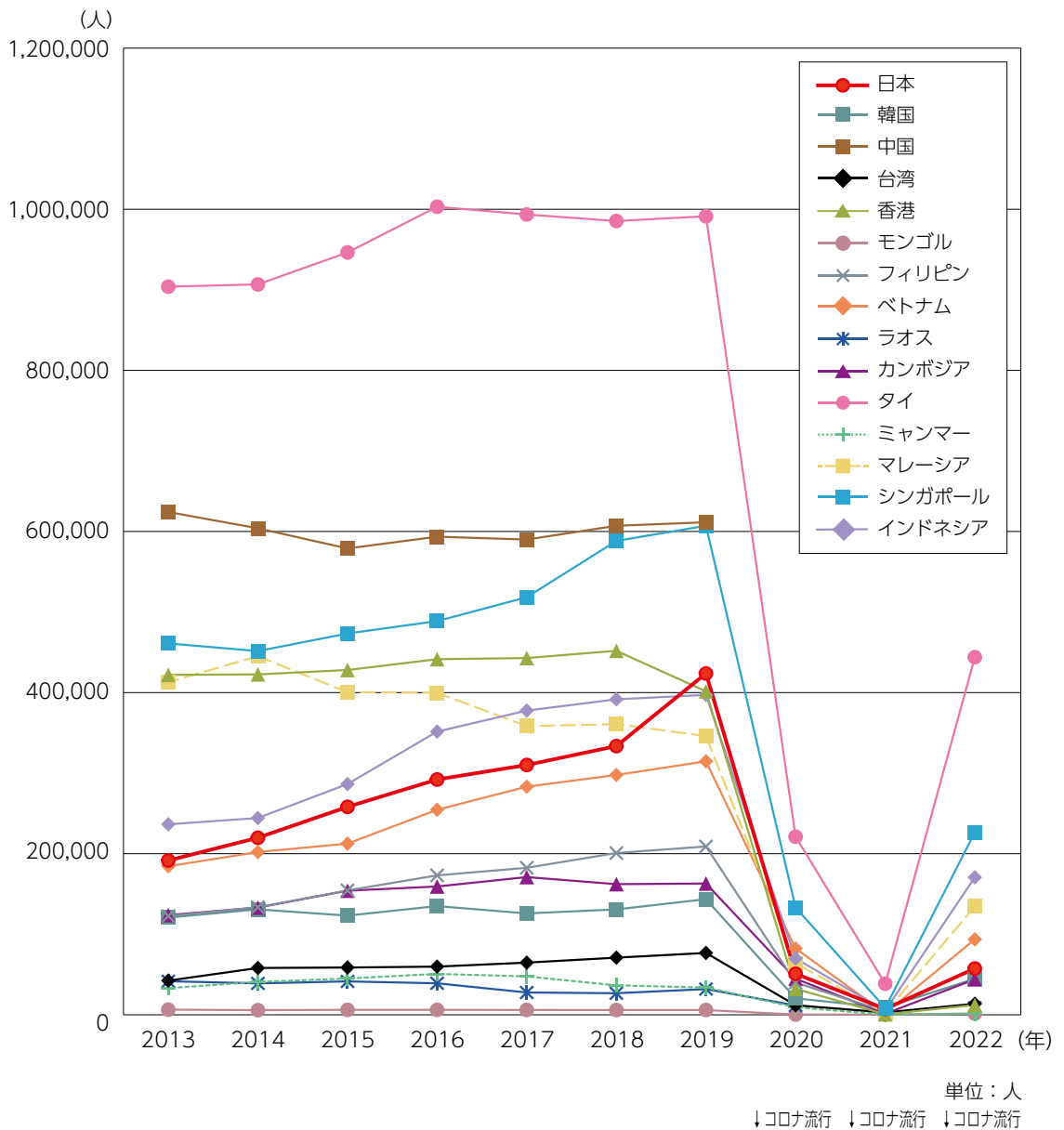


注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域への英国人訪問者数の推移（2013年～2022年）



訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	905,024	907,877	947,568	1,004,345	994,755	986,666	992,574	221,392	38,663	444,432
中国	VFN	624,955	604,700	579,637	594,287	590,714	607,846	612,213			
シンガポール	VFR	461,606	452,067	473,961	489,349	519,039	589,009	607,821	133,367	8,552	226,742
日本	VFN	191,798	220,060	258,488	292,458	310,499	333,979	424,279	51,024	7,294	57,496
香港	TFR	422,525	423,123	428,558	442,005	443,456	452,436	402,090	32,334	638	12,200
インドネシア	VFN	236,794	244,594	286,806	352,017	378,131	392,112	397,624	69,997	5,177	170,881
マレーシア	TFN	413,472	445,789	401,019	400,269	358,818	361,335	346,485	63,868	2,676	134,667
ベトナム	VFR	184,663	202,256	212,798	254,841	283,537	298,114	315,084	82,375	1,792	93,794
フィリピン	TFR	122,759	133,665	154,589	173,299	182,708	201,044	209,206	39,980	4,348	
カンボジア	TFR	123,919	133,306	154,265	159,489	171,162	162,395	163,177	44,784	1,220	44,123
韓国	VFN	120,874	131,080	123,274	135,139	126,024	130,977	143,676	20,419	8,974	44,806
台湾	VFR	42,438	58,201	58,784	59,867	64,858	71,030	76,904	11,879	2,964	13,723
ミャンマー	TFN	33,203	40,921	45,120	50,807	47,717	36,609	33,857	9,317	300	1,575
ラオス	VFN	41,741	39,061	41,508	39,170	27,723	26,801	31,976	11,589		8,664
モンゴル	TFN	6,391	5,758	6,148	6,161	5,996	5,905	5,931	302	182	1,578

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

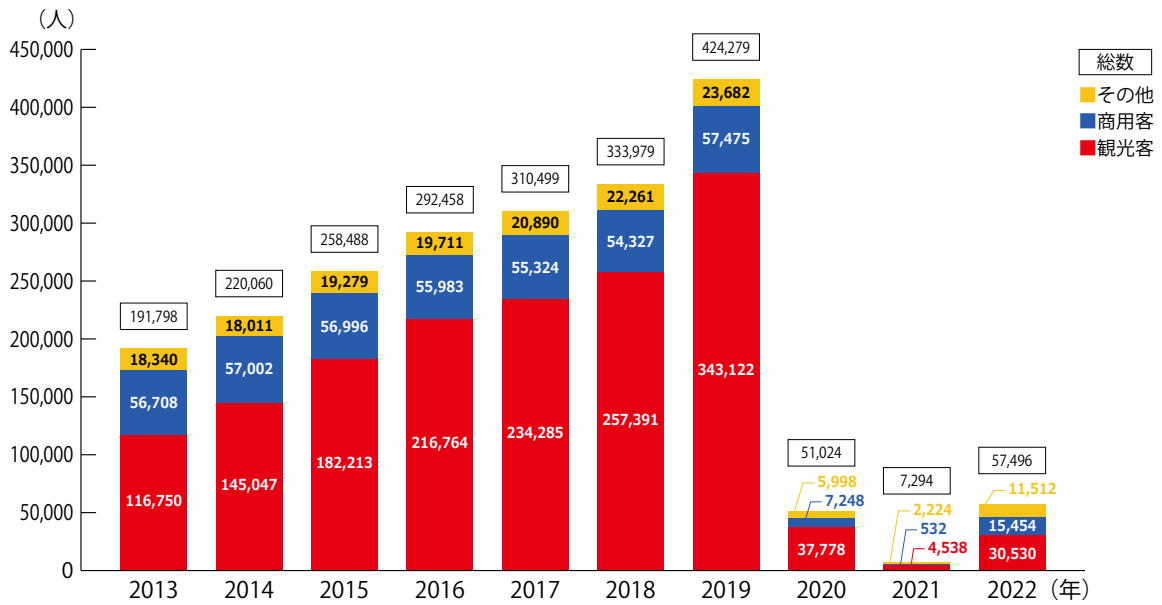
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

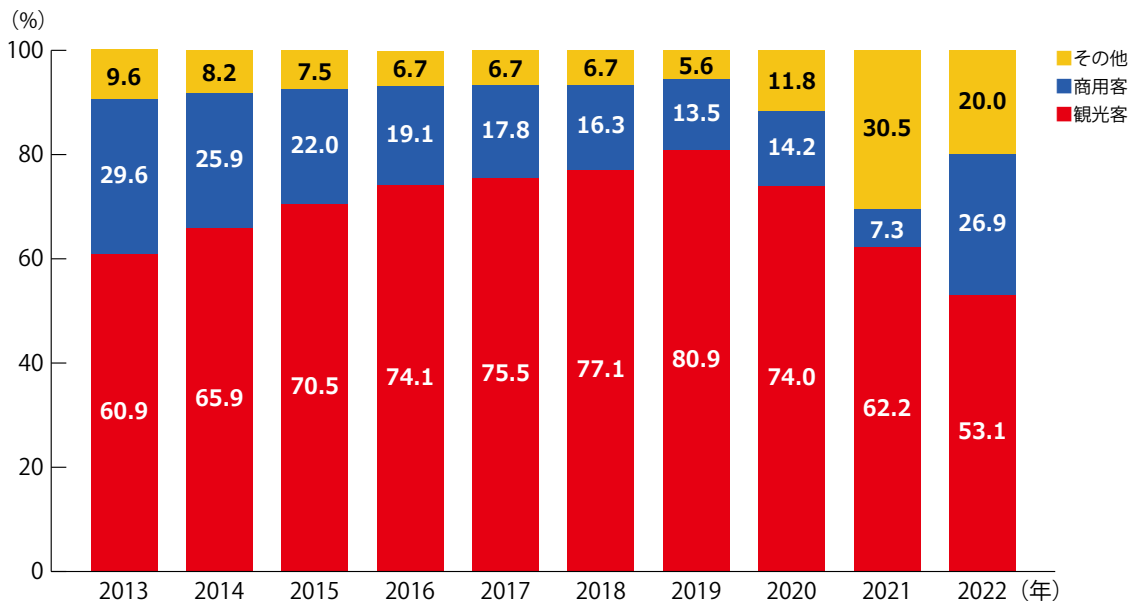
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日英国人の推移（2013年～2022年）



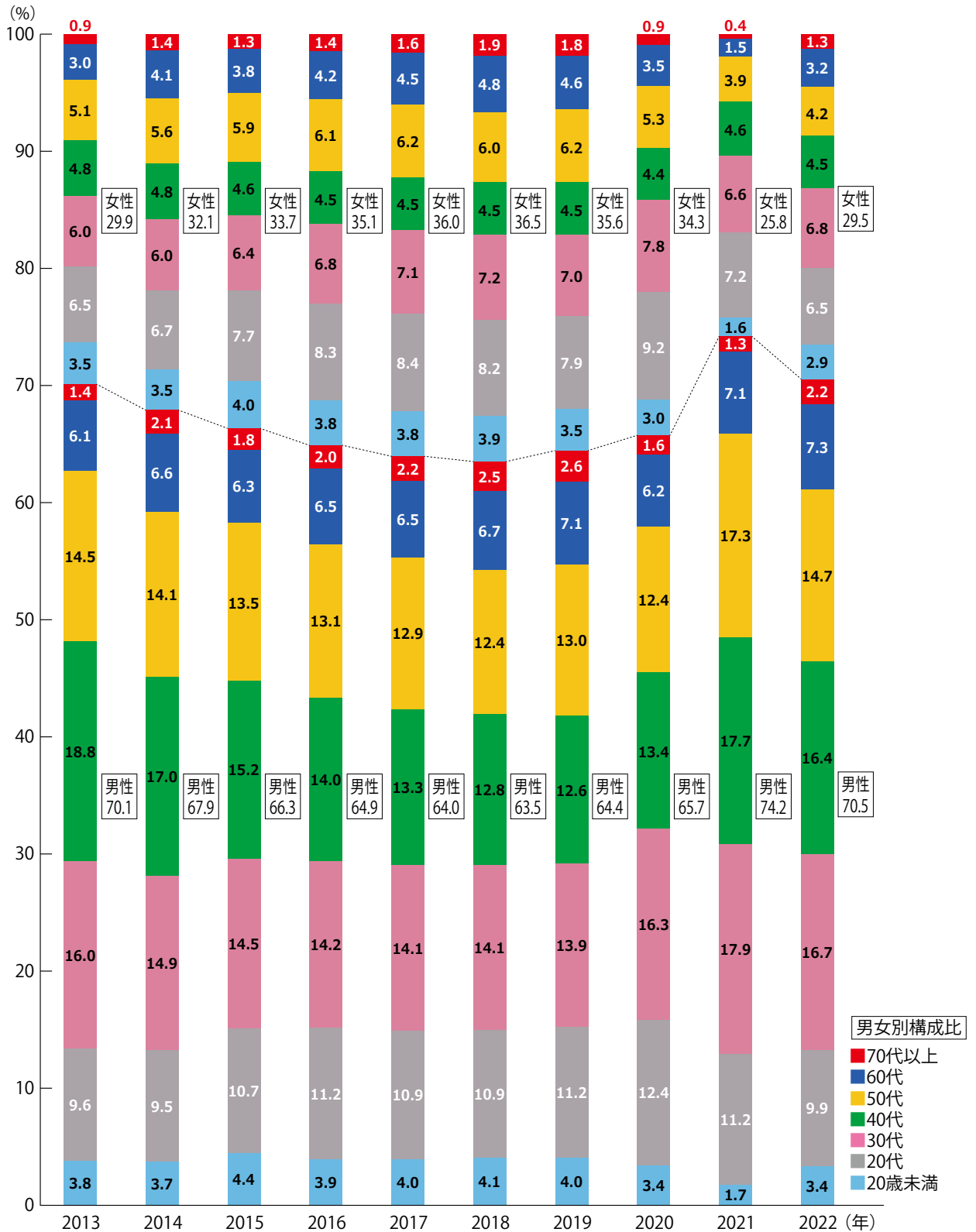
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日英国人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

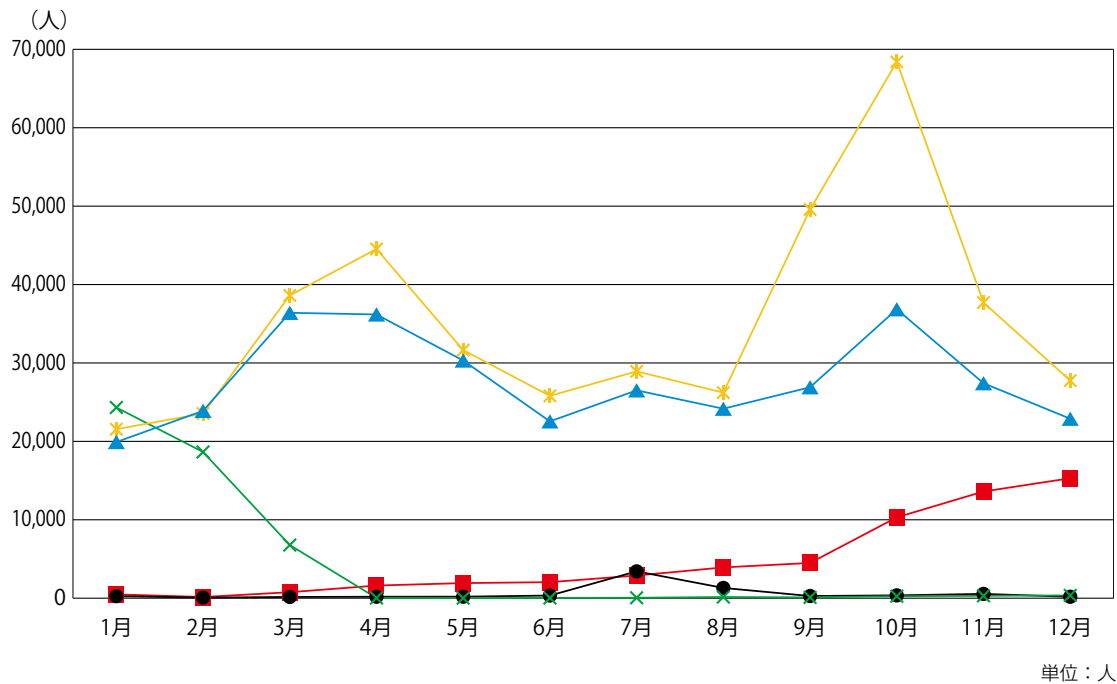
(3) 訪日英国人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

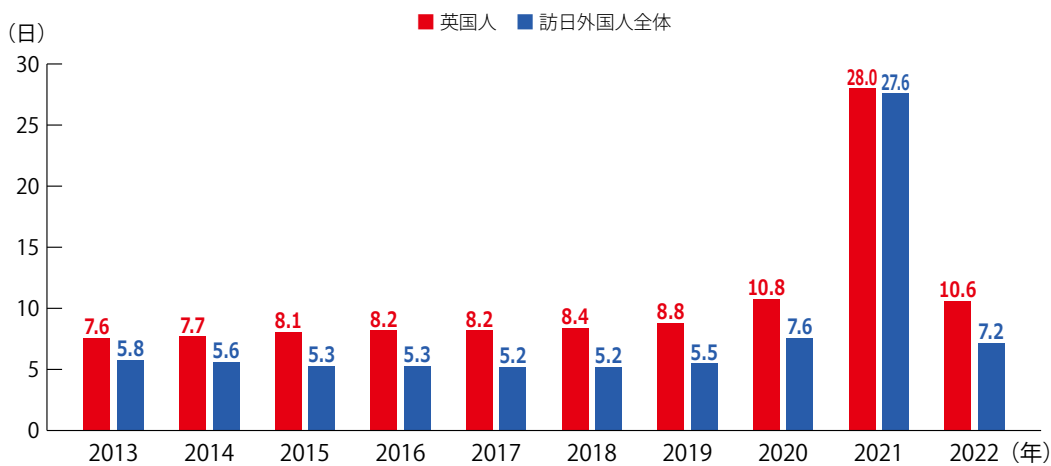
#### (4) 月別訪日英国人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	485	148	763	1,610	1,926	2,044	2,889	3,924	4,494	10,309	13,607	15,297
● 2021年	256	73	157	185	193	338	3,420	1,307	277	360	546	182
✕ 2020年	24,320	18,645	6,778	29	6	30	55	150	101	253	304	353
✱ 2019年	21,554	23,554	38,610	44,537	31,642	25,801	28,928	26,213	49,580	68,401	37,709	27,750
▲ 2018年	19,913	23,892	36,398	36,185	30,310	22,550	26,508	24,164	26,904	36,850	27,417	22,888

出典：日本政府観光局（JNTO）

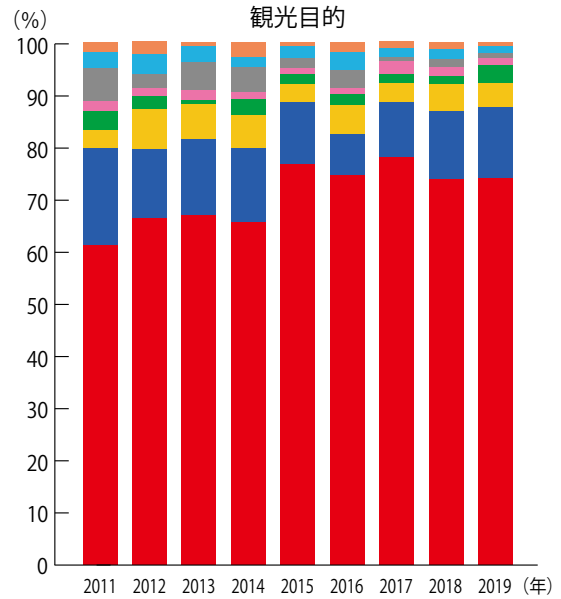
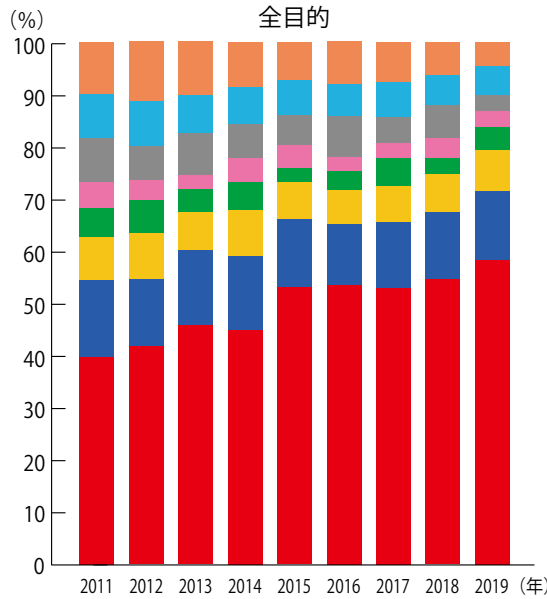
#### (5) 訪日英国人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(6) 訪日英国人の訪日回数 (2011年～2019年)

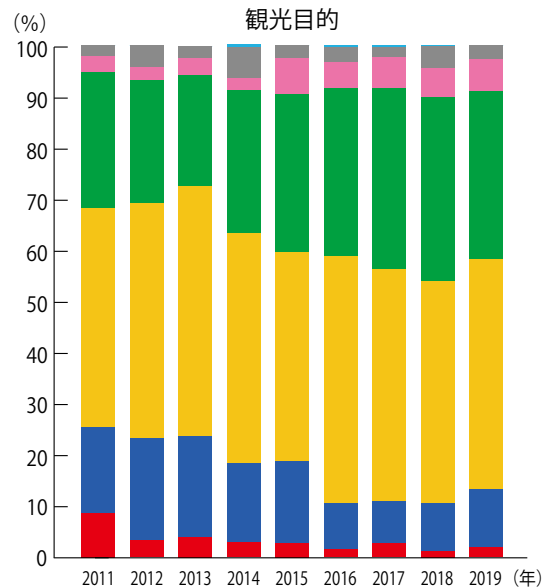
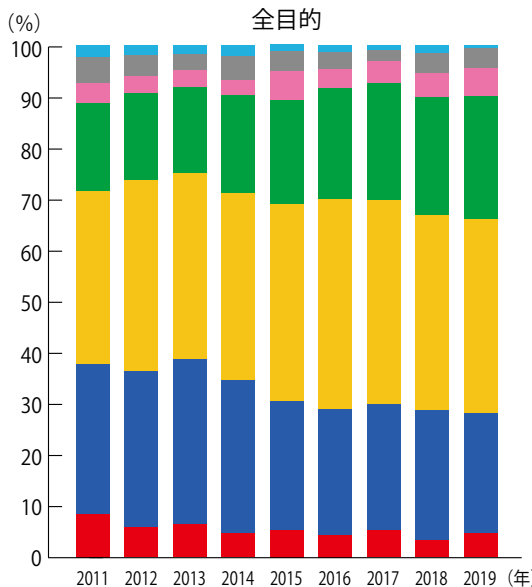


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	10.1	11.3	10.3	8.8	7.2	8.2	7.6	6.3	4.7
10～19回目	8.3	8.7	7.2	6.9	6.7	6.2	6.7	5.6	5.5
6～9回目	8.6	6.5	8.2	6.5	5.8	7.8	5.0	6.5	3.0
5回目	4.8	3.8	2.6	4.7	4.3	2.6	3.0	3.7	3.2
4回目	5.5	6.3	4.5	5.3	2.8	3.6	5.2	3.2	4.3
3回目	8.4	8.7	7.1	8.9	7.0	6.5	6.9	7.1	7.9
2回目	14.6	13.0	14.5	14.0	13.1	11.8	12.6	13.0	13.2
1回目	39.7	41.7	45.7	44.9	53.0	53.4	52.9	54.5	58.2

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	1.9	2.5	0.7	2.9	0.8	1.9	1.4	1.3	0.6
10～19回目	3.2	3.9	3.1	1.9	2.3	3.4	1.6	2.0	1.5
6～9回目	6.2	2.5	5.4	4.7	1.9	3.4	0.7	1.5	0.9
5回目	1.9	1.5	1.8	1.5	1.1	1.2	2.6	1.8	1.3
4回目	3.7	2.6	0.9	3.0	2.0	2.1	1.7	1.6	3.4
3回目	3.4	7.6	6.6	6.3	3.5	5.6	3.7	5.0	4.7
2回目	18.6	13.1	14.5	14.1	11.7	7.7	10.4	13.1	13.6
1回目	61.1	66.4	66.9	65.6	76.7	74.6	78.0	73.7	73.9

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日英国人の滞在期間 (2011年～2019年)

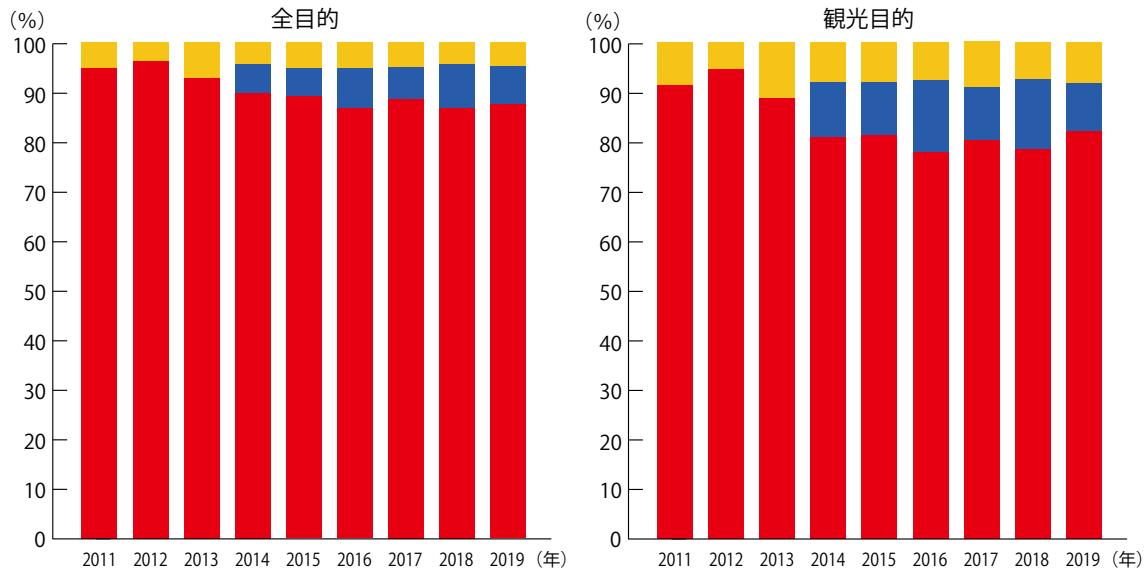


	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	2.3	1.9	1.8	2.1	1.4	1.4	0.9	1.6	0.7
28～90日間	5.2	4.2	3.2	4.6	3.8	3.3	2.2	3.9	3.8
21～27日間	3.8	3.3	3.2	3.0	5.6	3.7	4.2	4.7	5.5
14～20日間	17.3	16.9	16.8	19.1	20.4	21.8	22.9	23.1	24.1
7～13日間	33.8	37.3	36.3	36.5	38.5	40.9	39.7	38.0	37.7
4～6日間	29.2	30.6	32.3	30.0	25.1	24.6	24.8	25.4	23.6
3日間以内	8.4	5.8	6.4	4.6	5.3	4.3	5.2	3.3	4.6

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.0	0.0	0.0	0.4	0.0	0.3	0.3	0.2	0.0
28～90日間	2.1	4.3	2.4	6.2	2.6	3.1	2.0	4.2	2.6
21～27日間	3.2	2.5	3.3	2.3	7.0	5.0	6.0	5.7	6.2
14～20日間	26.6	24.0	21.7	27.8	30.9	32.8	35.4	35.9	33.0
7～13日間	42.8	46.0	48.8	45.1	40.7	48.3	45.2	43.4	44.8
4～6日間	16.7	19.9	19.6	15.4	16.0	9.0	8.3	9.3	11.4
3日間以内	8.6	3.3	4.0	2.9	2.8	1.5	2.7	1.2	1.9

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日英国人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	5.2	3.8	7.2	4.5	5.2	5.2	5.2	4.6	4.8
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.8	5.8	8.2	6.3	8.7	7.8
■ 個別手配	94.8	96.2	92.8	89.7	89.0	86.6	88.5	86.7	87.4

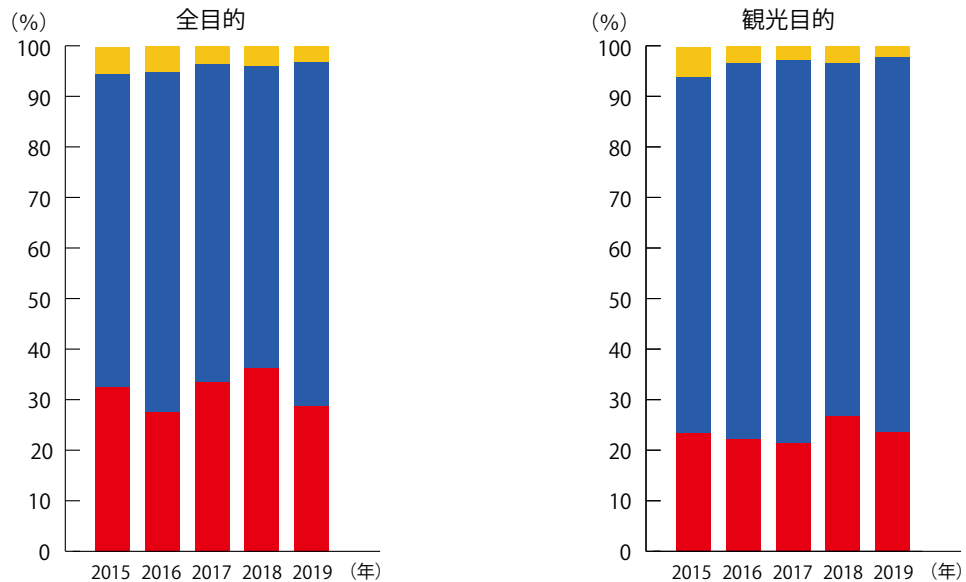
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	8.7	5.4	11.3	8.1	8.2	7.6	9.2	7.5	8.2
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	11.1	10.5	14.5	10.6	14.1	9.8
■ 個別手配	91.3	94.6	88.7	80.8	81.3	77.9	80.3	78.4	82.0

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日英国人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	5.4	5.1	3.6	4.1	3.2
■ ウェブサイトから申し込んだ	61.9	67.3	62.8	59.7	68.1
■ 店頭で申し込んだ	32.6	27.6	33.6	36.3	28.7

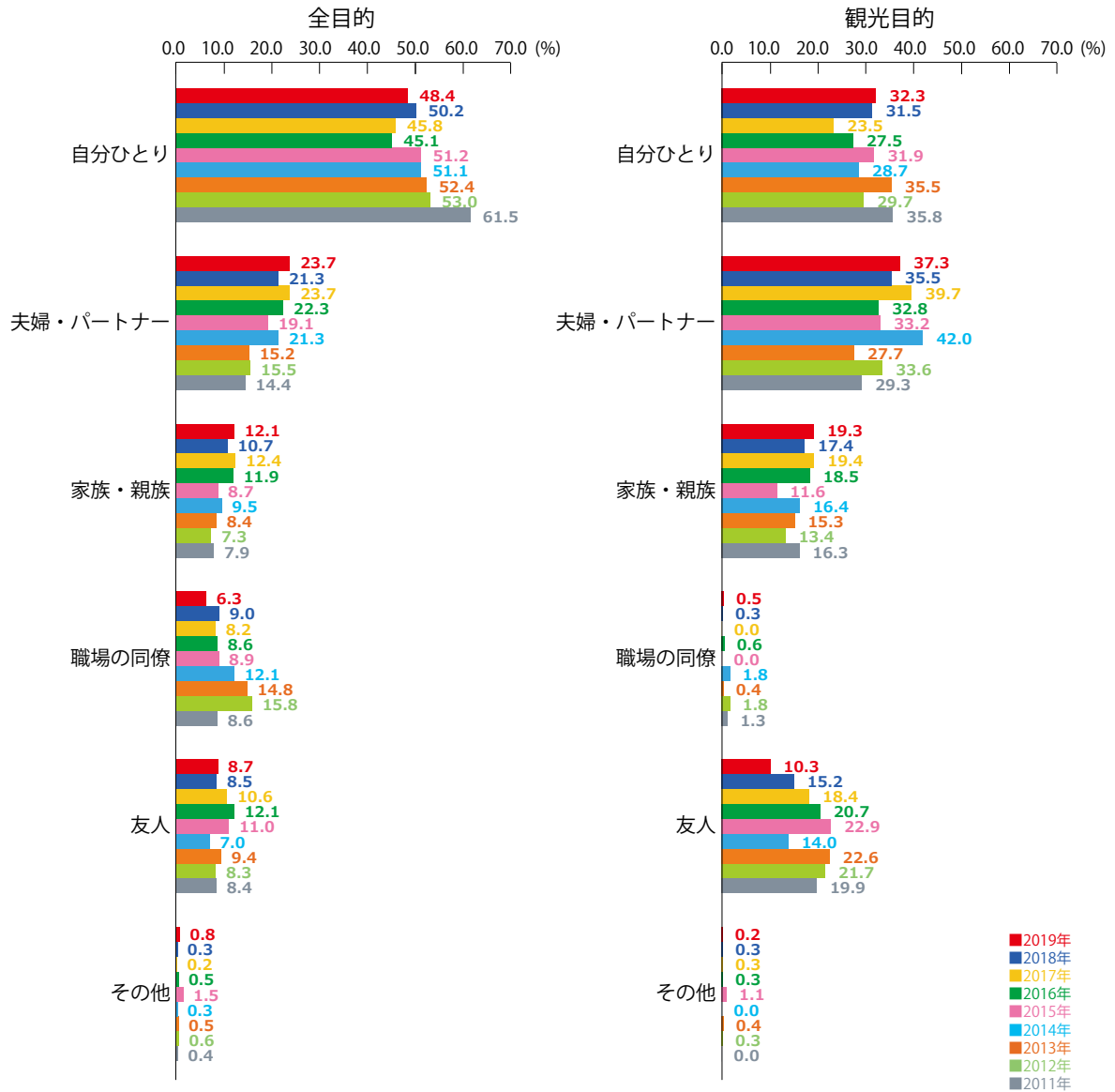
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	6.0	3.4	2.8	3.3	2.3
■ ウェブサイトから申し込んだ	70.5	74.4	75.7	69.8	74.1
■ 店頭で申し込んだ	23.4	22.2	21.5	26.9	23.7

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日英国人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(11) 訪日英国人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	77.5 75.9 66.5 76.5 73.7	98.5 99.0 98.2 98.1 98.5	70.4 69.5 61.6 62.6 62.5
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	44.9 42.3 35.0 43.1 39.3	73.8 77.1 75.6 72.8 73.6	42.9 40.1 36.6 42.3 33.6
旅館に宿泊	22.2 17.9 18.4 24.4 17.4	25.9 27.1 25.2 30.3 25.9	40.1 37.7 30.1 33.1 30.6
温泉入浴	26.5 22.7 19.3 27.3 20.1	24.9 29.1 26.0 31.6 23.4	46.4 42.5 36.2 41.6 38.4
自然・景勝地観光	47.6 45.2 41.1 49.9 42.0	65.8 65.3 59.8 66.6 61.4	56.9 59.1 48.7 49.0 47.4
繁華街の街歩き	37.9 32.1 29.4 39.8 31.8	72.4 70.1 69.8 73.6 70.8	25.0 20.3 28.7 30.2 25.2
ショッピング	34.1 30.7 27.9 37.5 32.0	64.2 64.0 60.6 65.5 66.1	34.2 30.6 29.2 29.4 28.2
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	33.8 29.7 23.8 29.5 26.4	52.1 51.6 44.0 44.2 41.7	34.4 36.4 30.8 33.7 30.5
テーマパーク	4.9 7.1 8.3 6.9 6.8	8.4 10.0 11.2 11.5 11.4	13.8 13.1 13.1 16.3 13.1
スキー・スノーボード	5.0 6.2 6.1 5.3 3.8	2.7 5.6 4.4 5.0 3.0	16.5 15.9 17.5 16.4 16.3
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.6 2.3 2.7 2.5 2.2	2.2 3.6 3.9 3.3 4.6	2.9 4.4 9.4 11.1 7.9
舞台・音楽鑑賞	7.3 6.8 8.5 10.0 10.4	8.6 8.7 10.5 10.8 10.9	16.9 15.7 21.3 27.8 23.2
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	25.0 7.2 5.3 7.9 8.6	24.1 6.7 6.2 7.1 8.1	24.2 21.2 21.8 25.2 19.1
自然体験ツアー・農漁村体験	9.6 9.3 7.7 7.2 8.1	9.7 13.1 9.3 10.3 8.2	28.2 27.3 18.8 24.1 18.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	19.5 14.3 19.7 15.5 14.6	21.6 16.3 25.4 17.7 17.2	47.5 42.9 33.2 39.3 31.1
映画・アニメ縁の地を訪問	5.1 6.3 6.1 6.5 6.6	9.2 7.7 6.6 9.0 8.8	12.9 11.6 11.2 12.8 10.2
日本の歴史・伝統文化体験	48.8 42.2 39.7 41.0 39.4	62.5 60.5 57.0 59.3 57.1	53.1 54.5 47.3 43.7 39.4
日本の日常生活体験	32.2 30.1 29.4 31.9 33.4	47.0 53.6 57.0 54.1 55.6	45.5 40.5 31.5 33.7 30.4
日本のポップカルチャーを楽しむ	14.0 11.5 10.1 14.8 13.8	21.9 20.5 23.7 26.3 24.5	19.9 15.5 16.1 17.9 13.9
治療・健診	0.5 0.1 1.0 0.4 0.2	1.0 1.3 2.1 2.1 1.8	0.4 0.9 2.0 3.1 1.5
上記には当てはまるものがない	3.6 5.5 10.1 10.6 9.4	0.0 0.1 0.3 0.2 0.7	1.0 0.8 2.7 1.4 1.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	82.4 78.5 72.9 81.5 76.4	98.5 98.9 98.9 98.2 97.6	75.9 68.9 61.1 63.9 55.0
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	45.0 46.3 41.3 48.1 41.8	66.6 74.8 74.5 73.7 72.9	45.9 42.1 34.0 45.2 31.8
旅館に宿泊	33.7 27.0 31.8 35.0 24.5	38.4 38.2 42.1 43.7 37.7	51.8 44.7 36.9 41.1 37.6
温泉入浴	31.3 30.5 29.3 35.6 24.9	36.8 39.0 39.9 41.5 33.0	49.5 46.5 39.8 48.9 41.0
自然・景勝地観光	64.4 64.8 57.7 67.7 61.7	84.9 84.8 83.9 85.8 86.2	65.0 59.8 49.2 54.2 51.1
繁華街の街歩き	48.9 42.5 40.8 48.4 45.2	80.7 80.4 78.4 83.0 86.6	31.5 26.0 28.6 32.8 26.1
ショッピング	46.5 39.3 37.4 45.4 39.9	75.4 71.7 70.8 75.0 61.2	39.2 32.2 30.3 32.8 29.6
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	49.0 42.9 32.0 41.7 36.2	70.7 69.9 59.3 60.2 61.4	43.4 40.3 30.6 40.6 30.3
テーマパーク	7.7 9.8 12.9 7.9 9.3	13.2 12.8 17.1 14.1 15.9	12.6 16.9 17.9 20.9 14.6
スキー・スノーボード	5.3 8.2 8.2 7.1 5.6	4.3 7.1 6.3 6.9 5.1	17.2 16.1 20.1 22.4 18.3
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.7 2.4 1.6 1.5 1.6	2.1 3.3 2.9 1.8 2.8	3.1 3.4 6.5 13.2 7.7
舞台・音楽鑑賞	8.1 8.0 14.3 12.7 12.3	10.7 10.7 15.8 15.0 18.9	20.5 17.5 25.6 34.9 26.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	20.6 10.9 7.3 9.9 9.9	18.8 9.3 8.1 8.7 9.9	18.2 23.4 25.6 32.8 23.2
自然体験ツアー・農漁村体験	12.2 13.1 11.8 9.7 9.7	14.8 18.8 14.1 15.0 12.1	35.6 30.9 18.9 28.5 18.0
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	27.4 19.0 30.7 19.3 20.9	32.9 22.8 38.1 20.3 25.1	56.5 47.0 41.6 46.2 38.6
映画・アニメ縁の地を訪問	8.8 10.0 10.0 10.7 10.9	11.1 13.0 9.9 12.9 14.6	20.2 15.7 12.7 19.0 12.6
日本の歴史・伝統文化体験	63.1 55.8 57.3 55.1 56.0	79.0 78.0 79.5 75.6 83.0	62.2 55.8 50.4 47.2 41.1
日本の日常生活体験	39.6 39.1 34.2 41.7 41.5	57.2 61.0 62.3 64.2 68.0	53.6 43.3 34.4 40.3 35.0
日本のポップカルチャーを楽しむ	22.3 18.6 14.8 21.5 20.9	32.7 30.2 31.7 38.3 39.6	21.4 20.4 19.4 24.4 17.7
治療・健診	0.6 0.3 0.7 0.7 0.3	0.3 0.9 1.9 2.2 1.2	0.3 1.2 2.0 4.3 1.8
上記には当てはまるものがない	0.6 1.2 2.5 3.7 3.4	0.0 0.0 0.0 0.0 0.5	0.6 0.9 0.9 0.7 1.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) 英国人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	16.1 13.6 12.4 12.8 16.1	18.1 19.1 20.0 18.1 22.7
旅行会社ホームページ	11.1 12.5 13.3 15.1 14.5	12.7 18.2 20.4 21.8 22.8
宿泊施設ホームページ	27.0 24.6 21.2 27.1 27.1	25.4 26.4 24.5 35.8 38.3
航空会社ホームページ	18.7 18.1 13.6 13.9 18.8	20.2 17.3 12.2 14.2 21.1
地方観光協会ホームページ	7.6 8.4 9.2 10.3 10.7	9.2 11.0 15.6 13.8 13.4
宿泊予約サイト	11.3 9.5 8.9 8.8 6.5	11.8 10.0 7.6 12.7 9.5
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	39.5 33.5 30.5 33.5 31.3	47.2 42.3 43.6 46.2 47.4
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	18.0 9.1 9.2 7.4 6.0	23.8 12.1 13.3 10.6 6.8
個人のブログ	18.2 13.3 16.0 17.4 15.8	27.7 19.2 24.2 25.4 24.7
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	19.3 18.9 12.9 14.2 7.2	31.8 27.4 18.9 21.2 10.3
その他インターネット	8.2 8.0 12.0 12.5 11.9	6.3 8.7 15.3 13.0 11.9
日本政府観光局の案内所	3.0 2.3 2.7 3.0 4.0	3.5 3.5 3.0 4.3 6.4
旅行会社パンフレット	6.9 4.5 5.2 5.5 5.5	11.7 8.3 7.7 9.2 11.4
旅行ガイドブック	19.7 24.1 21.3 27.5 25.3	29.8 36.1 32.6 39.0 39.3
自国の親族・知人	25.6 24.4 22.4 23.4 23.7	31.6 33.0 28.7 28.3 28.9
日本在住の親族・知人	26.4 30.9 33.4 30.3 36.4	19.9 23.3 24.8 24.0 24.0
旅行の展示会や見本市	0.2 1.5 0.8 0.6 1.4	0.0 1.4 0.4 0.7 2.1
テレビ番組	7.0 7.3 11.6 11.2 7.1	9.9 11.3 19.4 16.8 10.7
新聞	1.7 1.6 2.5 1.9 4.0	3.2 2.4 4.5 2.9 5.4
旅行専門誌	7.4 6.4 7.7 8.9 6.9	10.7 8.2 10.4 11.7 9.8
その他雑誌	0.7 0.6 0.6 1.4 0.9	0.7 0.8 1.3 1.4 1.2
その他	1.6 1.2 4.3 4.9 4.0	1.2 0.6 1.4 2.9 3.7
特になし	10.8 10.3 12.0 8.9 10.3	1.7 2.2 1.2 1.4 3.7

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(13) 英国人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	30.3 32.1	37.2 38.8
交通手段	68.9 55.4	78.9 57.7
飲食店	45.2 35.9	47.8 35.1
観光施設	29.8 32.8	41.6 47.1
イベント	9.6 6.3	8.9 8.3
土産物	7.6 5.8	10.7 8.0
買物場所	12.7 11.9	16.1 13.8
無料Wi-Fi	47.3 47.2	55.2 54.1
祈祷室	0.3 0.6	0.3 0.8
ATM	22.8 19.2	24.4 22.1
宅配便	4.4 4.3	7.7 6.2
日本文化体験プログラム	10.7 6.6	11.4 7.0
自然体験ツアー・農山漁村体験	7.1 6.1	8.0 6.2
通訳案内士・観光ガイド	8.4 9.4	10.1 13.1
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	3.4 4.0	6.2 6.3
クレジットカード利用可能店舗	9.7 9.0	12.5 10.5
その他	3.9 0.7	6.3 0.3
特になし	7.1 11.1	1.7 4.7

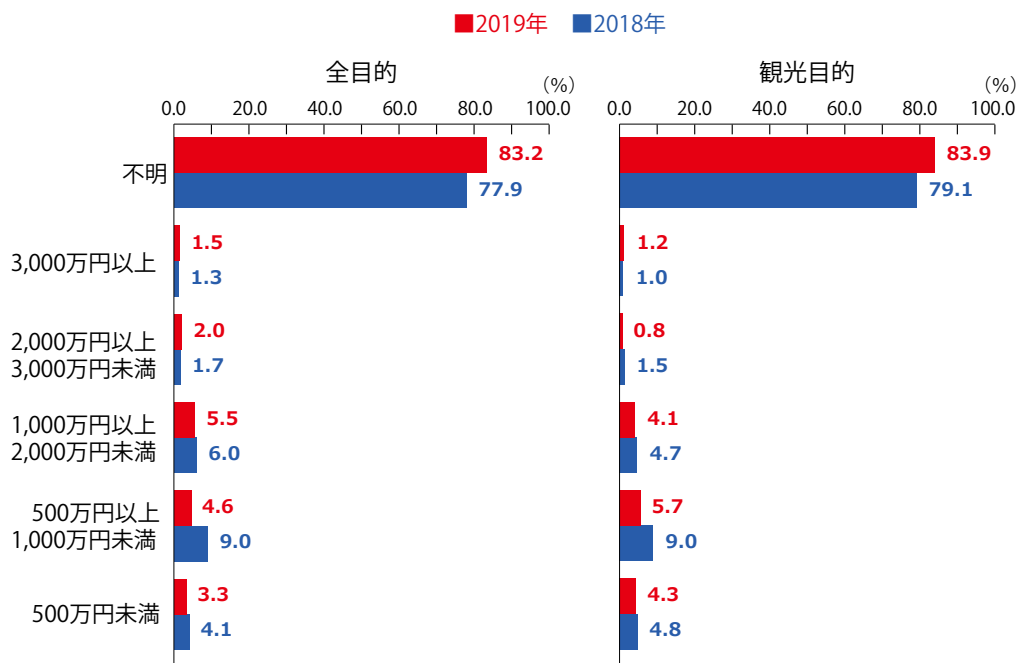
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

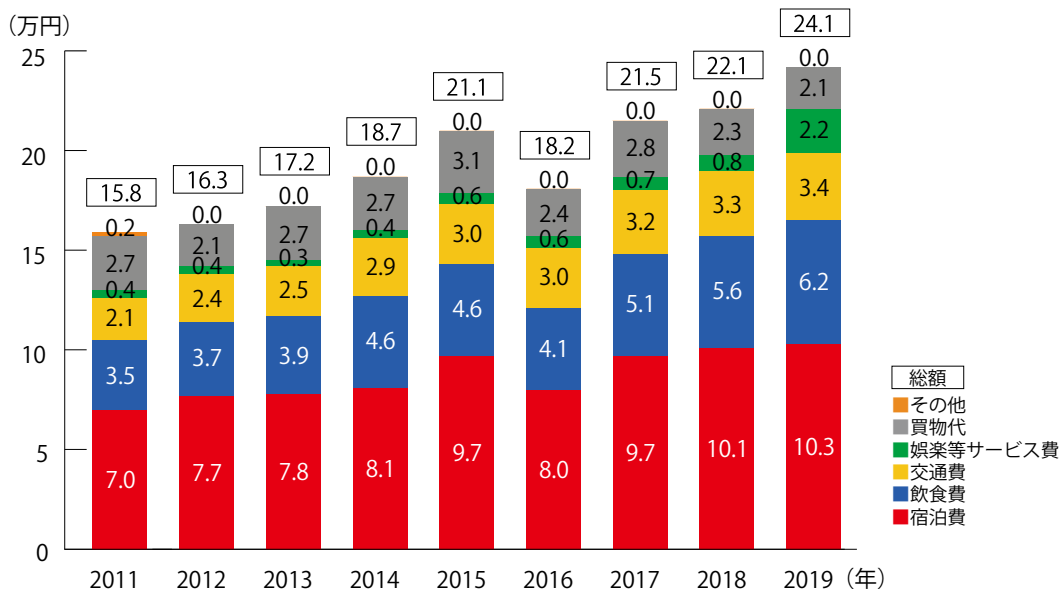
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日英国人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日英国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往復した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日英国人の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2019年)

		全目的		観光目的		
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体		829	241,264	371	252,060	
滞在日数	3日間以内	39	126,492	8	129,641	
	4～6日間	196	156,565	43	159,142	
	7～13日間	313	222,936	165	224,679	
	14～20日間	196	310,540	123	299,463	
	21～27日間	43	391,516	22	339,141	
	28～90日間	34	356,209	10	410,133	
	91日間以上1年未満	8	620,060	0	-	
性・年代	男性	593	236,679	241	248,000	
		15～19歳	8	83,137	4	123,302
		20～29歳	123	226,816	72	218,847
		30～39歳	173	227,702	74	234,125
		40～49歳	126	196,238	33	236,479
		50～59歳	110	258,951	34	250,842
		60～69歳	39	337,534	13	379,170
		70歳以上	14	434,531	11	476,866
	女性	236	252,658	130	259,409	
		15～19歳	7	147,035	3	125,885
		20～29歳	56	213,472	31	201,323
		30～39歳	65	227,837	35	238,736
		40～49歳	42	321,250	21	378,476
		50～59歳	40	224,675	25	230,331
	60～69歳	21	340,869	11	290,329	
	70歳以上	5	404,477	4	448,101	
日本への 来訪回数	1回目	469	265,034	271	254,486	
	2回目	111	231,435	52	248,047	
	3回目	67	211,116	18	206,404	
	4回目	39	195,124	13	196,317	
	5回目	27	224,835	5	403,016	
	6～9回目	26	159,639	4	184,100	
	10～19回目	49	167,628	6	243,620	
	20回目以上	41	216,449	2	510,926	

注1:「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分(宿泊費・交通費等)が含まれている。  
 注2:「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃(居住国と日本の間を往来した際の交通費)が含まれていない。

注3:クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4:2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5:新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典:観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

(17) 項目別訪日英国人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	39	621,947	30	598,223	
	個人旅行向けパッケージ商品	61	517,933	36	419,727	
	往復航空（船舶）運賃	729	161,717	305	121,164	
日本滞在中の支出	宿泊料金	664	101,966	298	97,036	
	飲食費	774	53,628	352	53,493	
	交通費	752	29,039	335	32,904	
	航空（日本国内移動のみ）	25	20,304	12	18,313	
	Japan Rail Pass	190	38,059	124	38,411	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	601	13,537	279	15,322	
	バス	209	3,559	111	3,397	
	タクシー	332	9,821	121	6,213	
	レンタカー	25	62,454	14	35,681	
	船舶（日本国内移動のみ）	13	4,381	10	4,543	
	その他交通費	3	7,671	1	1,000	
	娯楽等サービス費	460	31,400	268	19,383	
	現地ツアー・観光ガイド	51	20,063	35	25,308	
	ゴルフ場	1	2,000	0	-	
	テーマパーク	61	10,447	38	10,539	
	舞台・音楽鑑賞	19	6,674	13	6,675	
	スポーツ観戦	123	74,141	35	62,007	
	美術館・博物館・動物園・水族館	287	5,185	193	4,591	
	スキー場リフト	12	29,811	11	26,810	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	54	3,596	32	3,179	
	マッサージ・医療費	7	6,317	2	2,507	
	展示会・コンベンション参加費	2	3,674	0	-	
	レンタル料（レンタカーを除く）	9	10,538	8	10,993	
	その他娯楽等サービス費	16	20,290	8	19,848	
	買物代	719	23,622	352	24,687	
	菓子類	341	4,695	182	4,581	
	酒類	261	12,581	127	8,521	
	生鮮農産物	35	4,263	24	4,925	
	その他食料品・飲料・たばこ	217	8,652	119	7,963	
	化粧品・香水	61	13,293	35	15,661	
	医薬品	18	7,072	12	4,507	
	健康グッズ・トイレタリー	38	5,866	23	4,931	
	衣類	257	13,620	147	14,527	
	靴・かばん・革製品	61	14,599	38	16,459	
	電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	38	17,164	20	15,928	
	時計・フィルムカメラ	8	29,419	2	687	
宝石・貴金属	19	11,076	11	8,196		
民芸品・伝統工芸品	212	7,779	130	7,556		
本・雑誌・ガイドブックなど	40	5,399	24	5,914		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	29	10,864	19	9,482		
その他買物代	79	17,023	38	13,247		
その他	2	23,807	1	922		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(18) 訪日英国人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	48.0 47.7 48.4 50.0 51.4	53.2 57.7 58.8 61.2 64.0
家電量販店	11.5 15.7 16.5 15.8 18.8	12.8 19.8 19.0 19.5 24.8
ファッション専門店	19.9 17.3 16.9 17.8 18.7	20.4 22.3 21.9 22.9 21.4
100円ショップ	19.5 19.0 21.4 23.8 19.3	23.4 24.8 26.2 29.2 22.1
高速道路のSA・道の駅	2.2 2.4 3.4 2.8 2.9	2.4 3.1 4.4 3.4 4.9
観光地の土産店	35.4 34.2 33.0 39.4 38.4	49.7 47.9 46.3 51.7 52.2
宿泊施設	5.2 4.7 8.0 7.3 9.1	5.3 6.1 11.9 9.9 14.7
スーパーマーケット	43.8 41.9 43.6 45.6 45.0	49.1 50.7 54.3 52.3 55.2
コンビニエンスストア	63.4 53.9 51.7 55.9 48.6	70.9 64.1 63.4 68.2 60.7
ドラッグストア	17.9 17.4 18.2 16.3 16.1	19.1 22.4 21.3 19.5 19.5
ディスカウントストア	7.7 6.0 5.6 7.1 5.0	11.4 7.4 8.2 9.9 5.6
アウトレットモール	7.8 7.0 9.5 7.8 9.5	7.9 9.5 14.5 10.3 12.9
都心の複合商業施設	8.8 7.4 6.1 8.2 7.8	9.8 10.6 6.4 12.1 11.3
その他ショッピングセンター	8.6 7.0 8.6 10.5 8.5	10.1 8.6 10.6 14.3 10.4
鉄道駅構内の店舗	9.8 10.2 15.3 16.6 13.3	14.4 13.4 21.6 22.5 19.2
空港の免税店	34.2 32.7 36.2 37.1 33.8	37.3 33.6 38.5 37.1 31.9
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.3 0.5	0.8 1.1
その他	4.4 3.4 2.5 2.2 3.5	5.8 4.5 3.5 2.8 4.8
買い物はしなかった	9.4 11.5 14.9 11.8 12.3	5.3 5.6 6.4 6.2 3.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (19) 訪日英国人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	13.1 14.7
消費税免税の手続きをしていない	86.9 85.3

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	0.9 1.6
酒類	1.5 1.3
生鮮農産物	0.0 0.0
その他食料品・飲料・たばこ	0.3 0.5
化粧品・香水	1.0 2.1
医薬品	0.2 0.0
健康グッズ・トイレタリー	0.5 0.0
衣類	6.3 4.4
靴・かばん・革製品	1.7 2.0
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	1.2 2.0
時計・フィルムカメラ	0.5 0.5
宝石・貴金属	0.1 0.8
民芸品・伝統工芸品	2.6 2.0
本・雑誌・ガイドブックなど	0.1 0.6
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.4 0.6
その他買物代	1.0 1.9

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(20) 訪日英国人が利用した決済方法 (2018年～2019年)

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	90.2 90.7	97.6 96.8
クレジットカード	70.2 67.9	66.4 59.1
交通系ICカード (Suica等)	14.9 13.5	15.6 16.4
その他ICカード (Edy等)	0.3 0.5	0.4 0.8
デビットカード (銀聯, Visaデビット等)	7.3 5.2	7.7 7.0
モバイル決済 (Alipay, WeChat等)	0.1 0.2	0.2 0.2
仮想通貨 (BitCoin等)	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.2 0.1	0.3 0.2
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.6 0.4	0.3 0.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日英国人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	76.6	77.8	78.7	82.4	89.7	91.4	94.5	94.9	85.8
千葉県	2位	12.8	10.2	10.0	10.3	70.2	65.1	61.5	59.3	52.4
京都府	3位	21.4	19.7	21.9	25.1	32.0	34.4	32.3	30.3	34.1
大阪府	4位	14.0	11.3	14.0	15.3	18.9	19.0	18.4	18.3	32.8
神奈川県	5位	15.7	15.5	16.0	18.5	15.6	17.3	21.8	18.9	21.0
広島県	6位	9.2	6.6	8.1	11.3	12.1	16.1	15.2	10.8	14.3
奈良県	7位	3.4	3.6	3.3	3.4	4.8	4.2	4.4	4.2	6.7
兵庫県	8位	4.8	2.8	3.5	3.8	5.2	3.4	2.7	2.9	6.6
長野県	9位	4.7	4.9	5.5	5.7	8.6	3.4	7.2	6.6	5.4
北海道	10位	1.9	3.0	2.4	3.3	3.4	5.1	4.9	3.4	5.1
静岡県	11位	2.2	3.3	1.7	4.3	3.1	6.1	3.0	3.8	5.0
石川県	12位	2.1	1.9	2.5	2.7	3.7	3.8	6.2	4.0	4.7
福岡県	13位	3.8	2.9	2.8	2.0	3.7	3.6	1.7	3.4	4.7
岐阜県	14位	2.8	2.4	3.6	3.4	3.2	3.7	4.3	3.2	4.2
山梨県	15位	3.0	5.2	5.0	3.6	3.9	4.0	4.7	5.0	4.1
和歌山県	16位	1.2	0.7	2.0	1.8	2.4	2.0	1.9	1.4	4.0
愛知県	17位	7.6	7.7	5.7	4.4	6.0	4.2	2.8	2.6	3.7
大分県	18位	1.3	0.6	0.7	0.0	0.8	0.5	0.6	0.2	2.9
新潟県	19位	1.9	2.0	1.3	0.8	0.8	0.8	1.5	1.6	2.0
栃木県	20位	4.9	4.2	3.2	5.3	3.3	4.8	3.1	3.2	1.9
岡山県	21位	0.8	0.6	1.5	1.0	1.4	1.1	0.2	1.4	1.7
埼玉県	22位	1.9	1.8	2.5	2.4	2.0	0.9	1.7	2.2	1.6
沖縄県	23位	1.8	1.0	1.4	2.0	1.5	2.9	1.0	2.1	1.3
鹿児島県	24位	1.2	0.9	1.1	1.3	0.4	1.4	1.4	1.0	1.3
長崎県	25位	1.3	1.0	1.8	0.8	1.2	1.9	1.4	1.0	1.2
茨城県	26位	2.0	2.6	2.5	2.3	2.3	2.7	1.5	1.0	1.1
島根県	27位	0.3	0.1	0.4	0.4	0.8	0.2	0.2	0.1	1.1
鳥取県	28位	0.0	0.0	0.1	0.4	0.0	0.0	0.5	0.0	0.9
宮城県	29位	1.6	1.1	1.2	1.9	0.7	0.8	0.9	1.9	0.9
高知県	30位	0.2	0.2	0.6	0.1	0.2	0.3	0.0	0.0	0.9
群馬県	31位	1.6	0.7	1.3	1.5	1.0	0.8	0.7	0.2	0.8
香川県	32位	0.9	0.7	0.9	0.9	1.2	0.5	1.0	1.6	0.8
三重県	33位	1.3	1.3	0.7	0.1	0.5	0.5	0.2	0.2	0.7
熊本県	34位	2.1	0.7	0.7	0.7	0.9	0.3	0.0	0.7	0.7
福島県	35位	0.7	0.6	0.9	0.4	0.9	0.5	0.2	1.2	0.7
愛媛県	36位	0.5	0.7	0.5	0.6	0.4	0.6	0.5	0.3	0.6
山形県	37位	0.2	0.7	0.6	0.5	0.0	0.3	0.1	0.6	0.6
岩手県	38位	0.4	0.3	0.4	0.3	0.3	0.2	0.0	0.6	0.5
秋田県	39位	0.3	0.7	0.3	0.5	0.1	0.2	1.2	0.3	0.4
徳島県	40位	0.0	0.0	0.3	0.5	0.7	0.4	0.2	0.1	0.4
青森県	41位	0.2	0.3	0.5	1.3	0.8	0.3	1.0	1.0	0.4
宮崎県	42位	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.8	0.3	0.4
山口県	43位	0.3	0.2	0.7	0.4	1.8	0.2	0.2	0.2	0.4
富山県	44位	1.0	0.1	0.4	1.1	1.9	0.6	0.8	0.5	0.2
滋賀県	45位	0.4	0.1	0.4	0.5	0.4	0.3	0.0	0.1	0.1
福井県	46位	0.0	0.0	0.3	0.0	0.1	0.0	0.2	0.0	0.1
佐賀県	47位	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	0.2	0.1	0.0	0.1

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日英国人の都道府県別宿泊地 (2017年~2022年)

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数 [人泊 (構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	492,470 (46.2%)	558,320 (46.0%)	964,440 (46.1%)
京都府	2位	147,190 (13.8%)	174,040 (14.3%)	352,220 (16.8%)
大阪府	3位	75,810 (7.1%)	81,240 (6.7%)	151,110 (7.2%)
神奈川県	4位	60,650 (5.7%)	68,210 (5.6%)	110,890 (5.3%)
千葉県	5位	32,600 (3.1%)	40,260 (3.3%)	52,160 (2.5%)
北海道	6位	25,530 (2.4%)	29,280 (2.4%)	47,400 (2.3%)
愛知県	7位	15,200 (1.4%)	14,010 (1.2%)	24,140 (1.2%)
広島県	8位	42,830 (4.0%)	48,400 (4.0%)	71,740 (3.4%)
福岡県	9位	13,310 (1.2%)	14,880 (1.2%)	37,950 (1.8%)
石川県	10位	19,040 (1.8%)	24,590 (2.0%)	29,470 (1.4%)
長野県	11位	17,290 (1.6%)	18,880 (1.6%)	20,810 (1.0%)
沖縄県	12位	14,630 (1.4%)	15,930 (1.3%)	19,120 (0.9%)
静岡県	13位	6,560 (0.6%)	6,450 (0.5%)	15,380 (0.7%)
三重県	14位	4,140 (0.4%)	3,400 (0.3%)	5,990 (0.3%)
兵庫県	15位	9,980 (0.9%)	9,710 (0.8%)	22,690 (1.1%)
岐阜県	16位	19,770 (1.9%)	25,100 (2.1%)	28,480 (1.4%)
宮城県	17位	2,460 (0.2%)	3,870 (0.3%)	6,350 (0.3%)
栃木県	18位	4,230 (0.4%)	5,380 (0.4%)	5,110 (0.2%)
秋田県	19位	1,030 (0.1%)	1,260 (0.1%)	1,680 (0.1%)
茨城県	20位	2,530 (0.2%)	2,110 (0.2%)	2,940 (0.1%)
新潟県	21位	2,580 (0.2%)	2,590 (0.2%)	4,350 (0.2%)
長崎県	22位	4,500 (0.4%)	4,700 (0.4%)	7,670 (0.4%)
山梨県	23位	6,780 (0.6%)	8,560 (0.7%)	14,670 (0.7%)
埼玉県	24位	1,980 (0.2%)	2,600 (0.2%)	3,080 (0.1%)
岡山県	25位	4,150 (0.4%)	4,800 (0.4%)	7,940 (0.4%)
宮崎県	26位	850 (0.1%)	1,120 (0.1%)	3,860 (0.2%)
香川県	27位	2,130 (0.2%)	3,780 (0.3%)	7,280 (0.3%)
山形県	28位	870 (0.1%)	1,300 (0.1%)	1,560 (0.1%)
熊本県	29位	3,250 (0.3%)	3,630 (0.3%)	11,440 (0.5%)
鹿児島県	30位	4,420 (0.4%)	5,250 (0.4%)	7,430 (0.4%)
滋賀県	31位	2,730 (0.3%)	1,840 (0.2%)	2,550 (0.1%)
奈良県	32位	3,780 (0.4%)	6,000 (0.5%)	8,160 (0.4%)
岩手県	33位	710 (0.1%)	1,060 (0.1%)	1,910 (0.1%)
大分県	34位	1,780 (0.2%)	2,690 (0.2%)	19,170 (0.9%)
群馬県	35位	1,620 (0.2%)	1,500 (0.1%)	1,790 (0.1%)
和歌山県	36位	4,800 (0.5%)	4,270 (0.4%)	4,550 (0.2%)
愛媛県	37位	1,760 (0.2%)	1,830 (0.2%)	2,050 (0.1%)
福島県	38位	840 (0.1%)	1,080 (0.1%)	1,290 (0.1%)
富山県	39位	1,260 (0.1%)	1,340 (0.1%)	1,460 (0.1%)
青森県	40位	1,190 (0.1%)	2,710 (0.2%)	2,730 (0.1%)
徳島県	41位	1,350 (0.1%)	1,240 (0.1%)	1,620 (0.1%)
佐賀県	42位	800 (0.1%)	590 (0.0%)	830 (0.0%)
福井県	43位	370 (0.0%)	680 (0.1%)	650 (0.0%)
島根県	44位	1,480 (0.1%)	1,110 (0.1%)	1,170 (0.1%)
山口県	45位	860 (0.1%)	740 (0.1%)	900 (0.0%)
高知県	46位	430 (0.0%)	590 (0.0%)	790 (0.0%)
鳥取県	47位	750 (0.1%)	1,180 (0.1%)	1,530 (0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊(構成比:%)】		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	111,360 (45.1%)	61,860 (56.7%)	146,990 (56.5%)
京都府	2位	29,860 (12.1%)	970 (0.9%)	28,500 (11.0%)
大阪府	3位	18,140 (7.3%)	5,630 (5.2%)	19,900 (7.7%)
神奈川県	4位	13,160 (5.3%)	12,340 (11.3%)	11,400 (4.4%)
千葉県	5位	9,800 (4.0%)	7,280 (6.7%)	6,310 (2.4%)
北海道	6位	16,280 (6.6%)	1,580 (1.4%)	4,980 (1.9%)
愛知県	7位	3,240 (1.3%)	1,240 (1.1%)	4,370 (1.7%)
広島県	8位	5,640 (2.3%)	840 (0.8%)	3,720 (1.4%)
福岡県	9位	3,070 (1.2%)	410 (0.4%)	3,460 (1.3%)
石川県	10位	2,680 (1.1%)	440 (0.4%)	2,930 (1.1%)
長野県	11位	4,250 (1.7%)	310 (0.3%)	2,710 (1.0%)
沖縄県	12位	3,170 (1.3%)	970 (0.9%)	2,340 (0.9%)
静岡県	13位	970 (0.4%)	2,500 (2.3%)	2,030 (0.8%)
三重県	14位	300 (0.1%)	790 (0.7%)	1,980 (0.8%)
兵庫県	15位	1,970 (0.8%)	590 (0.5%)	1,960 (0.8%)
岐阜県	16位	1,640 (0.7%)	670 (0.6%)	1,950 (0.7%)
宮城県	17位	1,770 (0.7%)	1,670 (1.5%)	1,130 (0.4%)
栃木県	18位	460 (0.2%)	350 (0.3%)	1,070 (0.4%)
秋田県	19位	310 (0.1%)	820 (0.8%)	1,050 (0.4%)
茨城県	20位	650 (0.3%)	100 (0.1%)	850 (0.3%)
新潟県	21位	1,710 (0.7%)	1,550 (1.4%)	850 (0.3%)
長崎県	22位	760 (0.3%)	550 (0.5%)	730 (0.3%)
山梨県	23位	1,380 (0.6%)	420 (0.4%)	660 (0.3%)
埼玉県	24位	1,520 (0.6%)	1,350 (1.2%)	640 (0.2%)
岡山県	25位	1,380 (0.6%)	230 (0.2%)	630 (0.2%)
宮崎県	26位	390 (0.2%)	820 (0.8%)	610 (0.2%)
香川県	27位	670 (0.3%)	120 (0.1%)	570 (0.2%)
山形県	28位	530 (0.2%)	170 (0.2%)	490 (0.2%)
熊本県	29位	1,140 (0.5%)	660 (0.6%)	480 (0.2%)
鹿児島県	30位	1,290 (0.5%)	220 (0.2%)	480 (0.2%)
滋賀県	31位	650 (0.3%)	100 (0.1%)	450 (0.2%)
奈良県	32位	720 (0.3%)	80 (0.1%)	450 (0.2%)
岩手県	33位	610 (0.2%)	60 (0.1%)	430 (0.2%)
大分県	34位	510 (0.2%)	50 (0.0%)	360 (0.1%)
群馬県	35位	400 (0.2%)	40 (0.0%)	320 (0.1%)
和歌山県	36位	710 (0.3%)	160 (0.1%)	320 (0.1%)
愛媛県	37位	380 (0.2%)	30 (0.0%)	310 (0.1%)
福島県	38位	490 (0.2%)	300 (0.3%)	280 (0.1%)
富山県	39位	520 (0.2%)	320 (0.3%)	260 (0.1%)
青森県	40位	710 (0.3%)	250 (0.2%)	240 (0.1%)
徳島県	41位	240 (0.1%)	20 (0.0%)	190 (0.1%)
佐賀県	42位	120 (0.0%)	100 (0.1%)	170 (0.1%)
福井県	43位	410 (0.2%)	110 (0.1%)	160 (0.1%)
島根県	44位	110 (0.0%)	40 (0.0%)	140 (0.1%)
山口県	45位	220 (0.1%)	50 (0.0%)	110 (0.0%)
高知県	46位	100 (0.0%)	30 (0.0%)	70 (0.0%)
鳥取県	47位	400 (0.2%)	10 (0.0%)	40 (0.0%)

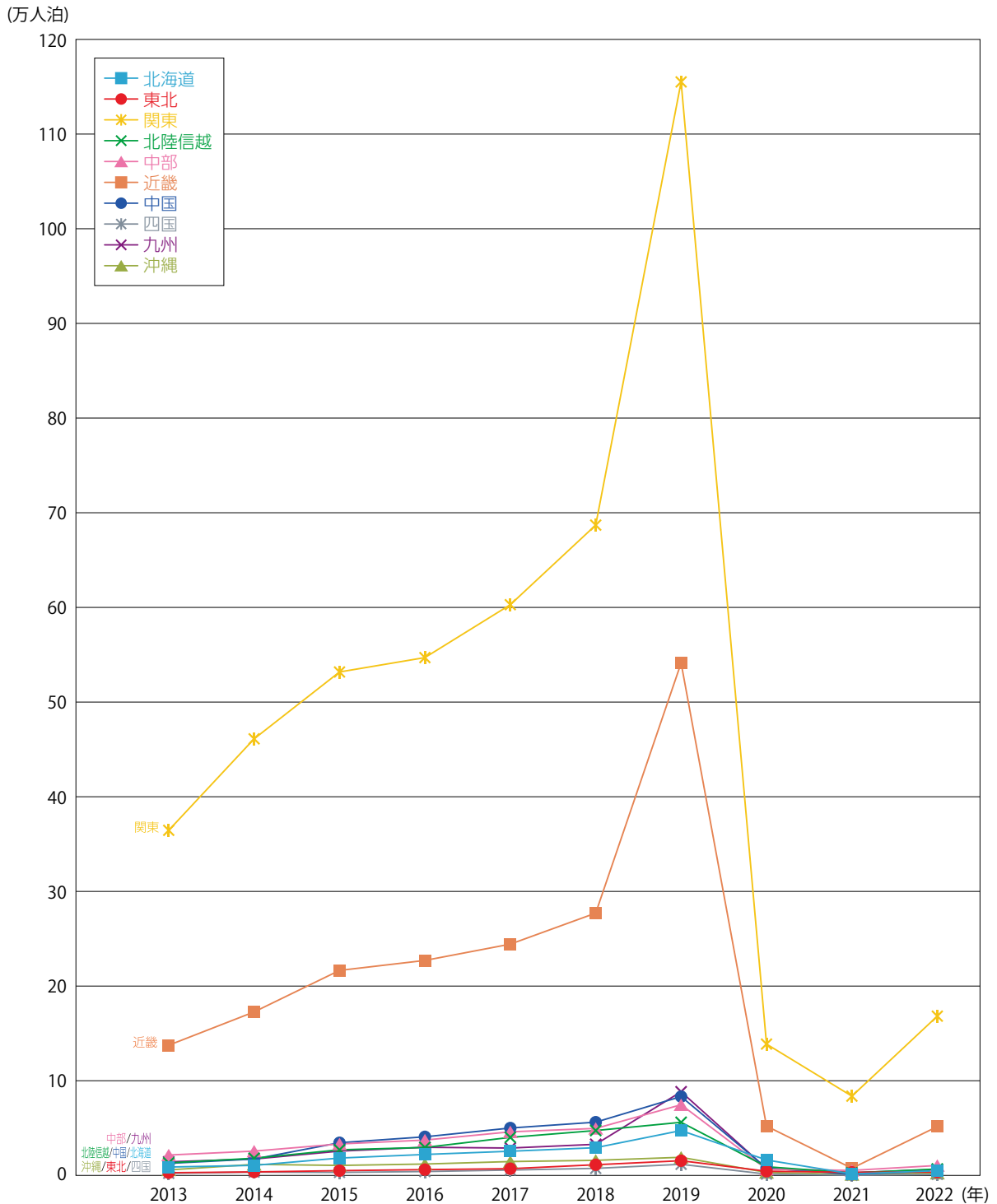
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年～2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

(23) 訪日英国人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



単位：人泊

北海道	8,840	10,610	18,330	22,120	25,530	29,280	47,400	16,280	1,580	4,980
東北	2,840	3,680	5,020	6,120	7,090	11,270	15,520	4,420	3,260	3,620
関東	364,530	461,160	531,790	547,000	602,860	686,940	1,155,080	138,740	83,730	168,240
北陸信越	13,250	18,120	27,030	29,540	40,160	47,410	56,090	9,160	2,620	6,760
中部	21,520	25,660	33,230	37,330	46,030	49,640	74,640	6,560	5,310	10,480
近畿	137,520	172,700	216,540	227,090	244,290	277,090	541,290	52,060	7,530	51,570
中国	12,740	17,280	34,500	40,770	50,060	56,230	83,280	7,750	1,160	4,650
四国	2,240	3,530	3,190	4,090	5,680	7,440	11,740	1,400	200	1,130
九州	14,380	17,330	25,650	29,700	28,910	32,860	88,340	7,280	2,810	6,280
沖縄	5,800	11,670	10,560	12,010	14,630	15,930	19,120	3,170	970	2,340

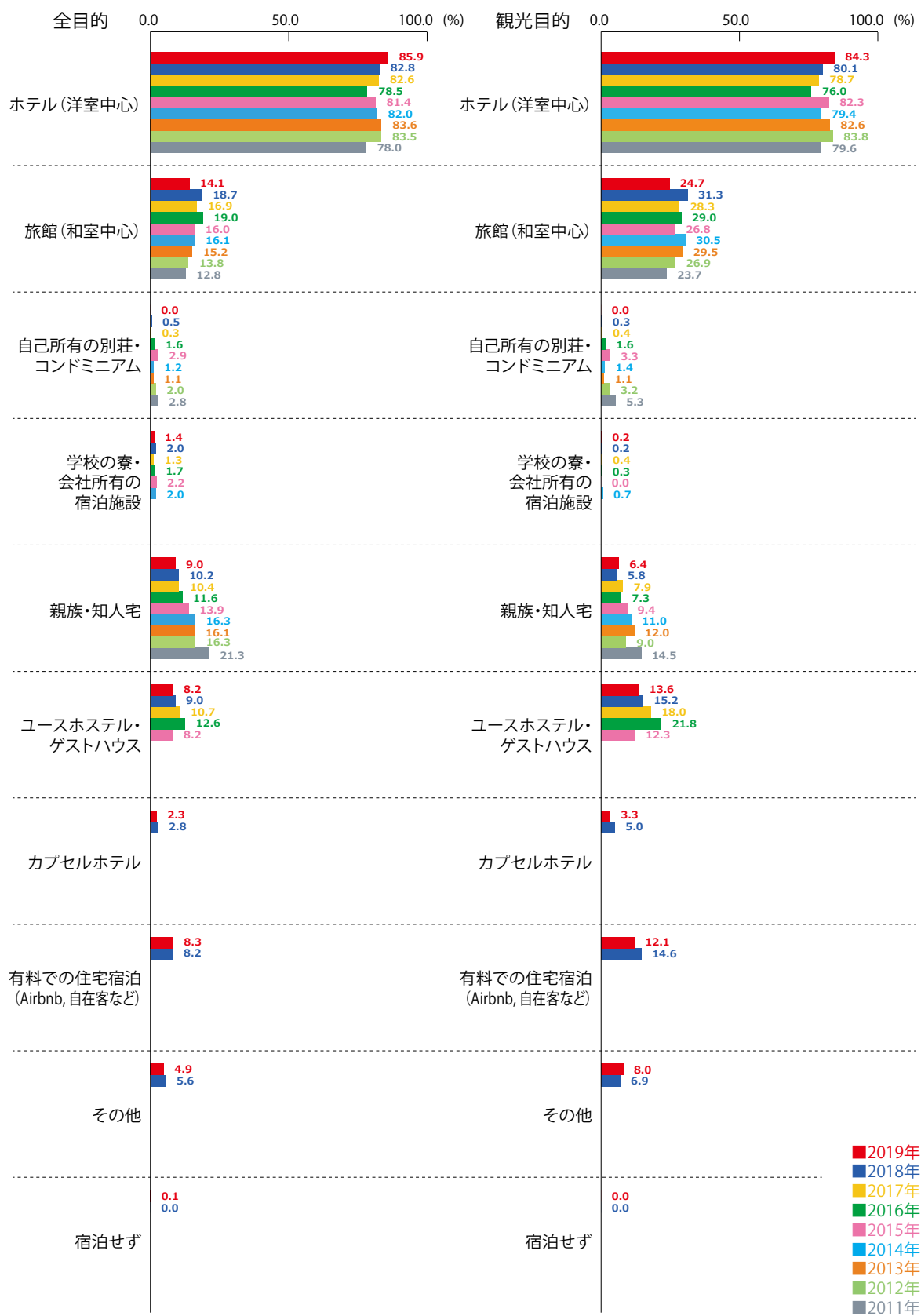
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日英国人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

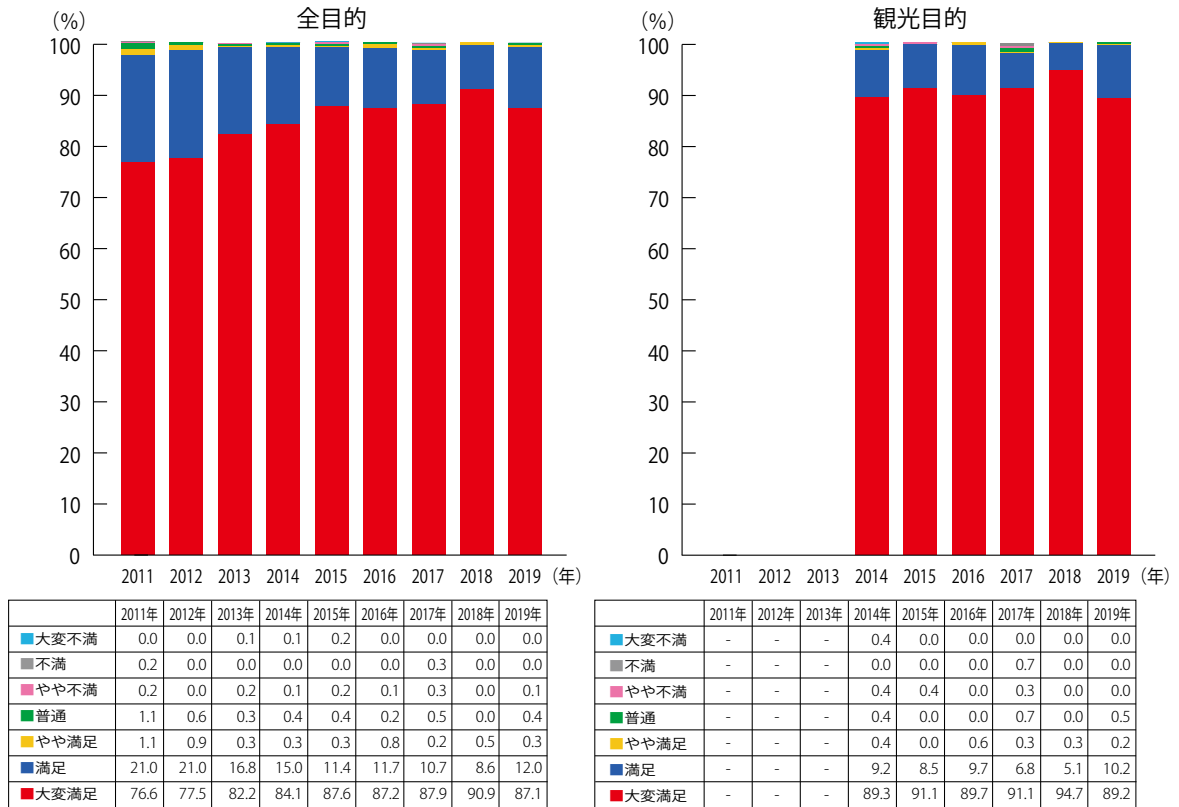
注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) 英国人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

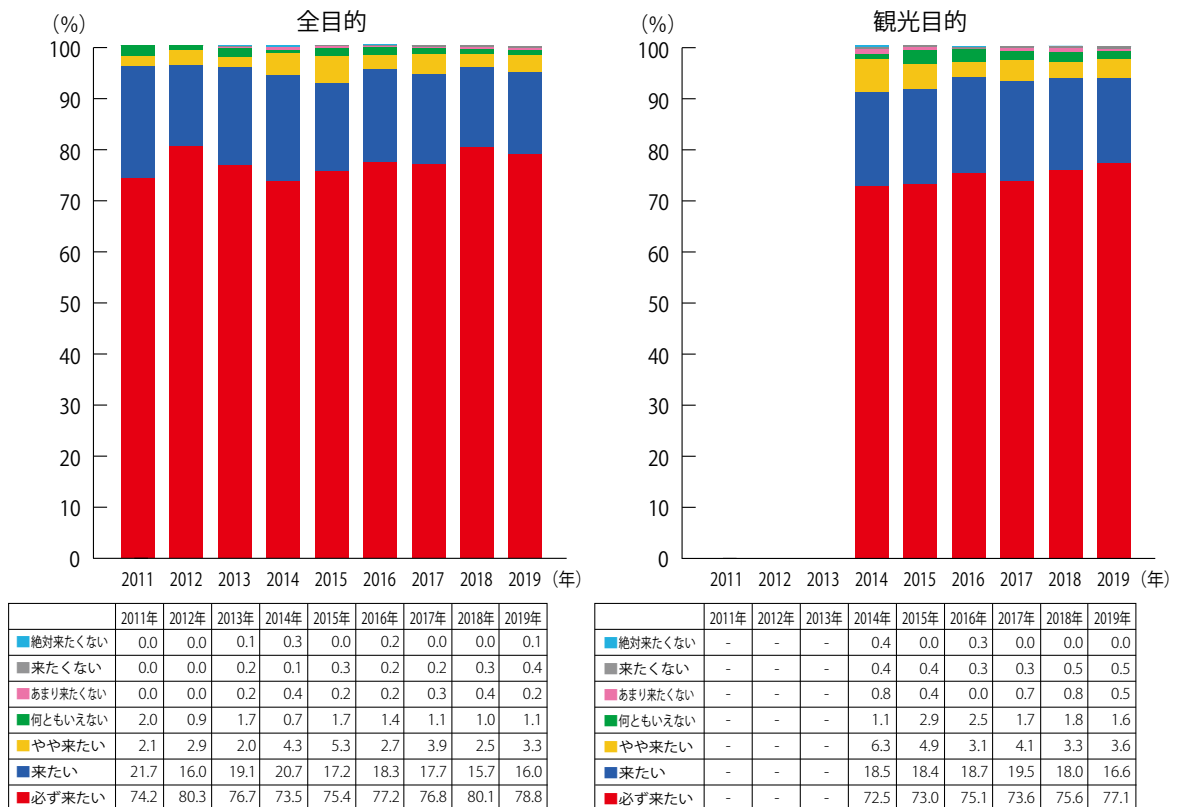


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日英国人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成





# フランス

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

ケルト人やゲルマン民族（フランク系、ノルマン系）などの混血が多い。  
この他、移民やその子孫など。

出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 宗教別構成

カトリック、イスラム教、プロテスタント、ユダヤ教など

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

フランス語が公用語

フランスの各地では、フランス語以外にも様々な地域語が話されている。

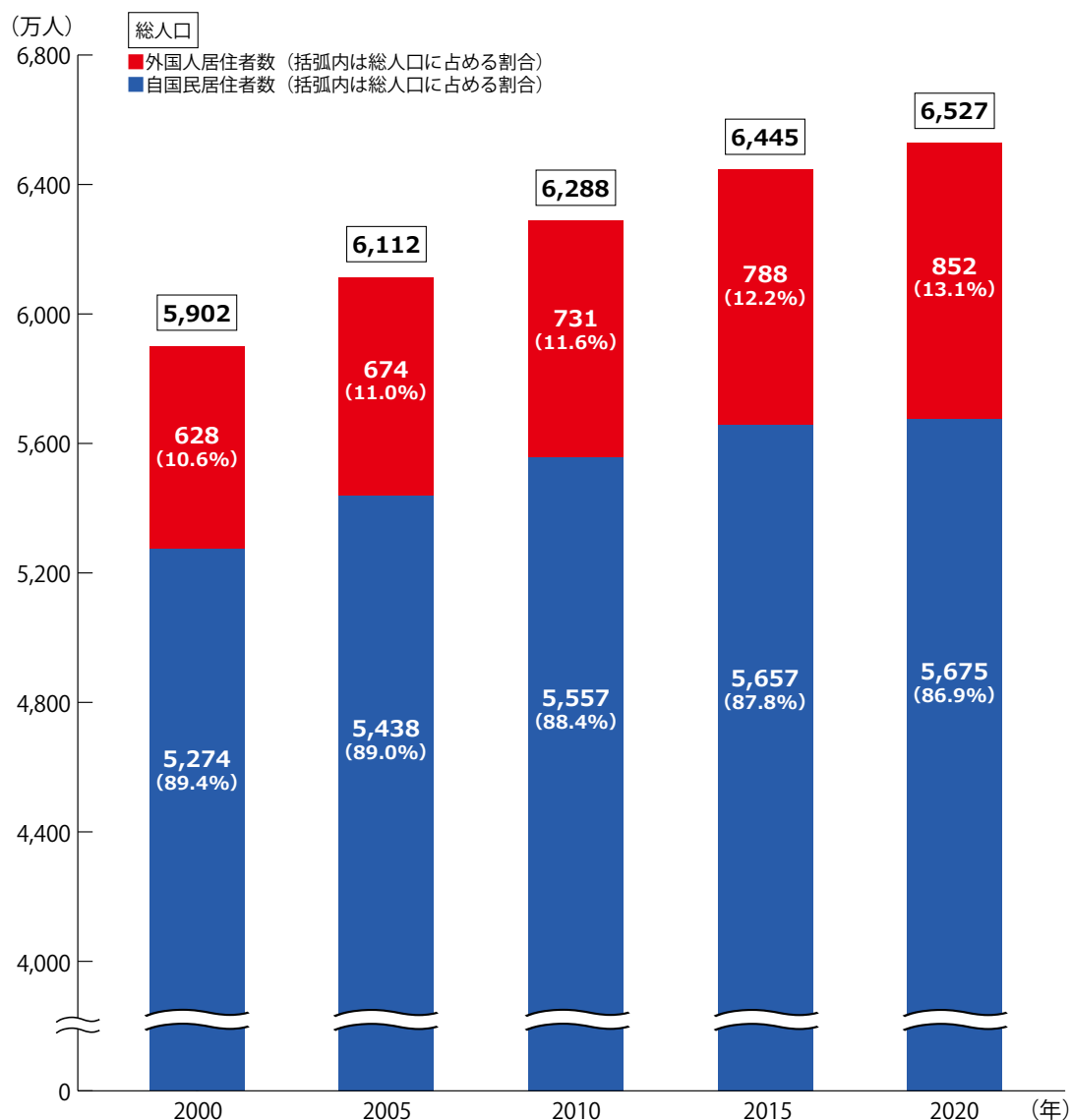
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

55万1,500km<sup>2</sup>（日本の1.5倍弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：フランスの外国人居住者は、注2の①に該当する。

注4：フランスの外国人居住者の中には、フランスの海外県・海外領土のうちの11地域（ニューカレドニア、ウォリス・フツナ、仏領ポリネシア、サンマルタン、サンバルテルミー、グアドループ、マルティニーク、仏領ギアナ、マヨット、レユニオン、サンピエール・ミクロン）からフランス本国に来て居住している人も含まれている。

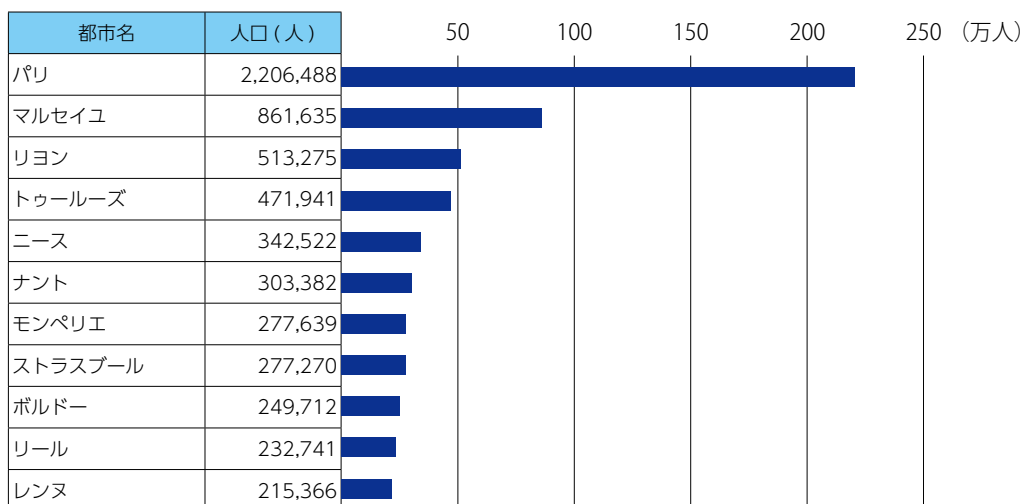
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2015年に実施された国勢調査の結果である。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年
元日	1月1日（日）	1月1日（月）
※復活祭の翌日の月曜日	4月10日（月）	4月1日（月）
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）
1945年5月8日戦勝記念日（第二次世界大戦戦勝記念日）	5月8日（月）	5月8日（水）
※昇天祭	5月18日（木）	5月9日（木）
※聖霊降臨祭の翌日の月曜日	5月29日（月）	5月20日（月）
革命記念日	7月14日（金）	7月14日（日）
聖母被昇天祭	8月15日（火）	8月15日（木）
諸聖人の日（万聖節）	11月1日（水）	11月1日（金）
1918年休戦記念日（第一次大戦休戦記念日）	11月11日（土）	11月11日（月）
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）

注：※印の祝日は年によって変動する。

出典：駐日フランス大使館の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
小学校	6歳～11歳 (5年間)	冬期休暇	2月中旬～3月上旬の 約2週間	A区域：2024年2月17日～3月4日 B区域：2024年2月24日～3月11日 C区域：2024年2月10日～2月26日
		春期休暇	4月上旬～5月上旬の 約2週間 (復活祭に合わせて変動)	A区域：2024年4月13日～4月29日 B区域：2024年4月20日～5月6日 C区域：2024年4月6日～4月22日
		夏期休暇	7月上旬～9月上旬の 8週間	2024年7月6日～9月2日
		諸聖人の祝日休暇	10月下旬～11月上旬の 約2週間	2023年10月21日～11月6日
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬の 約2週間	2023年12月23日～2024年1月8日
コレッジ	11歳～15歳 (4年間)	冬期休暇	2月中旬～3月上旬の 約2週間	A区域：2024年2月17日～3月4日 B区域：2024年2月24日～3月11日 C区域：2024年2月10日～2月26日
		春期休暇	4月上旬～5月上旬の 約2週間 (復活祭に合わせて変動)	A区域：2024年4月13日～4月29日 B区域：2024年4月20日～5月6日 C区域：2024年4月6日～4月22日
		夏期休暇	7月上旬～9月上旬の 8週間	2024年7月6日～9月2日
		諸聖人の祝日休暇	10月下旬～11月上旬の 約2週間	2023年10月21日～11月6日
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬の 約2週間	2023年12月23日～2024年1月8日
リセ	15歳～18歳 (3年間)	冬期休暇	2月中旬～3月上旬の 約2週間	A区域：2024年2月17日～3月4日 B区域：2024年2月24日～3月11日 C区域：2024年2月10日～2月26日
		春期休暇	4月上旬～5月上旬の 約2週間 (復活祭に合わせて変動)	A区域：2024年4月13日～4月29日 B区域：2024年4月20日～5月6日 C区域：2024年4月6日～4月22日
		夏期休暇	7月上旬～9月上旬の 8週間	2024年7月6日～9月2日
		諸聖人の祝日休暇	10月下旬～11月上旬の 約2週間	2023年10月21日～11月6日
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬の 約2週間	2023年12月23日～2024年1月8日
大学	18歳～21歳 (3年間)	冬期休暇	2月中旬～3月上旬の 約1週間	
		春期休暇	4月中旬～5月上旬の 約1週間 (復活祭に合わせて変動)	
		夏期休暇	5月末もしくは6月 (追試があれば7月) ～9月上旬	
		諸聖人の祝日休暇	10月下旬～11月上旬の 約1週間	
		クリスマス休暇	12月末～1月上旬の 約2週間	

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	幼稚園 (小学校入学前の3年間) + 小学校 (5年間) + コレッジ (4年間) + リセ (最初の1年間) = 13年間

注1：期休暇と春期休暇は、フランス国内の各区域ごとに異なる。区域はA、B、Cの3つに分かれる。

A区域：Besançon, Bordeaux, Clermont-Ferrand, Dijon, Grenoble, Limoges, Lyon, Poitiers

B区域：Aix-Marseille, Amiens, Caen, Lille, Nancy-Metz, Nantes, Nice, Orléans-Tours, Reims, Rennes, Rouen, Strasbourg

C区域：Paris, Créteil, Versailles, Montpellier, Toulouse

注2：大学の休暇時期は、各大学の教育課程や試験実施時期の違いの影響も受ける。また、地域ごとに大学の休暇時期が異なることもある。

注3：表中の各休暇期間には、学校の始業日を含む。

出典：フランス政府の公式ウェブサイトに基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日、祝日	労働法典221-5	一般的に土曜日も休日である。
有給休暇日数	30日(5週間)	労働法典L3141	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働を開始した時点から発生し、たとえ1日の労働でも有給休暇の権利を有する。</li> <li>有給休暇のうち、24日間(4週間)の休暇を、法定取得期間である5月1日～10月31日の間に消化し、残りの1週間は11月1日から翌年の4月30日までに消化しなければならない。諸事情により法定取得期間に24日間(4週間)消化できなかった場合、使用者と労働者との間で合意があれば、有給休暇の残りを11月1日から翌年の4月30日までに分割取得することも可能であるが、少なくとも12日間(2週間)は連続して取得しなくてはならない。</li> <li>出産休暇、育児休暇、介護休暇等は、有給休暇と区別されている。</li> </ul>
定年退職	62歳～64歳 (出生年による)	労働法典L1237	<ul style="list-style-type: none"> <li>就労開始年齢や障害等の条件により早期退職することもできる。</li> <li>職種により左記定年退職年齢とは別の定めがある。</li> <li>民間企業の雇用主は、70歳未満の従業員本人が退職を望まない限り、当該従業員を強制的に定年退職させることができない。</li> </ul>

出典：フランス政府、日本国厚生労働省「2022年海外情勢報告 フランス」

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施) (なお、国民の国防意識を高める目的で、2019年に国民奉仕制度が導入された。現在では自発性等の養成を目的とした制度として施行されており、16歳～25歳の希望者は、警察、消防機関等が行う3か月～1年間の活動に従事することができる。)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局 (CIA)

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ルタール (Routard)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	31.3
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	30.1
ナショナルジオグラフィック (National Geographic)	ウェブサイト	地理学・科学・歴史・自然に関する情報発信	25.7
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	23.9
ジェオ (GEO)	ウェブサイト	旅行情報発信	21.1
ル・プチフュテ (Le Petit Futé)	ウェブサイト	旅行情報発信	17.4
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、閲覧者が意見を記載	16.1
ミシュラン・ポワヤージュ (Michelin Voyages)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	16.0
ロンリープラネット (Lonely Planet)	ウェブサイト	旅行情報発信	15.3
エールフランス (Airfrance.fr)	ウェブサイト	航空予約、旅行情報発信	14.5
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	12.9
イージー・ポワヤージュ (Easy Voyage)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	9.7
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメなどを配信	7.4
ピンタレスト (Pinterest)	SNS	画像を掲載	6.1
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、メッセージの交換	5.3
フランス・アンフォ (Franceinfo)	ウェブサイト	ニュース発信	4.9
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、閲覧者が意見を記載	4.5
アマゾン・プライム・ビデオ (Amazon Prime Video)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメなどを配信	4.2
ウイ・エスエヌセーエフ (Oui.sncf)	ウェブサイト	フランス国鉄の予約、鉄道情報発信	4.2
ヴァン・ミニッツ (20 minutes)	ウェブサイト	ニュース発信	4.1
ル・フィガロ (LE FIGARO)	ウェブサイト	ニュース発信	3.8
ル・パリジャン (Le Parisien)	ウェブサイト	ニュース発信	3.4
フランス・アンテル (France Inter)	ウェブサイト	フランス公営のラジオ国際放送局	3.0

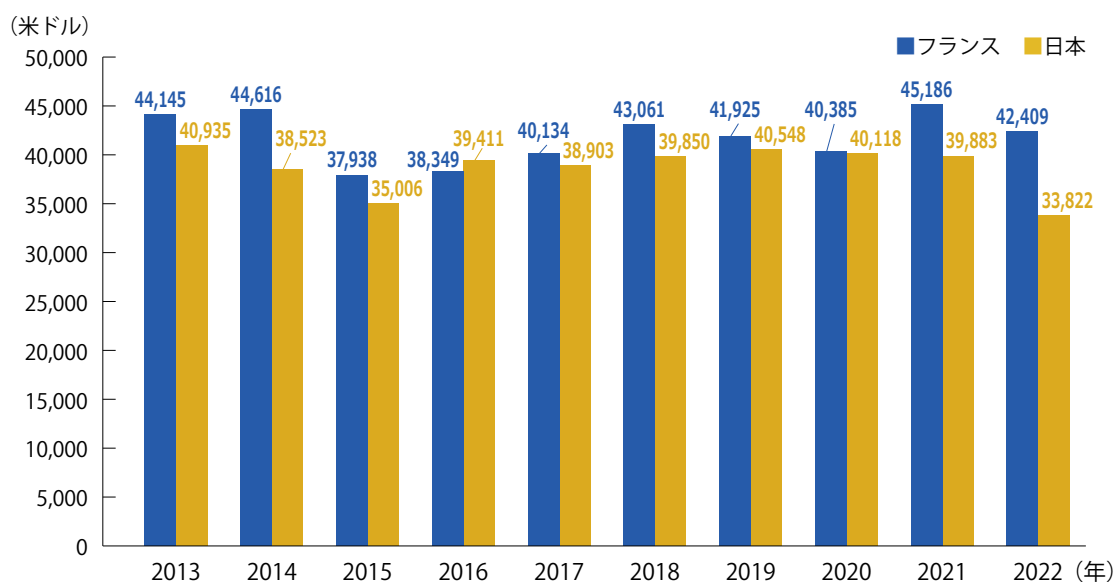
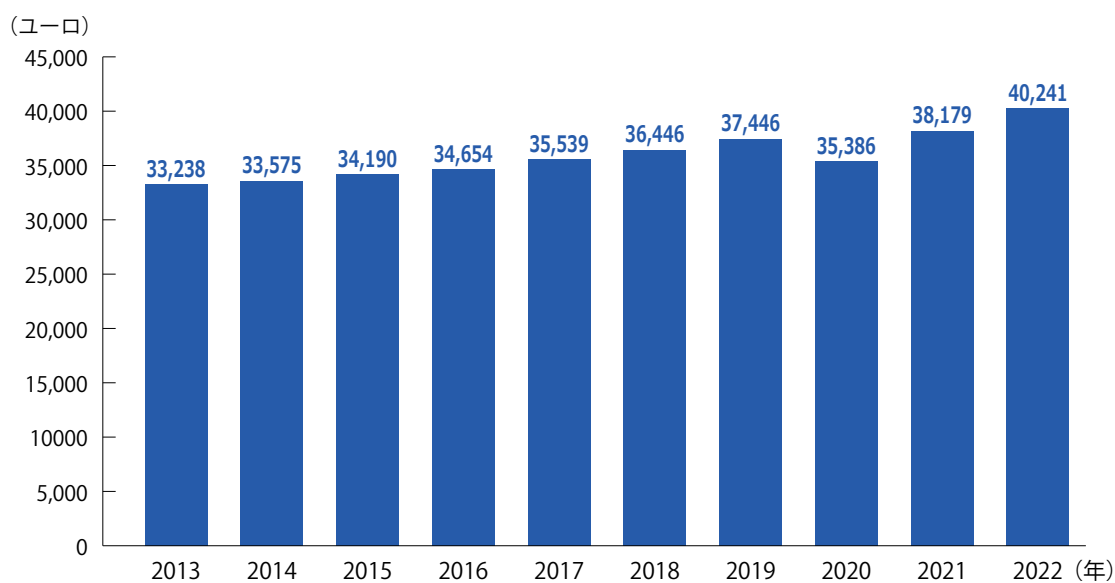
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)

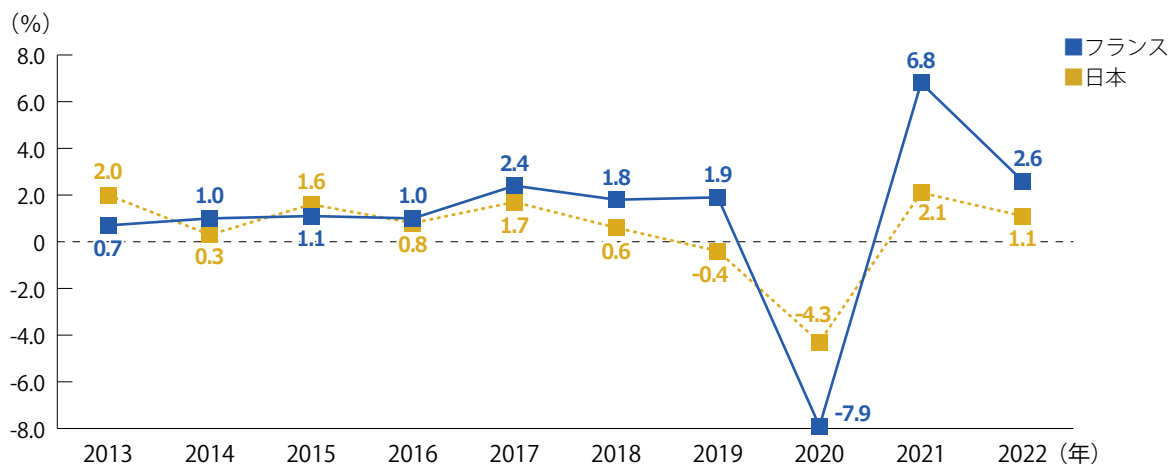


注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金 (IMF)



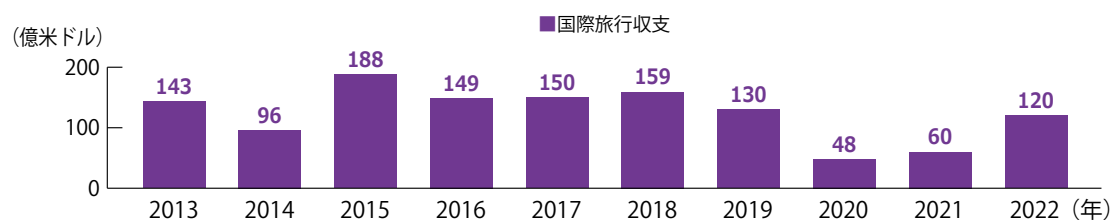
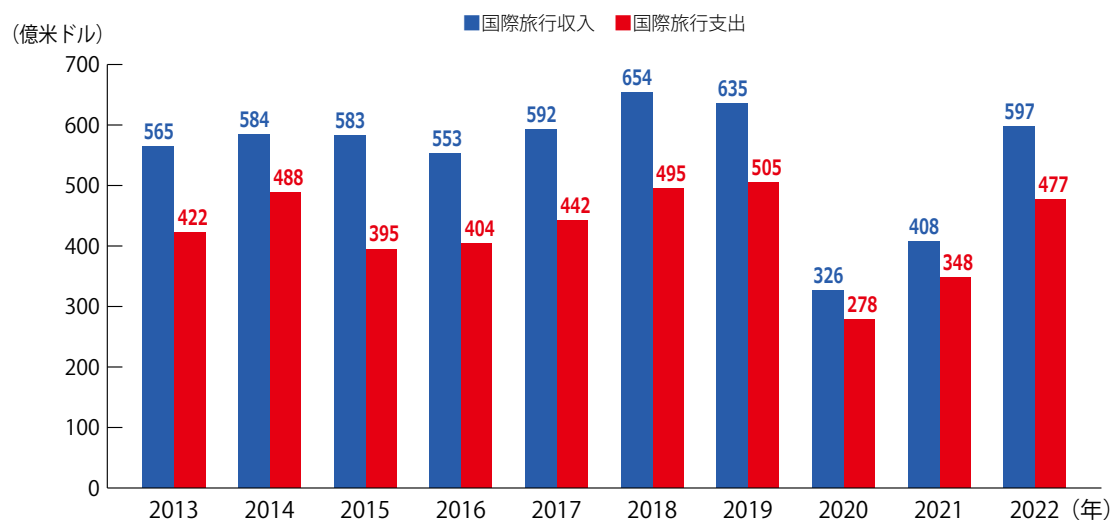
## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金（IMF）

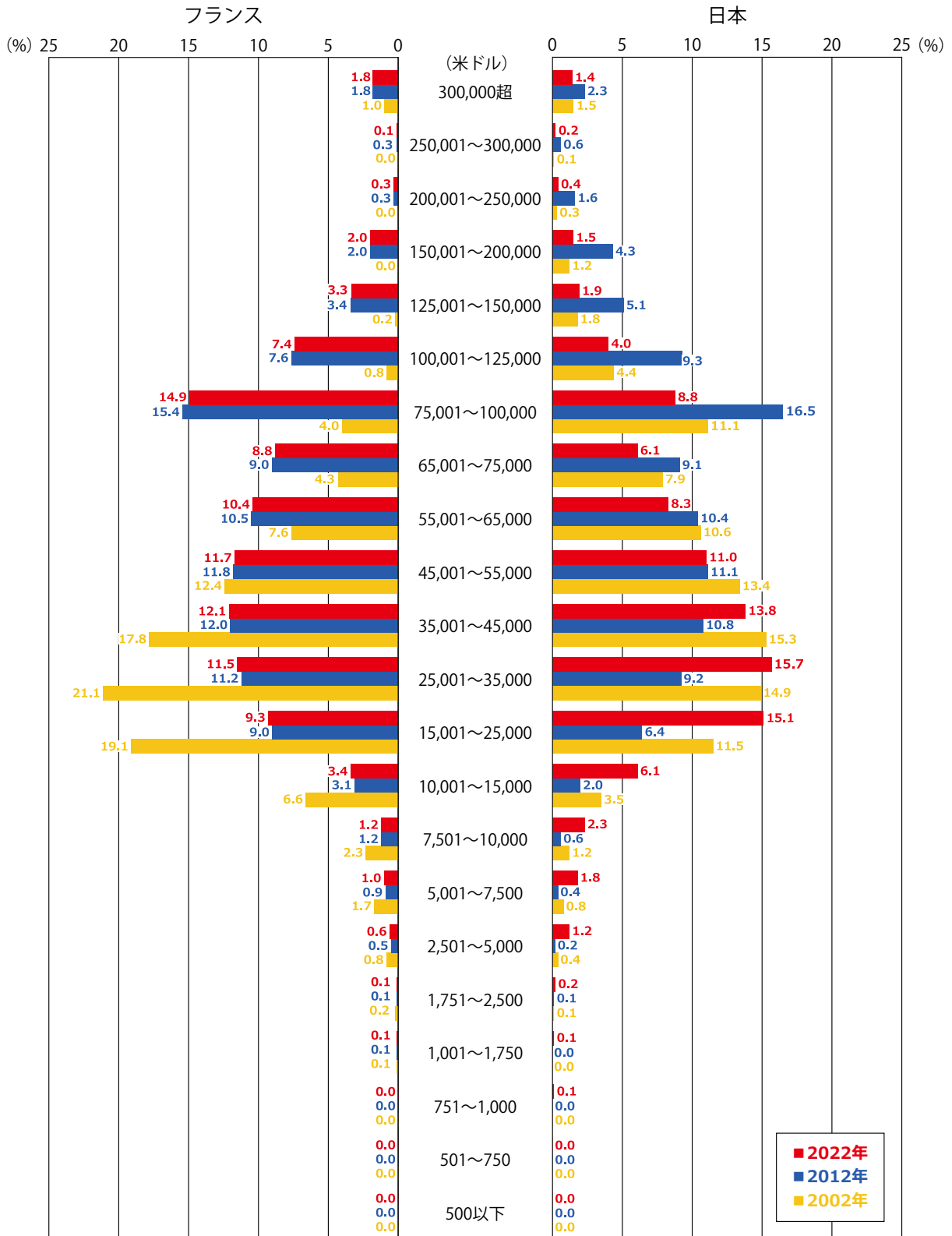
## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

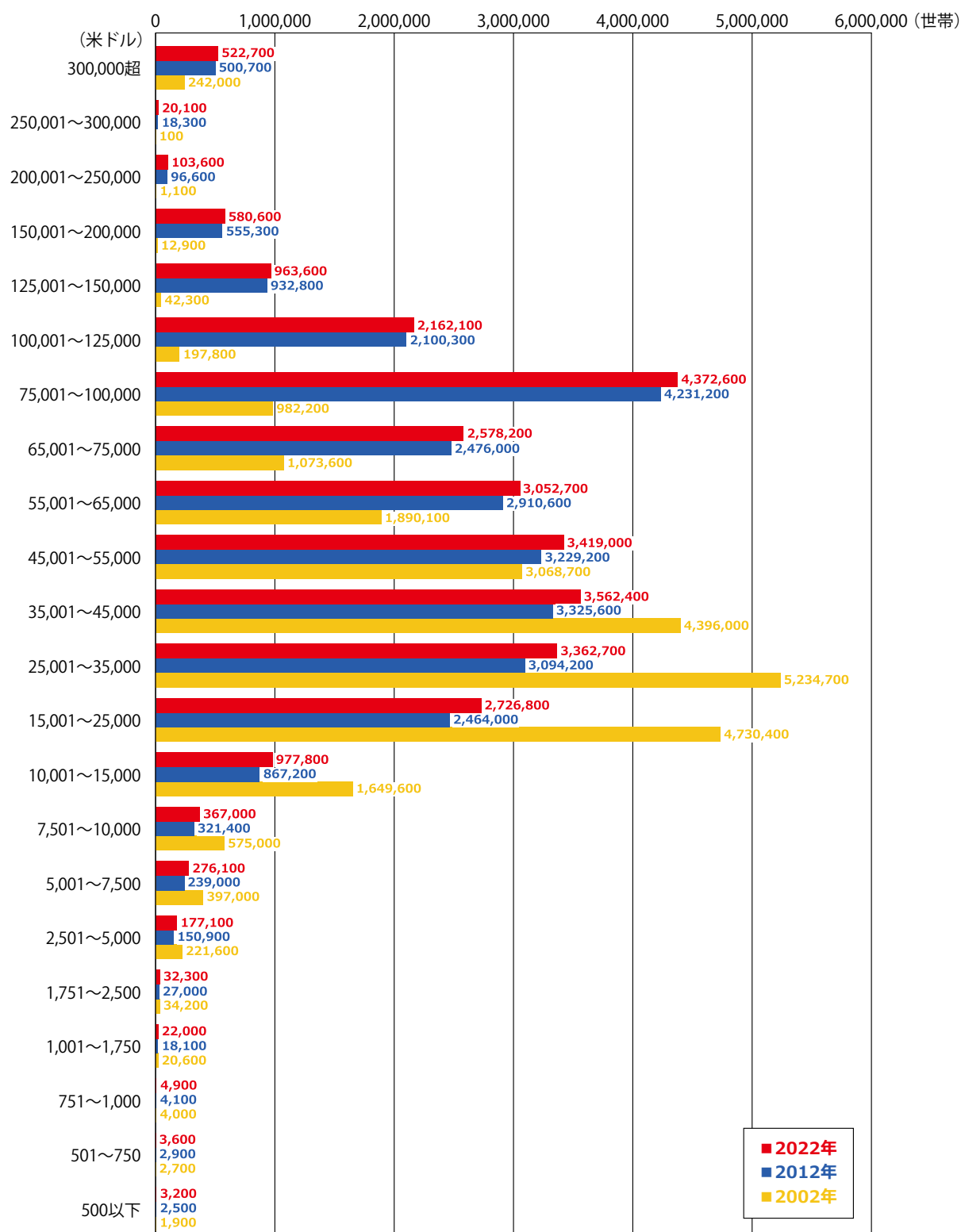
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



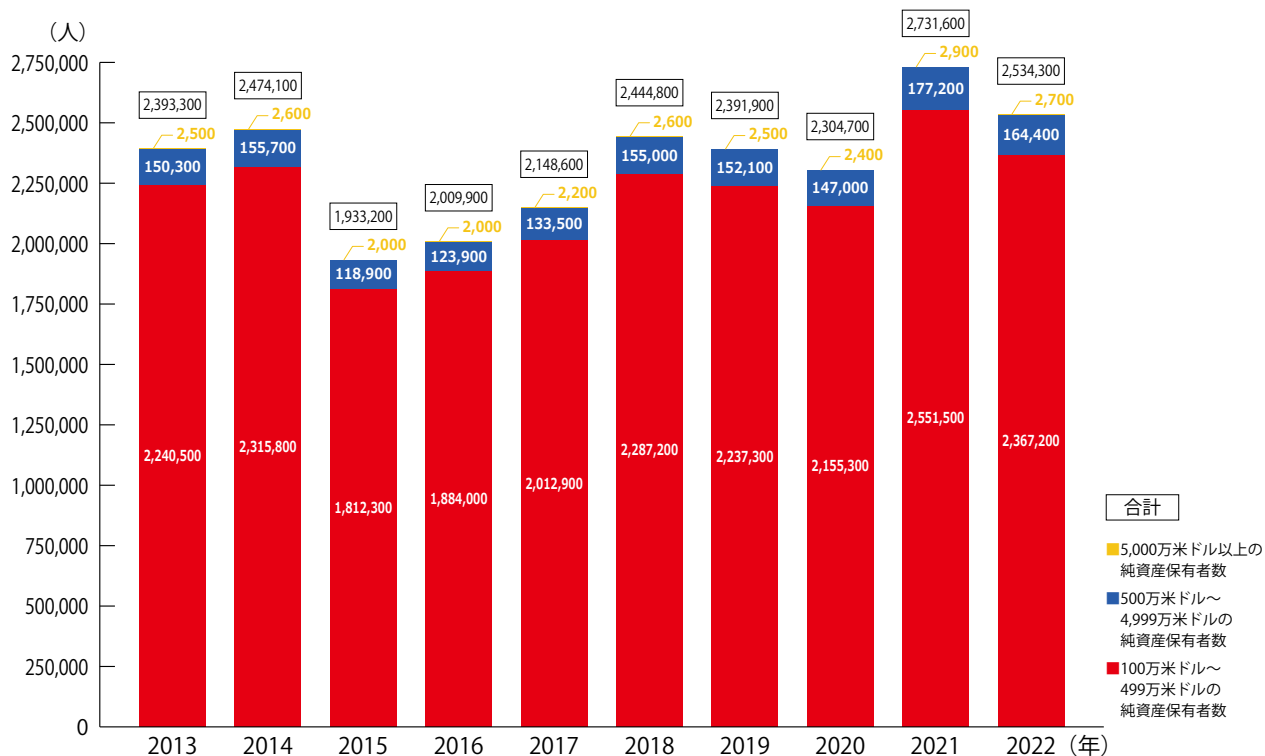
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

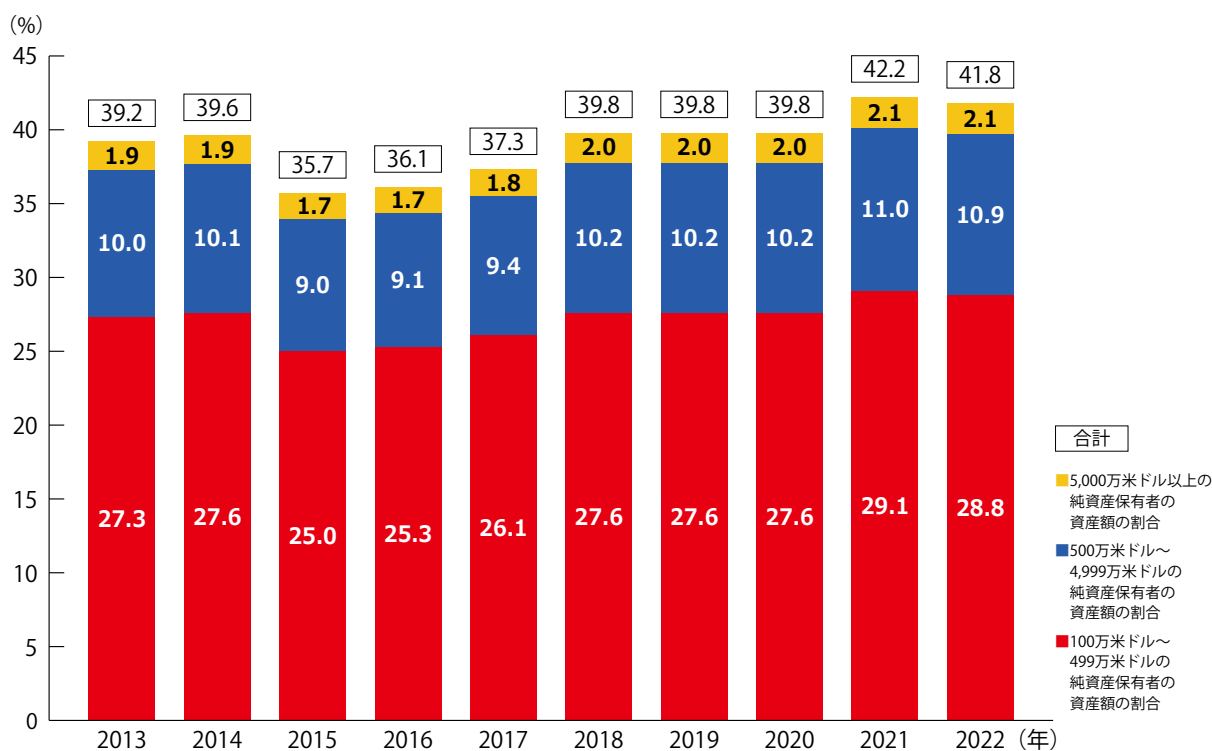
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

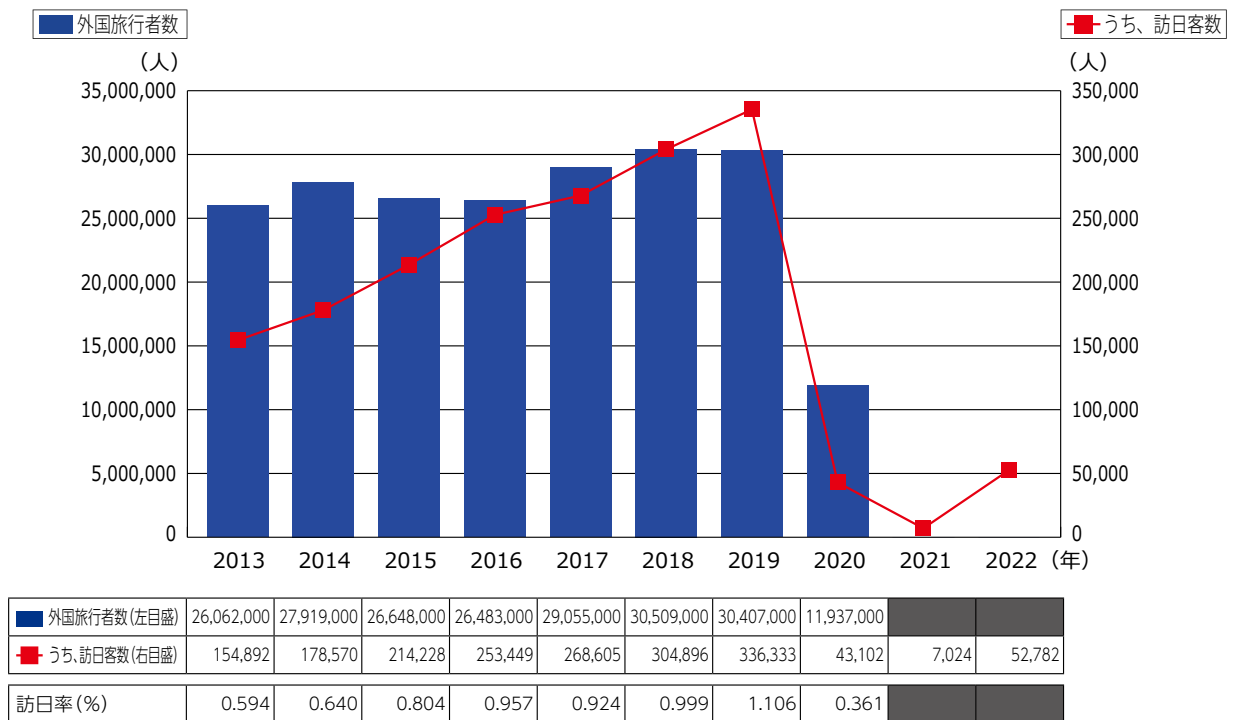


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) フランス人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：フランス人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのフランス人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	単位：人					過去5年間の最大値
			2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
1位	スペイン	TFR	11,267,269	11,293,323	11,147,397	3,887,750	5,822,671	11,293,323
2位	イタリア	TFN	7,201,639	7,640,667	7,977,514	3,687,243	3,910,414	7,977,514
3位	英国	VFR	3,798,627	3,599,256	3,570,369		676,898	3,798,627
4位	モロッコ	TFN	1,614,011	1,844,397	1,990,813	412,179	493,933	1,990,813
5位	ドイツ	TCER	1,785,565	1,852,786	1,923,420	653,688	692,078	1,923,420
6位	米国	TFR	1,667,506	1,767,461	1,843,782	297,785	222,036	1,843,782
7位	ポルトガル	TCER	1,817,758	1,850,630	1,816,360	518,419	841,404	1,850,630
8位	ギリシャ	TFR	1,419,799	1,524,001	1,541,793	468,803	1,174,504	1,541,793
9位	ベルギー	TCER	1,295,690	1,408,958	1,425,743	526,017	719,842	1,425,743
10位	チュニジア	TFN	570,518	781,709	890,455	261,527	302,519	890,455
11位	オランダ	THSR	763,000	811,000	870,000	357,000	386,000	870,000
12位	トルコ	TFN	570,822	722,830	862,134	311,692	620,335	862,134
13位	スイス	TCER	787,580	810,993	816,489	488,797	627,060	816,489
14位	タイ	TFN	740,190	749,508	745,346	236,527	23,461	749,508
15位	カナダ	TFR	577,032	604,166	663,265	95,720	120,535	663,265
16位	クロアチア	TCER	536,072	583,130	629,231	137,823	375,905	629,231
17位	オーストリア	TCER	546,637	550,640	573,992	208,495	183,935	573,992
18位	アイルランド	TFR	512,000	525,000	534,000			534,000
19位	中国	VFN	493,712	499,160	490,963			499,160
20位	アンドラ	TFR	457,483	485,237	490,050	307,528	379,042	490,050
21位	アラブ首長国連邦	VFN	368,465	420,776	463,184	196,329		463,184
22位	レユニオン	TFR	397,338	424,868	443,589	189,349	222,179	443,589
23位	ハンガリー	TFN	263,030	344,104	443,505	204,836	274,005	443,505
24位	デンマーク	TCER	345,416	359,620	416,093	145,050	281,719	416,093
25位	マルティニーク	TFR	364,162	372,013	394,793	223,831	274,601	394,793
26位	イスラエル	TFR	308,635	345,955	367,542	56,025	41,510	367,542
27位	日本	VFN	268,605	304,896	336,333	43,102	7,024	336,333
28位	チェコ	TCEN	289,583	286,316	306,875	82,339	98,725	306,875
29位	セネガル	THSN	306,716					306,716

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
30位	メキシコ	TFN	260,821	286,848	305,384	116,008	157,082	305,384
31位	モーリシャス	TFR	273,419	285,371	302,038	79,510	51,525	302,038
32位	エジプト	VFN	150,241	217,533	298,812	89,218		298,812
33位	ベトナム	VFR	255,369	279,659	287,655	75,223	1,866	287,655
34位	インドネシア	VFN	274,117	287,917	283,814	43,438	3,776	287,917
35位	ブラジル	TFR	254,153	238,345	257,504	70,369	34,848	257,504
36位	ブルガリア	VFR	231,348	260,099	250,014	96,126	166,225	260,099
37位	ノルウェー	TCER	265,021	232,479	248,097	31,991	56,519	265,021
38位	インド	VFN	249,620	261,653	247,238	74,243	30,374	261,653
39位	ルーマニア	VFR	220,296	230,901	245,804	79,925	126,919	245,804
40位	マルタ	TFR	176,370	213,299	239,140	70,875	133,912	239,140
41位	ポーランド	TCER	240,448	233,778	232,346	64,699	94,901	240,448
42位	ロシア	VFN	185,093	207,306	222,726	31,735		222,726
43位	シンガポール	VFR	175,413	204,769	212,808	41,621	4,214	212,808
44位	ドミニカ共和国	TFR	213,247	221,058	211,188	76,311	103,695	221,058
45位	レバノン	TFN	164,924	181,321	181,127	46,219	86,239	181,321
46位	スウェーデン	TCER	148,449	152,653	172,495	54,077	81,907	172,495
47位	キューバ	VFR	209,239	197,521	169,394	46,537	5,434	209,239
48位	スロベニア	TCEN	121,769	148,166	166,860	35,679	87,432	166,860
49位	南アフリカ共和国	TFR	196,165	186,251	165,038	41,023	19,761	196,165
50位	アルジェリア	VFN	198,856	221,707	164,907	36,576	11,964	221,707
51位	カンボジア	TFR	166,356	170,844	164,117	43,174	3,642	170,844
52位	アルゼンチン	TFR	138,596	140,824	157,502	47,384	9,640	157,502
53位	豪州	VFR	129,620	142,732	143,735	34,698	2,974	143,735
54位	マレーシア	TFN	131,668	139,408	141,661	28,237	843	141,661
55位	ルクセンブルク	TCER	139,427	136,462	133,580	70,522	94,698	139,427
56位	トーゴ	THSR	69,965	91,582	132,630	48,708		132,630
57位	香港	TFR	151,192	150,432	128,874	8,714	269	151,192
58位	フィンランド	TCER	101,105	105,691	119,640	42,318	41,121	119,640
59位	サウジアラビア	TFN	62,934	77,422	115,294	28,142	21,148	115,294
60位	マダガスカル	TFN	60,144	70,886	115,115	15,365	5,318	115,115
61位	韓国	VFN	92,347	100,096	110,794	19,371	15,700	110,794
62位	ペルー	TFR	96,283	100,951	108,873	16,350	12,909	108,873
63位	アイスランド	TFN	100,374	97,224	97,507	27,923	36,665	100,374
64位	モンテネグロ	TCEN	60,865	77,096	90,083	9,611	35,985	90,083
65位	フィリピン	TFR	64,777	74,400	88,577	24,530	1,425	88,577
66位	スリランカ	TFR	97,282	106,449	87,623	24,838	6,549	106,449
67位	チリ	TFN	83,758	87,197	87,085	24,090	3,987	87,197
68位	コロンビア	TFR	66,947	77,245	86,657	26,455	27,401	86,657
69位	カーボベルデ	THSR	69,717	77,127	85,325	24,438	10,344	85,325
70位	モナコ	THSN	85,308	80,899	83,463	74,891	93,386	93,386
71位	仏領ギアナ	TFR	78,625					78,625
72位	コスタリカ	TFN	69,803	74,032	77,013	35,267	32,199	77,013
73位	オマーン	VFN	54,614	64,110	74,710	22,458	12,976	74,710
74位	アルバニア	VFN	52,428	61,622	73,513	16,375	47,018	73,513
75位	ウクライナ	TFR	61,000	66,581	68,978	18,202	38,736	68,978
76位	コートジボワール	VFR			65,831	21,248	18,311	65,831
77位	仏領ポリネシア (タヒチ)	TFR	41,685	49,272	60,382	28,112	34,202	60,382
78位	モルディブ	TFN	42,365	50,476	59,738	28,031	30,068	59,738
79位	ヨルダン	TFN	27,831	40,001	58,350	11,252	14,630	58,350
80位	台湾	VFR	46,822	52,687	57,393	8,975	1,567	57,393
81位	タンザニア	VFR	33,925	41,330	56,297	25,366	51,683	56,297
82位	ケニア	VFR		48,189	54,979	15,590	18,772	54,979
83位	カメルーン	THSN	51,472	53,114	53,012	13,627		53,114
84位	カタール	VFN	42,026	40,164	51,007	15,939	10,128	51,007
85位	リトアニア	TCER	36,292	40,797	48,942	8,907	14,491	48,942
86位	ラトビア	TCER	39,482	45,989	46,326	8,312	12,021	46,326
87位	スロバキア	TCEN	41,362	41,866	45,979	9,705	10,821	45,979
88位	ラオス	VFN	36,760	39,315	44,416	15,507		44,416
89位	セントマーティン	TFN	52,639	34,365	44,149	18,923	34,012	52,639
90位	セーシェル	TFR	41,118	43,549	43,297	12,006	18,425	43,549
91位	ミャンマー	TFN	58,369	43,218	42,608	15,520	360	58,369
92位	ニューカレドニア	TFR	37,827	37,326	42,316	11,057	7,978	42,316
93位	エストニア	TCER	33,767	36,301	41,279	7,051	15,438	41,279
94位	ニュージーランド	VFR	42,560	43,606	40,777	14,672	465	43,606
95位	ナイジェリア	VFN	39,199	39,191	39,174	8,913	9,198	39,199
96位	ニジェール	TFN	31,366	29,977	36,670	16,304		36,670
97位	ボリビア	TFN	35,694	35,582	35,969	5,136	2,722	35,969
98位	パナマ	VFR	36,150	36,112	35,933	11,882	12,480	36,150
99位	セルビア	TCEN	29,224	34,400	35,520	10,469	20,158	35,520

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
100位	サンマリノ	VFN	37,340	35,230	34,737	10,586	28,636	37,340
101位	コンゴ共和国	VFR	35,357	34,589				35,357
102位	マリ	TFN	30,477	30,269	34,577	35,792	28,897	35,792
103位	アルメニア	TFR	19,561	27,651	32,397	3,138	14,142	32,397
104位	エクアドル	VFN	25,394	27,593	31,193	7,918	9,682	31,193
105位	ネパール	TFN	26,140	31,653	30,646	4,540	2,829	31,653
106位	キプロス	TCER	38,827	33,617	28,632	7,001	21,774	38,827
107位	ナミビア	TFN	31,758	30,576	27,976	3,506	7,199	31,758
108位	ジョージア	VFR	16,053	21,765	27,952	5,220	10,646	27,952
109位	コモロ	TFN	12,176	22,034	27,185	5,041	22,083	27,185
110位	エチオピア	TFR	28,940	26,804	25,623	6,347	6,698	28,940
111位	グアテマラ	VFR	22,173	22,002	23,378	7,909	5,416	23,378
112位	エスワティニ	VFR	32,802	26,162	21,091	4,371	692	32,802
113位	ウズベキスタン	VFR	5,577	13,579	20,390	1,068	3,356	20,390
114位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	15,851	20,282	20,242	1,610	8,547	20,282
115位	ブルキナファソ	TFSR	23,917	20,062	19,367	6,620	11,029	23,917
116位	クウェート	VFN	19,240	21,434	19,319	4,557	2,614	21,434
117位	ウルグアイ	VFN	20,708	19,741	19,243			20,708
118位	ジンバブエ	VFR	23,055	26,180	18,690	3,469	4,611	26,180
119位	バハマ	TFR	16,727	17,552	18,412	3,668	1,675	18,412
120位	イラン	VFN	45,576	28,389	17,020	576	447	45,576
121位	マカオ	TFSR	16,418	16,979	15,133	1,078	179	16,979
122位	ペナン	TFR	13,217	14,645	14,724	13,870		14,724
123位	中央アフリカ共和国	TFN	14,302	16,394	14,504	5,459		16,394
124位	ベネズエラ	TFN	14,423					14,423
125位	アンゴラ	TFR	11,837	10,208	13,928	4,804	3,851	13,928
126位	カザフスタン	VFR	13,432	12,620	13,257	1,993	2,657	13,432
127位	ボツワナ	TFR	11,869	12,699		932		12,699
128位	ハイチ	TFR	32,174	23,357	11,547	4,886	4,140	32,174
129位	ルワンダ	VFN	7,700	9,485	11,442	3,605	4,571	11,442
130位	モンゴル	TFN	10,038	9,773	10,572	305	213	10,572
131位	北マケドニア	TCEN	8,008	9,030	9,445	1,432	4,183	9,445
132位	バーレーン	VFR		9,794	9,329		1,581	9,794
133位	キルギス	VFR	7,446	8,353	9,247	635	2,875	9,247
134位	アゼルバイジャン	VFR	6,938	7,898	9,096	1,504	2,277	9,096
135位	ジャマイカ	TFR	7,400	9,012	8,274	2,766	765	9,012
136位	セントルシア	TFR	7,012	8,224	8,050	1,944	568	8,224
137位	ドミニカ国	TFR	5,918	3,753	7,423	2,006	331	7,423
138位	シリア	VFN	4,553	6,127	7,044	1,227	4,639	7,044
139位	ベリーズ	TFN	5,751	6,721	6,875	2,341	1,027	6,875
140位	ザンビア	TFR	5,092	6,460	6,142	1,627	1,956	6,460
141位	ニカラグア	TFN	14,392	9,417	6,081	3,178	2,284	14,392
142位	フィジー	TFR	5,798	6,443	5,644	907	115	6,443
143位	ウガンダ	TFR	5,604			1,059	1,184	5,604
144位	パラグアイ	TFN	4,787	4,508	5,377	1,205	597	5,377
145位	エルサルバドル	TFN	4,580	5,035	4,631	990	1,837	5,035
146位	モルドバ	TCEN	2,952	3,025	3,874	624	1,360	3,874
147位	キュラソー	TFR	1,756	2,057	3,486	987	916	3,486
148位	トリニダード・トバゴ	TFN	3,716	3,581	3,455	967	347	3,716
149位	バルバドス	TFR	4,942	5,164	3,055	1,550	412	5,164
150位	ホンジュラス	TFN	13,603	7,639	3,031	949	1,275	13,603

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

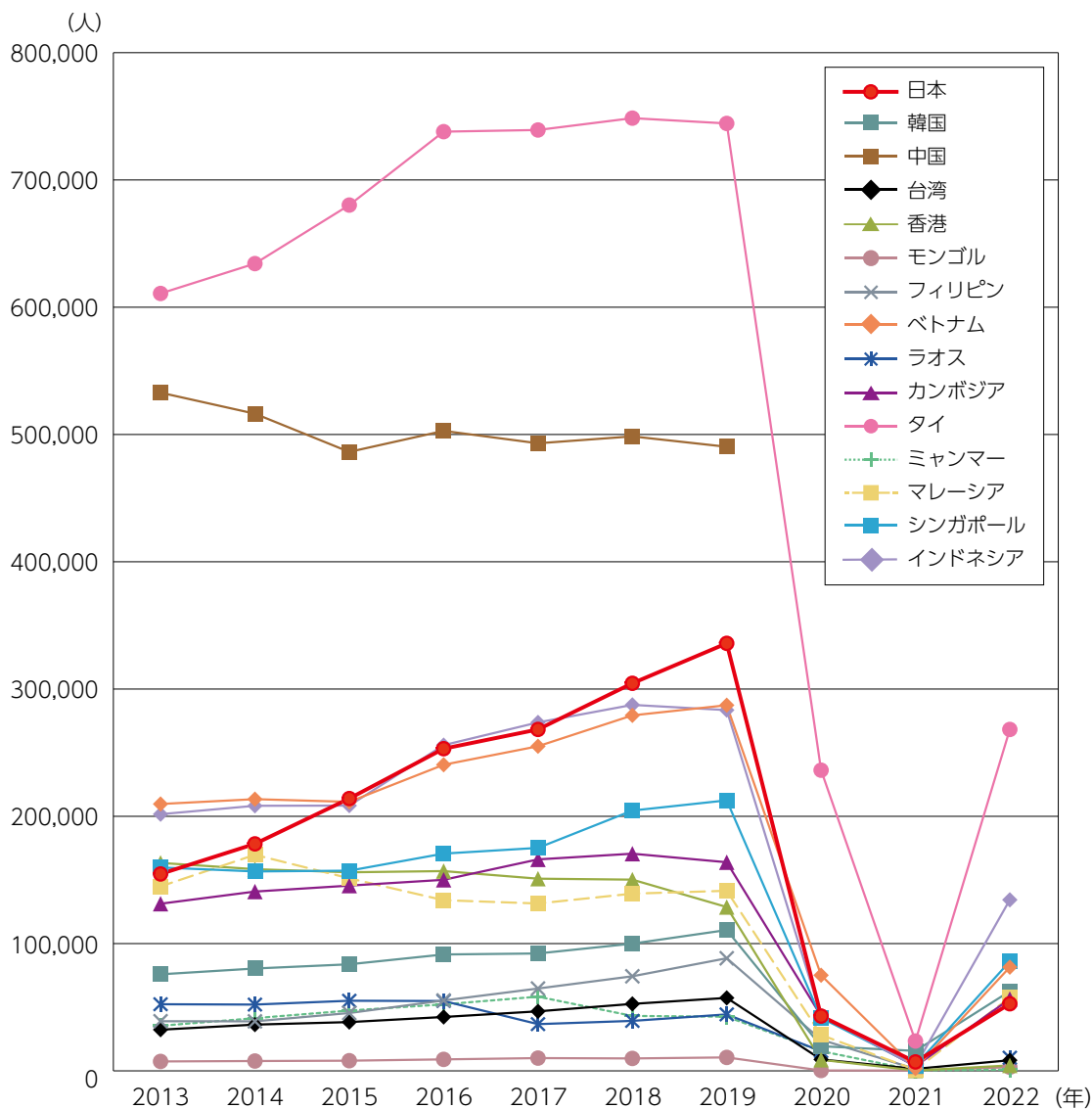
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選択し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのフランス人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	611,582	635,073	681,114	738,878	740,190	749,508	745,346	236,527	23,461	268,587
中国	VFN	533,538	517,000	486,935	503,480	493,712	499,160	490,963			
日本	VFN	154,892	178,570	214,228	253,449	268,605	304,896	336,333	43,102	7,024	52,782
ベトナム	VFR	209,946	213,745	211,636	240,808	255,369	279,659	287,655	75,223	1,866	81,575
インドネシア	VFN	201,917	208,537	208,679	256,229	274,117	287,917	283,814	43,438	3,776	134,541
シンガポール	VFR	160,013	156,882	157,483	170,913	175,413	204,769	212,808	41,621	4,214	86,090
カンボジア	TFR	131,486	141,052	145,724	150,294	166,356	170,844	164,117	43,174	3,642	56,509
マレーシア	TFN	145,108	169,973	151,474	134,257	131,668	139,408	141,661	28,237	843	57,780
香港	TFR	163,596	158,657	156,215	157,158	151,192	150,432	128,874	8,714	269	4,269
韓国	VFN	75,947	80,518	83,832	91,562	92,347	100,096	110,794	19,371	15,700	62,619
フィリピン	TFR	39,042	38,946	45,505	55,384	64,777	74,400	88,577	24,530	1,425	
台湾	VFR	32,384	36,379	38,364	42,380	46,822	52,687	57,393	8,975	1,567	8,349
ラオス	VFN	52,411	52,146	55,151	54,953	36,760	39,315	44,416	15,507		10,355
ミャンマー	TFN	35,462	41,453	47,435	52,304	58,369	43,218	42,608	15,520	360	898
モンゴル	TFN	7,407	7,733	7,989	9,026	10,038	9,773	10,572	305	213	2,863

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

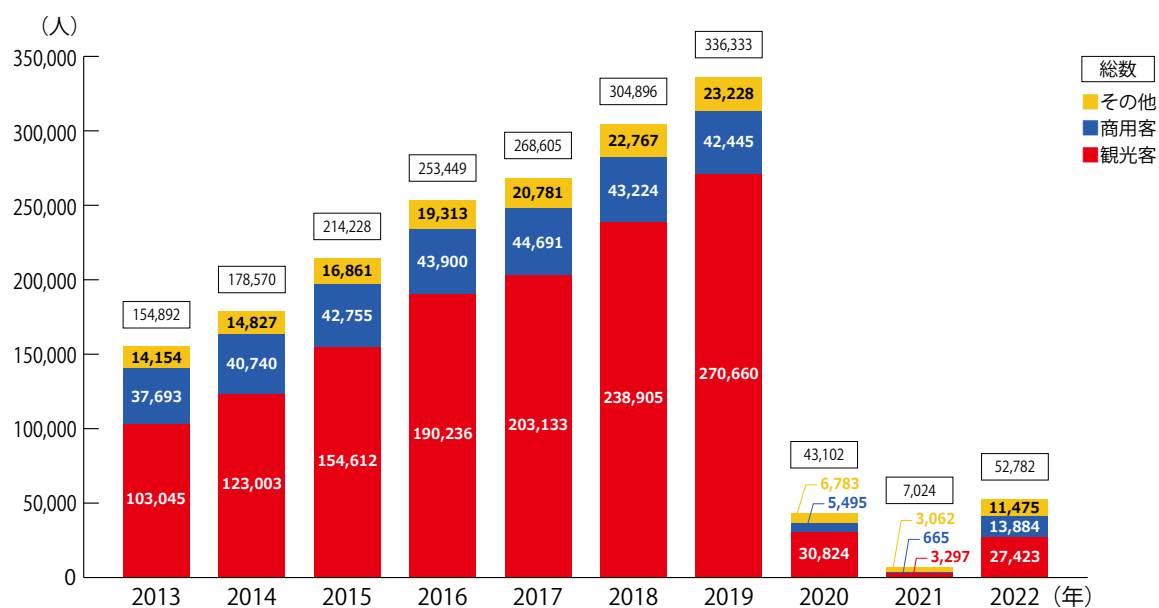
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局



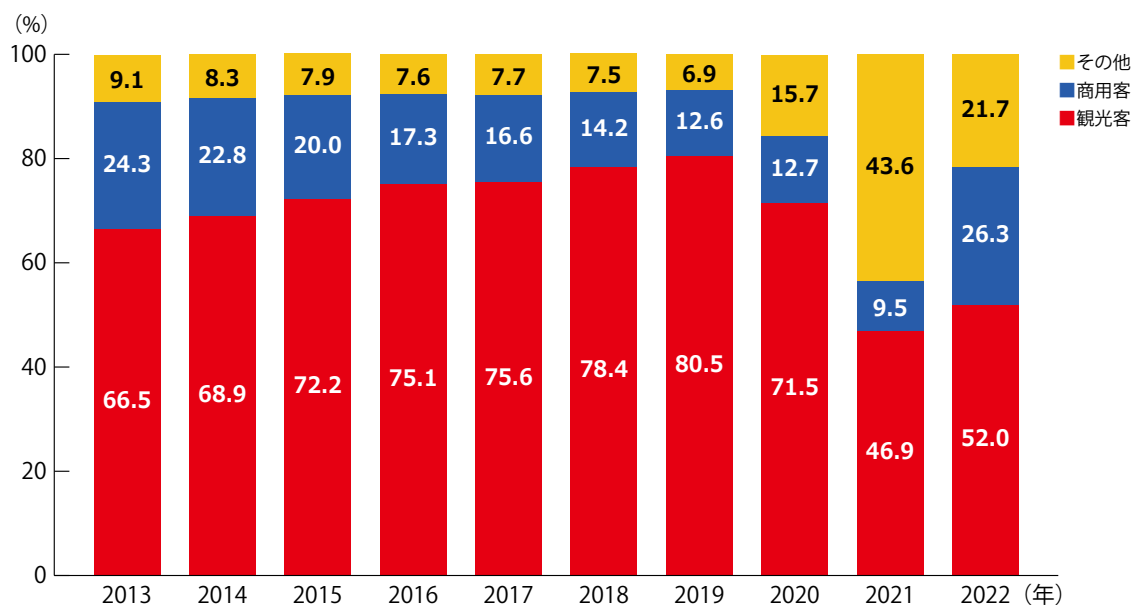
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日フランス人の推移（2013年～2022年）



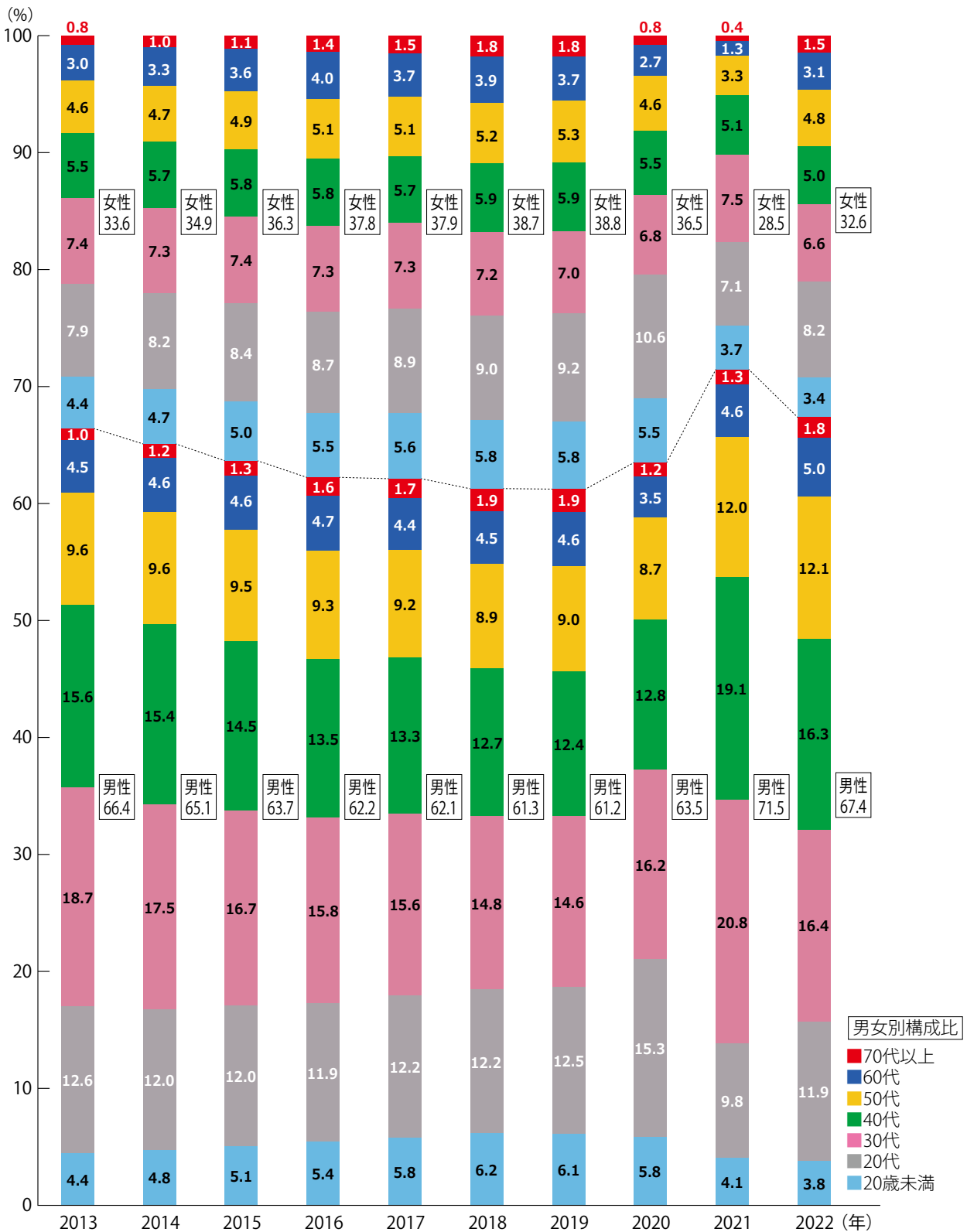
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 訪日フランス人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

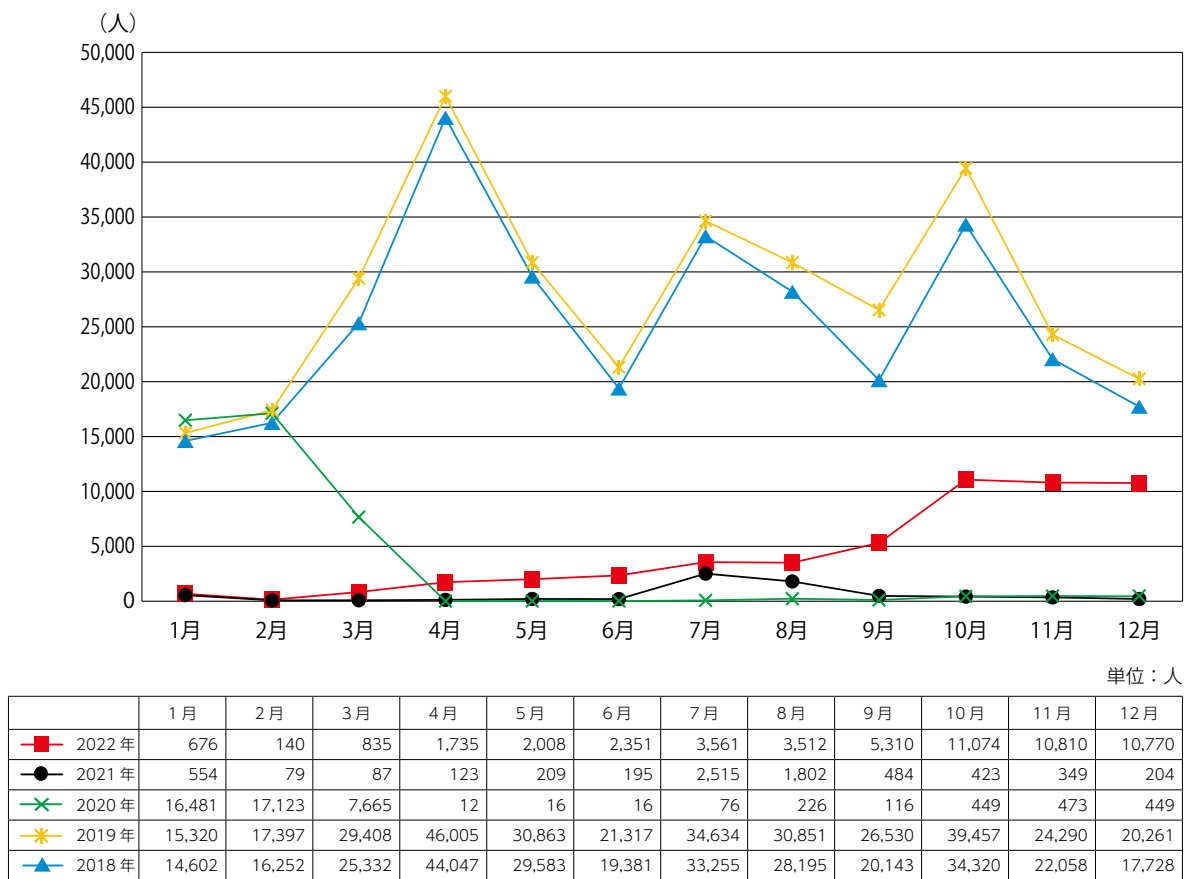
### (3) 訪日フランス人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

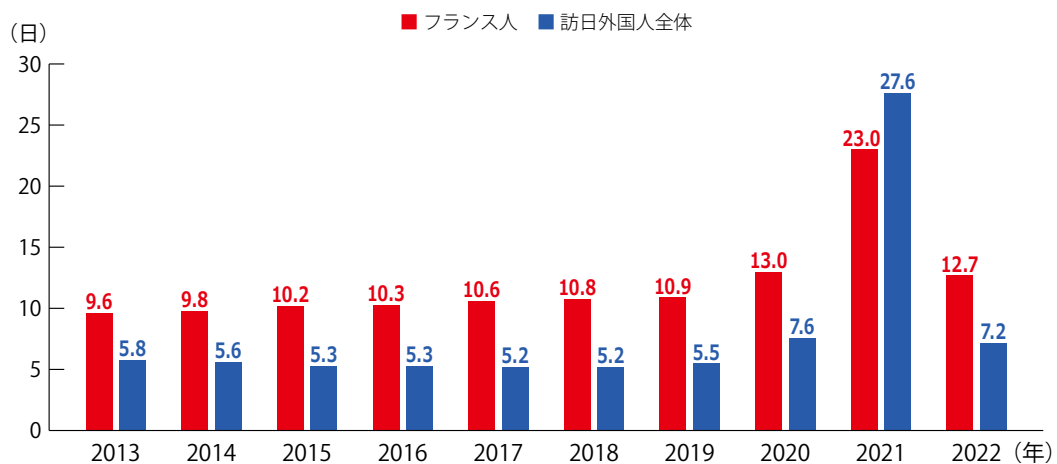
出典：日本国法務省

## (4) 月別訪日フランス人の推移（2018年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

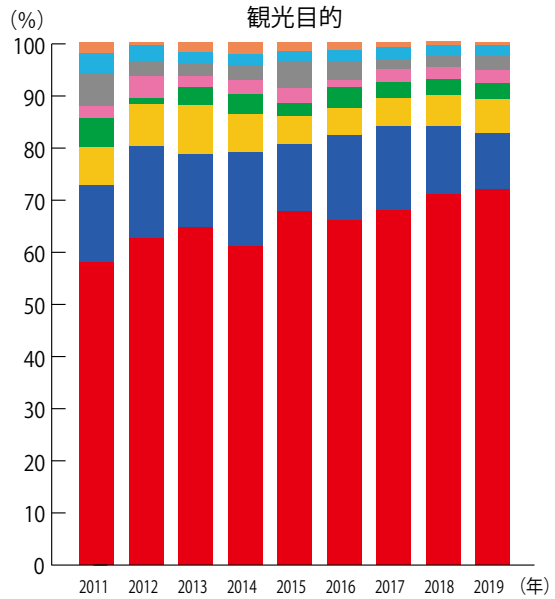
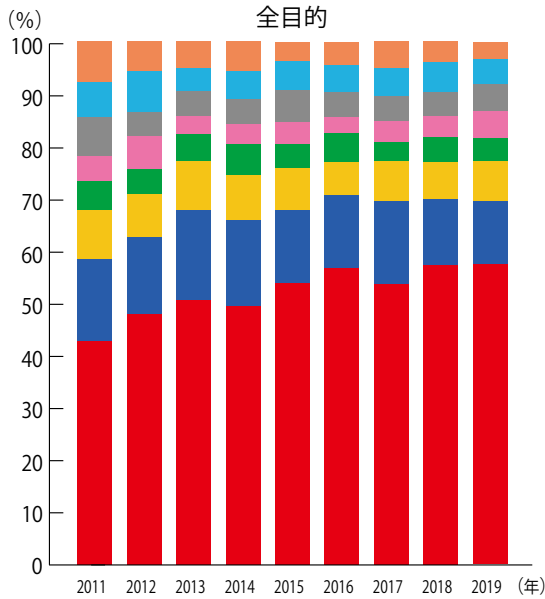
## (5) 訪日フランス人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (6) 訪日フランス人の訪日回数 (2011年～2019年)



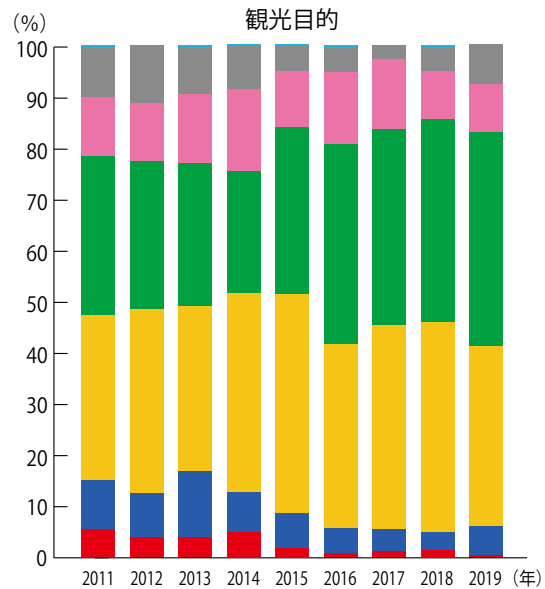
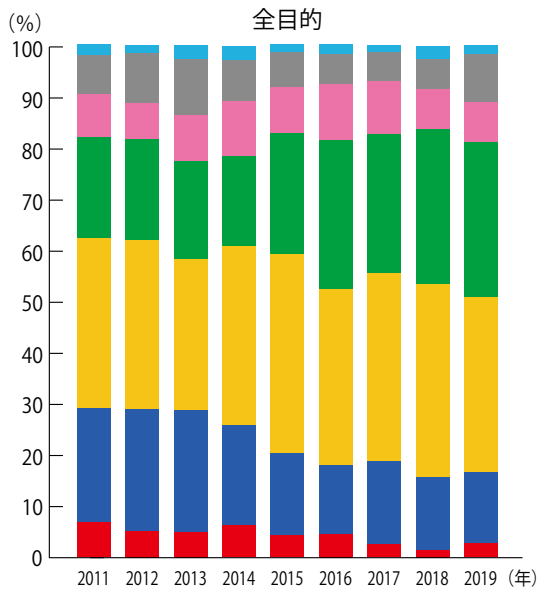
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	7.8	5.7	5.1	5.6	3.7	4.3	5.1	4.1	3.3
10～19回目	6.8	8.0	4.4	5.5	5.4	5.3	5.4	5.6	4.7
6～9回目	7.3	4.6	4.9	4.6	6.2	4.8	4.7	4.6	5.3
5回目	4.9	6.3	3.3	3.9	4.3	3.0	4.2	4.0	5.0
4回目	5.5	4.7	5.3	5.9	4.6	5.4	3.5	4.9	4.5
3回目	9.4	8.4	9.3	8.7	7.9	6.5	7.7	7.0	7.6
2回目	15.7	14.6	17.2	16.4	14.0	13.9	15.9	12.6	12.1
1回目	42.7	47.9	50.6	49.4	53.8	56.7	53.6	57.3	57.4

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	2.1	0.6	1.8	2.4	1.8	1.6	1.0	0.7	0.7
10～19回目	3.8	3.2	2.2	2.0	2.0	2.0	2.3	2.1	1.8
6～9回目	6.4	2.8	2.5	3.0	5.1	3.8	1.8	2.2	2.9
5回目	2.4	4.2	2.0	2.5	2.9	1.2	2.4	2.2	2.5
4回目	5.4	1.1	3.5	4.0	2.4	4.0	3.2	3.2	3.0
3回目	7.3	8.1	9.5	7.3	5.4	5.3	5.3	5.8	6.6
2回目	14.8	17.5	13.8	17.8	12.8	16.2	16.1	13.0	10.7
1回目	57.8	62.5	64.6	61.0	67.6	65.9	67.8	70.9	71.8

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日フランス人の滞在期間 (2011年～2019年)



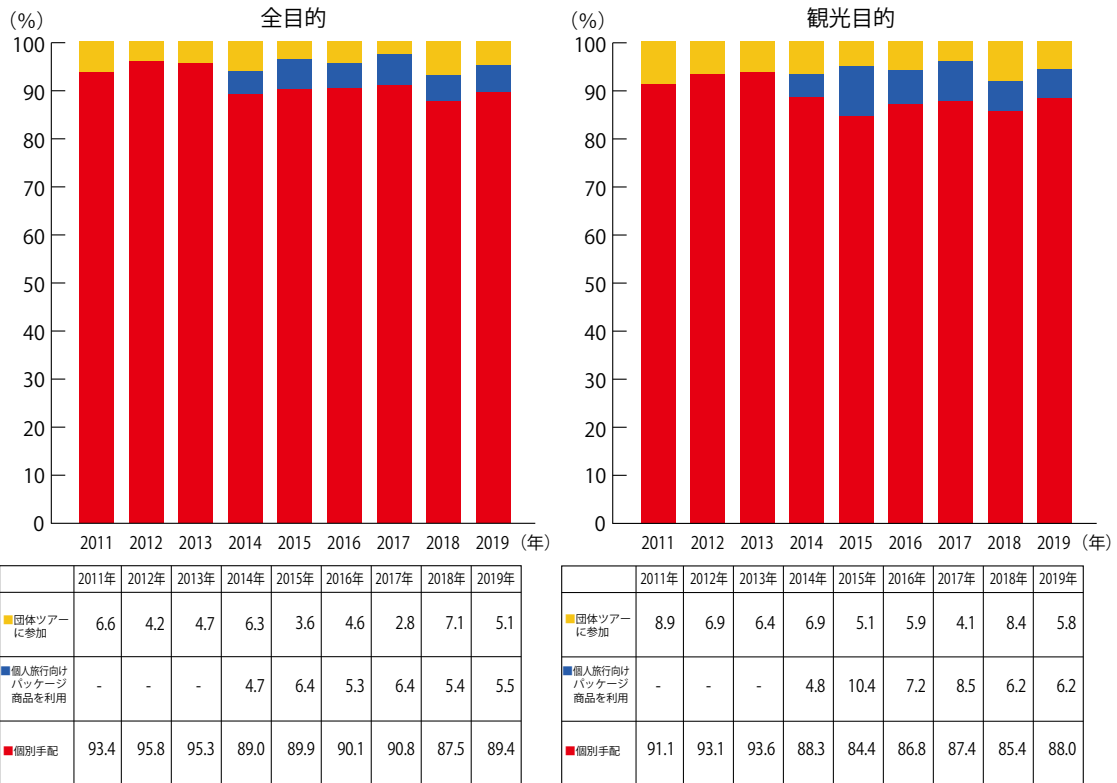
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	2.0	1.5	2.7	2.7	1.5	1.9	1.5	2.7	1.9
28～90日間	7.7	9.9	10.9	8.1	7.0	5.9	5.5	5.9	9.2
21～27日間	8.3	7.1	9.1	10.7	9.0	10.8	10.3	7.7	7.8
14～20日間	19.9	19.6	19.1	17.5	23.5	29.2	27.3	30.4	30.4
7～13日間	33.1	33.1	29.6	35.1	38.9	34.3	36.6	37.7	34.2
4～6日間	22.4	23.7	23.7	19.5	16.1	13.5	16.4	14.1	13.8
3日間以内	6.7	5.1	4.9	6.2	4.2	4.5	2.4	1.4	2.7

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
9日以上未満	0.4	0.0	0.3	0.4	0.4	0.5	0.0	0.3	0.0
28～90日間	9.7	11.3	9.2	8.3	4.9	4.9	2.6	4.8	7.7
21～27日間	11.6	11.3	13.5	15.9	10.8	13.9	13.8	9.4	9.3
14～20日間	31.0	28.9	27.8	24.0	32.6	39.0	38.3	39.6	41.9
7～13日間	32.3	36.0	32.3	38.8	42.7	36.1	39.7	40.9	35.2
4～6日間	9.6	8.5	12.8	7.9	7.0	4.8	4.3	3.7	5.6
3日間以内	5.4	4.0	4.0	4.8	1.7	0.8	1.2	1.3	0.4

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(8) 訪日フランス人の旅行形態（2011年～2019年）

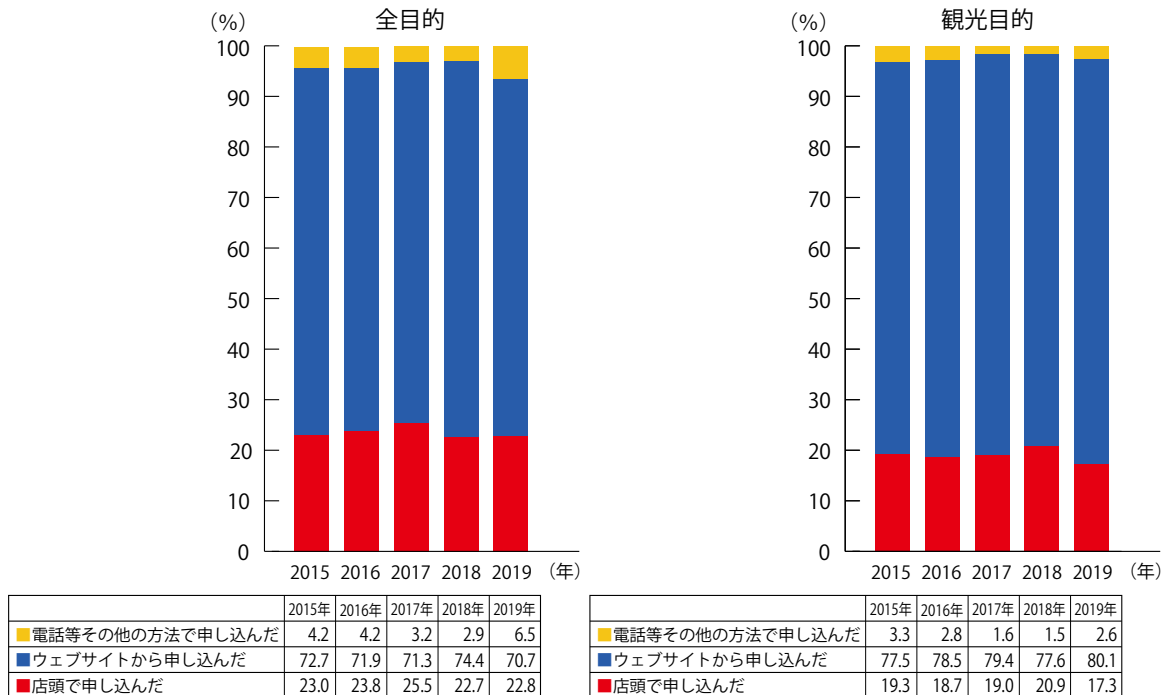


注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(9) 訪日フランス人の予約方法（2015年～2019年）

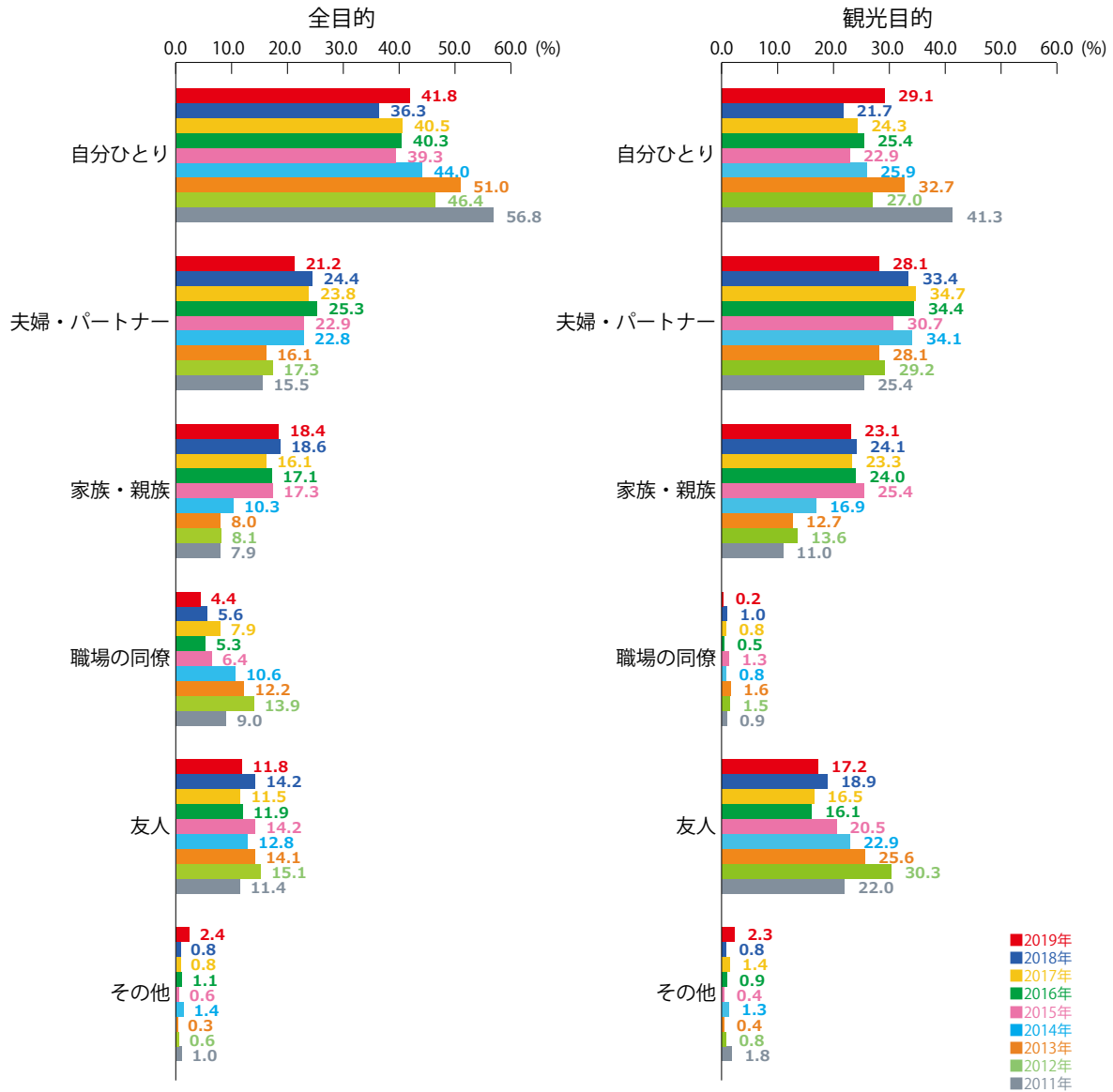


注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(10) 訪日フランス人の同行者 (2011年～2019年)



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日フランス人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年~2019年)

次ページへ

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	83.0 88.7 81.9 81.1 80.3	94.5 99.2 99.3 97.6 98.0	61.1 70.6 72.6 68.1 67.0
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	40.2 45.3 43.8 38.2 34.0	52.0 57.4 61.8 56.6 56.0	24.7 34.1 34.5 40.6 36.1
旅館に宿泊	25.5 27.5 26.1 29.1 26.7	28.3 29.0 33.1 37.5 36.7	36.4 37.1 41.0 37.3 42.4
温泉入浴	30.3 32.8 26.7 28.2 32.3	31.5 35.2 35.0 32.0 37.1	46.1 47.3 42.9 46.3 47.2
自然・景勝地観光	50.1 52.0 44.9 52.9 45.0	58.5 60.9 58.6 64.0 61.1	55.6 57.5 49.5 58.2 51.4
繁華街の街歩き	44.6 45.9 40.3 41.3 41.2	61.1 63.4 56.9 69.3 73.4	22.9 26.8 37.5 38.8 35.5
ショッピング	47.5 48.7 42.1 42.7 42.6	66.1 68.4 71.0 67.1 72.6	27.9 29.8 37.3 40.6 38.4
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	34.5 43.9 35.4 32.7 30.8	45.3 52.4 44.3 45.8 48.9	34.6 38.1 36.8 41.4 38.6
テーマパーク	7.3 10.4 7.6 8.2 10.1	10.7 12.5 11.2 13.9 15.6	11.7 18.2 14.0 15.9 17.3
スキー・スノーボード	1.1 2.6 2.1 2.7 3.0	0.4 2.7 1.4 1.9 2.1	8.1 9.9 12.4 11.1 12.6
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.4 2.8 3.6 4.2 2.4	3.2 4.3 4.2 6.0 3.0	6.0 4.5 8.1 8.7 8.5
舞台・音楽鑑賞	8.0 6.0 8.5 10.1 9.6	6.5 8.1 10.2 11.2 9.1	16.2 15.3 27.1 29.7 34.3
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	9.2 7.8 5.0 10.8 11.3	9.6 6.9 3.4 8.4 6.0	10.0 15.5 18.8 25.9 31.1
自然体験ツアー・農漁村体験	7.9 12.3 10.5 13.5 11.2	8.4 12.6 11.7 11.5 11.3	26.4 28.1 28.5 29.8 26.1
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	20.1 20.8 20.3 20.5 14.3	22.4 19.0 20.8 18.8 13.9	41.0 39.4 39.7 43.8 35.8
映画・アニメ縁の地を訪問	5.2 9.9 8.4 11.4 10.6	6.1 10.6 11.0 13.3 13.6	11.4 16.5 15.0 14.5 15.1
日本の歴史・伝統文化体験	50.9 53.6 42.5 41.1 38.7	59.1 58.5 53.9 53.0 51.8	45.7 49.5 47.7 46.8 46.2
日本の日常生活体験	45.2 45.6 40.4 40.4 38.6	52.3 53.6 54.7 55.0 55.5	36.1 42.9 40.3 43.3 40.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	21.1 24.7 19.7 21.7 21.7	26.0 32.0 29.5 31.9 31.7	15.0 21.1 20.8 21.5 24.0
治療・健診	0.2 1.2 0.9 0.3 0.9	0.6 2.1 2.0 1.2 2.5	0.2 0.7 2.0 3.3 2.5
上記には当てはまるものがない	3.9 3.9 8.3 7.6 6.6	0.3 0.0 0.3 0.2 0.6	0.8 1.1 1.1 0.5 2.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	83.6 90.8 87.4 85.0 83.6	92.8 99.1 99.6 97.2 98.6	60.0 72.4 71.2 65.5 67.9
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	40.2 44.2 45.6 38.6 35.6	50.7 53.1 59.7 54.7 52.1	24.6 32.2 44.8 39.2 35.4
旅館に宿泊	29.0 32.4 33.8 37.2 35.3	32.9 33.9 43.9 46.4 46.6	38.5 40.9 46.1 41.1 46.2
温泉入浴	31.7 31.9 34.0 32.7 38.7	33.9 43.5 39.3 35.0 44.8	48.6 48.3 47.2 52.6 52.3
自然・景勝地観光	62.3 60.0 56.3 61.9 57.1	70.5 71.1 72.0 75.0 76.1	60.6 60.1 54.7 59.5 52.9
繁華街の街歩き	51.2 53.0 47.1 49.2	68.1 71.8 79.4 75.8 83.2	24.3 28.7 42.5 39.5 44.3
ショッピング	50.3 53.7 50.9 48.2 51.0	70.8 73.4 80.4 73.0 82.0	24.4 30.0 42.1 41.4 45.8
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	44.6 51.3 40.6 40.1 39.1	55.9 59.6 58.3 56.9 63.8	34.0 40.1 41.1 43.9 41.6
テーマパーク	9.1 13.2 8.9 9.8 14.0	12.2 15.3 13.6 18.3 20.3	10.8 21.1 15.6 16.4 21.7
スキー・スノーボード	0.8 2.3 0.4 2.6 3.1	0.5 2.8 3.3 1.4 2.3	4.6 9.3 12.2 13.0 10.8
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.1 2.0 1.4 5.1 1.7	2.8 3.3 1.8 6.1 2.7	6.0 4.5 8.8 11.3 7.7
舞台・音楽鑑賞	11.2 5.1 11.8 10.4 12.1	7.5 7.2 13.0 11.3 12.6	22.5 16.6 29.8 30.5 37.6
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	8.2 8.6 5.8 12.7 15.9	8.9 7.7 2.6 9.5 6.5	13.2 18.1 21.7 27.8 34.6
自然体験ツアー・農漁村体験	8.1 15.6 12.6 15.1 14.7	9.8 16.3 14.4 13.5 14.3	23.9 27.1 32.4 28.9 29.9
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	23.9 23.4 25.1 24.8 17.2	25.7 21.5 26.5 21.6 17.1	44.0 43.6 46.9 47.4 39.8
映画・アニメ縁の地を訪問	8.1 11.3 10.5 15.0 14.8	9.6 12.7 14.2 17.7 18.4	11.3 19.2 19.5 17.5 19.5
日本の歴史・伝統文化体験	62.2 62.5 54.1 48.8 47.4	70.1 67.0 65.4 66.5 63.5	44.5 46.6 49.7 46.7 47.2
日本の日常生活体験	48.1 45.8 47.4 47.5 46.2	54.4 55.6 63.7 65.3 62.5	37.1 43.8 49.8 44.5 46.6
日本のポップカルチャーを楽しむ	26.6 31.0 27.8 28.2 28.6	32.4 38.5 41.3 40.5 42.9	16.4 25.9 26.2 25.6 29.4
治療・健診	0.3 0.3 0.8 0.0 1.3	0.3 0.9 1.4 1.2 1.0	0.3 0.3 2.2 4.5 2.1
上記には当てはまるものがない	1.1 2.9 3.5 3.5 1.3	0.3 0.0 0.0 0.0 0.0	0.3 0.9 0.5 0.0 0.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(12) フランス人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年~2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	17.7 14.2 17.1 24.7 23.6	18.3 16.0 19.3 30.0 30.7
旅行会社ホームページ	13.1 9.5 11.5 10.2 13.1	14.6 10.6 16.3 12.5 19.9
宿泊施設ホームページ	12.7 10.0 13.6 11.0 17.5	13.6 9.3 15.7 11.5 21.2
航空会社ホームページ	9.1 10.8 10.4 7.2 14.7	9.6 11.0 10.4 6.3 18.3
地方観光協会ホームページ	8.7 7.2 8.2 9.0 10.4	6.6 7.5 9.4 9.8 13.5
宿泊予約サイト	8.0 8.1 9.3 13.5 12.3	11.2 10.2 12.3 16.0 16.6
口コミサイト (トリップアドバイザー等)	26.6 27.7 22.3 31.1 27.1	31.3 35.4 26.5 39.5 35.9
SNS (Facebook/Twitter/ 微信等)	16.6 18.3 14.0 14.3 11.0	17.4 21.2 17.9 16.0 13.7
個人のブログ	25.1 23.2 27.2 24.3 23.4	27.9 28.0 37.1 29.5 31.2
動画サイト (YouTube/ 土豆網等)	21.4 19.8 13.0 15.4 9.8	27.1 23.2 17.1 19.0 12.6
その他インターネット	8.7 6.8 13.5 14.1 10.2	10.4 6.8 14.2 14.1 11.3
日本政府観光局の案内所	3.0 1.9 4.0 5.6 4.9	4.2 2.3 5.4 5.7 7.5
旅行会社パンフレット	3.9 5.2 6.2 6.7 4.7	3.6 6.8 8.2 8.5 6.5
旅行ガイドブック	25.2 28.1 28.7 33.7 31.6	30.1 35.1 37.8 37.0 41.4
自国の親族・知人	27.1 25.4 30.4 27.5 24.1	27.8 28.9 31.4 30.6 28.8
日本在住の親族・知人	22.2 28.7 31.8 30.7 30.5	15.3 22.8 23.6 27.3 24.5
旅行の展示会や見本市	0.4 0.7 1.2 1.6 1.1	0.3 1.1 1.3 1.8 0.9
テレビ番組	7.7 4.5 7.6 7.9 3.7	6.9 4.8 10.1 9.2 6.1
新聞	1.7 1.4 1.9 2.5 2.8	1.6 0.3 2.2 2.5 2.6
旅行専門誌	8.8 5.2 9.0 13.4 11.2	8.9 7.1 13.2 14.3 13.5
その他雑誌	4.4 0.3 1.2 1.2 1.2	7.1 0.0 1.7 1.6 1.7
その他	0.5 2.1 4.6 5.0 4.2	0.3 0.9 2.6 3.7 2.9
特になし	5.5 6.0 6.7 6.7 6.2	2.3 1.9 2.6 1.7 2.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) フランス人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	21.4 26.7	24.1 32.2
交通手段	63.6 62.1	65.2 62.6
飲食店	32.8 29.1	30.1 25.6
観光施設	22.0 29.1	25.8 32.9
イベント	8.5 6.4	6.9 6.0
土産物	12.7 16.3	13.5 18.6
買物場所	12.3 12.0	11.8 13.8
無料Wi-Fi	46.2 51.4	51.2 51.6
祈祷室	0.5 0.6	0.9 0.9
ATM	24.9 21.7	25.2 22.3
宅配便	1.7 4.2	1.6 1.7
日本文化体験プログラム	7.8 8.8	7.9 9.0
自然体験ツアー・農山漁村体験	5.5 5.1	5.2 5.7
通訳案内士・観光ガイド	4.7 5.1	5.0 6.1
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	4.8 6.1	6.5 8.9
クレジットカード利用可能店舗	9.5 9.9	10.7 8.7
その他	1.1 0.5	1.0 0.2
特になし	7.8 6.2	5.3 4.5

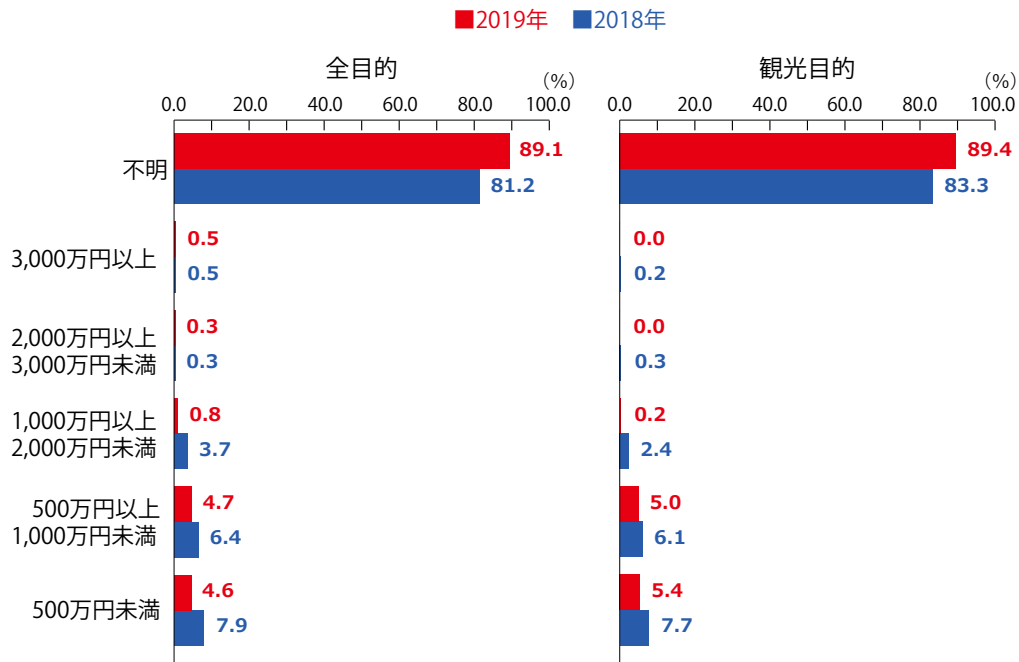
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

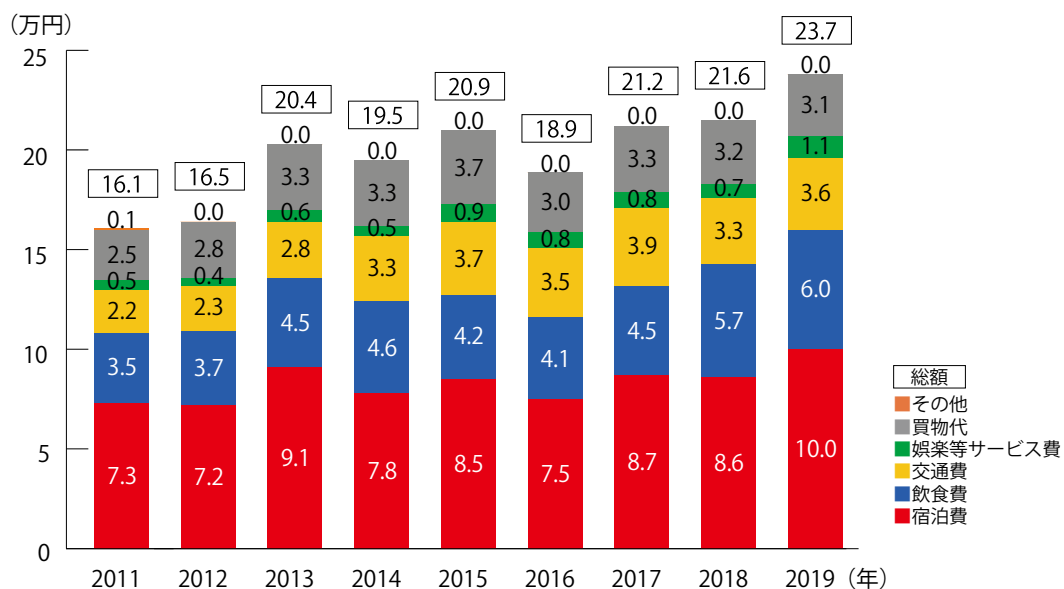
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(14) 訪日フランス人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(15) 訪日フランス人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日フランス人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	624	237,420	370	256,599	
滞在日数	3日間以内	18	67,429	2	93,165
	4～6日間	89	115,354	21	113,595
	7～13日間	210	205,159	129	221,105
	14～20日間	188	258,645	155	252,768
	21～27日間	49	320,508	35	365,498
	28～90日間	58	334,525	28	420,923
	91日間以上1年未満	12	791,330	0	-
性・年代	男性	402	230,456	236	256,439
	15～19歳	19	190,044	14	195,447
	20～29歳	124	221,446	89	235,814
	30～39歳	98	234,042	51	272,569
	40～49歳	77	246,118	35	287,950
	50～59歳	52	223,017	31	266,845
	60～69歳	26	229,373	10	238,389
	70歳以上	6	347,043	6	347,043
	女性	222	249,959	134	256,879
	15～19歳	16	191,117	11	216,780
	20～29歳	70	315,111	43	233,274
	30～39歳	52	222,112	37	247,912
	40～49歳	38	207,472	21	237,478
	50～59歳	26	234,069	15	290,042
60～69歳	17	275,690	7	490,577	
70歳以上	3	70,588	0	-	
日本への 来訪回数	1回目	353	249,018	263	251,412
	2回目	77	271,840	40	284,430
	3回目	48	217,342	25	218,088
	4回目	29	216,232	12	287,262
	5回目	32	222,381	9	345,859
	6～9回目	34	155,839	11	237,142
	10～19回目	30	141,222	7	242,012
	20回目以上	21	275,304	3	386,939

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日フランス人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的		観光目的	
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	30 380,707	20 432,260	
	個人旅行向けパッケージ商品	34 395,612	23 417,053	
	往復航空（船舶）運賃	560 127,272	327 116,611	
日本滞在中の支出	宿泊料金	511 106,380	323 105,211	
	飲食費	592 55,060	360 56,513	
	交通費	576 33,337	353 37,852	
	航空（日本国内移動のみ）	23 30,864	11 31,133	
	Japan Rail Pass	206 41,220	179 42,100	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	446 15,132	256 14,144	
	バス	180 4,642	131 4,467	
	タクシー	170 8,405	87 6,836	
	レンタカー	27 28,630	17 32,746	
	船舶（日本国内移動のみ）	11 3,212	8 3,075	
	その他交通費	2 47,691	2 47,691	
	娯楽等サービス費	368 16,099	269 14,086	
	現地ツアー・観光ガイド	32 15,878	24 19,135	
	ゴルフ場	4 14,446	3 18,668	
	テーマパーク	48 8,567	32 7,874	
	舞台・音楽鑑賞	21 7,661	14 8,319	
	スポーツ観戦	22 75,739	10 75,628	
	美術館・博物館・動物園・水族館	283 5,684	217 5,677	
	スキー場リフト	2 33,112	1 57,457	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	54 5,287	40 5,763	
	マッサージ・医療費	18 9,446	11 7,300	
	展示会・コンベンション参加費	15 3,911	9 3,085	
	レンタル料（レンタカーを除く）	4 3,662	3 4,205	
	その他娯楽等サービス費	32 29,186	22 23,664	
	買物代	588 32,615	358 31,842	
	菓子類	294 6,707	196 5,915	
	酒類	172 8,946	115 6,778	
	生鮮農産物	50 8,635	34 6,340	
	その他食料品・飲料・たばこ	218 9,720	132 8,967	
	化粧品・香水	50 15,254	30 11,489	
	医薬品	20 4,563	15 3,105	
	健康グッズ・トイレタリー	22 3,444	12 3,354	
	衣類	255 17,168	166 16,777	
靴・かばん・革製品	66 16,875	47 14,791		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	47 26,611	28 17,291		
時計・フィルムカメラ	6 16,492	5 14,814		
宝石・貴金属	15 7,171	10 5,450		
民芸品・伝統工芸品	219 12,568	148 11,511		
本・雑誌・ガイドブックなど	85 5,424	58 4,974		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	36 13,263	26 14,792		
その他買物代	71 20,296	46 25,037		
その他	0 -	0 -		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日フランス人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	45.5 44.2 47.1 51.3 52.1	47.6 48.4 53.0 58.3 56.3
家電量販店	17.4 17.9 16.3 21.0 19.5	18.4 20.0 19.2 23.9 26.0
ファッション専門店	26.2 26.8 25.8 23.8 25.4	27.9 31.2 31.2 28.7 30.9
100円ショップ	26.9 31.6 27.2 31.7 29.8	29.1 34.9 30.5 37.4 33.7
高速道路のSA・道の駅	3.1 2.4 2.8 2.4 2.4	3.3 2.5 2.9 2.5 3.6
観光地の土産店	41.3 45.0 42.9 44.1 43.5	52.8 53.2 50.1 54.0 55.2
宿泊施設	4.8 3.2 3.5 6.5 6.1	4.6 3.0 3.1 6.3 6.4
スーパーマーケット	48.8 51.9 52.0 49.2 46.6	52.0 55.7 55.9 55.4 53.0
コンビニエンスストア	62.7 55.9 51.6 49.9 45.3	65.6 59.7 59.9 55.3 52.7
ドラッグストア	18.2 15.5 13.9 13.3 13.8	18.0 15.7 15.7 13.4 15.8
ディスカウントストア	8.3 7.6 5.7 5.0 3.9	9.9 8.0 7.8 5.9 5.3
アウトレットモール	4.0 3.3 4.3 3.6 4.3	3.6 4.4 3.9 3.6 5.3
都心の複合商業施設	29.6 25.5 22.5 25.9 27.3	34.8 32.2 27.0 33.0 35.4
その他ショッピングセンター	11.7 8.4 6.1 9.1 7.7	12.6 10.3 7.6 10.3 9.0
鉄道駅構内の店舗	16.4 17.7 21.8 20.2 18.8	19.5 19.3 27.9 24.2 24.3
空港の免税店	39.6 36.5 37.3 40.0 41.1	40.7 37.3 37.8 40.0 45.3
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.6 0.7	0.7 0.5
その他	6.7 7.5 5.3 5.9 5.3	8.0 7.4 6.6 7.0 5.9
買い物はしなかった	4.3 5.2 5.7 6.7 6.0	1.9 2.1 1.3 1.9 0.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日フランス人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	2019年: 21.4 2018年: 23.4
消費税免税の手続きをしていない	2019年: 78.6 2018年: 76.6

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	2019年: 2.0 2018年: 4.6
酒類	2019年: 1.2 2018年: 4.6
生鮮農産物	2019年: 0.0 2018年: 0.4
その他食料品・飲料・たばこ	2019年: 1.2 2018年: 1.6
化粧品・香水	2019年: 1.8 2018年: 1.2
医薬品	2019年: 0.0 2018年: 0.3
健康グッズ・トイレタリー	2019年: 0.0 2018年: 0.2
衣類	2019年: 8.9 2018年: 10.2
靴・かばん・革製品	2019年: 2.2 2018年: 2.5
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	2019年: 1.0 2018年: 1.0
時計・フィルムカメラ	2019年: 0.1 2018年: 0.5
宝石・貴金属	2019年: 0.2 2018年: 0.5
民芸品・伝統工芸品	2019年: 5.5 2018年: 4.0
本・雑誌・ガイドブックなど	2019年: 0.7 2018年: 1.3
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	2019年: 1.1 2018年: 1.8
その他買物代	2019年: 1.5 2018年: 2.3

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日フランス人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	92.8 94.9	97.0 98.3
クレジットカード	66.7 61.5	64.5 57.7
交通系ICカード（Suica等）	20.2 19.0	21.4 21.3
その他ICカード（Edy等）	0.3 0.3	0.4 0.4
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	2.6 2.0	2.5 2.6
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.0 0.2	0.1 0.2
仮想通貨（BitCoin等）	0.1 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.1 0.1	0.1 0.0
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.5 0.2	0.1 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (21) 訪日フランス人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	78.7	81.7	80.0	78.4	86.4	87.3	86.7	87.5	87.7
千葉県	2位	5.9	5.9	4.8	6.7	63.3	56.1	51.5	49.2	49.2
京都府	3位	33.5	29.4	37.4	44.7	47.0	48.5	52.3	47.6	45.2
大阪府	4位	17.8	15.8	20.6	27.5	35.9	39.6	40.0	41.4	40.8
神奈川県	5位	14.5	16.2	18.8	21.5	20.5	14.4	18.8	16.2	17.2
広島県	6位	10.9	9.8	10.8	13.5	14.3	18.2	15.0	15.0	14.1
奈良県	7位	10.1	6.5	8.3	12.4	9.7	11.4	12.4	13.1	11.9
兵庫県	8位	4.9	3.4	4.6	7.3	6.4	8.3	8.6	8.3	7.8
岐阜県	9位	3.9	2.6	4.2	5.0	7.9	6.4	7.2	5.0	5.9
山梨県	10位	6.1	3.4	5.7	4.3	5.4	5.0	4.0	6.4	5.7
石川県	11位	3.0	2.5	3.7	4.3	5.0	5.4	8.0	5.5	5.1
愛知県	12位	7.4	5.6	5.9	6.9	4.7	5.3	6.4	4.4	5.1
静岡県	13位	4.9	3.6	3.3	7.0	4.2	5.0	6.4	3.7	4.6
栃木県	14位	5.2	4.7	5.1	6.3	5.8	5.1	5.9	5.2	4.4
和歌山県	15位	4.7	3.3	2.9	4.5	4.3	7.0	3.9	5.6	3.6
福岡県	16位	6.2	4.7	2.6	2.4	3.4	4.4	2.6	2.8	3.6
長野県	17位	3.6	2.6	2.5	3.8	4.8	4.1	5.4	3.6	3.5
北海道	18位	2.3	1.9	1.9	2.6	3.1	1.2	2.7	3.5	3.5
沖縄県	19位	2.2	0.8	2.5	3.1	3.4	2.8	1.5	2.3	2.4
香川県	20位	0.7	1.2	1.4	1.8	0.9	2.6	1.8	2.2	1.7
岡山県	21位	1.4	2.8	1.8	1.6	1.8	3.1	3.4	2.5	1.5
大分県	22位	1.9	0.9	0.8	0.8	0.5	1.2	1.4	0.9	1.3
鹿児島県	23位	3.6	1.4	2.0	1.8	2.8	0.9	1.8	1.6	1.2
宮城県	24位	1.1	1.5	0.8	2.2	1.4	0.7	0.3	1.5	1.1
茨城県	25位	0.5	1.0	1.1	1.9	0.9	0.5	1.3	1.2	1.0
長崎県	26位	2.0	0.8	0.9	1.4	0.5	1.6	1.0	1.7	1.0
徳島県	27位	0.5	0.3	0.2	0.4	0.6	0.7	0.7	1.0	1.0
群馬県	28位	1.8	1.2	1.5	1.4	1.0	0.9	0.1	0.5	0.9
埼玉県	29位	3.6	2.8	2.7	2.1	1.5	3.3	2.3	1.6	0.9
熊本県	30位	3.3	1.7	1.4	1.8	1.8	1.3	0.7	1.0	0.9
新潟県	31位	0.3	2.2	0.6	1.0	0.2	0.6	1.3	0.9	0.9
鳥取県	32位	0.2	0.1	0.4	0.0	0.2	1.1	0.4	0.7	0.8
青森県	33位	1.0	0.1	0.5	0.2	0.6	0.3	0.7	0.5	0.7
島根県	34位	1.1	0.5	0.5	0.4	0.5	1.0	0.7	1.1	0.7
愛媛県	35位	0.9	1.0	0.8	0.8	0.4	0.7	0.8	1.3	0.7
岩手県	36位	0.2	0.3	0.7	0.0	0.0	0.2	0.1	0.5	0.6
三重県	37位	1.0	1.0	0.5	1.0	0.7	0.7	0.7	1.0	0.6
山形県	38位	0.2	0.3	0.0	0.6	0.5	0.0	0.4	0.7	0.6
滋賀県	39位	0.8	0.4	1.1	1.2	0.8	0.5	0.2	0.4	0.5
高知県	40位	0.2	0.1	0.3	0.4	0.3	0.8	0.2	0.4	0.5
秋田県	41位	0.5	0.8	0.2	0.8	0.2	0.0	0.7	0.4	0.3
富山県	42位	0.4	0.0	0.3	0.2	0.5	0.0	0.8	0.4	0.3
山口県	43位	0.6	0.3	0.0	0.2	0.1	0.7	0.4	0.4	0.2
福島県	44位	1.1	0.6	0.6	0.4	0.9	0.0	0.5	0.6	0.2
宮崎県	45位	0.5	0.0	0.1	0.4	0.5	0.4	0.1	0.6	0.1
福井県	46位	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.4	0.3	0.6	0.1
佐賀県	47位	0.2	0.0	0.4	0.8	0.4	0.0	0.2	0.1	0.1

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日フランス人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	385,760 (43.0%)	496,340 (43.0%)	652,240 (41.7%)
京都府	2位	141,290 (15.8%)	193,090 (16.7%)	345,610 (22.1%)
大阪府	3位	70,990 (7.9%)	92,040 (8.0%)	116,850 (7.5%)
神奈川県	4位	48,560 (5.4%)	53,330 (4.6%)	55,200 (3.5%)
広島県	5位	38,920 (4.3%)	50,590 (4.4%)	58,790 (3.8%)
千葉県	6位	18,400 (2.1%)	20,290 (1.8%)	27,340 (1.7%)
北海道	7位	10,940 (1.2%)	14,040 (1.2%)	16,840 (1.1%)
兵庫県	8位	13,410 (1.5%)	13,920 (1.2%)	17,140 (1.1%)
愛知県	9位	13,720 (1.5%)	13,690 (1.2%)	19,400 (1.2%)
石川県	10位	17,350 (1.9%)	25,020 (2.2%)	27,410 (1.8%)
静岡県	11位	8,650 (1.0%)	10,000 (0.9%)	11,160 (0.7%)
福岡県	12位	6,760 (0.8%)	7,490 (0.6%)	18,850 (1.2%)
岡山県	13位	13,630 (1.5%)	17,340 (1.5%)	15,710 (1.0%)
岐阜県	14位	17,010 (1.9%)	20,270 (1.8%)	25,280 (1.6%)
長野県	15位	9,130 (1.0%)	11,440 (1.0%)	11,930 (0.8%)
長崎県	16位	3,290 (0.4%)	4,340 (0.4%)	4,420 (0.3%)
奈良県	17位	7,900 (0.9%)	13,850 (1.2%)	16,780 (1.1%)
沖縄県	18位	8,840 (1.0%)	15,230 (1.3%)	15,460 (1.0%)
三重県	19位	4,030 (0.4%)	4,820 (0.4%)	5,650 (0.4%)
山梨県	20位	8,750 (1.0%)	11,180 (1.0%)	13,560 (0.9%)
宮城県	21位	1,840 (0.2%)	3,270 (0.3%)	3,800 (0.2%)
鹿児島県	22位	4,090 (0.5%)	4,830 (0.4%)	5,810 (0.4%)
埼玉県	23位	1,880 (0.2%)	1,980 (0.2%)	3,250 (0.2%)
香川県	24位	3,570 (0.4%)	7,500 (0.7%)	10,520 (0.7%)
福島県	25位	510 (0.1%)	1,300 (0.1%)	920 (0.1%)
茨城県	26位	1,850 (0.2%)	1,970 (0.2%)	2,280 (0.1%)
栃木県	27位	5,300 (0.6%)	5,380 (0.5%)	7,040 (0.5%)
熊本県	28位	3,040 (0.3%)	4,090 (0.4%)	13,560 (0.9%)
和歌山県	29位	5,900 (0.7%)	6,890 (0.6%)	5,740 (0.4%)
宮崎県	30位	590 (0.1%)	1,230 (0.1%)	1,220 (0.1%)
徳島県	31位	1,650 (0.2%)	2,430 (0.2%)	2,120 (0.1%)
新潟県	32位	840 (0.1%)	1,490 (0.1%)	1,990 (0.1%)
大分県	33位	1,920 (0.2%)	2,770 (0.2%)	7,080 (0.5%)
愛媛県	34位	2,420 (0.3%)	3,020 (0.3%)	2,880 (0.2%)
山口県	35位	570 (0.1%)	590 (0.1%)	960 (0.1%)
群馬県	36位	1,460 (0.2%)	1,570 (0.1%)	1,480 (0.1%)
滋賀県	37位	3,700 (0.4%)	2,200 (0.2%)	3,310 (0.2%)
青森県	38位	1,760 (0.2%)	1,840 (0.2%)	2,450 (0.2%)
島根県	39位	1,890 (0.2%)	3,550 (0.3%)	3,830 (0.2%)
岩手県	40位	690 (0.1%)	1,010 (0.1%)	1,340 (0.1%)
富山県	41位	750 (0.1%)	1,320 (0.1%)	1,150 (0.1%)
秋田県	42位	650 (0.1%)	1,040 (0.1%)	1,080 (0.1%)
山形県	43位	370 (0.0%)	700 (0.1%)	990 (0.1%)
佐賀県	44位	630 (0.1%)	580 (0.1%)	800 (0.1%)
福井県	45位	610 (0.1%)	770 (0.1%)	750 (0.0%)
高知県	46位	550 (0.1%)	600 (0.1%)	860 (0.1%)
鳥取県	47位	670 (0.1%)	1,410 (0.1%)	1,250 (0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

フランス

▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	91,340 (48.0%)	61,890 (75.2%)	121,120 (54.2%)
京都府	2位	27,650 (14.5%)	1,300 (1.6%)	37,620 (16.8%)
大阪府	3位	14,910 (7.8%)	3,120 (3.8%)	14,270 (6.4%)
神奈川県	4位	7,050 (3.7%)	1,270 (1.5%)	9,430 (4.2%)
広島県	5位	3,590 (1.9%)	80 (0.1%)	3,520 (1.6%)
千葉県	6位	7,170 (3.8%)	1,580 (1.9%)	3,330 (1.5%)
北海道	7位	8,360 (4.4%)	710 (0.9%)	2,640 (1.2%)
兵庫県	8位	1,880 (1.0%)	1,170 (1.4%)	2,630 (1.2%)
愛知県	9位	2,540 (1.3%)	330 (0.4%)	2,560 (1.1%)
石川県	10位	2,050 (1.1%)	1,370 (1.7%)	2,470 (1.1%)
静岡県	11位	1,860 (1.0%)	1,110 (1.3%)	2,240 (1.0%)
福岡県	12位	1,410 (0.7%)	280 (0.3%)	1,870 (0.8%)
岡山県	13位	1,290 (0.7%)	80 (0.1%)	1,760 (0.8%)
岐阜県	14位	1,610 (0.8%)	140 (0.2%)	1,640 (0.7%)
長野県	15位	2,180 (1.1%)	390 (0.5%)	1,390 (0.6%)
長崎県	16位	370 (0.2%)	200 (0.2%)	1,160 (0.5%)
奈良県	17位	1,200 (0.6%)	100 (0.1%)	1,150 (0.5%)
沖縄県	18位	1,450 (0.8%)	800 (1.0%)	1,080 (0.5%)
三重県	19位	320 (0.2%)	20 (0.0%)	1,070 (0.5%)
山梨県	20位	920 (0.5%)	2,600 (3.2%)	1,030 (0.5%)
宮城県	21位	670 (0.4%)	130 (0.2%)	1,010 (0.5%)
鹿児島県	22位	760 (0.4%)	760 (0.9%)	970 (0.4%)
埼玉県	23位	640 (0.3%)	580 (0.7%)	710 (0.3%)
香川県	24位	530 (0.3%)	140 (0.2%)	670 (0.3%)
福島県	25位	380 (0.2%)	60 (0.1%)	580 (0.3%)
茨城県	26位	350 (0.2%)	230 (0.3%)	530 (0.2%)
栃木県	27位	770 (0.4%)	160 (0.2%)	520 (0.2%)
熊本県	28位	620 (0.3%)	90 (0.1%)	440 (0.2%)
和歌山県	29位	740 (0.4%)	40 (0.0%)	380 (0.2%)
宮崎県	30位	220 (0.1%)	390 (0.5%)	380 (0.2%)
徳島県	31位	380 (0.2%)	70 (0.1%)	370 (0.2%)
新潟県	32位	810 (0.4%)	270 (0.3%)	340 (0.2%)
大分県	33位	520 (0.3%)	50 (0.1%)	320 (0.1%)
愛媛県	34位	300 (0.2%)	70 (0.1%)	260 (0.1%)
山口県	35位	120 (0.1%)	50 (0.1%)	240 (0.1%)
群馬県	36位	330 (0.2%)	80 (0.1%)	230 (0.1%)
滋賀県	37位	280 (0.1%)	30 (0.0%)	230 (0.1%)
青森県	38位	870 (0.5%)	310 (0.4%)	220 (0.1%)
島根県	39位	280 (0.1%)	20 (0.0%)	220 (0.1%)
岩手県	40位	410 (0.2%)	40 (0.0%)	210 (0.1%)
富山県	41位	130 (0.1%)	50 (0.1%)	210 (0.1%)
秋田県	42位	250 (0.1%)	30 (0.0%)	150 (0.1%)
山形県	43位	240 (0.1%)	40 (0.0%)	140 (0.1%)
佐賀県	44位	70 (0.0%)	10 (0.0%)	130 (0.1%)
福井県	45位	50 (0.0%)	30 (0.0%)	80 (0.0%)
高知県	46位	140 (0.1%)	20 (0.0%)	80 (0.0%)
鳥取県	47位	160 (0.1%)	0 (0.0%)	40 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

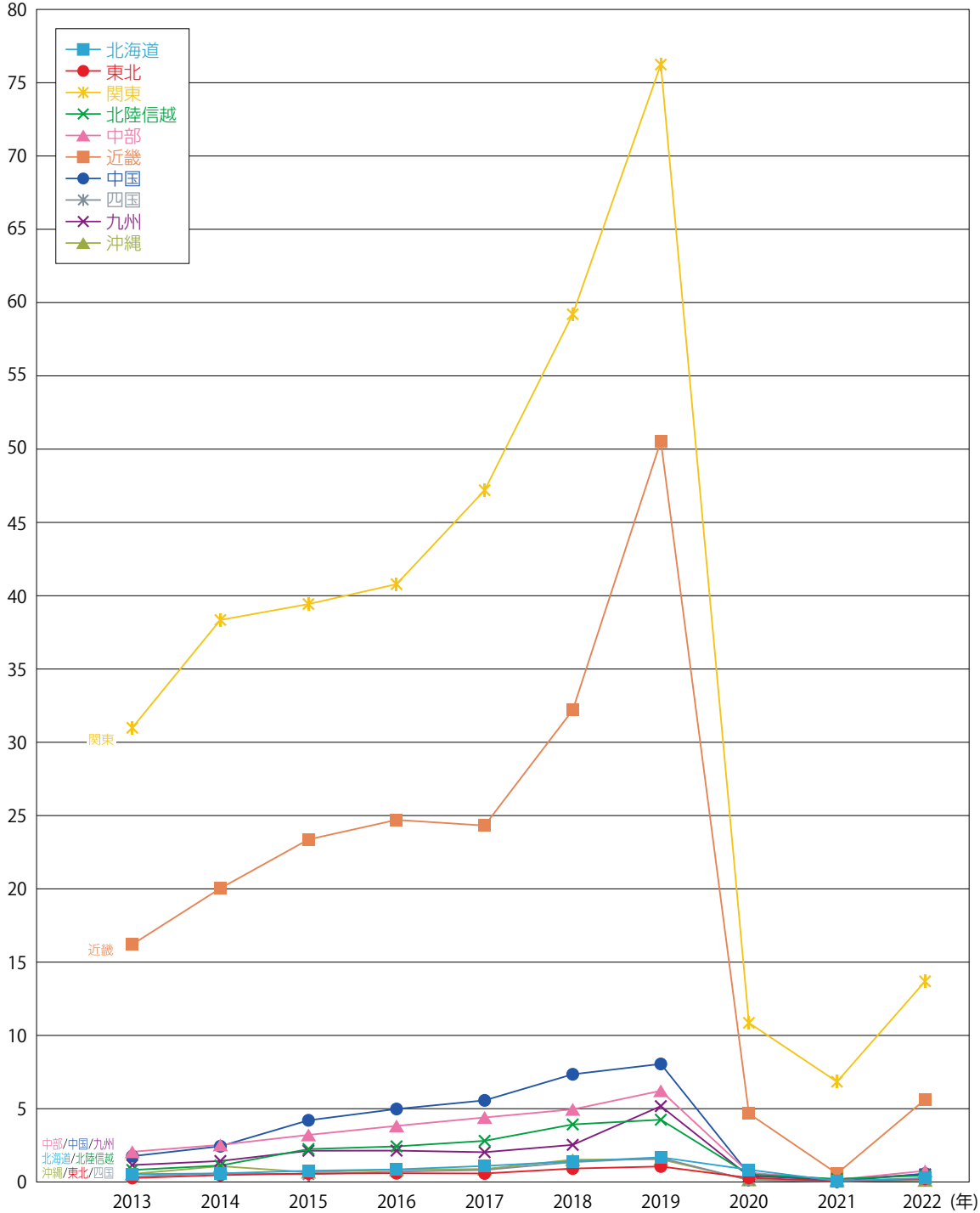
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (23) 訪日フランス人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	5,350	5,860	7,670	8,580	10,940	14,040	16,840	8,360	710	2,640
東北	2,690	4,720	5,770	5,960	5,820	9,170	10,580	2,820	620	2,310
関東	309,880	383,440	394,290	407,880	471,960	592,030	762,390	108,570	68,390	136,900
北陸信越	8,210	11,240	22,440	24,290	28,070	39,270	42,490	5,160	2,080	4,420
中部	20,640	25,320	32,120	38,280	44,020	49,550	62,230	6,390	1,620	7,590
近畿	162,050	200,350	233,680	247,060	243,180	321,970	505,430	46,660	5,750	56,270
中国	17,610	24,370	42,090	49,810	55,680	73,480	80,530	5,430	240	5,770
四国	3,690	5,930	5,210	7,060	8,200	13,550	16,370	1,350	290	1,390
九州	11,550	14,310	21,310	21,400	20,320	25,330	51,740	3,980	1,770	5,260
沖縄	5,490	10,790	6,680	8,390	8,840	15,230	15,460	1,450	800	1,080

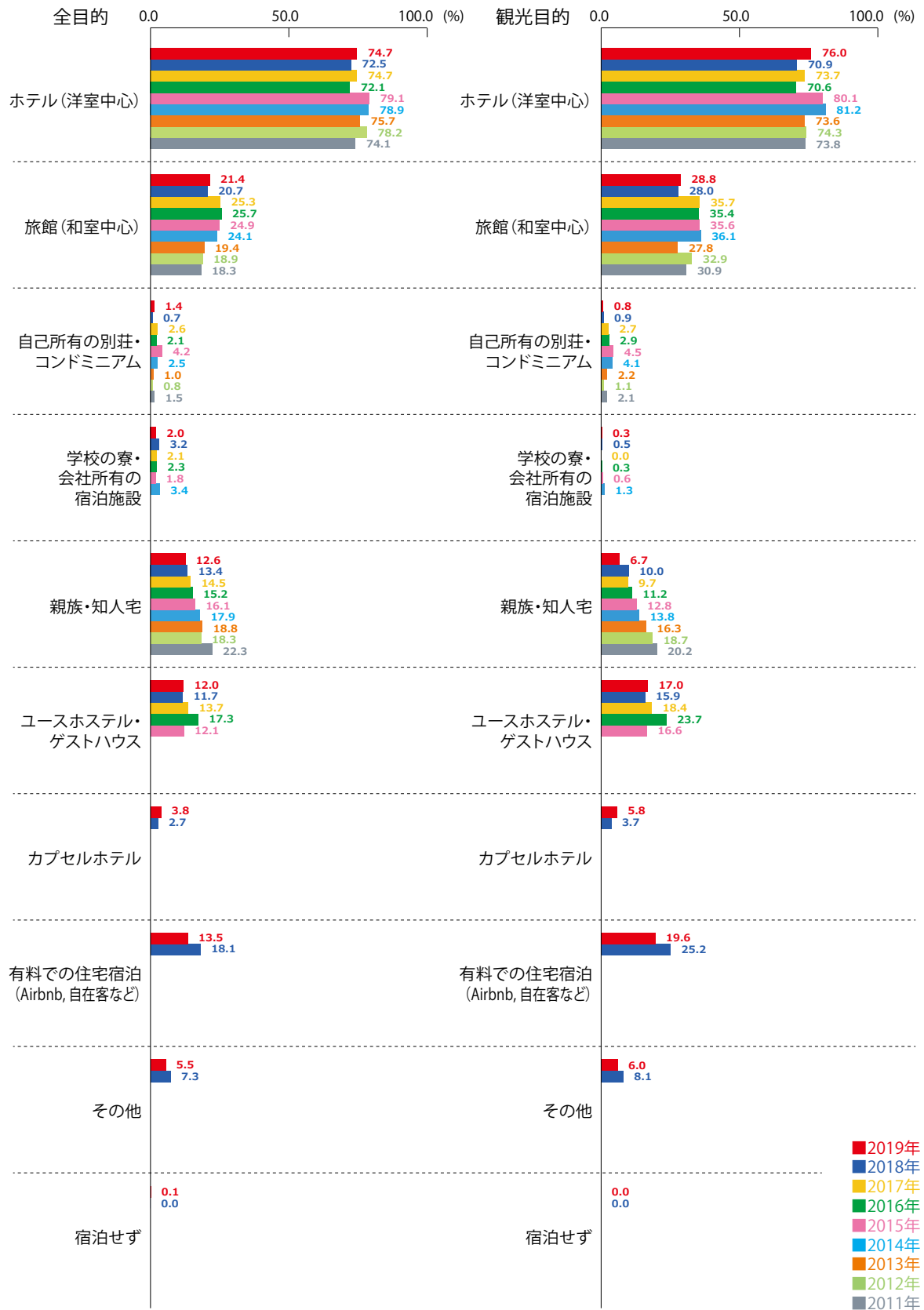
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日フランス人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

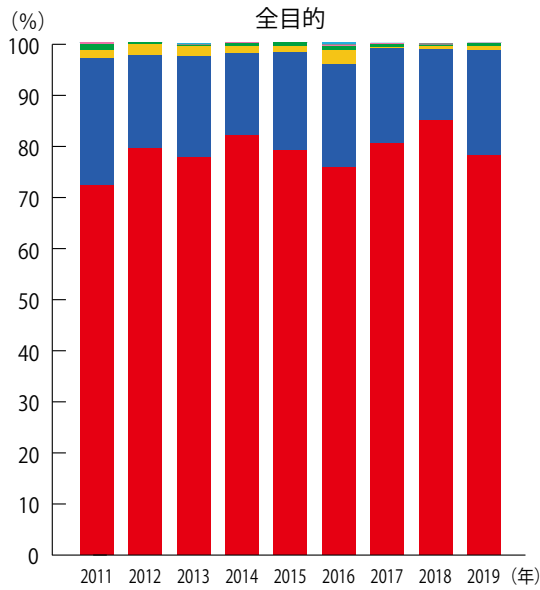
注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

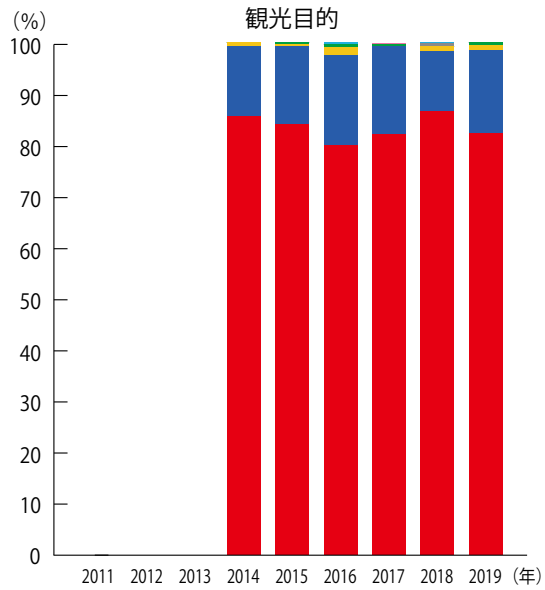
注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) フランス人の訪日旅行の満足度（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1	0.0
■ 不満	0.0	0.0	0.2	0.0	0.0	0.2	0.1	0.3	0.0
■ やや不満	0.4	0.0	0.0	0.2	0.0	0.1	0.2	0.0	0.0
■ 普通	1.1	0.4	0.2	0.5	0.8	0.9	0.6	0.2	0.6
■ やや満足	1.5	2.1	2.0	1.3	1.1	2.6	0.1	0.6	0.7
■ 満足	24.9	18.1	19.6	16.0	19.1	20.1	18.6	13.8	20.5
■ 大変満足	72.1	79.4	77.6	82.0	79.0	75.7	80.3	84.9	78.1



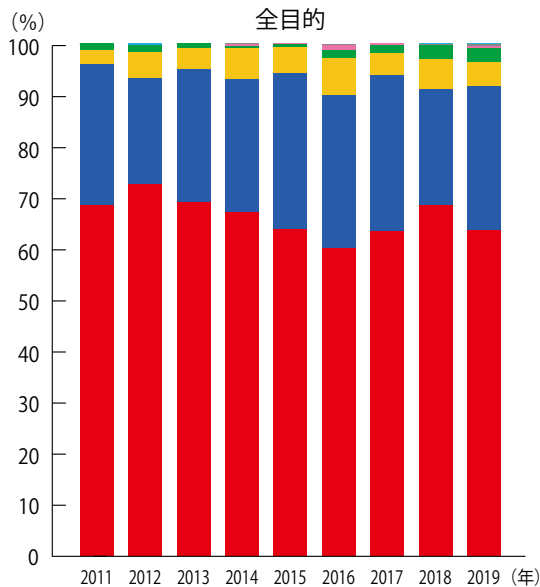
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 大変不満	-	-	-	0.0	0.0	0.3	0.0	0.2	0.0
■ 不満	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.5	0.0
■ やや不満	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0	0.0
■ 普通	-	-	-	0.0	0.4	0.6	0.3	0.0	0.5
■ やや満足	-	-	-	0.8	0.4	1.5	0.0	1.0	1.0
■ 満足	-	-	-	13.6	15.2	17.7	17.1	11.7	16.2
■ 大変満足	-	-	-	85.6	84.1	79.9	82.2	86.6	82.3

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

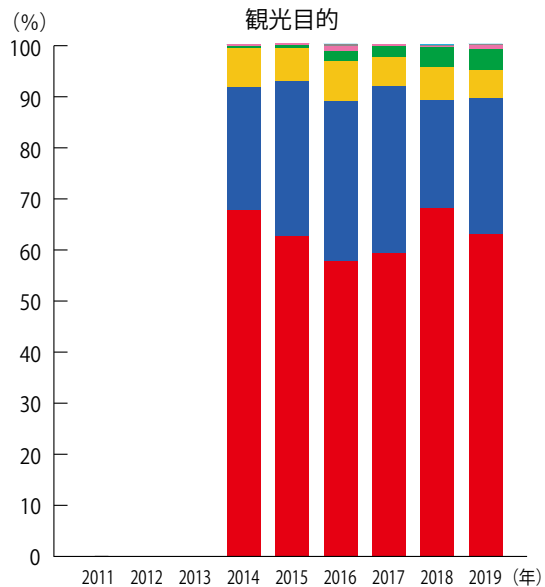
注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日フランス人の日本再訪意向（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	0.0	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2
■ 来たくない	0.0	0.0	0.0	0.2	0.0	0.3	0.0	0.1	0.2
■ あまり来たくない	0.0	0.0	0.0	0.2	0.2	0.8	0.2	0.1	0.5
■ 何ともいえない	1.4	1.4	0.8	0.5	0.5	1.7	1.7	2.6	2.7
■ やや来たい	2.8	5.0	4.2	6.1	5.2	7.2	4.2	6.0	4.8
■ 来たい	27.4	20.7	26.0	25.9	30.4	29.8	30.6	22.5	28.0
■ 必ず来たい	68.5	72.6	69.0	67.1	63.8	60.1	63.3	68.5	63.6



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 絶対来たくない	-	-	-	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3	0.0
■ 来たくない	-	-	-	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.3
■ あまり来たくない	-	-	-	0.4	0.4	1.0	0.3	0.2	0.8
■ 何ともいえない	-	-	-	0.3	0.6	1.9	2.3	3.8	4.1
■ やや来たい	-	-	-	7.6	6.5	7.9	5.5	6.6	5.5
■ 来たい	-	-	-	24.1	30.3	31.1	32.8	21.0	26.5
■ 必ず来たい	-	-	-	67.5	62.3	57.6	59.0	67.9	62.8

注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# ドイツ

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

ゲルマン系のドイツ民族が多い。  
この他、移民やその子孫など。  
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (2) 宗教別構成

カトリック (26.7%)、プロテスタント (24.4%)、イスラム教 (6.4%～6.7%)、東方正教会 (1.8%)、ユダヤ教 (0.1%)  
出典：ドイツ連邦内務省

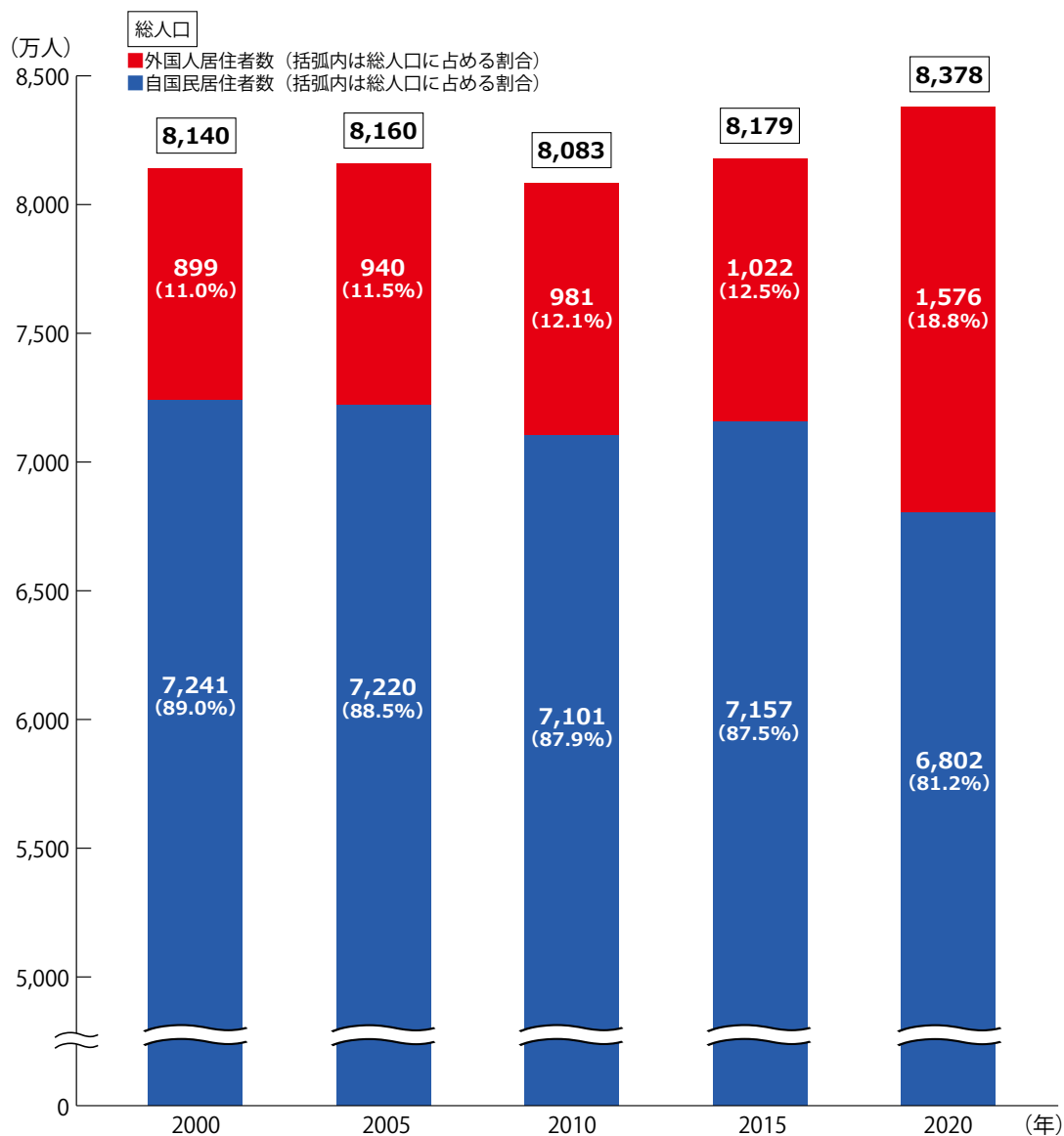
### (3) 使用言語

ドイツ語が公用語  
ドイツの各地には、複数の地域語が存在する。  
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (4) 面積

35万7,581km<sup>2</sup> (日本の95%弱)  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

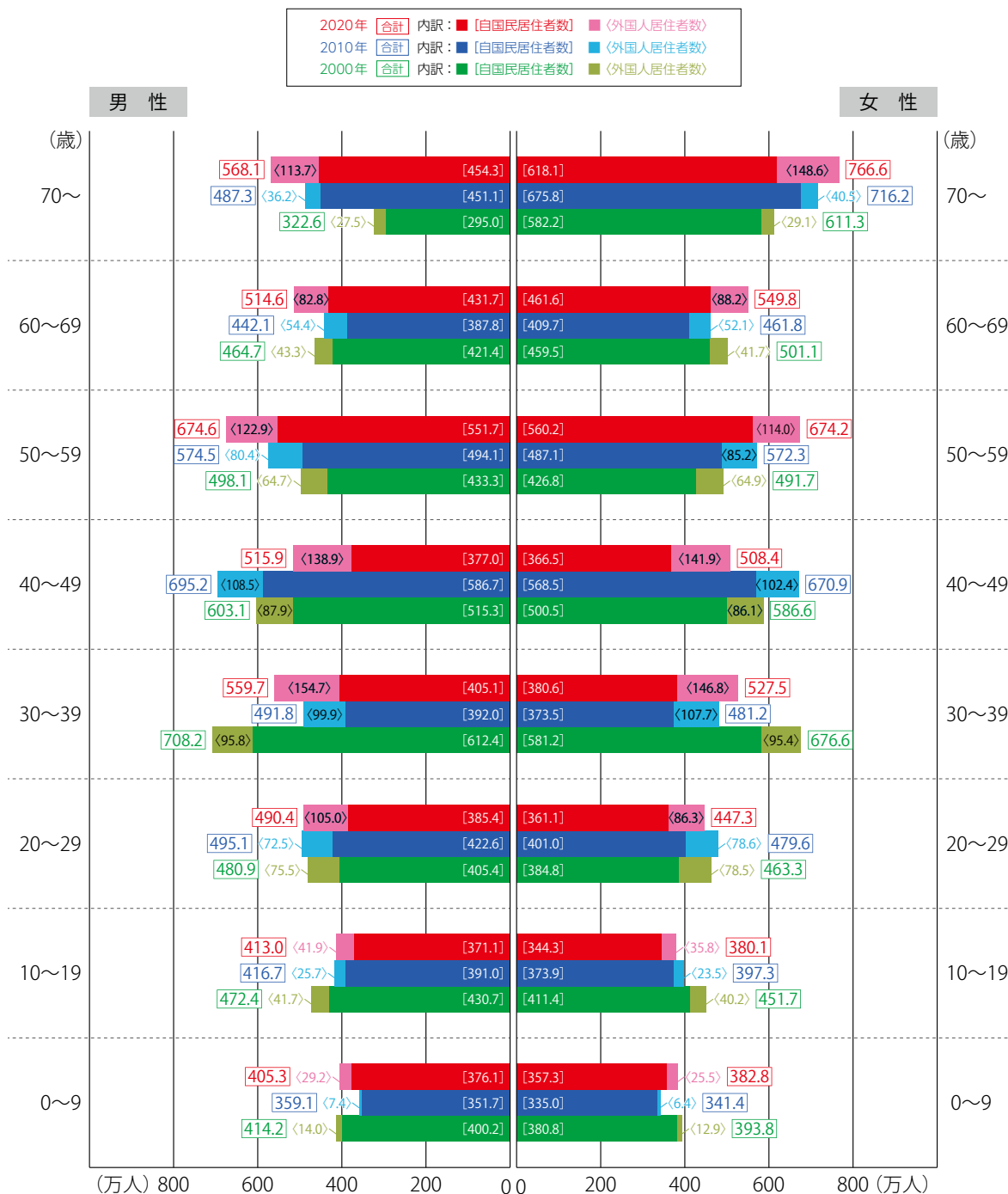
- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：ドイツの外国人居住者は、注2の①に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



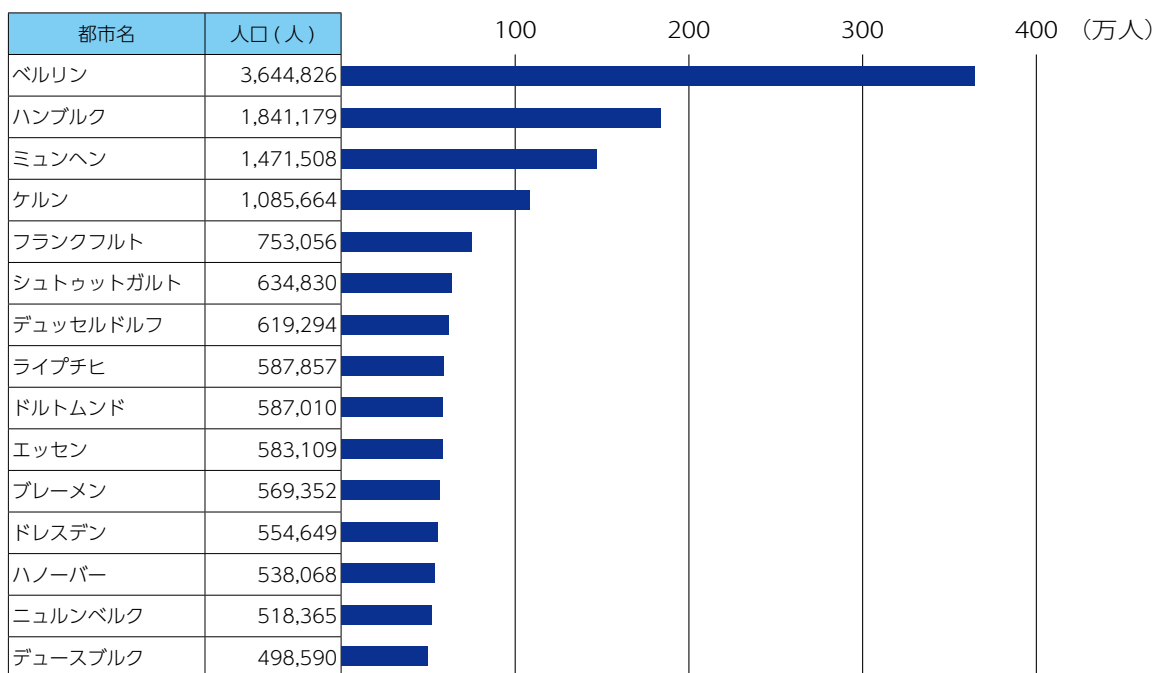
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

ポイント

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2019年の推計値である。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

[次ページへ](#)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	
三王来朝	1月6日（金）	1月6日（土）	バイエルン、バーデン・ヴュルテンベルク、ザクセン・アンハルトの各州
国際女性デー	3月8日（水）	3月8日（金）	ベルリン、メクレンブルク・フォアポンメルンの両州
※復活祭聖金曜日	4月7日（金）	3月29日（金）	毎年金曜日
※復活祭	4月9日（日）	3月31日（日）	毎年日曜日 ブランデンブルク州のみ、法で定められた祝日
※復活祭月曜日	4月10日（月）	4月1日（月）	毎年月曜日
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）	
※キリスト昇天祭	5月18日（木）	5月9日（木）	毎年木曜日
※聖霊降臨祭	5月28日（日）	5月19日（日）	毎年日曜日 ブランデンブルク州のみ、法で定められた祝日
※聖霊降臨祭月曜日	5月29日（月）	5月20日（月）	毎年月曜日
※聖体祭	6月8日（木）	5月30日（木）	毎年木曜日 バイエルン、バーデン・ヴュルテンベルク、ヘッセン、ノルトライン・ヴェストファーレン、ラインラント・プファルツ、ザールラントの各州及びザクセン、チューリンゲン両州の一部
マリア昇天祭	8月15日（火）	8月15日（木）	ザールラント州及びバイエルン州の一部
世界こどもの日	9月20日（水）	9月20日（金）	チューリンゲン州
ドイツ統一記念日	10月3日（火）	10月3日（木）	
宗教改革記念日	10月31日（火）	10月31日（木）	ブランデンブルク、ブレーメン、ハンブルク、メクレンブルク・フォアポンメルン、ニーダーザクセン、ザクセン、ザクセン・アンハルト、シュレーズヴィヒ・ホルシュタイン、チューリンゲンの各州

▷ [前ページから](#)

祝日	2023年	2024年	備考
万世節	11月1日(水)	11月1日(金)	バイエルン、バーデン・ヴュルテンベルク、ノルトライン・ヴェストファーレン、ラインラント・プファルツ、ザールラントの各州
※贖罪の日	11月22日(水)	11月20日(水)	ザクセン州 (11月16日から11月22日の間)
クリスマス第1日	12月25日(月)	12月25日(水)	
クリスマス第2日	12月26日(火)	12月26日(木)	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の祝日は、2023年8月中旬時点での想定を記載した。

出典：ドイツ外務省等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考（2023年のベルリンの公立学校の例）
基礎学校	6歳～10歳 (4年間)	冬期休暇	2月上旬～2月中旬	1月30日～2月4日
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月中旬	4月3日～4月14日
		夏期休暇	6月下旬～8月下旬	7月13日～8月25日
		秋期休暇	10月上旬～10月下旬	10月23日～11月4日
		クリスマス休暇	12月中下旬～1月上旬	12月23日～2024年1月5日
ギムナジウム	10歳～18歳 (8年間)	冬期休暇	2月上旬～2月中旬	1月30日～2月4日
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月中旬	4月3日～4月14日
		夏期休暇	6月下旬～8月下旬	7月13日～8月25日
		秋期休暇	10月上旬～10月下旬	10月23日～11月4日
		クリスマス休暇	12月中下旬～1月上旬	12月23日～2024年1月5日
総合大学 (学士課程)	18歳～22歳 (3～4年間)	冬期休暇	2月中旬～4月中旬	2月19日～4月16日
		夏期休暇	7月中旬～10月中旬	7月22日～10月15日
		クリスマス休暇	12月中下旬～1月上旬	12月23日～2024年1月6日
学校年度	大学以外：8月～翌年7月 大学：10月～翌年9月			
義務教育	義務教育は、9年間（基礎学校 Grundschule〈4年間〉＋ギムナジウム Gymnasium〈最初の5年間〉）。基礎学校修了後、Realschule/実科学校（6年制）、Hauptschule/基幹学校（5年制）に進学する生徒もいる。また、基礎学校とギムナジウムを合わせた、Gesamtschule（総合学校）もある。どの学校でも、同じ州であれば、休暇の時期に変わりはない。			

注1：大学以外の学校は、州によって期間や日程が異なる。上記備考欄は2023年のベルリン市の公立学校の例である。

注2：上記の他に、5月～6月の聖霊降臨祭に合わせた休暇を設けている州は以下のとおり。

バイエルン、バーデン・ヴュルテンベルク、ラインラント・プファルツ、ザールラント、ハンブルク、

シュレースヴィヒ・ホルシュタイン、ザクセン・アンハルトの各州

宗教（特にカトリック）色が強い州は、宗教に関連する休暇が長い傾向にある。

出典：ドイツ文部大臣会議等の公表資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日、祝日	基本法（憲法）140条	一般的に土曜日も休日である。
有給休暇日数	週6日労働の場合、最低24日 週5日労働の場合、最低20日（継続勤務6か月以上の労働者）	連邦休暇法（BurlG）第3条	・基本的に有給休暇は全て消化される。 ・病欠休暇、出産や育児に伴う母性保護休暇、介護休暇と有給休暇は区別されている。
定年退職	民間労働者については労使合意等に基づくが、65歳が一般的。	社会法典（SGB）第6篇 第41条	一般的に雇用契約または労働協約において年金受給開始時に自動的に雇用契約終了と規定される。年金支給開始時期は、2012年から2029年にかけて段階的に65歳から67歳に引き上げられる。

出典：ドイツ政府、日本国厚生労働省「2019年海外情勢報告 ドイツ」

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制は一時停止中で、志願制を実施している。 (徴兵制は実際には廃止に近い。)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	38.5
アーベントイアー・ウント・ライゼン (ABENTUEUR UND REISEN)	ウェブサイト	旅行情報発信	29.6
ゲオ・セゾン (Geo Saison)	ウェブサイト	旅行情報発信	19.4
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	18.2
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	18.0
ホイテ (ZDF heute)	ウェブサイト	ドイツ公共放送ZDFの 看板ニュース番組サイト	16.2
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	13.5
シュピーゲル (Spiegel)	ウェブサイト	ニュース発信	13.3
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	12.9
アマゾン・プライム・ビデオ (Amazon Prime Video)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	10.1
ヴェルト (Welt)	ウェブサイト	ニュース発信	9.8
シュテルン (Stern)	ウェブサイト	ニュース発信	8.8
グーテフラゲ (Gutefrage)	インターネット掲示板	ドイツ最大のオンライン 質問・回答プラットフォーム	5.9

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

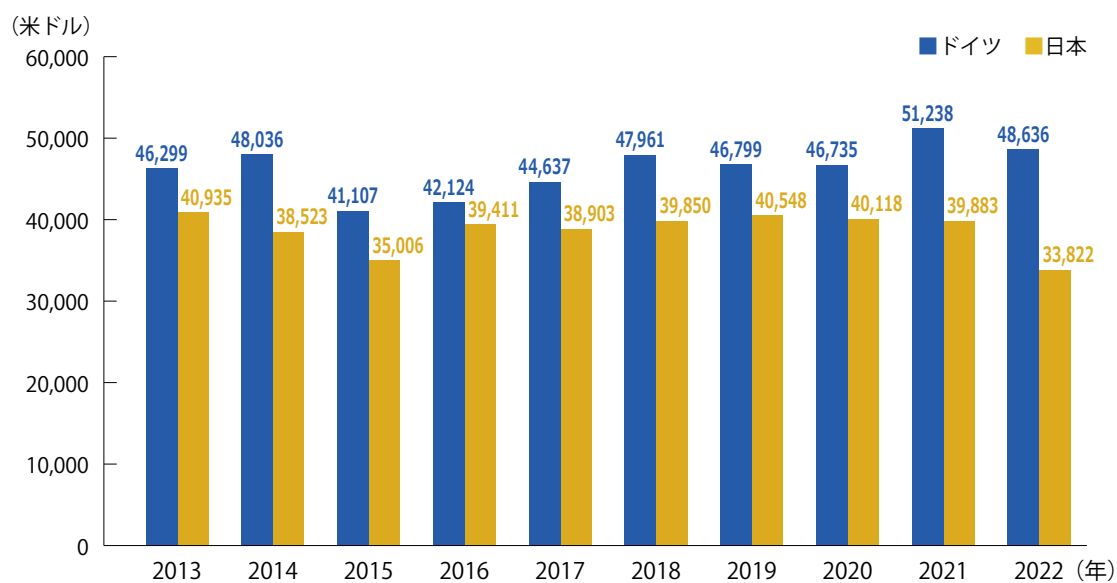
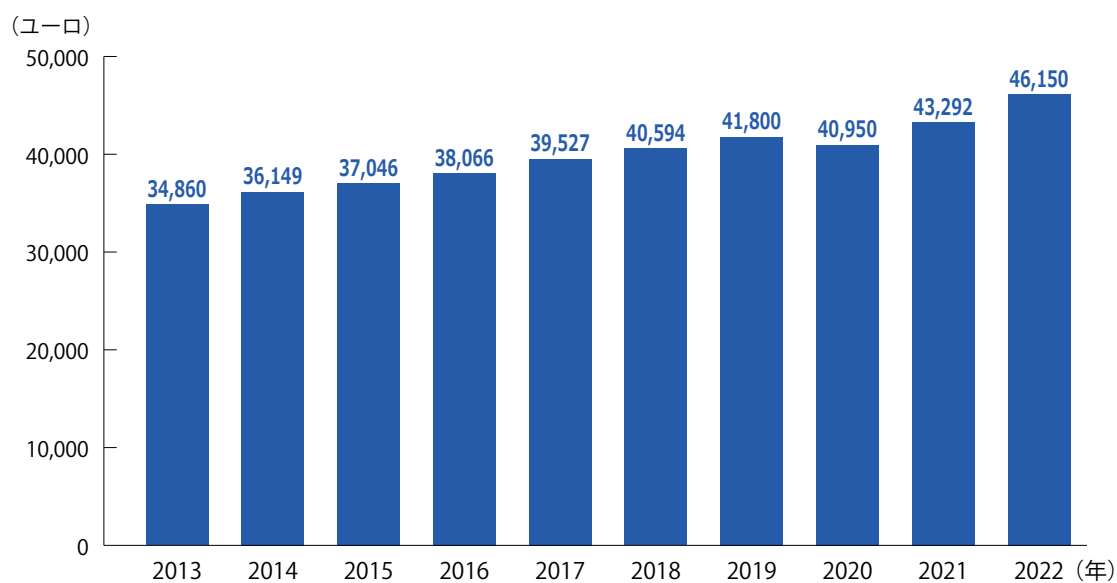
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

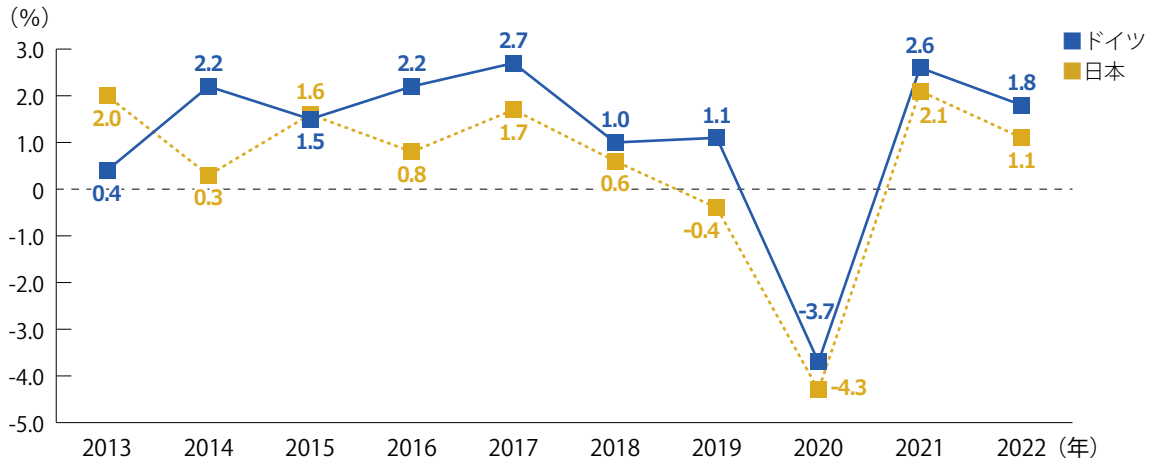
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

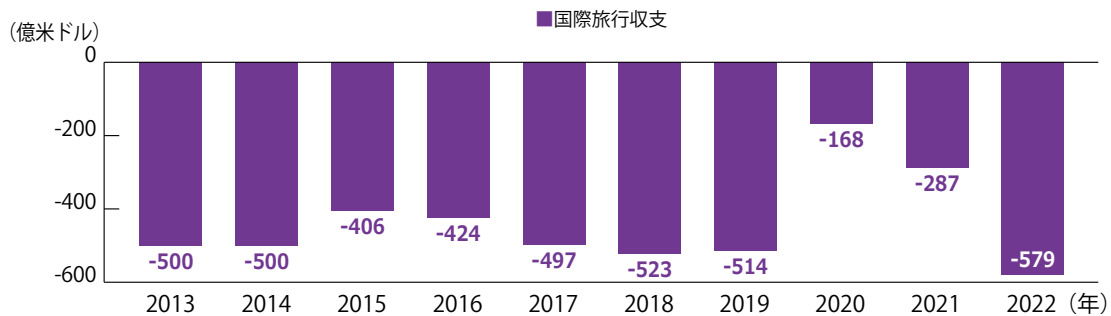
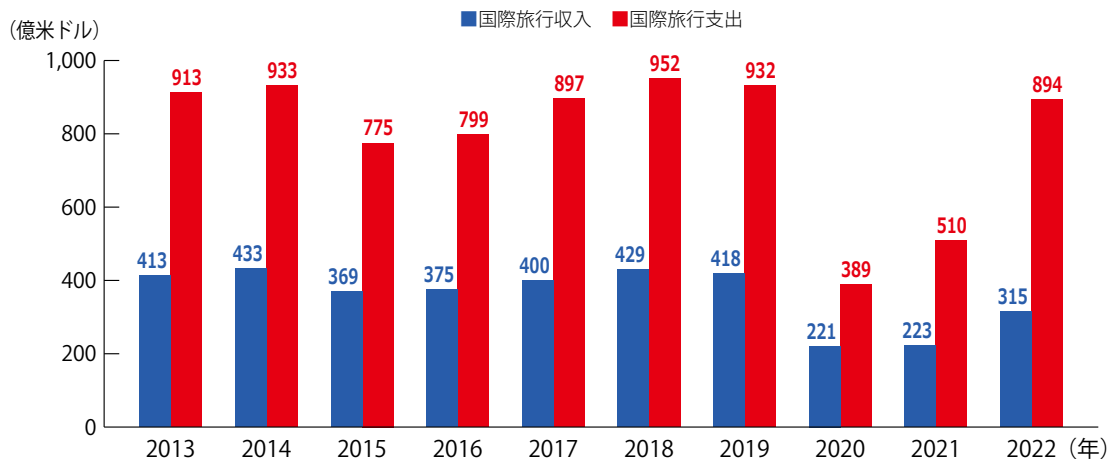
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



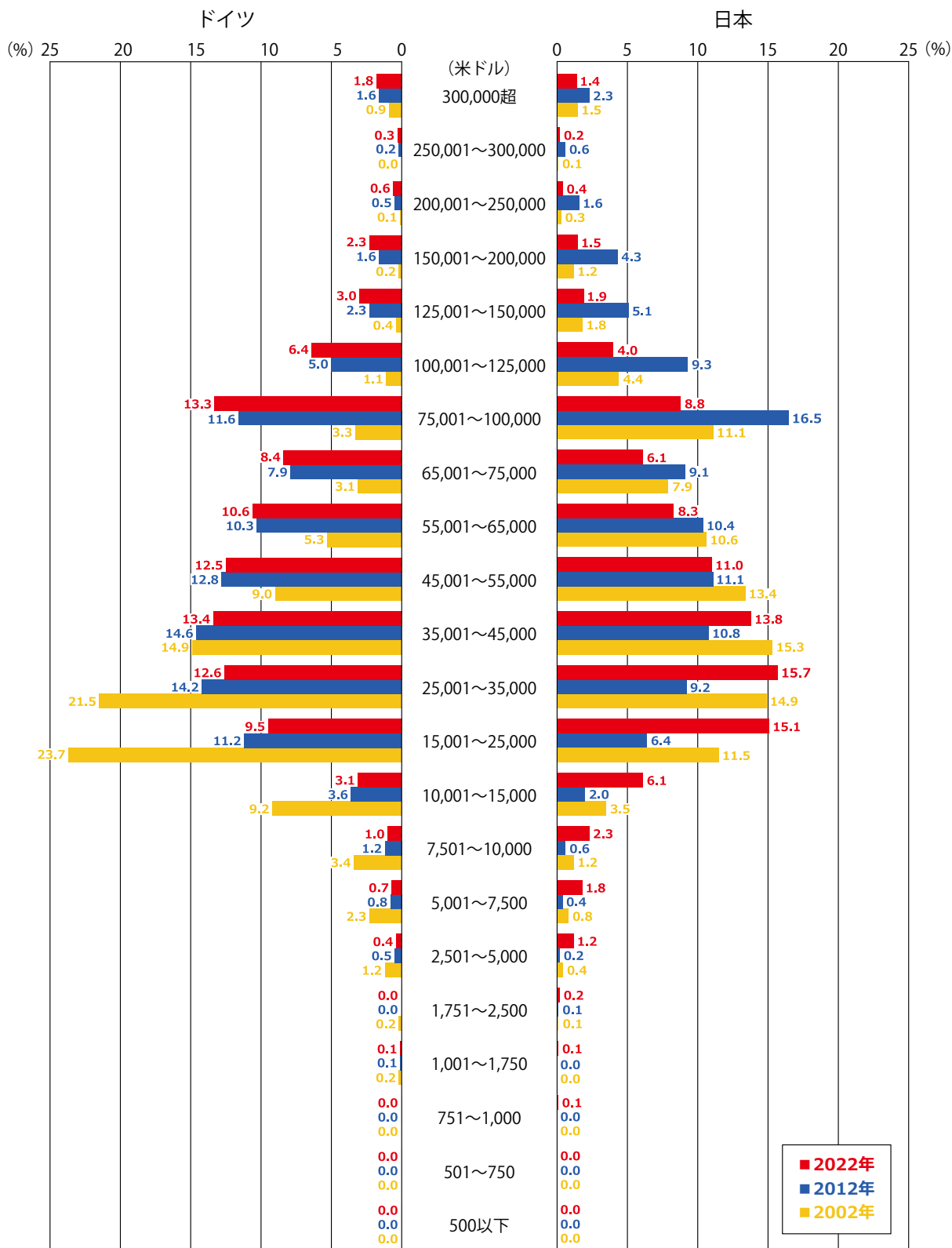
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



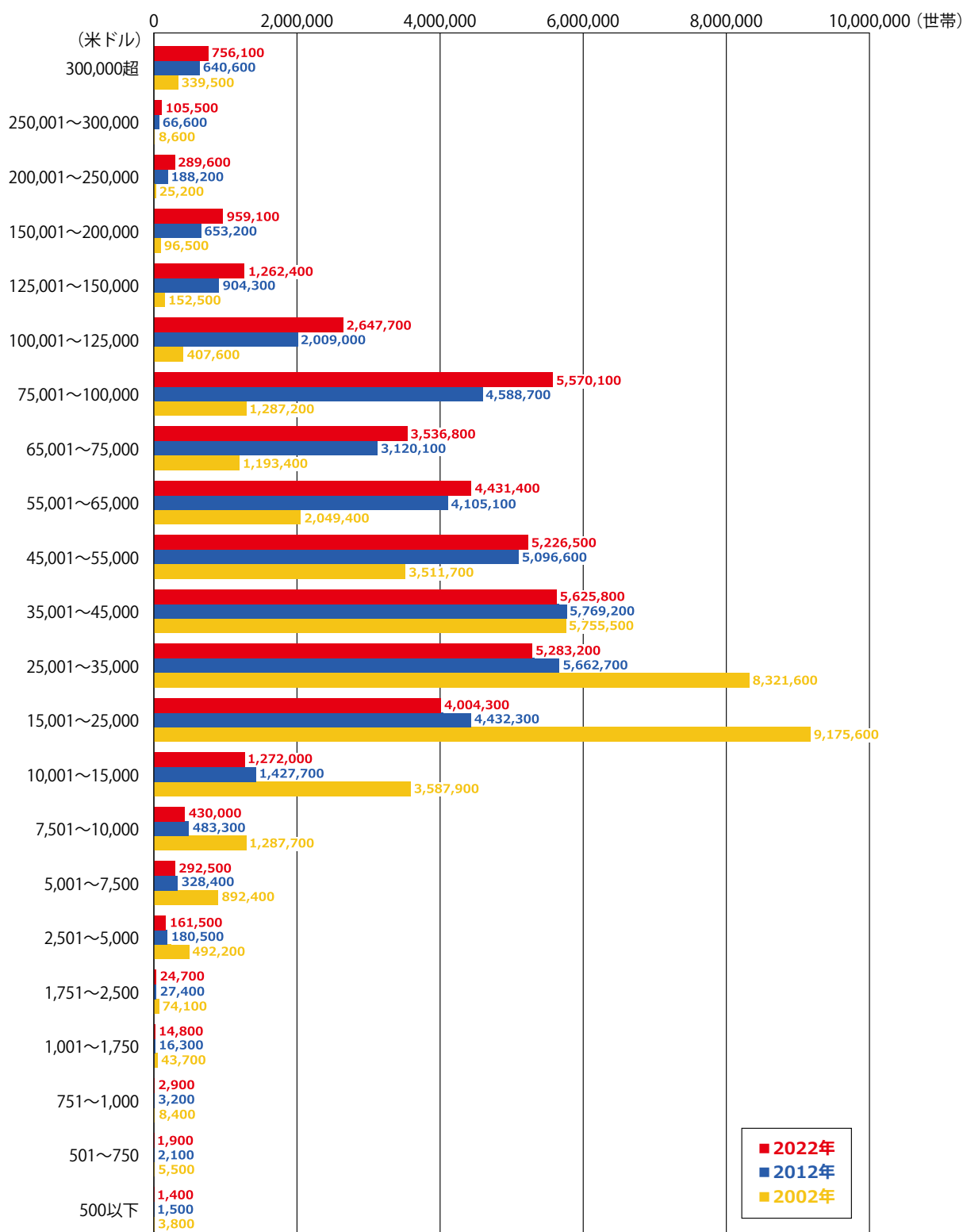
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

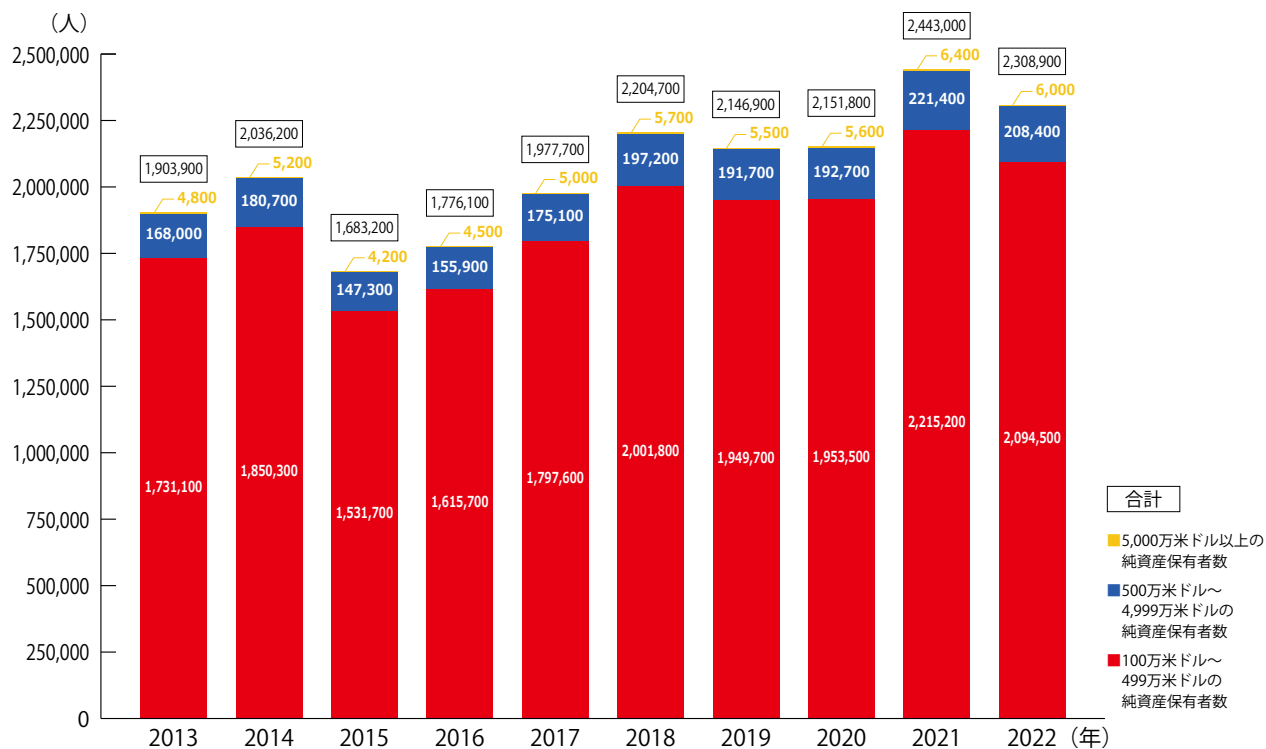
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル



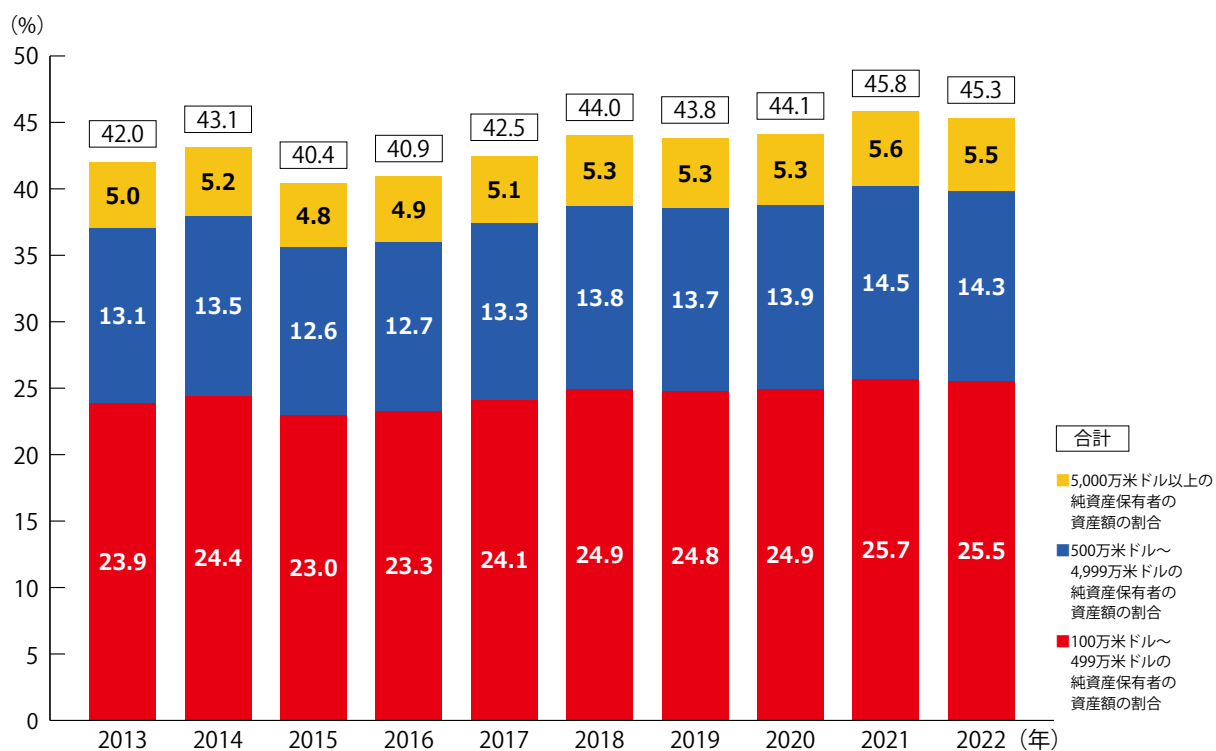
## (6) 高純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)

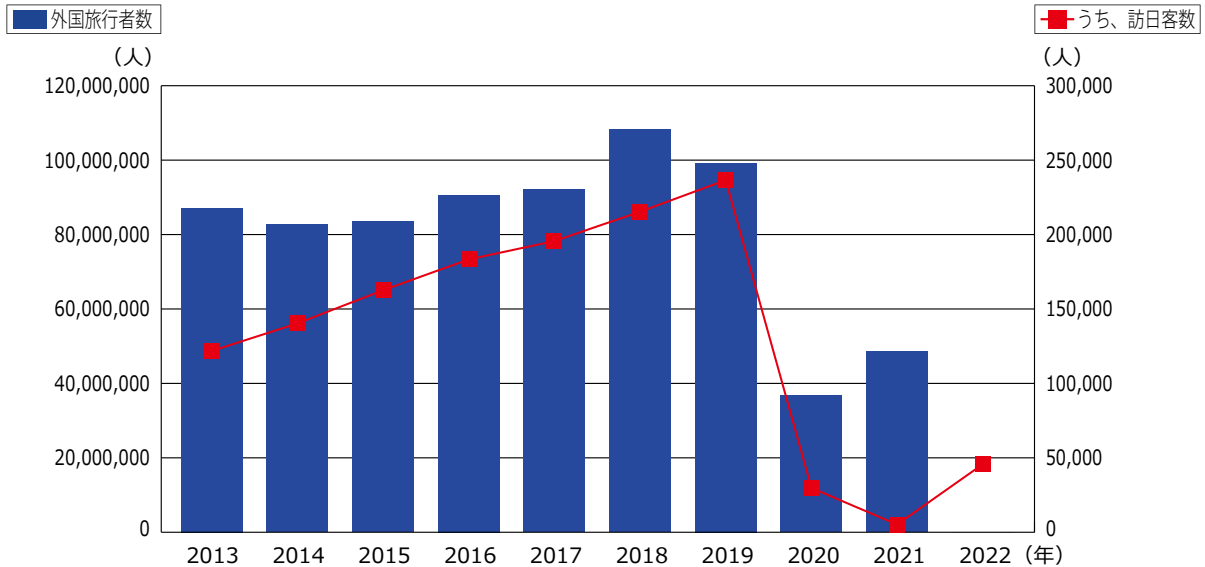


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) ドイツ人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国人旅行者数(左目盛)	87,458,553	83,008,008	83,737,354	90,965,601	92,402,056	108,541,530	99,532,966	36,866,570	48,667,340	
うち、訪日客数(右目盛)	121,776	140,254	162,580	183,288	195,606	215,336	236,544	29,785	5,197	45,748
訪日率(%)	0.139	0.169	0.194	0.201	0.212	0.198	0.238	0.081	0.011	

注：ドイツ人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
出典：欧州連合統計局（ユーロスタット）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのドイツ人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
						↓コロナ流行	↓コロナ流行	
1位	オーストリア	TCER	13,442,884	14,092,157	14,383,461	8,550,057	7,809,805	14,383,461
2位	イタリア	TFN	12,450,676	13,518,339	13,950,511	5,160,770	4,603,678	13,950,511
3位	スペイン	TFR	11,897,376	11,414,955	11,158,022	2,391,437	5,208,894	11,897,376
4位	フランス	TCER	5,853,799	6,341,964	6,526,380	2,313,143	3,348,335	6,526,380
5位	トルコ	TFN	3,517,580	4,464,324	4,992,815	1,118,871	3,083,043	4,992,815
6位	ギリシャ	TFR	3,705,950	4,381,448	4,026,286	1,526,439	3,001,163	4,381,448
7位	デンマーク	TCER	3,312,490	3,451,664	4,008,431	2,588,767	2,798,061	4,008,431
8位	英国	VFR	3,242,632	3,170,209	3,232,912		389,760	3,242,632
9位	オランダ	THSR	2,764,000	2,999,000	3,130,000	1,674,000	1,210,000	3,130,000
10位	クロアチア	TCER	2,615,900	2,783,513	2,881,284	1,480,454	2,737,013	2,881,284
11位	ハンガリー	TFN	2,105,292	2,375,040	2,619,383	1,369,159	1,449,602	2,619,383
12位	スイス	TCER	2,072,112	2,216,038	2,220,355	1,219,337	1,455,177	2,220,355
13位	チェコ	TCEN	1,962,582	2,031,104	2,075,460	814,541	687,479	2,075,460
14位	米国	TFR	2,080,425	2,062,462	2,063,767	293,967	249,154	2,080,425
15位	ポーランド	TCER	1,715,479	1,836,092	1,912,378	796,547	835,299	1,912,378
16位	エジプト	VFN	1,232,343	1,707,382	1,729,051	352,845		1,729,051
17位	ポルトガル	TCER	1,704,154	1,756,100	1,703,528	497,387	655,317	1,756,100
18位	スウェーデン	TCER	1,080,166	1,094,524	1,240,607	278,897	612,660	1,240,607
19位	ベルギー	TCER	984,032	1,071,746	1,118,170	356,013	403,891	1,118,170
20位	ノルウェー	TCER	1,141,188	1,028,016	1,074,066	257,572	361,948	1,141,188
21位	ブルガリア	VFR	1,046,219	1,063,502	948,492	330,505	607,953	1,063,502
22位	アラブ首長国連邦	VFN	799,008	825,316	862,330	264,555		862,330
23位	タイ	TFN	850,139	886,450	852,481	230,598	45,874	886,450
24位	アイルランド	TFR	644,000	763,000	728,000			763,000
25位	ロシア	VFN	580,366	645,157	689,966	52,897		689,966
26位	中国	VFN	634,053	643,074	622,198			643,074
27位	スロベニア	TCEN	436,545	506,081	584,831	289,143	414,222	584,831
28位	ルーマニア	VFR	478,924	489,364	520,718	143,476	232,153	520,718

▶ 前ページから

次ページへ ▶

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	カナダ	TFR	401,387	405,984	415,118	40,230	53,945	415,118
30位	モロッコ	TFN	331,185	394,328	413,384	79,077	38,894	413,384
31位	シンガポール	VFR	342,386	356,807	380,757	95,563	5,412	380,757
32位	南アフリカ共和国	TFR	349,211	343,229	322,720	106,092	44,388	349,211
33位	フィンランド	TCER	297,446	304,387	313,131	96,016	106,046	313,131
34位	イスラエル	TFR	218,138	262,599	289,009	50,280	16,491	289,009
35位	メキシコ	TFN	277,352	289,775	286,331	84,669	143,369	289,775
36位	インドネシア	VFN	267,823	274,166	277,653	46,361	3,429	277,653
37位	チュニジア	TFN	181,377	275,296	275,872	29,023	39,873	275,872
38位	ウクライナ	TFR	209,447	237,266	269,271	73,732	153,567	269,271
39位	インド	VFN	269,380	274,087	264,973	72,558	33,772	274,087
40位	ラトビア	TCER	207,836	225,927	242,988	53,417	60,089	242,988
41位	日本	VFN	195,606	215,336	236,544	29,785	5,197	236,544
42位	リトアニア	TCER	176,154	214,144	233,407	47,884	51,324	233,407
43位	ベトナム	VFR	199,872	213,986	226,792	61,971	1,243	226,792
44位	マルタ	TFR	193,033	226,962	211,546	72,470	96,514	226,962
45位	蒙州	VFR	208,360	207,290	207,105	53,022	3,135	208,360
46位	ブラジル	TFR	203,045	209,039	206,882	61,149	29,514	209,039
47位	スロバキア	TCEN	192,328	178,364	182,378	63,409	52,772	192,328
48位	ドミニカ共和国	TFR	265,398	216,528	178,908	36,748	105,529	265,398
49位	オマーン	VFN	152,626	146,474	176,769	46,605	17,000	176,769
50位	キューバ	VFR	243,172	208,506	174,956	45,074	9,159	243,172
51位	アルバニア	VFN	121,604	142,291	165,703	39,461	119,009	165,703
52位	モンテネグロ	TCEN	57,813	89,741	163,877	18,206	70,653	163,877
53位	エストニア	TCER	125,660	143,529	162,036	30,882	41,512	162,036
54位	キプロス	TCER	192,107	191,200	152,929	48,310	85,546	192,107
55位	香港	TFR	159,498	165,191	150,803	10,322	308	165,191
56位	ルクセンブルク	TCER	147,542	148,001	149,269	74,357	122,657	149,269
57位	サウジアラビア	TFN	46,930	59,804	146,675	13,327	13,224	146,675
58位	アルゼンチン	TFR	125,052	126,588	139,310	51,981	8,553	139,310
59位	スリランカ	TFR	130,227	156,888	134,899	34,507	12,442	156,888
60位	アイスランド	TFN	155,813	139,155	132,155	43,726	63,851	155,813
61位	モルディブ	TFN	112,109	117,532	131,561	36,435	95,358	131,561
62位	マレーシア	TFN	109,816	128,895	130,221	27,458	824	130,221
63位	モーリシャス	TFR	118,856	132,780	129,100	36,047	18,605	132,780
64位	韓国	VFN	109,860	115,789	120,730	24,128	20,038	120,730
65位	サンマリノ	VFN	131,629	124,001	119,859	45,497	85,071	131,629
66位	レバノン	TFN	96,711	104,167	106,379	30,083	90,941	106,379
67位	セルビア	TCEN	78,211	88,959	104,144	25,064	57,574	104,144
68位	フィリピン	TFR	85,431	92,098	103,756	25,893	2,037	103,756
69位	カザフスタン	VFR	99,396	99,083	101,457	11,608	19,527	101,457
70位	ニュージーランド	VFR	104,864	102,087	98,050	36,671	750	104,864
71位	ナミビア	TFN	123,022	124,622	97,111	19,698	21,918	124,622
72位	カンボジア	TFR	118,265	98,976	94,371	27,280	942	118,265
73位	カーボベルデ	THSR	80,071	90,157	92,320	22,756	16,849	92,320
74位	カタール	VFN	44,440	63,532	90,352	22,877	9,308	90,352
75位	ジョージア	VFR	43,090	64,486	89,051	9,338	21,194	89,051
76位	ペルー	TFR	78,199	81,684	86,307	17,779	9,146	86,307
77位	チリ	TFN	78,262	80,394	82,541	24,578	4,044	82,541
78位	コスタリカ	TFN	70,960	74,574	80,580	28,821	34,700	80,580
79位	コロンビア	TFR	63,352	70,470	77,161	20,594	23,612	77,161
80位	ケニア	VFR		78,388	73,150	19,833	27,620	78,388
81位	台湾	VFR	65,983	65,330	72,708	9,361	1,937	72,708
82位	セーシェル	TFR	50,476	61,339	72,509	24,069	17,673	72,509
83位	タンザニア	VFR	58,370	62,346	67,284	23,615	25,109	67,284
84位	ヨルダン	TFN	33,860	44,521	58,158	12,797	17,185	58,158
85位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	34,612	50,402	56,813	6,080	26,027	56,813
86位	ナイジェリア	VFN	47,124	47,140	47,139	9,521	9,825	47,140
87位	ボツワナ	TFR	40,844	40,030		3,226		40,844
88位	アルメニア	TFR	17,318	28,655	39,690	2,293	11,787	39,690
89位	パナマ	VFR	33,458	35,648	39,074	11,487	10,426	39,074
90位	ジンバブエ	VFR	37,304	39,934	37,954	3,797	5,533	39,934
91位	エクアドル	VFN	33,439	35,509	37,267	9,735	10,219	37,267
92位	エチオピア	TFR	42,224	36,847	36,858	4,912	5,311	42,224
93位	ネパール	TFN	29,918	36,833	36,641	5,896	2,929	36,833
94位	北マケドニア	TCEN	23,544	30,173	34,342	3,851	16,241	34,342
95位	ボリビア	TFN	30,380	31,658	31,917	6,109	3,425	31,917
96位	イラン	VFN	57,984	37,125	29,701	1,657	4,465	57,984

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
97位	ミャンマー	TFN	39,952	28,838	29,447	9,052	83	39,952
98位	ウズベキスタン	VFR	7,207	18,094	27,625	2,067	6,908	27,625
99位	パーレーン	VFR		24,935	27,201		1,899	27,201
100位	ラオス	VFN	23,776	22,915	25,346	8,629		25,346
101位	キルギス	VFR	10,298	22,529	24,749	2,367	7,577	24,749
102位	ジャマイカ	TFR	29,858	34,255	24,128	5,504	4,776	34,255
103位	リヒテンシュタイン	TCER	19,478	20,756	23,559	14,539	15,642	23,559
104位	ガンビア	TFN	5,346	5,397	22,611	7,636	4,391	22,611
105位	ウルグアイ	VFN	20,902	21,150	21,836			21,836
106位	キュラソー	TFR	20,546	18,537	20,820	5,628	9,236	20,820
107位	アゼルバイジャン	VFR	16,231	17,164	20,494	3,529	5,905	20,494
108位	グアテマラ	VFR	18,041	20,609	19,583	5,716	5,064	20,609
109位	トーゴ	THSR	4,806	9,216	19,568	13,038		19,568
110位	クウェート	VFN	14,700	17,038	17,841	3,931	2,501	17,841
111位	エスワティニ	VFR	23,981	22,622	16,400	3,261	585	23,981
112位	カメルーン	THSN	16,759	14,246	15,304	3,186		16,759
113位	モナコ	THSN	14,285	13,610	14,851	6,734	8,243	14,851
114位	パラグアイ	TFN	8,873	10,935	13,942	3,402	4,793	13,942
115位	マカオ	THSR	12,071	13,452	13,587	780	89	13,587
116位	モンゴル	TFN	10,582	10,819	12,405	599	511	12,405
117位	レユニオン	TFR	15,827	14,706	12,154	2,824	2,338	15,827
118位	アルジェリア	VFN	14,369	15,951	11,807	2,463	1,288	15,951
119位	バハマ	TFR	12,086	12,971	11,466	2,206	1,680	12,971
120位	セネガル	THSN	10,897					10,897
121位	ルワンダ	VFN	9,955	9,942	9,994	3,058	2,129	9,994
122位	ベリーズ	TFN	7,402	9,176	9,401	2,479	873	9,401
123位	レント	VFR	8,913	9,477	8,957		558	9,477
124位	フィジー	TFR	9,071	9,658	8,871	2,041	43	9,658
125位	マダガスカル	TFN	2,570	5,449	8,415	2,138	144	8,415
126位	ニカラグア	TFN	18,955	11,414	8,371	3,588	2,808	18,955
127位	ウガンダ	TFR	8,273			1,774	1,678	8,273
128位	ザンビア	TFR	7,952	9,565	7,856	1,508	2,271	9,565
129位	モルドバ	TCEN	6,701	7,020	7,827	1,157	2,802	7,827
130位	シリア	VFN	3,834	6,130	7,398	1,362	6,800	7,398
131位	バルバドス	TFR	11,307	10,675	7,316	2,684	1,463	11,307
132位	マルティニーク	TFR	10,786	9,522	7,274	1,942	1,132	10,786
133位	アルバ	TFR	5,783	6,539	6,958	1,822	3,195	6,958
134位	プエルトリコ	THSR	4,750	3,088	6,622	3,892		6,622
135位	仏領ポリネシア (タヒチ)	TFR	3,881	4,539	5,010	1,362	753	5,010
136位	ベラルーシ	TFN	3,102	3,566	4,538	818		4,538
137位	エルサルバドル	TFN	4,966	4,485	4,260	1,099	4,176	4,966
138位	ホンジュラス	TFN	5,624	6,526	4,154	1,157	1,717	6,526
139位	トリニダード・トバゴ	TFN	4,333	3,901	4,108	1,328	340	4,333
140位	ニジェール	TFN	3,287	3,141	3,842	1,708		3,842
141位	ブータン	TFN	2,970	3,422	3,375	405		3,422
142位	タジキスタン	VFR	3,001	2,256	3,375	458	965	3,375
143位	中央アフリカ共和国	TFN	5,407	6,511	3,041	447		6,511
144位	クック諸島	TFR	3,064	3,072	3,007	791		3,072

統計の算出基準：V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数)

F (国境到着者数)、CE (登録観光宿泊施設到着者数)、HS (ホテル到着者数)

R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。  
但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

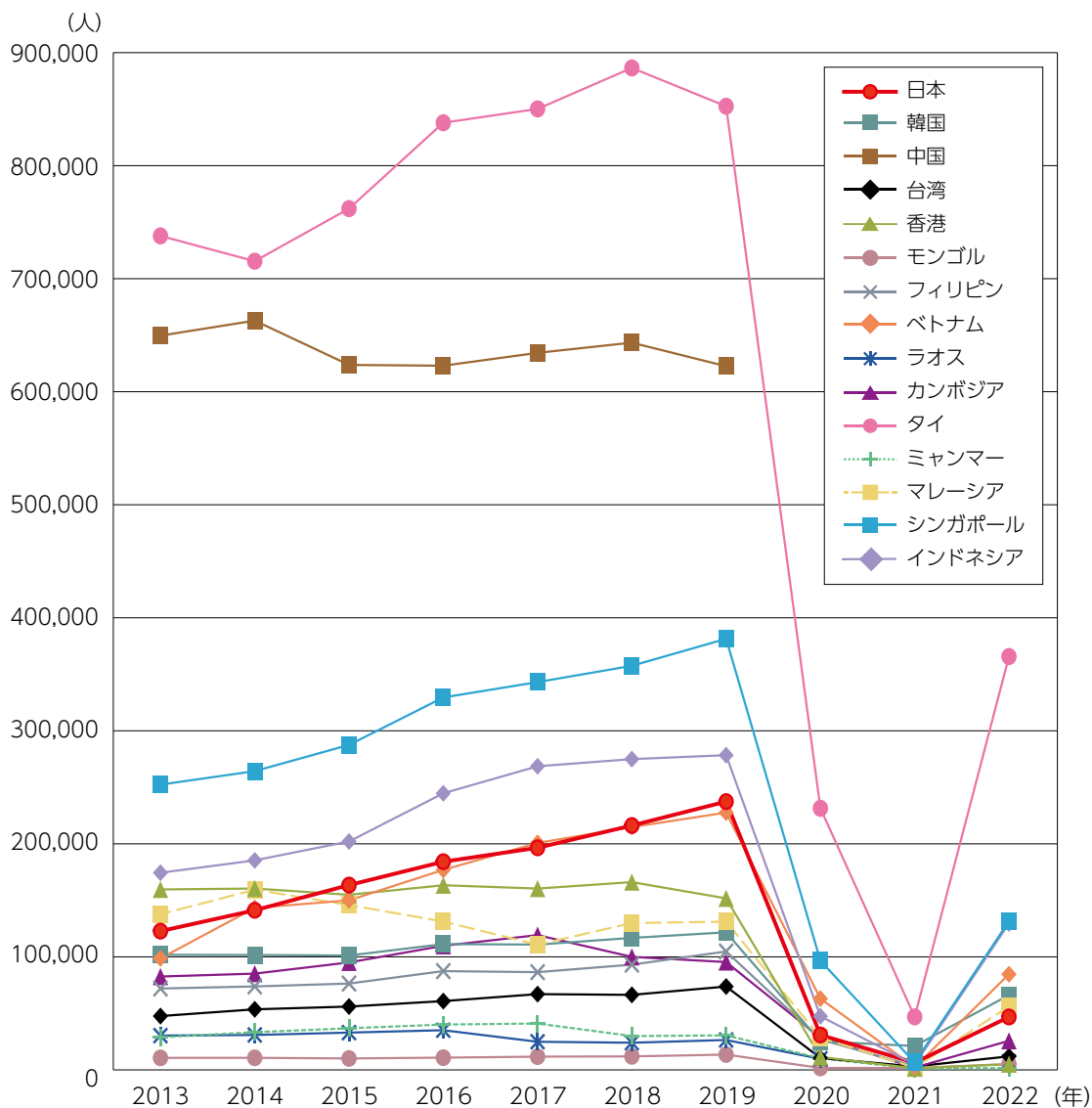
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入りにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局 (JNTO) がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(3) アジア各国・地域へのドイツ人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



単位：人

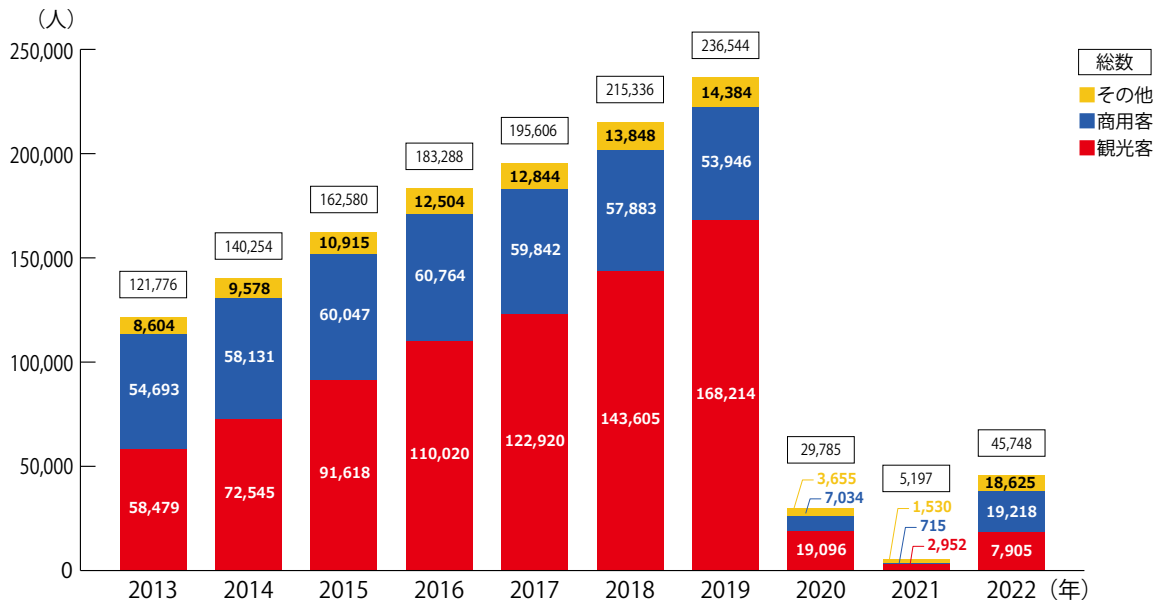
↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	737,658	715,240	761,819	837,885	850,139	886,450	852,481	230,598	45,874	365,030
中国	VFN	649,298	662,600	623,374	622,668	634,053	643,074	622,198			
シンガポール	VFR	251,560	263,513	286,732	328,765	342,386	356,807	380,757	95,563	5,412	130,586
インドネシア	VFN	173,470	184,463	201,202	243,873	267,823	274,166	277,653	46,361	3,429	128,634
日本	VFN	121,776	140,254	162,580	183,288	195,606	215,336	236,544	29,785	5,197	45,748
ベトナム	VFR	97,673	142,345	149,079	176,015	199,872	213,986	226,792	61,971	1,243	83,598
香港	TFR	158,702	159,520	153,988	162,441	159,498	165,191	150,803	10,322	308	3,888
マレーシア	TFN	136,749	158,453	144,910	130,276	109,816	128,895	130,221	27,458	824	55,087
韓国	VFN	100,803	100,624	100,182	110,302	109,860	115,789	120,730	24,128	20,038	65,107
フィリピン	TFR	70,949	72,801	75,348	86,363	85,431	92,098	103,756	25,893	2,037	
カンボジア	TFR	81,565	84,143	94,040	108,784	118,265	98,976	94,371	27,280	942	24,598
台湾	VFR	46,533	52,507	54,954	59,798	65,983	65,330	72,708	9,361	1,937	10,811
ミャンマー	TFN	27,712	32,265	35,727	39,044	39,952	28,838	29,447	9,052	83	549
ラオス	VFN	29,250	29,800	31,897	34,018	23,776	22,915	25,346	8,629		6,077
モンゴル	TFN	9,499	9,551	8,992	9,709	10,582	10,819	12,405	599	511	3,994

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

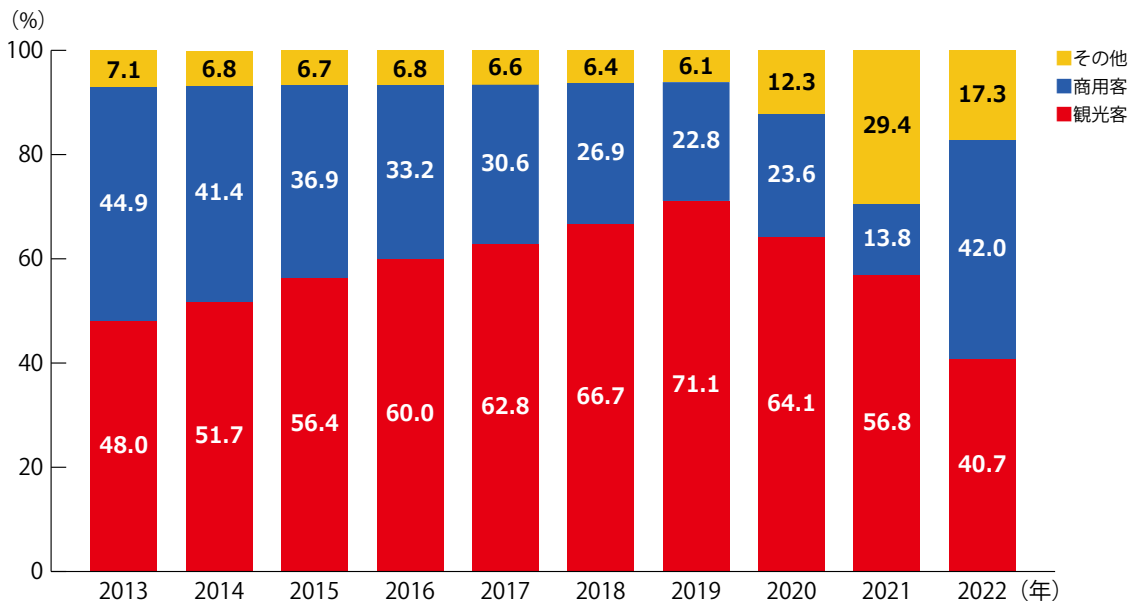
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日ドイツ人の推移（2013年～2022年）



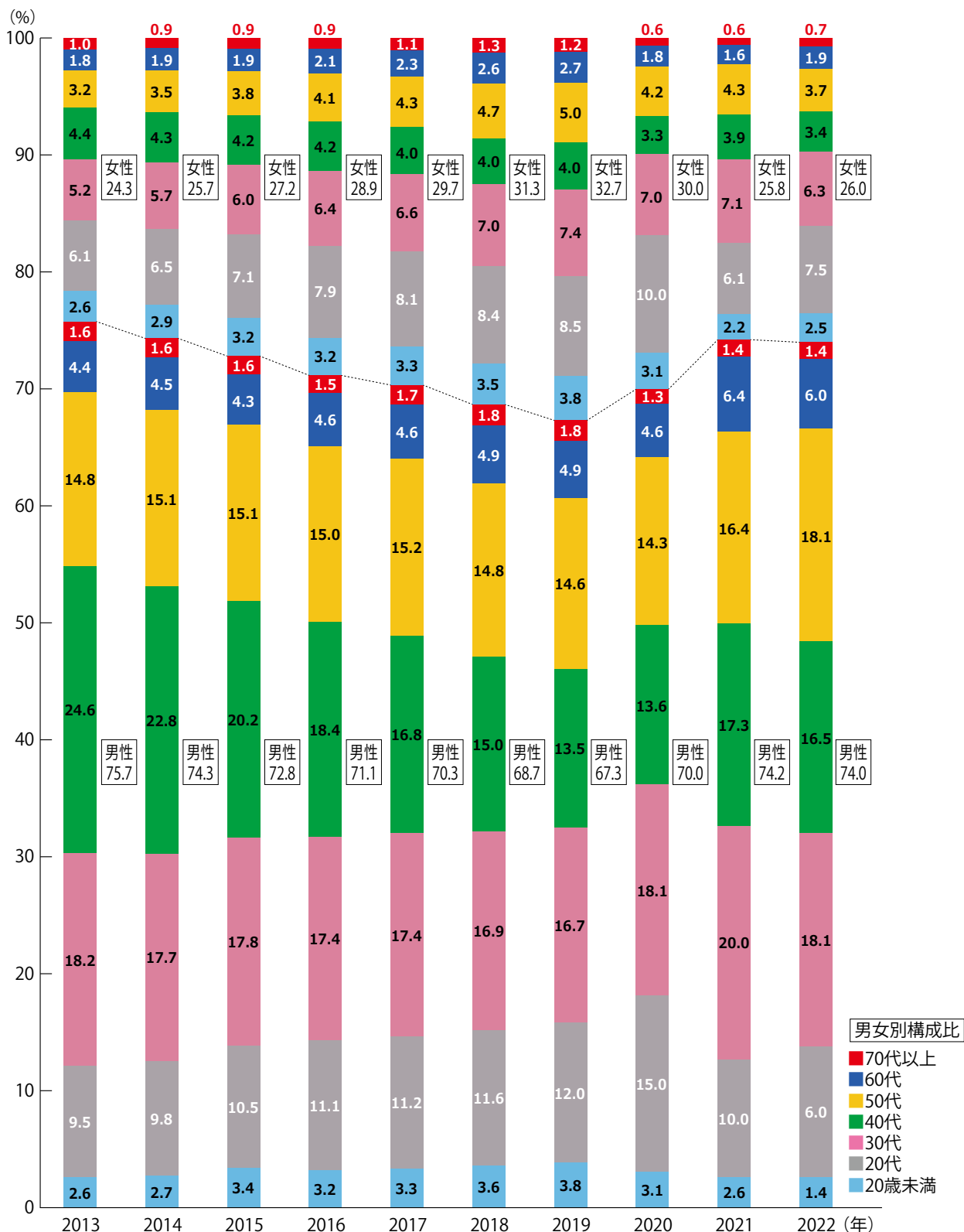
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日ドイツ人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日ドイツ人の性・年齢別構成 (2012年～2021年)

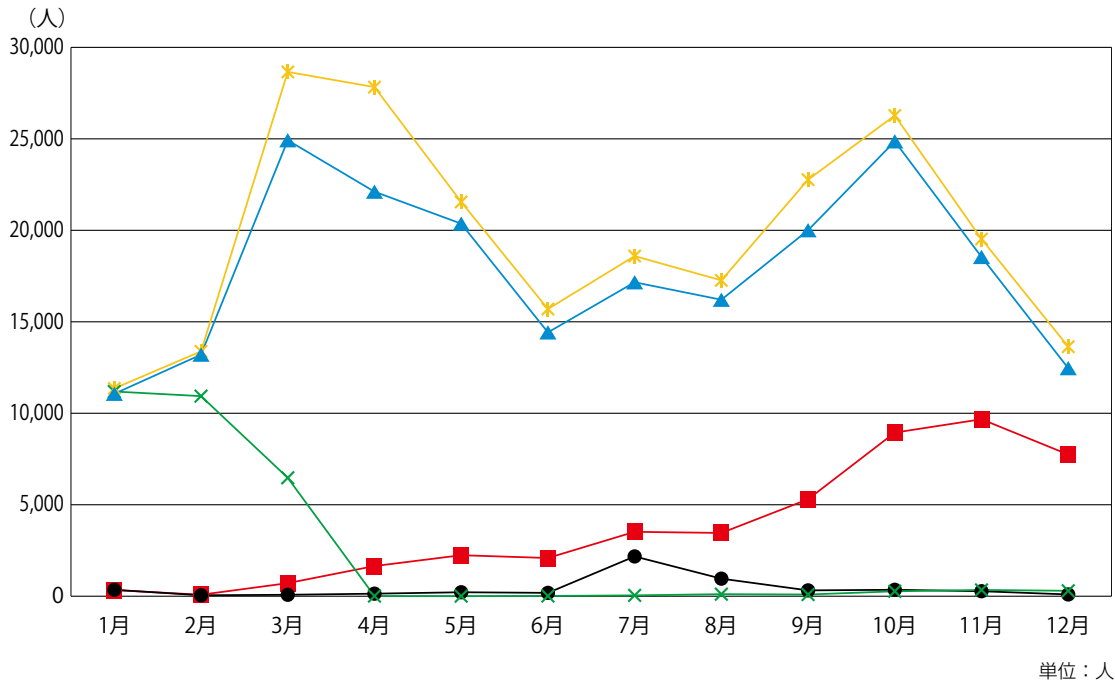


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

ドイツ

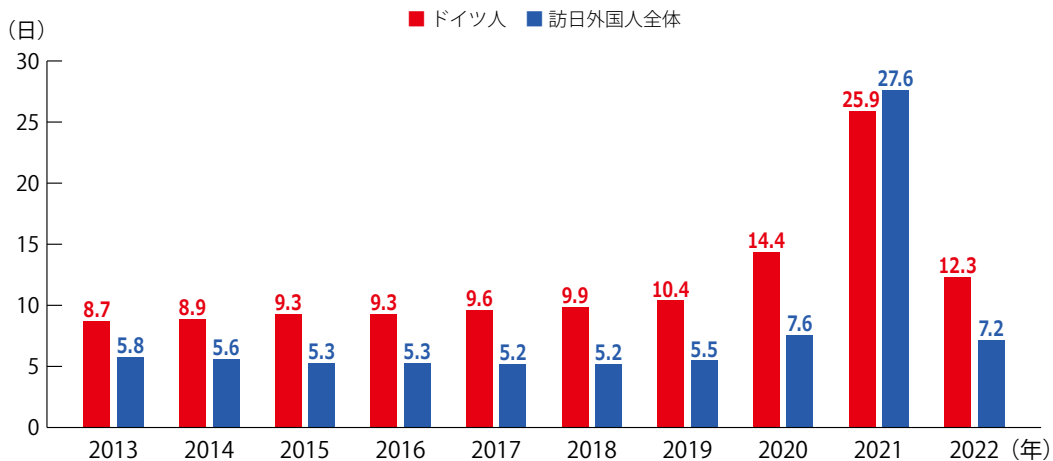
#### (4) 月別訪日ドイツ人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	335	81	714	1,649	2,241	2,089	3,520	3,458	5,300	8,943	9,673	7,745
● 2021年	351	52	79	139	217	183	2,175	960	319	352	273	97
✕ 2020年	11,189	10,937	6,472	9	4	14	47	112	93	269	343	296
✱ 2019年	11,358	13,384	28,659	27,829	21,552	15,697	18,593	17,264	22,768	26,276	19,525	13,639
▲ 2018年	11,066	13,204	24,923	22,112	20,364	14,421	17,160	16,206	20,006	24,864	18,544	12,466

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日ドイツ人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）

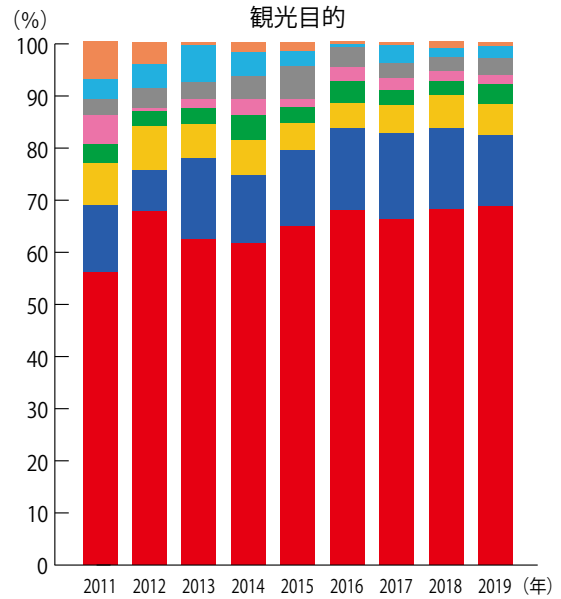
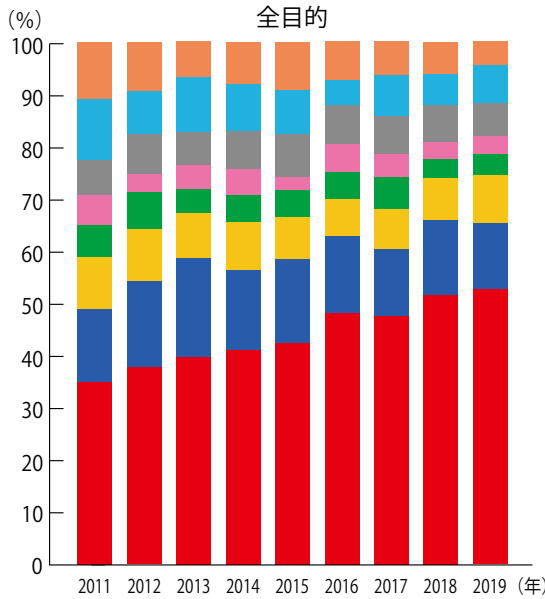


注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



(6) 訪日ドイツ人の訪日回数 (2011年～2019年)



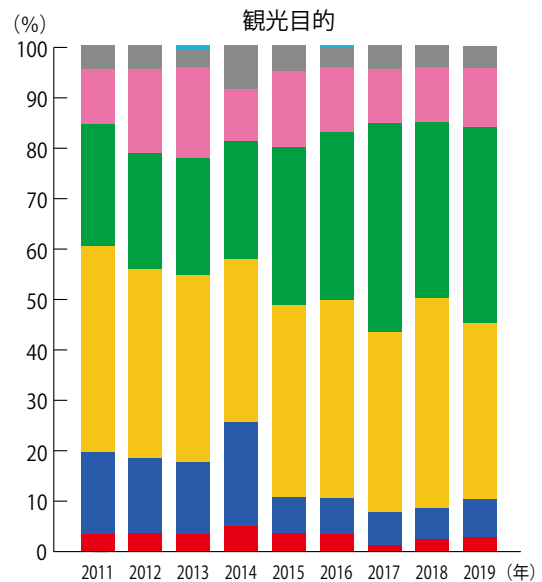
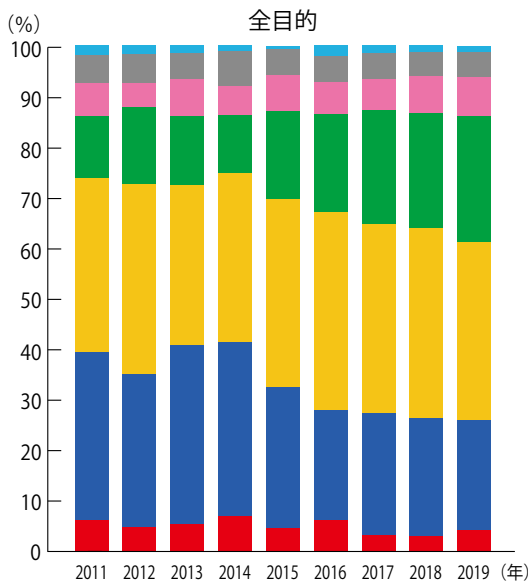
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	11.1	9.5	6.8	8.1	9.1	7.5	6.6	6.0	4.6
10~19回目	11.5	8.3	10.6	9.0	8.5	4.7	7.9	6.1	7.3
6~9回目	6.8	7.5	6.3	7.3	8.2	7.5	7.2	7.0	6.2
5回目	5.7	3.5	4.6	4.9	2.5	5.4	4.4	3.2	3.4
4回目	6.0	7.0	4.7	5.3	5.1	5.1	6.1	3.6	4.2
3回目	10.1	10.0	8.5	9.2	8.1	7.2	7.7	8.2	9.0
2回目	13.9	16.5	18.9	15.2	16.1	14.6	12.7	14.2	12.8
1回目	34.9	37.7	39.7	41.0	42.3	48.1	47.6	51.6	52.6

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回以上	7.1	4.3	0.5	1.9	1.6	0.5	0.6	1.3	0.9
10~19回目	4.0	4.5	7.2	4.7	3.0	0.6	3.5	1.8	2.3
6~9回目	3.1	3.8	3.1	4.4	6.2	3.8	2.9	2.7	3.1
5回目	5.4	0.7	1.8	3.0	1.7	2.7	2.3	1.8	1.8
4回目	3.7	2.9	3.0	4.9	2.9	4.3	2.9	2.7	3.8
3回目	8.1	8.3	6.5	6.6	5.2	4.8	5.2	6.4	5.9
2回目	12.7	7.9	15.5	12.9	14.6	15.6	16.4	15.4	13.5
1回目	56.0	67.6	62.3	61.6	64.7	67.8	66.2	68.0	68.7

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日ドイツ人の滞在期間 (2011年～2019年)



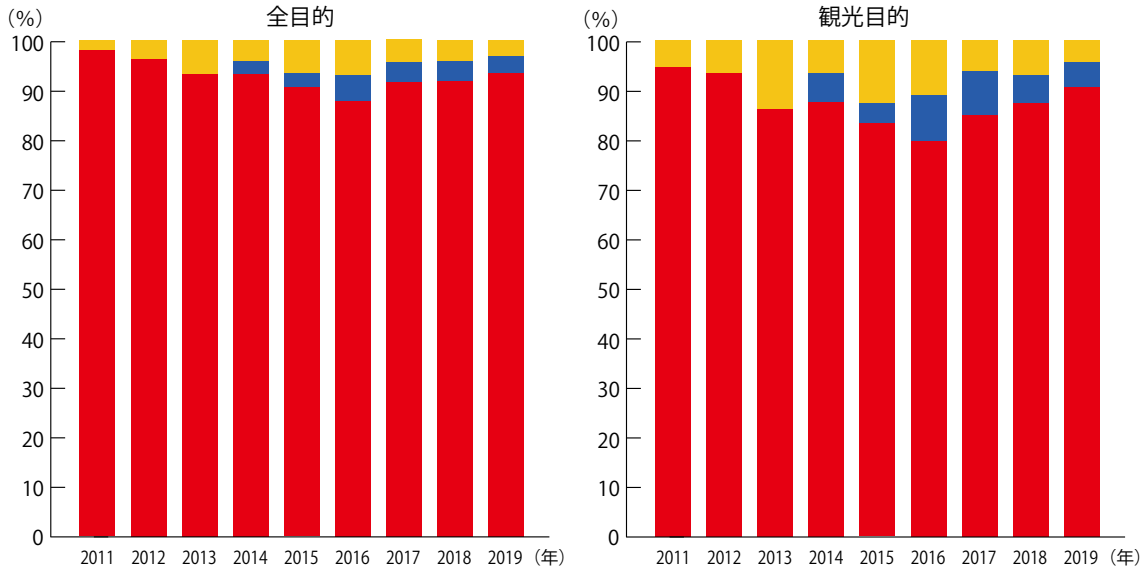
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	1.9	1.9	1.6	1.2	0.6	2.1	1.6	1.4	1.2
28~90日間	5.6	5.7	5.2	6.8	5.2	5.1	5.1	4.7	4.9
21~27日間	6.6	4.8	7.3	5.8	7.0	6.4	6.1	7.4	7.9
14~20日間	12.1	15.1	13.6	11.5	17.6	19.4	22.6	22.8	24.8
7~13日間	34.4	37.6	31.6	33.4	37.2	39.1	37.4	37.4	35.3
4~6日間	33.4	30.3	35.6	34.4	27.8	21.8	24.2	23.4	21.8
3日間以内	6.0	4.7	5.2	6.9	4.5	6.1	3.0	2.9	4.0

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	0.5	0.0	0.2	0.1
28~90日間	4.8	4.8	3.6	8.6	5.1	3.7	4.7	4.0	4.2
21~27日間	10.7	16.7	17.9	10.2	15.1	13.0	10.6	11.0	11.8
14~20日間	24.3	22.8	23.3	23.5	31.1	33.3	41.3	34.9	38.7
7~13日間	40.6	37.5	37.0	32.2	38.1	39.0	35.8	41.4	34.9
4~6日間	16.3	14.8	14.3	20.7	7.2	7.3	6.4	6.3	7.5
3日間以内	3.3	3.5	3.2	4.8	3.4	3.2	1.2	2.2	2.7

注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日ドイツ人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	2.1	3.8	6.9	4.2	6.7	7.2	4.6	4.3	3.3
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	2.5	2.9	5.1	4.0	3.9	3.3
■ 個別手配	97.9	96.2	93.1	93.2	90.4	87.7	91.5	91.8	93.4

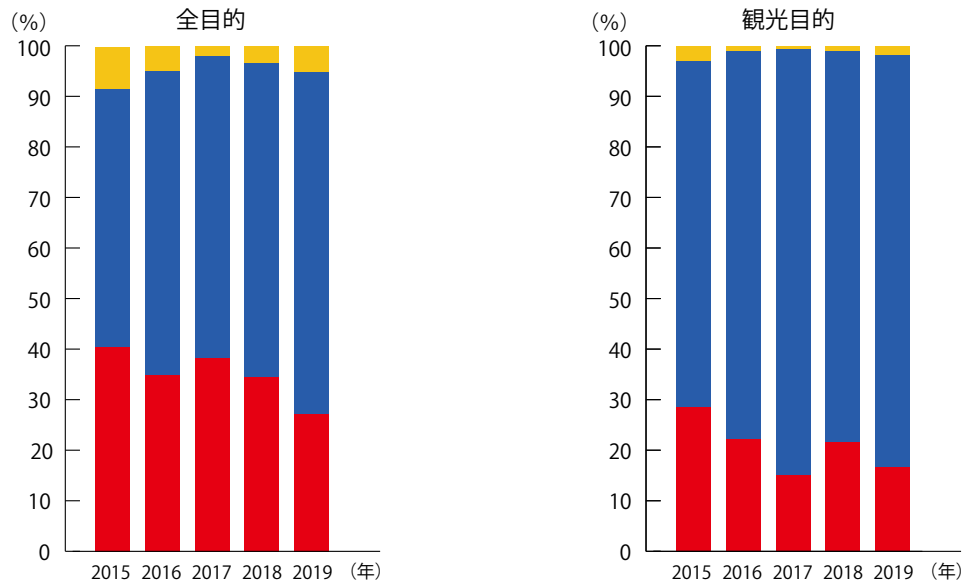
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	5.5	6.7	13.8	6.8	12.6	11.2	6.4	7.0	4.5
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	5.7	4.2	9.2	8.7	5.6	5.0
■ 個別手配	94.5	93.3	86.2	87.5	83.2	79.6	84.9	87.4	90.5

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日ドイツ人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	8.4	4.9	1.9	3.4	5.2
■ ウェブサイトから申し込んだ	51.0	60.2	59.8	62.1	67.6
■ 店頭で申し込んだ	40.5	34.9	38.3	34.5	27.2

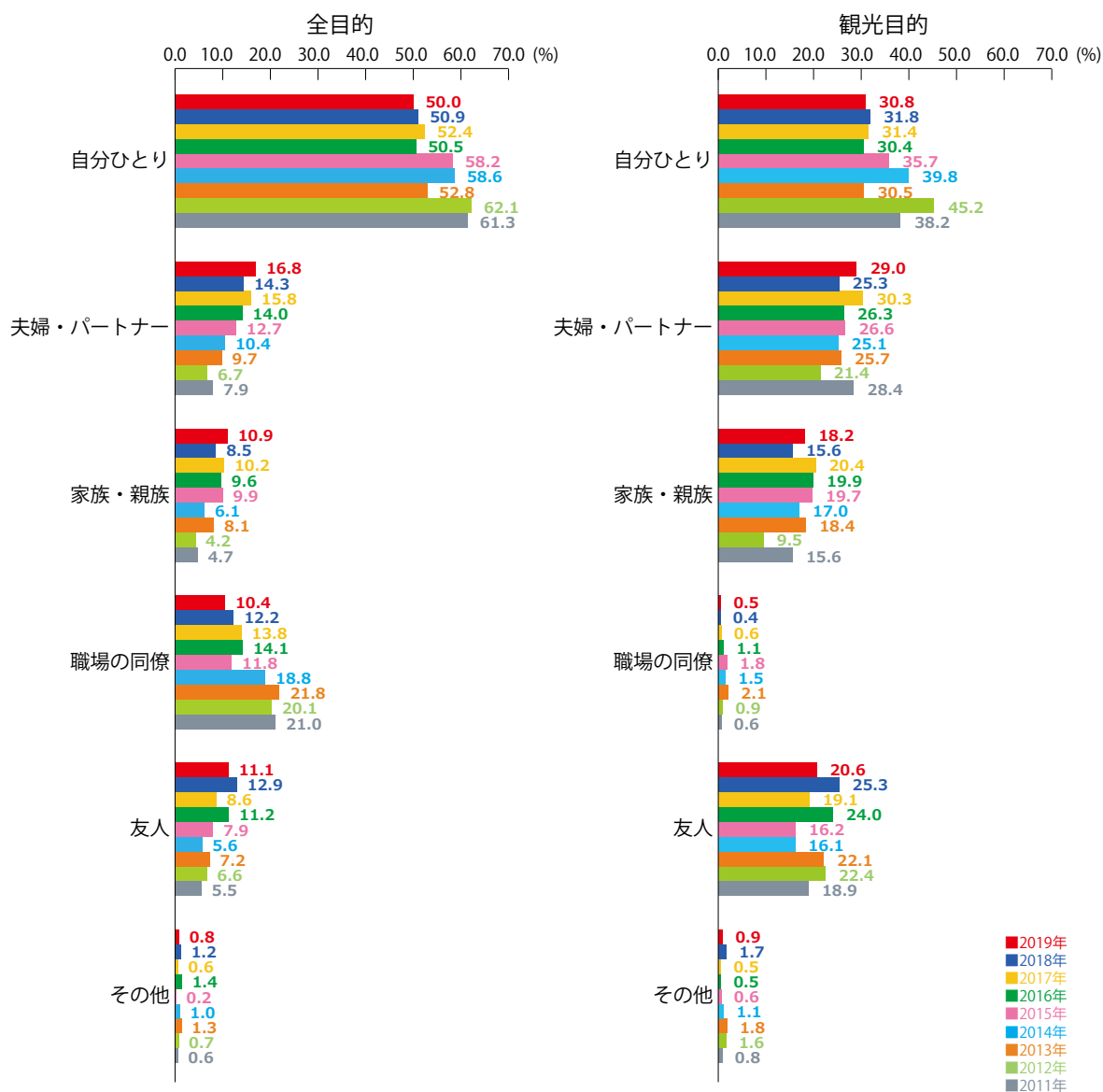
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	3.0	1.1	0.6	1.0	1.6
■ ウェブサイトから申し込んだ	68.5	76.8	84.2	77.3	81.5
■ 店頭で申し込んだ	28.5	22.2	15.2	21.7	16.8

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日ドイツ人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(11) 訪日ドイツ人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	84.0 85.7 76.3 78.8 77.0	98.1 98.8 99.0 98.6 97.8	70.1 73.5 75.8 72.6 75.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	41.6 44.9 39.4 33.7 33.2	65.5 61.6 58.2 62.7 61.3	30.1 32.3 44.1 38.8 40.1
旅館に宿泊	18.6 18.7 15.6 17.6 15.9	21.7 20.7 20.4 22.6 22.1	28.7 27.4 26.9 33.5 29.0
温泉入浴	24.6 24.3 23.2 25.1 19.5	26.8 25.7 29.2 30.0 23.0	46.5 46.4 44.0 41.9 38.2
自然・景勝地観光	41.4 45.1 33.4 40.6 36.0	54.0 55.1 59.5 54.5 46.8	51.6 55.4 50.9 49.0 48.9
繁華街の街歩き	33.0 38.9 33.4 28.9 32.0	56.4 59.7 54.5 58.0 58.7	22.9 23.9 35.6 35.0 32.0
ショッピング	33.6 38.0 34.7 32.5 32.1	51.4 56.3 55.8 54.8 58.2	24.2 31.4 35.8 36.3 38.1
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	31.7 29.3 33.4 25.5 17.0 22.3	40.6 41.8 30.9 32.8 33.0	26.6 31.1 31.7 32.6 32.4
テーマパーク	6.3 8.6 6.3 5.7 4.9	8.0 10.3 6.5 7.1 5.4	7.8 14.0 13.1 10.8 9.9
スキー・スノーボード	2.6 1.9 0.5 1.8 0.9	1.9 1.3 1.1 1.1 0.6	9.4 7.6 7.5 7.8 8.9
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.7 2.5 1.4 3.3 2.0	2.5 2.6 2.2 3.4 2.3	4.7 4.7 6.3 6.5 5.9
舞台・音楽鑑賞	6.0 5.2 4.4 8.6 6.0	7.1 5.9 4.9 9.1 8.5	12.6 12.0 17.8 21.8 17.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.3 4.9 2.0 3.0 2.9	5.1 4.4 3.1 3.4 2.9	9.9 11.5 13.6 18.7 9.9
自然体験ツアー・農漁村体験	14.3 12.6 6.3 8.7 5.5	15.7 14.6 10.0 12.9 6.9	27.5 27.4 19.3 25.4 19.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	16.4 11.7 12.4 13.4 11.5	15.0 13.4 12.4 16.1 13.1	30.4 30.1 28.2 32.9 29.4
映画・アニメ縁の地を訪問	6.3 6.9 3.4 6.6 4.9	7.8 8.8 5.0 8.3 4.7	7.5 11.1 8.2 10.4 4.2
日本の歴史・伝統文化体験	43.8 44.8 35.1 34.0 29.5	52.7 54.4 48.4 46.8 40.3	45.0 45.7 47.7 44.8 43.9
日本の日常生活体験	36.9 33.1 33.1 30.8 30.7 28.4	50.6 42.6 44.9 44.6 40.0	35.5 34.3 37.1 33.5 32.0
日本のポップカルチャーを楽しむ	12.2 14.2 11.2 14.9 10.0	19.6 17.9 15.7 20.8 16.1	13.1 14.7 11.6 16.1 12.2
治療・健診	0.6 0.3 0.3 0.3 1.2	1.3 0.5 1.3 0.9 1.2	0.5 0.8 1.1 1.5 1.5
上記には当てはまるものがない	6.7 7.1 14.2 9.3 13.9	0.6 0.3 0.8 0.6 0.7	1.4 1.4 2.6 0.3 2.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

▶ 前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	90.8 87.8 83.8 82.7 83.3	98.8 98.8 99.2 98.0 98.3	72.5 74.2 75.8 72.3 72.9
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	51.4 43.7 35.8 34.3 37.4	64.6 59.2 56.8 56.5 60.1	30.8 28.3 42.2 35.3 41.4
旅館に宿泊	27.5 27.5 28.5 26.6	32.5 30.3 32.2 37.0 39.9	35.5 34.0 39.6 45.6 41.1
温泉入浴	33.8 32.9 37.5 39.0 31.9	35.7 35.0 48.4 44.7 38.8	53.7 56.2 59.4 54.7 47.1
自然・景勝地観光	57.6 65.3 58.4 60.6 57.7	72.7 76.9 83.0 79.0 74.0	55.5 62.2 60.7 58.5 59.5
繁華街の街歩き	44.7 52.8 41.3 47.1	66.2 74.3 78.2 78.4 76.5	21.1 28.2 48.8 43.9 40.3
ショッピング	44.3 48.8 47.9 41.9 45.0	61.2 68.1 76.7 69.1 79.3	24.7 39.1 47.4 40.3 43.7
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	46.8 40.9 40.9 25.3 35.7	56.1 59.9 53.8 47.1 56.0	27.7 38.2 43.9 39.1 41.4
テーマパーク	7.2 13.6 6.3 8.6 8.4	8.5 15.1 9.1 12.8 8.1	8.3 19.3 19.0 12.2 15.7
スキー・スノーボード	3.2 2.4 0.0 2.0 1.3	3.2 1.6 0.8 0.6 0.0	10.5 8.2 9.3 10.3 11.1
その他スポーツ (ゴルフ等)	3.6 3.1 1.5 4.6 2.9	3.4 2.8 3.0 3.8 2.9	4.9 5.1 7.3 9.0 6.8
舞台・音楽鑑賞	7.9 7.5 7.1 13.6 10.4	9.3 8.3 15.8 13.1 13.5	11.2 15.1 23.8 27.9 23.7
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.2 4.7 1.5 4.7 4.3	6.2 3.2 3.1 5.0 5.9	9.7 12.6 18.6 24.4 16.4
自然体験ツアー・農漁村体験	19.3 18.1 11.5 12.7 9.0	21.4 21.6 15.8 20.2 11.1	26.1 33.1 21.8 30.2 24.2
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	19.0 17.7 11.5 21.7 18.9	20.0 19.7 31.9 27.3 22.1	35.8 37.9 44.9 45.5 38.9
映画・アニメ縁の地を訪問	9.0 11.3 5.9 11.2 5.3	11.5 14.1 8.9 15.9 7.4	10.7 17.3 14.7 17.7 5.0
日本の歴史・伝統文化体験	60.0 64.1 55.5 54.1 48.1	68.7 75.5 74.5 70.8 60.4	46.9 46.2 58.8 54.5 50.7
日本の日常生活体験	48.1 40.1 45.0 43.6 46.7	58.2 50.3 62.8 56.8 57.8	38.2 39.7 49.7 42.1 45.6
日本のポップカルチャーを楽しむ	19.5 23.9 20.3 27.8 19.0	31.3 29.8 29.6 35.6 31.7	19.2 20.6 23.9 25.8 21.7
治療・健診	0.6 0.2 0.8 0.6 1.4	1.2 0.2 0.0 0.6 0.7	0.6 1.1 2.1 1.3 2.3
上記には当てはまるものがない	0.9 3.5 4.6 3.5 2.9	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.2 0.8 1.5 0.6 2.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) ドイツ人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	10.2 9.4 11.0 15.9 14.2	11.0 14.8 18.4 22.2 22.7
旅行会社ホームページ	8.2 8.8 6.8 15.4 9.1	8.4 10.1 8.8 22.4 10.8
宿泊施設ホームページ	15.8 14.4 14.9 17.5 13.9	19.1 16.3 21.5 25.9 20.2
航空会社ホームページ	13.7 15.0 13.4 10.4 11.5	17.6 19.0 18.6 11.7 15.7
地方観光協会ホームページ	6.6 8.0 7.2 7.9 4.3	8.6 11.2 12.5 13.4 8.3
宿泊予約サイト	10.3 9.0 4.9 5.7 5.0	13.8 13.0 6.1 8.5 8.4
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	24.8 25.1 16.5 21.3 13.2	36.0 32.6 25.6 34.7 27.4
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	15.7 12.2 8.0 5.9 1.4	22.6 14.8 8.4 9.2 0.7
個人のブログ	23.2 19.4 17.3 12.7 9.9	36.2 30.0 36.2 21.9 20.8
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	27.6 21.0 10.1 9.0 5.5	37.5 31.4 20.0 14.8 12.4
その他インターネット	8.5 8.4 18.8 15.9 18.8	8.8 7.5 23.4 18.6 16.1
日本政府観光局の案内所	2.5 1.8 3.6 3.1 2.3	2.0 3.2 6.7 6.6 3.6
旅行会社パンフレット	3.5 4.2 4.3 4.3 3.4	5.0 7.4 6.9 7.8 5.2
旅行ガイドブック	24.5 25.0 24.6 26.7 24.5	30.8 35.5 43.6 44.0 43.1
自国の親族・知人	21.4 21.0 25.2 16.1	28.6 25.6 27.0 34.5 22.8
日本在住の親族・知人	26.9 26.8 33.4 27.3 29.5	23.5 19.0 26.5 26.7 26.8
旅行の展示会や見本市	1.0 0.5 0.5 0.8 0.2	0.4 0.6 0.0 0.7 0.0
テレビ番組	6.4 5.1 4.1 2.8 3.5	8.6 8.5 7.5 4.6 6.8
新聞	2.5 1.7 2.5 2.8 2.3	1.5 2.1 2.3 5.2 2.7
旅行専門誌	6.2 5.1 5.8 8.8 5.7	7.4 7.1 9.2 13.0 12.2
その他雑誌	0.5 0.3 0.3 1.7 1.0	0.6 0.4 0.8 3.1 2.7
その他	4.2 1.8 5.5 9.7 4.0	3.0 1.0 2.3 7.0 2.0
特になし	10.1 11.1 12.3 10.9 14.4	1.9 3.3 0.6 0.0 3.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) ドイツ人が訪日旅行中に役立った旅行情報 (2018年～2019年)

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	17.2 19.9	19.8 24.7
交通手段	61.6 49.6	71.1 57.3
飲食店	35.9 27.8	42.5 29.7
観光施設	25.3 23.2	33.3 33.9
イベント	7.6 6.3	9.5 6.6
土産物	6.4 8.1	8.0 12.1
買物場所	12.8 12.0	13.2 15.1
無料W i - F i	48.4 53.3	57.1 55.6
祈祷室	0.3 0.4	0.3 0.9
A T M	25.6 29.0	32.8 33.4
宅配便	3.6 2.5	6.0 3.5
日本文化体験プログラム	9.6 6.3	13.0 6.9
自然体験ツアー・農山漁村体験	5.7 5.2	8.5 7.0
通訳案内士・観光ガイド	3.4 4.1	4.6 6.5
有料での住宅宿泊 (Airbnb 等)	2.1 2.7	2.3 4.1
クレジットカード利用可能店舗	9.9 9.2	8.7 11.9
その他	2.5 0.7	1.5 0.9
特になし	9.2 10.0	4.5 3.3

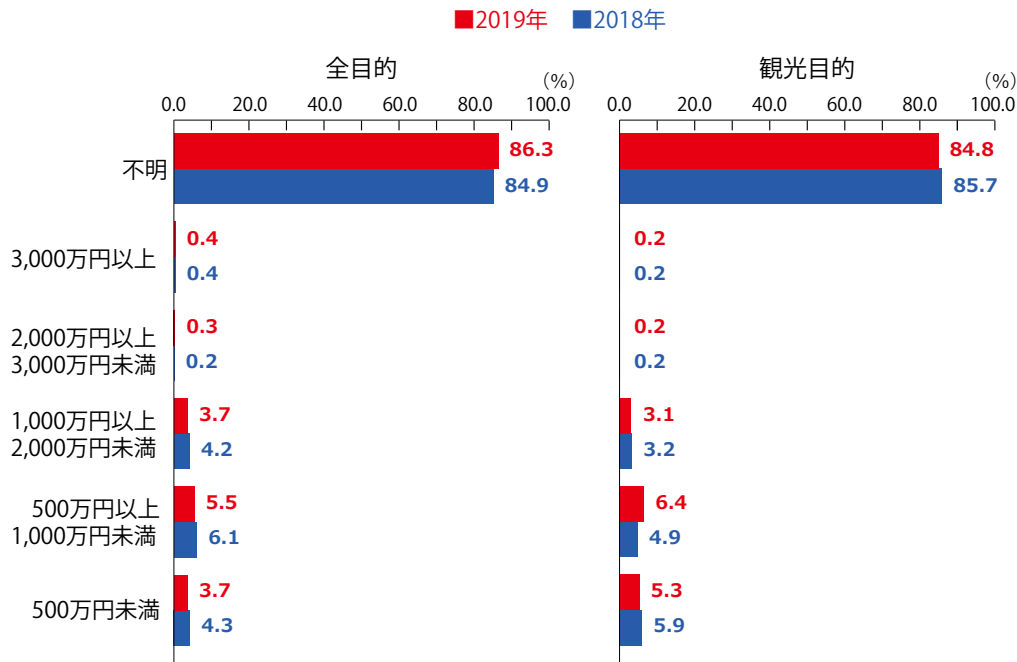
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

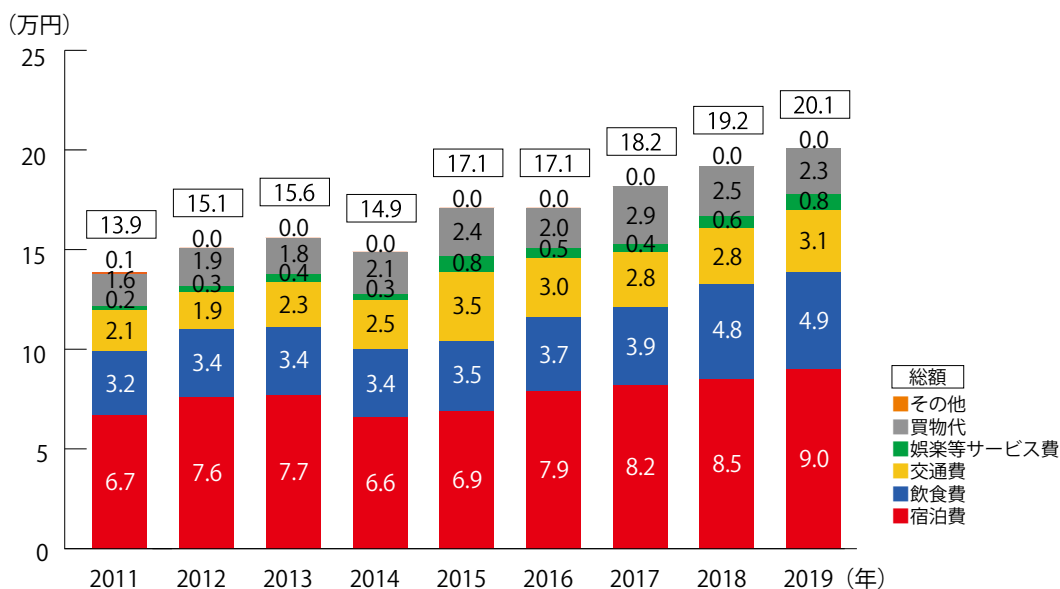
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日ドイツ人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日ドイツ人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (16) 属性別訪日ドイツ人の日本滞在中の1人当たりの支出額 (2019年)

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		1,237	201,483	578	237,884
滞在日数	3日間以内	51	56,996	16	44,802
	4～6日間	272	101,094	44	101,610
	7～13日間	431	183,496	201	203,027
	14～20日間	308	253,640	226	271,242
	21～27日間	93	289,333	65	294,411
	28～90日間	64	327,769	25	422,974
	91日間以上1年未満	18	841,291	1	397,000
性・年代	男性	886	191,637	371	240,046
	15～19歳	15	225,897	12	254,616
	20～29歳	185	208,987	111	207,781
	30～39歳	250	198,585	126	234,776
	40～49歳	223	176,180	55	286,126
	50～59歳	154	159,933	40	234,760
	60～69歳	47	233,294	20	299,423
	70歳以上	12	258,881	7	319,624
	女性	351	226,173	207	233,958
	15～19歳	11	359,190	5	159,925
	20～29歳	141	229,543	92	211,806
	30～39歳	84	229,522	57	245,373
	40～49歳	52	160,346	22	191,985
	50～59歳	40	252,548	22	299,402
60～69歳	21	241,968	9	363,500	
70歳以上	2	57,110	0	-	
日本への 来訪回数	1回目	641	225,460	395	239,143
	2回目	159	197,268	78	235,206
	3回目	110	182,481	34	237,682
	4回目	55	179,149	23	258,942
	5回目	45	134,397	11	189,680
	6～9回目	80	180,882	18	215,804
	10～19回目	89	156,938	13	261,563
	20回目以上	58	143,527	6	204,798

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較するには注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日ドイツ人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	38	458,579	25	516,429	
	個人旅行向けパッケージ商品	41	305,790	29	274,218	
	往復航空（船舶）運賃	1,158	149,749	524	119,649	
日本滞在中の支出	宿泊料金	1,048	96,354	510	99,934	
	飲食費	1,126	48,570	553	55,276	
	交通費	1,124	30,720	545	38,982	
	航空（日本国内移動のみ）	50	23,406	22	19,077	
	Japan Rail Pass	320	42,473	271	43,586	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	867	14,875	420	14,885	
	バス	344	4,720	174	4,582	
	タクシー	350	11,355	134	9,873	
	レンタカー	30	28,505	18	24,469	
	船舶（日本国内移動のみ）	25	4,810	13	3,054	
	その他交通費	12	8,305	6	8,010	
	娯楽等サービス費	631	13,598	417	11,654	
	現地ツアー・観光ガイド	80	9,726	59	9,637	
	ゴルフ場	3	12,066	3	12,066	
	テーマパーク	84	9,089	55	9,048	
	舞台・音楽鑑賞	37	7,792	23	8,618	
	スポーツ観戦	18	64,787	8	32,091	
	美術館・博物館・動物園・水族館	471	5,553	326	6,009	
	スキー場リフト	9	23,684	8	19,191	
	温泉・湯治施設・エステ・リラクゼーション	115	4,182	79	4,148	
	マッサージ・医療費	22	5,934	15	4,835	
	展示会・コンベンション参加費	13	20,837	5	26,921	
	レンタル料（レンタカーを除く）	9	7,537	5	8,607	
	その他娯楽等サービス費	31	72,320	19	39,095	
	買物代	1,036	27,812	530	29,744	
	菓子類	511	6,210	269	5,977	
	酒類	315	7,458	159	7,002	
	生鮮農産物	67	9,329	37	10,006	
	その他食料品・飲料・たばこ	441	8,719	224	8,171	
	化粧品・香水	84	20,232	48	7,188	
	医薬品	33	6,866	15	4,327	
	健康グッズ・トイレタリー	37	10,120	21	6,227	
	衣類	344	17,204	211	18,993	
靴・かばん・革製品	97	14,252	66	14,817		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	67	23,859	40	21,092		
時計・フィルムカメラ	16	60,507	7	10,480		
宝石・貴金属	15	29,130	9	12,862		
民芸品・伝統工芸品	252	10,962	165	11,219		
本・雑誌・ガイドブックなど	107	8,637	62	9,271		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	32	9,720	26	10,370		
その他買物代	115	20,272	67	25,121		
その他	4	7,605	2	7,990		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日ドイツ人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	39.5 37.3 36.0 39.7 37.1	45.6 47.6 48.1 54.0 49.8
家電量販店	13.1 13.3 13.1 15.9 13.1	16.8 19.5 20.5 21.3 20.3
ファッション専門店	16.6 15.8 17.1 14.7 15.0	24.0 21.0 28.6 19.8 21.7
100円ショップ	21.9 23.5 22.9 20.1 18.5	28.8 29.9 35.8 30.4 29.4
高速道路のSA・道の駅	2.7 2.0 1.9 2.5 1.2	2.1 2.9 3.5 3.2 1.2
観光地の土産店	36.0 32.5 32.1 31.6 26.7	48.8 45.0 52.9 49.8 46.2
宿泊施設	4.1 2.0 3.6 4.6 2.9	3.8 2.4 6.4 6.5 4.8
スーパーマーケット	50.6 51.4 57.4 52.4 52.9	61.2 62.8 75.8 64.6 62.2
コンビニエンスストア	58.2 55.5 48.6 47.5 33.5	67.0 64.2 61.0 57.2 44.4
ドラッグストア	19.5 18.1 17.9 13.9 11.1	23.6 26.2 25.5 20.9 17.1
ディスカウントストア	8.2 5.9 7.5 6.3 3.7	11.4 8.5 12.2 10.0 4.4
アウトレットモール	5.8 4.0 4.4 7.0 5.9	5.6 5.9 7.0 9.2 9.4
都心の複合商業施設	15.4 10.7 10.3 9.2 5.8	18.9 16.0 17.4 13.3 9.5
その他ショッピングセンター	9.5 8.5 8.4 9.3 8.7	11.7 12.7 12.9 11.8 12.5
鉄道駅構内の店舗	14.2 10.2 12.4 13.0 11.6	20.4 14.8 18.7 19.5 16.3
空港の免税店	34.0 27.1 26.4 30.0 29.4	32.2 27.2 27.5 31.5 30.7
クルーズ寄港港湾内の店舗	1.0 0.4	0.9 0.8
その他	5.7 6.1 3.3 3.1 4.7	6.7 7.1 4.6 3.1 4.7
買い物はしなかった	8.6 11.4 14.3 13.0 15.6	2.8 5.4 3.5 5.9 6.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日ドイツ人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	14.5 15.5
消費税免税の手続きをしていない	85.5 84.5

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	1.2 2.5
酒類	1.2 1.1
生鮮農産物	0.0 0.0
その他食料品・飲料・たばこ	1.3 0.7
化粧品・香水	1.1 1.4
医薬品	0.1 0.2
健康グッズ・トイレタリー	0.1 0.2
衣類	5.2 6.7
靴・かばん・革製品	2.4 1.7
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	1.8 1.2
時計・フィルムカメラ	0.6 0.3
宝石・貴金属	0.1 0.2
民芸品・伝統工芸品	2.9 2.5
本・雑誌・ガイドブックなど	0.5 0.5
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.3 0.6
その他買物代	1.6 1.0

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日ドイツ人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	88.7 90.5	97.3 96.3
クレジットカード	69.8 68.2	68.4 64.4
交通系ICカード（Suica等）	19.1 18.4	23.0 22.7
その他ICカード（Edy等）	0.1 0.3	0.0 0.4
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	2.5 1.0	2.2 0.8
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.2 0.4	0.4 0.3
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.0 0.1	0.0 0.1
その他	0.0 0.1	0.0 0.1
お金は全く使わなかった	0.8 0.9	0.1 0.6

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日ドイツ人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	58.5	60.7	65.3	67.8	77.2	80.5	82.0	81.6	82.0
千葉県	2位	7.1	7.4	6.7	6.1	48.1	48.8	43.5	43.3	43.9
京都府	3位	16.1	21.9	25.7	23.2	30.9	31.5	30.7	35.6	36.4
大阪府	4位	18.0	15.4	18.9	19.5	31.1	34.0	31.9	35.2	36.1
神奈川県	5位	18.4	15.4	17.4	18.2	14.0	13.4	15.1	17.0	17.2
広島県	6位	7.2	6.5	9.5	5.2	12.4	13.4	14.6	11.4	14.6
愛知県	7位	8.3	9.6	10.5	9.2	12.2	15.2	10.9	9.6	9.2
兵庫県	8位	5.2	3.6	6.1	6.2	7.9	7.0	5.3	6.2	8.9
奈良県	9位	4.1	4.1	6.2	3.5	5.9	7.4	6.2	5.9	7.0
岐阜県	10位	1.6	2.3	3.7	3.2	3.6	6.8	5.3	4.9	5.1
山梨県	11位	3.2	2.2	5.1	2.8	3.7	2.5	3.8	4.4	5.0
長野県	12位	3.0	2.6	4.1	3.5	2.8	5.5	6.8	5.4	4.8
石川県	13位	1.6	1.2	2.2	1.8	2.9	4.7	2.9	4.6	4.2
北海道	14位	2.7	3.9	2.0	3.3	2.5	2.5	3.5	3.7	4.1
福岡県	15位	4.7	3.0	3.6	3.9	3.8	5.3	2.5	3.7	4.0
栃木県	16位	3.2	4.1	5.1	4.0	4.2	5.1	3.4	3.8	3.6
静岡県	17位	4.4	5.1	3.4	5.3	4.8	4.8	4.9	5.3	3.5
和歌山県	18位	1.3	0.4	3.1	1.9	3.0	3.4	2.8	2.1	3.2
沖縄県	19位	2.3	1.3	2.3	3.7	3.0	1.5	2.1	2.5	2.7
岡山県	20位	2.3	0.8	2.3	2.0	1.3	1.7	1.3	1.2	2.2
三重県	21位	2.2	1.9	2.9	1.5	2.6	1.3	0.4	1.0	2.1
埼玉県	22位	1.6	3.0	1.4	2.3	2.9	1.7	1.6	1.6	2.0
茨城県	23位	3.0	2.8	1.8	1.4	1.6	2.4	3.0	1.7	1.7
熊本県	24位	2.8	1.2	1.5	0.8	1.9	0.6	1.9	1.5	1.5
長崎県	25位	3.2	2.1	2.1	1.6	3.4	3.0	2.4	0.8	1.5
大分県	26位	1.6	1.1	1.3	1.0	1.5	1.5	1.3	1.3	1.4
香川県	27位	1.2	0.3	0.3	0.6	0.4	1.7	0.4	1.6	1.4
宮城県	28位	2.7	2.2	1.1	2.8	2.5	1.9	1.7	3.4	1.3
愛媛県	29位	0.8	0.3	0.2	0.1	1.3	1.3	0.8	0.5	1.2
青森県	30位	0.4	0.5	0.1	0.8	1.0	0.0	0.4	0.9	1.2
滋賀県	31位	2.0	1.2	0.8	0.7	0.5	1.1	0.2	1.1	1.1
福島県	32位	1.5	0.9	1.4	1.4	1.5	1.2	0.2	0.8	1.0
鹿児島県	33位	2.2	0.5	1.1	1.3	1.2	2.4	1.9	1.6	1.0
富山県	34位	1.2	0.4	0.5	0.6	0.5	0.4	0.2	0.4	1.0
徳島県	35位	0.7	0.4	0.1	0.4	0.2	0.4	0.2	1.1	1.0
群馬県	36位	1.6	0.9	1.3	1.4	1.1	1.7	0.9	0.8	0.8
新潟県	37位	0.8	0.9	0.5	1.1	0.6	1.0	1.1	1.4	0.7
山形県	38位	0.6	1.0	1.0	0.9	0.4	1.0	1.4	0.9	0.7
宮崎県	39位	0.4	0.3	0.3	0.1	0.0	0.0	0.2	0.4	0.7
鳥取県	40位	0.0	0.3	0.2	0.3	0.4	0.4	0.2	0.2	0.6
高知県	41位	0.5	0.1	0.3	0.0	0.5	0.2	0.4	0.4	0.4
山口県	42位	1.2	0.5	0.2	0.1	1.0	0.4	0.4	1.1	0.3
秋田県	43位	0.6	1.3	0.2	0.8	0.7	0.2	0.4	0.7	0.3
福井県	44位	0.4	0.5	0.3	0.1	0.2	1.7	0.6	0.2	0.3
島根県	45位	0.2	0.5	0.1	0.3	0.0	0.2	0.4	0.2	0.2
佐賀県	46位	0.2	1.2	0.1	0.4	0.2	0.0	0.6	0.1	0.2
岩手県	47位	0.2	1.1	0.3	0.9	0.9	0.2	1.1	0.4	0.2

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日ドイツ人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	336,300 (43.3%)	380,890 (42.5%)	480,700 (41.8%)
京都府	2位	94,370 (12.2%)	122,790 (13.7%)	199,420 (17.3%)
神奈川県	3位	53,930 (6.9%)	55,680 (6.2%)	61,200 (5.3%)
大阪府	4位	58,050 (7.5%)	69,910 (7.8%)	93,940 (8.2%)
千葉県	5位	19,320 (2.5%)	22,220 (2.5%)	27,700 (2.4%)
愛知県	6位	18,080 (2.3%)	18,850 (2.1%)	22,300 (1.9%)
福岡県	7位	6,720 (0.9%)	8,940 (1.0%)	12,830 (1.1%)
広島県	8位	28,730 (3.7%)	34,650 (3.9%)	40,850 (3.5%)
兵庫県	9位	11,950 (1.5%)	12,080 (1.3%)	15,880 (1.4%)
北海道	10位	12,600 (1.6%)	11,940 (1.3%)	17,610 (1.5%)
茨城県	11位	5,170 (0.7%)	3,720 (0.4%)	3,870 (0.3%)
長野県	12位	11,080 (1.4%)	14,530 (1.6%)	18,460 (1.6%)
沖縄県	13位	9,560 (1.2%)	12,970 (1.4%)	18,940 (1.6%)
静岡県	14位	9,500 (1.2%)	13,330 (1.5%)	10,500 (0.9%)
山梨県	15位	8,900 (1.1%)	11,950 (1.3%)	9,050 (0.8%)
埼玉県	16位	3,890 (0.5%)	3,350 (0.4%)	3,540 (0.3%)
福島県	17位	1,490 (0.2%)	1,280 (0.1%)	1,730 (0.2%)
石川県	18位	6,490 (0.8%)	11,430 (1.3%)	12,180 (1.1%)
岐阜県	19位	16,730 (2.2%)	13,490 (1.5%)	16,370 (1.4%)
三重県	20位	2,280 (0.3%)	3,670 (0.4%)	4,100 (0.4%)
栃木県	21位	4,770 (0.6%)	5,440 (0.6%)	5,350 (0.5%)
宮城県	22位	2,610 (0.3%)	3,190 (0.4%)	4,150 (0.4%)
熊本県	23位	3,230 (0.4%)	4,300 (0.5%)	6,250 (0.5%)
大分県	24位	2,230 (0.3%)	2,550 (0.3%)	3,300 (0.3%)
富山県	25位	1,200 (0.2%)	1,340 (0.1%)	1,760 (0.2%)
岡山県	26位	4,080 (0.5%)	5,080 (0.6%)	5,470 (0.5%)
山口県	27位	770 (0.1%)	850 (0.1%)	1,060 (0.1%)
鹿児島県	28位	4,000 (0.5%)	4,900 (0.5%)	5,650 (0.5%)
徳島県	29位	1,650 (0.2%)	2,470 (0.3%)	1,620 (0.1%)
長崎県	30位	8,430 (1.1%)	5,900 (0.7%)	6,670 (0.6%)
新潟県	31位	1,970 (0.3%)	3,150 (0.4%)	4,440 (0.4%)
奈良県	32位	3,740 (0.5%)	4,860 (0.5%)	6,620 (0.6%)
山形県	33位	690 (0.1%)	1,230 (0.1%)	1,400 (0.1%)
群馬県	34位	1,880 (0.2%)	2,690 (0.3%)	2,110 (0.2%)
香川県	35位	1,840 (0.2%)	2,400 (0.3%)	4,100 (0.4%)
宮崎県	36位	360 (0.0%)	1,000 (0.1%)	1,230 (0.1%)
和歌山県	37位	3,160 (0.4%)	3,620 (0.4%)	3,510 (0.3%)
愛媛県	38位	1,760 (0.2%)	3,000 (0.3%)	2,570 (0.2%)
青森県	39位	1,740 (0.2%)	1,440 (0.2%)	1,860 (0.2%)
滋賀県	40位	4,510 (0.6%)	3,360 (0.4%)	3,860 (0.3%)
岩手県	41位	1,000 (0.1%)	1,030 (0.1%)	1,300 (0.1%)
鳥取県	42位	1,240 (0.2%)	1,190 (0.1%)	1,160 (0.1%)
秋田県	43位	1,230 (0.2%)	1,210 (0.1%)	1,080 (0.1%)
島根県	44位	490 (0.1%)	780 (0.1%)	780 (0.1%)
高知県	45位	350 (0.0%)	550 (0.1%)	740 (0.1%)
佐賀県	46位	400 (0.1%)	340 (0.0%)	1,210 (0.1%)
福井県	47位	1,570 (0.2%)	800 (0.1%)	850 (0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	71,120 (43.6%)	40,470 (62.8%)	119,560 (53.7%)
京都府	2位	20,760 (12.7%)	1,130 ( 1.8%)	25,520 (11.5%)
神奈川県	3位	9,710 ( 6.0%)	2,750 ( 4.3%)	14,520 ( 6.5%)
大阪府	4位	13,920 ( 8.5%)	3,340 ( 5.2%)	11,360 ( 5.1%)
千葉県	5位	6,070 ( 3.7%)	4,120 ( 6.4%)	6,870 ( 3.1%)
愛知県	6位	3,370 ( 2.1%)	210 ( 0.3%)	4,370 ( 2.0%)
福岡県	7位	1,590 ( 1.0%)	640 ( 1.0%)	3,530 ( 1.6%)
広島県	8位	4,490 ( 2.8%)	110 ( 0.2%)	3,250 ( 1.5%)
兵庫県	9位	1,870 ( 1.1%)	1,010 ( 1.6%)	3,200 ( 1.4%)
北海道	10位	6,500 ( 4.0%)	1,280 ( 2.0%)	2,920 ( 1.3%)
茨城県	11位	700 ( 0.4%)	100 ( 0.2%)	2,450 ( 1.1%)
長野県	12位	2,510 ( 1.5%)	160 ( 0.2%)	1,970 ( 0.9%)
沖縄県	13位	2,570 ( 1.6%)	950 ( 1.5%)	1,950 ( 0.9%)
静岡県	14位	1,170 ( 0.7%)	1,730 ( 2.7%)	1,870 ( 0.8%)
山梨県	15位	900 ( 0.6%)	210 ( 0.3%)	1,580 ( 0.7%)
埼玉県	16位	500 ( 0.3%)	480 ( 0.7%)	1,420 ( 0.6%)
福島県	17位	330 ( 0.2%)	290 ( 0.5%)	1,200 ( 0.5%)
石川県	18位	1,250 ( 0.8%)	80 ( 0.1%)	1,150 ( 0.5%)
岐阜県	19位	1,650 ( 1.0%)	60 ( 0.1%)	1,140 ( 0.5%)
三重県	20位	340 ( 0.2%)	100 ( 0.2%)	990 ( 0.4%)
栃木県	21位	1,100 ( 0.7%)	180 ( 0.3%)	970 ( 0.4%)
宮城県	22位	970 ( 0.6%)	950 ( 1.5%)	890 ( 0.4%)
熊本県	23位	700 ( 0.4%)	60 ( 0.1%)	830 ( 0.4%)
大分県	24位	480 ( 0.3%)	60 ( 0.1%)	820 ( 0.4%)
富山県	25位	370 ( 0.2%)	150 ( 0.2%)	770 ( 0.3%)
岡山県	26位	1,070 ( 0.7%)	100 ( 0.2%)	690 ( 0.3%)
山口県	27位	110 ( 0.1%)	1,150 ( 1.8%)	600 ( 0.3%)
鹿児島県	28位	730 ( 0.4%)	40 ( 0.1%)	590 ( 0.3%)
徳島県	29位	310 ( 0.2%)	170 ( 0.3%)	570 ( 0.3%)
長崎県	30位	570 ( 0.3%)	380 ( 0.6%)	570 ( 0.3%)
新潟県	31位	690 ( 0.4%)	40 ( 0.1%)	550 ( 0.2%)
奈良県	32位	580 ( 0.4%)	40 ( 0.1%)	420 ( 0.2%)
山形県	33位	450 ( 0.3%)	130 ( 0.2%)	370 ( 0.2%)
群馬県	34位	620 ( 0.4%)	80 ( 0.1%)	360 ( 0.2%)
香川県	35位	240 ( 0.1%)	90 ( 0.1%)	350 ( 0.2%)
宮崎県	36位	260 ( 0.2%)	260 ( 0.4%)	350 ( 0.2%)
和歌山県	37位	300 ( 0.2%)	450 ( 0.7%)	340 ( 0.2%)
愛媛県	38位	310 ( 0.2%)	60 ( 0.1%)	280 ( 0.1%)
青森県	39位	380 ( 0.2%)	90 ( 0.1%)	250 ( 0.1%)
滋賀県	40位	510 ( 0.3%)	60 ( 0.1%)	230 ( 0.1%)
岩手県	41位	110 ( 0.1%)	50 ( 0.1%)	210 ( 0.1%)
鳥取県	42位	260 ( 0.2%)	20 ( 0.0%)	180 ( 0.1%)
秋田県	43位	250 ( 0.2%)	30 ( 0.0%)	130 ( 0.1%)
島根県	44位	130 ( 0.1%)	20 ( 0.0%)	120 ( 0.1%)
高知県	45位	70 ( 0.0%)	10 ( 0.0%)	100 ( 0.0%)
佐賀県	46位	80 ( 0.0%)	20 ( 0.0%)	90 ( 0.0%)
福井県	47位	100 ( 0.1%)	530 ( 0.8%)	80 ( 0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

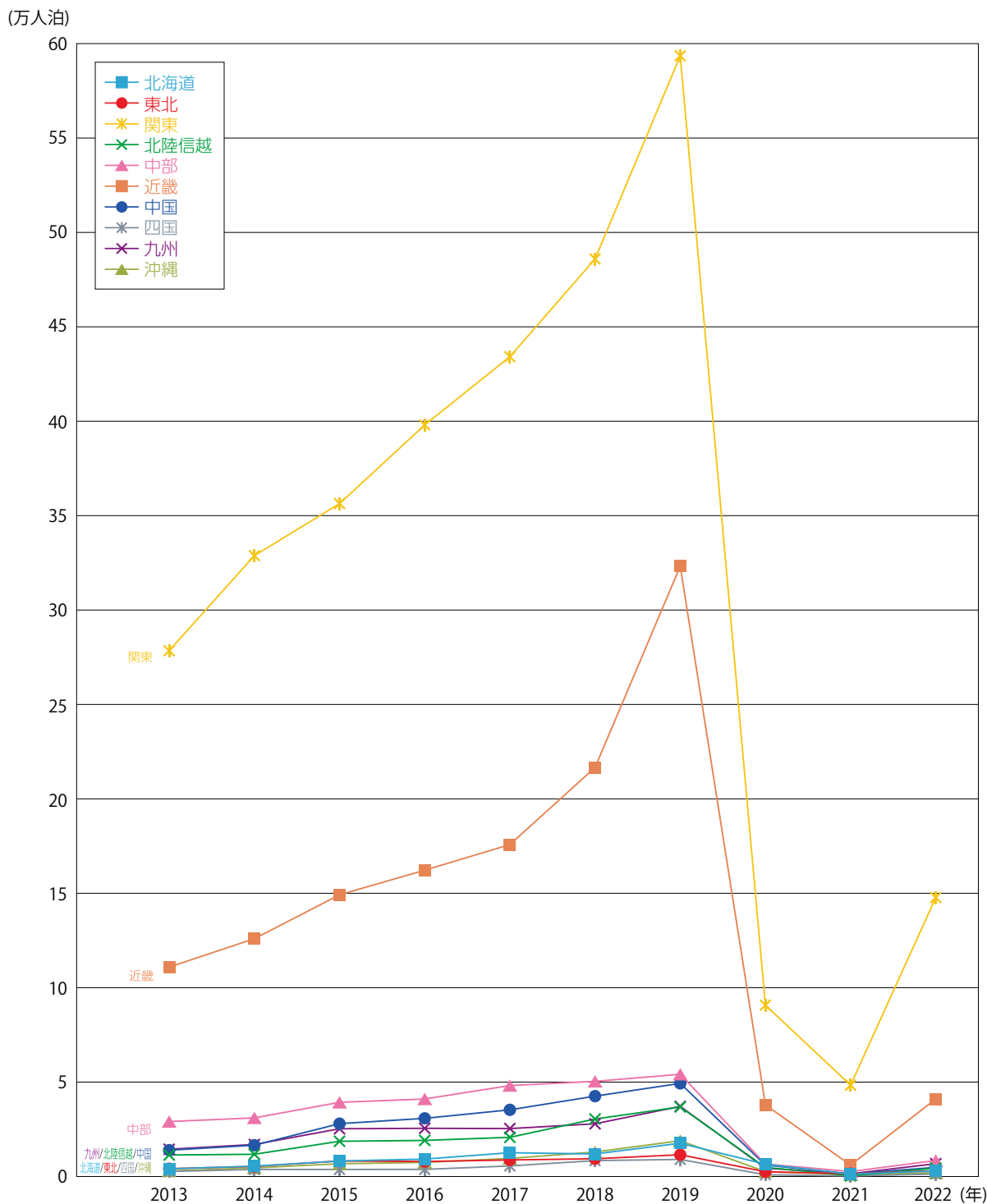
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年～2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成



## (23) 訪日ドイツ人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）



単位：人泊

北海道	4,060	5,470	8,210	9,220	12,600	11,940	17,610	6,500	1,280	2,920
東北	4,140	5,320	8,220	7,950	8,760	9,400	11,520	2,490	1,530	3,050
関東	278,480	328,820	356,360	398,010	434,170	485,940	593,520	90,740	48,390	147,730
北陸信越	11,390	11,780	18,650	19,110	20,750	30,450	36,840	4,820	420	4,430
中部	29,100	31,040	39,280	41,050	48,160	50,140	54,130	6,620	2,630	8,440
近畿	110,890	125,930	149,180	162,220	175,780	216,620	323,220	37,940	6,040	41,070
中国	13,940	16,570	27,980	30,800	35,310	42,550	49,330	6,060	1,400	4,830
四国	2,680	3,720	3,730	3,760	5,600	8,420	9,040	920	320	1,300
九州	14,430	16,960	25,280	25,520	25,370	27,920	37,130	4,420	1,450	6,780
沖縄	2,930	4,540	6,760	7,470	9,560	12,970	18,940	2,570	950	1,950

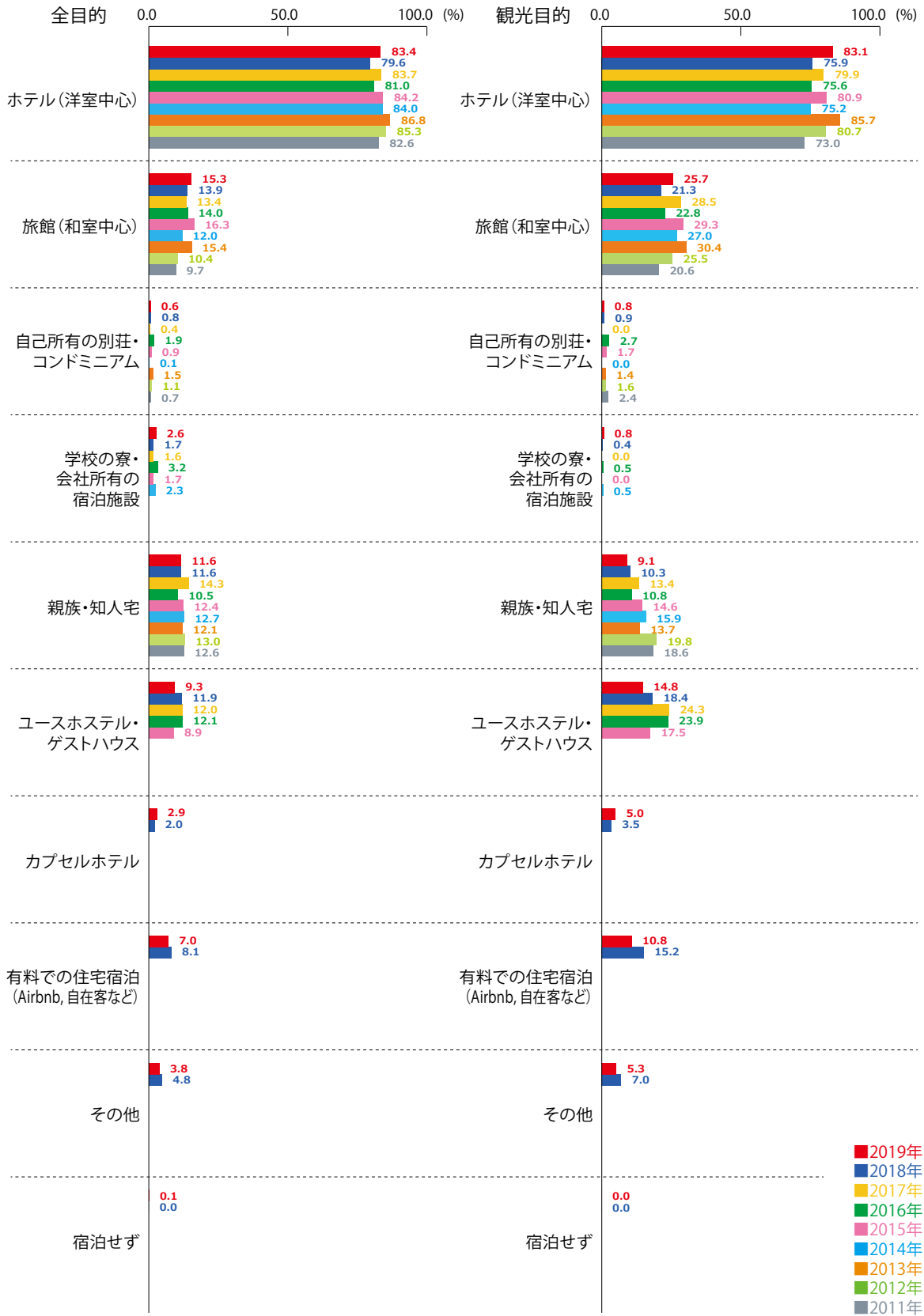
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日ドイツ人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

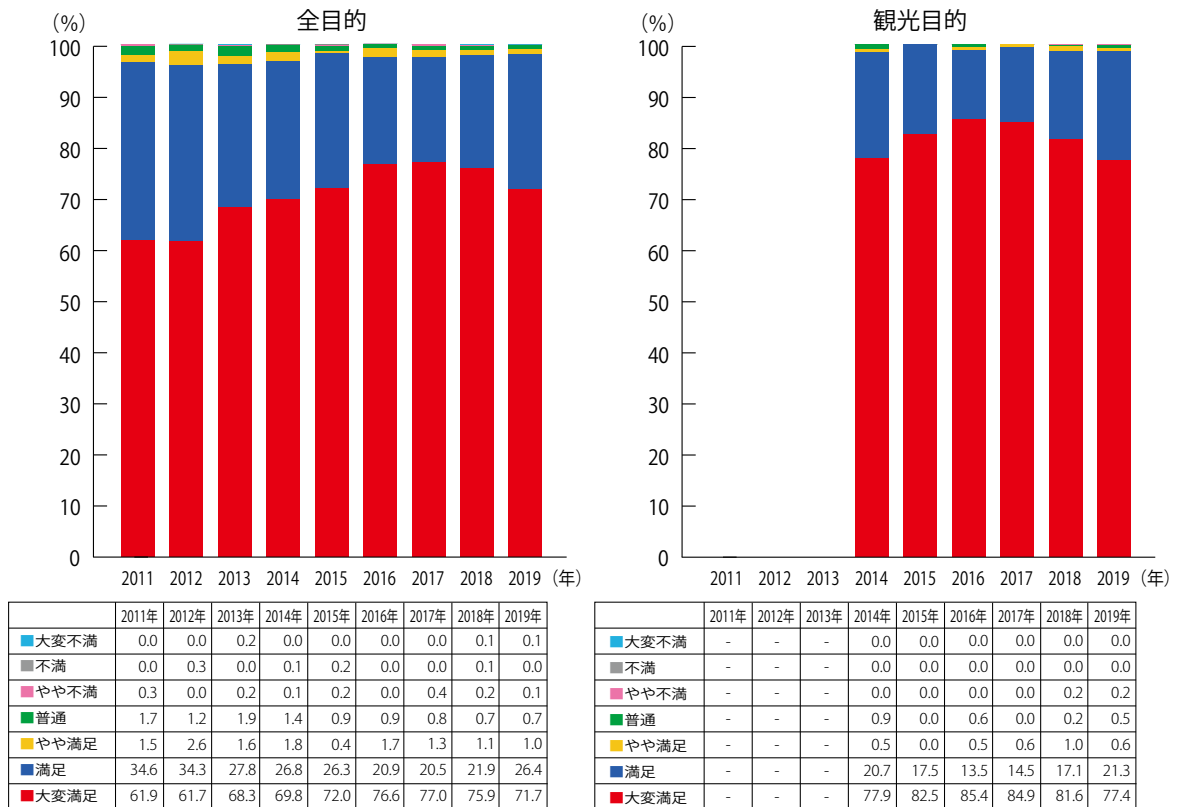
注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

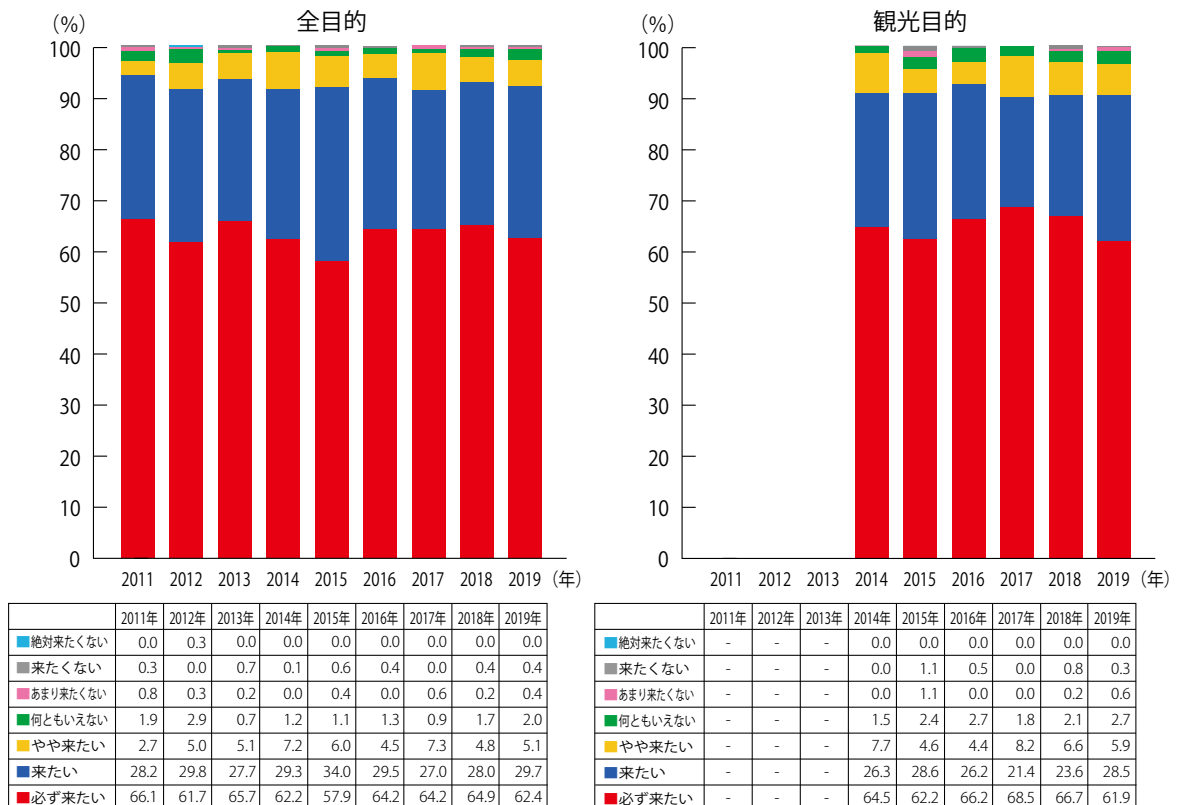
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) ドイツ人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(26) 訪日ドイツ人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

ドイツ



# イタリア

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

イタリア民族が多い。

北部にドイツ系、フランス系、スロベニア系の人々の小集落、南部にアルバニア系、ギリシア系の人々の小集落がある。

この他、移民やその子孫など。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (2) 宗教別構成

キリスト教（カトリック）が国民の約80%

その他、キリスト教（プロテスタント）、ユダヤ教、イスラム教、仏教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

イタリア語が公用語

一部の地域では、ドイツ語、フランス語、スロベニア語なども話されている。

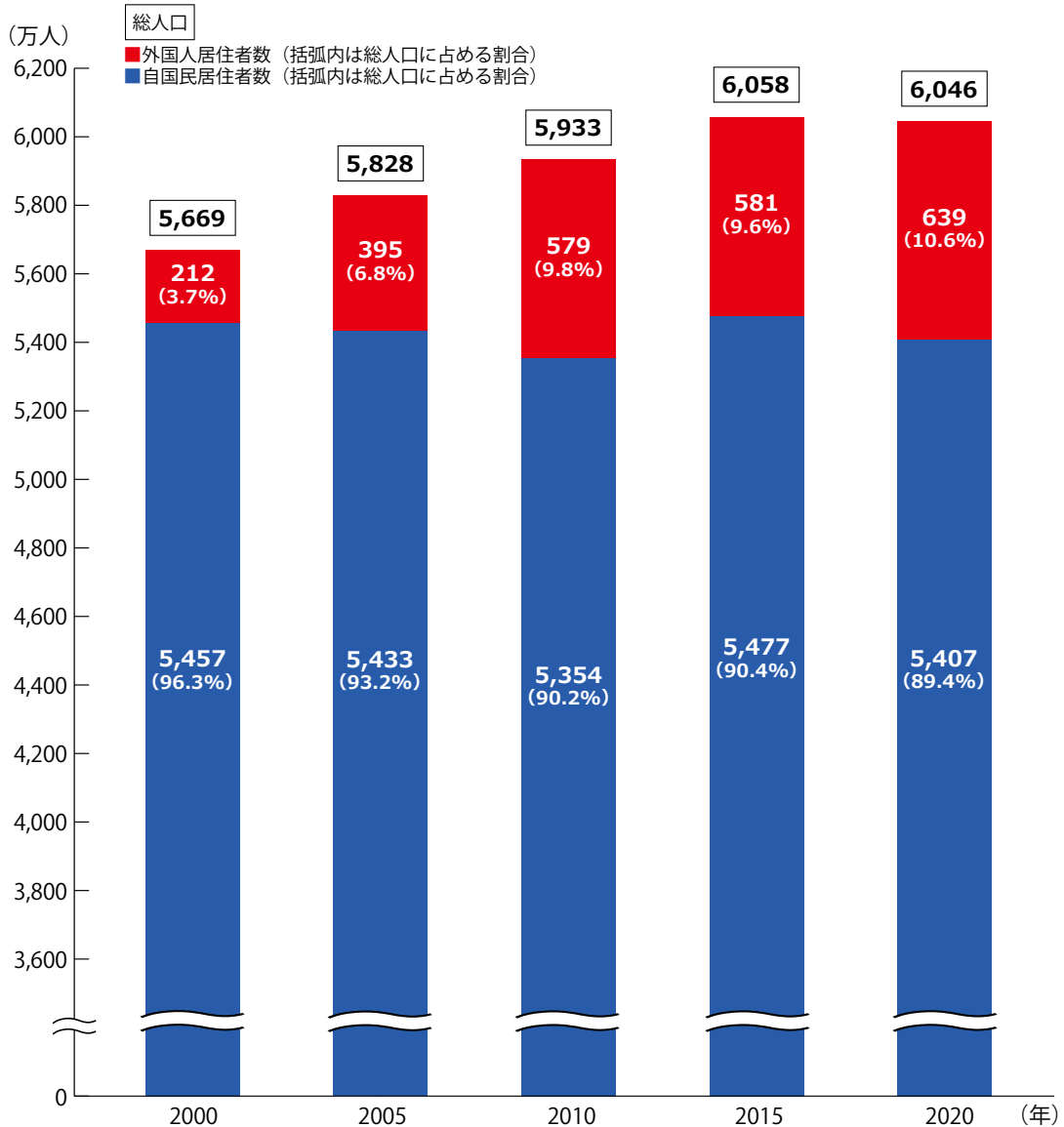
出典：日本政府観光局 (JNTO)

### (4) 面積

30万2,068km<sup>2</sup>（日本の80%弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

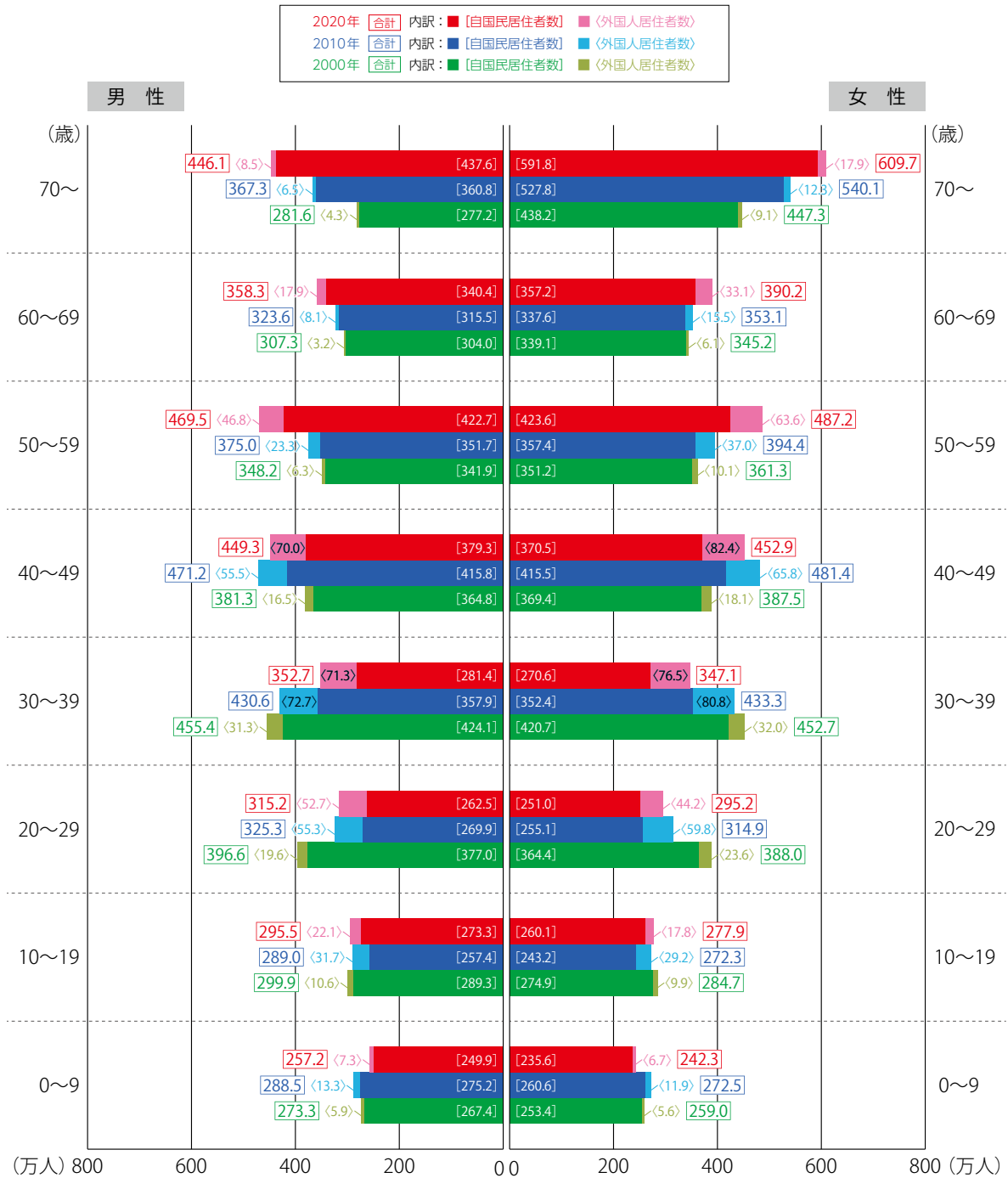
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：イタリアの外国人居住者は、注2の①に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

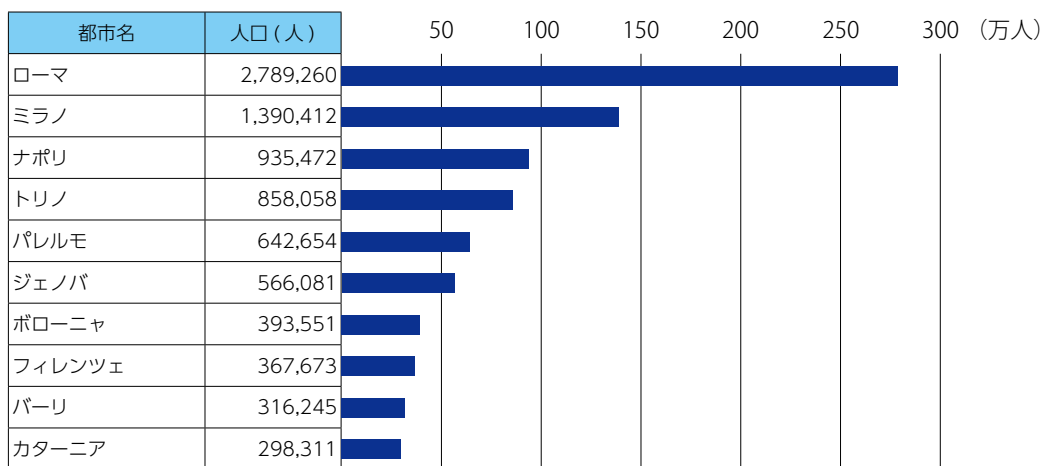
(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

イタリア

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2020年の推計値である。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年
元日	1月1日（日）	1月1日（月）
主顕節	1月6日（金）	1月6日（土）
※復活祭	4月9日（日）	3月31日（日）
※復活祭月曜日	4月10日（月）	4月1日（月）
解放記念日	4月25日（火）	4月25日（木）
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）
共和国記念日	6月2日（金）	6月2日（日）
聖母被昇天祭	8月15日（火）	8月15日（木）
万聖節	11月1日（水）	11月1日（金）
聖母受胎祭	12月8日（金）	12月8日（日）
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）
聖ステファノの日	12月26日（火）	12月26日（木）

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：上記以外にも、各自治体ごとに定める祝日がある。各地域の守護聖人の日は、その地域の祝日となる。

注3：イタリアには振替休日の制度がない。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：イタリア首相府等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
小学校	6歳～11歳 (5年間)	カーニバル休暇	2月～3月の間に数日～約1週間	地域によってカーニバル休暇が設定されているところがある。 年により変動
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月の復活祭を挟んだ1週間程度	
		夏期休暇	6月上旬～9月中旬	
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	
中学校	11歳～14歳 (3年間)	カーニバル休暇	2月～3月の間に数日～約1週間	地域によってカーニバル休暇が設定されているところがある。 年により変動
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月の復活祭を挟んだ1週間程度	
		夏期休暇	6月上旬～9月中旬	
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	
高等学校	14歳～19歳 (5年間)	カーニバル休暇	2月～3月の間に数日～約1週間	地域によってカーニバル休暇が設定されているところがある。 年により変動
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月の復活祭を挟んだ1週間程度	
		夏期休暇	6月上旬～9月中旬	
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	
大学	19歳～22歳 (3年間)	カーニバル休暇	学部によっては休むところもあるが、ほとんどが通常、授業を開講	各自の試験の時期により変動する。
		復活祭（イースター）休暇	3月下旬～4月の復活祭を挟んだ1週間程度	
		夏期休暇	6月上旬～8月	
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	小学校（5年間） + 中学校（3年間） + 高等学校（最初の2年間） = 10年間

注：小学校・中学校・高校で実施時期は同じであるが、州・市ごとに期間や日程が異なる場合がある。

出典：イタリアの各学校、各州のウェブサイトに基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日、祝日	C.C.N.L.-Commercio (イタリア全国労働協約) 第90条	一般的に土曜日も休日である。
有給休暇日数	26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>2003年8月4日委任立法66号10条</li> <li>C.C.N.L.-Commercio (イタリア全国労働協約)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>休暇は分割して取得することができるが、少なくとも1回は2週間以上連続したものでなければならない。</li> <li>同年内に消化されない有給休暇の日数は、翌年1月から6か月以内に消化する必要がある。消化できない場合は、従業員に還元（給与として支払い）されるため、有給休暇の取得率は高い。</li> <li>病欠、結婚、出産・育児休暇等と有給休暇は区別されている。</li> </ul>
定年退職	なし		<ul style="list-style-type: none"> <li>明文化された法律はない。</li> <li>通常、老齢年金の支給開始年齢である67歳が定年</li> </ul>

出典：イタリア政府、日本貿易振興機構（JETRO）



## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	49.7
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	34.5
個々人の旅行ブログ (Travel Blog)	ブログ	旅行体験情報を発信	34.3
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	25.9
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	23.8
シ・ピアッジャ (Si Viaggia)	ウェブサイト	旅行情報発信	19.9
ジンガラーテ (Zingarate)	ウェブサイト	旅行情報発信	11.4
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	11.0
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	10.6
ラ・レプブリカ (La Repubblica)	ウェブサイト	ニュース発信	8.9
ファンページ (Fanpage.it)	ウェブサイト	ニュース発信	8.0
アルフェンミーレ (Alfemminile)	ウェブサイト	女性向け生活情報を発信	4.5

注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

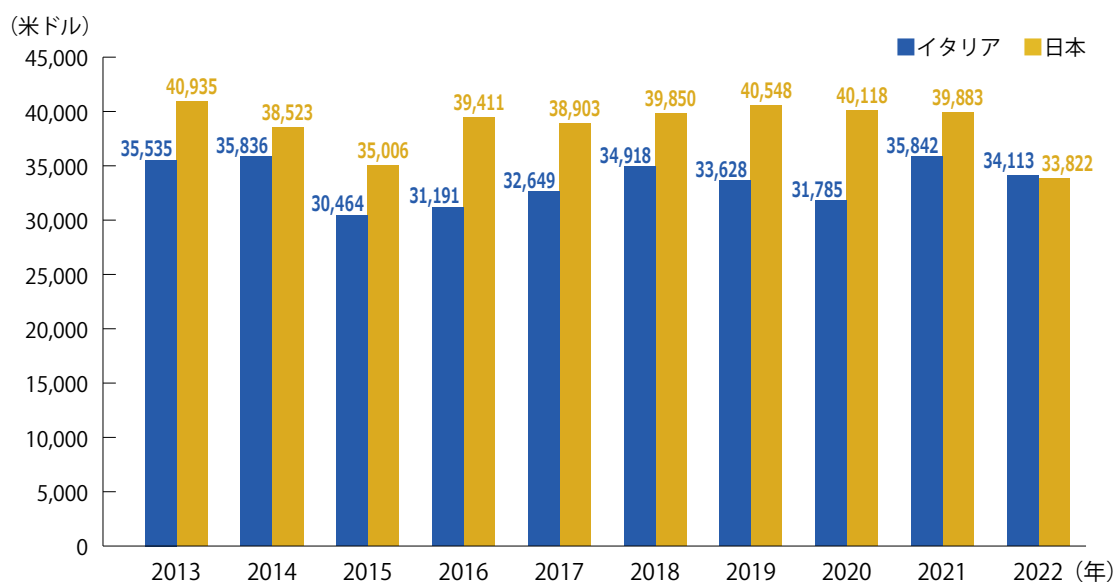
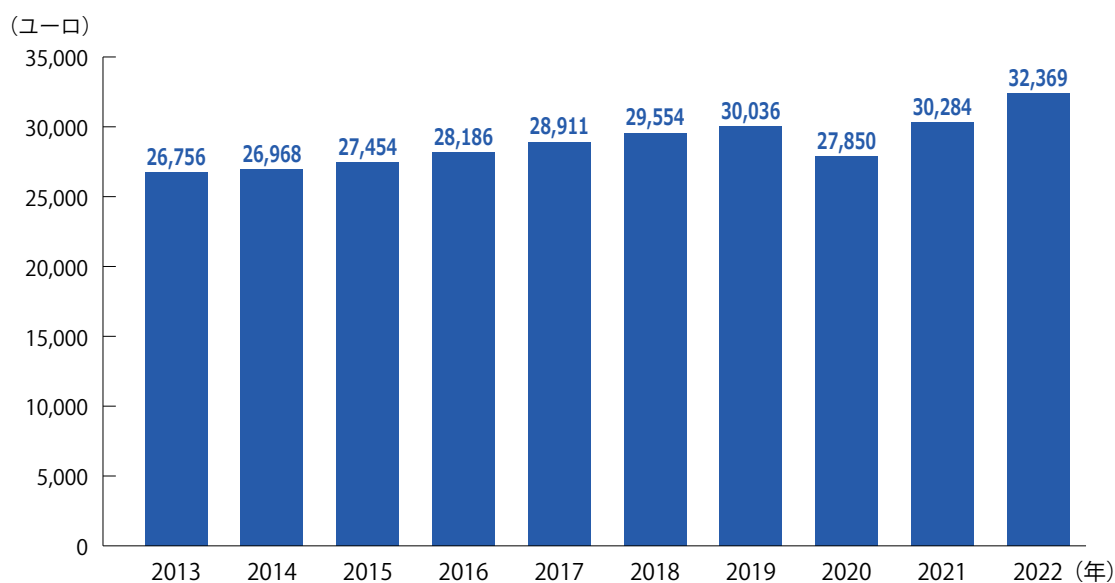
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

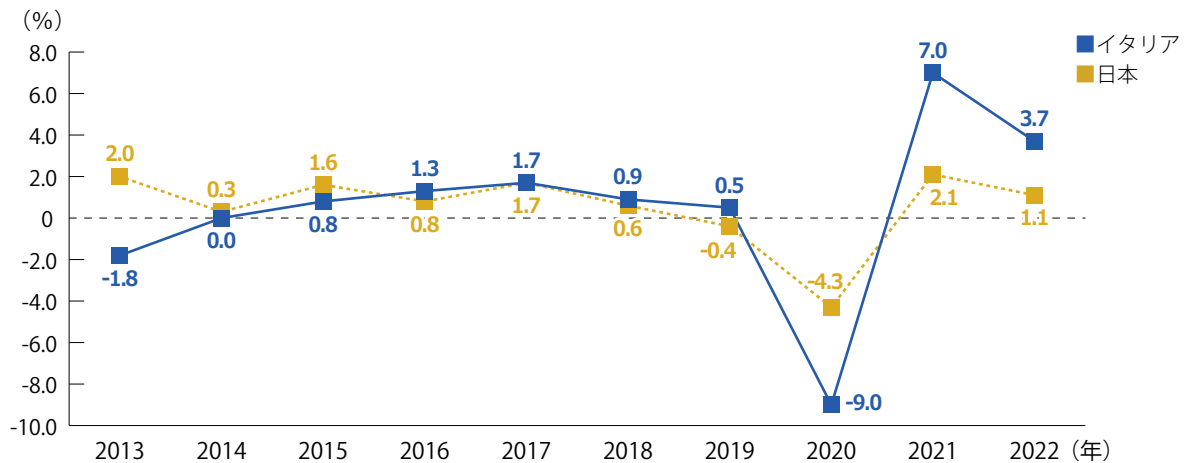
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

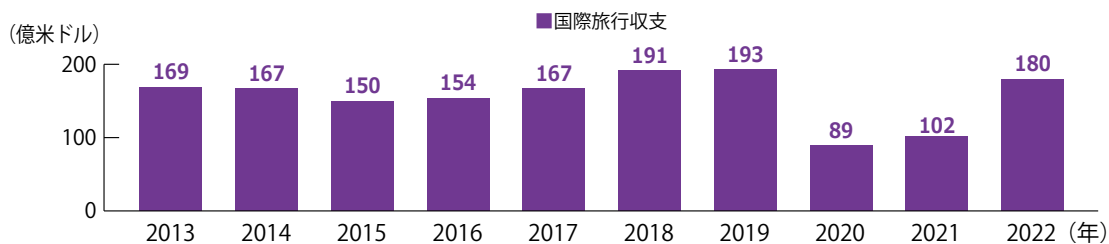
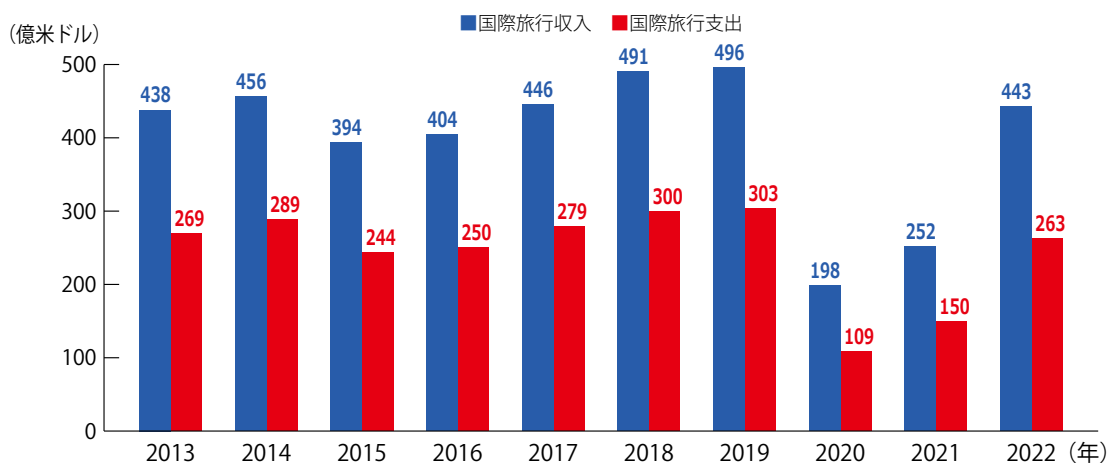
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



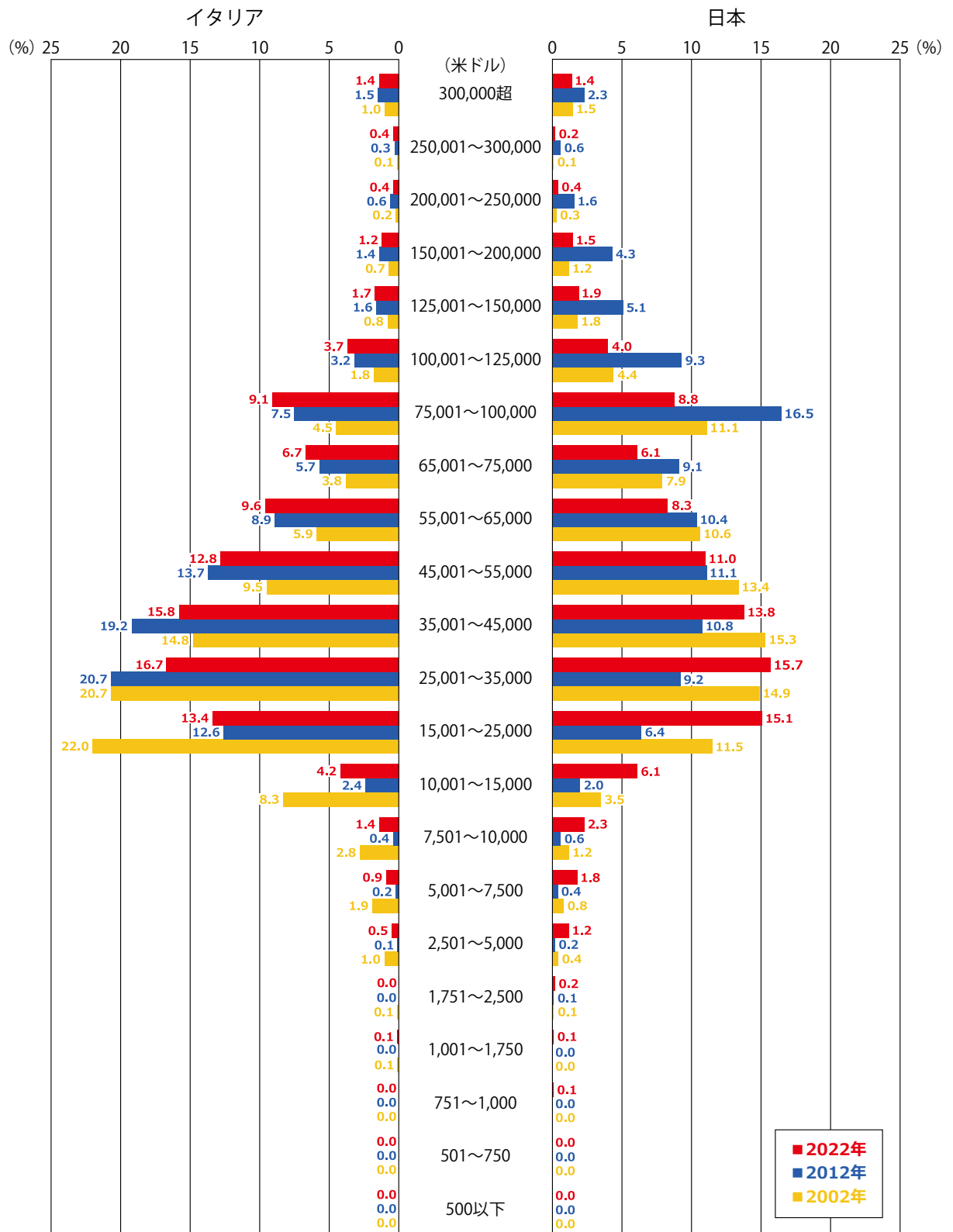
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

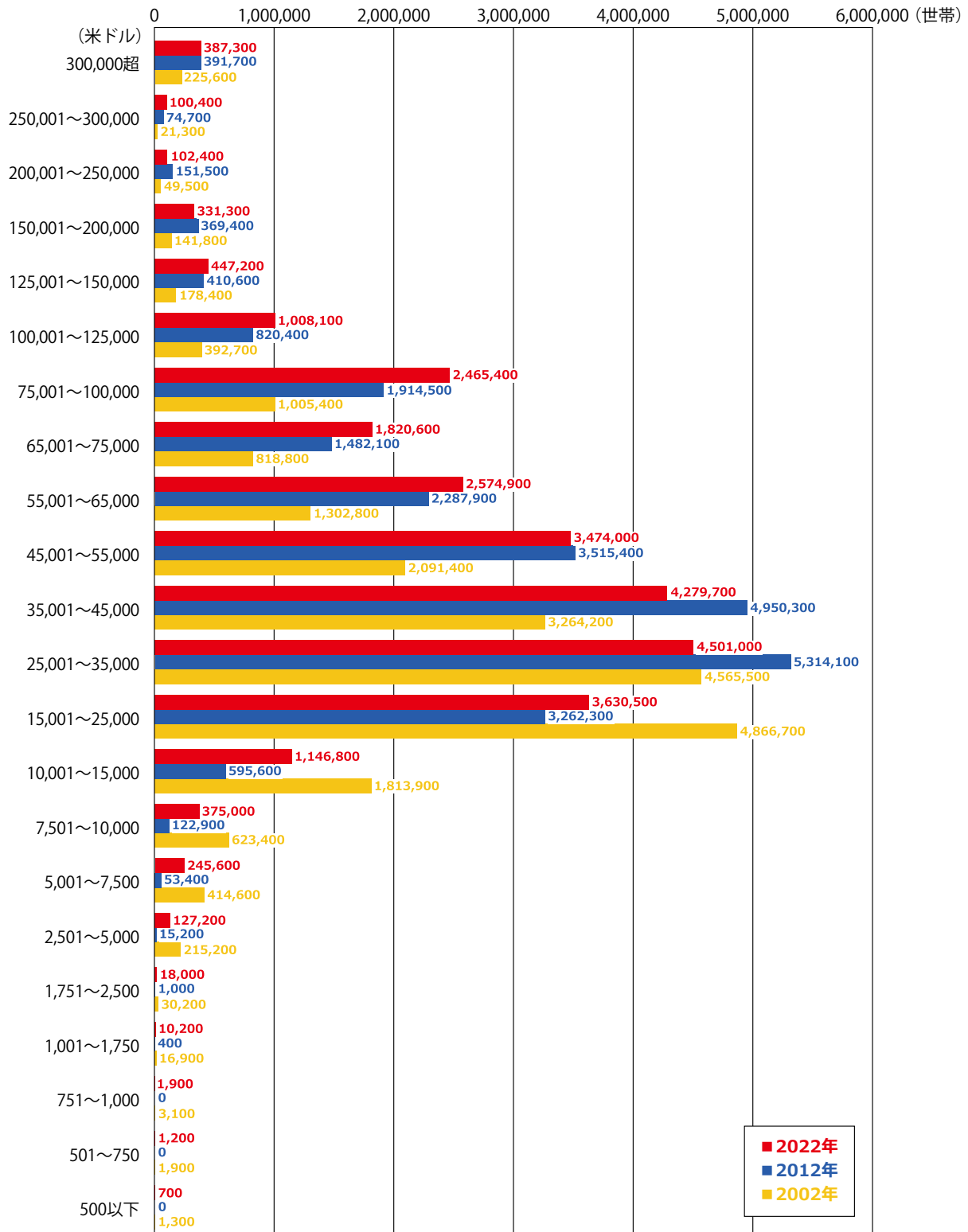
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

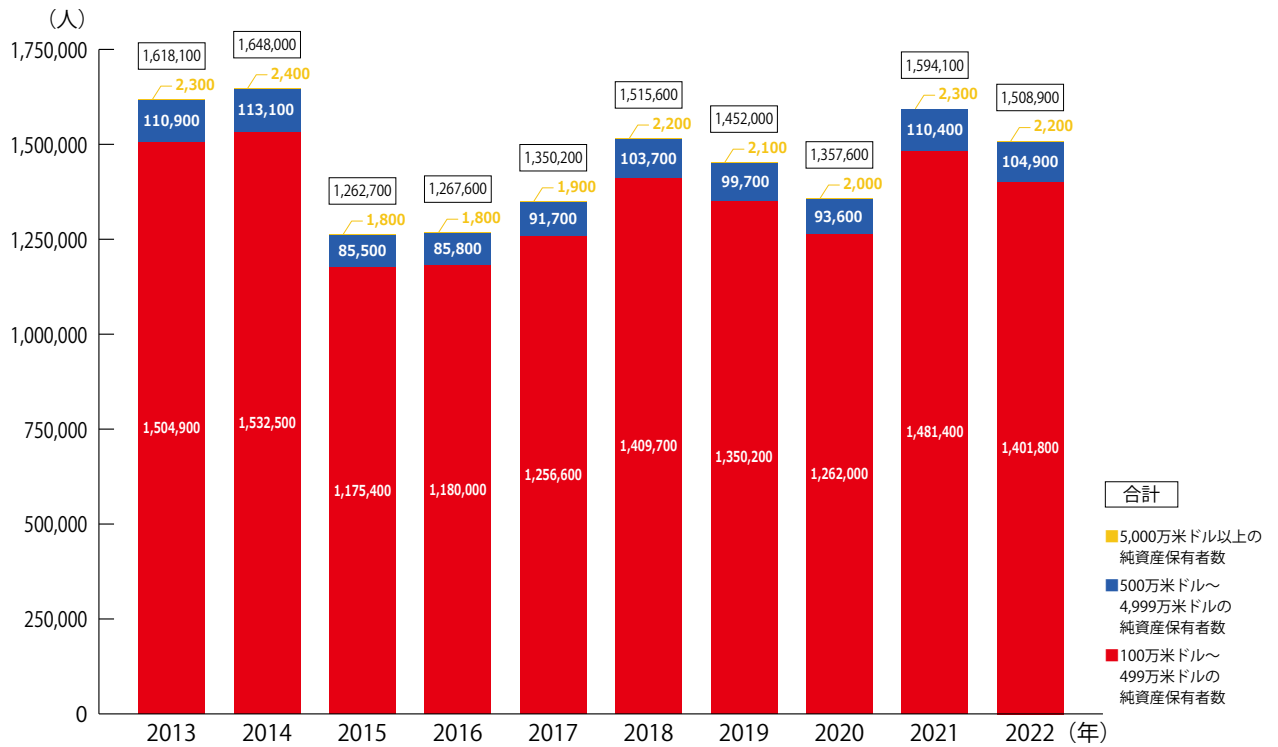
イタリア

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



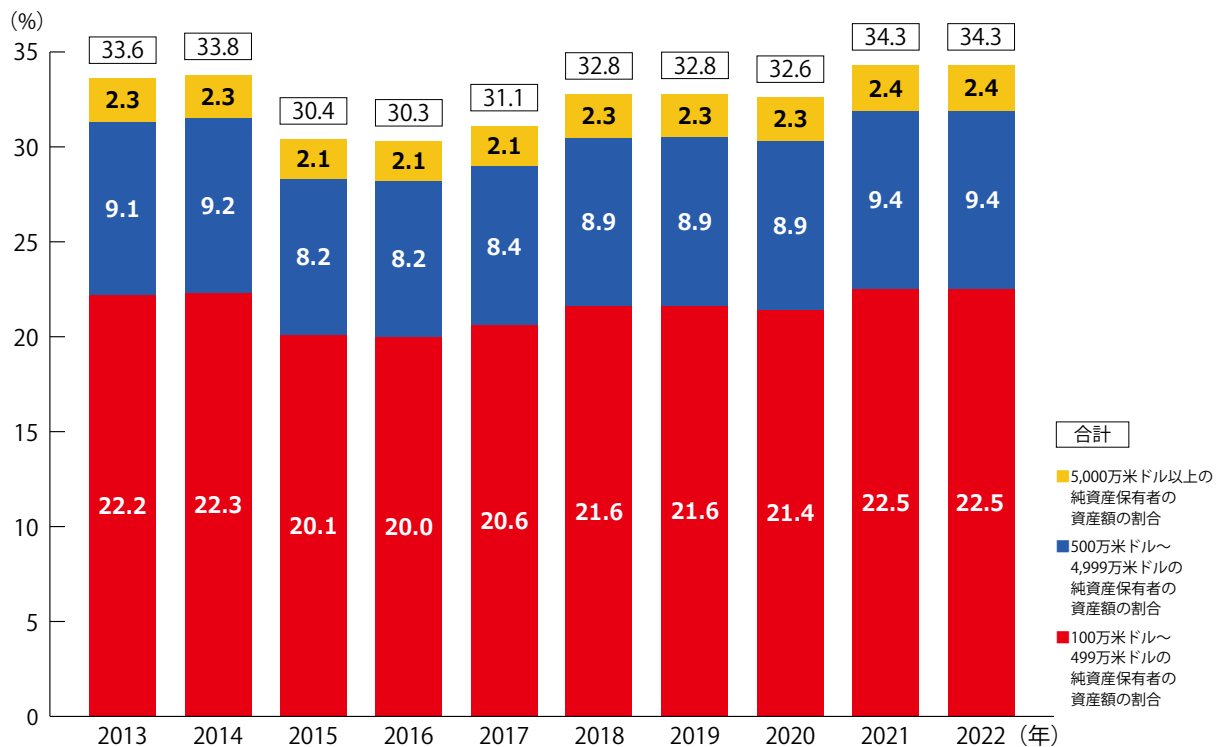
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)

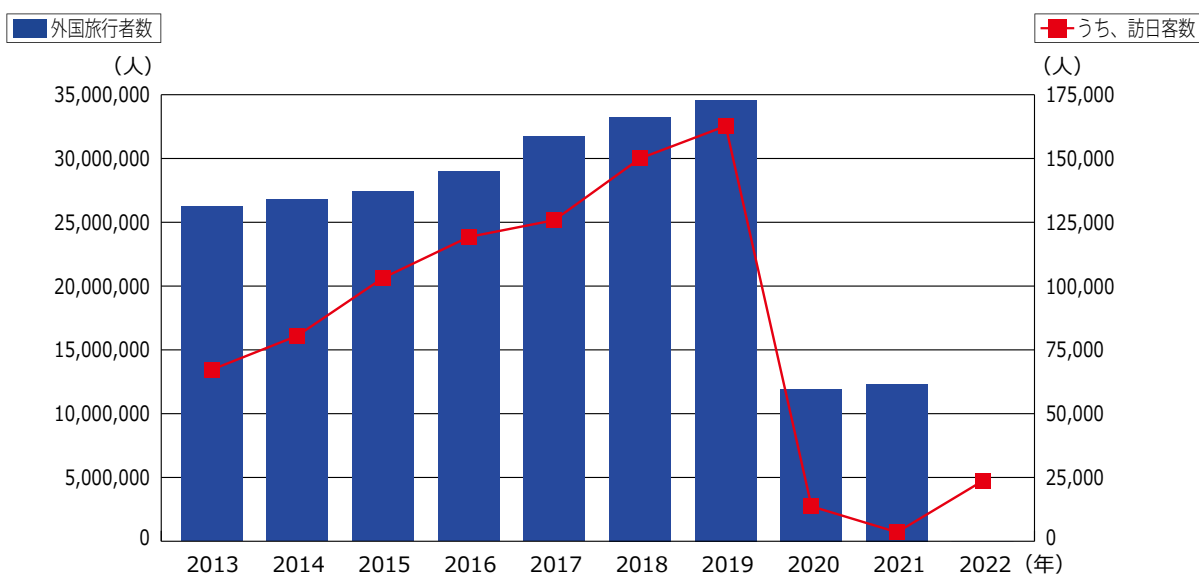


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

イタリア

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) イタリア人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国人旅行者数(左目盛)	26,305,000	26,862,000	27,494,000	29,067,000	31,805,000	33,347,100	34,703,000	11,959,500	12,354,000	
うち、訪日客数(右目盛)	67,228	80,531	103,198	119,251	125,864	150,060	162,769	13,691	3,527	23,683
訪日率(%)	0.256	0.300	0.375	0.410	0.396	0.450	0.469	0.114	0.029	

注：イタリア人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、経済協力開発機構（OECD）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのイタリア人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の最大値
						2020年	2021年	
1位	スペイン	TFR	4,222,865	4,389,453	4,534,515	947,406	1,703,423	4,534,515
2位	フランス	TCER	2,682,765	2,924,520	3,030,171	852,058	1,091,365	3,030,171
3位	英国	VFR	2,038,816	2,080,463	2,196,629		255,589	2,196,629
4位	ドイツ	TCER	1,709,160	1,786,746	1,849,395	478,293	481,321	1,849,395
5位	ギリシャ	TFR	1,441,298	1,667,114	1,553,173	373,228	806,390	1,667,114
6位	サンマリノ	VFN	1,293,593	1,252,656	1,306,987	869,518	1,062,451	1,306,987
7位	クロアチア	TCER	1,110,219	1,148,078	1,175,069	228,458	417,253	1,175,069
8位	オーストリア	TCER	1,102,081	1,098,950	1,107,823	331,077	335,431	1,107,823
9位	米国	TFR	1,032,107	1,073,383	1,086,026	140,547	135,636	1,086,026
10位	ポルトガル	TCER	678,722	693,801	750,915	168,136	269,622	750,915
11位	ハンガリー	TFN	417,696	528,122	729,762	297,879	379,346	729,762
12位	エジプト	VFN	255,148	421,992	619,425	95,804		619,425
13位	オランダ	THSR	573,000	578,000	602,000	150,000	163,000	602,000
14位	スロベニア	TCEN	608,363	598,825	597,261	159,082	161,795	608,363
15位	スイス	TCER	529,618	525,336	511,444	219,301	281,596	529,618
16位	ルーマニア	VFR	460,469	468,409	477,211	120,564	228,164	477,211
17位	アルバニア	VFN	363,344	436,103	467,745	123,489	354,370	467,745
18位	チェコ	TCEN	389,578	408,422	409,731	89,050	93,151	409,731
19位	マルタ	TFR	363,669	390,607	392,955	93,977	127,774	392,955
20位	アイルランド	TFR	343,000	376,000	364,000			376,000
21位	トルコ	TFN	197,711	274,193	361,498	71,808	116,176	361,498
22位	モロッコ	TFN	246,312	305,505	351,916	57,105	52,588	351,916
23位	デンマーク	TCER	318,350	333,701	325,612	62,913	113,564	333,701
24位	アラブ首長国連邦	VFN	292,892	304,108	325,514	110,508		325,514
25位	ベルギー	TCER	253,493	284,377	301,841	72,347	90,366	301,841
26位	中国	VFN	279,686	277,776	279,474			279,686
27位	タイ	TFN	264,524	279,891	272,374	60,104	5,322	279,891
28位	ポーランド	TCER	272,104	271,096	264,279	64,023	86,463	272,104

▶ 前ページから

▶ 次ページへ

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ロシア	VFN	188,981	205,460	231,637	21,881		231,637
30位	イスラエル	TFR	107,761	150,581	190,701	25,062	7,002	190,701
31位	ブラジル	TFR	171,654	175,763	182,587	45,646	18,907	182,587
32位	ブルガリア	VFR	177,250	181,770	167,658	50,584	75,581	181,770
33位	メキシコ	TFN	192,826	183,913	163,885	45,581	59,593	192,826
34位	日本	VFN	125,864	150,060	162,769	13,691	3,527	162,769
35位	ノルウェー	TCER	158,536	152,443	150,181	30,607	48,288	158,536
36位	アルゼンチン	TFR	139,750	137,204	145,769	41,439	10,168	145,769
37位	モルディブ	TFN	88,777	105,147	136,201	46,608	27,276	136,201
38位	カナダ	TFR	130,847	118,979	136,147	11,984	15,292	136,147
39位	スウェーデン	TCER	128,316	131,856	135,205	28,692	50,150	135,205
40位	キューバ	VFR	227,829	177,852	133,436	30,269	5,462	227,829
41位	インド	VFN	111,915	126,931	128,572	31,186	13,659	128,572
42位	チュニジア	TFN	87,616	102,575	124,060	26,890	29,124	124,060
43位	シンガポール	VFR	80,428	102,006	102,724	19,685	1,230	102,724
44位	ウクライナ	TFR	84,638	97,617	100,067	24,994	55,946	100,067
45位	マダガスカル	TFN	2,691	43,984	98,525	4,548	124	98,525
46位	インドネシア	VFN	90,022	94,288	91,229	13,260	2,339	94,288
47位	ドミニカ共和国	TFR	78,747	76,434	83,925	22,830	26,837	83,925
48位	フィンランド	TCER	74,781	74,991	81,566	20,030	31,401	81,566
49位	ヨルダン	TFN	20,060	40,284	76,721	16,349	11,273	76,721
50位	オマーン	VFN	57,614	63,250	76,179	29,017	3,893	76,179
51位	蒙州	VFR	75,280	77,937	75,183	14,969	1,777	77,937
52位	タンザニア	VFR	51,414	61,670	74,835	14,938	7,017	74,835
53位	ペルー	TFR	73,955	73,653	73,261	11,336	10,951	73,955
54位	ベトナム	VFR	58,041	65,562	70,798	18,138	871	70,798
55位	スロバキア	TCEN	59,775	61,458	66,418	15,470	15,283	66,418
56位	南アフリカ共和国	TFR	61,126	63,870	64,764	11,447	6,576	64,764
57位	香港	TFR	69,871	68,610	59,100	3,866	210	69,871
58位	カタール	VFN	37,436	36,447	58,656	32,585	9,198	58,656
59位	マレーシア	TFN	44,638	52,055	54,710	8,971	300	54,710
60位	ケニア	VFR		65,134	54,607	15,040	12,207	65,134
61位	セルビア	TCEN	49,533	51,444	52,723	11,448	18,630	52,723
62位	韓国	VFN	44,080	46,546	49,344	6,455	4,091	49,344
63位	リトアニア	TCER	39,890	43,285	48,994	9,324	14,105	48,994
64位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	43,718	44,979	47,881	3,567	9,131	47,881
65位	アイスランド	TFN	40,865	46,401	47,117	15,788	28,083	47,117
66位	チリ	TFN	46,131	47,117	45,430	9,827	2,178	47,117
67位	ラトビア	TCER	45,909	48,301	44,051	10,637	12,340	48,301
68位	モナコ	THSN	44,840	43,264	43,159	20,884	25,217	44,840
69位	コロンビア	TFR	36,387	37,029	42,542	11,571	14,571	42,542
70位	モーリシャス	TFR	35,101	38,361	41,991	7,567	3,954	41,991
71位	カンボジア	TFR	40,329	33,979	40,916	11,058	293	40,916
72位	サウジアラビア	TFN	29,992	30,252	40,053	11,890	13,840	40,053
73位	モンテネグロ	TCEN	35,525	37,602	39,692	2,820	9,910	39,692
74位	フィリピン	TFR	30,437	35,182	38,951	8,976	1,212	38,951
75位	レバノン	TFN	33,642	37,013	37,687	7,277	11,626	37,687
76位	エストニア	TCER	34,657	35,157	37,177	6,060	16,638	37,177
77位	スリランカ	TFR	31,428	38,379	36,147	8,603	1,309	38,379
78位	コスタリカ	TFN	29,047	29,171	30,196	8,936	9,061	30,196
79位	エチオピア	TFR	33,963	31,021	29,647	3,838	3,194	33,963
80位	ルクセンブルク	TCER	28,011	28,383	29,109	14,681	18,626	29,109
81位	パナマ	VFR	25,509	27,868	27,299	6,939	13,863	27,868
82位	セーシェル	TFR	23,716	24,409	27,289	2,884	3,313	27,289
83位	カーボベルデ	THSR	39,557	30,969	25,521	4,705	1,125	39,557
84位	アルジェリア	VFN	28,186	30,987	24,430	4,508	2,615	30,987
85位	キプロス	TCER	16,756	22,190	24,270	4,082	13,068	24,270
86位	エクアドル	VFN	17,361	19,935	23,482	6,888	11,303	23,482
87位	ジョージア	VFR	13,425	17,435	21,424	3,722	3,803	21,424
88位	ウズベキスタン	VFR	4,776	13,843	20,356	904	2,088	20,356
89位	台湾	VFR	18,596	19,577	20,115	2,267	539	20,115
90位	ミャンマー	TFN	18,242	16,855	19,121	5,794	77	19,121
91位	イラン	VFN	38,752	20,013	18,501	905	446	38,752
92位	ウルグアイ	VFN	16,771	18,746	18,221			18,746
93位	クウェート	VFN	17,125	17,279	16,874	3,564	2,195	17,279
94位	ネパール	TFN	11,840	15,318	15,676	1,599	613	15,676
95位	ベネズエラ	TFN	15,587					15,587
96位	ボリビア	TFN	13,236	14,240	14,911	2,101	2,058	14,911



↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

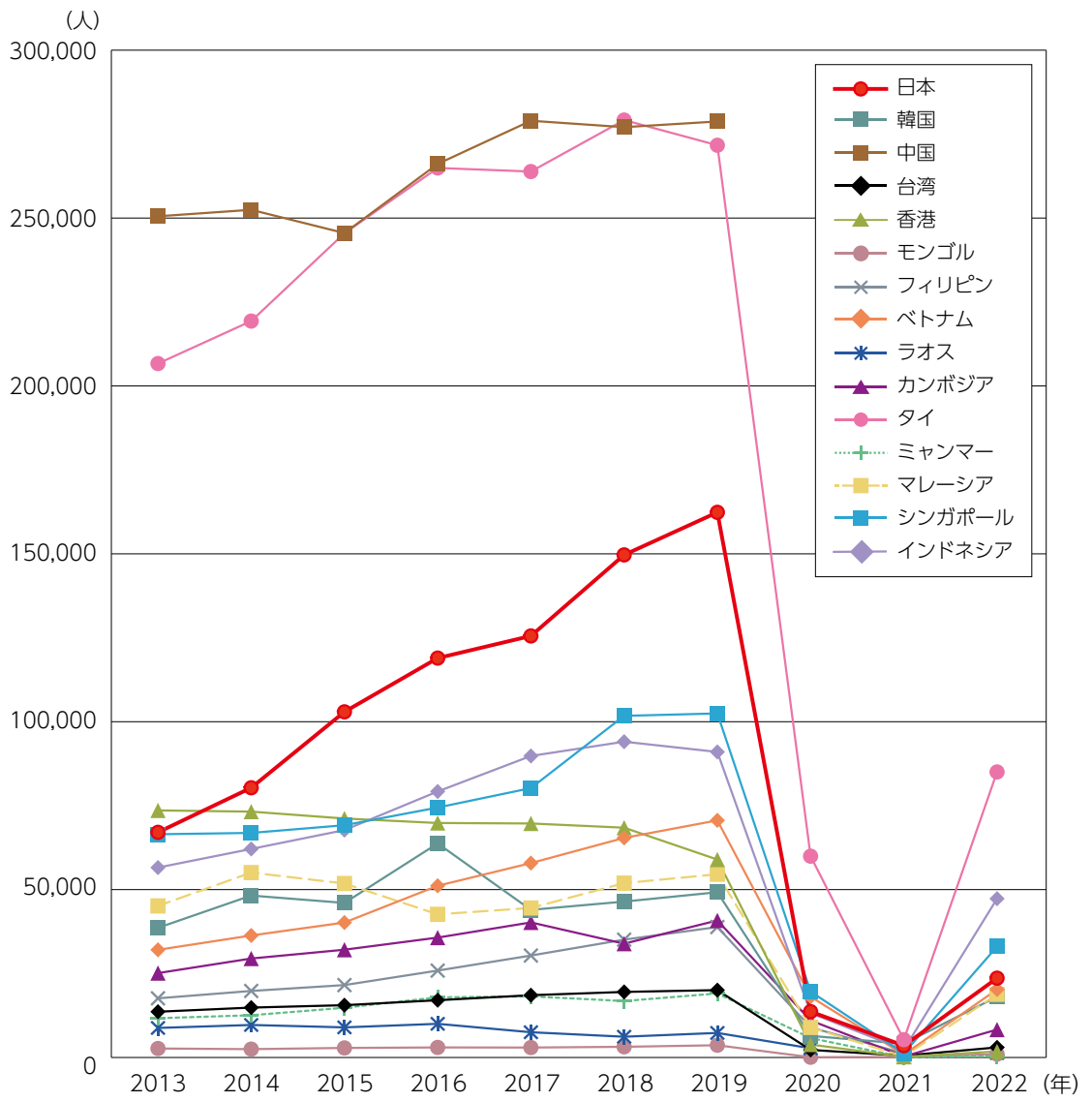
順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
97位	セネガル	THSN	14,730					14,730
98位	ジンバブエ	VFR	12,944	14,401	14,541	1,583	1,143	14,541
99位	北マケドニア	TCEN	11,124	13,403	13,757	1,672	4,539	13,757
100位	ナイジェリア	VFN	13,621	13,616	13,608	4,876	5,032	13,621
101位	ジャマイカ	TFR	13,699	13,721	13,540	2,788	310	13,721
102位	パハマ	TFR	13,091	13,583	13,433	1,730	1,060	13,583
103位	ナミビア	TFN	16,703	13,320	13,123	1,386	1,024	16,703
104位	アルメニア	TFR	7,023	10,802	12,581	1,209	2,242	12,581
105位	カザフスタン	VFR	14,924	12,724	12,554	1,741	2,179	14,924
106位	ニュージーランド	VFR	11,568	12,458	12,306	3,193	425	12,458
107位	グアテマラ	VFR	12,470	12,898	12,240	3,233	2,993	12,898
108位	アゼルバイジャン	VFR	10,065	11,026	12,215	2,813	3,493	12,215
109位	アルバ	TFR	7,888	10,071	11,266	1,426	1,487	11,266
110位	カメルーン	THSN	10,722	10,473	11,254	1,993		11,254
111位	アンティグア・バーブーダ	TFR	8,527	6,832	9,735	2,250	598	9,735
112位	バーレーン	VFR		8,482	8,538		1,209	8,538
113位	仏領ポリネシア (タヒチ)	TFR	7,720	8,802	8,369	439	527	8,802
114位	ウガンダ	TFR	7,377			890	711	7,377
115位	ラオス	VFN	7,537	6,198	7,330	2,750		7,537
116位	モルドバ	TCEN	5,987	6,414	7,188	1,272	2,530	7,188
117位	マルティニーク	TFR	3,191	3,374	6,802	543	663	6,802
118位	マカオ	THSR	6,512	6,768	6,789	517	109	6,789
119位	ボツワナ	TFR	6,285	6,392		311		6,392
120位	トーゴ	THSR	2,416	2,481	5,940	3,140		5,940
121位	コンゴ共和国	VFR	4,374	5,889				5,889
122位	エルサルバドル	TFN	3,955	4,866	5,430	1,094	3,185	5,430
123位	パラグアイ	TFN	4,566	4,534	5,079	999	585	5,079
124位	ニジェール	TFN	3,829	3,659	4,476	1,990		4,476
125位	キルギス	VFR	3,090	3,748	4,272	417	768	4,272
126位	ザンビア	TFR	3,138	5,733	4,232	851	933	5,733
127位	ルワンダ	VFN	3,721	3,864	4,093	992	781	4,093
128位	ニカラグア	TFN	7,235	4,647	3,893	1,323	936	7,235
129位	モンゴル	TFN	2,971	3,192	3,655	74	174	3,655
130位	ベリーズ	TFN	3,107	3,503	3,515	956	285	3,515
131位	フィジー	TFR	3,039	3,359	3,259	273	36	3,359
132位	ベナン	TFR	3,144	2,963	3,201	3,545		3,545
133位	アンゴラ	TFR	2,641	2,928	3,112	703	980	3,112
	エスワティニ	VFR	3,682	3,303	2,976	466	230	3,682
	ホンジュラス	TFN	4,061	2,975	2,827	657	1,126	4,061
	バルバドス	TFR	3,292	3,382	2,055	1,121	237	3,382

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）  
 F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）  
 R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

- 注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。  
 注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。  
 注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。  
 但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。  
 注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。  
 注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのイタリア人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



イタリア

単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	251,162	253,100	246,145	266,793	279,686	277,776	279,474			
タイ	TFN	207,192	219,875	246,094	265,597	264,524	279,891	272,374	60,104	5,322	85,254
日本	VFN	67,228	80,531	103,198	119,251	125,864	150,060	162,769	13,691	3,527	23,683
シンガポール	VFR	66,650	67,052	69,350	74,629	80,428	102,006	102,724	19,685	1,230	33,122
インドネシア	VFN	56,705	62,265	67,892	79,424	90,022	94,288	91,229	13,260	2,339	47,415
ベトナム	VFR	32,143	36,427	40,291	51,265	58,041	65,562	70,798	18,138	871	20,308
香港	TFR	73,770	73,408	71,349	70,015	69,871	68,610	59,100	3,866	210	1,810
マレーシア	TFN	45,253	55,210	51,946	42,747	44,638	52,055	54,710	8,971	300	18,866
韓国	VFN	38,715	48,350	46,147	63,906	44,080	46,546	49,344	6,455	4,091	18,138
カンボジア	TFR	25,196	29,548	32,177	35,794	40,329	33,979	40,916	11,058	293	8,331
フィリピン	TFR	17,668	19,865	21,620	25,945	30,437	35,182	38,951	8,976	1,212	
台湾	VFR	13,663	14,895	15,615	17,102	18,596	19,577	20,115	2,267	539	3,011
ミャンマー	TFN	11,728	12,613	14,841	17,969	18,242	16,855	19,121	5,794	77	401
ラオス	VFN	8,822	9,710	8,990	10,052	7,537	6,198	7,330	2,750		1,320
モンゴル	TFN	2,682	2,491	2,853	3,000	2,971	3,192	3,655	74	174	1,007

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

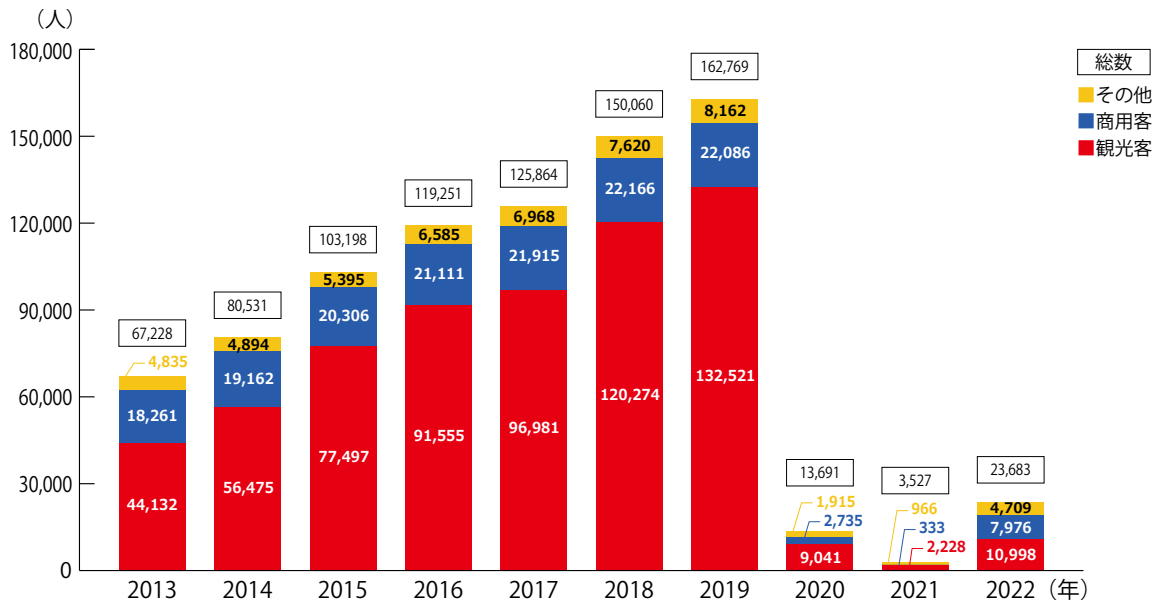
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

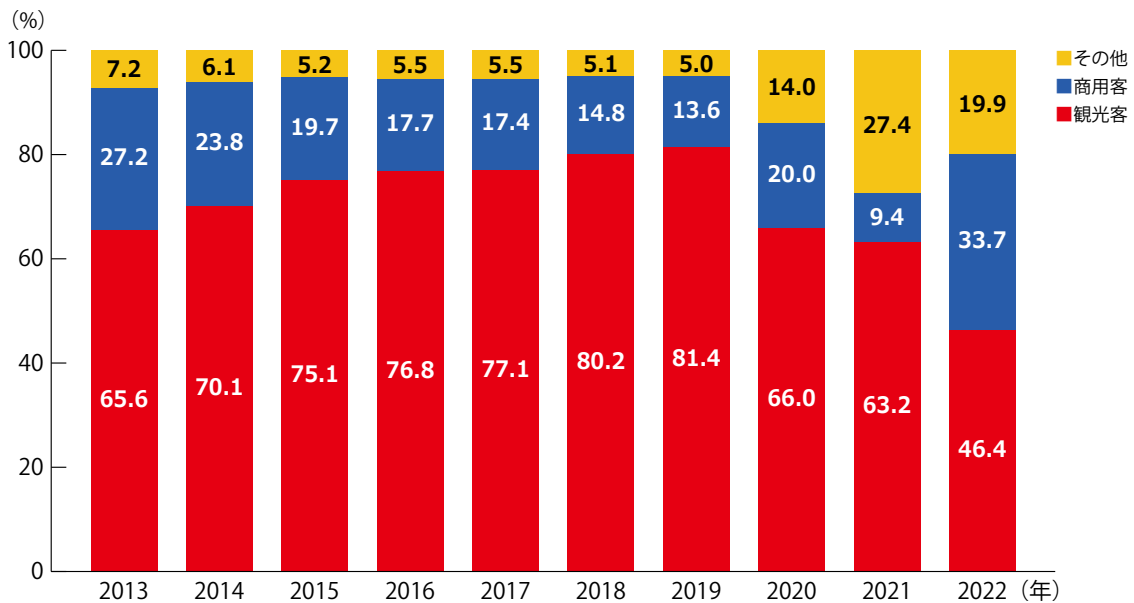
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日イタリア人の推移（2013年～2022年）



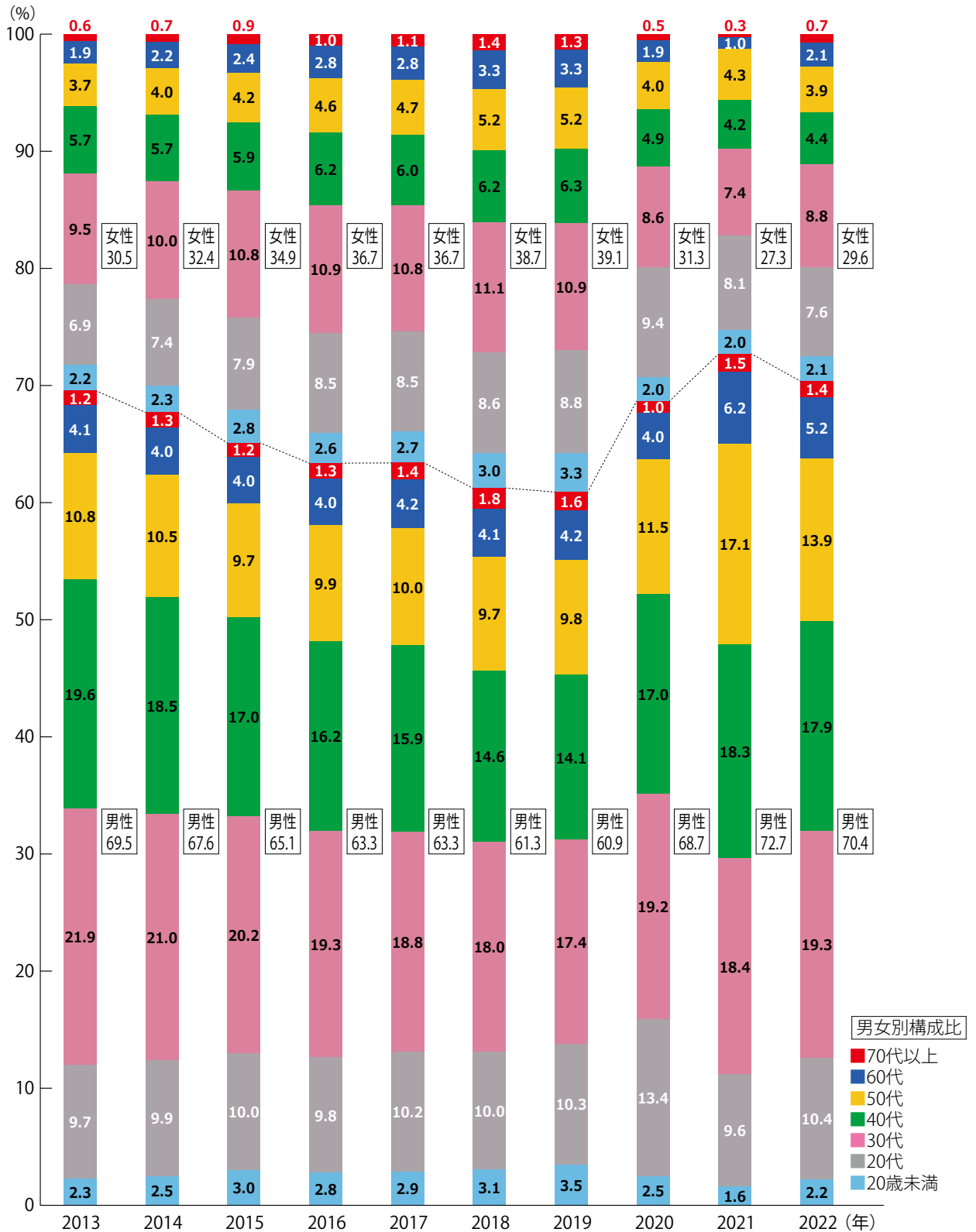
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日イタリア人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日イタリア人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)

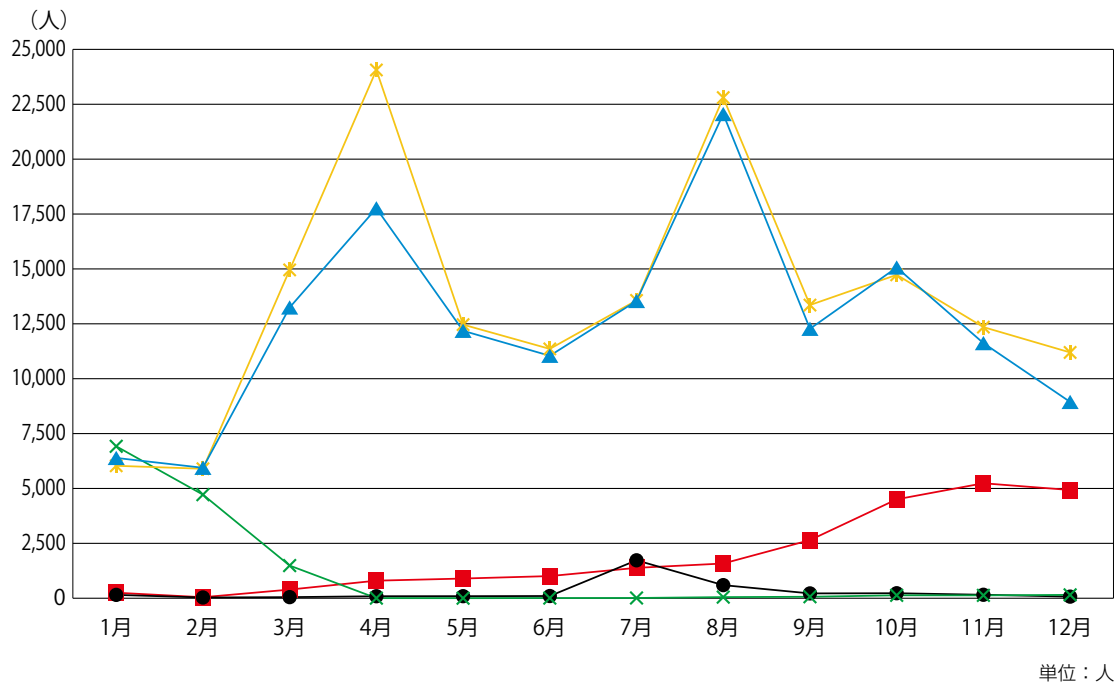


イタリア

注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

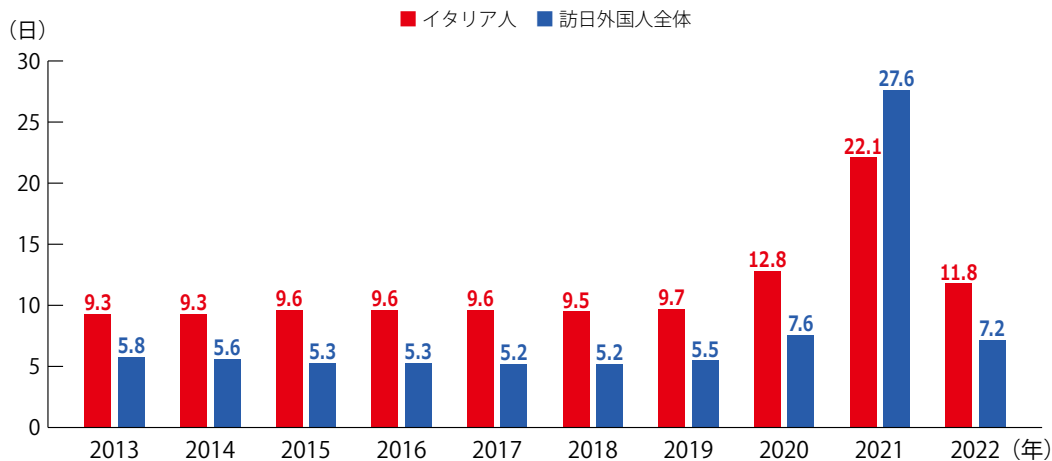
#### (4) 月別訪日イタリア人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	252	46	394	800	897	1,009	1,384	1,582	2,647	4,505	5,237	4,930
● 2021年	153	34	50	91	94	101	1,728	597	220	228	158	73
× 2020年	6,921	4,718	1,488	5	3	8	12	51	68	133	131	153
* 2019年	6,033	5,897	14,956	24,062	12,463	11,357	13,566	22,804	13,354	14,731	12,350	11,196
▲ 2018年	6,391	5,942	13,244	17,762	12,182	11,044	13,540	22,055	12,273	15,064	11,621	8,942

出典：日本政府観光局（JNTO）

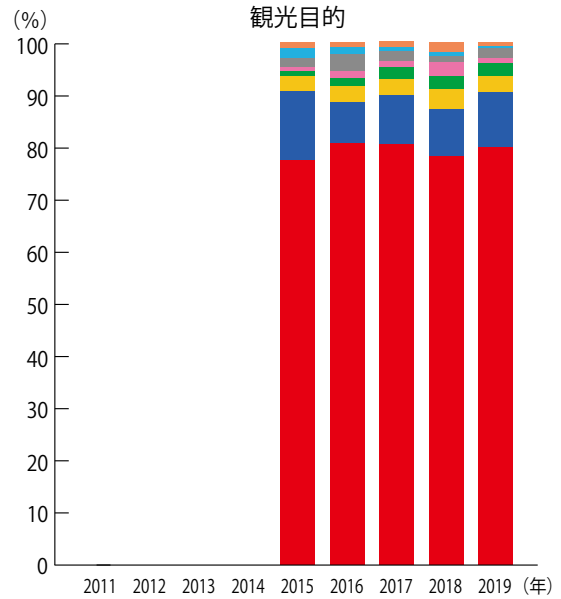
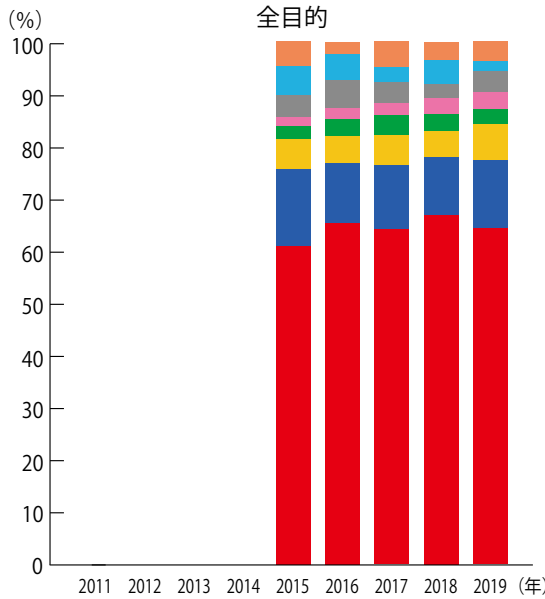
#### (5) 訪日イタリア人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(6) 訪日イタリア人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	-	4.8	2.3	4.8	3.5	3.7
10~19回目	-	-	-	-	5.6	5.0	3.0	4.7	2.1
6~9回目	-	-	-	-	4.1	5.2	3.9	2.5	3.9
5回目	-	-	-	-	1.8	2.1	2.4	3.2	3.3
4回目	-	-	-	-	2.5	3.4	3.8	3.2	2.9
3回目	-	-	-	-	5.6	5.2	5.6	5.0	6.8
2回目	-	-	-	-	14.8	11.4	12.4	11.0	13.1
1回目	-	-	-	-	60.9	65.3	64.1	66.9	64.3

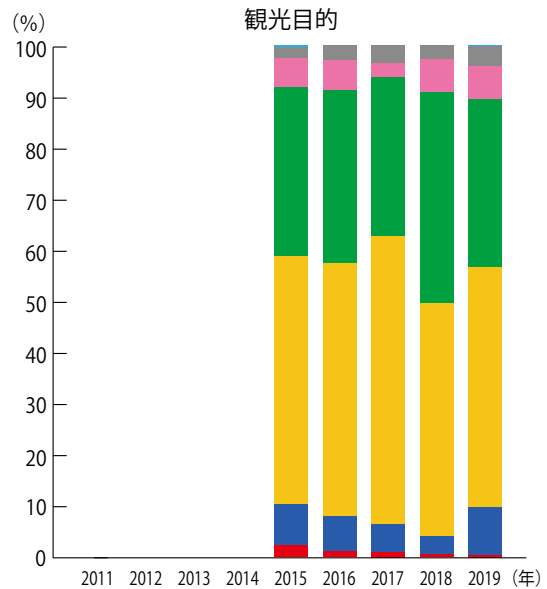
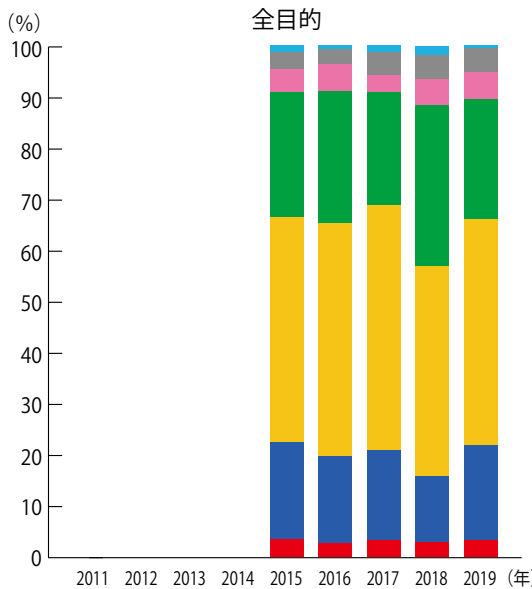
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	-	1.1	1.0	1.2	1.9	0.9
10~19回目	-	-	-	-	1.9	1.3	0.6	0.8	0.4
6~9回目	-	-	-	-	1.7	3.3	2.0	1.3	1.8
5回目	-	-	-	-	0.8	1.3	1.1	2.5	1.0
4回目	-	-	-	-	1.0	1.6	2.3	2.6	2.4
3回目	-	-	-	-	2.7	3.1	3.0	3.7	3.2
2回目	-	-	-	-	13.2	7.8	9.5	9.1	10.4
1回目	-	-	-	-	77.5	80.6	80.4	78.1	79.9

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(7) 訪日イタリア人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未済	-	-	-	-	1.5	0.9	1.4	1.8	0.6
28~90日間	-	-	-	-	3.2	2.8	4.3	4.8	4.7
21~27日間	-	-	-	-	4.6	5.3	3.5	4.9	5.3
14~20日間	-	-	-	-	24.3	25.7	21.9	31.5	23.4
7~13日間	-	-	-	-	43.9	45.5	48.0	40.9	44.2
4~6日間	-	-	-	-	19.0	17.1	17.5	13.0	18.5
3日間以内	-	-	-	-	3.5	2.7	3.3	2.9	3.3

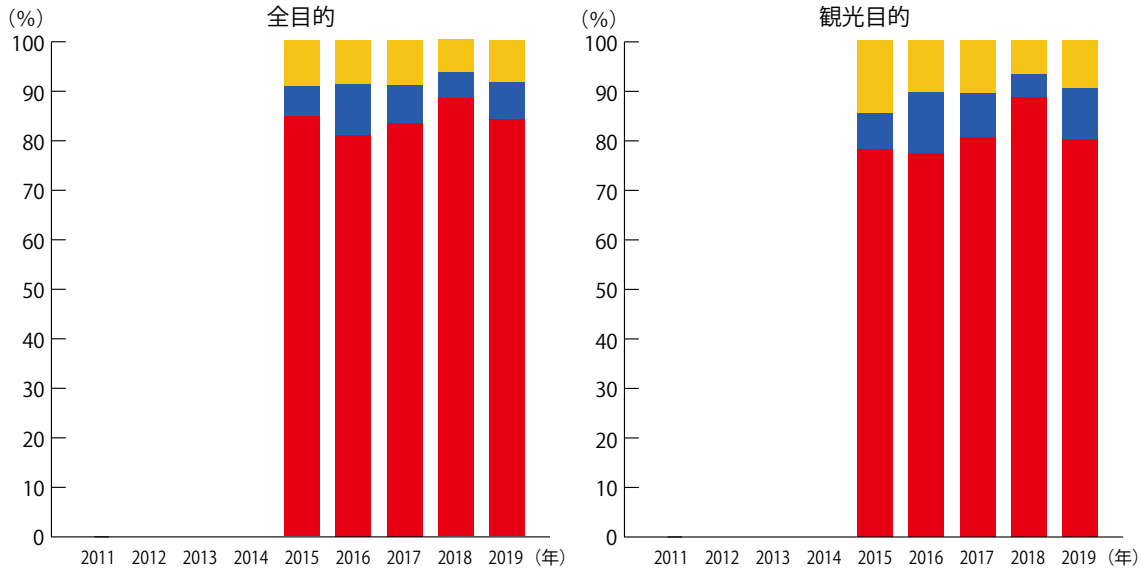
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未済	-	-	-	-	0.3	0.0	0.0	0.0	0.3
28~90日間	-	-	-	-	2.2	2.8	3.5	2.7	3.8
21~27日間	-	-	-	-	5.6	5.9	2.7	6.4	6.4
14~20日間	-	-	-	-	33.0	33.7	31.0	41.3	32.8
7~13日間	-	-	-	-	48.4	49.4	56.4	45.5	47.0
4~6日間	-	-	-	-	8.1	7.0	5.4	3.6	9.3
3日間以内	-	-	-	-	2.3	1.1	1.0	0.5	0.4

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日イタリア人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■団体ツアーに参加	-	-	-	-	9.3	9.0	9.2	6.5	8.5
■個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	-	6.1	10.1	7.5	5.4	7.5
■個別手配	-	-	-	-	84.6	80.9	83.3	88.2	84.0

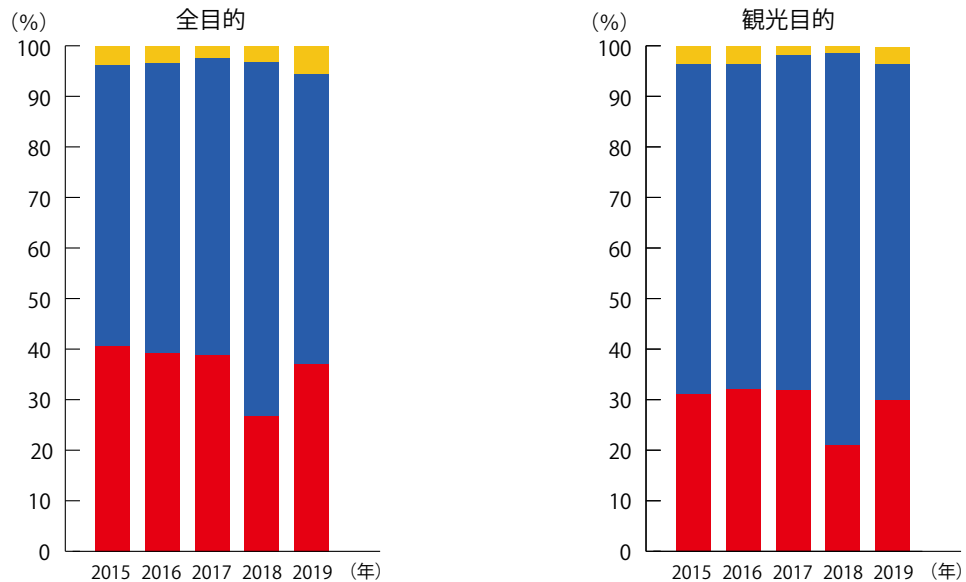
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■団体ツアーに参加	-	-	-	-	14.7	10.6	10.8	6.9	9.6
■個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	-	7.2	12.1	8.7	4.6	10.4
■個別手配	-	-	-	-	78.1	77.3	80.5	88.5	80.0

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日イタリア人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■電話等その他の方法で申し込んだ	3.7	3.3	2.3	3.2	5.6
■ウェブサイトから申し込んだ	55.7	57.4	58.8	69.9	57.4
■店頭で申し込んだ	40.6	39.3	38.9	26.9	37.0

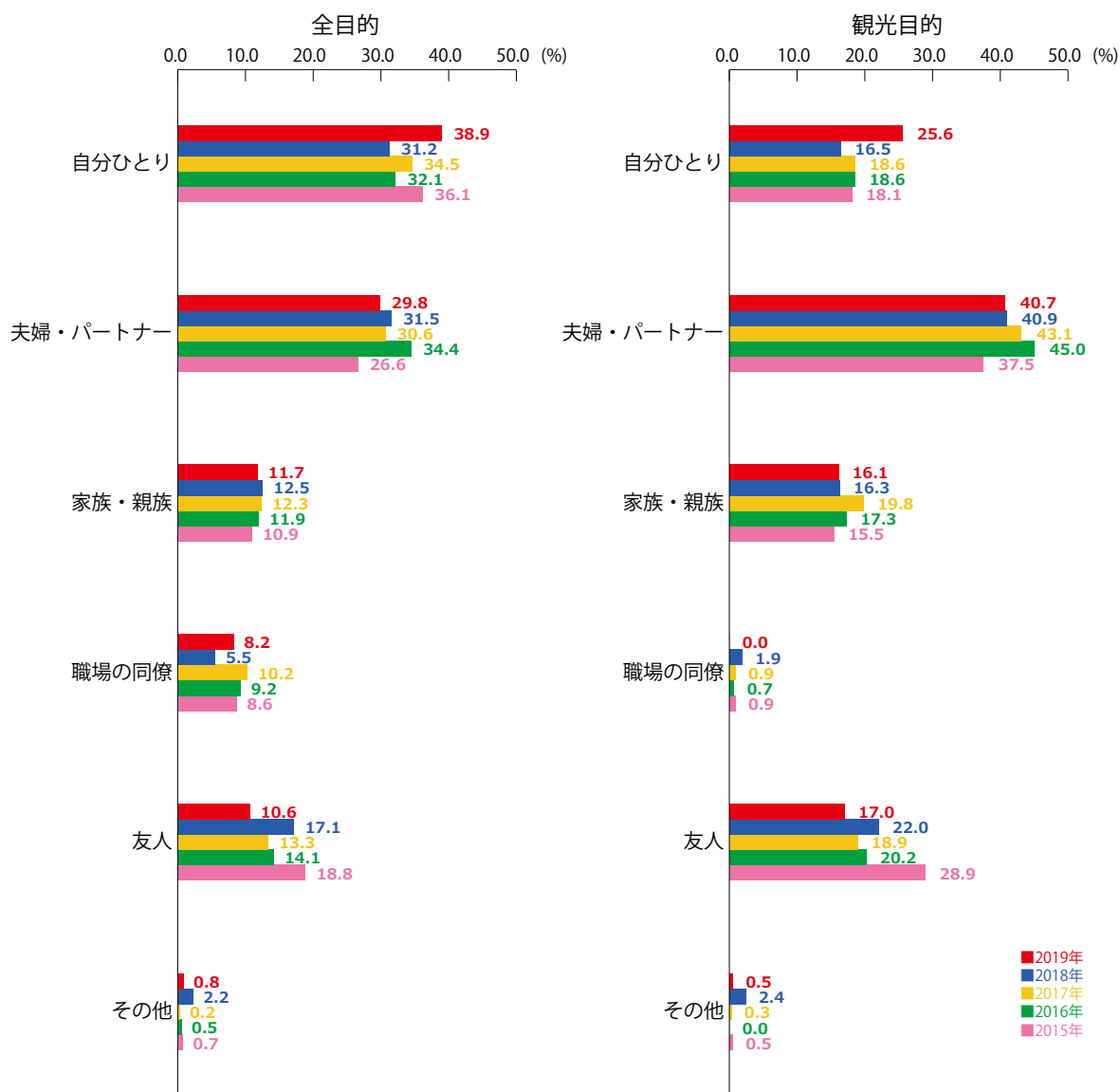
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■電話等その他の方法で申し込んだ	3.6	3.5	1.7	1.5	3.5
■ウェブサイトから申し込んだ	65.2	64.4	66.4	77.6	66.4
■店頭で申し込んだ	31.2	32.1	31.9	21.0	30.0

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日イタリア人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2015年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



(11) 訪日イタリア人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	84.9 90.5 77.8 78.5 60.6	99.2 99.3 99.1 99.0 97.8	63.9 64.5 74.5 73.0 71.1
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	41.1 46.3 39.6 40.5 39.9	65.0 57.6 59.8 65.5 61.7	33.9 32.6 43.1 40.6 40.4
旅館に宿泊	22.3 36.2 31.7 30.4 33.9	30.7 38.5 39.1 40.6 37.7	34.6 46.8 50.6 50.4 43.8
温泉入浴	25.6 29.6 28.6 25.3 26.3	27.0 30.1 30.9 27.2 26.2	52.6 48.4 49.1 49.7 46.2
自然・景勝地観光	44.8 58.0 48.6 48.6 48.2	57.7 68.2 69.3 65.3 61.1	50.6 52.9 61.0 53.9 52.6
繁華街の街歩き	48.6 52.1 37.7 38.4 36.2	69.2 67.7 65.4 66.5 60.9	25.6 26.2 39.5 34.9 34.1
ショッピング	44.3 54.4 40.8 40.6 42.9	66.5 67.3 69.3 70.0 65.7	25.8 28.0 43.3 40.0 42.4
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	30.7 44.5 31.7 31.9 30.4	42.7 50.1 47.8 43.3 34.1	28.1 35.8 47.0 42.9 38.5
テーマパーク	9.5 11.5 8.9 8.1 11.7	11.6 10.1 12.1 12.1 13.6	15.1 15.9 21.3 22.0 23.9
スキー・スノーボード	2.8 3.2 2.0 1.6 3.0	1.1 1.3 1.5 0.6 1.8	9.5 8.6 14.1 15.3 13.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	2.0 3.0 3.2 2.1 3.9	1.8 2.9 4.5 2.8 3.5	3.6 6.9 11.6 13.4 11.2
舞台・音楽鑑賞	8.5 9.3 10.6 10.0 12.8	8.9 7.3 10.6 10.6 12.0	18.6 18.5 37.5 36.2 32.5
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	5.4 5.2 4.4 8.4 9.1	5.3 2.9 3.4 4.5 4.1	15.2 14.8 25.1 27.7 21.3
自然体験ツアー・農漁村体験	9.9 15.7 9.7 13.0 13.4	8.3 13.3 13.5 16.5 11.8	27.3 29.4 31.1 33.5 30.3
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	24.9 22.9 20.8 20.9 19.5	23.5 19.9 26.2 25.8 20.3	45.6 37.6 47.2 48.1 41.1
映画・アニメ縁の地を訪問	6.1 10.5 6.6 7.8 5.8	7.1 9.8 7.3 8.8 6.2	7.3 15.1 17.7 18.1 16.9
日本の歴史・伝統文化体験	43.0 51.5 36.6 34.4 38.0	57.0 58.0 48.3 48.5 47.3	47.2 51.8 50.4 50.2 46.3
日本の日常生活体験	37.0 46.5 33.5 31.6 33.6	53.0 53.9 50.1 49.1 45.0	41.3 40.5 44.7 40.8 37.9
日本のポップカルチャーを楽しむ	18.3 22.3 18.8 15.1 14.3	22.7 26.5 28.2 25.0 21.2	18.5 20.3 23.5 23.8 19.6
治療・健診	0.7 1.3 1.3 1.4 0.9	1.3 0.7 1.3 1.5 2.6	0.4 2.0 4.8 5.8 3.5
上記には当てはまるものがない	5.9 4.5 14.0 10.3 8.0	0.0 0.2 1.8 0.0 0.3	0.7 1.5 1.0 0.6 1.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

▶ 前ページから

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	87.4 91.6 86.2 82.4 83.5	99.6 99.0 99.2 99.7 98.5	64.9 65.0 76.2 76.8 72.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	45.3 45.7 45.3 41.9 46.1	62.7 55.9 58.4 63.4 62.1	35.6 33.3 45.3 42.2 45.1
旅館に宿泊	31.7 43.1 44.5 37.1 44.5	37.2 46.0 51.7 50.3 47.5	44.3 50.1 53.9 55.9 52.6
温泉入浴	32.1 34.4 38.0 33.5 31.1	36.6 36.4 39.7 32.9 30.6	56.6 49.9 57.6 56.4 49.8
自然・景勝地観光	57.4 65.9 64.4 60.1 60.0	74.8 78.2 84.0 82.0 79.6	54.4 50.7 65.0 56.1 59.1
繁華街の街歩き	57.8 56.4 46.1 46.4 41.2	79.7 70.5 75.6 78.3 66.6	25.7 28.7 42.6 41.1 39.3
ショッピング	59.0 59.7 49.7 47.1 47.8	77.7 74.1 77.5 78.2 70.9	28.0 28.7 45.0 44.4 46.7
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	40.8 49.6 41.0 40.6 39.0	56.7 57.9 53.8 55.2 45.9	28.3 31.9 47.0 48.4 42.4
テーマパーク	11.4 12.7 10.2 9.3 15.5	12.3 12.0 15.4 15.7 16.1	16.4 15.8 22.6 24.3 26.8
スキー・スノーボード	2.0 2.8 2.6 2.0 3.6	1.0 1.9 2.6 0.0 1.5	11.9 10.2 14.9 16.8 14.1
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.6 1.0 2.2 2.2 3.7	0.6 1.6 0.8 1.8 1.9	4.4 6.2 9.7 14.6 9.5
舞台・音楽鑑賞	9.3 9.7 12.7 12.3 16.4	8.4 8.5 12.1 13.4 17.1	19.8 17.5 45.0 40.7 38.2
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	3.9 5.6 5.2 11.8 11.7	3.3 3.1 3.5 5.7 5.0	16.4 17.8 30.4 32.2 24.4
自然体験ツアー・農漁村体験	12.0 16.4 13.0 15.5 15.2	12.1 15.1 19.0 21.2 16.2	28.9 29.3 31.2 33.0 30.9
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	27.2 23.5 28.1 25.8 22.9	26.7 22.2 36.0 30.8 24.5	50.2 42.5 52.5 53.3 48.0
映画・アニメ縁の地を訪問	7.9 12.7 8.9 9.2 6.0	8.1 12.2 9.5 11.7 7.2	9.6 15.5 19.5 23.5 18.4
日本の歴史・伝統文化体験	56.0 56.9 47.3 40.9 47.5	68.0 64.9 59.5 59.0 59.8	47.5 49.7 52.9 49.4 51.5
日本の日常生活体験	46.7 50.8 39.1 40.7 39.0	61.7 57.9 55.7 60.7 47.7	48.8 46.1 47.8 48.3 41.0
日本のポップカルチャーを楽しむ	24.1 25.0 23.5 22.4 17.9	28.5 31.0 35.1 34.7 25.4	24.5 21.6 26.7 29.4 22.5
治療・健診	0.0 0.4 0.8 1.6 1.7	1.7 0.0 0.9 1.1 1.5	0.6 2.1 4.3 6.4 4.8
上記には当てはまるものがない	4.9 3.2 5.7 6.8 4.7	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.0 1.1 0.5 0.0 0.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) イタリア人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	20.5 19.5 20.9 23.7 18.4	28.1 25.3 28.8 28.1 24.2
旅行会社ホームページ	13.8 9.6 11.3 14.4 14.2	15.9 9.8 14.1 16.6 18.5
宿泊施設ホームページ	14.8 14.5 13.0 18.8 17.9	15.1 16.3 14.6 22.2 19.8
航空会社ホームページ	8.8 11.3 7.8 11.7 11.1	10.2 12.4 7.2 13.0 11.5
地方観光協会ホームページ	7.6 5.9 6.5 5.9 6.3	9.2 7.1 7.6 7.7 6.4
宿泊予約サイト	10.9 6.0 7.0 10.9 11.4	11.2 7.4 10.0 14.5 15.4
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	23.6 30.1 28.2 27.0 24.7	23.6 34.9 35.9 35.0 29.8
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	15.0 2.6 7.3 6.1 3.6	23.6 17.5 10.9 8.6 4.4
個人のブログ	23.1 21.1 20.8 21.9 16.1	30.8 25.8 28.9 29.5 23.0
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	22.6 23.7 15.7 14.2 7.6	21.8 27.7 22.4 19.4 12.1
その他インターネット	5.8 9.3 13.4 11.6 10.1	4.6 10.4 11.6 11.4 10.9
日本政府観光局の案内所	2.9 2.6 3.0 5.2 3.9	2.3 2.6 4.5 6.5 4.8
旅行会社パンフレット	4.4 6.9 6.3 6.9 6.6	7.3 7.1 10.1 8.7 7.6
旅行ガイドブック	27.6 34.3 33.4 35.8 33.0	31.2 43.0 48.5 45.3 42.3
自国の親族・知人	29.6 24.1 23.4 24.0 17.3	26.4 27.1 27.5 27.1 19.3
日本在住の親族・知人	21.5 19.1 25.8 22.6 25.2	15.1 14.8 19.5 20.5 19.0
旅行の展示会や見本市	2.9 1.0 1.4 1.0 1.2	4.2 0.5 1.3 0.7 0.6
テレビ番組	6.1 3.2 7.3 6.6 4.9	8.8 2.6 9.8 7.8 7.3
新聞	2.4 2.8 3.4 3.6 3.2	2.8 2.6 4.2 2.4 3.6
旅行専門誌	11.2 8.0 11.6 12.7 7.6	13.1 9.3 13.7 15.8 10.5
その他雑誌	0.6 1.7 0.8 0.7 0.7	1.1 2.0 1.1 1.0 1.1
その他	3.3 1.9 4.2 6.5 3.9	1.7 0.0 2.4 3.2 3.3
特になし	6.8 7.3 9.1 8.8 8.5	3.4 3.4 2.8 4.1 3.4

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (13) イタリア人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	29.1 27.7	31.4 30.6
交通手段	72.8 57.5	81.2 62.9
飲食店	50.0 39.8	49.5 38.9
観光施設	28.1 25.6	33.0 26.6
イベント	8.5 7.5	8.8 7.3
土産物	10.0 11.4	13.4 12.1
買物場所	16.3 11.3	20.0 13.6
無料W i - F i	40.2 42.1	41.4 45.0
祈祷室	1.6 0.0	2.8 0.0
A T M	16.9 14.9	20.9 14.1
宅配便	0.7 1.4	1.2 2.0
日本文化体験プログラム	5.5 8.2	8.8 7.2
自然体験ツアー・農山漁村体験	6.4 9.6	7.7 10.5
通訳案内士・観光ガイド	7.4 6.9	10.5 8.6
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	3.7 4.4	6.1 4.7
クレジットカード利用可能店舗	12.1 10.9	12.4 11.8
その他	1.1 0.0	1.3 0.0
特になし	6.8 10.2	1.8 7.6

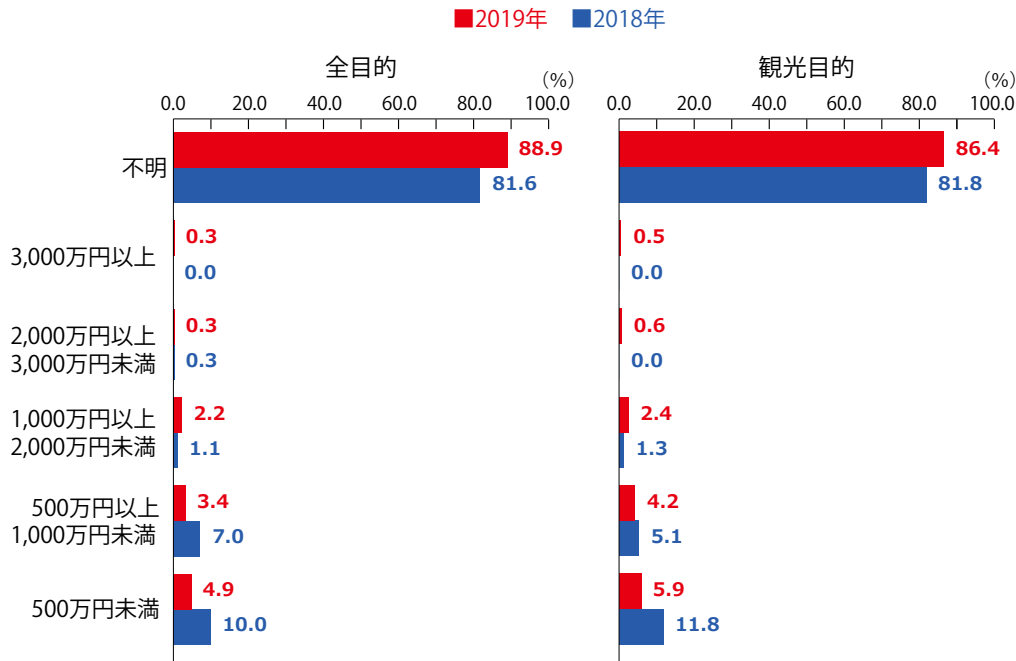
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

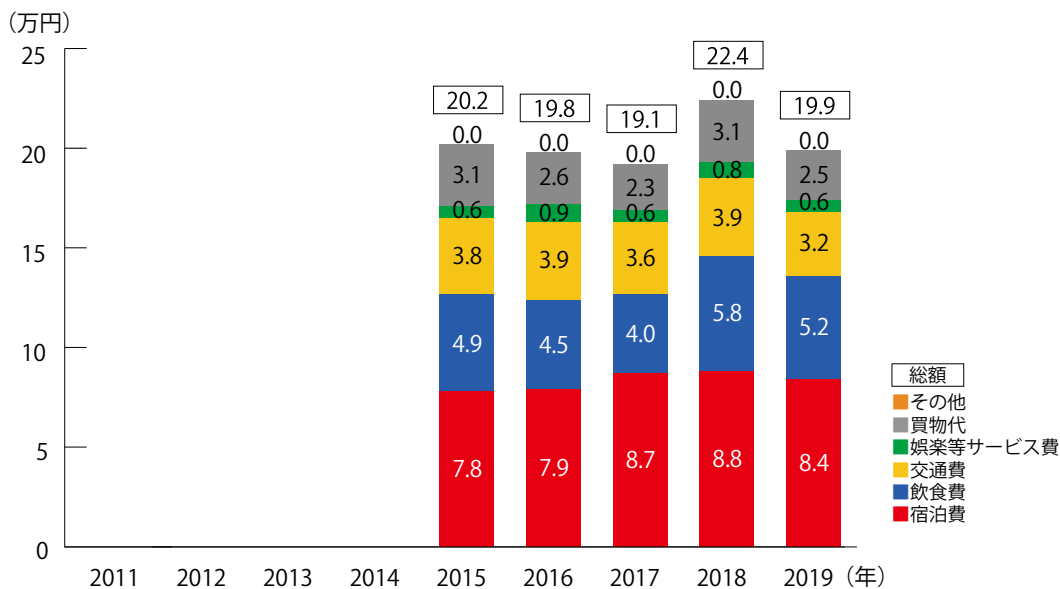
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日イタリア人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日イタリア人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：2014年以前の数値は存在しない。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注3：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注4：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注5：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (16) 属性別訪日イタリア人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		384	199,450	211	224,085
滞在日数	3日間以内	13	72,720	1	12,347
	4～6日間	74	120,869	19	106,630
	7～13日間	165	189,840	98	200,677
	14～20日間	89	244,936	70	253,384
	21～27日間	21	322,020	14	382,096
	28～90日間	19	316,624	8	308,697
	91日間以上1年未満	3	259,221	1	170,300
性・年代	男性	266	197,355	130	223,320
	15～19歳	1	378,250	1	378,250
	20～29歳	64	191,160	50	207,104
	30～39歳	89	207,292	44	250,722
	40～49歳	68	168,290	23	199,569
	50～59歳	31	227,835	9	245,316
	60～69歳	10	241,477	3	139,715
	70歳以上	3	123,127	0	-
	女性	118	204,067	81	225,337
	15～19歳	3	242,910	2	323,648
	20～29歳	45	187,104	35	200,840
	30～39歳	41	219,632	23	254,069
	40～49歳	15	210,887	12	225,220
	50～59歳	10	171,012	5	201,049
60～69歳	3	264,606	3	264,606	
70歳以上	1	259,719	1	259,719	
日本への 来訪回数	1回目	241	217,094	167	231,516
	2回目	53	159,521	22	221,310
	3回目	26	174,820	7	126,389
	4回目	11	176,573	5	170,806
	5回目	12	183,815	2	252,336
	6～9回目	16	184,486	5	191,718
	10～19回目	10	128,884	1	268,664
	20回目以上	15	166,157	2	102,668

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(17) 項目別訪日イタリア人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	30	384,963	19	426,415	
	個人旅行向けパッケージ商品	27	416,048	21	414,837	
	往復航空（船舶）運賃	327	117,213	171	102,623	
日本滞在中の支出	宿泊料金	296	84,175	168	82,547	
	飲食費	352	44,629	203	47,155	
	交通費	341	27,558	196	31,401	
	航空（日本国内移動のみ）	9	26,941	5	24,751	
	Japan Rail Pass	114	35,192	97	35,591	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	258	12,614	150	12,529	
	バス	101	3,441	70	3,316	
	タクシー	112	10,313	47	4,506	
	レンタカー	8	26,040	4	34,818	
	船舶（日本国内移動のみ）	6	8,882	4	12,119	
	その他交通費	1	10,000	0	-	
	娯楽等サービス費	180	9,917	129	9,442	
	現地ツアー・観光ガイド	19	13,198	13	14,550	
	ゴルフ場	1	10,000	0	-	
	テーマパーク	20	6,237	7	9,036	
	舞台・音楽鑑賞	8	8,273	5	4,739	
	スポーツ観戦	2	17,615	0	-	
	美術館・博物館・動物園・水族館	139	5,588	109	5,560	
	スキー場リフト	1	12,346	1	12,346	
	温泉・湯治施設・エステ・リラクゼーション	17	6,489	10	4,073	
	マッサージ・医療費	4	6,807	2	4,431	
	展示会・コンベンション参加費	5	6,565	2	1,668	
	レンタル料（レンタカーを除く）	6	15,897	2	34,170	
	その他娯楽等サービス費	11	24,616	10	23,430	
	買物代	363	26,205	207	27,096	
	菓子類	162	5,191	89	5,249	
	酒類	97	6,875	57	4,277	
	生鮮農産物	26	7,307	17	7,930	
	その他食料品・飲料・たばこ	123	8,793	68	7,420	
	化粧品・香水	43	5,850	26	6,227	
	医薬品	6	7,401	5	8,513	
	健康グッズ・トイレタリー	8	2,777	5	2,205	
	衣類	144	14,727	89	16,571	
	靴・かばん・革製品	37	14,474	26	16,310	
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	19	29,166	11	20,533		
時計・フィルムカメラ	7	28,261	5	12,540		
宝石・貴金属	3	3,426	2	2,304		
民芸品・伝統工芸品	126	12,176	76	11,281		
本・雑誌・ガイドブックなど	46	6,030	32	6,465		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	16	26,860	12	32,988		
その他買物代	46	15,851	22	18,129		
その他	1	24,082	1	24,082		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

イタリア

## (18) 訪日イタリア人の買い物場所 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	42.3 45.4 38.7 44.4 43.4	48.3 52.7 47.1 51.9 52.9
家電量販店	10.8 13.3 11.7 10.5 11.1	11.6 17.8 15.2 11.8 12.3
ファッション専門店	18.3 18.0 14.4 14.2 12.9	20.4 22.9 16.6 16.6 15.2
100円ショップ	22.7 28.0 24.3 22.8 21.1	28.5 32.7 29.2 28.7 25.0
高速道路のSA・道の駅	1.3 2.1 1.2 1.7 1.3	1.8 1.2 1.2 2.3 1.0
観光地の土産店	50.5 50.5 48.7 52.3 50.0	66.8 61.9 62.9 61.0 62.3
宿泊施設	2.4 1.9 5.2 4.0 3.4	2.4 2.6 6.2 3.8 5.1
スーパーマーケット	49.9 49.1 47.9 46.3 47.0	61.3 58.2 56.9 52.3 58.3
コンビニエンスストア	46.8 41.6 32.3 29.0 28.2	51.8 43.5 35.4 30.4 30.7
ドラッグストア	13.1 11.8 11.2 10.6 9.4	18.2 14.5 14.1 11.0 11.4
ディスカウントストア	7.0 7.5 5.9 3.5 4.5	9.2 9.2 7.6 3.4 5.1
アウトレットモール	4.2 3.2 6.5 4.3 4.4	4.7 4.7 7.4 4.5 5.5
都心の複合商業施設	24.2 25.7 23.1 23.6 21.8	29.5 30.3 28.1 27.4 24.9
その他ショッピングセンター	10.2 12.6 12.3 8.6 10.7	13.0 16.9 14.3 9.1 10.5
鉄道駅構内の店舗	13.0 15.4 15.9 14.9 14.4	18.8 20.4 19.4 18.0 19.4
空港の免税店	41.6 35.8 45.6 38.2 34.6	38.6 37.4 43.2 38.7 36.1
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.6 0.2	1.1 0.3
その他	4.3 6.5 5.2 4.8 4.1	3.8 4.9 6.1 6.7 6.2
買い物はしなかった	6.3 6.8 5.3 5.4 7.3	1.5 2.8 1.1 2.3 2.2

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の本数値は存在しない。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (19) 訪日イタリア人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	16.6 20.3
消費税免税の手続きをしていない	83.4 79.7

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	0.4 2.9
酒類	1.2 1.5
生鮮農産物	0.0 0.0
その他食料品・飲料・たばこ	0.6 1.8
化粧品・香水	1.1 1.8
医薬品	0.0 0.0
健康グッズ・トイレタリー	0.0 0.3
衣類	7.3 8.2
靴・かばん・革製品	3.0 2.6
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	1.8 2.0
時計・フィルムカメラ	0.0 0.3
宝石・貴金属	0.3 0.0
民芸品・伝統工芸品	3.7 5.1
本・雑誌・ガイドブックなど	1.0 0.5
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.6 0.9
その他買物代	1.1 1.2

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日イタリア人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	88.4 89.1	96.8 94.0
クレジットカード	78.8 70.6	78.0 79.2
交通系ICカード（Suica等）	14.2 18.6	15.4 18.6
その他ICカード（Edy等）	0.2 0.3	0.0 0.4
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	3.1 4.0	3.7 4.6
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.0 0.0	0.0 0.0
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.0 0.0	0.0 0.0
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.5 0.0	0.2 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日イタリア人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)				
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	83.9	85.0	82.5	92.6	86.3
千葉県	2位	74.8	81.1	82.7	100.0	62.6
京都府	3位	50.7	55.3	54.8	46.3	50.7
大阪府	4位	40.3	42.1	43.6	19.2	40.1
広島県	5位	18.2	19.1	15.9	12.1	17.1
神奈川県	6位	14.2	15.3	15.4	11.7	16.8
奈良県	7位	13.7	12.0	14.7	14.1	14.0
石川県	8位	10.4	15.7	14.2	13.7	13.9
岐阜県	9位	9.6	16.2	13.7	10.0	12.0
兵庫県	10位	8.8	9.1	6.6	7.3	6.0
長野県	11位	3.0	3.7	3.3	1.6	4.6
静岡県	12位	4.2	4.7	3.6	3.2	4.5
山梨県	13位	2.1	2.6	3.4	3.7	4.3
愛知県	14位	4.2	5.4	4.4	6.3	4.0
栃木県	15位	5.2	5.6	6.0	4.3	3.3
和歌山県	16位	3.8	6.6	4.5	2.8	2.8
福岡県	17位	1.5	1.9	1.7	2.7	2.0
北海道	18位	2.3	1.7	0.8	1.8	2.0
沖縄県	19位	2.0	2.4	2.3	2.3	1.7
岡山県	20位	2.1	2.7	2.4	0.3	1.3
埼玉県	21位	1.0	1.5	1.2	2.0	1.2
群馬県	22位	0.2	0.7	0.6	1.4	1.0
三重県	23位	0.5	0.2	0.9	0.6	0.9
香川県	24位	1.5	2.0	1.5	1.9	0.9
愛媛県	25位	1.8	1.9	1.3	0.7	0.8
滋賀県	26位	0.3	0.3	0.4	0.0	0.8
宮城県	27位	0.9	1.2	0.6	0.7	0.7
新潟県	28位	0.4	0.4	0.1	0.3	0.6
茨城県	29位	1.1	1.1	1.0	3.0	0.6
徳島県	30位	0.0	0.3	0.7	0.2	0.5
大分県	31位	1.2	1.0	0.4	0.7	0.5
長崎県	32位	1.4	1.4	0.8	0.6	0.4
福井県	33位	0.0	0.4	0.2	0.0	0.4
富山県	34位	0.7	0.1	0.6	0.8	0.4
山口県	35位	0.1	0.3	0.5	0.0	0.3
福島県	36位	0.3	0.5	0.3	0.0	0.3
鳥根県	37位	0.0	0.4	0.4	0.3	0.3
宮崎県	38位	0.1	0.3	0.1	0.4	0.2
高知県	39位	0.2	0.2	0.1	0.6	0.2
熊本県	40位	0.6	0.3	0.4	0.4	0.2
佐賀県	41位	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2
岩手県	42位	0.4	0.1	0.1	0.0	0.1
青森県	43位	1.3	0.3	0.3	0.0	0.1
鳥取県	44位	0.0	0.3	0.3	0.0	0.1
山形県	45位	0.1	0.6	0.3	0.3	0.1
秋田県	46位	0.6	0.3	0.1	0.0	0.1
鹿児島県	47位	1.2	0.4	0.9	0.7	0.1

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (22) 訪日イタリア人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数〔人泊（構成比：％）〕		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	235,990 (43.1%)	318,670 (43.4%)	403,930 (43.3%)
京都府	2位	130,420 (23.8%)	177,110 (24.1%)	267,900 (28.7%)
大阪府	3位	34,170 (6.2%)	41,300 (5.6%)	57,180 (6.1%)
神奈川県	4位	14,690 (2.7%)	16,480 (2.2%)	17,600 (1.9%)
千葉県	5位	9,230 (1.7%)	12,110 (1.7%)	12,990 (1.4%)
石川県	6位	17,580 (3.2%)	30,570 (4.2%)	34,480 (3.7%)
静岡県	7位	11,810 (2.2%)	21,000 (2.9%)	5,620 (0.6%)
茨城県	8位	1,820 (0.3%)	1,740 (0.2%)	2,210 (0.2%)
愛知県	9位	7,370 (1.3%)	11,320 (1.5%)	13,370 (1.4%)
広島県	10位	20,410 (3.7%)	22,820 (3.1%)	28,760 (3.1%)
福岡県	11位	4,020 (0.7%)	7,260 (1.0%)	5,400 (0.6%)
兵庫県	12位	6,270 (1.1%)	6,960 (0.9%)	7,950 (0.9%)
岡山県	13位	3,210 (0.6%)	3,690 (0.5%)	3,600 (0.4%)
岐阜県	14位	14,000 (2.6%)	14,000 (1.9%)	20,790 (2.2%)
北海道	15位	4,340 (0.8%)	5,360 (0.7%)	5,550 (0.6%)
三重県	16位	1,200 (0.2%)	1,670 (0.2%)	2,920 (0.3%)
埼玉県	17位	880 (0.2%)	1,790 (0.2%)	2,450 (0.3%)
富山県	18位	750 (0.1%)	860 (0.1%)	1,280 (0.1%)
長野県	19位	2,530 (0.5%)	3,050 (0.4%)	3,300 (0.4%)
宮城県	20位	1,040 (0.2%)	1,320 (0.2%)	1,380 (0.1%)
福島県	21位	220 (0.0%)	280 (0.0%)	290 (0.0%)
沖縄県	22位	5,350 (1.0%)	8,470 (1.2%)	6,300 (0.7%)
栃木県	23位	1,790 (0.3%)	3,270 (0.4%)	2,640 (0.3%)
山口県	24位	190 (0.0%)	220 (0.0%)	500 (0.1%)
愛媛県	25位	1,410 (0.3%)	930 (0.1%)	820 (0.1%)
香川県	26位	450 (0.1%)	1,170 (0.2%)	1,970 (0.2%)
熊本県	27位	1,050 (0.2%)	920 (0.1%)	1,490 (0.2%)
奈良県	28位	2,730 (0.5%)	4,130 (0.6%)	4,870 (0.5%)
新潟県	29位	760 (0.1%)	840 (0.1%)	1,050 (0.1%)
佐賀県	30位	150 (0.0%)	110 (0.0%)	110 (0.0%)
群馬県	31位	1,160 (0.2%)	1,120 (0.2%)	1,170 (0.1%)
和歌山県	32位	1,650 (0.3%)	2,410 (0.3%)	1,990 (0.2%)
長崎県	33位	1,610 (0.3%)	1,250 (0.2%)	1,050 (0.1%)
山形県	34位	400 (0.1%)	230 (0.0%)	410 (0.0%)
山梨県	35位	1,340 (0.2%)	3,270 (0.4%)	2,780 (0.3%)
徳島県	36位	330 (0.1%)	260 (0.0%)	370 (0.0%)
島根県	37位	110 (0.0%)	370 (0.1%)	460 (0.0%)
大分県	38位	520 (0.1%)	1,110 (0.2%)	640 (0.1%)
鹿児島県	39位	670 (0.1%)	700 (0.1%)	890 (0.1%)
青森県	40位	340 (0.1%)	410 (0.1%)	540 (0.1%)
宮崎県	41位	230 (0.0%)	240 (0.0%)	260 (0.0%)
福井県	42位	200 (0.0%)	400 (0.1%)	790 (0.1%)
滋賀県	43位	1,720 (0.3%)	1,120 (0.2%)	1,290 (0.1%)
岩手県	44位	480 (0.1%)	450 (0.1%)	650 (0.1%)
鳥取県	45位	190 (0.0%)	350 (0.0%)	660 (0.1%)
高知県	46位	280 (0.1%)	240 (0.0%)	190 (0.0%)
秋田県	47位	240 (0.0%)	270 (0.0%)	390 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊(構成比:%)】		
		2020年	2021年	2022年
東京都	2位	37,040 (45.6%)	38,280 (78.0%)	50,580 (51.4%)
京都府	1位	15,590 (19.2%)	420 (0.9%)	15,800 (16.1%)
大阪府	3位	4,540 (5.6%)	970 (2.0%)	7,090 (7.2%)
神奈川県	4位	3,470 (4.3%)	1,050 (2.1%)	2,630 (2.7%)
千葉県	5位	2,810 (3.5%)	1,300 (2.6%)	1,850 (1.9%)
石川県	6位	1,500 (1.8%)	30 (0.1%)	1,740 (1.8%)
静岡県	7位	1,600 (2.0%)	1,230 (2.5%)	1,650 (1.7%)
茨城県	8位	360 (0.4%)	10 (0.0%)	1,460 (1.5%)
愛知県	9位	1,410 (1.7%)	70 (0.1%)	1,420 (1.4%)
広島県	10位	1,240 (1.5%)	50 (0.1%)	1,290 (1.3%)
福岡県	11位	660 (0.8%)	860 (1.8%)	1,290 (1.3%)
兵庫県	12位	830 (1.0%)	250 (0.5%)	1,040 (1.1%)
岡山県	13位	570 (0.7%)	290 (0.6%)	990 (1.0%)
岐阜県	14位	560 (0.7%)	20 (0.0%)	930 (0.9%)
北海道	15位	2,050 (2.5%)	270 (0.5%)	850 (0.9%)
三重県	16位	130 (0.2%)	20 (0.0%)	850 (0.9%)
埼玉県	17位	530 (0.7%)	320 (0.7%)	810 (0.8%)
富山県	18位	40 (0.0%)	0 (0.0%)	690 (0.7%)
長野県	19位	450 (0.6%)	20 (0.0%)	490 (0.5%)
宮城県	20位	290 (0.4%)	1,240 (2.5%)	470 (0.5%)
福島県	21位	70 (0.1%)	350 (0.7%)	440 (0.4%)
沖縄県	22位	1,310 (1.6%)	120 (0.2%)	400 (0.4%)
栃木県	23位	500 (0.6%)	230 (0.5%)	370 (0.4%)
山口県	24位	110 (0.1%)	60 (0.1%)	370 (0.4%)
愛媛県	25位	180 (0.2%)	440 (0.9%)	330 (0.3%)
香川県	26位	270 (0.3%)	20 (0.0%)	270 (0.3%)
熊本県	27位	100 (0.1%)	10 (0.0%)	240 (0.2%)
奈良県	28位	380 (0.5%)	30 (0.1%)	230 (0.2%)
新潟県	29位	420 (0.5%)	60 (0.1%)	180 (0.2%)
佐賀県	30位	20 (0.0%)	0 (0.0%)	180 (0.2%)
群馬県	31位	220 (0.3%)	50 (0.1%)	160 (0.2%)
和歌山県	32位	140 (0.2%)	0 (0.0%)	160 (0.2%)
長崎県	33位	240 (0.3%)	10 (0.0%)	160 (0.2%)
山形県	34位	110 (0.2%)	10 (0.0%)	150 (0.2%)
山梨県	35位	280 (0.3%)	810 (1.6%)	110 (0.1%)
徳島県	36位	20 (0.0%)	0 (0.0%)	110 (0.1%)
島根県	37位	30 (0.0%)	0 (0.0%)	100 (0.1%)
大分県	38位	130 (0.2%)	90 (0.2%)	80 (0.1%)
鹿児島県	39位	170 (0.2%)	10 (0.0%)	80 (0.1%)
青森県	40位	160 (0.2%)	20 (0.0%)	70 (0.1%)
宮崎県	41位	70 (0.1%)	0 (0.0%)	70 (0.1%)
福井県	42位	190 (0.2%)	0 (0.0%)	60 (0.1%)
滋賀県	43位	100 (0.1%)	20 (0.0%)	50 (0.1%)
岩手県	44位	150 (0.2%)	20 (0.0%)	40 (0.0%)
鳥取県	45位	50 (0.1%)	0 (0.0%)	40 (0.0%)
高知県	46位	40 (0.0%)	10 (0.0%)	30 (0.0%)
秋田県	47位	20 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.0%)

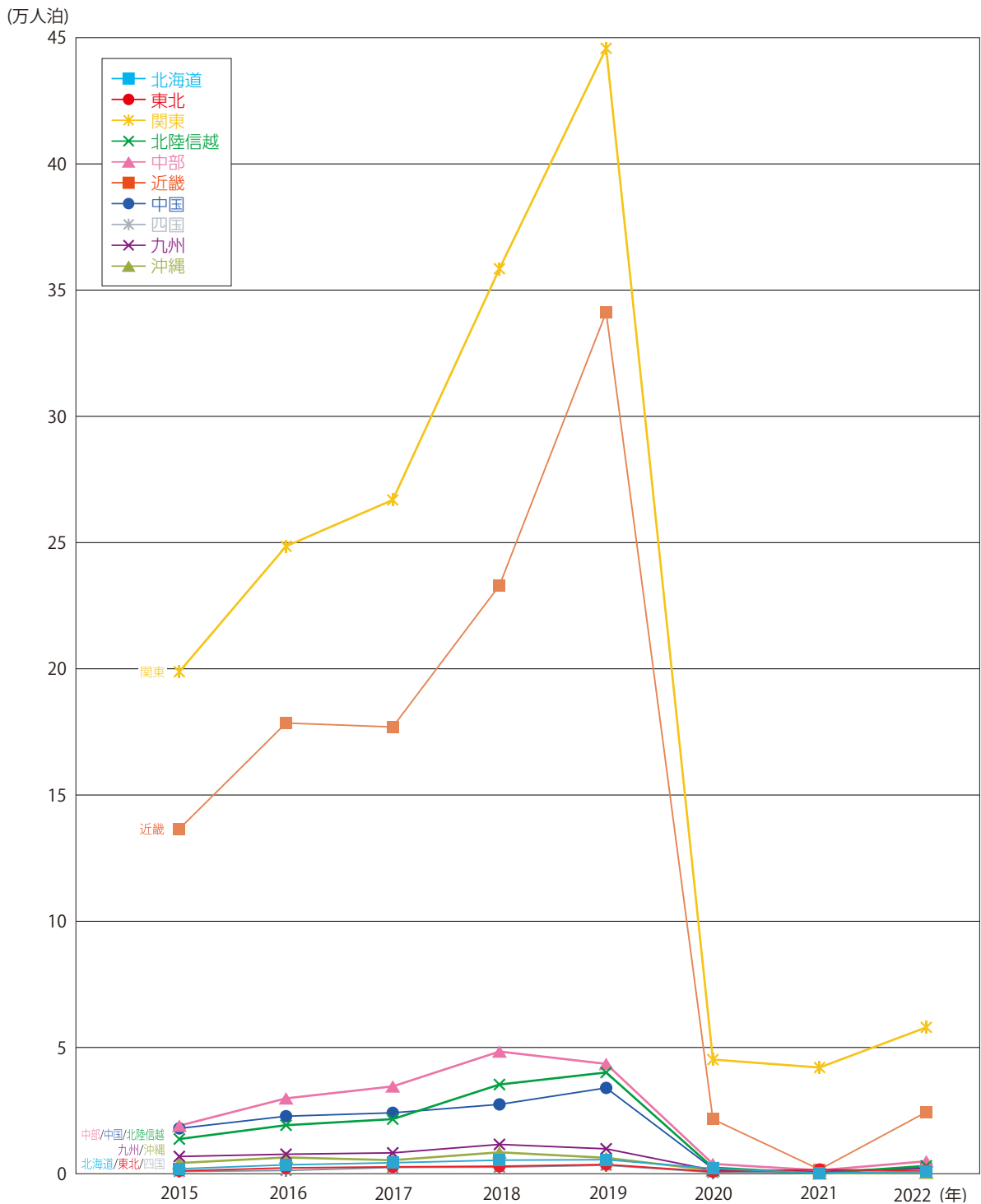
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県(第4章(22))と地方(第4章(23))の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査(2017年～2022年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

(23) 訪日イタリア人の地方別延べ宿泊者数（2015年～2022年）



単位：人泊

北海道	1,930	3,510	4,340	5,360	5,550	2,050	270	850
東北	1,120	2,300	2,710	2,960	3,650	810	1,650	1,190
関東	198,820	248,540	266,900	358,460	445,780	45,210	42,050	57,960
北陸信越	13,730	19,210	21,620	35,320	40,100	2,410	120	3,110
中部	19,020	29,840	34,580	48,390	43,500	3,890	1,340	4,920
近畿	136,570	178,520	176,960	233,030	341,190	21,590	1,680	24,390
中国	17,950	22,770	24,120	27,450	33,980	2,010	410	2,800
四国	890	1,280	2,470	2,600	3,350	520	460	740
九州	6,820	7,710	8,250	11,600	9,850	1,390	990	2,090
沖縄	4,230	6,440	5,350	8,470	6,300	1,310	120	400

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

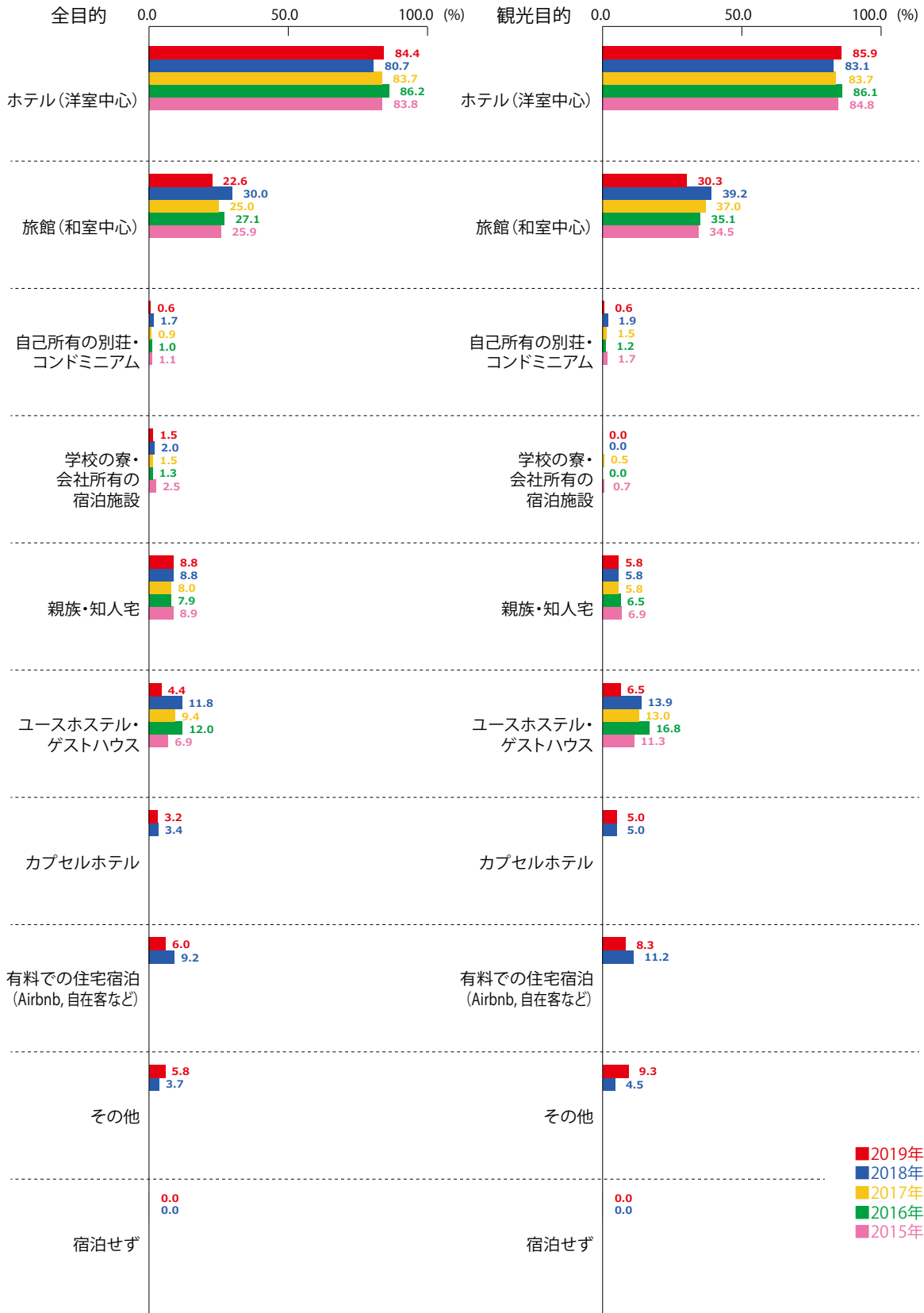
注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注4：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

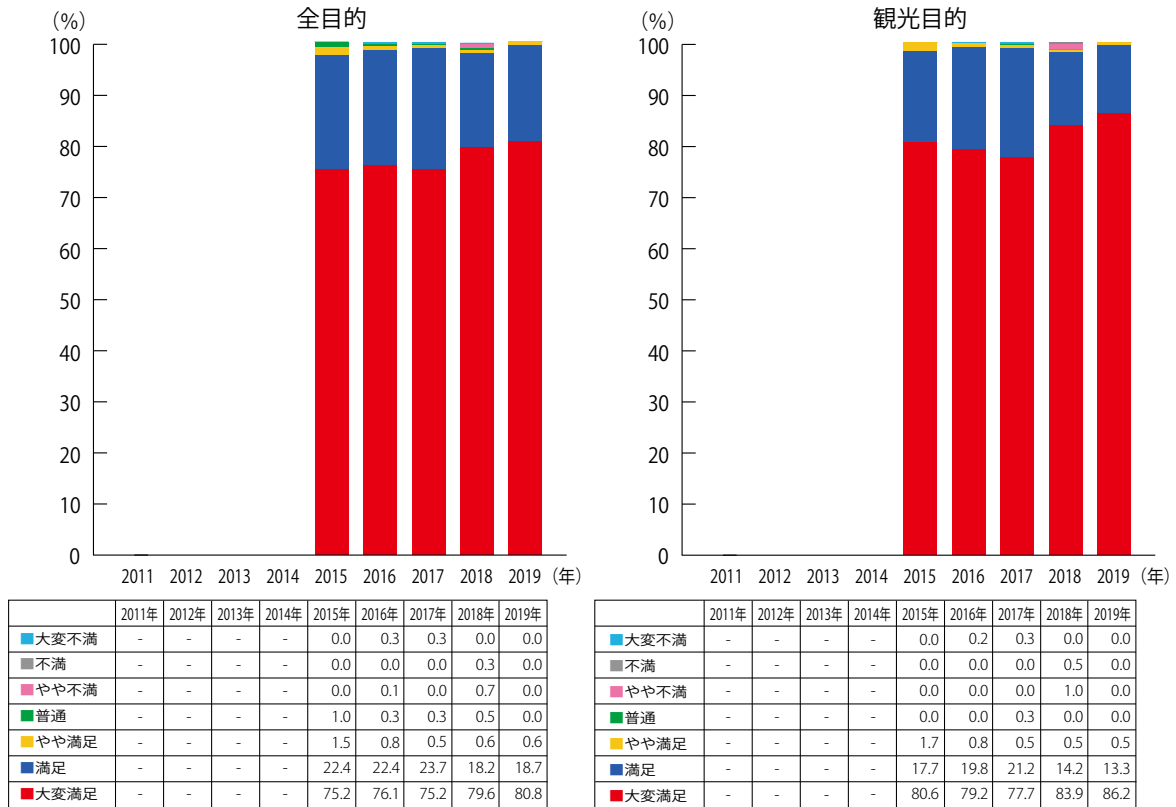
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2015年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日イタリア人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年以前の数値は存在しない。  
 注3：2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注4：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2015年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注5：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(25) イタリア人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)



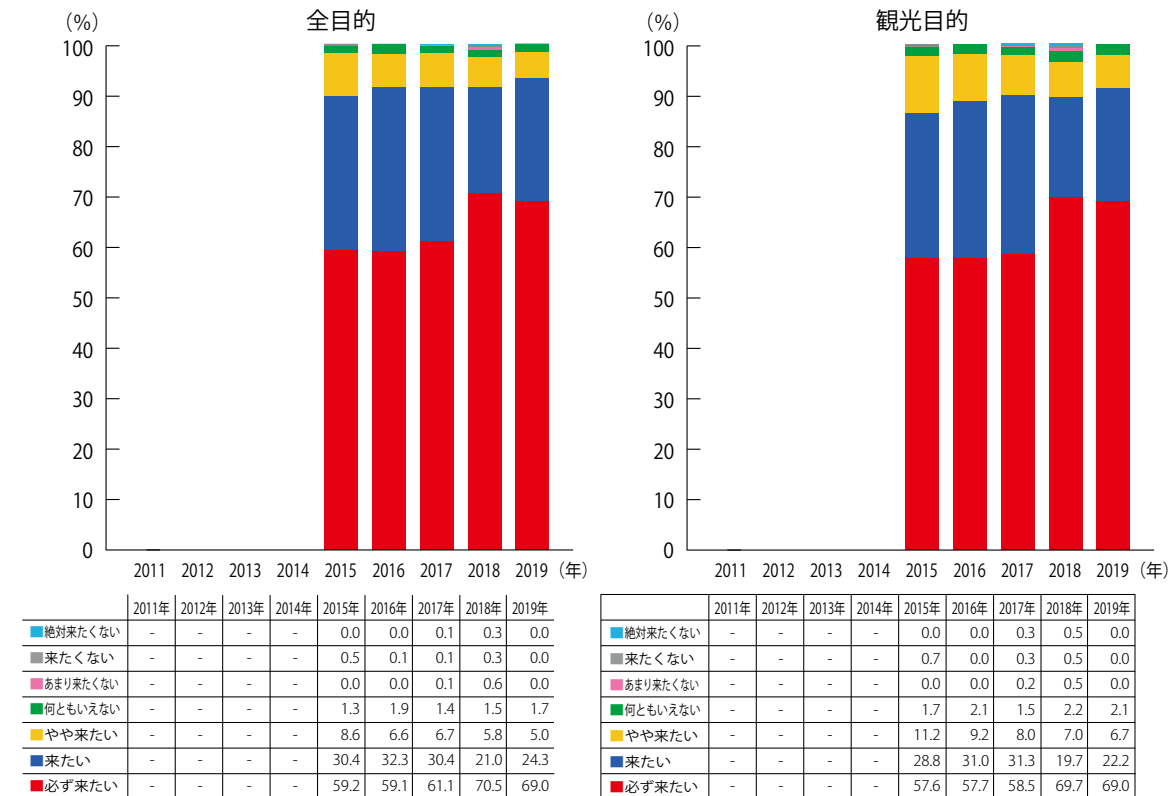
注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

イタリア

(26) 訪日イタリア人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成





# スペイン

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

地中海系と北ヨーロッパ系の混合民族が中心

この他、移民やその子孫など

出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 宗教別構成

カトリック（54.2%）、その他の宗教（2.2%）、不可知論者（14.4%）、無信仰（12.5%）、無神論者（15.7%）、回答なし（1.1%）

出典：スペイン社会学研究センター（CIS：スペイン内閣府の社会調査機関）（2023年5月）

### (3) 使用言語

スペイン語（カスティーリャ語）が公用語

州レベルでは、以下の地域語も州の公用語として定められている。

- ・バスク語：バスク州、ナバーラ州北西部
- ・カタルーニャ語：カタルーニャ州、バレアレス州
- ・ガリシア語：ガリシア州
- ・バレンシア語：バレンシア州
- ・アラン語：カタルーニャ州

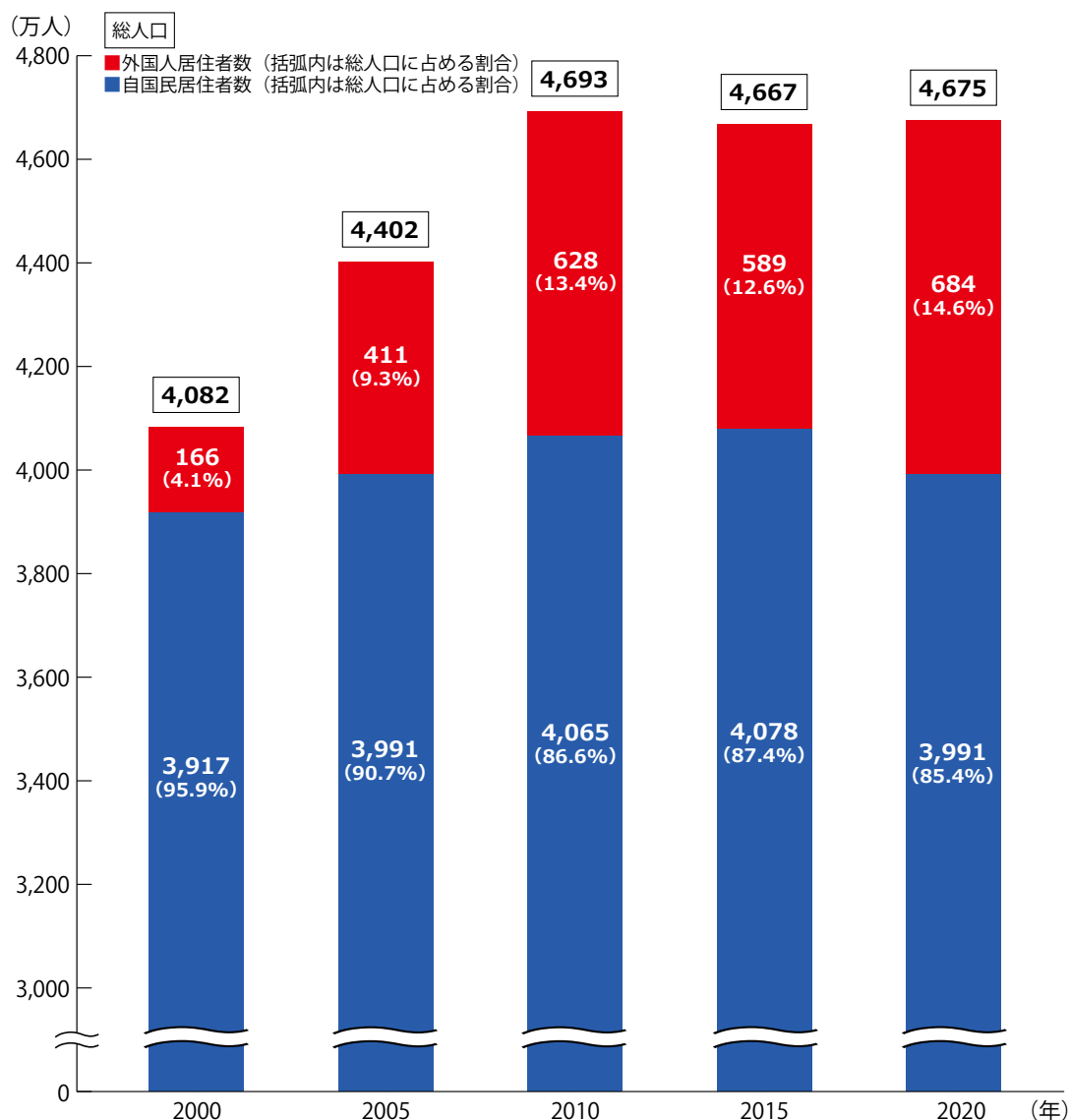
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

50万6,009km<sup>2</sup>（日本の1.3倍強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

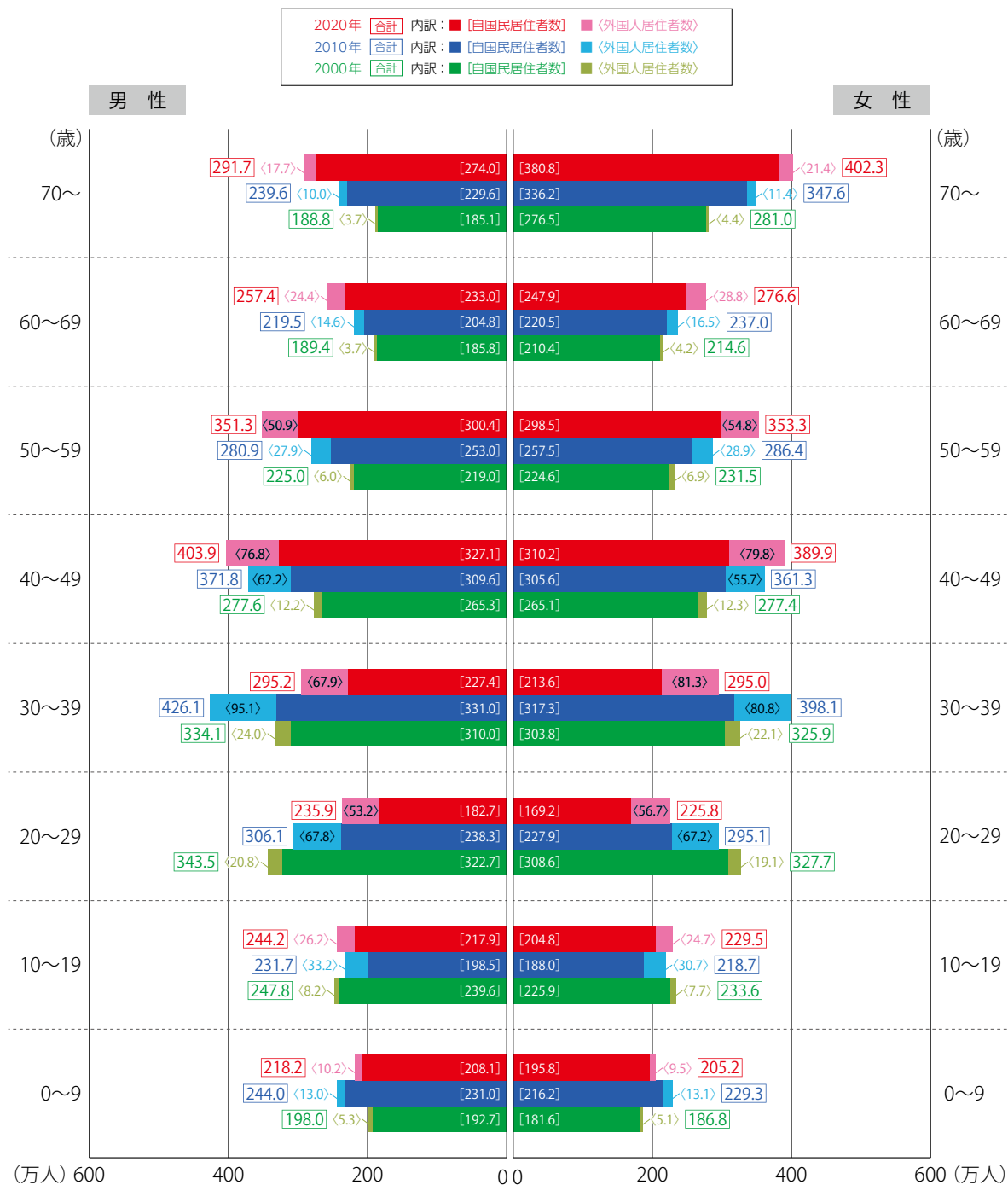
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：スペインの外国人居住者は、注2の①に該当する。

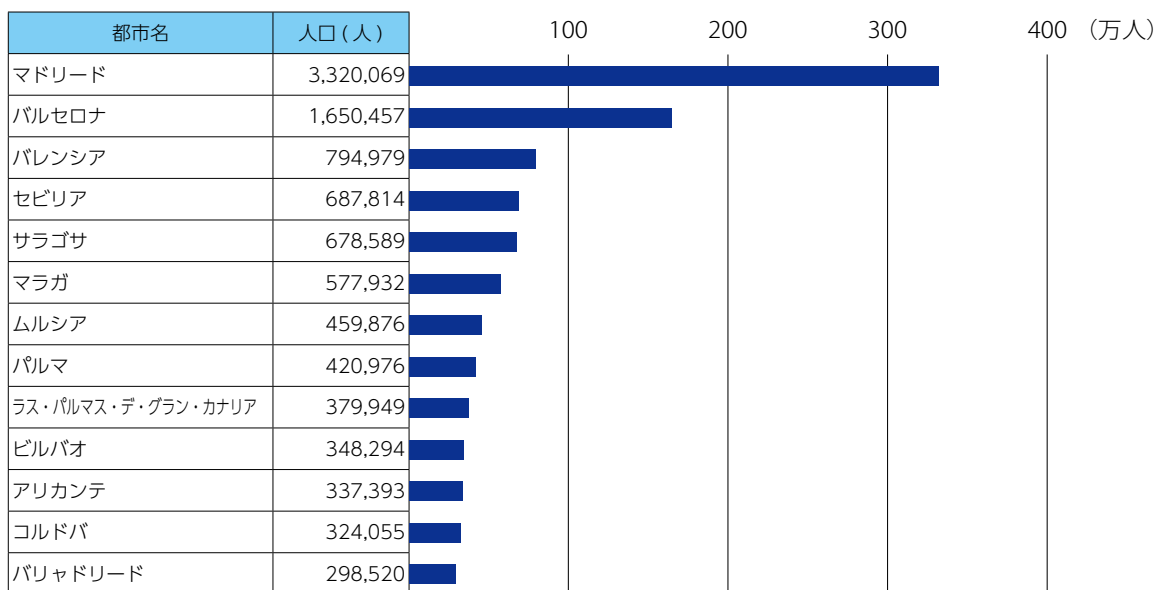
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2020年の推計値である。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日（日）	1月1日（月）	
公現祭（主顕節）	1月6日（金）	1月6日（土）	
聖ホセの日 または 聖サンティアゴの日	3月19日（日） または 7月25日（火）	3月19日（火） または 7月25日（木）	「聖ホセの日」と「聖サンティアゴの日」のどちらか1日を、州が独自に祝日として設定できる。
※聖木曜日	4月6日（木）	3月28日（木）	2023年カタルーニャ、バレンシア以外
※聖金曜日	4月7日（金）	3月29日（金）	
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）	
聖母被昇天の日	8月15日（火）	8月15日（木）	
イスパニア・デー （スペイン国家祝日）	10月12日（木）	10月12日（土）	
諸聖人の日	11月1日（水）	11月1日（金）	
憲法記念日	12月6日（水）	12月6日（金）	
無原罪聖母の日	12月8日（金）	12月8日（日）	
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：上記以外にも、州ごとに定める祝日がある。

注3：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

出典：スペイン政府官報等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	復活祭（イースター）休暇	復活祭を含む3月下旬～4月中旬	2024年3月22日～4月1日
		夏期休暇	6月下旬～9月上旬	始業日：2023年9月6日 終業日：2024年6月21日
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	2023年12月23日～ 2024年1月8日
中等学校	12歳～18歳 (6年間)	復活祭（イースター）休暇	復活祭を含む3月下旬～4月中旬	2024年3月22日～4月1日
		夏期休暇	6月下旬～9月上旬	始業日：2023年9月7日 終業日：2024年6月21日
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	2023年12月23日～ 2024年1月8日
大学	18歳～22歳 (4年間)	復活祭（イースター）休暇	復活祭を含む3月下旬～4月中旬	大学により休暇日が異なる。
		夏期休暇	6月～9月上旬	大学により休暇日が異なる。
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬	大学により休暇日が異なる。

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	初等学校（6年間） + 中等学校（最初の4年間） = 10年間

注：期間や日程が地域ごとに異なる。

出典：マドリッド州が公表している情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

[次ページへ](#)

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定あり	スペイン労働憲章 第37条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン労働憲章第37条は、週休、祝日、休職（休暇に含まれない）について規定する。本規定では、労働者が週に最低1日半の連続した休息をとる権利を認めており、土曜日の午後または月曜日の午前のいずれか、および日曜日全日を含むものとされるのが通常である。</li> <li>・オフィスワークにおいては、土曜日、日曜日の週休2日制が一般的である。</li> </ul>
有給休暇日数	年間最低30暦日 (自然日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペイン労働憲章 第38条</li> <li>・国際労働機関（ILO）協約 第8条2項</li> <li>・適用労働協約（例：JNTOの場合、マドリッド州の事務所分野の労働協約第31条）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・休暇はまとめて1回、もしくは複数に分割して取得することができるが、分割した場合は、少なくとも1回は2週間以上継続した休暇でなければならない。暦日での年休期間には、公休日と労働日の両方が含まれる。</li> <li>・つまり、有給休暇の取得期間中に週休・祝日が含まれる場合、週休・祝日も有給休暇の消化日数に算入する。</li> <li>・また、休暇は非労働日、つまり週休・祝日に開始することはできない。</li> <li>・退職・解雇の場合を除き、有給休暇の買い上げは認められていない。</li> <li>・病欠、出産・育児休暇等、一時的に労働能力を喪失した場合は、有給休暇とは区別される。有給休暇と重なる場合は、別の日程で休暇を取得することができる。</li> <li>・なお、州によっては、異なる規定を持つ場合があるため、確認する必要がある。（JNTOマドリッド事務所に適用されるマドリッド州の事務分野の労働協約は23営業日と定めている。）</li> </ul>

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
定年退職	なし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会保障に関する2018年12月28日付勅令法第28/2018号、第204条および第205条</li> <li>・社会保障制度の近代化に関する2011年8月1日付法律第27/2011号</li> <li>・適用労働協約（例：JNTOの場合、マドリード州の事務所分野の労働協約第12条）</li> </ul>	年齢を理由とする強制退職は基本的に存在しない。但し、労働協約により、定年を定めることは可能である。

出典： スペイン政府、欧州委員会（EC）、日本貿易振興機構（JETRO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。（志願制を実施）但し、有事の際には、19歳～25歳の男性を召集することができる。
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：米国中央情報局（CIA）、スペイン政府

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

次ページへ ▷

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
トリップアドバイザー (TripAdvisor)	ウェブサイト	旅行予約、旅行情報発信	29.6
ピアヘス ナショナルジオグラフィック (Viajes National Geographic)	ウェブサイト	旅行情報発信	29.1
個々人の旅行ブログ (Travel Blog)	ブログ	旅行体験情報を発信	26.6
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	26.1
各国政府観光局 (NTO)	ウェブサイト	旅行情報発信	25.4
ユーチューブ (YouTube/旅行系)	動画共有サービス	動画を発信	24.9
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	20.9
エル・ビアヘロ - エル・pais (El Viajero - El País)	ウェブサイト	旅行情報発信	18.5
ピアヘス エル・ムンド (Viajes - El Mundo)	ウェブサイト	旅行情報発信	17.2
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	14.7
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	11.5
ユーチューブ (YouTube/旅行系以外)	動画共有サービス	動画を発信	10.4

▷ [前ページから](#)

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
旧ツイッター (Twitter) (現エックス : X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	10.1
エレテウベエ (RTVE)	ウェブサイト	ニュース発信	9.6
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	9.3
スカイスマナー (Skyscanner)	ウェブサイト	旅行予約	9.1
アマゾン・プライム・ビデオ (Amazon Prime Video)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	8.6
エル・pais (El País)	ウェブサイト	ニュース発信	8.2
コンデナストトラベラー (Condé Nast Traveler (Spain))	ウェブサイト	旅行情報発信	6.1
エル・エスパーニャ (Elle España)	ウェブサイト	女性向けファッション情報を 発信	4.5

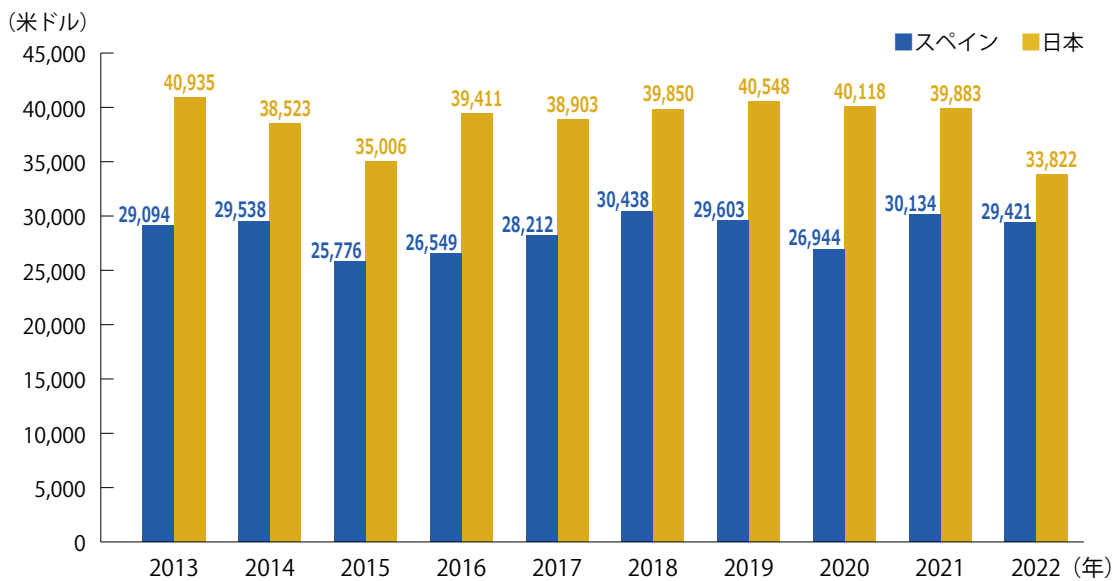
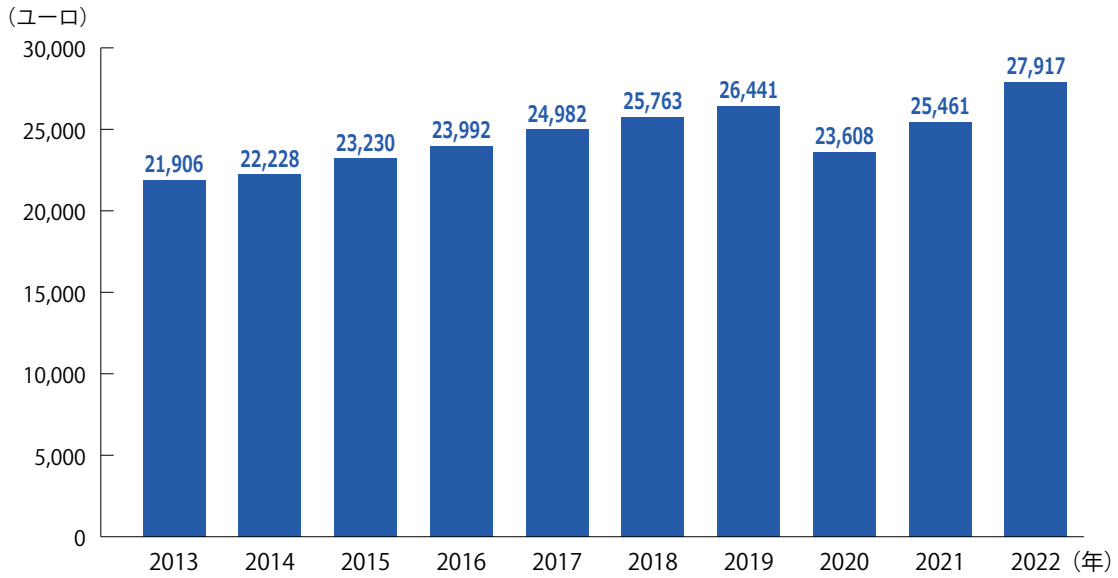
注1：本調査は、当該市場の1,200人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

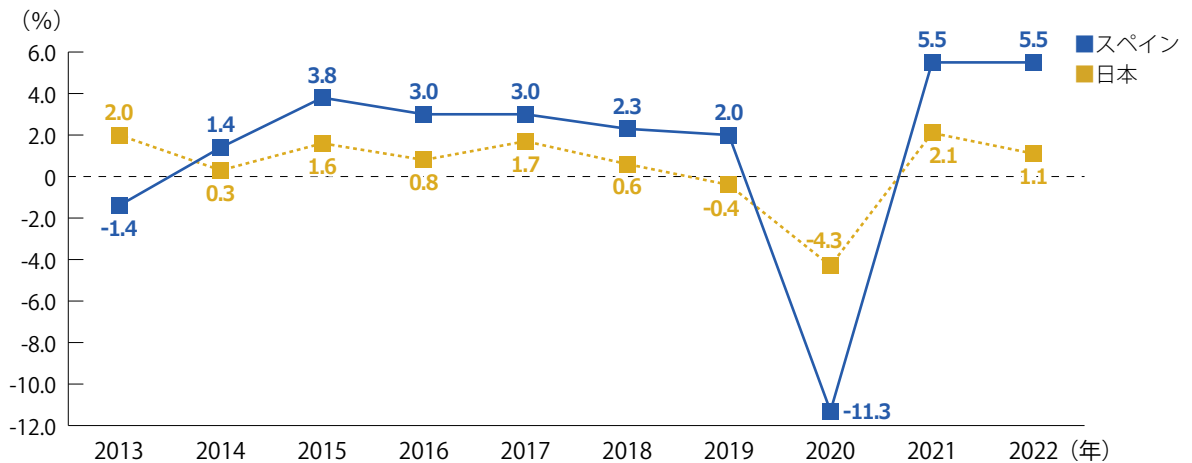
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

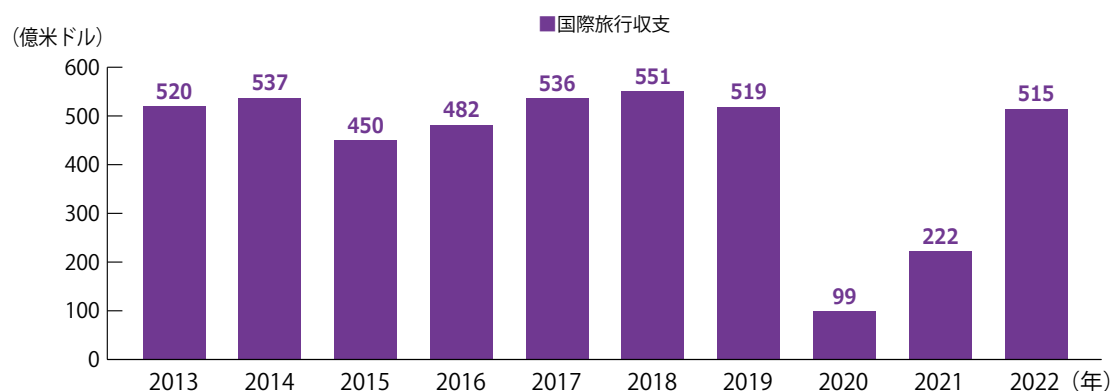
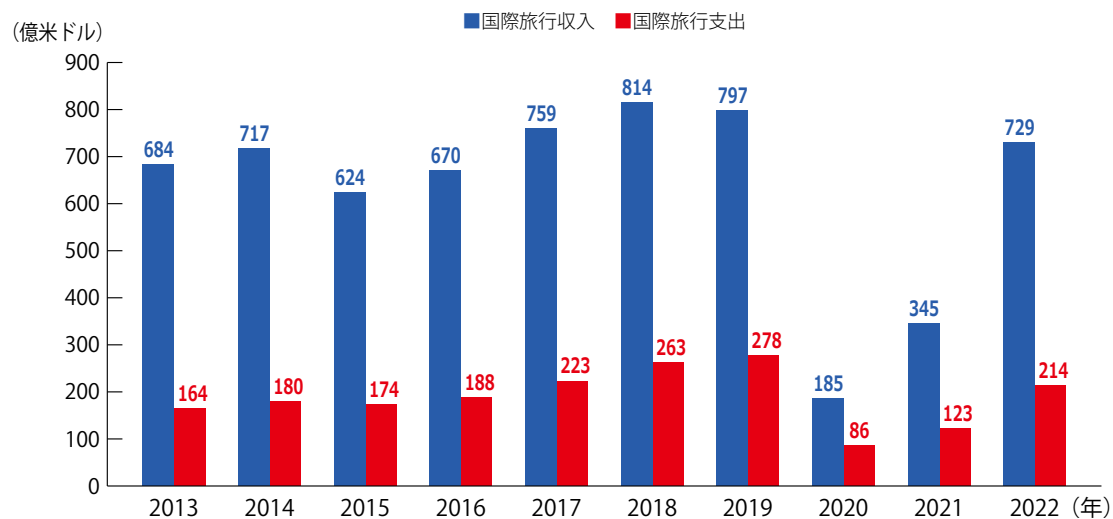


## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



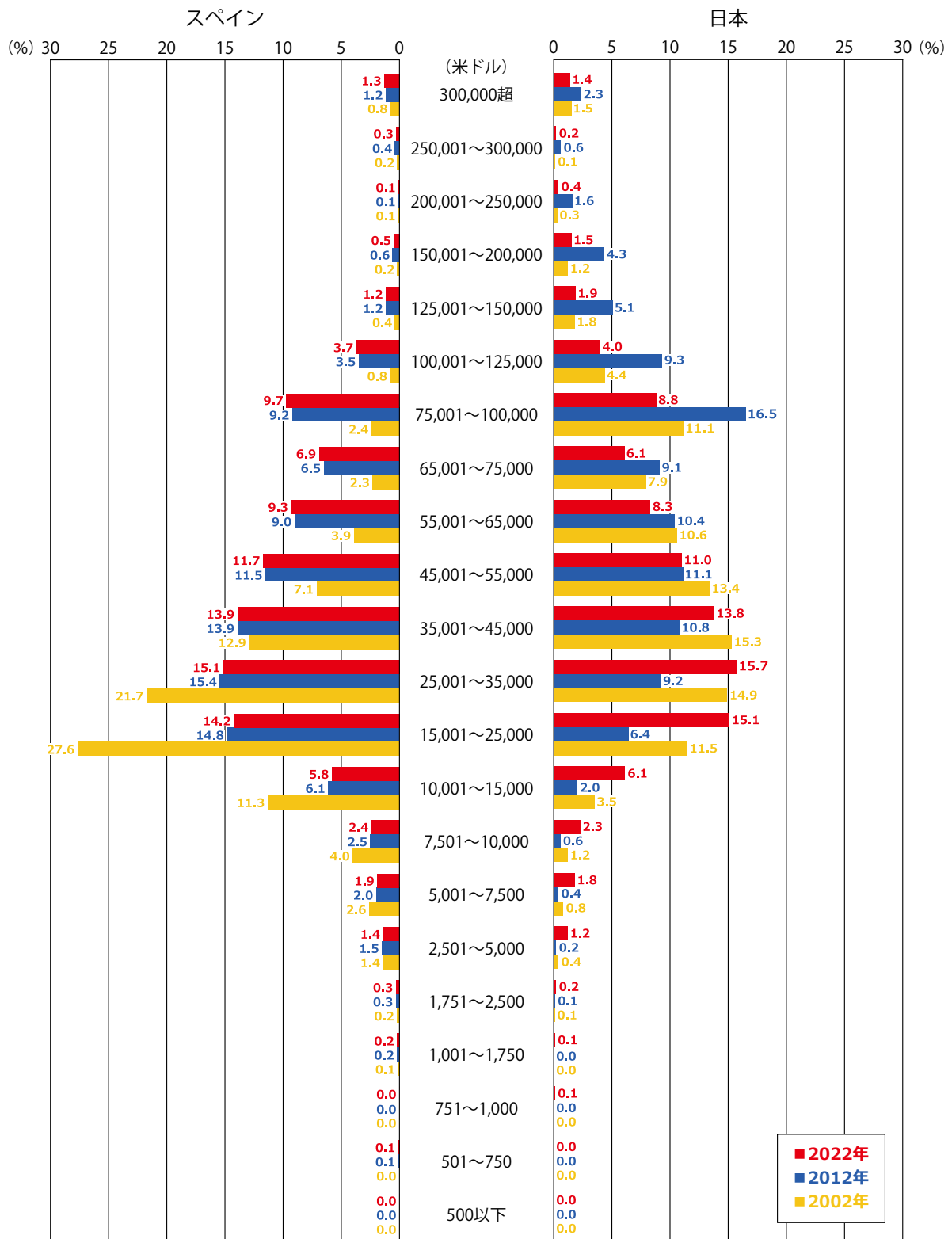
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



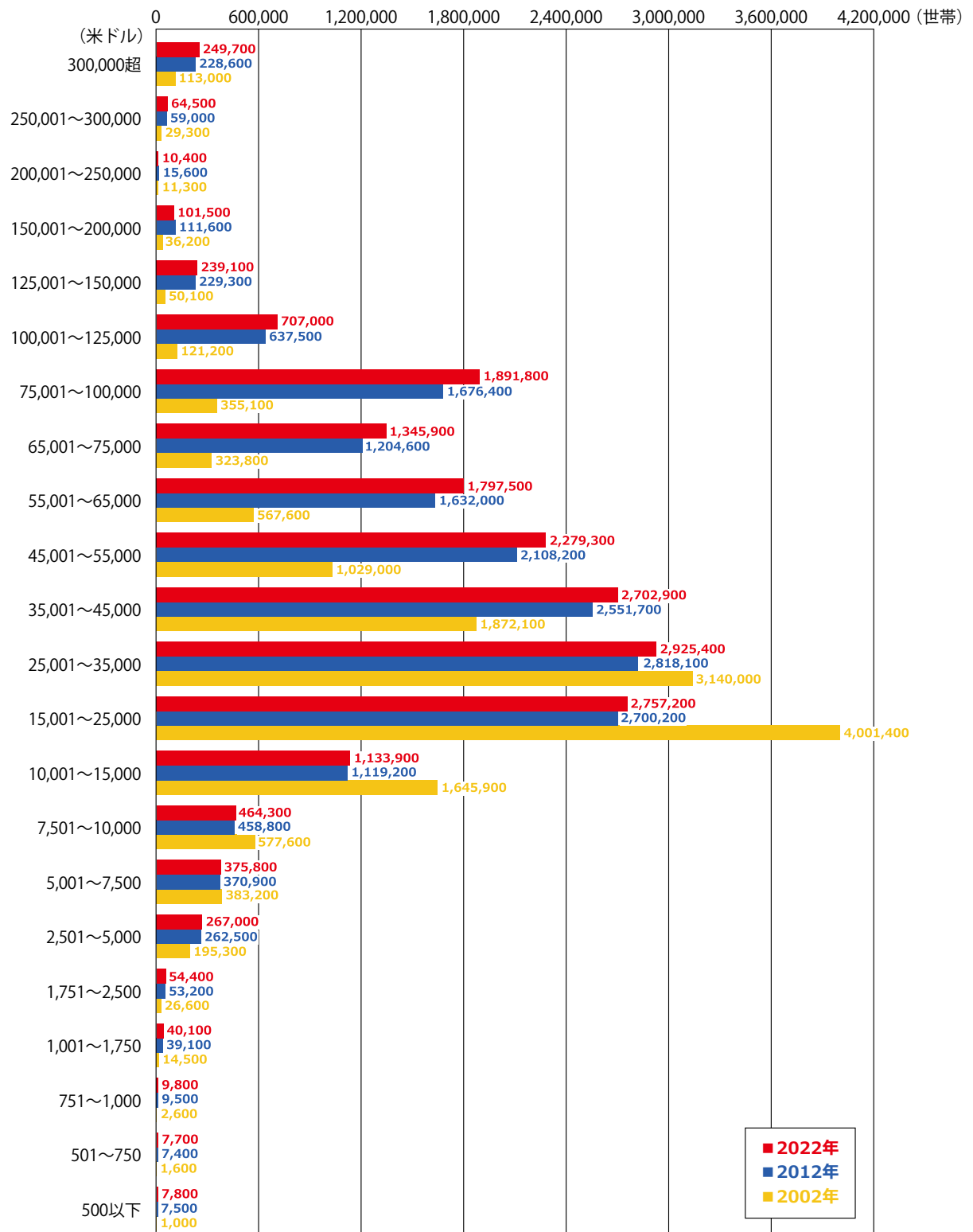
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



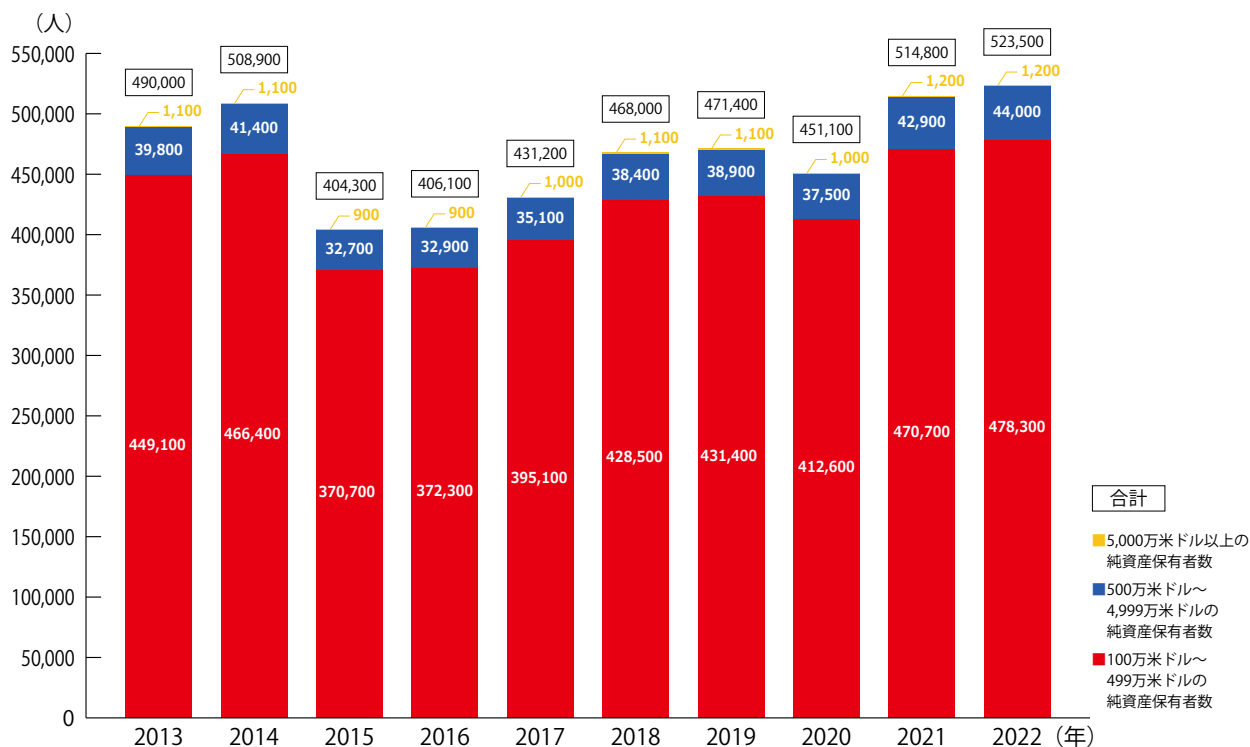
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

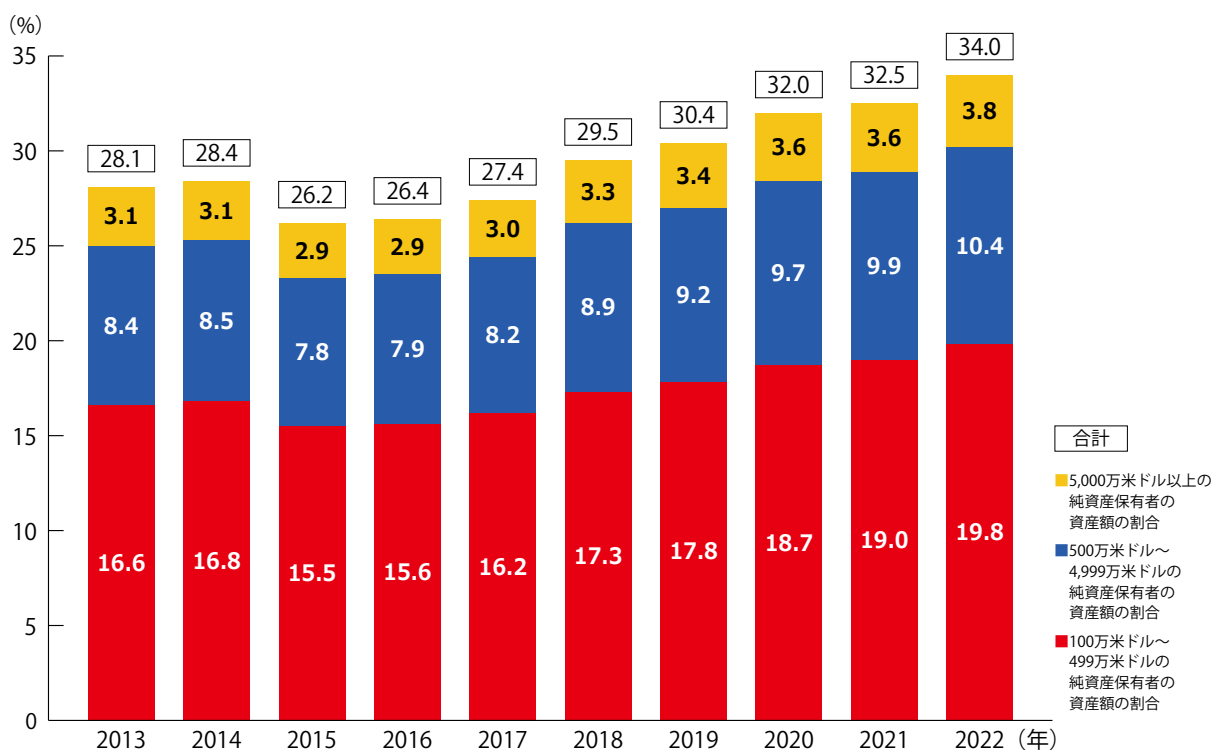
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

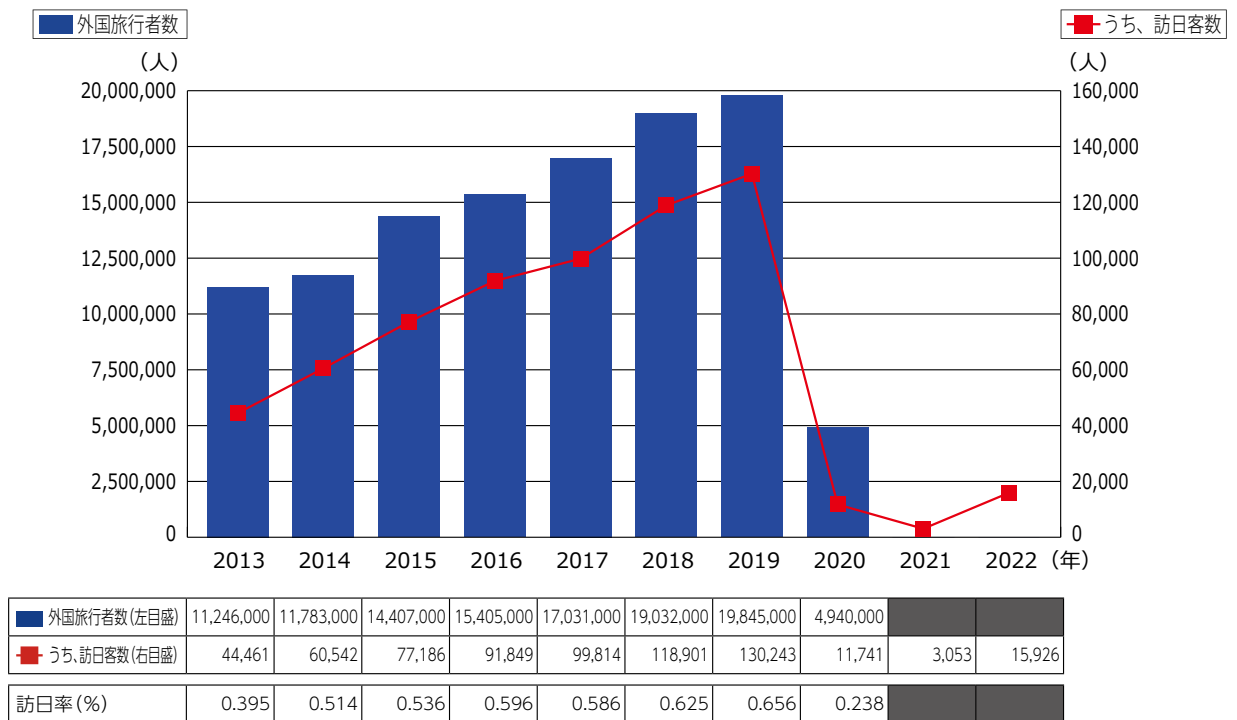


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## 第3章 外国旅行の動向

## (1) スペイン人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：スペイン人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

## (2) 世界各国・地域へのスペイン人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の 最大値
						2020年	2021年	
1位	フランス	TCER	3,173,306	3,411,155		1,039,610	1,407,974	3,411,155
2位	イタリア	TFN	2,631,724	3,021,409	3,226,858	1,192,085	1,473,096	3,226,858
3位	ポルトガル	TCER	2,122,321	2,238,267	2,462,570	878,232	1,259,397	2,462,570
4位	英国	VFR	2,279,989	2,462,020	2,325,671		525,279	2,462,020
5位	アンドラ	TFR	2,164,167	2,165,663	2,197,828	1,326,519	1,394,313	2,197,828
6位	ドイツ	TCER	1,216,830	1,305,625	1,388,498	314,271	338,951	1,388,498
7位	米国	TFR	826,818	876,248	943,248	151,519	182,458	943,248
8位	モロッコ	TFN	710,729	814,069	880,818	200,136	99,495	880,818
9位	オランダ	THSR	454,000	478,000	512,000	134,000	152,000	512,000
10位	オーストリア	TCER	362,298	390,079	443,451	87,551	97,781	443,451
11位	アイルランド	TFR	411,000	404,000	411,000			411,000
12位	ベルギー	TCER	395,103	395,448	400,814	78,392	103,788	400,814
13位	メキシコ	TFN	377,346	386,257	391,738	100,023	221,225	391,738
14位	ギリシャ	TCER	234,958	314,024	348,990	65,720	184,340	348,990
15位	クロアチア	TCER	250,387	285,501	308,704	25,584	94,746	308,704
16位	デンマーク	TCER	244,749	260,193	286,660	50,515	97,574	286,660
17位	スイス	TCER	265,583	281,994	271,113	62,616	108,103	281,994
18位	チェコ	TCEN	247,663	266,517	261,910	45,622	58,386	266,517
19位	トルコ	TFN	100,477	169,522	230,153	54,313	103,157	230,153
20位	アルゼンチン	TFR	193,371	199,064	215,617	57,110	27,824	215,617
21位	ポーランド	TCER	216,249	212,901	198,989	33,347	65,657	216,249
22位	ハンガリー	TCEN	170,640	187,294	189,410	29,002	38,297	189,410
23位	タイ	TFN	179,584	181,873	188,997	26,409	3,514	188,997
24位	ノルウェー	TCER	229,606	192,426	188,713	17,062	30,648	229,606
25位	中国	VFN	155,564	167,988	165,984			167,988
26位	ドミニカ共和国	TFR	173,065	159,210	165,717	44,071	122,368	173,065
27位	ペルー	TFR	147,214	147,830	158,118	28,497	32,855	158,118
28位	キューバ	VFR	168,949	167,969	146,339	24,667	12,520	168,949
29位	ブラジル	TFR	137,202	147,159	145,325	32,665	22,828	147,159

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
30位	アラブ首長国連邦	VFN	121,245	123,406	145,117	55,003		145,117
31位	ルーマニア	VFR	122,250	128,723	137,262	34,865	68,038	137,262
32位	ロシア	VFN	110,190	116,264	132,327	7,387		132,327
33位	日本	VFN	99,814	118,901	130,243	11,741	3,053	130,243
34位	コロンビア	TFR	112,637	128,240	129,263	29,641	55,604	129,263
35位	エクアドル	VFN	58,727	102,996	120,133	37,785	72,010	120,133
36位	マルタ	TFR	75,511	99,046	116,296	27,480	35,787	116,296
37位	スウェーデン	TCER	98,418	104,097	111,831	25,877	48,599	111,831
38位	イスラエル	TFR	62,410	77,722	104,662	16,263	5,287	104,662
39位	エジプト	VFN	36,627	66,164	101,723	20,425		101,723
40位	カナダ	TFR	91,789	90,056	94,865	9,371	10,966	94,865
41位	ブルガリア	VFR	89,155	96,100	93,535	21,009	33,124	96,100
42位	スロベニア	TCEN	68,290	81,905	88,132	9,407	28,711	88,132
43位	チリ	TFN	80,690	81,281	86,681	18,920	7,036	86,681
44位	ベトナム	VFR	69,528	77,071	83,597	12,045	593	83,597
45位	インドネシア	VFN	81,690	85,560	83,373	11,829	3,255	85,560
46位	インド	VFN	81,442	84,356	83,322	16,335	6,982	84,356
47位	フィンランド	TCER	69,255	72,689	74,347	14,931	30,470	74,347
48位	コスタリカ	TFN	69,782	68,634	69,745	14,801	41,857	69,782
49位	シンガポール	VFR	60,636	66,884	65,399	10,256	777	66,884
50位	パナマ	VFR	65,192	71,637	62,300	14,199	32,172	71,637
51位	アイスランド	TFN	57,971	65,589	59,141	10,952	19,560	65,589
52位	フィリピン	TFR	36,954	44,133	49,748	9,621	1,220	49,748
53位	豪州	VFR	40,080	47,014	47,468	11,226	1,009	47,468
54位	カンボジア	TFR	44,267	46,835	45,416	5,805	160	46,835
55位	マレーシア	TFN	35,149	42,267	43,616	6,367	147	43,616
56位	ボリビア	TFN	39,873	41,322	42,530	10,161	14,529	42,530
57位	リトアニア	TCER	35,263	37,598	42,193	6,480	11,693	42,193
58位	南アフリカ共和国	TFR	39,966	41,766	41,524	6,399	6,609	41,766
59位	香港	TFR	43,687	45,668	41,050	2,592	132	45,668
60位	ラトビア	TCER	35,193	39,801	40,610	3,951	8,077	40,610
61位	サウジアラビア	TFN	16,727	20,913	40,173	4,838	9,738	40,173
62位	エストニア	TCER	36,107	39,881	37,996	4,368	11,365	39,881
63位	モルディブ	TFN	25,843	31,780	36,064	6,778	37,354	37,354
64位	アルジェリア	VFN	47,075	53,589	35,828	7,585	3,961	53,589
65位	スロバキア	TCEN	29,533	30,571	35,223	5,668	8,803	35,223
66位	ヨルダン	TFN	14,415	22,886	31,777	5,068	6,136	31,777
67位	ウクライナ	TFR	21,944	36,781	31,747	7,942	21,025	36,781
68位	韓国	VFN	23,305	27,314	30,656	3,649	2,719	30,656
69位	ウルグアイ	VFN	29,465	32,107	30,248			32,107
70位	セネガル	THSN	29,516					29,516
71位	アルバニア	VFN	22,099	24,675	28,750	2,801	12,567	28,750
72位	ベネズエラ	TFN	26,633					26,633
73位	ケニア	VFR		25,027	26,398	3,705	10,482	26,398
74位	オマーン	VFN	15,016	16,429	26,115	12,974	2,170	26,115
75位	グアテマラ	VFR	25,850	27,497	25,088	5,852	8,344	27,497
76位	ルクセンブルク	TCER	20,410	22,865	24,836	12,698	17,041	24,836
77位	スリランカ	TFR	22,361	29,208	24,489	3,385	2,015	29,208
78位	チュニジア	TFN	15,835	19,788	22,647	4,462	5,000	22,647
79位	レバノン	TFN	16,423	18,847	20,383	4,838	7,343	20,383
80位	ネパール	TFN	15,953	20,210	19,057	1,625	1,151	20,210
81位	タンザニア	VFR	13,942	17,417	18,838	4,162	13,150	18,838
82位	パラグアイ	TFN	14,405	15,259	18,415	3,682	4,024	18,415
83位	ナイジェリア	VFN	18,294	18,303	18,304	24	25	18,304
84位	カーボベルデ	THSR	11,952	13,916	18,301	2,633	2,852	18,301
85位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	10,473	14,292	17,428	804	4,108	17,428
86位	エルサルバドル	TFN	16,040	13,229	15,134	4,258	7,280	16,040
87位	ホンジュラス	TFN	23,176	24,132	14,739	3,977	14,510	24,132
88位	セルビア	TCEN	11,120	13,227	14,650	3,124	5,967	14,650
89位	モーリシャス	TFR	15,252	15,063	14,307	1,523	1,457	15,252
90位	台湾	VFR	11,367	13,006	14,298	2,022	423	14,298
91位	ニュージーランド	VFR	13,424	14,332	14,172	3,683	213	14,332
92位	ジョージア	VFR	7,541	10,996	13,710	1,727	4,041	13,710
93位	ミャンマー	TFN	13,558	11,315	13,689	2,182	52	13,689
94位	モンテネグロ	TCEN	6,155	8,714	12,440	1,081	6,227	12,440
95位	ウズベキスタン	VFR	150	7,593	12,191	341	2,312	12,191
96位	ジンバブエ	VFR	12,583	13,528	11,644	1,491	2,015	13,528
97位	マカオ	VFN	9,339	10,621	10,324	710	2	10,621

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
98位	北マケドニア	TCEN	6,012	6,303	10,184	972	2,906	10,184
99位	キプロス	TCER	7,244	9,317	9,703	2,634	5,245	9,703
100位	クウェート	VFN	10,193	10,858	9,127	2,198	1,415	10,858
101位	イラン	VFN	11,228	8,535	9,108	375	287	11,228
102位	アルメニア	TFR	4,803	6,922	8,259	527	1,984	8,259
103位	ガンビア	TFN	6,001	7,588	8,077	2,515	5,595	8,077
104位	ナミビア	TFN	9,146	9,272	7,195	1,172	2,381	9,272
105位	ニカラグア	TFN	14,569	7,743	7,058	1,867	2,791	14,569
106位	サンマリノ	VFN	7,823	8,001	6,886	2,672	3,986	8,001
107位	ボツワナ	TFR	6,529	6,479		232		6,529
108位	ラオス	VFN	4,589	5,309	6,157	1,475		6,157
109位	プエルトリコ	THSR	8,574	4,504	6,151	5,469		8,574
110位	モナコ	THSN	5,203	4,634	5,073	1,711	2,954	5,203
111位	ジャマイカ	TFR	7,677	6,722	4,987	918	688	7,677
112位	トーゴ	THSR	1,544	2,094	4,935	360		4,935
113位	カザフスタン	VFR	4,442	4,468	4,832	1,030	1,418	4,832
114位	アゼルバイジャン	VFR	2,877	3,806	4,725	589	1,207	4,725
115位	バーレーン	VFR		4,643	4,687		713	4,687
116位	バハマ	TFR	4,405	4,275	4,643	593	890	4,643
117位	マダガスカル	TFN	696	3,653	4,638	1,318	30	4,638
118位	セーシェル	TFR	4,424	4,547	4,528	647	3,137	4,547
119位	マルティニーク	TFR			3,496	597	636	3,496
120位	キルギス	VFR	1,965	2,416	3,010	116	931	3,010
	アンゴラ	TFR	3,121	3,352	2,631	970	760	3,352
	ベラルーシ	TFN	1,356	3,175	863	70		3,175

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

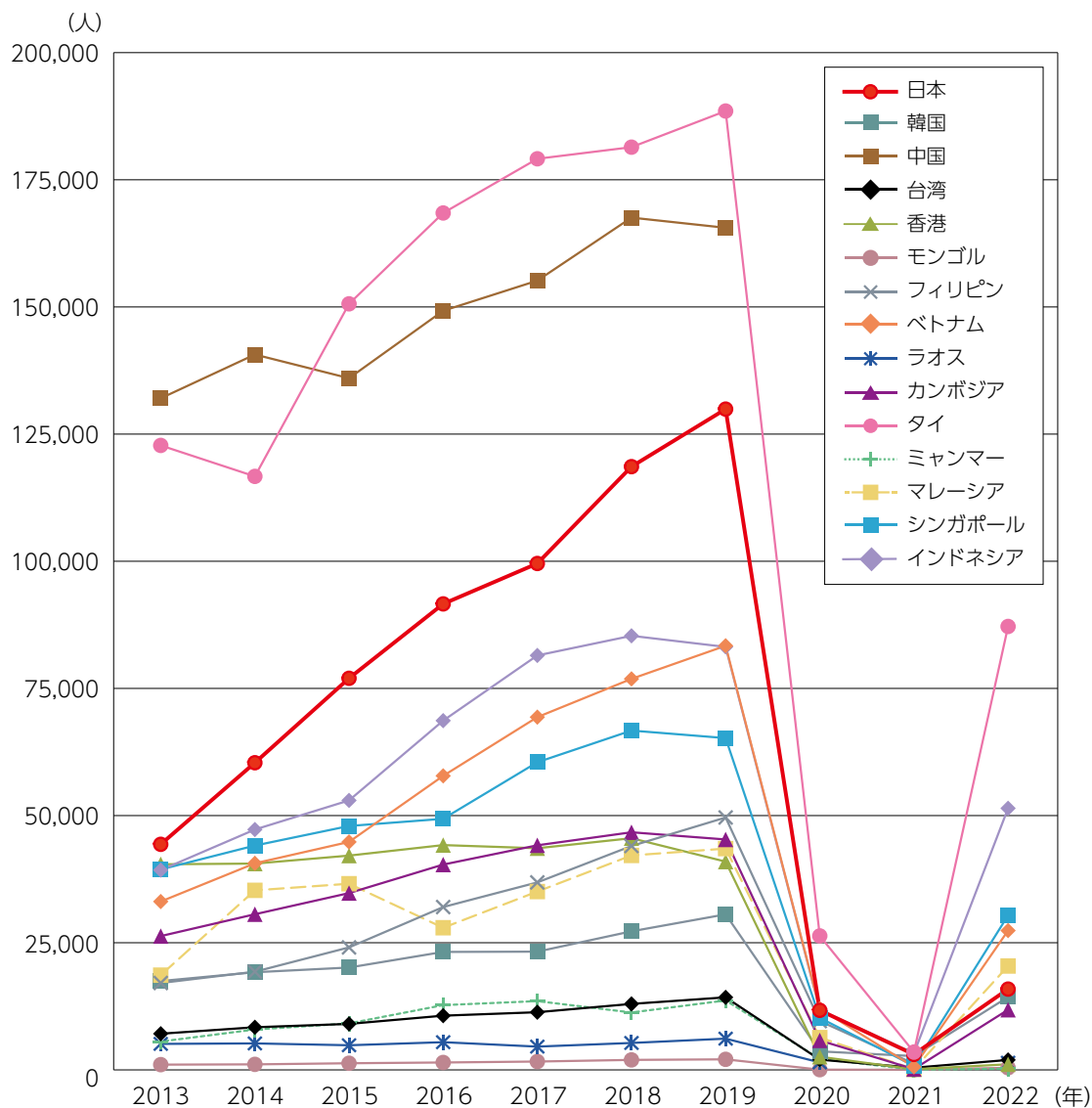
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選択し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手にくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのスペイン人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	123,084	116,983	150,995	168,900	179,584	181,873	188,997	26,409	3,514	87,400
中国	VFN	132,378	141,000	136,333	149,626	155,564	167,988	165,984			
日本	VFN	44,461	60,542	77,186	91,849	99,814	118,901	130,243	11,741	3,053	15,926
ベトナム	VFR	33,183	40,716	44,932	57,957	69,528	77,071	83,597	12,045	593	27,461
インドネシア	VFN	39,383	47,376	53,115	68,840	81,690	85,560	83,373	11,829	3,255	51,563
シンガポール	VFR	39,507	44,215	48,074	49,491	60,636	66,884	65,399	10,256	777	30,457
フィリピン	TFR	17,126	19,353	24,144	32,097	36,954	44,133	49,748	9,621	1,220	
カンボジア	TFR	26,372	30,678	34,847	40,471	44,267	46,835	45,416	5,805	160	11,852
マレーシア	TFN	18,674	35,389	36,692	28,018	35,149	42,267	43,616	6,367	147	20,474
香港	TFR	40,527	40,663	42,236	44,308	43,687	45,668	41,050	2,592	132	1,106
韓国	VFN	17,513	19,247	20,177	23,253	23,305	27,314	30,656	3,649	2,719	14,367
台湾	VFR	7,128	8,403	9,065	10,686	11,367	13,006	14,298	2,022	423	1,962
ミャンマー	TFN	5,588	7,955	9,158	12,765	13,558	11,315	13,689	2,182	52	228
ラオス	VFN	5,127	5,219	4,856	5,461	4,589	5,309	6,157	1,475		1,416
モンゴル	TFN	1,036	1,090	1,309	1,461	1,647	1,969	2,080	48	35	419

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

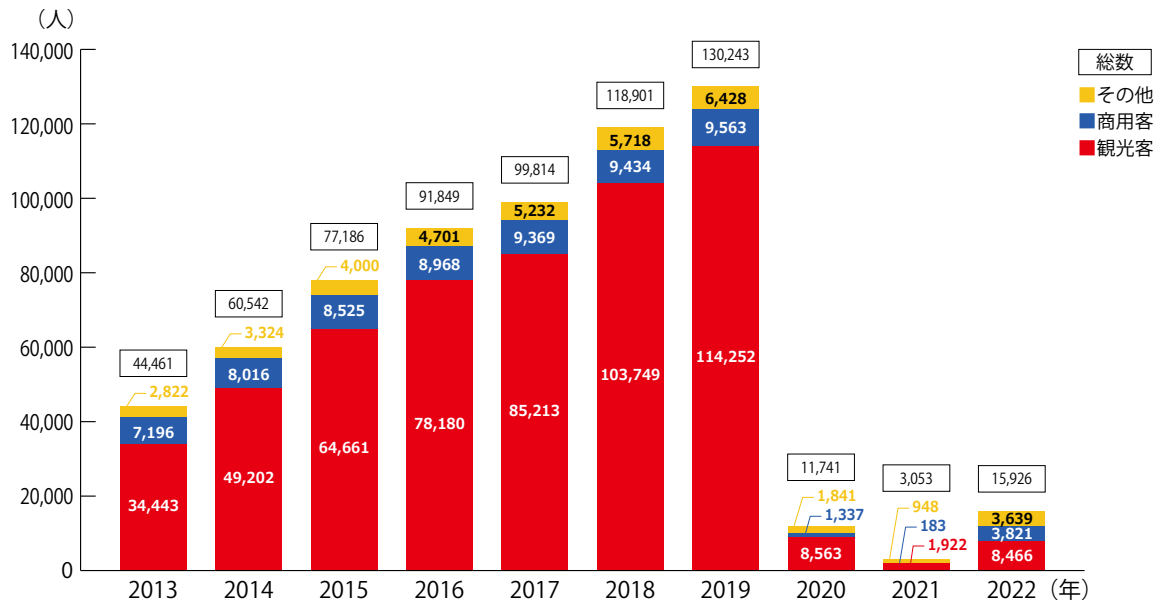
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局



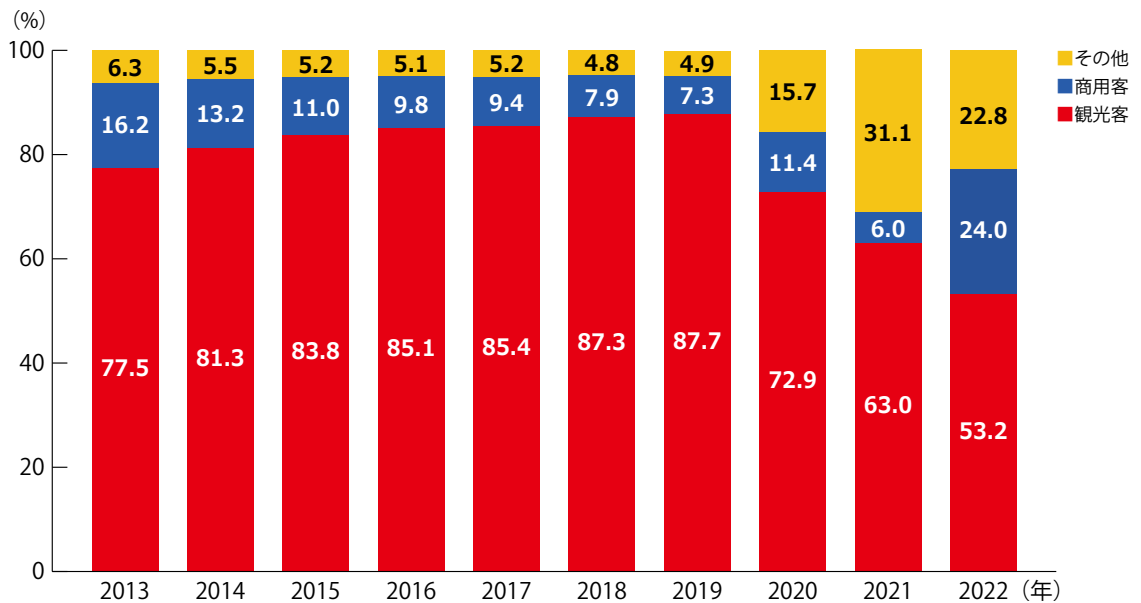
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日スペイン人の推移 (2013年～2022年)



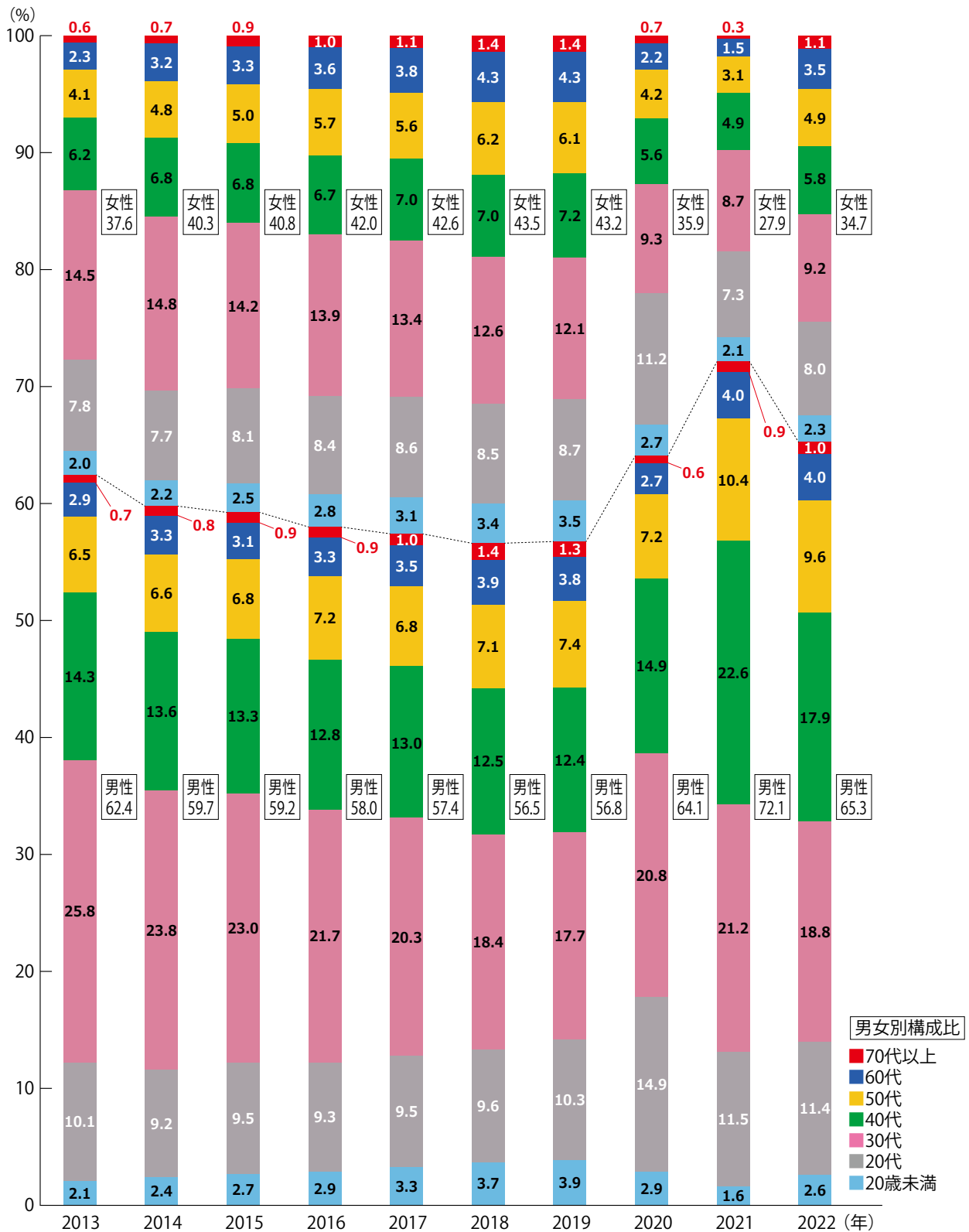
出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (2) 訪日スペイン人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

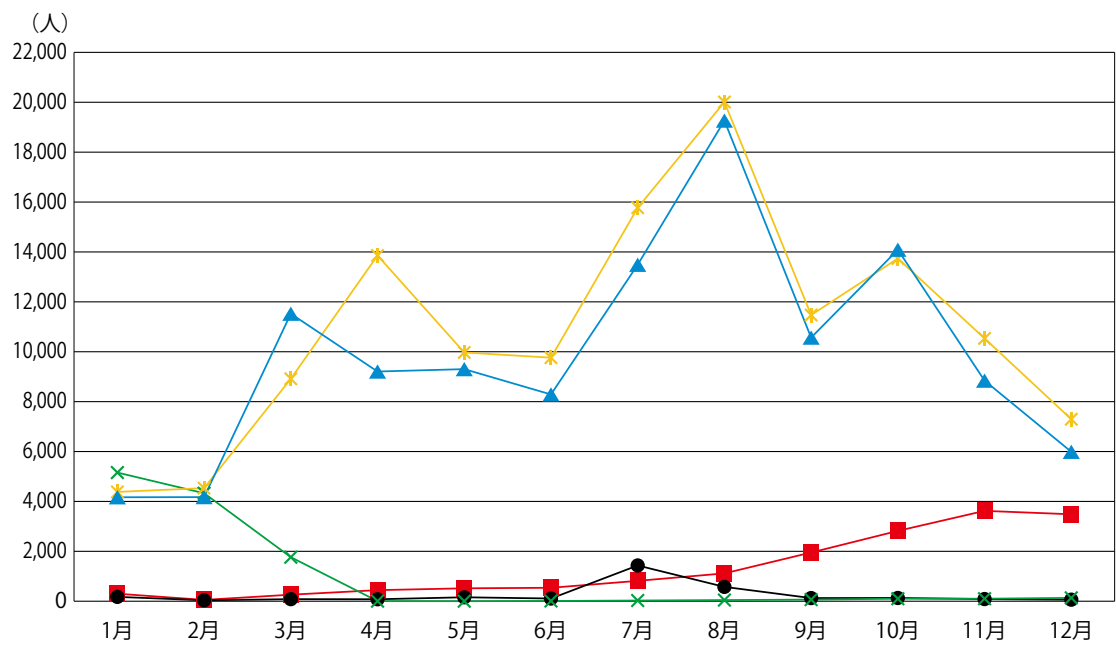
### (3) 訪日スペイン人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

## (4) 月別訪日スペイン人の推移（2018年～2022年）

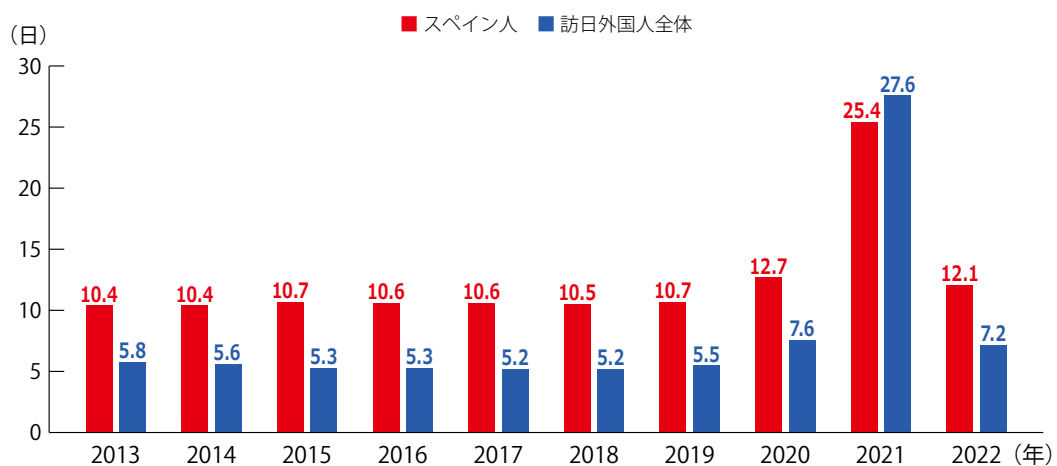


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	301	53	262	444	517	539	816	1,116	1,952	2,819	3,622	3,485
● 2021年	174	38	83	79	158	108	1,433	575	126	130	87	62
× 2020年	5,157	4,329	1,765	4	2	10	28	46	65	100	101	134
✳ 2019年	4,382	4,533	8,916	13,858	9,971	9,762	15,771	20,009	11,472	13,739	10,535	7,295
▲ 2018年	4,167	4,173	11,524	9,207	9,303	8,288	13,486	19,265	10,566	14,090	8,842	5,990

出典：日本政府観光局（JNTO）

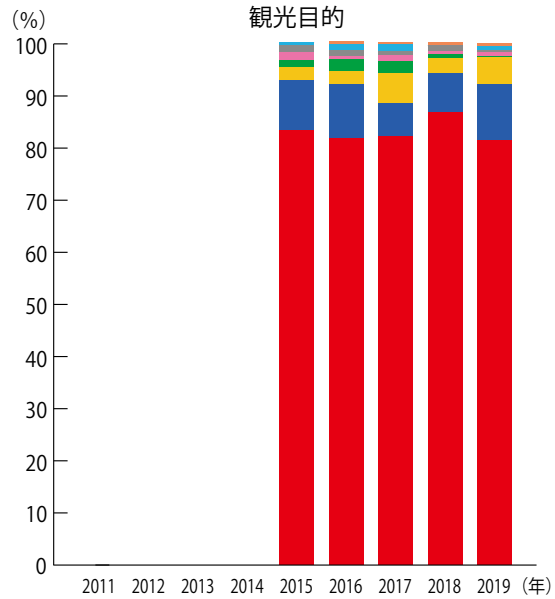
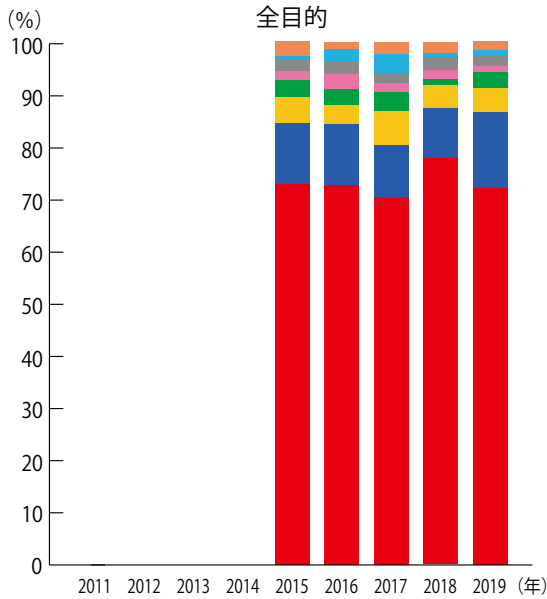
## (5) 訪日スペイン人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (6) 訪日スペイン人の訪日回数 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	-	2.7	1.4	2.2	2.2	1.7
10~19回目	-	-	-	-	0.6	2.3	3.9	0.8	0.9
6~9回目	-	-	-	-	2.2	2.4	1.7	2.4	2.1
5回目	-	-	-	-	1.9	2.8	1.7	1.6	1.3
4回目	-	-	-	-	3.3	3.2	3.6	1.3	2.9
3回目	-	-	-	-	5.0	3.7	6.6	4.3	4.7
2回目	-	-	-	-	11.5	11.5	10.1	9.6	14.5
1回目	-	-	-	-	72.8	72.6	70.1	77.7	72.0

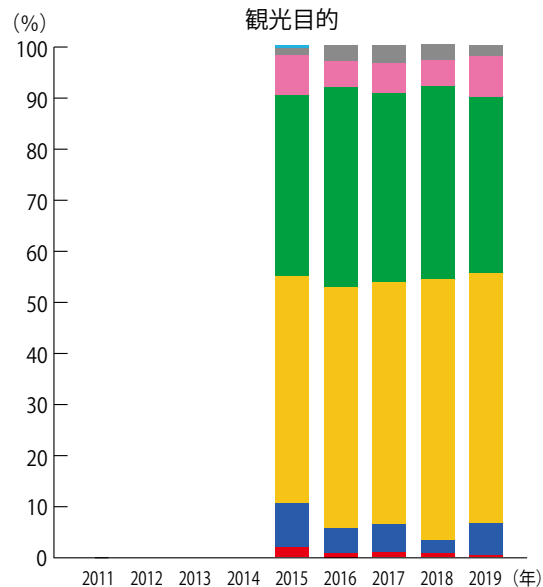
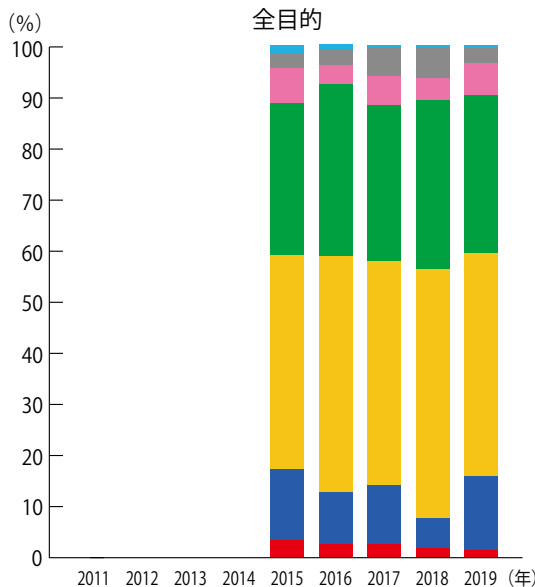
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
20回目以上	-	-	-	-	0.0	0.5	0.4	0.7	0.6
10~19回目	-	-	-	-	0.4	1.2	1.4	0.0	0.7
6~9回目	-	-	-	-	1.5	1.1	0.8	1.0	0.5
5回目	-	-	-	-	1.4	0.6	1.0	0.7	0.7
4回目	-	-	-	-	1.5	2.3	2.4	0.7	0.3
3回目	-	-	-	-	2.5	2.5	5.6	2.9	5.1
2回目	-	-	-	-	9.4	10.2	6.3	7.4	10.6
1回目	-	-	-	-	83.2	81.7	82.1	86.6	81.3

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (7) 訪日スペイン人の滞在期間 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	-	-	-	-	1.9	1.0	0.4	0.3	0.6
28~90日間	-	-	-	-	2.6	2.9	5.8	6.1	2.8
21~27日間	-	-	-	-	7.0	3.9	5.5	4.2	6.4
14~20日間	-	-	-	-	29.5	33.6	30.5	33.0	30.7
7~13日間	-	-	-	-	41.9	46.0	43.7	48.7	43.6
4~6日間	-	-	-	-	13.9	10.2	11.6	5.8	14.5
3日間以内	-	-	-	-	3.2	2.5	2.5	1.8	1.3

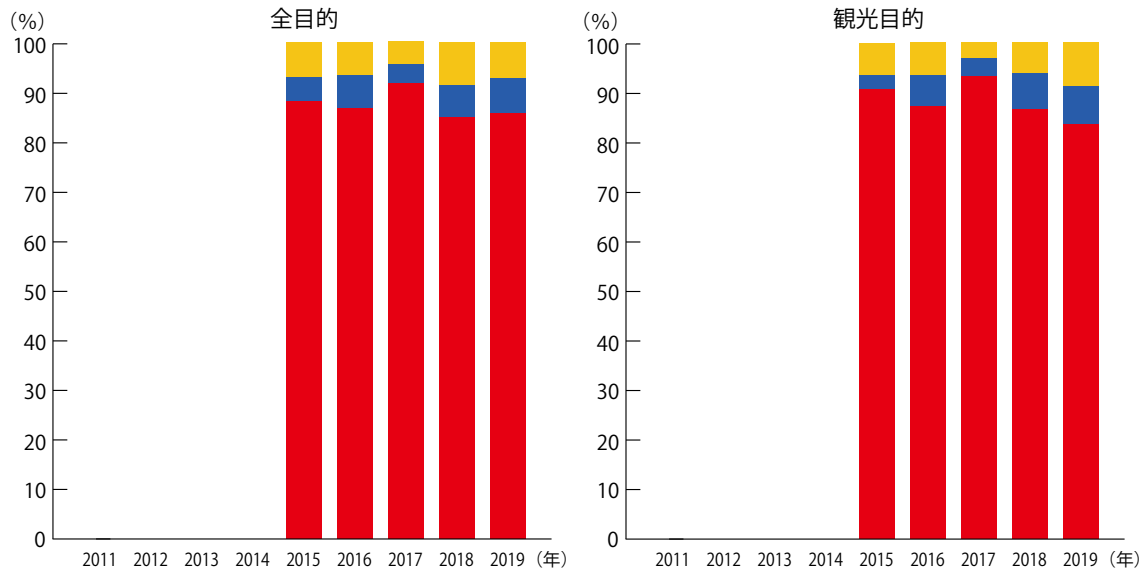
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
91日以上未満	-	-	-	-	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0
28~90日間	-	-	-	-	1.4	3.1	3.6	3.0	2.1
21~27日間	-	-	-	-	7.8	5.1	5.8	5.2	8.1
14~20日間	-	-	-	-	35.2	39.2	36.8	37.7	34.3
7~13日間	-	-	-	-	44.5	46.9	47.4	50.8	48.8
4~6日間	-	-	-	-	8.6	4.9	5.5	2.7	6.4
3日間以内	-	-	-	-	1.9	0.8	0.9	0.7	0.3

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (8) 訪日スペイン人の旅行形態 (2011年～2019年)



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	-	-	-	-	7.0	6.6	4.5	8.8	7.3
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	-	4.8	6.6	3.9	6.3	7.0
■ 個別手配	-	-	-	-	88.1	86.7	91.7	84.9	85.7

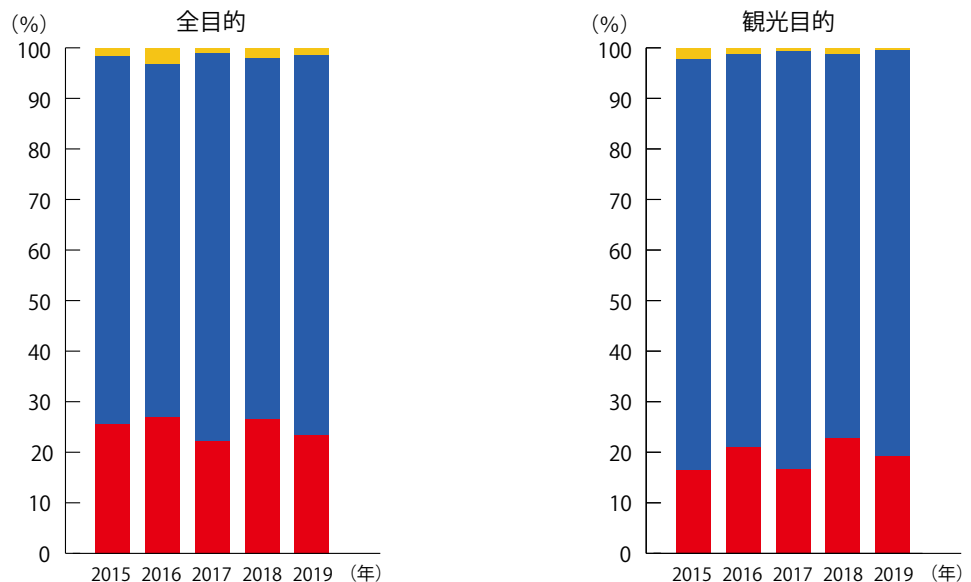
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	-	-	-	-	6.6	6.7	3.2	6.4	9.0
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	-	2.8	6.2	3.6	7.2	7.5
■ 個別手配	-	-	-	-	90.5	87.1	93.2	86.5	83.5

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 訪日スペイン人の予約方法 (2015年～2019年)



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	1.7	3.1	1.0	1.9	1.3
■ ウェブサイトから申し込んだ	72.8	69.8	76.8	71.4	75.2
■ 店頭で申し込んだ	25.6	27.1	22.2	26.7	23.5

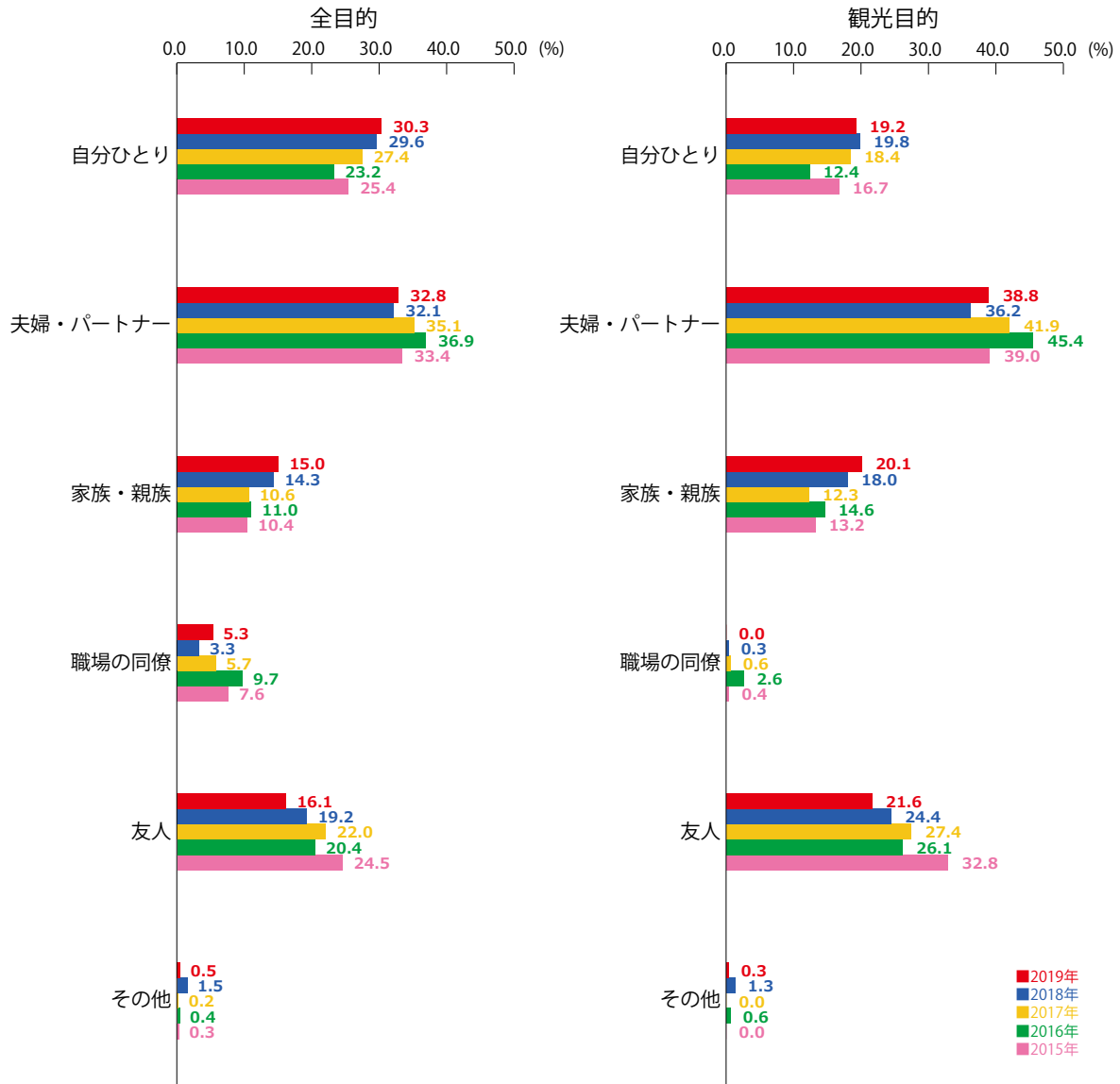
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	2.1	1.1	0.6	1.2	0.3
■ ウェブサイトから申し込んだ	81.4	77.9	82.6	76.0	80.4
■ 店頭で申し込んだ	16.5	21.0	16.8	22.8	19.3

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日スペイン人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2015年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (11) 訪日スペイン人の訪日旅行に関する期待内容 (2015年～2019年)

次ページへ

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	89.9 87.4 82.5 77.6 79.8	99.1 99.2 99.0 98.9 99.3	70.9 71.3 75.7 70.0 69.4
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	39.1 33.9 38.6 34.2 31.8	54.3 48.4 61.0 54.6 58.9	26.4 23.3 39.9 36.0 34.9
旅館に宿泊	35.6 39.8 34.2 37.9	35.3 42.2 50.3 46.7	45.3 47.4 46.2 44.7
温泉入浴	39.0 38.7 30.0 30.7 36.7	35.1 38.0 37.1 41.1	47.7 51.8 44.8 47.9 47.9
自然・景勝地観光	65.1 66.4 54.8 53.5	73.3 77.7 78.9 76.4 72.8	62.5 56.8 62.7 57.5 48.5
繁華街の街歩き	50.5 56.6 42.5 44.9 36.8	70.1 74.9 76.5 75.0 74.4	28.9 29.1 41.8 39.5 32.9
ショッピング	48.8 57.9 44.4 40.9 35.0	68.4 77.7 74.1 73.5 72.4	33.0 36.3 43.0 43.2 37.9
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	42.7 43.6 33.6 29.7 26.9	49.8 52.1 51.3 45.8 41.8	31.7 35.6 40.3 36.9 33.5
テーマパーク	11.5 11.2 10.4 9.1 8.7	13.3 15.0 11.8 17.9 14.8	15.5 20.5 19.8 19.9 22.1
スキー・スノーボード	3.5 2.2 2.4 3.6 3.2	0.9 0.9 0.8 1.8 1.3	13.7 11.1 9.7 11.8 15.2
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.9 4.0 4.0 3.9 1.3	2.5 4.4 3.5 3.6 2.9	2.4 2.3 9.5 11.3 11.1
舞台・音楽鑑賞	9.8 8.0 11.9 14.4 16.2	9.8 8.8 10.7 12.3 12.6	18.8 19.7 30.8 30.8 35.8
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	7.4 7.6 7.0 9.3 10.5	5.8 4.0 3.9 4.4 6.8	13.2 16.0 25.4 27.6 27.0
自然体験ツアー・農漁村体験	17.4 19.1 9.2 9.2 12.2	17.7 19.8 11.9 12.2 15.2	29.8 34.0 23.6 22.9 31.8
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	22.4 14.8 19.9 14.6 18.0	21.8 15.3 17.1 14.5 12.8	44.5 41.2 45.9 41.6 40.8
映画・アニメ縁の地を訪問	11.1 15.6 11.6 9.7 6.8	13.0 18.3 14.2 11.9 15.6	15.8 19.1 20.0 19.0 14.5
日本の歴史・伝統文化体験	59.1 64.9 46.1 46.0 44.7	65.1 76.1 67.1 61.8 62.7	53.1 48.6 47.7 50.5 49.3
日本の日常生活体験	47.3 50.7 35.4 36.4 37.3	55.9 62.9 58.2 58.6 57.3	44.7 46.1 42.3 40.4 45.7
日本のポップカルチャーを楽しむ	27.6 29.7 28.8 27.4 18.7	32.4 42.5 40.2 45.3 39.3	32.2 30.6 31.0 29.5 26.8
治療・健診	0.0 0.4 1.3 1.8 0.0	0.6 0.7 1.2 1.7 1.6	0.6 1.2 3.1 2.7 3.9
上記には当てはまるものがない	2.8 2.6 4.6 7.2 3.3	0.0 0.0 0.6 0.3 0.0	0.5 0.4 0.0 2.2 1.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	93.2 88.7 82.4 77.0 61.8	98.7 99.5 99.5 99.4 100.0	69.0 71.2 73.5 72.4 69.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	39.0 36.8 39.0 34.6 30.0	48.6 46.6 61.9 54.8 56.9	24.6 23.1 38.5 38.4 34.1
旅館に宿泊	42.4 46.7 39.9 41.8 43.6	41.5 47.8 52.3 59.7 56.2	50.1 50.8 51.5 49.6 49.8
温泉入浴	45.2 44.3 33.8 35.2 44.9	39.4 41.7 40.8 47.4 50.1	48.6 54.8 47.7 50.2 56.5
自然・景勝地観光	74.6 73.0 59.9 59.2 61.1	82.1 83.4 86.1 83.4 83.6	61.6 59.1 63.6 59.4 48.8
繁華街の街歩き	59.3 63.0 46.2 47.6 34.8	76.5 79.3 82.3 78.1 76.9	30.8 29.4 44.7 41.6 32.5
ショッピング	55.5 64.7 45.3 39.6 33.5	73.6 79.5 78.5 75.7 76.3	33.3 38.1 42.9 44.9 35.8
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	48.9 46.6 36.8 33.5 29.0	56.5 53.1 56.4 51.9 48.4	28.4 34.0 43.2 38.4 34.6
テーマパーク	13.8 12.8 12.7 10.2 11.6	14.8 16.9 12.4 20.5 15.8	13.7 18.8 23.9 22.9 22.0
スキー・スノーボード	4.8 1.9 2.2 4.0 3.3	1.2 0.8 0.5 1.9 1.3	14.4 10.8 10.5 14.4 13.5
その他スポーツ (ゴルフ等)	0.9 2.8 4.7 3.8 1.3	2.5 1.7 4.0 2.6 2.9	2.4 2.1 11.4 10.8 9.2
舞台・音楽鑑賞	10.6 7.1 12.2 16.4 16.6	10.5 7.2 11.2 14.0 12.7	19.0 18.9 30.4 34.1 39.1
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	7.6 7.8 7.8 10.7 10.8	6.2 3.5 3.8 3.8 7.7	11.2 17.3 29.2 30.6 26.2
自然体験ツアー・農漁村体験	20.0 21.2 11.6 9.4 13.7	21.3 21.1 12.5 12.5 15.9	28.2 35.8 27.8 25.4 30.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	25.1 17.7 21.1 17.9 19.3	25.4 17.9 19.2 16.1 13.8	47.0 43.2 51.3 47.6 42.7
映画・アニメ縁の地を訪問	14.3 16.6 13.5 10.1 6.5	16.5 20.1 16.3 13.0 17.1	18.4 19.7 21.6 23.5 14.4
日本の歴史・伝統文化体験	65.3 71.8 51.5 51.2 45.6	70.2 80.2 72.6 69.7 65.5	52.4 47.8 49.8 53.6 48.6
日本の日常生活体験	49.8 57.3 38.8 39.0 37.6	56.8 65.4 59.8 66.2 59.4	39.2 48.4 42.0 42.7 45.5
日本のポップカルチャーを楽しむ	34.5 32.2 29.2 30.4 23.8	38.2 43.9 43.4 49.8 47.0	34.4 32.7 31.7 32.4 32.5
治療・健診	0.0 0.5 1.7 1.7 0.0	0.8 0.5 1.6 1.7 0.6	0.8 1.2 4.2 3.4 2.3
上記には当てはまるものがない	0.0 1.2 1.8 8.0 1.9	0.0 0.0 0.0 0.0 0.0	0.7 0.6 0.0 1.1 0.3

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (12) スペイン人が訪日旅行前に役立った旅行情報源 (2015年～2019年)

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	12.7 19.5 27.5 25.2 23.5	14.8 18.6 29.6 25.8 30.8
旅行会社ホームページ	16.8 13.6 18.6 16.3 13.9	19.4 14.4 17.2 18.2 11.3
宿泊施設ホームページ	18.8 22.2 20.7 21.9	32.3 21.7 25.3 24.1
航空会社ホームページ	17.3 11.3 15.2 11.7 13.1	16.7 11.2 14.0 11.6 13.5
地方観光協会ホームページ	5.8 5.1 4.7 8.3 6.1	5.6 6.8 4.1 9.9 7.0
宿泊予約サイト	12.2 11.0 13.0 15.4 11.1	12.8 11.2 13.6 18.4 14.2
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	23.3 16.7 15.7 16.5 13.5	21.5 19.8 18.6 16.8 14.1
SNS（Facebook/Twitter/微信等）	17.9 14.6 7.2 5.6 6.0	18.8 15.3 8.0 5.1 5.9
個人のブログ	40.5 45.7 41.0 36.4 39.3	44.1 53.2 45.6 41.9 49.3
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	32.4 33.0 9.4 17.4 10.8	38.4 37.5 11.3 19.4 12.2
その他インターネット	5.9 9.2 11.8 14.1 11.8	5.3 9.8 10.6 15.5 11.0
日本政府観光局の案内所	4.8 7.3 9.1 9.0 6.3	5.2 8.2 9.5 9.1 9.1
旅行会社パンフレット	10.0 7.0 7.5 9.1 6.2	12.4 7.2 7.1 11.8 6.9
旅行ガイドブック	28.1 25.2 34.4 36.4 39.2	29.1 29.2 37.6 41.0 45.3
自国の親族・知人	29.6 22.2 29.7 25.9 29.6	31.9 26.6 29.6 29.7 31.4
日本在住の親族・知人	27.5 20.7 21.0 17.3 27.5	26.1 20.7 15.7 12.6 20.3
旅行の展示会や見本市	0.9 1.1 1.4 1.2 2.6	0.8 1.4 0.6 0.4 3.1
テレビ番組	10.6 11.2 8.9 9.0	12.5 12.0 10.3 10.2 10.6
新聞	0.8 2.6 0.8 1.2 0.9	0.7 2.0 0.0 1.7 0.6
旅行専門誌	6.8 7.1 12.6 11.1 8.1	7.7 7.1 13.3 10.7 10.4
その他雑誌	0.0 1.6 1.2 1.0 0.8	0.0 1.2 0.3 0.0 1.2
その他	0.9 1.2 1.9 6.6 3.6	0.4 1.2 1.4 6.3 1.9
特になし	3.7 6.3 4.8 5.2 5.7	0.7 0.5 1.9 2.3 4.5

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) スペイン人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	38.1 36.4	42.7 40.9
交通手段	66.9 67.9	68.2 69.5
飲食店	52.3 34.5	52.4 33.7
観光施設	41.6 33.6	48.0 36.9
イベント	8.7 8.9	9.8 8.7
土産物	12.2 12.8	13.6 13.0
買物場所	29.5 13.0	32.6 11.4
無料Wi-Fi	49.8 53.2	52.9 55.3
祈祷室	0.9 0.5	0.8 0.7
ATM	13.4 14.2	11.7 12.4
宅配便	0.0 1.7	0.0 1.8
日本文化体験プログラム	4.9 11.3	5.0 8.6
自然体験ツアー・農山漁村体験	11.7 7.4	13.5 8.5
通訳案内士・観光ガイド	7.3 11.0	8.8 11.2
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	1.9 4.7	2.1 5.4
クレジットカード利用可能店舗	10.0 10.1	10.7 9.1
その他	0.6 0.4	0.8 0.5
特になし	2.7 5.3	1.2 2.5

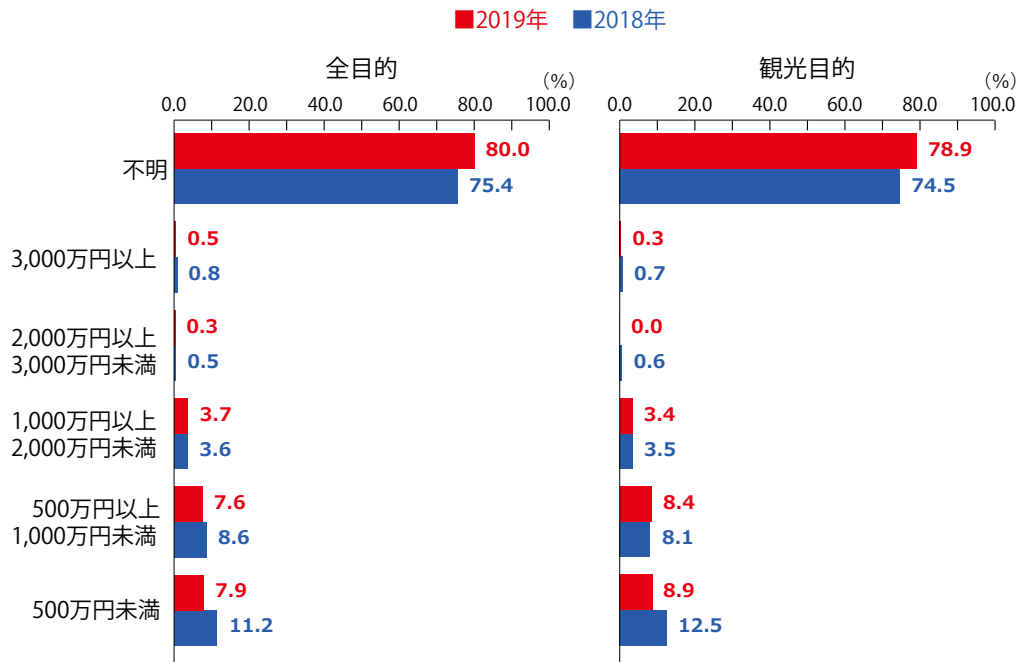
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

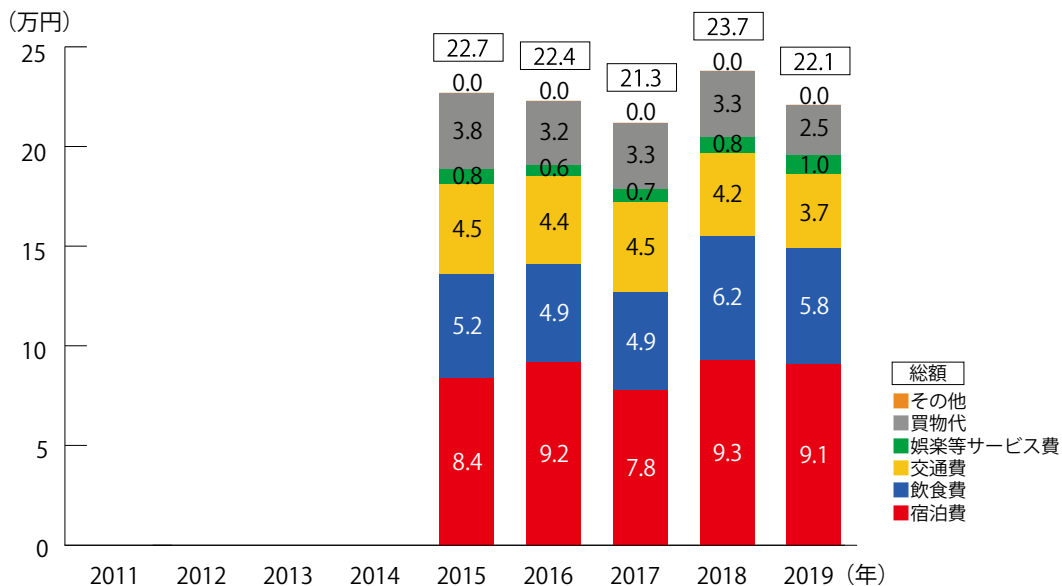
出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (14) 訪日スペイン人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (15) 訪日スペイン人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：2014年以前の数値は存在しない。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注3：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注4：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注5：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(16) 属性別訪日スペイン人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

	全目的		観光目的		
	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	
全体	346	221,331	231	229,846	
滞在日数	3日間以内	5	72,618	1	70,767
	4～6日間	58	141,974	16	109,845
	7～13日間	153	210,252	115	213,306
	14～20日間	93	226,000	75	229,178
	21～27日間	22	389,504	19	354,453
	28～90日間	12	370,984	5	534,287
	91日間以上1年未満	3	547,937	0	-
性・年代	男性	242	213,810	155	224,452
	15～19歳	4	150,052	4	150,052
	20～29歳	50	258,650	40	271,638
	30～39歳	98	202,341	67	210,630
	40～49歳	60	189,727	26	200,558
	50～59歳	23	234,264	14	226,141
	60～69歳	6	274,743	4	170,723
	70歳以上	1	13,173	0	-
	女性	104	238,236	76	240,804
	15～19歳	4	294,752	3	289,390
	20～29歳	30	226,435	21	182,611
	30～39歳	38	187,817	29	178,327
	40～49歳	15	224,507	9	261,834
	50～59歳	14	378,286	12	418,415
60～69歳	2	140,217	1	129,631	
70歳以上	1	308,146	1	308,146	
日本への 来訪回数	1回目	243	237,630	185	236,224
	2回目	47	160,870	25	193,419
	3回目	17	231,719	12	220,859
	4回目	13	151,697	1	366,625
	5回目	5	328,651	2	119,582
	6～9回目	9	175,008	2	220,024
	10～19回目	5	201,549	2	277,927
	20回目以上	7	121,337	2	109,509

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較する際には注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていなかったため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日スペイン人の購入者単価（2019年）

調査項目	全目的		観光目的	
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	26 406,232	22 393,435	
	個人旅行向けパッケージ商品	25 347,258	18 359,205	
	往復航空（船舶）運賃	295 124,547	191 107,404	
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	278 92,398	183 91,799	
	飲食費	324 51,292	219 51,922	
	交通費	317 33,415	214 33,993	
	航空（日本国内移動のみ）	8 19,558	3 16,262	
	Japan Rail Pass	131 41,074	108 40,547	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	242 13,460	157 13,177	
	バス	95 3,944	74 3,559	
	タクシー	89 7,104	47 5,387	
	レンタカー	6 57,222	3 32,581	
	船舶（日本国内移動のみ）	3 5,367	2 8,721	
	その他交通費	3 13,101	1 23,846	
	娯楽等サービス費	189 14,513	152 14,970	
	現地ツアー・観光ガイド	15 30,270	15 30,270	
	ゴルフ場	1 5,333	0 -	
	テーマパーク	33 9,441	23 9,140	
	舞台・音楽鑑賞	12 8,307	9 8,150	
	スポーツ観戦	9 31,028	4 28,188	
	美術館・博物館・動物園・水族館	145 5,365	120 5,597	
	スキー場リフト	2 12,339	2 12,339	
	温泉・浴施設・エステ・リラクゼーション	28 4,726	23 4,958	
	マッサージ・医療費	4 6,414	3 5,688	
	展示会・コンベンション参加費	1 2,088	1 2,088	
	レンタル料（レンタカーを除く）	4 1,396	3 1,592	
	その他娯楽等サービス費	9 67,145	6 93,391	
	買物代	332 26,312	225 26,336	
	菓子類	183 5,681	130 5,998	
	酒類	96 6,933	66 8,348	
	生鮮農産物	15 6,913	11 5,869	
	その他食料品・飲料・たばこ	131 7,267	89 6,763	
	化粧品・香水	55 9,274	45 8,215	
	医薬品	7 4,946	4 2,862	
	健康グッズ・トイレタリー	9 5,065	5 2,041	
	衣類	158 9,914	112 9,193	
靴・かばん・革製品	38 6,072	31 6,423		
電気製品（デジタルカメラ/PC/家電等）	26 17,245	16 15,696		
時計・フィルムカメラ	7 9,026	6 8,844		
宝石・貴金属	4 53,428	4 53,428		
民芸品・伝統工芸品	94 8,594	70 9,187		
本・雑誌・ガイドブックなど	38 6,593	27 6,600		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	22 18,895	16 20,771		
その他買物代	50 22,885	38 14,647		
その他	2 6,404	1 4,000		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (18) 訪日スペイン人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	51.1 53.5 56.3 57.5 49.6	52.0 55.3 59.4 62.2 54.1
家電量販店	16.5 19.4 15.0 15.9 18.8	19.9 23.0 18.1 16.0 20.2
ファッション専門店	17.4 16.6 17.1 18.8 16.6	21.4 19.1 19.0 18.9 19.6
100円ショップ	32.7 35.7 32.2 26.7 25.5	34.0 38.3 33.8 27.5 28.6
高速道路のSA・道の駅	2.8 1.1 1.9 2.4 2.8	2.9 1.5 2.4 1.7 3.1
観光地の土産店	54.8 61.2 50.6 52.2 55.8	64.8 68.9 57.6 59.6 58.8
宿泊施設	4.0 1.9 8.4 7.4 11.0	5.0 2.0 8.6 7.2 13.9
スーパーマーケット	59.2 57.2 63.5 63.2 55.9	67.5 62.0 65.6 69.0 58.9
コンビニエンスストア	57.3 52.1 55.4 44.9 46.7	60.5 54.4 57.4 48.7 51.6
ドラッグストア	20.0 19.8 17.6 16.4 14.7	19.0 22.2 17.4 16.8 16.1
ディスカウントストア	9.0 7.8 10.4 5.6 5.8	10.6 10.0 10.0 6.8 6.8
アウトレットモール	8.4 5.1 6.2 6.3 8.0	7.4 6.8 4.8 4.8 7.4
都心の複合商業施設	20.5 24.2 15.7 20.5 15.6	24.8 23.4 15.6 22.8 18.4
その他ショッピングセンター	14.6 12.1 12.9 11.2 12.9	14.1 10.8 13.6 9.2 15.2
鉄道駅構内の店舗	12.0 13.8 17.4 18.8 12.5	13.6 16.4 20.4 21.4 16.2
空港の免税店	33.6 38.1 37.0 32.6 30.7	32.9 38.7 36.4 34.3 30.0
クルーズ寄港港湾内の店舗	1.0 0.8	0.5 1.0
その他	3.7 4.5 3.3 3.2 3.8	3.1 3.5 2.8 2.9 2.8
買い物はしなかった	3.5 2.4 2.5 4.2 4.7	1.7 1.0 2.1 1.8 2.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の本数値は存在しない。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (19) 訪日スペイン人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	20.5 20.3
消費税免税の手続きをしていない	79.5 79.7

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	2.8 3.2
酒類	0.6 0.5
生鮮農産物	0.0 0.0
その他食料品・飲料・たばこ	1.0 1.1
化粧品・香水	4.9 2.7
医薬品	0.1 0.0
健康グッズ・トイレタリー	0.2 0.0
衣類	10.0 9.7
靴・かばん・革製品	1.8 2.2
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	3.0 3.5
時計・フィルムカメラ	0.4 0.0
宝石・貴金属	0.2 0.5
民芸品・伝統工芸品	2.6 3.1
本・雑誌・ガイドブックなど	1.3 0.3
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	1.6 0.3
その他買物代	1.8 1.7

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年の情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日スペイン人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
現金	96.5 95.4	99.3 97.4
クレジットカード	71.3 68.1	71.0 68.9
交通系ICカード（Suica等）	15.1 11.7	17.8 14.0
その他ICカード（Edy等）	0.0 0.0	0.0 0.0
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	4.6 1.1	6.6 1.4
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	0.1 0.0	0.2 0.0
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.0	0.0 0.0
割引クーポン	0.4 0.0	0.4 0.0
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.5 0.0	0.0 0.0

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (21) 訪日スペイン人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率 (%)				
		2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	90.9	87.8	86.1	99.0	88.8
千葉県	2位	75.7	79.1	82.0	100.0	70.5
京都府	3位	62.4	66.9	68.6	65.7	62.3
大阪府	4位	46.0	48.3	53.8	44.8	52.3
広島県	5位	22.7	23.9	26.0	23.5	23.9
神奈川県	6位	24.2	19.7	19.6	24.1	20.5
奈良県	7位	12.6	11.2	22.2	12.4	19.3
岐阜県	8位	15.9	23.4	15.7	17.0	16.3
石川県	9位	8.7	9.8	9.9	9.3	9.7
栃木県	10位	6.7	8.2	7.9	6.2	7.6
兵庫県	11位	7.8	6.7	5.8	6.6	7.5
愛知県	12位	6.3	5.3	5.9	7.9	5.7
和歌山県	13位	4.2	5.6	7.4	9.1	4.1
長野県	14位	3.4	2.7	3.2	5.3	3.7
山梨県	15位	2.8	3.6	1.7	9.9	3.0
静岡県	16位	3.7	1.6	3.1	3.1	2.6
沖縄県	17位	3.2	2.0	1.0	1.3	2.4
福岡県	18位	1.8	2.0	3.6	0.3	2.1
北海道	19位	0.4	2.4	2.5	1.0	1.9
岡山県	20位	2.4	0.7	2.0	2.9	1.6
宮城県	21位	0.9	0.2	0.4	0.0	0.9
鹿児島県	22位	2.1	0.7	1.1	0.4	0.9
埼玉県	23位	1.3	0.4	0.5	0.8	0.8
長崎県	24位	1.4	0.3	1.7	0.4	0.8
新潟県	25位	1.2	0.3	0.0	0.3	0.6
三重県	26位	1.2	0.9	0.6	0.0	0.5
滋賀県	27位	0.0	0.6	0.6	0.0	0.5
香川県	28位	1.3	0.4	1.9	0.4	0.4
福島県	29位	0.0	0.0	0.3	0.3	0.4
熊本県	30位	1.6	0.3	0.9	0.4	0.4
茨城県	31位	0.7	3.0	0.3	3.3	0.3
群馬県	32位	0.0	0.3	0.7	2.0	0.2
秋田県	33位	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2
宮崎県	34位	0.0	0.4	0.9	0.0	0.2
富山県	35位	0.6	0.7	0.0	0.4	0.2
高知県	36位	0.0	0.0	0.3	0.4	0.2
大分県	37位	1.2	0.9	2.2	0.4	0.2
岩手県	38位	0.7	0.0	0.0	0.0	0.2
青森県	39位	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2
鳥根県	40位	0.0	0.0	0.4	0.0	0.1
佐賀県	41位	0.0	0.0	0.4	0.3	0.1
徳島県	42位	0.0	0.2	0.4	0.0	0.1
愛媛県	43位	0.2	0.2	1.0	0.0	0.1
山形県	44位	0.2	0.0	0.6	0.0	0.0
福井県	45位	0.5	0.6	0.7	0.4	0.0
鳥取県	46位	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0
山口県	47位	0.0	0.2	0.0	0.0	0.0

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日スペイン人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数【人泊（構成比：％）】		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	233,840 (44.6%)	286,030 (44.7%)	361,450 (42.3%)
京都府	2位	119,630 (22.8%)	151,010 (23.6%)	235,410 (27.6%)
大阪府	3位	36,940 (7.0%)	38,600 (6.0%)	61,240 (7.2%)
神奈川県	4位	21,810 (4.2%)	23,240 (3.6%)	26,040 (3.1%)
茨城県	5位	1,730 (0.3%)	1,970 (0.3%)	1,890 (0.2%)
岐阜県	6位	25,080 (4.8%)	27,770 (4.3%)	35,400 (4.1%)
広島県	7位	20,590 (3.9%)	25,490 (4.0%)	25,940 (3.0%)
石川県	8位	8,860 (1.7%)	15,940 (2.5%)	17,910 (2.1%)
千葉県	9位	8,830 (1.7%)	10,640 (1.7%)	12,180 (1.4%)
山梨県	10位	3,330 (0.6%)	6,220 (1.0%)	7,230 (0.8%)
愛知県	11位	5,750 (1.1%)	6,050 (0.9%)	7,640 (0.9%)
北海道	12位	2,730 (0.5%)	3,200 (0.5%)	5,060 (0.6%)
長野県	13位	3,680 (0.7%)	5,400 (0.8%)	5,830 (0.7%)
福岡県	14位	2,160 (0.4%)	2,150 (0.3%)	3,130 (0.4%)
栃木県	15位	1,770 (0.3%)	2,120 (0.3%)	1,760 (0.2%)
兵庫県	16位	2,610 (0.5%)	4,810 (0.8%)	6,440 (0.8%)
埼玉県	17位	300 (0.1%)	490 (0.1%)	580 (0.1%)
沖縄県	18位	1,980 (0.4%)	2,450 (0.4%)	3,750 (0.4%)
静岡県	19位	1,950 (0.4%)	1,990 (0.3%)	2,290 (0.3%)
岡山県	20位	2,160 (0.4%)	3,700 (0.6%)	2,380 (0.3%)
宮城県	21位	770 (0.1%)	1,520 (0.2%)	1,260 (0.1%)
福島県	22位	1,170 (0.2%)	630 (0.1%)	610 (0.1%)
山口県	23位	260 (0.0%)	540 (0.1%)	1,020 (0.1%)
福井県	24位	60 (0.0%)	120 (0.0%)	40 (0.0%)
奈良県	25位	1,830 (0.3%)	2,870 (0.4%)	3,810 (0.4%)
群馬県	26位	1,090 (0.2%)	1,030 (0.2%)	1,820 (0.2%)
愛媛県	27位	1,260 (0.2%)	1,770 (0.3%)	1,640 (0.2%)
三重県	28位	420 (0.1%)	2,680 (0.4%)	4,280 (0.5%)
山形県	29位	740 (0.1%)	330 (0.1%)	460 (0.1%)
熊本県	30位	1,970 (0.4%)	1,080 (0.2%)	1,830 (0.2%)
大分県	31位	280 (0.1%)	620 (0.1%)	2,060 (0.2%)
新潟県	32位	400 (0.1%)	350 (0.1%)	1,010 (0.1%)
滋賀県	33位	500 (0.1%)	270 (0.0%)	940 (0.1%)
和歌山県	34位	2,900 (0.6%)	2,820 (0.4%)	3,910 (0.5%)
長崎県	35位	570 (0.1%)	410 (0.1%)	890 (0.1%)
富山県	36位	460 (0.1%)	540 (0.1%)	530 (0.1%)
青森県	37位	480 (0.1%)	430 (0.1%)	330 (0.0%)
香川県	38位	420 (0.1%)	750 (0.1%)	1,140 (0.1%)
徳島県	39位	970 (0.2%)	430 (0.1%)	270 (0.0%)
岩手県	40位	260 (0.0%)	160 (0.0%)	200 (0.0%)
島根県	41位	200 (0.0%)	120 (0.0%)	320 (0.0%)
鹿児島県	42位	980 (0.2%)	700 (0.1%)	730 (0.1%)
秋田県	43位	170 (0.0%)	220 (0.0%)	300 (0.0%)
鳥取県	44位	30 (0.0%)	270 (0.0%)	190 (0.0%)
佐賀県	45位	40 (0.0%)	70 (0.0%)	80 (0.0%)
高知県	46位	80 (0.0%)	100 (0.0%)	120 (0.0%)
宮崎県	47位	50 (0.0%)	100 (0.0%)	360 (0.0%)

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

スペイン

## 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比:%)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	31,790 (49.9%)	16,710 (70.2%)	37,050 (47.5%)
京都府	2位	11,720 (18.4%)	390 (1.6%)	17,630 (22.6%)
大阪府	3位	4,410 (6.9%)	430 (1.8%)	5,430 (7.0%)
神奈川県	4位	1,650 (2.6%)	810 (3.4%)	2,550 (3.3%)
茨城県	5位	60 (0.1%)	10 (0.0%)	1,280 (1.6%)
岐阜県	6位	1,010 (1.6%)	30 (0.1%)	1,240 (1.6%)
広島県	7位	1,460 (2.3%)	60 (0.3%)	1,210 (1.6%)
石川県	8位	1,040 (1.6%)	20 (0.1%)	1,090 (1.4%)
千葉県	9位	2,490 (3.9%)	1,000 (4.2%)	1,070 (1.4%)
山梨県	10位	610 (1.0%)	0 (0.0%)	840 (1.1%)
愛知県	11位	950 (1.5%)	30 (0.1%)	710 (0.9%)
北海道	12位	1,600 (2.5%)	1,110 (4.7%)	690 (0.9%)
長野県	13位	570 (0.9%)	50 (0.2%)	680 (0.9%)
福岡県	14位	200 (0.3%)	150 (0.6%)	620 (0.8%)
栃木県	15位	140 (0.2%)	210 (0.9%)	590 (0.8%)
兵庫県	16位	450 (0.7%)	410 (1.7%)	570 (0.7%)
埼玉県	17位	130 (0.2%)	370 (1.6%)	520 (0.7%)
沖縄県	18位	290 (0.5%)	280 (1.2%)	500 (0.6%)
静岡県	19位	170 (0.3%)	730 (3.1%)	400 (0.5%)
岡山県	20位	140 (0.2%)	10 (0.0%)	360 (0.5%)
宮城県	21位	230 (0.4%)	200 (0.8%)	310 (0.4%)
福島県	22位	120 (0.2%)	70 (0.3%)	220 (0.3%)
山口県	23位	190 (0.3%)	160 (0.7%)	220 (0.3%)
福井県	24位	30 (0.0%)	20 (0.1%)	210 (0.3%)
奈良県	25位	250 (0.4%)	10 (0.0%)	210 (0.3%)
群馬県	26位	100 (0.2%)	30 (0.1%)	180 (0.2%)
愛媛県	27位	170 (0.3%)	0 (0.0%)	160 (0.2%)
三重県	28位	160 (0.3%)	10 (0.0%)	150 (0.2%)
山形県	29位	180 (0.3%)	30 (0.1%)	130 (0.2%)
熊本県	30位	70 (0.1%)	20 (0.1%)	130 (0.2%)
大分県	31位	100 (0.2%)	0 (0.0%)	130 (0.2%)
新潟県	32位	110 (0.2%)	10 (0.0%)	120 (0.2%)
滋賀県	33位	60 (0.1%)	0 (0.0%)	120 (0.2%)
和歌山県	34位	140 (0.2%)	0 (0.0%)	100 (0.1%)
長崎県	35位	100 (0.2%)	100 (0.4%)	90 (0.1%)
富山県	36位	90 (0.1%)	20 (0.1%)	70 (0.1%)
青森県	37位	80 (0.1%)	160 (0.7%)	60 (0.1%)
香川県	38位	60 (0.1%)	10 (0.0%)	60 (0.1%)
徳島県	39位	50 (0.1%)	0 (0.0%)	50 (0.1%)
岩手県	40位	100 (0.2%)	60 (0.3%)	40 (0.1%)
島根県	41位	20 (0.0%)	0 (0.0%)	40 (0.1%)
鹿児島県	42位	180 (0.3%)	10 (0.0%)	30 (0.0%)
秋田県	43位	30 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (0.0%)
鳥取県	44位	140 (0.2%)	40 (0.2%)	20 (0.0%)
佐賀県	45位	30 (0.0%)	0 (0.0%)	20 (0.0%)
高知県	46位	20 (0.0%)	0 (0.0%)	10 (0.0%)
宮崎県	47位	20 (0.0%)	10 (0.2%)	10 (0.0%)

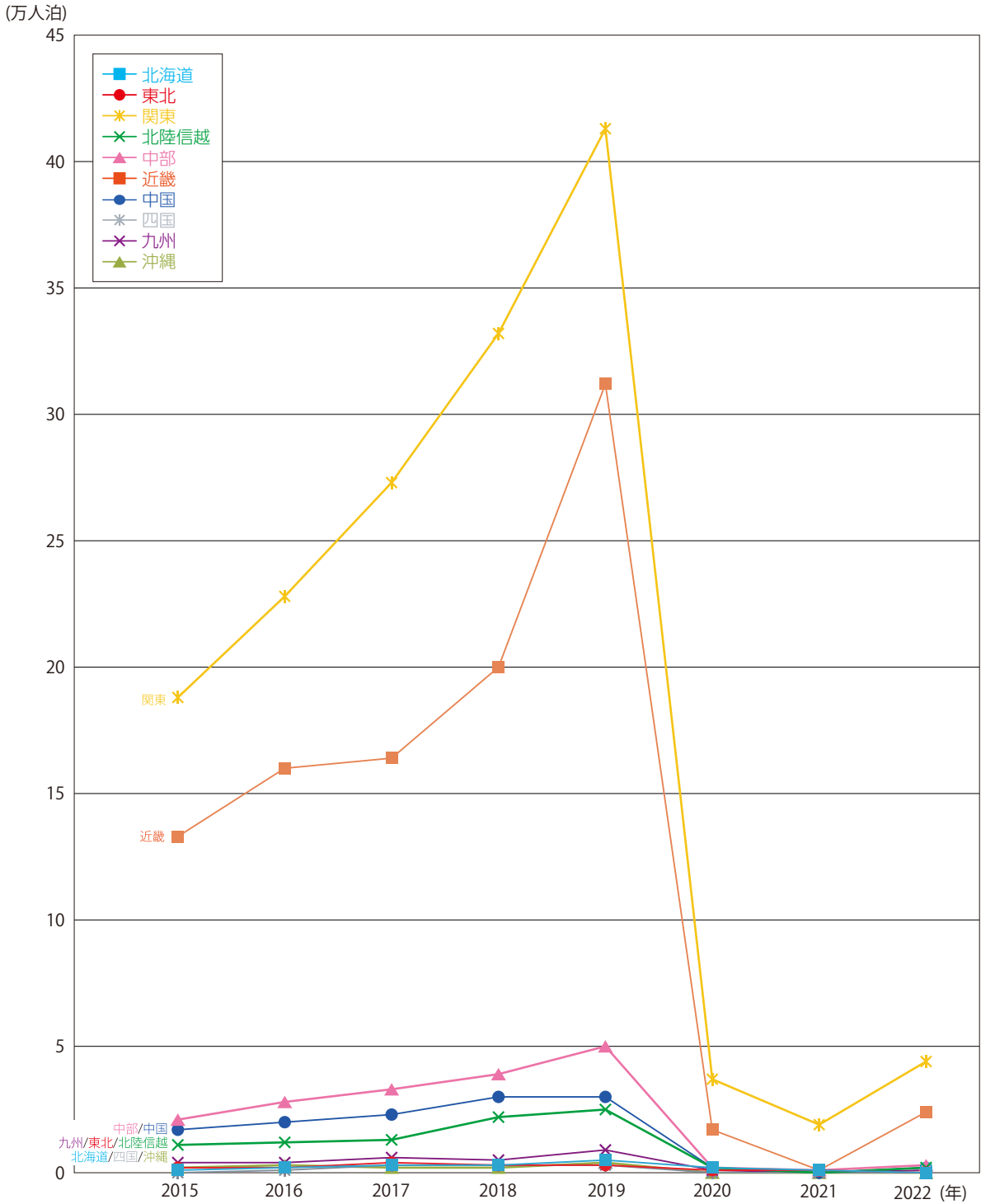
注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (23) 訪日スペイン人の地方別延べ宿泊者数（2015年～2022年）



単位：人泊

北海道	910	1,830	2,730	3,200	5,060	1,600	1,110	690
東北	1,790	2,150	3,600	3,290	3,160	730	520	780
関東	188,310	228,290	272,710	331,730	412,950	36,950	19,150	44,070
北陸信越	10,820	12,160	13,400	22,230	25,280	1,800	90	1,950
中部	20,800	28,150	33,250	38,600	49,660	2,310	830	2,720
近畿	133,170	160,450	164,420	200,360	311,750	17,040	1,240	24,060
中国	16,830	20,170	23,240	30,120	29,840	1,950	270	1,840
四国	360	1,160	2,730	3,050	3,170	300	20	290
九州	4,260	4,360	6,050	5,130	9,090	710	290	1,040
沖縄	1,610	2,840	1,980	2,450	3,750	290	280	500

注1：延べ宿泊者数は、従業員10人以上の宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

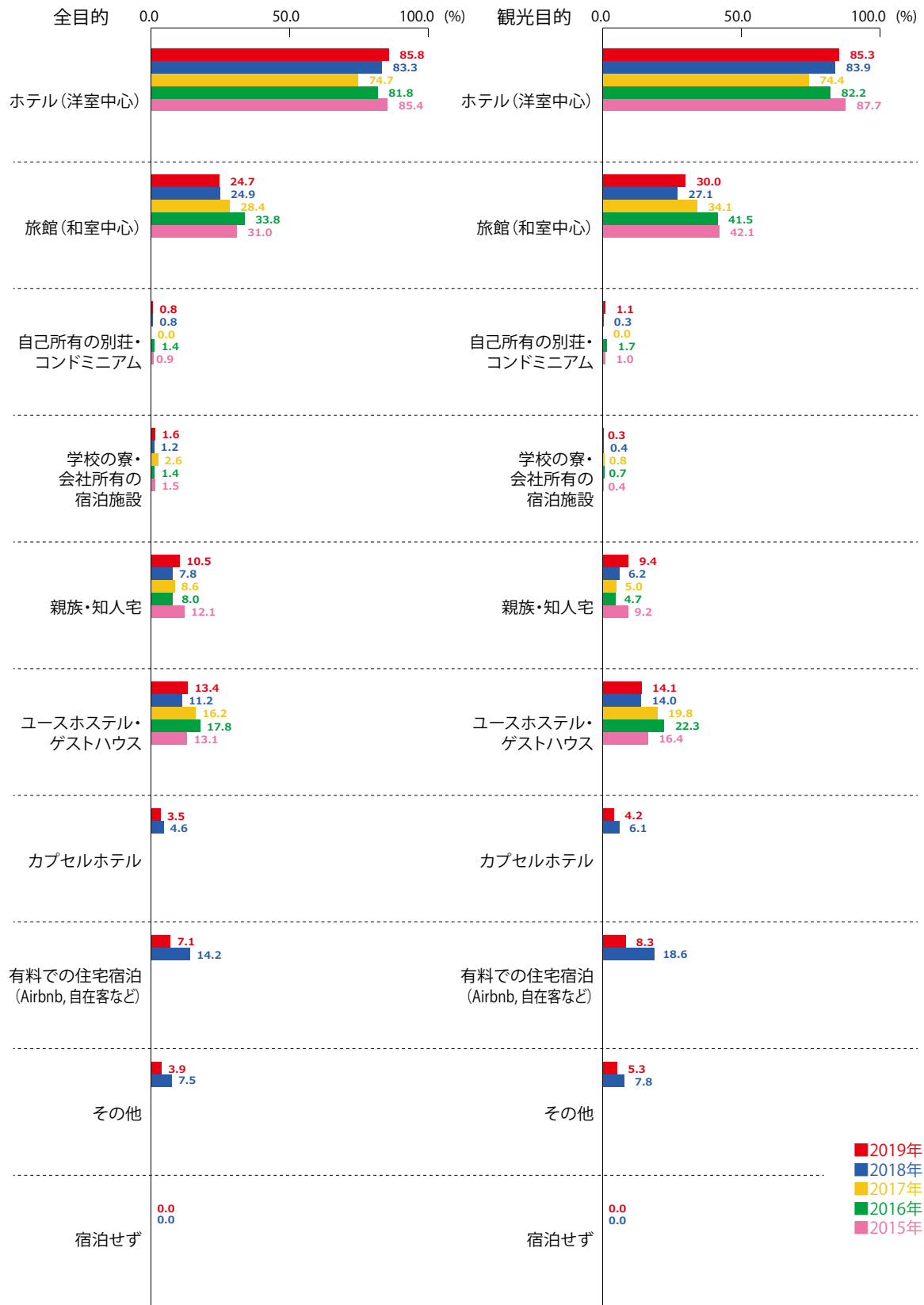
注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注4：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2015年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (24) 訪日スペイン人が利用した宿泊施設（2011年～2019年）



注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前の数値は存在しない。

注3：2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。

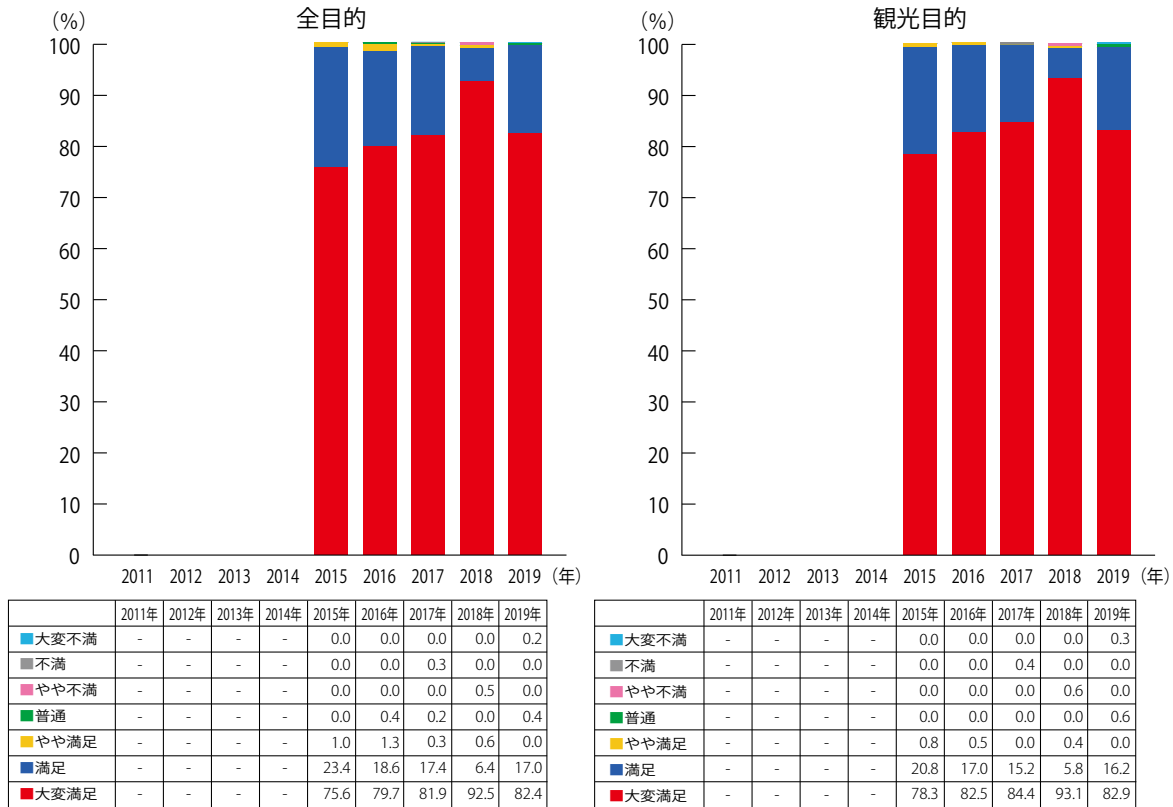
注4：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2015年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。

注5：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。

注6：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) スペイン人の訪日旅行の満足度 (2011年～2019年)

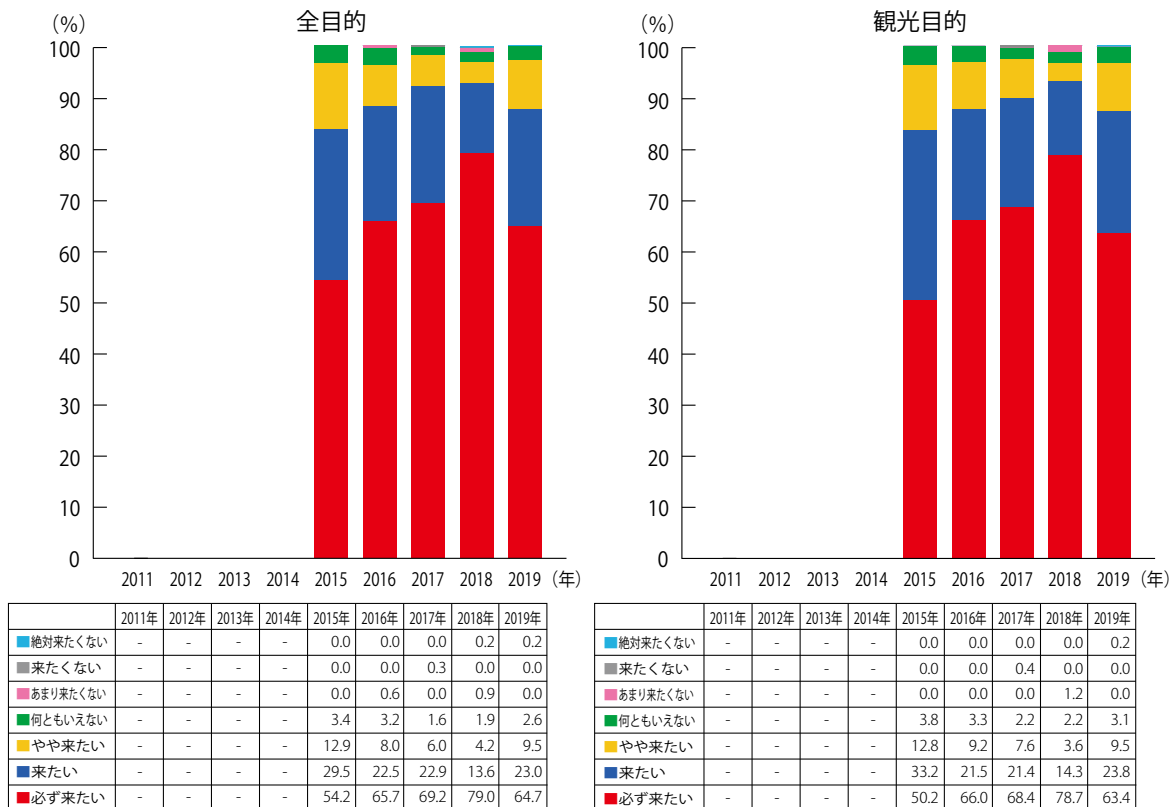


注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日スペイン人の日本再訪意向 (2011年～2019年)



注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



# 北欧地域

(スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド)

## 第1章 概要

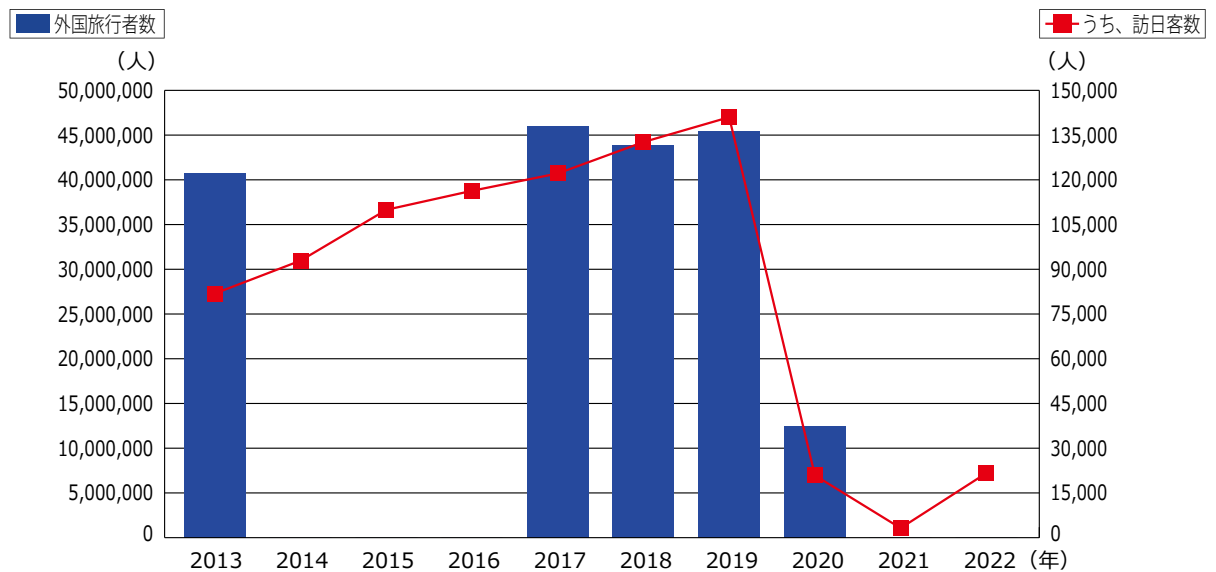
該当データなし

## 第2章 経済指標

該当データなし

## 第3章 外国旅行の動向

### (1) 北欧人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年～2022年)



外国旅行者数 (左目盛)	40,736,000	—	—	—	45,948,000	43,890,245	45,387,540	12,474,105		
うち、訪日客数 (右目盛)	81,879	92,917	109,946	116,324	122,136	132,670	141,004	20,881	3,199	21,647
訪日率 (%)	0.201	—	—	—	0.266	0.302	0.311	0.167		

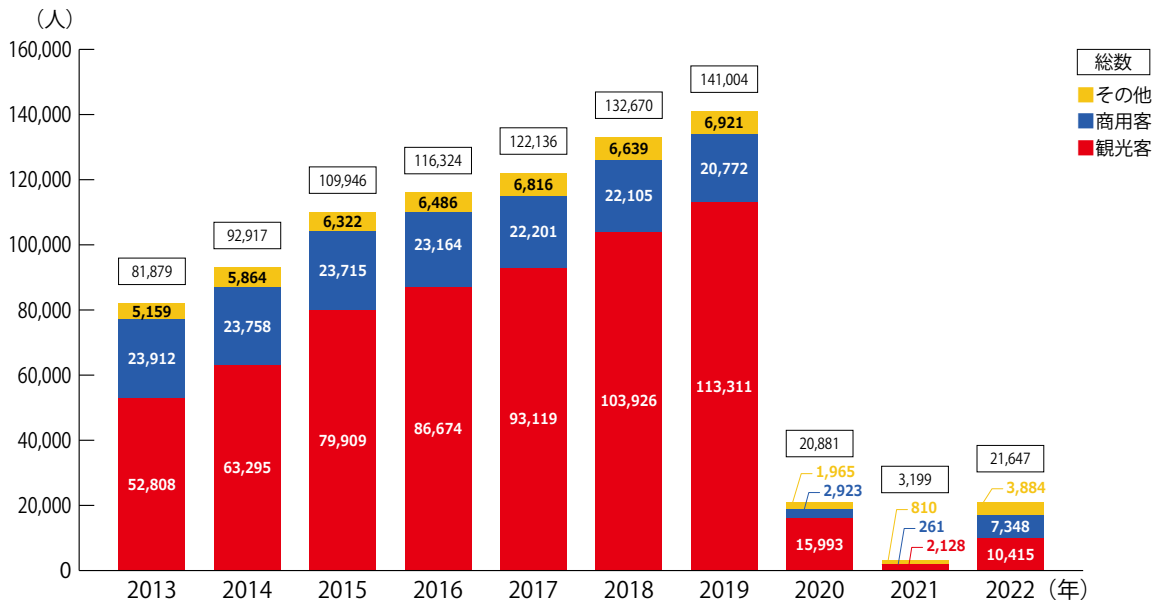
注1：上記の北欧人には、北欧4か国（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド）からの旅行者のみが含まれている。

注2：北欧人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、欧州連合統計局（ユーロスタット）、経済協力開発機構（OECD）、日本政府観光局（JNTO）

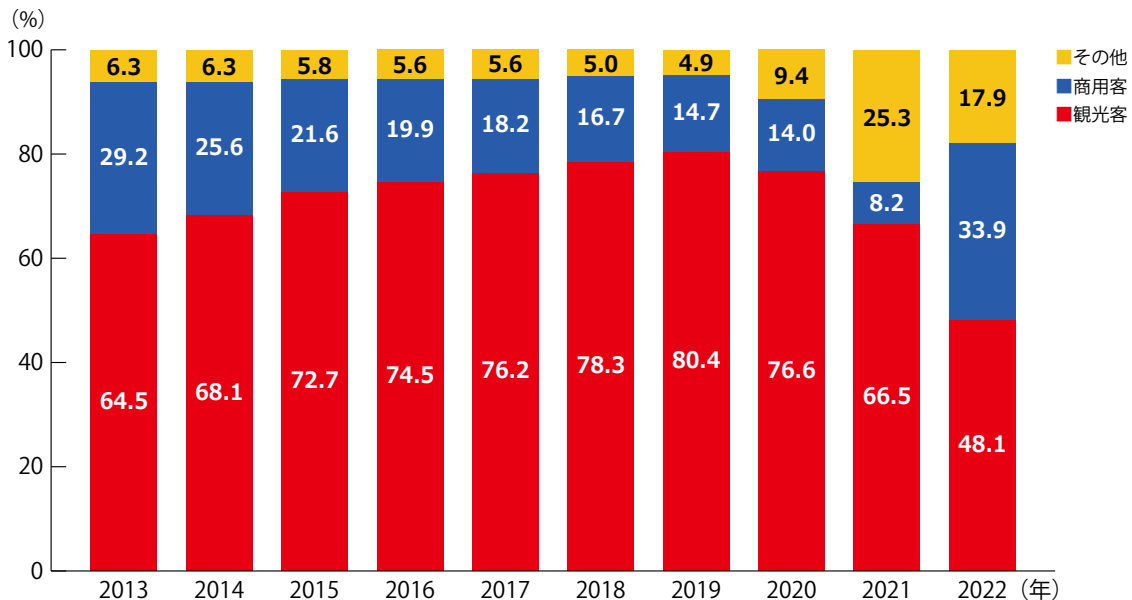
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日北欧人の推移（2013年～2022年）



注：上記の北欧人には、北欧4か国（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド）からの旅行者のみが含まれている。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

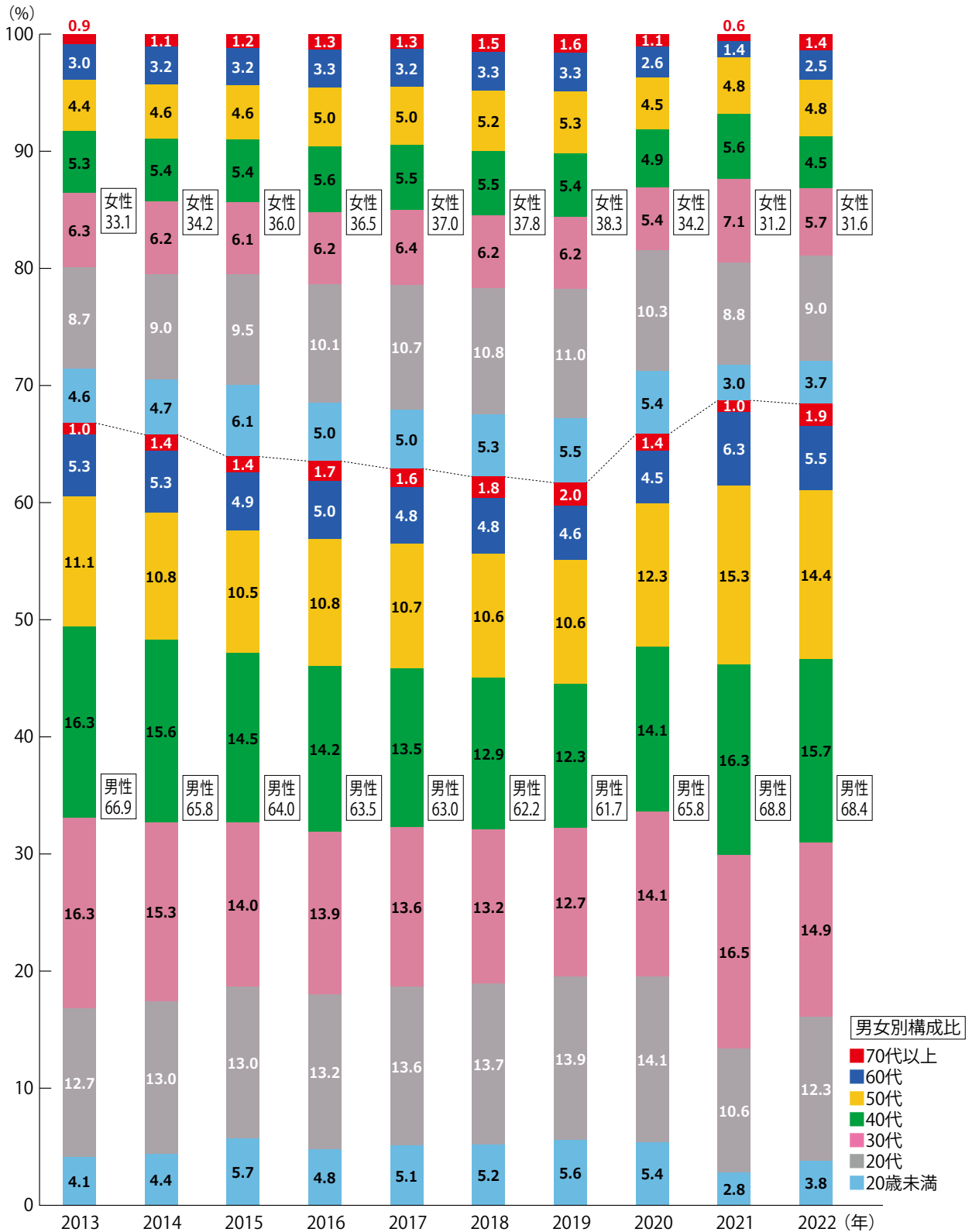
### (2) 訪日北欧人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



注：上記の北欧人には、北欧4か国（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド）からの旅行者のみが含まれている。  
出典：日本政府観光局（JNTO）



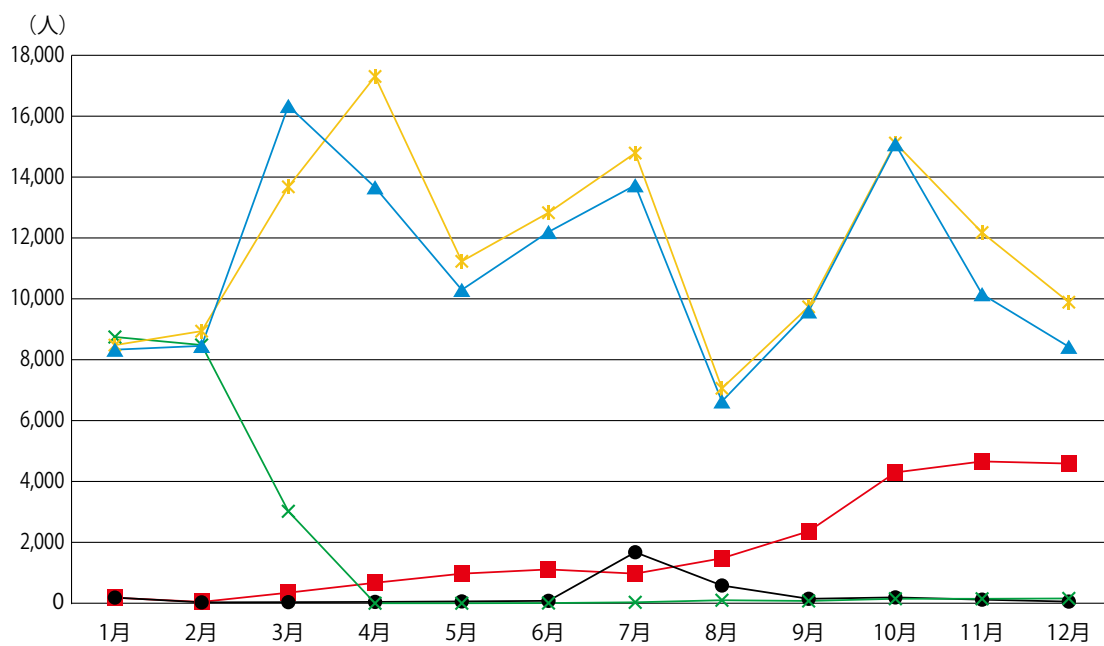
(3) 訪日北欧人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)



注1：上記の北欧人には、北欧4か国（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド）からの旅行者のみが含まれている。  
 注2：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつグループ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。  
 注3：2012年以前の数値は存在しない。  
 出典：日本国法務省

北欧地域

#### (4) 月別訪日北欧人の推移（2018年～2022年）



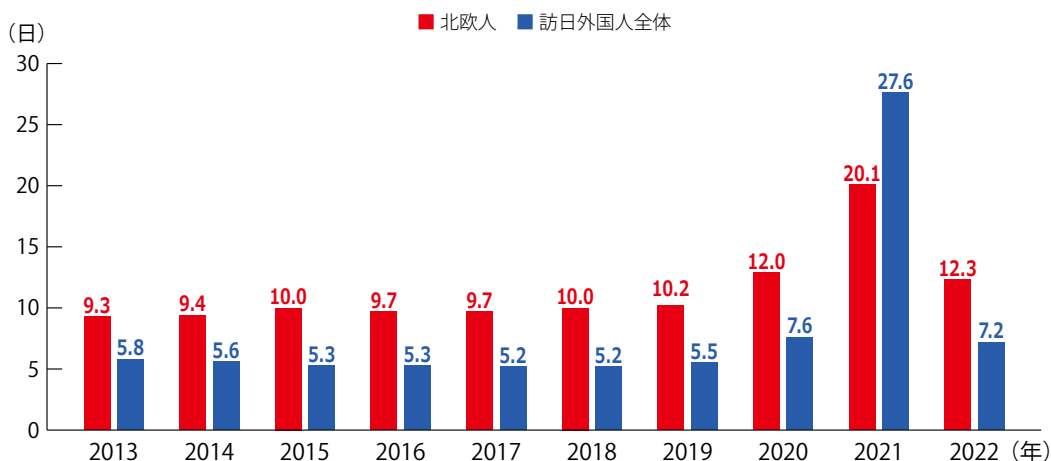
単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	180	44	346	671	970	1,109	971	1,475	2,359	4,290	4,651	4,581
● 2021年	186	29	36	44	60	79	1,673	582	146	192	118	54
✕ 2020年	8,732	8,469	3,016	1	1	7	31	99	75	147	146	157
✱ 2019年	8,465	8,924	13,657	17,277	11,214	12,808	14,764	7,050	9,721	15,094	12,157	9,873
▲ 2018年	8,316	8,441	16,311	13,642	10,278	12,177	13,709	6,620	9,572	15,056	10,137	8,411

注：上記の北欧人には、北欧4か国（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド）からの旅行者のみが含まれている。

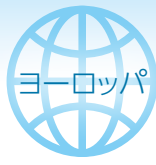
出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日北欧人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# スウェーデン

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

スウェーデン人が中心を占める。  
この他、フィンランド人、少数民族のサーミ人、移民など。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 宗教別構成

福音ルーテル派が多数  
出典：日本国外務省

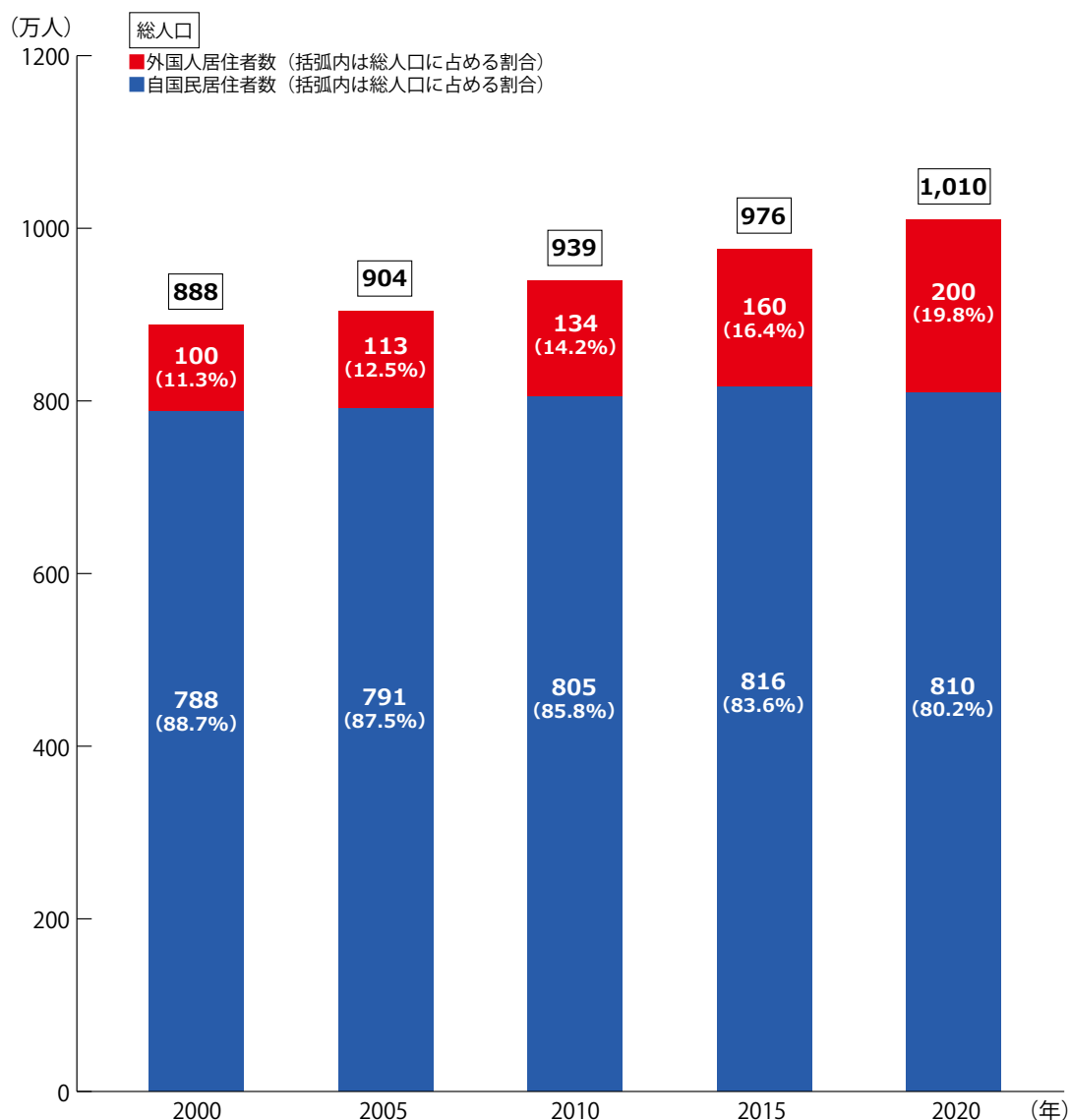
### (3) 使用言語

スウェーデン語が公用語  
一部の地域では、サーミ語、フィンランド語、メアンキエリ語、ロマ語、イディッシュ語も話されている。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

43万8,574km<sup>2</sup>（日本の1.2倍弱）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

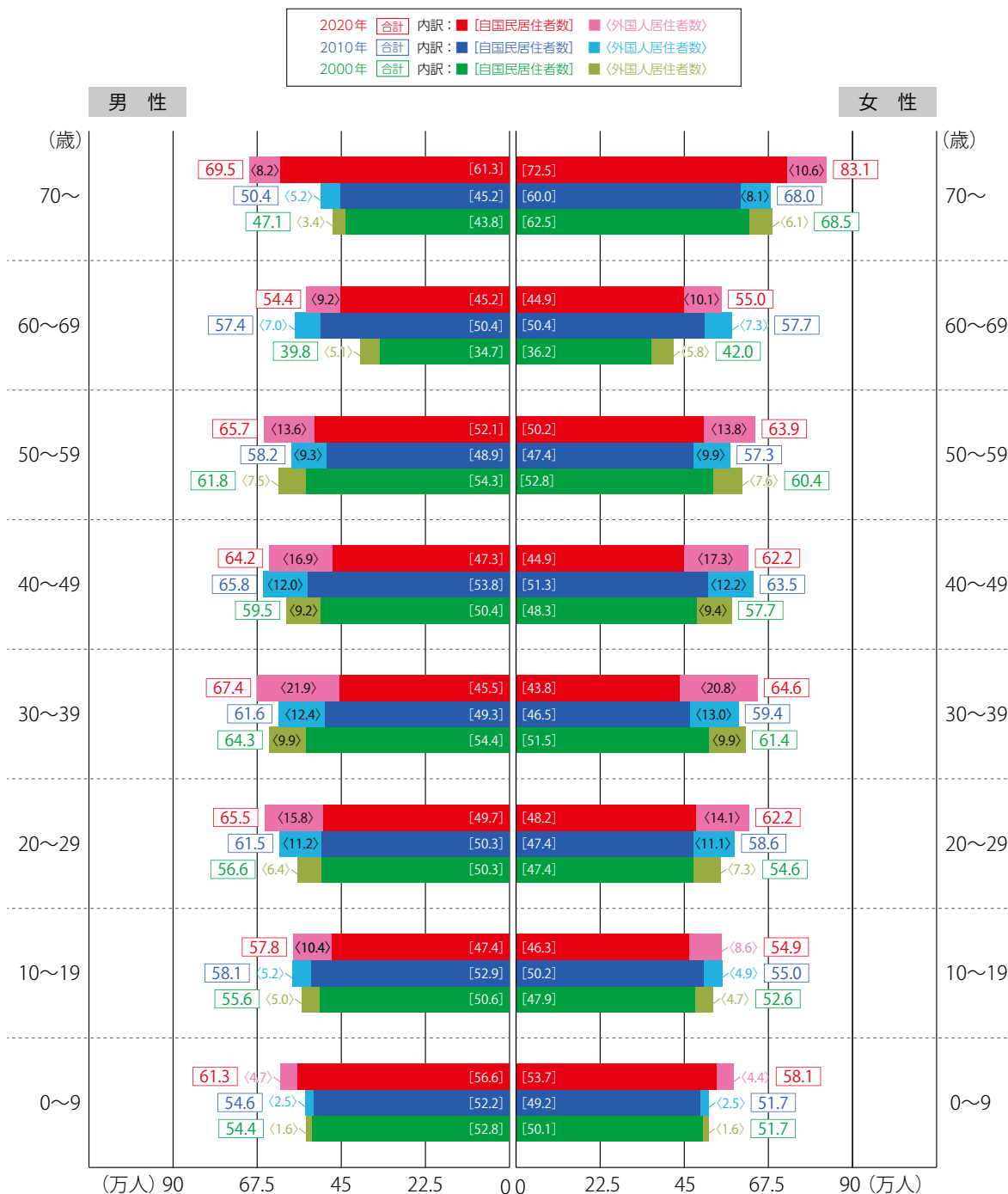
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、滞在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：スウェーデンの外国人居住者は、注2の①に該当する。

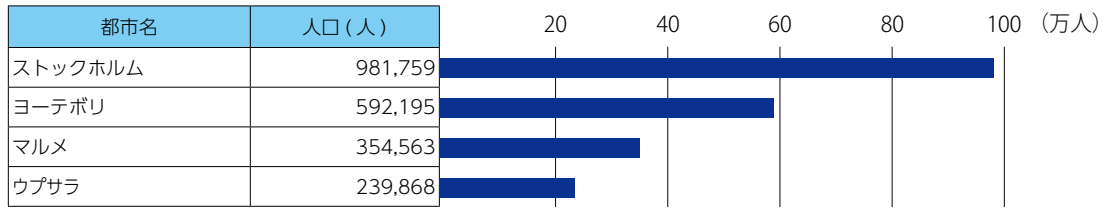
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2022年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：スウェーデン統計局（2023年2月）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
新年休暇	1月1日（日）	1月1日（月）	
主顕祭	1月6日（金）	1月6日（土）	
※聖金曜日 （グッドフライデー）	4月7日（金）	3月29日（金）	
※復活祭月曜日 （イースターマンデー）	4月10日（月）	4月1日（月）	
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）	
※キリスト昇天祭	5月18日（木）	5月9日（木）	
建国記念日	6月6日（火）	6月6日（木）	
※夏至祭	6月23日（金）～ 6月24日（土）	6月21日（金）～ 6月22日（土）	夏至に最も近い土曜日（夏至祭） とその前日の2日間が祝日になる。
※万聖節	11月4日（土）	11月2日（土）	10月31日から11月6日の間の 土曜日が祝日になる。
クリスマスイブ	12月24日（日）	12月24日（火）	
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）	
ボクシングデー	12月26日（火）	12月26日（木）	
大晦日	12月31日（日）	12月31日（火）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：スウェーデンには振替休日の制度がない。

注3：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

出典：駐日スウェーデン大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
義務教育学校	7歳～16歳 (9年間)	夏期休暇	6月中旬～8月中旬
		秋期休暇	10月下旬～11月上旬
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		スポーツ休暇	2月下旬～3月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
上級中等学校	16歳～19歳 (3年間)	夏期休暇	6月中旬～8月中旬
		秋期休暇	10月下旬～11月上旬
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		スポーツ休暇	2月下旬～3月上旬
大学	19歳～22歳 (3年間)	夏期休暇	6月～8月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
学校年度	8月中旬～翌年8月上旬		
義務教育	義務教育学校（9年間）		

出典：ストックホルム市、ヨーテボリ大学、ウプサラ大学

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	週末	スウェーデン 年次休暇法第9条	毎週の休息期間として、原則として7日間ごとに可能な限り週末を含む36時間以上の連続した休息時間が確保されなければならない。
有給休暇日数	25日	スウェーデン 年次休暇法第4条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・8月31日以降に採用された場合は、年次休暇年内に5日間まで取得できる。</li> <li>・最高3か月、60時間を超えない労務のために雇われ、且つ就労の期間がそれ以上の期間に及ばなかった場合は取得できない。</li> <li>・20日を超える年次有給休暇については、翌年以降最大5年後まで繰り越しが可能とされている。また、25日を超える年次有給休暇の繰り越し分については消化されなかった分については相当の休暇手当が支給される。</li> <li>・別段の合意がない限り、労働者は夏期（6月～8月）に少なくとも4週間の休暇期間となるよう年次休暇を取得する権利を有する。</li> </ul>
定年退職	67歳	雇用保護法33条	2003年より従来の65歳から67歳に引き上げられたが、61歳から希望により年金生活に入ることができるため今でも65歳が一般的。また雇用主との合意のもとで67歳以上でも雇用関係を継続することができる。

注：年次休暇年とは、毎年、4月1日から翌年3月31日までの1年間を指す。

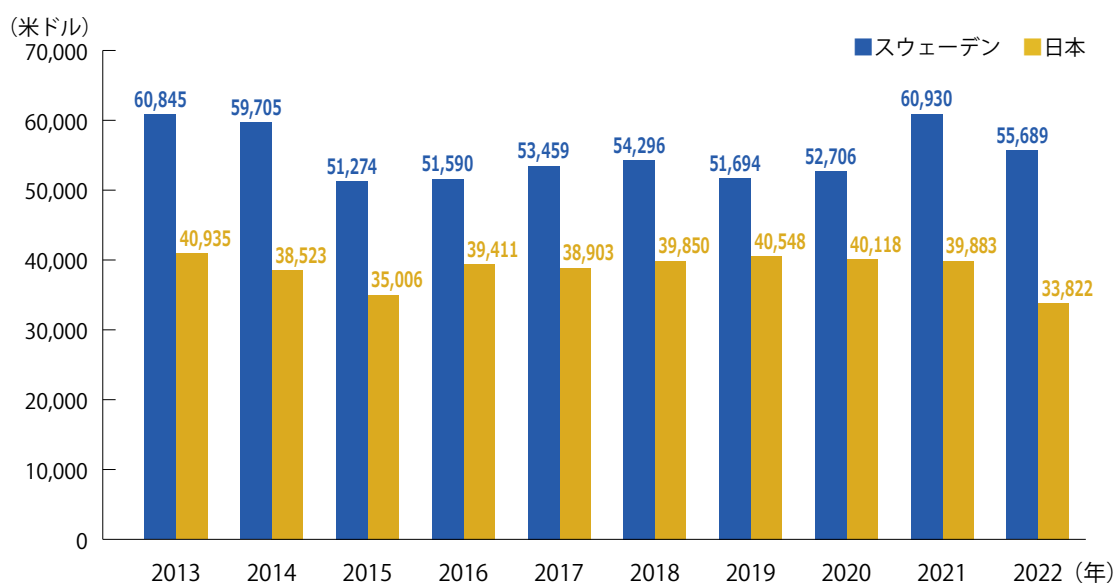
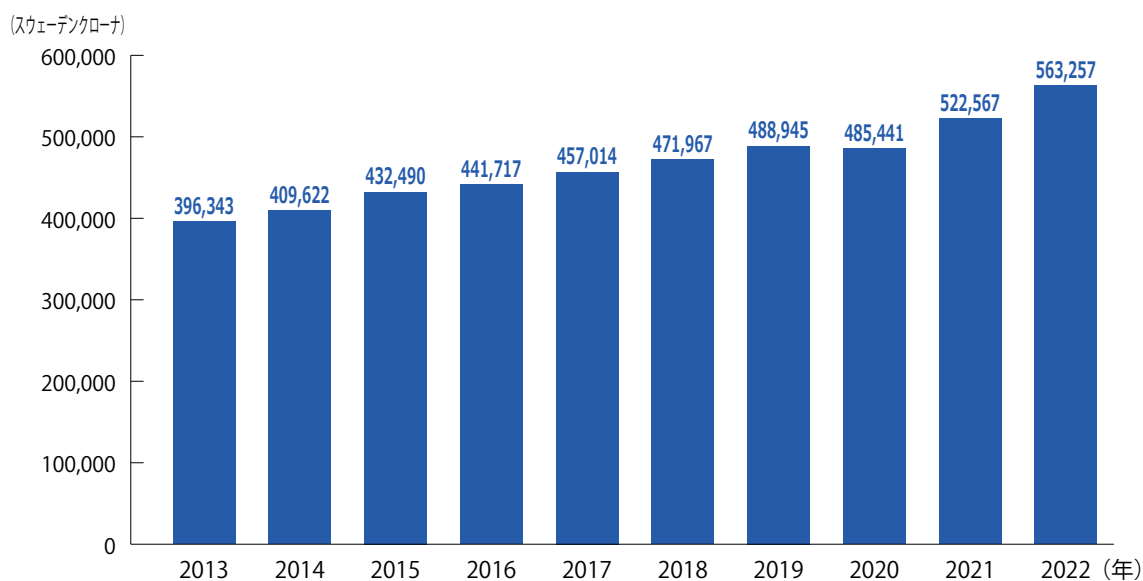
出典：スウェーデン官公庁、日本国厚生労働省、日本貿易振興機構（JETRO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	6か月～15か月（分野によって兵役期間が異なる。）
入隊対象性別	男女とも召集
入隊対象年齢	18歳～47歳

出典：スウェーデン政府

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)

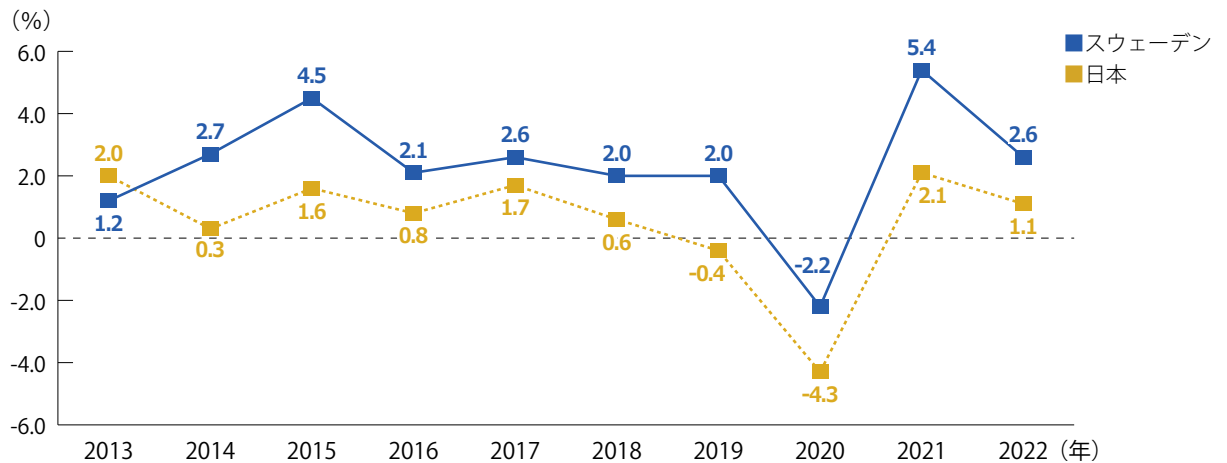


注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金 (IMF)

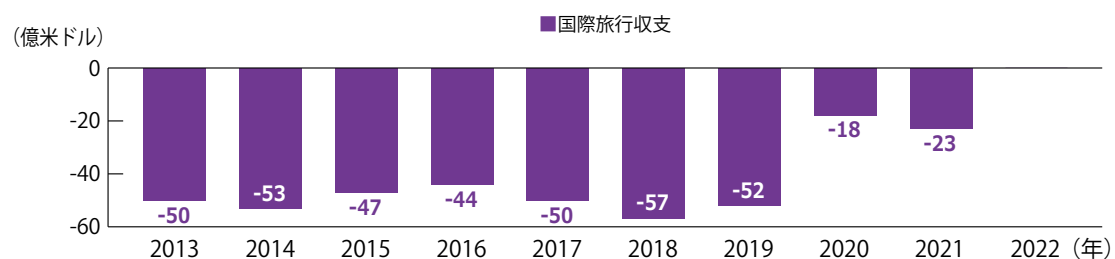
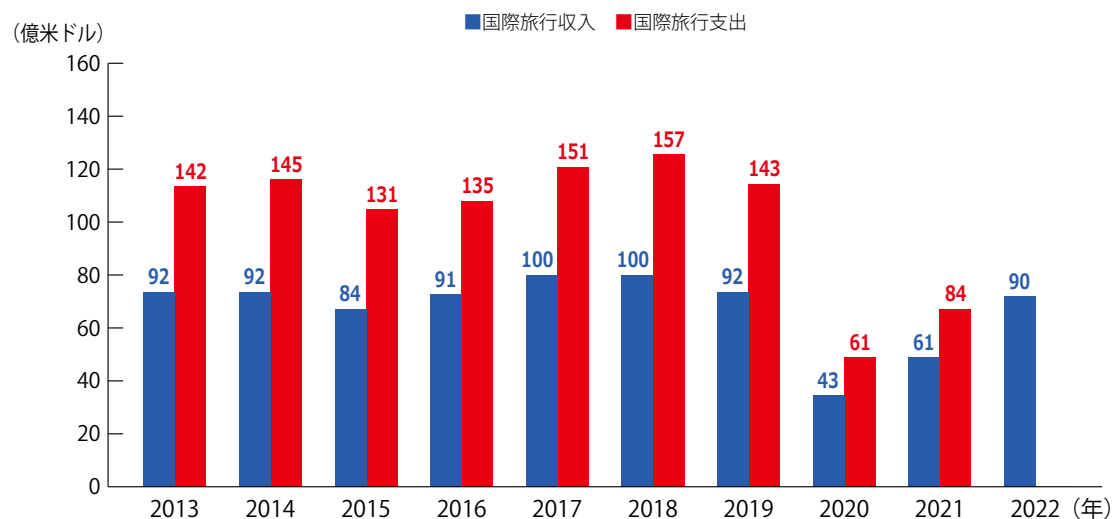


(2) 実質経済成長率 (2013年～2022年)



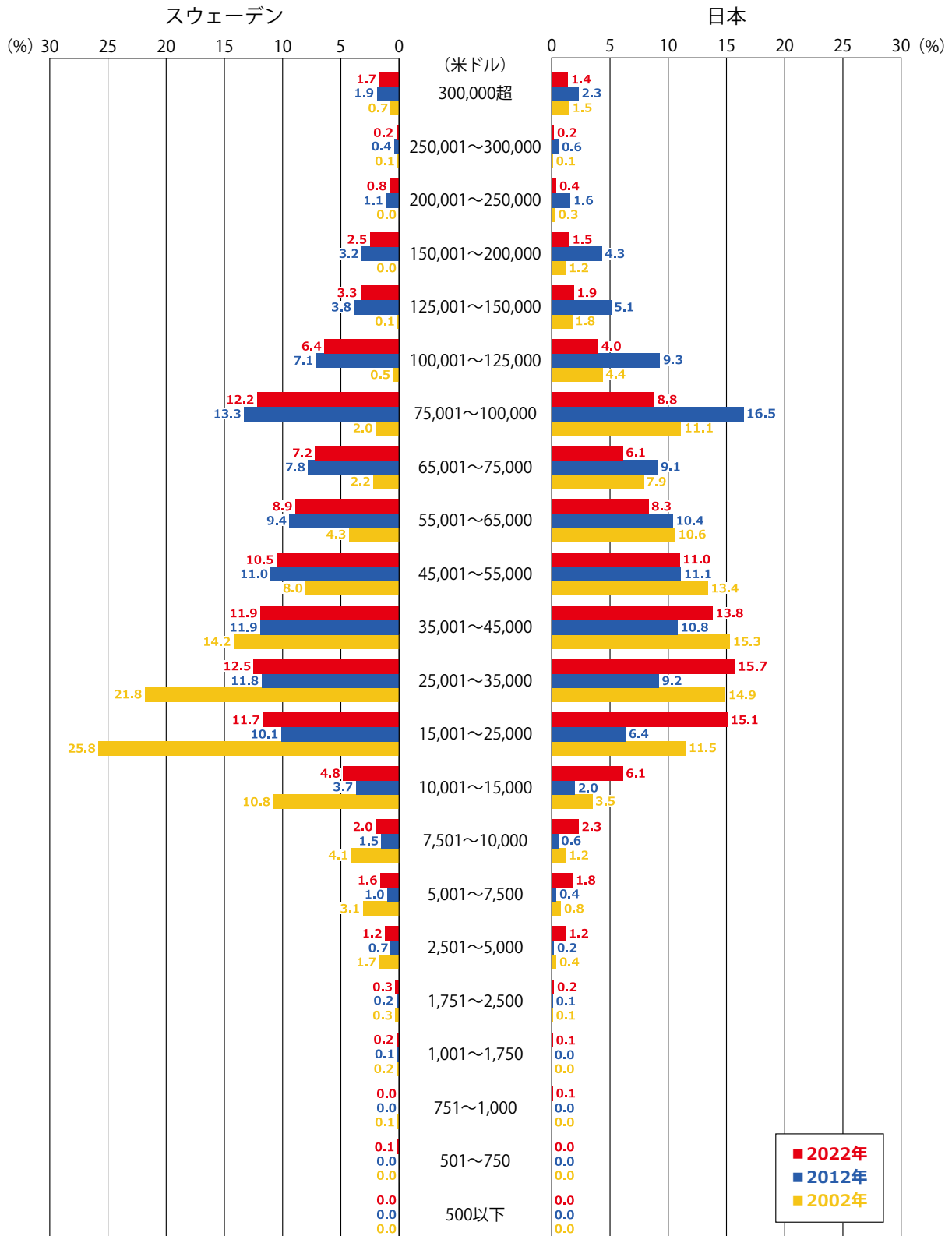
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出 (2013年～2022年)



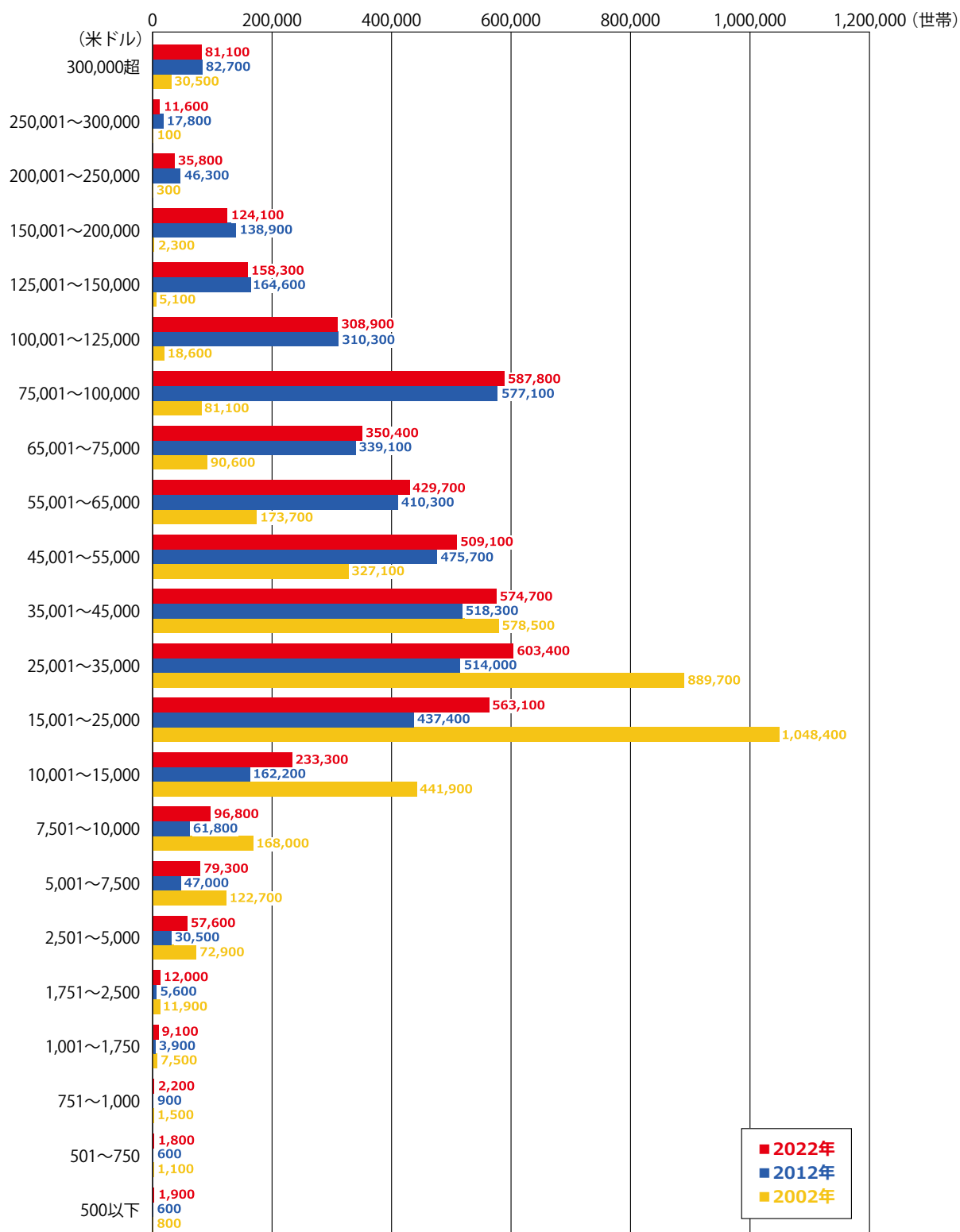
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関 (UNWTO) に基づき日本政府観光局 (JNTO) が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



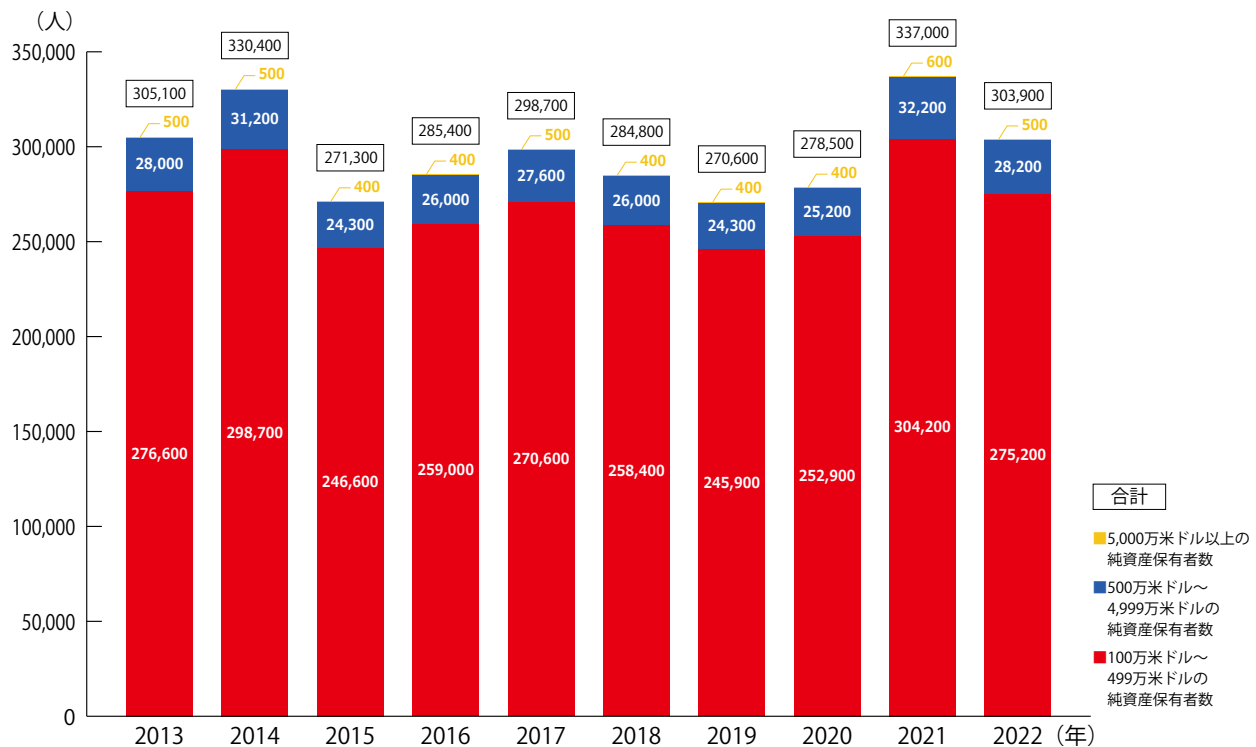
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



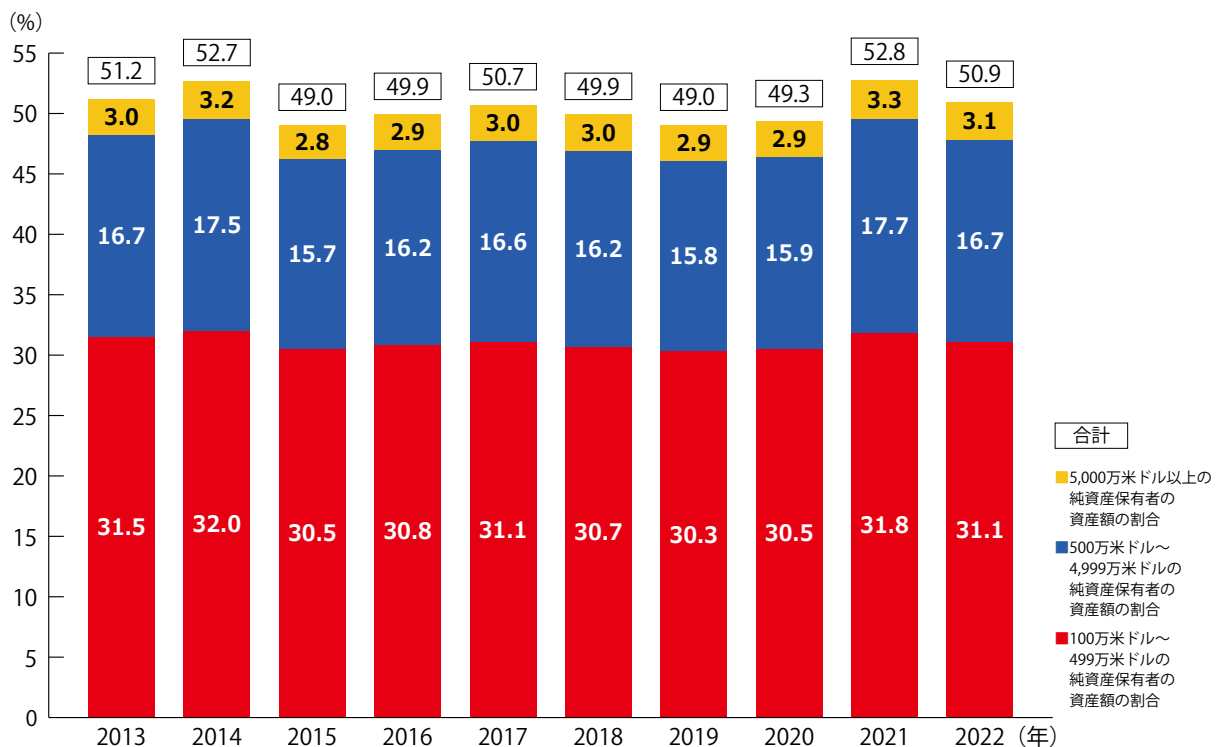
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

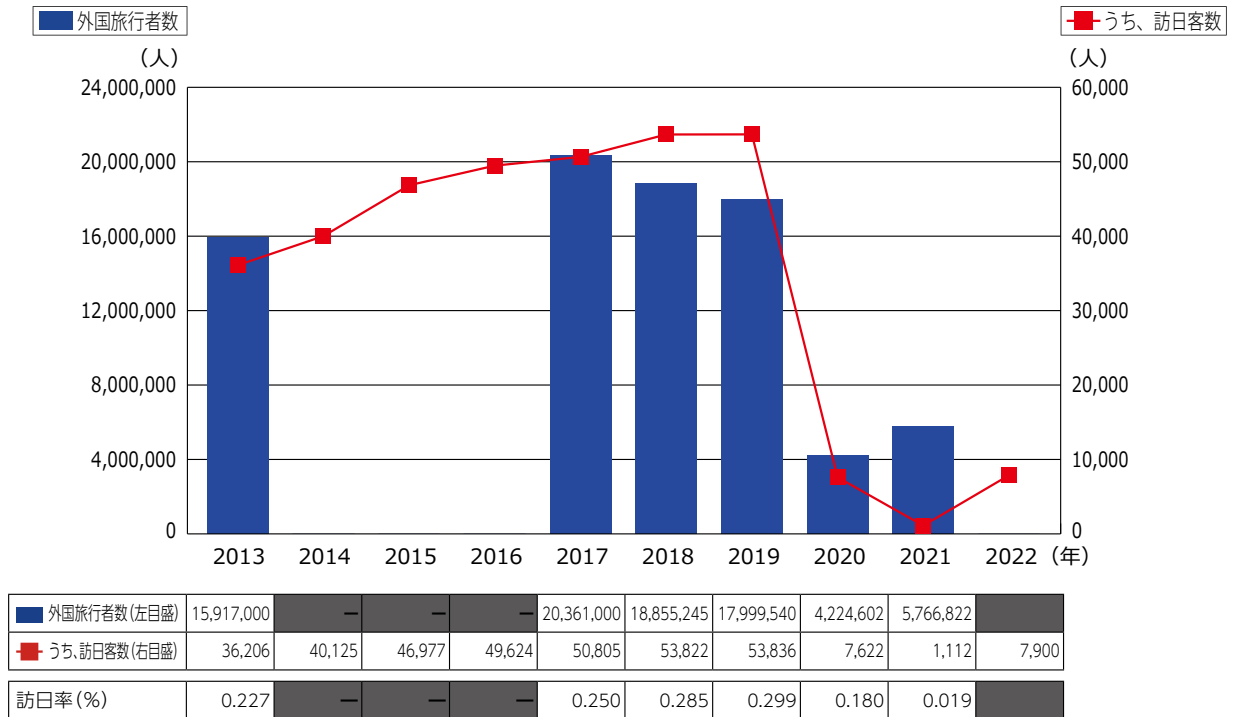
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) スウェーデン人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年～2022年)



注1：上記の北欧人には、北欧4か国（スウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランド）からの旅行者のみが含まれている。

注2：北欧人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、欧州連合統計局（ユーロスタット）、経済協力開発機構（OECD）、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのスウェーデン人訪問者数の推移 (2017年～2021年)

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	スペイン	TFR	2,244,672	2,048,959	2,086,452	458,752	747,351	2,244,672
2位	デンマーク	TCER	1,559,864	1,571,598	1,490,177	515,510	642,950	1,571,598
3位	ドイツ	TCER	981,061	959,671	982,237	197,669	242,605	982,237
4位	英国	VFR	816,432	745,030	789,408	—	116,757	816,432
5位	ノルウェー	TCER	678,256	633,201	605,581	157,870	166,465	678,256
6位	イタリア	TFN	507,830	489,840	501,584	118,147	197,421	507,830
7位	米国	TFR	522,211	506,323	451,612	73,940	46,876	522,211
8位	トルコ	TFN	285,953	380,386	440,542	93,693	192,670	440,542
9位	ギリシャ	TFR	493,363	508,794	412,439	48,197	127,862	508,794
10位	フランス	TCER	390,165	372,349	384,710	79,527	133,858	390,165
11位	フィンランド	TCER	341,271	323,195	319,823	56,294	85,309	341,271
12位	クロアチア	TCER	294,281	297,081	289,699	37,394	84,868	297,081
13位	タイ	TFN	323,736	311,937	287,341	111,859	17,094	323,736
14位	オーストリア	TCER	252,612	250,849	264,846	80,533	42,444	264,846
15位	ポーランド	TCER	204,914	200,548	191,215	39,335	48,804	204,914
16位	ポルトガル	TCER	182,210	197,005	190,820	48,315	66,307	197,005
17位	オランダ	THSR	160,000	154,000	154,000	34,000	38,000	160,000
18位	チェコ	TCEN	143,027	143,843	152,337	19,644	28,026	152,337
19位	キプロス	TCER	111,022	121,934	122,573	6,487	48,621	122,573
20位	アラブ首長国連邦	VFN	127,665	118,633	110,869	37,589	—	127,665
21位	中国	VFN	111,758	109,991	103,600	—	—	111,758
22位	スイス	TCER	86,457	94,675	91,843	26,939	24,008	94,675
23位	エジプト	VFN	48,162	70,861	79,769	26,333	—	79,769
24位	エストニア	TCER	73,296	71,107	78,131	11,278	18,012	78,131
25位	ラトビア	TCER	76,459	79,668	77,079	11,963	10,171	79,668

スウェーデン

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
26位	アイルランド	TFR	75,000	75,000	77,000			77,000
27位	ベルギー	TCER	72,043	75,399	75,253	13,970	14,975	75,399
28位	ハンガリー	TCEN	89,310	80,047	75,231	11,098	18,861	89,310
29位	インドネシア	VFN	51,417	50,381	56,402	17,600	3,516	56,402
30位	日本	VFN	50,805	53,822	53,836	7,622	1,112	53,836
31位	マルタ	TFR	53,949	54,902	53,612	6,821	8,310	54,902
32位	ベトナム	VFR	44,045	49,723	50,704	21,961	79	50,704
33位	シンガポール	VFR	48,011	53,422	50,147	13,114	545	53,422
34位	ルーマニア	VFR	48,599	50,405	49,967	12,231	21,843	50,405
35位	レバノン	TFN	38,958	44,032	47,153	11,939	42,932	47,153
36位	カナダ	TFR	51,210	48,315	46,604	7,490	6,370	51,210
37位	ブルガリア	VFR	56,739	60,178	45,872	14,269	31,397	60,178
38位	アルバニア	VFN	34,101	36,576	43,514	6,524	22,010	43,514
39位	モンテネグロ	TCEN	21,560	29,243	43,486	3,461	8,863	43,486
40位	蒙州	VFR	47,520	45,690	42,624	11,476	823	47,520
41位	インド	VFN	45,851	46,743	42,318	11,992	579	46,743
42位	南アフリカ共和国	TFR	48,552	48,740	41,787	14,082	4,872	48,740
43位	モロッコ	TFN	47,036	53,064	41,666	8,218	6,269	53,064
44位	アイスランド	TFN	56,229	49,316	39,853	5,257	7,748	56,229
45位	ロシア	VFN	33,964	50,870	39,482	6,550		50,870
46位	メキシコ	TFN	40,544	40,031	39,140	17,531	13,315	40,544
47位	リトアニア	TCER	35,599	37,984	39,121	7,225	10,447	39,121
48位	スロベニア	TCEN	30,966	34,709	36,871	2,343	7,159	36,871
49位	ウクライナ	TFR	24,554	30,038	34,136	6,967	11,945	34,136
50位	イスラエル	TFR	27,343	33,367	33,399	4,400	1,421	33,399
51位	香港	TFR	49,142	45,592	31,118	2,553	109	49,142
52位	マレーシア	TFN	34,304	32,665	29,592	9,292	253	34,304
53位	フィリピン	TFR	27,703	28,085	27,892	6,996	508	28,085
54位	ブラジル	TFR	23,760	26,498	26,769	9,484	3,952	26,769
55位	セルビア	TCEN	22,107	22,790	23,475	5,592	9,787	23,475
56位	スリランカ	TFR	24,275	28,267	22,464	7,061	1,601	28,267
57位	ケニア	VFR		22,028	21,678	7,593	10,107	22,028
58位	韓国	VFN	17,258	19,503	19,709	2,188	1,525	19,709
59位	スロバキア	TCEN	15,689	13,642	18,586	2,089	3,780	18,586
60位	ガンビア	TFN	8,565	17,571	15,700	6,160	3,235	17,571
61位	エチオピア	TFR	17,832	13,978	15,003	3,229	4,506	17,832
62位	ニュージーランド	VFR	16,368	15,919	14,533	5,549	141	16,368
63位	アルゼンチン	TFR	13,035	13,155	14,378	5,582	441	14,378
64位	カンボジア	TFR	18,176	15,140	14,080	4,728	187	18,176
65位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	12,320	12,550	13,780	1,840	6,726	13,780
66位	モルディブ	TFN	13,127	14,988	13,245	5,613	7,746	14,988
67位	モーリシャス	TFR	15,516	15,539	13,215	5,732	1,784	15,539
68位	チュニジア	TFN	6,460	7,912	12,524	1,674	3,682	12,524
69位	ヨルダン	TFN	9,653	11,717	11,915	2,373	6,562	11,915
70位	タンザニア	VFR	12,722	16,037	11,829	2,833	5,005	16,037
71位	チリ	TFN	12,437	12,552	11,742	3,682	1,042	12,552
72位	ペルー	TFR	11,298	11,624	11,531	2,516	1,630	11,624
73位	北マケドニア	TCEN	8,557	11,530	11,188	1,794	3,870	11,530
74位	コスタリカ	TFN	9,985	11,117	10,979	4,283	3,690	11,117
75位	キューバ	VFR	21,401	15,517	10,821	2,870	447	21,401
76位	ジョージア	VFR	6,034	8,080	9,654	1,452	1,947	9,654
77位	ドミニカ共和国	TFR	19,021	11,861	9,532	5,301	1,630	19,021
78位	台湾	VFR	9,106	9,206	9,522	1,499	279	9,522
79位	イラン	VFN	12,506	8,855	9,191	1,012	4,572	12,506
80位	サウジアラビア	TFN	5,424	5,328	8,030	2,838	2,720	8,030
81位	コロンビア	TFR	8,180	8,511	8,024	2,358	2,492	8,511
82位	シリア	VFN	2,530	4,927	7,769	2,093	12,219	12,219
83位	ナイジェリア	VFN	7,668	7,579	7,510	3,241	3,344	7,668
84位	ルクセンブルク	TCER	7,447	7,043	6,992	3,332	5,004	7,447
85位	アルメニア	TFR	3,972	4,782	6,740	637	2,471	6,740
86位	カメルーン	THSN	10,340	6,285	6,128	973		10,340
87位	ウガンダ	TFR	6,121			851	693	6,121
88位	マカオ	VFN	6,997	6,575	5,653	403	2	6,997
89位	アルバ	TFR	5,994	5,781	5,142	1,609	581	5,994
90位	クウェート	VFN	4,491	4,541	4,663	954	613	4,663
91位	オマーン	VFR		4,297	4,648	1,151	864	4,648
92位	ジャマイカ	TFR	7,732	4,968	3,918	1,751	301	7,732
93位	ネパール	TFN	3,822	4,243	3,911			4,243

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
94位	サンマリノ	VFN	6,600	4,617	3,883	1,790	2,490	6,600
95位	セーシェル	TFR	4,483	3,918	3,617	1,312	1,129	4,483
96位	エクアドル	VFN	3,419	3,842	3,530	1,078	985	3,842
97位	ボリビア	TFN	4,084	4,244	3,502	871	606	4,244
98位	ラオス	VFN	3,483	4,802	3,475	1,419		4,802
99位	アゼルバイジャン	VFR	2,594	3,040	3,457	495	777	3,457
100位	ルワンダ	VFN	3,043	3,221	3,177	985	703	3,221
101位	パナマ	VFR	3,367	3,808	3,066	1,119	1,035	3,808
	ウルグアイ	VFN	3,171	3,442	2,990			3,442
	ミャンマー	TFN	4,035	3,196	2,895	681	35	4,035
	モナコ	THSN	3,258	2,782	2,757	1,158	1,577	3,258

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

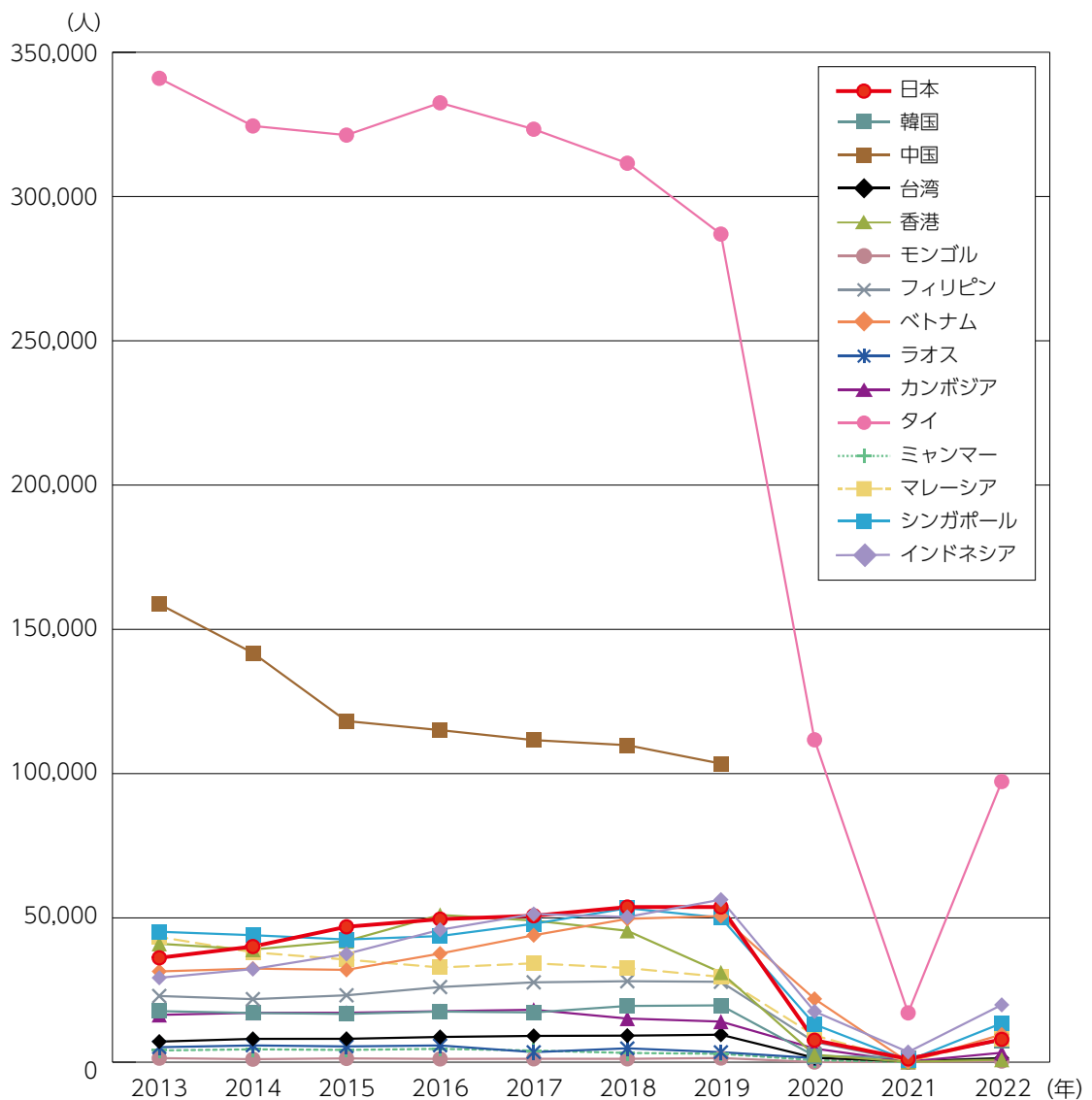
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのスウェーデン人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	341,398	324,865	321,690	332,895	323,736	311,937	287,341	111,859	17,094	97,378
中国	VFN	158,951	142,000	118,362	115,216	111,758	109,991	103,600			
インドネシア	VFN	29,281	32,308	37,555	45,934	51,417	50,381	56,402	17,600	3,516	19,885
日本	VFN	36,206	40,125	46,977	49,624	50,805	53,822	53,836	7,622	1,112	7,900
ベトナム	VFR	31,493	32,466	32,025	37,679	44,045	49,723	50,704	21,961	79	9,597
シンガポール	VFR	45,256	44,056	42,562	43,765	48,011	53,422	50,147	13,114	545	13,497
香港	TFR	41,089	39,077	42,002	51,094	49,142	45,592	31,118	2,553	109	873
マレーシア	TFN	43,460	38,127	35,586	32,861	34,304	32,665	29,592	9,292	253	8,083
フィリピン	TFR	22,957	21,861	23,206	26,062	27,703	28,085	27,892	6,996	508	
韓国	VFN	17,711	17,055	16,749	17,564	17,258	19,503	19,709	2,188	1,525	7,455
カンボジア	TFR	16,413	17,135	17,145	17,678	18,176	15,140	14,080	4,728	187	3,277
台湾	VFR	7,136	8,083	8,106	8,744	9,106	9,206	9,522	1,499	279	1,429
ラオス	VFN	5,194	5,804	5,465	5,795	3,483	4,802	3,475	1,419		
ミャンマー	TFN	4,060	4,456	4,245	4,618	4,035	3,196	2,895	681	35	
モンゴル	TFN	1,392	1,040	1,302	1,134	1,166	1,154	1,439	50	56	387

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

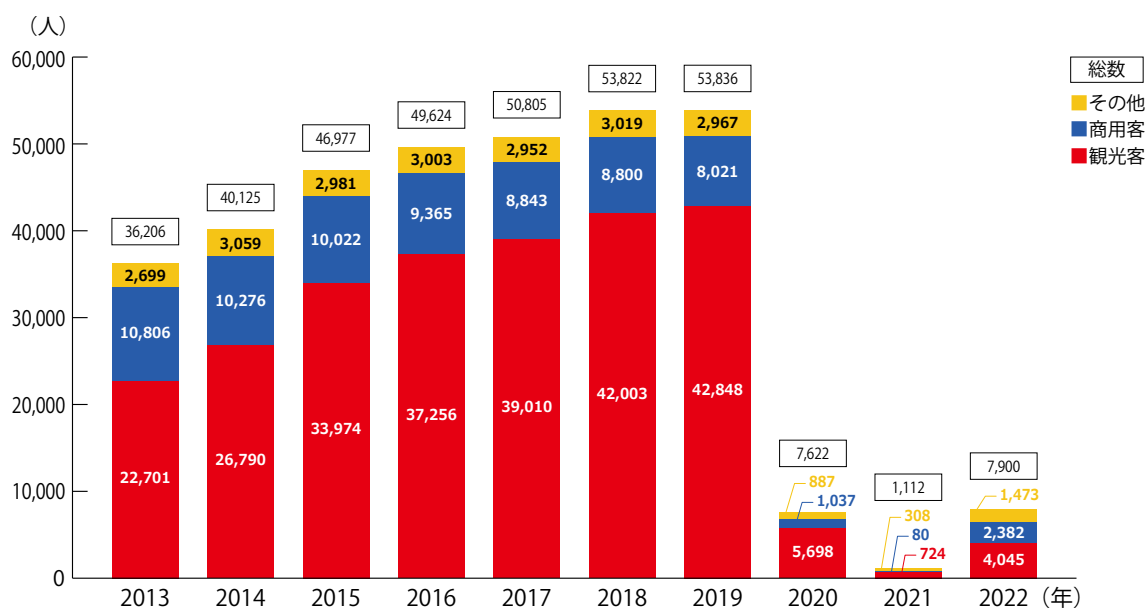
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局



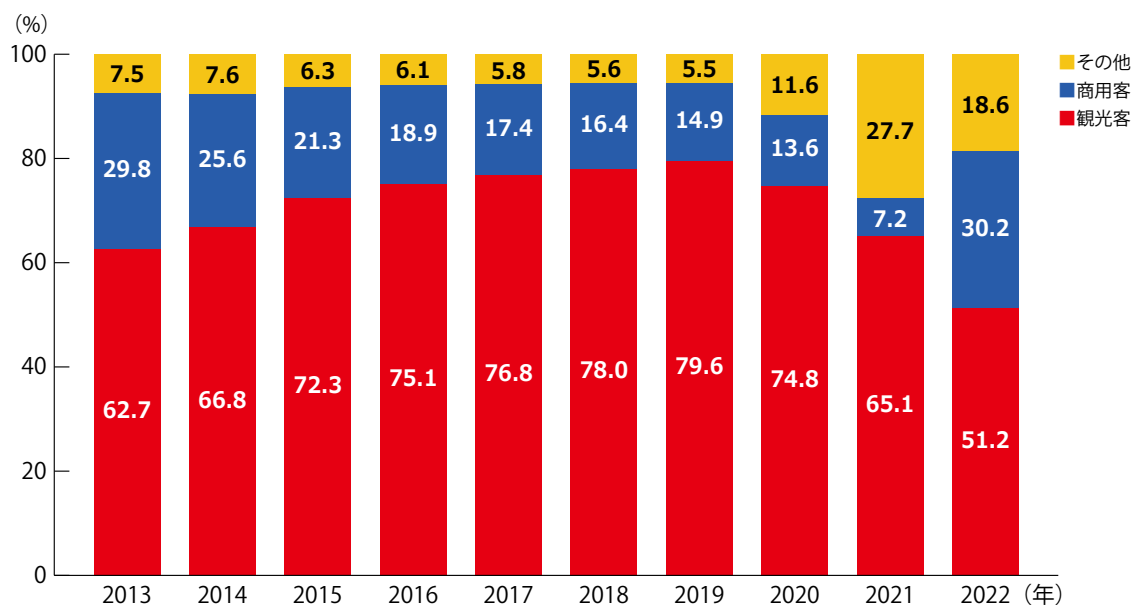
## 第4章 訪日旅行の動向

## (1) 訪日スウェーデン人の推移（2013年～2022年）



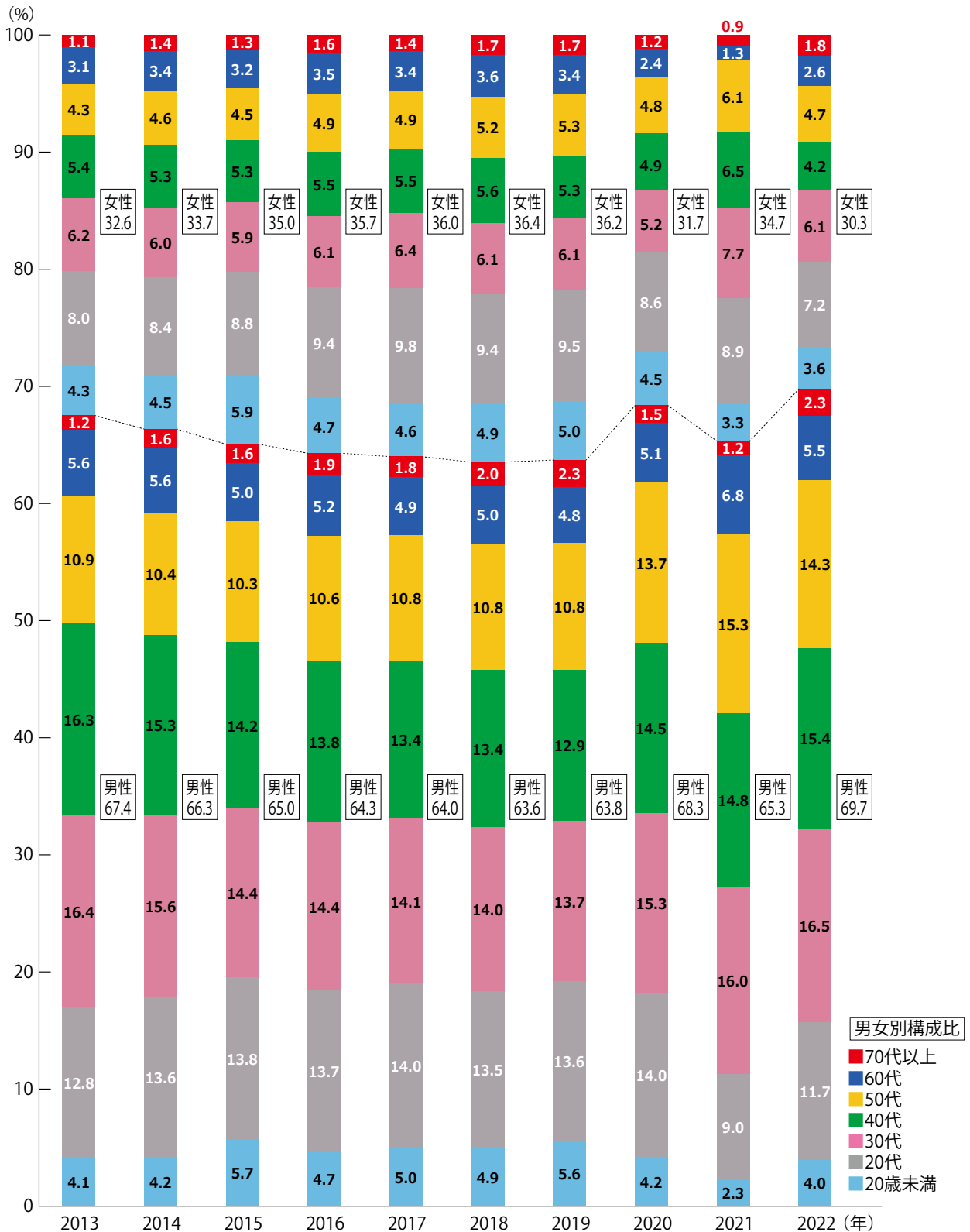
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 訪日スウェーデン人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

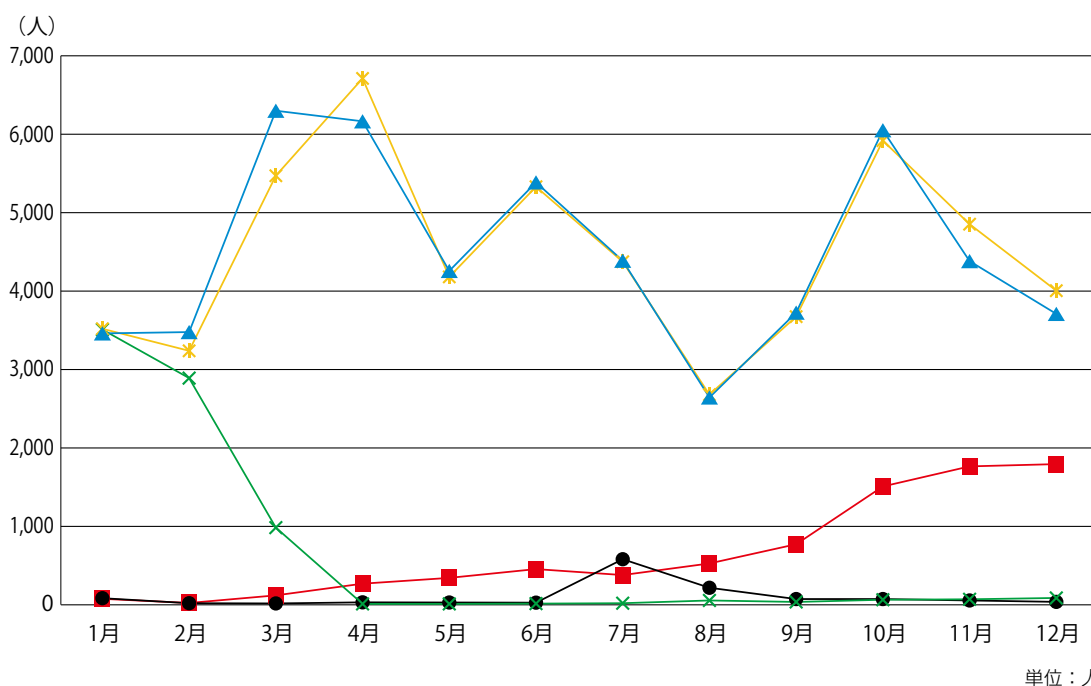
### (3) 訪日スウェーデン人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

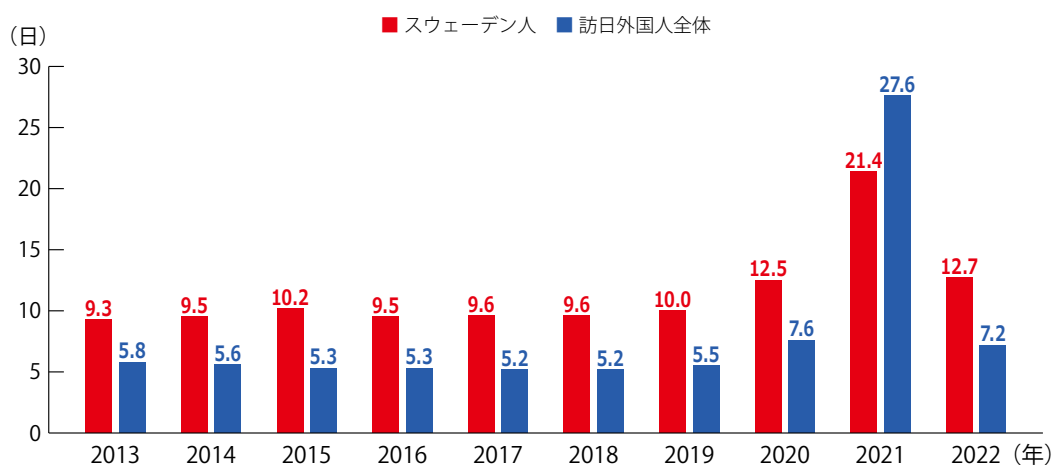
## (4) 月別訪日スウェーデン人の推移 (2018年～2022年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	65	12	109	258	332	444	368	516	761	1,498	1,754	1,783
● 2021年	73	9	6	20	18	16	570	206	62	62	44	26
✕ 2020年	3,499	2,880	973	0	0	4	9	44	25	53	59	76
✱ 2019年	3,509	3,228	5,461	6,702	4,171	5,321	4,364	2,669	3,664	5,909	4,843	3,995
▲ 2018年	3,450	3,467	6,290	6,155	4,247	5,376	4,377	2,633	3,715	6,041	4,372	3,699

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (5) 訪日スウェーデン人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)



# デンマーク

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

デンマーク本国では、デンマーク人が中心を占める。  
この他、移民など。

出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 宗教別構成

福音ルーテル派が国教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

デンマーク本国では、デンマーク語が共通語

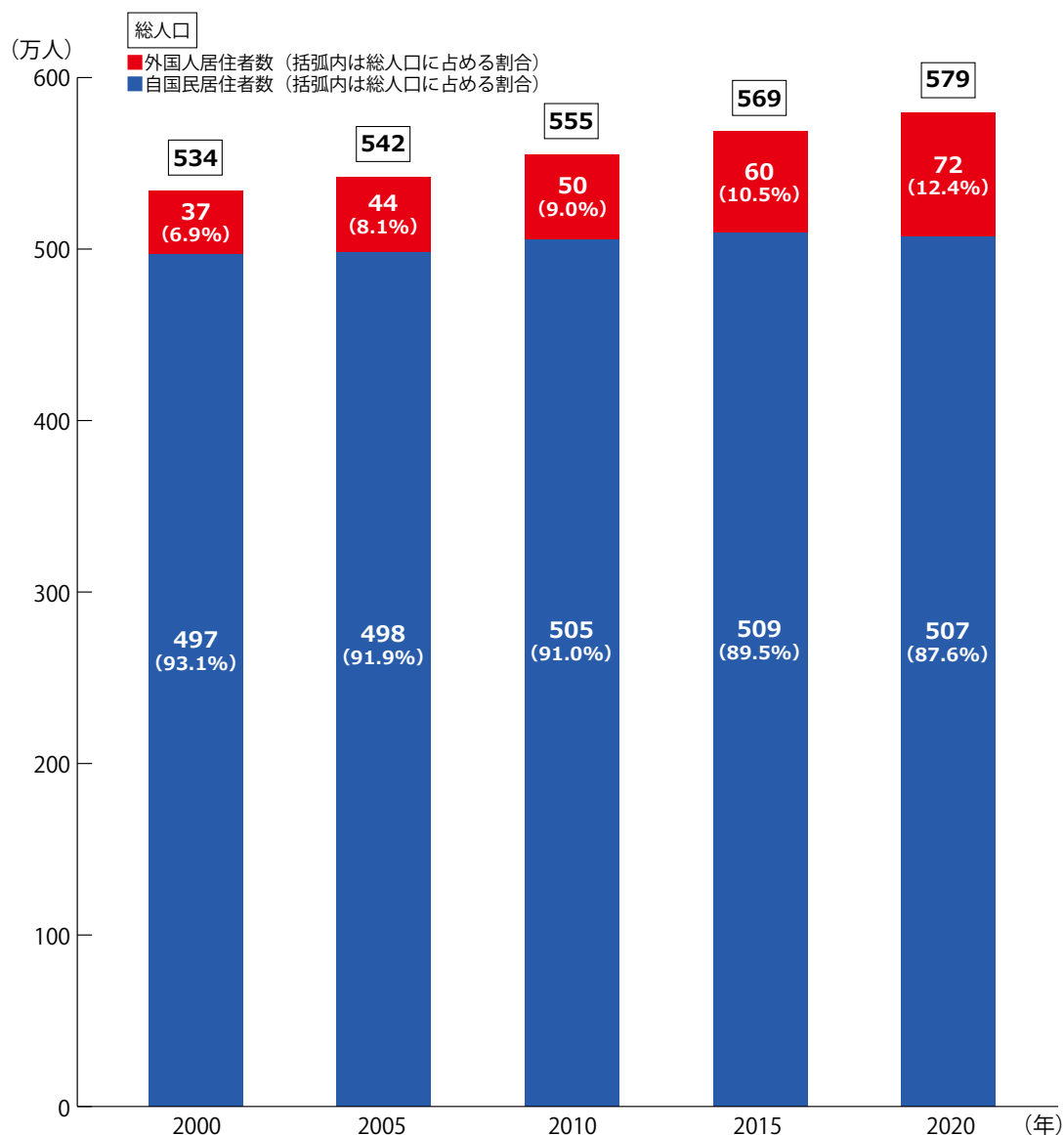
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

4万2,947km<sup>2</sup>（九州本島の1.2倍弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

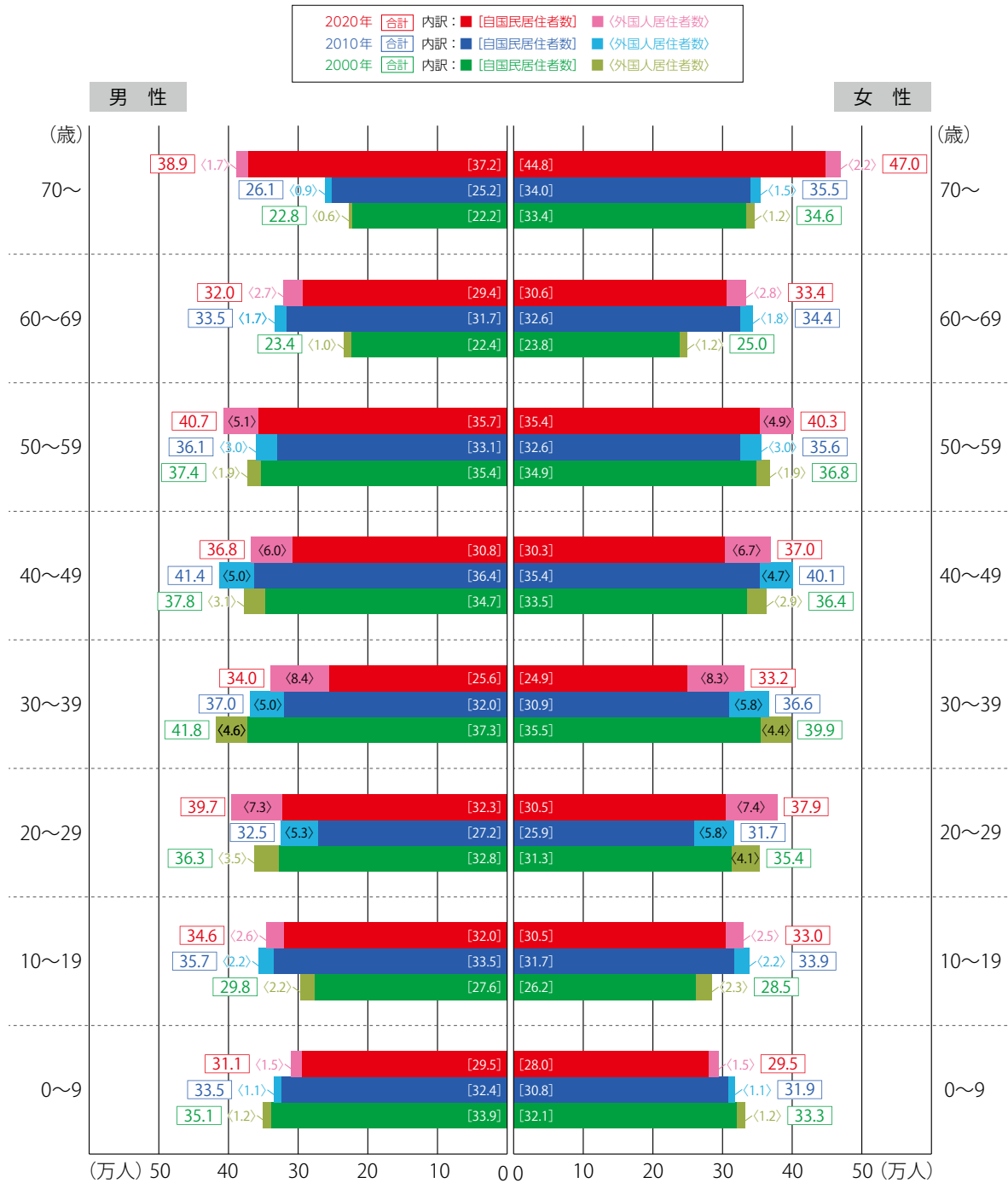
④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：デンマークの外国人居住者は、注2の①に該当する。

注4：デンマークの外国人居住者の中には、デンマークの2つの自治領（フェロー諸島、グリーンランド）からデンマーク本国に来て居住している人も含まれている。

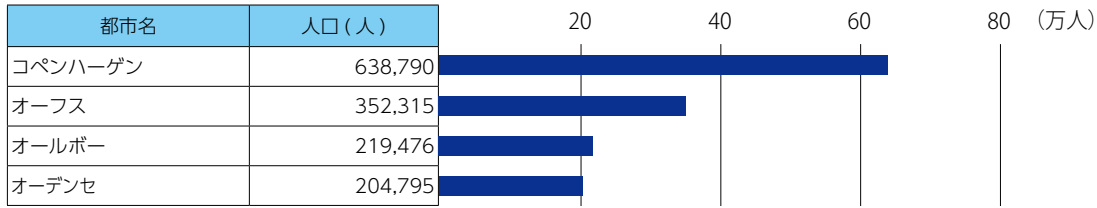
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2021年の推計値である。  
出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年
元旦	1月1日（日）	1月1日（月）
※洗足木曜日	4月6日（木）	3月28日（木）
※聖金曜日	4月7日（金）	3月29日（金）
※復活祭月曜日	4月10日（月）	4月1日（月）
※祈禱日	5月5日（金）	4月26日（金）
※キリスト昇天祭	5月18日（木）	5月9日（木）
※聖霊降臨祭翌月曜日	5月29日（月）	5月20日（月）
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）
ボクシングデー	12月26日（火）	12月26日（木）

注1：※印の祝日は年によって変動する。  
注2：デンマークには振替休日の制度がない。  
注3：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。  
出典：駐日デンマーク大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
国民学校	6歳～16歳 (10年間)	夏期休暇	6月～8月上旬
		秋期休暇	10月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		冬期休暇	2月
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
ギムナジウム	16歳～19歳 (3年間)	夏期休暇	6月～8月中旬
		秋期休暇	10月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		冬期休暇	2月
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
総合大学	19歳～22歳 (3年間)	夏期休暇	7月～8月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
学校年度	8月中旬～翌年8月上旬		
義務教育	国民学校（10年間）		

出典：オーフス市、Herning Gymnasium、デンマーク工科大学

(10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし		有給休暇を除く4か月間の平均1週間当たりの平均労働時間が48時間を超えてはならない。
有給休暇日数	5週間	事務系労働者法 休暇法	通常、労使協約に従うが、法により前年度の労働実績に基づき月当たり2.08日、年最高5週間の有給休暇が与えられ、5月2日から9月30日までの間に最低15日を連続して取る権利がある。ただし双方の話し合いにより分割が可能で、20日を超える休暇を休暇年に使い切れなかった場合は翌年への持ち越しも可能。
定年退職	67歳	社会年金法	2019年から2022年にかけて65歳から67歳に引き上げられた。ただし、公務員は70歳まで働くことが可能。

出典：デンマーク政府、日本貿易振興機構（JETRO）

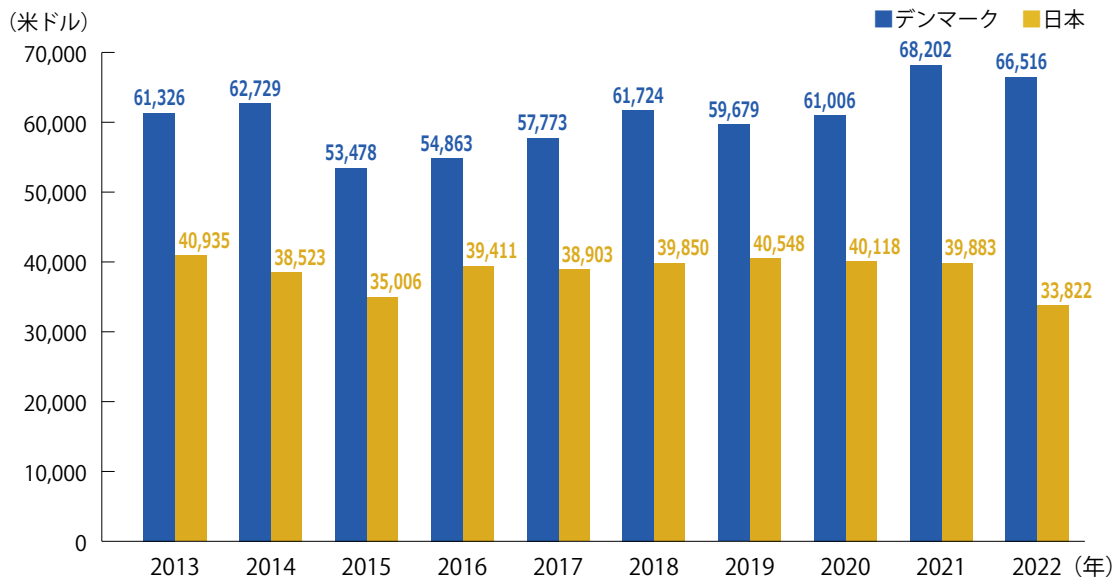
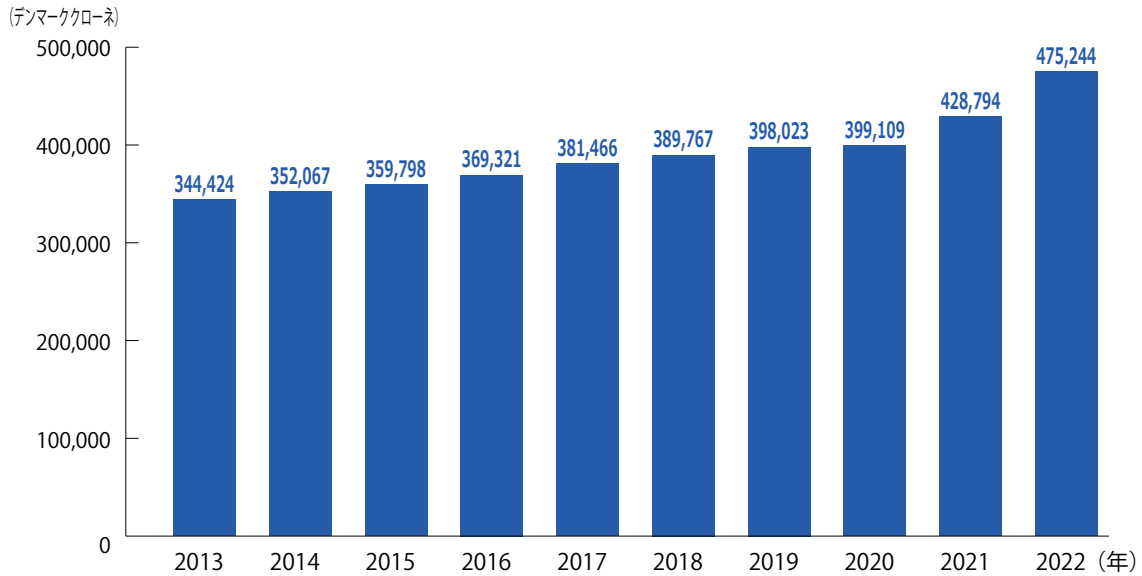
(11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	通常4か月 (通常は4か月であるが、近衛兵8か月、王室船9か月、騎兵隊12か月など、配属先により期間が異なる。)
入隊対象性別	男性を召集（女性も志願可能）
入隊対象年齢	18歳～32歳

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

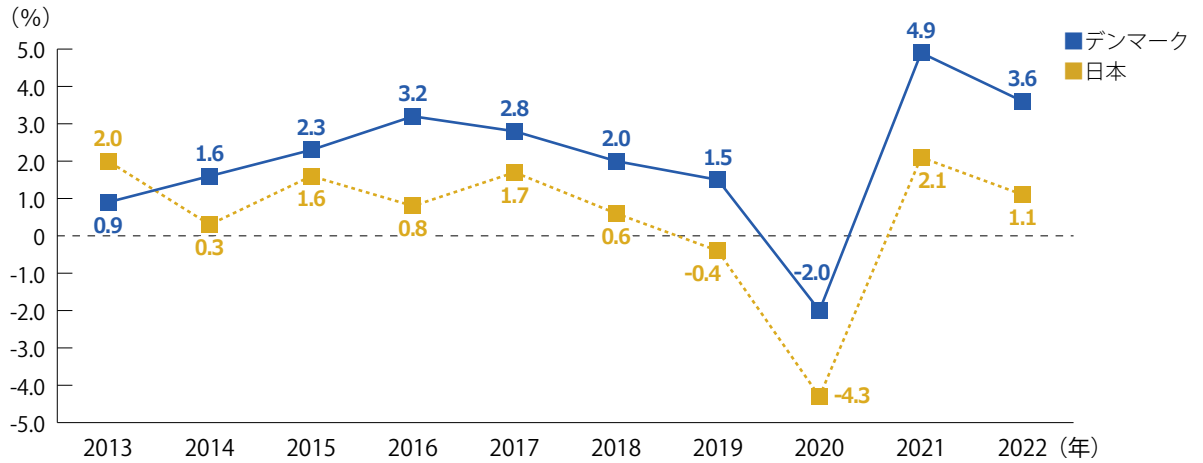


(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



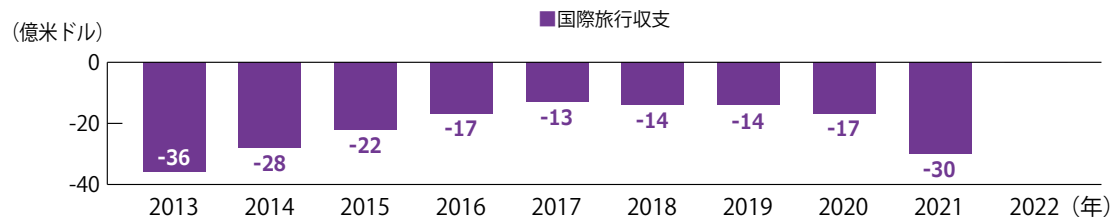
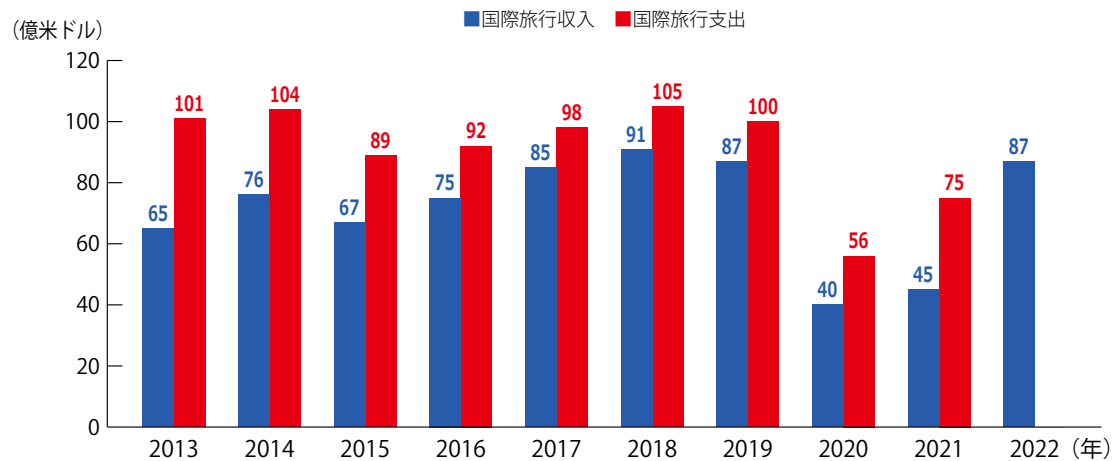
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

(2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



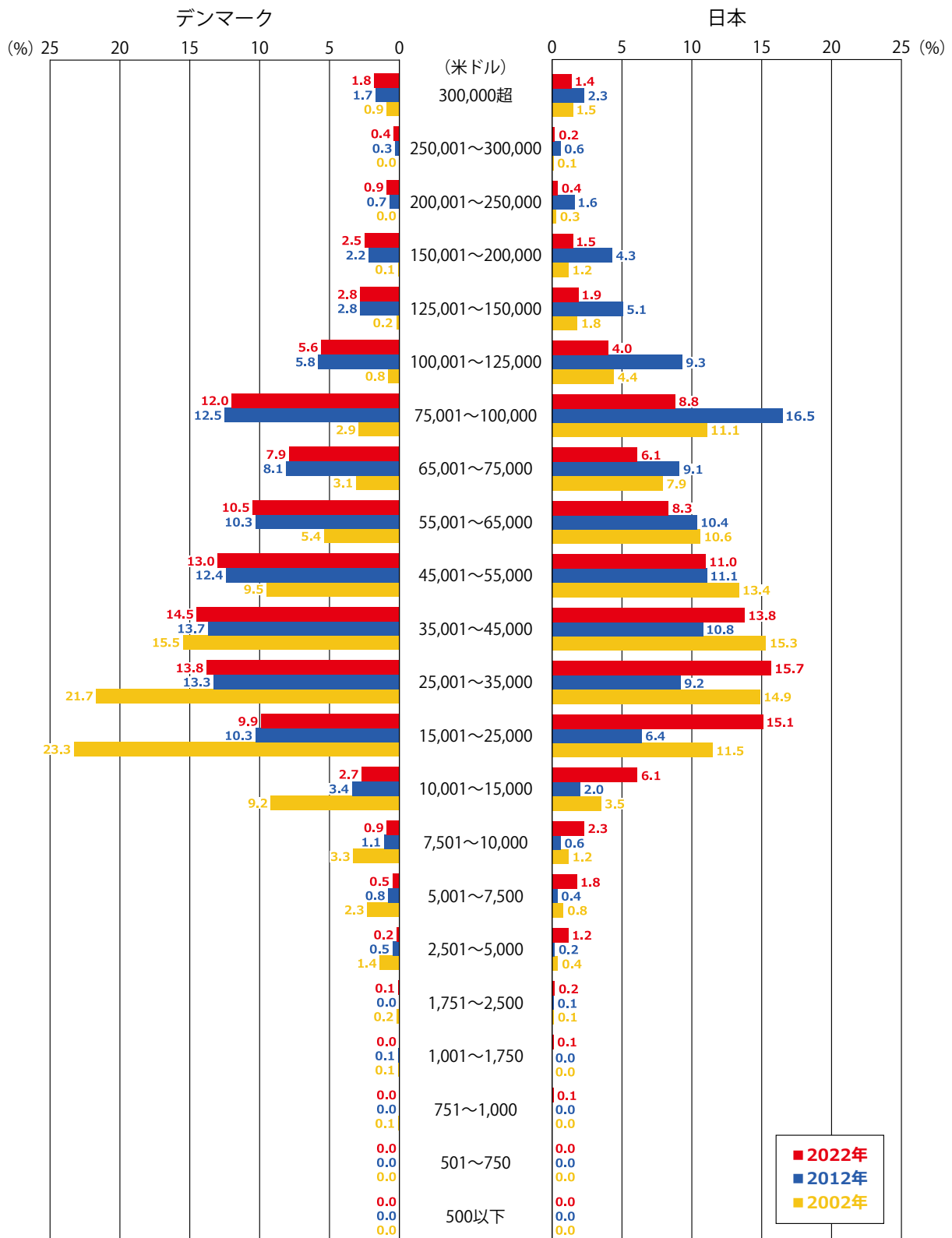
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

(3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



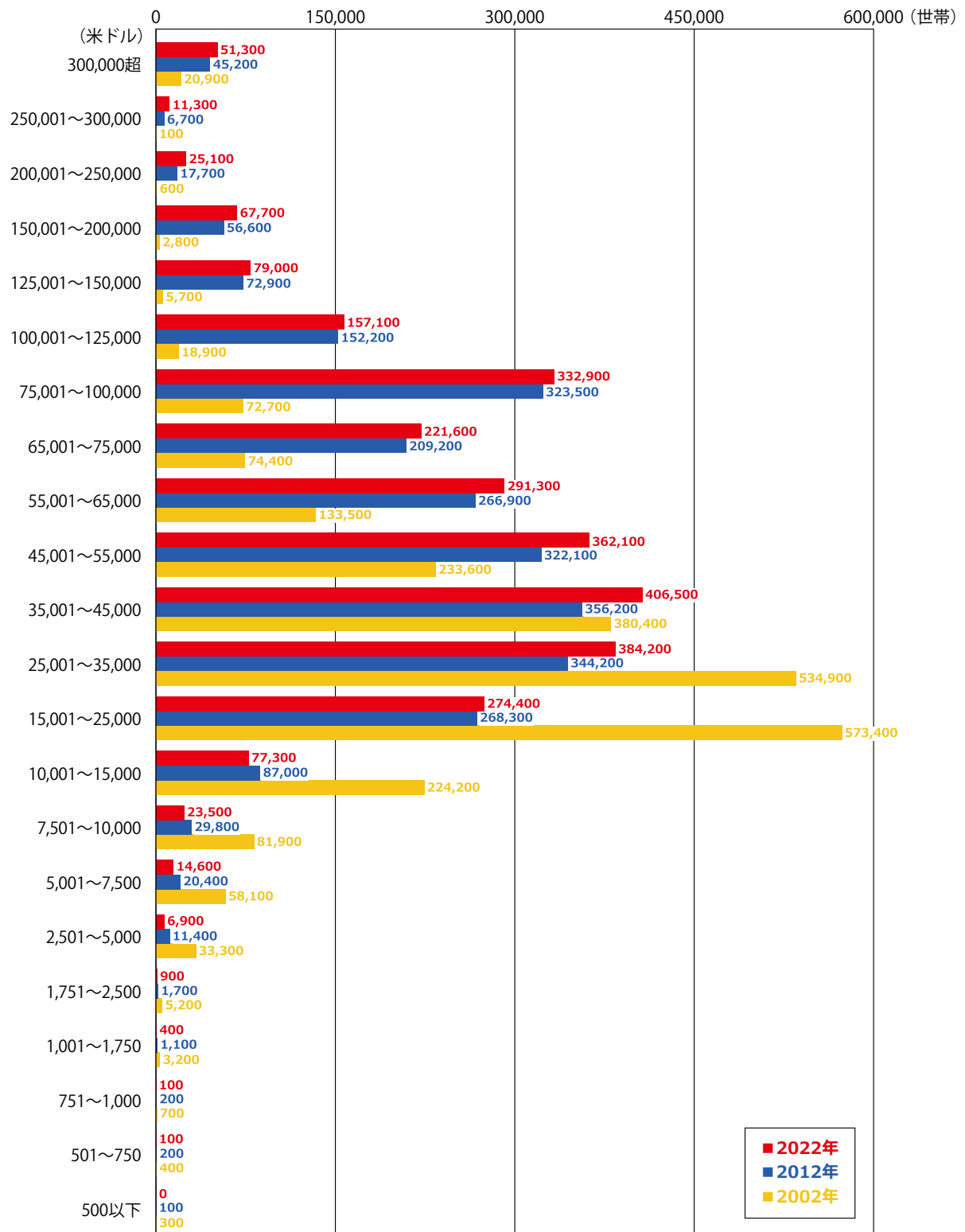
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



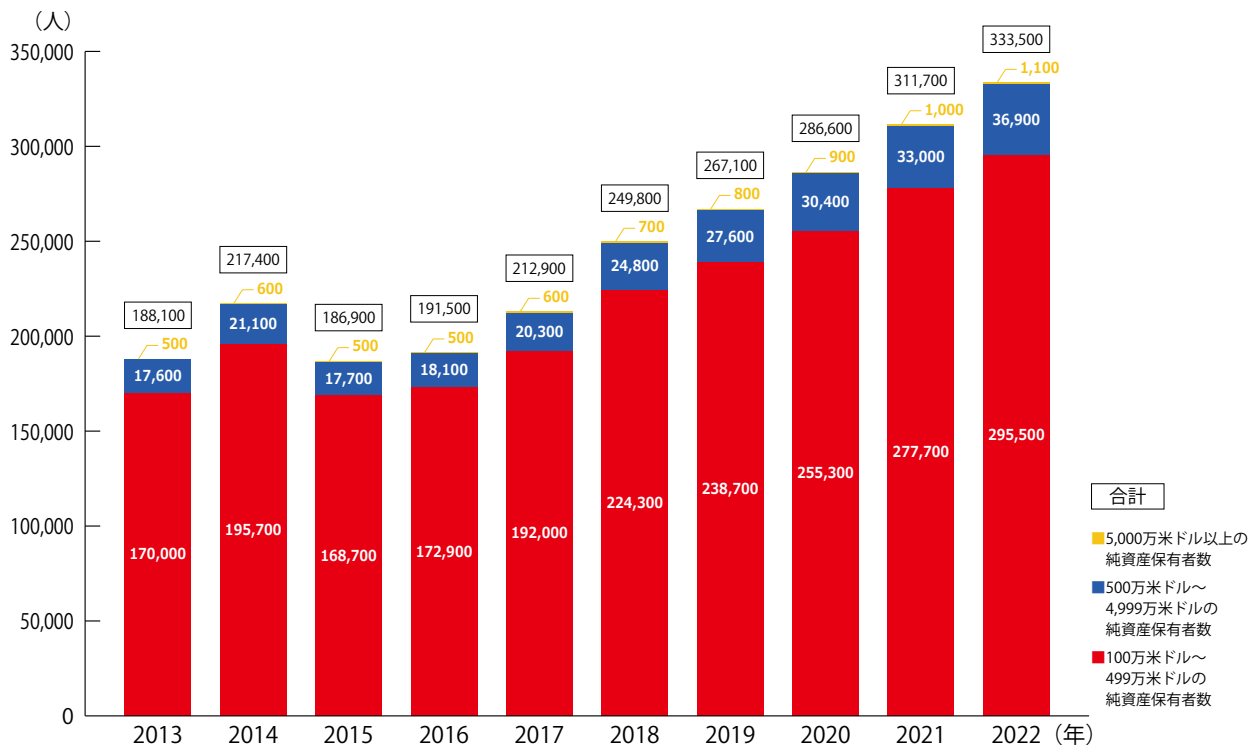
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



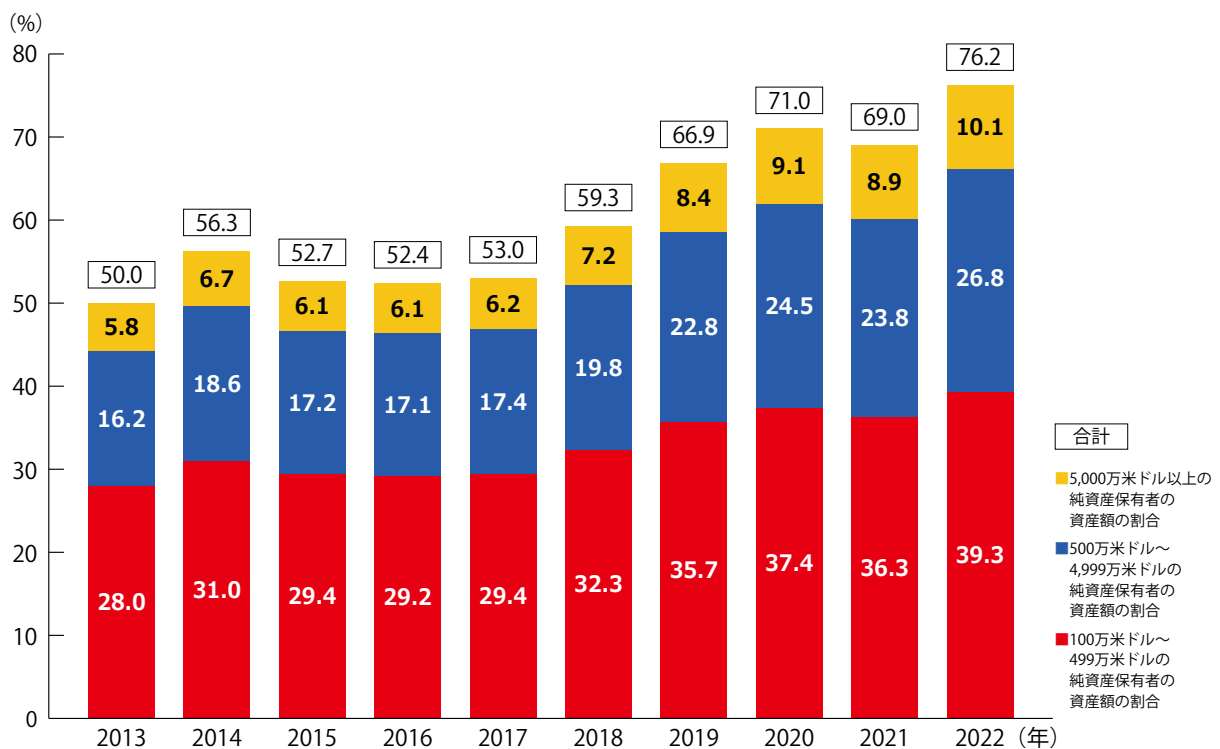
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

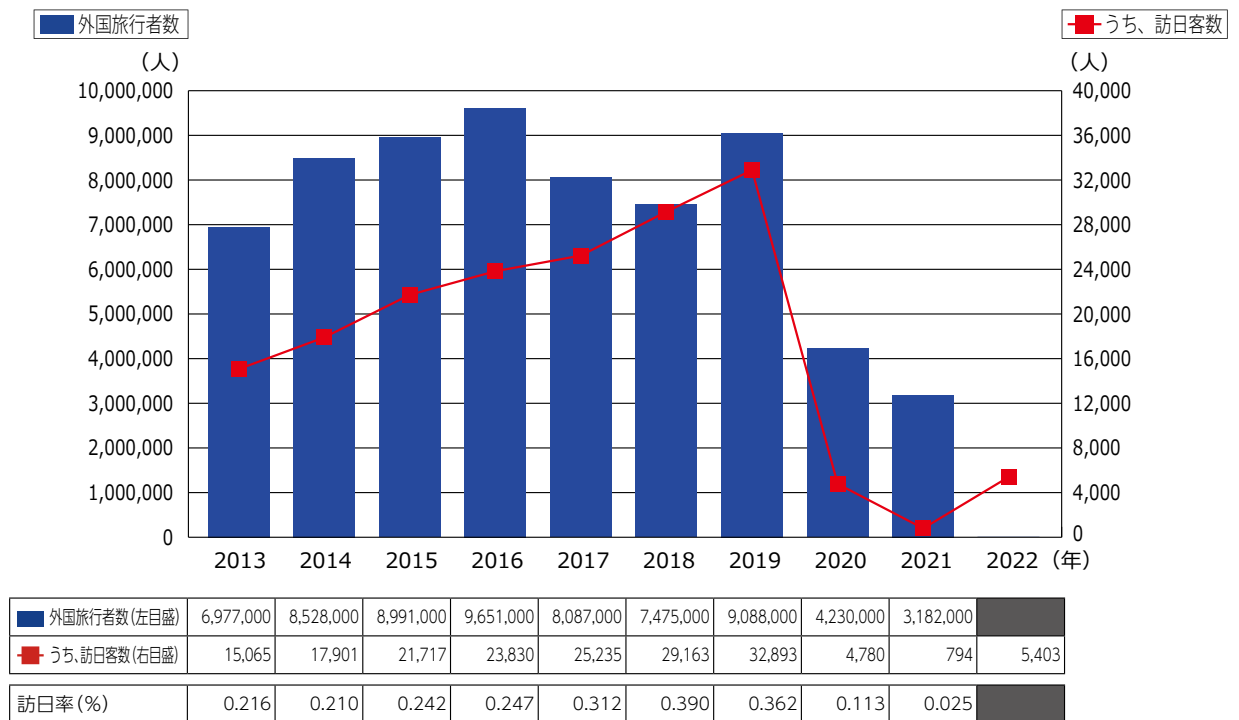
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) デンマーク人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：デンマーク人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、経済協力開発機構（OECD）、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのデンマーク人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	ドイツ	TCER	1,618,405	1,612,394	1,647,450	691,747	704,129	1,647,450
2位	スペイン	TFR	1,424,452	1,389,544	1,202,527	276,863	623,406	1,424,452
3位	イタリア	TFN	741,268	752,429	950,123	213,212	210,350	950,123
4位	英国	VFR	677,173	614,177	691,394		102,161	691,394
5位	スウェーデン	TCER	436,381	486,294	530,808	212,215	253,817	530,808
6位	ノルウェー	TCER	405,909	426,214	415,127	218,690	109,282	426,214
7位	オーストリア	TCER	368,987	367,698	385,182	207,238	111,059	385,182
8位	トルコ	TFN	267,272	323,463	333,361	44,670	111,263	333,361
9位	米国	TFR	332,987	331,374	314,060	48,277	28,133	332,987
10位	ギリシャ	TFR	279,087	384,543	307,623	88,186	204,308	384,543
11位	フランス	TCER	379,683	375,191	251,343	92,392	194,025	379,683
12位	タイ	TFN	161,920	169,365	162,456	66,824	8,480	169,365
13位	ポルトガル	TCER	150,494	146,612	148,248	31,703	74,241	150,494
14位	オランダ	THSR	146,000	147,000	148,000	41,000	55,000	148,000
15位	クロアチア	TCER	123,662	134,164	136,962	33,891	82,798	136,962
16位	チェコ	TCEN	104,479	101,700	114,471	29,742	39,345	114,471
17位	ポーランド	TCER	97,124	94,687	101,652	31,327	45,144	101,652
18位	エジプト	VFN	53,599	82,993	83,207	20,132		83,207
19位	アイルランド	TFR	70,000	68,000	71,000			71,000
20位	アラブ首長国連邦	VFN	73,726	70,377	70,801	25,633		73,726
21位	中国	VFN	70,239	70,023	67,240			70,239
22位	ベルギー	TCER	64,444	64,833	65,166	12,867	19,368	65,166
23位	フィンランド	TCER	62,346	62,737	64,192	16,022	17,731	64,192
24位	スイス	TCER	63,154	63,197	63,551	22,574	34,873	63,551
25位	ハンガリー	TCEN	61,115	59,576	55,911	11,434	21,820	61,115
26位	ブルガリア	VFR	67,502	57,405	53,360	8,216	24,207	67,502
27位	アイスランド	TFN	53,240	51,019	49,280	23,332	24,281	53,240
28位	インドネシア	VFN	43,721	46,825	45,090	10,533	557	46,825

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	マルタ	TFR	45,729	41,709	42,717	8,191	18,698	45,729
30位	ベトナム	VFR	34,720	39,926	42,043	14,623	337	42,043
31位	カナダ	TFR	49,088	43,918	40,276	5,381	5,561	49,088
32位	シンガポール	VFR	33,986	37,417	38,049	9,248	730	38,049
33位	キプロス	TCER	27,202	31,813	36,445	12,199	37,489	37,489
34位	日本	VFN	25,235	29,163	32,893	4,780	794	32,893
35位	ラトビア	TCER	26,792	31,036	31,328	6,467	7,280	31,328
36位	モロッコ	TFN	36,482	45,799	31,018	6,737	3,488	45,799
37位	ウクライナ	TFR	13,180	18,435	30,625	5,189	8,728	30,625
38位	豪州	VFR	28,320	30,560	29,672	8,769	598	30,560
39位	リトアニア	TCER	29,631	31,112	29,074	6,259	10,247	31,112
40位	インド	VFN	26,761	28,195	26,492	8,252	2,025	28,195
41位	スロベニア	TCEN	22,217	23,241	25,877	4,776	9,670	25,877
42位	ルーマニア	VFR	23,969	23,402	25,319	5,074	11,924	25,319
43位	南アフリカ共和国	TFR	28,679	27,649	24,837	8,764	3,424	28,679
44位	イスラエル	TFR	19,167	22,458	23,565	3,887	1,300	23,565
45位	マレーシア	TFN	23,219	23,566	22,314	6,061	214	23,566
46位	ロシア	VFN	19,249	26,952	21,002	2,722		26,952
47位	エストニア	TCER	15,964	16,056	20,270	3,675	4,769	20,270
48位	メキシコ	TFN	20,083	20,695	19,992	7,163	8,850	20,695
49位	フィリピン	TFR	18,445	17,884	18,535	4,848	353	18,535
50位	ブラジル	TFR	18,593	16,778	17,701	4,471	2,321	18,593
51位	レバノン	TFN	17,240	18,146	16,942	4,175	10,559	18,146
52位	スリランカ	TFR	18,647	19,223	16,869	4,905	1,302	19,223
53位	モンテネグロ	TCEN	6,342	8,462	16,166	1,944	3,223	16,166
54位	香港	TFR	20,022	19,915	16,140	1,412	119	20,022
55位	タンザニア	VFR	13,419	14,793	15,091	4,000	4,693	15,091
56位	ケニア	VFR		14,875	14,476	5,003		14,875
57位	ニュージーランド	VFR	13,392	13,465	13,804	5,976	109	13,804
58位	韓国	VFN	11,408	12,044	13,453	2,059	1,396	13,453
59位	アルバニア	VFN	9,103	8,718	13,335	843	3,959	13,335
60位	カンボジア	TFR	13,910	12,688	11,843	4,366	126	13,910
61位	アルゼンチン	TFR	9,021	10,731	11,244	4,050	300	11,244
62位	モルディブ	TFN	10,629	11,133	10,621	3,938	6,106	11,133
63位	スロバキア	TCEN	9,099	9,652	10,385	2,542	2,852	10,385
64位	チュニジア	TFN	2,343	4,225	10,010	843	975	10,010
65位	キューバ	VFR	15,417	12,584	9,863	2,891	219	15,417
66位	ヨルダン	TFN	5,521	6,935	8,305	1,230	1,877	8,305
67位	セルビア	TCEN	6,610	7,316	8,219	1,579	3,531	8,219
68位	ペルー	TFR	6,534	7,124	7,394	1,552	665	7,394
69位	モーリシャス	TFR	6,971	7,418	7,388	2,434	1,720	7,418
70位	ナイジェリア	VFN	7,422	7,332	7,262	2,108	2,175	7,422
71位	コスタリカ	TFN	6,123	6,574	7,191	3,255	3,045	7,191
72位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	4,256	5,713	6,925	584	2,650	6,925
73位	ルクセンブルク	TCER	7,426	6,831	6,698	3,192	4,727	7,426
74位	ウガンダ	TFR	6,493			625	440	6,493
75位	米領バージン諸島	THSN	12,153	3,987	6,350	1,730	69	12,153
76位	ジョージア	VFR	3,282	4,541	6,088	568	1,158	6,088
77位	チリ	TFN	5,081	5,907	5,738	1,650	320	5,907
78位	サウジアラビア	TFN	3,424	3,558	5,436	809	1,245	5,436
79位	北マケドニア	TCEN	4,266	4,794	5,080	572	1,769	5,080
80位	コロンビア	TFR	4,974	5,138	5,054	1,397	1,408	5,138
81位	ネパール	TFN	4,287	4,840	4,596			4,840
82位	ガンビア	TFN	1,695	2,673	4,547	2,155	771	4,547
83位	サンマリノ	VFN	4,449	4,898	4,442	638	1,485	4,898
84位	ドミニカ共和国	TFR	2,546	4,196	4,433	1,998	1,519	4,433
85位	エチオピア	TFR	4,560	4,132	3,954	769	762	4,560
86位	イラン	VFN	5,953	4,667	3,822	220	695	5,953
87位	ミャンマー	TFN	4,602	3,977	3,674	1,198	27	4,602
88位	クウェート	VFN	4,142	3,946	3,654	772	824	4,142
89位	エクアドル	VFN	3,222	3,573	3,647	1,235	868	3,647
90位	ラオス	VFN	3,198	3,892	3,134	1,590		3,892
	マカオ	VFN	3,003	2,918	2,996	153	1	3,003

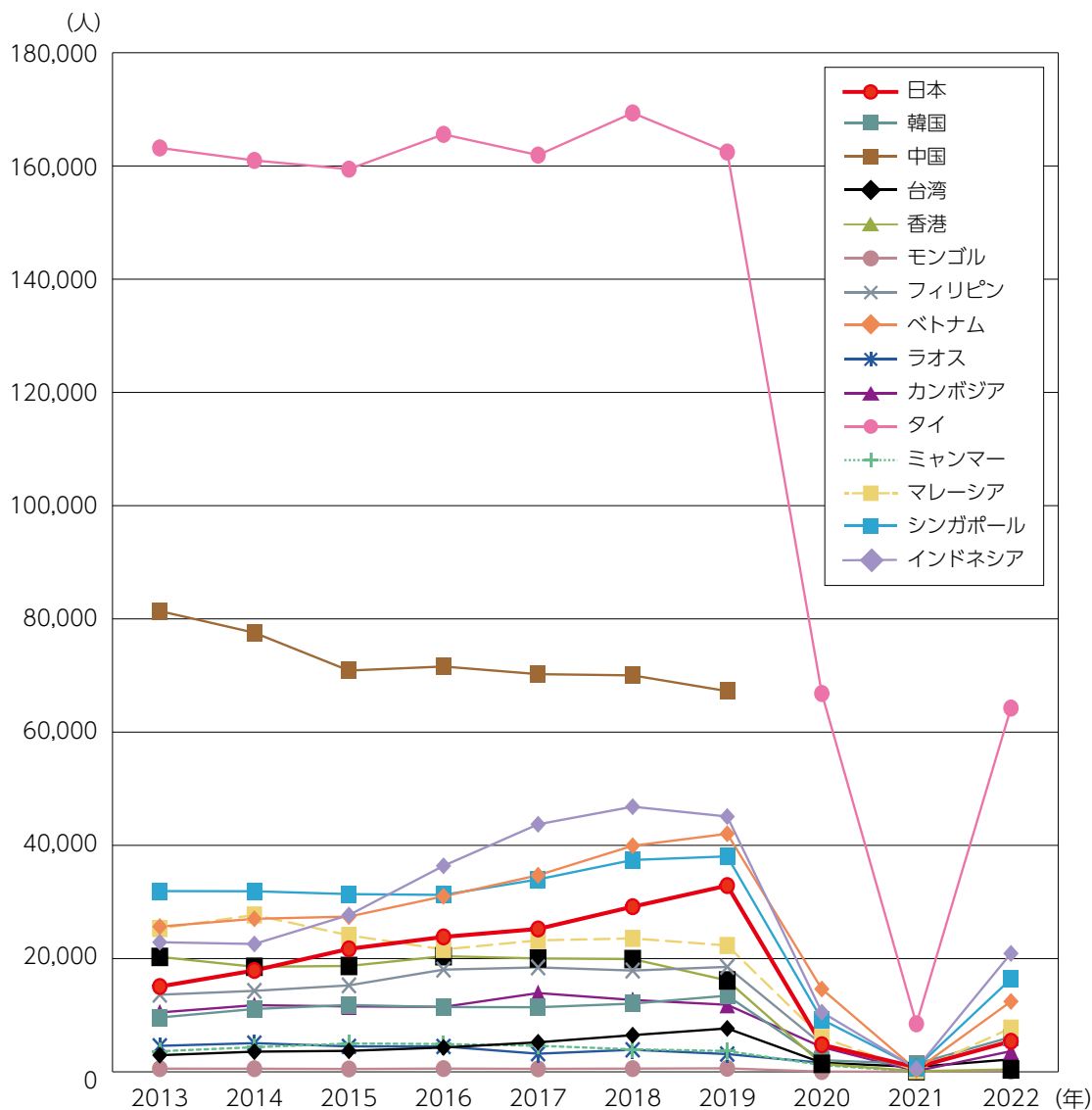
統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）  
 F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）  
 R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

## ▶ 前ページから

- 注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。
- 注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。
- 注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。  
但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。
- 注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。
- 注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。
- 注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。
- 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



### (3) アジア各国・地域へのデンマーク人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	163,186	160,977	159,435	165,581	161,920	169,365	162,456	66,824	8,480	64,249
中国	VFN	81,385	77,556	70,873	71,588	70,239	70,023	67,240			
インドネシア	VFN	22,890	22,577	27,692	36,380	43,721	46,825	45,090	10,533	557	20,913
ベトナム	VFR	25,649	27,029	27,414	30,996	34,720	39,926	42,043	14,623	337	12,427
シンガポール	VFR	31,920	31,892	31,389	31,246	33,986	37,417	38,049	9,248	730	16,407
日本	VFN	15,065	17,901	21,717	23,830	25,235	29,163	32,893	4,780	794	5,403
マレーシア	TFN	25,312	27,703	24,113	21,612	23,219	23,566	22,314	6,061	214	7,717
フィリピン	TFR	13,618	14,298	15,269	18,049	18,445	17,884	18,535	4,848	353	
香港	TFR	20,297	18,553	18,697	20,418	20,022	19,915	16,140	1,412	119	414
韓国	VFN	9,595	11,096	11,803	11,436	11,408	12,044	13,453	2,059	1,396	6,138
カンボジア	TFR	10,485	11,766	11,553	11,462	13,910	12,688	11,843	4,366	126	3,650
台湾	VFR	2,937	3,559	3,703	4,295	5,214	6,477	7,667	1,609	863	2,197
ミャンマー	TFN	3,628	4,347	4,998	4,909	4,602	3,977	3,674	1,198	27	
ラオス	VFN	4,586	5,065	4,491	4,479	3,198	3,892	3,134	1,590		985
モンゴル	TFN	555	549	505	570	527	568	615	40	18	143

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

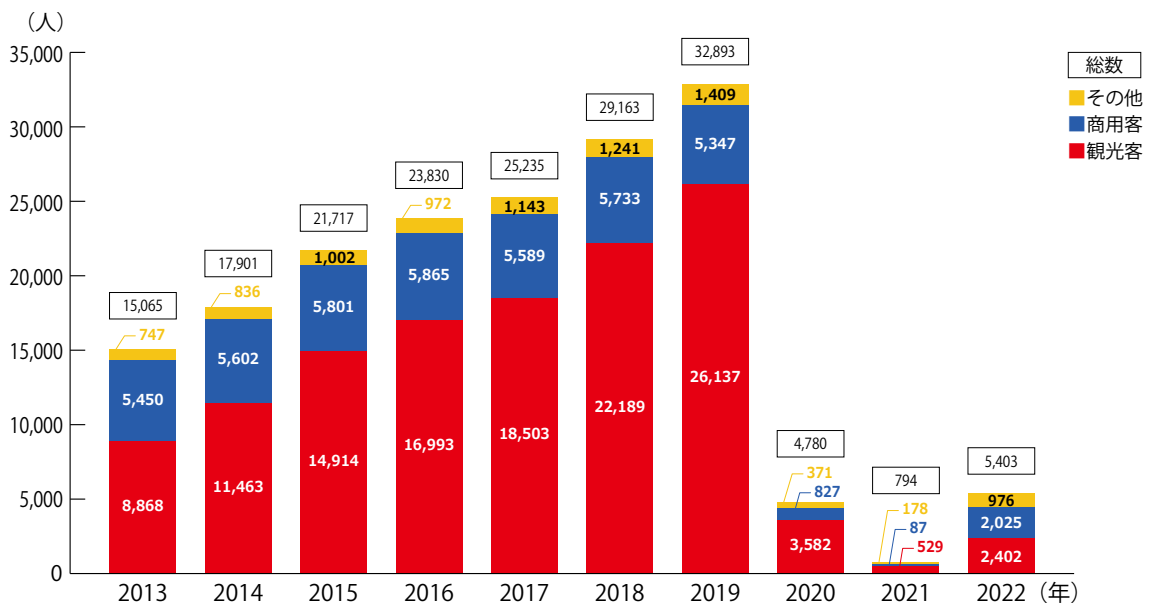
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

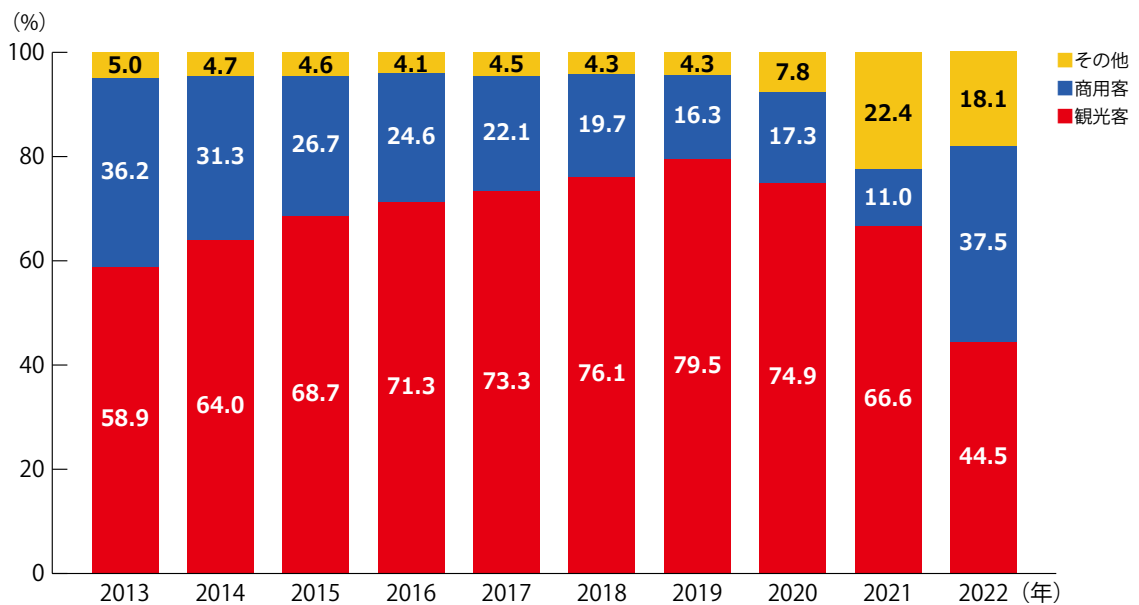
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日デンマーク人の推移 (2013年～2022年)



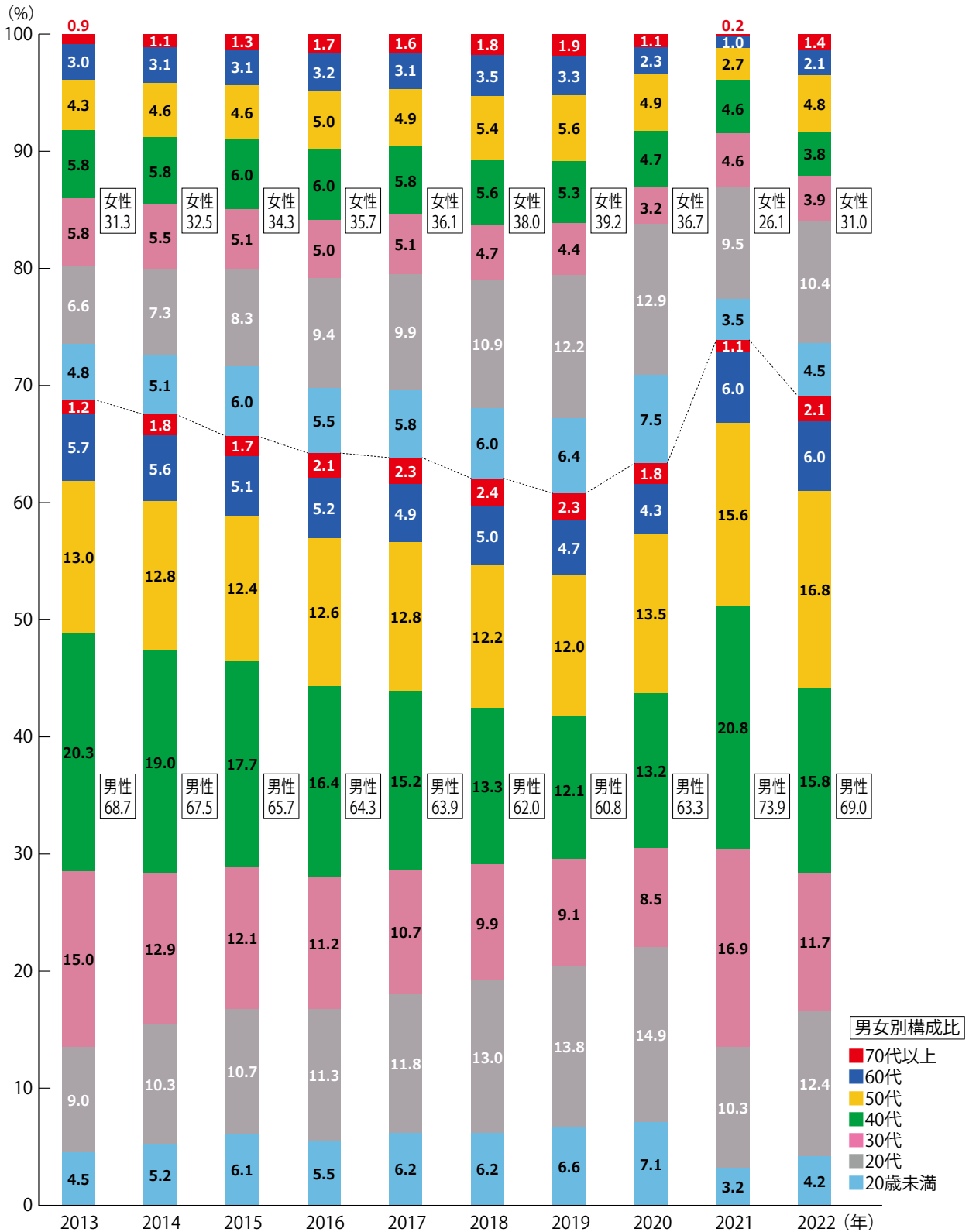
出典：日本政府観光局 (JNTO)

(2) 訪日デンマーク人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

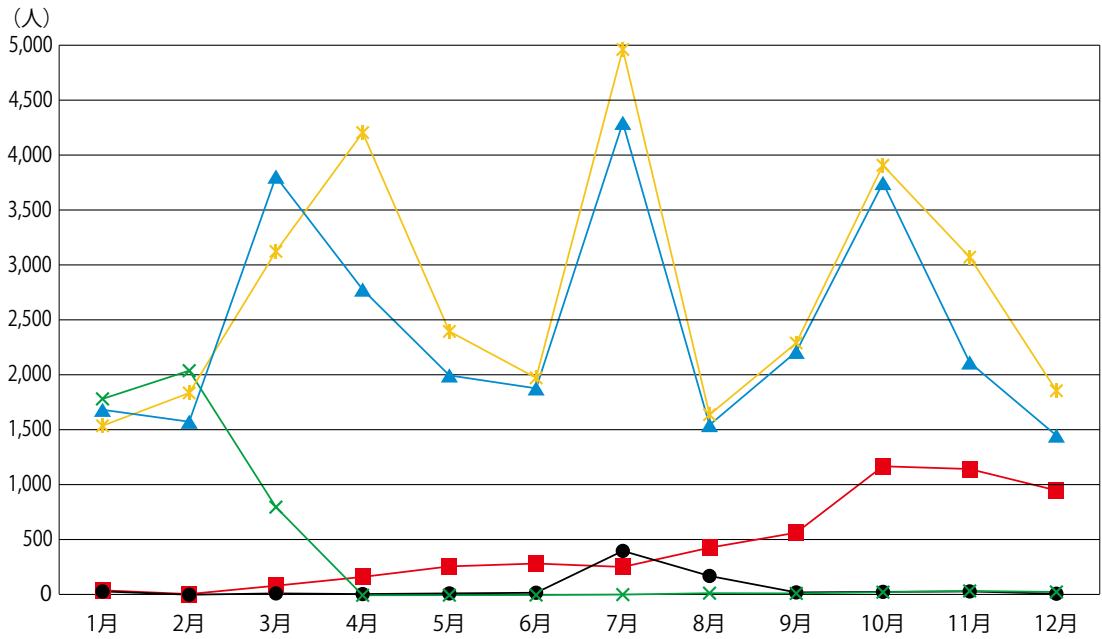
### (3) 訪日デンマーク人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日デンマーク人の推移 (2018年～2022年)

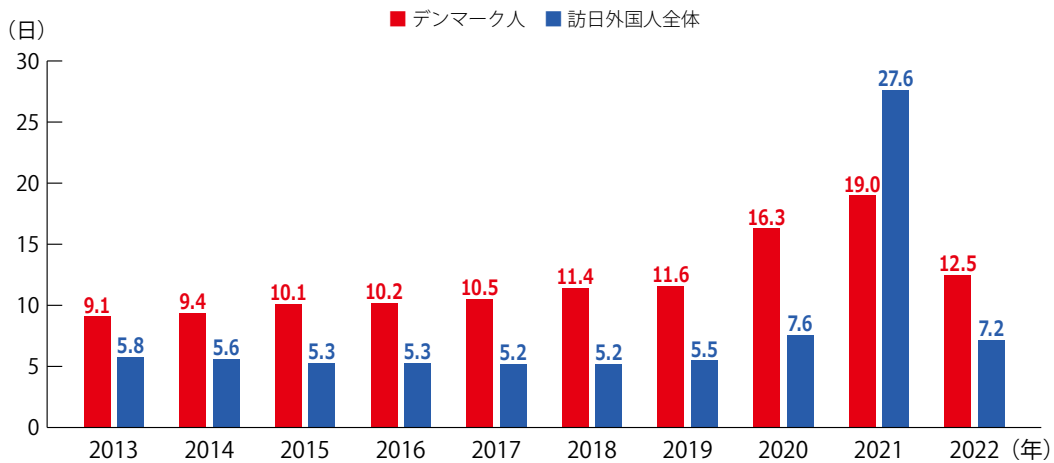


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	45	11	87	167	263	289	258	433	570	1175	1150	955
● 2021年	35	5	17	11	17	23	404	176	26	31	35	14
✕ 2020年	1,789	2,046	803	0	1	2	6	19	17	28	39	30
✳ 2019年	1,544	1,843	3,132	4,215	2,404	1,980	4,972	1,645	2,298	3,917	3,080	1,863
▲ 2018年	1,690	1,581	3,814	2,785	2,003	1,885	4,304	1,551	2,218	3,756	2,121	1,455

出典：日本政府観光局 (JNTO)

(5) 訪日デンマーク人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)



# ノルウェー

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

ノルウェー人が中心を占める。  
この他、少数民族のサーミ人、移民など。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 宗教別構成

福音ルーテル派が大多数  
出典：日本国外務省

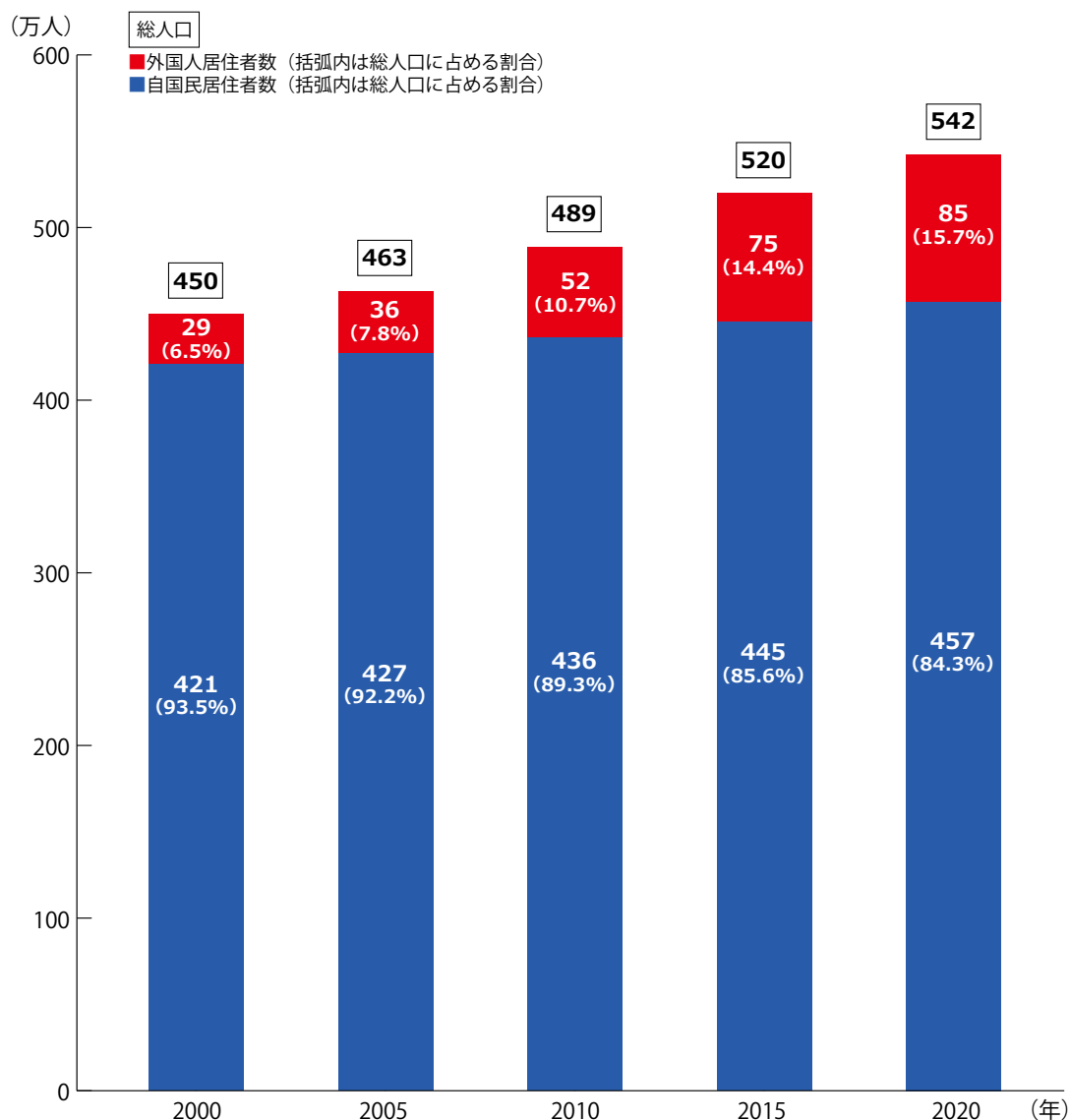
### (3) 使用言語

ノルウェー語が公用語  
少数民族のサーミ人の間では、サーミ語も話されている。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

32万3,772km<sup>2</sup>（日本の86%弱）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

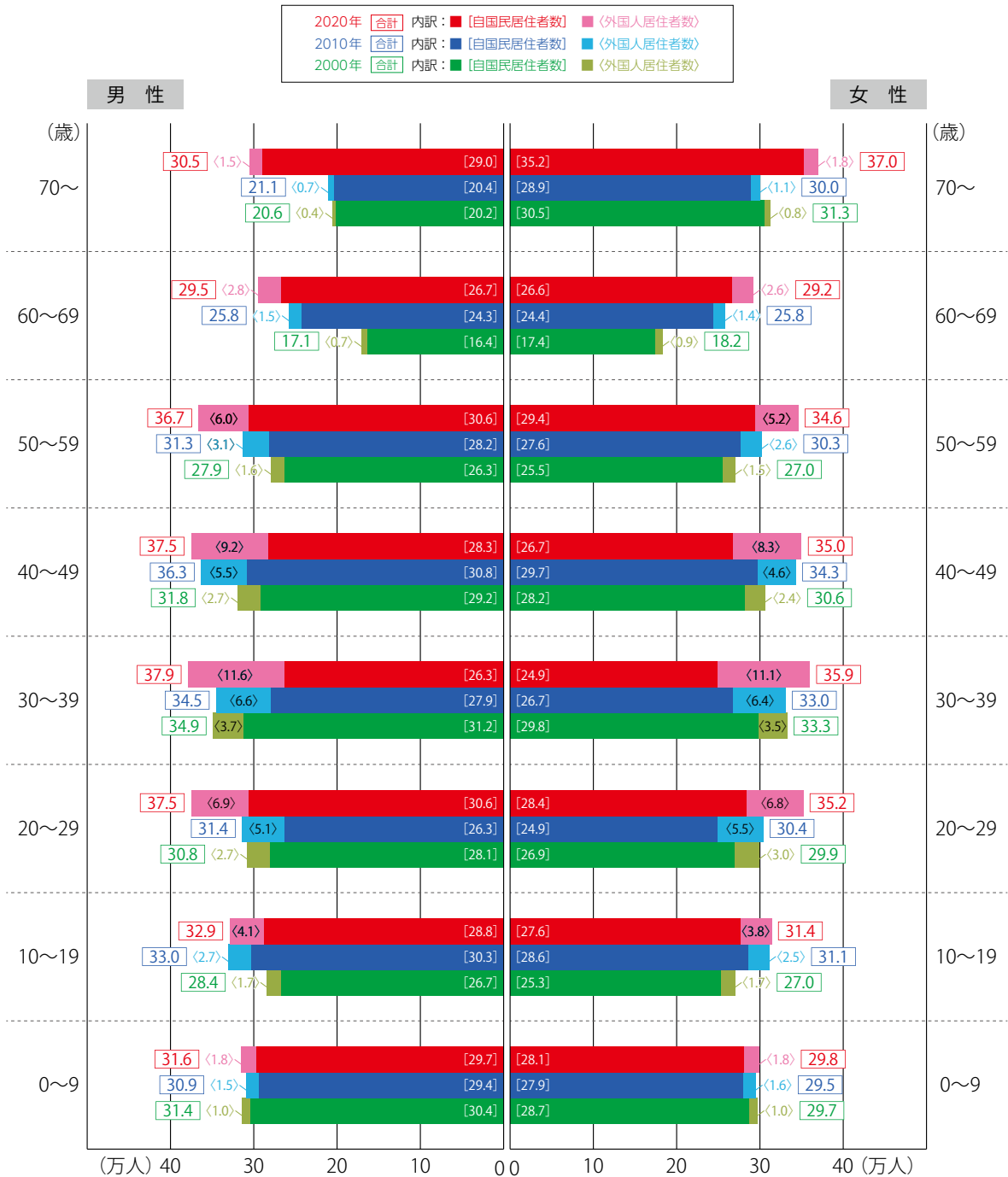
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なっており、原則的に以下のとおり類型化される。

- ① 外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、滞在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ② 当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③ 外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④ 当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：ノルウェーの外国人居住者は、注2の①に該当する。

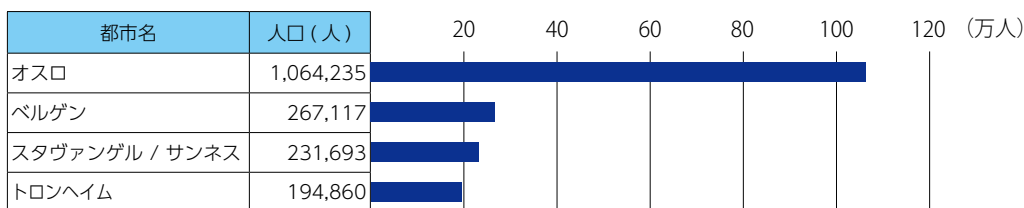
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(7) 都市別人口



注1: 上の数値は、2022年の推計値である。  
 注2: 上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。  
 出典: ノルウェー統計局

ノルウェー

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年
新年休暇	1月1日（日）	1月1日（月）
※洗足木曜日	4月6日（木）	3月28日（木）
※聖金曜日	4月7日（金）	3月29日（金）
※復活祭月曜日	4月10日（月）	4月1日（月）
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）
憲法記念日	5月17日（水）	5月17日（金）
※キリスト昇天祭	5月18日（木）	5月9日（木）
※聖霊降臨祭の翌日	5月29日（月）	5月20日（月）
クリスマス	12月25日（日）	12月25日（水）
ボクシングデー	12月26日（火）	12月26日（木）

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：ノルウェーには振替休日の制度がない。

注3：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

出典：駐日ノルウェー大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
基礎学校	6歳～16歳 (10年間)	夏期休暇	6月～8月中旬
		秋期休暇	10月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		冬期休暇	2月下旬～3月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
高等学校	16歳～19歳 (3年間)	夏期休暇	6月～8月中旬
		秋期休暇	10月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		冬期休暇	2月下旬～3月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
総合大学	19歳～22歳 (3年間)	夏期休暇	6月～8月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬

学校年度	8月中旬～翌年8月上旬
義務教育	基礎学校（10年間）

出典：ヴィーケン州、オスロ大学

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	日曜日	労働環境法 第10条	通常の労働時間は、7日間で40時間を超えてはならない。
有給休暇日数	25日	休日法第5条	・6月1日から9月30日までに18日間の休暇を要求できる。 ・60歳以上の労働者は追加で6日間の休暇を得る。
定年退職	67歳（男女とも67歳～70歳を自由に選択できる。）	国民保険法 第3条、第19条	一定の条件を満たす場合、62歳から受給は可能。

出典：ノルウェー政府

## (11) 徴兵制度

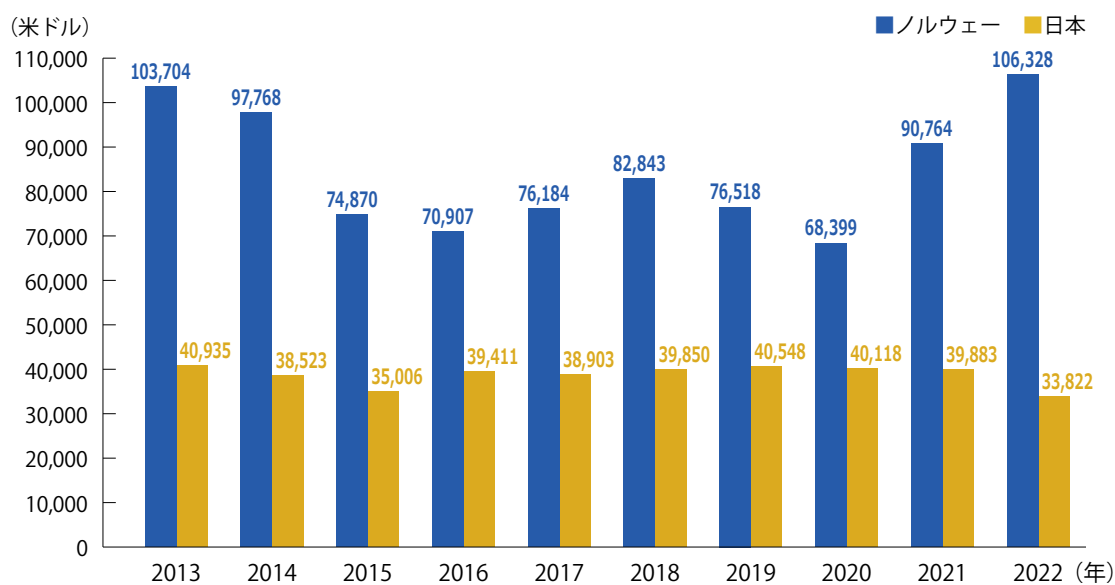
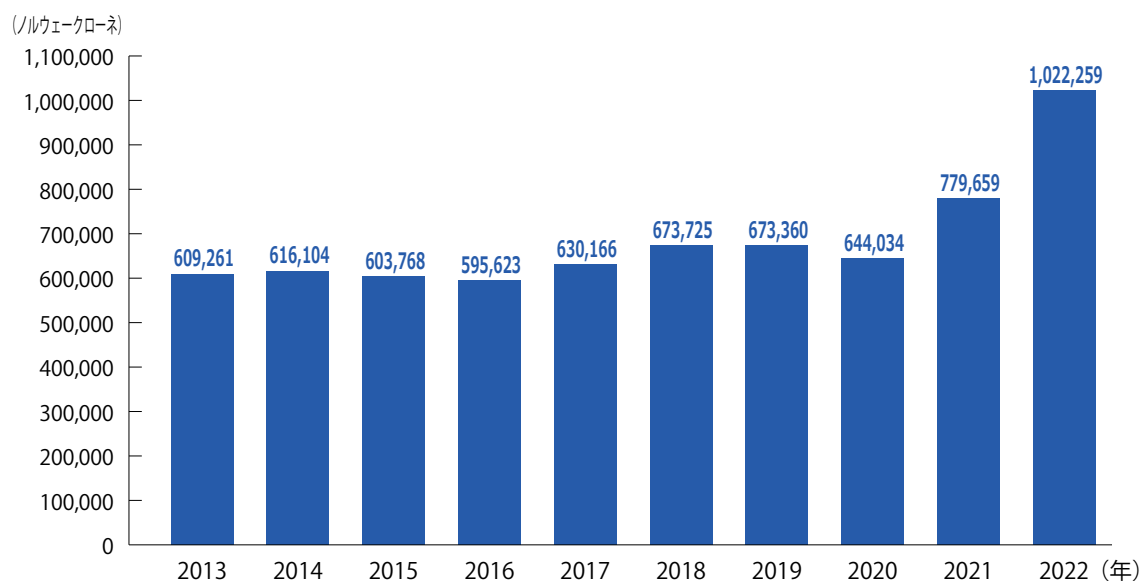
徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	12か月～15か月（分野によって兵役期間が異なる。）
入隊対象性別	男女とも召集
入隊対象年齢	19歳～44歳

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）



## 第2章 経済指標

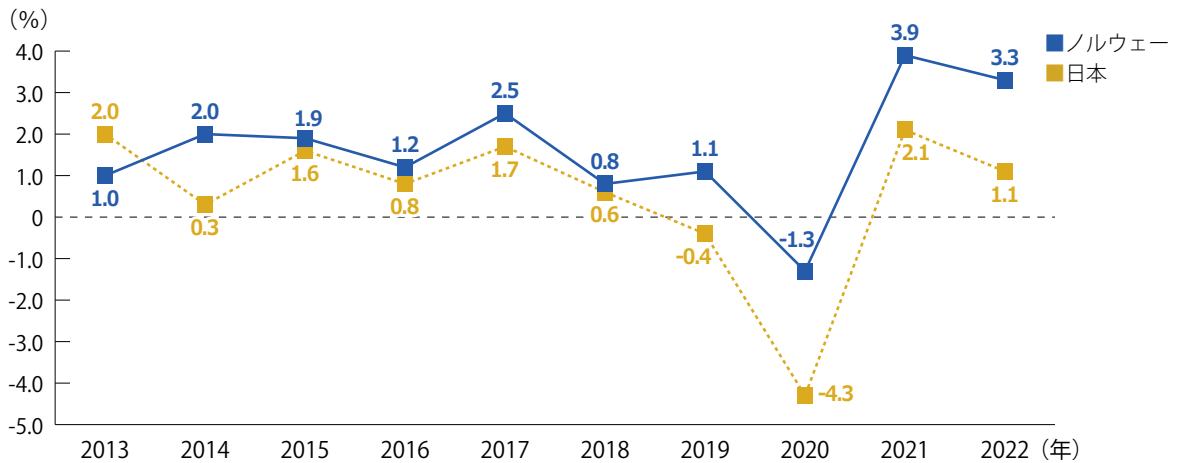
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

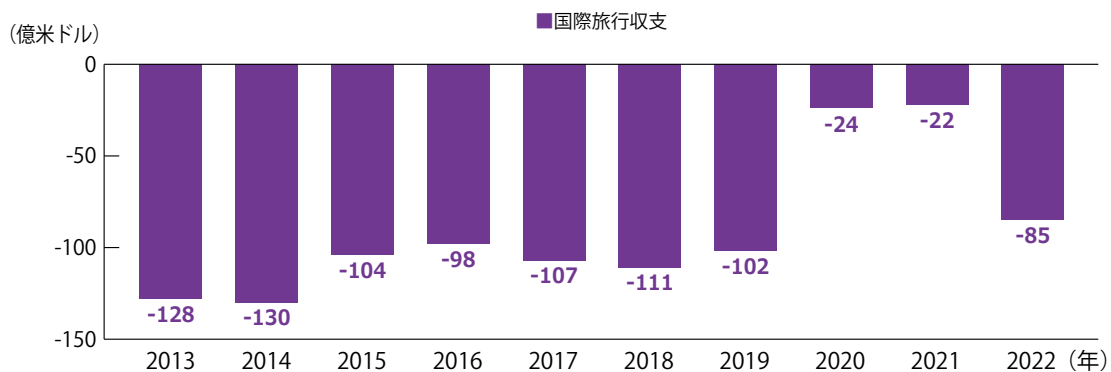
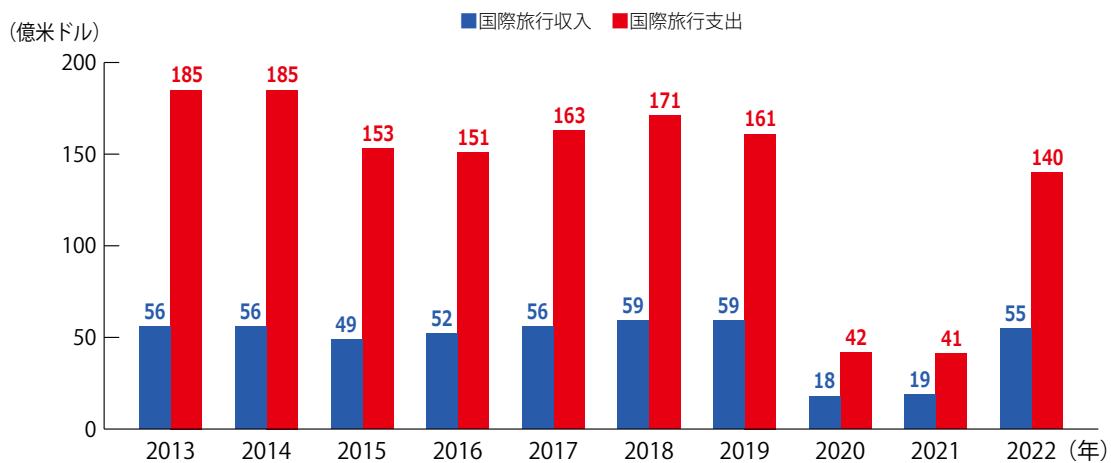
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



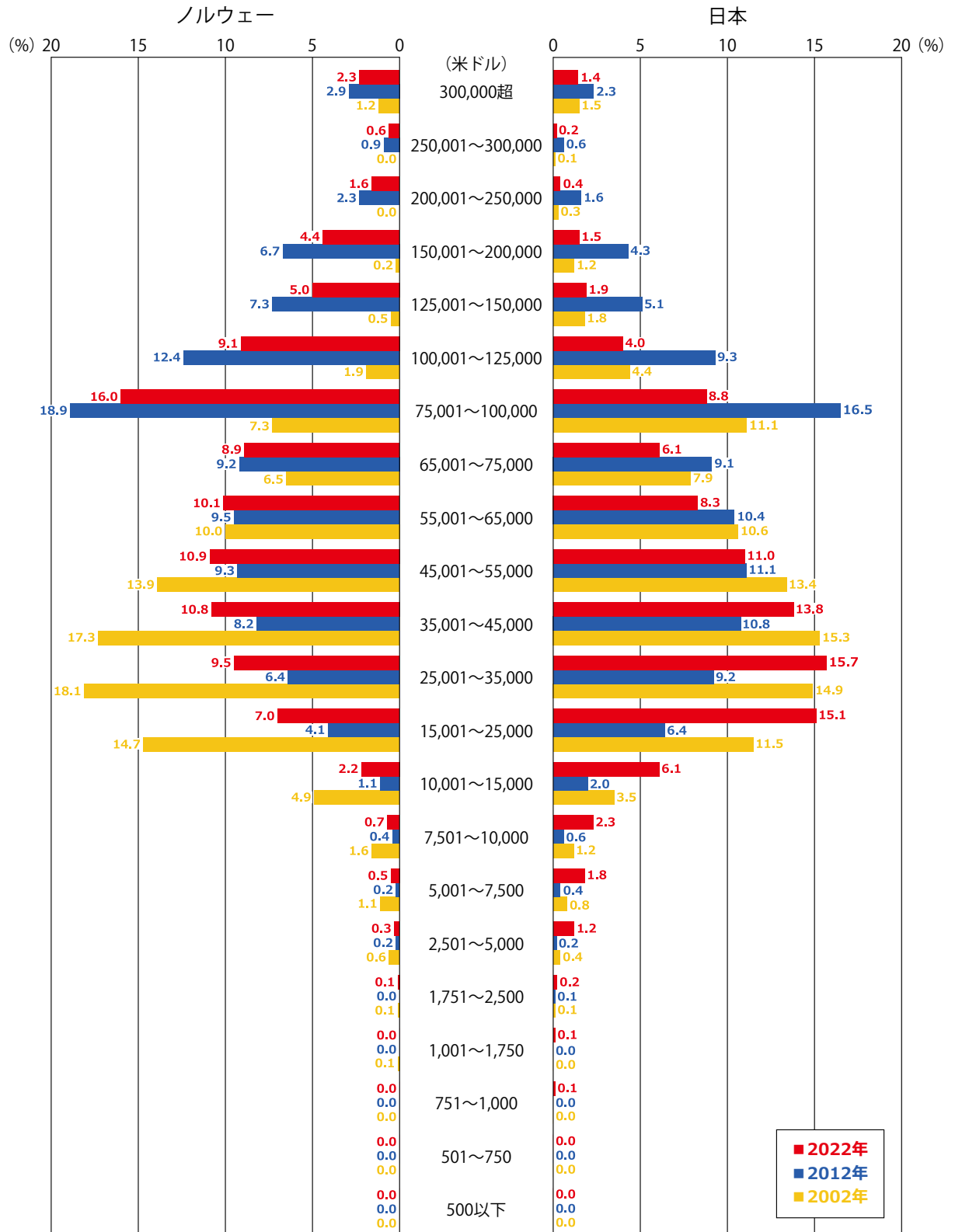
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

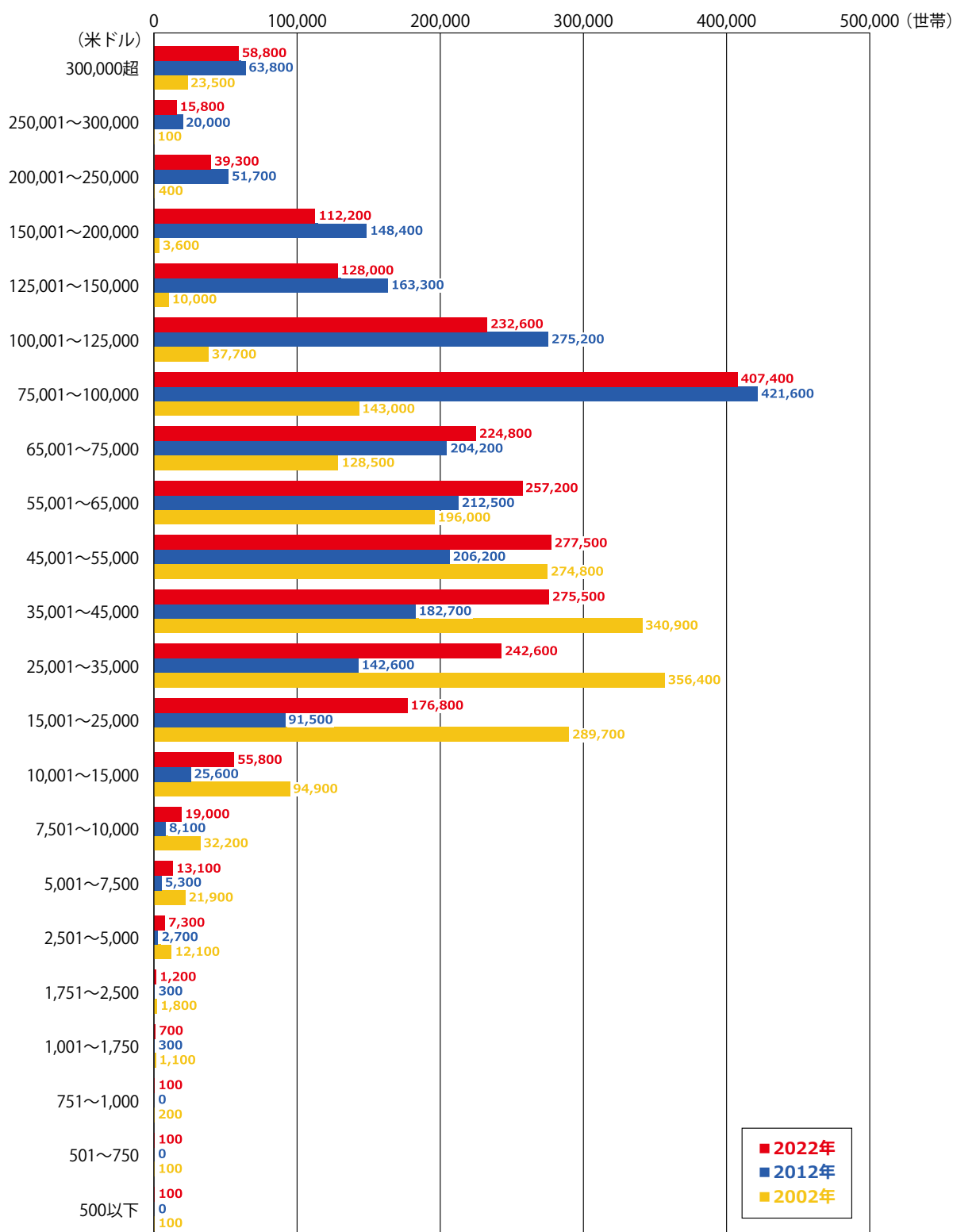
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

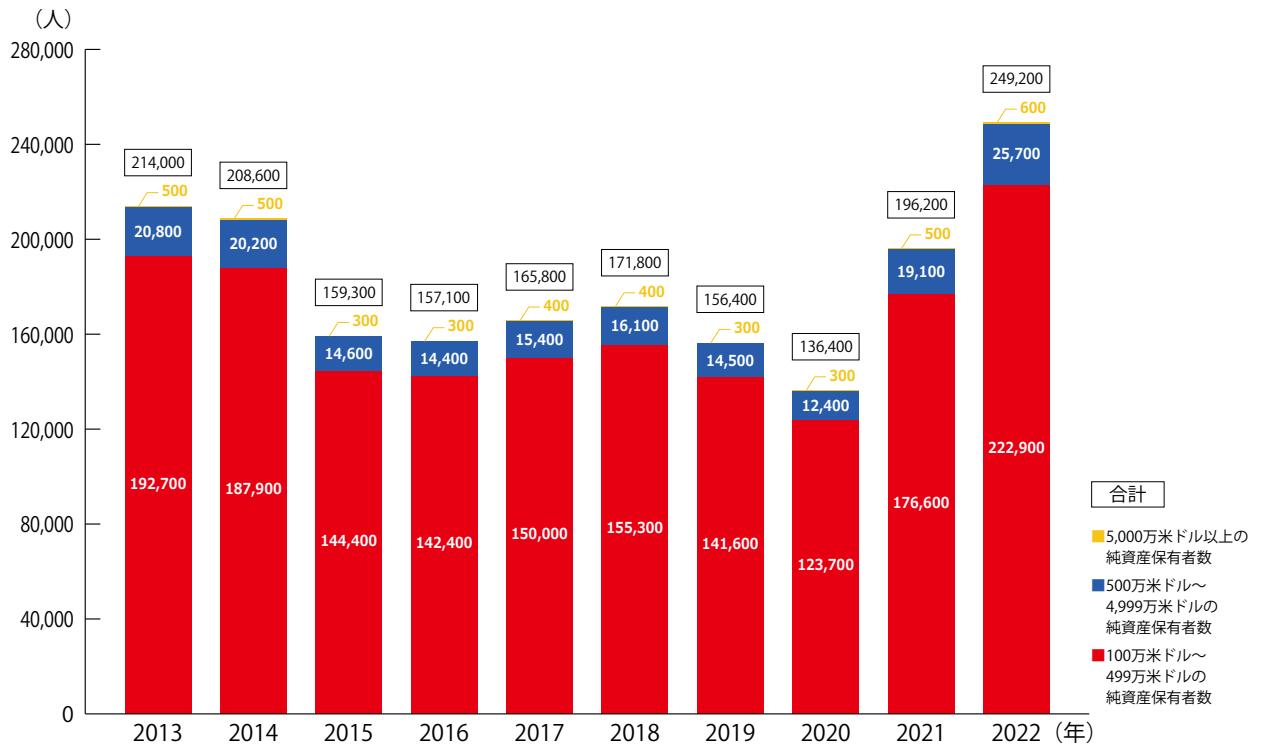
ノルウェー

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



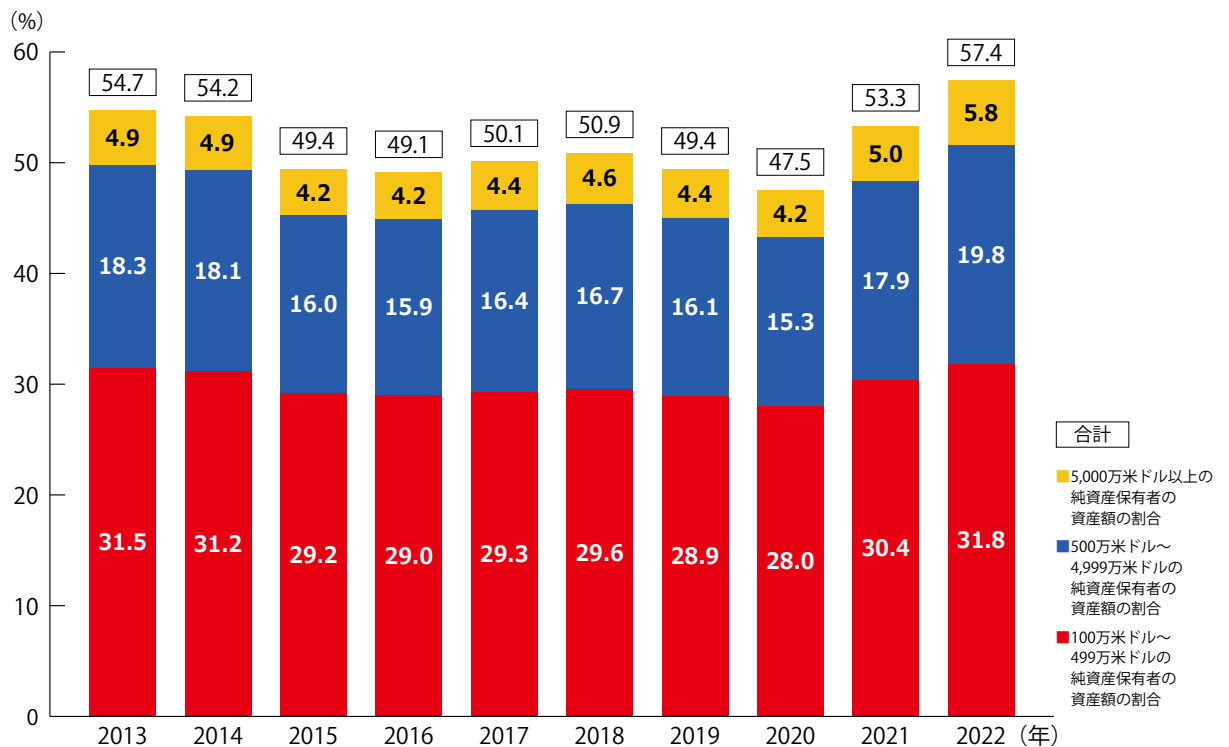
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

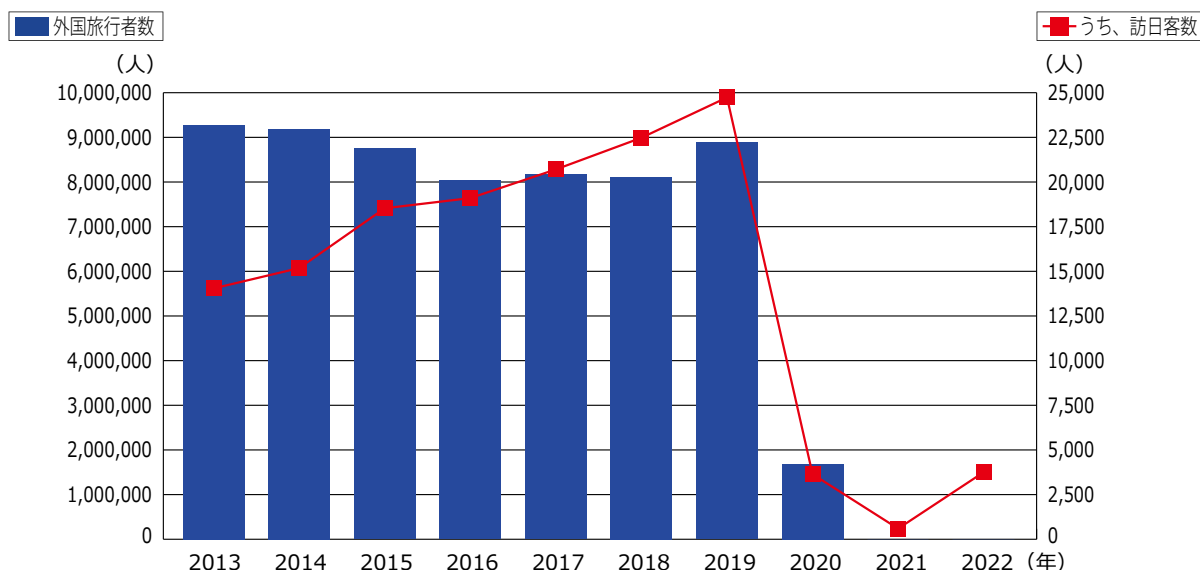
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) ノルウェー人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国人旅行者数(左目盛)	9,280,000	9,190,000	8,750,000	8,030,000	8,170,000	8,110,000	8,890,000	1,690,000		
うち、訪日客数(右目盛)	14,085	15,230	18,597	19,171	20,786	22,569	24,838	3,620	557	3,736
訪日率(%)	0.152	0.166	0.213	0.239	0.254	0.278	0.279	0.214		

注：ノルウェー人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのノルウェー人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	デンマーク	TCER	1,892,403	1,886,428	1,531,442	597,879	547,237	1,892,403
2位	スウェーデン	TCER	1,429,806	1,446,236	1,489,638	173,126	348,203	1,489,638
3位	スペイン	TFR	1,527,462	1,520,399	1,480,843	261,345	293,731	1,527,462
4位	英国	VFR	675,149	647,814	647,461		74,807	675,149
5位	ドイツ	TCER	409,708	410,820	412,938	73,752	81,433	412,938
6位	ギリシャ	TCER	322,914	424,795	409,772	12,819	48,200	424,795
7位	米国	TFR	287,407	280,565	267,930	42,204	21,591	287,407
8位	イタリア	TFN	272,072	334,559	232,319	49,904	64,859	334,559
9位	フランス	TCER	201,754	212,207	207,899	32,583	56,884	212,207
10位	トルコ	TFN	114,925	160,291	206,879	25,067	54,552	206,879
11位	ポーランド	TCER	198,893	183,507	185,483	31,356	36,901	198,893
12位	クロアチア	TCER	172,077	179,913	176,696	3,565	21,455	179,913
13位	タイ	TFN	127,850	128,837	127,992	39,511	5,763	128,837
14位	オランダ	THSR	119,000	112,000	119,000	28,000	28,000	119,000
15位	オーストリア	TCER	99,266	101,443	110,978	31,706	14,146	110,978
16位	フィンランド	TCER	103,142	102,708	102,446	33,301	22,282	103,142
17位	ポルトガル	TCER	92,378	99,575	96,174	13,541	19,979	99,575
18位	ラトビア	TCER	70,706	66,733	62,821	11,394	6,837	70,706
19位	チェコ	TCEN	70,303	68,741	62,317	9,117	12,106	70,303
20位	ロシア	VFN	51,043	48,863	49,736	7,666		51,043
21位	スイス	TCER	47,426	47,914	47,135	10,816	8,719	47,914
22位	ハンガリー	TCEN	51,590	48,140	47,033	6,909	7,699	51,590
23位	アラブ首長国連邦	VFN	46,989	46,505	46,738	13,718		46,989
24位	ブルガリア	VFR	51,142	62,317	46,070	3,252	8,757	62,317
25位	キプロス	TCER	36,607	37,765	44,966	3,639	4,395	44,966
26位	ベルギー	TCER	39,251	41,612	42,634	6,692	7,174	42,634
27位	アイスランド	TFN	47,958	43,735	39,133	7,774	7,462	47,958
28位	リトアニア	TCER	34,884	35,150	36,423	8,232	10,044	36,423

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	中国	VFN	39,065	38,743	36,158			39,065
30位	エストニア	TCER	35,784	32,794	35,247	5,716	6,269	35,784
31位	シンガポール	VFR	28,993	33,961	33,930	7,430	425	33,961
32位	ベトナム	VFR	24,293	26,134	28,037	8,998	130	28,037
33位	カナダ	TFR	27,588	25,870	26,009	3,800	3,345	27,588
34位	日本	VFN	20,786	22,569	24,838	3,620	557	24,838
35位	インドネシア	VFN	22,838	24,906	23,886	5,072	336	24,906
36位	フィリピン	TFR	21,890	23,571	23,464	4,365	508	23,571
37位	豪州	VFR	22,240	24,260	23,385	5,810	485	24,260
38位	モンテネグロ	TCEN	10,579	13,923	23,376	445	2,604	23,376
39位	アルバニア	VFN	18,469	22,067	23,361	1,549	5,255	23,361
40位	インド	VFN	20,882	22,631	21,898	6,224	2,790	22,631
41位	ルーマニア	VFR	19,897	20,280	20,174	3,645	5,943	20,280
42位	エジプト	VFN	13,292	16,206	19,722	4,295		19,722
43位	モロッコ	TFN	24,293	24,846	18,508	3,283	1,901	24,846
44位	イスラエル	TFR	13,746	16,066	17,865	1,906	813	17,865
45位	南アフリカ共和国	TFR	19,248	19,282	17,408	5,290	1,657	19,282
46位	ブラジル	TFR	16,934	18,249	17,132	4,483	2,091	18,249
47位	マルタ	TFR	15,268	15,257	16,548	1,595	2,037	16,548
48位	ケニア	VFR		15,428	14,897	4,859		15,428
49位	マレーシア	TFN	14,121	15,202	14,585	3,552	136	15,202
50位	スロベニア	TCEN	12,671	13,110	14,433	1,362	2,378	14,433
51位	ウクライナ	TFR	12,394	14,476	14,191	2,763	4,683	14,476
52位	スリランカ	TFR	14,159	17,217	13,446	3,019	1,141	17,217
53位	香港	TFR	16,859	17,866	13,329	916	24	17,866
54位	メキシコ	TFN	13,143	13,759	13,283	4,240	5,001	13,759
55位	韓国	VFN	15,872	13,615	11,770	1,507	921	15,872
56位	タンザニア	VFR	8,983	11,567	11,308	1,124	1,712	11,567
57位	アルゼンチン	TFR	7,251	8,829	10,394	3,476	184	10,394
58位	スロバキア	TCEN	8,442	8,144	9,554	1,317	1,285	9,554
59位	ナイジェリア	VFN	8,847	8,762	8,695	1,704	1,758	8,847
60位	キューバ	VFR	12,498	10,593	8,679	1,770	358	12,498
61位	カンボジア	TFR	11,491	9,463	8,306	2,812	68	11,491
62位	セルビア	TCEN	6,601	6,876	7,598	1,086	1,805	7,598
63位	エチオピア	TFR	8,627	7,713	7,374	1,925	2,682	8,627
64位	レバノン	TFN	5,584	6,616	6,355	1,315	2,678	6,616
65位	ジョージア	VFR	3,700	5,219	6,346	478	843	6,346
66位	チリ	TFN	5,375	5,880	5,941	1,617	466	5,941
67位	サウジアラビア	TFN	3,721	3,937	5,858	1,520	915	5,858
68位	モーリシャス	TFR	5,005	5,332	5,703	1,179	550	5,703
69位	ペルー	TFR	5,449	5,499	5,668	1,043	326	5,668
70位	ニュージーランド	VFR	5,456	5,604	5,650	1,811	94	5,650
71位	モルディブ	TFN	5,006	5,585	5,641	1,624	1,549	5,641
72位	北マケドニア	TCEN	3,887	4,619	5,116	433	850	5,116
73位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	4,914	4,752	4,948	407	1,201	4,948
74位	オマーン	VFR		4,366	4,722	1,170	878	4,722
75位	コロンビア	TFR	4,593	4,678	4,574	1,119	1,138	4,678
76位	ヨルダン	TFN	3,146	3,495	4,218	1,101	1,214	4,218
77位	コスタリカ	TFN	3,485	3,784	4,007	1,172	1,021	4,007
78位	イラン	VFN	4,679	3,776	3,496	313	541	4,679
79位	ネパール	TFN	3,139	3,654	3,385			3,654
80位	ルクセンブルク	TCER	3,607	3,035	3,161	1,020	2,887	3,607
81位	ウガンダ	TFR	3,004			501	396	3,004
	プエルトリコ	THSR	3,324	461	667	349		3,324

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

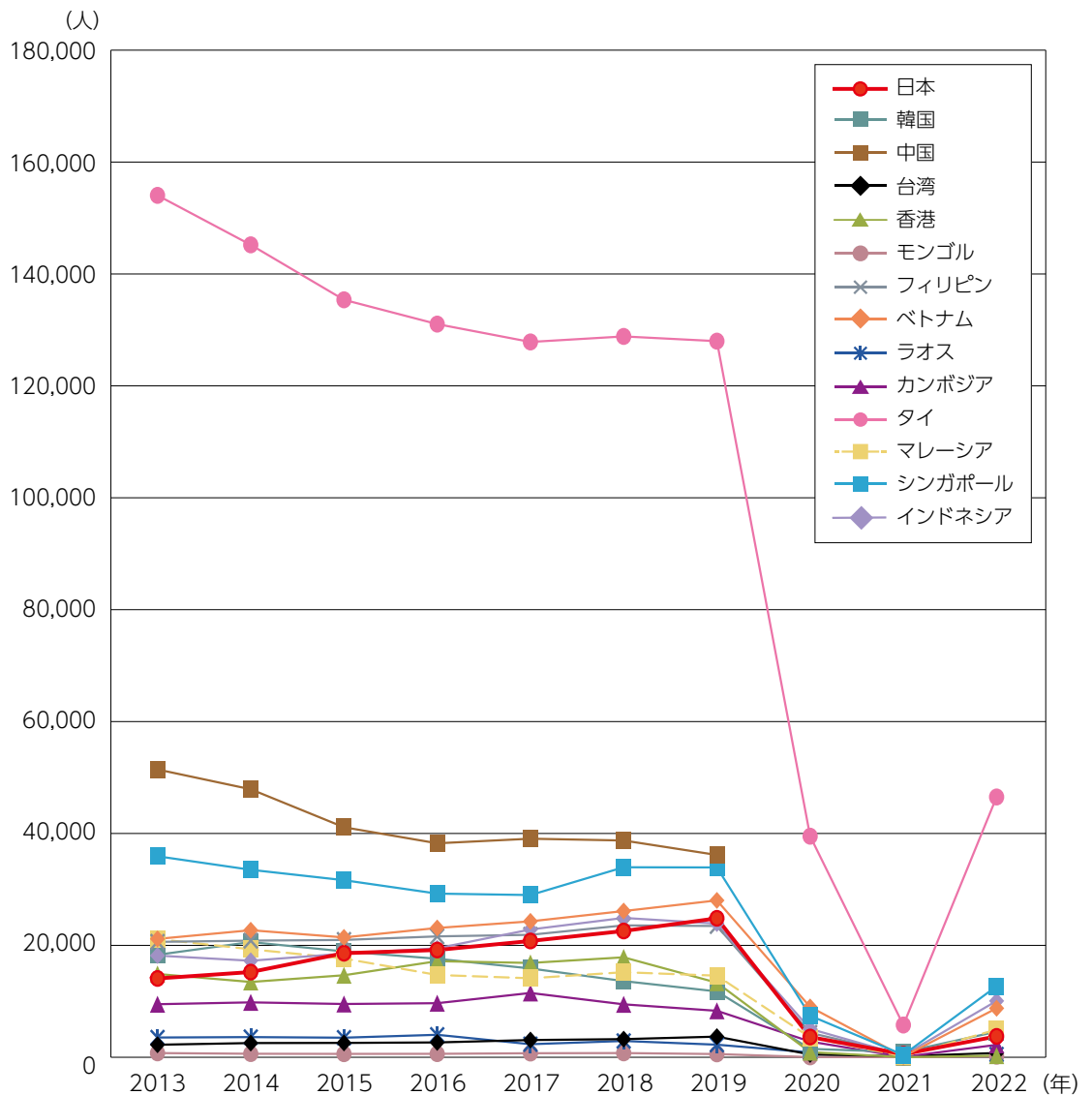
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



(3) アジア各国・地域へのノルウェー人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	154,049	145,207	135,382	131,039	127,850	128,837	127,992	39,511	5,763	46,521
中国	VFN	51,439	47,900	41,113	38,244	39,065	38,743	36,158			
シンガポール	VFR	35,927	33,508	31,650	29,250	28,993	33,961	33,930	7,430	425	12,692
ベトナム	VFR	21,157	22,708	21,425	23,110	24,293	26,134	28,037	8,998	130	8,758
日本	VFN	14,085	15,230	18,597	19,171	20,786	22,569	24,838	3,620	557	3,736
インドネシア	VFN	18,174	17,253	18,526	19,478	22,838	24,906	23,886	5,072	336	10,069
フィリピン	TFR	20,625	20,846	20,968	21,606	21,890	23,571	23,464	4,365	508	
マレーシア	TFN	21,128	19,307	17,648	14,709	14,121	15,202	14,585	3,552	136	4,960
香港	TFR	14,886	13,459	14,659	17,177	16,859	17,866	13,329	916	24	292
韓国	VFN	18,318	20,591	18,919	17,607	15,872	13,615	11,770	1,507	921	4,574
カンボジア	TFR	9,482	9,813	9,521	9,666	11,491	9,463	8,306	2,812	68	2,222
台湾	VFR	2,239	2,541	2,565	2,654	3,080	3,241	3,690	502	186	765
ラオス	VFN	3,531	3,606	3,499	4,018	2,334	2,913	2,248	873		500
モンゴル	TFN	751	627	604	616	720	752	574	35	21	158
ミャンマー	TFN										

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

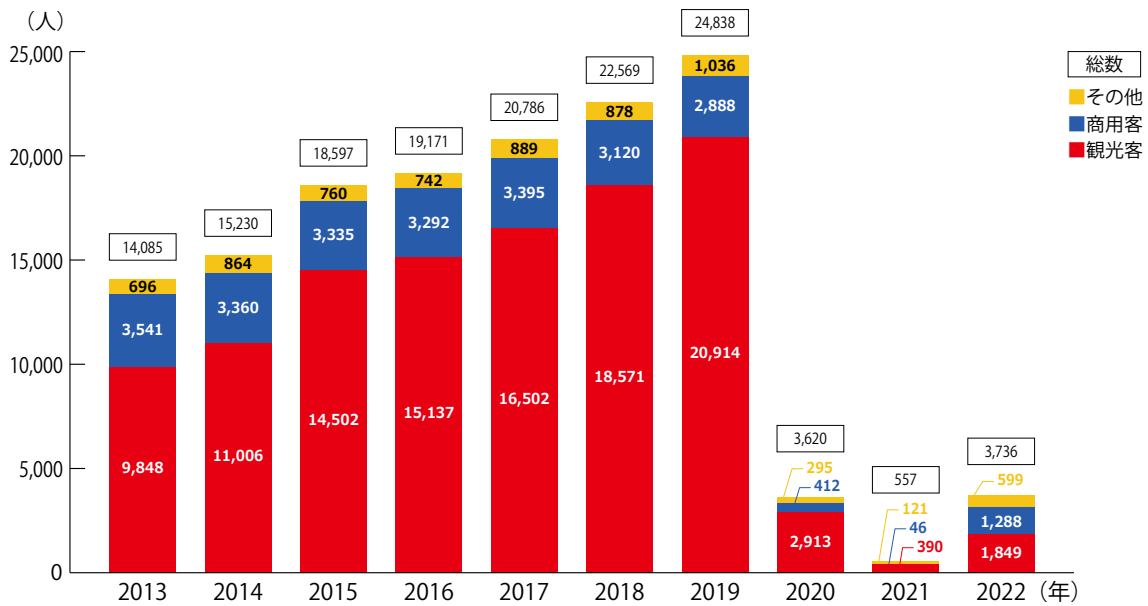
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

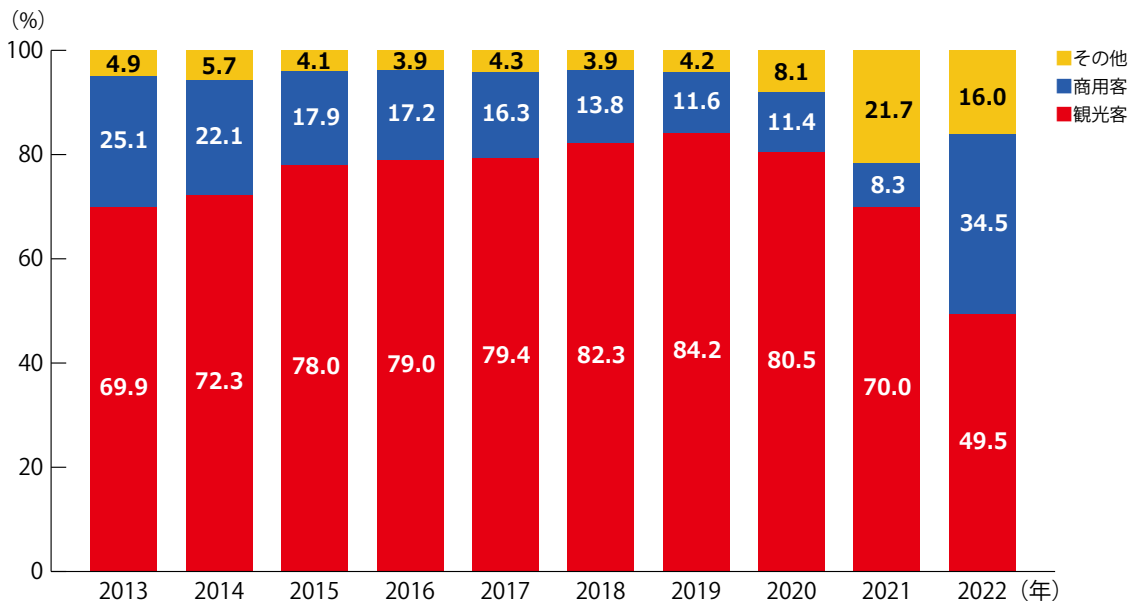
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日ノルウェー人の推移（2013年～2022年）



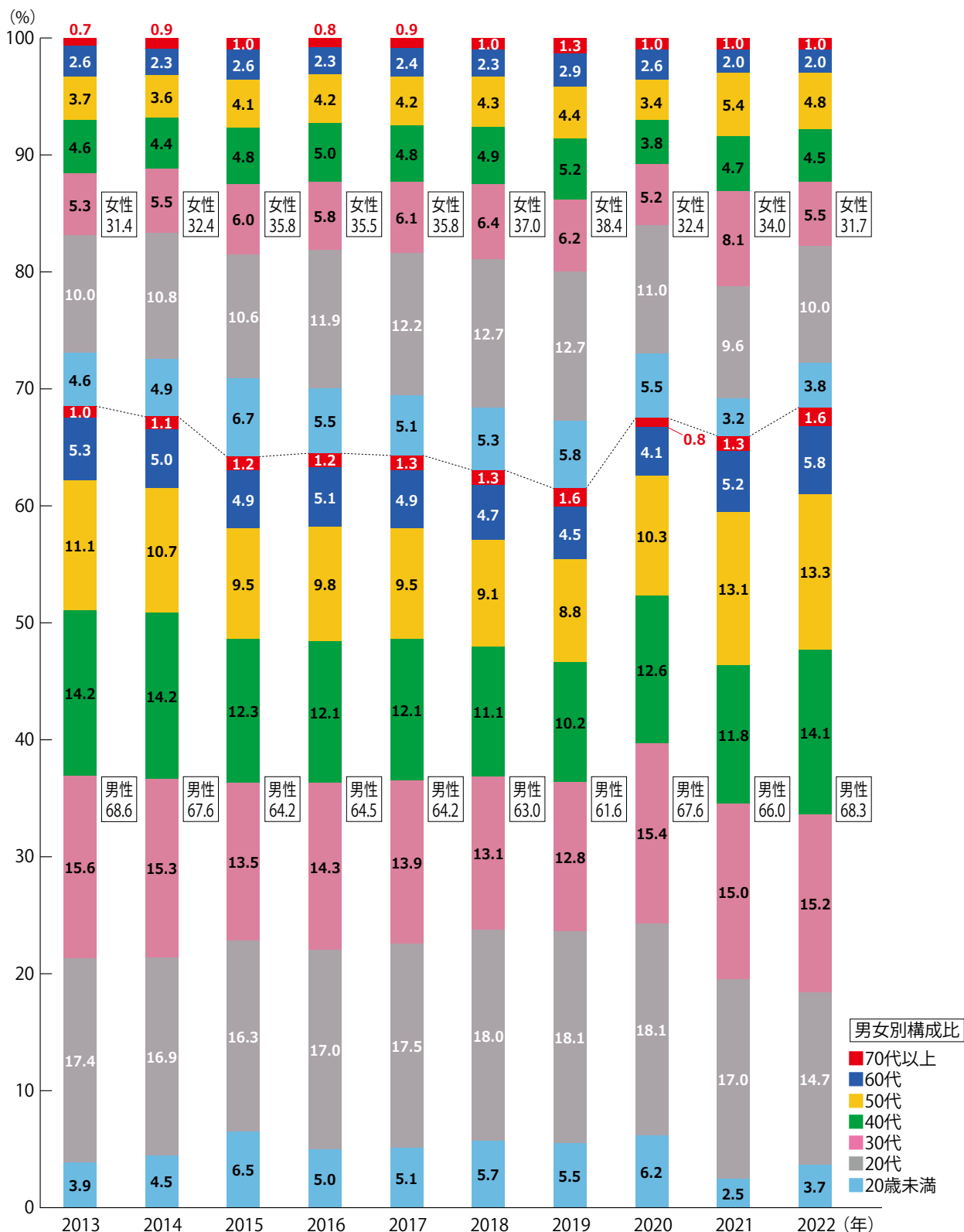
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日ノルウェー人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日ノルウェー人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)

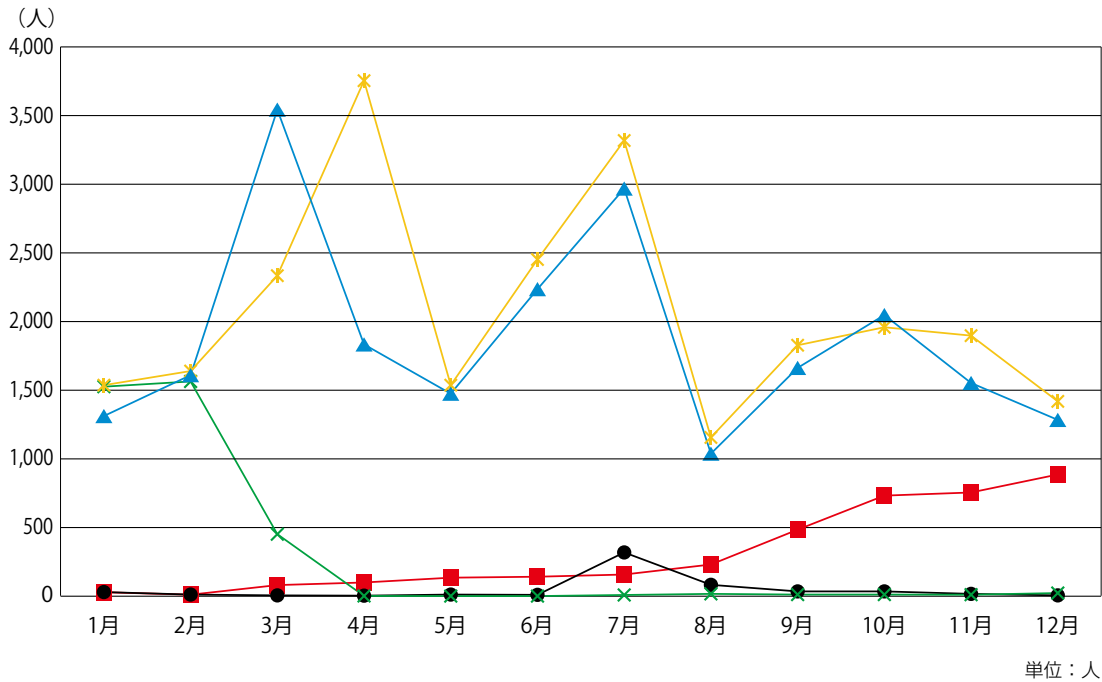


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

ノルウェー

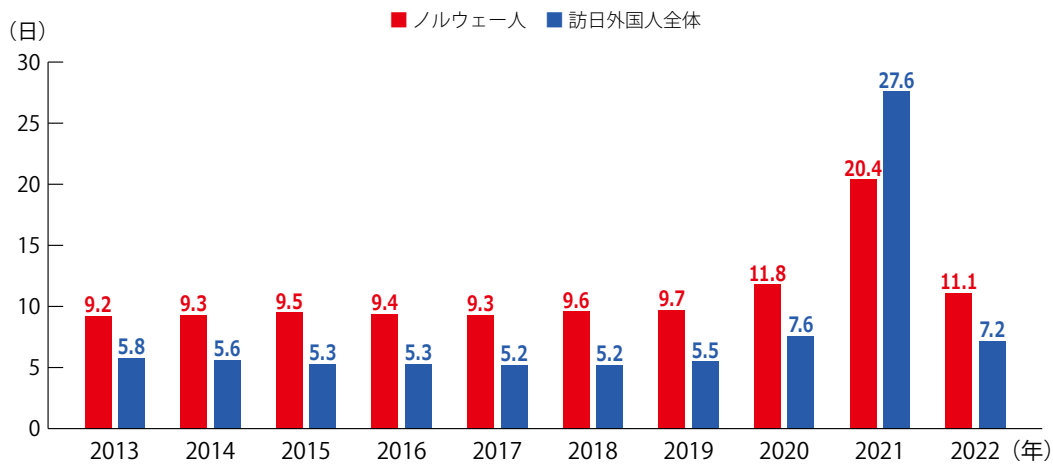
#### (4) 月別訪日ノルウェー人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	28	10	80	99	134	141	157	230	484	732	755	886
● 2021年	29	11	5	3	11	9	318	82	34	34	16	5
✕ 2020年	1,526	1,564	451	1	0	0	8	16	11	11	10	22
✱ 2019年	1,537	1,640	2,335	3,756	1,537	2,453	3,320	1,156	1,828	1,959	1,898	1,419
▲ 2018年	1,312	1,610	3,545	1,834	1,475	2,237	2,970	1,038	1,663	2,048	1,553	1,284

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日ノルウェー人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# フィンランド

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

フィン人（別名スオミ人）が中心を占める。  
この他、スウェーデン人、少数民族のサーミ人、移民など。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 宗教別構成

キリスト教（福音ルーテル派、正教会）  
出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

フィンランド語とスウェーデン語が公用語  
少数民族のサーミ人の間では、サーミ語も話されている。

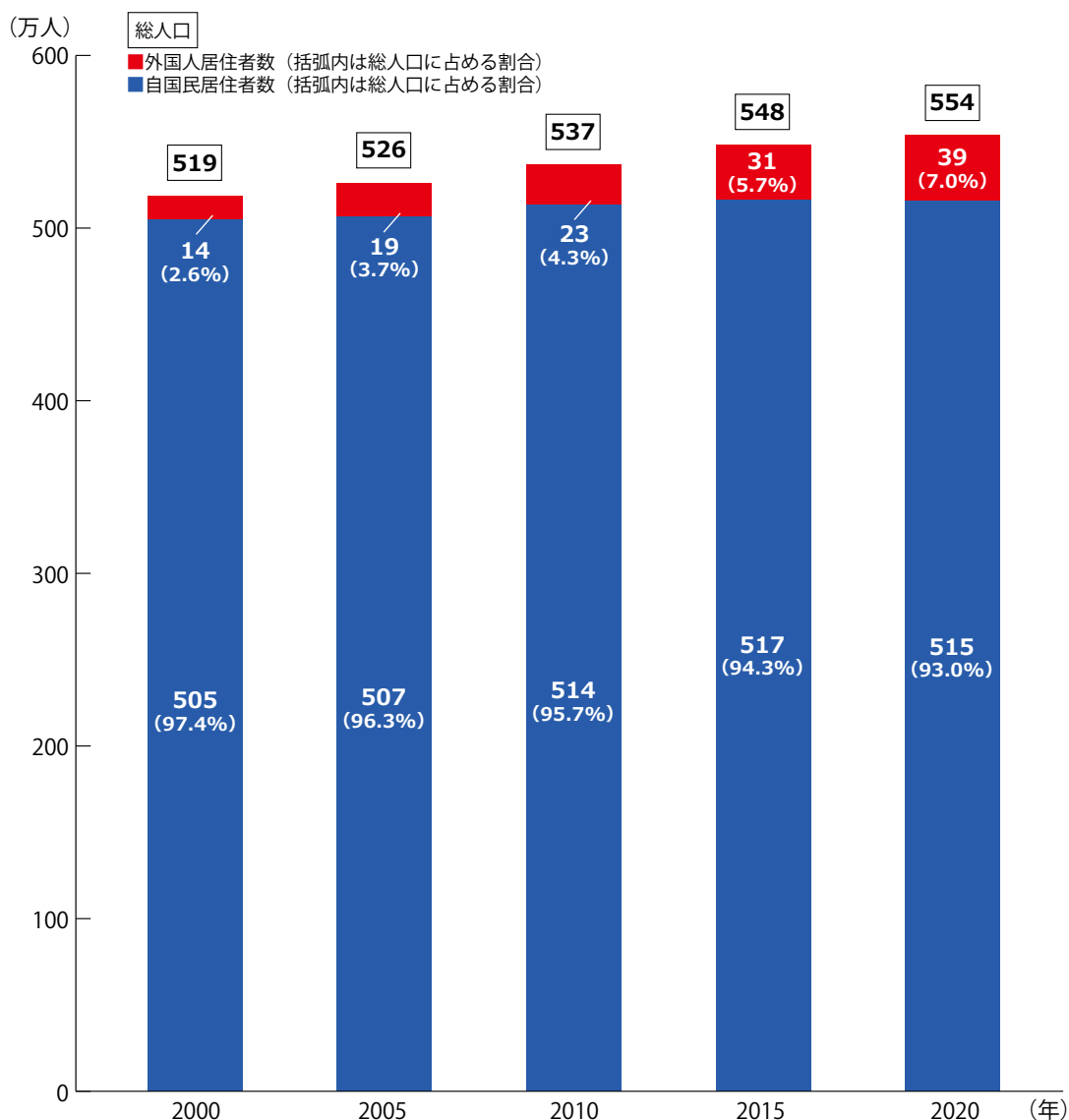
#### 【言語別人口の割合】

フィンランド語（86.9%）、スウェーデン語（5.2%）  
出典：日本政府観光局（JNTO）、総務省統計局「世界の統計2023」

### (4) 面積

33万6,884km<sup>2</sup>（日本の89%強）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

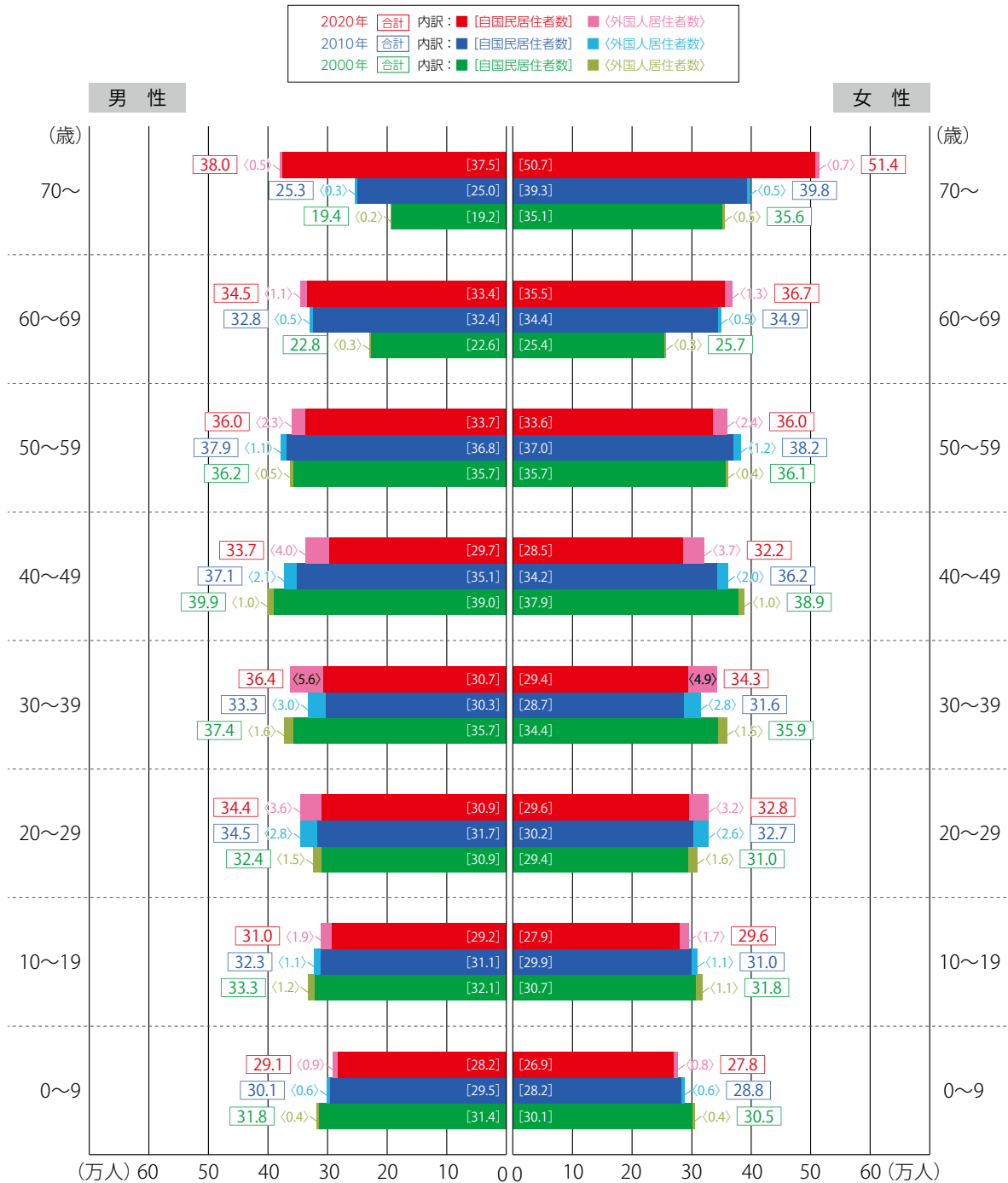
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、滞在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：フィンランドの外国人居住者は、注2の①に該当する。

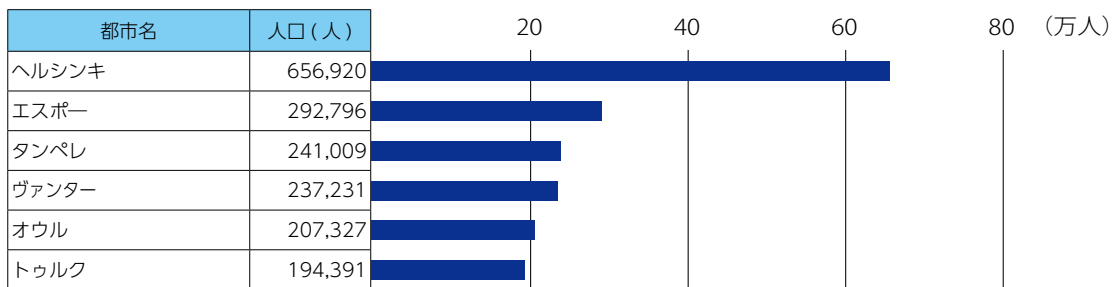
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2021年に実施された国勢調査の結果である。  
出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
新年休暇	1月1日（日）	1月1日（月）	
公顕祭	1月6日（金）	1月6日（土）	
※聖金曜日 （グッドフライデー）	4月7日（金）	3月29日（金）	
※復活祭月曜日 （イースターマンデー）	4月10日（月）	4月1日（月）	
メーデー	5月1日（月）	5月1日（水）	
※キリスト昇天祭	5月18日（木）	5月9日（木）	
※聖霊降臨祭	5月28日（日）	5月19日（日）	
※夏至祭	6月23日（金）～ 6月24日（土）	6月21日（金）～ 6月22日（土）	6月19日から26日の間の土曜日と その前日
※諸聖人の日	11月4日（土）	11月2日（土）	10月31日から11月6日の間の土曜日
独立記念日	12月6日（水）	12月6日（金）	
クリスマスイブ	12月24日（日）	12月24日（火）	
クリスマス	12月25日（月）	12月25日（水）	
ボクシングデー	12月26日（火）	12月26日（木）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。  
注2：フィンランドには振替休日の制度がない。  
注3：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。  
出典：駐日フィンランド大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
総合制学校	7歳～16歳 (9年間)	夏期休暇	6月～8月中旬
		秋期休暇	10月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		冬期休暇	2月下旬～3月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
上級中等学校	16歳～19歳 (3年間)	夏期休暇	6月～8月中旬
		秋期休暇	10月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		冬期休暇	2月下旬～3月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
大学	19歳～22歳 (3年間)	夏期休暇	6月～8月
		クリスマス休暇	12月下旬～1月上旬
		イースター休暇	3月下旬～4月下旬
学校年度	8月中旬～翌年8月上旬		
義務教育	総合制学校（9年間）		

出典：フィンランド国家教育委員会、ヘルシンキ市、ヘルシンキ大学



## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	曜日規定なし	労働時間法 3条、 同7項	基本的には1日8時間、週40時間
有給休暇日数	30日	労働休暇法 第3条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4月1日から3月30日の間に24日～30日有給休暇を取得できる。</li> <li>・日数は月当たり2日(同じ事業所に12ヵ月以上連続で勤務した場合は2.5日、すなわち年30日)と算出される。</li> <li>・基本的に夏季休暇として5月2日から9月30日の間に24日間、冬期休暇として6日間の休暇消化が奨励されている。冬期休暇は同一職場に1年以上勤務すると取得資格を得る。夏季休暇を5～9月の間に最低2週間連続で取得すべきとする法令もあるが、労使協定や企業側との同意が優先され、多くの場合、職場で業務に支障がなく、同意が得られれば1年間に有給日数を消化すればよい。</li> <li>・有給休暇とは別に病気休暇が取得できるため、病気やけがなどで欠勤しても年次有給休暇が減らされることはない。病気休暇については、法令では1か月につき9日間は有給で取得可能。</li> </ul>
定年退職	65歳	被用者年金法 4条	定年は通常65歳。雇用契約にあらかじめ60歳と規定することは可能だが、その場合、年金保険料が増額される。老齢年金は65歳から雇用年金と国民年金として支給される。しかし、ある職業については労使協定で述べられる通り、65歳より低い年齢に定年が決められる。よって56～64歳で職に就くものはパートタイム年金を、完全に無職となるものはフルタイム年金を60歳から受け取れる。年金は65歳以降に延ばすこともできる。

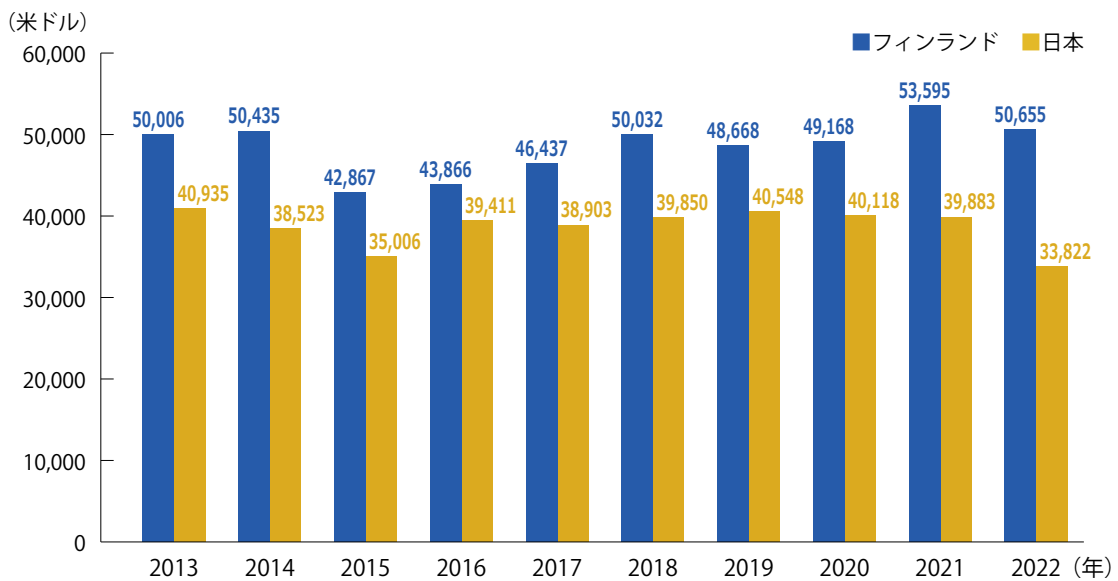
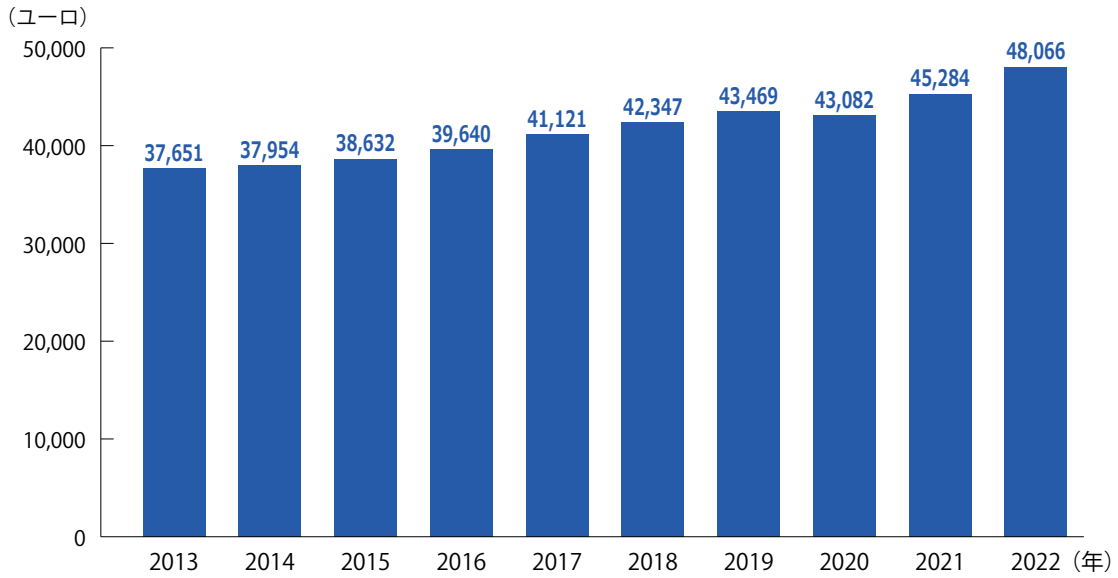
出典：日本貿易振興機構 (JETRO)

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	乗組員として任務するために訓練された者は165日 乗組員として特別な能力を必要とする任務をするために訓練された者、および非武装の任務をする者は255日 士官として訓練された者、非任務士官、最も要求が厳しい特別任務をする乗組員は347日 (徴兵期間が終わると予備役となる。)
入隊対象性別	男性のみ召集、女性は志願制
入隊対象年齢	18歳～60歳

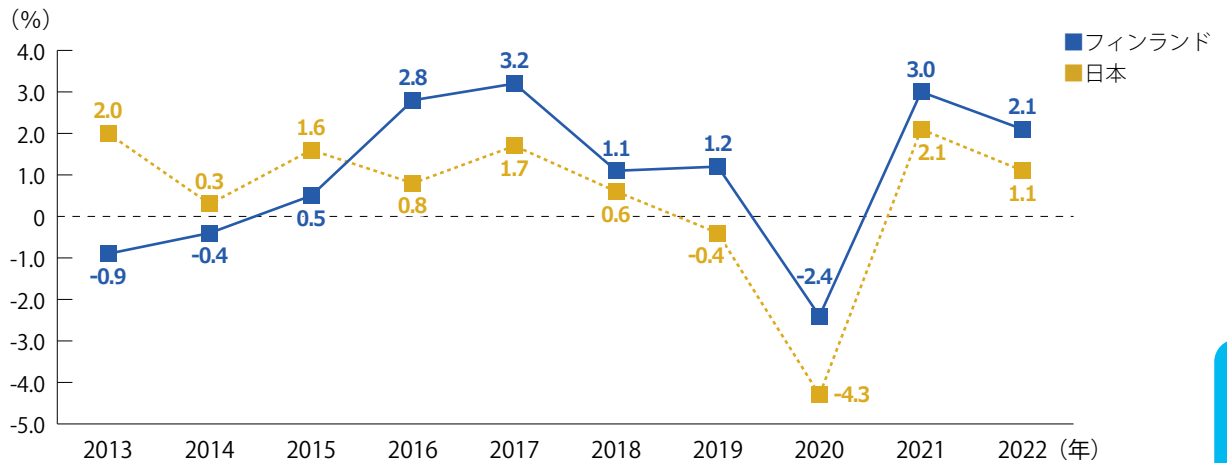
出典：日本国外務省、米国中央情報局 (CIA)

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金 (IMF)

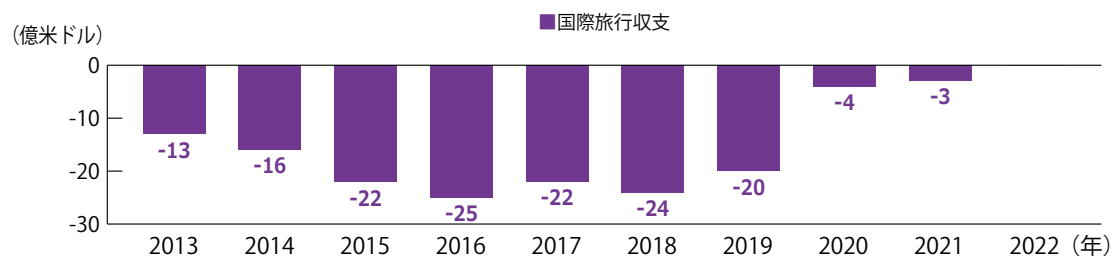
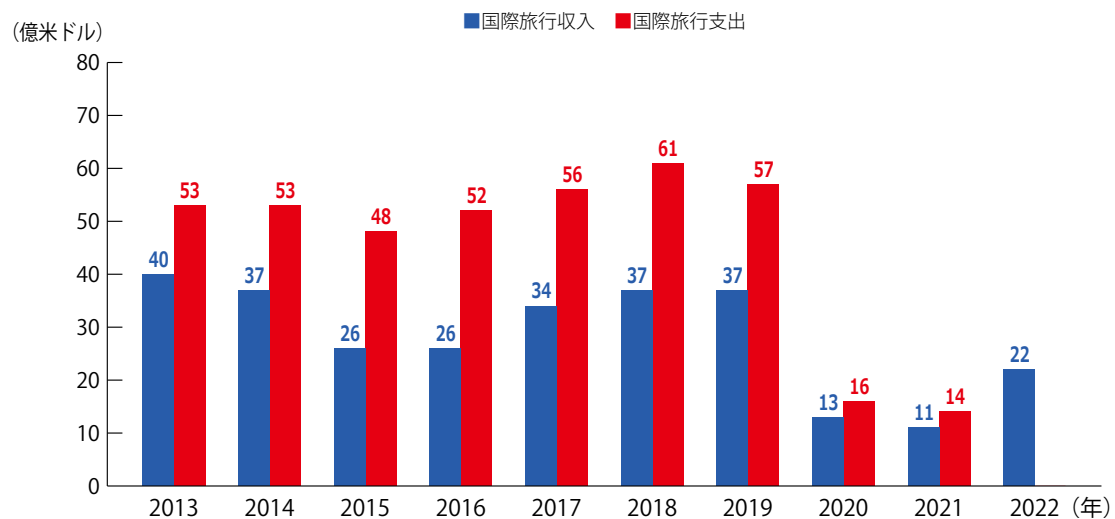
## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）

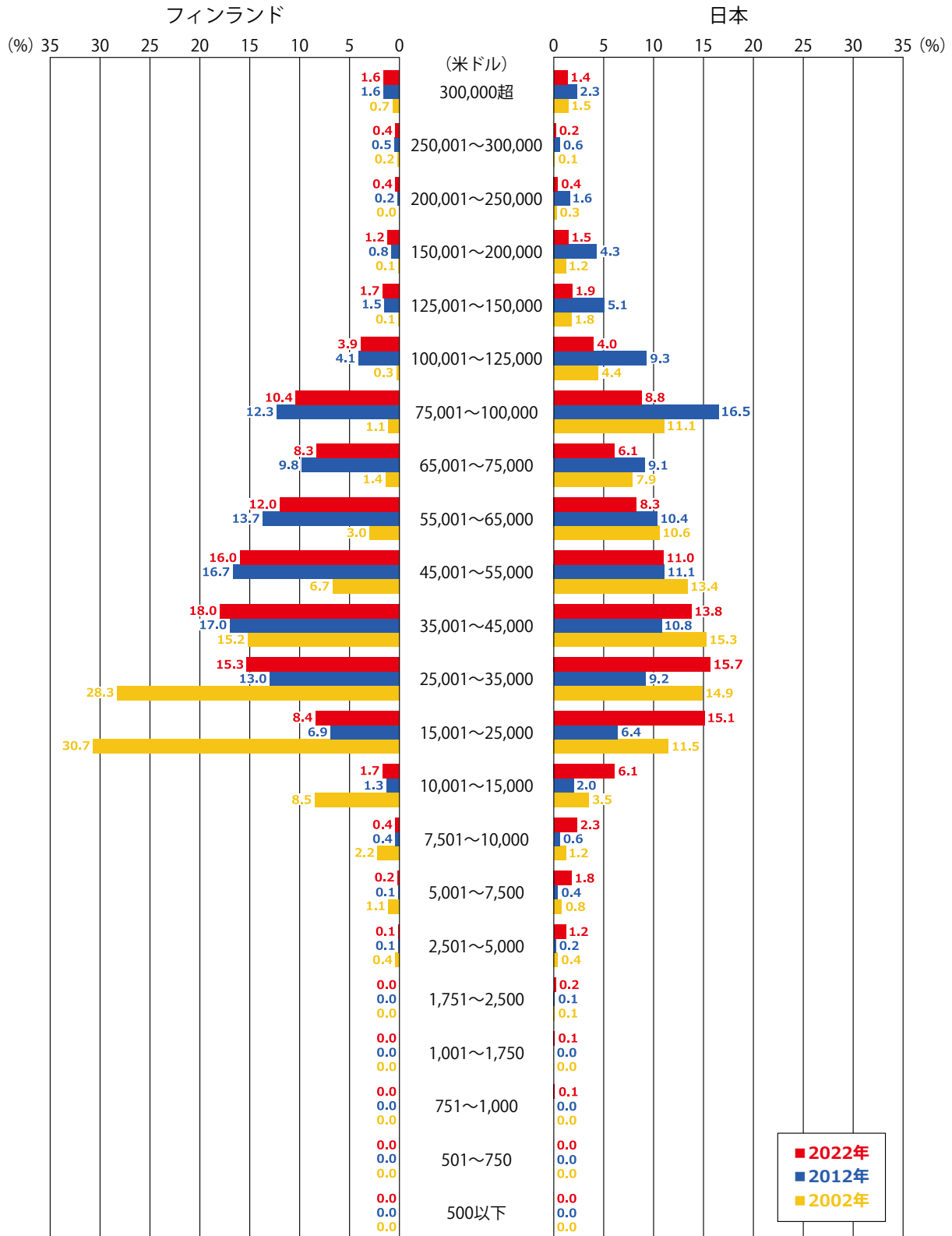


注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。

注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。

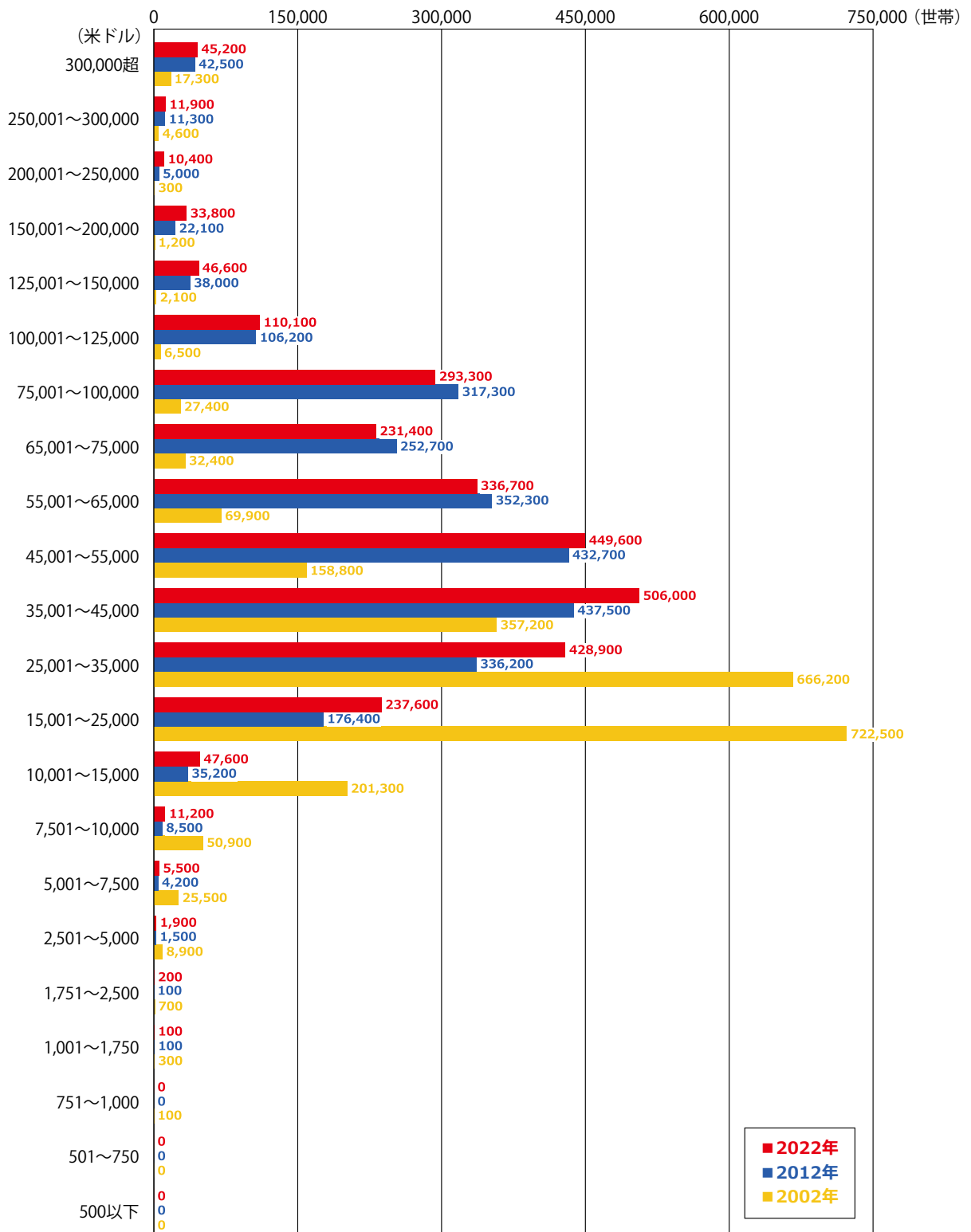
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



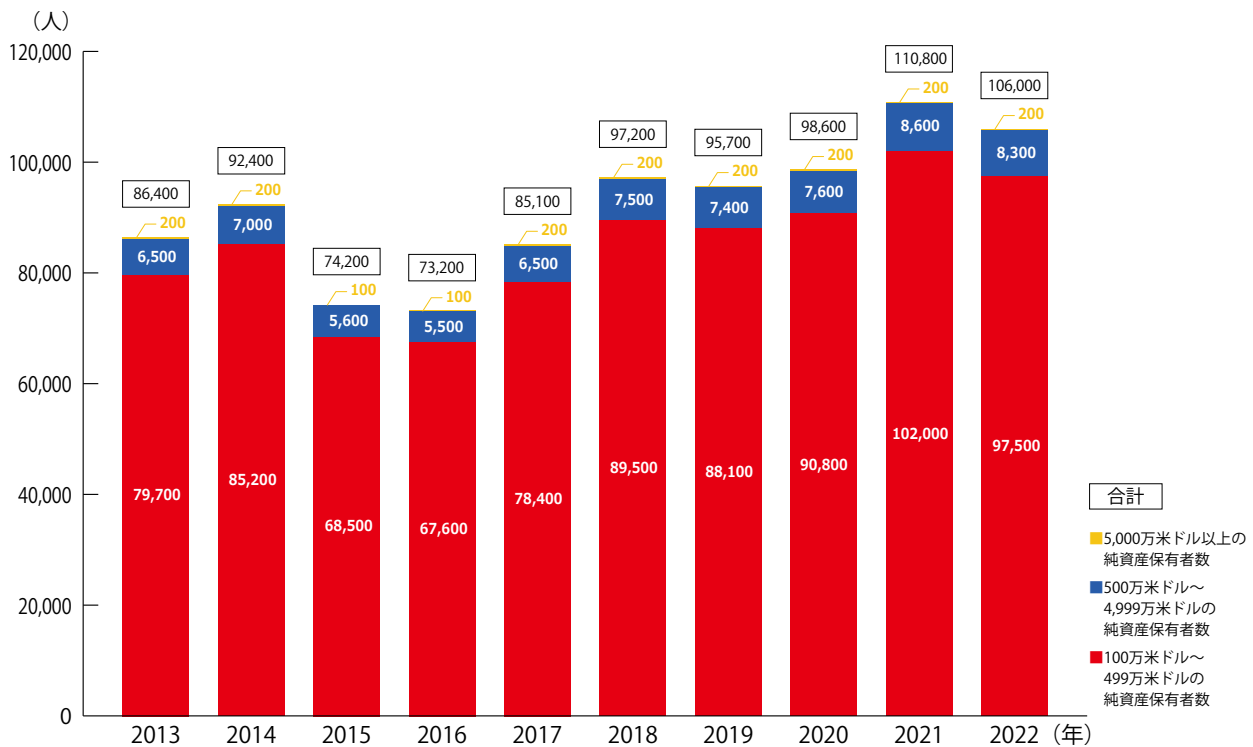
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



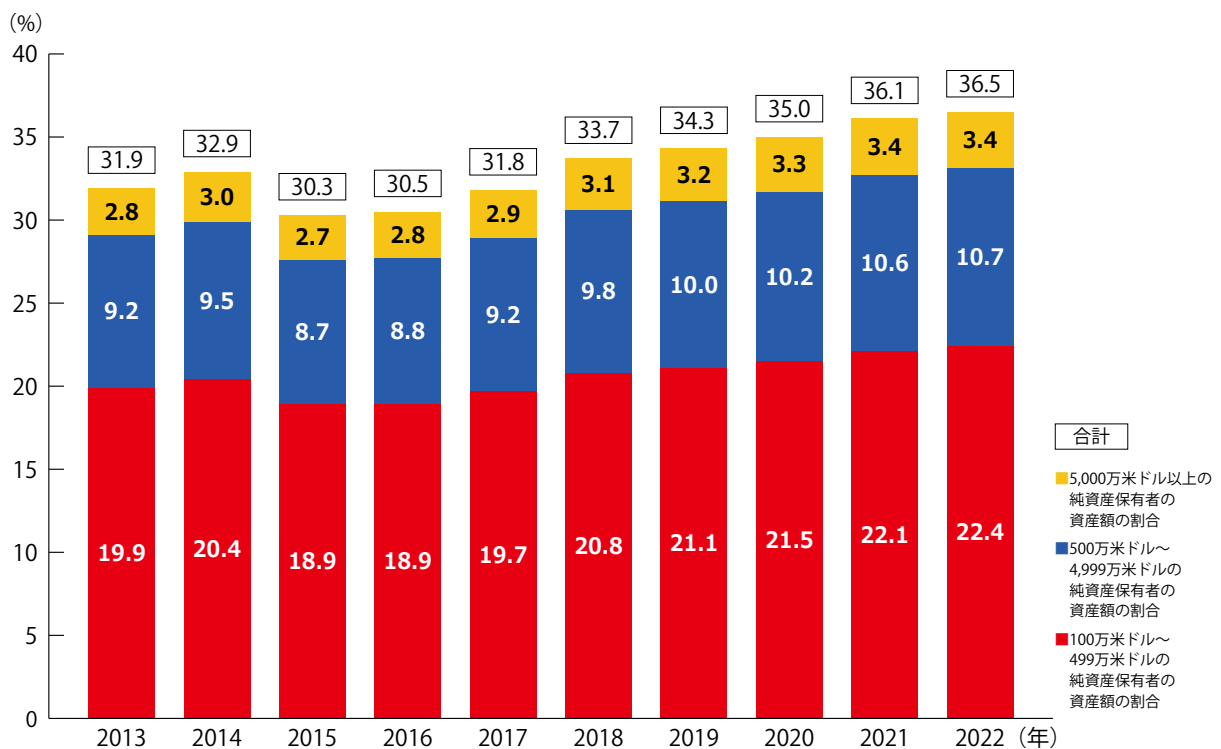
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

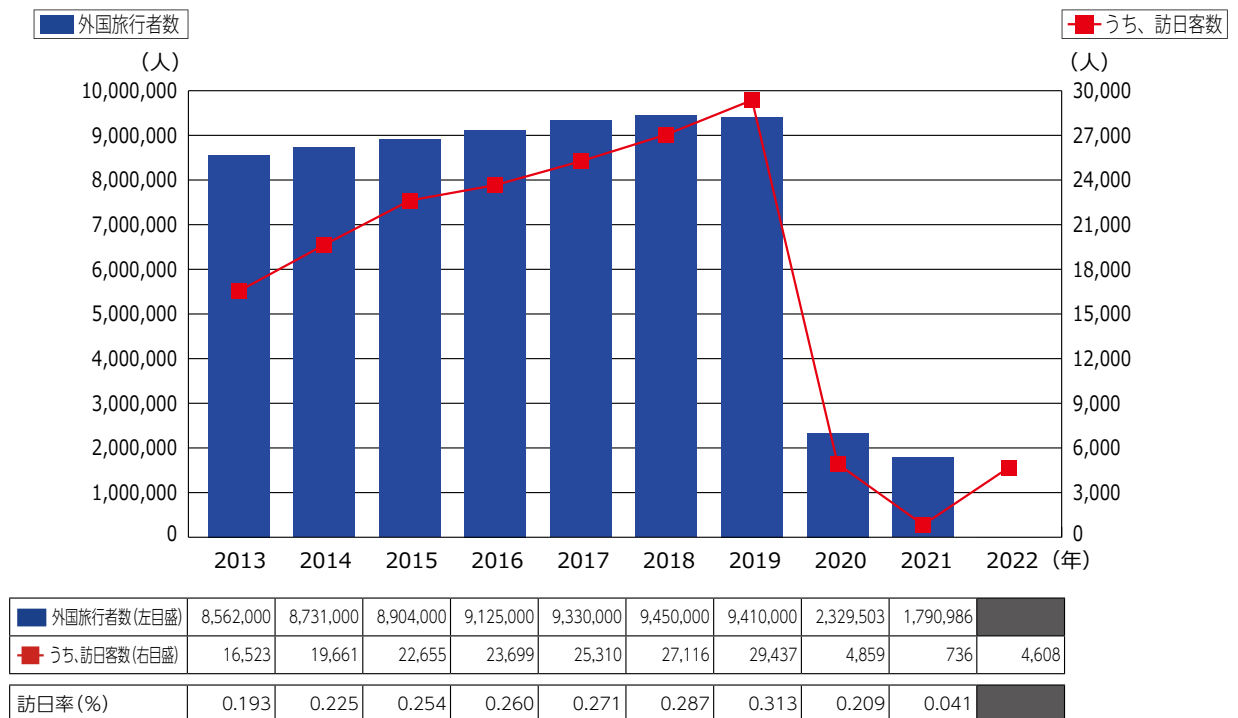
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

## 第3章 外国旅行の動向

## (1) フィンランド人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：フィンランド人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、欧州連合統計局（ユーロスタット）、日本政府観光局（JNTO）

## (2) 世界各国・地域へのフィンランド人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	↓コロナ流行	↓コロナ流行	過去5年間の 最大値
						2020年	2021年	
1位	ロシア	VFN	1,016,738	949,796	895,931	165,268		1,016,738
2位	エストニア	TCER	916,241	834,993	804,645	281,982	143,523	916,241
3位	スペイン	TFR	629,962	844,634	760,290	178,370	175,167	844,634
4位	ドイツ	TCER	298,932	318,938	337,567	68,839	63,054	337,567
5位	ギリシャ	TCER	212,034	308,348	324,112	17,885	63,909	324,112
6位	スウェーデン	TCER	263,041	271,789	276,089	58,745	87,175	276,089
7位	英国	VFR	241,718	188,280	214,526		16,903	241,718
8位	デンマーク	TCER	97,264	114,868	170,267	26,262	31,357	170,267
9位	米国	TFR	145,717	141,297	142,405	29,130	12,022	145,717
10位	フランス	TCER	142,570	140,055	139,421	30,378	43,152	142,570
11位	イタリア	TFN	209,268	189,653	133,512	37,330	64,032	209,268
12位	トルコ	TFN	95,545	125,637	131,988	14,999	32,760	131,988
13位	タイ	TFN	140,464	140,958	128,014	59,643	6,139	140,958
14位	ノルウェー	TCER	124,222	113,521	120,582	95,980	49,197	124,222
15位	オーストリア	TCER	115,268	119,967	120,183	36,613	22,961	120,183
16位	クロアチア	TCER	106,400	112,709	118,756	5,926	10,062	118,756
17位	ラトビア	TCER	114,899	114,584	110,792	68,821	13,299	114,899
18位	ポルトガル	TCER	86,597	104,653	110,071	22,696	31,185	110,071
19位	ポーランド	TCER	72,418	77,935	91,714	14,166	13,366	91,714
20位	チェコ	TCEN	81,483	78,305	72,192	10,483	10,831	81,483
21位	オランダ	THSR	78,000	74,000	70,000	16,000	19,000	78,000
22位	中国	VFN	57,812	57,967	57,159			57,967
23位	アラブ首長国連邦	VFN	60,629	60,972	54,767	17,127		60,972
24位	リトアニア	TCER	37,757	40,801	49,937	16,685	8,527	49,937
25位	ハンガリー	TCEN	47,611	47,871	42,071	5,436	6,342	47,871
26位	ベルギー	TCER	36,832	35,544	39,040	6,676	5,987	39,040
27位	スイス	TCER	37,092	38,355	37,236	10,564	12,095	38,355
28位	ブルガリア	VFR	33,533	39,669	35,800	2,994	6,075	39,669
29位	シンガポール	VFR	31,327	32,580	30,775	9,021	355	32,580

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
30位	日本	VFN	25,310	27,116	29,437	4,859	736	29,437
31位	スロベニア	TCEN	21,446	23,021	25,538	2,104	2,519	25,538
32位	モンテネグロ	TCEN	9,768	12,713	23,730	2,159	2,213	23,730
33位	インドネシア	VFN	24,447	27,127	22,665	6,376	240	27,127
34位	ベトナム	VFR	18,236	22,785	21,480	9,994		22,785
35位	アイスランド	TFN	24,068	20,967	20,671	3,069	1,644	24,068
36位	エジプト	VFN	5,034	9,948	20,425	7,540		20,425
37位	キプロス	TCER	15,000	18,477	19,791	2,315	4,886	19,791
38位	インド	VFN	20,384	21,239	18,945	4,310	1,329	21,239
39位	イスラエル	TFR	15,324	17,164	18,704	3,153	701	18,704
40位	カナダ	TFR	18,036	16,339	16,992	2,970	1,793	18,036
41位	豪州	VFR	16,160	16,890	16,378	3,982	229	16,890
42位	ルーマニア	VFR	12,497	14,721	14,981	3,383	5,146	14,981
43位	アルバニア	VFN	8,708	12,111	14,302	1,187	2,815	14,302
44位	スロバキア	TCEN	11,002	10,048	14,269	1,841	1,899	14,269
45位	香港	TFR	18,559	17,418	14,252	1,308	40	18,559
46位	韓国	VFN	13,087	14,372	13,912	3,033	2,861	14,372
47位	マレーシア	TFN	6,794	13,575	13,557	6,320	158	13,575
48位	モロッコ	TFN	10,649	12,448	13,072	3,881	1,012	13,072
49位	ウクライナ	TFR	10,733	11,252	12,499	2,347	3,511	12,499
50位	メキシコ	TFN	14,963	13,722	11,836	4,221	3,488	14,963
51位	マルタ	TFR	20,327	16,452	11,534	1,665	2,235	20,327
52位	南アフリカ共和国	TFR	10,127	10,430	9,918	3,246	1,167	10,430
53位	フィリピン	TFR	6,958	7,219	8,420	2,135	212	8,420
54位	タンザニア	VFR	5,972	4,496	7,841	1,225	1,165	7,841
55位	スリランカ	TFN	6,985	8,728	7,302	2,257	341	8,728
56位	ブラジル	TFR	8,035	8,033	6,991	1,998	908	8,035
57位	キューバ	VFR	7,862	8,356	6,832	3,815	132	8,356
58位	ナイジェリア	VFN	6,587	6,495	6,423	954	987	6,587
59位	カンボジア	TFR	7,465	7,375	6,045	2,132	87	7,465
60位	モルディブ	TFN	3,705	5,682	5,315	2,128	1,724	5,682
61位	ジョージア	VFR	3,344	4,333	5,100	701	793	5,100
62位	アルゼンチン	TFR	5,225	4,740	5,060	1,664	200	5,225
63位	ニュージーランド	VFR	5,440	5,125	5,026	1,609	35	5,440
64位	ドミニカ共和国	TFR	5,035	4,214	4,675	4,650	502	5,035
65位	ガンビア	TFN	4,631	4,287	4,674	1,723	467	4,674
66位	チュニジア	TFN	1,838	2,797	4,474	984	492	4,474
67位	北マケドニア	TCEN	1,629	2,275	4,392	762	661	4,392
68位	セルビア	TCEN	3,268	3,648	4,165	727	1,075	4,165
69位	サンマリノ	VFN	4,776	4,392	4,136	721	1,309	4,776
70位	モーリシャス	TFR	4,461	4,949	4,051	1,559	365	4,949
71位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	1,825	2,401	3,597	167	626	3,597
72位	チリ	TFN	3,201	3,432	3,533	909	173	3,533
73位	ルクセンブルク	TCER	3,620	3,389	3,384	1,754	2,513	3,620
74位	エチオピア	TFR	3,867	3,481	3,330	492	600	3,867
75位	レバノン	TFN	3,725	3,719	3,075	1,174	1,463	3,725
	マカオ	VFN	3,200	3,029	2,857	205	7	3,200

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

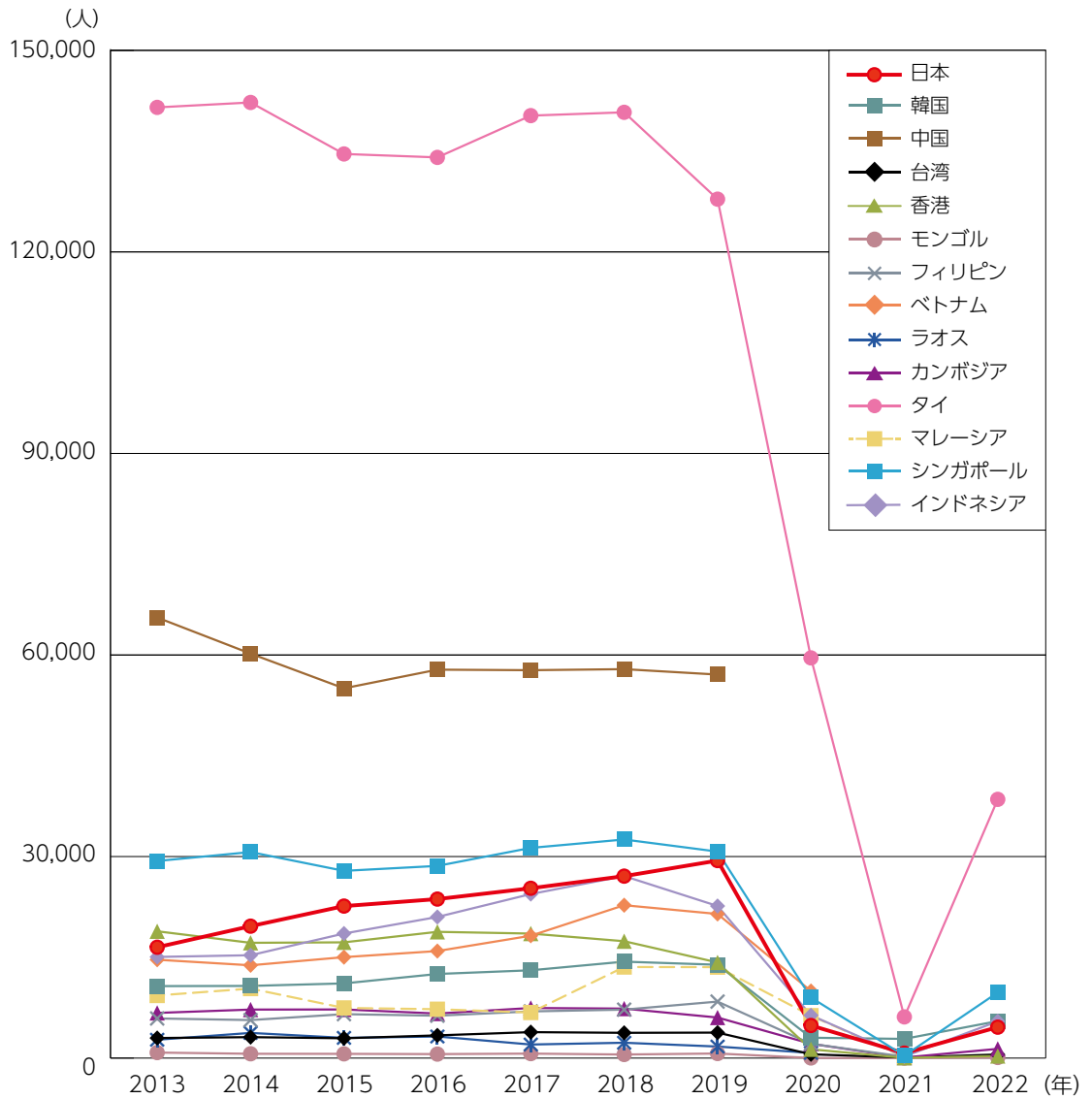
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入りにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



(3) アジア各国・地域へのフィンランド人訪問者数の推移 (2013年~2022年)



フィンランド

単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	141,692	142,425	134,750	134,238	140,464	140,958	128,014	59,643	6,139	38,561
中国	VFN	65,662	60,283	55,110	57,891	57,812	57,967	57,159			
シンガポール	VFR	29,375	30,707	27,904	28,642	31,327	32,580	30,775	9,021	355	9,781
日本	VFN	16,523	19,661	22,655	23,699	25,310	27,116	29,437	4,859	736	4,608
インドネシア	VFN	15,074	15,332	18,564	21,031	24,447	27,127	22,665	6,376	240	5,480
ベトナム	VFR	14,660	13,831	15,043	15,953	18,236	22,785	21,480	9,994		
香港	TFR	18,899	17,181	17,251	18,817	18,559	17,418	14,252	1,308	40	312
韓国	VFN	10,728	10,756	11,130	12,536	13,087	14,372	13,912	3,033	2,861	5,511
マレーシア	TFN	9,331	10,362	7,473	7,282	6,794	13,575	13,557	6,320	158	
フィリピン	TFR	5,906	5,667	6,548	6,318	6,958	7,219	8,420	2,135	212	
カンボジア	TFR	6,731	7,232	7,246	6,639	7,465	7,375	6,045	2,132	87	1,376
台湾	VFR	2,989	3,121	2,954	3,385	3,868	3,766	3,798	565	85	538
ラオス	VFN	2,735	3,751	3,013	3,218	2,023	2,287	1,719	778		
モンゴル	TFN	821	642	631	594	668	535	682	19	11	92
ミャンマー	TFN										

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

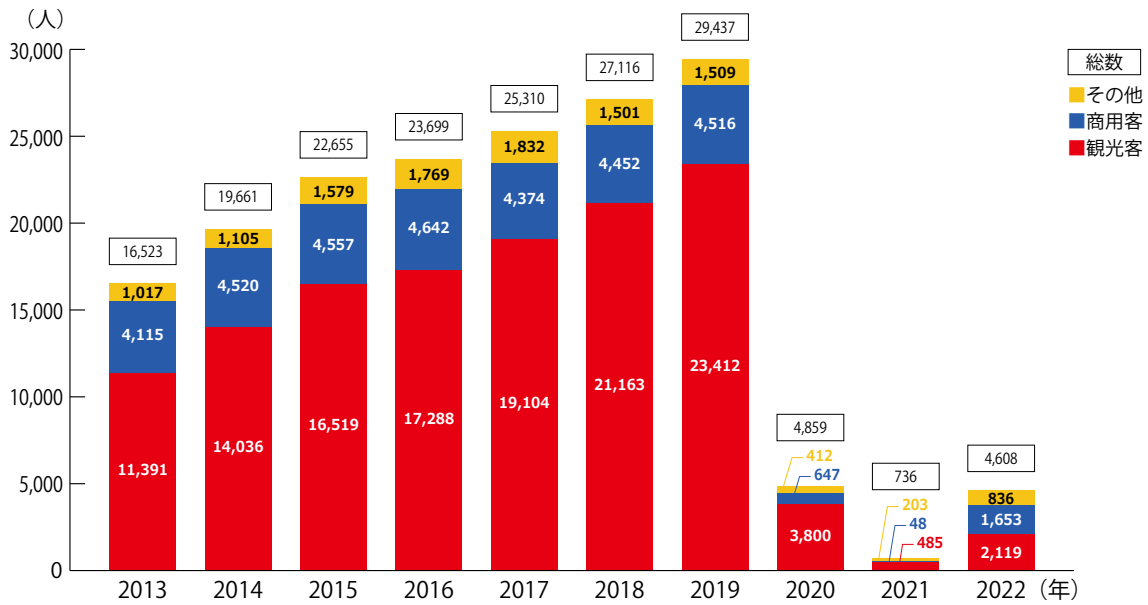
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

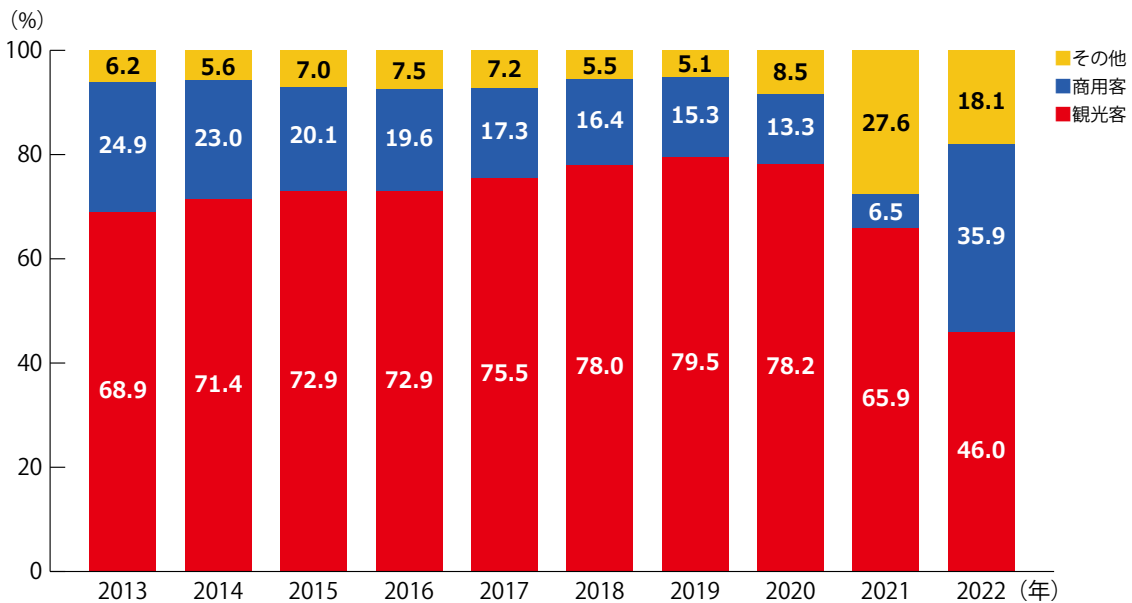
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日フィンランド人の推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日フィンランド人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日フィンランド人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)

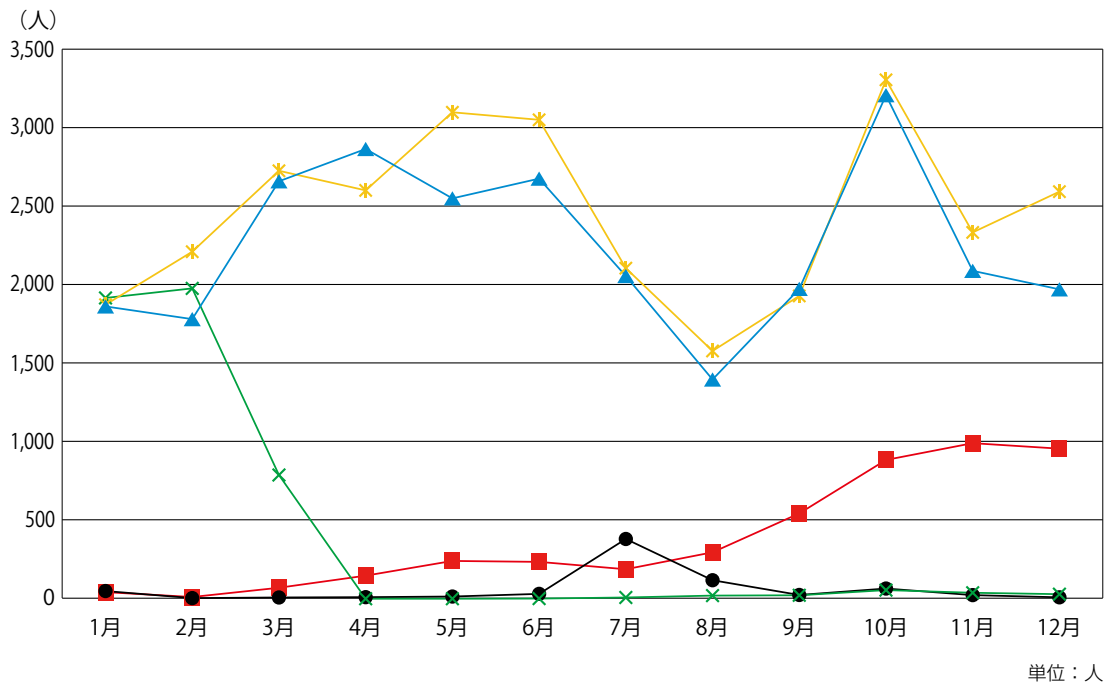


注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

フィンランド

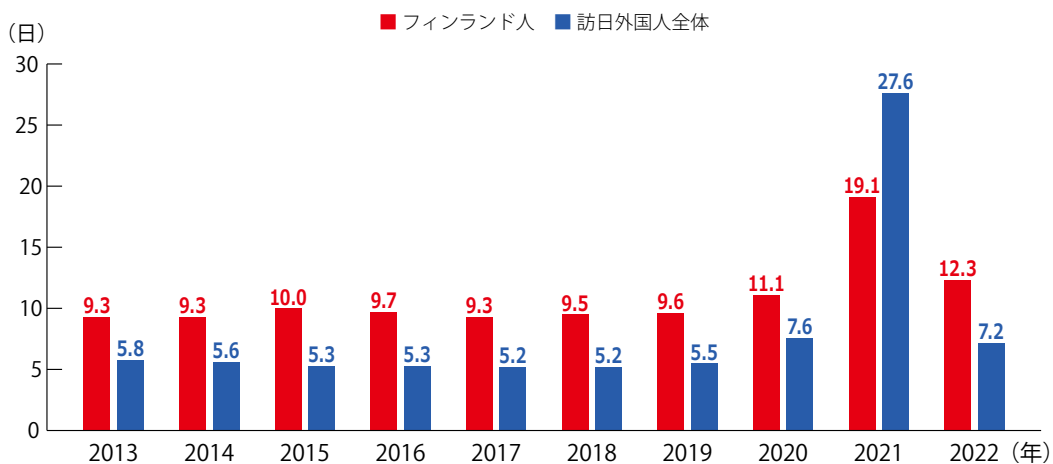
#### (4) 月別訪日フィンランド人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	42	11	70	147	241	235	188	296	544	885	992	957
● 2021年	49	4	8	10	14	31	381	118	24	65	23	9
✕ 2020年	1,918	1,979	789	0	0	1	8	20	22	55	38	29
✱ 2019年	1,875	2,213	2,729	2,604	3,102	3,054	2,108	1,580	1,931	3,309	2,336	2,596
▲ 2018年	1,864	1,783	2,662	2,868	2,553	2,679	2,058	1,398	1,976	3,211	2,091	1,973

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日フィンランド人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# 中東地域

(イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート)

## 第1章 概要

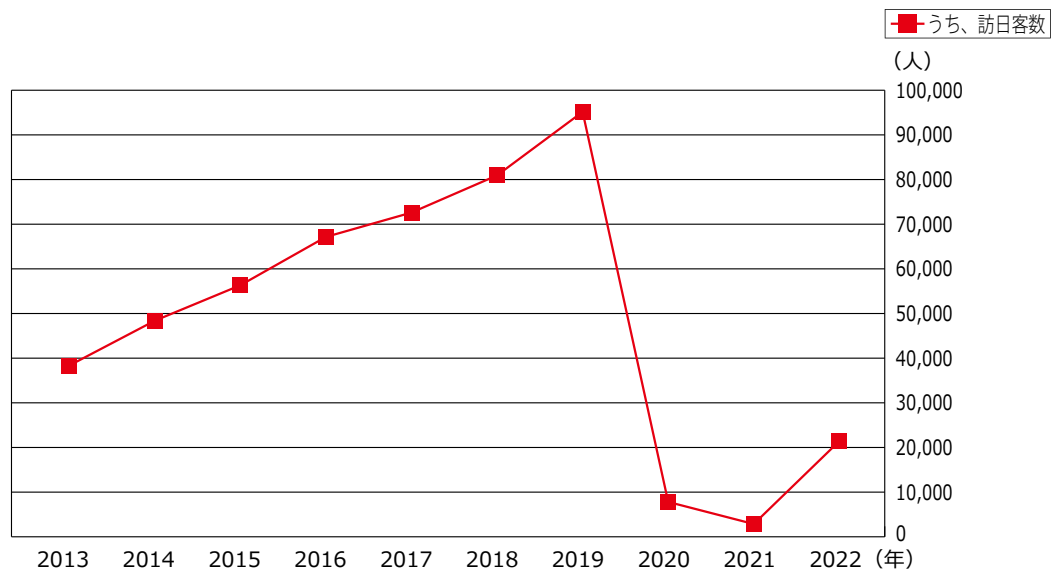
該当データなし

## 第2章 経済指標

該当データなし

## 第3章 外国旅行の動向

### (1) 中東人の外国旅行者数と訪日客数の推移 (2013年～2022年)



外国旅行者数 (左目盛)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
うち、訪日客数 (右目盛)	38,347	48,390	56,328	67,152	72,605	80,931	95,160	7,806	2,856	21,427
訪日率 (%)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

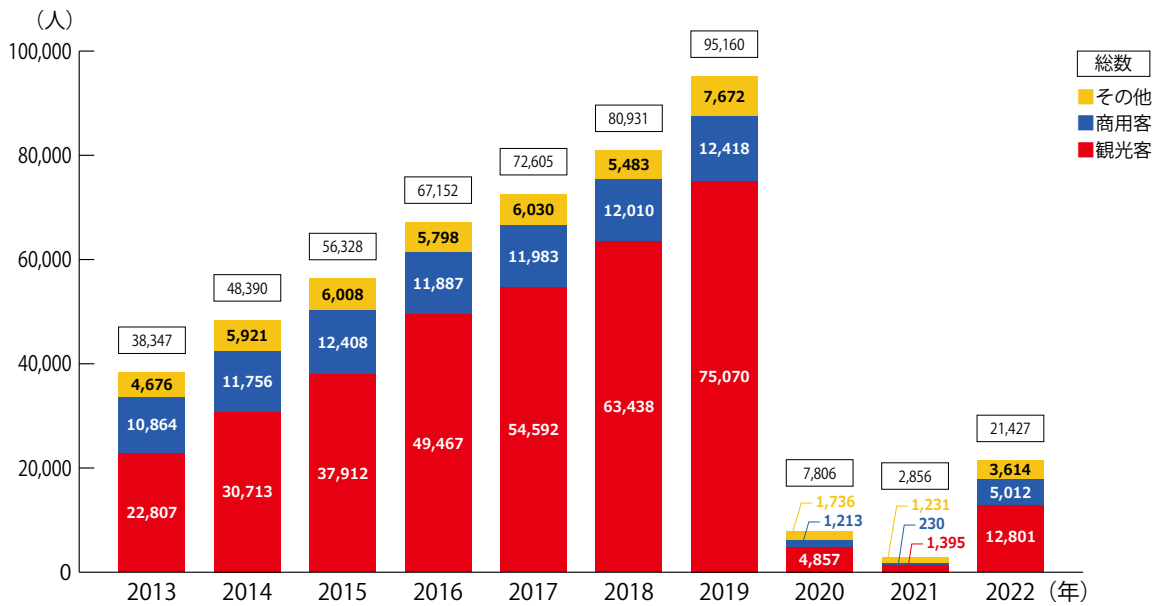
注1：上記の中東人とは、中東8か国（イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）からの旅行者のみを対象としている。

注2：中東人の外国旅行者数の合算値は不明である。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## 第4章 訪日旅行の動向

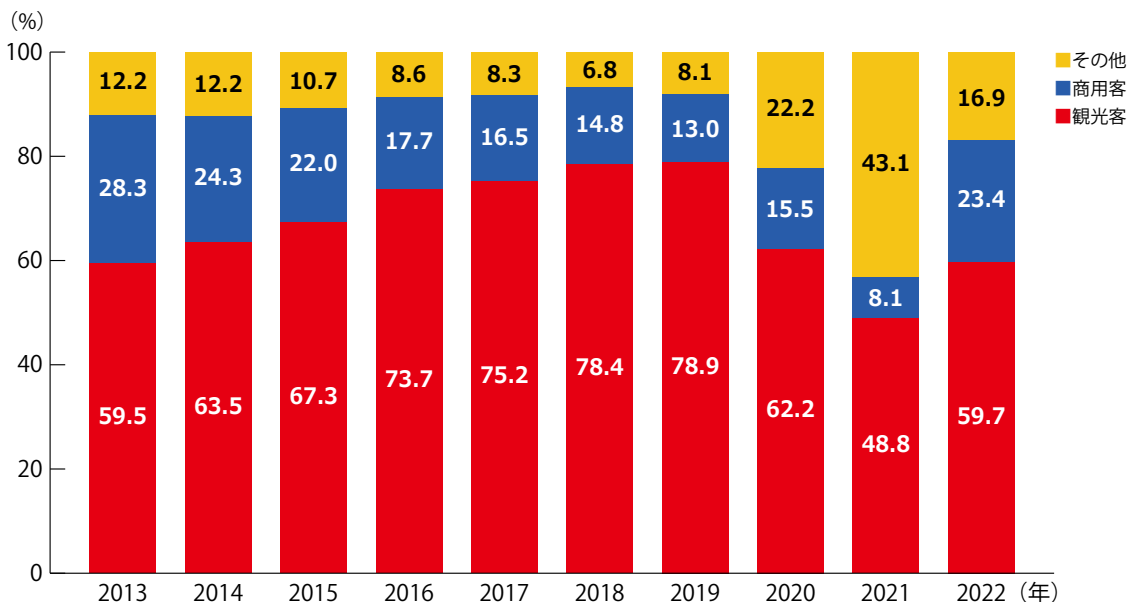
### (1) 訪日中東人の推移（2013年～2022年）



注：上記の中東人には、中東8か国（イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）からの旅行者のみが含まれている。

出典：日本政府観光局（JNTO）

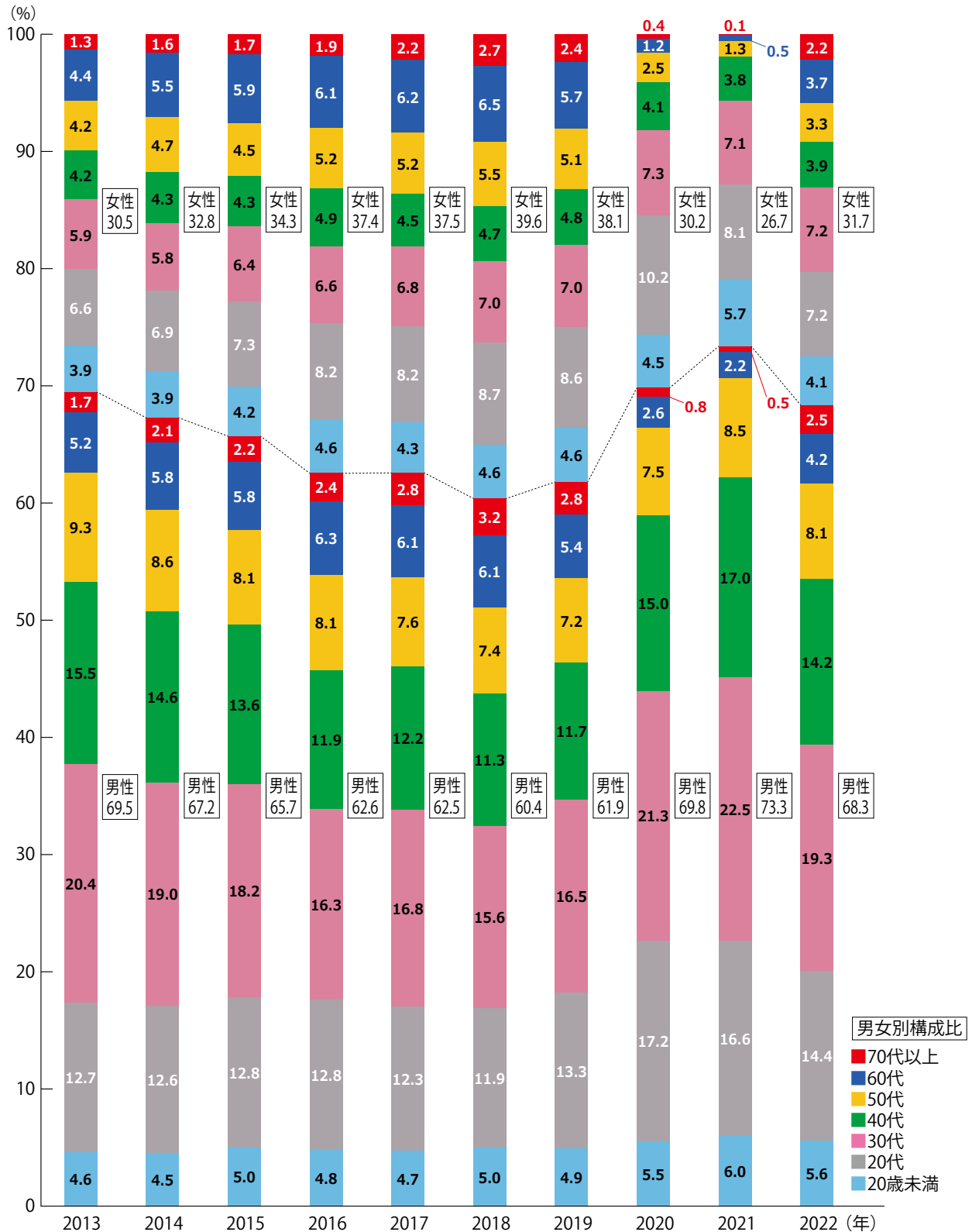
### (2) 訪日中東人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



注：上記の中東人には、中東8か国（イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）からの旅行者のみが含まれている。

出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日中東人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)



中東地域

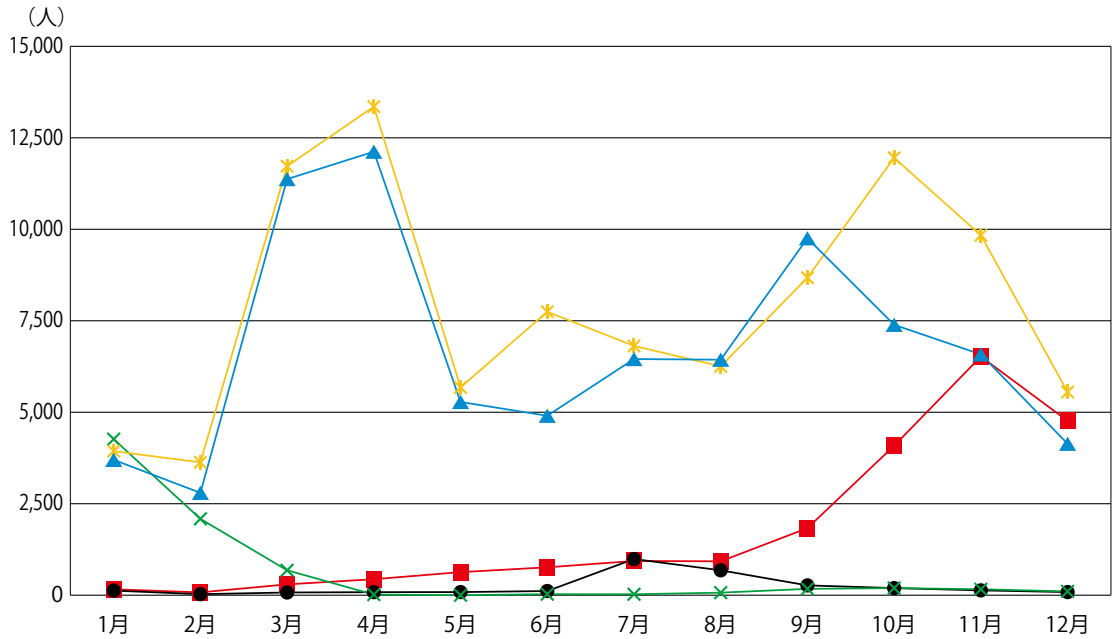
注1：上記の中東人には、中東8か国（イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）からの旅行者のみが含まれている。

注2：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

注3：2012年以前の数値は存在しない。

出典：日本国法務省

#### (4) 月別訪日中東人の推移（2018年～2022年）



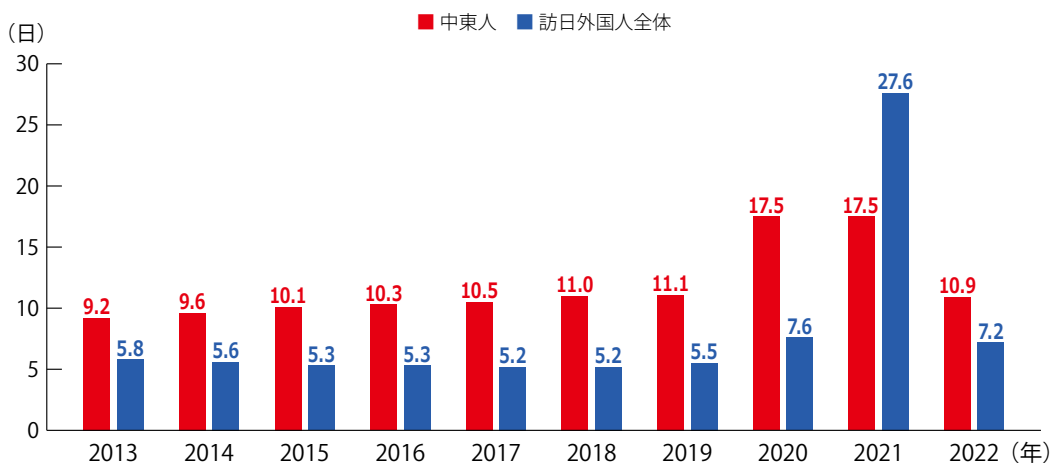
単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	161	77	296	437	630	762	935	926	1,832	4,085	6,522	4,764
● 2021年	125	28	74	83	85	114	988	680	268	194	132	85
✕ 2020年	4,265	2,086	681	17	0	28	26	69	173	194	163	104
✱ 2019年	3,936	3,630	11,726	13,352	5,679	7,747	6,813	6,254	8,678	11,955	9,836	5,554
▲ 2018年	3,699	2,798	11,372	12,121	5,281	4,904	6,454	6,436	9,755	7,390	6,582	4,139

注：上記の中東人には、中東8か国（イスラエル、トルコ、サウジアラビア、アラブ首長国連邦、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）からの旅行者のみが含まれている。

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日中東人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めた。特に中東人入国者は、2020年から2021年にかけてその傾向が見られ、2020年と2021年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）





# イスラエル

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

2022年5月時点で、ユダヤ人（約74%）、アラブ人（約21%）、その他（約5%）

出典：イスラエル中央統計局

### (2) 宗教別構成

ユダヤ教（73.5%）、イスラム教（21.7%）、キリスト教（1.3%）、ドゥルーズ派（1.2%）

出典：イスラエル中央統計局（2023年3月）

### (3) 使用言語

ヘブライ語が公用語（ユダヤ国民国家基本法で、ヘブライ語を国語と規定している。）

イスラエルのアラブ系住民の間ではアラビア語も話されている。

英語も広く通用する。

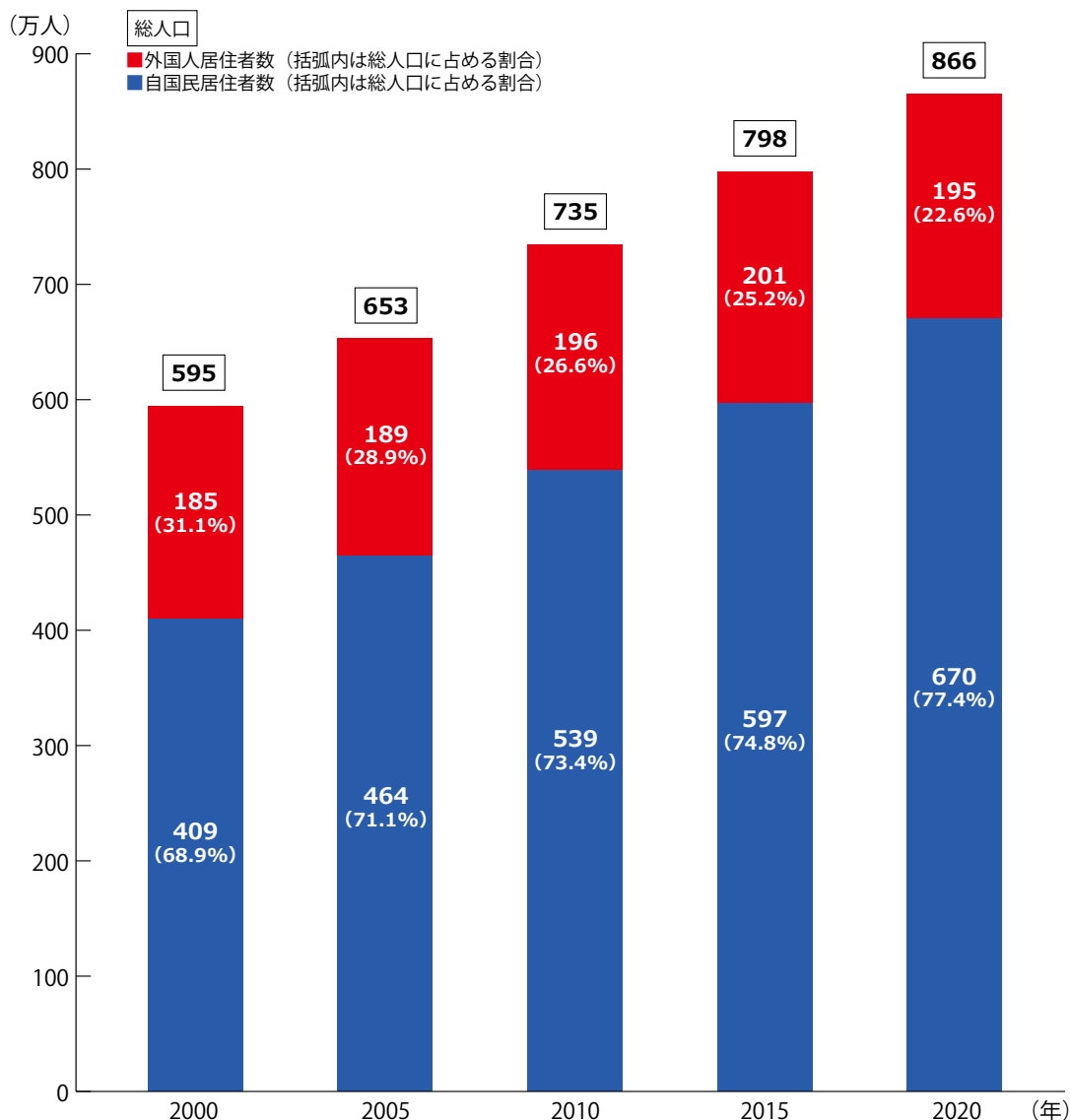
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

2万2,072km<sup>2</sup>（四国本島の1.2倍強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

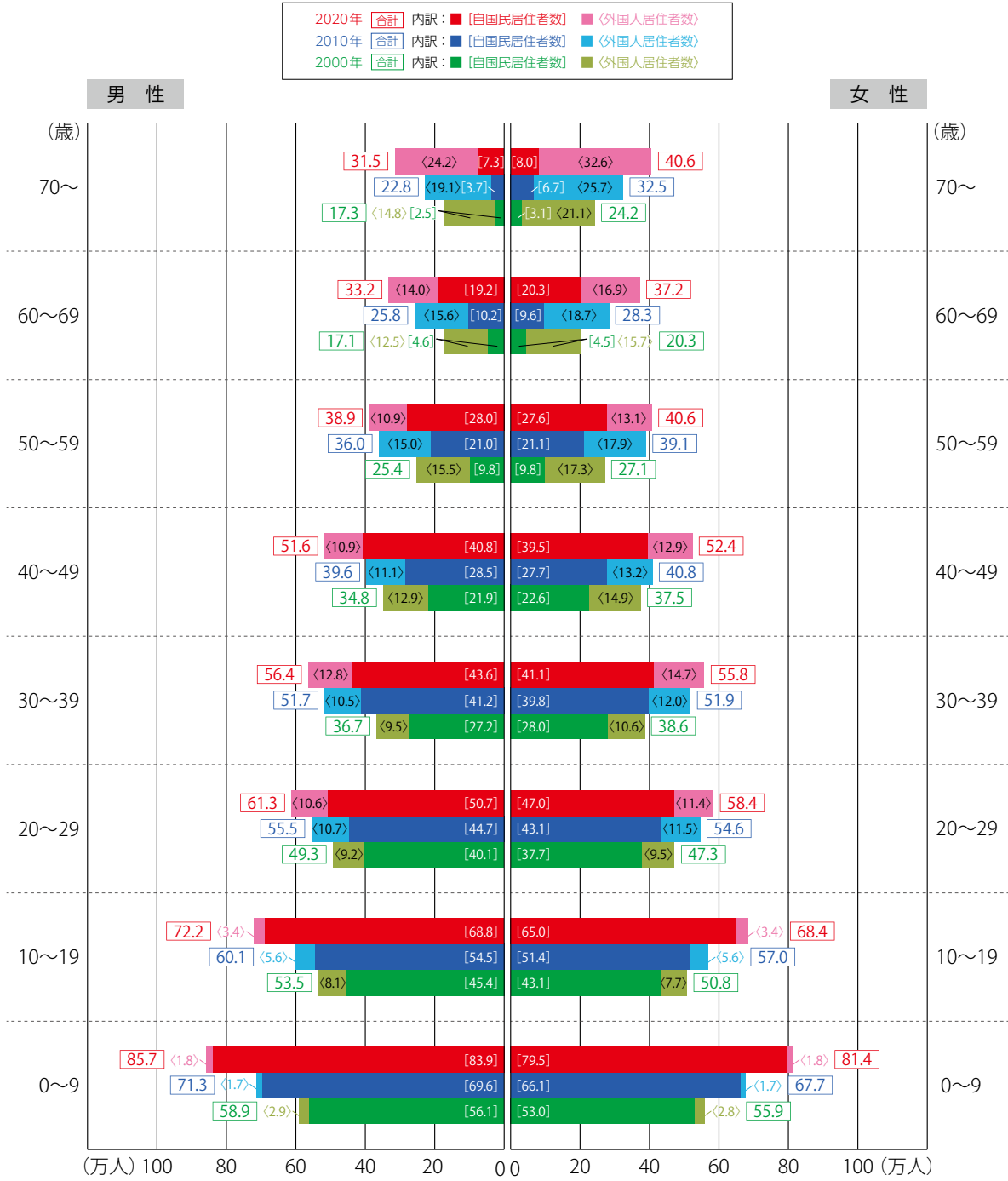
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：イスラエルの外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

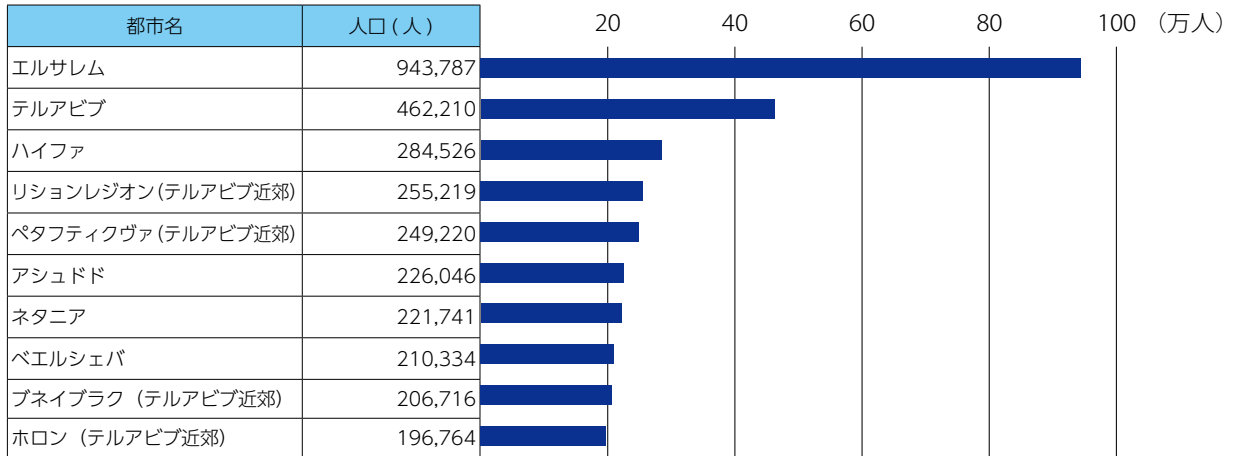
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：上の数値は、2020年の推計値である。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年
※ペサハ（過ぎ越しの祭り）	4月5日（木）～4月12日（水）	4月22日（月）～4月29日（月）
※戦没者追悼記念日 （独立記念日前夜祭）	4月25日（火）	5月13日（月）
※独立記念日	4月26日（水）	5月14日（火）
※シャブオット（七週祭）	5月25日（木）～5月26日（金）	6月11日（火）～6月12日（水）
※ユダヤ新年	9月15日（金）～9月17日（日）	10月2日（水）～10月4日（金）
※ヨムキプール（贖罪の日）	9月24日（日）～9月25日（月）	10月11日（金）～10月12日（土）
※スコット（仮庵祭）	9月29日（金）～10月6日（金）	10月16日（水）～10月23日（水）
※シムチャット・トーラ（律法感謝祭）	10月6日（金）～10月7日（土）	10月23日（水）～10月24日（木）

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：上記以外に、宗教もしくは地域ごとの祝日がある。

注3：イスラエルの休暇は、祝日の前日の日没から当日の日没までである。例えば、2023年のペサハについては、4月5日の日没から4月12日の日没までが該当する。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

出典：駐日イスラエル大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	春期休暇 (ユダヤ系)	3月中旬～4月上旬の約15日間	過ぎ越しの祭り
		春期休暇 (ユダヤ系以外)	3月下旬～4月中旬の約15日間	
		夏期休暇 (初等・前期中等教育)	7月上旬～8月下旬の約60日間	
		スコット休暇 (ユダヤ系のみ)	10月上旬～10月中旬の約10日間	仮庵祭
		冬期休暇 (ユダヤ系)	12月中旬の約7日間	ハヌカー
		冬期休暇 (ユダヤ系以外)	12月下旬～1月上旬の約20日間	
前期中等学校	12歳～15歳 (3年間)	春期休暇 (ユダヤ系)	3月中旬～4月上旬の約15日間	過ぎ越しの祭り
		春期休暇 (ユダヤ系以外)	3月下旬～4月中旬の約15日間	
		夏期休暇 (初等・前期中等教育)	7月上旬～8月下旬の約60日間	
		スコット休暇 (ユダヤ系のみ)	10月上旬～10月中旬の約10日間	仮庵祭
		冬期休暇 (ユダヤ系)	12月中旬の約7日間	ハヌカー
		冬期休暇 (ユダヤ系以外)	12月下旬～1月上旬の約20日間	
後期中等学校	15歳～18歳 (3年間)	春期休暇 (ユダヤ系)	3月中旬～4月上旬の約15日間	過ぎ越しの祭り
		春期休暇 (ユダヤ系以外)	3月下旬～4月中旬の約15日間	
		夏期休暇 (後期中等教育)	6月下旬～8月下旬の約70日間	
		スコット休暇 (ユダヤ系のみ)	10月上旬～10月中旬の約10日間	仮庵祭
		冬期休暇 (ユダヤ系)	12月中旬の約7日間	ハヌカー
		冬期休暇 (ユダヤ系以外)	12月下旬～1月上旬の約20日間	
大学	最短18歳～21歳 最長18歳～25歳 (3年間～7年間)	冬期休暇	1月下旬～3月中旬の約60日間	
		夏季休暇	6月下旬～7月下旬の約30日間	
		秋期休暇	9月上旬～10月下旬の約50日間	

学校年度	9月～翌年8月
義務教育	初等学校 (6年間) + 前期中等学校 (3年間) + 後期中等学校 (3年間) = 12年間

注1：ユダヤ暦ではおよそ3年に1回 (19年のうち7回)、閏月があり、1年が13か月となる。年によっては、太陽暦との間に1か月程度のずれが発生する。

注2：イスラエルの学校の長期休暇は、宗教・地域によって、休暇の日程や期間が異なる。

出典：イスラエル現地の諸情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	ユダヤ教徒：金曜日・土曜日 上記以外：金曜日・土曜日 もしくは 土曜日・日曜日	労働・休息時間法 第7条	<ul style="list-style-type: none"> <li>左記の曜日を含む連続した36時間以上と定められている。</li> <li>金曜日、土曜日の休みが一般的である。</li> </ul>
有給休暇日数	14日 (勤続5年未満) 16日 (勤続5年目) 18日 (勤続6年目) 21日 (勤続7年目)  勤続8年目以降、1日ずつ追加。但し、最大で28日。	有給休暇法 第3条および第7条	<ul style="list-style-type: none"> <li>有給休暇は1度にまとめて取ることが法律で規定されている。労使間の合意があれば分割することが可能であるが、連続した7日間より小さく分割することはできない。</li> <li>1年に少なくとも7日は消化しなければならない。未消化の累積有給休暇は、翌々年までに取得しなければならない。</li> <li>病欠、出産・祝祭日、忌引きは、有給休暇と明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	男性：67歳 女性：62歳と4か月	退職年齢法 第3条	

出典：イスラエル労働・休息時間法、イスラエル有給休暇法、イスラエル退職年齢法

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	男性：2年6か月 女性：2年
入隊対象性別	男女とも召集
入隊対象年齢	男性：18歳～29歳 女性：18歳～26歳  徴兵期間の終了後、有事の動員に備え、予備役として下記の期間、月次、年次訓練に参加する。訓練期間以外の拘束は受けない。 月次訓練：1か月に1日間、もしくは2か月に1度連続する2日間、もしくは3か月に1度連続する3日間。 年次訓練：男性は、18歳～39歳の間は連続する31日間、39歳～54歳の間は連続する14日間。女性は、18歳～34歳の間は連続する31日間。

出典：イスラエル外務省、日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	55.2
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	48.6
ラメタイエル (Lametayel)	ウェブサイト	旅行情報発信、旅行予約	38.4
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	19.8

注1：本調査は、当該市場の320人の調査対象者から聞き出した結果である。

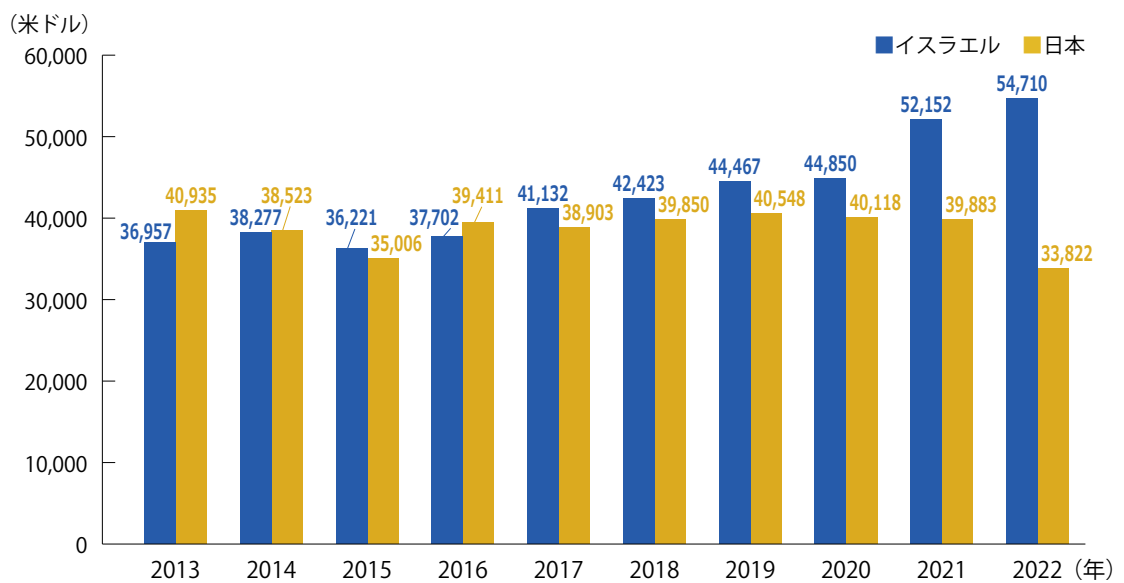
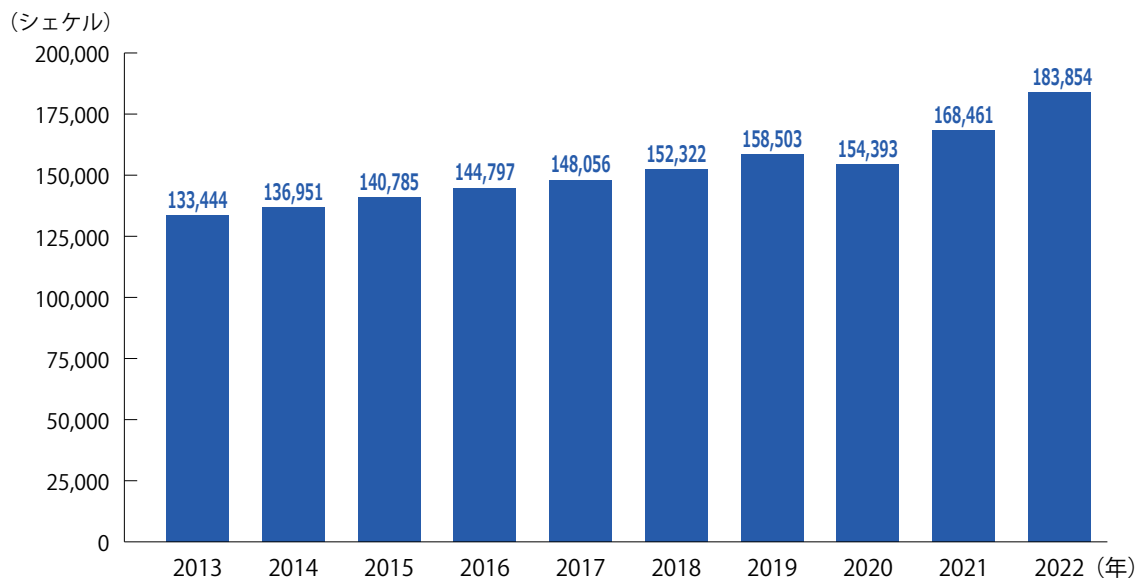
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

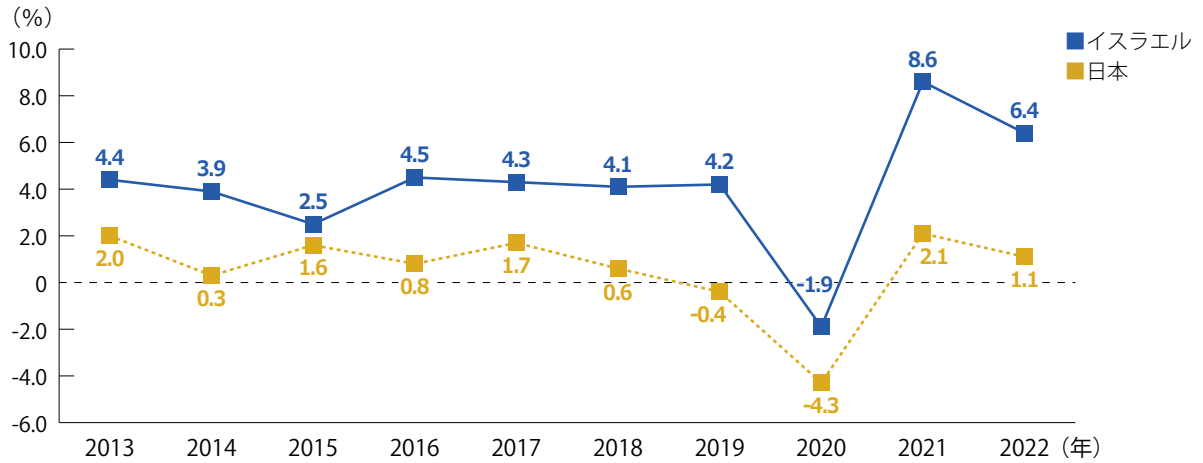
## 第2章 経済指標

## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



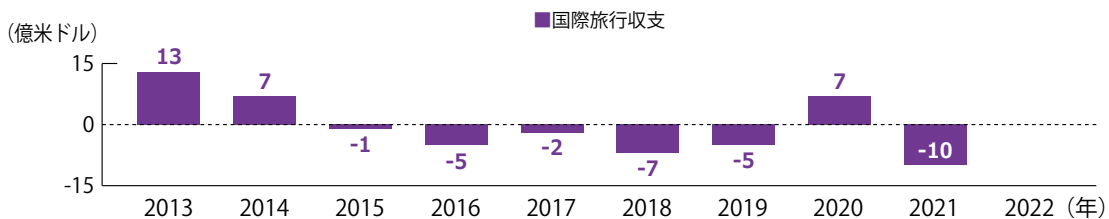
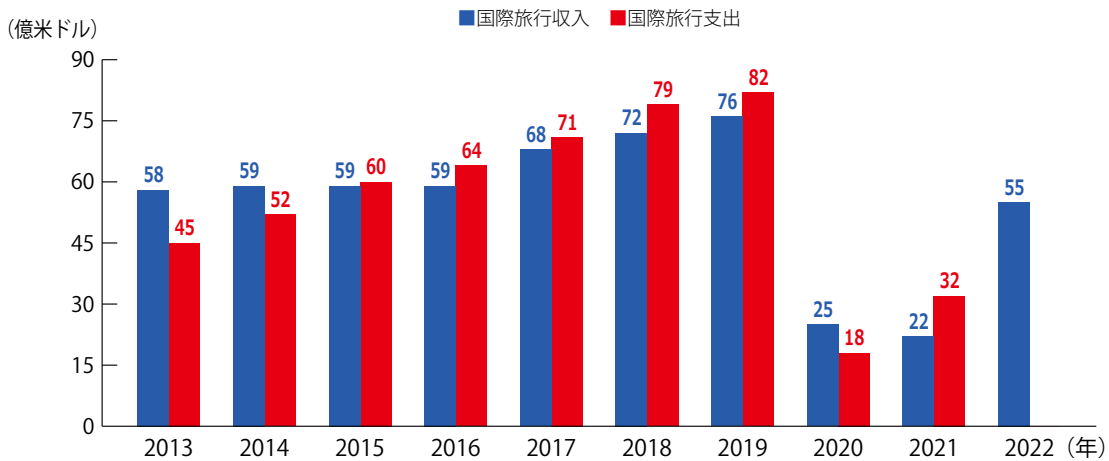
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

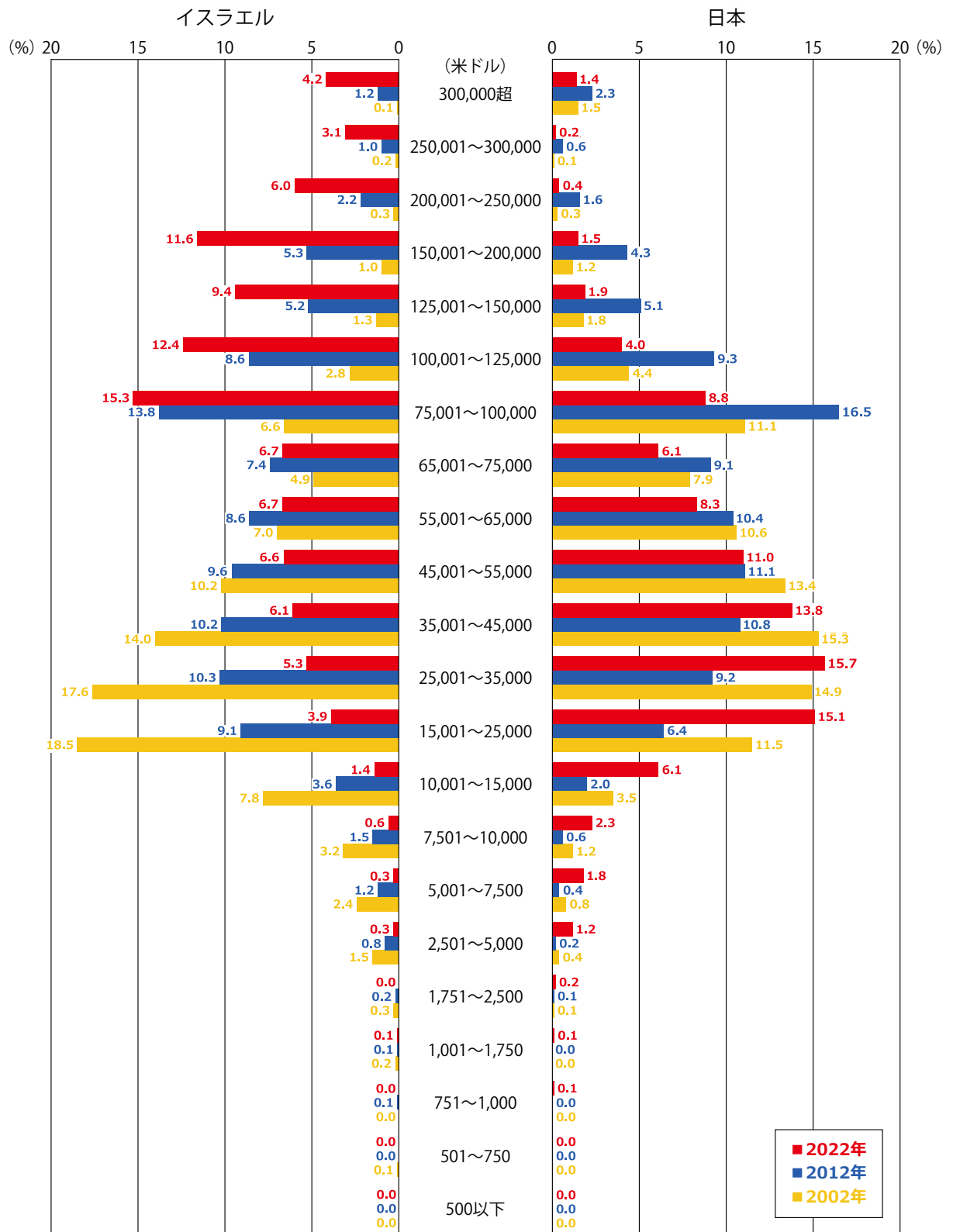
## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



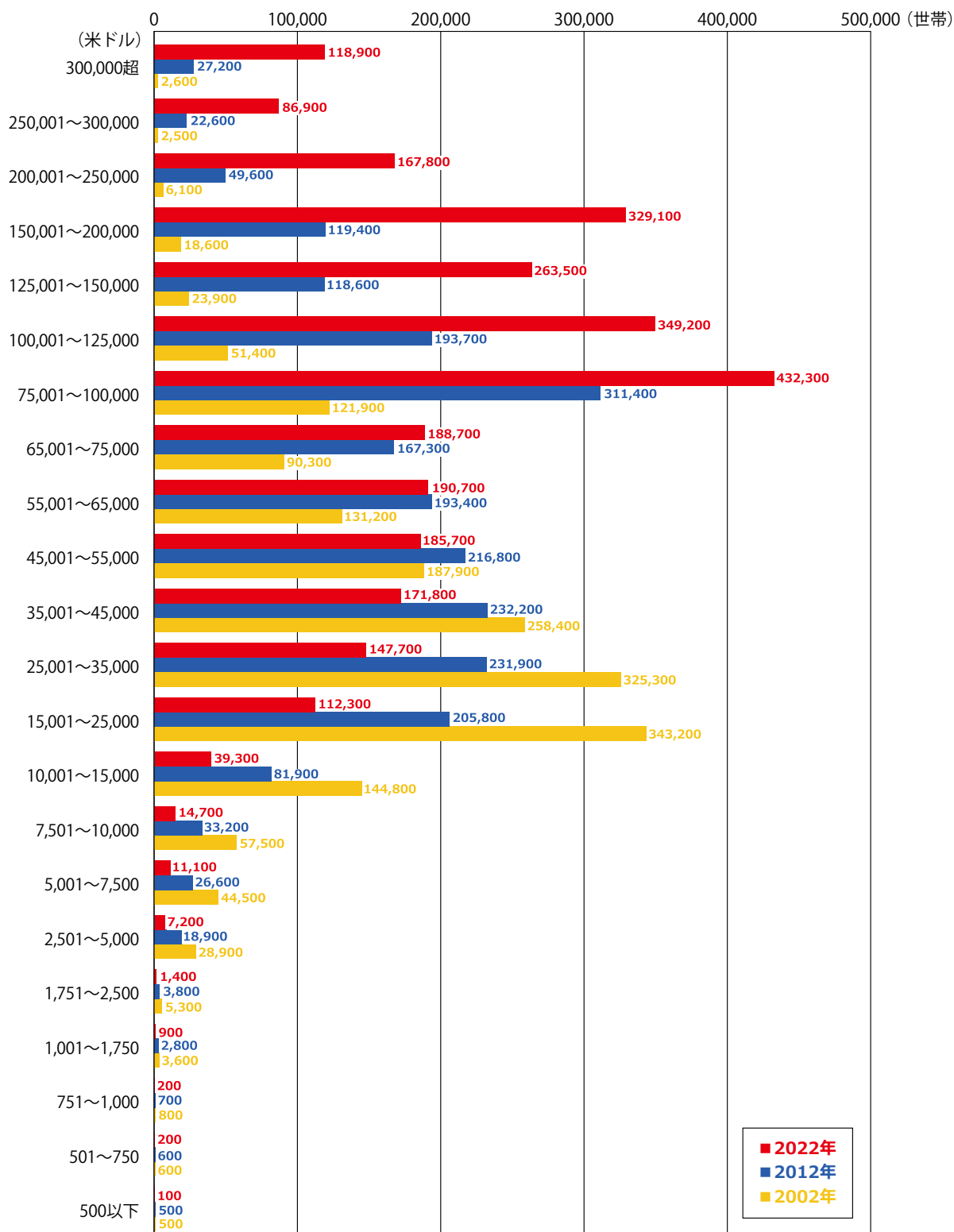
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

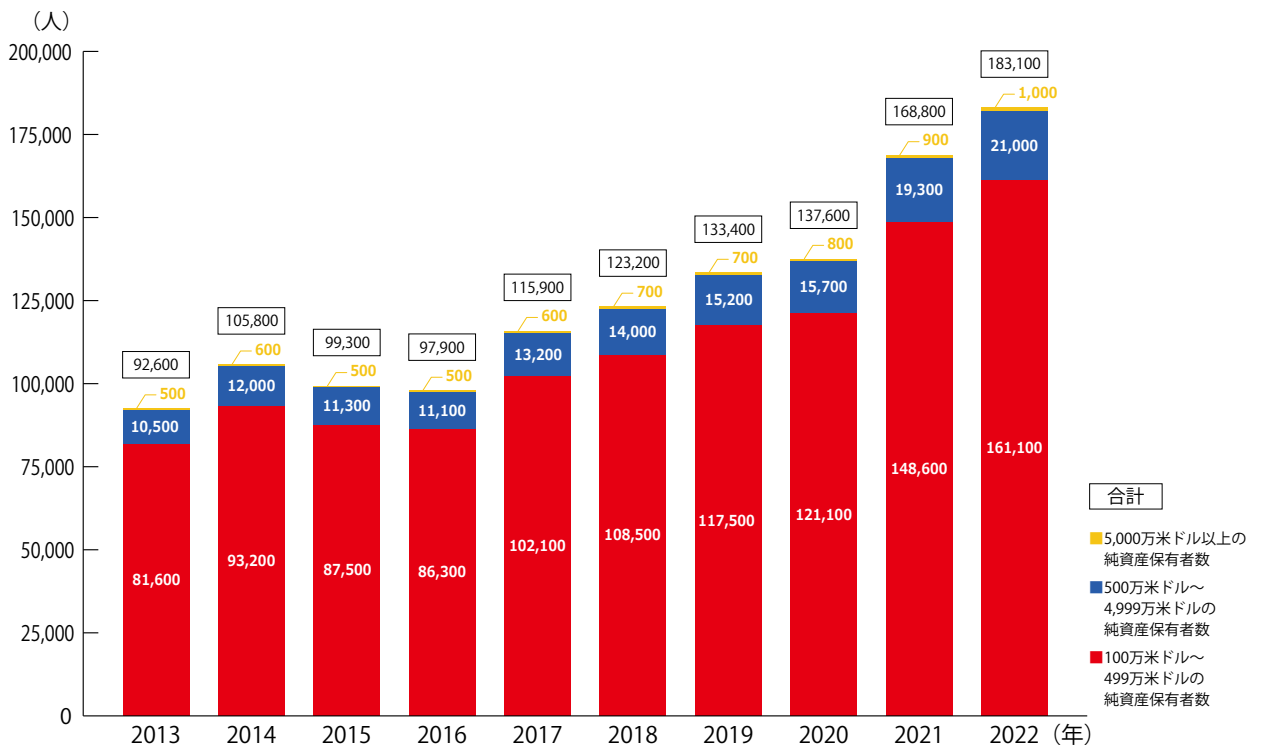
イスラエル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



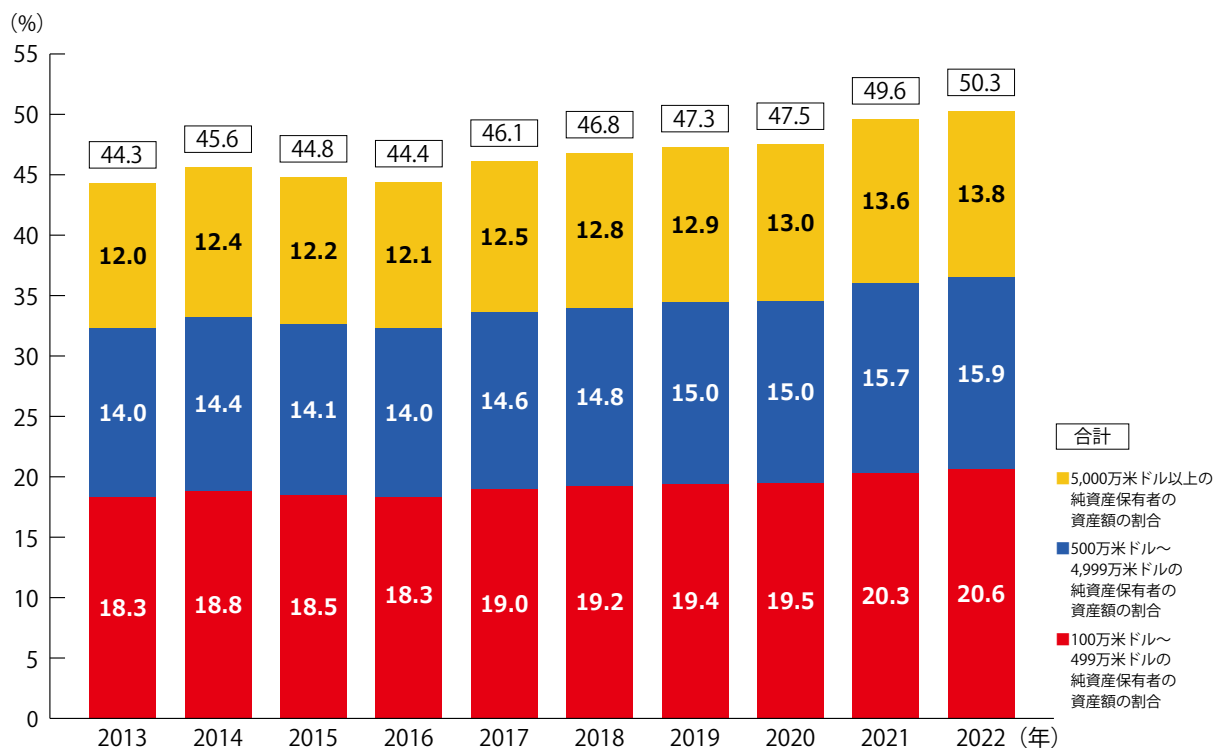
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
 出典：ユーロモニターインターナショナル

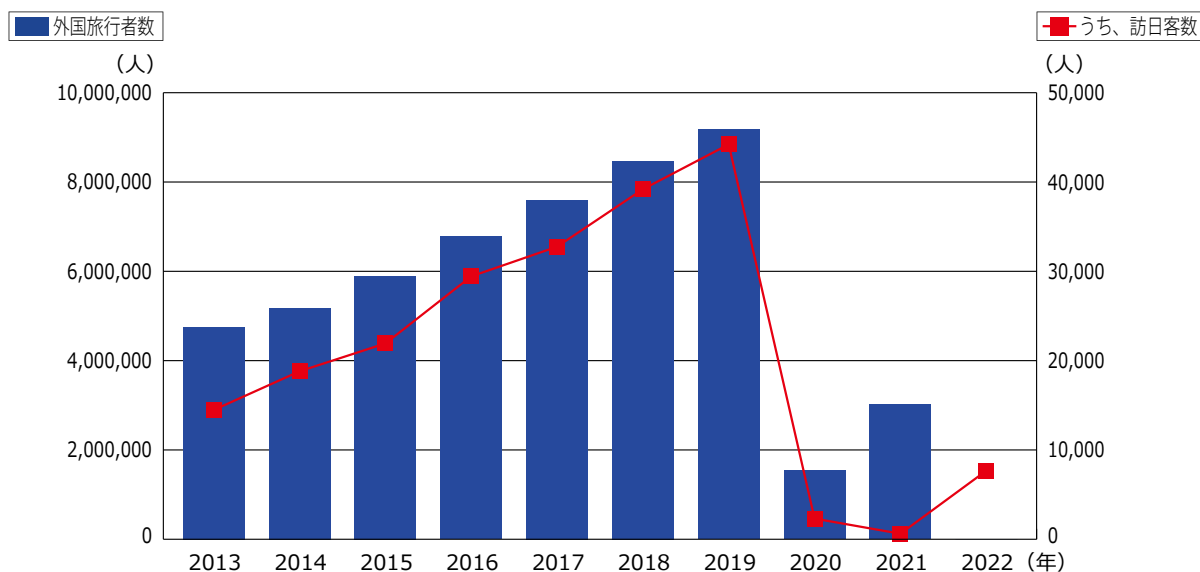
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
 出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) イスラエル人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国旅行者数(左目盛)	4,756,700	5,180,700	5,891,100	6,780,900	7,597,400	8,472,700	9,178,600	1,543,800	3,022,300	
うち、訪日客数(右目盛)	14,478	18,808	21,928	29,436	32,758	39,193	44,214	2,315	619	7,673
訪日率(%)	0.304	0.363	0.372	0.434	0.431	0.463	0.482	0.150	0.020	

注：イスラエル人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：イスラエル中央統計局、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのイスラエル人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	トルコ	TFN	377,098	441,633	563,570	129,670	224,646	563,570
2位	エジプト	VFN	234,986	405,399	530,226	37,855		530,226
3位	米国	TFR	421,202	439,153	450,572	84,800	208,264	450,572
4位	スペイン	TFR	269,264	316,433	341,773	54,500	79,908	341,773
5位	ルーマニア	VFR	289,425	319,903	309,321	43,332	64,941	319,903
6位	ウクライナ	TFR	261,486	317,830	295,155	57,625	132,962	317,830
7位	キプロス	TFR	261,966	232,561	293,746	27,272	82,098	293,746
8位	ドイツ	TCER	316,140	313,989	291,150	45,249	72,190	316,140
9位	英国	VFR	263,479	263,752	264,664		70,554	264,664
10位	ロシア	VFN	182,234	224,842	256,838	30,929		256,838
11位	ポーランド	TCER	249,393	260,634	255,699	21,920	33,089	260,634
12位	ブルガリア	VFR	209,304	245,567	246,404	54,196	54,342	246,404
13位	オーストリア	TCER	173,698	191,381	239,351	36,320	144,600	239,351
14位	ジョージア	VFR	115,040	156,922	205,051	25,731	100,686	205,051
15位	タイ	TFN	173,673	188,788	195,856	29,368	14,038	195,856
16位	オランダ	THSR	165,000	157,000	170,000	26,000	37,000	170,000
17位	チェコ	TCEN	183,948	162,774	161,217	22,429	74,926	183,948
18位	ハンガリー	TCEN	121,037	131,353	144,449	24,600	57,998	144,449
19位	ポルトガル	TCER			140,656	12,640	41,623	140,656
20位	イタリア	TFN	120,915	126,231	139,023	14,785	72,645	139,023
21位	ヨルダン	TFN	85,792	95,854	113,201	15,727	30,172	113,201
22位	中国	VFN	91,540	97,484	94,289			97,484
23位	パレスチナ自治区	THSN	85,280	87,406	85,090	17,896	119,253	119,253
24位	スイス	THSR	84,269	87,097	81,157	9,351	29,430	87,097
25位	インド	VFN	58,131	67,366	73,137	17,444	4,601	73,137
26位	カナダ	TFR	75,848	66,083	67,258	7,692	11,914	75,848
27位	クロアチア	TCER	56,952	65,160	63,928	8,786	12,462	65,160
28位	スロベニア	TCEN	67,592	70,354	59,617	1,082	8,967	70,354
29位	アゼルバイジャン	VFR	15,369	40,082	47,003	4,238	6,622	47,003
30位	メキシコ	TFN	44,386	46,886	46,524	12,829	20,760	46,886

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
31位	アルゼンチン	TFR	41,783	40,141	44,592	20,599	2,071	44,592
32位	香港	TFR	49,036	50,627	44,268	2,989	129	50,627
33位	日本	VFN	32,758	39,193	44,214	2,315	619	44,214
34位	モンテネグロ	TCEN	30,506	34,904	40,764	558	21,227	40,764
35位	モロッコ	TFN	31,291	35,955	39,857	3,450	8,642	39,857
36位	ブラジル	TFR	29,086	33,326	38,391	18,195	2,898	38,391
37位	ベルギー	TCER	35,395	39,314	36,735	4,853	8,096	39,314
38位	スロバキア	TCEN	44,879	36,567	34,002	2,051	7,383	44,879
39位	リトアニア	TCER	20,445	26,023	30,205	2,847	6,848	30,205
40位	セルビア	TCEN	40,942	31,940	29,627	12,862	6,655	40,942
41位	南アフリカ共和国	TFR	25,663	26,007	28,887	5,998	3,374	28,887
42位	アラブ首長国連邦	VFN				24,633		24,633
43位	シンガポール	VFR	19,691	22,385	24,297	4,736	704	24,297
44位	フィリピン	TFR	17,446	20,343	22,851	4,745	452	22,851
45位	マルタ	TFR	16,666	22,645	21,230	2,962	2,866	22,645
46位	フィンランド	TCER	19,221	16,813	20,716	8,049	4,023	20,716
47位	チリ	TFN	18,520	16,879	20,199	8,717	502	20,199
48位	アルバニア	VFN	5,478	14,237	19,739	811	4,575	19,739
49位	韓国	VFN	13,507	15,328	17,102	1,445	1,039	17,102
50位	ペルー	TFR	14,130	15,285	16,664	3,309	3,305	16,664
51位	カンボジア	TFR	13,628	14,727	16,444	4,812	60	16,444
52位	タンザニア	VFR	36,640	31,419	16,348	6,889	6,303	36,640
53位	蒙州	VFR	14,090	15,765	16,277	3,785	835	16,277
54位	ラトビア	TCER	18,843	20,268	15,780	1,897	3,098	20,268
55位	コスタリカ	TFN	14,563	14,359	14,869	4,351	13,148	14,869
56位	スリランカ	TFR	11,080	13,833	14,770	3,556	1,724	14,770
57位	マカオ	VFN	15,362	15,357	13,658	683	2	15,362
58位	ウズベキスタン	VFR	3,800	9,779	13,615	1,048	2,532	13,615
59位	北マケドニア	TCEN	7,967	10,767	12,436	416	1,281	12,436
60位	コロンビア	TFR	13,332	12,830	12,422	2,173	6,420	13,332
61位	エチオピア	TFR	13,273	12,100	11,571	4,133	3,468	13,273
62位	モルディブ	TFN	5,949	7,748	10,424	1,782	12,175	12,175
63位	パナマ	VFR	7,632	9,017	9,070	1,919	6,133	9,070
64位	キューバ	VFR	13,559	12,160	8,961	2,015	143	13,559
65位	グアテマラ	VFR	7,763	8,585	8,169	1,469	3,258	8,585
66位	ネパール	TFN	5,764	6,913	7,619			7,619
67位	アイスランド	TFN	6,945	10,016	7,487	338	11,777	11,777
68位	カザフスタン	VFR	6,466	6,700	7,082	1,020	1,408	7,082
69位	アルメニア	TFR	5,294	6,319	7,072	482	1,745	7,072
70位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	7,925	7,877	6,713	365	6,540	7,925
71位	ニュージーランド	VFR	6,048	6,082	6,356	2,244	43	6,356
72位	ナイジェリア	VFN	5,765	5,782	5,793	2,206	2,276	5,793
73位	ジンバブエ	VFR	4,415	4,991	5,589	1,883	774	5,589
74位	エクアドル	VFN	4,148	4,966	5,519	750	1,797	5,519
75位	セーシェル	TFR	6,092	4,814	5,185	12,488	10,551	12,488
76位	モルドバ	TCEN	2,796	3,749	4,197	342	1,771	4,197
77位	ウルグアイ	VFN	4,404	4,392	4,144			4,404
78位	ラオス	VFN	2,128	2,997	4,041	1,664		4,041
79位	キルギス	VFR	3,347	4,650	3,834	141	968	4,650
80位	ボリビア	TFN	3,381	3,200	3,666	1,499	114	3,666
81位	モーリシャス	TFR	1,698	2,165	3,082	1,741	418	3,082

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

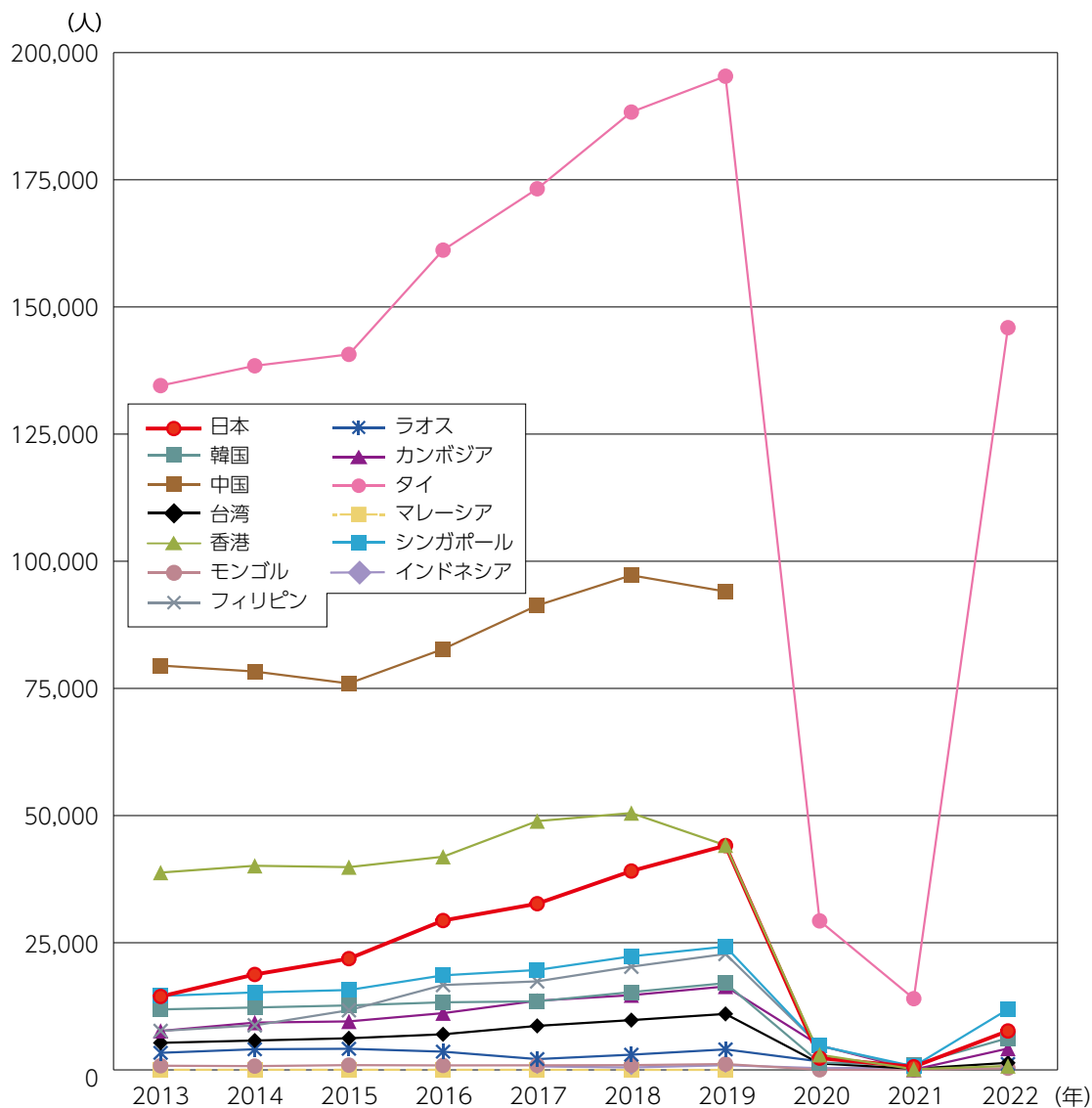
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのイスラエル人訪問者数の推移（2013年～2022年）



訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	134,874	138,778	141,031	161,579	173,673	188,788	195,856	29,368	14,038	146,293
中国	VFN	79,699	78,520	76,165	82,945	91,540	97,484	94,289			
香港	TFR	38,892	40,231	39,967	42,017	49,036	50,627	44,268	2,989	129	776
日本	VFN	14,478	18,808	21,928	29,436	32,758	39,193	44,214	2,315	619	7,673
シンガポール	VFR	14,579	15,270	15,743	18,635	19,691	22,385	24,297	4,736	704	11,938
フィリピン	TFR	7,675	8,776	11,756	16,725	17,446	20,343	22,851	4,745	452	
韓国	VFN	11,922	12,298	12,706	13,322	13,507	15,328	17,102	1,445	1,039	6,266
カンボジア	TFR	7,684	9,317	9,557	11,180	13,628	14,727	16,444	4,812	60	4,209
台湾	VFR	5,330	5,789	6,234	7,018	8,671	9,812	11,030	1,271	231	1,390
ラオス	VFN	3,364	4,068	4,163	3,593	2,128	2,997	4,041	1,664		1,170
モンゴル	TFN	819	748	939	887	902	939	1,152	16	21	328
インドネシア	VFN					688	473	924	338	505	
マレーシア	TFN	18	23	24	22	13	4	4			
ベトナム	VFR										
ミャンマー	TFN										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

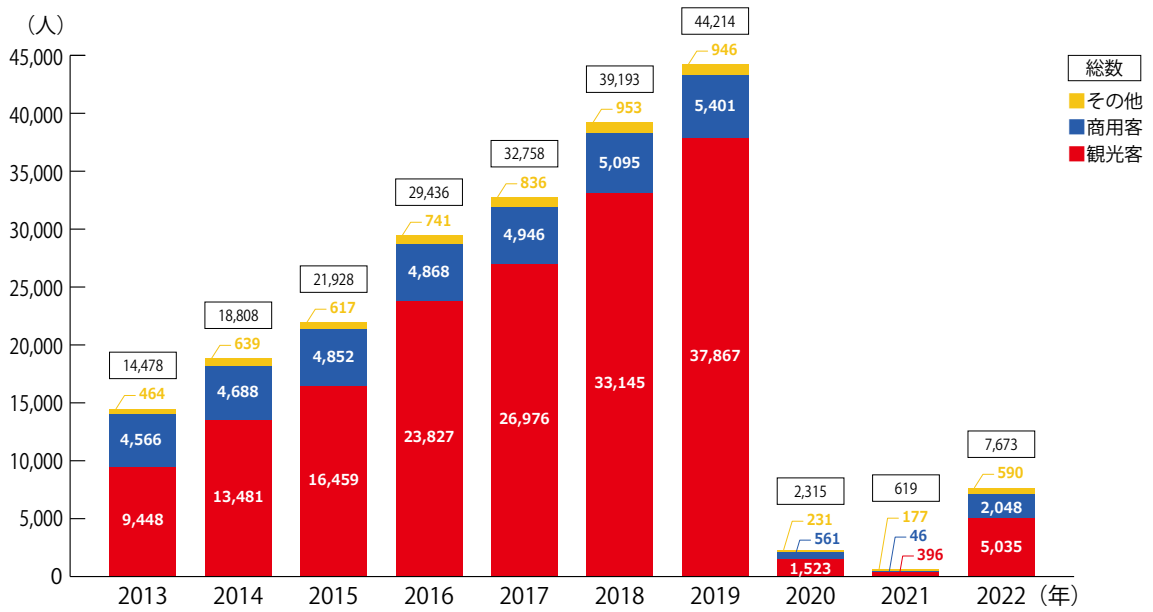
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

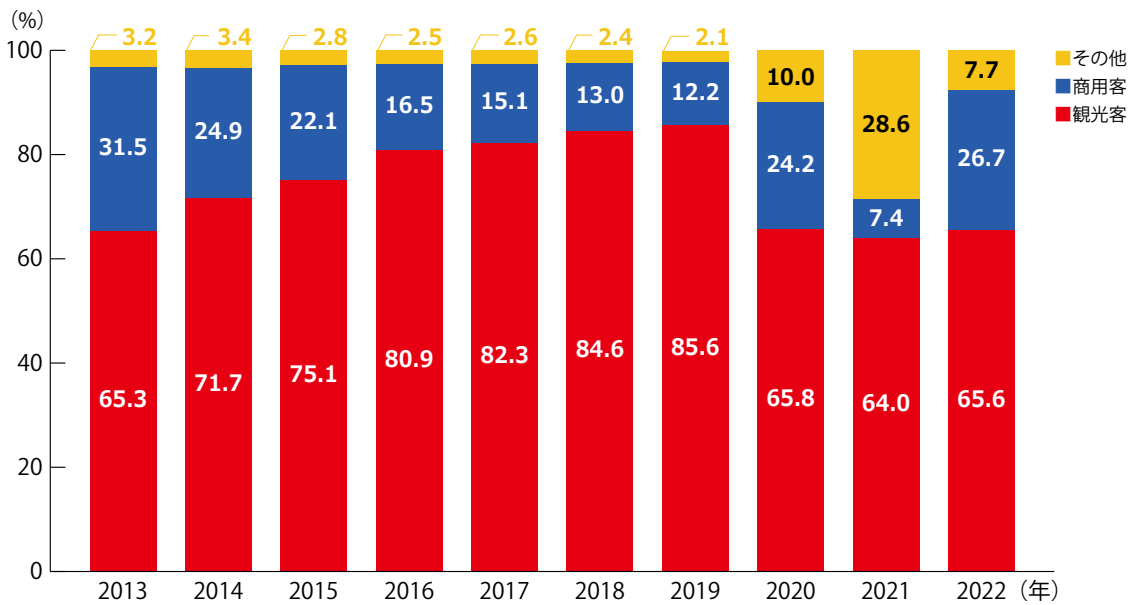
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日イスラエル人の推移（2013年～2022年）



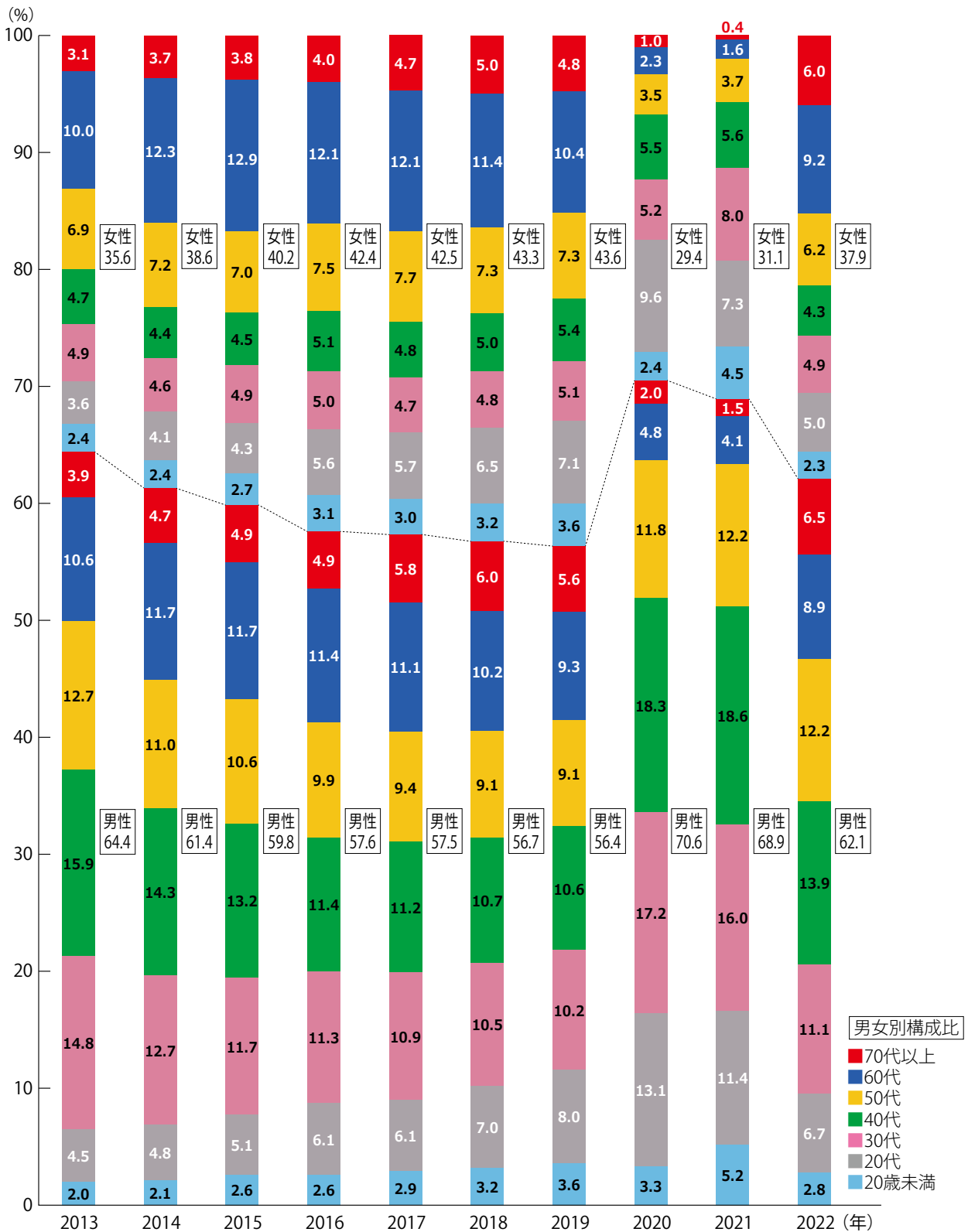
出典：日本政府観光局（JNTO）

(2) 訪日イスラエル人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

### (3) 訪日イスラエル人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



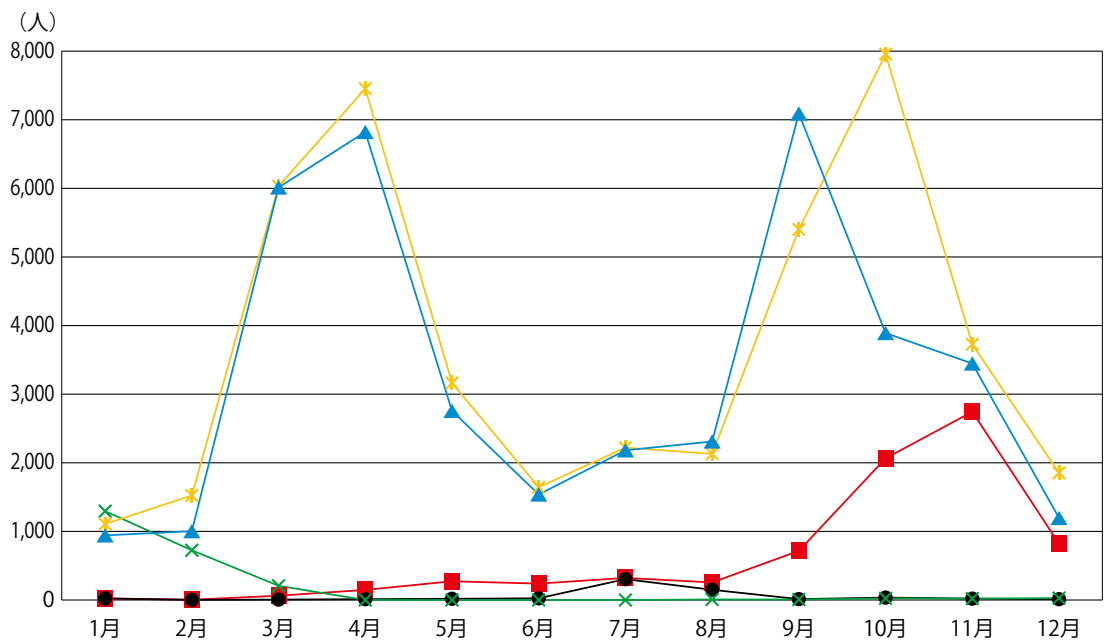
注1：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

注2：2012年以前の数値は存在しない。

出典：日本国法務省



## (4) 月別訪日イスラエル人の推移（2018年～2022年）

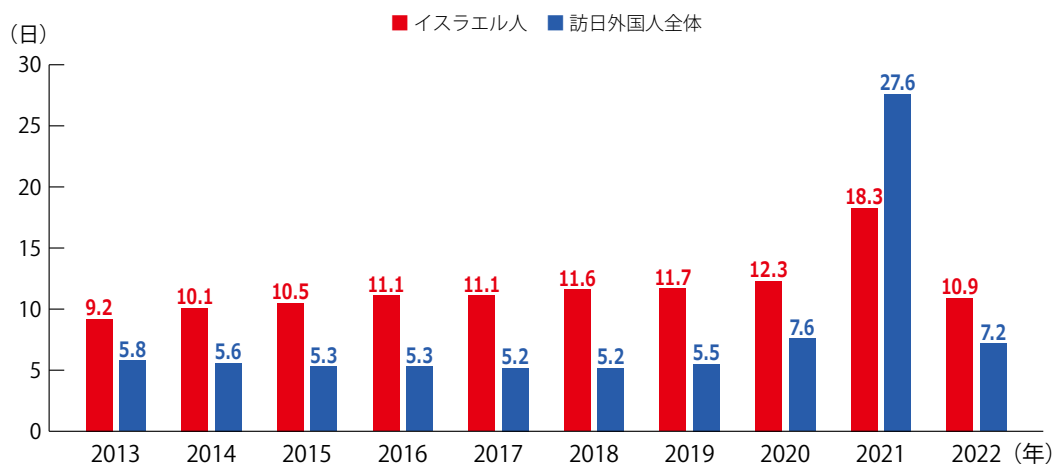


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	23	4	63	147	273	239	322	256	716	2,065	2,744	821
● 2021年	23	2	6	12	18	25	304	149	13	35	20	12
✕ 2020年	1,295	725	207	0	0	1	0	8	7	24	20	28
✱ 2019年	1,107	1,524	6,032	7,453	3,164	1,644	2,221	2,130	5,402	7,956	3,728	1,853
▲ 2018年	942	1,003	6,013	6,822	2,757	1,538	2,182	2,311	7,091	3,891	3,447	1,196

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (5) 訪日イスラエル人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めた。特にイスラエル人入国者は、2020年から2021年にかけてその傾向が見られ、2020年と2021年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

トルコ人が多数を占める。  
南東部を中心にクルド人が居住している。  
その他、アルメニア人、ギリシャ人、ユダヤ人も居住している。  
出典：日本国外務省

### (2) 宗教別構成

イスラム教（スンニ派、アレヴィー派）が大部分を占める。  
その他、ギリシャ正教、アルメニア正教、ユダヤ教など。  
出典：日本国外務省

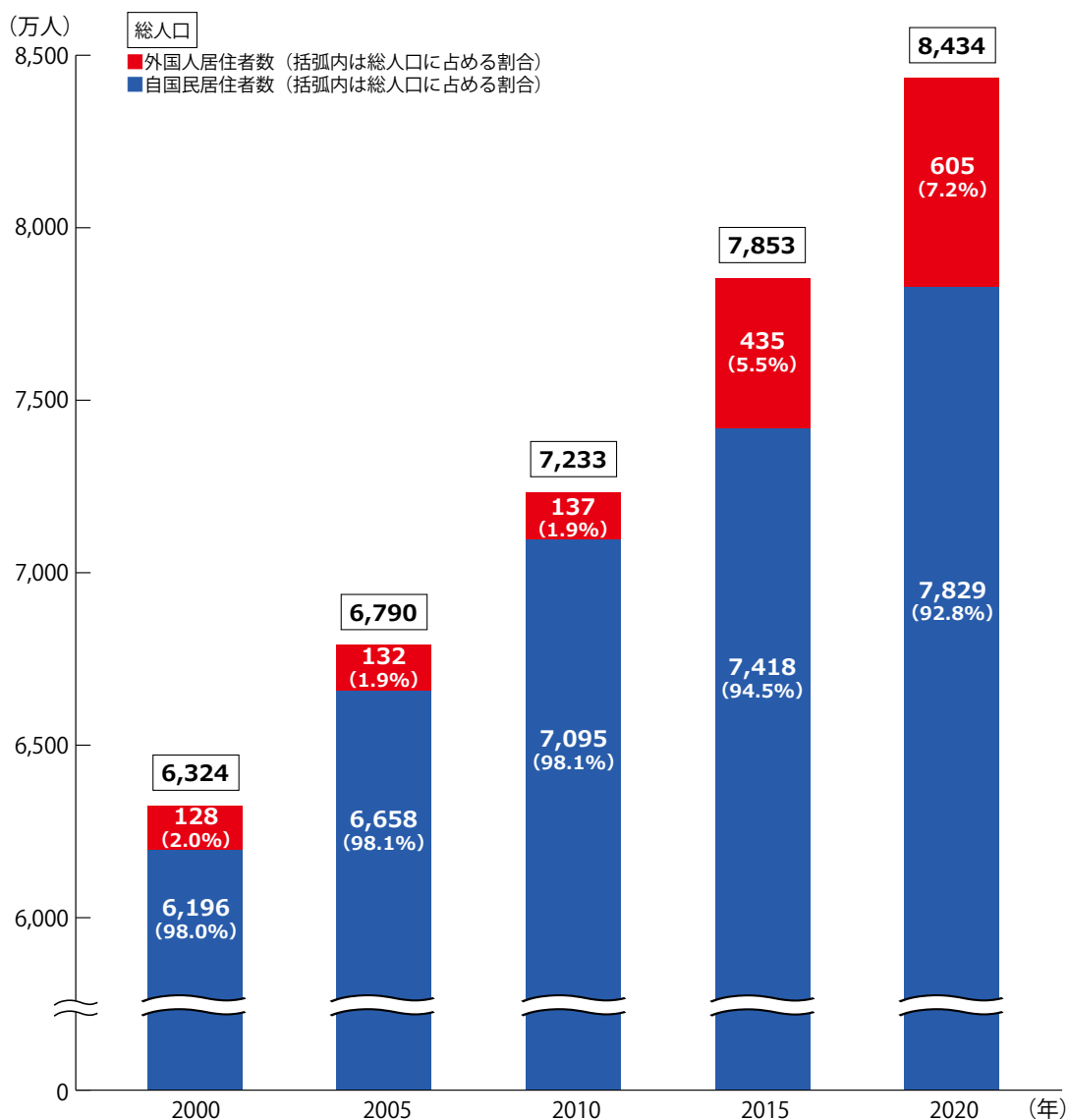
### (3) 使用言語

トルコ語が公用語（トルコ憲法で、トルコ語を公用語と規定している。）  
トルコのクルド系住民の間ではクルド語も話されているが、クルド語の社会的な地位は低い。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

78万3,562km<sup>2</sup>（日本の2.1倍弱）  
出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

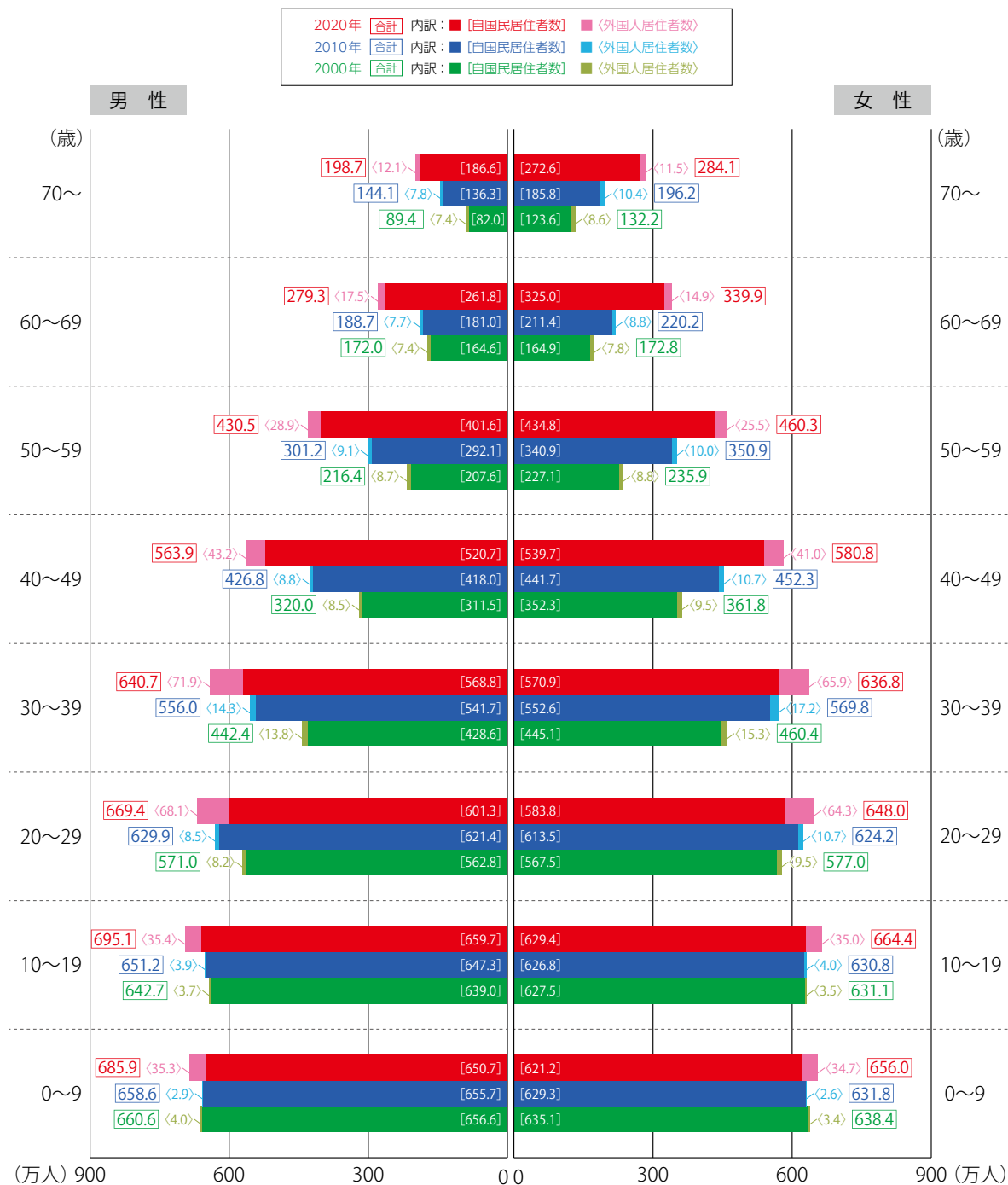
③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：トルコの外国人居住者は、注2の①と③に該当する。

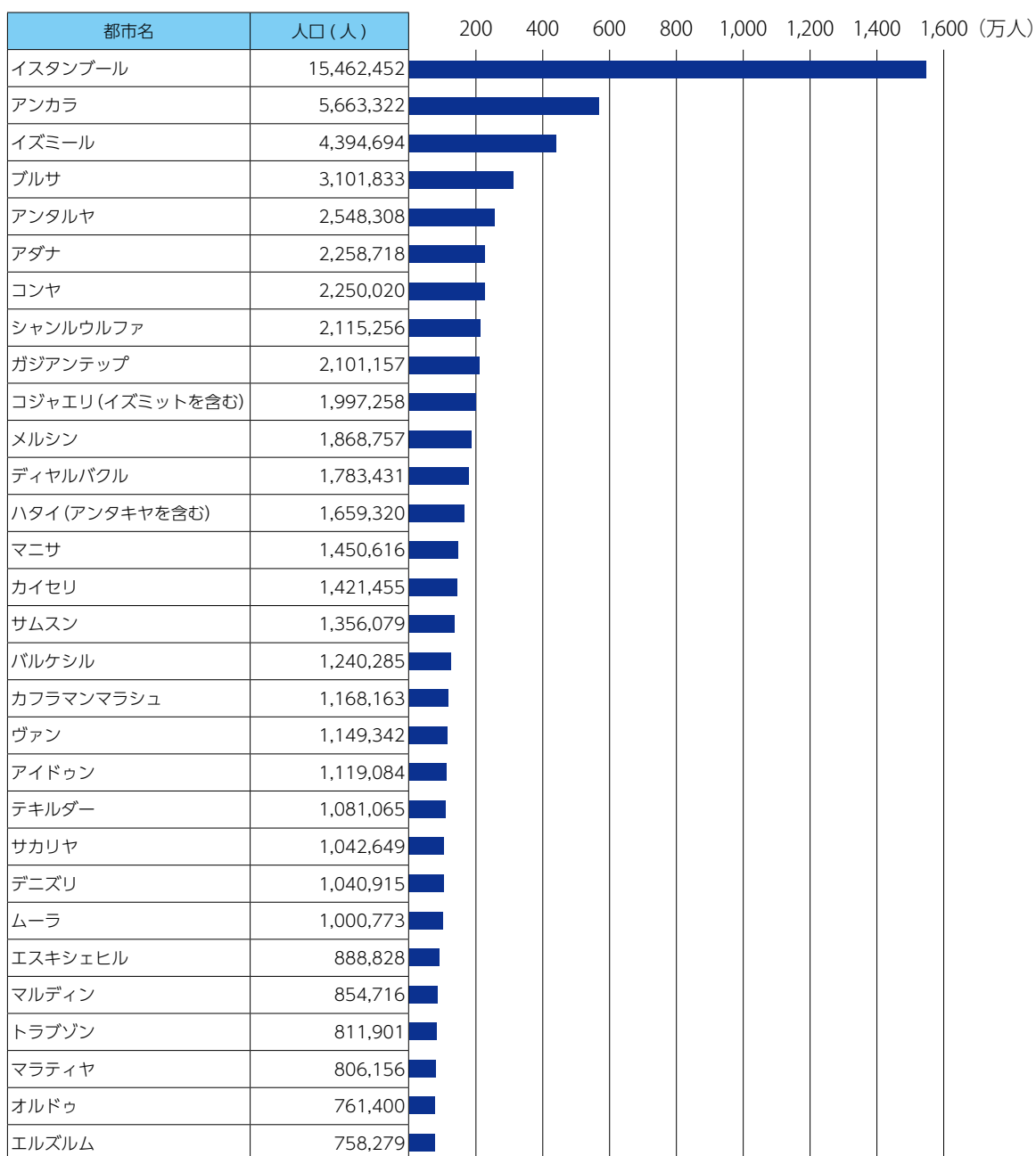
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2020年の推計値である。

注2：上記の人口には、都市部郊外の居住者も含まれている。

出典：国際連合（2021年）

(8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年	備考
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)	
※ラマザン・バイラム (ラマダン明け大祭)	4月21日 (金) ~ 4月23日 (日)	4月10日 (水) ~ 4月12日 (金)	2023年4月20日は午後半休 2024年4月9日は午後半休
独立記念日／子供の日	4月23日 (日)	4月23日 (火)	
レイバー・デー (労働者の日) ／連帯の日	5月1日 (月)	5月1日 (水)	
アタテュルク記念日／ 青少年とスポーツの日	5月19日 (金)	5月19日 (日)	
※クルバン・バイラム (犠牲祭)	6月28日 (水) ~ 7月1日 (土)	6月16日 (日) ~ 6月19日 (水)	2023年6月27日は午後半休 2024年6月15日は午後半休
民主国民連合の日	7月15日 (土)	7月15日 (月)	
勝利の日	8月30日 (水)	8月30日 (金)	
共和国の日 (トルコ共和国宣言記念日)	10月29日 (日)	10月29日 (火)	2024年10月28日は午後半休

注：※印の祝日は年によって変動する。

出典：トルコ政府宗教局の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～10歳 (4年間)	冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間
		2学期中間休暇	4月中旬の約5日間
		夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	11月中旬の約5日間
中等学校	10歳～14歳 (4年間)	冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間
		2学期中間休暇	4月中旬の約5日間
		夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	11月中旬の約5日間
普通高校	14歳～18歳 (4年間)	冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間
		2学期中間休暇	4月中旬の約5日間
		夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	11月中旬の約5日間
大学	18歳～22歳 (4年間)	冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間
		2学期中間休暇	4月中旬の約5日間
		夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月間
		1学期中間休暇	11月中旬の約5日間
学校年度	9月上旬～翌年8月下旬		
義務教育	初等学校 (4年間) + 中等学校 (4年間) + 普通高校 (4年間) = 12年間		

出典：トルコ共和国国民教育省の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	規定なし	労働法 第46条	<ul style="list-style-type: none"> <li>労働法で週24時間以上の休みが義務付けられている。</li> <li>多くの企業では日曜日の休み、官公庁・銀行では土日の休みが一般的である。</li> </ul>
有給休暇日数	14日 (勤続1年以上5年以下) 20日 (勤続6年以上15年未満) 26日 (勤続15年以上)	労働法 第53条、第55条、 第56条	<ul style="list-style-type: none"> <li>有給休暇は最大3分割まで可能であるが、そのうちの10日間はまとめて消化しなければならない。</li> <li>原則年内消化するよう計画する、未使用有給休暇は翌年に自動繰越。</li> <li>原則買取不可、退職時のみ未使用有給休暇の買取義務あり。</li> <li>病欠、出産、祝祭日、忌引きは、有給休暇と明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	男性：60歳 女性：58歳	社会保障・一般健康保険法 第28条	<ul style="list-style-type: none"> <li>但し、最低社会保障料の払込みが完了した時の年によって、退職年齢は変動する(男女とも最長65歳)。</li> <li>今後は日本同様65歳で統一予定である。</li> </ul>

出典：トルコ労働法、トルコ社会保障・一般健康保険法

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	6か月（希望者は12か月）
入隊対象性別	男性のみ召集
入隊対象年齢	20歳～41歳

出典：トルコ大統領府、日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	78.6
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	54.2
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	47.9
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	35.9
マイネット (Mynet)	ウェブサイト	ニュース・情報発信	20.7

注1：本調査は、当該市場の1,000人の調査対象者から聞き出した結果である。

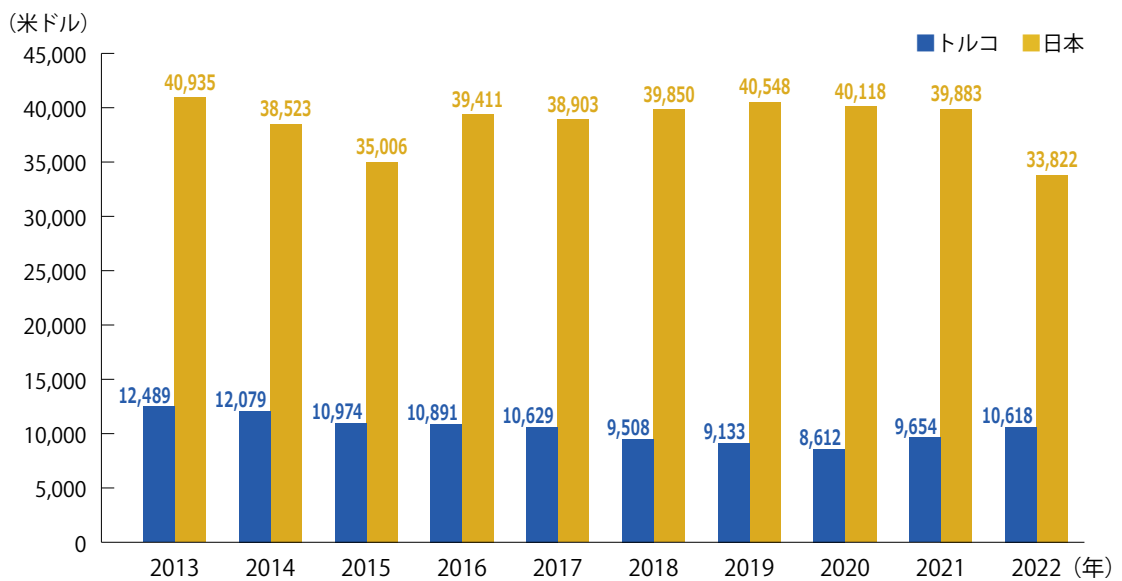
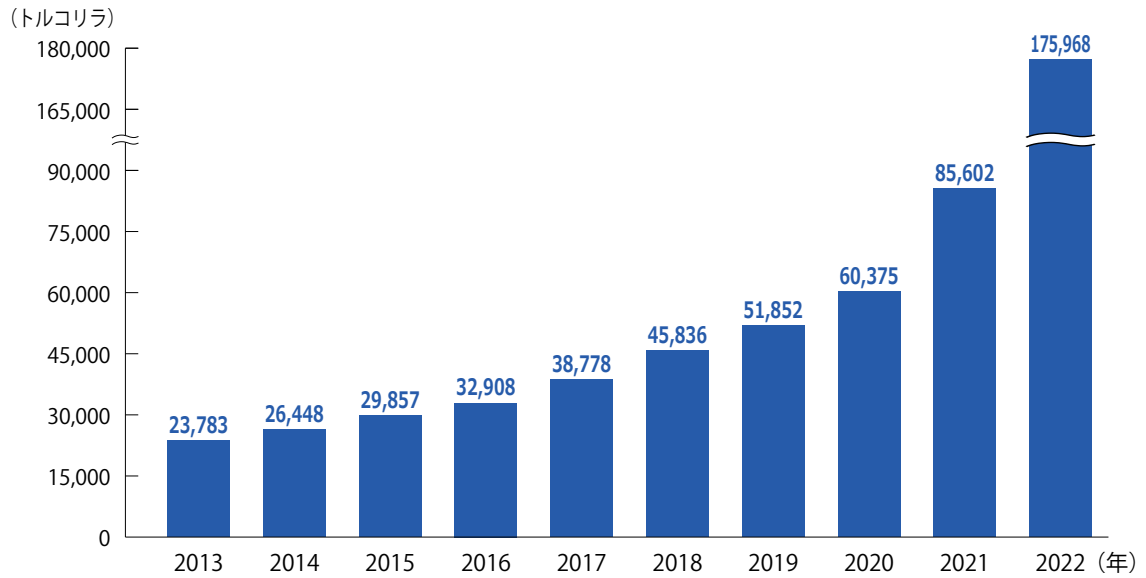
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

第2章 経済指標

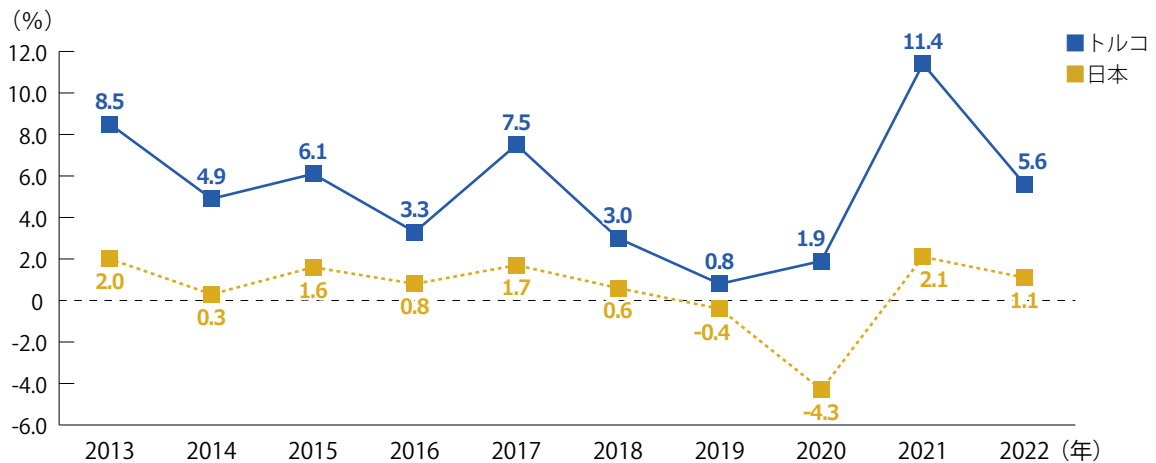
(1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

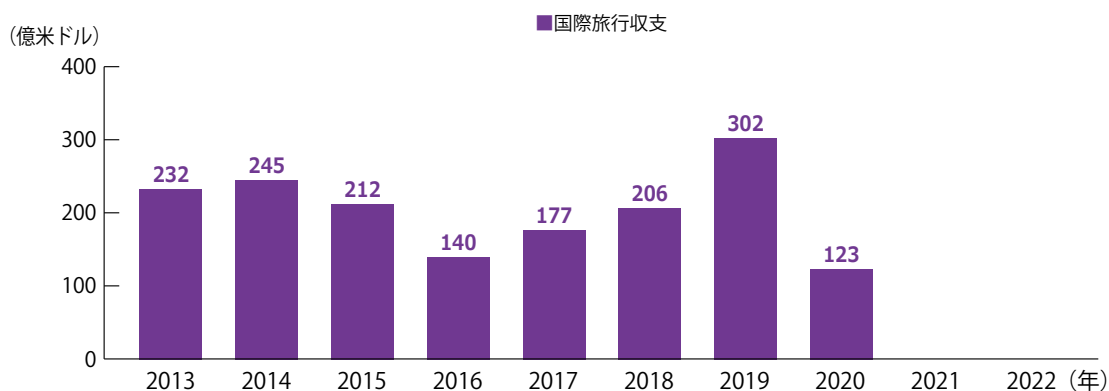
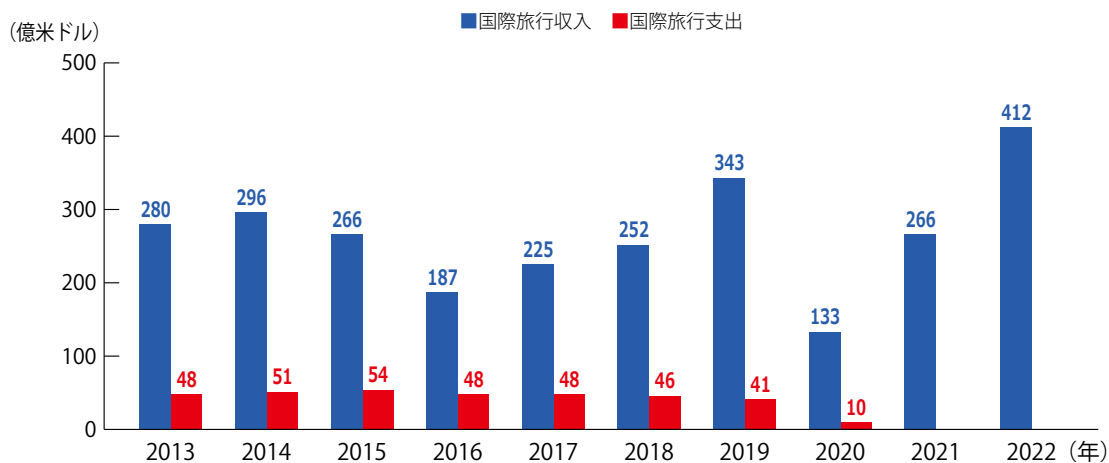


## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



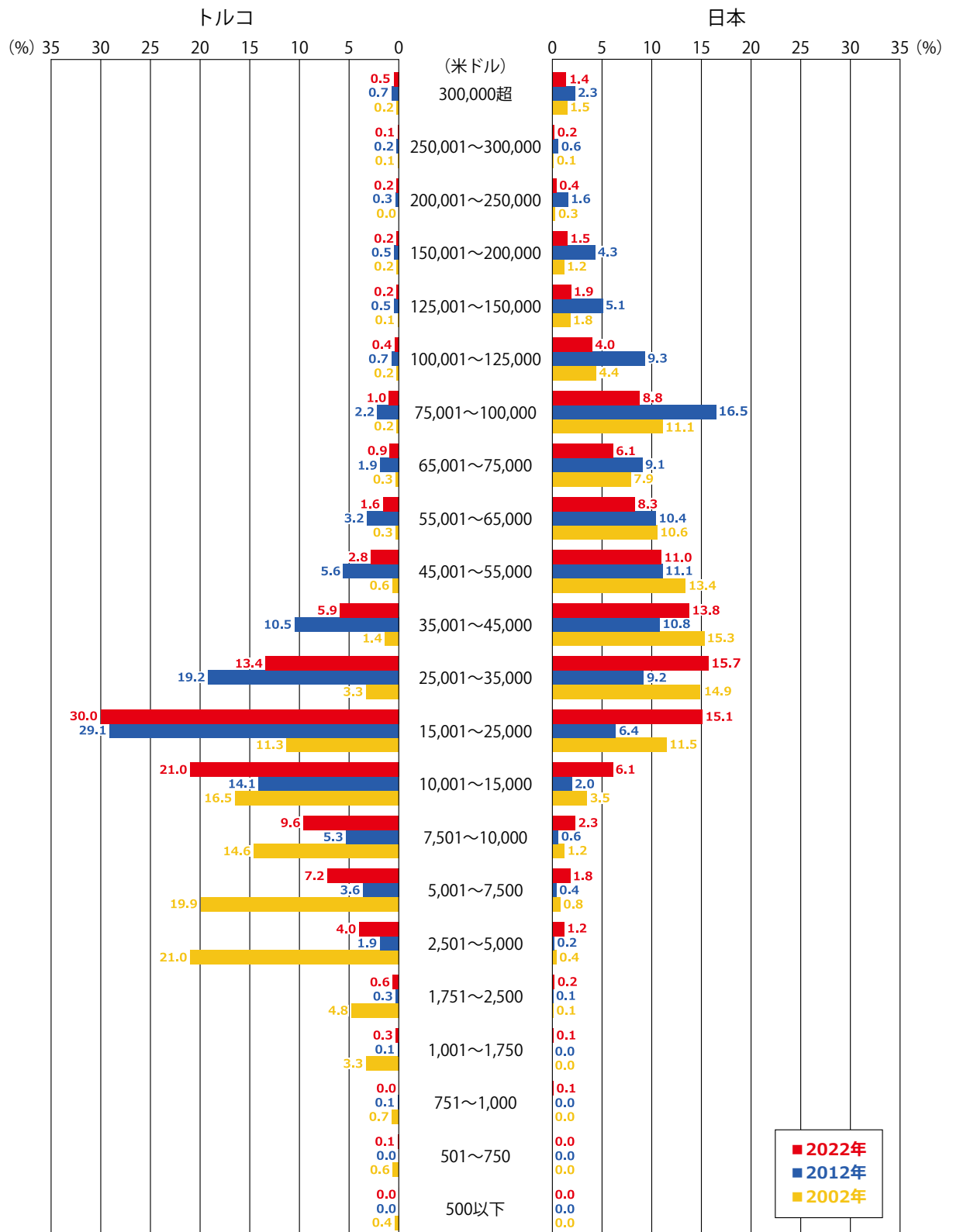
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



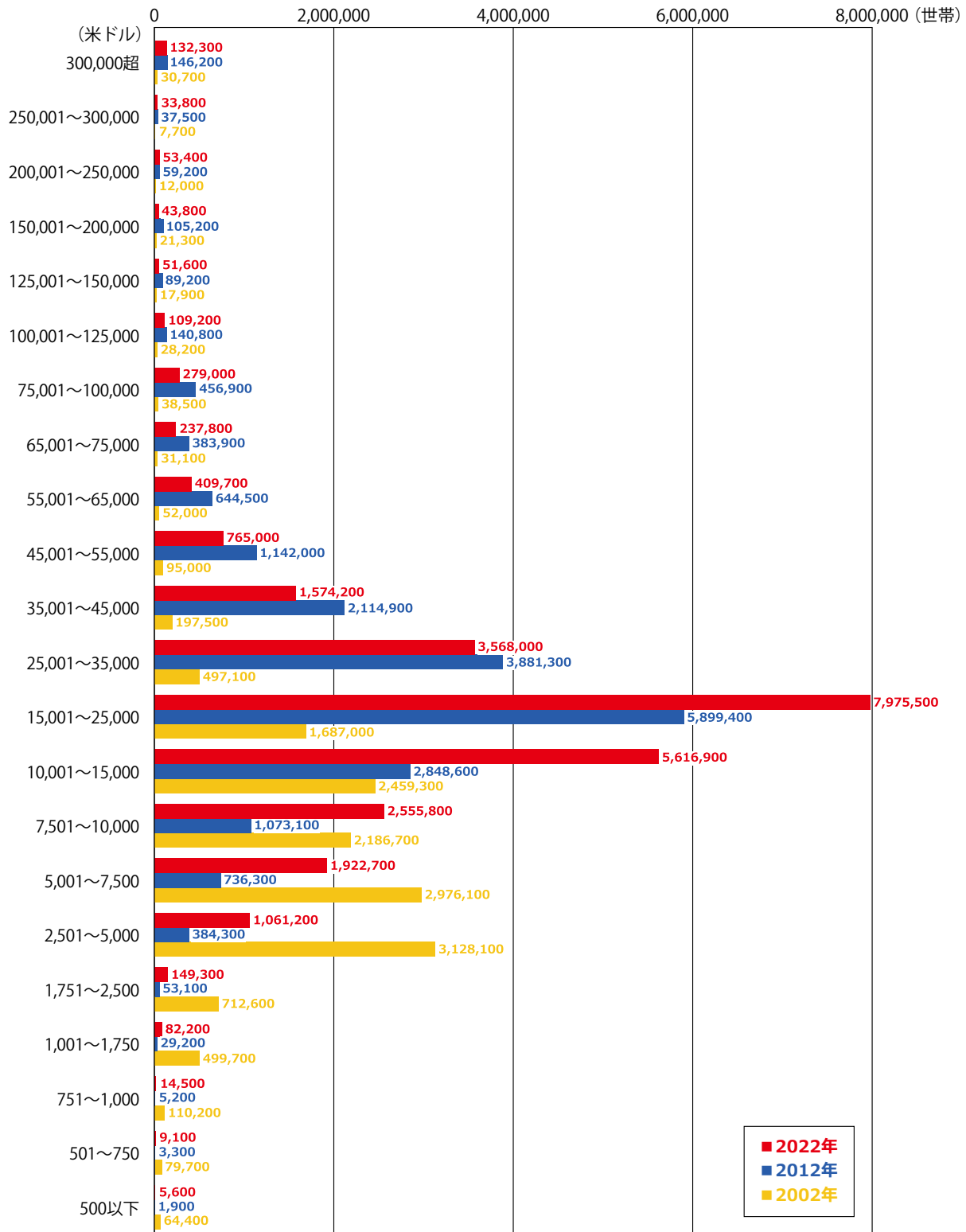
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



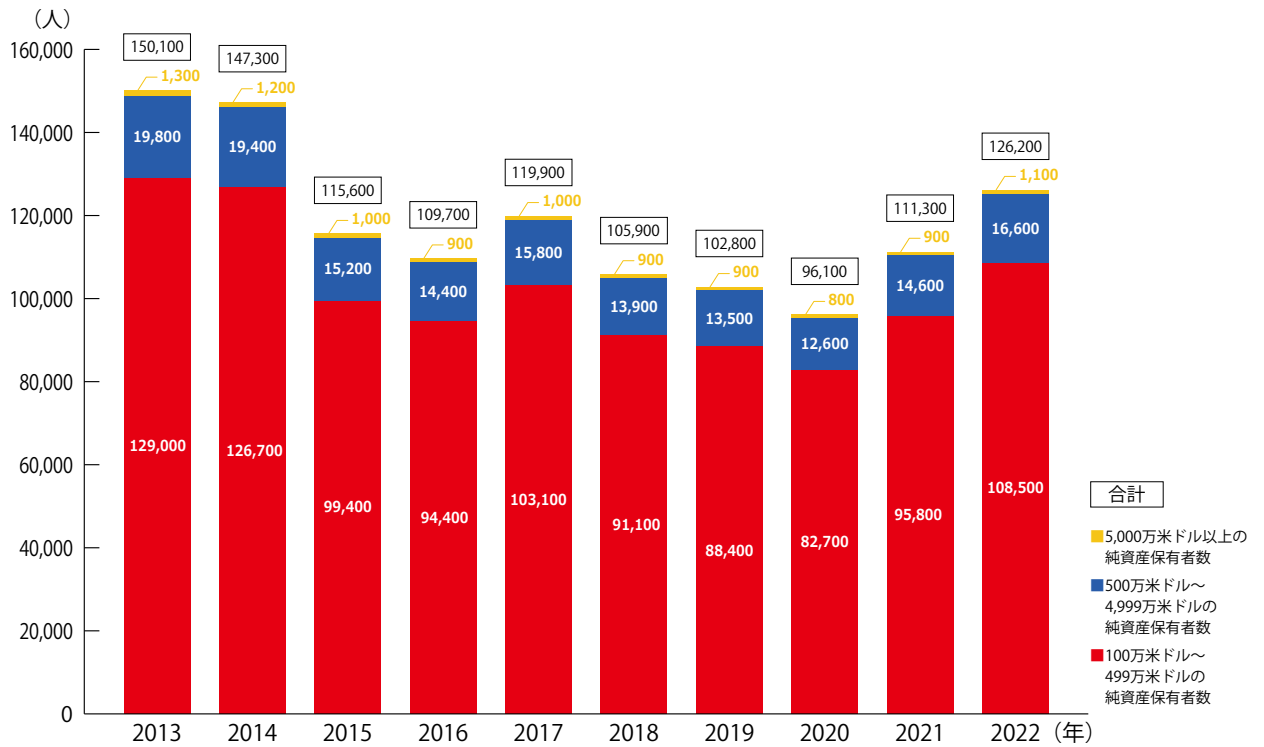
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数（2002年、2012年、2022年）



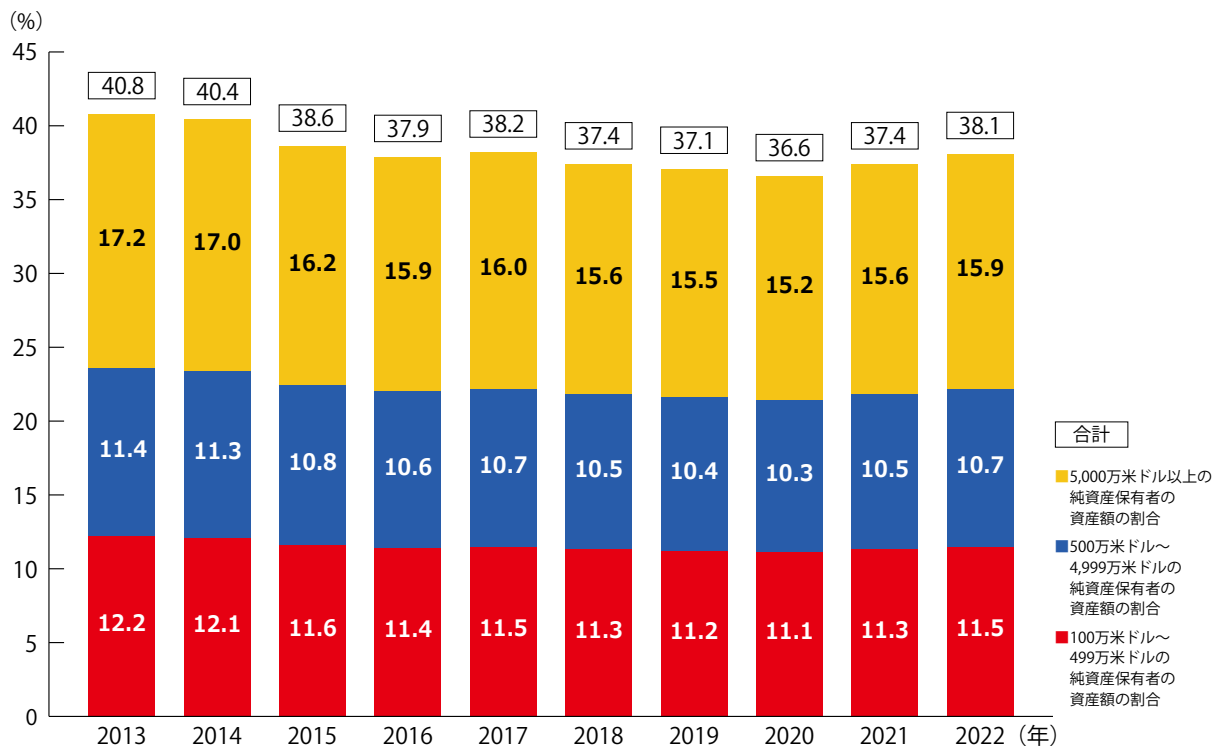
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

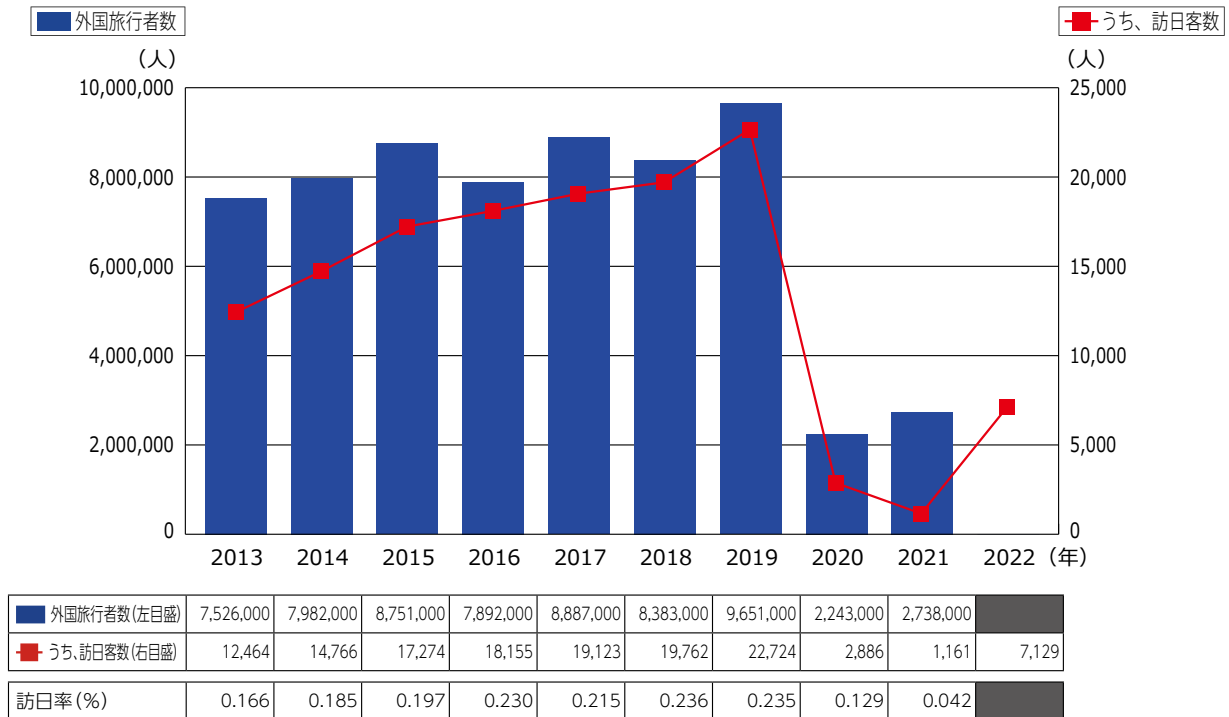
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) トルコ人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：トルコ人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、経済協力開発機構（OECD）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのトルコ人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	ブルガリア	VFR	1,437,276	1,534,809	1,628,231	1,039,721	1,522,190	1,628,231
2位	ジョージア	VFR	1,007,276	1,098,555	1,156,513	335,580	326,494	1,156,513
3位	イラン	VFN	497,872	775,264	1,115,173	205,961	180,485	1,115,173
4位	ギリシャ	TFR	971,841	929,730	1,093,302	232,236	195,784	1,093,302
5位	サウジアラビア	TFN	596,991	573,323	478,615	176,999	2,609	596,991
6位	ルーマニア	VFR	356,992	397,401	429,780	352,605	508,574	508,574
7位	ドイツ	TCER	339,171	322,326	343,327	106,643	90,992	343,327
8位	英国	VFR	307,438	317,600	334,448	-	30,278	334,448
9位	アゼルバイジャン	VFR	301,553	291,259	316,404	160,513	197,472	316,404
10位	スペイン	TFR	290,280	289,846	269,557	71,341	139,427	290,280
11位	ウクライナ	TFR	270,695	278,776	267,705	104,493	179,179	278,776
12位	フランス	TCER	273,777	258,993	229,730	51,186	53,058	273,777
13位	イタリア	TFN	275,233	256,030	224,175	80,868	137,140	275,233
14位	米国	TFR	184,328	165,504	170,557	46,795	71,082	184,328
15位	オランダ	THSR	123,000	113,000	125,000	28,000	25,000	125,000
16位	カザフスタン	VFR	98,840	99,351	121,523	70,260	80,771	121,523
17位	北マケドニア	TCEN	129,708	111,667	112,472	11,395	27,260	129,708
18位	セルビア	TCEN	99,500	97,084	107,695	25,079	48,936	107,695
19位	オーストリア	TCER	102,443	94,501	95,780	24,738	13,051	102,443
20位	アルバニア	VFN	79,639	81,342	92,088	27,224	51,510	92,088
21位	アラブ首長国連邦	VFN	101,356	90,960	89,664	31,177	-	101,356
22位	ロシア	VFN	79,749	83,835	86,708	36,901	-	86,708
23位	チェコ	TCEN	92,817	87,383	83,454	17,804	14,863	92,817
24位	中国	VFN	75,451	74,409	77,748	-	-	77,748
25位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	90,749	85,416	71,059	7,833	22,410	90,749
26位	ウズベキスタン	VFR	48,371	41,299	63,539	20,958	44,168	63,539
27位	ハンガリー	TCEN	73,594	64,457	60,913	16,184	25,349	73,594
28位	キルギス	VFR	58,982	51,917	57,326	14,855	28,633	58,982

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ベルギー	TCER	57,986	50,229	52,045	11,415	7,790	57,986
30位	スイス	TCER	56,060	50,463	49,337	12,759	12,605	56,060
31位	デンマーク	TCER			46,507	6,303	8,079	46,507
32位	クウェート	VFN	28,361	35,072	41,895	12,577	7,698	41,895
33位	エジプト	VFN	33,375	37,280	41,227	12,311		41,227
34位	モンテネグロ	TCEN	45,947	43,755	39,984	12,404	26,225	45,947
35位	モロッコ	TFN	36,014	32,967	38,514	14,934	14,585	38,514
36位	ポルトガル	TCER	40,569	39,863	37,770	8,493	10,729	40,569
37位	クロアチア	TCER	34,263	32,372	36,188	12,397	16,777	36,188
38位	インド	VFN	33,251	33,825	35,113	10,853	3,710	35,113
39位	レバノン	TFN	29,839	32,744	33,850	9,266	18,213	33,850
40位	アルジェリア	VFN	36,413	37,578	32,593	8,541	7,152	37,578
41位	イスラエル	TFR	40,495	38,311	31,982	7,315	1,666	40,495
42位	ポーランド	TCER	36,753	32,210	31,662	9,114	11,549	36,753
43位	韓国	VFN	27,272	29,558	31,293	6,560	5,323	31,293
44位	スロベニア	TCEN	31,308	30,071	28,033	5,832	5,463	31,308
45位	カナダ	TFR	23,400	22,388	24,689	5,449	6,984	24,689
46位	インドネシア	VFN	34,433	20,861	23,883	6,038	1,122	34,433
47位	日本	VFN	19,123	19,762	22,724	2,886	1,161	22,724
48位	ナイジェリア	VFN	21,727	21,628	21,548	3,156	3,257	21,727
49位	ヨルダン	TFN	17,771	19,621	20,821	5,905	8,071	20,821
50位	スウェーデン	TCER	20,822	20,063	20,141	4,341	3,677	20,822
51位	チュニジア	TFN	11,873	12,859	15,584	3,783	4,860	15,584
52位	マレーシア	TFN	14,594	15,406	15,290	3,152	286	15,406
53位	キューバ	VFR	16,312	16,845	15,150	4,133	2,074	16,845
54位	メキシコ	TFN	10,874	12,582	14,819	6,321	14,961	14,961
55位	ルクセンブルク	TCER	15,879	14,961	14,411	5,456	10,343	15,879
56位	南アフリカ共和国	TFR	14,387	14,586	14,072	4,689	2,498	14,586
57位	フィンランド	TCER	14,445	13,443	12,898	4,718	2,471	14,445
58位	アルメニア	TFR	12,593	13,185	12,713	4,332	3,856	13,185
59位	ノルウェー	TCER	17,769	14,775	12,038	2,885	1,741	17,769
60位	香港	TFR	17,310	14,766	12,035	1,979	141	17,310
61位	ブラジル	TFR	14,417	11,711	11,914	4,066	2,018	14,417
62位	モルディブ	TFN	11,168	10,129	9,976	3,164	10,529	11,168
63位	タンザニア	VFR	9,346	8,137	9,649	5,177	7,552	9,649
64位	バーレーン	VFR		10,091	9,365		548	10,091
65位	スロバキア	TCEN	9,657	10,209	9,151	2,067	1,757	10,209
66位	リトアニア	TCER	8,972	7,828	9,027	4,682	3,151	9,027
67位	フィリピン	TFR	8,408	8,615	8,654	3,619	4,374	8,654
68位	蒙州	VFR	8,450	8,384	7,736	2,115	384	8,450
69位	ラトビア	TCER	9,893	9,453	7,619	1,636	2,162	9,893
70位	コロンビア	TFR	6,015	6,951	7,239	2,365	5,520	7,239
71位	モルドバ	TCEN	5,815	5,511	6,847	1,566	3,057	6,847
72位	カンボジア	TFR	8,422	7,427	6,666	2,385	76	8,422
73位	アルゼンチン	TFR	6,687	7,503	6,614	2,284	250	7,503
74位	エストニア	TCER	7,492	6,602	6,495	952	1,880	7,492
75位	タジキスタン	VFR	4,694	4,075	5,665	2,572	3,151	5,665
76位	ネパール	TFN	5,174					5,174
77位	スリランカ	TFR	4,609	4,262	4,972	2,121	309	4,972
78位	パナマ	VFR	4,464	4,704	4,616	1,002	1,847	4,704
79位	ベネズエラ	TFN	4,413					4,413
80位	エチオピア	TFR	5,053	4,486	4,290	1,648	2,572	5,053
81位	オマーン	VFR		3,208	3,470	860	645	3,470
82位	ペルー	TFR	3,150	3,483	3,418	791	515	3,483
83位	モーリシャス	TFR	2,594	2,600	3,011	980	361	3,011
	マカオ	VFN	3,159	2,766	2,140	145	2	3,159
	セーシェル	TFR	3,278	2,064	1,755	448	1,001	3,278

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）  
 F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）  
 R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

- 注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。
- 注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。
- 注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。  
 但し、各国・地域で統計の算出基準が異なるため、順位は参考程度に過ぎない。
- 注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

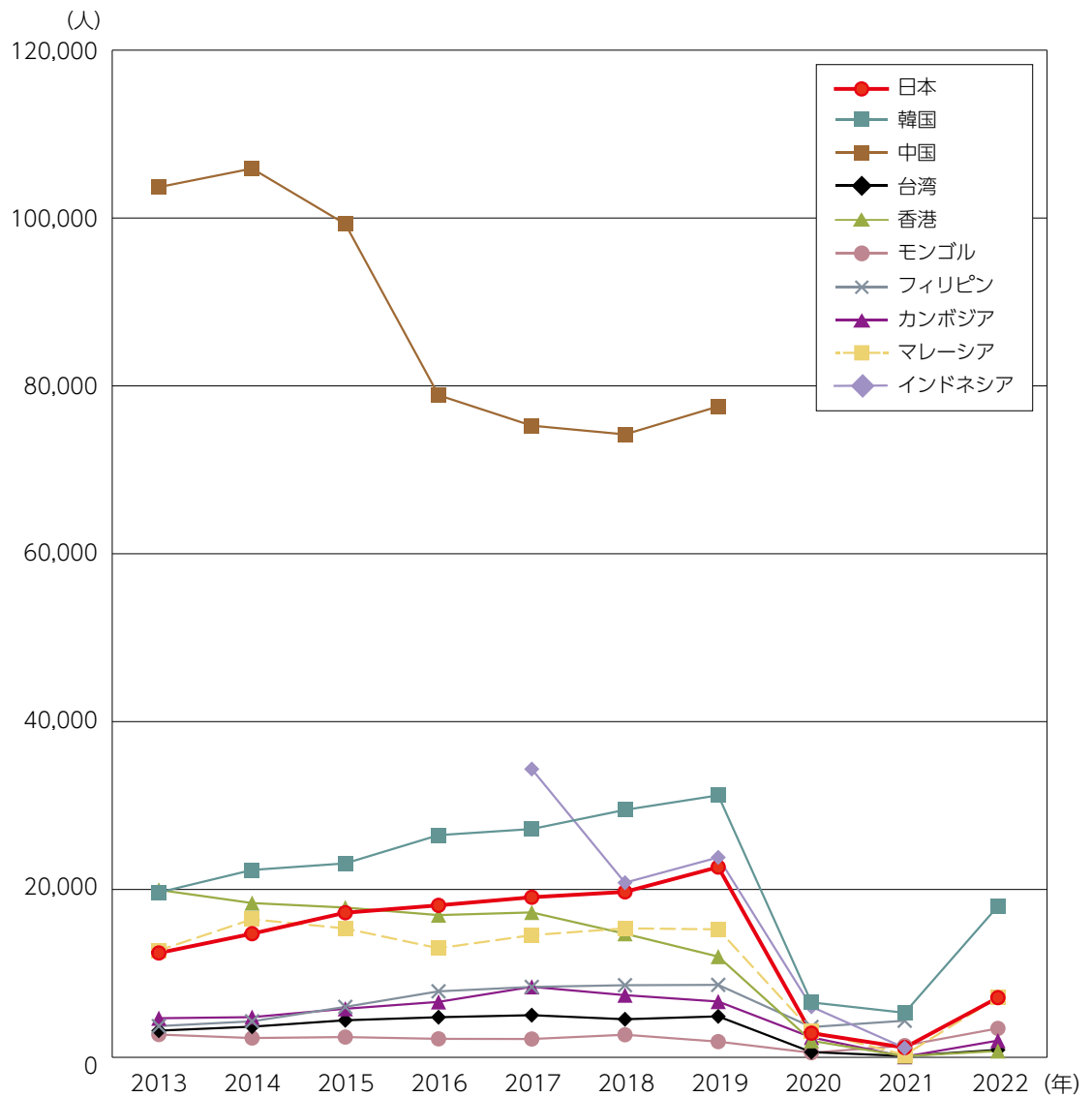
▶ [前ページから](#)

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのトルコ人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	103,947	106,163	99,538	79,092	75,451	74,409	77,748			
韓国	VFN	19,698	22,382	23,166	26,541	27,272	29,558	31,293	6,560	5,323	18,051
インドネシア	VFN					34,433	20,861	23,883	6,038	1,122	
日本	VFN	12,464	14,766	17,274	18,155	19,123	19,762	22,724	2,886	1,161	7,129
マレーシア	TFN	12,775	16,493	15,395	13,029	14,594	15,406	15,290	3,152	286	7,169
香港	TFR	20,000	18,428	17,889	16,989	17,310	14,766	12,035	1,979	141	760
フィリピン	TFR	3,731	4,301	6,026	7,884	8,408	8,615	8,654	3,619	4,374	
カンボジア	TFR	4,671	4,801	5,802	6,623	8,422	7,427	6,666	2,385	76	1,998
台湾	VFR	3,189	3,662	4,427	4,791	5,034	4,550	4,892	627	156	895
モンゴル	TFN	2,720	2,306	2,421	2,209	2,189	2,699	1,874	545	1,401	3,453
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
タイ	TFN										
ミャンマー	TFN										
シンガポール	VFR										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

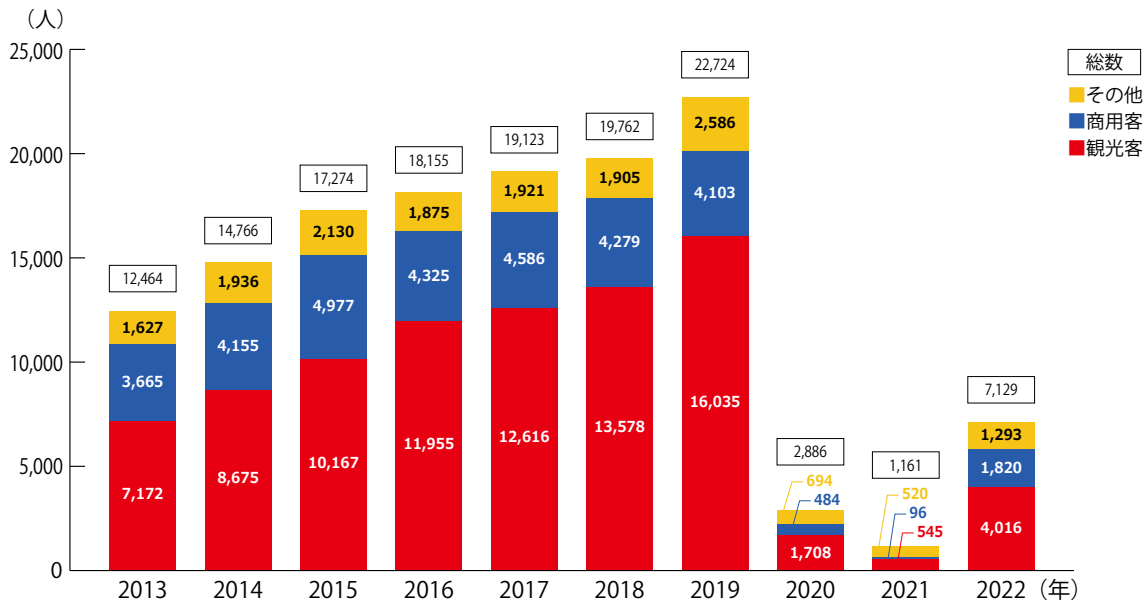
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局



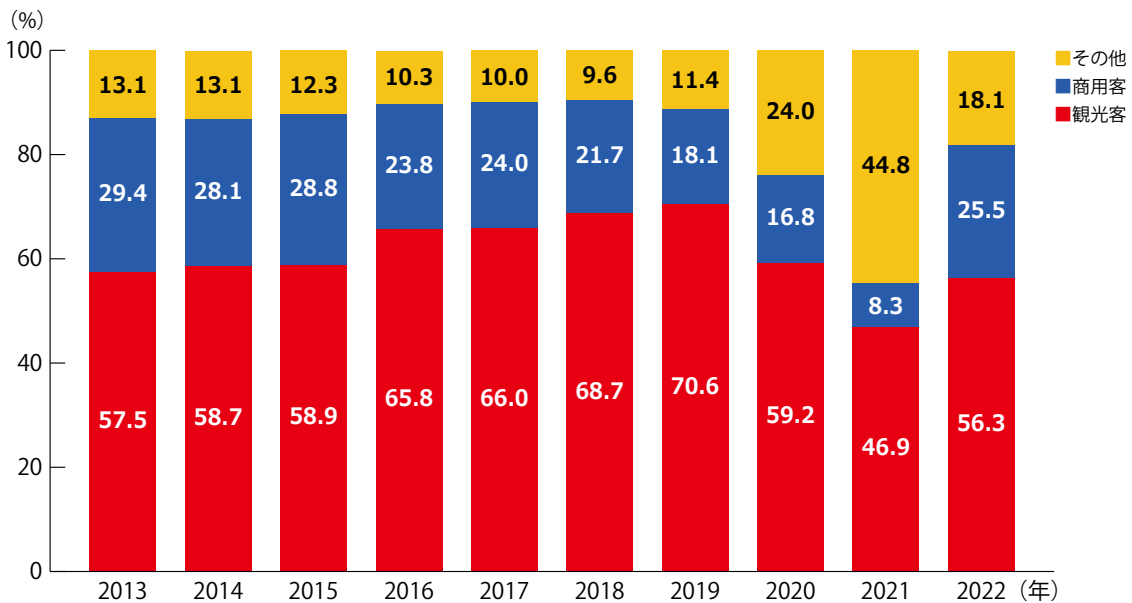
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日トルコ人の推移（2013年～2022年）



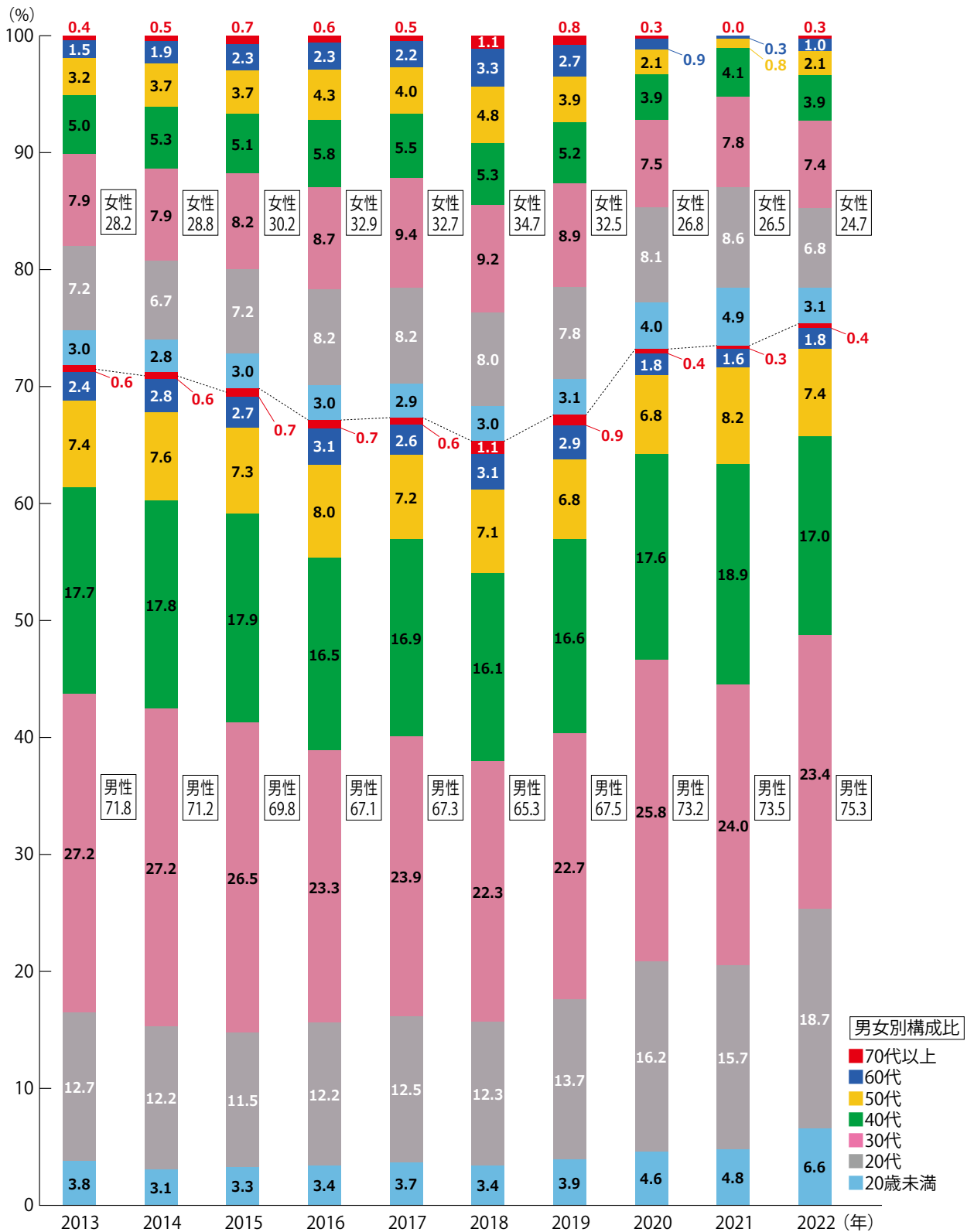
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日トルコ人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

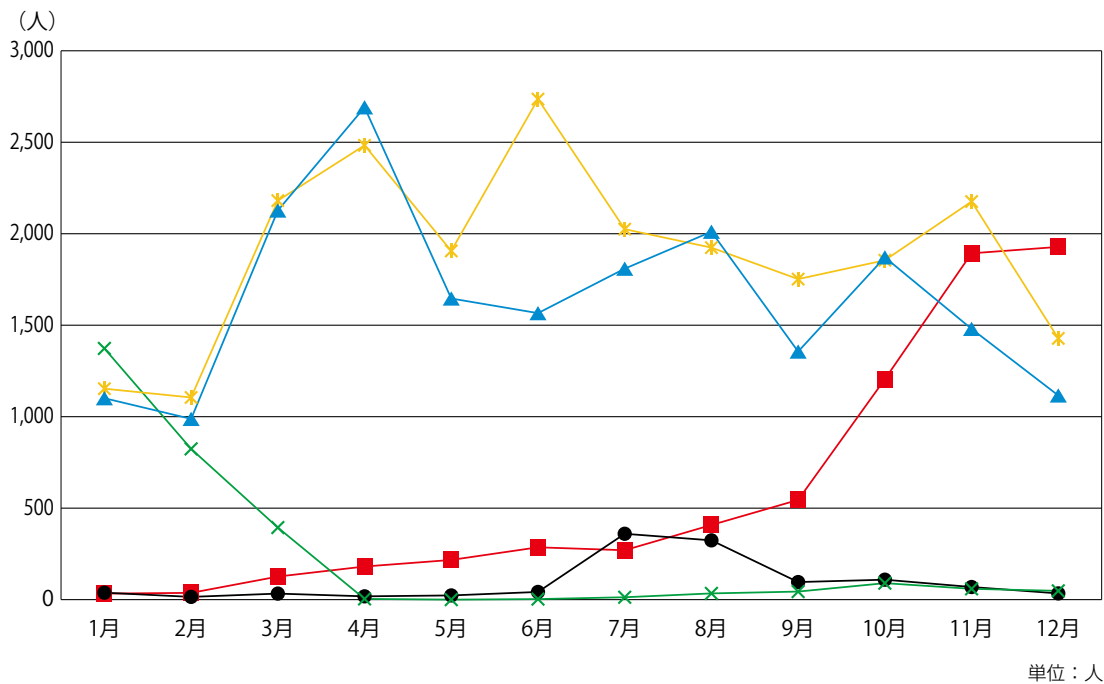
(3) 訪日トルコ人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

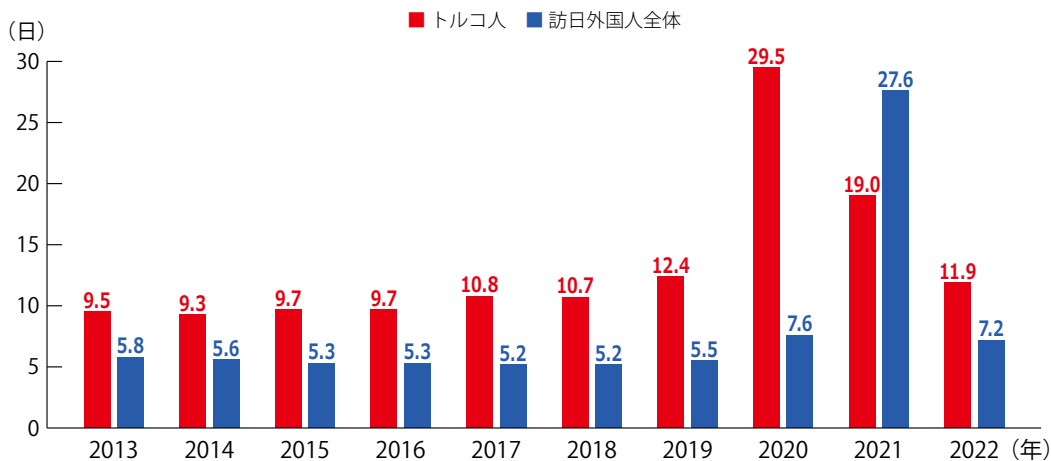
#### (4) 月別訪日トルコ人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	33	37	126	181	217	286	270	408	545	1,205	1,893	1,928
● 2021年	38	15	33	18	23	42	360	324	96	109	69	34
✕ 2020年	1,373	824	394	4	0	3	13	34	44	90	59	48
✱ 2019年	1,153	1,105	2,181	2,483	1,906	2,736	2,025	1,924	1,752	1,855	2,176	1,428
▲ 2018年	1,101	988	2,127	2,691	1,646	1,566	1,809	2,011	1,356	1,871	1,480	1,116

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日トルコ人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めた。特にトルコ人入国者は、2020年から2021年にかけてその傾向が見られ、2020年と2021年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# サウジアラビア

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

サウジアラビア国籍の保有者はアラブ人が中心を占める。

国民はアラブ系を中心とする複数の部族で構成されている。

サウジアラビアには、就労目的による外国人が多く居住している。

2020年時点で、サウジアラビアの総人口のうち、サウジアラビア国籍の保有者は61.4%、外国籍の保有者は38.6%を占めている。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国際連合（2020年）

### (2) 宗教別構成

イスラム教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

アラビア語が公用語

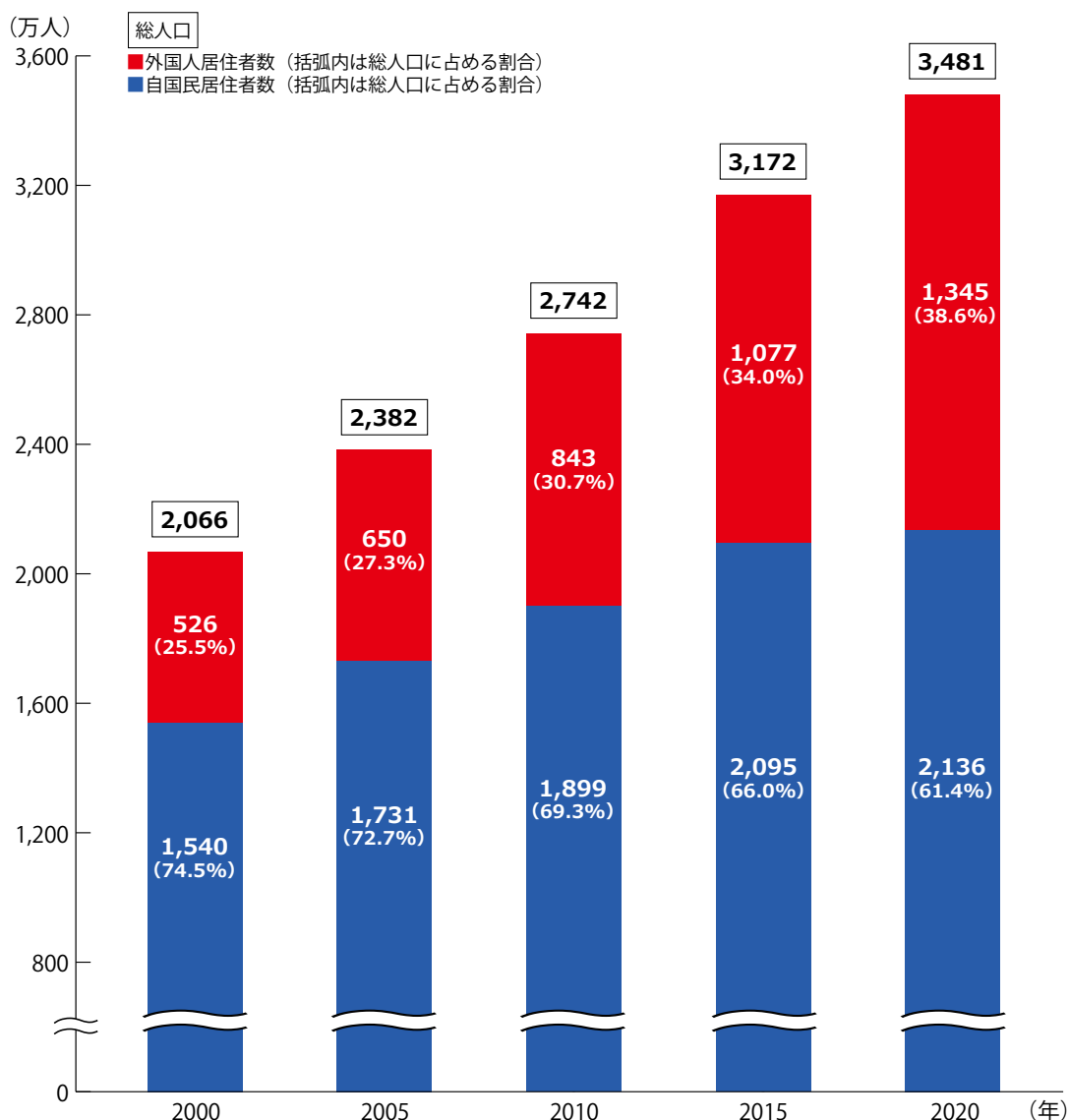
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

220万6,714km<sup>2</sup>（日本の5.8倍強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

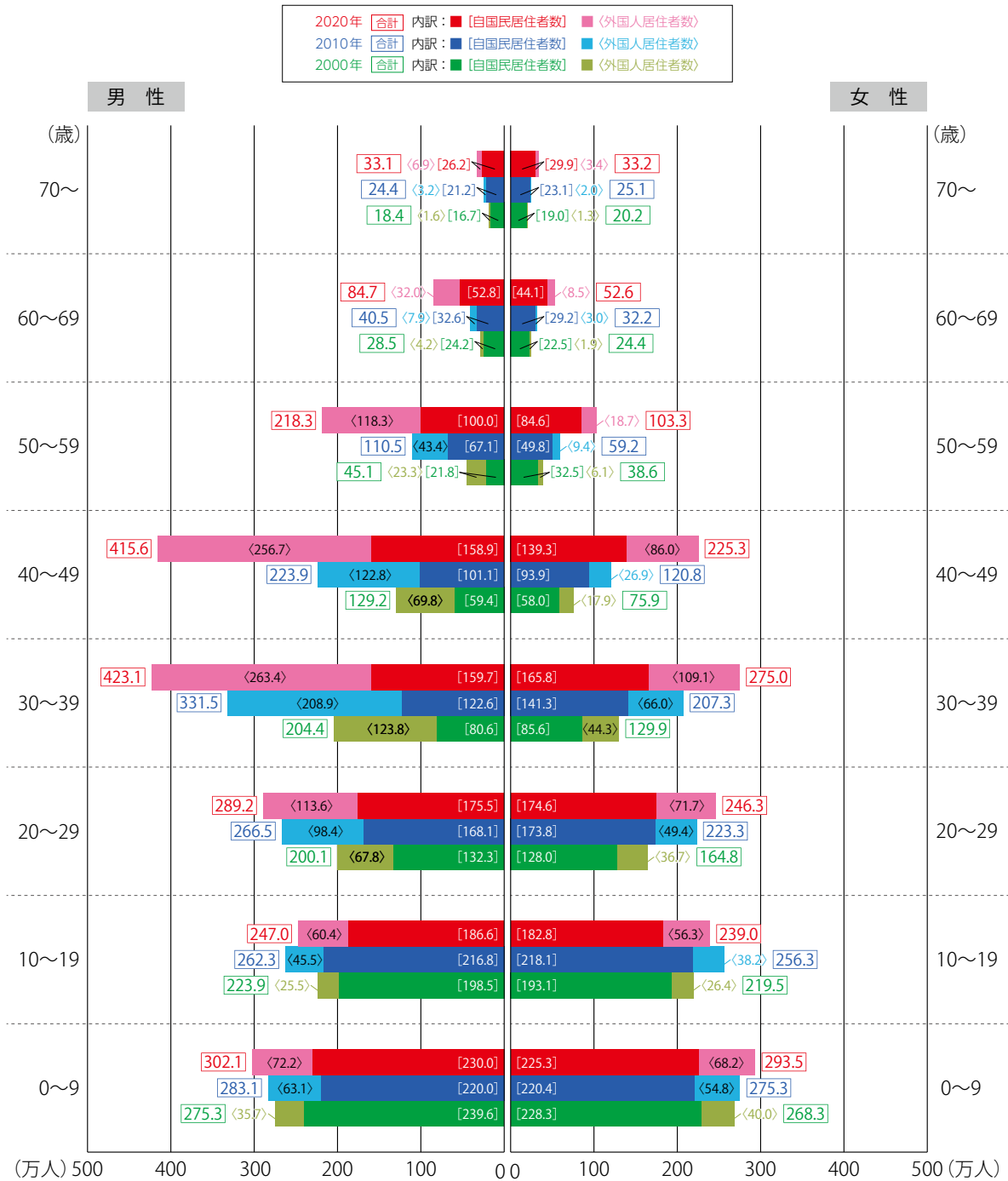
③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：サウジアラビアの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

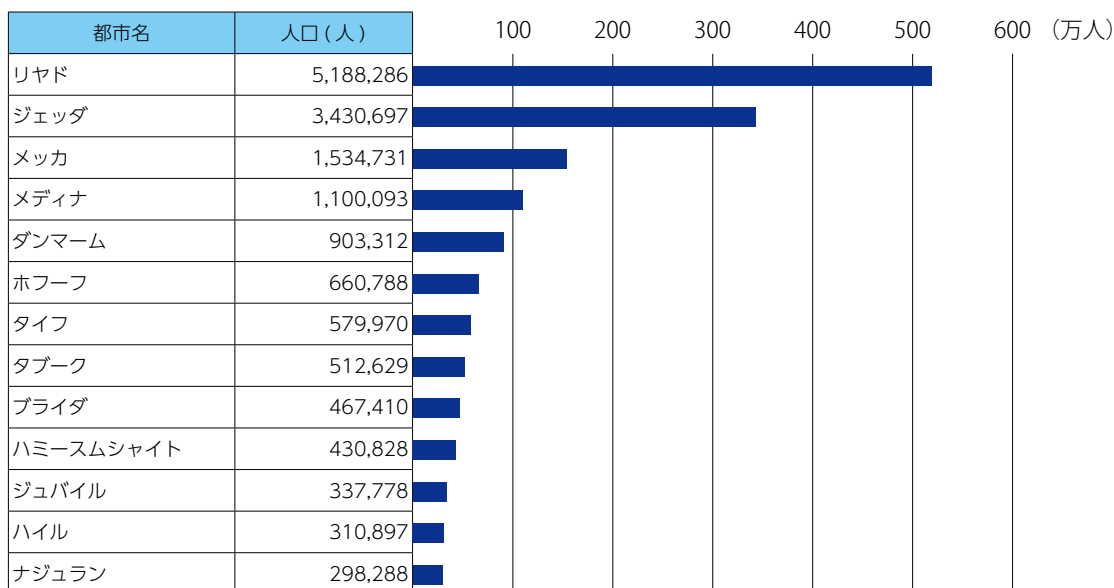
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：上の数値は、2010年に実施された国勢調査の結果である。

注2：外国人居住者が上の数値に含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
第1次サウード王国建国記念日	2月22日（水）	2月22日（木）	2022年から休日となった。
※イード・アル・フィトル （ラマダン明け大祭）	4月21日（金）～ 4月24日（月）	4月10日（水）～ 4月16日（火）	
※イード・アル・アドハー （犠牲祭）	6月25日（日）～ 6月29日（木）	6月17日（月）～ 6月20日（木）	
ナショナル・デー （建国記念日）	9月23日（土）	9月23日（月）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の※印の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：駐日サウジアラビア大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期	備考
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	学期末休暇	6月～8月の約12週間	
		冬期休暇	12月中旬の約10日間	
		ラマダン（断食節） 明けイード休暇	約3週間	イスラム暦に基づき、年によって時期は異なる。 2023年は4月13日～25日、 2024年は4月3日から。
中間学校	12歳～15歳 (3年間)	学期末休暇	6月～8月の約12週間	
		冬期休暇	12月中旬の約10日間	
		ラマダン（断食節） 明けイード休暇	約3週間	イスラム暦に基づき、年によって時期は異なる。 2023年は4月13日～25日、 2024年は4月3日から。
中等学校	15歳～18歳 (3年間)	学期末休暇	6月～8月の約12週間	
		冬期休暇	12月中旬の約10日間	
		ラマダン（断食節） 明けイード休暇	約3週間	イスラム暦に基づき、年によって時期は異なる。 2023年は4月13日～25日、 2024年は4月3日から。
大学	18歳～22歳 (4年間)	学期末休暇	6月～8月の約12週間	
		冬期休暇	12月中旬の約10日間	
		ラマダン（断食節） 明けイード休暇	約3週間	イスラム暦に基づき、年によって時期は異なる。 2023年は4月13日～25日、 2024年は4月3日から。

学校年度	8月下旬～翌年6月中旬
義務教育	初等学校（6年間） + 中間学校（3年間） = 9年間

出典：サウジアラビア現地の諸情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	金曜日	労働法 第149条	
有給休暇日数	15日以上 (勤続10年未満) 21日以上 (勤続10年以上)	労働法 第153条	<ul style="list-style-type: none"> <li>有給休暇はその年中に消化しなければならず、払い戻すことはできないとされているが、労働者の合意を得て、翌年に繰り越すことができる。</li> <li>退職時に未消化の有給休暇を払い戻すことができる。</li> <li>病欠、出産休暇、育児休暇、忌引きと有給休暇は、明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	60歳	社会保険制度法 第38条	

出典：サウジアラビア労働法、サウジアラビア社会保険制度法

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）



## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	95.2
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	91.9
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	79.1
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	66.0
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	63.3
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	46.0
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	43.3
オカズ (Okaz)	ウェブサイト	ニュース発信	10.7
アッシャルク・アル・アウサト (Asharq Al Awsat)	ウェブサイト	ニュース発信	9.6
アルリヤド (Al Riyadh)	ウェブサイト	ニュース発信	7.8
アルヨウム (Al Yaum)	ウェブサイト	ニュース発信	3.9
サウジ・ガゼット (Saudi Gazette)	ウェブサイト	ニュース発信	3.3
アラブニュース (Arab News)	ウェブサイト	ニュース発信	1.5
アルジャジーラ (Al Jazeera)	ウェブサイト	ニュース発信	0.6
サブク (Sabq.org)	ウェブサイト	ニュース・情報発信	0.3

注1：本調査は、当該市場の335人の調査対象者から聞き出した結果である。

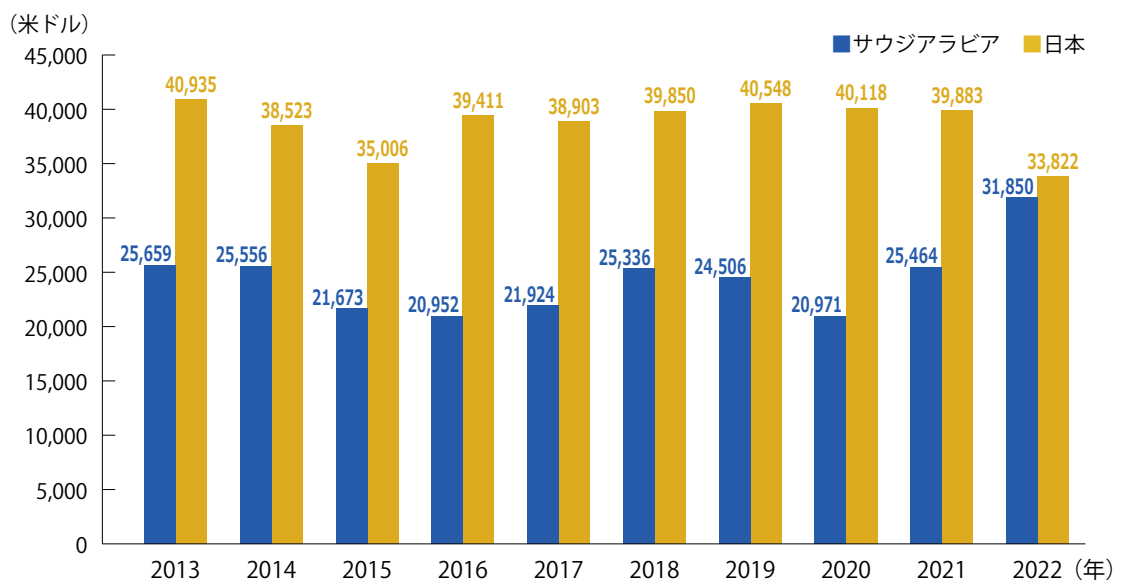
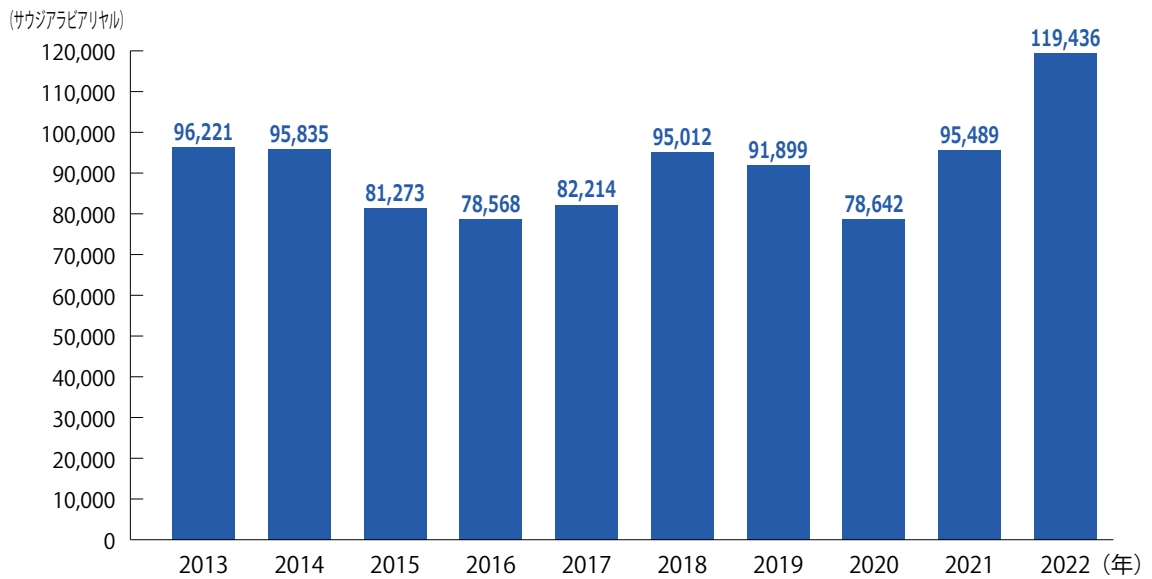
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

## 第2章 経済指標

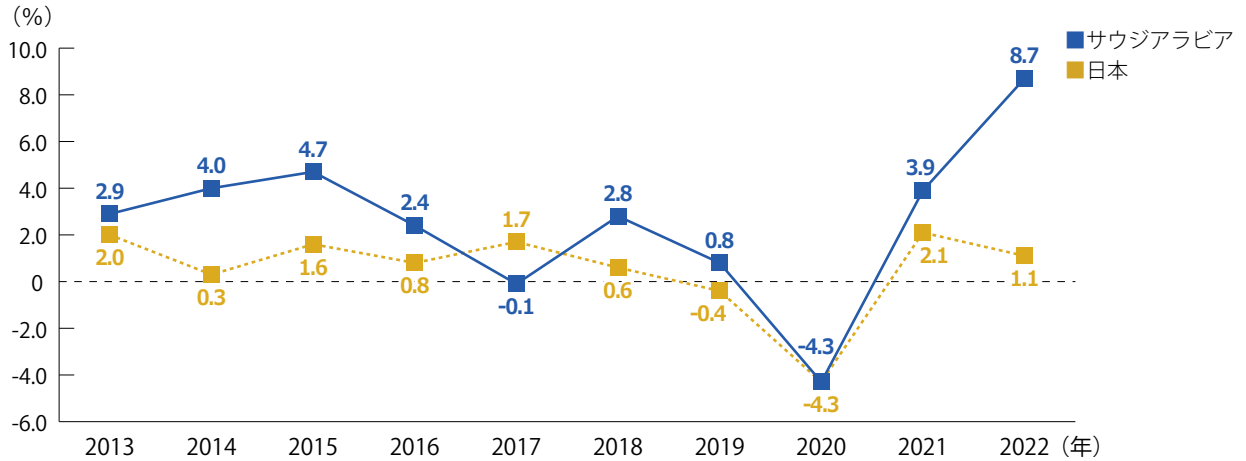
## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

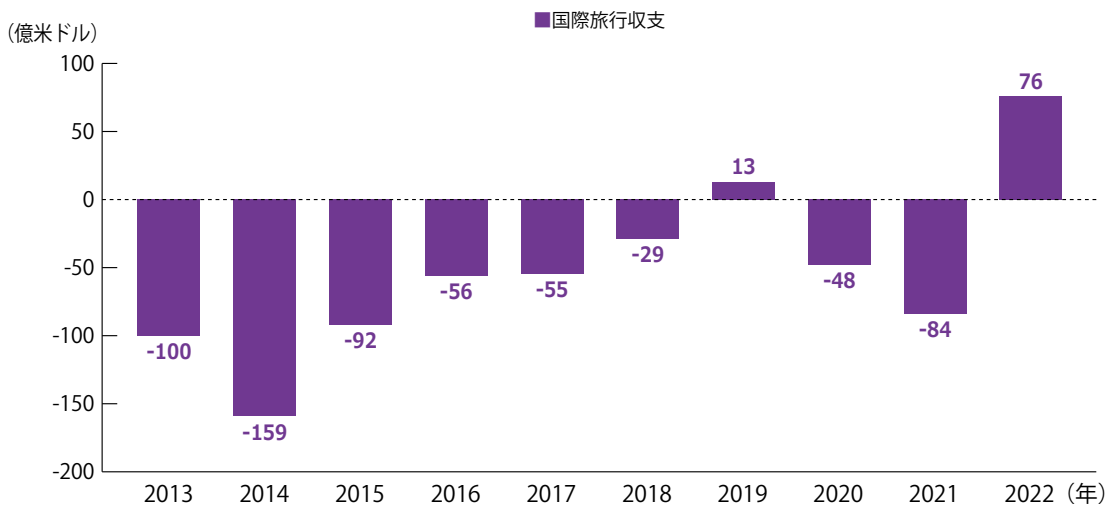
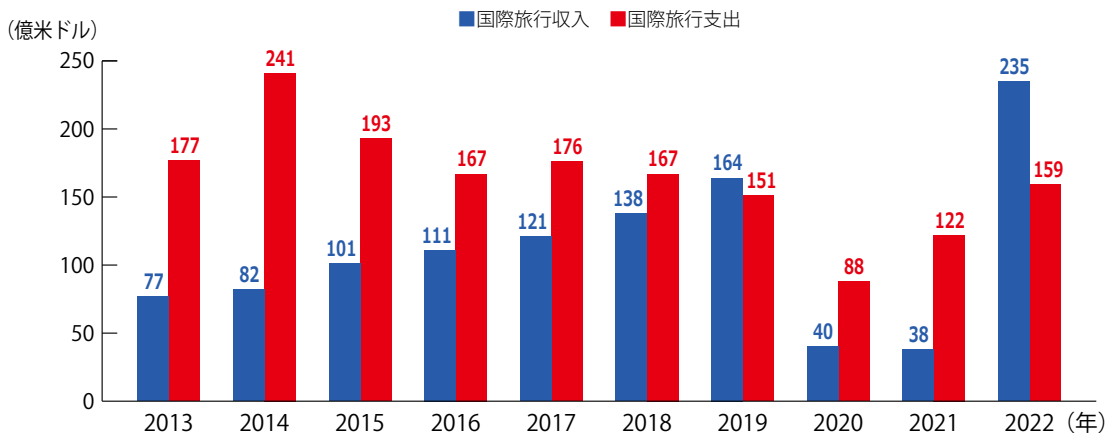
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



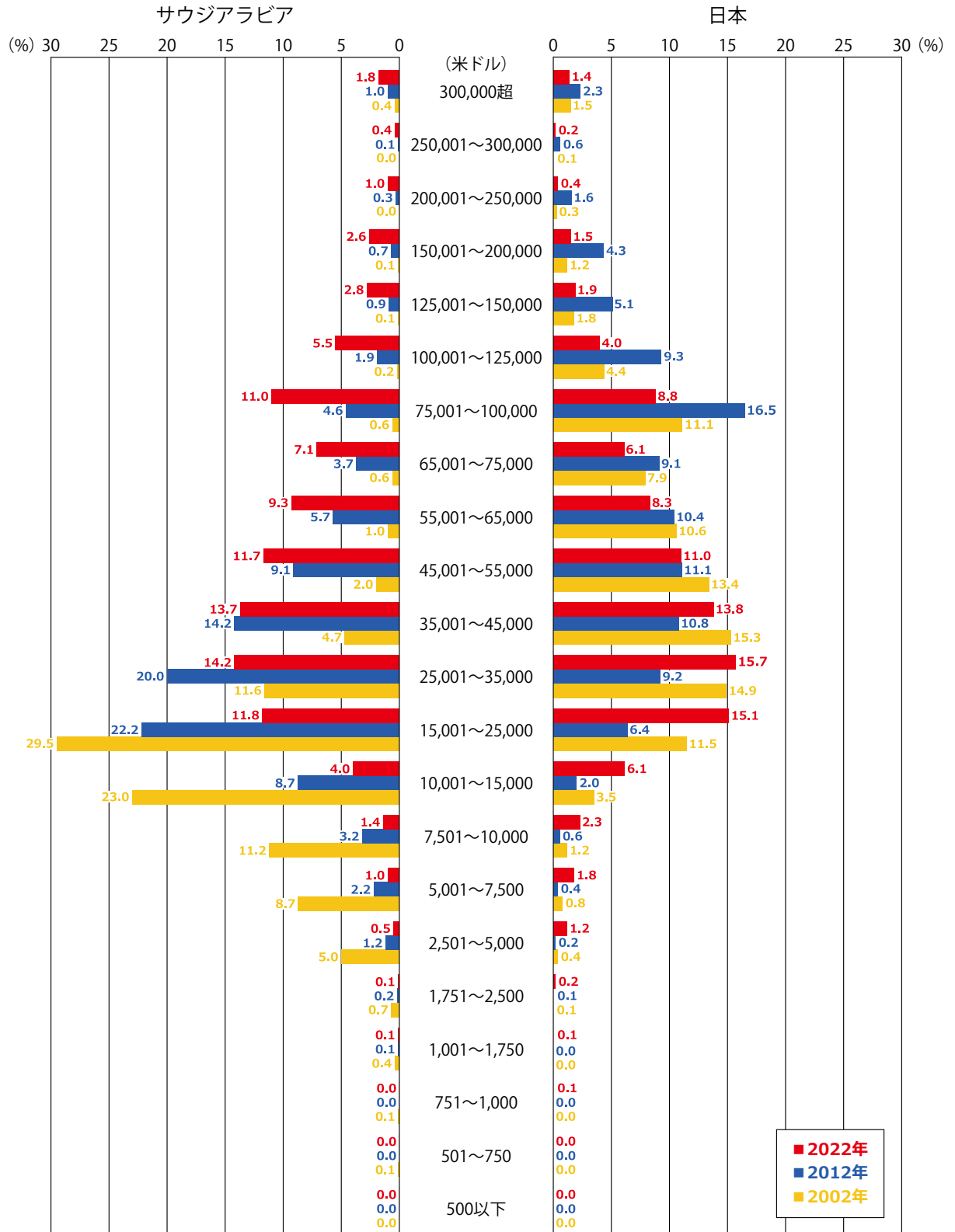
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

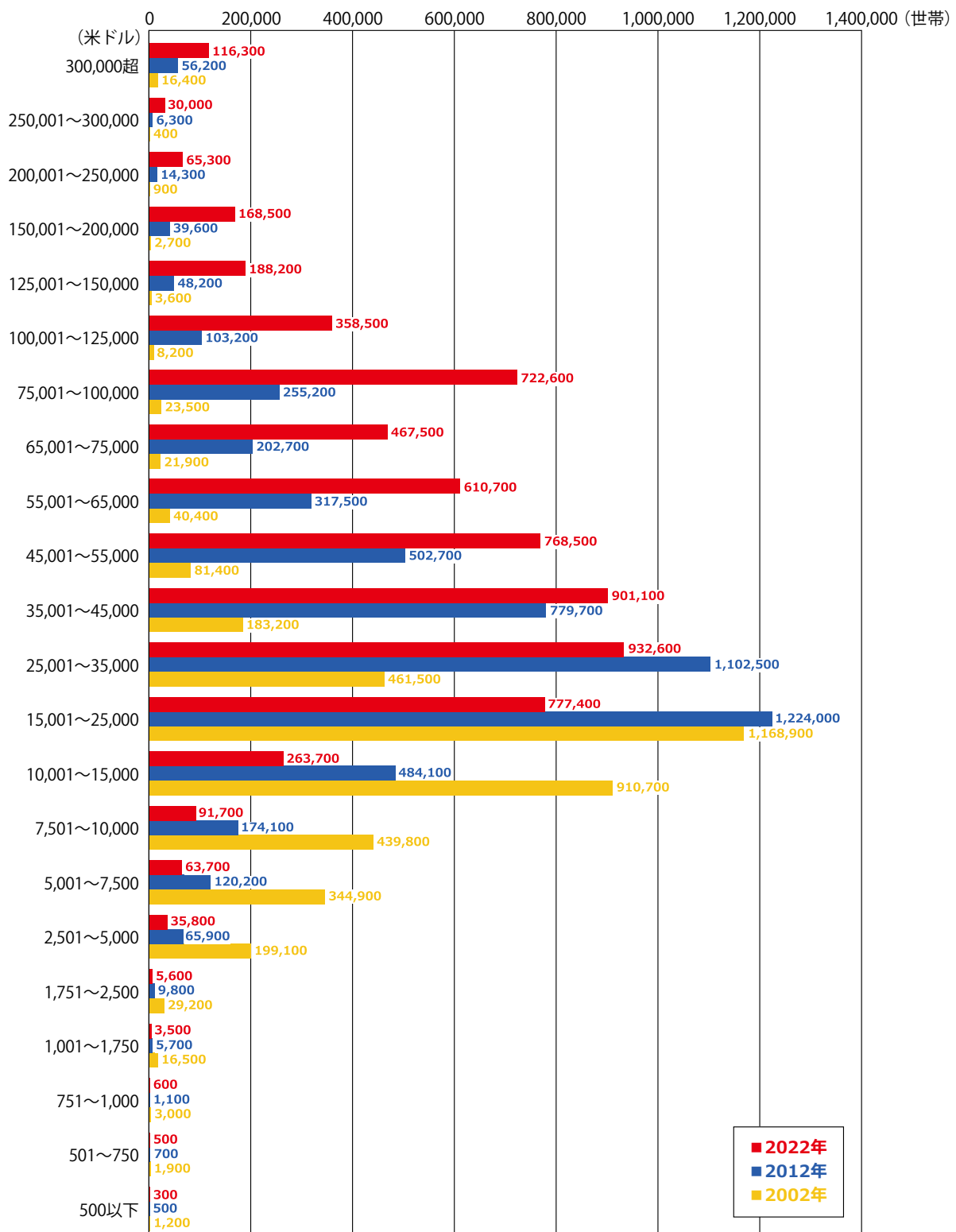
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

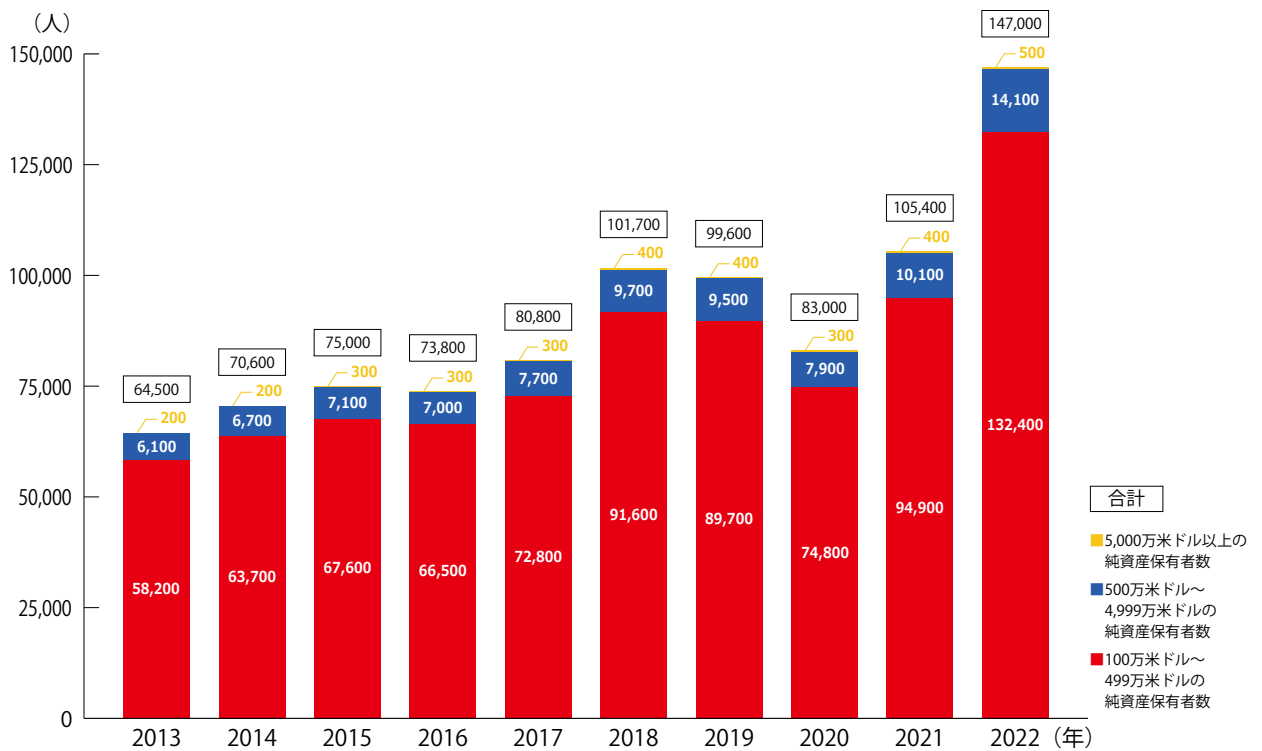
サウジアラビア

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



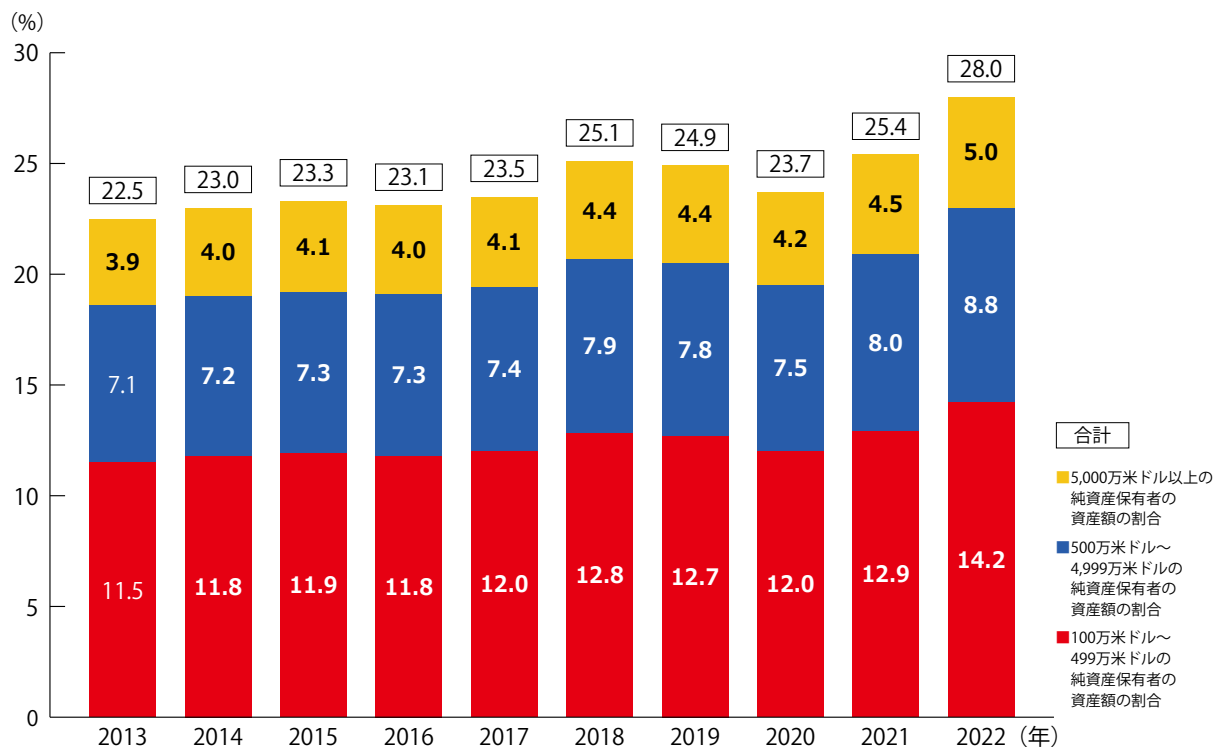
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

(7) 居住者全体の資産額に占める高純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)

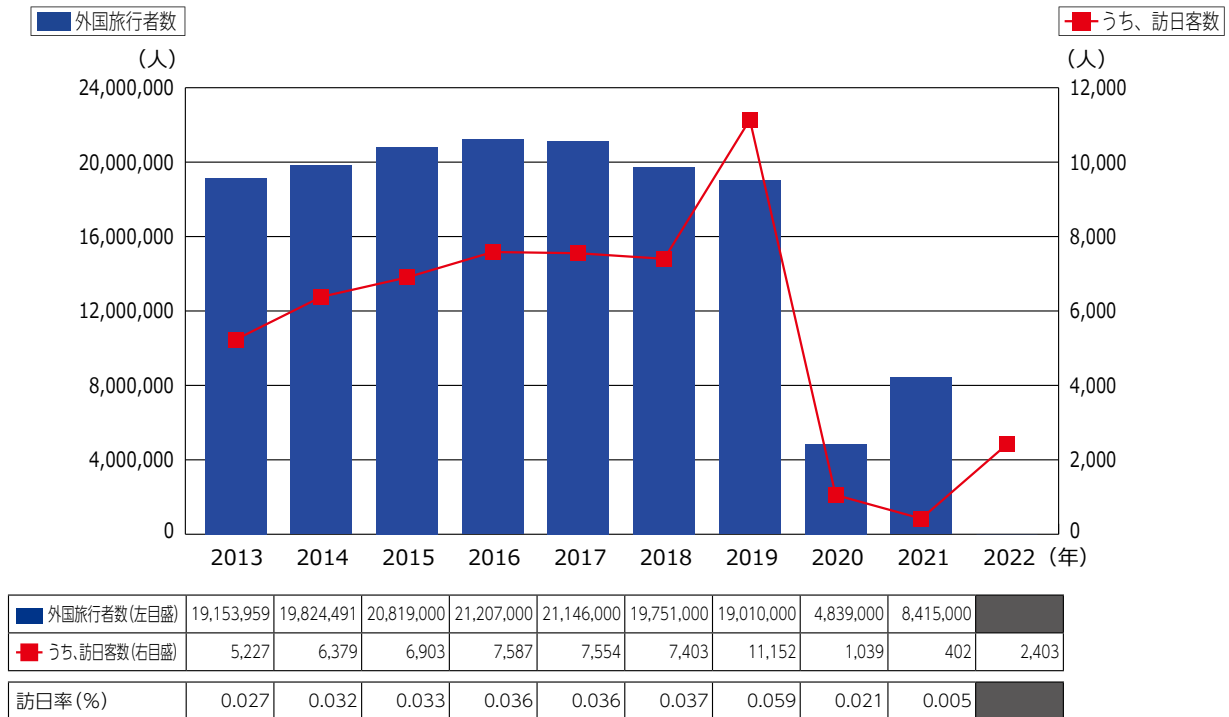


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

サウジアラビア

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) サウジアラビア人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：サウジアラビア人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、経済協力開発機構（OECD）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのサウジアラビア人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	バーレーン	VFR	9,923,076	10,737,689	9,773,664	1,574,754	3,212,503	10,737,689
2位	クウェート	VFN	2,741,495	3,580,402	3,664,146	893,950	498,852	3,664,146
3位	アラブ首長国連邦	VFN	1,934,346	2,055,305	1,956,156	528,737		2,055,305
4位	エジプト	VFN	669,574	909,092	891,626	150,886		909,092
5位	ヨルダン	TFN	671,197	739,563	727,836	159,095	257,061	739,563
6位	トルコ	TFN	651,059	747,139	564,688	67,488	10,053	747,139
7位	英国	VFR	206,891	196,381	220,780		58,409	220,780
8位	米国	TFR	179,623	176,158	159,597	29,875	48,548	179,623
9位	インドネシア	VFN	182,086	165,912	157,512	31,906	2,053	182,086
10位	オマーン	VFR		123,115	133,167	32,986	24,748	133,167
11位	オーストリア	TCER	107,884	118,674	132,271	5,622	32,564	132,271
12位	マレーシア	TFN	100,549	112,263	121,444	23,390	687	121,444
13位	スイス	THSR	119,612	121,268	115,825	9,757	37,141	121,268
14位	アゼルバイジャン	VFR	33,273	72,935	106,994	11,945	8,826	106,994
15位	モロッコ	TFN	103,694	96,141	91,979	20,216	36,253	103,694
16位	スペイン	TFR	74,500	74,500	89,586	26,535	62,267	89,586
17位	レバノン	TFN	64,270	61,547	88,142	6,815	2,393	88,142
18位	ジョージア	VFR	45,708	51,879	75,155	4,960	63,437	75,155
19位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	24,402	30,930	65,854	1,970	36,220	65,854
20位	イタリア	TFN	92,410	71,916	59,671	24,651	19,315	92,410
21位	インド	VFN	52,976	47,546	48,526	10,423	1,088	52,976
22位	カタール	VFN	467,799	45,854	47,082	12,073	116,400	467,799
23位	フィリピン	TFR	54,716	46,967	43,748	7,014	2,252	54,716
24位	中国	VFN	34,553	32,007	33,875			34,553
25位	イラン	VFN	12,624	18,753	31,601	3,463	255	31,601
26位	タイ	TFN	33,531	28,334	30,006	4,131	467	33,531
27位	チェコ	TCEN	21,792	26,973	27,682	2,424	5,151	27,682
28位	モルディブ	TFN	19,546	23,540	25,865	7,578	40,014	40,014

▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	エチオピア	TFR	29,174	21,054	24,221	1,622	1,640	29,174
30位	モーリシャス	TFR	5,142	16,507	22,788	4,982	4,028	22,788
31位	カナダ	TFR	25,843	22,446	17,979	2,480	4,933	25,843
32位	スリランカ	TFR	35,481	34,703	15,707	4,755	1,596	35,481
33位	シンガポール	VFR	10,990	11,929	15,471	3,494	196	15,471
34位	ベルギー	TCER	11,599	14,992	14,787	1,630	4,164	14,992
35位	豪州	VFR	12,770	13,760	14,507	4,352	621	14,507
36位	韓国	VFN	11,301	11,553	14,158	1,716	1,098	14,158
37位	日本	VFN	7,554	7,403	11,152	1,039	402	11,152
38位	南アフリカ共和国	TFR	11,164	8,149	10,931	3,225	5,461	11,164
39位	ポルトガル	TCER			8,999	1,414	5,412	8,999
40位	チュニジア	TFN	7,987	9,046	8,763	2,045	2,906	9,046
41位	シリア	VFN	3,726	5,396	8,016	1,031	690	8,016
42位	ポーランド	TCER	5,796	6,129	7,727	1,002	1,713	7,727
43位	香港	TFR	11,531	9,707	7,545	628	3	11,531
44位	キルギス	VFR	5,140	9,994	6,761	191	3,395	9,994
45位	アルバニア	VFN	1,820	2,442	6,170	132	12,259	12,259
46位	ナイジェリア	VFN	6,066	5,955	5,870	1,976	2,039	6,066
47位	ロシア	VFN	4,551					4,551
48位	キプロス	TFR	4,392	4,016	4,113		2,722	4,392
49位	ウクライナ	TFR	2,572	5,334	3,802	475	56,163	56,163
50位	メキシコ	TFN	3,320	4,226	3,165	721	1,144	4,226
	ニュージーランド	VFR	2,784	3,506	2,913	644	195	3,506
	セーシェル	TFR	2,163	1,720	1,619	574	4,327	4,327

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

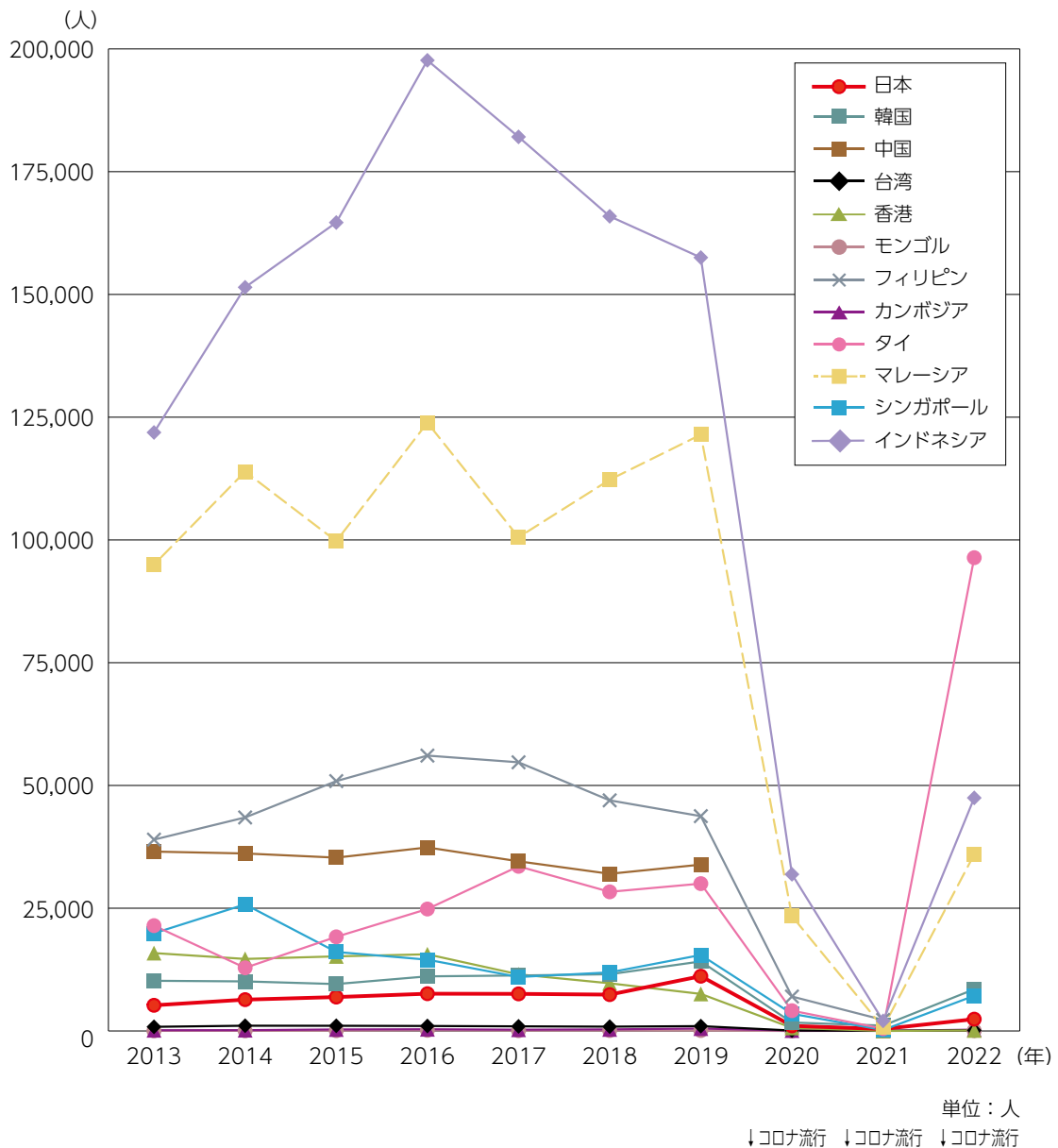
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT&gt;V、F&gt;CE&gt;HS、N&gt;Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



### (3) アジア各国・地域へのサウジアラビア人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

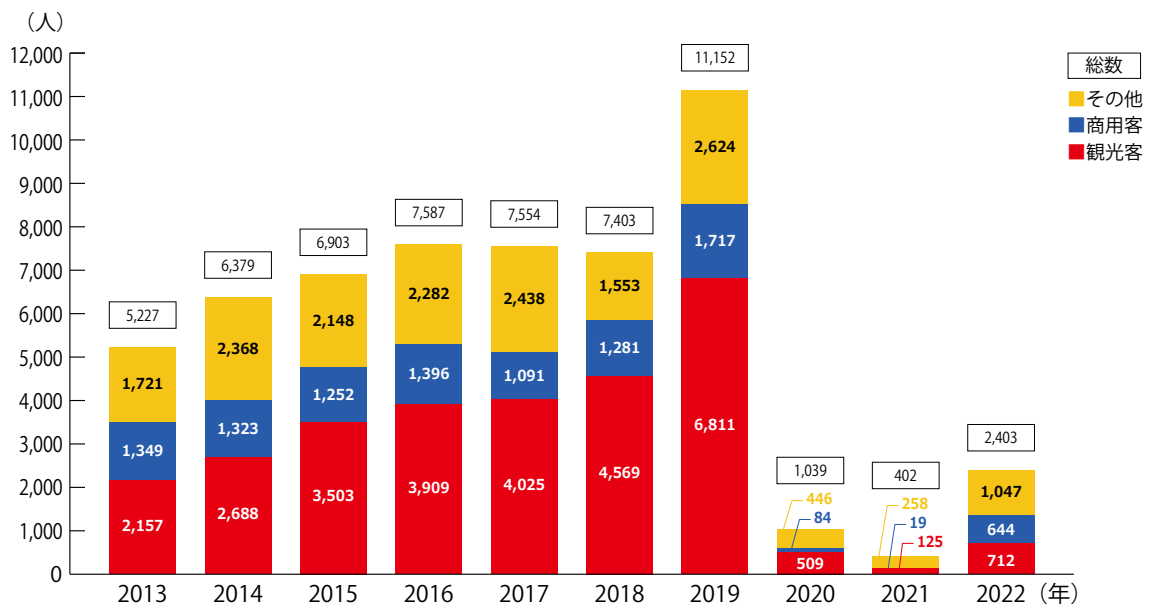
↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
インドネシア	VFN	121,890	151,454	164,643	197,681	182,086	165,912	157,512	31,906	2,053	47,472
マレーシア	TFN	94,986	113,921	99,754	123,878	100,549	112,263	121,444	23,390	687	35,980
フィリピン	TFR	38,969	43,483	50,884	56,081	54,716	46,967	43,748	7,014	2,252	
中国	VFN	36,531	36,148	35,300	37,377	34,553	32,007	33,875			
タイ	TFN	21,452	12,860	19,168	24,834	33,531	28,334	30,006	4,131	467	96,389
シンガポール	VFR	19,896	25,778	16,091	14,520	10,990	11,929	15,471	3,494	196	7,169
韓国	VFN	10,219	10,093	9,553	11,121	11,301	11,553	14,158	1,716	1,098	8,491
日本	VFN	5,227	6,379	6,903	7,587	7,554	7,403	11,152	1,039	402	2,403
香港	TFR	15,863	14,669	15,191	15,614	11,531	9,707	7,545	628	3	113
台湾	VFR	845	1,071	1,058	1,017	942	882	988	90	36	121
カンボジア	TFR	150	164	307	349	260	321	493	90	6	273
モンゴル	TFN	25	32	68	143	73	101	91	0	41	65
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
ミャンマー	TFN										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

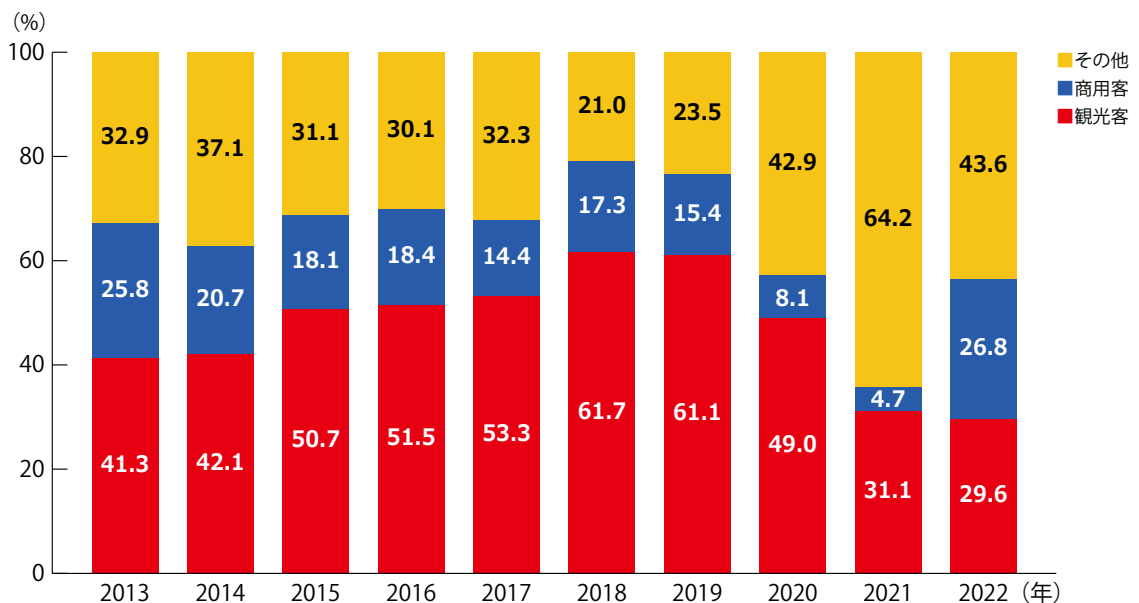
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日サウジアラビア人の推移（2013年～2022年）



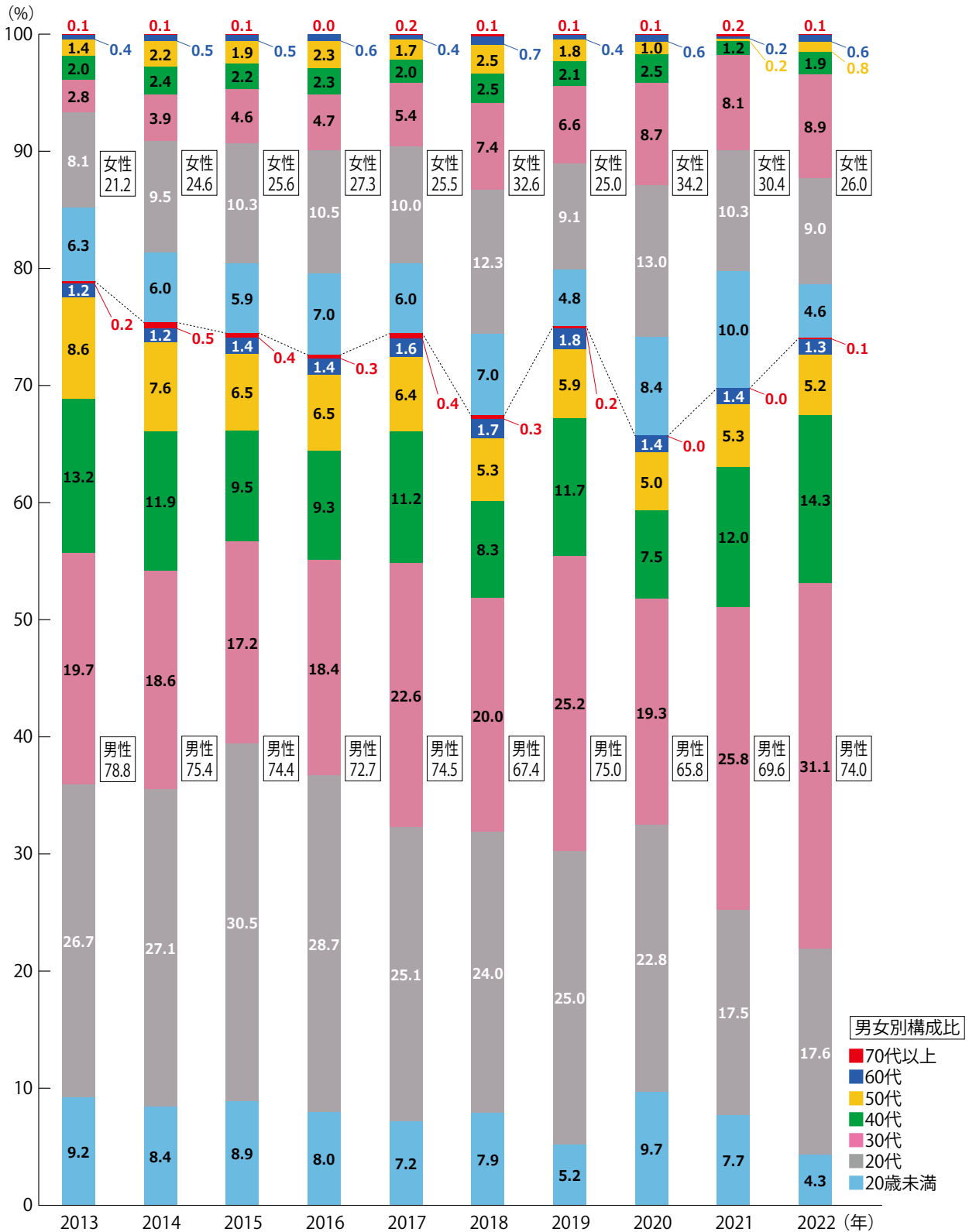
出典：日本政府観光局（JNTO）

(2) 訪日サウジアラビア人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

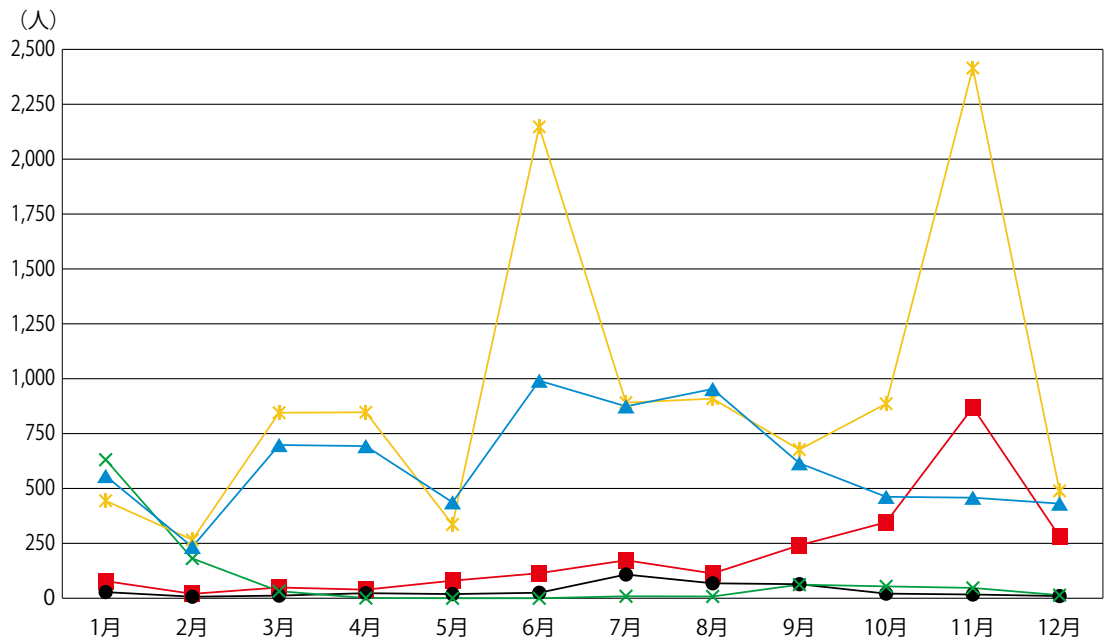
### (3) 訪日サウジアラビア人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日サウジアラビア人の推移 (2018年～2022年)

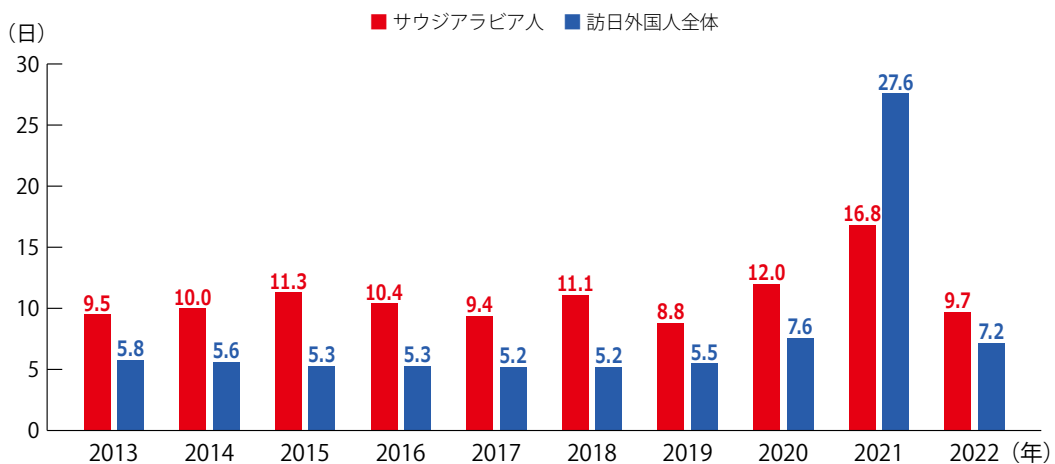


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	78	20	49	39	80	114	173	113	241	346	869	281
● 2021年	28	7	12	23	19	25	108	68	64	21	17	10
✕ 2020年	631	181	32	1	0	0	9	8	62	54	47	14
✱ 2019年	444	266	845	847	336	2,147	891	909	677	886	2,415	489
▲ 2018年	557	234	698	693	437	991	874	953	615	462	458	431

出典：日本政府観光局 (JNTO)

(5) 訪日サウジアラビア人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)



# アラブ首長国連邦

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

アラブ首長国連邦国籍の保有者はアラブ人が大半を占める。  
国民はアラブ系を中心とする複数の部族で構成されている。  
(一部、非アラブ系の部族も居住している。)

アラブ首長国連邦には、就労目的による外国人が多く居住している。  
2020年時点で、アラブ首長国連邦の総人口のうち、アラブ首長国連邦国籍の保有者は11.9%、  
外国籍の保有者は88.1%を占めている。

= 参考 =

アラブ首長国連邦は、7つの首長国（アブダビ、ドバイ、シャルジャ、アジュマーン、  
ウムアルカイワイン、ラースアルハイマ、フジャイラ）で構成される連邦国家である。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国際連合（2020年）

### (2) 宗教別構成

イスラム教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

アラビア語が公用語

英語も広く通用する。

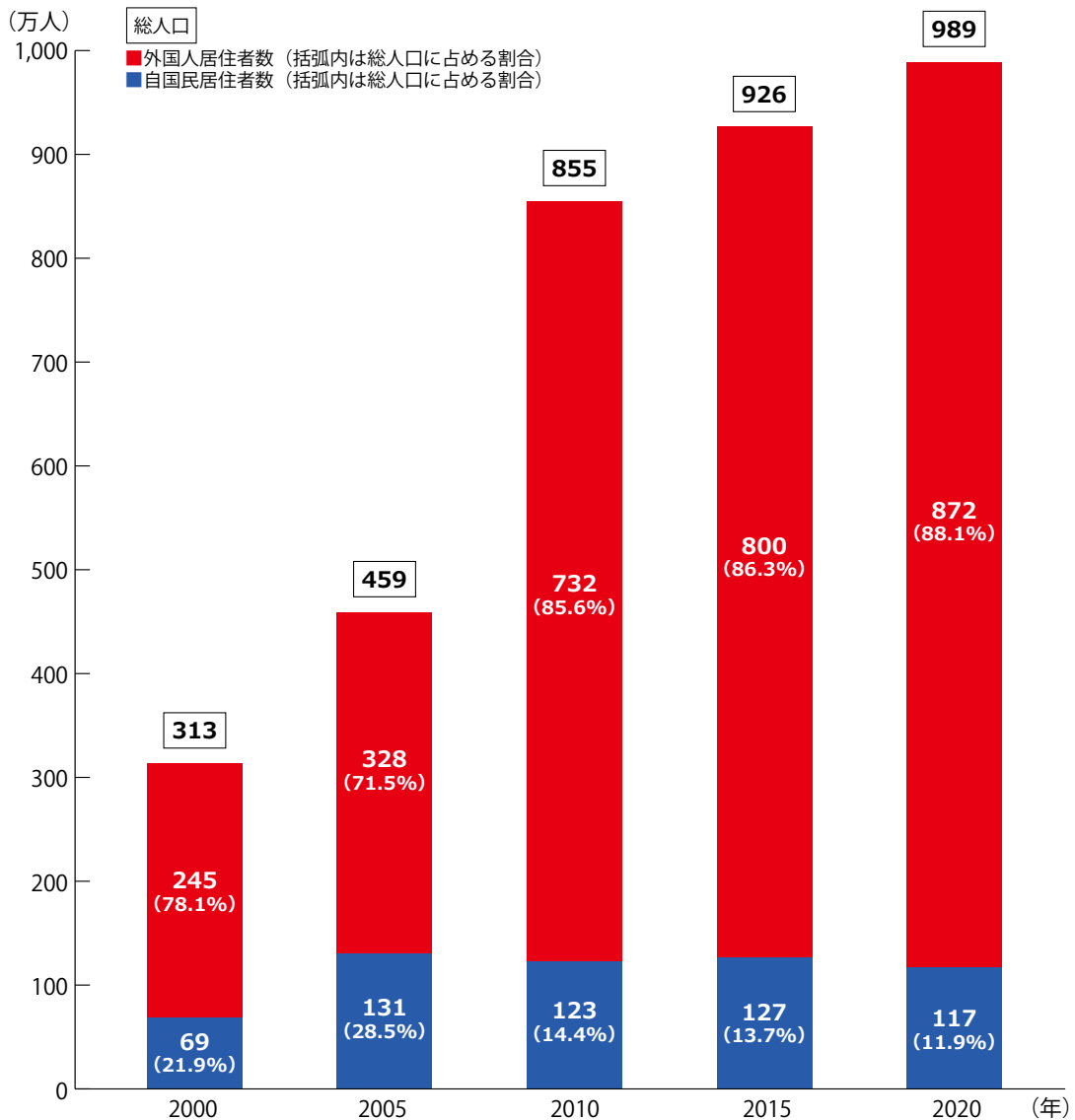
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

7万1,024km<sup>2</sup>（北海道本島の91%強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

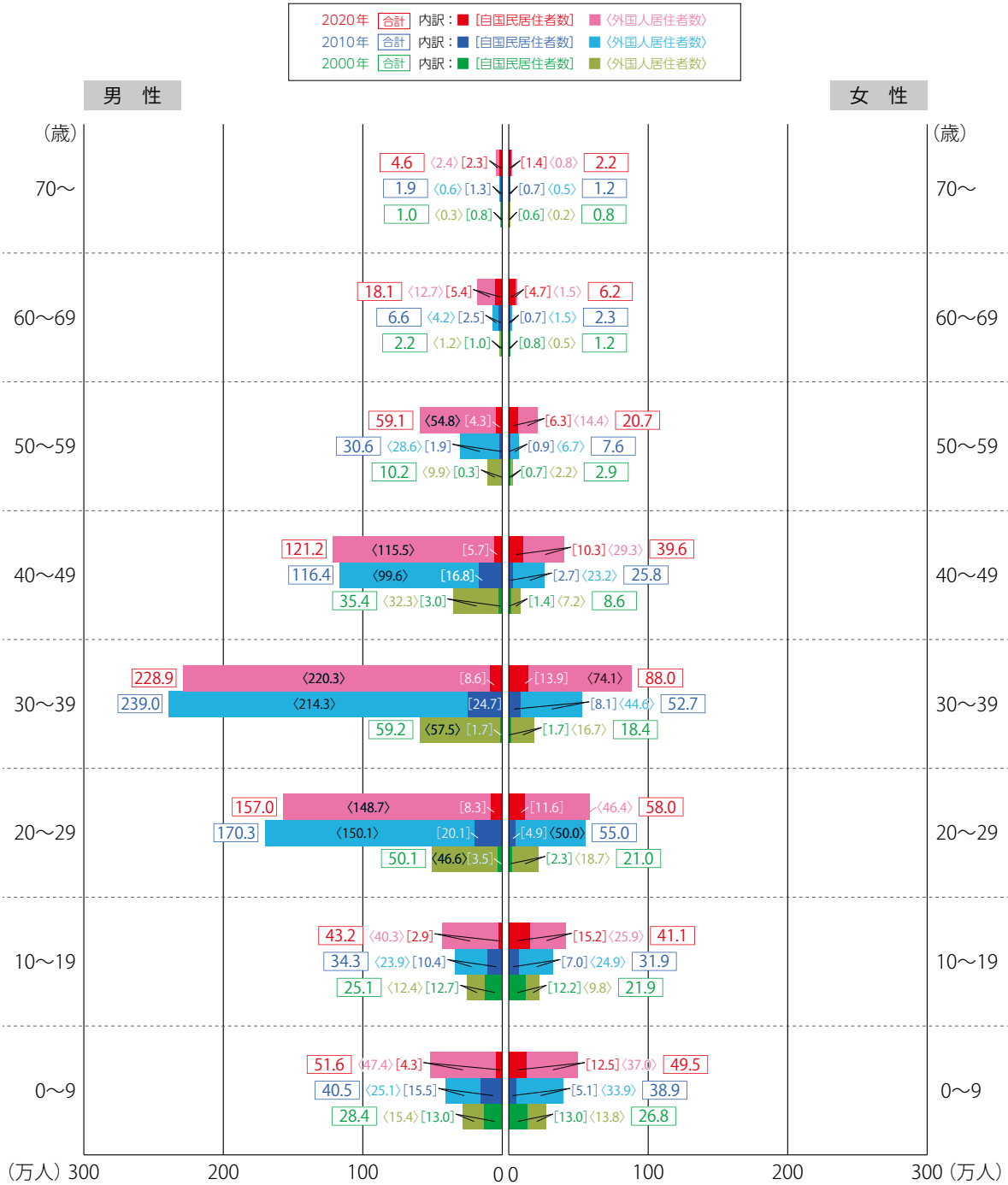
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：アラブ首長国連邦の外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

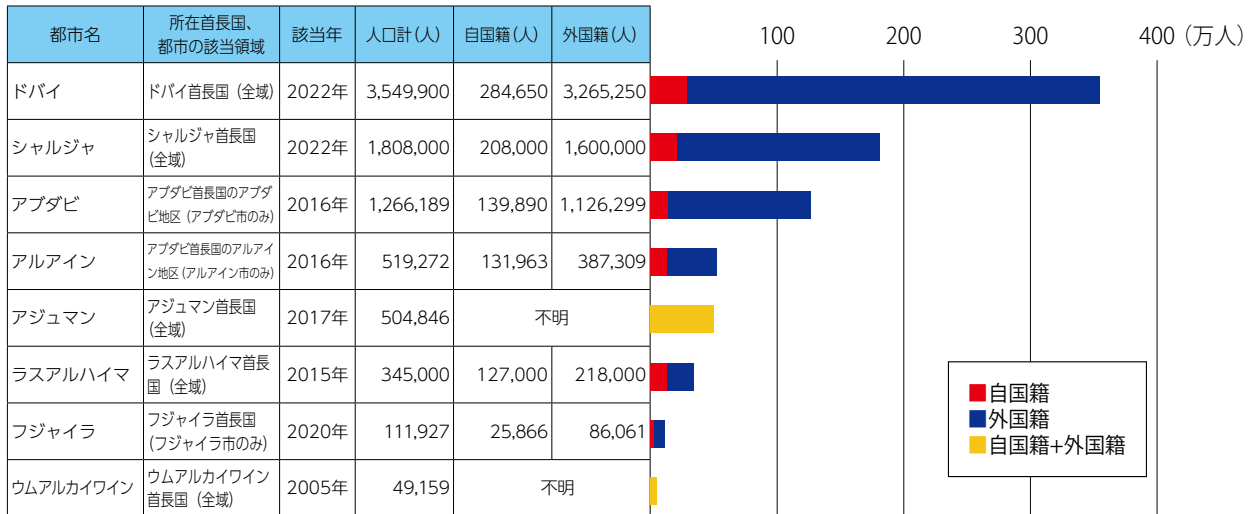
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注1：アラブ首長国連邦の都市人口を一律に比較できる公式統計は、2005年に実施された国勢調査の結果が最新である。その後、都市人口に変化が生じていることから、最新の都市人口の状況を把握すべく、首長国ごとに引用年と出典を異にした最新統計を、上記表に掲載することにした。

注2：都市単位の人口の比較を試みたものの、都市単位の人口が入手できない場合は、代替として首長国単位の人口を掲載した。

注3：アジュマンとウムアルカイワインは、自国籍と外国籍の人口の内訳が不明である。

出典：アブダビ首長国の都市人口はアブダビ統計センターから、ドバイ首長国の都市人口はドバイ統計センターから、フジャイラ首長国の都市人口はフジャイラ統計センターから、それ以外の首長国の都市人口はアラブ首長国連邦政府のウェブサイトから引用した。

## (8) 祝日(2023年~2024年)

祝日	2023年	2024年
元旦	1月1日(日)	1月1日(月)
※イード・アル・フィトル(ラマダン明け大祭)	4月20日(木)～ 4月23日(日)	4月8日(月)～ 4月12日(金)
※アラファトの日(巡礼休暇)	6月27日(火)	6月15日(土)
※イード・アル・アドハー(犠牲祭)	6月28日(水)～ 6月30日(金)	6月16日(日)～ 6月18日(火)
※イスラム暦新年	7月21日(金)	7月7日(日)
※ムハンマド生誕祭	9月29日(金)	9月29日(日)
建国記念日	12月2日(土)～ 12月3日(日)	12月2日(月)～ 12月3日(火)

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年イスラム暦新年以降の※印の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：アラブ首長国連邦政府等の情報に基づき、日本政府観光局(JNTO)が作成



## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	春期休暇	3月末～4月中旬の約3週間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約8週間
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約3週間
準備学校	12歳～15歳 (3年間)	春期休暇	3月末～4月中旬の約3週間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約8週間
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約3週間
普通中等学校	15歳～18歳 (3年間)	春期休暇	3月末～4月中旬の約3週間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約8週間
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約3週間
大学	18歳～22歳 (4年間)	春期休暇	3月末～4月中旬の約3週間
		夏期休暇	7月上旬～8月下旬の約8週間
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約3週間
学校年度	8月下旬～翌年8月下旬		
義務教育	初等学校 (6年間)		

出典：アラブ首長国連邦現地の諸情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	一般的に土・日曜日	労働法 第17条	・週の労働時間上限は48時間 ・法令で定めはないが金曜日は労働時間4.5時間の半休としている場合が多い。
有給休暇日数	30日以上	労働法 第29条	・有給休暇の取得期間に祝祭日が含まれる場合、祝祭日も有給休暇の消化日数に算入する。 ・労働者は有給休暇に入る前に、有給休暇分の給与を受け取ることができる。 ・未取得の有給休暇は、雇用者の合意のもと翌年に繰越すことができる。繰越されない分は払戻しされる。労働者は退職時に累積有給休暇を払戻しされる権利を有する。 ・病欠、出産休暇、育児休暇（父親最大5日間）、忌引きと有給休暇は、明確に区別されている。（産休休暇60日以上）
定年退職	なし		法定の退職年齢がないが、65歳に達すると、関係当局（労働省など）から、毎年、当該被雇用者の継続雇用承認を受けなければならない。

出典：アラブ首長国連邦労働法、アラブ首長国連邦社会保障法、日本貿易振興機構（JETRO）

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	3年間 (高校を卒業していない者は3年、高校卒業者は11か月、女性は学歴に関係なく11か月)
入隊対象性別	男性のみ召集 2014年から、女性も志願すれば入隊が可能になった。
入隊対象年齢	18歳～30歳

出典：日本国外務省、アラブ首長国連邦国民予備役局

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	80.7
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	78.0
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	63.8
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	39.8
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	11.9
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	5.6
アルイティハド (Al Ittihad)	ウェブサイト	ニュース発信	4.5
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	4.2
イマラート・アルヨウム (Emarat Al Youm)	ウェブサイト	ニュース発信	3.9
カリージタイムズ (Khaleej Times)	ウェブサイト	ニュース発信	3.6
アルカリージ (Al Khaleej)	ウェブサイト	ニュース発信	2.1
ガルフニュース (Gulf News)	ウェブサイト	ニュース発信	1.5
アルバヤン (Al Bayan)	ウェブサイト	ニュース発信	0.6

注1：本調査は、当該市場の337人の調査対象者から聞き出した結果である。

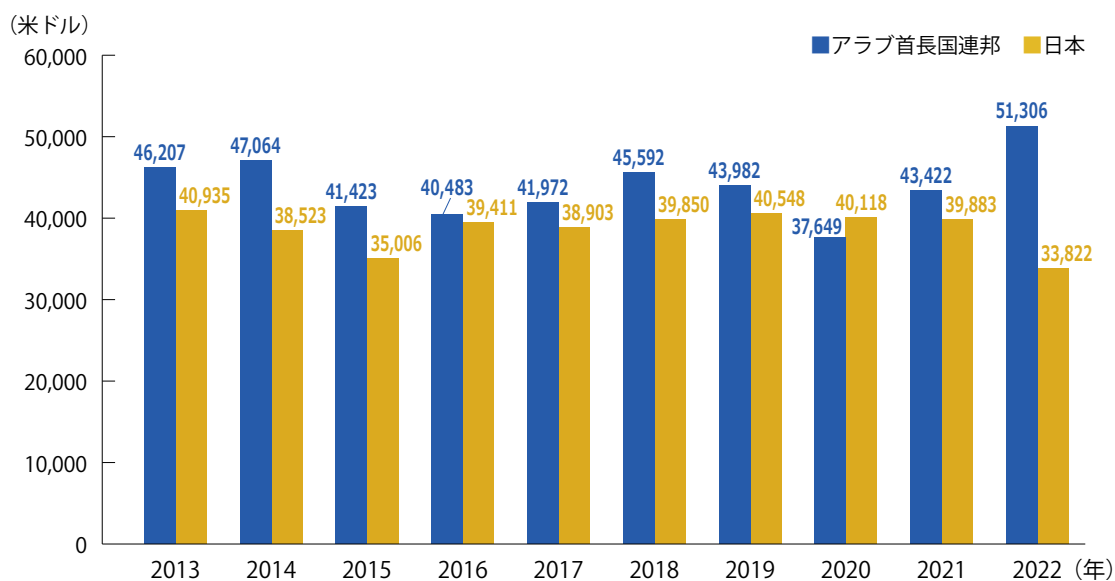
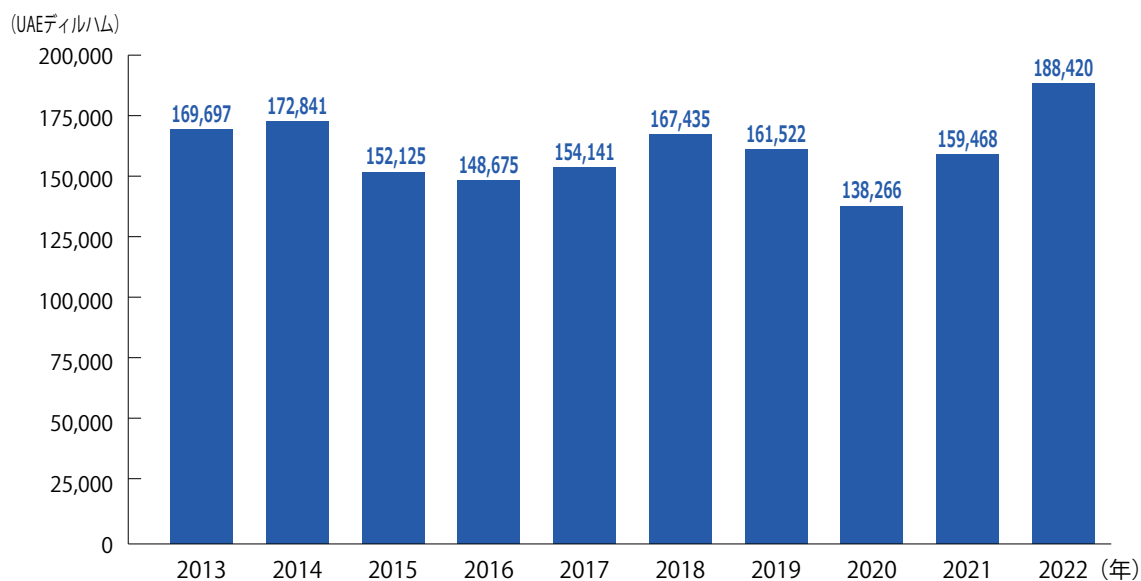
注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

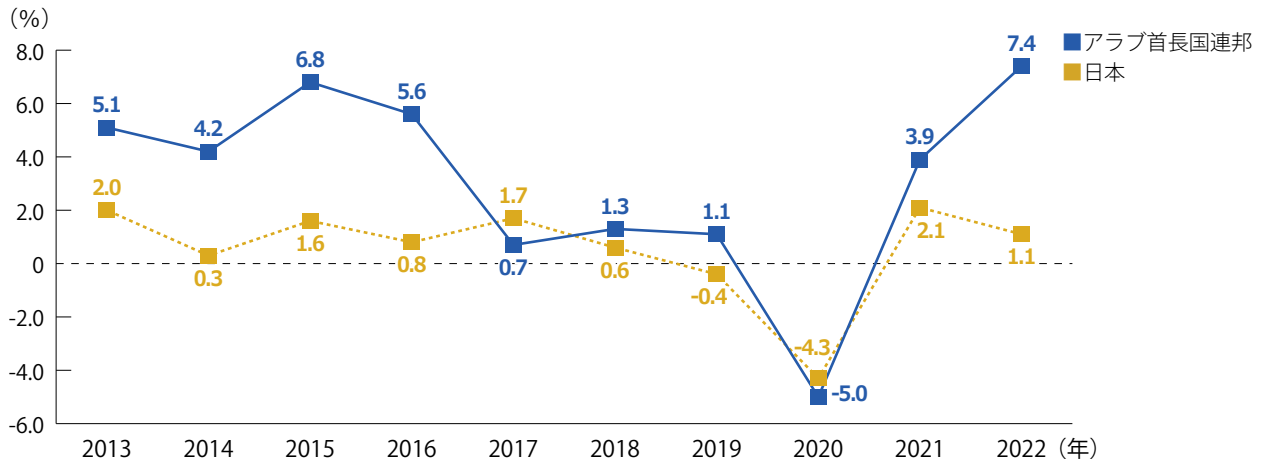
第2章 経済指標

(1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



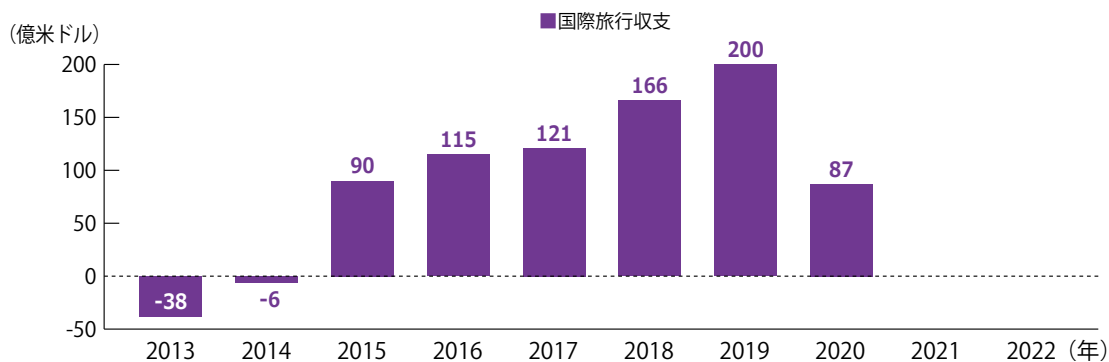
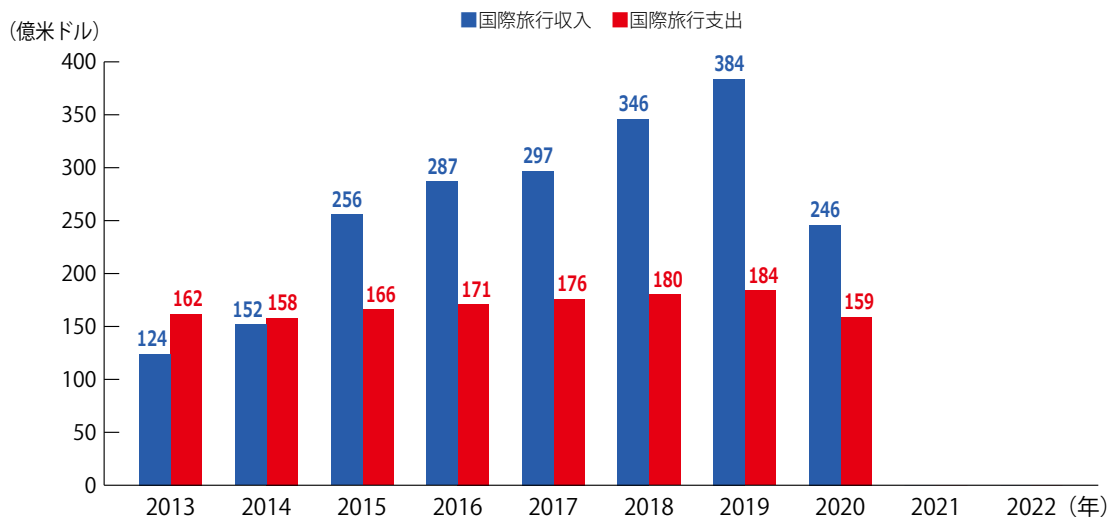
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



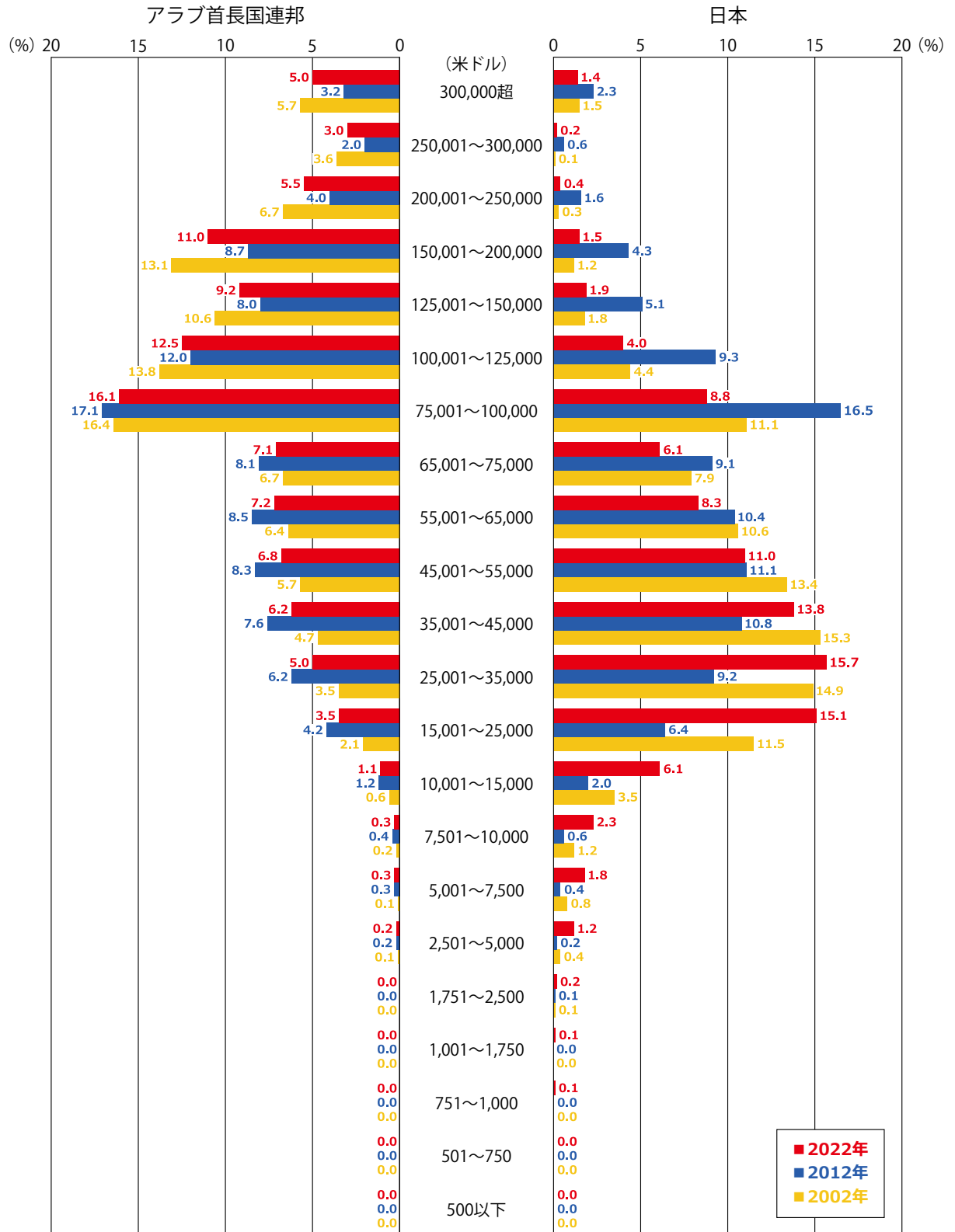
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行収入と国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
注3：国際旅行収入、国際旅行支出とも、国際旅客運賃が含まれている。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

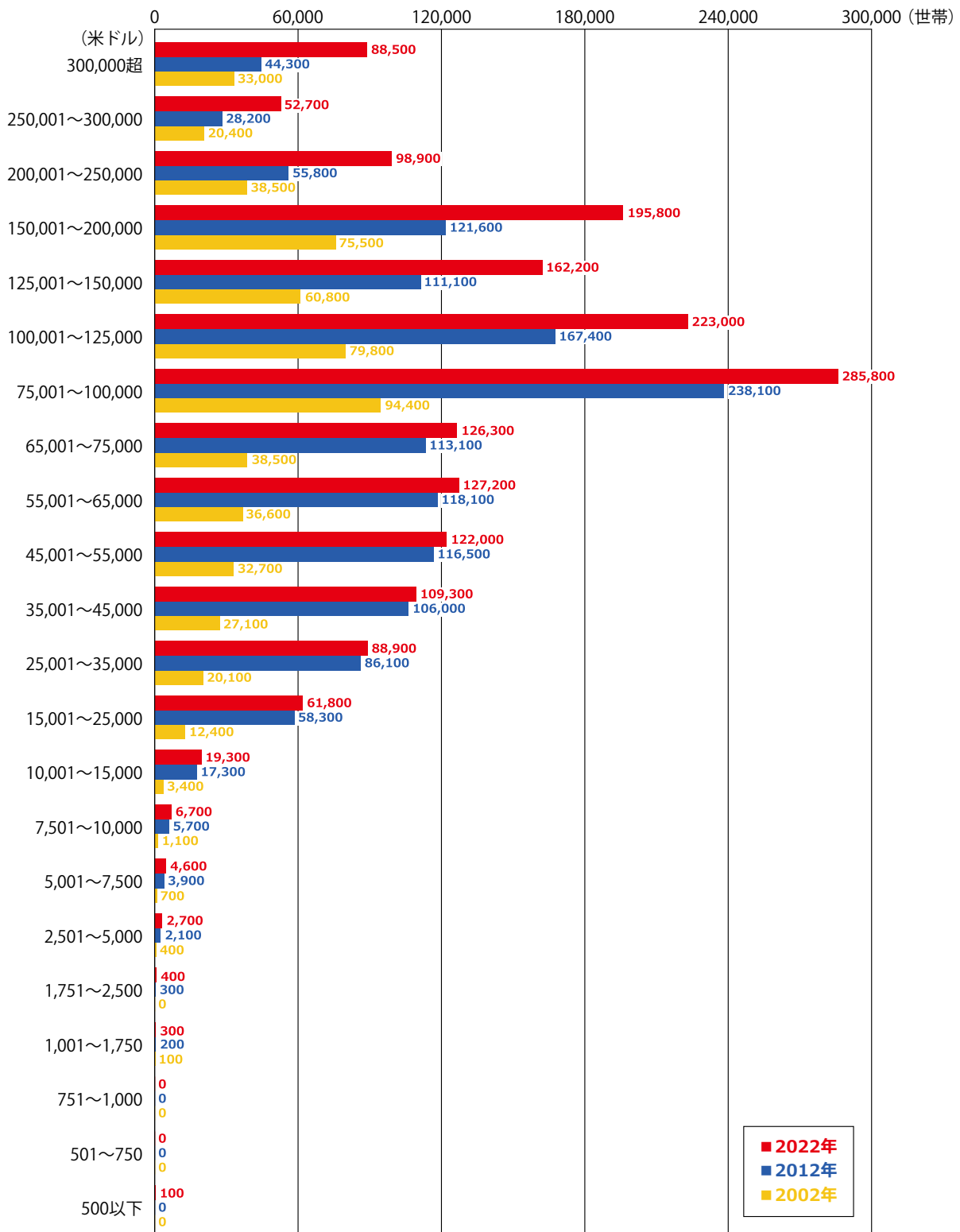
(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

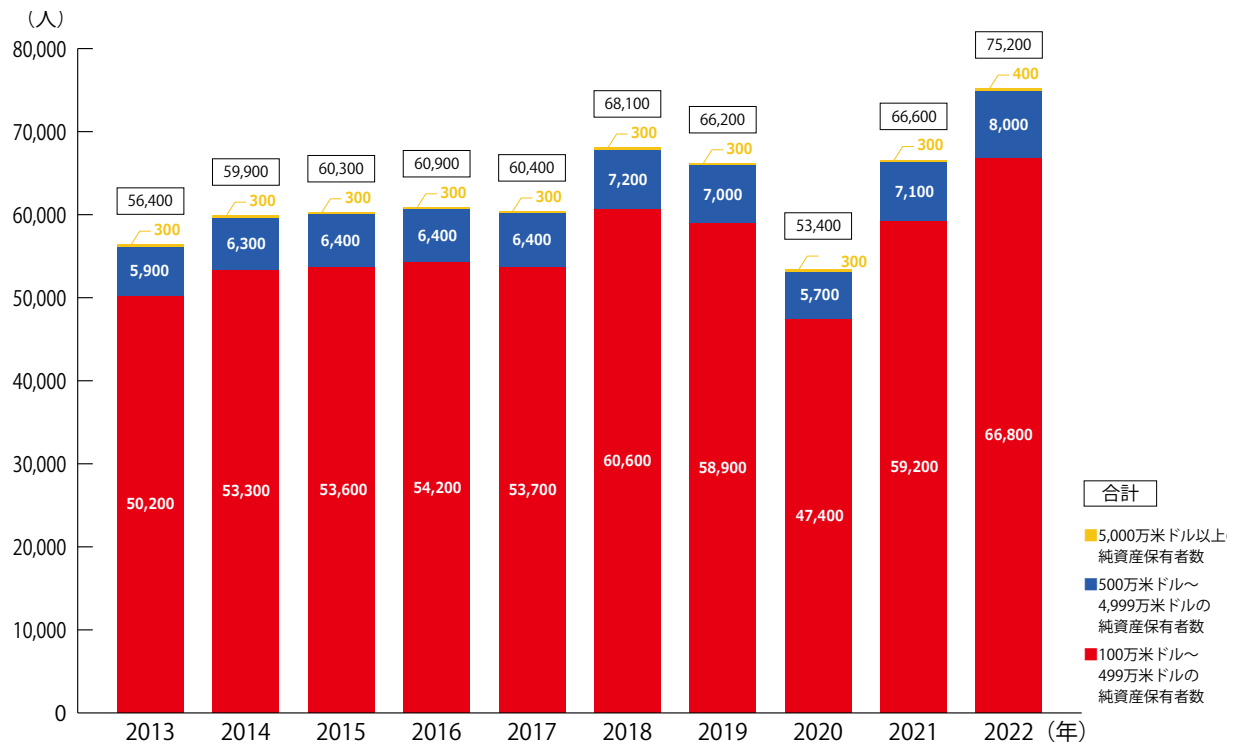
アラブ首長国連邦

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



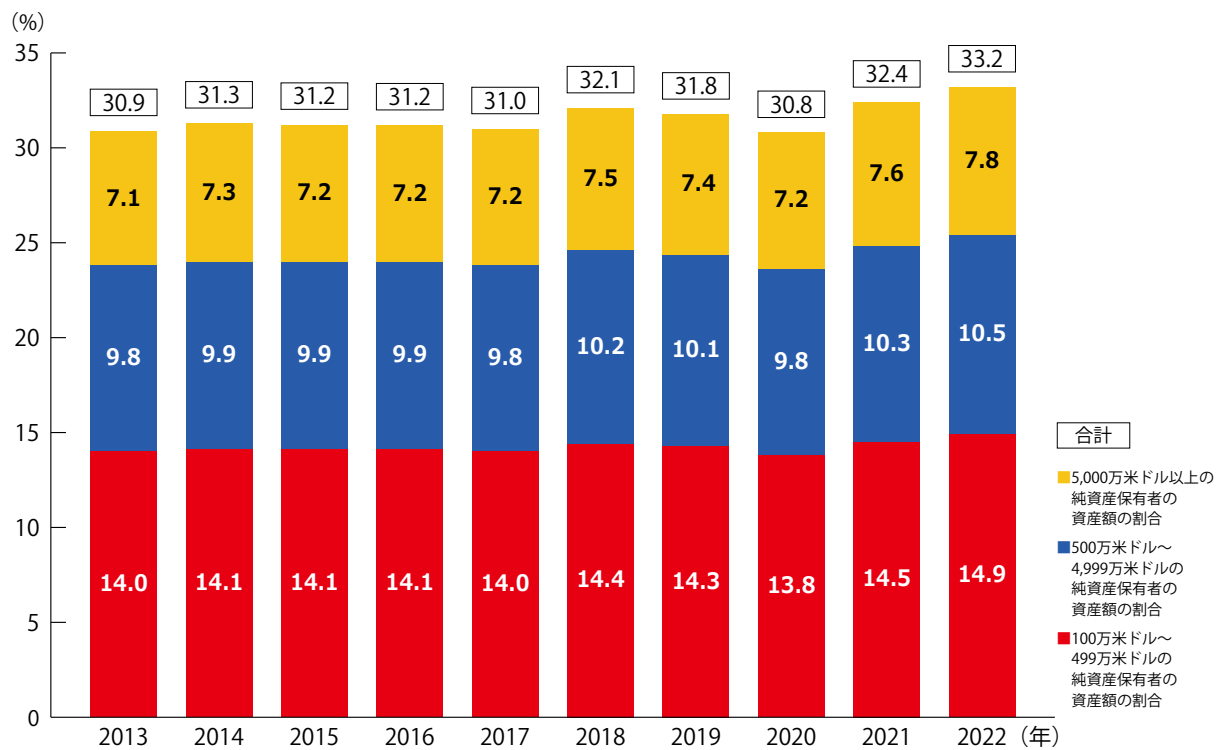
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

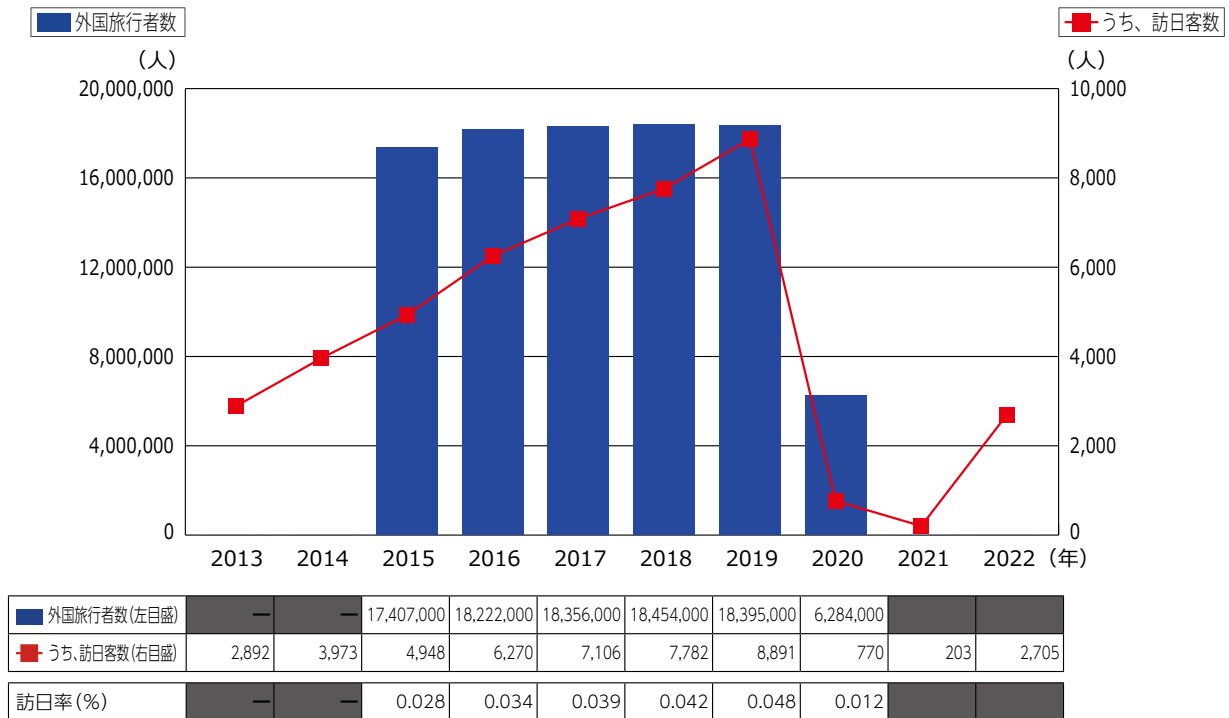
(7) 居住者全体の資産額に占める高純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) アラブ首長国連邦人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：アラブ首長国連邦人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのアラブ首長国連邦人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	オマーン	VFR	—	2,076,151	2,245,665	556,268	417,331	2,245,665
2位	サウジアラビア	TFN	649,902	739,404	784,305	165,716	94,927	784,305
3位	英国	VFR	438,442	511,465	552,899	—	91,189	552,899
4位	バーレーン	VFR	—	140,231	154,060	—	54,725	154,060
5位	タイ	TFN	137,218	128,270	130,158	7,154	4,061	137,218
6位	イタリア	TFN	127,945	110,611	127,719	30,631	93,905	127,945
7位	米国	TFR	88,933	112,590	127,007	23,859	58,431	127,007
8位	スイス	THSR	137,934	145,290	122,923	20,423	90,948	145,290
9位	スペイン	TFR	98,623	85,618	121,067	20,390	112,888	121,067
10位	オーストリア	TCER	124,470	122,232	114,727	13,164	49,489	124,470
11位	クウェート	VFN	104,989	112,457	101,026	17,519	5,241	112,457
12位	シンガポール	VFR	79,007	76,268	81,530	7,457	940	81,530
13位	アゼルバイジャン	VFR	102,360	93,835	68,289	7,951	17,275	102,360
14位	エジプト	VFN	62,465	65,464	66,545	19,570	—	66,545
15位	インド	VFN	67,238	59,971	55,415	7,387	3,927	67,238
16位	カナダ	TFR	36,201	36,989	43,479	9,616	15,712	43,479
17位	蒙州	VFR	45,480	41,769	40,395	7,202	2,799	45,480
18位	トルコ	TFN	49,334	43,287	37,494	3,772	52,578	52,578
19位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	33,896	35,255	31,961	10,452	49,568	49,568
20位	チェコ	TCEN	29,163	34,715	30,112	3,400	3,783	34,715
21位	セーシェル	TFR	28,209	25,024	24,609	7,097	21,699	28,209
22位	ベルギー	TCER	15,455	25,128	23,714	5,729	11,128	25,128
23位	ノルウェー	TCER	—	18,713	22,012	—	—	22,012
24位	モロッコ	TFN	20,840	21,926	21,415	5,122	14,784	21,926
25位	キプロス	TFR	20,351	21,136	21,353	2,433	11,052	21,353
26位	ポーランド	TCER	8,692	12,388	18,050	1,994	2,682	18,050
27位	ヨルダン	TFN	18,355	19,051	17,651	3,573	7,935	19,051
28位	エチオピア	TFR	17,340	15,440	14,760	270	678	17,340



▶ 前ページから

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	モーリシャス	TFR	11,866	12,058	13,999	1,587	1,931	13,999
30位	韓国	VFN	10,990	11,427	13,226	1,460	1,429	13,226
31位	香港	TFR	14,815	15,601	12,712	475	1	15,601
32位	中国	VFN	7,782	9,610	11,754			11,754
33位	ポルトガル	TCER			11,370	2,186	4,215	11,370
34位	マレーシア	TFN	8,555	9,386	11,174	679	86	11,174
35位	アルメニア	TFR	8,299	11,901	11,028	1,568	6,400	11,901
36位	モルディブ	TFN	10,485	9,018	10,493	7,368	14,095	14,095
37位	ジョージア	VFR	12,106	12,377	10,483	1,358	6,976	12,377
38位	フィリピン	TFR	16,399	15,402	10,192	2,518	2,733	16,399
39位	ニュージーランド	VFR	11,216	10,249	9,935	2,474	896	11,216
40位	フィンランド	TCER	3,941	5,476	9,869	2,114	3,023	9,869
41位	ペルー	THSN	7,926	7,454	9,363	1,201	3,898	9,363
42位	カタール	VFN	58,206	8,466	9,076	2,281	14,406	58,206
43位	インドネシア	VFN	8,387	7,100	9,065	1,093	384	9,065
44位	日本	VFN	7,106	7,782	8,891	770	203	8,891
45位	カザフスタン	VFR	3,503	5,253	8,100	835	3,201	8,100
46位	ウガンダ	TFR	5,755				31	5,755
47位	セルビア	TCEN	5,164	5,777	4,791	2,395	5,571	5,777
48位	イラン	VFN	5,829	4,073	4,128	927	1,553	5,829
49位	タンザニア	VFR	3,573	5,313	4,124	1,724	3,399	5,313
50位	ウクライナ	TFR	1,750	3,544	3,835	907	8,017	8,017
51位	スリランカ	TFR	7,136	5,785	3,528	352	254	7,136
52位	南アフリカ共和国	TFR	2,782	2,431	3,077	463	261	3,077
53位	ルーマニア	VFR	3,761	4,272	3,045	291	1,106	4,272
	ウズベキスタン	VFR	5,013	1,580	2,423	680	1,782	5,013

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

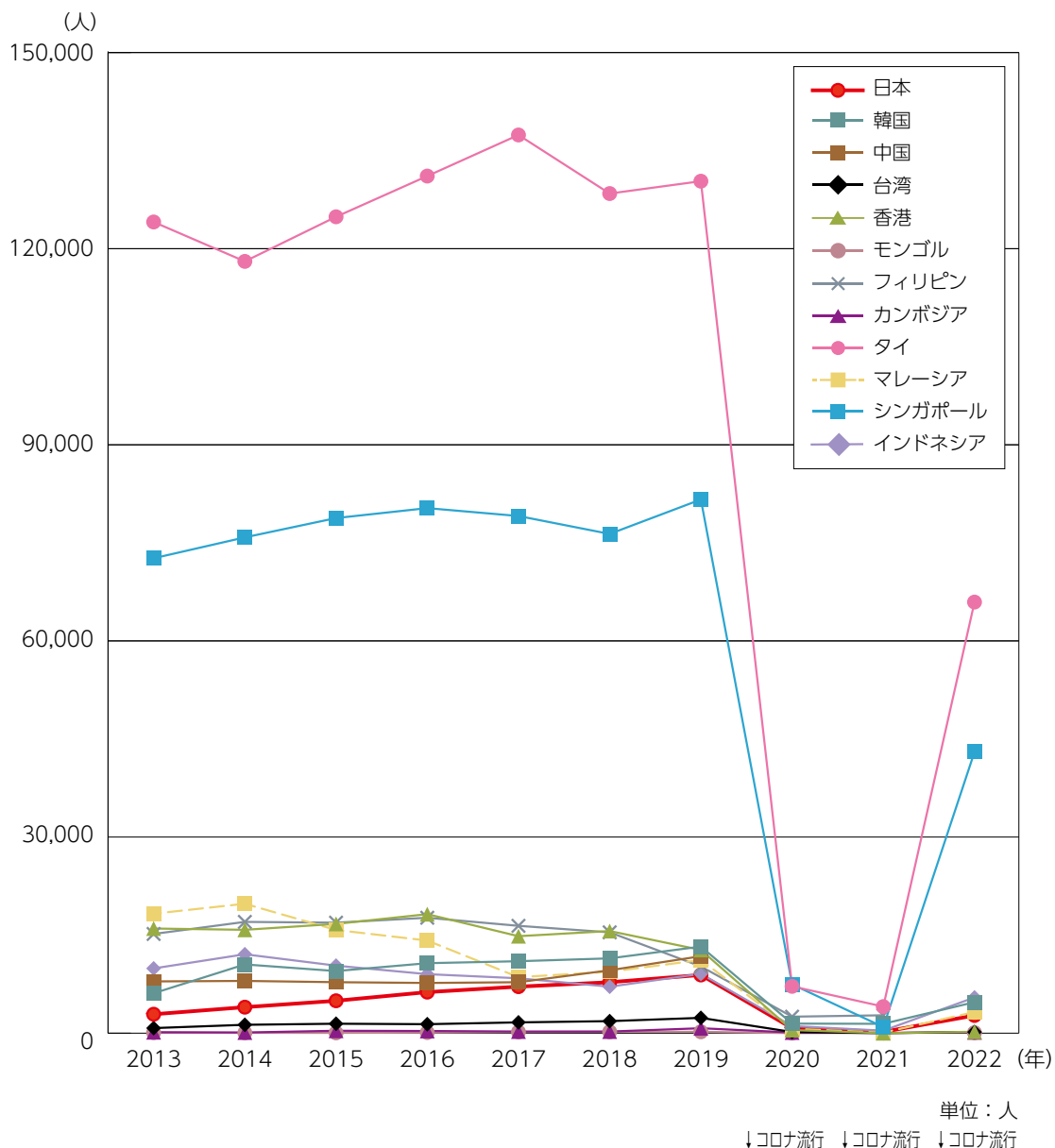
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手にくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域へのアラブ首長国連邦人訪問者数の推移（2013年～2022年）

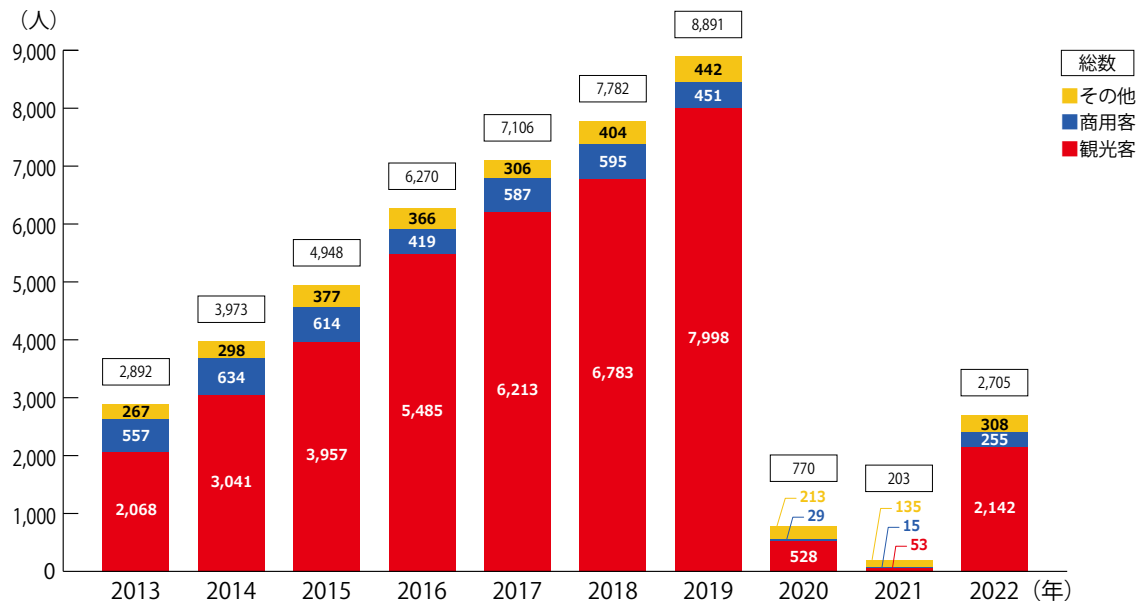


訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	123,926	117,907	124,719	130,941	137,218	128,270	130,158	7,154	4,061	65,857
シンガポール	VFR	72,553	75,742	78,693	80,212	79,007	76,268	81,530	7,457	940	42,965
韓国	VFN	6,098	10,501	9,490	10,690	10,990	11,427	13,226	1,460	1,429	4,736
香港	TFR	15,986	15,789	16,693	18,179	14,815	15,601	12,712	475	1	216
中国	VFN	7,904	7,982	7,788	7,670	7,782	9,610	11,754			
マレーシア	TFN	18,253	19,772	15,769	14,150	8,555	9,386	11,174	679	86	3,230
フィリピン	TFR	15,155	17,000	16,881	17,634	16,399	15,402	10,192	2,518	2,733	
インドネシア	VFN	9,891	12,054	10,315	9,016	8,387	7,100	9,065	1,093	384	5,456
日本	VFN	2,892	3,973	4,948	6,270	7,106	7,782	8,891	770	203	2,705
台湾	VFR	775	1,279	1,443	1,372	1,648	1,837	2,339	180	8	170
カンボジア	TFR	146	104	367	333	251	248	754	102	30	123
モンゴル	TFN	86	57	44	98	186	214	209	6	57	77
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
ミャンマー	TFN										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なるため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

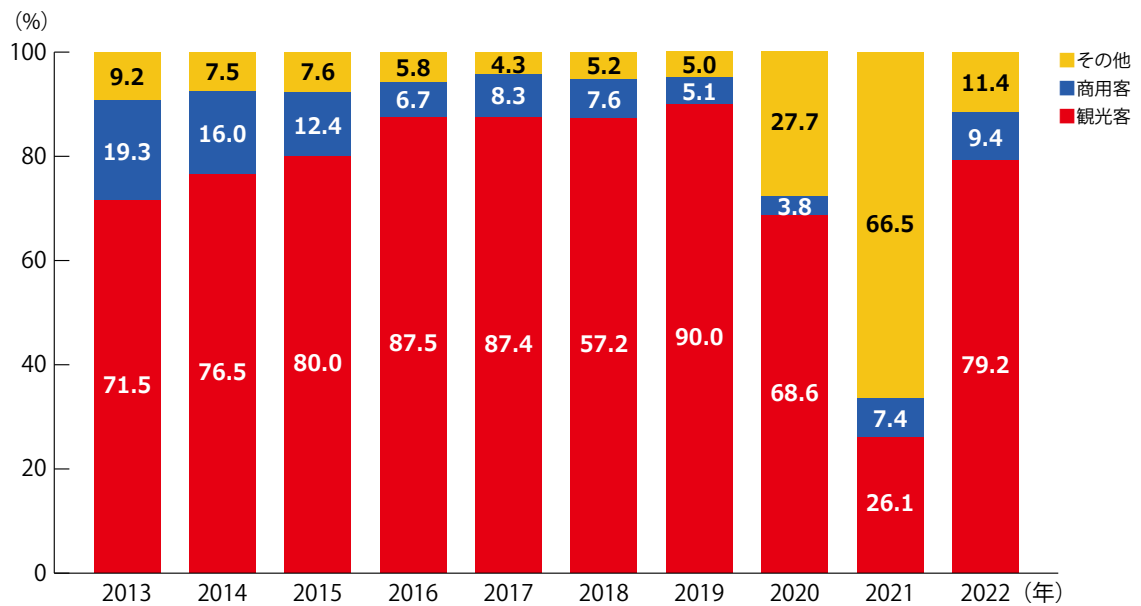
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日アラブ首長国連邦人の推移 (2013年～2022年)



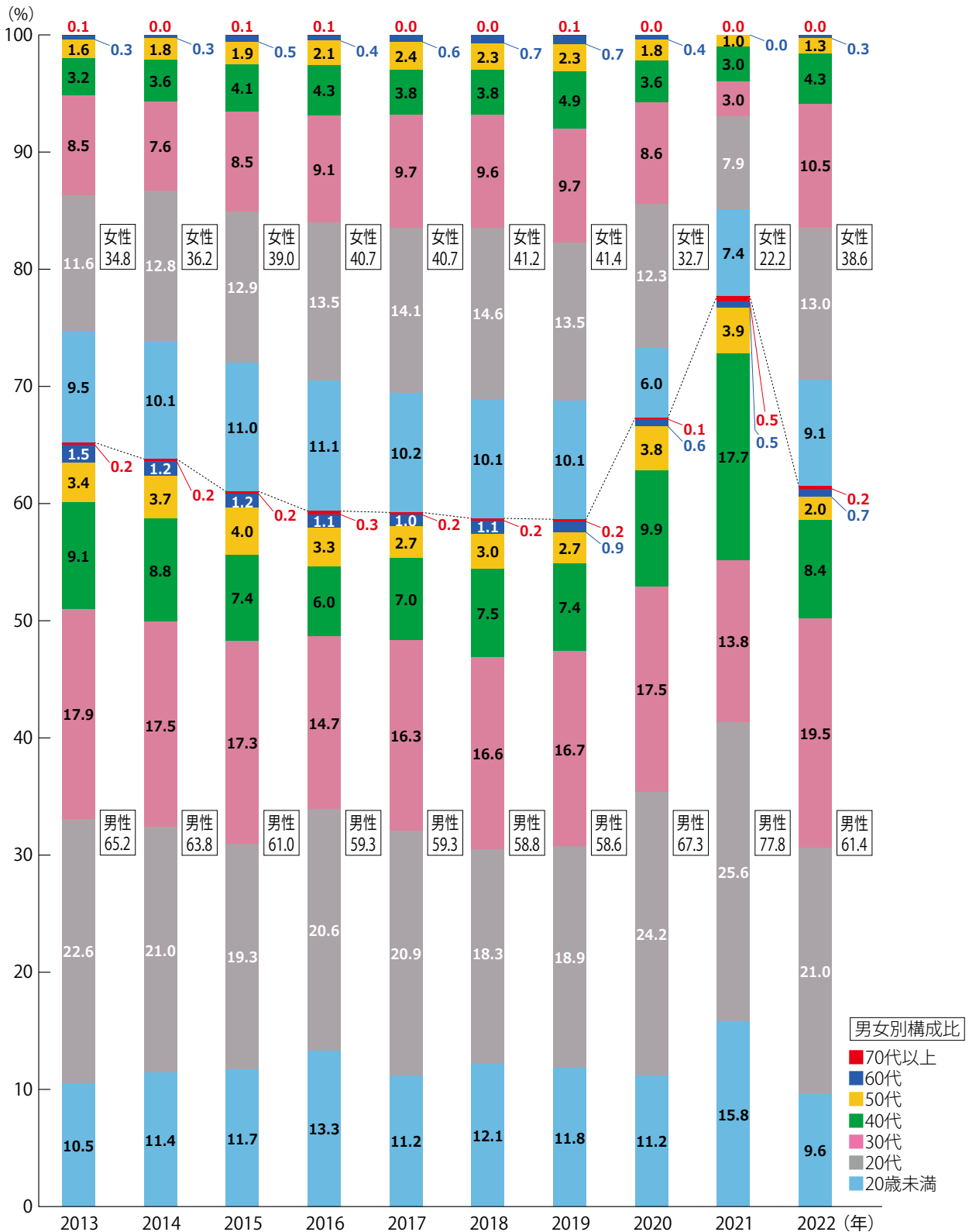
出典：日本政府観光局 (JNTO)

(2) 訪日アラブ首長国連邦人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

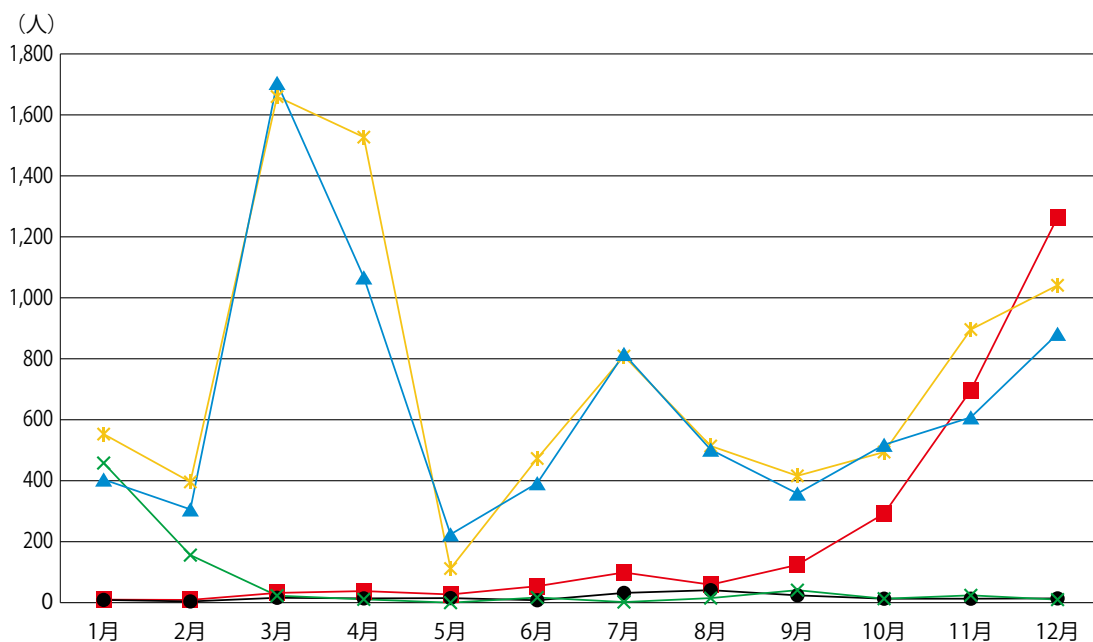
### (3) 訪日アラブ首長国連邦人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日アラブ首長国連邦人の推移 (2018年~2022年)

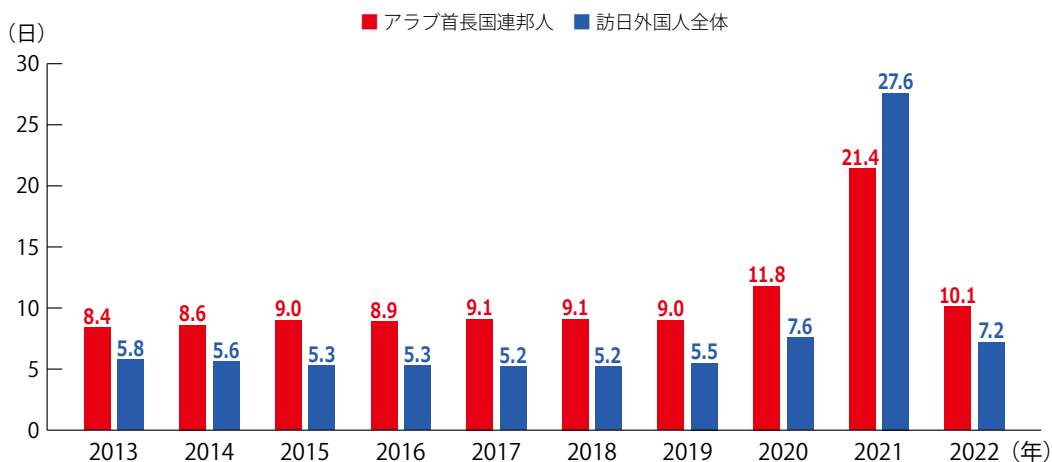


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	10	9	32	38	27	54	99	59	124	292	697	1,264
● 2021年	9	4	16	14	15	8	32	41	24	13	13	14
✕ 2020年	458	156	23	11	0	17	2	15	41	13	24	10
✱ 2019年	553	396	1,660	1,527	112	473	809	514	416	494	896	1,041
▲ 2018年	404	306	1,705	1,067	224	392	816	502	358	518	608	882

出典：日本政府観光局 (JNTO)

(5) 訪日アラブ首長国連邦人の平均滞在日数の推移 (2013年~2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

アラブ首長国連邦



## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

バーレーン国籍の保有者はアラブ人が中心を占める。

バーレーンには、就労目的による外国人が多く居住している。2020年時点で、バーレーンの総人口のうち、バーレーン国籍の保有者は45.0%、外国籍の保有者は55.0%を占めている。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国際連合（2020年）

### (2) 宗教別構成

イスラム教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

アラビア語が公用語

英語も広く通用する。

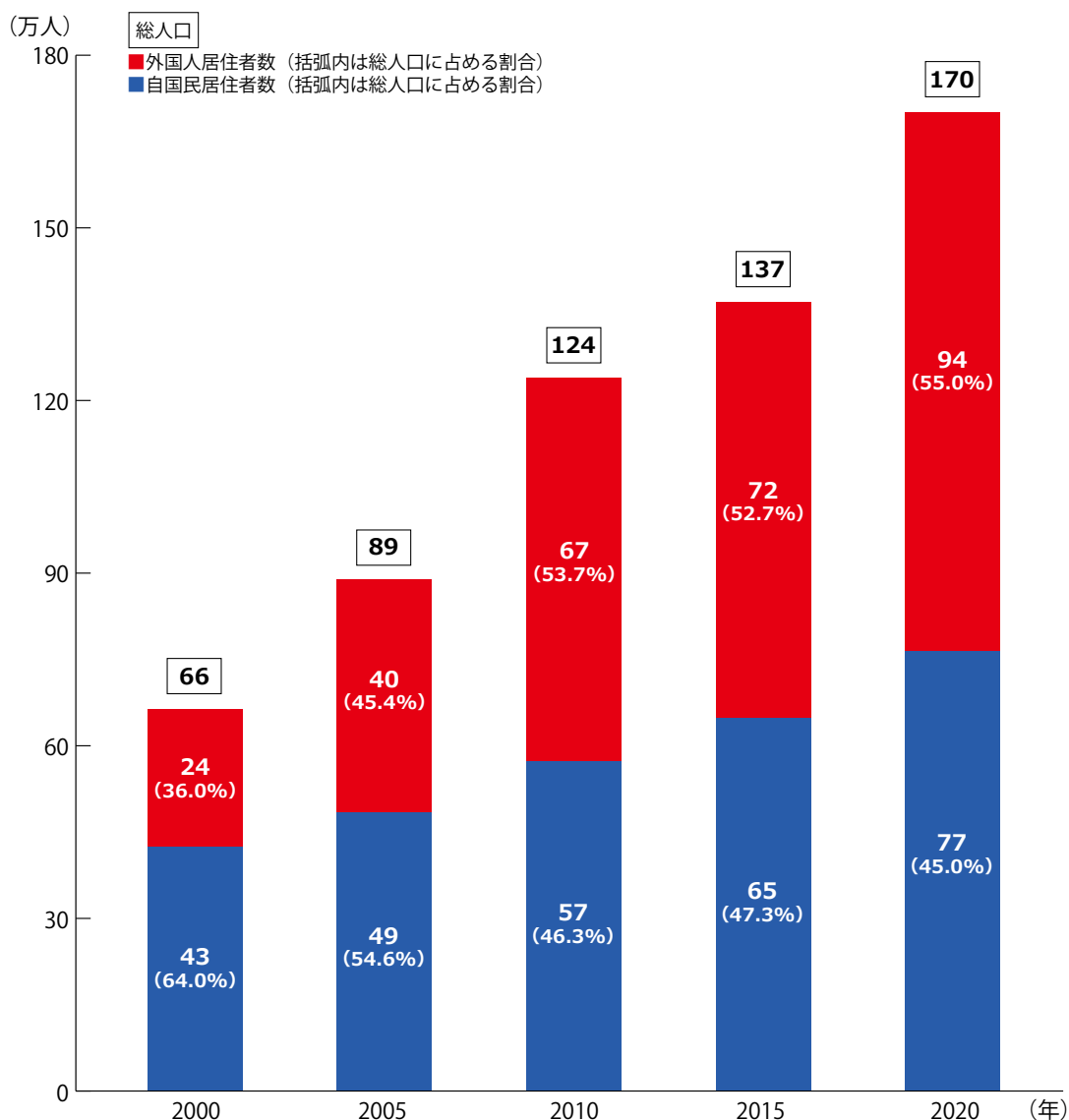
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

778km<sup>2</sup>（東京23区の1.2倍強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

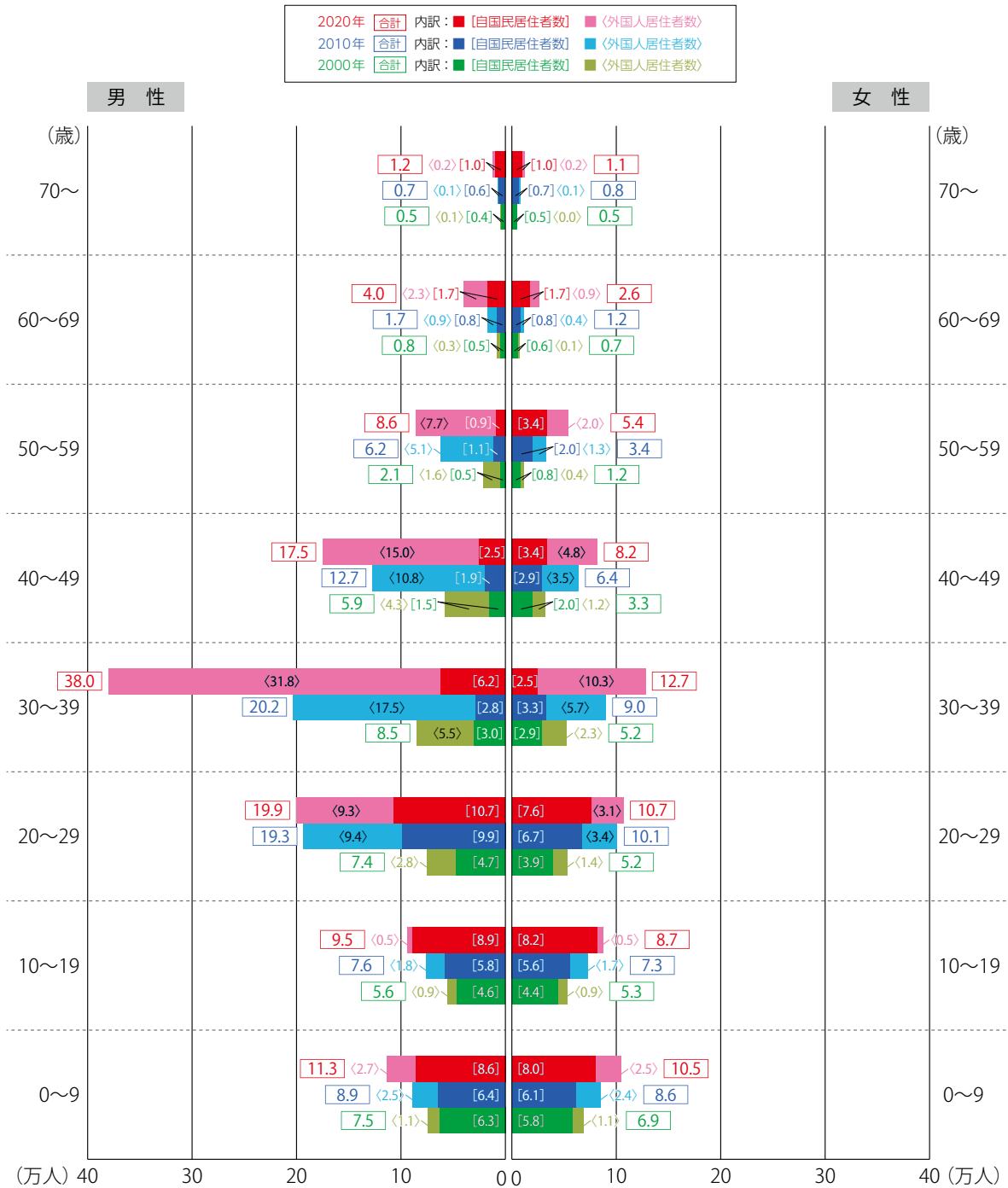
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：パーレーンの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(7) 都市別人口

該当なし



## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年
元日	1月1日（日）	1月1日（月）
※イード・アル・フィトル（ラマダン明け大祭）	4月21日（金）～ 4月23日（日）	4月10日（水）～ 4月14日（日）
レイバー・デー（労働者の日）	5月1日（月）	5月1日（水）
※イード・アル・アドハー（犠牲祭）	6月28日（水）～ 7月2日（日）	6月16日（日）～ 6月18日（火）
※イスラム暦新年	7月19日（水）	7月7日（日）
※アシュラ（イマーム・フサイン殉教日）	7月28日（金）～ 7月29日（土）	7月16日（火）～ 7月17日（水）
※ムハンマド生誕祭	9月27日（水）	9月15日（日）
ナショナル・デー（建国記念日）	12月16日（土）～ 12月17日（日）	12月16日（月）～ 12月17日（火）

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点での想定を記載した。

出典：バーレーン中央銀行等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	春期休暇	1月中旬の約10日間
		夏期休暇	7月～8月の約8週間
中間学校	12歳～15歳 (3年間)	春期休暇	1月中旬の約10日間
		夏期休暇	7月～8月の約8週間
中等学校	15歳～18歳 (3年間)	春期休暇	1月中旬の約10日間
		夏期休暇	7月～8月の約8週間
大学	18歳～22歳 (4年間)	春期休暇	1月中旬の約10日間
		夏期休暇	7月～8月の約8週間
学校年度	9月上旬～翌年9月上旬		
義務教育	初等学校（6年間）＋ 中間学校（3年間）＝ 9年間		

出典：バーレーン現地の諸情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	金曜日	労働法 第57条	一般的に土曜日も休日である。
有給休暇日数	30日以上	労働法 第58条	<ul style="list-style-type: none"> <li>各年度において、30日のうち少なくとも連続した6日間を含む15日の有給休暇を消化しなければならない。</li> <li>未取得の累積有給休暇は翌年度に繰越されるか、2年以内に買い取りがなされる必要がある。</li> <li>病欠、出産休暇、育児休暇、忌引きと有給休暇は、明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	男性：60歳 女性：55歳	社会保険法 第34条	

出典：バーレーン労働法、バーレーン社会保険法

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	48.3
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	44.8
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	27.6
Netflix (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	20.7
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	17.2
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	3.4

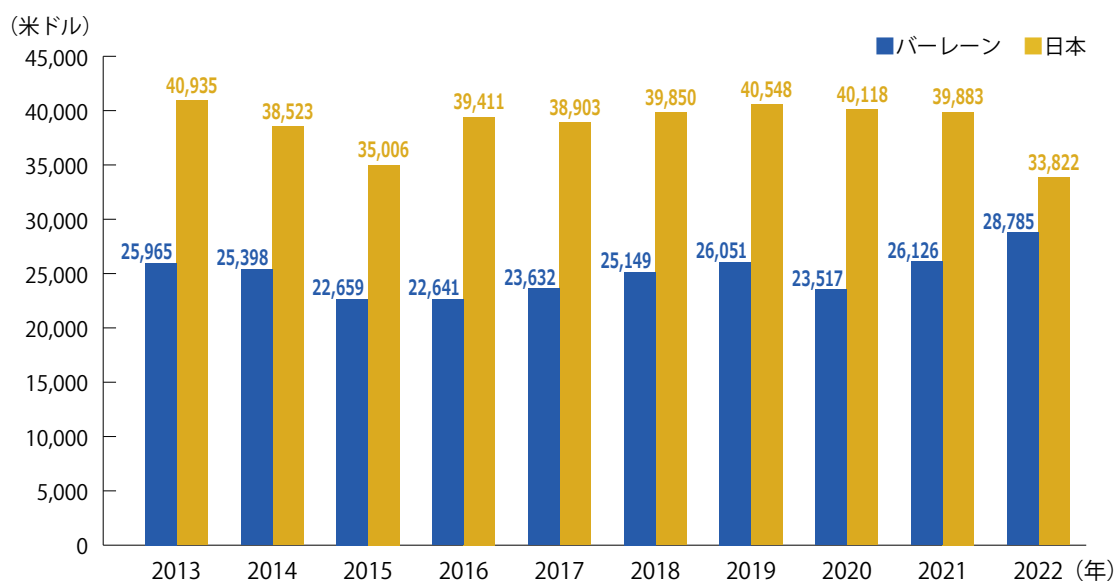
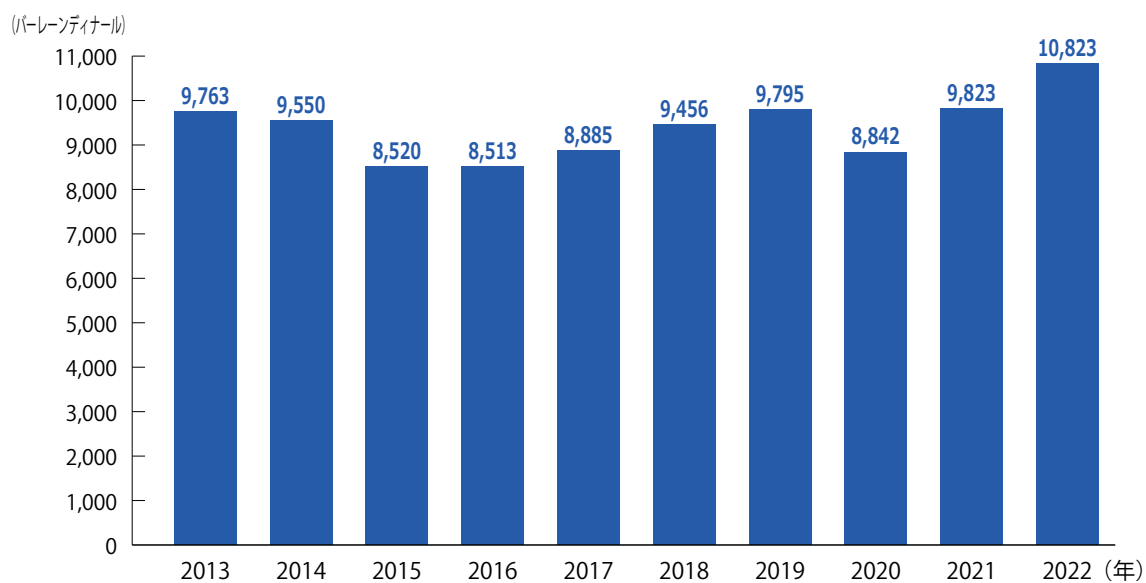
注1：本調査は、当該市場の29人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

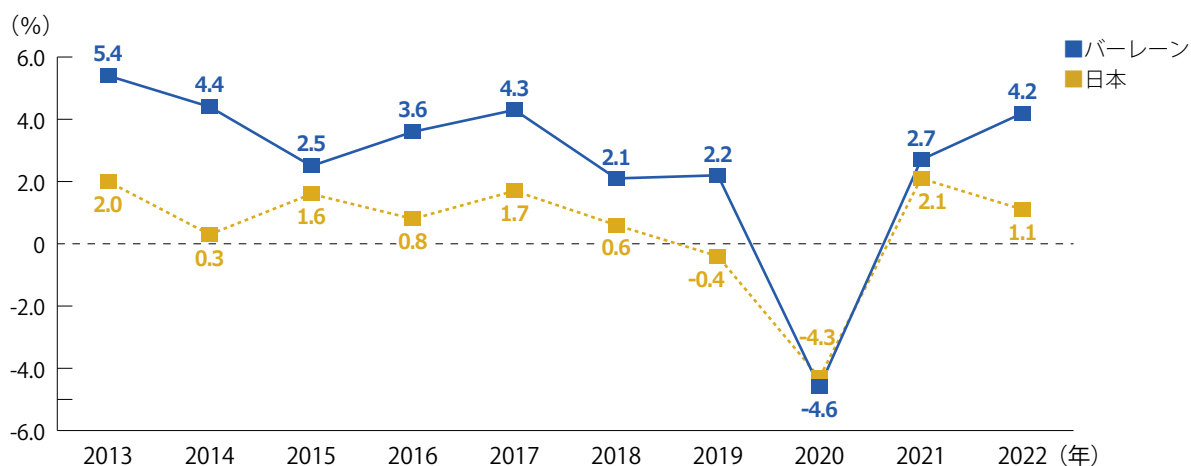
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

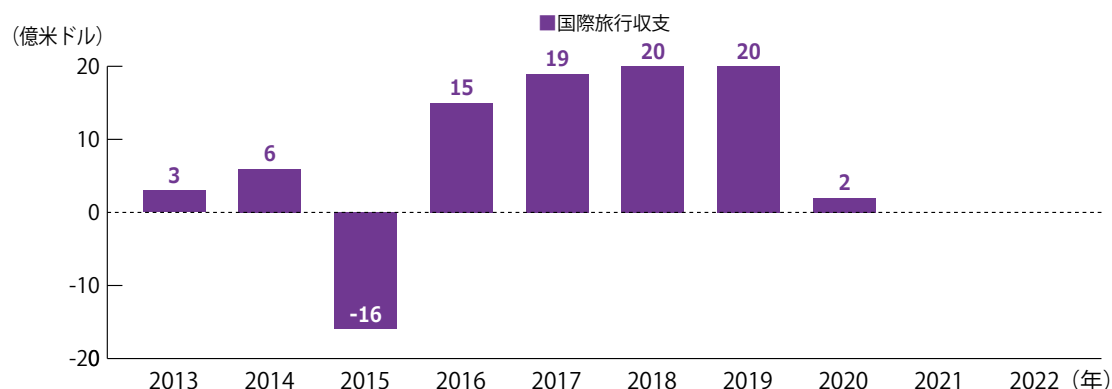
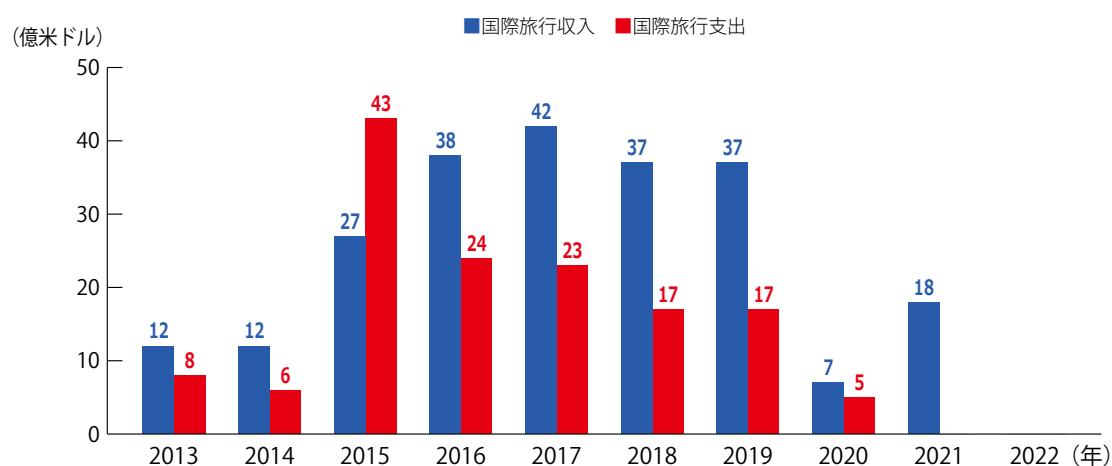
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



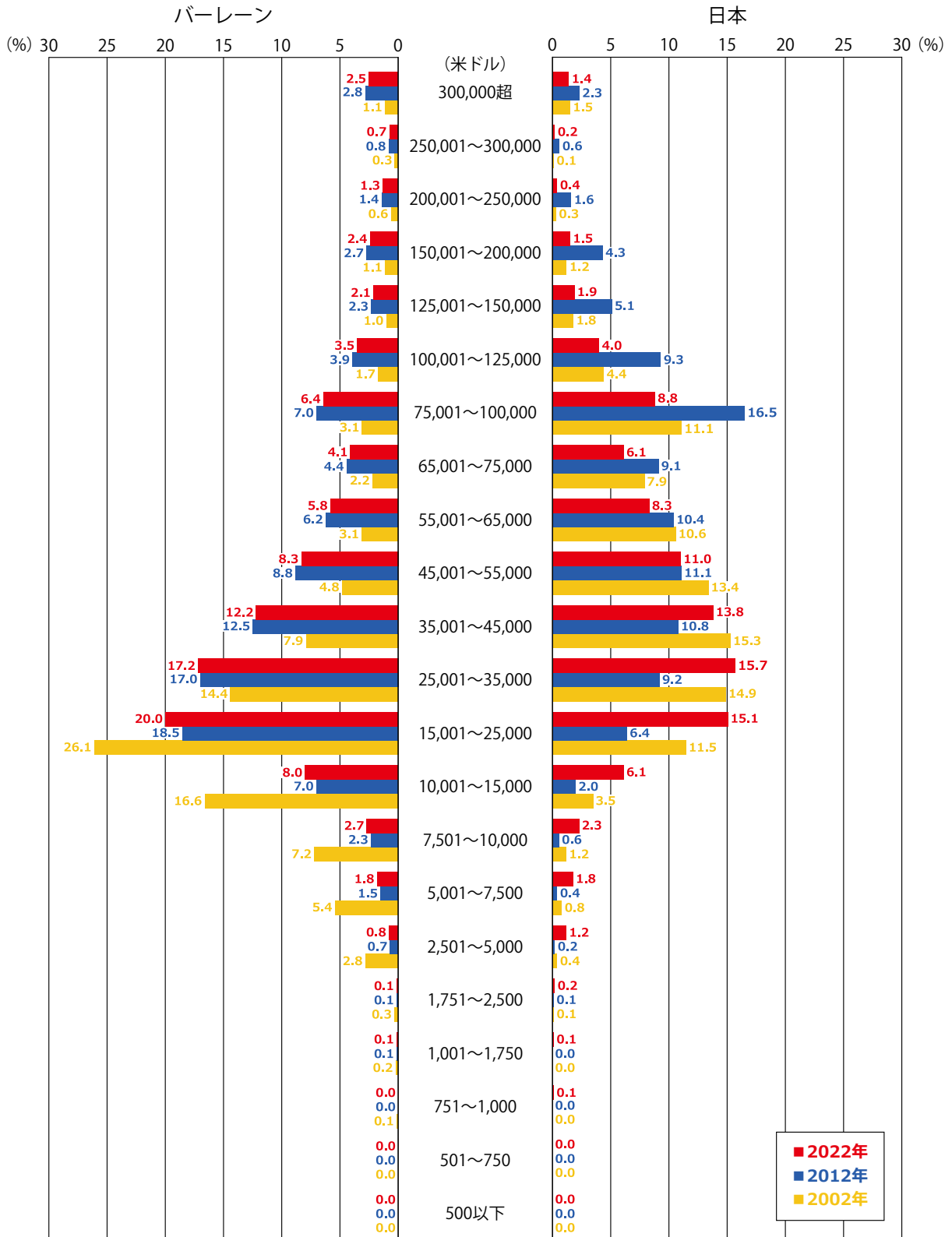
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



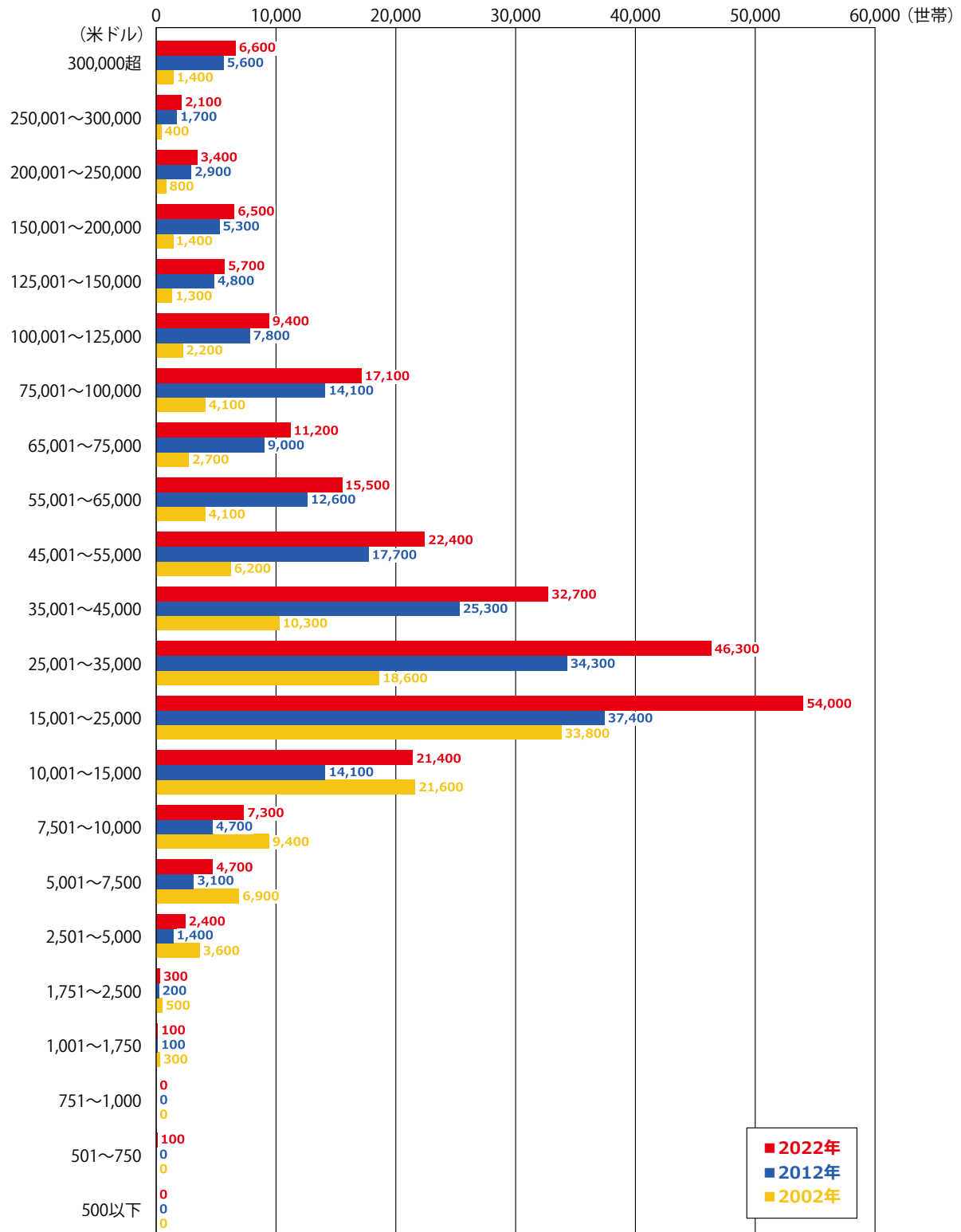
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2021年の国際旅行支出、および2022年の国際旅行収入と国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2021年と2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



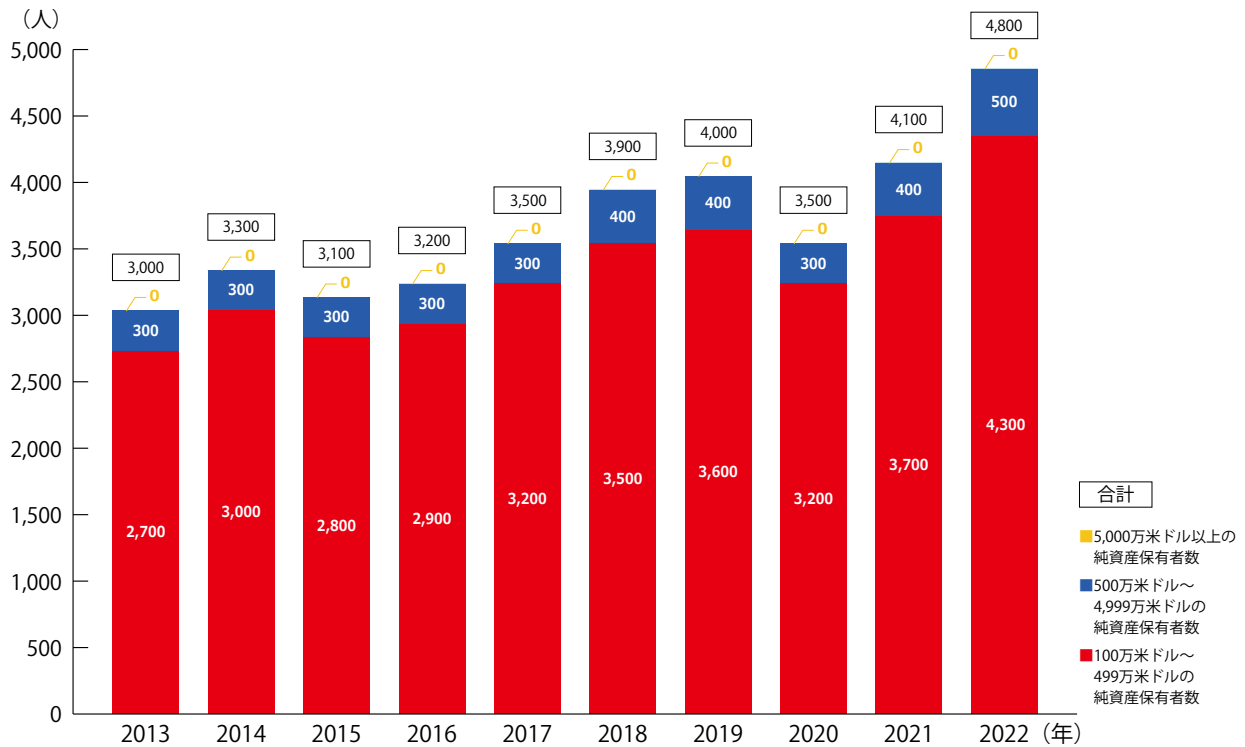
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



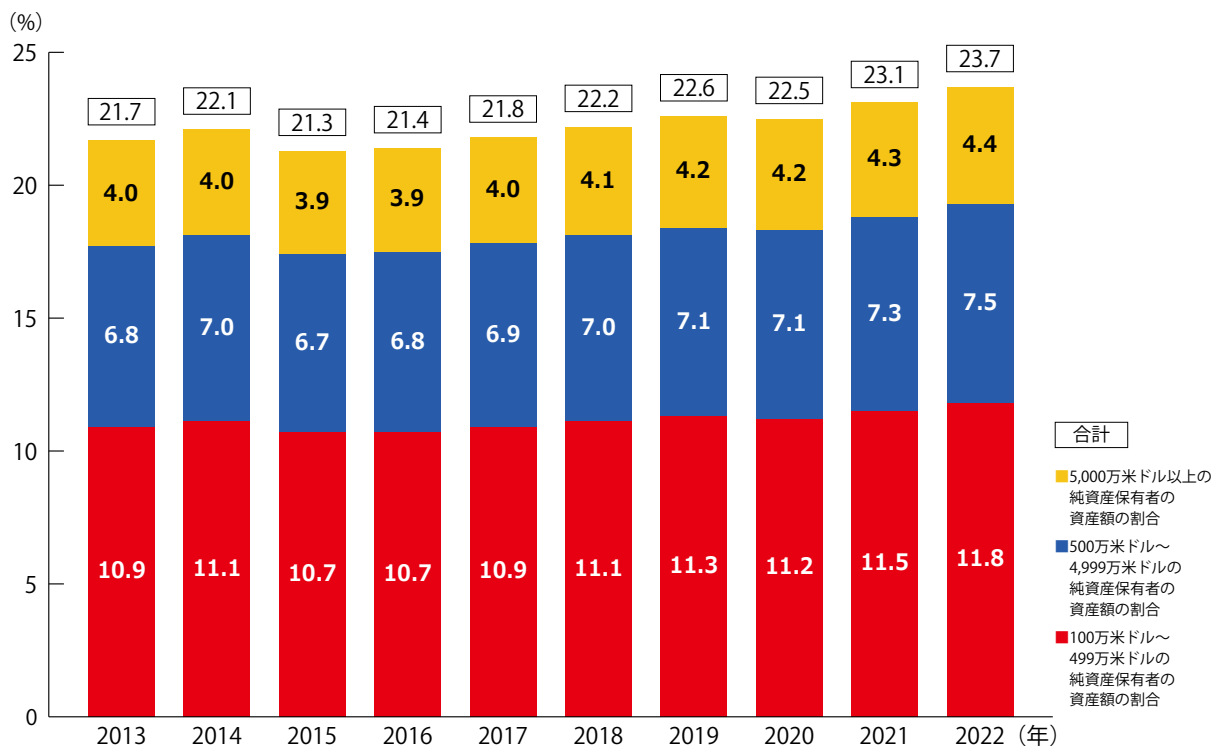
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

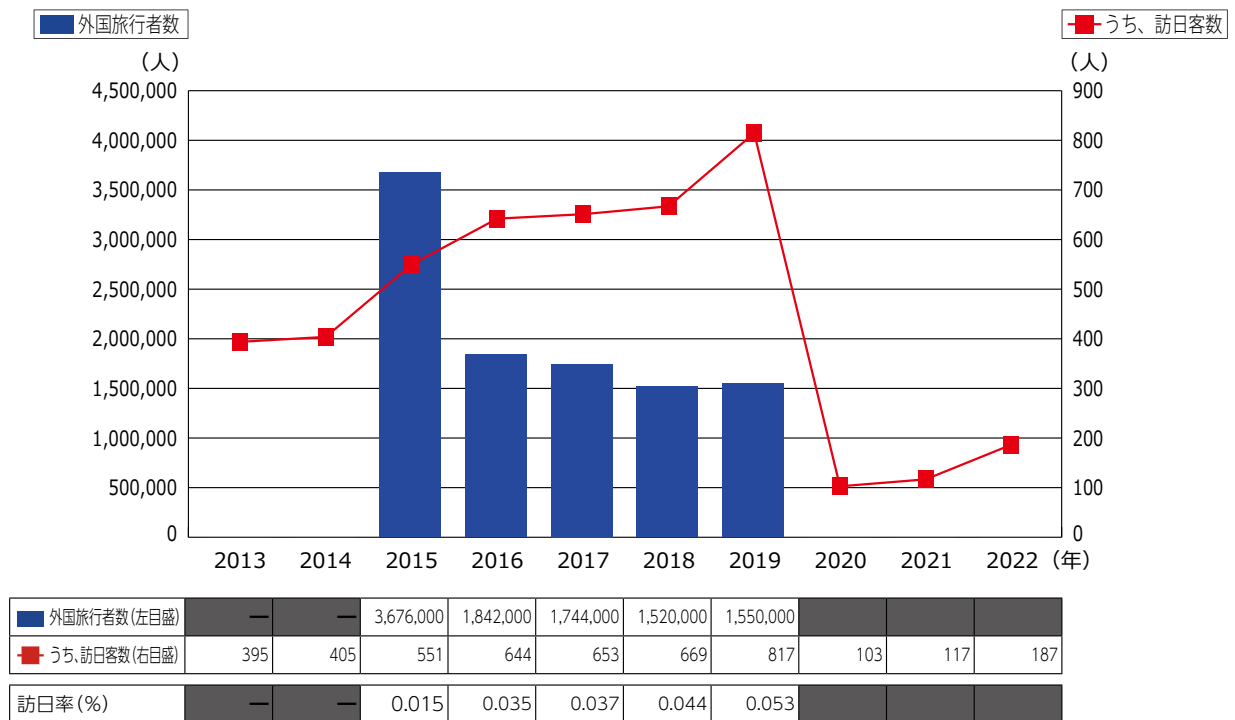
## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) バーレーン人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：バーレーン人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。  
 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのバーレーン人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

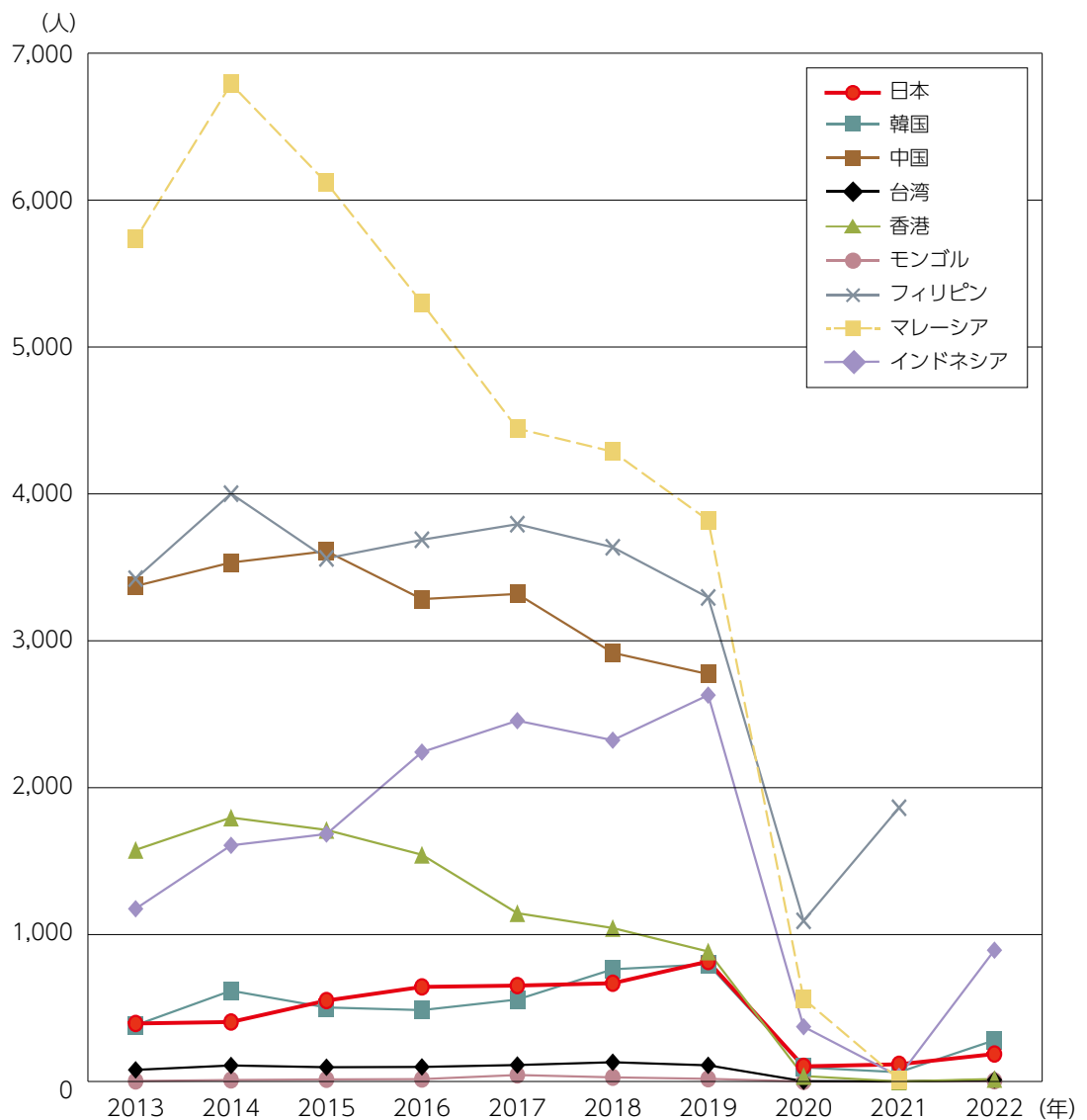
順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	サウジアラビア	TFN	568,564	574,350	510,900	99,854	239,947	574,350
2位	クウェート	VFN	247,687	231,964	230,247	42,578	22,674	247,687
3位	アラブ首長国連邦	VFN	227,424	213,116	214,284	54,005	—	227,424
4位	トルコ	TFN	59,429	77,065	90,284	17,852	62,726	90,284
5位	イラン	VFN	90,643	78,592	81,102	12,511	6,885	90,643
6位	オマーン	VFR	—	42,131	45,571	11,288	8,469	45,571
7位	英国	VFR	37,451	36,151	41,763	—	9,609	41,763
8位	ヨルダン	TFN	25,407	24,624	33,260	7,232	13,341	33,260
9位	エジプト	VFN	29,215	31,680	29,673	11,200	—	31,680
10位	カタール	VFN	68,360	19,595	22,378	5,229	9,543	68,360
11位	シリア	VFN	7,714	8,841	22,120	5,025	7,462	22,120
12位	インド	VFN	16,764	13,915	15,128	3,429	1,727	16,764
13位	米国	TFR	9,391	9,914	9,315	1,695	4,191	9,914
14位	レバノン	TFN	8,756	7,956	8,653	1,670	4,199	8,756
15位	アゼルバイジャン	VFR	5,626	11,392	8,059	1,746	1,368	11,392
16位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	8,150	7,084	7,602	645	9,081	9,081
17位	スイス	THSR	7,001	7,008	7,575	656	1,809	7,575
18位	モロッコ	TFN	4,081	4,717	5,508	1,305	2,801	5,508
19位	ジョージア	VFR	3,601	3,511	3,981	382	1,015	3,981
20位	マレーシア	TFN	4,446	4,289	3,822	563	13	4,446
21位	フィリピン	TFR	3,795	3,638	3,296	1,094	1,864	3,795
	中国	VFN	3,320	2,919	2,774	—	—	3,320
	スリランカ	TFR	3,296	2,858	2,285	549	128	3,296
	イタリア	TFN	13,956	2,258	1,888	849	1,985	13,956
	日本	VFN	653	669	817	103	117	817

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）  
 F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）  
 R（居住地別統計）、N（国籍別統計）



- 注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。
- 注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。
- 注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。  
但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。
- 注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。
- 注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。
- 注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。
- 出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(3) アジア各国・地域へのバーレーン人訪問者数の推移 (2013年～2022年)



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
マレーシア	TFN	5,737	6,793	6,120	5,302	4,446	4,289	3,822	563	13	
フィリピン	TFR	3,424	4,003	3,562	3,689	3,795	3,638	3,296	1,094	1,864	
中国	VFN	3,374	3,534	3,611	3,285	3,320	2,919	2,774			
インドネシア	VFN	1,176	1,608	1,685	2,243	2,457	2,324	2,631	373	35	894
香港	TFR	1,577	1,797	1,713	1,544	1,146	1,045	885	37	0	17
日本	VFN	395	405	551	644	653	669	817	103	117	187
韓国	VFN	383	618	504	486	558	764	798	96	63	281
台湾	VFR	79	109	97	99	112	131	110	2	0	11
モンゴル	TFN	3	10	14	16	44	28	18	0	0	4
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
カンボジア	TFR										
タイ	TFN										
ミャンマー	TFN										
シンガポール	VFR										

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

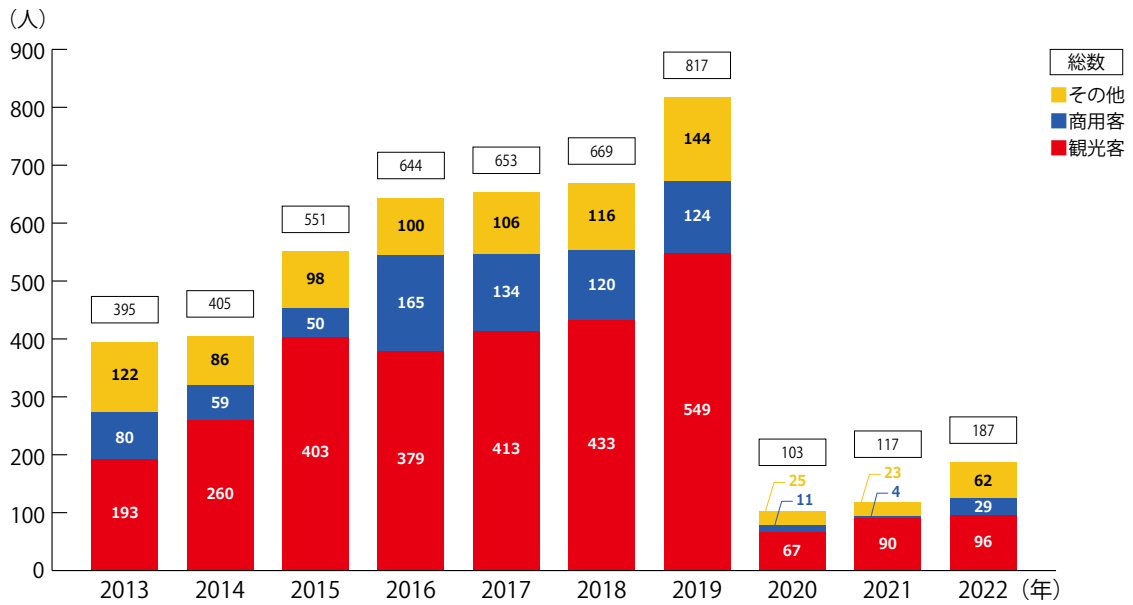
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

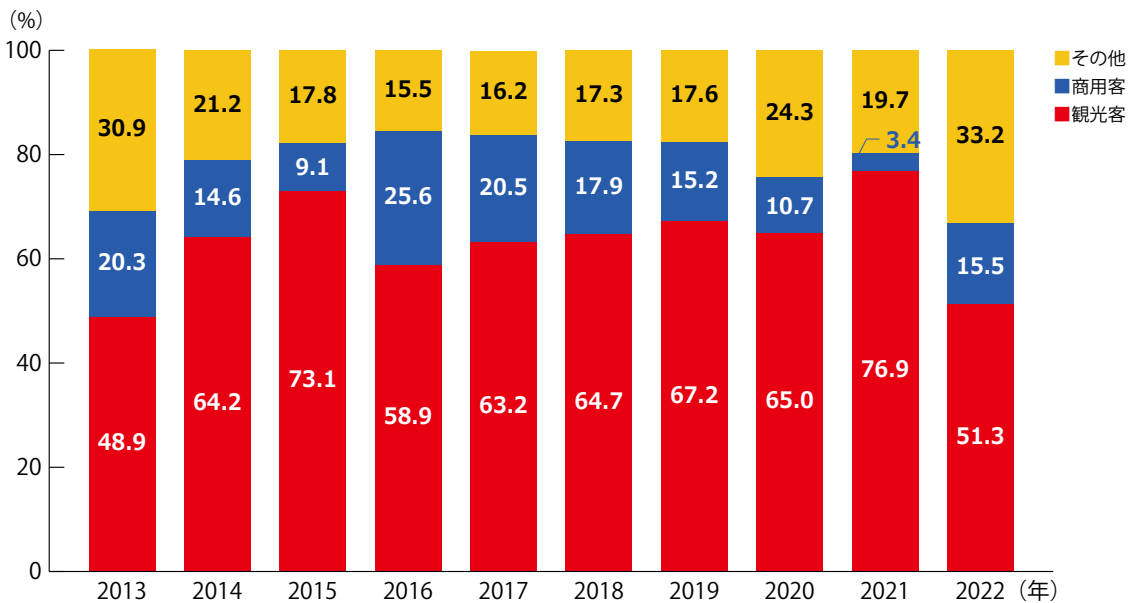
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日バーレーン人の推移（2013年～2022年）



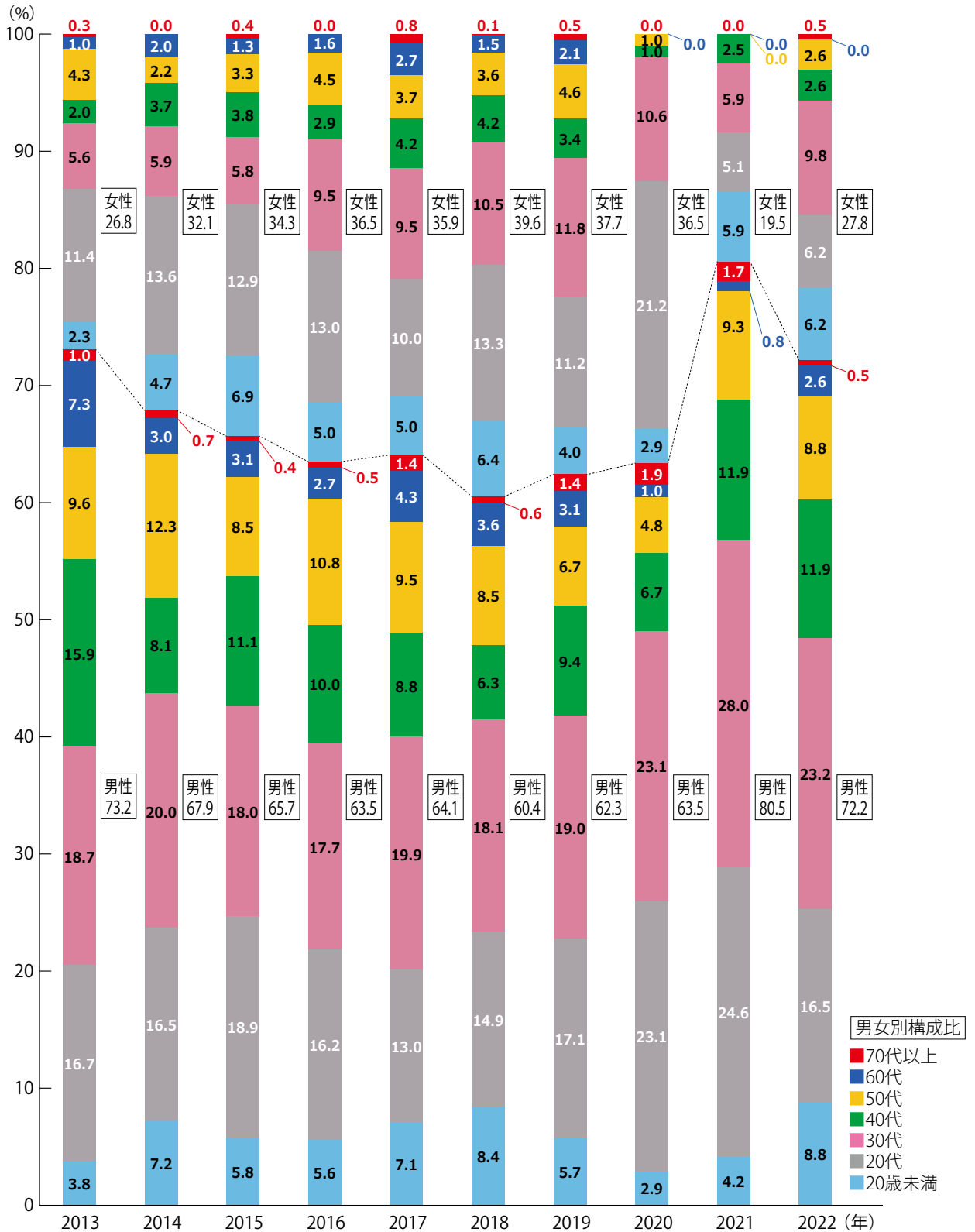
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日バーレーン人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

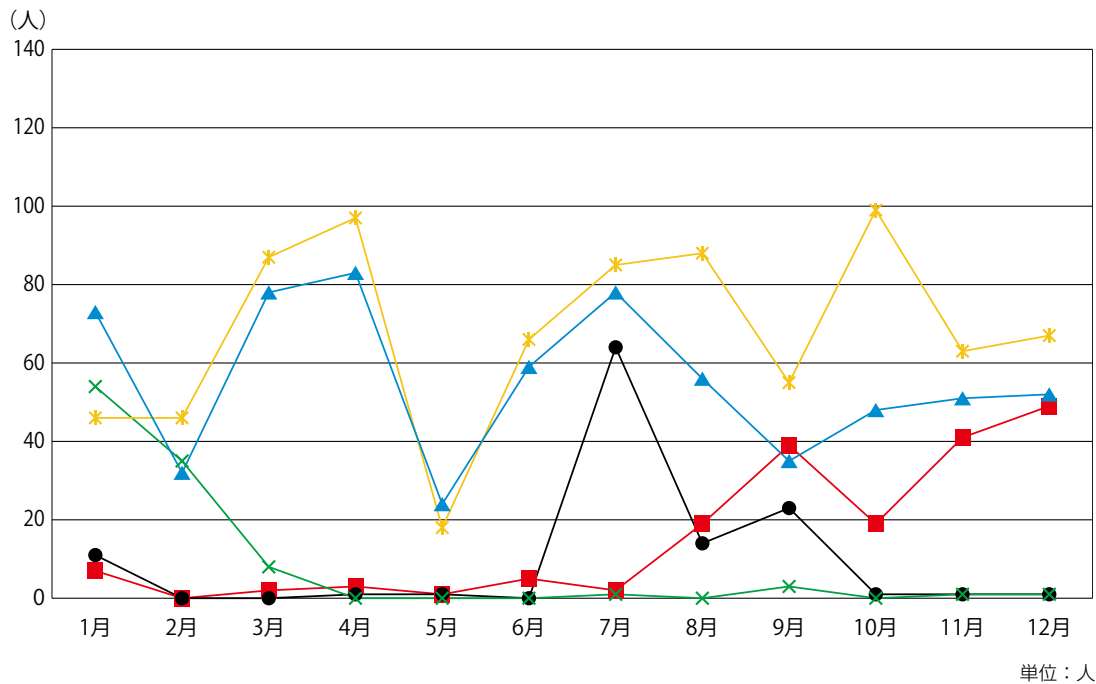
(3) 訪日バーレーン人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

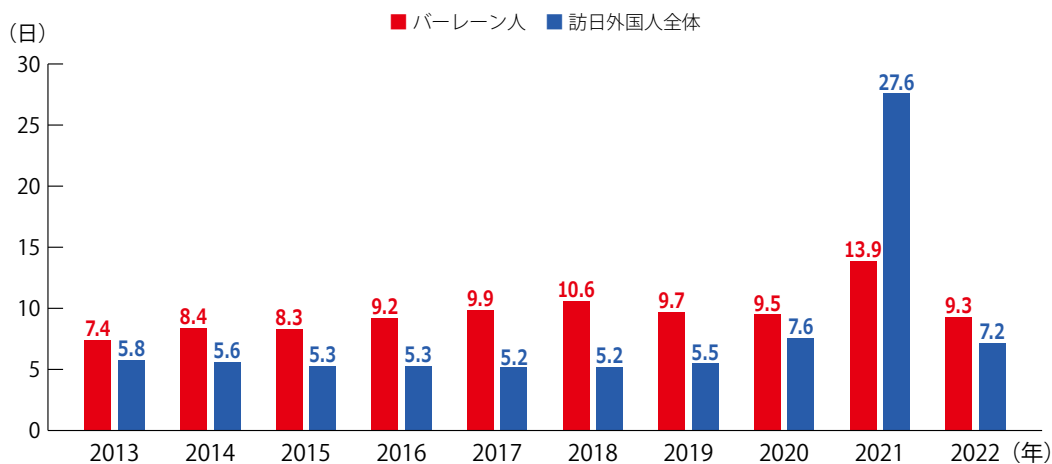
#### (4) 月別訪日バーレーン人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	7	0	2	3	1	5	2	19	39	19	41	49
● 2021年	11	0	0	1	1	0	64	14	23	1	1	1
× 2020年	54	35	8	0	0	0	1	0	3	0	1	1
✱ 2019年	46	46	87	97	18	66	85	88	55	99	63	67
▲ 2018年	73	32	78	83	24	59	78	56	35	48	51	52

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日バーレーン人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めた。特にバーレーン人入国者は、2021年にその傾向が見られ、2021年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# オマーン

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

オマーン国籍の保有者はアラブ人が多数派である。

国民はアラブ系・非アラブ系の複数の部族で構成されている。

オマーンには、就労目的による外国人が多く居住している。2020年時点で、オマーンの総人口のうち、オマーン国籍の保有者は53.5%、外国籍の保有者は46.5%を占めている。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国際連合（2020年）

### (2) 宗教別構成

イスラム教（イバード派が主流）

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

アラビア語が公用語

オマーン南部に居住する複数の少数民族の間では、シャフラ語も話されている。

英語も広く通用する。

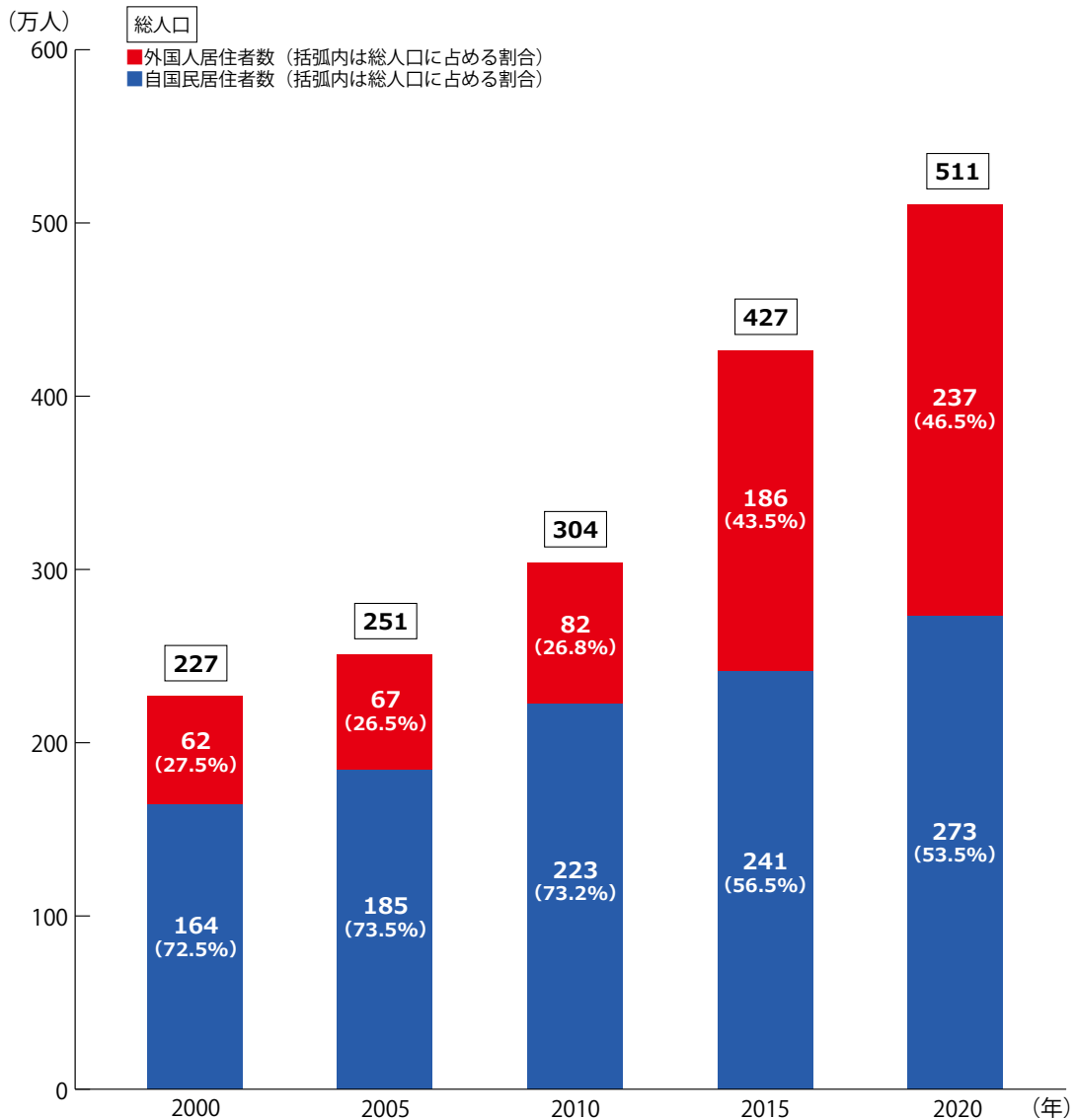
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

30万9,980km<sup>2</sup>（日本の82%強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

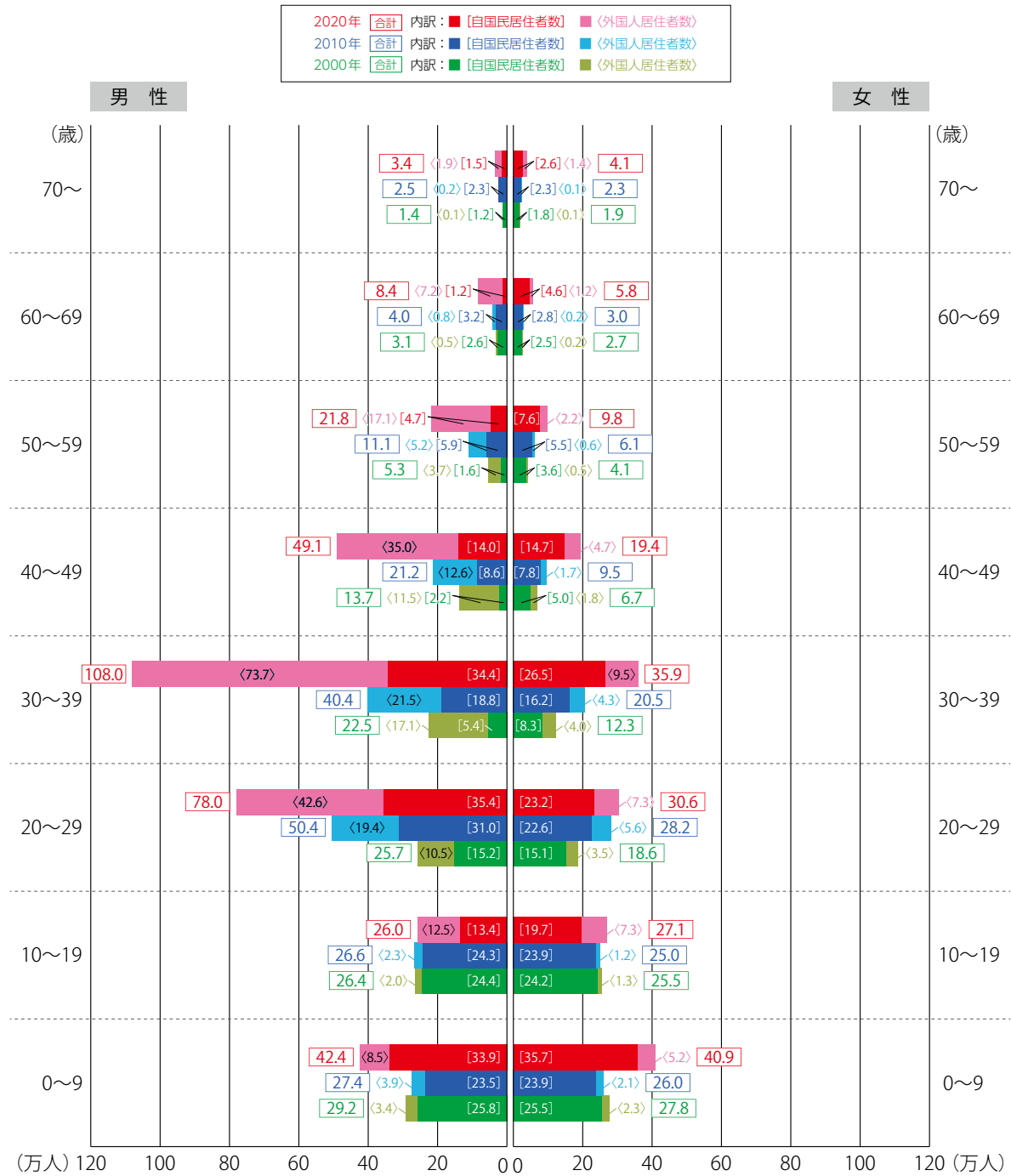
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者を含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：オマーンの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成



## (7) 都市別人口

都市名	人口(人)	20	40	60	80	100	120 (万人)
マスカット (特別行政区)	1,086,293	[Bar chart showing population of Muscat Special Administrative Region]					
サララ	294,072	[Bar chart showing population of Salala]					
ソハール	220,960	[Bar chart showing population of Sohar]					

注1：上の数値は、2021年の推計値である。

注2：外国人居住者が上の数値に含まれている。

注3：上記表では、マスカット特別行政区を構成する6地区のうち、4地区（マスカット、ムトラ、パウシャル、スィーブ）の人口を、マスカット特別行政区の人口としてまとめて記載した。他の2地区（アルアームラート、クライヤート）の人口は不明であるため、当該人口には計上していない。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
※預言者昇天祭	2月19日（日）	2月9日（金）	
※イード・アル・フィトル（ラマダン明け大祭）	4月20日（木）～ 4月24日（月）	4月10日（水）～ 4月13日（土）	
※イード・アル・アドハー（犠牲祭）	6月27日（火）～ 7月1日（土）	6月16日（日）～ 6月20日（木）	2023年7月2日、7月3日は振替休日
※イスラム暦新年	7月20日（木）	7月7日（日）	
※預言者生誕祭	9月27日（水）	9月15日（日）	
ナショナル・デー（カブース前国王誕生日）	11月18日（土）～ 11月19日（日）	11月18日（月）～ 11月19日（火）	2023年11月20日は振替休日

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：イード・アル・フィトル、イード・アル・アドハの初日が金曜日である場合や、その他の祝日が金曜日、土曜日と重なった場合には、振替休日が設けられる。

注3：ナショナル・デーは別の日に振り替えられる可能性がある。

注4：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：オマーン政府広報、駐日オマーン大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
基礎教育学校	6歳～16歳 (10年間)	春期休暇	3月下旬の約1週間
		夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約2週間
中等学校	16歳～18歳 (2年間)	春期休暇	3月下旬の約1週間
		夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約2週間
大学	18歳～22歳 (4年間)	春期休暇	3月下旬の約10日間
		夏期休暇	6月中旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	12月中旬～1月上旬の約2週間

学校年度	8月下旬～翌年7月中旬
義務教育	なし

出典：オマーン現地の諸情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	金曜日、土曜日	国王勅令	
有給休暇日数	30日以上	労働法 第61条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇の取得期間に祝祭日が含まれる場合、祝祭日も有給休暇消化の日数に算入する。</li> <li>・未取得の累積有給休暇は、翌年に繰越すか、払い戻さなければならない。</li> <li>・2年間に2週間以上の有給休暇を必ず消化しなければならない。</li> <li>・病欠、出産休暇、育児休暇と有給休暇は、明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	男性：60歳 女性：55歳	社会保険法 第77条	

出典：オマーン労働法、オマーン社会保険法

## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施していない。(志願制を実施)
兵役期間	該当せず
入隊対象性別	該当せず
入隊対象年齢	該当せず

出典：日本国外務省、米国中央情報局 (CIA)

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	56.8
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	52.7
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	39.2
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	32.4
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	9.5
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	1.4
ワッツアップ (WhatsApp)	メッセージングアプリ	メッセージ・音声・画像・ 動画などの交換	1.4

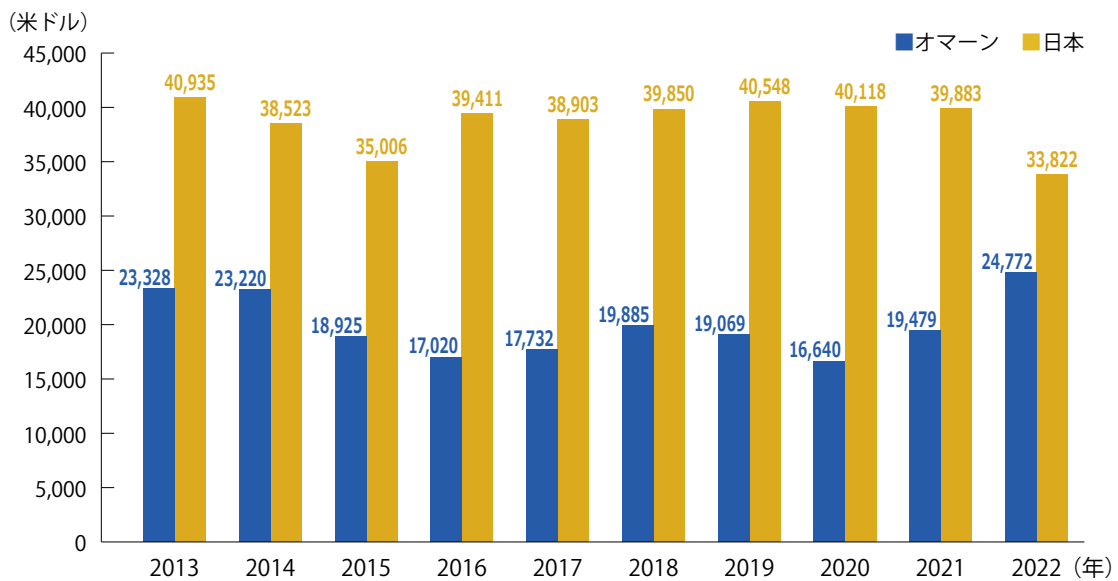
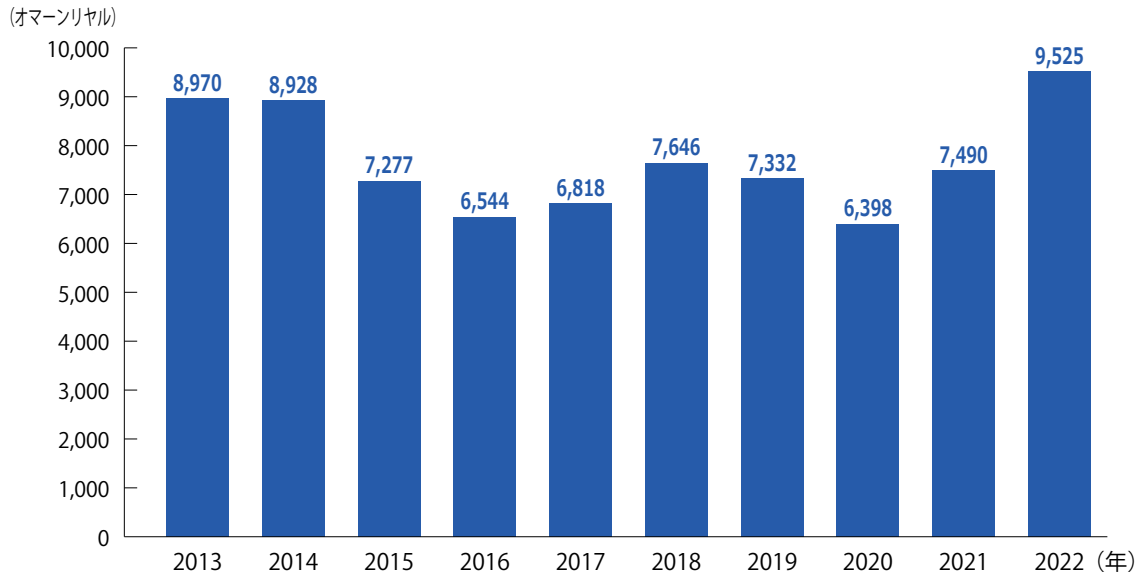
注1：本調査は、当該市場の74人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

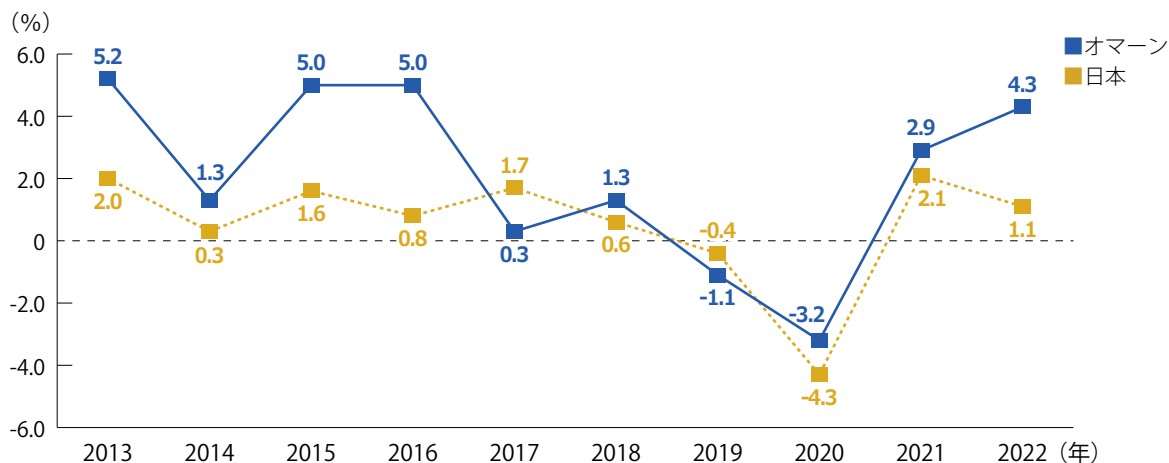
出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



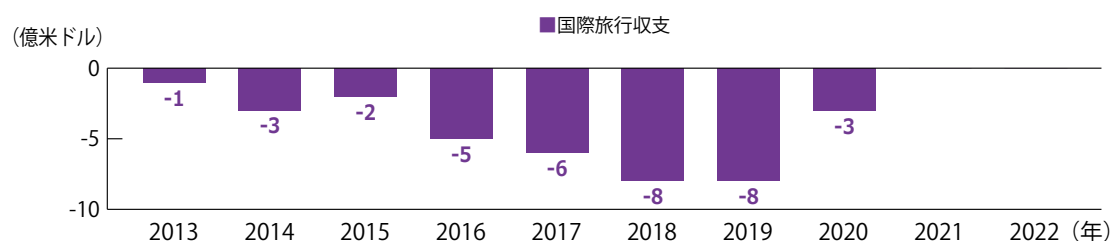
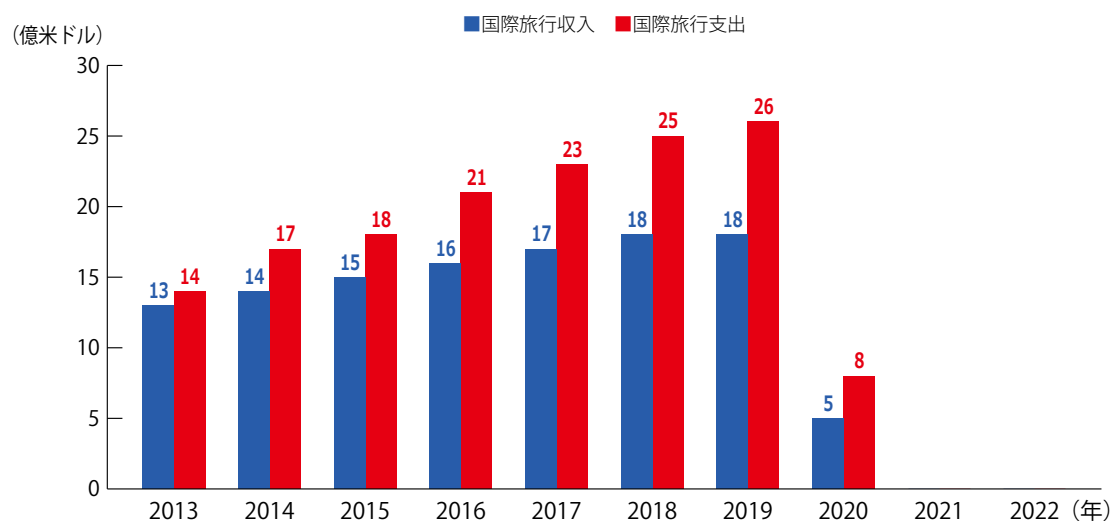
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



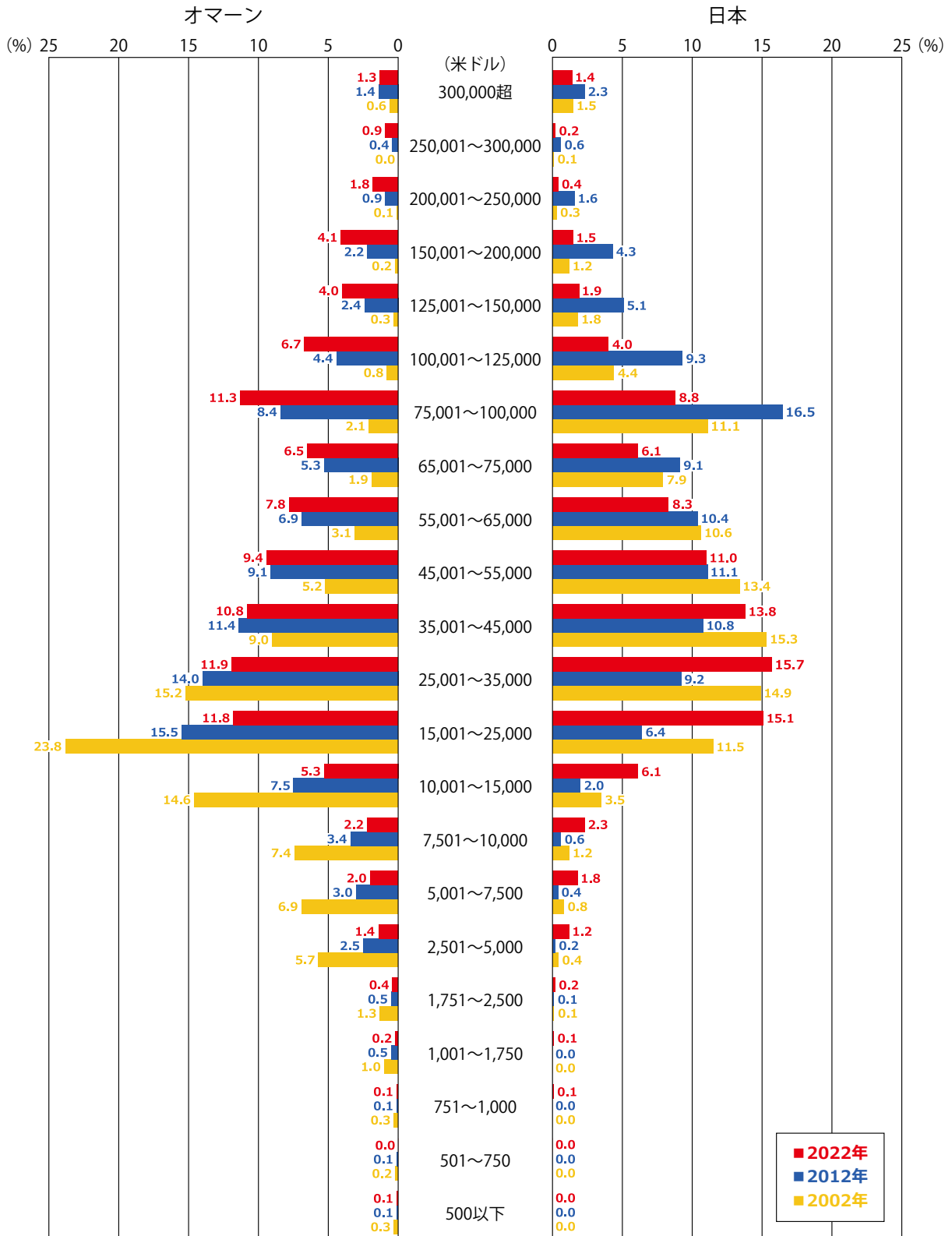
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



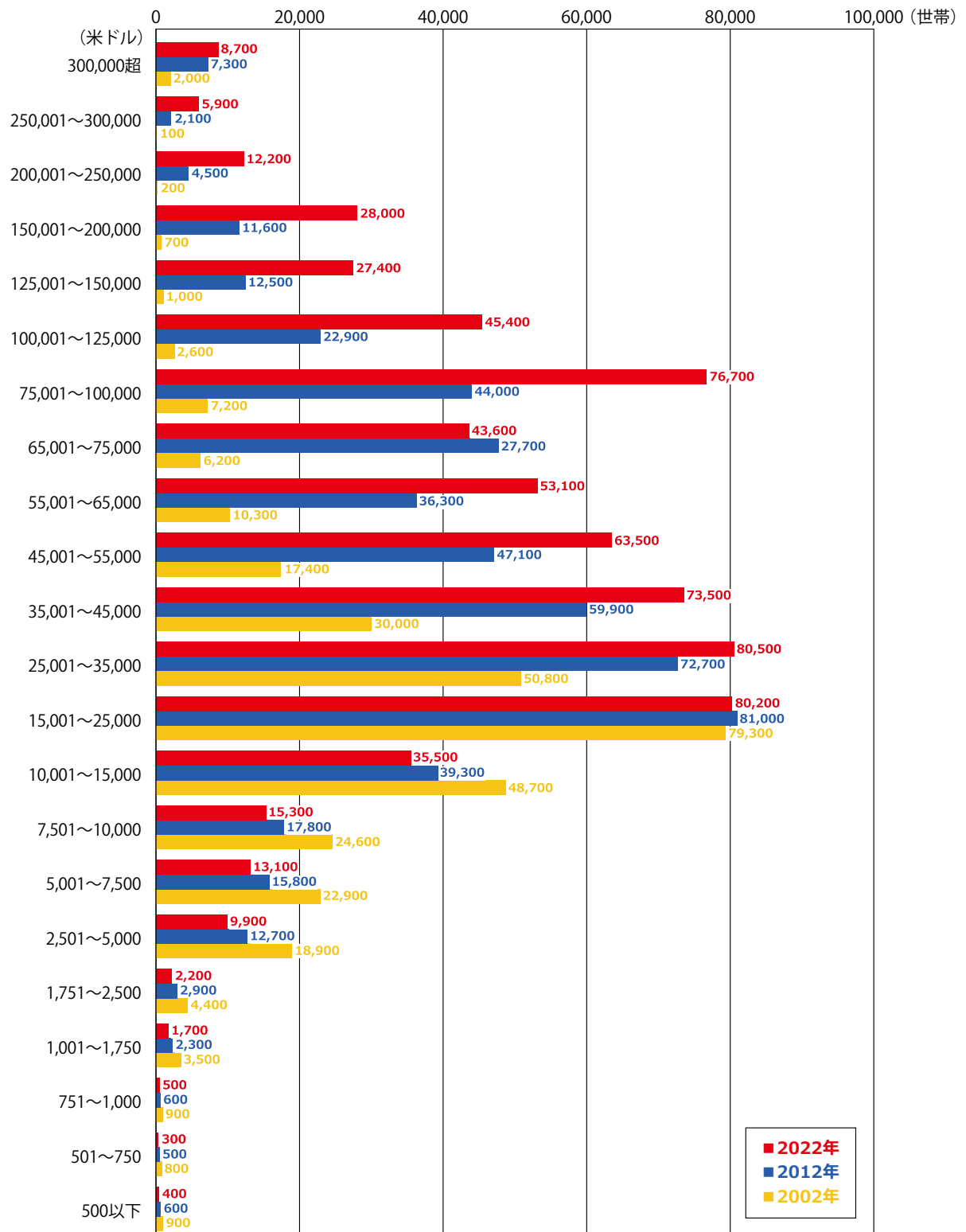
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行収入と国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

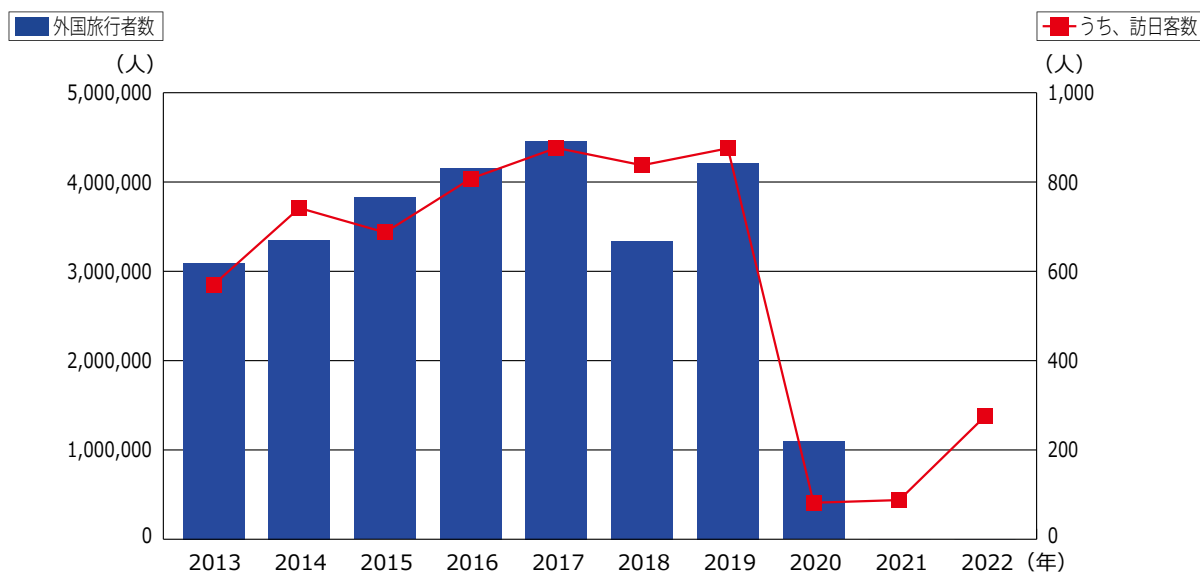
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向

#### (1) オマーン人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



外国人旅行者数(左目盛)	3,103,000	3,358,000	3,838,000	4,167,000	4,473,000	3,350,000	4,224,000	1,098,000		
うち、訪日客数(右目盛)	572	744	689	810	879	840	878	82	88	276
訪日率(%)	0.018	0.022	0.018	0.019	0.020	0.025	0.021	0.007		

注：オマーン人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれていない。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域へのオマーン人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の最大値
1位	アラブ首長国連邦	VFN	4,017,275	4,526,895	5,862,816	1,322,664		5,862,816
2位	サウジアラビア	TFN	195,156	184,657	260,550	100,789	70,146	260,550
3位	バーレーン	VFR		91,218	108,279		32,198	108,279
4位	トルコ	TFN	25,231	53,219	88,374	14,294	61,056	88,374
5位	イラン	VFN	25,933	26,098	86,119	22,270	31,018	86,119
6位	インド	VFN	107,217	95,160	74,564	15,430	10,174	107,217
7位	カタール	VFN	74,526	55,231	66,697	17,351	28,985	74,526
8位	英国	VFR	49,886	37,002	39,829		3,503	49,886
9位	クウェート	VFN	29,205	42,603	32,093	10,935	4,691	42,603
10位	インドネシア	VFN	18,615	25,704	24,051	3,612	89	25,704
11位	マレーシア	TFN	16,282	22,295	23,911	3,264	113	23,911
12位	エジプト	VFN	17,279	16,801	18,327	5,040		18,327
13位	アゼルバイジャン	VFR	22,735	24,413	18,205	2,441	909	24,413
14位	タンザニア	VFR	13,426	15,277	12,982	4,087	6,323	15,277
15位	ヨルダン	TFN	16,234	13,773	12,829	3,273	4,447	16,234
16位	スイス	THSR	12,661	10,986	12,770	1,534	1,778	12,770
17位	米国	TFR	10,745	11,747	11,564	3,859	4,839	11,747
18位	モロッコ	TFN	7,865	9,316	10,722	2,284	3,682	10,722
19位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	14,052	11,397	9,869	746	6,855	14,052
20位	中国	VFN	8,875	7,863	7,568			8,875
21位	スリランカ	TFR	8,343	6,846	4,117	1,045	246	8,343
22位	イタリア	TFN	3,197	4,631	4,042	1,377	788	4,631
23位	レバノン	TFN	4,521	4,301	3,969	405	709	4,521
24位	ジョージア	VFR	10,435	4,968	3,452	361	854	10,435
25位	豪州	VFR	3,640	2,978	3,218	807	95	3,640
	日本	VFN	879	840	878	82	88	879
	ウクライナ	TFR	573	780	544	98	4,243	4,243

## ▶ 前ページから

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

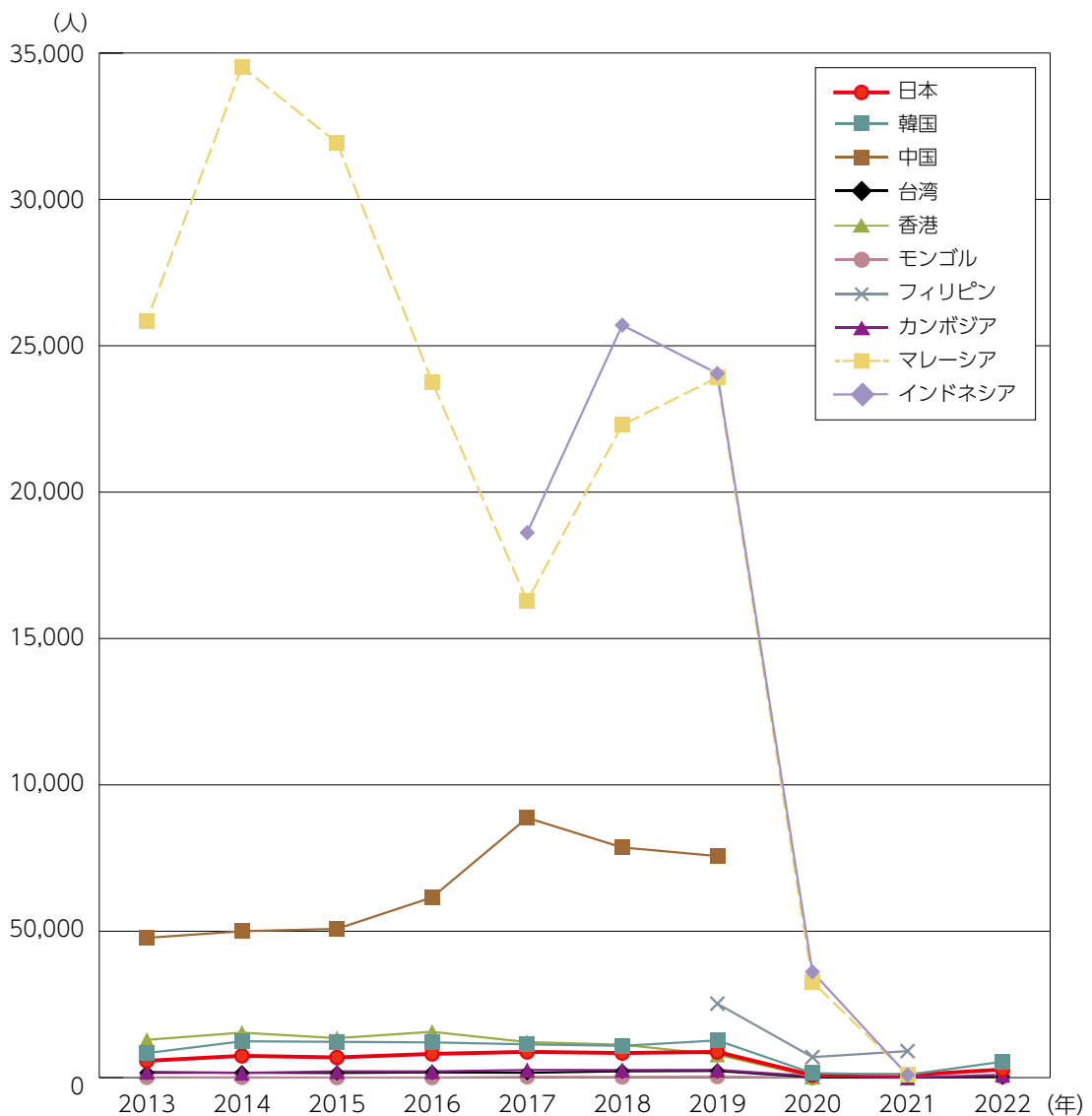
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準に $T > V$ 、 $F > CE > HS$ 、 $N > R$ という優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



### (3) アジア各国・地域へのオマーン人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

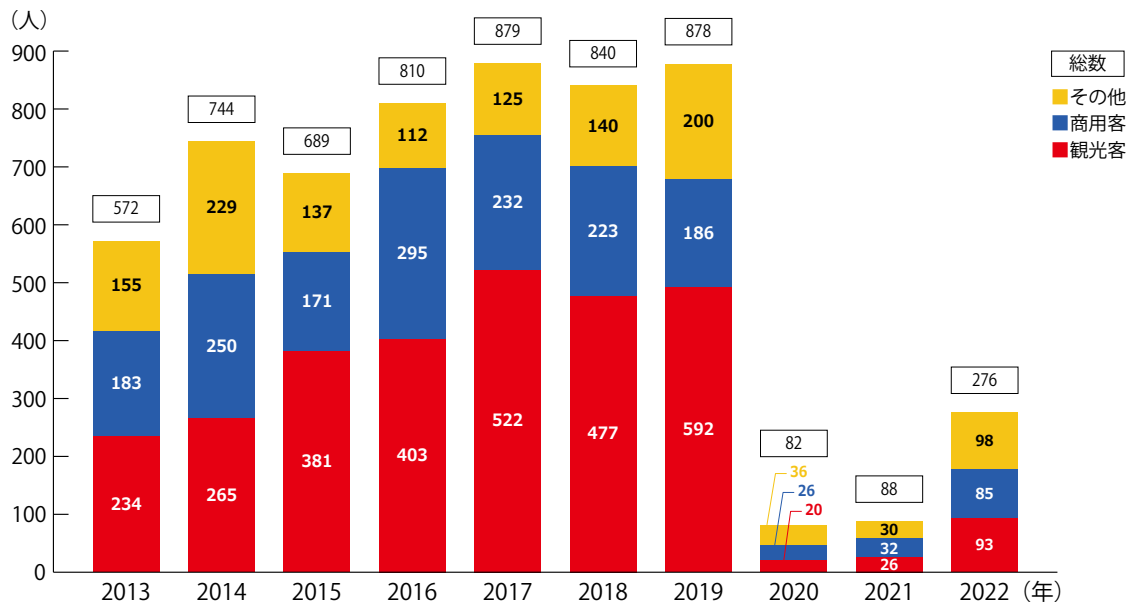
↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
インドネシア	VFN					18,615	25,704	24,051	3,612	89	
マレーシア	TFN	25,849	34,534	31,934	23,770	16,282	22,295	23,911	3,264	113	
中国	VFN	4,773	5,001	5,081	6,156	8,875	7,863	7,568			
フィリピン	TFR							2,526	700	905	
韓国	VFN	836	1,241	1,222	1,203	1,137	1,085	1,271	154	97	544
日本	VFN	572	744	689	810	879	840	878	82	88	276
香港	VFR	1,291	1,536	1,349	1,565	1,213	1,125	786	27		
カンボジア	TFR	199	160	214	212	261	259	265	51	2	96
台湾	VFR	167	169	159	179	165	216	228	12	4	24
モンゴル	TFN	9	9	4	2	28	25	39	1	1	18
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
タイ	TFN										
ミャンマー	TFN										
シンガポール	VFR										

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

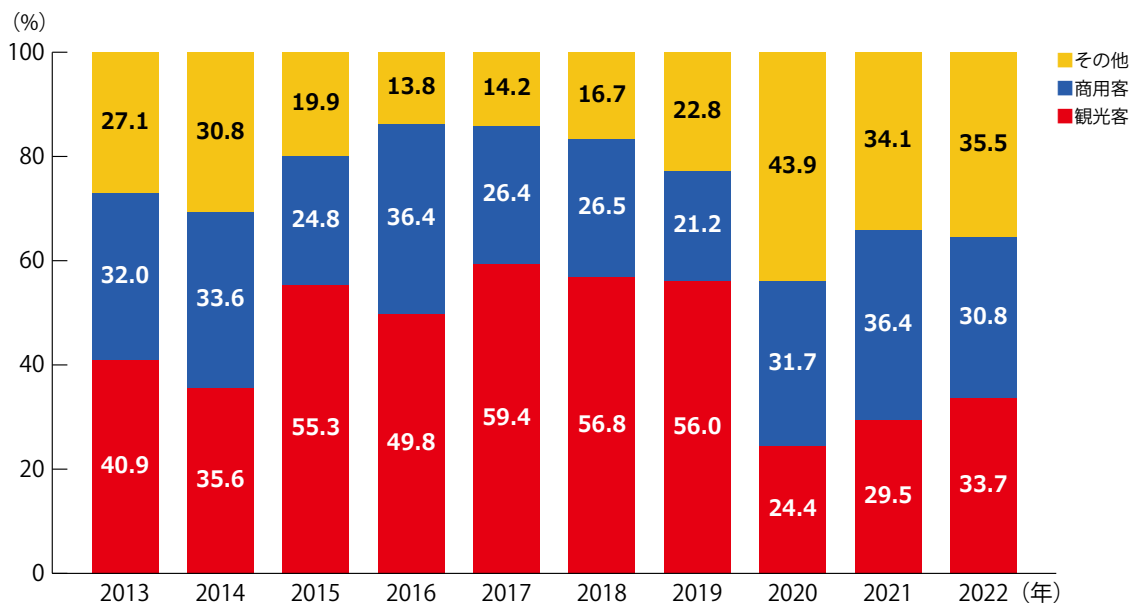
第4章 訪日旅行の動向

(1) 訪日オマーン人の推移 (2013年～2022年)



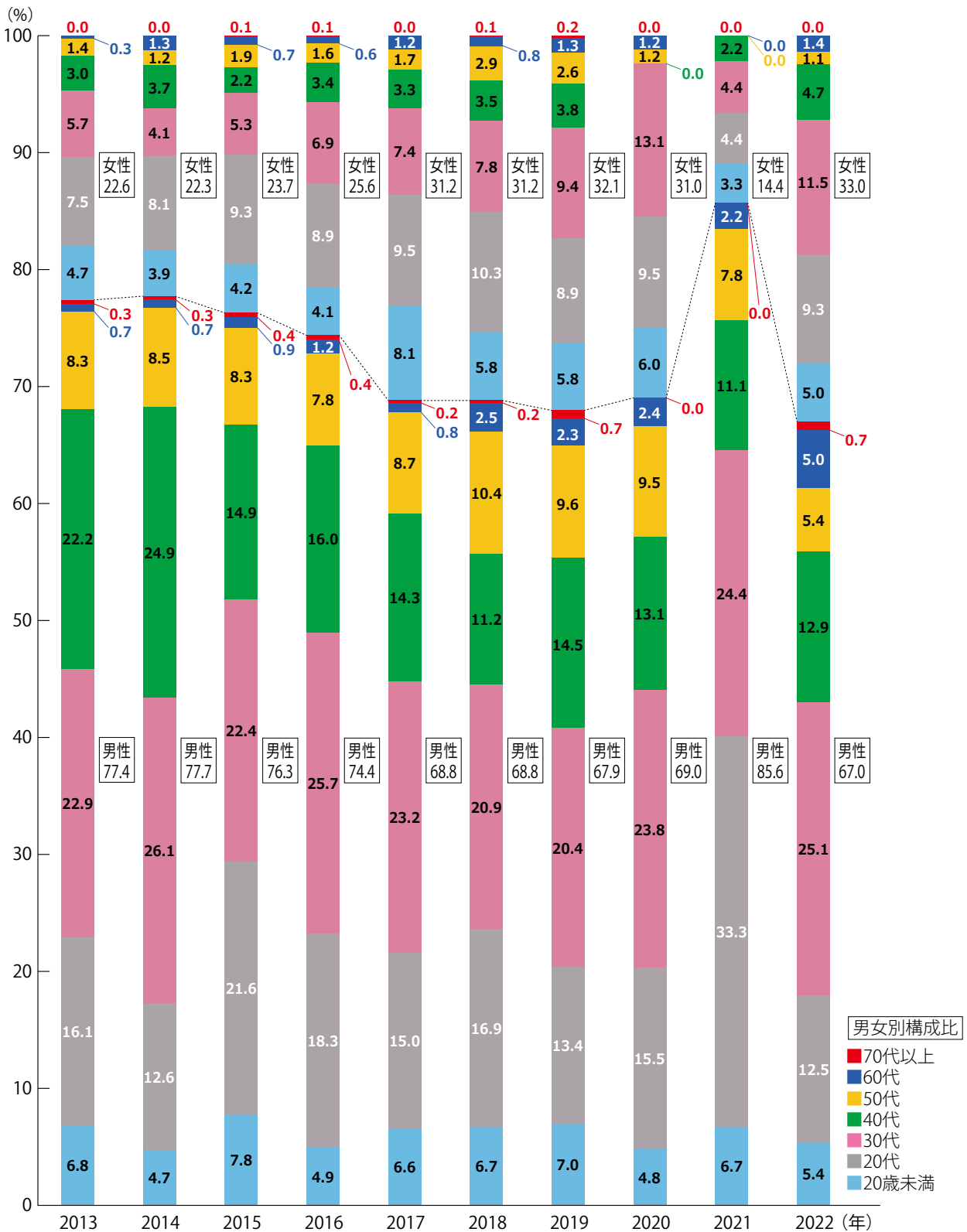
出典：日本政府観光局 (JNTO)

(2) 訪日オマーン人の目的別シェアの推移 (2013年～2022年)



出典：日本政府観光局 (JNTO)

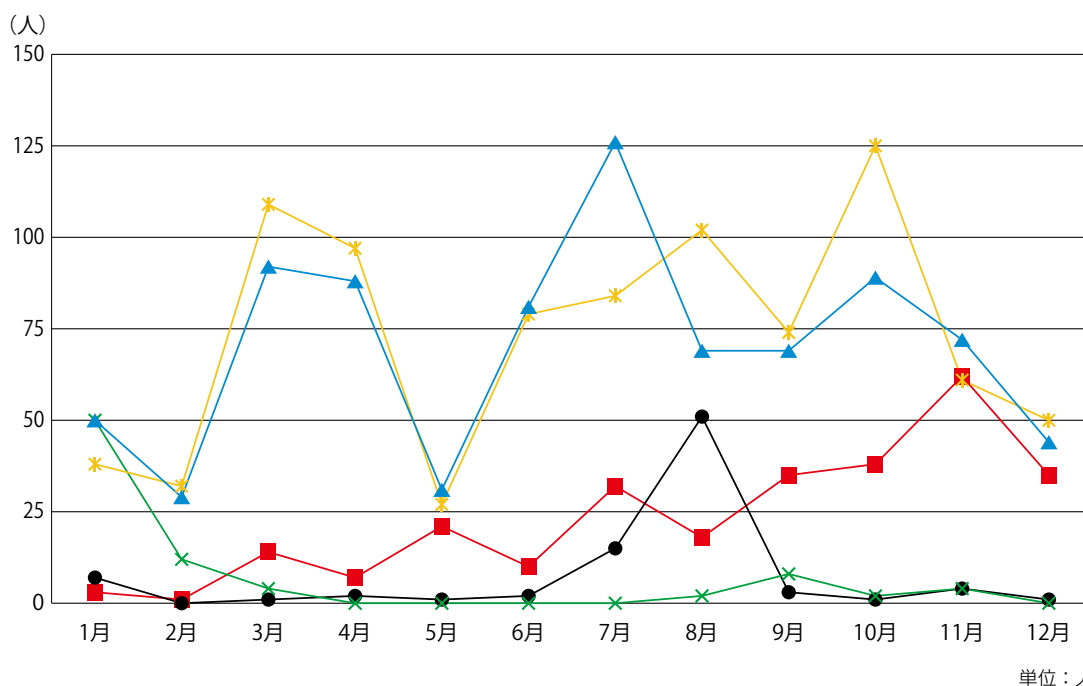
### (3) 訪日オマーン人の性・年齢別構成（2013年～2022年）



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

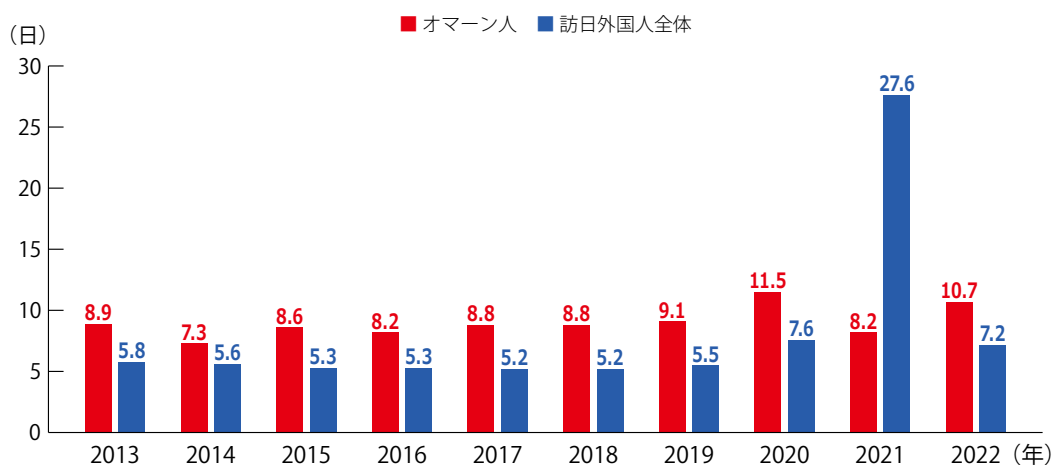
## (4) 月別訪日オマーン人の推移 (2018年～2022年)



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	3	1	14	7	21	10	32	18	35	38	62	35
● 2021年	7	0	1	2	1	2	15	51	3	1	4	1
× 2020年	50	12	4	0	0	0	0	2	8	2	4	0
✳ 2019年	38	32	109	97	27	79	84	102	74	125	61	50
▲ 2018年	50	29	92	88	31	81	126	69	69	89	72	44

出典：日本政府観光局 (JNTO)

## (5) 訪日オマーン人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)



# カタール

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

カタール国籍の保有者はアラブ人が中心を占める。

国民はアラブ系の二つの主要部族で構成されている。

カタールには、就労目的による外国人が多く居住している。2020年時点で、カタールの総人口のうち、カタール国籍の保有者は22.7%、外国籍の保有者は77.3%を占めている。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国際連合（2020年）

### (2) 宗教別構成

イスラム教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

アラビア語が公用語

英語も広く通用する。

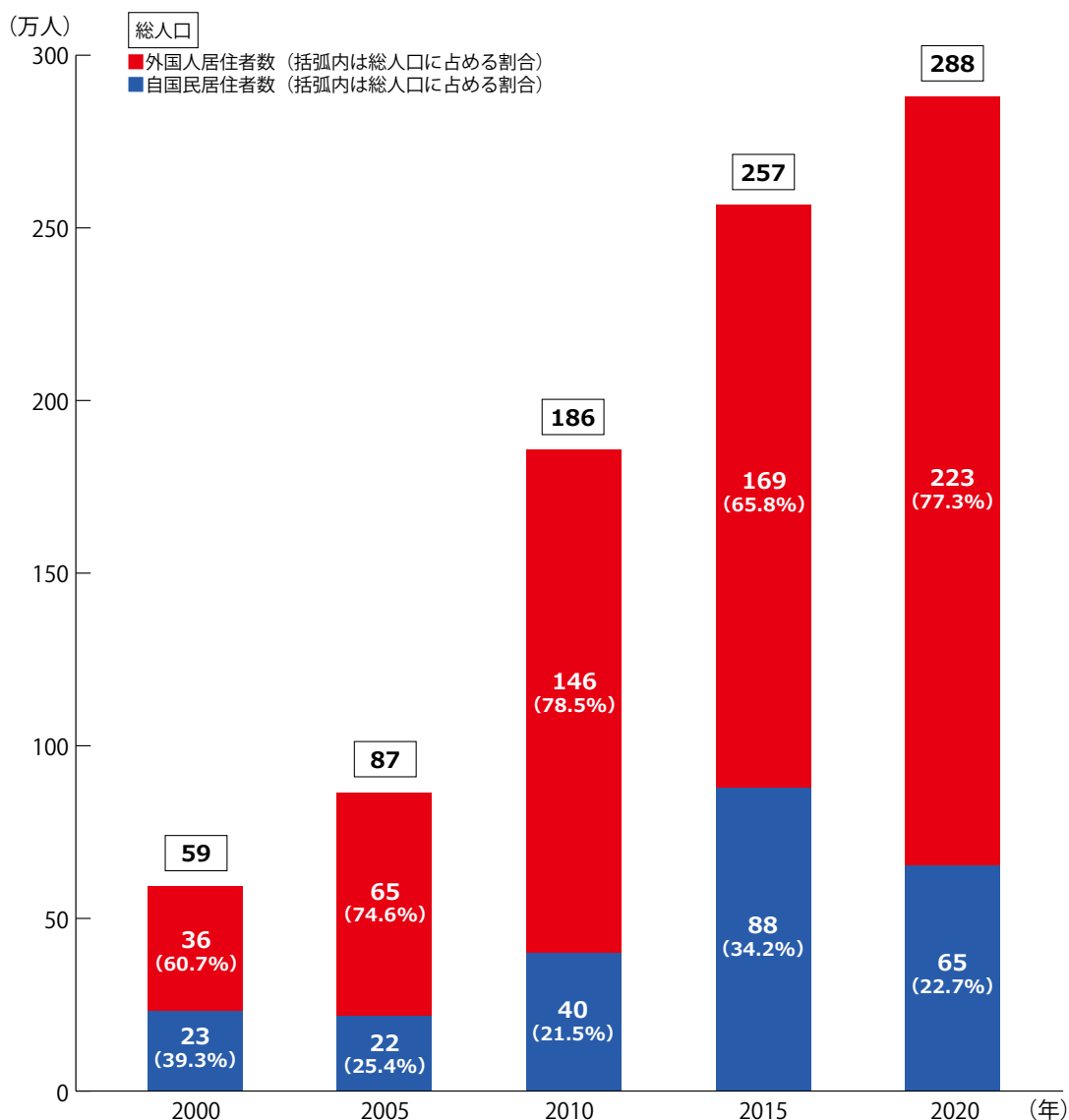
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

1万1,637km<sup>2</sup>（四国本島の64%弱）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

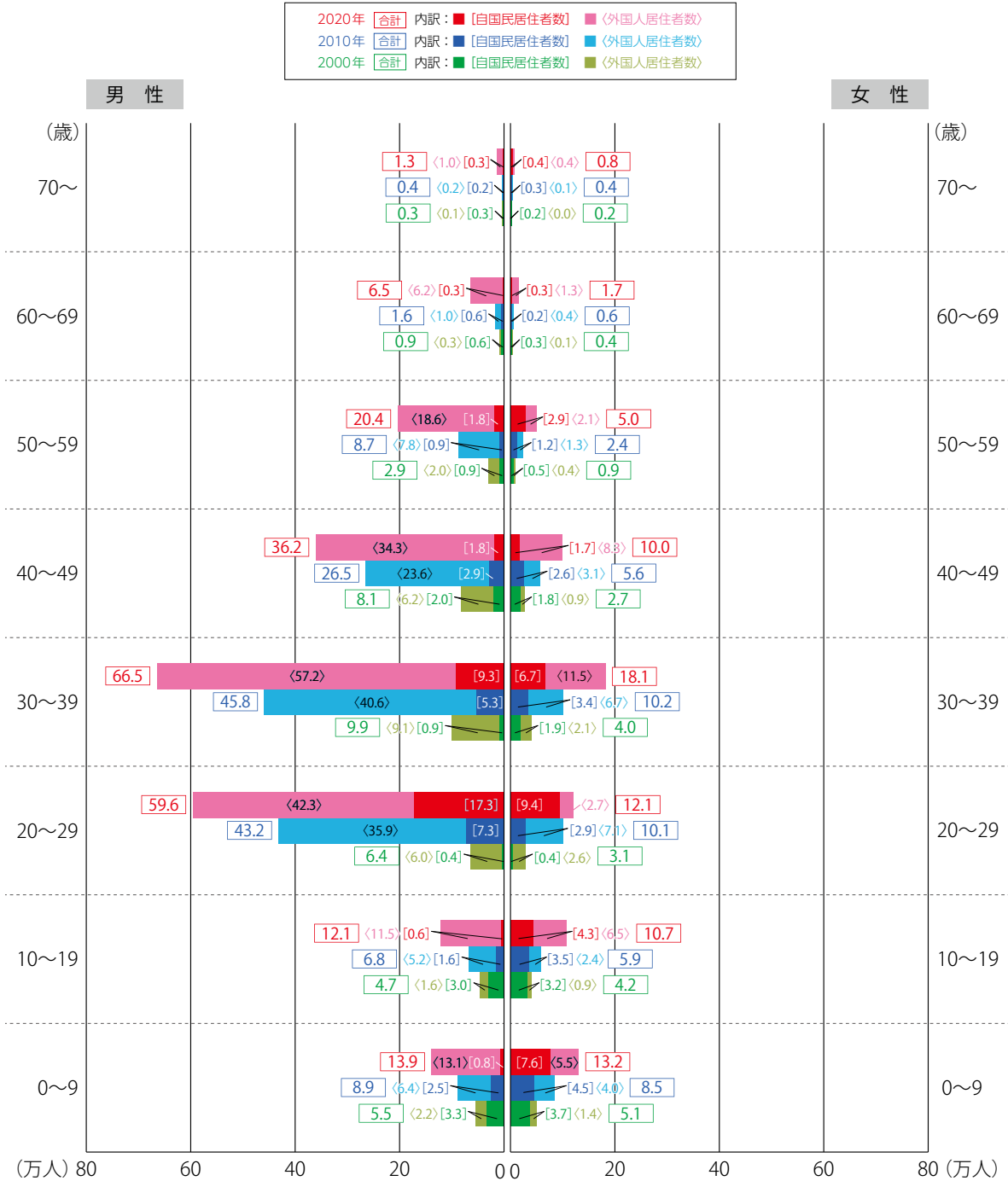
③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：カタールの外国人居住者は、注2の②に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2：外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

カタール

## (7) 都市別人口

都市名	人口(人)	20	40	60	80	100	120 (万人)
ドーハ	1,186,023	[Bar chart showing population of Doha at approximately 118.6% of the 100M scale]					
ライヤーン (ドーハ近郊)	826,786	[Bar chart showing population of Rayhan at approximately 82.7% of the 100M scale]					
ワクラ (ドーハ近郊)	265,102	[Bar chart showing population of Wakra at approximately 26.5% of the 100M scale]					
アルホール	140,453	[Bar chart showing population of Al Horayf at approximately 14.0% of the 100M scale]					

注1：上の数値は、2020年に実施された国勢調査の結果である。

注2：外国人居住者が上の数値に含まれている。

出典：国際連合（2021年）

## (8) 祝日（2023年～2024年）

祝日	2023年	2024年	備考
※ナショナル・スポーツデー（スポーツの日）	2月14日（火）	2月13日（火）	2月第2火曜日
※イード・アル・フィトル（ラマダン明け大祭）	4月23日（日）～ 4月26日（水）	4月10日（水）～ 4月13日（土）	
※イード・アル・アドハー（犠牲祭）	6月28日（水）～ 7月3日（月）	6月16日（土）～ 6月20日（火）	
ナショナル・デー（建国記念日）	12月18日（月）	12月18日（水）	

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：駐日カタール大使館等の情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～12歳 (6年間)	夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	11月中旬～12月中旬の約1か月
		春期休暇	3月中旬の約5日間
準備教育学校	12歳～15歳 (3年間)	夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	12月下旬の約10日間
		春期休暇	3月中旬の約5日間
後期中等教育学校	15歳～18歳 (3年間)	夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	12月下旬の約10日間
		春期休暇	3月中旬の約5日間
大学	18歳～22歳 (4年間)	夏期休暇	6月下旬～8月下旬の約2か月
		冬期休暇	12月上旬～12月末の約3週間
		春期休暇	3月末～4月中旬の約3週間

学校年度	8月下旬～翌年8月下旬
義務教育	初等学校（6年間）＋準備教育学校（3年間）＋後期中等教育学校（3年間）＝12年間

出典：カタール政府ウェブサイトの情報に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



(10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	金曜日	労働法 第75条	一般的に土曜日も休日である。
有給休暇日数	3週間以上 (勤続5年未満) 4週間以上 (勤続5年以上)	労働法 第79条	<ul style="list-style-type: none"> <li>・有給休暇は2回以上に分割できない。</li> <li>・未取得の有給休暇のうち、半分未満は翌年に繰越すことができるが、2年間に2週間以上の有給休暇を必ず消化しなければならない。</li> <li>・病欠、出産休暇、育児休暇と有給休暇は、明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	男性：60歳 女性：55歳	退職年金法 第11条	

出典：カタール労働法、カタール退職年金法

(11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	1年間 (但し、2018年の兵役法施行時点で、4か月以上公務員として働いていた者は4か月)
入隊対象性別	男性のみ召集 2018年から、女性も志願すれば入隊が可能になった。
入隊対象年齢	18歳～35歳

出典：日本国外務省、米国中央情報局 (CIA)

(12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	16.9
ネットフリックス (Netflix)	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメ などを配信	8.4
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	8.4
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	3.6
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	3.6
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	2.4
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	1.2

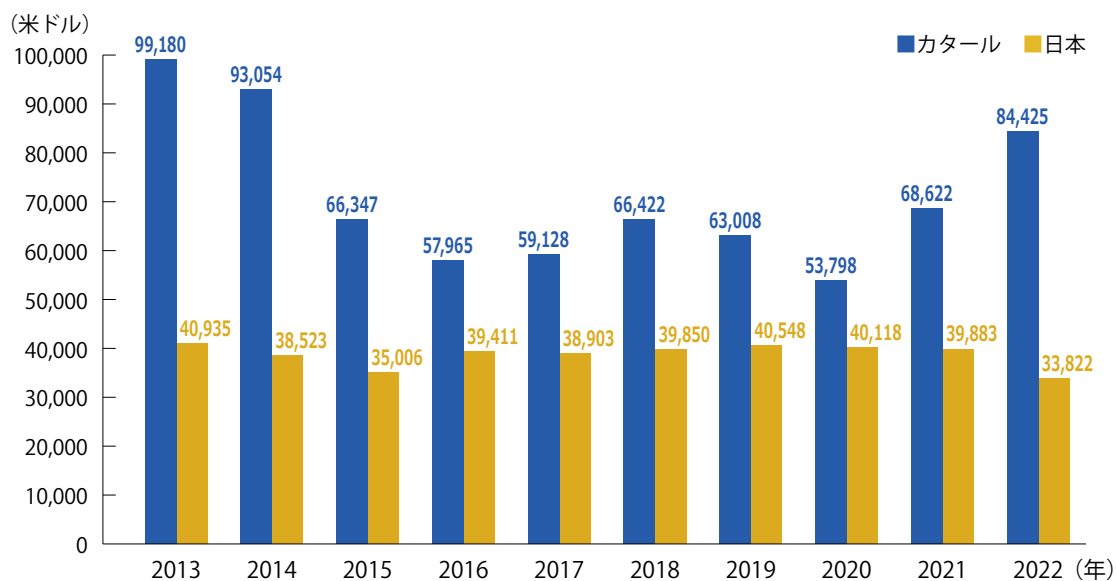
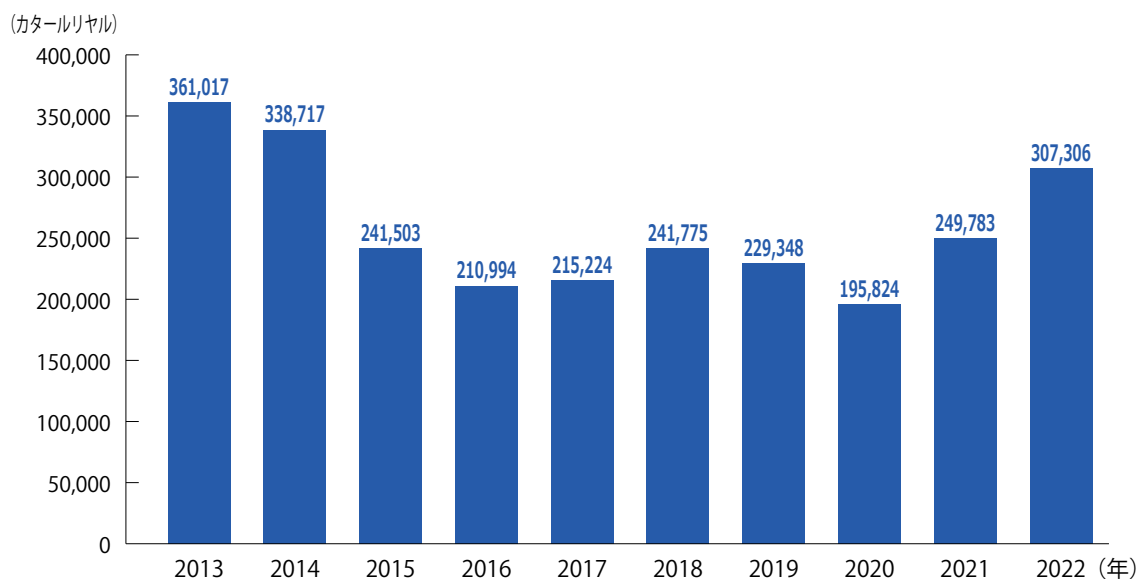
注1：本調査は、当該市場の83人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局 (JNTO) 「22市場基礎調査」

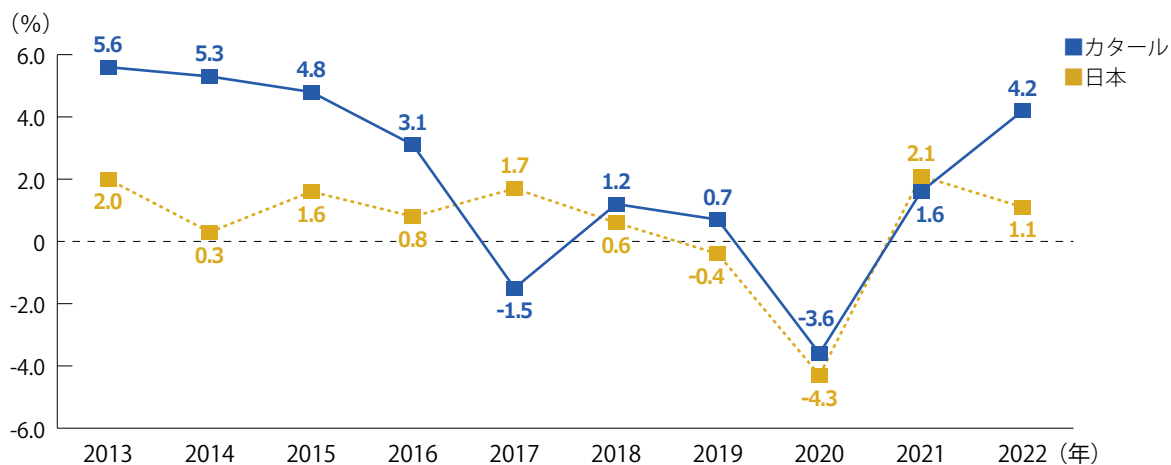
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

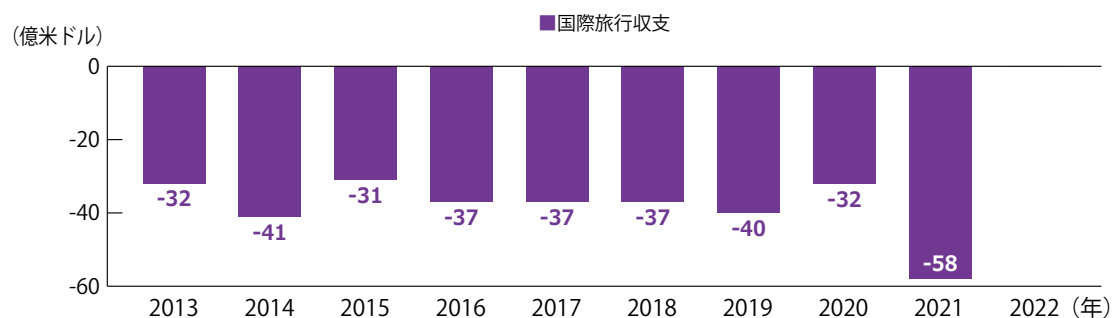
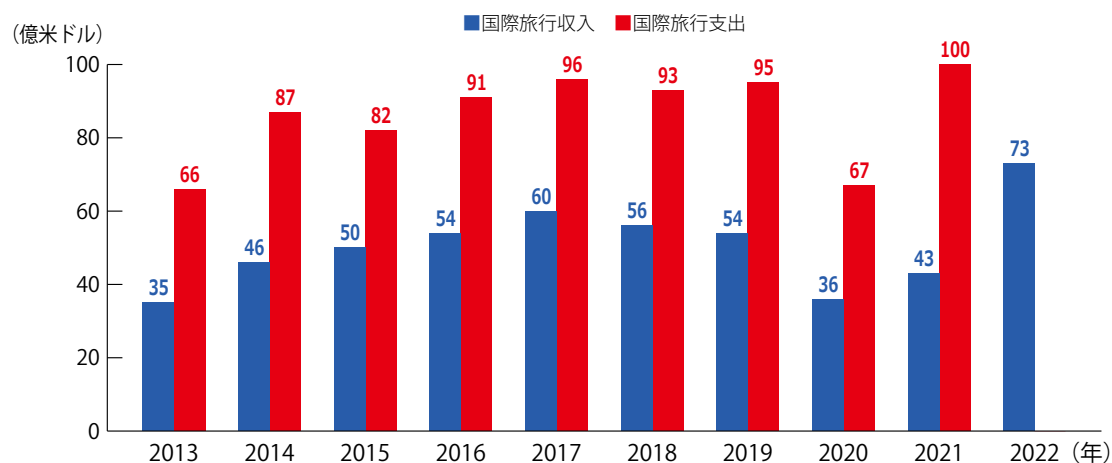
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



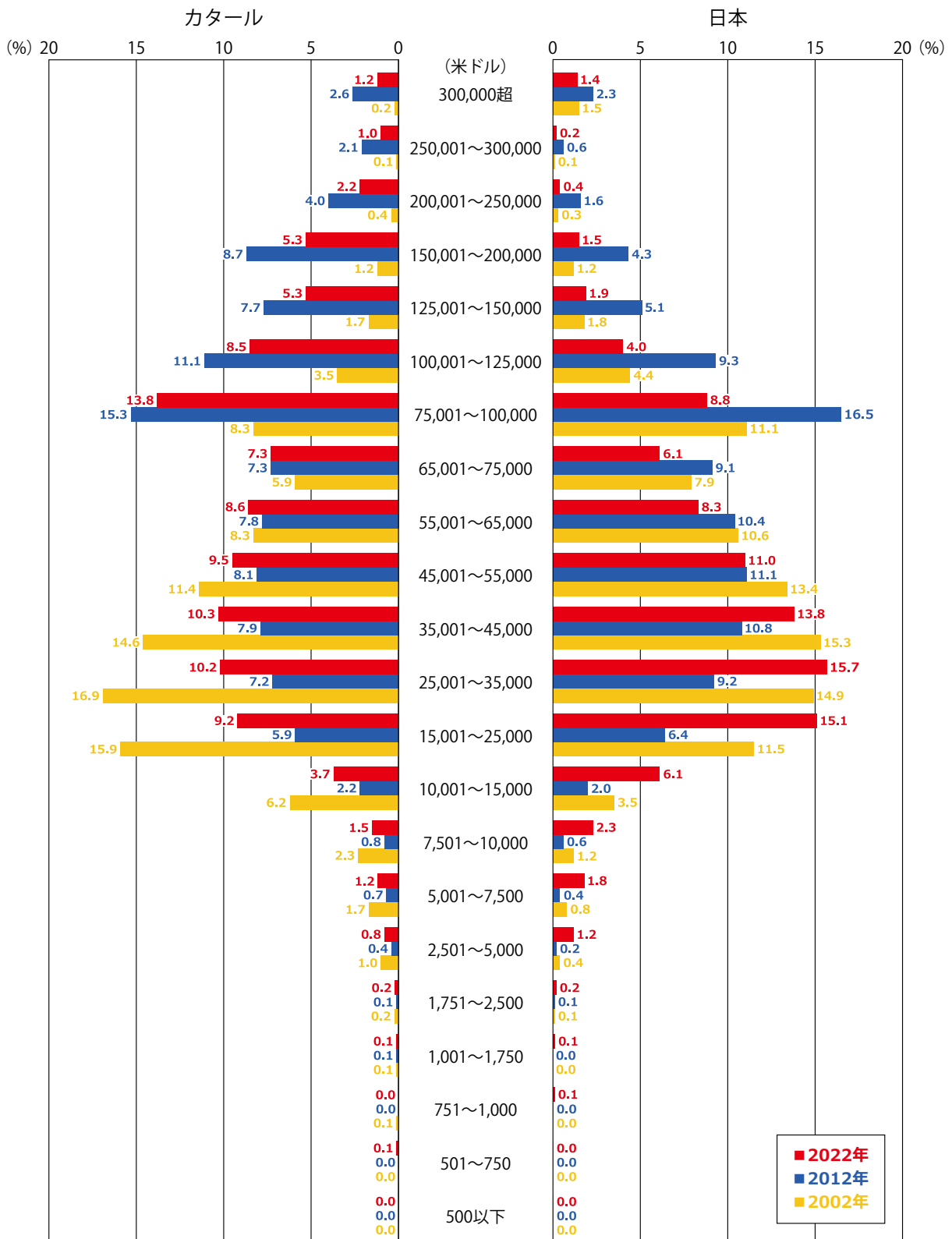
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



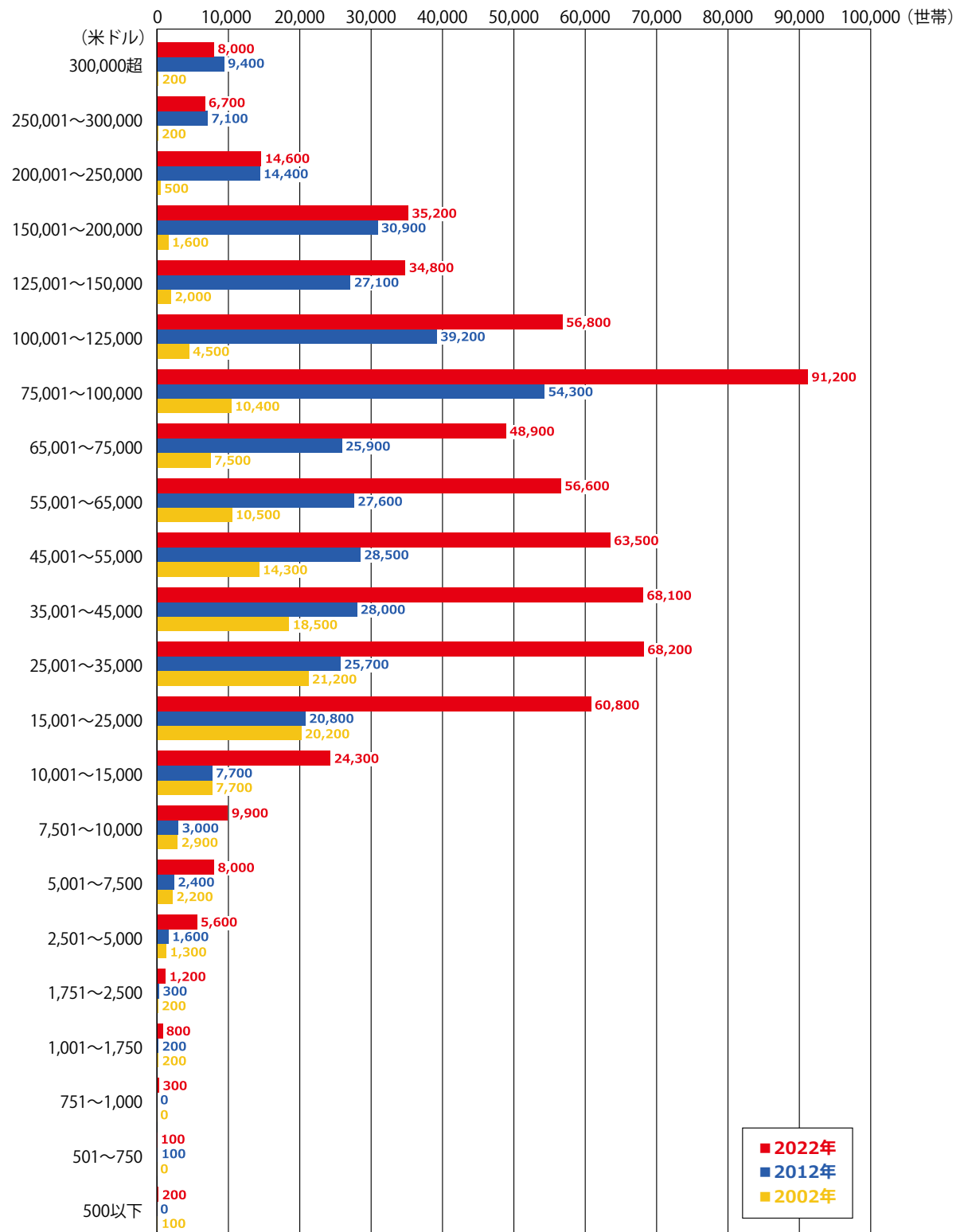
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

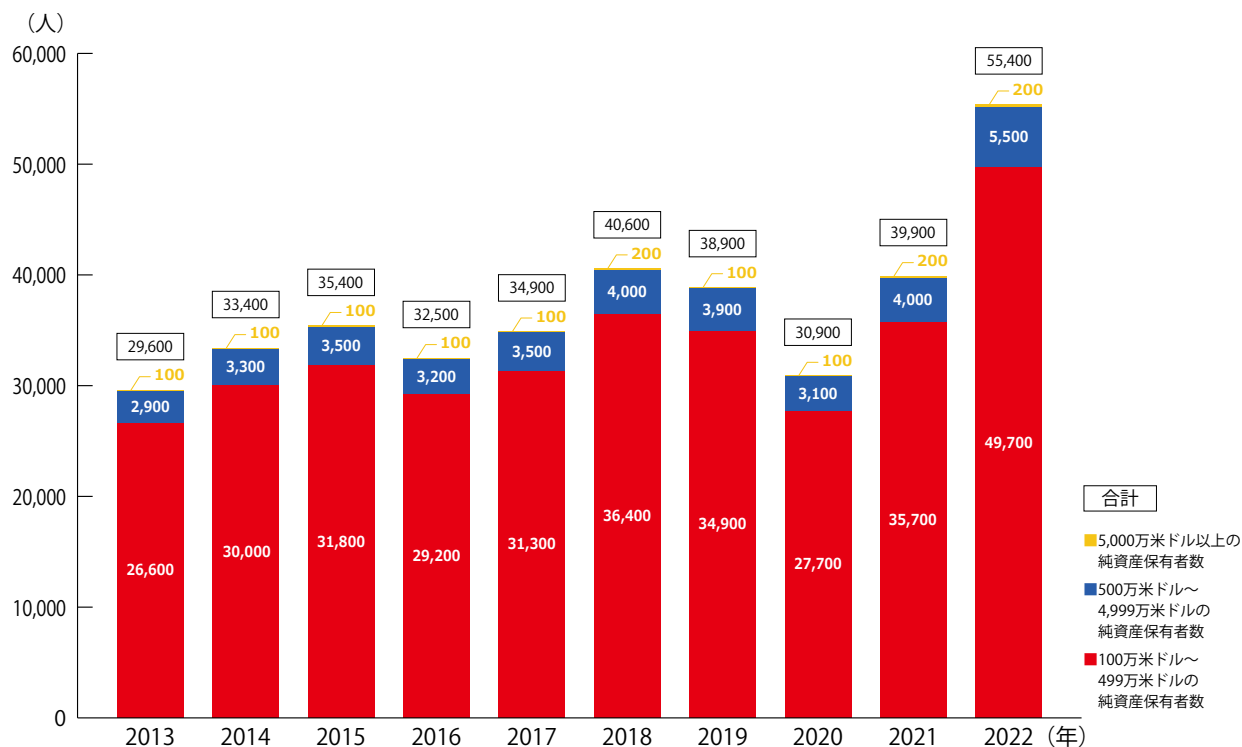
(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



カタール

出典：ユーロモニターインターナショナル

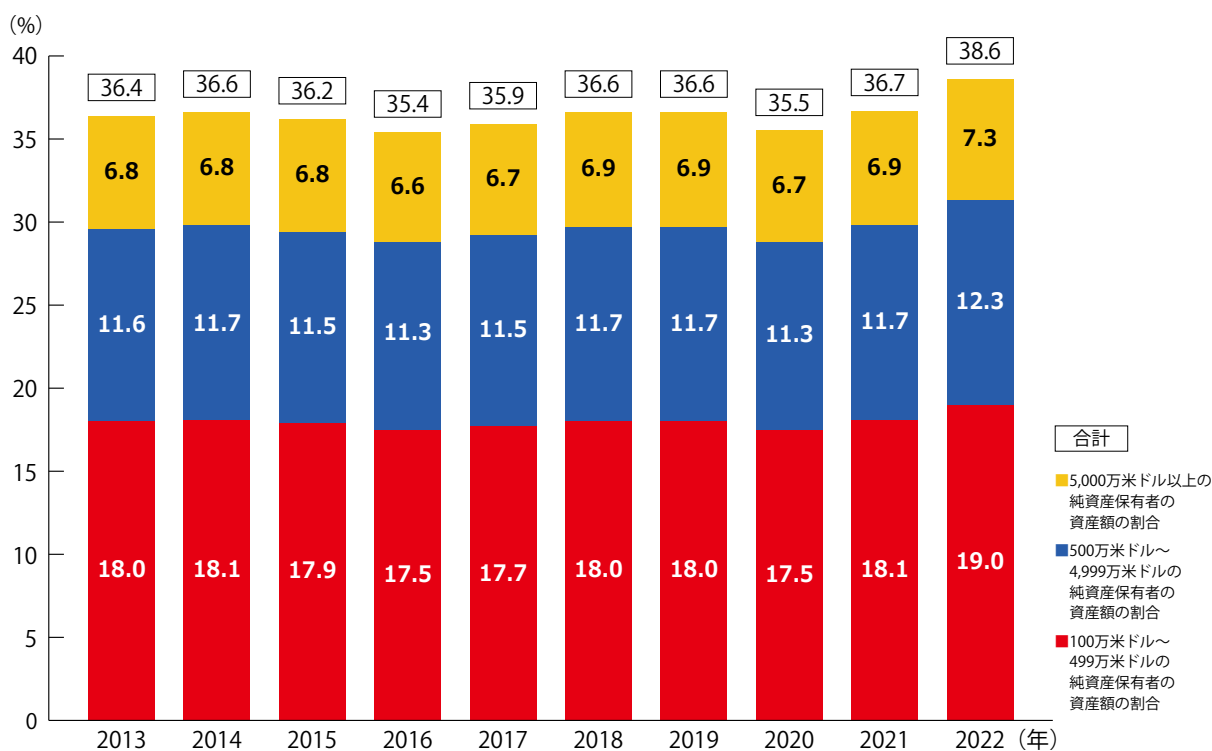
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

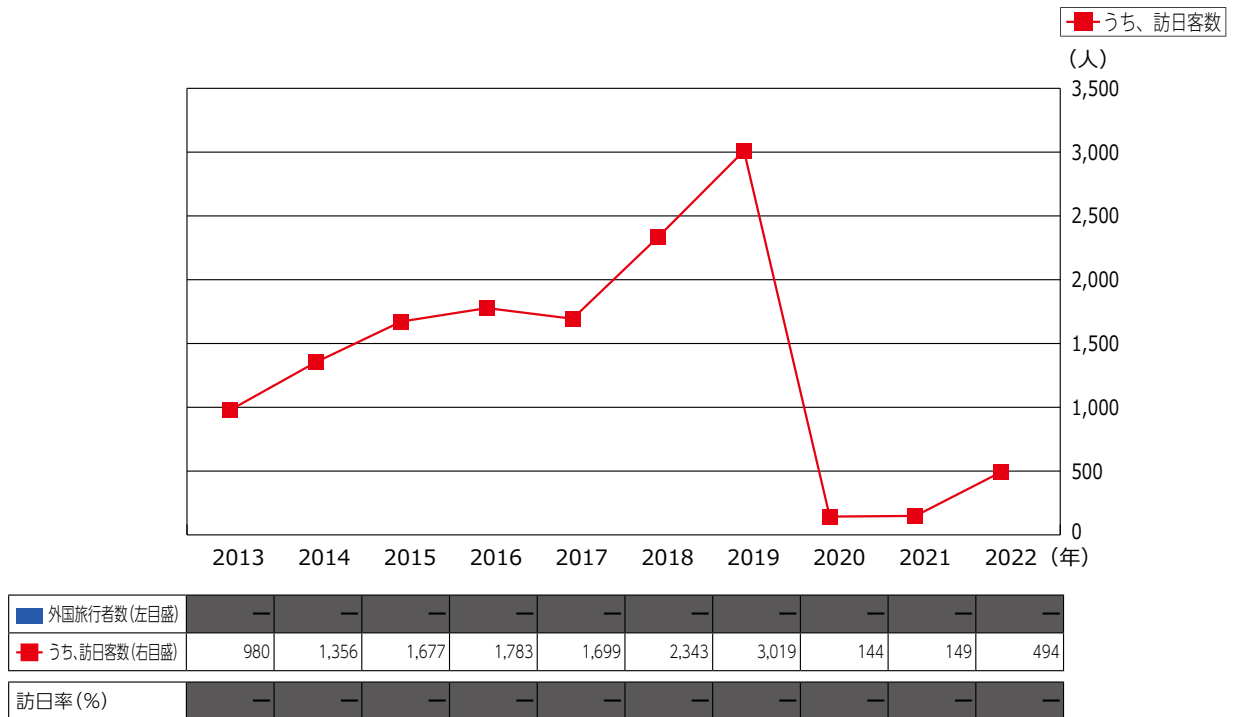


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

第3章 外国旅行の動向

(1) カタール人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：カタール人の外国旅行者数は公表されていない。  
出典：日本政府観光局（JNTO）

(2) 世界各国・地域へのカタール人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	英国	VFR	112,240	148,718	175,057	↓コロナ流行	18,943	175,057
2位	クウェート	VFN	87,513	130,810	127,701	↓コロナ流行	28,441	130,810
3位	トルコ	TFN	48,735	96,321	108,494	↓コロナ流行	31,956	108,494
4位	オマーン	VFR	—	65,484	70,830	↓コロナ流行	17,545	70,830
5位	サウジアラビア	TFN	274,935	119,287	46,152	↓コロナ流行	10,372	274,935
6位	スイス	THSR	30,749	43,202	43,438	↓コロナ流行	6,639	43,438
7位	米国	TFR	27,674	32,086	33,146	↓コロナ流行	5,985	33,146
8位	ヨルダン	TFN	11,750	23,585	29,277	↓コロナ流行	5,225	29,277
9位	イタリア	TFN	26,820	12,980	26,739	↓コロナ流行	13,636	26,820
10位	レバノン	TFN	5,578	12,256	15,317	↓コロナ流行	1,144	15,317
11位	バーレーン	VFR	—	9,994	13,493	↓コロナ流行	10,760	13,493
12位	アゼルバイジャン	VFR	7,880	12,459	10,472	↓コロナ流行	1,567	12,459
13位	カナダ	TFR	6,363	6,178	8,824	↓コロナ流行	1,650	8,824
14位	モロッコ	TFN	6,360	8,123	8,198	↓コロナ流行	2,732	8,198
15位	ノルウェー	TCER	—	5,523	7,509	↓コロナ流行	—	7,509
16位	インド	VFN	6,963	7,353	6,863	↓コロナ流行	1,008	7,353
17位	イラン	VFN	4,178	4,876	6,744	↓コロナ流行	1,127	6,744
18位	アラブ首長国連邦	VFN	133,063	5,554	6,660	↓コロナ流行	1,739	133,063
19位	ポーランド	TCER	2,629	1,663	6,202	↓コロナ流行	2,649	6,202
20位	豪州	VFR	5,930	6,681	6,000	↓コロナ流行	1,183	6,681
21位	キプロス	TFR	5,829	4,283	5,403	↓コロナ流行	1,952	5,829
22位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	2,338	3,880	4,571	↓コロナ流行	649	4,571
23位	モルディブ	TFN	1,770	3,087	4,554	↓コロナ流行	1,530	6,063
24位	中国	VFN	2,604	3,451	4,433	↓コロナ流行	—	4,433
25位	セーシェル	TFR	3,747	3,935	4,298	↓コロナ流行	708	4,298
26位	マレーシア	TFN	2,263	4,428	4,089	↓コロナ流行	227	4,428
27位	ベルギー	TCER	4,241	3,964	3,821	↓コロナ流行	933	4,241
28位	エジプト	VFN	12,795	4,701	3,727	↓コロナ流行	613	12,795

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	ジョージア	VFR	1,893	2,696	3,525	485	1,442	3,525
30位	香港	VFR	2,525	3,314	3,259	108	8	3,314
31位	日本	VFN	1,699	2,343	3,019	144	149	3,019
	フィリピン	TFR	4,195	3,781	2,491	987	1,308	4,195

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

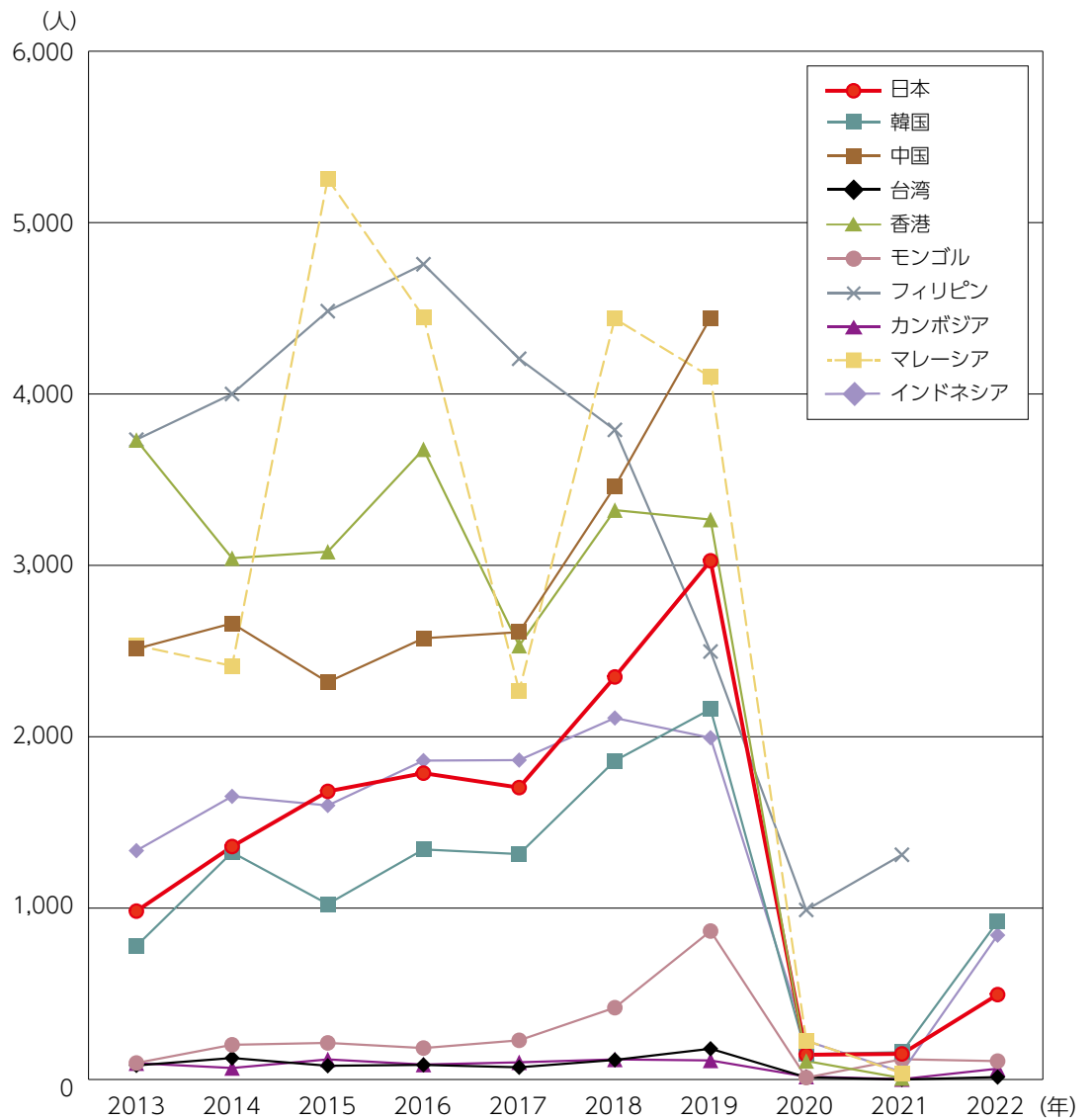
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



(3) アジア各国・地域へのカタール人訪問者数の推移 (2013年～2022年)



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
中国	VFN	2,507	2,655	2,313	2,568	2,604	3,451	4,433			
マレーシア	TFN	2,527	2,407	5,242	4,439	2,263	4,428	4,089	227	36	
香港	VFR	3,722	3,034	3,072	3,668	2,525	3,314	3,259	108	8	
日本	VFN	980	1,356	1,677	1,783	1,699	2,343	3,019	144	149	494
フィリピン	TFR	3,724	3,990	4,472	4,745	4,195	3,781	2,491	987	1,308	
韓国	VFN	777	1,322	1,021	1,339	1,312	1,855	2,155	147	159	919
インドネシア	VFN	1,332	1,648	1,595	1,856	1,859	2,104	1,989	225	43	840
モンゴル	TFN	96	202	213	183	228	418	864	11	118	107
台湾	VFR	82	125	80	85	71	114	179	13	0	14
カンボジア	TFR	95	67	117	87	100	117	111	17	2	63
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
タイ	TFN										
ミャンマー	TFN										
シンガポール	VFR										

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)

注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

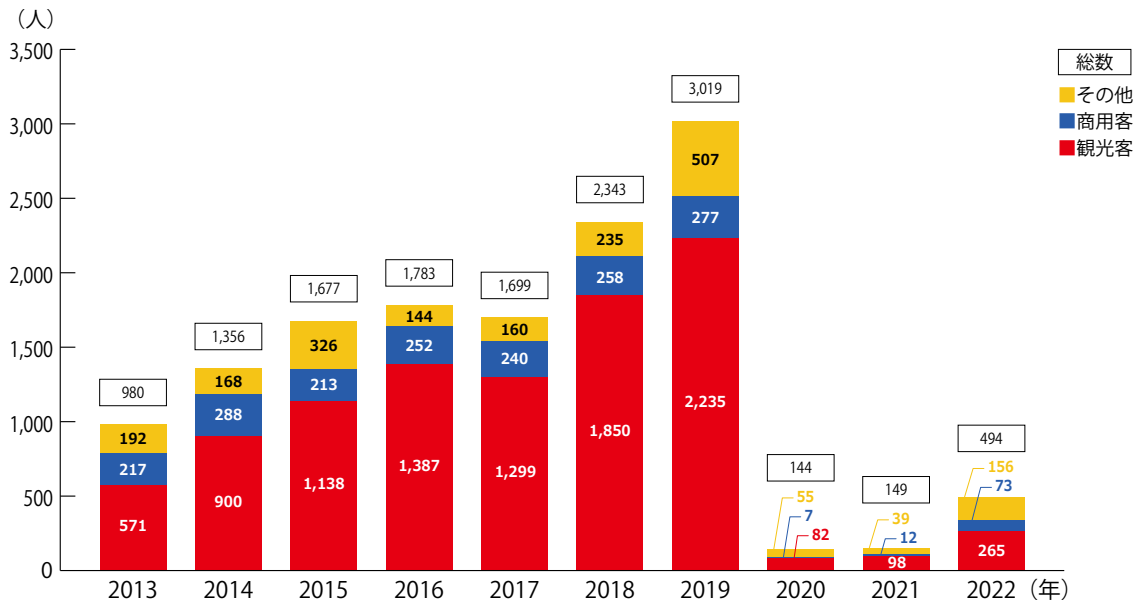
注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

カタール

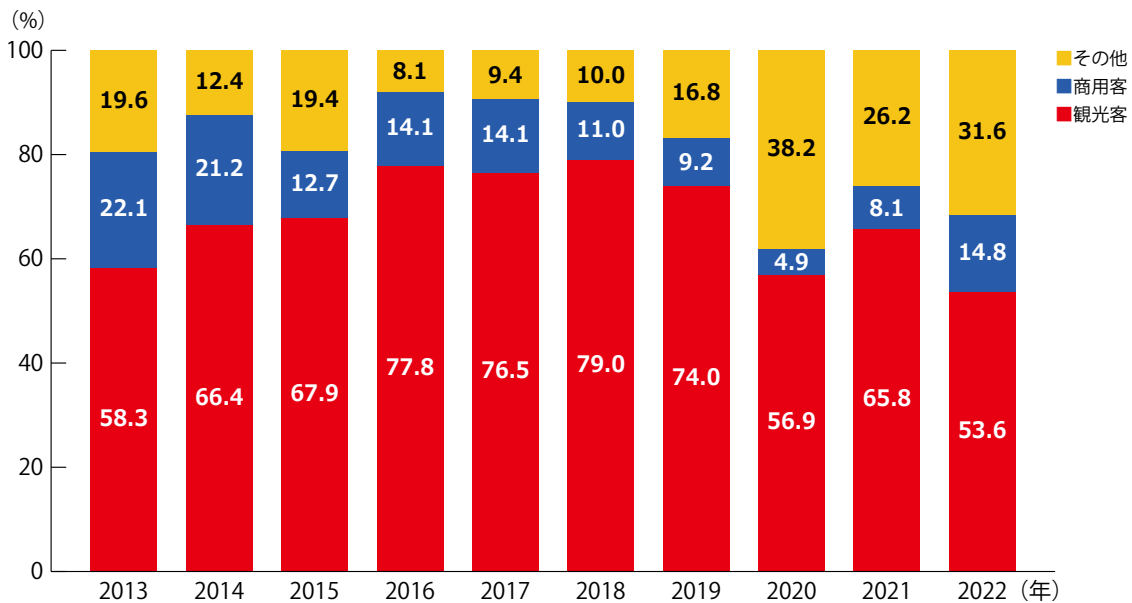
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日カタール人の推移（2013年～2022年）



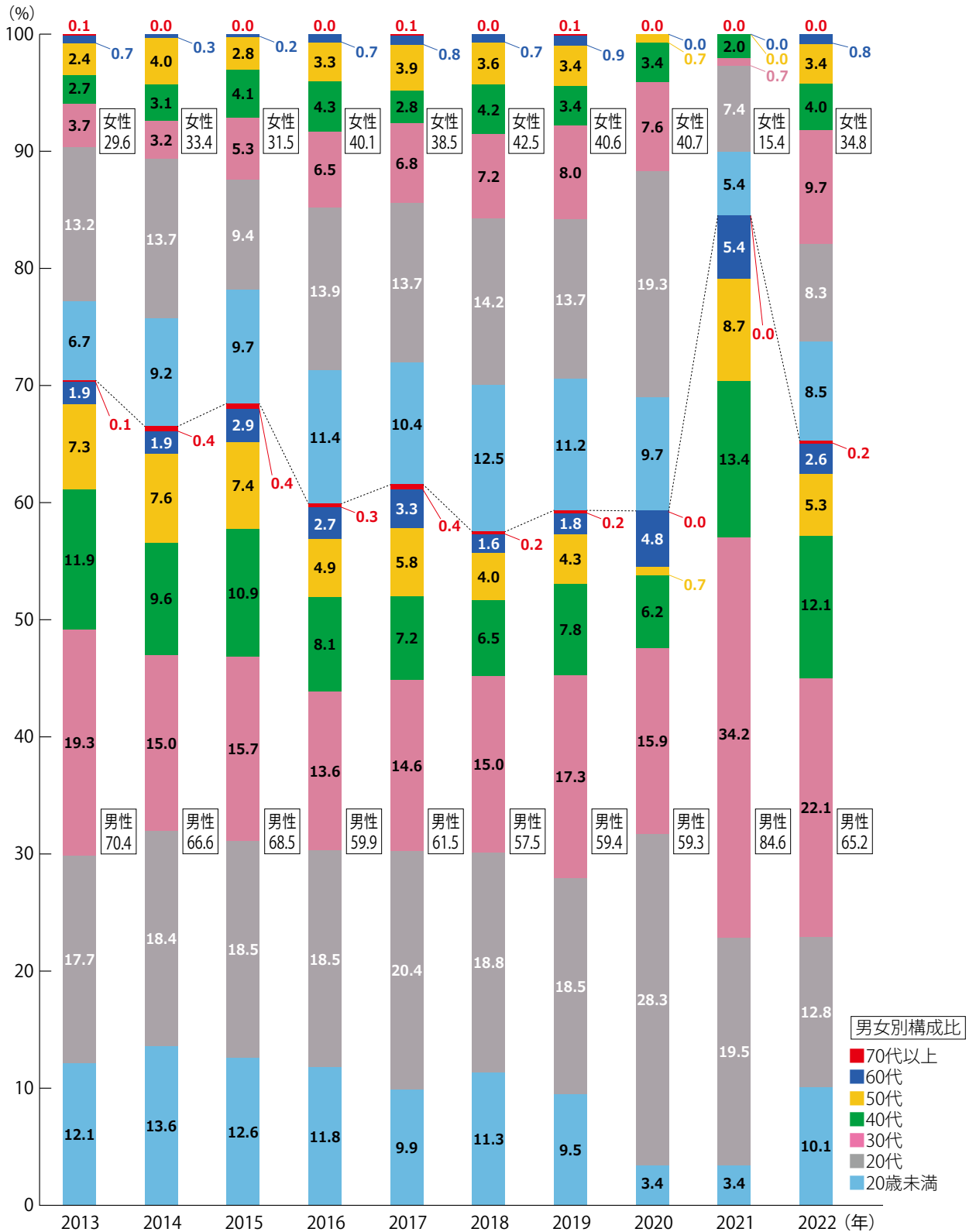
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日カタール人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

(3) 訪日カタール人の性・年齢別構成 (2013年~2022年)

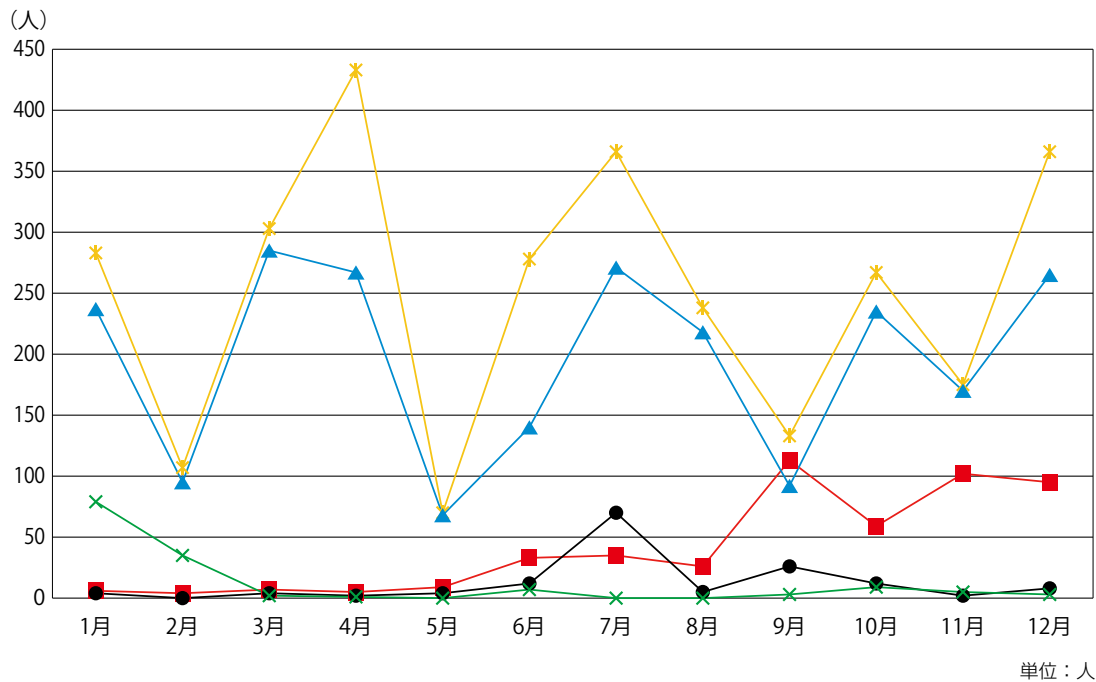


カタール

注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

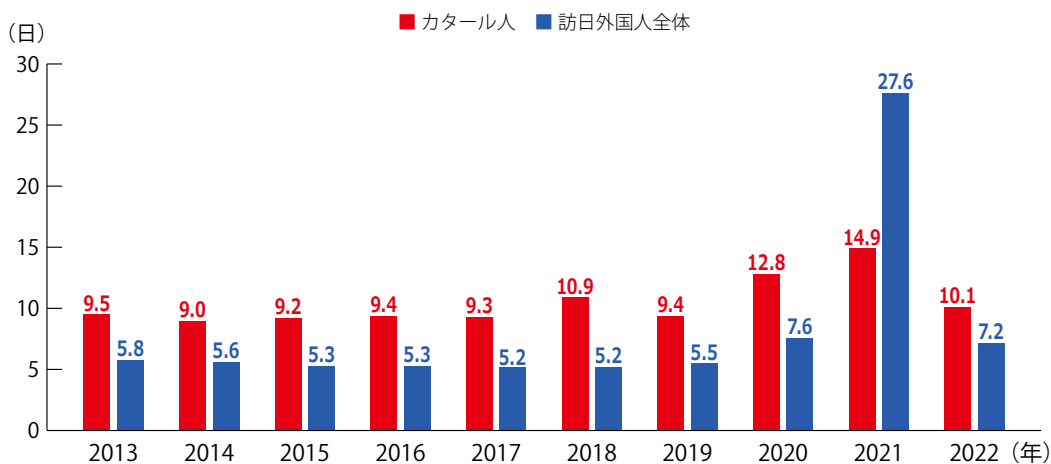
#### (4) 月別訪日カタール人の推移（2018年～2022年）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	6	4	7	5	9	33	35	26	113	59	102	95
● 2021年	4	0	4	2	4	12	70	5	26	12	2	8
× 2020年	79	35	2	1	0	7	0	0	3	9	5	3
✱ 2019年	283	107	303	433	70	278	366	238	133	267	175	366
▲ 2018年	237	95	285	267	68	140	271	218	92	235	170	265

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日カタール人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



# クウェート

## 第1章 概要

### (1) 民族別構成

クウェート国籍の保有者はアラブ人が中心を占める。

国民はアラブ系を中心とする複数の部族で構成されている。

クウェートには、就労目的による外国人が多く居住している。2020年時点で、クウェートの総人口のうち、クウェート国籍の保有者は27.2%、外国籍の保有者は72.8%を占めている。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国際連合（2020年）

### (2) 宗教別構成

イスラム教

出典：日本国外務省

### (3) 使用言語

アラビア語が公用語

英語も広く通用する。

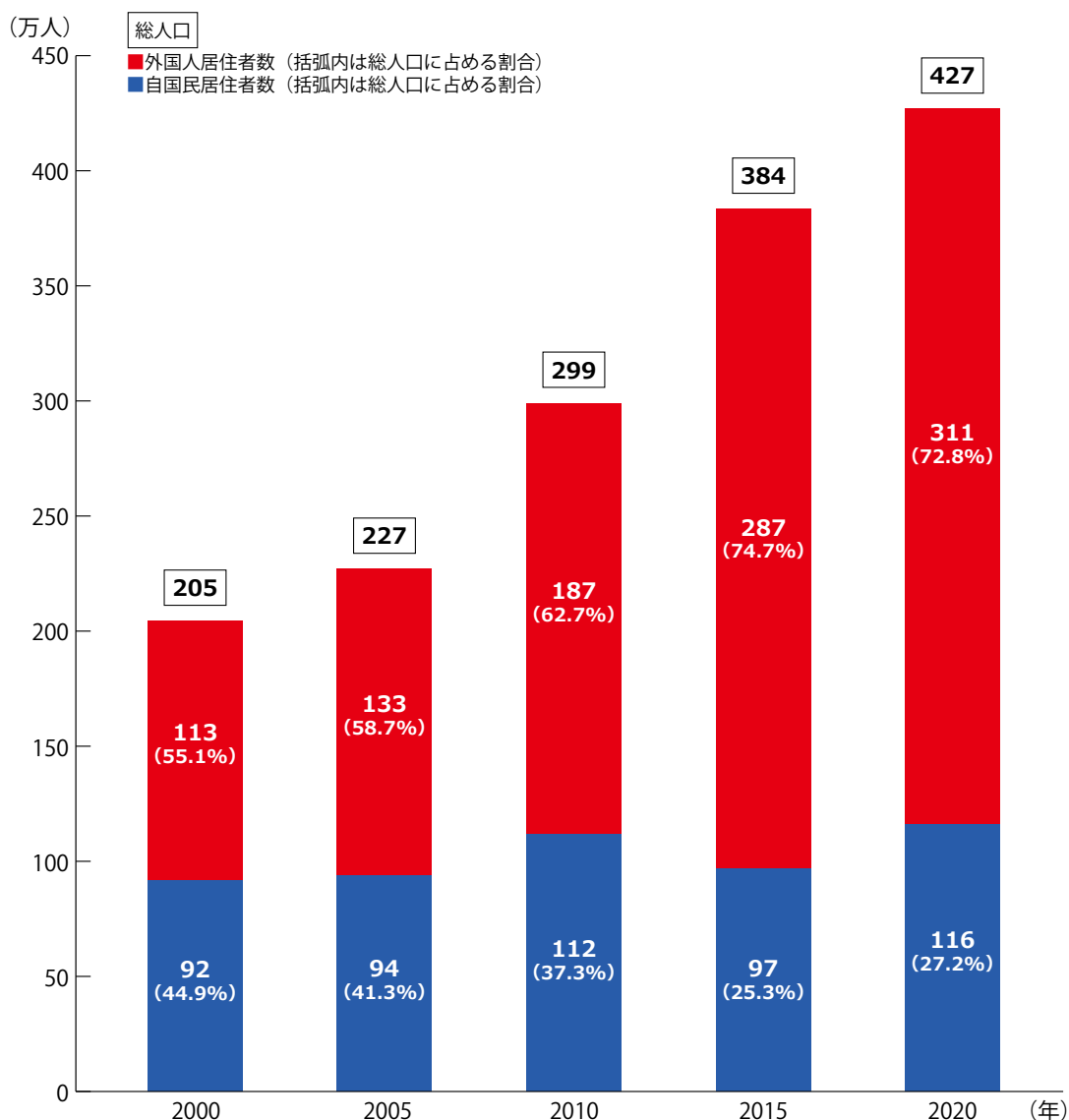
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (4) 面積

1万7,818km<sup>2</sup>（四国本島の97%強）

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

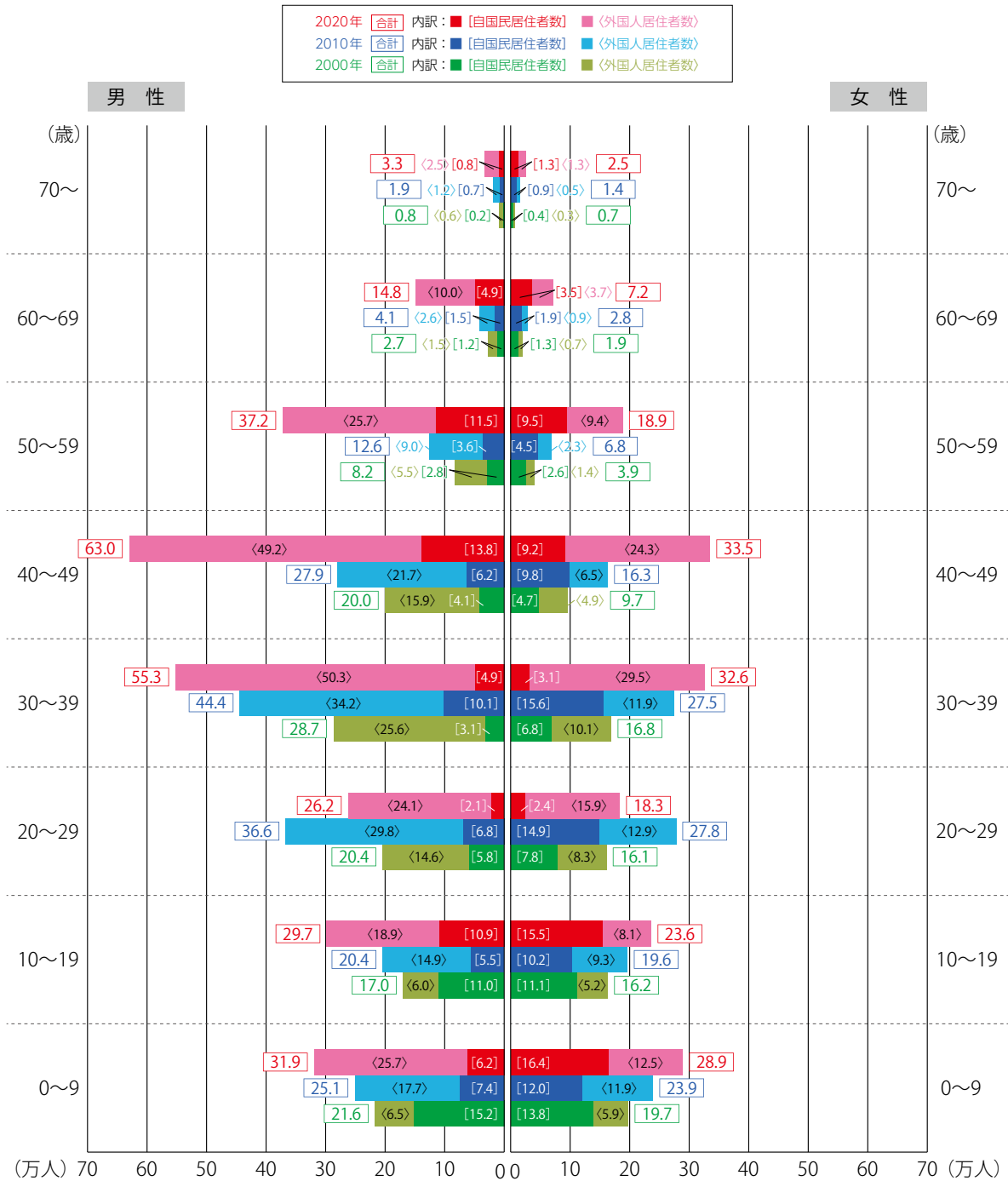
注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

- ①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、駐在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したたり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。
- ②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。
- ③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）
- ④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：クウェートの外国人居住者は、注2の②と③に該当する。

出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範囲は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

(7) 都市別人口

該当なし

クウェート

## (8) 祝日 (2023年～2024年)

祝日	2023年	2024年
元日	1月1日 (日)	1月1日 (月)
※預言者昇天祭	2月18日 (土)	2月7日 (水)
ナショナル・デー (建国記念日)	2月25日 (土)	2月25日 (日)
解放記念日	2月26日 (日)	2月26日 (月)
※イード・アル・フィトル (ラマダン明け大祭)	4月21日 (金) ~ 4月23日 (日)	4月10日 (水) ~ 4月12日 (金)
※アラファトの日 (巡礼休暇)	6月27日 (火)	6月16日 (日)
※イード・アル・アドハー (犠牲祭)	6月28日 (水) ~ 6月30日 (金)	6月17日 (月) ~ 6月19日 (水)
※イスラム暦新年	7月19日 (水)	7月7日 (日)
※ムハンマド誕生祭	9月28日 (木)	9月15日 (日)

注1：※印の祝日は年によって変動する。

注2：2024年の祝日は、2023年8月上旬時点で公式発表がないため、想定で記載した。

出典：駐日クウェート大使館等の情報に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (9) 学校の長期休暇

主な学校体系	主な対象年齢	休暇名	一般的な時期
初等学校	6歳～11歳 (5年間)	夏期休暇	6月上旬～9月中旬の約16週間
		冬期休暇	1月中旬～2月上旬の約3週間
中間学校	11歳～15歳 (4年間)	夏期休暇	7月上旬～9月下旬の約3か月間
		冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間
中等学校	15歳～18歳 (3年間)	夏期休暇	7月上旬～9月下旬の約3か月間
		冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間
大学	18歳～22歳 (4年間)	春期休暇	4月中旬の約2週間
		夏期休暇	7月上旬～9月中旬の約10週間
		冬期休暇	1月下旬～2月上旬の約10日間

学校年度	初等学校：9月下旬～翌年9月中旬 中間・中等学校：10月上旬～翌年9月下旬
義務教育	初等学校 (5年間) + 中間学校 (4年間) = 9年間

出典：教育省通告に関するクウェート現地の報道等に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (10) 企業の休暇・就労制度

	曜日・日数・年齢	法的根拠	備考
休日曜日	金曜日	政府機関労働法 第15条	<ul style="list-style-type: none"> <li>政府機関の休日は金曜日と定められている。</li> <li>民間企業では法定の休日曜日はないが、金曜日、土曜日の休みが一般的である。</li> </ul>
有給休暇日数	30日	民間セクター労働法 第70条	<ul style="list-style-type: none"> <li>有給休暇は分割して取得できるが、最初の14日間は連続して取得しなければならない。</li> <li>未取得の累積有給休暇は、2年を超えて繰り越すことができない。労働者は退職時に、払い戻しをされる権利を有する。</li> <li>病欠、出産休暇、育児休暇、忌引きと有給休暇は、明確に区別されている。</li> </ul>
定年退職	規定なし		規定の年数の保険料を納めれば、男性55歳、女性50歳から年金を受給できる。

出典：クウェート政府機関労働法、クウェート民間セクター労働法、日本貿易振興機構 (JETRO)



## (11) 徴兵制度

徴兵制度	徴兵制を実施している。
兵役期間	1年間
入隊対象性別	男性のみ召集 (2021年10月、女性の入隊が認められたが、男性保護者の許可が必要とされる。 女性の武器の携行は禁止されている。)
入隊対象年齢	18歳～35歳 徴兵期間の終了後、有事の動員に備え、10年間もしくは45歳になるまで予備役がある。 毎年30日間の訓練に参加し、普段は拘束されない。

出典：クウェート防衛省、日本国外務省、米国中央情報局（CIA）

## (12) 外国旅行の情報収集をする際に使うオンライン媒体

オンライン媒体名	オンラインの種類	主な機能	割合 (%)
ユーチューブ (YouTube)	動画共有サービス	動画を発信	52.9
Netflix	動画配信サービス	映画・テレビ番組・アニメなどを配信	30.8
フェイスブック (Facebook)	SNS	文章・画像・動画などを発信、 閲覧者が意見を記載	18.3
ティックトック (TikTok)	SNS	動画を搭載、 閲覧者が意見を記載	16.3
インスタグラム (Instagram)	SNS	画像・動画・文章を掲載	15.4
スナップチャット (Snapchat)	SNS	加工可能な画像・動画を発信、 メッセージの交換	7.7
旧ツイッター (Twitter) (現エックス：X)	SNS	短文・画像などを発信、 閲覧者が意見を記載	3.8

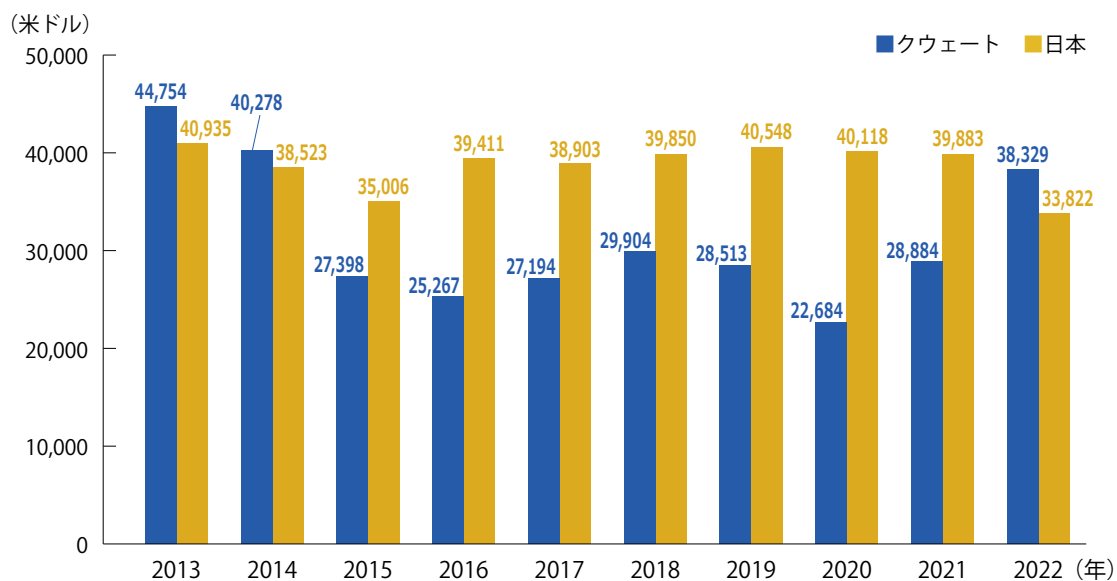
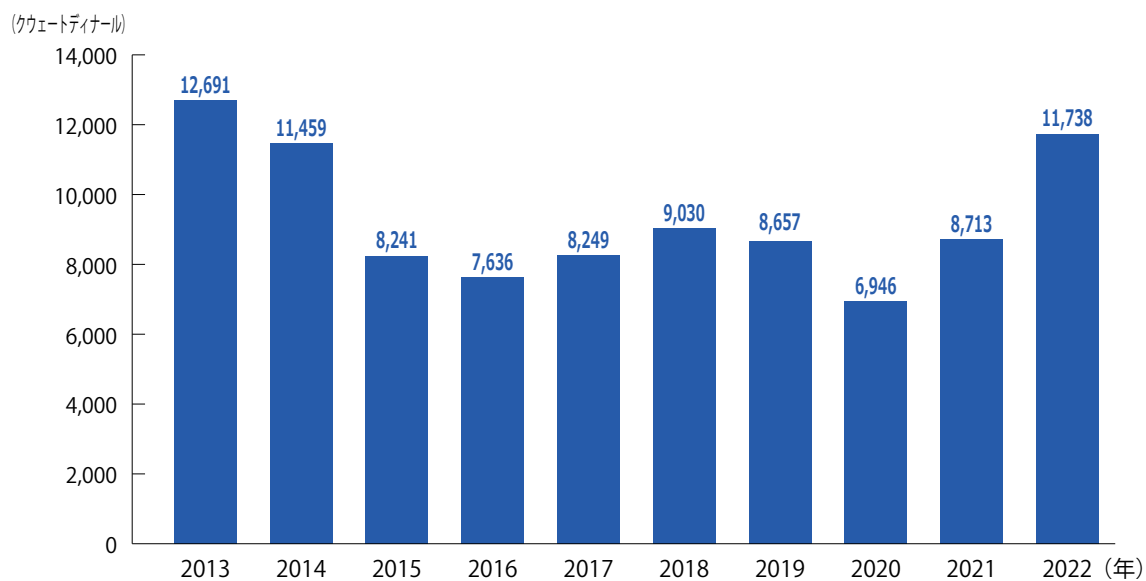
注1：本調査は、当該市場の104人の調査対象者から聞き出した結果である。

注2：上の数値は複数回答の結果である。

注3：上記の各オンライン媒体名は、日本語表記を優先して記載した。

出典：日本政府観光局（JNTO）「22市場基礎調査」

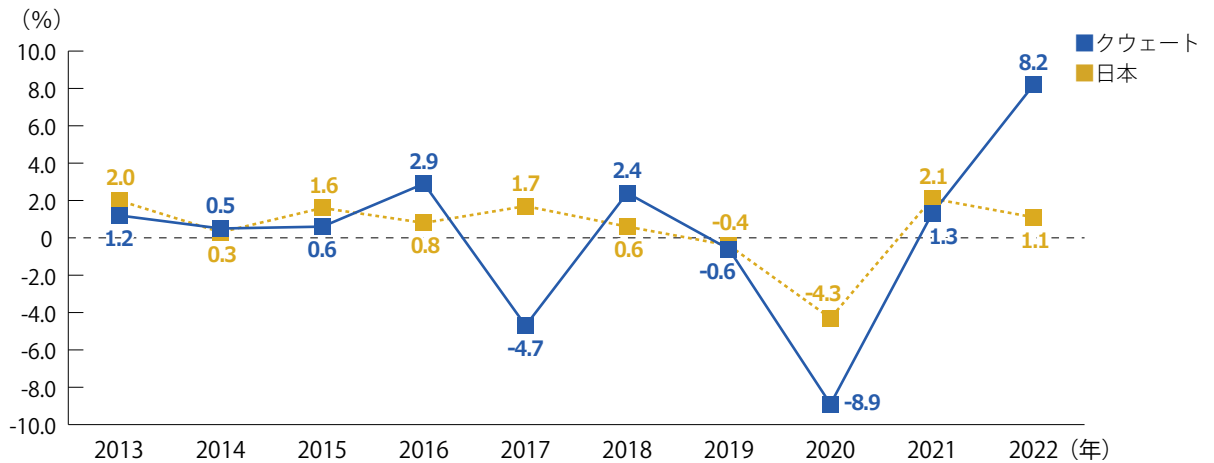
(1) 1人当たりの名目 GDP (2013年～2022年)



注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。

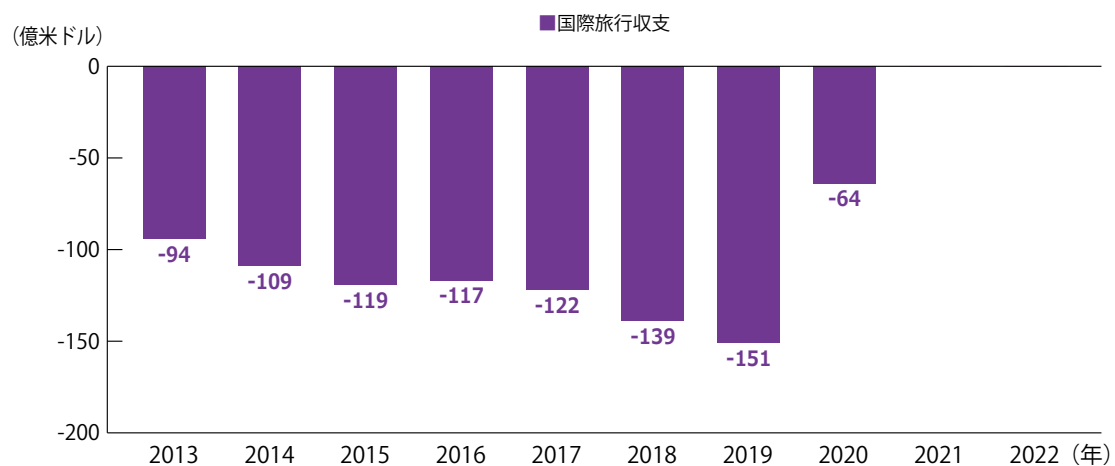
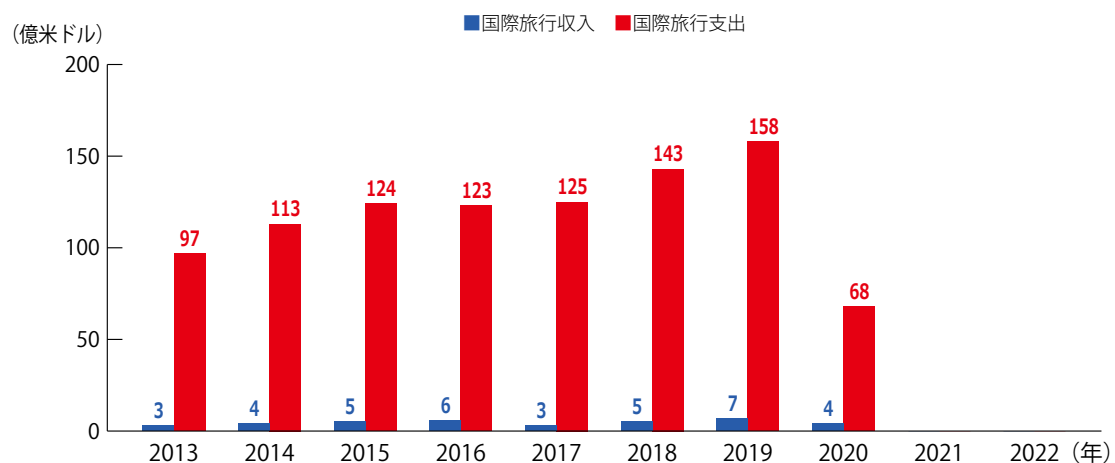
出典：国際通貨基金 (IMF)

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



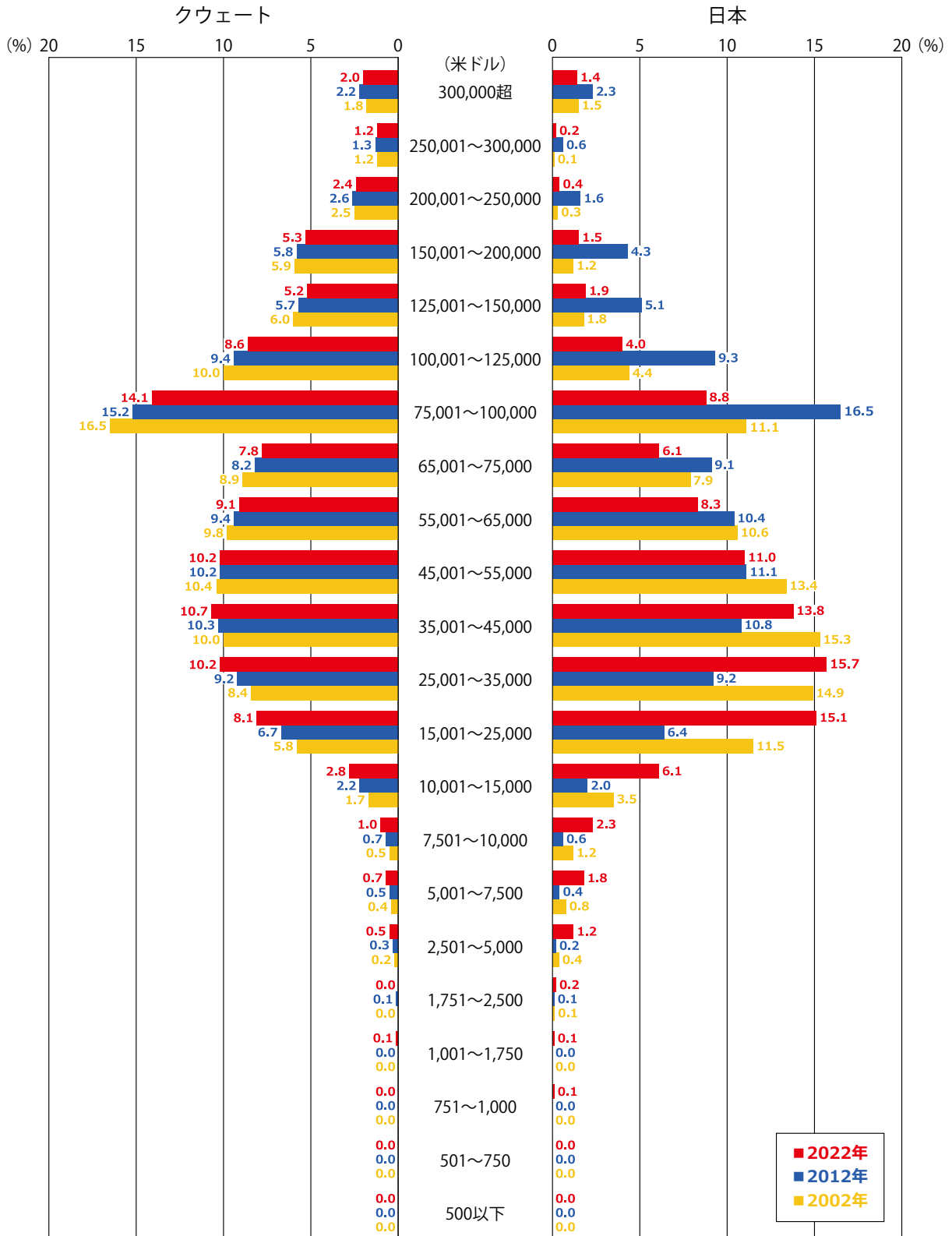
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



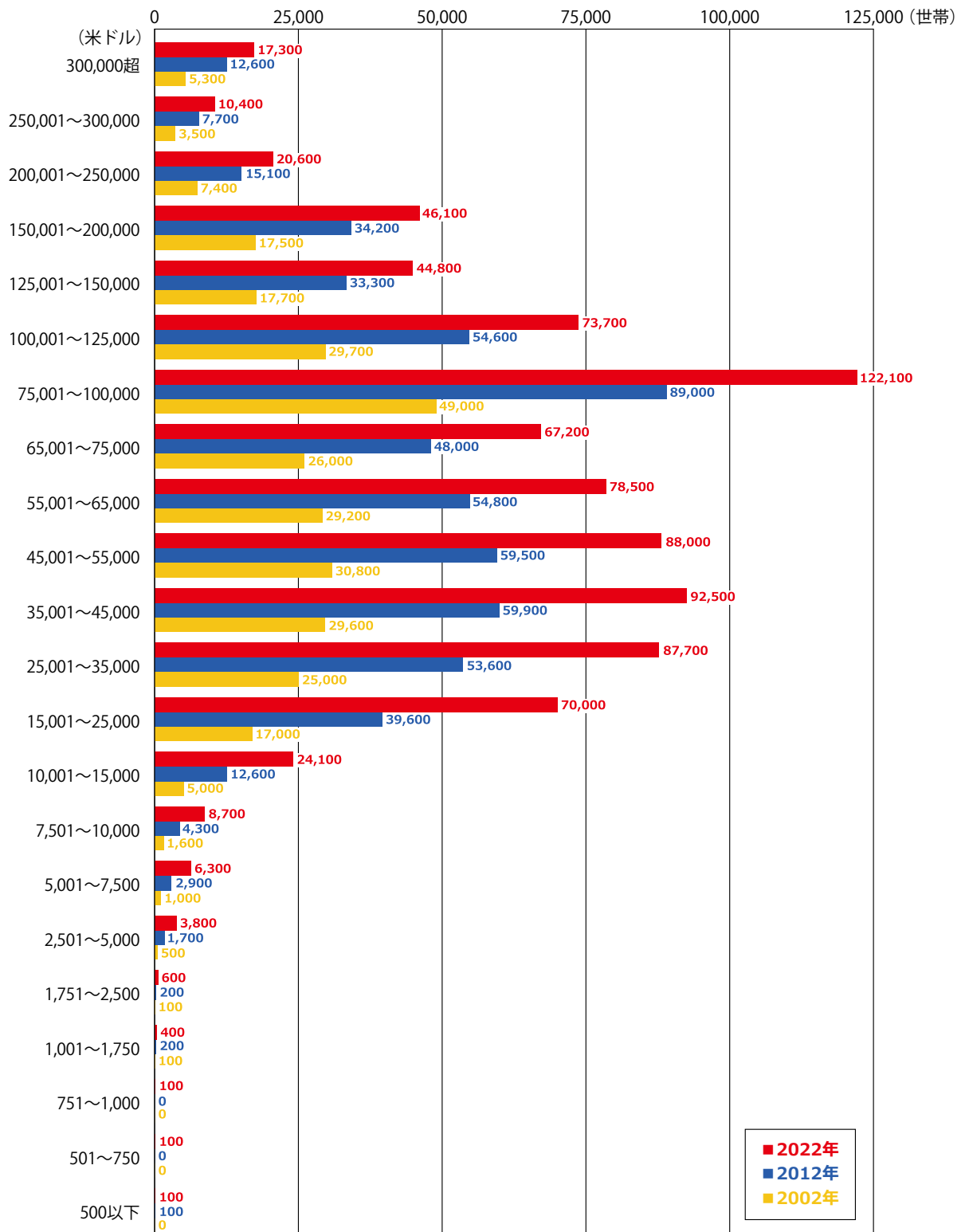
注1：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
注2：2022年の国際旅行収入と国際旅行支出は、本暫定値を把握した時点で不明であった。従って、2022年の国際旅行収支は算出できない。  
出典：国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



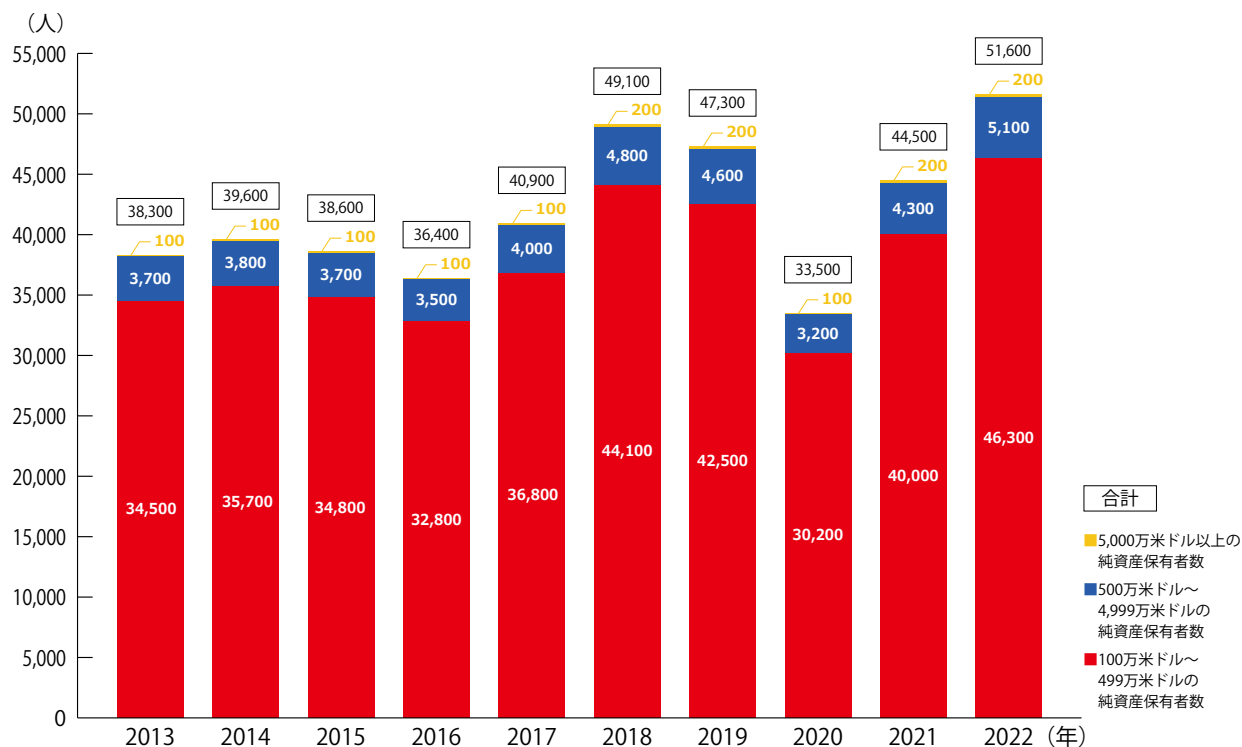
出典：ユーロモニターインターナショナル

## (5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



出典：ユーロモニターインターナショナル

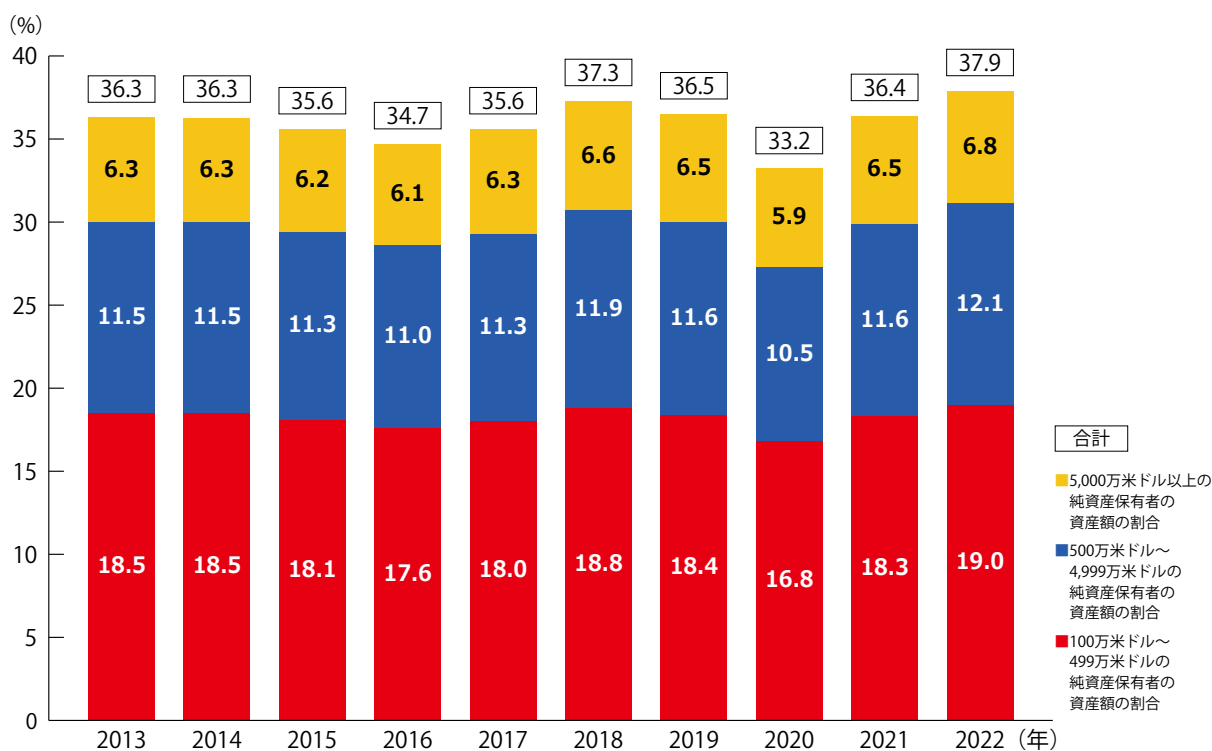
## (6) 高額純資産保有者数（2013年～2022年）



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## (7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合（2013年～2022年）

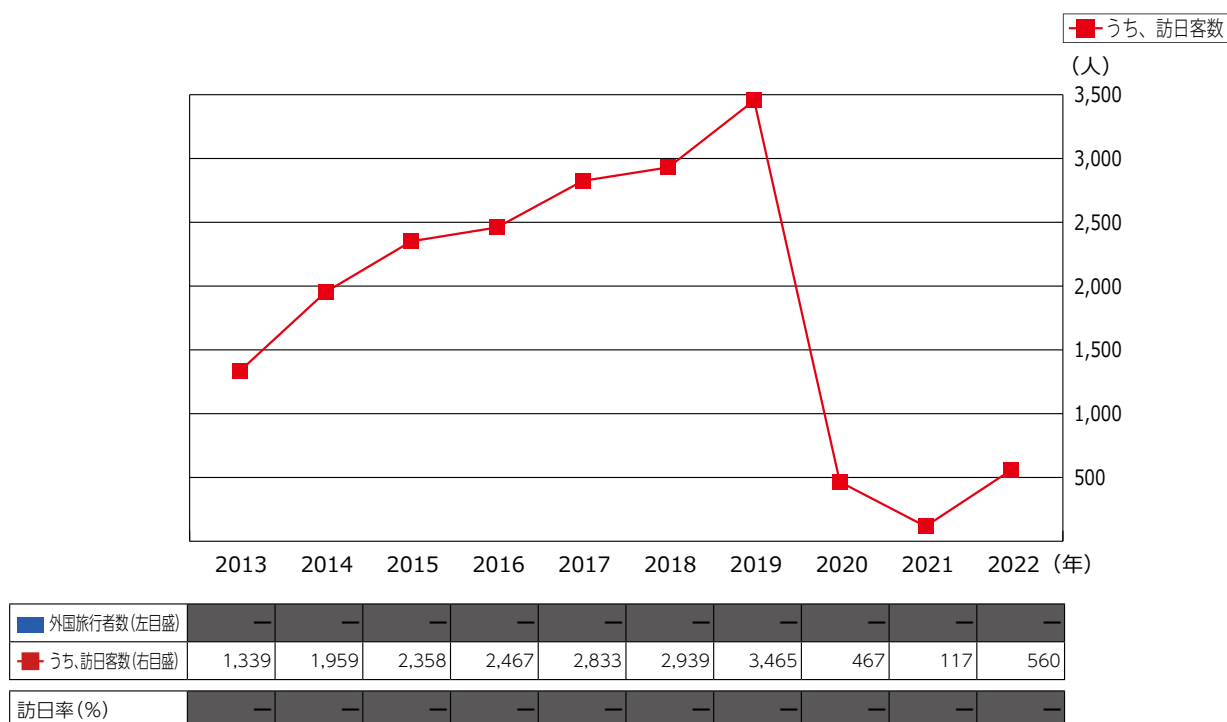


注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。

出典：ユーロモニターインターナショナル

## 第3章 外国旅行の動向

## (1) クウェート人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



注：クウェート人の外国旅行者数は公表されていない。

出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 世界各国・地域へのクウェート人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	サウジアラビア	TFN	2,092,824	1,992,838	2,132,114	629,240	623,462	2,132,114
2位	バーレーン	VFR	—	715,370	688,591	—	215,468	715,370
3位	アラブ首長国連邦	VFN	478,049	412,160	389,803	101,625	—	478,049
4位	トルコ	TFN	255,630	298,534	374,091	120,221	246,247	374,091
5位	英国	VFR	179,579	167,475	181,011	—	51,831	181,011
6位	エジプト	VFN	176,629	164,532	164,873	39,939	—	176,629
7位	ヨルダン	TFN	84,352	86,481	88,128	17,958	30,130	88,128
8位	カタール	VFN	83,985	70,969	88,035	25,353	25,718	88,035
9位	タイ	TFN	72,244	74,665	78,199	10,234	3,733	78,199
10位	イラン	VFN	74,219	62,841	73,444	12,054	13,564	74,219
11位	米国	TFR	60,594	62,658	61,231	14,572	21,350	62,658
12位	レバノン	TFN	40,886	40,382	43,285	4,105	8,762	43,285
13位	オマーン	VFR	—	38,170	41,287	10,227	7,673	41,287
14位	アゼルバイジャン	VFR	16,477	29,741	30,290	7,076	2,289	30,290
15位	スイス	THSR	28,618	29,204	29,128	3,013	9,270	29,204
16位	モロッコ	TFN	18,926	18,045	20,410	6,295	7,121	20,410
17位	ジョージア	VFR	11,156	14,939	20,118	3,330	12,600	20,118
18位	イタリア	TFN	21,256	25,187	17,846	3,367	2,537	25,187
19位	インド	VFN	13,683	11,811	12,607	2,755	879	13,683
20位	マレーシア	TFN	9,247	7,928	9,632	1,464	31	9,632
21位	シンガポール	VFR	9,465	9,794	9,625	1,278	38	9,794
22位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	10,275	8,223	8,344	1,629	11,130	11,130
23位	シリア	VFN	3,491	3,938	7,081	1,200	2,684	7,081
24位	中国	VFN	6,491	6,483	6,904	—	—	6,904
25位	ベルギー	TCER	5,352	7,289	6,751	825	1,354	7,289
26位	フィリピン	TFR	8,082	6,448	6,309	1,171	662	8,082
27位	インドネシア	VFN	5,760	5,551	5,762	846	75	5,762
28位	カナダ	TFR	5,164	4,742	5,747	893	1,696	5,747

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
29位	モルディブ	TFN	4,576	4,559	5,420	2,816	4,731	5,420
30位	キプロス	TFR	2,139	2,840	3,922			3,922
31位	ポルトガル	TCER			3,849	745	709	3,849
32位	豪州	VFR	4,830	4,232	3,661	664	52	4,830
33位	日本	VFN	2,833	2,939	3,465	467	117	3,465
34位	韓国	VFN	2,759	2,695	3,446	268	45	3,446
35位	スリランカ	TFR	4,327	3,465	3,239	825	166	4,327
	エチオピア	TFR	3,127	2,845	2,738	78	169	3,127
	香港	TFR	3,039	3,100	2,370	112	3	3,100

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

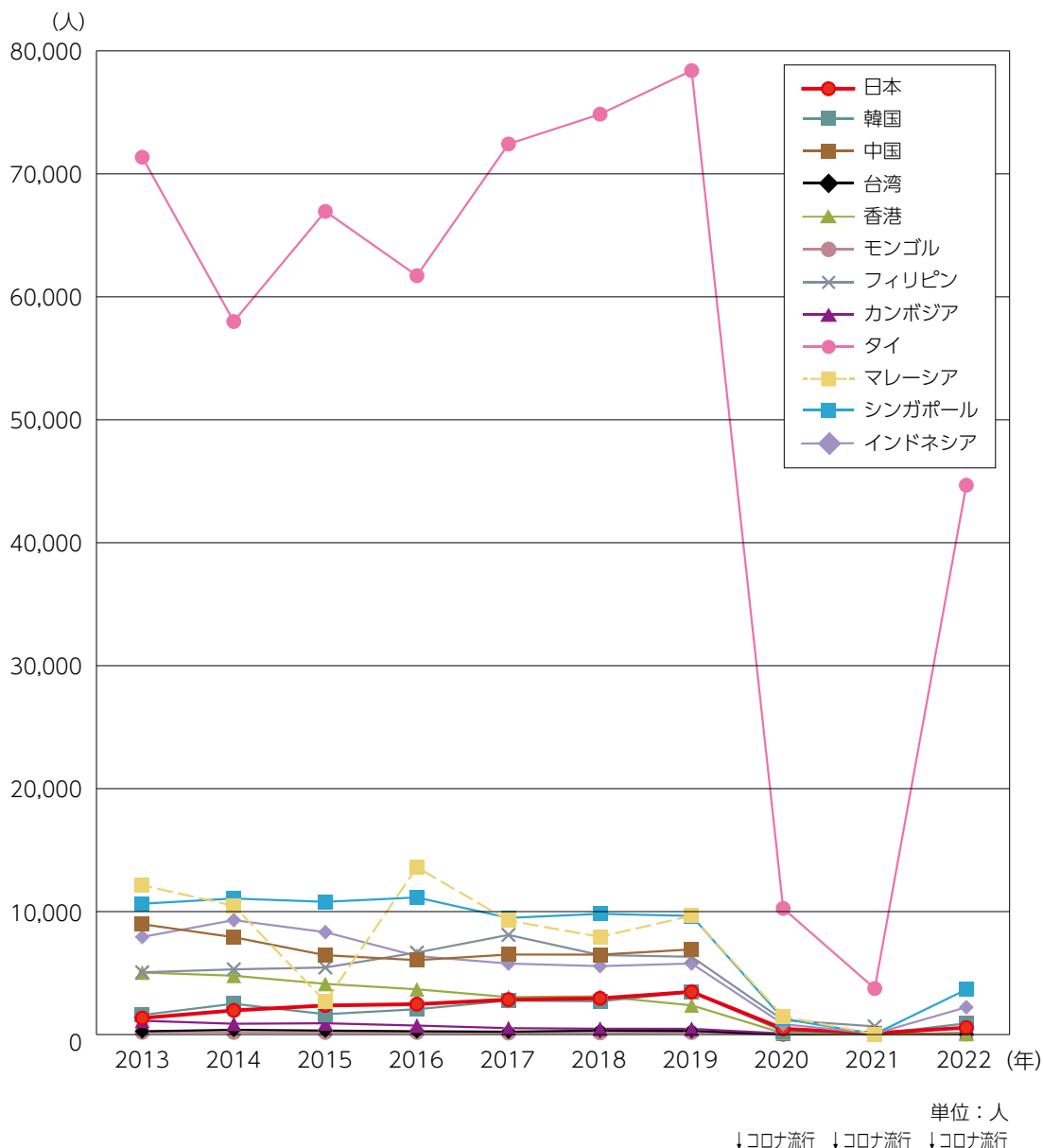
注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準にT>V、F>CE>HS、N>Rという優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成



(3) アジア各国・地域へのクウェート人訪問者数の推移 (2013年～2022年)



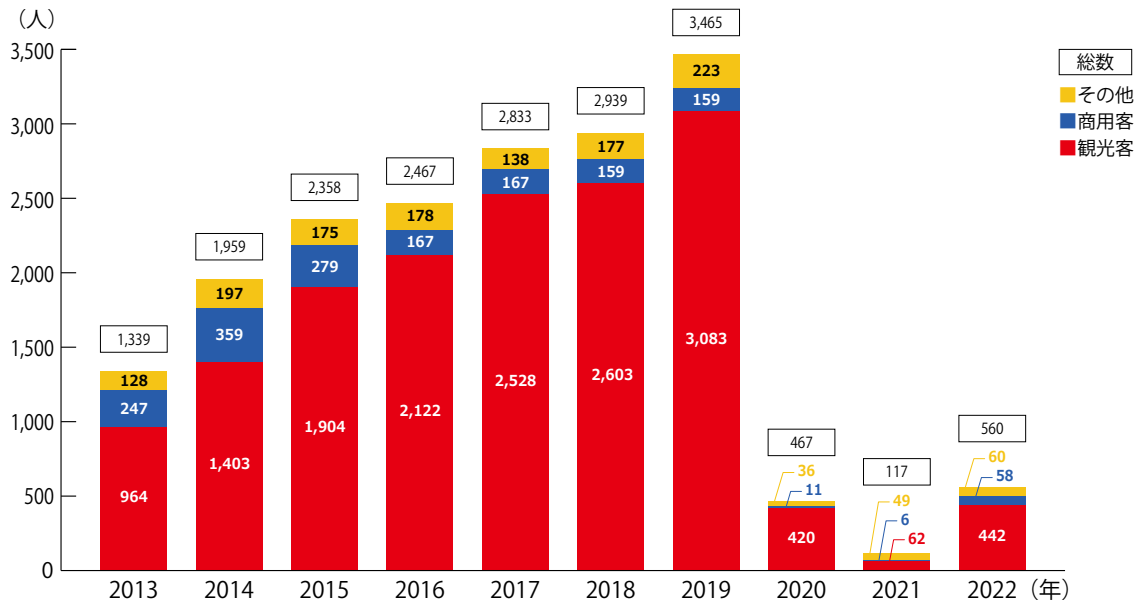
訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
タイ	TFN	71,173	57,845	66,779	61,563	72,244	74,665	78,199	10,234	3,733	44,566
マレーシア	TFN	12,109	10,448	2,662	13,562	9,247	7,928	9,632	1,464	31	
シンガポール	VFR	10,613	11,036	10,767	11,123	9,465	9,794	9,625	1,278	38	3,653
中国	VFN	8,952	7,895	6,436	6,036	6,491	6,483	6,904			
フィリピン	TFR	5,048	5,290	5,440	6,649	8,082	6,448	6,309	1,171	662	
インドネシア	VFN	7,919	9,281	8,306	6,368	5,760	5,551	5,762	846	75	2,216
日本	VFN	1,339	1,959	2,358	2,467	2,833	2,939	3,465	467	117	560
韓国	VFN	1,587	2,499	1,650	2,054	2,759	2,695	3,446	268	45	905
香港	TFR	5,034	4,772	4,113	3,670	3,039	3,100	2,370	112	3	54
カンボジア	TFR	1,121	876	916	728	519	472	466	83	12	123
台湾	VFR	265	381	322	266	231	323	291	34	3	29
モンゴル	TFN	181	170	168	169	121	136	162	7	31	54
ベトナム	VFR										
ラオス	VFN										
ミャンマー	TFN										

統計の算出基準： V (日帰りを含む旅行者数)、T (宿泊を伴った旅行者数) / F (国境到着者数) / R (居住地別統計)、N (国籍別統計)  
 注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。  
 注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。  
 出典：日本政府観光局 (JNTO)、国連世界観光機関 (UNWTO)、各国政府観光局、各国統計局

クウェート

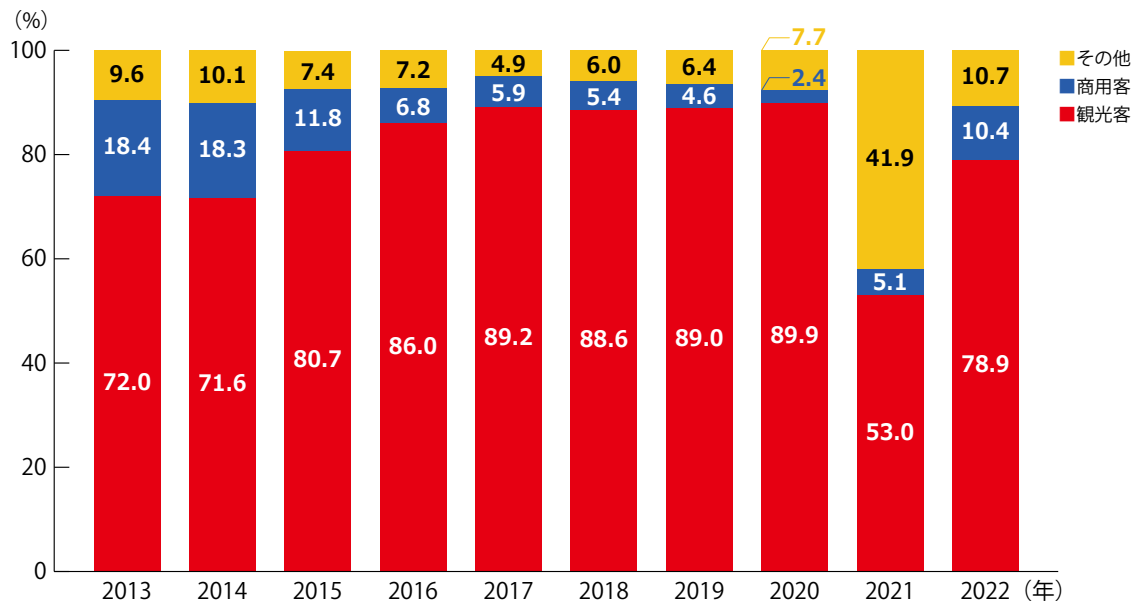
## 第4章 訪日旅行の動向

### (1) 訪日クウェート人の推移（2013年～2022年）



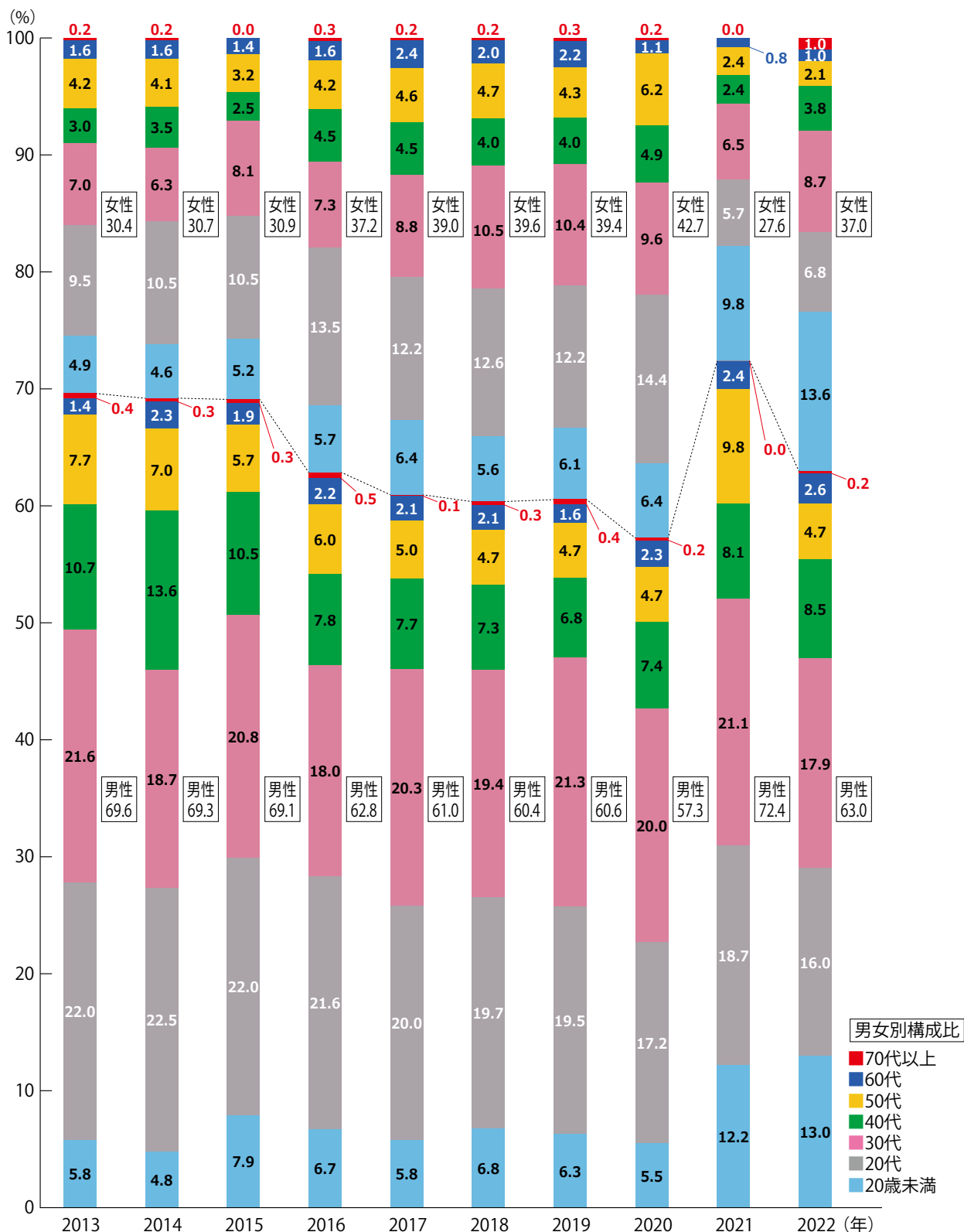
出典：日本政府観光局（JNTO）

### (2) 訪日クウェート人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

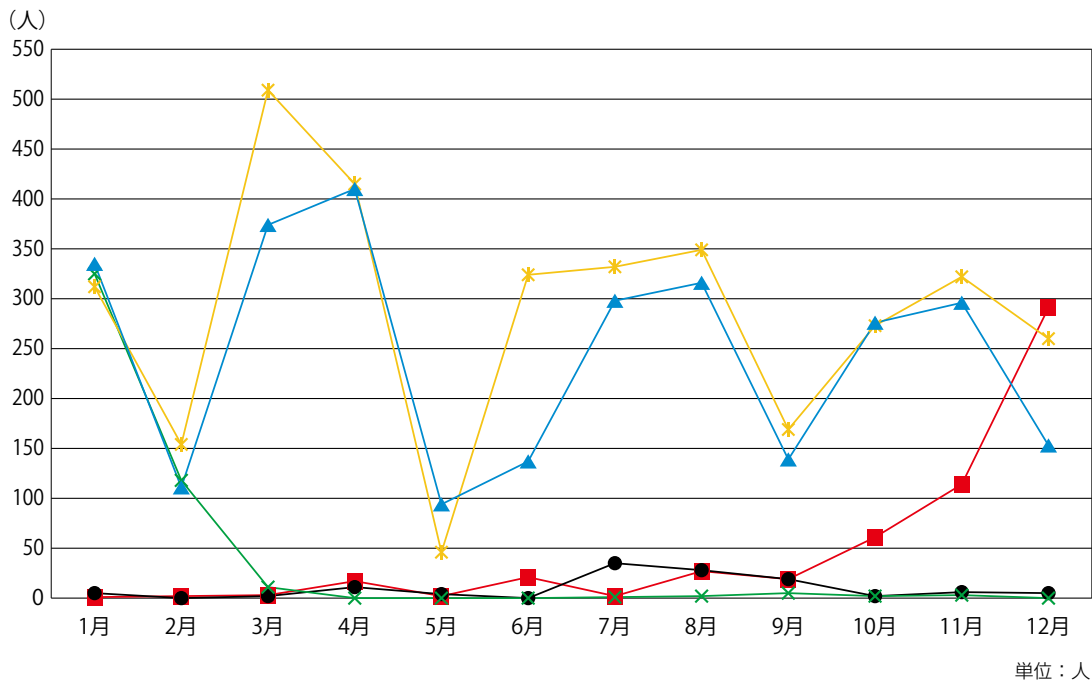
## (3) 訪日クウェート人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

#### (4) 月別訪日クウェート人の推移（2018年～2022年）

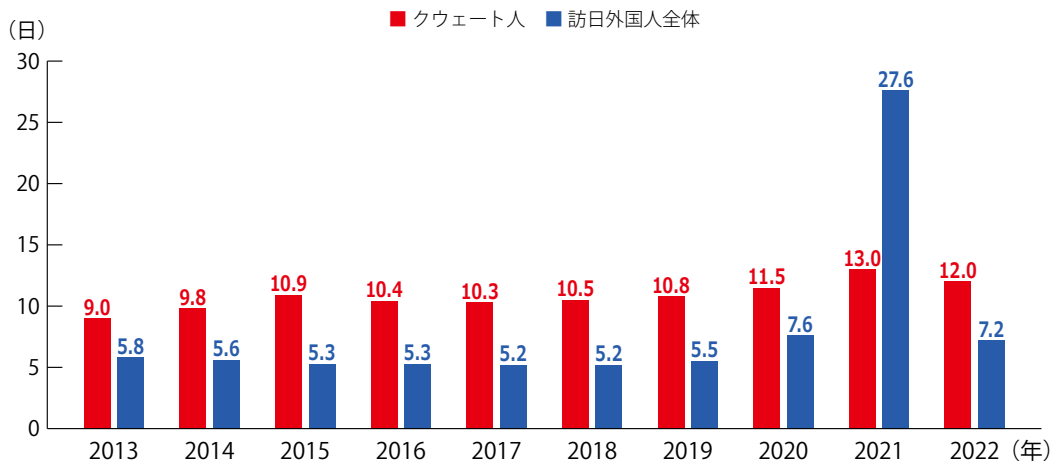


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	1	2	3	17	2	21	2	27	19	61	114	291
● 2021年	5	0	2	11	4	0	35	28	19	2	6	5
✕ 2020年	325	118	11	0	0	0	1	2	5	2	3	0
✱ 2019年	312	154	509	415	46	324	332	349	169	273	322	260
▲ 2018年	335	111	374	410	94	137	298	316	139	276	296	153

出典：日本政府観光局（JNTO）

#### (5) 訪日クウェート人の平均滞在日数の推移（2013年～2022年）



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局（JNTO）



## 第1章 概要（日本単独の情報）

### (1) 民族別構成

総人口（1億2,486万1千人）のうち、日本国籍者は97.6%（1億2,190万1千人）、外国国籍者は2.4%（296万0千人）

出典：総務省統計局 2022年12月1日時点の推計人口（確定値）

### (2) 宗教別構成

神道系（87,236,585人）、仏教系（83,242,856人）、キリスト教系（1,967,584人）、諸教（7,113,088人）

注1：各宗教とも、同じ宗教内で、もしくは異なる宗教間で、数値が大幅に重複している。

注2：上記の信者数には、教師数が含まれていない。

出典：文化庁「宗教統計調査（2021年12月31日時点）」

### (3) 使用言語

日本語

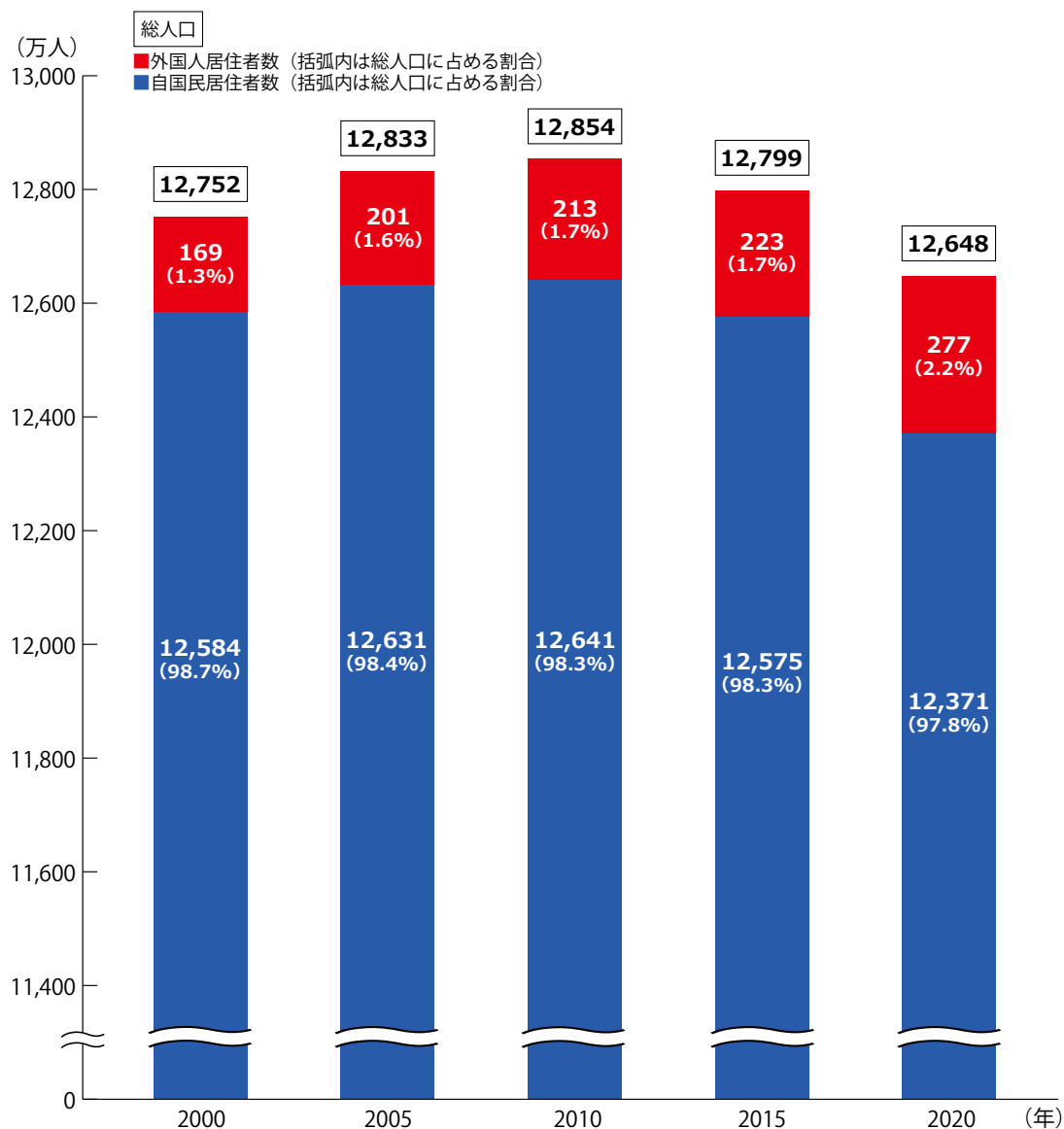
（日本語は、法律の条文によって、公用語、国語として定められていない。）

### (4) 面積

37万7,975km<sup>2</sup>

出典：総務省統計局「世界の統計2023」

## (5) 人口（2000年、2005年、2010年、2015年、2020年）



注1：上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。

注2：総人口には外国人居住者が含まれている。外国人居住者としてみなされる範疇は国によって異なり、原則的に以下のとおり類型化される。

①外国（出生国、第三国）から当該国に来て居住している外国籍者（国際移民）。当該国での居住開始から一定期間（最低3か月、国によってはそれ以上の期間）が過ぎて初めて、統計上、国際移民と認識される。当該国での定着の是非（居住が一時的であるか恒久的であるか）や居住目的（例えば、永住であるか、滞在であるかなど）は、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て国際移民に含まれる。なお、外国から当該国に来て、当該国に帰化したり市民権を付与されたりした人は、国際移民としてみなされない。

②当該国で居住している全ての外国籍者。居住経緯（外国から当該国に来て居住しているか、当該国で出生してそのまま居住しているかなどの経緯）の違いは、統計数値に影響を与える要因にはならず、全て外国人居住者に含まれる。当然、当該国に帰化した人は、当該国籍者であるため、外国人居住者としてみなされない。

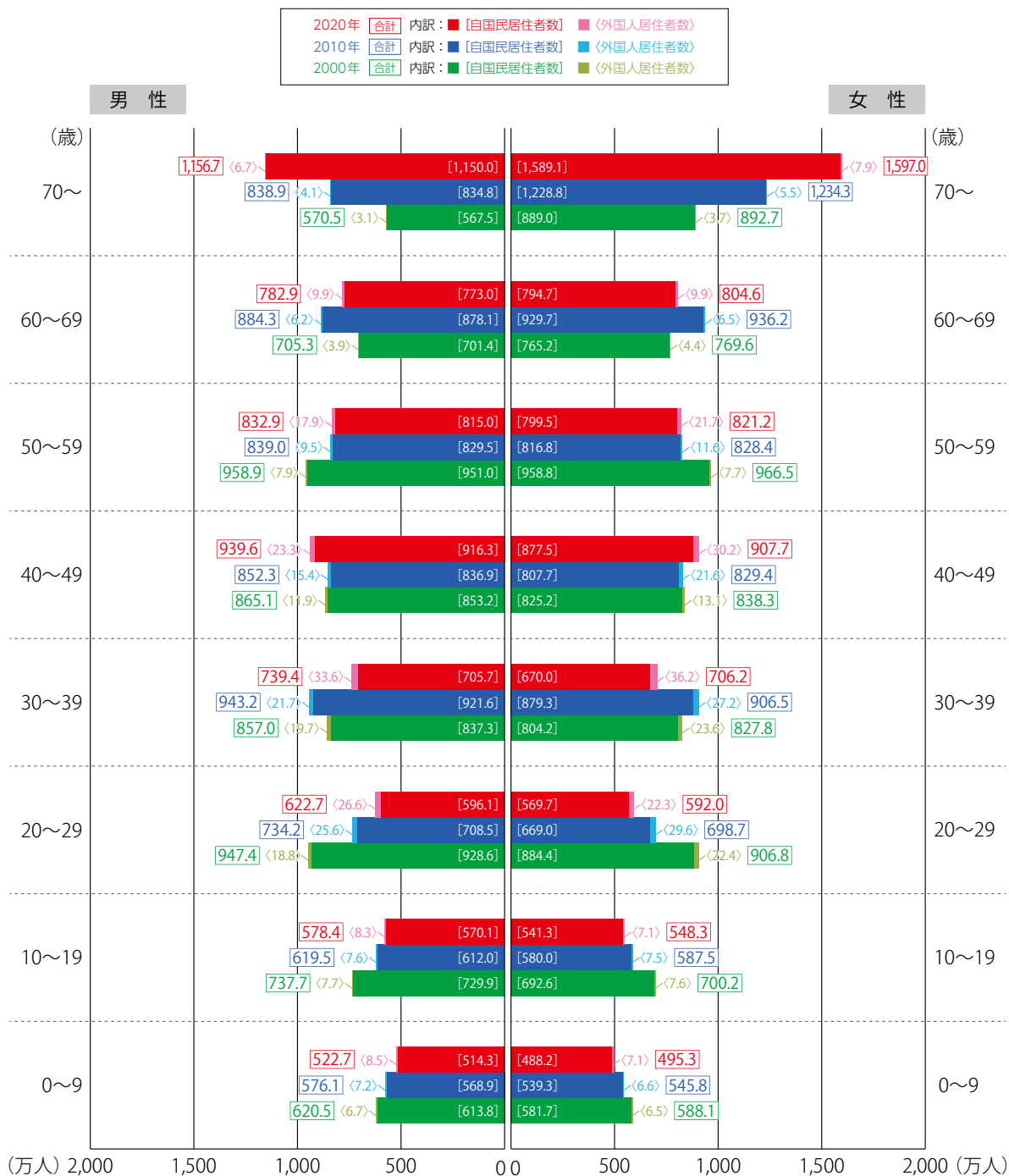
③外国から当該国に逃れている難民や亡命者（但し、国によっては外国人居住者に含めていないことがある。）

④当該国で外国人居住者に関する統計がなく、推計算出された外国人居住者

注3：日本の外国人居住者は、注2の②に該当する。

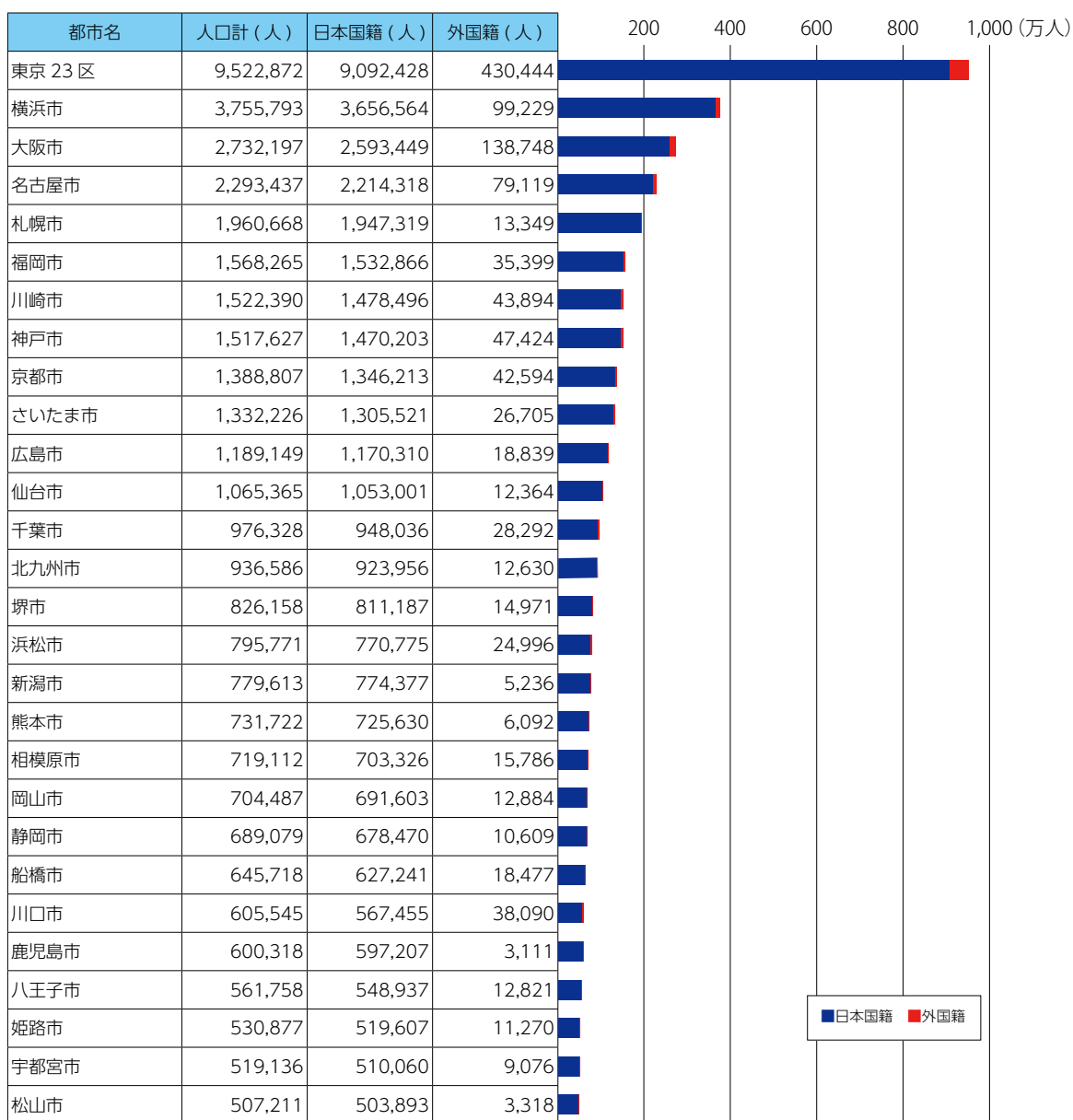
出典：国際連合の資料に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

(6) 年齢別人口 (2000年、2010年、2020年)



注1: 上の数値は、国際連合が2020年に集計した推計値である。  
 注2: 外国人居住者としてみなされる範疇は、第1章(5)に記載した内容と同じである。  
 出典: 国際連合の資料に基づき、日本政府観光局 (JNTO) が作成

## (7) 都市別人口



注：外国籍の数値には、以下①②の該当者は含まれていない。

①外国政府の外交使節団・領事機関の構成員（随員を含む）及びその家族

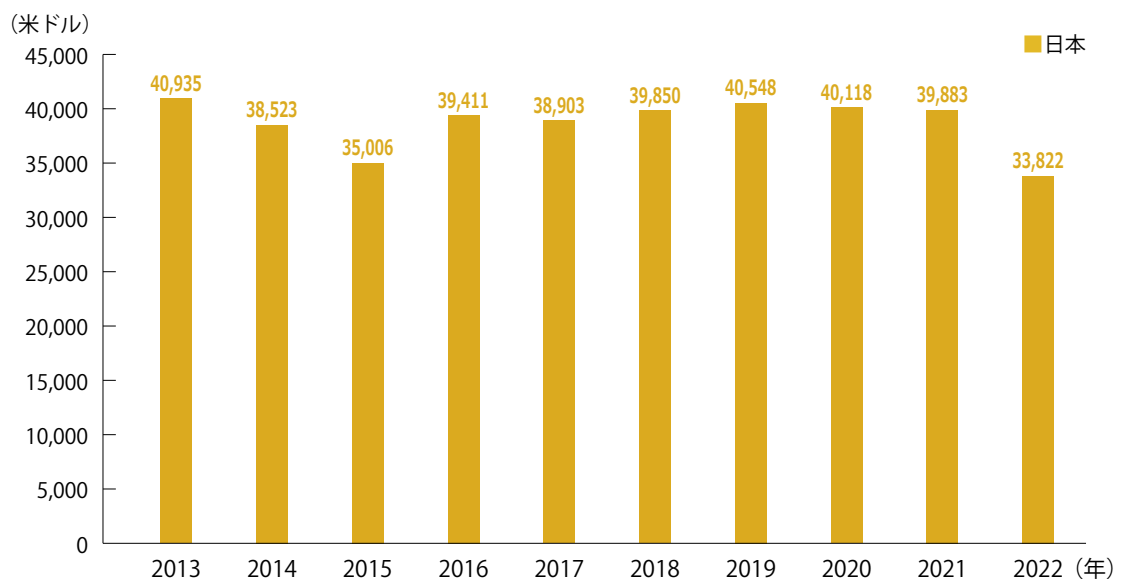
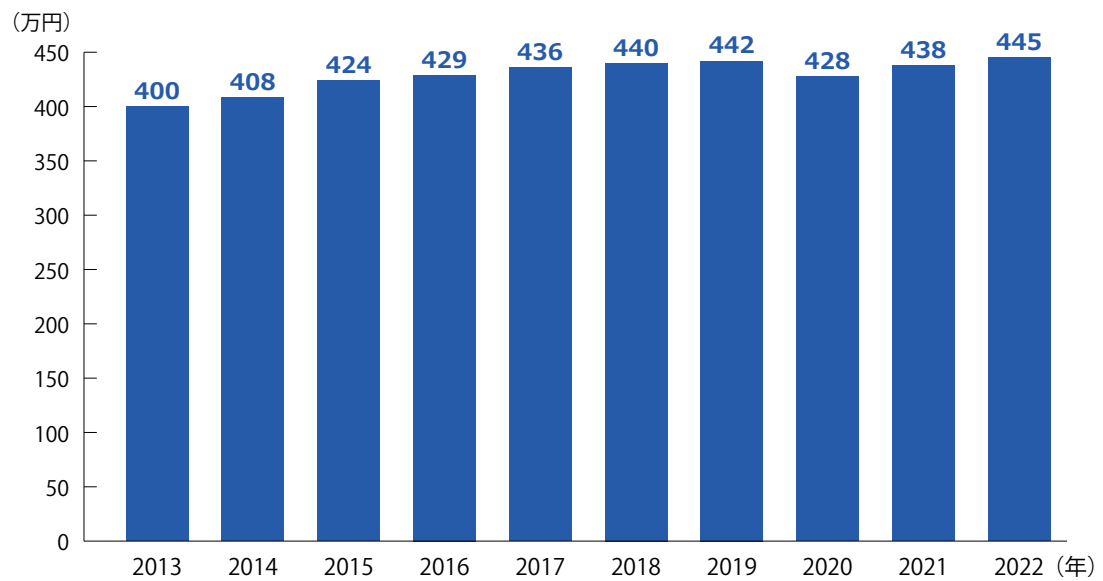
②外国軍隊の軍人・軍属及びその家族

出典：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（2022年1月1日現在）」



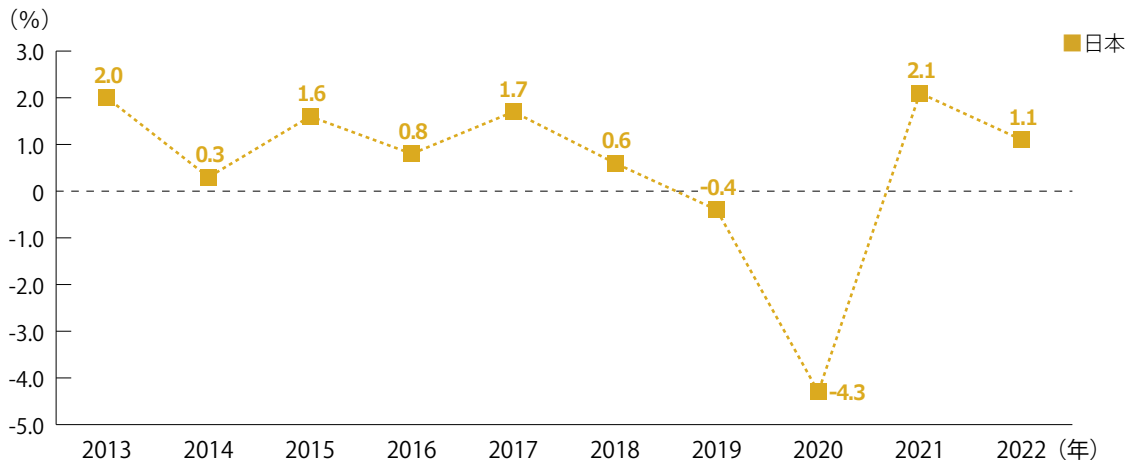
## 第2章 経済指標（日本単独の情報）

## (1) 1人当たりの名目GDP（2013年～2022年）



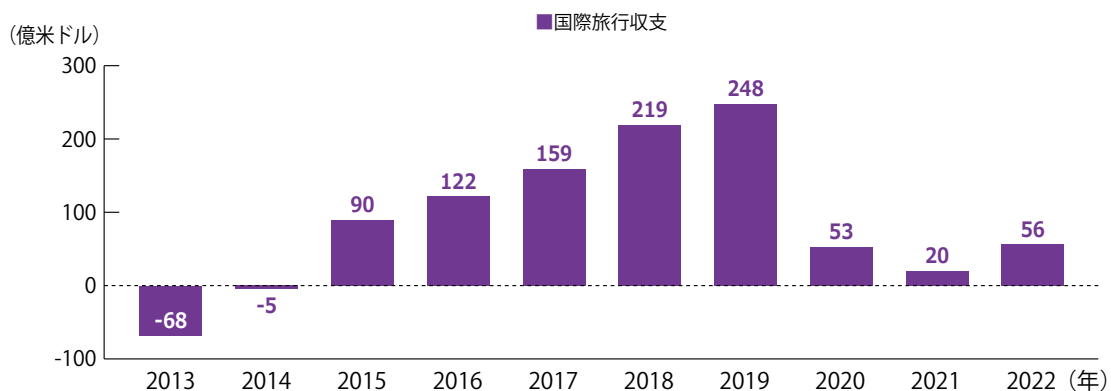
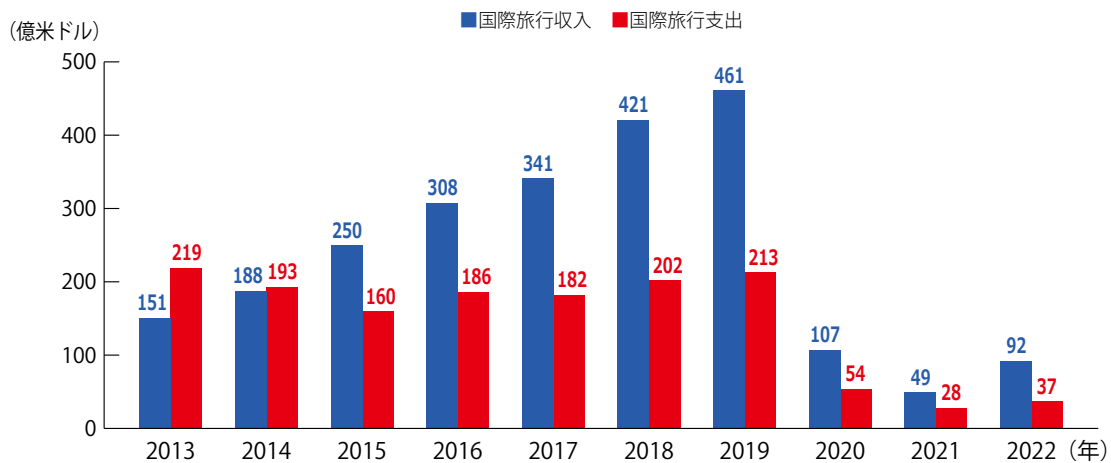
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (2) 実質経済成長率（2013年～2022年）



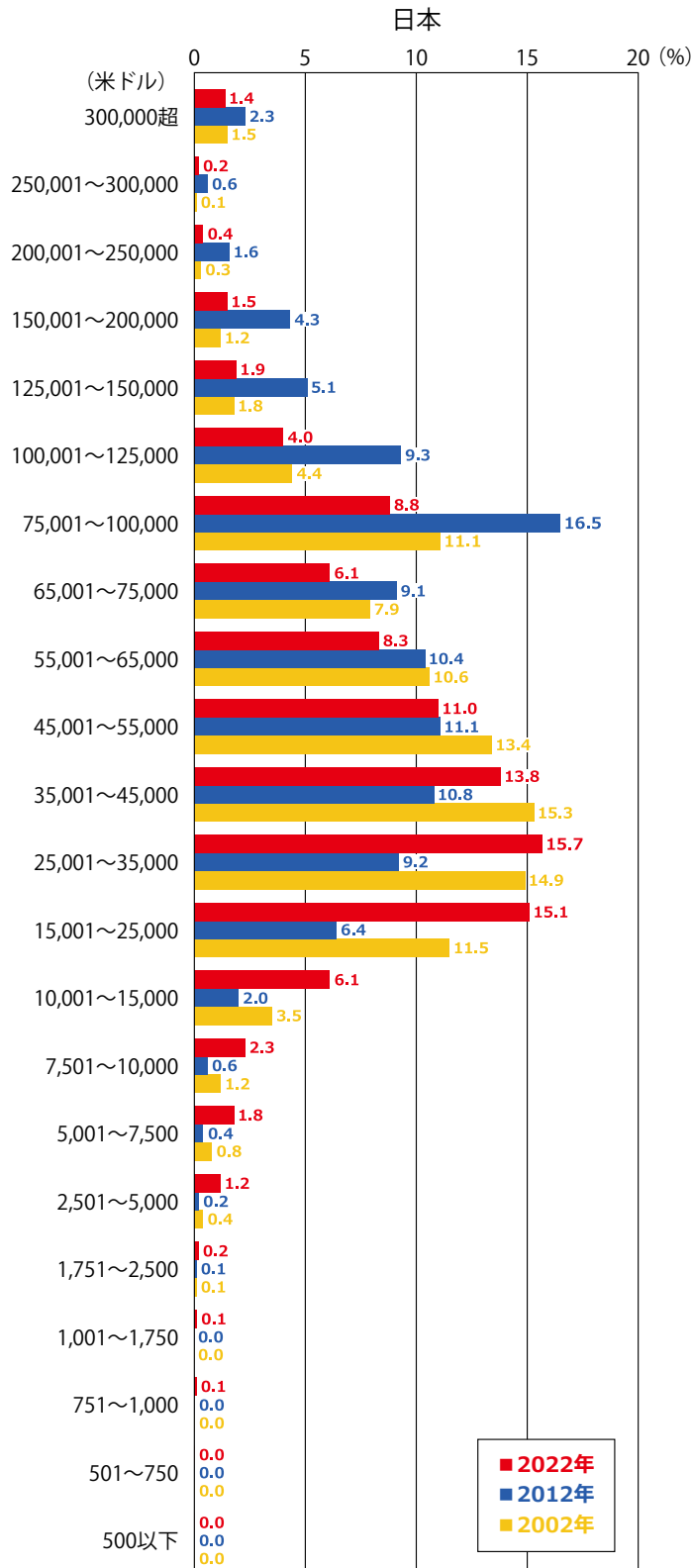
注：上の数値は、2023年4月時点の暫定値である。  
出典：国際通貨基金（IMF）

## (3) 国際旅行収入と国際旅行支出（2013年～2022年）



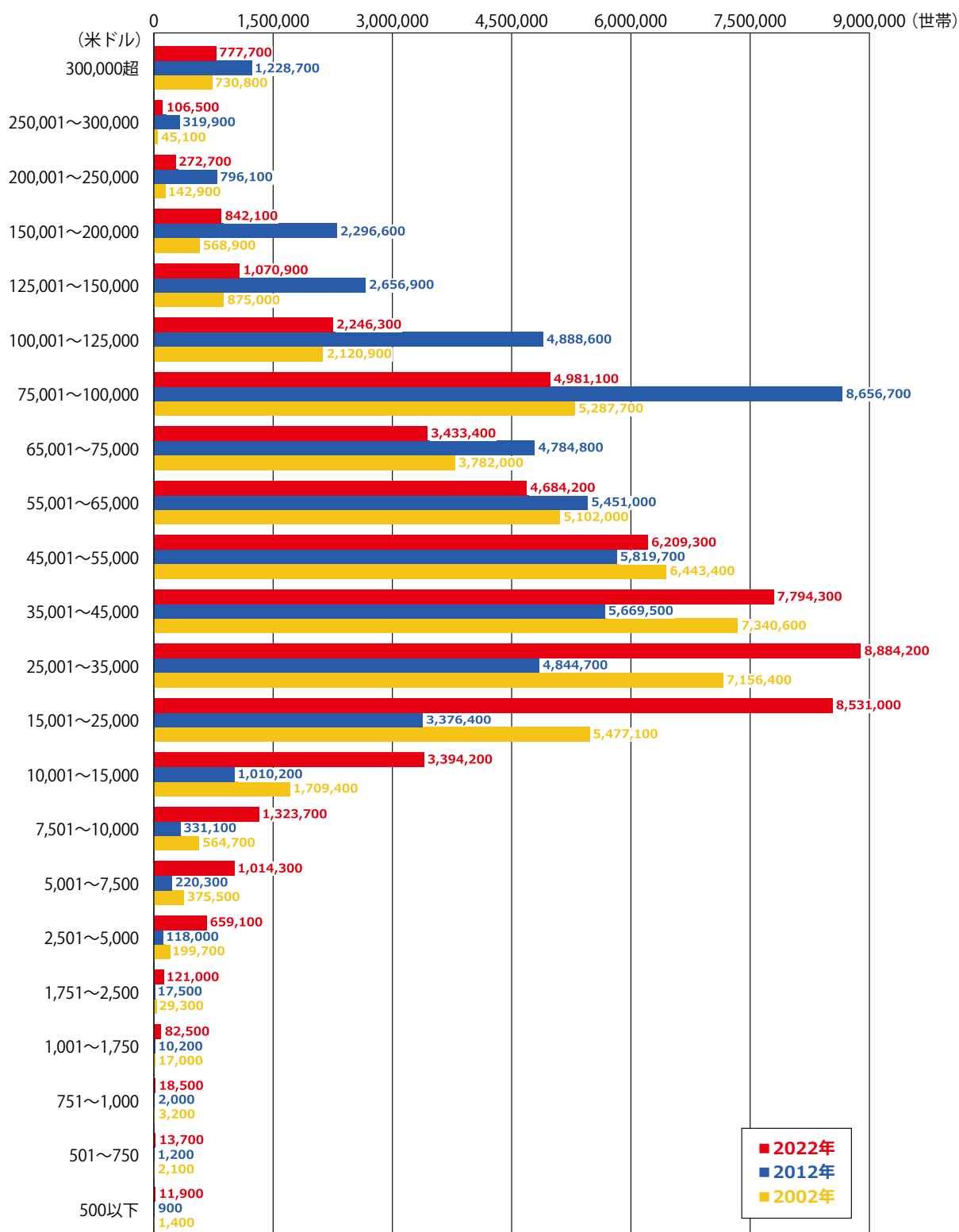
注：上の数値は、2022年12月、2023年1月、2023年5月時点の暫定値を引用したものである。  
出典：2022年の国際旅行支出以外は、国連世界観光機関（UNWTO）に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(4) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯の割合 (2002年、2012年、2022年)



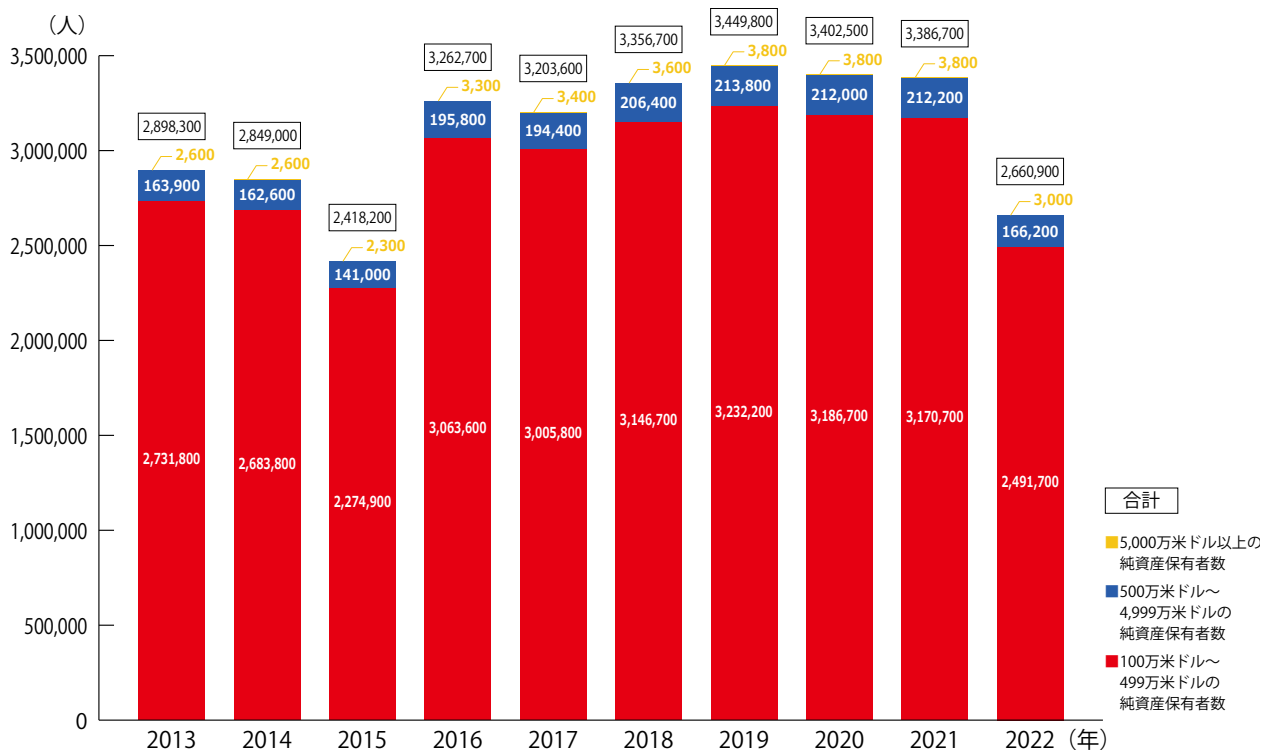
出典：ユーロモニターインターナショナル

(5) 金額別に見た年間可処分所得の該当世帯数 (2002年、2012年、2022年)



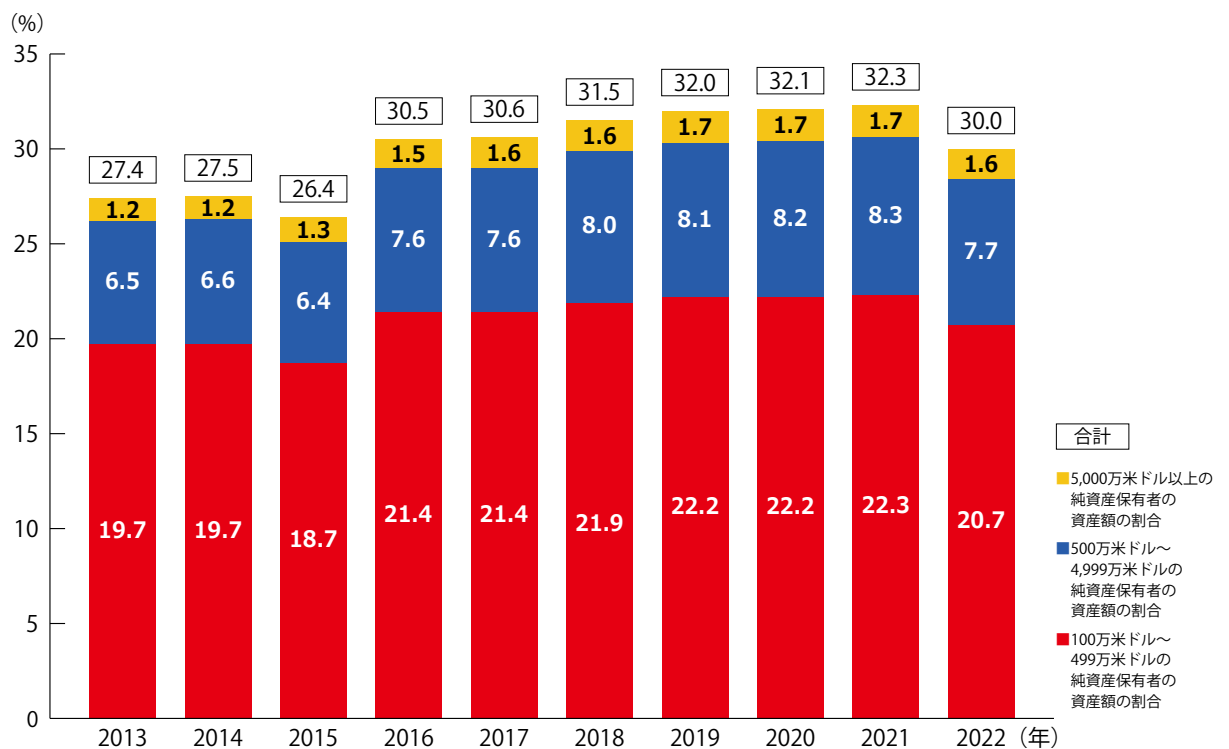
出典：ユーロモニターインターナショナル

(6) 高額純資産保有者数 (2013年～2022年)



注：上の数値は、いずれの階層も、該当する純資産額を保有する18歳以上の人の数を表している。  
 出典：ユーロモニターインターナショナル

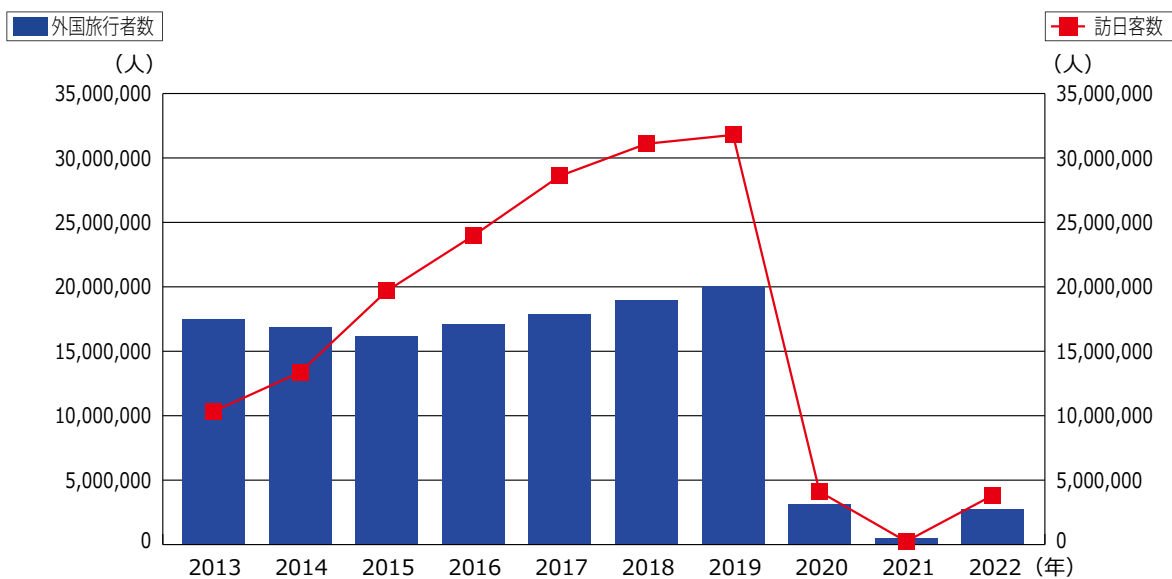
(7) 居住者全体の資産額に占める高額純資産保有者の資産額の割合 (2013年～2022年)



注：上の数値は、「当該市場の18歳以上の居住者全員の純資産合計額」に占める「当該階層の純資産合計額」の割合である。  
 出典：ユーロモニターインターナショナル

### 第3章 外国旅行の動向（出国日本人の情報）

#### (1) 日本人の外国旅行者数と訪日客数の推移（2013年～2022年）



	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
外国人旅行者数(左目盛)	17,472,748	16,903,388	16,213,789	17,116,420	17,889,292	18,954,031	20,080,669	3,174,219	512,244	2,771,770
訪日客数(右目盛)	10,363,904	13,413,467	19,737,409	24,039,700	28,691,073	31,191,856	31,882,049	4,115,828	245,862	3,832,110

注：日本人の外国旅行者数には、日帰り客が含まれている。  
 出典：日本国法務省、日本政府観光局（JNTO）

#### (2) 世界各国・地域への日本人訪問者数の推移（2017年～2021年）

[次ページへ](#)

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
1位	米国	TFR	3,595,607	3,493,313	3,752,980	696,727	121,519	3,752,980
2位	韓国	VFN	2,311,447	2,948,527	3,271,706	430,742	15,265	3,271,706
3位	中国	VFN	2,680,033	2,689,662	2,676,334			2,689,662
4位	台湾	VFR	1,898,854	1,969,151	2,167,952	269,659	10,056	2,167,952
5位	タイ	TFN	1,544,442	1,655,996	1,806,438	320,331	9,461	1,806,438
6位	ベトナム	VFR	798,119	826,674	951,962	205,274	9,255	951,962
7位	シンガポール	VFR	792,873	829,676	884,308	125,879	5,920	884,308
8位	フランス	TCER	593,840	717,574	784,886	140,881	70,482	784,886
9位	グアム	TFR	620,376	566,588	687,566	144,291	4,184	687,566
10位	フィリピン	TFR	584,180	631,821	682,788	136,664	15,024	682,788
11位	スペイン	TFR	444,518	547,182	677,659	112,916	29,368	677,659
12位	香港	TFR	813,207	852,192	660,883	23,341	334	852,192
13位	ドイツ	TCER	584,871	613,248	614,638	95,782	28,001	614,638
14位	インドネシア	VFN	573,310	530,573	519,623	92,228	5,952	573,310
15位	豪州	VFR	434,500	469,233	498,645	91,701	1,864	498,645
16位	マレーシア	TFN	392,777	394,540	424,694	74,383	3,114	424,694
17位	英国	VFR	433,196	428,952	388,839		10,154	433,196
18位	イタリア	TFN	385,971	384,004	372,979	83,839	14,350	385,971
19位	オーストリア	TCER	208,248	220,198	256,355	36,849	5,509	256,355
20位	カナダ	TFR	295,333	251,235	250,688	30,509	11,318	295,333
21位	インド	VFN	222,527	236,236	238,903	48,191	15,358	238,903
22位	スイス	TCER	231,798	223,101	227,561	17,690	6,164	231,798
23位	カンボジア	TFR	203,373	210,471	207,636	41,257	2,011	210,471
24位	マカオ	THSR	190,267	188,917	192,156	15,201	485	192,156
25位	メキシコ	TFN	151,043	156,471	153,894	41,349	27,423	156,471
26位	クロアチア	TCER	142,043	159,574	150,217	7,360	4,770	159,574
27位	チェコ	TCEN	114,955	129,119	147,760	25,301	5,221	147,760
28位	ポルトガル	TCER	143,912	141,532	145,033	31,188	6,023	145,033
29位	オランダ	THSR	117,000	119,000	131,000	22,000	11,000	131,000
30位	ミャンマー	TFN	101,484	104,376	125,706	26,100	1,171	125,706

前ページから

次ページへ

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
31位	フィンランド	TCER	124,548	113,000	119,104	26,201	5,897	124,548
32位	アラブ首長国連邦	VFN	101,910	112,096	118,020	28,111		118,020
33位	ロシア	VFN	101,827	105,251	112,286	12,822	3,401	112,286
34位	ギリシャ	TCER	62,877	93,324	110,368	11,016	4,436	110,368
35位	ニュージーランド	VFR	102,048	99,784	97,682	25,784	561	102,048
36位	トルコ	TFN	46,157	77,287	97,642	19,101	7,135	97,642
37位	ベルギー	TCER	68,253	84,508	92,207	14,428	5,272	92,207
38位	デンマーク	TCER	37,325	39,279	90,393	8,186	5,087	90,393
39位	ブラジル	TFR	60,342	63,708	78,914	20,476	1,904	78,914
40位	ポーランド	TCER	68,370	63,690	67,632	10,254	4,976	68,370
41位	ハンガリー	TCEN	66,234	66,239	67,131	11,369	3,251	67,131
42位	ノルウェー	TCER	79,243	58,623	55,092	3,951	1,399	79,243
43位	エジプト	VFN	32,743	41,807	52,409	13,936		52,409
44位	スウェーデン	TCER	47,536	46,004	46,559	5,598	3,008	47,536
45位	モルディブ	TFN	41,133	42,304	44,251	8,479	937	44,251
46位	ラオス	VFN	32,064	38,985	41,736	11,081		41,736
47位	ペルー	TFR	48,171	47,605	40,734	9,666	1,079	48,171
48位	モロッコ	TFN	32,498	35,450	39,445	9,635	927	39,445
49位	サウジアラビア	TFN	13,621	22,497	38,357	1,901	1,413	38,357
50位	スロベニア	TCEN	33,250	36,138	33,916	2,549	1,705	36,138
51位	ネパール	TFN	27,326	29,768	30,534	5,599	784	30,534
52位	エストニア	TCER	28,831	31,786	30,256	2,816	604	31,786
53位	スリランカ	TFR	44,988	49,450	30,079	6,644	392	49,450
54位	南アフリカ共和国	TFR	27,410	27,541	28,388	5,236	1,194	28,388
55位	リトアニア	TCER	23,028	28,158	27,318	2,066	517	28,158
56位	イスラエル	TFR	17,067	19,568	26,063	3,538	769	26,063
57位	アルゼンチン	TFR	25,511	26,858	25,009	7,327	273	26,858
58位	ウズベキスタン	VFR	4,039	17,052	24,944	1,418	968	24,944
59位	モンゴル	TFN	22,519	20,990	24,419	1,131	377	24,419
60位	ニューカレドニア	TFR	21,839	21,472	21,707	5,068	14	21,839
61位	ジンバブエ	VFR	34,214	32,014	20,766	2,381	145	34,214
62位	ラトビア	TCER	24,576	29,534	20,416	2,358	396	29,534
63位	パラオ	TFN	26,031	22,416	19,742	5,762		26,031
64位	アイスランド	TFN	22,397	19,137	18,512	5,578	1,126	22,397
65位	北マリアナ諸島(サイパン)	VFN	50,944	27,291	17,121	9,870	54	50,944
66位	チリ	TFN	16,998	16,511	16,691	4,258	220	16,998
67位	ルーマニア	VFR	15,296	15,939	15,631	2,668	1,878	15,939
68位	キューバ	VFR	22,020	19,311	15,545	3,799	156	22,020
69位	フィジー	TFR	6,350	11,903	14,868	2,252	233	14,868
70位	ボリビア	TFN	14,487	13,638	12,980	5,586	544	14,487
71位	ブルガリア	VFR	14,898	12,250	12,024	1,897	1,213	14,898
72位	ヨルダン	TFN	7,509	9,770	11,794	2,138	618	11,794
73位	ブルネイ	TFN	5,191	5,360	10,680	2,135	81	10,680
74位	ボスニア・ヘルツェゴビナ	TCER	6,652	7,884	10,610	447	298	10,610
75位	サンマリノ	VFN	6,761	7,087	9,804	699		9,804
76位	ウクライナ	TFR	7,435	10,318	9,784	4,629	1,543	10,318
77位	カザフスタン	VFR	8,682	8,257	9,721	723	423	9,721
78位	スロバキア	TCEN	7,555	7,474	9,691	1,651	660	9,691
79位	ニジェール	TFN	8,253	7,887	9,648	4,290		9,648
80位	ジョージア	VFR	5,969	8,236	9,413	1,101	547	9,413
81位	ザンビア	TFR	7,944	8,390	8,231	1,235	333	8,390
82位	ナイジェリア	VFN	8,386	8,294	8,223	2,435	2,707	8,386
83位	仏領ポリネシア(タヒチ)	TFR	12,808	9,912	8,176	1,071	23	12,808
84位	チュニジア	TFN	1,875	5,454	8,061	1,800	517	8,061
85位	ルクセンブルク	TCER	6,673	6,541	7,574	2,166	5,167	7,574
86位	コロンビア	TFR	7,581	8,138	7,506	1,694	1,116	8,138
87位	セルビア	TCEN	5,769	6,486	7,110	975	1,129	7,110
88位	ボツワナ	TFR	7,549	7,014		847		7,549
89位	コスタリカ	TFN	5,955	6,460	6,692	1,743	953	6,692
90位	アルバニア	VFN	5,483	6,405	6,543	512	529	6,543
91位	タンザニア	VFR	6,888	7,393	6,257	2,378	596	7,393
92位	キプロス	TCER	4,477	5,333	6,241	1,296	1,040	6,241
93位	アゼルバイジャン	VFR	4,344	5,537	6,135	604	397	6,135
94位	エクアドル	VFN	5,855	5,553	5,826	1,257	513	5,855
95位	イラン	VFN	13,370	7,631	5,736	232	169	13,370
96位	ナミビア	TFN	4,044	2,940	5,232	390	93	5,232
97位	クウェート	VFN	5,601	5,500	5,207	865	309	5,601
98位	キルギス	VFR	3,498	4,286	5,068	339	415	5,068

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 単位：人

順位	訪問先	基準	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	過去5年間の 最大値
99位	エチオピア	TFR	5,713	5,024	4,800	856	438	5,713
100位	パナマ	VFR	5,396	6,153	4,633	1,100	690	6,153
101位	モナコ	THSN	3,235	3,428	4,597	1,053	222	4,597
102位	アルメニア	TFR	3,026	3,947	4,503	400	198	4,503
103位	バングラデシュ	TFN	2,858	3,712	4,195	767	392	4,195
104位	オマーン	VFR		3,754	4,061	1,006	755	4,061
105位	パプアニューギニア	VFR	2,969	3,994	3,924	615	158	3,994
106位	グアテマラ	VFR	4,991	4,750	3,896	1,072	460	4,991
107位	トーゴ	THSR	1,644	2,281	3,450	476		3,450
108位	ベナン	TFR	2,361	3,643	3,422	3,124		3,643
109位	ベネズエラ	TFN	3,408					3,408
110位	パラグアイ	TFN	3,761	3,198	3,349	837	139	3,761
111位	北マケドニア	TCEN	3,573	3,889	3,063	262	462	3,889
112位	レバノン	TFN	2,448	3,080	3,038	615	365	3,080
113位	ブータン	TFN	2,744	2,674	3,010	275		3,010
114位	ウルグアイ	VFN	3,793	2,965	2,877			3,793
115位	モンテネグロ	TCEN	2,971	2,938	2,873	298	312	2,971
116位	ルワンダ	VFN	1,866	2,334	2,862	634	279	2,862
117位	ウガンダ	TFR	2,678			489	229	2,678
118位	モーリシャス	TFR	2,315	2,046	2,234	429	86	2,315
119位	アルジェリア	VFN	1,766	2,778	2,152	664	118	2,778
120位	マダガスカル	TFN	248	1,575	1,913	874	47	1,913
121位	ブルキナファソ	THSR	1,994	2,013	1,856	277	74	2,013
122位	ジャマイカ	TFR	1,849	1,587	1,713	406	131	1,849
123位	タジキスタン	VFR	315	565	1,594	176	218	1,594
124位	ドミニカ共和国	TFR	1,516	1,702	1,567	278	308	1,702
125位	トリニダード・トバゴ	TFN	1,191	1,576	1,491	259	68	1,576
126位	東ティモール	TFR	1,491	1,747	1,448	203	95	1,747
127位	バハマ	TFR	1,157	1,408	1,329	166	76	1,408
128位	バヌアツ	TFR	1,076	963	1,107	171		1,107
129位	エルサルバドル	TFN	3,074	1,384	1,090	368	250	3,074
130位	ニカラグア	TFN	1,645	1,315	1,054	317	122	1,645
131位	モルドバ	TCEN	1,064	940	1,004	99	163	1,064
132位	トンガ	TFR	819	733	982	168	13	982
133位	プエルトリコ	THSR	625	677	946	373		946
134位	ホンジュラス	TFN	1,022	1,893	825	250	108	1,893
135位	中央アフリカ共和国	TFN	1,014	908	812			1,014
136位	ソロモン諸島	TFR	715	805	732	100	21	805
137位	サモア	VFR	733	745	717	69	161	745
138位	セーシェル	TFR	909	671	617	109	54	909
139位	アンゴラ	TFR	512	370	550	113	87	550
140位	リヒテンシュタイン	TCER	547	416	493	74	17	547
141位	コンゴ共和国	VFR		439				439
142位	マーシャル諸島	TFR	420					420
143位	バミューダ	TFR	467	336	330	38	8	467
144位	クック諸島	TFR	559	400	324	79		559
145位	バーレーン	VFR		720	312		93	720
146位	シエラレオネ	TFR	425	789	311	89	101	789
147位	ベラルーシ	TFN	623	825	266	14		825
148位	バルバドス	TFR	312	364	260	70	18	364
149位	キリバス	TFN	179	196	252	22	1	252
150位	スリナム	TFR	239					239
151位	セントルシア	TFR	265	237	233	79	46	265
152位	アルバ	TFR	195	236	209	51	55	236
153位	ケイマン諸島	TFR	305	191	193	34	2	305
154位	マリ	TFN	207	262	175	27	67	262
155位	アンティグア・バーブーダ	TFR	105	124	161	65	26	161
156位	ニウエ	TFR	160					160
157位	ツバル	TFN	134	145	156	26		156
158位	シリア	VFN	66	81	116	24	64	116
159位	グレナダ	TFN	63	99	94	27	1	99
160位	ドミニカ国	TFR	45	105	93	33	14	105
161位	米領サモア	TFN	61	79				79
162位	米領バーミン諸島	THSN	103	26	61	3	2	103
	ケニア	VFR					2,081	2,081
	ハイチ	TFR				67	61	67



## ▶ 前ページから

統計の算出基準：V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）

F（国境到着者数）、CE（登録観光宿泊施設到着者数）、HS（ホテル到着者数）

R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

注1：訪問者数が把握できない国・地域は、本表には含まれていない。

注2：本表には、過去5年間に、年間で訪問者数が3千人を超えた国・地域を、把握できる限り掲載した。

注3：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、あるいは、2019年の訪問者数が出ていない場合はそれ以前に出ている最新年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。

但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

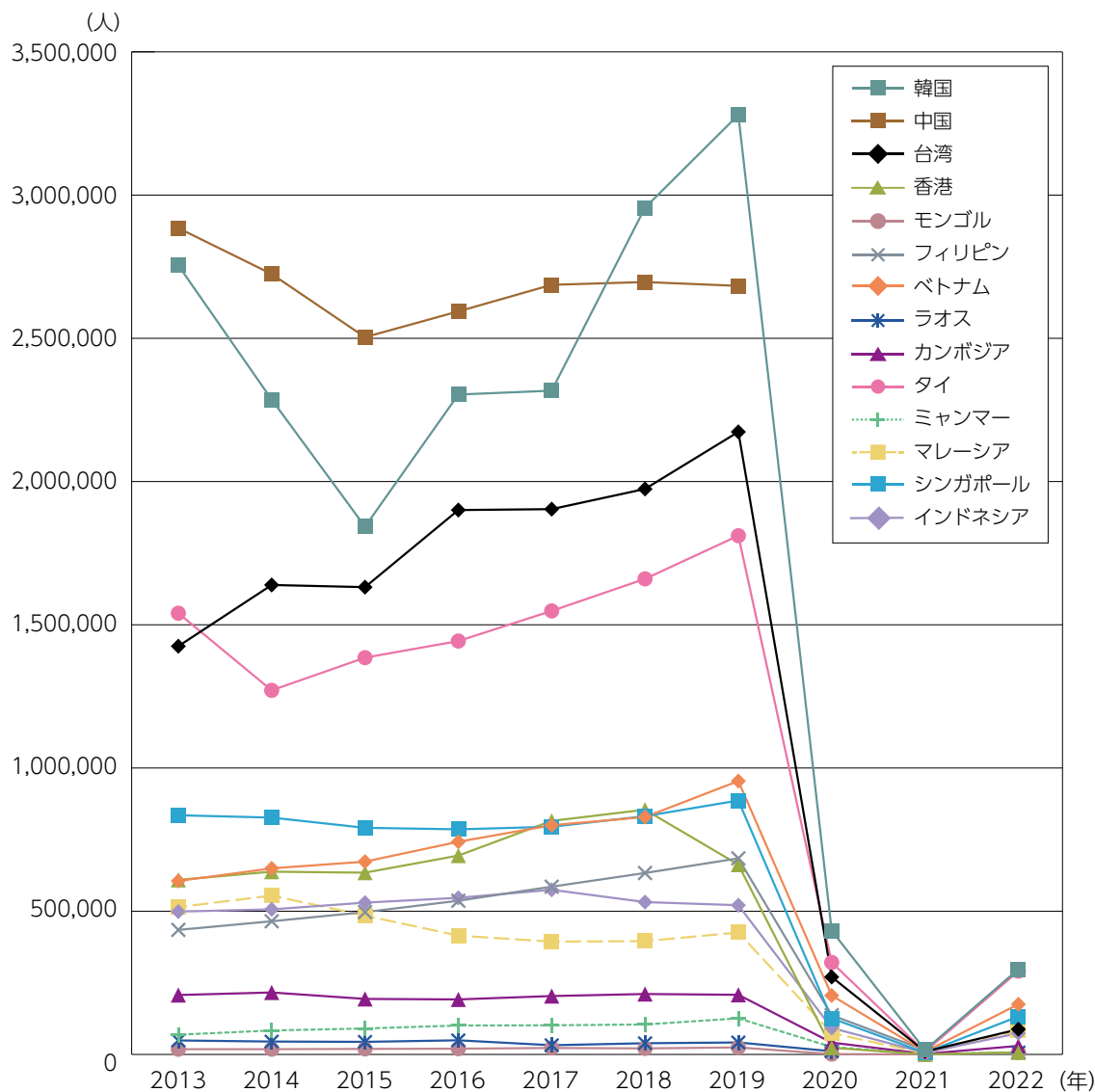
注4：2019年に訪問者数が3千人に満たなかった国・地域でも、2017年、2018年、2020年、2021年に、年間で3千人以上を記録した国・地域は、順位に関係なく掲載した。

注5：国・地域によっては、異なる算出基準の統計を複数公表していることがある。その場合は原則的に、採用する算出基準に $T > V$ 、 $F > CE > HS$ 、 $N > R$ という優先順位を付けて一つの統計を選別し、本表に掲載した。但し、(1)この優先順位では最新統計が入手しにくい場合、(2)この優先順位では数値が欠ける場合、(3)この優先順位では実態とかけ離れていると日本政府観光局（JNTO）がみなした場合には、例外的にそれらを満たす別の算出基準の統計を採用した。

注6：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局に基づき、日本政府観光局（JNTO）が作成

### (3) アジア各国・地域への日本人訪問者数の推移（2013年～2022年）



単位：人

↓コロナ流行 ↓コロナ流行 ↓コロナ流行

訪問先	基準	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
韓国	VFN	2,747,750	2,280,434	1,837,782	2,297,893	2,311,447	2,948,527	3,271,706	430,742	15,265	296,867
中国	VFN	2,877,533	2,717,600	2,497,657	2,587,440	2,680,033	2,689,662	2,676,334			
台湾	VFR	1,421,550	1,634,790	1,627,229	1,895,702	1,898,854	1,969,151	2,167,952	269,659	10,056	87,616
タイ	TFN	1,536,425	1,267,886	1,381,702	1,439,510	1,544,442	1,655,996	1,806,438	320,331	9,461	290,146
ベトナム	VFR	604,050	647,956	671,379	740,592	798,119	826,674	951,962	205,274	9,255	174,720
シンガポール	VFR	832,845	824,741	789,179	783,862	792,873	829,676	884,308	125,879	5,920	132,107
フィリピン	TFR	433,705	463,744	495,662	535,238	584,180	631,821	682,788	136,664	15,024	
香港	TFR	607,877	636,432	632,959	692,529	813,207	852,192	660,883	23,341	334	7,077
インドネシア	VFN	497,399	505,175	528,606	545,392	573,310	530,573	519,623	92,228	5,952	73,913
マレーシア	TFN	513,076	553,106	483,569	413,768	392,777	394,540	424,694	74,383	3,114	83,309
カンボジア	TFR	206,932	215,788	193,330	191,577	203,373	210,471	207,636	41,257	2,011	29,733
ミャンマー	TFN	68,761	83,434	90,312	100,784	101,484	104,376	125,706	26,100	1,171	6,605
ラオス	VFN	48,644	44,877	43,826	49,191	32,064	38,985	41,736	11,081		6,848
モンゴル	TFN	18,178	18,282	19,277	19,985	22,519	20,990	24,419	1,131	377	6,411

統計の算出基準： V（日帰りを含む旅行者数）、T（宿泊を伴った旅行者数）/ F（国境到着者数）/ R（居住地別統計）、N（国籍別統計）

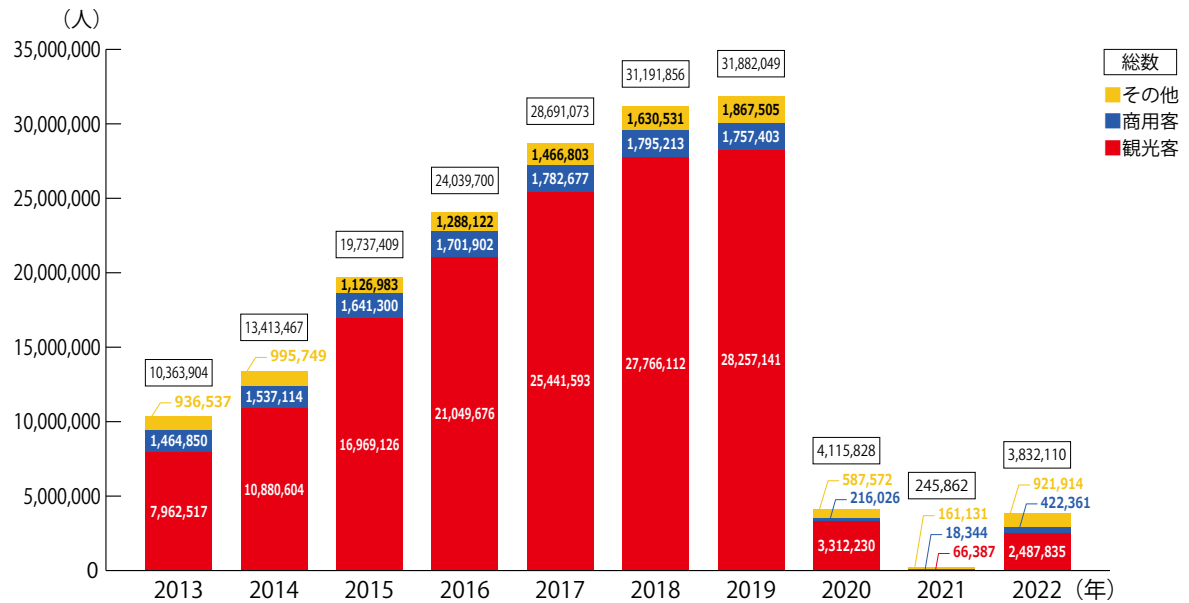
注1：本表では、新型コロナウイルス感染症の流行前である2019年の訪問者数を、多い順に並び替えて掲載した。但し、各国・地域で統計の算出基準が異なっているため、順位は参考程度に過ぎない。

注2：本表の数値は、推計値から確定値への変更、統計基準の変更、数値の非整合性などの理由により、その都度、過去にさかのぼって変更されることがある。数値は2023年9月時点のものである。

出典：日本政府観光局（JNTO）、国連世界観光機関（UNWTO）、各国政府観光局、各国統計局

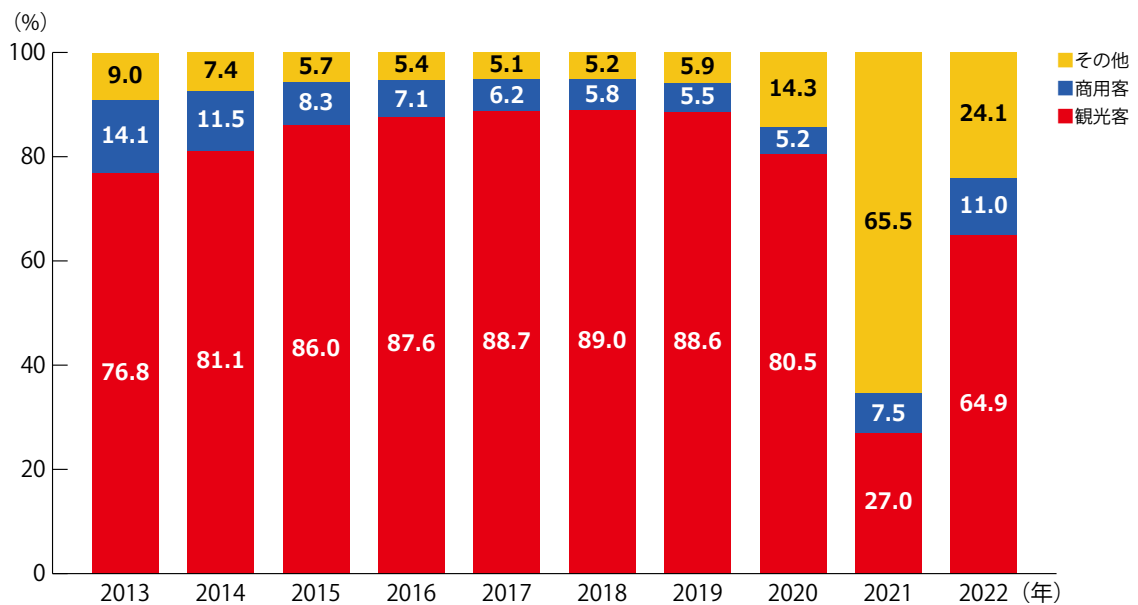
## 第4章 訪日旅行の動向（訪日外国人全体の情報）

## (1) 訪日外国人の推移（2013年～2022年）



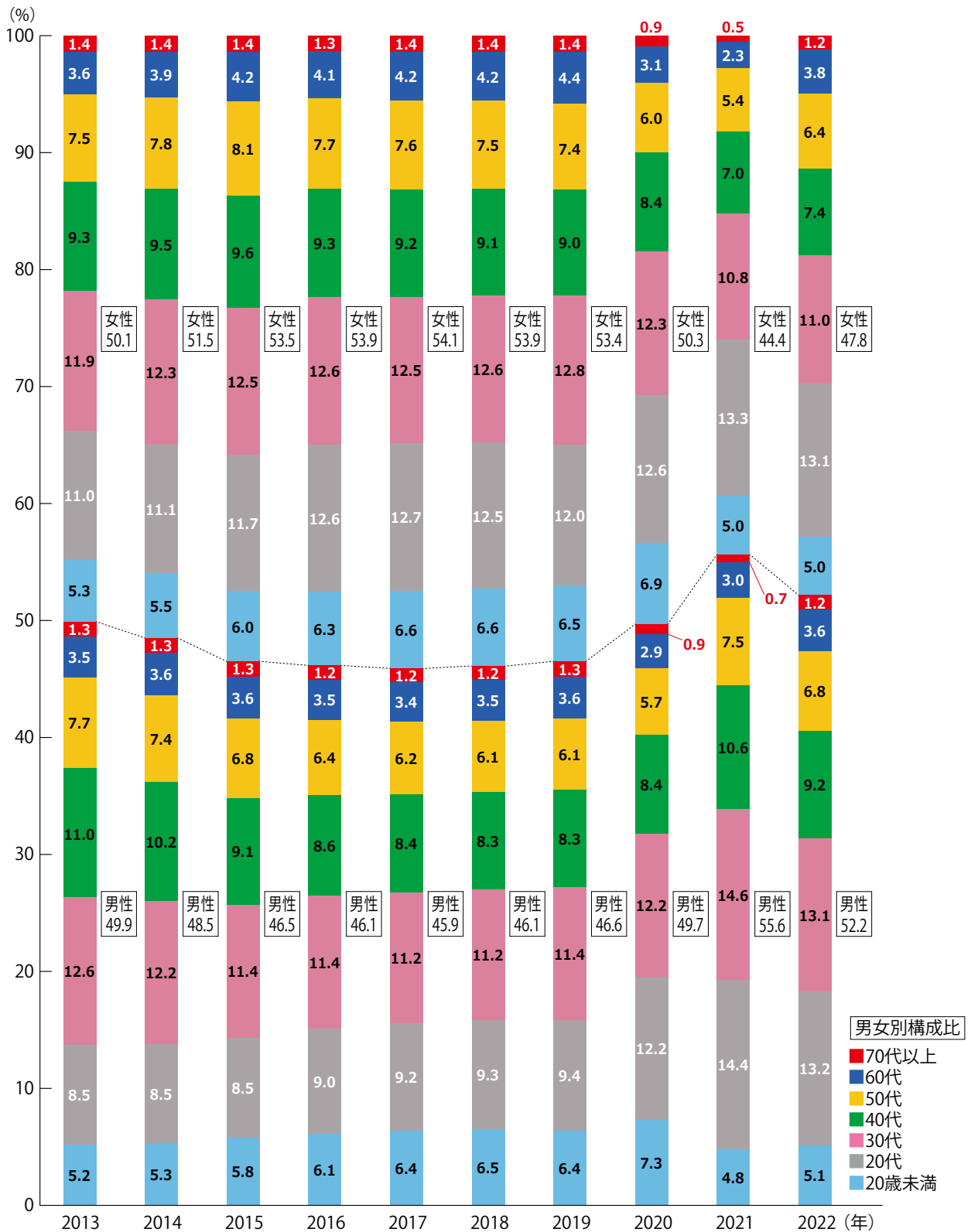
出典：日本政府観光局（JNTO）

## (2) 訪日外国人の目的別シェアの推移（2013年～2022年）



出典：日本政府観光局（JNTO）

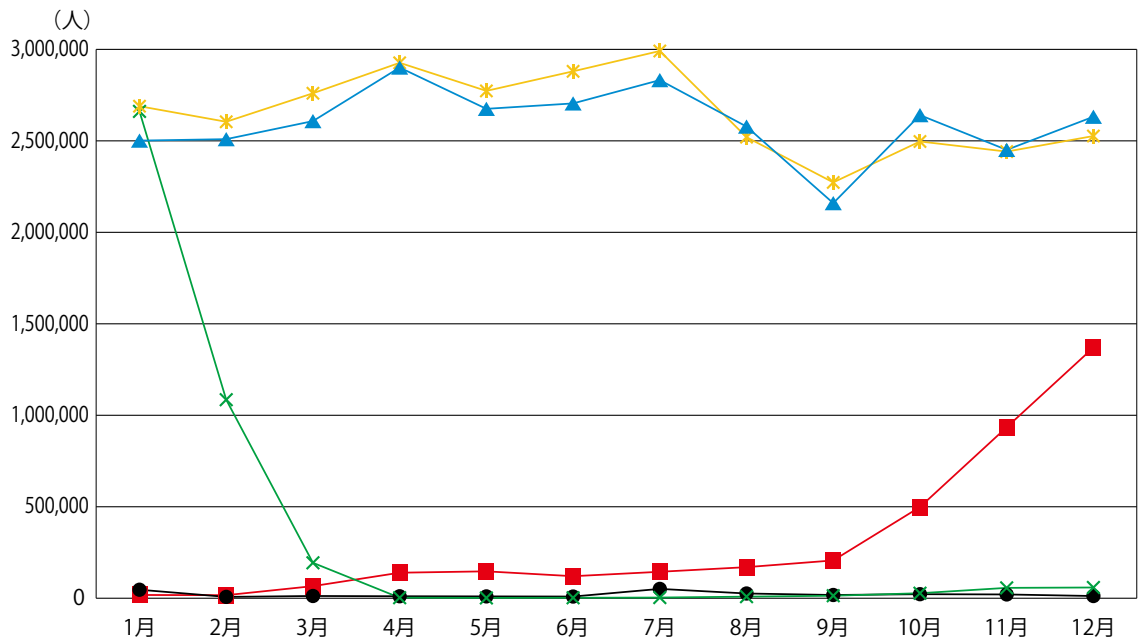
### (3) 訪日外国人の性・年齢別構成 (2013年～2022年)



注：上の数値は、日本国法務省が発表する正規入国者数（永住者、定住者などの在日外国人が含まれており、かつクルーズ旅行者などの一時上陸者が含まれていない入国者数）に基づいている。日本政府観光局（JNTO）が発表する訪日外国人数とは一致しない。

出典：日本国法務省

(4) 月別訪日外国人の推移 (2018年～2022年)

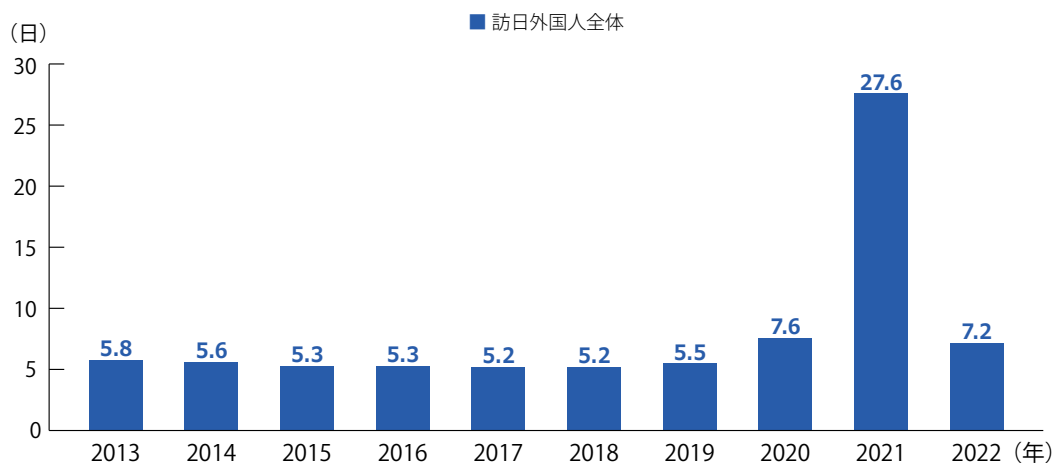


単位：人

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
■ 2022年	17,766	16,719	66,121	139,548	147,046	120,430	144,578	169,902	206,641	498,646	934,599	1,370,114
● 2021年	46,522	7,355	12,276	10,853	10,035	9,251	51,055	25,916	17,720	22,113	20,682	12,084
✕ 2020年	2,661,022	1,085,147	193,658	2,917	1,663	2,565	3,782	8,658	13,684	27,386	56,673	58,673
✱ 2019年	2,689,339	2,604,322	2,760,136	2,926,685	2,773,091	2,880,041	2,991,189	2,520,134	2,272,883	2,496,568	2,441,274	2,526,387
▲ 2018年	2,501,409	2,509,297	2,607,956	2,900,718	2,675,052	2,704,631	2,832,040	2,578,021	2,159,595	2,640,610	2,450,751	2,631,776

出典：日本政府観光局 (JNTO)

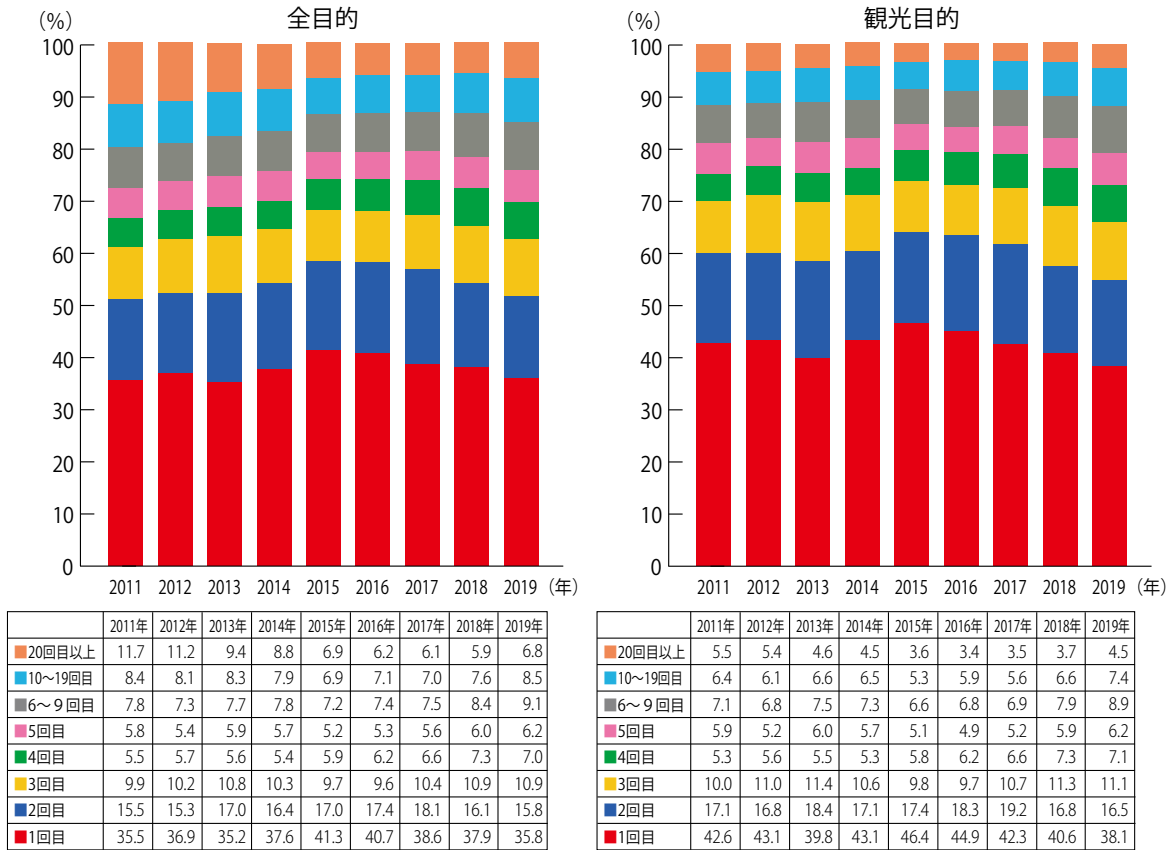
(5) 訪日外国人の平均滞在日数の推移 (2013年～2022年)



注：2020年3月から2022年10月までの間、日本政府は新型コロナウイルス感染症の防疫措置として、外国人観光客の日本への入国を規制した。当該期間中、外国人入国者は日本に長く滞在する人々が主流を占めたため、2020年、2021年、2022年の平均滞在日数が増加した。

出典：日本政府観光局 (JNTO)

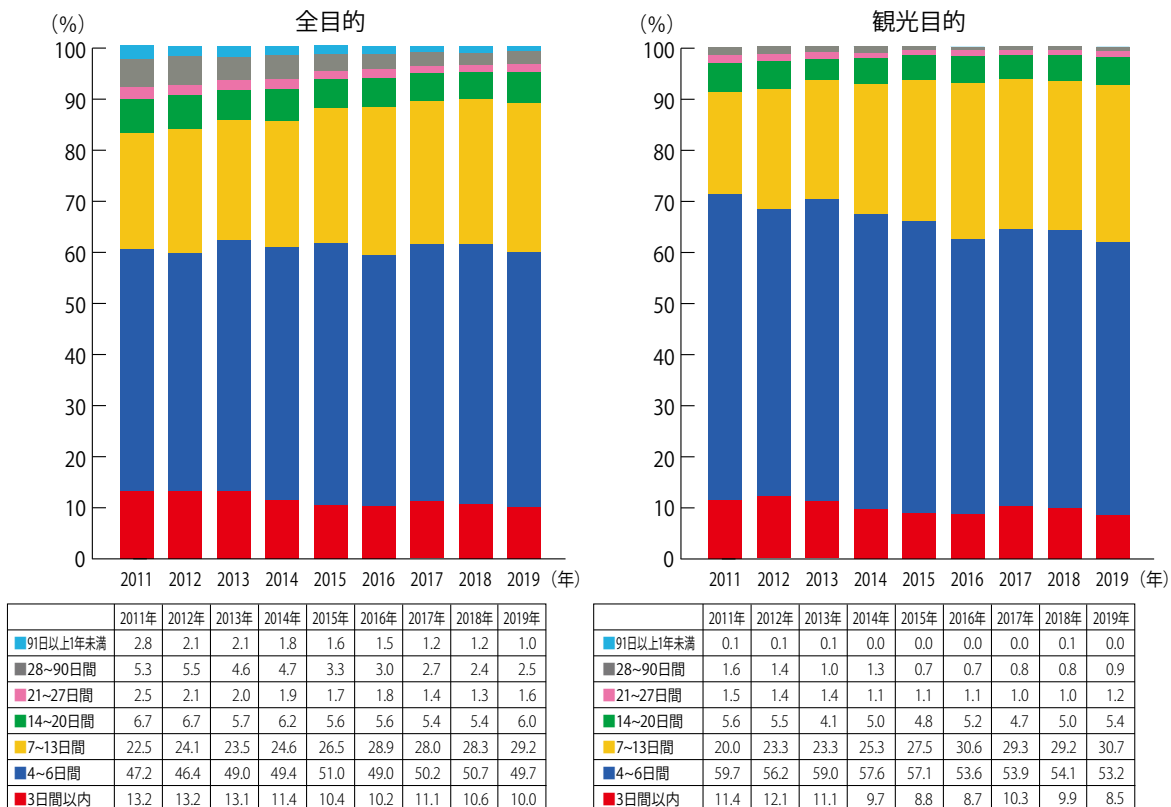
## (6) 訪日外国人の訪日回数（2011年～2019年）



注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

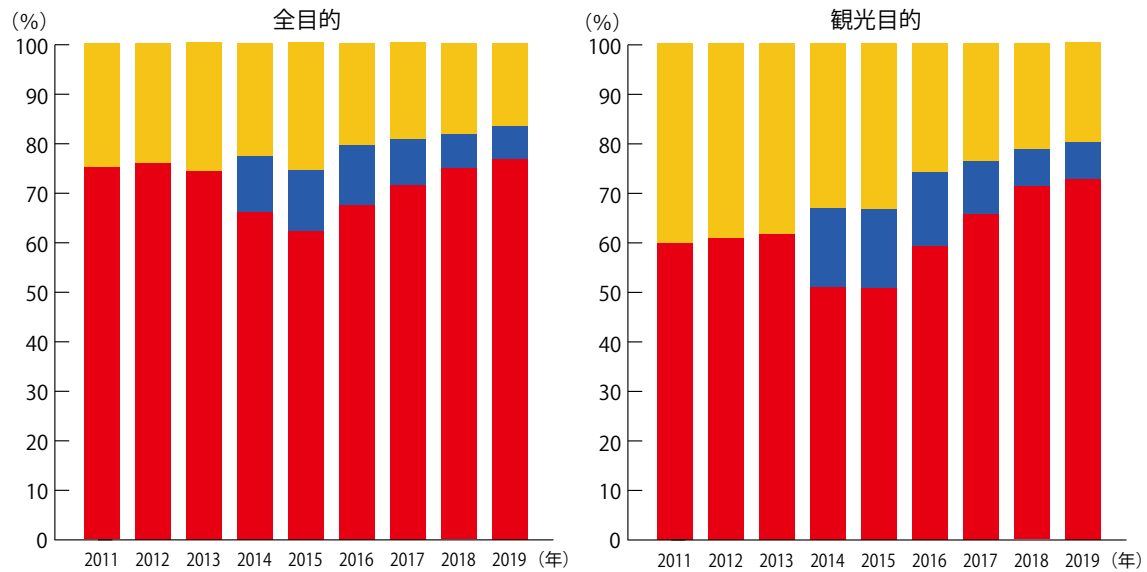
## (7) 訪日外国人の滞在期間（2011年～2019年）



注：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (8) 訪日外国人の旅行形態（2011年～2019年）



	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	25.1	24.2	25.8	22.8	25.6	20.7	19.5	18.4	16.9
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	11.3	12.3	12.0	9.2	6.9	6.5
■ 個別手配	74.9	75.8	74.2	65.9	62.1	67.3	71.4	74.7	76.6

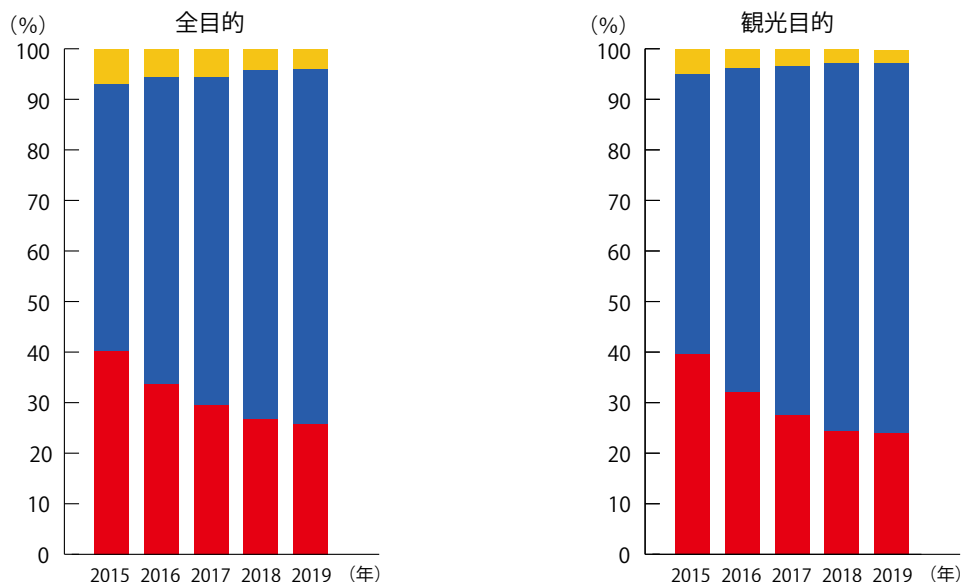
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 団体ツアーに参加	40.2	39.2	38.4	33.2	33.5	26.0	23.8	21.3	20.2
■ 個人旅行向けパッケージ商品を利用	-	-	-	15.8	15.8	14.9	10.7	7.6	7.3
■ 個別手配	59.8	60.8	61.6	50.9	50.7	59.1	65.5	71.1	72.6

注1：2013年以前は、「個人旅行向けパッケージ商品を利用」が「個別手配」の中に含まれている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (9) 訪日外国人の予約方法（2015年～2019年）



	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	6.9	5.5	5.6	4.2	4.1
■ ウェブサイトから申し込んだ	52.8	60.7	64.8	69.0	70.2
■ 店頭で申し込んだ	40.3	33.8	29.6	26.8	25.8

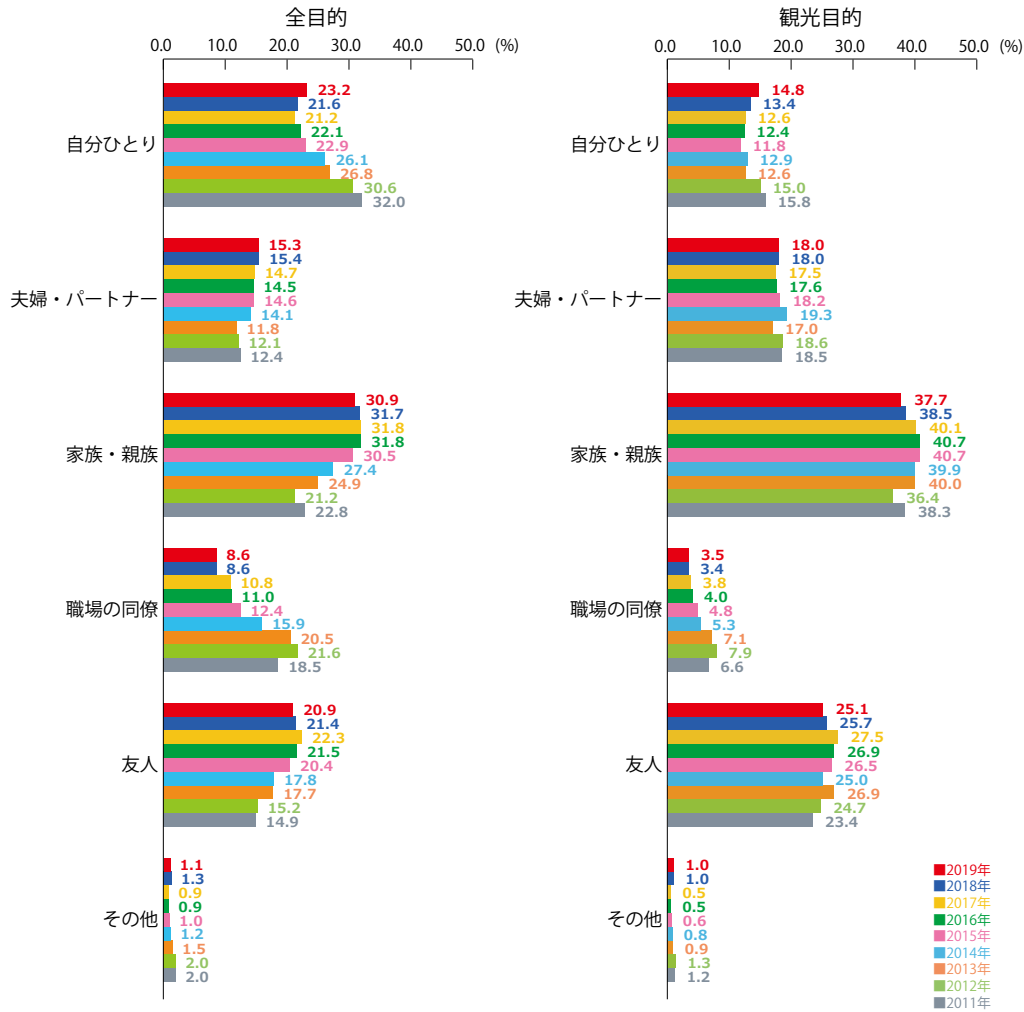
	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
■ 電話等その他の方法で申し込んだ	5.1	3.7	3.4	2.6	2.7
■ ウェブサイトから申し込んだ	55.3	64.1	69.0	72.9	73.2
■ 店頭で申し込んだ	39.7	32.2	27.6	24.4	24.0

注1：2014年以前の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (10) 訪日外国人の同行者（2011年～2019年）



注1：上の数値は2011年～2017年が複数回答、2018年～2019年が単一回答の結果である。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (11) 訪日外国人の訪日旅行に関する期待内容（2015年～2019年）

次ページへ ▶

全目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	69.7 70.5 68.3 71.2 69.7	96.6 96.2 95.8 96.1 95.8	57.6 56.7 55.4 58.0 59.3
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	24.4 24.7 22.0 22.1 20.6	42.3 44.7 45.2 43.2 42.9	21.9 20.9 22.6 22.6 22.2
旅館に宿泊	18.9 19.2 18.1 22.0 20.5	26.9 28.1 29.2 34.0 34.5	26.7 26.7 26.0 28.4 27.5
温泉入浴	26.7 28.1 26.5 29.6 29.8	32.0 33.9 33.9 36.7 37.9	49.2 49.1 41.2 42.1 43.4
自然・景勝地観光	47.0 46.5 45.4 47.9 44.0	65.9 66.1 65.5 74.4 64.0	45.0 41.3 42.9 45.4 43.5
繁華街の街歩き	43.3 41.7 39.9 41.0 39.0	74.6 73.9 74.4 73.3 71.2	26.6 24.6 30.3 30.7 30.9
ショッピング	52.6 54.4 53.4 54.5 55.3	82.8 84.0 85.1 83.4 84.1	42.9 42.1 43.2 45.2 48.9
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	20.8 20.1 12.7 13.9 12.5	29.3 29.3 20.2 20.5 20.0	17.9 15.9 17.4 18.2 18.3
テーマパーク	18.1 16.6 16.4 16.4 16.4	20.7 19.8 21.1 20.7 21.7	21.8 20.7 22.4 22.2 23.3
スキー・スノーボード	4.5 4.3 4.2 4.2 4.2	2.8 3.1 3.0 2.7 3.0	18.0 15.5 16.1 17.1 17.9
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.9 1.9 1.9 1.8 2.0	1.5 1.7 2.0 1.7 2.0	2.5 2.5 7.0 6.9 6.8
舞台・音楽鑑賞	3.9 3.8 3.9 4.4 4.3	3.7 3.3 4.2 4.3 4.5	8.8 7.5 12.2 13.2 12.9
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	3.6 2.5 2.1 2.6 2.9	2.9 1.5 1.6 1.8 2.0	7.9 7.1 9.2 10.3 10.1
自然体験ツアー・農漁村体験	6.3 6.4 3.5 6.2 5.5	7.0 6.8 6.7 6.9 6.2	16.4 15.2 15.6 16.2 15.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	13.5 12.3 11.6 11.4 10.0	13.7 13.5 12.9 11.6 10.7	26.9 24.8 29.0 30.6 29.2
映画・アニメ縁の地を訪問	4.7 4.9 4.5 4.9 4.4	4.6 4.6 4.9 4.8 4.7	10.2 9.2 10.8 11.0 10.5
日本の歴史・伝統文化体験	22.2 20.6 16.7 16.8 16.7	28.7 26.4 24.8 24.4 24.1	25.8 24.3 25.9 25.7 26.6
日本の日常生活体験	17.0 16.9 14.2 15.8 15.4	22.5 23.4 22.4 23.1 22.3	22.4 21.9 21.6 22.6 22.5
日本のポップカルチャーを楽しむ	10.2 9.8 9.3 10.4 9.2	13.5 12.7 14.6 14.8 13.8	13.6 13.0 14.3 15.0 14.2
治療・健診	0.7 0.9 0.8 0.9 1.1	0.9 0.9 1.0 1.2 1.4	1.6 1.4 3.8 3.9 3.9
上記には当てはまるものがない	7.2 5.5 7.1 6.5 6.7	0.3 0.2 0.5 0.5 0.6	1.1 1.1 2.2 2.4 2.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていらないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

観光目的

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	今回の訪日旅行前	今回の訪日旅行中	次回の訪日旅行
日本食を食べること	71.8 72.1 70.6 73.7 71.4	96.6 96.2 96.0 96.4 96.3	58.0 57.0 55.0 58.0 58.7
日本の酒を飲むこと (日本酒・焼酎等)	23.8 24.1 21.8 22.0 19.5	39.7 43.0 43.6 41.3 40.3	21.0 20.1 21.7 21.9 20.8
旅館に宿泊	21.6 21.1 21.0 25.7 24.5	30.9 31.4 33.6 39.8 41.4	27.9 27.7 27.7 30.9 29.8
温泉入浴	29.7 30.8 29.9 33.9 34.6	36.2 37.6 38.7 42.3 45.1	51.2 51.1 43.0 44.1 45.2
自然・景勝地観光	52.4 50.9 51.2 54.5 50.6	73.4 72.7 73.6 79.3 74.0	45.5 40.9 43.4 46.8 44.6
繁華街の街歩き	47.3 45.0 44.3 45.4 43.1	79.7 78.8 79.2 78.3 77.0	27.9 25.6 32.0 32.3 32.1
ショッピング	56.9 58.2 58.5 59.7 60.7	86.5 87.4 89.3 87.4 89.1	45.1 43.8 45.3 47.6 51.3
美術館・博物館・ 動植物園・水族館	22.7 21.7 19.5 15.3 13.5	31.9 31.6 21.3 22.4 21.8	17.5 15.4 17.3 18.4 18.2
テーマパーク	20.9 18.7 19.4 19.7 19.9	23.9 22.4 24.8 24.5 26.4	23.5 21.7 25.6 24.1 25.8
スキー・スノーボード	4.6 4.5 4.6 4.7 4.6	3.1 3.4 3.4 3.1 3.3	19.0 16.1 16.9 18.2 19.3
その他スポーツ (ゴルフ等)	1.7 1.8 1.8 1.7 1.9	1.3 1.6 1.8 1.4 1.6	2.1 2.4 7.1 7.0 6.6
舞台・音楽鑑賞	3.7 3.6 3.8 4.5 4.2	3.5 3.1 4.1 4.3 4.5	8.6 7.1 12.1 13.3 12.7
スポーツ観戦 (相撲・サッカー等)	2.8 2.3 2.0 2.5 2.7	2.1 1.3 25.8 1.5 1.7	6.8 6.5 9.0 10.2 9.8
自然体験ツアー・農漁村体験	6.5 6.3 6.1 6.6 5.7	7.4 6.9 7.4 7.4 6.6	15.9 14.5 15.4 16.2 15.4
四季の体感 (花見・紅葉・雪等)	14.5 12.8 12.7 12.5 11.1	14.6 12.6 13.7 12.2 11.8	27.7 25.4 30.3 32.1 31.0
映画・アニメ縁の地を訪問	5.0 5.2 4.8 5.4 4.7	4.7 4.8 5.2 5.1 5.0	11.1 9.5 11.4 11.8 11.1
日本の歴史・伝統文化体験	23.0 21.1 17.3 17.6 16.6	29.7 27.2 25.8 25.2 24.8	24.5 22.8 25.2 24.9 25.5
日本の日常生活体験	16.2 16.0 13.6 14.9 14.5	20.5 21.2 20.5 20.7 20.5	22.1 21.6 15.4 21.9 21.8
日本のポップカルチャーを楽しむ	10.8 10.4 10.0 11.6 10.3	14.1 13.4 15.4 16.1 15.4	14.1 13.5 15.0 16.0 15.2
治療・健診	0.5 0.8 0.7 0.8 0.9	0.5 0.6 0.7 0.7 0.8	1.5 1.3 4.0 3.9 4.0
上記には当てはまるものがない	3.4 2.4 2.8 2.5 2.7	0.1 0.1 0.2 0.2 0.0	0.7 0.9 1.3 1.2 1.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (12) 外国人が訪日旅行前に役立った旅行情報源（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

	全目的	観光目的
日本政府観光局ホームページ	10.4 11.3 13.3 17.3 17.0	11.4 12.6 15.3 20.2 20.3
旅行会社ホームページ	14.3 14.1 16.6 17.0 18.1	16.2 16.1 19.4 20.1 22.4
宿泊施設ホームページ	11.2 12.5 13.5 14.1 14.0	11.8 13.3 14.6 15.6 15.5
航空会社ホームページ	8.5 9.4 9.8 10.3 9.7	8.6 9.6 10.5 11.3 10.4
地方観光協会ホームページ	5.5 5.9 5.2 6.1 6.1	6.1 6.5 5.8 7.1 7.2
宿泊予約サイト	9.7 11.1 11.6 11.4 10.4	10.6 12.4 13.3 13.2 11.8
口コミサイト（トリップアドバイザー等）	15.5 15.3 13.3 13.0 11.0	16.3 16.3 14.4 14.4 12.3
SNS（Facebook/Twitter/ 微信等）	24.6 23.7 21.4 15.7 12.0	27.5 26.6 24.6 18.1 13.9
個人のブログ	24.4 30.6 31.2 30.2 27.2	28.1 35.3 36.8 36.5 33.5
動画サイト（YouTube/ 土豆網等）	14.9 11.3 8.4 6.0 4.7	16.0 12.1 9.3 6.3 4.9
その他インターネット	9.6 8.2 9.2 9.6 9.1	9.8 8.3 9.6 9.5 8.9
日本政府観光局の案内所	2.1 2.4 3.3 4.4 4.6	2.4 2.8 3.8 5.1 5.5
旅行会社パンフレット	6.8 6.3 8.5 10.0 11.7	7.9 7.2 10.1 12.1 15.0
旅行ガイドブック	11.3 13.5 14.6 16.5 17.6	12.5 15.2 16.6 18.8 20.9
自国の親族・知人	19.6 17.6 17.5 18.2 17.2	20.5 18.3 18.4 19.6 18.5
日本在住の親族・知人	13.5 12.9 14.5 15.0 15.8	9.1 8.8 9.7 10.0 9.9
旅行の展示会や見本市	1.1 1.2 1.3 1.2 1.3	1.0 1.2 1.3 1.2 1.4
テレビ番組	7.4 7.7 9.4 8.9 8.7	8.1 8.7 10.6 9.7 10.2
新聞	1.1 1.6 2.6 2.1 2.5	1.2 1.7 3.0 2.3 2.7
旅行専門誌	6.8 7.6 11.0 11.6 12.0	7.8 8.7 13.0 13.7 14.9
その他雑誌	0.5 0.6 1.2 1.0 1.0	0.5 0.6 1.4 1.1 1.1
その他	1.8 1.8 3.3 4.2 4.3	0.6 0.7 1.9 2.2 2.6
特になし	12.7 11.1 11.3 11.5 12.1	10.2 8.0 7.1 7.7 7.8

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (13) 外国人が訪日旅行中に役立った旅行情報（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：%

	全目的	観光目的
宿泊施設	33.2 32.4	36.3 35.0
交通手段	54.2 49.6	55.8 51.4
飲食店	37.9 32.9	39.3 34.2
観光施設	32.7 31.4	36.4 35.0
イベント	7.2 6.1	7.4 6.2
土産物	13.9 13.2	15.1 14.3
買物場所	24.6 23.2	26.7 25.0
無料Wi-Fi	26.6 28.0	25.8 27.1
祈祷室	0.6 0.5	0.5 0.5
ATM	8.9 8.8	8.3 7.8
宅配便	1.6 2.1	1.5 1.8
日本文化体験プログラム	6.9 6.6	7.0 6.6
自然体験ツアー・農山漁村体験	3.9 4.5	4.1 4.7
通訳案内士・観光ガイド	5.3 6.3	5.9 7.0
有料での住宅宿泊（Airbnb等）	3.5 4.0	4.0 4.5
クレジットカード利用可能店舗	7.6 7.3	7.6 7.2
その他	1.4 0.9	1.3 0.9
特になし	14.5 13.9	12.8 11.8

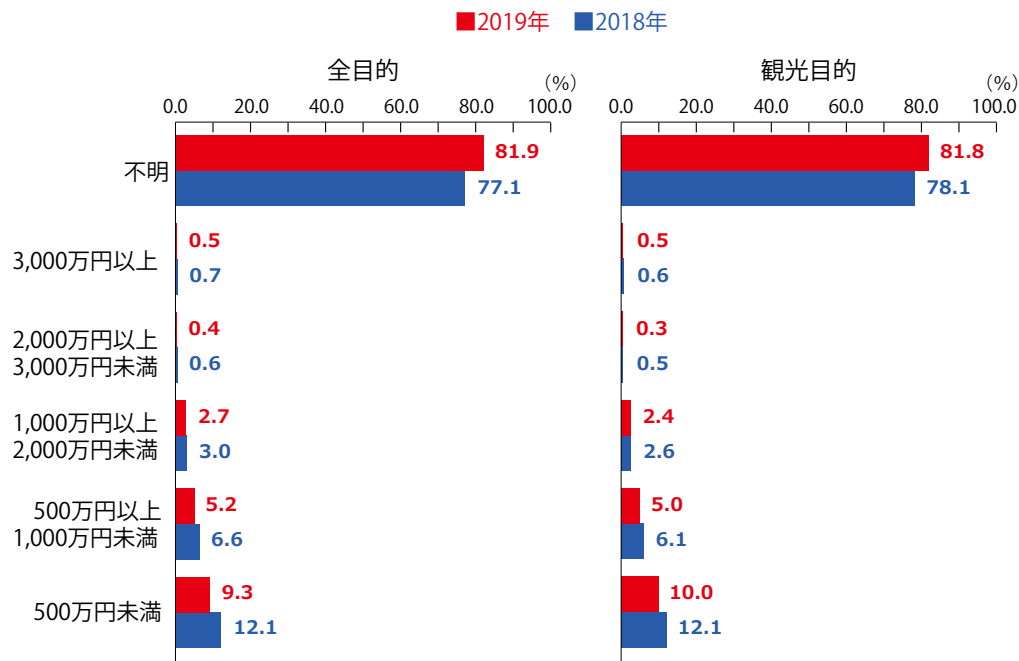
注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

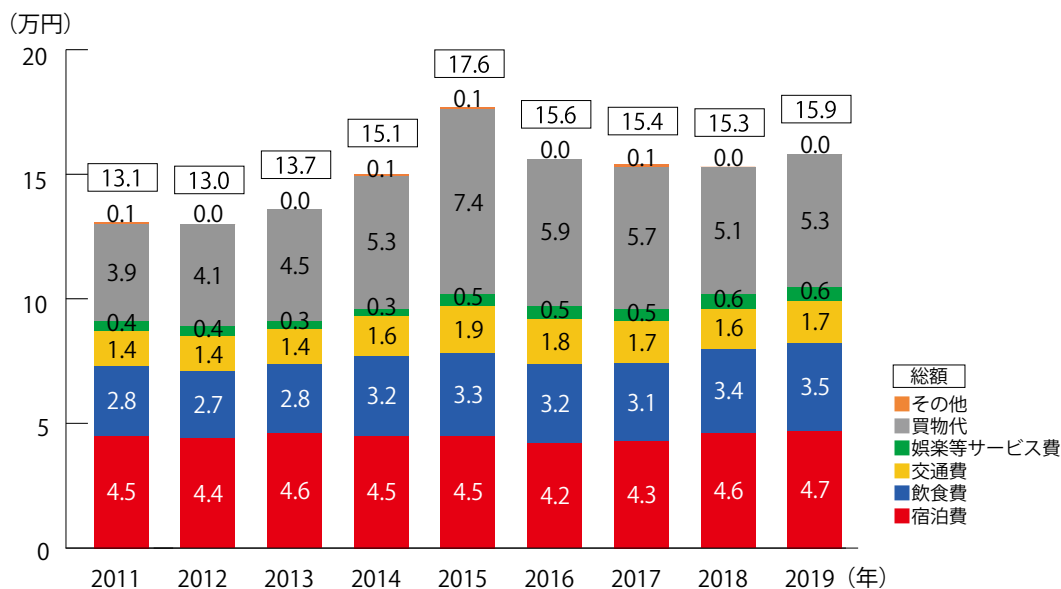
### (14) 訪日外国人の世帯収入（2018年～2019年）



注1：本数値は2015年以降存在し、2017年までは「不明」を除いて集計されていた。2018年からは「不明」を含めて集計されているため、2017年以前と比較することができず、ここでは2018年以降の数値のみを掲載した。「不明」の割合が高いことに留意する必要がある。  
 注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

日  
本

### (15) 訪日外国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2011年～2019年）



注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。  
 注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を行き来した際の交通費）が含まれていない。  
 注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。  
 注4：2018年以降、「娯楽等サービス費」には、「温泉・温浴施設・エステ・リラクゼーション」、「マッサージ・医療費」等の内容が含まれるようになったため、2017年以前とは単純比較ができない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (16) 属性別訪日外国人の日本滞在中の1人当たりの支出額（2019年）

		全目的		観光目的	
		回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)	回答数 (人)	日本滞在中の1人当たりの 支出額 (円)
全体		35,034	158,531	23,353	155,281
滞在日数	3日間以内	3,078	61,469	1,672	61,305
	4～6日間	13,944	131,410	9,928	131,345
	7～13日間	11,795	186,904	8,585	190,349
	14～20日間	3,392	249,986	2,320	266,783
	21～27日間	864	293,775	506	330,815
	28～90日間	1,341	275,383	330	325,351
	91日以上1年未満	620	596,185	12	787,396
性・年代	男性	19,597	155,774	11,486	150,629
	15～19歳	565	146,633	417	129,233
	20～29歳	5,158	151,943	3,606	137,891
	30～39歳	6,107	159,616	3,527	159,281
	40～49歳	4,037	150,194	1,916	151,295
	50～59歳	2,363	162,334	1,167	163,166
	60～69歳	1,066	164,528	633	164,397
	70歳以上	301	166,480	220	172,592
	女性	15,437	161,345	11,867	159,234
	15～19歳	531	158,759	381	152,182
	20～29歳	4,858	161,304	3,719	150,775
	30～39歳	4,579	164,548	3,610	165,652
	40～49歳	2,763	156,938	2,137	159,473
	50～59歳	1,765	158,797	1,326	161,778
60～69歳	747	160,298	543	170,780	
70歳以上	194	183,723	151	193,902	
日本への 来訪回数	1回目	14,017	175,579	10,104	171,234
	2回目	5,364	153,557	3,664	148,719
	3回目	3,447	145,900	2,267	137,129
	4回目	2,255	141,302	1,514	137,142
	5回目	1,969	152,762	1,293	147,512
	6～9回目	2,869	146,888	1,870	143,657
	10～19回目	2,833	145,443	1,644	148,450
	20回目以上	2,280	155,442	997	163,029

注1：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、パッケージツアー参加費の中の日本国内での支払い分（宿泊費・交通費等）が含まれている。

注2：「日本滞在中の1人当たりの支出額」には、航空会社・船舶会社に支払われた国際旅客運賃（居住国と日本の間を往来した際の交通費）が含まれていない。

注3：クルーズ客は上記の調査対象者に含まれていない。

注4：2019年の調査方法は、2017年以前の調査方法と異なるため、過去の数値と比較するには注意を要する。

注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (17) 項目別訪日外国人の購入者単価 (2019年)

調査項目	全目的			観光目的		
	回答数 (人)	購入者単価 (円/人)		回答数 (人)	購入者単価 (円/人)	
訪日旅行 前の支出	団体パッケージツアー	4,410	135,382	3,880	131,875	
	個人旅行向けパッケージ商品	2,053	143,783	1,655	131,666	
	往復航空(船舶)運賃	28,571	67,014	17,818	54,789	
日本滞 在 中 の 支 出	宿泊料金	25,634	53,420	17,365	46,695	
	飲食費	30,770	32,136	20,709	29,081	
	交通費	28,710	16,509	19,150	15,570	
	航空(日本国内移動のみ)	939	20,896	547	19,070	
	Japan Rail Pass	5,015	24,500	4,275	23,487	
	新幹線・鉄道・地下鉄・モノレール	22,338	9,698	14,718	8,706	
	バス	7,976	3,428	5,398	3,007	
	タクシー	7,844	7,725	4,443	6,141	
	レンタカー	2,311	20,263	2,036	18,835	
	船舶(日本国内移動のみ)	462	3,694	377	3,750	
	その他交通費	401	10,106	315	9,258	
	娯楽等サービス費	14,927	12,355	11,737	9,996	
	現地ツアー・観光ガイド	1,604	13,734	1,352	12,922	
	ゴルフ場	91	19,651	49	18,108	
	テーマパーク	4,377	9,953	3,720	10,012	
	舞台・音楽鑑賞	553	15,657	385	15,411	
	スポーツ観戦	653	46,144	308	26,715	
	美術館・博物館・動物園・水族館	8,622	3,637	6,857	3,498	
	スキー場リフト	596	21,214	507	21,356	
	温泉・湯治施設・エステ・リラクゼーション	1,810	4,946	1,368	4,437	
	マッサージ・医療費	351	21,758	221	8,475	
	展示会・コンベンション参加費	241	9,402	151	6,396	
	レンタル料(レンタカーを除く)	244	10,160	194	10,491	
	その他娯楽等サービス費	847	25,135	589	8,895	
	買物代	32,941	55,277	22,634	57,075	
	菓子類	21,181	8,222	15,293	8,067	
	酒類	7,189	8,676	4,856	7,368	
	生鮮農産物	2,495	5,819	1,909	4,320	
	その他食料品・飲料・たばこ	12,681	8,345	8,891	7,607	
	化粧品・香水	10,585	34,176	8,486	33,052	
	医薬品	7,765	14,637	6,521	14,499	
	健康グッズ・トイレタリー	3,963	14,361	3,276	14,184	
	衣類	12,780	19,585	9,518	19,097	
靴・かばん・革製品	6,538	28,986	5,105	28,783		
電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	2,362	27,425	1,720	24,470		
時計・フィルムカメラ	1,108	56,718	742	55,765		
宝石・貴金属	603	43,541	431	45,181		
民芸品・伝統工芸品	4,152	8,713	2,946	8,166		
本・雑誌・ガイドブックなど	1,901	5,894	1,288	5,519		
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	975	13,736	739	13,589		
その他買物代	2,803	16,443	1,873	14,640		
その他	135	20,807	85	12,248		

注1：購入者単価とは、当該項目の商品・サービスを購入した人の平均支出額のことである。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されておらず、本書では2019年の情報(昨年版の本書でも掲載した情報)を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査(2019年)」に基づき日本政府観光局(JNTO)が作成

## (18) 訪日外国人の買い物場所（2015年～2019年）

■2019年 ■2018年 ■2017年 ■2016年 ■2015年

単位：%

買い物場所	全目的	観光目的
百貨店・デパート	55.6 55.8 55.7 57.6 60.3	60.0 59.3 59.8 62.6 65.6
家電量販店	19.7 20.2 21.9 24.3 27.9	21.2 21.7 23.4 26.1 30.4
ファッション専門店	18.5 17.6 16.8 18.0 21.0	19.9 18.7 18.4 19.8 24.2
100円ショップ	17.0 17.7 17.9 19.0 19.5	16.5 17.5 17.4 18.7 19.0
高速道路のSA・道の駅	4.6 4.8 4.8 5.3 5.8	5.4 5.5 5.6 6.2 6.9
観光地の土産店	29.9 28.8 26.4 27.9 29.4	33.8 32.0 29.4 31.5 33.5
宿泊施設	6.3 6.3 11.3 12.8 13.5	7.2 7.2 12.8 14.8 16.1
スーパーマーケット	48.2 48.7 51.0 52.3 53.0	49.8 50.2 52.5 54.7 55.9
コンビニエンスストア	73.9 71.1 67.1 63.4 59.8	77.7 74.9 71.3 67.9 64.9
ドラッグストア	59.5 57.8 61.7 60.1 56.4	66.1 63.6 69.3 67.3 64.5
ディスカウントストア	14.8 14.7 14.3 13.6 13.5	16.2 16.3 15.9 15.1 15.4
アウトレットモール	14.0 13.7 17.3 18.5 20.0	16.0 15.6 19.5 20.9 23.6
都心の複合商業施設	20.2 19.7 15.7 16.4 14.6	22.6 21.8 17.6 18.6 16.7
その他ショッピングセンター	13.5 11.6 12.7 12.9 12.9	14.4 12.4 13.4 13.3 13.6
鉄道駅構内の店舗	9.6 8.5 9.9 10.5 11.0	10.5 8.9 10.3 11.3 11.9
空港の免税店	59.8 59.2 62.8 61.9 61.8	62.1 61.0 65.5 64.7 65.1
クルーズ寄港港湾内の店舗	0.5 0.6	0.6 0.6
その他	3.1 3.2 2.7 3.0 2.7	2.9 3.2 3.0 3.0 2.8
買い物はしなかった	2.4 2.2 2.3 2.5 2.8	1.0 0.9 0.8 0.8 0.9

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2014年以前と2015年以降の本数値の項目が同一でないため、2015年以降の数値のみを掲載した。また、「クルーズ寄港港湾内の店舗」の項目は、2018年以降新たに追加されたため、2017年以前の数値は存在しない。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていらないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2015年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## (19) 訪日外国人が消費税免税手続きをした品目（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

消費税免税の手続きの有無	割合 (%)
消費税免税の手続きをした	54.9 52.3
消費税免税の手続きをしていない	45.1 47.7

消費税免税の手続きをした品目	割合 (%)
菓子類	19.4 19.1
酒類	3.8 4.4
生鮮農産物	0.7 0.8
その他食料品・飲料・たばこ	6.8 7.3
化粧品・香水	29.2 26.2
医薬品	22.7 21.7
健康グッズ・トイレタリー	9.6 9.8
衣類	18.9 17.1
靴・かばん・革製品	12.4 10.6
電気製品（デジタルカメラ／PC／家電等）	5.7 6.1
時計・フィルムカメラ	2.1 2.2
宝石・貴金属	0.7 0.6
民芸品・伝統工芸品	1.4 1.4
本・雑誌・ガイドブックなど	0.4 0.5
音楽・映像・ゲームなどソフトウェア	0.9 0.9
その他買物代	1.4 1.6

注1：「消費税免税の手続きをした品目」の「割合」は、複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (20) 訪日外国人が利用した決済方法（2018年～2019年）

■2019年 ■2018年

単位：％

	全目的	観光目的
現金	95.7 96.1	97.4 97.5
クレジットカード	59.5 57.3	59.9 57.2
交通系ICカード（Suica等）	16.7 12.5	16.4 12.0
その他ICカード（Edy等）	0.3 0.3	0.2 0.3
デビットカード（銀聯, Visaデビット等）	9.4 9.5	10.2 10.0
モバイル決済（Alipay, WeChat等）	20.1 12.0	22.9 13.4
仮想通貨（BitCoin等）	0.0 0.1	0.0 0.0
割引クーポン	1.7 1.1	2.1 1.3
その他	0.0 0.0	0.0 0.0
お金は全く使わなかった	0.3 0.2	0.1 0.1

注1：上の数値は複数回答の結果である。

注2：2017年以前と2018年以降の本数値の項目が同一でないため、2018年以降の数値のみを掲載した。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2018年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (21) 訪日外国人の都道府県別訪問地（2011年～2019年）

都道府県	訪問率の順位 (2019年)	訪問率(%)								
		2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
東京都	1位	50.6	51.3	47.3	51.4	52.1	48.2	46.2	45.6	47.2
大阪府	2位	25.2	24.0	25.1	27.9	36.3	39.1	38.7	36.6	38.6
千葉県	3位	9.0	9.8	9.6	11.7	44.4	39.7	36.0	35.6	35.1
京都府	4位	16.7	17.3	18.9	21.9	24.4	27.5	25.9	25.8	27.8
奈良県	5位	3.3	3.4	4.4	4.9	5.2	6.9	7.3	8.9	11.7
愛知県	6位	8.8	9.4	8.5	9.2	9.8	9.5	8.9	7.8	9.0
福岡県	7位	9.7	9.4	11.0	8.9	9.5	9.9	9.8	10.4	8.7
北海道	8位	6.9	7.8	7.8	7.8	8.1	7.8	7.7	7.9	8.0
神奈川県	9位	11.8	12.7	11.2	12.3	11.3	9.6	8.5	7.5	7.8
沖縄県	10位	3.1	3.1	3.9	4.7	6.1	6.7	7.3	6.8	6.1
兵庫県	11位	5.9	5.7	6.2	6.2	6.5	6.2	5.5	6.0	6.0
山梨県	12位	4.6	5.6	5.5	4.8	6.3	5.5	5.4	4.6	5.5
静岡県	13位	2.9	3.2	2.2	4.4	5.4	5.4	4.7	4.2	4.8
大分県	14位	3.6	3.8	5.0	4.2	4.2	3.7	4.2	4.2	3.3
広島県	15位	3.3	3.1	3.0	3.4	3.0	3.5	3.0	2.9	3.0
岐阜県	16位	1.9	2.3	2.6	2.6	2.5	2.8	2.5	2.6	3.0
長野県	17位	2.1	3.0	3.2	2.9	3.2	2.8	2.8	2.7	2.9
石川県	18位	1.0	1.2	1.6	1.5	1.9	2.0	1.9	1.9	2.0
熊本県	19位	3.0	3.4	4.5	3.5	3.0	1.6	2.1	1.9	1.9
長崎県	20位	2.2	2.4	2.8	2.3	2.6	2.4	2.0	1.7	1.5
栃木県	21位	1.9	1.9	1.9	2.0	1.5	1.5	1.4	1.3	1.3
富山県	22位	1.0	1.0	1.2	1.3	1.4	1.1	1.0	1.1	1.1
和歌山県	23位	1.1	1.0	1.3	1.5	1.2	1.2	1.2	1.1	1.1
埼玉県	24位	1.9	2.0	1.6	1.8	1.4	1.3	1.0	1.0	1.1
鹿児島県	25位	0.9	0.6	0.9	0.6	0.9	0.9	1.0	1.2	1.0
岡山県	26位	0.7	0.6	0.8	0.9	0.8	0.8	0.7	1.0	1.0
宮城県	27位	1.0	1.2	1.0	1.0	0.8	0.9	0.8	0.9	1.0
香川県	28位	0.5	0.3	0.4	0.7	0.7	0.7	0.9	0.9	1.0
佐賀県	29位	0.4	0.5	0.5	0.5	0.6	0.8	0.7	1.1	0.9
茨城県	30位	1.2	1.2	1.0	1.1	0.9	0.8	0.6	0.8	0.9
三重県	31位	0.8	0.9	1.0	0.7	0.5	0.7	0.6	0.6	0.7
青森県	32位	0.4	0.5	0.4	0.5	0.4	0.5	0.6	0.6	0.7
滋賀県	33位	0.6	0.5	0.7	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.7
新潟県	34位	0.8	0.7	0.6	0.6	0.7	0.6	0.8	0.5	0.6
山口県	35位	0.5	0.4	0.4	0.4	0.9	0.9	0.8	0.9	0.6
群馬県	36位	0.8	0.8	0.7	0.7	0.5	0.7	0.5	0.5	0.5
宮崎県	37位	0.4	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.4	0.6	0.5
鳥取県	38位	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4	0.5
岩手県	39位	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.2	0.3	0.4
山形県	40位	0.2	0.3	0.4	0.3	0.2	0.3	0.4	0.3	0.4
愛媛県	41位	0.3	0.3	0.3	0.5	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4
秋田県	42位	0.3	0.3	0.3	0.3	0.2	0.3	0.3	0.3	0.3
福島県	43位	0.4	0.5	0.4	0.4	0.4	0.3	0.3	0.3	0.3
徳島県	44位	0.2	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1	0.3	0.3	0.3
島根県	45位	0.2	0.1	0.2	0.2	0.1	0.2	0.1	0.2	0.2
福井県	46位	0.3	0.2	0.2	0.2	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2
高知県	47位	0.1	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

注1：2015年以降、訪問率算出の際には、出入国時に利用した空海港が所在する都道府県を訪問したとみなしている。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(22) 訪日外国人の都道府県別宿泊地（2017年～2022年）

次ページへ ▶

都道府県	延べ宿泊者数の 順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2017年	2018年	2019年
東京都	1位	19,775,890 (24.8%)	23,194,530 (24.6%)	29,350,650 (25.4%)
大阪府	2位	11,672,040 (14.6%)	15,124,140 (16.0%)	17,926,170 (15.5%)
京都府	3位	5,556,380 (7.0%)	6,267,750 (6.6%)	12,025,050 (10.4%)
北海道	4位	7,702,470 (9.7%)	8,335,030 (8.8%)	8,805,160 (7.6%)
千葉県	5位	3,675,180 (4.6%)	4,115,770 (4.4%)	4,798,250 (4.1%)
福岡県	6位	3,112,070 (3.9%)	3,366,510 (3.6%)	4,261,960 (3.7%)
沖縄県	7位	4,623,800 (5.8%)	6,201,270 (6.6%)	7,750,760 (6.7%)
神奈川県	8位	2,336,510 (2.9%)	2,753,800 (2.9%)	3,248,700 (2.8%)
愛知県	9位	2,542,860 (3.2%)	2,850,230 (3.0%)	3,633,500 (3.1%)
長野県	10位	1,289,960 (1.6%)	1,527,160 (1.6%)	1,577,570 (1.4%)
静岡県	11位	1,501,920 (1.9%)	1,793,750 (1.9%)	2,493,790 (2.2%)
大分県	12位	1,386,930 (1.7%)	1,442,210 (1.5%)	1,206,780 (1.0%)
山梨県	13位	1,608,760 (2.0%)	1,961,210 (2.1%)	2,054,960 (1.8%)
広島県	14位	927,890 (1.2%)	1,237,170 (1.3%)	1,322,280 (1.1%)
兵庫県	15位	1,248,220 (1.6%)	1,259,930 (1.3%)	1,366,850 (1.2%)
岐阜県	16位	975,060 (1.2%)	1,484,320 (1.6%)	1,660,330 (1.4%)
熊本県	17位	807,750 (1.0%)	1,013,020 (1.1%)	934,990 (0.8%)
長崎県	18位	779,250 (1.0%)	860,090 (0.9%)	753,310 (0.7%)
新潟県	19位	315,400 (0.4%)	404,890 (0.4%)	480,490 (0.4%)
石川県	20位	777,240 (1.0%)	973,950 (1.0%)	984,720 (0.9%)
和歌山県	21位	525,050 (0.7%)	584,350 (0.6%)	658,480 (0.6%)
宮城県	22位	264,470 (0.3%)	402,110 (0.4%)	563,040 (0.5%)
栃木県	23位	271,810 (0.3%)	323,390 (0.3%)	354,830 (0.3%)
岡山県	24位	438,970 (0.6%)	469,460 (0.5%)	486,600 (0.4%)
埼玉県	25位	219,440 (0.3%)	230,470 (0.2%)	219,520 (0.2%)
茨城県	26位	230,690 (0.3%)	254,190 (0.3%)	217,410 (0.2%)
三重県	27位	334,230 (0.4%)	340,580 (0.4%)	388,950 (0.3%)
山口県	28位	117,330 (0.1%)	122,630 (0.1%)	104,360 (0.1%)
群馬県	29位	291,460 (0.4%)	289,400 (0.3%)	292,490 (0.3%)
富山県	30位	287,720 (0.4%)	306,200 (0.3%)	357,830 (0.3%)
滋賀県	31位	388,580 (0.5%)	412,510 (0.4%)	423,890 (0.4%)
福島県	32位	130,300 (0.2%)	176,360 (0.2%)	214,690 (0.2%)
鹿児島県	33位	744,180 (0.9%)	830,540 (0.9%)	839,900 (0.7%)
香川県	34位	482,300 (0.6%)	546,100 (0.6%)	771,730 (0.7%)
愛媛県	35位	178,590 (0.2%)	229,530 (0.2%)	216,270 (0.2%)
青森県	36位	260,330 (0.3%)	349,050 (0.4%)	356,550 (0.3%)
奈良県	37位	389,440 (0.5%)	438,670 (0.5%)	535,290 (0.5%)
山形県	38位	117,860 (0.1%)	163,460 (0.2%)	234,050 (0.2%)
岩手県	39位	187,930 (0.2%)	258,920 (0.3%)	343,970 (0.3%)
宮崎県	40位	296,670 (0.4%)	326,530 (0.3%)	326,260 (0.3%)
佐賀県	41位	385,250 (0.5%)	391,900 (0.4%)	359,240 (0.3%)
徳島県	42位	102,810 (0.1%)	116,230 (0.1%)	133,560 (0.1%)
秋田県	43位	104,660 (0.1%)	123,430 (0.1%)	139,400 (0.1%)
福井県	44位	61,160 (0.1%)	75,860 (0.1%)	97,730 (0.1%)
鳥取県	45位	140,530 (0.2%)	194,730 (0.2%)	184,600 (0.2%)
島根県	46位	47,860 (0.1%)	72,740 (0.1%)	104,090 (0.1%)
高知県	47位	75,410 (0.1%)	79,160 (0.1%)	95,360 (0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、調査対象となっている全宿泊施設からの回答に基づき集計されている。  
 注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。  
 注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。  
 出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## ▶ 前ページから

都道府県	延べ宿泊者数の順位(2022年)	延べ宿泊者数[人泊(構成比: %)]		
		2020年	2021年	2022年
東京都	1位	5,003,240 (24.6%)	1,536,490 (35.6%)	6,775,590 (41.1%)
大阪府	2位	3,224,750 (15.9%)	319,380 (7.4%)	2,129,680 (12.9%)
京都府	3位	1,708,410 (8.4%)	105,580 (2.4%)	1,413,310 (8.6%)
北海道	4位	2,050,370 (10.1%)	66,130 (1.5%)	857,170 (5.2%)
千葉県	5位	1,141,600 (5.6%)	597,650 (13.8%)	851,640 (5.2%)
福岡県	6位	623,350 (3.1%)	104,290 (2.4%)	606,420 (3.7%)
沖縄県	7位	1,065,410 (5.2%)	237,420 (5.5%)	582,900 (3.5%)
神奈川県	8位	594,600 (2.9%)	244,400 (5.7%)	509,100 (3.1%)
愛知県	9位	660,140 (3.2%)	108,370 (2.5%)	342,470 (2.1%)
長野県	10位	526,750 (2.6%)	62,830 (1.5%)	179,910 (1.1%)
静岡県	11位	267,390 (1.3%)	93,450 (2.2%)	170,960 (1.0%)
大分県	12位	162,050 (0.8%)	25,010 (0.6%)	169,630 (1.0%)
山梨県	13位	356,740 (1.8%)	24,600 (0.6%)	167,200 (1.0%)
広島県	14位	169,010 (0.8%)	43,430 (1.0%)	142,540 (0.9%)
兵庫県	15位	180,050 (0.9%)	53,460 (1.2%)	125,650 (0.8%)
岐阜県	16位	289,700 (1.4%)	30,710 (0.7%)	121,540 (0.7%)
熊本県	17位	140,390 (0.7%)	35,860 (0.8%)	100,160 (0.6%)
長崎県	18位	148,320 (0.7%)	111,610 (2.6%)	95,330 (0.6%)
新潟県	19位	255,190 (1.3%)	30,670 (0.7%)	87,450 (0.5%)
石川県	20位	189,490 (0.9%)	13,150 (0.3%)	87,210 (0.5%)
和歌山県	21位	69,220 (0.3%)	9,830 (0.2%)	73,800 (0.4%)
宮城県	22位	131,270 (0.6%)	49,490 (1.1%)	65,620 (0.4%)
栃木県	23位	62,690 (0.3%)	24,810 (0.6%)	65,360 (0.4%)
岡山県	24位	74,260 (0.4%)	21,900 (0.5%)	59,130 (0.4%)
埼玉県	25位	39,960 (0.2%)	26,130 (0.6%)	57,100 (0.3%)
茨城県	26位	52,520 (0.3%)	24,880 (0.6%)	55,400 (0.3%)
三重県	27位	58,560 (0.3%)	16,990 (0.4%)	48,740 (0.3%)
山口県	28位	31,510 (0.2%)	19,580 (0.5%)	48,600 (0.3%)
群馬県	29位	70,410 (0.3%)	17,290 (0.4%)	46,670 (0.3%)
富山県	30位	50,770 (0.2%)	10,870 (0.3%)	41,660 (0.3%)
滋賀県	31位	59,970 (0.3%)	18,740 (0.4%)	41,060 (0.2%)
福島県	32位	87,680 (0.4%)	34,840 (0.8%)	38,350 (0.2%)
鹿児島県	33位	121,380 (0.6%)	15,790 (0.4%)	38,070 (0.2%)
香川県	34位	81,270 (0.4%)	13,530 (0.3%)	33,930 (0.2%)
愛媛県	35位	57,760 (0.3%)	35,280 (0.8%)	33,420 (0.2%)
青森県	36位	78,420 (0.4%)	17,090 (0.4%)	32,930 (0.2%)
奈良県	37位	56,890 (0.3%)	6,920 (0.2%)	31,660 (0.2%)
山形県	38位	87,440 (0.4%)	15,920 (0.4%)	25,900 (0.2%)
岩手県	39位	87,780 (0.4%)	17,750 (0.4%)	25,640 (0.2%)
宮崎県	40位	52,970 (0.3%)	10,230 (0.2%)	23,430 (0.1%)
佐賀県	41位	42,340 (0.2%)	6,860 (0.2%)	20,490 (0.1%)
徳島県	42位	20,040 (0.1%)	9,630 (0.2%)	18,140 (0.1%)
秋田県	43位	25,380 (0.1%)	7,910 (0.2%)	16,280 (0.1%)
福井県	44位	23,080 (0.1%)	9,370 (0.2%)	12,460 (0.1%)
鳥取県	45位	34,350 (0.2%)	11,030 (0.3%)	12,390 (0.1%)
島根県	46位	13,300 (0.1%)	11,260 (0.3%)	10,920 (0.1%)
高知県	47位	17,000 (0.1%)	8,750 (0.2%)	9,890 (0.1%)

注1：延べ宿泊者数は、調査対象となっている全宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

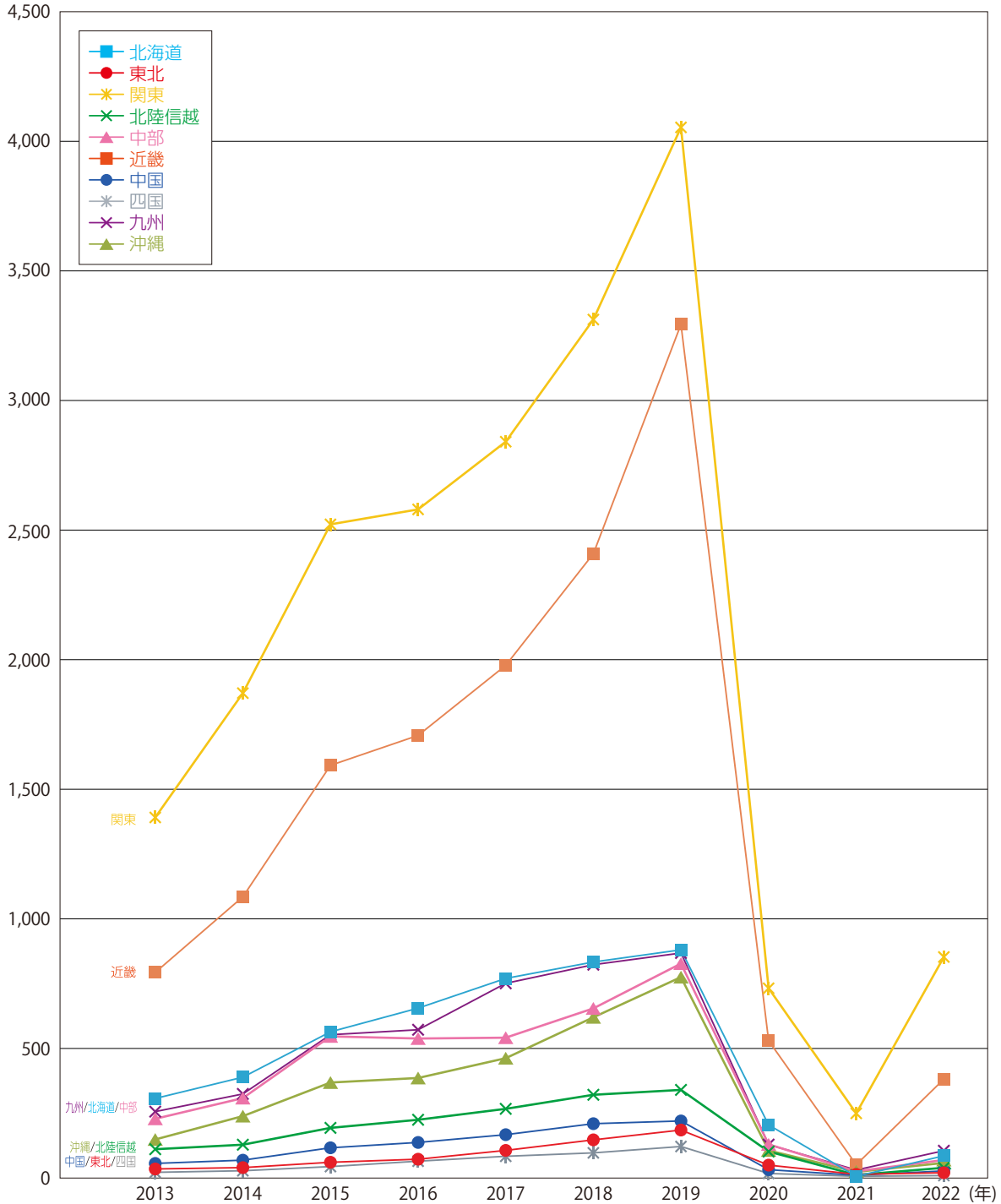
注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2017年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

### (23) 訪日外国人の地方別延べ宿泊者数（2013年～2022年）

(万人泊)



単位：人泊

北海道	3,069,750	3,890,590	5,641,140	6,554,220	7,702,470	8,335,030	8,805,160	2,050,370	66,130	857,170
東北	349,770	402,050	607,890	725,520	1,065,540	1,473,340	1,851,700	497,970	143,000	204,720
関東	13,912,820	18,709,030	25,220,580	25,797,570	28,409,730	33,122,750	40,536,810	7,321,770	2,496,240	8,528,050
北陸信越	1,112,270	1,286,360	1,935,180	2,247,700	2,670,330	3,212,210	3,400,600	1,022,190	117,510	396,240
中部	2,285,290	3,083,730	5,465,290	5,383,270	5,415,230	6,544,740	8,274,300	1,298,860	258,890	696,180
近畿	7,930,960	10,849,890	15,921,840	17,077,320	19,779,720	24,087,350	32,935,720	5,299,280	513,910	3,815,170
中国	563,820	689,470	1,166,950	1,372,660	1,672,570	2,096,720	2,201,930	322,430	107,200	273,590
四国	219,980	281,360	441,550	649,900	839,110	971,020	1,216,920	176,070	67,180	95,380
九州	2,563,340	3,243,580	5,529,320	5,720,990	7,512,090	8,230,800	8,682,450	1,290,810	309,640	1,053,540
沖縄	1,487,750	2,388,550	3,684,870	3,859,790	4,623,800	6,201,270	7,750,760	1,065,410	237,420	582,900

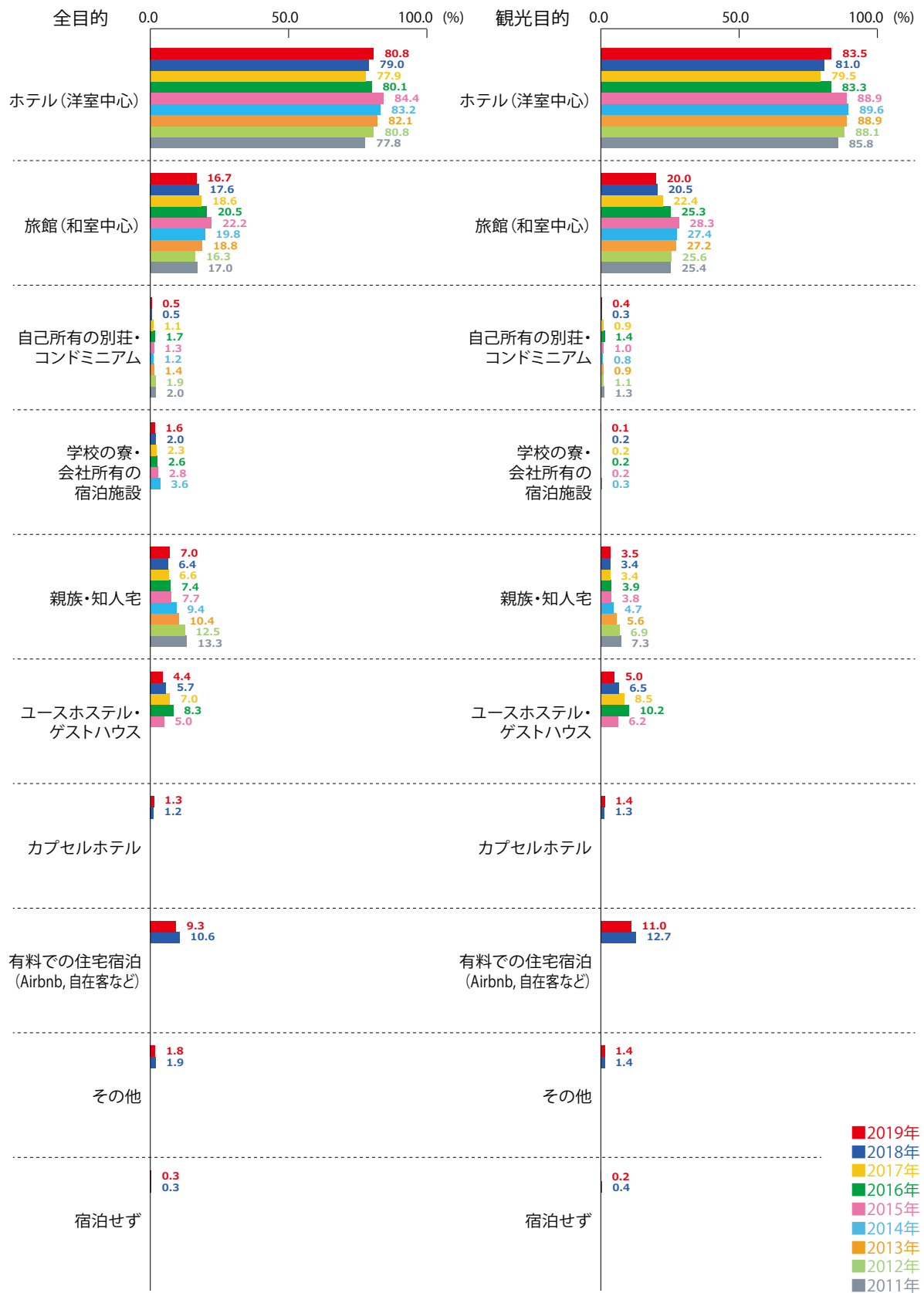
注1：延べ宿泊者数は、調査対象となっている全宿泊施設からの回答に基づき集計されている。

注2：宿泊旅行統計調査の結果は推計値であり、算出する段階で端数処理が伴う。都道府県と地方の推計値を各々算出する際、端数が一致しない状況が生じるため、都道府県（第4章(22)）と地方（第4章(23)）の数値を各々合計すると、両者に誤差が生じることがある。

注3：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年にかけて延べ宿泊者数が激減した。

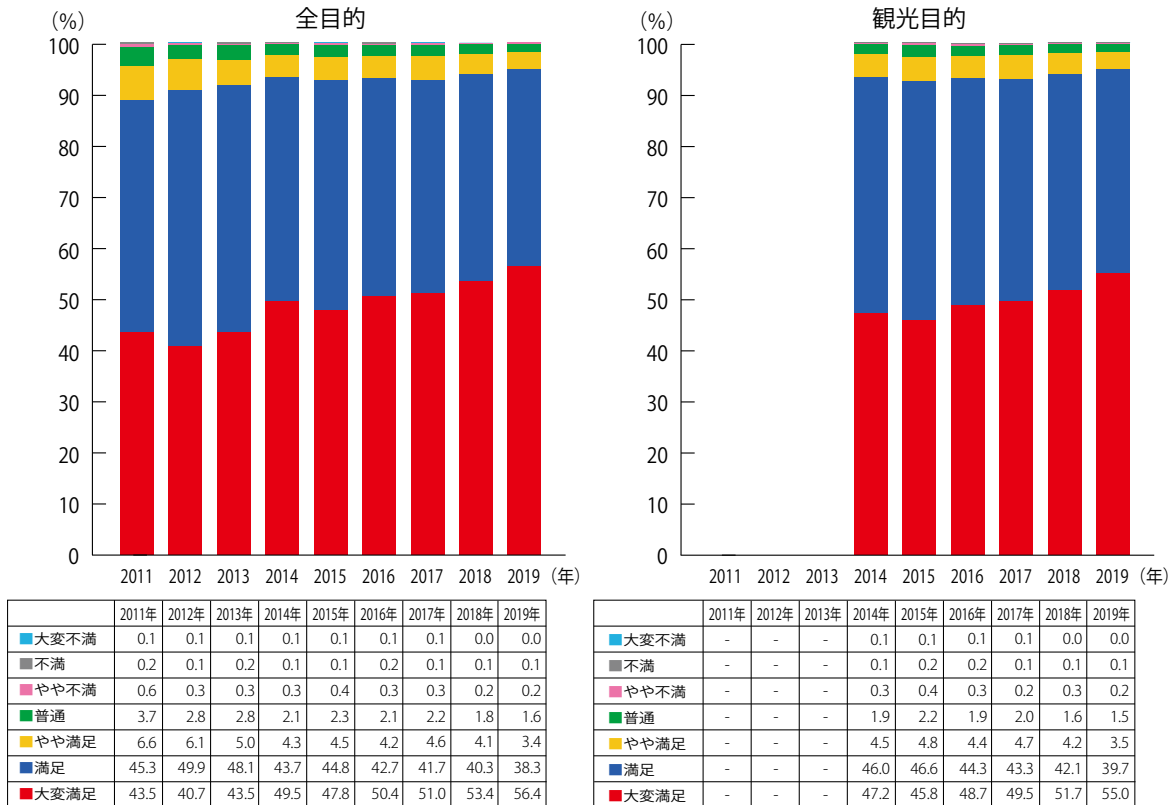
出典：観光庁「宿泊旅行統計調査（2013年～2022年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

(24) 訪日外国人が利用した宿泊施設 (2011年～2019年)



注1：上の数値は複数回答の結果である。  
 注2：2014年、2015年、2018年に新項目が追加されたため、それ以前の当該項目の数値は存在しない。  
 注3：2018年以降の「自己所有の別荘・コンドミニアム」は、2011年～2017年の「別荘・コンドミニアム」と対比させている。  
 注4：調査項目には各年とも「その他」が設定されているが、2017年以前と2018年以降の項目数が異なり、「その他」に属する宿泊施設の種類も異なることから、本グラフには2017年以前の「その他」の数値を掲載していない。  
 注5：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。  
 出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (25) 外国人の訪日旅行の満足度（2011年～2019年）

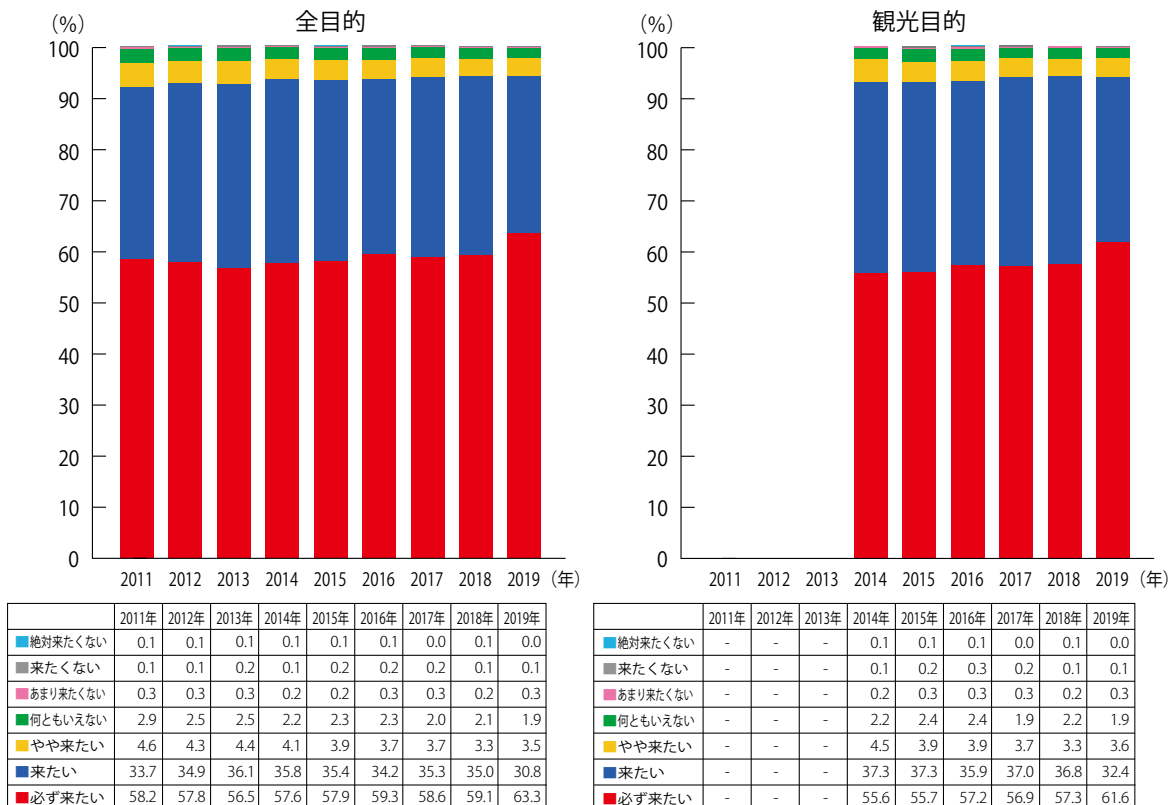


注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成

## (26) 訪日外国人の日本再訪意向（2011年～2019年）



注1：2013年以前の観光目的の数値は存在しない。

注2：新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行により、2020年から2022年まで「訪日外国人消費動向調査」の年間の確報値が算出されていないため、本書では2019年までの情報（昨年版の本書でも掲載した情報）を再掲することとした。

出典：観光庁「訪日外国人消費動向調査（2011年～2019年）」に基づき日本政府観光局（JNTO）が作成



## JNTO 訪日旅行データハンドブック 2023 年

---

編著・発行／日本政府観光局 (JNTO)  
〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-1 YOTSUYA TOWER  
TEL : (03)5369-6020

---

日本の魅力を、日本のチカラに。



日本政府観光局

[www.jnto.go.jp](http://www.jnto.go.jp)

編著・発行 日本政府観光局 (JNTO)

無断転載・複製禁止 PR341-2311